別記様式第2号（その1の1）

（用紙　日本工業規格A4縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画									
事　項	記　入　欄								備　考
計画の区分	専門職大学の設置								—
フリガナ 設置者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ ﾓﾄﾔﾏｶﾞｸｴﾝ 学校法人 本山学園								—
フリガナ 大学の名称	ｵｶﾔﾏｲﾘｮｳｾﾝﾓﾝｼｮｸﾀﾞｲｶﾞｸ 岡山医療専門職大学（Okayama Healthcare Professional University）								—
大学本部の位置	岡山県岡山市北区大供三丁目2番18号								—
大学の目的	本学は、本山学園創業の精神に則り、最新の専門知識と高度な実践技能を備え、高質なヒューマンサービスを生み出し、職業専門業務を主導できる創造性豊かな人材を育成し、社会の進歩と健康増進及び福祉の向上に貢献することを目的とする。								—
新設学部等の目的	高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた理学療法士・作業療法士の育成を目的とする。								—
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	—
		年	人	年次 人	人		年　月 第　年次		
	健康科学部 （Faculty of Health Sciences）								
	理学療法学科 （Department of Physical Therapy）	4	80	－	320	理学療法学士 （専門職）	令和2年4月1日 第1年次	岡山県岡山市北区大供三丁目2番18号	
	作業療法学科 （Department of Occupatioal Therapy）	4	40	－	160	作業療法学士 （専門職）	令和2年4月1日 第1年次	岡山県岡山市北区大供三丁目2番18号	
	計		120	－	480				
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	岡山医療技術専門学校 理学療法学科（廃止）（△80） 作業療法学科（廃止）（△40） 西日本調理製菓専門学校 調理師科(入学定員変更)(△40)								—

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実習	計	
	健康科学部 理学療法学科	56科目	14科目	25科目	95科目	135単位
	健康科学部 作業療法学科	56科目	13科目	23科目	92科目	135単位

			専任教員等						兼任教員等	
	学部等の名称		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
教員組織の概要	新設分	健康科学部 理学療法学科	9人 (7)	1人 (1)	3人 (1)	5人 (3)	18人 (12)	0人 (0)	31人 (4)	—
		健康科学部 作業療法学科	6 (4)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	10 (7)	0 (0)	28 (4)	
		計	15 (11)	2 (2)	4 (2)	7 (4)	28 (19)	0 (0)	34 (4)	
	既設分	該当なし	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
		計	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	
	合計		15 (11)	2 (2)	4 (2)	7 (4)	28 (19)	0 (0)	34 (4)	

	職種	専任	兼任	計	
教員以外の職員の概要		人	人	人	—
	事務職員	14 (14)	0 (0)	14 (14)	
	技術職員	3 (3)	0 (0)	3 (3)	
	図書館専門職員	1 (1)	0 (0)	1 (1)	
	その他の職員	2 (2)	0 (0)	2 (2)	
	計	20 (20)	0 (0)	20 (20)	

	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校地等	校舎敷地	1,228.85 ㎡	4,570.76 ㎡	0 ㎡	5,799.61 ㎡	岡山医療技術専門学校、インターナショナル岡山歯科衛生専門学校、西日本調理製菓専門学校（必要面積：数値基準はなし）と共用
	運動場用地	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	
	小計	1,228.85 ㎡	4,570.76 ㎡	0 ㎡	5,799.61 ㎡	
	その他	0 ㎡	187.39 ㎡	0 ㎡	187.39 ㎡	
	合計	1,228.85 ㎡	4758.15 ㎡	0 ㎡	5,987 ㎡	

	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
校舎	6091．19㎡ (3282．27㎡)	5689．91㎡ (8498．84㎡)	4158．45㎡ (4158．45㎡)	15939．55㎡ (15939．55㎡)	岡山医療技術専門学校（必要面積200㎡）、インターナショナル岡山歯科衛生専門学校（必要面積499.2㎡）、西日本調理製菓専門学校（必要面積904㎡）と共用

教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	13 室	11 室	12 室	1 室 （補助職員0人）	0 室 （補助職員0人）	

専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	—
	健康科学部研究室	28 室	
	教育研究室	1 室	
	健康科学部実験共同研究室	1 室	

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	—
	健康科学部	9,723〔338〕 9,723〔338〕	1413〔7〕 （1413〔7〕）	1408〔7〕 （1408〔7〕）	16 （16）	2,815 （2,815）	57 （57）	
	計	9,723〔338〕 （9,723〔338〕）	1413〔7〕 （1413〔7〕）	1408〔7〕 （1408〔7〕）	16 （16）	2,757 （2,757）	57 （57）	

図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	484.56㎡	100	48,880	
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		
	1055.21㎡	—	—	

経費の見積及び維持の概要	経費の見積り	区　分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書費には電子ジャーナルの整備費（運用コスト）を含む。
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	－ 千円	－ 千円	
		共同研究費等		450千円	450千円	450千円	450千円	－ 千円	－ 千円	
		図書購入費	5,568千円	3,000千円	3,132千円	3,264千円	3,396千円	－ 千円	－ 千円	
		設備購入費	129,936千円	19,209千円	12,621千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	

学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	1,760千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	－千円	－千円

学生納付金以外の維持方法の概要	資産運用収入、雑収入　等

既設大学等の状況

大学の名称	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
岡山医療技術専門学校	理学療法学科	3	80	—	240	専門士	0.67	平成4年度	岡山県岡山市北区大供三丁目2番18号	※令和2年度より学生募集停止（理学療法学科、作業療法学科）
	作業療法学科	3	40	—	120	専門士	0.60	平成4年度		
	医療事務学科	1	40	—	40	—	0.35	平成21年度		
西日本調理製菓専門学校	総合調理専攻科	2	40	—	80	専門士	0.78	平成25年度		※平成31年度入学定員減（40人）（調理師科）収容定員減（40人）
	調理師科	1	80	—	80	—	0.63	昭和43年度		
	パティシエ・ブランジェ科	2	40	—	80	専門士	0.72	平成18年度		
	スイーツ科	1	80	—	80	—	0.28	昭和57年度		
インターナショナル岡山歯科衛生専門学校	歯科衛生学科	3	48	—	144	専門士	0.91	平成21年度		

附属施設の概要	該当なし	—

別記様式第2号（その2の1）

教　育　課　程　等　の　概　要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	備考	
基礎科目		大学入門	1前	1				○		1	1	3	5			
		基盤ゼミⅠ	2前	1				○		2	1	3	5			
		基盤ゼミⅡ	3前	1				○		2	1	3	5			
		職業人の倫理と道徳論	1後	2			○			1						
		心理学	1前		2		○								兼1	
		哲学概論	1前		2		○								兼1	
		健康科学概論	1後	1			○								兼1	
		コミュニケーション英語	1前	2			○								兼1	
		日本の歴史と文化	1前	2			○								兼1	
		国際政治経済論	2後	1			○								兼1	
		基礎生物	1前	1			○								兼1	
		基礎物理	1前	1			○								兼1	
		情報収集と処理	1後	1			○			1						
		統計分析の基礎	2後	1			○				1					
		人間関係論	3前		2		○								兼1	
		コミュニケーション論	3前	1			○								兼1	
		テーマ設定と研究方法	3前	1			○			1						
		研究デザイン	3前	1				○		6	1	1	3			
		小計（ 18科目）	－	18	6	0	—	—	—	7	1	3	5	0	兼9	
職業専門科目	専門基礎分野	メディカル英語	3後	2			○								兼1	
		解剖学	1前	2			○			1						
		解剖学実習Ⅰ	1後	1					○	1						
		解剖学実習Ⅱ	2前	1					○	1						
		生理学	1前	2			○								兼1	
		生理学実習	1後	1					○						兼1	
		運動学	1後	2			○			1						
		運動学実習	2前	1					○	1			1			
		人間発達学	1前	2			○			1						
		臨床医学概論	1前	2			○			1						
		病理学	1後	2			○			1						
		精神医学	2後	2			○								兼1	
		整形外科学	2前	2			○			1						
		内科学	1後	2			○			1						
		神経内科学	2前	2			○								兼2	
		小児科学	2前	2			○			1						
		リハビリテーション医学	1後	1			○			1						
		リハビリテーション概論	1前	1			○			1						
		地域包括マネジメント論	3後	1			○								兼3	オムニバス
		多職種連携論	1後	1			○						1			
	専門分野	理学療法概論	1前	2			○			1						
		基礎理学療法学	2前	2			○				1					
		基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○			1	1			
		基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○			2	1			
		理学療法セミナーⅠ	4前		1			○				1				
		理学療法セミナーⅡ	4後		1			○					1			
		理学療法管理学概論	3前	2			○			1						
		理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○					1				
		理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○					1				
		理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○			1	1			
		理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○				2			
		理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○			1	1			
		運動療法	1後	1			○			1						
		運動療法実習Ⅰ	2前	1					○				2			
		運動療法実習Ⅱ	2後	1					○				2			
		物理療法	2後	1			○			1						
		物理療法実習	3前	1					○				2			
		理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○			1						

	理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○			1						
	理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○			1						
	理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○				1					
	理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○	1		1	1			
	理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○			1	1			
	理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○		1		1			
	老年期障害理学療法学	3前	1				○					1			
	理学療法演習Ⅰ	2後		2			○				1	1			
	理学療法演習Ⅱ	3後		2			○				1	1			
	日常生活活動学	2前	1			○						1			
	日常生活活動学実習	2後	1					○		1	1				
	生涯スポーツ実習	3前	1					○	1		3	2			
	スポーツ理学療法特論	2後	1					○			1	1			
	義肢装具学	3後		1		○								兼1	
	応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○			1	1			
	応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1				○						兼1	
	応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1					○			1	1			
	生活環境学	2後	2			○						1			
	地域理学療法学	3前	1			○						1			
	予防理学療法学	3後		1		○						1			
	見学実習	1通	1					臨		1	1	1			
	評価実習	3前	3					臨			1	2			
	総合実習Ⅰ	3後	8					臨	1		1	1			
	総合実習Ⅱ	4前	8					臨			1	2			
	小計（ 62科目）	－	89	9	0	―	―	―	8	1	3	5	0	兼10	
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○								兼1	
	人間形成論	3後	2			○								兼1	
	食生活マネジメント論	3前	2			○								兼1	
	生体情報科学	3後	2			○								兼1	
	NPO論	4前	2			○								兼1	
	スポーツ科学	4前	2			○								兼1	
	起業入門	4前	2			○								兼1	
	マネジメント論	4前	2			○								兼1	
	コーチング論	4前	2			○			1						
	岡山経営者論	4前	2			○			1					兼10	オムニバス
	小計（ 10科目）	－	20	0	0	―	―	―	2	0	0	0	0	兼18	
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○		6	1	3	3			
	総合研究Ⅱ	4前	1				○		6	1	3	3			
	総合演習Ⅰ	3後		1			○		2		1	1			
	総合演習Ⅱ	4前		1			○				2	1			
	卒業論文	4後	2				○		8	1	2	3			
	小計（ 5科目）	―	4	2	0	―	―	―	8	1	3	3	0	－	
	合計(95科目)	―	131	17	0	―	―	―	9	1	3	5	0	兼34	

学位又は称号	理学療法学士（専門職）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）

卒　業　要　件　及　び　履　修　方　法	授業期間等	
【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1）本学に4年以上在学すること。 2）次により、必修科目131単位、選択科目4単位以上を履修すること。 基礎科目22単位以上 必修科目18単位以上 選択科目4単位以上 職業専門科目89単位以上 専門基礎分野科目から必修科目32単位以上 専門分野科目から必修科目57単位以上 展開科目必修科目20単位以上 総合科目必修科目4単位以上 実習・実験科目から40単位以上 うち、臨地実務実習20単位以上 履修登録上限は、1年間において39単位とする。 ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

教　育　課　程　等　の　概　要

（健康科学部作業療法学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	大学入門	1前	1				○		1	1		2		
	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		1	1	1	2		
	基盤ゼミⅡ	3前	1				○		1	1	1	2		
	職業人の倫理と道徳論	1後	2			○								兼1
	心理学	1前		2		○								兼1
	哲学概論	1前		2		○								兼1
	健康科学概論	1後	1			○			1					
	コミュニケーション英語	1前	2			○								兼1
	日本の歴史と文化	1前	2			○								兼1
	国際政治経済論	2後	1			○								兼1
	基礎生物	1前	1			○			1					
	基礎物理	1前	1			○								兼1
	情報収集と処理	1後	1			○			1					
	統計分析の基礎	2後	1			○			1					
	人間関係論	3前		2		○								兼1
	コミュニケーション論	3前	1			○								兼1
	テーマ設定と研究方法	3前	1			○			1					
	研究デザイン	3前	1				○		6	1				
	小計（ 18科目）	—	18	6	0	—	—	—	6	1	1	2	0	兼8
専門基礎分野	メディカル英語	3後	2			○			1					
	解剖学	1前	2			○								兼1
	解剖学実習Ⅰ	1後	1					○						兼1
	解剖学実習Ⅱ	2前	1					○						兼1
	生理学	1前	2			○			1					
	生理学実習	1後	1					○	1					
	運動学	1後	2			○			1					
	運動学実習	2前	1					○			1			
	人間発達学	1前	2			○								兼1
	臨床医学概論	1前	2			○								兼1
	病理学	1後	2			○								兼1
	精神医学	2後	2			○								兼1
	整形外科学	2前	2			○								兼1
	内科学	1後	2			○								兼1
	神経内科学	2前	2			○								兼1
	小児科学	2前	2			○								兼1
	リハビリテーション医学	1後	1			○			1					
	リハビリテーション概論	1前	1			○			1					
	地域包括マネジメント論	3後	1			○								兼3 オムニバス
	多職種連携論	1後	1			○				1				
職業専門科目	作業療法概論	1前	2			○			1					
	基礎作業学	1後	1			○				1				
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○				1		
	基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○				1		
	作業療法セミナーⅠ	4前		1			○		1					
	作業療法セミナーⅡ	4後		1			○		1					
	作業療法管理学概論	3後	2			○			1					
	作業療法評価学	1後	2			○				1				
	作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○			1	1		
	作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○			1	1		
	作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1					○			1	1		
	基礎作業療法治療学	3前	1			○			1					
	基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1					○				2		
	基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○			1	1		
	身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○				1				

専門分野	身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○			1							
	身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○			1							
	身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○			1							
	身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○				1	1			
	身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○	1				1			
	身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○					2			
	老年期障害作業療法学	2後	1			○			1							
	老年期障害作業療法実習	3前	1					○		1		1	2			
	精神障害作業療法学	2後	1			○				1						
	作業療法演習Ⅰ	2後		2			○						1			
	作業療法演習Ⅱ	3後		2			○						1			
	日常生活活動学	2前	1			○				1						
	日常生活活動学実習	2後	1					○				1	1			
	義肢装具学	3後		1		○									兼1	
	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法)	4前	1					○							兼2	
	応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学)	4前	1					○	1							
	応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	4前		1				○							兼2	
	生活環境学	2後	2			○			1							
	地域作業療法学	3後	1			○			1							
	予防作業療法学	3後	1			○			1							
	見学実習	1通	1					臨	1			1	1			
	評価実習	3前	3					臨		1		1	1			
	総合実習Ⅰ	3後	9					臨	1				1			
	総合実習Ⅱ	4前	9					臨				1	1			
	小計(59科目)	—	89	8	0	—	—	—	6	1	1	2	0	兼19		
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○								兼1		
	人間形成論	3後	2			○								兼1		
	家族関係論	3前	2			○								兼1		
	地域社会論	3後	2			○								兼1		
	コミュニティ形成論	3後	2			○								兼1		
	地域生活と健康	4前	2			○			1							
	特別支援教育	4前	2			○			1							
	人間工学	4前	2			○			1							
	ライフサイクル論	4前	2			○								兼1		
	岡山経営者論	4前	2			○								兼11	オムニバス	
	小計(10科目)	—	20	0	0	—	—	—	3	0	0	0	0	兼17		
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○		6	1						
	総合研究Ⅱ	4前	1				○		6	1						
	総合演習Ⅰ	3後		1			○		2		1					
	総合演習Ⅱ	4前		1			○		2							
	卒業論文	4後	2				○		6	1	1	1				
	小計(5 科目)	—	4	2	0	—	—	—	6	1	1	1	0	-		
	合計(92科目)	—	131	16	0	—	—	—	6	1	1	2	0	兼37		

学位又は称号	作業療法学士（専門職）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1)本学に4年以上在学すること。 2)次により、必修科目131単位、選択科目4単位以上を履修すること。 基礎科目22単位以上 必修科目18単位以上 選択科目4単位以上 職業専門科目89単位以上 専門基礎分野科目から必修科目32単位以上 専門分野科目から必修科目57単位以上 展開科目必修科目20単位以上 総合科目必修科目4単位以上 実習・実験科目から40単位以上 うち、臨地実務実習22単位以上 履修登録上限は、1年間において39単位とする。 ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	大学入門	大学で自立的に学ぶために必要な、基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるようにする。大学教育の基本と学び方の基本を修得する。到達目標は、①大学で自律的に学ぶ心構えを身につけることができる。②自分が進む専門領域の基礎を知ることができる。③必要な資料や文献などを調査することができる。④文献などの内容を要約することができる。⑤定められた形式に従ってレポートを書くことができる。⑥レポートの内容を発表し、議論して自分の考えを再構成することができる。	
	基盤ゼミⅠ	基盤ゼミ1では、少人数編成のプレゼン教育を活用して、担当教員が準備する急激に変化する時代を生き抜くための課題群から学生が選択し、課題のあるべき姿と現実、その原因と解決策のオプションをまとめ、さらに最善の解決策へと絞り込んでいく思考過程を身につけていく。ゼミメンバーを2グループに分け、グループごとに課題を煮詰める作業を行い、教師が議長となりプロ（賛成）とコン（反対）に分かれて討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることで、問題への認識を深め、より洗練された解決策を見出していくという方法をとる。 到達目標：①課題についての問題意識を明確にする。②課題の問題点を明確にできる。③課題の解決に向けての選択肢を示し、最善の選択肢を選ぶことができる。④課題に関して説得力ある形で人に伝える発信力とコミュニケーション力を身につける。⑤効果的なプレゼンテーションの組み立て方法を修得する。	
	基盤ゼミⅡ	基盤ゼミⅠで修得した、問題の核心を特定し最善の解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択した課題に基づき、必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表する。 自ら学ぶ姿勢を丁寧に鍛え、問題の核心を認知し、問題を掘り下げ、自ら必要なデータを調査し、論理的な思考過程を通して、最善の解決策を見出していく能力を育成する。 教師が議長となり、各人のプレゼンテーションについてプロコン・メソッドで討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることでより洗練された解決策を見出していくという方法をとる。 到達目標：①課題を発見し、問題を特定することができる。②問題を掘り下げるのに必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめることができる。③本格的なプレゼンテーション形式で課題の解決策を提示することができる。④自ら学び、調べ、解決策を探求する学修姿勢と力を身につける。	
	職業人の倫理と道徳論	「医の倫理」が社会的問題となっている。「倫理」とは、人間の尊厳にかかわる我々人間の行動に対する規範や基準の事である。特に、人間を対象とする保健・医療の分野では様々な倫理的問題が生じている。そのため、医療従事者には適切な倫理的判断能力が求められる。本講義を通じて、人として倫理的感受性や倫理的判断力、倫理的意志決定力を高め、医療やリハビリテーションの質の向上を目指すことを目的とする。 到達目標：①倫理とその意義・重要性を説明できる。②保健・医療の現場における倫理的問題とその成り立ち・影響について説明できる。③保健・医療の現場における倫理的問題を識別できる。④保健・医療の現場における倫理的問題に対する自らの考え・立場（価値観）を述べることができる。⑤保健・医療の現場における倫理的問題に対するよりよい判断・意思決定のあり方を説明できる。	
	心理学	はじめて心理学を学ぶ人を対象に、心理学の基本的なトピックについて紹介する。 到達目標：心理学の基礎用語や代表的な理論について理解し、簡単に説明できるようになる。心理学の科学的な心の理解の仕方に触れ、日常生活で役立てられるようになる。	

哲学概論	西洋と東洋の主要な哲学思想の基本的内容を概観する。 到達目標:西洋と東洋の哲学思想についての基本的知識を修得する。物事を多面的に捉えことが可能であることを知り、自己の考え方を吟味する態度を養う。物事の表層ではなく、原理に迫る思考態度を身につける。	
健康科学概論	日本には古くより、医食同源という格言で表されるように、食事は命や健康と密接なつながりをもつものと考えられている。近年、食の多様化が進む中で、バランスの良い食生活を営むことは非常に重要である。特に、食事は生活習慣病など病気につながるところも多い。そこで、本講義では、健康の維持・増進に関わる正しい知識を習得し、適切な食事・運動・睡眠という一連の規律正しい生活習慣の確立を目指すことを目的とする。	
コミュニケーション英語	講義概要： 大学生が留学生と交流しながら、社会生活での様々な状況に英語で対処する内容で構成され、身近な話題から専門分野の基礎編まで、幅広く多様な出来事を英語で疑似体験する。授業内容は、CEFRのB1レベルである。 到達目標： ①日常的に出会う様々な話題について、自然な英語表現を使ってやり取りができる。 ②外国人と自然体で接し、説明すべき状況や自分の考えを筋道立てて発言できる。	
日本の歴史と文化	文化をとおして「日本（人）らしさ」を考え、再確認する機会を持つ。その手段として、①時代の流れの中で日本文化がどのように変容していったかを大まかにとらえ、②時代やテーマごとに代表的な事例をいくつか取り上げ、英語で説明しつつその背景を考える。 上記をとおして、日本文化の特徴たる概念「もののあはれ」「侘び・さび」「幽玄」などや、「恩」「義理」「恥」など日本人の精神性を具体性をもって語れるようにする。	
国際政治経済論	本講義では、現代社会に対する基本的な知識を習得し、日本および世界で現在起こっているさまざまな問題についての理解を深める。本講義を通して、国際社会に生きる日本人として向き合い、自らの将来について考える機会とする。なお、本講義は英語教材を使用するものとする。 到達目標：日本および世界で現在起こっているさまざまな問題について理解し説明できる。	
基礎生物	生命の基本が細胞レベルで完結し、遺伝、分化、発生、病気、死といった生命現象が細胞の基本機能の上に成り立つしくみを理解する。核酸やタンパク質、脂質、炭水化物の構造といった基礎項目をはじめ、細胞内情報伝達、糖脂質代謝、神経生理、内分泌、免疫、疾患などの生物学や医学を学ぶために必要な基本事項を広範に取り扱う。 到達目標：①細胞の構成物質や小器官について分子レベルで、その働きを理解する。②遺伝子情報の転写と翻訳を理解する。③細胞分裂の仕組みを理解する。④物質とエネルギーの違いを理解する。⑤神経生理、内分泌、免疫の働きについて理解する。	
基礎物理	理学療法士の評価、治療について考察するためには、物理学の知識は欠くことができない。①物理学全般を教科書に沿って講義し、各章の概要を学ぶ。②例題や演習問題を解くことにより理解を深める。③教科書の章末問題が解けることを目標とする。	

		情報収集と処理	コンピュータの普及によって、多様なデータベースを療法士自身で作成できるようになり、日々の療法士業務で活用している。本講義ではデータベースの基本的な構造とその作成について講義・演習を行う。また、論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成する。 到達目標：①データベースの概念を理解し説明できる。②医療現場におけるデータベースの重要性を認識する。③基本的なデータベース作成技術を習得する。④データベースが持つ様々な意味を理解できる。⑤論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成できる。	
		統計分析の基礎	統計学は、社会に根づいた学問であるが初学者には苦手意識を抱きやすい学問である。そのため、本講義では、統計学の基礎となる分野を重点的に学ぶ。具体的な統計解析に習熟することを目的として、「統計学のための資料整理」、「確率論の基本」、「推測と検定」の理論について解説し、演習を行う。さらに、医学・保健学のための応用的な話題や活用できるデータ解析の手法を習得する。	
		人間関係論	現代の医療における課題は、1. 医療が「人間相手の仕事」であること、2. 「病人相手」の職業であり、「真の助力的活動」でなければならないこと、3. この仕事を「職業として引き受けていくこと」の意味であると言われている。特に、人は代理不可能で、主体性と独自性をもった存在である。こうした、一人一人の患者と医療従事者（理学療法士）が適切で良好な人間関係を築いていくためには、人間の心を知る「了解」とそれに基づいたコミュニケーションが必要となる。そこで、助力的人間関係を築いていくためには何が求められるかについて理解すると共に、その具体的な方法を学ぶ。	
		コミュニケーション論	本講義では、異文化コミュニケーション論の視点から、日本的コミュニケーションの諸特徴を考察しながら、日常における円滑な対人間コミュニケーションの技法を身に付けると共に、英語を国際共通語として、諸外国の人々とのコミュニケーションの際に発生し得るトラブルの文化的背景を学びながら、その解決方法を修得する。	
		テーマ設定と研究方法	臨床現場で働くためになぜ研究マインド・研究スキルを身に付ける必要があるかを理解し、社会や対象者が抱える課題解決に寄与できる可能性を探ることができる。 到達目標：①研究テーマを設定する手順を理解する。②研究手法について理解することができる。	
		研究デザイン	各分野の指導教員のもと、研究計画の立案を通して、研究を実施するための必要な知識を段階的に獲得していく。具体的には、緒言、研究方法、結果及び考察というセクション別で、重要なポイントを学んでいく。 到達目標：研究の背景から予測される成果まで論理的に説明し、研究を実施するための研究計画を立案することができる。	
職業専門科目	専門基礎分野	メディカル英語	講義概要： 授業は、初診時の様々な基本的対応を踏まえて、療法士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成とする。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の修得を基礎に置き、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力を修得しその向上を図り、英文読解に必要となる基本的な英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容を理解する。授業内容は、CEFRのB1レベルをやや上回る水準に相当する。 到達目標： ①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。 ②英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。 ③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。	

解剖学	理学療法士として従事する際に必要な知識（正常な人体の構造および機能）を学び理解する。①筋骨格系（四肢・体幹の骨・関節・筋肉）を学び理解する。②神経系を学び理解する。③感覚系を学び理解する。④循環器系～呼吸器系を学び理解する。⑤消化器系を学び理解する。⑥泌尿器系、その他を学び理解する。到達目標：正常な人体の各器官系の構造と機能を説明できる。	
解剖学実習Ⅰ	上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋について、骨模型等を利用した実習、体表解剖学を通して、機能解剖を学ぶことで、人体の構造を理解する。また、機能解剖の基礎知識を身につけ、骨標本や身体運動に適用することができるよう学ぶ。 到達目標：体表にあらわれる構造を解剖学的に説明できる。身体各部の運動を各部の骨・関節・筋の機能を使って説明できる。	
解剖学実習Ⅱ	生前のご遺志により献体されたご遺体を通して、上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋および、全身の臓器に関して、人体の構造を理解する。岡山大学で行われる人体解剖実習見学を軸として、その前後に骨模型やウェブ上から得られる模型画像を用いて予習・復習を行う。解剖学の基礎知識を身につけ、身体運動に適用することができるよう学ぶ。 到達目標：精緻に創られた人体に接することにより生命の大切さを実感できる。中枢神経系から出る脳脊髄神経・自律神経の走行を観察し、その機能を理解できる。胸部・腹部内蔵の配置と構造を学び、その機能を理解できる。四肢において骨格系・筋系・脈管系・神経系を同時に観察することにより四肢の構造と機能を理解できる。	
生理学	ヒトの機能は運動や感覚系を中心とする動物性機能と、心臓循環、呼吸、消化器系などの植物性機能に分類される。本講義では、前半に動物性機能について学習し、運動機能や精神活動を含む神経機能、感覚器官、自律神経系といった広範囲な知識を理解する。後半に植物性機能について学習し、ヒトの生命活動に直結する生理機能を理解する。 到達目標：①細胞膜を介した物質の輸送が理解できる。②筋収縮の仕組みと運動神経による調節の仕組みを理解できる。③自律神経性調節の特徴を理解できる。④各種感覚の神経機構を理解できる。⑤高次脳機能に関わる脳領域とそのメカニズムを理解できる。⑥血液、循環について説明ができる。⑦呼吸の仕組みについて説明ができる。⑧消化と栄養素の吸収について説明できる。⑨尿生成と排尿について説明できる。⑩内部環境の維持に関わる機序が理解できる。	
生理学実習	解剖学・生理学・運動学の講義を踏まえ、環境の変化・運動に対する生体の反応や、恒常性維持について学ぶ。人と動物の生理機能を自らの手で測定し、その結果を解析・考察することにより、人体機能が維持されるメカニズムを理解する。また、この実習を通して、医療従事者として必要な姿勢や洞察力を養うことを目標とする。	
運動学	運動学は、リハビリテーション医療の基礎科学であり、理学療法にとっても基礎でありながら、将来にわたって学び続ける専門職の根幹をなす科目である。また、専門的な評価や治療の根拠となる知識であるため、最重要科目の1つといえる。本講義では、人の身体運動に関する基本的な知識を習得するために、次のことを目標とする。①運動学で扱う用語を知り、実際の身体運動と結びつけられる。②運動学に必要な生体力学の知識を身につける。③上肢、下肢、体幹の機能解剖と運動について知識を身につける。④姿勢、歩行についての知識を身につける。	
運動学実習	解剖学や運動学などの学問から習得した知識を踏まえ、正常な身体の機能解剖および身体運動を理解した上で、その観察および分析方法を学ぶ。また、観察・分析の結果を文章化できるようにする。 到達目標：①四肢・体幹の機能解剖および関節運動を理解する。②機能解剖を理解したうえで、理学療法評価の基礎となる触診技術を習得する。③関節運動を専門的に説明し実際に運動で表すことができる。④正常動作を観察し、それを運動学・運動力学的に分析して運動学的用語でまとめる。⑤分析した内容をレポートにまとめ、発表する。	

人間発達学	人間発達学では、胎児期から老年期までの人間の成長について、また、その成長過程にある病気について学ぶ。本講義を学ぶことで、医療従事者である理学療法士・作業療法士として、また、人間として障害のある人およびその家族の思いを理解できるようになることが目標である。	
臨床医学概論	臨床医学とは、疾患によらず患者に対して行われる診断・治療についての学問である。本講義では、救急医学、画像診断学、薬学、栄養学などリハビリテーションに関連した分野を中心に学ぶ。 到達目標：①救急医療がわかる。一次救命処置（BLS含む）が実践できる。②X線、CT・MRI等の基礎知識を身につける。解剖と機能の関連性が説明できる。③薬物の作用様式と作用機序を説明できる。リハビリテーションに関連した主な薬物の薬理作用を説明できる。④各栄養素の性質や働きを理解する。栄養不良や過栄養の身体への影響を理解する。	
病理学	病理学とはヒトの病気の成り立ちを考え、明らかにすることである。さまざまな病気と向き合う理学療法士にとって欠かせない知識となる。本講義では、各器官系の病気を理解するために、まず、生体の基本反応を学び、患者の全体像をとらえる思考力を涵養した上で、各器官系の代表疾患について学ぶ。 到達目標：①生体の基本反応が理解できる。②病因・病態（主に癌）を理解できる。③各種疾患の病理について理解できる。	
精神医学	精神医学は一般には馴染みがない学問のため、学生の多くが初学者である。そこで、本講義は、精神医学の総論を主体とし、精神医学の概要を学ぶ。 到達目標：①精神障害の成因（身体的原因と精神的原因）について理解できる。②精神機能の障害、およびその障害の際に出現する精神症状について理解できる。③疾病の特徴と治療の概要を理解する。	
整形外科学	整形外科の基礎で、特に最近の進歩に即応した知識を習得し、次いで機能解剖と臨床診断・治療を総論的にまとめ、リハビリテーションにつなげる。また、初歩的・基本的項目だけを学ぶのではなく、常に新しい知見を取り入れた講義を展開する。主に、整形外科に関連した疾病の定義や種類に関すること及び関連の理学療法について学ぶ。 到達目標：①整形外科に関連した疾病の概要および治療について理解する。②代表的な整形外科疾患に関連した治療、後療法について理解する。	
内科学	呼吸器、循環器などの内科学に関連した主要疾患の定義、特徴、病態および治療を概観する。 到達目標：①呼吸器、循環器等の内科学に関連した各種疾患の概要がわかる。②各種主要疾患の治療の概要がわかる。③各種主要疾患へのリハビリテーションの概要がわかる。	
神経内科学	神経内科とは、脳や脊髄、神経、筋肉といった運動や感覚を制御する仕組みに起こった病気について内科的な診断・治療をする医学である。本講義では、神経内科学の主要疾患の特徴や診断、治療について概観する。 到達目標：①神経内科学の主要疾患の原因や特徴（症状など）治療など概要を理解する。②神経疾患を診断するための各種検査方法および異常所見を理解する。	
小児科学	小児は大人の「小型版」ではない。成人との相違点と成長・発達にしたがって変化する各年齢における小児の特性を、理解し、問題点を解決できる力を養えるようにする。特に、小児に特有の疾患や、成人との相違に、主眼を置き解説する。	

	リハビリテーション医学	病気を理解することで、障がいなどの後遺症（機能障害や能力低下）を理解することができ、根拠に裏づけられたリハビリテーションが実践できる。そこで、本講義はリハビリテーションの対象となりやすい病気について、疾病の特徴、診断、治療について概説する。これにより、各疾患の診断や治療の概要や各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できることを目的とする。 到達目標：①各疾患の特徴や診断治療の概要、各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できる。②理学療法士として患者の機能回復・能力回復を支援することができる知識を習得する。	
	リハビリテーション概論	本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。 到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。④自立生活について理解できる。⑤ 就労支援について理解できる。	
	地域包括マネジメント論	地域包括ケアシステムについて理解を深めるとともに現場におけるマネジメントおよび介入・支援方法について学ぶ。 特に、高齢化が進む現在におけるケアマネジメントの実際を理解する。また、各社会保障制度（障害者福祉、生活保護、介護保険、児童福祉等）におけるケアマネジメントの現状と関連性と理解を深める。 到達目標:①地域包括ケアシステムとケアマネジメントの概要と方法について理解する。②ケアマネジメントの具体的な支援方法について理解する。③地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントを理解し、他者と協力する力を身につける。 （オムニバス方式/全10回） （⑯ 浜田淳：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授/4回） 1回）ガイダンスーなぜ「地域包括ケアシステム」が必要なのかー 2回）岡山市の地域包括ケアの今後のあり方をディスカッションする。 3回）岡山地域医療構想・地域包括ケアと療法士の役割とは何か。 4回）岡山地域包括ケアの療法士の関わり方をディスカッションする。 （⑱ 岸川和忠：岡山市保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課長/2回） 1回）岡山市の地域包括ケアの現状、課題 2回）地域包括ケアシステム構築における基礎自治体の役割 （⑰ 遠藤浩：岡山県地域包括ケアシステム学名誉会員/4回） 1回）多職種連携と地域包括ケアⅠ（他職種連携の必要性、阻害要因） 2回）多職種連携と地域包括ケアⅡ（他職種連携の重要性についてのディスカッション） 3回）先進事例の研究ー介護保険サービスの充実強化、医療との連携強化に関する取り組みー 4回）総括と学習到達度の確認テスト	オムニバス方式 同時に行う学生数：120人 教育上必要な理由は、本学部が育成する人材像を達成する上で、地域包括ケアシステムを理解することは極めて重要である。岡山地域の地域包括ケアシステムの専門家や研究者、行政職から岡山地域の地域包括ケアシステムの現状や将来像について直接授業を受けることで、地域のニーズや課題を学ぶことができ、十分な教育効果が期待できる。講師陣は多忙なため、何度も招聘することが困難なため合同授業としている。なお、大講義室（225名収容可能）を利用するため、教育上支障はない。
	多職種連携論	今後の社会状況では、保健・医療・福祉の統合において、臨床では各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人間的視点でアプローチを行うには、関連職種が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携について理解することが必要となる。 到達目標：①専門職種間連携の概要を理解し、自職種について説明できる。②保健・医療・福祉に関わる職種の専門性と関連について説明できる。③職種間連携実践のあり方について概説できる。	

専門分野	理学療法概論	理学療法およびリハビリテーションの歴史・概念・定義を基礎から学び理解する。また、理学療法の業務内容等を理解するとともに医学的リハビリテーションにおける理学療法士の役割および他の関連医療職との連携についても学習する。 到達目標：①理学療法の全体像を理解し説明できる。②理学療法業務内容を理解し説明できる。③理学療法士と多職種連携について説明できる。④自ら調べた内容をまとめてプレゼンテーションすることができる。	
	基礎理学療法学	運動学で学習した知識を踏まえ、正常な基本的動作の遂行に必要な心身機能を理解するとともに、疾患や障害による動作障害の特徴を正常と対比させ運動学的に理解する。よって、講義に際しては運動学の基礎知識を自主的に予習・復習すること。毎回小テストを実施し、現状を把握して予習・復習に繋げる。 到達目標：①運動学で学習した基礎知識をもとに、姿勢・動作との関連性がわかる。②姿勢・動作に及ぼす随意運動と反射について理解できる。③基本的動作のメカニズムが理解できる。④基本的動作介助のメカニズムが理解できる。	
	基礎理学療法実習Ⅰ	「基礎理学療法学」の内容を基に、基本的動作訓練の内容を学ぶ。理論に沿った基本的動作訓練の立案を模擬患者等のケースカンファレンス等から学ぶ。また、基本的動作の介助を利用した治療を学び、ImpairmentとDisabilityの目的別に使用する基本的動作を学ぶ。 到達目標：①理論に沿った基本的動作訓練を立案できる。②基本的動作訓練を実施できる。③基本的動作の介助を使用した治療ができる。	
	基礎理学療法実習Ⅱ	「基礎理学療法実習Ⅰ」の基本的概念を理解した上で、トランスファーを含む起居移乗動作の内容を学ぶ。運動学的内容を理解し、移乗動作の介助を行うことで、患者の動作スキル向上や、最小限の介助量にて最大限の効果を得る方法を学ぶ。また、移乗動作における問題解決方法の基礎的知識と技術を学ぶ。 到達目標：①起き上がりの介助ができる。②立ち上がりの介助ができる。③床からの立ち上がりの介助ができる。④ベッドと車椅子間のトランスファー介助ができる。⑤歩行の介助ができる。	
	理学療法セミナーⅠ	3年間で身に付けた理学療法に関する知識を総括し内容を理解することを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、理学療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは基礎・専門基礎科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。	
	理学療法セミナーⅡ	「理学療法セミナーⅠ」の内容をもとに専門分野の知識を総括し内容を整理して身につけることを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、理学療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは専門科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。	
	理学療法管理学概論	理学療法の職場管理において求められる管理業務の基本，臨床教育の基本について学ぶ。理学療法倫理と理学療法部門の管理、理学療法教育について理解を深め、より質の高い理学療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する総合的能力を身につける。チームアプローチを基盤とした組織の管理と運営の基礎応用について教授する。また、理学療法士として就業するうえで、人・物・金・時間・情報の管理と人間関係の構築、倫理観や、病院、施設の組織および理学療法施設基準、診療報酬等を含む理学療法部門の管理・運営について学ぶ。 到達目標：①組織における管理の重要性を説明できる。②施設内の管理法について説明できる。③リーダーシップの重要性を説明できる。④理学療法倫理を理解できる。⑤医療保険制度、介護保険制度を理解できる。⑥職場管理、理学療法教育について理解できる。	

理学療法評価学Ⅰ	理学療法における検査・測定に関しての知識を深め、それぞれに対する意義・目的を学習する。形態測定の意義・目的・方法を理解する。関節可動域検査に関しては、意義・目的・基本軸・移動軸・正常可動範囲を理解する。また、徒手筋力検査法では意義・目的・起始・付着を理解し判定基準を理解する。 到達目標：①検査・測定の意義目的を理解できる。②形態測定の目的・方法を理解できる。③関節可動域検査の目的・方法を理解できる。④徒手筋力検査法の目的・方法を理解できる。	
理学療法評価学Ⅱ	理学療法における検査・測定に関しての知識を深め、それぞれに対する意義・目的を学習する。バイタルチェックの方法や画像情報を利用した評価、疼痛検査、反射検査、筋緊張検査、運動耐容能、平行機能検査、動作観察及び分析の方法を学ぶ。 到達目標：①各測定・検査項目の目的が説明できる。②画像の情報から異常を答えることができる。③疼痛検査：痛みの質・種類を分類できる。代表的なペインスケールの名称を上げることができる。④知覚検査：表在感覚・深部感覚・複合感覚それぞれの違いを理解できる。⑤反射検査：反射のメカニズムを理解できる。各検査法を理解できる。⑥筋緊張検査：痙縮・固縮・筋スパズムの違いを説明できる。⑦血圧・心拍数：適切な手順を説明することができる。⑧運動耐容能・平衡機能検査：各種テストを理解することができる。⑨動作・歩行分析：正常方向を理解できる。観察手順を理解する。原因を明らかにできる。⑩各測定・検査結果を記載できる。	
理学療法評価学実習Ⅰ	「理学療法評価学Ⅰ」に対応した検査・測定に関して実技を通して技術を習得する。形態測定ではランドマークを正確に触診でき、メジャーの適切な使用を学ぶ。関節可動域検査では基本軸・移動軸を把握し適切な角度計の当て方を学ぶ。徒手筋力検査では、適切な肢位、順序で測定する方法を学ぶ。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。 到達目標：①形態測定が実施できる。②関節可動域検査が実施できる。③徒手筋力検査を実施できる。	
理学療法評価学実習Ⅱ	「理学療法評価学Ⅱ」の内容に基づき、検査・測定に関して、実技を通して技術を習得する。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。 到達目標：①各測定・検査項目の技術を正確に行うことができる。②画像の情報から異常を答えることができる。③疼痛検査：痛みについて順を追って検査できる。またそれを使い強さを評価できる。④知覚検査：表在感覚・深部感覚・複合感覚を検査することができる。⑤反射検査：深部反射・病的反射・表在反射を実施することができる。⑥筋緊張検査：筋緊張検査を実施できる。⑦血圧・心拍数：適切な手順で測定することができる。⑧運動耐容能・平行機能検査：各種テストを実施することができる。⑨動作・歩行分析：歩行周期に基づいて歩容を観察できる。原因を明らかにできる。⑩各測定・検査結果を記載できる。	
理学療法評価学実習Ⅲ	理学療法評価学実習Ⅲでは、「理学療法実習Ⅰ」「理学療法実習Ⅱ」で身に付けた検査・測定の実技を組み合わせ、問題点の抽出を行う。模擬患者を利用し技術を習得すると共に臨床推考を行う。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。 到達目標：①検査項目を立案することができる。②複数の検査項目を組み合わせて実施することができる。③検査結果を統合解釈し問題点の抽出ができる。④各測定・検査結果を記載できる。	
運動療法	解剖学・運動学・生理学・病理学などの基礎科目を基に、運動療法の基礎である可動域運動、筋力増強運動・持久性運動、協調性運動、全身調整運動について知識と最新の技術を教授する。本講義は基礎科目と運動療法のつながりを理解し、医学的根拠に基づいた運動療法の基礎を学習・習得することを目的とする。 到達目標：①運動療法の基礎を理解する。②可動域運動に必要な知識を理解する。③筋力増強運動に必要な知識を理解できる。④筋持久力運動の理論を理解できる。⑤協調性運動の理論を理解できる。⑥全身調整運動の理論を理解できる。⑦運動学習に必要な知識を理解する。⑧治療体操・動作を利用した運動療法を理解できる。	

運動療法実習Ⅰ	「運動療法」の内容を基に、可動域運動、筋力増強運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実習を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。 到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②可動域運動を実施できる。③筋力増強運動を実施できる。	
運動療法実習Ⅱ	「運動療法」の内容を基に、持久力運動、協調性運動、全身調整運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実技を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。 到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②筋持久力運動を実施できる。③協調性運動を実施できる。④全身調整運動を実施できる。⑤治療体操・動作を利用した運動療法を実施できる。	
物理療法	各種物理療法について講義と実習により理論と実際を学ぶ。その中で最も使用頻度の高い温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実際を学ぶ。また、その中から新しい概念に対してもトピックスを学ぶことで修得する。 到達目標：①各種物理療法についての生理的な作用機序を理解する。②各種物理療法の適応と禁忌、リスク管理を理解する。③温熱療法の使用法がわかる。④光線療法の使用法がわかる。⑤電気刺激療法の使用法がわかる。⑥牽引療法の使用法がわかる。⑦マッサージ療法の方法がわかる。	
物理療法実習	「物理療法」の内容を基に、温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実技を学ぶ。 到達目標：①温熱療法が使用できる。②光線療法が使用できる。③電気刺激療法が使用できる。④牽引療法ができる。⑤マッサージ療法ができる。	
理学療法治療学Ⅰ	神経系疾患（脳障害・脊髄障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。 到達目標：①神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の画像を理解することができる。④神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の理学療法を実施できる。⑤正常発達と発達障害の特性を理解することができる。	
理学療法治療学Ⅱ	神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像・検査所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。 到達目標：①神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）のデータを理解することができる。	
理学療法治療学Ⅲ	運動器疾患に関わる解剖学・運動学・生理学を基に、運動器障害理学療法を学ぶ。整形外科領域における運動器疾患を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択するための知識（治療プログラム立案）と実施するための技術を養う。 到達目標：①運動器疾患の障害学を理解する。②運動器疾患の評価内容を理解する。③運動器疾患の治療プログラムを作成できる。	

		理学療法治療学Ⅳ	運動療法を行う上で呼吸・循環・代謝の知識は必要不可欠であり、この講義では呼吸器疾患・心疾患・代謝疾患を通して基礎的内容を理解し最新のトピックスと治療について学ぶ。呼吸器疾患では急性・慢性呼吸器疾患の概要と呼吸理学療法を学び、心疾患では心電図の見方や各疾患の特徴から見た理学療法を学び、代謝疾患では、糖尿病・腎障害・肝障害・脂質異常についての理学療法を学ぶ。 到達目標：①呼吸・循環器の解剖・生理学を理解することができる。②心疾患特有の心電図波形を説明できる。③呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法の基礎を理解できる。④呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法リスク管理が理解できる。⑤代謝異常の生理学的機序・病理を理解することができる。	
		理学療法治療学実習Ⅰ	「理学療法治療学Ⅰ・Ⅱ」の内容を基に、神経系疾患の機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。 到達目標：①神経系疾患の障害像を理解することができる。②神経系疾患の評価項目を実施することができる。③神経系疾患の画像を理解することができる。④理学療法の実施ができる。	
		理学療法治療学実習Ⅱ	「理学療法治療学Ⅲ」の内容を基に、主に運動器障害理学療法の実際を学ぶ。整形外科領域における骨折と変形性関節症を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択し実施するための技術を養う。 到達目標：①運動器疾患における理学療法が実施できる。②変形性関節症の障害学を理解する。③変形性関節症の治療内容を理解する。④変形性膝関節症の治療のプログラムを作成できる。⑤変形性関節症の治療プログラムが実施できる。	
		理学療法治療学実習Ⅲ	「理学療法治療学Ⅳ」の講義を基に、呼吸器・心疾患・代謝疾患を通して基礎的内容を理解し最新のトピックスと治療について学ぶ。呼吸器疾患では呼吸管理と呼吸理学療法を学び、心疾患では心電図の見方や各疾患の特徴から見た理学療法を学び、代謝疾患では、糖尿病・腎障害・肝障害・脂質異常についての理学療法の実際を学ぶ。 到達目標：①呼吸・循環器障害の運動療法ができる。②心疾患特有の心電図波形を説明できる。③呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法の基礎を理解できる。④呼吸器疾患患者・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法リスク管理が理解できる。⑤呼吸・循環・代謝異常の生理学的機序・病理を理解することができる。	
		老年期障害理学療法学	実習、就職での対象者が高齢者となる可能性が高いなかで、複数の病気を持った高齢者や虚弱な老年者など、老年期における理学療法の理解を深める。また、高齢者に対するレクリエーションセラピーについて学ぶ。 到達目標：①レクリエーションセラピーの理論を理解できる。②加齢による身体変化を理解できる。③高齢者に多い問題を理解できる。④在宅におけるリハビリテーションを理解できる。⑤リハビリテーションにおけるリスク管理が理解できる。	
		理学療法演習Ⅰ	疾病から障害を捉え、特に医療現場にて遭遇する多様な患者に対して、患者に適した理学療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し理学療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。	
		理学療法演習Ⅱ	臨床場面で遭遇する多様な対象者に対して、環境と社会的背景に目を向けることで、理学療法士として支援を行うための知識・技術の統合を図る。演習を通じ事例やペーパーペイシェントを活用し退院指導の方法から地域社会へのはたらきかけまでの基本的な思考能力を鍛える。	

日常生活活動学	人々の日常生活を医療・福祉の観点から理論的にとらえ対象者のアプローチを行うための基礎的能力を養う。 ADLの概念を理解し、ADLの評価手法、福祉用具の構造、種類、処方についての理解を深める。そして、疾患・障害によって異なるADL障害の特徴を知り、日常生活動作の自立および介助量の軽減に向けた指導、訓練方法を学ぶ。また、在宅や施設で生活する高齢者・障害者の生活を支援するために住環境整備に関する知識と関連づけ自立的な生活にあたって必要な福祉機器について、その種類、適応について学習する。 到達目標：①日常生活活動(ADL)の概念および評価方法について説明できる。②福祉用具をあげて、その適応・使用法・指導法について説明できる。③疾患・障害によって異なるADL障害の特徴およびその訓練方法および指導方法について説明できる。	
日常生活活動学実習	対象者における日常生活動作の自立および介助量を軽減するための具体的な支援技術と方法について実践を通して学ぶ。対象者の多様なニーズや個人因子・環境因子などの背景を考慮した支援技術を身につける。対象者に合わせた介助法、自助具・福祉用具の適応方法、動作指導に必要な技能を身につける。	
生涯スポーツ実習	地域と協力しながらスポーツ障害予防の指導を行う。学内の講義を基礎として、スポーツ障害予防のプログラムを立案し実行することにより、幅広い知識と指導力を錬磨する。 到達目標：①スポーツ障害予防プログラムを立案できる。②スポーツ障害予防プログラムを実行できる。③スポーツ障害プログラムを指導できる。	
スポーツ理学療法特論	生涯スポーツへの理学療法士の関わりやロコモティブシンドロームなど介護予防の観点からスポーツの有用性を熟考しながら、理学療法の関連について学ぶ。また、基礎的なスポーツ理学療法を通して、プログラム立案から実施までを実習形式にて学ぶ。さらに、スポーツトレーニングの基礎を体験・経験し、スポーツに興味を持ち、また理学療法士がスポーツにどのように関わるかを学ぶ。 到達目標：①健康と日常運動とスポーツの関連性を理解できる。②スポーツ障害の基礎を理解できる。③スポーツ理学療法のプログラムを立案できる。④基礎的なスポーツ理学療法が実施できる。	
義肢装具学	リハビリテーション医学における義肢・装具の意義と機能を学ぶ。義肢・装具の適応となる疾患や障害を学び、義肢・装具の構造と機能を学び、疾患や障害に対する義肢・装具の適応と適合判定能力を養う。さらに、動作訓練に使用される義肢装具とその機能を学習する。 到達目標：①義肢装具の意義と機能が理解できる。②義肢装具の適応となる疾患や障害が理解できる。③動作訓練に必要な義肢装具を選択できる。	
応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	この講義では、関節運動学を主に学ぶ。関節内運動の治療を中心に関節に対しての治療手技を実習において学ぶ。関節内運動を考慮した治療を行うには、高度な技術と知識が必要であるため、この講義では、各関節の関節内運動を理解し、関節内運動を実際に使用して治療できることを目標とする。この単元では、触診から上肢下肢～体幹の関節をターゲットとする。	
応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学)	工学技術をリハビリテーション分野に応用した、治療やトレーニング、生活支援、介護支援に関するシステム・装置などについて学習する。具体的には、リハビリテーションロボット、介護ロボット、入力・操作補助装置、コミュニケーション補助装置、移動・移乗支援機器、ICTを利用した支援システム、機能的電気刺激などを理解し応用することができる。	

応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	セルフコンディショニングや予防的観点から有用な運動指導方法について学習する。運動学習理論に基づくトレーニングやストレッチング、姿勢を整えるためのボディワークを実習を通して実際に行い、身体への気づきを通して身体感覚を高め、自己調整力やストレス対処能力の向上を図ることを目的とする。身体の動きに対する知識を深めるとともに、運動プログラム指導を立案し実習することで、臨床の場で活用できる高度な指導技術の習得を目指す。 到達目標：①運動学習理論に基づくトレーニングを立案できる。②運動学習理論に基づくトレーニングを行うことができる。③運動学習理論に基づくトレーニングを指導できる。	
生活環境学	地域リハビリテーションに基づき、地域・家庭に暮らす高齢者や障害者の生活環境を理解する。限られた環境の中で、QOLやADLの低下をもたらす環境の障壁について学習をすすめ、住環境整備の評価、改善策の実践や指導が行えるように知識を身に付ける。 到達目標：①障害者、高齢者を取り囲む生活環境の障壁(バリアー)を理解し説明できる。②QOLの向上を目指した生活環境整備の基本的知識、基本的支援技術を理解し、説明できる。③障害者・高齢者のための居住環境調整案（住宅改修案）を作成し、生活支援ができる。	
地域理学療法学	地域包括ケアシステムの構築において理学療法士に期待される役割を担うためには、介護予防や地域ケア会議といった場所に参画していくことが重要となる。その中で、個をみるだけでなく、地域全体をみることが求められ、その現場から得たことを事業化、施策化、そして政策化につなげるための基礎的知識を身につける。 到達目標：①地域包括ケアシステムを説明できる。②リハビリテーション専門職の役割を説明できる。③介護予防の取り組みを理解できる。④理学療法士・作業療法士の役割・機能を説明できる。	
予防理学療法学	現在、本邦の高齢化が問題となってきており、高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。近年、運動習慣により生活習慣病をはじめ多くの疾患の発症リスクを減少することが示され、理学療法士による適切な介入が期待されている。予防理学療法学では、日本理学療法士協会が推奨している介護予防を中心に学び理学療法士として予防医学に寄与する方法を学ぶことを目的とする。 到達目標：①本邦の公衆衛生の状況を理解できる。②地域包括ケアシステムを理解できる。③高齢者に対する予防理学療法を理解できる。④健康増進に関わる予防理学療法を理解できる。	
見学実習	実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。 到達目標：①倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。	

		評価実習	基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。 到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。	
		総合実習Ⅰ	基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。 到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。	
		総合実習Ⅱ	実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。 到達目標：①諸種の理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。	
展開科目		ヒューマンサービス論	人間の尊厳と多様性を理解し深い人間理解を基盤として、サービスを提供する側、受ける側の2つの視点から、ヒューマンサービスとは何かを探求し、活用方法について学び、組織的、社会的観点を踏まえた人の痛みや悲しみが受け止められる鋭い感性と豊かな人間性を身につける。	

人間形成論	ヒューマンサービスを提供するためには、人間のライフサイクルの全体と異なる世代のつながりを重視しなければならない。このことについて、社会の現状・ホスピタリズムなどの様々な事象を手がかりにして、社会生活における人間形成について理解を深める。開かれた生命として人間の特性を理解し、現代社会の様々な問題に焦点をあて課題解決策を模索する。この科目を履修することでサービスを創造する基盤的能力を養い、人間のライフサイクルに応じたヒューマンサービスを創造する力を身につける。	
食生活マネジメント論	健康における食生活の重要性について理解を深める。また、食生活における老化予防・生活習慣病予防についての見識を深め、新たなサービスを創造する基盤を養う。この科目を履修することで在宅生活を支える食生活の重要性を理解し、新たなサービスを創造する基礎的な力を身につける。	
生体情報科学	健康に関する情報は，医療・ヘルスケア分野，健診データ，スポーツ分野，在宅・家庭などから収集される。e-Healthにおけるウェアラブル端末やＩｏＴ等を活用した健康に関する情報の収集技術と可視化，Personal Health Record（ＰＨＲ）などのデータベース活用を通して，日常生活（生活習慣）に寄与できる医療・ヘルスケア・健康サービスについて講述する。到達目標：①医療・ヘルスケア分野におけるe-Healthの概念を理解できる。②様々な生体情報のセンシング技術について理解できる。③ＩｏＴ環境における生体情報の収集について理解し、活用できる。④e-Healthにおける健康情報データベースについて理解し、活用できる。⑤医療・ヘルスケア・健康サービスの提供について理解し、活用できる。	
NPO論	概要：「NPO論」ではあるが、NPOに特化し過ぎることで、NPOしか知らない「井の中の蛙」にならないようにしたい。そのため、経営学の企業統治（コーポレート・ガバナンス）についての知識を深め、「経営」についての基礎的知識を修得した上で、ソーシャルビジネスという大きな枠組みから俯瞰しNPOについて解説する。 到達目標：１．経営という視点からNPOを理解できるようになる。２．事業を通しての社会貢献について知見を深められる。３．NPOとは何かが学べ、その設立方法を修得できる。	
スポーツ科学	日常生活から競技スポーツに至るまで、身体運動を科学するためのアプローチの仕方（実験手法等）を学んでいく。特に、バイオメカニクスや運動生理学的観点から至適バイオマーカーを精選し、侵襲的・非侵襲的方法に基づきながら、様々な課題において包括的に検討する。この科目を履修することにより、様々な職業現場で、生体における未解決の事象に対して問題を提起し（課題発見力）、自らその問題解決に挑戦しようとする問題解決力を養い、対象者の課題やニーズに応じた新たなサービスを創造する力を身につける。	
起業入門	この授業では、ベンチャーキャピタルを起業した経験から、起業活動の実例を教授し、それを紐解くことにより、起業という活動がどのような活動であるのかを理解していく。またワークショップ形式により、ごく簡単な事業計画を作成する。 到達目標：自ら起業することを想定し、思考することを通して、ごく簡単な事業計画を作成できる。	
マネジメント論	組織のマネジメントに関わる基本理論を学ぶ。組織全体をマネジメントするという発想だけでなく、組織に所属する個人、下位組織としての集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得する。この科目を履修することで対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にし、目標を達成するための力（管理力）を身につける。	

	コーチング論	サービスを形にし提供するためには、他者の協力は欠かせない。そこで、コーチングの観点から学びサービスを創造し、ビジネス場面での人的資源の活用方法や課題について学ぶ。 日本におけるコーチングは、ここ10年ぐらいでビジネス界を中心に管理職の必須スキルとして広がり、多くの人々の成長や変化に大きく貢献している。このコーチングの基礎理論とコミュニケーションスキルを理解し、上司や部下の関係、仲間や親子関係等の普段の職場や日常生活において実践できる能力を身につける。この科目を履修することで対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にするために必要な知識と技術を身につける。	
	岡山経営者論	地域に必要なサービス創造（Service Innovation）をおこなうためには、地域に根差したサービス創造をおこなっている経営者の方々に直接講義を受け質問し議論することは有意義である。本講義では、岡山の経営者ならびにイノベーターを招き個人、起業、新規事業展開、海外事業展開、地方創生などをテーマにオムニバス形式で講義を行う。 岡山という地域の中で、「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるのかを学ぶ、これまで大学で学んできた知見を活用し「サービス創造」をおこなうための発想力を身に付ける。 （オムニバス方式/全15回） (1 浅利正二：学長/5回) 1回）オリエンテーション／地域創生・地域活性がなぜ求められるか？ 2回） 岡山地域の経済情勢／地域創生・地域活性に必要な発想・思考とは 3回）「病院経営について」 元病院長として、患者・地域のニーズを把握する手法や、働き方改革における職員の ニーズに応答する手法、病院経営戦略における施設連携手法について。 4回,5回)総括：地域活性化に求められるアイディアと精神（グループワーク） これまでの各経営者の発想力や手法についてグループで整理し、新たなサービスの創出に至る思考過程を具体化する。 岡山の経営者から学ぶ新たなサービスの創造と概要の構築（個人ワーク）対象者や地域の活性化に求められるサービスとは何かを創造し、対象者や地域における新しいサービスを創造する。 (28 二神雅一：(株)創心會/1回) 「新事業展開と多角化」 作業療法士として起業することになった背景、新サービスの考え方、起業化の方法。 (27 山根一人：(株)アールケア/1回) 「サービス創出から起業化まで」 理学療法士として起業することになった背景、新サービスの考え方、起業化の方法。 (29 小山敏章：(株)ケイ・クリエイト/1回) 「拡大戦略と今後の展望について」 病院勤務の薬剤師から調剤薬局を起業するに至った経緯、多店舗展開（拡大戦略）の手法、経営哲学。 (30 上田泰輔：(医)プライムケア/1回) 「新規市場への参入と分析について」 訪問歯科、デイサービス事業を起業した経緯、新規市場への参入とその分析方法。 (31 大塚学：(株)大塚デザイン/1回) 「ブランド戦略について」 独自の感性と視点で、ものづくりに携わり、岡山を代表するNO.1デザイン会社としてのブランドの確立、ブランディング手法、浸透方法について。 (32 田中英樹：(株)オアシスジャパン/1回) 「新市場での事業化とアイディア創出について」 車両販売の中でも、早期から福祉車両に焦点をあてた発想や異業種（元教員）からの起業の経緯。また、医療関係職を集めた交流会を主催することで、本業とのシナジー効果をどのように事業に反映し、新しいサービスを創造しているか。	オムニバス方式 同時に行う学生数：120人 教育上必要な理由は、さまざまな分野の経営者ならびにイノベーターから直接教授していただくことで、サービスの創造に欠かせない思考と創造力を育むために必要であり、他分野の視点やアイディアを形にする方法を学ぶため、十分な教育効果が期待できる。講師陣は多忙なため、何度も招聘することが困難な岡山を代表する経営者ならびにイノベーターとしている。なお、大講義室（225名収容可能）を利用するため、教育上支障はない。

		（33 清水努：(有)清風庵/1回） 「新商品開発戦略による、地元貢献ビジネスについて」 「岡山のお土産＝きびだんご」というイメージが定着する中、新たなお土産スイーツ「岡山ロール」を発案（洋菓子テイストを盛り込んだ和菓子）。全国的にも取り上げられる人気スイーツに押し上げることに成功した、発想力とブランド戦略について。 （36 三宅崇之：和研ハーディ(株)/1回） 「ニッチ・ビジネスにおける事業展開について」 ニッチビジネスとは何か。「空間システム創造」をキーワードに、モノを収めることに関するニーズに対応する事業を起業した経緯、ユニークな経営理念とその浸透や職員教育方法。 （35 鴨井尚志：カモ井加工紙(株)/1回） 「市場開拓戦略（海外展開）、ブランド化、地域貢献」について 商品に新たな価値を付加することで大成功を収めた、市場開拓戦略について （34 宮下附一竜：宮下酒造(株)/1回） 「ブランド化戦略と地域活性化について」 ビール市場における新たな市場を開拓した経緯と、独歩のブランド戦略について。	
総合科目	総合研究Ⅰ	学生が設定しようとする研究テーマについて、先行研究の把握（論文抄読）とその要約・レビュー、実現可能な研究計画書の作成演習（倫理委員会での審査を含む研究手法の組み立てとその手順）を通じて、論文執筆演習を段階的に行う。 到達目標：①実際の研究テーマに沿った、先行研究の要約・レビューができる。②研究計画書の作成ができる。	
	総合研究Ⅱ	総合研究Ⅱでは、総合研究Ⅰでの執筆演習を受けて、実際に遂行中の研究精度を吟味し、研究結果を解釈しまとめる。各種専門領域別の担当指導教官の下、実施中の研究とその確認（研究計画の修正及び追加実験等の必要性）を段階的に行う。具体的には、学生が設定した研究テーマについて、①先行研究における要約の妥当性、②テーマに沿った疑問点、問題点及びそれに伴う仮説の適切性、③研究方法の透明性、④統計処理の有効性、⑤結果の解釈に伴う科学的根拠の信頼性等について議論し、研究の精度を高めていく。 到達目標：①論文の骨格を明確にする。②科学的根拠に基づいた研究結果の解釈ができる。	
	総合演習Ⅰ	これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。 到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。	
	総合演習Ⅱ	「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。 到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。 ※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい	
	卒業論文	医療・福祉・介護などの現場や地域での実践を踏まえ、その中で見つけた課題をもとに、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を活かして、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、理学療法・作業療法における基本的な治療・訓練に関わる研究や、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新たなサービスを創出する職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組み卒業論文にまとめる。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（健康科学部作業療法学科）

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基礎科目	大学入門	大学で自立的に学ぶために必要な、基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるようにする。大学教育の基本と学び方の基本を修得する。到達目標は、①大学で自律的に学ぶ心構えを身につけることができる。②自分が進む専門領域の基礎を知ることができる。③必要な資料や文献などを調査することができる。④文献などの内容を要約することができる。⑤定められた形式に従ってレポートを書くことができる。⑥レポートの内容を発表し、議論して自分の考えを再構成することができる。	
	基盤ゼミⅠ	基盤ゼミ1では、少人数編成のプレゼン教育を活用して、担当教員が準備する急激に変化する時代を生き抜くための課題群から学生が選択し、課題のあるべき姿と現実、その原因と解決策のオプションをまとめ、さらに最善の解決策へと絞り込んでいく思考過程を身につけていく。ゼミメンバーを2グループに分け、グループごとに課題を煮詰める作業を行い、教師が議長となりプロ（賛成）とコン（反対）に分かれて討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることで、問題への認識を深め、より洗練された解決策を見出していくという方法をとる。 到達目標：①課題についての問題意識を明確にする。②課題の問題点を明確にできる。③課題の解決に向けての選択肢を示し、最善の選択肢を選ぶことができる。④課題に関して説得力ある形で人に伝える発信力とコミュニケーション力を身につける。⑤効果的なプレゼンテーションの組み立て方法を修得する。	
	基盤ゼミⅡ	基盤ゼミⅠで修得した、問題の核心を特定し最善の解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択した課題に基づき、必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表する。 自ら学ぶ姿勢を丁寧に鍛え、問題の核心を認知し、問題を掘り下げ、自ら必要なデータを調査し、論理的な思考過程を通して、最善の解決策を見出していく能力を育成する。 教師が議長となり、各人のプレゼンテーションについてプロコン・メソッドで討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることでより洗練された解決策を見出していくという方法をとる。 到達目標：①課題を発見し、問題を特定することができる。②問題を掘り下げるのに必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめることができる。③本格的なプレゼンテーション形式で課題の解決策を提示することができる。④自ら学び、調べ、解決策を探求する学修姿勢と力を身につける。	
	職業人の倫理と道徳論	「医の倫理」が社会的問題となっている。「倫理」とは、人間の尊厳にかかわる我々人間の行動に対する規範や基準の事である。特に、人間を対象とする保健・医療の分野では様々な倫理的問題が生じている。そのため、医療従事者には適切な倫理的判断能力が求められる。本講義を通じて、人として倫理的感受性や倫理的判断力、倫理的意志決定力を高め、医療やリハビリテーションの質の向上を目指すことを目的とする。 到達目標：①倫理とその意義・重要性を説明できる。②保健・医療の現場における倫理的問題とその成り立ち・影響について説明できる。③保健・医療の現場における倫理的問題を識別できる。④保健・医療の現場における倫理的問題に対する自らの考え・立場（価値観）を述べることができる。⑤保健・医療の現場における倫理的問題に対するよりよい判断・意思決定のあり方を説明できる。	

心理学	はじめて心理学を学ぶ人を対象に、心理学の基本的なトピックについて紹介する。 到達目標：心理学の基礎用語や代表的な理論について理解し、簡単に説明できるようになる。心理学の科学的な心の理解の仕方に触れ、日常生活で役立てられるようになる。	
哲学概論	西洋と東洋の主要な哲学思想の基本的内容を概観する。 到達目標:西洋と東洋の哲学思想についての基本的知識を修得する。物事を多面的に捉えことが可能であることを知り、自己の考え方を吟味する態度を養う。物事の表層ではなく、原理に迫る思考態度を身につける。	
健康科学概論	日本には古くより、医食同源という格言で表されるように、食事は命や健康と密接なつながりをもつものと考えられている。近年、食の多様化が進む中で、バランスの良い食生活を営むことは非常に重要である。特に、食事は生活習慣病など病気につながるところも多い。そこで、本講義では、健康の維持・増進に関わる正しい知識を習得し、適切な食事・運動・睡眠という一連の規律正しい生活習慣の確立を目指すことを目的とする。	
コミュニケーション英語	講義概要： 大学生が留学生と交流しながら、社会生活での様々な状況に英語で対処する内容で構成され、身近な話題から専門分野の基礎編まで、幅広く多様な出来事を英語で疑似体験する。授業内容は、CEFRのB1レベルである。 到達目標： ①日常的に出会う様々な話題について、自然な英語表現を使ってやり取りができる。 ②外国人と自然体で接し、説明すべき状況や自分の考えを筋道立てて発言できる。	
日本の歴史と文化	文化をとおして「日本（人）らしさ」を考え、再確認する機会を持つ。その手段として、①時代の流れの中で日本文化がどのように変容していったかを大まかにとらえ、②時代やテーマごとに代表的な事例をいくつか取り上げ、英語で説明しつつその背景を考える。 上記をとおして、日本文化の特徴たる概念「もののあはれ」「侘び・さび」「幽玄」などや、「恩」「義理」「恥」など日本人の精神性を具体性をもって語れるようにする。	
国際政治経済論	本講義では、現代社会に対する基本的な知識を習得し、日本および世界で現在起こっているさまざまな問題についての理解を深める。本講義を通して、国際社会に生きる日本人として向き合い、自らの将来について考える機会とする。なお、本講義は英語教材を使用するものとする。 到達目標：日本および世界で現在起こっているさまざまな問題について理解し、説明できる。	

基礎生物	生命の基本が細胞レベルで完結し、遺伝、分化、発生、病気、死といった生命現象が細胞の基本機能の上に成り立つしくみを理解する。核酸やタンパク質、脂質、炭水化物の構造といった基礎項目をはじめ、細胞内情報伝達、糖脂質代謝、神経生理、内分泌、免疫、疾患などの生物学や医学を学ぶために必要な基本事項を広範に取り扱う。 到達目標：①細胞の構成物質や小器官について分子レベルで、その働きを理解する。②遺伝子情報の転写と翻訳を理解する。③細胞分裂の仕組みを理解する。④物質とエネルギーの違いを理解する。⑤神経生理、内分泌、免疫の働きについて理解する。	
基礎物理	作業療法士の評価、治療について考察するためには、物理学の知識は欠くことができない。①物理学全般を教科書に沿って講義し、各章の概要を学ぶ。②例題や演習問題を解くことにより理解を深める。③教科書の章末問題が解けることを目標とする。	
情報収集と処理	コンピュータの普及によって、多様なデータベースを療法士自身で作成できるようになり、日々の療法士業務で活用している。本講義ではデータベースの基本的な構造とその作成について講義・演習を行う。また、論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成する。 到達目標：①データベースの概念を理解し説明できる。②医療現場におけるデータベースの重要性を認識する。③基本的なデータベース作成技術を習得する。④データベースが持つ様々な意味を理解できる。⑤論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成できる。	
統計分析の基礎	統計学は、社会に根づいた学問であるが初学者には苦手意識を抱きやすい学問である。そのため、本講義では、統計学の基礎となる分野を重点的に学ぶ。具体的な統計解析に習熟することを目的として、「統計学のための資料整理」、「確率論の基本」、「推測と検定」の理論について解説し、演習を行う。さらに、医学・保健学のための応用的な話題や活用できるデータ解析の手法を習得する。	
人間関係論	現代の医療における課題は、1. 医療が「人間相手の仕事」であること、2. 「病人相手」の職業であり、「真の助力的活動」でなければならないこと、3. この仕事を「職業として引き受けていくこと」の意味であると言われている。特に、人は代理不可能で、主体性と独自性をもった存在である。こうした、一人一人の患者と医療従事者（作業療法士）が適切で良好な人間関係を築いていくためには、人間の心を知る「了解」とそれに基づいたコミュニケーションが必要となる。そこで、助力的人間関係を築いていくためには何が求められるかについて理解すると共に、その具体的な方法を学ぶ。	
コミュニケーション論	本講義では、異文化コミュニケーション論の視点から、日本的コミュニケーションの諸特徴を考察しながら、日常における円滑な対人間コミュニケーションの技法を身に付けると共に、英語を国際共通語として、諸外国の人々とのコミュニケーションの際に発生し得るトラブルの文化的背景を学びながら、その解決方法を修得する。	
テーマ設定と研究方法	臨床現場で働くためになぜ研究マインド・研究スキルを身に付ける必要があるかを理解し、社会や対象者が抱える課題解決に寄与できる可能性を探ることができる。 到達目標：①研究テーマを設定する手順を理解する。②研究手法について理解することができる。	

		研究デザイン	各分野の指導教員のもと、研究計画の立案を通して、研究を実施するための必要な知識を段階的に獲得していく。具体的には、緒言、研究方法、結果及び考察というセクション別で、重要なポイントを学んでいく。 到達目標：研究の背景から予測される成果まで論理的に説明し、研究を実施するための研究計画を立案することができる。	
職業専門科目	専門基礎分野	メディカル英語	講義概要： 授業は、初診時の様々な基本的対応を踏まえて、療法士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成とする。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の修得を基礎に置き、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力を修得しその向上を図り、英文読解に必要となる基本的な英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容を理解する。授業内容は、CEFRのB1レベルをやや上回る水準に相当する。 到達目標： ①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。 ②英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。 ③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。	
		解剖学	作業療法士として従事する際に必要な知識（正常な人体の構造および機能）を学び理解する。①筋骨格系（四肢・体幹の骨・関節・筋肉）を学び理解する。②神経系を学び理解する。③感覚系を学び理解する。④循環器系～呼吸器系を学び理解する。⑤消化器系を学び理解する。⑥泌尿器系、その他を学び理解する。到達目標：正常な人体の各器官系の構造と機能を説明できる。	
		解剖学実習Ⅰ	上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋について、骨模型等を利用した実習、体表解剖学を通して、機能解剖を学ぶことで、人体の構造を理解する。また、機能解剖の基礎知識を身につけ、骨標本や身体運動に適用することができるよう学ぶ。到達目標：体表にあらわれる構造を解剖学的に説明できる。身体各部の運動を各部の骨・関節・筋の機能を使って説明できる。	
		解剖学実習Ⅱ	生前のご遺志により献体されたご遺体を通して、上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋および、全身の臓器に関して、人体の構造を理解する。岡山大学で行われる人体解剖実習見学を軸として、その前後に骨模型やウェブ上から得られる模型画像を用いて予習・復習を行う。解剖学の基礎知識を身につけ、身体運動に適用することができるよう学ぶ。到達目標：精緻に創られた人体に接することにより生命の大切さを実感できる。中枢神経系から出る脳脊髄神経・自律神経の走行を観察し、その機能を理解できる。胸部・腹部内蔵の配置と構造を学び、その機能を理解できる。四肢において骨格系・筋系・脈管系・神経系を同時に観察することにより四肢の構造と機能を理解できる。	

生理学	ヒトの機能は運動や感覚系を中心とする動物性機能と、心臓循環、呼吸、消化器系などの植物性機能に分類される。本講義では、前半に動物性機能について学習し、運動機能や精神活動を含む神経機能、感覚器官、自律神経系といった広範囲な知識を理解する。後半に植物性機能について学習し、ヒトの生命活動に直結する生理機能を理解する。 到達目標：①細胞膜を介した物質の輸送が理解できる。②筋収縮の仕組みと運動神経による調節の仕組みを理解できる。③自律神経性調節の特徴を理解できる。④各種感覚の神経機構を理解できる。⑤高次脳機能に関わる脳領域とそのメカニズムを理解できる。⑥血液、循環について説明ができる。⑦呼吸の仕組みについて説明ができる。⑧消化と栄養素の吸収について説明できる。⑨尿生成と排尿について説明できる。⑩内部環境の維持に関わる機序が理解できる。	
生理学実習	解剖学・生理学・運動学の講義を踏まえ、環境の変化・運動に対する生体の反応や、恒常性維持について学ぶ。人と動物の生理機能を自らの手で測定し、その結果を解析・考察することにより、人体機能が維持されるメカニズムを理解する。また、この実習を通して、医療従事者として必要な姿勢や洞察力を養うことを目標とする。	
運動学	運動学は、リハビリテーション医療の基礎科学であり、作業療法にとっても基礎でありながら、将来にわたって学び続ける専門職の根幹をなす科目である。また、専門的な評価や治療の根拠となる知識であるため、最重要科目の1つといえる。本講義では、人の身体運動に関する基本的な知識を習得するために、次のことを目標とする。①運動学で扱う用語を知り、実際の身体運動と結びつけられる。②運動学に必要な生体力学の知識を身につける。③上肢、下肢、体幹の機能解剖と運動について知識を身につける。④姿勢、歩行についての知識を身につける。	
運動学実習	解剖学や運動学などの学問から習得した知識を踏まえ、正常な身体の機能解剖および身体運動を理解した上で、その観察および分析方法を学ぶ。また、観察・分析の結果を文章化できるようにする。 到達目標：①四肢・体幹の機能解剖および関節運動を理解する。②機能解剖を理解したうえで、作業療法評価の基礎となる触診技術を習得する。③関節運動を専門的に説明し、実際に運動で表すことができる。④正常動作を観察し、それを運動学・運動力学的に分析して運動学的用語でまとめる。⑤分析した内容をレポートにまとめ、発表する。	
人間発達学	人間発達学では、胎児期から老年期までの人間の成長について、また、その成長過程にある病気について学ぶ。本講義を学ぶことで、医療従事者である理学療法士・作業療法士として、また、人間として障害のある人およびその家族の思いを理解できるようになることが目標である。	
臨床医学概論	臨床医学とは、疾患によらず患者に対して行われる診断・治療についての学問である。本講義では、救急医学、画像診断学、薬学、栄養学などリハビリテーションに関連した分野を中心に学ぶ。 到達目標：①救急医療がわかる。一次救命処置（BLS含む）が実践できる。②X線、CT・MRI等の基礎知識を身につける。解剖と機能の関連性が説明できる。③薬物の作用様式と作用機序を説明できる。リハビリテーションに関連した主な薬物の薬理作用を説明できる。④各栄養素の性質や働きを理解する。栄養不良や過栄養の身体への影響を理解する。	

病理学	病理学とはヒトの病気の成り立ちを考え、明らかにすることである。さまざまな病気と向き合う作業療法士にとって欠かせない知識となる。本講義では、各器官系の病気を理解するために、まず、生体の基本反応を学び、患者の全体像をとらえる思考力を涵養した上で、各器官系の代表疾患について学ぶ。 到達目標：①生体の基本反応が理解できる。②病因・病態（主に癌）を理解できる。③各種疾患の病理について理解できる。	
精神医学	精神医学は一般には馴染みがない学問のため、学生の多くが初学者である。そこで、本講義は、精神医学の総論を主体とし、精神医学の概要を学ぶ。 到達目標：①精神障害の成因（身体的原因と精神的原因）について理解できる。②精神機能の障害、およびその障害の際に出現する精神症状について理解できる。③疾病の特徴と治療の概要を理解する。	
整形外科学	整形外科の基礎で、特に最近の進歩に即応した知識を習得し、次いで機能解剖と臨床診断・治療を総論的にまとめ、リハビリテーションにつなげる。また、初歩的・基本的項目だけを学ぶのではなく、常に新しい知見を取り入れた講義を展開する。主に、整形外科に関連した疾病の定義や種類に関すること及び関連の作業療法について学ぶ。 到達目標：①整形外科に関連した疾病の概要および治療について理解する。②代表的な整形外科疾患に関連した治療、後療法について理解する。	
内科学	呼吸器、循環器などの内科学に関連した主要疾患の定義、特徴、病態および治療を概観する。 到達目標：①呼吸器、循環器等の内科学に関連した各種疾患の概要がわかる。②各種主要疾患の治療の概要がわかる。③各種主要疾患へのリハビリテーションの概要がわかる。	
神経内科学	神経内科とは、脳や脊髄、神経、筋肉といった運動や感覚を制御する仕組みに起こった病気について内科的な診断・治療をする医学である。本講義では、神経内科学の主要疾患の特徴や診断、治療について概観する。 到達目標：①神経内科学の主要疾患の原因や特徴（症状など）、治療など概要を理解する。②神経疾患を診断するための各種検査方法および異常所見を理解する。	
小児科学	小児は大人の「小型版」ではない。成人との相違点と成長・発達にしたがって変化する各年齢における小児の特性を、理解し、問題点を解決できる力を養えるようにする。特に、小児に特有の疾患や、成人との相違に、主眼を置き解説する。	
リハビリテーション医学	病気を理解することで、障がいなどの後遺症（機能障害や能力低下）を理解することができ、根拠に裏づけられたリハビリテーションが実践できる。そこで、本講義はリハビリテーションの対象となりやすい病気について、疾病の特徴、診断、治療について概説する。これにより、各疾患の診断や治療の概要や各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できることを目的とする。 到達目標：①各疾患の特徴や診断、治療の概要、各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できる。②作業療法士として患者の機能回復・能力回復を支援することができる知識を習得する。	

		リハビリテーション概論	本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。 到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。④自立生活について理解できる。⑤ 就労支援について理解できる。	
		地域包括マネジメント論	地域包括ケアシステムについて理解を深めるとともに現場におけるマネジメントおよび介入・支援方法について学ぶ。 特に、高齢化が進む現在におけるケアマネジメントの実際を理解する。また、各社会保障制度（障害者福祉、生活保護、介護保険、児童福祉等）におけるケアマネジメントの現状と関連性と理解を深める。 到達目標:①地域包括ケアシステムとケアマネジメントの概要と方法について理解する。②ケアマネジメントの具体的な支援方法について理解する。③地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントを理解し、他者と協力する力を身につける。 （オムニバス方式/全10回） （⑧ 浜田淳：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授/4回） 1回）ガイダンスーなぜ「地域包括ケアシステム」が必要なのかー 2回）岡山市の地域包括ケアの今後のあり方をディスカッションする。 3回）岡山地域医療構想・地域包括ケアと療法士の役割とは何か。 4回）岡山地域包括ケアの療法士の関わり方をディスカッションする。 （⑨ 岸川和忠：岡山市保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課長/2回） 1回）岡山市の地域包括ケアの現状、課題 2回）地域包括ケアシステム構築における基礎自治体の役割 （⑩ 遠藤浩：岡山県地域包括ケアシステム学名誉会員/4回） 1回）多職種連携と地域包括ケアⅠ（他職種連携の必要性、阻害要因） 2回）多職種連携と地域包括ケアⅡ（他職種連携の重要性についてのディスカッション） 3回）先進事例の研究ー介護保険サービスの充実強化、医療との連携強化に関する取り組みー 4回）総括と学習到達度の確認テスト	オムニバス方式 同時に行う学生数：120人 教育上必要な理由は、本学部が育成する人材像を達成する上で、地域包括ケアシステムを理解することは極めて重要である。岡山地域の地域包括ケアシステムの専門家や研究者、行政職から岡山地域の地域包括ケアシステムの現状や将来像について直接授業を受けることで、地域のニーズや課題を学ぶことができ、十分な教育効果が期待できる。講師陣は多忙なため、何度も招聘することが困難なため合同授業としている。なお、大講義室（225名収容可能）を利用するため、教育上支障はない。
		多職種連携論	今後の社会状況では、保健・医療・福祉の統合において、臨床では各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人間的視点でアプローチを行うには、関連職種が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携について理解することが必要となる。 到達目標：①専門職種間連携の概要を理解し、自職種について説明できる。②保健・医療・福祉に関わる職種の専門性と関連について説明できる。③職種間連携実践のあり方について概説できる。	
	専門	作業療法概論	本講義は、導入として作業療法の概要を理解し、作業療法に対する探求心を育成することを目的とする。 到達目標：①作業療法士の活動の場について理解する。②作業療法の定義を理解する。③作業療法の治療的意味について理解する。④作業の分類について理解する。⑤生活と作業を関連づけて理解する。⑥作業療法ガイドラインの概要を理解する。⑦作業療法の世界や日本の歴史について理解する。⑧作業療法の現状と課題について理解する。	

分野	基礎作業学	作業療法の基礎である「作業」や「活動」について理解を深める。手段として用いられる作業や作業活動の成り立ちについて学び、作業活動における運動学的・精神学的側面を理解し、作業がもつ治療的要素を関連づけ、作業の奥深さを理解する。「作業とは何か」を知り、作業に関する理論を学び分析の方法について深く理解し、作業療法と作業活動の関係について学習する。そして、作業療法領域における作業の活用方法を学ぶ。	
	基礎作業学実習Ⅰ	作業療法の「作業」を熟考し作業療法の独自性を理解することを目的とする。 到達目標：①集団活動の計画・立案方法を学ぶ。またACISを用いてコミュニケーション評価を理解する。②園芸療法・籐細工・絵手紙・マクラメ・陶芸の実践から、治療的意義や作業工程・道具等の扱い、段階づけを理解する。	
	基礎作業学実習Ⅱ	作業療法の「作業」を熟考し作業療法の独自性を理解することを目的とする。諸種の作業活動の特性を把握し、疾患特性および障害特性に応じた活用方法について実習を通して学ぶ。臨床場面を想定して実践をとおして臨床技能を高める。	
	作業療法セミナーⅠ	3年間で身に付けた作業療法に関する知識を総括し内容を理解することを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、作業療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは基礎・専門基礎科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。	
	作業療法セミナーⅡ	「作業療法セミナーⅠ」の内容をもとに専門分野の知識を総括し内容を整理して身につけることを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、作業療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは専門科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。	
	作業療法管理学概論	作業療法の職場管理において求められる管理業務の基本，臨床教育の基本について学ぶ。作業療法倫理と作業療法部門の管理、作業療法教育について理解を深め、より質の高い作業療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する総合的能力を身につける。チームアプローチを基盤とした組織の管理と運営の基礎応用について教授する。また、作業療法士として就業するうえで、人・物・金・時間・情報の管理と人間関係の構築、倫理観や、病院、施設の組織および作業療法施設基準、診療報酬等を含む作業療法部門の管理・運営について学ぶ。 到達目標：①組織における管理の重要性を説明できる。②施設内の管理法について説明できる。③リーダーシップの重要性を説明できる。④作業療法倫理を理解できる。⑤医療保険制度、介護保険制度を理解できる。⑥職場管理、作業療法教育について理解できる。	
	作業療法評価学	作業療法はどのような人たちに対し、どのようなことを目的として、どのように具体的な手段を用いて介入するのかを示しながら作業療法評価に必要な視点を学ぶ。また、「作業」や「作業活動」が人間の生活の中でどのように位置づけられているかを理解しつつ、作業療法実施に必要な作業療法評価と分析について理解を深める。主な作業療法の対象領域における評価の基本的な理論および方法について学習する。	

作業療法評価学実習Ⅰ	作業療法の評価における基礎的な技術・知識の習得を目指す。講義で教授した検査・測定技術については自主的に講義外でも練習を重ねること。1つ1つを丁寧に何度も繰り返し正確な技術を身につけることが必要不可欠となる。修得した評価技能を実技試験にて評価する。 到達目標：①作業療法評価法における概念・種類・目的を説明することができる。②評価から治療・訓練計画に至るまでの概念および解釈の仕方（一部）を理解する。③触診による体表解剖を理解することができる。④実技指導により評価技術の向上を図ることができる。⑤観察、面接、形態測定、関節可動域測定などを実施できる。	
作業療法評価学実習Ⅱ	各評価の概要を学び、その後、実技を通して技術を習得する。作業療法領域に共通する評価法の知識と技術を習得する。講義で教授した検査・測定技術については自主的に講義外でも練習を重ねること。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。 到達目標：次の評価法が習得できる。①徒手筋力検査法②意識の評価③バイタル測定④精神機能・作業療法評価⑤その他	
作業療法評価学実習Ⅲ	領域共通の評価法を習得する。評価実習に対応する基礎を習得する。評価実習で経験したケース1症例について、統合解釈し、学生・担当教員の前でプレゼンテーションを行う。修得した評価技能を実技試験にて評価する。 到達目標：次の評価法（①～④）を習得できる。①筋緊張検査②協調性検査③脳神経検査④その他　次の評価法を（①～⑦）復習する。①形態測定②関節可動域測定③筋力検査④感覚検査⑤反射検査⑥姿勢反射検査⑦その他　経験したケースを共有し、様々な臨床推論を理解し、説明できる。	
基礎作業療法治療学	作業療法の実践場面で用いる様々な技能に関する理論を学び、適切に活用する力を身につける。様々な領域の作業療法治療場面で活用される諸種の理論や概念の基礎を学ぶ。作業・作業活動を手段として用いる作業療法にとって、作業・作業活動の適切な利用が求められる。その為には、手段として用いられる作業・作業活動の成り立ちについて、作業・作業活動の分析の実際について学ぶ。 到達目標：①作業活動の運動学的側面を理解し分析できる。②作業活動の精神的側面を理解し分析できる。③作業活動の治療的要素を理解し説明することができる。④作業活動の治療要素を関連づけながら理解し説明できる。⑤障害のある「ひと」の評価と作業活動の分析の関連性を理解し説明できる。⑥作業療法の実践過程と作業分析の必要性について理解し説明できる。	
基礎作業療法治療学実習Ⅰ	実習を通して医療人として求められる基本的な技能と支援技術を修得する。作業療法の場面に必要な個別および集団におけるコミュニケーションの知識と交流技能を知り実習を通して実践方法を修得する。また集団を活用した作業療法の効果について実践を通して考えるとともに、臨床場面での活用方法を修得する。	

基礎作業療法治療学実習Ⅱ	実習を通して医療人として求められる基本的な技能と支援技術を修得する。介助の基本原則・障害別介助の特徴と留意点を学習する。正常動作や介助に利用される「てこの作用」を実際に体験学習する。義肢・装具に関する基礎的知識を学び、その種類と構造や適合判定について学ぶ。スプリントの作成実習を通じて、道具の使い方や材料の加工方法について理解する。 到達目標：①福祉用具の特性を学び、対象者に適した福祉用具の選択ができる。②日常生活の基本肢位である“座位”について考え、座ることへの支援（シーティング）が行える。③生きていくうえで不可欠な“食行動”について、その問題（摂食・嚥下障害）と介入手法を理解する。④ADL評価尺度を適切に使用できる。⑤作業療法援助法について理解する。⑥片麻痺患者の身体特性・心理特性を学び、日常生活支援方法を修得する。	
身体障害作業療法学Ⅰ	作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では、主に神経系疾患に対する概要を理解し、各種疾患に対する評価・問題点の抽出、統合解釈から治療過程について教授し、各疾患の特性に応じた作業療法について学ぶ。 到達目標：①各障害、疾患について、その特性を概説できる。②各障害、疾患に応じた評価を選択し、実施できる。③各障害、疾患に応じたADLへの影響を説明できる。④各障害、疾患に応じた生活指導が行える。	
身体障害作業療法学Ⅱ	作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では整形外科領域を中心とした作業療法について学ぶ。ハンドセラピー、肘関節、肩関節に生じる特異的疾患ならびに、RA、腰部・下肢整形疾患による機能障害と能力低下を理解し、それぞれの特性に応じた作業療法を習得する。 到達目標：①各障害部位、疾患について、その特性を概説できる。②各障害部位、疾患に応じた評価を選択し、実施できる。③RA、腰部・下肢整形疾患によるADLへの影響を説明できる。④RA、腰部・下肢整形疾患患者への生活指導が行える。	
身体障害作業療法学Ⅲ	作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では、呼吸器・循環器・代謝性疾患患者に作業療法を行う際に必要な知識を修得する。疾患別に基本的なアプローチ法やリスク管理について講義を行う。 到達目標：①日常生活動作における呼吸・循環反応の特徴を理解する。②虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病を中心とした生活習慣病、がん患者に対する基本的な作業療法の実践方法について理解する。③内部障害を抱える患者の安全管理が実践できるようになる。	
身体障害作業療法学Ⅳ	作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。発達障害児・者を治療するうえで基礎となる定型発達を学習する。また、定型発達を理解した上で、異常性を示す脳性麻痺および自閉症などの各疾患について、一般的な臨床像について理解を深める。 到達目標：①定型発達段階を説明できる。②脳性麻痺の分類と各類型別運動発達を理解し、説明できる。③障害特性を理解し、説明できる。④各疾患について、治療計画を立案できる。	

身体障害作業療法実習Ⅰ	主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、各種神経系疾患患者に対する作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各種神経疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。	
身体障害作業療法実習Ⅱ	主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、整形外科領域における作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。	
身体障害作業療法実習Ⅲ	主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、内部障害領域における作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。	
老年期障害作業療法学	加齢による身体的、心理的、社会的な変化や老年期障害に対する評価、治療に関する概要を理論的に学ぶ。また、脳損傷に起因する高次脳機能障害について、損傷状況、病巣特有の症候を理解し、それぞれの状態に応じた評価と作業療法を学ぶ。認知症あるいは認知症予備軍に対する作業療法を実践できる知識・技術を身につける。 到達目標：①高齢者の尊厳と接し方を理解し、説明できる。②老化について説明できる。③老年期障害の生活・障害構造、社会資源を理解し、具体的援助を想像できる。④老年期作業療法で活用できる検査・測定方法・作業療法アプローチが説明できる。	
老年期障害作業療法実習	地域と連携し、地域住民との交流の場を設け、各世代・各疾病による地域生活における困難さや不便さを理解し、評価の実践、生活指導を介入する体験を通じて、より高度なコミュニケーション能力と思考力を養う。また、地域で生きることの困難さを理解することで、新しいサービスを生み出す創造性を養う機会とする。 到達目標：①地域住民とのコミュニケーションにより、対象者の地域生活の困難さを理解し、説明できる。②各種評価における実施方法（リスク管理含む）を身に付け適切に実施できる。③生活の不自由さや評価結果を統合解釈し、新たな生活を想像し、生活指導ができる。	
精神障害作業療法学	作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。 精神科作業療法における治療的介入の方法・プロセスについて理解することを目的とする。また、精神科作業療法の主たる対象疾患の臨床像を理解し、その評価方法・治療・指導・援助内容について理解する。 到達目標：①各種評価について理解する。②各疾患の臨床像について説明できる。③各疾患に応じた作業療法評価について説明できる。④各疾患に応じた治療・指導・援助について説明できる。⑤精神障害分野における作業療法の役割を説明できる。⑥歴史、関連法規、制度について説明できる。⑦精神障害作業療法の実践と治療過程について説明できる。 ※対象疾患：統合失調症、気分障害、物質依存、人格障害、神経症、摂食障害、てんかんなど	

作業療法演習Ⅰ	身体障害、老年期障害領域において臨床場面で遭遇する多様な患者に対して、患者に適した作業療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し作業療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。また、実際の訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践し知識と技術の定着を図る。	
作業療法演習Ⅱ	精神障害、発達障害領域において臨床場面で遭遇する多様な患者に対して、患者に適した作業療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し作業療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。また、実際の訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践し知識と技術の定着を図る。	
日常生活活動学	人々の日常生活を医療・福祉の観点から理論的にとらえ対象者のアプローチを行うための基礎的能力を養う。 ADLの概念を理解し、ADLの評価手法、福祉用具の構造、種類、処方についての理解を深める。そして、疾患・障害によって異なるADL障害の特徴を知り、日常生活動作の自立および介助量の軽減に向けた指導、訓練方法を学ぶ。また、在宅や施設で生活する高齢者・障害者の生活を支援するために住環境整備に関する知識と関連づけ自立的な生活にあたって必要な福祉機器について、その種類、適応について学習する。 到達目標：①日常生活活動(ADL)の概念および評価方法について説明できる。②福祉用具をあげて、その適応・使用法・指導法について説明できる。③疾患・障害によって異なるADL障害の特徴およびその訓練方法および指導方法について説明できる。	
日常生活活動学実習	対象者における日常生活動作の自立および介助量を軽減するための具体的な支援技術と方法について実践を通して学ぶ。対象者の多様なニーズや個人因子・環境因子などの背景を考慮した支援技術を身につける。対象者に合わせた介助法、自助具・福祉用具の適応方法、動作指導に必要な技能を身につける。	
義肢装具学	リハビリテーション医学における義肢・装具の意義と機能を学ぶ。義肢・装具の適応となる疾患や障害を学び、義肢・装具の構造と機能を学び、疾患や障害に対する義肢・装具の適応と適合判定能力を養う。さらに、動作訓練に使用される義肢装具とその機能を学習する。 到達目標：①義肢装具の意義と機能が理解できる。②義肢装具の適応となる疾患や障害が理解できる。③動作訓練に必要な義肢装具を選択できる。	
応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	この講義では、関節運動学を主に学ぶ。関節内運動の治療を中心に関節に対しての治療手技を実習において学ぶ。関節内運動を考慮した治療を行うには、高度な技術と知識が必要であるため、この講義では、各関節の関節内運動を理解し、関節内運動を実際に使用して治療できることを目標とする。この単元では、触診から上肢下肢～体幹の関節をターゲットとする。	

応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	工学技術をリハビリテーション分野に応用した、治療やトレーニング、生活支援、介護支援に関するシステム・装置などについて学習する。具体的には、リハビリテーションロボット、介護ロボット、入力・操作補助装置、コミュニケーション補助装置、移動・移乗支援機器、ICTを利用した支援システム、機能的電気刺激などを理解し応用することができる。	
応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	セルフコンディショニングや予防的観点から有用な運動指導方法について学習する。運動学習理論に基づくトレーニングやストレッチング、姿勢を整えるためのボディワークを実習を通して実際に行い、身体への気づきを通して身体感覚を高め、自己調整力やストレス対処能力の向上を図ることを目的とする。身体の動きに対する知識を深めるとともに、運動プログラム指導を立案し実習することで、臨床の場で活用できる高度な指導技術の習得を目指す。 到達目標：①運動学習理論に基づくトレーニングを立案できる。②運動学習理論に基づくトレーニングを行うことができる。③運動学習理論に基づくトレーニングを指導できる。	
生活環境学	地域リハビリテーションに基づき、地域・家庭に暮らす高齢者や障害者の生活環境を理解する。限られた環境の中で、QOLやADLの低下をもたらす環境の障壁について学習をすすめ、住環境整備の評価、改善策の実践や指導が行えるように知識を身に付ける。 到達目標：①障害者、高齢者を取り囲む生活環境の障壁(バリアー)を理解し説明できる。②QOLの向上を目指した生活環境整備の基本的知識、基本的支援技術を理解し、説明できる。③障害者・高齢者のための居住環境調整案（住宅改修案）を作成し、生活支援ができる。	
地域作業療法学	地域リハビリテーションの理念や現状を学び、作業療法士の役割を理解し、各地域ニーズに応答できる創造力を養う。日本作業療法士協会が開発した、作業療法介入のツールである生活行為向上マネジメントを理解し、各種シートを実践できる能力を養う。 到達目標：①地域社会における現状と課題を説明できる。②地域における関連制度と関連法規を理解し、説明できる。③地域包括ケアを理解し、自立支援における作業療法士の役割を説明できる。④生活行為向上マネジメントを理解し、ペーパーペイシェントで各種シートを作成できる。	
予防作業療法学	高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。特に認知症の発症や進行予防は介護予防・健康増進の重要課題である。近年、生活習慣病やうつ病の予防、運動習慣などの修正可能な要因が発症リスクを減少することが示され、作業療法士などの医療専門職による適切な介入が期待されている。予防作業療法学では、認知症などの疾病や要介護状態に陥るリスクのある状態を防ぐための支援を学ぶことを目的とする。予防医学を基礎とし、作業療法の豊富な知識を保健・健康関連分野の予防など幅広い分野へ応用するための知識と実践的方法について学ぶ。 到達目標：①予防作業療法の必要性を説明できる。②高齢者の特性を説明できる。③認知症の発症と進行に関連する要因を説明できる。④高齢者と認知症の人の転倒予防法について述べることができる。⑤Frailityについて説明できる。⑥予防作業療法での介入方法を述べることができる。	

		見学実習	実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。 到達目標：①倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。	
		評価実習	基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。 到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。	
		総合実習Ⅰ	基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。 到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。	
		総合実習Ⅱ	実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。 また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。 専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。 到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。	

	ヒューマンサービス論	人間の尊厳と多様性を理解し深い人間理解を基盤として、サービスを提供する側、受ける側の2つの視点から、ヒューマンサービスとは何かを探求し、活用方法について学び、組織的、社会的観点を踏まえた人の痛みや悲しみが受け止められる鋭い感性と豊かな人間性を身につける。	
	人間形成論	ヒューマンサービスを提供するためには、人間のライフサイクルの全体と異なる世代のつながりを重視しなければならない。このことについて、社会の現状・ホスピタリズムなどの様々な事象を手がかりにして、社会生活における人間形成について理解を深める。開かれた生命として人間の特性を理解し、現代社会の様々な問題に焦点をあて課題解決策を模索する。この科目を履修することでサービスを創造する基盤的能力を養い、人間のライフサイクルに応じたヒューマンサービスを創造する力を身につける。	
	家族関係論	家族関係を中心とした人間相互の関わりの成り立ちとその意義を考察する。「ケアの場」としての家族機能や、そこで生じやすい「依存」の問題を軸として、人間的なコミュニケーションの可能性と問題点を追究する。到達目標：現代社会における家族関係とその諸問題についての知識を身につけ、また受講者自身の日常的な人間関係とその基盤を見つめ直すことを通じ、人間相互の関わりに固有の意義と豊かさを理解する。	
	地域社会論	概要：「インターネットが普及し始めた1990年代、どこにいても仕事ができるようになるので東京一極集中は終わる。これからは地方の時代だ」と言われたが、現実は、さらに東京一極集中が進み、地方はどんどん疲弊していった。政府主導の地方創生もなかなか効果が出てこない。なぜなのだろうか。その原因は、地域そのものにあると考えられる。岡山を中心にして、本当に地域が再生するには何をすべきかを考える。　到達目標：１．地域に住み続けながら「食べていく」ための方策を見出せる　２．横並びの地方創生ではだめであることが分かる。３．新規事業創造の重要性を認識できる。	
	コミュニティ形成論	地域で住民が共に支えあいながらいきいきと生活できる環境づくりを支援するためにはコミュニティを形成するための方法を修得する必要がある。そこで、地域コミュニティの機能に焦点をあて、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。 到達目標：①地域コミュニティに関心を持つ。②持続可能なコミュニティ形成に必要な基本を理解する。③対象者と地域社会を結びつけるための方法を理解する。④地域コミュニティを活性化させるコーディネート力やマネジメント能力を修得する。	
	地域生活と健康	地域社会や学校教育現場での運動・スポーツ活動に基づいた至適健康教育プログラムの提供及び構築を、運動生理学に基づいた科学的根拠を基盤としながら、健康的側面(健康の維持・増進)と競技的側面(競技力の向上)の両側面から検討していく。 到達目標：①各種対象者（成長期の男女、高齢者、身体障害者等）やライフステージに合わせた健康の維持・増進のための健康教育の基礎的知識を身に付ける。②地域社会や学校教育現場に対する科学的情報の適切なフィードバックを考える力を養う。	
	特別支援教育	教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもをが地域で生活するための支援方法について学ぶ。教育現場における作業療法士の介入が広まっているなかで学校内外の機関および専門家と連携するための基礎的な力を身につける。	
	人間工学	人をとりまくさまざまな物や環境との整合性を図る人間工学の基礎を学ぶ。人間工学における基本的な考え方を理解し、人間工学の原則に基づく新たなサービスを創造する力を身につける。	

ライフサイクル論	様々なライフサイクル論を知り、その上でエリクソンのライフサイクル論について各発達段階における課題を知り、対人援助場面でライフサイクルの観点から対象者の理解につなげることができる視点を持つ。	
岡山経営者論	地域に必要なサービス創造（Service Innovation）をおこなうためには、地域に根差したサービス創造をおこなっている経営者の方々に直接講義を受け質問し議論することは有意義である。本講義では、岡山の経営者ならびにイノベーターを招き個人、起業、新規事業展開、海外事業展開、地方創生などをテーマにオムニバス形式で講義を行う。 岡山という地域の中で、「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるのかを学ぶ、これまで大学で学んできた知見を活用し「サービス創造」をおこなうための発想力を身に付ける。 （オムニバス方式/全15回） （11 浅利正二：学長/5回） 1回）オリエンテーション／地域創生・地域活性がなぜ求められるか？ 2回） 岡山地域の経済情勢／地域創生・地域活性に必要な発想・思考とは 3回）「病院経営について」 元病院長として、患者・地域のニーズを把握する手法や、働き方改革における職員の ニーズに応答する手法、病院経営戦略における施設連携手法について。 4回,5回)総括：地域活性化に求められるアイディアと精神（グループワーク） これまでの各経営者の発想力や手法についてグループで整理し、新たなサービスの創出に至る思考過程を具体化する。 岡山の経営者から学ぶ新たなサービスの創造と概要の構築（個人ワーク）対象者や地域の活性化に求められるサービスとは何かを創造し、対象者や地域における新しいサービスを創造する。 （29 二神雅一：(株)創心會/1回） 「新事業展開と多角化」 作業療法士として起業することになった背景、新サービスの考え方、起業化の方法。 （28 山根一人：(株)アールケア/1回） 「サービス創出から起業化まで」 理学療法士として起業することになった背景、新サービスの考え方、起業化の方法。 （30 小山敏章：(株)ケイ・クリエイト/1回） 「拡大戦略と今後の展望について」 病院勤務の薬剤師から調剤薬局を起業するに至った経緯、多店舗展開（拡大戦略）の手法、経営哲学。 （31 上田泰輔：(医)プライムケア/1回） 「新規市場への参入と分析について」 訪問歯科、デイサービス事業を起業した経緯、新規市場への参入とその分析方法。 （32 大塚学：（株）大塚デザイン/1回） 「ブランド戦略について」 独自の感性と視点で、ものづくりに携わり、岡山を代表するNO.1デザイン会社としてのブランドの確立、ブランディング手法、浸透方法について。	オムニバス方式 同時に行う学生数：120人 教育上必要な理由は、さまざまな分野の経営者ならびにイノベーターから直接教授していただくことで、サービスの創造に欠かせない思考と創造力を育むために必要であり、他分野の視点やアイディアを形にする方法を学ぶため、十分な教育効果が期待できる。講師陣は多忙なため、何度も招聘することが困難な岡山を代表する経営者ならびにイノベーターとしている。なお、大講義室（225名収容可能）を利用するため、教育上支障はない。

		(33 田中英樹：オアシスジャパン/1回) 「新市場での事業化とアイディア創出について」 車両販売の中でも、早期から福祉車両に焦点をあてた発想や異業種（元教員）からの起業の経緯。また、医療関係職を集めた交流会を主催することで、本業とのシナジー効果をどのように事業に反映し、新しいサービスを創造しているか。 (34 清水努：清風庵/1回) 「新商品開発戦略による、地元貢献ビジネスについて」 「岡山のお土産＝きびだんご」というイメージが定着する中、新たなお土産スイーツ「岡山ロール」を発案（洋菓子テイストを盛り込んだ和菓子）。全国的にも取り上げられる人気スイーツに押し上げることに成功した、発想力とブランド戦略について。 (37 三宅崇之：和研ハーディ（株）/1回) 「ニッチ・ビジネスにおける事業展開について」 ニッチビジネスとは何か。「空間システム創造」をキーワードに、モノを収めることに関するニーズに対応する事業を起業した経緯、ユニークな経営理念とその浸透や職員教育方法。 (36 鴨井尚志：カモ井加工紙(株)/1回) 「市場開拓戦略（海外展開）、ブランド化、地域貢献」について 商品に新たな価値を付加することで大成功を収めた、市場開拓戦略について (35 宮下附一竜：宮下酒造(株)/1回) 「ブランド化戦略と地域活性化について」 ビール市場における新たな市場を開拓した経緯と、独歩のブランド戦略について。	
総合科目	総合研究Ⅰ	学生が設定しようとする研究テーマについて、先行研究の把握（論文抄読）とその要約・レビュー、実現可能な研究計画書の作成演習（倫理委員会での審査を含む研究手法の組み立てとその手順）を通じて、論文執筆演習を段階的に行う。 到達目標：①実際の研究テーマに沿った、先行研究の要約・レビューができる。②研究計画書の作成ができる。	
	総合研究Ⅱ	総合研究Ⅱでは、総合研究Iでの執筆演習を受けて、実際に遂行中の研究精度を吟味し、研究結果を解釈しまとめる。各種専門領域別の担当指導教官の下、実施中の研究とその確認（研究計画の修正及び追加実験等の必要性）を段階的に行う。具体的には、学生が設定した研究テーマについて、①先行研究における要約の妥当性、②テーマに沿った疑問点、問題点及びそれに伴う仮説の適切性、③研究方法の透明性、④統計処理の有効性、⑤結果の解釈に伴う科学的根拠の信頼性等について議論し、研究の精度を高めていく。 到達目標：①論文の骨格を明確にする。②科学的根拠に基づいた研究結果の解釈ができる。	
	総合演習Ⅰ	これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。 到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。	

	総合演習Ⅱ	「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。 到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。 ※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい。	
	卒業論文	医療・福祉・介護などの現場や地域での実践を踏まえ、その中で見つけた課題をもとに、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を活かして、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、理学療法・作業療法における基本的な治療・訓練に関わる研究や、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新たなサービスを創出する職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組み卒業論文にまとめる。	

学校法人本山学園　設置認可等に関わる組織の移行表

平成31年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和2年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
				岡山専門職大学				大学新設(認可申請)
				健康科学部				
				理学療法学科	80	-	320	
				作業療法学科	40	-	160	
				計	120	-	480	
西日本調理製菓専門学校				西日本調理製菓専門学校				
総合調理専攻科（2年制）	40	-	80	総合調理専攻科（2年制）	40	-	80	
調理師科（1年制）	80	-	80	調理師科（1年制）	80	-	80	
パティシエ・ブランジェ科（2年制）	40	-	80	パティシエ・ブランジェ科（2年制）	40	-	80	
スイーツ科（1年制）	80	-	80	スイーツ科（1年制）	80	-	80	
計	240	-	320	計	240	-	320	
岡山医療技術専門学校				岡山医療技術専門学校				
理学療法学科（3年制）	80	-	240		0	-	0	令和2年4月学生募集停止
作業療法学科（3年制）	40	-	120		0	-	0	令和2年4月学生募集停止
医療事務学科（1年制）	40	-	40	医療事務学科（1年制）	40	-	40	
計	160	-	400	計	40	-	40	
インターナショナル岡山歯科衛生専門学校				インターナショナル岡山歯科衛生専門学校				
歯科衛生学科（3年制）	48	-	144	歯科衛生学科（3年制）	48	-	144	
計	48	-	144	計	48	-	144	

校地校舎等の図面

(1)都道府県内における位置関係の図面



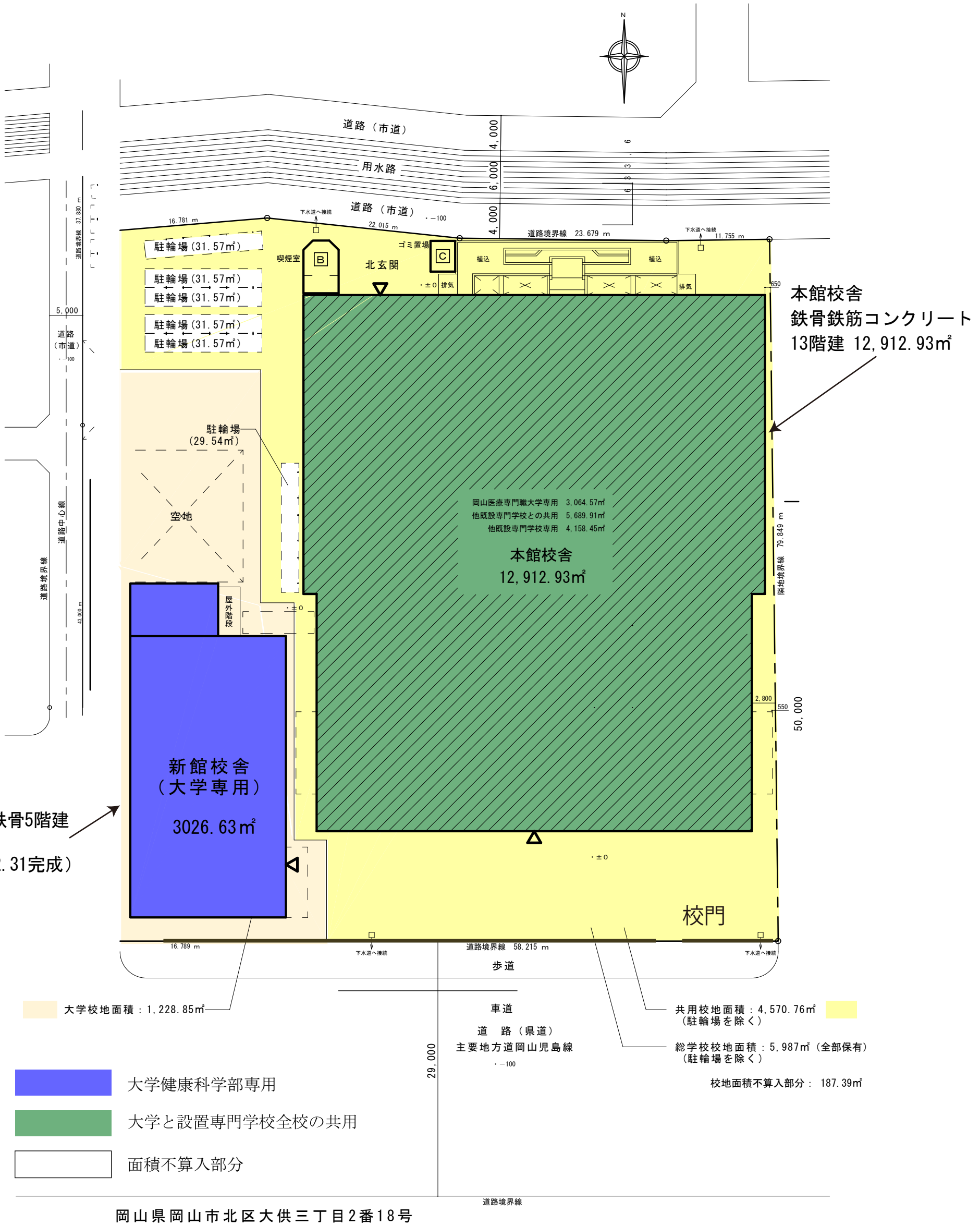


岡山県

(2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



(3)校舎、運動場の配置図



岡山県岡山市北区大供三丁目2番18号

岡山医療専門職大学・岡山医療技術専門学校・西日本調理製菓専門学校・インターナショナル岡山歯科衛生専門学校校地 4,158.45㎡ （全部所有）

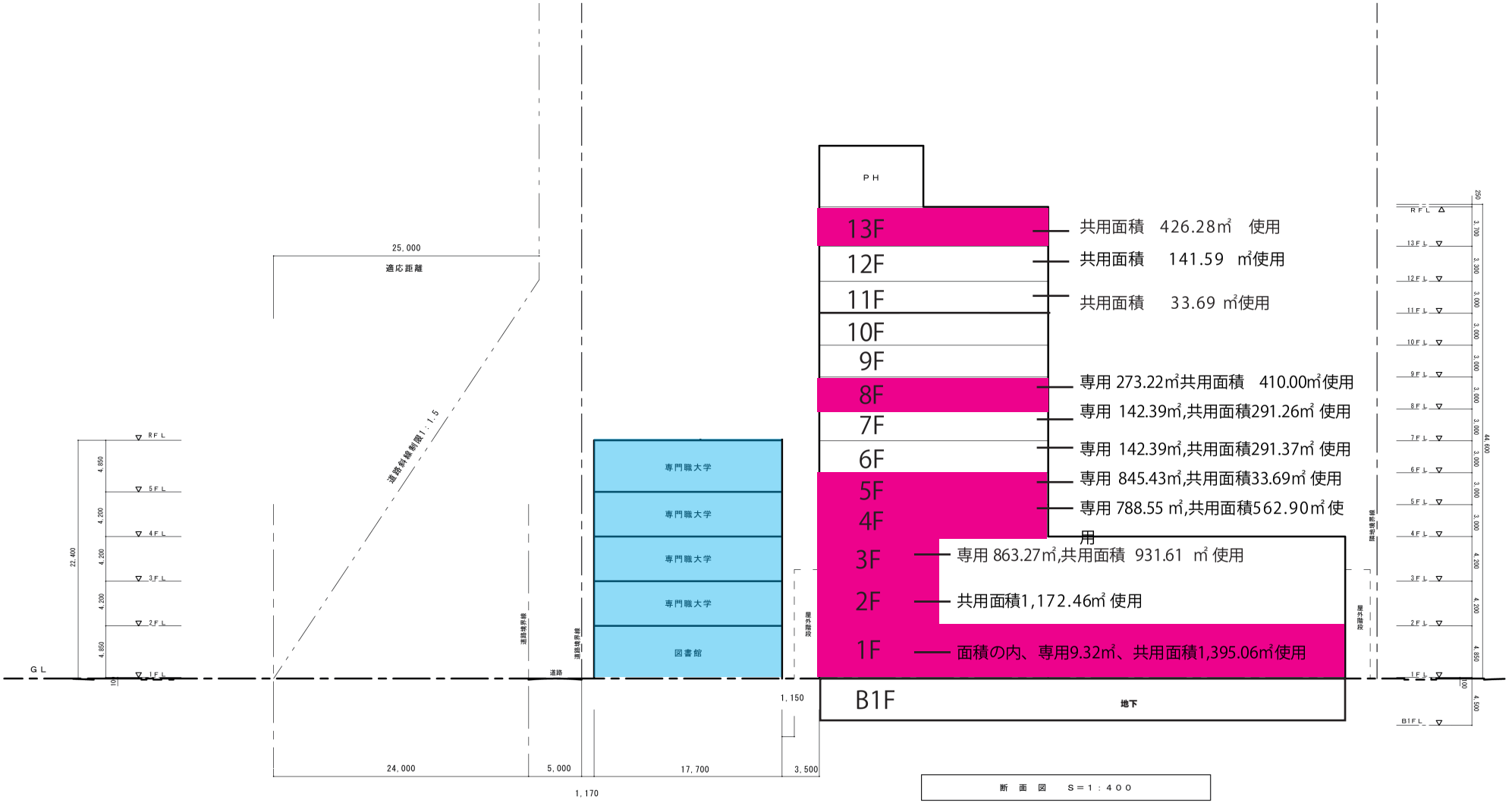
岡山医療専門職大学 校地 1228.85㎡(全部所有)所在地：岡山県岡山市北区大供三丁目2番18号

配 置 図 S＝1：600

学校別使用フロア

設置校との共用部分 岡

山医療専門職大学専用



岡山医療専門職大学 学則（案）

第1章 総則

（目的）

第1条　本学は、本山学園創業の精神に則り、最新の専門知識と高度な実践技能を備え、高質なヒューマンサービスを生み出し、職業専門業務を主導できる創造性豊かな人材を育成し、社会の進歩と健康増進及び福祉の向上に貢献することを目的とする。

（教育憲章）

2　本学は、本山学園創業の精神を実践するために、岡山医療専門職大学教育憲章を定め、教育原理や人材育成に関する目的その他を定める。

（自己点検および評価等）

3　本学は、前項に掲げた目的を達成するために、教育研究活動等の状況について自ら点検評価を行い、その改善に努めると同時に、認証評価を受け、その結果を公表する。

（情報の積極的公表）

4　本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公表するものとする。

第2章　構成

（学部・学科）

第2条　本学に次の学部及び学科を置く。

健康科学部

理学療法学科

作業療法学科

（収容定員）

第3条　本学の定員は次のとおり定める。

学部・学科	入学定員	収容定員
健康科学部		
理学療法学科	80人	320人
作業療法学科	40人	160人

2　学年定員に欠員が生じた場合等、特別な事情がある場合、編入学等により学生を受け入れることがある。

（図書館及び教育研究施設）

第4条　本学に、図書館、研究室を置く。ただし、これらに関する規程は別に定める。

第3章　教職員組織

（学長）

第5条　本学に、学長を置く。

2　学長は、校務を掌り所属教員を統督する。

（学部長）

第6条　本学の学部に、学部長を置く。

2　学部長は、学部に関する校務を掌る。

（学科長）

第7条　本学の学科に学科長を置く。

2　学科長は、学科に関する校務を掌る。

（教職員）

第8条　本学に、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他必要な教職員を置く。
ただし、教職員に関する規程は別に定める。

第4章　運営評議会・教授会

（運営評議会）

第9条　本学に、本学の教学に関する重要事項を審議するため運営評議会を置く。

2　運営評議会の運営等全般に関する必要な事項は別に定める。

（教授会）

第10条　本学に、教授会を置く。

2　教授会の運営等全般に関する必要な事項は別に定める。

第5章　教育課程連携協議会

（教育課程連携協議会）

第11条　本学に、教育課程連携協議会を置く。

2　教育課程連携協議会の運営に関する必要な事項は別に定める。

第6章　学年・学期及び休業日

（学年）

第12条　学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

（学期）
第13条　学年を次の2学期に分ける。
　　前学期　4月1日から9月30日まで
　　後学期　10月1日から翌年3月31日まで
2　学長が必要と認めた場合は、前項の期間を臨時に変更することができる。

（休業日）
第14条　休業日は次の各号に掲げるとおりとする。
（1）日曜日
（2）国民の祝日に関する法律に定める日
（3）春季、夏季、冬季休業日
2　学長は前項に定めるもののほか、臨時の休業日を定めることができる。この場合においては、授業時間確保のため、休日の振替等を行うことができる。

第7章　修業年限及び在学年数
（修業年数）
第15条　本学の修業年限は4年とする。

（在学年数）
第16条　学生は8年を超えて在学することができない。

第8章　入学、転入学、編入学、再入学及び留学
（入学の時期）
第17条　入学の時期は、学年始とする。

（入学資格）
第18条　本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、本学の入学選抜試験に合格した者とする。
（1）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者
（3）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
（4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
（5）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

（6）文部科学大臣の指定した者
（7）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
（8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

（入学の出願）
第19条　入学志願者は、所定の入学願書に第55条に定める入学検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願い出なければならない。

（入学志願者の選考）
第20条　前条の入学志願者の選考は、入学願書、エントリーシート、調査書、学科試験、小論文、レポート、発表・ディスカッション、面接及びその他必要な書類などによって行なう。
2　入学志願者の選考に関する必要な事項については別に定める。

（入学許可及び入学手続）
第21条　前条の選考の結果、入学を許可された者は、指定された期日までに、保証人連署の誓約書及び所定の書類を提出し、別に定める学納金を納めなければならない。
2　入学を許可された者が前項に定める手続きを行なわないときは、入学許可はその効力を失う。

（保証人）
第22条　保証人は、入学生に係る一切の責任を負うことのできる独立生計者とし、父母またはこれに準ずるものを正保証人とする。
2　保証人が死亡、その他の理由により、その責任を負うことのできないときは、新たに保証人を定めなおして誓約書を提出しなければならない。

（改姓等）
第23条　学生または保証人が改姓・改名、転籍・国籍変更、転居・住所変更をしたときは、ただちに証明書類を添えて、その旨を届け出なければならない。

（転入学）
第 24 条　次に示す項目に該当する者は、欠員のある場合に限り、選考のうえ、転入学を許可することがある。
（1）他の大学もしくは専門職大学に在学する者
（2）短期大学もしくは専門職短期大学、高等専門学校4年次以上に在学する者
2　本学へ転入学を志願する者は第55条に定める入学検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願い出なければならない。

3　第1項の定めにより入学を許可された者の、すでに履修した授業科目及び単位数ならびに在学すべき年数の認定は教授会が行なう。
4　本条により入学した学生の最長在学年数は、第16条の定めにもかかわらず、前項で定める在学すべき年数の2倍以内とする。
5　その他、本学への転入学に関しては別に定める。

（編入学）
第 25 条　次に示す項目に該当する者で、編入学試験に合格した者は、本学への編入学を認める。
（1）短期大学（専門職短期大学並びに外国の短期大学及び、我が国における、外国の短期大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む。）を卒業した者（法第 108 条第 7 項）
（2）高等専門学校を卒業した者（法第 122 条）
（3）専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上、総授業時数が 1,700 時間以上又は 62 単位以上であるものに限る）を修了した者（法第 132 条）
（4）修業年限が 2 年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科修了者（学校教育法施行規則第 100 条の 2）
（5）理学療法士・作業療法士として実務経験のある者
2　本学へ編入学を志願する者は第55条に定める入学検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願い出なければならない。
3　第1項の定めにより入学を許可された者の、すでに履修した授業科目及び単位数ならびに在学すべき年数の認定は教授会が行なう。
4　本条により入学した学生の最長在学年数は、第16条の定めにもかかわらず、前項で定める在学すべき年数の2倍以内とする。
5　その他、編入学に関する必要な項目については別に定める。

（再入学）
第 26 条　第 46 条により退学した者または第 47 条第 1 号により除籍された者が、1 年以内に保証人連署をもって再入学を願い出た時は、選考のうえ、再入学を許可することがある。
2　再入学の時期については、当該学生の履修状況等を勘案し、決定する。

（留学）
第27条　外国の大学又はこれに相当する高等教育機関への留学を希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。
2　留学期間は、原則として 1 年間を限度とする。
3　留学の許可を得た者については、その留学期間を在学年数に算入する。
4　留学の許可を得た者が、留学した大学において修得した単位については、60単位を限度として認めるものとする。
5　留学に関する必要な項目については、別に定める。

第9章　教育課程及び履修方法等

（授業科目）

第28条　本学の授業科目は、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目で構成される。

2　それぞれの科目区分のもとに設置される授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

3　前項については、授業科目履修規程に定める。

（単位計算方法）

第29条　各授業科目の単位数の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次に掲げる基準によるものとする。

（1）講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、各学科が定める時間の授業をもって1単位とする。

（2）実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、各学科が定める時間の授業をもって1単位とする。

（3）1の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して各学科が定める授業時間をもって1単位とする。

2　前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切であると認められる場合には、相当の単位数を定めることができる。

（年間授業実施週）

第30条　1年間の授業週は、定期試験等も含め35週を下らないものとする。

（教育課程の編成）

第31条　教育課程は、別表1（カリキュラム表）に定める授業科目を各年次に配当して編成するものとする。

（履修届）

第32条　学生は、授業科目履修規程に従って、履修しようとする授業科目を毎学年所定の期間内に届出なければならない。

（他大学・他学部等における授業科目の履修）

第 33 条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院及び専門学校（専修学校の専門課程）における履修により修得した授業科目の単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2　前項の規定は、学生が外国の大学または短期大学における履修により修得した授業科目の単位認定に際しても準用する。

3　学生は、他学科開講科目のうち、大学の指定する授業科目について履修することができる。
4　第1項から第3項により履修した授業科目について修得した単位については、60単位を限度として所属学科において修得した単位とみなすことができる。
5　前4項の実施に関して必要な事項は別に定める。

（大学以外の教育施設等における学修）
第34条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学または、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
2　前項により与えることができる単位数は、前条第1項から第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
3　実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実務経験による単位認定は、病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 20 単位を限度として所属学科において修得した単位とみなすことができる。
4　前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。

（卒業単位）
第35条　本学を卒業するためには、次の各号に定める所定の単位を修得しなければならない。
健康科学部
理学療法学科

基礎科目	22単位以上
必修科目	18単位以上
選択科目	4単位以上
職業専門科目	89単位以上
基礎分野科目から必修科目	32 単位以上
専門分野科目から必修科目	57 単位以上
展開科目	20単位以上
総合科目	4単位以上

基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて135単位以上（必修科目131単位、選択科目4単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を40単位以上（臨地実務実習20単位以上を含む）修得しなければならない。
作業療法学科

基礎科目	22単位以上
必修科目	18単位以上
選択科目	4単位以上
職業専門科目	89単位以上

基礎分野科目から必修科目　　32 単位以上
専門分野科目から必修科目　　57 単位以上
展開科目　　20単位以上
総合科目　　4単位以上
基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて135単位以上（必修科目131単位、選択科目4単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を40単位以上（臨地実務実習20単位以上を含む）修得しなければならない。

（資格）
第36条　健康科学部では、厚生労働省の定めに基づく前条に定める該当科目を修得することにより卒業と同時に、理学療法学科では理学療法士国家試験受験資格、作業療法学科では作業療法士国家試験受験資格を取得することができる。資格取得にかかる履修に関する規程は別に定める。

（単位の認定）
第 37 条　各授業科目の単位履修の認定は試験による。
2　試験に関する規則は別に定める。

（既修得単位の認定）
第 38 条　本学入学以前に、大学（専門職大学）または短期大学（専門職短期大学）において修得した単位について、教育上有益と認められるときは本学において修得した単位として認定することができる。
2　前項により、認定できる単位数は、編入学、転入学の場合を除き、本学で修得した単位以外のものについては、第 33 条及び第 34 条により大学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。
3　その他既修得単位の認定に関する規則については別に定める。

（成績）
第 39 条　試験の成績は S・A・B・C・D・E の 5 段階とし、S・A・B・C は合格、D は不合格、E は未履修とする。
S 評価：100 点～90 点
A 評価：89 点～80 点
B 評価：79 点～70 点
C 評価：69 点～60 点
D 評価：59 点以下
E 評価：受験せず

2　単位認定科目制度の利用等による評価によらない認定科目の成績は N（認定）とする。

第 10 章　休学・復学・転学・転籍・退学・除籍・再入学・編入学

（二重学籍の禁止）

第 40 条　学校教育法に定める他の大学院、大学、短期大学に正規学生、専攻科生、別科生、研究生として在籍する者は、本学に正規学生として入学できない。

2　本学に正規学生として在籍する者は、学校教育法に定める他の大学院、大学、短期大学の正規学生、専攻科生、別科生、研究生として在籍できない。

（休学）

第 41 条　疾病またはやむを得ない理由により一学期間以上就学することができない者に対して休学を許可することがある。

2　休学の許可を受けようとする者は、医師の診断書または詳細な理由書を添えて、保証人連署のうえ、願い出なければならない。

（休学期間）

第 42 条　休学期間は 1 年以内とする。ただし、特別の理由がある場合には、休学期間の延長を認めることがある。

2　休学期間は通算して 2 年を超えることができない。また第 23 条により入学した者は、同条第 4 項に定める在学すべき年数を超えることができない。

3　休学期間は第 16 条及び第 24 条第 4 項並びに第 25 条第 4 項の在学年数に算入しない。

（復学）

第 43 条　休学期間が満了した者及び休学期間満了以前に復学しようとする者は、保証人連署のうえ、復学を願い出なければならない。

（転学）

第 44 条　他の大学もしくは専門職大学へ転学しようとする学生が、保証人連署のうえ、願い出た場合には、事情により許可することがある。

（転籍）

第 45 条　学部内の他の学科等へ転籍を希望する者のあるときについては、定員の欠員があり、単位の取得状況が条件を満たしている場合、選考のうえ、許可することがある。

2　転籍を志願する者は第 55 条に定める検定料及び指定する書類を添えて所定の期日までに願い出なければならない。

3　転籍に関する事項は別に定める。

（退学）

第 46 条　疾病またはやむを得ない理由により退学しようとする者は、医師の診断書または、詳細な理由書を添えて、保証人連署のうえ、願い出て許可を受けなければならない。

（除籍）

第 47 条　次の各号のいずれかに該当する者は除籍する。

（1）授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

（2）第 16 条及び第 24 条第 4 項並びに第 25 条第 4 項で定める在学年数を超えた者

（3）第 42 条第 2 項に定める休学期間を超えてなお復学できない者

（4）死亡した者

第 11 章　卒業及び学位の授与

（卒業の認定）

第 48 条　本学に 4 年（第 24 条第 1 項及び第 25 条第 1 項の定めるところにより入学した者については、同条第 3 項により定められた在学すべき年数）以上在学、かつ第 4 学年を修了し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、卒業証書及び第 2 項の学位を授与する。

2　前項の規定により授与する学位は次のとおりとする。

学部	学科	学位
健康科学部	理学療法学科	理学療法学士（専門職）
	作業療法学科	作業療法学士（専門職）

第 12 章　賞罰

（表彰）

第 49 条　学生で他の模範となる行為があった場合は、表彰することがある。

（懲戒）

第 50 条　本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、その情状により次の懲戒を加える。

（1）訓告

（2）停学

（3）退学

2　前項第 3 号の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して命ずる。

（1）性行不良で改善の見込みがないと認められる者

（2）学業を怠り卒業の見込みがないと認められる者

（3）正当の理由がなくて出席が常でない者

（4）本学の秩序を乱し、その他学生の本分に反した者

第 13 章　厚生施設

（厚生担当部署の設置）

第 51 条　本学に厚生指導係を置く。

第 14 章　科目等履修生・聴講生・外国人留学生

（科目等履修生）

第 52 条　本学における授業科目のうち、1 科目または数科目を選択して受講しようとする者があるときは、本学の教育に支障のない限り、選考のうえ、科目等履修生として許可することができる。

2　科目等履修に関する必要な事項は別に定める。

3　科目等履修生の入学検定料等納付金については別表 4 のとおりとする。

4　科目等履修生として取得した単位については、本学入学を希望する際、読み替えることができる。

（聴講生）

第 53 条　本学において特定の専門事項について研究しようとするものがあるときは、教育・研究に支障のない限り、選考のうえ、聴講生として許可することができる。

2　聴講生に関する必要な事項は別に定める。

3　聴講生の入学検定料等納付金については別表 5 のとおりとする。

（外国人留学生）

第 54 条　外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、外国人留学生として入学を許可することがある。

2　外国人留学生の入学に関する必要な事項は別に定める。

第 15 章　入学検定料・学納金

（入学検定料・転籍試験検定料）

第 55 条　入学検定料及び転籍試験検定料は別表 2 のとおりとする。

（学納金）

第 56 条　学納金は別表 3 のとおりとする。

2　休学者（休学期間が学期初めから、学期末までの全期間にわたる場合）については当該学期の学納金は徴収しない。この場合においては、在籍料を徴収することとし、在籍料は別に定める。

3　学納金の納付に関する必要な事項は別表に定める。

（納付した検定料・学納金）

第 57 条　納付された入学検定料及び入学金は、一切返還しない。また、学納金の返還の取り扱いについては別に定める。

（規則等の委任）

第 58 条　本学則施行に必要な事項は、規則及び規程で定める。

（附則）

本学則は、令和２年４月１日から施行する。

別表１

（健康科学部理学療法学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎科目		大学入門	1前	1				○	
		基盤ゼミⅠ	2前	1				○	
		基盤ゼミⅡ	3前	1				○	
		職業人の倫理と道徳論	1後	2			○		
		心理学	1前		2		○		
		哲学概論	1前		2		○		
		健康科学概論	1後	1			○		
		コミュニケーション英語	1前	2			○		
		日本の歴史と文化	1前	2			○		
		国際政治経済論	2後	1			○		
		基礎生物	1前	1			○		
		基礎物理	1前	1			○		
		情報収集と処理	1後	1			○		
		統計分析の基礎	2後	1			○		
		人間関係論	3前		2		○		
		コミュニケーション論	3前	1			○		
		テーマ設定と研究方法	3前	1			○		
		研究デザイン	3前	1				○	
		小計（　18科目）	－	18	6	0	―	―	―
職業専門科目	専門基礎分野	メディカル英語	3後	2			○		
		解剖学	1前	2			○		
		解剖学実習Ⅰ	1後	1					○
		解剖学実習Ⅱ	2前	1					○
		生理学	1前	2			○		
		生理学実習	1後	1					○
		運動学	1後	2			○		
		運動学実習	2前	1					○
		人間発達学	1前	2			○		
		臨床医学概論	1前	2			○		
		病理学	1後	2			○		
		精神医学	2後	2			○		
		整形外科学	2前	2			○		

		内科学	1後	2			○		
		神経内科学	2前	2			○		
		小児科学	2前	2			○		
		リハビリテーション医学	1後	1			○		
		リハビリテーション概論	1前	1			○		
		地域包括マネジメント論	3後	1			○		
		多職種連携論	1後	1			○		
	専門分野	理学療法概論	1前	2			○		
		基礎理学療法学	2前	2			○		
		基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○
		基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○
		理学療法セミナーⅠ	4前		1			○	
		理学療法セミナーⅡ	4後		1			○	
		理学療法管理学概論	3前	2			○		
		理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○		
		理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○		
		理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○
		理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○
		理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○
		運動療法	1後	1			○		
		運動療法実習Ⅰ	2前	1					○
		運動療法実習Ⅱ	2後	1					○
		物理療法	2後	1			○		
		物理療法実習	3前	1					○
		理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○		
		理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○		
		理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○		
		理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○		
		理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○
		理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○
		理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○
		老年期障害理学療法学	3前	1				○	
		理学療法演習Ⅰ	2後		2			○	
		理学療法演習Ⅱ	3後		2			○	
		日常生活活動学	2前	1			○		
		日常生活活動学実習	2後	1					○
		生涯スポーツ実習	3前	1					○
		スポーツ理学療法特論	2後	1					○

	義肢装具学	3後		1		○		
	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法)	4前	1					○
	応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学)	4前		1				○
	応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	4前	1					○
	生活環境学	2後	2			○		
	地域理学療法学	3前	1			○		
	予防理学療法学	3後		1		○		
	見学実習	1通	1					臨
	評価実習	3前	3					臨
	総合実習Ⅰ	3後	8					臨
	総合実習Ⅱ	4前	8					臨
	小計(62科目)	-	89	9	0	—	—	—
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○		
	人間形成論	3後	2			○		
	食生活マネジメント論	3前	2			○		
	生体情報科学	3後	2			○		
	NPO論	4前	2			○		
	スポーツ科学	4前	2			○		
	起業入門	4前	2			○		
	マネジメント論	4前	2			○		
	コーチング論	4前	2			○		
	岡山経営者論	4前	2			○		
	小計(10科目)	-	20	0	0	—	—	—
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○	
	総合研究Ⅱ	4前	1				○	
	総合演習Ⅰ	3後		1			○	
	総合演習Ⅱ	4前		1			○	
	卒業論文	4後	2				○	
	小計(5科目)	—	4	2	0	—	—	—
	合計(95科目)	—	131	17	0	—	—	—

（健康科学部作業療法学科）

大学入門	1前	1				○	
基盤ゼミⅠ	2前	1				○	
基盤ゼミⅡ	3前	1				○	
職業人の倫理と道徳論	1後	2			○		
心理学	1前		2		○		
哲学概論	1前		2		○		
健康科学概論	1後	1			○		
コミュニケーション英語	1前	2			○		
日本の歴史と文化	1前	2			○		
国際政治経済論	2後	1			○		
基礎生物	1前	1			○		
基礎物理	1前	1			○		
情報収集と処理	1後	1			○		
統計分析の基礎	2後	1			○		
人間関係論	3前		2		○		
コミュニケーション論	3前	1			○		
テーマ設定と研究方法	3前	1			○		
研究デザイン	3前	1				○	
小計（ 18科目）	—	18	6	0	—	—	—
メディカル英語	3後	2			○		
解剖学	1前	2			○		
解剖学実習Ⅰ	1後	1					○
解剖学実習Ⅱ	2前	1					○
生理学	1前	2			○		
生理学実習	1後	1					○
運動学	1後	2			○		
運動学実習	2前	1					○
人間発達学	1前	2			○		
臨床医学概論	1前	2			○		
病理学	1後	2			○		
精神医学	2後	2			○		
整形外科学	2前	2			○		
内科学	1後	2			○		
神経内科学	2前	2			○		
小児科学	2前	2			○		
リハビリテーション医学	1後	1			○		
リハビリテーション概論	1前	1			○		
地域包括マネジメント論	3後	1			○		

多職種連携論	1後	1			○		
作業療法概論	1前	2			○		
基礎作業学	1後	1			○		
基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○
基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○
作業療法セミナーⅠ	4前		1			○	
作業療法セミナーⅡ	4後		1			○	
作業療法管理学概論	3後	2			○		
作業療法評価学	1後	2			○		
作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○
作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○
作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1					○
基礎作業療法治療学	3前	1			○		
基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1					○
基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○
身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○		
身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○		
身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○		
身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○		
身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○
身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○
身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○
老年期障害作業療法学	2後	1			○		
老年期障害作業療法実習	3前	1					○
精神障害作業療法学	2後	1			○		
作業療法演習Ⅰ	2後		2			○	
作業療法演習Ⅱ	3後		2			○	
日常生活活動学	2前	1			○		
日常生活活動学実習	2後	1					○
義肢装具学	3後		1		○		
応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○
応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1					○
応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1				○
生活環境学	2後	2			○		
地域作業療法学	3後	1			○		
予防作業療法学	3後	1			○		
見学実習	1通	1					臨
評価実習	3前	3					臨
総合実習Ⅰ	3後	9					臨

総合実習Ⅱ	4 前	9					臨
小計（ 59 科目）	―	89	8	0	―	―	―
ヒューマンサービス論	2 後	2			○		
人間形成論	3 後	2			○		
家族関係論	3 前	2			○		
地域社会論	3 後	2			○		
コミュニティ形成論	3 後	2			○		
地域生活と健康	4 前	2			○		
特別支援教育	4 前	2			○		
人間工学	4 前	2			○		
ライフサイクル論	4 前	2			○		
岡山経営者論	4 前	2			○		
小計（ 10 科目）	―	20	0	0	―	―	―
総合研究Ⅰ	3 後	1				○	
総合研究Ⅱ	4 前	1				○	
総合演習Ⅰ	3 後		1			○	
総合演習Ⅱ	4 前		1			○	
卒業論文	4 後	2				○	
小計(5 科目)	―	4	2	0	―	―	―
合計（ 92 科目）	―	131	16	0	―	―	―

別表2

入学検定料	30,000円
転籍試験（転科）の検定料	10,000円

別表 3

	入学金 （入学時のみ）	授業料（年額）	施設設備費（年額）	備考
健康科学部 理学療法学科 作業療法学科	300,000 円	1,060,000 円	400,000 円	

別表 4

入学検定料	登録料	履修料
10,000 円	10,000 円	講義 1 単位につき 30,000 円

別表 5

入学検定料	登録料	聴講料
10,000 円	10,000 円	講義 1 単位につき 20,000 円

岡山医療専門職大学　健康科学部教授会規程

第１章　総則

（趣旨）

第１条　本学における教授会については、この規程の定めるところによる。

第２章　教授会

（構成員）

第２条　教授会は、専任の教授、准教授、講師および助教をもって構成する。だだし、その他の教育職員も出席させることができる。

２　学校法人本山学園（以下「学園」という。）の理事は随時、教授会に出席して意見を述べることができる。

（招集、議長、定足数、議決）

第３条　教授会は学長がこれを招集し、その議長となる。学長に事故あるときは、学部長がこれに代わる。

２　教授会は原則として毎月 1 回定例教授会を開催する。また必要に応じて臨時に教授会を開催することができる。

３　教授会は構成員の過半数をもって成立する。

４　教授会の議決は、出席した構成員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

ただし、教授会が特に重要と認めた事項については、構成員の三分の二以上の多数をもって決する。

（審議事項）

第４条　教授会は次に掲げる各号を審議する。

（１）　教授会の運営に関する事項

（２）　教育課程の編成、変更、実施および講義・実習担当に関する事項

（３）　各種委員会に関する事項

（４）　学則に関する事項

（５）　学生の入学、転入学、編入学、科目履修、聴講、退学、休学、進級、留学、再入学、復学、転籍、除籍および卒業に関する事項

（６）　学生の試験に関する事項

（７）　学生の賞罰に関する事項

（８）　学生活動、学生生活等に関する事項

（９）　本規程の改廃に関する事項

(10)　その他教学運営上重要な事項

２　前項に掲げる審議事項のうち、学校間の調整の必要がある場合は、学務会議に付託する。

（理事長、学園長への報告）

第５条　教授会において審議され、あるいは議決された事項は学長から理事長、学園長に報告しなければならない。

（議事録）

第６条　教授会の議事録は、事務職員が筆記し、学長の責任において記録保存するものとする。

（改廃）

第７条　本規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

附則　　本規程は、令和２年４月１日より施行する。

設置の趣旨等を記載した書類

目次

① 設置の趣旨及び必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
② 学科・専攻の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7
③ 学部・学科の名称及び学位の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10
④ 教育課程の編成の考え方及び特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11
⑤ 教員組織等の編成の考え方及び特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P33
⑥ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P36
⑦ 教育課程連携協議会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P42
⑧ 施設・設備等の整備計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P44
⑨ 入学者選抜の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P47
⑩ 取得可能な資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P57
⑪ 実習の具体的計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P58
⑫ 管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P82
⑬ 自己点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P83
⑭ 情報の公表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P84
⑮ 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等・・・・・・・・・・・・・・・P85
⑯ 社会的・職業的自律に関する指導等及び体制 ・・・・・・・・・・・・・・・P86

設置の趣旨等を記載した書類

① 設置の趣旨及び必要性

学校法人本山学園（位置：岡山県岡山市北区大供三丁目 2 番１8 号）の創設者は、「豊かな人間性と創造力を養う」「自主の精神を養う」「国際的視野を養う」という建学精神と「医食同源」の教育理念の下で、昭和 43（1968）年 10 月に西日本調理師学校（現：西日本調理製菓専門学校）を開設し、その後平成 4（1992）年 4 月に岡山健康医療技術専門学校（現：岡山医療技術専門学校）を開校した。高齢化が急速に進行し、理学療法士、作業療法士の養成が急務とされるなかでの開校であった。

そして現在、超高齢社会が到来するなかで、技術革新が急速に進行し、理学療法士および作業療法士の育成のあり方は、新たな次元の課題に直面している。

学校法人本山学園は、急激に変化する時代のニーズを背景とした地域の課題に応えるため、これまで岡山医療技術専門学校で蓄積してきた教育研究実績を発展的に継承して、岡山市北区大供キャンパスに岡山医療専門職大学健康科学部（理学療法学科入学定員 80 名、作業療法学科入学定員 40 名）を設置する計画である。なお既設の岡山医療技術専門学校（医療事務学科を除く）は、岡山医療専門職大学の設立に伴い廃止する。

岡山医療専門職大学の設置の趣旨と必要性は、以下の通りである。

1）社会および地域のニーズ

AI の高度化と医療現場のロボット化が急速に進行し、今後リハビリテーションや介護に関する知識や技術に大変革がもたらされ、サービスのあり方自体が大きく変化していくことが予測されている。このような医療介護提供体制の変化の中で、理学療法士および作業療法士がその職務能力を十分に発揮するためには、変化に対応して常に最新の専門知識と技術を吸収し、新しい技術や治療方法を探究し、新たなニーズを満たすサービスの創出に挑戦し続ける姿勢と力が必要となる。持続的な自己研鑽の姿勢を備え、新たな領域のサービス課題に取り組むために必要な論理的な思考力と探究力を持つとともに、AI とロボットの時代では特に必要性が増大する人間味溢れるサービスを対象者に提供することが強く求められることになる。

同時に、超高齢化と少子化が急速に進行し、低成長経済が持続する中で、「国民皆保険制度」の危機が深まり、高齢者は、医療保険に依存した医療サービスから脱却して自助努力で自立した生活力を回復し維持することが求められる。理学療法・作業療法サービスのあり方自体も変革が迫られる。これまでの医療保険制度の枠組みで医療機関の中でサービスを提供する方式は限界を迎えている。医療機関外へ活動範囲を広げるとともに従来領域外とみなされていた予防や自立支援などの新領域で活躍できる幅広い見識と応用力を備えた理学療法士および作業療法士の必要性が増している。

本学が設置される岡山県に目を向けると、医療機関で必要とされる理学療法士・作業療法士はほぼ充足される一方、それ以外の介護福祉や地域をはじめ幅広い分野で活躍が期待される療法士の不足が顕在化している。日本理学療法士協会理事山根一人氏（岡山県選出）は、次のように述べている。「2025 年までの需給を見ると理学療法士不足が言われているが、医療分野では充足されてきており、福祉分野の人員不足が叫ばれている。地域包括ケアシステムの充実を目指している国の方針に準じて、医療のみならず、地域、福祉に関わる能力を備

えた学生の育成に期待する」（資料 1-1）。

既存の教育機関で養成された人材は、その大部分が医療機関で働き、現在社会的ニーズの高まっている介護施設や地域で働くものはいまだ少数派である。そしてこれからの社会で特に必要性が高まる「地域」に関わる新分野で働こうとする姿勢には乏しいことが窺われる。新たな時代の課題に進んで取り組み、地域に関わる分野で働く意欲と創意にあふれた人材の育成が焦眉であると言えよう。

岡山県理学療法士会からは、岡山県では、地域と連携する上での地域との連携の取り方、アピールの方法、マネジメントなどの能力不足が現在の理学療法士の課題として挙げられ、この部分では他県からの支援を仰いでいるのが現状であるとの指摘をいただいている。さらに、最終的には起業にまで持っていくことができれば良いと期待されている。（資料 1-2）

本学が立地する岡山市（総人口 719,474 人、平成 27 年現在）における高齢者人口は、平成 27 年の 17 万 5 千人（高齢化率 24.7%）から令和 7 年には 19 万 5 千人（高齢化率 27%）へと上昇する見込みであり、一人暮らしの高齢者の増加、人間関係の希薄化による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等への対応が喫緊の課題となっている。

岡山市は、この緊急かつ重要課題に対処するため「第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月」（資料 1-3）を策定している。その基本理念は、「住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）」であり、基本目標を、次のように掲げている。

Ⅰ　いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり

Ⅱ　状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開

Ⅲ　医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

このように、岡山市では、高齢者が健康寿命の延伸に努め、地域社会でいきいきと活躍し、地域や人とのつながりを保ちつつ自分らしい生活を最後まで安心して続けられるよう、地域に関わる人や組織が目標を共有し、適切な役割分担のもとで、保健・医療・介護・福祉などの分野を超えて協働し、多様な主体が支え合う包括的なシステムを構築し、深化させていくことを目指している。住民の関心も「平均寿命」から「健康寿命」へ向かっており、健康寿命が「延伸」されれば、人々の生活の質が改善され、社会保障費の軽減にもつながると期待される。岡山市は、この「健康寿命の延伸」を基本目標Ⅱに掲げ「地域包括ケアシステム」構想の中核として位置づけている。

「健康寿命の延伸」の基本は「運動訓練」による「自発的日常生活機能」の維持・改善であり、この効果はさらに「寝たきり予防」、「疾病・介護予防」につながる。理学療法士の主たる職務は、運動療法による対象者の身体機能・動作の維持・改善であることから、地域における「運動訓練」の推進、さらにはその結果もたらされる「健康寿命の延伸」に深くかかわる職種は、職能上理学療法士である。具体的な活動としては、地域で「転倒予防事業」「介護予防事業」「腰痛予防事業」等をはじめとする各種「運動訓練」を展開し、また「健康寿命の延伸」にかかわる様々な取り組みの啓蒙活動を展開することが挙げられる。

理学療法士に対する岡山地域のニーズは、高齢社会で多様な主体が支えあう地域包括ケアシステムの中で、特に身体機能の向上や健康寿命の延伸などの分野であり、介護福祉をは

じめ、疾病予防や介護予防などの幅広い分野で、自立して生活できる自助能力を回復・維持し、健康寿命を延伸する様々なサービスを展開することである。また先にも触れた、地域との連絡の取り方、アピールの方法、マネジメントのノウハウの修得であり、最終的には起業にまでもっていく能力である（資料 1-2)。

このような岡山地域のニーズに応えるために、本学理学療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」

また最近岡山市では、独居高齢者の増加、人間関係の過疎化による地域コミュニティの機能低下などの諸問題が顕在化してきており、地域の住民や諸団体が協働して活動し、支え合い機能を持つ地域コミュニティづくりの再構築を進め、地域活性化につなげていこうとする機運が高まってきている。

岡山市においては「第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基本理念Ⅲにおいて、「医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり」を掲げており、岡山県作業療法士会副会長の西出康晴氏は、作業療法士の役割として、地域の生活を知り、地域を理解し、自治体と協力して、独居老人や引きこもり高齢者の居場所づくりや地域のコミュニティ形成を行うことが重要である、と述べている（資料 1-4)。岡山県健康福祉部医療推進課課長の則安俊昭氏も「高齢者、認知症、独居高齢者などの社会との共生のためには地域を包括した支援体制が必須であり、その意味でコミュニティの形成は非常に重要である。大学でこのような基礎知識を養成してもらえることは非常にありがたい。コミュニティの中では作業療法士が果たす役割は非常に大きい。」と述べている（資料 1-5)。また日本作業療法士協会は「第三次作業療法 5 ヵ年戦略（2018-2022)」において、高齢社会の中で「共生社会の実現に向けた地域を基盤とする包括的ケアにおける作業療法の活用推進」と「共生社会に寄与する作業療法士を育成する教育の整備と強化」を掲げている（資料 1-6)。このように地域包括ケアシステムや共生社会の実現に向けては、作業療法士が担う責務が非常に重要であり、地域コミュニティの再構築や地域共生に向けての重要な役割が作業療法士に求められる。

岡山地域の作業療法士に対する主要なニーズは、高齢者や障害者の社会進出、居場所づくり、社会の中で活躍する場を創設することであり、高齢者、認知症、独居高齢者などが住み慣れた地域で自立した生活を実現するために多様な生活課題に適合するサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して地域コミュニティの新しい仕組みづくりに貢献することである。

このような岡山地域のニーズに応えるために、本学作業療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の作業療法専門知識と高度な実践力を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュ

ニティづくりに貢献する人材。」

岡山市は、本学の設置計画に対して、医療施設だけではなく地域包括ケアシステムの中核を担う人材を育成することを期待し、さらに岡山市・地元 NPO・地元団体・企業と本学学生が協働して、地域活動を通じた人材育成、地域活性化につなげる機会を創出していきたいとの積極姿勢を示している（資料 1-7)。さらに前述の則安氏は本学に対して「地域の中に入ってもらって一緒に解決していく能力を持った人が育ってくれることに期待したい。リハビリテーションの根幹は、人権の回復であると考えているので、この目的を果たすためには、各領域がバラバラでは難しい、組織化して解決に向かう必要があると思う。その組織の中核を担う人材の育成を期待したい。」と強調された（資料 1-5)。

岡山地域では、前述のように地域の住民や諸団体が協働して活動し、支え合い機能を持つ地域コミュニティづくりを進め、地域活性化につなげていこうとする機運が高まっている。介護福祉、疾病予防、介護予防など幅広い分野で、自立して生活できる自助能力を改善・維持し、健康寿命を延伸する様々なサービスを展開する人材への需要が高まるとともに、住み慣れた地域で自立した生活を実現する地域包括ケアシステムと、それを補完し充実する保険外サービスなどの自助サービスを組み合わせて提供する仕組みをコーディネイトできる人材が強く求められていると言えよう。

また岡山地域に必要な人材を岡山で育成し、岡山地域への定着力を高める取組みが、岡山地域の「地方創生」の実現にとって極めて重要となる。岡山市は、岡山市に在籍する大学生のかなりの割合が大都市圏を中心に転出している現状を受け、地域を担う人材の育成および岡山市への定着率の向上を目指しており、あらたに本学が岡山市に設置されることにより、県外からの進学者が増え、県内への定着も期待できるとしている（資料 1-7)。

岡山県からは、本学の設立により高校生の進路選択の幅が広がり社会人の学び直しの場も広がることから安心で豊かさが実感できる地域の創造と発展に寄与するとの評価をいただいている（資料 1-8)。

2）既設専門学校の教育

しかし既設の専門学校では、このような地域的・社会的ニーズに応える人材を養成することはできない。既設専門学校の教育は、国家資格を取得し、職業現場で実務を担うために必要な標準的な知識・技術の修得を目的としており、最新かつ高度な専門知識や技術の修得、新たなサービスや技術の研究を行うための論理的思考力やスキルを鍛える教育、対象者の思いを受け止め共有できる懐の深い人間味あふれるサービスを提供するための教育プログラムは持っていない。また地域コミュニティの再建を視野に入れて、新領域で活動し、地域活性化に繋げていく教育や、健康寿命を延伸させるための応用技能の育成や、本格的な地域包括ケアシステムの展開に関わる仕組みづくりを担うための教育も行うことはできない。

地域の喫緊の課題に応え、変化の激しい時代のサービス展開に挑む理学療法士・作業療法士を育成するためには、これらの足らざる部分を組織的に育成する教育プログラムが必要となる。

3）本学の人材育成教育

新設する岡山医療専門職大学は、以上の足らざる部分に重点的に取り組む教育を行う。特に岡山地域の新しいニーズに応え、地域活性化に貢献するための能力を、理学療法学科および作業療法学科で、それぞれの学科の目指す人材像に沿った「展開科目」を中心に構成される「展開力育成プログラム」により組織的に育成する。理学療法学科では、人々が健康で幸せな人生を全うする社会を実現するために、健康の維持・改善・予防の側面から、理学療法の最新の知識と専門技術を駆使し対象者に健康寿命を延伸する力を与え、かつ対象者がもつ課題を地域や多職種と協働して解決できる能力を養い、作業療法学科では、生活再建の側面から、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れた地域でいきいきと生活できるように、作業療法の最新の知識と専門技術を駆使し、積極的に地域の中に入り、地域コミュニティの再建に尽力できる能力を育成する。

各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。

（理学療法学科）

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。

2）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

3）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。

4）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（作業療法学科）

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。

2）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

3）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。

4）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

このような能力を備えた理学療法士および作業療法士は、地域が進める「地域包括ケアシステム」の深化・推進に中心的な役割を担うことができ、地域から「地域包括ケアシステム」に参画できる人材の育成を求められていること（資料 1-5）にもマッチする。

また、プレゼンテーション能力の涵養を重視している。その理由は、論理的思考と発信力を鍛え、自ら学び続ける姿勢を身につけるとともに、地域のニーズに直結した活動を行う上で、プレゼンテーション能力は必須のスキルとなるからである。

プレゼンテーション能力は、理学療法士および作業療法士が地域に関わり、住民など関係者の積極的関与を引き出すうえで必須の能力となる。地域の特徴に配慮した地域包括ケアシステムの理念と地域コミュニティ再建の必要性を、地域の団体や住民と共有するためには、サービスの全体像を整理して示す能力を備え、関係者に筋道立てて論理的に説明し、行動を促す説明能力が極めて重要となる。そのための現場を牽引する中核としての役割を担うには、優れたプレゼンテーション能力が必須となる。

あわせて卒業後に持続的な自己研鑽を行う能力を身につけるため、卒業論文執筆にいた

る系統的な研究指導により分析力と基礎的研究能力を丁寧に育成する。

このように生涯にわたり基盤となる資質を丁寧に育む一方、職業現場のニーズを不断に取り入れる最新の専門教育課程と一段高い応用技能を錬成する「専門技能錬成プログラム」の展開等のハイレベルの実践実習教育を行う。そして高い倫理観に基づく懐の深いヒューマンサービスのあり方を探究し、多彩に構成された「展開力育成プログラム」により変化するニーズに対応して必要な新サービスを創出する柔軟な応用力を組織的に育成する先進的な「展開力育成」教育をおこない、「地域」に関わるサービスに積極的に参加し、「健康と福祉」のコミュニティづくりを主導し、創造的役割を果たすことができる新しいタイプの理学療法士・作業療法士を育成する教育を行う。

このような本学の教育を受けた学生は、今後、地域が必要とする理学療法士および作業療法士として活躍できる人材となり得ることを確信する。

②学科・専攻の特徴

健康科学部は、理学療法学科と作業療法学科の２学科から構成される。

理学療法学科は、最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材を育成することを目標としている。

理学療法学科の使命は、基本的には「身体に障害のある人に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えて回復を図る理学療法士を養成する」ことであるが、本学科ではこれに加えて、「身体機能の向上に寄与するサービスを展開することで、地域に居住する人々の健康寿命の延伸に貢献し、さらに健康寿命の延伸を通じて地域活性化に寄与する視点を持った理学療法士を養成する」点に独自性がある。簡潔に表現すれば「失われた身体の機能を回復させ、健康寿命の延伸を図り、地域へ貢献できる理学療法士を育成する学科」である。

また作業療法学科は、最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成することを目標としている。

作業療法の使命は、基本的には「人々の生活に関わる活動を通して、こころと身体のリハビリテーションを行う専門家として、各個人のニーズに合わせた福祉用具や生活環境を整備し、その人らしい暮らしに導くため、対象者に寄り添い、社会の中で生きがいをもって生活できるように支援する作業療法士を養成する」ことであるが、本学科ではこれに加えて、「作業活動を活用した自立生活支援に寄与するサービスを展開することで障害者等の地域生活移行の促進に貢献し、さらに健常者・障害者を問わず幅広い世代の人々が住み慣れた地域で共生するために、生活に密着した地域コミュニティづくりの視点を持った作業療法士を養成する」点に独自性がある。簡潔に表現すれば、「作業活動を活用して自立生活を支援し、暮らしやすさを取り戻し、住み慣れた地域で共生できる生活に密着した地域コミュニテ

ィづくりに貢献できる作業療法士を育成する学科」である。

両学科とも、変化の激しい職業現場や地域ニーズを不断に教育課程に取り込み、常に学生が最新の知識と技術を修得することができるよう教育課程を編制するための教育課程連携協議会システムをもっている。関連職業団体・地方公共団体・臨地実務実習事業者等からの医療・保健・福祉分野に関する意見を迅速に教育内容に反映させ、不断に教育課程を革新していくシステムである。産業界や地域の保健・医療・福祉・行政との連携により、現場の意見を迅速に取り入れた教育課程を編成するとともに、地域産業界や医療現場や地域社会などとの密接なつながりのなかで、豊富な現場実践を組織的に体験することにより、社会のニーズや人々の地域生活に即したリハビリテーションのあり方を考え、現場の課題とニーズを探究し、新しいサービスの創造につなげていく実践教育を行う上で原動力となる役割を担っている。

また、実習教育の充実については、特に力を注いでおり、その効果を高める独自の工夫がなされている。豊富な実習を組織的に配置することによって、医療現場や地域産業、市町村や地域住民との多様な交流の場を創り出し、各世代の障害や疾病による地域生活の困難さや不便さを理解し、共感できる機会を豊富に経験することを通じて、人間性とコミュニケーション能力を錬磨していく。さらに、臨地実務実習と連動して、職業現場における実践実習教育を高度化し、高い実践力と豊かな創造力を育む仕組みとして、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを整備している。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い理解と応用力が修得できる応用治療技術実習と総合実習を組み合わせ連動して実施することを通じて、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、より高い実践力を身につける（図 1)。

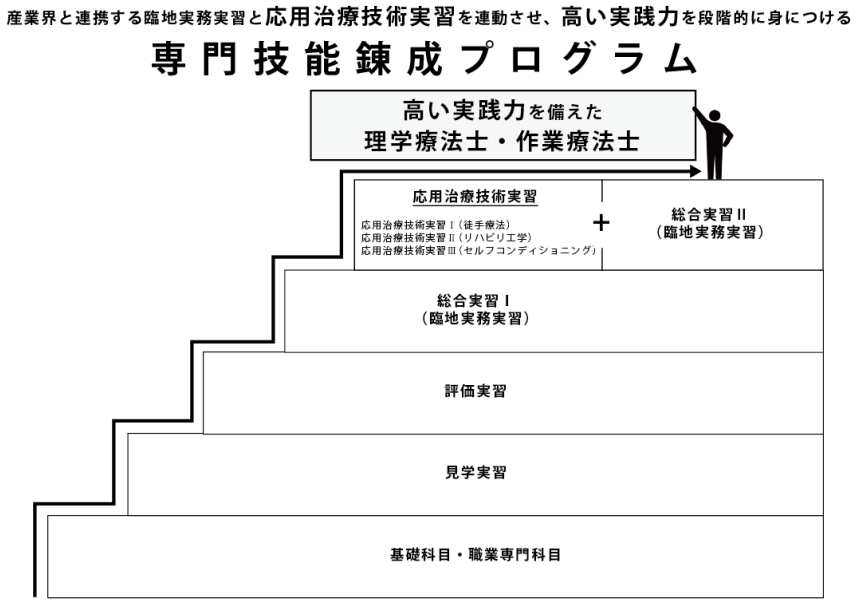
さらに他の専門分野の多様な視点と知識を活用する展開力育成プログラムによって、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について、対象者が真に必要とする創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける（図２)。理学療法学科では、身体機能の維持・改善と健康寿命の延伸のために必要な力を養い、作業療法学科では地域の共生構造の中で対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成していく。

これらのプログラムを有機的に組み合わせた教育を行うことにより、幅広い職業分野で活躍できる力を培い、従来の 4 年制課程で期待されるレベルより、一段高い完成度を備えた実践力と豊かな創造力を身につけることができる。

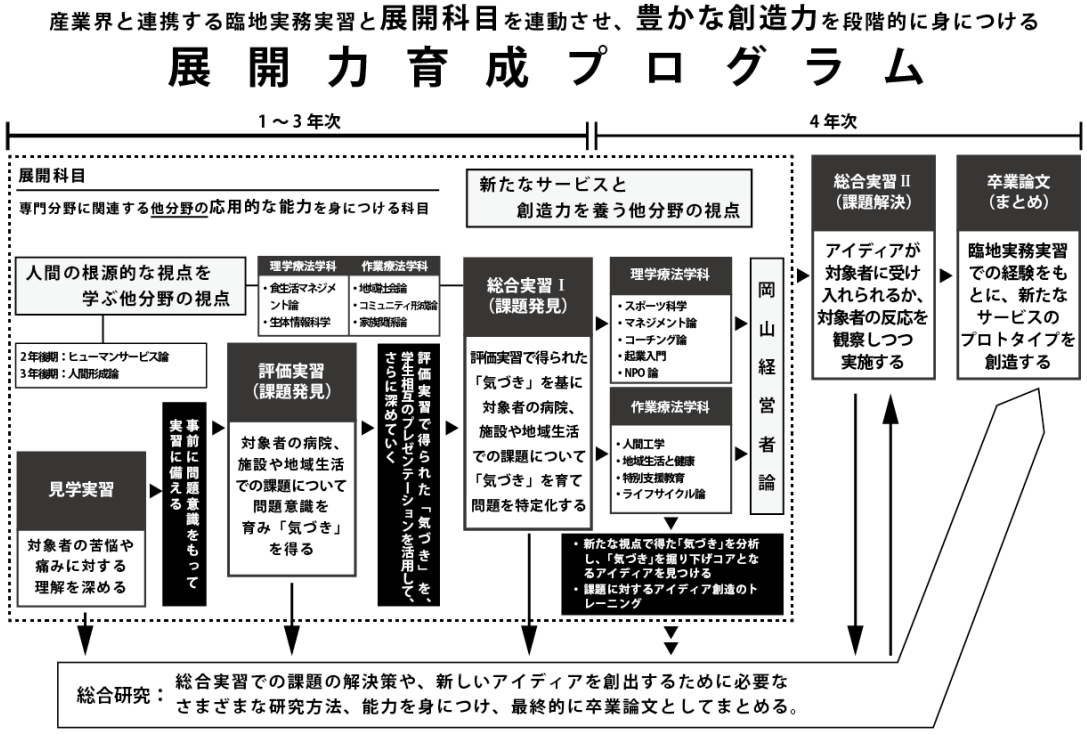
健康科学部理学療法学科および作業療法学科の教育は、職業現場を牽引し、専門職業分野で創造的な役割を果たす、より高い実践力と豊かな創造力を備えた即戦力として活躍できる人材を効果的に育成できるよう設計された独自の高度職業実践教育プログラムを備えている点に大きな特色がある（図３)。

この「高度職業実践教育プログラム」により教育を受けた学生は、医療機関などに限定されていた従来の就職先の枠を超えた様々な領域での就職が期待され、新たな療法士の活躍の場が提供されることになる。

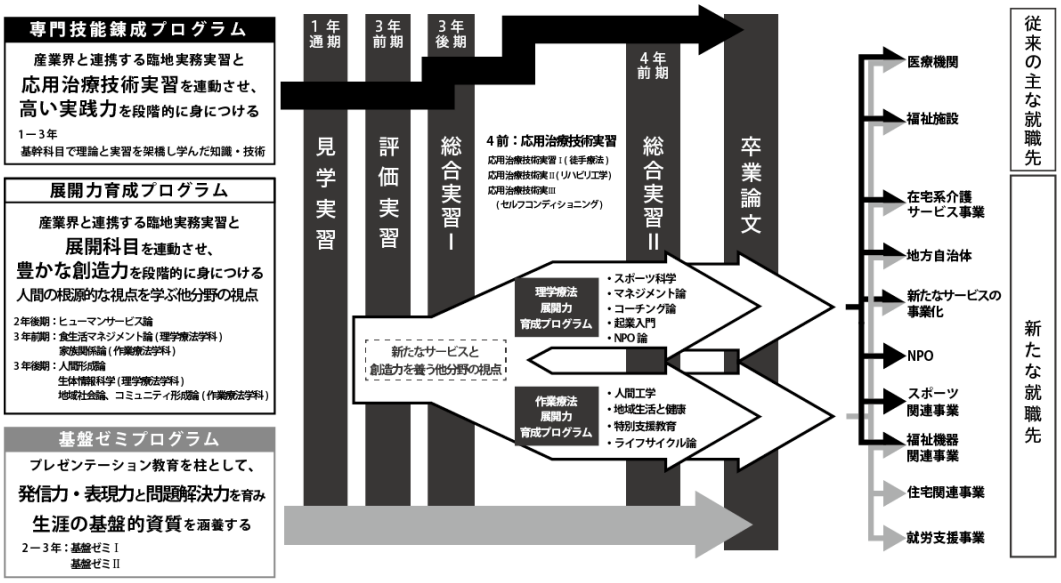
（図 1）専門技能錬成プログラム



（図２）展開力育成力プログラム



（図３）高度職業実践教育プログラム



③　学部・学科等の名称及び学位の名称

１．学部、学科名称の理由について

（１）学部の名称

本学部は、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた高度専門職業人の育成を目的として設置される。

理学療法士・作業療法士を育成する本学部は、リハビリテーション医療分野の現在の状況を踏まえ、将来のあり方を見据えた教育を行うことを使命としている。リハビリテーション領域では、人生 100 年時代の心身の健康増進と疾病を予防する生活習慣病予防分野の重要性が増すなかで、日進月歩の医療技術進歩を反映する、よりエビデンスレベルの高いサービスを提供することが求められている。

本学部は、これらの時代の変化と要請に対応して、従来型のリハビリテーション分野のみならず心身の健康増進や福祉や生活習慣病予防等の幅広い分野において、科学的根拠に基づいた最新の知識や技術を専門的に深く学び、高い実践力と新たなサービスを生みだす創造力を身につけ、人々の豊かな生活に貢献できるプロフェッショナルを育成する学部であることから、健康科学部とした。

学部の英語名称は、社会的、国際的通用性から、「Faculty of Health Sciences」とした。

（２）学科の名称

１）理学療法学科

身体に障害のある人に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えて回復を図る理学療法士を養成する学科であることから、理学療法学科とした。

英語名称については、社会的、国際的通用性から「Department of Physical Therapy」とした。

２）作業療法学科

人々の生活に関わる活動を通して、こころと身体のリハビリテーションを行う専門家として、各個人のニーズに合わせた福祉用具や生活環境を整備し、その人らしい暮らしに導くため、対象者に寄り添い、社会の中で生きがいをもって生活できるように支援する作業療法士を養成する学科であることから、作業療法学科とした。

英語名称については、社会的、国際的通用性から「Department of Occupational Therapy」とした。

２．学位の名称の理由について

理学療法学科ならびに作業療法学科の教育課程および研究分野は、理学療法および作業療法である。したがって卒業要件を満たした場合に授与される学位は、理学療法学科：理学療法学士（専門職）、作業療法学科：作業療法学士（専門職）とする。

学位の英語名称は、社会的、国際的通用性から

理学療法学士（専門職）(Bachelor of Physical Therapy)

作業療法学士（専門職）(Bachelor of Occupational Therapy)

とする。

３．大学、学部、学科の英語表記について

岡山医療専門職大学「Okayama Healthcare Professional University」

健康科学部「Faculty of Health Sciences」

理学療法学科（Department of Physical Therapy）

作業療法学科（Department of Occupational Therapy）

４．大学名を「岡山医療専門職大学」にした理由

本大学は、岡山県岡山市に位置し、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた高度専門職業人を育成する専門職大学であり、リハビリテーション分野の教育を行うことから、大学名を「岡山医療専門職大学」とすることが適当であるとの結論となった。

本学の英語名称については岡山県岡山市に位置する医療専門職大学（Healthcare Professional University）であることと、社会的、国際通用性を併せて考え、「Okayama Healthcare Professional University」とする。

④教育課程の編成の考え方及び特色

１．カリキュラム編成の考え方

各学科のカリキュラム・ポリシーは、次の通りである。

（理学療法学科）

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。

②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。

③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。

④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。

⑤健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。

⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。

⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。

⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。

⑩完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑪最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。

⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。

⑭評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階評価で行い、C判定以上を合格とする。

⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階評価で行い、C判定以上を合格とする。

⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

（作業療法学科）

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。

②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。

③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。

④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。

⑤地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。

⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。

⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。

⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。

⑩完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑪最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。

⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。

⑭評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階評価で行い、C判定以上を合格とする。

⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階評価で行い、C判定以上を合格とする。

⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

２．教育課程の特色

本学部は、教育課程連携協議会システムを積極的に活用し、職業現場等との密接な連携により授業科目の開発と教育課程の編成を行い、社会のニーズの変化に即応して不断に内容を見直す体制を整えている。高質なヒューマンサービスを基礎として専門業務を主導し、職業現場で創造的役割を果たし、地域のニーズに応えることができる人材を重点的に育成する本学独自の専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを活用した専門教育課程が整備されている。また、職業人としての豊かな人間性と職業倫理観を育成し、生涯にわたる基盤的資質を養う独自の基盤力育成にも力を注いでいる。理学療法および作業療法分野の専門性を活かした最新の知識と専門技術を備えた高い実践力と新たなサービスを生み出していく豊かな創造力を育成するために、基礎科目から職業専門科目、展開科目、総合科目へと、段階的かつ体系的に科目を編成し、理学療法士・作業療法士としての職務を担う上で必要な実践的かつ創造的な能力を養う。

基礎科目群では、まず初年次教育として、「大学での学び」の入門講座である少人数編成のゼミ科目「大学入門」を配置し、大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を修得する。次いで専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。また、豊かな人間性を涵養するとともに、基礎物理、基礎生物、国際的感覚、論理的思考、健康増進に関する知識を修得することで、専門職業人として、生涯にわたり自らの基盤的資質を高めていくための素養を涵養する。

職業専門科目群では、専門基礎分野および専門分野の科目を組織的に編成することで、専門職業人に必要な知識と技術を包括的に身につける。さらに、社会的に期待度が高い地域活動・福祉領域を含めた新しい職域に関する知識を修得し実践することで、地域や福祉に貢献する力を涵養する。

臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを運用し、職業現場で高い実践力と豊かな創造力を養う。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習とを連動させ、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、より高い実践力を身につける。

また、展開科目群では、各学科の育成人材像をもとに理学療法士と作業療法士の特性と役割に応じて必要な科目を編成した。関連する他分野の多様な視角と知識を身につけ、理学療法・作業療法分野において創造的な役割を果たすための力を育成する。そして展開科目と臨地実務実習を有機的に運用して構成される展開力育成プログラムによって、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者や地域が真に必要とする創造的サービスを提案し、社会に貢献する豊かな創造力を身につける。

総合科目群では、4年間の総括として学生が学習活動や臨地実務実習による様々な経験から見出した課題をもとに関連論文・データを調査・分析し、報告し、討論を重ねて本格的な論文にまとめるための科目を編成する。卒業論文は、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を生かして作成に取り組み、論理的思考力と研究スキルと問題解決力を練磨する。

このような専門教育課程と並行して教員が手塩にかけて個々の学生の教育にあたる少人

数編成の基盤ゼミプログラムを導入し、本格的なプレゼンテーション教育を実施する。明確なストーリー構成力と技法により自らの意見を正確に人に伝える力を身につけ、さらに自ら興味を持った課題について調査し、論理的な思考を経て解決策を導くスキルを学び、教員とゼミメンバーで濃密な討論を重ねることで本質的な問題に気づく力と論理的思考能力を丁寧に鍛える本学独自の教育システムである。

以上のような教育課程により、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた高度専門職業人を育成する。

（資料 2）カリキュラムマップ

（資料 10）時間割表（大学・専門学校）

科目区分の科目構成とその理由は、以下の通りである。

（1）基礎科目（両学科共通）

大学での自立的学びに必要な、自分で考え、自分の言葉でレポートを書き、発表し、ディスカッションするスキル等の基本的事項を系統的に学修し、高校から大学教育へスムーズに移行できるよう、1 年前期に初年次教育として「大学入門」を配置する。

1）発信力・対話力と自己研鑽の姿勢

少人数編成の２年前期「基盤ゼミⅠ」、３年前期「基盤ゼミⅡ」により、プレゼンテーション力を磨き、論理的思考に基づく発信力と問題解決力を身につけ、自己研鑽の姿勢を涵養する。

「基盤ゼミⅠ」および「基盤ゼミⅡ」のテーマ例と運営方法は、次の通りである。

想定される議論のテーマ例

脳死は人の死か
脳死からの臓器移植
安楽死と尊厳死
延命治療
人工妊娠中絶・体外受精・出生前診断・代理出産
定年制と終身雇用
AI の進歩と失われる職業
外国人労働者の受け入れと移民問題

なお、「基盤ゼミⅡ」では、討議するテーマは学生自らが考え出すことになるので、前記のテーマ例は「基盤ゼミ I」で担当教師が学生に提示するものである。

運営方法

「基盤ゼミ」を履修するにあたっては、まず 1 年次前期に設置する初年次ゼミ科目「大学入門」（必修）を履修し、基盤ゼミに必要な基本的事項を系統的に学んだ上で、「基盤ゼミ」に参加する。

基盤ゼミの運営方法については次の通りである。

「基盤ゼミ」は、10 人以下の少人数編成で行い、それぞれに担当教員を配置する。理学療

法学科では 11 人の、作業療法学科では 5 人の担当教員を配置する予定である。

「基盤ゼミ Ⅰ」では、教員が提示する前記のテーマ例の中から、学生がテーマを選択し、シラバスの内容に沿ってプロコン形式を援用して議論を進めていく。「基盤ゼミⅡ」では、「基盤ゼミ Ⅰ」で獲得した課題の核心を特定して最善の課題解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択したテーマに基づいて、必要なデータや資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表し、その発表についてプロコン形式で討論していく。

担当教員は、討議を進めていく過程で、学生の主体性を重んじることを基本とする。

以下にゼミの進行の具体例を示す。

基盤ゼミでは、ストーリーの明確な説得性の高いプレゼンテーションを行う力を涵養するために、選択した課題について、プレゼンテーションの主要構成要素ごとに、順を追って問題を深める作業を繰り返し行う。ゼミは、議論を活発化させ深めるために、ゼミメンバーを A.B の２グループに分けて、A は選択された課題について賛成する立場、B は反対する立場に立たせ、必ずメンバー全員に意見を述べさせるように運営する。

各グループのメンバーは、個人的な考え方や価値観等からは中立的な姿勢で、グループの立場にたって、あくまで論理と論拠のみで議論するよう指導する。

A グループは、課題について「賛成」の立場に立ち、グループ内で議論して立論をまとめ、B は「反対」の立場で立論をまとめる。この過程で学生は必ず何らかの意見あるいはコメントを述べることを義務化する。

担当教員を司会として、A グループが肯定的見解を述べ、B グループが否定的見解を述べ、ディスカッションを行う。A.B に所属する学生は、全員相手の見解に対して反対の意見あるいはコメントを述べる。ここでは出来るだけ多くの観点からの賛成意見、反対意見を引き出すことを主要目標とし、議論や意見の優劣を競うことは目的としない。

担当教員は議論を整理し、双方の見解の「最も良い点・メリット」と「最も悪い点・デメリット」を明らかにする。

A.B 双方のグループで、このような作業をストーリー・プレゼンの主要構成要素ごとに繰り返し、プレゼンの骨格を形成する作業を行い、有力な選択肢となり得るいくつかの案を検討し、それを踏まえて、「メリットを最大化」し、「デメリットを最小化」する作業を行い、グループのプレゼン原案を作成する。

担当教員を司会として、A.B 双方の原案のプレゼンを行い、質疑応答を行い、A.B 双方で相手の選択肢に否定的意見を表明し、担当教員はその結果をまとめる。

各グループは、これらの否定的意見やコメントを参考にしながら、ストロング・ポイントとウイーク・ポイントを整理し、グループとしての最善の選択肢に煮詰め、プレゼン形式の最終案にまとめる。

再度、各グループは、最終案に基づきプレゼンと議論を行い、双方の反対意見の結果を集約し、同様のプロセスを踏まえて A.B グループのプレゼンテーションをまとめ完成させる。

各グループは、完成したプレゼンテーションを行い、ゼミ学生全員が A.B の立場を離れて、ストーリー（組み立てと論拠となるデータの優劣と論理の一貫性）に注目して、「非常に説得的、説得力あり、平凡、説得力に欠ける」等に分けて、評価シートを提出させ、集計

結果を発表する。
この結果を踏まえて、最後に、担当教員が全体を講評し、効果的なストーリー・プレゼンを行なうための要点について総括する。

２）職業人の倫理と道徳
１年後期「職業人の倫理と道徳論」において、最初に職業人として必要な倫理観と道徳観の浸透を図る。また障害をもつ対象者と向き合い、人への理解を深め優しい心で接する対応力と教養を身につけるため、１年前期「心理学」（選択科目）１年前期「哲学概論」（選択科目）３年前期「人間関係論」（選択科目）を配置し、豊かな人間性を養い幅広い基礎的教養を身につけ、対象者の思いを受け止め共有できる心を養う。

３）健康科学
１ 年後期「健康科学概論」は、人々が健康な生活を送るために必要な健康観を育成する。一次予防に係る生活習慣病を基礎とした運動やスポーツの重要性について理解するとともに、日本の食文化と健康の関係性を学ぶことで、人の健康に係る身体的・精神的・社会的健康とは何かを深く考える。

４）国際理解と日本社会の歴史と文化
１年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」（必修とし、職業専門科目に配置）では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。専門職業人としての英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。
なお、英語科目の授業水準は「コミュニケーション英語」は CEFR（注１）の B1 レベルであり、「メディカル英語」は CEFR の B1 レベルをやや上回る水準である。
（注１）Common European Framework of Reference for Languages、外国語の学修・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠

５）科学的思考の基盤とツール
１年前期に、保健・医療・福祉分野において、科学的基盤となる「基礎生物」と「基礎物理」を必修科目として配置する。また医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握するため、1 年後期に「情報収集と処理」、2 年後期に「統計分析の基礎」を配置する。さらに 3 年前期に、卒業論文をデザインし研究スキルを育む「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」を配置する。なお研究倫理については、「テーマ設定と研究方法」において、「研究倫理の意義」の項で研究者に求められる様々な倫理観とその姿勢について学ぶ。

（2）職業専門科目

リハビリテーション医療分野全般にわたる専門知識や技能を修得できる科目群を整備し、専門職務に関する実践力や応用力を修得するために必要な理論的科目および実践的科目として、必修科目を 89 単位、選択科目を理学療法学科 9 単位、作業療法学科 8 単位配置する。

1）専門基礎分野（両学科共通）

専門基礎分野は、自立した医療人として欠くことのできない専門知識と技術を修得するための科目である。理学療法学科・作業療法学科における専門科目の基礎となる重要な科目であり、人体の構造と機能および心身の発達、疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進、保健医療福祉とリハビリテーション理念の 3 つの領域に分けて系統的に学ぶ。リハビリテーションの古典的な主要疾病の理解に繋がる科目は、1、2 年次に配置する。

ア．人体の構造と機能および心身の発達

リハビリテーション医療において、人体の構造や機能、運動や動作などを理解するための科目である。人体の骨、筋、臓器、脈管、神経などを系統的に学習するため 1 年前期に「解剖学」、1 年後期に「解剖学実習Ⅰ」、2 年前期に「解剖学実習Ⅱ」、1 年前期に「生理学」、1 年後期に「生理学実習」を配置する。また、人間の正常な運動・動作・活動の成り立ちを学び、疾病や加齢などによる運動機能障害について評価・分析できる能力を身につけるため、1 年後期に「運動学」、2 年前期に「運動学実習」を配置する。さらに子どもの成長発達、成人、高齢者と加齢に伴う心身機能の成熟と老化について学ぶ「人間発達学」を 1 年前期に配置する。専門科目に直結する重要な科目であり、全て必修とする。

イ．疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進

専門職業人としての基本的知識を構築するために「臨床医学概論」を 1 年前期に配置し、リハビリテーションに関連する医学領域を広く学び、医学・医療の歴史的変遷から、リハビリテーション医療の展望、現代社会における予防、栄養、薬学、画像診断、救急医療について理解を深める。さらに、リハビリテーションに関連する主要領域の基礎知識を涵養するため 1 年後期に「病理学」「内科学」、2 年前期に「整形外科学」「神経内科学」「小児科学」、2 年後期に「精神医学」を配置する。

ウ．保健医療福祉とリハビリテーションの理念

1 年前期に「リハビリテーション概論」、1 年後期に「リハビリテーション医学」を配置し、理念、歴史、障害モデル、障害の種類、国際機能分類、リハビリテーション技術について、日本と世界を比較しつつ論理的・科学的に学び、国民の健康増進のためのリハビリテーションについて理解を深める。1 年後期に「多職種連携論」、3 年後期に「地域包括マネジメント論」を配置し地域包括ケアシステムの理解を深め関連職種と連携する重要性を理解する。「多職種連携論」では、関連職種の役割について理解し、チーム医療を主導するための基本的知識と多職種における連携のあり方および課題について学ぶ。「地域包括マネジメント論」は、超高齢社会における地域のケアマネジメントの実際を学ぶ。また、各種社会保障制度（障害者福祉、生活保護、介護保険、児童福祉等）におけるマネジメントの現状と関連

性を理解し、地域を牽引できるマネジメント力を涵養する。地域包括ケアシステムの構築が地域の重要な課題となる中で、本科目は重要な科目と位置づけられることから、講師には、地域包括ケアシステムの指導的役割を担っている医師、大学教授、岡山市地域包括ケア推進課職員（教育課程連携協議会の構成員）を招聘する。

２） 専門分野

［**理学療法学科**］

理学療法学科は、身体の機能と構造を理解し、科学的根拠に基づく治療的運動を用いて身体機能を改善することを基礎として、医療・保健・福祉・スポーツ等の幅広い分野において創造的役割を果たし、職業現場を牽引し、地域社会に貢献できる理学療法士の育成を目標とする。

基礎分野および専門基礎分野で修得した知識をもとに、理学療法に関する基礎理論・評価学・治療学・演習・臨地実務実習を段階的・系統的に展開し、最新の知識と高度な専門技術を備え、専門業務を主導する人材育成のために、基礎理学療法学、理学療法管理学、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法学、臨地実務実習の 6 つの科目群を系統的に編成する。また、理学療法の基盤を涵養し、充実した臨地実務実習において実践的な知識・技術を修得する科目を組織的に配置する。

ア．基礎理学療法学

理学療法の基礎を理解し、生涯を通じて理学療法に対する探求心をもち、自ら考え挑戦し続ける力が身につくように科目を配置する。1年前期に「理学療法概論」を配置し、理学療法の歴史・概念・定義を基礎から学び理解する。2年前期に「基礎理学療法学」、2年後期に「基礎理学療法実習Ⅰ」を配置し、運動学で学習した知識を踏まえ、理学療法の基礎となる対象者の基本的動作分析を行う理論を学び、その動作介助技術を身につける。3年前期に「基礎理学療法実習Ⅱ」を配置し、各障害特性を踏まえ、日常生活動作場面における、トランスファーや起居移乗動作の介助技術を身につける。4年前期の「理学療法セミナーⅠ」（選択科目）では、3年間で身につけた基礎分野および専門基礎分野の知識を総括し内容を理解することを目標とする。4年後期の「理学療法セミナーⅡ」（選択科目）は「理学療法セミナーⅠ」の内容をもとに、専門分野の知識を総括し、内容を整理して身につけることを目標とする。

イ．理学療法管理学

3年前期に「理学療法管理学概論」を配置し、理学療法倫理と理学療法部門の管理について理解を深める。より質の高い理学療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する能力を涵養する。

ウ．理学療法評価学

理学療法における評価は、対象者の社会的背景を把握し、検査・測定により身体機能の特徴を明確にとらえ、治療対象とすべき問題点を明らかにする。1年後期に「理学療法評

価学Ⅰ」、2年前期に「理学療法評価学Ⅱ」、2年後期に「理学療法評価学実習Ⅰ」「理学療法評価学実習Ⅱ」、3年前期に「理学療法評価学実習Ⅲ」を配置し、身体機能の評価における知識・技術を基礎から段階的に修得する。

エ．理学療法治療学

運動器系、神経系、内部系などの器官別に起こる主な障害に対して、関節可動域運動・筋力増強運動・筋持久力運動・協調性運動・全身調整運動などの理学療法の基本的かつ応用的な知識と治療技術を修得する。1年後期から3年前期にかけて「運動療法」「運動療法実習Ⅰ」「運動療法実習Ⅱ」「物理療法」「物理療法実習」「理学療法治療学Ⅰ」「理学療法治療学Ⅱ」「理学療法治療学Ⅲ」「理学療法治療学Ⅳ」「理学療法治療学実習Ⅰ」「理学療法治療学実習Ⅱ」「理学療法治療学実習Ⅲ」を系統的に配置し専門領域における知識と技能を涵養する。理学療法では、身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、および電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加える。その治療・訓練が、日常生活活動に生かされるためには、その活動の意味や特徴を知る必要がある。よって、2年前期に「日常生活活動学」で基礎理論を学習し、2年後期の「日常生活活動学実習」で対象者の支援方法や援助技術を実践的に身につける。また、「スポーツ理学療法特論」で、保健・健康分野へのスポーツ応用やロコモティブシンドロームなど、スポーツと日常生活との関係性を学ぶと同時に競技別スポーツ理学療法の基礎を学び、実用的で且つ発展的な知識・技術を学修する。

さらに、3年前期には「老年期障害理学療法学」で加齢による身体的・心理的変化を中心に、評価・治療に関する概念やレクリエーションセラピーを学び、「生涯スポーツ実習」で地域と協力しながらスポーツ障害予防の指導を行う。学内の講義を基礎として、スポーツ障害予防のプログラムを立案し実行することにより、幅広い知識と指導力を錬磨する。

また、3年後期に「義肢装具学」（選択科目）を配置し、義肢・装具の意義と適応となる疾患や障害を学び、構造と機能を理解する。同時に義肢・装具の適応と適合判定能力の基礎力を養い、動作訓練時の機能と活用について理解する。

4 年前期の「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法)」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学)」（選択科目）では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング)」では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。

また、2年後期に「理学療法演習Ⅰ」（選択科目）を配置し、主に病院で重要視される疾病から障害を捉えた治療・訓練について演習し、3年後期の「理学療法演習Ⅱ」（選択科目）では、対象者の社会的背景を捉えたアプローチ方法についての演習を行う。治療や訓練場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践することで知識と技術の定着を図り、職業現場での応用力を練磨する。

オ．地域理学療法学

地域における理学療法士としての役割について学び、対象者の地域生活における課題を包括的に理解する。2年後期の「生活環境学」では、福祉制度や施策といった制度的環境や家族や介護者等の人的環境の視点から、障害者や高齢者が自立し主体的な生活が保障される生活環境について理解する。3年前期の「地域理学療法学」では、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割や現状を学び、各地域のニーズに対応できる創造力を養う。3年後期の「予防理学療法学」では、予防医学を基礎とし、理学療法の豊富な知識を保健・健康関連分野など幅広い分野へ応用するための知識と実践的方法を学ぶ。

カ．　臨地実務実習

臨地実務実習は、理学療法業務を見学し、模倣し、実践するプロセスを基本とし、専門職業人としての実践的・応用的・創造的な能力を育成する科目である。対象者目線に立ち、心を通わせ人を思いやる姿勢を身につけ、学内で培った基礎的知識と技術を統合して理学療法評価と治療を行い実践力を養う。また、専門職業人として必要な自負心を高め、論理的思考力や多職種連携の重要性を理解し、連携の実際を経験することで実践力を高める重要な機会となる。

さらに、本学の臨地実務実習は、専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムと連動させて運用することにより、一段高い実践力を身につけるとともに、対象者の抱える問題や取り巻く環境や制度等の種々の課題に対して、問題意識を育み、「気づき」を育て、それを新たなサービス創造に向けてアイディア化していく役割を果たす。

本学の臨地実務実習は、学生の知識・技術の進度にあわせ段階的にレベルを上げる実習プログラムを整備している。

1年通期の「見学実習」は、実際の理学療法場面を見学し、倫理の重要性を学ぶとともに職業的アイデンティティを育み、自己の将来像の基礎を構築する。

さらに、初めて職業現場で対象者と向き合い対話をもつことで、対象者が抱える苦悩や痛みに対する理解を深め、専門職業人としての責任ある態度と姿勢を育む。

3年前期の「評価実習」は、理学療法士を目指す学生が職業現場で対象者と向き合い疾病による障害や地域生活の困難さを肌身で実感する機会となる。同時に専門職業人として求められる基本的な対応力と観察力・評価技能・臨床的思考など基礎的な臨床技能を涵養する。さらに、問題意識をもって対象者と向き合い対話を重ね、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について「気づき」を得る。実習終了後の学生相互のプレゼンテーションを活用して、さらに自己の「気づき」を深めていく。

3年後期の「総合実習Ⅰ」では、「評価実習」と基幹科目で学んだ知識と技術とを統合し、専門職業人としての基盤的実践力を涵養する。また、「評価実習」での問題意識を総括し、展開力育成プログラムを活用して、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、実習終了後の学生相互のプレゼンテーションと討論を通じて、問題を特定化していく。

そして、4年前期の「総合実習Ⅱ」は、「総合実習Ⅰ」の経験を踏まえ、応用治療技術実習と組み合わせた専門技能錬成プログラムとして運用することにより、理論に裏付けられ

た専門技術の更なる深い理解と応用力を育み、一段高い完成度と応用力を備えた即戦力を身につける。同時に、展開力育成プログラムと連動して運用することにより、「気づき」を掘り下げ、アイディアへと煮詰め、それが対象者に受け入れられるかどうか観察しつつ実践する。このようなプロセスを通じて、現場のニーズを新たな形にしていく豊かな創造力を育み、地域活動・福祉領域を含めたサービスの革新と新サービスの創造およびその活用・事業化に必要な能力を組織的に涵養する。

また、各臨地実務実習の目的を達成するために、臨床経験5年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を選定し、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる、特定機能病院、地域医療支援病院、一般病院、診療所、介護老人保健施設、通所介護施設を確保しており、急性期から生活期にかけての実習に対応できる体制をとっている。これらの施設からは実習受け入れの承諾を受けており、必要な施設数を確保している。

［作業療法学科］

作業療法学科は、身体機能・精神機能の回復、社会的適応力・対人関係能力の改善、発達の促進など多様な分野に関わり、職業分野を牽引し、地域社会に貢献できる創造性豊かな作業療法士の育成を目標とする。

作業療法に関する理論・評価・治療法・演習・臨地実務実習を段階的・系統的に展開し、最新の知識と高度な専門技術を備え、専門業務を牽引できる実践力を涵養するため、基礎作業療法学、作業療法管理学、作業療法評価学、基礎作業療法治療学、作業療法治療学、地域作業療法学、臨地実務実習の 7 つの科目群を系統的に編成する。また、作業療法の基盤を涵養し、充実した臨地実務実習で知識・技術を修得する科目を組織的に配置する。

ア．基礎作業療法学

作業療法を生活と関連づけて理解するとともに、生涯を通じて挑戦し探求する楽しさを実感できる科目を配置する。1 年前期に作業療法関連領域の概要を理解し、作業療法の専門性および専門技術について、世界や日本の歴史を通して理解する「作業療法概論」を配置する。また、1 年後期に「基礎作業学」を配置し、手段として用いられる作業や作業活動の成り立ちについて学び、作業活動における身体的・精神的側面を理解し、作業がもつ治療的要素を関連づけ、作業の奥深さを理解する。そして、2 年前期に「基礎作業学実習Ⅰ」、2 年後期に「基礎作業学実習Ⅱ」を配置し、諸種の作業活動の実習を通して人と作業や生活と作業に焦点をあて作業活動の治療的意義の理解を深める。4 年前期の「作業療法セミナーⅠ」（選択科目）は 3 年間で身につけた基礎分野および専門基礎分野の知識を総括し内容を理解することを目標とする。4 年後期の「作業療法セミナーⅡ」（選択科目）は「作業療法セミナーⅠ」の内容をもとに、専門分野の知識を総括し内容を整理して身につけることを目標とする。

イ．作業療法管理学

3年後期に「作業療法管理学概論」を配置し、作業療法倫理と作業療法部門の管理につ

いて理解を深める。より質の高い作業療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する能力を涵養する。

ウ．作業療法評価学

作業療法における評価は、対象者の心身機能や精神機能の特徴を的確に把握し、治療対象とすべき事柄を明らかにし、熟考された統合解釈のうえに、効果的な治療計画を立案するために必須である。1 年後期に「作業療法評価学」を配置し、作業療法評価の目的や具体的手段について学ぶ。「作業」や「作業活動」が人の生活に及ぼす影響を理解し、作業療法実施に必要な評価技能と分析力を涵養する。また、2 年前期に「作業療法評価学実習Ⅰ」、2 年後期に「作業療法評価学実習Ⅱ」、2 年後期に「作業療法評価学実習Ⅲ」を配置し、各対象領域の評価技術を身につけ、評価結果の統合解釈について理解を深める。

エ．基礎作業療法治療学

作業療法の実践場面で用いるさまざまな技能に関する理論を学び適切に活用する力を育むことを目的とし、3 年前期に「基礎作業療法治療学」を配置する。3 年前期に「基礎作業療法治療学実習Ⅰ」、3 年前期に「基礎作業療法治療学実習Ⅱ」を配置し、実習を通して医療人として求められる基本的な医療技術と専門職として求められる支援の基本や障害別介助法の特徴と留意点、福祉用具の活用などの対象者の生活を支援する基本的かつ応用的技術を学ぶ。

オ．作業療法治療学

2 年前期に「身体障害作業療法学Ⅰ」「身体障害作業療法学Ⅱ」、3 年前期に「身体障害作業療法学Ⅲ」「身体障害作業療法学Ⅳ」、2 年後期に「精神障害作業療法学」を配置し、作業療法の主な対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を涵養する。また、作業療法の対象者は各々に異なる特徴を有し治療アプローチも一様ではないため、主要な病態・障害像に対応したアプローチが実践できるよう、運動器系、神経系、内部系、発達系の各疾患に対する治療技術を錬磨するため、2 年前期「身体障害作業療法実習Ⅰ」、2 年後期に「身体障害作業療法実習Ⅱ」、3 年前期に「身体障害作業療法実習Ⅲ」を系統的に配置する。

2 年前期の「日常生活活動学」では、基礎理論を学習し、2 年後期の「日常生活活動学実習」で対象者の支援方法や援助技術を実践的に身につける。さらに超高齢社会のニーズに対応するため 2 年後期に「老年期障害作業療法学」、3 年前期に「老年期障害作業療法実習」を配置する。「老年期障害作業療法学」では、加齢による身体的・心理的変化と認知症患者に対する評価・治療に関する概要を学び、具体的援助について理論的に学ぶ。3 年前期「老年期障害作業療法実習」では、行政・病院・企業などと連携して、地域住民に対し、各種評価と作業療法の実践を行う。

3 年後期の「義肢装具学」（選択科目）は、義肢・装具の意義と適応となる疾患や障害を学び、構造と機能を理解する。同時に、義肢・装具の適応と適合判定能力の基礎力を養い、動作訓練時の機能と活用について理解する。

4年前期の「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）」「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）」「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」では、3年次までの臨地実務実習の経験をもとに、理論で裏付けられた深い応用力を学修する。「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）」では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」（選択科目）では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。

また、2年後期に「作業療法演習Ⅰ」（選択科目）と、3年後期に「作業療法演習Ⅱ」（選択科目）を配置し、身体・老年期・発達・精神障害領域における演習を行い、訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践することで知識と技術の定着を図り職業現場で求められる応用力を練磨する。

カ．地域作業療法学

対象者の生活に主眼をおいた在宅支援によって、こころと暮らしをサポートできる専門職の育成を目的とする科目である。2年後期の「生活環境学」は、福祉制度や施策といった制度的環境や家族や介護者等の人的環境の視点から、障害者や高齢者が自立し主体的な生活が保障される生活環境について理解する。3年後期「地域作業療法学」では、地域リハビリテーションの理念や現状を学び、各地域のニーズに対応できる創造力を養う。作業療法介入のツールである生活行為向上マネジメントを理解し、各種シートを活用できる実践力を養う。

3年後期の「予防作業療法学」では予防医学を基礎とし、作業療法の豊富な知識を保健・健康関連分野の予防など幅広い分野へ応用するための知識と実践的方法について学ぶ。

キ．臨地実務実習

臨地実務実習は、作業療法業務を見学し、模倣し、実践するプロセスを基本とし、専門職業人としての実践的・応用的・創造的な能力を育成する科目である。対象者目線に立ち、心を通わせ人を思いやる姿勢を身につけ、学内で培った基礎的知識と技術を統合して作業療法評価と治療を行い実践力を養う。また、専門職業人として必要な自負心を高め、論理的思考力や多職種連携の重要性を理解し、連携の実際を経験することで実践力を高める重要な機会となる。

さらに、本学の臨地実務実習は、専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムと連動させて運用することにより、一段高い実践力を身につけるとともに、対象者の抱える問題や取り巻く環境や制度等の種々の課題に対して、問題意識を育み、「気づき」を育て、それを新たなサービス創造に向けてアイディア化していく役割を果たす。

本学の臨地実務実習は、学生の知識・技術の進度にあわせ段階的にレベルを上げる実習プログラムを整備している。

1年通期の「見学実習」は、実際の作業療法場面を見学し、倫理の重要性を学ぶととも

に職業的アイデンティティを育み、自己の将来像の基礎を構築する。

さらに、初めて職業現場で対象者と向き合い対話をもつことで、対象者が抱える苦悩や痛みに対する理解を深め、専門職業人としての責任ある態度と姿勢を育む。

3年前期の「評価実習」は、作業療法士を目指す学生が職業現場で対象者と向き合い疾病による障害や地域生活の困難さを肌身で実感する機会となる。同時に専門職業人として求められる基本的な対応力と観察力・評価技能・臨床的思考など基礎的な臨床技能を涵養する。さらに、問題意識をもって対象者と向き合い対話を重ね、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について「気づき」を得る。実習終了後の学生相互のプレゼンテーションを活用して、さらに自己の「気づき」を深めていく。

3年後期の「総合実習Ⅰ」では、「評価実習」と基幹科目で学んだ知識と技術とを統合し、専門職業人としての基盤的実践力を涵養する。また、「評価実習」での問題意識を総括し、展開力育成プログラムを活用して、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、実習終了後の学生相互のプレゼンテーションと討論を通じて、問題を特定化していく。

そして、4年前期の「総合実習Ⅱ」は、「総合実習Ⅰ」の経験を踏まえ、応用治療技術実習と組み合わせた専門技能錬成プログラムとして運用することにより、理論に裏付けられた専門技術の更なる深い理解と応用力を育み、一段高い完成度と応用力を備えた即戦力を身につける。同時に、展開力育成プログラムと連動して運用することにより、「気づき」を掘り下げ、アイディアへと煮詰め、それが対象者に受け入れられるかどうか観察しつつ実践する。このようなプロセスを通じて、現場のニーズを新たな形にしていく豊かな創造力を育み、地域活動・福祉領域を含めたサービスの革新と新サービスの創造およびその活用・事業化に必要な能力を組織的に涵養する。

また、各臨地実務実習の目的を達成するために、臨床経験5年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を選定し、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる、特定機能病院、地域医療支援病院、一般病院、診療所、介護老人保健施設、通所介護施設を確保しており、急性期から生活期にかけての実習に対応できる体制をとっている。これらの施設からは実習受け入れの承諾を受けており、必要な施設数を確保している。

（3）展開科目

展開科目では、「基礎科目」、「職業専門科目」で修得した知識・技能に加え、理学療法・作業療法に関連する他分野の多様な視角と知識を身につけ、専門職業分野で創造的な役割を果たす能力を涵養する。そして展開科目と臨地実務実習を有機的に運用し対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスを工夫し、住み慣れた地域で安定した生活を支援する創造的サービスを提案し、地域を活性化する展開力を涵養する。

急速な少子化と超高齢化が進展するにともない、理学療法および作業療法サービスの供給システムは大きく変化し、医療・福祉サービスは「病院・施設で完結する構造」から「地域で支えあう構造」へと変化している。地域で支えあう充実した医療・福祉サービスを提供

するには、あらゆる医療従事者および福祉従事者と住民が連携し、対象者やその家族が安心して暮らし活躍し続けられる地域機能を作り出していく必要がある。そのために、理学療法士および作業療法士は、最新の知識・技能と展開力を駆使して、一人ひとりの多様な生活や価値観を理解し、対象者の思いを受けとめ共有し、多様な主体と連携して新たなサービスを創造できる能力を備える必要がある。

理学療法士と作業療法士とは、その特性と役割に違いがある。物理的治療を中心に身体機能の改善に重きを置く理学療法サービスと、地域の共生構造の中で生活に密着した日常生活支援サービスの提供に重きを置く作業療法サービスとでは、それぞれに必要となる展開力に大きな違いがある。そのため、各々に求められる展開力を育成するために、学科ごとに開発した展開科目を配置する。

1. 理学療法学科

理学療法学科が育成する人材像は、「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。」を掲げている。このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために 10 科目の展開科目を配置し、配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学修内容、科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係等について以下に説明する。

理学療法士として対象者や地域との連携を深め新たなサービスを展開していくためには、まず、基本的資質として人の尊厳を遵守し豊かな感性をもって対応していくことが肝要である。その基本的資質を涵養するために、人を深く知り人の尊厳を知り豊かな感性をもつ必要があり、また社会の中での人間形成について知る必要がある。これが以下の科目を配置する理由である。前者の修得のために、「ヒューマンサービス論」を置き、この科目で、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、深い人間理解を基盤としてヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を修得する。後者の修得のために「人間形成論」を配置し、社会生活における人間形成に理解を深め、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。

これらの科目から、深い人間理解を基盤として対象者に対してその思いを深く受け止め共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する力を修得する。

このような資質を基盤として、次は、対象者および地域のニーズである健康寿命の延伸を図るサービスの展開へとつなげていく。

この健康寿命の延伸のために必要な要素は多様であるが、中でも、健康な体の維持のため

の食生活、日常生活やスポーツの中での身体運動、生体からの様々な情報を知ることの三つの要素が重要であると考えた。そこで、健康寿命を延伸する能力を修得するために、この三つの要素を組み入れて、「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」「生体情報科学」を配置した。

「食生活マネジメント論」では、健康における食生活の重要性と食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深め、在宅生活を支える食生活の重要性の理解も深める。「スポーツ科学」では、身体運動を科学するためのアプローチの仕方を学び、対象者の課題やニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。「生体情報科学」では、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などのからウェアラブル端末や IoT 等を活用した健康に関する情報を収集する基本的な技能について学び、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために情報を活用する力を修得する。

これらの科目から、健康寿命の延伸の基本となる健全な食生活や身体運動のあり方、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な生体情報の収集方法を学ぶことによって、対象者の身体機能の維持・改善と予防に寄与し、健康寿命の延伸およびそのためのサービスを提供する上で必須の能力を修得する。

さらに健康寿命の延伸のためのサービス提供力を発展させるためには、地域のニーズに合った新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域に貢献するための能力を涵養する必要がある。そのために重要な核となる力は、多職種と協働して組織を運営するマネジメント力、サービスにかかわる人材資源の能力を伸ばし有効活用するためのスキル、地域のニーズに沿った事業を起業するためのノウハウ、社会事業のために広く活用される非営利組織の設立・運営に関する能力である。これらの力を身につけるために「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」の４科目を配置した。

サービスを事業化する上で、組織のマネジメントに関わる基本理論を学ぶことは極めて重要である。「**マネジメント論**」は、組織マネジメントの基本概念や組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得し、組織運営のポイントを踏まえた上で、グループワークを活用して、多職種と連携して行う活動をマネジメントする力を修得し、地域包括ケアマネジメントのポイントを押さえ、さらには医療事業の効果的な運営スキルを涵養する。対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にし、目標を達成するための能力（管理力）を身につけることが到達目標となる。

サービスを最も適合的な形で提供するためには、当該サービスにかかわる個性を伸ばし専門技能を引き出していくスキルを身につけることは欠かせない。「**コーチング論**」は、コーチングの基礎理論とコミュニケーションスキルを理解し、サービスを形にして提供する上で必須となる他者の協力を獲得するためのスキルを修得し、あわせてビジネス現場における人的資源の活用方法や課題について学ぶ。到達目標を、この科目を履修することにより、当該サービスにかかわる人材の成長を支援する能力を育成し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にするために必要な知識と技術を修得することに置く。

「**起業入門**」では、ベンチャービジネスを起業した経験者の活動実例に基づき、起業とは

何か、起業のメリットやデメリット、起業のために必要な事項や資金計画を理解し、その上で実際に健康寿命を延伸する力を核にした事業化のアイディアを煮詰めプランを作成するグループワークを行い、ワークシートを用いた事業計画を作成して発表し、意見交換を行う。

この講義を通じて、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法が修得できる。自ら起業し事業化することを想定し思考することを通して、ごく簡単な事業計画を作成できることが到達目標である。

「地域や社会に貢献したい」と思った場合、私的な企業活動として事業を展開する場合の他に、社会や地域課題の解決に向けた「非営利」の活動を起こす必要が生じる場合がある。

「**NPO 論**」では、企業統治の視点を導入してソーシャルビジネスという大きな枠組みから、NPO の仕組みとその社会的役割にアプローチし、その上で岡山の NPO の活動事例として、実際に高齢者や障害者を支援する NPO、岡山地域の活性化に貢献している NPO、健康寿命延伸のために活動する NPO を取り上げ、何を、どのように準備し、どう運営して、ミッションを達成しているかの実際を学び、次いで非営利組織のマネジメント、非営利組織の統治に進み、社会貢献における営利企業と非営利組織の役割を比較して締めくくる。到達目標は、経営という視点から NPO を理解できるようになり、社会貢献についての知見を深め、社会貢献への多様なアプローチを認識し、NPO の設立方法を修得できることである。

これらの科目から、組織のマネジメントに関わる基本理論、他者との協力や人的資源を有効に活用する方法やスキル、起業にかかわる基本的なノウハウ、非営利組織によるサービス提供等について学び、健康寿命の延伸に係る新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域のニーズに貢献できる能力を修得する。

そして、展開科目の集大成として「岡山経営者論」を配置する。この「岡山経営者論」においては、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターにより、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）等をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創造する能力を修得する。

この「岡山経営者論」により、岡山という地域の中で、理学療法士として「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるかを学び、地域の活性化に寄与することができる能力を修得する。さらに「岡山経営者論」でのつながりを契機として、医療関連分野以外の一般企業との連携も視野に入ってくることが期待される。

このように、理学療法学科に配置された展開科目を学修し、それぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能である。

そして本学を卒業した理学療法士が活動する場は、これまで主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関係事業・福祉機器関連事業・地方自治体等の様々な領域に拡がり、それぞれの職業現場では、対象者が真に必要とするサービスを提案し展開していくことができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、人々の新しい交流の場と雇用を生み出し、理学療法士として地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

2. 作業療法学科

作業療法学科が育成する人材像は、「最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。」を掲げている。

このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために 10 科目の展開科目を配置し、配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学修内容、科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係等について以下に説明する。

まず、作業療法士の基本的資質として、対象者や地域との連携を深め新たなサービスを展開していくためには、人の尊厳を遵守し豊かな感性をもって対応していくことが肝要である。その基本的資質を涵養するために、人を深く知り人の尊厳を知り豊かな感性をもつ必要があり、また社会の中での人間形成について知る必要がある。これが以下の科目を配置する根拠である。前者の修得のために、「ヒューマンサービス論」を置き、この科目で、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、深い人間理解を基盤としてヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を修得する。後者の修得のために「人間形成論」を配置し、社会生活における人間形成に理解を深め、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。

これらの科目から、深い人間理解を基盤として対象者に対してその思いを深く受け止め共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する能力を修得する。

このような資質を基盤として、地域を理解し地域生活を支援するためのサービスを展開し地域コミュニティづくりへとつなげていく。そのためには、社会の基本構成単位である家族の理解、地域および地域生活のあり方、そして地域コミュニティへの関わり方の三つの要素を知ることが欠かせない。それらを学ぶために、「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」を配置した。

「家族関係論」では、社会を構成する基本単位としての家族関係を中心とした人間相互の関わりの成り立ちやその意義を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を修得する。「地域社会論」では、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する能力を修得し、地域活性化に向けての新規事業の創造の重要性を学ぶ。「コミュニティ形成論」では、地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、コミュニティ形成の基本知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。

これらの科目から、社会を構成する最小単位である家族についてその課題を分析し解決

する能力、地域づくりや地域の活性化に向けた新しいサービスの創造や地域コミュニティを活性化させるコーディネート力やマネジメント力を学び、地域生活を支援する能力を修得することができる。

そして、家族や地域に関する理解を広げ、地域生活を支える能力を修得して、次は子供から高齢者に至る幅広い世代がそれぞれのライフサイクルに合わせて、いきいきと生活できる環境づくりに発展させていく能力の修得が必要である。具体的には、対象者のライフサイクルに沿った生活課題を知り、子供から大人までの各世代の健康課題を知り、対象者を取り巻く環境因子について知ることが肝要であり、それらを知った上で対象者や地域への新たなサービスを提供していくことになる。またライフステージを考える時に、障害をもつ子供への教育環境づくりは欠かせない課題である。これらを学ぶために、「ライフサイクル論」「地域生活と健康」「人間工学」「特別支援教育」を配置した。

「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。「地域生活と健康」では、様々な対象者やライフステージに合わせた健康の維持・増進および健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を修得する。「人間工学」では、人と人を取り囲む様々なものや環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。このような観点から本科目を作業療法学科の展開科目に配置したが、理学療法学科の学生も選択することは可能である。教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成していくための基礎的な力を修得するために「特別支援教育」を配置した。

これらの科目から、弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と子供を含め障害を持つ人が共にいきいきと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須のライフステージに適した新たなサービスを提供する知識と能力を修得する。

そして、「岡山経営者論」においては、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターにより、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）等をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創造する能力を修得する。

この「岡山経営者論」は、展開科目の集大成として位置づけられ、この科目により、岡山という地域の中で、理学療法士として「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるかを学び、地域の活性化に寄与することができる能力を修得する。さらに「岡山経営者論」でのつながりを契機として、医療関連分野以外の一般企業との連携も視野に入ってくることが期待される。

このように、作業療法学科に配置された展開科目を学修し、それぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能である。

そして本学を卒業した作業療法士は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施

設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・地方自治体・住宅関連企業・福祉機器関連企業・教育機関・就労支援事業等の新たな職業現場に活躍の場が広がり、対象者が真に必要とするサービスの革新を提案し活躍の場を広げることができ、地域に根付いた新たな視点から人々の生活を支える創造的サービスを提案することで、地域に人々の交流の場が提供され新たな雇用も生み出され、作業療法士として地域を活性化する動力としての役割を担うことができる。

なおここで、医療関連分野とそれ以外の一般企業等との連携について補足しておく。

「多職種連携」とは、医療界では、通常、保健・医療・福祉にかかわる様々な職種（医師・看護師・介護福祉士・各療法士・薬剤師・管理栄養士・医療行政職等）の間、即ち、各種医療職種間および医療関連機関の間での連携を意味する。しかし今後、前記の展開科目により育成された本学の卒業生の就職先として、スポーツ関連事業や住宅関連企業等の一般企業の分野への進出が見込まれるため、また一般企業の職員の健康の維持・向上への取り組みが進む中での企業の産業医や保健師との連携等を含めて、医療関連分野のみならず一般企業との連携を進めていく必要があると認識している。また、現在岡山市が進めている「地域包括ケアシステム」の構築の中で、システムの中核を担う行政職、さらにはこのシステムにかかわる一般企業との連携も必要になってくる。カリキュラムでは、前記の「岡山経営者論」で実際に様々な種類の一般企業のリーダーを招聘するため、この科目を通して医療関連分野と一般企業との連携を考え、場合によっては実践する機会になることが期待される。さらに、行政との連携については、「教育課程連携協議会」の構成員として行政職にも参加をいただいているので、この協議会を通じて行政との連携について協議できるものと思われる。

（4）総合科目（両学科共通）

総合科目では、4 年間の総括として学生が学習や実習による様々な経験から見出した医療・福祉・介護などにおけるニーズや地域で取り組むべき課題をもとに、関連論文・データを調査・分析し、報告し、討論を重ねて本格的な論文にまとめるための研究演習を実施する。卒業論文は、医療と地域の問題への認識を深め、新しいサービスのあり方を探求し、論理的思考力と問題解決力と自ら学ぶ姿勢を錬磨していく場を提供する。総合科目には、必修科目 4 単位、選択科目 2 単位を配置する。

ア．総合研究

3 年後期に「総合研究Ⅰ」、4 年前期に「総合研究Ⅱ」を配置し、学生が学習や臨地実務実習による様々な経験から興味・関心をもった医療・保健・福祉分野のテーマや臨床現場で遭遇した事例を取りあげ、関連するデータを収集、分析し、指導教官との討議や日常的な研究発表を実践する過程の中で、卒業論文の完成を目指し、論理的思考を練磨するとともに新たなサービスを生み出す創造力を養う。

また、3 年後期に「総合演習Ⅰ」、4 年前期に「総合演習Ⅱ」（選択科目）を配置し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを具体化し、課題の解決方法を提案できる能力を養う。

イ．卒業論文

卒業論文の執筆にあたっては、4 年間の総括として学生が学習や臨地実務実習による様々な経験から興味・関心をもった医療・保健・福祉分野のテーマや臨床現場で遭遇した事例、さらには、現在各々の分野がもつ諸課題を取りあげ、テーマを選択し、関連する書籍・論文・症例等を幅広く検索し、その意味や論点を明確化するとともに、関連するデータを収集、分析し、論文にまとめる。卒業論文の執筆を通じて、自ら課題を見いだし、自分で考え抜き、討論して問題を深め、結論を出し、推敲を重ねて論文にまとめる。この経験を通じて、大学や職業現場で学んだ知識や技術が有機的に統合され活性化されて医療と地域の問題についての創造的、論理的な思考力を鍛え、テーマや症例研究から新たな知見を見いだす作業によって創造的な役割を果たす応用的な能力を育む。同時に、物事に挑戦し探求する楽しさを実感し、研究スキルを身につけ、自ら学び生涯にわたって学習し続ける積極的な姿勢を錬磨する。

各々の分野がもつ諸課題は以下の通りである。

理学療法分野の諸課題

① 運動療法、物理療法を活用した身体機能向上に寄与すること。
② 身体機能向上に寄与するサービスを展開し地域に居住する人々の健康寿命の延伸に貢献すること。
③ 理学療法をもとにした新たなサービス形態を提案し実行することで地域の健康寿命の延伸を中心に地域活性化に貢献すること。

作業療法分野の諸課題

① 作業活動を活用した自立生活支援に寄与する。
② 自立生活支援に寄与するサービスを展開し障害者等の地域生活移行の促進に貢献すること。
③ 健常者・障害者を問わず幅広い世代の人々が住み慣れた地域で共生するために地域コミュニティを活性化し地域の実情に適した生活基盤の構築に貢献すること。

４．成績判定

成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。卒業論文については、合否で判定する。

５．教育課程の見直しの体制

今後は、新科目開発機能を担う能力と経験を有する担当者を教務委員会内に配置し、教育課程連携協議会の意見を迅速に教育課程に反映させ、開発された教育内容を授業科目へと具体化し、授業科目内容とカリキュラムの不断の見直しを行う仕組みを整備する（資料 3）。

（資料 3）教育課程の見直しの体制

⑤　教員組織等の編成の考え方及び特色

１．基準専任教員数と配置専任教員数

専門職大学設置基準（以下「設置基準」という。）第 35 条別表第一イの二以上の学科で組織する場合の一学科の収容定員並びに専任教員数の規定に基づき、健康科学部理学療法学科（入学定員 80 名、収容定員合計 320 名）においては 8 名、健康科学部作業療法学科（入学定員 40 名、合計 160 名）においては 8 名の専任教員が必要となる。

これに設置基準第 35 条別表第一ロの規定による専任教員 8 名（総収容定員 480 名）を加えた 24 名が基準専任教員となる。よって健康科学部の専任教員数を 24 名以上とし、その内 12 名は、原則として教授とする。

設置基準により、実務家教員を 4 割以上配置する。また、設置基準第 36 条第 3 項の「専任以外の者であっても、一年につき六単位以上の授業科目を担当し、かつ、教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う者」（以下「みなし専任教員」という。）は、各学科 2 名以下とする。

２．教員組織

（１）教員組織の編成の考え方

健康科学部の人材育成の目的を踏まえ、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを実現するため、教育課程における必要性に基づき求められる適切な専門知識と技能、研究実績と教育実績を有する教員を配置し、教員組織を編成する。

基礎科目分野、専門基礎分野、専門分野、展開科目分野、総合科目分野ごとに、教育、研究、あるいは実務に十分な業績と力量を有する教員により教員組織を編成することを基本的な考え方とし、各教員の学位、研究業績、実務家としての実績、教育経験と、担当授業科目との適合性を考慮して各科目の担当教員を配置した。

専任教員は、各専門分野における十分な研究業績や実務経験を有するとともに、大学や専門学校等における専門教育担当の経験や実績があるので、本学の人材養成目的を十分理解した上で、教育研究に従事することができる。

専門基礎分野の主要科目を担当する教員は、全員大学で教授の経験があり博士の学位と研究業績を有する教授を配置している。

専門分野を担当する教員は、すべて医療機関や医療施設で 5 年以上の実務経験をもつ理学療法士 12 名、作業療法士 7 名、計 19 名からなる。専門分野の主要科目には、原則として高い研究能力を有する教授、准教授を配置し、主として実習科目を担当する実務家教員と役割を分担し、互いに補完しあう教員編成をとっている。実務家教員は全員が高度な実務能力と学術論文等の研究業績をもち、そのうち博士の学位をもつ者 8 名、修士の学位をもつ者 9 名である。実務家教員の 9 割以上が、高い研究能力を保持する博士・修士で占められている。実務家教員は、実務現場の教育ニーズに通暁し、経験豊富で熟練治療技術を有しており、充実した実習教育および応用治療技術実習を教授する上で欠くことのできない存在である。

みなし専任教員 3 名は、実務現場や大学研究機関の第一線で活躍しており、2 名は博士の学位をもっている。みなし専任教員は、専門分野において研究業績や実務実績が豊富であり、専任教員と協力して教育運営に参加し、教務委員会のカリキュラム担当委員と協力して教

育課程連携協議会の意見を迅速に反映した授業科目の開発や教育課程の編成、不断の見直しに協力する。

教員は、理学療法学科に専任教員 18 名（教授 9 名、准教授 1 名、講師 3 名、助教 5 名）を配置し、作業療法学科に専任教員 10 名（教授 6 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 2 名）を配置する。理学療法学科専任教員には 2 名、作業療法学科には 1 名のみなし専任教授が含まれる。また、理学療法学科の教授 1 名は、現在年次進行中の新設大学の教授として在任しているが、所属する大学学長から本学へ移籍することについての許可を得ている。

（2）教員組織の特色

教育現場と臨床現場の密接な連携のもとで、現場のニーズを取り入れた実践的な教育を行うことができるよう、医療現場および関連分野と教育現場の双方の視点と豊富な経験をもつ教員を中心に専任教員組織が構成されている。

教育分野ごとに主要教員を配置し、適切な役割分担のもとで連携が円滑に行われ教育責任が明確になる体制をとっている。専門内容や教育レベルに応じた科目担当が組織的に行われるよう教員を組織し、教員間の負担の均衡をはかるとともに、前期・後期の一方に担当科目が偏らないように配意している。

また、教育上、主要な授業科目には原則として豊かな経験と実績をもつ教授または准教授を配置するとともに、実習など実技を伴う科目では教育効果を上げるために原則として複数担当制で指導を徹底し、実技内容のきめ細かい理解と指導が徹底されるように工夫された協力型組織となっている。

（3）授業担当

基礎科目は、自らの資質を向上させ、自立した専門職業人、社会人として持続的に活動するために必要な能力を育成することを目標としており、当該分野の教育にふさわしい研究業績や教育実績や実践経験を有する専任教員や兼任教員を配置する。兼任教員は、当該分野における十分な実績と学識を有しており、学生教育に支障がない。

職業専門科目は、理学療法・作業療法分野で必要とされる理論的かつ実践的な能力を育成する中心的科目であり、専門基礎分野や専門分野の理論系科目は、当該分野における博士や修士の学位を有し研究実績をもつ専任教員および非常勤講師が教育にあたる。実習系科目は、職業現場経験が 5 年以上で高い実務能力をもつ教員が担当する。臨地実務実習は、実習施設の 5 年以上の臨床実務経験をもつ臨地実習指導者と本学の専任教員が緊密に連携して教育を担当する。

展開科目は、職業現場で創造的な役割を果たす能力を涵養するために必要な科目を配置し、それぞれの専門分野における研究実績や教育実績の豊富な教員が担当する。

卒業論文の指導は、原則として専任教員が担当する。

専任教員の年齢構成は、70 歳以上 6 名、60 歳代の教員 3 名、50 歳代の教員 9 名、40 歳代の教員 9 名、30 歳代の教員 1 名となっており、教育・研究で最も活躍できる 40～50 代の教員が多数を占める編成となっている。

専任教員は、全員本学の定年規程に適合している（資料 4)。

（資料 4）定年規程

（４）研究分野と研究体制

１）健康科学部理学療法学科

理学療法学科は、医学的リハビリテーションの中心である「物理学的治療」（運動療法・物理療法）や「基本的動作訓練」領域に留まることなく、健康増進のための運動指導や生活習慣病の予防、さらにはスポーツ障害の予防分野などで、職業現場での実践を踏まえ、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新サービス創出の観点から、職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組む。

具体的には、行動分析に関するリハビリテーション研究、運動器疾患に起因する予防・治療に関するリハビリテーション研究、循環・呼吸・代謝に起因する疾患に関するリハビリテーション研究、スポーツ（競技別の特性における予防から治療まで）に関するリハビリテーション研究、医療・保健・福祉と地域支援に関する研究等に取り組む。また、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、それぞれの地域特有の社会を理解し、生活経済の仕組みを理解し、対象者の生き方・考え方の実相を把握し、その地域や地域包括ケアシステムに貢献できる研究に取り組む。

神経系、運動器系、内部系、スポーツ系、老年期系、予防系の各分野で個別研究を進めるとともに、各系内で共同研究を推進し、各系間の連携協力による専門的融合を目指した研究体制を構築する。特に、地域社会のニーズを踏まえた実践的研究活動を展開するために、地域の産業界や行政、各種の住民組織や団体・施設と連携して、健康増進のための運動指導の改善や生活習慣の改善、スポーツ障害の回復促進などについて、幅広いネットワークを構築しながら地域と一体となってフィールドワークを行い、「実践の理論」を重視した研究活動を進める。そして最新の研究成果を迅速に授業に反映させると同時に、学生の論文指導に生かす。

２）健康科学部作業療法学科

作業療法学科は、従来疾病予防の中心であった「二次予防」（健康診断等による早期発見・早期治療）や「三次予防」に留まることなく、「一次予防」（生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病等を予防すること）を含めた地域社会のニーズに対応し、活力ある持続可能な社会につなげる研究分野など、職業現場での実践を踏まえ、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新たなサービスを創出する職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組む。

具体的には、行動分析に関するリハビリテーション研究、運動器疾患に起因する予防・治療に関するリハビリテーション研究、循環・呼吸・代謝に起因する疾患のリハビリテーションに関する研究、認知症高齢者に関する研究、持続可能な超高齢社会に向けたアンチエイジングに関する研究、保健・医療・福祉や地域支援に関する研究を行う。また、対象者の生活

上の課題や地域生活における課題について、それぞれの地域特有の社会を理解し、生活経済の仕組みを理解し、対象者の生き方・考え方の実相を把握し、その地域や地域包括ケアシステムに貢献できる研究に取り組む。

研究を進めるにあたり、神経系、運動器系、内部系、老年期系、精神系、予防系の各分野で個別研究を進めるとともに、各系内で共同研究を推進し、各系間の連携協力による専門的融合を目指した研究体制を構築する。特に、地域生活におけるニーズを踏まえた実践的研究活動を展開するため、地域の産業界や行政、各種の住民組織や団体・施設と連携して、地域の課題を共有し、地域と一体となったフィールドワークを行い、「実践の理論」を重視した研究活動を進める。そして最新の研究成果を迅速に授業に反映させると同時に、学生の論文指導に生かす。

３）大学事務局の支援体制

大学事務局として研究活動を支援していくために、科学研究費等外部資金の情報提供を行い、獲得するように支援を行う。また書類作成のサポートは、大学事務局総務チームの研究支援担当者が行う。

⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件

1．教育方法

本学部の教育課程は、学生にとって学びやすく、興味が湧き、学習意欲が高まるよう、基礎科目から専門科目、さらに展開科目・総合科目へと段階的・系統的な科目配置を工夫し、丁寧に学生の成長を育む方法をとっている。

基盤ゼミプログラムでは､1名の教員に対して各学年で原則10名以下の学生で構成され、本格的なプレゼンテーション教育により、プレゼンテーションスキルと論理的思考力を培い、自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む双方向の授業システムを採用し、生涯にわたり自らを向上させる基盤的資質を体系的に涵養する。

また、専門知識と技能を円滑に学ぶことができるよう講義と実習とを適切に組み合わせるとともに、理論と実践を架橋する授業を重点的に配置し、個々の学生の知識と技術の習熟度を確認しきめ細やかに指導できるよう､同時に授業を行う学生数は 40 名以下で開講する。実習科目では原則として複数担当制で指導を徹底し、さまざまな状況を理論的に考察しつつ対応できる応用力と実践力を涵養する。講義形式の科目においては、自主学習を実質化し、学生の自ら学ぶ姿勢を涵養するため、事前学習のためのアサインメントを課す。さらに、授業中に事前学習の程度を確認し、進んだ学習課題を明示し、授業後の復習と課題学習を促し、教員がチェックして助言を与えることで、学生が自ら学ぶ姿勢を日常的に実践する学習運営方式を徹底する。

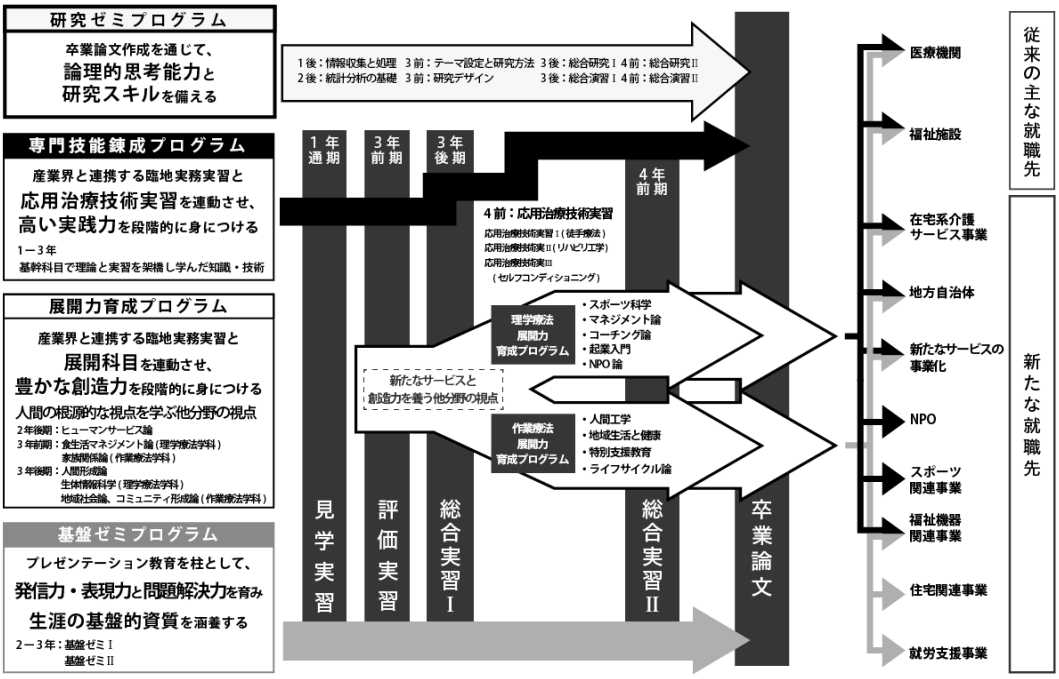
臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）は、理学療法学科 900 時間・作業療法学科 990 時間確保し、4 年間を通じて各職業現場で高い実践力と豊かな創造力を養うことができる実習方法を採用する。本学では臨地実務実習と専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムとを組み合わせ、職業現場の実践と連動させてより高い実

践力と豊かな創造力を育む体制を整備している。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い理解と応用力を修得できる応用治療技術実習と臨地実務実習を組み合わせることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を掘り下げて学ぶことで、より高い実践力を段階的に身につける。また展開力育成プログラムは、関連する他分野の多様な視点と知識を身につけ、ヒューマンサービスに踏み込み、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新と生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を養う教育方法を採用している。

4 年前期に開講される「岡山経営者論」は、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス、起業、新規事業展開、海外事業展開、地方創生（地域活性化）などをテーマにオムニバス形式で行い、他分野の視点や発想に触れ、アイディアを形にする方法を学び、新たな発想と新サービスを創造する力を育成することを目的としている。「岡山経営者論」では、より多くの著名な経営者やイノベーターの講義を受講できる機会を全学生（120 名）に保証するため、大講義室（225 名収容可能）を使用した講義とする。先進施設を完備した大教室は、多忙な有識者の貴重な講義を多くの学生が直接聴講し、効果的に学習できる教育環境を備えており、学生の教育研究において極めて有益な場を提供する。同時に授業を行う学生数は 40 名を超えることになるが、著名な有識者の講義を直接聞く機会を提供することにより、通常の授業では得られない高い教育効果が期待できる。

卒業論文指導体制は、担当指導教官 1 名につき原則 10 名以下の学生で構成される。学生は、2 年次終了までに修得した専門職に関連する知識や実習体験を基に、3・4 年次の「研究デザイン」「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」において、指導教官の下で、自ら提起した課題について報告し、議論し、検討を重ねていく。段階的な卒業論文の指導体制によって論理的思考能力と問題解決能力を錬磨し、卒業後にも臨床研究に取り組み、学会発表、学術誌への投稿などの取り組みができる研究スキルを備える教育体制を整備している（図４）。

（図４）学生研究指導体制　科目関連図



２．履修指導方法

本学に入学する学生に対して、リハビリテーション人材として必要な科目の未履修者や学力について課題を有する学生に対しては、入学前に教育課程外授業として、e-learning によるリメディアル教育を行う。リメディアル教育で補完する科目に関しては、調査書により判断する。学習状況はシステムやレポートで確認し指導を行う。また到達度をはかるために、到達度テストを行い、大学教員が到達度を確認し指導を行う。

また、1 年前期において、大学で自立的に学ぶために、必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として「大学入門」を設置する。

（1）履修に関するガイダンス

入学時に、学事暦、カリキュラム、単位制度、授業時間、履修登録の方法、国家試験に必要な履修単位等、資格取得方法、卒業に関わる事項についてガイダンスを実施する。2 年次以降については、前期開始の際に、当該年次に関する履修方法等についてガイダンスを実施する。実習科目については、ガイダンスに加えて、各実習の開始前にオリエンテーションを実施する。卒業論文については、2 年次後期にオリエンテーションを実施する。

なお、留学生、社会人ともに特別の履修指導体制はとらないものとする。

（2）学生に対する履修指導

本学部は学年担任制を導入し、学生の学業、学校生活、メンタルヘルス等について徹底した支援体制を整備し、学生が大学生活へ速やかに適応できるように指導する。さらに、教授、准教授、講師および助教が各学年原則 10 名以下の学生を担当し、在学期間を通して個別に履修指導を行う。

卒業論文については、2 年次後期にオリエンテーションに基づいて指導教官を決定し、学生の希望する学問領域に沿って個別的に基本方針を決定する。

就職の前提となる国家試験の受験指導体制として、教務内に国家試験対策担当教員を設け組織的に取り組む。国家試験受験指導に関する指導は全教員で関わるが、指導の必要な学生には、小グループの指導体制を整える。

（3）履修科目の年間登録上限

単位制度の実質化の観点を踏まえたうえで、過度な履修を行わないようにすることで、4 年間を通じて計画的に履修を行なえるようにすることを目的とし、年次ごとの履修登録上限を39単位とする。ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

履修に際しては、履修届により履修登録を行い、履修科目を決定するものとする（資料 5）。

（資料 5）岡山医療専門職大学履修科目の登録の上限に関する規程

３．卒業要件

（1）卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマポリシー）

本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を取得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。

（理学療法学科）

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。

2）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

3）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。

4）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（作業療法学科）

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。

2）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

3）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。

4）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（2）卒業要件

本学の卒業要件は、次のとおりとする。

1）本学に 4 年以上在学すること。

2）卒業に必要な次の所定単位を取得すること。

健康科学部

理学療法学科

基礎科目　22単位以上
　必修科目　18単位以上
　選択科目　4単位以上
職業専門科目　89単位以上
　基礎分野科目から必修科目　32 単位以上
　専門分野科目から必修科目　57 単位以上
展開科目　20単位以上
総合科目　4単位以上

基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて135単位以上（必修科目131単位、選択科目4単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を40単位以上（臨地実務実習20単位以上を含む）修得しなければならない。

作業療法学科

基礎科目　22単位以上
　必修科目　18単位以上
　選択科目　4単位以上
職業専門科目　89単位以上
　基礎分野科目から必修科目　32 単位以上
　専門分野科目から必修科目　57 単位以上
展開科目　20単位以上
総合科目　4単位以上

基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて135単位以上（必修科目131単位、選択科目4単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を40単位以上（臨地実務実習20単位以上を含む）修得しなければならない。

以上は、専門職大学設置基準第29条第2項に規定する卒業要件を満たしている。

（３）卒業要件を135単位以上とした理由

専門職大学設置基準第29条第2項に規定する卒業要件は、124単位以上（基礎科目に係る20単位以上、職業専門科目に係る60単位以上、展開科目に係る20単位以上、総合科目に係る4単位以上を含む）を履修することである。一方で、国家試験受験資格を取得するためには、理学療法士・作業療法士学校養成施設（指定規則第2条第1項関係）の卒業要件101単位以上（基礎分野14単位以上、専門基礎分野30単位以上、専門分野57単位以上を含む）を履修する必要がある。指定規則の基礎分野14単位以上は基礎科目に係る単位であり、指定規則の専門基礎分野および専門分野の合計87単位以上は職業専門科目に係る単位となる（図５）。

卒業時に、専門職大学設置基準で定められた要件と国家試験受験資格の要件を満たすためには、基礎科目20単位、職業専門科目87単位、展開科目20単位、総合科目4単位、合計

131単位の取得が最低限必要となる。これを踏まえると本学の教育目的を達成するために必要な単位は135単位以上となる。

この卒業要件の下での標準的な時間割をみれば（図６）、一週間当たりの科目配置は理学療法学科 12～15 科目、作業療法学科 12～14 科目となる。学生は予習・復習に十分な時間を確保することができ、さらに課外活動等にも活用できる十分な時間的余裕もあり、充実した大学生活を送ることができる。

（図５）卒業要件　対比表

	基礎分野	職業専門科目	展開科目	総合科目	卒業要件
専門職大学 設置基準 第 29 条第２項	２０単位以上	６０単位以上	２０単位以上	４単位以上	１２４単位
指定規則 第２条第１項関係	１４単位以上	８７単位以上 ・専門基礎分野３０単位以上 ・専門分野５７単位以上			１０１単位
岡山医療専門職大学					
指定規則 第２条第１項関係 ＋ 専門職大学 設置基準 第 29 条第２項	２２単位以上	８９単位以上 ・専門基礎分野３２単位以上 ・専門分野５７単位以上	２０単位以上	２０単位以上	１３５単位

（図６）時間割表

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館 3-3教室＞ ＜三宅＞	精神医学 ＜新館 3-3教室＞ ＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞ ＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館 3-3教室＞ ＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館 3-3教室＞ ＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞ ＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館 3-3教室＞ ＜池本＞
木	統計分析の基礎 ＜新館 3-3教室＞ ＜勅使川原＞	基礎作業学実習Ⅱ ＜3F 織物絵画室＞ ＜野口＞		
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞ ＜林＞

（資料 10）時間割表（大学・専門学校）

４．単位互換制度

他大学等での取得単位は 60 単位を限度として所属学科において取得した単位とみなすことができる。単位の認定については、教授会で審議した上で決定する。

実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実務経験による単位認定は、理学療法士・作業療法士として病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 20 単位を限度として所属学科において取得した単位として認定

する。なお、社会人編入学は実施しない。

５．履修モデル

履修モデルは、資料 28 のとおりである。

⑦　教育課程連携協議会について

岡山医療専門職大学と医療・保健・福祉業界および地域社会との連携により、最新の専門知識・技能と高度な実践力を備え、高質なヒューマンサービスを生み出し、医療・保健・福祉専門業務を主導できる豊かな人間性と創造力および高度な実践力を備えた人材を育成するための授業科目の検討・開発・開設、教育課程の編成・実施・評価を行うことを目的に教育課程連携協議会を設置する。

教育課程連携協議会は、組織的、系統的に位置づけられた本学の協議会として、教務委員会と連携して医療・保健・福祉専門教育に特化した教育課程の編成を推進する。

１．審議事項

（１）授業科目の内容、時間数

（２）産業界および地域社会との連携による授業科目の開発・開設

（３）産業界および地域社会との連携による教育課程の編成、授業の実施・評価

（４）その他学修に必要な事項に対する支援

審議後、教育課程連携協議会の議長は、学長に意見を述べるものとする。

２．構成員（任期）

教育課程連携協議会は、学校側の構成員 4 名、業界等側の理学療法・作業療法各学科構成員（以下、「業界側構成員」という。）3 名以上で構成し、任期は 2 年とする。ただし、再任は妨げないものとする。

（学校側構成員）

（１）学部長

（２）各学科教務委員１名　計 2 名

（３）学長が必要と認めた者１名

（業界側構成員）

医療・保健・福祉専門分野に関する有識者から広く選任するものとし、次の第１号から第３号において少なくとも１名を構成員とし、第 4 号からの構成員を加えることができる。

（１）本学の課程に係る職業に就いている者または当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者

（２）地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者

（３）臨地実務実習、その他の授業科目の開設または授業の実施において本学と協力する事業者

（４）本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認めた者

本学の教育課程連携協議会の構成員は、資料 26 の通りである。

構成員は、専門職大学設置基準第 11 条第 2 項に規定された構成員を配置している。学校側構成員は、（１）学部長 窪山泉、（２）理学療法学科 永野克人、作業療法学科二木淑子、（３）学長が必要と認めた者　安田従生からなる。業界側構成員は、（１）当該専門職大学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者　理学療法士で（一社）岡山県理学療法士会理事である荒尾賢氏、作業療法士で（一社）岡山県作業療法士会理事の藤岡晃氏、理学療法士で関節ファシリテーション学会理事の築山尚司氏、（２）地方公共団体の職員、中島英彦氏、岸川和忠氏、産業団体の理事の池田博昭氏、（３）臨地実務実習先である（医）ふたば会 うちおグリーンクリニック 青景遵之氏、（一財）倉敷成人病センター 河本聡志氏であり、専門職大学設置基準第 11 条第 2 項に規定された構成員の各区分の要件に合致した構成である。また、学校側構成員と業界側構成員ともに、それぞれの職業専門分野において広い見識をもっており、教育課程について実質的な審議を行うことができる構成員である。

３．年間の開催回数

会議は年 2 回以上実施

４．役割・権限等の具体的な運用について

教育課程連携協議会の議長は学部長が務め、構成員の内から互選により副議長を選任する。

構成員は、各々の専門領域および役割に応じた業務を担当する。

学校側構成員は、社会のニーズや保護者、学生、就職先、関係者等の情報を把握、分析し、企業等との連携を含め教育課程の編成に関し、基本的な方針を説明する。

企業側構成員は、企業等の要望や意見を反映した授業科目開設への意見や教育課程の編成について提案し、職業教育の見地に立った実習の実施を支援する。

両者は、相互に協議・協力し、職業活動を主体的に実施し、社会に貢献できる人材の育成を行う。

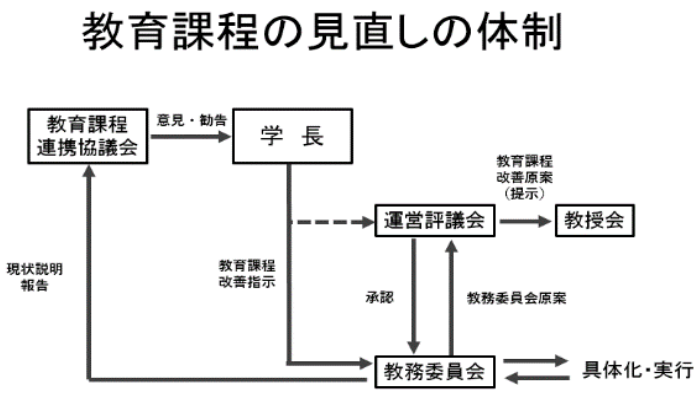
５.教育課程の見直し体制

専門職大学として、理学療法士や作業療法士を取り巻く環境変化を踏まえ、職業現場のニーズや意見・要望を不断に教育課程へ取り込み、常に最新の専門知識と技術を修得できるカリキュラムと授業内容を開発し迅速に実現するために、次のような教育課程の見直し体制を整備する。

大学教務委員会が教育課程編成の基本方針、カリキュラム、授業内容、問題点等の現状をまとめ、年 2 回以上開催される教育課程連携協議会に報告する。教育課程連携協議会では、企業側等の要望と意見を聞き、授業科目の内容や課程編成等について審議する。教育課程連

携協議会の議長は、会議の議論を総括し、学長に意見を述べる。学長は大学教務委員会に会議の意見を取り入れた教育課程改善指示を行い、教務委員会では具体的改善のための改善策を審議する。そして、教務委員会原案にまとめ、学長が主催する運営評議会に提出する。運営評議会は、教育課程改善原案を作成し、教授会に提示する。学長は、教授会の意見を踏まえて教育課程改善案を決定する。教育課程改善案をもとに、カリキュラムの改善、授業内容の変更、新しい授業科目の設置など教育課程の見直しを具体化し、迅速に実行に移すとともに、その結果をまとめ教育課程連携協議会に報告する（図 7）。

（図 7）教育課程の見直しの体制



（資料 6）岡山医療専門職大学　教育課程連携協議会規程

⑧　施設、設備等の整備計画

１．校地、運動場の整備計画

岡山医療専門職大学は、医療現場との密接な連携のもとに機動的に教育内容の刷新を継続し、その効果を検証して行く必要上、岡山の都心部に位置することが必要である。また、学生の通学や、社会人の学び直しに便利な機会を提供する上でも、都心立地は大きな利便性をもつ教育環境を提供する。他方、都心部では、広大な校地・校舎を確保するには大きな制約がある。

このような都心立地の利点と制約の中で、教育研究の目的を充足する適切な施設・設備を整備すると同時に、学生の休息・交流に十分なスペースを確保し、快適な大学生活を享受できる利便性が極大になるように環境整備することが課題となる。

岡山医療専門職大学は、ＪＲ岡山駅より徒歩 10 分の所に位置する本山学園キャンパス内に設置する。校地は 5,799.61 ㎡である。大学専用校地は 1,228.85 ㎡、共用校地は 4,570.76 ㎡である。学園キャンパス内の空き地は学生が自由に利用して休息し、交流できる空間として提供する。

さらに本館 4 階には広い屋上庭園を新設するとともに、本館 2 階に新たに学生向けの大ラウンジを設け、新館 2 階および 5 階にもスチューデントホールを設置することで、本館 1 階のエントランスホールと本館 13 階の展望大ラウンジ（スカイホール）と相まって、多くの学生が余裕をもって休息し、交流し、あるいはその他の目的で利用できる多様なスペースと施設が備えられ、学生が大学生活を送る上で快適な環境が整う。

キャンパスが都心部にあるため、運動場を近隣に確保することが困難であるが、教育上必要な運動等を実施するために体育館を整備している。体育祭を開催する場合には運動場が必要となるが、本学から 2.8 ㎞に位置する岡山ドームおよび 3 ㎞に位置する岡山県総合グラウンドを利用することで代替する（資料 7)。岡山ドームとは規定上年間契約を結ぶことができないため、体育祭で利用する場合、2 ヶ月前に予約をして対応する。

また学生がサークル等課外活動でグラウンド、テニスコート、野球場を利用したい場合には、その都度申請して貰い、随時使用できるようにする。また、岡山県総合グラウンドの陸上競技場（および野球場、テニスコート）を利用する場合も同様とする。いずれの施設も使用料の負担はない。また交通費に関しても、学生が自転車で行ける距離であり、経済的負担もない。ただし、雨天の際バスを利用する場合にはバス代のみ学生の自己負担となる。（岡山総合グラウンドまで片道 200 円、岡山ドームまで片道 170 円）

課外授業や課外活動を実施する際には、設備の整った施設を利用できるので、運動場を設けることにより得られる効用と同等以上の効果が得られ、教育に支障はない。

２．校舎等施設の整備計画

校舎等の施設は､既存の本山学園本館および新たに建設する新館の 2 棟を予定している。本学の入学定員は、理学療法学科 80 名、作業療法学科 40 名であり、1 クラス 40 名以下の少人数できめ細かい指導を行うため新館 2 階から 4 階に普通教室 12 室を整備し、5 階には大学の多様な情報を発信する講義やセミナー等に幅広く利用できる 225 名収容の大講義室を設置する。いずれの教室も、教育効果を上げられるように階段教室としている。

新館 2 階と 5 階には、授業の合間に学生が利用できるスチューデントホールを配置している。

両学科が演習・実習で使用する実習室や演習室は、すべて本館に設置する。本館と新館は 2 階と 4 階で渡り廊下により接続されて、アクセスは容易である。実習室は、本館 3 階から 5 階に設置する。両学科で使用する基礎医学実習室、日常動作訓練室、装具加工室のほか、理学療法学科は機能訓練室、治療訓練室、スポーツトレーニングルーム、水治療室を備え、作業療法学科は基礎作業実習室、金工・木工・陶工実習室、織物・絵画室、レクリエーション室を備えている。全ての実習室には、教育上必要な機械・器具・標本および模型等を整備している（資料 8)。演習授業や研究指導に使用する演習室は、本館 4 階と 5 階に 11 室設置される（資料 9)。本館 8 階には、56 台の PC を備えた情報処理教室（PC ルーム）を備える。

医務室は、本館 4 階に設置する。

研究室は、5 階 2 室、6 階に 8 室、7 階に 8 室、8 階に 10 室、合計 28 室の個室研究室を設ける。各研究室には、個別の研究机、椅子、書棚、学生指導用机、椅子 7 脚、保管用ロッカー（鍵付き）を備え、個人情報や個別研究の内容が保持される良好な研究環境を整備する。

また 5 階の予備室（大共同研究室）に、新指定規則に沿って概略図のように 3 次元動作解析装置、筋電図計測装置、重心動揺分析装置を配置し、教育研究室として活用する。

同時に､所属する教員の主要研究分野である運動器系､神経系､内部障害系､物理療法系、基礎系の研究を支援するための機器を整備する。なお学園の研究施設を使用して動物実験を行う教員はいない。

具体的には、4階の予備室（大共同研究室）のスペースに、運動器系の研究を支えるためのスパイナルマウス、超音波画像診断装置、運動器系および内部障害系の研究を支えるインボディ、ポラール携帯型心拍数計、無酸素系運動パワー測定装置（パワーマックスⅧ）、物理療法系の研究を支えるインテレクト・アドバンス・コンボ、内部障害系の研究を支えるCPex-1、神経系および運動器系の研究を支えるDELSYSTrigno、WinFDMシステム、基礎系研究を支えるマイナス80度フリーザー、神経系研究を支えるアイトラッキングシステムを設置した健康科学部実験共同研究室を整備する。

このほか本館5階には、学長室・学部長室と大会議室を備える。本館2階に体育館を新設し、フットサルコートを整備する。体育館とスポーツトレーニングルームは、空き時間や放課後、週末、休暇期間中に、自らの健康増進や交流等に自由に使用できる。大学事務局は、本館1階のエントランスホールに面して設置する。

本館に5機、新館に1機のエレベーターを備え、スロープ、多目的トイレ等の設備を充実し、障がい学生等に配慮した施設・設備も充実している。

本山学園には、既設の専門学校があり、共用する部分がある。まず、本学開学時の2020（令和2）年4月より2022（令和4年）3月までの間、岡山医療技術専門学校と共用する部分は、健康科学部の各実習室、体育館および図書館である（資料8)。また、その他の専門学校（西日本調理製菓専門学校、インターナショナル岡山歯科衛生専門学校）ならびに岡山医療技術専門学校（2022年3月まで〔医療事務学科を除く〕）と共用する部分は、本館1階エントランスホール、2階学生大ラウンジ、4階屋上庭園、8階情報処理教室（PCルーム)、13階展望大ラウンジ（スカイホール）となるが、総定員984名（大学完成年度）が利用する上で、十分な施設となっている。

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

３．図書等の資料および図書館の整備計画

新館1階に、図書館（484.56㎡）を設ける。既存の岡山医療技術専門学校が保有する蔵書5,212冊（内洋書110冊）に加え、大学教育課程に沿って新たに4,739冊（内洋書228冊）購入し、本学の教育・研究に必要な図書等を網羅した学術書籍・資料等を整備する。一般図書、専門図書、国家資格取得に必要な図書、開設科目に関連する心理学、英語コミュニケーション、日本歴史と文化、現代社会、統計学、問題解決能力、ロジカルシンキング、情報処理・データ収集に関する図書等を体系的に整備する（資料27)。

学術雑誌については、当該専門分野の主要5誌のジャーナルと7タイトルの電子ジャーナル（英語)、1,401タイトルを収録したデータベース「メディカルオンライン　ライブラリー」を整備する（資料11)。視聴覚教材（DVD,動画、CDなど）では、学生の修学に有用なものを選択し、さらに継続的に整備を進めていく（資料12)。

本学の図書館は、学生の学習上の利便を図り、また大学の教育研究活動全般を支援するため、理学療法・作業療法分野や関連分野の学術書籍・資料等を収集し、蓄積し、提供するとともに、主要な学術雑誌へのアクセスを保証する。学生が自分の興味あるテーマについて調査研究をすすめ、また教員の教育研究上の必要を満たすように、専門分野と関連分野の主要な図書・資料等へ迅速にアクセスできる環境を整備する。

特に本学の学生が、自ら学ぶ姿勢を育み、あるいは複数の学生が集まって様々な情報資源から得られる情報を活用して議論をすすめる場を提供し、インターネット等の情報環境を活用できるスキルを磨き、教育や研究課題に取り組める環境を提供する。

このような考えから、図書館には十分な規模の閲覧室、ブラウジングコーナー、レファレンスルーム、視聴覚ルーム、整理室、書庫、案内カウンターを設け、専門の司書等を配置して、学生および教員を支援する。また NACSIS-ILL（図書館間相互貸借システム）を導入し活用することで、他の大学図書館と図書や雑誌論文を相互に利用できる環境を整備し、最新の総合目録データベースを活用することにより、学生や教員の教育研究に対して迅速な支援を行う。

図書館は学生の自習室の役割も果たす。授業の事前学習を行い、事後の整理や更なる学習ができるように、十分な数の個別ライティング机およびグループワークのための閲覧机を備える。さらにディスカッションルーム 2 室を完備し、読書やグループ学習の他に、発信能力を鍛えるプレゼンテーション室などとしても使用可能にする。

図書館は座席を 70 席確保しており、ディスカッションルーム 2 室（30 席）を合わせて、収容席数は 100 席となる。本学収容定員 480 名の 21%にあたり、学生の自習や課題研究施設として、極めて余裕のある設計となっている。

⑨　入学者選抜の概要

１．入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。

（理学療法学科）

(1) 理学療法を修得するという強い意欲を有する人

(2) 高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人

(3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人

(4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人

(5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人

（作業療法学科）

(1) 作業療法を修得するという強い意欲を有する人

(2) 高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人

(3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人

(4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人

(5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人

２．入学者の選抜方法

（１）選抜区分と募集人員

入学者選抜は、文部科学省「大学入学者選抜実施要項」に基づき実施する。

本学の教育を受けるのに必要な資質と基礎学力を有し、本学のディプロマ・ポリシーに掲げる学士力を身につけたいという強い意欲をもつ者で、変化の激しい時代の地域社会に貢献しようという意志を有する者を、多様な入学試験方法により受け入れる。

（２）入学資格

次のいずれかに該当する者とする。

1. 高等学校等を卒業した者および入学年 3 月までに卒業見込みの者
2. 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格者および入学年 3 月までに合格見込みの者
3. 前号と同等以上の学力があると認められた者

（３）選抜方法

１）AO（アドミッション・オフィス）入学試験

岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。エントリー資格は、入学資格があり、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上で、入学前に本学のオープンキャンパスもしくは学校見学のいずれかに参加した者とする。

実施期間：8 月、9 月、10 月の期間で 4 回実施

選考方法：書類審査・レポート・発表とディスカッション・面接

1 次試験

書類審査（本学指定様式のエントリーシート、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。

・配点（20 点）

審査項目	配点
エントリーシート	10 点
調査書	10 点
合計	20 点

・評価観点

エントリーシート

・本学に向いているか（AP 適合性）（10 点）

調査書

・評定平均による基礎学力の評価（10 点）

２次試験

1） レポート

１次試験合格者に対して、2 次試験実施に先立ってレポートの課題を知らせる。受験生

は、課題について自分の考え方や意見をまとめ、事前に大学所定の用紙に記述して提出する。（1,000 字程度）

（レポート課題のテーマ：参考例）

・チーム医療とリハビリテーション
・地域包括ケアシステムと高齢社会
・地球温暖化問題
・SNS の浸透と人間関係
・人口減少と社会生産性

2）発表とディスカッション（60 分）

5 人程度のグループに分け、1 人 5 分程度でレポートの課題について発表し、全員の発表に基づき、ディスカッションを行う。

3）面接（1 人 20 分）

エントリーシート、レポートを基に面接を行う。面接は、学校側 2 人、受験生 1 人で行う。

※公平性を担保するために「発表とディスカッション」「面接」の試験官は別の試験官とする。

・配点（100 点）

審査項目	配点
レポート	30 点
発表・ディスカッション	30 点
面接	40 点
合計	100 点

・評価観点

レポート

・問題の把握と構成力は適切か（10 点）
・問題に対する考えが論理的に述べられているか（10 点）
・文章表現が適切になされているか（10 点）

発表とディスカッション

・課題の本質をとらえ、簡潔にまとめて表現できるか（10 点）
・自分の意見を相手に分かり易く伝えるコミュニケーション力を備えているか(10 点)
・相手の意見を踏まえて問題を深め、より発展的な考えが述べられるか（10 点）

面接

・旺盛な好奇心、探求心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか（10 点）
・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか（10 点）
・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニ

ケーション力があるか（10 点）
・変化の激しい時代の地域社会に貢献したいという思いがあるか（10 点）

合否判定

1 次試験（20 点）、2 次試験（100 点）を合わせた総合評価（120 点）により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の AP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応

AP と AO 入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
調査書		○			
エントリーシート	○			○	○
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
調査書		○			
エントリーシート	○			○	○
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 40 名、作業療法学科 20 名

	理学療法学科	作業療法学科
A 日程	10 名	5 名
B 日程	15 名	7 名
C 日程	10 名	5 名
D 日程	5 名	3 名
合計	40 名	20 名

2）自己推薦入学試験

出願資格は、入学資格がある者で、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上、岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、資格や検定取得実績等を有し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査・レポート・発表とディスカッション・面接

1 次試験

書類審査（資格や検定取得実績等に基づく任意の様式の自己推薦書、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。

・配点（20 点）

審査項目	配点
自己推薦書	10 点
調査書	10 点
合計	20 点

・評価観点

自己推薦書

・本学に向いているか（AP 適合性）（10 点）

調査書

・評定平均による基礎学力の評価（10 点）

2 次試験

1） レポート

1 次試験合格者に対して、2 次試験実施に先立ってレポートの課題を知らせる。受験生は、課題について自分の考え方や意見をまとめ、事前に大学所定の用紙に記述して提出する。（1,000 字程度）

2）発表とディスカッション（60 分）

5 人程度のグループに分け、1 人 5 分程度でレポートの課題について発表し、全員の発表に基づき、ディスカッションを行う。

3）面接（1 人 20 分）

エントリーシート、レポートを基に面接を行う。面接は、学校側 2 人、受験生 1 人で行う。

・配点（100 点）

審査項目	配点
レポート	30 点
発表・ディスカッション	30 点
面接	40 点
合計	100 点

・評価観点

レポート

・問題の把握と構成力は適切か（10 点）

・問題に対する考えが論理的に述べられているか（10 点）
・文章表現が適切になされているか（10 点）

発表とディスカッション
・課題の本質をとらえ、簡潔にまとめて表現できるか（10 点）
・自分の意見を相手に分かり易く伝えるコミュニケーション力を備えているか(10 点)
・相手の意見を踏まえて問題を深め、より発展的な考えが述べられるか（10 点）

面接
・理学療法士・作業療法士として、地域社会に貢献しようとする明確な目的意識をもち、勉学に対する意欲を十分に備えているか（10 点）
・活動実績やそれを踏まえた自分の意見を他人に的確に伝えられるような論理的思考力と表現力を身につけているか（10 点）
・十分なコミュニケーション力はもっているか（10 点）
・多様な価値観を受け入れ、旺盛な好奇心、探求心、目的意識や実践力をもっているか（10 点）

・合否判定
1 次試験（20 点）、2 次試験（100 点）を合わせた総合評価（120 点）により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の AP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応
AP と自己推薦入学試験との関係性
（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○			
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○			
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科：8名、作業療法学科5名

３）指定校推薦入学試験

・岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することが確約できる者で、本校が指定する高等学校長が人物・能力・資質・適性等に責任をもって推薦できる者
・調査書の評定平均値が5段階評価において3.5以上の者
・卒業後、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようという強い意志を有する者

実施時期：10月下旬

選考方法：書類審査、面接

・配点（100点）

審査項目	配点
書類審査	40点
面接	60点
合計	100点

面接試験の評価ポイント

・本学への志望動機、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会へ貢献しようとする姿勢をもっているか。
・旺盛な好奇心、探究心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。
・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。
・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

書類審査（調査書・推薦書・入学願書志望理由）、面接において学力の3要素を総合的に判定する。

APと指定校推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○	○	
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○	○	
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 10 名、作業療法学科 5 名

４）推薦入学試験

出願資格は、入学年の 3 月までに高等学校等を卒業見込みで、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上であり，学校長の推薦を受けた者とする。

・岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、出身学校長が、人物・能力・資質・適性等に責任をもって推薦できる者

・調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上の者

・卒業後、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようという強い意志を有する者

実施時期：11 月下旬

選考方法：書類審査、学力試験：小論文、面接

・配点（130 点）

審査項目	配点
書類審査	10 点
小論文	100 点
面接	20 点
合計	130 点

小論文試験（60 分、800 字以内）

志願者がリハビリテーション分野に関連するテーマについて小論文を 800 字以内で書く。

＜小論文課題例＞

・認知症問題と地域のかかわり

・高齢社会とリハビリテーション

・健康寿命の延伸とリハビリテーション

小論文の評価ポイント

・的確な問題提起がなされているか。
・論文構成が適切か。
・自分の考えが論理的に述べられているか。
・正確な文章表現ができているか。

面接試験のポイント

・本学への志望動機、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようとする姿勢をもっているか。
・旺盛な好奇心、探究心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。
・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。
・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

書類審査（調査書・推薦書・入学願書志望理由)、小論文、面接において学力の 3 要素を総合的に判定する。

AP と推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○		
小論文		○	○	○	○
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○		
小論文		○	○	○	○
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 5 名、作業療法学科 3 名

５）一般入学試験

出願資格は、入学資格がある者とする。

実施時期：2 月、3 月で 3 回実施

選考方法：書類審査、学力試験：国語（現代文)、コミュニケーション英語、面接

・配点（230 点）

審査項目	配点

書類審査	10 点
国語（現代文）	100 点
コミュニケーション英語	100 点
面接	20 点
合計	230 点

募集人員：理学療法学科 17 名、作業療法学科 6 名

	理学療法学科	作業療法学科
1 次	6 名	2 名
2 次	7 名	2 名
3 次	4 名	2 名
合計	17 名	6 名

書類審査（調査書・入学願書志望理由）、学力試験：国語（現代文）、コミュニケーション英語、面接において学力の 3 要素を総合的に判定する。

AP と一般入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
学力試験		○			
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
学力試験		○			
面接	○		○	○	○

（4）提出書類

1）AO（アドミッション・オフィス）入学試験

・エントリーシート（自己アピール、取得資格・検定記載）

・入学願書

・調査書

・レポート

・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

・出願資格認定通知書（AO 入試の結果、出願資格が認められた者に発行したもの）

２）自己推薦入学試験
・入学願書
・自己推薦書
※自己推薦に関連する証明書類：資格・検定等証明書
・調査書
・レポート
・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

３）指定校推薦入学試験
・入学願書
・推薦書（出身高等学校長の推薦書）
・調査書

４）推薦入学試験
・入学願書
・推薦書（出身高等学校長の推薦書）
・調査書

５）一般入学試験
・入学願書
・調査書
・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

⑩　取得可能な資格

卒業要件の単位を取得した場合、卒業と同時に理学療法学科では「理学療法学士（専門職）」、作業療法学科では「作業療法学士（専門職）」の学位が授与される。また、学位に加え、国家試験受験資格（理学療法士・作業療法士）が取得できる。

なお、在学中に「キネシオテーピング認定トレーナー」「福祉住環境コーディネーター検定2級・3級」の受験ができる。

資格等の名称	種類	取得条件	職業との関連性
理学療法士	国家資格 理学療法士受験資格取得	卒業要件の単位取得	必須資格
作業療法士	国家資格 作業療法士受験資格取得	卒業要件の単位取得	必須資格

キネシオテーピング認定トレーナー	民間資格 （キネシオテーピング協会）	受験可能 受験資格取得は卒業の必須条件ではない。（希望者のみ）	取得が望ましい
福祉住環境コーディネーター検定2級・3級	民間資格 （東京商工会議所）	受験可能 受験資格取得は卒業の必須条件ではない。（希望者のみ）	取得が望ましい

（資料 13）教育課程と指定規則等との対比表

⑪　実習の具体的計画

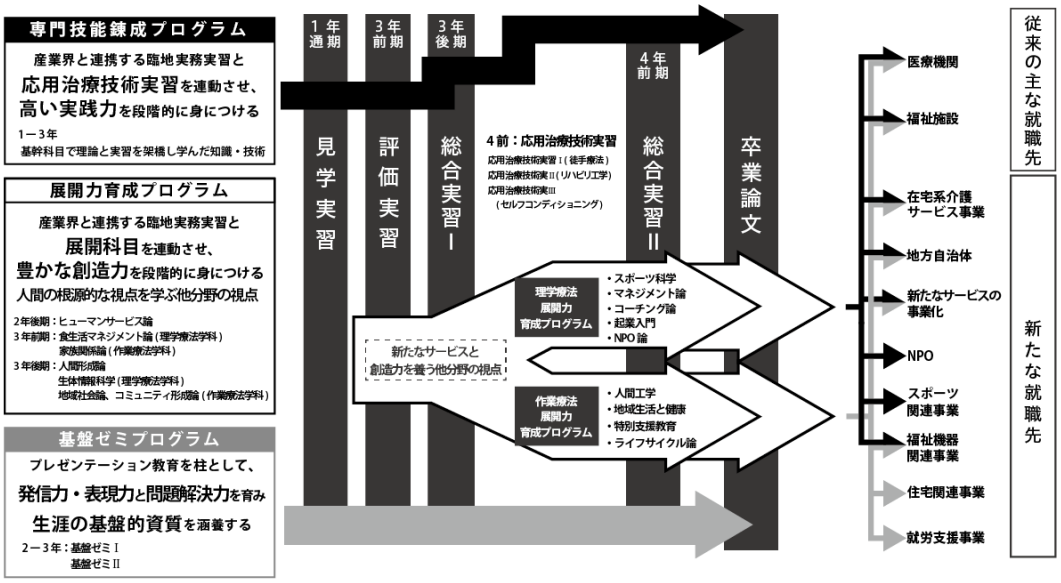
ア．臨地実務実習の目的と実施計画

本学の臨地実務実習は、知識・技術の進度にあわせ段階的にレベルを上げる実習プログラム（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）を整備し、理学療法・作業療法業務を実際に見学し、模倣し、実践するプロセスのなかで、専門職業人としての実践的・応用的・創造的な能力を育成する。同時に、対象者目線に立ち、心を通わせ人を思いやる姿勢を身につけ、専門職業人としての倫理観を培っていく。学内で修得した専門知識と技術を統合し、適切な理学療法・作業療法評価を行い、問題点を抽出し、効果的な治療計画を立案・実施し、治療成果を検証する全行程を実践し、専門職業人として必要な論理的思考力や実践力を高めることを目的とする。

さらに専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、一段高い実践力と豊かな創造力を養うことができるように配意している（図 8）。

臨地実務実習を行うにあたっては、臨地実務実習に関する高い見識と 5 年以上の実務経験を有する実習指導者が在籍する施設と提携し、本学実習委員会（資料 18）と当該実習施設の管理責任者等とが綿密に協議して、実習内容、実習期間、一日あたりの実習時間、主たる実習場所・受け入れ学生数、実習指導者の配置、成績評価の基準及び方法、学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い、実習中の災害補償及び損害賠償責任を記載した実施計画を策定し、その実施計画に基づいて実習を実施する（表 1）。また、臨地実務実習を担当する教員は、毎週定期的に実習施設に連絡し、実習進捗状況の確認を行い、施設への巡回指導を実施して、当該施設における実習の状況を十分に把握する。さらに本学実習委員会は、巡回担当教員をサポートし、臨地実務実習の目的と実習水準が確保できるよう万全の体制を整える。

（図 8）臨地実務実習　科目関連図



（表 1）実習実施計画に関する記載事項

項目	内容
1 実習内容	「設置の趣旨等を記載した書類」 p 63～p 73 の当該実習内容に記載
2 実習期間	「設置の趣旨等を記載した書類」 p 63～p 73、（1）各臨地実務実習の目的・内容・修得する知識・技能・履修指導の概要、（資料 18）実習計画表に記載
3 一日あたりの実習時間	（資料 14）臨地実務実習指導要項（健康科学部理学療法学科） p 31、 （資料 15）臨地実務実習指導要項（健康科学部作業療法学科） p 26 に記載
4 主たる実習場所・受け入れ学生数	添付資料、臨地実務実習施設の概要（別記様式第 7 号の 4（その 3））に記載
5 実習指導者の配置	添付資料、臨地実務実習施設の概要（別記様式第 7 号の 4（その 3））に記載
6 成績評価の基準及び方法	「設置の趣旨等を記載した書類」p 79（4）成績評価体制および単位認定方法に記載
7 学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い	学生に対する報酬はなし。交通費は学生負担とする。
8 実習中の災害補償及び損害賠償責任	「設置の趣旨等を記載した書類」 p 81（1）実習先との契約内容に記載

イ．臨地実務実習の概要

（1）見学実習

1 年次の「見学実習」では、医療現場で理学療法・作業療法業務を見学し、チーム医療の現場を観察する。倫理の重要性を学び、職業的アイデンティティを育み、自己の将来像の基礎を構築し、職業現場で対象者が抱える苦悩や痛みを理解する。また、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを提供するための基盤的資質を育む。

（2）評価実習

3年前期の「評価実習」では、基幹科目で学んだ知識・技術を基に、理学療法士・作業療法士に求められる基本的な対応力・観察力・評価技能・臨床的思考を身につける。また、展開科目から学んだ他分野の知識を活用し、対象者を幅広く捉える視点を生かし、対象者の抱える課題や地域の課題について問題意識を育む。

（3）総合実習Ⅰ

3年後期の「総合実習Ⅰ」では、職業現場において臨床実習指導者の指導のもとで、評価実習の成果と基幹科目で学んだ知識・技術を統合し専門職業人として基盤となる実践力を身につけ、チーム医療の重要性を理解する。また、展開科目から学んだ他分野の知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。

（4）総合実習Ⅱ

4年次の「総合実習Ⅱ」では、これまでの経験を基に、専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムとを組み合わせる効果により、さらに一段高い専門業務を主導できる実践力と豊かな創造力を養う。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と連動し、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、高度な実践力を身につける。また、展開力育成プログラムと有機的に組み合わせ運用することにより、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決について「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービスの革新と新たなサービスを創造する力を涵養し、地域の課題解決に資する豊かな創造力を身につける。

（5）実習参加基準・要件

1）見学実習

特になし。

2）評価実習

2年次までの必修科目、全てを履修していること。

医療面接試験に合格していること。

3）総合実習Ⅰ

2年次までの必修科目、全てを履修していること。

OSCEに合格していること。

4）総合実習Ⅱ

3年次までの必修科目、全てを履修していること。

（6）実習費等について

実習費は学費に含み、宿舎が必要な場合は本学で準備する。移動にかかる交通費は個人負担とする。

ウ．実習先の確保の状況

（1）実習先の確保の状況

(理学療法学科)

臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験5年以上

で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。令和 2 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（65 施設）・評価実習（65 施設）・総合実習Ⅰ（65 施設）・総合実習Ⅱ（65 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 130 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。新指定規則で定められている「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」は、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱで実施する。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。

（作業療法学科）

臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。令和 2 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（46 施設）・評価実習（46 施設）・総合実習Ⅰ（46 施設）・総合実習Ⅱ（46 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 92 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。新指定規則で定められている「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」は、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱで実施する。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、精神科の専門病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。

（資料 14）臨地実務実習指導要項（健康科学部理学療法学科）

（資料 15）臨地実務実習指導要項（健康科学部作業療法学科）

（２）教員の配置並びに巡回指導計画

評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱでは、理学療法士・作業療法士として 5 年以上の臨床経験を持つ専任教員を巡回指導担当および実習担当教員として配置する。教員配置数および巡回指導計画は表 2 の通りである。

臨地実務実習先に県外の施設が含まれているが、広島県東部（福山市）は本学通学圏内で

あり、広島県東部（福山市）の実習施設は岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。その他県外施設として、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県の実習施設が含まれるが、これらの施設では自立支援施設でのリハビリテーション、急性期から在宅まで一貫したリハビリテーション、整形外科分野に特化したリハビリテーション、内部疾患障害に特化したリハビリテーション、対象者の生活場面に則したリハビリテーション、スポーツ分野のリハビリテーション、精神分野のリハビリテーション、医療・介護・福祉の連携したリハビリテーション、小児から成人まで幅広い年齢層に対するリハビリテーション、訪問リハビリテーション、介護領域のリハビリテーション等の経験を行うことが可能であり学生の学修に非常に有益である（資料 2）。また、これらの実習施設は本学の所在地である岡山市から公共交通機関または自家用車で日帰り可能な圏内にあるため、速やかに巡回指導を行うことが可能である。（資料 16, 17）

（資料 16）実習計画表

（資料 17）施設別巡回指導計画

巡回指導教員は、毎週 1 回実習施設へ電話連絡を行い、実習実施計画に基づき、学生の実習進捗状況を確認する。巡回担当教員は、確認事項を実習担当教員を経て、実習委員会に報告し、実習委員会から必要な指示を得て、評価実習では実習 1〜3 週目に、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱでは実習 3〜6 週目に、全施設の巡回指導を実施する。

巡回指導の結果は実習担当教員及び実習委員会へ報告し、実習状況について各学科内で情報共有を図る。

巡回指導担当施設は、理学療法学科 5〜6 施設以下、作業療法学科 5〜7 施設以下とし、個別指導を徹底する。

見学実習においても必要に応じ、理学療法士・作業療法士資格をもつ専任教員を巡回指導担当として配置する（資料 17）。巡回指導教員は移動手段として公共交通機関・自動車を利用する。

エ. 実習水準の確保の方策

毎年実習前に実習施設の実習指導者と本学教員合同の臨地実務実習指導者連絡会議を開催し、臨地実務実習実施計画に基づき、実習内容と到達水準についての共通認識を形成し、効果的な指導者の関わり方、思考力と実践力を高める指導方法、学生の学習環境の調整、実習成績項目改善点アンケートの結果等について協議を行い、本学教員と実習指導者が連携して密度の高い実習を実施する体制を整備する。併せて実習指導者と大学教員双方における教育レベルの向上を図る FD 研修を行うことで、実習水準を確保する指導体制を整える。

また、学生へのきめ細かい指導を大学が責任もって行うために、実習委員会は実習実施状況を統括的に把握するとともに、実習全般に関わる事項を審議し、調整を行う。

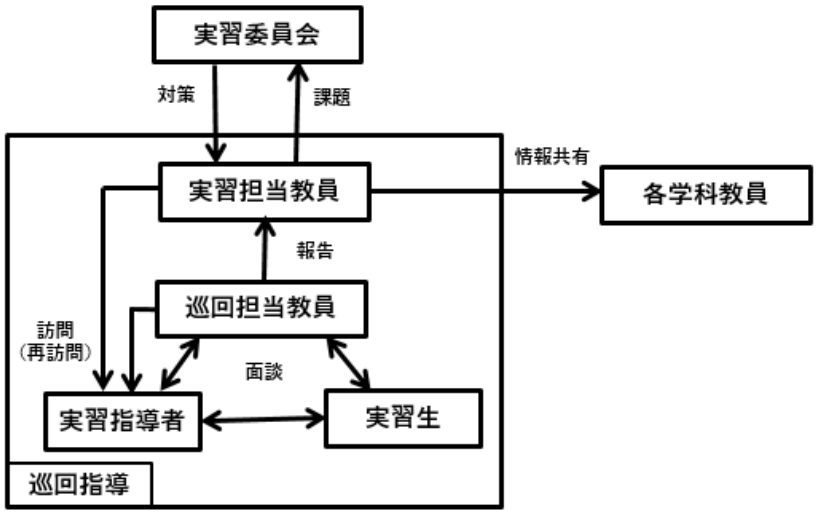
実習開始後、巡回担当教員は、毎週 1 回の実習施設への電話連絡で実習状況の確認を行い、確認事項は実習担当教員を経て、実習委員会に報告する。実習委員会は実習進捗状況を把握し、巡回指導の方針と内容について必要な指示を行う。実習委員会の指示に基づき、巡回担当教員は全施設の巡回指導を実施する。

巡回時に、実習指導者を交えて学生と面談し、学生の実習遂行水準について確認するとともに、学生自身の課題についての指導を行い、その後の学習への示唆を与える。また、実習指導者と指導方法についての協議・調整を行い緊密な連携を図り実習水準を確保する。

巡回担当教員は、巡回指導の結果を実習担当教員を経て、実習委員会へ報告し、各学科内の情報共有を図る。実習水準維持に関する課題が判明した場合は、速やかに実習委員会で協議し、対応策を決定する。そして実習担当教員がただちに実習施設を訪問し、実習水準を確保するよう指導を徹底する。

（資料 18）実習委員会規程

（図 9）巡回指導、学内体制



（１）各臨地実務実習の目的・内容、修得する知識・技能、履修指導の概要

（理学療法学科）

１）見学実習（1 年前・後期、1 単位）

【目的】

実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。

【内容】

6 日間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもと、臨床現場で対象者に行う理学療法、関連職種との連携場面を見学する。また、実際に対象者と接することで責任ある態度と医療現場で臨機応変に対応する重要性を認識する。

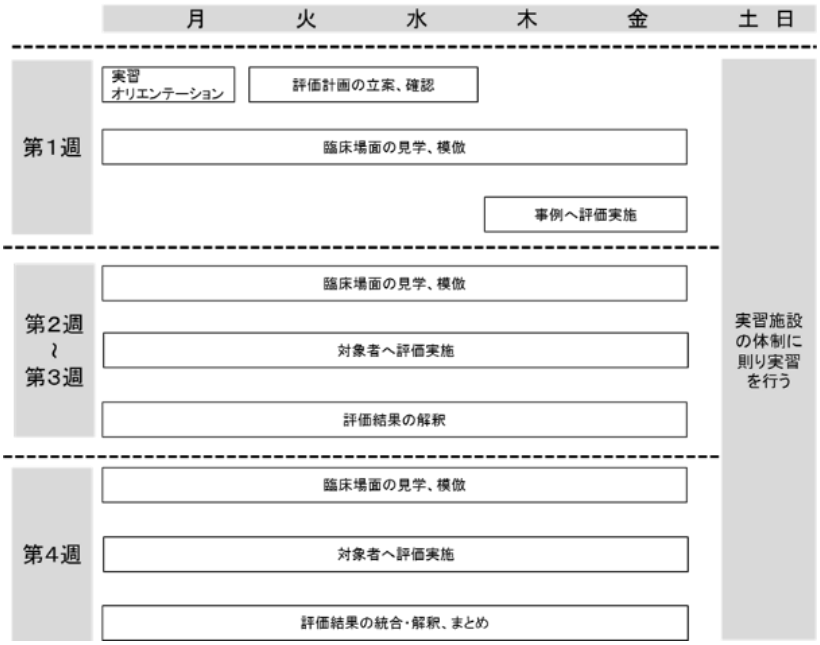
【修得する知識・技能】

1. 倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。
2. 対象者の苦悩を知り、対象者目線に立った誠意ある態度を学ぶ。
3. 臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題

を発見する。
4. 関連職種との関わりを理解する。
【履修指導の概要】
実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化する。また、初めて実際の職業現場での実習であるため、医療従事者としての倫理や各施設での理学療法士の役割や関連職種との関わりについて事前に指導する。実習終了後には、見学・体験した内容についてのプレゼンテーションを課す。

２）評価実習（3 年前期、3 単位）
【目的】
基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
【内容】
4 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで理学療法を見学・模倣し、対象者に対し評価（検査・測定）を実施し、その結果の解釈を行う。
さらに、関連職種との連携を見学・体験することにより多職種連携の重要性を学ぶとともに、他分野の視点を活用して対象者を取り巻く種々の環境を考察し、「気づき」を得る。
【修得する知識・技能】
1. 対象者の苦悩を知り、対象者目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。
2. 臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。
3. 対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。
4. 実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。
5. チーム医療における理学療法士の役割を理解する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。
【履修指導の概要】
実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化する。また、展開科目の履修内容を確認させ、他分野からの視点をもつことの重要性について指導する。実習実施中には、担当専任教員が実習施設を訪問し、指導する。実習終了後には、評価結果に基づき、統合解釈および事後分析により評価実習を総括するとともに、対象者や地域における課題について、問題意識を明確にし、「気づき」をまとめるよう指導する。そして学生にまとめのプレゼンテーションを行わせる。

（図 10）評価実習の流れ



３）総合実習Ⅰ（3 年後期、8 単位）

【目的】

基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。

【内容】

9 週間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもとで、対象者に対して、評価を実施し、その結果から統合と解釈、治療計画の立案を行い、対象者への理学療法治療および指導を実践する。

さらに、関連職種との連携を見学・体験・実施することで多職種連携の重要性の理解を深め、あわせて他分野の視点を活用して対象者を取り巻く課題への「気づき」を育て、問題を特定化していく。

【修得する知識・技能】

1. 基本的な理学療法評価技術を修得する。
2. 理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。
3. 対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。
5. 関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【履修指導の概要】

実習前オリエンテーションにおいて、アンケートを実施し実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。また、展開科目の履修内容で重要な視点を再確認し、他分野からの視点について問題意識をもって活用することが重要である点を徹底する。実習中は、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して実習内容と水準を徹底する。実習後には、対象者の評価結果を分析し統合解釈するとともに、実践を振り返り、自己の課題と「気づき」についてプレゼンテーションを実施し、学生相互が他者の視点や地域特性等からの多様な「気づき」を得て自らの「気づき」を育て、問題を特定化できるよう指導する。

（図 11）総合実習Ⅰの流れ



４）総合実習Ⅱ（4 年前期、8 単位）

【目的】

実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。

また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。

専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。

【内容】

9 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで、対象者に対して、情報収集・評価を実施し、その結果から統合と解釈を行い、対象者への理学療法治療および指導の実践を繰り返す。また、理学療法治療における理論と実践の統合を行うことで応用力を練磨する。

さらに、関連職種との連携を体験し、理学療法士の役割と責任を分担し実施することで、多職種連携とコミュニケーション能力の重要性を理解し、また他分野からの視点を活用して、対象者を取り巻く変化・課題について「気づき」を深め、解決策の提案につなげていく。

【修得する知識・技能】

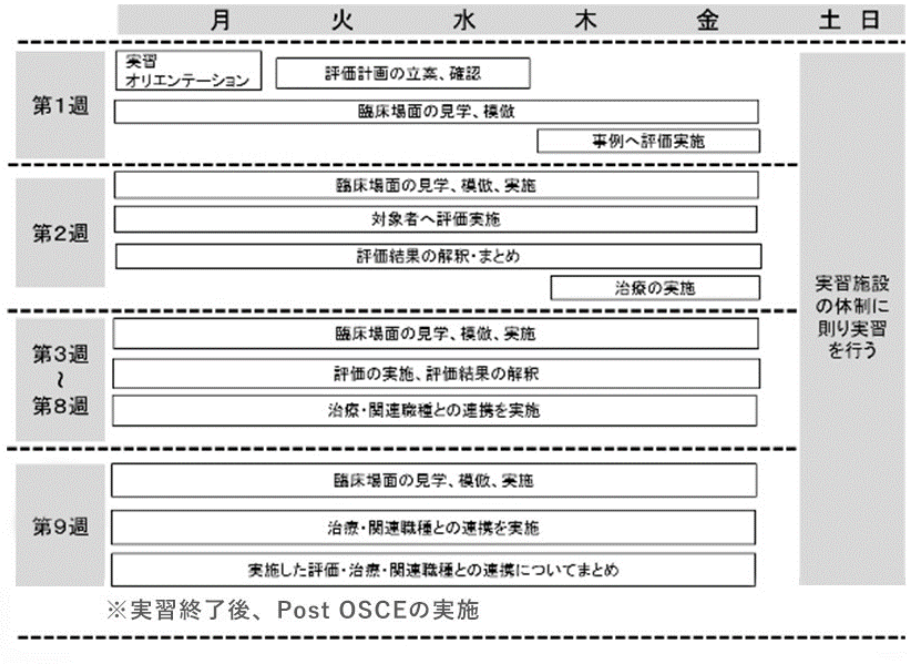
1. 諸種の理学療法評価技術を修得する。
2. 理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。
3. 対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。
5. 対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。
6. チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
7. 対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【履修指導の概要】

実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。応用治療技術実習で学んだ応用力を活かすことが専門技術の深い理解と応用力につながることについて指導を徹底する。また、サービス革新モデルと地域活性化モデルを効果的に活用し、他分野からの視点を十分に生かして、「気づき」を深め、アイディアの創造と新たなサービスの創造につなげていけるよう指導する。

実習期間中には、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して、実習水準と内容が適切に実施されるよう指導する。実習終了後には、応用治療技術実習で学んだ応用力が総合実習に与えた効果を評価し、対象者の実践で生じた変化や自身の課題を整理し、理学療法探究の奥深さと自主的に課題をもって研鑽することの重要性が理解できるよう指導する。また、対象者の課題や地域の課題を踏まえ、自己の研究課題を特定化し、「気づき」を掘り下げるよう指導し、プレゼンテーションを実施する。そして学生が他者の視点や地域特性等の観点から得た多様な「気づき」を参考にしつつ、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へつなげていく準備を整えるよう指導する。

（図 12）総合実習Ⅱの流れ



（作業療法学科）

1）見学実習（1 年前・後期、1 単位）

【目的】

実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。

【内容】

6 日間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもと、臨床現場で対象者に行う作業療法、関連職種との連携場面を見学する。また、実際に対象者と接することで責任ある態度と医療現場で臨機応変に対応する重要性を認識する。

【修得する知識・技能】

1. 倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。
2. 対象者の苦悩を知り、対象者目線に立った誠意ある態度を学ぶ。
3. 臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。
4. 関連職種との関わりを理解する。

【履修指導の概要】

実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化する。また、初めて実際の職業現場での実習であるため、医療従事者としての倫理や各施設での作業療法士の役割や関連職種と関わりについて事前に指導する。実習終了後に、見学・体験した内容についてのプレゼンテーションを課

す。

２）評価実習（3 年前期、3 単位）

【目的】

基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。

【内容】

4 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで作業療法を見学・模倣し、対象者に対し評価（検査・測定）を実施し、その結果の解釈を行う。

さらに、関連職種との連携を見学・体験することにより多職種連携の重要性を学ぶとともに、他分野の視点を活用して対象者を取り巻く種々の環境を考察し、気づきを得る。

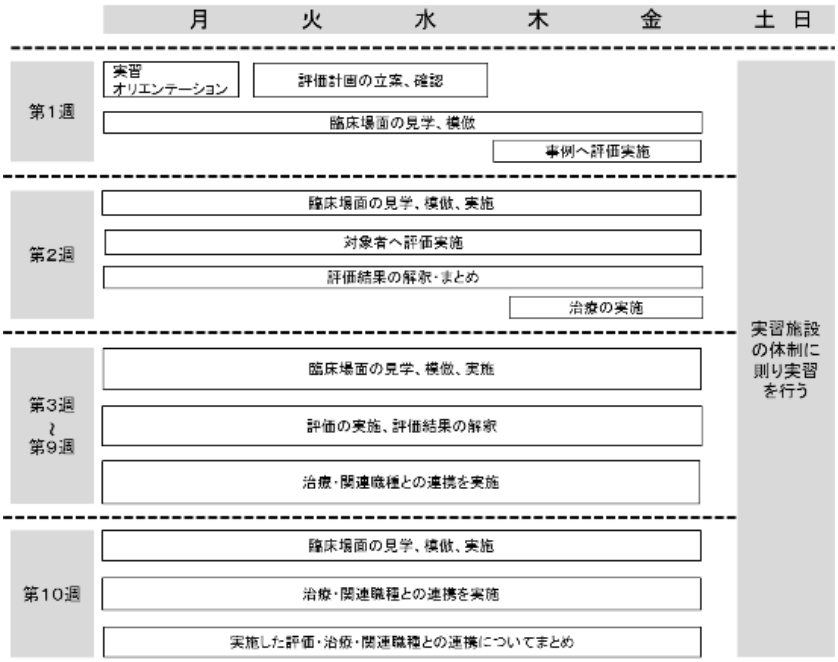
【修得する知識・技能】

1. 対象者の苦悩を知り、対象者目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。
2. 臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。
3. 対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。
4. 実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。
5. チーム医療における作業療法士の役割を理解する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【履修指導の概要】

実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化する。また、展開科目の履修内容を確認させ、他分野からの視点をもつことの重要性について指導する。実習実施中には、担当専任教員が実習施設を訪問し、指導する。実習終了後には、評価結果に基づき、統合解釈および事後分析により評価実習を総括するとともに、対象者や地域における課題について、問題意識を明確にし、「気づき」をまとめるよう指導する。そして学生にまとめのプレゼンテーションを行わせる。

（図 13）評価実習の流れ



3）総合実習Ⅰ（3 年後期、9 単位）

【目的】

基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。

【内容】

10 週間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもとで、対象者に対して、評価を実施し、その結果から統合と解釈、治療計画の立案を行い、対象者への作業療法治療および指導を実践する。

さらに、関連職種との連携を見学・体験・実施することで多職種連携の重要性の理解を深め、あわせてとライフマネジメントの視点を活用して対象者を取り巻く課題への「気づき」を育て問題を特定化していく。

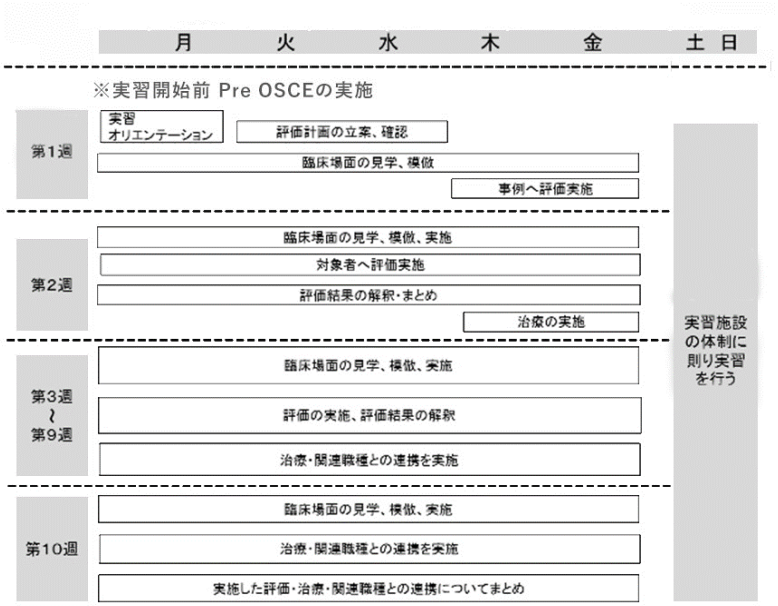
【修得する知識・技能】

1. 基本的な作業療法評価技術を修得する。
2. 作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。
3. 対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。
5. 関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【履修指導の概要】

実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。また、展開科目の履修内容で重要な視点を再確認し、他分野からの視点について問題意識をもって活用することが重要である点を徹底する。実習中は、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して実習内容と水準を徹底する。実習後には、対象者の評価結果を分析し統合解釈するとともに、実践を振り返り、自己の課題と「気づき」についてプレゼンテーションを行わせ、学生相互が他者の視点や地域特性等からの多様な「気づき」を得て自らの「気づき」を育て、問題を特定化できるよう指導する。

（図 14）総合実習Ⅰの流れ



４）総合実習Ⅱ（4 年前期、9 単位）

【目的】

実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。

また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。

専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムの他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。

【内容】

10 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで、対象者に対して、情報収集・評価を実施し、その結果から統合と解釈を行い、対象者への作業療法治療および指導の実践を繰り返す。また、作業療法治療における理論と実践の統合を行うことで応用力を練磨する。

さらに、関連職種との連携を体験し、作業療法士の役割と責任を分担し実施することで、多職種連携とコミュニケーション能力の重要性を理解し、他分野の視点を活用して、対象者を取り巻く変化・課題について「気づき」を深め、解決策の提案につなげていく。

【修得する知識・技能】

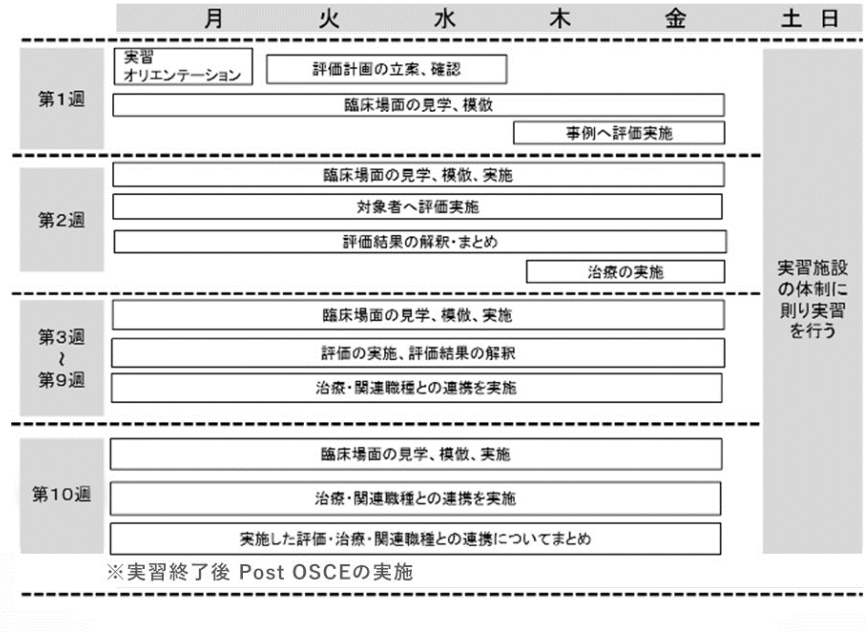
1. 諸種の作業療法評価技術を修得する。
2. 作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。
3. 対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。
5. 対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。
6. チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
7. 対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【履修指導の概要】

実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。応用治療技術実習で学んだ応用力を活かすことが専門技術の深い理解と応用力につながることについて指導を徹底する。また、展開力育成プログラムの他分野からの視点を十分に生かして、「気づき」を深め、アイディアの創造と新たなサービスの創造につなげていけるよう指導する。

実習期間中には、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して、実習水準と内容が適切に実施されるよう指導する。実習終了後には、応用治療技術実習で学んだ応用力が総合実習に与えた効果を評価し、対象者の実践で生じた変化や自身の課題を整理し、作業療法探究の奥深さと自主的に課題をもって研鑽することの重要性が理解できるよう指導する。また、対象者の課題や地域の課題を踏まえ、自己の研究課題を特定化し、「気づき」を掘り下げるよう指導し、プレゼンテーションを行わせる。そして学生が他者の視点や地域特性等の観点から得た多様な「気づき」を参考にしつつ、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へつなげていく準備を整えるよう指導する。

（図 15）総合実習Ⅱの流れ



（2）実習前・実習中・実習後における指導計画

1）実習前教育

実習委員会は実習前アンケートを作成し、実習前オリエンテーションでアンケートを実施して、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。

見学実習では、①理学療法・作業療法業務について、②対象者が抱える苦悩や痛みについて、③職業人としての責任ある態度について、④関連職種との関わりについて、学生の意識を調査する。

評価実習では、①対象者が抱える苦悩や痛みについて、②理学療法・作業療法評価について、③評価結果の統合解釈について、④チーム医療における理学療法士・作業療法士の役割について、⑤対象者を取り巻く環境および制度について、学生の意識を調査する。

総合実習Ⅰでは、①理学・作業療法臨床思考過程について、②チーム医療における理学療法士・作業療法士の役割について、③治療計画について、④対象者を取り巻く環境および制度について、学生の意識を調査する。

総合実習Ⅱでは、①治療計画について、②応用治療技術実習の活用について、③他分野からの視点について、④チーム医療における理学療法士・作業療法士の役割について、④対象者を取り巻く環境および制度の課題解決について、学生の意識調査を行う。

実習委員会は、各実習について調査結果をまとめ、実習担当教員はそれに基づいて各実習の目的と注意点を学生に周知させる。その上で、実習担当教員と巡回担当教員は、各実習の主要ポイントをまとめたシートを配布し、実習目標を達成できるよう指導を徹底し、個別指導を行って万全の事前準備を行う。

また、臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、対象者に対面し、コミュニケーションを図りながら検査・測定を実施する「評価実習」の前に医療面

接試験を実施し、対象者に直接かかわり理学・作業療法評価、治療・訓練を行う最初の実習である「総合実習Ⅰ」の前にPre OSCEを実施する。

a　評価実習前の医療面接試験

「評価実習」は初めて臨床現場で対象者に対面し、コミュニケーションを図りながら検査・測定を実施する実習であるため、「評価実習」の前に、「評価実習」の遂行に必要な、対象者に接する時の基本的な態度やコミュニケーション能力及び評価実習の遂行に必要な知識と技術の有無を確認する必要があり、以下の条件を満たす者を「評価実習」の実施対象者とする。

①対象者に接するための基本的な態度、コミュニケーション能力を評価するために「医療面接試験」を実施し、その評価は所定の評価表（資料29－1）に基づいて行う。10点満点の5点以上を合格とする。

②実習の遂行に必要な理学療法検査・測定、作業療法検査・測定に関する知識、技能の担保については、理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、理学療法評価学実習Ⅰ・Ⅱ、作業療法評価学、作業療法評価学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの全てに合格している者とする。

「医療面接試験」は、理学療法学科（80名）では8ブースで、作業療法学科（40名）では4ブースで実施する。各ブースには、模擬患者1名、教員評価者1名を配置する。学生は1名ずつ順次各ブースにて医療面接試験を受ける。試験時間は、学生1名に対し8分とし、医療面接試験評価表に従って実施する。

b　総合実習Ⅰ前のPre OSCE

・OSCEの実施要領

【理学療法学科及び作業療法学科】

「OSCE検討会議」の設置

OSCEを円滑に実施するために、OSCE検討会議を設置する。

構成員は、各学科長と臨地実務実習（総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ）の担当教員とする。

会議は、Pre OSCE及びPost OSCEの開始2か月前から3回程度開催し、協議事項等を確認し円滑な実施を図る。

協議事項

①OSCE実施計画の策定について

②OSCEの評価項目、評価方法及び評価基準について

③外部評価者への説明会の開催について

④その他OSCEの実施にあたり必要となる事項について

・Pre OSCE

「総合実習Ⅰ」「総合実習Ⅱ」は、「職業専門科目」で学んだ専門知識と技術を基礎とし、臨床現場で対象者への検査・測定の実施、治療計画の立案・実施という理学療法・作業療法の全過程を本格的に実践する実習である。そのため、理学療法・作業療法の基本的評価技能・訓練技能・態度を備えているかを「総合実習Ⅰ」の実習前にPre OSCEで評価することで「総

合実習Ⅰ」へ参加する技能水準を担保する。
「患者基本情報」と「評価課題」については、試験一週間前に公表する。

【理学療法学科】

1）対象と実施時期

3年生（80名）を対象として、グループ1（40名）とグループ2（40名）に分けて、1日5ステーションずつ2日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅰ」の実習前の11月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料29-6）

評価課題は10課題であり、1評価課題に対して1ステーションを設け、合計10ステーションを配置する。1日目に5ステーションを、2日目に5ステーションをローテーションする。両日とも、グループ1とグループ2で同時に開始する。

学生は控室から1名ずつ、ステーション1からステーション5までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション1を終了したらステーション2へ移動し、次の学生がステーション1を開始する。以下これを繰り返す。

2日目も同様のスケジュールで実施する。

各ステーションでの評価時間は5分、移動時間は1分とする。

3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料29-6）

各ステーションは、学生1名に対し、評価者2名（教員評価者1名、外部評価者1名）、模擬患者1名及びタイムキーパー1名、学生誘導役1名で構成される。なお、評価者のうち1名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

4）評価課題

以下の10評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、形態測定、DTR、BRS、感覚検査、ROM-ex、筋力増強ex。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料29－2)。

①各評価課題で、「目的に応じて正確に実施できたか」「時間内に実施できたか」の2点について「可（問題なし）2点」、「可（少しの助言が必要）1点」、「不可0点」で評価し、10評価課題21項目の42点満点で評価する。

②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。

6）学生配置表（資料29-6）

【作業療法学科】

1）対象と実施時期

3年生（40名）を対象として、2日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅰ」の実習前の11月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料 29-6）

評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設けるため、合計 10 ステーションを設ける。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。

学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。

2 日目も同様のスケジュールで実施する。

各ステーションでの評価時間は 5 分、移動時間は 1 分とする。

3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料 29-6）

各ステーションは、学生 1 名に対し、評価者 2 名（教員評価者 1 名、外部評価者 1 名）、模擬患者 1 名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役 1 名で構成される。なお、評価者のうち 1 名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

4）評価課題

以下の 10 評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、DTR、BRS、感覚検査、認知機能検査、更衣動作 ex、整容動作 ex。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 29-3）。

①各評価課題で、目的に応じて正確に実施できたか、時間内に実施できたか、の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題 21 項目の 42 点満点で評価する。

②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。

6）学生配置表（資料 29-6）

２）実習中教育（実習施設との連携）

巡回担当教員は、実習開始後、電話連絡で実習状況の確認を行う。実習委員会は、確認事項を総括し、巡回指導のポイントを整理する。指導ポイントに基づき、巡回担当教員が全施設の巡回指導を実施する。巡回時に実習指導者を交えて学生と面談し、学生の実習水準、課題の達成状況について確認を行い、学生の研究課題への取り組みについての指導を行い、その後の学習への示唆を与える。また、実習指導者と指導方法についての協議・調整を行い連携を強化する。必要に応じて再度実習施設を訪問し、万全の体制で実習目的が達成されるよう巡回指導を徹底する。巡回指導の結果は、実習担当教員を経て、実習委員会に報告し、実習委員会は実習達成状況を評価する。評価の結果を実習施設にフィードバックし、緊密な連携体制を構築する。

３）実習後評価教育

巡回担当教員は、大学が目標とする実習内容が行われたかどうか、目標の達成度を確認するため個別面談を実施する。また実習担当教員は、各学生が実習で体験・実践した評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法・作業療法過程、関連職種との情報交換についてプレゼンテーションを行う機会を設定する。学生はプレゼンテーションを行うことで自身の実習内容を振り返り、対象者の実践で生じた変化や自身の研究課題を整理し、自身の課題を特定化し、「気づき」を掘り下げる。また他者のプレゼンテーションを聞くことで、他者の経験と自己の経験を比較評価し、自らの視点や地域特性の観点から得た多様な「気づき」を活用して、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へと繋げていけるよう指導する。

実習終了後に実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法・作業療法内容の発表を行わせ評価する。また、実習後における能力の到達度を確認するため、各学科で次のとおりの試験を行う。

・Post OSCE

「総合実習Ⅱ」の実習終了後にPost OSCEを実施することで、「総合実習Ⅰ」と「総合実習Ⅱ」を通じての学修内容の向上を評価する。学習内容の向上を評価するために、「患者基本情報」と「評価課題」を公表する。「患者基本情報」につては、Pre OSCEとPost OSCEでは試験一週間前に公表するが、「評価課題」については、Pre OSCE では試験一週間前に公表するのに対して、Post OSCEでは「総合実習Ⅰ」と「総合実習Ⅱ」を通じての技能スキルの向上度、現場での対応力を評価するため、試験当日に公表する。

【理学療法学科】

1）対象と実施時期

3年生（80名）を対象として、グループ1（40名）とグループ2（40名）に分けて、1日5ステーションずつ2日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅱ」の実習後の9月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料29-6）

評価課題は10課題であり、1評価課題に対して1ステーションを設けるため、合計10ステーションを設ける。1日目に5ステーションを、2日目に5ステーションをローテーションする。両日とも、グループ1とグループ2で同時に開始する。

学生は控室から1名ずつ、ステーション1からステーション5までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション1を終了したらステーション2へ移動し、次の学生がステーション1を開始する。以下これを繰り返す。

2日目も同様のスケジュールで実施する。

各ステーションでの評価時間は5分、移動時間は1分とする。

3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料29-6）

各ステーションは、学生1名に対し、評価者2名（教員評価者1名、外部評価者1名）、模擬患者1名及びタイムキーパー1名、学生誘導役1名で構成される。なお、評価者のうち1名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

4）評価課題

以下の10評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、形態測定、DTR、BRS、感覚検査、ROM-ex、筋

力増強 ex。

Post OSCE はPre OSCE と同一課題・項目にて実施し評価する。同一課題・項目にて実施、評価を行うことで、総合実習Ⅰと総合実習Ⅱを通じての学修度の向上を判断することが出来るためである。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 29-4）。

①各評価課題で、「目的に応じて正確に実施できたか」「時間内に実施できたか」の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題 21 項目の 42 点満点で評価する。

②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。

6）学生配置表（資料 29-6）

【作業療法学科】

1）対象と実施時期

3 年生（40 名）を対象として、2 日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅱ」の実習後の 9 月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料 29-6）

評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設けるため、合計 10 ステーションを設ける。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。

学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。

2 日目も同様のスケジュールで実施する。

各ステーションでの評価時間は 5 分、移動時間は 1 分とする。

3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料 29-6）

各ステーションは、学生 1 名に対し、評価者 2 名（教員評価者 1 名、外部評価者 1 名）、模擬患者 1 名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役 1 名で構成される。なお、評価者のうち 1 名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

4）評価課題

以下の 10 評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、DTR、BRS、感覚検査、認知機能検査、更衣動作 ex、整容動作 ex。

Post OSCE はPre OSCE と同一課題・項目にて実施し評価する。同一課題・項目にて実施、評価を行うことで、総合実習Ⅰと総合実習Ⅱを通じての学修度の向上を判断することが出来るためである。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 29-5）。

①各評価課題で、目的に応じて正確に実施できたか、時間内に実施できたか、の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題 21 項目の 42 点満点で評価する。

②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。

6）学生配置表（資料 29-6）

実習委員会は、OSCE の評価を踏まえ学生の実習成果と課題を総括し、各学科で情報を共有するとともに、次年度実習実施計画の立案に生かす。

（３）実習施設における指導者の配置計画

実習先での実習水準を確保するために、臨床経験 5 年以上の有資格者である臨床実習指導者が在籍する施設に対して実習契約を結ぶ。また、実習指導者の更なる指導水準の向上に取り組むため、日本理学療法士協会・日本作業療法士協会主催の臨床実習指導者研修会などの研修会について情報を実習指導者に提供し、積極的な参加を促す。

（４）成績評価体制および単位認定方法

成績評価体制及び単位認定方法は、実習指導教員による巡回指導時のルーブリック評価、実習後実習実施報告会での発表、実習指導者による各実習施設における実習状況の科目担当者による評価に基づき、臨地実務実習判定会議で総合的に成績を評価する。

なお、単位認定は、教授会で行う。

１）見学実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準を、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。

・実習実施報告会での発表（50%）

・レポート（50%）

２）評価実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）

・実習課題の実施状況

・実習実施報告会での発表

３）総合実習Ⅰの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。
・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）
・実習課題の実施状況
・実習実施報告会での発表
４）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。
成績評価は、以下の 4 項目を総合して判定する。
・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）
・実習課題の実施状況
・実習実施報告会での発表
・OSCE
（資料 19）岡山医療専門職大学授業科目履修規程

オ．実習先との連携体制
評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱでは実習施設の実習指導者と本学教員合同の臨地実務実習指導者連絡会議を年 1 回開催（８月）する。実習内容と水準、効果的な指導者の関わり方、思考力と実践力を高める指導方法、学生の学習環境の調整について協議するとともに、実習成績項目の改善点についてアンケートを行い、実習要項等について合意を得る。また、実習スケジュール、実習期間中の問題発生時の対策、事故などの緊急時対応について確認を行う。
巡回指導については、巡回時の指導結果を巡回担当教員を経て、実習委員会に報告し、実習委員会は達成状況を評価する。評価の結果を実習施設にフィードバックし、緊密な連携体制を構築する。

（理学療法学科）
各実習は、学生がリハビリテーションチームに参加し、その一員として診療業務を補助しながら理学療法士の職業的な知識・思考法・技能・態度を学ぶ臨床参加型実習を基本とし、実習指導者は臨床経験 5 年以上の理学療法士とする。また、実際の実習にあたっては、理学療法士免許をもつ専任教員が各実習施設へ巡回し、実施状況の把握と各実習施設との連絡調整にあたる。
見学実習では電話連絡によって実習状況の確認を行う。必要に応じて実習施設への訪問を行い、適宜調整を図る。
実習期間中の緊急連絡先として学科携帯電話番号を実習指導者へ通知し、学科実習担当者が緊急時の対応を行う。
臨地実務実習施設に適合する施設に関しては、既設校で培ってきた経験と臨地実務実習施設との良好な関係性を生かしつつ、学内組織や教員による指導体制を充実し、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設との連携体制と研修体制を発展的に継続していく。

また、臨地実務実習指導者連絡会議を開催し、併せて実習指導者と大学教員双方における教育レベルの向上に取り組むための FD 研修を行う。

（作業療法学科）

各実習は、学生がリハビリテーションチームに参加し、その一員として診療業務を補助しながら作業療法士の職業的な知識・思考法・技能・態度を学ぶ臨床参加型実習を基本とし、実習指導者は臨床経験 5 年以上の作業療法士とする。また、実際の実習にあたっては、作業療法士免許をもつ専任教員が各実習施設へ巡回し、実施状況の把握と各実習施設との連絡調整にあたる。

見学実習では電話連絡にて実習状況の確認を行う。必要に応じて実習施設への訪問を行い、適宜調整を図る。

実習期間中の緊急連絡先として学科携帯電話番号を実習指導者へ通知し、学科実習担当者が緊急時の対応を行う。

臨地実務実習施設に関しては、既設校で培ってきた経験と臨地実務実習施設との良好な関係性を生かしつつ、学内組織や教員による指導体制を充実し、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設との連携体制と研修体制を発展的に継続していく。

また、臨地実務実習指導者連絡会議を開催し、併せて実習指導者と大学教員双方における教育レベルの向上に取り組むための FD 研修を行う。

カ．その他

（１）実習先との契約内容

実習開始にあたっては、本学と病院・施設との間で実習計画、実習期間、実習費、個人情報保護、機密情報保護、実習中の事故およびその損害賠償、予防接種等を盛り込んだ覚書等を取り交わす。危機管理に関しては、実習中の事故、個人情報の漏えい、ハラスメント等について、その防止および発生時の連絡経路、対策等を記載したマニュアルを作成して、実習施設と指導教員、学生に配布し、管理体制を整備する。加えて入学時に全員が PT・OT（理学療法士・作業療法士）等養成校総合補償制度へ加入し、想定される事故等へ可能な限り対応できる体制を整備する。

（２）実習前の準備状況（感染予防対策・保険等の加入状況）

学生の臨地実務実習に際して、事前準備として、次のとおり体制を整える。学生の健康管理については、全学年対象に年一回の定期健康診断を受診させ、学生の健康状況を把握し、必要により個別の健康相談等を行う。また、全員が PT・OT（理学療法士・作業療法士）等養成校総合補償制度へ加入する。

その他、感染症対策として 1 年次に B 型肝炎、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、帯状ヘルペスウイルスの抗体検査を実施する。抗体検査で陰性（－）、擬陰性（－）と判定された場合は 1～2 年次にかけてワクチン接種を行う。

⑫　管理運営

１．教授会

教授会は、専任の教授、准教授、講師、助教をもって構成し、次の重要事項について審議を行う。ただし、その他の教育職員も出席させることができる。また本山学園の理事は随時、教授会に出席して意見を述べることができる。

（１）教授会の運営に関する事項
（２）教育課程の編成、変更、実施および講義・実習担当に関する事項
（３）各種委員会に関する事項
（４）学則に関する事項
（５）学生の入学、転入学、編入学、科目履修、聴講、退学、休学、進級、留学、再入学、復学、転籍、除籍および卒業に関する事項
（６）学生の試験に関する事項
（７）学生の賞罰に関する事項
（８）学生活動、学生生活等に関する事項
（９）本規程の改廃に関する事項
（10）その他大学運営上重要な事項

なお、審議事項のうち、学校間の調整の必要がある場合は、学務会議に付託する。

教授会は、学長が招集し、議長となる。定例教授会を月１回開催するほか、必要に応じ臨時に開催することとする。学長不在の場合は、学部長がこれに代わる。

（資料 20）教授会規程（案）

２．運営評議会

運営評議会は、学長、学部長、学科長および大学事務局長をもって構成し、次の教学に関する重要事項について審議する。ただし、必要と認めた場合は、他の教職員を出席させ、意見を求めることができる。

（１）運営評議会の運営に関する事項
（２）学部・学科運営に関する事項
（３）教務に関する事項
（４）学生指導に関する事項
（５）学生の身分に関する事項
（６）各種委員会に関する事項
（７）教職員に関する事項
（８）教学関連規程（学則を含む）の改廃に関する事項
（９）教育課程連携協議会に関する事項
（10）その他教学に関する大学運営上重要な事項

2　前項に掲げる審議事項のうち、学校間の調整の必要がある場合は、学務会議に付託する。

運営評議会は、学長が招集し、議長となる。議長が出席できない場合は、学部長がこれに

代わる。定例運営評議会を月２回開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとする。
（資料 21）運営評議会規程

⑬　自己点検・評価

１．実施体制

本学の教育研究上の理念を達成するためには、医療・福祉を取り巻く環境の変化や、高度化し複雑化が進むリハビリテーションに関する専門的な知識・技術に適切に対応し、常に教育研究水準の向上に努める必要がある。このため、教育研究の現状について自ら点検と評価を行い、その結果により教育研究活動の改善を図っていく組織として、学長、副理事長、学部長、学科長、大学事務局長、図書館長から構成される「岡山医療専門職大学自己点検・評価委員会（以下「本委員会」という。）」を設置する（資料 23）。

本委員会は、本山学園自己点検・評価委員会（資料 22）が定めた方針に従い、大学が定める「自己点検・評価規程」に基づいて、点検・評価項目を作成・設定し、評価基準を策定するとともに、点検評価の実施体制や実施方法を決定する。

なお、本委員会は、認証評価機関による認証評価に係る業務も担当する。

２．実施方法

本委員会は大学の３つのポリシー（ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）を踏まえ、大学の教育研究の現状について３の評価項目に従って点検・評価を行い、その結果を「岡山医療専門職大学自己点検・評価報告書」（以下「報告書」という。）としてまとめる。報告書は、さらに学校関係者評価委員会による評価を受け、自己点検・評価委員長は評価結果を学長に報告する。学長は「報告書」に評価結果を添えて、理事長・学園長に報告する。

３．評価項目

（１）理念・目的

１）大学の理念・目的、学部・学科の目的、人材育成像

（２）内部質保証

１）大学の方針、体制の整備

２）FD、SD活動

３）教育研究活動

（３）教育研究組織

１）教育研究組織の適切性

（４）教育課程・学習成果

１）学位授与方針（ディプロマポリシー）

２）教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

３）成績評価、単位認定および学位授与

４）教育課程連携協議会

（５）学生の受け入れ

１）学生の受入方針（アドミッションポリシー）
２）入学者選抜、学生募集
３）定員の遵守
（６）教員・教員組織
１）教員組織の編制に関する方針
２）教員組織の編制
（７）学生支援
１）学生支援の方針
２）学生支援体制、学生支援
（８）教育研究等環境
１）教育研究活動に関する方針
２）校舎、校地、教育研究に必要な施設・設備
３）教育研究活動の促進
（９）社会連携・社会貢献
１）社会連携・社会貢献の取組、成果
(10) 大学運営・財務
１）大学運営に関する方針
２）事業計画・予算

４．結果の活用・公表

自己点検・評価の結果に基づき、改善が必要であると認められる事項については、速やかに具体的な対応を講じるものとする。

自己点検・評価結果は、学則第1条第4号および岡山医療専門職大学自己点検・評価規程により、「岡山医療専門職大学自己点検・評価報告書」として本学ホームページ、刊行物および電子媒体等により学内外に公表するものとする。

（資料 22）学校法人本山学園自己点検・評価委員会規程
（資料 23）岡山医療専門職大学自己点検・評価規程

⑭　情報の公表

本学は、教育研究の成果の普及および活用の促進に資するため、その教育研究活動の状況を学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき積極的に公表するものとする。公表方法は、大学ホームページ等への掲載によるものとする。

ア．大学の教育研究上の目的に関すること
イ．教育研究上の基本組織に関すること
ウ．教員組織、教員の数ならびに各教員が有する学位および業績に関すること
エ．入学者に関する受入方針および入学者の数、収容定員および在学する学生の数、卒業した者の数ならびに進学者数および就職者数その他進学および就職等の状況に関すること

オ．授業科目、授業の方法および内容ならびに年間の授業の計画に関すること
カ．学修の成果に係る評価および卒業の認定に当たっての基準に関すること
キ．校地・校舎等の施設および設備その他の学生の教育研究環境に関すること
ク．授業料、入学料、その他の大学が徴収する費用に関すること
ケ．大学が行う学生の修学、進路選択および心身の健康等に係る支援に関すること
コ．その他（教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識および能力に関する情報、学則等、設置認可申請書・設置届出書、設置計画履行状況等報告書、自己点検・評価報告書、認証評価の結果、事業報告、財務情報　等）

⑮　教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

本学は、教育、授業内容および方法の改善を図るために、組織的な研修を実施する。学園全体としての統一研修は、本山学園が設置する学園連絡協議会内で検討され、実施する。学園連絡協議会は、学園長、副理事長、学長および学校長、学部長、教務主任・副主任、法人事務局長、大学事務局長、事務部長、事務長、事務主任で構成される。また、学校単位でも個別研修を行う体制をとっている。大学個別研修は、大学FD委員会で検討し、実施する。大学FD委員会は、学部長、学科長、各学科から推薦された委員各１名、その他、必要と認められる者で構成される。大学FD委員長は学長に対し、実施内容を報告する。

１．FD 研修

教員の教育能力や資質向上を組織的かつ多面的に支援するために次の各号の取組を行う。

（１）理事等法人による授業評価、大学管理職による授業評価
（２）教員相互の授業参観の実施、改善
（３）学生による授業評価アンケート実施と結果報告、改善
（４）FD 研修会の実施
毎月１回教員の授業能力や教育効果を高めるための研修会を実施
統一研修：年間３回程度、外部講師による研修会を実施（テーマ：教育、法律、教学マネジメント、学生の厚生補導など）
（５）教育課程連携協議会
産業界および地域社会との連携による授業科目の開発・開設、教育課程の編成、授業の実施・評価を行う。
（６）初任者研修
教員に必要な素養等に関する指導、初任者の授業を観察しての指導、初任者に授業を参観させての指導などを中心に行う。
（７）通常研修
教員の学習指導力、学生の生活・進路指導等に関する資質向上を図る研修を行う。
（８）公開授業（教員・高校教員・保護者対象）
（９）担任教員と基盤ゼミ担当教員による学生意識の把握
担任は学年単位で、基盤ゼミ担当教員は入学時から卒業まで在学中個人指導にあたる。

担任と基盤ゼミ教員は密に報告・連絡を実施

（10）実習施設へのアンケート実施、授業内容への反映

実習成績項目の改善点アンケートの実施、実習要項等の検討

（11）実習指導者に対する FD 研修の実施（年に 1 回、臨地実務実習指導者連絡会議開催時に実習施設で生じた問題点を解決するための指導者研修会を開催）

２．SD 研修

本学の研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、大学事務職員に必要な知識および技能を習得させ、その能力および資質を向上させるためのスタッフ・ディベロップメント（SD）研修を定期的に行う。

（１）教員と事務職員の連携および協働するための研修

（２）実務やマナー研修などの知識および技能研修

（３）新任職員研修

（資料 24）岡山医療専門職大学 FD 委員会規程

⑯　社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

本学の学生は理学療法士および作業療法士の資格を生かした進路を想定し、入学してくるものと考えられる。医療、保健、福祉、介護などの多様な場で活躍できるよう、学生の志望に沿った進路の指導を行う必要がある。そのため、様々な分野で自立した専門職業人として活躍できるよう必要な資質を身につけ、希望の職種に就職することができるように、入学時から体系的に取り組む体制を整備する。

１．教育課程内の取組について

教育課程内の取り組みとして、次の（１）から（３）のプログラムと 4 年間の学修の集大成として卒業論文作成を体系的に実施する。

（１）本格的なプレゼンテーション教育を導入して、これからの社会人として必須のプレゼンスキルを育む「基盤ゼミプログラム」

（２）理論に裏付けられた深い理解と応用力を錬磨する応用治療技術実習と連動して一段高い実践力を涵養する「専門技能錬成プログラム」

（３）新たなサービスを創造する能力を組織的に鍛える充実した展開科目と連動する「展開力育成プログラム」

「専門技能錬成プログラム」は、理論に裏付けされた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習を組み合わせ、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、より高い実践力を身につける。

「展開力育成プログラム」は、関連する他分野の多様な視点と知識を身につけ、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新と生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身

につける。

理学療法学科では対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを事業化するスキルを身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する科目として、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「食生活マネジメント論」「生体情報科学」「NPO 論」「スポーツ科学」「起業入門」「マネジメント論」「コーチング論」「岡山経営者論」を配置する。

作業療法学科では、対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識と専門技術を駆使して、対象者が住み慣れた地域で自立した生活を実現するために、人の健康と生活にかかわる諸問題を解決する力とライフステージに適した新たなサービスを提供する力を身につけ、地域で住民が共に支えあいながら生き生きと生活できる環境づくりを支援する力を育成するため、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」「地域生活と健康」「特別支援教育」「人間工学」「ライフサイクル論」「岡山経営者論」を配置する。

4 年間の学修を総括する科目として、「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」「卒業論文」を配置する。「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」は学修や臨地実務実習で身につけた高い実践力とサービスを創出する展開力にさらに磨きをかけ卒業論文を作成する。

以上の教育課程内の取組により、豊かな人間性と実践力と創造力を統合し、職業現場や地域のニーズに即応できる高度専門職業人を育成する。

（資料 25）開講科目一覧（キャリア教育）

２．教育課程外の取組について

教育課程外の取組については、本学の専任教員をキャリアサポーターとして配置し、大学事務局学生教育支援チームと連携し、キャリアアップと就職活動の指導に努める。また教育研究上のスキルを身につけるためにオフィスアワーを設定する。

（１）学年担任とキャリアサポーターによる就職支援

社会的・職業的自立を図るための支援および就職支援については、担任教員、キャリアサポーター、基盤ゼミ担当教員、学生教育支援チームが連携してきめ細やかな指導を行う。

（２）資格取得に向けた学習指導

就職の前提となる国家試験の受験指導体制として、教務内に国家試験対策担当教員を設け組織的に取り組む。また、国家試験関連科目領域の授業・模擬試験を実施する。国家試験指導に関する指導は全教員で関わるが、指導の必要な学生には、小グループの指導体制を整える。

（３）経済的支援

経済的支援が必要な学生に対し、本学独自の経済支援奨学金情報を提供するとともに、各方面の奨学金募集の情報を提示し相談に応じ、申請の援助を実施する。

また、本学では経済支援奨学金をはじめとし、特待生制度など奨学金制度が充実しているため、ホームページ・学校案内等で周知するだけでなく、個別にも情報を提供することで、学習に集中できる環境を整備する。

（４）地域のボランティア活動参加促進指導

医療施設・福祉施設、地域活動において、社会人・医療人としての素養を形成するための積極的な活動を促すために、ボランティア担当教員を配置し学生の関心に応じた活動を支援する。

（５）学生相談室の設置

学生相談室に教員を数名配置し、学生のあらゆる相談に応じる体制を整える。また、臨床心理士を配置しカウンセリングを実施し学生を支援する。

（６）オフィスアワーの設置

各教員がオフィスアワーを設け、キャリアに対する相談や、教育・研究スキルを高めるために支援する。各教員は年度初めに開催計画を公表し、開催は原則週 2 回とする（1 回は個別対応とする）。

（７）就職活動への支援

学生が適切な時期に希望に沿った就職活動が実施できるよう大学事務局学生教育支援チームと連携して多面的な支援を行う。

・求人情報の提供（ホームページ）および求職申込の受理
・個別就職相談・指導
・卒業生との交流会
・就職ガイダンス
　就職支援企業等と連携し、就職ガイダンスや面接指導を行う。
・合同就職説明会開催（県内外の病院・施設参加）
・就職に関する書類作成指導（エントリーシート、履歴書添削等）
・面接指導

（８）卒業後研修体制

本学が主催する専門研修会「リハビリテーション研究会」を定期的に開催し、最新の研究と職場情報を提供する。卒業生は、本学の教員ならびに外部講師による研修会に参加できる。

（９）保護者会の実施

保護者との情報交換の場として、保護者会を開催する。就職情報、就職活動、本学のキャリア教育、企業が学生に求めていることなどの説明を行う。

・入学時の新入生保護者説明会
・全体保護者会
・年 2 回の保護者面談会

（10）朝食サービス

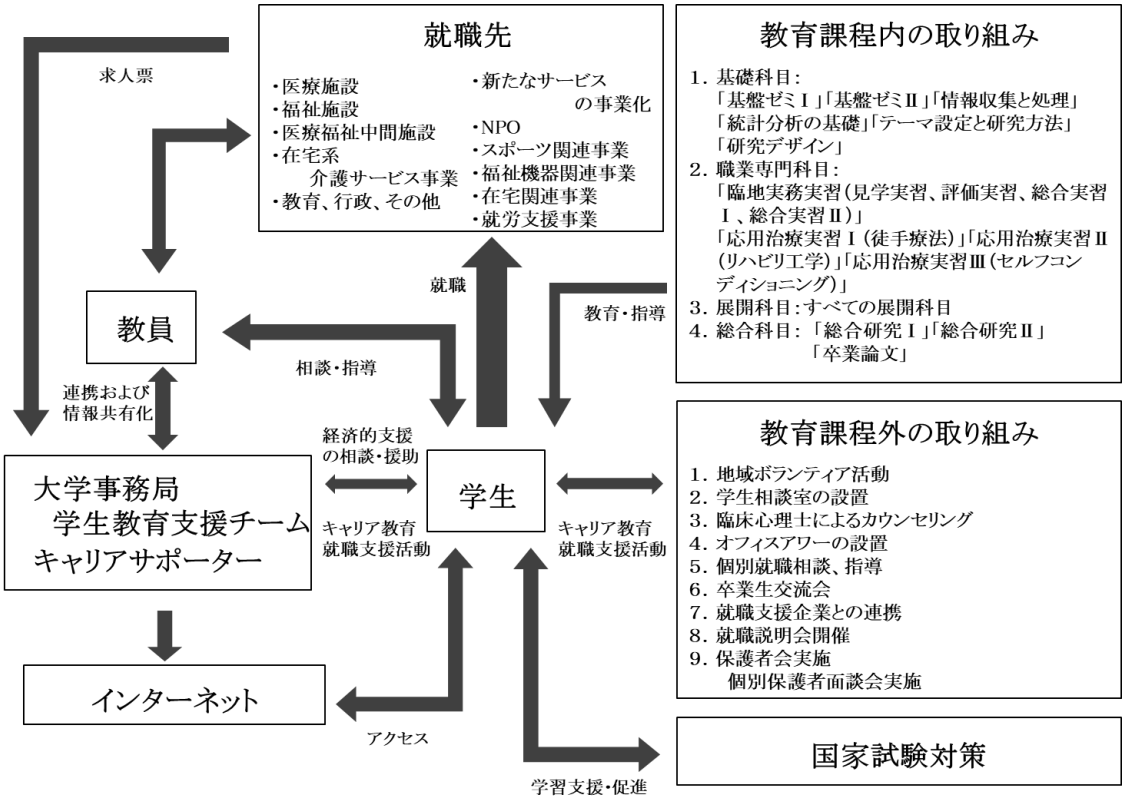
学生の体調管理、健康増進に繋がり、学業に専念できる環境を整える。

３．適切な体制の整備について

本学の専任教員のキャリアサポーターと大学事務局学生教育支援チームとが連携して学生の社会的・職業的自立を支援する体制を組む。キャリアサポーターは指導について企画立案を行い、大学事務局学生教育支援チームと連携し指導を行う。

体制を示した図については、次のとおりである。

（図 14）キャリアサポート体制


就職先
・医療施設
・福祉施設
・医療福祉中間施設
・在宅系
介護サービス事業
・教育、行政、その他
・新たなサービス
の事業化
・NPO
・スポーツ関連事業
・福祉機器関連事業
・在宅関連事業
・就労支援事業
求人票
教員
就職
相談・指導
教育・指導
連携および
情報共有化
大学事務局
学生教育支援チーム
キャリアサポーター
経済的支援
の相談・援助
学生
キャリア教育
就職支援活動
キャリア教育
就職支援活動
インターネット
アクセス
学習支援・促進
教育課程内の取り組み
1．基礎科目：
「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」「情報収集と処理」
「統計分析の基礎」「テーマ設定と研究方法」
「研究デザイン」
2．職業専門科目：
「臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習
Ⅰ、総合実習Ⅱ）」
「応用治療実習Ⅰ（徒手療法）」「応用治療実習Ⅱ
（リハビリ工学）」「応用治療実習Ⅲ（セルフコン
ディショニング）」
3．展開科目：すべての展開科目
4．総合科目：「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」
「卒業論文」
教育課程外の取り組み
1．地域ボランティア活動
2．学生相談室の設置
3．臨床心理士によるカウンセリング
4．オフィスアワーの設置
5．個別就職相談、指導
6．卒業生交流会
7．就職支援企業との連携
8．就職説明会開催
9．保護者会実施
個別保護者面談会実施
国家試験対策

資料目次

（資料 1）設置の趣旨及び必要性に関するデータ
（資料 1－1）業界団体（公益法人日本理学療法士協会）へのヒアリング
（資料 1－2）業界団体（一般社団法人岡山県理学療法士会）へのヒアリング
（資料 1－3）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月
（資料 1－4）業界団体(一般社団法人　岡山県作業療法士会)へのヒアリング
（資料 1－5）岡山県健康福祉部医療推進課へのヒアリング
（資料 1－6）第 3 次作業療法 5 カ年計画（一般社団法人 日本作業療法士協会）
（資料 1－7）岡山市へのヒアリング
（資料 1－8）岡山県総務部総務学事課へのヒアリング
（資料 2）カリキュラムマップ
（資料 3）教育課程の見直しの体制
（資料 4）定年規程
（資料 5）岡山医療専門職大学履修科目の登録の上限に関する規程
（資料 6）岡山医療専門職大学　教育課程連携協議会規程
（資料 7）グラウンド資料（岡山ドーム、岡山県総合グラウンド）
（資料 8）教育上必要な機械・器具・標本および模型等一覧
（資料 9）平面図
（資料 10）時間割表（大学・専門学校）
（資料 11）ジャーナルリスト（電子ジャーナル含む）
（資料 12）視聴覚データ
（資料 13）教育課程と新指定規則等との対比表
（資料 14）臨地実務実習指導要項（健康科学部理学療法学科）
（資料 15）臨地実務実習指導要項（健康科学部作業療法学科）
（資料 16）実習計画表
（資料 17）施設別巡回指導計画
（資料 18）実習委員会規程
（資料 19）岡山医療専門職大学授業科目履修規程
（資料 20）教授会規程
（資料 21）運営評議会規程
（資料 22）学校法人本山学園自己点検・評価委員会規程
（資料 23）岡山医療専門職大学自己点検・評価規程
（資料 24）岡山医療専門職大学 FD 委員会規程
（資料 25）開講科目一覧（キャリア教育）
（資料 26）教育課程連携協議会名簿
（資料 27）図書リスト
（資料 28）履修モデル
（資料 29）OSCE に関するデータ
（資料 29－1）医療面接試験評価表（理学療法学科・作業療法学科共通）

（資料 29-2）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　理学療法学科
（資料 29-3）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　作業療法学科
（資料 29-4）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　理学療法学科
（資料 29-5）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　作業療法学科
（資料 29-6）OSCE ステーション工程表

（資料 1）設置の趣旨等必要性に関するデータ

（資料 1－1）業界団体（公益法人日本理学療法士協会）へのヒアリング

公益法人日本理学療法士協会　理事（岡山県選出）山根一人氏

（実施日）平成 30 年 7 月 23 日

理学療法士指定規則改定に入っており、それに準じた教育内容で養成できれば、質の高い理学療法士の輩出ができるのではないか。近年、理学療法士の質の低下が指摘されており、3 年次の臨床実習（総合実習Ⅰ）の後に一旦ヒントや解決させる期間をおくことで、その知識や知恵を持って次の臨床実習（総合実習Ⅱ）を行える 2 分割のシステムはとても良いと思う。2025 年までの需給をみると理学療法士不足が言われているが、医療分野では充足されてきており、福祉分野の人員不足が叫ばれている。地域包括ケアシステムの充実を目指している国の方針に準じて医療のみならず、地域、福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する。

（資料 1－2）業界団体（一般社団法人岡山県理学療法士会）へのヒアリング

一般社団法人岡山県理学療法士会　会長　國安勝司氏

（実施日）平成 30 年 8 月 26 日

厚生労働省の人口推移と、医療・福祉政策では 2025 年までは理学療法士の活躍が必要とされている。岡山県の理学療法士会員数が 2,000 人を超えているが、医療分野では地域の偏りがあるため、岡山県下の医療・福祉を必要とする全員に平等なサービスを提供するために、定員も妥当であると思われる。

専門職大学という名称が浸透するには時間が必要であるが、施設によっては大学卒業生を優先採用としていたり、給与面での差も生じており、岡山専門職大学設置は理学療法士の地位向上に役立つと思われる。

地域包括ケアを推し進めている中、活躍できる人材育成に努めて欲しい。

（実施日）平成 31 年 3 月 15 日

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の３団体で、現在市町村のリハビリテーション支援事業に参画をし、一般社団法人岡山県理学療法士会として力をいれている。こういった事業の協力があることは、理学療法士に対して、市町村からの理解が深まった結果だと考えている。具体的な支援事業の内容には、「健康を維持するための体操教室」の開催も含まれている。そのため、予防の観点から携われる理学療法士は必要であり、大学で学ぶ「地域理学療法」科目だけでは時間数、量ともに足りていない。また今後需要が増えてくると考えられることもあり、協会としては予防に関する実践力を高める講習会を行っている。そのため、予防に関する実践力を高めることは必要であり、大学教育の中で予防に関する授業を行う大学は必要だと考える。

市町村と連携する上で、理学療法士に不足しているものがある。それは、市町村との連携

の取り方、アピールの方法、マネジメント、ノウハウであり、この部分を得意な他県の理学療法士に協力を仰いでいる。そのため、「マネジメント論」「コーチング」「NPO 論」「起業入門」「地域社会学」「コミュニティ形成論」などを学ぶことは、自分で事を起こすことのベースとなり、重要であり、良いことだと思う。最終的には、起業まで持って行けると良いと考える。

応用治療技術実習については、躊躇なく現場に出て行くベースを作ることは大切です。徒手療法をされるということで、たくさんある手技の中から一つの手技として教えて貰うと良いです。例えば、AI が治療プログラムを作成した場合、経験の少ない療法士よりはきちんとしたプログラムはできると思うが、動かすのは療法士であり、回数をその人をみて調整したり、コミュニケーションを行ったり、接するのはきちんとした技術を持った人間である。以前から療法士と同じ動きをするロボット開発を行っており、完成に至っていない現状を鑑みると「手で触る大切さ」や療法士と同じ働きをすることの難しさがロボットには難しいのではないか。特に徒手療法の場合は、繊細な技術のため、ロボットには真似できない。

身障者のスポーツのサポートを理学療法士も行っていて、積極的に出ていくことで、活躍の場が広がっている。例えば、障がい者のスポーツをサポートするなどの授業を行うことは、本学（川崎医療福祉大学）では行っていないので、特徴になると考える。

（資料1-3）

岡山市

第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

（地域包括ケア計画）

【概要版】



平成30(2018)年３月

岡　山　市

1 計画の策定にあたって

計画策定の趣旨

岡山市における高齢者人口は、平成27年の約17万５千人（高齢化率24.7%）から、団塊の世代（1947～1949年生まれ）が75歳以上となる平成37（2025）年には約19万５千人（高齢化率27.0%）まで上昇する見込みであり、ひとり暮らし高齢者の増加、人間関係の希薄化等による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等への対応が喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、健康寿命の延伸や高齢者が生涯現役で活躍できる環境づくりを進めるとともに、医療・介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、市民、事業者との有機的な連携・協働により、地域ごとに「地域包括ケアシステム」を構築していくことが求められています。

「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」は、平成37（2025）年を見据えた「地域包括ケア計画」として、第６期計画での取組を評価・検証した上で策定しています。本計画に基づき、中長期的な視点を持ちながら、平成30（2018）年度から平成32（2020）年度までの３年間で、高齢者に関する保健福祉施策を総合的・体系的に展開し、岡山市の地域包括ケアシステムを深化・推進します。

本計画の位置づけ

本計画は、岡山市政の基本指針である「岡山市第六次総合計画」を上位計画とし、「地域共生社会推進計画（地域福祉計画）」等の関連計画との整合性を保ちながら策定しています。

計画期間

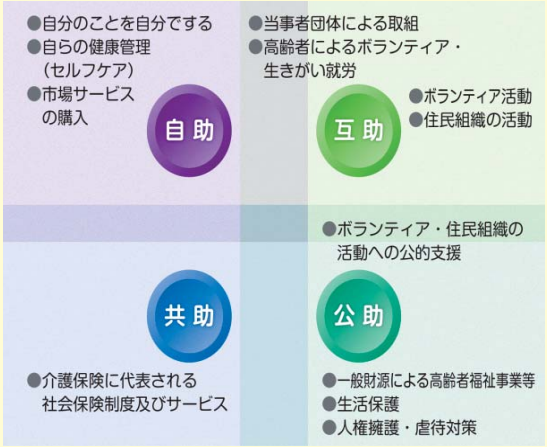
本計画の計画期間は、平成30（2018）年度から平成32（2020）年度までの３年間です。計画期間の最終年度である平成32（2020）年度中には、市民ニーズや社会動向の変化を把握しながら、第７期計画の取組状況について点検し、必要な見直しを行い、第８期計画を策定します。

コラム　地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り、住み慣れた自宅や地域で人生の最後まで暮らし続けられるよう「医療」「介護」「住まい」「介護予防」「生活支援」の５つのサービスを一体的に受けられる、地域における支援体制のことです。国では、これらの５つのサービスが、利用者のニーズに応じて包括的かつ継続的に、概ね30分で駆けつけられる圏域（日常生活圏域）で提供されることを想定しています。

地域包括ケアシステムは、「自助・互助・共助・公助」の考え方の下、高齢者自身も含め、地域住民やボランティア・NPO、事業者・関係機関、専門多職種など、それぞれの地域の関係者の参加により、地域社会全体で形成していくものとされています。





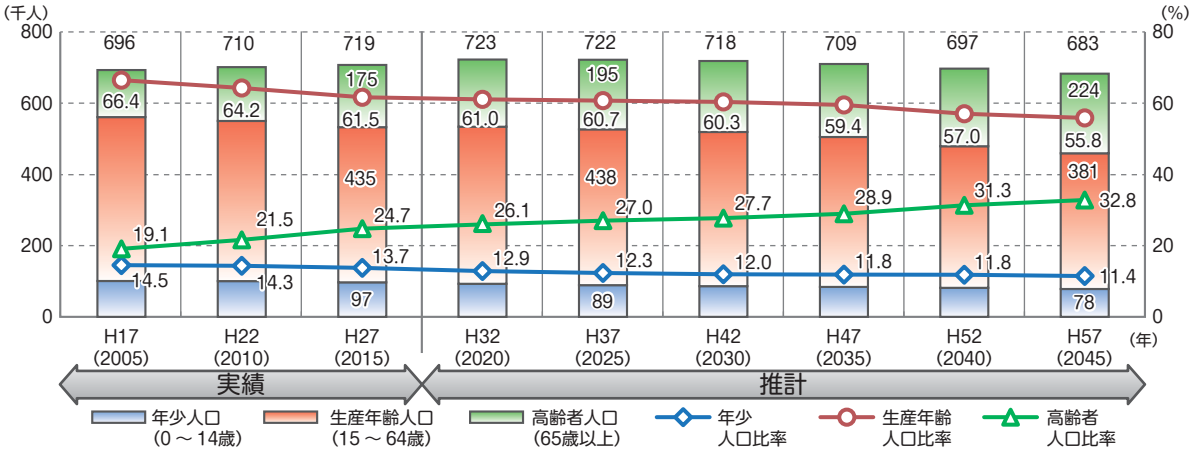
※三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

2 岡山市の高齢者を取り巻く現状と課題

岡山市の総人口の動向と長期的な推計人口

○岡山市の総人口は、平成27年時点で719,474人であり、平成32（2020）年の約72万３千人をピークに減少に転じる見込みです。

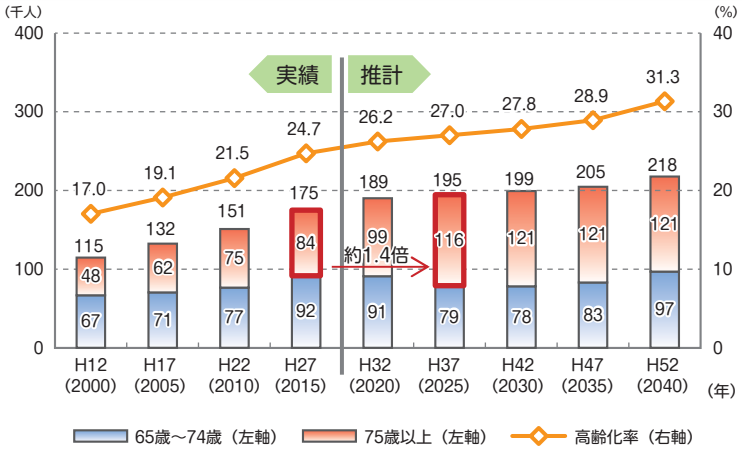
○高齢者人口の増加が続く一方で、介護や看護等の担い手ともなる年少人口・生産年齢人口は長期的に減少し続ける見込みです。



出典：平成27年までは国勢調査、平成32（2020）年以降は岡山市将来推計人口（国勢調査に基づく推計値）

※人口には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出

岡山市の高齢者人口の動向と今後の見通し

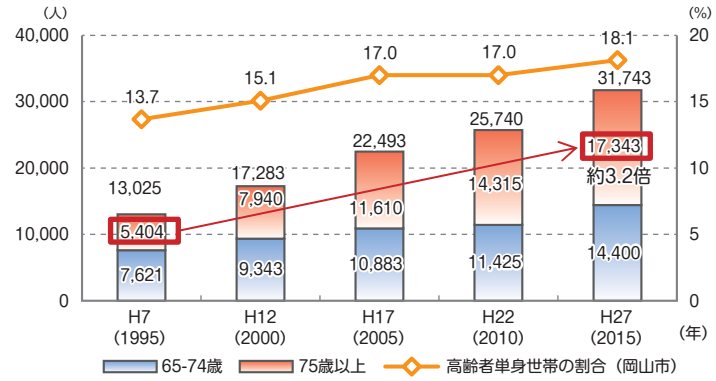


出典：平成27年までは国勢調査、平成32（2020）年以降は岡山市将来推計人口（国勢調査に基づく推計値）※四捨五入の関係で総数と一致しないことがある。

○高齢者人口は、平成27年の約17万５千人から、平成37（2025）年には約19万５千人となり、高齢化率は、24.7%から27.0%まで上昇する見込みです。

○75歳以上の後期高齢者は、平成27年で約８万４千人であり、平成37（2025）年には約11万６千人と大幅に増加する見込みです（約1.4倍）。

岡山市の高齢者単身世帯の推移

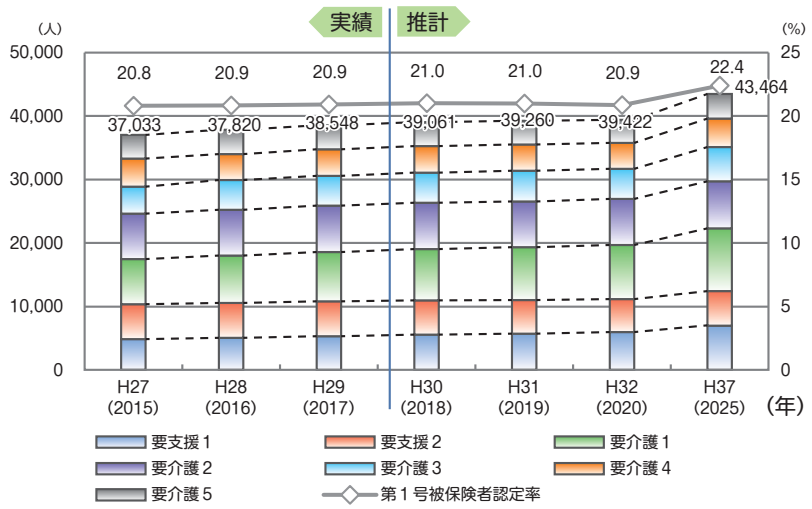


出典：国勢調査

○高齢者単身世帯は、平成27年時点で、31,743人であり、高齢者に占める割合は18.1%となっており、平成７年からの20年間で約2.4倍に増加しています。

○特に、75歳以上の高齢者単身世帯は平成27年に17,343人となり、平成７年からの20年間で約3.2倍に増加しています。

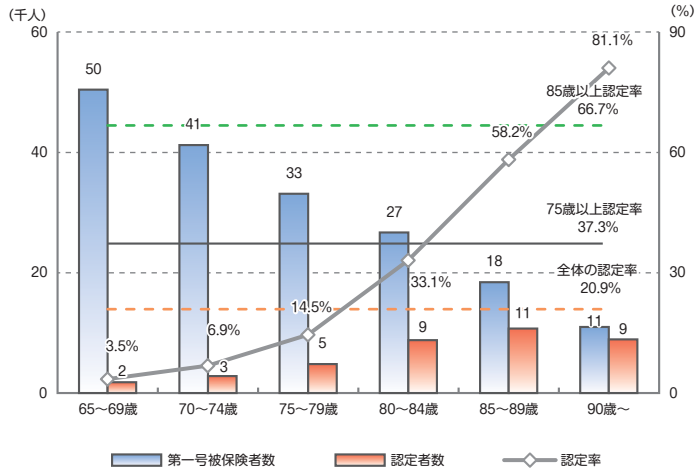
岡山市の要介護（要支援）認定者と第１号被保険者認定率の推移・推計



○岡山市の第1号被保険者認定率は、平成32（2020）年度には20.9%、平成37（2025）年度には22.4%となる見込みです。

※平成29年度までの要介護認定者数、認定者のうち第１号被保険者数は実績（介護保険事業状況報告各年９月分）、
　平成30年度以降は独自推計。要介護（要支援）認定者には第２号被保険者数を含む。
※第１号被保険者数は、平成29年度までは各年９月末住民基本台帳人口、平成30年度以降は独自推計。
※第１号被保険者認定率＝認定者のうち第１号被保険者数／第１号被保険者数

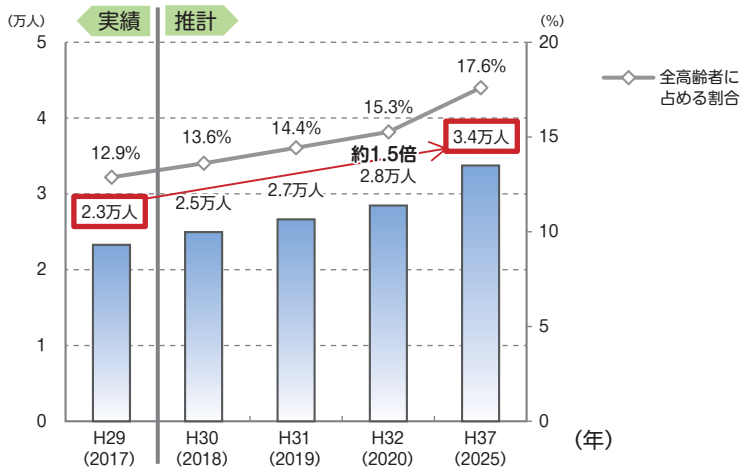
岡山市の年齢階級別の要介護（支援）認定率



○要介護(要支援)認定率は年齢を重ねるほど高くなります。
○「70～74歳」では、6.9%に止まっていますが、「75～79歳」では14.5%、「80～84歳」では33.1%、「85～89歳」では58.2%と大きく上昇していきます。

※第一号被保険者数は岡山市統計、認定者数は岡山市介護保険事業状況報告（平成29年9月分）

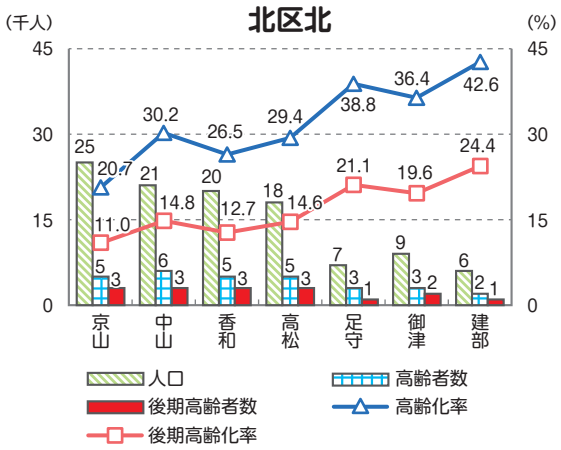
岡山市の認知症高齢者数の推計

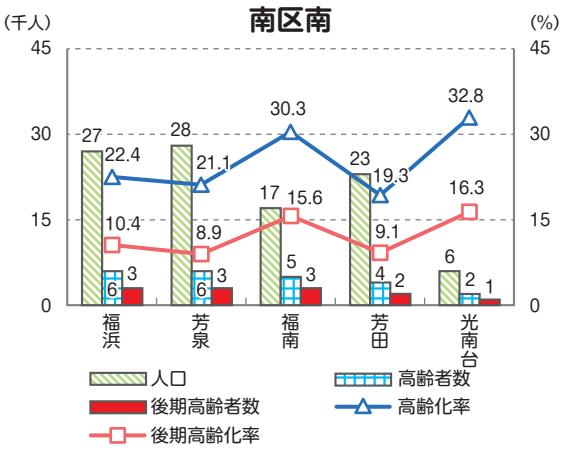


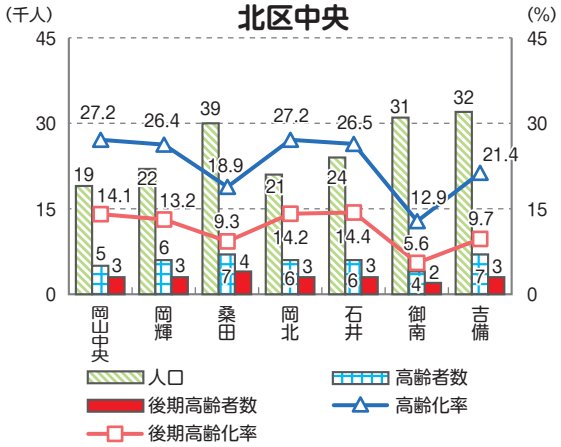
○認知症高齢者は、平成29年時点で約2.3万人（全高齢者の約13%）であり、平成37（2025）年には約3.4万人（全高齢者の約18%）に達する見込みです（約1.5倍）。

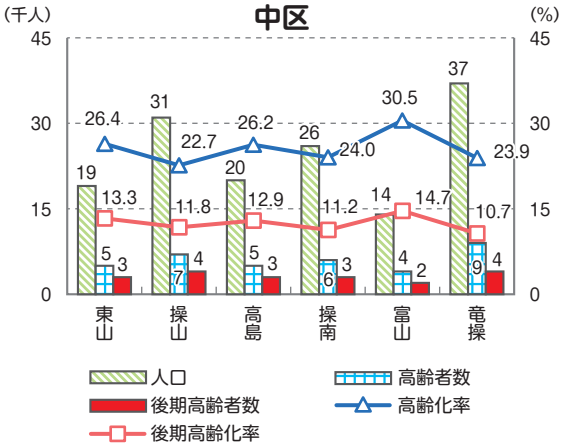
※岡山市介護認定データ（平成29年9月末）をもとに推計

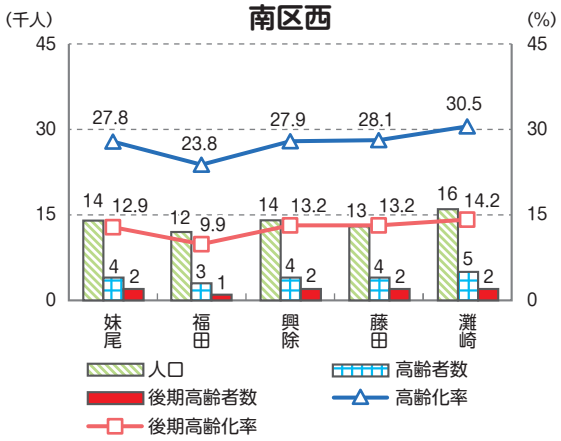
日常生活圏域別の高齢化等の状況

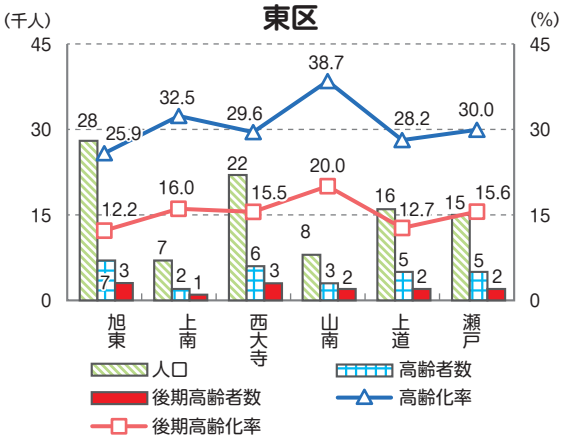










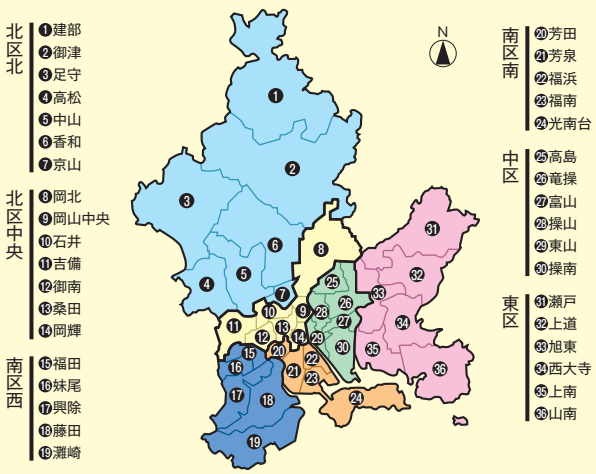


※人口は平成29年３月末住民基本台帳人口

コラム　日常生活圏域

○日常生活圏域は、地理的条件、人口、交通事情、その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設整備の状況、その他の条件を総合的に勘案して定めることとされており、岡山市では、中学校区を単位として36の日常生活圏域を設定しています。

○なお、地域包括ケアの推進にあたっては、通いの場の創出や見守り・支え合い活動の促進など、より身近な区域で取り組むべきものもあることから、提供するサービスや取組に応じた区域を設定し、柔軟に地域づくりを進めていく必要があります。



3 基本理念・基本目標

基本理念

住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

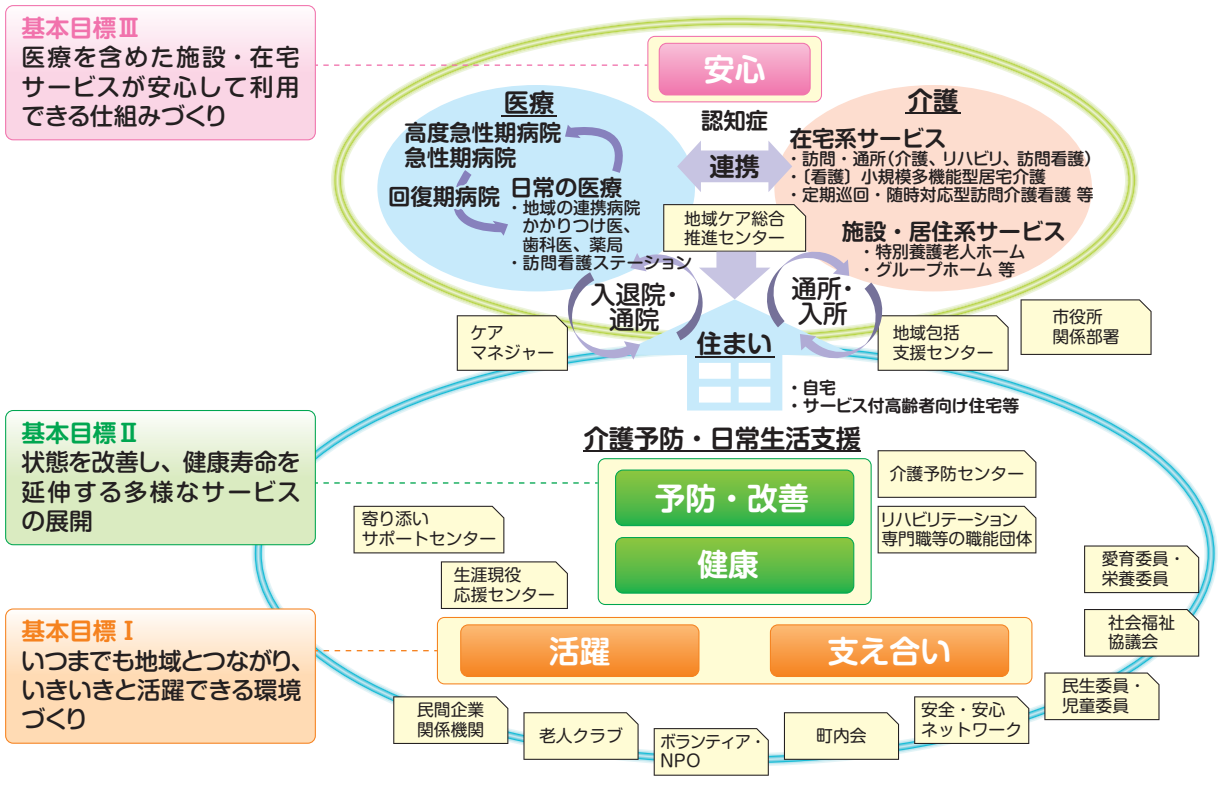
高齢者が自ら健康寿命の延伸に努め、地域社会でいきいきと活躍し、医療や介護が必要になっても、これまで培ってきた地域や人とのつながりを保ちつつ、自分らしい生活を人生の最後まで安心して続けられるよう、高齢者を含めた多様な主体が支え合う、「健康・福祉」の包括的な支援体制（地域包括ケアシステム）が整ったまちをめざします。

基本理念を実現するため、地域に関わる人や組織が目標を共有し、適切な役割分担のもと、保健・医療・介護・福祉などの分野を超えて協働し、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化・推進します。

基本目標

- **Ⅰ** いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり
- **Ⅱ** 状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開
- **Ⅲ** 医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

岡山市の目指す地域包括ケアシステム



4 施策展開

〈施策体系図〉

本計画においては、基本理念及び３つの基本目標の実現を図るため、次のとおり9つの重点施策を推進します。

【基本理念】

住み慣れた地域で　ともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

【基本目標】	【重点施策】	【施策展開の方向性】
Ⅰ いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり（支え合い、活躍）	1 高齢者が活躍できる環境づくり	(1) 高齢者の就労促進と社会貢献活動の機会づくり (2) 高齢者の多様な交流・活動の促進
	2 支え合いの地域社会づくり	(1) 地域の支え合い活動を進める体制づくり (2) 多様な主体による地域活動の活性化 (3) 地域に根差した相談支援体制の充実・強化 (4) 高齢者虐待の防止と権利擁護の推進
Ⅱ 状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開（健康、予防・改善）	3 健康寿命を延伸する健康づくりの推進	(1) 主体的な健康づくりの促進 (2) 健康づくりを地域全体で支援する環境づくり
	4 状態の改善につながる介護予防・生活支援サービス等の提供	(1) 介護予防センターの専門性を活かした予防事業の推進 (2) 介護予防の訪問・通所サービスの充実 (3) 生活支援・福祉サービスの提供
Ⅲ 医療を含めた施設・在宅サービスを安心して利用できる仕組みづくり（安心）	5 在宅医療・介護連携の推進	(1) 在宅を支える基盤づくり（人材育成） (2) 在宅への流れの構築（多職種連携） (3) 市民とつくる在宅医療（意識醸成） (4) 地域ケア総合推進センターの機能強化 (5) 持続可能な社会経済モデル構築に向けた取組の推進
	6 認知症施策の推進	(1) 認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立 (2) 認知症に対する医療・介護連携の推進 (3) 認知症の人と家族への支援の強化 (4) 地域における認知症への理解の浸透と見守り体制の充実・強化
	7 安心・快適な住まいの確保	(1) 安定した住まいの確保 (2) 快適な住環境づくり
	8 最適な介護サービスの提供	(1) 在宅系サービスの適正な提供 (2) 地域密着型サービスの適正な提供 (3) 施設・居住系サービスの適正な提供
	9 介護サービスの適切な運営	(1) 介護人材の確保・育成・定着 (2) 介護事業者への支援 (3) 介護保険サービスの質の確保と向上

〈施策展開の方向性〉

重点施策１　高齢者が活躍できる環境づくり

⑴　高齢者の就労促進と社会貢献活動の機会づくり

▷高齢者一人ひとりの多様なニーズに柔軟に対応できるよう、希望する活動レベルや分野でのマッチングの模索、新たな担い手として活躍でき、地域社会に積極的に参加する機会を拡充します。

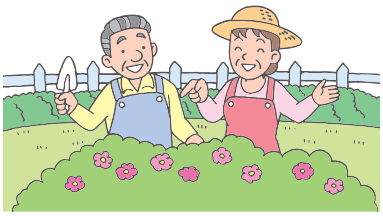
▷特に、就労に関する相談・支援体制の充実・強化について関係機関とともに検討します。

▷類似するセンターの関係やつながりを整理し、ワンストップ機能を高めるなど、高齢者がわかりやすく、利用しやすい相談・支援体制を整備します。

▷高齢者が地域や社会へ積極的に参加できる機会を提供し、高齢者の仲間づくり、いきがいや健康づくりを推進します。

⑵　高齢者の多様な交流・活動の促進

▷様々な機会を通じて、地域や社会とつながっていない比較的元気な高齢者の社会参加を促進し、高齢者同士や高齢者と地域住民等との多様な交流を創出します。



重点施策２　支え合いの地域社会づくり

⑴　地域の支え合い活動を進める体制づくり

▷地域づくりの重要性の普及啓発や、地域課題、先行事例の一層の見える化を進め、小学校区単位を基本に、「地域支え合い推進会議」の設置を促進し、地域の支え合い活動のすそ野を拡げます。

▷また、地域づくりのノウハウを蓄積し、的確なコーディネートを行うことのできる人材の確保・育成や、生活支援サポーターをはじめ地域活動を担う人材の発掘・育成・効果的な活用を進めます。

▷地域づくりに係る庁内関係部署や関係機関が組織横断的な体制の下、地域の情報を共有し、施策・事業を効果的に連動させながら、支え合いの地域づくりを推進します。

⑵　多様な主体による地域活動の活性化

▷岡山市支え合い推進員（生活支援コーディネーター）も活用しつつ、地域住民や地域の各種団体、地域包括支援センター、社会福祉協議会、医療・介護等の関係機関・事業者等によるそれぞれの地域の見守り・支え合い活動を活性化し、高齢者が安心・安全に暮らせる地域づくりを進めます。

⑶　地域に根差した相談支援体制の充実・強化

▷地域における高齢者の包括的な支援の中心となる地域包括支援センターの体制の充実・強化や、関係機関との連携のあり方、地域の高齢者情報の効果的な把握・集積方法等について検討し、必要な見直しを行います。

▷地域ケア会議等を活用し、地域課題の把握・整理や、地域に関わる関係者等での情報共有、政策形成を進めます。

▷あわせて、世帯単位で検討すべき地域課題に対応し、地域共生社会を進める体制づくりについて検討します。

⑷　高齢者虐待の防止と権利擁護の推進

▷関係機関と連携し、高齢者虐待の早期の発見、迅速な対応・支援のための体制を強化するとともに、成年後見制度の利用の促進を図るなど、権利擁護が必要な高齢者への支援を実施します。



重点施策３　健康寿命を延伸する健康づくりの推進

⑴　主体的な健康づくりの促進

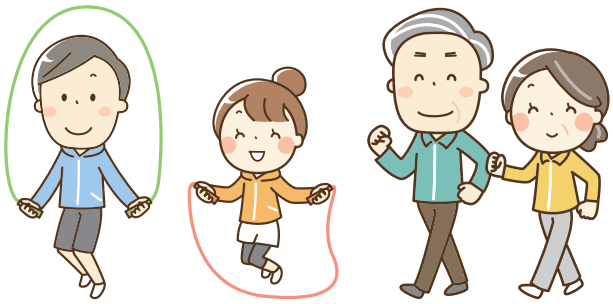
▷生活習慣病や低栄養、筋力低下等を予防するため、市民が自らの身体・健康状態を意識できるよう、健康づくりや介護予防に関する知識の普及啓発を進めるとともに、健康診査の受診率を高めます。

▷加齢に伴う筋力低下の予防や回復を目指し、若い頃からの運動習慣の定着化、転倒やロコモティブシンドロームの予防に取り組みます。また、寝たきりの原因となる脳卒中予防や認知症予防のために、青壮年期から高血圧・糖尿病・高脂血症等の生活習慣病予防の取組を進めます。

▷栄養バランスの悪化、口腔機能の低下、孤食等に起因する粗食等の環境面の連鎖に誘引される「低栄養」に関するリスクの普及啓発を進め、フレイル、サルコペニアを予防するとともに、口腔機能の低下を予防するため、歯科医師会や個々の歯科医療機関等との連携を強化し、自己チェック方法の周知など、口腔ケアの向上に向けた取組を進めます。

⑵　健康づくりを地域全体で支援する環境づくり

▷地域の健康づくりボランティアや事業者、医療機関等との連携を深め、健康づくりを地域で支え・守るための地域のつながり（ソーシャルキャピタル）を強化します。



重点施策４　状態の改善につながる介護予防・生活支援サービス等の提供

⑴　介護予防センターの専門性をいかした予防事業の推進

▷住民主体の通いの場、地域ケア会議、訪問・通所事業所等へのリハビリテーション専門職等の関与を一層促進する観点から、介護予防センターの専門職の効果的な活用方法や、リハビリテーション専門職団体等とも連携した取組について検討します。

▷介護予防センターの専門性をいかし、介護予防教室の開催や、体操を行う地域活動グループの立ち上げ支援等に注力しつつ、介護予防の重要性について市民に広く周知し、住民主体の介護予防活動の充実を図ります。

▷介護予防を効果的に推進する鍵となる地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネジメント能力の向上に向けて、介護予防センターの専門職の適切な関与のもと、地域ケア会議（個別プラン検討会）の充実を図ります。

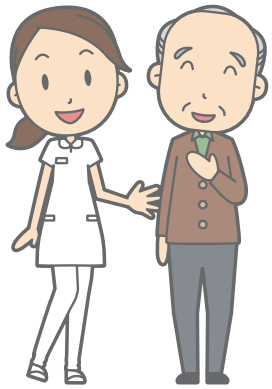
⑵　介護予防の訪問・通所サービスの充実

▷専門職の助言指導のもと、短期間で集中的にケアを行う短期集中通所サービスを実施し、高齢者の生活機能の維持・向上を図るとともに、サービス終了後も高齢者自らが継続して介護予防に取り組めるよう、働きかけていきます。

⑶　生活支援・福祉サービスの提供

▷地域活動を担う人材の育成・発掘や、地域活動を実践する機会の提供等を進めます。また、高齢者自らが地域の生活支援の担い手として活躍できる場を拡大します。

▷家庭内での緊急時の対応や安否確認を行い、日常の安全を確保し、不安感の解消を図るとともに、給食サービスにより食生活の安定と改善を図ります。また、在宅で高齢者を介護する人への支援を行います。



重点施策５　在宅医療・介護連携の推進の推進

⑴　在宅を支える基盤づくり（人材育成）

▷在宅医療を行う医師を増やすため、医師会等と協力して訪問診療スタート支援を推進します。また、医師のほか、訪問看護師の確保、在宅介護対応薬局認定制度による薬局の在宅参入の促進など、在宅医療に欠かせない基盤づくりを進めます。

▷在宅医療を行う医師への在宅医療に関するスキルアップ研修、介護支援専門員への医療に関する研修、病院看護師の退院支援・調整機能強化のための研修など、在宅医療・介護連携を担う専門職を対象とした研修を実施し、在宅医療・介護の質の向上を図ります。

▷これまでの事業の成果等を踏まえて、より効果的・効率的な研修となるよう、開催方法や対象の検討を行います。

⑵　在宅への流れの構築（多職種連携）

▷それぞれの地域における将来的な人口及び年齢構成や、医療・介護資源の今後の状況予測などの具体的なデータに基づき、地域ごとの特性に応じた入院から看取りまでの在宅医療連携体制について検討し、あるべき姿の構築を進めます。

▷また、地域ごとに開催している顔の見えるネットワーク構築会議（多職種意見交換会）など、多職種連携の取組を引き続き実施します。

⑶　市民とつくる在宅医療（意識醸成）

▷市民自らが在宅医療や介護予防等に関する知識を深め、地域全体で在宅医療・介護を支えられるよう市民公開講座や出前講座等を通じて意識啓発を推進します。

▷また、住み慣れたまちで最期まで暮らせるまちの実現に向けたアプローチとして、終末期における本人や家族の納得のいく医療・介護を受けられるよう、かかりつけ医を持つことや、今後の治療・療養について、患者、家族等と医療従事者があらかじめ話し合うプロセスである、ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）の普及・啓発を推進します。

⑷　地域ケア総合推進センターの機能強化

▷各医療機関の退院調整等に関する課題を抽出し、退院調整が困難なケースをサポートする仕組みを検討するなど、地域ケア総合推進センターの退院支援機能等を強化します。



⑸　持続可能な社会経済モデル構築に向けた取組の推進

▷引き続き総合特区を推進し、従来の取組を更に発展させつつ、高齢者の就労促進などの新たな提案も加えることにより、高齢者が生涯現役で活躍し、超高齢社会にも対応できる、持続可能な都市の構築を目指します。

重点施策６　認知症施策の推進

⑴　認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立

▷認知症の人を適切な医療やケアにつなげるため、認知症の正しい知識や理解、早期発見・早期診断の重要性等について、普及啓発を行います。

▷かかりつけ医や、地域包括支援センター等の認知症に関する初期相談を受ける機関がそれぞれの役割を果たし、専門医につなげるための相談体制や認知症初期集中支援チームのあり方を検討します。

⑵　認知症に対する医療・介護連携の推進

▷認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、急性期医療に関する対応及び専門医療相談など、症状の進行予防から地域生活の維持まで、必要となる医療を提供できる体制の構築を推進します。

▷認知症診療に習熟し、かかりつけ医の支援や専門医療機関と地域包括支援センター等との連携役を担う、「認知症サポート医」を養成することにより、初期段階から状況に応じて一体的に医療・介護サービスを提供する体制づくりを進めます。

▷かかりつけ医に対し、認知症診療の知識・技術や、本人及び家族を支えるための知識等に係る研修を実施し、認知症サポート医等との連携を強化します。

⑶　認知症の人と家族への支援の強化

▷認知症の人や家族が地域で孤立することなく、認知症の人が持つ力を最大限に活かしながら、地域社会で生きがいを持って生活できるよう、認知症カフェ等の居場所づくりや、生きがいづくりを進めます。

▷認知症の人や家族が気軽に相談できる体制を充実し、介護の負担軽減を図ります。また、認知症の人やその家族の視点を施策等へ反映させます。さらに、若年性認知症については、高齢者の認知症とは違った課題があるため、若年性認知症の人やその家族の意見を聞くなどし、その実態を把握し、その特性に配慮した就労・社会参加等の支援を推進します。



(4) 地域における認知症への理解の浸透と見守り体制の充実・強化

▷認知症の人が地域で暮らし続けることができるよう、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成を進めます。

▷徘徊等で行方不明になった時の早期発見や事故の未然防止を図るために、地域での見守り・支援体制を充実します。養成した認知症サポーターが地域での見守り活動等で実際に活躍できる機会の提供に努めます。

重点施策７　安心・快適な住まい等の確保

(1) 安定した住まいの確保

▷養護老人ホームや軽費老人ホーム等による家賃が低廉な住まいの提供や適切な生活支援体制を確保するとともに、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームにおいて、入居者に対して適切なサービスが提供されるよう、指導監督を行います。

▷また、都市整備局での「住宅セーフティネット制度の推進」の取組と連携し、高齢者等が安心して住まうことのできる住宅等の供給を促進します。

(2) 快適な住環境づくり

▷関係する部局や事業者と連携・協働しながら、バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識の浸透を進めるとともに、高齢者の住宅や施設等のバリアフリー化を促進します。

▷また、シルバーハウジングに生活援助員を派遣し、高齢者が安心して生活できるよう支援します。

重点施策８　最適な介護サービスの提供

(1) 在宅系サービスの適正な提供

▷在宅系サービスは、全般的に他の政令指定都市と比較しても事業者数は多くなっていますが、医療と介護の両方を必要とする、中・重度の要介護者の増加にも備え、在宅生活の継続に資するサービスの充実を促進します。

▷リハビリテーション分野の充実強化等により、状態改善・重度化防止に努めます。看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護など、整備が進んでいないサービスについては、国・県の補助制度を活用し、計画的な整備を促進します。

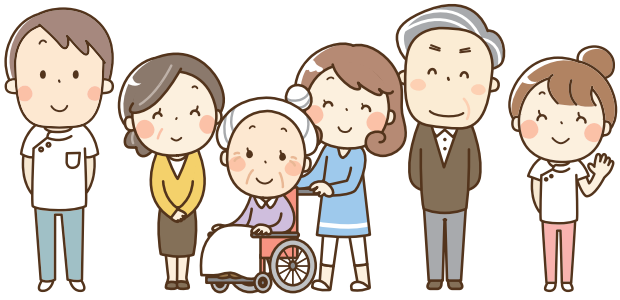
▷利用者の「状態像」を維持・改善する事業者への評価・インセンティブの付与や、事業者への適正な指導・監督等を通じて、介護サービスの質のさらなる向上を進めます。

(2) 施設・居住系サービスの適正な提供

▷様々な状況により在宅生活が困難となった人に必要なサービスが提供できるよう、政令指定都市の中でも比較的高い整備率である現状も踏まえながら、将来的な高齢者の人口動態、待機者や認知症高齢者の状況、介護離職の防止や介護負担の軽減の観点、地域におけるサービスの偏在性等を総合的に検証し、適正な施設整備を進めます。

▷地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は、地域の介護・福祉の拠点としての位置付けも考慮し、2施設58床の整備を行います。

▷認知症対応型共同生活介護は、今後も認知症高齢者数の増加が予想されることから、事業所の質を担保しつつ、引き続き適正な施設整備を進め、2施設36床の整備を行います。



重点施策９　介護サービスの適切な運営

⑴　介護人材の確保・育成・定着

▷介護人材の確保・育成・定着に向けて、中長期的な視点を持ちながら、介護事業所や関係団体等と連携し、様々な取組を総合的に進めます。学生など若年層への介護職の魅力・やりがい等を発信するとともに、離職した介護人材の呼び戻しや中高年齢者等の就労促進を進めます。

▷介護事業所への講師派遣による課題解決や離職防止支援、就労環境の改善の働きかけ、介護職員の資質向上やキャリア形成に向けた各種研修等により、介護人材の育成・定着を図ります。

⑵　介護事業者への支援

▷介護ロボットの貸与等を通じて介護事業所、介護人材等の負担軽減を図るとともに、利用者の状態を維持・改善する事業者への評価・インセンティブの付与や、事業者への適正な指導・監督等を通じて、介護サービスの質のさらなる向上を進めます。

⑶　介護保険サービスの質の確保と向上

▷介護サービスの利用者が安心して多様なサービスを利用できるよう、わかりやすい情報提供や相談・苦情対応に努めるなど、情報提供・相談体制を充実させます。あわせて、様々な場面を通じて、地域包括ケアシステムや介護保険制度の趣旨、「自立」の意味等について、市民理解の醸成を進めます。

▷要介護認定や介護給付の適正化をさらに進め、適切なサービスを確保し、結果として、介護給付費や介護保険料の増大を抑制し、持続可能な介護保険制度の構築を進めます。

▷引き続き、低所得者に対する費用負担の配慮を行い、必要なサービスを安心して利用できる体制づくりを進めます。



コラム　福祉・介護施設等での外国人人材の活用事例

○国の推計では、2025年（平成37年）における福祉・介護人材の需給ギャップは全国で約38万人とされており、そのうち岡山県では約６千人に達する見込みです。こうした中、本市においても福祉・介護人材不足の解消策の一つとして、外国人人材の活用等を進める施設があります。

１　障がい福祉施設の事例（外国人人材の活用等）

・ある施設では、系列や連携している専門学校に、現地で面接を行った東南アジアの外国人学生を入学させ、要件を満たす学生には奨学金を支援することで、より優れたスキルを有する人材を積極的に育成しています。また、日本人・外国人共通の技能・給与体系等の判定基準を適用しており、スキルの高い人材に高い給与を出せるようにして、自発的な定着につなげています。

２　特別養護老人ホームの事例（外国人人材の活用等）

・ある施設では、経済連携協定（EPA）を活用し、常勤・非常勤を含めた全職員55人中４人について、外国人人材を採用しています。いずれの方もインドネシアの出身で、介護サービスの提供に支障のない程度の日本語会話能力を有しています。将来的には、訪問サービスへの外国人人材の活用を図りたいとのことですが、訪問サービスは、より自立度の高い高齢者へのサービス提供となり、一層高度な日本語会話能力が求められるため、まずは、施設への外国人人材の定着・活用を進めたいとのことでした。

・当施設では、外国人人材の定着に向けて、国で定められた日本語研修に加え、市の観光名所への案内や地元町内会との交流等の独自の取組を行っています。

5 介護保険給付費等の見込み及び保険料額

今後の各介護保険サービス必要量及び施設・居住系の整備計画等を踏まえ、各介護保険サービス給付費等を推計しました。

図表　介護予防サービス見込量

■介護予防サービス		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
介護予防訪問介護	人　数（人）			
介護予防訪問入浴介護	回　数（回）	0	0	0
	人　数（人）	0	0	0
介護予防訪問看護	回　数（回）	3,239	3,697	4,174
	人　数（人）	429	493	560
介護予防訪問リハビリテーション	回　数（回）	1,048	1,319	1,595
	人　数（人）	102	130	159
介護予防居宅療養管理指導	人　数（人）	274	319	355
介護予防通所介護	人　数（人）			
介護予防通所リハビリテーション	人　数（人）	1,328	1,443	1,571
介護予防短期入所生活介護	日　数（日）	254	258	264
	人　数（人）	48	48	48
介護予防短期入所療養介護（老健）	日　数（日）	29	29	30
	人　数（人）	5	5	5
介護予防短期入所療養介護（病院等）	日　数（日）	0	0	0
	人　数（人）	0	0	0
介護予防福祉用具貸与	人　数（人）	3,063	3,437	3,841
特定介護予防福祉用具購入費	人　数（人）	62	64	65
介護予防住宅改修	人　数（人）	97	108	120
介護予防特定施設入居者生活介護	人　数（人）	192	193	196
■地域密着型介護予防サービス				
介護予防認知症対応型通所介護	回　数（回）	211	313	403
	人　数（人）	26	37	47
介護予防小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	183	206	225
介護予防認知症対応型共同生活介護	人　数（人）	6	7	7
■介護予防支援	人　数（人）	3,815	3,889	3,985

※回（日）数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数

図表　介護サービス見込量

■居宅サービス		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
訪問介護	回　数（回）	103,838	104,118	104,408
	人　数（人）	5,206	5,220	5,234
訪問入浴介護	回　数（回）	684	686	686
	人　数（人）	140	140	140
訪問看護	回　数（回）	24,505	25,115	25,418
	人　数（人）	2,325	2,403	2,459
訪問リハビリテーション	回　数（回）	4,900	5,046	5,145
	人　数（人）	408	420	428
居宅療養管理指導	人　数（人）	4,407	4,717	4,971
通所介護	回　数（回）	73,134	75,108	77,184
	人　数（人）	6,513	6,672	6,839

通所リハビリテーション	回　数（回）	28,287	28,462	28,519
	人　数（人）	2,977	2,995	3,000
短期入所生活介護	日　数（日）	21,232	21,559	21,818
	人　数（人）	1,820	1,822	1,824
短期入所療養介護（老健）	日　数（日）	1,167	1,221	1,270
	人　数（人）	151	155	157
短期入所療養介護（病院等）	日　数（日）	262	266	269
	人　数（人）	27	27	27
福祉用具貸与	人　数（人）	9,840	9,966	10,013
特定福祉用具購入費	人　数（人）	181	183	184
住宅改修費	人　数（人）	167	174	180
特定施設入居者生活介護	人　数（人）	1,498	1,558	1,620
■地域密着型サービス				
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人　数（人）	226	256	301
夜間対応型訪問介護	人　数（人）	15	15	15
認知症対応型通所介護	回　数（回）	2,188	2,304	2,417
	人　数（人）	187	196	205
小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	1,186	1,216	1,234
認知症対応型共同生活介護	人　数（人）	1,643	1,676	1,716
地域密着型 特定施設入居者生活介護	人　数（人）	0	0	0
地域密着型 介護老人福祉施設入所者生活介護	人　数（人）	848	881	938
看護小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	46	75	104
地域密着型通所介護	回　数（回）	24,824	25,344	25,602
	人　数（人）	2,335	2,364	2,388
■施設サービス				
介護老人福祉施設	人　数（人）	2,414	2,421	2,421
介護老人保健施設	人　数（人）	1,990	2,003	2,013
介護医療院	人　数（人）	0	0	0
介護療養型医療施設	人　数（人）	76	76	76
■居宅介護支援	人　数（人）	14,847	14,860	14,887

※回（日）数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数

▶ 介護保険給付にかかる費用等の推計

第７期計画期間における各介護（介護予防）サービスの給付見込みの推計に基づいて、介護保険給付にかかる費用を算定し、その他費用として、第６期の実績に基づき、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費、審査支払手数料を算定しました。

図表　介護保険給付にかかる費用等の推計　　単位：千円

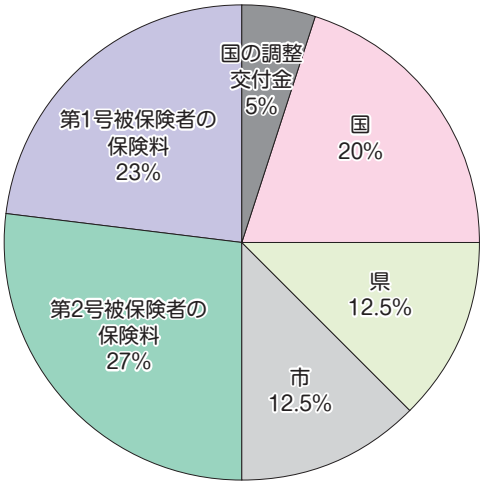
	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）
給付費等見込額	56,665,106	57,924,722	59,162,185
介護予防サービス給付費	1,576,670	1,720,342	1,866,546
介護サービス給付費	52,073,584	53,036,907	53,966,214
特定入所者介護サービス費等給付額	1,659,763	1,681,799	1,716,315
高額介護サービス費等給付額	1,057,792	1,174,525	1,243,656
高額医療合算介護サービス費等給付額	219,315	230,281	285,594
算定対象審査支払手数料	77,982	80,868	83,860
地域支援事業費	3,386,260	3,465,926	3,533,924
合　　計	60,051,366	61,390,648	62,696,109

▶ 介護保険給付費の財源構成

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合うためにつくられたものです。

介護サービスの提供に必要な費用（自己負担分を除く）は、その50%を公費で、27%を40歳から64歳までの医療保険加入者（第2号被保険者）の保険料で、残りの23%を65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料で支えるしくみとなっています。

図表　介護保険給付費の財源構成



▶ 介護保険料の算定について

第１号被保険者の介護保険料は、各保険者（市町村）が、計画の策定を通じて、３年ごとに算定・見直しを行います。第７期計画期間中の基準月額については、高齢者数の増加に伴うサービス利用者数の増加や、第１号被保険者の保険料負担割合の変更などの上昇要因もありますが、介護予防・状態改善の取組や、介護給付適正化をさらに推進した上で、岡山市の介護給付費準備基金を充当することにより、第６期の6,160円と同額にします。

なお、平成37（2025）年度における介護保険料基準月額は、高齢者人口及び要介護（要支援）認定者の将来推計を踏まえ、第７期における給付費算定の利用人数の伸び、サービス利用率、サービス利用回数等が、今後も同様に推移すると想定し、8,200円程度と見込んでいます。

第７期介護保険料額（基準月額）6,160円

図表　介護保険料等の推移・推計

	第６期（平成28年10月）	第７期（平成31年10月）	伸び率
総人口	708,134人	711,307人	0.4%
第1号被保険者	178,072人	184,449人	3.6%
65～74歳	92,216人	89,761人	-2.7%
75歳以上	85,856人	94,688人	10.3%
要介護認定者	37,820人	39,260人	3.8%
主な介護保険給付費（年度）	514.2億円	547.6億円	6.5%
居宅介護（介護予防）	260.9億円	264.8億円	1.5%
地域密着型	120.8億円	141.5億円	17.1%
施設介護	132.5億円	141.3億円	6.6%
介護保険料	6,160円	6,160円	0.0%

図表　介護保険料段階区分（平成30（2018）～32（2020）年度）

所得段階	対　象　者	保険料率	保険料月額
第１段階	生活保護の受給者 老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税 中国残留邦人支援給付受給者	基準額 ×0.45	2,772円
	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円以下		
第２段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円を超え120万円以下	基準額 ×0.7	4,312円
第３段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が120万円を超える	基準額 ×0.75	4,620円
第４段階	本人が市民税非課税で世帯に課税者がいる人で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円以下	基準額 ×0.85	5,236円
第５段階	本人が市民税非課税で世帯に課税者がいる人で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円を超える	基準額	6,160円
第６段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円未満	基準額 ×1.15	7,084円
第７段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円以上190万円未満	基準額 ×1.25	7,700円
第８段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が190万円以上400万円未満	基準額 ×1.5	9,240円
第９段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が400万円以上600万円未満	基準額 ×1.75	10,780円
第10段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が600万円以上800万円未満	基準額 ×2.0	12,320円
第11段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が800万円以上1,000万円未満	基準額 ×2.25	13,860円
第12段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が1,000万円以上	基準額 ×2.5	15,400円

平成30年度 ～ 平成32年度
岡山市第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
（地域包括ケア計画）

発行元　岡山市 保健福祉局 高齢福祉部 地域包括ケア推進課
住　所　〒700-8546 岡山県岡山市北区鹿田町一丁目１－１
連絡先　TEL:086-803-1246　FAX:086-803-1780

（資料 1－4）一般社団法人　岡山県作業療法士会　副会長　西出　康晴氏
（実施日）平成 31 年 3 月 19 日

地域包括ケアに向かうこの 5 年間で、いかに作業療法士会として地域に寄与できるかが課題である。現在、市町村をあげてその事業を推進しているところであり、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の 3 団体でリハビリ団体を作り、地域に派遣している。ただし、派遣先で上手くやってくれるかが課題となっている。他職種連携をすることと成果を上げることが大事である。

作業療法士として大切なことが、二つある。医療職としての基本的な知識、作業療法士の知識と地域の生活を知り、活動することである。作業療法士として地域に根ざすには、地域を理解し、自治体と協力をすることが必要である。現在、作業療法士会としては、自治体からの要請で「転倒予防教室」を行っている。また独居老人や引きこもりの高齢者の居場所づくりや地域のコミュニティ形成が重要で、地域に貢献することで、コミュニティがつながってくる。

近年、起業する理学療法士、作業療法士が増えており、ニーズもある。地域包括ケアシステムが進むまでは追い風である。

発達障害や障がい者に対しては、子供から高齢者までのストーリーを知って関わるのが重要である。また教育機関での修学支援の需要も高い。作業療法士としては就労の継続支援を行っていくことが大切であると考えている。そのために発達障害を授業科目に取り入れ、知識を得るのは良いと思う。

（資料 1－5）岡山県健康福祉部医療推進課へのヒアリング
岡山県健康福祉部医療推進課課長　則安俊昭氏　（実施日）平成 31 年 3 月 13 日

Q：岡山県で求められている療法士（理学療法士、作業療法士）の実践力とは。
A：岡山県が出している資料を示され、岡山県の療法士の需給の現状について説明された。理学療法士、作業療法士の実践力として特に明確に規定されたものはないが、これからの超高齢社会の中での地域包括ケアシステムを構築していく上で療法士が占める位置づけは重要である。

Q 岡山地域のニーズを背景とした次のサービスについて、理学療法士・作業療法士としてどのようにかかわっていけるのでしょうか。もしくは果たす役割は何でしょうか。

Q1：高齢者（地域包括ケアシステム、自立して暮らすための役割）
A1：超超高齢社会では地域共生社会であることが重要である。身体機能あるいは認知機能に障害がある人々が、地域の中で共に支えあって生き生きとした生活ができる街づくり

が必要―このような街づくりに理学療法士・作業療法士の果たす役割は重要と思う一具体的にはどのような役割を担えるかということか。

Q2：障がい者
A2：障がい者支援についても高齢者支援と基本的には同じ視点。地域の中で共生できるシステムづくりが重要。

1 および 2 のいずれも、高齢者や障がい者の社会進出、居場所づくり、社会の中で活躍する場を創設することが大事―作業療法士が支援できるのではないか。
生活の確保のための身体機能の向上、装具や補助具などの支援、などは理学療法士が支援できるのではないか。

Q3：発達障害（児）と発達課題（発達段階における）
A4：1,2 と同様、居場所づくり、社会と共生できる環境づくりが重要。－作業療法士の関わりが必要になる。

Q4：予防
A4：超高齢社会での生き方や健康寿命の延伸のための地域住民へのいろいろな啓蒙活動は必須―転倒予防などには理学療法士の支援が必要。

岡山県の現状
Q1）高齢者の活動的な状態を身近な地域生活の中でバランスよく維持するため、運動の習慣化に向けた啓発活動の必要性が言われていますが、どのように考えられますか。
A1）現在は、人生 100 年時代と言われ生涯現役社会となってきている。労働力確保が必要。シルバー人材センターなどが役立っている。健康のために運動しなさい、働きなさいではだめで、運動する、働く動機づけが必要。この意味において啓発活動は必要である。

Q2）高齢者の日常生活の困りごとへの支援ニーズに対応する地域活動を担う人材の育成、活動の促進を図る必要性が言われていますが、どのように考えられますか。
A2）超高齢社会、独居老人問題など非常に多岐に亘る方面での支援が必要となる。この問題に対応できる人材の育成は非常に重要である。特に自治体の中に入ってもらって対応できる人が必要。作業療法士に期待したい。

Q3）地域コミュニティの重要性
高齢者の居場所づくりを含め、コミュニティの形成が重要と思いますが、作業療法士としてコミュニティを形成する基礎知識があれば、高齢者の居場所づくりに貢献できま

すか。

A3）高齢者、認知症、独居高齢者などの社会との共生のためには地域を包括した支援体制が必須であり、その意味でコミュニティの形成は非常に重要である。大学でこのような基礎知識を養成してもらえることは非常にありがたい。コミュニティの中では作業療法士が果たす役割は非常に大きいのではないか。

多様な主体による生活支援サービスについて

Q：民間企業、NPO、地方自治体などと、理学療法士・作業療法士が協力し、高齢住民のニーズを踏まえて支援する体制が必要と思います。例えば、マネジメント、コーチング、NPO論、起業入門、地域社会論、コミュニティ形成論などの知識を活用することで他団体等と連携し、プロジェクトを推進していく力がつくと考えていますが、いかがでしょうか。

A：同感である。超高齢社会を迎えて解決すべき非常に多くの課題がある中で、このような知識を学生が持つことは、療法士としてのこれまでの域を超えた幅広い視野を持たせることになり、学生のモチベーションを高めることになる。このような幅広い基礎知識を持った学生が関連職種と協働して地域での活動を推進していく力になってくれると思う。

Q：他大学では、地域のニーズを解決するために必要な能力を備えた理学療法士や作業療法士を育成する大学教育では不足していると思いますが、このような養成を行う大学は魅力的でしょうか。

A：大いに魅力的である。超高齢社会にどのように対応していくか、大問題である。この対応は本当に大変であるが、地域の中に入ってもらって一緒に解決していく能力を持った人が育ってくれることに期待したい。

リハビリテーションの根幹は、人権の回復であると考えているので、この目的を果たすためには、各領域がバラバラでは難しいので、組織化して解決に向かう必要があると思う。その組織の中核を担う人材の育成を期待したい。

（ヒアリング担当者）
岡山県健康福祉部医療推進課課長　則安俊昭氏
〒700-8570　岡山市北区内山下２丁目４－６
TEL.086－226－7330

（資料 1－6）第 3 次作業療法 5 カ年計画（一般社団法人 日本作業療法士協会）

①第 3 次作業療法 5 カ年計画

②出典：一般社団法人 日本作業療法士協会

③書類等の利用範囲：ホームページ

http://www.jaot.or.jp/wp-content/uploads/2019/01/3rd-5years-strategy.pdf

（資料 1－7）岡山市へのヒアリング　（実施日）平成 30 年 8 月 23 日

岡山専門職大学の設置に関して岡山市政策局政策企画課、保健福祉局地域包括ケア推進課、保健福祉局保健福祉企画総務課にヒアリングした所、以下のご意見をいただいた。

岡山市の介護予防センターでは専門職による介護予防事業等を行っており、来年度からフレイル予防（※フレイル：健康と要介護の中間のこと）事業の実施も予定している。その際に学生の方に一緒に来て貰えるとこちらとしてもありがたいし、学生にとっても高齢者が進む社会の現状に触れる良い機会になるのではないか。地域包括ケアシステムで、高齢者に携わってくださる人は医療職に就職してからの人転職や再就職人が多いので人材が育ちにくい面もある。我々はもっともっと学生さんや学校と連携して、福祉職の魅力を発信していかなければいけないと思っている。

岡山専門職大学では従来よりもアクティブラーニングを重視されるということで、専門分野以外でも地域に関わりを持つことで、知識も広がっていくと思います。展開科目ではフィジカルな面だけでなく、メンタル面はもちろんソーシャル面の部分でも鍛えていかれるということですね。展開科目の中でも高齢者の経済論で高齢者のケアをやっていただいて、すぐに活かしていただくといった点を協力しあえれば良い。高齢者のファイナンスに関することだけでなく、オレオレ詐欺など高齢者が被害者になりやすいことや、社会との関わりをほとんど持たない男性高齢者が家にこもってしまうという問題もあるので理学療法士・作業療法士として取組を行って貰えれば良い。

岡山市は「大学生まちづくりチャレンジ事業」を実施しており、本年度は 14 グループが参加している。専門職大学も対象としたいと考えるので、岡山専門職大学にも参加して貰い、岡山市・地元 NPO・地元団体・企業と本山学園の学生が協働して地域活動を通じた人材育成につなげていきたい。将来的には大学の枠を越えて一緒に事業参画する部門も設ける予定であり、地域の活性化につなげる機会を創出する。大学を卒業する年代の方が極めて転出超過となっているので学生に関心を持って貰って、社会に目を向けて学生生活と社会と関わることで、岡山市への定着率が高まることを期待する。また岡山市に設置されることで、県外からの進学者が岡山市に増えること、就職で県外から移住者が県内へ定着することは喜ばしいことである。

岡山市では、岡山専門職大学の設置を歓迎する。

（岡山市ヒアリング担当者）

岡山市政策局政策企画課　地方創生・政策調整担当課長　折口　範昭氏

岡山市政策局政策企画課　地方創生担当　副主査　流尾　正亮氏

岡山市保健福祉局地域包括ケア推進課　課長　岸川　和忠氏
岡山市保健福祉局　保健福祉企画総務課　課長補佐　岡村　誠氏

（資料１－8）岡山県総務部総務学事課へのヒアリング

本学の専門職大学の設置に関して岡山県総務部総務学事課にヒアリングを実施したところ、以下の意見をいただいた。（実施日）平成３０年８月２２日

岡山専門職大学の設置が認められた場合、医療現場の課題やニーズを迅速に教育課程に反映させ、最新の知識と実技を身に付ける実践的仕組みにより、新しいサービスを創り出せる創造力を備えた専門職業人の育成を行うという新たな枠組みの教育が行われるとのことであり、県内高校生の進路選択の幅が広がるのみならず、医療関係者を中心とした社会人の学び直しの場も増加することから、県政推進の重点戦略に掲げている「安心で豊かさが実感できる地域の創造」にも繋がるものと期待しています。

また、地域がその特長を生かし、自主的で持続可能な社会の創生を目指す地方創生が喫緊の課題となっている中、専修学校教育で培った職業人材育成力に更に磨きをかけていただき、社会人や職業人として必要な能力や勤労観・職業観をしっかりと身に付けた人材を輩出し、地域社会の発展に貢献することを期待しています。

（ヒアリング担当者）
岡山県総務部総務学事課　学事班　分嶋　陽子
〒700-8570　岡山市北区内山下２丁目４－６
TEL 086-226-7198（直通）

(資料2) 健康科学部 理学療法学科
カリキュラムマップ

岡山医療専門職大学　健康科学部　理学療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた理学療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。	理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ	スポーツ科学　マネジメント論 起業入門　コーチング論 NPO論　岡山経営者論
3年次	基盤ゼミⅡ コミュニケーション論	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論　生涯スポーツ実習 基礎理学療法実習Ⅱ　義肢装具学 理学療法管理学概論　地域理学療法学 理学療法評価学実習Ⅲ　予防理学療法学 物理療法実習　評価実習 理学療法治療学実習Ⅲ　総合実習Ⅰ 老年期障害理学療法学　総合演習Ⅰ 理学療法演習Ⅱ　メディカル英語	食生活マネジメント論 生体情報科学 人間形成論 人間関係論
2年次	基盤ゼミⅠ 国際政治経済論	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ　物理療法 運動学実習　理学療法治療学Ⅰ 精神医学　理学療法治療学Ⅱ 整形外科学　理学療法治療学Ⅲ 神経内科学　理学療法治療学Ⅳ 小児科学　理学療法治療学実習Ⅰ 基礎理学療法学　理学療法治療学実習Ⅱ 基礎理学療法実習Ⅰ　日常生活活動学 理学療法評価学Ⅱ　日常生活活動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ　生活環境学 理学療法評価学実習Ⅱ　理学療法演習Ⅰ 運動療法実習Ⅰ　スポーツ理学療法特論 運動療法実習Ⅱ	ヒューマンサービス論
1年次	大学入門 職業人の倫理と道徳論 コミュニケーション英語 日本の歴史と文化	情報収集と処理	基礎生物　理学療法概論 基礎物理　病理学 解剖学　内科学 解剖学実習Ⅰ　リハビリテーション概論 生理学　理学療法評価学Ⅰ 生理学実習　見学実習 運動学　リハビリテーション医学 人間発達学　運動療法 臨床医学概論　多職種連携論	健康科学概論 心理学 哲学概論

学びの流れ

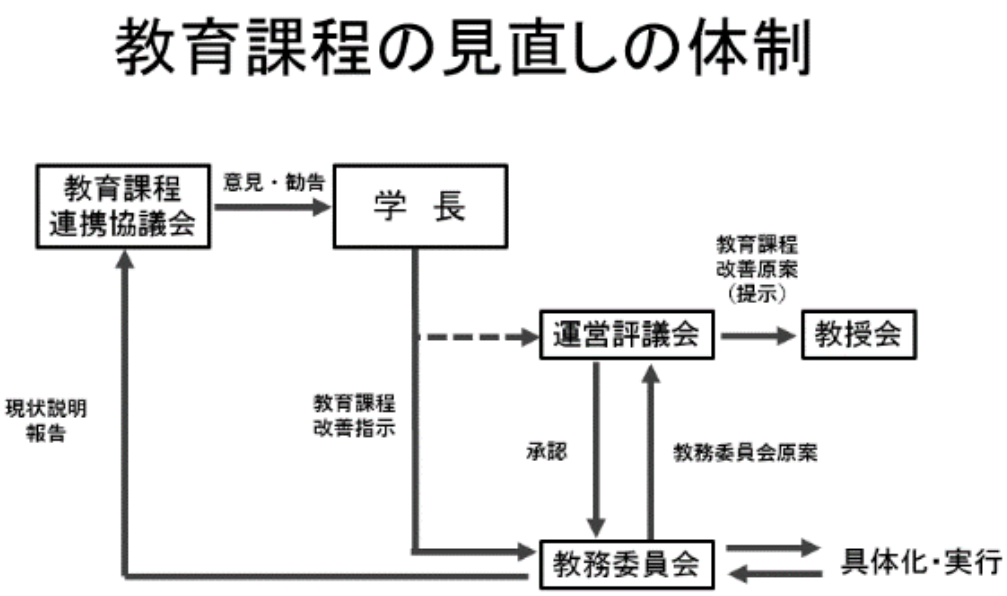
岡山医療専門職大学　健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた作業療法士になる。

学びの流れ

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。。
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法セミナーⅡ	人間工学 地域生活と健康 特別支援教育 ライフサイクル論 岡山経営者論
3年次	コミュニケーション 論基盤ゼミⅡ	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 作業療法管理学概論 身体障害作業療法実習Ⅲ 老年期障害作業療法実習義 肢装具学 基礎作業療法治療学 基礎作業療法治療学実習Ⅰ 基礎作業療法治療学実習Ⅱ メディカル英語 予防作業療法学 地域作業療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅲ 身体障害作業療法学Ⅳ 作業療法演習Ⅱ	地域社会論 コミュニティ形成論 人間形成論 人間関係論 家族関係論
2年次	基盤ゼミⅠ 国際政治経済論	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅰ 作業療法評価学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅲ 生活環境学 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法実習Ⅰ 身体障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法学 作業療法演習Ⅰ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 精神障害作業療法学	ヒューマンサービス論
1年次	大学入門 職業人の倫理と道徳論 コミュニケーション英語 日本の歴史と文化	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 作業療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 見学実習 リハビリテーション医学 基礎作業学 多職種連携論 作業療法評価学	健康科学概論 心理学 哲学概論

（資料 3）教育課程の見直しの体制



（資料 4）定年規程

岡山医療専門職大学　定年規程

（目的）

第１条　この規程は、学校法人本山学園就業規則（以下「学園就業規則」という。）に基づき、岡山医療専門職大学教職員の定年に関する事項について定める。

（定年）

第２条　教職員は、満 60 歳をもって定年とするが、学園就業規則の継続雇用規程に基づき引き続き勤務を希望する者は満 65 歳まで再雇用する。

２　教員の再雇用に関する規定の詳細は別に定める。

３　学長は、満 75 歳をもって定年とする。

４　学部長は、満 70 歳をもって定年とする。

（定年退職日）

第３条　定年に達した者および再雇用者は、その日の属する年度末を退職の日とする。

（定年の特例）

第４条　任期の定めのある役職に従事する者が定年に達したとき、必要ある場合は、その当該任期が満了するまで定年を延長することができる。

２　学長の任にあたる者で、余人をもって代え難いときは、定年を延長することができる。ただし延長は１年単位で５年を限度とする。

３　60 歳を過ぎて新たに専任教員として採用される者の雇用契約は、1 年契約で更新するものとする。ただし更新により雇用契約による通算の雇用期間が 5 年を超えることになる場合は、以後の更新は行わない。

４　職務の必要上特に引き続き勤務させる必要がある教職員については、一定期間任用することができる。雇用契約は、1 年契約で更新する。ただし更新により雇用契約による通算の雇用期間が 5 年を超えることになる場合は、以後の更新は行わない。

５　定年あるいは満期退職する教授の内、教育研究上必要ありと認められる場合、特任教授として満 70 歳まで勤務することができる。特任教授の職務および勤務形態については別に定める。

（改廃）

第５条　この規程の改廃は、法人常務会の議を経て理事長が決定する。

附則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

（資料 5）岡山医療専門職大学履修科目の登録の上限に関する規程

岡山医療専門職大学

履修科目の登録の上限に関する規程

（趣旨）

第１条　この規程は、岡山医療専門職大学学則第 32 条に基づき、岡山医療専門職大学の卒業ならびに修了の要件として修得すべき単位数について、１年間に登録することができる履修科目の単位数の上限に関し必要な事項を定める。

（登録単位数の上限）

第２条　履修登録上限は、１年間において 39 単位とする。

ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。

２　次の各号に掲げるものについては、登録単位数の上限から除くものとする。

（１）再履修科目

（２）学長が認めた科目

（履修登録の通知）

第３条　学部長は、履修届により履修登録することができる履修科目を学生に通知する。

（附則）　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

（資料 6）岡山医療専門職大学　教育課程連携協議会規程

岡山医療専門職大学　教育課程連携協議会規程

（目的）

第１条　この規程は、岡山医療専門職大学（以下「本学」という。）と医療・保健・福祉業界及び地域社会との連携により、高い実践力と豊かな創造力を備えた高度専門職業人を育成するための授業科目の開設、教育課程の編成、実施、評価に関する基本的事項を審議するために設置する教育課程連携協議会（以下「協議会」という。）の構成及び運営に関し、必要な事項を定める。

（協議会の位置づけ）

第２条　協議会は、組織的、系統的に位置づけられた本学の協議会として、教務委員会と連携して医療・保健・福祉専門教育に特化した教育課程の編成を推進する。

（協議会の任務）

第３条　協議会は、次に掲げる諸事項について審議し、議長は学長に意見を述べるものとする。

（１）授業科目の内容、時間数

（２）産業界及び地域社会との連携による授業科目の開発・開設

（３）産業界及び地域社会との連携による教育課程の編成、授業の実施・評価

（４）その他学修に必要な事項に対する支援

（協議会の構成及び選任）

第４条　協議会は、学校側の構成員４名、業界等側の理学療法・作業療法各学科構成員（以下、「業界側構成員」という。）３名以上で構成する。

２　学校側構成員は次の者とする。

（１）学部長

（２）各学科教務委員１名

（３）学長が必要と認めた者１名

３　業界側構成員については、医療・保健・福祉専門分野に関する有識者から広く選任するものとし、次の第１号から第３号において少なくとも１名を構成員とすることとする。

（１）本学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者

（２）地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者

（３）臨地実務実習（第 29 条第 1 項第 4 号に規定する臨地臨床実習をいう。）その他の授業科目の開設又は授業の実施において本学と協力する事業者

（４）本学の教員その他の職員以外の者であって学長が必要と認めた者

（資料 6）岡山医療専門職大学　教育課程連携協議会規程

（構成員の任期）

第５条　構成員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

２　補欠又は増員により専任された構成員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

３　構成員は任期満了後であっても、後任者が就任するまではその職務を行う。

（構成員の役割）

第６条　構成員は、各々の専門領域及び役割に応じた業務を担当する。

２　学校側構成員は、社会のニーズや保護者、学生、就職先、関係者等の情報を把握、分析し、企業等との連携を含め教育課程の編成に関し、基本的な方針を示す。

３　業界側構成員は、企業等の要望や意見を反映させた教育課程における編成・連携を推進し、職業教育の見地に立った実習の実施を支援する。

４　両者は、相互に協議・協力し、職業活動を主体的に実施し、社会に貢献できる人材の育成を行う。

（議長及び副議長）

第７条　協議会には、議長１名及び副議長１名を置くこととし、学部長が議長となり、副議長は構成員のうちから互選により選任する。

２　議長は、会議を統括する。

３　副議長は、議長を補佐し、この協議会の業務を分掌する。

４　副議長は、議長に事故あるとき、又は欠けた時はその職務を代行する。

５　議長及び副議長に事故あるとき、又は欠けた時は、互選により他の構成員がその職務を代行する。

（会議）

第８条　会議は年２回以上実施し、必要に応じ議長が随時、書面をもって通知、招集する。

２　会議を招集しようとする時は、各構成員に対し予め議題、日時、場所、その他必要事項を通知する。

３　協議会は、構成員の過半数が出席しなければ、これを開くことはできない。ただし、議題につき書面をもって予め意見を表明した者は出席者とみなす。

４　協議会の議事は出席構成員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の裁決するところによる。

５　議長は必要があると認めるときは、会議の招集を行わず、書面をもって構成員の意見を求めることにより、協議会の議決に代えることができる。この場合においては、議長は、その結果について各構成員に報告しなければならない。

６　構成員は、自己に特別の利害関係のある議案の審議及び議決には加わることができない。

７　協議会は原則として公開とする。

８　議長は適当と認める者に対して、参考人として会議への出席を求め、資料の提出、意見の開陳、

説明、その他必要な協力を求めることができる。

（議事録）

第９条　協議会の審議については、その経過及び結果を記録した議事録を作成するものとする。議事録は原則として公開とする。公開する情報及び情報公開方法については、協議会で定める。

（法人への報告、建言）

第 10 条　協議会は審査手続を終了した時は、すみやかに事案について議決を行い、書面をもってその内容及び事由を法人に報告しなければならない。

（細則の制定）

第 11 条　協議会は、協議会運営の細則を定めることができる。

（事務局）

第 12 条　協議会の事務を遂行するため、事務局を置く。

２　事務局は、教職員若干名（以下、「事務局員」という。）をもって運営する。

３　事務局員は、協議会の会議、その他の事務処理を通じて知り得た事実を他に漏らしてはならない。

（改廃）

第 13 条　この規則の改廃は議長が起案し、議決を経て行う。

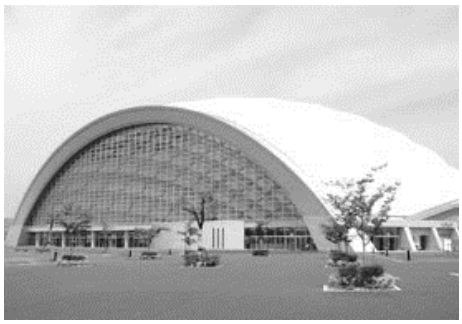
附則

１　この規則の施行に関し、必要な事項は別に定める。

２　この規則は令和２年４月１日から施行する。

（資料7）グラウンド資料（岡山ドーム、岡山県総合グラウンド）

岡山ドーム



http://www.okayama-park.or.jp/facility/okayama_dome

開園時間	9:00～21:00
休園日	毎週火曜日（祝日の場合はその翌日）
	年末年始（12/29～1/3）
住所	〒700-0962　岡山市北区北長瀬表町１丁目 1-1
料金	1/8 面（平日）９時～１７時まで　１時間４２０円
建築面積	9,500 ㎡
お問い合わせ	岡山ドーム管理事務所
	〒700-0962　岡山市北区北長瀬表町１丁目 1-1
	TEL:086-805-8883　FAX:086-805-8893

岡山県総合グラウンド資料



http://www.okayama-park.or.jp/facility/okayama_sougou

利用時間	施設により異なる（園内は終日）
休園日	施設　年末年始（12/29～1/3）
住所	〒700-0012　岡山市北区いずみ町 2-1
お問い合わせ	岡山県総合グラウンド事務室
	〒700-0012　岡山市北区いずみ町 2-1
	TEL:086-252-5201（代表）　FAX:086-256-0959（施設により異なる）
	「遺跡＆スポーツミュージアム」
	TEL:086-255-7300

（資料8）　教育上必要な機械器具標本及び模型等

新指定規則機械器具			本学設置機械器具			
品名	数量	個数	品名	個数	セット数	備考
水温計	4		水温計	14		
メジャー	2人で1	20	メジャー	20		
関節角度計一式	各種		ゴニオメーター（学生用プラスチック）	20		
			ゴニオメーター（大）	35		
			ゴニオメーター（大　プラスチック）	5		
			ゴニオメーター（小）	10		
血圧計	2人で1	20	血圧計	40		
			アネロイド血圧計	30		
			血圧計	17		
			聴診器	17		
			デジタル血圧計	1		
聴診器	2人で1	20	聴診器	40		
神経検査器具一式	4人で1	10	打腱器	19		
			触覚検査器具	8		
			圧痛計	5		
			複合感覚検査板	5		
			音叉	24		
知覚検査一式	10人で1	4	SW知覚テスト	1		
			スピアマン式触覚計	10		
ストップウォッチ	2人で1	20	ストップウォッチ	20		
ハンドヘルドダイナモメーター	20人で1	2	等尺性筋力計（ミュータス）	1		不足分追加購入
発達検査器具	10人で1	4	発達検査器具　ミラー	4		
	10人で1		発達検査器具　WAIS-R	4		
	10人で1		発達検査器具　WASC-Ⅲ	4		
知覚・認知検査器具・知覚検査一式	10人で1	4	知覚・認知検査器具　フロスティック	4		
	10人で1		知覚・認知検査器具　ベントン	4		
	10人で1		知覚・認知検査器具	4		
心理検査器具	10人で1	4	心理検査器具 ＣＬＡＫⅢ	4		
	10人で1		心理検査器具 WPPIS	4		
	10人で1		心理検査器具　田中ビネー	4		
上肢機能検査器具	10人で1	3種	上肢機能検査器具　ステフ	4		
	10人で1		上肢機能検査器具　ペグ	4		
	10人で1		上肢機能検査器具　MFT	4		
職業適性検査器具	2種以上		職業適性検査器具	3		
背筋力計一式	1		背筋力計一式	3		
心電図計測装置一式	2		心電図計測用具一式	2		
スパイロメーター	20人で1	2	スパイロメーター	6		
ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ酸素飽和度測定装置	10人で1	4	ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ酸素飽和度測定装置	30		
多用途記録装置	1		多用途記録装置	1		買替購入
ﾊﾞｲｵﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ機器	1		ﾊﾞｲｵﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ機器	4		
顕微鏡　　油浸集光器付	10人で1	4	顕微鏡	15		買替購入
解剖用具一式	2人で1	20	動物解剖学器具	20		
人体解剖用視聴覚教材一式	1		人体解剖スライド	1		
バネ秤	1		バネ秤	1		
筋機能解析装置	1		筋機能解析装置	1		買替購入
皮細工用具一式	4人で1	10	革細工用具一式	14		
絵画用具一式	4人で1	10	絵画用具一式	29		
園芸用具一式	4人で1	10	園芸用具一式	10		
陶工用小道具一式	4人で1	10	陶工用小道具一式	10		
絵つけ用用具一式	4人で1	10	絵つけ用用具一式	10		
電動ボール盤	1		電動ボール盤	1		
手動式木工用具一式	4人で1	10	手動式木工用具一式	14		
電動木工用具一式	4人で1	10	電動木工用具一式	10		
作業台	4人で1	10	作業台	10		
			七宝炉	1		
金工用具一式	4人で1	10	金工用具一式	10		
起立訓練ベット	1		起立訓練ベット	1		
バランスボード	1		バランスボード	4		
平行棒	1種		平行棒	3		
体位排痰訓練台	1		体位排痰訓練台	2		
マット	20人で1	20	マット	15		

			マット	15		
バルーン	6種	6種	バルーン	3	３種	3種追加購入
ロール	3種		ロール	3	３種	
三角マット	3種		三角マット	6	３種×２	
プッシュアップ台	6種		プッシュアップ台	3	３種	3種追加購入
鉄亜鈴	各種2セット		鉄亜鈴	20	10種×２	
重スイバンド	各種2セット		重スイバンド　0.25　0.5　0.75　1.5Kg	4		
			重スイバンド　1.　２Kg	2		
			重スイバンド　2.　3.　4.　５Kg	4		
			重スイバンド　2.5　3.5kg	4		
			スロープ	1		
			オーバーヘッドフレーム	1		
滑車	4人で1	10	滑車	10		
肋木	1		肋木	1		
ローラーチェアー	10人で1	4	ローラーチェアー	4		
足関節矯正用ウェッジ一式	1		足関節矯正用ウェッジ一式	1		
弾性包帯各種一式	5人で1	8	弾性包帯各種一式	10		
歩行介助用ベルト	10人で1	4	歩行介助用ベルト	4		
高さの異なる台	4種		高さの異なる台	4		
メトロノーム	20人で1	2	メトロノーム	8		
ホットパック	各3		ホットパック	12	４種×３	
ホットパック加温器	1		ホットパック加温器	1		
パラフィン加温器	1		パラフィン加温器	1		
			固形パラフィン（カラーも）	7		
			ろ過布袋	1		
部分浴槽		4種	部分浴槽	4	４種	
			水治訓練用大型浴槽	1		
渦流浴槽置		1	渦流浴槽置	1		
気泡浴槽置		1	気泡浴槽置	1		
			浮き袋	5		
			弾性包帯一式	1		
コールドパック	4人で1	10	コールドパック	14		
			コールドパック冷却器	1		
プラットホームマット	20人で1	2	プラットホーム	10		
姿勢鏡	1		姿勢鏡	1		
			姿勢鏡	1		
極超短波治療器	1		極超短波治療器	3		
			超音波治療器	1		
光線療法治療機器	1		赤外線治療器	1		
			紫外線治療器	1		
レーザー治療器	1		レーザー治療器	1		買替購入
電気刺激治療器	４種		電気刺激治療器	2		2種追加購入
極低温治療器具	10人で1	4	クリッカー（極低温治療器具）	3		
			極低温治療器具	10		
頸椎けん引装置・腰椎けん引装置	各1		頸腰椎けん引装置	2	２種	
保護眼鏡	1		保護眼鏡	10		
超音波治療器	1		超音波治療器	1		
歩行器	5種		歩行器	6	6種	
杖	6種		プラットホーム杖	2		
			ロフストランド	18		
			ロフストランド　カフなし	2		
			４点杖	3		
			１本杖	6		
			松葉杖　木製	13		
			松葉杖（合わせてパッチン）	4		
			松葉杖（合わせてパッチン）M:5　L:6	11		
			多脚杖（サイドケイン）	1		
			オフセット杖	1		
バイブレーター	20人で1	2	バイブレーター	4		
標準型車いす	4人で1	10	標準型車椅子	35		
			介助用車椅子	2		
車いす	5種		車椅子　スポーツ型	1		
			車椅子　バギー型	1		

電動式車椅子	1		電動式車椅子	1		買替購入
タイマー	5人で1	8	タイマー	15		
日常家具一式	1		家庭用ミシン	1		
			食卓（和食・洋食）	1		
			箪笥	1		
			椅子	5		
			座布団	5		
電気冷蔵庫	1		電気冷蔵庫	1		
電気洗濯機	1		電気洗濯機	1		
調理道具一式	10人で1	4	調理道具一式	4		
改造衣類一式	10人で1	4	改造衣類一式	4		
掃除道具一式	1		掃除用具一式	1		
ラップボード	3		ラップボード	5		
ポータブル便器	3種		ポータブル便器	3	３種	
サスペンションスリング	2		サスペンションスリング	1		
			サスペンションスリング	1		
アームスリング	3種		アームスリング	3	３種	
腕可動支持器	20人で1	2	腕可動支持器	4		
トランスファーボード	10		トランスファーボード	10		
リフター	２種		リフター	2	２種	
台所ユニット（車椅子用）	1		台所ユニット（車椅子用）	1		
バスユニット(車椅子用)	1		バスユニット(車椅子用)	1		
洗面台（車椅子用）	1		洗面台（車椅子用）	1		
入浴用補助用具一式	1		入浴用補助用具一式	1		
電動式ベッド	1		電動式ギャッジベッド	1		買替購入
環境制御装置一式	1		環境制御装置一式	1		買替購入
電話機	1種		福祉電話	1		
			プッシュ式電話	1		
			おむつ用ズボン	3		
			つなぎねまき	3		
			なべ	3		
			両手なべ	3		
			食器	5		
			椅子	0		
			採尿便器一式	3	３種	
自助具	40種以上		自助具	40		
			ADLテスト盤	1		
			ダイヤル式電話機	1		
車椅子用クッション	3種		車椅子用クッション　平タイプ	1		
			車椅子用クッション　Gel-Tタイプ	1		
			車椅子用クッション　ロホ・ミドルタイプ	1		
			円座クッション	1		
ギプス用具一式	１組		ギプス用具一式	1	１組	
装具･ｽﾌﾟﾘﾝﾄ及び各部品	1		装具･ｽﾌﾟﾘﾝﾄ及び各部品	1	各種１	
座位保持装置一式	1		座位保持装置一式	5		
作業台	10人で1	4	作業台	4		
			ボディペン	13		
上腕義手・能動式	1		上腕義手・能動式	1		
上腕義手･装飾用	1		上腕義手･装飾用	1		
肩義手(装飾用)	1		肩義手(装飾用)	1		
肩義手能動式普通用	1		肩義手能動式普通用	1		
肩義手能動式肩甲鎖骨切除用	1		肩義手能動式肩甲鎖骨切除用	1		
前腕義手能動式	1		前腕義手能動式	1		
前腕義手(装飾用)	1		前腕義手(装飾用)	1		
手義手・能動式	1		手義手・能動式	1		
手義手・装飾用	1		手義手・装飾用	1		
手部義手	1		手部義手	1		
手指義手	1		手指義手	1		
作業用義手	1		作業用義手	1		
義手ﾁｪｯｸｱｳﾄ用具一式	4人で1	10	義手ﾁｪｯｸｱｳﾄ用具一式	10		
義足及び各備品	各種１		義足及び各部品	1	各種	
スプリント	10種以上		スプリント	10		
スプリント製作用具一式	4人で1	10	スプリント製作用具一式	10		

			アライメント下肢用	1		
			アライメント下腿用	1		
			各種装具及び各部品　ﾍﾞﾙｸﾏﾝ	1		
			各種装具及び各部品　ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｱﾝｸﾙｻﾎﾟｰﾀｰ	1		
各種装具及び各部品	各種１		各種装具及び各部品　SKC	1		
			各種装具及び各部品　SWAD-O STRAPLO	1		
			下腿義足	1		
			下肢用装具　ﾂｲｽﾀﾘｰﾋﾞｭﾙｹﾞﾙ	1		
			コクメテックバンド	1		
			サイム義足	1		
			スプリント　オッペンハイマー	1		
			スプリント　ナックルベンダー	1		
			スプリント　逆ナックルベンダー	1		
			スプリント　把持装置ランチョ	1		
			足袋義足	1		
			股継手（単軸）	1		
			股離断義足	1		
			足継手	2		
			足継手部品	2		
			足部部品	2		
			下肢用装具合成樹皮製	2		
			標準大腿義足	2		
			フック部品	2		
			上腕ソケット	3		
			大腿ソケット	3		
			膝継手	3		
			膝継手部品	3		
			前腕ソケット	3		
			体幹用装具	4		
			下肢用装具支柱つき	5		
			下腿装具ソケット	5		
			スプリント部品	9		
重心動揺分析装置一式	1		重心動揺分析装置	1		買替購入
			ポータブル重心動揺計	1		
運動解析装置（三次元操作解析装置）	1		運動解析装置	1		買替購入
障害者用パーソナルコンピュータ	各種1		障害者用パーソナルコンピュータ　オペレートナビ	1	各種	買替購入
			障害者用パーソナルコンピュータ　キネックス	1		買替購入
			パーソナルコンピュータ	10		買替購入
コミュニケーションエイド	2種		コミュニケーションエイド　トーキングエイド	1		買替購入
			コミュニケーションエイド　意思伝達装置	1		買替購入
呼気ガス分析装置一式	1		呼気ガス分析装置一式	1		買替購入
トレッドミル	1		トレッドミル	1		
自転車エルゴメーター	20人で1	2	自転車エルゴメーター	4		
ハンドエルゴメーター	1		ハンドエルゴメーター	1		
体脂肪測定器具	5人で1	8	体脂肪測定器具	8		
形態測定器具一式	1	1	体重計	11		
			形態測定器具一式	1		
			身長計	1		
			座高計	1		
			簡易体重計	17		
			簡易体重計	3		
			簡易体重計	5		
ポジショニング用クッション一式	1		ポジショニング用クッション	3		
ピンチメーター一式	各種		ピンチメーター一式	2		
握力計一式	各種		握力計一式	12		
検査測定・治療台	20		治療台ベッド	30		
			簡易ベッド	40		
			治療台ベッド	13		
鍵盤楽器	1		電子ピアノ　　ピアノ	2		
			将棋	1		
娯楽用ゲーム一式	1		碁盤	18		
			碁石	19		
			ビーンズバックゲーム	3	３セット	

			ボーリング	60	６セット	
			ボーリング　木製	1	１セット	
			輪投げ	1	１セット	
運動遊具一式	4		ゲートボール（大）　まんまりも	1	１セット	
			ゲートボール（小）	3	３セット	
スポーツ用具一式	1		バレーボール	15		
			ソフトボール	4		
			テニスボール	1		
			バスケットボール	4		
			サッカーボール	2		
			ドッチボール	2		
			カラーボール	3		
			テニスラケット	2		
			グローブ	6		
			キャチャーマスク	1		
			バッド	2		
作業療法音響再生装置	1		ラジカセ・デジタルカメラ（作業療法音響再生	2		
			シャッフルボード	1	１セット	
玩具一式	4		玩具一式	4		
			マイクロタワー	1		
ＡＥＤ	1		ＡＥＤ	1		
			ＡＥＤトレーナーツール	4		
			ＡＥＤ実践用マネキン	4		
視聴覚教材	各種		視聴覚教材各種	1	各種	
小児	4		実習モデル人形	4		
			※スポーツ用具一式（各種１）	1		
			※運動用具一式（各種４）	4		
			※玩具一式（各種４）	4		
			バーベルステージ	1		
			バーベルシャフト	1		
			SDラバープレート50一式	1		
			スポーツ安全ミラーⅢ	1		
			メガパワーバッグ一式	1		
			パワーラックⅢ	1		
			フラットベンチ	1		
			ワイドプレスベンチ　セーフティラック付	1		
			ノンバーストボール一式	1		
			スライドボードプロ	1		
			ラットプルタウン	1		
			レッグエクステンション/カール	1		
			レッグレイズ/ディップ	1		
			ストレッチポール	27		
			ヨガマット	55		
パーソナルコンピューター	4人で1	10	パソコン	60		
ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ用具一式	10人で1	4	ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ用具一式	4		
表面温度計	10人で1	4	表面温度計	10		
視野計	1		視野計	1		
フリッカー	10人で1	4	フリッカー	3		
製図用具一式	4人で1	10	製図用具一式	10		
メディスンボール一式	3種		メディスンボール一式	3		
吸引装置一式	20人で1	2	吸引装置一式	4		
砂袋	各種2		砂袋	20	各種2	
			体温計	0		
			電子体温計	18		
			タジマレーザー測定器ＧＴ－２ｉ　縦横	1		
			プリンター	6		
			アイマスク	20		
			保護眼鏡	9		
			骨一式	0		
			タッパー	4		
			マーブル	24	24(大1)	
			パズル	4	４セット	
			温度計	15		

			弾性包帯一式	31		
			オキシメーター	2		
			セラバンド（L・M・S各1巻）	3		
			三角巾	60		
			SPO2（経皮的動脈血酸素飽和度）	30		
			アイスパック（L:10　M:10）	20		
			肩サポーター	2		
			膝サポーター	2		
			擬似氷	14		
			ﾚﾝﾄｹﾞﾝﾌｨﾙﾑﾋﾞｭｱｰ	1		
			ＢＩＴ行動性無視検査	1		
			枕	40		
			枕カバー	40		
			視力表	2		
			マスターテスト台	2		
			解剖台	10		
			心筋動物実験用具	10		
			筋電図計測用具一式	1		
			神経筋動物実験用具一式	4		
			医薬保管用冷蔵庫	1		
			時値計	1		
			尿検査器具一式	15		
			乾式ガス分析器	3		
			呼気採集装置	5		
			張力計	8		
			打検器	3		
			メモリーオシロスコープ	3		
			生体電気用前置増幅器	3		
			電気刺激装置	3		
			アイソレーター	3		
			大腿四頭筋訓練器	2		
			スタンディングテーブル	1		
			卓上織機	15		
			床上織機	5		
			織物付属品一式	15		
			画架	29		
			イーゼル	10		
			絵画療法壁画用具一式	40		
			ダーマトグラフ　赤・青・白・黄・黒	40	各40	
			デッサン用鉛筆　6B　4B　2B	40	各40	
			作業台	10		
			セラプラスト	9		
			ビー玉　大	2		
			ビー玉　小	25		
			おはじき	36		
			木工台	12		
			陶芸用電気炉	2		
			ろくろ（電動）	10		
			ろくろ（手廻し）	47		
			ろくろ（絵つけ用）	23		
			足ふみ鋸	1		
			ジグゾー	1		
			電動ジグ鋸	1		
			電動ドリル	1		
			電動ポータブルやすり	1		
			丸のこ	4		
			かんな	4		
			石膏モデル	5		
			彫刻セット	10		
			クランプシー	20		
			モザイク用具一式	10		
			肩関節回旋運動器	1		
			滑車重垂運動器	1		

			手関節屈曲伸展運動器	1		
			歩行訓練用斜面階段	1		
			ﾏﾙﾁﾝ人体測定器一式	4		
			治療台	2		
			マット	4		
			歩行訓練用斜面台（スロープ）	1		
			平行棒	1		
			階段一式	1		
			低周波治療器（トリオ300）	1		
			ハドマー（波動系末梢循環促進装置）	1		
			能動型下肢用CPM装置	1		
			マルチセンサー生理計測装置	1		
			カロリー測定器具	15		
			卓球台（スポーツ用具一式）	1		
			卓球ラケット	1		
			プッシュアップ台	0		
			発達検査器具　ミラー	0		
			発達検査器具　WAIS-R	0		
			発達検査器具　WASC-Ⅲ	0		
			知覚・認知検査器具　フロスティック	0		
			知覚・認知検査器具　ベントン	0		
			知覚・認知検査器具	0		
			心理検査器具 ＣＬＡＫⅢ	0		
			心理検査器具 WPPIS	0		
			心理検査器具　田中ビネー	0		
			上肢機能検査器具　ステフ	0		
			上肢機能検査器具　ペグ	0		
			上肢機能検査器具　MFT	0		
			ＢＩＴ行動性無視検査	1		
			色盲表	2		
			将棋	2		
			長谷川式テスト一式	1		
			リバーミード行動記憶検査	1		
			標準注意検査法・標準意欲評価法	1		
			採尿便器一式	1		
			標準高次動作性検査	1		
			握力計一式	0		
			ﾚﾝﾄｹﾞﾝﾌｨﾙﾑﾋﾞｭｱｰ	3		
			高齢期疑似体験システム	1		
			鉄アレイ	0	10種×２	
			座圧センサー	2		
			合計	2,685		

追加購入リスト（令和2年2月28日購入予定）

			品名	数量	セット数	
			バスケット用車いす	0		
			電動車いす	1		
			股義足	1		
			股継手	2		
			下腿義足　足部付き	1		
			義足部品一式	1	6部品	
			胸椎装具	1		
			側弯症装具	1		
			肩装具	1		
			座位保持装置一式	1		
			アルミフットサルゴール	1		
			フットサルゴールネット	1	組	
			ペレーダ　フットサル4号　モンテン	10		
			室内用移動式バスケットボール用ゴール	1	組	
			バスケットボール7号　モンテン	5	男子	
			バスケットボール6号　モンテン	5	女子	
			ソフトバレーバド支柱DX	5	組	
			ソフトバレーボールネット	5		

			ソフトバレーボール　モンテン	10		
			バドミントンネット	5		
			バドミントンラケット　ヨネックス	20		
			シャトルコック　ヨネックス	5	筒	
			ボールカゴ　　モンテン	3		
筋電図計測装置一式	1		ウルティウムEMG8ｃｈセット	1	筋電計　1式	
超短波治療器	1		超短波治療器　ライズトロン	1		
肺活量計	8		肺活量計　ポケッタブル	8		
体圧計測装置・全身臥床用	1		体圧計測装置・全身臥床用	1		
体圧計測装置・座位用	1		体圧計測装置・座位用	1		
			合計	98		
			総計	2,783		

（模型・標本）

品名	数量	個数	品名	数量	セット数	
全身組立	10人で1	4	骨模型　全身	8		
全身個別	４人で1	10	骨模型　部分	12		
人体解剖模型	1		人体解剖模型	1		
呼吸器模型	1		呼吸器模型	1		
気管支肺血管分岐模型	1		気管支肺血管分岐模型	1		
心臓模型	1		心臓模型	1		
血管系模型	1		血管系模型	1		
脳模型	1		脳模型	1		
脊髄横断模型	1		脊髄横断模型	1		
末梢神経模型	1		末梢神経模型	1		
感覚器模型　（聴覚模型）	1		感覚器模型　（聴覚模型）	1		
感覚器模型　（視覚模型）	1		感覚器模型　（視覚模型）	1		
関節種類模型	1		関節種類模型（足部、肘部、手部、膝部、骨盤、肩甲骨）	6		
筋模型（下肢）	2		筋模型（下肢）	2		
筋模型（上肢）	2		筋模型（上肢）	2		
			肺区域模型	1		
			妊娠模型	1		
			実習用モデル人形	0		
			AED実戦用マネキン	0		
			合計	42		

追加購入リスト（模型・標本）（令和2年2月28日購入予定）

			品名	数量	セット数	
			スタン標準型骨格モデル直立スタンド仕様	4		
			骨格分離モデル　個別	4		
			呼吸器模型	1		
			気管支・肺動静脈モデル	1		
			心臓構造模型A形	1		
			神経系・循環器系・門脈系模型	1		
			脳模型	1		
			脊髄横断分離模型	1		
			脳及び神経系模型	1		
			追加小計	15		
			総合計	57		

追加購入リスト（令和2年2月28日購入・令和3年1月購入）

品名	数量		品名	数量		
電動式ベッド	1		電動式ベッド	1		H32.2
顕微鏡　　油浸集光器付	4		顕微鏡　　油浸集光器付	4		H32.2
筋機能解析装置	1		筋機能解析装置バイオデックスシステム4	1		H32.2
バルーン　エクササイズボール	3		バルーン　エクササイズボール	3		H32.2
プッシュアップ台　セット	1		プッシュアップ台　セット	1		H32.2
インボディ　体成分分析装置	1		インボディ　体成分分析装置	1		H32.2
電気刺激装置	1		電気刺激装置	1		H32.2
電気刺激装置低周波治療器	1		電気刺激装置低周波治療器　フィジオアクティ	1		H32.2
レーザー治療器	1		レーザー治療器　　スーパーライザー	1		H32.2
徒手筋力計	1		徒手筋力計モービィ	1		H32.2

伝の心	1		伝の心	1		H32.2
ボイスキャリーベチャラ	1		ボイスキャリーベチャラ	1		H32.2
レッツチャット	1		レッツチャット	1		H32.2
環境制御装置	1		環境制御装置	1		H32.2
スパイナルマウス	1		スパイナルマウス	1		H33.1
高機能型圧分布計測システム/多目的重心動揺計測システム	1		高機能型圧分布計測システム/多目的重心動揺計測システム	1		H32.2
アイトラッキングシステム　両眼無線	1		アイトラッキングシステム　両眼無線	1		H32.2
加速度計内蔵型筋電計測システム	1		加速度計内蔵型筋電計測システム	1		H32.2
肺運動モニタリングシステム　呼気ガス分析装置	1		肺運動モニタリングシステム　呼気ガス分析装	1		H32.2
スナイブル　超音波画像診断装置	1		スナイブル　超音波画像診断装置	1		H33.1
GPSマルチスポーツウォッチ　　心拍センサー付き	1		GPSマルチスポーツウォッチ　　心拍センサー付	1		H32.2
エアロバイク　パワーマックスⅧ	1		エアロバイク　パワーマックスⅧ	1		H32.2
マイバイオ	1		マイバイオ	1		H32.2
多視点３D解剖教育システム	1		多視点３D解剖教育システム	1		H33.1
運動解析装置（3次元動作解析装置）	1		運動解析装置（3次元動作解析装置）	1		H32.2
床反力計	1		床反力計	1		H32.2
多用途記録装置	1		多用途記録装置	1		H32.3
			追加小計	32		
			総合計	2,815		

（資料 9）平面図

① （資料 9）平面図

② （出典）学校法人本山学園

③ その他

校舎内の図面のため安全面を考慮し、平面図を省略する。

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　専　教授(学長)　浅利

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火				
水				
木				
金		臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ OT		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス
火				職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス
水				
木				
金			岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ Aクラス・Bクラス	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ Aクラス・Bクラス

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　専　教授(学部長)　窪山

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス			臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス
水				
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス		人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス
金		小児科学 ＜新館　3-1教室＞ OT	小児科学 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス			
火				
水				
木				
金				内科学 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　専　教授(学科長)　永野

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞Aクラス・Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞
火			理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ Bクラス
水				
木			理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ Bクラス	
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火		物理療法 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス		
水				
木		物理療法 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス		
金			総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT 専 教授 佐々木

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞Aク ラス・Bクラス	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ OT	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞Aク ラス・Bクラス
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ OT	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ Aクラス	解剖学 ＜新館 2-3教室＞ OT	
水		解剖学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス		
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス		解剖学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ OT	
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ Aクラス			
水				
木		解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ Bクラス		
金				
卒業論文＜研究室＞				

PT 専 教授 中川

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス			
火				
水			リハビリテーション概論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス･Bクラス			
火				
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	運動療法 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実専　講師　山下

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞A クラス・Bクラス
火				
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ Aクラス・Bクラス			
木				基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ Aクラス
金	上級治療学実習Ⅲ （セルフコンディショニング） ＜本館　5F　機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ （セルフコンディショニング） ＜本館　5F　機能訓練室＞ Bクラス	大学入門 〈研究室〉	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス		
火				
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-2教室＞ Aクラス		
木		理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ Aクラス		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス
金				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・増川・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実専　講師　増川

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	
火			理学療法セミナーⅠ ＜新館　3-4教室＞ Aクラス･Bクラス	
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ Aクラス･Bクラス	物理療法 ＜本館　7-1教室/本館3F治療訓練室＞ 医専		
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス		理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ Bクラス	大学入門 〈研究室〉	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木･小島･増川＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス･Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス		
火				
水	理学療法治療学2(脳障害2) ＜本館　7-1教室＞ 医専			
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F　機能訓練室＞ Aクラス･Bクラス	運動療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2(R1まで)/ 基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ 医専/Bクラス
金			総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ Aクラス･Bクラス	理学療法治療学13(老年期障害) ＜本館　7-1教室＞ 医専
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅･片岡･増川＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実専　講師　横山

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	
火			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ Bクラス	
水			応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館　5F　機能訓練室＞ Bクラス	理学療法治療学8（内部障害） ＜本館　7-1教室＞ 医専
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館　5F　機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館　5F　機能訓練室＞ OT	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ Aクラス
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ Aクラス	大学入門 〈研究室〉		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-2教室＞ Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス		
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-1教室＞ Aクラス			
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス		運動療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2 ＜本館　5F機能訓練室＞ 医専
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス		

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実専　助教　那須

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	
火				
水			応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館　5F　機能訓練室＞ Bクラス	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館　5F　機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館　5F　機能訓練室＞ OT	
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ Aクラス	大学入門 〈研究室〉		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス	
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館　2-4教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス		
水				
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス		理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス	
金				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実専　助教　鈴木

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 〈研究室〉	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス
水	運動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス			
木		運動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス	
金	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館　5F　機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館　5F　機能訓練室＞ Bクラス	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	
総合実習Ⅱ＜各施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Bクラス
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス			
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス		
木		理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス	
金				運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス
卒業論文＜研究室＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実専　助教　田村

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞A クラス・Bクラス
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ Bクラス	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ Aクラス・Bクラス			
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス			理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス
金		物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ Bクラス	大学入門 ＜研究室＞	
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス		
火				
水				
木				基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス
金			総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実(研)　教授　小野

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞A クラス・Bクラス
火				
水				
木				
金		大学入門 〈研究室〉		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水				
木				
金		病理学 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス	病理学 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス	病理学 ＜新館　2-1教室＞ OT
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実(研)　教授　山田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞Aク ラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞Aク ラス・Bクラス
火	理学療法管理学概論 ＜新館　4-2教室＞B クラス		理学療法管理学概論 ＜新館　4-1教室＞A クラス	
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ Bクラス			
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ Aクラス		理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火		情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ Bクラス	情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ Aクラス	
水				
木				
金		運動学 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス	総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	運動学 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実(研)　片岡

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞A クラス・Bクラス
火				
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス	基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス		
木			理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス	
金		大学入門 〈研究室〉		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火			理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-2教室＞ Bクラス
水				
木				
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ Bクラス	統計分析の基礎 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	統計分析の基礎 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実(研)　小島

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ Bクラス		老年期障害理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ Aクラス
水	地域理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ Bクラス	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス		
木				
金			大学入門 〈研究室〉	地域理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ Aクラス
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス･Bクラス		生活環境学 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス	
火			多職種連携論 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス	生活環境学 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス
水				
木				
金	多職種連携論 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス	予防理学療法学 ＜新館　4-2教室＞		
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実(研)　助教　田中　雅侑

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞A クラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞A クラス・Bクラス
火				
水				
木				
金		物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ Bクラス	大学入門 ＜研究室＞	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス		
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Bクラス			理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F　機能訓練室＞ Aクラス・Bクラス
水				
木				理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス
金				運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ Aクラス
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実み　教授　千田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ Aクラス	研究デザイン ＜研究室＞Aク ラス・Bクラス
火				
水				
木				
金	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ OT	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ Bクラス		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水	リハビリテーション医学 ＜新館　2-2教室＞ Bクラス		リハビリテーション医学 ＜新館　2-1教室＞ Aクラス	
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

PT　実み　教授　山下立次

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				研究デザイン ＜研究室＞Aクラス・Bクラス
火				
水				
木	コーチング論 ＜新館　4-4教室＞ Aクラス	コーチング論 ＜新館　4-4教室＞ Bクラス		
金				生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火				
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和2年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館 2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館 2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和2年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館 2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和2年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館 2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館 2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜永野＞	

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和2年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和2年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　2年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学2 7-1教室＜今井＞	小児科学 7-1教室＜井上＞	内科学1 7-1教室＜植田＞	整形外科学1 7-1教室＜横山＞
火	地域理学療法学1 7-1教室＜渡辺＞	理学療法評価法2 3F治療訓練室＜那須＞	義肢装具学 7-1教室＜藤原・鴨生＞	運動療法2 5F機能訓練室＜立山＞
水		物理療法 7-1教室/3F水治療室＜増川＞	臨床実習セミナー1 7-1教室＜鈴木・渡辺＞	理学療法治療学8(内部障害1) 7-1教室＜横山＞
木	生活環境論 7-1教室＜増川＞	理学療法治療学3(整形疾患1) 7-1教室＜立山＞	理学療法治療学6(神経筋疾患1) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学実習1 5F機能訓練室＜横山・立山＞
金	理学療法治療学5(脊髄損傷) 7-1教室＜三雲＞	理学療法治療学1(脳障害1) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学10(日常生活活動1) 7-1教室/3F機能訓練室＜濱本＞	理学療法評価法実習2 5F機能訓練室＜那須＞

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　2年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習セミナー2 7-1教室＜横山・立山＞		臨床実習セミナー2 7-1教室＜那須＞	神経内科学 7-1教室＜山下・佐藤・武本・森原＞
火	理学療法評価法実習3 5F機能訓練室＜三雲＞	理学療法治療学11(日常生活活動2) 7-1教室/3F機能訓練室＜濱本＞	理学療法治療学4(整形疾患2) 7-1教室＜立山＞	整形外科学2 7-1教室＜横山＞
水	理学療法治療学2(脳障害2) 7-1教室＜増川＞	理学療法治療学9(内部障害2) 7-1教室＜横山＞	内科学2 7-1教室＜植田＞	スポーツ障害トレーニング論 7-1教室 スポーツトレーニング室＜立山＞
木	地域理学療法学2 7-1教室＜渡辺＞	臨床実習セミナー2 7-1教室＜杉野・三雲＞	運動療法実習 3F治療訓練室＜増川・横山・立山＞	理学療法治療学実習2 5F機能訓練室＜増川・横山・立山・原＞
金	理学療法治療学7(神経筋疾患2)(A) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学2(脳障害2)(B) 7-1教室＜鈴木＞	理学療法治療学12(発達障害) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学13(老年期障害) 7-1教室＜増川＞

令和2年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･山田＞
金		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜永野＞	

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜増川･田村＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度 岡山医療専門職大学 PT-A

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館 2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館 3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火		物理療法 ＜新館 3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館 3-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-1教室＞ ＜中川＞	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-1教室＞＜ 山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Bクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞	生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ ＜鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞＜ 山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館 3-2教室＞ ＜山田了士＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ ＜中川＞
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞

令和3年度 岡山医療技術専門学校 PT

岡山医療技術専門学校 令和3年度前期 3年生 時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	**臨床実習 第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	**臨床実習 第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	**臨床実習 第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	**臨床実習 第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	**臨床実習 第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校 令和3年度後期 3年生 時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞
火	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞
水	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞
木	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞
金	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科 教員＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-A

岡山医療専門職大学 令和4年度前期 1年生 時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館 2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館 2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学 令和4年度前期 2年生 時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館 3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館 3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館 3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館 3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・山田＞
金		理学療法治療学Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館 3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-A

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	コミュニケーション論 ＜新館 4-1教室＞ ＜佐生＞	国際政治経済論 ＜新館 4-1教室＞ ＜三宅＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜山下･増川＞		理学療法管理学概論 ＜新館 4-1教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館 4-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡･鈴木＞		人間関係論 ＜新館 4-1教室＞ ＜兵頭＞	
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-1教室＞ ＜佐々木＞			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜山下･横山＞
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜横山･那須＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下立･増川･鈴木＞	地域理学療法学 ＜新館 4-1教室＞ ＜小島＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山･那須･田村＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館 2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館 2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜永野＞	

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館 3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館 3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜増川･田村＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館 3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館 4-2教室＞ ＜三宅＞	コミュニケーション論 ＜新館 4-2教室＞ ＜佐生＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	理学療法管理学概論 ＜新館 4-2教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜田村･横山＞	
水	地域理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞		人間関係論 ＜新館 4-2教室＞ ＜兵頭＞	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜横山･那須＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-2教室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡･鈴木＞	
金		物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜田中雅･田村＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下･横山･那須＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山･那須･田村＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-A

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館 2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館 3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火		物理療法 ＜新館 3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館 3-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-1教室＞ ＜中川＞	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-1教室＞＜ 山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-A

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞		人間形成論 ＜新館 4-1教室＞ ＜田中＞	
火			メディカル英語 ＜新館 4-1教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜田中 雅＞
水				地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木	生体情報科学 ＜新館 4-1教室＞ ＜岡＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		
金		予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館 4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学 令和4年度後期 1年生 時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学 令和4年度後期 2年生 時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞	生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ ＜鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞＜ 山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館 3-2教室＞ ＜山田了士＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ ＜中川＞
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学 令和4年度後期 3年生 時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞	人間形成論 ＜新館 4-2教室＞ ＜田中＞		
火			メディカル英語 ＜新館 4-2教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜田中 雅＞
水		生体情報科学 ＜新館 4-2教室＞ ＜岡＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		
金		予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館 4-2教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･山田＞
金		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	コミュニケーション論 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐生＞	国際政治経済論 ＜新館　4-1教室＞ ＜三宅＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下･増川＞		理学療法管理学概論 ＜新館　4-1教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡･鈴木＞		人間関係論 ＜新館　4-1教室＞ ＜兵頭＞	
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐々木＞			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下･横山＞
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山･那須＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下立･増川･鈴木＞	地域理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山･那須･田村＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　4年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞		起業入門 ＜新館　4-4教室＞ ＜塩見＞	
火		スポーツ科学 ＜新館　4-4教室＞ ＜安田＞	理学療法セミナーⅠ ＜新館　2-4教室＞ ＜増川＞	応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜吉田＞
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ ＜山下･田村･増川＞			
木	コーチング論 ＜新館　4-4教室＞ ＜山下立次＞	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜横山･那須＞		NPO論 ＜新館　4-4教室＞ ＜長田＞
金	応用治療技術実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山下･鈴木＞	マネジメント論 ＜新館　4-4教室＞ ＜佐々木＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木･小島･増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度 岡山医療専門職大学 PT-A

岡山医療専門職大学 令和5年度後期 1年生 時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館 2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学 令和5年度後期 2年生 時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館 3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火		物理療法 ＜新館 3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館 3-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-1教室＞ ＜中川＞	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度 岡山医療専門職大学 PT-A

岡山医療専門職大学 令和5年度後期 3年生 時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞		人間形成論 ＜新館 4-1教室＞ ＜田中＞	
火			メディカル英語 ＜新館 4-1教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜田中 雅＞
水				地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木	生体情報科学 ＜新館 4-1教室＞ ＜岡＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		
金		予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館 4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

岡山医療専門職大学 令和5年度後期 4年生 時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館 2-4教室＞ ＜那須＞			
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館 2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館 2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜永野＞	

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館 3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館 3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜増川・田村＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館 3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館 4-2教室＞ ＜三宅＞	コミュニケーション論 ＜新館 4-2教室＞ ＜佐生＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	理学療法管理学概論 ＜新館 4-2教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜田村・横山＞	
水	地域理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞		人間関係論 ＜新館 4-2教室＞ ＜兵頭＞	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-2教室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・鈴木＞	
金		物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ ＜田中雅・田村＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下・横山・那須＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山・那須・田村＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　4年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	起業入門 ＜新館 4-4教室＞ ＜塩見＞		
火	スポーツ科学 ＜新館 4-4教室＞ ＜安田＞		理学療法セミナーⅠ ＜新館 3-4教室＞ ＜増川＞	応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜吉田＞
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ ＜山下・田村・増川＞		応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜横山・那須＞	
木		コーチング論 ＜新館 4-4教室＞ ＜山下立次＞	NPO論 ＜新館 4-4教室＞	
金	マネジメント論 ＜新館 4-4教室＞ ＜佐々木＞	応用治療技術実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	岡山経営者論 ＜新館 5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館 5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Bクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞	生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ ＜鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞＜ 山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館 3-2教室＞ ＜山田了士＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ ＜中川＞
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞	人間形成論 ＜新館 4-2教室＞ ＜田中＞		
火			メディカル英語 ＜新館 4-2教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜田中 雅＞
水		生体情報科学 ＜新館 4-2教室＞ ＜岡＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		
金		予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館 4-2教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

令和5年度 岡山医療専門職大学 PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　4年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館 2-4教室＞ ＜那須＞			
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT　専　教授　勅使川原

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞
火			生理学 ＜新館　2-3教室＞ PT-Aクラス	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-3教室＞
水				
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞			大学入門 〈研究室〉
金	生理学 ＜新館　2-3教室＞ PT-Bクラス		生理学 ＜新館　2-3教室＞	基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ PT-A･Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火			生理学実習 ＜生理医学実習室＞	
水				
木	生理学実習 ＜生理医学実習室＞ PT-Bクラス		統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞	生理学実習 ＜生理学実習室＞ PT-Aクラス
金				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 専 教授 安田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	地域生活と健康＜ 新館 4-4教室＞		総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火				
水				
木				総合演習Ⅱ ＜新館 4-4教室＞
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火	健康科学概論 ＜新館 2-3教室＞		メディカル英語 ＜新館 4-2教室＞ PT-A･B	
水				
木	メディカル英語 ＜新館 4-3教室＞			総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞
金	運動学 ＜新館 2-3教室＞			
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 専 教授 二木

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火		作業療法セミナーⅠ ＜新館 4-4教室＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館 3-3教室＞	作業療法概論 ＜新館 2-3教室＞
水				
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜新館 3-3教室＞
火	老年期障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞			作業療法セミナーⅡ ＜新館 4-3教室＞
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 専　教授　小林

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜新館　4-3教室＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞
火	特別支援教育 ＜新館　4-4教室＞	基礎作業療法治療学 ＜新館　4-3教室＞		
水				
木			身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館　4-3教室＞	総合演習Ⅱ ＜新館　4-4教室＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館　4-3教室＞		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			予防作業療法学＜ 新館　4-3教室＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火			作業療法管理学概論 ＜新館　4-3教室＞	
水				
木			地域作業療法学＜ 新館　4-3教室＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-3教室＞
金				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 実専 講師 十河

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞			
木		運動学実習 ＜5F 機能訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	
金	住環境支援学2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
評価実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専			
火				
水		日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木	作業療法治療学3B ＜本館 7-2 教室＞ 医専	地域マネジメント学 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞		
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 実専 助教 渡部

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火		作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		
水				
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	日常生活活動学1 ＜本館 7-2 教室＞ 医専	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	大学入門 〈研究室〉
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法評価法3 ＜5F 治療訓練室＞ 医専		
水				
木				
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	
見学実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 実専 助教 野口

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞			
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F 織物絵画室＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	大学入門 〈研究室〉
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法演習Ⅰ ＜新館 3-3教室＞		
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館 4-3教室＞	日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F 織物絵画室＞		
金				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 実(研) 教授 吉田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火		基礎作業療法治療学 ＜新館 4-3教室＞		応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜3F 治療訓練室＞ PT-Aクラス・Bクラス
水				
木	人間工学 ＜新館 4-4教室＞		リハビリテーション概論 ＜新館 2-3教室＞	
金		応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜3F 治療訓練室＞		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火				
水	生活環境学 ＜新館 3-3教室＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC教室＞		
木				
金			身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	
臨床実習Ⅰ＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT　実(研) 准教授　林

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞
火			作業療法評価法実習2 ＜3F　治療訓練室＞ 医専	作業療法治療学6(老年期障害) ＜本館　7-2教室＞ 医専
水		大学入門 〈研究室〉		
木	日常生活活動学＜ 新館　3-3教室＞			作業療法治療学2(神経系疾患2) ＜本館　7-2教室＞ 医専
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F　治療訓練室＞	身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館　7-2 教室＞ 医専			総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火	日常生活活動学2 ＜本館　7-2 教室＞ 医専			作業療法評価学＜ 新館　2-3教室＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞			
木				
金	作業療法治療学3A ＜本館　7-2 教室＞ 医専		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞
卒業論文＜研究室＞				

（資料10）時間割表（大学・専門学校）

OT 実み　教授　伊勢

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞
火				
水				
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火				
水				
木				リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞
金				
卒業論文＜研究室＞				

令和2年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和2年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和2年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉 ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

令和2年度　岡山医療技術専門学校　OT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学2 7-1教室＜今井＞	小児科学 7-1教室＜井上＞	内科学1 7-1教室＜植田＞	整形外科学1 7-1教室＜横山＞
火	作業療法治療学9(精神障害2) 7-2教室＜森＞	作業療法治療学7（内部障害） 7-2教室＜渡部＞	作業療法評価法実習2 3F治療室＜林＞	作業療法治療学6（老年期障害） 7-2教室＜林＞
水	作業療法評価法2 7-2教室/3F治療訓練室＜徳地＞			生活環境論 7-2教室＜原＞
木	地域作業療法学 7-2教室＜徳地＞	日常生活活動学1 7-2教室/3F治療訓練室＜渡部＞	臨床実習セミナー1 7-2教室＜徳地・野口＞	作業療法治療学2(神経系疾患2) 7-2教室＜徳地・林＞
金	住環境支援学2 7-2教室＜十河＞	作業療法治療学4(整形外科疾患) 7-2教室＜徳地＞	基礎作業学実習1 3F織物・絵画教室,金工・木工・陶工室＜野口＞	

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 7-2教室＜林・十河＞		神経内科学 7-2教室＜山下＞	
火	日常生活活動学2 7-2教室/3F治療訓練室＜林＞	作業療法評価法3 5F機能訓練室＜渡部＞	義肢装具学 7-2教室＜杉山・内田＞	整形外科学2 7-1教室＜横山＞
水	臨床実習セミナー2 7-2教室＜徳地・野口＞	臨床実習セミナー3 7-2教室＜徳地・野口＞	内科学2 7-1教室＜植田＞	作業療法治療学5（発達障害） 7-2教室＜野口＞
木	作業療法治療学3B（神経系疾患3） 7-2教室＜十河＞	地域マネジメント学 7-2教室＜十河＞	脳のアンチエイジングと作業療法1 7-2教室＜徳地＞	
金	作業療法治療学3A（神経系疾患3） 7-2教室＜林＞		基礎作業学実習2 3F織物・絵画教室,金工・木工・陶工室＜野口＞	

令和2年度　岡山医療技術専門学校　OT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　3年生　時間割(作業療法学科)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 (実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する)			
火	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 (実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する)			
水	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 (実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する)			
木	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 (実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する)			
金	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 (実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する)			

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　3年生　時間割(作業療法学科)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞

令和3年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　1年生　時間割(作業療法学科)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞＜ 植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　2年生　時間割(作業療法学科)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞＜ 十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F　織物絵画室 ＞＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F　機能訓練室 ＞＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞＜ 十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

令和3年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　3-3教室＞＜三宅＞	精神医学 ＜新館　3-3教室＞＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館　3-3教室＞＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館　3-3教室＞＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館　3-3教室＞＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館　3-3教室＞＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F　織物絵画室＞＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞＜林＞

岡山医療技術専門学校　令和3年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	臨床実習第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　令和3年度後期　3年生　時間割（ 作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　1年生　時間割(作業療法学科)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞＜ 植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　2年生　時間割(作業療法学科)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞＜ 十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F　織物絵画室 ＞＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F　機能訓練室 ＞＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞＜ 十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　3年生　時間割(作業療法学科)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-3教室＞ ＜佐伯＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室 ＞＜学科専任教員＞
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口＞	基礎作業療法治療学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	家族関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-3教室＞ ＜勅使川原＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞＜ 十河・渡部＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞	人間関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜兵頭＞	身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	老年期障害作業療法実習 ＜3F　治療訓練室＞ ＜林・十河・野口・渡部＞	
評価実習＜各実習施設＞＜林・十河・渡部＞				

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　3-3教室＞＜三宅＞	精神医学 ＜新館　3-3教室＞＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館　3-3教室＞＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館　3-3教室＞＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館　3-3教室＞＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館　3-3教室＞＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F　織物絵画室＞＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞＜林＞

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		人間形成論 ＜新館　4-3教室＞＜田中＞	予防作業療法学 ＜新館　4-3教室＞＜小林＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞＜学科専任教員＞
火		地域社会論 ＜新館　4-3教室＞＜藤井＞	作業療法管理学概論 ＜新館　4-3教室＞＜小林＞	
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館　4-3教室＞＜野口＞	コミュニティ形成論 ＜新館　4-3教室＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞＜浜田・遠藤・岸川＞
木	メディカル英語 ＜新館　4-3教室＞＜安田＞		地域作業療法学 ＜新館　4-3教室＞＜小林＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-3教室＞＜小林・安田・十河＞
金			義肢装具学 ＜新館　4-3教室＞＜内田＞	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜吉田・渡部＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F　機能訓練室＞ ＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

令和5年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-3教室＞ ＜佐伯＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞ ＜学科専任教員＞
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口＞	基礎作業療法治療学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	家族関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-3教室＞ ＜勅使川原＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞	人間関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜兵頭＞	身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	老年期障害作業療法実習 ＜3F　治療訓練室＞ ＜林・十河・野口・渡部＞	
評価実習＜各実習施設＞＜林・十河・渡部＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　4年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	地域生活と健康 ＜新館　4-4教室＞ ＜安田＞		総合研究Ⅱ ＜研究室＞	
火	特別支援教育 ＜新館　4-4教室＞ ＜小林＞	作業療法セミナーⅠ ＜新館　4-4教室＞ ＜二木＞		
水	ライフサイクル論 ＜新館　4-4教室＞ ＜小林＞	地域包括マネジメント論 ＜新館　4-4教室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞		
木	人間工学 ＜新館　4-4教室＞ ＜吉田＞		応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	総合演習Ⅱ ＜新館　4-4教室＞ ＜小林・安田・十河＞
金	応用治療技術実習Ⅲ （セルフコンディショニング） ＜3F　治療訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	応用治療技術実習Ⅱ （リハビリ工学） ＜3F　治療訓練室＞ ＜吉田＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜十河・野口＞				

令和5年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　3-3教室＞＜三宅＞	精神医学 ＜新館　3-3教室＞＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館　3-3教室＞＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館　3-3教室＞＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館　3-3教室＞＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館　3-3教室＞＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F　織物絵画室＞＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞＜林＞

令和5年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		人間形成論 ＜新館　4-3教室＞＜田中＞	予防作業療法学 ＜新館　4-3教室＞＜小林＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火		地域社会論 ＜新館　4-3教室＞＜藤井＞	作業療法管理学概論 ＜新館　4-3教室＞＜小林＞	
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館　4-3教室＞＜野口＞	コミュニティ形成論 ＜新館　4-3教室＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞＜浜田・遠藤・岸川＞
木	メディカル英語 ＜新館　4-3教室＞＜安田＞		地域作業療法学 ＜新館　4-3教室＞＜小林＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-3教室＞＜小林・安田・十河＞
金			義肢装具学 ＜新館　4-3教室＞＜内田＞	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜吉田・渡部＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　4年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火				作業療法セミナーⅡ ＜新館　4-3教室＞＜二木＞
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（資料11）ジャーナルリスト（電子ジャーナル含む）

1．ジャーナル

No.	雑誌名	出版社名	刊行頻度	概算見積（税込）(10%)
1	運動器リハビリテーション	インテルナ出版	季刊	11,000
2	作業療法ジャーナル（含増刊）	三輪書店	月刊	27,940
3	総合リハビリテーション	医学書院	月刊	27,720
4	理学療法ジャーナル	医学書院	月刊	22,000
5	リハビリテーション医学	三輪書店	月刊	23,320
合計				111,980

2．電子ジャーナル（洋雑誌）

No.	タイトル	出版社名	年間冊数	概算見積税込金額（2020年）
1	American Journal of Occupational Therapy	American Occupational Therapy Association	6	97,240
2	American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation	Lippincott Williams & Wilkins, a Wolters Kluwer Co	12	293,150
3	American Journal of Sports Medicine (including Sports Health)	Sage Publications Ltd.	20	254,100
4	Archives of Physical Medicine and Rehabilitati	W.B. Saunders Co.	12	241,890
5	Clinical Rehabilitation	Sage Publications Ltd.	12	457,160
6	Developmental Medicine & Child Neurology (Incl. Supplements)	John Wiley & Sons Ltd. (formerly: Blackwell)	12	180,950
7	Physical Therapy	Oxford University Press	12	46,640
合計			86	1,571,130

3．電子ジャーナル（和雑誌）

No.	データベース名	出版社名	年間冊数	概算見積税込金額（2020年）
1	メディカルオンライン　ライブラリー	メテオ	1,401	2,420,000

メディカルオンラインライブラリー内、主要ジャーナルリスト（和文）

No.	タイトル	出版社名
1	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	日本リハビリテーション医学会
2	The Journal of Clinical Physical Therapy	臨床理学療法研究会
3	JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION	医歯薬出版
4	Journal of Physical Therapy Science	理学療法科学学会
5	Journal of the Japanese Physical Therapy Association	日本理学療法士協会
6	PAIN REHABILITATION	日本ペインリハビリテーション学会
7	Physical Therapy Research	日本理学療法士協会
8	運動生理	理学療法科学学会
9	呼吸器ケア	メディカ出版
10	こころの健康	日本精神衛生学会

11	作業行動研究	日本作業行動学会
12	作業療法	日本作業療法士協会
13	児童青年精神医学とその近接領域	日本児童青年精神医学会
14	小児リハビリテーション	gene
15	職業リハビリテーション	日本職業リハビリテーション学会
16	自立支援介護・パワーリハ学	日本自立支援介護・パワーリハ学会
17	自立支援介護学	日本自立支援介護・パワーリハ学会
18	心臓リハビリテーション	日本心臓リハビリテーション学会
19	スポーツメディスン	ブックハウス・エイチディ
20	整形外科バイオメカニクス	日本臨床バイオメカニクス学会
21	精神科臨床Legato	メディカルレビュー社
22	精神障害とリハビリテーション	日本精神障害者リハビリテーション学会
23	徒手理学療法	日本徒手理学療法学会
24	トレーニング・ジャーナル	ブックハウス・エイチディ
25	日本在宅ケア学会誌	日本在宅ケア学会
26	日本作業療法研究学会雑誌	日本作業療法研究学会
27	日本障害者スポーツ学会誌	日本障害者スポーツ学会
28	日本生理学雑誌	日本生理学会
29	日本認知症ケア学会誌	日本認知症ケア学会
30	日本腰痛学会雑誌	日本腰痛学会
31	日本臨床作業療法研究	日本臨床作業療法学会
32	日本臨床スポーツ医学会誌	日本臨床スポーツ医学会
33	日本臨床バイオメカニクス学会誌	日本臨床バイオメカニクス学会
34	人間工学	日本人間工学会
35	認知行動療法研究	日本認知・行動療法学会
36	認知症の最新医療	フジメディカル出版
37	脳科学とリハビリテーション	脳機能とリハビリテーション研究会
38	脳梗塞と心房細動	フジメディカル出版
39	脳卒中	日本脳卒中学会
40	脳卒中リハビリテーション	gene
41	脳と循環	メディカルレビュー社
42	脳と精神の医学（日本生物学的精神医学会）	日本生物学的精神医学会
43	物理療法科学	日本物理療法学会
44	ブレインサイエンス	厚生社
45	慢性疼痛	日本慢性疼痛学会
46	理学療法科学	理学療法科学学会
47	理学療法学	日本理学療法士協会
48	理学療法の医学的基礎	理学療法の医学的基礎研究会
49	リハビリテーション医学	日本リハビリテーション医学会
50	リハビリテーション栄養	医歯薬出版
51	臨床スポーツ医学	文光堂
52	臨床精神医学	アークメディア
53	臨床と理学療法	宮崎県理学療法士会
54	臨床バイオメカニクス	日本臨床バイオメカニクス学会
55	臨床理学療法研究	日本私立医科大学理学療法研究会

（資料 12）視聴覚データ

番号	シリーズ名	巻数	タイトル	企画・制作	時間	メディア	価格
1			医・知・典	株式会社映像工房医・知・典事業部	5 分	DVD	不明
2			よりよい福祉用具を選ぶには	学校法人敬心学園臨床福祉専門学校	83 分	DVD	不明
3			私の選択作業療法士をめざす　2008 年版	社団法人日本作業療法士協会	11 分 26 秒	DVD	不明
4			みんながくれた卒業式 献血セミナーDVD	日本赤十字社		DVD	不明
5			エール　　白血病から医師の道へ！　　献血セミナーDVD	日本赤十字社		DVD	不明
6			輝いて！おかやま大会 あなたがキラリ　2005　第 5 回全国障害者スポーツ大会	山陽映画株式会社	38 分	DVD	不明
7			OKAYAMA SANKAKU STORY まちの“サンカク”をさがそう！	岡山県生活環境男女共同参画課		CD-ROM	不明
8			キネシオテーピングの基礎 キネシオテープの入門から簡単な症例別の貼り方まで	株式会社キネシオ		CD-ROM	¥12,500
9			キネシオテーピングの基礎 キネシオテープの入門から簡単な症例別の貼り方まで	株式会社キネシオ		CD-ROM	¥12,500
10			かみの「か」を「ご」にかえないで！	財団法人古紙再生促進センター		CD	不明
11	子どもの発達と支援	Vol.1	運動機能の発達	医学映像教育センター	21 分	DVD	¥9,500
12	子どもの発達と支援	Vol.2	情動の発達	医学映像教育センター	20 分	DVD	¥9,500
13	子どもの発達と支援	Vol.3	社会性の発達	医学映像教育センター	21 分	DVD	¥9,500

14	子どもの発達と支援	Vol.4	ことばの発達	医学映像教育センター	21分	DVD	¥9,500
15	子どもの発達と支援	Vol.5	認知・思考の発達	医学映像教育センター	22分	DVD	¥9,500
16	ドクターズ・アイ		医者がすすめる専門医	医学映像教育センター	48分	DVD	¥7,600

（資料13）教育課程と新指定規則等との対比表

教育課程等の概要												専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
（健康科学部理学療法学科）														
科目区分	新指定区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件			
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	大学入門	1前	1				○		基礎科目 必修18単位を含め22単位以上	22	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅠ	2前	1				○						
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論
			コミュニケーション論	3前	1			○							コミュニケーション論
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（ 18科目）	－	16	6	0	—	—	—					
専門基礎分野	専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	メディカル英語	3後	2			○			専門基礎分野 必修科目32単位以上	32	60単位以上	12	
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
			生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
		疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	臨床医学概論	1前	2			○							栄養・薬理・画像・救命救急・予防の基礎
			病理学	1後	2			○							
			精神医学	2後	2			○						14	
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○							
			リハビリテーション概論	1前	1			○						4	リハビリテーションの理念 地域包括ケアシステム 多職種連携の理解
			地域包括マネジメント論	3後	1			○							
			多職種連携論	1後	1			○							
	専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	2			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習20単位以上を含む）	37			
			基礎理学療法学	2前	2			○							
			基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○				6	
			基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○					
			理学療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			理学療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		理学療法管理学	理学療法管理学概論	3前	2			○						2	理学療法倫理・職場管理
		理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○							
			理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○							画像
			理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○				6	
			理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○					画像
			理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○					
		理学療法治療学	運動療法	1後	1			○							
			運動療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			運動療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			物理療法	2後	1			○							
			物理療法実習	3前	1					○					
			理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○							
			理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○							
			理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○							
			理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○							
			理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○					
			理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○				20	
			理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○					喀痰等の吸引
			老年期障害理学療法学	3前	1				○						
			理学療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			理学療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			生涯スポーツ実習	3前	1					○					
			スポーツ理学療法特論	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1				○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1					○					

		地域理学療法学	生活環境学	2後	2			○						
			地域理学療法学	3前	1			○					3	
			予防理学療法学	3後		1		○						
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨				
			評価実習	3前	3					臨		20		
			総合実習Ⅰ	3後	8					臨			20	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	8					臨				
			小計（62科目）	—	89	9	0	—	—	—				
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上	
			人間形成論	3後	2			○						
			食生活マネジメント論	3前	2			○						
			生体情報科学	3後	2			○						
			NPO論	4前	2			○						
			スポーツ科学	4前	2			○						
			起業入門	4前	2			○						
			マネジメント論	4前	2			○						
			コーチング論	4前	2			○						
			岡山経営者論	4前	2			○						
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—				
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上	
			総合研究Ⅱ	4前	1				○					
			総合演習Ⅰ	3後		1			○					
			総合演習Ⅱ	4前		1			○					
			卒業論文	4後	2				○					
			小計（ 5科目）	—	4	2	0	—	—	—				
			合計(95科目)	—	131	17	0	—	—	—	135	124単位以上	101	

（資料13）教育課程と新指定規則等との対比表

教育課程等の概要													専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
（健康科学部作業療法学科）															
科目区分	新指定区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件				
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	大学入門	1前	1				○		基礎科目 必修18単位を含め22単位以上	22	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅠ	2前	1				○						
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1			○							
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（ 18科目）	—	18	6	0	—	—	—					
専門基礎分野	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	メディカル英語	3後	2			○			専門基礎科目 必修32単位以上	32	60単位以上	12	
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
			生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学概論	1前	2			○						14	栄養・薬理・画像・救命 救急・予防の基礎
			病理学	1後	2			○							
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○						4	リハビリテーションの理念 地域包括ケアシステム 多職種連携の理解
			リハビリテーション概論	1前	1			○							
			地域包括マネジメント論	3後	1			○							
			多職種連携論	1後	1			○							
職業専門科目	専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	2			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習22単位以上を含む）	35		5	
			基礎作業学	1後	1			○							
			基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○					
			基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○					
			作業療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			作業療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		作業療法管理学	作業療法管理学概論	3後	2			○						2	作業療法倫理・職場管理
		作業療法評価学	作業療法評価学	1後	2			○						5	画像
			作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○					
			作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○					
			作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1					○					
		作業療法治療学	基礎作業療法治療学	3前	1			○						19	
			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1					○					
			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○					
			身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○							
			身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○							
			身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○					喀痰等の吸引
			老年期障害作業療法学	2後	1			○							
			老年期障害作業療法実習	3前	1					○					
			精神障害作業療法学	2後	1			○							
			作業療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			作業療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1				○					

		地域作業療法学	生活環境学	2後	2			○						4	
			地域作業療法学	3後	1			○							
			予防作業療法学	3後	1			○							
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨					
			評価実習	3前	3					臨					
			総合実習Ⅰ	3後	9					臨		22		22	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	9					臨					
			小計（ 59科目）	—	89	8	0	—	—	—					
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上		
			人間形成論	3後	2			○							
			家族関係論	3前	2			○							
			地域社会論	3後	2			○							
			コミュニティ形成論	3後	2			○							
			地域生活と健康	4前	2			○							
			特別支援教育	4前	2			○							
			人間工学	4前	2			○							
			ライフサイクル論	4前	2			○							
			岡山経営者論	4前	2			○							
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—					
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上		
			総合研究Ⅱ	4前	1				○						
			総合演習Ⅰ	3後		1			○						
			総合演習Ⅱ	4前		1			○						
			卒業論文	4後	2				○						
			小計(5 科目)	—	4	2	0	—	—	—					
			合計(92科目)	—	131	16	0	—	—	—	135		124単位以上	101	

臨地実務実習指導要項

岡山医療専門職大学

健康科学部

理学療法学科

Ⅰ.人材育成

＜理学療法学科＞

最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。

Ⅱ.ディプロマ・ポリシー卒業認定・学位授与の方針

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。

2）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

3）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。

4）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。

②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。

③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。

④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。

⑤健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。

⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。

⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。

⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。

⑩完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑪最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。
⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。
⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。
⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

Ⅳ.教育課程（理学療法学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎科目		大学入門	1前	1				○	
		基盤ゼミ	2前	1				○	
		基盤ゼミⅡ	3前	1				○	
		職業人の倫理と道徳論	1後	2			○		
		心理学	1前		2		○		
		哲学概論	1前		2		○		
		健康科学概論	1後	1			○		
		コミュニケーション英語	1前	2			○		
		日本の歴史と文化	1前	2			○		
		国際政治経済論	2後	1			○		
		基礎生物	1前	1			○		
		基礎物理	1前	1			○		
		情報収集と処理	1後	1			○		
		統計分析の基礎	2後	1			○		
		人間関係論	3前		2		○		
		コミュニケーション論	3前	1			○		
		テーマ設定と研究方法	3前	1			○		
		研究デザイン	3前	1				○	
		小計（ 17科目）	―	18	6	0	―	―	―
職業専門科目	専門基礎分野	メディカル英語	3後	2			○		
		解剖学	1前	2			○		
		解剖学実習Ⅰ	1後	1					○
		解剖学実習Ⅱ	2前	1					○
		生理学	1前	2			○		
		生理学実習	1後	1					○
		運動学	1後	2			○		
		運動学実習	2前	1					○
		人間発達学	1前	2			○		
		臨床医学概論	1前	2			○		
		病理学	1後	2			○		
		精神医学	2後	2			○		
		整形外科学	2前	2			○		
		内科学	1後	2			○		

		神経内科学	2 前	2			○		
		小児科学	2 前	2			○		
		リハビリテーション医学	1 後	1			○		
		リハビリテーション概論	1 前	1			○		
		地域包括マネジメント論	3 後	1			○		
		多職種連携論	1 後	1			○		
	専門分野	理学療法概論	1 前	2			○		
		基礎理学療法学	2 前	2			○		
		基礎理学療法実習Ⅰ	2 後	1					○
		基礎理学療法実習Ⅱ	3 前	1					○
		理学療法セミナーⅠ	4 前		1			○	
		理学療法セミナーⅡ	4 後		1			○	
		理学療法管理学概論	3 前	2			○		
		理学療法評価学Ⅰ	1 後	2			○		
		理学療法評価学Ⅱ	2 前	1			○		
		理学療法評価学実習Ⅰ	2 後	1					○
		理学療法評価学実習Ⅱ	2 後	1					○
		理学療法評価学実習Ⅲ	3 前	1					○
		運動療法	1 後	1			○		
		運動療法実習Ⅰ	2 前	1					○
		運動療法実習Ⅱ	2 後	1					○
		物理療法	2 後	1			○		
		物理療法実習	3 前	1					○
		理学療法治療学Ⅰ	2 前	2			○		
		理学療法治療学Ⅱ	2 前	1			○		
		理学療法治療学Ⅲ	2 後	1			○		
		理学療法治療学Ⅳ	2 後	1			○		
		理学療法治療学実習Ⅰ	2 前	1					○
		理学療法治療学実習Ⅱ	2 後	1					○
		理学療法治療学実習Ⅲ	3 前	1					○
		老年期障害理学療法学	3 前	1				○	
		理学療法演習Ⅰ	2 後		2			○	
		理学療法演習Ⅱ	3 後		2			○	
		日常生活活動学	2 前	1			○		
		日常生活活動学実習	2 後	1					○
		生涯スポーツ実習	3 前	1					○
		スポーツ理学療法特論	2 後	1					○
		義肢装具学	3 後		1		○		

	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法)	4前	1					○
	応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学)	4前		1				○
	応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	4前	1					○
	生活環境学	2後	2			○		
	地域理学療法学	3前	1			○		
	予防理学療法学	3後		1		○		
	見学実習	1通	1					臨
	評価実習	3前	3					臨
	総合実習Ⅰ	3後	8					臨
	総合実習Ⅱ	4前	8					臨
	小計(62科目)	-	89	9	0	―	―	―
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2				○	
	人間形成論	3後	2				○	
	食生活マネジメント論	3前	2				○	
	生体情報科学	3後	2			○		
	NPO論	4前	2			○		
	スポーツ科学	4前	2			○		
	起業入門	4前	2			○		
	マネジメント論	4前	2			○		
	コーチング論	4前	2			○		
	岡山経営者論	4前	2			○		
	小計(10科目)	-	20	0	0	―	―	―
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○	
	総合研究Ⅱ	4前	1				○	
	総合演習Ⅰ	3後		1			○	
	総合演習Ⅱ	4前		1			○	
	卒業論文	4後	2				○	
	小計(5科目)	―	4	2	0	―	―	―
	合計(94科目)	―	131	17	0	―	―	―

Ⅴ.臨地実務実習の目的と概要

１．臨地実務実習の目的

本学の臨地実務実習は、知識・技術の進度にあわせ段階的にレベルを上げる実習プログラム（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）を整備し、理学療法業務を実際に見学し、模倣し、実践するプロセスのなかで、専門職業人としての実践的・応用的・創造的な能力を育成する。同時に、対象者目線に立ち、心を通わせ人を思いやる姿勢を身につけ、専門職業人としての倫理観を培っていく。学内で修得した専門知識と技術を統合し、適切な理学療法評価を行い、問題点を抽出し、効果的な治療計画を立案・実施し、治療成果を検証する全行程を実践し、専門職業人として必要な論理的思考力や実践力を高めることを目的とする。

２．臨地実務実習の概要

(1) 見学実習

1 年次の「見学実習」では、医療現場で理学療法業務を見学し、チーム医療の現場を観察する。倫理の重要性を学び、職業的アイデンティティを育み、自己の将来像の基礎を構築し、職業現場で対象者が抱える苦悩や痛みを理解する。また、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを提供するための基盤的資質を育む。

(2) 評価実習

3 年前期の「評価実習」では、基幹科目で学んだ知識・技術を基に、理学療法士に求められる基本的な対応力・観察力・評価技能・臨床的思考を身につける。また、展開科目から学んだ他分野の知識を活用し、対象者を幅広く捉える視点を生かし、対象者の抱える課題や地域の課題について問題意識を育む。

(3) 総合実習Ⅰ

3 年後期の「総合実習Ⅰ」では、職業現場において臨床実習指導者の指導のもとで、評価実習の成果と基幹科目で学んだ知識・技術を統合し専門職業人として基盤となる実践力を身につけ、チーム医療の重要性を理解する。また、展開科目から学んだ他分野の知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。

(4) 総合実習Ⅱ

4 年次の「総合実習Ⅱ」では、これまでの経験を基に、専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムとを組み合わせる効果により、さらに一段高い専門業務を主導できる実践力と豊かな創造力を養う。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と連動し、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、高度な実践力を身につける。また、展開力育成プログラムと有機的に組み合わせ運用することにより、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決について「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービスの革新と新たなサービスを創造する力を涵養し、地域の課題解決に資する豊かな創造力を身につける。

３．各臨地実務実習の目的・方法、修得する知識・技能

(1) 見学実習（1 年前・後期、1 単位）

【目的】

実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や

痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。

【内容】

6 日間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもと、臨床現場で対象者に行う理学療法、関連職種との連携場面を見学する。また、実際に対象者と接することで責任ある態度と医療現場で臨機応変に対応する重要性を認識する。

【修得する知識・技能】

1. 倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。
2. 対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。
3. 臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。
4. 関連職種との関わりを理解する。

（2）評価実習（3 年前期、3 単位）

【目的】

基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。

【内容】

4 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで理学療法を見学・模倣し、対象者に対し評価（検査・測定）を実施し、その結果の解釈を行う。

さらに、関連職種との連携を見学・体験することにより多職種連携の重要性を学ぶとともに、他分野の視点で対象者を取り巻く種々の環境を考察し、「気づき」を得る。

【修得する知識・技能】

1. 対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。
2. 臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。
3. 対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。
4. 実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。
5. チーム医療における理学療法士の役割を理解する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

（3）総合実習Ⅰ（3 年後期、8 単位）

【目的】

基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価、治療計画の立案・実施、考察という臨床思考過程の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習

における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。

【内容】

9 週間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもとで、対象者に対して、評価を実施し、その結果から統合と解釈、治療計画の立案を行い、対象者への理学療法治療および指導を実践する。

さらに、関連職種との連携を見学・体験・実施することで多職種連携の重要性の理解を深め、あわせて他分野の視点で対象者を取り巻く課題への「気づき」を育て、問題を特定化していく。

【修得する知識・技能】

1. 基本的な理学療法評価技術を修得する。
2. 理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。
3. 対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。
5. 関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

（4）総合実習Ⅱ（4 年前期、8 単位）

【目的】

実習指導者の指導のもと、評価、治療計画の立案・実施、考察の臨床思考過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。

また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。

専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。

【内容】

9 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで、対象者に対して、情報収集・評価を実施し、その結果から統合と解釈を行い、対象者への理学療法治療および指導の実践を繰り返す。また、理学療法治療における理論と実践の統合を行うことで応用力を練磨する。

さらに、関連職種との連携を体験し、理学療法士の役割と責任を分担し実施することで、多職種連携とコミュニケーション能力の重要性を理解し、また他分野からの視点を活用して、対象者を取り巻く変化・課題について「気づき」を深め、解決策の提案につなげていく。

【修得する知識・技能】

1. 諸種の理学療法評価技術を修得する。
2. 理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。
3. 対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。

5.対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。
6.チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
7.対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

４．成績評価体制および単位認定方法

成績評価体制及び単位認定方法は、実習指導教員による巡回指導時のルーブリック評価、実習後実習実施報告会での発表、実習指導者による各実習施設における実習状況の科目担当者による評価に基づき、臨地実務実習判定会議で総合的に成績を評価する。

なお、単位認定は、教授会で行う。

（１）見学実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準を、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。

・実習実施報告会での発表（50%）
・レポート（50%）

（２）評価実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）
・実習課題の実施状況
・実習実施報告会での発表

（３）総合実習Ⅰの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）
・実習課題の実施状況
・実習実施報告会での発表

（４）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 4 項目を総合して判定する。

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）
・実習課題の実施状況
・実習実施報告会での発表
・OSCE

Ⅵ.実習関係書類

（１）見学実習学習目標到達度確認表
（２）見学実習デイリーノート（実習日誌）
（３）実習出席簿（評価実習・総合実習Ⅰ・Ⅱ共通）
（４）デイリーノート（実習日誌）（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通）
（５）症例報告書の書き方（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通）
（６）評価実習学習目標到達度確認表
（７）巡回指導時の評価（評価実習）
（８）施設間連絡表
（９）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表
（１０）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ）
（１１）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ）

（1）見学実習学習目標到達度確認表

1年生　見学実習学習目標到達度確認表

＊各項目に対して、あてはまる項目に○をつけてください。
その他のご意見、ご感想、改善点などありましたらご記入ください。

学科名：＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1. 基本的態度　　非常に良い・良い・普通・悪い・非常に悪い・非実施

①時間や約束を守る	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ **1** ・ N
②その場にふさわしい服装や身なりを整える	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
③適切な敬語が使える	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
④守秘義務・個人情報が保護ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
⑤対象者に良心ある態度を示すことができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N

2. 対象者と望ましい人間関係をもつ　　非常に良い・良い・普通・悪い・非常に悪い・非実施

①対象者と適切な態度で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
②対象者にきちんと挨拶ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
③対象者と適切な言葉で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
④対象者に良い印象を与えることができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N

3. 指導者や他職員と望ましい人間関係をもつ　　非常に良い・良い・普通・悪い・非常に悪い・非実施

①適切な態度で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
②きちんと挨拶ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
③適切な言葉で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
④わからないことを適切に質問できる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N
⑤実習課題の期限を守ることができる	5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ・ N

4. 出席簿

実習日	
月　日（　）	月　日（　）
指導者　印	指導者　印

5. 指導者からのご意見、ご感想、改善点など

＊ご指導ありがとうございました。
署名・捺印をしていただき、同封の封筒にて返送してください。

実習施設名：

実習指導者名：　　印

（2）見学実習デイリーノート（実習日誌）

年　月　日（　）　氏名　印

デイリーノート	
時間	内容
8:00～	
9:00～	
10:00～	
11:00～	
12:00～	
13:00～	
14:00～	
15:00～	
16:00～	
17:00～	
18:00～	
19:00～	

本日学んだこと

本日の反省点（自分の行動の振り返りなど）

2 日目の目標，または実習での経験を踏まえた今後の目標

指導者からのコメント

指導者:　印

（3）実習出席簿

月	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：
	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：
	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：
	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：

記入例

○日
○
実習時間

欠席日数＿＿＿＿＿＿＿＿　遅刻回数＿＿＿＿＿＿＿＿　早退回数＿＿＿＿＿＿＿＿

※出席の場合には**実習指導者の方の御捺印**及び**実習時間の記載（３０分刻み）**をお願いいたします。

＜休日・欠席について＞

1．実習における休日の取り扱いについては、各施設の方針に従うものといたします。

2．欠席する場合には、学生は実習開始前に施設の実習指導者に連絡し了解を得ると同時に本学に連絡するよう指導しています。

＜公欠について＞

- 本学は、忌引きや就職試験の受験等のために実習に参加できなかった場合、その該当日を公欠として認定します。
- 実習中に公欠が発生した場合は、指導者が捺印欄に「公欠」と記載してください。また、学生に公欠届けを記載するようご指導ください。

（4）デイリーノート（実習日誌）

年　月　日（　）

印

タイムスケジュール	
時間	内容
8:00～	
9:00～	
10:00～	
11:00～	
12:00～	
13:00～	
14:00～	
15:00～	
16:00～	
17:00～	
18:00～	

体験から学んだこと

本日の反省

感想

実習指導者からのコメント

1日の詳細／具体的内容／自宅学習など

（5）症例報告書の書き方

※学校課題ではありません。学生の能力に応じて可能な範囲で実施させてください。

Ⅰ．表紙

タイトル・指導者名・学校名・学生氏名・学籍番号・提出日

Ⅱ．本文

1）はじめに

この項では、担当した症例についての簡単な説明をする。

2）情報（一般的・医学的・社会的）

①一般的

・年齢（～歳代）

＊個人情報保護法により、第三者に対して情報が漏洩しないように、実習施設外に持ち出す場合には、個人が特定できないように内容は伏せておくこと。
氏名、住所、電話番号などの記載はしない。

・性別

・趣味

・主訴

・ニーズ（客観的要望）

・デマンズ（主観的要望）

＊ニーズ・デマンズに分類しない場合は従来通り、ニーズを主観的要望として記載する。

②医学的

・診断名

・障害名

・現病歴

・既往歴・合併症

・服薬状況

・医学的処置

・手術

・他部門からの情報（Dr・OT・Ns・CW・CM・SW）

・画像所見（CT・MRI・X-Ray）

＊画像はトレーシングペーパーに書き写し、コピーしたものを参照資料として添付する。
電子カルテの場合、施設の了解を得た上でプリントアウトし氏名等を削除し参考資料として添付する。

・生化学検査

③社会的

・家族構成（キーパーソン）

・家屋環境

・教育歴
・職業歴
・経済状況（保険の種類）

3）理学療法初期評価

①理学療法評価とは、疾患のみを評価するのではなく、担当した対象者を評価することである。対象者の情報を基に、理学療法を進めるのに必要な評価を行い、理学療法評価をまとめる。

②客観性のある検査・測定を行い、原因を一つ一つ追究しながら、それぞれの関連性を考える。

4）統合と解釈

①障害（疾患学）の把握をすること（機能的・能力的・社会的な問題点との関連性）

②ニーズ・デマンズと障害との関係性

③問題点の抽出及び把握

5）問題点

理学療法評価から対象者の問題点を抽出し、ICIDH もしくは ICF の概念に基づきレベルに分けて記載する。それぞれの問題点には、＃印と通し番号を付けること。対象者にとって一番の問題点から記載していく。

6）目標設定

問題点から予測して、対象者の機能回復の予測とそれらにより回復の目標を立てる。ゴールには、当面の回復目標としての短期ゴール（１～２週間で達成できるもの）と、対象者の最終回復の予測である長期ゴール（３～６ヶ月以内で達成できる）に分けて立てる。

7）治療計画

治療プログラムは、問題点の解決を図り、対象者の社会復帰を目指し、短期ゴールに対するものと長期ゴールに対するものが考えられる。

治療内容は、①治療部位
②治療手段・方法・順序
③量（回数・時間・強度・頻度） など

8）治療経過

治療経過は日付を追って、治療内容が変更されたものを中心に記載していく。短期ゴールの変更時がプログラムの変更時である。

9）最終評価

10）問題点

11）目標設定

12）治療計画

13）考察

考察は、対象者を受けもって理学療法を進める中で得られたことを論理的に記述していく。

【ポイント】

①治療経過、結果を評価し、治療プログラムの妥当性を考察する。

②症例から得られた結果の解釈および結論を導いた経過、根拠を示し、他の論文と比較、引用などを行う。

③特に興味をもった現象、発見、体験などを記載する。

14）おわりに

15）引用・参考文献

（6）評価実習学習目標到達度確認表

確認基準

点数	評 価 基 準
5	指導者の監視のもと、わずかな助言・指導で適切にできる。
4	指導者の監視のもと、時々の助言・指導で適切にできる。
3	指導者の監視のもと、多くの助言・指導で適切にできる。
2	指導者の監視のもと、多くの助言・指導をしても不十分である。
1	指導者の監視のもと、多くの助言・指導をしてもほとんどできない。

Ⅰ 適正について

	確認項目	到達水準
1	挨拶、返事、礼儀などを正しく行うことできる	５・４・３・２・１
2	時間を厳守できる	５・４・３・２・１
3	守秘義務（個人情報）を厳守できる	５・４・３・２・１
4	提出物の期限が厳守できる	５・４・３・２・１
5	与えられた課題、指示内容を責任を持って遂行することができる	５・４・３・２・１
6	自己目標や問題に対して取り組むことができる	５・４・３・２・１
7	指導者や他職員、対象者と望ましい人間関係を確立できる	５・４・３・２・１
8	責任感を持って対象者に接する事ができる	５・４・３・２・１
9	対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができる	５・４・３・２・１

Ⅱ 記録・報告について

	確認項目	到達水準
1	報告、連絡、相談ができる	５・４・３・２・１
2	疑問に思うことを質問できる	５・４・３・２・１
3	専門用語を適切に使用できる	５・４・３・２・１

Ⅲ 理学療法評価について

	確認項目	到達水準
1	疾患、評価などに対する基本的知識を有している	５・４・３・２・１
1	疾患、評価などに対する基本的知識を有している	５・４・３・２・１
2	理学療法における評価の目的を理解している	５・４・３・２・１
3	対象者に必要な情報を適切に収集することができる	５・４・３・２・１
4	疾患や対象者に合わせた適切な評価法を選択することができる	５・４・３・２・１
5	対象者に評価の説明（オリエンテーション）を適切に実施できる	５・４・３・２・１
6	選択した評価法を適切な方法で実施することができる	５・４・３・２・１
7	対象者に対するリスク管理ができる	５・４・３・２・１
8	評価結果の意味を理解できる	５・４・３・２・１

実習指導者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

総 評

1. 実習における長所

2. 実習における短所

3. 今後の課題

4. その他（実習の経緯など）

（７）巡回指導時の評価（評価実習）

評価実習学習目標到達度評価

<実習指導者からの報告>

学習目標到達評価

学習目標	理想的	標準	要改善	具体的な改善点
望ましい態度	●実習生としての概ね適切な学習態度である。 ●わずかな指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●指導や援助を実施することで実習生としての学習態度が改善できる。 ●指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●実習生としての学習態度にかなりの改善が必要である。 ●学習課題や指導に対する対応についてかなりの改善が必要である。	
対象者の把握	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者と関わりの理解を深めることができる。	●実習指導者の助言・指導で対象者と関わり理解を深めることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者の理解が深まらない。	
理学療法の評価・治療・指導	●実習指導者の監視のもと、わずかな助言・指導で実習指導者が行う理学療法を模倣もしくは実施することができる。 ●実習指導者の監視のもとわずかな助言･指導で実習指導者が行う治療･指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う理学療法を部分的に模倣することができる。 ●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う治療・指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行っても実習指導者が行う理学療法に参画できず、見学を中心とした実習レベルに留まっている。	
臨床思考	●実習指導者のわずかな助言・指導で理学療法評価を理解し、系統立てた解釈ができる。	●実習指導者の助言・指導で理学療法評価を理解し、系統立てた解釈ができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても理学療法評価を理解できない。 ●実習指導者が助言・指導を行っても理学療法評価治の解釈ができない。	
記録・報告	●実習指導者のわずかな助言・指導で適切な記録・報告ができる。	●実習指導者の多くの助言・指導で記録・報告ができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても記録・報告ができない。	
新たな「気づき」	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができる。	●実習指導者の多くの助言・指導で対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができない。	

（8）施設間連絡表

総合実習

実習施設名　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習指導者名　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習期間　　：＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日 ～ ＿＿＿＿月＿＿＿＿日

担当症例数　　：＿＿＿＿＿名

担当症例について（疾患名 等）

症例報告書

疾患名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習生の指導において留意すべき点（　　指導者より　　指導者へ） 等

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（9）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表

確認表について

5：指導者の監視下で指導のもと 9 割以上理解している、または実行できる。

4：指導者の監視下で指導のもと 7～8 割以上理解している、または実行できる。

3：指導者の監視下で指導のもと 5～6 割以上理解している、または実行できる。

2：指導者の監視下で指導のもと 4 割程度の理解はしているが実行できない。

1：指導者の監視下で指導のもと理解しようとするが不十分であり実行できない。

0：理解しようとしない、または実行しない。

Ⅰ:理学療法士としての適正および態度	小計点:Ⅰ	未実
1. 社会性	**到達水準**	
①大きな声で挨拶ができる	5･4･3･2･1･0	N
②身だしなみが整っている	5･4･3･2･1･0	N
③言葉使いが適切である	5･4･3･2･1･0	N
2. 規律性	**到達水準**	
①約束を厳守できる	5･4･3･2･1･0	N
②時間を厳守できる	5･4･3･2･1･0	N
③守秘義務(個人情報)を厳守できる	5･4･3･2･1･0	N
④提出物の期限が厳守できる	5･4･3･2･1･0	N
⑤物品などの管理や整理整頓ができる	5･4･3･2･1･0	N
3. 接遇･コミュニケーション	**到達水準**	
①医療人としての自覚を持って行動することができる	5･4･3･2･1･0	N
②自己の感情をコントロールできる	5･4･3･2･1･0	N
③周囲の状況に応じた行動が取れる	5･4･3･2･1･0	N
④自分の考えや意見を相手に伝えることができる	5･4･3･2･1･0	N
⑤指導者や他職員との協調性が図れる	5･4･3･2･1･0	N
⑥謙虚に話を聞くことができる	5･4･3･2･1･0	N
4. 患者の尊厳	**到達水準**	
①プライバシーへの配慮ができる	5･4･3･2･1･0	N
②対象者に対して障害を踏まえた行動がとれる	5･4･3･2･1･0	N
③対象者の心理的状況を把握できる	5･4･3･2･1･0	N
④対象者(家族含む)と良い関係作りができる	5･4･3･2･1･0	N
5. 自己動機･洞察	**到達水準**	
①自己の問題に気づき、また、理解し把握することができる	5･4･3･2･1･0	N
②自己目標に対して追及できる	5･4･3･2･1･0	N
③実習や学習に対して粘りや熱意を持って実行することができる	5･4･3･2･1･0	N
④理学療法への関心、意欲がある	5･4･3･2･1･0	N
⑤対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化できる	5･4･3･2･1･0	N
⑥対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化し実施できる	5･4･3･2･1･0	N
※⑤:総合実習Ⅰの確認項目　⑥:総合実習Ⅱの確認項目		
6. 記録と報告	**到達水準**	N
①報告、連絡、相談ができる	5･4･3･2･1･0	N
②疑問に思うことを質問することができる	5･4･3･2･1･0	N
③専門用語を適切に使用できる	5･4･3･2･1･0	N

コメント

Ⅱ:理学療法評価	小計点:Ⅱ	未実
1. 評価前準備	到達水準	
①基礎医学(解剖・運動・生理学など)の知識を有している	5・4・3・2・1・0	N
②臨床医学(整形外科・脳神経外科・神経内科学など)の知識を有している	5・4・3・2・1・0	N
③理学療法専門医学(評価法など)の知識を有している	5・4・3・2・1・0	N
④一般的な障害や病態について指導者に説明ができる	5・4・3・2・1・0	N
⑤対象者に対して必要な評価項目を選択できる	5・4・3・2・1・0	N
⑥選択した評価項目に対して優先順位をつけることができる	5・4・3・2・1・0	N
⑦各評価項目に対する目的を理解している	5・4・3・2・1・0	N
⑧検査を実施するに当たってリスクとその管理方法を把握している	5・4・3・2・1・0	N
2. 情報収集	到達水準	
①問診をするにあたり必要な項目や事項を具体的に把握している	5・4・3・2・1・0	N
②整理された状態で目的を持って、対象者や家族に対して問診をすることができる	5・4・3・2・1・0	N
③他部門からの必要な情報を収集ができる	5・4・3・2・1・0	N
3. 理学療法評価実施	到達水準	
①対象者に対して評価内容の説明(オリエンテーション)ができる	5・4・3・2・1・0	N
②指導者に指示を仰いだり、相談をしながら評価を進めることができる	5・4・3・2・1・0	N
③検査の実施場所を適切に判断することができる	5・4・3・2・1・0	N
④検査、測定に必要な器具を適切に準備している	5・4・3・2・1・0	N
⑤検査、測定に対する反応を正確に判断することができる	5・4・3・2・1・0	N
⑥学んだ検査法を疾患像(対象者)に合わせて工夫し応用することができる	5・4・3・2・1・0	N
⑦評価の実施方法・手順を理解している	5・4・3・2・1・0	N
⑧評価を安全にかつ手際よく行うことができる	5・4・3・2・1・0	N
⑨評価結果に関しての信頼性が認められる	5・4・3・2・1・0	N
4. 統合と解釈	到達水準	
①検査、測定結果から正常か否の判断ができる	5・4・3・2・1・0	N
②問題のある項目を抽出することができる	5・4・3・2・1・0	N
③抽出した項目を分析することができる	5・4・3・2・1・0	N
④分析した結果と疾患との関連性を理解できる	5・4・3・2・1・0	N
⑤結果を総合的に解釈することができる	5・4・3・2・1・0	N

コメント

Ⅲ:治療計画	小計点:Ⅲ	未実施項目
1. 問題点の抽出	**到達水準**	
①対象者の問題点を全体的・構造的に把握することができる	5・4・3・2・1・0	N
②検査・測定のデータ相互に影響を及ぼす因子を見つけケースの障害像を把握する	5・4・3・2・1・0	N
③理学療法のみでは解決できない問題点に気づける	5・4・3・2・1・0	N
④ICIDH もしくは ICF に基づき問題点を把握することができる	5・4・3・2・1・0	N
⑤問題点の把握を疾患学に基づき段階的に把握できる	5・4・3・2・1・0	N
⑥対象者の問題点を文献などと比較し、障害像の特殊性、個別性を把握できる	5・4・3・2・1・0	N
⑦各問題点の相互関係を考慮し、問題解決の優先順位を設定できる	5・4・3・2・1・0	N
2. 目標設定	**到達水準**	
①長期目標設定に対して対象者の社会背景を考慮できる	5・4・3・2・1・0	N
②短期目標設定に際して対象者の個別性を考慮できる	5・4・3・2・1・0	N
③長期目標達成のために短期目標を具体的にかつ段階的に設定できる	5・4・3・2・1・0	N
④短期目標と治療計画の内容が関連づいている	5・4・3・2・1・0	N
⑤機能的予後予測を設定できる	5・4・3・2・1・0	N
⑥理学療法およびリハビリテーションの目標を提案することできる	5・4・3・2・1・0	N
⑦対象者の問題点やニーズを考慮した目標設定をすることができる	5・4・3・2・1・0	N
⑧退院後や退所後の生活を考慮できる	5・4・3・2・1・0	N
3. 治療計画	**到達水準**	
①日常生活動作と基本的動作練習との結びつきを理解した計画を立案できる	5・4・3・2・1・0	N
②対象者の現状に即した基本的な理学療法治療・指導計画を立案できる	5・4・3・2・1・0	N
③教科書や文献などを参考に基本的な理学療法治療・指導計画が立案できる	5・4・3・2・1・0	N
④問題点および目標設定からの理学療法治療・指導の立案ができる	5・4・3・2・1・0	N
⑤決められたスケジュールに従って治療計画を立案することができる	5・4・3・2・1・0	N
4. 短期目標および治療計画の変更	**到達水準**	
①対象者の理学療法経過について指導者に連絡、報告、相談をすることができる	5・4・3・2・1・0	N
②再評価を行う時期を設定することができる	5・4・3・2・1・0	N
③経時的な疾患の変化に対して再評価に必要な項目を抽出することができる	5・4・3・2・1・0	N
④再評価を行い問題点、目標設定、治療計画の変更ができる	5・4・3・2・1・0	N
⑤症例記録に必要事項を記載することができる	5・4・3・2・1・0	N

コメント

Ⅳ:理学療法の実施	小計点:Ⅳ	未実施項目
1. 事前準備	到達水準	
①基本的な治療・指導計画に対して教科書や文献で介助法や治療内容を確認できる	5・4・3・2・1・0	N
②基本的な治療・指導計画に当たって事前に必要な物品などの準備ができる	5・4・3・2・1・0	N
③治療を実施するに当たり対象者に対するリスク管理を把握している	5・4・3・2・1・0	N
④対象者に対して治療の目的・手技および理論を説明できる	5・4・3・2・1・0	N
2. 各種治療手技	到達水準	
①関節可動域運動が実施できる	5・4・3・2・1・0	N
②筋力増強・持久力運動が実施できる	5・4・3・2・1・0	N
③伸張運動が実施できる	5・4・3・2・1・0	N
④全身調整運動が実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑤リラクセーションが実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑥神経・筋再教育が実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑦協調性運動を実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑧物理療法が実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑨基本的動作練習が実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑩応用的動作練習を実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑪各種治療体操を実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑫義肢装具の選択およびチェックポイントを理解し、実施できる	5・4・3・2・1・0	N
3. 治療手技実施	到達水準	
①方法を理解して行うことができる	5・4・3・2・1・0	N
②安全に行うことができる	5・4・3・2・1・0	N
③手際よく行うことができる	5・4・3・2・1・0	N
4. 実施経過	到達水準	
①指導者の指示のもとで基本的な治療・指導ができる	5・4・3・2・1・0	N
②指導者の指示のもとでリスク管理を理解し実施できる	5・4・3・2・1・0	N
③治療内容の時間配分とその実施時間を調整し実施することができる	5・4・3・2・1・0	N
④対象者に応じた治療・指導を工夫し実施できる	5・4・3・2・1・0	N
⑤対象者の状態に合わせて臨機応変に治療内容を変更できる	5・4・3・2・1・0	N
⑥治療効果について考察できる	5・4・3・2・1・0	N

コメント

総評

実習指導者名:　　印

※必ず御捺印をお願いいたします。

（１０）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ）

総合実習Ⅰ学習目標到達度評価

<実習指導者からの報告>

学習目標到達評価

学習目標	理想的	標準	要改善	具体的な改善点
望ましい態度	●実習生としての概ね適切な学習態度である。 ●わずかな指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●指導や援助を実施することで実習生としての学習態度が改善できる。 ●指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●実習生としての学習態度にかなりの改善が必要である。 ●学習課題や指導に対する対応についてかなりの改善が必要である。	
対象者の把握	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者と関わりの理解を深めることができる。	●実習指導者の助言･指導で対象者と関わり理解を深めることができる。	●実習指導者が助言･指導を行っても対象者の理解が深まらない。	
理学療法の評価・治療・指導	●実習指導者の監視のもと、わずかな助言・指導で実習指導者が行う理学療法を模倣もしくは実施することができる。 ●実習指導者の監視のもとわずかな助言･指導で実習指導者が行う治療･指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言･指導を行うことで実習指導者が行う理学療法を部分的に模倣することができる。 ●実習指導者の監視のもと助言･指導を行うことで実習指導者が行う治療・指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言･指導を行っても実習指導者が行う理学療法に参画できず、見学を中心とした実習レベルに留まっている。	
臨床思考	●実習指導者のわずかな助言・指導で理学療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者の助言･指導で理学療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者が助言･指導を行っても理学療法の治療成果を理解できない。 ●実習指導者が助言･指導を行っても理学療法の治療プログラムの修正ができない。	
記録・報告	●実習指導者のわずかな助言・指導で適切な記録・報告ができる。	●実習指導者の多くの助言･指導で記録・報告ができる。	●実習指導者が助言･指導を行っても記録・報告ができない。	
新たな「気づき」	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特	●実習指導者の多くの助言･指導で対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化	●実習指導者が助言･指導を行っても対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定	

	定化できる。	できる。	化することができない。	

（１１）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ）

総合実習Ⅱ学習目標到達度評価

<実習指導者からの報告>

学習目標到達評価

学習目標	理想的	標準	要改善	具体的な改善点
望ましい態度	●実習生としての概ね適切な学習態度である。 ●わずかな指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●指導や援助を実施することで実習生としての学習態度が改善できる。 ●指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●実習生としての学習態度にかなりの改善が必要である。 ●学習課題や指導に対する対応についてかなりの改善が必要である。	
対象者の把握	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者と関わりの理解を深めることができる。	●実習指導者の助言・指導で対象者と関わり理解を深めることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者の理解が深まらない。	
理学療法の評価・治療・指導	●実習指導者の監視のもと、わずかな助言・指導で実習指導者が行う理学療法を模倣もしくは実施することができる。 ●実習指導者の監視のもとわずかな助言･指導で実習指導者が行う治療･指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う理学療法を部分的に模倣することができる。 ●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う治療・指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行っても実習指導者が行う理学療法に参画できず、見学を中心とした実習レベルに留まっている。	
臨床思考	●実習指導者のわずかな助言・指導で理学療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者の助言・指導で理学療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても理学療法の治療成果を理解できない。 ●実習指導者が助言・指導を行っても理学療法の治療プログラムの修正ができない。	
記録・報告	●実習指導者のわずかな助言・指導で適切な記録・報告ができる。	●実習指導者の多くの助言・指導で記録・報告ができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても記録・報告ができない。	
新たな「気づき」	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者や職業現場や地域の課題に	●実習指導者の多くの助言・指導で対象者や職業現場や地域の課題につ	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者や職業現場や地域の課題に	

	ついて「気づき」をもち、問題を特定化し実施できる。	いて「気づき」をもち、問題を特定化し実施できる。	ついて「気づき」をもち、問題を特定化し実施することができない。	

Ⅶ.実習生に関する責務要項と注意事項

１．一般的心得

１）規則の厳守：施設やリハビリテーション部門の規則を知り、厳守する。

２）時間の厳守　：始業、終業、昼食、休憩、会議などの開始時間を厳守する。

３）服装・整容：原則的に本校指定のユニフォームを着用とするが、状況に応じて各自、実習施設に従うこと。医療行為に携わるものとしての自覚を持ち、実習生としてふさわしい頭髪、爪、化粧など考え第三者に不快感を与えない容姿に配慮する。

４）実習態度：常に明るく、落ち着いた態度で人に接し、適切な敬語を使い、明快な応答に留意する。

５）連絡：欠席、遅刻、早退などは、必ず実習指導者に連絡し、その理由を説明すること。また、指導者に了解を得なければならない。

６）提出物：課題等の提出期限を厳守する。

７）実習指導者の指導・監督のもと、指示に従って実習する。

８）実習に関する疑問・質問等があれば、実習指導者に相談し、その指示に従う。

９）物品・機械器具などの取り扱いに十分注意し、整理整頓に留意する。

10）実習中の借用品は必ず返却する。

11）携帯電話を実習施設内に持ち込む場合は電源を切る。使用する場合は必ず実習指導者の指示に従う。

12）学生が個人で使用している USB メモリや CD-R などの記録媒体を実習施設内では使用しない。使用する場合は必ず実習指導者の許可を得る。

13）宿舎の整理整頓、清掃は徹底して行い実習施設・宿舎管理人に迷惑をかけない。

２．対象者様(以下対象者とする)に対する心得

１）対象者の症状・性格を理解するように努め、患者に不安を与えることや、治療上有害となる言動は厳に慎む。

２）対象者に接する場合は誠意を持って対処し、馴れ馴れしい態度・不快な態度は避ける。

３）対象者に経過・予後・当該疾患について尋ねられた場合は、即答を避け実習指導者に相談する。

４）守秘義務を厳守し、実習で知り得た患者などの秘密事項は絶対口外しない。また、メモなどの処理は不用意に行わない。

５）対象者の安全については常に万全の注意を払う。万が一事故が生じた場合は、速やかに実習指導者またはリハビリテーションスタッフに報告し、その指示に従うとともに本学に連絡すること。

３．休日・欠席等

１）実習における休日の取り扱いについては各実習施設の方針に従うものとする。

２）遅刻・早退・欠席をする場合、学生は実習指導者に連絡し、了解を得るとともに学校に連絡する。また学生個人資料にある欠席・遅刻・早退届に記入し指導者へ提出する。

3）臨床実習の出席管理は時間で管理する。算定時間は１日８時間、週４０時間を上限とする。なお、実習時間の管理は０．５時間（３０分）単位で管理する。

4）各実習期間の１／５以上を欠席した場合は「臨地実務実習不合格」とする。

5）病気による実習の欠席は「学校感染症の罹患（次項に記す）」、「病気を診断した主治医の指示」に従う。但し、いずれの場合も診断書などを本学に提出しなければならない。

学校感染症

学校保健法施行規則第 18 条で定められている学校感染症の種類は以下の通りである。

【第一種】

○エボラ出血熱　○痘そう　○クリミア・コンゴ出血熱
○南米出血熱　○ペスト　○マールブルグ病
○ラッサ熱　○急性灰白髄炎　○ジフテリア
○鳥インフルエンザ（H5N1 であるものに限る。）
○重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）

【第二種】

○インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く）
○百日咳　○麻しん　○咽頭結膜熱　○結核
○流行性耳下腺炎　○風しん　○水痘　○髄膜炎菌性髄膜炎

【第三種】

○コレラ　○細菌性赤痢　○腸管出血性大腸菌感染症　○腸チフス
○パラチフス　○流行性角結膜炎　○急性出血性結膜炎　○その他の感染症

（流行が起こった場合にその流行を防ぐため、必要があれば学長が主治医の意見を聞き、第三種感染症としての措置を講じることができる疾患）

※上記の感染症に罹患した場合の実習欠席は公欠扱いとする。

※該当する欠席の場合は、学校に連絡してください。

※公欠扱いとなった実習期間は実習時間として算定されます。

※上記の感染症以外を罹漢した場合の実習欠席により出席日数が不足した場合は、施設・実習指導者との協議の上で、不足日数分の実習延長をお願いすることがございます。ご了承ください。

Ⅷ.実習指導に当たってのお願い

１．実習時間について

１日８時間、週４０時間を実習時間とし実習時間以外に行う学習等を含め４５時間以内でお願いいたします。

２．指導についてのお願い

１）原則、学生がリハビリテーションチームに参加し、その一員として診療業務を補助しながら理学療法士の職業的な知識・思考法・技能・態度を学ぶ臨床参加型実習にて、お願いいたします。

２）オリエンテーション

①施設概要の説明やリハビリテーション部門、他部門へのご紹介をお願いいたします。

②施設内での規則、心得などについての説明をお願いいたします。

３）適切な学習環境設定への配慮をお願いいたします。

５）デイリーノートのご確認を出来る限りお願いいたします。

６）学生の不十分な点に対してのご指導をお願いいたします。

７）学生の行った検査・測定・運動療法・物理療法などに対して、適切なご助言やご指摘をしていただく機会を設け、可能な限り、フィードバックをお願いいたします。

８）学生の個人的な能力に応じて業務、課題を与えてください。

Ⅸ.実習における個人情報保護について

臨地実務実習では、学生が担当の対象者様の個人情報を扱うことになります。よって以下に本学における方針を示します。この方針は、実習前にオリエンテーションで学生に指導しております。実習施設において独自の規則が存在している場合には、本学の指導内容に関係する、しないに関わらず学生にご指導いただきますようお願い申し上げます。

なお、ここで扱う対象者とは、実習中に学生が関わるすべて（担当・担当以外）の患者様・利用者様、そしてその家族を示します。

1．対象者データ収集にあたっての診療録の取扱い

1）カルテを、コピー機やスキャナーで複写することやカメラで接写することは絶対に行わない。
2）カルテやレントゲン写真は部署外に持ち出さない。もし、持ち出しが必要な場合は実習指導者や各部署の責任者に許可を求める。また、施設外持ち出しは厳禁である。
3）補助診療録やその他書類の取扱いはカルテと同様に慎重に扱う。
4）カルテにある内容で実習に必要な事項は、最小限で書き写す。
5）対象者情報を書き写す時、氏名はアルファベット文字とし「A様、B様」などの記載をする。
6）住所は、実習上で必要なければ書き写さない。住所や出身地を書き写すときには、都道府県、県名市町村名までとする。
7）生年月日や実年齢を書き写さない。「30 歳代前半、70 歳代後半」などの記載をする。
8）氏名・住所・生年月日・電話番号以外で、勤務先や肩書き、連絡先などの個人を特定できる情報は書き写さない。

2．電子カルテの取扱いについて

1）電子カルテの「ID」や「パスワード」は、その管理を実習指導者等に任せて、実習生は聞き取らない。
2）担当対象者以外のカルテは閲覧しない。
3）電子カルテからのプリントアウトは行わず、必要な事項のみ書き写す。

3．自宅学習について

1）実習施設にある対象者情報で、個人が特定できる個人情報が記録された部分の、USB メモリや CD-R 等へのコピーと、その持ち出しはしない。
2）対象者の病状・治療内容・評価結果・プログラムなどに関する対象者情報の事項をレポートやノート、評価記録などを施設外に持ち出すときは実習指導者の許可を得る。
3）対象者情報が記載されているレポートやノート、評価記録などは紛失や盗難のないように管理を徹底する。
4）自宅にあるパソコンはパスワードを設定する。また、パソコンがインターネットに接続できる環境にある場合は、セキュリティの強化をする。
5）メモ書きなどは用件が終了すれば、情報が漏れないようにシュレッダーなどで厳重に処分する。

4．報告書やレポートの作成について

1）基本情報の記載については、１－５）～８）を参考する。

2）続柄・家族構成・所得などは、直接の関係がなければ記載しない。

3）対象者及び第三者に知られると不都合であると思われる疾患についての診断名は、厳重に管理し漏洩させない。

4）現病歴の発症年月日の記載は原則行わない。評価や治療上、必要になった場合は実習指導者の許可を得る。発症年月日を記載しない場合の経過報告については、「発症から○○日後、○○ヶ月後」などの記載をする。

5）身体的特徴で個人を特定できる特徴は、評価や治療などに直接関係のない場合は書かない。

5．その他

1）対象者本人・家族・知人（第三者）からカルテの開示や病状の説明を求められたときは、実習指導者に求められたことの報告をする。その際、本人・家族・知人に対して学生からの説明は絶対に行わない。

2）所属する機関や施設以外の関係者で、対象者についての問い合わせがあった場合は、無断で対応せず実習指導者に報告して実習指導者から回答してもらう。

3）症状や疾患名に関する内容を第三者に聞かれてしまう環境にある場合は、実習指導者に直接その場では質問や報告をしない。

4）個人が所有するUSBメモリやCD-R等の記録媒体を実習施設で許可なく使用してはいけない。

5）実習終了後の個人情報については、学生個人が責任をもって管理する。実習施設及び本学が許可するもの以外への情報提供は絶対に行わない。

6）実習中に作成した対象者の情報（症例レポート、ケースノートなど）を第三者（同級生・後輩・他校の実習生など）に絶対に提供してはいけない。

X.ハラスメントにおける取り扱い

１．定義

セクシャルハラスメントとは、性的な嫌がらせを意味します。相手の意に反する性的な言動によって、相手に不利益を与えたり、また、性的言動により相手に不快な思いをさせたり、能力の発揮に重大な影響を与えたりすることを指します。また、パワーハラスメントとは、職務上優位的地位にある者が、意識的であるか無意識的であるかを問わず、その地位及び職務上の権限を利用し、または、逸脱して就労意欲や就労環境を著しく阻害する結果をもたらす、ハラスメントとなるような不適切な言動、指導または待遇を指します。

特に、実習指導を行う上で、学生は相対的に弱い立場にあることが多く、実習における成績に伴う中で、ハラスメントがあっても拒否できない場合が多くあります。

２．ハラスメントとはどのような行為を指すのか？

１）環境

①ヌード写真など人によっては不快感を起こすものを提示する。
②性的、卑猥な冗談
③身体・容姿的特徴についての会話
④恋愛経験についての会話
⑤「男のくせに・・・、女のくせに・・・」

２）対価

①不必要または必要以上な個人指導
②執拗にデートや食事に誘う
③酒席でのお酌の強要
④相手をしつこく見つめる
⑤相手の意に反し身体に触れる
⑥性的行為の強要　　など

＊ここに挙げたハラスメントの例以外にもまだ数多くあります。

３．注意事項

もし、学生が何らかのハラスメントを受けている場合には、すぐ本学へご連絡をくださいますようよろしくお願いいたします。

岡山医療専門職大学　健康科学部理学療法学科　実習担当者
電話：０８６－２３３－８０２０

XI.実習事災害対策マニュアル

実習における災害（地震・火災・洪水・台風など）についての取扱い

１．地震

１）実習中に起きた場合

実習施設が災害地付近（同市）で、ライフライン（水道・電気・ガスなど）および交通手段が遮断された場合には、実習を中断させる。中断となった場合は実習期間を中断した日数分を延長する。

復旧の目途を見計らい１週間以内で生活できるライフラインおよび交通機関が復旧した場合には、実習を再開する。

一定の期間を経ても復旧の目途が立たない場合には、実習を公休扱いとして中止し、被災地を離れ実習生は大学へ帰校すること。学生は帰校後直ちに代替臨時実習に向けて調整を図る準備をする。

２）実習前（移動期間中、期間中休暇時）に災害が起きた場合

実習予定施設付近で災害が起きた場合には、交通手段およびライフラインの確認を行う。これらの確保ができない場合は実習を延期する。実習開始予定日から１週間以内に復旧した場合には実習を開始する。

一定の期間を経ても復旧の目途が立たない場合は、残りの実習期間を公休扱いとして中止し、被災地を離れ実習生は大学へ帰校すること。学生は帰校後、直ちに代替臨時実習に向けて調整を図る準備をする。

３）上記１）・２）に関しては、まずは学生の身の安全を確保するための措置である。故に、学長が危険と判断した場合には、実習を期間に関係なく中止および延長するものとする。

ただし、延長の場合には、当該施設と協議のうえ決定する。

２．天候による災害（台風・洪水・暴風・大雨など）

１）原則的に学校では、洪水、大雨、暴風警報が発令された場合、公休扱いとしているため、実習期間内に、台風や洪水、暴風、大雨などの警報が発令された場合には、施設の方針によるところとする。

Ⅻ.実習中の事故に伴う手続きについて
（PT・OT 等養成校総合補償制度の手続き）

1. 物損事故の第一報が入り次第、施設側、学生に事実を確認するとともに、事故に伴っての負傷者の有無を必ず確認する（あれば人身傷害の手続きを早急に進める)。

2. 本学学生の責任における物損事故が事実であれば、施設側に謝罪するとともに、保険請求の手続きが可能である旨を申し出て、保険での弁済の手続きを進める。取り急ぎ、「破損物の破損状況写真」と「修理見積書」が必要なため、特に写真については施設側に早急に連絡し、写真の保存を依頼しておくこと。

3. 免責金額はないが、限度額は一事故 300 万円である。300 万円を超える金額については学生の個人責任となることに注意する。該当の場合は学生保護者に連絡し、個人加入の損害賠償保険について確認して保険使用の承諾を得ておく（なければ個人での弁償となる)。

4. 事故報告書については次ページの書類を参照のこと。なお、記入重要項目を以下に列記する。
   (ア)事故発生日時
   (イ)事故発生場所
   (ウ)加害者氏名等
   (エ)破損物の①物品名、②メーカー名、③購入時期（大体でよい)、④購入価格、⑤破損箇所、⑥修理金額見込み
   (オ)破損物の物品名と事故状況

5. 窓口

岡山医療専門職大学　健康科学部理学療法学科　実習担当者
電話：０８６－２３３－８０２０

事 故 報 告 書

学校法人　本山学園
岡山医療専門職大学　学長　殿

施設名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習指導者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

下記の事故が発生したため報告いたします。

記

岡山医療専門職大学　　理学療法学科　　第＿＿＿学年　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事故日時：＿＿＿＿ 年 ＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日 ＿＿＿＿ 時 ＿＿＿＿ 分

場　　所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事故状況：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事故後の処置・経過：

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習指導者のコメント：

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の通り相違ありません。

＿＿＿＿ 年 ＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

実習生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

臨地実務実習指導要項

岡山医療専門職大学

健康科学部

作業療法学科

Ⅰ.人材育成

最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。

Ⅱ.ディプロマ・ポリシー卒業認定・学位授与の方針

作業療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
3）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。
4）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。
②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。
③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。
④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。
⑤地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。
⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。
⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。
⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。
⑩完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑪最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。

⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。

⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

Ⅳ.教育課程（作業療法学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎科目		大学入門	1前	1				○	
		基盤ゼミⅠ	2前	1				○	
		基盤ゼミⅡ	3前	1				○	
		職業人の倫理と道徳論	1後	2			○		
		心理学	1前		2		○		
		哲学概論	1前		2		○		
		健康科学概論	1後	1			○		
		コミュニケーション英語	1前	2			○		
		日本の歴史と文化	1前	2			○		
		国際政治経済論	2後	1			○		
		基礎生物	1前	1			○		
		基礎物理	1前	1			○		
		情報収集と処理	1後	1			○		
		統計分析の基礎	2後	1			○		
		人間関係論	3前		2		○		
		コミュニケーション論	3前	1			○		
		テーマ設定と研究方法	3前	1			○		
		研究デザイン	3前	1				○	
		小計（ 18科目）	—	18	6	0	—	—	—
職業専門科目	専門基礎分野	メディカル英語	3後	2			○		
		解剖学	1前	2			○		
		解剖学実習Ⅰ	1後	1					○
		解剖学実習Ⅱ	2前	1					○
		生理学	1前	2			○		
		生理学実習	1後	1					○
		運動学	1後	2			○		
		運動学実習	2前	1					○
		人間発達学	1前	2			○		
		臨床医学概論	1前	2			○		
		病理学	1後	2			○		
		精神医学	2後	2			○		
		整形外科学	2前	2			○		
		内科学	1後	2			○		
		神経内科学	2前	2			○		

	小児科学	2前	2			○		
	リハビリテーション医学	1後	1			○		
	リハビリテーション概論	1前	1			○		
	地域包括マネジメント論	4前	1			○		
	多職種連携論	1後	1			○		
専門分野	作業療法概論	1前	2			○		
	基礎作業学	1後	1			○		
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○
	基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○
	作業療法セミナーⅠ	4前		1			○	
	作業療法セミナーⅡ	4後		1			○	
	作業療法管理学概論	3後	2			○		
	作業療法評価学	1後	2			○		
	作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○
	作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○
	作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1					○
	基礎作業療法治療学	3前	1			○		
	基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1					○
	基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○
	身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○		
	身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○		
	身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○		
	身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○		
	身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○
	身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○
	身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○
	老年期障害作業療法学	2後	1			○		
	老年期障害作業療法実習	3前	1					○
	精神障害作業療法学	2後	1			○		
	作業療法演習Ⅰ	2後		2			○	
	作業療法演習Ⅱ	3後		2			○	
	日常生活活動学	2前	1			○		
	日常生活活動学実習	2後	1					○
	義肢装具学	3後		1		○		
	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法)	4前	1					○
	応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学)	4前	1					○
	応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	4前		1				○

	生活環境学	2後	2			○		
	地域作業療法学	3後	1			○		
	予防作業療法学	3後	1			○		
	見学実習	1通	1					臨
	評価実習	3前	3					臨
	総合実習Ⅰ	3後	9					臨
	総合実習Ⅱ	4前	9					臨
	小計（ 59科目）	―	89	8	0	―	―	―
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○		
	人間形成論	3後	2			○		
	家族関係論	3前	2			○		
	地域社会論	3後	2			○		
	コミュニティ形成論	3後	2			○		
	健康教育	4前	2			○		
	学校教育	4前	2			○		
	人間工学	4前	2			○		
	ライフサイクル論	4前	2			○		
	岡山経営者論	4前	2			○		
	小計（ 10科目）	―	20	0	0	―	―	―
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○	
	総合研究Ⅱ	4前	1				○	
	総合演習Ⅰ	3後		1			○	
	総合演習Ⅱ	4前		1			○	
	卒業論文	4後	2				○	
	小計(5 科目)	―	4	2	0	―	―	―
	合計（ 92科目）	―	131	16	0	―	―	―

Ⅴ.臨地実務実習の目的と概要

１．臨地実務実習の目的

本学の臨地実務実習は、知識・技術の進度にあわせ段階的にレベルを上げる実習プログラム（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）を整備し、作業療法業務を実際に見学し、模倣し、実践するプロセスのなかで、専門職業人としての実践的・応用的・創造的な能力を育成する。同時に、対象者の目線に立ち、心を通わせ人を思いやる姿勢を身につけ、専門職業人としての倫理観を培っていく。学内で修得した専門知識と技術を統合し、適切な作業療法評価を行い、問題点を抽出し、効果的な治療計画を立案・実施し、治療成果を検証する全行程を実践し、専門職業人として必要な論理的思考力や実践力を高めることを目的とする。

２．臨地実務実習の概要

（1）見学実習

1 年次の「見学実習」では、医療現場で作業療法業務を見学し、チーム医療の現場を観察する。倫理の重要性を学び、職業的アイデンティティを育み、自己の将来像の基礎を構築し、職業現場で対象者が抱える苦悩や痛みを理解する。また、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを提供するための基盤的資質を育む。

（2）評価実習

3 年前期の「評価実習」では、基幹科目で学んだ知識・技術を基に、作業療法士に求められる基本的な対応力・観察力・評価技能・臨床的思考を身につける。また、展開科目から学んだ他分野の知識を活用し、対象者を幅広く捉える視点を生かし、対象者の抱える課題や地域の課題について問題意識を育む。

（3）総合実習Ⅰ

3 年後期の「総合実習Ⅰ」では、職業現場において臨床実習指導者の指導のもとで、評価実習の成果と基幹科目で学んだ知識・技術を統合し専門職業人として基盤となる実践力を身につけ、チーム医療の重要性を理解する。また、展開科目から学んだ他分野の知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。

（4）総合実習Ⅱ

4 年次の「総合実習Ⅱ」では、これまでの経験を基に、専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムとを組み合わせる効果により、さらに一段高い専門業務を主導できる実践力と豊かな創造力を養う。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と連動し、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、高度な実践力を身につける。また、展開力育成プログラムと有機的に組み合わせ運用することにより、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決について「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービスの革新と新たなサービスを創造する力を涵養し、地域の課題解決に資する豊かな創造力を身につける。

３．各臨地実務実習の目的・方法、修得する知識・技能

(1)見学実習（1 年前・後期、1 単位）

【目的】

実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。

【内容】

6 日間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもと、臨床現場で対象者に行う作業療法、関連職種との連携場面を見学する。また、実際に対象者と接することで責任ある態度と医療現場で臨機応変に対応する重要性を認識する。

【修得する知識・技能】

1. 倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。
2. 対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。
3. 臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。

4. 関連職種との関わりを理解する。

（2）評価実習（3 年前期、3 単位）

【目的】

基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。

【内容】

4 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで作業療法を見学・模倣し、対象者に対し評価（検査・測定）を実施し、その結果の解釈を行う。

さらに、関連職種との連携を見学・体験することにより多職種連携の重要性を学ぶとともに、他分野の視点で対象者を取り巻く種々の環境を考察し、「気づき」を得る。

【修得する知識・技能】

1. 対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。
2. 臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。
3. 対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。
4. 実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。
5. チーム医療における作業療法士の役割を理解する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

（3）総合実習Ⅰ（3 年後期、9 単位）

【目的】

基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価、治療計画の立案・実施、考察という臨床思考過程の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。

【内容】

10 週間を本実習にあてる。実習指導者の指導・監督のもとで、対象者に対して、評価を実施し、その結果から統合と解釈、治療計画の立案を行い、対象者への作業療法治療および指導を実践する。

さらに、関連職種との連携を見学・体験・実施することで多職種連携の重要性の理解を深め、あわせて他分野の視点で対象者を取り巻く課題への「気づき」を育て、問題を特定化していく。

【修得する知識・技能】

1. 基本的な作業療法評価技術を修得する。

2. 作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。
3. 対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。
5. 関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
6. 対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

（4）総合実習Ⅱ（4 年前期、9 単位）

【目的】

実習指導者の指導のもと、評価、治療計画の立案・実施、考察の臨床思考過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。

また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。

専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。

【内容】

10 週間を本実習にあてる。実習指導者のもとで、対象者に対して、情報収集・評価を実施し、その結果から統合と解釈を行い、対象者への作業療法治療および指導の実践を繰り返す。また、作業療法治療における理論と実践の統合を行うことで応用力を練磨する。

さらに、関連職種との連携を体験し、作業療法士の役割と責任を分担し実施することで、多職種連携とコミュニケーション能力の重要性を理解し、また他分野からの視点を活用して、対象者を取り巻く変化・課題について「気づき」を深め、解決策の提案につなげていく。

【修得する知識・技能】

1. 諸種の作業療法評価技術を修得する。
2. 作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。
3. 対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。
4. 評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。
5. 対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。
6. チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。
7. 対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

４．成績評価体制および単位認定方法

成績評価体制及び単位認定方法は、実習指導教員による巡回指導時のルーブリック評価、実習後実習実施報告会での発表、実習指導者による各実習施設における実習状況の科目担当者による評価に基づき、

臨地実務実習判定会議で総合的に成績を評価する。

なお、単位認定は、教授会で行う。

1）見学実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準を、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。

・実習実施報告会での発表（50%）

・レポート（50%）

2）評価実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）

・実習課題の実施状況

・実習実施報告会での発表

3）総合実習Ⅰの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）

・実習課題の実施状況

・実習実施報告会での発表

4）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。

成績評価は、以下の 4 項目を総合して判定する。

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）

・実習課題の実施状況

・実習実施報告会での発表

・OSCE

Ⅳ.実習関係書類

（1）見学実習学習目標到達度確認表

（2）見学実習デイリーノート（実習日誌）

（3）実習出席簿（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通）

（4）評価実習学習目標到達度確認表

（5）巡回指導時の評価（評価実習）

（6）施設間連絡表

（7）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表

（８）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ）

（９）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ）

（1）見学実習学習目標到達度確認表

1年生 見学実習学習目標到達度確認表

＊各項目に対して、あてはまる項目に○をつけてください。
その他のご意見、ご感想、改善点などありましたらご記入ください。

学科名：＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1．基本的態度　　非常に良い・良い・普通・悪い・非常に悪い・非実施

①時間や約束を守る	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
②その場にふさわしい服装や身なりを整える	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
③適切な敬語が使える	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
④守秘義務・個人情報が保護ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
⑤対象者に良心ある態度を示すことができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N

2．対象者と望ましい人間関係をもつ　　非常に良い・良い・普通・悪い・非常に悪い・非実施

①対象者と適切な態度で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
②対象者にきちんと挨拶ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
③対象者と適切な言葉で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
④対象者に良い印象を与えることができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N

3．指導者や他職員と望ましい人間関係をもつ　　非常に良い・良い・普通・悪い・非常に悪い・非実施

①適切な態度で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
②きちんと挨拶ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
③適切な言葉で話ができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
④わからないことを適切に質問できる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N
⑤実習課題の期限を守ることができる	5 ・ 4 ・ 3 ・2 ・ 1 ・ N

4．出席簿

実習日	
月　日(　)	月　日(　)
指導者　印	指導者　印

5．指導者からのご意見、ご感想、改善点など

*ご指導ありがとうございました。
署名・捺印をしていただき、同封の封筒にて返送してください。

実習施設名：

実習指導者名：　　印

（2）見学実習デイリーノート（実習日誌）

年　月　日（　）　氏名　印

デイリーノート	
時間	内容
8:00～	
9:00～	
10:00～	
11:00～	
12:00～	
13:00～	
14:00～	
15:00～	
16:00～	
17:00～	
18:00～	
19:00～	

本日学んだこと

本日の反省点（自分の行動の振り返りなど）

2 日目の目標，または実習での経験を踏まえた今後の目標

指導者からのコメント

指導者：　印

（3）実習出席簿

月	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：
	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：
	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：
	日（月）	日（火）	日（水）	日（木）	日（金）	日（土）	日（日）
	実習時間 ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ：　～　：	**実習時間** ： ～　：	**実習時間** ： ～　：

記入例

○日
○
実習時間

欠席日数　　遅刻回数　　早退回数

※出席の場合には**実習指導者の方の御捺印**及び**実習時間の記載（３０分刻み）**をお願いいたします。

＜休日・欠席について＞

1．実習における休日の取り扱いについては、各施設の方針に従うものといたします。

2．欠席する場合には、学生は実習開始前に施設の実習指導者に連絡し了解を得ると同時に本学に連絡するよう指導しています。

＜公欠について＞

- 本学は、忌引きや就職試験の受験等のために実習に参加できなかった場合、その該当日を公欠として認定します。
- 実習中に公欠が発生した場合は、指導者が捺印欄に「公欠」と記載してください。また、学生に公欠届けを記載するようご指導ください。

（4）評価実習学習目標到達度確認表

評価実習学習目標到達度確認表

<A.職業人としての基本的態度や規律を身につける>	
確認項目／確認段階	到達水準
時間を守る	5・4・3・2・1・0
挨拶をする	5・4・3・2・1・0
礼儀正しく行動する	5・4・3・2・1・0
その場にふさわしい服装や身なりを整える	5・4・3・2・1・0
施設や身の回りの整理整頓・環境整備を行う	5・4・3・2・1・0
体調を管理する	5・4・3・2・1・0
事前・事後の報告・連絡を徹底する	5・4・3・2・1・0
対象者の個人情報の管理および表記を適切に行う	5・4・3・2・1・0
個人情報保護および守秘義務を厳守する	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら感染予防の基本的対策を実行する	5・4・3・2・1・0
A 合計	
<B.実習生としての意欲・向上心・創造性を養う >	
確認項目／確認段階	到達水準
自ら必要な指導・助言を求める	5・4・3・2・1・0
適切な態度で見学する	5・4・3・2・1・0
実習指導者からの意見・指導を謙虚に聞く	5・4・3・2・1・0
指導や指示に対して迅速に対応する（修正する）	5・4・3・2・1・0
目標を持って行動する	5・4・3・2・1・0
自分の意見を述べる	5・4・3・2・1・0
自己学習に取り組む	5・4・3・2・1・0
対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができる	5・4・3・2・1・0
B 合計	
<C.作業療法の評価の計画および実践力を養う >	
確認項目／確認段階	到達水準
実習指導者の助言を得ながら対象者の訴えを傾聴する	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら対象者と適切な人間関係を形成し維持する	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら必要な情報を得る	5・4・3・2・1・0

実習指導者の助言を得ながら疾患および障害特性について理解を深める	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら必要な評価項目を想起・列挙する	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら適切な評価手段を選択する	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら実施する評価に優先順位をつける	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら評価の実施計画を立案する	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら評価のためにオリエンテーションを実施する	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら基本的な注意事項にそって模倣・実施する(リスク管理)	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら模倣・実施のなかで対象者の反応や変化を捉える	5・4・3・2・1・0
実施した評価結果を実習指導者とディスカッションし理解を深める	5・4・3・2・1・0
実習指導者の助言を得ながら模倣・実施した内容を適切に記録する	5・4・3・2・1・0

実習施設名:

実習指導者名:

実習期間:　　年　　月　　日 ～　　月　　日

＊自署での記入をお願いいたします。

（５）巡回指導時の評価（評価実習）

評価実習学習目標到達度評価

<実習指導者からの報告>

学習目標到達評価

学習目標	理想的	標準	要改善	具体的な改善点
望ましい態度	●実習生としての概ね適切な学習態度である。 ●わずかな指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●指導や援助を実施することで実習生としての学習態度が改善できる。 ●指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●実習生としての学習態度にかなりの改善が必要である。 ●学習課題や指導に対する対応についてかなりの改善が必要である。	
対象者の把握	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者と関わりの理解を深めることができる。	●実習指導者の助言・指導で対象者と関わり理解を深めることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者の理解が深まらない。	
作業療法の評価・治療・指導	●実習指導者の監視のもと、わずかな助言・指導で実習指導者が行う作業療法を模倣もしくは実施することができる。 ●実習指導者の監視のもとわずかな助言･指導で実習指導者が行う治療･指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う作業療法を部分的に模倣することができる。 ●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う治療・指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行っても実習指導者が行う作業療法に参画できず、見学を中心とした実習レベルに留まっている。	
臨床思考	●実習指導者のわずかな助言・指導で作業療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者の助言・指導で作業療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても作業療法の治療成果を理解できない。 ●実習指導者が助言・指導を行っても作業療法の治療プログラムの修正ができない。	
記録・報告	●実習指導者のわずかな助言・指導で適切な記録・報告ができる。	●実習指導者の多くの助言・指導で記録・報告ができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても記録・報告ができない。	
新たな「気づき」	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができる。	●実習指導者の多くの助言・指導で対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者の病院、施設や地域生活での課題について問題意識を持って「気づき」を得ることができない。	

（６）施設間連絡表

総合実習

＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日　～　平成＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

実習施設名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　領域：＿＿＿＿＿＿

実習指導者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

実習生の指導において留意すべき点（Ⅰ期指導者よりⅡ期指導者へ）　等

＜長所＞

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＜短所＞

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＜今後の改善点＞

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＜学校（教員）より＞　＊特記すべき内容がある場合のみ記載しております。

□　特になし

（7）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表

成績評価基準

Ⅰ. 確認分野及び到達度

確認分野は 5 分野から成り、以下の通りです。

分野	項目数
職業人としての適正	36
作業療法評価	23
作業療法計画	9
作業療法実施	15
管理・運営	5

Ⅱ. 各項目は 6 段階とし、到達基準基準は以下の通りです。

5	わずかな助言・指導で実施できる。 わずかな助言・指導で改善できる。
4	時々の助言・指導で実施できる。 時々の助言・指導で改善できる。
3	臨床実習指導者の指導のもと模倣ができる。 多くの助言・指導で実施できる。 多くの助言・指導で改善できる。
2	多くの助言・指導を行っても不十分である。 多くの助言・指導を行ってもあまり改善がみられない。
1	多くの助言・指導を行ってもほとんどできない。 多くの助言・指導を行ってもほとんど改善されない。
0	多くの助言・指導を行っても実施しない。 多くの助言・指導を行っても努力しない。 指導に従順ではなく、実習生として不適格である。

＊「0」は実習生が実習を遂行できない状態を指します。通常は、「5」～「1」の段階で評価してください。

Ⅰ．職業人としての適正

＜A:職業人としての基本的態度を身につける ＞			
確認項目		到達水準（中間）	到達水準（最終）
A1	挨拶をする	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
A2	適切な言葉遣いで話す	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
A3	適切な態度で過ごす	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		
＜B:職業人・社会人としての規律や心得を身につける＞			
確認項目		到達水準（中間）	到達水準（最終）
B1	時間を守る	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
B2	服装および身だしなみを整える	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
B3	施設全体や身の回りの整理整頓・環境整備を行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
B4	借用品を丁寧に扱う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
B5	感情を表現する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
B6	感情をコントロールする	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
B7	体調を管理する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
B8	事前・事後の報告・連絡を徹底する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・
	合計		
＜C:実習生としての意欲・向上心・創造性を養う＞			
確認項目		到達水準（中間）	到達水準（最終）
C1	自ら疑問を持つ（発見をする）	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C2	自ら目標を持って行動する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C3	必要に応じて文献や資料を収集する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C4	必要な指導・助言を求める	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C5	他者からの意見・指導を謙虚に聞く	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C6	指導や指示に対して迅速に対応する（修正する）	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C7	作業療法業務に対して意欲的に携わる	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C8	実習指導者の治療・訓練場面に参加し援助・実施を行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C9	計画的に物事に取り組む	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C10	課題に対して意欲的に取り組む	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C11	提出物の期限を守る	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C12	課題を活用し効率的な学習を行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C13	自分の考えをまとめ、意見を述べる	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C14	対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化できる	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
C15	対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化し実施できる	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
※C14:総合実習Ⅰの確認項目 **C15:総合実習Ⅱの確認項目**			

	合計		
＜D:文章構成能力を身につける＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
D1	誤字脱字に注意を払い文章を作成する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
D2	適切な表記で文章を作成する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		
＜E:対象者と望ましい人間関係を構築する＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
E1	対象者と意欲的に関わる	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
E2	対象者や家族の訴えを傾聴する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
E3	対象者や家族の訴えを理解し説明する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
E4	対象者や家族の訴えに対応する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
E5	対象者や家族と適切な人間関係を形成し維持する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		
＜F:個人情報保護と情報管理および守秘義務を理解する＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
F1	個人情報を適切に取得する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
F2	カルテの取り扱いを適切に行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
F3	対象者の情報管理を適切に行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
F4	対象者の個人情報の表記を適切に行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
F5	個人情報保護および守秘義務を厳守する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		

Ⅱ. 作業療法評価

＜G:評価計画を立案する＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
G1	担当症例の疾患および障害特性について理解する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
G2	必要な評価項目を想起・列挙する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
G3	適切な評価手段を選択する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
G4	実施する評価に優先順位をつける	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
G5	評価の実施計画を立案する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
G6	評価の実施に際し必要な知識・技術を有する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
G7	評価の実施に際し不足している必要な知識・技術の習得のための努力をする	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		
＜H:評価を実施する＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
H1	基礎的情報を収集する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
H2	社会的情報を収集する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
H3	医学的情報を収集する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
H4	他部門からの情報を収集する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
H5	必要な器具・道具を事前に準備する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0

H6	評価のためにオリエンテーションを実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
H7	面接・観察・検査測定を実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
H8	評価結果を記録する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
H9	評価におけるリスク管理を実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		

＜I:評価結果を統合し解釈する＞

確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
I1	評価結果を項目ごとに解釈する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
I2	心身機能と身体構造および機能障害について列挙する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
I3	活動および活動制限(能力障害)について列挙する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
I4	参加および参加制約(社会的不利)について列挙する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
I5	環境因子および個人因子について列挙する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
I6	抽出した問題点に優先順位をつける	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
I7	問題点を焦点化する(文章化する)	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		

Ⅲ. 作業療法計画

＜J:目標を設定する＞

確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
J1	長期目標を設定する(期間設定を含め)	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
J2	短期目標を設定する(期間設定を含め)	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
J3	長期目標と短期目標を関連づける	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
J4	他部門が設定した目標と関連づける	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		

＜K:治療・指導・援助を計画する(治療プログラムの立案)＞

確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
K1	適切な治療手段を選択する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
K2	適切な時間・方法・場所を選択する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
K3	禁忌事項および注意事項に配慮した計画を立案する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
K4	目標設定に応じた治療プログラム計画を立案する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
K5	実施に向けた環境調整の計画を立案する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		

Ⅳ. 作業療法実施

＜L:作業療法の実施の準備＞

確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
L1	実施に向けた環境調整を行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
L2	必要な道具・機器を準備する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
L3	作業療法の実施に必要な知識・技術を有する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
L4	作業療法の実施に際し不足している必要な知識・技術の習得のための努力をする	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
L5	作業療法の実施について対象者にオリエンテーション(説明)を実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0

	合計		
＜M:治療・指導・援助を実施する＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
M1	対象者の作業療法実施前の体調および状況を把握する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
M2	作業療法を適切に実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
M3	作業療法実施における安全性の確保およびリスク管理を行う	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
M4	作業療法の実施における要点(ポイント)をおさえ実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
M5	対象者の日々の変化に気づく	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
M6	対象者の反応から治療効果を確認する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		
＜N:再評価を実施する＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
N1	必要に応じて再評価計画を立案し再評価を実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
N2	対象者および状況の変化に応じて再度、治療計画を立案する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
N3	治療計画の変更に沿って治療を実施する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
N4	実習指導者に対象者の日々の変化を報告し指導を求める	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		

Ⅴ. 管理・運営

＜O:組織の概要および管理業務の概要を理解する＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
O1	地域・施設における作業療法士の役割について理解する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
O2	作業療法に関連する制度について理解する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
O3	備品管理・書類などの管理について理解する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		
＜P:関連職種との連携＞			
確認項目		到達水準(中間)	到達水準(最終)
P1	施設内の職員および関連スタッフの役割を理解する	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
P2	関連職種との適切な関係を作る	5・4・3・2・1・0	5・4・3・2・1・0
	合計		

総　評

1. 実習における長所

2. 実習における短所

3. 今後の課題

4. その他（実習の経緯、学校に対する要望 など）

ご協力ありがとうございました。

（8）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ）

総合実習Ⅰ学習目標到達度評価

<実習指導者からの報告>

学習目標到達評価

学習目標	理想的	標準	要改善	具体的な改善点
望ましい態度	●実習生としての概ね適切な学習態度である。 ●わずかな指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●指導や援助を実施することで実習生としての学習態度が改善できる。 ●指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●実習生としての学習態度にかなりの改善が必要である。 ●学習課題や指導に対する対応についてかなりの改善が必要である。	
対象者の把握	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者と関わりの理解を深めることができる。	●実習指導者の助言・指導で対象者と関わり理解を深めることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者の理解が深まらない。	
作業療法の評価・治療・指導	●実習指導者の監視のもと、わずかな助言・指導で実習指導者が行う作業療法を模倣もしくは実施することができる。 ●実習指導者の監視のもとわずかな助言･指導で実習指導者が行う治療･指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う作業療法を部分的に模倣することができる。 ●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う治療・指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行っても実習指導者が行う作業療法に参画できず、見学を中心とした実習レベルに留まっている。	
臨床思考	●実習指導者のわずかな助言・指導で作業療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者の助言・指導で作業療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても作業療法の治療成果を理解できない。 ●実習指導者が助言・指導を行っても作業療法の治療プログラムの修正ができない。	
記録・報告	●実習指導者のわずかな助言・指導で適切な記録・報告ができる。	●実習指導者の多くの助言・指導で記録・報告ができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても記録・報告ができない。	
新たな「気づき」	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化できる。	●実習指導者の多くの助言・指導で対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化できる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化することができない。	

（9）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ）

総合実習Ⅱ学習目標到達度評価

<実習指導者からの報告>

学習目標到達評価

学習目標	理想的	標準	要改善	具体的な改善点
望ましい態度	●実習生としての概ね適切な学習態度である。 ●わずかな指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●指導や援助を実施することで実習生としての学習態度が改善できる。 ●指導や援助を実施することで学習課題や指導に対する対応を改善できる。	●実習生としての学習態度にかなりの改善が必要である。 ●学習課題や指導に対する対応についてかなりの改善が必要である。	
対象者の把握	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者と関わりの理解を深めることができる。	●実習指導者の助言・指導で対象者と関わり理解を深めることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者の理解が深まらない。	
作業療法の評価・治療・指導	●実習指導者の監視のもと、わずかな助言・指導で実習指導者が行う作業療法を模倣もしくは実施することができる。 ●実習指導者の監視のもとわずかな助言･指導で実習指導者が行う治療･指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う作業療法を部分的に模倣することができる。 ●実習指導者の監視のもと助言・指導を行うことで実習指導者が行う治療・指導・援助場面に参画できる。	●実習指導者の監視のもと助言・指導を行っても実習指導者が行う作業療法に参画できず、見学を中心とした実習レベルに留まっている。	
臨床思考	●実習指導者のわずかな助言・指導で作業療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者の助言・指導で作業療法の治療成果を理解し、系統立てた治療プログラムの修正を考えることができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても作業療法の治療成果を理解できない。 ●実習指導者が助言・指導を行っても作業療法の治療プログラムの修正ができない。	
記録・報告	●実習指導者のわずかな助言・指導で適切な記録・報告ができる。	●実習指導者の多くの助言・指導で記録・報告ができる。	●実習指導者が助言・指導を行っても記録・報告ができない。	
新たな「気づき」	●実習指導者のわずかな助言・指導で対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化し実施できる。	●実習指導者の多くの助言・指導で対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化し実施できる。	●実習指導者が助言・指導を行っても対象者や職業現場や地域の課題について「気づき」をもち、問題を特定化し実施することができない。	

Ⅶ.実習生に関する責務要項と注意事項

１．一般的心得

１）規則の厳守：施設やリハビリテーション部門の規則を知り、厳守する。

２）時間の厳守　：始業、終業、昼食、休憩、会議などの開始時間を厳守する。

３）服装・整容：原則的に本校指定のユニフォームを着用とするが、状況に応じて各自、実習施設に従うこと。医療行為に携わるものとしての自覚を持ち、実習生としてふさわしい頭髪、爪、化粧など考え第三者に不快感を与えない容姿に配慮する。

４）実習態度：常に明るく、落ち着いた態度で人に接し、適切な敬語を使い、明快な応答に留意する。

５）連絡：欠席、遅刻、早退などは、必ず実習指導者に連絡し、その理由を説明すること。また、指導者に了解を得なければならない。

６）提出物：課題等の提出期限を厳守する。

７）実習指導者の指導・監督のもと、指示に従って実習する。

８）実習に関する疑問・質問等があれば、実習指導者に相談し、その指示に従う。

９）物品・機械器具などの取り扱いに十分注意し、整理整頓に留意する。

10）実習中の借用品は必ず返却する。

11）携帯電話を実習施設内に持ち込む場合は電源を切る。使用する場合は必ず実習指導者の指示に従う。

12）学生が個人で使用している USB メモリや CD-R などの記録媒体を実習施設内では使用しない。使用する場合は必ず実習指導者の許可を得る。

13）宿舎の整理整頓、清掃は徹底して行い実習施設・宿舎管理人に迷惑をかけない。

２．対象者様(以下対象者とする)に対する心得

１）対象者の症状・性格を理解するように努め、患者に不安を与えることや、治療上有害となる言動は厳に慎む。

２）対象者に接する場合は誠意を持って対処し、馴れ馴れしい態度・不快な態度は避ける。

３）対象者に経過・予後・当該疾患について尋ねられた場合は、即答を避け実習指導者に相談する。

４）守秘義務を厳守し、実習で知り得た患者などの秘密事項は絶対口外しない。また、メモなどの処理は不用意に行わない。

５）対象者の安全については常に万全の注意を払う。万が一事故が生じた場合は、速やかに実習指導者またはリハビリテーションスタッフに報告し、その指示に従うとともに本校に連絡すること。

３．休日・欠席等

１）実習における休日の取り扱いについては各実習施設の方針に従うものとする。

２）遅刻・早退・欠席をする場合、学生は実習指導者に連絡し、了解を得るとともに本学に連絡する。また学生個人資料にある欠席・遅刻・早退届に記入し指導者へ提出する。

３）臨床実習の出席管理は時間で管理する。算定時間は１日８時間、週４０時間を上限とする。なお、実習時間の管理は０．５時間（３０分）単位で管理する。

４)各実習期間の１／５以上を欠席した場合は「臨地実務実習不合格」とする。

５)病気による実習の欠席は「学校感染症の罹患（次項に記す)」、「病気を診断した主治医の指示」に

従う。但し、いずれの場合も診断書などを学校に提出しなければならない。なお、学校感染症の罹患による欠席は公欠扱いとなる。

学校感染症

学校保健法施行規則第 18 条で定められている学校感染症の種類は以下の通りである。

【第一種】

○エボラ出血熱　○痘そう　○クリミア・コンゴ出血熱
○南米出血熱　○ペスト　○マールブルグ病
○ラッサ熱　○急性灰白髄炎　○ジフテリア
○鳥インフルエンザ（H5N1 であるものに限る。）
○重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）

【第二種】

○インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く）
○百日咳　○麻しん　○咽頭結膜熱　○結核
○流行性耳下腺炎　○風しん　○水痘　○髄膜炎菌性髄膜炎

【第三種】

○コレラ　○細菌性赤痢　○腸管出血性大腸菌感染症　○腸チフス
○パラチフス　○流行性角結膜炎　○急性出血性結膜炎　○その他の感染症

（流行が起こった場合にその流行を防ぐため、必要があれば学長が主治医の意見を聞き、第三種感染症としての措置を講じることができる疾患）

※上記の感染症に罹患した場合の実習欠席は公欠扱いとします。

※該当する欠席の場合は、学校に連絡してください。

※公欠扱いとなった実習期間は実習時間として算定されます。

※上記の感染症以外を羅漢した場合の実習欠席により出席日数が不足した場合は、施設・実習指導者との協議の上で、不足日数分の実習延長をお願いすることがございます。ご了承ください。

Ⅷ.実習指導に当たってのお願い

１．実習時間について

　１日８時間、週４０時間を実習時間とし実習時間以外に行う学習等を含め４５時間以内でお願いいたします。

２．指導についてのお願い

１）オリエンテーション

①施設概要の説明やリハビリテーション部門、他部門へのご紹介をお願いいたします。

②施設内での規則、心得などについての説明をお願いいたします。

２）適切な学習環境設定への配慮をお願いいたします。

３）デイリーノートのご確認を出来る限りお願いいたします。

４）学生が不十分なところに対してのご指導をお願いいたします。

５）学生の行った検査・測定・作業療法・支援などに対して、適切なご助言やご指摘をしていただく機会を設け、可能な限り、フィードバックをお願いいたします。

６）学生の個人的な能力に応じて業務、課題を与えてください。

Ⅸ.実習における個人情報保護について

臨地実務実習では、学生が担当の対象者様の個人情報を扱うことになります。よって以下に本学における方針を示します。この方針は、実習前にオリエンテーションで学生に指導しております。実習施設において独自の規則が存在している場合には、本学の指導内容に関係する、しないに関わらず学生にご指導いただきますようお願い申し上げます。

尚、ここで扱う対象者とは、実習中に学生が関わるすべて（担当・担当以外）の患者様・利用者様、そしてその家族を示します。

1．対象者データ収集にあたっての診療録の取扱い

1）カルテを、コピー機やスキャナーで複写することやカメラで接写することは絶対に行わない。
2）カルテやレントゲン写真は部署外に持ち出さない。もし、持ち出しが必要な場合は実習指導者や各部署の責任者に許可を求める。また、施設外持ち出しは厳禁である。
3）補助診療録やその他書類の取扱いはカルテと同様に慎重に扱う。
4）カルテにある内容で実習に必要な事項は、最小限で書き写す。
5）対象者情報を書き写す時、氏名はアルファベット文字とし「A様、B様」などの記載をする。
6）住所は、実習上で必要なければ書き写さない。住所や出身地を書き写すときには、都道府県、県名市町村名までとする。
7）生年月日や実年齢を書き写さない。「30歳代前半、70歳代後半」などの記載をする。
8）氏名・住所・生年月日・電話番号以外で、勤務先や肩書き、連絡先などの個人を特定できる情報は書き写さない。

2．電子カルテの取扱いについて

1）電子カルテの「ID」や「パスワード」は、その管理を実習指導者等に任せて、実習生は聞き取らない。
2）担当対象者以外のカルテは閲覧しない。
3）電子カルテからのプリントアウトは行わず、必要な事項のみ書き写す。

3．自宅学習について

1）実習施設にある対象者情報で、個人が特定できる個人情報が記録された部分の、USBメモリやCD-R等へのコピーと、その持ち出しはしない。
2）対象者の病状・治療内容・評価結果・プログラムなどに関する対象者情報の事項をレポートやノート、評価記録などを施設外に持ち出すときは実習指導者の許可を得る。
3）対象者情報が記載されているレポートやノート、評価記録などは紛失や盗難のないように管理を徹底する。
4）自宅にあるパソコンはパスワードを設定する。また、パソコンがインターネットに接続できる環境にある場合は、セキュリティの強化をする。
5）メモ書きなどは用件が終了すれば、情報が漏れないようにシュレッダーなどで厳重に処分する。

4．報告書やレポートの作成について

1）基本情報の記載については、１－５）～８）を参考する。

2）続柄・家族構成・所得などは、直接の関係がなければ記載しない。

3）対象者及び第三者に知られると不都合であると思われる疾患についての診断名は、厳重に管理し漏洩させない。

4）現病歴の発症年月日の記載は原則行わない。評価や治療上、必要になった場合は実習指導者の許可を得る。発症年月日を記載しない場合の経過報告については、「発症から○○日後、○○ヶ月後」などの記載をする。

5）身体的特徴で個人を特定できる特徴は、評価や治療などに直接関係のない場合は書かない。

5．その他

1）対象者本人・家族・知人（第三者）からカルテの開示や病状の説明を求められたときは、実習指導者に求められたことの報告をする。その際、本人・家族・知人に対して学生からの説明は絶対に行わない。

2）所属する機関や施設以外の関係者で、対象者についての問い合わせがあった場合は、無断で対応せず実習指導者に報告して実習指導者から回答してもらう。

3）症状や疾患名に関する内容を第三者に聞かれてしまう環境にある場合は、実習指導者に直接その場では質問や報告をしない。

4）個人が所有するUSBメモリやCD-R等の記録媒体を実習施設で許可なく使用してはいけない。

5）実習終了後の個人情報については、学生個人が責任をもって管理する。実習施設及び本学が許可するもの以外への情報提供は絶対に行わない。

6）実習中に作成した対象者の情報（症例レポート、ケースノートなど）を第三者（同級生・後輩・他校の実習生など）に絶対に提供してはいけない。

X.ハラスメントにおける取り扱い

１．定義

セクシャルハラスメントとは、性的な嫌がらせを意味します。相手の意に反する性的な言動によって、相手に不利益を与えたり、また、性的言動により相手に不快な思いをさせたり、能力の発揮に重大な影響を与えたりすることを指します。また、パワーハラスメントとは、職務上優位的地位にある者が、意識的であるか無意識的であるかを問わず、その地位及び職務上の権限を利用し、または、逸脱して就労意欲や就労環境を著しく阻害する結果をもたらす、ハラスメントとなるような不適切な言動、指導または待遇を指します。

特に、実習指導を行う上で、学生は相対的に弱い立場にあることが多く、実習における成績に伴う中で、ハラスメントがあっても拒否できない場合が多くあります。

２．ハラスメントとはどのような行為を指すのか？

１）環境

①ヌード写真など人によっては不快感を起こすものを提示する。
②性的、卑猥な冗談
③身体・容姿的特徴についての会話
④恋愛経験についての会話
⑤「男のくせに・・・、女のくせに・・・」

２）対価

①不必要または必要以上な個人指導
②執拗にデートや食事に誘う
③酒席でのお酌の強要
④相手をしつこく見つめる
⑤相手の意に反し身体に触れる
⑥性的行為の強要　　など

＊ここに挙げたハラスメントの例以外にもまだ数多くあります。

３．注意事項

もし、学生が何らかのハラスメントを受けている場合には、すぐ本学へご連絡をくださいますようよろしくお願いいたします。

岡山医療専門職大学　健康科学部作業療法学科　実習担当者
電話：０８６－２３３－８０２０

XI.実習事災害対策マニュアル

実習における災害（地震・火災・洪水・台風・など）についての取扱い

１．地震

１）実習中に起きた場合

実習施設が災害地付近（同市）で、ライフライン（水道・電気・ガスなど）および交通手段が遮断された場合には、実習を中断させる。中断となった場合は実習期間を中断した日数分を延長する。

復旧の目途を見計らい１週間以内で生活できるライフラインおよび交通機関が復旧した場合には、実習を再開する。

一定の期間を経ても復旧の目途が立たない場合には、実習を公休扱いとして中止し、被災地を離れ実習生は大学へ帰校すること。学生は帰校後直ちに代替臨時実習に向けて調整を図る準備をする。

２）実習前（移動期間中、期間中休暇時）に災害が起きた場合

実習予定施設付近で災害が起きた場合には、交通手段およびライフラインの確認を行う。これらの確保ができない場合は実習を延期する。実習開始予定日から１週間以内に復旧した場合には実習を開始する。

一定の期間を経ても復旧の目途が立たない場合は、残りの実習期間を公休扱いとして中止し、被災地を離れ実習生は大学へ帰校すること。学生は帰校後、直ちに代替臨時実習に向けて調整を図る準備をする。

３）上記１）・２）に関しては、まずは学生の身の安全を確保するための措置である。故に、学長が危険と判断した場合には、実習を期間に関係なく中止および延長するものとする。

ただし、延長の場合には、当該施設と協議のうえ決定する。

２．天候による災害（台風・洪水・暴風・大雨など）

１）原則的に学校では、洪水、大雨、暴風警報が発令された場合に公休扱いとしているため、実習期間内にて、台風や洪水、暴風、大雨などの警報が発令された場合には、施設の方針によるところとする。

Ⅻ.実習中の事故に伴う手続きについて
（PT・OT 等養成校総合補償制度の手続き）

1. 物損事故の第一報が入り次第、施設側、学生に事実を確認するとともに、事故に伴っての負傷者の有無を必ず確認する（あれば人身傷害の手続きを早急に進める)。

2. 本学学生の責任における物損事故が事実であれば、施設側に謝罪するとともに、保険請求の手続きが可能である旨を申し出て、保険での弁済の手続きを進める。取り急ぎ、「破損物の破損状況写真」と「修理見積書」が必要なため、特に写真については施設側に早急に連絡し、写真の保存を依頼しておくこと。

3. 免責金額はないが、限度額は一事故 300 万円である。300 万円を超える金額については学生の個人責任となることに注意する。該当の場合は学生保護者に連絡し、個人加入の損害賠償保険について確認して保険使用の承諾を得ておく（なければ個人での弁償となる)。

4. 事故報告書については次ページの書類を参照のこと。なお、記入重要項目を以下に列記する。

(ア)事故発生日時

(イ)事故発生場所

(ウ)加害者氏名等

(エ)破損物の①物品名、②メーカー名、③購入時期（大体でよい)、④購入価格、⑤破損箇所、④購入価格、⑤破損箇所、⑥修理金額見込み

(オ)破損物の物品名と事故状況

5. 窓口

岡山医療専門職大学　健康科学部作業療法学科　実習担当者

電話：０８６－２３３－８０２０

事 故 報 告 書

学校法人　本山学園
岡山医療専門職大学　学長　殿

施設名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習指導者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

下記の事故が発生したため報告いたします。

記

岡山専門職大学　作業療法学科　第＿＿学年　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事故日時：＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日＿＿＿時＿＿＿分

場　　所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事故状況：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

事故後の処置・経過：

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

実習指導者のコメント：

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記の通り相違ありません。

＿＿＿＿年＿＿＿月＿＿＿日

実習生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

（資料 16）実習計画表

１．健康科学部理学療法学科

（１）見学実習

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
1 年 次	前・後期	令和 2 年 9 月 7 日～9 月 26 日 令和 2 年 12 月 21 日 ～令和 3 年 1 月 9 日 期間内に 6 日間	・見学実習	・片岡　弘明 ・増川　武利 ・田中　雅侑

令和 2 年 9 月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

見学実習

令和 2 年 12 月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22			25	26
	27	28	29				

見学実習

令和 3 年 1 月						1	2
	3	4	5			8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

見学実習

（２）評価実習

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
3 年 次	前期	令和 4 年 8 月 28 日～9 月 24 日　4 週間	・評価実習	・横山　暁大 ・那須　宣弘 ・田村　正樹

令和 4 年 8 月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27

	28	29	30	31			
令和 4 年 9 月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	評価実習		16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

（3）総合実習Ⅰ

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
3 年次	後期	令和 4 年 12 月 12 日～ 令和 5 年 2 月 25 日　9 週間	・総合実習Ⅰ	・永野　克人 ・山下　裕之 ・那須　宣弘

令和 4 年 12 月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	総合実習Ⅰ		23	24
	25	26	27	28	29	30	31

令和 5 年 1 月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	総合実習Ⅰ		20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
令和 5 年 2 月				1	2	3	4
	5	6	7	総合実習Ⅰ		10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28				

（4）総合実習Ⅱ

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
4 年次	前期	令和 5 年 7 月 3 日～9 月 2 日　9 週間	・総合実習Ⅱ	・増川　武利 ・鈴木　啓子 ・小島　一範

令和 5 年 7 月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	総合実習Ⅱ			14	15
	16	17				21	22
	23	24	25	26	27		29
	30	31					
令和 5 年 8 月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	総合実習Ⅱ			18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		
令和 5 年 **9 月**						1	2
	3	4	5	6	7	8	9

2．健康科学部作業療法学科

（1）見学実習

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
1 年次	前・後期	令和 2 年 4 月 6 日 ～令和 3 年 2 月 20 日 期間内に 6 日間	・見学実習	・吉田　直樹 ・十河　正樹 ・渡部　悠司

令和 2 年 9 月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	見学実習		18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

令和 2 年 12 月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	見学実習		25	26
	27	28	29	30			

令和 3 年 1 月						1	2
	3	4	5	見学実習		8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

	31						

（2）評価実習

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
3 年 次	前期	令和 4 年 8 月 28 日～9 月 24 日　4 週間	・評価実習	・林　聡 ・十河　正樹 ・渡部　悠司

令和 4 年 8 月		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			
令和 4 年 9 月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	評価実習		16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

（3）総合実習Ⅰ

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
3 年 次	後期	令和 4 年 12 月 12 日～ 令和 5 年 3 月 4 日　10 週間	・総合実習Ⅰ	・吉田　直樹 ・渡部　悠司

令和 4 年 12 月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	総合実習Ⅰ		30	31
令和 5 年 1 月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	総合実習Ⅰ		13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

令和５年 ２月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28				
令和５年 ３月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

総合実習Ⅰ

総合実習Ⅰ

（４）総合実習Ⅱ

年次	学期別	実習期間	実習科目	担当専任教員
４ 年 次	前期	令和５年 ７月３日～９月９日　10週間	・総合実習Ⅱ	・十河　正樹 ・野口　泰子

令和５年 ７月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27		29
	30	31					
令和５年 ８月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		
令和５年 **９月**						1	2
	3	4	5	6	7	8	9

総合実習Ⅱ

総合実習Ⅱ

（資料17 巡回指導計画表）

評価実習　巡回指導計画表（理学療法学科）

担当教員																														
1	永野　克人	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間										↔							↔	↔										
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2														岡山 2			岡山 1										
		担当施設	1　岡山県 一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院 2　岡山県 医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院 3　岡山県 医療法人創和会　重井医学研究所附属病院 4　岡山県 特定医療法人自由会　岡山光南病院 5　岡山県 社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター																											
2	山田　英司	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔	↔							↔											
		施設所在県 巡回施設数	岡山 1	岡山 2													岡山 2													
		担当施設	1　岡山県 2　岡山県 社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院 3　岡山県 医療法人長光会　長島病院 4　岡山県 医療法人草加草仁会　草加病院 5　岡山県 医療法人社団操仁会　岡山第一病院																											
3	片岡　弘明	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔	↔						↔		↔										
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2	岡山 1													岡山 2		岡山 1											
		担当施設	1　岡山県 社会医療法人緑壮会　金田病院 2　岡山県 公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院 3　岡山県 医療法人福寿会　老人保健施設　倉敷藤戸荘 4　岡山県 医療法人行堂会　介護老人保健施設　ナーシングホーム大樹 5　岡山県 医療法人閑谷会　介護老人保健施設備前閑谷苑 6　岡山県 医療法人社団恵誠会　大西病院																											

| | | |

7	那須　宣弘	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔		↔					↔	↔												
		施設所在県									岡山		岡山					愛媛	岡山												
		巡回施設数									2		1					2	1												
		担当施設	1　岡山県　医療法人社団新風会　玉島中央病院																												
			2　岡山県　倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院																												
			3　岡山県　医療法人水清会　水島第一病院																												
			4　岡山県　医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院																												
			5　愛媛県　医療法人聖ルカ会　木原病院																												
			6　愛媛県　医療法人慈風会　白石病院																												
8	鈴木　啓子	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間										↔		↔			↔			↔											
		施設所在県										岡山		岡山			兵庫			兵庫											
		巡回施設数										2		2			2			1											
		担当施設	1　岡山県　医療法人雄風会　あしもりクリニック																												
			2　岡山県　一般財団法人操風会　岡山旭東病院																												
			3　岡山県　備前市国民健康保険　市立吉永病院																												
			4　兵庫県　社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター																												
			5　兵庫県　医療法人社団一陽会　服部病院																												
			6　兵庫県　IHI播磨病院																												
9	小島　一範	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間										↔	↔	↔					↔	↔											
		施設所在県										広島	岡山	岡山					広島	広島											
		巡回施設数										1	2	1					1	2											
		担当施設	1　岡山県　医療法人豊医会　原医院																												
			2　岡山県　医療法人　平病院																												
			3　岡山県　医療法人紫苑会　藤井病院																												
			4　広島県　医療法人社団増原会　東城病院																												
			5　広島県　地方独立行政法人　府中市病院機構　府中市民病院																												
			6　広島県　医療法人社団常仁会　介護老人保健施設　サンスクエア沼南																												

10	田中　雅侑	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		巡回期間									←	→	↔					↔	↔												
		施設所在県 巡回施設数	高知 2	徳島 1	岡山 1												岡山 2	広島 1													
		担当施設	1　岡山県 医療法人敬和会　近藤病院																												
			2　岡山県 医療法人社団　藤田病院																												
			3　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィックセカンド																												
			4　広島県 医療法人叙叙会　福山第一病院																												
			5　高知県 社会医療法人仁生会　細木病院																												
			6　高知県 医療法人五月会　須崎くろしお病院																												
			7　徳島県 医療法人　中谷医院																												
11	田村　正樹	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		巡回期間										↔		↔						↔		↔									
		施設所在県 巡回施設数										岡山 2		岡山 1						岡山 2		岡山 1									
		担当施設	1　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック西大寺																												
			2　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック下中野																												
			3　岡山県 医療法人　小西整形外科・腰痛クリニック																												
			4　岡山県 医療法人社団吉美会　吉備高原ルミエール病院																												
			5　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック																												
			6　岡山県 真庭市国民健康保険　湯原温泉病院																												

※県外施設、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。
※県外施設、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県は本学の所在地である岡山市から日帰り可能な圏内である。

（資料17 巡回指導計画表）

総合実習Ⅰ　巡回指導計画表（理学療法学科）

担当教員

1　永野　克人

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																			↔				↔	↔							↔	↔																																	
施設所在県 巡回施設数																			岡山 1				岡山 1	岡山 1							岡山 1	岡山 1																																	

担当施設

1　岡山県　一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院
2　岡山県　医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院
3　岡山県　医療法人創和会　重井医学研究所附属病院
4　岡山県　特定医療法人自由会　岡山光南病院
5　岡山県　社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター

2　山田　英司

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																						↔								↔							↔																											
施設所在県 巡回施設数																						岡山 2							岡山 1							岡山 2																											

担当施設

1　岡山県　独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター
2　岡山県　社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院
3　岡山県　医療法人長光会　長島病院
4　岡山県　医療法人草加草仁会　草加病院
5　岡山県　医療法人社団操仁会　岡山第一病院

3　片岡　弘明

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																							↔	↔								↔							↔																											
施設所在県 巡回施設数																							岡山 1	岡山 2								岡山 2							岡山 1																											

担当施設

1　岡山県　社会医療法人緑壮会　金田病院
2　岡山県　公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
3　岡山県　医療法人福寿会　老人保健施設　倉敷藤戸荘
4　岡山県　医療法人行堂会　介護老人保健施設　ナーシングホーム大樹
5　岡山県　医療法人閑谷会　介護老人保健施設備前閑谷苑
6　岡山県　医療法人社団恵誠会　大西病院

4　山下　裕之

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																↔			↔				↔								↔																																			
施設所在県 巡回施設数																兵庫 2			岡山 1				岡山 2								岡山 1																																	

担当施設

1　岡山県　医療法人慶真会　大杉病院
2　岡山県　総合病院　玉野市立玉野市民病院
3　岡山県　地域医療支援病院　赤磐医師会病院
4　岡山県　医療法人　さとう記念病院
5　兵庫県　医療法人聖医会　佐用中央病院
6　兵庫県　医療法人郁芳会　青木診療所

5　増川　武利

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																						↔	↔							↔	↔							↔																											
施設所在県 巡回施設数																						岡山 1	広島 2							岡山 1	広島 1							岡山 1																											

担当施設

1　岡山県　医療法人祥風会　山本整形外科医院
2　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック総社
3　岡山県　内田整形外科医院
4　広島県　医療法人慈彗会　亀川病院
5　広島県　医療法人社団福匡会　奥坊クリニック
6　広島県　医療法人辰川会　山陽病院

6 横山　暁大

実習期間	9週間																																																														
週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																			↔			↔							↔	↔			↔				↔																									
施設所在県 巡回施設数																			岡山 1			岡山 2							広島 1	広島 1			岡山 1				岡山 1																									

担当施設
1　岡山県 医療法人敬和会　介護老人保健施設　ゆうあい
2　岡山県 岡山大学病院
3　岡山県 医療法人社団同仁会　金光病院
4　岡山県 医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル
5　岡山県 医療法人東浩会　石川病院
6　広島県 医療法人社団花園医療福祉会　花園クリニック

7 那須　宣弘

実習期間	9週間																																																													
週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																			↔			↔	↔			↔			↔				↔																														
施設所在県 巡回施設数																			岡山 1			岡山 1	岡山 1			愛媛 1			岡山 1				愛媛 1																														

担当施設
1　岡山県 医療法人社団新風会　玉島中央病院
2　岡山県 倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院
3　岡山県 医療法人水清会　水島第一病院
4　岡山県 医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院
5　愛媛県 医療法人聖ルカ会　木原病院
6　愛媛県 医療法人慈風会　白石病院

8 鈴木　啓子

実習期間	9週間																																																													
週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																↔		↔					↔	↔	↔					↔																																	
施設所在県 巡回施設数																兵庫 1		岡山 1					兵庫 1	岡山 1	岡山 1					兵庫 1																																	

担当施設
1　岡山県 一般財団法人操風会　岡山旭東病院
2　岡山県 医療法人雄風会　あしもりクリニック
3　岡山県 備前市国民健康保険　市立吉永病院
4　兵庫県 社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター
5　兵庫県 医療法人社団一陽会　服部病院
6　兵庫県 IHI播磨病院

9 小島　一範

実習期間	9週間																																																													
週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																			↔			↔			↔				↔			↔				↔																											
施設所在県 巡回施設数																			広島 1			岡山 1			広島 2				岡山 1			広島 2				岡山 1																											

担当施設
1　岡山県 医療法人豊医会　原医院
2　岡山県 医療法人　平病院
3　岡山県 医療法人紫苑会　藤井病院
4　広島県 医療法人社団増原会　東城病院
5　広島県 地方独立行政法人　府中市病院機構　府中市民病院
6　広島県 医療法人社団常仁会　介護老人保健施設　サンスクエア沼南

10 田中　雅侑

実習期間	9週間																																																													
週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間															↔		↔					↔		↔																																							
施設所在県 巡回施設数															岡山 1		岡山 2					岡山 1		岡山 2																																							

担当施設
1　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック西大寺
2　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック下中野
3　岡山県 医療法人　小西整形外科・腰痛クリニック
4　岡山県 医療法人社団吉美会　吉備高原ルミエール病院
5　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック
6　岡山県 真庭市国民健康保険　湯原温泉病院

| | | |

（資料17 巡回指導計画表）

総合実習Ⅱ　巡回指導計画表（理学療法学科）

担当教員

1　永野　克人

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																↔									↔	↔							↔																														
施設所在県																岡山								岡山	岡山							岡山																														
巡回施設数																2								1	1							1																														

担当施設

1　岡山県　一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院
2　岡山県　医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院
3　岡山県　医療法人創和会　重井医学研究所附属病院
4　岡山県　特定医療法人自由会　岡山光南病院
5　岡山県　社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター

2　山田　英司

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																↔							↔	↔							↔							↔																										
施設所在県																岡山							岡山	岡山							岡山							岡山																								
巡回施設数																1							1	1							1							1																								

担当施設

1　岡山県　独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター
2　岡山県　社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院
3　岡山県　医療法人長光会　長島病院
4　岡山県　医療法人草加草仁会　草加病院
5　岡山県　医療法人社団操仁会　岡山第一病院

4　片岡　弘明

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																		↔					↔		↔						↔		↔																														
施設所在県																		岡山				岡山		岡山					岡山		岡山																														
巡回施設数																		1				1		1					2		1																														

担当施設

1　岡山県　社会医療法人緑壮会　金田病院
2　岡山県　公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
3　岡山県　医療法人福寿会　老人保健施設　倉敷藤戸荘
4　岡山県　医療法人行堂会　介護老人保健施設　ナーシングホーム大樹
5　岡山県　医療法人閑谷会　介護老人保健施設備前閑谷苑
6　岡山県　医療法人社団恵誠会　大西病院

6　山下　裕之

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																↔							↔	↔							↔																																		
施設所在県																兵庫							兵庫	岡山							岡山																														
巡回施設数																1							1	1							2																														

担当施設

1　岡山県　医療法人慶真会　大杉病院
2　岡山県　総合病院　玉野市立玉野市民病院
3　岡山県　地域医療支援病院　赤磐医師会病院
4　岡山県　医療法人　さとう記念病院
5　兵庫県　医療法人聖医会　佐用中央病院
6　兵庫県　医療法人郁芳会　青木診療所

7　増川　武利

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																↔							↔		↔	↔					↔							↔																										
施設所在県																広島							広島	岡山	岡山					広島							岡山																										
巡回施設数																1							1	1	1					1							1																										

担当施設

1　岡山県　医療法人祥風会　山本整形外科医院
2　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック総社
3　岡山県　内田整形外科医院
4　広島県　医療法人慈彗会　亀川病院
5　広島県　医療法人社団福匡会　奥坊クリニック
6　広島県　医療法人辰川会　山陽病院

8　横山　暁大

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間															↔	↔						↔	↔						↔	↔																														
施設所在県															岡山	岡山						広島	岡山						岡山	岡山																														
巡回施設数															1	1						1	1						1	1																														

担当施設

1　岡山県　医療法人敬和会　介護老人保健施設　ゆうあい
2　岡山県　岡山大学病院
3　岡山県　医療法人社団同仁会　金光病院
4　岡山県　医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル
5　岡山県　医療法人東浩会　石川病院
6　広島県　医療法人社団花園医療福祉会　花園クリニック

9　那須　宣弘

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																		↔					↔								↔		↔																														
施設所在県																		岡山					愛媛								岡山		岡山																												
巡回施設数																		1					2								2		1																												

担当施設

1　岡山県　医療法人社団新風会　玉島中央病院
2　岡山県　倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院
3　岡山県　医療法人水清会　水島第一病院
4　岡山県　医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院
5　愛媛県　医療法人聖ルカ会　木原病院
6　愛媛県　医療法人慈風会　白石病院

10　鈴木　啓子

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																↔	↔						↔	↔					↔		↔					↔																										
施設所在県																兵庫	岡山						兵庫	岡山					岡山		兵庫					兵庫																								
巡回施設数																1	1						1	1					1		1					1																								

担当施設

1　岡山県　医療法人雄風会　あしもりクリニック
2　岡山県　一般財団法人操風会　岡山旭東病院
3　岡山県　備前市国民健康保険　市立吉永病院
4　兵庫県　社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター
5　兵庫県　医療法人社団一陽会　服部病院
6　兵庫県　IHI播磨病院

11　小島　一範

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																		↔					↔	↔					↔	↔																														
施設所在県																		広島					岡山	広島					岡山	岡山																														
巡回施設数																		1					1	2					1	1																														

担当施設

1　岡山県　医療法人豊医会　原医院
2　岡山県　医療法人　平病院
3　岡山県　医療法人紫苑会　藤井病院
4　広島県　医療法人社団増原会　東城病院
5　広島県　地方独立行政法人　府中市病院機構　府中市民病院
6　広島県　医療法人社団常仁会　介護老人保健施設　サンスクエア沼南

12　田中　雅侑

実習期間：9週間

週	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週							第6週							第7週							第8週							第9週						
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
巡回期間																	↔	↔					↔	↔					↔																														
施設所在県																	岡山	広島					高知	徳島					岡山																														
巡回施設数																	2	1					2	1					1																														

担当施設

1	1	岡山県　医療法人敬和会　近藤病院
2	2	岡山県　医療法人社団　藤田病院
3	3	岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィックセカンド
4	4	広島県　医療法人叙叙会　福山第一病院
5	5	高知県　社会医療法人仁生会　細木病院
6	6	高知県　医療法人五月会　須崎くろしお病院
7	7	徳島県　医療法人　中谷医院

| | | |

（資料17　巡回指導計画表）

評価実習　巡回指導計画表（作業療法学科）

担当教員																														
1	小林　隆司	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔				↔			↔										
		施設所在県 巡回施設数											岡山 2				岡山 2			岡山 1										
		担当施設	1　**岡山県**　一般財団法人操風会　岡山旭東病院																											
			2　**岡山県**　株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック東川原																											
			3　**岡山県**　岡山大学病院																											
			4　**岡山県**　医療法人長光会　長島病院																											
			5　**岡山県**　株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック十日市																											
2	吉田　直樹	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔			↔				↔												
		施設所在県 巡回施設数									岡山 2			岡山 2				岡山 1												
		担当施設	1　**岡山県**　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック尾上																											
			2　**岡山県**　一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院																											
			3　**岡山県**　医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院																											
			4　**岡山県**　特定医療法人自由会　岡山光南病院																											
			5　**岡山県**　公益財団法人　林精神医学研究所　岡山ひだまりの里病院																											
3	二木　淑子	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間								↔			↔				↔													
		施設所在地								岡山2			岡山1				岡山2													
		担当施設	1　**岡山県**　社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター																											
			2　**岡山県**　独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター																											
			3　**岡山県**　社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院																											
			4　**岡山県**　医療法人淳和会　長谷川紀念病院																											
			5　**岡山県**　医療法人社団新風会　玉島中央病院																											

4	林　聡	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		巡回期間									↔							↔		↔											
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2														岡山 2			岡山 2											
		担当施設	1　**岡山県**　医療法人慶真会　大杉病院 2　**岡山県**　社会医療法人緑壮会　金田病院 3　**岡山県**　医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル 4　**岡山県**　公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院 5　**岡山県**　医療法人敬和会　近藤病院 6　**岡山県**　医療法人こまくさ会　河口医院																												
5	十河　正樹	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		巡回期間									↔		↔					↔			↔										
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2							岡山 1							岡山 2				岡山 2										
		担当施設	1　**兵庫県**　社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター 2　**兵庫県**　医療法人社団一陽会　服部病院 3　**兵庫県**　医療法人内海慈仁会　姫路北病院 4　**兵庫県**　医療法人社団魚橋会　魚橋病院 5　**兵庫県**　IHI播磨病院 6　**兵庫県**　社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院 7　**岡山県**　医療法人社団恵誠会　大西病院																												
6	渡部　悠司	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		巡回期間								↔			↔	⟷				↔			↔										
		施設所在県 巡回施設数								岡山 2			徳島 1	高知 1			岡山 2				鳥取 1										
		担当施設	1　**岡山県**　地域医療支援病院　赤磐医師会病院 2　**岡山県**　株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィック山陽 3　**岡山県**　倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院 4　**岡山県**　医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院 5　**鳥取県**　社会医療法人仁厚会　医療福祉センター　倉吉病院 6　**高知県**　医療法人五月会　須崎くろしお病院 7　**徳島県**　医療法人青鳳会　老人保健施設やすらぎ荘																												

7	野口　泰子	実習期間	4週間																												
		週	第1週							第2週							第3週							第4週							
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
		巡回期間								↔		↔						↔			↔										
		施設所在県 巡回施設数								岡山 2		広島 2						岡山 2			広島 2										
		担当施設	1　**岡山県**　医療法人豊医会介護老人保健施設　美作リハビリテーションホーム																												
			2　**岡山県**　医療法人　さとう記念病院																												
			3　**岡山県**　医療法人敬和会　老人保健施設　ゆうあい																												
			4　**広島県**　医療法人大林会　福山こころの病院																												
			5　**広島県**　医療法人叙叙会　福山第一病院																												
			6　**広島県**　医療法人慈彗会　亀川病院																												
			7　**広島県**　医療法人辰川会　山陽病院																												

※県外施設、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。
※県外施設、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県は本学の所在地である岡山市から日帰り可能な圏内である。

（資料17 巡回指導計画表）

総合実習Ⅰ　巡回指導計画表（作業療法学科）

担当教員			
1	小林　隆司	実習期間	10週間
		週	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第3週 ↔ 第4週 ↔ 第5週 ↔
		施設所在県巡回施設数	岡山 1　岡山 2　岡山 2
		担当施設	1 岡山県 一般財団法人操風会　岡山旭東病院 2 岡山県 株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック東川原 3 岡山県 岡山大学病院 4 岡山県 医療法人長光会　長島病院 5 岡山県 株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック十日市
2	吉田　直樹	実習期間	10週間
		週	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第3週 ↔ 第4週 ↔ 第5週 ↔
		施設所在県巡回施設数	岡山 1　岡山 2　岡山 2
		担当施設	1 岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック尾上 2 岡山県 一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院 3 岡山県 医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院 4 岡山県 特定医療法人自由会　岡山光南病院 5 岡山県 公益財団法人　林精神医学研究所　岡山ひだまりの里病院
3	二木　淑子	実習期間	10週間
		週	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第4週 ↔ 第5週 ↔ 第6週 ↔
		施設所在県巡回施設数	岡山 2　岡山 1　岡山 2
		担当施設	1 岡山県 社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター 2 岡山県 独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター 3 岡山県 社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院 4 岡山県 医療法人淳和会　長谷川紀念病院 5 岡山県 医療法人社団新風会　玉島中央病院
4	林　聡	実習期間	10週間
		週	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第4週 ↔ 第5週 ↔ 第6週 ↔
		施設所在県巡回施設数	岡山 2　岡山 2　岡山 2
		担当施設	1 岡山県 医療法人慶真会　大杉病院 2 岡山県 社会医療法人緑壮会　金田病院 3 岡山県 医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル 4 岡山県 公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院 5 岡山県 医療法人敬和会　近藤病院 6 岡山県 医療法人こまくさ会　河口医院
5	十河　正樹	実習期間	10週間
		週	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第3週 ↔ 第4週 ↔ 第5週 ↔ 第6週 ↔
		施設所在県巡回施設数	兵庫 2　岡山 1　兵庫 2　兵庫 2
		担当施設	1 兵庫県 社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター 2 兵庫県 医療法人社団一陽会　服部病院 3 兵庫県 医療法人内海慈仁会　姫路北病院 4 兵庫県 医療法人社団魚橋会　魚橋病院 5 兵庫県 IHI播磨病院 6 兵庫県 社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院 7 岡山県 医療法人社団恵誠会　大西病院

| | | |

（資料17 巡回指導計画表）

総合実習Ⅱ　巡回指導計画表（作業療法学科）

担当教員			
1	小林　隆司	実習期間	10週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週 / 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第4週 月 火↔ 木 金↔土 日 / 第5週 月 火↔水 木 金↔土 日 / 第6週 月 火 水 木 金↔土 日
		施設所在県 巡回施設数	第4週 岡山 1　岡山 1 / 第5週 岡山 1　岡山 1 / 第6週 岡山 1
		担当施設	1　**岡山県**　一般財団法人操風会　岡山旭東病院 2　**岡山県**　株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック東川原 3　**岡山県**　岡山大学病院 4　**岡山県**　医療法人長光会　長島病院 5　**岡山県**　株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック十日市
2	吉田　直樹	実習期間	10週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週 / 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第3週 月 火↔水 木 金 土 日 / 第4週 月 火↔水 木↔金 土 日 / 第5週 月 火↔水 木 金 土 日 / 第6週 月 火↔水 木 金 土 日
		施設所在県 巡回施設数	第3週 岡山 1 / 第4週 岡山 1　岡山 1 / 第5週 岡山 1 / 第6週 岡山 1
		担当施設	1　**岡山県**　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック尾上 2　**岡山県**　一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院 3　**岡山県**　医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院 4　**岡山県**　特定医療法人自由会　岡山光南病院 5　**岡山県**　公益財団法人　林精神医学研究所　岡山ひだまりの里病院
3	二木　淑子	実習期間	10週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週 / 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第4週 月 火↔水 木↔金 土 日 / 第5週 月 火↔水 木 金 土 日 / 第6週 月 火 水 木 金 土 日
		施設所在県 巡回施設数	第4週 岡山 1　岡山 2 / 第5週 岡山 1 / 第6週 岡山 1
		担当施設	1　**岡山県**　社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター 2　**岡山県**　独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター 3　**岡山県**　社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院 4　**岡山県**　医療法人淳和会　長谷川紀念病院 5　**岡山県**　医療法人社団新風会　玉島中央病院
4	林　聡	実習期間	10週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週 / 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第3週 月 火 水 木 金↔土 日 / 第4週 月 火 水↔木 金↔土 日 / 第5週 月 火 水↔木 金↔土 日 / 第6週 月 火 水 木 金↔土 日
		施設所在県 巡回施設数	第3週 岡山 1 / 第4週 岡山 1　岡山 1 / 第5週 岡山 1　岡山 1 / 第6週 岡山 1
		担当施設	1　**岡山県**　医療法人慶真会　大杉病院 2　**岡山県**　社会医療法人緑壮会　金田病院 3　**岡山県**　医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル 4　**岡山県**　公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院 5　**岡山県**　医療法人敬和会　近藤病院 6　**岡山県**　医療法人こまくさ会　河口医院
5	十河　正樹	実習期間	10週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週 / 第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	第3週 月 火 水 木 金↔土 日 / 第4週 月 火 水 木↔金 土 日 / 第5週 月 火 水 木↔金 土 日 / 第6週 月 火 水 木 金↔土 日
		施設所在県 巡回施設数	第3週 岡山 1 / 第4週 兵庫 1　兵庫 1 / 第5週 兵庫 1　兵庫 1 / 第6週 兵庫 1　兵庫 1
		担当施設	1　**兵庫県**　社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター 2　**兵庫県**　医療法人社団一陽会　服部病院 3　**兵庫県**　医療法人内海慈仁会　姫路北病院 4　**兵庫県**　医療法人社団魚橋会　魚橋病院 5　**兵庫県**　IHI播磨病院 6　**兵庫県**　社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院 7　**岡山県**　医療法人社団恵誠会　大西病院

| | | |

（資料 18）実習委員会規程

岡山医療専門職大学　実習委員会規程

（趣旨）

第１条　この規程は、岡山医療専門職大学（以下、「本学」という）実習委員会（以下、「委員会」という。）の組織及び運営について必要な事項を定める。

（委員会の審議事項等）

第２条　委員会は、本学の臨地実務実習に関し、次に掲げる事項について審議する。

（１）　実習施設との実習全般に関わる調整に関すること。

（２）　実習施設の決定及び学生配置に関すること。

（３）　前２号に掲げるもののほか、実習を安全かつ円滑に実施するために必要な事項。

（委員会の構成）

第３条　委員会は、次の教職員をもって構成する。

（１）　学部長

（２）　各学科長

（３）　各学科実習担当教員

２　前項にかかわらず、学部長が必要と認めた時には、上記以外の教職員を出席させ、意見を求めることができる。

（委員長等）

第４条　委員会は、学長の指示により学部長がこれを招集し、その委員長となる。

２　委員長が出席できない場合は、学科長が互選によりその職務を代行する。

３　委員長は、必要に応じて委員会を招集する。ただし、２名以上の委員から要請があるときは、速やかに委員会を招集しなければならない。

（委員会の実施）

第５条　委員会は、委員総数の半数以上の出席をもって成立する。

２　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

３　委員長は、委員会における審議内容について学長に報告する。

（その他）

第６条　その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の決議に基づいて委員長が定めるものとする。

附則

この規程は、令和２年４月１日より施行する。

岡山医療専門職大学授業科目履修規程

(趣旨)

第１条　この規程は、岡山医療専門職大学学則(以下「学則」という。)第 32 条の規定に基づき、授業科目の履修方法等について必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の履修届)

第２条　学生は、所定の期日までに履修届を提出して履修登録をしなければならない。

2　履修の届出がされていない授業科目については、単位の修得を認めない。

3　既に単位を修得した科目については、再履修登録することはできない。

4　１年間に登録することができる履修科目の単位数の上限は 39 単位とし、必要な事項は別に定める。

（履修の中止）

第３条　学生は、授業科目の履修を取り止めるときは、各学期の授業開始の日から１週間以内に、担任教員を経由して学部長に履修の中止を届け出るものとする。

（学業成績）

第４条　試験の成績はＳ・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅの５段階とし、Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃは合格、Ｄは不合格、Ｅは未履修とする。

Ｓ評価：100 点～90 点

Ａ評価：89 点～80 点

Ｂ評価：79 点～70 点

Ｃ評価：69 点～60 点

Ｄ評価：59 点以下

Ｅ評価：受験せず

2　単位認定科目制度の利用等による評価によらない認定科目の成績はＮ（認定）とする。

（出席要件）

第５条　所定の授業時間の 3 分の 2 以上出席していない授業科目は、成績にかかわらず、単位の修得を認めない。臨地実務実習では各実習における実習時間の 5 分の 4 以上出席していなければ当該実習は未履修となる。

(修得単位の取扱)

第６条　修得した単位は、原則として放棄できない。

（試験）
第７条　科目試験は定期試験、再試験、追試験、その他とする。

（試験時の不正行為）
第８条　受験中に不正行為をした者、あるいは不正行為があったと認められる者については、当該開講期の履修科目を全て未履修（Ｅ判定）とする。

（追試験）
第９条　学生がやむを得ない理由により受験できなかった場合、その科目の追試験を行う。

（再試験）
第 10 条　定期試験においてその成績が合格点に満たない場合、本人の願いによりその科目の再試験を行う。

（再履修）
第 11 条　単位の修得ができなかった授業科目については、再履修することができる。
2　再履修の届出は、通常の履修の届出と同一期間中に履修届を用いて行う。

(進級制限)
第 12 条　学部の学生については、次の各学年に進級基準の単位数（卒業に必要な単位として計算されない科目に係る単位数を除く。）を設ける。
（理学療法学科）
１年次終了時　　33 単位以上
２年次終了時　　67 単位以上
３年次終了時　　107 単位以上
（作業療法学科）
１年次終了時　　32 単位以上
２年次終了時　　66 単位以上
３年次終了時　　106 単位以上

（他の大学等の授業科目の履修）
第 13 条　学則第 38 条の規定に基づき他の大学等の授業科目の履修について､別に定める。

（附則）　この規程は、令和２年４月１日から施行する。

（資料 20）教授会規程

岡山医療専門職大学　教授会規程

第１章　総則

（趣旨）

第１条　本学における教授会については、この規程の定めるところによる。

第２章　教授会

（構成員）

第２条　教授会は、専任の教授、准教授、講師および助教をもって構成する。だだし、その他の教育職員も出席させることができる。

２　学校法人本山学園（以下「学園」という。）の理事は随時、教授会に出席して意見を述べることができる。

（招集、議長、定足数、議決）

第３条　教授会は学長がこれを招集し、その議長となる。学長に事故あるときは、学部長がこれに代わる。

２　教授会は原則として毎月 1 回定例教授会を開催する。また必要に応じて臨時に教授会を開催することができる。

３　教授会は構成員の過半数をもって成立する。

４　教授会の議決は、出席した構成員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

ただし、教授会が特に重要と認めた事項については、構成員の三分の二以上の多数をもって決する。

（審議事項）

第４条　教授会は次に掲げる各号を審議する。

（１）　教授会の運営に関する事項

（２）　教育課程の編成、変更、実施および講義・実習担当に関する事項

（３）　各種委員会に関する事項

（４）　学則に関する事項

（５）　学生の入学、転入学、編入学、科目履修、聴講、退学、休学、進級、留学、再入学、復学、転籍、除籍および卒業に関する事項

（６）　学生の試験に関する事項

（７）　学生の賞罰に関する事項

（８）　学生活動、学生生活等に関する事項

（９）　本規程の改廃に関する事項

（10）　その他教学運営上重要な事項

２　前項に掲げる審議事項のうち、学校間の調整の必要がある場合は、学務会議に付託する。

（理事長、学園長への報告）

第５条　教授会において審議され、あるいは議決された事項は学長から理事長、学園長に報告しなければならない。

（議事録）

第６条　教授会の議事録は、事務職員が筆記し、学長の責任において記録保存するものとする。

（改廃）

第７条　本規程の改廃は、教授会の議を経て学長が決定する。

附則　　本規程は、令和２年４月１日より施行する。

（資料 21）運営評議会規程

岡山医療専門職大学　運営評議会規程

（趣旨・目的）

第１条　この規程は、岡山医療専門職大学（以下、「本学」という。）運営評議会の組織及び運営について必要な事項を定める。

（組織）

第２条　運営評議会は、次の教職員をもって組織する。

（1）学長

（2）学部長

（3）学科長

（4）大学事務局長

2　前項にかかわらず、学長が必要と認めたときには、上記以外の教職員を出席させ、意見を求めることができる。

（招集及び議長）

第３条　運営評議会は、学長がこれを招集し、その議長となる。

2　議長が出席できない場合は、学部長がこれに代わる。

3　運営評議会は、原則として隔週開催とする。ただし、学長が必要と認めた場合は、随時開催することができる。

（審議事項）

第４条　運営評議会は、次の事項を審議する。

（1）運営評議会の運営に関する事項

（2）学部・学科運営に関する事項

（3）教務に関する事項

（4）学生指導に関する事項

（5）学生の身分に関する事項

（6）各種委員会に関する事項

（7）教職員に関する事項

（8）教学関連規程（学則を含む）の改廃に関する事項

（9）教育課程連携協議会に関する事項

（10）その他教学に関する大学運営上重要な事項

2　前項に掲げる審議事項のうち、学校間の調整の必要がある場合は、学務会議に付託する。

附則

この規程は、令和２年４月１日より施行する。

学校法人本山学園 自己点検・評価委員会規程

（設置）

第１条　学校法人本山学園（以下「本学園」という。）に、本学園自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任務）

第２条　委員会は、本学園における自己点検・評価について次に掲げる事項を行う。

（１）本学園の各校における管理運営、教育研究等の点検・評価項目の作成・設定に関すること。

（２）前項の点検・評価項目に基づく点検・評価に関すること。

（３）各校における点検・評価結果の集約及びその検討に関すること。

（４）各校における自己点検・評価活動の点検に関すること。

（５）点検・評価データ等の整備・保管に関すること。

（６）各校の管理運営・教育評価等についての学校関係者評価、その他外部評価等の聴取及びその検討に関すること。

（７）その他自己点検･評価に係る重要事項に関すること。

（組織）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

（１）学園長

（２）副理事長

（３）学長及び学校長

（４）学部長及び教務主任

（５）法人事務局長

（６）大学事務局長

（委員長）

第４条　委員会には委員長を置き、学園長をもってあてる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

（副委員長）

第５条　委員会に副委員長を置き、委員の中から学園長が指名する。

２　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

（議事）

第６条　委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。

２　委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第７条　委員会は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

（各校委員会）

第８条　委員会に、第２条各号（第５号及び第７号を除く。）に掲げる事項に係る点検・評価案の作成等を行わせるため、各校に自己点検・評価委員会（以下「各校委員会」という。）を置く。各校委員会については別に定める。

（事務）

第９条　委員会の事務は、法人事務局が行う。

（その他事項）

第 10 条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

岡山医療専門職大学自己点検・評価規程（案）

（趣旨）

第１条　この規程は、本山学園自己点検・評価委員会規程及び岡山医療専門職大学（以下「本学」という。）学則第 1 条第 3 号の規定に基づき、本学の教育研究、社会貢献等の質的向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学の教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い改善していくため、必要となる事項を定める。

（委員会）

第２条　前条の目的を達成するために、本学に岡山医療専門職大学自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任務）

第２条　委員会は、本学における自己点検・評価について次に掲げる事項を行う。

（１）本学の教学運営、教育研究等の点検・評価項目の作成・設定に関すること。

（２）前項の点検・評価項目に基づく点検・評価に関すること。

（３）本学における意見徴収の結果の集約及びその検討に関すること。

（４）点検・評価データ等の整備・保管に関すること。

（５）本学における自己点検・評価活動の点検に関すること。

（６）自己点検・評価の報告書の作成及び公表に関すること。

（７）本学の教学運営・教育評価等についての認証評価機関の受審に関すること。

（８）その他自己点検･評価に係る重要事項に関すること。

（組織）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

（１）学長

（２）副理事長

（３）学部長

（４）学科長

（５）大学事務局長

（６）図書館長

２　委員の任期は、２年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期限とする。

（委員長）

第４条　委員会には委員長を置き、学長をもってあてる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

（副委員長）
第５条　委員会に副委員長を置き、委員の中から学長が指名する。
２　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

（議事）
第６条　委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。
２　委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）
第７条　委員会は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

（自己点検・評価結果の公表）
第８条　本学で行う自己点検・評価の結果は、岡山医療専門職大学自己点検・評価報告書として学内外に公表するものとする。
２　前項の公表に係る方法は、本学ホームページ、刊行物及び電子媒体等により行うものとする。

（改善への対応）
第９条　学長は、自己点検評価の結果に基づき、改善が必要であると認められる事項について、速やかに具体的な対応を講じるものとする。

（事務）
第 10 条　委員会の事務は、大学事務が行う。

（その他事項）
第 11 条　この規定に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則
この規程は、令和２年４月１日から施行する。

岡山医療専門職大学FD委員会規程

（設置）

第１条　本大学に、FD（Faculty Development）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目的）

第２条　委員会は、教員の教育能力等の資質向上を組織的かつ多面的に支援することを目的とする。

（組織）

第３条　委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

（１）学部長

（２）学科長

（３）各学科から選出された委員　各１名

（４）その他、必要と認められる者

２　委員長は、学部長とする。

３　委員長及び委員は、学長がこれを委嘱する。

４　委員長が必要と認めたときは、副委員長を置くことができる。

（任期）

第４条　委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

（運営）

第５条　本委員会は委員長が必要に応じて招集・開会し、議長となる。

２　委員長が必要と認めた場合、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

３　委員会の会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。議決を要するときには、出席委員の過半数の同意をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

（任務）

第６条　委員会は、次の事項を審議する。

（１）教育方法等の調査・検討・改善に関すること。

（２）研修会等の実施に関すること。

（３）FD 計画立案と実施に関すること。

（４）FD に関する組織体制に関すること。

（５）その他 FD に必要と認められる事項。

（答申）

第７条　委員長は、審議結果を学長に答申しなければならない。

（資料 24）岡山医療専門職大学 FD 委員会規程

（実施）
第８条　学長は、答申内容に基づき、実施事項を決定し、委員会に実施を命令する。

（実施事項の運用）
第９条　委員会は、教務委員会等関係委員会との調整を図りながら検討・実施するものとする。

（活動の評価）
第10条　委員会の活動は、大学の自己点検・評価として報告書に掲載する。

（事 務）
第11条　委員会の事務は事務局学生支援チームが行う。

（補 則）
第12条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則
　この規程は、令和２ 年４ 月１ 日から施行する。

（資料25）開講科目一覧（キャリア教育）【健康科学部　理学療法学科】

授業科目の名称	配当年次	単位数			単位数計
		必修	選択	自由	
基盤ゼミⅠ	2前	1			1
基盤ゼミⅡ	3前	1			1
見学実習	1通	1			1
情報収集と処理	1後	1			1
統計分析の基礎	2後	1			1
テーマ設定と研究方法	3前	1			1
研究デザイン	3前	1			1
評価実習	3前	3			3
総合実習Ⅰ	3後	8			8
総合実習Ⅱ	4前	8			8
応用治療実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1			1
応用治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1		1
応用治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1			1
ヒューマンサービス論	2後	2			2
人間形成論	3後	2			2
食生活マネジメント論	3前	2			2
生体情報科学	3後	2			2
NPO論	4前	2			2
スポーツ科学	4前	2			2
起業入門	4前	2			2
マネジメント論	4前	2			2
コーチング論	4前	2			2
岡山経営者論	4前	2			2
総合研究Ⅰ	3後	1			1
総合研究Ⅱ	4前	1			1
卒業論文	4後	2			2
合計					53

（資料25）開講科目一覧（キャリア教育）【健康科学部　作業療法学科】

授業科目の名称	配当年次	単位数			単位数計
		必修	選択	自由	
基盤ゼミⅠ	2前	1			1
基盤ゼミⅡ	3前	1			1
テーマ設定と研究方法	3前	1			1
研究デザイン	3前	1			1
見学実習	1通	1			1
評価実習	3前	3			3
総合実習Ⅰ	3後	9			9
総合実習Ⅱ	4前	9			9
応用治療実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1			1
応用治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1			1
応用治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1		1
ヒューマンサービス論	2後	2			2
人間形成論	3後	2			2
家族関係論	3前	2			2
地域社会論	3後	2			2
コミュニティ形成論	3後	2			2
地域生活と健康	4前	2			2
特別支援教育	4前	2			2
人間工学	4前	2			2
ライフサイクル論	4前	2			2
岡山経営者論	4前	2			2
総合研究Ⅰ	3後	1			1
総合研究Ⅱ	4前	1			1
卒業論文	4後	2			2
合計					53

（資料 26）教育課程連携協議会名簿

教育課程連携協議会構成員名簿

岡山医療専門職大学

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等，専門職学科又は専門職大学院の課程に係る職業に関する主な経歴
1	教職員	健康科学部 理学療法学科	窪山　泉	67	国士舘大学体育学部　教授 ※令和 2 年 4 月 岡山医療専門職大学　健康科学部　教授（学部長）	昭和 53 年　九州大学医学部医学科卒業 昭和 53 年　九州大学医学部心臓外科入局 平成 元年　東京都庁入庁 平成 14 年　横浜市役所入庁 平成 17 年 国士舘大学体育学部教授就任(現在に至る)
2	教職員	健康科学部 理学療法学科	永野　克人	53	福井医療大学保健医療学部教授 ※令和 2 年 4 月 岡山医療専門職大学 健康科学部　理学療法学科教授（学科長）	平成 8 年　老人保健施設コスモス園　理学療法士（平成 9 年まで） 平成 9 年　老人保健施設りは・くにくさ　非常勤理学療法士（平成 10 年まで） 平成 10 年　増田病院リハビリテーション科　非常勤理学療法士（平成 16 年まで） 平成 16 年　マサチューセッツ総合病院研究員（平成 17 年まで） 平成 21 年　カナダ　メモリアル大学医学部研究員（平成 22 年まで） 平成 26 年　福井医療短期大学リハビリテーション学科　理学療法専攻教授（平成 29 年まで） 平成 29 年　福井医療大学保健医療学部教授就任（現在に至る）

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等，専門職学科又は専門職大学院の課程に係る職業に関する主な経歴
3	教職員	健康科学部 作業療法学科	二木　淑子	67	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻　客員研究員 ※令和２年４月 岡山医療専門職大学 健康科学部　作業療法学科教授（学科長）	昭和 60 年　作業療法士免許取得 昭和 60 年　聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部作業療法士（平成９年まで） 平成９年　昭和大学医療短期大学作業療法学科助教授（平成 13 年まで） 平成 17 年　金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻教授就任（平成 18 年まで） 平成 18 年　京都大学医学部保健学科作業療法学専攻教授就任（平成 19 年まで） 平成 19 年　京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻教授就任（平成 30 年まで） 平成 30 年　京都大学名誉教授称号授与 平成 30 年　京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻　客員研究員（現在に至る）
4	教職員	健康科学部 作業療法学科	安田　従生	49	岡山医療技術専門学校　専任教員 ※令和２年４月 岡山医療専門職大学 健康科学部　作業療法学科教授	平成　６年　中京大学体育学部体育学科卒業（学士） 平成 19 年　アメリカモンタナ大学大学院健康運動科学部博士課程修了（博士） 平成 29 年　アメリカハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院シュライナー研究所麻酔集中治療科リサーチフェロー 平成 30 年　岡山医療技術専門学校入職（現在に至る）
5	職業	健康科学部 理学療法学科	荒尾　賢	51	（一社）岡山県理学療法士理事	平成　２年　理学療法士免許取得 平成 13 年　岡山リハビリテーション病院入職（現在に至る） 平成 20 年　岡山県理学療法士会理事就任（現在に至る）

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等，専門職学科又は専門職大学院の課程に係る職業に関する主な経歴
6	協力	健康科学部 理学療法学科	青景　遵之	39	（医）ふたば会 うちおグリーンクリニック	平成 19 年　理学療法士免許取得 平成 24 年　医療法人　ふたば会入職（現在に至る） 広島大学大学院博士課程在学中
7	職業	健康科学部 理学療法学科	築山　尚司	57	関節ファシリテーション学会　理事	昭和 61 年　理学療法士免許取得 昭和 61 年　岡山大学病院リハビリテーション科入職（現在に至る） 平成 12 年　関節ファシリテーション学会※理事就任（現在に至る）
8	職業	健康科学部 作業療法学科	藤岡　晃	45	（一社）岡山県作業療法士会 理事	平成　9 年　作業療法士免許取得 平成　9 年　玉野市民病院リハビリテーション科入職 平成 27 年　岡山大学病院入職（現在に至る） 平成 28 年　岡山県作業療法士会理事就任（現在に至る）
9	協力	健康科学部 作業療法学科	河本　聡志	43	（一財）倉敷成人病センター	平成 11 年　作業療法士免許取得 平成 11 年　倉敷成人病センター入職（現在に至る） 平成 26 年 岡山県作業療法士会理事就任(現在に至る) 平成 29 年 岡山県作業療法士連盟理事就任（現在に至る）
１０	地域	健康科学部 作業療法学科	中島　英彦	63	倉敷市子ども未来部 子育て支援課	昭和 56 年　作業療法士免許取得 昭和 56 年　宮城県立拓桃医療療育センター入職 平成　元年　倉敷市児島市民病院入職 平成 29 年　倉敷市役所保健福祉部子ども未来部子育て支援課入職（現在に至る）

番号	構成員区分	関係する学部等又は研究科等	氏　　名	年齢	現所属及び役職名	当該専門職大学等，専門職学科又は専門職大学院の課程に係る職業に関する主な経歴
１１	地域	健康科学部 理学療法学科 作業療法学科	岸川　和忠	55	岡山市役所 保健福祉局地域包括ケア推進課　課長	昭和 63 年　4 月 1 日　岡山市役所入職 平成 29 年　4 月 1 日　保健福祉局地域包括ケア推進課課長就任（現在に至る）
１２	地域	健康科学部 理学療法学科 作業療法学科	池田　博昭	53	岡山県中小企業団体中央会 理事	平成 22 年　有限会社トラベルシリウス　代表取締役就任 平成 25 年　株式会社シリウスリレーションズ　代表取締役就任 平成 24 年　岡山県中小企業団体青年中央会　会長就任 平成 28 年　岡山県中小企業団体中央会　理事就任(現在に至る)

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000001	標準皮膚科学　第10版　/ Standard Textbook	橋本隆	医学書院	8000円
00000002	標準外科学　第14版　/ Standard Textbook	北野正剛	医学書院	8500円
00000003	標準臨床検査医学　第4版　/ Standard Textbook	高木康	医学書院	6500円
00000004	標準薬理学　第7版　/ Standard Textbook	飯野正光	医学書院	6500円
00000005	標準解剖学　/ Standard Textbook	坂井建雄　執筆	医学書院	9000円
00000006	標準細胞生物学　第2版　/ Standard textbook	近藤尚武	医学書院	5400円
00000007	標準生化学　/ Standard Textbook	藤田道也　執筆	医学書院	5000円
00000008	標準免疫学　第3版　/ Standard textbook	宮坂昌之	医学書院	7500円
00000009	標準麻酔科学　第7版　/ Standard Textbook	稲田英一	医学書院	5200円
00000010	標準精神医学　第7版　/ Standard Textbook	尾崎紀夫	医学書院	6500円
00000011	標準小児科学　第8版　/ Standard Textbook	原寿郎	医学書院	8800円
00000012	標準産科婦人科学　第4版　/ Standard textbook	岡井崇	医学書院	8200円
00000013	標準脳神経外科学　第14版　/ Standard Textbook	新井一	医学書院	7000円
00000014	標準小児外科学　第7版　/ Standard Textbook	上野滋	医学書院	7000円
00000015	概説理学療法　第2版　理学療法の原点とその展開	有馬慶美　編集	文光堂	5000円
00000016	運動療法のための運動器超音波機能解剖拘縮治療との接点 WEB動画付き	林典雄　著	文光堂	5500円
00000017	運動の成り立ちとは何か　理学療法・作業療法のためのBiNI Approach	舟波真一	文光堂	6300円
00000018	運動のつながりから導く肩の理学療法	千葉慎一　編集	文光堂	4000円
00000019	PT・OTのための高次脳機能障害ABC	網本和　編集	文光堂	5500円
00000020	PT・OTのための生理学テキスト	安藤啓司　著	文光堂	3000円
00000021	PT・OT・STのための気道吸引実践マニュアル アセスメントから気道吸引まで	平林弦大	文光堂	2500円
00000022	病理組織マップ&ガイド	深山正久　編集	文光堂	5500円
00000023	寄生虫学テキスト　第3版	上村清	文光堂	5000円
00000024	理学療法から診る廃用症候群　基礎・予防・介入	奈良勲	文光堂	6000円
00000025	理学療法研究の進めかた　基礎から学ぶ研究のすべて	森山英樹　編集	文光堂	5200円
00000026	理学療法・作業療法のための実践編BiNI Approach　運動の成り立ちから導く，治療をシンプルにする法則性	舟波真一　編集	文光堂	7000円
00000027	理学療法士のための在宅療養者の診かた　評価をプログラムに反映させる	杉元雅晴　編集	文光堂	3800円
00000028	脳卒中後の運動機能回復レビュー　PT・OTが知っておきたい基礎知識	今井樹　著	文光堂	3600円
00000029	パリス・アプローチ　腰，骨盤編　評価と適応	佐藤友紀　著	文光堂	5000円
00000030	パリス・アプローチ　実践編　徒手理学療法の試み	佐藤友紀　著	文光堂	7000円
00000031	運動療法学　第2版　障害別アプローチの理論と実際	市橋則明　編集	文光堂	7000円
00000032	脊髄損傷理学療法マニュアル　第2版	岩崎洋　編集	文光堂	6500円
00000033	高次脳機能障害に対する理学療法	阿部浩明　編集	文光堂	6000円
00000034	理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック	木村貞治　編	文光堂	7000円
00000035	実学としての理学療法概観	奈良勲　編集主幹	文光堂	7000円
00000036	実学としてのリハビリテーション概観　理学療法士・作業療法士のために	奈良勲　編集主幹	文光堂	3000円
00000037	筋骨格系理学療法を見直す はじめに技術ありきの現状から，どう新展開するか	対馬栄輝　編	文光堂	7000円
00000038	ケースで学ぶ徒手理学療法クリニカルリーズニング	藤縄理　編集	文光堂	5800円
00000039	イラストでわかる高齢者の生活機能向上支援 地域ケアでの実践と手法の活用	山田実　編著	文光堂	3000円
00000040	認知症の標準的解釈とリハビリテーション介入	金谷さとみ　著	文光堂	3000円
00000041	姿勢制御と理学療法の実際	淺井仁	文光堂	8600円
00000042	神経症候障害学　病態とエビデンスに基づく治療と理学療法	内山靖	文光堂	7500円
00000043	練達PTタケトミのからだの動きの診かたポイントとコツ 実践理学療法評価	武富由雄　著	文光堂	6500円
00000044	絵でみる老人介助の基本テクニック　第2版 あなたのケアを活かし，評価する199のチェックポイント	大渕律子	文光堂	3000円
00000045	スタンダード生理学　第3版	二宮石雄	文光堂	4500円
00000046	スタンダード微生物学　第2版　保健微生物学・感染症学	土肥義胤	文光堂	5000円
00000047	スタンダード病理学　第4版	沢辺元司	文光堂	7200円
00000048	目の不自由な方を誘導するガイドヘルプの基本　第2版初心者からベテランまで	村上琢磨	文光堂	3200円
00000049	人間ドック健診フォローアップガイド	山門實　編	文光堂	2800円
00000050	症候障害学序説　理学療法の臨床思考過程モデル	内山靖　著	文光堂	1800円
00000051	健康づくりへのアプローチ　第4版生活習慣病の予防 生活習慣改善マニュアル	石川兵衛　著	文光堂	2600円
00000052	急性期作業療法マネジメント　生活の行為を紡ぐ作業療法プラクティス シームレスにつなぐ早期のアプローチ	小林毅	文光堂	5000円
00000053	ベッドサイド理学療法の基本技術・技能 / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	嶋田智明	文光堂	4800円
00000054	運動連鎖～リンクする身体　/ 実践mook・理学療法プラクティス	山岸茂則　編	文光堂	5300円
00000055	脊柱機能の臨床的重要性と上下肢との連関 / 実践mook・理学療法プラクティス	小林聖　編	文光堂	4500円
00000056	膝・足関節障害　全身から評価・治療することの意義と実際 / 実践mook・理学療法プラクティス	杉原敏道　編	文光堂	5000円
00000057	リスク管理　その解釈と統合～積極的な理学療法を目指して / 実践mook・理学療法プラクティス	神先秀人　編	文光堂	4800円
00000058	関節可動制限　発展途上の理学療法－その可能性 / 実践mook・理学療法プラクティス	百瀬公人　編	文光堂	4800円
00000059	大腿骨頸部骨折　何を考え、どう対処するか / 実践mook・理学療法プラクティス	加藤浩　編	文光堂	4800円
00000060	肩関節運動機能障害　何を考え、どう対処するか / 実践mook・理学療法プラクティス	立花孝　編	文光堂	4800円
00000061	極める大腿骨骨折の理学療法　医師と理学療法士の協働による術式別アプローチ/ 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5500円
00000062	感覚入力で挑む　感覚・運動機能回復のための理学療法アプローチ / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5200円
00000063	筋緊張に挑む　筋緊張を深く理解し，治療技術をアップする！ / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5200円
00000064	極める変形性膝関節症の理学療法　保存的および術後理学療法の評価とそのアプローチ/ 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5200円
00000065	極める変形性股関節症の理学療法　病期別評価とそのアプローチ / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5000円
00000066	パーキンソン病に対する標準的理学療法介入　何を考え，どう進めるか？	松尾善美　編集	文光堂	6500円
00000067	生理学問題集	日本生理学会教育委員会／編	文光堂	3600円
00000068	データに基づく臨床動作分析	藤澤宏幸　編著	文光堂	2600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000069	よくわかる理学療法評価・診断のしかた　エビデンスから考える	嶋田智明	文光堂	6300円
00000070	臨床実践足部・足関節の理学療法 教科書にはない敏腕PTのテクニック	橋本雅至　編集	文光堂	4500円
00000071	理学療法を活かす褥瘡ケア　評価・治療・予防	杉元雅晴　編著	文光堂	3600円
00000072	高齢者の機能障害に対する運動療法　運動療法学各論	市橋則明　編	文光堂	5500円
00000073	作業療法のとらえかた	古川宏　編	文光堂	5200円
00000074	高齢者のその人らしさを捉える作業療法　大切な作業の実現	籔脇健司　編集	文光堂	6500円
00000075	考える作業療法　活動能力障害に対して	澤田雄二　編	文光堂	6000円
00000076	脳卒中に対する標準的理学療法介入　第2版 何を考え，どう進めるか？	潮見泰藏　編集	文光堂	6500円
00000077	脳卒中患者に対する課題指向型トレーニング	潮見泰藏　編集	文光堂	6000円
00000078	脳卒中理学療法ベスト・プラクティス 科学としての理学療法実践の立場から	奈良勲	文光堂	6200円
00000079	歩行を診る　観察から始める理学療法実践	松尾善美　編	文光堂	6800円
00000080	糖尿病治療における理学療法　戦略と実践	野村卓生　著	文光堂	4000円
00000081	地域理学療法にこだわる	日高正巳　編	文光堂	6500円
00000082	地域包括ケアにおけるPT・OTの役割　個別地域ケア会議・介護予防事業から学ぶ	田中康之	文光堂	4800円
00000083	理学療法評価学　障害別・関節別評価のポイントと実際	市橋則明　編集	文光堂	7000円
00000084	臨床実践動きのとらえかた　何をみるのかその思考と試行	山岸茂則　編集	文光堂	6500円
00000085	リアルフィジカルアセスメント　リハ臨床のためのケーススタディ	星孝　編著	文光堂	4000円
00000086	腰痛の病態別運動療法　体幹筋機能向上プログラム	金岡恒治　編集	文光堂	3000円
00000087	臨床実践変形性膝関節症の理学療法 / 教科書にはない敏腕PTのテクニック	橋本雅至　編集	文光堂	4500円
00000088	理学療法臨床診断学への志向　ARIMAの問題解決モデル	有馬慶美　著	文光堂	3600円
00000089	理学療法リスク管理・ビューポイント	丸山仁司　編	文光堂	3800円
00000090	理学療法プログラムデザイン　ケース別アプローチのポイントと実際	市橋則明　編	文光堂	7000円
00000091	理学療法プログラムデザイン　2　ケース別アプローチのポイントと実際	市橋則明　編集	文光堂	7000円
00000092	評価から治療手技の選択　考える理学療法	丸山仁司　[ほか編]	文光堂	5500円
00000093	評価から治療手技の選択　内部障害編　考える理学療法	丸山仁司	文光堂	6500円
00000094	評価から治療手技の選択　中枢神経疾患編　考える理学療法	丸山仁司	文光堂	5700円
00000095	ケースで学ぶ理学療法臨床思考　臨床推論能力スキルアップ	嶋田智明　編	文光堂	6190円
00000096	なっとく解剖生理学　1　やりとりする細胞と血液	五十嵐雅　著・イラスト	文光堂	2800円
00000097	なっとく解剖生理学　3　ぐるぐる回る呼吸器	五十嵐雅　著・イラスト	文光堂	3500円
00000098	筋力向上のための一週間献立集　体づくりと試合に向けて ：アスリート食堂	吉谷佳代　著	文光堂	2000円
00000099	筋力向上のための一週間献立集　体づくりと試合に向けて ：アスリート食堂	吉谷佳代　著	文光堂	2000円
00000100	運動器の徒手検査法　機能解剖から導く手技の実際	福林徹	文光堂	7000円
00000101	骨・関節系理学療法クイックリファレンス　第2版	岡西哲夫	文光堂	7000円
00000102	入門組織学　改訂第2版	牛木辰男　著	南江堂	5000円
00000103	神経内科学テキスト　改訂第4版	江藤文夫	南江堂	4800円
00000104	運動器系解剖学テキスト　/ シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	五味敏昭	南江堂	6000円
00000105	生化学ガイドブック　改訂第3版 増補	遠藤克己	南江堂	3200円
00000106	大学課程の生理学　改訂第9版　ヒトのからだを識るために	山本敏行	南江堂	2200円
00000107	わかりやすい病理学　改訂第6版	恒吉正澄	南江堂	2700円
00000108	整形外科学テキスト　改訂第4版	高橋邦泰	南江堂	5300円
00000109	運動学テキスト　改訂第2版 / シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	藤縄理	南江堂	4800円
00000110	Medical Walking　ウォーキング指導者必携	矢野英雄	南江堂	2000円
00000111	精神医学テキスト　改訂第4版　精神障害の理解と治療のために	上島国利	南江堂	4200円
00000112	糖尿病療養指導の手びき　改訂第5版	日本糖尿病学会　編/著	南江堂	2800円
00000113	CDによる聴診トレーニング　改訂第2版　呼吸音編	川城丈夫	南江堂	5000円
00000114	メカニズムから読み解く痛みの臨床テキスト	小川節郎　編集	南江堂	6000円
00000115	ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種目別スポーツ障害の診療　改訂第2版	林光俊　編集主幹	南江堂	6800円
00000116	わかる！スポーツ傷害　病態理解と復帰へのHow to	福林徹	南江堂	3000円
00000117	生活環境学テキスト　/ シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	村田伸	南江堂	3800円
00000118	人間発達学テキスト　/ シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	植松光俊	南江堂	3800円
00000119	死亡直前と看取りのエビデンス	森田達也	医学書院	3000円
00000120	みるトレ リウマチ・膠原病	松村正巳　著	医学書院	3800円
00000121	アスリートを救え　スポーツ外傷・障害の画像診断完全攻略	帖佐悦男　編集	医学書院	8000円
00000122	臨床老年医学入門　第2版　すべてのヘルスケア・プロフェッショナルのために	道場信孝　著	医学書院	3200円
00000123	医療者のためのインフルエンザの知識	泉孝英	医学書院	2800円
00000124	摂食障害治療ガイドライン	「摂食障害治療ガイドライン」作成委員会　編	医学書院	4000円
00000125	災害時のメンタルヘルス	大塚耕太郎	医学書院	3200円
00000126	図解骨折治療の進め方　第3版	Ronald McRae	医学書院	7200円
00000127	病院前救護とメディカルコントロール	日本救急医学会 メディカルコントロール体制検討委員会　編	医学書院	6500円
00000128	スポーツ外傷・障害ハンドブック　発生要因と予防戦略	Roald Bahr	医学書院	5800円
00000129	めまいの診かた・考えかた	二木隆　著	医学書院	4500円
00000130	医療者のための結核の知識　第4版	四元秀毅	医学書院	3400円
00000131	ジェネラリストのための呼吸器診療勘どころ　Dr.宮城×Dr.藤田	宮城征四郎	医学書院	3800円
00000132	エキスパートに学ぶ呼吸器診療のアートとサイエンス　Dr.宮城×Dr.藤田	宮城征四郎	医学書院	4800円
00000133	運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学	工藤慎太郎　編著	医学書院	4600円
00000134	運動機能障害の「なぜ？」がわかる評価戦略	工藤慎太郎　編著	医学書院	5200円
00000135	脳卒中機能評価・予後予測マニュアル	道免和久　編集	医学書院	4500円
00000136	発達障害のリハビリテーション　多職種アプローチの実際	宮尾益知	医学書院	4500円
00000137	NPPVハンドブック	聖路加国際病院呼吸療法チーム　執筆	医学書院	3800円
00000138	誤りやすい異常脳波　第3版	市川忠彦　著	医学書院	5500円
00000139	神経診察ビジュアルテキスト	小嶺幸弘　著	医学書院	4800円
00000140	非特異的腰痛の運動療法　症状にあわせた実践的アプローチ	荒木秀明　著	医学書院	4200円
00000141	そのとき理学療法士はこう考える　事例で学ぶ臨床プロセスの導きかた	藤野雄次　編集	医学書院	3800円
00000142	検証「健康格差社会」　介護予防に向けた社会疫学的大規模調査	近藤克則　編	医学書院	4200円
00000143	病院早わかり読本　第5版増補版	飯田修平　編著	医学書院	2300円
00000144	理学療法臨床実習サポートブック　レポート作成に役立つ素材データ付	岡田慎一郎　[ほか]著	医学書院	3000円
00000145	研修医のための整形外科診療これだけは！　第2版	高橋正明　編集	医学書院	5600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000146	心電図・不整脈　個人授業 ホルター心電図でひもとく循環器診療	杉山裕章　執筆	医学書院	4000円
00000147	睡眠時無呼吸症候群診療ハンドブック	榊原博樹　編	医学書院	5400円
00000148	主治医と検査者の相互理解を深める心エコー奥義　エコーでコラボ	湯田聡	医学書院	5000円
00000149	高次脳機能障害ハンドブック　診断・評価から自立支援まで	中島八十一	医学書院	4200円
00000150	国際頭痛分類　第3版 beta版	国際頭痛学会・ 頭痛分類委員会　著	医学書院	4000円
00000151	発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子　編	医学書院	6000円
00000152	実践にいかす歩行分析　明日から使える観察・計測のポイント	Oliver Ludwig　著	医学書院	5000円
00000153	介助にいかすバイオメカニクス	勝平純司　[ほか]著	医学書院	3900円
00000154	作業療法がわかるCOPM・AMPS実践ガイド	吉川ひろみ	医学書院	3800円
00000155	作業療法がわかるCOPM・AMPSスターティングガイド	吉川ひろみ　著	医学書院	3800円
00000156	作業療法がわかるPBLチュートリアルStep by Step	宮前珠子	医学書院	3500円
00000157	作業で結ぶマネジメント　作業療法士のための自分づくり・仲間づくり・組織づくり	澤田辰徳　編集	医学書院	3500円
00000158	フィドラーのアクティビティ論　現実とシンボル	ゲイル・フィドラー	医学書院	3600円
00000159	呼吸理学療法標準手技	石川朗	医学書院	3200円
00000160	作業療法実践の理論	ギャーリー・ キールホフナー　著	医学書院	4700円
00000161	作業で語る事例報告　作業療法レジメの書きかた・考えかた	齋藤佑樹　編集	医学書院	3500円
00000162	二関節筋　運動制御とリハビリテーション	熊本水頼　編	医学書院	4200円
00000163	四肢麻痺と対麻痺　第2版	Ida Bromley　[著]	医学書院	4800円
00000164	新ことばの科学入門　第2版	Lawrence J.Raphael	医学書院	6200円
00000165	聴覚障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	中村公枝	医学書院	5200円
00000166	言語聴覚障害学概論　/ 標準言語聴覚障害学	藤田郁代　編	医学書院	5000円
00000167	言語発達障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	玉井ふみ	医学書院	5000円
00000168	発声発語障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	熊倉勇美	医学書院	5000円
00000169	失語症学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	藤田郁代	医学書院	5000円
00000170	小児科学・発達障害学　第2版　/ 言語聴覚士のための基礎知識	宮尾益知　編	医学書院	3500円
00000171	音声学・言語学　/ 言語聴覚士のための基礎知識	今泉敏　編	医学書院	3800円
00000172	神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために　第2版	木村淳	医学書院	9000円
00000173	高次脳機能障害のリハビリテーション　第3版　実践的アプローチ	本田哲三　編集	医学書院	4200円
00000174	言語聴覚士のための失語症訓練教材集	立石雅子　編	医学書院	4700円
00000175	TIAと脳卒中	Sarah T.Pendlebury	医学書院	8000円
00000176	神経診断学を学ぶ人のために　第2版	柴崎浩　著	医学書院	8500円
00000177	画像からみた脳梗塞と神経心理学	田川皓一　著	医学書院	8000円
00000178	医療レジリエンス　医学アカデミアの社会的責任	福原俊一　編集代表	医学書院	2800円
00000179	呼吸器疾患　/ Navigate	石橋賢一　著	医学書院	3400円
00000180	神経疾患　/ Navigate	石橋賢一　著	医学書院	3200円
00000181	ジェネラリストのための外来初療・処置ガイド	田島知郎　編集	医学書院	8000円
00000182	実践漢方ガイド　日常診療に活かすエキス製剤の使い方	中野哲	医学書院	5800円
00000183	公認心理師必携精神医療・臨床心理の知識と技法	下山晴彦	医学書院	3200円
00000184	こどもの整形外科疾患の診かた 診断・治療から患者家族への説明まで	亀ヶ谷真琴　編	医学書院	9000円
00000185	訪問リハ危険予知トレーニング　KYT50の場面	石黒友康	医歯薬出版	3200円
00000186	リハ研究の進め方・まとめ方　若手研究者のための入門書	志波直人　編著	医歯薬出版	2900円
00000187	PT・OT・STのための一般臨床医学　第3版	椿原彰夫	医歯薬出版	2600円
00000188	在宅リハビリテーション栄養	若林秀隆　編著	医歯薬出版	3400円
00000189	外来整形外科のためのスポーツ外傷・障害の理学療法	小関博久　編	医歯薬出版	8500円
00000190	プール活動レベル　認知症をもつ人の活動評価から個別支援まで チームでよりよいケアを実践するために	Jackie Pool　原著	医歯薬出版	3800円
00000191	言語聴覚士のための音声障害学	大森孝一　編集	医歯薬出版	4000円
00000192	言語聴覚士のための解剖・生理学	小林靖　著	医歯薬出版	4000円
00000193	言語聴覚士のための摂食・嚥下障害学	倉智雅子　編集	医歯薬出版	4400円
00000194	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村健　編	医歯薬出版	4000円
00000195	言語聴覚士のための機能性構音障害学	白坂康俊	医歯薬出版	4000円
00000196	呼吸リハビリテーション最前線　身体活動の向上とその実践	塩谷隆信	医歯薬出版	3800円
00000197	サルコペニアと運動　エビデンスと実践	島田裕之　編	医歯薬出版	3800円
00000198	最新リハビリテーション医学　第3版	安保雅博	医歯薬出版	6400円
00000199	内部障害系理学療法学　系統理学療法学	居村茂幸　編	医歯薬出版	4000円
00000200	作業療法評価のエッセンス　/ 作業療法ケースブック	澤俊二	医歯薬出版	5200円
00000201	イラストでわかる発達障害の作業療法	辛島千恵子　編集	医歯薬出版	4000円
00000202	PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方　第2版　国試画像問題攻略	中島雅美	医歯薬出版	3000円
00000203	イラストでわかる小児理学療法	上杉雅之　監修	医歯薬出版	4200円
00000204	膝診療マニュアル　第5版	腰野富久　著	医歯薬出版	5000円
00000205	足診療マニュアル　第2版	藤井英夫	医歯薬出版	5200円
00000206	母親のメンタルヘルスサポートハンドブック　気づいて・つないで・支える多職種地域連携 妊娠期からの	立花良之　著	医歯薬出版	2800円
00000207	高次脳機能障害者とデイサービス　地域で進めるあきらめない回復支援	世田谷ボランティア協会身体障害者デイサービスセンターふらっと　編著	医歯薬出版	2800円
00000208	"見える化"医療経済学入門	川渕孝一　著	医歯薬出版	2600円
00000209	PT・OT・STのための診療ガイドライン活用法	日高正巳	医歯薬出版	3600円
00000210	よくわかる内部障害の運動療法	上月正博　編著	医歯薬出版	5800円
00000211	リハビリテーションと精神医学	鹿島晴雄　編著	医歯薬出版	3800円
00000212	リハビリテーションにおける評価　Ver.3	上月正博	医歯薬出版	6400円
00000213	学生のための精神医学　第3版	太田保之	医歯薬出版	3500円
00000214	フレイルの予防とリハビリテーション	島田裕之　編	医歯薬出版	3600円
00000215	摂食嚥下の機能解剖　基本のきほん	阿部伸一　著	医歯薬出版	3000円
00000216	口蓋帆・咽頭閉鎖不全　その病理・診断・治療	舘村卓　著	医歯薬出版	4000円
00000217	高次脳機能障害学　第2版	石合純夫　著	医歯薬出版	4400円
00000218	脳卒中の機能評価と予後予測　新版	中村隆一	医歯薬出版	8500円
00000219	肩診療マニュアル　新版	乾浩明	医歯薬出版	5400円
00000220	筋骨格障害系理学療法学　系統理学療法学	居村茂幸　編	医歯薬出版	6000円
00000221	認知症のリハビリテーション栄養	若林秀隆　編著	医歯薬出版	4000円
00000222	脳性麻痺ハンドブック　第2版　療育にたずさわる人のために	穐山富太郎	医歯薬出版	6600円
00000223	リハビリテーション・ADLトレーニング 患者さんに渡せる姿勢・動作指導71	高橋仁美	医歯薬出版	3600円
00000224	片麻痺の運動療法	シグネ・ブルンストローム ／著	医歯薬出版	5600円
00000225	嚥下食ピラミッドによるレベル別市販食品250　第2版，補訂	栢下淳　編著	医歯薬出版	2700円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000226	新てんかんテキスト　てんかんと向き合うための本	井上有史	南江堂	3000円
00000227	実践理学療法スーパーバイズマニュアル 写真で学ぶ臨床実習のポイント	新田收　[ほか]共著	南江堂	4200円
00000228	CDによる聴診トレーニング　改訂第2版　心音編	沢山俊民　著	南江堂	4660円
00000229	医療現場の清浄と滅菌	ヤン・ハュス　著	中山書店	5500円
00000230	嚥下食をおいしくする101のソース	東京湾岸リハビリテーション病院栄養科　編	中山書店	2700円
00000231	マンガでわかる生理学	小山富康　著	中山書店	3100円
00000232	マンガでわかる生理学　2	小山富康　著	中山書店	3100円
00000233	情動と記憶　しくみとはたらき	小野武年　著	中山書店	8000円
00000234	さぁ，はじめよう！NST　事例でわかる栄養療法の進め方	磯崎泰介　監修	中山書店	3000円
00000235	義肢製作マニュアル　第2版	田澤英二　編	医歯薬出版	7800円
00000236	ベッドサイドから在宅で使える嚥下食のすべて	金谷節子　編著	医歯薬出版	3400円
00000237	人体の構造と機能　第4版	内田さえ	医歯薬出版	2800円
00000238	認知症のコミュニケーション障害　その評価と支援	三村將	医歯薬出版	3000円
00000239	認知症の人の摂食障害最短トラブルシューティング 食べられる環境，食べられる食事がわかる	吉田貞夫　編	医歯薬出版	3600円
00000240	心理・精神領域の理学療法　はじめの一歩	奈良勲	医歯薬出版	3400円
00000241	エッセンシャル免疫学　第3版	ピーター・パーラム　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6400円
00000242	ラングマン人体発生学　第11版	T.W.サドラー　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8400円
00000243	神経ブロックのための3D解剖学講座	武田吉正	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7600円
00000244	リープマン神経解剖学　第3版	S.David Gertz　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4700円
00000245	あたらしい人体解剖学アトラス	パトリック・W.タンク	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7000円
00000246	微生物学　基礎から臨床へのアプローチ	アンソニー・ストレルコースカス	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000247	細胞のシグナル伝達　システムとしての共通原理にもとづく理解	ウェンデル・リム	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8200円
00000248	カラー図説細胞周期　細胞増殖の制御メカニズム	デービッド・O.モーガン著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6800円
00000249	カラー図説免疫　感染症と炎症性疾患における免疫応答	アンソニー・L.デフランコ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000250	カラー図説タンパク質の構造と機能　ゲノム時代のアプローチ	グレゴリー・A.ペツコ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	5400円
00000251	老化生物学　老いと寿命のメカニズム	ロジャー・B.マクドナルド著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7200円
00000252	一目でわかる医科生化学	J.G.サルウェー　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000253	一目でわかる血液ガス　第2版	飯野靖彦　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000254	一目でわかる腎臓　第2版	Chris A.O'Callaghan　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3200円
00000255	一目でわかる水電解質　第3版	飯野靖彦　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000256	一目でわかる免疫学　第4版	J.H.L.プレーフェア	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2400円
00000257	一目でわかるクリティカルケア	リチャード・M.リーチ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3000円
00000258	一目でわかる内分泌学　第2版	ベン・グリーンスタイン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3200円
00000259	一目でわかる臨床検査　第2版	松野一彦	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000260	一目でわかる臨床遺伝学　第2版	ドリアン・J.プリチャード	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3800円
00000261	眼で見る小児のリハビリテーション　改訂第3版	栗原まな　著	診断と治療社	5400円
00000262	外反母趾FAQ予防・治療の実践ガイド　正しい靴の選び方，履き方	柴田義守　著	診断と治療社	4200円
00000263	リハビリテーション総論　改訂第3版　PT・OT・ST・ナースを目指す人のための 要点整理と用語解説	椿原彰夫　編著	診断と治療社	3600円
00000264	ハインズ神経解剖学アトラス　第4版	デュアン・E.ハインズ　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7200円
00000265	入門・呼吸療法　改訂第2版	大村昭人	克誠堂出版	3800円
00000266	呼吸の生理と病態生理　症例から考える統合的アプローチ	John B.West　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3900円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000267	とことん症例から学ぶ呼吸器疾患	エマ・H.ベイカー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00000268	よくわかる筋の機能解剖　第2版　描いて覚える筋の名称とはたらき	Bernard Kingston ［著］	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3800円
00000269	骨外傷の画像診断ハンドブック	江原茂　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4600円
00000270	足の画像診断	小橋由紋子　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7400円
00000271	整形外科ペインクリニック	小川節郎　編	克誠堂出版	7600円
00000272	ペインクリニック診療に必要なリハビリテーションの知識	保岡正治　編	克誠堂出版	4800円
00000273	要説産業精神保健　職場におけるメンタルヘルス対策の手引き	廣尚典　著	診断と治療社	4000円
00000274	看護・医療系スタッフのための質問紙作成ワークブック	土屋雅子　著	診断と治療社	2500円
00000275	医療系学生のための図解生理学テキスト&ノート	丹羽利充　著	診断と治療社	2800円
00000276	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテーション入門　改訂第2版　ライフステージに沿った支援のために	橋本圭司	診断と治療社	3600円
00000277	骨関節画像診断入門　第4版	Clyde A.Helms　著	エルゼビア・ジャパン	6000円
00000278	日常診療における子どもの睡眠障害	谷池雅子　編集	診断と治療社	5800円
00000279	乳幼児の発達からみる保育"気づき"ポイント44　保育士・幼稚園教諭・支援者のための	横山浩之　著	診断と治療社	2800円
00000280	脳卒中上下肢痙縮Expertボツリヌス治療　私はこう治療している	正門由久	診断と治療社	4500円
00000281	慢性疾患の認知行動療法　アドヒアランスとうつへのアプローチ ワークブック	Steven A.Safren	診断と治療社	2400円
00000282	ここまでわかった心身相関　科学的にみたこころとからだの相互作用	久保千春　編集	診断と治療社	4000円
00000283	理学療法学自習ワークブック　フィードバック方式実践問題集	田畑稔　責任編集	ヌンク	3200円
00000284	そこが知りたい！在宅療養Q&A　実践と多職種連携を深めるために	日本ホスピス・在宅ケア研究会　編集	診断と治療社	2800円
00000285	補聴器のフィッティングと適用の考え方	小寺一興　著	診断と治療社	3200円
00000286	画像とチャートでわかる小児の整形外科診療エッセンス	久保俊一　責任編集	診断と治療社	6800円
00000287	チームで取り組む職場のメンタルヘルス	廣尚典	診断と治療社	2800円
00000288	看護・医療系研究のためのアンケート・面接調査ガイド　初心者にもできる質問紙・インタビューガイドのつくり方	土屋雅子	診断と治療社	2500円
00000289	PT・OTのための臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技OT版	椿原彰夫　責任編集	診断と治療社	2500円
00000290	トータルケアで理解する子どもの摂食嚥下リハビリテーション　食べる機能を支援する40のポイント	田角勝　著	診断と治療社	2500円
00000291	発達障害のある子へのことば・コミュニケーション指導の実際　評価からスタートする段階的指導	湯汲英史　編	診断と治療社	2800円
00000292	2歳からはじめる自閉症児の言語訓練　あなたが育てる自閉症のことば 子どもの世界マップから生まれる伝え方の工夫	藤原加奈江　著	診断と治療社	1900円
00000293	五十肩のリハビリテーション　病期に合わせた適切な運動療法 正しいストレッチとマッサージを学ぶ	山本良彦　編集	診断と治療社	2800円
00000294	在宅・訪問リハビリテーションリスク管理実践テキスト　改訂第2版　ホスピタリティに基づく医療サービス	石黒友康	ヌンク	3000円
00000295	小児の高次脳機能障害リハビリテーション実践ガイドブック　写真と症例でわかる	栗原まな　著	診断と治療社	3400円
00000296	小児リハビリテーション評価マニュアル	間川博之　編集	診断と治療社	5400円
00000297	自閉症かな？と思ったとき 寝返り，ハイハイ，お座り，歩行からわかること	オスナット・テイテルバウム	診断と治療社	2800円
00000298	小児筋疾患診療ハンドブック	小牧宏文　編	診断と治療社	5800円
00000299	医療保育　改訂第4版　ぜひ知っておきたい小児科知識	梶谷喬	診断と治療社	2500円
00000300	医療系のためのやさしい統計学入門	中村好一　編	診断と治療社	2500円
00000301	不安とうつの統一プロトコル　バーロウ教授によるクリニカルデモンストレーション バーロウ教授の認知行動療法講義	デイビッド・H.バーロウ講演	診断と治療社	6500円
00000302	不安とうつの統一プロトコル 診断を越えた認知行動療法 セラピストガイド	デイビッド・H.バーロウ［ほか］著	診断と治療社	2800円
00000303	不安とうつの統一プロトコル　診断を越えた認知行動療法 ワークブック	デイビッド・H.バーロウ［ほか］著	診断と治療社	2400円
00000304	ダウン症リハビリテーションガイド イラストでよくわかる 楽しくはじめる	山本良彦　編集	診断と治療社	1900円
00000305	言語発達遅滞の言語治療　改訂第2版	小寺富子　著	診断と治療社	3500円
00000306	子どもの精神保健テキスト　医療・心理・教育・保育にかかわる人たちのための	古荘純一　編集	診断と治療社	2800円
00000307	PT/OTリハ演習メソッド　評価プロセス×リハプログラム 患者の訴えと症候から理解する！	杉江秀夫　総編集	診断と治療社	3600円
00000308	知的障害者の健康管理マニュアル　身心ともに健康な成長・加齢のために	大野耕策	診断と治療社	3200円
00000309	脳性まひの療育と理学療法　上田法およびボツリヌス療法による筋緊張のコントロールと評価	東條恵　著	診断と治療社	2600円
00000310	症例で理解するベッドサイドの臨床薬理学	藤村昭夫　編	診断と治療社	4500円
00000311	末梢神経と筋のみかた　ビジュアルガイド	The Guarantors of Brain／著	エルゼビア・ジャパン	3600円
00000312	尿沈渣　改訂第2版　標本の作製から診断まで/ 診断と治療Exシリーズ	上田尚彦	診断と治療社	3800円
00000313	リウマチ病学テキスト　改訂第2版	日本リウマチ財団教育研修委員会	診断と治療社	5500円
00000314	多発性硬化症<MS>診療のすべて　multiple sclerosis	山村隆　編集	診断と治療社	5500円
00000315	子どもの食と栄養　改訂第2版　健康なからだとこころを育む小児栄養学	水野清子	診断と治療社	2300円
00000316	いきいき栄養学　改訂第3版　おいしく楽しくダイエット 武庫川女子大学栄養クリニック	小西すず　編著	診断と治療社	2100円
00000317	コンパクト微生物学　改訂第4版	小熊惠二	南江堂	2200円
00000318	呼吸療法　/ CE技術シリーズ	渡辺敏	南江堂	5200円
00000319	基礎から学ぶ健康管理概論　改訂第4版	柳川洋	南江堂	2400円
00000320	人工心肺　/ CE技術シリーズ	四津良平	南江堂	5300円
00000321	理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション　理論と実践	日本ヘルスプロモーション理学療法学会　編集	南江堂	3200円
00000322	臨床データから読み解く理学療法学	中山恭秀　編著	南江堂	4200円
00000323	医学概論　医学のコンセプトと医療のエッセンス	中島泉　著	南江堂	2800円
00000324	救急で役立つ頭部CT・MRI　研修医必携	細矢貴亮	南江堂	6300円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000325	国立障害者リハビリテーションセンター 社会復帰をめざす高次脳機能障害リハビリテーション	飛松好子	南江堂	4600円
00000326	介護食ハンドブック　第2版　カラー献立57点	大越ひろ	医歯薬出版	2800円
00000327	関節外科診療ファーストステップ　これ一冊で基本をマスター！	齋藤知行　編集	南江堂	7000円
00000328	DVDで学ぶ脳血管障害の理学療法テクニック 病巣病型別アプローチがわかる動画73	今井保	南江堂	6500円
00000329	リウマチ上肢の治療とリハビリテーション	水関隆也　著	南江堂	8000円
00000330	神経伝導検査テキスト　筋電図CD-ROM付	栢森良二　著	医歯薬出版	4800円
00000331	DVDで学ぶ運動器疾患の理学療法テクニック　臨床的感性をみがく動画106	林義孝　編	南江堂	6500円
00000332	DVDで学ぶ呼吸理学療法テクニック 呼吸と手技のタイミングがわかる動画91	玉木彰　編	南江堂	6000円
00000333	DVDで学ぶ理学療法特殊テクニック　215の動画でよくわかる	柳澤健　編	南江堂	6500円
00000334	DVDでみるアスレチック・マッサージの実際	栗山節郎	南江堂	5200円
00000335	DVDで学ぶ運動器徒手検査法	山本謙吾　編	南江堂	6700円
00000336	前十字靭帯<ACL>損傷診療ガイドライン　2012	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会前十字靭帯(ACL)損傷診療ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	4000円
00000337	大腿骨頚部/転子部骨折診療ガイドライン　改訂第2版	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会大腿骨頚部/転子部骨折診療ガイドライン策定委員会　編	南江堂	3800円
00000338	軟部腫瘍診療ガイドライン　2012	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会軟部腫瘍診療ガイドライン策定委員会編	南江堂	3600円
00000339	骨・関節術後感染予防ガイドライン　改訂第2版　2015	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会骨・関節術後感染予防ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	3200円
00000340	頚椎後縦靭帯骨化症診療ガイドライン　改訂第2版　2011	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会頚椎後縦靭帯骨化症診療ガイドライン策定委員会　編	南江堂	3800円
00000341	外反母趾診療ガイドライン　改訂第2版　2014	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会外反母趾診療ガイドライン策定委員会編集	南江堂	3500円
00000342	腰椎椎間板ヘルニア診療ガイドライン　改訂第2版	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会腰椎椎間板ヘルニアガイドライン策定委員会　編	南江堂	2600円
00000343	変形性股関節症診療ガイドライン　改訂第2版　2016	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会変形性股関節症診療ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	4000円
00000344	橈骨遠位端骨折診療ガイドライン　改訂第2版　2017	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会橈骨遠位端骨折診療ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	3800円
00000345	重症筋無力症診療ガイドライン　2014	「重症筋無力症診療ガイドライン」作成委員会　編集	南江堂	3500円
00000346	日本整形外科学会症候性静脈血栓塞栓症予防ガイドライン　2017	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会	南江堂	2800円
00000347	標準理学療法学　理学療法学概説　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5400円
00000348	標準理学療法学　第3版　理学療法研究法　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000349	標準理学療法学　第2版　理学療法評価学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000350	標準理学療法学　臨床動作分析　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000351	標準理学療法学　病態運動学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000352	標準理学療法学　第4版　運動療法学総論　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000353	標準理学療法学　第4版　運動療法学各論　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000354	標準理学療法学　第4版　物理療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000355	標準理学療法学　第5版　日常生活活動学・生活　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5400円
00000356	標準理学療法学　骨関節理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4800円
00000357	標準理学療法学　神経理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5000円
00000358	標準理学療法学　内部障害理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5000円
00000359	標準理学療法学　第4版　地域理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000360	標準理学療法学　第2版　理学療法臨床実習とケ　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000361	標準作業療法学　第3版　作業療法学概論　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4000円
00000362	標準作業療法学　第3版　基礎作業学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4000円
00000363	標準作業療法学　第2版　作業療法研究法　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000364	標準作業療法学　第3版　作業療法評価学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000365	標準作業療法学　第3版　身体機能作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	5000円
00000366	標準作業療法学　第2版　精神機能作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000367	標準作業療法学　第2版　発達過程作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4200円
00000368	標準作業療法学　第3版　高齢期作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4000円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000369	標準作業療法学　高次脳機能作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000370	標準作業療法学　日常生活活動・社会生　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4200円
00000371	標準作業療法学　第3版　地域作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000372	標準作業療法学　第2版　作業療法臨床実習とケーススタディ　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4200円
00000373	標準理学療法学・作業療法学　第4版　解剖学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	6000円
00000374	標準理学療法学・作業療法学　第4版　生理学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4400円
00000375	標準理学療法学・作業療法学　運動学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	5000円
00000376	標準理学療法学・作業療法学　第2版　人間発達学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	5200円
00000377	標準理学療法学・作業療法学　第4版　病理学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4600円
00000378	標準理学療法学・作業療法学　臨床心理学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	3000円
00000379	標準理学療法学・作業療法学　第3版　内科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	6000円
00000380	標準理学療法学・作業療法学　第4版　精神医学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4400円
00000381	標準理学療法学・作業療法学　第4版　神経内科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	5600円
00000382	標準理学療法学・作業療法学　第5版　小児科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4200円
00000383	標準理学療法学・作業療法学　第4版　老年学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4500円
00000384	糖尿病腎症の食品交換表　第3版	日本糖尿病学会　編・著	文光堂	1500円
00000385	糖尿病食事療法のための食品交換表　第7版	日本糖尿病学会　編・著	文光堂	900円
00000386	糖尿病食事療法のための食品交換表　第2版　活用編　献立例とその実践	日本糖尿病学会　編・著	文光堂	1200円
00000387	基礎知識のエッセンス　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　1	山鳥重	医歯薬出版	2600円
00000388	画像の見かた・使いかた　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　2	三村將	医歯薬出版	2800円
00000389	リハビリテーション評価　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　3	鈴木孝治	医歯薬出版	2600円
00000390	リハビリテーション介入　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　4	鈴木孝治	医歯薬出版	2600円
00000391	すぐできる！リハビリテーション統計 データのみかたから検定・多変量解析まで	勝平純司	南江堂	3200円
00000392	高齢者の栄養スクリーニングツールMNAガイドブック	葛谷雅文	医歯薬出版	3500円
00000393	障害別・ケースで学ぶ理学療法臨床思考　PBLで考え進める	嶋田智明　編	文光堂	6190円
00000394	障害別・ケースで学ぶ理学療法臨床思考　続　CBLで考え，学ぶ	嶋田智明　編	文光堂	5714円
00000395	スリングエクササイズセラピー　レッドコードテクニック	中島雅美　著	南江堂	3500円
00000396	仙腸関節の痛み　診断のつかない腰痛	村上栄一　著	南江堂	6000円
00000397	しこりをみたらどう考える？　日常診療で遭遇するしこりへの対応法	生越章　著	南江堂	4700円
00000398	ステップで判読！心電図	奥村謙　著	南江堂	3800円
00000399	食品学　改訂第3版　1　食品の化学・物性と機能性	中山勉	南江堂	2200円
00000400	食品学　改訂第3版　2　食品の分類と利用法	中山勉	南江堂	2400円
00000401	運動療法ガイド　第5版	野崎大地	日本医事新報社	5700円
00000402	N教授の生理学講義ノート　人体のしくみとしかけをわかりやすく伝授	二宮治明　著	日本医事新報社	3500円
00000403	カラー図解高齢者の栄養管理ガイドブック　高齢者福祉施設・病院・住宅などで役立つ お年寄りの栄養ケアマネジメントを適切に行うために	下田妙子　編	文光堂	2600円
00000404	カラー図解高齢者の栄養管理ガイドブック　高齢者福祉施設・病院・住宅などで役立つ お年寄りの栄養ケアマネジメントを適切に行うために	下田妙子　編	文光堂	2600円
00000405	人体解剖カラーアトラス　1	ヴォルフ=ハイデッガー[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000406	PT・OT・STのための脳画像のみかたと神経所見	森惟明	医学書院	5000円
00000407	整形外科のクリティカルパス	佛淵孝夫	医学書院	3400円
00000408	図解生理学　第2版	中野昭一　編	医学書院	8700円
00000409	アナトミー・トレイン　第3版 徒手運動療法のための筋筋膜経線 Web動画付	トーマス・W.マイヤース著	医学書院	6500円
00000410	カラーアトラス人体　第4版　解剖と機能	横地千仭	医学書院	5000円
00000411	カパンジー機能解剖学　第2版　1　上肢　カラー版	A.I.Kapandji　原著	医歯薬出版	8200円
00000412	カパンジー機能解剖学　第3版　2　下肢　カラー版	A.I.Kapandji　著	医歯薬出版	8200円
00000413	カパンジー機能解剖学　第2版　3　脊椎・体幹・頭部　カラー版	A.I.Kapandji　原著	医歯薬出版	8200円
00000414	触診機能解剖カラーアトラス　上　総論・身体の面と軸・骨/関節・靭帯	竹井仁　著	文光堂	7000円
00000415	触診機能解剖カラーアトラス　下　筋・血管・神経	竹井仁　著	文光堂	7000円
00000416	スポーツ外傷障害からみたテーピングの実技と理論　第5版	山本郁榮	文光堂	4500円
00000417	スポーツ外傷障害からみたテーピングの実技と理論　第5版	山本郁榮	文光堂	4500円
00000418	観察による運動・動作分析演習ノート	藤澤宏幸	医歯薬出版	3400円
00000419	目でみるMMT　新版	佐藤三矢	医歯薬出版	5800円
00000420	リハビリテーション解剖アトラス	佐藤達夫	医歯薬出版	8000円
00000421	アスレティックリハビリテーション　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	小林寛和　編	文光堂	2400円
00000422	運動器の解剖とスポーツ外傷・障害の基礎知識　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	福林徹　編	文光堂	2200円
00000423	運動器の解剖とスポーツ外傷・障害の基礎知識　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	福林徹　編	文光堂	2200円
00000424	救急処置 / 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	山本利春　編	文光堂	1800円
00000425	救急処置 / 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	山本利春　編	文光堂	1800円
00000426	健康管理とスポーツ医学　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	赤間高雄　編	文光堂	2200円
00000427	健康管理とスポーツ医学　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	赤間高雄　編	文光堂	2200円
00000428	検査・測定と評価　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	片寄正樹　編	文光堂	2000円
00000429	スポーツ科学 / 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	山本利春　編	文光堂	2400円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000430	予防とコンディショニング　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	石山修盟　編	文光堂	2000円
00000431	女性アスリートのための傷害予防トレーニング	小林直行	医歯薬出版	4200円
00000432	カラー写真で学ぶ四肢関節の触診法	竹内義享	医歯薬出版	3800円
00000433	カラー写真で学ぶ機能解剖学に基づく手技療法	竹内義享　著	医歯薬出版	4800円
00000434	高口光子の介護保険施設における看護介護のリーダー論	高口光子	医歯薬出版	2400円
00000435	高口光子のはじめてのケアリーダー編 介護保険施設における看護介護のリーダー論 その2	高口光子	医歯薬出版	3000円
00000436	高口光子の上級ケアリーダー編　やりたいケアをやりぬくリーダーになるために 介護保険施設における看護介護のリーダー論 その3	高口光子	医歯薬出版	2800円
00000437	カラー写真で学ぶ骨・関節の機能解剖	竹内義享	医歯薬出版	4000円
00000438	カラー写真で学ぶ運動器疾患のみかたと保存的治療	竹内義享	医歯薬出版	3800円
00000439	カラー写真で学ぶ実践スポーツ障害のみかた 上肢・体幹編　触診からのアプローチ	武田康志	医歯薬出版	4200円
00000440	カラー写真で学ぶ実践スポーツ障害のみかた 下肢編　触診からのアプローチ	武田康志	医歯薬出版	4400円
00000441	基礎バイオメカニクス　第2版　理解が深まるパワーポイント	山本澄子	医歯薬出版	3900円
00000442	新イラストによる安全な動作介助のてびき　第3版	飛松好子　編著	医歯薬出版	3800円
00000443	生理学実習NAVI　第2版	大橋敦子　監修	医歯薬出版	2500円
00000444	高齢者の食介護ハンドブック　おいしく食べてQOLを高める	手嶋登志子	医歯薬出版	3000円
00000445	ビジュアル治療食300　第2版 カラー版 栄養成分別・病態別栄養食事療法	宗像伸子	医歯薬出版	6000円
00000446	糖尿病フットケアガイド　診断・治療・ケアの指針	新城孝道　著	医歯薬出版	4000円
00000447	写真でみる基本スプリントの作りかた	田中一成　編	医歯薬出版	2200円
00000448	整形外科領域の超音波検査 / 月刊Medical technology別冊. 超音波エキスパート　7	扇谷浩文	医歯薬出版	3300円
00000449	介護・看護職のための言葉づかいチェックリスト	有馬良建　著	医歯薬出版	1500円
00000450	介護・看護職のための虐待防止チェックリスト　ケースアドボケイト実践	有馬良建　著	医歯薬出版	1800円
00000451	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 ［1］　作業療法学概論	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4200円
00000452	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版　［2］　作業学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4700円
00000453	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 ［3］　作業療法評価学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	5600円
00000454	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 ［4］　身体障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	5400円
00000455	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 ［5］　高次脳機能障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4200円
00000456	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 ［6］　精神障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4200円
00000457	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版[7]　発達障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4600円
00000458	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　［8］　老年期作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000459	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　［9］　地域作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000460	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　［10］　日常生活活動学(ADL)	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000461	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　［11］　福祉用具学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000462	リハビリテーションテキスト リハビリテーション統計学 / 15レクチャーシリーズ	対馬栄輝	中山書店	2400円
00000463	理学療法・作業療法テキスト 運動学実習　/ 15レクチャーシリーズ	小島悟	中山書店	2400円
00000464	理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学　/ 15レクチャーシリーズ	小林麻衣	中山書店	2400円
00000465	理学療法テキスト 運動療法学　/ 15レクチャーシリーズ	解良武士	中山書店	2400円
00000466	理学療法テキスト 内部障害理学療法学呼吸　第2版/ 15レクチャーシリーズ	玉木彰　責任編集	中山書店	2600円
00000467	理学療法テキスト 理学療法評価学　1　/ 15レクチャーシリーズ	森山英樹　責任編集	中山書店	2400円
00000468	理学療法テキスト 理学療法評価学　2　/ 15レクチャーシリーズ	森山英樹　責任編集	中山書店	2400円
00000469	理学療法テキスト 運動器障害理学療法学　1　/ 15レクチャーシリーズ	河村廣幸　責任編集	中山書店	2400円
00000470	理学療法テキスト 運動器障害理学療法学　2　/ 15レクチャーシリーズ	河村廣幸　責任編集	中山書店	2400円
00000471	理学療法テキスト 義肢学　/ 15レクチャーシリーズ	永冨史子　責任編集	中山書店	2400円
00000472	理学療法テキスト 装具学　/ 15レクチャーシリーズ	佐竹將宏　責任編集	中山書店	2400円
00000473	Ross組織学	Michael H.Ross	南江堂	9000円
00000474	Di Fiore人体組織図譜	Victor P.Eroschenko　著	南江堂	7500円
00000475	Essential解剖学　テキスト&アトラス	Anne M.Gilroy　著	南江堂	6600円
00000476	Janeway's免疫生物学	Kenneth Murphy	南江堂	8300円
00000477	関節内運動学　4D-CTで解き明かす	片岡寿雄　著	南江堂	7000円
00000478	小児運動器疾患のプライマリケア　愁訴・症状からのアプローチ	藤井敏男	南江堂	6000円
00000479	人体解剖学実習　要点と指針	大谷修　編	南江堂	7800円
00000480	みえる人体　構造・機能・病態	Steve Parker　著	南江堂	4500円
00000481	腰痛　第2版	菊地臣一　編著	医学書院	8600円
00000482	標準組織学総論　第5版 岩永敏彦改訂	藤田尚男	医学書院	8200円
00000483	Disease　人類を襲った30の病魔	Mary Dobson　著	医学書院	3800円
00000484	病理形態学で疾病を読む	井上泰　著	医学書院	8400円
00000485	臨床が変わる！PT・OTのための認知行動療法入門	マリー・ダナヒー	医学書院	4200円
00000486	摂食嚥下障害学　/ 標準言語聴覚障害学	熊倉勇美	医学書院	5000円
00000487	高次脳機能障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	藤田郁代	医学書院	4800円
00000488	耳鼻咽喉科学　第2版　/ 言語聴覚士のための基礎知識	鳥山稔	医学書院	3800円
00000489	臨床神経学・高次脳機能障害学　/ 言語聴覚士のための基礎知識	岩田誠	医学書院	5200円
00000490	臨床歯科医学・口腔外科学　第2版　/ 言語聴覚士のための基礎知識	夏目長門　編集	医学書院	4200円
00000491	認知リハビリテーション実践ガイド	Mckay Moore Sohlberg	医学書院	4800円
00000492	腰痛に対するモーターコントロールアプローチ腰椎骨盤の安定性のための運動療法	Carolyn Richardson	医学書院	5600円
00000493	「病院」の教科書　知っておきたい組織と機能	今中雄一　編	医学書院	3800円
00000494	口蓋裂の言語臨床　第3版	岡崎恵子	医学書院	5000円
00000495	みるトレ感染症	笠原敬	医学書院	3800円
00000496	みるトレ神経疾患	岩崎靖　著	医学書院	3800円
00000497	病態のしくみがわかる免疫学	関修司	医学書院	4000円
00000498	標準血液病学　/ Standard textbook	池田康夫	医学書院	4500円
00000499	標準腎臓病学　/ Standard textbook	菱田明	医学書院	5500円
00000500	標準医動物学　第2版　/ Standard textbook	石井明	医学書院	7000円
00000501	標準呼吸器病学　/ Standard textbook	泉孝英　編	医学書院	6200円
00000502	変形性関節症の診かたと治療　第2版	尾崎敏文	医学書院	8000円
00000503	基礎からわかる軽度認知障害〈MCI〉　効果的な認知症予防を目指して	島田裕之　編集	医学書院	5800円
00000504	運動器マネジメントが患者の生活を変える！がんの骨転移ナビ	岩瀬哲	医学書院	3800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000505	パニック障害ハンドブック　治療ガイドラインと診療の実際	熊野宏昭	医学書院	3800円
00000506	みるよむわかる精神医学入門	ニール・バートン　著	医学書院	4200円
00000507	モリソン先生の精神科診断講座	James Morrison　著	医学書院	4500円
00000508	図解自立支援のための患者ケア技術	潮見泰藏	医学書院	3800円
00000509	拘縮の予防と治療　第2版	奈良勲	医学書院	3500円
00000510	ニューロリハビリテーション	道免和久　編集	医学書院	4200円
00000511	細菌学の歴史	William Bulloch　著	天児和暢	3700円
00000512	動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション	田中宏太佳	医学書院	5700円
00000513	片麻痺回復のための運動療法　第3版促通反復療法「川平法」の理論と実際	川平和美	医学書院	6200円
00000514	異常値の出るメカニズム　第7版　KAWAI's LABORATORY MEDICINE	山田俊幸	医学書院	6000円
00000515	生理学ワークブック	西川彰	医歯薬出版	3800円
00000516	MNA在宅栄養ケア　在宅高齢者の低栄養予防と早期発見	葛谷雅文	医歯薬出版	2100円
00000517	図説運動器の機能解剖	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	6000円
00000518	新編内部障害のリハビリテーション　第2版	上月正博　編著	医歯薬出版	9200円
00000519	スポーツ理学療法　/ PTマニュアル	浦辺幸夫　著	医歯薬出版	4400円
00000520	ベーシック言語聴覚療法　目指せ！プロフェッショナル	山田弘幸　編	医歯薬出版	2400円
00000521	ディサースリア臨床標準テキスト	西尾正輝　著	医歯薬出版	4200円
00000522	失語症のリハビリテーション　新版　基本編　全体構造法	道関京子　編著	医歯薬出版	3800円
00000523	失語症のリハビリテーション　新版　応用編　全体構造法	道関京子　編著	医歯薬出版	4000円
00000524	精神障害作業療法　第2版　生活を支援する 急性期から地域実践まで	香山明美	医歯薬出版	3900円
00000525	運動器疾患の病態と理学療法	森山英樹	医歯薬出版	6400円
00000526	変形性股関節症のリハビリテーション　第2版患者とセラピストのためのガイドブック	勝又壮一　[ほか]著	医歯薬出版	3200円
00000527	歩行障害の診断・評価入門	臨床歩行分析研究会　編	医歯薬出版	7400円
00000528	エビデンスに基づく高齢者の理想的な運動プログラム	Meg Morris	医歯薬出版	5000円
00000529	脳卒中リハビリテーション　第3版　早期リハからケアマネジメントまで	水尻強志	医歯薬出版	5600円
00000530	骨関節X線像のみかた　リハビリテーションに役立つ	白倉賢二　編	医歯薬出版	3200円
00000531	メディカルスタッフのための神経内科学	河村満　編著	医歯薬出版	6400円
00000532	新編言語治療マニュアル	伊藤元信	医歯薬出版	6400円
00000533	図解四肢と脊椎の診かた	Stanley Hoppenfeld　[著]	医歯薬出版	5200円
00000534	言語治療ハンドブック	伊藤元信	医歯薬出版	6400円
00000535	臨床につながる整形外科学　理学療法・作業療法専門基礎分野	芳賀信彦　編	医歯薬出版	3000円
00000536	臨床につながる精神医学　理学療法・作業療法専門基礎分野	渡辺雅幸　著	医歯薬出版	2800円
00000537	リハビリテーションのための行動分析学入門	辻下守弘	医歯薬出版	2800円
00000538	小児の理学療法　/ PTマニュアル	河村光俊　著	医歯薬出版	3800円
00000539	生活環境論　第6版　生活支援の視点と方法	安梅勅江　[ほか]執筆	医歯薬出版	6800円
00000540	Newエッセンシャル産科学・婦人科学　第3版	池ノ上克　[ほか]編	医歯薬出版	9200円
00000541	摂食・嚥下障害への作業療法アプローチ　基礎理解から疾患別対応まで	東嶋美佐子　編	医歯薬出版	5400円
00000542	認知症の作業療法　第2版　ソーシャルインクルージョンをめざして	小川敬之	医歯薬出版	4700円
00000543	実践！理学療法スキル　新人3年目までに身につけたい	小林賢　編	医歯薬出版	4900円
00000544	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学　第2版　器質性構音障害	道健一	医歯薬出版	4200円
00000545	姿勢アセスメント　セラピストのためのハンズ・オンガイド	Jane Johnson　著	医歯薬出版	4000円
00000546	早産児と満期産児のためのデュボヴィッツ新生児神経学的評価法	Lilly MS Dubowitz	医歯薬出版	4400円
00000547	テキスト物理療法学　基礎と臨床	濱出茂治	医歯薬出版	5600円
00000548	日常生活活動の分析　身体運動学的アプローチ	藤澤宏幸　編	医歯薬出版	5600円
00000549	動作のメカニズムがよくわかる実践！動作分析	西守隆　編著	医歯薬出版	4200円
00000550	姿勢調節障害の理学療法　第2版	奈良勲	医歯薬出版	8600円
00000551	種目別にみるスポーツ外傷・障害とリハビリテーション	渡會公治	医歯薬出版	3600円
00000552	患者さんとスタッフのための糖尿病食事のすべて	増子マキ子　著	医歯薬出版	3000円
00000553	糖尿病運動療法のてびき　新版	糖尿病治療研究会　編	医歯薬出版	3200円
00000554	基礎理学療法学　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	大橋ゆかり　編	医歯薬出版	2800円
00000555	理学療法基礎評価学　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	臼田滋　編	医歯薬出版	4500円
00000556	地域理学療法学　第2版　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	浅川育世　編	医歯薬出版	2500円
00000557	内部障害理学療法学　第2版　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	高橋哲也　編	医歯薬出版	4800円
00000558	神経理学療法学　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	潮見泰藏　編著	医歯薬出版	4800円
00000559	理学療法基礎治療学　1　運動療法　コアカリ準拠 / ビジュアルレクチャー	中山孝　編著	医歯薬出版	2800円
00000560	理学療法基礎治療学　2　物理療法　コアカリ準拠 / ビジュアルレクチャー	中山孝	医歯薬出版	2000円
00000561	理学療法基礎治療学　3　補装具療法　コアカリ準拠 / ビジュアルレクチャー	中山孝	医歯薬出版	2400円
00000562	脳損傷のリハビリテーション高次脳機能障害支援病院から在宅へ，そしてその先へ	土屋辰夫　編	医歯薬出版	4000円
00000563	専門医に聞きたいコメディカルのための糖尿病・糖尿病性腎症Q&A 101　経験とエビデンスで答える	西沢良記	医歯薬出版	3400円
00000564	脳卒中最前線　第4版　急性期の診断からリハビリテーションまで	福井圀彦	医歯薬出版	8800円
00000565	食事指導のための生活習慣病ケーススタディ	富野康日己　著	医歯薬出版	2600円
00000566	地域理学療法　第2版　/ PTマニュアル	伊藤日出男	医歯薬出版	3600円
00000567	介護老人保健施設の作業療法	新井健五　総編集	医歯薬出版	5600円
00000568	神経障害系理学療法学　系統理学療法学	丸山仁司　編	医歯薬出版	6000円
00000569	PT・OT・STのための訪問・通所リハビリテーション　はじめの一歩	高橋仁美	医歯薬出版	3800円
00000570	そこが知りたい尿沈渣検査	横山貴	医歯薬出版	6000円
00000571	高齢者援助における相談面接の理論と実際　第2版	渡部律子　著	医歯薬出版	2800円
00000572	うつ病の作業療法	早坂友成	医歯薬出版	3600円
00000573	PT・OT基礎から学ぶ精神医学ノート	中島雅美	医歯薬出版	3200円
00000574	PT・OT基礎から学ぶ内科学ノート	中島雅美	医歯薬出版	3800円
00000575	石井均糖尿病ビジュアルガイド　第2版 患者さんの疑問にどう答えますか？	石井均　著	医歯薬出版	3200円
00000576	高次脳機能障害CD-ROMで情報提供	渡邉修　編著	医歯薬出版	4400円
00000577	CD-ROMでレッスン脳画像の読み方　第2版	石原健司　著	医歯薬出版	4600円
00000578	自信がもてる！リハビリテーション臨床実習脳卒中ケースで臨場感を体験	川上途行　[ほか]編集	医歯薬出版	4600円
00000579	神経原性発声発語障害dysarthria	苅安誠　著	医歯薬出版	7200円
00000580	目でみる神経内科学　第2版	平井俊策　[ほか]著	医歯薬出版	8500円
00000581	エビデンスに基づく理学療法　第2版 実践的なQ&Aによる 評価と治療指標を総まとめ	内山靖　編	医歯薬出版	7500円
00000582	脳血管障害の理学療法　片麻痺患者の運動療法を中心に/ PTマニュアル	奈良勲　著	医歯薬出版	3400円
00000583	関節リウマチの運動療法　/ PTマニュアル	椎野泰明　著	医歯薬出版	4000円
00000584	肥満症の生活指導　行動変容のための実践ガイド	大野誠　ほか著	医歯薬出版	3800円
00000585	知りたいことがよくわかる腎臓病教室　第4版	中尾俊之　編著	医歯薬出版	3100円
00000586	気になるコミュニケーション障害の診かた	廣實真弓　編著	医歯薬出版	3800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000587	ここまでわかった言語発達障害　理論から実践まで	Courtenay Frazier Norbury	医歯薬出版	2600円
00000588	イラストによる中枢神経系の理解　第3版	杉浦和朗　著	医歯薬出版	6600円
00000589	予防理学療法学要論	吉田剛	医歯薬出版	4600円
00000590	脊髄損傷の理学療法　第3版　/ PTマニュアル	武田功　編著	医歯薬出版	4500円
00000591	小児リハビリテーション医学　第2版	栗原まな　著	医歯薬出版	5800円
00000592	事例で学ぶ生活行為向上マネジメント	日本作業療法士協会　編著	医歯薬出版	4000円
00000593	神経科学の最前線とリハビリテーション　脳の可塑性と運動	岡野ジェイムス洋尚 [ほか]編	医歯薬出版	5000円
00000594	活動と転倒　リハ効果を最大に，リスクを最小に 回復期リハビリテーションの実践戦略	大高洋平　編著	医歯薬出版	3400円
00000595	小児の摂食嚥下リハビリテーション　第2版	田角勝	医歯薬出版	5000円
00000596	運動学習理論に基づくリハビリテーションの実践　第2版	長谷公隆　編著	医歯薬出版	5000円
00000597	遺伝医学やさしい系統講義18講	日本人類遺伝学会 第55回大会事務局　編集	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4500円
00000598	ムーア臨床解剖学　第3版	キース L.ムーア	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000599	介護覚え書　老人の食事・排泄・入浴ケア	三好春樹　著	医学書院	2000円
00000600	診療情報学　第2版	日本診療情報管理学会 編集	医学書院	8000円
00000601	図説筋の機能解剖　第4版	ジョン・H.ウォーフィル ／著	医学書院	3900円
00000602	下肢運動器疾患の診かた・考えかた　関節機能解剖学的リハビリテーション・アプローチ	中図健　編集	医学書院	4600円
00000603	神経解剖集中講義　第2版	ジェームス D.フィックス 原著	医学書院	3600円
00000604	図解腰痛学級　第5版	川上俊文　著	医学書院	3800円
00000605	こどもの神経疾患の診かた	新島新一	医学書院	6500円
00000606	現場から学ぶ自立支援のための住宅改修　みてわかる工夫事例・不適事例	鶴見隆正	医学書院	2400円
00000607	観察による歩行分析	Kirsten Gotz-Neumann 原著	医学書院	5000円
00000608	装具　第3版	武智秀夫	医学書院	5000円
00000609	脳卒中の運動訓練プログラム	Janet H.Carr	医学書院	5800円
00000610	解いてなっとく使えるバイオメカニクス	前田哲男	医学書院	3500円
00000611	小児から高齢者までの姿勢保持　第2版　工学的視点を臨床に活かす	日本リハビリテーション工学協会SIG姿勢保持　編集	医学書院	4700円
00000612	運動療法の「なぜ？」がわかる超音波解剖　Web動画付	工藤慎太郎　編著	医学書院	4800円
00000613	レベルアップ心電図　波形パターンから学ぶ	山科章	医学書院	3800円
00000614	上肢運動器疾患の診かた・考えかた 関節機能解剖学的リハビリテーション・アプローチ	中図健　編	医学書院	4600円
00000615	見逃してはいけない耳・鼻・のどの危険なサイン	堀井新	中山書店	6800円
00000616	働く人のうつ病	上島国利　編	中山書店	4500円
00000617	驚くほど相手に伝わる学会発表の技術　わかるデザイン60のテクニック	飯田英明　著	中山書店	3000円
00000618	呼吸からみた摂食機能障害	太田清人　編集	中山書店	2800円
00000619	心臓リハビリテーション　知っておくべきtips	ジャパンハートクラブ　編	中山書店	4800円
00000620	心電図パーフェクトマスター　簡単に楽しく読める！	Malcolm S.Thaler　著	中山書店	4800円
00000621	これが知りたかった！糖尿病診療・療養指導Q&A	吉田洋子　編集	中山書店	4000円
00000622	即解こんなときどうする！ リハビリテーションスタッフのためのトラブルシューティング	高橋仁美	中山書店	3500円
00000623	リハビリテーションのためのパッとみてわかる心電図	丸岡弘　著	中山書店	2800円
00000624	統合失調症の作業療法の進め方	堀田英樹　著	中山書店	3200円
00000625	言語聴覚士のための呼吸ケアとリハビリテーション ／呼吸ケア&リハビリテーションシリーズ	石川朗　編	中山書店	2800円
00000626	医歯薬系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学　改訂第3版	大塚吉兵衛	日本医事新報社	5600円
00000627	健診・健康管理専門職のための新セミナー生活習慣病　第2版	田中逸　著	日本医事新報社	3200円
00000628	産業医ガイド　第2版　基本管理業務からメンタルヘルスまで	日本産業衛生学会関東産業医部会　編	日本医事新報社	6800円
00000629	変形性膝関節症の運動療法ガイド　保存的治療から術後リハまで	千田益生　編	日本医事新報社	4500円
00000630	コウノメソッドでみる認知症診療　第2版	河野和彦　著	日本医事新報社	4700円
00000631	コウノメソッドでみる認知症処方セレクション　第2版	河野和彦　著	日本医事新報社	4400円
00000632	コウノメソッドでみる認知症Q&A	河野和彦　著	日本医事新報社	4400円
00000633	コウノメソッド流臨床認知症学	河野和彦　著	日本医事新報社	8000円
00000634	コウノメソッドでみる認知症の歩行障害・パーキンソニズム	河野和彦　著	日本医事新報社	5700円
00000635	臨床医のための免疫キーワード110　4版	矢田純一　著	日本医事新報社	4500円
00000636	上級医がやっている危ない心電図の見分け方	築島直紀　著	日本医事新報社	5200円
00000637	もつれない患者との会話術　第2版 させない！つくらない！モンスターペイシェント	大江和郎　編著	日本医事新報社	3200円
00000638	新病理学　第5版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	山本雅博	日本医事新報社	3500円
00000639	新薬理学　第6版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	安原一　監修	日本医事新報社	3200円
00000640	新生理学　第6版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	竹内昭博　著	日本医事新報社	3200円
00000641	新発生学　第4版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	白澤信行　編著	日本医事新報社	3300円
00000642	新組織学　第6版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	野上晴雄　編著	日本医事新報社	3300円
00000643	新微生物学　/ Qシリーズ	笹田一博　[ほか]編著	日本医事新報社	3200円
00000644	新腎不全・透析患者指導ガイド	湯村和子	日本医事新報社	3200円
00000645	膠原病診療ノート　第3版　症例の分析 文献の考察 実践への手引き	三森明夫　著	日本医事新報社	5800円
00000646	ペインクリニック診断・治療ガイド　第5版　痛みからの解放とその応用	飯田宏樹　[ほか]編集	日本医事新報社	8000円
00000647	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　1　理学療法評価学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4900円
00000648	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　2　運動療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4900円
00000649	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　3　物理療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	3600円
00000650	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　4　整形外科系理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4800円
00000651	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　5　中枢神経系理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4200円
00000652	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　6　内部障害系理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4500円
00000653	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　7　地域理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	3800円
00000654	関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション　改訂第2版　上肢・体幹	整形外科リハビリテーション学会　編集	メジカルビュー社	6800円
00000655	関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション　改訂第2版　下肢	整形外科リハビリテーション学会　編集	メジカルビュー社	6800円
00000656	運動療法のための機能解剖学的触診技術　改訂第2版　上肢	林典雄　執筆	メジカルビュー社	5700円
00000657	運動療法のための機能解剖学的触診技術　改訂第2版　下肢・体幹	林典雄　執筆	メジカルビュー社	5700円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000658	解剖からアプローチするからだの機能と運動療法　上肢・体幹	青木光広　編著	メジカルビュー社	6500円
00000659	解剖からアプローチするからだの機能と運動療法　下肢・骨盤	内山英一	メジカルビュー社	6500円
00000660	動作分析臨床活用講座　バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践	石井慎一郎　編著	メジカルビュー社	5600円
00000661	心不全治療に心エコーを生かすQ&A115	瀬尾由広	メジカルビュー社	5800円
00000662	糖尿病の理学療法	大平雅美	メジカルビュー社	5200円
00000663	発達OTが考える子どもセラピィの思考プロセス　あなたのセラピィを構築するためのいくつかのヒント	小松則登　編集	メジカルビュー社	4000円
00000664	作業処方　症例の分析と思考プロセス	浅沼辰志　編集	メジカルビュー社	3800円
00000665	Visual NAVI！整形外科学	岡田恭司　著	メジカルビュー社	4800円
00000666	脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション	阿部浩明	メジカルビュー社	5500円
00000667	高齢者の転倒予防ガイドライン	運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究班　執筆	メジカルビュー社	3500円
00000668	骨腫瘍の画像診断　そのX線正常ですか？ 疑う目を養う・鍛える	尾崎敏文	メジカルビュー社	5000円
00000669	運動療法に役立つ単純X線像の読み方	浅野昭裕　著	メジカルビュー社	5400円
00000670	投球障害肩こう診てこう治せ　改訂第2版　ここが我々の切り口！	筒井廣明	メジカルビュー社	7800円
00000671	リハビリテーションリスク管理ケーススタディ	宮越浩一　著	メジカルビュー社	4000円
00000672	患者さんとご家族から学ぶ認知症なんでも相談室	国立長寿医療研究センター編	メジカルビュー社	2800円
00000673	スポーツ理学療法学競技動作と治療アプローチ	赤坂清和	メジカルビュー社	5800円
00000674	体操療法オールブック　主要疾患・全身網羅！ ひとめでわかる効果的な筋の使い方	高平尚伸　編集	メジカルビュー社	5500円
00000675	睡眠障害知る診る治す	高橋昌克　編集	メジカルビュー社	4500円
00000676	実例による英文診断書・医療書類の書き方　改訂第2版	篠塚規　著	メジカルビュー社	2800円
00000677	運動器の痛みをとる・やわらげる　現場で使えるペインコントロール	宗圓聰	メジカルビュー社	7000円
00000678	医療現場ですぐに役立つ外国人患者対応マニュアル	高山赤十字病院　編	メジカルビュー社	3500円
00000679	足の運動療法　術前・術後にも効果的な外来テクニック	高倉義典　編著	メジカルビュー社	8500円
00000680	ROM測定法　臨床での測定精度を高める！ 代償運動のとらえ方と制動法の理解と実践	齋藤慶一郎　著	メジカルビュー社	4200円
00000681	リハに役立つ脳画像　コツさえわかればあなたも読める	大村優慈　著	メジカルビュー社	3500円
00000682	精神科作業療法運動プログラム実践ガイドブック	高橋章郎	メジカルビュー社	4200円
00000683	がん患者のリハビリテーション　リスク管理とゴール設定	宮越浩一　編集	メジカルビュー社	4200円
00000684	整形外科術後理学療法プログラム　改訂第2版	島田洋一	メジカルビュー社	5500円
00000685	脳機能の基礎知識と神経症候ケーススタディ　脳血管障害を中心に	沼田憲治　編集	メジカルビュー社	5600円
00000686	リハビリテーションのためのニューロサイエンス 脳科学からみる機能回復	浦川将　編集	メジカルビュー社	4800円
00000687	医学英語読解15のポイント	名木田恵理子	メジカルビュー社	2500円
00000688	ウィメンズヘルスリハビリテーション	ウィメンズヘルス理学療法研究会　編集	メジカルビュー社	4800円
00000689	保育・学校生活の作業療法サポートガイド 発達が気になる子どもを地域で支援！	酒井康年　編集	メジカルビュー社	3800円
00000690	終末期リハビリテーションの臨床アプローチ	安部能成　編集	メジカルビュー社	4600円
00000691	認知症をもつ人への作業療法アプローチ　視点・プロセス・理論	小川真寛	メジカルビュー社	4300円
00000692	地域包括ケア時代の脳卒中慢性期の地域リハビリテーション エビデンスを実践につなげる	吉本好延　編集	メジカルビュー社	4800円
00000693	運動器疾患の治療とリハビリテーション 手術・保存療法とリハプログラム	島田洋一	メジカルビュー社	6000円
00000694	骨軟部画像解剖徹頭徹尾　画像解剖を極め的確に診断する	江原茂　編集	メジカルビュー社	8000円
00000695	糖尿病こころのよろづ相談　石井先生にもっと聞いてみよう患者の気持ち	石井均　著	メジカルビュー社	4500円
00000696	糖尿病診療よろづ相談　石井先生に聞いてみよう患者の気持ち	石井均　著	メジカルビュー社	4800円
00000697	目で見る臨床検査	芝紀代子	メジカルビュー社	5200円
00000698	神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ	田中勇次郎	メジカルビュー社	5600円
00000699	リハビリテーションのための画像の読み方	本間光信	メジカルビュー社	3000円
00000700	結果の出せる整形外科理学療法　運動連鎖から全身をみる	山口光國	メジカルビュー社	7500円
00000701	肩の診かた治しかた　これだけは知っておこう	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院　編	メジカルビュー社	8000円
00000702	膝痛知る診る治す	宗田大　著	メジカルビュー社	8500円
00000703	呼吸ケア　第3版　/ リハ実践テクニック	塩谷隆信	メジカルビュー社	4000円
00000704	骨・関節疾患の理学療法　改訂第2版　/ リハ実践テクニック	島田洋一	メジカルビュー社	5200円
00000705	脳卒中　第3版　/ リハ実践テクニック	千田富義	メジカルビュー社	5600円
00000706	ハンドセラピィ　/ リハ実践テクニック	齋藤慶一郎　編集	メジカルビュー社	5500円
00000707	関節リウマチ　改訂第2版　/ リハ実践テクニック	佐浦隆一	メジカルビュー社	4800円
00000708	集中講義医事法学・法医学　カラーイラストで学ぶ	寺野彰	メジカルビュー社	3800円
00000709	集中講義病理学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	清水道生	メジカルビュー社	5800円
00000710	集中講義生理学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	岡田隆夫　編集	メジカルビュー社	5500円
00000711	集中講義薬理学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	渡邊康裕　編集	メジカルビュー社	4200円
00000712	集中講義生化学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	鈴木敬一郎	メジカルビュー社	5800円
00000713	頭痛外来　/ 神経内科外来シリーズ　1	荒木信夫　担当編集	メジカルビュー社	7000円
00000714	パーキンソン病外来　/ 神経内科外来シリーズ　2	山元敏正	メジカルビュー社	7000円
00000715	もの忘れ外来　/ 神経内科外来シリーズ　3	丸木雄一　担当編集	メジカルビュー社	7000円
00000716	てんかん外来　/ 神経内科外来シリーズ　4	辻貞俊　担当編集	メジカルビュー社	7000円
00000717	脳卒中外来　/ 神経内科外来シリーズ　5	棚橋紀夫　担当編集	メジカルビュー社	8000円
00000718	急性期呼吸理学療法　臨床アプローチ	高橋仁美	メジカルビュー社	4000円
00000719	脳卒中理学療法の理論と技術　改訂第2版	原寛美	メジカルビュー社	6500円
00000720	循環器理学療法の理論と技術	増田卓	メジカルビュー社	5700円
00000721	理学療法士のためのコンディショニング入門 運動療法の効果を引き出すためのアプローチ	高橋仁美	中山書店	3800円
00000722	チームのための実践呼吸リハビリテーション	植木純	中山書店	3200円
00000723	声に出して覚える心電図　改訂第2版 7つのスーパーフレーズにアンサーフレーズもついた！！ 最強版	高沢謙二　著	南江堂	2500円
00000724	理学療法士・作業療法士のためのできる！ADL練習	山崎裕司　編集	南江堂	3800円
00000725	学生と健康　新版　若者のためのヘルスリテラシー	国立大学法人保健管理施設協議会　監修	南江堂	2000円
00000726	ストレッチングと筋の解剖　原書第2版	ブラッド・ウォーカー［著］	南江堂	3700円
00000727	骨格筋ハンドブック　機能解剖からエクササイズまで一目でわかる	Chris Jarmey	南江堂	3800円
00000728	生化学実践問題　基礎と臨床をつなぐ420題	Michael A.Lieberman	南江堂	3200円
00000729	ネッター解剖生理学アトラス	ネッター　［画］	南江堂	3800円
00000730	障害と活動の測定・評価ハンドブック　改訂第2版　機能からQOLまで	岩谷力	南江堂	5600円
00000731	摂食嚥下リハビリテーション　第3版	出江紳一	医歯薬出版	7600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000732	エッセンシャル・キネシオロジー　機能的運動学の基礎と臨床	Paul Jackson Mansfield	エルゼビア・ジャパン	5200円
00000733	Essentialタンパク質科学	Mike Williamson　著	南江堂	6800円
00000734	生命科学のためのウイルス学　感染と宿主応答のしくみ，医療への応用	David R.Harper　著	南江堂	4800円
00000735	組織細胞生物学	Abraham L.Kierszenbaum	エルゼビア・ジャパン	8500円
00000736	上手に食べるために　発達を理解した支援	田村文誉	医歯薬出版	3000円
00000737	小児の肥満症マニュアル	日本肥満学会　編	医歯薬出版	2600円
00000738	新しい食物学　改訂第3版　食生活と健康を考える	加藤陽治	南江堂	1800円
00000739	食生活論　改訂第2版　「人と食」のかかわりから	遠藤金次	南江堂	1800円
00000740	コメディカルのための生理学実習ノート　改訂第2版	杉晴夫　著	南江堂	1800円
00000741	整形徒手理学療法　Kaltenborn-Evjenth Concept	林寛	医歯薬出版	7600円
00000742	理学療法テクニック　発達的アプローチ	對馬均	医歯薬出版	4700円
00000743	親と専門家のための脳性まひ児の運動スキルガイドブック	Sieglinde Martin　原著	医歯薬出版	5400円
00000744	臨床足装具学　生体工学的アプローチ	Thomas C.Michaud　著	医歯薬出版	7000円
00000745	Dr.マスコリーノKnow the Body　筋・骨格の理解と触診のすべて	Joseph E.Muscolino／原著	エルゼビア・ジャパン	8000円
00000746	ペリー歩行分析　正常歩行と異常歩行	Jacquelin Perry	医歯薬出版	9000円
00000747	運動学実習　第3版	中村隆一	医歯薬出版	3400円
00000748	イラストでわかるスペシャルシーティング　姿勢評価アプローチ	Jean Anne Zollars　原著	医歯薬出版	6600円
00000749	言語聴覚士のための事例で学ぶことばの発達障害	大石敬子	医歯薬出版	4500円
00000750	運動機能障害症候群のマネジメント 理学療法評価・MBSアプローチ・ADL指導	Shirley A.Sahrmann　著	医歯薬出版	7800円
00000751	体表解剖と代償運動	竹内孝仁	医歯薬出版	4800円
00000752	作業療法士が行うIT活用支援	宮永敬市	医歯薬出版	5400円
00000753	日常生活活動(ADL)　新版　評価と支援の実際	伊藤利之	医歯薬出版	6800円
00000754	日常生活活動のキネシオロジー	David Paul Greene	医歯薬出版	6800円
00000755	腎臓病食品交換表　第9版　治療食の基準	中尾俊之　編者代表	医歯薬出版	1500円
00000756	生化学　/ インテグレーテッドシリーズ　1	John W.Pelley　著	東京化学同人	3800円
00000757	免疫学・微生物学　/ インテグレーテッドシリーズ　2	Jeffrey K.Actor　著	東京化学同人	3400円
00000758	解剖学・発生学　/ インテグレーテッドシリーズ　3	Bruce Ian Bogart	東京化学同人	6200円
00000759	薬理学　/ インテグレーテッドシリーズ　4	Mark Kester	東京化学同人	4200円
00000760	生理学　/ インテグレーテッドシリーズ　5	Robert G.Carroll　著	東京化学同人	4200円
00000761	医者がすすめる！薬いらずの食べ方 / 日経ホームマガジン，日経おとなのOFF		日経BP社	639円
00000762	胸部X線　画像診断の基本/ 日経メディクイズ	日経メディカル　編	日経BP社	5800円
00000763	呼吸機能検査症例集　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会　監修	じほう	2800円
00000764	実践！脳リハビリ　早期認知症の診断と介入	川瀬康裕	真興交易医書出版部	3000円
00000765	脳のはたらきからみた認知症　予防と介護の新しい視点	渕上哲　著	真興交易医書出版部	3700円
00000766	まるわかり！人工知能最前線　2018 AIセカンドステージ始動/ 日経BPムック		日経BP社	2400円
00000767	プロジェクトマネジャー最強の指南書　日経ITエンジニアスクール/ 日経BPムック		日経BP社	2400円
00000768	プロジェクトマネジャーのバイブル　システム構築を成功させる/ 日経BPムック	日経SYSTEMS　編	日経BP社	2400円
00000769	サービス付き高齢者向け住宅完全ガイド　改訂版 / NHCスタートアップシリーズ	日経ヘルスケア編集部企画・編集	日経BP社	6800円
00000770	筋：機能とテスト　姿勢と痛み	ケンダル	西村書店	7500円
00000771	カラーリングで覚える生物学　英語－日本語	R.D.グリフィン　著	西村書店	2800円
00000772	カラーアトラス基礎組織病理学　第4版	A.スティーヴンス	西村書店	6800円
00000773	線描人体解剖学　増補第3版	千葉正司　著	考古堂書店	6000円
00000774	線描体表解剖学　デルマトームへの挑戦	千葉正司　著	考古堂書店	5714円
00000775	アニマル・モデリング動物造形解剖学	片桐裕司　著	玄光社	2700円
00000776	大山竜作品集&造形テクニック	大山竜　著	玄光社	2200円
00000777	脳・神経科学入門講座　改訂版　前編　はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤　みる見るわかる	渡辺雅彦　著	羊土社	3600円
00000778	脳・神経科学入門講座　改訂版　後編　はじめて学ぶ、情報伝達の制御と脳の機能システム　みる見るわかる	渡辺雅彦　著	羊土社	3600円
00000779	消っして忘れない解剖学要点整理ノート　改訂第2版 / PT・OT必修シリーズ	井上馨	羊土社	3800円
00000780	消っして忘れない生理学要点整理ノート　改訂第2版 / PT・OT必修シリーズ	佐々木誠一　編集	羊土社	3800円
00000781	イラストで徹底理解するシグナル伝達キーワード事典	山本雅	羊土社	6600円
00000782	ICUから始める早期リハビリテーション　病態にあわせて安全に進めるための考え方と現場のコツ/ Surviving ICUシリーズ	中村俊介　編	羊土社	4600円
00000783	症例でわかる足関節・足部のMRI すぐに役立つ撮り方・読み方のポイント	小橋由紋子　著	羊土社	5800円
00000784	理系のアナタが知っておきたいラボ生活の中身　バイオ系の歩き方	野地澄晴　著	羊土社	2800円
00000785	薬物トランスポーター活用ライブラリー 機能・輸送基質から創薬・臨床応用まで	乾賢一　編	羊土社	7000円
00000786	呼吸・心臓リハビリテーション　改訂第2版　ビジュアル実践リハ カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	高橋哲也	羊土社	4600円
00000787	脳・神経系リハビリテーション ビジュアル実践リハ カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	潮見泰蔵　編集	羊土社	5700円
00000788	整形外科リハビリテーション ビジュアル実践リハ カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	相澤純也	羊土社	6500円
00000789	はじめの一歩の生化学・分子生物学　第3版	前野正夫	羊土社	3800円
00000790	めざそう！保健体育教師　教師志望学生の応援テキスト	杉山重利	朝日出版社	2400円
00000791	イラストレイテッド生理学　/ リッピンコットシリーズ	Robin R.Preston	丸善出版	7800円
00000792	カラーアトラス病態病理学　改訂2版	長澤治夫	丸善出版	6800円
00000793	食品保健の科学　健全な食生活と役に立つサプリメントの基礎知識	日本健康・栄養食品協会／編	丸善出版	5900円
00000794	医学薬学のためのコア生化学	Dawn B.Marks　［著］	丸善出版	3000円
00000795	生化学　第2版	鈴木紘一　編	東京化学同人	2400円
00000796	生物学の基礎　生き物の不思議を探る	和田勝　著	東京化学同人	2500円
00000797	スター生物学	C.STARR	東京化学同人	2900円
00000798	医学細胞生物学	Steven R.Goodman　編	東京化学同人	4800円
00000799	基礎コース細胞生物学	Stephen R.BOLSOVER	東京化学同人	4800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000800	生命科学の基礎　生命の不思議を探る	野島博　著	東京化学同人	2400円
00000801	医学・薬学のための免疫学　第2版	豊島聰	東京化学同人	3800円
00000802	化合物命名法　第2版　IUPAC勧告に準拠	日本化学会命名法専門委員会　／編	東京化学同人	1400円
00000803	徹底攻略！病理解剖カラー図解	清水道生　編著	金芳堂	8000円
00000804	イラストと写真でわかる実践装具療法　装具の選択と疾患別使用例	久保俊一	金芳堂	4600円
00000805	ケースで学ぶディサースリア	西尾正輝　著	インテルナ出版	3700円
00000806	STのための音声障害診療マニュアル	城本修	インテルナ出版	3500円
00000807	解剖トレーニングノート　第6版	竹内修二　著	医学教育出版社	2800円
00000808	生理学トレーニングノート	生理学TN編集委員会　編著	医学教育出版社	2500円
00000809	楽しくいきいき、認知症予防！ 利用者像に合わせた認知機能低下予防プログラムの実際	高橋龍太郎　監修	インターメディカ	2200円
00000810	イラスト版子どものソーシャルスキル 友だち関係に勇気と自信がつく42のメソッド	相川充	合同出版	1600円
00000811	実習ADL/APDL　学生のためのワークブック	原和子　［ほか］著	協同医書出版社	3500円
00000812	地域に根ざした作業療法　理論と実践	Marjorie E.Scaffa　編著	協同医書出版社	5500円
00000813	音楽家と医師のための音楽家医学入門	根本孝一	協同医書出版社	2800円
00000814	作業ーその治療的応用　改訂第2版	日本作業療法士協会　編	協同医書出版社	3500円
00000815	地域分析ハンドブック　Excelによる図表づくりの道具箱	半澤誠司	ナカニシヤ出版	2700円
00000816	新版K式発達検査反応実例集	中瀬惇	ナカニシヤ出版	2500円
00000817	脳卒中後のコミュニケーション障害　改訂第2版　成人コミュニケーション障害者のリハビリテーション：失語症を中心に	竹内愛子	協同医書出版社	5600円
00000818	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris Winitz　編著	協同医書出版社	3800円
00000819	肩のリハビリテーションの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　2	鈴川仁人	ナップ	3000円
00000820	足部スポーツ障害治療の科学的基礎 / Sports Physical Therapy Seminar Series　7	山内弘喜	ナップ	3000円
00000821	ADL　/ PT・OTビジュアルテキスト	柴喜崇	羊土社	5200円
00000822	義肢・装具学　異常とその対応がわかる動画付き / PT・OTビジュアルテキスト	豊田輝	羊土社	6800円
00000823	国際リハビリテーション学　国境を越えるPT・OT・ST / PT・OTビジュアルテキスト	河野眞　編集	羊土社	6800円
00000824	姿勢・動作・歩行分析　/ PT・OTビジュアルテキスト	畠中泰彦　編集	羊土社	5000円
00000825	地域理学療法学　/ PT・OTビジュアルテキスト	重森健太　編集	羊土社	4500円
00000826	内部障害理学療法学　/ PT・OTビジュアルテキスト	松尾善美　編集	羊土社	5000円
00000827	リハビリテーション基礎評価学　/ PT・OTビジュアルテキスト	潮見泰蔵	羊土社	5900円
00000828	がん増殖と悪性化の分子機構　/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　03	宮澤恵二	化学同人	5800円
00000829	がんの分子イメージング　/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　22	浦野泰照　編	化学同人	6300円
00000830	オートファジー　生命をささえる細胞の自己分解システム / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　04	水島昇	化学同人	5000円
00000831	エピジェネティクス　その分子機構から高次生命機能まで / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　12	田嶋正二　編	化学同人	6000円
00000832	最新義肢装具ハンドブック	三上真弘	全日本病院出版会	7000円
00000833	絵でみる最新足診療エッセンシャルガイド	高尾昌人　編	全日本病院出版会	7000円
00000834	イチから知りたいアレルギー診療　領域を超えた総合対策	大久保公裕　編集	全日本病院出版会	5000円
00000835	肩こり、首・腰の痛みを自分で治す・予防する	林浩一郎　著	全日本病院出版会	2200円
00000836	ここが聞きたい！スポーツ診療Q&A	桜庭景植　編	全日本病院出版会	5500円
00000837	スポーツ医学常識のうそ	横江清司　著	全日本病院出版会	2600円
00000838	これでわかる！スポーツ損傷超音波診断　肩・肘+α	杉本勝正　著	全日本病院出版会	4600円
00000839	老いを内包する膝　早期診断と早期治療	井原秀俊　編	全日本病院出版会	5500円
00000840	運動連鎖から考える投球障害　パフォーマンスUP！ 診察室からグラウンドまでをつなぐアプローチ	森原徹	全日本病院出版会	3900円
00000841	のどの病気Q&A	山中昇　編著	全日本病院出版会	6000円
00000842	イラストレイテッド免疫学　/ リッピンコットシリーズ	Thao Doan	丸善出版	6800円
00000843	生命科学入門　理工系の基礎	池北雅彦　［ほか］著	丸善出版	2500円
00000844	疾患からみた臨床薬理学　第3版	大橋京一	じほう	6500円
00000845	がん治療と化学療法　第3版　がんチーム医療スタッフのための Cancer Treatments notes for profession	奥村学	じほう	4000円
00000846	関節可動障害　その評価と理学療法・作業療法	嶋田智明	メディカルプレス	5340円
00000847	コア病理学	Arthur S.Schneider	丸善	6500円
00000848	イラストレイテッドハーパー・生化学　/ Lange Textbookシリーズ	Victor W.Rodwell	丸善出版	7900円
00000849	微生物学　上	R.Y.スタニエ　［ほか］共著	培風館	5800円
00000850	微生物学　下	R.Y.スタニエ　［ほか］共著	培風館	5800円
00000851	まんがでわかる脳卒中回復期リハビリ	誠愛リハビリテーション病院リハビリまんが研究会 脚本	メディカルレビュー社	2200円
00000852	失敗から学ぶプロマネ技術36のQ&A	小浜耕己　著	日経BP社	2400円
00000853	「コンセプト力」でプロジェクトを動かす　プロマネの新必修スキル	好川哲人　著	日経BP社	2400円
00000854	シンプルプレゼン	ガー・レイノルズ　著	日経BP社	2600円
00000855	世界最高のプレゼン教室	ガー・レイノルズ　著	日経BP社	2600円
00000856	絶対に遅延しないプロジェクト進捗管理　マスタースケジュール、アーンドバリュー・マネジメント、PMSによる科学的・定量的な進捗管理	岡村正司　著	日経BP社	2800円
00000857	基礎から学ぶプロマネ技術必携マニュアル	小浜耕己　著	日経BP社	2800円
00000858	プレゼン資料作成のツボとコツがゼッタイにわかる本　元外資系コンサル会社のパワポの達人が教える！	奥秋和歌子　著	秀和システム	2200円
00000859	驚異の未来生物　人類が消えた1000万年後の世界	マルク・ブレー	創元社	2300円
00000860	認知症高齢者のリスクマネジメント	湯浅美千代　編著	すぴか書房	2800円
00000861	火山全景　写真でめぐる世界の火山地形と噴出物	白尾元理　写真	誠文堂新光社	3800円
00000862	はじめてでもかんたん！大人のかぎ針編み わかりやすい編み方プロセス付き	リトルバード　編	西東社	1200円
00000863	からだをまもる免疫のふしぎ	日本免疫学会　編	羊土社	1800円
00000864	宇宙48の謎　地球外生命体を探せ！/ 日経BPムック．ナショナルジオグラフィック別冊　5		日経ナショナルジオグラフィック社	1400円
00000865	恐竜がいた地球　2億5000万年の旅にGO!/ 日経BPムック．ナショナルジオグラフィック別冊　6		日経ナショナルジオグラフィック社	1400円
00000866	傷病者の搬送と移乗　/ 救急現場活動シリーズ　1	安田康晴　著	へるす出版	2000円
00000867	リーダーシップと救急隊長の役割　/ 救急現場活動シリーズ　5	竹井豊　著	へるす出版	2000円
00000868	生命史図譜　/ 生物ミステリーPRO	土屋健　著	技術評論社	2680円
00000869	エディアカラ紀・カンブリア紀の生物　/ 生物ミステリーPRO　1	土屋健　著	技術評論社	2680円
00000870	オルドビス紀・シルル紀の生物　/ 生物ミステリーPRO　2	土屋健　著	技術評論社	2680円
00000871	あなたが心電図を読めない本当の理由(わけ)	村川裕二　著	文光堂	2800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000872	あなたが心電図を読めない本当の理由(わけ)　続	村川裕二　著	文光堂	2800円
00000873	あなたが心電図を読めない本当の理由(わけ)　続々	村川裕二　著	文光堂	2800円
00000874	介護がわかる　1　介護保険のしくみ / 介護・看護・医療の現場で役立つシリーズ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1200円
00000875	介護がわかる　2　生活を支える制度 / 介護・看護・医療の現場で役立つシリーズ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1200円
00000876	神社の解剖図鑑　日本各地の神様とご利益がマルわかり	米澤貴紀　著	エクスナレッジ	1600円
00000877	神社の解剖図鑑　2　神様とご利益の深い関係の読み解き方	本間美加子　著	エクスナレッジ	1600円
00000878	誰でもわかる動作分析　私もこれで理解できました	小島正義　著	南江堂	2000円
00000879	誰でもわかる動作分析　2　これでますます理解できました	小島正義　編著	南江堂	2300円
00000880	誰でもわかる動作分析　3　実習形式！バイオメカニクスのオモシロ授業	小島正義　編著	南江堂	2300円
00000881	日本の動物学の歴史　/ シリーズ21世紀の動物科学　1	毛利秀雄	培風館	3600円
00000882	動物の多様性　/ シリーズ21世紀の動物科学　2	片倉晴雄	培風館	3600円
00000883	動物の形態進化のメカニズム　/ シリーズ21世紀の動物科学　3	倉谷滋	培風館	3700円
00000884	性と生殖　/ シリーズ21世紀の動物科学　4	安部眞一	培風館	3200円
00000885	発生　/ シリーズ21世紀の動物科学　5	浅島誠	培風館	3800円
00000886	細胞の生物学　/ シリーズ21世紀の動物科学　6	鈴木範男	培風館	3400円
00000887	神経系の多様性　その起源と進化/ シリーズ21世紀の動物科学　7	阿形清和	培風館	3800円
00000888	行動とコミュニケーション　/ シリーズ21世紀の動物科学　8	岡良隆	培風館	3700円
00000889	動物の感覚とリズム　/ シリーズ21世紀の動物科学　9	七田芳則	培風館	3000円
00000890	内分泌と生命現象　/ シリーズ21世紀の動物科学　10	長濱嘉孝	培風館	3800円
00000891	生態と環境　/ シリーズ21世紀の動物科学　11	松本忠夫	培風館	3800円
00000892	腸内細菌　第3版　上巻　概論，Salmonella属	坂崎利一	近代出版	6500円
00000893	腸内細菌　第3版　下巻　各論	坂崎利一	近代出版	7500円
00000894	がんサバイバー　医学・心理・社会的アプローチでがん治療を結いなおす	Kenneth D.Miller　［編］	医学書院	4000円
00000895	Dr.大津の誰でもわかる医療用麻薬　選べる・使える・説明できる	大津秀一　著	医学書院	3400円
00000896	大人の発達障害ってそういうことだったのか	宮岡等	医学書院	2800円
00000897	自閉症スペクトラムの精神病理　星をつぐ人たちのために	内海健　著	医学書院	3500円
00000898	地域医療と暮らしのゆくえ　超高齢社会をともに生きる	高山義浩　著	医学書院	1800円
00000899	医療政策集中講義　医療を動かす戦略と実践	東京大学公共政策大学院 医療政策教育・研究ユニット　／編	医学書院	2800円
00000900	今日の理学療法指針	内山靖　総編集	医学書院	5400円
00000901	こころの病を診るということ　私の伝えたい精神科診療の基本	青木省三　著	医学書院	3000円
00000902	構造と診断　ゼロからの診断学	岩田健太郎　著	医学書院	2500円
00000903	死生学のすすめ	山本俊一　著	医学書院	3000円
00000904	認知症と診断されたあなたへ	小澤勲	医学書院	1600円
00000905	ここで差がつく"背景疾患別"理学療法Q&A　/ 理学療法NAVI	高橋哲也　編	医学書院	2700円
00000906	"臨床思考"が身につく運動療法Q&A　/ 理学療法NAVI	高橋哲也　編	医学書院	2700円
00000907	死にゆく患者(ひと)と、どう話すか	國頭英夫　著	医学書院	2100円
00000908	精神科初回面接	JAMES MORRISON　著	医学書院	4500円
00000909	人間ドックマニュアル　第3版　健康評価と指導のポイント	田村政紀	医学書院	6000円
00000910	トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント　第2版	Robert Twycross	医学書院	3800円
00000911	アクション　/ 神経心理学コレクション	丹治順	医学書院	3400円
00000912	失われた空間　/ 神経心理学コレクション	石合純夫　著	医学書院	3000円
00000913	音楽の神経心理学　/ 神経心理学コレクション	緑川晶　著	医学書院	2800円
00000914	記憶の神経心理学　/ 神経心理学コレクション	山鳥重　著	医学書院	2600円
00000915	高次機能のブレインイメージング　/ 神経心理学コレクション	川島隆太　著	医学書院	5200円
00000916	視覚性認知の神経心理学　/ 神経心理学コレクション	鈴木匡子　著	医学書院	2800円
00000917	失行　/ 神経心理学コレクション	河村満	医学書院	5000円
00000918	失語の症候学　/ 神経心理学コレクション	相馬芳明	医学書院	4300円
00000919	ジャクソンの神経心理学　/ 神経心理学コレクション	山鳥重　著	医学書院	3400円
00000920	神経心理学の挑戦　/ 神経心理学コレクション	山鳥重	医学書院	3000円
00000921	タッチ　/ 神経心理学コレクション	岩村吉晃　著	医学書院	3500円
00000922	痴呆の症候学　/ 神経心理学コレクション	田邉敬貴　著	医学書院	4300円
00000923	痴呆の臨床　CDR判定用ワークシート解説/ 神経心理学コレクション	目黒謙一　著	医学書院	2800円
00000924	手　/ 神経心理学コレクション	チャールズ・ベル　著	医学書院	3600円
00000925	ドイツ精神医学の原典を読む　/ 神経心理学コレクション	池村義明　著	医学書院	3800円
00000926	道具を使うサル　/ 神経心理学コレクション	入來篤史　著	医学書院	3000円
00000927	頭頂葉　/ 神経心理学コレクション	酒田英夫　著	医学書院	3800円
00000928	認知症の「みかた」　/ 神経心理学コレクション	三村將	医学書院	3000円
00000929	脳を繙く　歴史でみる認知神経科学/ 神経心理学コレクション	マックス・ベネット	医学書院	4800円
00000930	ピック病　二人のアウグスト/ 神経心理学コレクション	松下正明	医学書院	3500円
00000931	表情を解剖する　/ 神経心理学コレクション	チャールズ・ベル　著	医学書院	4000円
00000932	病理から見た神経心理学　/ 神経心理学コレクション	石原健司	医学書院	3800円
00000933	ふるえ　/ 神経心理学コレクション	柴崎浩	医学書院	5200円
00000934	街を歩く神経心理学　/ 神経心理学コレクション	高橋伸佳　著	医学書院	3000円
00000935	眼と精神　彦坂興秀の課外授業/ 神経心理学コレクション	彦坂興秀	医学書院	3000円
00000936	レビー小体型認知症の臨床　/ 神経心理学コレクション	小阪憲司	医学書院	3400円
00000937	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹恒夫	医学書院	3700円
00000938	言語聴覚士のための子どもの聴覚障害訓練ガイダンス	立石恒雄	医学書院	3500円
00000939	言語聴覚士のための失語症訓練ガイダンス	日本言語療法士協会 学術支援局専門委員会失語症系　／編	医学書院	2800円
00000940	大人の発達障害を診るということ　診断や対応に迷う症例から考える	青木省三	医学書院	3000円
00000941	「話せない」と言えるまで　言語聴覚士を襲った高次脳機能障害	関啓子　著	医学書院	2500円
00000942	WHOをゆく　感染症との闘いを超えて	尾身茂　著	医学書院	2800円
00000943	臨床倫理学入門	福井次矢	医学書院	2800円
00000944	健康格差社会への処方箋	近藤克則　著	医学書院	2500円
00000945	健康格差社会　何が心と健康を蝕むのか	近藤克則　著	医学書院	2500円
00000946	脳科学のコスモロジー　幹細胞，ニューロン，グリア	藤田晢也	医学書院	5200円
00000947	心因性非てんかん性発作へのアプローチ	ローナ・マイヤーズ　著	医学書院	3400円
00000948	神経発達症群　/ DSM-5セレクションズ	American Psychiatric Association　［著］	医学書院	2700円
00000949	抑うつ障害群　/ DSM-5セレクションズ	American Psychiatric Association　［著］	医学書院	2700円
00000950	思春期・青年期のうつ病治療と自殺予防	DAVID A.BRENT	医学書院	5000円
00000951	"脳と心"からみた統合失調症の理解	倉知正佳　著	医学書院	4800円
00000952	脳卒中の下肢装具　第3版　病態に対応した装具の選択法	渡邉英夫	医学書院	4200円
00000953	今日から使える医療統計	新谷歩　著	医学書院	2800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000954	基礎から学ぶ楽しい保健統計	中村好一　著	医学書院	2800円
00000955	基礎から学ぶ楽しい疫学　第3版	中村好一　著	医学書院	3000円
00000956	クリニックで診る摂食障害	切池信夫　著	医学書院	3400円
00000957	摂食障害　第2版　食べない，食べられない，食べたら止まらない	切池信夫　著	医学書院	3400円
00000958	摂食障害の認知行動療法	Christopher G.Fairburn 原著	医学書院	5500円
00000959	自殺のポストベンション　遺された人々への心のケア	高橋祥友	医学書院	2600円
00000960	筋・筋膜性腰痛のメカニズムとリハビリテーション / Sports physical therapy seminar series　4	加賀谷善教	ナップ	3000円
00000961	呼吸リハビリテーションの理論と技術　改訂第2版	田中一正	メジカルビュー社	5200円
00000962	基本動作の評価と治療アプローチ	弓岡光徳	メジカルビュー社	6200円
00000963	整形外科医のための骨のバイオメカニクス解析 CT画像からモデルを作って有限要素法で解析しよう！	稲葉裕	メジカルビュー社	7000円
00000964	リハビリテーション義肢装具学	清水順市	メジカルビュー社	5800円
00000965	リハビリテーション運動生理学	解良武士　編集	メジカルビュー社	5800円
00000966	リハビリテーションリスク管理ハンドブック　第3版	亀田メディカルセンターリハビリテーション科リハビリテーション室　編集	メジカルビュー社	4200円
00000967	アレルギー疾患のすべて　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	小川郁	日本医師会	5500円
00000968	消化器疾患診療のすべて　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	跡見裕 ［ほか］監修・編集	日本医師会	5500円
00000969	脳卒中の臨床神経リハビリテーション　理論と実践	鈴木恒彦	市村出版	3800円
00000970	妊娠・出産・産後をケアする妊婦マッサージ	Carole Osborne　著	医道の日本社	4200円
00000971	マッサージのための機能解剖学　学習と臨床に役立つ	Cindy Moorcroft　著	医道の日本社	4800円
00000972	英国医師会腰痛・頚部痛ガイド 解剖、診断、治療、そして生活指導と運動療法の詳細	英国医師会　［編］	医道の日本社	3800円
00000973	これで解決！PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド	大塚裕一　監修〈代表〉	金芳堂	2600円
00000974	運動による脳の制御　認知症予防のための運動	島田裕之　編集	杏林書院	4000円
00000975	断層解剖カラーアトラス	Harold Ellis	南江堂	4700円
00000976	シンプル小児科学	香美祥二　編集	南江堂	4400円
00000977	シンプル皮膚科学	眞鍋求	南江堂	4000円
00000978	シンプル呼吸器学	奥楫博次　編集	南江堂	4000円
00000979	シンプル循環器学	犀川哲典	南江堂	4500円
00000980	シンプル生化学　改訂第6版	野口正人	南江堂	2900円
00000981	シンプル病理学　改訂第7版	笹野公伸	南江堂	2900円
00000982	シンプル薬理学　改訂第5版	野村隆英	南江堂	2900円
00000983	中枢神経障害理学療法学テキスト　改訂第2版 / シンプル理学療法学シリーズ	植松光俊	南江堂	4800円
00000984	物理療法学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	木村貞治	南江堂	4500円
00000985	日常生活活動学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	河元岩男	南江堂	4000円
00000986	運動療法学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	植松光俊	南江堂	4800円
00000987	運動器障害理学療法学テキスト　改訂第2版 / シンプル理学療法学シリーズ	高柳清美	南江堂	4500円
00000988	股関節の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5000円
00000989	肘・手の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5000円
00000990	頚部・肩の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5300円
00000991	腰背部の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5000円
00000992	下腿・足の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編集	南江堂	5500円
00000993	膝・大腿部の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編集	南江堂	5500円
00000994	患者さんと家族のための胆石症ガイドブック	日本消化器病学会　編	南江堂	1000円
00000995	患者さんと家族のための消化性潰瘍ガイドブック	日本消化器病学会　編	南江堂	1000円
00000996	患者さんと家族のためのクローン病ガイドブック	日本消化器病学会　編	南江堂	1000円
00000997	Q&Aでわかる呼吸器疾患ガイドライン実践ブック	須田隆文	南江堂	4500円
00000998	患者さんのための頚椎後縦靭帯骨化症ガイドブック 診療ガイドラインに基づいて	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会	南江堂	1200円
00000999	患者さんとともに理解するCKDと血液透析　Q&Aで理解する	門川俊明　著	南江堂	2800円
00001000	糖尿病運動療法指導マニュアル	佐藤祐造　編	南江堂	2000円
00001001	新入門食品衛生学　改訂第3版	和泉喬　［ほか］共著	南江堂	2300円
00001002	運動器慢性痛診療の手引き	日本整形外科学会運動器疼痛対策委員会　編集	南江堂	3400円
00001003	新・栄養指導論　改訂第2版	岡崎光子　編	南江堂	2300円
00001004	よくわかる人工呼吸管理テキスト　改訂第6版	並木昭義	南江堂	4800円
00001005	PT・OT・PO身体運動の理解につなげる物理学	江原義弘	南江堂	2800円
00001006	新しい臨床栄養学　改訂第6版	後藤昌義	南江堂	2800円
00001007	新しい食品加工学　改訂第2版　食品の保存・加工・流通と栄養	小川正	南江堂	2400円
00001008	小児科学テキスト	清野佳紀	南江堂	5300円
00001009	人工呼吸管理の第一歩　まんが	松本真希　著	南江堂	1800円
00001010	キャスト法マニュアル　改訂第2版	田中寿一	南江堂	3200円
00001011	エビデンスで解決！緩和医療ケースファイル	森田達也	南江堂	3400円
00001012	医科細菌学　改訂第4版	笹川千尋	南江堂	6800円
00001013	新しい解剖生理学　改訂第12版	山本敏行	南江堂	3200円
00001014	医科ウイルス学　改訂第3版	高田賢蔵　編	南江堂	8500円
00001015	スポーツPNFハンドブック	覚張秀樹　著	南江堂	3800円
00001016	基礎栄養学　改訂第5版　/ 健康・栄養科学シリーズ	奥恒行	南江堂	2800円
00001017	3日間で行う理学療法臨床評価プランニング	中山恭秀　編集	南江堂	3800円
00001018	病院情報システムの利用者心得解説書	日本医療情報学会医療情報技師育成部会　編集	南江堂	1400円
00001019	変形性股関節症テキスト　疾患理解と治療法	安藤謙一　著	南江堂	2300円
00001020	肘が痛い方のために　診療ガイドラインに基づいた上腕骨外側上顆炎〈テニス肘〉ガイドブック	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会上腕骨外側上顆炎ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	1200円
00001021	みんなで学ぶパーキンソン病　患者さんとともに歩む診療をめざして	柏原健一	南江堂	2800円
00001022	転倒予防のための運動機能向上トレーニングマニュアル	植松光俊	南江堂	2300円
00001023	スポーツ指導者のためのスポーツ医学　改訂第2版	小出清一	南江堂	3200円
00001024	痛みの注射法アトラス	Juergen Fischer　［著］	南江堂	5700円
00001025	わかりやすい外科学	馬場秀夫	文光堂	4800円
00001026	身体作業療法クイックリファレンス	坪田貞子　編	文光堂	6500円
00001027	臨床精神科作業療法入門	田端幸枝	文光堂	5000円
00001028	臨床ハンドセラピィ	坪田貞子　編	文光堂	6800円
00001029	はじめての訪問言語聴覚療法 「在宅で食べる」を支援する！	大澤真理	文光堂	3200円
00001030	実践EBM心臓リハビリテーション　エビデンス診療ギャップとその対応	松尾善美	文光堂	7500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001031	最新産科学　改訂第22版　正常編	荒木勤　著	文光堂	5000円
00001032	最新産科学　改訂第22版　異常編	荒木勤　著	文光堂	7000円
00001033	アスレティックリハビリテーションガイド　競技復帰・再発予防のための実践的アプローチ	福林徹　編	文光堂	5000円
00001034	わかりやすい内科学　第4版	井村裕夫　編集主幹	文光堂	9000円
00001035	ランニング障害のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	増田雄一　編集	文光堂	4500円
00001036	競技種目特性からみたリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	山本利春　編集	文光堂	4500円
00001037	上肢急性外傷のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	宮下浩二　編集	文光堂	4500円
00001038	腰痛のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	片寄正樹　編	文光堂	4000円
00001039	下肢スポーツ外傷のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	小柳磨毅　編	文光堂	4000円
00001040	投球障害のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	山口光國　編	文光堂	4000円
00001041	入院高齢者診療マニュアル　/ Bunkodo Essential & Advanced Mook	神崎恒一	文光堂	6000円
00001042	スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド　第2版	臨床スポーツ医学編集委員会　／編	文光堂	7000円
00001043	スポーツ医学研修ハンドブック　第2版　基礎科目	日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会　／監修	文光堂	3800円
00001044	スポーツ医学研修ハンドブック　第2版　応用科目	日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会　／監修	文光堂	4500円
00001045	解剖・動作・エコーで導くFasciaリリースの基本と臨床　筋膜リリースからFasciaリリースへ Fasciaの評価と治療	木村裕明　編集主幹	文光堂	4500円
00001046	積極的保存療法　スポーツ障害の評価と治療	村上成道	文光堂	3800円
00001047	手軽にとれる神経所見　カラーイラスト図解	塩尻俊明　著	文光堂	4500円
00001048	エクササイズ科学　健康体力つくりと疾病・介護予防のための基礎と実践	田中喜代次	文光堂	4500円
00001049	スポーツ鍼灸ハンドブック　第2版 M-Testによる経絡運動学的アプローチ	向野義人	文光堂	4000円
00001050	トレーニング科学　/ 健康・スポーツ科学テキスト	北川薫　編	文光堂	3000円
00001051	機能解剖・バイオメカニクス　/ 健康・スポーツ科学テキスト	北川薫　編	文光堂	3000円
00001052	ファンクショナルトレーニング 機能向上と障害予防のためのパフォーマンストレーニング	渡部賢一	文光堂	4500円
00001053	走動作のファンクショナルトレーニング 機能改善と障害予防のためのパフォーマンストレーニング	角勝義	文光堂	4500円
00001054	睡眠障害診療ガイド	日本睡眠学会認定委員会睡眠障害診療ガイド・ワーキンググループ　監修	文光堂	3000円
00001055	クローン病の診療ガイド　第2版	日本炎症性腸疾患協会　編	文光堂	3800円
00001056	図解心電図テキスト　Dr.Dubin式はやわかり心電図読解メソッド	Dale Dubin　著	文光堂	4500円
00001057	リンパ浮腫治療のセルフケア	佐藤佳代子　著	文光堂	3800円
00001058	イラストでわかる整形外科診療	久保俊一	文光堂	8500円
00001059	脳血管障害の評価とアプローチ　回復期における着眼点と行動プロセス 生活の行為を紡ぐ作業療法プラクティス	小林毅	文光堂	5500円
00001060	図解臨床細菌検査　第2版	坂崎利一　編	文光堂	5200円
00001061	嚥下食ピラミッドによる嚥下食レシピ125	江頭文江	医歯薬出版	2200円
00001062	病院・施設のための嚥下食ピラミッドによる咀嚼・嚥下困難者レシピ100	栢下淳　編著	医歯薬出版	2800円
00001063	嚥下食ピラミッドによるペースト・ムース食レシピ230　補訂	栢下淳　編著	医歯薬出版	2600円
00001064	理学療法士のためのウィメンズ・ヘルス運動療法	山本綾子	医歯薬出版	4800円
00001065	高齢者理学療法学	島田裕之　総編集	医歯薬出版	9000円
00001066	運動器疾患ワークブック	小林直行　編	医歯薬出版	4000円
00001067	環境と理学療法	内山靖　編著	医歯薬出版	6600円
00001068	スタンダード細胞診テキスト　第3版	東京都保健医療公社東京都がん検診センター　編	医歯薬出版	7000円
00001069	サルコペニアの摂食・嚥下障害　リハビリテーション栄養の可能性と実践	若林秀隆	医歯薬出版	4400円
00001070	実践リハビリテーション栄養　病院・施設・在宅でのチーム医療のあり方	若林秀隆　編著	医歯薬出版	3400円
00001071	現代医学概論　第2版	柳澤信夫　著	医歯薬出版	3100円
00001072	コメディカル統計テキスト　エクセル活用	宮城重二　著	医歯薬出版	2400円
00001073	院内事故調査実践マニュアル	生存科学研究所医療政策研究会　／編著	医歯薬出版	2600円
00001074	新編声の検査法	日本音声言語医学会　編	医歯薬出版	6800円
00001075	重症心身障害通園マニュアル　第2版　在宅生活を支えるために	岡田喜篤　[ほか]編	医歯薬出版	3000円
00001076	介護基礎学　新版　高齢者自立支援の理論と実践	竹内孝仁　著	医歯薬出版	3200円
00001077	肘診療マニュアル　第2版	石井清一	医歯薬出版	4600円
00001078	わかりやすい臨床中医診断学　第2版	王財源　著	医歯薬出版	6400円
00001079	わかりやすい臨床中医臓腑学　第3版	王財源　著	医歯薬出版	4200円
00001080	上肢骨折の保存療法	武田功	医歯薬出版	4800円
00001081	外来整形外科のための退行変性疾患の理学療法	小関博久　編	医歯薬出版	5800円
00001082	ヘルス21栄養教育・栄養指導論　新版　/ Nutrition Education	辻とみ子	医歯薬出版	2800円
00001083	Q&Aでひも解く高次脳機能障害	廣實真弓	医歯薬出版	3400円
00001084	検査数値でみる生活習慣病　症例からスキルチェック	富野康日己　著	医歯薬出版	3600円
00001085	生殖補助医療技術学テキスト	荒木康久　著	医歯薬出版	2400円
00001086	解剖学ワークブック	西川彰	医歯薬出版	4000円
00001087	運動学　改訂第3版	齋藤宏	医歯薬出版	4200円
00001088	食品学・食品機能学・食品加工学　第3版　/ 食べ物と健康	長澤治子　編著	医歯薬出版	2800円
00001089	維持透析患者の補完代替医療ガイド	阿岸鉄三　編著	医歯薬出版	6800円
00001090	人の生命科学　第3版	佐々木史江	医歯薬出版	2600円
00001091	応用栄養学栄養マネジメント演習・実習　第4版	竹中優	医歯薬出版	3000円
00001092	演習栄養教育　第7版	大里進子	医歯薬出版	2900円
00001093	言語聴覚士のための音響学	今泉敏　著	医歯薬出版	3800円
00001094	言語聴覚士のための失語症学	波多野和夫　[ほか]著	医歯薬出版	5000円
00001095	言語聴覚士のための言語発達障害学　第2版	石田宏代	医歯薬出版	4400円
00001096	言語聴覚士のための心理学　補訂	山田弘幸　編	医歯薬出版	4000円
00001097	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬肇	医歯薬出版	5000円
00001098	情報科学　/ 最新臨床検査学講座	松戸隆之　著	医歯薬出版	2000円
00001099	公衆衛生学　2018年版　社会・環境と健康	柳川洋	医歯薬出版	2600円
00001100	ウエルネス公衆栄養学　2018年版	前大道教子	医歯薬出版	2800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001101	新食品衛生学要説　2018年版　食べ物と健康・食品と衛生	細貝祐太郎	医歯薬出版	2800円
00001102	歩き始めと歩行の分析　ボディダイナミクス入門	江原義弘	医歯薬出版	5600円
00001103	エッセンシャル社会・環境と健康　第2版	高島豊	医歯薬出版	3000円
00001104	栄養素でわかる食品と健康　WEB連動テキスト	柴田克己	培風館	2800円
00001105	体のしくみを理解するための解剖生理学	相澤徹　［ほか］共著	丸善	2900円
00001106	人体解剖カラーリングブック	T.Alan Twietmeyer	丸善	3800円
00001107	ブラック微生物学　第3版	Jacquelyn G.Black　著	丸善出版	8500円
00001108	エッセンシャル・キャンベル生物学	Simon	丸善出版	7000円
00001109	ボディセラピーのためのトートラ標準解剖生理学	Andrew J.Kuntzman	丸善出版	8500円
00001110	イラストレイテッド生化学　/ リッピンコットシリーズ	Denise R.Ferrier　［著］	丸善出版	7800円
00001111	イラストレイテッド薬理学　/ リッピンコットシリーズ	Karen Whalen	丸善出版	7800円
00001112	頚椎診療のてびき	遠藤健司	丸善出版	5500円
00001113	クイックレビュー臨床発生学	Ronald W.Dudek　［著］	丸善出版	2800円
00001114	不明熱を減らすための〈外来発熱診療ガイド〉　症候別の診かた・考えかた	中村造	丸善出版	3600円
00001115	血液内科学　/ 医学スーパーラーニングシリーズ	大屋敷一馬	丸善出版	3600円
00001116	生理学　症例ファイル	Eugene C.Toy　［ほか著］	丸善	3800円
00001117	PT症例レポート赤ペン添削ビフォー&アフター	相澤純也	羊土社	3600円
00001118	現代生命科学	東京大学生命科学教科書編集委員会　編	羊土社	2800円
00001119	演習で学ぶ生命科学　第2版　物理・化学・数理からみる生命科学入門	東京大学生命科学教科書編集委員会　編	羊土社	3200円
00001120	食品衛生学　/ 栄養科学イラストレイテッド	田崎達明　編	羊土社	2800円
00001121	はじめの一歩の病理学　第2版	深山正久　編	羊土社	2900円
00001122	はじめの一歩のイラスト感染症・微生物学 はじめて学ぶ人のための目で見る教科書	本田武司　編	羊土社	3200円
00001123	はじめの一歩のイラスト薬理学 薬がどうして効くのか目で見てよくわかる教科書	石井邦雄　著	羊土社	2900円
00001124	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学　第3版	和田勝　著	羊土社	3200円
00001125	分子生物学イラストレイテッド　改訂第3版	田村隆明	羊土社	4900円
00001126	タンパク質科学イラストレイテッド	竹縄忠臣　編	羊土社	5400円
00001127	免疫・アレルギー疾患イラストレイテッド　病態と治療戦略がみえる	田中良哉　編集	羊土社	7200円
00001128	ラボノートの書き方　改訂版　理系なら知っておきたい：論文作成，データ捏造防止，特許に役立つ書き方+管理法がよくわかる！	岡崎康司	羊土社	3000円
00001129	やさしい基礎生物学　第2版	南雲保　編著	羊土社	2900円
00001130	PT・OTのための臨床研究はじめの一歩　研究デザインから統計解析、ポスター・口述発表のコツまで実体験から教えます	山田実　編著	羊土社	3200円
00001131	PT・OTゼロからの物理学	望月久	羊土社	2700円
00001132	消っして忘れない運動学要点整理ノート　/ PT・OT必修シリーズ	福井勉	羊土社	3600円
00001133	基礎からしっかり学ぶ生化学	山口雄輝　編著	羊土社	2900円
00001134	あらゆる診療科でよく出会う精神疾患を見極め、対応する　適切な診断・治療と患者への説明、専門医との連携のために/ ジェネラル診療シリーズ	堀川直史　編	羊土社	4700円
00001135	すべての内科医が知っておきたい神経疾患の診かた、考え方とその対応 症状・疾患へのアプローチの基本から鑑別と治療、コンサルテーションまでわかる	大生定義　編	羊土社	5200円
00001136	生命科学　改訂第3版	東京大学生命科学教科書編集委員会　編	羊土社	2800円
00001137	大学で学ぶ身近な生物学	吉村成弘　著	羊土社	2800円
00001138	よくわかるゲノム医学　改訂第2版 ヒトゲノムの基本から個別化医療まで	服部成介	羊土社	3700円
00001139	必ず診療に役立つスポーツ傷害の画像診断 スポーツ傷害ならではの診断・撮影の基本と読影のポイント、治療方針の考え方と患者への上手な説明	帖佐悦男　編	羊土社	6300円
00001140	骨ペディア　骨疾患・骨代謝キーワード事典	日本骨代謝学会　編集	羊土社	6800円
00001141	免疫・アレルギー疾患の分子標的と治療薬事典　生物学的製剤，低分子化合物のターゲット分子と作用機序，薬効のすべて	田中良哉　編	羊土社	7600円
00001142	重要ワードで一気にわかる分子生物学超図解ノート　改訂版	田村隆明　著	羊土社	3800円
00001143	新遺伝子工学ハンドブック　改訂第5版	村松正實	羊土社	7600円
00001144	小児リハビリテーションのための神経と発達の診かた	前川喜平　著	新興医学出版社	3300円
00001145	睡眠検査学の基礎と臨床	松浦雅人　編	新興医学出版社	5900円
00001146	多職種で取り組む転倒予防チームはこう作る！	武藤芳照	新興医学出版社	3500円
00001147	コ・メディカルのための症候学ノート	塩見文俊　著	新興医学出版社	2900円
00001148	交通事故で多発する"脳外傷による高次脳機能障害"とは　見過ごしてはならない脳画像所見と臨床症状のすべて	益澤秀明　著	新興医学出版社	3300円
00001149	軸性脊椎関節炎　診断からリハビリ・患者指導まで	浦野房三　著	新興医学出版社	3500円
00001150	高齢者の摂食嚥下サポート 老嚥・オーラルフレイル・サルコペニア・認知症 医原性サルコペニアの嚥下障害を防ぐ高齢者モデルを完全マスター！	若林秀隆　編著	新興医学出版社	4300円
00001151	摂食・嚥下障害リハビリテーション	馬場尊	新興医学出版社	3500円
00001152	神経疾患の診察・診断のしかた　第2版	後藤幾生　著	新興医学出版社	6700円
00001153	標準失語症検査マニュアル　改訂第2版	日本高次脳機能障害学会／編	新興医学出版社	7000円
00001154	身ぶりで語ろう　第5版　適応・時間別54の治療ゲーム集	A.Jane Remocker	協同医書出版社	3500円
00001155	基礎作業学実習ガイド　作業活動のポイントを学ぶ	岩瀬義昭　編著	協同医書出版社	2500円
00001156	クライエント中心の作業療法　カナダ作業療法の展開	Mary Law　編著	協同医書出版社	3800円
00001157	人間の運動学　ヒューマン・キネシオロジー	宮本省三　［ほか］著	協同医書出版社	8000円
00001158	失語症者の実用コミュニケーション臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	4500円
00001159	人間作業モデル　改訂第4版　理論と応用	Gary Kielhofner　編著	協同医書出版社	8500円
00001160	認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント　第3版 快一徹！脳活性化リハビリテーションで進行を防ごう	山口晴保　編著	協同医書出版社	3500円
00001161	言語聴覚療法臨床マニュアル　改訂第3版	平野哲雄　［ほか］編集	協同医書出版社	6800円
00001162	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	John E.Bernthal	協同医書出版社	6400円
00001163	失語症臨床の認知神経心理学的アプローチ 評価とリハビリテーションのためのガイドブック	Anne Whitworth	協同医書出版社	6300円
00001164	エガース・片麻痺の作業療法　Bobath理論による	Ortrud Eggers　著	協同医書出版社	3800円
00001165	系統別・治療手技の展開　改訂第3版　感覚器系ー外皮/リンパ系/結合組織〈非収縮組織〉と筋系/関節系/神経系/その他の治療手技	竹井仁	協同医書出版社	6500円
00001166	有機化合物のスペクトルによる同定法　第8版　MS,IR,NMRの併用	Silverstein	東京化学同人	4600円
00001167	クーパー細胞生物学	Geoffrey M.Cooper	東京化学同人	7800円
00001168	生物学　第2版	石川統　編	東京化学同人	2400円
00001169	生化学　分子から病態まで	香川靖雄　編	東京化学同人	4200円
00001170	病原微生物学　基礎と臨床	荒川宜親	東京化学同人	5200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001171	生命科学	柳田充弘	東京化学同人	2400円
00001172	エリオット生化学・分子生物学　第5版	Despo Papachristodoulou	東京化学同人	6200円
00001173	免疫学　基礎と臨床	Gordon MacPherson	東京化学同人	4900円
00001174	ウィルト発生生物学	Fred H.Wilt	東京化学同人	5200円
00001175	肺聴診エキスパート　視て、聴いて、自信がもてる	中野博　編著	リプロ・サイエンス	4500円
00001176	自律神経と免疫の法則　体調と免疫のメカニズム	安保徹　著	三和書籍	6500円
00001177	テキスト医学生物学	太田美智男　編	名古屋大学出版会	6000円
00001178	患者安全	Charles Vincent　著	篠原出版新社	6200円
00001179	がん患者さんの心と体の悩み解決ガイド / 日経メディカル・ブックス	日経メディカル　編	日経BP社	2000円
00001180	入門コンピュータサイエンス	白井靖敏	学術図書出版社	1700円
00001181	C言語で学ぶコンピュータ科学とプログラミング	小高知宏　著	近代科学社	2400円
00001182	コンピュータ科学とプログラミング入門 コンピュータとアルゴリズムの基礎	小高知宏　著	近代科学社	2300円
00001183	コンピュータ科学の基礎	田嶋拓也	共立出版	2400円
00001184	経営・経済のための情報科学の基礎	石川修一　[ほか]著	共立出版	2700円
00001185	情報学基礎　第2版	慶應義塾大学理工学部　編	共立出版	2200円
00001186	コンピュテーショナル・シンキング	磯辺秀司	共立出版	1500円
00001187	運動器の超音波診断	Jon A.Jacobson　著	ナップ	5400円
00001188	ACL再建術前後のリハビリテーションの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　6	渡邊裕之　[ほか]編	ナップ	3600円
00001189	利用者と共有する介護保険のポイント 2012年4月改正で何が変わったか：Q&Aでわかる	阿部崇　著	じほう	2000円
00001190	在宅医療チームのための臨床検査	臨床検査振興協議会　監修	じほう	2000円
00001191	初学者から専門医までの腎臓学入門　改訂第2版	日本腎臓学会編集委員会　編	東京医学社	3000円
00001192	キャンベル・スミス図解生化学	Peter N.Campbell	西村書店	3200円
00001193	介護予防のための運動器の機能向上マニュアル	佐竹恵治　編著	建帛社	1429円
00001194	介護予防のための口腔機能向上マニュアル　アセスメント様式例収録	菊谷武　編著	建帛社	1429円
00001195	生化学実験　/ Nブックス．実験シリーズ	後藤潔　編著	建帛社	1900円
00001196	高齢者の言語聴覚障害　症例から学ぶ評価と支援のポイント	飯干紀代子	建帛社	2700円
00001197	応用栄養学実習書　第2版　PDCAサイクルによる栄養ケア	柳沢幸江	建帛社	2300円
00001198	医療的ケア　介護福祉士養成課程・介護職等のための	柊崎京子	建帛社	2800円
00001199	高齢化と栄養　第2回「栄養とエイジング」国際会議	日本国際生命科学協会　編	建帛社	6000円
00001200	身体運動と呼吸・循環機能	宮村実晴　編集	真興交易医書出版部	7500円
00001201	イギリスの医療は問いかける　「良きバランス」へ向けた戦略	森臨太郎　著	医学書院	2800円
00001202	医療法学入門　第2版	大磯義一郎	医学書院	3800円
00001203	理学療法の本質を問う	奈良勲　著	医学書院	1900円
00001204	薬理学プレテスト	アーノルド・スターン　著	医学書院	3300円
00001205	帰してはいけない外来患者	前野哲博	医学書院	3800円
00001206	在宅酸素療法マニュアル　第2版　新しいチーム医療をめざして	木田厚瑞　著	医学書院	4300円
00001207	運動学で心が折れる前に読む本	松房利憲　著	医学書院	1800円
00001208	生きているしくみがわかる生理学	大橋俊夫	医学書院	2300円
00001209	脳卒中ことはじめ　第2版	山口武典　編著	医学書院	2800円
00001210	「医療クライシス」を超えて　イギリスと日本の医療・介護のゆくえ	近藤克則　著	医学書院	2800円
00001211	失名辞(アノミア)　失語症モデルの現在と治療の新地平	マッティ・ライネ	医学書院	4000円
00001212	こどもの感染症ハンドブック　第2版	脇口宏　編	医学書院	4000円
00001213	チーム医療のための呼吸ケアハンドブック	木田厚瑞	医学書院	4200円
00001214	関節・軟部組織注射マニュアル　基本テクニックと診断	Trevor Silver　[著]	丸善出版	3800円
00001215	極論で語る感染症内科	岩田健太郎　著	丸善出版	3500円
00001216	極論で語る睡眠医学	河合真　著	丸善出版	3700円
00001217	極論で語る総合診療	桑間雄一郎　著	丸善出版	3900円
00001218	生物を知るための生化学　第4版	池北雅彦	丸善出版	2500円
00001219	スタンダード免疫学　第4版	小林芳郎	丸善出版	3200円
00001220	免疫学　「わたしの体」をまもる仕組み/ 初めの一歩は絵で学ぶ	田中稔之　著	じほう	1800円
00001221	免疫学の入門　第7版	今西二郎　著	金芳堂	2600円
00001222	微生物学250ポイント　改訂7版	今西二郎　著	金芳堂	3400円
00001223	生理学　第8版　/ Minor textbook	岡田隆夫	金芳堂	4000円
00001224	研修医・指導医のための地域医療・地域保健	河野公一	金芳堂	4200円
00001225	スポーツ医学テキスト	前田如矢　編著	金芳堂	3000円
00001226	Quack-quack博士の健康・スポーツ講座	朝井均　著	金芳堂	2800円
00001227	人間関係が楽になる医療・福祉現場のコミュニケーション コーチング思考で"人"を理解するための25の事例	小薗真知子	三輪書店	1800円
00001228	Q&Aとイラストで学ぶ神経内科 これだけは知っておきたい神経症候の発症機序	黒田康夫　著	新興医学出版社	3000円
00001229	超皮質性失語	日本高次脳機能障害学会教育・研修委員会　編	新興医学出版社	4200円
00001230	やさしい肩こり・腰痛・シビレの話　第2版	見松健太郎	名古屋大学出版会	2200円
00001231	才能を引き出した情報空間　トップランナーの図書館活用術 /ライブラリーぶっくす	岡部晋典　著	勉誠出版	2000円
00001232	教育と学びの心理学　基礎力のある教師になるために	速水敏彦　編	名古屋大学出版会	2800円
00001233	トコトンやさしいクロスカップリング反応の本 / B&Tブックス．今日からモノ知りシリーズ	山本靖典	日刊工業新聞社	1500円
00001234	トコトンやさしい高分子の本 / B&Tブックス．今日からモノ知りシリーズ	扇澤敏明	日刊工業新聞社	1500円
00001235	トコトンやさしい電源回路の本 / B&Tブックス．今日からモノ知りシリーズ	相良岩男　著	日刊工業新聞社	1400円
00001236	トコトンやさしい土壌の本　/ B&Tブックス．今日からモノ知りシリーズ	藤原俊六郎	日刊工業新聞社	1500円
00001237	情報整理からはじめるテクニカル・ライティング	Thomas E.Pearsall	丸善	1900円
00001238	情報システム　/ 東京大学工学教程．情報工学	萩谷昌己　著	丸善出版	2300円
00001239	テクニカル・ライティング必須ポイント50	Gary Blake	丸善出版	1900円
00001240	近代日本の体操科授業改革　成城小学校における体操科の「改造」	木原成一郎　著	不昧堂出版	3300円
00001241	電磁気学　第2版　/ 大学院入試問題から学ぶシリーズ	中村徹　著	日本評論社	2300円
00001242	"お理工さん"の微分積分	西野友年　著	日本評論社	2500円
00001243	入門経済学　第4版	伊藤元重　著	日本評論社	3000円
00001244	オープンダイアローグを実践する	ヤーコ・セイックラ [ほか]シンポジスト	日本評論社	1200円
00001245	パリコレで数学を　サーストンと挑んだポアンカレ予想	阿原一志　著	日本評論社	2500円
00001246	運動の指導－6つの"なぜ"に迫る　すべての運動指導者のために	宮下充正　著	杏林書院	1600円
00001247	リハビリテーションのための発達科学入門　身体をもった心の発達	浅野大喜　著	協同医書出版社	2000円
00001248	はじめての言語障害学　言語聴覚士への第一歩	伊藤元信　著	協同医書出版社	2800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001249	構音訓練に役立つ音声表記・音素表記記号の使い方ハンドブック	今村亜子　著	協同医書出版社	2200円
00001250	はじめてのAIアプリケーション C言語で作るネットワークエージェントと機械学習	小高知宏　著	オーム社	2400円
00001251	伊藤真の民法入門　第6版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1700円
00001252	ミクロ経済学の力	神取道宏　著	日本評論社	3200円
00001253	国家試験受験のためのよくわかる憲法　第6版　憲法・基礎法学をやさしく学びたい人のために 公務員試験/行政書士/司法書士	中谷彰吾　著	自由国民社	2000円
00001254	国家試験受験のためのよくわかる会社法　第6版　会社法・商法の苦手意識を克服したい人のために 行政書士/司法書士/公認会計士	神余博史　著	自由国民社	2500円
00001255	労働法の基本がわかる　改訂11版　やさしく解説	佐々木力　著	自由国民社	1600円
00001256	集合知入門　インターネットで実現した「知識の統合」/ I/O BOOKS	赤間世紀　著	工学社	2300円
00001257	高校教師が教える化学実験室　3訂版　高校大学の授業にプラスアルファ！ユニークな実験集/ I/O BOOKS	山田暢司　著	工学社	2400円
00001258	日本の恐竜図鑑　じつは恐竜王国日本列島 オールカラー	宇都宮聡	築地書館	2200円
00001259	論理の基礎と活用　知識成長・問題解決・論述文読み書きのために	内田詔夫　著	北樹出版	2000円
00001260	プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門　第4版	広兼修　著	オーム社	2000円
00001261	かわらの小石の図鑑　日本列島の生い立ちを考える	千葉とき子	東海大学出版会	2500円
00001262	PT・OT学生の文章力を育てる！レポートの書き方 正しく学ぼう「書く基本」「文章の組み立て」	高谷修　著	金芳堂	2000円
00001263	エピジェネティクス　/ 新・生命科学シリーズ	大山隆	裳華房	2700円
00001264	トコトンやさしい界面活性剤の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	阿部正彦	日刊工業新聞社	1400円
00001265	トコトンやさしい薬の本　/ B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	加藤哲太　著	日刊工業新聞社	1400円
00001266	トコトンやさしい人工知能の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	産業技術総合研究所人工知能研究センター　編	日刊工業新聞社	1500円
00001267	トコトンやさしい染料・顔料の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	中澄博行	日刊工業新聞社	1500円
00001268	トコトンやさしい電磁気の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	面谷信　著	日刊工業新聞社	1500円
00001269	がん患者の「知りたい」がわかる本　日常生活の安心を支援するQ&A集	阿南節子	じほう	2200円
00001270	子どもたちの笑顔を支える小児緩和ケア	多田羅竜平　著	金芳堂	3600円
00001271	解剖生理学　からだの構造と働きがひと目でわかる / 初めの一歩は絵で学ぶ	林洋　監修	じほう	2000円
00001272	生化学　からだの不思議を解き明かす/ 初めの一歩は絵で学ぶ	生田哲　著	じほう	1800円
00001273	微生物学　細菌・真菌・ウイルスと感染症/ 初めの一歩は絵で学ぶ	杉田隆　著	じほう	1800円
00001274	薬理学　疾患と薬の作用がひと目でわかる/ 初めの一歩は絵で学ぶ	黒山政一	じほう	1800円
00001275	患者さんに説明できるうつ病治療	稲田泰之　著	じほう	1800円
00001276	骨疾患と痛み　確実な診断・治療のために	林泰史　編	医薬ジャーナル社	3600円
00001277	浜松医大流エビデンスに基づく精神療法実践集	森則夫	金芳堂	3400円
00001278	拒食症身体治療マニュアル　精神科医もできる！	栗田大輔　著	金芳堂	1800円
00001279	肢体不自由児の医療・療育・教育　改訂3版	沖高司	金芳堂	3200円
00001280	てんかん教室　改訂第3版	兼子直　編著	新興医学出版社	4200円
00001281	言語発達遅滞　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　1	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3800円
00001282	吃音　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　2	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3000円
00001283	脳性麻痺　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　3	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3500円
00001284	運動性構音障害　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　4	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3200円
00001285	失語症　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　5	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3500円
00001286	口蓋裂・構音障害　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　6	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3800円
00001287	聴覚障害　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　7	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	4000円
00001288	作業療法学全書　改訂第3版　第1巻　作業療法概論	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3400円
00001289	作業療法学全書　改訂第3版　第2巻　基礎作業学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001290	作業療法学全書　改訂第3版　第3巻　作業療法評価学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3800円
00001291	作業療法学全書　改訂第3版　第4巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3800円
00001292	作業療法学全書　改訂第3版　第5巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3800円
00001293	作業療法学全書　改訂第3版　第6巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001294	作業療法学全書　改訂第3版　第7巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	2800円
00001295	作業療法学全書　改訂第3版　第8巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001296	作業療法学全書　改訂第3版　第9巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001297	作業療法学全書　改訂第3版　第10巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3000円
00001298	作業療法学全書　改訂第3版　第11巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3600円
00001299	作業療法学全書　改訂第3版　第12巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3000円
00001300	作業療法学全書　改訂第3版　第13巻　地域作業療法学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001301	言語聴覚障害総論　改訂　1　/ 言語聴覚療法シリーズ　1	倉内紀子　編著	建帛社	2800円
00001302	言語聴覚障害総論　改訂　2　/ 言語聴覚療法シリーズ　2	山崎京子　編著	建帛社	2500円
00001303	高次脳機能障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　3	長谷川賢一　編著	建帛社	2600円
00001304	失語症　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　4	石川裕治　編著	建帛社	2600円
00001305	聴覚障害　改訂　1　基礎編/ 言語聴覚療法シリーズ　5	山田弘幸　編著	建帛社	2500円
00001306	聴覚障害　改訂　2　臨床編/ 言語聴覚療法シリーズ　6	山田弘幸　編著	建帛社	2500円
00001307	機能性構音障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　7	本間慎治　編著	建帛社	2500円
00001308	器質性構音障害　/ 言語聴覚療法シリーズ　8	斉藤裕恵　編著	建帛社	2600円
00001309	運動障害性構音障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　9	熊倉勇美　編著	建帛社	2500円
00001310	言語発達障害　改訂　1　/ 言語聴覚療法シリーズ　10	大貝茂　編著	建帛社	2500円
00001311	言語発達障害　改訂　2　/ 言語聴覚療法シリーズ　11	斉藤吉人　編著	建帛社	2500円
00001312	言語発達障害　改訂　3　/ 言語聴覚療法シリーズ　12	笠井新一郎　編著	建帛社	2700円
00001313	吃音　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　13	都筑澄夫　編著	建帛社	2500円
00001314	音声障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　14	苅安誠	建帛社	3100円
00001315	摂食・嚥下障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　15	清水充子　編著	建帛社	2800円
00001316	AAC　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　16	久保健彦　編著	建帛社	2500円
00001317	側弯症治療の最前線　基礎編	日本側彎症学会　編	医薬ジャーナル社	6800円
00001318	側弯症治療の最前線　手術編	日本側彎症学会　編	医薬ジャーナル社	7600円
00001319	よくわかる野球肘 肘の内側部障害　病態と対応 肘実践講座	山崎哲也	全日本病院出版会	8500円
00001320	よくわかる野球肘 離断性骨軟骨炎　肘実践講座	岩瀬毅信	全日本病院出版会	7500円
00001321	医用機器　1　/ ヘルスプロフェッショナルのためのテクニカルサポートシリーズ　4	田村俊世	コロナ社	2700円

(資料27)図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001322	医用機器　2　/ ヘルスプロフェッショナルのためのテクニカルサポートシリーズ　5	山形仁　編著	コロナ社	2700円
00001323	こどもの心と体の成長・発達によい食事　1　妊娠期・乳児期　こども病院の医師と栄養士による食育レシピ	惠谷ゆり	金芳堂	2000円
00001324	こどもの心と体の成長・発達によい食事　2　幼児期　こども病院の医師と栄養士による食育レシピ	惠谷ゆり	金芳堂	2000円
00001325	こどもの心と体の成長・発達によい食事　3　学童期・思春期　こども病院の医師と栄養士による食育レシピ	惠谷ゆり	金芳堂	2000円
00001326	ニュー運動生理学　1	宮村実晴　編集	真興交易医書出版部	8000円
00001327	ニュー運動生理学　2	宮村実晴　編集	真興交易医書出版部	8200円
00001328	薬がみえる　vol.1 神経系の疾患と薬 循環器系の疾患と薬 腎・泌尿器系の疾患と薬	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	3600円
00001329	薬がみえる　vol.2　代謝系の疾患と薬 内分泌系の疾患と薬 産婦人科系の疾患と薬 血液系の疾患と薬 免疫・炎症・アレルギー疾患と薬 眼	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	3600円
00001330	薬がみえる　vol.3 消化器系の疾患と薬 呼吸器系の疾患と薬 感染症と薬 悪性腫瘍と薬	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	3900円
00001331	機能的運動療法　エクササイズ編 クラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.Klein-Vogelbach	丸善出版	5800円
00001332	運動科学の基礎　アスリートのパフォーマンス向上のために	G.カーメン　編著	西村書店	4500円
00001333	摂食嚥下障害の患者さんと家族のために　改訂第3版　第1巻　総合編	西尾正輝　著	インテルナ出版	1000円
00001334	摂食嚥下障害の患者さんと家族のために　改訂版　第2巻　嚥下食編	西尾正輝　著	インテルナ出版	1600円
00001335	パンスキー ジェスト解剖学　1　背部・上肢・下肢　基礎と臨床に役立つ	ベン・パンスキー	西村書店東京出版編集部	2800円
00001336	パンスキー ジェスト解剖学　2　胸部・腹部・骨盤と会陰　基礎と臨床に役立つ	ベン・パンスキー	西村書店東京出版編集部	2800円
00001337	パンスキー ジェスト解剖学　3　頸部・頭部・脳と脳神経　基礎と臨床に役立つ	ベン・パンスキー	西村書店東京出版編集部	2900円
00001338	高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション　1	蜂須賀研二　編著	金芳堂	2800円
00001339	高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション　2	蜂須賀研二　編著	金芳堂	2800円
00001340	高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション　3	蜂須賀研二	金芳堂	2800円
00001341	CT・MRI画像解剖ポケットアトラス　第4版　1　頭部・頸部	トルステン・B.メーラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001342	CT・MRI画像解剖ポケットアトラス　第4版　2　胸部・心臓・腹部・骨盤	トルステン・B.メーラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001343	アメリカ医療の光と影　医療過誤防止からマネジドケアまで	李啓充　著	医学書院	2000円
00001344	アメリカ医療の光と影　続 バースコントロール・終末期医療の倫理と患者の権利	李啓充　著	医学書院	2200円
00001345	分冊解剖学アトラス　第6版　1　運動器	W.PLATZER　[著]	文光堂	5600円
00001346	分冊解剖学アトラス　第6版　2　内臓	H.Fritsch	文光堂	5600円
00001347	分冊解剖学アトラス　第6版　3　神経系と感覚器	W.KAHLE	文光堂	5600円
00001348	日本の橋　その物語・意匠・技術/ シリーズ・ニッポン再発見　5	五十畑弘　著	ミネルヴァ書房	2000円
00001349	トイレ　排泄の空間から見る日本の文化と歴史 / シリーズ・ニッポン再発見　4	屎尿・下水研究会　編著	ミネルヴァ書房	1800円
00001350	中国文化55のキーワード　/ 世界文化シリーズ　6	武田雅哉	ミネルヴァ書房	2500円
00001351	統計学がわかる　ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学/ ファーストブック	向後千春	技術評論社	1680円
00001352	統計学がわかる　回帰分析・因子分析編　アイスクリームで味わう、"関係"の統計学/ ファーストブック	向後千春	技術評論社	1680円
00001353	地図を学ぶ　地図の読み方・作り方・考え方 / めぐろシティカレッジ叢書　5	菊地俊夫	二宮書店	1300円
00001354	森を知り森に学ぶ　森と親しむために/ めぐろシティカレッジ叢書　6	菊地俊夫	二宮書店	1500円
00001355	地域包括ケアシステム　その考え方と課題 / 地域ケアシステム・シリーズ　1	太田貞司　編	光生館	2400円
00001356	医療制度改革と地域ケア　急性期病院から慢性期病院、そして地域・在宅へ/ 地域ケアシステム・シリーズ　2	太田貞司　編	光生館	2600円
00001357	地域ケアシステムとその変革主体　市民・当事者と地域ケア/ 地域ケアシステム・シリーズ　3	太田貞司　編	光生館	2600円
00001358	大都市の地域包括ケアシステム　「見えにくさ」と「描く力」 / 地域ケアシステム・シリーズ　4	太田貞司　編集代表編著	光生館	2500円
00001359	神経情報伝達分子　脳機能の分子レベルでの理解をめざして / 情報生物学シリーズ　2	葛西道生　[ほか]共編	培風館	2900円
00001360	シナプス伝達のダイナミクス　記憶と学習のメカニズムをさぐる / 情報生物学シリーズ　4	吉岡亨　[ほか]共編	培風館	2400円
00001361	微生物　感染と病気のポイント 講義ノート	高野利也　著	南山堂	2200円
00001362	医学のための細胞生物学	永田和宏	南山堂	4800円
00001363	なるほどなっとく！解剖生理学	多久和典子	南山堂	3200円
00001364	解剖学きほんノート	安谷屋均　著	南山堂	1900円
00001365	生理学きほんノート	安谷屋均　著	南山堂	1900円
00001366	人類遺伝学ノート　ゲノム医学・疾患遺伝子探索研究の基礎	徳永勝士　編	南山堂	3600円
00001367	神経変性疾患のサイエンス　/ The frontiers in medical sciences	高橋良輔　編	南山堂	5400円
00001368	免疫学コア講義　改訂4版	熊ノ郷淳	南山堂	5000円
00001369	ワンポイントウイルス学	豊田哲也　編	南山堂	4000円
00001370	わかる！身につく！病原体・感染・免疫　改訂3版	藤本秀士　編著	南山堂	2800円
00001371	スポーツを楽しむための栄養・食事計画　理論と実践	川野因	光生館	2500円
00001372	生体イメージング研究Update　光が描く免疫・がん・神経系の時空間動態/ The Frontiers in Life Sciences	石井優　編集	南山堂	4800円
00001373	生化学ドリル　スッキリわかる！グングン身につく！	田村隆明　著	南山堂	2000円
00001374	ZEROからの生命科学　改訂4版	木下勉	南山堂	2400円
00001375	わかりやすい免疫疾患　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	宮坂信之　監修・編集	日本医師会	5500円
00001376	認知症でお困りですか？　かかりつけ医のギモンにお答えします！	川畑信也　編著	南山堂	3800円
00001377	国際保健医療のキャリアナビ	日本国際保健医療学会　編	南山堂	2700円
00001378	健康教育・健康管理のレシピ	神田晃	南山堂	3200円
00001379	「はたらく」を支える！職場×発達障害	五十嵐良雄　編著	南山堂	2500円
00001380	医動物学　改訂7版	吉田幸雄	南山堂	5700円
00001381	実践音声治療マニュアル	Alison Behrman	インテルナ出版	3800円
00001382	コグトレ　みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング プリントして使えるCD付き	宮口幸治　著	三輪書店	2000円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001383	動画でわかる呼吸コンディショニングテクニック	堀竜次　著	メディカ出版	6200円
00001384	大田仁史の脳卒中いきいきヘルス体操　新訂版	大田仁史　著	荘道社	1900円
00001385	発話障害へのアプローチ　診療の基礎と実際	廣瀬肇　監修	インテルナ出版	4900円
00001386	院内医療事故調査の指針　第2版 事故発生時の適切な対応が時系列でわかる	飯田修平　編著	メディカ出版	2500円
00001387	骨折の保存的治療　日常診療の疑問に答える 手術上達の近道は保存的治療の理解にある 外傷整形外科医が伝える治療戦略	松村福広　編著	メディカ出版	8000円
00001388	目の不自由な人の"こころのケア"　本当のこころの杖となるために	山田幸男	考古堂書店	1800円
00001389	目の不自由な人の転倒予防 目と平衡感覚、ビタミンDの転倒予防、ロコモ、骨粗鬆症	山田幸男	考古堂書店	1300円
00001390	こどものスポーツ外来　親もナットク！このケア・この説明	田中康仁	全日本病院出版会	6400円
00001391	カラー基本解剖アトラス	ピエール・カミナ　著	西村書店	1800円
00001392	グループ回想法実践マニュアル	梅本充子　著	すびか書房	2000円
00001393	これからの精神保健福祉　第4版　精神保健福祉士ガイドブック	柏木昭	へるす出版	3200円
00001394	ACL損傷予防プログラムの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　1	渡邊裕之	ナップ	3000円
00001395	下肢のスポーツ疾患治療の科学的基礎　筋・腱・骨・骨膜 / Sports physical therapy seminar series　9	吉田昌弘	ナップ	3000円
00001396	骨盤・股関節・鼠径部のスポーツ疾患治療の科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　8	永野康治	ナップ	3000円
00001397	膝関節疾患のリハビリテーションの科学的基礎 / Sports Physical Therapy Seminar Series　10	玉置龍也	ナップ	4300円
00001398	スポーツにおける肘関節疾患のメカニズムとリハビリテーション　/ Sports physical therapy seminar series　5	鈴川仁人	ナップ	3000円
00001399	足関節捻挫予防プログラムの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　3	加賀谷善教	ナップ	2500円
00001400	カラー基本生理学	R.M.バーン	西村書店	4900円
00001401	病院前救急医学	小濱啓次　編著	へるす出版	3600円
00001402	ケアマネジャー必携24時間ケアプラン	村嶋幸代	へるす出版	3000円
00001403	ボルハルト・ショアー現代有機化学問題の解き方　第6版	N.E. Schore　[著]	化学同人	4700円
00001404	事例カンファレンスで学ぶ高次脳機能障害リハビリテーション よりよい支援のためのヒント	川原薫　編著	三輪書店	4200円
00001405	知っておきたい認知症ケア最前線　理解と実践	本間昭	ぱーそん書房	2700円
00001406	医学概論　医学生が学ぶべき生命・医療倫理と医学史	井内康輝　編集	篠原出版新社	3800円
00001407	EBM公衆衛生	Ross C.Brownson	篠原出版新社	3000円
00001408	コメディカルのためのピラティスアプローチ	中村尚人　編著	ナップ	3500円
00001409	姿勢制御の神経生理機構	藤原勝夫　編著	杏林書院	3600円
00001410	新癌についての質問に答える　第2版	『コンセンサス癌治療』編集委員会　編集	へるす出版	6000円
00001411	化学受容の科学　匂い・味・フェロモン分子から行動まで / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　01	東原和成　編	化学同人	5600円
00001412	共生微生物　生物と密接に関わるミクロな生命体 / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　27	大野博司　編	化学同人	6000円
00001413	酵母の生命科学と生物工学　産業応用から基礎科学へ / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　09	原島俊	化学同人	5600円
00001414	時間生物学　/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　02	海老原史樹文	化学同人	4800円
00001415	進化を続ける構造生物学　新たなタンパク質機能の解明と創出 / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　15	松島正明	化学同人	4500円
00001416	睡眠科学　最新の基礎研究から医療・社会への応用まで / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　26	三島和夫　編	化学同人	7000円
00001417	生命システム工学　進化分子工学から進化生命工学へ / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　05	田口精一　編	化学同人	4800円
00001418	動植物の受精学　共通機構と多様性/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　13	澤田均　編	化学同人	7000円
00001419	脳の発生学　ニューロンの誕生・分化・回路形成 / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　07	宮田卓樹	化学同人	5400円
00001420	分子脳科学　分子から脳機能と心に迫る/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　20	三品昌美　編	化学同人	6300円
00001421	メカノバイオロジー　細胞が力を感じ応答する仕組み / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　21	曽我部正博　編	化学同人	7500円
00001422	揺らぎ・ダイナミクスと生体機能　物理化学的視点から見た生体分子/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　10	寺嶋正秀　編	化学同人	7500円
00001423	ディサースリアの基礎と臨床　第1巻(理論編)	西尾正輝　著	インテルナ出版	5600円
00001424	ディサースリアの基礎と臨床　第2巻(臨床基礎編)	西尾正輝　著	インテルナ出版	4000円
00001425	ディサースリアの基礎と臨床　第3巻(臨床実用編)	西尾正輝　著	インテルナ出版	4400円
00001426	生活支援総論　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	太田貞司	光生館	2400円
00001427	生活支援の基礎理論　1　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	上之園佳子	光生館	2600円
00001428	生活支援の基礎理論　2　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	谷口敏代	光生館	2500円
00001429	生活支援の実践　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	鈴木聖子	光生館	2400円
00001430	介護福祉の組織・制度論　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	諏訪徹	光生館	2500円
00001431	介護福祉総合演習　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	本名靖	光生館	2500円
00001432	公衆栄養学	今木雅英　編著	南山堂	2800円
00001433	食事調査マニュアル　改訂3版　はじめの一歩から実践・応用まで	伊達ちぐさ	南山堂	2800円
00001434	栄養指導・教育マニュアル	岩間範子	南山堂	4000円
00001435	社会福祉マニュアル	柳川洋	南山堂	3500円
00001436	産業保健マニュアル　改訂7版	森晃爾　総編集	南山堂	6800円
00001437	医学のための基礎分子細胞生物学　改訂3版	平賀紘一　[ほか]編	南山堂	4200円
00001438	運動器の超音波	木野達司　編著	南山堂	8000円
00001439	トリガーポイント治療セルフケアのメソッド	Valerie DeLaune　著	緑書房	4800円
00001440	頚部の手技療法　写真で学ぶ治療法とセルフケア	Joseph E.Muscolino　著	緑書房	7800円
00001441	よくわかる臨床心理学　改訂新版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	下山晴彦　編	ミネルヴァ書房	3000円
00001442	よくわかる社会福祉　第11版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	山縣文治	ミネルヴァ書房	2500円
00001443	よくわかる文化人類学　第2版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	綾部恒雄	ミネルヴァ書房	2500円
00001444	よくわかる障害者福祉　第6版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	小澤温　編	ミネルヴァ書房	2200円
00001445	新版K式発達検査にもとづく発達研究の方法　操作的定義による発達測定	中瀬惇　著	ナカニシヤ出版	3500円
00001446	子供のためのトリガーポイントマッサージ&タッチ 病気の仕組みとツボの位置がよくわかる	Donna Finando　著	緑書房	2500円
00001447	ノンスラストによる関節モビライゼーション　四肢・脊柱のテクニック	糟谷俊彦　著	緑書房	3800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001448	ノンスラストによる関節モビライゼーション　2　運動器系疾患に対するマッサージ、指圧、関節モビライゼーション	糟谷俊彦　著	緑書房	3800円
00001449	1日5分朝の「禅のことば」練習帖 書き込み式気軽にはじめる、ちょこっと仏教習慣	南泉和尚　著	ナツメ社	1100円
00001450	人気陶芸作家の凄技ファイル　作陶のスキルを上げる極意がわかる	陶工房編集部　編	誠文堂新光社	2000円
00001451	ゼロからの金継ぎ入門　器を蘇らせる、漆の繕い	伊良原満美	誠文堂新光社	2000円
00001452	製靴書　オーダーからその製作技術と哲学まで ビスポーク・シューメイキング	山口千尋　監修	誠文堂新光社	3500円
00001453	実践大工道具仕立ての技法　曼陀羅屋流研ぎと仕込みのテクニック	手柴正範　著	誠文堂新光社	3200円
00001454	木工手道具の基礎と実践 道具の種類・特徴から刃研ぎや仕込みの技術までをすべて網羅	大工道具研究会　編	誠文堂新光社	2400円
00001455	岩石薄片図鑑　精細写真で読み解く鉱物組成と生い立ち	青木正博　著	誠文堂新光社	2400円
00001456	元素周期表パーフェクトガイド 元素でできたこの世界が手に取るようにわかる	元素周期表パーフェクトガイド編集チーム　編	誠文堂新光社	1500円
00001457	奇跡の島・西表島の動物たち イリオモテヤマネコとその仲間たちの知られざる生態	鈴木直樹　著	誠文堂新光社	3500円
00001458	生命の化学と分子生物学	E.J.Wood	東京化学同人	2800円
00001459	ケイン基礎生物学	Michael L.Cain	東京化学同人	6100円
00001460	カープ分子細胞生物学	Gerald C.Karp　著	東京化学同人	8000円
00001461	ヴォート基礎生化学　第5版	Donald Voet	東京化学同人	7600円
00001462	ヴォート生化学　第4版　上	Donald Voet	東京化学同人	6800円
00001463	ヴォート生化学　第4版　下	Donald Voet	東京化学同人	6800円
00001464	ストライヤー基礎生化学	John L.Tymoczko	東京化学同人	7900円
00001465	ケイン生物学　第5版	A.Singh-Cundy	東京化学同人	8600円
00001466	エッセンシャル遺伝子	Benjamin Lewin　著	東京化学同人	6800円
00001467	ホートン生化学　第5版	Laurence A.Moran [ほか]著	東京化学同人	6800円
00001468	救急検査指針　救急検査認定技師テキスト	日本救急検査技師認定機構テキスト編集委員会　編集	へるす出版	4500円
00001469	DMAT標準テキスト　改訂第2版	日本集団災害医学会DMATテキスト改訂版編集委員会　編集	へるす出版	5200円
00001470	機能性表示食品　適正な研究レビューのための必携マニュアル	上岡洋晴	ライフサイエンス出版	2500円
00001471	絵本作家61人のアトリエと道具		玄光社	2300円
00001472	片手で料理をつくる　片麻痺の人のための調理の手引き	遠藤てる　著	協同医書出版社	3800円
00001473	組みひも・作業療法への適用法　治療・援助・評価の手引き	遠藤てる　編著	協同医書出版社	3500円
00001474	保健・医療のための研究法入門　発想から発表まで	Diana M.Bailey　著	協同医書出版社	5400円
00001475	失語症の日常会話訓練　イラストフル活用	竹内愛子	協同医書出版社	4000円
00001476	シュルツ・上肢の痛みの評価法	Karen Schultz-Johnson 著	協同医書出版社	3000円
00001477	認知神経リハビリテーション入門	カルロ・ペルフェッティ 著	協同医書出版社	2500円
00001478	一日10分家庭で行う手のリハビリ	遠藤てる	協同医書出版社	3200円
00001479	「研究方法」入門　アイデアを研究にするための13の講義	小林宣泰　著	協同医書出版社	4700円
00001480	大迫力！写真と絵でわかる日本の城・城合戦　/ 大判ビジュアル図解	小和田泰経　著	西東社	1400円
00001481	骨格系画像診断　/ 放射線医学	江原茂　編集	金芳堂	5600円
00001482	人体解剖学実習書	中河志朗　編	金芳堂	7200円
00001483	実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明徳　著	金芳堂	3800円
00001484	例題で学ぶ初歩からの統計学　第2版	白砂堤津耶　著	日本評論社	2500円
00001485	徹底入門解析学	梅田亨　著	日本評論社	3000円
00001486	コンパクトMRI	巨瀬勝美　編著	共立出版	3300円
00001487	分子生物学の基礎　第4版	George M.Malacinski [著]	東京化学同人	5600円
00001488	科学と表象　「病原菌」の歴史	田中祐理子　著	名古屋大学出版会	5400円
00001489	福祉のアジア　国際比較から政策構想へ	上村泰裕　著	名古屋大学出版会	4500円
00001490	社会科学の考え方　認識論、リサーチ・デザイン、手法	野村康　著	名古屋大学出版会	3600円
00001491	会社法　第20版　/ 法律学講座双書	神田秀樹　著	弘文堂	2500円
00001492	労働法　第11版補正版　/ 法律学講座双書	菅野和夫　著	弘文堂	6200円
00001493	行政法　第5版	櫻井敬子	弘文堂	3300円
00001494	現代日本語訳法華経	正木晃　著	春秋社	2600円
00001495	痛みが楽になるトリガーポイント筋肉トレーニング	伊藤和憲　著	緑書房	1800円
00001496	痛みが楽になるトリガーポイントストレッチ&マッサージ	伊藤和憲　著	緑書房	1800円
00001497	頭にしみこむ微分積分　/ 瀬山先生の数学講義シリーズ	瀬山士郎　著	技術評論社	1680円
00001498	鳥類学者無謀にも恐竜を語る　/ 生物ミステリー	川上和人　著	技術評論社	1880円
00001499	はじめてのPMBOK	下田卓治	技術評論社	2480円
00001500	1冊でマスター大学の線形代数	石井俊全　著	技術評論社	2280円
00001501	確率がわかる　豊富な例題と図解で、基本からやさしく解説！集合からていねいに勉強したい人に最適！/ ファーストブック	小泉力一　著	技術評論社	1680円
00001502	書誌学入門　古典籍を見る・知る・読む	堀川貴司　著	勉誠出版	1800円
00001503	栄養と運動と休養　その科学と最近の進歩	飯尾雅嘉	光生館	3600円
00001504	牛乳成分の特性と健康	山内邦男［ほか］責任編集	光生館	3400円
00001505	情報資源組織演習　情報メディアへのアクセスの仕組みをつくる/ 講座・図書館情報学　11	竹之内禎	ミネルヴァ書房	3500円
00001506	ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由　/ 阪南大学叢書　106	牧野広義　著	ミネルヴァ書房	6500円
00001507	地図の文化史　新装版　世界と日本	海野一隆　著	八坂書房	3600円
00001508	日本ゲーム産業史　ゲームソフトの巨人たち	日経BP社ゲーム産業取材班　著	日経BP社	2800円
00001509	新時代の現代社会学6講	池田勝徳　編著	福村出版	2300円
00001510	論理学考究　アポリアへの挑戦	戸辺弘之　著	東京図書出版	2200円
00001511	極論で語る腎臓内科	今井直彦　著	丸善出版	3400円
00001512	糖質と健康　国際シンポジウム	日本国際生命科学協会糖類研究部会　編	建帛社	3500円
00001513	会社法	田中亘　著	東京大学出版会	3800円
00001514	基礎情報学のヴァイアビリティ ネオ・サイバネティクスによる開放系と閉鎖系の架橋	西垣通	東京大学出版会	4400円
00001515	基礎統計学　1　統計学入門	東京大学教養学部統計学教室　／編	東京大学出版会	2800円
00001516	基礎統計学　2　人文・社会科学の統計学	東京大学教養学部統計学教室　／編	東京大学出版会	2900円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00001517	基礎統計学　3　自然科学の統計学	東京大学教養学部統計学教室　／編	東京大学出版会	2900円
00001518	免疫学の要点	G.フェインバーグ	培風館	2524円
00001519	生命体の科学と技術	久保幹	培風館	2800円
00001520	"生きている"ってどういうこと？　生命のしくみを探る生物学	種田保穂	培風館	2400円
00001521	遺伝子は行動をいかに語るか	M.ラター　著	培風館	2600円
00001522	緩和医療の基本と実践、手とり足とり教えます がん患者さんの身体と心の痛みの診かた	沢村敏郎　著	羊土社	3300円
00001523	筋機能改善の理学療法とそのメカニズム　第3版 理学療法の科学的基礎を求めて	望月久	ナップ	3500円
00001524	PT・OTのための画像診断マニュアル	百島祐貴　著	医学教育出版社	2700円
00001525	ライトノベルのための正しい日本語 表現をより良くするための文章テクニック	榎本秋	秀和システム	1300円
00001526	民法のツボとコツがゼッタイにわかる本 / 最初からそう教えてくれればいいのに！	石川正樹　著	秀和システム	1400円
00001527	よくわかる最新熱処理技術の基本と仕組み　第3版　金属の資質を引き出す技術を学ぶ！ 赤めて冷やす技術/ 図解入門	山方三郎　著	秀和システム	1600円
00001528	貿易実務の基本と仕組みがよ～くわかる本　第4版　貿易、グローバルビジネスの必須スキル！/ 図解入門ビジネス. How-nual	布施克彦　著	秀和システム	1500円
00001529	深海生物の「なぜそうなった？」がわかる本 摩訶不思議な姿形と生態の謎を解き明かす！！	北村雄一　著	秀和システム	1500円
00001530	これだけ！高校化学	杉山美次　著	秀和システム	1600円
00001531	これだけ！分析化学	西本右子　著	秀和システム	1400円
00001532	分析化学における測定値の正しい取り扱い方 "測定値"を"分析値"にするために	上本道久　著	日刊工業新聞社	2000円
00001533	新人製品設計者と学ぶプラスチック製品設計の基礎	伊藤英樹　著	日刊工業新聞社	2200円
00001534	最初に読む光化学の本	前田秀一　編著	日刊工業新聞社	2200円
00001535	数学フリーの化学結合	齋藤勝裕　著	日刊工業新聞社	1600円
00001536	図解よくわかるナノセルロース	ナノセルロースフォーラム　編	日刊工業新聞社	2000円
00001537	ノイズ対策は基本式を理解すれば必ずできる！	鈴木茂夫　著	日刊工業新聞社	2400円
00001538	地層の科学　/ B&Tブックス. おもしろサイエンス	西川有司　著	日刊工業新聞社	1600円
00001539	温泉の科学　/ B&Tブックス. おもしろサイエンス	西川有司　著	日刊工業新聞社	1600円
00001540	トコトンやさしい化粧品の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	福井寛　著	日刊工業新聞社	1400円
00001541	トコトンやさしい光合成の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	園池公毅　著	日刊工業新聞社	1400円
00001542	トコトンやさしいゴムの本　/ B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	ゴムと生活研究会　編著	日刊工業新聞社	1400円
00001543	よくわかる炭素繊維コンポジット入門	平松徹　著	日刊工業新聞社	2200円
00001544	耳で覚える！どんどん話せる！はじめての日常英会話	古藤晃　著	西東社	1000円
00001545	すぐ分かるスーパーマーケット使える計数ハンドブック	紙谷佳伸　著	商業界	1600円
00001546	身につく入門統計学　/ ファーストブックSTEP	向後千春	技術評論社	1680円
00001547	憲法判例の射程	横大道聡　編著	弘文堂	2700円
00001548	高齢者のせん妄　安心をとどけるケアと介護の心得	守本とも子　編	すぴか書房	2000円
00001549	自分で「痛み」を管理しよう　慢性痛に順応する積極的取り組み	Michael Nicholas	真興交易医書出版部	3200円
00001550	病理学　3訂	青笹克之　編著	光生館	2000円
00001551	はじめてのR　ごく初歩の操作から統計解析の導入まで	村井潤一郎　著	北大路書房	1600円
00001552	地域包括ケアシステムのすすめ これからの保健・医療・福祉/ 実践のすすめ	豊島泰子	ミネルヴァ書房	2600円
00001553	治すことにこだわらない，吃音とのつき合い方	水町俊郎	ナカニシヤ出版	2000円
00001554	傾聴・心理臨床学アップデートとフォーカシング 感じる・話す・聴くの基本	池見陽　編著	ナカニシヤ出版	2800円
00001555	文化地理学ガイダンス　あたりまえを読み解く三段活用	中川正	ナカニシヤ出版	2400円
00001556	児童相談所一時保護所の子どもと支援　子どもへのケアから行政評価まで	和田一郎　編著	明石書店	2800円
00001557	ネグレクトされた子どもへの支援　理解と対応のハンドブック	安部計彦	明石書店	2600円
00001558	子ども・家族支援に役立つアセスメントの技とコツ よりよい臨床のための4つの視点、8つの流儀	笹川宏樹　[ほか]著	明石書店	2200円
00001559	その人を中心にした認知症ケア　みんなで学ぼう	長谷川和夫	ぱーそん書房	1500円
00001560	介護スタッフのための高齢者施設の感染対策	松本哲哉　編著	ヴァンメディカル	1800円
00001561	コラージュを聴く　対人援助としてのコラージュ療法	山本映子　著	すぴか書房	2400円
00001562	誰でもできる心のケア　リハビリテーション心理学からのアプローチ	南雲直二　著	荘道社	800円
00001563	今日の心のケア　リハビリテーション心理学からのアプローチ	南雲直二　著	荘道社	550円
00001564	私はこうしてサバイバルした　/ メンタル系サバイバルシリーズ	松本俊彦	日本評論社	1300円
00001565	これでわかる大人の発達障害	林寧哲　監修	成美堂出版	1300円
00001566	有期労働契約の無期転換がわかる本　2018年4月から本格発生！	岡田良則　著	自由国民社	1100円
00001567	不動産登記を見る・読むならこの1冊　第5版　/ はじめの一歩	近藤誠　著	自由国民社	1800円
00001568	図解による会社法・商法のしくみ　第6版	神田将　著	自由国民社	1800円
00001569	生物学入門　第2版　/ 大学生のための基礎シリーズ　2	石川統	東京化学同人	2200円
00001570	どうして普通にできないの！ 「かくれ」発達障害女子の見えない不安と孤独	こだまちの　著	協同医書出版社	1500円
00001571	認知症予防　最新第2版　読めば納得！脳を守るライフスタイルの秘訣	山口晴保　著	協同医書出版社	1800円
00001572	リハビリテーションのための脳・神経科学入門　改訂第2版	森岡周　著	協同医書出版社	2800円
00001573	国際経済学　国際貿易編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	中西訓嗣　著	ミネルヴァ書房	3500円
00001574	国際経済学　国際金融編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	岩本武和　著	ミネルヴァ書房	3000円
00001575	統計学　/ Minervaベイシック・エコノミクス	白旗慎吾　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001576	ミクロ経済学　静学的一般均衡理論からの出発 / Minervaベイシック・エコノミクス	浦井憲	ミネルヴァ書房	3000円
00001577	最後の超大国インド　元大使が見た親日国のすべて	平林博　著	日経BP社	1700円
00001578	Dr.Saijoのがんレッスン　がん薬物療法と臨床試験のエッセンス	西條長宏　編著	日経メディカル開発	3000円
00001579	1億人のための統計解析　エクセルを最強の武器にする	西内啓　著	日経BP社	1800円
00001580	スティーブ・ジョブズに学ぶ英語プレゼン 聞き手の心をつかむストーリーと50表現	上野陽子　著	日経BP社	1600円
00001581	商談・会議を成功させるビジネスプレゼン必勝法 相手の心をつかむ資料作りとプレゼンのポイント	大平邦登	日経BP社	1800円
00001582	モビリティー革命2030　自動車産業の破壊と創造	デロイトトーマツコンサルティング　著	日経BP社	1600円
00001583	プロジェクトを絶対に失敗させない！　やり切るための100のヒント	後藤年成　著	日経BP社	2600円
00001584	抵抗勢力との向き合い方 働き方改革、業務改革を阻む最大の壁を乗り越えろ	榊巻亮　著	日経BP社	1600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001585	ロスマンの疫学　第2版　科学的思考への誘い	Kenneth J.Rothman　[著]	篠原出版新社	2500円
00001586	医療従事者のためのプレゼンテーション成功マニュアル	伊藤誠一郎　著	篠原出版新社	2000円
00001587	小説を書きたい人の本　新版　コツさえつかめば小説は誰でも書ける！	誉田龍一　著	成美堂出版	1100円
00001588	日本の火山図鑑　110すべての活火山の噴火と特徴がわかる	高橋正樹　著	誠文堂新光社	2200円
00001589	鉱物・岩石入門　増補版 色や形の不思議、でき方のメカニズムがよくわかる	青木正博　著	誠文堂新光社	1600円
00001590	年代で見る日本の地質と地形　日本列島5億年の生い立ちや特徴がわかる	高木秀雄　著	誠文堂新光社	2200円
00001591	マンガでわかる「西洋絵画」の見かた　美術展がもっと愉しくなる！	まつおかたかこ　イラスト	誠文堂新光社	1600円
00001592	財布でひも解く江戸あんない　マンガで辿る江戸時代の暮らしと遊び	いずみ朔庵　著	誠文堂新光社	1500円
00001593	わかりやすい借地　第11版　見る+読む=わかる/ イラスト六法	山川直人　絵	自由国民社	1500円
00001594	この道のりが楽しみ　《訪問》言語聴覚士の仕事	平澤哲哉　著	協同医書出版社	2000円
00001595	臨床は、とまらない	唐沢彰太　著	協同医書出版社	2500円
00001596	高次脳機能検査の解釈過程 知能，感覚－運動，空間，言語，学力，遂行，記憶，注意	Charles J.Golden	協同医書出版社	3800円
00001597	痴呆症のケア入門	Kathryn A.Bayles	協同医書出版社	2200円
00001598	作業療法実践のための6つの理論　理論の形成と発展	B.Rosalie Johanna Miller [ほか]共著	協同医書出版社	3200円
00001599	高次脳機能障害者の世界　改訂第2版　私の思うリハビリや暮らしのこと	山田規畝子　編著	協同医書出版社	2000円
00001600	片麻痺の作業療法　QOLの新しい次元へ	中里瑠美子　著	協同医書出版社	2600円
00001601	医療スタッフのための心の生物学入門	廣中直行　著	協同医書出版社	2500円
00001602	最新航空事業論　第2版　エアライン・ビジネスの未来像	井上泰日子　著	日本評論社	2800円
00001603	オープンダイアローグ	ヤーコ・セイックラ	日本評論社	2200円
00001604	伊藤真の憲法入門　第6版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1700円
00001605	伊藤真の刑法入門　第6版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1700円
00001606	伊藤真の法学入門　補訂版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1500円
00001607	高校で教わりたかった化学　/ シリーズ大人のための科学	渡辺正	日本評論社	1900円
00001608	高校で教わりたかった生物　/ シリーズ大人のための科学	趙大衛　編著	日本評論社	1800円
00001609	自傷行為の理解と援助　「故意に自分の健康を害する」若者たち	松本俊彦　著	日本評論社	2400円
00001610	相対性理論　/ 日評ベーシック・シリーズ	小林努　著	日本評論社	2200円
00001611	解析力学　/ 日評ベーシック・シリーズ	十河清　著	日本評論社	2400円
00001612	生物科学入門　代謝・遺伝・恒常性	白木賢太郎　著	東京化学同人	1600円
00001613	基礎の生化学　第2版	猪飼篤　著	東京化学同人	1900円
00001614	集合知の作り方・活かし方　多様性とソーシャルメディアの視点から	石川博　著	共立出版	2300円
00001615	AIによる大規模データ処理入門	小高知宏　著	オーム社	2800円
00001616	人工知能の創発　知能の進化とシミュレーション	伊庭斉志　著	オーム社	2800円
00001617	トリアージ　1人でも多くの命を救うために 日常からトリアージを考える	二宮宣文	荘道社	2400円
00001618	介護予防と介護期・終末期リハビリテーション	大田仁史　著	荘道社	1500円
00001619	介助犬を知る　肢体不自由者の自立のために	高柳哲也　編	名古屋大学出版会	2800円
00001620	最新よくわかる股関節の病気　手術をすすめられた人のために	長谷川幸治　著	名古屋大学出版会	2200円
00001621	はじめまして物理	吉田武　著	東海大学出版部	2700円
00001622	現代統計学	美添泰人	日本評論社	2700円
00001623	テキスト現代社会学　第3版　/ MINERVA TEXT LIBRARY　30	松田健　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001624	改正労働者派遣法がわかる本　最新版	加藤利昭　著	成美堂出版	1500円
00001625	はじめてでもよくわかる！特許・実用新案の手続き	コンデックス情報研究所　編著	成美堂出版	1500円
00001626	図解いちばんやさしく丁寧に書いた貿易実務の本　最新改訂版	片山立志　著	成美堂出版	1400円
00001627	知っておきたい発達障がいキーワード 自閉症スペクトラム・AD/HDそして支援のための用語集	東條惠　著	考古堂書店	2200円
00001628	本人と家族のための認知症介護百科　知りたいことがなんでもわかる	須貝佑一	永井書店	1500円
00001629	医学英語の基礎知識　新装版	A.R.ハットン　著	西村書店	4300円
00001630	マンガ面白いほどよくわかる！古事記	かみゆ歴史編集部　編	西東社	1200円
00001631	日本の仏像　写真・図解 この一冊ですべてがわかる！	薬師寺君子　著	西東社	1400円
00001632	シニアのためのやさしい英会話入門	多羅深雪　監修	西東社	1300円
00001633	障害者総合支援法がよ～くわかる本　第4版 / 図解入門ビジネス. How-nual	福祉行政法令研究会　著	秀和システム	1800円
00001634	ヒューマンファクターからみた医療安全 病院でのヒューマンエラーを減らすために	釘宮豊城　編	真興交易医書出版部	3800円
00001635	マンガ・アニメで論文・レポートを書く　「好き」を学問にする方法	山田奨治　編著	ミネルヴァ書房	3500円
00001636	社会学入門	盛山和夫	ミネルヴァ書房	2800円
00001637	数学フリーの分析化学	齋藤勝裕　著	日刊工業新聞社	1600円
00001638	シリコーン大全　/ 技術大全シリーズ	信越化学工業　編著	日刊工業新聞社	3800円
00001639	実務解説改正債権法	日本弁護士連合会　編	弘文堂	4000円
00001640	Project Onlineではじめる最強最速のプロジェクトマネジメント入門	佐山宇宏	日経BP社	2700円
00001641	PMBOKが教えない成功の法則　「手探りプロジェクト」を賢く乗り切る プロマネがすぐ使えるテクニック満載！	本園明史　著	日経BP社	2500円
00001642	シグナル&ノイズ　天才データアナリストの「予測学」	ネイト・シルバー　著	日経BP社	2400円
00001643	筋電図のための解剖ガイド　第3版　四肢・体幹	Aldo O.Perotto　著	西村書店	5800円
00001644	恐怖の病原体図鑑　ウイルス・細菌・真菌完全ビジュアルガイド	トニー・ハート　著	西村書店	1800円
00001645	カラー臨床微生物学チャート&アトラス	トニー・ハート	西村書店	3800円
00001646	元素検定	桜井弘　編著	化学同人	1800円
00001647	シュレーディンガー方程式入門　今度こそ理解できる！	榛葉豊　著	化学同人	1800円
00001648	人文地理学への招待	竹中克行　編著	ミネルヴァ書房	3000円
00001649	自然地理学	松山洋　[ほか]著	ミネルヴァ書房	3000円
00001650	知って役立つ民俗学　現代社会への40の扉	福田アジオ　責任編集	ミネルヴァ書房	2800円
00001651	目からウロコの文化人類学入門　人間探検ガイドブック / Minerva text library　27	斗鬼正一　著	ミネルヴァ書房	2200円
00001652	スポーツ栄養士のキッチンから　アスリート・ジュニアのための絶品レシピ 手軽で美味しい98品目	こばたてるみ　著	日本医療企画	2200円
00001653	進化・情報・かたち　"生命知"のパースペクティブ	伏見譲	培風館	3500円
00001654	免疫　第5版　からだを護る不思議なしくみ	矢田純一　著	東京化学同人	1800円
00001655	知の協創支援　脳と計算機でアイデアを紡ぎ出す	井越昌紀	オーム社	3800円
00001656	よくわかる初等力学	前野昌弘　著	東京図書	2500円
00001657	よくわかる量子力学	前野昌弘　著	東京図書	3200円
00001658	論文作成デザイン　テーマの発見から研究の構築へ	細川英雄　著	東京図書	1800円
00001659	大学1・2年生のためのすぐわかる物理	前田和貞　著	東京図書	2800円
00001660	弱点克服大学生の微積分	江川博康　著	東京図書	2800円
00001661	医療系はじめまして！統計学	奥田千恵子　著	金芳堂	2400円
00001662	医薬研究者の視点からみた道具としての統計学　改訂2版	奥田千恵子　著	金芳堂	3400円
00001663	医学論文英訳のテクニック　改訂4版	横井川泰弘　著	金芳堂	5400円
00001664	伝導失語　復唱障害、STM障害、音韻性錯語	日本高次脳機能障害学会教育・研修委員会　編	新興医学出版社	4200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001665	マンガで学ぶ生命倫理　わたしたちに課せられた「いのち」の宿題	児玉聡　著	化学同人	1000円
00001666	われらの子ども　米国における機会格差の拡大	ロバート・D・パットナム　著	創元社	3700円
00001667	われら勝ち得し世界　セクシュアリティの歴史と親密性の倫理	ジェフリー・ウィークス　著	弘文堂	4500円
00001668	医用生体工学	神谷暾	培風館	4500円
00001669	生活用品の化学が一番わかる　生活に不可欠な化学の力を身近な製品で解説/ しくみ図解　052	武田徳司	技術評論社	1880円
00001670	品質管理のための統計学　生きた実例で理解する：このとおりやればすぐできる/ 基礎からやさしくわかる現場の統計学	川野常夫　著	技術評論社	2180円
00001671	プロ野球でわかる！はじめての統計学	佐藤文彦　著	技術評論社	2280円
00001672	現場ですぐ使える時系列データ分析 データサイエンティストのための基礎知識	横内大介	技術評論社	1980円
00001673	ゼロからわかる構造化学入門　図解/ わかる基礎入門シリーズ	齋藤勝裕　著	技術評論社	2180円
00001674	親切ガイドで迷わない統計学	高橋麻奈　著	技術評論社	1880円
00001675	はじめての生化学　化学・生物学の初歩から始めよう	三浦義彰	杏林書院	2000円
00001676	農業への影響を品目別に精査する　よくわかるTPP協定 / 農文協ブックレット　16	三島徳三　著	農山漁村文化協会	1200円
00001677	食事管理の栄養学	井川正治	西村書店	1900円
00001678	髄膜炎の100章　/ 神経学の100章シリーズ	Karen L.Roos　著	西村書店	5500円
00001679	精神科作業療法研究のイロハ エビデンスを探し読みこなし臨床研究に役立てるために	山下瞳	新興医学出版社	2000円
00001680	喘息教室	石原享介　編著	新興医学出版社	3000円
00001681	いちばんやさしいつまみ細工の手習い帖	ひなぎく　著	ナツメ社	1200円
00001682	翻訳できない世界のことば	エラ・フランシス・サンダース　著/イラスト	創元社	1600円
00001683	なくなりそうな世界のことば	吉岡乾　著	創元社	1600円
00001684	ファット・キャット・アート　デブ猫、名画を語る	スヴェトラーナ・ペトロヴァ&ツァラトゥストラ　著	エクスナレッジ	1800円
00001685	旅のことば　認知症とともによりよく生きるためのヒント	井庭崇	丸善出版	1300円
00001686	日本国憲法はこうして生まれた　施行70年の歴史の原点を検証する	川村俊夫　著	本の泉社	1250円
00001687	バイオセラミックス	田中順三	コロナ社	2800円
00001688	生命・医療・福祉ハンドブック	早稲田大学生命・生体・福祉研究所　編	コロナ社	2400円
00001689	はじめての老化学・病理学　人間科学のためのライフサイエンス入門	千葉卓哉　著	コロナ社	2200円
00001690	力学の基礎とバイオメカニクス	山田宏　著	コロナ社	3000円
00001691	生体システム工学の基礎　/ 計測・制御テクノロジーシリーズ　21	福岡豊	コロナ社	3200円
00001692	英語で学ぶ医科学入門　/ 英語で学ぶ自然科学シリーズ　1	渡邉和男　編著	コロナ社	2200円
00001693	バイオメカニクス入門	林紘三郎　著	コロナ社	2400円
00001694	金属バイオマテリアル　/ バイオマテリアルシリーズ　1	塙隆夫	コロナ社	2400円
00001695	ポリマーバイオマテリアル　先端医療のための分子設計 / バイオマテリアルシリーズ　2	石原一彦　著	コロナ社	2400円
00001696	セラミックバイオマテリアル　/ バイオマテリアルシリーズ　3	岡崎正之	コロナ社	3200円
00001697	生体機械工学入門	橋本成広　著	コロナ社	2200円
00001698	メディア学入門　/ メディア学大系　1	飯田仁	コロナ社	2600円
00001699	生体計測工学入門	橋本成広　著	コロナ社	2600円
00001700	生化学・分子生物学演習　第2版	猪飼篤	東京化学同人	2900円
00001701	免疫学　巧妙なしくみを解き明かす	Peter Wood　著	東京化学同人	3700円
00001702	基礎細胞生物学	田村隆明　著	東京化学同人	3800円
00001703	基礎分子生物学　第4版	田村隆明	東京化学同人	2900円
00001704	有機化学演習　基本から大学院入試まで	山本学	東京化学同人	3800円
00001705	微生物学への誘い	山中健生　著	培風館	2000円
00001706	くり返し聞きたい分子生物学講座	坂口謙吾　著	羊土社	2400円
00001707	Dr.リトルが教える医学英語スピーキングが素晴らしく上達する方法 症例プレゼンや日常臨床，学会発表などで聞き手を惹きつける話し方の秘訣と英文例	ドーリック・リトル　著	羊土社	3400円
00001708	Dr.北野の0から始めるシステムバイオロジー	北野宏明　企画・執筆	羊土社	3400円
00001709	地層の見方がわかるフィールド図鑑　増補改訂版 岩石・地層・地形から地球の成り立ちや活動を知る	青木正博	誠文堂新光社	2200円
00001710	薄片でよくわかる岩石図鑑　含まれる鉱物や組織で種類を知る	チームG　編	誠文堂新光社	2600円
00001711	マンガでわかる「日本絵画」の見かた　美術展がもっと愉しくなる！	唐木みゆ　イラスト	誠文堂新光社	1600円
00001712	マンガで覚える元素周期	元素周期研究会　編	誠文堂新光社	1600円
00001713	漆芸の見かた　日本伝統の名品がひと目でわかる	小林真理　編著	誠文堂新光社	2200円
00001714	情報科学の基礎知識　新版	宮内ミナミ	朝倉書店	2200円
00001715	人工知能と知識処理　新版	木下哲男　著	朝倉書店	2600円
00001716	弦とブレーン　/ Yukawaライブラリー　2	細道和夫　著	朝倉書店	3500円
00001717	入門ベイズ統計学　/ ファイナンス・ライブラリー　10	中妻照雄　著	朝倉書店	3600円
00001718	情報トレーニング　パズルで学ぶ，なっとくの60題	丸岡章　著	朝倉書店	2700円
00001719	地域包括ケア時代における行動変容と継続支援　かかりつけ医必携！	小谷和彦　編集	じほう	2700円
00001720	微生物学　細菌・真菌・ウイルスと感染症/ 初めの一歩は絵で学ぶ	杉田隆　著	じほう	1800円
00001721	大学編入・大学院入試合格！論文の書き方　第2版	中央ゼミナール　編	東京図書	2800円
00001722	弱点克服大学生の確率・統計	藤田岳彦　著	東京図書	2800円
00001723	解析力学　/ 基幹講座物理学	畑浩之　著	東京図書	3000円
00001724	よくわかる解析力学	前野昌弘　著	東京図書	2800円
00001725	元素に恋して　マンガで出会う不思議なelementsの世界	千代田ラフト　原作	創元社	1200円
00001726	3D地形図で歩く日本の活断層	柴山元彦　著	創元社	1800円
00001727	シュレディンガーの猫　実験でたどる物理学の歴史 / 創元ビジュアル科学シリーズ　2	アダム・ハート＝デイヴィス　／著	創元社	1800円
00001728	自閉症の人の人間力を育てる	篤一誠　著	ぶどう社	2000円
00001729	肝臓病教室	与芝真　著	新興医学出版社	2200円
00001730	医療従事者のための同意能力評価の進め方・考え方	SCOTT Y.H.KIM　［著］	新興医学出版社	4000円
00001731	ケースに学ぶ心理学　交流分析のサイコセラピー	島田凉子　著	新興医学出版社	2400円
00001732	こうして乗り切る、切り抜ける認知症ケア 家族とプロの介護者による究極の知恵袋	朝田隆	新興医学出版社	1700円
00001733	高次脳機能障害のリハビリテーション リハビリテーション専門家のための実践ガイド	Brick Johnstone	新興医学出版社	4500円
00001734	学校・職場のメンタルヘルスの実践と応用ストレス関連健康障害への対処	牧野真理子　著	新興医学出版社	2700円
00001735	予防接種マニュアル　改訂版	加藤達夫　編著	新興医学出版社	4800円
00001736	場の量子論　不変性と自由場を中心にして/ 量子力学選書	坂本眞人　著	裳華房	5300円
00001737	責任という虚構	小坂井敏晶　著	東京大学出版会	3500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00001738	アメリカ医療制度の政治史　20世紀の経験とオバマケア / 南山大学学術叢書	山岸敬和　著	名古屋大学出版会	4500円
00001739	介護市場の経済学　ヒューマン・サービス市場とは何か	角谷快彦　著	名古屋大学出版会	5400円
00001740	人間進化の科学哲学　行動・心・文化	中尾央　著	名古屋大学出版会	4800円
00001741	地球学入門　惑星地球と大気・海洋のシステム	酒井治孝　編著	東海大学出版会	2800円
00001742	活性酸素と栄養	水上茂樹	光生館	3800円
00001743	食物アレルギー	菅野道廣	光生館	3200円
00001744	脂肪酸栄養の現代的視点	五十嵐脩	光生館	3800円
00001745	成人病予防からみた脂肪の選択	柘植治人	光生館	3400円
00001746	成人病と栄養　高齢化社会に向けて	板倉弘重	光生館	3800円
00001747	アルコールと栄養　お酒とうまく付き合うために	糸川嘉則	光生館	3400円
00001748	食品の安全性評価の考え方　畜産食品を中心に	本間清一　責任編集	光生館	1600円
00001749	人間の遺伝学	シンガー　[著]	東京化学同人	3500円
00001750	マクマリー生化学反応機構　第2版　ケミカルバイオロジーによる理解	John McMurry	東京化学同人	5400円
00001751	ブラウン分子遺伝学　第3版	T.A.Brown　著	東京化学同人	5200円
00001752	免疫学の基礎　第4版	小山次郎	東京化学同人	2700円
00001753	期待・感情モデルによる体育における学習意欲の喚起に関する研究	西田保　著	杏林書院	3810円
00001754	期待・感情モデルによる体育における学習意欲の喚起に関する研究	西田保　著	杏林書院	3810円
00001755	人はなぜ依存症になるのか　自己治療としてのアディクション	エドワード・Ｊ・カンツィアン	星和書店	2400円
00001756	郊外世代と大都市圏	稲垣稜　著	ナカニシヤ出版	2500円
00001757	感じる情動・学ぶ感情　感情学序説	福田正治　著	ナカニシヤ出版	2600円
00001758	熟議民主主義の困難　その乗り越え方の政治理論的考察	田村哲樹　著	ナカニシヤ出版	3500円
00001759	体力づくりからフィットネス教育へ　アメリカの体育教育と身体づくりへの責任	井谷惠子　著	明石書店	5000円
00001760	高齢者診療のワンポイント・アドバイス	岩本俊彦　著	ライフ・サイエンス	3500円
00001761	姿勢と歩行　協調からひも解く	樋口貴広	三輪書店	3200円
00001762	身体運動学　知覚・認知からのメッセージ	樋口貴広	三輪書店	2800円
00001763	皮膚運動学　機能と治療の考え方	福井勉　編	三輪書店	2800円
00001764	イメージの科学　リハビリテーションへの応用に向けて	森岡周	三輪書店	3600円
00001765	危険ドラッグ対応ハンドブック　精神科救急医療ガイドライン追補版	成瀬暢也	へるす出版	1800円
00001766	心療内科実践学　入門から臨床研究まで	芦原睦　編著	フジメディカル出版	3000円
00001767	プライマリケア・メンタルヘルス活動のための10の心理テスト　入門から応用まで	芦原睦　編著	フジメディカル出版	2300円
00001768	ヒト卵黄嚢　卵黄嚢腫瘍とその周辺	岡本司　著	岡本司	3500円
00001769	日本における義肢装着者の生活援護史研究	坪井良子　著	風間書房	8500円
00001770	生命科学・医科学のためのヒトの生物学　/ Catch up	Philip Bradley	東京化学同人	2400円
00001771	免疫系のしくみ　第4版　免疫学入門	Lauren Sompayrac　著	東京化学同人	3200円
00001772	性別に違和感がある子どもたち　トランスジェンダー・SOGI・性の多様性/子どものこころの発達を知るシリーズ　07	康純　編著	合同出版	1500円
00001773	プロジェクトを成功させる実践力が身につく本	北野利光　[ほか]共著	オーム社	2400円
00001774	プロジェクト現場のメンタルサバイバル術　16の物語から読み解くプロジェクトマネジメント術と人間術	プロジェクトマネジメント学会　編	鹿島出版会	2200円
00001775	経済数学　微分積分編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	中井達　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001776	経済数学　線形代数編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	中井達　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001777	臨床心理士・公認心理師まるごとガイド　資格のとり方・しごとのすべて/まるごとガイドシリーズ　8	亀口憲治　監修	ミネルヴァ書房	1500円
00001778	食物栄養学　3訂版	柘植治人　[ほか]共著	培風館	2500円
00001779	生物学と生命観　新訂	小田隆治　著	培風館	2500円
00001780	輸出管理の基本と実務がよ～くわかる本　第2版　実務の流れから輸出管理が理解できる！/ 図解入門ビジネス. How-nual	橋本かおる　著	秀和システム	1600円
00001781	災害時の栄養・食糧問題	板倉弘重	建帛社	2200円
00001782	栄養とがん	矢ケ崎一三　[ほか]共著	建帛社	1800円
00001783	栄養とエピジェネティクス　食による身体変化と生活習慣病の分子機構	小川佳宏　[ほか]共著	建帛社	2100円
00001784	脳と栄養　行動の分子基盤を求めて	斉藤昌之	建帛社	3800円
00001785	肥満と脂肪エネルギー代謝　メタボリックシンドロームへの戦略	河田照雄	建帛社	3900円
00001786	世界の食事指針の動向	坂本元子	建帛社	2300円
00001787	テーラーメイド個人対応栄養学	合田敏尚	建帛社	3000円
00001788	亜鉛の機能と健康　新たにわかった多彩な機能	駒井三千夫	建帛社	3800円
00001789	高齢者の食と栄養管理	渡邊孟	建帛社	3800円
00001790	アミノ酸の機能特性　ライフサイエンスにおける新しい波	矢ヶ崎一三	建帛社	4600円
00001791	生化学実験　新訂	浅野勉　[ほか]共著	建帛社	1700円
00001792	ロコモティブシンドロームと栄養	田中清	建帛社	2500円
00001793	食品因子による栄養機能制御	芦田均	建帛社	4200円
00001794	脂質栄養と健康	宮澤陽夫	建帛社	3900円
00001795	機能性タンパク質・ペプチドと生体利用	岡達三	建帛社	3600円
00001796	栄養・食品機能とトランスポーター	竹谷豊	建帛社	4200円
00001797	ゲノムビタミン学　遺伝子対応栄養教育の基礎	香川靖雄	建帛社	3500円
00001798	七十人訳ギリシア語聖書エゼキエル書	秦剛平　訳	青土社	3600円
00001799	認知症ケアの新しい風　支え合う温もりの絆を創る	長谷川和夫　著	メディア・ケアプラス	2000円
00001800	認知症ケアの作法　よりよいケアを目指して	長谷川和夫　著	ぱーそん書房	1200円
00001801	認知症知りたいこと百科　Q&A介護ガイド 毎日、悩んで、迷ったときに	須貝佑一	ぱーそん書房	1800円
00001802	睡眠	Steven W.Lockley	ぱーそん書房	2000円
00001803	検査のしくみと進め方　検体，生理機能，画像検査のすべて	大塚喜人	総合医学社	3000円
00001804	脳・脊髄の画像診断"鑑別診断力"を磨く厳選22題 専門医試験の画像問題に自信がもてる！ 研修医・若手医師必携！神経内科医・脳外科医・放射線	里見淳一郎	メディカ出版	5000円
00001805	故事成語で読み解く中国経済	李智雄　著	日経BP社	2800円
00001806	医療訴訟のここがポイント　/ 注目判例に学ぶ医療トラブル回避術　2	日経メディカル　編	日経BP社	3800円
00001807	精神障害作業療法入門	簗瀬誠　著	協同医書出版社	2000円
00001808	言語障害の研究入門　はじめての研究そして発表まで	伊藤元信　著	協同医書出版社	3000円
00001809	結核作業療法とその時代　甦る作業療法の原点	加賀谷一　著	協同医書出版社	2500円
00001810	運動の生物学　改訂第2版　臨床家のための脳科学	塚本芳久　著	協同医書出版社	3500円
00001811	アンダーソン血液学アトラス	シャウナ C.アンダーソン ヤング	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4400円

(資料27)図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001812	骨粗鬆症　診断・予防・治療ガイド	ライナー・バートル	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001813	結末への道筋　アポトーシスとさまざまな細胞死	ダグラス R.グリーン　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4400円
00001814	ピッツバーグの人工呼吸「集中講義」	ジョン W.クライト　編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3600円
00001815	女性のうつ病　ライフステージからみた理解と対応	松島英介	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001816	はじめて学ぶ医療英語	大垣雅昭	メディカル・サイエンス・インターナショナル	900円
00001817	エマージェンシー神経学　日常診療で遭遇する51のケーススタディ	サラ T.ペンドルベリー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00001818	感染症999の謎	岩田健太郎　編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	5000円
00001819	え！？ここまでわかるの？人工呼吸器グラフィックス	ジョナサン B.ウォー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2600円
00001820	カラー図解これならわかる薬理学　第2版	ハインツ・ルールマン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6400円
00001821	カラー図解症状の基礎からわかる病態生理　第2版	ステファン・シルバーナグル	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6200円
00001822	見てわかる生化学　第2版　カラー図解	ヤン コールマン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7000円
00001823	カラー図解臨床に役立つ免疫学	ゲルト・リュディガー・ブルメスター	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6000円
00001824	カラー図解神経の解剖と生理	Ben Greenstein	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7800円
00001825	カラーアトラス顕微鏡写真で見る細胞組織学	ヴォルフガング・キューネル　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7500円
00001826	カラー図解基礎から疾患までわかる遺伝学	エーベルハルト・パッサルゲ　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6800円
00001827	予防接種の手びき　2018-19年度版	岡部信彦　[ほか]編著	近代出版	6500円
00001828	知っておきたい脊柱側弯症　改訂版　側弯のしおり	日本側弯症学会　編	インテルナ出版	1143円
00001829	双極性気分障害の治療戦略	稲田俊也　著	じほう	1800円
00001830	入院医療のための保険診療ガイド　DPCの基礎からレセプトチェックまで	藍真澄　編著	じほう	2300円
00001831	トレーニングという仕事　水族館トレーナーの知恵と技	志村博　著	東海大学出版部	2400円
00001832	野球ヒジ診療ハンドブック　肘の診断から治療，検診まで	柏口新二	全日本病院出版会	3600円
00001833	宝石　手のひらに広がる宝石の世界/ ネイチャーガイド・シリーズ	ロナルド・ルイス・ボネウィッツ　文	化学同人	2000円
00001834	鉱物結晶図鑑	野呂輝雄　編著	東海大学出版会	3200円
00001835	論理学	野矢茂樹　著	東京大学出版会	2600円
00001836	情報　第2版　東京大学教養学部テキスト	山口和紀　編	東京大学出版会	1900円
00001837	明日からつかえるシンプル統計学 身近な事例でするする身につく最低限の知識とコツ：このとおりやればすぐできる/ 基礎からやさしくわかる現場の統計学	柏木吉基　著	技術評論社	1780円
00001838	身につくシュレーディンガー方程式　/ ファーストブックSTEP	牟田淳　著	技術評論社	1880円
00001839	ワナにはまらない微分積分　オオカミ流高校数学再入門	大上丈彦　著	技術評論社	1880円
00001840	おっぱいの進化史　/ 生物ミステリー	浦島匡	技術評論社	1880円
00001841	世界を動かすプロジェクトマネジメントの教科書　グローバルなチャレンジを成功させるOSの作り方	佐藤知一　著	技術評論社	1780円
00001842	有機化学がわかる　最初のコツさえ覚えればこんなにわかってくるやさしくてためになる有機化学/ ファーストブック	齋藤勝裕　著	技術評論社	1680円
00001843	量子力学がわかる　逐一数式の意味が解説され、思考の筋道が理解できる入門書/ ファーストブック	伊東正人　著	技術評論社	1880円
00001844	DMO観光地経営のイノベーション	高橋一夫　著	学芸出版社	2400円
00001845	フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか 交通・商業・都市政策を読み解く	ヴァンソン藤井由実	学芸出版社	2300円
00001846	日本の戦争解剖図鑑　日本近現代史がマルわかり	拳骨拓史　著	エクスナレッジ	1600円
00001847	仏像とお寺の解剖図鑑 お寺の境内に散りばめられた仏の世界の読み解き方	スタジオワーク　著	エクスナレッジ	1600円
00001848	食と健康のための免疫学入門　/ 人と食と自然シリーズ　1	上野川修一	建帛社	2400円
00001849	もうひとつの脳　微小脳の研究入門	山口恒夫	培風館	4200円
00001850	カンブリアンモンスター図鑑 カンブリア爆発の不思議な生き物たち　図説	千崎達也　文・絵	秀和システム	1500円
00001851	図説鉱物の博物学　地球をつくる鉱物たち	松原聰	秀和システム	2400円
00001852	会社法のツボとコツがゼッタイにわかる本 / 最初からそう教えてくれればいいのに！	大越一毅　著	秀和システム	1600円
00001853	これだけ！生化学	生化学若い研究者の会　著	秀和システム	1600円
00001854	よくわかる最新分析化学の基本と仕組み　第2版　現場で必要とされる分析法のノウハウ 分析の基礎/ 図解入門. Visual Guide B	津村ゆかり　著	秀和システム	2300円
00001855	オリジナリティあふれる物語作りのためのライトノベル・マンガ・ゲームで使えるストーリー80	榎本秋	秀和システム	1600円
00001856	高齢者住宅職場トラブル対応術　45の困った！事例に学ぶ / NHCスタートアップシリーズ	小嶋勝利　著	日経BP社	1800円
00001857	FinTechの法律　2017-2018　/ 日経FinTech選書	増島雅和	日経BP社	2700円
00001858	バリアフリー住宅読本　改訂新版　必携実例でわかる福祉住環境 高齢者の自立を支援する住環境デザイン	高齢者住環境研究所	三和書籍	2500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001859	写真でわかる安心介護	日野原重明　監修	インターメディカ	2200円
00001860	臨床疫学　臨床研究の原理・方法・応用	Diederick E. Grobbee	インターメディカ	4700円
00001861	介護福祉教育の展望　カリキュラム改正に臨み	西村洋子	光生館	2200円
00001862	子どもと関わる人のためのアンガーマネジメント 怒りの感情をコントロールする方法	川上陽子	合同出版	1500円
00001863	ここからはじめる観光学　楽しさから知的好奇心へ	大橋昭一	ナカニシヤ出版	2600円
00001864	食品包装の科学　/ B&Tブックス. おもしろサイエンス	日本食品包装協会　編著	日刊工業新聞社	1600円
00001865	これで書ける企業論文　失敗例と図解で納得	永田恒一　著	森北出版	2000円
00001866	骨格筋のバイオメカニクス　筋線維から運動協調性まで	Vladimir M.Zatsiorsky	ナップ	4600円
00001867	整形外科・スポーツ傷害診察ハンドブック	Chad Starkey	ナップ	4000円
00001868	毎日つぶやく英会話1秒レッスン　CD BOOK	清水建二　著	成美堂出版	1000円
00001869	DVD & CDでマスター英語の発音が正しくなる本	鷲見由理　著	ナツメ社	2200円
00001870	<最新>熱処理のしくみと技術　オールカラー図解	仁平宣弘　著	ナツメ社	1800円
00001871	世界服飾史のすべてがわかる本　史上最強カラー図解	能澤慧子　監修	ナツメ社	2000円
00001872	図解仕事の流れが一目でわかる！はじめての貿易実務	木村雅晴　著	ナツメ社	1400円
00001873	元素のすべてがわかる図鑑　世界をつくる118元素をひもとく	若林文高　監修	ナツメ社	1680円
00001874	プロが教える鉱物・宝石のすべてがわかる本　/ 史上最強カラー図解	下林典正	ナツメ社	1500円
00001875	価値がわかる宝石図鑑	諏訪恭一　著	ナツメ社	2200円
00001876	プロカウンセラーが教えるはじめての傾聴術	古宮昇　著	ナツメ社	1400円
00001877	ここだけ押さえる！会社法のきほん　スイスイわかる！グッと深まる！	神田秀樹　監修	ナツメ社	1400円
00001878	これならわかる！図解場合の数と確率	佐藤敏明　著	ナツメ社	1580円
00001879	文豪図鑑　完全版　あの文豪の素顔がすべてわかる	開発社　編	自由国民社	1300円
00001880	生活保護の受け方がわかる本　第2版　やさしく案内 最後の頼り / Social Law Book	法律知識普及会 企画・執筆	自由国民社	1300円
00001881	負けない人たち　金子勝の列島経済探訪レポート 近い未来にどういう社会を創るのか	金子勝　著	自由国民社	1500円
00001882	スタッフに「辞める！」と言わせない介護現場のマネジメント　新版 できる介護職を失わないための現場管理者の実践マニュアル	田中元　著	自由国民社	1900円
00001883	人工知能の基礎　第2版	馬場口登	オーム社	2900円
00001884	人工知能と人工生命の基礎	伊庭斉志　著	オーム社	2800円
00001885	人工知能　改訂2版　/ IT Text	松本一教	オーム社	2800円
00001886	健康と病気にまつわる体の仕組み	加藤征治　著	金芳堂	3200円
00001887	万能コンピュータ　ライプニッツからチューリングへの道すじ チューリング生誕100周年記念版	マーティン・デイヴィス 原著	近代科学社	3600円
00001888	医療・看護・介護で役立つ嚥下治療エッセンスノート	福村直毅　編著	全日本病院出版会	3300円
00001889	情報リテラシー　第3版　メディアを手中におさめる基礎能力	山川修	森北出版	2000円
00001890	おしっこのはなし　賢い腎臓の役割を知ろう	北岡建樹　著	ぱーそん書房	1800円
00001891	分子細胞学	中村運　著	培風館	2600円
00001892	「認知運動療法」日記　ボクは日々、変容する身体 リハビリテーション・レポート	藤田貴史　著	協同医書出版社	1500円
00001893	「のーさいど」から　脳がこわれてもボクは漫画家！ リハビリテーション・コミック	藤田貴史　作	協同医書出版社	1200円
00001894	砂原茂一さんの『リハビリテーション』を読む 遠いビジョンを読み直す リハビリテーション・エッセイ	藤田貴史　著	協同医書出版社	1800円
00001895	関節可動域測定法　改訂第2版　可動域測定の手引き	Cynthia C.Norkin	協同医書出版社	4000円
00001896	音楽家の手　臨床ガイド	イアン・ウィンスパー	協同医書出版社	5700円
00001897	子どもの食と栄養　改訂　保育士養成課程	岡崎光子　編著	光生館	2400円
00001898	食学入門　食べるヒト・食べるモノ・食べるコト	荒井三津子　編著	光生館	2200円
00001899	スポーツを楽しむための栄養・食事計画　理論と実践	川野因	光生館	2500円
00001900	介護予防　日本と北欧の戦略	笹谷春美	光生館	2600円
00001901	エンドレス・ウェブ　身体の動きをつくり出す筋膜の構造とつながり	R.Louis Schultz	市村出版	2800円
00001902	脳性麻痺のリハビリテーション実践ハンドブック	梶浦一郎	市村出版	2600円
00001903	入門運動神経生理学　ヒトの運動の巧みさを探る	矢部京之助	市村出版	5400円
00001904	子どもの遊び・運動・スポーツ	浅見俊雄	市村出版	2600円
00001905	見て読んで学ぶ人体解剖生理学	堀川宗之　著	真興交易医書 出版部	3800円
00001906	重度障害者の職業リハビリテーション入門　誰もが働ける社会をめざして 障害者の福祉・教育・医療・労働に携わるすべての人に	南雲直二　監修	荘道社	2200円
00001907	教養のための昆虫学	平嶋義宏	東海大学出版部	3000円
00001908	放射線と免疫・ストレス・がん	佐渡敏彦　著	医療科学社	5500円
00001909	失語症Q&A　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村純　編著	新興医学出版社	4000円
00001910	意思伝達装置操作スイッチ適合マニュアル　重度障害者用	日向野和夫　著	三輪書店	2800円
00001911	寄生虫・害虫マニュアル	広島県安佐医師会　編	杏林書院	3500円
00001912	病態と治療　第3版	鳥海純	杏林書院	5000円
00001913	読んでわかる解剖生理学　テキスト	竹内修二　著	医学教育出版社	2900円
00001914	活火山・活断層赤色立体地図でみる日本の凸凹　最新版	千葉達朗　編	技術評論社	1880円
00001915	ジオ・パルNEO　第2版　地理学・地域調査便利帖	野間晴雄　[ほか]編著	海青社	2500円
00001916	図解スポーツ傷害とリハビリ治療のためのテーピング技術	Anne Keil　著	緑書房	4800円
00001917	福祉関係法規ハンドブック	本井治　著	共和書院	1800円
00001918	ダイバージョナルセラピー　施設ケアの新発想！ オーストラリアのプロメソッド	芹澤隆子　著	三輪書店	2600円
00001919	病棟で働く人のための生理学　改訂第4版	香山雪彦	学研メディカル秀潤社	2800円
00001920	エッセンシャル解剖・生理学　新版 / 臨床工学ライブラリーシリーズ　3	堀川宗之　著	学研メディカル秀潤社	3400円
00001921	レーヴン/ジョンソン生物学　上	P.レーヴン	培風館	6400円
00001922	身体(からだ)が見える・疾患を学ぶ解剖アトラス ソボッタの解剖図に秘められた人体の世界	井上泰　監訳	メディカ出版	7800円
00001923	プロッパー細胞生物学　細胞の基本原理を学ぶ	George Plopper　著	化学同人	6500円
00001924	コスタンゾ明解生理学	コスタンゾ　原著	エルゼビア・ジャパン	6000円
00001925	ヴォルフ カラー人体解剖学図譜	Petra Ko¨pf-Maier　編	西村書店	4800円
00001926	カラー人体解剖学　構造と機能：ミクロからマクロまで	F.H.マティーニ	西村書店	7800円
00001927	新しい、美しいペンギン図鑑	テュイ・ド・ロイ	エクスナレッジ	3900円
00001928	世界で一番美しい元素図鑑	セオドア・グレイ　著	創元社	3800円
00001929	世界で一番美しい分子図鑑	セオドア・グレイ　著	創元社	3800円
00001930	世界の夢の図書館　37 Wonderful Libraries around the World		エクスナレッジ	3800円
00001931	慢性腎臓病生活・食事指導マニュアル　医師・コメディカルのための	腎疾患重症化予防実践事業 生活・食事指導マニュアル 改訂委員会　編集	東京医学社	2000円
00001932	成長障害のマネジメント　改訂3版　/ マネジメントシリーズ	横谷進　編	医薬ジャーナル社	3600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001933	患者さんと家族のための気管支喘息の知識　改訂版 これだけは知っておきたい	東田有智　編	医薬ジャーナル社	2600円
00001934	骨粗鬆症　改訂3版　/ インフォームドコンセントのための図説シリーズ	杉本利嗣　編	医薬ジャーナル社	4800円
00001935	統合失調症　/ インフォームドコンセントのための図説シリーズ	丹羽真一　編	医薬ジャーナル社	4800円
00001936	認知症の予防と生活指導 / インフォームドコンセントのための図説シリーズ	遠藤英俊　著	医薬ジャーナル社	4800円
00001937	図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション　Parkinson's Disease	山永裕明	三輪書店	3200円
00001938	医療事故ゼロのための60の鉄則　事例・判例から学ぶケーススタディ60	柴田義朗　著	医学通信社	2800円
00001939	医療事故調運用ガイドライン	日本医療法人協会 医療事故調運用ガイドライン作成委員会　編	へるす出版	3000円
00001940	ドクターヘリハンドブック　ドクターヘリ安全運航のために	日本航空医療学会 ドクターヘリハンドブック編集委員会　編集	へるす出版	5000円
00001941	「ありがとう」は奇跡の言葉　病気が治る！と医師も大推奨		マキノ出版	780円
00001942	ID触診術　第2版	鈴木重行　編集	三輪書店	7600円
00001943	IDストレッチング　第2版	鈴木重行　編	三輪書店	4500円
00001944	アクティブIDストレッチング	鈴木重行　編	三輪書店	4500円
00001945	やさしいC型肝炎の自己管理　改訂3版	岡上武　著	医薬ジャーナル社	1800円
00001946	やさしい肩の痛みの自己管理	井樋栄二　編	医薬ジャーナル社	1600円
00001947	やさしい肝臓病の自己管理　改訂版	林紀夫　編	医薬ジャーナル社	2200円
00001948	やさしい高齢者肝疾患の自己管理　改訂版	八橋弘　編著	医薬ジャーナル社	2800円
00001949	やさしい高齢者の健康教室	東京大学医学部附属病院老年病科　編	医薬ジャーナル社	2800円
00001950	やさしい腎臓病患者のためのリン・カルシウム代謝の自己管理　改訂版 保存期・透析期から移植期まで	深川雅史　編著	医薬ジャーナル社	2600円
00001951	やさしい生活習慣病の自己管理　改訂3版	北村諭　著	医薬ジャーナル社	2100円
00001952	やさしい統合失調症の自己管理　改訂版	丹羽真一　編	医薬ジャーナル社	2800円
00001953	やさしい透析患者の自己管理　改訂4版	秋澤忠男　編	医薬ジャーナル社	2600円
00001954	やさしい透析患者のための血圧と心臓・血管の自己管理	深川雅史	医薬ジャーナル社	2800円
00001955	やさしい慢性腎臓病の自己管理　改訂4版	今井圓裕　編	医薬ジャーナル社	2800円
00001956	事例で学ぶデイサービス計画書のつくりかた　改訂版　「自宅等での生活」とデイサービスを結ぶアセスメントの実践	貝塚誠一郎　編著	日本医療企画	2000円
00001957	食事摂取基準による栄養管理・給食管理　PDCAサイクルの実践	由田克士	建帛社	2700円
00001958	大迫力！写真と絵でわかる古事記・日本書紀　/ 大判ビジュアル図解	加唐亜紀　著	西東社	1400円
00001959	大迫力！写真と絵でわかる日本史　/ 大判ビジュアル図解	橋場日月　著	西東社	1300円
00001960	大迫力！写真と絵でわかる日本の合戦　/ 大判ビジュアル図解	加唐亜紀　著	西東社	1400円
00001961	呼吸機能検査技術教本　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会　監修	じほう	4200円
00001962	髄液検査技術教本　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会　監修	丸善出版	3700円
00001963	神経生理検査技術教本　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会　監修	じほう	4600円
00001964	神経生理検査症例集　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会　監修	じほう	3700円
00001965	超音波検査症例集　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会　監修	じほう	5500円
00001966	神経解剖学講義ノート　カラー図解	寺島俊雄　著	金芳堂	4600円
00001967	写真で学ぶ新しいコンセプトによる脳卒中リハビリテーション 自立度向上と介助量軽減のために	古田晃	メディカルプレス	3600円
00001968	医療安全管理実務者標準テキスト	日本臨床医学リスクマネジメント学会テキスト作成委員会　／編集	へるす出版	5500円
00001969	石綿関連疾患の病理とそのリスクコミュニケーション	井内康輝　編著	篠原出版新社	5000円
00001970	スポーツアナトミー　人体解剖生理学	塩田清二	丸善出版	2900円
00001971	マウス解剖イラストレイテッド　改訂版　動画でわかる解剖手技と細胞組織像/ 細胞工学別冊. 目で見る実験ノートシリーズ	野村慎太郎	学研メディカル秀潤社	3600円
00001972	いちばんやさしい和裁の基本	松井扶江　監修	ナツメ社	1890円
00001973	「臨床血液図説」血液を視る　患者さんを診て看て観るために	満谷進　著	医薬ジャーナル社	3800円
00001974	線描骨学実習　第2版	千葉正司　著	考古堂書店	3000円
00001975	大量調理施設衛生管理のポイント　6訂 HACCPの考え方に基づく衛生管理手法		中央法規出版	2400円
00001976	イラストで学ぶスタディスキル図鑑　自ら学習する力をつける	キャロル・ヴォーダマン　ほか著	創元社	2800円
00001977	New生体のしくみ標準テキスト　第2版　新しい解剖生理	高松研	医学映像教育センター(制作・発売)	2800円
00001978	事例・症例に学ぶ栄養管理　改訂2版	中村丁次	南山堂	2800円
00001979	STI性感染症アトラス　改訂第2版	安元慎一郎	学研メディカル秀潤社	7000円
00001980	不思議で美しい石の図鑑	山田英春　著	創元社	3800円
00001981	ベッドサイドの高齢者運動器の診かた Locomotive organs disorders in the elderly	中村耕三　編	南山堂	7000円
00001982	ベッドサイドの神経の診かた　改訂18版	田崎義昭	南山堂	7200円
00001983	Dr.ジンゾーの透析療法の初歩　medicalコミック	佐藤良和　著	南山堂	1800円
00001984	エキスパートに学ぶパーキンソン病・パーキンソニズムQ&A	大江田知子	南山堂	6500円
00001985	この症状を見逃さない戦略的循環器疾患の診かた	東條美奈子　編	南山堂	4000円
00001986	在宅整形が得意技になる本	飯島治　著	南山堂	3500円
00001987	脳卒中の再発を防ぐ！知っておきたいQ&A76	橋本洋一郎	南山堂	3500円
00001988	実践！ケースに学ぶ栄養管理・食事指導エキスパートガイド	稲垣暢也	南山堂	3500円
00001989	イラストを見せながら説明する育児のポイントと健康相談	金子堅一郎　編	南山堂	4000円
00001990	イラストを見せながら説明する子どもの病気とその診かた	金子堅一郎　編	南山堂	9000円
00001991	禁煙学　改訂3版	日本禁煙学会　編	南山堂	3900円
00001992	みんなはどう診るこの症状	横林賢一　編著	南山堂	3200円
00001993	症例から学ぶ戦略的てんかん診断・治療	池田昭夫　編集	南山堂	3800円
00001994	血管外科基本手技アトラス　改訂2版	古森公浩　編	南山堂	8500円
00001995	THE整形内科	白石吉彦	南山堂	4200円
00001996	TEXT麻酔・蘇生学　改訂4版	土肥修司	南山堂	6800円
00001997	TEXT形成外科学　改訂3版	中塚貴志	南山堂	6000円
00001998	心電図読み方の極意　エキスパートはここを見る	三田村秀雄　編	南山堂	3600円
00001999	心電図と不整脈の手びき　改訂4版	黒澤利郎	南山堂	5200円
00002000	法医学　改訂3版	福島弘文　編	南山堂	5500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002001	がん患者の輸液・栄養療法	大村健二　編	南山堂	3800円
00002002	ケースで学ぶ認知症ケアの倫理と法 / 静岡大学人文社会科学部研究叢書　57	松田純	南山堂	2000円
00002003	認知症患者の摂食・嚥下リハビリテーション	野原幹司　編	南山堂	2500円
00002004	下肢臨床症候の診かた・考え方	吉矢晋一	南山堂	6500円
00002005	学生のための現代公衆衛生　改訂7版	野中浩一　編著	南山堂	2300円
00002006	学生のための健康管理学　改訂2版	木村康一	南山堂	2000円
00002007	基礎栄養学　改訂9版	飯塚美和子	南山堂	2600円
00002008	応用栄養学　改訂7版	寺田和子	南山堂	2600円
00002009	理学療法のクリティカルパス　上巻　上肢・脊椎　症例から学ぶグローバルスタンダード	David C.Saidoff	エルゼビア・ジャパン	4800円
00002010	理学療法のクリティカルパス　下巻　下肢　症例から学ぶグローバルスタンダード	David C.Saidoff	エルゼビア・ジャパン	6500円
00002011	健康と長寿への挑戦　食品栄養科学からのアプローチ	木苗直秀　編著	南山堂	1900円
00002012	プライマリ・ケア医のための睡眠障害　スクリーニングと治療・連携	内村直尚　編	南山堂	2800円
00002013	ここが知りたい職場のメンタルヘルスケア　改訂2版 精神医学の知識&精神医療との連携法	日本産業精神保健学会　編	南山堂	4500円
00002014	なるほどなっとく！病理学　病態形成の基本的なしくみ	小林正伸　著	南山堂	2200円
00002015	なるほどなっとく！内科学	浅野嘉延　編	南山堂	6000円
00002016	はじめての病理・病態学　病気の成り立ち	伊藤隆	南山堂	5000円
00002017	はじめる！つかえる！看護のための薬理学	時政孝行　著	南山堂	2300円
00002018	プログレッシブ生命科学	米田悦啓	南山堂	4800円
00002019	Clinical生体機能学　生理学から症状がわかる	當瀬規嗣　著	南山堂	6000円
00002020	TEXT眼科学　改訂3版	坪田一男	南山堂	6800円
00002021	聴覚検査の実際　改訂4版	日本聴覚医学会　編集	南山堂	3400円
00002022	重度失語症検査　重度失語症者へのアプローチの手がかり	竹内愛子　[ほか]共著	協同医書出版社	5200円
00002023	知的機能の簡易評価実施マニュアル　Japanese Adult Reading Test (JART)	松岡恵子	新興医学出版社	3000円
00002024	標準高次動作性検査　改訂第2版　失行症を中心として	日本高次脳機能障害学会　編	新興医学出版社	5700円
00002025	標準ディサースリア検査　新装版	西尾正輝　著	インテルナ出版	5700円
00002026	美しい鉱物と宝石の事典　ロイヤル・オンタリオ博物館名品コレクション	キンバリー・テイト　著	創元社	4500円
00002027	聞く注意力の練習帳　1-[1]：聞く注意力の練習帳 I．1-[2]：聞く注意力の練習帳：注意材料を読む方のために I．2-[1]：聞く注意	藤井正子　編	新興医学出版社	7600円
00002028	見る注意力の練習帳　1：見る注意力の練習帳 I．2：見る注意力の練習帳 II．3：見る注意力の練習帳 III．4：見る注意力の練習帳 IV	藤井正子　編	新興医学出版社	4600円
00002029	記憶の練習帳　1：記憶の練習帳 I(第1週、第2週)．2：記憶の練習帳 II(第3週、第4週)．3：記憶の練習帳 III(第5週、第6週)	藤井正子	新興医学出版社	4800円
00002030	頭が働く練習帳　1：頭が働く練習帳 I．2：頭が働く練習帳 II．3：頭が働く練習帳 III．4：頭が働く練習帳 IV　脳損傷のリハビリ	藤井正子　著	新興医学出版社	4200円
00002031	癌と血管新生の分子生物学　/ The frontiers in medical sciences	澁谷正史　編	南山堂	5800円
00002032	図解よくわかる生化学	中島邦夫	南山堂	3600円
00002033	一般医化学　改訂7版	菊地吾郎　[ほか]共著	南山堂	6500円
00002034	図解薬理学　/ みてわかる薬学	鍋島俊隆	南山堂	8800円
00002035	神経・精神疾患診療マニュアル　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	飯森眞喜雄	日本医師会	5500円
00002036	TEXT精神医学　改訂4版	加藤進昌	南山堂	6500円
00002037	TEXT整形外科学　改訂4版	糸満盛憲	南山堂	8000円
00002038	元素からみた生化学　第4版	中野稔	金芳堂	3800円
00002039	やさしく学ぶ認知症のケア	長谷川和夫　編著	永井書店	3000円
00002040	わかる！できる！骨粗鬆症リエゾンサービス　改訂版　骨粗鬆症マネージャー実践ガイドブック	日本骨粗鬆症学会骨粗鬆症リエゾンサービス委員会ワーキンググループ　編集	医薬ジャーナル社	3600円
00002041	4Stepsエクセル統計　第4版	柳井久江　著	オーエムエス出版	4000円
00002042	エビデンスに基づく疾患別クリニカルマッサージ　評価と治療	Celia Bucci　著	丸善出版	4800円
00002043	すぐわかるイラスト微生物学	Mark Gladwin	丸善	5900円
00002044	イラストレイテッド微生物学　/ リッピンコットシリーズ	Richard A.Harvey	丸善出版	7800円
00002045	症例問題から学ぶ生理学　原書3版	Linda S.Costanzo　著	丸善出版	4800円
00002046	ルービンカラー病理学Q&A	Bruce A.Fenderson	丸善	6600円
00002047	見て知るリハビリテーション医学	小松泰喜　編集	丸善出版	4600円
00002048	片麻痺　バビンスキーからペルフェッティへ	宮本省三　著	協同医書出版社	5500円
00002049	最新女性心身医学	日本女性心身医学会　編集	ばーそん書房	5000円
00002050	ImageJではじめる生物画像解析	三浦耕太	学研メディカル秀潤社	4000円
00002051	あなたの医療は安全か？　異業種から学ぶリスクマネジメント	危機管理システム研究学会メディカルリスクマネジメント分科会　編	南山堂	2800円
00002052	精神医学入門　改訂25版	西丸四方	南山堂	5100円
00002053	症状と薬からひも解く生理学	當瀬規嗣　著	南山堂	1900円
00002054	在宅でみる排尿介護のコツ	奥井識仁	南山堂	1700円
00002055	生命倫理への招待　改訂5版	塩野寛	南山堂	1900円
00002056	介護のための老人医療入門　老人の身体と精神と生活の視点からの医療	三宅貴夫　著	南山堂	2100円
00002057	入門傷寒論	森由雄　著	南山堂	3000円
00002058	不眠症　/ 症候別漢方治療論	石毛敦	南山堂	2000円
00002059	月経関連症候　/ 症候別漢方治療論	石毛敦	南山堂	2000円
00002060	冷え症　/ 症候別漢方治療論	石毛敦	南山堂	2000円
00002061	在宅栄養管理　改訂2版　経口から胃瘻・経静脈栄養まで / 在宅医療の技とこころ	小野沢滋　編著	南山堂	3600円
00002062	在宅で褥瘡に出会ったら　改訂2版　/ 在宅医療の技とこころ	鈴木央　編著	南山堂	3000円
00002063	ここに目をつける！脳波判読ナビ	飛松省三　著	南山堂	3200円
00002064	認知症診療に役立つ77のQ&A	川畑信也　著	南山堂	3200円
00002065	検死ハンドブック　改訂3版	高津光洋　著	南山堂	8500円
00002066	現代微生物学入門　改訂4版	南嶋洋一	南山堂	5000円
00002067	入門病理学	梶田昭　著	南山堂	3690円
00002068	身体(カラダ)が求める運動とは何か　法則性を活かした運動誘導	水口慶高	文光堂	2500円
00002069	コンディショニング・ケアのための物理療法実践マニュアル	川口浩太郎　編	文光堂	2500円
00002070	理学療法士のための6ステップ式臨床動作分析マニュアル	黒川幸雄	文光堂	5200円
00002071	図解理学療法技術ガイド　第4版 理学療法臨床の場で必ず役立つ実践のすべて	石川齊	文光堂	8500円
00002072	図解作業療法技術ガイド　第3版 根拠と臨床経験にもとづいた効果的な実践のすべて	石川齊	文光堂	8500円
00002073	作業療法士プロフェッショナル・ガイド　作業療法士とは何か	杉原素子	文光堂	7000円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002074	理学療法士プロフェッショナル・ガイド 臨床の現場で役立つマネジメントのすべて	細田多穂　[ほか]編	文光堂	6500円
00002075	痛みの漢方治療　今日から実践	世良田和幸	医歯薬出版	3000円
00002076	脳のはたらきと行動のしくみ	八田武志　著	医歯薬出版	2800円
00002077	最新メタボリックシンドローム診療マニュアル	戸邉一之　編	医歯薬出版	5000円
00002078	要介護3・4・5の人のための在宅リハビリ やる気がでる簡単リハビリのすすめ	飯島治　著	医歯薬出版	3200円
00002079	「なつかしの国」の扉を開けよう 要介護3・4・5の人のためのやる気がでる在宅リハビリ	飯島治　著	医歯薬出版	3400円
00002080	器官の異常と誤嚥・摂食嚥下のメカニズム　CGと機能模型でわかる！	里田隆博	医歯薬出版	5400円
00002081	循環器疾患の理学療法　第2版　/ PTマニュアル	奈須田鎮雄	医歯薬出版	3400円
00002082	超音波検査必携肩こり・腰痛解消book	佐久間浩	医歯薬出版	2400円
00002083	理学療法士のためのわかったつもり？！の糖尿病知識Q&A	石黒友康	医歯薬出版	3200円
00002084	手診療マニュアル	南条文昭　著	医歯薬出版	5100円
00002085	NEWエッセンシャル法医学　第5版	長尾正崇	医歯薬出版	8500円
00002086	NEWエッセンシャル眼科学　第8版	丸尾敏夫　著	医歯薬出版	6200円
00002087	NEWエッセンシャル腎臓内科学　第2版	富野康日己　編	医歯薬出版	6200円
00002088	医療スタッフのためのセルフマネジメント リーダーシップを成功させる7つの鍵	Christopher S.Frings　著	医歯薬出版	2200円
00002089	正しい腰痛のなおしかた　カリエ博士の腰痛ガイド	レネ・カリエ　著	医歯薬出版	1500円
00002090	上肢リハビリテーション評価マニュアル	Thomas Platz	医歯薬出版	4200円
00002091	こんなときどうする？リハビリテーション臨床現場のモヤモヤ解決！	上月正博　編著	医歯薬出版	3600円
00002092	食卓の生化学　第2版	三浦義彰	医歯薬出版	2400円
00002093	失語症のホームケア	波多野和夫　編著	医歯薬出版	1800円
00002094	線維筋痛症とたたかう　未知の病に挑む医師と患者のメッセージ	ホールネス研究会　著	医歯薬出版	2400円
00002095	全体構造法でとり組む失語症の在宅リハビリ　補訂	道関京子　編著	医歯薬出版	1800円
00002096	仕事としての老人ケアの気合	高口光子　著	医歯薬出版	2400円
00002097	インスリン物語　新装復刻版	二宮陸雄　著	医歯薬出版	3200円
00002098	癒しの国のアリス　人間としての尊厳と権利を求めて	高柳和江　著	医歯薬出版	1600円
00002099	足と足関節の痛み　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4500円
00002100	軟部組織の痛みと機能障害　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	5700円
00002101	膝の痛みと機能障害　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4200円
00002102	肩の痛み　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4100円
00002103	痛み　そのメカニズムとマネジメント	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4900円
00002104	頸と腕の痛み　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	3700円
00002105	腰痛症　第4版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	5300円
00002106	こんなときどうする？ホームヘルパーと家族のための医療講座	和田忠志　著	医歯薬出版	2400円
00002107	国際論文English査読・執筆ハンドブック	C.S.Langham　著	医歯薬出版	3500円
00002108	インスタントアナトミー	Robert H.Whitaker	医歯薬出版	4000円
00002109	疾患別に診る嚥下障害	片桐伯真　[ほか]編集	医歯薬出版	7000円
00002110	小澤竹俊の緩和ケア読本　苦しむ人と向き合うすべての人へ	小澤竹俊　著	日本医事新報社	1900円
00002111	老年医学テキスト　改訂第3版	日本老年医学会　編	メジカルビュー社	7000円
00002112	OT臨地実習ルートマップ	菊池恵美子　編	メジカルビュー社	5000円
00002113	動画でチェック！運動器・関節エコー 100のQuestion & Answerでみるみるわかる！エコーが読める！	前田佳彦　著	メジカルビュー社	4000円
00002114	今さら聞けない心エコー図100	村田和也　編	メジカルビュー社	4800円
00002115	医療ソーシャルワーカーの七転び八起きミッション "ダメよ…ダメダメ"ケアから"ありのままで"を支えるケアへ	清家理　著	メジカルビュー社	2000円
00002116	パターンでうまく書ける！看護・医療・福祉の英文抄録作成術	平野美津子	メジカルビュー社	2400円
00002117	PT臨床実習ルートマップ	柳澤健　編	メジカルビュー社	4500円
00002118	今さら聞けない心電図	池田隆徳　編	メジカルビュー社	4800円
00002119	老年期うつ病の作業療法　高齢者のやりがい・生きがいを見つけよう！	高橋章郎　編集	メジカルビュー社	3000円
00002120	免疫難病の克服をめざして	岸本忠三　著	中山書店	3000円
00002121	かわる！わかる！おもしろい！コペルニクスな呼吸生理	北岡裕子　著	克誠堂出版	3600円
00002122	呼吸を科学する　息の長い話	西野卓　著	克誠堂出版	3200円
00002123	超音波ガイド下神経ブロック法ポケットマニュアル　改訂第2版	小松徹	克誠堂出版	3800円
00002124	臨床実習フィールドガイド　改訂第2版	石川朗	南江堂	5500円
00002125	医の倫理と法　改訂第2版　その基礎知識	森岡恭彦　著	南江堂	1800円
00002126	痛みの考えかた　しくみ・何を・どう効かす	丸山一男　著	南江堂	3200円
00002127	運動負荷試験Q&A119　改訂第2版	上嶋健治　著	南江堂	3300円
00002128	IDATENのプロが答えるそこが知りたかった感染症	IDATEN〈日本感染症教育研究会〉　編	南江堂	3300円
00002129	遺伝医学への招待　改訂第5版	新川詔夫	南江堂	1800円
00002130	運動処方の指針　運動負荷試験と運動プログラム	American College of Sports Medicine　編	南江堂	3500円
00002131	はじめての臨床脳血管障害　理学療法スタートライン	新田收	南江堂	3800円
00002132	はじめての臨床運動器疾患　理学療法スタートライン	新田收	南江堂	3800円
00002133	これでわかるピロリ除菌療法と保険適用　改訂第5版 ガイドラインに基づく活用法	高橋信一　著	南江堂	2500円
00002134	免疫学への招待	Norman Staines　[ほか]著	南江堂	1500円
00002135	あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ！　シンプルに伝える魔法のテクニック 医師・研究者必読！！	渡部欣忍　著	南江堂	3000円
00002136	新・足のクリニック　教科書に書けなかった診療のコツ	井口傑　著	南江堂	4800円
00002137	イラスト麻酔科　第2版　/ Bunkodo illustrated basic series	高崎眞弓　著	文光堂	5000円
00002138	理学療法士のための足と靴のみかた	坂口顕　編集	文光堂	4000円
00002139	理学療法士のための運動処方マニュアル　第2版	奈良勲	文光堂	4000円
00002140	脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル　第2版	長澤弘　編集	文光堂	5500円
00002141	一般内科医のためのそうだったんだ！リハビリテーション 治療にリハビリを取り入れる方法を教えます	上月正博　著	文光堂	4500円
00002142	身体機能・歩行動作からみたフットケア	野村卓生	文光堂	3500円
00002143	セラピストの動きの基本　運動器リハビリテーション新時代	山口光國	文光堂	3500円
00002144	ゼロから始めるパーキンソン病診療	川上忠孝　著	文光堂	3800円
00002145	検査値ベーシックレクチャー　第2版 何がわかるかどんな時に行うか解釈と進め方	宮地勇人　著	文光堂	3000円
00002146	そうだったんだ！認知症 治療・ケアがうまくいかないのは認知症のせい？	小川朝生　編集	文光堂	3500円
00002147	そうだったんだ！透析患者 外来・入院診療で迷わないための35のアドバイス	加藤明彦　編集	文光堂	4000円
00002148	透析の話をする・聞く前に読む本	菅野義彦　著	文光堂	2800円
00002149	心臓の機能と力学	山本一博　著	文光堂	3500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002150	循環器診療プライマリ・レファレンス 学生と研修医のためのQ&Aで追う診療のコツ	香坂俊　編著	文光堂	4500円
00002151	精神科リハビリテーションの流儀　援助者必携デイリーケアのエッセンス	宮脇稔　編著	文光堂	1800円
00002152	介護ケア・ガイド	日高正巳　編集主幹	文光堂	5000円
00002153	テーピング　アスリートケアマニュアル	中江徳彦　[ほか]編	文光堂	3500円
00002154	臨床検査ガイド　2015年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた	三橋知明　[ほか]編	文光堂	8500円
00002155	異所性脂肪　第2版　メタボリックシンドロームの新常識 皮下脂肪・内臓脂肪に次ぐ「第三の脂肪」	小川佳宏　編	日本医事新報社	3800円
00002156	プライマリケア漢方　新装版	喜多敏明　著	日本医事新報社	4400円
00002157	医療職をめざす人の解剖学はじめの一歩　東大講義録	坂井建雄　著	日本医事新報社	2400円
00002158	かぜ診療マニュアル　第2版　かぜとかぜにみえる重症疾患の見わけ方	山本舜悟　編著	日本医事新報社	4000円
00002159	慢性疼痛の認知行動療法　"消えない痛み"へのアプローチ	伊豫雅臣	日本医事新報社	2500円
00002160	HAPPY！こどものみかた　2版	笠井正志	日本医事新報社	4400円
00002161	事例別医事法Q&A　第6版	高田利廣	日本医事新報社	4800円
00002162	診療実践小児神経科　改訂第3版　小児神経疾患のプライマリ・ケア	鳥取大学医学部 脳神経小児科 編集	診断と治療社	5500円
00002163	保険診療におけるカルテ記載のあり方　改訂第4版	高木泰　著	診断と治療社	2800円
00002164	生活習慣病と健康管理　100歳を元気に生きるために	斎藤征夫	診断と治療社	2200円
00002165	慢性疾患の認知行動療法　アドヒアランスとうつへのアプローチ セラピストガイド	Steven A.Safren	診断と治療社	3000円
00002166	現代の認知行動療法　CBTモデルの臨床実践	ステファン・G・ホフマン 著	診断と治療社	3000円
00002167	高次脳機能障害　診断・治療・支援のコツ	橋本圭司　著	診断と治療社	3200円
00002168	子どもの摂食指導　食べる機能の発達をうながす子育て	田角勝	診断と治療社	1500円
00002169	失語症言語治療の基礎　診断法から治療理論まで	紺野加奈江　著	診断と治療社	3500円
00002170	潰瘍性大腸炎ってどんな病気	里見匡迪	診断と治療社	2000円
00002171	クローン病ってこんな病気　新版　食生活から見直す	福田能啓	診断と治療社	2800円
00002172	子どものための食材Q&A	根岸由紀子	診断と治療社	1800円
00002173	5歳児健診　発達障害の診療・指導エッセンス	小枝達也　編	診断と治療社	4600円
00002174	そこが知りたい！成人の予防接種パーフェクト・ガイド	渡辺彰	診断と治療社	3800円
00002175	オオカミたちの隠された生活　/ NATIONAL GEOGRAPHIC	ジム・ダッチャー	エクスナレッジ	2800円
00002176	医療専門職のための二度目の物理学入門 / 臨床工学ライブラリーシリーズ　6	嶋津秀昭　著	秀潤社	3200円
00002177	透析運動療法　健康長寿を実現するために	稲葉雅章	医薬ジャーナル社	5600円
00002178	スパイナル・コントロール　体幹機能と腰痛の最新科学	Paul W Hodges	ナップ	5500円
00002179	筋膜ストレッチセラピー	Ann Frederick	ナップ	5400円
00002180	サプリメントのほんととウソ エビデンスに基づいたサプリメントの有効性	下村吉治　編集	ナップ	2000円
00002181	健康食品・中毒百科	内藤裕史　著	丸善	2800円
00002182	分子生物学　第3版	田沼靖一　編著	丸善出版	5200円
00002183	ポイントで学ぶ薬理学	丸山敬	丸善	2800円
00002184	SJF関節ファシリテーション　第2版	宇都宮初夫　編	丸善出版	5500円
00002185	カイロプラクティック　/ 医道の日本PLUS		医道の日本社	3600円
00002186	新入門解剖図譜	三井但夫	建帛社	1800円
00002187	英語で学ぶ医療と健康　新訂版	西村月満　[ほか]編著	朝日出版社	1800円
00002188	医療接遇ワークブック　スタッフと考える"おもてなし"の心とスキル	山下郁子　著	プリメド社	1600円
00002189	医療器材の洗浄から滅菌まで	島崎豊	ヴァンメディカル	3200円
00002190	神経筋促通手技　改訂第3版　パターンとテクニック	Dorothy E.Voss	協同医書出版社	8000円
00002191	機能的姿勢ー運動スキルの発達　誕生から1歳まで	Rona Alexander	協同医書出版社	4500円
00002192	半分の時間で3倍の説得力に仕上げるPowerPoint活用企画書作成術 PowerPointのイライラを解消	小湊孝志　著	宣伝会議	1800円
00002193	骨軟部疾患の画像診断　第2版　/ 画像診断別冊. Key bookシリーズ	上谷雅孝　編著	学研メディカル 秀潤社	5400円
00002194	エレンベッカー肩関節検査法	T.S.エレンベッカー　著	西村書店	3800円
00002195	細胞の世界	ベッカー	西村書店	7600円
00002196	カラーリングで覚える神経解剖学	レイ・ポリスキー	西村書店	2600円
00002197	最新カラー組織学	L.P.ガートナー	西村書店	4900円
00002198	軽度外傷性脳損傷のためのリハビリテーション・ワークブック　高次脳機能障害の回復にむけて	ダグラス・J.メイソン　著	西村書店	2200円
00002199	ロアットカラー基本免疫学	ピーター・J.デルヴス	西村書店	4800円
00002200	メディカル免疫学　カラー版	ロアット	西村書店	2800円
00002201	カラーアトラスマクロ病理学　第3版	ロビン・A.クック	西村書店	6500円
00002202	カラーダイナミック病理学　365症例からのアプローチ	鈴木利光	西村書店	7600円
00002203	自己評価型病理学ノート	ポール・バス　[ほか]著	西村書店	2800円
00002204	ロス&ウィルソン健康と病気のしくみがわかる解剖生理学　改訂版	アン・ウォー	西村書店	4500円
00002205	脳とホルモンの行動学　行動神経内分泌学への招待 カラー版	近藤保彦　[ほか]編	西村書店	4000円
00002206	ピネル脳と心のカラーリングブック　塗り絵でマスターする神経解剖	ジョン・ピネル　著	西村書店	2500円
00002207	生きている人体	エスペン・ディートリクス [ほか]著	時空出版	3689円
00002208	大判書き込み式心を整える「般若心経」練習帖	小林隆彰	西東社	1000円
00002209	解いてわかる解剖生理学　問題集	竹内修二　著	医学教育出版社	1800円
00002210	高齢者の糖尿病と栄養　合併する疾患ごとの栄養ケア	福田也寸子　編	フジメディカル 出版	3500円
00002211	保健指導に求められる個別運動プログラム作成・実践ガイド　専門職が指導するメタボリックシンドローム・介護予防プログラムとは	久野譜也　編著	杏林書院	2700円
00002212	健康スポーツ学概論　プロモーション，ジェロントロジー，コーチング	山羽教文	杏林書院	4100円
00002213	健康・スポーツ科学の基礎	島田茂	杏林書院	1900円
00002214	こころとからだを知る心拍数	山地啓司　著	杏林書院	5000円
00002215	生理学　/ Nブックス	田中明　編著	建帛社	2700円
00002216	生化学　3訂　/ Nブックス．人体の構造と機能	木元幸一	建帛社	2600円
00002217	NSTのための疾患診断・治療と臨床検査の基礎知識	田中明	建帛社	2300円
00002218	「食べる」ことを支えるケアとIPW 保健・医療・福祉におけるコミュニケーションと専門職連携	諏訪さゆり	建帛社	2200円
00002219	医療安全と医療訴訟	安本和正　編集	イムジック出版	4000円
00002220	衛星画像で読み解く噴火しそうな日本の火山	福田重雄　著	日本評論社	2400円
00002221	よくわかる都市地理学　/ やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	藤井正	ミネルヴァ書房	2600円
00002222	運動・認知機能改善へのアプローチ 子どもと高齢者の健康・体力・脳科学	藤原勝夫　編著	市村出版	3600円
00002223	アダプテッド・スポーツの科学 障害者・高齢者のスポーツ実践のための理論	矢部京之助	市村出版	3800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002224	公衆衛生がみえる　2018-2019	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア	3600円
00002225	きずのきれいな治し方　改訂第2版 アトラス：外傷、褥瘡、足の壊疽からレーザー治療まで	百束比古	全日本病院出版会	5000円
00002226	ボディ・ナビゲーション　改訂版　触ってわかる身体解剖	Andrew Biel　著	医道の日本社	4300円
00002227	イラストでわかる寝たきりにさせないPNF介助術 家庭でできるリハビリテーション	市川繁之　著	医道の日本社	1800円
00002228	目醒める！大腰筋　コアを鍛えて内面から身心を改善	Jo Ann Staugaard-Jones　著	医道の日本社	3200円
00002229	ファッシャル・リリース・テクニック 身体構造のバランスを整える筋膜リリース技術	James Earls	医道の日本社	4500円
00002230	目で見る真菌と真菌症	亀井克彦　編	医薬ジャーナル社	4900円
00002231	基礎から学ぶ胃癌の病理　胃粘膜の正常構造・分化に基づいた胃生検診断<Group分類>へのアプローチ	塚本徹哉　著	日本メディカルセンター	5400円
00002232	精神科・身体合併症のリハビリテーション 総合的な治療計画から実践まで	平川淳一　[ほか]編集	協同医書出版社	3800円
00002233	赤ちゃんの運動発達　絵でみる治療アプローチ	Regi Boehme　著	協同医書出版社	3200円
00002234	アテトーゼ・失調・低緊張の評価と治療　子どもへの感覚運動入力の実際	Regi Boehme　著	協同医書出版社	3200円
00002235	新しい装具学　バイオメカニクス・素材と加工法・適合	Pat McKee	協同医書出版社	6000円
00002236	言語聴覚士のための摂食嚥下リハビリテーションQ&A 臨床がわかる50のヒント	福岡達之　編著	協同医書出版社	3200円
00002237	事例でわかる人間作業モデル	山田孝　編著	協同医書出版社	3700円
00002238	モビライゼーションPNF	新井光男　著	メディカルプレス	5000円
00002239	StatMateによる実例で学ぶ医療統計　改訂第2版	高橋泰生　著	アトムス	3600円
00002240	視覚障がいの歩行の科学　安全で安心なひとり歩きをめざして	大倉元宏	コロナ社	1800円
00002241	医用工学入門	木村雄治　著	コロナ社	3000円
00002242	文系学生がまなぶ情報学	大内東　編	コロナ社	2200円
00002243	生体計測装置学入門	木村雄治　著	コロナ社	2500円
00002244	生活支援工学概論	日本生活支援工学会	コロナ社	2800円
00002245	CTとMRI　その原理と装置技術	森一生	コロナ社	4700円
00002246	福祉工学の基礎　/ 電子情報通信レクチャーシリーズ　D-25	伊福部達　著	コロナ社	4100円
00002247	X線イメージング　/ ME教科書シリーズ　D-2	飯沼武	コロナ社	3800円
00002248	生体電気計測　/ ME教科書シリーズ　A-3	山本尚武	コロナ社	3000円
00002249	超音波　/ ME教科書シリーズ　D-3	千原國宏　著	コロナ社	2700円
00002250	循環系のバイオメカニクス　/ ME教科書シリーズ　B-8	神谷瞭　編著	コロナ社	3500円
00002251	身体運動のバイオメカニクス　/ ME教科書シリーズ　B-4	石田明允　[ほか]共著	コロナ社	3400円
00002252	大学1・2年生のためのすぐわかる有機化学	石川正明　著	東京図書	2400円
00002253	在宅生活を支える！これからの新しい嚥下食レシピ	江頭文江　著	三輪書店	1800円
00002254	正常発達　第2版　脳性まひの治療アイディア	Jung Sun Hong　著	三輪書店	3800円
00002255	おうちで食べる！飲み込みが困難な人のための食事づくりQ&A	江頭文江　著	三輪書店	1800円
00002256	上肢の理学療法 局所機能と全身運動を結びつけるインタラクティブ・アプローチ	地神裕史	三輪書店	5600円
00002257	手にとるようにわかる骨関節単純X線写真はじめの一歩	佐志隆士　著	ベクトル・コア	5800円
00002258	地図投影法　地理空間情報の技法	政春尋志　著	朝倉書店	4000円
00002259	脳・神経科学の研究ガイド	マット・カーター	朝倉書店	5400円
00002260	実践臨床薬理学	中谷晴昭	朝倉書店	5400円
00002261	地理エクスカーション　地理を学ぼう	伊藤徹哉	朝倉書店	2200円
00002262	自然地理学概論　/ 地理学基礎シリーズ　2	高橋日出男	朝倉書店	3300円
00002263	脳神経科学イラストレイテッド　改訂第3版　分子・細胞から実験技術まで	真鍋俊也　[ほか]編集	羊土社	6600円
00002264	免疫学最新イラストレイテッド　改訂第2版	小安重夫　編	羊土社	5200円
00002265	臨床につながる解剖学イラストレイテッド	松村譲児　著	羊土社	6200円
00002266	やさしい基礎生物学　第2版	南雲保　編著	羊土社	2900円
00002267	新調理学	下村道子	光生館	2400円
00002268	食生活論	岡崎光子　編著	光生館	2000円
00002269	栄養教育論	岡崎光子　編著	光生館	2400円
00002270	健康のためのスポーツ生理学	池川繁樹　編著	光生館	1800円
00002271	新生児理学療法	大城昌平	メディカルプレス	4000円
00002272	地図学の聖地を訪ねて 地形図片手にたどる測量の原点と地理教科書ゆかりの地	松山洋　編著	二宮書店	1900円
00002273	シュロス法による側弯症治療 エクササイズと呼吸テクニックで脊柱の弯曲と捻れを矯正する	クリスタ・レーネルト・シュロス	ガイアブックス	4800円
00002274	ヒューマンボディ　からだがわかる解剖生理学	Barbara Herlihy　著	エルゼビア・ジャパン	6600円
00002275	エビデンスに基づく整形外科徒手検査法　/ ネッターシリーズ	Joshua Cleland　原著	エルゼビア・ジャパン	7200円
00002276	安保徹の免疫学講義	安保徹　著	三和書籍	6500円
00002277	食up to date　食と健康・食と安全・食と環境	松田覚　編	金芳堂	2800円
00002278	Dr.レイの病理学講義　第3版	高橋玲　編著	金芳堂	4200円
00002279	医療福祉学の道標	星野政明	金芳堂	2400円
00002280	運動器の疾患と外傷　整形外科学Update	平澤泰介　編	金芳堂	5800円
00002281	新しい認知行動療法　健康に生きるための18の秘訣 実践ワークブック	Erik Peper	金芳堂	2800円
00002282	医療従事者のためのこれだけは知っておきたい61の法律	河野公一　編集代表	金芳堂	4400円
00002283	からだの動きの解剖生理学	加藤征治　編	金芳堂	3800円
00002284	子ども家庭のウェルビーイング	星野政明　編集代表	金芳堂	2200円
00002285	人体解剖学ノート　改訂8版	清木勘治　著	金芳堂	3700円
00002286	Dr.塩尻の神経所見とり方トレーニング	塩尻俊明　著	金芳堂	3800円
00002287	医学英語communication & writing能力アップ！	土居治	金芳堂	4200円
00002288	不器用な子どもたちへの認知作業トレーニング	宮口幸治	三輪書店	3800円
00002289	パーキンソン病はこうすれば変わる！ 日常生活の工夫とパーキンソンダンスで生活機能を改善	高畑進一	三輪書店	2800円
00002290	患者応対マナーbook　3訂版 イラストでわかる実践実例集 言葉と態度は"処方"である	深堀幸次　著	医学通信社	2200円
00002291	注意欠如・多動症－ADHD－の診断・治療ガイドライン　第4版	ADHDの診断・治療指針に関する研究会	じほう	4200円
00002292	感染対策実践マニュアル　第3版　考え方と運営のポイント	堀賢　編集	じほう	3600円
00002293	スポーツマッサージ　運動・フィットネス・リハビリテーションのケア	S.フリッツ　著	西村書店	4200円
00002294	筋肉メカニクスとトレーニング技術　カラー図解	エバレット・アーバーグ著	西村書店	2800円
00002295	脳神経　解剖・病理・画像診断	デヴィン・K・ビンダー	西村書店	7800円
00002296	EBMスポーツ医学　エビデンスに基づく診断・治療・予防	ドンホール・マッコーリー	西村書店	5400円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002297	臨床児童青年精神医学ハンドブック	本城秀次	西村書店	8000円
00002298	写真でわかる生活支援技術　自立を助け、尊厳を守る介護を行うために / 写真でわかるシリーズ	井藤英喜	インターメディカ	2700円
00002299	大腿骨近位部骨折ゼロを目指す治療・予防戦略 多職種連携による取り組み	遠藤直人　編	医薬ジャーナル社	6800円
00002300	医薬系のための生物学	丸山敬	裳華房	3000円
00002301	医療・看護系のための生物学　改訂版	田村隆明　著	裳華房	2700円
00002302	子どものこころのケア SOSを見逃さないために 知りたいことがなんでもわかる	市川宏伸	永井書店	5500円
00002303	解剖学スケッチ練習帳	金光秀晃　編著	共立出版	2800円
00002304	精神障害者の自立をどう支えるか　精神障害者の理解と居宅生活支援(ホームヘルプ) ホームヘルパー研修テキスト	精神保健福祉普及啓発研究会　編	へるす出版	2600円
00002305	認知リハビリテーション　2008	認知リハビリテーション研究会　編	新興医学出版社	2200円
00002306	写真でわかる介護職のための医療的ケア　喀痰吸引と経管栄養を中心に、安全・確実なケアの流れとポイントを解説！/ DVD BOOK.	境美代子	インターメディカ	3000円
00002307	福島メソッド失語症の認知言語治療　その方法と実践	福島和子　著	真興交易医書出版部	5000円
00002308	前線医療の処置マニュアル	佐々木勝　著	新興医学出版社	3500円
00002309	脳波所見をどう読むか　92症例の臨床現場から	東間正人　著	新興医学出版社	4800円
00002310	認知症のスピリチュアルケア　こころのワークブック	エリザベス・マッキンレー	新興医学出版社	2000円
00002311	和食を伝え継ぐとはどういうことか 地域がそだてた食のしくみと技に学ぶ	木村信夫　著	農山漁村文化協会	2000円
00002312	セックス・アンド・ザ・シックスティーズ フランス人に学ぶいつまでも素敵な男女生活の秘訣	マリー・ド・エヌゼル　著	エクスナレッジ	1700円
00002313	食でたどるニッポンの記憶	小泉武夫　著	東京堂出版	1500円
00002314	イスラーム基礎講座	渥美堅持　著	東京堂出版	2200円
00002315	いやな気分よ、さようなら　増補改訂第2版　自分で学ぶ「抑うつ」克服法	デビッド・D.バーンズ　著	星和書店	3680円
00002316	作業療法はおもしろい　あるパイオニアOTのオリジナルな半生	勝屋なつみ　著	シービーアール	1800円
00002317	自然死を創る終末期ケア　高齢者の最期を地域で看取る	川上嘉明　著	現代社	1600円
00002318	看護のための「いのちの歴史」の物語　/ 現代社白鳳選書　20	本田克也	現代社	1700円
00002319	自己カウンセリングとアサーションのすすめ	平木典子　著	金子書房	1500円
00002320	MRI骨・関節アトラス　改訂新版　/ コンパクトMRI αシリーズ	藤本肇　著	ベクトル・コア	4500円
00002321	キャリアカウンセリング再考　第2版　実践に役立つQ&A	渡辺三枝子　編著	ナカニシヤ出版	2400円
00002322	哲学してもいいですか？　文系学部不要論へのささやかな反論	三谷尚澄　著	ナカニシヤ出版	2200円
00002323	地球儀の社会史　愛しくも、物憂げな球体/ 叢書・地球発見　1	千田稔　著	ナカニシヤ出版	1700円
00002324	温泉と地球科学　温泉を通して読み解く地球の営み	大沢信二	ナカニシヤ出版	2000円
00002325	まちゼミ　さあ、商いを楽しもう！	松井洋一郎　著	商業界	1600円
00002326	「リーダー力」の教科書　現場の実戦に役立つ！	小澤信夫　著	商業界	1400円
00002327	逮捕されたらこうなります！　第2版	Satoki　著	自由国民社	1400円
00002328	はじめての刑事訴訟法　第7版　/ 3日でわかる法律入門	尾崎哲夫　著	自由国民社	1200円
00002329	PR視点のインバウンド戦略 訪日中国人の興味は「爆買い」から「体験」、「都市」から「地方」へ	電通パブリックリレーションズ	宣伝会議	1900円
00002330	ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか 近距離移動が地方都市を活性化する	村上敦　著	学芸出版社	2200円
00002331	アジサイはなぜ葉にアルミ毒をためるのか 樹木19種の個性と生き残り戦略	渡辺一夫　著	築地書館	1800円
00002332	先生、イソギンチャクが腹痛を起こしています！/ 鳥取環境大学の森の人間動物行動学	小林朋道　著	築地書館	1600円
00002333	先生、犬にサンショウウオの捜索を頼むのですか！ / 鳥取環境大学の森の人間動物行動学	小林朋道　著	築地書館	1600円
00002334	10代の子をもつ親が知っておきたいこと　思春期の心と向きあう	水島広子　著	紀伊國屋書店	1300円
00002335	幸福実現論　幸せだと感じる心を育てる：幸せの築き方、心の持ち方から国づくりを問う	佐藤茂則	万来舎	1500円
00002336	一発診断！フローチャートで判る心電図	草間芳樹　著	総合医学社	3200円
00002337	認知症の介護　共に暮らす家族のために	長谷川和夫　著	ぱーそん書房	1200円
00002338	プリオン病　第2版　BSE(牛海綿状脳症)のなぞ	山内一也	近代出版	2200円
00002339	高校数学でわかるアインシュタイン　科学という考え方	酒井邦嘉　著	東京大学出版会	2400円
00002340	政治を動かすメディア	芹川洋一	東京大学出版会	2400円
00002341	100の思考実験　あなたはどこまで考えられるか	ジュリアン・バジーニ　著	紀伊国屋書店	1800円
00002342	童話でわかるプロジェクトマネジメント	飯田剛弘　著	秀和システム	1700円
00002343	米国人エグゼクティブから学んだポジティブ・リーダーシップ　やる気を引き出すAI<アプリシエイティブ・インクワイアリー>	渡辺誠　著	秀和システム	1400円
00002344	モノの見方が180度変わる化学	齋藤勝裕　著	秀和システム	1500円
00002345	客先に連れ出されてしまったエンジニアのためのプレゼン力向上講座	渡邉秀美　著	秀和システム	1600円
00002346	いじめは生存戦略だった！？進化生物学で読み解く生き物たちの不可解な行動の原理	小松正　著	秀和システム	1500円
00002347	プレゼン心理術　「見た目」と「しぐさ」でイエスと言わせる即効テクニック	内藤誼人　著	日経BP社	1400円
00002348	誰も教えてくれない計画するスキル	芝本秀徳　著	日経BP社	1600円
00002349	基本の78パターンで英会話フレーズ800 パターンがわかればどんどん話せる！	伊藤太	西東社	1000円
00002350	依存症の科学　いちばん身近なこころの病	岡本卓	化学同人	1400円
00002351	先端医療を支える工学　生体医工学への誘い/ 新コロナシリーズ　59	日本生体医工学会　編	コロナ社	1200円
00002352	天からの授かりもの　がんの患者会ができるまで	戸川敦　著	新興医学出版社	1000円
00002353	神経内科検査・処置マニュアル　ポケット版	阿部康二　編著	新興医学出版社	4500円
00002354	脳が言葉を取り戻すとき　[復刻版]　失語症のカルテから	佐野洋子	新興医学出版社	1800円
00002355	障害受容からの自由　あなたのあるがままに	田島明子　編著	シービーアール	1800円
00002356	ポストデジタル時代の公共図書館　/ ライブラリーぶっくす	植村八潮	勉誠出版	2000円
00002357	私立大学はなぜ危ういのか	渡辺孝　著	青土社	2000円
00002358	知られざる地下微生物の世界　極限環境に生命の起源と地球外生命を探る	タリス・オンストット　著	青土社	2800円
00002359	ソーシャルワーク協働の思想　"クリネー"から"トポス"へ	柏木昭	へるす出版	1800円
00002360	必携在宅医療・介護基本手技マニュアル　改訂第2版	谷亀光則　編	永井書店	4900円
00002361	刀剣目録	小和田泰経　著	新紀元社	1380円
00002362	現代知識チートマニュアル　/ MORNING STAR BOOKS	山北篤　著	新紀元社	1600円
00002363	<小説家になろう>で書こう　もうすぐアイディアが降臨しそうな人へ	ヒナプロジェクト　監修	新紀元社	1600円
00002364	論理学入門　推論のセンスとテクニックのために/ NHKブックス　895	三浦俊彦　著	日本放送出版協会	970円
00002365	日本人の腰痛　痛みの原因と正しい治療法	遠藤健司　編著	丸善	2000円
00002366	エピジェネティクス革命　世代を超える遺伝子の記憶	ネッサ・キャリー　著	丸善出版	2800円
00002367	医学・医療系のための生物学の基礎知識 生命の誕生・くすり・再生医療まで	都河明子　著	丸善	2000円
00002368	生体リズムと健康　/ 京大人気講義シリーズ	若村智子　編著	丸善	1900円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002369	ジャンクDNA　ヒトゲノムの98%はガラクタなのか？	ネッサ・キャリー　著	丸善出版	2800円
00002370	子ども・家族支援に役立つ面接の技とコツ　〈仕掛ける・さぐる・引き出す・支える・紡ぐ〉児童福祉臨床	宮井研治　編	明石書店	2200円
00002371	子ども食堂をつくろう！　人がつながる地域の居場所づくり	豊島子どもWAKUWAKUネットワーク　編著	明石書店	1400円
00002372	難民を知るための基礎知識　政治と人権の葛藤を越えて	滝澤三郎	明石書店	2500円
00002373	現代韓国を知るための60章　第2版　/ エリア・スタディーズ　6	石坂浩一	明石書店	2000円
00002374	現代中国を知るための44章　第5版　/ エリア・スタディーズ　8	藤野彰	明石書店	2000円
00002375	シンガポールを知るための65章　第4版　/ エリア・スタディーズ　17	田村慶子　編著	明石書店	2000円
00002376	タイを知るための72章　第2版　/ エリア・スタディーズ　30	綾部真雄　編著	明石書店	2000円
00002377	現代台湾を知るための60章　第2版　/ エリア・スタディーズ　34	亜洲奈みづほ　著	明石書店	2000円
00002378	現代ベトナムを知るための60章　第2版　/ エリア・スタディーズ　39	今井昭夫	明石書店	2000円
00002379	香港を知るための60章　/ エリア・スタディーズ　142	吉川雅之	明石書店	2000円
00002380	イギリスの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　150. ヒストリー	川成洋　編著	明石書店	2000円
00002381	ドイツの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　151. ヒストリー	森井裕一　編著	明石書店	2000円
00002382	ロシアの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　152. ヒストリー	下斗米伸夫　編著	明石書店	2000円
00002383	スペインの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　153. ヒストリー	立石博高	明石書店	2000円
00002384	フィリピンを知るための64章　/ エリア・スタディーズ　154	大野拓司	明石書店	2000円
00002385	カナダの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　156. ヒストリー	細川道久　編著	明石書店	2000円
00002386	ストップ！認知症　しくみがわかれば予防ができる！	中谷一泰　著	西村書店	1500円
00002387	内科学　ポケット判　カラー	門脇孝	西村書店	4900円
00002388	カラー人体図鑑　ビジュアル・アナトミー	ジェーン・ダ・バーグ　編	西村書店	1500円
00002389	本当に怖い！薬物依存がわかる本	西勝英　著	西村書店	1600円
00002390	量子論はなぜわかりにくいのか　「粒子と波動の二重性」の謎を解く / 知の扉シリーズ	吉田伸夫　著	技術評論社	1580円
00002391	証明と論理に強くなる　論理式の読み方から、ゲーデルの門前まで / 知の扉シリーズ	小島寛之　著	技術評論社	1780円
00002392	マルコフ方程式　方程式から読み解く美しい数学/ 数学への招待	小林吹代　著	技術評論社	1720円
00002393	ガロア理論「超」入門　方程式と図形の関係から考える / 知りたい！サイエンス　137	小林吹代　著	技術評論社	1680円
00002394	ウイルス・細菌の図鑑　感染症がよくわかる重要微生物ガイド / 知りたい！サイエンスiLLUSTRATED　003	北里英郎	技術評論社	2180円
00002395	生と死を握るミトコンドリアの謎　健康と長寿を支配するミクロな器官/ 知りたい！サイエンス　114	米川博通　著	技術評論社	1580円
00002396	正しく知る不安障害　不安を理解し怖れを手放す / ぐっと身近に人がわかる	水島広子　著	技術評論社	1480円
00002397	戦国の合戦と武将の絵事典　見て楽しむ	高橋伸幸　著	成美堂出版	1500円
00002398	世界スタジアム物語　競技場の誕生と紡がれる記憶	後藤健生　著	ミネルヴァ書房	2500円
00002399	カリスマ体育教師の常勝教育	原田隆史　著	日経BP社	1400円
00002400	日本経済論講義　ビジネスパーソンの「たしなみ」としての	小峰隆夫　著	日経BP社	1500円
00002401	現代貧乏物語	橋本健二　著	弘文堂	2000円
00002402	失敗のメカニズム　忘れ物から巨大事故まで	芳賀繁　著	日本出版サービス	1900円
00002403	本心と抵抗　自発性の精神病理	笠原敏雄　著	すぴか書房	2800円
00002404	悪の起源　ライプニッツ哲学へのウィトゲンシュタイン的理解	黒崎宏　著	春秋社	2500円
00002405	人間とは何か　実存的精神療法	ヴィクトール・E.フランクル　／著	春秋社	3800円
00002406	ブッダの瞑想法　ヴィパッサナー瞑想の理論と実践	地橋秀雄　著	春秋社	2100円
00002407	〈仏教3.0〉を哲学する	藤田一照	春秋社	1800円
00002408	裸足のソクラテス　哲学の祖の実像を追う	八木雄二　著	春秋社	3200円
00002409	シュタイナー根源的霊性論　バガヴァッド・ギーターとパウロの書簡	ルドルフ・シュタイナー著	春秋社	2500円
00002410	病気を起こす遺伝子	フィリップ・R.レイリー著	東京化学同人	2400円
00002411	森は考える　人間的なるものを超えた人類学	エドゥアルド・コーン　著	亜紀書房	2700円
00002412	理想の図書館とは何か　知の公共性をめぐって	根本彰　著	ミネルヴァ書房	2500円
00002413	福祉の哲学とは何か　ポスト成長時代の幸福・価値・社会構想	広井良典　編著	ミネルヴァ書房	3000円
00002414	徳川家康　われ一人腹を切て、万民を助くべし/ ミネルヴァ日本評伝選	笠谷和比古　著	ミネルヴァ書房	3500円
00002415	自国史の行方　オーストリアの歴史政策	近藤孝弘　著	名古屋大学出版会	3200円
00002416	良心論　その哲学的試み	石川文康　著	名古屋大学出版会	2800円
00002417	医学の復権　医学体系の科学化へ向けて	瀬江千史　著	現代社	2621円
00002418	福岡伸一、西田哲学を読む 生命をめぐる思索の旅 動的平衡と絶対矛盾的自己同一	池田善昭	明石書店	1800円
00002419	虚無感について　心理学と哲学への挑戦	ヴィクトール・E・フランクル　著	青土社	2600円
00002420	クラウド時代の思考術　Googleが教えてくれないただひとつのこと	ウィリアム・パウンドストーン　著	青土社	2400円
00002421	パラドックス大全　世にも不思議な逆説パズル	ウィリアム・パウンドストーン　著	青土社	2800円
00002422	一緒にいてもスマホ　SNSとFTF	シェリー・タークル　著	青土社	2400円
00002423	論理の構造　上巻	中村元　著	青土社	3600円
00002424	論理の構造　下巻	中村元　著	青土社	3600円
00002425	人類学者への道	川田順造　著	青土社	2600円
00002426	セクシュアリティをことばにする　上野千鶴子対談集	上野千鶴子　著	青土社	2200円
00002427	なぜペニスはそんな形なのか　ヒトについての不謹慎で真面目な科学	ジェシー・ベリング　著	化学同人	2500円
00002428	身体はトラウマを記録する　脳・心・体のつながりと回復のための手法	ベッセル・ヴァン・デア・コーク　著	紀伊國屋書店	3800円
00002429	マイクロバイオームの世界 あなたの中と表面と周りにいる何兆もの微生物たち	ロブ・デサール	紀伊國屋書店	2000円
00002430	動物の賢さがわかるほど人間は賢いのか	フランス・ドゥ・ヴァール［著］	紀伊國屋書店	2200円
00002431	土と内臓　微生物がつくる世界	デイビッド・モントゴメリー	築地書館	2700円
00002432	日本の土　地質学が明かす黒土と縄文文化	山野井徹　著	築地書館	2300円
00002433	MI6対KGB英露インテリジェンス抗争秘史	レム・クラシリニコフ　著	東京堂出版	3000円
00002434	プーチンの国家戦略　岐路に立つ「強国」ロシア	小泉悠　著	東京堂出版	2200円
00002435	免疫学はやっぱりおもしろい	小安重夫　著	羊土社	2800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　名	著者名	出版社	定価
00002436	世界宗教の経済倫理　比較宗教社会学の試み序論・中間考察/ NIKKEI BP CLASSICS	マックス・ウェーバー　著	日経BP社	1800円
00002437	債務、さもなくば悪魔　ヘリコプターマネーは世界を救うか?	アデア・ターナー　著	日経BP社	2800円
00002438	リーダーの基準　見えない経営の「あたりまえ」	清水勝彦　著	日経BP社	1800円
00002439	ダイエットの科学　「これを食べれば健康になる」のウソを暴く	ティム・スペクター　著	白揚社	2500円
00002440	不思議の国のトムキンス　復刻版	ジョージ・ガモフ　著	白揚社	1500円
00002441	論語コンプリート　全文完全対照版 本質を捉える「一文超訳」+現代語訳・書き下し文・原文	[孔子]　[著]	誠文堂新光社	1800円
00002442	音声と例文でおぼえる基本医療英語1000　イラストページ入り	笹島茂	南雲堂	1400円
00002443	ネイティブ英会話フレーズ集3240	佐々木隆　監修	西東社	1800円
00002444	いちばん最初のネイティブ英会話フレーズ2000	メディアビーコン　編著	西東社	1400円
00002445	一番やさしい基本の日常英会話	Betty Palen	西東社	1000円
00002446	パターンで話せる海外旅行の英会話	清水建二　著	成美堂出版	1000円
00002447	的確に伝わる！ホテルの英会話	ホテルオークラ東京　監修	ナツメ社	1800円
00002448	まんがでマスターネイティブが教えるやりなおしの中学英文法	デイビッド・セイン　著	ナツメ社	1300円
00002449	プロカウンセラーが教える場面別傾聴術レッスン	古宮昇　監修	ナツメ社	1400円
00002450	物語と挿絵で楽しむ聖書	古川順弘　著	ナツメ社	1500円
00002451	今日から役立つ統計学の教科書　スッキリわかる！	渡辺美智子　監修	ナツメ社	1300円
00002452	「みんなの健康学」序説　公衆衛生を動かした先達からのメッセージ	神馬征峰　著	風間書房	2000円
00002453	障害者のリアル×東大生のリアル	野澤和弘　編著	ぶどう社	1500円
00002454	不登校に、なりたくてなる子はいない。 子どもといっしょに考える登校支援	上野良樹　著	ぶどう社	1700円
00002455	四本足のあしながおじさん　難病患者に対する支持的作業療法の経験	風間忠道　著	協同医書出版社	1600円
00002456	図解&事例で学ぶビジネス統計の教科書	倉橋一成　著	マイナビ	1380円
00002457	人生案内心の悩み心の不調に答えます	野村総一郎	日本評論社	1400円
00002458	公教育をイチから考えよう	リヒテルズ直子	日本評論社	1700円
00002459	非行・犯罪の心理臨床　/ こころの科学叢書	藤岡淳子　著	日本評論社	2000円
00002460	地方イノベーション　強い地方こそが日本の明日を創る	池田弘　著	日経BP社	1400円
00002461	世界トップ企業のAI戦略　Google、GE、IBM	EYアドバイザリー　著	日経BP社	1800円
00002462	ぼくらのリノベーションまちづくり　ほしい暮らしは自分でつくる	嶋田洋平　著	日経BP社	2200円
00002463	フロックの確率	ジョセフ・メイザー　著	日経BP社	2200円
00002464	経営者には、幸せにするべき5人の人がいる 「感動経営」を実現するリーダーの条件	久保華図八　著	日経BP社	1500円
00002465	ビジネスと人を動かす驚異のストーリープレゼン 人生・仕事・世界を変えた37人の伝え方	カーマイン・ガロ　著	日経BP社	1800円
00002466	プレゼンのパワーを最大限にする50のジェスチャー	ヨッヘン・バイヤー　著	日経BP社	1500円
00002467	ヴァージン・ウェイ　R・ブランソンのリーダーシップを磨く教室	リチャード・ブランソン 著	日経BP社	1800円
00002468	スティーブ・ジョブズ驚異のプレゼン　人々を惹きつける18の法則	カーマイン・ガロ　著	日経BP社	1800円
00002469	プレゼンをキメる30秒のつくり方　話し下手でも提案が通る勝ちパターン	高橋晋平　著	日経BP社	1400円
00002470	だから数字にダマされる　「若者の○○離れ」「昔はよかった」の9割はウソ	小林直樹　著	日経BP社	1500円
00002471	新ビジョン2050　地球温暖化、少子高齢化は克服できる	小宮山宏	日経BP社	1800円
00002472	リーダーの本義	門田隆将　著	日経BP社	1400円
00002473	カリブ海世界を知るための70章　/ エリア・スタディーズ　157	国本伊代　編著	明石書店	2000円
00002474	その島のひとたちは、ひとの話をきかない 精神科医、「自殺希少地域」を行く	森川すいめい　著	青土社	1400円
00002475	口語民法　新補訂2版　/ 口語六法全書		自由国民社	1800円
00002476	戦争まで　歴史を決めた交渉と日本の失敗	加藤陽子　著	朝日出版社	1700円
00002477	コラーゲン物語　第2版　/ 科学のとびら　52	藤本大三郎　著	東京化学同人	1400円
00002478	細胞　基礎から細胞治療まで/ 科学のとびら　53	T.アレン	東京化学同人	1300円
00002479	ウイルスってなに？	今西二郎　著	金芳堂	1800円
00002480	あなたと私はどうして違う？体質と遺伝子のサイエンス　99.9%同じ設計図から個性や病気が生じる秘密	中尾光善　著	羊土社	1800円
00002481	驚異のエピジェネティクス 遺伝子がすべてではない！？生命のプログラムの秘密	中尾光善　著	羊土社	2400円
00002482	生けるブッダ、生けるキリスト　新版	ティク・ナット・ハン　著	春秋社	2100円
00002483	死にゆく人と共にあること　マインドフルネスによる終末期ケア	ジョアン・ハリファックス 著	春秋社	2500円
00002484	春夏秋冬〈自然〉に生きる	塩沼亮潤　著	春秋社	1400円
00002485	プロカウンセラーの聞く技術	東山紘久　著	創元社	1400円
00002486	戦後史の正体　1945-2012/「戦後再発見」双書　1	孫崎享　著	創元社	1500円
00002487	本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」　/「戦後再発見」双書　2	前泊博盛　編著	創元社	1500円
00002488	核の戦後史　Q&Aで学ぶ原爆・原発・被ばくの真実/「戦後再発見」双書　4	木村朗	創元社	1500円
00002489	「日米合同委員会」の研究　謎の権力構造の正体に迫る	吉田敏浩　著	創元社	1500円
00002490	生命と医療の倫理学　第2版　/ 現代社会の倫理を考える　2	伊藤道哉　著	丸善出版	2000円
00002491	放射線の遺伝影響　/ ポピュラー・サイエンス　287	安田徳一　著	裳華房	1700円
00002492	新・細胞の起源と進化　生命のしくみを探る	中村運　著	培風館	2500円
00002493	カウンセリング心理学　生き生きとした心を取り戻す / 心理学の世界　専門編 3	松原達哉	培風館	2500円
00002494	暗い時代の人々	森まゆみ　著	亜紀書房	1700円
00002495	性表現規制の文化史	白田秀彰　著	亜紀書房	1800円
00002496	プレップ労働法　第5版　/ プレップシリーズ	森戸英幸　著	弘文堂	2000円
00002497	プレップ法学を学ぶ前に　第2版　/ プレップシリーズ	道垣内弘人　著	弘文堂	1000円
00002498	「甘え」の構造　増補普及版	土居健郎　著	弘文堂	1300円
00002499	リベンジポルノ　性を拡散される若者たち	渡辺真由子　著	弘文堂	1300円
00002500	図解テキスト社会保険の基礎	長沼建一郎　著	弘文堂	2000円
00002501	クリエートする哲学　新行為論入門	山口誠一　著	弘文堂	1500円
00002502	医療の場のコミュニケーション　言葉を贈る心を贈る	日下隼人　著	篠原出版新社	1800円
00002503	命は食に宿る　大脳で食べる食事と身体の関連	江藤賢治　著	東京図書出版	1000円
00002504	知って得する図書館の楽しみかた　/ ライブラリーぶっくす	吉井潤　著	勉誠出版	1800円
00002505	わかる！図書館情報学シリーズ　第3巻　メタデータとウェブサービス	日本図書館情報学会研究委員会　／編	勉誠出版	1800円
00002506	児童養護施設の心理臨床　「虐待」のその後を生きる/ こころの科学叢書	内海新祐　著	日本評論社	2000円
00002507	勉強するのは何のため？　僕らの「答え」のつくり方	苫野一徳　著	日本評論社	1400円
00002508	リフレーミングの秘訣　東ゼミで学ぶ家族面接のエッセンス	東豊　著	日本評論社	1600円
00002509	新法令解釈・作成の常識	吉田利宏　著	日本評論社	1500円
00002510	やっかいな子どもや大人との接し方マニュアル	宮田雄吾　著	日本評論社	1600円
00002511	コミュニティーバス・デマンド交通　地域の足を支える	堀内重人　著	鹿島出版会	2300円
00002512	わかりやすいバスケットボールのルール　[2015]　/ [SPORTS SERIES]	伊藤恒　監修	成美堂出版	700円
00002513	わかりやすい野球のルール　[2018]　/ [SPORTS SERIES]	栗村哲志　監修	成美堂出版	750円
00002514	わかりやすいゴルフのルール　[2016年版]　/ [SPORTS SERIES]	飯田雅樹　監修	成美堂出版	660円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002515	臨床心理学頻出キーワード&キーパーソン事典 臨床心理士試験・指定大学院入試対策	心理学専門校ファイブアカデミー　著	ナツメ社	2000円
00002516	心理院単　臨床心理士指定大学院入試のための必須英単語1500	山崎有紀子　著	ナツメ社	1800円
00002517	高血圧診療ハンドブック エビデンスに基づく，食事・運動・薬物療法の進め方	浦信行　編	羊土社	3800円
00002518	「だから女はダメなんだ」と言われない女性リーダーの心得	古谷治子　著	日経BPコンサルティング	1200円
00002519	ベッドサイドで使える褥瘡治療薬ナビ　吸水・補水・保湿の視点から	古田勝経　著	じほう	1400円
00002520	ネットワーク科学　つながりが解き明かす世界のかたち	Guido Caldarelli	丸善出版	1000円
00002521	幹細胞と再生医療	中辻憲夫　著	丸善出版	1000円
00002522	コンピュータサイエンス　計算を通して世界を観る	渡辺治　著	丸善出版	1000円
00002523	医学の歴史　/ サイエンス・パレット　029	William Bynum　著	丸善出版	1000円
00002524	日本文化をよむ　5つのキーワード	藤田正勝　著	岩波書店	780円
00002525	高気圧酸素療法再考　虚血を救う－治せるものは何か	八木博司　著	へるす出版事業部	1200円
00002526	かかわりの途上で　こころの伴走者、PSWが綴る19のショートストーリー	相川章子	へるす出版事業部	1200円
00002527	なぜなぜ生物学	日本分子生物学会　編	東京化学同人	1400円
00002528	認知とは何か	中村三夫	協同医書出版社	1500円
00002529	認知症の緩和ケア　診断時から始まる患者と家族の支援	Victor Pace	新興医学出版社	3000円
00002530	症状からみた高齢者感染症介護マニュアル	河野公一	金芳堂	1800円
00002531	在宅でも役立つ高齢者口腔ケアマニュアル　改訂2版	島原政司	金芳堂	2000円
00002532	病気からみた高齢者感染症ケアマニュアル	河野公一	金芳堂	1800円
00002533	障害からみた高齢者在宅リハビリテーションマニュアル	河野公一	金芳堂	1800円
00002534	高齢者介護の緊急事態マニュアル　改訂3版　症状別対応	橋本篤孝　著	金芳堂	2200円
00002535	子どものこころの診療ハンドブック / 日本総合病院精神医学会治療指針　7	日本総合病院精神医学会児童・青年期委員会　編集	星和書店	2600円
00002536	アメリカ微生物学会臨床微生物学ポケットガイド メディカルスタッフのための臨床微生物検査ガイド	Patrick R.Murray　著	近代出版	4500円
00002537	免疫学の要点　第2版　カラーイラスト	David Male　著	西村書店	2900円
00002538	認知症診療ハンドブック	宇高不可思　編	医薬ジャーナル社	4200円
00002539	クリニックでよくみるCommon Diseases100処方　第2版	西崎統　著	総合医学社	2800円
00002540	地質調査入門　/ minimum　4	柴正博　著	東海大学出版部	1200円
00002541	リハビリポケットブック　臨床評価ガイド	Ellen Z.Hillegass　[著]	医学書院	2800円
00002542	感染症プラチナマニュアル　2018	岡秀昭　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2000円
00002543	理学療法データブック	有馬慶美　責任編集	文光堂	3200円
00002544	病院で使えるイラスト英単語	奥裕美	メジカルビュー社	1600円
00002545	ゴロから覚える筋肉&神経	高橋仁美　著	中山書店	1600円
00002546	今日からなれる！評価の達人　リハビリテーション・ポケットナビ	玉木彰	中山書店	3200円
00002547	リハビリテーションのための解剖学ポケットブック	鵜尾泰輔	中山書店	3400円
00002548	循環器内科ゴールデンハンドブック　改訂第4版	半田俊之介	南江堂	4800円
00002549	呼吸器診療ゴールデンハンドブック	永井厚志　編	南江堂	4200円
00002550	体表からわかる人体解剖学　ポケットチューター	[Richard Tunstall]	南江堂	2700円
00002551	患者さんのための鎮静 なぜよい医療者は鎮静を上手に取り入れられるのか？	濱口大輔　著	メジカルビュー社	2800円
00002552	がん化学療法レジメン管理マニュアル　第2版	青山剛　[ほか]編集	医学書院	3800円
00002553	療育マニュアル	落合靖男　編	医学書院	2200円
00002554	脳卒中リハビリテーションマニュアル	宮越浩一　編集	医学書院	3200円
00002555	そのまま使える病院英語表現5000　第2版	森島祐子	医学書院	2800円
00002556	機能解剖ポケットブック	Nigel Palastanga	医学書院	3400円
00002557	血液浄化療法スタッフマニュアル　第2版	佐中孜	医学書院	3500円
00002558	プロメテウス解剖学アトラス　コンパクト版	Anne M.Gilroy	医学書院	4500円
00002559	こころを診る技術　精神科面接と初診時対応の基本	宮岡等　著	医学書院	2500円
00002560	トラブルに巻き込まれないための医事法の知識	福永篤志　著	医学書院	2200円
00002561	内科ポケットレファランス　第2版	マーク S.サバティン　編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00002562	気分障害ハンドブック	S.ナシア・ガミー　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00002563	精神科面接マニュアル　第3版	ダニエルJ.カラット　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00002564	薬の散歩道　薬理学入門	仁木一郎　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2200円
00002565	これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現　第3版	藤枝宏壽	メジカルビュー社	2000円
00002566	症候からみる神経内科 診断のコツ治療のポイント 当直で外来でもう困らない！	鈴木則宏　編集	中山書店	4000円
00002567	包括的呼吸リハビリテーションポケットマニュアル　/ リハ・ポケット	上月正博	診断と治療社	2800円
00002568	運動器のリハビリテーションポケットマニュアル　/ リハ・ポケット	久保俊一　責任編集	診断と治療社	2800円
00002569	レジデントのための栄養管理基本マニュアル NSTディレクターになるための必読書	山東勤弥	文光堂	4000円
00002570	チームで実践！！小児臨床栄養マニュアル	高増哲也	文光堂	3500円
00002571	解剖学　/ メディカルイメージブック	中島雅美　編	医歯薬出版	1600円
00002572	生理学　/ メディカルイメージブック	中島雅美　編	医歯薬出版	1600円
00002573	心臓リハビリテーションポケットマニュアル	ジャパンハートクラブ編集	医歯薬出版	3400円
00002574	高次脳機能障害ポケットマニュアル　第3版	原寛美　監修	医歯薬出版	2100円
00002575	整形外科テストポケットマニュアル　臨床で使える徒手的検査法86	高橋仁美	医歯薬出版	2200円
00002576	運動療法・徒手療法ビジュアルポケットガイド　関節モビライゼーション・ストレッチング・筋力トレーニング・有酸素性運動	Carolyn Kisner	医歯薬出版	5400円
00002577	筋学ハンドブック	飯島治之	医歯薬出版	2300円
00002578	○×問題でマスター解剖生理	石橋治雄　編著	医歯薬出版	2200円
00002579	やさしい生理　新訂	石橋治雄	医歯薬出版	2600円
00002580	PT・OT学生のための実習を乗り切るらくらく実践術	長野康博　著	医歯薬出版	1800円
00002581	特定保健用食品データブック	国立健康・栄養研究所監修	南山堂	3500円
00002582	脳と心はどこまで科学でわかるか　/ 東大社会人科学講座　生命科学編	石浦章一	南山堂	1800円
00002583	英語でつたえる病気のあらまし　外国人患者さんが来ても困らない！	一杉正仁	メジカルビュー社	2800円
00002584	外国人の子ども白書　権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から	荒牧重人　[ほか]編	明石書店	2500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002585	英国ボバース講師会議によるボバース概念　改訂新訳 神経リハビリテーションの理論と実践	メアリ・リンチ・エラリントン	ガイアブックス	3800円
00002586	最新図解大人の発達障害サポートブック ／ 発達障害を考える 心をつなぐ	小野和哉　著	ナツメ社	1500円
00002587	図解よくわかる発達障害の子どもたち　／ 発達障害を考える 心をつなぐ	榊原洋一　著	ナツメ社	1500円
00002588	新しい介護食・嚥下(えんげ)食レシピ集 食を楽しんで栄養を取り入れるために	西尾正輝	インテルナ出版	3800円
00002589	身体活動・体力と健康　活動的生活スタイルの推進	Claude Bouchard	朝倉書店	6500円
00002590	地盤の液状化　発生原理と予測・影響・対策	石原研而　著	朝倉書店	2700円
00002591	人体の構造と機能　コア・スタディ	有田秀穂	朝倉書店	5600円
00002592	人体のしくみとはたらき	澤口彰子　[ほか]著	朝倉書店	2500円
00002593	人体生理学	黒島晨汎　[ほか]共著	朝倉書店	3800円
00002594	保健医療福祉のための臨床推論　チーム医療・チームケアのための実学	北島政樹　総編集	朝倉書店	3200円
00002595	子どもをあずかる人のための救命マニュアル	日本小児蘇生研究機構 監修	学研メディカル 秀潤社	1800円
00002596	呼吸器疾患ビジュアルブック	石原照夫　編	学研メディカル 秀潤社	3000円
00002597	見てわかる医療スタッフのための痰の吸引　基礎と技術	布宮伸	学研メディカル 秀潤社	1200円
00002598	基礎免疫学　アバスーリックマンーピレ 免疫システムの機能とその異常	Abul K.Abbas	エルゼビア・ジャパン	5800円
00002599	裸のプレゼンター 「自然さ」とインパクトのあるプレゼンのための心得	ガー・レイノルズ　著	丸善出版	2300円
00002600	片麻痺の人のためのリハビリガイド　感じることで動きが生まれる	中里瑠美子　著	協同医書出版社	2200円
00002601	失語症臨床ガイド　症状別ー理論と42症例による訓練・治療の実際	竹内愛子　編	協同医書出版社	5500円
00002602	生体工学概論	村上輝夫　編著	コロナ社	4000円
00002603	失語症の障害メカニズムと訓練法　改訂第2版	小嶋知幸　著	新興医学出版社	6500円
00002604	言語聴覚障害学　基礎・臨床	石合純夫　編著	新興医学出版社	4800円
00002605	わかりやすい画像からみた脳卒中リハビリテーション よくある症例を中心に	宮上光祐　著	新興医学出版社	3000円
00002606	消化器における感染症・寄生虫症	千種雄一	新興医学出版社	6000円
00002607	心身医療のための認知行動療法ハンドブック	Arthur J.Barsky　原著	新興医学出版社	3300円
00002608	エビデンスからみた森林浴のストレス低減効果と今後の展開 心身健康科学の視点から	高山範理　著	新興医学出版社	3500円
00002609	「骨」を知る53の質問　ウェルエイジングをサポートするために	太田博明　編	医薬ジャーナル社	4800円
00002610	日本のワクチン　開発と品質管理の歴史的検証	倉根一郎　日本ワクチン学会編集委員会代表	医薬ジャーナル社	7800円
00002611	股関節と膝関節疾患のためのピラティス 予防・改善と手術前後の運動アプローチ	ベス・A・カプレニク	ガイアブックス	3800円
00002612	療法士のための体表解剖学　800枚以上の人体写真に、骨、筋、血管等、内部が見えているかのように三次元グラフィックで再現	ベルンハルト・ライヒャルト　著	ガイアブックス	8000円
00002613	顎関節の徒手理学療法　顎関節症における機能的な関連を明らかにする検査・診断・治療・症例	カイ・バルトロウ　著	ガイアブックス	5500円
00002614	医用工学　第2版　医療技術者のための電気・電子工学	若松秀俊	共立出版	3100円
00002615	リハビリテーション概論　改訂第3版 医学生・コメディカルのための手引書	上好昭孝	永井書店	3000円
00002616	人体生理学の基礎　改訂第2版	池原敏孝	医学出版社	3600円
00002617	認知症のすべて　あなたはわかっていますか	十束支朗　著	医学出版社	1800円
00002618	健康とスポーツを科学する　第2版　これからの幸せを求めて	長尾光城　監修	中央法規出版	2500円
00002619	競技志向と健康志向のスポーツ科学	宮下充正　著	杏林書院	1800円
00002620	筋電図バイオフィードバック療法	辻下守弘	金芳堂	3000円
00002621	コメディカルのやさしい組織学	山下昭　著	金芳堂	2400円
00002622	人体の解剖生理学　第2版	木山博資	金芳堂	3900円
00002623	図解整形外科　第3版	久保俊一　[ほか]編著	金芳堂	5200円
00002624	嚥下障害とPEG	三原千惠　編	フジメディカル 出版	3000円
00002625	マッキー生化学　分子から解き明かす生命	Trudy McKee	化学同人	7400円
00002626	ビジュアルでわかるトリガーポイント治療　増補改訂版	Simeon Niel-Asher　著	緑書房	4800円
00002627	学びやすい社会福祉概論　第3版　含地域・在宅・施設・医療福祉	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2200円
00002628	学びやすい老人福祉論　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1700円
00002629	学びやすい障害者福祉論　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1600円
00002630	学びやすいリハビリテーション論　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1500円
00002631	学びやすい社会福祉援助技術	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1600円
00002632	学びやすいレクリエーション援助　第3版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2000円
00002633	学びやすい老人・障害者の心理　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002634	学びやすい家政学概論　第3版　含栄養・調理	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2100円
00002635	学びやすい医学一般　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002636	学びやすい精神保健　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1400円
00002637	学びやすい介護概論　第3版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2000円
00002638	学びやすい介護技術	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1700円
00002639	学びやすい形態別介護技術　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002640	学びやすい社会福祉法制度　第3版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002641	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第1巻　理学療法の基礎と評価	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002642	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第2巻　治療アプローチ	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002643	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第3巻 疾患別・理学療法基本プログラム	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002644	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第4巻　疾患別・理学療法の臨床思考	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002645	人間の尊厳と自立　生活支援場面における「人間」の理解/ 介護福祉士養成テキスト　1. 人間と社会	黒澤貞夫　著	建帛社	1900円
00002646	人間関係とコミュニケーション　体験学習型ワークブック/ 介護福祉士養成テキスト　2. 人間と社会	諏訪茂樹　編著	建帛社	2200円
00002647	生活と福祉　家庭，地域，社会・組織の福祉的機能と生活支援/ 介護福祉士養成テキスト　3. 人間と社会	小澤温　編著	建帛社	1900円
00002648	社会保障制度・介護福祉の制度と実践　第2版　制度の基礎的理解と事例研究/ 介護福祉士養成テキスト　4. 人間と社会	横倉聡	建帛社	2200円
00002649	介護の基本　1　自立に向けた介護福祉の理念と介護福祉士/ 介護福祉士養成テキスト　5. 介護	西村洋子	建帛社	2200円
00002650	介護の基本　2　利用者の理解と介護サービス/ 介護福祉士養成テキスト　6. 介護	西村洋子	建帛社	2200円
00002651	コミュニケーション技術　人間関係の形成と実践技術/ 介護福祉士養成テキスト　7. 介護	黒澤貞夫	建帛社	2200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002652	生活支援技術　1　自立に向けた生活支援の基礎とICFの理解/ 介護福祉士養成テキスト　8. 介護	柴田範子	建帛社	2200円
00002653	生活支援技術　2　自立に向けた移動・姿勢保持・生活経営・住まい・安全の支援/ 介護福祉士養成テキスト　9. 介護	井上由起子　[ほか]編著	建帛社	2200円
00002654	生活支援技術　3　自立に向けた入浴・身じたく・家事・レクリエーションの支援/ 介護福祉士養成テキスト　10. 介護	久保田トミ子　[ほか]編著	建帛社	2200円
00002655	生活支援技術　4　自立に向けた食事・調理・睡眠・排泄の支援と終末期の支援/ 介護福祉士養成テキスト　11. 介護	川村佐和子　[ほか]編著	建帛社	2200円
00002656	介護過程の展開　基礎的理解と実践演習 / 介護福祉士養成テキスト　12. 介護	黒澤貞夫	建帛社	2400円
00002657	介護総合演習　実習をとおした学びの目標と課題 / 介護福祉士養成テキスト　13. 介護	峯尾武巳	建帛社	2200円
00002658	発達と老化の理解　介護の視点からみる高齢者の心理と健康/ 介護福祉士養成テキスト　14. こころとからだのしくみ	長谷川和夫	建帛社	2000円
00002659	認知症の理解　介護の視点からみる支援の概要/ 介護福祉士養成テキスト　15. こころとからだのしくみ	長谷川和夫　編著	建帛社	2200円
00002660	こころとからだのしくみ　生活場面・状態像に応じた支援の理解/ 介護福祉士養成テキスト　17. こころとからだのしくみ	長谷川和夫	建帛社	2200円
00002661	NEW薬理学　改訂第7版	田中千賀子	南江堂	8800円
00002662	わかる！身につく！生物・生化学・分子生物学　改訂2版	田村隆明　著	南山堂	2800円
00002663	学会発表のための動画編集マニュアル　第2版 パワポにすぐ貼付！間違いなく動く！	大須賀覚	金原出版	3000円
00002664	傷の正しい治し方　創傷から褥瘡のラップ療法	水原章浩　著	金原出版	2800円
00002665	傷の正しい治し方　pt.2　そこが知りたいラップ療法実践編	水原章浩　著	金原出版	3000円
00002666	傷の正しい治し方　pt.3　ラップ療法による新しい熱傷、皮膚科治療	水原章浩　著	金原出版	2900円
00002667	きこえと遺伝子　改訂第2版　難聴の遺伝子診断とその社会的貢献	宇佐美真一　編	金原出版	3800円
00002668	がんの痛みよ、さようなら！　こうすればとれる「がんの痛み」	武田文和	金原出版	2200円
00002669	運動療法学　改訂第2版	柳澤健　編	金原出版	6200円
00002670	必携・衛生試験法　第2版	日本薬学会　編	金原出版	4000円
00002671	透視人体解剖図　新訂版	新井正治　編	金原出版	2200円
00002672	知りたかった！PT・OTのための発達障害ガイド	新田收	金原出版	4600円
00002673	PT・OTのための画像のみかた　国試・現場で役立つ	山下敏彦　監修	金原出版	3700円
00002674	失語症の源流を訪ねて　言語聴覚士のカルテから	小嶋知幸　著	金原出版	3500円
00002675	「なぜ」から導く循環器疾患のリハビリテーション 急性期から在宅まで これでわかる！	内昌之	金原出版	4500円
00002676	転倒・転落を防ぐセーフティマネジメント	小松泰喜	金原出版	3200円
00002677	移動補助具　第2版　杖・松葉杖・歩行器・車椅子	松原勝美　著	金原出版	5500円
00002678	実践的医療ソーシャルワーク論　改訂第2版　保健医療サービスを学ぶ	村上須賀子	金原出版	3000円
00002679	ベッドサイドからはじめるやさしい介助技術 介護職・コメディカル・ご家族のために	細江さよ子　著	金原出版	2800円
00002680	摂食・嚥下障害のグループゲーム集 介護予防にも使える楽しい機能訓練！	大塚裕一	金原出版	3400円
00002681	なるほど！失語症の評価と治療　検査結果の解釈から訓練法の立案まで	小嶋知幸　編著	金原出版	4800円
00002682	最新体外循環　第2版　基本的知識と安全の確保	井野隆史	金原出版	6000円
00002683	臨床栄養治療の実践　基礎編	栢下淳	金原出版	2900円
00002684	臨床栄養治療の実践　病態別編	栢下淳	金原出版	4800円
00002685	現代の眼科学　改訂第13版	吉田晃敏	金原出版	7200円
00002686	よくわかる内科　第2版増補　ILLUSTRATED MEDICINE	福山裕三	金原出版	6500円
00002687	SUCCESS耳鼻咽喉科　第2版	野中学	金原出版	3800円
00002688	症例に学ぶ精神科診断・治療・対応	阿部隆明	金原出版	9000円
00002689	現代臨床精神医学　改訂第12版	大熊輝雄　原著	金原出版	7700円
00002690	うつ病のTMS療法	鬼頭伸輔　編	金原出版	4000円
00002691	病気がわかる検査値ガイド　改訂第3版　読んで上達！	斉藤嘉禎　著	金原出版	3800円
00002692	標準東洋医学	仙頭正四郎　著	金原出版	4700円
00002693	脳卒中のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.2	千野直一	金原出版	5300円
00002694	介護保険とリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.3	千野直一	金原出版	5300円
00002695	運動療法・物理療法・作業療法　/ リハビリテーションmook　no.5	千野直一	金原出版	5300円
00002696	骨関節疾患のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.6	千野直一	金原出版	5500円
00002697	義肢装具とリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.7	千野直一	金原出版	5300円
00002698	小児のリハビリテーション　病態とライフステージへの対応 / リハビリテーションmook　no.8	千野直一	金原出版	5700円
00002699	ADL・IADL・QOL　/ リハビリテーションmook　no.9	千野直一	金原出版	5300円
00002700	脊髄損傷のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.11	千野直一	金原出版	6600円
00002701	言語障害・摂食嚥下障害とリハビリテーション / リハビリテーションmook　no.12	千野直一	金原出版	6200円
00002702	高齢者のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.13	千野直一	金原出版	6600円
00002703	内部障害のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.14	千野直一	金原出版	6000円
00002704	リハビリテーション工学と福祉機器　/ リハビリテーションmook　no.15	千野直一	金原出版	6600円
00002705	上腕骨近位端骨折　適切な治療法の選択のために	玉井和哉　編	金原出版	6800円
00002706	スポーツと腰痛　メカニズム&マネジメント	山下敏彦　編	金原出版	4500円
00002707	スポーツと腰痛　メカニズム&マネジメント	山下敏彦　編	金原出版	4500円
00002708	スポーツ傷害のリハビリテーション　第2版　Science and Practice	山下敏彦	金原出版	7400円
00002709	コーチとプレーヤーのためのサッカー医学テキスト	日本サッカー協会スポーツ医学委員会　編	金原出版	3800円
00002710	脳卒中上肢機能評価ARATパーフェクトマニュアル	中野枝里子	金原出版	3500円
00002711	臨床実習のための歩行分析トレーニングブック	臨床歩行分析研究会　編	金原出版	2000円
00002712	上肢痙縮に対するボツリヌス治療とリハビリテーション	安保雅博	金原出版	4600円
00002713	メディカルストレッチング　第2版　筋学からみた関節疾患の運動療法	丹羽滋郎　[ほか]共著	金原出版	3800円
00002714	医療マッサージの基礎と応用	藤原實　編著	金原出版	3000円
00002715	医療文書の正しい書き方と医療補償の実際　改訂第5版 診断書から社会保障まで	日野原重明	金原出版	4800円
00002716	よくわかる脳波判読　第3版	音成龍司	金原出版	6800円
00002717	脳性麻痺リハビリテーションガイドライン　第2版	日本リハビリテーション医学会診療ガイドライン委員会　編	金原出版	3400円
00002718	障害者の体力評価ガイドライン　脳血管障害・脊髄損傷	日本リハビリテーション医学会障害者の体力評価ガイドライン策定委員会　編	金原出版	2400円
00002719	一緒に治せるめまいと頭痛	五島史行　著	金原出版	1500円
00002720	自宅で治せるめまいリハビリ　第2版	五島史行　著	金原出版	1200円
00002721	スポーツ救命講習会テキスト	池田浩　[ほか]著	金原出版	1000円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002722	スポーツ救命講習会テキスト	池田浩　［ほか］著	金原出版	1000円
00002723	話せる医学英語	荒木勤	金原出版	2800円
00002724	行為と幻覚　レジリアンスを拓く統合失調症	小林聡幸　著	金原出版	4600円
00002725	職場結合性うつ病	加藤敏　編著	金原出版	2800円
00002726	よくわかるWHO方式がん疼痛治療法　すべてのがん患者さんが痛みのない日々を過ごすために，その後の新情報も含めて	武田文和	金原出版	2000円
00002727	PT・OTが現場ですぐに使えるリハビリのコミュ力	西尾幸敏　著	金原出版	2200円
00002728	患者から早く死なせてほしいと言われたらどうしますか？本当に聞きたかった緩和ケアの講義	新城拓也　著	金原出版	2800円
00002729	認知症のリハビリテーション　ケア、薬物療法から施設入所まで／実践リハビリテーション・シリーズ	瀬川浩　著	金原出版	3000円
00002730	NICUマニュアル　第5版	新生児医療連絡会　編	金原出版	7000円
00002731	アプリ開発チームのためのプロジェクトマネジメントチーム駆動開発でいこう！	稲山文孝　著	マイナビ	2680円
00002732	生化学・分子生物学　第2版　／管理栄養士講座	伊東蘆一	建帛社	3200円
00002733	人体の構造と機能　／管理栄養士講座	岸恭一	建帛社	3400円
00002734	超訳哲学者図鑑	富増章成　著	かんき出版	1500円
00002735	うそつきのパラドックス　論理的に考えることへの挑戦	山岡悦郎　著	海鳴社	1800円
00002736	孫正義奇跡のプレゼン　人を動かす23の法則	三木雄信　著	ソフトバンククリエイティブ	1500円
00002737	本願のこころ　『尊号真像銘文』を読む	梯實圓　著	法藏館	1600円
00002738	倉山満が読み解く足利の時代　力と陰謀がすべての室町の人々	倉山満　著	青林堂	1200円
00002739	マイクロソフト伝説マネジャーの世界No.1プレゼン術	澤円　著	ダイヤモンド社	1500円
00002740	社会保険の教科書　いちばんわかる！トクする！	キャッスルロック・パートナーズ　著	ダイヤモンド社	1400円
00002741	経済は地理から学べ！	宮路秀作　著	ダイヤモンド社	1500円
00002742	世界の頂点(トップ)に立つ人の最強プレゼン術	松本幸夫　著	総合法令出版	1200円
00002743	「ポスト爆買い」時代のインバウンド戦略　日本人が知らない外国人観光客の本音	中村正人　著	扶桑社	1300円
00002744	フッサールの現象学　新装版	ダン・ザハヴィ　著	晃洋書房	2400円
00002745	哲学する子どもたち　バカロレアの国フランスの教育事情	中島さおり　著	河出書房新社	1600円
00002746	折々の民俗学	常光徹　著	河出書房新社	1500円
00002747	3年でプロになれる脚本術	尾崎将也　著	河出書房新社	1300円
00002748	白山信仰の謎と被差別部落	前田速夫　著	河出書房新社	2000円
00002749	被差別の民俗学	折口信夫　著	河出書房新社	2400円
00002750	賤民にされた人びと　非常民の民俗世界	柳田国男　著	河出書房新社	2400円
00002751	これからの幸福論	小浜逸郎　著	時事通信社	1700円
00002752	インバウンドの罠　脱「観光消費」の時代	姫田小夏　著	時事通信出版局	1500円
00002753	怪我と病気の英語力　病院・医院で役に立つ文例2800	倉骨彰	日本経済新聞出版社	4000円
00002754	悪いヤツほど出世する	ジェフリー・フェファー　著	日本経済新聞出版社	1800円
00002755	ミステリ国の人々	有栖川有栖　著	日本経済新聞出版社	1500円
00002756	TPPが日本農業を強くする	山下一仁　著	日本経済新聞出版社	1800円
00002757	ささる。プレゼン	村山涼一　著	日本経済新聞出版社	1400円
00002758	中国共産党闇の中の決戦	中澤克二　著	日本経済新聞出版社	1600円
00002759	生命・人間・経済学　科学者の疑義	宇沢弘文	日本経済新聞出版社	2500円
00002760	財政と民主主義　ポピュリズムは債務危機への道か	加藤創太	日本経済新聞出版社	2000円
00002761	マイナス金利政策　3次元金融緩和の効果と限界	岩田一政	日本経済新聞出版社	2800円
00002762	錬金術の終わり　貨幣、銀行、世界経済の未来	マーヴィン・キング　著	日本経済新聞出版社	3200円
00002763	ハーバード流逆転のリーダーシップ	リンダ・A・ヒル	日本経済新聞出版社	2000円
00002764	心を操る寄生生物　感情から文化・社会まで	キャスリン・マコーリフ　著	インターシフト	2300円
00002765	タテの会議ヨコの会議　時間半減、生産性倍増の実践ノウハウ	久恒啓一　著	ダイヤモンド社	1500円
00002766	樋口愉美子のアップリケ刺しゅう	樋口愉美子　［著］	日本ヴォーグ社	1300円
00002767	もういちど読む山川地理　新版	田邉裕　著	山川出版社	1500円
00002768	もういちど読む山川倫理	小寺聡　編	山川出版社	1500円
00002769	もういちど読む山川日本史史料	下山忍	山川出版社	1500円
00002770	歴史的思考力を育てる　歴史学習のアクティブ・ラーニング	永松靖典　編	山川出版社	2000円
00002771	会社に入る前に知っておきたいこれだけ経済学	坪井賢一　著	ダイヤモンド社	1500円
00002772	完全独習統計学入門	小島寛之　著	ダイヤモンド社	1800円
00002773	統計学のための数学教室　この1冊で腑に落ちる	永野裕之　著	ダイヤモンド社	2400円
00002774	この世で一番おもしろい統計学　誰も「データ」でダマされなくなるかもしれない16講+α	アラン・ダブニー　著	ダイヤモンド社	1500円
00002775	この世で一番おもしろいミクロ経済学　誰もが「合理的な人間」になれるかもしれない16講	ヨラム・バウマン　著	ダイヤモンド社	1500円
00002776	この世で一番おもしろいマクロ経済学　みんながもっと豊かになれるかもしれない16講	ヨラム・バウマン　著	ダイヤモンド社	1500円
00002777	グロービスMBAで教えているプレゼンの技術　人を動かす勝利の方程式	グロービス　著	ダイヤモンド社	1800円
00002778	社外プレゼンの資料作成術	前田鎌利　著	ダイヤモンド社	1600円
00002779	法律を読む技術・学ぶ技術　改訂第3版　元法制局キャリアが教える	吉田利宏　著	ダイヤモンド社	1800円
00002780	マインドマップ会議術　会議の質を劇的に高める「1枚の地図」	高橋政史	ダイヤモンド社	1600円
00002781	今までで一番やさしい経済の教科書　最新版	木暮太一　著	ダイヤモンド社	1300円
00002782	完全独習ベイズ統計学入門	小島寛之　著	ダイヤモンド社	1800円
00002783	文系でもわかるビジネス統計入門	内田学	東洋経済新報社	1800円
00002784	経済がわかる論点50　2017	みずほ総合研究所　著	東洋経済新報社	1600円
00002785	ここからはじまる早わかり労働安全衛生法　新版	近藤恵子	東洋経済新報社	1400円
00002786	超図解一番わかりやすいキリスト教入門	インフォビジュアル研究所　著	東洋経済新報社	1500円
00002787	18歳からの格差論　日本に本当に必要なもの	井手英策　著	東洋経済新報社	1000円
00002788	富国と強兵　地政経済学序説	中野剛志　著	東洋経済新報社	3600円
00002789	経済分析のための統計的方法　第2版	岩田暁一　著	東洋経済新報社	3600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002790	経済統計の活用と論点　第3版	梅田雅信	東洋経済新報社	3200円
00002791	統計学　第2版　/ プログレッシブ経済学シリーズ	刈屋武昭	東洋経済新報社	3200円
00002792	定量分析の教科書　ビジネス数字力養成講座	グロービス　著	東洋経済新報社	2600円
00002793	LEADERSHIP 2030　リーダーの未来を変える6つのメガトレンド	ゲオルク・ヴィエルメッター	生産性出版	2800円
00002794	12のリーダーシップストーリー 課題は状況対応リーダーシップで乗り切れ	網あづさ　著	生産性出版	2000円
00002795	日本文化入門　その基層から美意識まで	板垣俊一　著	武蔵野書院	2300円
00002796	新説応仁の乱　歴史の転換点となった大乱。最新研究の成果		宝島社	1300円
00002797	神々が見える神社100選	芸術新潮編集部　編	新潮社	2000円
00002798	井筒俊彦　増補新版　言語の根源と哲学の発生	安藤礼二	河出書房新社	1800円
00002799	素敵な時間を楽しむカフェのある美術館	青い日記帳　監修	世界文化社	1600円
00002800	残したい手しごと日本の染織　美しく希少な18の染織	片柳草生　著	世界文化社	2600円
00002801	大学4年間の経済学がマンガでざっと学べる　学び直しの決定版	井堀利宏	KADOKAWA	1200円
00002802	2017年7月7日国連会議で採択 核兵器禁止条約の意義と課題	冨田宏治　著	かもがわ出版	930円
00002803	子どもの貧困ハンドブック	松本伊智朗　[ほか]編著	かもがわ出版	2200円
00002804	プロジェクトマネジャーの決断　富士通の現場から プロジェクトマネジメントに悩んでいるあなたへ。 実践	富士通株式会社PMコミュニティ「実践的PM力向上のための問題集検討」WG　著	FOM出版	1200円
00002805	観光資源としての博物館	中村浩	芙蓉書房出版	2500円
00002806	図解いちばんよくわかる最新個人情報保護法	辻畑泰喬　著	日本実業出版社	1800円
00002807	激わかる！実例つきビジネス統計学	造事務所　編著	実業之日本社	1600円
00002808	統計学の7原則　人びとが築いた知恵の支柱	スティーブン・M・スティグラー　著	パンローリング	2800円
00002809	貿易実務の基礎がわかる本　改訂3版　/ 貿易実務シリーズ	曽我しのぶ　著	シーアンドアール研究所	3420円
00002810	健康に生きるための保健体育	谷川尚己	サンライズ出版	1000円
00002811	ゼロからスタート英語で話すトレーニングBOOK　だれにでもできるスピーキング入門書 自己紹介からショートスピーチまでレッスン90	安河内哲也	Jリサーチ出版	1400円
00002812	英語がどんどん聞き取れる！リスニンガールの耳ルール30 アメリカの子どもはこう学ぶ	リサ・ヴォート　著	Jリサーチ出版	1400円
00002813	ゼロからスタートリスニング だれにでもできる英語の耳作りトレーニング	安河内哲也　著	Jリサーチ出版	1400円
00002814	英語高速メソッド旅行英会話集　ネイティヴの脳&耳になる	笠原禎一　著	新星出版社	1800円
00002815	英語高速メソッドパーフェクト英会話集　ネイティヴの脳&耳になる	笠原禎一　著	新星出版社	1900円
00002816	高速(ハイ・スピード)CDを聞くだけで英語が話せる本　英語高速メソッド	笠原禎一　著	新星出版社	1000円
00002817	英語で話す力。　141のサンプル・スピーチで鍛える！	長尾和夫	三修社	2400円
00002818	基礎から学ぶ！スポーツテーピング	高橋仁　編著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002819	基礎から学ぶ！スポーツ救急医学	奥水健治　著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002820	基礎から学ぶ！スポーツマッサージ	溝口秀雪　編著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002821	基礎から学ぶ！スポーツ障害	鳥居俊　著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002822	基礎から学ぶ！スポーツ栄養学	鈴木志保子　著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002823	地域活性化マーケティング　地域価値を創る・高める方法論	宮副謙司　著	同友館	2800円
00002824	情報学の展開　情報文化研究への視座	米山優　著	昭和堂	3800円
00002825	Q&Aで学ぶ図書館の著作権基礎知識　第3版 / ユニ知的所有権ブックス　no.12	黒澤節男　著	太田出版	2800円
00002826	文化を超えるグローバルリーダーシップ 優れたCEOと劣ったCEOの行動スタイル	R.J.ハウス　[ほか]著	中央経済社	4800円
00002827	行動探求　個人・チーム・組織の変容をもたらすリーダーシップ	ビル・トルバート　ほか著	英治出版	2400円
00002828	精神現象学	G.W.F.ヘーゲル　[著]	作品社	4800円
00002829	人格　応用倫理学の基礎概念	ミヒャエル・クヴァンテ　著	知泉書館	4800円
00002830	マンガでわかる聖書	真野隆也　著	池田書店	1300円
00002831	マンガでわかる古事記	志水義夫　著	池田書店	1350円
00002832	マンガでわかる地政学	武楽清	池田書店	1350円
00002833	ブッダと親鸞　教えに生きる	一楽真　[ほか]著	真宗大谷派宗務所出版部	1000円
00002834	浄土真宗本願寺派のお経　お西/ わが家の宗教を知るシリーズ	早島大英　監修	双葉社	1800円
00002835	真宗大谷派のお経　お東/ わが家の宗教を知るシリーズ	坂東浩　監修	双葉社	1800円
00002836	日本人が大切にしたい7つ　入門編　文化・伝統/神話・天皇/神社・仏閣/大和言葉/和食・食文化/出来事/偉人 日本道入門テキスト&実践シート	全国日本道連盟　編集	日本ベンチャー大學パブリッシング	1000円
00002837	夏目漱石解体全書	香日ゆら　著	河出書房新社	1300円
00002838	文豪春秋　百花繚乱の文豪秘話	ライブ　編著	カンゼン	1400円
00002839	祇園祭の愉しみ　山鉾と御神輿をめぐる悦楽/ 京都しあわせ倶楽部	芳賀直子　著	PHP研究所	1500円
00002840	図解自分の気持ちをきちんと<伝える>技術 人間関係がラクになる自己カウンセリングのすすめ	平木典子　著	PHP研究所	1200円
00002841	言葉から社会を考える　この時代に<他者>とどう向き合うか	東京外国語大学 言語文化学部　編	白水社	1000円
00002842	民法改正の解説　不動産関係者必携本！	渡辺晋　著	住宅新報社	2400円
00002843	最新借地借家法の解説　3訂版	渡辺晋　著	住宅新報社	2200円
00002844	成功17事例で学ぶ自治体PR戦略　情報発信でまちは変わる	電通パブリックリレーションズ　編著	時事通信出版局	1400円
00002845	飲食店の品質管理のしくみがわかる本　/ DO BOOKS. ビジュアル図解	渡邉常和　著	同文舘出版	1700円
00002846	サクッとわかる貿易実務問題集　第3版　10days	池田隆行　著	ネットスクール出版本部	1600円
00002847	サクッとわかる貿易実務　第3版　10days 試験対策もOK!!	池田隆行　著	ネットスクール出版本部	1600円
00002848	貿易実務完全バイブル	黒岩章　著	かんき出版	2600円
00002849	ふるさと納税の理論と実践　/ 地方創生シリーズ	保田隆明	日本教育研究団事業構想大学院大学出版部	1800円
00002850	もういちど読む数研の高校化学	小林正光	数研出版	1500円
00002851	チベット聖地の路地裏　八年のラサ滞在記	村上大輔　著	法藏館	2400円
00002852	差し掛けられた傘　米国の核抑止力と日本の安全保障	佐藤行雄　著	時事通信出版局	2300円
00002853	ちいさな天使のものがたり	かわかみせいじ　文	東洋館出版社	1200円
00002854	近現代の空間を読み解く	ジョン・モリッシー	古今書院	3200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002855	地域分析　新版　データ入手・解析・評価	村山祐司	古今書院	2800円
00002856	観光サービス論　観光を初めて学ぶ人の14章	安田亘宏　著	古今書院	2300円
00002857	役に立つ地理学	伊藤修一　[ほか]編	古今書院	2600円
00002858	関東のジオパーク　/ シリーズ大地の公園	目代邦康	古今書院	2600円
00002859	百選の棚田を歩く	中島峰広　著	古今書院	2200円
00002860	洪水と人間　その相剋の歴史	伊藤安男　著	古今書院	4000円
00002861	場所をめぐる問題　人文地理学の再構築のために / 大学の地理学advanced course	ロン・J.ジョンストン　著	古今書院	3800円
00002862	都市社会地理学　改訂新版　/ 大学の地理学advanced course	ポール・ノックス	古今書院	7500円
00002863	人文地理学の基礎　/ 大学の地理学　2	C.J.ラインズ	古今書院	2300円
00002864	地理学の声　アメリカ地理学者の自伝エッセイ集	ピーター・グールド	古今書院	6200円
00002865	人間の営みがわかる地理学入門　「なぜ」がわかる地理学講義	水野一晴　著	ベレ出版	1800円
00002866	自然のしくみがわかる地理学入門　「なぜ」がわかる地理学講義	水野一晴　著	ベレ出版	1800円
00002867	「物理・化学」の法則・原理・公式がまとめてわかる事典	涌井貞美　著	ベレ出版	1800円
00002868	「数学」の公式・定理・決まりごとがまとめてわかる事典	涌井良幸　著	ベレ出版	1800円
00002869	大学数学ほんとうに必要なのは『集合』　/ BERET SCIENCE	大蔵陽一　著	ベレ出版	1900円
00002870	意味がわかる多変量解析　まずはこの一冊から/ BERET SCIENCE	石井俊全　著	ベレ出版	1900円
00002871	意味がわかる線形代数　まずはこの一冊から/ Beret science	石井俊全　著	ベレ出版	2000円
00002872	意味がわかるベイズ統計学　まずはこの一冊から/ BERET SCIENCE	一石賢　著	ベレ出版	2000円
00002873	ガロア理論の頂を踏む　/ BERET SCIENCE	石井俊全　著	ベレ出版	3000円
00002874	物理学のための数学　/ Beret science	一石賢　著	ベレ出版	2100円
00002875	「なぜ？どうして？」をとことん考える高校数学　/ BERET SCIENCE	南みや子　著	ベレ出版	1700円
00002876	小・中・高で習った計算まるごとドリル　加減乗除から微分積分まで	間地秀三　著	ベレ出版	1600円
00002877	小・中・高の計算がまるごとできる　足し算・引き算から微分・積分まで	間地秀三　著	ベレ出版	1600円
00002878	生きて動いている「有機化学」がわかる　/ BERET SCIENCE	齋藤勝裕　著	ベレ出版	1800円
00002879	観察する目が変わる動物学入門　/ BERET SCIENCE	浅場明莉	ベレ出版	1600円
00002880	絶対数学原論	黒川信重　著	現代数学社	2300円
00002881	決まり・ならわし　暮らしのルール！/ 日本文化キャラクター図鑑	本木洋子　文	玉川大学出版部	1400円
00002882	自分でできる認知行動療法　うつ・パニック症・強迫症のやさしい治し方/ ココロの健康シリーズ	浅岡雅子　著	翔泳社	1200円
00002883	本人も家族もラクになる強迫症がわかる本　/ ココロの健康シリーズ	松田慶子　著	翔泳社	1200円
00002884	書き込み式ボールペン「般若心経」練習帖　怒り、迷いがスーッと消える	岡田崇花　書	河出書房新社	1000円
00002885	不登校・ひきこもりの心がわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	磯部潮　監修	講談社	1200円
00002886	認知行動療法のすべてがわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	清水栄司　監修	講談社	1200円
00002887	統合失調症の人の気持ちがわかる本　不思議な「心」のメカニズムが一目でわかる/ こころライブラリー　イラスト版	伊藤順一郎	講談社	1300円
00002888	強迫性障害のすべてがわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	原田誠一　監修	講談社	1200円
00002889	知的障害のことがよくわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	有馬正高　監修	講談社	1200円
00002890	独習コンピュータ科学基礎　1　離散構造	James L.Hein　著	翔泳社	3200円
00002891	独習コンピュータ科学基礎　2　論理構造	James L. Hein　著	翔泳社	3200円
00002892	独習コンピュータ科学基礎　3　計算構造	James L.Hein　著	翔泳社	2800円
00002893	暮らしを彩る実用折り紙	川村晟　著	日本文芸社	1200円
00002894	諸星大二郎の世界　/ コロナ・ブックス　205	コロナ・ブックス編集部　編	平凡社	1600円
00002895	いちばんやさしい人工知能ビジネスの教本　人気講師が教えるAI・機械学習の事業化	二木康晴	インプレス	1850円
00002896	自閉症スペクトラム<アスペルガー症候群>の本　じょうずなつきあい方がわかる/ セレクトBOOKS. 育ちあう子育ての本	主婦の友社　[編]	主婦の友社	1400円
00002897	よくわかる双極性障害<躁うつ病>　両極端な気分の変動をコントロールする/ セレクトBOOKS. こころのクスリBOOKS	貝谷久宣　監修	主婦の友社	1400円
00002898	いちばん親切な西洋美術史	池上英洋	新星出版社	1800円
00002899	入門コンピュータ科学　ITを支える技術と理論の基礎知識	J.Glenn Brookshear　著	ドワンゴ	3800円
00002900	エクセルで分析、パワポでプレゼン！　説得力を高めるプレゼン活用テクニック/ SCC Books　B-373	「SCCライブラリーズ」制作グループ　編著	エスシーシー	2000円
00002901	大人の発達障害<アスペルガー症候群・ADHD>シーン別解決ブック　/ 主婦の友新実用BOOKS. Clinic	司馬理英子　著	主婦の友社	1600円
00002902	イチバン親切なハンドメイドアクセサリーの教科書	新星出版社編集部　編	新星出版社	1400円
00002903	きょうのカラダを、起動しよう。　カラダ・ココロ・マインドが整う食べ方と暮らし/ veggy Books	アントレックス　監修	キラジェンヌ	926円
00002904	深海生物の謎　発光、巨大化、超長寿、未進化…　オールカラー美麗写真で見る奇妙でかわいい生物100/ TJ MOOK	石垣幸二　監修	宝島社	630円
00002905	スポーツ選手のための食事400レシピ　最新版 小学生・中高生・大学生～プロスポーツ選手まで/ GAKKEN SPORTS BOOKS	石川三知　著	学研プラス	1680円
00002906	3DCGでよみがえる「信長公記」	小和田哲男　監修	宝島社	1000円
00002907	ASD<アスペルガー症候群>、ADHD、LD女の子の発達障害　"思春期"の心と行動の変化に気づいてサポートする本	宮尾益知　監修	河出書房新社	1400円
00002908	ASD<アスペルガー症候群>、ADHD、LD女性の発達障害　女性の悩みと問題行動をサポートする本	宮尾益知　監修	河出書房新社	1400円
00002909	<図解>大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏　著	KADOKAWA	925円
00002910	コメディカルのための社会福祉概論　第3版	鬼崎信好	講談社	2400円
00002911	免疫測定法　基礎から先端まで	生物化学的測定研究会　編	講談社	7800円
00002912	臨床免疫学　新版 第3版	山田俊幸　[ほか]編	講談社	5400円
00002913	医療系学生のための病理学　第4版	中村仁志夫	講談社	3500円
00002914	初歩から学ぶ固体物理学	矢口裕之　著	講談社	3600円
00002915	公衆栄養学概論　/ 栄養科学シリーズNEXT	友竹浩之	講談社	2600円
00002916	医歯薬系のための生物学　コアカリキュラムを基礎から学ぶ	小林賢　編著	講談社	4400円
00002917	カラー図解生化学ノート　書く！塗る！わかる！	森誠　著	講談社	2200円
00002918	高齢者の筋力トレーニング 安全に楽しく行うための指導者向け実践ガイド	都竹茂樹　著	講談社	2800円
00002919	ディズニーの刺しゅう　糸で紡ぐディズニーストーリー	川畑杏奈　刺しゅう・指導	講談社	1500円
00002920	情報システム入門	鈴木昇一　著	創成社	2000円
00002921	情報力学入門　心をもった認識機械RECOGNITRON	鈴木昇一　著	創成社	2600円
00002922	すべての子どもが必ずできる体育の基本 走る・泳ぐ・投げる・回る・跳ぶ…	高橋健夫	学研教育みらい	1800円
00002923	高齢者が喜ぶ！壁面かざり12か月　全77点掲載！/ 学研介護レクシリーズ	高野龍昭　監修	学研プラス	2000円
00002924	気持ちが伝わる介護スタッフのためのマナーと声かけ　イラスト図解	高橋好美　監修	学研教育出版	1500円
00002925	日本海軍艦艇図鑑　超ワイド&精密図解/ 学研ムック	歴史群像編集部　編	学研プラス	2100円
00002926	イラストで丸わかり！神社入門　日本人の原点神様を知りたい！		洋泉社	1200円
00002927	江戸ビジュアル図鑑　時代小説の用語と場面がよくわかる		双葉社	1400円
00002928	PowerPointビジネスプレゼン　第2版　論理を磨き・信頼を獲得し・心を動かすプレゼンテーション/ ビジテクBUSINESS TECHNIQUE	菅野誠二　著	翔泳社	2280円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　名	著者名	出版社	定価
00002929	Rビジネス統計分析　/ ビジテクBUSINESS TECHNIQUE	豊澤栄治　著	翔泳社	3000円
00002930	教育法規速習ノート　補訂版〈全訂新版〉　学校管理職選考	学校管理職研究会　編	教育開発研究所	1900円
00002931	図解・表解教育法規　新訂第3版 "確かにわかる"法規・制度の総合テキスト	坂田仰	教育開発研究所	3000円
00002932	鉱物レシピ　結晶づくりと遊びかた	さとうかよこ　著	グラフィック社	2000円
00002933	図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント	山下秋二	大修館書店	2400円
00002934	一流サンプル職人が教える本格革財布の仕立て方	池田耕平　監修	スタジオタッククリエイティブ	3500円
00002935	アスリートのための分子栄養学	星真理　著	体育とスポーツ出版社	2130円
00002936	パラスポーツルールブック　パラリンピックを楽しもう	コンデックス情報研究所編著	清水書院	2900円
00002937	クローズアップ日本事情15　日本語で学ぶ社会と文化	佐々木瑞枝　著	ジャパンタイムズ	2500円
00002938	バイオインフォマティクス入門　学会公認	日本バイオインフォマティクス学会　編	慶應義塾大学出版会	2700円
00002939	石ころ博士入門　/ 全農教観察と発見シリーズ	高橋直樹	全国農村教育協会	2700円
00002940	日本の幻獣図譜　大江戸不思議生物出現録	湯本豪一　著	東京美術	2300円
00002941	これ1冊できちんと作れる！手作りアクセサリーLESSON BOOK	朝日新聞出版　編著	朝日新聞出版	1400円
00002942	やさしいスポーツ医科学の基礎知識	藤本繁夫	嵯峨野書院	1800円
00002943	やる気スイッチが入る秋田県式家庭学習ノートで勉強しよう！　最新版	主婦の友社　編	主婦の友社	1000円
00002944	ブリューゲルへの招待	朝日新聞出版　編	朝日新聞出版	1400円
00002945	若冲の「花」 Ito Jakuchu	朝日新聞出版　編	朝日新聞出版	2000円
00002946	論文執筆のためのパソコンの使い方　第2版 Windows XPとMicrosoft Office 2003を中心に	宇多文雄	清水弘文堂書房	1886円
00002947	学生のレポート・論文作成トレーニング　改訂版 スキルを学ぶ21のワーク	桑田てるみ　編	実教出版	1200円
00002948	西洋美術史を変えた名画150　古代ギリシャからキュビスムまで…西洋の"美"の歴史がここにある！/ タツミムック	木村泰司　[著]	辰巳出版	1500円
00002949	新しい介護保険のしくみ　よくわかる！	長谷憲明　著	瀬谷出版	2600円
00002950	図説ユーラシアと日本の国境　ボーダー・ミュージアム	岩下明裕	北海道大学出版会	1800円
00002951	表でまとめる日本文化史	菅野晴夫　編著	山川出版社	750円
00002952	ヨーロッパの民族衣装　衣装ビジュアル資料	芳賀日向　著	グラフィック社	2300円
00002953	小さなお人形のためのドール・コーディネイト・レシピ はじめてから、応用アレンジまで/ Dolly*Dolly Books	関口妙子　著	グラフィック社	1600円
00002954	週末でつくる紙文具 書く、整理する、保存する－目的別・30種類のつくり方	永岡綾　著	グラフィック社	1500円
00002955	Croak!　世界の不思議なカエル Illustration Book	黒川宇吉　著	実業之日本社	1680円
00002956	美人画づくし	池永康晟　監修	芸術新聞社	2800円
00002957	椅子に腰かけたままでできるシニアのための脳トレ体操&ストレッチ体操	斎藤道雄　著	黎明書房	1650円
00002958	椅子に腰かけたままでできるシニアのための筋力アップトレーニング	斎藤道雄　著	黎明書房	1650円
00002959	シニアが楽しむ言葉遊びと思い出クイズ・記憶遊び	今井弘雄　著	黎明書房	1700円
00002960	世界の国々を調べる　改訂版　/ 東京学芸大学地理学会シリーズ　4	矢ケ崎典隆	古今書院	2800円
00002961	地域と人口からみる日本の姿	石川義孝	古今書院	2800円
00002962	地理空間情報の基本と活用	橋本雄一　編	古今書院	3200円
00002963	GISと地理空間情報　4訂版　ArcGIS10.3.1とダウンロードデータの活用	橋本雄一　編	古今書院	2600円
00002964	参加型GISの理論と応用　みんなで作り・使う地理空間情報	若林芳樹	古今書院	3800円
00002965	QGIS入門　第2版	今木洋大	古今書院	3300円
00002966	地図読解入門　追補版　/ 大学テキスト	籠瀬良明　著	古今書院	2000円
00002967	いとちり式地理の授業にGIS	伊藤智章　著	古今書院	3000円
00002968	古今妖怪[ルイ][ルイ]　湯本豪一コレクション	湯本豪一　著	パイインターナショナル	2900円
00002969	アルフォンス・ミュシャの世界　2つのおとぎの国への旅	アルフォンス・ミュシャ[画]	パイインターナショナル	3000円
00002970	ヨーロッパの幻想美術 世紀末デカダンスとファム・ファタール〈宿命の女〉たち	海野弘　解説・監修	パイインターナショナル	3800円
00002971	巴水の日本憧憬	川瀬巴水　画	河出書房新社	3200円
00002972	河道変遷の地理学	大矢雅彦　著	古今書院	6500円
00002973	経験学習によるリーダーシップ開発　米国CCLによる次世代リーダー育成のための実践事例	シンシア・D・マッコーレイ	日本能率協会マネジメントセンター	8800円
00002974	食鳥処理衛生ハンドブック　第4版		日本食品衛生協会	3500円
00002975	医療・看護のためのやさしい総合英語	西原俊明	金星堂	1600円
00002976	よくわかる介護記録の書き方　第4版	富川雅美　著	メヂカルフレンド社	2000円
00002977	姿勢と動作　第3版　ADLその基礎から応用	齋藤宏	メヂカルフレンド社	3600円
00002978	情報科学の基礎	松下孝太郎　編著	アイ・ケイコーポレーション	2000円
00002979	学校では教えてくれない戦前のニッポン 大正～昭和初期の裏歴史の教科書！		コスミック出版	926円
00002980	宇宙最新情報完全解説　緊急特集地球外生命発見への道	岡本典明　執筆	笠倉出版社	590円
00002981	レベニュー・マネージメント概論　ホスピタリティー産業の経営理念	David K.Hayes	流通経済大学出版会	2700円
00002982	図書館が街を創る。　「武雄市図書館」という挑戦	楽園計画　編	ネコ・パブリッシング	1429円
00002983	世界の美しいフクロウ　神秘的なポートレートと生態	マリアンヌ・テイラー　文	グラフィック社	2000円
00002984	幻想版画　ゴヤからルドンまでの奇怪コレクション	ヴァレリー・シュール=エルメル　著	グラフィック社	2800円
00002985	アートオブJ.C.ライエンデッカー	J.C.ライエンデッカー／画	マール社	2900円
00002986	ソーイングきほんの基本　これならできる！みんなの教科書	水野佳子　監修	高橋書店	1500円
00002987	完全図解介護予防リハビリ体操大全集　/ 介護ライブラリー	大田仁史　編著	講談社	3800円
00002988	完全図解新しい認知症ケア　医療編　/ 介護ライブラリー	河野和彦　著	講談社	3000円
00002989	完全図解新しい認知症ケア　介護編　/ 介護ライブラリー	三好春樹　著	講談社	3000円
00002990	在宅介護　完全図解 実践・支援ガイド/ 介護ライブラリー	金田由美子	講談社	3500円
00002991	新しい介護　全面改訂版　完全図解/ 介護ライブラリー	大田仁史	講談社	3800円
00002992	介護のしくみ　改訂第3版　完全図解/ 介護Library	東田勉　編著	講談社	3000円
00002993	日本の自然災害　危機の対策/ なるほど知図帳		昭文社	1800円
00002994	合本・読書入門。　/ マガジンハウスムック		マガジンハウス	815円
00002995	地形と地理で読み解く古代史　オールカラーの地形図で徹底解説！		洋泉社	1200円
00002996	第2次世界大戦「戦闘」の真実 ハルファヤ峠攻防戦、プロホロフカの戦車戦……/ 別冊宝島　2610		宝島社	1000円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　名	著者名	出版社	定価
00002997	生物進化38億年の奇跡　5回の絶滅を繰り返し、辿りついた今/ TJ MOOK	平山廉　監修	宝島社	630円
00002998	葛飾北斎傑作選DVD付きBOOK　/ 死ぬまでに見ておきたい日本の文化		宝島社	980円
00002999	若冲の世界　異才・若冲の超絶技巧を味わう/ TJ MOOK	狩野博幸　監修	宝島社	680円
00003000	免疫力が上がる食べ方　決定版/ MAGAZINE HOUSE MOOK		マガジンハウス	750円
00003001	免疫力アップ、痩せる、若返る腸内フローラ健康法　/ MAGAZINE HOUSE MOOK. Dr.クロワッサン	藤田紘一郎　監修	マガジンハウス	750円
00003002	手編みのかんたんこもの82　ワークショップでも人気！	岡本啓子　監修	ブティック社	1000円
00003003	図解応仁の乱　難解な戦国乱世が、ざっくりわかる！/ エイムック　3743	小和田泰経　監修	枻出版社	880円
00003004	究極の美仏運慶と快慶　完全保存版 天才仏師・運慶と快慶の至宝を撮りおろしの写真で紹介！/ エイムック　3806		枻出版社	1500円
00003005	よくわかる関ケ原 権謀術策渦巻く、大小合わせ23の戦い 完全保存版		英和出版社	699円
00003006	新選組その始まりと終わり　幕府に忠義を尽くした男たち/ サンエイムック. 時空旅人ベストシリーズ		三栄書房	796円
00003007	知っておけば3倍たのしい奈良の古社寺　/ 淡交ムック	淡交社編集局　編	淡交社	1200円
00003008	成功する人が通う神社ベストランキング　あなたの仕事&人生を導く、スゴすぎる神社！/ 晋遊舎ムック		晋遊舎	980円
00003009	くすりの地図帳　The atlas of medication	伊賀立二	講談社	4000円
00003010	超ワイド&パノラマ鳥瞰イラストでよみがえる歴史の舞台　なるほど！地形もよくわかる/ 学研ムック	歴史群像編集部　編	学研プラス	1800円
00003011	戦国武将勢力パノラマ大地図帖	武光誠　監修	宝島社	640円
00003012	もっと知りたいミュシャの世界　1枚のポスターで時代の寵児となったアール・ヌーヴォーの旗手/ TJ MOOK	[大友義博]　[監修]	宝島社	1000円
00003013	お経と仏像で仏教がわかる本　完全保存版/ 洋泉社MOOK		洋泉社	1400円
00003014	賛歌千頭森林鉄道	谷田部英雄　著	文芸社	1800円
00003015	効く！生甘酒　酵素いきいき「食べる点滴・美容液」アルコールなし 天然の甘さ 砂糖がわりに/ 主婦の友生活シリーズ	今津嘉宏　医学監修	主婦の友社	880円
00003016	食べる甘酒で血糖値もヘモグロビンA1cもぐんぐん下がる　米麹と水だけでかんたん手作り！/ 主婦の友ヒットシリーズ. しあわせMOOK	『健康』編集部　編	主婦の友インフォス	880円
00003017	江戸300年の暮らし大全　スーパービジュアル	大江戸歴史文化研究会　著	PHPエディターズ・グループ	850円
00003018	美しい情景イラストレーション 魅力的な風景を描くクリエイターズファイル	パイインターナショナル　編著	パイインターナショナル	2600円
00003019	イスラム文様とモザイクのぬり絵ブック		パイインターナショナル	1100円
00003020	インド文様とペイズリーのぬり絵ブック		パイインターナショナル	1100円
00003021	お姫さまと妖精のぬり絵ブック　/ おとぎ話のぬり絵シリーズ	田代知子　著	パイインターナショナル	1300円
00003022	ファンタジーのぬり絵ブック　/ おとぎ話のぬり絵シリーズ	田代知子　著	パイインターナショナル	1300円
00003023	世界の美しい文様ぬり絵アラベスク文様　Arabesque Colouring Book		パイインターナショナル	1400円
00003024	紙バンドを結んで作るずっと持ちたいかご	古木明美　著	日本ヴォーグ社	1200円
00003025	ファスナーの本　ファスナーのつけ方がばっちりわかる！		日本ヴォーグ社	1200円
00003026	花のデザイン帖　川島詠子のトールペイント	川島詠子　[著]	日本ヴォーグ社	1600円
00003027	一年中楽しめるおりがみ壁飾り　指先を使っていきいき！ 65作品	堀込好子　著	日本ヴォーグ社	1400円
00003028	大人のカルトナージュ　トワル・ド・ジュイで楽しむ豊かな毎日	永島聡美　著	日本ヴォーグ社	1600円
00003029	フェルト花の作り方BOOK 小さな雑貨とアクセサリー シートフェルトでハンドメイド		日本ヴォーグ社	1200円
00003030	つゆつき流つまみ細工のいろは　作品63点収録	土田由紀子　[著]	日本ヴォーグ社	1400円
00003031	つゆつきと晴れの日、卦の日のつまみ細工　作品77点収録	土田由紀子　[著]	日本ヴォーグ社	1300円
00003032	こうの早苗のデイリーコーディネート ソーイング&布バッグ My Fabric Style	こうの早苗　著	NHK出版	1700円
00003033	認知症予防運動プログラムコグニサイズ入門	島田裕之　監修・編著	ひかりのくに	2500円
00003034	ディズニーツムツムの魔法のタワシ　/ レディブティックシリーズ　4393	齊藤郁子　著	ブティック社	944円
00003035	ディズニーの魔法のタワシ　/ レディブティックシリーズ　4262		ブティック社	944円
00003036	手編みのどんぐり帽子　トップがちょこんととんがったどんぐりみたいなかわいい手編みの帽子/ レディブティックシリーズ　4126		ブティック社	907円
00003037	未来ダイアリー　もしも、自民党改憲草案が実現したら？ 弁護士が描く憲法改定後の世界	内山宙　著	金曜日	1000円
00003038	ウェルビーイングの設計論　人がよりよく生きるための情報技術	ラファエル・A・カルヴォ	ビー・エヌ・エヌ新社	2800円
00003039	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会西日本部会　編	芙蓉書房出版	1900円
00003040	美人はコレを食べている。ビジュアルBOOK　食べるほど綺麗になる食事法	木下あおい　著	大和書房	1000円
00003041	マンガでわかる英語がスッと出てくる新感覚英会話	深堀司朗	高橋書店	1300円
00003042	コクヨの1分間プレゼンテーション	下地寛也　著	中経出版	1429円
00003043	ロジカル・ディスカッション　チーム思考の整理術	堀公俊	日本経済新聞出版社	2000円
00003044	ワークショップ・デザイン　知をつむぐ対話の場づくり	堀公俊	日本経済新聞出版社	2000円
00003045	3時間でわかる！図解民法改正	熊谷則一　著	日本経済新聞出版社	1500円
00003046	日本の医療と介護　歴史と構造、そして改革の方向性	池上直己　著	日本経済新聞出版社	2200円
00003047	キャッシュフリー経済　日本活性化のFinTech戦略	淵田康之　著	日本経済新聞出版社	2800円
00003048	はじめての統計学	鳥居泰彦　著	日本経済新聞出版社	2233円
00003049	働き方の男女不平等　理論と実証分析	山口一男　著	日本経済新聞出版社	3200円
00003050	ハイン地の果ての祭典　南米フエゴ諸島先住民セルクナムの生と死	アン・チャップマン　著	新評論	3000円
00003051	大都市都心地区の変容とマンション立地	富田和暁　著	古今書院	4800円
00003052	ヘーゲルの反省論　自立と矛盾	中野眞　著	西田書店	3200円
00003053	スピリチュアル経営のリーダーシップ働きがいのある最高の組織づくりに向けて	狩俣正雄　著	中央経済社	3200円
00003054	フォロワーが語るリーダーシップ　認められるリーダーの研究	小野善生　著	有斐閣	5900円
00003055	体育の人間形成論	友添秀則　著	大修館書店	3200円
00003056	真理・存在・意識　フッサール『論理学研究』を読む	植村玄輝　著	知泉書館	5500円
00003057	新しい都市地理学	高橋伸夫　[ほか]著	東洋書林	2500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003058	なぜ分数の割り算はひっくり返すのか？　新版　数学ギライも図に描けばすぐ理解できる	板橋悟　著	主婦の友社	1200円
00003059	知識社会で活躍しよう	JAIST知識科学研究科　著	社会評論社	1200円
00003060	論理学研究	中島聰　著	ふくろう出版	2000円
00003061	貿易実務検定C級合格ガイド　第2版	日本貿易実務検定協会　編	税務経理協会	3300円
00003062	伊豆の大地の物語	小山真人　著	静岡新聞社	1524円
00003063	論理トレーニング101題	野矢茂樹　著	産業図書	2000円
00003064	体育・部活動指導の基本原則　スポーツ基本法の理念を活かす	入澤充　編著	エイデル研究所	2000円
00003065	たたかう地理学	小野有五　著	古今書院	3200円
00003066	フィンランド育ちと暮らしのダイアリー	藤井ニエメラみどり	かもがわ出版	1800円
00003067	革命的共産主義運動　新装版　その理論と歴史	日本革命的共産主義者同盟政治組織局　編	解放社	2500円
00003068	はじめて学ぶリー群　線型代数から始めよう	井ノ口順一　著	現代数学社	2800円
00003069	日本手話とろう教育　日本語能力主義をこえて	クァク・ジョンナン　著	生活書院	2500円
00003070	現場発！失敗しないいじめ対応の基礎・基本	辻川和彦　編著	日本標準	1800円
00003071	地方公共団体歳入歳出科目解説　8訂	月刊「地方財務」編集局　編	ぎょうせい	2500円
00003072	竹島水族館の本	蒲郡市竹島水族館　著	風媒社	1300円
00003073	病気にならない体をつくる「ミルク酢」健康法 血糖値、血圧が下がる78のレシピ	小山浩子　著	青春出版社	1460円
00003074	スポーツクライミング教本　完全図解 クライマー必須のクライミング技術を分析	東秀磯　著	山と溪谷社	2000円
00003075	アンガーマネジメント怒りやすい子の育て方	菅野昭子　著	かんき出版	1600円
00003076	子どもの学力は「ふせんノート」で伸びる	栗田正行　著	かんき出版	1400円
00003077	情報システムの基礎	東明佐久良　編	ムイスリ出版	1900円
00003078	情報科学基礎　コンピュータとネットワークの基本	伊東俊彦　著	ムイスリ出版	2300円
00003079	古文書くずし字見わけかたの極意	油井宏子　著	柏書房	1800円
00003080	江戸時代&(あんど)古文書虎の巻	柏書房編集部　編	柏書房	1400円
00003081	シゴトに役立つデータ分析・統計のトリセツ 実務のスキルをアップするビジネス数学の基本テクニック	増井敏克　著	ソシム	1600円
00003082	世界一わかりやすい介護　第4版　業界のしくみとながれ	イノウ　編著	ソシム	1300円
00003083	息をのむ写実絵画の世界　美しき女性像	近衛ロンド　編	日東書院本社	1600円
00003084	村上春樹翻訳ほとんど全仕事	村上春樹　著	中央公論新社	1500円
00003085	民法改正がわかった	田中嗣久	法学書院	2300円
00003086	パラリンピックを学ぶ	平田竹男	早稲田大学出版部	1500円
00003087	論理トレーニング　新版　/ 哲学教科書シリーズ	野矢茂樹　著	産業図書	2200円
00003088	相模武士団	関幸彦　編	吉川弘文館	2500円
00003089	食品の異物混入時におけるお客様対応 適切なクレーム対応を行うための手引き	食品安全ネットワーク　著	日科技連出版社	1900円
00003090	深海生物　ゆかいでヘンテコないきもの	石垣幸二　執筆・監修	笠倉出版社	950円
00003091	図解これ1冊でぜんぶわかる！貿易実務	大須賀祐　著	あさ出版	1500円
00003092	思考を鍛えるレポート・論文作成法　第2版	井下千以子　著	慶應義塾大学出版会	1200円
00003093	判断の論理学	藤川吉美　著	慶應義塾大学出版会	2800円
00003094	資料検索入門　レポート・論文を書くために/ アカデミック・スキルズ	市古みどり　編著	慶應義塾大学出版会	1200円
00003095	日本の地震地図　南海トラフ・首都直下地震対応版	岡田義光　著	東京書籍	1700円
00003096	もういちど読む山川日本史	五味文彦	山川出版社	1500円
00003097	妖怪・憑依・擬人化の文化史	伊藤慎吾　編	笠間書院	2200円
00003098	探検家と地理学者　18世紀フランスの啓蒙思想と地誌学	大嶽幸彦　著	古今書院	3200円
00003099	美人をつくる栄養レッスン	朝日新聞出版　編著	朝日新聞出版	1200円
00003100	伝統と革新　私が読んだ99の地理学	竹内啓一　著	古今書院	3800円
00003101	はじめてのディベート聴く・話す・考える力を身につける　しくみから試合の模擬練習まで/ スーパー・ラーニング	西部直樹　著	あさ出版	1500円
00003102	図書館ノート　沖縄から「図書館の自由」を考える	山口真也　著	教育史料出版会	1700円
00003103	そのまま使える基本のビジネス英語話す	デイビッド・セイン　著	ジャパンタイムズ	1600円
00003104	洗練された会話のための英語表現集　ネイティブとのコミュニケーションを円滑にする1050例文/ CD book	濱田伊織　著	ベレ出版	2200円
00003105	地図化すると世の中が見えてくる　自然∥産業∥資源・エネルギー∥生活・文化∥人口	伊藤智章　著	ベレ出版	1500円
00003106	東大病院発医療スタッフのための英会話	東京大学医学部附属病院英語マニュアル出版プロジェクトチーム　著	ベレ出版	1900円
00003107	意味がわかる統計学　まずはこの一冊から/ Beret science	石井俊全　著	ベレ出版	2000円
00003108	意味がわかる微分・積分　まずはこの一冊から/ Beret science	岡部恒治	ベレ出版	1900円
00003109	意味がわかる統計解析　まずはこの一冊から/ BERET SCIENCE	涌井貞美　著	ベレ出版	2000円
00003110	意味がわかれば数学の風景が見えてくる　改訂合本	野崎昭弘	ベレ出版	2900円
00003111	新・単位がわかると物理がわかる　SI単位系の成り立ちから自然単位系まで/ BERET SCIENCE	和田純夫	ベレ出版	1500円
00003112	観察する目が変わる植物学入門　意外と知らない草木のつくり / BERET SCIENCE	矢野興一　著	ベレ出版	1700円
00003113	科学の目で見る日本列島の地震・津波・噴火の歴史　/ BERET SCIENCE	山賀進　著	ベレ出版	1700円
00003114	大切にしたい、にっぽんの暮らし。	さとうひろみ　著	サンクチュアリ出版	1500円
00003115	今日からはじめる情報設計　センスメイキングするための7ステップ	アビー・コバート　著	ビー・エヌ・エヌ新社	2000円
00003116	クラウゼヴィッツの「正しい読み方」『戦争論』入門	ベアトリス・ホイザー　著	芙蓉書房出版	2900円
00003117	地質職人たちのアーカイブス	六連星の会　編	郁朋社	1500円
00003118	春画で学ぶ江戸かな入門	車浮代	幻冬舎	1600円
00003119	知識ゼロからの行動経済学入門	川西諭　著	幻冬舎	1300円
00003120	知識ゼロからの会議・プレゼンテーション入門	弘兼憲史　著	幻冬舎	1300円
00003121	地域密着型デイサービス大競争時代を生き抜く黒字戦略	浅岡雅子	翔泳社	2000円
00003122	認知症700万人時代の失敗しない「成年後見」の使い方	鈴木雅人　著	翔泳社	1700円
00003123	スパッと決まる！プレゼン　3ステップで結果を出せるトータルテクニック	山田進一　著	翔泳社	1800円
00003124	社内プレゼンの決定力を上げる本　シンプル×PowerPoint	天野暢子　著	翔泳社	1600円
00003125	論理思考×PowerPointで企画を作り出す本	田中耕比古　著	翔泳社	1600円
00003126	ここが変わった！民法改正の要点がわかる本	有吉尚哉　著	翔泳社	2300円
00003127	これならわかるスッキリ図解実地指導介護事業	小濱道博　著	翔泳社	2200円
00003128	これならわかるスッキリ図解障害者差別解消法	二本柳覚　編著	翔泳社	1800円
00003129	水木しげるの憑物百怪　愛蔵版	水木しげる　著	学研プラス	3000円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003130	ジュニアのためのスポーツ食事学　みんなで一緒に強くなろう	柴田麗　[著]	学研プラス	1400円
00003131	アスリートのためのスポーツ栄養学　最新版 栄養の基本と食事計画/ GAKKEN SPORTS BOOKS	柳沢香絵　監修	学研プラス	1400円
00003132	子ども虐待という第四の発達障害　/ 学研のヒューマンケアブックス	杉山登志郎　著	学研プラス	1700円
00003133	うちのダンナがかわいすぎるっ！　元♀のイケメンと入籍しました！！	安藤たむ　著	学研プラス	1000円
00003134	Beリーダーとしてのセルフイメージを作れ　米国陸軍士官学校「ウエストポイント」の教えるリーダーシップ教本/ SHOEISHA DIGITAL	村上知紀　著	翔泳社	1800円
00003135	ブッダと親鸞　教えに生きる	一楽真　[ほか]著	真宗大谷派宗務所出版部	1000円
00003136	民法<債権関係>改正法新旧対照条文	商事法務　編	商事法務	1000円
00003137	マンガでわかる統計学入門	滝川好夫　著	新星出版社	1700円
00003138	だから昆虫は面白い　くらべて際立つ多様性	丸山宗利　著	東京書籍	1500円
00003139	引用する極意引用される極意	林紘一郎	勁草書房	2700円
00003140	平成29年大改正！民法の全条文	三省堂編修所　編	三省堂	1000円
00003141	新しい債権法を読みとく	山野目章夫　著	商事法務	2800円
00003142	「経験代謝」によるキャリアカウンセリング　自己を見つめ、学びを得る力	立野了嗣　著	晃洋書房	1500円
00003143	地球惑星科学入門　第2版	在田一則	北海道大学出版会	3000円
00003144	貿易実務ハンドブック　アドバンスト版 第5版　「貿易実務検定」A級・B級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会　編	日本能率協会マネジメントセンター	3600円
00003145	図解貿易実務ハンドブック　第6版 ベーシック版　「貿易実務検定」C級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会　編	日本能率協会マネジメントセンター	3400円
00003146	よくわかる貿易実務入門　改訂3版　/ 実務入門	片山立志　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003147	マンガでやさしくわかる統計学	小島寛之　著	日本能率協会マネジメントセンター	1800円
00003148	実践プロジェクト&プログラムマネジメント	清水基夫　著	日本能率協会マネジメントセンター	2800円
00003149	P2Mプログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック　改訂3版 P2M資格試験教科書	日本プロジェクトマネジメント協会　編著	日本能率協会マネジメントセンター	3800円
00003150	IT分野のためのP2Mプロジェクト&プログラムマネジメントハンドブック	日本プロジェクトマネジメント協会　編	日本能率協会マネジメントセンター	2200円
00003151	資料作成から発表までたったの4STEPでこんなに通る！プレゼン	家弓正彦　著	明日香出版社	1700円
00003152	障害者総合支援法のしくみと福祉施設運営手続きマニュアル　事業者必携	若林美佳　監修	三修社	1800円
00003153	すぐに役立つ入門図解最新成年後見のしくみと申請手続き	安部高樹　監修	三修社	1800円
00003154	最新刑事訴訟法のしくみ　図解で早わかり	木島康雄　監修	三修社	1800円
00003155	速習！マクロ経済学　試験攻略入門塾	石川秀樹　著	中央経済社	2400円
00003156	速習！ミクロ経済学　試験攻略入門塾	石川秀樹　著	中央経済社	2600円
00003157	論理学の初歩　改訂版	大貫義久	梓出版社	2000円
00003158	社会福祉法人の運営と財務　第2版	古田清和　[ほか]著	同文舘出版	2400円
00003159	シティプロモーション：地域創生とまちづくり　その論理と実践	田中道雄	同文舘出版	2500円
00003160	Zooっとたのしー！動物園 小さい耳にはワケがある！大きな角には意味がない？	小宮輝之　著・写真	文一総合出版	1800円
00003161	フィールドの観察から論文を書く方法　観察事例の報告から研究論文まで	濱尾章二　著	文一総合出版	1200円
00003162	社会学ドリル　この理不尽な世界の片隅で	中村英代　著	新曜社	1900円
00003163	整数と群・環・体　素数と数の認識論	河田直樹　著	現代数学社	2300円
00003164	リーマンの夢　ゼータ関数の探求	黒川信重　著	現代数学社	2100円
00003165	算数MANIA	初代算数仮面	現代数学社	3500円
00003166	ふたたびの高校数学　大人のための再入門&再発見	永野裕之　著	すばる舎	3200円
00003167	地理学入門　[2010年]改訂版　マルティ・スケール・ジオグラフィ	浮田典良　著	原書房	2200円
00003168	統計の世界　物の見方・考え方・心構え	原俊彦　著	原書房	1800円
00003169	ダメな統計学　悲惨なほど完全なる手引書	アレックス・ラインハート著	勁草書房	2200円
00003170	航空とホスピタリティ	山路顕　編著	NTT出版	2500円
00003171	中学数学xやyの意味と使い方がわかる　わかりにくいxやyの意味と、問題の解き方がわかる！　方程式 関数 因数分解 式の計算	小林道正　著	ベレ出版	1500円
00003172	新人広告プランナーが入社時に叩き込まれる「プレゼンテーション」基礎講座	長沢朋哉　著	日本実業出版社	1800円
00003173	中学数学でわかる統計の授業	涌井良幸	日本実業出版社	1800円
00003174	もう一度高校数学　数1A・数2B・数3Cがこの1冊でいっきにわかる	高橋一雄　著	日本実業出版社	2800円
00003175	日本一やさしい法律の教科書　これから勉強する人のための	品川皓亮　著	日本実業出版社	1600円
00003176	これならわかる改正民法と不動産賃貸業	中島成　著	日本実業出版社	1100円
00003177	Google流資料作成術	コール・ヌッスバウマー・ナフリック　著	日本実業出版社	2000円
00003178	この1冊でわかる！改正民法要点のすべて	早稲田リーガルコモンズ法律事務所　著	日本実業出版社	1500円
00003179	社会保険・労働保険の届出と手続きがミスなくモレなくできる本	グローバル・ネットワーク著	日本実業出版社	1500円
00003180	知りたいことがすぐわかる図解会社法のしくみ	中島成　著	日本実業出版社	1600円
00003181	生命と機械をつなぐ知　基礎情報学入門	西垣通　著	高陵社書店	1600円
00003182	一般相対性理論を一歩一歩数式で理解する	石井俊全　著	ベレ出版	3500円
00003183	要支援・要介護の人もいっしょに楽しめるゲーム&体操 / シリーズシニアが笑顔で楽しむ　14	斎藤道雄　著	黎明書房	1600円
00003184	「集中」すれば子どもは伸びる！モンテッソーリ園 0歳から6歳までの気になる教育メソッド		東京書籍	1600円
00003185	図書館情報学　第2版	上田修一	勁草書房	3200円
00003186	図書館は市民と本・情報をむすぶ	池谷のぞみ	勁草書房	3600円
00003187	知識資源のメタデータ　第2版	谷口祥一	勁草書房	3500円
00003188	ビジネスリーダーのための老子「道徳経」講義	田口佳史　著	致知出版社	2600円
00003189	ラルース地図で見る国際関係　新版　現代の地政学 ヴィジュアル版	イヴ・ラコスト　著	原書房	5800円
00003190	ロンドン大火　歴史都市の再建	大橋竜太　著	原書房	2800円
00003191	接ぎ手完全ガイド　基礎から学ぶ多彩な接ぎの技法	テリー・ノール　著	グラフィック社	2500円
00003192	東京美術館案内　名画と出会えるミュージアムガイド		昭文社	1200円
00003193	藤沢周平のこころ　没後二十年 完全保存版/ 文春ムック	オール讀物　責任編集	文藝春秋	926円
00003194	人生を変える！食の新常識　カラダにいい食事決定版 / 文春ムック. 文藝春秋クリニック		文藝春秋	880円
00003195	日本国憲法　第2版　/ 小学館アーカイヴス	「写楽」編集部　編集	小学館	500円
00003196	捨てトレ　モノを捨てるトレーニング/ オレンジページムック	野沢恭恵　著	オレンジページ	1300円
00003197	一番やさしい自治体予算の本	定野司　著	学陽書房	1900円
00003198	駐車場事故の法律実務　過失相殺・駐車場管理者の責任	中込一洋	学陽書房	3200円
00003199	50のポイントでわかる自治体職員はじめての出納事務　支出や収入、契約、債権管理など必須の財務の知識	大崎映二　著	学陽書房	2400円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003200	地方議員のための役所を動かす質問のしかた	川本達志　著	学陽書房	2300円
00003201	これだけは知っておきたい公務員の議会対応	藤川潤　著	学陽書房	2200円
00003202	スッキリわかる！地方自治法のきほん	塩浜克也　著	学陽書房	1800円
00003203	スッキリわかる！自治体財政のきほん	武田正孝　著	学陽書房	1800円
00003204	諸手当質疑応答集　第13次全訂版	公務人材開発協会人事行政研究所　編集	学陽書房	4000円
00003205	図解福祉行政はやわかり　第1次改訂版	石川久　著	学陽書房	2100円
00003206	どんな場面も切り抜ける！公務員の議会答弁術	森下寿　著	学陽書房	2200円
00003207	アダルト・チルドレン癒しのワークブック 本当の自分を取りもどす16の方法	西尾和美　著	学陽書房	1800円
00003208	ビジネス統計入門　Excelで経営情報を分析する 決定版	関正行　著	プレジデント社	2400円
00003209	来週のプレゼンに勝つ！　1日2400時間吉良式発想法マンガデザイン版	吉良俊彦　著	プレジデント社	1600円
00003210	古地図で読み解く江戸東京地形の謎	芳賀ひらく　著	二見書房	1800円
00003211	論理パラドクス　論証力を磨く99問	三浦俊彦　著	二見書房	1500円
00003212	イラストで解る！英語で日本のしきたりと文化を伝える本	荒井弥栄　著	二見書房	1600円
00003213	日本のほとけさまに甘える　たよれる身近な17仏	大江吉秀　文	東邦出版	1500円
00003214	日本の神様と楽しく生きる　日々ご利益とともに	平藤喜久子　著	東邦出版	1500円
00003215	大学院・大学編入学社会人入試の小論文　改訂版 思考のメソッドとまとめ方	吉岡友治　著	実務教育出版	1700円
00003216	図説・ゼロからわかる日本の安全保障	森本敏　監修	実務教育出版	1500円
00003217	初学者のための数論入門	西来路文朗	講談社	1600円
00003218	ひとりでマスターする生化学	亀井碩哉　著	講談社	3800円
00003219	いちばんやさしい生化学	坂本順司　著	講談社	2200円
00003220	力学　/ 講談社基礎物理学シリーズ　1	副島雄児	講談社	2500円
00003221	電磁気学　/ 講談社基礎物理学シリーズ　4	横山順一　著	講談社	2800円
00003222	物理のための数学入門　/ 講談社基礎物理学シリーズ　10	二宮正夫	講談社	2800円
00003223	完全独習相対性理論	吉田伸夫　著	講談社	3600円
00003224	デジタル鳥瞰47都道府県庁所在都市　東日本編　/ The New Fifties	八幡和郎　著	講談社	1800円
00003225	デジタル鳥瞰47都道府県庁所在都市　西日本編　/ The New Fifties	八幡和郎　著	講談社	1800円
00003226	デジタル鳥瞰江戸の崖東京の崖　/ The New Fifties	芳賀ひらく　著	講談社	1800円
00003227	大阪アースダイバー	中沢新一　著・写真	講談社	1900円
00003228	絶対わかる有機化学の基礎知識　concept 100/ 絶対わかる化学シリーズ	齋藤勝裕　著	講談社	2400円
00003229	絶対わかる有機化学　/ 絶対わかる化学シリーズ	齋藤勝裕　著	講談社	2400円
00003230	Q&Aで学ぶやさしい微生物学	浜本哲郎	講談社	2000円
00003231	休み時間の生化学　/ 休み時間シリーズ	大西正健　著	講談社	2200円
00003232	これからはじめる人のためのバイオ実験基本ガイド	武村政春　編著	講談社	2700円
00003233	乳酸を活かしたスポーツトレーニング　新版	八田秀雄　著	講談社	1900円
00003234	博物館教育論　学芸員の現場で役立つ基礎と実践	黒沢浩　編著	講談社	2400円
00003235	からだを活性化させる魔法の油！「オメガ3」レシピ　えごま油 あまに油 サチャインチオイル/ 講談社のお料理BOOK	青木絵麻　著	講談社	1200円
00003236	よくわかる貿易の実務　改訂新版 輸出・輸入のしくみから書類手続きまで	木村雅晴　著	PHP研究所	1500円
00003237	ユーザーがつくる知のかたち 集合知の深化/ 角川インターネット講座　06	西垣通　監修	KADOKAWA	2500円
00003238	写真民俗学　東西の神々	芳賀日出男　著	KADOKAWA	2500円
00003239	怖い絵のひみつ。「怖い絵」スペシャルブック	中野京子　著	KADOKAWA	1300円
00003240	流れるようにわかる統計学　こんなふうに教わりたかった！	佐々木隆宏　著	KADOKAWA	2300円
00003241	伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業	伊藤真　著	KADOKAWA	1400円
00003242	生まれる性別をまちがえた！　/ Kadokawa Comics. 単行本コミックス	小西真冬　著	KADOKAWA	1000円
00003243	ネイティブなら子どものときに身につける英会話なるほどフレーズ100　誰もここまで教えてくれなかった使える裏技	スティーブ・ソレイシィ	アルク	1680円
00003244	英会話ペラペラビジネス100 ビジネス・コミュニケーションを成功させる知的な大人の会話術	スティーブ・ソレイシィ	アルク	2000円
00003245	古神道祝詞CDブック	古川陽明　著	太玄社	2100円
00003246	はじめての物理数学　自然界を司る法則を数式で導く	永野裕之　著	SBクリエイティブ	2700円
00003247	世界一わかりやすいプロジェクトマネジメント　第4版	G・マイケル・キャンベル著	総合法令出版	2900円
00003248	SNOOPYはじめての刺繍	チャールズ・M・シュルツ著	KADOKAWA	1400円
00003249	豆乳ヨーグルト　おなかすっきり！やせて健康になる	小山有希　料理	日本文芸社	750円
00003250	図説・ゼロからわかる世界情勢地図の読み方	世界情勢を読む会　編著	実務教育出版	1600円
00003251	ホテルと旅館の事業展開　改訂版	徳江順一郎　著	創成社	1900円
00003252	職場のLGBT読本　「ありのままの自分」で働ける環境を目指して	柳沢正和	実務教育出版	2000円
00003253	ネコろんで学べる英語発音の本	明場由美子　著	実務教育出版	1600円
00003254	図書館100連発	岡本真	青弓社	1800円
00003255	サブカルで読むナショナリズム　可視化されるアイデンティティ	谷川建司	青弓社	2000円
00003256	ひとが優しい博物館　ユニバーサル・ミュージアムの新展開	広瀬浩二郎　編著	青弓社	2000円
00003257	図解物理の話　眠れなくなるほど面白い	長澤光晴　著	日本文芸社	680円
00003258	図解化学の話　眠れなくなるほど面白い	大宮信光　監修	日本文芸社	680円
00003259	図解「心の病」がよくわかる！臨床心理学 身近にある「心の問題」を心理学で読み解く！	稲富正治　著	日本文芸社	680円
00003260	どうか忘れないでください、子どものことを。	佐々木正美　著	ポプラ社	1200円
00003261	城のつくり方図典　改訂新版	三浦正幸　著	小学館	2800円
00003262	トポロジカル絶縁体入門	安藤陽一　著	講談社	3600円
00003263	亀田講義ナマ中継生化学　/ わかりすぎてヤバい！	亀田和久　著	講談社	2300円
00003264	好きになる生理学　からだについての身近な疑問/ 好きになるシリーズ	田中越郎　著	講談社	2000円
00003265	好きになる免疫学　「私」が「私」であるしくみ/ 好きになるシリーズ	萩原清文　著	講談社	1800円
00003266	好きになる救急医学　第3版 病院前から始まる救急医療/ 好きになるシリーズ	小林國男　著	講談社	2000円
00003267	好きになる精神医学　第2版 こころの病気と治療の新しい理解/ 好きになるシリーズ	越野好文	講談社	1800円
00003268	好きになる病理学　るみと健太の病理学教室訪問記/ 好きになるシリーズ	早川欽哉　著	講談社	2200円
00003269	好きになる微生物学　感染症の原因と予防法/ 好きになるシリーズ	渡辺渡　著	講談社	2000円
00003270	好きになる栄養学　第2版 食生活の大切さを見直そう/ 好きになるシリーズ	麻見直美	講談社	2200円
00003271	好きになる睡眠医学　第2版 眠りのしくみと睡眠障害/ 好きになるシリーズ	内田直　著	講談社	2000円
00003272	好きになる解剖学　自分の体をさわって確かめよう/ 好きになるシリーズ	竹内修二　著	講談社	2200円
00003273	好きになる解剖学　pt.2 関節を動かし骨や筋を確かめよう/ 好きになるシリーズ	竹内修二　著	講談社	2000円
00003274	好きになる生化学　生体内で進み続ける化学反応/ 好きになるシリーズ	田中越郎　著	講談社	1800円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00003275	好きになるヒトの生物学 私たちの身近な問題身近な疑問/ 好きになるシリーズ	吉田邦久　著	講談社	2000円
00003276	好きになる分子生物学 分子からみた生命のスケッチ/ 好きになるシリーズ	萩原清文　著	講談社	2000円
00003277	ゼロから学ぶ線形代数　/ ゼロから学ぶシリーズ	小島寛之　著	講談社	2500円
00003278	ゼロから学ぶ微分積分　/ ゼロから学ぶシリーズ	小島寛之　著	講談社	2500円
00003279	休み時間の免疫学　第3版　/ 休み時間シリーズ	齋藤紀先　著	講談社	2000円
00003280	休み時間の解剖生理学　/ 休み時間シリーズ	加藤征治　著	講談社	2200円
00003281	休み時間の微生物学　第2版　/ 休み時間シリーズ	北元憲利　著	講談社	2200円
00003282	単位が取れる物理化学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	吉田隆弘　著	講談社	2400円
00003283	単位が取れる量子力学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	橋元淳一郎　著	講談社	2800円
00003284	単位が取れる有機化学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	小川裕司　著	講談社	2600円
00003285	単位が取れる線形代数ノート　/ 単位が取れるシリーズ	齋藤寛靖　著	講談社	2000円
00003286	単位が取れる流体力学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	武居昌宏　著	講談社	2800円
00003287	単位が取れる量子化学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	福間智人　著	講談社	2400円
00003288	単位が取れる電磁気学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	橋元淳一郎　著	講談社	2600円
00003289	絵でわかる寄生虫の世界　/ 絵でわかるシリーズ	長谷川英男　著	講談社	2000円
00003290	絵でわかる感染症withもやしもん　/ 絵でわかるシリーズ	岩田健太郎　著	講談社	2200円
00003291	絵でわかるゲノム・遺伝子・DNA(ディーエヌエー)　新版 / 絵でわかるシリーズ	中込弥男　著	講談社	2000円
00003292	絵でわかる免疫　/ 絵でわかるシリーズ	安保徹　著	講談社	2000円
00003293	絵でわかる地震の科学　/ 絵でわかるシリーズ	井出哲　著	講談社	2200円
00003294	絵でわかる日本列島の誕生　/ 絵でわかるシリーズ	堤之恭　著	講談社	2200円
00003295	絵でわかるプレートテクトニクス　地球進化の謎に挑む / 絵でわかるシリーズ	是永淳　著	講談社	2200円
00003296	集中講義旧約聖書　「一神教」の根源を見る/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	加藤隆　著	NHK出版	900円
00003297	老子×孫子「水」のように生きる　/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	蜂屋邦夫	NHK出版	900円
00003298	「日本人」とは何者か？　/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	松岡正剛　[ほか]著	NHK出版	900円
00003299	集中講義大乗仏教　こうしてブッダの教えは変容した/ [教養・文化シリーズ]. 別冊NHK100分de名著	佐々木閑　著	NHK出版	900円
00003300	「幸せ」について考えよう　/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	島田雅彦　[ほか]著	NHK出版	900円
00003301	菜根譚×呻吟語　成功から学ぶのか、失敗から学ぶのか/ [教養・文化シリーズ]. 別冊NHK100分de名著	湯浅邦弘　著	NHK出版	900円
00003302	量子と統計の物理　/ 放送大学教材	米谷民明	放送大学教育 振興会	3200円
00003303	ダイナミックな地球　/ 放送大学教材	大森聡一	放送大学教育 振興会	3500円
00003304	博物館概論　改訂新版　/ 放送大学教材	吉田憲司　編著	放送大学教育 振興会	2900円
00003305	博物館教育論　新訂　/ 放送大学教材	大高幸	放送大学教育 振興会	2900円
00003306	場と時間空間の物理　電気、磁気、重力と相対性理論/ 放送大学教材	米谷民明	放送大学教育 振興会	3200円
00003307	情報学へのとびら　/ 放送大学教材	加藤浩	放送大学教育 振興会	2800円
00003308	交通心理学　改訂版　/ 放送大学教材	蓮花一己	放送大学教育 振興会	2600円
00003309	パレスチナ問題　/ 放送大学教材	高橋和夫　著	放送大学教育 振興会	2800円
00003310	日本政治思想史　/ 放送大学教材	原武史　著	放送大学教育 振興会	2800円
00003311	化学反応論　分子の変化と機能/ 放送大学教材	安池智一　編著	放送大学教育 振興会	3100円
00003312	音楽・情報・脳　改訂版　情報学プログラム/ 放送大学大学院教材. 放送大学大学院文化科学研究科	仁科エミ	放送大学教育 振興会	2700円
00003313	情報学の新展開　/ 放送大学大学院教材. 放送大学大学院文化科学研究科	川合慧　編著	放送大学教育 振興会	2700円
00003314	どうなる！？どうする！？社会福祉法人の運営とリスク管理	外岡潤　著	中央経済社	2500円
00003315	すらすら図解貿易・為替のしくみ	後藤守孝	中央経済社	2200円
00003316	帰化・永住・在留許可申請業務　第3版　行政書士の実務	木本博之　著	法学書院	2300円
00003317	放課後等デイサービスハンドブック　子どもたちのゆたかな育ちのために	障害のある子どもの放課後保障全国連絡会　編	かもがわ出版	2000円
00003318	スイスイ解ける高校数学	間地秀三　著	ベレ出版	1800円
00003319	12歳の少年が書いた量子力学の教科書	近藤龍一　著	ベレ出版	1600円
00003320	イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑	澤宮優　文	原書房	2200円
00003321	ディープ・アクティブラーニング　大学授業を深化させるために	松下佳代	勁草書房	3000円
00003322	ワークショップ型教員研修はじめの一歩　わかる！使える！理論・技法・課題・子ども・ツール・プラン77	村川雅弘　著	教育開発研究所	1800円
00003323	私の記憶が確かなうちに　「私は誰？」「私は私」から続く旅	クリスティーン・ブライデン　著	クリエイツ かもがわ	2000円
00003324	行動障害が穏やかになる「心のケア」　障害の重い人、関わりの難しい人への実践	藤本真二　著	クリエイツ かもがわ	2000円
00003325	Q&A社会福祉法人制度改革の解説と実務　平成29年全面施行対応版	菅田正明	ぎょうせい	3000円
00003326	ここまで変わった日本史教科書	高橋秀樹	吉川弘文館	1800円
00003327	人文地理学　その主題と課題	杉浦章介	慶應義塾大学 出版会	3200円
00003328	国民国家とナショナリズム　/ 世界史リブレット　35	谷川稔　著	山川出版社	729円
00003329	牛車で行こう！　平安貴族と乗り物文化	京樂真帆子　著	吉川弘文館	1900円
00003330	波動と場の物理学入門	糸山浩司　著	京都大学学術 出版会	2200円
00003331	フィリピンのことがマンガで3時間でわかる本 ASEANの落第生から、No.1成長国へ！	鈴木紘司	明日香出版社	1600円
00003332	手話の社会学　教育現場への手話導入における当事者性をめぐって	金澤貴之　著	生活書院	2800円
00003333	現代社会論　社会学で探る私たちの生き方/ 有斐閣ストゥディア	本田由紀　編	有斐閣	1800円
00003334	マンガ超ひも理論をパパに習ってみた 天才物理学者・浪速阪教授の70分講義	橋本幸士　原作	大阪大学出版会	1200円
00003335	大学生のための論文・レポートの論理的な書き方	渡邊淳子　著	研究社	1300円
00003336	ten to senの模様づくり　増補改訂版　The story of "Pattern book from the north"/ 読む手しごとBOOKS	岡理恵子　著	グラフィック社	1600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003337	図解・社会保険入門の入門　平成29年版	吉田正敏　著	税務研究会出版局	2200円
00003338	初めから学べると評判の大学基礎数学確率統計キャンパス・ゼミ　高校数学から大学数学へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之　著	マセマ出版社	1800円
00003339	初めから学べると評判の大学基礎数学線形代数キャンパス・ゼミ　高校数学から大学数学へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之　著	マセマ出版社	1800円
00003340	初めから学べると評判の大学基礎数学微分積分キャンパス・ゼミ　高校数学から大学数学へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之　著	マセマ出版社	1800円
00003341	数学ガール　フェルマーの最終定理	結城浩　著	SBクリエイティブ	1800円
00003342	数学ガール　ガロア理論	結城浩　著	SBクリエイティブ	1900円
00003343	数学ガールの秘密ノート　丸い三角関数	結城浩　著	SBクリエイティブ	1500円
00003344	数学ガールの秘密ノート　やさしい統計	結城浩　著	SBクリエイティブ	1500円
00003345	数学ガールの秘密ノート　整数で遊ぼう	結城浩　著	SBクリエイティブ	1400円
00003346	数学ガールの秘密ノート　積分を見つめて	結城浩　著	SBクリエイティブ	1500円
00003347	数学ガールの秘密ノート　微分を追いかけて	結城浩　著	SBクリエイティブ	1400円
00003348	数学ガールの秘密ノート　式とグラフ	結城浩　著	SBクリエイティブ	1200円
00003349	憲法事例演習	大沢秀介	成文堂	3500円
00003350	日本会議の全貌　知られざる巨大組織の実態	俵義文　著	花伝社	1200円
00003351	医療的ケア児者の地域生活を支える「第3号研修」　日本型パーソナル・アシスタンス制度の創設を/ 在宅・地域で生きる支える	医療的ケアネット　編	クリエイツかもがわ	1400円
00003352	南海トラフ巨大地震はズバリいつ起きるのか！！	クッパ72　著	文芸社	1100円
00003353	図説アーサー王と円卓の騎士　その歴史と伝説	マーディン・J・ドハティ　著	原書房	2800円
00003354	地理学と歴史学　分断への架け橋	アラン・ベイカー　著	原書房	3800円
00003355	テクノシステム時代の人間の責任と良心　現代応用倫理学入門	ハンス・レンク　著	東信堂	3500円
00003356	体験的教育舞踊・児童舞踊論　子どもと学生と共に創ったダンス	賀来良江　著	創英社/三省堂書店	3200円
00003357	賢治と鉱物　文系のための鉱物学入門	加藤碵一	工作舎	3200円
00003358	戦後初期学校体育の研究　広島県の小学校を手掛かりとして	崎田嘉寛　著	溪水社	5300円
00003359	体育の学びを豊かにする「新しい学習評価」の考え方 学習評価としてのコミュニケーション	鈴木直樹　著	大学教育出版	2000円
00003360	21世紀の論理	大窪徳行	八千代出版	2800円
00003361	謎床　思考が発酵する編集術	松岡正剛	晶文社	1800円
00003362	環境と経済がまわる、森の国ドイツ	森まゆみ　著	晶文社	1800円
00003363	図解いちばんやさしい地政学の本	沢辺有司　著	彩図社	880円
00003364	ドイツ旅行で見つけたルターの偉業　今も続く宗教改革のうねり	井関康子	文芸社	1100円
00003365	観光の波、激変する京のまちと商い　活性化の目玉を探せ	齊藤哲雄　著	文芸社	1100円
00003366	日本経済再生25年の計　金融・資本市場の新見取り図	池尾和人	日本経済新聞出版社	1800円
00003367	私が最近弱っているのは毎日「なんとなく」食べているからかもしれない	小倉朋子　著	文響社	1250円
00003368	金閣寺・銀閣寺の住職が教える人生は引き算で豊かになる	有馬頼底　著	文響社	1280円
00003369	傷つきやすい人のための図太くなれる禅思考	枡野俊明　［著］	文響社	1380円
00003370	地方創生大全	木下斉　著	東洋経済新報社	1500円
00003371	プロフェッショナルリーダーシップ　結果を出す意志とスキル / BBT大学シリーズ	森時彦	東洋経済新報社	1500円
00003372	デービッド・アトキンソン新・所得倍増論 潜在能力を活かせない「日本病」の正体と処方箋	デービッド・アトキンソン　著	東洋経済新報社	1500円
00003373	「つくる生活」がおもしろい　小さなことから始める地域おこし、まちづくり	牧野篤　著	さくら舎	1400円
00003374	江戸城の全貌　世界的巨大城郭の秘密	萩原さちこ　著	さくら舎	1600円
00003375	恐怖の地政学　地図と地形でわかる戦争・紛争の構図	T・マーシャル　著	さくら舎	1800円
00003376	「英語で案内」ができる本　もう困らない！どんなときも！	リサ・ヴォート　著	大和書房	1400円
00003377	明治維新という過ち　改訂増補版 日本を滅ぼした吉田松陰と長州テロリスト	原田伊織　著	毎日ワンズ	1500円
00003378	官賊と幕臣たち　列強の日本侵略を防いだ徳川テクノクラート	原田伊織　著	毎日ワンズ	1400円
00003379	人を動かすリーダーの「おもてなし力」の磨き方	蓬台浩明　著	日本実業出版社	1500円
00003380	「国際関係」の基本がイチからわかる本　〝知ってるつもり〟から抜け出す！	坂東太郎　著	日本実業出版社	1500円
00003381	それちょっと、数字で説明してくれる？と言われて困らないできる人のデータ・統計術	柏木吉基　著	SBクリエイティブ	1400円
00003382	アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書	スティーブン E.ルーカス　著	SBクリエイティブ	1500円
00003383	図解と実例と論理で、今度こそわかるガロア理論	鈴木智秀　著	SBクリエイティブ	2000円
00003384	キーフレーズでがっちり身につける会話できる英文法大特訓　80の文法ルールで話しまくれ！：基本720フレーズ：SUPER EXERCISE	妻鳥千鶴子　著	Jリサーチ出版	1400円
00003385	導く力　自分をみつめ、自ら動く	守屋智敬　著	KADOKAWA	1400円
00003386	心が動く伝え方	前刀禎明　著	KADOKAWA	1400円
00003387	うちの子は育てにくい子　発達障害の息子と私が学んだ大切なこと	アマミモヨリ　文・絵	KADOKAWA	1100円
00003388	哲学バトル　大論争！	畠山創　著	KADOKAWA	1200円
00003389	21世紀の民俗学	畑中章宏　著	KADOKAWA	1800円
00003390	まんがでわかる量子論　新装増補版	竹内薫　著	PHP研究所	556円
00003391	天照大神は卑弥呼だった　邪馬台国北九州説の終焉	大平裕　著	PHP研究所	1600円
00003392	一流のリーダーの考え方二流のリーダーの考え方	小宮一慶　著	PHP研究所	1400円
00003393	ササッとわかる「パーソナリティ障害」 / 見やすい・すぐわかる図解大安心シリーズ	岡田尊司　著	講談社	952円
00003394	アキレスとカメ　パラドックスの考察	吉永良正　著	講談社	1429円
00003395	カント美と倫理とのはざまで	熊野純彦　著	講談社	2300円
00003396	ハーバード大学特別講義リーダーシップが滅ぶ時代	バーバラ・ケラーマン　著	ソフトバンククリエイティブ	1600円
00003397	劇的に運が良くなるお経　般若心経・延命十句観	立花大敬　著	KADOKAWA	1300円
00003398	子どもが育つ魔法の言葉	ドロシー・ロー・ノルト	PHP研究所	1500円
00003399	最後の資本主義	ロバート・B・ライシュ　著	東洋経済新報社	2200円
00003400	善と悪の経済学 ギルガメシュ叙事詩、アニマルスピリット、ウォール街占拠	トーマス・セドラチェク　著	東洋経済新報社	3400円
00003401	人材覚醒経済	鶴光太郎　著	日本経済新聞出版社	2800円
00003402	蕎麦の旅人　なぜ、日本人は「そば」が好きなのか	福原耕　著	文芸社	1600円
00003403	マッキンダーの地政学　デモクラシーの理想と現実	ハルフォード・ジョン・マッキンダー　著	原書房	3200円
00003404	人はこうして「食べる」を学ぶ	ビー・ウィルソン　著	原書房	2800円
00003405	サイバー戦争論　ナショナルセキュリティの現在	伊東寛　著	原書房	2500円
00003406	「接続性」の地政学　上　グローバリズムの先にある世界	パラグ・カンナ　著	原書房	2400円
00003407	「接続性」の地政学　下　グローバリスムの先にある世界	パラグ・カンナ　著	原書房	2400円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003408	コーベット海洋戦略の諸原則	ジュリアン・スタフォード・コーベット　著	原書房	3600円
00003409	ヒトとイヌがネアンデルタール人を絶滅させた	パット・シップマン　著	原書房	2400円
00003410	ネット時代の図書館戦略	ジョン・ポールフリー　著	原書房	3500円
00003411	占星術の文化誌	鏡リュウジ　著	原書房	2800円
00003412	地図をつくった男たち　明治の地図の物語	山岡光治　著	原書房	2400円
00003413	開高健　生きた、書いた、ぶつかった！	小玉武　著	筑摩書房	2500円
00003414	「本をつくる」という仕事	稲泉連　著	筑摩書房	1600円
00003415	出版と流通　/ シリーズ<本の文化史>　4	横田冬彦　編	平凡社	3200円
00003416	日本神話伝	はしの蓮　著	飛鳥新社	1500円
00003417	キリスト教はどんな救いを約束しているのか 愛の福音が真価を発揮するための一石	西山俊彦　著	文芸社	1900円
00003418	文学効能事典　あなたの悩みに効く小説	エラ・バーサド	フィルムアート社	2000円
00003419	ジェンダーで学ぶ社会学　全訂新版	伊藤公雄	世界思想社	1800円
00003420	図書館情報学を学ぶ人のために	逸村裕	世界思想社	2400円
00003421	これからの体育を学ぶ人のために	佐伯年詩雄　著	世界思想社	1900円
00003422	<あいだ>を開く　レンマの地平/ 世界思想社現代哲学叢書	木岡伸夫　著	世界思想社	1800円
00003423	論理開眼　「事・物ノ理ヲ論ラフ学ヒ」としての論理学 / Sekaishiso seminar	山川偉也	世界思想社	1900円
00003424	地形で読み解く古代史	関裕二　著	ベストセラーズ	1222円
00003425	呪われた明治維新　歴史認識「長州嫌い」の150年	星亮一　著	さくら舎	1500円
00003426	法のデザイン　創造性とイノベーションは法によって加速する	水野祐　著	フィルムアート社	2200円
00003427	早わかり日本史　最新版　ビジュアル図解でわかる時代の流れ！	河合敦　著	日本実業出版社	1400円
00003428	エバンジェリストの仕事術　自分の価値を高め、市場で勝ち抜く	西脇資哲　著	日本実業出版社	1500円
00003429	数学<超・超絶>難問	小野田博一　著	日本実業出版社	1500円
00003430	月曜日の朝9分ですべてがうまく回りだす チームの力を最大化するリーダーの教科書	ジェームズ・ロビンス　著	日本実業出版社	1600円
00003431	リーダーに必要なことはすべて「オーケストラ」で学んだ プロ指揮者の"最強チームマネジメント"	桜井優徳　著	日本実業出版社	1500円
00003432	本当にわかる地球科学　フシギなくらい見えてくる！	鎌田浩毅　監修・著	日本実業出版社	1600円
00003433	本当にわかる社会学　フシギなくらい見えてくる！	現代位相研究所　編	日本実業出版社	1400円
00003434	リーダーになる勇気　迷わない、あきらめない自分をつくる	辻野晃一郎　著	日本実業出版社	1400円
00003435	世界<経済>全史　「51の転換点」で現在と未来が読み解ける	宮崎正勝　著	日本実業出版社	1600円
00003436	世界を動かすリーダーは何を学び、どう考え、何をしてきたのか？ プラチナリーダー550人を調査してわかったこと	D・マイケル・リンゼイ	日本実業出版社	1700円
00003437	広告・ニュースの数字のカラクリがわかる統計学	涌井良幸　著	日本実業出版社	1300円
00003438	大間違いの織田信長	倉山満　著	ベストセラーズ	1296円
00003439	日本史100人の履歴書　あの偉人たちにも黒歴史！？	矢部健太郎　監修	宝島社	600円
00003440	教え子が成長するリーダーは何をしているのか	夏まゆみ　著	サンマーク出版	1400円
00003441	「ついていきたい」と思われるリーダーになる51の言葉	岩田松雄　著	サンマーク出版	1400円
00003442	ウェゲナーの大陸移動説は仮説実験の勝利	西村寿雄　著	文芸社	1200円
00003443	能力・体力は素質で決まる	沢走郎　著	文芸社	600円
00003444	ニーチェ　すべてを思い切るために：力への意志 / 入門・哲学者シリーズ　1	貫成人　著	青灯社	1000円
00003445	<帰国子女>という日本人　/ フィギュール彩　94	品川亮　著	彩流社	1800円
00003446	最強のプレゼン　5分で聞き手の心を動かす技術	小峯隆生　著	飛鳥新社	1574円
00003447	はじめよう、お金の地産地消 地域の課題を「お金と人のエコシステム」で解決する	木村真樹　著	英治出版	1600円
00003448	「会議ファシリテーション」の基本がイチから身につく本 リーダーシップも話術も不要！	釘山健一　著	すばる舎	1500円
00003449	0秒リーダーシップ　「これからの世界」で圧倒的な成果を上げる仕事術	ピョートル・フェリークス・グジバチ　著	すばる舎	1500円
00003450	日本精神史　自然宗教の逆襲	阿満利麿　著	筑摩書房	1800円
00003451	経済ってこうなってるんだ教室	海老原嗣生　著	プレジデント社	1400円
00003452	未来がみえた！　10人のメンバーがみた地域発「チーム力」	筒井義信	プレジデント社	1200円
00003453	論文の教室　新版　レポートから卒論まで/ NHKブックス　1194	戸田山和久　著	NHK出版	1200円
00003454	歩くだけで不調が消える歩行禅のすすめ	塩沼亮潤　著	KADOKAWA	1400円
00003455	大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏　著	KADOKAWA	1500円
00003456	大学4年間の哲学が10時間でざっと学べる	貫成人　著	KADOKAWA	1500円
00003457	大学4年間の統計学が10時間でざっと学べる	倉田博史　著	KADOKAWA	1500円
00003458	親なら知っておきたい学歴の経済学	西川純　著	学陽書房	1400円
00003459	2020年激変する大学受験！　あなたの子どもは間に合いますか？	西川純　著	学陽書房	1200円
00003460	子どものやる気を引き出す7つのしつもん スポーツメンタルコーチに学ぶ！	藤代圭一　著	旬報社	1300円
00003461	未来の学校　テスト教育は限界か	トニー・ワグナー　著	玉川大学出版部	3200円
00003462	アダルト・チルドレンと癒し　本当の自分を取りもどす	西尾和美　著	学陽書房	1500円
00003463	脱サラ就農、九条ねぎで年商10億円　京都発 新・農業経営のカタチ	山田敏之　著	PHP研究所	1500円
00003464	巷の神々　上	石原慎太郎　著	PHP研究所	1700円
00003465	巷の神々　下	石原慎太郎　著	PHP研究所	1700円
00003466	新怖い絵	中野京子　著	KADOKAWA	1800円
00003467	明治維新の正体　徳川慶喜の魁、西郷隆盛のテロ	鈴木荘一　著	毎日ワンズ	1500円
00003468	人間関係が楽になるアドラーの教え	岩井俊憲　著	大和書房	1400円
00003469	リーダーはストーリーを語りなさい 顧客と従業員を魅了し、説得し、鼓舞する究極の方法	ポール・スミス　著	日本経済新聞出版社	1800円
00003470	激論マイナス金利政策	日本経済研究センター編	日本経済新聞出版社	2500円
00003471	私たちの国づくりへ	西水美恵子　著	英治出版	1700円
00003472	最難関のリーダーシップ　変革をやり遂げる意志とスキル	ロナルド・A・ハイフェッツ	英治出版	2400円
00003473	宇宙一美しい奇跡の数式　0=∞=1	ノ・ジェス　著	きこ書房	1600円
00003474	貨幣・勤労・代理人　経済文明論/ 放送大学叢書　038	坂井素思　著	左右社	1850円
00003475	トランプ現象とアメリカ保守思想　崩れ落ちる理想国家	会田弘継　著	左右社	1800円
00003476	京都観光　40人の提言	三好克之　[著]	白川書院	1500円
00003477	自由貿易は私たちを幸せにするのか？	上村雄彦	コモンズ	1500円
00003478	明治維新というクーデター	星亮一　著	イースト・プレス	1500円
00003479	ニュートリノで探る宇宙と素粒子	梶田隆章　著	平凡社	1800円
00003480	量子力学で生命の謎を解く	ジム・アル=カリーリ	SBクリエイティブ	2400円
00003481	3秒でOKがもらえる「伝え方」の基本 「プレゼン&資料作成」のプロが明かす！ 図解	天野暢子　著	大和出版	1400円
00003482	無宗教でも知っておきたい宗教のことば	島田裕巳　著	朝日新聞出版	1300円
00003483	強運な子供の育て方	藤枝洋子　著	たちばな出版	1000円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003484	世界をつくった6つの革命の物語　新・人類進化史	スティーブン・ジョンソン 著	朝日新聞出版	1900円
00003485	対話へーゲル『大論理学』　存在の旅へ/ 愛知大学文學會叢書　18	海老澤善一　著	梓出版社	1400円
00003486	誰が何を論じているのか　現代日本の思想と状況	小熊英二　著	新曜社	3200円
00003487	部下がついてくる、動いてくれるリーダーの教科書	室井俊男　著	明日香出版社	1500円
00003488	人を使うのが上手な人のリーダー〈上司〉のワザ　不安・苦手ゼロ！	黒川勇二　著	明日香出版社	1500円
00003489	やむなくリーダーになる人が結果を出すために読む本	折戸裕子　著	明日香出版社	1500円
00003490	英会話フレーズブック　リアルな日常表現2900/ Asuka business & language books. CD book	多岐川恵理　著	明日香出版社	2500円
00003491	日常英会話の基本の基本フレーズが身につく本　朝から夜まで、毎日使える1200フレーズ/ Asuka business & language books. CD book	野村真美　著	明日香出版社	1400円
00003492	日常英会話の初級の初級フレーズが身につく本　親しい人との会話でよく使われる定番フレーズ850/ Asuka business & language books. CD book	野村真美　著	明日香出版社	1500円
00003493	たったの72パターンでこんなに話せる英会話　/ Asuka business & language books. CD book	味園真紀　著	明日香出版社	1400円
00003494	聞いて書きとる英語リスニング300問	藤澤慶已　著	DHC	1500円
00003495	今すぐ言える！英会話フレーズブック	石原真弓　著	学研教育出版	1900円
00003496	生産性向上だけを考えれば日本経済は大復活する シンギュラリティの時代へ	三橋貴明　著	彩図社	1400円
00003497	超訳論語　孔子に学ぶ処世術	許成準　著	彩図社	1200円
00003498	自己愛性人格障害　/ 21世紀カウンセリング叢書	町沢静夫　著	駿河台出版社	1700円
00003499	富士山大爆発のすべて　いつ噴火してもおかしくない	島村英紀　著	花伝社	1500円
00003500	江戸っ子が好んだ日々の和食	中江克己　著	第三文明社	1500円
00003501	インディゴレッスン　真実を見きわめ想いを貫く力	ドリーン・バーチュー	JMA・アソシエイツ ステップワークス事業	1800円
00003502	本当はブラックな江戸時代	永井義男　著	辰巳出版	1400円
00003503	江戸→TOKYOなりたちの教科書　一冊でつかむ東京の都市形成史	岡本哲志　著	淡交社	1700円
00003504	クライアントの信頼を深め心を開かせるカウンセリングの技術/ DO BOOKS	今泉智樹　著	同文舘出版	1500円
00003505	一瞬で場をつかむ！プレゼン伝え方のルール　/ DO BOOKS	森本曜子　著	同文舘出版	1400円
00003506	顧客に必ず"Yes"と言わせるプレゼン　/ DO BOOKS	新名史典　著	同文舘出版	1400円
00003507	女性リーダーのためのレジリエンス思考術 女性リーダーが、職場での落ち込みから素早く立ち直り、元気はつらつと仕事に取り組むためのノウハウとは	三田村薫　著	同文舘出版	1500円
00003508	男子劣化社会　ネットに繋がりっぱなしで繋がれない	フィリップ・ジンバルドー	晶文社	2000円
00003509	現代の地政学　/ 犀の教室Liberal Arts Lab	佐藤優　著	晶文社	1500円
00003510	これからの地域再生　/ 犀の教室Liberal Arts Lab	飯田泰之　編	晶文社	1600円
00003511	データで読む教育の論点　/ 犀の教室Liberal Arts Lab	舞田敏彦　著	晶文社	1900円
00003512	ゼロから教えて発達障害	小野寺敦子　著	かんき出版	1400円
00003513	シンプルだけれど重要なリーダーの仕事 メンバーと最高の成果を生み出す	守屋智敬　著	かんき出版	1400円
00003514	心の病に薬はいらない！	内海聡　著	かんき出版	1300円
00003515	オンラインデートで学ぶ経済学	ポール・オイヤー　著	NTT出版	2400円
00003516	曲がり角に立つ中国　トランプ政権と日中関係のゆくえ	豊田正和	NTT出版	2500円
00003517	遊戯の起源　遊びと遊戯具はどのようにして生まれたか	増川宏一　著	平凡社	3600円
00003518	なぜ、あなたがリーダーなのか　新版　本物は「自分らしさ」を武器にする	ロブ・ゴーフィー	英治出版	1800円
00003519	サーバントであれ　奉仕して導く、リーダーの生き方	ロバート・K・グリーンリーフ　著	英治出版	1800円
00003520	優れたリーダーは、なぜ「立ち止まる」のか　自分と周囲の潜在能力を引き出す法則	ケヴィン・キャッシュマン 著	英治出版	1800円
00003521	戸籍と無戸籍　「日本人」の輪郭	遠藤正敬　著	人文書院	4200円
00003522	不幸の心理幸福の哲学　人はなぜ苦悩するのか	岸見一郎　著	唯学書房	1800円
00003523	ベルクソニズム　新訳/ 叢書・ウニベルシタス　1063	ジル・ドゥルーズ　［著］	法政大学出版局	2100円
00003524	反教養の理論　大学改革の錯誤/ 叢書・ウニベルシタス　1061	コンラート・パウル・リースマン　［著］	法政大学出版局	2800円
00003525	日本経済最後の戦略　債務と成長のジレンマを超えて	田代毅　著	日本経済新聞出版社	2000円
00003526	自由は進化する	ダニエル・C.デネット　著	NTT出版	2800円
00003527	へーゲル論理学と弁証法	海老澤善一　著	梓出版社	3000円
00003528	タオは笑っている　改訂版　愉快な公案集	レイモンド・M.スマリヤン 著	工作舎	2000円
00003529	アラー世代　イスラム過激派から若者たちを取り戻すために	アフマド・マンスール　著	晶文社	2500円
00003530	激動の日本近現代史　1852-1941 歴史修正主義の逆襲	宮崎正弘	ビジネス社	1800円
00003531	パンツをはいたサル　増補版　人間は、どういう生物か	栗本慎一郎　著	現代書館	2000円
00003532	見てわかる小論文短時間攻略法　改訂第3版	前田進　著	法学書院	1400円
00003533	身近に潜む危ない化学反応　/ SUPERサイエンス	齋藤勝裕　著	シーアンドアール研究所	1630円
00003534	「この人なら」と慕われるリーダーになれる	佐々木順子　著	サンマーク出版	1300円
00003535	フツーの会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた47の言葉	原晋　著	アスコム	1300円
00003536	好かれる女性リーダーになるための五十条	有川真由美　著	集英社	1100円
00003537	地震・火山や生物でわかる地球の科学　/ 阪大リーブル　059	松田准一　著	大阪大学出版会	1600円
00003538	聖徳太子本当は何がすごいのか	田中英道　著	育鵬社	1500円
00003539	マシュマロ・テスト　成功する子・しない子	ウォルター・ミシェル　著	早川書房	1900円
00003540	最新版覚えやすいサッカールールブック　/ GAKKEN SPORTS BOOKS	三村高之　著	学研プラス	700円
00003541	統計思考入門　プロの分析スキルで「ひらめき」をつかむ	水越孝　著	プレジデント社	1600円
00003542	実践「経営プロジェクト」講座 会社の未来づくりに、取り組む人のための実践テキスト	鈴木成裕　著	プレジデント社	1600円
00003543	リーダーたる者の極意	梅谷忠洋　著	プレジデント社	1500円
00003544	量子論のすべてがわかる本	科学雑学研究倶楽部　編	学研プラス	580円
00003545	仕事英会話まるごとフレーズ	細井京子	アルク	1200円
00003546	英語で日本紹介ハンドブック　改訂版	松本美江　著	アルク	1600円
00003547	文士の遺言　なつかしき作家たちと昭和史	半藤一利　著	講談社	1600円
00003548	「プレゼン」力　未来を変える「伝える」技術	山中伸弥	講談社	1200円
00003549	これを英語で言えますか？　化学版	齋藤勝裕	講談社	1900円
00003550	超ひも理論をパパに習ってみた　天才物理学者・浪速阪教授の70分講義	橋本幸士　著	講談社	1500円
00003551	辺境図書館	皆川博子　著	講談社	2200円
00003552	パラドックスの悪魔	池内了　著	講談社	1429円
00003553	心という難問　空間・身体・意味	野矢茂樹　著	講談社	2400円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00003554	私家版精神医学事典	春日武彦　著	河出書房新社	2800円
00003555	世界一受けたい「心理学×哲学」の授業	嶋田将也　著	ワニブックス	1200円
00003556	新共謀罪の恐怖　危険な平成の治安維持法	平岡秀夫	緑風出版	1800円
00003557	答えのない世界を生きる	小坂井敏晶　著	祥伝社	1800円
00003558	医学常識はウソだらけ　図解版 分子生物学が明かす「生命の法則」	三石巌　著	祥伝社	1400円
00003559	ヘーゲル『大論理学』　/ 哲学書概説シリーズ　5	海老澤善一　著	晃洋書房	1400円
00003560	子どもとスマホ　おとなの知らない子どもの現実	石川結貴　著	花伝社	1200円
00003561	マンガでやさしくわかる認知行動療法	玉井仁　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003562	神武天皇はたしかに存在した　神話と伝承を訪ねて	産経新聞取材班　著	産経新聞出版	1400円
00003563	日本再生は、生産性向上しかない！　/ 双書月刊Hanada	デービッド・アトキンソン著	飛鳥新社	1296円
00003564	大西郷という虚像　「明治維新という過ち」完結篇「官」と「賊」を往復したこの男を解明せずに維新の実相は語れない	原田伊織　著	悟空出版	1500円
00003565	学んでみると量子論はおもしろい　/ BERET SCIENCE	牟田淳　著	ベレ出版	1500円
00003566	学びなおすと地学はおもしろい	小川勇二郎　著	ベレ出版	1500円
00003567	高校生からわかる社会科学の基礎知識	酒井崚一　著	ベレ出版	1500円
00003568	植物の体の中では何が起こっているのか　動かない植物が生きていくためのしくみ/ BERET SCIENCE	嶋田幸久	ベレ出版	1800円
00003569	植物の形には意味がある　/ BERET SCIENCE	園池公毅　著	ベレ出版	1600円
00003570	なるほど世界地理　気になる疑問から学ぶ地理の世界 地図・自然環境・民族・生活文化・産業・環境問題	宇田川勝司　著	ベレ出版	1500円
00003571	トラウマが99%消える本	中島輝　著	すばる舎	1400円
00003572	ベストプレゼンテーション　マスターすべき98のスキルとトレーニング	William R.Steele　著	すばる舎	2400円
00003573	キリスト教を世に問う！	奥山篤信　著	展転社	1800円
00003574	いかに人物を練るか　士学論講	安岡正篤　著	致知出版社	1800円
00003575	狩猟型プロジェクトマネジャーの哲学	伊藤健太郎　著	生産性出版	2800円
00003576	変貌するミュージアムコミュニケーション 来館者と展示空間をめぐるメディア論的想像力	光岡寿郎　著	せりか書房	4000円
00003577	ウォークス　歩くことの精神史	レベッカ・ソルニット　著	左右社	4500円
00003578	瞬時に出てくる英会話フレーズ大特訓　カンタン英語で話しまくれ！	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1400円
00003579	瞬時にわかる英語リスニング大特訓　カンタン英語を聴きまくれ！	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1400円
00003580	すぐに使える接客英会話大特訓 誰でもカンタン・テキパキ対応できる！ 鉄板フレーズ810	柴山かつの　著	Jリサーチ出版	1200円
00003581	世界中使える旅行英会話大特訓　海外旅行が100倍楽しくなる！	柴山かつの　著	Jリサーチ出版	1200円
00003582	英語のスピーキングが驚くほど上達するNOBU式トレーニング 中学で習う英文法だけでネイティブのような会話ができる！	山田暢彦　著	IBCパブリッシング	1600円
00003583	14歳からの哲学入門　「今」を生きるためのテキスト	飲茶　著	二見書房	1500円
00003584	芥川賞の偏差値	小谷野敦　著	二見書房	1500円
00003585	お母さんのための「女の子」の育て方	高濱正伸　著	実務教育出版	1300円
00003586	いまさら聞けない！「経済」のギモン、ぶっちゃけてもいいですか？	高橋洋一　著	実務教育出版	1300円
00003587	なぜか惹かれるふしぎな数学	蟹江幸博　著	実務教育出版	1400円
00003588	統計力クイズ　そのデータから何が読みとれるのか？	涌井良幸　著	実務教育出版	1400円
00003589	ぼくらは「物理」のおかげで生きている / 素晴らしきサイエンスPHYSICS	横川淳　著	実務教育出版	1400円
00003590	日本嫌いのアメリカ人がたった7日間で日本を大好きになった理由	マックス桐島　著	実務教育出版	1300円
00003591	子どもの「書く力」は家庭で伸ばせる　作文・読書感想文 お母さんができること、してあげたいこと	高濱正伸	実務教育出版	1400円
00003592	世にも不思議で美しい「相対性理論」 / 素晴らしきサイエンス. THEORY OF RELATIVITY	佐藤勝彦　著	実務教育出版	1400円
00003593	面白いほどよくわかる論語　新版　時代を超えて生き続ける、日常生活で役立つ孔子の教え/ 学校で教えない教科書	石田琢智　監修	日本文芸社	1400円
00003594	面白いほどよくわかる般若心経　新版　大乗仏教の精髄を説く262文字の大宇宙/ 学校で教えない教科書	武田鏡村　著	日本文芸社	1500円
00003595	面白いほどよくわかる相対性理論　時空の歪みからブラックホールまで科学常識を覆した大理論の全貌/ 学校で教えない教科書	大宮信光　著	日本文芸社	1200円
00003596	面白いほどよくわかる聖書のすべて　天地創造からイエスの教え・復活の謎まで/ 学校で教えない教科書	中見利男　著	日本文芸社	1400円
00003597	だから、子ども時代に一番学習しなければいけないのは、幸福です　ママたちとの対話から生まれた子育ての知恵ツイート41	陰山英男　著	小学館	1200円
00003598	ミッションリーダーシップ組織を動かす無敵のチカラ　最強の英国特殊部隊式ビジネスマネジメント術	岩本仁　著	小学館	1500円
00003599	「みんなの学校」が教えてくれたこと 学び合いと育ち合いを見届けた3290日	木村泰子　著	小学館	1400円
00003600	毎日新聞・校閲グループのミスがなくなるすごい文章術	岩佐義樹　著	ポプラ社	1300円
00003601	ディズニーランドの社会学　脱ディズニー化するTDR	新井克弥　著	青弓社	1600円
00003602	未来の図書館、はじめませんか？	岡本真	青弓社	2000円
00003603	仕事に役立つ専門紙・業界紙	吉井潤　著	青弓社	1600円
00003604	勉強の哲学　来たるべきバカのために	千葉雅也　著	文藝春秋	1400円
00003605	中野京子と読み解く運命の絵	中野京子　著	文藝春秋	1780円
00003606	日本国憲法　大阪おばちゃん語訳	谷口真由美　著	文藝春秋	1100円
00003607	「100分de名著」名作セレクション	NHK「100分de名著」制作班編	文藝春秋	1200円
00003608	日本100名城公式ガイドブック　ハンディ版　/ 歴史群像シリーズ	中城正堯	学研プラス	571円
00003609	プレゼンテーション　一瞬で伝え、感情を揺さぶる / VISIONARY SEMINARS　03	清水久三子　著	KADOKAWA	1400円
00003610	教えて、お坊さん！「さとり」ってなんですか	小出遥子　著	KADOKAWA	1400円
00003611	自分で考える練習　毎日の悩みを解決できる「哲学思考」	平原卓　著	KADOKAWA	1300円
00003612	世界最高のリーダー育成機関で幹部候補だけに教えられているプレゼンの基本　Speak Simple	田口力　著	KADOKAWA	1400円
00003613	ゼロから話せる接客のひとこと英会話	菅野有花　著	KADOKAWA	1500円
00003614	お金の流れでわかる世界の歴史　富、経済、権力……はこう「動いた」こんな見方があった！	大村大次郎　著	KADOKAWA	1400円
00003615	使える統計学　/ 図解　04	涌井良幸	KADOKAWA	1500円
00003616	技者　日本の伝統と文化を支える職人たち	七田祐子　著	創藝社	1300円
00003617	本気で英語を話したいあなたのための"英語筋"トレーニング　ペンもノートも、教科書も辞書もいらない英語習得の新常識！！	阿部大地郎　著	サンライズパブリッシング	1500円
00003618	陰陽バランス食養学　現代に蘇る医食同源 21世紀の究極の食養学がついに誕生！	伊東久雄	日本ブレインウェアFunction5出版	1200円
00003619	くり返し読みたい般若心経	加藤朝胤　監修	リベラル社	1200円
00003620	くり返し読みたい論語	野村茂夫　監修	リベラル社	1200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003621	最強のプレゼン段取り術	西脇資哲　著	総合法令出版	1300円
00003622	瞑想	J.クリシュナムルティ　著	UNIO	1200円
00003623	お稲荷さんと霊能者　伏見稲荷の謎を解く	内藤憲吾　著	洋泉社	1800円
00003624	本当は世界がうらやむ最強の日本経済　データで読む、好都合な近未来！	イェスパー・コール　著	プレジデント社	1500円
00003625	アレックス・ファーガソン人を動かす つねに「限界より5%上の力」を目指して－	アレックス・ファーガソン	日本文芸社	2300円
00003626	限界費用ゼロ社会　〈モノのインターネット〉と共有型経済の台頭	ジェレミー・リフキン　著	NHK出版	2400円
00003627	明るく死ぬための哲学	中島義道　著	文藝春秋	1500円
00003628	切腹考	伊藤比呂美　著	文藝春秋	1700円
00003629	最古の文字なのか？　氷河期の洞窟に残された32の記号の謎を解く	ジェネビーブ・ボン・ペッツィンガー　著	文藝春秋	1650円
00003630	死者は生きている　「見えざるもの」と私たちの幸福	町田宗鳳　著	筑摩書房	1600円
00003631	最高のリーダーは、チームの仕事をシンプルにする	阿比留眞二　著	三笠書房	1300円
00003632	日本の「黒幕」100の名言	別冊宝島編集部　編	宝島社	800円
00003633	親鸞100の言葉　われわれを導く「本物」の言葉	釈徹宗　監修	宝島社	1000円
00003634	マンガ徳川15代の裏話	小和田哲男　監修	宝島社	556円
00003635	マンガ応仁の乱	小和田哲男　監修	宝島社	600円
00003636	こんなに変わった！日本史教科書	山本博文　監修	宝島社	800円
00003637	超現代語訳戦国時代　笑って泣いてドラマチックに学ぶ	房野史典　著	幻冬舎	1300円
00003638	人はなぜ老いるのか　老化の物理学	瀬戸浩二　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1200円
00003639	統合失調症患者と家族が選ぶ社会復帰をめざす認知矯正療法	高橋太郎　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1200円
00003640	情報	九島伸一　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1800円
00003641	町の未来をこの手でつくる　紫波町オガールプロジェクト	猪谷千香　著	幻冬舎	1400円
00003642	よみがえる飛騨の匠　地場産業を復活させる6つの改革	岡田贊三　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1400円
00003643	日本の礼儀作法　宮家のおしえ	竹田恒泰　著	マガジンハウス	1300円
00003644	ゼロから始めるプロジェクトマネジメント大全　立ち上げから問題解決、実行、終結までの管理手法と実践例	西村克己　著	大和出版	2300円
00003645	外資系コンサルが教えるプロジェクトマネジメント	山口周　著	大和書房	1400円
00003646	食べるほど「美肌」になる食事法	木下あおい　著	大和書房	1300円
00003647	新エバンジェリスト養成講座　Tips for Presentation	西脇資哲　著	翔泳社	1600円
00003648	書く人はここで躓く！　増補新版　作家が明かす小説の「作り方」	宮原昭夫　著	河出書房新社	1500円
00003649	プルーストと過ごす夏	アントワーヌ・コンパニョン	光文社	2300円
00003650	海を渡ってきた漢籍　江戸の書誌学入門 / 図書館サポートフォーラムシリーズ	高橋智　著	日外アソシエーツ	3200円
00003651	歎異抄　浄土真宗聖典 現代語版	浄土真宗聖典編纂委員会編纂	浄土真宗本願寺派	800円
00003652	キャリアカウンセリング　/ 21世紀カウンセリング叢書	宮城まり子　著	駿河台出版社	1700円
00003653	「日経新聞」には絶対に載らない日本の大正解	高橋洋一　著	ビジネス社	1300円
00003654	マンガでやさしくわかるプレゼン	山田進一　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003655	世界飛び地大全　不思議な国境線の舞台裏	吉田一郎　著	社会評論社	2400円
00003656	不登校になったら最初に読む本 親と先生と子どものための再出発へのヒント	小林高子　［著］	クロスメディア・マーケティング	1480円
00003657	「生き抜く力」の育て方　逆境を成長につなげるために	蝦名玲子　著	大修館書店	1800円
00003658	甲骨文の話　/ あじあブックス　079	松丸道雄　著	大修館書店	1800円
00003659	保健体育教師になろう！　不安に応える現役教師からのアドバイス	伊藤博子　著	大修館書店	1500円
00003660	「書ける」大学生に育てる　A0入試現場からの提言	島田康行　著	大修館書店	1700円
00003661	教養としての社会保障	香取照幸　著	東洋経済新報社	1600円
00003662	2060年の日本産業論　日本は衰退しない！	鈴木将之　著	東洋経済新報社	1600円
00003663	子ども格差の経済学　「塾、習い事」に行ける子・行けない子	橘木俊詔　著	東洋経済新報社	1500円
00003664	水力発電が日本を救う　今あるダムで年間2兆円超の電力を増やせる	竹村公太郎　著	東洋経済新報社	1400円
00003665	決定版インダストリー4.0　第4次産業革命の全貌	尾木蔵人　著	東洋経済新報社	1400円
00003666	欲望の資本主義　ルールが変わる時	丸山俊一	東洋経済新報社	1500円
00003667	今さら聞けない経済教室　こどもに聞かれても困らない60の疑問と答え	池田信夫　著	東洋経済新報社	1400円
00003668	米海軍で屈指の潜水艦艦長による「最強組織」の作り方	L・デビッド・マルケ　著	東洋経済新報社	1600円
00003669	プロ野球の経済学 労働経済学の視点で捉えた選手、球団経営、リーグ運営	橘木俊詔　著	東洋経済新報社	1500円
00003670	陰山式ぜったい成績が上がる学習法	陰山英男　著	毎日新聞出版	1200円
00003671	齋藤孝の絶対幸福論	齋藤孝　著	実業之日本社	1400円
00003672	教養のヘーゲル『法の哲学』　国家を哲学するとは何か	佐藤康邦　著	三元社	1500円
00003673	「移民時代」の日本のこれから　現代社会と多文化共生	大重史朗　著	揺籃社	1800円
00003674	必ず受かる小論文・作文の書き方　実戦添削例から学ぶ	石井秀明　著	新星出版社	1000円
00003675	教養としての「税法」入門	木山泰嗣　著	日本実業出版社	1750円
00003676	意味がわかる経済学　現実の経済のしくみを理解する	南英世　著	ベレ出版	1600円
00003677	心で勝つプレゼン　10分で上司も顧客も共感者になる	福島正伸　著	WAVE出版	1400円
00003678	平凡な仕事をすごいプロジェクトに変える教科書　小さくスタートしてでっかく変化させる「プロジェクトマインド」とは	安東邦彦　著	WAVE出版	1400円
00003679	自衛隊最前線の現場に学ぶ最強のリーダーシップ 普通の若者を劇的に成長させる組織術	松村五郎　著	WAVE出版	1600円
00003680	きみと地球を幸せにする方法　/ 知のトレッキング叢書	植島啓司　著	集英社インターナショナル	1200円
00003681	「空気」で人を動かす　チームの実力以上の力を引き出す技術	横山信弘　著	フォレスト出版	1400円
00003682	これだけは知っておきたい「プレゼンテーション」の基本と常識　改訂新版 会社では教えてくれないノウハウ！	ザ・アール　著	フォレスト出版	1300円
00003683	これだけは知っておきたい「経済」の基本と常識　改訂版　高校生から社会人まで、経済の知識がしっかり身につく！	吉野薫　著	フォレスト出版	1300円
00003684	恐慌化する世界で日本が一人勝ちする　2017日本経済投資のシナリオ	今井澂　著	フォレスト出版	1600円
00003685	食べるクスリ甘酒ヨーグルト 甘酒+ヨーグルトのW発酵で究極の発酵食品が誕生しました	主婦の友社　編	主婦の友社	1100円
00003686	何もしないまま出発日になってしまった人の機内で一夜づけ海外旅行英会話	デイビッド・セイン	主婦の友社	1000円
00003687	龍馬を守った新撰組　禁断の幕末維新史 偽装日本史新発見続々！	加治将一　著	水王舎	1600円
00003688	禁断の幕末維新史　封印された写真編　偽装日本史	加治将一　著	水王舎	1400円
00003689	国語が変わる　答えは「探す」から「創る」へわが子の学力を伸ばす方法	出口汪　著	水王舎	1400円
00003690	スプーン一杯で認知症を防ぐ！えごま油健康法 いつもの食事にかけるだけ！	守口徹　著	アチーブメント出版	1300円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003691	いつか見たしあわせ　市井の幸福論	勢古浩爾　著	草思社	1400円
00003692	面白くて眠れなくなる社会学	橋爪大三郎　著	PHPエディターズ・グループ	1300円
00003693	図解地政学入門　世界のニュースがわかる！	高橋洋一　著	あさ出版	1400円
00003694	現代現象学　経験から始める哲学入門/ ワードマップ	植村玄輝	新曜社	2600円
00003695	ひといちばい敏感な子　子どもたちは、パレットに並んだ絵の具のように、さまざまな個性を持っている	エレイン・N・アーロン　著	1万年堂出版	1800円
00003696	ケネディの言葉　名言に学ぶ指導者の条件	御手洗昭治　編著	東洋経済新報社	1400円
00003697	お母さんだからできる！男の子の国語力の伸ばし方	高濱正伸　著	東洋経済新報社	1300円
00003698	政府の隠れ資産	ダグ・デッター	東洋経済新報社	2800円
00003699	ビジネス現場で役立つ経済を見る眼	伊丹敬之　著	東洋経済新報社	1800円
00003700	幼児教育の経済学	ジェームズ・J・ヘックマン　著	東洋経済新報社	1600円
00003701	経済成長という呪い　欲望と進歩の人類史	ダニエル・コーエン　著	東洋経済新報社	2000円
00003702	移民の経済学	ベンジャミン・パウエル　編	東洋経済新報社	2800円
00003703	世界一訪れたい日本のつくりかた　新・観光立国論〈実践編〉	デービッド・アトキンソン　著	東洋経済新報社	1500円
00003704	社会学者がニューヨークの地下経済に潜入してみた	スディール・ヴェンカテッシュ　著	東洋経済新報社	2200円
00003705	中東・エネルギー・地政学　全体知への体験的接近	寺島実郎　著	東洋経済新報社	2000円
00003706	高校生からの法学入門	中央大学法学部　編	中央大学出版部	900円
00003707	〈戦後思想〉入門講義　丸山眞男と吉本隆明	仲正昌樹　著	作品社	2000円
00003708	ラカンの思考	宇波彰　著	作品社	2400円
00003709	言うことと、なにも言わないこと　非論理性・不可能性・ナンセンス	ジャック・ブーヴレス　著	国文社	3600円
00003710	人体5億年の記憶　解剖学者・三木成夫の世界	布施英利　［著］	海鳴社	2000円
00003711	社史の図書館と司書の物語　神奈川県立川崎図書館社史室の5年史	高田高史　著	柏書房	1900円
00003712	老いの荷風	川本三郎　著	白水社	2400円
00003713	渡部昇一の少年日本史　日本人にしか見えない虹を見る	渡部昇一　著	致知出版社	2000円
00003714	日本の死活問題　国際法・国連・軍隊の真実	色摩力夫　著	グッドブックス	1600円
00003715	渋沢栄一「論語」の読み方	渋沢栄一　原著	三笠書房	1500円
00003716	「他者」の倫理学　レヴィナス、親鸞、そして宇野弘蔵を読む	青木孝平　著	社会評論社	2600円
00003717	日本人のための憲法原論	小室直樹　著	集英社インターナショナル	1800円
00003718	日本近現代史入門　黒い人脈と金脈	広瀬隆　著	集英社インターナショナル	2500円
00003719	二〇世紀日本レコード産業史　グローバル企業の進攻と市場の発展	生明俊雄　著	勁草書房	3800円
00003720	道徳的実在論の擁護　/ 双書エニグマ　5	菅豊彦　著	勁草書房	2800円
00003721	歴史に見る日本の図書館　知的精華の受容と伝承	高山正也　著	勁草書房	2800円
00003722	地方自治と図書館　「知の地域づくり」を地域再生の切り札に	片山善博	勁草書房	2300円
00003723	パースの哲学について本当のことを知りたい人のために	コーネリス・ドヴァール　著	勁草書房	3200円
00003724	福祉政治史　格差に抗するデモクラシー	田中拓道　著	勁草書房	3000円
00003725	グリーフケア入門　悲嘆のさなかにある人を支える	高木慶子　編著	勁草書房	2400円
00003726	子育て支援が日本を救う　政策効果の統計分析	柴田悠　著	勁草書房	2500円
00003727	文化財の現在過去・未来	彬子女王　編	宮帯出版社	4500円
00003728	マタギ聞き書き　その狩猟民俗と怪異譚	武藤鉄城　著	河出書房新社	1800円
00003729	論理ノート	D.Q.マキナニー　著	ダイヤモンド社	1600円
00003730	41歳からの哲学	池田晶子　著	新潮社	1200円
00003731	骸骨考　イタリア・ポルトガル・フランスを歩く The European Burial Ritual	養老孟司　著	新潮社	1500円
00003732	100歳まで元気な人は何を食べているか？	辨野義己　著	三笠書房	1300円
00003733	織田信長　不器用すぎた天下人	金子拓　著	河出書房新社	1600円
00003734	この子は育てにくい、と思っても大丈夫　生まれてきてくれて、ありがとう子どもに伝えたいあなたのために	星山麻木　著	河出書房新社	1400円
00003735	縄文の神　よみがえる精霊信仰	戸矢学　著	河出書房新社	1800円
00003736	心と体が最強になる禅の食 道元禅師が説いた「食の教え」は人生を確実に変えていく	千葉公慈　著	河出書房新社	1300円
00003737	漱石漫談	いとうせいこう	河出書房新社	1600円
00003738	あたらしい憲法草案のはなし	自民党の憲法改正草案を爆発的にひろめる有志連合	太郎次郎社エディタス	741円
00003739	ネイティブ日常英会話　リアルフレーズ3100	ジェフリー・トランブリー　著	新星出版社	1500円
00003740	「チクチクする」「ピンとこない」を英語でパッと言えますか？　ネイティブ思考の感情・感覚・イメージを表す英会話フレーズ1100	ジェームス・M・バーダマン　著	DHC	1800円
00003741	みるみる英語力がアップする音読パッケージトレーニング　/ CD book	森沢洋介　著	ベレ出版	1700円
00003742	基礎英語ができない大人の英会話	デイビッド・セイン　著	主婦の友社	1400円
00003743	何でも英語で言ってみる！シンプル英語フレーズ2000	光藤京子　著	高橋書店	1600円
00003744	ブッダ100の言葉　仕事で家庭で、毎日をおだやかに過ごす心得	佐々木閑　訳・監修	宝島社	1000円
00003745	リーダーをめざす貴女へ	シスコシステムズ合同会社	ダイヤモンド社	1000円
00003746	プロジェクトマネージャー　プロジェクトを成功させる方法	蒲原寧　著	ダイヤモンド社	1600円
00003747	親子で考えるはじめての民事信託　新しい相続・資産引き継ぎ対策20事例	石川和司	ダイヤモンド社	1500円
00003748	ぼくは「技術」で人を動かす 今いるメンバーで結果を出す〈チームリーダー〉のレシピ	高島宏平　著	ダイヤモンド社	1500円
00003749	会話もメールも英語は3語で伝わります　Simple English for Everyone	中山裕木子　著	ダイヤモンド社	1500円
00003750	「原因と結果」の経済学　データから真実を見抜く思考法	中室牧子	ダイヤモンド社	1600円
00003751	会議質	おちまさと　著	ダイヤモンド社	1300円
00003752	ナディアが群れを離れる理由 変われない組織が変わるためのリーダーシップ	ジョン・P・コッター	ダイヤモンド社	1400円
00003753	捨てる力　ブッダの問題解決入門	大喜多健吾　著	ダイヤモンド社	1400円
00003754	いま世界の哲学者が考えていること Philosophical Challenges in the 21st Century	岡本裕一朗　著	ダイヤモンド社	1600円
00003755	ニーチェが京都にやってきて17歳の私に哲学のこと教えてくれた。	原田まりる　著	ダイヤモンド社	1400円
00003756	金利と経済　高まるリスクと残された処方箋	翁邦雄　著	ダイヤモンド社	1800円
00003757	ビジネスで使える経済予測入門　小さな変化で大きな流れを見極める	中原圭介　著	ダイヤモンド社	1500円
00003758	好きになる生理学ミニノート 楽しく覚えて、らくらく実力アップ！/ 好きになるシリーズ	田中越郎　著	講談社	1500円
00003759	好きになる病理学ミニノート 楽しく覚えて、らくらく実力アップ！/ 好きになるシリーズ	早川欽哉	講談社	1800円
00003760	好きになる解剖学ミニノート 楽しく覚えて、らくらく実力アップ！/ 好きになるシリーズ	竹内修二　著	講談社	1600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003761	良寛詩歌集　「どん底目線」で生きる/ NHK100分de名著ブックス	中野東禅　著	NHK出版	1000円
00003762	ブッダ真理のことば　/ NHK「100分de名著」ブックス	佐々木閑　著	NHK出版	1000円
00003763	ブッダ最期のことば　/ NHK100分de名著ブックス	佐々木閑　著	NHK出版	1000円
00003764	般若心経　/ NHK「100分de名著」ブックス	佐々木閑　著	NHK出版	1000円
00003765	荘子　/ NHK100分de名著ブックス	玄侑宗久　著	NHK出版	1000円
00003766	ルソー エミール　自分のために生き、みんなのために生きる / NHK100分de名著ブックス	西研　著	NHK出版	1000円
00003767	フランクル夜と霧　/ NHK「100分de名著」ブックス	諸富祥彦　著	NHK出版	1000円
00003768	漱石激読　/ 河出ブックス　104	石原千秋	河出書房新社	1800円
00003769	忘れられた日本の村	筒井功　著	河出書房新社	1800円
00003770	リーダーシップの本質　改訂3版	堀紘一　著	ダイヤモンド社	1600円
00003771	インフォメーション　情報技術の人類史	ジェイムズ・グリック　著	新潮社	3200円
00003772	写本の文化誌　ヨーロッパ中世の文学とメディア	クラウディア・ブリンカー・フォン・デア・ハイデ　／著	白水社	3300円
00003773	分断された時代を生きる　/ 知のフィールドガイド	東京大学教養学部　編	白水社	2200円
00003774	図解論語　正直者がバカをみない生き方	齋藤孝　著	ウェッジ	1200円
00003775	成長しない子はいない　生まれ変わっても教師になりたい	仲島正教　著	大修館書店	1500円
00003776	最強兵器としての地政学　あなたも国際政治を予測できる！	藤井厳喜　著	ハート出版	1500円
00003777	神と仏の日本文化　遍照の宝鑰	小峰彌彦　著	大法輪閣	1800円
00003778	地球のほとけお地蔵さま　あなたを必ず守ってくれる	羽田守快　著	大法輪閣	1800円
00003779	読むだけで不動明王から力をもらえる本	羽田守快　著	大法輪閣	1800円
00003780	あなたの願いを叶える最強の守護神聖天さま	羽田守快　著	大法輪閣	1800円
00003781	新1分間リーダーシップ　どんな部下にも通用する4つの方法	ケン・ブランチャード	ダイヤモンド社	1300円
00003782	プロフェッショナル・リーダー　難局を突破する「9つのスキル」	野田努　著	ダイヤモンド社	1600円
00003783	プレゼンは「目線」で決まる　No.1プレゼン講師の人を動かす全77メソッド スライド シナリオ トーク	西脇資哲　著	ダイヤモンド社	1500円
00003784	子どもの頭がグンと良くなる！国語の力	出口汪　著	水王舎	1300円
00003785	発酵文化人類学　微生物から見た社会のカタチ	小倉ヒラク　著・イラスト	木楽舎	1600円
00003786	〈推定3000歳の〉ゾンビの哲学に救われた僕〈底辺〉は、クソッタレな世界をもう一度、生きることにした。	さくら剛　著	ライツ社	1500円
00003787	不安のメカニズム　完全版　ストレス・不安・恐怖を克服し人生を取り戻すためのセルフヘルプガイド	クレア・ウィークス　著	筑摩書房	1800円
00003788	現代に息づく陰陽五行　増補改訂版	稲田義行　著	日本実業出版社	1600円
00003789	ゼロからわかるキリスト教	佐藤優　著	新潮社	1200円
00003790	無敵のソクラテス	池田晶子　著	新潮社	2800円
00003791	アメリカ海軍に学ぶ「最強のリーダー」	マイケル・アブラショフ　著	三笠書房	1500円
00003792	自衛隊メンタル教官が教える折れないリーダーの仕事	下園壮太　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003793	航空機産業と日本　再成長の切り札	中村洋明　著	中央公論新社	2000円
00003794	自分を知るための社会学入門	岩本茂樹　著	中央公論新社	1500円
00003795	腸医が教えるこうすりゃ健康コンビニ飯	松生恒夫　著	中央公論新社	1400円
00003796	学校では教えてくれない地政学の授業　日本一わかりやすい！	茂木誠	PHPエディターズ・グループ	1300円
00003797	U理論入門　人と組織の問題を劇的に解決する	中土井僚　著	PHPエディターズ・グループ	1800円
00003798	面白くて眠れなくなる物理	左巻健男　著	PHPエディターズ・グループ	1300円
00003799	リーダーに強さはいらない　フォロワーを育て、最高のチームをつくる	三城雄児　著	あさ出版	1400円
00003800	ロベタでも人を動かす魔法のプレゼン	山田進一　著	あさ出版	1300円
00003801	図解経済学入門　たった1つの図でわかる！	高橋洋一　著	あさ出版	1400円
00003802	新・大人のための〈読む力・書く力〉トレーニング 東大・慶應の小論文入試問題は知の宝庫	樋口裕一　著	新評論	1500円
00003803	アメリカの教室に入ってみた 貧困地区の公立学校から超インクルーシブ教育まで	赤木和重　著	ひとなる書房	1700円
00003804	子どもと性必読25問タジタジ親にならないために	村瀬幸浩　著	子どもの未来社	1200円
00003805	不登校でも子は育つ　母親たち10年の証明	親子支援ネットワークあんだんて　著	学びリンク	1200円
00003806	プレゼンかけこみ寺　手元に1冊置いておきたい：資料作成から話し方、トラブル対策まで即解決！/ Nanaブックス　0103	天野暢子　著	ナナ・コーポレート・コミュニケーション	1400円
00003807	怒り　心の炎の静め方	ティク・ナット・ハン　著	サンガ	1238円
00003808	映画でレポート・卒論ライティング術	小野俊太郎　著	松柏社	1800円
00003809	沖縄鉄血勤皇隊　人生の蕾のまま戦場に散った学徒兵	大田昌秀　編著	高文研	2000円
00003810	「アクティブ・ラーニング」を考える	教育課程研究会　編著	東洋館出版社	2000円
00003811	世界が喰いつくす日本経済　なぜ東芝はアメリカに嵌められたのか	大村大次郎　著	ビジネス社	1300円
00003812	禅と生きる　生活につながる思想と知恵20のレッスン	宇野全智　著	山川出版社	1600円
00003813	嘔吐　新訳	ジャン＝ポール・サルトル　著	人文書院	1900円
00003814	平安京はいらなかった　古代の夢を喰らう中世 / 歴史文化ライブラリー　438	桃崎有一郎　著	吉川弘文館	1800円
00003815	文明に抗した弥生の人びと　/ 歴史文化ライブラリー　449	寺前直人　著	吉川弘文館	1800円
00003816	「うつわ」を食らう　日本人と食事の文化/ 読みなおす日本史	神崎宣武　著	吉川弘文館	2200円
00003817	オドロキモモノキ英語発音　子音がキマればうまくいく	藤澤慶巳　著	ジャパンタイムズ	1600円
00003818	人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか	玄田有史　編	慶應義塾大学出版会	2000円
00003819	良心の復権　21世紀における良心の諸問題	遠藤順子　［ほか述］	宗教心理出版	1550円
00003820	モディが変えるインド　台頭するアジア巨大国家の「静かな革命」	笠井亮平　著	白水社	2200円
00003821	都市化と食　/ 食の文化フォーラム	高田公理	ドメス出版	2300円
00003822	遠山啓　行動する数楽者の思想と仕事	友兼清治　編著	太郎次郎社エディタス	3000円
00003823	歎異抄をひらく	高森顕徹　著	1万年堂出版	1600円
00003824	赦すこと　赦し得ぬものと時効にかかり得ぬもの/ ポイエーシス叢書　63	ジャック・デリダ　著	未來社	1800円
00003825	ハヤブサ　その歴史・文化・生態	ヘレン・マクドナルド　著	白水社	2700円
00003826	仏教思想のゼロポイント　「悟り」とは何か	魚川祐司　［著］	新潮社	1600円
00003827	幻の料亭・日本橋「百川」　黒船を饗した江戸料理	小泉武夫　著	新潮社	1300円
00003828	介護ポケットナビ	大阪府介護福祉士養成校連絡協議会　編	メヂカルフレンド社	1200円
00003829	「おじぎ」の日本文化　/［角川ソフィア文庫］　［N201-4］	神崎宣武　［著］	KADOKAWA	880円
00003830	日々のことば	マザー・テレサ　著	女子パウロ会	1200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003831	はじめて読む禅語	武山廣道　監修	リベラル社	1000円
00003832	心があったまる般若心経	リベラル社　編集	リベラル社	1000円
00003833	ワークショップ入門　/ 日経文庫　1192	堀公俊　著	日本経済新聞出版社	830円
00003834	プレゼンに勝つ図解の技術　第2版　/ 日経文庫　1272	飯田英明　著	日本経済新聞出版社	950円
00003835	統計データが語る日本人の大きな誤解　/ 日経プレミアシリーズ　223	本川裕　著	日本経済新聞出版社	890円
00003836	きもの文化と日本　/ 日経プレミアシリーズ　329	伊藤元重	日本経済新聞出版社	870円
00003837	正法眼蔵　新訳 迷いのなかに悟りがあり、悟りのなかに迷いがある	道元　著	PHP研究所	950円
00003838	リーダーは夢を語りなさい　新幹線清掃会社「TESSEIの奇跡」が起きるまで/ PHPビジネス新書　335	矢部輝夫　著	PHP研究所	850円
00003839	ロジックの世界　論理学の哲人たちがあなたの思考を変える / ブルーバックス　B-1906	ダン・クライアン	講談社	800円
00003840	論理が伝わる世界標準の「プレゼン術」　一生モノの「説得技法」 / ブルーバックス　B-1847	倉島保美　著	講談社	900円
00003841	昭和50年の食事で、その腹は引っ込む　なぜ1975年に日本人が家で食べていたものが理想なのか/ 講談社+α新書　685-1B	都築毅　［著］	講談社	840円
00003842	知性の限界　不可測性・不確実性・不可知性/ 講談社現代新書　2048	高橋昌一郎　著	講談社	760円
00003843	理性の限界　不可能性・不確定性・不完全性/ 講談社現代新書　1948	高橋昌一郎　著	講談社	800円
00003844	自由とは何か　「自己責任論」から「理由なき殺人」まで / 講談社現代新書　1749	佐伯啓思　著	講談社	840円
00003845	幸福論　/ 講談社現代新書　1744	春日武彦　著	講談社	700円
00003846	食をめぐるほんとうの話　/ 講談社現代新書　2342	阿部尚樹	講談社	760円
00003847	<情報>帝国の興亡　ソフトパワーの五〇〇年史/ 講談社現代新書　2386	玉木俊明　著	講談社	760円
00003848	だまされない<議論力>　/ 講談社現代新書　1855	吉岡友治　著	講談社	720円
00003849	幸せのメカニズム　実践・幸福学入門/ 講談社現代新書　2238	前野隆司　著	講談社	800円
00003850	幸福の哲学　アドラー×古代ギリシアの智恵/ 講談社現代新書　2406	岸見一郎　著	講談社	760円
00003851	東大生の論理　「理性」をめぐる教室/ ちくま新書　881	高橋昌一郎　著	筑摩書房	760円
00003852	論より詭弁　反論理的思考のすすめ/ 光文社新書　290	香西秀信　著	光文社	700円
00003853	勝つための論文の書き方　/ 文春新書　295	鹿島茂　著	文藝春秋	700円
00003854	集合知とは何か　ネット時代の「知」のゆくえ/ 中公新書　2203	西垣通　著	中央公論新社	820円
00003855	入門！論理学　/ 中公新書　1862	野矢茂樹　著	中央公論新社	740円
00003856	ぎりぎり合格への論文マニュアル　/ 平凡社新書　103	山内志朗　著	平凡社	700円
00003857	食べ物のことはからだに訊け！　健康情報にだまされるな / ちくま新書　1109	岩田健太郎　著	筑摩書房	820円
00003858	功利主義入門　はじめての倫理学/ ちくま新書　967	児玉聡　著	筑摩書房	780円
00003859	プレゼンテーションの技術　/ 日経文庫　1253	山本御稔　著	日本経済新聞出版社	830円
00003860	やめたい食べグセ　/ ベスト新書　490	森拓郎　著	ベストセラーズ	800円
00003861	性と国家	北原みのり	河出書房新社	820円
00003862	なぜ日本人は神社にもお寺にも行くのか	島田裕巳　著	双葉社	1000円
00003863	日本への遺言　地域再生の神様《豊重哲郎》が起こした奇跡	出町譲　著	幻冬舎	1100円
00003864	神父さま、なぜ日本に？　ザビエルに続く宣教師たち	女子パウロ会　編著	女子パウロ会	1200円
00003865	封じ込められた子ども、その心を聴く　性同一性障害の生徒に向き合う	中塚幹也　著	ふくろう出版	600円
00003866	5感を揺さぶり相手を口説くプレゼンテーション / Forest 2545 Shinsyo　058	小林弘茂　著	フォレスト出版	900円
00003867	世界で大活躍できる13歳からの学び	高橋一也　著	主婦と生活社	1000円
00003868	<新訳>老子　雲のように、水のように、自由に生きる	岬龍一郎　編訳	PHP研究所	900円
00003869	灯し続けることば	大村はま　著	小学館	952円
00003870	交通事故を7割減らすたった2つの習慣	江上喜朗　著	日本経済新聞出版社	650円
00003871	新カミキリムシハンドブック	鈴木知之　著	文一総合出版	1600円
00003872	わかる！！わかる！！わかる！！小論文&作文　［'20年度版］	阪東恭一　著	新星出版社	600円
00003873	小論文これだけ！	樋口裕一　著	東洋経済新報社	1000円
00003874	自助論	サミュエル・スマイルズ著	三笠書房	1100円
00003875	武士道	新渡戸稲造　著	三笠書房	1000円
00003876	暴政　20世紀の歴史に学ぶ20のレッスン	ティモシー・スナイダー著	慶應義塾大学出版会	1200円
00003877	学問のすゝめ	福澤諭吉　著	慶應義塾大学出版会	1000円
00003878	やってはいけない「食べ合わせ」　体にいいつもりが逆効果！ / 青春新書PLAY BOOKS　P-1044	白鳥早奈英　著	青春出版社	1100円
00003879	外国人は日本文化の「何」を知りたがっているのか そのエッセンスは茶道の中に/ 淡交新書	山崎武也　著	淡交社	1200円
00003880	なぜ日本人は「のし袋」を使うのか？　/ 淡交新書	齋藤和胡　著	淡交社	1200円
00003881	なぜ僕は、4人以上の場になると途端に会話が苦手になるのか	岩本武範　著	サンマーク出版	1100円
00003882	すぐに試合で役に立つ！テニスのルール審判の基本　ルールに強くなればテニスに強くなる/ LEVEL UP BOOK	岡川恵美子　監修	実業之日本社	1200円
00003883	観戦&プレーで役に立つ！ラグビーのルール　/ LEVEL UP BOOK	日本ラグビーフットボール協会　監修	実業之日本社	1200円
00003884	経済と"世界の動き"が見えてくる！東大のクールな地理	伊藤彰芳　著	青春出版社	1330円
00003885	暇と退屈の倫理学　増補新版	國分功一郎　著	太田出版	1200円
00003886	今このとき、すばらしいこのとき　毎日が輝くマインドフルネスのことば	ティク・ナット・ハン　著	サンガ	2200円
00003887	足の下のステキな床	今井晶子	グラフィック社	1600円
00003888	HAPPINESS IS…　幸せを感じる500のこと	リサ・スウェーリング	文響社	1380円
00003889	カナヘイの小動物ゆるっと・カンタン英会話 サクサク使える基本フレーズ120	リサ・ヴォート　文	Jリサーチ出版	1000円
00003890	カナヘイの小動物ゆるっと・まいにち英会話 まいにち使えるほっこり基本フレーズ120	リサ・ヴォート　文	Jリサーチ出版	1000円
00003891	ビジネスで1番よく使う英語Eメール　基本から実践まで実例シーン140	ミゲル・E・コーティ	Jリサーチ出版	1600円
00003892	ビジネスで1番よく使う英単語　最重要1000語	成重寿　著	Jリサーチ出版	1600円
00003893	世界一やさしいすぐに使える英会話超ミニフレーズ300	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1300円
00003894	とっさに使えるカンタン接客英会話　外国人がいつ来ても大丈夫！ 店員さんの決まり文句400	佐野なおこ　著	Jリサーチ出版	1000円
00003895	ネイティブが1番よく使う英会話　一日まるごとミニフレーズ500	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1300円
00003896	魔法のリスニング 英語の音がどんどん聞き取れる 英語の耳づくりルール120	リサ・ヴォート　著	Jリサーチ出版	1000円
00003897	すぐに使える英会話ミニフレーズ2500　世界中どこでも通じる	宮野智靖	Jリサーチ出版	1600円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003898	子どもをのばすアドラーの言葉　子育ての勇気	岸見一郎　著	幻冬舎	1100円
00003899	これで安心！個人情報保護・マイナンバー	日本経済新聞出版社　編	日本経済新聞出版社	500円
00003900	英語　/ ことりっぷ会話帖		昭文社	1000円
00003901	マジ文章書けないんだけど 朝日新聞ベテラン校閲記者が教える一生モノの文章術	前田安正　著	大和書房	1300円
00003902	もう一度読みたい教科書の泣ける名作	学研プラス　編	学研プラス	800円
00003903	世界の美しい図書館		パイインターナショナル	1800円
00003904	君の音と僕の色	フクザワ　著	KADOKAWA	1000円
00003905	うつくしい組ひもと小物のレシピ	多田牧子　監修	日本文芸社	1300円
00003906	小さなてまりとかわいい雑貨　糸をかがって、ころころ、てんてん	寺島綾子　著	日本文芸社	1300円
00003907	宝石みたいなてまりとくらしの小物	寺島綾子　著	日本文芸社	1300円
00003908	愛らしい加賀のゆびぬき	寺島綾子　著	日本文芸社	1600円
00003909	医療機関のホスピタリティ・マネジメント	榊原陽子　著	中外医学社	1800円
00003910	ぼくのかわいい病原体　ライトノベルでざっくり学べる感染病原体入門	夏緑　著	中外医学社	1400円
00003911	ギャンブル依存症サバイバル　パチンコ・スロット・競馬・競輪におぼれる人を救済するため、患者・家族・医療者に贈る指南書	熊木徹夫	中外医学社	1800円
00003912	脳出血・くも膜下出血診療読本	豊田一則	中外医学社	6600円
00003913	パーキンソン病　発症機序に基づく治療	水野美邦　著	中外医学社	3400円
00003914	明日のアクションが変わる循環器救急の真髄教えます	川上将司　著	中外医学社	6400円
00003915	スポーツ整形外科マニュアル　新版	篠塚昌述　編集	中外医学社	5600円
00003916	初学者のための免疫学問答　改訂11版	矢田純一　著	中外医学社	3800円
00003917	緩和ケアの壁にぶつかったら読む本	西智弘　著	中外医学社	2600円
00003918	寝ころんで読む傷寒論・温熱論	入江祥史　著	中外医学社	2600円
00003919	こういうことだったのか！！酸素療法	小尾口邦彦　著	中外医学社	1800円
00003920	こどもの身体(からだ)の基準　検査値と身体所見	金子一成　責任編集	中外医学社	4400円
00003921	子どもの心を診る医師のための発達検査・心理検査入門	橋本浩　著	中外医学社	2800円
00003922	こどもの「症状」から考える　Medical Note presents 外来小児診療伝え方の極意	安藤恵美子　編集	中外医学社	2800円
00003923	日常診療でよく出会う足病変の診かた	桑原靖　編著	中外医学社	6000円
00003924	こうすればうまくいく！精神科臨床はじめの一歩	宮内倫也　著	中外医学社	4600円
00003925	産業医・労働安全衛生担当者のためのストレスチェック制度対策まるわかり	武神健之　[ほか]著	中外医学社	3600円
00003926	アメリカで学んだ医学統計　8時間集中講義	塩田星児　著	中外医学社	3600円
00003927	もしも「死にたい」と言われたら　自殺リスクの評価と対応	松本俊彦　著	中外医学社	2000円
00003928	起立性調節障害の診かた　「朝，起きられない」はこうして治せ	森下克也　著	中外医学社	2800円
00003929	呼吸のトリビア　レスピ・サピエンス	桑平一郎	中外医学社	1900円
00003930	呼吸のトリビア　2　レスピ・サピエンス	千原幸司	中外医学社	2000円
00003931	呼吸のトリビア　3　レスピ・サピエンス	塩谷隆信	中外医学社	2200円
00003932	頭痛治療薬の考え方，使い方　改訂2版	竹島多賀夫　編著	中外医学社	4600円
00003933	医療機関における暴力対策ハンドブック 患者も医療者も安心できる環境をめざして	和田耕治	中外医学社	3600円
00003934	保健・医療従事者が被災者と自分を守るためのポイント集	和田耕治	中外医学社	1800円
00003935	病棟・ICUで出会うせん妄の診かた	八田耕太郎	中外医学社	2400円
00003936	ベッドサイドの神経心理学　改訂2版	武田克彦　著	中外医学社	3400円
00003937	ひきこもりに出会ったら　こころの医療と支援	齊藤万比古　編著	中外医学社	2800円
00003938	健診・人間ドックハンドブック　改訂6版	小川哲平	中外医学社	5000円
00003939	めまいの診かた，治しかた	室伏利久　著	中外医学社	3400円
00003940	発達障害　早めの気づきとその対応	市川宏伸	中外医学社	2800円
00003941	肝炎の診かた，考えかた	柴田実　著	中外医学社	3400円
00003942	診断学概論　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	北村諭　編	中外医学社	2200円
00003943	病理学　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	神山隆一　編	中外医学社	4800円
00003944	臨床心理学　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	名嘉幸一　編	中外医学社	2400円
00003945	神経内科学　2版　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	細川武	中外医学社	4200円
00003946	マンガで学ぶ漢方薬	板倉英俊　著	中外医学社	2000円
00003947	マンガで学ぶ心電図&不整脈	池田隆徳　著	中外医学社	1900円
00003948	CKD患者のための運動サポート	富野康日己　編著	中外医学社	2000円
00003949	臨床栄養実践ガイド	丹羽利充　編著	中外医学社	3800円
00003950	イラスト解剖学　第9版	松村譲児　著	中外医学社	7600円
00003951	医系免疫学　改訂14版	矢田純一　著	中外医学社	8400円
00003952	Q&A医療事故調ガイドブック	日本医療法人協会　監修	中外医学社	4800円
00003953	こどものスポーツ障害診療ハンドブック	山下敏彦　編集	中外医学社	6800円
00003954	めまいは寝てては治らない　第5版 実践！めまい・ふらつきを治す24のリハビリ	新井基洋　著	中外医学社	1300円
00003955	めまいは寝てては治らない　第5版 実践！めまい・ふらつきを治す24のリハビリ	新井基洋　著	中外医学社	1300円
00003956	これだけは知っておきたい透析療法	富野康日己　編著	中外医学社	3400円
00003957	リハビリテーションのための臨床神経生理学	正門由久　編集	中外医学社	4800円
00003958	マンガで学ぶ透析療法	佐藤良和　著	中外医学社	1800円
00003959	がんのリハビリテーションQ&A	辻哲也　編著	中外医学社	3900円
00003960	メディカルスタッフのための腎臓病学　改訂2版	富野康日己　著	中外医学社	2800円
00003961	日常診療で出会う腰痛の診かた	高橋和久　編著	中外医学社	6800円
00003962	すぐに使える！実践リハビリマスターガイド 臨床で役立つ基本知識から評価・訓練まで	上月正博	中外医学社	4200円
00003963	訪問呼吸ケア・リハビリテーション　誰でもわかる在宅呼吸管理	塩谷隆信	中外医学社	4600円
00003964	現場の疑問に答える呼吸リハビリ徹底攻略Q&A	塩谷隆信	中外医学社	6800円
00003965	イラストでわかる患者さんのための心臓リハビリ入門	上月正博	中外医学社	1800円
00003966	心臓リハビリテーションスタッフのための心電図ハンドブック	安達仁　著	中外医学社	3200円
00003967	リハビリテーション栄養Q&A	若林秀隆　編著	中外医学社	3200円
00003968	はじめての精神科作業療法	山口芳文	中外医学社	4900円
00003969	はじめての人工呼吸管理　基本がわかると先が見える	岡元和文　編著	中外医学社	6400円
00003970	ある日、ワタルさんはエイズになった。	岩田健太郎　作	中外医学社	1200円
00003971	神経疾患At a glance diagnosis	田中真　著	中外医学社	5000円
00003972	作業療法士ポケット・レビュー帳　専門編	長崎重信　編	メジカルビュー社	3500円
00003973	統計学　日本統計学会公式認定統計検定1級対応	日本統計学会　編	東京図書	3200円
00003974	データの分析　日本統計学会公式認定統計検定3級対応	日本統計学会　編	東京図書	2200円
00003975	資料の活用　日本統計学会公式認定統計検定4級対応	日本統計学会　編	東京図書	2000円
00003976	腸炎ビブリオ　第4集	篠田純男　[ほか]編集	近代出版	6000円
00003977	微生物学入門　微生物と生活科学/ 基礎微生物学　1	J.F.ウィルキンソン　著	培風館	2233円
00003978	実用医微生物学　/ 基礎微生物学　3	J.G.コリー　著	培風館	2200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003979	脳の発生・発達　神経発生学入門/ 脳科学ライブラリー　2	大隅典子　著	朝倉書店	2800円
00003980	脳と情動　ニューロンから行動まで/ 脳科学ライブラリー　3	小野武年　著	朝倉書店	3800円
00003981	脳の再生　中枢神経系の幹細胞生物学と再生戦略 / 脳科学ライブラリー　4	岡野栄之　著	朝倉書店	2900円
00003982	イメカラ　消化管　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1700円
00003983	イメカラ　呼吸器　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編	メディックメディア	1600円
00003984	イメカラ　循環器　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編	メディックメディア	1400円
00003985	イメカラ　腎臓　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1500円
00003986	イメカラ　肝・胆・膵　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1800円
00003987	腰痛をめぐる常識の嘘　続	菊地臣一　著	金原出版	3000円
00003988	脳卒中の機能評価　基礎編　SIASとFIM / 実践リハビリテーション・シリーズ	千野直一　[ほか]編著	金原出版	2600円
00003989	マンガでわかる！統合失調症　家族の対応編	中村ユキ　マンガ・構成	日本評論社	1400円
00003990	基本刑法　第2版　1　総論	大塚裕史	日本評論社	3800円
00003991	基本憲法　1　基本的人権	木下智史	日本評論社	3000円
00003992	重力　上　アインシュタインの一般相対性理論入門	ジェームズ・B・ハートル 著	日本評論社	3600円
00003993	食品安全検定テキスト　初級	食品安全検定協会　編集	中央法規出版	2200円
00003994	がん医療におけるコミュニケーション・スキル　続	藤森麻衣子	医学書院	2800円
00003995	トランプ就任演説　対訳	トランプ　[述]	朝日出版社	926円
00003996	トランプ演説集　永久保存版　対訳	トランプ　[述]	朝日出版社	1000円
00003997	オバマ広島演説　対訳	オバマ　[述]	朝日出版社	700円
00003998	オバマ退任演説　対訳	オバマ　[述]	朝日出版社	926円
00003999	series田園回帰　8　世界の田園回帰	大森彌	農山漁村文化協会	2200円
00004000	国立科学博物館のひみつ　地球館探検編	成毛眞　著	ブックマン社	1800円
00004001	物理化学　上　分子論的アプローチ	マッカーリ	東京化学同人	5400円
00004002	マクマリー有機化学　第9版　上	John McMurry　著	東京化学同人	4600円
00004003	マクマリー有機化学　第9版　中	John McMurry　著	東京化学同人	4500円
00004004	ウエスト呼吸生理学入門　第2版　正常肺編	ジョン B ウエスト	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3800円
00004005	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　第5巻　地域福祉論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編	へるす出版	2500円
00004006	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　第7巻　社会保障論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編	へるす出版	2200円
00004007	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　第10巻　法学	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編	へるす出版	2100円
00004008	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　11　障害者に対する支援と障害者自立支援制度	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編集	へるす出版	2200円
00004009	精神保健福祉士養成セミナー　第6版　1　精神医学	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会　編集	へるす出版	3200円
00004010	新ME早わかりQ&A　1　血液浄化装置	「新ME早わかりQ&A」編集委員会　編集	南江堂	4800円
00004011	理学療法フィールドノート　3　呼吸・循環・代謝疾患	石川朗	南江堂	5700円
00004012	理学療法フィールドノート　4　地域・在宅	石川朗	南江堂	5700円
00004013	理学療法士・作業療法士グリーン・ノート　第2版　基礎編	柳澤健　編	メジカルビュー社	4500円
00004014	理学療法士イエロー・ノート　2nd edition　専門編	柳澤健　編	メジカルビュー社	5600円
00004015	作業療法士グリーン・ノート　専門編	長崎重信　編	メジカルビュー社	4900円
00004016	セラピストのための機能解剖学的ストレッチング上肢	鵜飼建志　編著	メジカルビュー社	5500円
00004017	アスリートのリハビリテーションとリコンディショニング　上巻 外傷学総論/検査・測定と評価/ Skill-Upリハビリテーション&リコンディショニング	小林寛和　編	文光堂	4200円
00004018	標準徒手医学　1　入門編	安藤正志　監修	医学映像教育センター(発売)	4500円
00004019	がん患者のこころに寄り添うために　サイコロジスト編　サイコオンコロジーの基礎と実践	大木桃代　編著	真興交易医書出版部	3900円
00004020	理科の地図帳　改訂版　地形・気象編　日本の地形と気象がまるごとわかる/ ビジュアルはてなマップ	ザ・ライトスタッフオフィス　編	技術評論社	2480円
00004021	医学・医療系学生のための総合医学英語テキスト　Step1	日本医学英語教育学会　編	メジカルビュー社	2800円
00004022	ビジュアルで学ぶ筋膜リリーステクニック　Volume1 肩、骨盤、下肢・足部	Til Luchau　著	医道の日本社	4200円
00004023	よくわかる統計学　第2版　1(基礎編) / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	金子治平	ミネルヴァ書房	2600円
00004024	病気がみえる　第5版　vol.1　消化器	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3600円
00004025	病気がみえる　第4版　vol.3　糖尿病・代謝・内分泌	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3300円
00004026	病気がみえる　第2版　vol.4　呼吸器	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3500円
00004027	病気がみえる　第2版　vol.8　腎・泌尿器	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3300円
00004028	理学療法技術の再検証　科学的技術の確立に向けて/ 理学療法MOOK　17	福井勉	三輪書店	4000円
00004029	ICUの理学療法　/ 理学療法MOOK　18	神津玲　責任編集	三輪書店	4800円
00004030	ニューロリハと理学療法　/ 理学療法MOOK　19	大畑光司　責任編集	三輪書店	3600円
00004031	ウィメンズヘルスと理学療法　/ 理学療法MOOK　20	石井美和子	三輪書店	4000円
00004032	筋膜マニピュレーション　理論編　筋骨格系疼痛治療	Luigi Stecco　著	医歯薬出版	9000円
00004033	最新運動療法大全　1　基礎編	キャロリン・キスナー	ガイアブックス	6800円
00004034	言語聴覚障害と認知症がある人のための会話訓練集　1 臨床家用マニュア導入的課題・食生活編	西尾正輝　著	インテルナ出版	2600円
00004035	言語聴覚障害と認知症がある人のための会話訓練集　1 訓練教材集　導入的課題・食生活編	西尾正輝　著	インテルナ出版	4600円
00004036	カラー図解人体の正常構造と機能　改訂第3版　7　血液・免疫・内分泌	坂井建雄	日本医事新報社	6200円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004037	カラー図解人体の正常構造と機能　改訂第3版　10　運動器	坂井建雄	日本医事新報社	6800円
00004038	ネッター医学図譜　筋骨格系 1　学生版	Frank H.Netter　［著］	丸善	9000円
00004039	ネッター医学図譜　筋骨格系 3　学生版	Frank H.Netter　［著］	丸善	9000円
00004040	ネッター医学図譜　脳・神経系 1　構造と機能　学生版	Frank H.Netter　［著］	丸善	9000円
00004041	摂食障害という生き方　続　医療刑務所から見えてくるもの	瀧井正人　著	中外医学社	3900円
00004042	寝る前5分暗記ブック英会話フレーズ集　海外旅行編 頭にしみこむメモリータイム！	メディアビーコン　著	学研プラス	1000円
00004043	プロジェクトマネジメント　第2版　理論編 / 通勤大学文庫. 図解PMコース　1	浅見淳一　著	総合法令出版	890円
00004044	キクタン英会話　初級編　聞いてマネしてすらすら話せる	一杉武史　編著	アルク	1200円
00004045	究極の英語リスニング　v.1　1000語レベルで1万語「最初の1000語」		アルク	1700円
00004046	絵で見てパッと言う英会話トレーニング　海外旅行編	Nobu Yamada　著	学研プラス	1600円
00004047	対談！　2　日本人が英語を学ぶ理由	三宅義和　著	プレジデント社	1000円
00004048	日本の論点　2017～18　Global Perspective and Strategic Thinking	大前研一　著	プレジデント社	1600円
00004049	スタンフォード大学で一番人気の経済学入門　マクロ編	ティモシー・テイラー　著	かんき出版	1500円
00004050	学校では教えない「社会人のための現代史」 / 池上彰教授の東工大講義　国際篇	池上彰　著	文藝春秋	1500円
00004051	マンガでやさしくわかる貿易実務　輸入編	片山立志　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00004052	統計学が最強の学問である　データ社会を生き抜くための武器と教養	西内啓　著	ダイヤモンド社	1600円
00004053	統計学が最強の学問である　ビジネス編 データを利益に変える知恵とデザイン	西内啓　著	ダイヤモンド社	1800円
00004054	統計学が最強の学問である　実践編　データ分析のための思想と方法	西内啓　著	ダイヤモンド社	1900円
00004055	発見・検証日本の古代　1　纒向発見と邪馬台国の全貌	古代史シンポジウム「発見・検証日本の古代」編集委員会　編	角川文化振興財団	2000円
00004056	〈世界史〉の哲学　近世篇	大澤真幸　著	講談社	2500円
00004057	逆説の日本史　22(明治維新編)　西南戦争と大久保暗殺の謎	井沢元彦　著	小学館	1800円
00004058	図書館の基本を求めて　8　『風』『談論風発』2014～2015より	田井郁久雄　著	大学教育出版	1500円
00004059	池上彰のやさしい経済学　1　しくみがわかる	池上彰　著	日本経済新聞出版社	1500円
00004060	新訳ベルクソン全集　7　思考と動くもの	アンリ・ベルクソン　著	白水社	4100円
00004061	吉本隆明質疑応答集　1　宗教	吉本隆明　著	論創社	2200円
00004062	日中戦争全史　下　日中全面戦争からアジア太平洋戦争敗戦まで	笠原十九司　著	高文研	2300円
00004063	数学の研究をはじめよう　1　高校生にもできる新しい数学研究へのいざない	飯高茂　著	現代数学社	1800円
00004064	英語高速メソッド日常英会話集　v.1(第1週目) 2週間でネイティヴの脳&耳になる	笠原禎一　著	新星出版社	1800円
00004065	電気鉄道のセクション　直流・交流の電力供給と区分装置/ 戎光祥レイルウェイリブレット　2	持永芳文　著	戎光祥出版	1500円
00004066	マインドフルネス　仏教瞑想と近代科学が生み出す、心の科学の現在形/ 別冊サンガジャパン　3	蓑輪顕量　監修	サンガ	2200円
00004067	論理的思考の技法　2　三段論法と誤謬	鈴木美佐子　著	法学書院	1600円
00004068	現代の量子力学　第2版　上　/ 物理学叢書　108	J.J.サクライ　著	吉岡書店	5500円
00004069	没後20年司馬遼太郎の言葉　3　/ 週刊朝日MOOK		朝日新聞出版	920円
00004070	池上彰のニュースそうだったのか！！　4 教養として知っておきたい池上彰の現代史	池上彰	SBクリエイティブ	1000円
00004071	ピュイゼ子どものための味覚教育　食育入門編	石井克枝	講談社	2800円
00004072	新ゼロからスタートシャドーイング　入門編 「話す力」と「聞く力」がビックリするほど伸びる！	宮野智靖　著	Jリサーチ出版	1400円
00004073	おとなの基礎英語　Season5　オーストラリア　NHKテレビDVD BOOK	主婦の友社　編	主婦の友社	1900円
00004074	理系なら知っておきたい化学の基本ノート　カラー改訂版　物理化学編	岡島光洋　著	KADOKAWA	1700円
00004075	理系なら知っておきたい化学の基本ノート　カラー改訂版　有機化学編	岡島光洋　著	KADOKAWA	1900円
00004076	理系なら知っておきたい物理の基本ノート　カラー改訂版　力学編	為近和彦　著	KADOKAWA	1700円
00004077	ジョレス・メドヴェージェフ、ロイ・メドヴェージェフ選集　2 ウラルの核惨事	ジョレス・A・メドヴェージェフ　著	現代思潮新社	3600円
00004078	量子力学　1	猪木慶治	講談社	4660円
00004079	日本地理学人物事典　現代編2	岡田俊裕　著	原書房	7500円
00004080	ファイナンス法大全　全訂版　上	西村あさひ法律事務所　編	商事法務	9000円
00004081	脳神経外科学　改訂12版　1	太田富雄　総編集	金芳堂	11333円
00004082	脳神経外科学　改訂12版　2	太田富雄　総編集	金芳堂	11333円
00004083	脳神経外科学　改訂12版　3	太田富雄　総編集	金芳堂	11334円
00004084	図解運動療法ガイド	内山靖	文光堂	10000円
00004085	図解理学療法検査・測定ガイド　第2版	奈良勲	文光堂	9500円
00004086	図解訪問理学療法技術ガイド　訪問の場で必ず役立つ実践のすべて	伊藤隆夫	文光堂	9500円
00004087	図解言語聴覚療法技術ガイド	深浦順一　編集主幹	文光堂	10000円
00004088	今日の精神疾患治療指針　第2版	樋口輝彦　［ほか］編集	医学書院	14000円
00004089	新臨床内科学　第9版 縮刷版	貫和敏博　［ほか］編	医学書院	18000円
00004090	脳神経外科周術期管理のすべて　第4版	松谷雅生	メジカルビュー社	9800円
00004091	ベッドサイドの新生児の診かた　改訂3版	河野寿夫	南山堂	13000円
00004092	呼吸器外科学　改訂4版	藤井義敬　編	南山堂	15000円
00004093	臨床神経内科学　改訂6版	廣瀬源二郎	南山堂	15000円
00004094	医科薬理学　改訂4版	遠藤政夫　［ほか］編著	南山堂	12000円
00004095	骨折・脱臼　改訂4版	冨士川恭輔	南山堂	32000円
00004096	健康づくりトレーニングハンドブック	進藤宗洋	朝倉書店	9500円
00004097	皮膚科学　第10版	上野賢一　原著	金芳堂	12500円
00004098	手　第6版　その機能と解剖	上羽康夫　著	金芳堂	18000円
00004099	最新食物アレルギー	中村晋	永井書店	9500円
00004100	よくわかる甲状腺疾患のすべて　改訂第2版	伴良雄　編	永井書店	9500円
00004101	ボイスノート　コミュニケーションを拡げるために	小嶋知幸	新興医学出版社	9500円
00004102	メイトランド脊椎マニピュレーション	Geoffrey D.Maitland	エルゼビア・ジャパン	9800円
00004103	メイトランド四肢関節マニピュレーション	Elly Hengeveld	医学映像教育センター	9800円
00004104	血管生物医学事典	日本血管生物医学会　編	朝倉書店	17000円
00004105	人工肩関節置換術　基礎と実際	末永直樹　編著	メディカ出版	10000円
00004106	運動器診療最新ガイドライン	中村耕三　編集	総合医学社	16000円
00004107	ジュンケイラ組織学　第4版　/ Lange Textbookシリーズ	Anthony L.Mescher　［著］	丸善出版	9800円
00004108	シグナル伝達　第2版　生命システムの情報ネットワーク	バスティアン D.ゴンパーツ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004109	ガートナー/ハイアット組織学アトラスとテキスト　第3版	レスリー・P・ガートナー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9500円
00004110	スネル臨床解剖学　第3版	スネル　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14000円
00004111	人体機能生理学　改訂第5版	杉晴夫　編著	南江堂	10000円
00004112	神経局在診断　改訂第6版　その解剖，生理，臨床	Mathias Ba¨hr	文光堂	11000円
00004113	結核　第4版	冨岡洋海　編	医学書院	14500円
00004114	標準整形外科学　第13版　/ Standard Textbook	井樋栄二	医学書院	9400円
00004115	標準放射線医学　第7版　/ Standard textbook	西谷弘	医学書院	10000円
00004116	標準病理学　第5版　/ Standard Textbook	北川昌伸	医学書院	11000円
00004117	標準生理学　第8版　/ Standard Textbook	本間研一　[ほか]編集	医学書院	12000円
00004118	臨床神経生理学	柳澤信夫	医学書院	9500円
00004119	サバイラ身体診察のアートとサイエンス	サバイラ	医学書院	12000円
00004120	服部リハビリテーション技術全書　第3版	蜂須賀研二　編集	医学書院	18000円
00004121	関節のMRI　第2版	福田国彦	メディカル・サイエンス・インターナショナル	15000円
00004122	心臓リハビリテーション	上月正博　編著	医歯薬出版	9500円
00004123	膜・筋膜　人体の張力ネットワーク 最新知見と治療アプローチ	Robert Schleip	医歯薬出版	10000円
00004124	NEWエッセンシャル整形外科学	星野雄一	医歯薬出版	9500円
00004125	Newエッセンシャル病理学　第6版	長村義之　[ほか]編	医歯薬出版	11000円
00004126	臨床病態栄養学　第3版	武田英二　編	文光堂	10000円
00004127	自律神経機能検査　第5版	日本自律神経学会　編	文光堂	13000円
00004128	図説神経機能解剖テキスト	浦上克哉	文光堂	16000円
00004129	腰痛のサイエンス　/ 痛みのScience & Practice　4	山本達郎　編集	文光堂	12000円
00004130	小児・発達期の包括的アプローチ PT・OTのための実践的リハビリテーション	新田收	文光堂	10000円
00004131	運動器スペシャリストのための整形外科外来診療の実際	日本臨床整形外科学会　編	中山書店	10000円
00004132	心臓リハビリテーション　改訂第2版 実践マニュアル 評価・処方・患者指導/ 循環器臨床サピア　4	長山雅俊　責任編集	中山書店	11000円
00004133	小児神経学	加我牧子	診断と治療社	12000円
00004134	NEW外科学　改訂第3版　/ Nankodo's essential well-advanced series	出月康夫	南江堂	9500円
00004135	新心臓血管外科管理ハンドブック　改訂第2版	国立循環器病研究センター心臓血管部門　編集	南江堂	13000円
00004136	重度四肢外傷の標準的治療　Japan Strategy	土田芳彦　編著	南江堂	10000円
00004137	図説足の臨床　改訂3版	田中康仁	メジカルビュー社	22000円
00004138	整形外科学・外傷学　改訂第7版	岩本幸英　[ほか]編	文光堂	12000円
00004139	神経疾患診療ガイドライン	日本神経学会　監修	医学書院	25000円
00004140	今日の整形外科治療指針　第7版	土屋弘行　[ほか]編集	医学書院	18000円
00004141	臨床てんかん学	兼本浩祐　[ほか]編集	医学書院	15000円
00004142	気分障害	上島国利　[ほか]編	医学書院	16000円
00004143	あたらしい皮膚病診療アトラス	清水宏　著	中山書店	9800円
00004144	ヒト発生の3次元アトラス	塩田浩平　編	日本医事新報社	9500円
00004145	眼底図譜　第6版　カラーアトラス	湯澤美都子	日本医事新報社	11500円
00004146	臨床神経解剖学	M J Turlough Fitzgerald	エルゼビア・ジャパン	9600円
00004147	カパンジー生体力学の世界　次世代へのメッセージ 地球上の生物に共通する動きの仕組み	Adalbert I.KAPANDJI　原著	医歯薬出版	18000円
00004148	内部機能障害への筋膜マニピュレーション　理論編	Luigi Stecco	医歯薬出版	12000円
00004149	筋膜マニピュレーション　実践編　筋骨格系疼痛治療	Luigi Stecco	医歯薬出版	13000円
00004150	骨折の治療とリハビリテーション　ゴールへの至適アプローチ	Stanley Hoppenfeld	南江堂	10000円
00004151	解剖学アトラス	Platzer　[ほか著]	文光堂	10000円
00004152	ムーア人体発生学　原著第8版	Moore	医歯薬出版	12000円
00004153	グラント解剖学図譜　第7版	Anne M.R.Agur	医学書院	15000円
00004154	脳卒中ビジュアルテキスト　第4版	荒木信夫	医学書院	12000円
00004155	肩　第4版　その機能と臨床	信原克哉　著	医学書院	18000円
00004156	整形靴と足部疾患　オーソペディ・シューテクニック	Rene´ Baumgartner	医学書院	13000円
00004157	プロメテウス解剖学コアアトラス　第2版	Anne M.Gilroy	医学書院	9500円
00004158	プロメテウス解剖学アトラス　第2版　胸部/腹部・骨盤部	Michael Schu¨nke	医学書院	11000円
00004159	プロメテウス解剖学アトラス　第3版　解剖学総論/運動器系	Michael Schu¨nke	医学書院	12000円
00004160	胃と腸アトラス　第2版　1　上部消化管	「胃と腸」編集委員会　編集	医学書院	14000円
00004161	胃と腸アトラス　第2版　2　下部消化管	「胃と腸」編集委員会　編集	医学書院	14000円
00004162	運動器臨床解剖アトラス	M.Llusa´	医学書院	18000円
00004163	解剖学カラーアトラス　第8版	J.W.Rohen	医学書院	12000円
00004164	運動器外傷治療学	糸満盛憲　編	医学書院	32000円
00004165	口腔咽頭の臨床　第3版	吉原俊雄	医学書院	15000円
00004166	機能を中心とした図説組織学　第5版	B.Young	医学書院	9500円
00004167	図説人体解剖学　第5版　第1巻　頭部・頚部・上肢	Sobotta　[原著]	医学書院	16000円
00004168	図説人体解剖学　第5版　第2巻　体幹・内臓・下肢	Sobotta　[原著]	医学書院	16000円
00004169	実習人体組織学図譜　第5版	Ulrich Welsch　[著]	医学書院	11000円
00004170	狭心症・心筋梗塞ビジュアルテキスト	堀江俊伸　著	医学書院	16000円
00004171	膝関節の臨床　臨床経験に基づく疾患へのアプローチ	白岡格　著	南江堂	15000円
00004172	みえる腰痛体性感覚構造図　運動器疼痛の診断のための示説	高橋弦　著	南江堂	9500円
00004173	下肢静脈瘤血管内焼灼術　改題改訂第2版　レーザーおよび高周波焼灼術	広川雅之　著	日本医事新報社	12000円
00004174	臨床のための解剖学　第2版	キース L.ムーア	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14000円
00004175	スポーツ診療ビジュアルブック	マーク D.ミラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	13000円
00004176	脳卒中症候群	ルイス R.カプラン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	12000円
00004177	ウォルパート発生生物学	ルイス・ウォルパート	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9500円

(資料27)図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004178	重要血管へのアプローチ　第3版　外科医のための局所解剖アトラス	ガリー G.ウィンド	メディカル・サイエンス・インターナショナル	20000円
00004179	プリンシプル産科婦人科学　第3版　1　婦人科編	武谷雄二	メジカルビュー社	13000円
00004180	プリンシプル産科婦人科学　第3版　2　産科編	武谷雄二	メジカルビュー社	13000円
00004181	整形外科徒手検査法	高岡邦夫　編	メジカルビュー社	9500円
00004182	新脊椎インストゥルメンテーション　テクニカルポイントと合併症対策	野原裕	メジカルビュー社	9800円
00004183	新骨軟部画像診断の勘ドコロ	藤本肇　編集	メジカルビュー社	9500円
00004184	小児整形外科テキスト　改訂第2版	日本小児整形外科学会教育研修委員会　編集	メジカルビュー社	9500円
00004185	膠原病・リウマチ診療　第3版　Evidence Based Medicineを活かす	東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター編	メジカルビュー社	9500円
00004186	一般消化器外科手術達人へのSuccess Road　手術書をレビューする！	白石憲男	メジカルビュー社	10000円
00004187	整形外科理学療法の理論と技術	山嵜勉　編	メジカルビュー社	9500円
00004188	復帰をめざすスポーツ整形外科	宗田大　編	メジカルビュー社	9500円
00004189	脊椎脊髄外科サージカル・テクニック	今栄信治	メジカルビュー社	15000円
00004190	DVDで動きがわかるモーション解剖アトラス　上肢・体幹	青木光広　編著	メジカルビュー社	25000円
00004191	DVDで動きがわかるモーション解剖アトラス　下肢・骨盤	青木光広	メジカルビュー社	25000円
00004192	DVDで動きがわかるモーション解剖アトラス　脊椎	青木光広	メジカルビュー社	25000円
00004193	整形外科骨折ギプスマニュアル	日本骨折治療学会教育委員会　／編集	メジカルビュー社	11000円
00004194	人工股関節全置換術<THA>のすべて　改訂第2版	伊藤浩　編集	メジカルビュー社	17000円
00004195	カラーアトラス機能組織学	Jeffrey B.Kerr　原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004196	PNF基本的手技と機能的訓練	Susanne Hedin　[著]	医歯薬出版	10000円
00004197	運動機能障害症候群のマネジメント　続　頸椎・胸椎・肘・手・膝・足	Shirley Sahrmann and Associates　原著	医歯薬出版	12000円
00004198	筋骨格系のキネシオロジー　第2版　カラー版	Donald A.Neumann　原著	医歯薬出版	12000円
00004199	モーターコントロール　第4版　研究室から臨床実践へ	Anne Shumway-Cook	医歯薬出版	12000円
00004200	整形外科的理学療法　第2版　基礎と実践	Gary A.Shankman	医歯薬出版	11000円
00004201	画像でみる脊椎・脊髄　その基礎と臨床 Expert Radiology	Thomas P.Naidichほか原著	医歯薬出版	21000円
00004202	日本人体解剖学　改訂19版 金子勝治，穐田真澄改訂　上巻	金子丑之助　原著	南山堂	12000円
00004203	日本人体解剖学　改訂19版 金子勝治，穐田真澄改訂　下巻	金子丑之助　原著	南山堂	10000円
00004204	運動器疾患臨床ガイドブック　診断とリハビリテーションプロトコール	S.Brent Brotzman	診断と治療社	23000円
00004205	運動器局所解剖アトラス	越智隆弘	中山書店	15000円
00004206	Dr.夏秋の臨床図鑑虫と皮膚炎 皮膚炎をおこす虫とその生態/臨床像・治療・対策	夏秋優　著	学研メディカル秀潤社	12000円
00004207	人工股関節置換術<THA・BHA>　人工関節の基礎知識，基本テクニック，合併症対策 写真・WEB動画で理解が深まる	大谷卓也	メディカ出版	10000円
00004208	「エッセンシャル」遺伝学	D.L.ハートル	培風館	9400円
00004209	病医院のための職員トラブル解決マニュアル　労務管理の悩みを解消する秘策を公開！	日経ヘルスケア編集部　企画・編集	日経BP社	21429円
00004210	運動器リハビリテーションの機能評価　1	David J.Magee　原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004211	運動器リハビリテーションの機能評価　2	David J.Magee　原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004212	グレイ解剖学　原著第3版	Richard L.Drake	エルゼビア・ジャパン	12000円
00004213	グレイ解剖学アトラス　原著第2版	Richard L.Drake　[ほか]原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004214	血液学を語る　/ FUTURE最新・血液内科シリーズ	高久史麿　監修	インターメディカ	10000円
00004215	Cowan and Steel's医学細菌同定の手びき　第3版	Cowan	近代出版	13000円
00004216	重複障害のリハビリテーション	上月正博　編著	三輪書店	9500円
00004217	カルシウムと骨　普及版	西井易穂	朝倉書店	14000円
00004218	自然地理学事典	小池一之　[ほか]編集	朝倉書店	18000円
00004219	最新栄養学　専門領域の最新情報	John W.Erdman Jr.	建帛社	25000円
00004220	身体障害の作業療法　改訂第6版	Heidi McHugh Pendleton	協同医書出版社	22000円
00004221	脳・神経リハビリテーション大事典	アンフレッド　編著	西村書店	12000円
00004222	"Uncommon"脳卒中学　見落とせない発症要因	Julien Bogousslavsky	西村書店	18000円
00004223	スポーツ整形外科学　理論と実践/ スポーツ科学・医学大事典	W.E.ギャレット	西村書店	18000円
00004224	図説ダンスの解剖・運動学大事典 テクニックの上達と損傷予防のための基礎とエクササイズ	クリッピンガー　著	西村書店	9500円
00004225	消化器病学　カラー版 基礎と臨床	浅香正博	西村書店	19500円
00004226	健康長寿学大事典　QOLからEBMまで	横出正之	西村書店	9500円
00004227	膠原病学　改訂6版　免疫学・リウマチ性疾患の理解のために	塩沢俊一　著	丸善出版	15000円
00004228	ギャノング生理学　/ Lange Textbookシリーズ	Kim E.Barrett	丸善出版	10000円
00004229	分子生物学	クラーク　[著]	丸善	9800円
00004230	トートラ人体の構造と機能　第4版	Gerard J.Tortora	丸善出版	10000円
00004231	トートラ解剖学　第2版	Gerard J.Tortora	丸善	10000円
00004232	オックスフォード・生理学	Gillian Pocock	丸善出版	9800円
00004233	イラストでわかる神経症候　機能・解剖学から診断へのアプローチ	Cary D.Alberstone	丸善出版	13000円
00004234	機能性食品の作用と安全性百科	上野川修一　[ほか]編	丸善出版	18000円
00004235	新呼吸療法テキスト	3学会(日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会)合同呼吸療法認定士認定委員会　編集	アトムス	9500円
00004236	新ME機器ハンドブック	電子情報技術産業協会　編	コロナ社	10000円
00004237	ウイルス感染症の検査・診断スタンダード	田代眞人	羊土社	19000円
00004238	解剖学講義　改訂3版 高野廣子改訂	伊藤隆　原著	南山堂	11000円
00004239	組織学　改訂19版 阿部和厚改訂	伊藤隆　著	南山堂	11000円
00004240	標準組織学各論　第5版 岩永敏彦，石村和敬改訂	藤田尚男	医学書院	11000円
00004241	人体解剖カラーアトラス　2	ヴォルフ=ハイデッガー　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	10000円
00004242	レーヴン/ジョンソン生物学　下	P.レーヴン	培風館	9700円
00004243	カラーアトラスdermoscopy	斎田俊明　[ほか]編	金原出版	15000円
00004244	現代の組織学　改訂第3版	山田安正　著	金原出版	9515円
00004245	橈骨遠位端骨折　進歩と治療法の選択	斎藤英彦	金原出版	9500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004246	脊椎脊髄病学　第2版	岩崎幹季　著	金原出版	15000円
00004247	臨床検査法提要　改訂第34版	奥村伸生	金原出版	15000円
00004248	日常診療のための検査値のみかた	野村文夫	中外医学社	9500円
00004249	肩と肘のスポーツ障害　診断と治療のテクニック	菅谷啓之　編	中外医学社	9500円
00004250	医学生・研修医のための神経内科学　改訂3版	神田隆　著	中外医学社	12000円
00004251	手術のための脳局所解剖学	大畑建治	中外医学社	18000円
00004252	わかる！解剖生理用語チェック1000	飯島治之　著	医歯薬出版	2000円
00004253	医学漢字マスターブック　第2版　これでスラスラ読めるポケット単語帳	古橋洋子　編	文光堂	950円
00004254	幻想由来辞典	新紀元社編集部	新紀元社	1300円
00004255	医学英語表現辞典	横井川泰弘　著	金芳堂	12000円
00004256	社会福祉用語辞典　第9版　福祉新時代の新しいスタンダード	山縣文治	ミネルヴァ書房	2200円
00004257	ミネルヴァ社会福祉六法　2018	ミネルヴァ書房編集部　編	ミネルヴァ書房	2500円
00004258	深海生物大事典	佐藤孝子　著	成美堂出版	1500円
00004259	医学略語辞典　改訂4版	医学略語編集委員会　編	金芳堂	6400円
00004260	図解による法律用語辞典　補訂4版追補　辞書+入門書の1冊2役！		自由国民社	2500円
00004261	整形外科用語マニュアル　第2版	カロリン T.ブロウベルト	医学書院	6800円
00004262	図解解剖学事典　第3版	Heinz Feneis ［著］	医学書院	3800円
00004263	解剖学用語　改訂13版	解剖学用語委員会　編	医学書院	3600円
00004264	医学英語論文表現法辞典	大井静雄　著	南山堂	5000円
00004265	医療スタッフのための現代カルテ用語	吉田彌太郎　著	医薬ジャーナル社	9500円
00004266	栄養・食糧学用語辞典　第2版	日本栄養・食糧学会　編	建帛社	11000円
00004267	栄養学英和辞典　改訂第2版	久木野憲司	金原出版	4762円
00004268	日本食品大事典　新版	杉田浩一	医歯薬出版	9000円
00004269	最新医学大辞典　第3版	最新医学大辞典編集委員会　編	医歯薬出版	13000円
00004270	コツと科学の調理事典　第3版 大滝緑，奥田豊子，山口米子補訂	河野友美　著	医歯薬出版	3400円
00004271	分子生物学・免疫学キーワード辞典　第2版	永田和宏　［ほか］編	医学書院	9800円
00004272	医学書院医学大辞典　第2版	伊藤正男	医学書院	18000円
00004273	南山堂医学大辞典　第20版		南山堂	14000円
00004274	転倒予防白書　2016	武藤芳照	日本医事新報社	4500円
00004275	高齢者リハビリテーション学大事典	C.B.ルイス	西村書店	8800円
00004276	異常心理学大事典	M.E.P.セリグマン	西村書店	8800円
00004277	医学英語活用辞典	ミハエル・フリードビヒレル	メジカルビュー社	8000円
00004278	地形の辞典	日本地形学連合　編	朝倉書店	26000円
00004279	解剖学辞典　新装版	中井準之助　［ほか］編	朝倉書店	16000円
00004280	まるごと使える！日常英会話辞典	Wit House　編	高橋書店	1500円
00004281	からだの地図帳解剖学用語　/ 地図帳・ナース	佐藤達夫　監修	講談社	2200円
00004282	医療現場の英語辞典	山田政美	三省堂	2300円
00004283	デイリー法学用語辞典	三省堂編修所　編	三省堂	1600円
00004284	日本一読みやすい会社六法　関連政省令付き条文集	浜田道代　監修	三省堂	2400円
00004285	神話と伝説にみる花のシンボル事典	杉原梨江子　著	説話社	2800円
00004286	医学実用辞典　病院で困らないための日中英対訳	松本洋子　編著	日本僑報社	2500円
00004287	解剖学イラスト事典　第3版	松村譲児　著	中外医学社	3800円
00004288	日本の家紋大事典	森本勇矢　著	日本実業出版社	1600円
00004289	性格類語辞典　ネガティブ編	アンジェラ・アッカーマン	フィルムアート社	1300円
00004290	世界の妖精・妖怪事典　普及版　/ シリーズ・ファンタジー百科	キャロル・ローズ　著	原書房	2800円
00004291	世界の怪物・神獣事典　普及版　/ シリーズ・ファンタジー百科	キャロル・ローズ　著	原書房	2800円
00004292	実用介護事典　改訂新版　/ 介護ライブラリー	大田仁史	講談社	3800円
00004293	全47都道府県幸福度ランキング　2016年版	日本総合研究所　編	東洋経済新報社	3500円
00004294	世界のクジラ・イルカ百科図鑑	アナリサ・ベルタ　編	河出書房新社	4500円
00004295	世界一うつくしい生物図鑑　かたちと色、その不思議	クリストファー・マーレー著	世界文化社	4000円
00004296	世界一うつくしい昆虫図鑑	クリストファー・マーレー著	宝島社	3800円
00004297	世界甲虫大図鑑	パトリス・ブシャー総編集	東京書籍	6500円
00004298	驚くべき世界の野生動物生態図鑑	小菅正夫　日本語版監修	日東書院本社	7400円
00004299	地球博物学大図鑑	デイヴィッド・バーニー顧問編集	東京書籍	9500円
00004300	世界の国旗・国章歴史大図鑑	苅安望　著	山川出版社	12000円
00004301	ポケット教育小六法　2017年版	伊藤良高　編集代表	晃洋書房	1300円
00004302	世界国勢図会　第27版　2016/17　世界がわかるデータブック	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004303	世界国勢図会　第28版　2017/18　世界がわかるデータブック	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004304	日本国勢図会　第75版　2017/18　日本がわかるデータブック	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004305	データでみる県勢　第26版　2017　日本国勢図会地域統計版	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004306	東海エリアデータブック　2017	中日新聞社広告局	中日新聞社出版部	2000円
00004307	世界年鑑　2017	共同通信社　編	共同通信社	6800円
00004308	レジャー白書　2017	日本生産性本部　編	日本生産性本部	7000円
00004309	情報メディア白書　2017	電通総研　編	ダイヤモンド社	16000円
00004310	ハリソン内科学　第5版　volume 1	デニス L.カスパーほか編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14900円
00004311	ハリソン内科学　第5版　volume 2	デニス L.カスパーほか編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14900円
00004312	細菌及免疫学綱要　オンデマンド版	志賀潔　著	南山堂	10000円
00004313	イヤーノート　2019年版 内科・	岡庭豊	メディックメディア	24000円
00004314	口蓋裂言語検査(言語臨床用)	日本コミュニケーション障害学会口蓋裂言語委員会　編	日本コミュニケーション障害学会	27000円
00004315	修身教授録　現代に甦る人間学の要諦	森信三　著	致知出版社	2300円
00004316	キャリアの心理学　新版 第2版　キャリア支援への発達的アプローチ	渡辺三枝子　編著	ナカニシヤ出版	2000円
00004317	最短で達成する全体最適のプロジェクトマネジメント	岸良裕司　著	KADOKAWA	2000円
00004318	鉱物見タテ図鑑　鉱物アソビの博物学	フジイキョウコ　編・著	スペースシャワーネットワーク	1800円
00004319	在宅医療臨床入門　改訂2版　/ 在宅医療の技とこころ	和田忠志　著	南山堂	2200円
00004320	マクスウェル方程式から始める電磁気学　第2版	小宮山進	裳華房	2700円
00004321	文化地理学入門	高橋伸夫	東洋書林	2500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004322	論証と論理　3版	大崎博　著	成隆出版	2100円
00004323	医療と看護の総合英語　3訂版	笹島茂	三修社	1900円
00004324	機能解剖で斬る神経系疾患　第2版	中野隆　編著	メディカルプレス	6000円
00004325	患者さんとスタッフのためのペン型インスリン注射のすべて 第3刷(補訂)	清野弘明	医歯薬出版	2000円
00004326	患者さんとスタッフのための糖尿病教室　補訂版	阿部隆三　編著	医歯薬出版	3000円
00004327	最新腰痛症ハンドブック 腰椎椎間板ヘルニアからスポーツ，事故の治療まで	遠藤健司	丸善出版	4200円
00004328	教養のコンピュータサイエンス情報科学入門　第2版	小舘香椎子	丸善出版	3800円
00004329	機能的運動療法　基礎編 クラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.クラインフォーゲルバッハ	丸善出版	4500円
00004330	機能的運動療法　治療テクニック編クラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.クラインフォーゲルバッハ	丸善出版	3600円
00004331	機能的運動療法　ボール・エクササイズクラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.クラインフォーゲルバッハ	丸善出版	3600円
00004332	微生物学キーノート　/ キーノートシリーズ	J.ニックリン　[ほか]著	丸善出版	3600円
00004333	神経科学キーノート　/ キーノートシリーズ	A.ロングスタッフ　著	丸善出版	4800円
00004334	分子生物学キーノート　/ キーノートシリーズ	P.C.ターナー　[ほか]著	丸善出版	4000円
00004335	遺伝学キーノート　/ キーノートシリーズ	P.C.ウィンター	丸善出版	3800円
00004336	生化学キーノート　/ キーノートシリーズ	B.D.ヘイムズ	丸善出版	4600円
00004337	発生生物学キーノート　/ キーノートシリーズ	R.M.トゥイマン　著	丸善出版	4800円
00004338	免疫学キーノート　/ キーノートシリーズ	P.M.Lydyard	丸善出版	3500円
00004339	入門酵素と補酵素の化学	T.D.H.Bugg　著	丸善出版	6500円
00004340	PNFハンドブック　第3版	S.S.アドラー	丸善出版	4800円
00004341	RとBioconductorを用いたバイオインフォマティクス	R.ジェントルマン [ほか]編	丸善出版	7900円
00004342	レクチン　第2版　歴史，構造・機能から応用まで	N.シャロン	丸善出版	6300円
00004343	ステップス・トゥ・フォロー　改訂第2版	P.M.デービス　著	丸善出版	4800円
00004344	スイスボール　理論と実技，基礎から応用まで	B.カリエール　著	丸善出版	4600円
00004345	ライト・イン・ザ・ミドル　成人片麻痺の選択的な体幹活動	P.M.デービス　著	丸善出版	4660円
00004346	ベルゲソン生化学の物理的基礎	ピーター・R.ベルゲソン 著	丸善出版	8000円
00004347	マウスラボマニュアル　第2版　ポストゲノム時代の実験法 / Springer lab manual	東京都臨床医学総合研究所 実験動物研究部門　編	丸善出版	8000円
00004348	エピジェネティクス　/ Springer reviews	佐々木裕之　編	丸善出版	5400円
00004349	メタボローム研究の最前線　/ Springer reviews	冨田勝	丸善出版	5600円
00004350	標準微生物学　第13版　/ Standard Textbook	神谷茂	医学書院	7000円
00004351	君と白血病　新訂版　この1日を貴重な1日に	Lynn S.Baker	医学書院	2800円
00004352	心エコーのABC　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	五島雄一郎	日本医師会	5340円
00004353	ハンドスプリント　作り方・用い方	生田宗博　編	メディカルプレス	5000円
00004354	PT・OT基礎から学ぶ神経内科学ノート　第2版　理学療法士・作業療法士	中島雅美	医歯薬出版	4200円
00004355	日本食品成分表　2018(7訂)	医歯薬出版　編	医歯薬出版	1300円
00004356	犬と猫のサイエンス　/ 別冊日経サイエンス　209	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004357	人類危機　未来への扉を求めて/ 別冊日経サイエンス　214	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004358	AI　人工知能の軌跡と未来/ 別冊日経サイエンス　216	竹内郁雄　編	日経サイエンス	2000円
00004359	大地震と大噴火　日本列島の地下を探る/ 別冊日経サイエンス　217	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004360	脳科学のダイナミズム　睡眠 学習 空間認識 医薬 / 別冊日経サイエンス　218	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004361	よみがえる恐竜　最新研究が明かす姿/ 別冊日経サイエンス　220	真鍋真　編	日経サイエンス	2000円
00004362	微生物の驚異　マイクロバイオームから多剤耐性菌まで / 別冊日経サイエンス　221	中西真人　編	日経サイエンス	2000円
00004363	失語症訓練のためのドリル集　1　語想起(名詞)の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004364	失語症訓練のためのドリル集　2 意味・音韻面から語想起(名詞)の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004365	失語症訓練のためのドリル集　3 動作・状態を表す語(動詞・形容詞・形容動詞)の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004366	失語症訓練のためのドリル集　4　漢字・仮名の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004367	失語症訓練のためのドリル集　5　文構成の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3200円
00004368	失語症訓練のためのドリル集　6　長い文の理解の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	2800円
00004369	失語症訓練のためのドリル集　7　文作成と難しい語句の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3200円
00004370	失語症訓練のためのドリル集　8　難しい内容表現の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	2800円
00004371	失語症訓練のためのドリル集　9 日常コミュニケーションの改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004372	作業の科学　Vol.1	作業療法関連科学研究会 編	協同医書出版社	3500円
00004373	作業の科学　Vol.2	作業療法関連科学研究会 編	協同医書出版社	3500円
00004374	作業の科学　Vol.3	作業療法関連科学研究会 編	協同医書出版社	3500円
00004375	作業の科学　Vol.4	作業療法関連科学研究会 編	協同医書出版社	4000円
00004376	作業の科学　Vol.5	作業療法関連科学研究会 編	協同医書出版社	3800円
00004377	作業の科学　Vol.6	作業療法関連科学研究会 編	協同医書出版社	3800円
00004378	作業の科学　Vol.7	作業療法関連科学研究会 編	協同医書出版社	3800円
00004379	絵でみる江戸の町とくらし図鑑　時代小説のお供に	善養寺ススム　絵・文	廣済堂出版	1400円
00004380	ビジネス統計学　下	アミール・D.アクゼル	ダイヤモンド社	4200円
00004381	図解！ArcGIS 10　Part2　GIS実践に向けてのステップアップ	川崎昭如	古今書院	2600円
00004382	都市の景観地理　韓国編	阿部和俊　編	古今書院	2300円
00004383	大学テキスト自然地理学　下巻	大山正雄	古今書院	2600円
00004384	新・スポーツ医学　新版 / やさしいスチューデントトレーナーシリーズ　4	藤本繁夫	嵯峨野書院	2700円
00004385	新・スポーツ栄養学　/ やさしいスチューデントトレーナーシリーズ　5	井奥加奈　編著	嵯峨野書院	2600円
00004386	嚥下調整食学会分類2013に基づく市販食品300　2018年データ更新	栢下淳	医歯薬出版	3000円
00004387	バラエティクイズ&ぬり絵で脳トレーニング / シニアの脳トレーニング　1	脳トレーニング研究会　編	黎明書房	1600円
00004388	公衆栄養学　第6版	古畑公	光生館	3000円
00004389	運動器リハビリテーションシラバス　改訂第4版 セラピストのための実践マニュアル	岩谷力　[ほか]編集	南江堂	3500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004390	マナーとホスピタリティの英語　1　医療・看護・介護	古閑博美	鷹書房弓プレス	1800円
00004391	絵とDVDでわかるスポーツルールとテクニック　9 ダンス・創作ダンス・フォークダンス・現代的なリズムのダンス	中村和彦　総合監修	学研教育出版	3300円
00004392	オリンピック・パラリンピック大百科　6 パラリンピックと障がい者スポーツ	日本オリンピック・アカデミー　／監修	小峰書店	3000円
00004393	悪について　/ 岩波新書　935	中島義道　著	岩波書店	780円
00004394	河合隼雄のカウンセリング入門　実技指導をとおして	河合隼雄　著	創元社	1500円
00004395	この1冊でわかる世界経済の新常識　2018	大和総研　編著	日経BP社	1500円
00004396	トコトンやさしい水素の本　第2版 / B&Tブックス，今日からモノ知りシリーズ	水素エネルギー協会　編	日刊工業新聞社	1500円
00004397	解剖学　第11版　/ MINOR TEXTBOOK	清木勘治　著	金芳堂	5800円
00004398	本当のところを教えて！放射線のリスク 放射線影響研究者からのメッセージ	日本放射線影響学会Q&A対応グループ　編	医療科学社	1800円
00004399	国際経済学　国際金融編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	岩本武和　著	ミネルヴァ書房	3000円
00004400	経済統計入門　第2版	中村隆英　[ほか]著	東京大学出版会	3000円
00004401	自分を知るいのちの科学　改訂版	伊藤明夫　著	培風館	1800円
00004402	遺伝学概説	J.F.クロー　著	培風館	2700円
00004403	物理学　3訂版	小出昭一郎　著	裳華房	2200円
00004404	量子力学　改訂版　1　/ 基礎物理学選書　5A	小出昭一郎　著	裳華房	2700円
00004405	哲学の道具箱	ジュリアン・バッジーニ	共立出版	2600円
00004406	病気がみえる　第2版　vol.5　血液	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3200円
00004407	病気がみえる　第2版　vol.6　免疫・膠原病・感染症	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3500円
00004408	病気がみえる　第2版　vol.7　脳・神経	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3900円
00004409	病気がみえる　第4版　vol.9　婦人科・乳腺外科	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3300円
00004410	病気がみえる　第4版　vol.10　産科	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3600円
00004411	わかりやすい糖尿病テキスト　第5版	宮崎久義	じほう	1600円
00004412	病院感染対策ガイドライン　2018年版	国公立大学附属病院感染対策協議会　編集	じほう	3800円
00004413	医事課のお仕事　2018-19年版　コミック医療事務入門「入門・解説編」「医療事務試験・入門編」付き！！	山田雅資　作	医学通信社	1400円
00004414	胸郭運動システムの再建法　第2版 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療	柿崎藤泰　編集	ヒューマン・プレス	6000円
00004415	細胞診断学入門　第3版　臨床検査技師・細胞検査士をめざす人のために	長坂徹郎	名古屋大学出版会	6300円
00004416	人体生理学ノート　第8版	岡田隆夫　著	金芳堂	2900円
00004417	むち打ち損傷ハンドブック　第3版 頸椎捻挫，脳脊髄液減少症から慢性疼痛の治療	遠藤健司	丸善出版	4500円
00004418	入門病理学　病気の形態となりたち	町並陸生　著	丸善出版	3700円
00004419	応用栄養学実習　3訂　ケーススタディーで学ぶ栄養マネジメント	五関正江	建帛社	2700円
00004420	感染と生体防御　改訂　/ 管理栄養士講座	酒井徹	建帛社	3400円
00004421	よくわかる社会学　第2版　/ やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	宇都宮京子　編	ミネルヴァ書房	2500円
00004422	演習で学ぶ「流体の力学」入門　第2版	西海孝夫	秀和システム	3600円
00004423	看護系で役立つ生物の基本	西沢いづみ	化学同人	1600円
00004424	エッセンシャル生化学　第3版	Charlotte W.Pratt	東京化学同人	6300円
00004425	カラー生化学	マシューズ	西村書店	8800円
00004426	ルービン カラー基本病理学	エマニュエル・ルービン	西村書店	6600円
00004427	マーティン カラー神経解剖学　テキストとアトラス	ジョン・H・マーティン 著	西村書店	6400円
00004428	最新臨床栄養学　第3版	上原誉志夫	光生館	3400円
00004429	基礎栄養学	細川優	光生館	2500円
00004430	基礎栄養学　改訂	伏木亨	光生館	2400円
00004431	コメディカルのための薬理学　第3版	渡邊泰秀	朝倉書店	3700円
00004432	人体発生学講義ノート　第2版　カラー図解	塩田浩平　著	金芳堂	5900円
00004433	神経伝導検査ポケットマニュアル　第2版	正門由久	医歯薬出版	3000円
00004434	嚥下障害ポケットマニュアル　第4版	聖隷嚥下チーム　執筆	医歯薬出版	2800円
00004435	CT・MRI画像解剖ポケットアトラス　第4版　3　脊椎・四肢・関節	トルステン B.メーラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00004436	教えるということ	大村はま　著	共文社	750円
00004437	創造的論文の書き方	伊丹敬之　著	有斐閣	1700円
00004438	地方公務員法の要点　第10次改訂版　試験・実務に役立つ！	米川謹一郎　編著	学陽書房	2100円
00004439	論理学入門	仲本章夫　著	創風社	1600円
00004440	地理学の古典	手塚章　編	古今書院	4000円
00004441	言志四録　座右版	佐藤一斎　著	講談社	4400円
00004442	公認心理師・臨床心理士大学院対策鉄則10&キーワード100　心理英語編	木澤利英子　著	講談社	2500円
00004443	公認心理師・臨床心理士大学院対策鉄則10&キーワード25　心理統計編	宮川純　著	講談社	2400円
00004444	医療従事者のための医学英語入門	清水雅子　著	講談社	2500円
00004445	労働基準法と就業規則　改訂版 そのまま使える！文書サンプルを豊富に収録	松山正光　著	新星出版社	1850円
00004446	失業保険150%トコトン活用術　[2017]第8版 辞める前に知っておきたい77の知恵！/ DO BOOKS	日向咲嗣　著	同文舘出版	1500円
00004447	スバラシク実力がつくと評判の統計学キャンパス・ゼミ　改訂4　大学の数学がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2300円
00004448	スバラシク実力がつくと評判の演習線形代数キャンパス・ゼミ　改訂5	高杉豊	マセマ出版社	2180円
00004449	スバラシク実力がつくと評判の線形代数キャンパス・ゼミ　改訂6　大学の数学がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2370円
00004450	スバラシク実力がつくと評判の演習微分積分キャンパス・ゼミ　改訂4	馬場敬之	マセマ出版社	2130円
00004451	スバラシク実力がつくと評判の微分積分キャンパス・ゼミ　改訂5　大学の数学がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2380円
00004452	スバラシク実力がつくと評判の力学キャンパス・ゼミ　改訂5　大学の物理がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2530円
00004453	スバラシク実力がつくと評判の熱力学キャンパス・ゼミ　改訂4　大学の物理がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2280円
00004454	図解でわかる社会保険いちばん最初に読む本　改訂4版	山田芳子　編著	アニモ出版	1500円
00004455	すぐわかる！教育法規　第2次改訂版	窪田眞二　編	学陽書房	2500円
00004456	もういちど読む山川政治経済　新版	山崎広明　編	山川出版社	1500円
00004457	論理的思考の技法　第2版　1　「ならば」をめぐって	鈴木美佐子　著	法学書院	1500円

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004458	民法がわかった　改訂第4版	田中嗣久	法学書院	2500円
00004459	Q&Aでわかる！管理職のための労基署対策マニュアル	安中繁　監修	宝島社	780円
00004460	ちょっと気になる社会保障　知識補給増補版	権丈善一　著	勁草書房	1800円
00004461	ちょっと気になる医療と介護　増補版	権丈善一　著	勁草書房	2500円
00004462	予防接種の現場で困らないまるわかりワクチンQ&A　2版	中野貴司　編著	日本医事新報社	4800円
00004463	観光と情報システム　改訂版	中谷秀樹　編著	流通経済大学出版会	1800円
00004464	日本の沖積層　改訂版　未来と過去を結ぶ最新の地層	遠藤邦彦　著	冨山房インターナショナル	5500円
00004465	論理学	井上昌計　著	成文堂	2200円
00004466	統計学	山根太郎　著	東洋経済新報社	3000円
00004467	ウエスト呼吸生理学入門　第2版　疾患肺編	ジョン B ウエスト	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4200円
00004468	ペコリーノがんの分子生物学　第3版　メカニズム・分子標的・治療	ローレン ペコリーノ　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00004469	現代リハビリテーション医学　改訂第4版	椿原彰夫	金原出版	6200円
00004470	MR・超音波・眼底基礎知識図解ノート　第2版 図，表，画像が満載！要点がわかる！	磯辺智範　編集	金原出版	6800円
00004471	あたらしい皮膚科学　第3版	清水宏　著	中山書店	7800円
00004472	「イラスト」めまいの検査　改訂第3版	日本めまい平衡医学会編集	診断と治療社	4800円
00004473	QGISの基本と防災活用　2訂版	橋本雄一　編	古今書院	3000円
00004474	在宅医療バイブル　第2版 家庭医療学，老年医学，緩和医療学の3領域からアプローチする	川越正平　編著	日本医事新報社	7000円
00004475	食物アレルギーの栄養指導　新版	今井孝成	医歯薬出版	3000円
00004476	立ち上がりと歩行の分析　/ 新ボディダイナミクス入門	江原義弘	医歯薬出版	7000円
00004477	片麻痺者の歩行と短下肢装具　/ 新ボディダイナミクス入門	山本澄子	医歯薬出版	6000円
00004478	「作業」って何だろう　第2版　作業科学入門	吉川ひろみ　著	医歯薬出版	2800円
00004479	PT・OT基礎から学ぶ病理学ノート　第2版　理学療法士・作業療法士	中島雅美	医歯薬出版	3200円
00004480	臨床の口腔生理学に基づく摂食嚥下障害のキュアとケア　第2版	舘村卓　著	医歯薬出版	5300円
00004481	末梢神経の臨床　診断・治療・リハビリテーション	山野慶樹　著	医歯薬出版	4800円
00004482	臨床歩行分析ワークブック　改訂第2版	廣瀬浩昭　編集	メジカルビュー社	4000円
00004483	シンプル衛生公衆衛生学　2018	小山洋	南江堂	2400円
00004484	シンプル微生物学　改訂第6版	小熊惠二	南江堂	3200円
00004485	シンプル免疫学　改訂第5版	中島泉	南江堂	2900円
00004486	コンパクト生化学　改訂第4版	大久保岩男	南江堂	2200円
00004487	コンパクト栄養学　改訂第4版	久保田俊一郎	南江堂	2200円
00004488	理学療法評価学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	星文彦	南江堂	5500円
00004489	内部障害理学療法学テキスト　改訂第3版/ シンプル理学療法学シリーズ	山崎裕司	南江堂	5000円
00004490	理学療法概論テキスト　改訂第3版　/ シンプル理学療法学シリーズ	中島喜代彦	南江堂	4000円
00004491	小児理学療法学テキスト　改訂第3版　/ シンプル理学療法学シリーズ	田原弘幸	南江堂	4500円
00004492	やさしい生理学　改訂第7版	彼末一之	南江堂	2600円
00004493	標準理学療法学・作業療法学　第4版 整形外科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	3600円
00004494	神経症状の診かた・考えかた　第2版　General Neurologyのすすめ	福武敏夫　著	医学書院	5200円
00004495	医療福祉総合ガイドブック　2018年度版	日本医療ソーシャルワーク研究会　編集	医学書院	3300円
00004496	理学療法テキスト 内部障害理学療法学循環・代謝　第2版 / 15レクチャーシリーズ	木村雅彦　責任編集	中山書店	2600円
00004497	PT・OTのための臨床技能とOSCE　コミュニケーションと介助・検査測定編	金田嘉清　[ほか]編集	金原出版	5500円
00004498	ライブ！現代社会　2018　世の中の動きに強くなる	帝国書院編集部　編	帝国書院	870円
00004499	学生のための解剖・組織・発生学　第2版	諏訪文彦	医歯薬出版	5500円
00004500	てんかん学ハンドブック　第4版	兼本浩祐　著	医学書院	4000円
00004501	わかりやすい臨床中医実践弁証トレーニング　第2版	王財源　著	医歯薬出版	5000円
00004502	理由と人格　非人格性の倫理へ	デレク・パーフィット　著	勁草書房	10000円
00004503	カラールービン病理学　改訂版　臨床医学への基盤	ラファエル・ルービン	西村書店	12500円
00004504	解明病理学　第3版　病気のメカニズムを解く	青笹克之　総編集	医歯薬出版	16000円
00004505	プロメテウス解剖学アトラス　第2版　口腔・頭頸部	Eric W.Baker　[編]	医学書院	16000円
00004506	労働安全衛生規則実務便覧　平成30年6月1日現　安全衛生担当者必携	労働調査会出版局　編	労働調査会	1760円
00004507	解説教育六法　2018	解説教育六法編修委員会編	三省堂	2600円
00004508	学習六法　第9版　憲法・民法・刑法	日本評論社編集部　編	日本評論社	1000円
00004509	教育小六法　平成30年版	市川須美子 [ほか]編集委員	学陽書房	2700円
00004510	教育法規便覧　平成30年版　学校の法律がこれ1冊でわかる	窪田眞二	学陽書房	3800円
00004511	社会福祉小六法　平成30年版	ミネルヴァ書房編集部　編	ミネルヴァ書房	1600円
00004512	観光ビジネス未来白書　2018年版 統計に見る実態・分析から見える未来戦略	加藤弘治　編著	同友館	2500円
00004513	標準世界史地図　増補第48版	亀井高孝	吉川弘文館	750円
00004514	データブックオブ・ザ・ワールド　2018(Vol.3　世界各国要覧と最新統計		二宮書店	680円
00004515	たまごからヒトへ　生命の始まりをやさしく科学的に描いた/ DVD BOOK	武田純一郎　監督	アイカム	3800円
00004516	DVD版関節運動学的アプローチ(AKA)－博田法　第2版 DISC1 副運動技術編. DISC2 構成運動技術編	博田節夫　編	医歯薬出版	57000円
00004517	動画でマスター！機能解剖学的触診技術上肢+下肢・体幹セット	林典雄　監修	メジカルビュー社	5000円
00004518	脳を鍛える ： 東大講義「人間の現在」	立花隆	新潮社	¥667
00004519	University text book　哲学	東京都私立短期大学協会	酒井書店・育英堂	¥1,456
00004520	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004521	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004522	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004523	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004524	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004525	心理学　　こころを科学する	笹野完二	ナカニシ出版	¥2,200
00004526	心理学入門	多屋頼典／著	岡山大学出版会	¥952
00004527	心理学入門	桂広介	金子書房	頒価不明
00004528	心理学入門	多屋頼典	岡山大学出版会	¥952
00004529	人間行動の心理	木村忠雄/他編	福村出版	頒価不明
00004530	岩波心理学小辞典	宮城音弥	岩波書店	¥1,650
00004531	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200
00004532	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004533	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200
00004534	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200
00004535	HTP診断法	J.N.バック	新曜社	頒価不明
00004536	新訂増補　心理テスト入門	伊藤隆二・松原達哉／共著	日本文化科学社	頒価不明
00004537	臨床描画研究Ⅲ	家族画研究会	金原出版	¥3,200
00004538	臨床描画研究Ⅳ	家族画研究会	金原出版	¥3,200
00004539	心理学のための統計学，6 パーソナリティ心理学のための統計学 ： 構造方程式モデリング	尾崎幸謙,荘島宏二郎	誠信書房	¥2,600
00004540	心理検査法	塩見邦雄/他編	ナカニシヤ出版	頒価不明
00004541	パーソナリティの心理学	J.B.ロッター, D.J.ホックレイク	新曜社	頒価不明
00004542	医療スタッフのための心の生物学入門	廣中直行／著	協同医書出版社	¥2,500
00004543	視覚の心理学	鳥居修晃／著	サイエンス社	頒価不明
00004544	記憶の神経心理学 ： 記憶と健忘のメカニズムを探る	A.J.パーキン	朝倉書店	¥3,500
00004545	思考の整理学	外山 滋比古／著	筑摩書房	¥520
00004546	認知の発達心理学	古浦一郎	誠信書房	頒価不明
00004547	ライブラリ人間と行動，4　行動の形成と発達	斎藤幸一郎	サイエンス社	頒価不明
00004548	意思と性格の心理学	戸川行男／著	金子書房	頒価不明
00004549	主要5因子性格検査ハンドブック　改訂版	村上宣寛・村上千恵子／著	学芸図書	¥3,600
00004550	人間のこころを探る	小口忠彦	産能大学出版部	頒価不明
00004551	健康な人格 ： 人間の可能性と七つのモデル	D.シュルツ	川島書店	頒価不明
00004552	性格心理学ハンドブック	長島貞夫	金子書房	¥3,600
00004553	血液型と性格	大村政男／著	福村出版	頒価不明
00004554	人を見ぬく知恵	島影盟／著	白揚社	頒価不明
00004555	小児ケアのための発達臨床心理	岡堂哲夫／著	へるす出版	¥3,200
00004556	人生移行の発達心理学	山本多喜司,S・ワップナー	北大路書房	頒価不明
00004557	発達臨床心理学	相田貞夫/他編	朝倉書店	¥2,700
00004558	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004559	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004560	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004561	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004562	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004563	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004564	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004565	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004566	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004567	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004568	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004569	精神分析セミナーⅠ　精神療法の基礎	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004570	不安の問題　フロイド選集，第10巻	フロイド	日本教文社	頒価不明
00004571	フロイド選集改訂版1　精神分析入門上	井村恒郎／訳	日本教文社	¥650
00004572	フロイド選集改訂版10　不安の問題	加藤正明／訳	日本教文社	¥600
00004573	フロイド選集改訂版11　夢判断上	高橋義孝／訳	日本教文社	¥650
00004574	フロイド選集改訂版12　夢判断下	高橋義孝／訳	日本教文社	¥700
00004575	フロイド選集改訂版13　生活心理の錯誤	浜川祥枝／訳	日本教文社	¥700
00004576	フロイド選集改訂版14　愛情の心理学	高橋義孝／訳	日本教文社	¥600
00004577	フロイド選集改訂版15　精神分析療法	小此木啓吾／訳	日本教文社	¥700
00004578	フロイド選集改訂版16　勝利の研究	小此木啓吾／訳	日本教文社	¥700
00004579	フロイド選集改訂版17　自らを語る	懸田克躬／訳	日本教文社	¥650
00004580	フロイド選集改訂版2　精神分析入門下	井村恒郎／訳	日本教文社	¥650
00004581	フロイド選集改訂版3　続精神分析入門	古沢平作／訳	日本教文社	¥600
00004582	フロイド選集改訂版4　自我論	井村恒郎／訳	日本教文社	¥650
00004583	フロイド選集改訂版5　性欲論	懸田克躬／訳	日本教文社	¥600
00004584	フロイド選集改訂版6　文化論	吉田正己／訳	日本教文社	¥700
00004585	フロイド選集改訂版7　芸術論	高橋義孝／訳	日本教文社	¥700
00004586	フロイド選集改訂版8　宗教論	土井正徳／訳	日本教文社	¥650
00004587	フロイド選集改訂版9　ヒステリー研究	懸田克躬／訳	日本教文社	¥700
00004588	自分のこころからよむ臨床心理学入門	丹野義彦,坂本真士	東京大学出版会	¥2,400
00004589	精神分析セミナーⅡ　精神分析の分析治療機序	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004590	精神分析セミナーⅢ　フロイトの治療技術	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004591	精神分析セミナーⅣ　フロイトの精神病理学理論	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004592	精神分析セミナーⅤ　発達とライフサイクルの観点	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004593	癒され上手になりましょう	本城稔	サンマーク出版	頒価不明
00004594	カウンセリングのすすめ方　あなたもカウンセラー	中西信男	有斐閣	頒価不明
00004595	カウンセリングの技術	ロロ・メイ	岩崎学術出版社	頒価不明
00004596	サイコドラマのすすめ方	金剛出版	増野肇	¥2,330
00004597	子供の心理療法 ： サイコセラピーの理論と実際	森脇要/他編	慶應通信	頒価不明
00004598	思春期危機と家族 ： 登校拒否・家庭内暴力のチーム治療	石川義博,青木四郎著	岩崎学術出版	頒価不明
00004599	集団心理療法	水島恵一,岡堂哲雄	金子書房	頒価不明
00004600	倫理学入門　現代に生きる人間の哲学	将積茂／ほか著	朝倉書店	¥2,400
00004601	応用倫理学のすすめ	加藤尚武／著	丸善	¥602
00004602	松村春繁　断酒会初代会長	小林哲夫	特定非営利活動法人ＡＳＫ	¥2,000
00004603	松村春繁 ： 断酒会初代会長	小林哲夫／著	アルコール問題全国市民協会	¥2,000
00004604	「企業と人権」ハンドブック	東京人権啓発企業連絡会	明石書店	¥2,524
00004605	わたしと人権	人権文化を育てる会	ぎょうせい	¥3,000
00004606	路地裏の人権 ： 暮らしの中に人間らしさを求めて	田中正人	明石書店	¥1,631
00004607	法学の基本原理	赤坂昭二／著	成文堂	¥2,800
00004608	エコノミックス入門	ウィリアムJ.バウモル／著	HBJ出版局	頒価不明
00004609	経済学入門	鎌倉孝夫	労働教育センター	頒価不明
00004610	日本の経済社会を考える	岡本憲也,佐藤誠	文眞堂	頒価不明
00004611	近代経済学入門	美濃口武雄／著	中央経済社	頒価不明
00004612	経済学　下	P.サムエルソン,W.ノードハウス著;都留重人訳	岩波書店	¥4,369

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004613	現代社会科学叢書:新装版　　ケインズ経済学入門	A.H.ハンセン	東京創元社	頒価不明
00004614	改訂版　どうみる世界と日本の経済	佐々木憲昭／著	新日本出版社	頒価不明
00004615	データ・ブック日本の経済構造	経済企画庁総合計画局	東洋経済新報	頒価不明
00004616	これからの世界経済	竹内宏	日本実業出版	頒価不明
00004617	文部科学省後援 ビジネス能力検定1級テキスト 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥2,500
00004618	文部科学省後援 ビジネス能力検定2級試験問題集 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,500
00004619	文部科学省後援 ビジネス能力検定2級テキスト 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,943
00004620	文部科学省後援 ビジネス能力検定3級試験問題集 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,300
00004621	文部科学省後援 ビジネス能力検定3級テキスト 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,943
00004622	ビジネスマナーBOOK	住友信託銀行・住信ビジネス・インスティテュート	社団法人金融財政事情研究会	¥1,748
00004623	よくわかる自信がつくビジネスマナー 改訂2版	富士通エフ・オー・エム株式会社／著作・制作	FOM出版	¥1,700
00004624	法と経済学	N.マーキュロ／ほか著	成文堂	¥2,500
00004625	現代のインフレーション 病理と治療法	小松憲治／著	早稲田大学出版	頒価不明
00004626	統計学が最強の学問である[実践編]	西内啓／著	ダイヤモンド社	¥1,900
00004627	ソーシャル・キャピタル ： 社会構造と行為の理論	ナン・リン	ミネルヴァ書房	¥3,600
00004628	人間関係の心理学	齊藤勇	誠信書房	頒価不明
00004629	文化の諸相	新田義之	大学教育出版	¥1,800
00004630	文化の諸相ー比較文化を学ぶためにー	新田義之	大学教育出版	¥1,800
00004631	個と集団の社会心理学	狩野素朗	ナカニシヤ出版	頒価不明
00004632	文化の諸相 ： 比較文化を学ぶために	新田義之	大学教育出版	¥1,800
00004633	都市と人間	柴田徳衛	東京大学出版会	頒価不明
00004634	Ｑ＆Ａ市民と企業のえせ同和行為対策	警察庁暴力問題研究会	民事法情報センター	¥1,942
00004635	訪問診療・訪問看護のための在宅診療報酬Q&A	医学通信社編集部	医学通信社	¥2,400
00004636	保険請求のための検査・疾病早見表 2009年4月版		サンライズ社	¥4,571
00004637	レセプト作成テキストブック ： 医科 点数表の基本と レセプト記載の原則　平成28年4月版	社会保険研究所	社会保険研究所	¥3,400
00004638	診療報酬・完全攻略マニュアル ： ビジュアル速解　2004	青山美智子	医学通信社	¥2,800
00004639	入門・診療報酬の請求 ： 点数算定・レセプト請求を100%理解するために	杉本恵申,佐藤麻菜	医学通信社	¥2,800
00004640	保険診療基本法令テキストブック ： 医療保険制度の概要と関係法令 平成28年4月版	社会保険研究所	社会保険研究所	¥2,100
00004641	よくわかる労災・自賠責請求マニュアル　2008-09年版 窓口対応・制度・請求方法の全知識	武田匡弘／著	医学通信社	¥2,600
00004642	障害者雇用ガイドブック	日本障害者雇用促進協会	社団法人 雇用問題研究会	¥1,699
00004643	障害者雇用ガイドブック	日本障害者雇用促進協会	社団法人 雇用問題研究会	¥1,699
00004644	知っていますか?ジェンダーと人権一問一答	舟橋邦子	解放出版	¥1,000
00004645	「男だてら」に「女泣き」	奥山和弘／著	文芸社	¥1,300
00004646	性というつくりごと	伊奈正人	勁草書房	頒価不明
00004647	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004648	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004649	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004650	改訂介護概論・基本介護技術	千葉典子	共栄出版	¥2,000
00004651	改訂新・セミナー介護福祉1 社会福祉概論	仲村優一・秋山智久	ミネルヴァ書房	¥2,600
00004652	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004653	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004654	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004655	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004656	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004657	新・セミナー介護福祉9　一般医学	上田敏	ミネルヴァ書房	¥2,600
00004658	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー9 保健医療サービス論 精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　／編	へるす出版	¥2,100
00004659	セミナー介護福祉⑩　一般医学	上田敏	ミネルヴァ書房	¥2,500
00004660	社会福祉施設実践講座，6　施設とリハビリテーション	石井哲夫,小島蓉子	東京書籍	¥2,000
00004661	新版 福祉事務管理シリーズ1　社会福祉論１	岡本栄一,守本友美	建帛社	¥2,200
00004662	新版 福祉事務管理シリーズ2　社会福祉論２	岡本栄一,守本友美	建帛社	¥2,200
00004663	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー1 医学一般	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,200
00004664	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー3 社会学	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,200
00004665	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー4 社会福祉原論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,500
00004666	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー6 福祉行財政論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,100
00004667	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー8 公的扶助論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,100
00004668	第2版 よくわかる専門基礎講座　社会福祉	児島美都子,内山治夫	金原出版	¥2,200
00004669	福祉事務管理技能検定テキスト1　社会保障・社会福祉論	大嶋泰子,川口博	建帛社	¥2,000
00004670	ケアマネジメント　TAKEUCHI実践ケア学	竹内孝仁／緒	医歯薬出版	¥1,800
00004671	ケアマネジメント　TAKEUCHI実践ケア学	竹内孝仁／緒	医歯薬出版	¥1,800
00004672	ケアマネジメント　TAKEUCHI実践ケア学	竹内孝仁／緒	医歯薬出版	¥1,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004673	ソーシャルワーク実践への道	小関康之・塚口伍喜夫	角川書店	¥2,000
00004674	地域リハビリテーション白書93	澤村誠志	三輪書店	¥6,796
00004675	福祉用具プランナーテキスト	財団法人テクノエイド協会	財団法人テクノエイド協会	¥8,000
00004676	福祉住環境コーディネーター2級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,600
00004677	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004678	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004679	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004680	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004681	福祉住環境コーディネーター　二訂版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,000
00004682	福祉住環境コーディネーター　二訂版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,000
00004683	福祉住環境コーディネーター　二訂版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,000
00004684	福祉住環境コーディネーター　改訂4版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,500
00004685	福祉住環境コーディネーター　改訂4版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,500
00004686	福祉住環境コーディネーター　改訂4版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,500
00004687	医療福祉シリーズ　身体障碍・難病百問百答	児島美都子	中央法規出版	頒価不明
00004688	経済を学ぶ・経済を教える	岩田年浩	ミネルヴァ書房	頒価不明
00004689	これからの老人保健施設 　モデル施設からの報告と提言	モデル老人保健施設連絡協議会	メヂカルフレンド社	¥3,000
00004690	社会福祉選書⑦障害者福祉論第二版	手塚直樹	光生館	頒価不明
00004691	シリーズ生活リハビリ講座，2　生活障害論	三好春樹	雲母書房	¥2,500
00004692	生活環境論　第2版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004693	生活環境論　第2版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004694	生活環境論　第3版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004695	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004696	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004697	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004698	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004699	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004700	生活環境論　第5版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004701	バリア・フリーの生活環境論　第２版	野村みどり	医歯薬出版	¥6,600
00004702	フロイトの読み方	外林大作／著	誠信書房	頒価不明
00004703	ホイストを活かす吊具の選び方・使い方	市川洌	三輪書店	¥1,942
00004704	ホイストを活かす吊具の選び方・使い方	市川洌	三輪書店	¥1,942
00004705	老化のプロセスと精神障害	戸川行男	垣内出版	頒価不明
00004706	障害者の教育と福祉入門 ： イラストとミニマム・エッセンシャルズでつづる ： 共に生きる社会をめざして	津曲裕次	川島書店	頒価不明
00004707	精神薄弱問題白書　1991・92年版	日本精神薄弱者福祉連盟	日本文化科学社	¥3,500
00004708	老化のプロセスと精神障害 老年心理学をめざして	戸川行男/他編	垣内出版	頒価不明
00004709	ケアマネジメント	竹内孝仁／著	医歯薬出版	¥1,800
00004710	福祉機器用品最新情報	時事通信社	時事通信社	¥6,311
00004711	生活環境論 ： 生活支援の視点と方法　第6版	安梅勅江/他編	医歯薬出版	¥6,800
00004712	すぐに役立つ公費負担医療の実際知識 ： 実例・図解による請求事務マニュアル　2005年版	安藤秀雄	医学通信社	¥3,200
00004713	保健・医療ソーシャルワーク ： 総合的対人サービス実践の手びき	斎藤安弘・阪上裕子	川島書店	頒価不明
00004714	A・S・ニイル　人間育成の基礎	霜田静志／訳者	誠信書房	頒価不明
00004715	学習心理学	梶田正巳	福村出版	頒価不明
00004716	新・児童心理学講座第１５巻　子どもの発達障害と教育	野村庄語	金子書房	頒価不明
00004717	発達と学習の心理	岩井勇児	福村出版	頒価不明
00004718	子どもから大人へ　心身発達の移行期の諸問題	佐藤正	学芸図書	頒価不明
00004719	自我と防衛機制　　アンナ・フロイト著作集２	黒丸正四郎／訳	岩崎学術出版	頒価不明
00004720	WAIS-R成人知能検査法　日本版	品川不二郎・小林重雄	日本文化科学社	頒価不明
00004721	日本版 WISC-III知能検査法　　実施・採点編	DavidWechsler	日本文化科学社	頒価不明
00004722	日本版 WISC-III知能検査法　　尺度換算表	DavidWechsler	日本文化科学社	頒価不明
00004723	日本版 WISC-III知能検査法　　理論編	DavidWechsler	日本文化科学社	頒価不明
00004724	教育・心理系研究のためのデータ分析入門 ： 理論と実践から学ぶSPSS活用法	平井明代	東京図書	¥2,800
00004725	地域社会と教育ー教育委員会の社会的構成ー	中谷彪／著	明治図書出版	頒価不明
00004726	パソコンによる学校保健のデータ処理	横尾能範／著	南江堂	¥3,500
00004727	救急保健管理と保健指導 ： 学校における	阿部滋子,石原昌江	東山書房	¥680
00004728	コピーしてすぐに使える　2 　ソーシャルスキルが身につくレクチャー&ワークシート	西村宣幸	学事出版	¥1,800
00004729	コピーしてすぐに使える　コミュニケーションスキルが身に付くレクチャー＆ワークシート	西村宣幸	学事出版	¥1,800
00004730	ノーマライゼーションをめざして　いっしょにあるこう 障害者プラン	上條章雄	厚有出版	¥1,600
00004731	体育教育概論	井上一男/他編	杏林書院	¥2,000
00004732	粘土細工から彫塑教育へ	上野省策／著	明治図書	頒価不明
00004733	書写　指導理論と実践	片岸年雄／著	教育出版	¥3,200
00004734	はんがの本 技法と実践	伊東彌四夫	サクラクレパス出版	¥2,800
00004735	描画のための色彩指導　ー実技指導編ー	多田信作	黎明書房	頒価不明
00004736	大学教員のためのルーブリック評価入門	ダネル・スティーブンス アントニア・レビ／著	玉川大学出版部	¥2,800
00004737	PEP教育診断検査　1	E.ショプラー，茨木俊夫	川島書店	頒価不明
00004738	PEP教育診断検査　2	E.ショプラー，茨木俊夫	川島書店	頒価不明
00004739	機能訓練の教具と方法ー日常生活動作・作業動作ー	小杉長平	学研	頒価不明
00004740	障害児教育小辞典	佐藤泰正	協同出版	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004741	障害をもつ子の手づくりおもちゃ	中林稔堯	同朋舎出版	¥2,300
00004742	聴覚障害児の言語とコミュニケーション	岩城謙／著	教育出版	頒価不明
00004743	男の子は母親次第	宗内数雄/著	毎日新聞社	頒価不明
00004744	新紀元社の子育てシリーズ　「心の基地」はおかあさん ： やる気と思いやりを育てる親子実例集	平井信義	新紀元社	¥1,200
00004745	イラスト　現代マナーの常識・非常識　特装版	三省堂企画編集部	三省堂	頒価不明
00004746	新版　科学論文のまとめ方と書き方	冨田軍二／著	朝倉書店	¥3,200
00004747	新版　科学論文のまとめ方と書き方	冨田軍二／著	朝倉書店	¥3,200
00004748	１億人のための統計解析	西内啓／著	日経BP社	¥1,800
00004749	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004750	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004751	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004752	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004753	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004754	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004755	人間科学のための統計分析 こころに関心があるすべての人のために	石井秀宗	医歯薬出版	¥3,200
00004756	プレイマイコンシリーズ②統計解析　改訂版	古林隆	培風館	頒価不明
00004757	まなびの図鑑　統計学の図鑑	涌井良幸	技術評論社	¥2,480
00004758	理論応用　数学演習全書9　確率・統計の演習	野中敏雄・笹井敏夫／共著	森北出版	¥750
00004759	推計学の手ほどき	佐藤信／著	南江堂	¥600
00004760	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004761	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004762	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004763	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004764	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004765	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004766	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004767	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004768	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004769	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004770	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004771	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004772	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004773	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004774	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004775	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004776	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004777	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004778	教養課程 物理学Ⅰ	竹田宏	朝倉書店	¥2,300
00004779	教養課程物理学Ⅱ	竹田宏	朝倉書店	¥2,300
00004780	力と運動	ポール・G.ヒューエット著	共立出版	頒価不明
00004781	電気と光	ポール・G.ヒューエット著	共立出版	頒価不明
00004782	物質と原子	ポール・G.ヒューエット著	共立出版	頒価不明
00004783	医療系のための物理　第2版	佐藤幸一,藤城敏幸	東京教学社	¥2,000
00004784	基礎の物理　力学	川口光年／著	朝倉書店	¥2,900
00004785	光と電波	好村滋洋／著	培風館	頒価不明
00004786	基礎の物理　熱学	市村浩／著	朝倉書店	¥2,900
00004787	熱エネルギーのおはなし	高田誠二／著	日本規格協会	¥1,200
00004788	図解雑学　化学のしくみ	小川邦康・大矢浩史／監修	ナツメ社	¥1,200
00004789	生活の化学	門多和広／他著	建帛社	¥1,699
00004790	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004791	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004792	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004793	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004794	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004795	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004796	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004797	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004798	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004799	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004800	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004801	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004802	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004803	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004804	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004805	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004806	学生・社会人のための対話式生命科学の基礎知識	濱越唯利		¥1,000
00004807	教養のための　図説生物学	井上清恒・富樫裕／著	実教出版	頒価不明
00004808	教養のための　図説生物学	井上清恒	実教出版	頒価不明
00004809	系統看護学講座　基礎3　教師用　　生物学	桑沢清明／ほか著	医学書院	非売品
00004810	図説　現代生物学　改訂五版	新津恒良／ほか著	丸善	¥3,200
00004811	生物科学入門　改訂改題	石川統／著	裳華房	¥2,000
00004812	生物科学入門　改訂改題	石川統／著	裳華房	¥2,000
00004813	生物科学入門　改訂改題	石川統／著	裳華房	¥2,000
00004814	生物学一般　生物とは何か	古澤潔夫	芦書房	頒価不明
00004815	生命科学　ミクロコスモスの世界	野間口隆/他編	丸善	¥1,900
00004816	生命の意味ー進化生態から見た教養の生物学ー	桑村哲生	裳華房	¥2,000
00004817	人間の生物学　改訂版	菊池俊英／著	理工学社	頒価不明
00004818	人の生命科学	渡辺強三・佐々木史江・堀口毅／著	医歯薬出版	¥2,300
00004819	身近な生命科学を知る	土屋隆英／著	丸善	¥1,300
00004820	動的平衡 生命はなぜそこに宿るのか	福岡伸一	木楽舎	¥1,524
00004821	生物物理化学	中垣正幸/他編	南江堂	¥4,800
00004822	人類遺伝学入門	大倉興司／著	医学書院	¥2,200
00004823	人類遺伝学入門	大倉興司／著	医学書院	¥2,200
00004824	ヒトを中心とした遺伝学概論	太田次郎/他編	朝倉書店	¥467
00004825	人間の遺伝　改訂版	田島弥太郎・松永英／著	日本放送出版協会	¥757
00004826	人間を考える ： 人間科学からのアプローチ	本間三郎/他編	朝倉書店	¥2,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004827	基礎生物学シーリーズ　9　神経と筋肉	山下智・宗岡洋二郎・日高徹／共著	共立出版	頒価不明
00004828	医療倫理学　医師の倫理的責任	宗像恒次／監訳	医歯薬出版	頒価不明
00004829	医学と人間	山村雄一	クリニックマガジン	¥7,000
00004830	医学と私	黒川利雄／ほか著	メディカルトリビューン	¥2,900
00004831	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004832	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004833	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004834	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004835	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004836	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004837	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004838	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004839	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004840	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004841	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004842	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004843	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004844	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004845	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004846	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004847	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004848	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004849	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004850	手のかたち手のうごき	鎌倉矩子	医歯薬出版	¥5,000
00004851	「脳」整理法	茂木健一郎	筑摩書房	¥700
00004852	新　脳のレセプター	小川紀雄／著	世界保健通信社	¥7,000
00004853	身体と心のしくみ	本間三郎・井口潔	朝倉書店	¥2,200
00004854	単純な脳、複雑な「私」	池谷裕二／著	朝日出版社	¥1,700
00004855	手と脳	久保田競／著	紀伊国屋書店	頒価不明
00004856	脳と発達	津本忠治／著	朝倉書店	¥3,800
00004857	ひらめき脳	茂木健一郎	新潮社	¥680
00004858	脳と意識の地形図 ： ビジュアル版	リタ・カーター	原書房	¥2,400
00004859	脳の認知と進化	理化学研究所脳科学総合研究センター	講談社	¥1,140
00004860	バイオテクノロジーと医療	高久史麿	東京大学出版会	頒価不明
00004861	臨床に役立つ微生物の知識	横田健／著	ライフ・サイエンス	¥1,801
00004862	救急法講習教本	日本赤十字社	日赤会館	頒価不明
00004863	救急法講習教本	日本赤十字社	日赤会館	頒価不明
00004864	図説救急処置　新版	建帛社	建帛社	頒価不明
00004865	クライオ・セラピー　理論,テクニック,生理学	Kenneth L. Knight／著	メディカル葵出版	¥4,600
00004866	治療の目でみるレクリエーション	清水和代	神陵文庫	¥2,000
00004867	心臓病の食事療法	芦沢千代／他著	医歯薬出版	¥400
00004868	病気と食事療法	日本薬剤師会	薬事日報社	¥4,200
00004869	医療用具の一般的名称と分類	厚生省薬務局／監修	薬事日報社	¥400
00004870	高分子機能材料シリーズ9　医療機能材料	高分子学会	共立出版	頒価不明
00004871	1984～1988　生活行動援助の文献集　Ⅱ	小玉香津子/他編	日本看護協会出版会	¥2,233
00004872	創元新書, 45　人間回復の医学 ： セルフ・コントロール医学の展開	池見酉次郎	創元社	頒価不明
00004873	エイズ　いま、何を、どう伝えるか	岩室紳也	大修館書店	¥1,200
00004874	エイズ　いま、何を、どう伝えるか	岩室紳也	大修館書店	¥1,200
00004875	糖尿病の食事療法　処方箋から献立まで	神戸照雄／著	医学書院	¥2,400
00004876	成人病シリーズ, 2　慢性疾患のFollow Up	長尾透	医学図書出版	¥3,800
00004877	成人病シリーズ, 7　膠原病 ： 初診から治療管理まで	奥田正治	医学図書出版	¥6,300
00004878	老人診療マニュアル	大友英一	医学書院	¥4,800
00004879	老人診療マニュアル	大友英一	医学書院	¥4,800
00004880	ストレスの科学と健康	河野友信	朝倉書店	¥5,800
00004881	うつ病とは何か 集学的パースペクティヴ	竹内龍雄	中央洋書出版部	¥3,000
00004882	家系図と家族療法	日本家族研究・家族療法学会	金剛出版	頒価不明
00004883	心身医学のための心理テスト	河野友信・末松弘行/他編	朝倉書店	¥4,300
00004884	精神療法家への道ーその出発ー	阪本良男	金原出版	¥2,800
00004885	てんかんの治療と生活指導	大原貢	金剛出版	¥3,800
00004886	やさしい精神医学　第３版	西丸四方	南山堂	¥2,330
00004887	音楽療法の手引 ： 音楽療法家のための	松井紀和	牧野出版	¥2,524
00004888	精神科作業療法の手引 ： 診断から治療まで	松井紀和	牧野出版	¥2,427
00004889	精神神経科必携	保崎秀夫,牧田清志	鳳鳴堂書店	頒価不明
00004890	精神療法と精神分析	土居健郎	金子書房	頒価不明
00004891	脳から心へ ： 神経心理学へのいざない	杉下守弘	サイエンス社	頒価不明
00004892	ボケても心は生きている	佐々木健／著	創元社	¥1,165
00004893	痴呆老人の理解とケア	室伏君士	金剛出版	¥3,800
00004894	スキーマ療法	ジェフリー・E・ヤング／ほか著	金剛出版	¥6,600
00004895	赤ちゃんの発達　その生涯の最初の365日	テオドール・ヘルブルッケ／共著	同朋舎	頒価不明
00004896	子どものうつ病	ドナルド・マックニュー,リーアン・サイトリン,ハーバート・ヤーレス著	晶文社	頒価不明
00004897	幼児の心理療法	高橋雅春	新曜社	頒価不明
00004898	自閉症の総合療法 ： この未知なる病についての新しい病因論と新しい治療法	飯野節夫	鳳鳴堂書店	頒価不明
00004899	自閉症児と家族	E.ショプラー,G.B.メジボブ	黎明書房	¥7,800
00004900	障害児の小児神経学的,発達診断・治療的問題　第3巻	TheodorHellbrügge	医学書院	¥4,200
00004901	ブラゼルトン新生児行動評価　第2版	T.BerryBrazelton	医歯薬出版	頒価不明
00004902	ブラゼルトン新生児行動評価　第2版	T.BerryBrazelton	医歯薬出版	頒価不明
00004903	がんのセルフ・コントロール ： サイモントン療法の理論と実際	カール・サイモントン/他編	創元社	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004904	ギプス法マニュアル	桜井修・田中寿一／共著	南江堂	¥2,200
00004905	キャスト法マニュアル	桜井修・田中寿一・山田博／共著	南江堂	¥2,800
00004906	第３　人間の手足の制御	Rajko Tomovic	学献社	頒価不明
00004907	第４　人間の手足の制御	Rajko Tomovic	学献社	頒価不明
00004908	リハビリテーション・ルネサンス ：心と脳と身体の回復：認知運動療法の挑戦	宮本省三	春秋社	頒価不明
00004909	新しいリハビリテーション　人間「復権」への挑戦	大川弥生／著	講談社	¥700
00004910	車いす	大川嗣雄	医学書院	¥3,700
00004911	2008年版　公負負担医療の実際知識	安藤秀雄・栗林令子／共著	医学通信社	¥3,200
00004912	2009年版　最新医事関連法の完全知識	安藤秀雄・望月稔之・並木洋／共著	医学通信社	¥3,200
00004913	2010年版　公負負担医療の実際知識	安藤秀雄・栗林令子／共著	医学通信社	¥3,000
00004914	2010年版　最新医事関連法の完全知識	安藤秀雄・望月稔之・並木洋／共著	医学通信社	¥3,200
00004915	安心して生活できるゆたかな地域社会を目指して 一県民の皆さんとともに歩む島根県立中央病院	島根県立中央病院	バリューメディカル	¥1,200
00004916	医療経済学　臨床医の視角から	二木立／著	医学書院	¥3,300
00004917	厚生白書1991	厚生省	ぎょうせい	¥1,456
00004918	厚生労働白書	厚生労働省／監修	ぎょうせい	¥2,762
00004919	作業療法マニュアル　手元に置きたい関連法規	日本作業療法士協会	日本作業療法士協会	頒価不明
00004920	点数表の解釈甲表編　平成4年4月版	厚生省保険局医療課	社会保険研究所	¥4,369
00004921	診療点数早見表：標準点数と準用点数　2012年4月版	医学通信社	医学通信社	¥4,500
00004922	診療点数早見表：標準点数と準用点数　2016年4月版	医学通信社	医学通信社	¥4,500
00004923	診療点数早見表：標準点数と準用点数　平成12年4月版	医学通信社	医学通信社	¥4,500
00004924	診療報酬：BASIC点数表　2016	医学通信社	医学通信社	頒価不明
00004925	医療過誤：Q&A事例相談集	医療過誤弁護士グループ,石川寛俊	三一書房	¥700
00004926	精神科・老人医療ガイド2000	NOVA出版	NOVA出版	¥1,200
00004927	健康科学概論	後閑容子	廣川書店	¥2,300
00004928	健康科学概論	後閑容子	廣川書店	¥2,300
00004929	生活環境論	千住秀明／監修	神陵文庫	¥4,500
00004930	栄養指導マニュアル	藤沢良知/他編	南山堂	¥3,800
00004931	薬のウラがわかる本：医者・製薬メーカー・薬剤師がしゃべった実録!クスリと業界のあぶないカラクリ!	青山正明/他編	宝島社	¥1,068
00004932	保険請求のための薬価・薬効早見表：用法・用量付　2009年4月版	医事様式	サンライズ社	¥5,333
00004933	エンジニアリング・サイエンス講座3　感覚と工学	樋渡涓二	共立出版	¥1,500
00004934	おはなし科学・技術シリーズ　計測のおはなし	矢野宏	日本規格協会	¥1,330
00004935	改訂版 基礎機械工学全書1　材料力学	黒木剛司郎	森北出版	頒価不明
00004936	塑性変形と加工の力学：基礎と工学的応用	H.リップマン	森北出版	頒価不明
00004937	新素材の開発と応用Ⅱ	P.H.エーベルソン	東京大学出版	頒価不明
00004938	新訂　金属材料の基礎	長崎相正	成山堂書店	頒価不明
00004939	新素材の開発と応用1	P.H.エーベルソン,M.ドーフマン	東京大学出版会	頒価不明
00004940	複合材料入門	D.ハル／原著	培風館	頒価不明
00004941	計測値のデザイン資料　人体を測る	小原二郎	日本出版サービス	¥2,800
00004942	現代の人間工学	長町三生／著	朝倉書店	¥2,900
00004943	人間工学	林喜男/他編	日本規格協会	¥3,700
00004944	人間工学入門	人間工学教育研究会	日刊工業新聞社	頒価不明
00004945	身障者を考えた建築設計	健康環境システム研究会著	理工図書	頒価不明
00004946	身障者を考えた建築のディテール	健康環境システム研究会	理工図書	頒価不明
00004947	身体障碍者のための生活環境設計	青木正夫	日本出版サービス	¥9,200
00004948	だれにでもわかる建築図面の見方・かき方	岸田林太郎	オーム社	頒価不明
00004949	バリアフリーの生活環境論　第3版	野村みどり	医歯薬出版	¥6,800
00004950	ハンディキャップ者配慮の住宅計画	日本建築学会	彰国社	¥2,500
00004951	高齢化時代の住まいづくり：いま考えること、なすべきこと	吉田あこ	彰国社	頒価不明
00004952	高齢化時代の住まいづくり：いま考えること、なすべきこと	吉田あこ	彰国社	頒価不明
00004953	肢体不自由者の住宅：住環境整備援助の手引	東京都心身障害者福祉センター	東京都心身障害者福祉センター	頒価不明
00004954	終の住処をつくるには： 加齢対応住宅の考え方と実際	太田昭夫／著	プレジデント社	¥1,500
00004955	OT・PTのための住環境整備論　第２版	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥4,200
00004956	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004957	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004958	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004959	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004960	高齢者・障害者の住まいの改造とくふう 新築からリフォームまで	野村歡／著	保健同人社	頒価不明
00004961	終の住処をつくるには：加齢対応住宅の考え方と実際	太田昭夫	プレジデント社	¥1,500
00004962	老人のための居住空間：一般住宅と老人ホームの設計	イギリス政府	学芸出版社	頒価不明
00004963	図面の見方・描き方　新訂版	真部富男	工学図書	頒価不明
00004964	コンピュータ工学概論　情報・電子入門シリーズ４	藤岡旭	共立出版	¥2,200
00004965	マイコン徹底研究　3級　91年版	渡辺茂／監修	日本経済新聞社	頒価不明
00004966	マイコン徹底研究　4級　91年版	渡辺茂／監修	日本経済新聞社	頒価不明
00004967	図解とシミュレーションによる自動制御工学演習	太平洋工業株式会社	日刊工業新聞社	頒価不明
00004968	フィードバック制御の基礎	片山徹／著	朝倉書店	¥3,400
00004969	形状記憶合金	大塚和弘／著	産業図書	¥3,400
00004970	セラミックスの科学	柳田博明	技報堂出版	頒価不明
00004971	プラスチック入門　改訂版	伊保内賢／著	工業調査会	頒価不明
00004972	カーボンファイバー入門	大谷杉郎	オーム社	頒価不明
00004973	造形の基礎技法	宮脇理	建帛社	頒価不明
00004974	みみずくデッサン講座①油彩・水彩デッサン	視覚デザイン研究所	視覚デザイン研究所	頒価不明
00004975	みみずくデッサン講座②油彩・水彩デッサン	視覚デザイン研究所	視覚デザイン研究所	頒価不明
00004976	みみずくデッサン講座③油彩・水彩デッサン	視覚デザイン研究所	視覚デザイン研究所	頒価不明
00004977	KYOの歳時記　和紙はり絵　湯浅 三郎作品集	湯浅三郎	京都書院	¥3,800
00004978	美しく生きる力・抒常　後藤伸行切り絵集	後藤伸行	ニューカラー写真印刷	¥4,500

(資料27)図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004979	心を遊ばせる	廣田光前	文芸社	¥1,500
00004980	ＢＡＳＩＣ　ＤＥＳＩＧＮ　ＡＮＤＣＯＬＯＲ	中川廣一	光生館	頒価不明
00004981	運動と健康	保健体育理論研究会	道和書院	頒価不明
00004982	こどものスポーツ障害診療ハンドブック	山下敏彦	中外医学社	¥6,800
00004983	指導者のための基礎知識 フィットネスQ&A	宮下充正/他編	南江堂	¥2,427
00004984	ジュニアアスリートをサポートするスポーツ医科学ガイドブック	金岡恒治,赤坂清和	メジカルビュー社	¥5,400
00004985	スポーツ・バイオメカニクス入門	金子公宥／著	杏林書院	¥2,000
00004986	スポーツ・バイオメカニクス入門	金子公宥／著	杏林書院	¥2,000
00004987	スポーツ・バイオメカニクス入門	金子公宥／著	杏林書院	¥2,000
00004988	スポーツトレーニング教本	窪田登	大修館書店	¥1,200
00004989	スポーツの科学	松浦義行	朝倉書店	頒価不明
00004990	体育と人格形成 体育における民主主義の追求	城丸章夫／著	青木書店	頒価不明
00004991	発育期のスポーツ医学	リレー・J・ミッケリー	メジカルビュー社	¥5,500
00004992	運動処方 ： その生理学的基礎	加賀谷熙彦,加賀谷淳子	杏林書院	¥5,500
00004993	運動心理学入門　新版	松田岩男,杉原隆	大修館書店	¥2,200
00004994	健康・体力づくりハンドブック　改訂版	永田晟/他編	大修館書店	¥4,000
00004995	アスレチック・リハビリテーションの実際	栗山節郎, 山田保／共著	南江堂	¥3,200
00004996	子どものスポーツ医学	宮下充正/他編	南江堂	¥2,800
00004997	スポーツ・マッサージ	高橋華王	遊戯社	¥6,000
00004998	スポーツ・マッサージ	高橋華王	遊戯社	¥6,000
00004999	スポーツと疲労骨折	武藤芳照/他編	南江堂	¥7,573
00005000	スポーツ医学　改訂第6版	石河利寛,松井秀治	杏林書院	¥8,000
00005001	スポーツ医学Q&A　1	黒田善雄,中嶋寛之	金原出版	¥9,500
00005002	スポーツ医学Q&A　2	黒田善雄,中嶋寛之	金原出版	¥6,500
00005003	スポーツ外傷学3　上肢	黒澤尚/他編	医歯薬出版	¥7,000
00005004	トレーニングとスポーツ医学	林浩一郎／監訳	文光堂	¥12,000
00005005	運動の生理学	中原凱文	文化書房博文社	頒価不明
00005006	加齢のスポーツ科学	永田晟/他編	ぎょうせい	¥2,400
00005007	外傷学総論/検査・測定と評価 :リスクマネジメントに基づいたアプローチ　下巻	小林寛和	文光堂	¥5,800
00005008	外傷学総論/検査・測定と評価 :リスクマネジメントに基づいたアプローチ　上巻	小林寛和	文光堂	¥4,200
00005009	現代の体育・スポーツ科学　高齢者の運動と体力	小林寛道,近藤孝晴	朝倉書店	¥3,300
00005010	臨床スポーツ心臓学	前田如矢,宇佐美暢久	朝倉書店	¥3,700
00005011	臨床医のためのスポーツ医学2　妊産婦のためのスポーツ医学	室岡一	朝倉書店	¥2,700
00005012	臨床医のためのスポーツ医学3　糖尿病のスポーツ医学	池田義雄	朝倉書店	¥4,000
00005013	臨床医のためのスポーツ医学3　糖尿病のスポーツ医学	池田義雄	朝倉書店	¥4,000
00005014	リハビリテーション医学全書3 運動生理学・神経生理学	石川友衛／著	医歯薬出版	¥6,900
00005015	現代保健体育学体系20　　疾病学	阿部正和／著	大修館書店	¥2,800
00005016	スポーツ医学・健康シリーズ　体操と健康づくり	D. Lagerstrøm, B. Bjarnason, H. Rösch	オーム社	頒価不明
00005017	ストレッチングの実際	栗山節郎・山田保／著	南江堂	¥2,200
00005018	水泳医学百科	財団法人日本水泳連盟	南江堂	¥2,200
00005019	水泳医学百科	日本水泳連盟科学技術委員会編集	南江堂	¥3,800
00005020	ゲームガイドブック	トミー工業	小学館	頒価不明
00005021	遊びの大事典　実技編	日本レクリエーション協会／監修	東京書籍	頒価不明
00005022	新しい外国語教育	アール・W・ステヴィック／著	アルク	¥2,200
00005023	ディスカッションとディベートの基本表現 Let's enjoy talking in English	Clayton Naff	金星堂	¥1,311
00005024	最新最強の作文小論文　１１年版	風早健史	成美堂出版	頒価不明
00005025	現代英語をさぐる	W.R.オドネル,L.トッド	南雲堂	頒価不明
00005026	英語の習得法	最所フミ／著	研究社出版	頒価不明
00005027	速読英単語 = Vocabulary building X rapid reading　増訂第2版　1	風早寛	増進会出版社	¥900
00005028	会話英語慣用表現	K.P.Dobbyn	研究社	頒価不明
00005029	新潮世界文学１　シェイクスピアⅠ		新潮社	頒価不明
00005030	新潮世界文学29　ジッドⅡ		新潮社	頒価不明
00005031	新潮世界文学37　ヘッセⅡ		新潮社	頒価不明
00005032	トルストイ	木村浩	新潮社	頒価不明
00005033	教養の文学　作家と作品	高田瑞穂／監修	建帛社	頒価不明
00005034	教養のための日本の文学　新訂	石井庄司	東海大学出版会	頒価不明
00005035	雨月物語	近世文学史研究の会	文化書房	¥1,500
00005036	京語り	吉野栄／著	文芸社	¥1,200
00005037	頭注近代小説	中野恵海	桜楓社	¥1,845
00005038	五体不満足	乙武洋匡	講談社	¥1,600
00005039	五体不満足	乙武洋匡	講談社	¥1,600
00005040	スルメを見てイカがわかるか!	養老孟司,茂木健一郎	角川書店	¥667
00005041	女の器量はことばしだい	広瀬久美子	新潮社	¥400
00005042	涼風　親しい人達へ	何川涼／著		非売品
00005043	涼風　親しい人達へ	何川涼／著		非売品
00005044	ルポ・精神病棟	大熊一夫	朝日新聞社	¥480
00005045	新潮日本文学，1　森鴎外集	森鴎外	新潮社	頒価不明
00005046	新潮日本文学，45　三島由紀夫集	三島由紀夫	新潮社	¥2,300
00005047	新潮日本文学，49　福永武彦集	福永武彦	新潮社	頒価不明
00005048	新潮日本文学，6　谷崎潤一郎集	谷崎潤一郎	新潮社	¥2,600
00005049	新潮日本文学，61　北杜夫集	北杜夫	新潮社	頒価不明
00005050	夜と霧　ドイツ強制収容所の体験記録	Ｖ．Ｅ．フランクル	みすず書房	¥1,800
00005051	改訂第２版基礎からわかる情報リテラシー	奥村晴彦	技術評論社	¥1,480
00005052	趣味発見！なるほど楽しいワード2013作品づくりにチャレンジ編	目黒正俊	FOM出版	¥1,200
00005053	標準教科書よくわかる情報リテラシー	岡本敏雄	技術評論社	¥1,480
00005054	例題３０+演習問題70でしっかり学ぶＷｏｒｄ／Ｅｘｃｅｌ／Ｐｏｗｅｒｐｏｉｎｔｏ標準テキストWindows7/Office2010対応版	定平誠	技術評論社	¥1,980
00005055	考える伝える分かち合う　情報活用力	吉川聡	ワークアカデミー	¥2,381
00005056	基礎からわかる情報リテラシー　改訂第2版	奥村晴彦／著	技術評論社	¥1,480
00005057	しっかり学ぶ　Word／Excel／PowerPoint 標準テキスト　Windows7　Office2010対応版	定平誠／著	技術評論社	¥1,980

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00005058	趣味発見　なるほど楽しいワード2013 作品づくりにチャレンジ編	富士通エフ・オー・エム株式会社／著作・制作	FOM出版	¥1,200
00005059	標準教科書　よくわかる情報リテラシー	岡本敏雄／監修	技術評論社	¥1,480
00005060	米国国立医学図書館分類法　2016年版 日本語版	日本医学図書館協会	日本医学 図書館協会	¥23,000
00005061	日本書籍総目録1991 書名編アース	日本書籍出版協会	日本書籍出版協会	¥47,000
00005062	日本書籍総目録1991 書名編セーン　A-Z	日本書籍出版協会	日本書籍出版協会	¥47,000
00005063	日本書籍総目録1992 索引編	日本書籍出版協会	日本書籍出版協会	¥47,000
00005064	心理教育データの解析法50講　基礎編	海保博之	福村出版	頒価不明
00005065	学習と記憶ー種と個体の歴史	Ｒ・ジンツ	誠信書房	頒価不明
00005066	記憶術　心理学が発見した20のルール	南博	公文書	¥748
00005067	ピアジェ思考の発達診断法	山内光哉	ナカニシヤ出版	¥9,500
00005068	基礎経済学	三土修平	日本評論社	頒価不明
00005069	近代経済学を学ぶ	伊達邦春	有斐社	頒価不明
00005070	今、光っていたい 娘の遺してくれたもの	田中蔚	明石書店	¥2,500
00005071	男女共同参画の時代	鹿島敬	岩波新書	¥780
00005072	生きがい実感 福祉のしごと	小池康夫	日経事業出版	¥1,400
00005073	社会福祉小六法2000	ミネルヴァ書房編集部	ミネルヴァ書房	¥1,500
00005074	検証訪問リハと訪問看護	河本のぞみ	三輪書店	¥2,400
00005075	生活障害論	三好春樹	雲母書房	¥2,500
00005076	はさみ・のりの本　技法と実践	根津三郎	サクラクレパス 出版	頒価不明
00005077	授業を変えれば大学は変わる	安岡高志	プレジデント社	¥1,800
00005078	子どもの音楽療法ハンドブック	若尾裕	音楽之友社	頒価不明
00005079	心身障害教育と福祉の情報事典	心身障害教育・福祉研究会	同文書院	¥5,631
00005080	日英故事ことわざ辞典	常名鉾二郎	北星堂書店	¥3,301
00005081	基礎の確立・統計学	野中敏夫	理工学社	頒価不明
00005082	統計学入門第５版	杉田暉道	医学書院	¥2,300
00005083	統計の基礎ー考え方と使い方ー	Ｍ．Ｋ．ジョンソン	サイエンス社	頒価不明
00005084	相対性理論　物理入門コース9	中野董夫	岩波書店	¥2,301
00005085	生物　そのつくりとはたらき	津田誠三	裳華房	¥1,900
00005086	生物学の歴史１	矢部一郎	みすず書房	頒価不明
00005087	生命とは一思索の断章ー	赤堀四郎	共立出版	¥1,800
00005088	ポケット版カルテ用語辞典　第２版	大井静雄	照林社	頒価不明
00005089	鳥山診療所 医者主体から患者主体の診察をめざして	神山五郎	大揚社	¥1,500
00005090	医事百般質疑応答第１８集	梅澤信二	日本医事新報社	¥6,602
00005091	初心者のための動物実験手技Ｉーマウス・ラットー	鈴木潔	講談社	¥3,301
00005092	初心者のための動物実験手技Ⅱーウサギ・モルモットー	鈴木潔	講談社	¥3,786
00005093	初心者のための動物実験手技Ⅲーイヌ・ネコー	鈴木潔	講談社	¥5,049
00005094	メディカルスタッフのための救急医学	渡邉隆夫	医学出版社	¥3,000
00005095	バイオセラミック セラミックサイエンスシリーズ７	牧島亮男	技報堂出版	¥1,957
00005096	脊髄損傷者の社会参加マニュアル	住田幹男	ＮＰＯ日本せきずい基金	頒価不明
00005097	続人間の手足の制御	加藤一郎	学献社	¥6,000
00005098	先生が燃え学生が燃え学校がある	山本克郎	地湧社	¥1,500
00005099	トレースの実技（改訂版）	遠藤俊次	理工学社	頒価不明
00005100	図でわかる木工の手工具	橋本喜代太	理工学社	頒価不明
00005101	日本画入門	西山英雄	保育社	¥602
00005102	油絵入門	伊藤継郎	保育社	¥602
00005103	Ｈｏｉｋｕｓｈａａ：ＱｕａｌｉｔｙＢｏｏｋｓ やきもの入門	田賀井秀夫	保育社	頒価不明
00005104	Ｈｏｉｋｕｓｈａａ：ＱｕａｌｉｔｙＢｏｏｋｓ やきもの入門	田賀井秀夫	保育社	頒価不明
00005105	21世紀造形ブックス おもしろ空間への招待	鈴木悦郎	理工学社	頒価不明
00005106	デザイン小辞典	福井晃一	ダヴィット社	頒価不明
00005107	スポーツの科学	松浦義行	朝倉書店	¥3,200
00005108	体育の測定・評価	野口義之	第一法規	¥2,718
00005109	からだを育む	武藤芳照	丸善	¥1,800
00005110	体力・健康・運動ーその科学的基礎ー	田口貞善	文理閣	頒価不明
00005111	調査とサンプリング	林知乙夫	同文書院	¥3,200
00005112	650のプログラム教程 臨床解剖学へのアプローチ	酒井恒／著	医学書院	¥5,200
00005113	650のプログラム教程 臨床解剖学へのアプローチ	酒井恒／著	医学書院	¥5,200
00005114	PT・OT自己学習　解剖学	渡辺正仁／著	金芳堂	¥3,800
00005115	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート第２版	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00005116	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート第２版	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00005117	Qシリーズ 新解剖学　フルカラー新装版	加藤征／監修	日本医事新報社	¥3,500
00005118	イラスト解剖学	松村譲児	中外医学社	¥7,400
00005119	イラスト解剖学	松村譲児	中外医学社	¥7,600
00005120	解剖学　第7版	清木勘治／著	金芳堂	¥5,049
00005121	解剖学イラスト事典　第2版	松村攘児／著	中外医学社	¥3,800
00005122	解剖学用語　改訂12版	日本解剖学会／著	丸善	¥2,472
00005123	解剖学用語　改訂12版	日本解剖学会／著	丸善	¥2,472
00005124	解剖学ワークブック	西川彰・小林直行／著	医歯薬出版	¥4,000
00005125	解剖実習の手びき	寺田春水・藤田恒夫／著	南山堂	¥7,000
00005126	学習必携解剖学要覧	森優・山元寅男／著	南山堂	¥3,700
00005127	画像診断のための正常解剖図譜	前原忠行	新興医学出版	¥6,500
00005128	カバンジー生体力学の世界	Adalbert i.KAPANDJI／著	医歯薬出版	¥18,000
00005129	カラーイラストで学ぶ集中講義　解剖学	坂井建雄	メジカルビュー社	¥6,800
00005130	カラー図解　人体解剖の基本がわかる事典	竹内修二／監修	西東社	¥1,750
00005131	カラー図解人体の正常構造と機能Ⅸ　神経系（2）	久野みゆき・安藤啓司／他著	日本医事新報社	¥6,200
00005132	カラースケッチ解剖学	廣川節男	廣川書店	¥3,900
00005133	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ｉ呼吸器	牛木辰男・小林弘祐	日本医事新報社	¥5,800
00005134	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ｉ呼吸器	牛木辰男・小林弘祐	日本医事新報社	¥5,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005135	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器	大谷修・堀尾嘉幸	日本医事新報社	¥6,000
00005136	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器	大谷修・堀尾嘉幸	日本医事新報社	¥6,000
00005137	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅲ消化器	河原克雅・佐々木克典	日本医事新報社	¥5,600
00005138	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅳ肝・胆・膵	泉位亮・妹尾春樹・金田研司	日本医事新報社	¥5,600
00005139	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅴ腎・泌尿器	坂井建雄・河原克雅	日本医事新報社	¥5,600
00005140	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅵ生殖器	年森清隆・川内博人	日本医事新報社	¥6,000
00005141	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅵ生殖器	年森清隆・川内博人	日本医事新報社	¥6,000
00005142	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅷ神経系（１）	河田光博・稲瀬正彦	日本医事新報社	¥6,200
00005143	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅷ神経系（１）	河田光博・稲瀬正彦	日本医事新報社	¥6,200
00005144	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット／著	西村書店	¥4,800
00005145	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット／著	西村書店	¥4,800
00005146	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット／著	西村書店	¥4,800
00005147	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット／著	西村書店	¥4,800
00005148	からだの構造と機能　Ⅰ	ユッタ・ホッホシールド／著	ガイアブックス	¥3,800
00005149	からだの構造と機能　Ⅱ	ユッタ・ホッホシールド／著	ガイアブックス	¥3,800
00005150	からだの働きと運動	堀清記	金芳堂	¥2,000
00005151	筋電図のための解剖ガイド　四肢	田島達也／監訳	西村書店	¥4,500
00005152	筋電図のための解剖ガイド　四肢	田島達也／監訳	西村書店	¥4,500
00005153	グラント解剖学図譜　第３版　原書第８版	森田茂・楠豊和／訳	医学書院	¥17,000
00005154	グラント解剖学図譜　第３版　原書第８版	森田茂・楠豊和／訳	医学書院	¥17,000
00005155	グレイ 解剖学　Ⅱ	嶋井和世／監修	廣川書店	¥9,000
00005156	グレイ 解剖学　Ⅲ	嶋井和世／監修	廣川書店	¥9,000
00005157	グレイ解剖学　原書第１版	Richard L.Drake,Wayne Vogl,AdamW/著	エルゼビア・ジャパン	¥10,000
00005158	骨格筋の形と観察法	河上敬介・磯貝香／著	大峰閣	¥9,000
00005159	コメディカル専門基礎科目シリーズ　解剖学	澤田和彦・坂田ひろみ	理工図書	¥5,000
00005160	実習解剖学	山田致知・萬年甫／共著	南江堂	¥8,500
00005161	実習解剖学	山田致知・萬年甫／共著	南江堂	¥8,500
00005162	実習で学ぶ骨学	山鳥崇・梅谷健彦	金原出版	¥5,825
00005163	写真でみる運動百科	小清水英司・今野睦夫/他編	道和書院	頒価不明
00005164	人体解剖学	藤田恒太郎／著	南江堂	¥7,500
00005165	人体解剖学ノート	清木勘／著	金芳堂	¥3,300
00005166	人体解剖カラーアトラス　原書第４版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005167	人体解剖カラーアトラス　原書第４版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005168	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005169	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005170	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005171	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005172	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005173	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005174	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005175	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005176	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005177	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005178	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005179	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005180	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005181	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005182	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005183	人体解剖カラーアトラス　原書第7版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,800
00005184	人体解剖カラーアトラス　原書第7版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,800
00005185	人体解剖カラーアトラス　原書第7版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,800
00005186	人体系統解剖学	吉川文雄／著	南山堂	¥13,000
00005187	人体の構造と機能　第4版	内田さえ・原田玲子	医歯薬出版	¥2,800
00005188	人体の構造と機能　第4版	内田さえ・原田玲子	医歯薬出版	¥2,800
00005189	図解　解剖学事典　第3版	山田英智／監訳	医学書院	¥3,800
00005190	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005191	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005192	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005193	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005194	世界で一番美しい人体図鑑	奈良信雄／監訳	エクスナレッジ	¥2,800
00005195	体表解剖学	吉岡郁夫・武藤浩／著	南江堂	¥3,800
00005196	日本人体解剖学　下巻　改訂19版	金子丑之助／原著	南山堂	¥10,000
00005197	日本人体解剖学　上巻　改訂19版	金子丑之助／原著	南山堂	¥12,000
00005198	日本人体解剖学　第一巻	金子丑之助／著	南山堂	¥8,500
00005199	入門人体解剖学　改訂第3版	藤田恒夫／著	南江堂	¥4,854
00005200	ぬりえで学ぶヒトのからだ	安田康晴	ぱーそん書房	¥2,000
00005201	ネッター解剖学アトラス　　原書第３版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005202	ネッター解剖学アトラス　原書第4版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005203	ネッター解剖学アトラス　原書第4版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005204	ネッター解剖学アトラス　原書第5版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005205	ネッター解剖学カラーリングテキスト	John T.Hansen／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥3,200
00005206	美術解剖学アトラス	中尾喜保・宮永美知代／著	南山堂	¥5,800
00005207	ヒト発生の不思議	藤本十四秋／著	金芳堂	¥2,400

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005208	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005209	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005210	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005211	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005212	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005213	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005214	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005215	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005216	ヒューマンボディ原書第3版 からだの不思議がわかる解剖生理学	片桐康雄／ほか監訳	エルゼビア・ジャパン	¥6,600
00005217	プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖　第2版	坂井建雄・河田光博／監訳	医学書院	¥11,000
00005218	分冊　解剖学アトラスⅡ	長島聖司／訳	文光堂	¥4,800
00005219	分冊　解剖学アトラスⅡ	長島聖司／訳	文光堂	¥4,800
00005220	分冊　解剖学アトラスⅡ	長島聖司／訳	文光堂	¥4,800
00005221	分担　解剖学　続巻　組織学・発生学	森優・山元寅男／著	金原出版	¥7,000
00005222	リハビリテーション解剖アトラス	佐藤達夫・坂本裕和／著	医歯薬出版	¥8,000
00005223	わかりやすい解剖生理	酒井恒訳	文光堂	¥4,000
00005224	わかりやすい人体の構造と機能	塩田浩平／著	中山書店	¥3,800
00005225	阿波清五郎の解剖学語呂合わせ	鹿野俊一	理工図書	¥1,600
00005226	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005227	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005228	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005229	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005230	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,400
00005231	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,400
00005232	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,600
00005233	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,600
00005234	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,600
00005235	解剖学トレーニングノート	竹内修二	アート印刷	¥2,700
00005236	語呂で覚える解剖学	村井和人	ユリシス・出版社	¥1,800
00005237	四肢・脊柱の機能解剖第５版	W.H.Hollinshead,David B.Jenkins	協同医書出版社	¥6,500
00005238	人体解剖カラーアトラス（原書第７版）	Pete H.Abrahams, Jonathan D.Spratt, Marios Loukas N.Van Schoor	南江堂	¥5,800
00005239	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005240	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005241	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005242	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005243	図解解剖学事典（代2版）	山田英知	医学書院	¥3,200
00005244	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学	奈良勲・鎌倉矩子	医学書院	¥6,000
00005245	分担　解剖学　1巻　総説・骨学・筋学	浦良治／著	南江堂	¥9,300
00005246	分担　解剖学　3巻　感覚器学・内臓学	小川鼎三・山田英智・養老孟司／著	金原出版	¥8,600
00005247	略和・和略語用語集	英和人体用語編集委員会	ユリシス・出版部	¥1,200
00005248	臨床解剖カラーアトラス	R.M.H.McMinn,R.T.Hutchings,B.M.Logan	南江堂	¥13,000
00005249	OT・PT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005250	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	頒価不明
00005251	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005252	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005253	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005254	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00005255	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	頒価不明
00005256	医学要点双書　発生学	藤本十四秋	金芳堂	¥3,200
00005257	イラスト運動生理学	朝山正己	東京教学社	¥2,000
00005258	医療系学生のための図解生理学テキスト＆ノート	丹羽利光	診断と治療社	¥2,800
00005259	医療系学生のための図解生理学テキスト＆ノート	丹羽利光	診断と治療社	¥2,800
00005260	医療系のための物理	佐藤幸一	東京教学社	¥1,700
00005261	運動生理学の基礎と発展	春日規克/他編	フリースペース	¥2,300
00005262	運動生理学の基礎と発展	浅野勝己/他編	大修館書店	¥5,800
00005263	運動の生理学ー骨から神経までー	神野耕太郎	南山堂	¥2,500
00005264	解剖・生理・栄養＜普及版＞図説・ヒトのからだ	中野昭一	医歯薬出版	¥3,000
00005265	外来整形外科のためのスポーツ外傷・障害の理学療法	小関博久	医歯薬出版	¥8,500
00005266	カラーイラストで学ぶ集中講義　生理学	岡田隆夫	メジカルビュー社	¥5,500
00005267	カラー図解症状からわかる病態生理	フロリアン・ラング	メディカルサイエンス　インターナショナル	¥6,200
00005268	キネシオテーピング療法プロの技～診たてのテーピング～	加瀬建造	創芸社	¥3,800
00005269	筋紡錘（理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習）	真野行生	医歯薬出版	¥3,000
00005270	健康と運動の生理学	堀清記	金芳堂	¥1,800
00005271	コメディカルのための生理学実習ノート　改訂版２版	杉晴夫	南江堂	¥1,800
00005272	コメディカルのための専門基礎分野テキスト生理学	黒澤美枝子/他編	中外医学社	¥3,900
00005273	生涯人間発達学	上田礼子	三輪書店	¥3,786
00005274	生涯人間発達学	上田礼子	三輪書店	¥3,786
00005275	生涯人間発達学　改訂第２版	上田礼子	三輪書店	¥3,800
00005276	生涯人間発達学改訂第２版	上田礼子	三輪書店	¥3,800
00005277	女性のスポーツ医学	寺島芳輝	中外医学者	¥3,400
00005278	身体運動の生理学	猪飼道夫	杏林書院	¥6,000
00005279	人体生理学ノート改訂４版	真島英信	金芳堂	¥2,233
00005280	人体生理学ノート改訂第６版	真島英信	金芳堂	¥2,600
00005281	シンプル解剖生理学	樋口隆/他編	南江堂	¥3,200
00005282	シンプル生理学　改訂第３版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005283	シンプル生理学　改訂第３版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005284	シンプル生理学　改訂第4版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00005285	シンプル生理学　改訂第6版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005286	シンプル生理学　改訂第6版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005287	シンプル生理学　改訂第6版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005288	シンプル生理学（改訂第４版）	根来英雄	南江堂	¥2,900
00005289	シンプル生理学（改訂版第６版）	根来英雄	南江堂	¥2,900
00005290	図説・運動の仕組みと応用	中野昭一	医歯薬出版	頒価不明
00005291	スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド第２版	臨床スポーツ医学編集委員会	文光堂	¥7,000
00005292	スポーツ障害のリハビリテーション	山下敏彦/他編	金原出版	¥7,400
00005293	生理学	藤森聞一/他編	南山堂	¥7,800
00005294	生理学1	外山敬介/他編	文光堂	¥14,000
00005295	生理学2	外山敬介/他編	文光堂	¥14,000
00005296	生理学実習NAVI	鈴木敦子/他編	医歯薬出版	¥2,400
00005297	生理学実習NAVI第２版	大橋敦子	医歯薬出版	¥2,500
00005298	生理学実習NAVI第２版別冊ノート付	大橋敦子	医歯薬出版	¥2,500
00005299	生理学テキスト	大地陸男	文光堂	¥4,800
00005300	生理学テキスト	大地陸男	文光堂	¥4,800
00005301	積極的保存療法スポーツ障害の評価と治療	村上成道/他編	文光堂	¥3,800
00005302	超カラー図解看護自己学習　解剖生理学	森禎章	金芳堂	¥2,800
00005303	人間生物学ー解剖学と生理学の理解のためにー	John K. Inglis	三輪書店	¥3,800
00005304	人間発達学	北村論	中外医学者	¥2,600
00005305	ビジュアル解剖生理学	藤田守/他編	ヌーヴェルヒロカワ	¥3,500
00005306	病棟で働く人のための生理学改訂第３版	香山雪彦/他編	学研マーケティング	¥3,000
00005307	やさしい基礎生物学第２版	南雲保	羊土社	¥2,900
00005308	やさしい基礎生物学第２版	南雲保	羊土社	¥2,900
00005309	医用工学シリーズ，1　これからのメディカルエンジニアリング	阪本捷房/他編	コロナ社	頒価不明
00005310	新しい臨床栄養学	後藤昌義	南江堂	¥2,500
00005311	基礎の生化学	猪飼篤	東京化学同人	¥1,845
00005312	臨床代謝学	井村裕夫	朝倉書店	¥2,900
00005313	Ａｎｎｕａｌ Ｒｅｐｏｒｔ1991　医薬品の副作用	伊藤宗元	中外医学者	¥5,300
00005314	今日の治療薬解説と便覧97	水島裕	南江堂	¥4,400
00005315	医療薬日本医薬品集1991	日本医薬情報センター	薬業時報社	¥18,447
00005316	現代薬学叢書　薬理学	福田英臣	朝倉書店	¥4,900
00005317	常用薬の正しい使い方 ： その理論と実践　改訂第2版	橘敏也	文光堂	¥7,000
00005318	図説薬理学のポイント	Gordon E.Johnson	医学書院	¥4,000
00005319	薬学の歴史	石坂哲夫	南山堂	¥4,500
00005320	コア免疫学　免疫システムを解き明かす	藤原道夫	丸善	¥1,900
00005321	生態防御のしくみーその理論と応用ー	野本亀久雄	ライフ・サイエンス	¥1,751
00005322	戸田新細菌学	森良一	南山堂	¥14,000
00005323	看護微生物学	内田勝久/他編	医歯薬出版	¥2,000
00005324	免疫薬理と免疫療法	塩川優一	朝倉書店	¥9,800
00005325	Dr。レイの病理学講義　改訂2版	高橋玲	金芳堂	¥4,200
00005326	新体制看護学全書　疾病の成り立ちと回復の促進①　病理学	深山正久	メヂカルフレンド社	¥3,100
00005327	新体制看護学全書　疾病の成り立ちと回復の促進①　病理学	深山正久	メヂカルフレンド社	¥3,100
00005328	ナースの臨床検査	奈良信雄	中外医学者	¥3,800
00005329	臨床検査の知識と介助	柴田進	医学書院	¥3,400
00005330	臨床病態学	佐藤良暢	南江堂	¥4,500
00005331	臨床病態学1巻	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥3,000
00005332	臨床病態学1巻　第2版	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥3,000
00005333	臨床病態学2巻	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥3,000
00005334	臨床病態学2巻　第2版	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥3,000
00005335	臨床病態学3巻	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥3,000
00005336	臨床病態学3巻第2版	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥3,000
00005337	臨床病態学総論	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005338	臨床病態学総論	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005339	臨床病態学総論　第2版	北村聖	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005340	わかりやすい薬理学第２版	安原一	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,300
00005341	新検査診断学	高橋浩/他編	金芳堂	¥8,500
00005342	臨床検査の知識と介助	柴田進	医学書院	¥3,400
00005343	カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断　第5版	赤木忠厚	医歯薬出版	¥13,000
00005344	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005345	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005346	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005347	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005348	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005349	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005350	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005351	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00005352	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005353	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005354	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005355	カラーで学べる病理学　第4版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005356	がん患者のリハビリテーション　リスク管理とゴール設定	宮越浩一	メジカルビュー社	¥4,200
00005357	がんと緩和ケアの作業療法	三木恵美	三輪書店	¥3,800
00005358	がんのリハビリテーションガイドライン	古谷純朗	金原出版	¥2,800
00005359	がんのリハビリテーションベストプラクティス	古谷純朗	金原出版	¥3,500
00005360	がんのリハビリテーションマニュアル	辻哲也	医学書院	¥4,600
00005361	がんのリハビリテーションマニュアル	辻哲也	医学書院	¥4,600
00005362	緩和ケアが主体となる時期のがんのリハビリテーション	島﨑寛将	中山書店	¥3,800
00005363	現在の病理学	横山武	金原出版	¥12,000
00005364	現代の病理学　総論　改定第２版増補	横山武	金原出版	¥8,000
00005365	疾病の成り立ちと回復の促進１病理学	中村恭一/他編	医学書院	¥2,000
00005366	疾病の成り立ちと回復の促進1病理学	中村恭一/他編	医学書院	¥2,000
00005367	疾病の成り立ちと回復の促進1病理学	中村恭一/他編	医学書院	¥2,000
00005368	新版看護学全書　第4巻　病理学	石河利隆	メヂカル フレンド社	¥1,942
00005369	新版看護学全書　第4巻　病理学	石河利隆	メヂカル フレンド社	¥1,942
00005370	新版看護学全書　第4巻　病理学	石河利隆	メヂカル フレンド社	¥2,000
00005371	図説　基礎病理学	赤井契一郎	メヂカル フレンド社	¥6,000
00005372	病態生理・生化学・栄養一普及版図解・病気の成り立ちとからだ１	中野昭一	医歯薬出版	¥3,000
00005373	病態生理・生化学・栄養一普及版図解・病気の成り立ちとからだ2	中野昭一	医歯薬出版	¥3,400
00005374	病態生理・生化学・栄養一普及版図解・病気の成り立ちとからだ2	中野昭一	医歯薬出版	¥3,400
00005375	病理学　第４版	影山圭三	医学書院	¥6,500
00005376	病理学　第５版	遠城寺宗知	医学書院	頒価不明
00005377	病理学各論Ⅰ	赤崎兼義	南山堂	¥8,000
00005378	病理学各論Ⅱ	赤崎兼義	南山堂	¥7,800
00005379	やさしい病態生理～主要症状のしくみ～	秋山房雄	南山堂	¥3,300
00005380	よくわかる専門基礎講座　病理学	高橋徹	金原出版	¥2,200
00005381	臨床症状シリーズ1　頭痛	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,200
00005382	臨床症状シリーズ10　動悸	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥3,800
00005383	臨床症状シリーズ12　腰痛・背痛・肩こり	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥5,600
00005384	臨床症状シリーズ13　しびれ	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥5,600
00005385	臨床症状シリーズ14　やせ	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,500
00005386	臨床症状シリーズ2　呼吸困難	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,300
00005387	臨床症状シリーズ5　発熱	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,200
00005388	臨床症状シリーズ6　意識障害	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥5,200
00005389	臨床症状シリーズ9　出血性素因	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,800
00005390	医学英語語法辞典	海老塚博／著	英宝社	¥6,000
00005391	医学英和大辞典　改訂版1997	加藤勝治	南山堂	¥25,000
00005392	医学書院　医学大辞典	伊藤正男・井村裕夫・ 高久史麿	医学書院	¥20,000
00005393	医学書院　医学大辞典	伊藤正男・井村裕夫・ 高久史麿	医学書院	¥20,000
00005394	医用放射線辞典	医用放射線辞典編集委員会	共立出版	頒価不明
00005395	岩波　数学事典　第3版	日本数学会	岩波書店	¥9,796
00005396	岩波　理化学辞典　第4版	久保亮五/他編	岩波書店	¥9,505
00005397	英語科学論文用語辞典	黒屋政彦	朝倉書店	¥4,900
00005398	英和医学事典	大矢全節／著	金原出版	¥7,000
00005399	カウンセリング辞典	國分康孝	誠信書房	頒価不明
00005400	学習百科事典　増補修訂版	三省堂編修所	三省堂	¥800
00005401	看護法令要覧　平成19年版	門脇豊子/他編	日本看護協会 出版会	¥4,200
00005402	基礎物理学ハンドブック	豊田博慈／訳	森北出版	頒価不明
00005403	研究社新英和大辞典　第五版	小稲義男	研究社	¥13,107
00005404	研究社新英和大辞典　第五版	小稲義男	研究社	¥13,107
00005405	研究社新英和大辞典　第五版	小稲義男	研究社	¥13,107
00005406	研究社新英和大辞典　第四版	増田剛	研究社	頒価不明
00005407	健康政策六法　平成3年版	厚生省健康政策局	中央法規出版	¥5,243
00005408	健康政策六法　平成3年版	厚生省健康政策局	中央法規出版	¥5,243
00005409	現代　家庭医学百科	石川数雄	主婦の友社	頒価不明
00005410	現代社会福祉事典	仲村優一/他編	社会福祉法人 全国社会福祉 協議会	¥4,806
00005411	現代社会福祉事典	仲村優一/他編	社会福祉法人 全国社会福祉 協議会	¥4,806
00005412	現代難病辞典　改訂・追補版	西谷裕	東山書房	¥3,398
00005413	現代和独辞典（デスク版）	ロベルト・シンチンゲル	三修社	頒価不明
00005414	現代和独辞典（デスク版）	ロベルト・シンチンゲル	三修社	頒価不明
00005415	ケンドール統計学用語辞典	千葉大学統計グループ	丸善	¥5,800
00005416	広辞苑　第3版	新村出	岩波書店	頒価不明
00005417	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005418	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005419	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005420	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005421	最新　医学略語辞典	牛場大蔵／監修	中央法規出版	¥3,500
00005422	私学必携　第七次改訂	文部省高等教育局私学部	第一法規	¥4,660
00005423	児童福祉六法　平成4年版	厚生省児童家庭局	中央法規出版	¥4,660
00005424	社会福祉小六法　第4版	佐藤進／監修	誠信書房	¥2,900
00005425	社会福祉六法　平成16年版	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規	¥5,200
00005426	障害保健福祉六法　平成12年版	障害者福祉研究会	中央法規出版	¥5,300

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00005427	私立学校教職員共済制度関係法令集 平成十二年版	日本私立学校振興・共済事業団	日本私立学校振興・共済事業団 共済事業部	非売品
00005428	新学校保健実務必携　【改訂版】	渋谷敬三・能美光房・国崎弘／共著	第一法規	頒価不明
00005429	鍼灸経穴事典	李　丁／著	東洋学術出版社	頒価不明
00005430	心身障害辞典	石部元雄	福村出版	頒価不明
00005431	新版　心理学事典	下中弘	平凡社	頒価不明
00005432	スタンダード和佛辞典	鈴木信太郎／監修	大修館書店	¥3,800
00005433	ステッドマン医学事典　【英和・和英】　ナース版	ナース版ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥6,000
00005434	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005435	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005436	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005437	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005438	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005439	ステッドマン医学大辞典　　縮刷版 改訂第3版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥13,000
00005440	ステッドマン医学大辞典　　縮刷版 改訂第3版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥13,000
00005441	ステッドマン医学大辞典　　縮刷版 改訂第3版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥13,000
00005442	生化学辞典　第2版	今堀和友／監修	東京化学同人	頒価不明
00005443	生化学辞典　第3版	今堀和友／監修	東京化学同人	¥9,800
00005444	生活綴方成立史研究	中内敏夫／著	明治図書	¥7,000
00005445	精神薄弱者福祉六法	厚生省 児童家庭局障害福祉課	中央法規出版	¥5,437
00005446	哲学事典	下中弘	平凡社	頒価不明
00005447	ドーランド図説医学大事典　28版	ドーランド医学大事典編集委員会	廣川書店	¥15,000
00005448	ドーランド図説医学大事典　28版	ドーランド医学大事典編集委員会	廣川書店	¥15,000
00005449	ドーランド図説医学大事典　増補27版	ドーランド医学大事典編集委員会	廣川書店	¥38,000
00005450	特殊教育必携　第三次改訂	文部省特殊教育課特殊教育研究会	第一法規	¥4,369
00005451	南山堂　医学大辞典	南山堂	南山堂	¥10,000
00005452	日英独医語小辞典	藤田拓男	南山堂	¥2,000
00005453	日本医学会　医学用語辞典　英和	日本医学会医学用語管理委員会	南山堂	¥12,000
00005454	日本医学会　医学用語辞典　英和	日本医学会医学用語管理委員会	南山堂	¥12,000
00005455	標準医学事典	賀川哲夫／原著	南山堂	¥5,000
00005456	ポケット医学英和辞典	渡辺良孝	医学書院	¥4,500
00005457	薬事衛生六法　　1995年版	厚生省薬剤師会	薬事日報社	¥4,564
00005458	有斐閣　経済辞典　新版	金森久雄/他編	有斐閣	頒価不明
00005459	養護訓練法ハンドブック	伊藤隆二	福村出版	頒価不明
00005460	ランニング医学大事典 評価・診断・治療・予防・リハビリテーション	福林徹／監訳	西村書店	¥9,500
00005461	理学療法学事典	奈良勲	医学書院	¥9,000
00005462	老人六法　　平成3年版	厚生省大臣官房老人保健福祉部	中央法規出版	¥4,660
00005463	六法全書　昭和四十六年版	我妻栄	有斐閣	¥2,600
00005464	和英独医語辞典	高島令三	文光堂	¥1,236
00005465	わが国における心身障害教育文献集成	伊藤隆二/他編	風間書房	¥20,000
00005466	医学英和大辞典	加藤勝治	南山堂	¥18,000
00005467	研究社新英和大辞典	勝俣銓吉郎	研究社	¥6,000
00005468	スーパー・アンカー英和辞典　全面新版	山岸勝榮	学習研究社	¥2,820
00005469	リハビリテーション医学大辞典	上田敏,大川弥生	医歯薬出版	頒価不明
00005470	臨床精神医学辞典　第2版	西丸四方	南山堂	¥5,825
00005471	臨床精神医学辞典　第2版	西丸四方	南山堂	¥5,825
00005472	2005年版最新医療事務入門　窓口業務から保険請求、統計業務まで	木津正昭	医学通信社	¥2,400
00005473	90年代の医療	二木立／著	勁草書房	頒価不明
00005474	APPROACH　SERIES　2000 消化管・腹壁・腹膜疾患　1	伊東洋,大谷信夫	医学評論社	頒価不明
00005475	Ｄｒ．ロビンスの上手な英語医学論文の書き方	Mary Louise Robbins／著	医学書院	¥1,700
00005476	新しい医療観を求めて	石渡隆司	時空出版	頒価不明
00005477	医学英語慣用表現集　第３版	小林充尚	文光堂	¥6,311
00005478	医学のためのパーソナルコンピューター	芦田廣／著	丸善	¥3,600
00005479	医学論文の書き方　第４版	田中潔	医学書院	¥1,900
00005480	医学を変えた発見の物語	諏訪邦夫／訳	中外医学社	¥2,800
00005481	医の倫理　原書第二版	舘野之男／訳	東京大学出版会	頒価不明
00005482	医の倫理　原書第二版	舘野之男／訳	東京大学出版会	頒価不明
00005483	医の論理	中川米造	玉川大学出版部	頒価不明
00005484	医の論理 いのちを考える拠点	日野原重明	ＨＢＪ出版局	頒価不明
00005485	医療科学	江川寛	医学書院	¥4,800
00005486	医療科学入門	的場恒孝	南江堂	¥2,800
00005487	医療ケースワークの初歩的実践	柴山悦子／著	医学書院	¥1,800
00005488	医療職が覚えておきたい運動・動作の英語表現	飯田恭子	医学書院	¥2,000
00005489	医療職が覚えておきたい運動・動作の英語表現	飯田恭子	医学書院	¥2,000
00005490	医療とことば	永井友二郎	中外医学社	¥2,400
00005491	医療とことば	永井友二郎・阿部正和	中外医学社	¥2,400
00005492	医療と人権	福武直／ほか監修	中央法規出版	¥4,800
00005493	医療の場のコミュニケーション　言葉を贈る心を贈る	日下隼人	篠原出版新社	¥1,800
00005494	医療福祉をつなぐ関連職種連携-講義と実習にもとづく学習のすべて-	北島政樹	南江堂	¥3,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005495	学生のための医療概論	千代豪昭	医学書院	¥2,500
00005496	学生のための医療概論　第2版	千代豪昭	医学書院	¥2,800
00005497	学生のための法医学	永田武朗	南山堂	¥5,000
00005498	カパンディ手のデッサン	萩島秀男	医歯薬出版	¥2,330
00005499	カルテ&レセプト略語8500 :傷病・検査・処置・手術・薬剤等の臨床略語全集	清水尊	医学通信社	¥2,200
00005500	基本パーツ101語分解方式で学ぶ医学用語	津波古澄子	日本看護協会出版	¥2,200
00005501	系統的にみた医学・生物学領域の英語術語辞典	宮野成二／著	廣川書店	¥2,000
00005502	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005503	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005504	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005505	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005506	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005507	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005508	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005509	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005510	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005511	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005512	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005513	講座人間と医療を考える第１巻哲学と医療	中川米造	弘文堂	頒価不明
00005514	講座人間と医療を考える第３巻行動科学と医療	長谷川浩	弘文堂	頒価不明
00005515	講座人間と医療を考える第５巻社会学と医療	園田恭一	弘文堂	頒価不明
00005516	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論	北村諭	中外医学社	¥2,400
00005517	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論	北村諭	中外医学社	¥2,400
00005518	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 運動学	丸山仁司	中外医学社	¥2,600
00005519	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 公衆衛生学	柳川洋	中外医学社	¥3,600
00005520	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 公衆衛生学	柳川洋	中外医学社	¥3,600
00005521	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 小児科学	外間登美子	中外医学社	¥3,600
00005522	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 診断学概論	北村諭	中外医学社	¥2,200
00005523	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 診断学概論	北村諭	中外医学社	¥2,200
00005524	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 精神医学	上野修一他	中外医学社	¥3,200
00005525	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 精神医学	上野修一他	中外医学社	¥3,200
00005526	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 生理学	黒澤美枝子他	中外医学社	¥3,900
00005527	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005528	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005529	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005530	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005531	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005532	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005533	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005534	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005535	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005536	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005537	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005538	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 臨床心理学	名嘉幸一	中外医学社	¥2,400
00005539	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 老年医学	松本和則	中外医学社	¥3,600
00005540	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　解剖学	五味敏昭,岸清	中外医学社	¥4,600
00005541	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　公衆衛生学	柳川洋,萱場一則	中外医学社	¥3,600
00005542	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　臨床心理学	名嘉幸一	中外医学社	¥2,400
00005543	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　臨床心理学	名嘉幸一	中外医学社	¥2,400
00005544	これからの医療コミュニケーションへ向けて	石崎雅人他	篠原出版新社	¥3,200
00005545	これからの地域医療「健康づくり」の進め方	宮原伸二／著	医学書院	¥2,200
00005546	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005547	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005548	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005549	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005550	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005551	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005552	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005553	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005554	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005555	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005556	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005557	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005558	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005559	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005560	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005561	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005562	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005563	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005564	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005565	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005566	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005567	宗教学と医療	黒岩卓夫	弘文堂	頒価不明
00005568	ショートコース医学英語 ： プラス・マイナス暗記法	小松信彦訳	廣川書店	¥2,884
00005569	新　医療秘書実務シリーズ　2 病院管理	田島誠一他	建帛社	¥2,500
00005570	新　医療秘書実務シリーズ　2 病院管理	田島誠一他	建帛社	¥2,500
00005571	新訂　平静の心　オスラー博士講演集	日野原重明／訳	医学書院	¥3,800
00005572	新版医学概論・用語ー保健・医療・福祉についてー	緒方正名	大学教育出版	¥2,200
00005573	第94回医師国家試験問題解説	医師国試対策編集委員会	医学教育出版社	¥3,900
00005574	日本の医倫理	関根透／著	学建書院	¥2,800
00005575	脳死　医学と社会の接点	太田富雄／訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥3,200
00005576	プログラム学習による医学用語の学び方　第２版	裏田武夫	医学書院	¥4,500
00005577	法医学	何川涼／著	日本医事新報社	¥8,700
00005578	法医学	何川涼／著	日本医事新報社	¥8,700
00005579	面接による患者理解　改訂版	ブレイン・バード／著	診断と治療社	¥3,786
00005580	面接による患者理解　改訂版	ブレイン・バード／著	診断と治療社	¥3,786
00005581	臨床におけるコミュニケーション よりよき治療関係のために	木戸幸聖	創元社	頒価不明
00005582	レセプト作成テキストブック ： 医科 点数表の基本とレセプト記載の原則 平成21年4月版	川上雪彦	社会保険研究所	¥3,465
00005583	忘れえぬカルテ	鈴木秀郎／著	金芳堂	¥2,000
00005584	医の教育1　医の統合3　一般教養課程	医の統合を語る会	日本医事新報社	¥1,900
00005585	医の統合5　医療と社会	医の統合を語る会	日本医事新報社	¥1,900
00005586	医の倫理 ： ミニ事典	森岡恭彦 畔柳達雄	メジカルビュー社	¥2,000
00005587	医科系学生のための総合英語	神山省吾/他著	南雲堂	¥2,800
00005588	医科系学生のための総合英語	神山省吾/他著	南雲堂	¥2,718
00005589	医学英語 ： プラス・マイナス暗記法	Davi-Ellen Chabner	広川書店	¥4,800
00005590	医学英語文例集　増訂第2版	入内島十郎	中外医学社	¥7,600
00005591	医師・医療機関のための保険診療ルールBOOK ： 療養担当規則の完全読解と保険診療80カ条 2008-09年版	ヘルスケア21研究会	医学通信社	¥1,800
00005592	医師・医療機関のための保険診療ルールBOOK ： 療養担当規則の完全読解と保険診療80カ条 2010-11年版	ヘルスケア21研究会	医学通信社	¥1,800
00005593	医療のためのコンピュータプログラミング ： MUMPS言語による	椎名晋一／著	朝倉書店	頒価不明
00005594	医療の実例英会話 ： 英和対訳	Joy Parkinson	南雲堂 フェニックス	¥2,427
00005595	医療学入門　第2版	高橋政祺	医学書院	¥2,000
00005596	医療技術者のための医学英語入門	清水雅子	講談社サイエンティフィック	¥2,718
00005597	医療技術者のための医学英語入門	清水雅子	講談社サイエンティフィック	¥2,718
00005598	医療職が覚えておきたい運動・動作の英語表現	飯田恭子	医学書院	¥2,000
00005599	学生のための法医学　第3版	永田武明,原三郎	南山堂	¥5,000
00005600	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	頒価不明
00005601	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	¥2,200
00005602	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	¥2,200
00005603	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	¥2,200
00005604	高度先進医療の実際	伊藤忠厚	薬事新報社	¥2,700

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005605	最新・医療事務用語1600 ： 医療事務に必要な医事・医学用語事典	医療事務協議会	医学通信社	¥2,600
00005606	最新医事法学　増補第2版	穴田秀男	金原出版	¥4,800
00005607	最新医事法学　増補第2版	穴田秀男	金原出版	¥4,800
00005608	実践PBLチュートリアルガイド	吉田一郎・大西弘高	南山堂	¥3,900
00005609	重症失語の症状学 ： ジャルゴンとその周辺	波多野和夫	金芳堂	頒価不明
00005610	症候群小辞典	沢木修二	金芳堂	¥3,500
00005611	生きる権利と死ぬ権利	フランソア・サルダ	みすず書房	頒価不明
00005612	生と死の医療	河野友信,河野博臣	朝倉書店	¥5,000
00005613	平静の心 ： オスラー博士講演集	オスラー	医学書院	¥3,800
00005614	保険診療基本法令テキストブック ： 医療保険制度の概要と関係法令 平成21年4月版	川上雪彦	社会保険研究所	¥2,100
00005615	未知との遭遇 ： 癒しとしての面接	奥川幸子	三輪書店	¥2,427
00005616	明日の医療，9　医療と人権	唄孝一	中央法規出版	¥4,800
00005617	面接による患者理解 ： 患者心理も含めて　改訂第2版	ブレイン・バード	診断と治療社	¥3,786
00005618	和・英・独・ラ対照カルテ用語	金芳堂	金芳堂	頒価不明
00005619	ＡＥＤを用いた救急蘇生法の指針	心配蘇生法委員会	へるす出版	¥400
00005620	SF-36v2™日本語版マニュアル	福原俊一・鈴鴨よしみ	特定非営利活動法人 健康医療評価 研究機構	¥9,524
00005621	医学・公衆衛生学のための統計学入門	永田久紀	南江堂	¥1,200
00005622	医学・公衆衛生学のための統計学入門 改訂第2版	永田久紀・浅野弘明／共著	南江堂	¥1,200
00005623	医学・公衆衛生学のための統計学入門ー改訂第２版ー	永田久記	南江堂	¥1,200
00005624	医学・保健学の例題による統計学	豊川裕之	現代数学者	頒価不明
00005625	医学統計的方法	伊藤樹史／著	医学書院	¥11,500
00005626	医学への統計学	古川俊之	丹後俊郎	¥3,900
00005627	医学への統計学	古川俊之	丹後俊郎	¥3,900
00005628	学校医マニュアル　第２版	大国真彦	文光堂	¥6,311
00005629	からだの発達 ： 身体発達学へのアプローチ	高石昌弘/他編	大修館書店	¥2,500
00005630	これからの地域医療「健康づくり」の進め方	宮原伸二	医学書院	¥2,200
00005631	これからの健康づくり ： 基礎から実践までのガイドブック	東京都健康づくり推進センター	東京都健康づくり推進センター	¥2,858
00005632	最新健康科学概論	緒方正名	朝倉書店	¥3,200
00005633	地域健康づくり	桐木逸郎	総合労働研究所	¥1,800
00005634	地域健康づくり	桐木逸朗	総合労働研究所	¥1,800
00005635	難病への取組みと展望	重松逸造／監修	日本公衆衛生協会	¥2,200
00005636	脳性まひ児の水泳	矢部京之助/他編	杏林書院	¥2,000
00005637	プライマリ・ケアのための疫学	勝沼晴雄,田中恒男	杏林書院	¥5,500
00005638	マナーとホスピタリティの英語　　ＣＤ付 ： 医療・看護・介護	古閑博美 垂石幸与 土谷宣子著	鷹書房弓プレス	¥1,800
00005639	やさしい保健統計学	縣俊彦／著	南江堂	¥1,748
00005640	やさしい保健統計学　改訂第2版	縣俊彦著	南江堂	¥1,800
00005641	臨床統計解析のためのソフトウェアＦＬＳＨＥＲ	開原成允	中山書店	頒価不明
00005642	わかりやすい公衆衛生学	清水忠彦,佐藤拓代	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,200
00005643	医学・公衆衛生学のための統計学入門	永田久紀,浅野弘明	南江堂	¥1,200
00005644	医療・保健・衛生法規の概説	今村晋,高野健人	南山堂	¥1,200
00005645	疫学マニュアル　第4版	柳川洋	南山堂	¥4,500
00005646	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法	遠城寺宗徳,合屋長英	慶應通信	¥700
00005647	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法	遠城寺宗徳,合屋長英	慶應通信	¥700
00005648	救急蘇生法の指針	日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会	へるす出版	¥400
00005649	救急蘇生法の指針 ： 市民用	日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会	へるす出版	¥400
00005650	救急蘇生法の指針 ： 市民用　改訂3版	日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会	へるす出版	¥400
00005651	救急蘇生法の指針2010	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	¥400
00005652	救急蘇生法の指針2010　改訂4版	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	¥400
00005653	健康づくりの基礎 ： 予防医学の立場から	小山内博	労働科学研究所 出版部	¥2,233
00005654	健康づくりへのアプローチ ： 生活習慣病の予防・生活習慣改善マニュアル 第3版	石川兵衛	文光堂	¥2,600
00005655	健康と環境 ： 環境科学	斎藤和雄	朝倉書店	¥3,900
00005656	公衆衛生実践シリーズ，第10巻　難病と保健活動	乾死乃生,木下安子	医学書院	¥2,200
00005657	今日から使えるリハビリテーションのための統計学 ： 初心者のための実践的手引き	高橋仁美,加賀谷斉	医歯薬出版	¥2,800
00005658	最新育児小児病学	香美祥二,二宮恒夫	南江堂	¥2,800
00005659	最新育児小児病学	香美祥二,二宮恒夫	南江堂	¥2,800
00005660	最新育児小児病学	香美祥二,二宮恒夫	南江堂	¥2,800
00005661	最新健康科学概論	前橋明,大森豊緑	朝倉書店	¥3,200
00005662	最新健康科学概論	前橋明,大森豊緑	朝倉書店	¥3,200
00005663	治療効果判定のための実用統計学 ：　第3回改訂版 生命表法の解説と臨床試験の実際	富永祐民著	蟹書房	頒価不明
00005664	治療効果判定のための実用統計学 ：　第3回改訂版 生命表法の解説と臨床試験の実際	富永祐民著	蟹書房	頒価不明
00005665	小児リハビリテーションポケットマニュアル	本田真美/他編	診断と治療社	¥4,200
00005666	小児リハビリテーションポケットマニュアル	本田真美/他編	診断と治療社	¥4,200
00005667	新版　行動科学からみた健康と病気	宗像恒次	メヂカル フレンド社	¥3,010
00005668	新編臨床検査知識の整理，1　公衆衛生学	新臨床検査技師教育研究会	医歯薬出版	¥1,068
00005669	赤ちゃんの心と体の図鑑	デズモンド・モリス	柊風舎	¥8,500
00005670	赤ちゃんの心と体の図鑑	デズモンド・モリス	柊風舎	¥8,500
00005671	二分脊椎・筋ジストロフィー・ダウン症候群・小児切断・血友病・先天性多発性関節拘縮症・神経筋疾患・精神遅滞	岩谷力,土肥信之	医歯薬出版	¥5,650
00005672	二分脊椎・筋ジストロフィー・ダウン症候群・小児切断・血友病・先天性多発性関節拘縮症・神経筋疾患・精神遅滞	岩谷力,土肥信之	医歯薬出版	¥5,650
00005673	二分脊椎・筋ジストロフィー・ダウン症候群・小児切断・血友病・先天性多発性関節拘縮症・神経筋疾患・精神遅滞	岩谷力,土肥信之	医歯薬出版	¥5,650
00005674	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005675	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600
00005676	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600
00005677	臨床疫学 ： EBM実践のための必須知識	ロバート・H・フレッチャー,スーザン・W・フレッチャー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥4,700
00005678	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005679	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005680	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005681	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005682	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005683	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005684	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005685	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005686	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005687	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005688	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005689	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005690	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005691	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005692	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005693	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005694	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005695	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005696	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005697	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005698	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005699	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005700	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005701	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005702	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　神経障害理学療法学 1	大畑光司,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005703	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　神経障害理学療法学 2	大畑光司,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005704	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　装具学	佐竹將宏	中山書店	¥2,400
00005705	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　物理療法学・実習	日高正巳,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005706	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　物理療法学・実習	日高正巳,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005707	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　物理療法学・実習	日高正巳,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005708	ABCDEsバンドルとICUにおける早期リハビリテーション	氏家良人/他編	克誠堂出版	¥5,200
00005709	ADL	柴喜崇,下田信明	羊土社	¥5,200
00005710	EBM物理療法	Michelle H.Cameron	エルゼビア・ジャパン	¥9,000
00005711	OSCE１客観的臨床能力試験 ： アンダーグラジュエイツ ： 態度・技能・知識の統合を図る	A.Feather/他編	文光堂	¥3,500
00005712	OSCE２客観的臨床能力試験 ： アンダーグラジュエイツ ： 態度・技能・知識の統合を図る	A.Feather/他編	文光堂	¥3,500
00005713	OT臨床ハンドブック　ポケット版	聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部作業療法科	三輪書店	¥4,700
00005714	PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養 ： 栄養ケアがリハを変える	若林秀隆	医歯薬出版	¥3,200
00005715	PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド　第２版	山口美和	医学書院	¥2,800
00005716	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005717	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005718	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005719	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,500
00005720	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005721	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005722	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005723	PT・OTのための一般臨床医学　第2版	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005724	PT・OTのための臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技	椿原彰夫	診断と治療社	¥2,500
00005725	PT・OTのための臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技	椿原彰夫	診断と治療社	¥2,500
00005726	PT臨床ハンドブック ： ポケット版　第2版	亀田メディカルセンターリハビリテーション事業部	三輪書店	¥4,800
00005727	ROM測定	伊藤俊一,星文彦	三輪書店	¥3,800
00005728	ROM測定	伊藤俊一,星文彦	三輪書店	¥3,800
00005729	The Ciba collection of medical illustrations 筋骨格　　vol.8	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥25,000
00005730	The Ciba collection of medical illustrations 呼吸器　　vol.7	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005731	The Ciba collection of medical illustrations 消化器　　vol.3　第１部上部消化管	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005732	The Ciba collection of medical illustrations 消化器　vol.3　第３部肝臓、胆道および膵臓	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥15,000
00005733	The Ciba collection of medical illustrations 神経　vol.1　第１部解剖学および生理学	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥23,000
00005734	The Ciba collection of medical illustrations 神経　vol.1　第２部神経系および神経筋疾患	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥23,000
00005735	The Ciba collection of medical illustrations 心臓　　vol.5	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥19,000
00005736	The Ciba collection of medical illustrations 腎臓　vol. 6	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005737	The Ciba collection of medical illustrations 生殖器　　vol.2	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005738	The Ciba collection of medical illustrations 内分泌　　vol.4	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005739	The Ciba collection of medical illustrations 消化器　　第2部下部消化管　vol.3	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥18,000
00005740	The electromyography research for physical therapy and acupuncture ： 理学療法・鍼灸治療における筋電図研究のすべて	関西理学療法学会	アイペック	¥4,000
00005741	痛みの新しい治療法ー東洋医学の近代的応用ー	兵頭正義	中外医学者	¥5,200
00005742	イラストわかりやすい移動のしかた ： 患者と介助者のために	井口恭一	三輪書店	¥2,500
00005743	合併症の管理　リハビリテーション医学全書Ⅱ	明石謙	医歯薬出版	¥4,900
00005744	合併症の管理　リハビリテーション医学全書Ⅱ	明石謙	医歯薬出版	¥4,900

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005745	患者診断学アートとサイエンスを活かして第２版	日野原重明	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,500
00005746	がんと緩和ケアの作業療法	Jill Cooper	三輪書店	¥3,800
00005747	救急医学の実際	下地恒毅/他編	朝倉書店	¥7,800
00005748	着る・装うことの障害とアプローチ	山根寛	三輪書店	¥2,800
00005749	クライオセラピー : 理論,テクニック,生理学	Kenneth L.Knight著	メディカル葵出版	¥4,600
00005750	言語障害	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明
00005751	言語障害	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明
00005752	コ・メディカルのための基礎医学の知識	橘敏也	薬業時報社	¥3,090
00005753	コ・メディカルのための基礎医学の知識	橘敏也	薬業時報社	¥3,000
00005754	呼吸障害・循環障害・老人　リハビリテーション医学全書２１	砂原茂一	医歯薬出版	¥5,300
00005755	これだけで十分コメディカルの内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005756	これだけは知っておきたいリハビリテーションの臨床とケア : 実地教育テキスト	土肥信之	ライフ・サイエンス・センター	¥3,600
00005757	作業ーその治療的応用　改訂第２版	社団法人日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,500
00005758	作業ーその治療的応用　改訂第2版	社団法人日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,500
00005759	作業療法マニュアル３８　大腿骨頚部／転子部骨折の作業療法	日本作業療法士協会学術部	日本作業療法士協会	頒価不明
00005760	シンプル内科学	寺野彰総	南江堂	¥6,500
00005761	図解　痛みの治療 神経ブロック療法を中心として	山本亨・若杉文吉／著	医学書院	¥5,500
00005762	スポーツとリハビリテーション	佐藤撻／著	廣川書店	頒価不明
00005763	スポーツとリハビリテーション医学	佐藤撻	廣川書店	¥3,000
00005764	スリングエクササイズセラピー : 自重免荷と固有受容感覚を利用した効果的運動療法	中島雅美著	中島雅美著	¥3,500
00005765	セラピストのための概説リハビリテーション	嶋田智明	文光堂	¥4,000
00005766	セラピストのための概説リハビリテーション	嶋田智明	文光堂	¥4,000
00005767	セラピストのための概説リハビリテーション	嶋田智明	文光堂	¥4,000
00005768	セラピストの動きの基本 : 運動器リハビリテーション新時代	山口光國,春木豊	文光堂	¥3,500
00005769	全訂新版 オステオパシー手技教本	アラン・スタッダードD.O.原著	科学新聞社	¥9,500
00005770	ターミナルケア医学	岡安大仁	医学書院	¥2,000
00005771	ターミナルケア医学	岡安大仁,柏木哲夫	医学書院	¥2,000
00005772	だから、作業療法が大好きです!	葉山靖明	三輪書店	¥2,000
00005773	だから、作業療法が大好きです!	葉山靖明	三輪書店	¥2,000
00005774	地域リハビリテーション原論　Ver.3	大田仁史	医歯薬出版	¥1,400
00005775	地域リハビリテーション原論　Ver.3	大田仁史	医歯薬出版	¥1,400
00005776	地域リハビリテーション論	浜村明徳	三輪書店	¥2,400
00005777	つくる・あそぶを治療にいかす作業活動実習マニュアル	古川宏	医歯薬出版	¥4,000
00005778	手の装具療法	内西兼一郎	医学書院	¥11,000
00005779	徳島県における初めての取り組み　ニューロリハビリテーション　―鴨島病院の新たなる挑戦―	鴨島病院歩こう会		頒価不明
00005780	徳島県における初めての取り組み　ニューロリハビリテーション　―鴨島病院の新たなる挑戦―	鴨島病院歩こう会		頒価不明
00005781	ナースの内科学　改訂４版	奈良信雄	中外医学社	¥8,000
00005782	ナースの内科学　改訂６版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005783	ナースの内科学　改訂６版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005784	ナースの内科学　改訂８版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005785	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005786	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005787	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005788	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005789	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005790	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005791	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005792	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005793	内科セミナーPN５　基底核疾患	織田敏次/他編	永井書店	¥4,900
00005794	日本作業療法士協会　五十年史	日本作業療法士協会	医歯薬出版	頒価不明
00005795	日本人のためのリハビリ医療	三島博信	ジーベック	¥2,600
00005796	日本人のためのリハビリ医療	三島博信	ジーベック	¥2,600
00005797	日本理学療法士協会　五十年史　～たくさんの『一歩』と歩んで50年～	50周年記念誌編集委員会	日本理学療法士協会	頒価不明
00005798	日本理学療法士協会　五十年史　～たくさんの『一歩』と歩んで50年～	50周年記念誌編集委員会	日本理学療法士協会	頒価不明
00005799	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥3,800
00005800	脳卒中片麻痺の肩	Rene Cailliet	医歯薬出版	¥2,800
00005801	ノーマライゼーション実践学 凡人から達人をめざす作業療法士道	大丸幸・吉田隆幸	青海社	¥2,600
00005802	はじめての研究法 : コ・メディカルの研究法入門	千住秀明,玉利光太郎	九州神陵文庫	¥4,500
00005803	はじめての研究法 : コ・メディカルの研究法入門	千住秀明/他編	神陵文庫	¥4,500
00005804	はじめての研究法 : コ・メディカルの研究法入門	千住秀明/他編	神陵文庫	¥4,500
00005805	はじめての訪問リハビリテーション	吉良健司	医学書院	¥3,800
00005806	はじめての訪問リハビリテーション	吉良健司	医学書院	¥3,800
00005807	はじめての訪問リハビリテーション	吉良健司	医学書院	¥3,800
00005808	ハリソン内科学　第2版	ハリソン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥29,800
00005809	ひとと作業・作業活動 : ひとにとって作業とは?どのように使うのか? 第２版	鎌倉矩子/他編	三輪書店	¥3,300
00005810	標準作業療法学　専門分野　基礎作業学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005811	標準作業療法学　専門分野　基礎作業学	矢谷令子	医学書院	¥3,801
00005812	標準作業療法学　専門分野　高齢期作業療法	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005813	標準作業療法学　専門分野　作業療法学概論	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005814	標準作業療法学　専門分野　作業療法学概論	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005815	標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学	矢谷令子	医学書院	¥5,700
00005816	標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学	矢谷令子	医学書院	¥5,700
00005817	標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学	矢谷令子	医学書院	¥5,700
00005818	標準作業療法学　専門分野　社会生活行為学	矢谷令子	医学書院	¥4,700

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005819	標準作業療法学　専門分野　身体機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,700
00005820	標準作業療法学　専門分野　身体機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,700
00005821	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005822	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005823	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005824	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005825	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005826	標準作業療法学　専門分野　発達過程作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,000
00005827	標準作業療法学　専門分野　発達過程作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,200
00005828	標準作業療法学　専門分野　臨床実習とケーススタディ	矢谷令子	医学書院	¥4,200
00005829	標準理学療法学　専門分野　運動療法学各論	奈良勲	医学書院	¥5,600
00005830	標準理学療法学　専門分野　運動療法学総論	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005831	標準理学療法学　専門分野　運動療法学総論	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005832	標準理学療法学　専門分野　運動療法学総論	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005833	標準理学療法学　専門分野　基礎理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005834	標準理学療法学　専門分野　基礎理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005835	標準理学療法学　専門分野　基礎理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005836	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学	吉尾雅春,森岡周	医学書院	¥5,000
00005837	標準理学療法学　専門分野　内部障害理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,000
00005838	標準理学療法学　専門分野　内部障害理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,000
00005839	標準理学療法学　専門分野　日常生活活動学・生活環境学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005840	標準理学療法学　専門分野　日常生活活動学・生活環境学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005841	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005842	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005843	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005844	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005845	標準理学療法学　専門分野　理学療法研究法	内山靖	医学書院	¥4,700
00005846	標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学	内山靖	医学書院	¥5,800
00005847	標準理学療法学　専門分野　臨床実習とケーススタディ	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005848	標準理学療法学　専門分野　臨床動作分析	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005849	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005850	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005851	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005852	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005853	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005854	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005855	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005856	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005857	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005858	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005859	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005860	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005861	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005862	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005863	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005864	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005865	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005866	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005867	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005868	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005869	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005870	病歴と現症のとり方	五島雄一郎	朝倉書店	¥4,900
00005871	病歴と現症のとり方	五島雄一郎	朝倉書店	¥4,900
00005872	物理療法の実際	森和／著	南山堂	¥6,500
00005873	メディカルスタッフのための内科学　第4版	伊東進,森博愛	医学出版社	¥4,500
00005874	モゼイ・作業療法 ： 専門職としての位置づけ	Anne Cronin Mosey	協同医書出版社	¥3,800
00005875	ヤンダアプローチ ： マッスルインバランスに対する評価と治療	PhilPage/他編	三輪書店	¥4,800
00005876	リサーチ・クエスチョンの作り方 ： 診療上の疑問を研究可能な形に	福原俊一	健康医療評価研究機構	¥2,000
00005877	リスク管理 ： その解釈と統合 ： 積極的な理学療法を目指して	嶋田智明/他編	文光堂	¥4,800
00005878	リハカルテ活用ハンドブック	南場芳文	メジカルビュー社	¥4,200
00005879	リハカルテ活用ハンドブック	南場芳文	メジカルビュー社	¥4,200
00005880	リハに役立つ脳画像 ： コツさえわかればあなたも読める	大村優慈	メジカルビュー社	¥3,500
00005881	リハビリテーション ： 評価と治療計画	S.B.オサリバン T.J.シュミッツ	西村書店	¥12,000
00005882	リハビリテーション　ケーススタディ	岩倉博光	医学書院	¥4,900
00005883	リハビリテーションMOOK４　高次脳機能障害とリハビリテーション	大橋正洋/他編	金原出版	¥5,000
00005884	リハビリテーション医学講座　第13巻神経筋疾患	宇尾野公義	医歯薬出版	¥2,000
00005885	リハビリテーション医学講座　第13巻神経筋疾患	宇尾野公義	医歯薬出版	¥2,000
00005886	リハビリテーション医学講座　第15巻関節リウマチとその近縁疾患	吉野槇一	医歯薬出版	¥2,200
00005887	リハビリテーション医学講座　第1巻 リハビリテーション医学概論　第2版	岩倉博光著	医歯薬出版	頒価不明
00005888	リハビリテーション医学講座　第1巻 リハビリテーション医学概論　第2版	岩倉博光著	医歯薬出版	頒価不明
00005889	リハビリテーション医学講座　第1巻 リハビリテーション医学概論　第2版	岩倉博光著	医歯薬出版	頒価不明
00005890	リハビリテーション医学講座　第2巻人間発達学	上田礼子著	医歯薬出版	頒価不明
00005891	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005892	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005893	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005894	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005895	リハビリテーション医学講座第４巻　神経生理学・臨床神経学	中村隆一	医歯薬出版	¥2,600
00005896	リハビリテーション医学全書14　脳卒中その他の片麻痺	福井圀彦	医歯薬出版	¥6,900
00005897	リハビリテーション医学全書２　リハビリテーション診断学＜下＞検査	千野直一	医歯薬出版	¥6,500
00005898	リハビリテーション医学の実際	飯野三郎/他編	昭学社	頒価不明
00005899	リハビリテーション概論	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明
00005900	リハビリテーション概論	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明
00005901	リハビリテーション序説	安藤徳彦	医学書院	¥3,400
00005902	リハビリテーションと理学療法エッセンシャル ： 臨床で役立つ診断と治療	Walter R. Frontera, Julie K. Silver	西村書店	¥9,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005903	リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎	栢下淳,若林秀隆	医歯薬出版	¥3,800
00005904	リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎	栢下淳,若林秀隆	医歯薬出版	¥3,800
00005905	リハビリテーションのための疾患ガイド	水間正澄/他編	医歯薬出版	¥6,000
00005906	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,800
00005907	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005908	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005909	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005910	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005911	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005912	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,800
00005913	リハビリテーションの基礎英語 = Basic English textbook for learners of rehabilitation sciences	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,400
00005914	リハビリテーションの思想 : 人間復権の医療を求めて	上田敏	医学書院	¥1,400
00005915	リハビリテーションの思想 : 人間復権の医療を求めて	上田敏	医学書院	¥1,400
00005916	リハビリテーションの歩み : その源流とこれから	上田敏	医学書院	¥3,000
00005917	リハビリテーションリスク管理ケーススタディ	宮越浩一	メジカルビュー社	¥4,000
00005918	リハビリテーションリスク管理ハンドブック	亀田メディカルセンターリハビリテーション科リハビリテーション室	メジカルビュー社	¥4,000
00005919	リハビリテーション医学テキスト　改訂第4版	出江紳一, 加賀谷斉	南江堂	¥5,300
00005920	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005921	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005922	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005923	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005924	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005925	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005926	リハビリテーション医学講座　第2巻　人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005927	リハビリテーション医学講座　第2巻　人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005928	リハビリテーション医学講座, 第12巻　脊髄損傷 :包括的リハビリテーション	初山泰弘, 二瓶隆一	医歯薬出版	¥4,500
00005929	リハビリテーション医学講座, 第13巻　神経筋疾患	宇尾野公義	医歯薬出版	¥2,000
00005930	リハビリテーション医学講座, 第17巻　循環器疾患/呼吸器疾患	芳賀敏彦/他編	医歯薬出版	¥2,400
00005931	リハビリテーション医学講座, 第17巻　循環器疾患/呼吸器疾患	芳賀敏彦/他編	医歯薬出版	¥3,200
00005932	リハビリテーション医学講座, 第4巻　神経生理学・臨床神経学　第2版	中村隆一	医歯薬出版	¥3,200
00005933	リハビリテーション医学全書11　言語障害	笹沼澄子	医歯薬出版	頒価不明
00005934	リハビリテーション医学全書11　言語障害	笹沼澄子	医歯薬出版	頒価不明
00005935	リハビリテーション医学全書2　人間発達	新井清三郎, 上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005936	リハビリテーション医学全書, 2　人間発達	新井清三郎, 上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005937	リハビリテーション医学全書, 2　人間発達	新井清三郎,上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005938	リハビリテーション医学全書, 2　人間発達	新井清三郎,上田礼子	医歯薬出版	¥3,350
00005939	リハビリテーション医学全書, II-8　リハビリテーション工学	明石謙,岡本卓爾	医歯薬出版	¥4,660
00005940	リハビリテーション医学全書12　視覚障害　第２版	原田政美	医歯薬出版	¥4,800
00005941	リハビリテーション医学全書12　視覚障害　第２版	原田政美	医歯薬出版	¥4,800
00005942	リハビリテーション医学全書2　人間発達	新井清三郎,上田礼子	医歯薬出版	¥3,300
00005943	リハビリテーション医学全書21　呼吸障害・循環障害・老人	砂原茂一	医歯薬出版	¥5,300
00005944	リハビリテーション医学全書22　精神障害　第２版	井上正吾,小池清廉	医歯薬出版	¥6,000
00005945	リハビリテーション医学全書22　精神障害　第２版	井上正吾,小池清廉	医歯薬出版	¥6,000
00005946	リハビリテーション医学全書6　装具・自助具・車椅子　第２版	荻島秀男	医歯薬出版	¥3,800
00005947	リハビリテーション医学全書6　装具・自助具・車椅子　第２版	荻島秀男	医歯薬出版	¥3,800
00005948	リハビリテーション医学大辞典	上田敏,大川弥生	医歯薬出版	¥8,300
00005949	リハビリテーション医学白書	リハビリテーション医学白書委員会	医学書院	¥3,000
00005950	リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン	日本リハビリテーション医学会 診療ガイドライン委員会	医歯薬出版	¥2,000
00005951	リハビリテーション医療入門	武智秀夫著	医学書院	¥1,800
00005952	リハビリテーション英語の基本用語と表現 = Essential terms and expressions for rehabilitation	清水雅子,服部しのぶ	メジカルビュー社	¥2,000
00005953	リハビリテーション英語の基本用語と表現 = Essential terms and expressions for rehabilitation	清水雅子,服部しのぶ	メジカルビュー社	¥2,000
00005954	リハビリテーション看護論	中西純子,石川ふみよ	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005955	リハビリテーション基礎医学	上田敏/他編	医学書院	¥9,500
00005956	リハビリテーション機器 : 適応と選択	加倉井周一	医学書院	¥5,600
00005957	リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ : 応用行動分析で運動療法とADL訓練は変わる	山崎裕司,山本淳一	三輪書店	¥3,400
00005958	リハビリテーション国際協力入門	久野研二,中西由起子	三輪書店	¥3,000
00005959	リハビリテーション国際協力入門	久野研二,中西由起子	三輪書店	¥3,000
00005960	リハビリテーション事典 = Encyclopedia of rehabilitation	伊藤利之/他編	中央法規出版	¥7,000
00005961	リハビリテーション序説	安藤徳彦	医学書院	¥3,400
00005962	リハビリテーション序説	安藤徳彦	医学書院	¥3,400
00005963	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005964	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005965	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005966	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005967	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005968	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005969	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005970	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005971	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005972	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005973	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005974	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005975	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005976	リハビリテーション白書	日本リハビリテーション医学会	医歯薬出版	¥5,825
00005977	リハビリテーション評価データブック	道免和久	医学書院	¥4,200
00005978	リハビリテーション用語解説ポケットブック	梅田悦生，梅田紘子	診断と治療社	¥2,800
00005979	リハビリテーション臨床のための脳科学 ： 運動麻痺治療のポイント	富永孝紀/他編	協同医書出版社	¥2,800
00005980	リハビリテーション臨床現場のモヤモヤ解決！： こんなときどうする?	上月正博	医歯薬出版	¥3,600
00005981	リハ医とコメディカルのための最新リハビリテーション医学	上月正博/他編	寺田国際事務所/先端医療技術研究所	¥7,000
00005982	レッドコード・ニューラック・マニュアル ： スリング・エクササイズ・セラピーからの進化	日本ニューラック研究会	三輪書店	¥4,800
00005983	わかりやすいリハビリテーション	岡島康友	中山書店	¥4,300
00005984	わたしのからだをさがして ： リハビリテーションでみつけたこと	小川奈々，中里瑠美子	協同医書出版社	¥2,000
00005985	運動の成り立ちとは何か ： 理学療法・作業療法のためのBiNI approach ： biomechanics and neuroscience integrative approach	舟波真一，山岸茂則	文光堂	¥6,300
00005986	運動療法ガイド ： 正しい運動処方を求めて	宮下充正，武藤芳照	日本醫事新報社	¥3,786
00005987	運動療法のための機能解剖学的触診技術	林典雄	メジカルビュー社	¥5,700
00005988	延命の医学から生命を与えるケアへ	日野原重明	医学書院	¥980
00005989	演習・実習に役立つ基礎看護技術 ： 根拠に基づいた実践をめざして	三上れつ，小松万喜子	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,900
00005990	音楽療法	ジュリエット・アルヴァン	音楽之友社	頒価不明
00005991	家庭でできるリハビリ用具の選び方、使い方	長野大輔	健友館	¥1,200
00005992	科学的根拠に基づく理学療法 ： 理論を実践に生かすヒント	Kathryn Refshauge/他編	エルゼビア・ジャパン	¥5,200
00005993	回復期につながる急性期理学療法の実際	井上悟，松尾善美	文光堂	¥7,000
00005994	回復期リハビリ病院のスタッフが教える知って役立つリハビリのお話 ： 西広島リハビリテーション病院 ： 開院30周年企画	西広島リハビリテーション病院	南々社	¥1,200
00005995	改訂第3版 作業療法学全書，11　日常生活活動	酒井ひとみ	協同医書出版社	¥3,600
00005996	改訂第3版 作業療法学全書，第6巻　発達障害	田村良子	協同医書出版社	¥3,200
00005997	絵でみる指圧・マッサージ	寺澤捷年，津田昌樹	医学書院	¥2,400
00005998	外科領域リハビリテーション最新マニュアル	宇佐美眞	協同医書出版社	¥4,800
00005999	学生のためのリハビリテーション医学概論	栢森良二	医歯薬出版	¥2,400
00006000	学生のためのリハビリテーション医学概論 = rehabilitation medicine	栢森良二	医歯薬出版	¥2,600
00006001	学生のためのリハビリテーション医学概論　第２版	栢森良二	医歯薬出版	¥2,600
00006002	患者診断学 ： アートとサイエンスを活かして　第２版	Richard D.Judge/他編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,500
00006003	患者力を引き出す作業療法 :認知行動療法の応用による身体領域作業療法	大嶋伸雄	三輪書店	¥3,600
00006004	患者力を引き出す作業療法 :認知行動療法の応用による身体領域作業療法	大嶋伸雄	三輪書店	¥3,600
00006005	環境適応 ： 中枢神経系障害への治療的アプローチ	柏木正好	青海社	¥3,000
00006006	間違いだらけの国家試験勉強術 ： 理学療法士・作業療法士	目黒力／著	三輪書店	¥2,000
00006007	基礎作業学	澤田雄二	協同医書出版社	¥3,200
00006008	基礎作業学	鷲田孝保	協同医書出版社	¥2,600
00006009	基礎作業学	鷲田孝保	協同医書出版社	¥2,600
00006010	基礎作業学　作業療法学全書，第2巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥2,575
00006011	義肢，装具，リハビリテーション機器，住宅改造	古川宏,黒岩貞枝	協同医書出版社	¥3,500
00006012	義肢，装具，リハビリテーション機器，住宅改造	古川宏,黒岩貞枝	協同医書出版社	¥3,500
00006013	義肢学	澤村誠志	医歯薬出版	¥8,600
00006014	義肢学	澤村誠志	医歯薬出版	¥8,600
00006015	義肢学 = Prosthetics	澤村誠志/他編	医歯薬出版	¥8,600
00006016	義肢装具学	川村次郎/他編	医学書院	¥7,000
00006017	義肢装具学テキスト	磯崎弘司/他編	南江堂	¥4,800
00006018	義肢装具学テキスト	磯崎弘司/他編	南江堂	¥4,800
00006019	救急医療 ： その初期治療の実際	大塚敏文	栄光堂	¥3,500
00006020	筋骨格障害系理学療法学	居村茂幸	医歯薬出版	¥6,000
00006021	筋膜リリース ： 神経発達学的治療への応用	Regi Boehme	協同医書出版社	¥2,500
00006022	筋膜リリース ： 神経発達学的治療への応用	Regi Boehme	協同医書出版社	¥2,500
00006023	形態測定・反射検査	伊藤俊一,星文彦	三輪書店	¥3,800
00006024	計測法入門 ： 計り方,計る意味	内山靖	協同医書出版社	¥5,500
00006025	健康体力評価・基準値事典	日丸哲也/他編	ぎょうせい	¥11,650
00006026	現代リハビリテーション医学	千野直一	金原出版	¥9,800
00006027	現代リハビリテーション医学	千野直一	金原出版	¥9,800
00006028	現代リハビリテーション医学	千野直一	金原出版	¥9,800
00006029	考える作業療法 ： 活動能力障害に対して	澤田雄二	文光堂	¥6,000
00006030	高次脳機能障害	渕雅子	協同医書出版社	¥3,200
00006031	高次脳機能障害	渕雅子	協同医書出版社	¥3,200
00006032	高齢者リハビリテーション実践マニュアル	宮越浩一	メジカルビュー社	¥5,400
00006033	高齢者リハビリテーション実践マニュアル	宮越浩一	メジカルビュー社	¥5,400
00006034	高齢者リハビリテーション実践マニュアル	宮越浩一	メジカルビュー社	¥5,400
00006035	今日のリハビリテーション指針	伊藤利之/他編	医学書院	¥9,000
00006036	今日の治療指針 ： 私はこう治療している	日野原重明,阿部正和	医学書院	¥16,000
00006037	今日の治療指針 ： 私はこう治療している	日野原重明,阿部正和	医学書院	¥16,000
00006038	昏迷と昏睡の診断　　第三版	Fred Plum，Jerome B.Posner著	西村書店	¥9,500
00006039	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006040	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006041	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006042	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006043	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006044	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006045	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006046	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006047	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006048	最新物理療法の臨床適応	庄本康治	文光堂	¥8,000
00006049	作業 : その治療的応用　改訂第２版	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,500
00006050	作業で語る事例報告 : 作業療法レジメの書きかた・考えかた	斎藤佑樹	医学書院	¥3,500
00006051	作業学　作業療法学ゴールド・マスター・テキスト２	浅沼辰志	メジカルビュー社	¥4,700
00006052	作業学　作業療法学ゴールド・マスター・テキスト２	浅沼辰志	メジカルビュー社	¥4,700
00006053	作業処方 : 症例の分析と思考プロセス = Prescription of occupational therapy: case analysis and thinking process	浅沼辰志	メジカルビュー社	¥3,800
00006054	作業療法 : 心身障害に対するアプローチ　下巻	加藤伸勝/他編	創造出版	¥5,048
00006055	作業療法 : 心身障害に対するアプローチ　上巻	加藤伸勝/他編	創造出版	¥4,466
00006056	作業療法　上巻　改訂第6版	Helen L. Hopkins, Helen D. Smith	協同医書出版社	¥11,500
00006057	作業療法がわかるPBLチュートリアルStep by Step	宮前珠子,新宮尚人	医学書院	¥3,500
00006058	作業療法の実際 : 精神科における実践	丸山晋[ほか]訳	星和書店	¥3,340
00006059	作業療法の世界 : 作業療法を知りたい・考えたい人のために　第２版	鎌倉矩子	三輪書店	¥3,300
00006060	作業療法ルネッサンス : ひとと生活障害 3 着る・装うことの障害とアプローチ	山根寛/他編	三輪書店	¥2,800
00006061	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006062	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006063	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006064	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006065	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006066	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006067	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006068	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006069	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006070	作業療法学概論　作業療法学ゴールド・マスター・テキスト１	栗原トヨ子,里村恵子	メジカルビュー社	¥4,200
00006071	作業療法学全書, 第2巻　基礎作業学	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥2,500
00006072	作業療法学全書, 第4巻　作業治療学1　身体障害　改定第２版	金子翼	協同医書出版社	¥3,500
00006073	作業療法学全書, 第8巻　作業治療学５　高次脳機能障害　改訂第3版	渕雅子	協同医書出版社	¥3,200
00006074	作業療法学全書, 第9巻 . 作業療法技術論１　義肢・装具学,リハビリテーション関連機器	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥4,200
00006075	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,800
00006076	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,800
00006077	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,300
00006078	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田眞由美	三輪書店	¥3,300
00006079	作業療法士のためのハンドセラピー入門　第2版	中田真由美,大山峰生	三輪書店	¥3,800
00006080	作業療法士のためのハンドセラピー入門　第2版	中田真由美,大山峰生	三輪書店	¥3,800
00006081	作業療法士のための研究法入門	鎌倉矩子/他編	三輪書店	¥3,200
00006082	作業療法士プロフェッショナル・ガイド : 作業療法士とは何か	杉原素子,古川宏	文光堂	¥7,000
00006083	作業療法実践の仕組み	矢谷令子,福田恵美子	協同医書出版社	¥3,500
00006084	作業療法実践の仕組み　改訂第２版	矢谷令子,福田恵美子	協同医書出版社	¥4,500
00006085	作業療法実践の仕組み　改訂第２版	矢谷令子,福田恵美子	協同医書出版社	¥4,500
00006086	作業療法評価学	生田宗博	協同医書出版社	¥3,800
00006087	作業療法評価法　作業療法学全書, 第3巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥2,900
00006088	作業療法臨床実習マニュアル : 指導者と学生のために	山口昇	三輪書店	¥3,600
00006089	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006090	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006091	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	斎藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006092	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006093	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006094	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006095	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006096	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006097	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006098	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006099	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006100	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006101	事例で学ぶOSCE基本臨床技能試験のコアスキル	Tim Dornan, Paul O'Neill	西村書店	¥3,000
00006102	自信がもてる!リハビリテーション臨床実習 : 脳卒中ケースで臨場感を体験	川上途行/他編	医歯薬出版	¥4,600
00006103	疾病の成り立ちと回復の促進	下正宗/他編	医学書院	¥2,600
00006104	実学としてのリハビリテーション概観 : 理学療法士・作業療法士のために	奈良勲	文光堂	¥3,000
00006105	実習ADL/APDL : 学生のためのワークブック	原和子/他編	協同医書出版社	¥3,500
00006106	社会リハビリテーション論	相澤譲治/他編	三輪書店	¥2,800
00006107	社会リハビリテーション論	相澤譲治/他編	三輪書店	¥2,800
00006108	主体性をひきだすリハビリテーション : 教科書をぬりかえた障害の人々	長谷川幹	日本医事新報社	¥3,800
00006109	終末期理学療法の実践	日高正巳,桑山浩明	文光堂	¥4,500
00006110	循環器疾患/呼吸器疾患　第2版 リハビリテーション医学講座, 第17巻	芳賀敏彦/他編	医歯薬出版	¥3,200
00006111	循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200
00006112	小児の理学療法	河村光俊	医歯薬出版	¥3,800
00006113	障害受容再考 : 「障害受容」から「障害との自由」へ	田島明子	三輪書店	¥1,800
00006114	職業リハビリテーション学 : キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系	松為信雄,菊池恵美子	協同医書出版社	¥4,000
00006115	職業リハビリテーション学 : キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系	松為信雄,菊池恵美子	協同医書出版社	¥4,000
00006116	職業関連活動	平賀昭信,岩瀬義昭	協同医書出版社	¥3,000
00006117	職業関連活動	平賀昭信,岩瀬義昭	協同医書出版社	¥3,000
00006118	食事療法ハンドブック	五島雄一郎編集	朝倉書店	¥19,000
00006119	新・病態生理できった内科学,1　循環器疾患　第2版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,200
00006120	新・病態生理できった内科学,3　腎疾患　第2版	横山啓太郎	医学教育出版社	¥3,700
00006121	新・病態生理できった内科学,4　内分泌疾患　第2版	相馬正義	医学教育出版社	¥4,000
00006122	新・病態生理できった内科学,5　血液疾患　第3版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,100
00006123	新・病態生理できった内科学,6　免疫・アレルギー・膠原病　第2版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥3,700

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006124	新・病態生理できった内科学,7　神経疾患　第3版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,200
00006125	新・病態生理できった内科学,8　消化器疾患　第2版	矢久保修嗣	医学教育出版社	¥4,200
00006126	新・病態生理できった内科学,9　感染症　第2版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥3,800
00006127	新イラストによる安全な動作介助のてびき	飛松好子	医歯薬出版	¥3,800
00006128	新しいコンセプトによる脳卒中リハビリテーション ： 写真で学ぶ ： 自立度向上と介助量軽減のために	古田晃/他編	メディカルプレス	¥3,600
00006129	新編内部障害のリハビリテーション	上月正博	医歯薬出版	¥9,000
00006130	神経疾患　第2版 新・病態生理できった内科学, 7	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,200
00006131	診察と手技がみえる１　第2版	古谷伸之	Medic Media	¥6,000
00006132	診察と手技がみえる２	田辺政裕	Medic Media	¥6,000
00006133	身体作業療法クイックリファレンス	坪田貞子	文光堂	¥6,500
00006134	身体障害	菅原洋子	協同医書出版社	¥3,800
00006135	身体障害　作業療法学全書, 第4巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥4,326
00006136	身体障害の作業療法 ： 症例・評価・治療の実際　第2版	Lorraine Williams Pedretti	協同医書出版社	¥18,000
00006137	身体障害の作業療法 ： 症例・評価・治療の実際　第2版	Lorraine Williams Pedretti	協同医書出版社	¥18,000
00006138	身体障害の作業療法 ： 症例・評価・治療の実際　第2版	Lorraine Williams Pedretti	協同医書出版社	¥18,000
00006139	身体障害の作業療法　改訂第6版	Heidi McHugh Pendleton, Winifred Schultz-Krohn	協同医書出版社	¥22,000
00006140	身体障害領域の作業療法	大嶋伸雄	中央法規出版	¥4,600
00006141	図解リハビリテーション事典	竹内孝仁	広川書店	¥4,000
00006142	図解理学療法技術ガイド ： 理学療法臨床の場で必ず役立つ実践のすべて	石川齊/他編	文光堂	¥8,500
00006143	図説訪問リハビリテーション ： 生活再建とQOL向上	訪問リハビリテーションセンター清雅苑	三輪書店	¥3,600
00006144	水治療法	ダッフィールド	杏林書院	¥2,200
00006145	正常発達 ： 脳性まひの治療アイディア	Jung Sun Hong	三輪書店	¥3,800
00006146	生と死の医療	河野友信, 河野博臣	朝倉書店	¥5,000
00006147	精神科・身体合併症のリハビリテーション ： 総合的な治療計画から実践まで	平川淳一/他編	協同医書出版社	¥3,800
00006148	切断と義肢	砂原茂一監修他	医歯薬出版	¥5,800
00006149	切断と義肢	砂原茂一監修他	医歯薬出版	¥5,800
00006150	切断のリハビリテーション ： 知っておきたい全プロセス	Barbara Engstrom, Catherine Van de Ven	協同医書出版社	¥5,200
00006151	川モデル ： 文化に適した作業療法	Michael K. Iwama	三輪書店	¥4,800
00006152	組みひも・作業療法への適用法 ： 治療・援助・評価の手引き	遠藤てる	協同医書出版社	¥3,500
00006153	創る・楽しむことの障害とアプローチ　作業療法ルネッサンス ： ひとと生活障害, 5	山根寛	三輪書店	¥2,800
00006154	装具学	加倉井周一	医歯薬出版	¥6,050
00006155	装具学	飛松好子,高嶋孝倫	医歯薬出版	¥6,200
00006156	装具学	飛松好子,高嶋孝倫	医歯薬出版	¥6,200
00006157	第2版 Step series　内科　神経・遺伝・免疫	高橋茂樹	海馬書房	¥5,000
00006158	第2版 理学療法学テキスト４　中枢神経疾患の理学療法	山元総勝	九州神陵文庫	¥4,500
00006159	地域に根ざした作業療法 ： 理論と実践	Marjorie E. Scaffa	協同医書出版社	頒価不明
00006160	地域リハビリテーションマニュアル	伊藤俊之／著	三輪書店	¥4,078
00006161	地域リハビリテーションマニュアル	伊藤利之/他編	三輪書店	¥4,200
00006162	地域リハビリテーションマニュアル	伊藤利之/他編	三輪書店	¥4,200
00006163	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006164	地域リハビリテーション学テキスト	備酒伸彦/他編	南江堂	¥4,200
00006165	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,000
00006166	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,900
00006167	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,900
00006168	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,800
00006169	地域リハビリテーション白書	浜村明徳/他編	三輪書店	¥6,796
00006170	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006171	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006172	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006173	地域リハビリテーション論 = Community based rehabilitation	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006174	地域リハビリテーション論 = Community based rehabilitation	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006175	地域リハビリテーション論Ver.4	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006176	地域リハビリテーション論Ver.4	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006177	地域作業療法学	太田睦美	協同医書出版社	¥3,200
00006178	地域理学療法学	浅川育世	医歯薬出版	¥2,300
00006179	中医学入門 ： 病理学からみた中医学	匡調元	金原出版	¥6,800
00006180	中枢神経疾患　脳のリハビリテーション ： 認知運動療法の提言, 1	Carlo Perfetti	協同医書出版社	¥4,000
00006181	中枢神経障害理学療法学テキスト	植松光俊/他編	南江堂	¥4,800
00006182	痛みの新しい治療法 ： 東洋医学の近代的応用	兵頭正義	中外医学社	¥5,200
00006183	東洋医学を学ぶ人のために	山下九三夫/他編	医学書院	¥13,000
00006184	動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション	田中宏太佳,園田茂	医学書院	¥5,700
00006185	内科学　第5版	上田英雄/他編	朝倉書店	¥25,000
00006186	内科学　疾患篇	小坂樹徳	診断と治療社	¥19,000
00006187	内科学　疾患篇 下	診断と治療社	診断と治療社	¥14,000
00006188	内科学　疾患篇 上	診断と治療社	診断と治療社	¥14,000
00006189	内科学書１　代謝疾患 内分泌疾患 血液・造血器疾患	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006190	内科学書２　免疫・アレルギー・結合織疾患 循環器疾患 呼吸器疾患	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006191	内科学書３　消化管・腹膜疾患 肝・胆道・膵疾患 感染症	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006192	内科学書４　腎・尿路疾患 神経疾患 物理的・化学的因子による障害	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006193	内科診断マニュアル ： 症状・病態からのアプローチ	沢山俊民	南江堂	¥4,660
00006194	内部障害理学療法学　ビジュアルレクチャー	高橋哲也	医歯薬出版	¥4,800
00006195	日常生活活動	酒井ひとみ	協同医書出版社	¥3,600
00006196	日常生活活動(ADL)	橋元隆,天満和人	神陵文庫	¥4,500
00006197	日常生活活動(ADL)	全国PT・OT学校養成施設連絡協議会理学療法部会九州ブロック会	神陵文庫	¥4,500
00006198	日常生活活動(ADL)・福祉用具学	木之瀬隆	メジカルビュー社	¥4,200
00006199	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	¥6,650
00006200	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際　第2版	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	頒価不明
00006201	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際　第3版	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	¥6,650
00006202	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際　第3版	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	¥6,650

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006203	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800
00006204	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800
00006205	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800
00006206	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800
00006207	日常生活活動学(ADL)	木之瀬隆	メジカルビュー社	¥4,000
00006208	日常生活活動学テキスト	河元岩男/他編	南江堂	¥4,200
00006209	入門リハビリテーション医学	岩谷力/他編	医歯薬出版	¥10,000
00006210	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006211	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006212	入門リハビリテーション概論　第２版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,100
00006213	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00006214	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00006215	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00006216	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,200
00006217	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,200
00006218	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006219	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006220	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006221	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006222	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006223	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006224	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006225	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006226	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006227	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006228	入門リハビリテーション概論　第６版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006229	入門リハビリテーション概論　第６版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006230	入門リハビリテーション概論　第６版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006231	入門リハビリテーション概論　第７版	中村隆一,佐直信彦	医歯薬出版	¥5,800
00006232	入門リハビリテーション概論　第２版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,078
00006233	入門義肢装具	関川伸哉,小峯敏文	医歯薬出版	¥4,600
00006234	入門義肢装具	関川伸哉,小峯敏文	医歯薬出版	¥4,600
00006235	脳外傷リハビリテーションマニュアル	神奈川リハビリテーション病院「脳外傷リハビリテーションマニュアル編集委員会」	医学書院	¥4,500
00006236	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600
00006237	脳性麻痺のリハビリテーション実践ハンドブック	梶浦一郎,鈴木恒彦	市村出版	¥2,600
00006238	発達障害	田村良子	協同医書出版社	¥3,200
00006239	発達障害	田村良子	協同医書出版社	¥3,200
00006240	発達障害　作業療法学全書，第6巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥4,200
00006241	発達障害作業療法学	神作一実	メジカルビュー社	¥4,600
00006242	発達障害作業療法学	神作一実	メジカルビュー社	¥4,600
00006243	標準リハビリテーション医学	津山直一／監修	医学書院	¥5,900
00006244	標準リハビリテーション医学	上田敏/他編	医学書院	¥6,800
00006245	標準作業療法学専門分野　基礎作業学	小林夏子,福田恵美子	医学書院	¥3,800
00006246	標準作業療法学専門分野　高齢期作業療法学	松房利憲,小川恵子	医学書院	¥3,600
00006247	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　小児科学　第３版	冨田豊	医学書院	¥4,200
00006248	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　小児科学　第4版	冨田豊	医学書院	¥4,200
00006249	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　小児科学　第4版	冨田豊	医学書院	¥4,200
00006250	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学	川平和美	医学書院	¥5,600
00006251	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006252	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006253	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006254	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006255	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第４版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006256	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学	上野武治	医学書院	¥4,400
00006257	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第２版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006258	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第３版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006259	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第３版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006260	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第３版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006261	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　内科学　第２版	大成浄志	医学書院	¥6,000
00006262	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　内科学　第３版	前田眞治/他編	医学書院	¥6,000
00006263	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　病理学	梶原博毅	医学書院	¥4,400
00006264	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　病理学　第３版	梶原博毅,横井豊治	医学書院	¥4,600
00006265	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　病理学　第４版	横井豊治,村雲芳樹	医学書院	¥4,600
00006266	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006267	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006268	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006269	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006270	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　老年学　第３版	大内尉義	医学書院	¥4,500
00006271	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　老年学　第４版	大内尉義	医学書院	¥4,500
00006272	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　老年学　第４版	大内尉義	医学書院	¥4,500
00006273	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　第３版	野村嶬	医学書院	¥6,000
00006274	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　第３版	野村嶬	医学書院	¥6,000
00006275	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　第３版	野村嶬	医学書院	¥6,000
00006276	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　第３版	野村嶬	医学書院	¥6,000
00006277	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　第４版	野村嶬	医学書院	¥6,000
00006278	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　第４版	野村嶬	医学書院	¥6,000
00006279	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　生理学　第４版	岡田隆夫,長岡正範	医学書院	¥4,400
00006280	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　生理学　第４版	岡田隆夫,長岡正範	医学書院	¥4,400
00006281	福祉用具の使い方・住環境整備	木之瀬隆	協同医書出版社	¥3,000
00006282	福祉用具の使い方・住環境整備	木之瀬隆	協同医書出版社	¥3,000
00006283	物理療法学	松澤正	金原出版	¥4,800
00006284	物理療法学　改訂第２版	松澤正,江口勝彦	金原出版	¥4,800
00006285	物理療法学テキスト	木村貞治/他編	南江堂	¥4,500
00006286	物理療法学テキスト　改訂第２版	木村貞治/他編	南江堂	¥4,500
00006287	補装具療法	中山孝,土屋辰夫	医歯薬出版	¥2,400
00006288	理学療法・作業療法のSOAPノートマニュアル ： 問題志向型診療記録の書き方	Ginge Kettenbach	協同医書出版社	¥4,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006289	理学療法・作業療法のための実践編BiNI approach ： 運動の成り立ちから導く,治療をシンプルにする法則性	舟波真一	文光堂	¥7,000
00006290	理学療法MOOK, 12　循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200
00006291	理学療法MOOK, 12　循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200
00006292	理学療法MOOK, 13　QOLと理学療法 ： 患者満足度をいかに高めるか	清水和彦,黒川幸雄	三輪書店	¥4,000
00006293	理学療法MOOK, 16　脳科学と理学療法	大西秀明,森岡周	三輪書店	¥4,200
00006294	理学療法MOOK, 4　呼吸理学療法　　第２版	宮川哲夫	三輪書店	¥4,800
00006295	理学療法スーパーバイズマニュアル ： 臨床実習生・新人理学療法士指導のために	新田收/他編	南江堂	¥5,500
00006296	理学療法科学シリーズ　理学療法概論　　第3版	丸山仁司	アイペック	¥3,500
00006297	理学療法概論	奈良勲	医歯薬出版	¥5,900
00006298	理学療法概論	奈良勲	医歯薬出版	¥5,900
00006299	理学療法学テキスト１０　生活環境論	橋元隆,千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006300	理学療法学テキスト９　物理療法	全国PT・OT学校養成施設連絡協議会理学療法部会 九州ブロック会	神陵文庫	¥4,500
00006301	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006302	理学療法学概論	全国PT・OT学校養成施設連絡協議会理学療法部会 九州ブロック会	神陵文庫	¥4,500
00006303	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006304	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006305	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006306	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006307	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006308	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006309	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006310	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006311	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006312	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006313	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006314	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006315	理学療法学概論　　第2版 理学療法学テキスト	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006316	理学療法学教育論	奈良勲	医歯薬出版	¥4,200
00006317	理学療法基礎評価学	臼田滋	医歯薬出版	¥4,500
00006318	理学療法技術の再検証 ： 科学的技術の確立に向けて	福井勉/他編	三輪書店	¥4,000
00006319	理学療法研究の進めかた ： 基礎から学ぶ研究のすべて	森山英樹	文光堂	¥5,200
00006320	理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション ： 理論と実践	日本ヘルスプロモーション理学療法学会	南江堂	¥3,200
00006321	理学療法士・作業療法士ポケット・レビュー帳 ： 基礎編	柳澤健	メジカルビュー社	¥3,800
00006322	理学療法士ポケット・レビュー帳 ： 専門編	柳澤健	メジカルビュー社	¥3,500
00006323	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006324	理学療法評価学	松澤正,江口勝彦	金原出版	¥6,200
00006325	理学療法評価学	松澤正,江口勝彦	金原出版	¥6,200
00006326	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006327	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006328	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006329	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006330	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006331	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006332	理学療法評価学	柳澤健	メジカルビュー社	¥4,900
00006333	理学療法評価法	中島喜代彦,千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006334	理学療法評価法	中島喜代彦,千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006335	臨床運動学	中村隆一,斎藤宏	医歯薬出版	¥5,650
00006336	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006337	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006338	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006339	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006340	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006341	臨床運動学ワークブック	Jan F. Perry/他編	医学書院	¥3,800
00006342	臨床症状の評価と戦略的理学療法	渡辺敏	中外医学社	¥3,800
00006343	臨床判断学入門	内山靖	協同医書出版社	¥4,200
00006344	老人のリハビリテーション	前田真治	医学書院	¥5,800
00006345	老年期	村田和香	協同医書出版社	¥2,800
00006346	老年期障害	松下起士	協同医書出版社	¥2,600
00006347	頸髄損傷のリハビリテーション	二瓶隆一/他編	協同医書出版社	¥5,200
00006348	打ち明けてくれてありがとう	武田淳	大学教育出版	¥381
00006349	最新AIDS読本	西岡 久壽彌／著	講談社	頒価不明
00006350	患者と治療者の間で	田中順子	三輪書店	¥2,400
00006351	軟部組織の痛みと機能障害　原著第2版	Rene Cailliet	医歯薬出版	¥4,320
00006352	代謝管理のてびき	稲田豊	医歯薬出版	¥3,500
00006353	膠原病・免疫アレルギーの要点	奥田生治	新興医学出版	¥5,300
00006354	軟部組織の痛みと機能障害　原著第2版	Rene Cailliet著	医歯薬出版	¥4,320
00006355	Practical handbooks　整形外科神経疾患ハンドブック	蓮江光男	南江堂	¥7,000
00006356	PT・OTのための運動学テキスト ： 基礎・実習・臨床	小柳磨毅/他編	金原出版	¥6,000
00006357	PT・OTのための臨床技能とOSCE	金田嘉清/他編	金原出版	¥5,500
00006358	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006359	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006360	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006361	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006362	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006363	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006364	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006365	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006366	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006367	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006368	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006369	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006370	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006371	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006372	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006373	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,800
00006374	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,000
00006375	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,400
00006376	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,400
00006377	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006378	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006379	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006380	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006381	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006382	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006383	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006384	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006385	綾仁整形外科書	綾仁富弥	金芳堂	¥4,078
00006386	カラーアトラス　リウマチ診断のポイント	V.Wright,A.R.Harvey	医歯薬出版	¥2,800
00006387	カルシウム・ビタミンと骨粗鬆症	折茂肇	メジカルビュー社	¥2,800
00006388	義肢学	日本義肢装具学会	医歯薬出版	¥6,800
00006389	今日の治療 リウマチ性疾患の診療	安倍達	永井書店	¥5,500
00006390	クリニカルスタッフのためのしびれ・痛み診療と薬物治療	井須豊彦，金景成	中外医学社	¥3,600
00006391	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　整形外科学	茂原重雄	中外医学社	¥3,000
00006392	これでできるリウマチの作業療法	石原義恕，今野孝彦	南江堂	¥2,800
00006393	四肢を無くして	松岡博史		頒価不明
00006394	身体運動工学	永田 晟・北本 拓・ 室 増男／著	杏林書院	頒価不明
00006395	スポーツ膝の臨床 = Sports knee clinic	史野根生	金原出版	¥4,700
00006396	整形外科診療チェックポイント	三浦隆行	医歯薬出版	頒価不明
00006397	成人病シリーズ１０　腰痛と坐骨神経痛	蓮江光男	医学図書出版	¥5,600
00006398	成人病シリーズ１０　腰痛と坐骨神経痛	蓮江光男	医学図書出版	¥5,600
00006399	脊椎・脊髄・四肢のCT診断	井上駿一・田中清介	医学書院	¥14,000
00006400	痛風と高尿酸血症	御巫清允	医薬ジャーナル社	¥3,200
00006401	手の痛みと機能障害　原著第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006402	手の外科手術アトラス	Robert A. Chase	医学書院	頒価不明
00006403	手の末梢神経障害	Morton Spinner	南江堂	¥7,500
00006404	バイオキネティクス : 運動力学からリハビリテーション工学	永田晟	杏林書院	¥4,466
00006405	表情を解剖する	チャールズ・ベル	医学書院	¥4,000
00006406	ベッドサイドの牽引療法 : 自己学習方式による	Geraldine K.Carini,Jacqueline Joseph Birmingham	協同医書出版社	¥2,800
00006407	ボディ・ナビゲーション : 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥3,800
00006408	ボディ・ナビゲーション : 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006409	ボディ・ナビゲーション : 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥3,800
00006410	ボディ・ナビゲーション : 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006411	ボディ・ナビゲーション : 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006412	ボディ・ナビゲーション : 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006413	モーターコントロール : 研究室から臨床実践へ : 理解が深まるDVDビデオ付	Anne Shumway-Cook, Marjorie Woollacott	医歯薬出版	¥12,000
00006414	腰痛治療法	Ｒ．Ａ．ＭｃＫｅｎｚｉｅ	医歯薬出版	¥4,500
00006415	ロコモティブシンドローム	中村耕三	メディカル レビュー社	¥5,400
00006416	運動の成り立ちとは何か : 理学療法・作業療法のためのBiNI approach	舟波真一，山岸茂則	文光堂	¥6,300
00006417	運動の生物学 : 臨床家のための運動学入門	塚本芳久	協同医書出版社	¥2,000
00006418	運動学テキスト	藤縄理/他編	南江堂	¥4,800
00006419	運動学テキスト	藤縄理/他編	南江堂	¥4,800
00006420	運動器疾患とリハビリテーション	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥5,800
00006421	運動処方と至適体力 : あなた自身の体力づくり	Joseph DiGennaro	泰流社	頒価不明
00006422	運動療法学 : 障害別アプローチの理論と実際	市橋則明	文光堂	¥7,000
00006423	下肢	末國恵/他編	医歯薬出版	¥2,600
00006424	下肢切断の理学療法 : Q&A・フローチャートによる	細田多穂	医歯薬出版	¥4,000
00006425	改訂第2版 リハ実践テクニック　関節リウマチ	佐浦隆一，八木範彦	メジカルビュー社	¥4,800
00006426	改訂第2版　関節リウマチ : 病態と治療	吉野槙一	金原出版	¥4,800
00006427	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006428	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006429	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006430	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006431	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006432	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006433	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006434	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006435	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006436	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	頒価不明
00006437	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006438	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006439	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006440	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006441	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006442	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006443	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006444	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006445	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006446	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006447	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006448	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006449	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥5,500
00006450	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥5,500
00006451	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006452	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006453	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006454	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006455	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006456	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006457	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006458	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006459	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006460	義肢装具学	千住秀明	九州神陵文庫	¥4,500
00006461	義肢装具学	千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006462	筋ジストロフィーのリハビリテーション	野島元雄	愛媛大学医学部整形外科前教室	頒価不明
00006463	筋骨格系検査法	J. Gross/他編	医歯薬出版	¥7,200
00006464	頚と腕の痛み　第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	¥3,689
00006465	頚椎の臨床	中野昇，中野達	南江堂	¥6,796
00006466	頚椎の臨床	中野昇，中野達	南江堂	¥6,796
00006467	牽引治療マニュアル	Andrew F. Brooker, Jr., Gerhard Schmeisser	医学書院	¥2,300
00006468	拘縮手	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,200
00006469	荒木茂：マッスルインバランスの考え方による腰痛症の評価と治療	荒木茂	三輪書店	¥2,800
00006470	腰痛のスポーツ医学	鞆田幸徳	朝倉書店	¥3,700
00006471	腰痛症　第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006472	腰痛症　第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006473	骨格筋の形と触察法	河上敬介・磯貝香/他編	大峰閣	¥9,000
00006474	骨格筋の構造・機能と可塑性：理学療法のための筋機能学	Richard L. Lieber	医歯薬出版	¥8,000
00006475	骨折・外傷シリーズ，No.11　小児の骨・関節外傷	村上實久	南江堂	¥5,500
00006476	骨折１	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,500
00006477	骨転移の診療とリハビリテーション	大森まいこ/他編	医歯薬出版	¥4,900
00006478	最新外科学　総論	山手昇	医学出版社	¥3,200
00006479	最新整形外科学大系　１５Ａ	越智隆弘/他編	中山書店	¥26,000
00006480	最新整形外科学大系　１５Ａ	越智隆弘/他編	中山書店	¥28,000
00006481	最新整形外科学大系　１５Ｂ	越智隆弘/他編	中山書店	¥28,000
00006482	最新整形外科学大系　４	越智隆弘/他編	中山書店	¥32,000
00006483	作業療法士のためのハンドセラピー入門　第2版	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,800
00006484	私の手の外科：手術アトラス　改訂第4版	津下健哉	南江堂	¥34,000
00006485	手のスプリントのすべて　第3版	矢崎潔	三輪書店	¥6,600
00006486	手のスプリント療法	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,500
00006487	手の外傷：初期治療から機能再建まで	三浦隆行	医歯薬出版	頒価不明
00006488	手指腱損傷１	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,500
00006489	手指腱損傷２	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥2,800
00006490	職業リハビリテーション入門：キャリア発達と社会参加への包括的支援体系	松為信雄・菊池恵美子	協同医書出版社	¥3,800
00006491	触れてわかる腰痛診療：画像でわからない痛みをみつけて治療する	井須豊彦，金景成	中外医学社	¥2,800
00006492	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006493	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006494	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006495	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006496	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006497	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695
00006498	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006499	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695
00006500	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006501	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006502	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695
00006503	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006504	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006505	神経筋骨格系の検査と評価	Nicola J Petty	医歯薬出版	¥6,800
00006506	神経筋疾患のマネージメント：インテグレイテッド・アプローチ	Irwin M.Siegel	三輪書店	¥6,602
00006507	神中整形外科学　下巻	岩本幸英	南山堂	¥28,000
00006508	神中整形外科学　上巻	岩本幸英	南山堂	¥25,000
00006509	図解腰痛学級：日常生活における自己管理のすすめ	川上俊文	医学書院	¥2,500
00006510	図解四肢と脊椎の診かた	Stanley Hoppenfeld	医歯薬出版	¥5,200
00006511	図解整形外科診察の進め方　第2版	Ronald McRae	医学書院	¥3,300
00006512	図説整形外科診断治療講座２　整形外科の画像診断	白井康正	メジカルビュー社	頒価不明
00006513	図説臨床整形外科講座，2巻　頚椎・胸椎・胸郭	小野村敏信/他編	メジカルビュー社	頒価不明
00006514	整形外科 MOOK12　筋性斜頸	高岸直人	金原出版	¥4,800
00006515	整形外科 MOOK13　小児の骨折	泉田重雄	金原出版	¥4,800
00006516	整形外科 MOOK14　ペルテス病	西尾篤人	金原出版	¥4,800
00006517	整形外科 MOOK15　手指新鮮開放創	矢部裕	金原出版	¥4,800
00006518	整形外科 MOOK17　先天性内反足	松野誠夫	金原出版	¥4,800
00006519	整形外科 MOOK18　脊柱側彎症と周辺疾患	井上駿一	金原出版	¥4,800
00006520	整形外科 MOOK2　整形外科的神経・筋疾患	桜井実	金原出版	¥4,800
00006521	整形外科 MOOK20　脳性麻痺	鈴木良平	金原出版	¥4,800
00006522	整形外科 MOOK21　化膿性骨髄炎	河路渡	金原出版	¥4,800
00006523	整形外科 MOOK22　偽関節と変形治癒骨折	榊田喜三郎	金原出版	¥4,800
00006524	整形外科 MOOK23　骨系統疾患	吉川靖三	金原出版	¥4,800
00006525	整形外科 MOOK24　大腿骨頭壊死	西尾篤人	金原出版	¥4,800
00006526	整形外科 MOOK26　骨腫瘍	鳥山貞宜	金原出版	¥5,200
00006527	整形外科 MOOK30　DIC：基礎と臨床	松田保	金原出版	¥4,800
00006528	整形外科 MOOK30　足の変形と痛み	三好邦達	金原出版	¥5,200
00006529	整形外科 MOOK31　整形外科領域におけるCTの応用	伊丹康人	金原出版	¥5,200
00006530	整形外科 MOOK32　関節疾患と関節液	猪狩忠	金原出版	¥5,200
00006531	整形外科 MOOK34　骨粗鬆症	若松英吉	金原出版	¥5,200
00006532	整形外科 MOOK35　手の先天異常	津下健哉	金原出版	¥5,200
00006533	整形外科 MOOK38　軟部腫瘍	古屋光太郎	金原出版	¥5,200
00006534	整形外科 MOOK4　手指屈筋腱の損傷	津下健哉	金原出版	¥4,800
00006535	整形外科 MOOK43　足関節部の外傷	島津晃	金原出版	¥5,200
00006536	整形外科 MOOK44　関節鏡的診断と関節鏡視下手術	渡辺正毅	金原出版	¥5,200
00006537	整形外科 MOOK47　整形外科救急処置	星秀逸	金原出版	¥5,200
00006538	整形外科 MOOK48　整形外科マイクロサージャリー	玉井進	金原出版	¥5,200
00006539	整形外科 MOOK49　二分脊椎症とその周辺疾患	金田清志	金原出版	¥5,200
00006540	整形外科 MOOK50　脊柱靭帯骨化症	井上駿一	金原出版	¥5,200
00006541	整形外科 MOOK51　腕神経叢麻痺の診断と治療	野村進	金原出版	¥5,200
00006542	整形外科 MOOK52　代謝性骨疾患	真角昭吾	金原出版	¥5,200
00006543	整形外科 MOOK54　肘関節の外傷と疾患	柏木大治	金原出版	¥5,200
00006544	整形外科 MOOK6　頸椎症の臨床	服部奨	金原出版	¥4,800
00006545	整形外科 MOOK60　脊椎インストルメンテーション	金田清志	金原出版	¥5,500
00006546	整形外科 MOOK9　膝の損傷	今井望	金原出版	¥4,800
00006547	整形外科X線撮影の実際	田中仁/他編	金原出版	¥3,000
00006548	整形外科外傷マニュアル	Larry D.Iversen，D.Kay Clawson	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥4,800
00006549	整形外科学：筋・骨格系の疾患と損傷	ソルター	廣川書店	¥9,800
00006550	整形外科学用語集　第5版増補	日本整形外科学会	南江堂	¥3,800
00006551	整形外科関節鏡マニュアル　膝関節鏡	緒方公介	メジカルビュー社	¥12,000
00006552	整形外科疾患ケーススタディ：60例のPO研修	辻陽雄,加藤正	医学書院	¥6,000
00006553	切断と義肢	沢村誠志	医歯薬出版	¥6,700
00006554	切断と義肢	沢村誠志	医歯薬出版	¥7,000
00006555	切断と義肢	沢村誠志	医歯薬出版	¥7,000
00006556	装具学　第３版	加倉井周一	医歯薬出版	¥6,200
00006557	足の解剖カラーアトラス：二国語版	R.M.H.McMinn，R.T.Hutchings，B.M.Logan	南江堂	¥7,000
00006558	第4版 Standard textbook　標準整形外科学	広畑和志，寺山和雄	医学書院	¥7,500
00006559	頭部・頸部・体幹・上肢	末國恵/他編	医歯薬出版	¥3,800
00006560	頭部外傷：急性期のメカニズムと診断	中村紀夫	文光堂	¥24,000
00006561	熱可塑性スプリント作製マニュアル：動画でわかる！：基礎から臨床応用まで	坪田貞子	三輪書店	¥4,200
00006562	膝の痛みと機能障害　原著第2版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006563	膝関節靭帯損傷診療マニュアル	守屋秀繁	全日本病院出版会	¥6,311
00006564	膝診療マニュアル	腰野富久	医歯薬出版	頒価不明
00006565	膝診療マニュアル	腰野富久	医歯薬出版	頒価不明
00006566	片麻痺回復のための運動療法：促通反復療法「川平法」の理論と実際	川平和美	医学書院	¥6,200
00006567	末梢神経損傷	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,700
00006568	理学療法士のための運動療法	田口順子	金原出版	¥6,602
00006569	臨床家のためのベーネシュ運動記載法	Helen Atkinson	協同医書出版社	¥3,200
00006570	頸と腕の痛み	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006571	頸と腕の痛み	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006572	頸肩腕障害の診断と治療	岩破康博,藤木幸雄	金原出版	¥2,500
00006573	COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン　第4版	日本呼吸器学会COPDガイドライン第4版作成委員会	メディカルレビュー社	¥3,500
00006574	NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)ガイドライン　改訂第2版	日本呼吸器学会NPPVガイドライン作成委員会	南江堂	¥3,300
00006575	イラストでわかる呼吸器内科学	一ノ瀬正和	文光堂	¥4,500
00006576	カラー版呼吸のしくみとその管理	赤柴恒人	照林社	¥2,400
00006577	カラー版呼吸のしくみとその管理	赤柴恒人	照林社	¥2,400
00006578	なっとく解剖生理学３　ぐるぐる回る呼吸器	五十嵐雅	文光堂	¥3,500
00006579	ブロンプトン病院の胸部理学療法	D.V.Gaskell,B.A.Webber	医学書院	¥2,700
00006580	ブロンプトン病院の胸部理学療法	D.V.Gaskell,B.A.Webber	医学書院	¥2,700
00006581	よくわかる呼吸療法の基本：ベッドサイド呼吸ケアから人工呼吸療法、在宅酸素療法まで	山崎史朗	医学芸術社	¥2,700

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006582	呼吸とその管理 ： 基礎となる呼吸機能の理解	岡安大仁/他編	医学書院	¥2,500
00006583	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006584	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006585	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006586	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から 第4版	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006587	呼吸療法テキスト 改訂第2版	日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会合同呼吸療法認定士認定委員会	克誠堂出版	¥9,500
00006588	呼吸療法テキスト 改訂第2版	日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会合同呼吸療法認定士認定委員会	克誠堂出版	¥9,500
00006589	神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン = Japanese guidelines for pulmonary rehabilitation of neuromuscular disease and spinal cord injury	日本リハビリテーション医学会診療ガイドライン委員会, 日本リハビリテーション医学会神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会	金原出版	¥2,800
00006590	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006591	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006592	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006593	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006594	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006595	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006596	理学療法MOOK, 12　循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200
00006597	運動処方のための心拍数の科学	山地啓司	大修館書店	¥3,000
00006598	改定心電図モニター	谷村伸一	へるす出版	¥3,200
00006599	冠動脈疾患の運動療法第２版予防・診断・治療のための役割	土肥湖豊	協同医書出版社	¥4,200
00006600	今日の治療　不整脈の診断と治療	福島正勝	永井書店	¥9,800
00006601	実習ＡＤＬ/ＡＰＤＬ「学生のためのワークブック」	原和子	協同医書出版社	¥3,500
00006602	心臓術後管理マニュアル	M.V.Braimbridge	南江堂	¥6,500
00006603	すいすいマスター循環器 ： コアカリ・国試対応	増山理	南江堂	¥3,800
00006604	すいすいマスター循環器 ： コアカリ・国試対応	増山理	南江堂	¥3,800
00006605	図説高血圧	熊原雄一, 荻原俊男	朝倉書店	¥14,000
00006606	やさしい心電図　日本語訳第3版	John R.Hampton	総合医学社	¥1,200
00006607	運動負荷テストとその評価法 ： 心肺運動負荷テストの基礎と臨床	K. Wasserman/他編	南江堂	¥8,738
00006608	眼でみる実践心臓リハビリテーション	安達仁	中外医学社	¥5,400
00006609	狭心症・心筋梗塞のリハビリテーション　改訂第3版	木全心一, 齋藤宗靖	南江堂	¥7,000
00006610	現場の疑問に答える心臓リハビリ徹底攻略Q&A	上月正博	中外医学社	¥6,400
00006611	高血圧診療のチェックポイント	荒川規矩男	日本メディカルセンター	¥4,500
00006612	心音 ： 基礎と臨床	ルイサダ,ポータルッピー	東京大学出版会	頒価不明
00006613	心筋梗塞とリハビリテーション ： 誰にでもわかる動脈硬化性心臓病の予防と治療	Carola Halhuber, Max J. Halhuber	杏林書院	¥2,500
00006614	心血管機能の神経性調節	Walter C. Randall	医薬ジャーナル社	¥12,000
00006615	心臓リハビリテーション ： 昨日・今日・明日	濱本紘, 野原隆司	最新医学社	¥4,600
00006616	図解・成人病の運動処方・運動療法　虚血性心疾患編	伊賀六一, 波多野義郎	医歯薬出版	¥2,700
00006617	成人病シリーズ, 1　高血圧症 ： 初診から治療管理まで	岸本道太	医学図書出版	¥3,200
00006618	第2版 PTマニュアル　循環器疾患の理学療法	奈須田鎮雄/他編	医歯薬出版	¥3,400
00006619	第2版 PTマニュアル　循環器疾患の理学療法	奈須田鎮雄/他編	医歯薬出版	¥3,400
00006620	第3版 病気がみえる / 医療情報科学研究所編, v. 2　循環器	医療情報科学研究所	Medic Media	¥3,300
00006621	図解血液病学　改訂第2版	柴田進	金芳堂	頒価不明
00006622	ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション ： 50症例から学ぶ実践的アプローチ ： in DVD	植松宏/他編	医歯薬出版	¥5,200
00006623	実践で身につく! 摂食・嚥下障害へのアプローチ ： 急性期から「食べたい」を支えるケアと技術	小山珠美/他編	学研メディカル秀潤社	¥3,200
00006624	小児の摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia rehabilitation in children　第2版	田角勝, 向井美惠	医歯薬出版	¥5,000
00006625	摂食嚥下の機能解剖 ： 基本のきほん	阿部伸一	医歯薬出版	¥3,000
00006626	嚥下障害のリハビリテーション ： 訓練と食餌計画の実際	Jill S. Steefel	協同医書出版社	¥3,000
00006627	嚥下障害の臨床 ： リハビリテーションの考え方と実際　第2版	日本嚥下障害臨床研究会	医歯薬出版	¥6,400
00006628	腎臓病食品交換表 ： 治療食の基準　第6版	平田清文/他編	医歯薬出版	¥1,165
00006629	透析患者の運動療法	平沢由平	日本メディカルセンター	¥4,600
00006630	標準泌尿器科学　第3版	北川龍一,小磯謙吉	医学書院	¥6,000
00006631	標準泌尿器科学　第3版	北川龍一,小磯謙吉	医学書院	¥6,000
00006632	病態生理と臨床　腎・泌尿器病学	A.W. Asscher, D.B. Moffat	南江堂	¥3,500
00006633	糖尿病の治療マニュアル	平田幸正	医歯薬出版	頒価不明
00006634	膠原病診療の基礎と臨床	橋本信也	世界保健通信社	¥4,300
00006635	病態生理学シリーズ　糖尿病	阿部正和	朝倉書店	頒価不明
00006636	糖尿病性末梢神経障害　病態生理と臨床ガイドライン	馬場茂明	医歯薬出版	¥2,000
00006637	糖尿病の食事療法	山田幸男	日本メディカルセンター	頒価不明
00006638	14　リハビリテーション・介護	山浦　晶	中山書店	¥40,000
00006639	ACECガイドブック2014	日本救急医学会	へるす出版	¥3,000
00006640	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴのための神経学レクチャーノート	森惟明	医学書院	¥4,800
00006641	ＰＴマニュアル脊髄損傷の理学療法	武田功	医歯薬出版	¥3,800
00006642	ＰＴマニュアル脊髄損傷の理学療法第２版	奥田邦晴	医歯薬出版	¥4,400
00006643	ＰＴマニュアル脊髄損傷の理学療法第３版	羽田晋也	医歯薬出版	¥4,500
00006644	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第２版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006645	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第２版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006646	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第２版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006647	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第2版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006648	誤りやすい異常脳波	市川 忠彦／著	医学書院	¥3,600
00006649	医学生・研修医のための神経内科学	神田隆	中外医学者	¥12,000
00006650	運動による脳の制御ー認知症予防のための運動	島田裕之	杏林書院	¥4,000
00006651	運動の神経科学　基礎から応用まで	西野仁雄/他編	ナップ	¥2,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006652	運動の神経科学　基礎から応用まで	西野仁雄	ナップ	¥2,800
00006653	運動発達と反射ー反射検査の手技と評価ー	真野行生	医歯薬出版	頒価不明
00006654	絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム	馬場　元毅	医学書院	¥2,800
00006655	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006656	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006657	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006658	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006659	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版	馬場元毅	医学書院	¥2,800
00006660	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版	馬場元毅	医学書院	¥2,800
00006661	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版	馬場元毅	医学書院	¥2,800
00006662	改訂　てんかん	秋元波留夫	日本文科学社	頒価不明
00006663	改訂版神経内科学のスピード学習と専門医学習第２版	泉義雄	医薬出版	¥12,000
00006664	片麻痺　能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	¥5,200
00006665	片麻痺の運動療法	佐久間穣爾	医歯薬出版	¥5,600
00006666	カラーアトラス　神経内科診断のポイント	高須俊明	医歯薬出版	¥2,800
00006667	感覚統合の理論と実際　エアーズ研究論文集	佐藤剛	協同医書出版社	¥5,000
00006668	記憶と脳 心理学と神経科学の統合	河内十郎	医学書院	¥4,600
00006669	機能解剖で斬る神経系疾患	中野隆	メディカルプレス	¥6,000
00006670	高次神経機能障害の作業療法	山根寛/他編	三輪書店	¥4,800
00006671	高次神経機能障害の臨床　実践入門	宇野彰	新興医学出版	¥3,500
00006672	高次脳機能障害支援コーディネートマニュアル	高次脳機能障害支援コーディネート研究会	中央法規出版	¥3,000
00006673	高次脳機能障害支援コーディネートマニュアル	平林直次/他編	医歯薬出版	¥3,400
00006674	高次脳機能障害のための認知リハビリテーション　統合的な神経心理学的アプローチ	Ｍｃｋａｙ　Ｍｏｏｒｅ　Ｓｏｈｌｂｅｒｇ	協同医書出版社	¥6,000
00006675	失行・失人の評価と治療	ﾊﾟﾊﾟﾗ　ゾルタン	医学書院	¥3,800
00006676	実践Ｍｏｏｋ　理学療法プラクティスこれだけは知っておきたい脳卒中の障害・病態とその理学療法アプローチ	嶋田智明/他編	文光堂	¥4,500
00006677	写真で見る四肢麻痺患者のリハビリテーション	ＦＯＲＤ　ａｎｄ　ＤＵＣＫＷＯＲＴＨ	医歯薬出版	¥15,000
00006678	小神経学	加藤伸勝/他編	金芳堂	¥4,800
00006679	初心者のための脳波の読み方	森 温理・佐藤 譲二／著	新興医学出版	¥1,300
00006680	神経解剖学講義ノート	寺島俊雄	金芳堂	¥4,600
00006681	神経系のMRI診断	加川瑞夫・赫彰郎著	中外医学社	頒価不明
00006682	神経疾患の診察・診断のしかた	後藤 幾生／著	新興医学出版	¥6,700
00006683	神経疾患の診かた 難しい症例をめぐる診断過程の着眼点	亀山正邦・荒木淑郎	医学書院	¥20,000
00006684	神経疾患のみかた―症例とその解説	祖父江逸郎	東京医学社	¥8,000
00006685	神経症候群	平山 恵造／著	文光堂	¥16,000
00006686	神経診察クローズアップ　正しい病巣診断のコツ	鈴木則宏	メジカルビュー社	¥7,000
00006687	神経診察クローズアップ改訂第2版	鈴木則宏	メジカルビュー社	¥7,000
00006688	神経心理学と病巣解析	ハンナ・ダマジオ	医学書院	¥8,000
00006689	神経心理学評価ハンドブック	田川浩一	西村書店	¥8,500
00006690	神経心理学臨床的アプローチ	椿忠雄	医学書院	¥7,200
00006691	神経生理学	内園耕二ほか訳	金芳堂	¥4,700
00006692	神経内科Ｑｕｉｃｋ　Ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ第２版	水野美邦	文光堂	¥12,000
00006693	神経内科Ｑｕｉｃｋ　Ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ第２版	水野美邦	文光堂	¥12,000
00006694	神経内科Ｑｕｉｃｋ　Ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ第２版	水野美邦	文光堂	¥12,000
00006695	神経内科学	細川武	中外医学者	¥4,200
00006696	神経内科学テキスト	江藤文夫	南江堂	¥4,800
00006697	神経内科学テキスト　改訂第3版	江藤文夫/他編	南江堂	¥4,800
00006698	神経内科シークレット第２版	ローレンＡ・ローラック	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,000
00006699	神経内科シークレット第２版	ローレンＡ・ローラック	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,000
00006700	神経難病のリハビリテーションー症例を通じて学ぶ	江藤文夫	医歯薬出版	¥4,800
00006701	神経病のケーススタディ　76例のPO研修　第2版	荒木淑郎	医学書院	¥4,800
00006702	脊髄損傷者のための性と出産のガイドブック	岩坪暎二	三輪書店	¥1,942
00006703	脊髄損傷も理学療法　第２版	武田　功	医歯薬出版	¥4,400
00006704	脊髄損傷理学療法マニュアル	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006705	脊髄損傷理学療法マニュアル	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006706	脊髄損傷理学療法マニュアル第２版	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006707	脊髄損傷理学療法マニュアル第２版	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006708	体性感覚誘発電位　その臨床応用	山田徹	西村書店	¥6,000
00006709	頭部CT診断のポイント	久留裕	朝倉書店	¥8,500
00006710	とことんわかる図解　基礎神経科学	池田和正	オーム社	¥4,000
00006711	なるほど　失語症の評価と治療	小嶋知幸	金原出版	¥4,800
00006712	日本人のためのリハビリ医療ー脳卒中後遺症の診断学	三島博信	ジーベック	¥2,600
00006713	人間の脳と心理過程	松野豊	金子書房	頒価不明
00006714	脳・神経科学入門講座　下巻	渡辺雅彦	羊土社	¥4,900
00006715	脳・神経リハビリテーション大辞典	アンフレッド	西村書店	¥12,000
00006716	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテージョン入門	橋本圭司	診断と治療社	¥3,600
00006717	脳が言葉を取り戻すとき　失語症のカルテから	佐野洋子	新興医学出版	¥1,800
00006718	脳血管疾患のME検査	坪川孝志	中外医学社	¥12,000
00006719	脳血管障害と神経心理学	平山恵造/他編	医学書院	¥12,000
00006720	脳血管障害の解剖学的診断	後藤潤/他編	三輪書店	¥25,000
00006721	脳神経外科医がしっておくべきﾆｭｰﾛｻｲｴﾝｽの知識	橋本信夫	文光堂	¥15,000
00006722	脳神経外科学１	太田富雄	金芳堂	頒価不明
00006723	脳神経外科学２	太田富雄	金芳堂	¥30,000
00006724	脳神経外科手術アトラス　画像診断から手術まで	三宅 悦夫／著	朝日出版社	¥10,000
00006725	脳脊髄誘発電位	中西孝雄	朝倉書店	¥10,000
00006726	脳卒中・その他の片麻痺　第２版	福井　圀彦	医歯薬出版	¥8,550
00006727	脳卒中１　脳卒中のみかた	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,200
00006728	脳卒中患者の機能評価　SIASとFIMの実際	千野直一/他編	シュプリンガー・ジャパン	¥2,800
00006729	脳卒中後のコミュニケーション障害　改定第２版	竹内愛子	協同医書出版社	¥5,600
00006730	脳卒中最前線　急性期の診断からリハビリテーションまで	藤田勉	医歯薬出版	¥8,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006731	脳卒中症候学	田川浩一	西村書店	¥16,000
00006732	脳卒中診察のコツ	阿部康二	文光堂	¥3,500
00006733	脳卒中の運動訓練プログラム	横山徹	医学書院	¥5,800
00006734	脳卒中の運動療法　ｴﾋﾞﾃﾞﾝｽに基づく機能回復トレーニング	潮見泰蔵/他編	医学書院	¥4,800
00006735	脳卒中ビジュアルテキスト	海老原進一郎	医学書院	¥9,000
00006736	脳卒中理学療法の理論と技術	原寛美	メジカルビュー社	¥6,500
00006737	脳卒中理学療法ベスト・プラクティス	奈良勲	文光堂	¥6,200
00006738	脳損傷のリハビリテーション ―神経心理学的療法―	George P, Prigatano ／ほか著	医歯薬出版	¥3,800
00006739	脳とコミュニケーション	岩田誠	朝倉書店	¥3,900
00006740	脳の機能とポジトロンCT	松浦啓一・中尾弘之・ 小嶋正治	秀潤社	¥7,000
00006741	脳の進化	伊藤正男	東京大学出版会	¥3,200
00006742	脳を学ぶ「ひと」と社会がわかる生物学改定第２版	ごとうけい	協同医書出版社	¥3,400
00006743	パーキンソン病に対する標準的理学療法介入	松尾善美	文光堂	¥6,500
00006744	パーキンソン病ハンドブック	水野美邦	中外医学社	¥10,000
00006745	発達期言語コミニケーシュン障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00006746	一目でわかるﾆｭｰﾛｻｲｴﾝｽ	ミカエルJ、ﾆｰﾙ	メディカルサイエンス	¥3,200
00006747	複合性局所疼痛症候群をもっと知ろう	堀内　行雄	全日本病院出版会	¥4,500
00006748	ブレインブック　みえる脳	内山安男	南江堂	¥4,000
00006749	ペインリハビリテーション	松原貴子	三輪書店	¥4,200
00006750	ベッドサイドの神経の診かた	田崎 義昭・斎藤 佳雄／著	南山堂	¥6,200
00006751	ベッドサイドの神経の診かた　改訂17版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006752	ベッドサイドの神経の診かた　改訂17版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006753	ベッドサイドの神経の診かた　改定第１６版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006754	ベッドサイドの神経の診かた　改定第１６版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006755	ベッドサイドの神経の診かた改訂16版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006756	末梢神経の臨床	山野慶樹	医歯薬出版	¥4,800
00006757	みる見るわかる　脳・神経科学入門講座上巻	渡辺雅彦	羊土社	¥3,900
00006758	目でみる神経内科学	平井俊策	医歯薬出版	¥8,500
00006759	目で見るリハビリテーション医学　第2版	上田　敏	東京大学出版会	¥3,400
00006760	眼と神経　神経心理学コレクション	彦坂興秀	医学書院	¥3,000
00006761	メリット神経病学　第2版	椿 忠雄／監訳	医学書院	頒価不明
00006762	もっとよくわかる　脳神経学　やっぱり脳はすごいのだ	工藤佳久	羊土社	¥4,200
00006763	リハビリテーション医学講座第１２巻脊髄損傷―包括的リハビリテーション―	初山泰弘	医歯薬出版	¥4,500
00006764	リハビリテーションのための神経生物学入門	森岡周	協同医書出版社	¥3,800
00006765	リハビリテーションのための神経内科学　第２版	安藤一也	医歯薬出版	¥7,200
00006766	リハビリテーションのための神経内科学第２版	安東一也	医歯薬出版	¥7,200
00006767	臨床医学講座　全２４巻　２１巻脳と行動	松下正明	中山書店	¥33,000
00006768	臨床高次脳機能評価マニュアル2000	今村陽子	新興医学出版	¥6,000
00006769	臨床神経学の基礎　第３版	大西晃生	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥9,400
00006770	臨床神経精神医学　意識・知能・記憶の病理	濱中淑彦	医学書院	¥14,500
00006771	臨床神経内科学　改定第５版	廣瀬源二郎	南山堂	¥15,000
00006772	臨床脳波　判読の手びき	井上 令一・赤沢 滋／共著	南山堂	¥4,800
00006773	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男/他編	中外医学社	¥16,000
00006774	臨床誘発電位診断学	中西孝雄・吉江信夫	南江堂	¥9,500
00006775	ルリア神経心理学的検査法	西村健	医歯薬出版	¥12,000
00006776	ルリア神経心理学的検査法　vol.1	Anne-Lise Christensen著； 西村健監訳	医歯薬出版	頒価不明
00006777	ルリア神経心理学的検査法　vol.2	Anne-Lise Christensen著； 西村健監訳	医歯薬出版	頒価不明
00006778	ルリア神経心理学的検査法　別冊	Anne-Lise Christensen著； 西村健監訳	医歯薬出版	頒価不明
00006779	感覚統合研究　第1集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,800
00006780	感覚統合研究　第2集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006781	感覚統合研究　第3集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006782	感覚統合研究　第4集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006783	感覚統合研究　第５集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006784	簡要神経学	I.M.S.Wilkinson[著]；岩田淳訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥4,600
00006785	高次脳機能の基礎：動物と人間における離断症候群	N.ゲシュヴィンド	新曜社	頒価不明
00006786	治療薬学シリーズ　神経,精神	塩川優一、斎藤太郎	地人書館	頒価不明
00006787	自律神経の基礎と臨床	後藤由夫/他編	医薬ジャーナル社	¥6,800
00006788	自律神経失調症	筒井末春,中野弘一	永井書店	¥6,800
00006789	失語の経過と予後	祖父江逸郎/他編	医学教育出版社	¥7,000
00006790	失語の経過と予後	祖父江逸郎/他編	医学教育出版社	¥7,000
00006791	失行症	Jean-Louis Signoret,Pierre North	医学書院	¥2,500
00006792	神経心理学入門	山鳥重	医学書院	¥6,400
00006793	神経生理学　改訂第2版	Robert F.Schmidt	金芳堂	頒価不明
00006794	神経内科治療マニュアル：診断の要点と治療の実際　第3版	Martin A.Samuels	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥6,500
00006795	神経病へのアプローチ：400のプログラム教程	本多虔夫	医学書院	¥3,500
00006796	神経病へのアプローチ：470のプログラム教程　第4版	本多虔夫	医学書院	¥3,800
00006797	叢書・脳を考える　男の脳と女の脳	川上正澄	紀伊国屋書店	頒価不明
00006798	痛みの考えかた：しくみ・何を・どう効かす	丸山一男	南江堂	¥3,200
00006799	痛みの理解と治療	Michael R. Bond	医学書院	¥3,000
00006800	脳と平衡障害：ヒト大脳の働きについて考える	鈴木淳一	篠原出版	¥2,900
00006801	脳障害者の心理臨床：病める心のリハビリテーション	小山充道	学苑社	頒価不明
00006802	脳神経外科マニュアル　改訂2版	高倉公朋	中外医学社	¥3,400
00006803	臨床神経学の手引き	秋口一郎	南江堂	¥6,000
00006804	「うつ」を生かす―うつ病の認知療法	大野裕	星和書店	¥2,330
00006805	616のプログラム教程 精神疾患へのアプローチ　第３版	高橋三郎	医学書院	¥5,600
00006806	ＤＳＭ-5精神疾患の診断・統計マニュアル	高橋三郎	医学書院	¥20,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006807	あたらしい精神保健	十束支朗	医学出版社	¥2,000
00006808	アルコール症治療の手びき 診療・援助にたずさわる人のために	清水信	医学書院	¥4,000
00006809	うつ病治療の最新リハビリテーション―作業療法の効果―	徳永雄一郎	昭和堂	¥2,600
00006810	うつ病の心理―精神療法的アプローチ	水上忠臣	誠信書房	¥5,800
00006811	改訂第２版精神医学マイテキスト	武田雅俊	金芳堂	¥3,800
00006812	改訂版精神疾患100の仮説	石郷岡純	星和書店	¥4,500
00006813	回復と成長をめざして	Joan M. Erikson／著	協同医書出版社	¥3,800
00006814	回復と成長をめざして	Joan M. Erikson／著	協同医書出版社	¥3,800
00006815	カウンセリングの心と技術 ： 心理療法と対人関係のあり方	平木 典子／著	金剛出版	¥3,500
00006816	カウンセリングを学ぶ	水島恵一	有斐閣	¥1,700
00006817	学生のための精神医学　第３版	太田保之	医歯薬出版	¥3,500
00006818	家族と家族療法	山根常男	誠信書房	頒価不明
00006819	家族と家族療法	山根常男	誠信書房	頒価不明
00006820	境界パーソナリティ障害 その臨床病理と治療	Ｊ．Ｇ．ガンダーソン	岩崎学術出版	頒価不明
00006821	言語障害の診断と治療	隈江月晴	ナカニシヤ出版	¥2,600
00006822	現代臨床精神医学改訂第７版	大熊輝雄	金原出版	¥7,200
00006823	こころと行動の発達 ： アクティビティー・セラピストのための3つの理論	Anne Cronin Mosey	協同医書出版社	¥6,000
00006824	こころと行動の発達 ： アクティビティー・セラピストのための3つの理論	Anne Cronin Mosey	協同医書出版社	¥6,000
00006825	こころを診る技術	宮岡等	医学書院	¥2,500
00006826	作業療法学全書第5巻　改訂第３版	富岡詔子	協同医書出版社	¥3,800
00006827	新・医療心理学読本	小此木啓吾	日本論社	¥2,000
00006828	神経症の臨床	山懸博	金剛出版	頒価不明
00006829	新精神医学入門　改訂２版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006830	新精神医学入門　改訂2版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006831	新精神医学入門　改訂2版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006832	新精神医学入門　改訂2版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006833	新精神医学入門　第２版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006834	新精神医学入門　第２版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006835	新版現代精神医学	中尾弘之	朝倉書店	¥6,900
00006836	心理学　心理学理論と心理的支援	岩井壽夫	へるす出版	¥2,100
00006837	ストレス状態と心身医学的アプローチ ： 医療の現場から	筒井末春	診断と治療社	¥4,800
00006838	生活を支援する精神障害作業療法急性期から地域実践まで第２版	香山明美	医歯薬出版	¥3,900
00006839	精神医学・心理学的対応リハビリテーション	先崎章	医歯薬出版	¥4,400
00006840	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006841	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006842	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006843	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006844	精神医学的作業療法の実際	長谷川峰子	シービーアール	¥1,500
00006845	精神科・老人　医療ガイド98	宮本吉博	ＮＯＶＡ	¥1,200
00006846	精神科・老人医療ガイド98	宮本吉博	ＮＯＶＡ	¥1,200
00006847	精神科ＭＯＯＫ家族精神医学	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006848	精神科ＭＯＯＫ家庭と学校の精神衛生	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006849	精神科ＭＯＯＫ自殺	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006850	精神科ＭＯＯＫ思春期の危機	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006851	精神科ＭＯＯＫ身体疾患と精神障害	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006852	精神科ＭＯＯＫ青少年の社会病理	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006853	精神科ＭＯＯＫ精神科救急医療	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006854	精神科ＭＯＯＫ躁うつ病の治療と予後	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006855	精神科ＭＯＯＫてんかんの身体精神障害	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006856	精神科ＭＯＯＫ分裂病のリハビリテーション	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006857	精神科ＭＯＯＫ法と精神医療	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006858	精神科ＭＯＯＫ老年期痴呆	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006859	精神科身体合併症マニュアル	野村総一郎	医学書院	¥4,500
00006860	精神科診断面接のコツ	神田橋條治	岩崎学術出版	頒価不明
00006861	精神科デイ・ケア	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006862	精神科のソーシャル・スキル　日常生活援助と作業療法	アイリーン	協同医書出版社	¥2,000
00006863	精神科リハビリテーション	谷岡哲也	中外医学社	¥3,400
00006864	精神疾患の脳画像解析・診断学	平安良雄	南山堂	¥4,500
00006865	精神疾患の理解と精神科作業療法第２版	朝田隆	中央法規出版	¥3,800
00006866	精神障害と作業療法　第２版	山根寛	三輪書店	¥3,700
00006867	精神障害領域の作業療法	石井良和	中央法規出版	¥4,400
00006868	精神病を耕す　心病む人への治療の歩み	星野 弘／著	星和書店	¥2,300
00006869	精神分裂病の陰性症状	栗秋要	星和書店	¥3,800
00006870	性の臨床　患者の性的問題の理解とケアのために	河野友信	医学書院	¥1,900
00006871	性の臨床　患者の性的問題の理解とケアのために	河野友信	医学書院	¥1,900
00006872	摂食障害という生き方	瀧井正人	中外医学社	¥3,200
00006873	統合失調症の早期発見と認知療法	Ｐａｕｌ　Ｆｒｅｎｃｈ	星和書店	¥2,600
00006874	認知療法入門	アーサー・フリーマン	星和書店	頒価不明
00006875	不安の科学と健康	河野友信	朝倉書店	¥5,600
00006876	プライマリ・ケアにおける心身医学―バリント・グループの実際―	マイクル・バリント	診断と治療社	¥4,500
00006877	分裂病ＶＳ失語症　言語症状の構造	大平健	海鳴社	¥500
00006878	分裂病の少女の手記	セシュエー	みすず書房	¥1,900
00006879	分裂病の少女の手記	セシュエー	みすず書房	¥1,900
00006880	目でみる精神医学	平井富雄，関谷透／共著	文光堂	¥9,000
00006881	ライフサイクル精神医学	西園昌久	医学書院	¥4,500
00006882	リセット禁煙のすすめ	磯村毅	東京六法出版	¥476
00006883	リハビリテーションと精神医学	鹿島晴雄	医歯薬出版	¥3,800
00006884	リハビリテーションを考える ： 障害者の全人間的復権	上田敏	青木書店	頒価不明
00006885	リラクセーションのすすめ ： その理論と実際	三谷恵一/他編	大学教育出版	¥2,427
00006886	臨床精神医学事典	西丸四方	南山堂	¥5,825
00006887	臨床精神医学辞典	西丸四方	南山堂	¥5,825
00006888	可能性としての心理療	児島 達美／著	金剛出版	¥3,600
00006889	家族療法技法ハンドブック	R.シャーマン， N.フレッドマン	星和書店	頒価不明
00006890	家族療法入門 ： システムズ・アプローチの理論と実際	遊佐安一郎	星和書店	頒価不明
00006891	解決のための面接技法　　第３版 ソリューション・フォーカスト・アプローチの手引き	ピーター・ディヤング， インスー・キム・バーグ ／著	金剛出版	¥4,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006892	記憶のリハビリテーション	Barbara A. Wilson	医歯薬出版	頒価不明
00006893	講座言語障害児の診断と指導　第1巻　構音障害の診断と指導	飯高京子/他編	学苑社	頒価不明
00006894	支持的精神療法の上手な使い方	D・S・ワーマン	星和書店	頒価不明
00006895	小児自閉症 ： 自閉性を再考する	平井信義	日本小児医事出版社	¥6,500
00006896	小精神医学書	加藤伸勝	金芳堂	頒価不明
00006897	小精神医学書	加藤伸勝	金芳堂	頒価不明
00006898	心と身体の医療 ： ストレス病とバイオフィードバック	バーバラ・B.ブラウン	紀伊國屋書店	¥4,500
00006899	心身医学のための心理療法と心身医学的療法	河野友信/他編	朝倉書店	¥4,300
00006900	心身症	石川中，末松弘行	日本文化科学社	頒価不明
00006901	心身症へのアプローチ ストレス社会の疾病像とその対策	筒井末春	ライフ・サイエンス	¥2,800
00006902	心理学 ： こころを科学する	笹野完二	ナカニシヤ出版	¥2,136
00006903	心理学 ： こころを科学する	笹野完二	ナカニシヤ出版	¥2,136
00006904	心理治療法ハンドブック	伊藤隆二	福村出版	頒価不明
00006905	新・行動療法と心身症 ： 行動医学への展開	赤木稔	医歯薬出版	¥3,700
00006906	新精神医学	新福尚武	医学出版社	¥900
00006907	人間学 ： 医学的アプローチ	高島博原	丸善	頒価不明
00006908	睡眠・覚醒障害の臨床	中沢洋一	医学書院	¥5,300
00006909	生と死の心理 ： ユング心理学と心身症	河野博臣	創元社	頒価不明
00006910	精神科・老人医療ガイド'99	NOVA出版	NOVA出版	¥1,200
00006911	精神科MOOK19　森田療法 ： 理論と実際	大原健士郎	金原出版	¥4,900
00006912	精神障害者のナイト・ケア	竹村堅次	医学書院	¥4,000
00006913	精神障害者のナイト・ケア	竹村堅次	医学書院	¥4,000
00006914	精神障害者の地域リハビリテーション	蜂矢英彦，村田信男	医学書院	¥6,800
00006915	続 分裂病とはなにか　慢性化の機構	稲永和豊，融道男	東京大学出版会	頒価不明
00006916	中年期の精神医学	飯田眞	医学書院	¥8,000
00006917	日常性の精神医学 ： 写真と症例による招待	J.H.ヴァン・デン・ベルク	川島書店	頒価不明
00006918	分裂病の人間学 ： ドイツ精神病理学アンソロジー	木村敏	医学書院	¥4,800
00006919	妄想 ： 分裂病妄想の記述現象学的研究	G.フーバー，G.グロス	金剛出版	¥6,800
00006920	臨床心理検査入門 ： 諸検査の施行とその解釈	松本啓，鮫島和子	医学出版社	¥2,800
00006921	臨床心理検査入門 ： 諸検査の施行とその解釈	松本啓，鮫島和子	医学出版社	¥2,800
00006922	躁病の診断と治療	渡辺昌祐，江原嵩	新興医学出版社	¥4,600
00006923	生涯各期の心身症とその周辺疾患	並木正義	診断と治療社	¥4,800
00006924	生涯各期の心身症とその周辺疾患	並木正義	診断と治療社	¥4,800
00006925	MRI診断マニュアル	有水昇・植松貞夫	篠原出版	¥7,500
00006926	ＭＲＩの基本パワーテキスト第2版　基礎理論から最新撮像法まで	荒木力	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥6,500
00006927	ＮＭＲ医学ー基礎と臨床　改訂第２版	海老原熊雄	丸善	頒価不明
00006928	ＰＴ・ＯＴのための画像診断マニュアル	百島祐貴	医学教育出版社	¥2,700
00006929	関節ＭＲＩ撮像のコツとアトラス	新藤雅司	メジカルビュー社	¥7,000
00006930	救急放射線診断マニュアル	稲本一夫	丸善	頒価不明
00006931	デジタルイメージングの落とし穴　ＣＴ＆ＭＲＩ編	安野泰史	医療科学者	¥4,000
00006932	ポケット正常画像ＡｔｏＺ	後閑武彦	メジカルビュー社	¥3,500
00006933	リハビリテーションのための画像の読み方	本間光信	メジカルビュー社	¥3,000
00006934	放射線物理の基礎	原田芳廣	東海大学出版会	頒価不明
00006935	ＳＴＥＰ①外科総論・脳神経外科第２版	小林士郎	海馬書房	¥5,000
00006936	一般外科　術前・術中・術後管理	梶谷鐶	へるす出版	¥19,000
00006937	外傷	大塚敏文	日本医事新報社	¥13,500
00006938	外科学	阿部令彦	朝倉書店	¥12,000
00006939	外科治療ハンドブックーメスとくすりー	穴沢雄作	医学図書出版	¥7,600
00006940	新臨床外科学　第２版	中村紀夫	医学書院	¥14,000
00006941	標準形成外科学　第２版	鬼塚卓弥	医学書院	¥6,700
00006942	今日の麻酔1　慢性痛の治療	S.リプトン	朝倉書店	頒価不明
00006943	図説包帯法　第4版	石山俊次，石山功	医学書院	¥650
00006944	包帯の巻き方	藤原文夫	南江堂	¥1,200
00006945	ブルミエ産婦人科各論	秋谷清/他編	医歯薬出版	¥4,700
00006946	産婦人科サブノート	福島穣，河上征治	南江堂	¥4,800
00006947	全身性疾患・内臓疾患の皮ふ病変	北村啓次郎	日本医事新報社	¥6,900
00006948	皮膚科感染症夏期セミナーテキストブック皮膚科領域の感染症ー診断と治療指数ー	マッキャン・ヘルスケア	グラクソ・スミスクライン	頒価不明
00006949	皮膚科感染症夏期セミナーテキストブック皮膚科領域の感染症ー診断と治療指数ー	マッキャン・ヘルスケア	グラクソ・スミスクライン	頒価不明
00006950	現代の皮膚科学　改訂第2版	三木吉治/他編	金原出版	¥6,800
00006951	０・１・２歳児　こころとからだの発達	二木武	医歯薬出版	¥2,200
00006952	Introduction to psychology，3　子どもの発達を探る	小嶋秀夫，速水敏彦	福村出版	頒価不明
00006953	PTマニュアル 小児の理学療法	河村光俊	医歯薬出版	¥3,800
00006954	アクチュアル脳・神経疾患の臨床 小脳と運動失調 ： 小脳はなにをしているのか	西沢正豊	中山書店	¥12,000
00006955	遊びと探索学習-知的好奇心による行動の研究-	山田　孝　訳	協同医書出版社	¥4,800
00006956	アプローチシリーズ　臓器別医師国試問題解説４　小児科	金岡毅，赤司俊二	医学評論社	頒価不明
00006957	医学概論３版	北村論	中外医学者	¥2,400
00006958	イラストでわかる人間発達学	上杉雅之	医歯薬出版	¥4,200
00006959	医療「救命ボード」に乗り遅れるなーアメリカの医療に学ぶー	Ｈｏｗａｒｄ　Ｈ．　Ｈｉａｔｔ	日本医事新報社	¥2,700
00006960	親と子のきずな	クラウス・ケネル／著	医学書院	¥3,000
00006961	ぎょうせいヘルス・ライブラリー，47　発達障害児の保健指導	伊藤隆二	ぎょうせい	¥1,300
00006962	言語発達とその障害	高木隆郎	医学書院	¥3,000
00006963	ことばの発達の障害とその指導	飯高　京子	学苑社	頒価不明
00006964	子どもの精神医学	マイケルー・ラター	ルガール社	¥6,800
00006965	子どもの精神療法 症例とスーパービジョン	森省二	金剛出版	頒価不明
00006966	子どもの脳機能障害	松本和雄	医歯薬出版	¥4,800
00006967	子どもの発達と遊び	上田礼子	岩崎学術出版社	頒価不明
00006968	これからの精神保健・精神医療（改題　これからの精神医療）	谷中輝雄	やどかり出版	¥1,165
00006969	シェルボーンのムーブメント入門 ： 発達のための新しい療育指導法	ベロニカ・シェルボーン	三輪書店	¥2,330
00006970	シェルボーンのムーブメント入門 ： 発達のための新しい療育指導法	ベロニカ・シェルボーン	三輪書店	¥2,330
00006971	障害児教育実践ハンドブック	大久保哲夫/他編	労働旬報社	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006972	障害児食事指導の実際	S.E.Morris	協同医書出版社	¥1,200
00006973	障害児のためのテクノエイド	高松鶴吉・繁成剛	ぶどう社	¥4,000
00006974	障害乳幼児の発達と医療	堀江重信	青木書店	頒価不明
00006975	小児外科／示唆にとむ症例	葛西洋一・内野純一	日本医学館	¥5,000
00006976	小児の発達と行動	ゲゼル/他編	福村出版	頒価不明
00006977	小児リハビリテーションⅠ-脳性麻痺	岩倉博光	医歯薬出版	¥4,600
00006978	心身障害児の理解と保育：リハビリテーション保育とその展開	深津時吉・岸勝利	医歯薬出版	頒価不明
00006979	身体障害児～教師のための医学アトラス　第2版	Eugene E.Bleck,Donald A.Nagel	協同医書出版社	¥8,500
00006980	身体障害児～教師のための医学アトラス　第2版	Eugene E.Bleck,Donald A.Nagel	協同医書出版社	¥8,500
00006981	正常児・異常児の運動発達検査	松村秩・矢谷令子	医歯薬出版	¥1,900
00006982	青年臨床心理学	関俊峋	朝倉書店	¥2,700
00006983	接触から排泄まで　小児の発達栄養行動：生理・心理・臨床	二木武	医歯薬出版	¥3,400
00006984	ダウン症児の育ち方・育て方	安藤忠・北九州市立総合センター	学研	頒価不明
00006985	手の発達機能障害	Ｒ．Ｐ．ＥＲＨＡＲＤＴ	医歯薬出版	¥5,000
00006986	手の発達機能障害	Ｒ．Ｐ．ＥＲＨＡＲＤＴ	医歯薬出版	¥5,000
00006987	日本版デンバー式発達スクリーニング検査　増補版	上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00006988	乳児期における情緒の表れ	R.N.エムデ他	風媒社	¥3,500
00006989	乳児期における情緒の表われ	R.N.エムデ他	風媒社	¥3,500
00006990	乳児の対人世界　理論編	D. N. スターン	岩崎学術出版社	頒価不明
00006991	脳性麻痺の類型別運動発達	梶浦一郎	医歯薬出版	¥2,300
00006992	ボバース法による脳性まひの言語治療	嵯峨崎順子	医歯薬出版	¥2,500
00006993	メラニー・クライン著作集，1　子どもの心的発達 ： 1921-1931	メラニー・クライン	誠信書房	¥3,800
00006994	文字とことばの指導のための　言語発達診断検査	酒井芳文	田研出版	頒価不明
00006995	臨床薬物療法シリーズ　小児科の薬物療法	北山徹	朝倉書店	¥3,900
00006996	学習障害 ： LDの理解と取りくみ	上村　菊朗[ほか]著	医歯薬出版	頒価不明
00006997	感覚統合と学習障害	A.Jean Ayres	協同医書出版社	¥4,800
00006998	感覚統合と学習障害	A.Jean Ayres	協同医書出版社	¥4,800
00006999	基本小児外科学	日本小児外科学会教育委員会	金原出版	¥12,000
00007000	高次脳機能障害ファシリテーター養成講座 = The lecture of facilitator for higher brain dysfunction	高次脳機能障害支援ネット著	三輪書店	¥2,800
00007001	今日の小児治療指針	塙嘉之/他編	医学書院	頒価不明
00007002	今日の小児診断指針　第2版	前川喜平/他編	医学書院	¥12,500
00007003	今日の小児診断指針　第2版	前川喜平/他編	医学書院	¥12,500
00007004	最新育児小児病学	宮尾益英	南江堂	¥2,816
00007005	最新育児小児病学	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007006	最新育児小児病学　改訂第3版	宮尾益英	南江堂	¥2,816
00007007	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007008	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007009	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007010	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007011	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007012	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007013	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007014	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007015	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007016	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007017	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007018	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007019	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007020	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007021	子どものこころの医学	中村和彦	金芳堂	¥3,600
00007022	子どもの生活における発達と学習	無藤隆	ミネルヴァ書房	頒価不明
00007023	子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ	小西紀一/他編	メジカルビュー社	¥5,500
00007024	子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ	小西紀一/他編	メジカルビュー社	¥5,500
00007025	子どもの脳機能障害 ： 自閉,多動,学習障害の神経メカニズム	Isabelle Rapin	医歯薬出版	¥4,800
00007026	子どもの発達-0歳から6歳	E・J・キパート　著	同朋出版	¥2,800
00007027	子どもの発達と感覚統合	A.Jean Ayres	協同医書出版社	¥3,914
00007028	子どもの発達と遊び	上田　礼子　訳	岩崎学術出版社	頒価不明
00007029	児童発達の理論 ： ラーニングガイド	R.M.トーマス	新曜社	頒価不明
00007030	写真でみる乳児の運動発達 ： 生後10日から12カ月まで	Lois Bly　著	協同医書出版社	¥5,500
00007031	写真でみる乳児健診の神経学的チェック法	前川喜平	南山堂	¥5,800
00007032	写真でみる乳児健診の神経学的チェック法	前川喜平	南山堂	¥5,800
00007033	就学前児の発達指導法	Diane B.D'Eugenio・Martha S.Moersch	医歯薬出版	¥3,600
00007034	重度発達障害児の家庭養育技術（青年期）	今泉昭雄	全国心身障害児福祉財団	頒価不明
00007035	小児・発達期の包括的アプローチ ：PT・OTのための実践的リハビリテーション	新田收/他編	文光堂	¥10,000
00007036	小児のメディカル・ケア・シリーズ11　小児の肥満	村田光範	医歯薬出版	頒価不明
00007037	小児のメディカル・ケア・シリーズ12　小児の糖尿病	北川照男	医歯薬出版	頒価不明
00007038	小児のメディカル・ケア・シリーズ13 小児のことばの障害 ： 言語障害・音声障害	田中美郷/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007039	小児のメディカル・ケア・シリーズ14　自閉症	村田豊久	医歯薬出版	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007040	小児のメディカル・ケア・シリーズ14　自閉症	村田豊久	医歯薬出版	頒価不明
00007041	小児のメディカル・ケア・シリーズ15　小児の心身症	河野友信	医歯薬出版	¥1,200
00007042	小児のメディカル・ケア・シリーズ16　小児の先天性代謝異常症 ： フェニルケトン尿症を中心に	藤井邦生/他編	医歯薬出版	¥1,200
00007043	小児のメディカル・ケア・シリーズ18　小児の脊柱変形・下肢変形	井上駿一，山根友二郎	医歯薬出版	頒価不明
00007044	小児のメディカル・ケア・シリーズ18　小児の脊柱変形・下肢変形	井上駿一，山根友二郎	医歯薬出版	頒価不明
00007045	小児のメディカル・ケア・シリーズ19　小児の運動障害 ： 筋ジストロフィー症と脳性麻痺を中心に	福山幸夫/他編	医歯薬出版	¥1,200
00007046	小児のメディカル・ケア・シリーズ2　小児の気管支喘息　改訂第2版	飯倉洋治，早川浩	医歯薬出版	頒価不明
00007047	小児のメディカル・ケア・シリーズ22　小児の感染症	平山宗宏，南谷幹夫	医歯薬出版	頒価不明
00007048	小児のメディカル・ケア・シリーズ23　小児の成長障害	村田光範	医歯薬出版	頒価不明
00007049	小児のメディカル・ケア・シリーズ24　起立性調節障害 ： 小児の立ちくらみ・めまいを中心として	木村隆夫	医歯薬出版	頒価不明
00007050	小児のメディカル・ケア・シリーズ25　小児の問題行動 ： 心配な行動・性格とその対策	中村孝/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007051	小児のメディカル・ケア・シリーズ26　スポーツ障害 ： 発育期を中心に	高沢晴夫/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007052	小児のメディカル・ケア・シリーズ27　小児がん ： よりよい療養生活のために　改訂第3版	塙嘉之	医歯薬出版	頒価不明
00007053	小児のメディカル・ケア・シリーズ29　ダウン症	日暮眞/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007054	小児のメディカル・ケア・シリーズ3　小児の骨折	小野三嗣，宮崎義憲	医歯薬出版	¥1,200
00007055	小児のメディカル・ケア・シリーズ30　小児のノイローゼ ： 強迫神経症・チックを中心に	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007056	小児のメディカル・ケア・シリーズ30　小児のノイローゼ ： 強迫神経症・チックを中心に	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007057	小児のメディカル・ケア・シリーズ4　小児のアレルギー	飯倉洋治，早川浩	医歯薬出版	頒価不明
00007058	小児のメディカル・ケア・シリーズ5　小児の心臓病	草川三治	医歯薬出版	頒価不明
00007059	小児のメディカル・ケア・シリーズ6　小児のMBD ： 微細脳障害症候群の臨床	上村菊朗，森永良子	医歯薬出版	¥1,200
00007060	小児のメディカル・ケア・シリーズ7　登校拒否症	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007061	小児のメディカル・ケア・シリーズ7　登校拒否症	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007062	小児のメディカル・ケア・シリーズ8　小児のてんかん	福山幸夫/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007063	小児の姿勢	有馬　著	診断と治療社	¥6,000
00007064	小児科診察入門	Denis Gill，Niall O'Brien	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥3,000
00007065	小児外科手術用語集	日本小児外科学会用語委員会	金原出版	¥3,800
00007066	小児精神医学	安藤　春彦	ヒューマンティワイ	¥8,252
00007067	小児頭部外傷 ： 急性期からリハビリテーションまで	栗原まな	医歯薬出版	¥4,600
00007068	小児脳波と臨床	福山幸夫	金原出版	¥12,000
00007069	小児発育学 ： 胎児から成熟まで	J.M.Tanner	日本小児医事出版社	¥6,000
00007070	障害児の育て方・指導法 ： 行動療法を基礎にして	鈴村　健治	ミネルヴァ書房	¥2,233
00007071	障害児の発達を促す動作法	今野　義孝　著	学苑社	頒価不明
00007072	食べる機能の障害 ： その考え方とリハビリテーション	金子芳洋	医歯薬出版	頒価不明
00007073	心身障害児のリハビリテーション	安藤春彦	南山堂	¥8,800
00007074	心身障害児の臨床検査マニュアル	安藤春彦	南山堂	¥4,800
00007075	心身障害児の臨床検査マニュアル	安藤春彦	南山堂	¥4,800
00007076	新しい遊戯療法 ： セラプレイ	高野清純,杉原一昭	日本文化科学社	頒価不明
00007077	人間性の発達 ： 幼年期から老年期まで	ゴードン・R・ロウ	法政大学出版局	頒価不明
00007078	正常発達 ： 脳性まひ治療への応用	Jung Sun Hong	三輪書店	¥3,200
00007079	静的弛緩誘導法 ： 動作の不自由な子どものための基礎的指導	立川　博著	御茶の水書房	頒価不明
00007080	赤ちゃんのめざめ ： 神経生理学にもとづく運動のさせ方・遊ばせ方	Janine Lévy	医歯薬出版	頒価不明
00007081	第10回日本脳性麻痺研究会記録	村地俊二	協同医書出版社	¥4,200
00007082	第11回日本脳性麻痺研究会記録	三宅良昌	協同医書出版社	¥4,200
00007083	第12回日本脳性麻痺研究会記録	高柳慎八郎	協同医書出版社	¥4,200
00007084	第13回日本脳性麻痺研究会記録	穐山富太郎	協同医書出版社	¥4,200
00007085	第14回日本脳性麻痺研究会記録	坂口亮	協同医書出版社	¥3,500
00007086	第15回日本脳性麻痺研究会記録	井沢淑郎，陣内一保	協同医書出版社	¥3,605
00007087	第9回日本脳性麻痺研究会記録	児玉和夫	協同医書出版社	¥5,800
00007088	特殊学習障害・理解と援助 ： 親,保育者,教師へのガイド	Donald H.Painting	協同医書出版社	¥2,800
00007089	二分脊椎の子どもとの接し方	中新井　邦夫 著	ルガール社	頒価不明
00007090	乳児・小児の神経学的診察法	Henry W.Baird,Eleanora C.Gordon	中央洋書出版部	¥7,900
00007091	乳児・小児の神経学的診察法	Henry W.Baird,Eleanora C.Gordon	中央洋書出版部	¥7,900
00007092	乳児のこころとからだ ： 写真で知る発達のすがた	中原弘之 川口隆司	大日本図書	頒価不明
00007093	乳児のこころとからだ ： 写真で知る発達のすがた	中原弘之 川口隆司	大日本図書	頒価不明
00007094	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	Mark van Blankenstein/他編	医歯薬出版	¥1,900
00007095	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	Mark van Blankenstein/他編	医歯薬出版	¥1,900
00007096	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	高橋　孝文　監訳	医歯薬出版	¥1,650
00007097	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	高橋　孝文　監訳	医歯薬出版	¥1,845
00007098	乳幼児の健康診査とスクリーニング	中山健太郎	医学書院	¥3,900
00007099	乳幼児の健康診査とスクリーニング	中山健太郎	医学書院	¥3,900
00007100	脳と発達 ： 環境と脳の可塑性　シリーズ《脳の科学》	津本忠治	朝倉書店	¥3,800
00007101	脳性麻痺　第2版	五味　重春　著	医歯薬出版	頒価不明
00007102	脳性麻痺　第3版	五味　重春　著	医歯薬出版	頒価不明
00007103	脳性まひの療育と理学療法 ： 上田法およびボツリヌス療法による筋緊張のコントロールと評価	東條惠	診断と治療社	¥2,600
00007104	脳性まひ児の家庭療育　第２版	梶浦一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007105	脳性まひ児の家庭療育　第２版	梶浦一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007106	脳性まひ児の家庭療育	Eva Bower	医歯薬出版	¥4,200
00007107	脳性まひ児の家庭療育　第4版	Eva Bower	医歯薬出版	¥4,200
00007108	脳性まひ児の早期治療	Alfred L. Scherzer,Ingrid Tscharnuter	医学書院	¥3,000
00007109	脳性まひ児の早期治療	今川忠男訳	医学書院	¥3,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007110	脳性麻痺のクリニカルリーズニングアプローチ ：理学療法・作業療法評価と治療	Karen J. Dodd/他編	医歯薬出版	¥6,800
00007111	脳性麻痺の研究 Cerebral palsy for understanding, care and help	津山直一	同文書院	¥25,000
00007112	脳性麻痺の評価と治療 ： 整形外科的チームアプローチ	Robert L. Samilson	協同医書出版社	¥7,500
00007113	発達OTが考える子どもセラピィの思考プロセス ： あなたのセラピィを構築するためのいくつかのヒント	小松則登	メジカルビュー社	¥4,000
00007114	発達を促す遊びの指導 ： 重度障害児のために	村田茂/他編	学習研究社	頒価不明
00007115	発達小児科学	K.S.Holt	日本小児医事 出版社	¥7,000
00007116	発達障害と作業療法	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007117	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007118	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007119	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007120	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007121	発達障害と作業療法[実践編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,000
00007122	発達障害と作業療法[実践編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007123	発達障害と作業療法[実践編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007124	発達障害の評価と治療-小児の作業療法-	Barbara Sharpe Banus ［ほか］著	協同医書出版社	頒価不明
00007125	発達障害医学の進歩	有馬正高，熊谷公明	診断と治療社	¥2,913
00007126	発達的視点からみた障害児の療育　第1巻　障害児の社会小児科学的診断とリハビリテーション	Theodor Hellbrügge	医学書院	¥4,200
00007127	発達的視点からみた障害児の療育 第2巻　障害児の心理的,社会的問題と教育	山下文雄　監訳	医学書院	¥5,600
00007128	理学療法士・作業療法士のための小児の反射と発達の診かた	前川喜平/他編	新興医学出版社	¥3,200
00007129	理学療法士・作業療法士のための小児の反射と発達の診かた	前川喜平/他編	新興医学出版社	¥3,200
00007130	Clinical nursing guide, 16　老年	大友英一	メディカ出版	頒価不明
00007131	図説臨床老年医学講座リハビリテーション	上田慶二	メジカルビュー社	頒価不明
00007132	痴呆のすべて	宮武正	科学評論社	頒価不明
00007133	ベッドサイドの老人の診かた	熊原雄一,島健二	南山堂	¥8,300
00007134	ユニットケア実践!ケアワークブック　改訂版	武田和典,泉田照雄	全国コミュニティライフ サポートセンター	¥1,000
00007135	感染症,免疫・アレルギー疾患,血液疾患	嶋田甚五郎/他編	メジカルビュー社	頒価不明
00007136	口腔,感覚器,皮膚,泌尿・生殖器疾患	渡辺郁馬/他編	メジカルビュー社	頒価不明
00007137	主訴・症候からみた老年病の診断	上田慶二	メジカルビュー社	頒価不明
00007138	消化器疾患,外科手術と麻酔	深沢俊男・金澤暁太郎	メジカルビュー社	頒価不明
00007139	図説臨床老年医学講座3　老年疾患の治療と管理・看護	中村治雄	メジカルビュー社	頒価不明
00007140	保健医療,福祉の制度とサービスの実際	桑名忠・奥川幸子	メジカルビュー社	頒価不明
00007141	老化に伴う機能と検査・検査値の特徴	折茂肇	メジカルビュー社	頒価不明
00007142	老化を考える	江上信雄	講談社	¥2,796
00007143	老化性痴呆の臨床	小阪 憲司／著	金剛出版	¥15,000
00007144	老人のリハビリテーション	厚生省保健医療局老人保健部老人保健課	社会保険出版社	¥1,600
00007145	老人の診療 ： その特性と周辺	相澤 豊三・村上 元孝／監修	南山堂	¥9,000
00007146	老人科診療必携	折茂肇，福地義之助	朝倉書店	¥6,800
00007147	老年の精神医学	Raymond Levy,Felix Post	医学書院	¥6,700
00007148	老年の精神医学	Raymond Levy,Felix Post	医学書院	¥6,700
00007149	老年医学入門 ： アプローチと診療の要点	H.M.Hodkinson	丸善	¥2,800
00007150	老年医学入門 ： アプローチと診療の要点	H.M.Hodkinson	丸善	¥2,800
00007151	老年学テキスト	柴田博/他編	南江堂	¥4,200
00007152	老年期の臨床心理学 ： その実際と問題行動へのアプローチ	井上勝也	川島書店	頒価不明
00007153	老年者の総合ヘルスケア	J・D・ロウマクス	医歯薬出版	¥2,900
00007154	老年者の総合ヘルスケア	J・D・ロウマクス	医歯薬出版	¥2,900
00007155	老年薬物療法の注意点	大友英一,加藤隆一	中外医学社	¥5,000
00007156	顎関節の徒手理学療法	カイ・バルトウ	ガイアブックス	¥5,500
00007157	口蓋裂患者の言語障害と治療	伊東節子	クインテッセンス 出版	頒価不明
00007158	呼吸・嚥下・発声の制御	平野実	篠原出版	¥3,200
00007159	コメディカルのための外科学総論	長田博昭	医学出版社	¥3,900
00007160	耳鼻咽喉科・頭頸部外科ＭＯＯＫ4・コミュニケーション障害	野村恭也	金原出版	¥12,000
00007161	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第２版	鈴木淳一	医学書院	¥7,000
00007162	標準整形外科学　第１１版	中村利孝	医学書院	¥9,400
00007163	標準整形外科学　第１３版	中村利孝	医学書院	¥9,400
00007164	ベッドサイド基本手技アトラス　第２版	石川浩一	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥5,500
00007165	めまい・平衡障害の診断と治療 ： 情報処理システムを中心に	水越鉄理/他編	現代医療社	¥10,000
00007166	めまい・平衡障害の診断と治療 ： 情報処理システムを中心に	水越鉄理/他編	現代医療社	¥10,000
00007167	めまいと平衡障害	W. Stoll/他編	南江堂	¥6,500
00007168	平衡機能検査の実際　第2版	日本平衡神経科学会	南山堂	¥5,000
00007169	眼疾患　説明の仕方と解説	菅謙治	金芳堂	¥3,400
00007170	眼の病変　各科臨床医のために	稲富昭太	金芳堂	頒価不明
00007171	「いい病院」への挑戦 ： 患者のためにできること	宗田理 宗田律	角川学芸出版 角川グループパブリッシング	¥1,300
00007172	Pocket Reference to hospital-acquired infection 病院感染	edited by G. A. J. Ayliffe, J. R. Babb	Science Press	頒価不明
00007173	POSを活用するすべての医療者のためのSOAP パーフェクト・トレーニング　pt. 2	岡村祐聡	診断と治療社	¥2,300
00007174	シナリオで理解する!手指衛生トレーニング2	佐々木浩美/他著	へるす出版	¥2,000
00007175	にぎやかなトラブルの雨音 ： 医療現場の法律・患者応対の「灰色事例」解決法40幕 アカシア病院物語，Part3　2005	楡一郎	医学通信社	¥1,500
00007176	ホスピス　末期医療の思想と方法	斎藤武	医学書院	¥1,800
00007177	医科診療報酬点数表	舟木庸行	社会保険研究所	¥1,800
00007178	医療機関はトラブルがいっぱい ： 法律・接遇・患者クレームの解決事例42幕 アカシア病院物語，Part2　2005年改訂版	楡一郎	医学通信社	¥1,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00007179	医療秘書医学シリーズ ・1 改訂　医療概論	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007180	医療秘書医学シリーズ ・2 改訂　基礎医学	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007181	医療秘書医学シリーズ ・3 改訂　臨床医学Ⅰ	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007182	医療秘書医学シリーズ ・4 改訂　臨床医学Ⅱ	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007183	医療秘書医学シリーズ ・5 改訂　臨床医学Ⅲ	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥1,600
00007184	医療秘書医学シリーズ ・6 改訂　検査・薬理	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007185	医療秘書医学シリーズ ・7 改訂　患者・看護論	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007186	医療秘書実務シリーズ ・1 改訂　医療秘書	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007187	医療秘書実務シリーズ ・1 改訂　医療秘書	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007188	医療秘書実務シリーズ ・2 改訂　病院管理	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007189	医療秘書実務シリーズ ・3 改訂　診療録管理－診療情報管理－	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007190	医療秘書実務シリーズ ・4 三訂　診療報酬請求事務・基礎編	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,000
00007191	医療秘書実務シリーズ ・6 改訂　医療関連法規	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007192	医療秘書実務シリーズ ・8 改訂　医学用語	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥1,600
00007193	医療秘書実務シリーズ ・9 診療情報	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007194	医療秘書実務士選書 改訂　医療事務総論	倉戸啓子・中川雅登	建帛社	¥2,300
00007195	医療秘書実務士選書 改訂　医療秘書実務	美馬信・東野國子	建帛社	¥2,300
00007196	院内トラブル・スケッチ40幕 ： 患者応対と法律グレイゾーン解決事例集 アカシア病院物語,Part1 2005年改訂版	楡一郎	医学通信社	¥1,500
00007197	集中治療マニュアル	奥秋晟/他編	医学書院	¥7,800
00007198	点数表の解釈乙表編 ： 社会保険・老人保健診療報酬 厚生省保険局医療課,厚生省老人保健福祉部老人保健課編	舟木庸行	社会保険研究所	¥4,300
00007199	点数表の解釈甲表編 ： 社会保険・老人保健診療報酬 厚生省保険局医療課,厚生省老人保健福祉部老人保健課編	舟木庸行	社会保険研究所	¥4,300
00007200	JJNスペシャル 看護師のためのWeb検索・文献検索入門	佐藤淑子　他	医学書院	¥2,200
00007201	新しい精神医学と看護　力動的理解と実践	西園 昌久／著	医学書院	¥2,000
00007202	家庭看護学	松下和子	医歯薬出版	¥2,233
00007203	がん化学療法と患者ケア　改訂第2版	福島雅典　他	医学芸術新社	¥2,800
00007204	看護学生必修シリーズ バイタルサインの見方・読み方	日野原　重明	照林社	¥1,800
00007205	看護職のための　社会福祉・社会保障	眞舩拓子　他	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,200
00007206	看護卒後研修セミナー　3 循環器系	石川恭三	へるす出版	¥5,900
00007207	看護卒後研修セミナー１　脳神経系	斎藤勇	へるす出版	¥5,800
00007208	看護に必要なリハビリテーションの知識と技術	石田肇	医学書院	¥3,800
00007209	患者ケアの臨床心理 人間発達学的アプローチ	岡堂哲雄	医学書院	¥2,200
00007210	患者ケアの臨床心理 人間発達学的アプローチ	岡堂哲雄	医学書院	¥2,200
00007211	系統看護学講座　専門15　成人看護学　12	丸尾敏夫	医学書院	頒価不明
00007212	系統看護学講座　専門16　成人看護学　12	丸尾敏夫	医学書院	頒価不明
00007213	高看基礎講座　生物学	宮治清一　他	メヂカル フレンド社	¥1,300
00007214	高齢者の転倒ケア-予測・予防と自立支援のすすめ方	鈴木みずえ　他	医学書院	¥2,000
00007215	神経内科看護	平山恵三	医学書院	¥2,200
00007216	新訂　看護英会話入門	植木武　他	医学書院	¥1,700
00007217	整形外科ケアの実際	池澤康郎	メヂカル フレンド社	¥2,500
00007218	成人看護学各論 骨・関節・筋系疾患と看護 標準看護学講座　20	加藤文雄	金原出版	¥1,300
00007219	ターミナルケアと今後の医療 ： いま医療が求められているものは何か	形浦昭克/他編	南山堂	¥3,800
00007220	ナーシング・グラフィカ16　看護学概論	川村佐和子	メディカ出版	¥2,400
00007221	ナーシング・グラフィカ17　ヘルスアセスメント	川村佐和子	メディカ出版	¥3,200
00007222	ナーシング・グラフィカ2　臨床生化学	三井和浩	メディカ出版	¥2,600
00007223	ナーシング・グラフィカ2　臨床生化学	三井和浩	メディカ出版	¥2,600
00007224	ナーシング・グラフィカ33　生活障害と看護の実践	出口禎子	メディカ出版	¥2,200
00007225	ナーシング・グラフィカ5　臨床微生物・医動物	矢野久子	メディカ出版	¥3,200
00007226	ナーシング・マニュアル　第10巻 骨・関節疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007227	ナーシング・マニュアル　第10巻 骨・関節疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007228	ナーシング・マニュアル　第12巻 精神障害・心身症看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007229	ナーシング・マニュアル　第13巻 看護過程マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007230	ナーシング・マニュアル　第14巻 基礎看護術マニュアル（Ⅰ）	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007231	ナーシング・マニュアル　第17巻 循環ケアマニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00007232	ナーシング・マニュアル　第18巻 術前・術中・術後ケアマニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007233	ナーシング・マニュアル　第19巻 救急ケアマニュアル	日野原重明	学習研究社	¥3,000
00007234	ナーシング・マニュアル　第1巻 がん看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007235	ナーシング・マニュアル　第21巻（別巻） 看護ケア評価マニュアル	前田マスヨ	学習研究社	頒価不明
00007236	ナーシング・マニュアル　第3巻 狭心症・心筋梗塞看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007237	ナーシング・マニュアル　第5巻 糖尿病・甲状腺疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007238	ナーシング・マニュアル　第6巻 消化器疾患看護マニュアル(Ⅰ)-食道・胃・腸	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007239	ナーシング・マニュアル　第7巻 消化器疾患看護マニュアル(Ⅱ)-肝・胆・膵	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007240	ナーシング・マニュアル　第8巻 腎・泌尿器疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007241	ナーシング・マニュアル　第9巻 血液・造血器疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007242	ナースの外科学	磯野可一	中外医学社	¥6,700
00007243	ナースの外科学のためのコロナリー・ケア	高木誠　他	金芳堂	頒価不明
00007244	熱傷看護ハンドブック	塚田貞夫	メディカ出版	¥3,000
00007245	病院心理学 看護をめぐる対人関係	ＷＡＬＴＥＲ　Ｊ．ＳＣＨＲＡＭＬ	医学書院	¥2,000
00007246	プライマリ・ナーシング 新しい看護方式の展開	松木光子　他	医学書院	¥3,200
00007247	慢性疾患を生きる ケアとクォリティ・ライフの接点	南 裕子／監訳	医学書院	¥3,000
00007248	リハと看護の協働-22のコツ	谷川正浩　他	三輪書店	¥2,000
00007249	患者との接し方 ： 看護活動とカウンセリング	渡辺三枝子/他編	へるす出版	頒価不明
00007250	看護教育学　第4版	杉森みど里，舟島なをみ	医学書院	¥4,800
00007251	在宅ケア ： 基盤づくりと発展への方法論　増補	島内節・川村佐和子	文光堂	¥3,800
00007252	在宅看護論 ： 実践をことばに　第5版	杉本正子，真舩拓子	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00007253	在宅末期がん患者のケア	Patricia H.Kennedy 〔著〕	医学書院	¥1,700
00007254	食事指導の看護へのいかしかた ： 症状・疾患別	富野康日己/他編	医歯薬出版	¥4,175
00007255	保健婦活動講座6　難病・公害と保健婦活動	保健婦活動研究会	中央法規出版	¥1,800
00007256	呆け老人と家族を支える看護 ： 地域での援助事例から	高崎絹子，野川とも江	日本看護協会出版会	¥2,300
00007257	慢性疾患の新しい理解とリハビリテーション看護	日野原重明	医学書院	¥3,200
00007258	老人ケアの社会学	木下康仁	医学書院	¥2,500
00007259	世界医療史	E.H. Ackerknecht／著	内田 老鶴圃	¥3,800
00007260	医学と社会のあゆみ ： 医学・社会・哲学	P・ローズ	朝倉書店	¥2,800
00007261	図説医学史	マイヤー・シュタイネック，ズートホフ	朝倉書店	¥5,900
00007262	日本の医療史	酒井シヅ	東京書籍	¥9,800
00007263	2012年版　理学療法士・作業療法士国家試験 過去問題集	久美出版編集部	久美	¥1,200
00007264	PT/OT国家試験必修ポイント 2010 作業療法　障害別編Ⅰ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007265	PT/OT国家試験必修ポイント 2015 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007266	PT/OT国家試験必修ポイント 2015 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007267	PT/OT国家試験必修ポイント 2016 専門基礎分野　基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007268	PT/OT国家試験必修ポイント 2016 専門基礎分野　基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007269	PT/OT国家試験必修ポイント　2017 障害別OT治療学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007270	PT・OT国家試験のための臨床医学のまとめ 第1版	理学療法科学学会	アイペック	¥1,800
00007271	PT・OT国家試験のための臨床医学のまとめ 第1版	理学療法科学学会	アイペック	¥1,800
00007272	PT・OT国試対策共通問題ワークブック　改訂第2版	三輪書店国試模試センター	三輪書店	¥3,000
00007273	PT・OT国試対策共通問題ワークブック　改訂第3版	三輪書店国試模試センター	三輪書店	¥3,600
00007274	PT・OT国試直前チェックノート　2010年版	宮城淳弘	医歯薬出版	¥2,600
00007275	PT・OT国試直前チェックノート　2011年版	宮城淳弘	医歯薬出版	¥2,600
00007276	PT・OT国試直前チェックノート　2011年版	宮城淳弘	医歯薬出版	¥2,600
00007277	イラスト理学療法ブラウン・ノート ： 見て学ぶ理学療法の極意 ： 1176のイラストで極める	柳澤健	メジカルビュー社	¥5,600
00007278	クエスチョン・バンク作業療法士国家試験問題解説 2011専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007279	クエスチョン・バンク作業療法士国家試験問題解説 2011専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007280	クエスチョン・バンク作業療法士国家試験問題解説 2012専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007281	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2010共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007282	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2011共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007283	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2012共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007284	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2012共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007285	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2012共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007286	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2013共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007287	クエスチョン・バンク理学療法士国家試験問題解説 2010専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007288	クエスチョン・バンク理学療法士国家試験問題解説 2011専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007289	クエスチョン・バンク理学療法士国家試験問題解説 2013専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007290	合格へのガイドライン　PT・OT共通科目	PT・OT教育ガイドライン基準委員会	アイペック	¥4,000
00007291	合格へのガイドライン　PT専門科目	PT・OT教育ガイドライン基準委員会	アイペック	¥4,000
00007292	国試内科学　3　改訂第2版	東田 俊彦／著	医学評論社	¥5,243
00007293	第21回―25回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	頒価不明
00007294	第21回―25回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	頒価不明
00007295	第21回―26回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,311
00007296	第21回―26回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,311
00007297	第21回―26回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,311
00007298	第24回―28回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,825
00007299	第26回―30回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,825
00007300	第27回―31回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,825
00007301	第28回―32回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007302	第29回―33回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007303	第29回―33回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007304	第29回―33回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007305	第30回―34回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007306	第31回―35回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007307	第31回―35回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007308	第31回―35回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007309	第32回―36回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007310	第32回―36回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007311	第32回―36回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007312	第33回―37回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007313	第38回―42回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007314	第39回―43回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007315	第39回―43回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007316	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007317	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007318	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007319	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007320	第41回―45回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007321	第42回―46回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007322	第42回―46回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007323	第43回―47回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007324	ひとりで学べる看護婦国家試験・問題と詳解　2009年版	看護学研究会	廣川書店	¥5,900
00007325	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2000年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007326	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2000年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007327	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2000年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007328	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007329	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007330	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007331	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007332	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007333	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007334	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007335	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007336	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2003年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007337	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2004年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007338	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2004年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007339	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2005年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007340	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2006年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007341	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2007年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007342	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2007年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007343	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2008年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007344	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2009年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007345	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2010年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007346	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2011年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007347	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2011年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007348	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2011年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007349	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2012年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007350	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2013年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007351	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2000年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007352	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2000年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007353	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007354	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007355	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007356	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007357	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007358	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007359	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2002年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007360	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2002年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007361	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2002年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007362	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2005年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007363	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2006年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007364	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2008年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007365	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2008年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007366	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2009年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007367	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007368	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007369	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007370	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007371	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2011年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007372	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2011年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007373	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2011年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007374	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2012年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007375	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2012年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007376	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2013年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007377	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2013年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007378	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2001年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007379	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2001年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007380	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2002年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007381	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2003年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007382	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2003年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007383	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2004年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007384	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2005年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007385	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2008年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007386	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2009年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007387	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007388	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007389	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007390	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007391	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2011年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007392	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2012年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007393	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2013年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007394	平成22年版　理学療法士・作業療法士 国家試験出題基準	全国理学療法士・作業療法士学校連絡協議会	メジカルビュー社	¥2,500
00007395	ポケットマスター：PT/OT国家試験必修ポイント　臨床医学　2015	医歯薬出版	医歯薬出版	¥1,800
00007396	ポケットマスター：PT/OT国家試験必修ポイント　臨床医学　2016	医歯薬出版	医歯薬出版	¥1,800
00007397	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎OT学　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007398	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎OT学　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007399	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎PT学　　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,700
00007400	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,600
00007401	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法　障害別編Ⅰ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007402	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　基礎編　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007403	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　障害別編Ⅰ　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007404	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　障害別編Ⅰ　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007405	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　障害別編Ⅱ　第3版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007406	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　OT治療学Ⅰ　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007407	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　OT治療学Ⅰ　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007408	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　OT治療学Ⅱ（精神障害領域）第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007409	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　PT治療学　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,700
00007410	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　PT治療学　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,700
00007411	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別OT治療学Ⅱ（精神障害領域）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007412	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　基礎医学　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007413	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　基礎医学　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,000
00007414	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007415	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007416	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007417	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007418	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007419	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法　疾患別編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007420	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法基礎分野　疾患別編　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,500
00007421	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法専門分野　基礎編　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,500
00007422	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2010 作業療法　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007423	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2010 作業療法　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007424	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007425	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007426	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅰ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007427	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅰ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007428	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007429	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007430	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,000
00007431	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007432	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007433	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007434	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 理学療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007435	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 理学療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007436	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 理学療法専門分野　疾患別編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007437	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2001　第6版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007438	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2002　第7版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007439	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2002　第7版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007440	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第4版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007441	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第4版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007442	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第8版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007443	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第8版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007444	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2004　第9版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007445	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2009　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007446	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2010　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007447	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2010　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007448	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2011　第16版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007449	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2012　第17版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007450	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2012　第17版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007451	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2013　第18版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007452	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2014　第19版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007453	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2014　第19版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007454	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2014　第19版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007455	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2015　第20版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007456	国試の達人 ： 作業療法編　2003　第1版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007457	国試の達人 ： 作業療法編　2004　第2版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007458	国試の達人 ： 作業療法編　2005　第3版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007459	国試の達人 ： 作業療法編　2006　第4版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007460	国試の達人 : 作業療法編　2006　第4版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007461	国試の達人 : 作業療法編　2007　第5版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007462	国試の達人 : 作業療法編　2007　第5版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007463	国試の達人 : 作業療法編　2009　第7版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007464	国試の達人 : 作業療法編　2010　第8版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007465	国試の達人 : 作業療法編　2010　第8版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007466	国試の達人 : 作業療法編　2011　第9版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007467	国試の達人 : 作業療法編　2011　第9版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007468	国試の達人 : 作業療法編　2012　改訂第1版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007469	国試の達人 : 作業療法編　2013　改訂第2版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007470	国試の達人 : 作業療法編　2014　改訂第3版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007471	国試の達人 : 作業療法編　2014　改訂第3版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007472	国試の達人 : 理学療法編　2002　第2版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007473	国試の達人 : 理学療法編　2003　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007474	国試の達人 : 理学療法編　2010　第10版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007475	国試の達人 : 理学療法編　2011　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007476	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007477	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007478	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007479	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007480	国試の達人 : 理学療法編　2014　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007481	国試の達人 : 理学療法編　2014　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007482	国試の達人 : 臨床医学編　2001　第2版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007483	国試の達人 : 臨床医学編　2001　第2版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007484	国試の達人 : 臨床医学編　2002　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007485	国試の達人 : 臨床医学編　2002　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007486	国試の達人 : 臨床医学編　2002　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007487	国試の達人 : 臨床医学編　2004　第5版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007488	国試の達人 : 臨床医学編　2005　第6版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007489	国試の達人 : 臨床医学編　2009　第10版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007490	国試の達人 : 臨床医学編　2009　第10版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007491	国試の達人 : 臨床医学編　2010　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007492	国試の達人 : 臨床医学編　2010　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007493	国試の達人 : 臨床医学編　2010　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007494	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007495	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007496	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007497	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007498	国試の達人 : 臨床医学編　2013　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007499	国試の達人 : 臨床医学編　2013　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007500	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007501	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007502	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007503	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007504	国試の達人 : 臨床医学編　2016　第17版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007505	作業療法士イエロー・ノート : 専門編	鷲田孝保	メジカルビュー社	¥5,600
00007506	作業療法士グリーン・ノート : 専門編	長崎重信	メジカルビュー社	¥4,900
00007507	理学療法士・作業療法士グリーン・ノート : 基礎編	柳澤健	メジカルビュー社	¥4,500
00007508	理学療法士・作業療法士ブルー・ノート : 基礎編	柳澤健	メジカルビュー社	¥5,600
00007509	理学療法士・作業療法士国家試験合格のためのX(2)タイプ問題徹底トレーニング　作業療法問題	医歯薬出版	医歯薬出版	¥2,200
00007510	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥3,800
00007511	理学療法士グリーン・ノート : 専門編	柳澤健	メジカルビュー社	¥4,500
00007512	A colour atlas of human anatomy	R.M.H. McMinn, R.T. Hutchings	Wolfe Medical	頒価不明
00007513	A colour atlas of muscle disorders in childhood	Victor Dubowitz	Wolfe Medical	頒価不明
00007514	A functional approach to group work in occupational therapy	Margot C. Howe, Sharan L. Schwartzberg	Lippincott	頒価不明
00007515	Amputation surgery and lower limb prosthetics	G. Murdoch	Blackwell Scientific	頒価不明
00007516	Anatomy : a regional atlas of the human body	Carmine D. Clemente	Urban & Schwarzenberg	頒価不明
00007517	Anatomy : a regional atlas of the human body	Carmine D. Clemente	Lippincott Williams & Wilkins	頒価不明
00007518	Athletic ability & the anatomy of motion	Rolf Wirhed	Wolfe Medical	頒価不明
00007519	Athletic training and sports medicine	American Academy of Orthopaedic Surgeons	American Academy of Orthopaedic Surgeons	頒価不明
00007520	Atlas of spinal diseases	Peter G. Bullough, Oheneba Boachie-Adjei	Lippincott	頒価不明
00007521	Biomechanics IX A	David A. Winter/他編	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007522	Biomechanics of sport	Christopher L. Vaughan	CRC Press	頒価不明
00007523	Biomechanics VIII : proceedings of the Eighth International Congress of Biomechanics, Nagoya, Japan v. A	Hideji Matsui, Kando Kobayashi	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007524	Biomechanics X v. 6A	Bengt Jonsson	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007525	Biomechanics X v. 6B	Bengt Jonsson	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007526	Biomechanics XI A	Gert de Groot/他編	Free University Press	頒価不明
00007527	Campbell's operative orthopaedics v. 1 8th ed	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007528	Campbell's operative orthopaedics v. 2	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007529	Campbell's operative orthopaedics v. 3	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007530	Campbell's operative orthopaedics v. 4	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007531	Campbell's operative orthopaedics v. 5	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007532	Clinical examination of the injured knee	Mervyn J. Cross, Kenneth J. Crichton	Gower Medical Publishing	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　名	著者名	出版社	定価
00007533	Clinical psychiatry	Harold I. Kaplan, Benjamin J. Sadock	Williams & Wilkins	頒価不明
00007534	Color atlas of anatomy : a photographic study of the human body	Johannes W. Rohen, Chihiro Yokochi	医学書院	頒価不明
00007535	Complications in orthopaedic surgery 1	Charles H. Epps, Jr	Lippincott	頒価不明
00007536	Complications in orthopaedic surgery 2	Charles H. Epps, Jr	Lippincott	頒価不明
00007537	Comprehensive management of the upper-limb amputee	D.J. Atkins, R.H. Meier III	Springer-Verlag	頒価不明
00007538	Computed tomography of the musculoskeletal system	William W. Scott/他編	Churchill Livingstone	頒価不明
00007539	Current Topics In Burn Care	Thomas L. Wachtel/他編	An aspen Publication	頒価不明
00007540	Disorders of the hip	David M. Gruebel Lee	Lippincott	頒価不明
00007541	Disorders of voluntary muscle	John Walton/他編	Churchill Livingstone	頒価不明
00007542	East Asia : the great tradition	Edwin O. Reischauer	Rainbow-Bridge Book	頒価不明
00007543	East Asia : the great tradition	Edwin O. Reischauer	Rainbow-Bridge Book	頒価不明
00007544	Essentials of pathophysiology : concepts and applications for health care professionals	Thomas J. Nowak, A. Gordon Handford	Wm. C. Brown	頒価不明
00007545	Exercise and sport sciences reviews16	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007546	Exercise and sport sciences reviews17	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007547	Exercise and sport sciences reviews18	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007548	Exercise and sport sciences reviews19	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007549	Exercise and sport sciences reviews20	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007550	Exercise and sport sciences reviews21	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007551	Exercise and sport sciences reviews22	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007552	Exercise and sport sciences reviews23	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007553	Exercise and sport sciences reviews24	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007554	Exercise and sport sciences reviews25	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007555	Exercise physiology : energy, nutrition, and human performance	William D. McArdle/他編	Lea & Febiger	頒価不明
00007556	Fitzpatrick's dermatology in general medicine v. 1	Irwin M. Freedberg/他編	McGraw-Hill	頒価不明
00007557	Fitzpatrick's dermatology in general medicine v. 2	Irwin M. Freedberg/他編	McGraw-Hill	頒価不明
00007558	Foot function : a programmed text	Michael O. Seibel	Williams & Wilkins	頒価不明
00007559	Functional restoration for spinal disorders : the sports medicine approach	Tom G. Mayer, Robert J. Gatchel	Lea & Febiger	頒価不明
00007560	Grant's atlas of anatomy	Anne M.R. Agur	Williams & Wilkins	頒価不明
00007561	Harrison's principles of internal medicine	Eugene Braunwald/他編	McGraw-Hill	頒価不明
00007562	IL CORPO LA STORIA LA VITA	Carlo Perfetti/他編	Vila Miari	頒価不明
00007563	Intensive and rehabilitative respiratory care : a practical approach to the management of acute and chronic respiratory failure	Thomas L. Petty	Lea & Febiger	頒価不明
00007564	International series on biomechanics v. 5B Biomechanics IX	David A. Winter/他編	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007565	Kaplan's Functional and surgical anatomy of the hand ; with 10 contributorts	Morton Spinner	Lippincott	頒価不明
00007566	Kinesiology and applied anatomy	Philip J. Rasch	Lea & Febiger	頒価不明
00007567	Low back pain : assessment and management	Dan M. Spengler	Grune & Stratton	頒価不明
00007568	Managing low back pain	William H. Kirkaldy-Willis	Churchill Livingstone	頒価不明
00007569	Manual examination and treatment of the spine and extremities	Carolyn T. Wadsworth	Williams & Wilkins	頒価不明
00007570	Manual of clinical microbiology	Patrick R. Murray	ASM Press	頒価不明
00007571	Microsurgical technique in orthopaedics	Robert W.H. Pho	Butterworths	頒価不明
00007572	Molecular genetics in diseases of brain, nerve, and muscle	Lewis P. Rowland/他編	Oxford University Press	頒価不明
00007573	Muscle injury and rehabilitation	William E. Garrett/他編	Williams & Wilkins	頒価不明
00007574	Muscles alive : their functions revealed by electromyography	John V. Basmajian, Carlo J. De Luca	Williams & Wilkins	頒価不明
00007575	Muscles, testing and function : with Posture and pain	Florence Peterson Kendall/他編	Williams & Wilkins	頒価不明
00007576	Nelson textbook of pediatrics 16th ed	Richard E. Behrman/他編	W.B. Saunders	頒価不明
00007577	Neurological examination in clinical practice	Edwin Robert Bickerstaff,John A. Spillane	Blackwell Scientific	頒価不明
00007578	Occupational therapy for physical dysfunction	Catherine A. Trombly	Williams & Wilkins	頒価不明
00007579	Orthopedic physical assessment	David J. Magee	Saunders	頒価不明
00007580	Oxford textbook of medicine v. 1	D.J. Weatherall/他編	Oxford University Press	頒価不明
00007581	Oxford textbook of medicine v. 2	D.J. Weatherall/他編	Oxford University Press	頒価不明
00007582	Oxford textbook of medicine v.3	D.J. Weatherall/他編	Oxford University Press	頒価不明
00007583	Photographic atlas of the human body	Branislav Vidić, Faustino R. Suarez	C.V. Mosby	頒価不明
00007584	Physical therapy of the shoulder 2nd ed	Robert A. Donatelli	Churchill Livingstone	頒価不明
00007585	Planning and reduction technique in fracture surgery	J. Mast, R. Jakob, R. Ganz	Springer-Verlag	頒価不明
00007586	Plastic surgery in the sexually handicapped	W. Eicher	Springer-Verlag	頒価不明
00007587	Psychiatric interviewing : the art of understanding	Shawn C. Shea	Saunders	頒価不明
00007588	Rehabilitation management of rheumatic conditions	George E. Ehrlich	Williams & Wilkins	頒価不明
00007589	Rehabilitation medicine	Joseph Goodgold	Mosby	頒価不明
00007590	Rehabilitation of the hand : surgery and therapy	James M. Hunter/他編	Mosby	頒価不明

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007591	Rehabilitation of the injured knee	Letha Y. Hunter, F. James Funk, Jr	Mosby	頒価不明
00007592	Rheumatoid arthritis : an illustrated guide to pathology, diagnosis, and management	H. Ralph Schumacher, Eric P. Gall	Gower Medical Publishing	頒価不明
00007593	Right hemisphere contributions to lexical semantics	Christine Chiarello	Springer-Verlag	頒価不明
00007594	Skeletal development of the wrist and hand in Macaca mulatta and man : a roentgenographic atlas	Maria Michejda	Karger	頒価不明
00007595	Soft tissue rheumatic pain : recognition, management, prevention	Robert P. Sheon/他編	Lea & Febiger	頒価不明
00007596	Spinal cord dysfunction Assessment	L.S. Illis	Oxford University Press	頒価不明
00007597	Sports medicine	Richard H. Strauss	W.B. Saunders	頒価不明
00007598	Sports medicine : a practical guide	Nathan J. Smith, Carl L. Stanitski	Saunders	頒価不明
00007599	Sports medicine of the lower extremity	Steven I. Subotnick	Churchill Livingstone	頒価不明
00007600	Study guide to accompany Occupational therapy for physical dysfunction, third edition	Mary Ann Bush	Williams & Wilkins	頒価不明
00007601	Surgery of the foot and ankle	Kenneth A. Johnson	Raven Press	頒価不明
00007602	Surgical management of cerebrovascular disease	Robert G. Ojemann/他編	Williams & Wilkins	頒価不明
00007603	Surgical management of the burn wound	David M. Heimbach/他編	Raven	頒価不明
00007604	Textbook of dermatology volume1 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007605	Textbook of dermatology volume2 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007606	Textbook of dermatology volume3 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007607	Textbook of dermatology volume4 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007608	Textbook of medical physiology	Arthur C. Guyton	Saunders	頒価不明
00007609	Textbook of medicine	Russell Cecil	Saunders	頒価不明
00007610	The hand : diagnosis and indications	Graham Lister	Churchill Livingstone	頒価不明
00007611	The hand : from the seventh edition of Campbell's Operative orthopaedics, edited by A.H. Crenshaw	Lee Milford	C.V. Mosby	頒価不明
00007612	The hand book	Stephan Ariyan	Williams & Wilkins	頒価不明
00007613	The human central nervous system : a synopsis and atlas	R. Nieuwenhuys/他編	Springer-Verlag	頒価不明
00007614	The kinesiology workbook	Jan F. Perry/他編	F.A. Davis	頒価不明
00007615	The Olympic book of sports medicine v. 1	A. Dirix, H.G. Knuttgen & K. Tittel	Blackwell Scientific	頒価不明
00007616	The shoulder : surgical and nonsurgical management	Melvin Post	Lea & Febiger	頒価不明
00007617	The wrist	Julio Taleisnik	Churchill Livingstone	頒価不明
00007618	The Wrist	J.P. Razemon,G.R. Fisk	Churchill Livingstone	頒価不明
00007619	The wrist and its disorders	David M. Lichtman	Saunders	頒価不明
00007620	Therapeutic exercise	John V. Basmajian, Steven L. Wolf	Williams & Wilkins	頒価不明
00007621	Upper cervical syndrome : chiropractic diagnosis and treatment	Howard Vernon	Williams & Wilkins	頒価不明
00007622	脳を繙く―歴史でみる認知神経科学（神経心理学コレクション） 脳を繙く―歴史でみる認知神経科学（神経心理学コレクション）	M. R. Bennett,河村満	医学書院	¥4,800
00007623	脳卒中機能評価・予後予測マニュアル	道免 和久	医学書院	¥4,500
00007624	脳卒中機能評価・予後予測マニュアル	道免 和久	医学書院	¥4,500
00007625	視覚障害心理学	佐藤 泰正	学芸図書	¥2,500
00007626	認知症の「みかた」（神経心理学コレクション）	三村 將，山鳥 重，河村 満	医学書院	¥3,000
00007627	脳卒中の摂食・嚥下障害第2版	藤島 一郎	医歯薬出版	
00007628	難聴・言語障害児童・生徒の学校教育―通級による指導援助の実際	村上 宗一	協同医書出版社	¥5,200
00007629	（新版）社会言語学の方法	ブリギッテ・シェリーペン＝ランゲ	三元社	¥3,000
00007630	*何のための知識シリーズ1 耳は何のためにあるか	山田 宗睦 著	風人社	¥2,300
00007631	[DVD付] 失行（神経心理学コレクション）	河村 満	医学書院	¥5,000
00007632	《赤ちゃんのきこえの検査》 「リファー（要再検査）」となったお子さんのお母さんと家族の方へ	全国早期支援研究協議会/編	全国早期支援研究協議会	¥300
00007633	「お子さんの耳がきこえない」と言われたら	河崎佳子 他	全国早期支援研究協議会	¥700
00007634	「思い込み」を変える自己トレーニング	リタ・スペンサー，アンジェラ・ロスマニス／著	東京図書	¥1,800
00007635	「特別支援教育におけるコミュニケーション支援」 ＡＡＣか情報教育まで	「特別支援教育におけるコミュニケーション支援」編集委員会／編著	ジアース教育新社	¥1,714
00007636	「認知的複雑性」と「社会的知覚システムの進展」	坂元章	風間書房	¥12,000
00007637	「寝たきり老人」のいる国いない国	大熊由紀子	ぶどう社	¥1,456
00007638	「の（だ）」の機能	野田春美	くろしお出版	¥3,800
00007639	「ノーマリゼーションの父」N.E. バンクーミケルセン	花村春樹	ミネルヴァ書房	¥2,000
00007640	「話せない」と言えるまで 言語聴覚士を襲った高次脳機能障害	関 啓子／著	医学書院	¥2,500
00007641	＜図解＞学習の基礎をつくる100の遊び―重度,中・軽度障害児のために	川村秀忠	学習研究社	¥1,500
00007642	〈入門コース・ことばの発達と障害〉 ③ことばの障害の評価と指導	大石 敬子/編	大修館書店	¥2,400
00007643	●シリーズ・これからの幼児教育 14● 言葉のバイエル教室 ～言葉の獲得・知的発達を援助するトレーニング～	五十野惇	明治図書出版株式会社	¥1,806
00007644	0歳から3歳 保育・子育てと発達研究をむすぶ 〈乳児編〉	神田英雄	草土文化	¥1,000
00007645	0歳児がことばを獲得するとき	正高信男	中央新書	¥660

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007646	2000年度入試対策用　国際医療福祉大学入試問題集	大学通信	大学通信	¥1,238
00007647	2006年4月版　診療点数早見表　医科		医学通信社	¥4,500
00007648	2007社会福祉士国家試験過去問一問一答＋α 〈共通科目編〉	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規出版	¥3,000
00007649	21世紀耳鼻咽喉科領域の臨床6　聴覚	野村恭也，小松崎篤， 本庄巖	中山書店	¥31,000
00007650	2歳からはじめる自閉症児の言語訓練 －あなたが育てる自閉症のことばー	藤原 加奈江／著	診断と治療社	¥1,900
00007651	ABR　ハンドブック	加我君孝	金原出版株式会社	¥8,600
00007652	ADHDのすべて	ラッセル・A・バークレー	株式会社ヴォイス	¥2,800
00007653	BRAIN NURSING　第12巻　春季増刊	柏木敏宏	メディカ出版	¥4,200
00007654	ＣＡＲＳ小児自閉症評定尺度　評定シール付	Ｅ.ショプラー， Ｒ.Ｊ・ライクラー／著	岩崎学術出版	¥3,500
00007655	CLIENT 21―21世紀耳鼻咽喉科領域の臨床― 11.言語聴覚リハビリテーション	野村恭也・ 小松崎篤/他編	中山書店	¥31,000
00007656	ClinicalNursing Guide10 眼科・耳鼻咽喉科・口腔外科	西田 祥藏／他編	メディカ出版	¥4,660
00007657	Cognitive Science&Information Processing=1 認知科学入門－「知」の構造へのアプローチー	戸田正直・阿部純一・ 桃内佳雄　他	サイエンス社	¥2,816
00007658	Cognitive Science&Information Processing=9 顔の認知と情報処理	V. ブルース	サイエンス社	¥2,400
00007659	Cognitive Science&Information Processing=ex.1 認知科学のフロンティア　Ⅰ	箱田裕司	サイエンス社	¥2,500
00007660	Developing through Relationships	Alan Fogel／著	Chicgo press	頒価不明
00007661	DFDLによる痴呆性老人生活対応マニュアル　施設編	痴呆性老人ケア研究会・ 特別養護老人ホームサンビレッジ新生苑	中央法規	¥2,500
00007662	DSM-Ⅲ-R　小児精神障害の診断	訳　高橋三郎・花田耕一	医学書院	¥4,800
00007663	DSM-Ⅳ精神疾患の分類と診断の手引	訳　高橋三郎・大野裕・ 染矢俊幸	医学書院	¥3,800
00007664	DSM-IV-TR精神疾患の分類と診断の手引	高橋三郎・大野　裕	医学書院	¥3,800
00007665	Duchenne型筋ジストロフィーの認知特性	小野純平	多賀出版	¥8,000
00007666	ENT Now Treatment and Surgery 耳鼻咽喉科・頭頸部外科―処置・手術シリーズ　3　音声・嚥下障害	佃守・森山寛/他編	メジカルビュー社	¥8,500
00007667	Face to Face 英語で話せるリハビリテーション	佐藤　デール　アン	三輪書店	¥2,039
00007668	HAZOP 誤嚥・嚥下障害のリスクマネジメント Hazard and Operability study法による 評価と対策	山脇正永・野村徹	医歯薬出版	¥4,000
00007669	ICD-10　精神および行動の障害 DCR研究用診断基準	中根 允文／共訳	医学書院	¥4,500
00007670	ICD-10　精神および行動の障害 DCR研究用診断基準	中根 允文／共訳	医学書院	¥4,500
00007671	ICD-10　精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン	融　道男／他監訳	医学書院	¥4,800
00007672	ICD-10「精神・行動の障害」マニュアル-用語集・対照表付-	中根允文・岡崎祐士	医学書院	¥3,200
00007673	ICF　国際機能分類 ―国際障害分類改訂版―	障害者福祉研究会	中央法規出版	¥3,500
00007674	ICF 国際生活機能分類　-国際障害分類改訂版-	障害者福祉研究会　編	中央法規出版	¥3,500
00007675	ITPAによる　学習能力障害の診断と治療	S.A.カーク　W.D.カーク	日本文化科学社	¥4,000
00007676	ITPAの理論とその活用	旭出学園教育研究所	日本文化科学社	¥3,600
00007677	ITPAの理論とその活用	旭出学園教育研究所	日本文化科学社	¥3,600
00007678	JJNブックス　絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00007679	JJNブックス　絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00007680	JJNブックス　絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00007681	ＬＤ・ＡＤＨＡへのソーシャルスキルトレーニング	小貫 悟・名越 斉子／他著	日本文化科学社	¥3,000
00007682	ＬＤ教育選書１　ＬＤとは －症状・原因・診断理解のためにー	上野 一彦／ほか編	学研	¥2,500
00007683	LDの教育と医学 －学習課題と教育方法（LD教育選書・2）	上野 一彦 北脇 三知也 緒方 明子/他編	株式会社 学習研究社	¥2,500
00007684	ＬＤ判断のための調査票　手引き	上野 一彦・篁 倫子・ 海津 亜希子／著	日本文化科学社	頒価不明
00007685	ＬＤ教育選書3　ＬＤの領域別指導事例集 －集団参加から教科指導までー	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,500
00007686	Logemann　摂食・嚥下障害	JeriA.Logemann	医歯薬出版 株式会社	¥4,800
00007687	Logemann摂食・嚥下障害	道 健一／監修	医歯薬出版 株式会社	¥4,800
00007688	ＭＦＴ入門-初歩から学ぶ口腔金機能療法	山口秀晴	若葉出版	¥5,700
00007689	ＭＲＩとＣＴ診断Ⅳ 頭頚部・骨・軟部組織・脊椎・椎間板・膀胱・前立腺・女性骨盤	木村修治	金芳堂	¥6,019
00007690	ＭＲＩ脳部位診断	平山恵造	医学書院	¥24,000
00007691	Ｎｅｗ精神医学	上島 国利・丹羽 真一／編	南江堂	¥6,500
00007692	NHKサイエンススペシャル　驚異の小宇宙・人体Ⅱ　脳と心6 果てしなき脳宇宙（無意識と創造性）	NHK取材班	日本放送出版協会	¥3,107
00007693	NHKブックス482　脳からみた心	山鳥　重	三秀舎	¥970
00007694	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ解剖学ノート　第2版	中島　雅美　編	医歯薬出版	¥3,800
00007695	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ生理学ノート	中島　雅美　編	医歯薬出版	¥3,800
00007696	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ生理学ノート	中島　雅美　編	医歯薬出版	¥3,800
00007697	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ内科学ノート	中島　雅美 松本　貴子　編	医歯薬出版	¥3,800
00007698	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ病理学ノート	中島　雅美/野口　敦　編	医歯薬出版	¥3,000
00007699	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説	椿原 彰夫／編著	診断と治療社	¥3,600
00007700	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説　　改訂第２版	椿原 彰夫／編著	診断と治療社	¥3,600
00007701	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説　　改訂第２版	椿原 彰夫／編著	診断と治療社	¥3,600
00007702	PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00007703	PT・OT基礎から学ぶ　精神医学ノート	中島雅美・松本貴子　編	医歯薬出版	¥3,200
00007704	ＰＴ・ＯＴ基礎から学ぶ解剖学ノート　　第２版	中島 雅美／編	医歯薬出版	¥3,800
00007705	ＰＴ・ＯＴ必修シリーズ　消っして忘れない生理学要点整理ノート	佐々木　誠一　編集	羊土社	¥3,600

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00007706	Ｑ＆Ａ　障害者の欠陥条項 ―撤廃と社会参加拡大のために―	臼井 久実子／編著	明石書店	¥1,300
00007707	Ｑ＆Ａでひも解く高次脳機能障害	廣實 真弓・平林 直次／編著	医歯薬出版	¥3,400
00007708	ＳＢＣ大学講義シリーズ31 医事福祉法講義	前田 和彦／著	信山社	¥4,000
00007709	S-HTP法　統合型HTP法の臨床的・発達的アプローチ	三上直子	誠信書房	¥3,500
00007710	STEP series 耳鼻咽喉科 第2版	渡辺健介	海馬書房	¥4,100
00007711	Ｓｔｅｐｂｙ　Ｓｔｅｐ　遅れている子どもを育てる　　ことば	山下 勲・江藤 モモヨ／著	日本文化科学社	¥2,200
00007712	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本 修・小池 美奈子・遠藤 裕子／他著	インテルナ出版	¥3,500
00007713	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本 修・小池 美奈子・遠藤 裕子／他著	インテルナ出版	¥3,500
00007714	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本修、小池三奈子、遠藤裕子、生井友紀子	インテルナ出版	¥3,500
00007715	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本修、小池三奈子、遠藤裕子、生井友紀子	インテルナ出版	¥3,500
00007716	Super Hospital　小児科	村瀬澄夫	中山書店	¥3,200
00007717	TEXT　整形外科学	糸満盛憲・早乙女紘一・守屋秀繁	南山堂	¥8,000
00007718	ＴＥＸＴ形成外科学	藤野豊美	南山堂	¥8,800
00007719	ＴＥＸＴ形成外科学	藤野豊美	南山堂	¥8,800
00007720	TEXT小児科学	柳澤正義・阿部敏明・他	南江堂	¥10,000
00007721	WISC-Ⅳの臨床的利用と解釈	A・プリフィテラ＋D・H・サクロフスキー/他編	日本文化科学社	単価不明
00007722	WISC-IVの臨床的利用と解釈	アウレリオ･プリフィテラ ドナルド･H･サクロフスキー ローレンス・Ｇ・ワイス	株式会社 日本文化科学社	頒価
00007723	アートマンプロジェクト 精神発達のトランスパーソナル理論	ケン・ウィルバー／著	春秋社	¥2,800
00007724	アイデンティティ発達の心理学	岡本　裕子	ナカニシヤ出版	¥3,000
00007725	愛と反抗の群像	水島恵一	大日本図書	¥2,900
00007726	愛は脳を活性化させる	松本　元	岩波書店	¥1,000
00007727	愛他行動における認知機能の役割 ―その情況要因と個人内要因の検討―	川島一夫	風間書房	¥9,500
00007728	赤ちゃんの認識世界	正高信男	ミネルヴァ書房	¥2,857
00007729	赤ちゃんは知っている　認知学のフロンティア	ジャック・メレール、他	藤原書店	¥3,800
00007730	アクチュアル　脳・神経疾患の臨床　認知症 神経心理学的アプローチ	辻　省次/編	中山書店	¥10,000
00007731	アクティブストレッチング	鈴木　重行　編集	三輪書店	¥4,500
00007732	顎と顔の痛み -顎関節症を理解していただくために-	Ｊｏｓｅｐｈ　Ａ.Ｇｉｂｉｓｃｏ	クインテッセンス出版	¥3,786
00007733	旭式発話メカニズム検査	西尾 正輝／著	インテルナ出版	¥5,728
00007734	アスペルガー症候群と非言語性学習障害 -子どもたちとその親のために-	キャスリン・スチュワート／著	明石書店	¥2,200
00007735	アセスメントと指導 解釈の進め方と指導の実際	前川 久男・石隅 利紀／他編著	丸善メイツ	¥2,893
00007736	遊びという謎 シリーズ 発達と障害を探る 第2巻	麻生武 綿巻徹	株式会社 ミネルヴァ書房	¥2,600
00007737	遊びの発達心理学	山崎　愛世・心理科学研究会	萌文社	¥2,500
00007738	遊び論研究	山田 敏／著	風間書房	¥27,000
00007739	頭蓋下顎障害（ＣＭＤ）の理学療法	ＴｏｒｅＬ.Ｈａｎｓｓｏｎ	クインテッセンス出版	¥4,854
00007740	新しいＳＣＤの臨床 脊髄小脳変性症の臨床	阿部 康二／編著	新興医学出版社	¥4,800
00007741	新しい時代の口の科学	松本俊文	医歯薬出版	¥2,000
00007742	新しい失語症療法Ｅ-ＣＡＴ	中島健一	中央法規出版	¥2,575
00007743	新しい失語症療法Ｅ－ＣＡＴ	中島 健一／著	中央法規出版	¥2,500
00007744	新しい失語症療法Ｅ－ＣＡＴ	中島 健一／著	中央法規出版	¥2,500
00007745	新しい自分をクリエイトする　感性トレーニング	MAN研究会	創拓社	¥1,165
00007746	新しい聴覚障害者像を求めて	「新しい聴覚障害者像を求めて」編集員会／編	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥3,884
00007747	アドバンスシリーズ　コミュニケーション障害の臨床6 口蓋裂・構音障害	日本聴能言語士協会講習会実行委員会／編	協同医書出版社	¥3,800
00007748	アドバンスシリーズ　コミュニケーション障害の臨床7 聴覚障害	福田登美子、高須賀直人、斎藤佐知子他	協同医書出版社	¥4,000
00007749	アドバンスシリーズ/コミュニケーション障害の臨床　2 吃音	日本聴能言語士協会講習会実行委員会	協同医書出版社	¥3,000
00007750	アドバンスシリーズ/コミュニケーション障害の臨床　3 脳性麻痺	日本聴能言語士協会講習会実行委員会	協同医書出版社	¥3,500
00007751	アドバンスシリーズ/コミュニケーション障害の臨床 4 運動性構音障害	日本聴能言語士協会講習会実行委員会/編	協同医書出版社	¥3,200
00007752	アドラー心理学への招待	アレックス・L・チュウ	株式会社金子書房	¥1,800
00007753	あなたの声が聴きたい	藤田保　他	文理閣	¥1,900
00007754	あなたの知らない「家族」 遺された者の口からこぼれ落ちる13の物語	柳原 清子／著	医学書院	¥2,000
00007755	あなたの老後の運命は	大熊一夫	ぶどう社	¥1,650
00007756	アフォーダンスの心理学　―生体心理学への道―	エドワード・Ｓ・リード／著	新曜社	¥4,800
00007757	アメリカ手話で世界が広がった	高村真理子	日貿出版社	¥1,800
00007758	アメリカ障害児教育の魅力	佐藤 恵利子・佐藤 裕／著	学苑社	¥1,400
00007759	アレルギーシリーズ　眼科・耳鼻咽喉科領域のアレルギー	岸本 進／監修	医薬ジャーナル社	¥4,700
00007760	医学概論	日野原 重明／著	医学書院	¥1,600
00007761	医学書院　医学大辞典	伊藤正男・井村裕夫・他	医学書院	¥20,000
00007762	医学書院医学大辞典	伊藤 正男・井村 裕夫／他総編集	医学書院	¥20,000
00007763	医学書院医学大辞典	伊藤　正男・井村　裕夫・高久 史麿／編	医学書院	¥20,000
00007764	医学書院医学大辞典	伊藤　正男・井村　裕夫・高久 史麿／編	医学書院	¥20,000
00007765	医学図譜集　神経編（Ⅱ）	佐野　圭司　他	日本チバガイギー株式会社	¥23,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007766	医学を学ぶ人の歯科口腔外科テキスト	都温彦	医学情報社	¥6,000
00007767	生かされ　また生きる　―失語症者の日常―	藤原 保／著	創風社	¥1,000
00007768	いき・こえ・ことばのイメージ 日本語のための呼吸・発声・発声法	石塚　雄康／著	青雲書房	¥3,000
00007769	生きいきケア選書 老人ケアかるた　　-ケアのなかの言葉-	村上 重紀／著	医学書院	¥2,300
00007770	生きいきケア選書 老人ケアの元気ぐすり	稲川 利光／著	医学書院	¥2,000
00007771	生き方のツケがボケに出る	金子満雄	角川書店	¥552
00007772	イギリス福祉国家の研究	毛利健三	東京大学出版	¥5,356
00007773	生きること生かされること　共につくる福祉社会へ	坂巻 熙／著	ぶどう社	¥1,456
00007774	育児・保育現場での発達とその支援	藤崎眞知代・本郷一夫・ 金田利子他	株式会社 ミネルヴァ書房	¥2,800
00007775	医師・歯科医師のための 摂食・嚥下障害ハンドブック　第2版	本多知行・溝尻源太郎	医歯薬出版	¥3,600
00007776	医師・歯科医師のための摂食・嚥下障害ハンドブック	本多 知行・溝尻 源太郎 ／編	医歯薬出版	¥3,400
00007777	意識　ユング心理学における意識形成	C.A.マイヤー	創元社	¥2,800
00007778	意識障害の現象学　下巻	安芸 都司雄／著	世界書院	¥6,900
00007779	意識障害の現象学　上巻	安芸 都司雄／著	世界書院	¥7,400
00007780	意識と存在の謎　ある宗教者との対話	高橋たか子	講談社	¥650
00007781	意識とは何か	苧坂直行	岩波書店	¥1,100
00007782	意識の科学	ケネス・ペレンティエ	工作舎	¥2,200
00007783	意識のかたち　現代に甦る天才の秘密	高岡英夫	講談社	¥1,700
00007784	意識の現象学	加藤　茂	世界書院	¥2,300
00007785	医師のための紹介状・返信の正しい書き方（改訂第2版）	加我君孝	金原出版	¥3,400
00007786	いじめの発見と対策　　イギリスの実践に学ぶ	デルウィン・Ｐ・タツム ／編	日本評論社	¥1,900
00007787	異常心理学講座　第１巻　学派と方法	土居 健郎／他編	みすず書房	¥5,000
00007788	異常心理学講座10　文化・初会の病理	小此木 啓吾／共著	みすず書房	¥5,800
00007789	一週間でバイクに乗れた車椅子の脳梗塞患者	廣海 輝明／著	現代書林	¥825
00007790	医の道を求めて　ウィリアム・オスラー博士の生涯に学ぶ	日野原　重明	医学書院	¥4,800
00007791	いま　子どもたちの生きるかたち	浜田寿美男	ミネルヴァ書房	¥1,600
00007792	今すぐ体験！パソコンで認知心理学実験	酒井浩二・森下正修・ 松本寛史	株式会社 ナカニシヤ出版	¥2,800
00007793	今どき子育て事情　２０００人の母親インタビューから	丹羽 洋子／著	ミネルヴァ書房	¥2,200
00007794	いまを生きる　言語聴覚士と当事者の記録	東京都言語聴覚士／編	三輪書店	¥1,800
00007795	意味的な期待の心理生理学	片山順一	多賀出版	¥6,500
00007796	意味の形成と発達　　生涯発達心理学序説	岡本 夏木／編	ミネルヴァ書房	¥3,200
00007797	イメージの科学　リハビリテーションの応用に向けて	森岡周・松尾篤　編	三輪出版	¥3,600
00007798	癒しの森　心理療法と宗教	加藤　清	創元社	¥2,000
00007799	イラスト解剖学　第5版	松村　譲児	中外医学社	¥7,600
00007800	イラスト耳鼻咽喉科	森満 保／著	文光堂	¥4,700
00007801	イラスト耳鼻咽喉科	森満保	文光堂	¥4,900
00007802	イラスト耳鼻咽喉科	森満保	文光堂	¥4,700
00007803	イラストで学ぶ生理学	田中　越郎	医学書院	¥2,900
00007804	イラストでわかるPT・OT・STのための神経内科学	安徳恭演	メディカ出版	¥3,600
00007805	医療者が知っておきたい自殺のリスクマネジメント	高橋祥友	医学書院	¥2,600
00007806	医療秘書実務シリーズ６　改訂 医療関連法規	医療秘書教育全国協議会 ／編	建帛社	¥2,100
00007807	医療福祉関係法規　改訂版	森川 祐一郎・今村 元／著	嵯峨野書院	¥2,500
00007808	医療倫理Q&A	医療倫理Q&A刊行委員会編	太陽出版	¥2,000
00007809	岩波　科学ライブラリー１２ アフォーダンス―新しい認知の理論	佐々木正人	岩波書店	¥1,000
00007810	岩波講座認知科学３　視覚と聴覚	川人 光男・行場 次朗・ 藤田 一郎／他著	岩波書店	¥3,400
00007811	インディアンは手で話す	渡辺 義彦／編著	径書房	¥3,500
00007812	ウィゴーツキーの発達論	中村　和夫	東京大学出版会	¥5,200
00007813	ウィズダム英和辞典	井上 永幸・赤野 一郎／編	三省堂	¥3,100
00007814	ウイリス動脈輪閉塞症	半田 肇・北村 勝俊 ／他編著	シュプリンガー・ フェアラーク東京	¥8,738
00007815	ヴォイスに関する比較言語学的研究	伊藤眞、大矢俊明、岡本順 治、加賀信広、佐々木勲 人、鷲尾龍一、山田博志	株式会社三修社	¥7,800
00007816	失われた空間（神経心理学コレクション）	石合 純夫	医学書院	¥3,000
00007817	うちの子、ことばが遅いのかな	言の葉通信/編	ぶどう社	¥1,500
00007818	運動性構音障害	木下攝	協同医書株式会社	¥3,200
00007819	運動性構音障害 ―基礎・鑑別診断・マネージメント―	JOSEPH R. DUFFY	医歯薬出版 株式会社	¥9,000
00007820	運動性発話障害の臨床　小児から成人まで	伊藤元信 西尾正輝／監訳	インテルナ出版	¥5,880
00007821	英国自閉症研究の源流	久保紘章	相川書房	¥2,200
00007822	エッセンシャルズ DN-CASによる心理アセスメント	ジャック・A・ナグリエリ ／著	日本文化科学社	¥3,400
00007823	絵でみる　脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場　元毅	医学書院	¥2,400
00007824	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第２版	馬場 元毅／著	医学書院	¥2,400
00007825	絵でみる脳と神経―しくみと障害のメカニズム（JJNブックス）	馬場 元毅	医学書院	¥2,400
00007826	絵でわかる言語障害 -言葉のメカニズムから対応まで-	毛束 真知子／著	学研	¥1,800
00007827	絵でわかる言語障害 -言葉のメカニズムから対応まで-	毛束 真知子／著	学研	¥1,800
00007828	エピレプシーガイド＜てんかんの本＞	久郷　敏明　著	星和書店	¥2,400
00007829	絵本を読みあうということ 「読書療法」の向こう側とこちら側	村中 李衣／著	ぶどう社	¥1,500
00007830	演繹推理の認知モデル	山祐嗣	ナカニシヤ出版	¥6,000
00007831	エンカウンター・グループと個人の心理的成長過程	平山栄治	風間書房	¥5,500
00007832	嚥下障害Ｑ＆Ａ	吉田 哲二／責任編集	医薬ジャーナル社	¥3,800
00007833	嚥下障害その病態とリハビリテーション　原著第３版	Michael　E. Groher/著	医歯薬出版 株式会社	¥5,300
00007834	嚥下障害の臨床　　第2版 リハビリテーションの考え方と実際	日本嚥下障害臨床研究会	医歯薬出版	¥6,400

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00007835	嚥下障害の臨床　リハビリテーションの考え方と実際	日本嚥下障害臨床研究会／監修	医歯薬出版株式会社	¥5,500
00007836	嚥下障害の臨床　リハビリテーションの考え方と実際	日本嚥下障害臨床研究会／監修	医歯薬出版株式会社	¥5,500
00007837	嚥下障害への対応と危機管理 ―歯科口腔外科領域における嚥下リハビリテーションと安全管理―	大井久美子　一戸達也 植松宏　菊谷　武	口腔保健学会	¥3,600
00007838	嚥下のしくみと臨床	丘村熙	金原出版	¥4,660
00007839	演習で学ぶ 言語聴覚療法評価入門	山田弘幸	医歯薬出版	¥2,700
00007840	老いと病む人のこころの動き	都留春夫	医学書院	¥2,200
00007841	老いを支える医療福祉　第2版	宮原伸二	三輪書店	¥2,900
00007842	おうちでできるえんげ食	板垣 卓美／解説	インプレスコミュニケーションズ	¥1,700
00007843	応用倫理学のすすめ	加藤尚武	丸善	¥680
00007844	大田仁史リハビリエッセンス　芯から支える	大田 仁史／著	荘道社	¥1,748
00007845	遅れている子どもを育てる　　かず	山下 勲・江藤 モモヨ／著	日本文化科学社	¥1,900
00007846	お譲さんの春夏秋冬　愛をはぐくむ智恵２４章	草柳 大蔵／著	大和書房	¥600
00007847	オックスフォード言語学辞典	中島平三・瀬田幸人	朝倉書店	¥12,000
00007848	音・振動のスペクトル解析	金井浩	コロナ社	¥5,000
00007849	音遊びの聴覚学習	高梁信雄	株式会社学苑社	¥2,500
00007850	音入門	チャールズ・E・スピークス	KAIBUNDO	¥3,500
00007851	音入門	チャールズ・E・スピークス	KAIBUNDO	¥3,500
00007852	音の科学	山田信志	パワー社	¥1,600
00007853	音のしくみ	中村健太郎	ナツメ社	¥1,300
00007854	音のなんでも小事典	日本音響学会	講談社	¥1,100
00007855	音の百科事典	岩宮眞一郎	丸善株式会社	¥23,000
00007856	音の評価のための心理学的測定法	難波精一郎他	コロナ社	¥3,500
00007857	音の評価のための心理学的測定法	難波精一郎他	コロナ社	¥3,500
00007858	思いやり行動の発達心理	菊池章夫・二宮克美	金子書房	¥3,200
00007859	親業―子どもの考える力をのばす親子関係のつくり方	トマス・ゴードン	大和書房	¥1,900
00007860	親と教師で取り組む障害児教育　5 歌にのって「ことば」が出せたよ　―発語を促す音楽療法入門―	堀田喜久男	明治図書	¥1,806
00007861	音響・音声工学入門	幸田晃	新文堂株式会社	¥1,900
00007862	音響・音声工学入門	幸田晃	新文堂株式会社	¥1,900
00007863	音響・音声工学入門	幸田晃	新文堂株式会社	¥1,900
00007864	音響音声学入門	Ｐ．ラディフォギッド／著	大修館書店	¥1,200
00007865	音響額	山下充康	建築技術	¥1,600
00007866	音響学入門	吉久信幸他	日新出版	¥1,500
00007867	音響学入門	吉久信幸他	日新出版	¥1,500
00007868	音響用語辞典	日本音響学会	コロナ社	¥10,000
00007869	音声・聴覚のための信号とシステム	スチュアート・ローゼン他	KAIBUNDO	¥4,200
00007870	音声学・音韻論	窪薗晴夫	くろしお出版	¥2,000
00007871	音声学・音韻論	窪薗晴夫	くろしお出版	¥2,000
00007872	音声学・音韻論	窪薗　晴夫	くろしお出版	¥2,000
00007873	音声学・言語学	今泉敏	医学書院	¥3,800
00007874	音声学・言語学	今泉敏	医学書院	¥3,800
00007875	音声学入門	小泉 保／著	大学書林	¥3,000
00007876	音声学入門	小泉保	東京大学書林	¥3,200
00007877	音声学入門	小泉保	東京大学書林	¥3,200
00007878	音声障害と音声治療	廣瀬肇 藤生雅子	医歯薬出版株式会社	¥9,600
00007879	音性障害のクリニカルマネジメント	JAMESL.CASE	医歯薬出版株式会社	¥4,600
00007880	音声障害のクリニカルマネジメント	濱村真理	医歯薬出版株式会社	¥4,600
00007881	音声障害の臨床	廣瀬肇	インテルナ出版	¥3,700
00007882	音声障害の臨床	廣瀬 肇／著	インテルナ出版	¥3,700
00007883	音声生成の科学-発声とその障害	新美　成二　監訳	医歯薬出版	¥6,600
00007884	音声知覚の基礎	ジャック・ライアルズ	KAIBUNDO	¥2,500
00007885	音声治療アクセント法	M. Nasser　Kotby／著	医歯薬出版株式会社	頒価不明
00007886	音声治療学　―音声障害の診断と治療―	小池　泰夫	金原出版株式会社	¥3,900
00007887	音声の音響分析	レイ・D・ケント他	KAIBUNNDO	¥3,200
00007888	音節とモーラ	本間猛他	KENKYUSHA	¥2,500
00007889	女であることの十八章 -日本の女にとって日本とは何であったか-	草柳 大蔵／著	大和書房	¥680
00007890	女とはなにか	草柳 大蔵／著	大和書房	¥650
00007891	女の脳・男の脳	田中冨久子	日本放送出版協会	¥870
00007892	介護・看護職のための言葉づかいチェックリスト	有馬 良建／著	医歯薬出版	¥1,500
00007893	介護が変わるみんなで変える 女性が進める介護の社会化Ⅳ	樋口 恵子／編	ミネルヴァ書房	¥2,000
00007894	介護の仕事	山懸 文治・山本 和儀／他著	朱鷺書房	¥1,600
00007895	介護のための小さなハイテク―生活に役立つ道具やアイデア―	中邑賢龍	こころリソースブック出版会	頒価不明
00007896	介護報酬早見表[2008年5月増補版]	清水尊	医学通信社	¥2,800
00007897	介護保険と聴覚障害者	奥野英子　他	全国手話通訳問題研究会	¥1,500
00007898	介護保険と福祉施設サービスの戦略	平松 一夫／著	医歯薬出版	¥3,200
00007899	介護予防のための認知と嚥下の練習帳	小薗 真知子／著	三輪書店	¥2,800
00007900	改訂　音声学入門	小泉保	大学書林	¥3,200
00007901	改訂新版　入門言語学	ジーン・エイチソン	金星堂	¥2,600
00007902	改訂新版　入門言語学	ジーン・エイチソン	金星堂	¥2,600
00007903	改訂新版　入門言語学	ジーン・エイチソン	金星堂	¥2,600
00007904	改訂増補 日英語の音響音声学	本間 弥生／著	山口書店	¥1,942
00007905	改訂第２版　よくわかる嚥下障害	藤島 一郎／編著	永井書店	¥6,800
00007906	改訂版　心理検査の実際	澤田 丞司／著	新興医学出版社	¥4,200
00007907	改訂版 標準高次動作性検査 先行症を中心として	日本失語症学会 高次動作検査法作成小委員会／著	新興医学出版	¥5,700
00007908	ガイドブック アスペルガー症候群 親と専門家のために	トニー・アトウッド	東京書籍株式会社	¥2,800
00007909	概念と方法	マイケル・Ｉ・ポズナー	産業図書	¥3,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00007910	回復する聾　人工内耳で聴覚は甦る	舩坂宗太郎	人間と歴史社	¥3,800
00007911	解剖学カラーアトラス　第6版	J.W.Rohen,横地 千仭 ／他共著	医学書院	¥12,000
00007912	解剖学講義	伊藤　隆	南山堂	¥11,000
00007913	解剖学はおもしろい	上野　正彦	医学書院	¥1,800
00007914	解明される意識	ダニエル・C・デネット	青土社	¥3,800
00007915	外来でのコミュニケーション技法【診療に生かしたい問診・面接のコツ】	飯島克巳	日本医事新報社	¥1,553
00007916	カウンセラー　専門家としての条件	金沢吉展	株式会社誠信書房	¥2,500
00007917	カウンセリングと教育	村山 正治／著	ナカニシ出版	¥2,500
00007918	カウンセリングにおける禅心理学的研究 －韓国人の心理学的構造の見地からー	李 光濬／著	山喜房佛書林	¥9,500
00007919	カウンセリングを語る　上	河合隼雄	講談社	¥780
00007920	カウンセリングを語る　下	河合 隼雄／著	創元社	¥1,262
00007921	カウンセリングを語る　下	河合隼雄	講談社	¥780
00007922	カウンセリングを語る　上	河合 隼雄／著	創元社	¥1,262
00007923	顔と心　顔の心理学入門	吉川左紀子他	サイエンス社	¥2,800
00007924	科学と意識シリーズ5　科学と意識・結論	瓜谷侑広	たま出版	¥1,359
00007925	かかわりのコスモロジー　-認知と臨床の間-	野村　幸正	関西大学書院	¥2,000
00007926	学習障害児の青年・成人期　93ケースの臨床研究	Ｄｏｒｉｓ Ｊ．Ｊｏｈｎｓｏｎ，Ｊａｎｅ Ｗ．Ｂｌａｌｏｃｋ／編著	協同医書出版社	¥4,800
00007927	学習能力の障害 －心理神経的診断と治療教育－	D.J.ジョンソン H.R.マイクルバスト	株式会社 日本文化科学社	¥5,825
00007928	学習の理論　下　原書第５版	Ｇ．Ｈ．バウアー　・Ｅ．Ｒ．ヒルガー／原著	培風館	¥4,300
00007929	格助詞獲得の時期と過程に関する発達学的研究	瓜生　淑子	風間書房	¥5,000
00007930	学生のための　精神医学	太田保之・上野武治 編集	医歯薬出版	¥3,400
00007931	学生のための医療概論	千代豪昭・黒田研二	医学書院	¥2,500
00007932	学生のための医療概論　第2版	千代豪昭・黒田研二	医学書院	¥2,800
00007933	学生のための疾病学	井上泰	医学書院	¥2,600
00007934	学生のための精神医学	太田保之・上野武治	医歯薬出版	¥3,400
00007935	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston/編著	協同医書出版社	¥7,000
00007936	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston／編著	協同医書出版社	¥7,000
00007937	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston／編著	協同医書出版社	¥7,000
00007938	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston／編著	協同医書出版社	¥7,000
00007939	過去、現在、未来における 自己の価値づけの変容過程とその規定要因の検討	塚野州一	風間書房	¥13,000
00007940	数の発達心理学	J．ピアジェ A．シェミンスカ	株式会社国土社	¥3,883
00007941	家族のための摂食障害ガイドブック	ジェームス・ロック ダニエル・ル・グラン	星和書店	¥2,500
00007942	家族変容の技法を学ぶ 入門：親と子どものための社会的学習理論	Ｇ．Ｒ．パターソン／著	川島書店	¥2,000
00007943	片麻痺の評価と治療　原著第３版／新訂	Berta Bobath／著	医歯薬出版	¥4,900
00007944	学校は義務じゃない	エデュケーション　・　アザワイズ	明石書店	¥2,000
00007945	必ず治る自律神経失調症	菊池長徳	主婦と生活社	¥1,068
00007946	可能性に挑んだ聴覚障害者	浅見英子　他	文理閣	¥2,500
00007947	可能性療法 効果的なブリーフ・セラピーのための51の方法	ビル・オハンロン， サンディ・ビードル／著	誠信書房	¥1,800
00007948	構音訓練のためのドリルブック	日本音声言語医学会／編著	協同医書出版社	¥2,987
00007949	構音訓練のためのドリルブック　改訂第２版	岡崎 恵子・船山 美奈子 ／編著	協同医書出版社	¥3,000
00007950	かみにくい・飲み込みにくい人の食事	藤谷順子	主婦と生活社	¥1,400
00007951	カラーアトラス 顎関節病変診断	岡達/大越基弘	クインテッセンス 出版株式会社	¥12,000
00007952	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅷ神経系1	河田光博・稲瀬正彦	ラン印刷社	¥6,200
00007953	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅸ神経系2	久野みゆき・安藤啓司・他	ラン印刷社	¥6,200
00007954	カラーで学べる　病理学[第3版]	渡辺　照男/編	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00007955	カラー図解 人体の正常構造と機能〈10〉運動器	坂井 建雄　他	日本医事新報社	¥7,200
00007956	体が神経を支配する　トロフィック説と脳の可塑性	デイル・パーベス／著	羊土社	¥3,398
00007957	からだノート	中山 千夏／著	ダイヤモンド社	¥880
00007958	からだの不自由な お年寄りの食事－つくり方と介助－	三浦裕士（発行者）	医歯薬出版	¥2,500
00007959	からだを通して心にふれる　アルバム　地域リハビリテーションのあゆみ	大田仁史	医歯薬出版	¥2,600
00007960	カルテ用語辞典　第３版	大井　静雄	照林社	¥1,800
00007961	変わる妻たち	アゴ･ビュルキ-フィレンツ	新曜社	¥2,500
00007962	考える６１症例―老年医学編―	老籾宗忠	医歯薬出版 株式会社	¥2,800
00007963	感覚の地図帳	山内 昭雄・鮎川 武二 ／共著	講談社	¥3,800
00007964	眼球運動と空間定位	本田 仁視／著	風間書房	¥16,000
00007965	看護のための最新医学講座21　第２版 耳鼻咽喉科疾患	日野原 重明・井村 裕夫 ／監修	中山書店	¥9,800
00007966	看護のための精神医学	中井久夫・山口直彦	医学書院	¥2,940
00007967	患者から学ぶ-ウィニコットとビオンの臨床応用―	Ｐ．ケースメント／著	岩崎学術出版	¥4,500
00007968	感性のことばを研究する	苧阪　直行	新曜社	¥2,600
00007969	感性の窓を開けて	増成隆士	みすず書房	¥2,700
00007970	完全図解　新しい介護	大田仁史・三好春樹	講談社	¥3,800
00007971	癌のリハビリテーション	辻哲也	金原出版	¥9,000
00007972	キーワードコレクション　発達心理学　　改訂版	子安 増生・二宮 克美／編	新曜社	¥2,400
00007973	記憶	G.コーエン他	海文堂	¥2,200
00007974	記憶障害の臨床	アマンＵ．カーン／著	医学書院	¥8,400
00007975	記憶と脳 －心理学と神経科学の統合	河内十郎	医学書院	¥4,600
00007976	記憶におけるリハーサルの機能に関する実験的研究	清水 寛之／著	風間書房	¥11,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007977	記憶のリハビリテーション	江藤 文夫／監訳	医歯薬出版	¥5,680
00007978	記号学小辞典	脇阪 豊・川島 淳夫 ／他編著	同学社	¥2,800
00007979	きこえと遺伝子　難聴遺伝子診断と遺伝カウンセリング	宇佐美　真一	金原出版株式会社	¥3,800
00007980	聞こえないってどんなこと 聴覚障害者25人。それぞれの生き方	財団法人全日本ろうあ連盟 ／監修	一橋出版	¥1,200
00007981	聞こえの臨床	中井　義明	株式会社 新興医学出版社	¥3,300
00007982	器質性構音障害治療のポイント 口腔顎顔面領域の異常と言語障害	伊東 節子／編	医歯薬出版	¥4,500
00007983	器質脳症候群　［神経行動障害入門］	江藤 文夫／監修	西村書店	¥8,500
00007984	基礎日本語文法―改訂版―	益岡　隆志，田窪行則	くろしお出版	¥2,300
00007985	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007986	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007987	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007988	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007989	吃音の診断と指導	飯高京子　若葉陽子 長崎勤	学苑社	¥2,950
00007990	機能解剖で斬る 神経系疾患	中野 隆	メディカルプレス	¥6,000
00007991	機能解剖で斬る神経系疾患	中野　隆/編著	メディカルプレス	¥6,000
00007992	ギブソン　生態学的視覚論 ―ヒトの知覚世界を探る―	J.J. ギブソン	サイエンス社	¥4,175
00007993	虐待を受けた子どものプレイセラピー	エリアナ・ギル／著	誠信書房	¥3,000
00007994	教育小六法	兼子仁、他	学陽書房	¥2,250
00007995	教育法令辞典	田中壮一郎、他	ぎょうせい	¥8,000
00007996	強化の学習心理学　連合か認知か	石田 雅人／著	北大路書房	¥5,340
00007997	今日から使えるリハビリテーションのための統計学 初心者のための実践的手引き	高橋 仁美・ 加賀谷 斉／編	医歯薬出版	¥2,800
00007998	共感体験とカウンセリング 共感できない体験をどうとらえ直すか	角田 豊／著	福村出版	¥2,600
00007999	共感の心理学　そのメカニズムと発達	澤田瑞也	世界思想社	¥1,950
00008000	教材心理学　心の世界を実験する　第4版	木下 冨雄／編	ナカニシ出版	¥2,000
00008001	教材による認知リハビリテーション　その評価と訓練法	種村純、椿原彰夫	永井書店	¥5,000
00008002	教室で行う特別支援教育１ ここがポイント学級担任の特別視線教育	河村 茂雄／編	図書文化社	¥2,200
00008003	教室でどう教えるかどう学ぶか	吉田甫　栗山和広	北大路書房	¥2,330
00008004	教室における非言語的コミュニケーション	訳者／河野義章，和田実	学芸図書	¥3,800
00008005	強勢の理論	M.ハレ，J.-R.ヴェルニョ ／著	研究社出版	¥4,369
00008006	教養のための言語学コース	小泉　保	大修館書店	¥2,300
00008007	きよしこ	重松清	新潮社	¥1,300
00008008	近代東京の下層社会―社会事業の展開	安岡憲彦	明石書店	¥4,500
00008009	筋肉の崩壊と常に闘う男　進行性筋ジストロフィーなんて怖くない	鈴木進二	東京図書出版会	¥1,200
00008010	空間のエコロジー 空間の認知とイメージ	加藤孝義	新曜社	¥1,800
00008011	クォンタム・セルフ　意識の量子物理学	ダナー・ゾーハー	青土社	¥2,524
00008012	草柳大蔵のお譲さんの人物論24	草柳 大蔵／著	大和書房	¥630
00008013	薬と摂食・嚥下障害 作用機序と臨床応用ガイド	金子芳洋・土肥敏博	医歯薬出版	¥5,800
00008014	口から食べる　―嚥下障害Q&A　第3版	藤島一郎	中央法規出版	¥2,500
00008015	口唇口蓋裂の理解のために　第2版 ーすこやかな成長を願ってー	夏目長門・鈴木俊夫	医歯薬出版	¥1,600
00008016	口唇口蓋裂のチーム医療	高戸毅	金原出版	¥3,800
00008017	口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床	高橋庄二郎	日本歯科評論社	¥32,000
00008018	口唇裂口蓋裂の総合治療 成長に応じた諸問題の解決	森口隆彦・中川皓文	克誠堂出版	¥9,200
00008019	口は何のためにあるか	山田宗睦	風人社	¥2,500
00008020	口蓋帆・咽頭閉鎖不全　その病理・診断・治療	舘村 卓／著	医歯薬出版	¥4,000
00008021	グラフィック　認知心理学	森敏昭・井上毅・ 松井孝雄	サイエンス社	¥2,400
00008022	グランドコンサイス和英辞典	三省堂編修所／編	三省堂	¥7,000
00008023	クローさんの愉快な苦労話 デンマーク式自立生活は、こうして誕生した	エーバルド・クロー	ぶどう社	¥1,553
00008024	ケアマネージャーアセスメントとケアパッケージ	竹内孝仁	医歯薬出版	¥1,800
00008025	形成外科ＡＤＶＡＮＣＥシリーズⅠ－７ 唇破裂・口蓋裂の治療：最近の進歩	上石弘	克誠堂出版	¥20,000
00008026	系統看護学講座　専門19　成人看護学15	小島愛子	大日本法令	¥1,800
00008027	系統看護学講座　専門基礎分野 病理学　疾病のなりたちと回復の促進①　第4版	坂本　穆彦　編	医学書院	¥2,300
00008028	系統看護学講座　専門基礎分野 病理学　　疾病のなりたちと回復の促進①	坂本 穆彦／編	医学書院	¥2,300
00008029	系統看護学講座　別巻3　リハビリテーション看護	高橋美智	医学書院	¥2,100
00008030	系統看護学講座　別巻⑪　医学概論　第8版	日野原　重明　著	医学書院	¥1,680
00008031	軽度発達障害の教育 ＬＤ・ＡＤＨＤ・高機能ＰＤＤ等への特別支援	上野 一彦・花熊 暁／編	日本文化科学社	¥1,800
00008032	軽度発達障害の心理アセスメント　WISC-Ⅲの上手な利用と事例	上野一彦・海津亜希子・他	日本文化科学社	¥2,600
00008033	頸部聴診法トレーニング	大野木 宏彰／著	メディカ出版	¥6,200
00008034	言語科学の百科事典	鈴木良次	丸善株式会社	¥23,000
00008035	言語学基本問題集	佐久間淳一	研究社	¥1,900
00008036	言語学基本問題集	佐久間　淳一	研究社	¥1,900
00008037	言語学は科学である	城生佰太郎	情報センター 出版局	¥1,408
00008038	言語教育学入門―応用言語学を言語教育に活かす―	山内進	大修館書店	¥2,400
00008039	言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00008040	言語障害　事例による用語解説	松本治雄　他	ナカニシヤ出版	¥2,500
00008041	言語障害こわくない	高橋偸	風媒社	¥3,500
00008042	言語障害児の診断と指導第5巻 自閉症児の言語指導	野村 東助・伊藤 英夫 ／他編	学苑社	¥2,913
00008043	言語障害用語辞典	内須川　洸	風間書房	¥1,900
00008044	言語障害用語辞典	内須川　洸	風間書房	¥1,900
00008045	言語障害用語辞典	内須川　洸	風間書房	¥1,900

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008046	言語処理における記憶表象の活性化・抑制過程に関する研究	都築 誉史／著	風間書房	¥9,600
00008047	言語心理学	坂野　登／天野　清	新読書社	¥2,500
00008048	言語聴覚士国家試験出題基準	医療研修推進財団　監修	医歯薬出版	¥2,200
00008049	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成１５年４月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008050	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２０年4月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008051	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２５年４月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008052	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２５年４月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008053	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２５年４月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008054	言語聴覚士国家試験出題基準　平成20年4月版	公益財団法人 医療研修推進財団	医歯薬出版	¥2,200
00008055	言語聴覚士国家試験出題基準 平成25年4月版	医療研修推進財団　監修	医歯薬出版	¥2,200
00008056	言語聴覚士国家試験出題基準　平成25年4月版	公益財団法人 医療研修推進財団	医歯薬出版	¥2,200
00008057	言語聴覚士国家試験予想問題２００	言語聴覚士国家試験対策委員会／編	大揚社	¥2,500
00008058	言語聴覚士試験　受験対策「実践」講座　2003～04年版	梅田　悦生・ 梅田　紘子／著	診断と治療社	¥4,500
00008059	言語聴覚士試験 受験対策「実践」講座　2005～06年版	梅田　悦生・ 梅田　紘子／著	診断と治療社	¥5,000
00008060	言語聴覚士試験 受験対策「実践」講座2001～02年版	梅田　悦生　著	診断と治療社	¥3,800
00008061	言語聴覚士指定講習会テキスト	医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥3,500
00008062	言語聴覚士指定講習会テキスト　第2版	財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥3,500
00008063	言語聴覚士指定講習会テキスト　第2版	財団法人 医療研修推進財団	医歯薬出版	¥3,500
00008064	言語聴覚士テキスト	廣瀬 肇／監修	医歯薬出版	¥3,800
00008065	言語聴覚士テキスト	廣瀬肇	医歯薬出版	¥3,800
00008066	言語聴覚士テキスト	廣瀬肇	医歯薬出版	¥3,800
00008067	言語聴覚士テキスト 第2版	廣瀬肇	医歯薬出版	¥4,000
00008068	言語聴覚士に必要な歯科の知識	谷口　尚・片倉　伸郎・ 大野　友久　他/著	インテルナ出版	¥2,000
00008069	言語聴覚士に必要な歯科の知識	谷口尚	インテルナ出版	¥2,000
00008070	言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	海文堂出版	¥2,600
00008071	言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	KAIBUNDO	¥2,600
00008072	言語聴覚士の仕事	日本言語療法士協会編	朱鷺書房	¥1,600
00008073	言語聴覚士のための　解剖・生理学	小林靖	医歯薬出版	¥4,000
00008074	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬 肇／著	医歯薬出版	¥5,000
00008075	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬 肇／著	医歯薬出版	¥5,000
00008076	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬 肇／著	医歯薬出版	¥4,000
00008077	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬肇・柴田貞雄/他編	医歯薬出版	¥5,000
00008078	言語聴覚士のための音響学	今泉　敏	医歯薬出版	¥3,800
00008079	言語聴覚士のための音響学	今泉　敏	医歯薬出版	¥3,800
00008080	言語聴覚士のための音響学	今泉　敏	医歯薬出版	¥3,800
00008081	言語聴覚士のための音声障害学	大森孝一	医歯薬出版	¥4,000
00008082	言語聴覚士のための基礎知識　耳鼻咽喉化学	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00008083	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00008084	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00008085	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学	鳥山 稔	医学書院;	¥3,800
00008086	言語聴覚士のための基礎知識　臨床神経学・高次脳機能障害学	岩田誠・鹿島晴雄　編	医学書院	¥5,200
00008087	言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学	夏目長門	医学書院	¥4,200
00008088	言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学	夏目長門	医学書院	¥4,200
00008089	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008090	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008091	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008092	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008093	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹 恒夫／編	医学書院	¥3,700
00008094	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹 恒夫／編	医学書院	¥3,700
00008095	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹 恒夫・小寺 富子・ 倉井　成子／編	医学書院	¥3,700
00008096	言語聴覚士のための子どもの聴覚障害訓練ガイダンス	立石恒雄・木場由紀子	医学書院	¥3,500
00008097	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村　健/編	医歯薬出版	¥4,000
00008098	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村　健	医歯薬出版	¥4,000
00008099	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学	道健一	医歯薬出版	¥4,000
00008100	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学	道健一	医歯薬出版	¥4,000
00008101	言語聴覚障害学　　基礎・臨床	石合 純夫／編著	新興医学出版	¥4,800
00008102	言語聴覚シリーズ　高次脳機能障害	長谷川賢一	建帛社	¥2,400
00008103	言語聴覚療法　臨床マニュアル	鈴木重忠　他	協同医書出版社	¥9,500
00008104	言語聴覚療法　臨床マニュアル　改訂第2版	小寺富子	協同医書出版社	¥6,800
00008105	言語聴覚療法　臨床マニュアル　改訂第2版	小寺富子	協同医書出版社	¥6,800
00008106	言語聴覚療法　臨床マニュアル　改訂第3版	平野哲雄・長谷川賢一・ 立石恒雄・能登谷晶子・ 倉井成子・斉藤吉人・ 椎名英貴・藤原百合・ 苅安誠・城本修・矢守麻奈	協同医書出版社	¥6,800
00008107	言語聴覚療法―臨床マニュアル	日本言語療法士協会	協同医書出版社	¥9,500
00008108	言語聴覚療法シリーズ 13　吃音	都筑　澄夫/編	建泉社	¥2,400
00008109	言語聴覚療法シリーズ　16 改訂　AAC	久保健彦	建帛社	¥2,500
00008110	言語聴覚療法シリーズ　5 聴覚障害Ⅰ－基礎編	山田弘幸・佐場野優一	建帛社	¥2,400
00008111	言語聴覚療法シリーズ　6 聴覚障害Ⅱ－臨床編	佐場野優一・山田弘幸	建帛社	¥2,400
00008112	言語聴覚療法シリーズ　7 改訂　機能性構音障害	本間慎治	建帛社	¥2,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008113	言語聴覚療法シリーズ　7 改訂　機能性構音障害	本間慎治	建帛社	¥2,500
00008114	言語聴覚療法シリーズ1 言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内 紀子／編著	建帛社	¥2,400
00008115	言語聴覚療法シリーズ10 言語発達障害Ⅰ	大貝 茂／編著	建帛社	¥2,400
00008116	言語聴覚療法シリーズ１１　言語発達障害Ⅱ	斉藤吉人	建帛社	¥2,400
00008117	言語聴覚療法シリーズ１６　AAC	久保健彦	建帛社	¥2,400
00008118	言語聴覚療法シリーズ１６　AAC	久保健彦	建帛社	¥2,400
00008119	言語聴覚療法シリーズ2 言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎 京子／編著	建帛社	¥2,400
00008120	言語聴覚療法シリーズ７　機能性構音障害	本間慎治	建帛社	¥2,400
00008121	言語聴覚療法シリーズ8 器質性構音障害	斉藤 裕恵／編著	建帛社	¥2,600
00008122	言語聴覚療法臨床マニュアル	日本言語療法士協会／編著	協同医書出版社	¥9,500
00008123	言語聴覚療法臨床マニュアル　改訂第2版	小寺 富子／監修	協同医書出版社	¥6,800
00008124	言語聴覚療法臨床マニュアル　改訂第2版	小寺 富子／監修	協同医書出版社	¥6,800
00008125	言語治療用ハンドブック	田口恒夫	日本文化科学社	¥3,000
00008126	言語治療用ハンドブック	田口恒夫	日本文化科学社	¥3,000
00008127	言語と脳	杉下守弘	豊国印刷株式会社	¥960
00008128	言語と脳	杉下守弘	紀伊国屋書店	¥1,700
00008129	言語の構造-理論と分析 -　音声・音韻篇	柴谷方 良・影山 太郎 ／他著	くろしお出版	¥2,500
00008130	言語の事典	中島平三	朝倉書店	¥28,000
00008131	言語の脳科学　脳はどのようにことばを生みだすか	酒井邦嘉	中公新書	¥900
00008132	言語の風景学	岩本　一	新典社	¥2,600
00008133	言語発達心理学	内田　伸子	日本放送協会 出版会	¥3,000
00008134	言語発達遅滞の言語治療	小寺 富子／著	診断と治療社	¥2,500
00008135	言語発達遅滞の言語治療	小寺 富子／著	診断と治療社	¥2,500
00008136	言語発達遅滞の言語治療	小寺富子	診断と治療社	¥2,500
00008137	言語発達ってみんな同じ？　言語獲得の多様性を考える	C.M.ショア―	学苑社	¥2,000
00008138	言語病理学診断法	Frederic L. Darley　他	協同医書出版社	¥14,000
00008139	言語病理学診断法	Frederic L. Darley　他	協同医書出版社	¥14,000
00008140	言語病理学診断法	Frederic L. Darley　他	協同医書出版社	¥14,000
00008141	言語病理学診断法　改訂第2版	FrederixL.Darley・ D.C.Spriesterbach	協同医書出版社	¥14,000
00008142	言語モダリティ間相互作用に関する臨床神経心理学的研究 -失語症の言語機能回復の検討―	稲村 純／著	風間書房	¥12,000
00008143	言語理解	Ｊ．グリーン	海文堂	¥2,000
00008144	言語理解	Ｊ．グリーン	海文堂	¥2,000
00008145	言語を生みだす本能（上）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,280
00008146	言語を生みだす本能（下）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,280
00008147	検証子どもの権利条約 市民がつくる“子どもの権利条約白書”	喜多 明人／他編	日本評論社	¥1,700
00008148	健診とことばの相談	中川 信子／著	ぶどう社	¥2,000
00008149	現代　老年精神医療	武田雅俊	永井書店	¥13,000
00008150	現代言語学辞典	田中 春美／編	成美堂	¥15,000
00008151	現代言語学の基礎シリーズ３　生成音韻論	サンフォードＡ．シェイン ／著	研究社出版	¥2,330
00008152	現代進学入門２　発達心理学	無藤 隆・久保 ゆかり ／他著	岩波書店	¥2,800
00008153	現代心理学シリーズ5　言語と記憶	浮田 潤・賀集 寛／共編	培風館	¥1,600
00008154	現代心理学シリーズ７　発達心理学	山本 利和／編	培風館	¥1,600
00008155	現代心理学双書第2巻 神経心理学―脳と心の接点	坂野登	新読書社	¥2,800
00008156	現代心理学入門1 認知心理学	守一雄	岩波書店	¥2,500
00008157	現代心理学入門2 発達心理学	無藤隆 久保ゆかり 遠藤利彦	岩波書店	¥2,800
00008158	現代日本人のライフ・サイクル	山添　正	ブレーン出版	¥2,800
00008159	現代の病シリーズ　6.高齢化社会の病	河野友信・唐木正敏/他編	医学書院	¥2,700
00008160	現代ロールシャッハ・テスト体系（上）	ジョン・Ｅ・エクスナー ／著	金剛出版	¥9,300
00008161	現代ロールシャッハ・テスト体系（下）	ジョン・Ｅ・エクスナー ／著	金剛出版	¥6,300
00008162	現代ロールシャッハ・テスト体系・別巻 ロールシャッハ・テストワークブック	ジョン・Ｅ・エクスナー ／著	金剛出版	¥5,400
00008163	現場心理学の発想	やまだ ようこ／編	新曜社	¥2,400
00008164	現場で役立つ特別支援教育ハンドブック（ＣＤ－ＲＯＭなし）	下司 昌一／編	日本文化科学社	¥4,600
00008165	権利としての自己決定	施設変革と自己決定 編集委員会	エンパワメント 研究所	¥1,700
00008166	構音障害の指導技法　―音の出し方とそのプログラム	湧井　豊	学苑社	¥3,500
00008167	構音障害の臨床　―基礎知識と実践マニュアル―	阿部雅子	金原出版	¥2,800
00008168	構音障害の臨床　―基礎知識と実践マニュアル―	阿部雅子	金原出版	¥2,800
00008169	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008170	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008171	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008172	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008173	構音障害の臨床―基礎知識と実践マニュアル―	阿部雅子	金原出版	¥2,400
00008174	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	John E.Bernthal, Nicholas W.Bankson／編著	協同医書出版社	¥6,400
00008175	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	John E.Bernthal, Nicholas W.Bankson／編著	協同医書出版社	¥6,400
00008176	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	JohnE.Bernthal・ NicholasW.Bankson	協同医書出版社	¥6,400
00008177	口蓋裂 第2版　　言語障害の病理・診断・治療	Sally J.Peterson-Falzone	医歯薬出版	¥15,000
00008178	口蓋裂の言語臨床	岡崎啓子・相野田紀子・ 加藤正子	医学書院	¥5,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008179	口蓋裂の言語臨床	岡崎啓子・相野田紀子・ 加藤正子	医学書院	¥5,000
00008180	口蓋裂の言語臨床　第2版	岡崎啓子・加藤正子	医学書院	¥5,000
00008181	口蓋裂の言語臨床　第3版	岡崎啓子・加藤正子・ 北野市子	医学書院	¥5,000
00008182	高機能自閉症・アスペルガー症候群　その子らしさを生かす子育て	吉田友子	中央法規出版	¥1,800
00008183	高機能自閉症・アスペルガー症候群入門　正しい理解と対応のために	内山登紀夫・水野　薫・ 吉田友子	中央法規出版	¥2,000
00008184	高機能自閉症の子育てと療育・教育 発達と障害の視点から	高城 寛志・星河 美雪 ／編著	かもがわ出版	¥2,200
00008185	講義ノート　新耳鼻咽喉科学入門	中野雄一	考古堂書店	¥2,500
00008186	口腔・中咽頭がんのリハビリテーション 構音障害、摂食・嚥下障害	溝尻 源太郎・熊倉 勇美 ／編著	医歯薬出版	¥4,800
00008187	口腔顎顔面領域の異常と言語障害	伊東節子	医歯薬出版	¥4,500
00008188	口腔外科専門医マニュアル	社団法人日本口腔外科学会	医歯薬出版	¥12,000
00008189	口腔諸組織の加齢変化	浦郷篤史	クインテッセンス 出版株式会社	¥22,000
00008190	口腔の発生と組織第２版	相山誉夫	南山堂	¥4,000
00008191	講座　生涯発達心理学　子ども時代を生きる	内田伸子、南博文	金子書房	¥4,120
00008192	講座　生涯発達心理学　第2巻人生への旅立ち	麻生武、内田伸子	金子書房	¥4,120
00008193	講座　生涯発達心理学　第4巻自己のへの問い直し	落合良行、他	金子書房	¥4,120
00008194	講座　生涯発達心理学　第5巻　老いることの意味	南博文、やまだようこ	金子書房	¥4,000
00008195	講座　生涯発達心理学　生涯発達心理学とは何か	無藤隆、やまだようこ	金子書房	¥4,000
00008196	講座　幼児の生活と教育4 理解と表現の発達	安江良介	岩波書店	¥2,330
00008197	講座「言語障害児の診断と指導」第4巻 聴覚障害の診断と指導	小川　仁・谷　俊治・ 出口　利定/編	学苑社	¥3,398
00008198	講座サイコセラピー　第11巻　ソーシャル・スキル・トレーニング	渡辺弥生	日本文化科学社	¥2,530
00008199	高次神経機能障害	石合 純夫／著	新興医学出版社	¥6,800
00008200	高次神経機能障害の臨床はここまで変わった	宇野 彰・波多野 和夫／編	医学書院	¥3,800
00008201	高次脳機能検査の解釈過程	CharlesJ.Golden他	協同医書出版社	¥3,800
00008202	高次脳機能検査の解釈過程	CharlesJ.Golden他	協同医書出版社	¥3,800
00008203	高次脳機能障害 診断・治療・支援のコツ	橋本 圭司／著	診断と治療社	¥3,200
00008204	高次脳機能障害　CD-ROMで情報提供	渡邉修	医歯薬出版	¥4,400
00008205	高次脳機能障害　症候辞典	河村満・高橋伸佳	医歯薬出版	¥2,500
00008206	高次脳機能障害　精神医学・心理学的対応　ポケットマニュアル	先崎章	医歯薬出版	¥1,800
00008207	高次脳機能障害　その概念と画像診断	武田克彦、波多野和夫	中外医学社	¥7,800
00008208	高次脳機能障害 第2版	石合 純夫／著	医歯薬出版	¥4,400
00008209	高次脳機能障害　ポケットマニュアル	監修　原　寛美	医歯薬出版	¥2,000
00008210	高次脳機能障害学	石合純夫	医歯薬出版	¥4,000
00008211	高次脳機能障害のリハビリテーション	江藤文夫他	医歯薬出版	¥4,800
00008212	高次脳機能障害のリハビリテーション　実践的アプローチ	本田哲三	医学書院	¥3,800
00008213	高次脳機能障害のリハビリテーション　社会復帰支援ケーススタディ	本田哲三・坂爪一幸・ 高橋玖美子	真興交易(株) 医書出版部	¥4,200
00008214	高次脳機能障害ハンドブック	中島八十一、寺島彰	医学書院	¥4,200
00008215	高次脳機能障害ポケットマニュアル	原廣美	医歯薬出版	¥2,000
00008216	高次脳機能障害ポケットマニュアル　第2版	原 寛美／監修	医歯薬出版	¥2,000
00008217	高次脳機能障害ポケットマニュアル　第３版	原 寛美／監修	医歯薬出版	¥2,100
00008218	高次脳機能障害マエストロシリーズ1　基礎知識のエッセンス	山鳥重、早川裕子、 博野信次他	医歯薬出版	¥2,600
00008219	口唇口蓋裂の理解のために　―すこやかな成長を願って―	監修　河合幹	医歯薬出版	¥1,600
00008220	口唇口蓋裂の理解のために　―すこやかな成長を願って―	監修　河合幹	医歯薬出版	¥1,600
00008221	厚生の指標臨時増刊 保険と年金の動向　２００３年第５０巻第１４号	厚生統計協会／編	厚生統計協会	¥1,800
00008222	喉頭がん　舌がんの人たちの言語と摂食・嚥下ガイドブック －将来に向けて－原著第4版	Jack E.Thomas Robert L.Keith	医歯薬出版	¥3,200
00008223	行動と視覚的注意	三浦 利章	風間書房	¥13,000
00008224	行動分析学入門	杉山 尚子・島宗　理 ／ほか著	産業図書	¥3,600
00008225	行動分析学入門	杉山尚子・島宗理・ 佐藤方哉他	産業図書株式会社	¥3,600
00008226	行動分析学入門	杉山尚子	集英社	¥660
00008227	行動分析学入門	杉山尚子・島宗理・ 佐藤方哉他	産業図書株式会社	¥3,600
00008228	行動変容法入門	レイモンド・Gーミルテン バーガー	有限会社　二瓶社	¥3,600
00008229	行動変容法入門	レイモンド・Gーミルテン バーガー	有限会社　二瓶社	¥3,600
00008230	広汎性発達障害の作業療法 －根拠と実践－	辛島 千恵子／編	三輪書店	¥3,400
00008231	交流分析入門	桂 戴作・杉田 峰康／他著	チーム医療	¥1,500
00008232	交流分析のすすめ　人間関係に悩むあなたへ	杉田 峰康／著	日本文化科学社	¥1,400
00008233	高齢者・障害者の「食」の援助プログラム 食べる・食べさせる・食べさせてもらう	大塚彰	医歯薬出版	¥2,500
00008234	高齢社会の生活保障システム	八代尚宏	東京大学出版	¥3,400
00008235	高齢者を知る事典　気づいてわかるケアの根拠	介護・医療・予防研究会編	厚生科学研究所	¥4,800
00008236	声の検査法　基礎編	日本音声言語医学会	医歯薬出版	¥4,400
00008237	声の検査法 臨床編　　第２版	日本音声言語医学会／編	医歯薬出版	¥5,400
00008238	語外の言語学	小泉　保	三省堂	¥3,000
00008239	国語科授業改革双書22　思考力育成への方略 -メタ認知・自己学習・言語論理-	井上　尚美	明治図書	¥2,560
00008240	国語教師が知っておきたい日本語文法	山田敏宏	くろしお出版	¥1,600
00008241	国語という思想	イ・ヨンスク	岩波書店	¥3,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008242	国際音声記号ガイドブック	国際音声学会	大修館書店	¥4,300
00008243	国立国語研究所報告43　動詞の意味・用法の記述的研究	宮島　達夫	秀英出版	¥7,500
00008244	心とことばの脳科学	山鳥和美・辻　幸夫	大修館書店	¥1,800
00008245	心の一生　ユング派に依るこころの原風景	氏原 寛／著	ミネルヴァ書房	¥1,800
00008246	心の階梯	アーウィン・スコット	産業図書	¥3,000
00008247	こころの科学　新臨床心理学入門	遠藤俊夫	日本評論社	¥1,800
00008248	こころの科学3 発達の科学	岡村一成 西野泰広	福村出版株式会社	¥1,500
00008249	こころの科学セレクション 自閉症	中根　晃/編	日本評論社	¥1,400
00008250	心のシミュレーション	フィリップ・ジョンソン＝レアード	三協印刷	¥4,500
00008251	心のつぶやきがあなたを変える 認知療法自習マニュアル	井上 和臣／著	星和書店	¥1,900
00008252	心の発達と心の病　普及版　－発達と障害と再生	岸本 弘／著	学文社	¥3,500
00008253	心の比較認知科学	渡辺茂	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008254	心の理論(下) －自閉症の視点から－	Simon Baron-Cohen Helen Tager-Flusberg Donald J.Cohen	八千代出版	¥3,800
00008255	心の理論(上) －自閉症の視点から－	Simon Baron-Cohen Helen Tager-Flusberg Donald J.Cohen	八千代出版	¥3,800
00008256	心の臨床・その実践　かかわることの原点から	池田豊應・他	ナカニシヤ出版	¥1,800
00008257	こころの耳	早瀬久美	講談社	¥1,500
00008258	こころもからだもイキイキ　「癒し」のボディ・ワーク	今野 義孝／著	学苑社	¥3,800
00008259	こころをラクに、あたまをクリアに 遅れのある子をはぐくむ親と専門家のために	大林　泉	ぶどう社	¥1,600
00008260	固執と抑制の諸問題	川村幹	風間書房	¥8,800
00008261	孤独感に関する社会心理学的研究 ―原因帰属および対処方略との関係を中心として―	諸井克英	風間書房	¥10,000
00008262	ことばあそびえほん さかさま　はやくち　ならべかえ	石津ちひろ・飯野和好	のら書店	¥1,000
00008263	言葉が消えた！―失語症と闘う新人賞作家の手記―	早野 貢司／著	風媒社	¥1,505
00008264	ことばが育つ条件　言語獲得期にある子どもの発達	小山　正	培風館	¥2,700
00008265	ことばが育つ条件　言語獲得期にある子どもの発達	小山　正	培風館	¥2,700
00008266	ことばと聞こえの解剖学	ジョンM.パーマー	学苑社	¥4,500
00008267	ことばと心の発達 第4巻 ことばの障害と脳のはたらき	久保田競	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008268	ことばと発達	岡本 夏木／著	岩波書店	¥660
00008269	ことばと発達人間　新しい言語学への試み	伊藤 克敏・牧内 勝 ／他編著	三省堂	¥3,592
00008270	ことばの海へ―失語症ケアのはじまりと深まり―	遠藤 尚志／著	筒井書房	¥1,700
00008271	ことばの科学入門	GLORIA J. BORDEN・ KATHERINE S.HARRIS	MRCメディカルリサーチセンター	¥8,000
00008272	ことばの科学入門	廣瀬肇	MRC	¥8,000
00008273	ことばの科学ハンドブック	郡司　隆男　　西垣内泰介	研究社	¥2,800
00008274	ことばの獲得	桐谷滋	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008275	言葉のごちそう	市堀艶子	三笠書房	¥533
00008276	ことばの習得と喪失	伊藤　克敏	勁草書房	¥2,500
00008277	ことばの習得と喪失　心理言語学への招待	伊藤克敏	勁草書房	¥2,500
00008278	ことばの習得と喪失　心理言語学への招待	伊藤克敏	勁草書房	¥2,500
00008279	ことばの障害と脳のはたらき	久保田競	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008280	言葉のない世界に生きた男	スーザン・シャラー／著	晶文社	¥2,330
00008281	ことばの認知科学事典	辻幸夫	大修館書店	¥3,600
00008282	ことばの発達と認知の心理学	鹿取 廣人／著	東京大学出版会	¥3,200
00008283	言葉の発達を促す手作り教材	子どものことばの発達問題研究会	株式会社学苑社	¥1,845
00008284	ことばの前のことば　ことばが生まれるすじみち1	やまだ ようこ／著	光明社	¥2,600
00008285	ことば始まりと進化の謎を解く	ジーン・エイスチン	新曜社	¥3,800
00008286	ことばは世界とどうかかわるか	ヤコブL. メイ	ひつじ書房	¥3,880
00008287	言葉をきく脳　しゃべる脳	本庄巌	中山書店	¥2,400
00008288	言葉をとりもどす日々―失語症からの復帰―	岩島 正／著	章文館	¥1,500
00008289	言葉を復元する	吉田　和彦	三省堂	¥2,300
00008290	子どもたちの言語獲得	小林　春美　　佐々木正人	大修館書店	¥2,300
00008291	子ども達のための困ったとき事典　親、教師、指導員向け解説書	森　正人・ 多田早百合・他	こころリソースブック出版会	
00008292	子どもとの豊かなコミュニケーションを築く インリアル・アプローチ	竹田契一 里見恵子	株式会社日本文化科学社	¥2,240
00008293	子どもとの豊かなコミュニケーションを築く インリアル・アプローチ	竹田契一 里見恵子	株式会社日本文化科学社	¥2,240
00008294	子どもにとって死とは？	エリック・ローフス	晶文社	¥1,240
00008295	子どもの音楽療法ハンドブック	若尾裕・田中由身子/他編	音楽之友社	¥1,359
00008296	子どもの顎関節症を防ぐ・治す	萩原和彦・河野壽一	講談社	¥1,300
00008297	子どもの虐待－その実態と援助－	津崎 哲郎／著	朱鷺書房	¥1,500
00008298	子どもの言語とコミュニケーション	D,K. バーンスタイン	東信堂	¥3,200
00008299	こどものことば　習得と創造	伊藤 克敏／著	勁草書房	¥2,600
00008300	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008301	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008302	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008303	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008304	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008305	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008306	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008307	こどものことば　習得と創造	伊藤　克敏	勁草書房	¥2,600
00008308	子どもの摂食・嚥下障害　その理解と援助の実際	北住 映二／編著	永井書店	¥7,600
00008309	こどもの摂食・嚥下障害-その理解と援助の実際-	北住　映二・尾本　和彦・ 藤島　一郎　他/編著	永井書店	¥7,600
00008310	子どものためのＡＡＣ入門 ―文字盤からコンピューターへ―	安藤 忠・大貝 茂・ 太田 茂／他編著	協同医書出版社	¥4,700
00008311	子どものためのAAC入門―文字盤からコンピュータへ―	安藤忠	協同医書出版社	¥4,700
00008312	子どものディスコースの発達	内田　伸子	風間書房	¥11,000
00008313	子どものディスコースの発達	内田　伸子	風間書房	¥11,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008314	子どもの中にことばを見つけて コミュニケーションそれは、風	添島 康夫／著	ぶどう社	¥1,450
00008315	子どもの発達心理学	高橋道子 仲真紀子 藤崎真知代/他著	株式会社新曜社	¥1,900
00008316	こどもの発達と教育1　ことばと学び	内田　伸子	金子書房	¥1,600
00008317	子どもの発達と教育2　＜自己＞を育てる 真の主体性の確立	梶田　叡一／著	金子書房	¥1,600
00008318	こどもの発達と教育7　子どもが心を理解するとき	子安　増生	金子書房	¥1,600
00008319	子どもの歯のけが　口のけが相談室	中村社綱	医歯薬出版	頒価
00008320	子どものふり遊びの世界	高橋たまき	プレーン出版	¥1,845
00008321	子どものユーモア　その起源と発達	ポール・E・マッギー	誠信書房	¥3,800
00008322	子どもの養育に心理学がいえること	H. R. シャファー／著	新曜社	¥2,800
00008323	この星のぬくもり	曽根富美子	株式会社ベネッセコーポレーション	¥680
00008324	コミュニケーション・ノート	西尾 正輝／著	インテルナ出版	¥9,000
00008325	コミュニケーション障害辞典	David W.H.Morris	医歯薬出版	¥5,500
00008326	コミュニケーション障害辞典	David W.H.Morris	医歯薬出版	¥5,500
00008327	コミュニケーション障害入門	エレナ・プラント ペラジー・M. ・ビーソン	大修館書店	¥2,800
00008328	コミュニケーションという謎	秦野悦子　他	ミネルヴァ書房	¥2,200
00008329	コミュニケーションの心理学	松尾太加志	ナカニシヤ出版	¥2,500
00008330	コメディカルのための内科学	伊東　進・森　博愛/編著	医学出版	¥4,700
00008331	コメディカルのための内科学	伊東　進・森　博愛/編著	医学出版社	¥4,700
00008332	コメディカルのための内科学　第２版	森　博愛・伊東 進／編著	医学出版社	¥3,900
00008333	コメディカルのための内科学　第2版	森　博愛/伊東　進　編著	医学出版社	¥3,900
00008334	コメディカルのための内科学　第3版	伊東 進・森 博愛／編著	医学出版	¥4,700
00008335	コメディカルのための脳神経外科	板倉 徹　他	コメディカルエディター	¥2,800
00008336	これからの老人保健活動	新井宏朋、中島紀恵子	医学書院	¥3,296
00008337	これからの老年学	井口昭久	名古屋大学出版会	¥3,800
00008338	こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち	渡辺一史	北海道新聞社	¥1,800
00008339	サイエンスライブラリ心理学９ オペラント心理学入門 行動分析への道	G.S.レイノルズ／著	サイエンス社	¥1,748
00008340	最新　脳と神経科学シリーズ　第10巻　睡眠とその障害	高倉公朋・宮本忠雄	メディカルビュー	¥12,000
00008341	最新 脳と神経科学シリーズ9　腫瘍性病変の神経科学	高橋 徹／他編	メジカルビュー社	¥13,000
00008342	最新医学大辞典　第2版	後藤 稠／編	医歯薬出版	¥13,000
00008343	最新育児小児病学　改訂第４版	二木 武・二宮 恒夫・ 松田 博／他著	南江堂	¥2,800
00008344	細心育児小児病学　改訂第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00008345	最新育児小児病学（改訂第5版）	黒田　泰弘/編著	南江堂	¥2,800
00008346	最新神経難病	宇尾野公義	金原出版	¥18,447
00008347	最新神経病学　改訂3版	荒木 淑郎	金芳堂	¥11,000
00008348	最新版　全国リハビリテーション病院ガイド	ウェルネス医療情報センター　／編	実業之日本社	¥2,000
00008349	最新版 テクニカルエイド　福祉用具の選び方・使い方	作業療法ジャーナル編集委員会　／編	三輪書店	¥3,500
00008350	最新リハビリテーション医学	米本恭三	医歯薬出版	¥5,900
00008351	最新リハビリテーション医学	米本恭三	医歯薬出版	¥5,900
00008352	在宅・施設リハビリテーションにおける 言語聴覚士のための地域言語聴覚療法	森田秋子・黒羽真美	三輪出版	¥3,600
00008353	在宅における緊急看護	一番ヶ瀬康子・城正子	一橋出版	¥900
00008354	作業療法ルネッサンス―ひとと生活障害　３ 着る・装うことの障害とアプローチ	山根寛・ 菊池恵美子/他編	三輪書店	¥2,800
00008355	作業療法ルネッサンス―ひとと生活障害　４ 伝えることの障害とアプローチ	山根寛	三輪書店	¥2,800
00008356	さようなら施設	大滝昌之	ぶどう社	¥1,400
00008357	ジェンダー・アイデンティティ ―社会心理学的測定と応用―	下條英子	風間書房	¥11,000
00008358	ジェンダーの発達心理学	スーザン・ゴロンボク、他	田研出版	¥6,500
00008359	視覚機能の発達障害　その評価と援助	P.R.ERHARDT／著	医歯薬出版	¥6,600
00008360	視覚性失認	Martha J.Farah／著	新興医学出版社	¥4,800
00008361	視覚的対象認知に関する実験的研究	松川 順子／著	風間書房	¥7,800
00008362	視覚の時間周派数処理と色処理の機能連関に関する研究 -光駆動法を中心としたフリッカー応用技法による接近-	小松 紘／著	風間書房	¥17,000
00008363	視覚の謎	本田仁視	福村出版	¥2,600
00008364	自我と,＜力動的基盤＞ 人間発達のトランスパーソナル理論	マイケル・ウォシュバーン／著	雲母書房	¥3,400
00008365	時間的展望の生涯発達心理学	白井利明	勁草書房	¥8,240
00008366	色彩の心理-子どもの絵の心理的記憶-	久保　貞次郎	文化書房博文社	¥1,900
00008367	思考の神経心理学	D.F. Benson M.D.	金芳堂	¥11,650
00008368	自己実現への旅立ち　こころの発達と人間関係	千原 美重子／著	創元社	¥2,000
00008369	自己対象反応の傾向からみた知的障害児と自閉症障害児の発達的、 臨床的研究	西村 章次／著	風間書房	¥18,000
00008370	自殺の危険　臨床的評価と危機介入	高橋祥友	金剛出版	¥4,500
00008371	しじみ貝の詩-聴力障害者の体験から	岩渕　紀雄　著	日本放送出版	¥880
00008372	思春期挫折症候群－現代の国民病	稲村 博／著	新曜社	¥1,650
00008373	自信がもてる！リハビリテーション臨床実習 脳卒中ケースで臨場感を体験	川上 途行／ほか編	医歯薬出版	¥4,600
00008374	死生学　―他者の死と自己の死	山本 俊一／著	医学書院	¥3,500
00008375	死生学のすすめ	山本 俊一／著	医学書院	¥3,000
00008376	施設に生きるということ	湯浅民子	ぶどう社	¥1,600
00008377	施設の子どもへの援助　事例を通して考える	内山 元夫／著	学苑社	¥1,500
00008378	視知覚	松田　隆夫	培風館	¥3,400
00008379	視聴覚情報科学	国際電気通信基礎技術研究所	オーム社	¥4,757
00008380	失語症　そして笑顔の明日へ	小薗真知子	シモダ印刷	¥1,429
00008381	失語症Ｑ＆Ａ　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村 純／編著	新興医学出版	¥4,000
00008382	失語症Ｑ＆Ａ　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村 純／編著	新興医学出版	¥4,000
00008383	失語症Ｑ＆Ａ　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村 純／編著	新興医学出版	¥4,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008384	失語症訓練の考え方と実際	鈴木勉	三報社印刷	¥3,600
00008385	失語症訓練のためのドリル集　語想起（名詞）の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥3,600
00008386	失語症訓練のためのドリル集－3 動作・状態を表す語(動詞・形容詞・形容動詞)の改善をめざす	竹内愛子	協同医書出版社	¥3,600
00008387	失語症訓練のためのドリル集6 長い文の理解の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥2,800
00008388	失語症訓練のためのドリル集9 日常コミュニケーションの改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,600
00008389	失語症訓練のためのドリル集－第2巻 意味・音韻面から語想起(名詞)の改善をめざす	竹内愛子	協同医書出版社	¥3,600
00008390	失語症言語訓練講座	杉下守弘	壮光舎印刷	¥3,300
00008391	失語症言語治療の基礎	紺野加菜江	新富印刷株式会社	¥3,500
00008392	失語症言語治療の基礎　　診断法から治療理論まで	紺野　加奈江／著	診断と治療社	¥3,500
00008393	失語症言語治療の基礎　診断法から治療理論まで	紺野　加奈江　著	診断と治療社	¥3,500
00008394	失語症言語治療の基礎　診断法から治療理論まで	紺野佳奈江	診断と治療社	¥3,500
00008395	失語症言語治療の理論と実際　第３版	河内 十郎・河村 満／監訳	創造出版	¥18,000
00008396	失語症言語治療の理論と実際　第3版	RobertaChapy	創造出版	¥18,000
00008397	失語症者、言語聴覚士になる ことばを失った人は何を求めているのか	平澤 哲哉／著	雲母書房	¥1,800
00008398	失語症者の教育リハビリテーションと看護	岡部克己・岡部聰子	コレール社	¥3,000
00008399	失語症者の実用コミュニケーション　臨床ガイド	竹内愛子	協同医書出版社	¥4,500
00008400	失語症者の実用コミュニケーション臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥4,500
00008401	失語症の記録　―奪われた言葉・取り戻した言葉―	笹沼 澄子／他編	大修館書店	¥1,800
00008402	失語症のグループ訓練－基礎と122の課題－	鈴木 勉・鶴田 薫・ 小川 節子／ほか著	三輪書店	¥3,398
00008403	失語症の障害メカニズムと訓練法	加藤正弘	新興医学出版	¥6,500
00008404	失語症の障害メカニズムと訓練法　改訂第二版	小嶋 知幸／著	新興医学出版社	¥6,500
00008405	失語症のすべてがわかる本	加藤 正弘・小嶋 知幸 ／監修	講談社	¥1,200
00008406	失語症の人と話そう 失語症の理解と豊かなコミュニケーションのために	失語症会話パートナー養成 部会／編集	中央法規	¥2,200
00008407	失語症のリハビリテーション　第2版 全体構造法のすべて	米本 恭三／監修	医歯薬出版	¥3,800
00008408	失語症のリハビリテーション 全体構造法のすべて　　第２版	米本 恭三／監修	医歯薬出版	¥3,800
00008409	失語症臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥5,500
00008410	失語症臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥5,500
00008411	失語症臨床ガイド 症例別－理論と42症例による訓練・治療の実際	竹内 愛子／編	協同医書出版社	¥5,500
00008412	失語の症候学	相馬芳明　田邉敬貴	医学書院	¥4,300
00008413	失語論　―批判的研究―	S・フロイト／著	平凡社	¥2,718
00008414	実践鼓膜・鼓室形成術　中耳手術の基本・各論・症例	湯浅 涼／著	金原出版	¥9,800
00008415	実践式ファイナルチェック！言語聴覚士国家試験 受験対策実戦講座 2010年版	梅田　悦生・ 梅田　紘子　著	診断と治療社	¥4,200
00008416	実践式ファイナルチェック！言語聴覚士国家試験 受験対策実戦講座 2013～14年版	梅田　悦生・梅田　紘子・ 神山　政恵 他　著	診断と治療社	¥3,200
00008417	実践的知行行動カウンセリング	トローワー・P/ケーシー・ A/ドライデン・W	川島書店	¥2,800
00008418	実践的認知療法	J・パーソンズ	金剛出版	¥5,500
00008419	実践にいかす成人看護学	小笠原知枝・阪本恵子	福村出版	¥3,200
00008420	知っていますか？聴覚障害者の暮らし一問一答	稲葉 通太／監修	解放出版社	¥1,000
00008421	知っていますか？どもりと向き合う　一問一答	伊藤伸二	解放出版社	¥1,200
00008422	知っておきたい医療英単語	飯田　恭子　他	医学書院	¥2,200
00008423	知っておきたいくも膜下出血　その臨床の最前線	宮坂佳男	新興医学出版社	¥4,500
00008424	疾病の成り立ちと回復の促進　総論	下正宗	医学書院	¥2,600
00008425	質問紙法による<言語・コミュニケーション>障害の早期発見	川島喜代詩	有限会社川島書店	¥4,500
00008426	実用コミュニケーション能力検査－ＣＡＤＬ検査-　付録付	綿森 淑子・竹内 愛子・ 福迫 陽子／他著	医歯薬出版	¥5,631
00008427	実用神経解剖学	山鳥　崇	金原出版	¥20,600
00008428	視点と言語行動	田窪 行則／編	くろしお出版	¥3,800
00008429	児童・青年期の広汎性発達障害	栗田広 畑中邦比古	社会福祉法人 全国心身障害児福祉 財団	¥2,200
00008430	児童虐待への介入　その制度と法　増補版	吉田 恒雄／編	尚学社	¥3,000
00008431	児童虐待防止ハンドブック	David N. Jones／著	医学書院	¥3,000
00008432	児童精神科医が語る	佐々木正美	岩崎学術出版社	¥2,200
00008433	児童福祉六法　　平成１７年版	児童福祉法規研究会／監修	中央法規出版	¥5,600
00008434	柴田浩美の高齢者の口腔ケアを考える	柴田浩美	医歯薬出版	¥2,400
00008435	柴田浩美の高齢者の食事介助を考える	柴田 浩美／著	医歯薬出版	¥2,400
00008436	耳鼻咽喉科・学校保健マニュアル	社団法人日本耳鼻咽喉科学 会学校保健委員会／編	診断と治療社	¥6,500
00008437	耳鼻咽喉科学用語解説集　改訂第2版	日本耳鼻咽喉科学会／編	金原出版	¥4,000
00008438	耳鼻咽喉科疾患への免疫学的アプローチ	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,500
00008439	耳鼻咽喉科診療プラクティス	池田勝久，他	文光堂	¥13,000
00008440	耳鼻咽喉科診療プラクティス　２．聴覚の獲得	池田勝久・加我君孝/他編	文光堂	¥13,000
00008441	耳鼻咽喉科診療プラクティス　４． 頭頸部腫瘍治療におけるDiction Making	池田勝久・ 加我君孝/他編	文光堂	¥13,000
00008442	耳鼻咽喉科診療プラクティス2　聴覚の獲得	池田 勝久・加我 君孝／編	文光堂	¥13,000
00008443	耳鼻咽喉科の集中レッスン	市村恵一	金原出版	¥6,000
00008444	自分をこえていく心理学	尾崎 真奈美／編	ナカニシ出版	¥1,600
00008445	自閉児教育の再構築	阿部 秀雄／編著	学苑社	¥3,398
00008446	自閉症　その本態、診断および治療	野村東助・清水康夫	日本文化科学社	¥9,000
00008447	自閉症 成人期にむけての準備	パトリシア・ハウリン	ぶどう社	¥2,700
00008448	自閉症サポートマニュアル集-自閉症者を支援して下さる方々へ-	自閉症支援マニュアル編集 委員会／編		¥1,200
00008449	自閉症児の運動発達　神経心理学視点からの評価と支援	是枝喜代治	多賀出版	¥6,000
00008450	自閉症児のための絵で見る構造化	佐々木 正美 ／監修・指導・文	学研	¥1,900
00008451	自閉症スペクトラムの子どもの言語・象徴機能の発達	小山　正・神土陽子	ナカニシヤ出版	¥2,600
00008452	自閉症スペクトル 親と専門家のためのガイドブック	ローナ・ウィング／著	東京書籍	¥2,400

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008453	自閉症だったわたしへ	河野万里子	新潮社	¥781
00008454	自閉症とアスペルガー症候群	ウタ・フリス	東京書籍	¥4,078
00008455	自閉症とインクルージョン教育の実践	G・メジボフ＋M・ハウリー	岩崎学術出版社	¥2,800
00008456	自閉症とインクルージョン教育の実践 学校現場のＴＥＡＣＣＨプログラム	Ｇ・メジボフ,Ｍ・ハウリー／著	岩崎学術出版	¥2,800
00008457	自閉症と心の発達　心の理論を越えて	R.P.ホブソン	学苑社	¥5,200
00008458	自閉症とことばの成り立ち	小林　隆児　著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00008459	自閉症と発達障害研究の進歩　2001　Vol.5	高木隆郎	星和書店	¥7,800
00008460	自閉症と発達障害研究の進歩　2002　Vol.6	高木隆郎	星和書店	¥7,800
00008461	自閉症と発達障害研究の進歩　2003　Vol.7	高木隆郎	星和書店	¥7,800
00008462	自閉症と発達障害研究の進歩1998／Ｖｏｌ．２	高木 隆郎・ Ｍ．ラター／編	日本文化科学社	¥12,000
00008463	自閉症と発達障害研究の進歩-1999年／Vol.3	髙木 隆郎・ マイケル・タラー／編	日本文化科学社	¥8,500
00008464	自閉症入門	バロン ＝ コーエン ・ ボルトン	中央法規出版	¥1,800
00008465	自閉症のTEACCH実践	佐々木正美	岩崎学術出版社	¥3,600
00008466	自閉症の才能開発 －自閉症と天才をつなぐ環－	テンプル・グランディン	学習研究社	¥2,500
00008467	自閉症の世界へようこそ-自閉症支援マニュアル-	自閉症支援マニュアル 編集委員会／編		¥700
00008468	自閉症のトータルケア ＴＥＡＣＣＨプログラムの最前線	佐々木 正美／監修	ぶどう社	¥1,650
00008469	自閉症の人たちのらいふステージ	横浜市自閉症児・者親の会／編	ぶどう社	¥1,800
00008470	自閉症の理解　原因・診断・治療に関する最新情報	Ｇ．Ｂ．メジボブ／他著	学苑社	¥2,200
00008471	姉妹	庵原　高子／著	小沢書店	
00008472	社会言語学への招待―社会・文化・コミュニケーション―	田中春美・田中幸子	ミネルヴァ書房	¥2,500
00008473	社会性とコミュニケーションを育てる自閉症療育	Kathleen Ann Quill/編	松柏社	¥4,000
00008474	社会性と人格の発達心理学	Ｗ・デーモン	北大路書房	¥4,660
00008475	社会福祉基礎構造改革でどうなる日本の福祉	浅井春夫	日本評論社	¥2,600
00008476	社会福祉基礎シリーズ11 社会保障の制度と行財政	秋元 美世・一圓 光彌／他編	有斐閣	¥2,000
00008477	社会福祉専門職ライブラリー ［社会福祉士編］社会保障論　第５版	一圓 光彌／著	誠信書房	¥2,200
00008478	社会福祉の動向2008	社会福祉の動向編集委員会	中央法規	¥2,400
00008479	社会福祉の法律入門　第3版	佐藤進　児島美都子	有斐閣	¥1,200
00008480	社会福祉六法　平成１６年版	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規出版	¥5,200
00008481	社会保障入門	荘村多加史	中央法規	¥2,200
00008482	社会保障入門	竹本善次	講談社	¥680
00008483	社会保障入門(平成16年度版)	社会保障入門編集委員会	中央法規出版	¥2,300
00008484	社会保障入門(平成17年度版)	社会保障入門編集委員会	中央法規出版	¥2,300
00008485	社会保障の手引き　―施策の概要と基礎資料―		中央法規出版	¥2,800
00008486	写真でみる脳性まひ-30年をともに歩んで-	五味 重春／著	医歯薬出版	¥3,689
00008487	写真で読むアメリカ心理学のあゆみ	Ｊ．Ａ．ポップルストーン Ｍ．Ｗ．マクファーソン／著	新曜社	¥4,500
00008488	集団精神療法の進め方	山口　隆・石澤雄司	星和書店	¥5,850
00008489	集団のなかで育つ子どもたち	諏訪きぬ	明治図書	¥1,960
00008490	重度脳障害児の定位反射系活動に関する発達神経心理学	片桐 和雄／著	風間書房	¥20,000
00008491	終末期ケアハンドブック	アリソン　チャールズ-エドワーズ	医学書院	¥2,900
00008492	シューラーの認知療法入門	ディーン・シューラー	金剛出版	¥3,500
00008493	授業が変わる―認知心理学と教育実践が手を結ぶとき	監訳　松田文子　森敏昭	北大路書房	¥3,200
00008494	手話教室	全国手話通訳問題研究会	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,400
00008495	手話通訳者養成講座　応用課程	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,200
00008496	手話通訳者養成講座　基本課程	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,000
00008497	手話通訳者養成講座　実践課程	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,200
00008498	手話通訳者養成講座　入門	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥850
00008499	手話でいこう　ろう者の言い分 聴者のホンネ	亀井 信孝／著	ミネルヴァ書房	¥1,500
00008500	手話で歌おう	藤野 信行／著	福村出版	¥1,600
00008501	手話で歌おう PART2手あそびの世界	藤野 信行／著	福村出版	¥1,600
00008502	手話の本１名詞　　くらしの手話	井崎 哲也／監修	あすなろ書房	¥922
00008503	手話の本２名詞　　みぢかな手話	井崎 哲也／監修	あすなろ書房	¥922
00008504	手話の本３名詞　　うごきときもちの手話	井崎 哲也／監修	あすなろ書房	¥922
00008505	純粋失読　　書けるのに読めない	土本 亜理子／著	三輪書店	¥1,800
00008506	障害児医学ケア相談辞典 １　病名別・症状別にみる医学ケア	高松鶴吉・佐々木正美	学習研究社	¥6,200
00008507	障害児医学ケア相談辞典 ２　保育・教育活動の中の医学ケア	高松鶴吉・佐々木正美	学習研究社	¥6,800
00008508	障害児教育にチャレンジ9　「言葉遊び歌」が発語を促す 障害児の言葉をひらく教材開発	堀田 喜久男／著	明治図書	¥1,806
00008509	障害児早期療育ハンドブック	船越知行	学苑社	¥2,500
00008510	障害児と親・教師のかかわり方	井原 栄二／編著	明治図書	¥1,700
00008511	障害者　高齢者のためのバリアフリーガーデニング	ジーン・ロサート	エンパワメント研究所	¥2,000
00008512	障害者・高齢者のレクリエーション活動 ―セラピューティック・レクリエーションプログラムのつくり方・基本と応用―	キャロル Ａ．ピーターソン・ スカウト　Ｌ．ガン	学苑社	¥2,524
00008513	障害者が恋愛と性を語り始めた	障害者の性と生の研究会	かもがわ出版	¥2,136
00008514	障害者の暮らしとコミュニケーション1 コミュニケーション障害とその援助	井原　栄二／他編	明治図書	¥1,650
00008515	障害者の暮らしとコミュニケーション2 学校での暮らしとコミュニケーション	井原　栄二／他編	明治図書	¥1,709
00008516	障害者の暮らしとコミュニケーション3 社会での暮らしとコミュニケーション	井原　栄二／他編	明治図書	¥1,806

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008517	障害者の暮らしとコミュニケーション5 看護する者・される者とコミュニケーション	井原　栄二／他編	明治図書	¥2,000
00008518	障害者旅行ハンドブック	草薙威一郎	学苑社	¥2,000
00008519	障害児理解の方法　臨床観察と検査法	坂本 龍生・田川 元康 ／他編著	学苑社	¥3,700
00008520	障害児臨床と発達研究	村井 潤一／編著	コレール社	¥3,399
00008521	生涯人間発達学	上田礼子	三輪書店	¥3,786
00008522	生涯発達　生活心理学的アプローチ	村田 孝次／著	培風館	¥1,800
00008523	生涯発達心理学入門	村田 孝次／著	培風館	¥1,400
00008524	生涯発達心理学のすすめ	子安 増生／著	有斐閣	¥1,600
00008525	生涯発達心理学のすすめ　生から死へ　この尊きライフ・サイクル	守屋 光雄／著	黎明書房	¥2,330
00008526	生涯発達の心理学　家族・社会	東　洋、他	新曜社	¥3,914
00008527	生涯発達の心理学　気質・自己・パーソナリティ	東　洋、他	新陽社	¥3,090
00008528	生涯発達の心理学　認知・知能・知恵	東　洋、他	新曜社	¥3,605
00008529	生涯発達の道	守屋光雄	近代文藝社	¥1,500
00008530	障害を知る本⑨　知的なおくれのある子どもたち	茂木俊彦	大月書店	¥1,800
00008531	障害児者の摂食・嚥下・呼吸リハビリテーション その基礎と実践	金子芳洋	医歯薬出版	¥5,800
00008532	小学生の読み書きスクリーニング検査 発達性読み書き障害（発達性dyslexia）検出のために－	宇野 彰・春原 則子／著	インテルナ出版	¥1,800
00008533	症候から診断へ第4集　日本医師会雑誌第125巻第8号	日本医師会学術企画委員会	日本医師会	
00008534	小児のメディカル・ケア・シリーズ LD-学習障害-治療教育的アプローチ	森永　良子・ 上村　菊朗　著	医歯薬出版	¥1,800
00008535	情緒・言語・学習に障害を持つ子の指導	信濃教育会	文教書院	¥1,700
00008536	情緒がつむぐ発達	須田　治	新曜社	¥2,400
00008537	衝動型－熟慮型認知スタイルの走査方略に関する研究	山崎晃	北大路書房	¥16,019
00008538	小児耳鼻咽喉科・頭頸部外科マニュアル	森山寛	メジカルビュー	¥8,000
00008539	小児人口内耳	本庄 巖／編著	金原出版	¥4,300
00008540	小児心身症とその関連疾患	吾郷晋浩・生野照子・ 赤坂徹	医学書院	¥10,000
00008541	小児の口腔軟部組織疾患診断アトラス	甘利英一，武田泰典	医学情報社	¥12,360
00008542	小児の高次脳機能障害	栗原まな	診断と治療社	¥4,800
00008543	小児の高次脳機能障害	栗原まな	診断と治療社	¥4,800
00008544	小児のメディカルケアシリーズ３２　うつ病―児童期・青年期を中心に	中根允文	医歯薬出版	¥1,408
00008545	情報処理の心理学	多鹿秀継他	サイエンス社	¥2,300
00008546	情報整理の技術　個人用データバンクの作り方	遠藤 昭／著	実業之日本社	¥680
00008547	小児の摂食・嚥下リハビリテーション	田角　勝・向井　美惠/編	医歯薬出版	¥4,000
00008548	ジョークとレトリックの語用論	小泉　保	大修館書店	¥1,900
00008549	職業リハビリテーション学　改定第2版 キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系	松為信雄・菊池恵美子	協同医書出版社	¥4,000
00008550	食道発声法 －喉摘者のリハビリテーション－	佐藤武男	金原出版	¥2,718
00008551	食道発声法―喉摘者のリハビリテーション―	佐藤武男	金原出版	¥2,718
00008552	女性のセルフフィットネス	中村延江	誠信書房	¥2,100
00008553	女性の不安　ウーマン・パワーとしての不安エネルギー活用法	斎藤　学	誠信書房	¥2,884
00008554	初歩の心理教育統計法	住田 幸次郎／著	ナカニシ出版	¥2,200
00008555	初歩の心理教育統計法	住田 幸次郎／著	ナカニシ出版	¥2,200
00008556	知られざる高次脳機能障害	松崎有子	せせらぎ出版	¥1,429
00008557	シリーズ ことばの障害　第1巻 言語障害と言語理論	今井　邦彦/編	大修館書店	¥2,500
00008558	シリーズ２１世紀の社会福祉　新版社会保障論	川村匡由	ミネルヴァ書房	¥2,400
00008559	シリーズ教室で行う特別支援教育2 応用行動分析で特別支援教育が変わる 子どもへの指導方略を見つける方程式	山本 淳一・ 池田 聡子／著	図書文化社	¥2,400
00008560	シリーズ言語臨床事例集 第2巻 言語発達遅滞(1)	飯高京子 畦上恭彦 大伴潔/編	学苑社	¥4,200
00008561	シリーズ言語臨床事例集第10巻 地域生活を支える言語聴覚士の取り組み	中川 信子／編	学苑社	¥3,200
00008562	シリーズ言語臨床事例集第1巻　口蓋裂	岡崎恵子・福田登美子 /他編	学苑社	¥4,200
00008563	シリーズ言語臨床事例集第2巻　言語発達遅滞（１）	飯高京子・畦上恭彦/他編	学苑社	¥4,200
00008564	シリーズ言語臨床事例集第3巻　言語発達遅滞（２）	飯高 京子／他編	学苑社	¥4,200
00008565	シリーズ言語臨床事例集第3巻　言語発達遅滞（２）	飯高京子・畦上恭彦/他編	学苑社	¥4,200
00008566	シリーズ言語臨床事例集第４巻　失語症	竹内 愛子／編	学苑社	¥4,200
00008567	シリーズ言語臨床事例集第4巻　失語症	竹内愛子・藤林眞理子 /他編	学苑社	¥4,200
00008568	シリーズ言語臨床事例集第9巻　吃音	盛由紀子・小澤恵美	学苑社	¥3,000
00008569	シリーズ人間の発達1　子どもの文章　書くこと考えること	内田　伸子	東京大学出版会	¥2,600
00008570	シリーズ認知言語学入門＜第1巻＞認知言語学への招待	辻幸夫	大修館書店	¥2,300
00008571	シリーズ認知言語学入門＜第2巻＞認知音韻・形態論	吉村公宏	大修館書店	¥2,400
00008572	シリーズ認知言語学入門＜第3巻＞認知意味論	松本曜	大修館書店	¥2,400
00008573	シリーズ認知言語学入門＜第5巻＞認知文法論Ⅱ	中村芳久	大修館書店	¥2,300
00008574	シリーズ認知言語学入門＜第6巻＞認知コミュニケーション論	大堀嘉夫	大修館書店	¥2,400
00008575	シリーズ脳の科学　脳のホルモンと記憶	伊藤 眞次／著	朝倉書店	¥5,200
00008576	シリーズ臨床発達心理学②　認知発達とその支援	田島信元・子安増生/他編	ミネルヴァ書房	¥2,800
00008577	シリーズ脳の科学　脳とコミュニケーション	岩田 誠／著	朝倉書店	¥4,500
00008578	シリーズ脳の科学　脳と性	下河内 稔／著	朝倉書店	¥4,300
00008579	自律神経機能検査　第2版	日本自律神経学会編	文光堂	¥12,360
00008580	自律神経失調症　ストレスを上手にコントロールする	井出雅弘	高橋書店	¥1,200
00008581	自律神経失調症　乱れた身体のリズムを治す	松崎博光	新星出版社	¥1,260
00008582	自律神経失調法の生活法	難波経彦	主婦と生活社	¥1,400
00008583	自律神経障害と疾患―基礎と臨床からのアプローチ―	安藤正幸	診療新社	¥7,748
00008584	自立と共生を語る	大江健三郎、他	三輪書店	¥1,600
00008585	自立と共生を語る	大江健三郎、他	三輪書店	¥1,600
00008586	事例でわかる摂食・嚥下リハビリテーション 現場力を高めるヒント	出江紳一・近藤健男・ 瀬田拓	中央法規出版	¥2,400
00008587	事例に学ぶ心理療法	河合隼雄	日本評論社	¥2,800
00008588	事例発達臨床心理学事典	高野 清純／監修	福村出版	¥4,700
00008589	新　ことばの科学入門	廣瀬肇	医学書院	¥6,200
00008590	新　ことばの科学入門	廣瀬肇	医学書院	¥6,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008591	新　生理心理学＜１＞ 生理心理学の基礎	宮田洋	北大路書房	¥3,500
00008592	新　生理心理学＜２＞ 生理心理学の応用分野	宮田洋	北大路書房	¥3,500
00008593	新 臨床耳鼻咽喉科学	加我君孝，市村恵一， 新美成二	中外医学社	¥23,000
00008594	新・吃音者宣言	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00008595	新・言語指導の遊びと教具	柚木馥	学習研究社	¥1,800
00008596	新・食事療法シリーズ12 脳卒中の食事療法	織田敏次	同文書院	¥1,457
00008597	新・平家物語 1	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008598	新・平家物語 10	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008599	新・平家物語 11	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008600	新・平家物語 12	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008601	新・平家物語 2	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008602	新・平家物語 3	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008603	新・平家物語 4	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008604	新・平家物語 5	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008605	新・平家物語 6	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008606	新・平家物語 7	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008607	新・平家物語 8	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008608	新・平家物語 9	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008609	人格障害の認知療法	アーロン・T・ベック、 アーサー・フリーマン	岩崎学術出版	¥5,500
00008610	新学校用語辞典	牧昌見	ぎょうせい	¥7,400
00008611	新グローバル英和辞典　第２版	木原 研三／編	三省堂	¥3,100
00008612	神経解剖学	新見　嘉兵衛	朝倉書店	¥6,800
00008613	神経科学　―コミュニケーション障害理解のために―	SubhashC.Bhatnagar・ OrlandoJ.Andy	医歯薬出版	¥6,600
00008614	神経系のＭＲＩ診断	香川瑞夫	中外医学者	¥9,800
00008615	神経疾患によるコミュニケーション障害入門	Robert H.Brookshire／著	協同医書出版社	¥5,600
00008616	神経疾患によるコミュニケーション障害入門	Robert H.Brookshire	協同医書出版社	¥5,600
00008617	神経疾患によるコミュニケーション障害入門	Robert H.Brookshire	協同医書出版社	¥5,600
00008618	神経疾患のＣＴ（改訂第２版）	高橋睦正	南江堂	¥27,000
00008619	神経疾患のMRI	高橋睦正	南江堂	¥35,000
00008620	神経疾患の呼吸異常	安間文彦	医薬ジャーナル社	¥6,500
00008621	神経疾患のプライマリーケア　一般臨床医のための診療ガイド	近藤喜代太郎・鴨下重彦	診断と治療社	¥6,311
00008622	神経疾患のリハビリテーション	平井俊策・江藤文夫	南山堂	¥6,000
00008623	神経症候学を学ぶ人のために	岩田　誠	医学書院	¥9,700
00008624	神経症者とつきあうには 家庭・学校・職場における論理療養	アルバート・エリス／著	川島書店	¥1,700
00008625	神経心理学コレクション　Homo faber　道具を使うサル	入來篤史	医学書院	¥3,000
00008626	神経心理学コレクション　神経心理学の挑戦	山鳥　重・河村　満	医学書院	¥3,000
00008627	神経心理学コレクション　痴呆の症候学　CD-ROM付	田邉敬貴	医学書院	¥4,300
00008628	神経心理学コレクション　痴呆の臨床　CDR判定用ワークシート解説	目黒謙一	医学書院	¥2,800
00008629	神経心理学的視点からのＬＤ（学習障害）	Ｂｙｒｏｎ　Ｐ．Ｒｏｕｒｋｅ／著	文教資料協会	¥3,790
00008630	神経心理学と精神医学	日本生物学的精神医学会編	学会出版センター	¥4,466
00008631	神経心理学入門	山鳥 重／著	医学書院	¥6,400
00008632	神経心理学入門	山鳥 重／著	医学書院	¥6,400
00008633	神経心理学入門	山鳥　重　著	医学書院	¥6,400
00008634	神経心理学入門	山鳥　重	医学書院	¥6,400
00008635	神経心理学入門	山鳥　重	医学書院	¥6,400
00008636	神経心理学評価ハンドブック	田川皓一	西村書店	¥8,500
00008637	神経心理学を学ぶ人のための基礎神経学　第3版	Russell J.LOVE	西村書店	¥5,500
00008638	神経伝達物質update―基礎から臨床まで　第３版	中村　重信	中外医学社	¥9,600
00008639	神経内科学書	豊倉康夫　編	朝倉書店	¥42,000
00008640	神経の再生と機能再建　基礎と臨床	志水 義房／他編	西村書店	¥17,000
00008641	人権の絵本①　じぶんを大切に	岩川 直樹／文	大月書店	¥1,800
00008642	人権の絵本⑤　タイムトラベル人権号	満川 尚美／文	大月書店	¥1,800
00008643	人権の絵本⑥　学びの手引き	岩辺 泰吏／文	大月書店	¥1,800
00008644	人工内耳装用児の言語トレーニング	船坂宗太郎	学苑社	¥2,000
00008645	人工内耳装用者と難聴児の学習	城間将江	学苑社	¥2,500
00008646	人口内耳のはなし	ジューン・エプスタイン	学苑社	¥1,456
00008647	人工内耳のはなし	ジェーン・エプスタイン	学苑社	¥1,456
00008648	人工内耳のリハビリテーション 世界の先進的取り組み	Dianne J.Allum/編	協同医書出版社	¥5,000
00008649	人工内耳のリハビリテーション 世界の先進的取り組み	DIANNE J.ALLUM／編著	協同医書出版社	¥5,000
00008650	新視覚新論	大森 荘蔵	東京大学出版会	¥5,000
00008651	新自己理解のための心理学　性格心理学入門	西川 隆蔵・善明 宣夫 ／ほか著	福村出版	¥2,200
00008652	真実を伝える　コミュニケーション技術と精神的援助の指針	ロバート・バックマン	診断と治療社	¥2,500
00008653	新耳鼻咽喉科学	切替一郎，野村恭也	南山堂	¥16,000
00008654	真珠腫の治療　その問題点と対策	柳原 尚明・比野平 恭之 ／著	金原出版	¥6,200
00008655	新書太閤記　第三巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008656	新書太閤記　第五巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008657	新書太閤記　第六巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008658	新書太閤記　第一巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008659	新書太閤記　第九巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008660	新書太閤記　第十巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008661	新書太閤記　第十一巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008662	新書太閤記　第十二巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008663	新書太閤記　第七巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008664	新書太閤記　第二巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008665	新書太閤記　第八巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008666	新書太閤記　第四巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008667	新心理学ライブラリ＝1 心理学への招待－こころの科学を知る－	梅本堯夫 大山正	サイエンス社	¥1,942

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008668	新心理学ライブラリ＝2 幼児心理学への招待 －子どもの世界づくり－	内田伸子	サイエンス社	¥2,200
00008669	新心理学ライブラリ＝3 児童心理学への招待 －学童期の発達と生活－	森平勇三	サイエンス社	¥1,800
00008670	新心理学ライブラリー5　発達心理学への招待	矢野 喜夫・落合 正行 ／共著	サイエンス社	¥2,900
00008671	新図解 耳鼻咽喉科検査法	小林武夫	金原出版	¥7,500
00008672	新図解 耳鼻咽喉科検査法	小林武夫	金原出版	¥7,500
00008673	人生以降の発達心理学	山本多喜司	北大路書房	¥5,340
00008674	新生児・幼児・小児の難聴	池田勝尚・加我君孝・ 岸本誠司・久保武他	文光堂	¥13,000
00008675	新生児聴覚スクリーニング	加我君孝	金原出版	¥4,800
00008676	新生児の神経発達	内藤壽七郎	日本小児医事 出版社	¥2,136
00008677	新生理学	小幡　邦彦　他	文光堂	¥5,500
00008678	新体系　看護学全書　健康支援と社会保障制度①　現代医療論　第3版	小坂　樹徳/ 田村　京子　編著	メヂカルフレンド社	¥2,730
00008679	人体系統解剖学	吉川文雄	南山堂	¥14,078
00008680	人体生理学	黒島　晨汎/浦野　哲盟/ 柏柳　誠　他共著	朝倉書院	¥3,800
00008681	人体の構造と機能	佐藤昭夫	医歯薬出版	¥2,800
00008682	人体の構造と機能	エレイン N. マリーブ	医学書院	¥4,800
00008683	人体の構造と機能　第2版	佐藤昭夫・佐伯由香	医歯薬出版	¥2,800
00008684	新訂　血液型と性格	大村政男	福村出版	¥2,200
00008685	新訂 言語治療用ハンドブック	田口 恒夫／編	日本文化科学社	¥3,000
00008686	心と発達	岸本弘	学文社	¥3,800
00008687	新乳幼児心理学	中央幼児教育研究会	学芸図書株式会社	¥2,000
00008688	新版　音声学入門	M. シュービゲル／著	大修館書店	¥1,500
00008689	新版 社会福祉士養成講座3 障害者福祉論　　第２版	福祉士養成講座編集委員会 ／編	中央法規出版	¥2,500
00008690	新版　小児のことばの障害	加我 牧子／編著	医歯薬出版	¥2,000
00008691	新版　小児のことばの障害	加我 牧子／編著	医歯薬出版	¥2,000
00008692	新版　すこやかシルバー介護３　楽しい食事の工夫	ＮＨＫ福祉番組取材班／編	旬報社	¥1,800
00008693	新版 聴覚と音声	三浦 種敏／監修	電子情報通信学会	¥5,825
00008694	新版 聴覚と音声	三浦 種敏／監修	電子情報通信学会	¥5,825
00008695	新版　脳卒中の生活ガイド	前田 真治／著	医歯薬出版	¥1,800
00008696	新版　発声の技巧とその活用法	酒井弘	音楽之友社	¥2,400
00008697	新版　発達心理学への招待　人間発達をひも解く30の扉	柏木 恵子・ 古澤 頼雄／他著	ミネルヴァ書房	¥2,500
00008698	新版　病気の地図帳	山口和克　監修	講談社	¥4,000
00008699	新版 老年心理学	井上 勝也・木村 周／編	朝倉書店	¥3,900
00008700	新版Ｋ式発達検査反応実例集	中瀬 惇・西尾 博／編著	ナカニシ出版	¥2,500
00008701	新版看護学全書　別巻9　医学概論	小坂樹徳	メヂカル フレンド社	¥2,400
00008702	新版看護学全書　別巻9　医学概論	小坂樹徳	メヂカル フレンド社	¥2,400
00008703	新版看護学全書　別巻9　医学概論　第2版	小坂　樹徳　著	メヂカル フレンド社	¥2,400
00008704	新版口から食べる嚥下障害　Ｑ＆Ａ	藤島 一郎／著	中央法規	¥2,500
00008705	シンプル衛生公衆衛生学2002	鈴木庄亮、久道茂	南江堂	¥2,400
00008706	シンプル生理学　改訂第4版	貴邑　冨久子/ 根來　英雄　共著	南江堂	¥2,900
00008707	シンプル生理学（改訂第5版）	貴邑　冨久子・ 根来　英雄　著	南江堂	¥2,900
00008708	シンプル病理学　　改訂第６版	笹野 公伸・岡田 保典・ 安井 弥／編	南江堂	¥2,900
00008709	シンプル病理学　第3版	綿貫勤・若狭治毅・他	南江堂	¥2,900
00008710	シンプル病理学　第3版	綿貫勤・若狭治毅・他	南江堂	¥2,900
00008711	シンプル病理学　改訂第3版	綿貫　勤/若狭　治毅/ 並木　恒夫　他　編集	南江堂	¥2,900
00008712	シンプル病理学　改訂第3版	綿貫　勤/若狭　治毅/ 並木　恒夫　他　編集	南江堂	¥2,900
00008713	新聞記者で死にたい	牧太郎	中公新書	¥720
00008714	新編 感覚・知覚・心理学ハンドブック	大山 正・今井 省吾・ 和気 典二／編	誠信書房	¥50,000
00008715	新編　声の検査法	日本音声言語医学会	医歯薬出版	¥6,800
00008716	新編　脳卒中の生活ガイド	前田 真治／著	医歯薬出版	¥1,800
00008717	新約聖書			
00008718	新約聖書			
00008719	心理音響学	山田由紀子	西村書店	¥4,500
00008720	心理学　　第２版	鹿取 廣人・杉本 敏夫／編	東京大学出版会	¥2,400
00008721	心理学の基礎　三訂版	今田 寛・宮田 洋／共編	培風館	¥1,700
00008722	心理学の基礎知識	東 洋　／他編	有斐閣	¥3,600
00008723	心理学のための実験マニュアル― 入門から基礎・発展へ―	利島 保・生和 秀敏／編著	北大路書房	¥3,689
00008724	心理学のためのデータ解析テクニカルバック	森 敏昭・吉田 寿夫／編著	北大路書房	¥3,592
00008725	心理学のためのデータ解析テクニカルブック	森敏昭・吉田寿夫	北大路書房	¥3,592
00008726	心理学のためのデータ分析テクニカルブック	森敏昭　吉田寿夫	北大路書房	¥3,592
00008727	心理学マニュアル 観察法	中澤 潤・大野木 裕明 ／編著	北大路書房	¥1,300
00008728	心理学マニュアル 質問紙法	鎌原 雅彦・宮下 一博 ／編著	北大路書房	¥1,500
00008729	心理学マニュアル 質問紙法	鎌原 雅彦・宮下 一博 ／他編著	北大路書房	¥1,500
00008730	心理検査学　増補新版　臨床心理査定の基本	岡堂 哲雄／編	垣内出版	¥11,330
00008731	心理検査の実際	澤田 丞司／著	新興医学出版	¥3,700
00008732	心理検査の実際	澤田 丞司／著	新興医学出版	¥3,700
00008733	心理職・福祉職をめざすひとへ	森野 礼一・北村 圭三 ／編著	ナカニシ出版	¥3,200
00008734	心理テスト法入門　第４版	松原達哉	日本文化科学社	¥4,500
00008735	心理面接のすすめ方　精神力動的心理療法入門	西村良二	ナカニシヤ出版	¥2,000
00008736	診療点数早見表[2008年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008737	診療点数早見表[平成16年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500
00008738	診療点数早見表[平成16年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500
00008739	診療点数早見表[平成16年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500
00008740	心理療法家の自己開示と傷つき　心理療法における相互的プロセス	J.M.シュピーゲルマン	山王出版	¥3,883
00008741	心理療法における言葉と身体	李　敏子	ミネルヴァ書房	¥2,800
00008742	心理療法の実際	河合隼雄	誠信書房	¥3,200
00008743	心理療法の臨床と科学	鈴木　龍	誠信書房	¥3,900
00008744	心理療法を学ぶ　改訂版	霜山徳爾	有斐閣	¥2,200
00008745	心理臨床大事典	氏原 寛・小川 捷之・ 東山 紘久／他編	培風館	¥28,155
00008746	心理臨床入門Ⅱ　臨床発達心理学の基礎	小川 捷之／編	山王出版	¥3,500
00008747	心理臨床プラクティス　第２巻　教育心理臨床	乾　吉佑/飯長　喜一郎/ 篠木　満	星和書店	¥4,800
00008748	心理臨床プラクティス第１巻　開業心理臨床	乾 吉佑・飯長 喜一郎 ／他編	星和書店	¥4,660
00008749	新臨床耳鼻咽喉科学4巻 喉頭・気管・気管支・食堂・音声言語	加我 君孝・市村 恵一 ／他編著	中外医学社	¥23,000
00008750	新臨床耳鼻咽喉科学5巻 基本手術主義	加我 君孝・市村 恵一 ／他編著	中外医学社	¥20,000
00008751	新編　言語治療マニュアル	伊藤 元信	医歯薬出版	¥6,400
00008752	図解　四肢と脊椎の診かた	野島元雄	医歯薬出版	¥5,200
00008753	図解　四肢と脊椎の診かた	野島元雄	医歯薬出版	¥5,200
00008754	図解高血圧・動脈硬化の安心読本 脳卒中の予防と治療	水上 公宏／著	主婦と生活社	¥1,400
00008755	スキナーの心理学　応用行動分析学（ABA)の誕生	ウイリアム・T・オドノヒュー カイル・E/ファーガソン	二瓶社	¥2,300
00008756	スキルの認知心理学	神宮英夫	川島書店	¥1,800
00008757	すぐに使える！実践リハビリマスターガイド 臨床で役立つ基本知識から評価・訓練まで	上月正博・ 長谷川敬一	中外医学社	¥4,200
00008758	すぐに役立つ画像診断の基本（シリーズ一覧） Ⅰ中枢神経・頭頸部	鳥塚莞爾	医薬ジャーナル社	¥4,600
00008759	スクリプトによるコミュニケーション指導 障害児との豊かなかかわりづくりをめざして	長崎 勤・佐竹 真次 ／他編著	川島書店	¥2,300
00008760	スクリプトによる社会的スキル発達支援	長崎勤　他	川島書店	¥2,800
00008761	すぐわかる統計解析	石村 貞夫／著	東京出版	¥2,000
00008762	図説 神経耳科・頭蓋底手術	神崎 仁／編	メジカルビュー社	¥20,000
00008763	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 1　補聴器の選択と評価	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,000
00008764	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 1　補聴器の選択と評価	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,000
00008765	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 3 聴覚情報処理とその異常	神崎　仁/編	メジカルビュー社	¥9,500
00008766	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 3　聴覚情報処理とその異常	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,000
00008767	図説耳鼻咽喉科Ｎｅｗ　Ａｐｐｒｏａｃｈ2 遺伝子異常と耳疾患	喜多村 健／編	メジカルビュー社	¥9,000
00008768	図説乳幼児発達心理学	川上清文	同文書院	¥1,950
00008769	ずっと「普通」になりたかった。	グニラ・ガーランド	花風社	¥1,700
00008770	すてきなすてきな世界のため　ハートソング２	マティ・ステパネク	PHP研究所	¥1,150
00008771	ステッドマン医学大辞典	中尾　俊治	メジカルビュー	¥14,000
00008772	ステップ方式で学ぶ摂食・嚥下リハビリテーション	リハビリテーション加賀八 幡温泉病院／編著	日総研出版	¥2,800
00008773	ストループ効果	嶋田博行	培風館	¥2,200
00008774	スピーチの言語心理学モデル	田中　敏	風間書房	¥10,000
00008775	性格心理学ハンドブック	詫摩 武俊／監修	福村出版	¥18,000
00008776	生活環境論　第5版	木村 哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00008777	生活期リハ・訪問期リハで役立つフィジカルアセスメントリスク 管理ハンドブック	阿部勉・大越満/他編	合同会社gene	¥2,800
00008778	生活者としての人間発達	金田　利子/岡野　雅子/ 室田　洋子	家政教育社	¥2,300
00008779	生活を支える高次脳機能リハビリテーション	橋本圭司	三輪書店	¥1,800
00008780	精神・心理症状学ハンドブック　第２版	北村 俊則／著	日本評論社	¥2,850
00008781	精神医学・心理学的対応リハビリテーション	先崎 章／著	医歯薬出版	¥4,400
00008782	精神医学選書②　幼児自閉症の研究	十亀史郎・斉藤聡明	黎明書房	¥7,500
00008783	精神医学テキスト	上島 国利・立山 萬里／編	南江堂	¥4,200
00008784	成人期における自我同一性の発達過程とその要因に関する研究	岡本祐子	風間書房	¥17,000
00008785	精神機能評価　増補版	土肥信之・岩谷力/他編	医歯薬出版	¥9,800
00008786	精神心理的アプローチによるリハビリテーション医学	水島繁美・土肥信之	医歯薬出版	¥4,400
00008787	精神遅滞児の心理学	小宮 三弥・山内 光哉 ／編著	川島書店	¥3,301
00008788	精神分析的カウンセリング　精神分析とカウンセリング	中西信男・葛西真記子・他	ナカニシヤ出版	¥2,500
00008789	精神療法	立石　正信	金剛出版	¥1,800
00008790	精神療法		金剛出版	¥1,800
00008791	精神療法		金剛出版	¥1,800
00008792	成人臨床看護⑬歯・口腔外科疾患患者の看護	小西照美	廣川書店	¥1,700
00008793	生と死のケア	日野原重明・山本俊一	医学書院	¥3,000
00008794	性の心理　セクシュアリティと人格の発達	中野 明徳／著	学校図書	¥600
00008795	生命倫理の成立	香川知晶	勁草書房	¥2,800
00008796	生理学テキスト　第3版	大地　陸男　著	東京　文光堂	¥4,800
00008797	世界文学全集20　バール・バック	大久保康雄	河出書房新社	¥680
00008798	世界文学全集21　　風と共に去りぬ　1	ミッチェル／著	河出書房	¥580
00008799	世界文学全集22　ミッチェル	大久保康雄、竹内道之助	河出書房新社	¥580
00008800	世界文学全集23　ヘミングウェイ	大久保康雄	河出書房新社	¥480
00008801	脊髄損傷―日常生活における自己管理のすすめ	徳弘昭博	医学書院	¥3,000
00008802	脊髄損傷者のための性と出産のガイドブック	（財）労災年金福祉協会	三輪書店	¥1,942
00008803	セクシャルカウンセリング ―人間的な性の悩みに応えるために―	Ｅ．ケネディ／著	北大路書房	¥2,427
00008804	摂食・嚥下機能評価マニュアル －医療面接から訓練計画立案までー	Jpseph Murray／著	医歯薬出版	¥3,200
00008805	摂食・嚥下障害の患者さんとその家族のために　第2版	西尾正輝	インテルナ出版	¥1,000
00008806	摂食・嚥下メカニズムUPDATE 構造・機能からみる新たな臨床への展開	訳者　金子芳洋	医歯薬出版	¥5,400
00008807	摂食・嚥下リハビリテーション	金子 芳洋／監修	医歯薬出版	¥6,200
00008808	摂食機能療法マニュアル	道健一・黒澤崇四/他編	医歯薬出版	¥4,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008809	摂食スキルの発達と障害　原著第2版 －子どもの全体像から考える包括的支援	金子芳洋	医歯薬出版	¥10,000
00008810	セミナー　わかる!摂食・嚥下リハビリテーション3巻 栄養管理と障害へのアプローチ	植松宏	医歯薬出版	¥3,200
00008811	ゼムリン　言語聴覚学の解剖生理	Willard R. Zemlin	医歯薬出版	¥9,400
00008812	ゼムリン　言語聴覚学の解剖生理　原著第4版	willard R.Zemlim 著 館村　卓　監訳	医歯薬出版	¥9,400
00008813	セラピスト教育のためのクリニカル・クラークシップのすすめ	中川法一	三輪書店	¥3,400
00008814	セルフ・カウンセリング　ひとりでできる自己発見法	渡辺 康麿／著	ミネルヴァ書房	¥1,800
00008815	潜在性肝性脳症　診断と治療	渡邊 明治／著	メディカル レビュー社	¥3,689
00008816	全体構造法でとり組む失語症の在宅リハビリ	道関京子	医歯薬出版	¥1,800
00008817	先天性奇形症候群 イラストとパソコンによる診断の手引き[FD付]	木田盈四郎・杉山幸八郎/他編	医学書院	¥24,000
00008818	前頭葉機能不全その先の戦略 Ｒｕｓｋ通院プログラムと神経心理ピラミッド	立神 粧子／著	医学書院	¥4,500
00008819	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集	ウイネット	ウイネット	¥1,200
00008820	専門職のためのてんかん援助マニュアル１	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008821	専門職のためのてんかん援助マニュアル２	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008822	専門職のためのてんかん援助マニュアル３	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008823	専門職のためのてんかん援助マニュアル４	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008824	総合学習に役立つボランティア① ボランティア入門	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00008825	総合学習に役立つボランティア5 クラスでできるボランティア	こどもくらぶ／編著	偕成社	¥2,500
00008826	総合学習に役立つボランティア6 学校でできるボランティア	こどもくらぶ／編著	偕成社	¥2,500
00008827	総合学習に役立つボランティア7 ボランティア情報館	こどもくらぶ／編著	偕成社	¥2,500
00008828	増補　精神発達と精神病理　増補版4版	北田　穣之介/馬場　謙一 /下坂　幸三　編	金剛出版	¥4,800
00008829	増補　知的障害者の自己決定権	平田 厚／著	エンパワメント 研究所	¥1,700
00008830	ソーシャル・ワークを考える 社会福祉の方法と実践	高橋 重宏・宮崎 俊策・ 定藤 丈弘／編	川島書店	¥2,000
00008831	ソーシャルロールバロリゼーション入門	W.ウルフェンスバーガー	学苑社	¥1,400
00008832	育て　はぐくむ　かかわる ～障害発達心理学の支店から発達行動を探る～	倉戸　ツギオ	北大路書房	¥2,800
00008833	尊厳ある痴呆　Dementia With Dignity 痴呆性老人のふれあい介護マニュアル	ミセス・バーバラ	医歯薬出版	¥2,720
00008834	ターミナルケア医学	日野原重明	医学書院	¥2,000
00008835	第2回日本言語聴覚士協会総会・学術集会　抄録集	藤田郁代	日本言語聴覚士 協会	頒価不明
00008836	第37回-41回　理学療法士 作業療法士　国家試験問題 解答と解説　(CD-ROM付)	医歯薬出版　編	医歯薬出版	¥6,000
00008837	大学生のための日本語表現トレーニング　スキルアップ編	橋本修・安部朋世/他編	三省堂	¥1,900
00008838	胎児は学ぶ	W・フォン・ラフラー ＝エンゲル	大修館書店	¥1,442
00008839	対人関係の基礎知識 カウンセリングとグループダイナミクスの活用	平野 馨／著	日本看護協会 出版会	¥1,748
00008840	対人行動学研究シリーズ8 社会的認知	山本眞理子・外山みどり	誠信書房	¥2,200
00008841	対人社会心理学重要研究集5　対人知覚と社会的認知の心理	齊藤　勇	誠信書房	¥2,500
00008842	対人スキルズ・トレーニング　対人関係の技能促進修練ガイドブック	福井康之	ナカニシヤ出版	¥1,800
00008843	対人認知の心的機構－ポスト認知モデルへの提言－	池上知子	風間書房	¥9,500
00008844	ダイナミック・メモリ	ロジャー・Ｃ・シャンク	近代科学社	¥3,400
00008845	ダイナミック神経診断学	柴崎　浩・田川皓一	西村書店	¥16,000
00008846	タイプＡ性格の形成に関する発達心理学的研究	山崎勝之	風間書房	¥13,000
00008847	対話で学ぶ認知心理学	塩見邦雄	ナカニシヤ出版	¥2,000
00008848	ダウン症候群と療育の発展-理解の向上のために	Valentine Dmitriev ／他編著	協同医書出版社	¥3,800
00008849	ダウン症児の家庭教育	丹波 淑子／編著	学苑社	¥2,039
00008850	ダウン症児の心理と指導	水田 善次郎／編著	学苑社	¥2,524
00008851	多角的に診る　発達障害	冨田　和巳　　加藤　敬	診断と治療社	¥4,200
00008852	多職種のための口腔ケア―期待される介護―	阪口英夫　足立三枝子 鈴木俊夫	財団法人 口腔保健協会	¥2,800
00008853	達成動機の心理学的考察	堀野緑	風間書房	¥8,500
00008854	タッチ（神経心理学コレクション）	岩村 吉晃	医学書院	¥3,500
00008855	愉しく食べる		協同医書出版社	¥1,800
00008856	食べすぎてしまう女たち　愛の依存症	ジェニーン・ロス	講談社	¥1,553
00008857	食べる機能の障害 ―その考え方とリハビリテーション―	金子芳洋	医歯薬出版	¥3,400
00008858	多変量解析入門	長田理	オーエムエス出版	¥3,500
00008859	だれでもできる発音・発語指導	柳生 浩	湘南出版社	¥2,427
00008860	地域で働くことを支える	飯田進	ぶどう社	¥1,650
00008861	地域に根ざした作業療法	山田孝	協同医書出版社	¥5,500
00008862	地域リハビリテーション	山口　昇	医学書院	¥3,200
00008863	地域リハビリテーション言論 Ｖｅｒ．４	大田 仁史／著	医歯薬出版	¥1,600
00008864	地域リハビリテーションマニュアル　第2版	伊藤利之・白野明	三輪書店	¥4,200
00008865	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00008866	地域リハビリテーション論　Ver.4	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00008867	小さいことにくよくよするな！	リチャード・カールソン ／著	サンマーク出版	¥1,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008868	小さな魔術師	Ｓ．Ｈ．フレイバーグ	金子書房	¥3,500
00008869	チームアプローチによる総合的リハビリテーション	三輪敏	三輪書店	¥8,000
00008870	知恵おくれと自閉 増補改訂版 現代心理学と発達保障理論の批判	柴崎 律／著	社会評論社	¥2,000
00008871	知覚心理学	相場覚他	大蔵省印刷局	¥2,400
00008872	知覚と認知の心理学4 知覚の機序	鳥居 修晃・立花 政夫 ／共著	培風館	¥3,200
00008873	知覚と表象	Ｊ.ロス　Ｊ．Ｐ．フリスビー	海文堂	¥2,400
00008874	知覚の発達心理学（1）	Ｅ．Ｊ．ギブソン／著	田研出版	
00008875	知覚の発達心理学（2）	Ｅ．Ｊ．ギブソン／著	田研出版	¥10,000
00008876	知識・知能と情報　脳のはたらきと情報処理	板橋　秀一	近代科学社	¥3,000
00008877	知性・感性・邪性　ヒューマンウェアの解剖	牧野 昇・高尾 建次／他著	東洋経済新報社	¥1,500
00008878	知性の進化	ジョゼフ・Ｃ・ピアス	大修館書店	¥2,472
00008879	知的障害・発達障害を持つ人のＱＯＬ	Ｒｏｂｅｒｔ　Ｌ．Ｓｃｈａｌｏｃｋ／編	医歯薬出版	¥4,400
00008880	知的障害児の特別支援教育入門	阿部芳久	日本文化科学社	¥2,850
00008881	知的障害児の発達と認知・行動	堅田 明義・ 梅谷 忠勇／編著	田研出版	¥2,500
00008882	知的文章とプレゼンテーション	黒木登志夫	中公新書	¥800
00008883	痴呆症のケア入門	Kathryn A.Bayles・ Cheryl K.Tomoeda	協同医書出版社	¥2,200
00008884	痴呆性疾患の画像診断シリーズ6 ウェルニッケ-コルサコフ症候群とその類縁疾患	北村　伸・ 酒寄　修・他	ワールドプランニング	¥1,600
00008885	痴呆性老人のユースフルアクティビティ	竹内孝仁	三輪書店	¥3,800
00008886	痴呆ハンドブック① 痴呆症の診断　アルツハイマライゼーションと時計描画検査	河野和彦	フジメディカル出版	¥2,500
00008887	痴呆病棟の一日 モーニングケアからナイトケアまで	佐々木 健／編	医学書院	¥2,500
00008888	痴呆老人のアセスメントとケア リアリティ・オリエンテーションによるアプローチ	ウナ・ホールデン/ ロバート・ウッズ	医学書院	¥4,700
00008889	痴呆を生きるということ	小澤勲	岩波新書	¥740
00008890	チャールズ・ベル 表情を解剖する（神経心理学コレクション）	チャールズ ベル	医学書院	¥4,000
00008891	中枢神経疾患のＭＲ診断	小野山靖人	金原出版	¥10,680
00008892	中枢神経疾患の画像診断	山口武典・早川　徹・他	最新医学社	¥7,400
00008893	中枢性聴覚障害の基礎と臨床	加我君孝	金原出版	¥5,500
00008894	聴覚・言語・嚥下の基礎と障害－リハビリから福祉までー	宮本 健作／編著	ブレーン出版	¥3,800
00008895	聴覚・言語・嚥下の基礎と障害－リハビリから福祉までー	宮本 健作／編著	ブレーン出版	¥3,800
00008896	聴覚学習	今井　秀雄/編訳	コレール社	¥2,505
00008897	聴覚器ハンドブック	中川雅文	医歯薬出版	¥8,000
00008898	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会/編	南山堂	¥3,400
00008899	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会/編	南山堂	¥3,400
00008900	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会/編	南山堂	¥3,400
00008901	聴覚検査の実際	立木孝	南江堂	¥3,400
00008902	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会	南山堂	¥3,400
00008903	聴覚検査の実際　改訂2版	日本聴覚医学会	南山堂	¥3,400
00008904	聴覚検査の実際　改訂3版	立木孝	南山堂	¥3,400
00008905	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008906	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008907	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008908	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008909	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008910	聴覚障害学入門	佐藤 泰正／編	学芸図書	¥2,600
00008911	聴覚障害教育コミュニケーション論争史	都築 繁幸／著	御茶の水書房	¥7,400
00008912	聴覚障害児の言語指導	我妻敏博	田研出版	¥2,600
00008913	聴覚障害児の言語とコミュニケーション	岩城　謙　著	教育出版	¥1,900
00008914	聴覚障害児の残存聴力活用	須藤　貢明・濱田　豊彦・ 荒木　紫乃　著	教育出版	¥2,800
00008915	聴覚障害の心理	中野善達　他	田研出版	¥2,800
00008916	聴覚進学概論	B.C.J.ムーア／著	誠信書房	¥4,500
00008917	聴覚進学概論	B.C.J.ムーア／著	誠信書房	¥4,500
00008918	聴覚進学概論	B.C.J.ムーア／著	誠信書房	¥4,500
00008919	聴覚と音響心理	境久雄	コロナ社	¥4,600
00008920	聴覚と音声	三浦種敏	電子情報通信学会	¥5,825
00008921	直感	ドリス・Ｊ・シャルクロス	日本教分社	¥1,619
00008922	チョムスキー理論辞典	原口 庄輔・中村 捷／編	研究社出版	¥5,000
00008923	追補改訂版　パニック障害	竹内 龍雄／著	新興医学出版社	¥3,000
00008924	通所リハビリテーション様態別プログラム実践ガイド	荘村明彦	中央法規出版	¥2,800
00008925	使える統計 Excelで学ぶ実践心理統計	櫻井 広幸・神宮 英夫／著	ナカニシ出版	¥2,000
00008926	作って遊ぼう！ハンド・パペット	寺西恵里子	PHP研究所	¥1,200
00008927	つくってさわって感じて楽しい！ 実習に役立つ表現遊び　　指導案つき	岡本 拡子／編著	北大路書房	¥2,300
00008928	ディサースリア　臨床標準テキスト	西尾 正輝／著	医歯薬出版	¥4,200
00008929	ディサースリア臨床標準テキスト	西尾正輝	医歯薬出版	¥4,200
00008930	定本言語にとって美とはなにかII	吉本　隆明	角川書店	¥1,500
00008931	デイリーコンサイス英和・国語辞典　第3版	三省堂編修所	三省堂	¥2,920
00008932	デキルことを活かす　シンプル・テクノロジー	福島　勇 塩田　佳子	こころリソースブック出版社	
00008933	手は脳について何を語るか ―手話失語からみたことばと脳―	H. ポイズナー，Ｅ・クリマ,U・ベルギ／著	新曜社	¥4,200
00008934	伝承のこどものあそび　えかきうたのほん	尾原　昭夫	アイ企画	¥1,500
00008935	動画でわかる　摂食・嚥下リハビリテーション	藤島一郎・柴本勇	中山書店	¥3,600
00008936	動画でわかるスクイージング 安全で効果的に行う排痰のテクニック	宮川　哲夫／編著	中山書店	¥3,800
00008937	動画でわかる摂食・嚥下障害患者のリスクマネジメント	藤島 一郎・ 柴本 勇／監修	中山書店	¥3,800
00008938	動画でわかる摂食・嚥下リハビリテーション	藤島 一郎・ 柴本 勇／監修	中山書店	¥3,600
00008939	統計でウソをつく法 数式を使わない統計学入門	ダレル・ハフ	講談社	¥880
00008940	瞳孔運動の心理学	松永 勝也／著	ナカニシ出版	¥3,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008941	登校拒否・不登校をめぐって 発達の危機、その＜治療＞と＜教育＞	高垣　一郎／著	青木書店	¥1,800
00008942	統合失調症の前駆期治療	宮岡等・齋藤正範	中外医学社	¥3,000
00008943	東洋医学からの贈り物　疲労を回復する強精薬	根本幸夫	健友館	¥204
00008944	トーク認知症-臨床と病理　神経心理学コレクション	小阪憲司・田邉敬貴	医学書院	¥3,500
00008945	特殊児童の教育	サミュエル　Ａ．カーク／著	学苑社	¥5,800
00008946	特別支援教育の新たな展開	柘植雅義	勁草書房	¥2,800
00008947	トポスの知　箱庭療法の世界	河合隼雄	TBSブリタニカ	¥1,942
00008948	どもってもいいんだよ	ことばの臨床教育研究会 代表　長澤泰子（発行）	なし	なし
00008949	どもるあなたに　ようこそ言友会	池田邦彦（発行者）	全国言友会連絡協議会出版委員会	なし
00008950	どもるあなたに ようこそ言友会　私たちの体験談集	池田邦彦（発行責任者）	NPO法人 全国言友会連絡協議会（発行）	なし
00008951	どもる君へ　いま伝えたいこと	伊藤伸二	解放出版社	¥1,200
00008952	どんぐりの家3	山本　おさむ　著	凸版印刷	¥933
00008953	ナーシンググラフィカ⑰　基礎看護学　ヘルスアセスメント	川村佐和子・ 志自岐康子・他	メディカ出版	¥3,200
00008954	ナースのための解剖学	伊藤　隆	南山堂	¥6,800
00008955	ナースのためのくすりの事典２００６	守安洋子	へるす出版	¥3,800
00008956	ナースのための新形成外科学	鬼塚卓弥	金原出版	¥1,942
00008957	内科サブノート　改定第2版	龍野辰郎・阿部達樹	南江堂	¥7,300
00008958	内部障害のリハビリテーション	佐藤徳太郎	医歯薬出版	¥5,200
00008959	治すことにこだわらない，吃音とのつき合い方	水町俊郎　伊藤伸二	ナカニシヤ出版	¥2,000
00008960	なぜかれらは天才的能力を示すのか	ダロルド・Ａ・トレッファート	草思社	¥2,500
00008961	謎解き音響学	山下光康	丸善	¥1,800
00008962	ナチュラルコンピュテーション 視覚の生物計算理論	ホイットマン・リチャーズ／編	パーソナルメディア	¥4,800
00008963	ナチュラルコンピュテーション2 ー聴覚と触覚・力センシング・運動の計算理論—	Whitman Richards／編	パーソナルメディア	¥4,800
00008964	名前と人間	田中　克彦	岩波書店	¥631
00008965	悩める保護者・先生へ 落ち着きのない子どもたち 多動症候群への理解と対応	石崎 朝世／編著	すずき出版	¥1,600
00008966	なるほど！失語症の評価と治療	小嶋知幸・大塚裕一・ 宮本恵美	金原出版	¥4,800
00008967	難聴　それを克服するために	岡本途也　他	真興交易	¥920
00008968	なんでもできる片まひの生活—くらしが変わる知恵袋—	臼田喜久江	青波社	¥2,400
00008969	日英語対照による　英語学演習シリーズ１　音声学・音韻論	窪薗晴夫	くろしお出版	¥2,000
00008970	日英語対照による英語学演習シリーズ１ 音声学・音韻論	窪薗 晴夫／著	くろしお出版	¥2,000
00008971	日英語対照による英語学演習シリーズ4　機能的統語論	高見 健一／著	くろしお出版	¥2,000
00008972	日英語比較選書10　音韻構造とアクセント	窪薗　晴夫　太田　聡	研究者出版	¥2,400
00008973	日欧比較音声学入門	神山　孝夫	鳳書房	¥2,884
00008974	日本漢字音論究	高松政雄	風間書房	¥16,000
00008975	日本語音声学	天沼 寧・ 大坪 一夫／他著	くろしお出版	¥1,800
00008976	日本語音声学	天沼　寧	くろしお出版	¥1,806
00008977	日本語音声学入門	斎藤 純男／著	三省堂	¥2,000
00008978	日本語教育のための基本語彙調査	国立国語研究所	秀英出版	¥6,000
00008979	日本語教師のための言語学入門	小泉　保	大修館書店	¥2,500
00008980	日本語要覧	工藤浩・小林賢次/他編	ひつじ書房	¥1,900
00008981	日本障害者センター発達保障講座 広汎性発達障害の子どもと医療	市川　宏伸　著	かもがわ出版	¥1,200
00008982	日本人の鳴き声	中野純	ＮＴＴ出版	¥1,845
00008983	日本人の脳　脳の働きと東西の文化	角田 忠信／著	大修館書店	¥2,500
00008984	日本人の発育発達 —青少年の発育促進現象の研究—	川畑愛義	誠信社	¥3,000
00008985	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会eラーニング対応 大２分野 摂食・嚥下リハビリテーションの前提	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会・編	医歯薬出版	¥2,900
00008986	日本の社会保障	大塚信一	岩波書店	¥740
00008987	日本版WAIS-R採点の実際	小林重雄 前川久男 藤田和弘/他著	日本文化科学社	¥2,200
00008988	日本版デンバー式発達スクリーニング検査　増補版 ＪＤＤＳＴとＪＰＤＱ	W.K.Frankenburg／原著	医歯薬出版	¥3,000
00008989	乳児心理学	小嶋謙四郎	川島書店	¥3,296
00008990	ニューバイオフィジックス8 脳・神経システムの数理モデル　視覚系を中心に	臼井 支朗／編	共立出版	¥3,400
00008991	入門 感覚統合法の理論と実践	坂本　龍生/編	学習研究社	¥1,456
00008992	入門　リハビリテーション概論　第3版	中村隆一　編	医歯薬出版	¥4,100
00008993	入門　リハビリテーション概論　第4版	中村隆一　編	医歯薬出版	
00008994	入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 ①子どものコミュニケーションの障害	笹沼 澄子／監修	大修館書店	¥2,000
00008995	入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 ②成人のコミュニケーション障害	笹沼 澄子／監修	大修館書店	¥1,900
00008996	入門人体解剖学 改定第４版	藤田恒夫	南江堂	¥5,000
00008997	入門リハビリテーション医学　第2版	中村隆一	医歯薬出版	¥7,300
00008998	入門リハビリテーション概論　第4版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00008999	入門リハビリテーション概論　第７版	中村　隆一／編	医歯薬出版	¥5,800
00009000	入門リハビリテーション概論第５版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00009001	乳幼児心理学 ー人生最初期の発達を考えるー	若井邦夫 高橋義信 高橋道子/他著	サイエンス社	¥2,400
00009002	乳幼児の家庭療育プログラム	LaVonne Jaeger／著	医歯薬出版	¥3,150
00009003	乳幼児の摂食指導-お母さんの疑問にこたえる-	向井　美惠/編	医歯薬出版	¥3,800
00009004	乳幼児の発達としつけ	小関 康之／著	中央法規出版	¥1,553

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00009005	乳幼児の発達の見方と指導	高橋種昭 高野陽 加藤忠明/他著	日本小児医事出版社	¥1,553
00009006	乳幼児発育評価マニュアル	小林　登／監修	文光堂	¥2,800
00009007	ニューロサイエンス&テクノロジーシリーズ 音声・聴覚と神経回路網モデル	中川 聖一・鹿野 清宏 ／他著	オーム社	¥3,400
00009008	人間関係が楽しくなる　エンカウンター・グループへの招待	福井 康之／著	新水社	¥2,000
00009009	人間関係の心理学－体験をとおして学ぶ心理学－	蓮見　将敏・小山　望 ／編著	福村出版	¥2,000
00009010	人間関係の発達心理学　1巻　人間関係の障害発達	澤田　端也	培風館	¥2,350
00009011	人間関係の発達心理学　2巻　乳幼児期の人間関係	佐藤　眞子　編	培風館	¥2,400
00009012	人間関係の発達心理学　4巻　青年期の人間関係	斎藤　誠一　編	培風館	¥2,400
00009013	人間行動学　心理人類学への道	荘厳 舜哉 ／著	福村出版	¥2,500
00009014	人間精神学序説	中塚　善次郎	風間書房	¥13,000
00009015	人間の学習と発達	堂野恵子	北大路書房	¥4,800
00009016	人間の情報処理と生理心理学	松田俊	多賀出版	¥5,700
00009017	人間の発達と臨床心理学１　生涯発達と臨床心理学	伊藤 隆二／他編	駿河台出版	¥3,301
00009018	人間発達の心理学	藤永　保	サイエンス社	¥2,300
00009019	認識心理学（上）	アーサー．W．コームズ アン．C．リチャーズ フレッド．リチャーズ	ブレーン出版	¥4,855
00009020	認識心理学（下）	アーサー．W．コームズ アン．C．リチャーズ フレッド．リチャーズ	ブレーン出版	¥4,855
00009021	認知意味論の原理	中右 実／著	大修館書店	¥4,500
00009022	認知科学	相場覚他	大蔵省印刷局	¥3,000
00009023	認知科学選書11　傾いた図形の謎	高野 陽太郎／著	東京大学出版会	¥2,200
00009024	認知科学選書12　音楽と認知	波多野 誼余夫／編	東京大学出版会	¥2,600
00009025	認知科学選書5　読むということ	御領　謙	東京大学出版会	¥2,678
00009026	認知科学通論	N．A．スティリングス M．H．ファインシュタイン 他	新曜社	¥6,300
00009027	認知科学の基礎3 記憶と思考	マイケル・I・ポズナー	産業図書	¥3,200
00009028	認知科学のフロンティア	箱田裕司	サイエンス社	¥2,500
00009029	認知科学ハンドブック	岩崎 俊・波多野 誼余夫 ／編	共立出版	¥23,000
00009030	認知科学モノグラフ9 自己と感情　文か心理学による問いかけ	北山 忍／著	共立出版	¥2,600
00009031	認知機能からみた精神分裂病　生物学的精神医学Vol.4	日本生物学的精神医学会	学会出版センター	¥4,660
00009032	認知言語学の基礎	河上 誓作／編著	研究社出版	¥2,700
00009033	認知行動療法	板野　雄二	日本評論社	¥2,500
00009034	認知行動療法の理論と実際	岩本　隆茂/大野　裕/ 板野　雄二	培風館	¥3,700
00009035	認知障害のリハビリテーション	清水一・千島亮・原寛美・ 宮森孝史・綿森淑子	医歯薬出版	¥5,600
00009036	認知症のコミュニケーション障害 その評価と支援	三村將・飯干紀代子	医歯薬出版	¥3,000
00009037	認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント	山口晴保	協同医書出版社	¥3,300
00009038	認知情報処理	太原育夫	オーム社	¥3,300
00009039	認知神経心理学	相馬芳明・本田仁視	医学書院	¥8,500
00009040	認知心理学	小谷津孝明他	大蔵省印刷局	¥2,505
00009041	認知心理学：理論とデータ	太田信夫・多鹿秀継	誠信書房	¥3,000
00009042	認知心理学１　知覚と運動	乾 敏郎／編	東京大学出版会	¥3,400
00009043	認知心理学２　記憶	高野 陽太郎／編	東京大学出版会	¥3,400
00009044	認知心理学３　言語	大津 由紀雄／編	東京大学出版会	¥3,400
00009045	認知心理学４　思考	市川 伸一／編	東京大学出版会	¥3,400
00009046	認知心理学５　学習と発達	波多野 誼余夫 ／編	東京大学出版会	¥3,400
00009047	認知心理学事典	A.エリス、E.ハント／編	新曜社	¥7,200
00009048	認知心理学重要研究集1－視覚認知	齊藤勇	誠信書房	¥2,800
00009049	認知心理学重要研究集2－記憶認知	齊藤勇	誠信書房	¥3,200
00009050	認知心理学選書1　視点	宮崎　清孝・上野 直樹 ／著	東京大学出版会	¥2,600
00009051	認知心理学選書10　認知科学の方法	佐伯 胖／著	東京大学出版会	¥2,700
00009052	認知心理学選書4　理解とは何か	佐伯 胖／編	東京大学出版会	¥2,200
00009053	認知心理学選書6　認知とパフォーマンス	梅本 堯夫／著	東京大学出版会	¥2,200
00009054	認知心理学選書7　心の科学は可能か	土屋 俊／著	東京大学出版会	¥2,200
00009055	認知心理学選書8　知るということ	渡辺 慧／著	東京大学出版会	¥2,600
00009056	認知心理学選書9　緊急時の情報処理	池田 謙一／著	東京大学出版会	¥2,900
00009057	認知心理学と人間の情報処理　Ⅰ －情報処理パラダム－	R．ラックマン J．L．ラックマン E．C．バターフィールド	サイエンス社	¥2,621
00009058	認知心理学と人間の情報処理 Ⅱ －意識と記憶－	R．ラックマン J．L．ラックマン E．C．バターフィールド	サイエンス社	¥2,621
00009059	認知心理学と人間の情報処理Ⅲ －言語と理解－	R．ラックマン J．L．ラックマン E．C．バターフィールド	サイエンス社	¥2,621
00009060	認知心理学入門	D．A．ノーマン	誠信書房	¥1,800
00009061	認知心理学入門－その基礎理論と応用	岡林春雄	金子書房	¥2,500
00009062	認知心理学の源流 ヘルムホルツの思想	大村敏輔	ブレーン出版	¥9,515
00009063	認知心理学の視点 理論と測定法	長縄久生・ 椎名乾平　他	ナカニシヤ出版	¥2,800
00009064	認知心理学を語る1　おもしろ記憶のラボラトリー	森 敏昭／編著	北大路書房	¥2,500
00009065	認知心理学を語る2　おもしろ言語のラボラトリー	森 敏昭／編著	北大路書房	¥2,500
00009066	認知心理学を語る3　おもしろ思考のラボラトリー	森 敏昭／編著	北大路書房	¥2,500
00009067	認知心理学を知る	市川伸一	ブレーン出版	¥1,900
00009068	認知と思考 －思考心理学の最前線－	多鹿秀継	サイエンス社	¥2,300
00009069	認知の大脳半球機能差に関する研究	小川 嗣夫／著	風間書房	¥8,500

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009070	認知の微視的構造―哲学、認知科学、ＰＤＰモデル―	アンディ・クラーク／著	産業図書	¥4,500
00009071	認知発達と生得性―心はどこから来るのか―	乾 敏郎・今井 むつみ・山下 博志／訳	共立出版	¥7,500
00009072	認知療法-精神療法の新しい発展-	アーロン・T・ベック	岩崎学術出版	¥5,000
00009073	認知療法入門	アーサー・フリーマン	星和書店	¥3,000
00009074	認知療法ハンドブック　下巻	大野　裕/小谷津　孝明	星和書店	¥3,800
00009075	認知療法ハンドブック　上巻	大野　裕/小谷津　孝明	星和出版	¥3,680
00009076	認知療法臨床ハンドブック	A.フリーマン・Ｊ.プレッツァー／著	金剛出版	¥7,300
00009077	認知臨床心理学入門	W・ドライデン/R・レントゥル	東京大学出版	¥4,000
00009078	ねたきり老人の介助	松村 秩／著	医歯薬出版	¥1,400
00009079	ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス原著第１版	Ｎｅｉｌ Ｓ. Ｎｏｒｔｏｎ／著	医歯薬出版	¥10,000
00009080	脳・頭頸部のＭＲＩ診断頭頸部・骨・軟部組織・脊椎・椎間板・膀胱・前立腺・女性骨盤	竹中榮一	メジカルビュー社	¥5,500
00009081	脳・神経系のＭＲＩ診断基礎と臨床	高倉公朋	朝倉書店	¥17,000
00009082	脳外傷者のリハビリテーション 就労をめざして	Dale F. Thomas,Ph.D.／著	三輪書店	¥3,200
00009083	脳外傷リハビリテーションマニュアル	大橋正洋	医学書院	¥4,500
00009084	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテーション入門	橋本 圭司・上久保 毅／編著	診断と治療社	¥3,600
00009085	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテーション入門	橋本圭司、上久保毅	診断と治療社	¥3,600
00009086	脳が言葉を取り戻すときー失語所のカルテからー	佐野 洋子・加藤 正弘／著	日本放送出版協会	¥1,070
00009087	脳からみた心	山鳥 重／著	日本放送出版協会	¥970
00009088	脳からみた心	山鳥　重	日本放送出版協会	¥970
00009089	脳幹　　神経科学の基礎と臨床	板倉 徹・前田 敏博／編著	ブレーン出版	¥12,000
00009090	脳血管障害　その臨床的アプローチ	山口武典・高木誠・亀山正邦他	医学書院	¥4,000
00009091	脳梗塞の診断と治療　ブレインアタック時代の新たな展開	橋本洋一郎	診療新社	¥8,000
00009092	脳循環代謝改善薬	大友 英一／編	医薬ジャーナル社	¥3,800
00009093	脳障害者の心理臨床　病める心のリハビリテーション	小山充道	学苑社	¥3,200
00009094	脳神経・末梢神経検査マニュアル	大石 実・小野 真一／訳	医学書院	¥2,500
00009095	脳神経疾患のみかたABC	篠原幸人・水野美邦	日本医師会	¥5,340
00009096	脳神経の機能解剖	高倉　公明	医学書院	¥5,500
00009097	脳性まひ児の家庭療育　原著第3版	梶浦一郎・鈴木恒彦	医歯薬出版	¥3,500
00009098	脳性まひ児の早期治療　第2版　　［原著第3版］	今川 忠男／監訳	医学書院	¥3,500
00009099	脳性麻痺リハビリテーションガイドライン	日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥3,200
00009100	脳生理心理学重要研究集1ー意識と行動	堀忠雄・齊藤勇	誠信書房	¥3,750
00009101	脳卒中・神経難病による　発音・発声の障害ーST・家族・医療福祉専門職のためのディスアースリア・ガイドブックー	玉井直子	ライブストーン	¥2,600
00009102	脳卒中患者の機能評価　SIASとFIMの実際	千野直一	シュプリンガー・フェアラーク東京	¥2,800
00009103	脳卒中患者の口腔ケア	植田耕一郎	医歯薬出版	¥4,700
00009104	脳卒中後遺症の最新知見　　薬物療法を中心に	大友 英一／著	医薬ジャーナル社	¥3,200
00009105	脳卒中ことはじめ第2版	種田二郎・杉本啓子・今井保・今井由美子・阪本君代・谷川佐智子	医学書院	¥2,800
00009106	脳卒中後のコミュニケーション障害	竹内 愛子・河内 十郎／編著	協同医書出版社	¥5,600
00009107	脳卒中後のコミュニケーション障害	竹内愛子、河内十郎	協同医書出版社	¥5,600
00009108	脳卒中後のコミュニケーション障害　改訂第2版	竹内　愛子・河内　十郎/編	協同医書出版	¥5,600
00009109	脳卒中後のコミュニケーション障害　改訂第2版成人コミュニケーション障害者のリハビリテーション：失語症を中心に	竹内愛子・河内十郎	協同医書出版社	¥5,600
00009110	脳卒中最前線　急性期の診断から	藤田勉	医歯薬出版	¥8,100
00009111	脳卒中者の集団リハビリテーション訓練の13原則	大田 仁史／著	三輪書店	¥2,400
00009112	脳卒中治療ガイドライン２００４	篠原幸人・吉本高志/他編	協和企画	¥4,000
00009113	脳卒中に勝つ	水上 公宏／著	北隆館	¥650
00009114	脳卒中の機能評価と予後予測　第２版	中村 隆一・長崎 浩／編	医歯薬出版	¥5,400
00009115	脳卒中の生活ガイド	前田 真治／著	医歯薬出版	¥1,700
00009116	脳卒中の摂食・嚥下障害　第２版	藤島 一郎／著	医歯薬出版	¥4,600
00009117	脳卒中の摂食・嚥下障害　第２版	藤島 一郎／著	医歯薬出版	¥4,600
00009118	脳卒中の早期リハビリテーション　第２版	二木 立・上田 敏／共著	医学書院	¥3,800
00009119	脳卒中のホーム・エクササイズ　第2版	井口 恭一／著	医歯薬出版	¥3,200
00009120	脳卒中のリハビリテーション―基礎から実際まで―	江藤 文夫／著	新興医学出版	¥4,000
00009121	脳卒中リハビリテーション　早期リハからケアマネジメントまで第2版	近藤克則・大井通正	医歯薬出版	¥5,200
00009122	脳卒中リハビリテーション早期リハからケアマネジメントまで	近藤克則・大井通正	医歯薬出版	¥5,200
00009123	脳卒中リハビリテーションポケットマニュアル	原　寛美	医歯薬出版	¥2,200
00009124	脳卒中リハビリテーション連携パス　基本と実践のポイント	日本リハビリテーション医学会診療ガイドライン委員	医学書院	¥3,800
00009125	脳卒中を生きる意味　病と障害の社会学	細田満和子	青海社	¥3,200
00009126	脳損傷による視覚障害のリハビリテーション	平山和美	医学書院	¥3,500
00009127	脳損傷の理解	小暮久也	MEDSI	¥5,800
00009128	脳損傷のリハビリテーションのための方法　頭が働く練習帳シリーズ	藤井正子	新興医学出版社	¥4,200
00009129	脳損傷のリハビリテーションのための方法　記憶の練習帳	藤井正子・松岡恵子	新興医学出版社	¥4,800
00009130	脳損傷のリハビリテーションのための方法　聞く注意力の練習帳	藤井正子	新興医学出版社	¥7,600
00009131	脳単（ノウタン）―語源から覚える解剖学英単語集―	原島 広至／本文・イラスト	エヌ・ティー・エス	¥2,600
00009132	脳と科学のメカニズム	松本元	丸善株式会社	¥7,500
00009133	脳と教育	坂野登	朝倉書店	¥2,600
00009134	脳と行動のしくみ	八田 武志／著	医歯薬出版	¥2,330
00009135	脳とこころの科学	鶴　紀子	新興医学出版社	¥4,700

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009136	脳とこころの不思議な関係	古川聡	川島書店	¥2,500
00009137	脳とことば	岩田誠	井立出版	¥2,900
00009138	脳と情動	堀哲郎	共立出版	¥3,400
00009139	脳と神経内科	小長谷正明	岩波新書	¥660
00009140	脳とニューロンの科学	新井康允	裳華房	¥3,200
00009141	脳とワーキングメモリ	苧阪直行	京都大学 学術出版会	¥7,000
00009142	脳の科学　脳とコミュニケーション	岩倉　誠	朝倉書店	¥5,500
00009143	脳のしくみとはたらき　神経心理学からさぐる脳と心	クリスティーヌ・テンプル	講談社	¥1,100
00009144	脳の発達と子どものからだ　　改訂増補版	久保田 競・斎藤 公子 ／共著	築地書館	¥1,200
00009145	脳の話	時実利彦	岩波新書	¥740
00009146	脳のリハビリテーション：認知運動療法の提言　[1]中枢神経疾患	CarloPerfetti	協同医書出版社	¥4,000
00009147	脳は絵をどのように理解するか	ロバート・Ｌ・ソルソ	新曜社	¥3,500
00009148	脳リハビリテーションの実際 早期認知症の予防と改善プログラム	金子満雄・杉田フミエ	医歯薬出版	¥2,200
00009149	能力という謎 シリーズ 発達と障害を探る 第3巻	長崎勤 本郷一夫	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009150	脳を鍛える大人の音読ドリル 名作音読・漢字書き取り60日	川島隆太	くもん出版	¥1,000
00009151	脳を究める　脳研究最前線	立花 隆／著	朝日新聞社	¥2,200
00009152	脳を学ぶ～「ひと」がわかる生物学	森岡　周	横山印刷	¥2,800
00009153	脳を観る　認知神経科学が明かす心の謎	M・Iポスナー・ M・E・レイクル	日経サイエンス社	¥3,500
00009154	ノーザン聴覚言語障害学マニュアル	クロード・ロベルシュ	岩崎学術出版社	¥4,500
00009155	ノーマライゼーションの町づくり	山本和義	医歯薬出版	¥2,000
00009156	ノーマライゼーションをめざして	姥山寛代	中央法規	¥2,000
00009157	歯/歯列の発育	Frans P.G.M. van der Linden（三浦不二夫/黒田敬之　共訳）	クインテッセンス出版	¥10,000
00009158	パーソナリティ障害　いかに接し、どう克服するか	岡田 尊司／著	PHP研究所	¥780
00009159	ハートソング　すべての人のこころに歌を	マティ・ステパネク	PHP研究所	¥1,000
00009160	バイオサイコロジーⅡ　［第2版］　心理学の新しい流れ	J.W.カラット／著	サイエンス社	¥2,427
00009161	バイオサイコロジーⅢ　［第2版］　心理学の新しい流れ	J.W.カラット／著	サイエンス社	¥2,427
00009162	バイオマニュアルUPシリーズ　脳・神経研究プロトコール	御子柴 克彦／編	羊土社	¥6,505
00009163	ハインズ神経解剖学アトラス　第２版	山内　昭雄	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥5,800
00009164	ハヴィガーストの発達課題と教育	ハヴィガースト	川島書店	¥2,000
00009165	箱庭療法　基礎的研究と実践	木村 晴子／著	創元社	¥2,800
00009166	はじめてであう小児科の本　改訂第二版	山田真	福音館書店	¥2,600
00009167	はじめての応用行動分析	ポール　A.アルバート・アン　C.トルートマン	二瓶社	¥3,200
00009168	はじめての手話〈1〉 （バリアフリーの本―「障害」のある子も“みんないっしょに”）	矢沢 国光	偕成社	¥2,500
00009169	パソコンで学ぶ言語聴覚士・高専学生のための音響・音声工学入門	幸田晃	斯文堂	¥1,900
00009170	働く人のための精神医学	岡田 尊司／著	PHP研究所	¥820
00009171	発声矯正と語学教育　ザグレブ言語教育の理論と実際	クロード・ロベルジュ ／編著	大修館書店	¥2,300
00009172	発声障害外来	小宮山荘太郎	MEDICALVIEW	¥7,000
00009173	発声の基礎　生理的・物理的・言語的分析	ウィリアム・ワン／著	研究社出版	¥2,184
00009174	発達からみた脳性運動障害の治療	中島　雅之輔	新興医学出版社	¥7,500
00009175	発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00009176	発達障害児のリハビリテーション	伊藤　利之	永井書店	¥6,000
00009177	発達障害の基礎	有馬 正高／監修	日本文化科学社	¥8,000
00009178	発達障害の子どもを理解する	小西　行郎	集英社新書	¥720
00009179	発達障害の子を育てる家族への支援	柘植雅義　他	金子書房	¥2,400
00009180	発達障害の豊かな世界	杉山　登志郎 著	日本評論社	¥1,900
00009181	発達障害の理解と支援のためのアセスメント	前川 久男・梅永 雄二／編	日本文化科学社	¥2,800
00009182	発達障害の理解と支援のためのアセスメント	前川　久男・梅永　雄二・ 中山　健/編	日本文化科学社	¥2,800
00009183	発達障害の臨床	有馬 正高／監修	日本文化科学社	¥6,500
00009184	発達障害白書　2003年版	日本知的障害福祉連盟	日本文化科学社	¥4,200
00009185	発達障害白書　2004年版	日本知的障害福祉連盟	日本文化科学社	¥4,200
00009186	発達障害白書　2005年版	日本知的障害福祉連盟／編	日本文化科学社	¥4,200
00009187	発達障害白書2002　メインテーマ主体性の確立	日本知的障害福祉連盟／編	日本文化科学社	¥4,000
00009188	発達障害白書2007年版	湯汲英史　他	明石書店	¥2,800
00009189	発達障害白書2008年版	湯汲英史　他	明石書店	¥2,800
00009190	発達障害白書2009年版	湯汲英史　他	明石書店	¥2,800
00009191	発達障害白書2010年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009192	発達障害白書2011年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009193	発達障害白書2012年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,400
00009194	発達障害白書2013年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009195	発達障害白書2014年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009196	発達障害白書2015年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009197	発達障害をもつ高齢者とQOL	三谷嘉明	明治図書出版	¥2,204
00009198	発達診断と大津方式	田中杉恵	青木書店	¥2,800
00009199	発達心理学	岩田純一 吉田直子 山上雅子/他著	有斐閣	¥1,800
00009200	発達心理学　子どもと教育	岡本夏木 浜田寿美男	岩波書店	¥1,700
00009201	発達心理学概説(下)	秋葉英則	清風堂書店出版部	¥1,748
00009202	発達心理学概説(上)	秋葉英則	清風堂書店出版部	¥1,456
00009203	発達心理学ガイドブック	安西豪行 尾形和男 春原由紀	建帛社	¥1,900
00009204	発達心理学再考のための序説	浜田寿美男	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009205	発達心理学史	村田孝次	培風館	¥9,000
00009206	発達心理学とフェミニズム	柏木惠子 高橋惠子	ミネルヴァ書房	¥2,800

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00009207	発達心理学とフェミニズム	柏木惠子 高橋惠子	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009208	発達心理学入門Ⅱ 青年・成人・老人	無藤隆 高橋惠子 田島信元	東京大学出版会	¥2,400
00009209	発達心理学入門Ⅰ 乳児・幼児・児童	無藤隆 高橋惠子 田島信元	東京大学出版会	¥2,400
00009210	発達心理学の基礎Ⅰ ライフサイクル	平山諭 鈴木隆男	ミネルヴァ書房	¥2,300
00009211	発達心理学の基礎Ⅱ 機能の発達	平山諭 鈴木隆男	ミネルヴァ書房	¥2,300
00009212	発達心理学の基礎Ⅲ 発達ニーズの臨床	平山諭 鈴木隆男	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009213	発達心理学の基本を学ぶ －人間発達の生物学的・文化的基盤－	ジョージ・バターワース マーガレット・ハリス	ミネルヴァ書房	¥3,800
00009214	発達心理学への招待	柏木惠子 古沢頼雄 宮下孝広	ミネルヴァ書房	¥2,500
00009215	発達心理学用語辞典	山本 多喜司／監修	北大路書房	¥3,592
00009216	発達心理学要論	平井誠也	北大路書房	¥2,500
00009217	発達心理学を愉しむ	宮原英種 宮原和子	ナカニシヤ出版	¥2,200
00009218	発達と障害を考える本１　ふしぎだね!? 自営症のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009219	発達と障害を考える本２　ふしぎだね!? アスペルガー症候群（高機能自閉症）のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009220	発達と障害を考える本３　ふしぎだね!? ＬＤ（学習障害）のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009221	発達と障害を考える本４　ふしぎだね!? ＡＤＨＤ（注意欠陥多動性障害）のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009222	発達に遅れがある子どもの日常生活指導 ①食事指導編	飯田雅子・(財)鉄道弘済会 総合福祉センター弘済学園	学習研究社	¥2,500
00009223	発達の神経心理学的評価 －学習障害・MBDの診断のために	萱村俊哉	多賀出版	¥8,000
00009224	発達のダイナミックスと地域性	上田礼子	ミネルヴァ書房	¥3,600
00009225	発達の理論	W.C.クレイン	田中出版	¥7,000
00009226	発話メカニズムの解剖と生理	JOEL C.KAHANE	インテルナ出版	¥2,800
00009227	歯で殺されないために -全身を狂わし人生の屋台骨まで狂わす顎関節症闘病記-	岬奈美	ＪＤＣ	¥1,166
00009228	鼻アレルギー 診療ガイドブック	形浦 昭克・朝倉 光司／編	南江堂	¥4,854
00009229	話すことが苦手な人のアサーション　どもる人とのワークショップの記録	平木典子・伊藤伸二	金子書房	¥1,800
00009230	花開く自己ーカウンセリングのためのサイコシンセシス	国谷誠朗・平松園枝	誠信書房	¥3,500
00009231	母親法　聴覚に障害がある子どもの早期教育	金山 千代子／著	ぶどう社	¥3,000
00009232	バリアフリーの本　1　目に障害のある子といっしょに	竹内恒之	偕成社	¥2,500
00009233	バリアフリーの本　10　「障害」ってなんだろう？	藤田雅子　湯汲英史	偕成社	¥2,500
00009234	バリアフリーの本　2　はじめての点字	石井みどり	偕成社	¥2,500
00009235	バリアフリーの本　3　耳に障害のある子といっしょに	廣田栄子	偕成社	¥2,500
00009236	バリアフリーの本　5　まじめての手話②	矢沢国光	偕成社	¥2,500
00009237	バリアフリーの本　6　からだに障害のある子といっしょに	野辺明子	偕成社	¥2,500
00009238	バリアフリーの本　7　知的障害のある子といっしょに	石井葉　湯汲英史	偕成社	¥2,500
00009239	バリアフリーの本　8　重い障害のある子といっしょに	石崎朝世　一松麻実子	偕成社	¥2,500
00009240	バリアフリーの本　9　障害のある人へのボランディア活動	山崎美貴子　瀧澤利行	偕成社	¥2,500
00009241	春の夢　ＡＬＳの方へのコミュニケーション支援	木村 康子／編著	コミュニケーション・アシスト・ネットワーク	頒価不明
00009242	半側無視の神経心理学	ラインハルト・ヴェルト／著	シュプリンガー・フェアラーク東京	¥3,689
00009243	ピアジェ×ワロン論争	加藤義信、他	ミネルヴァ書房	¥2,369
00009244	ピアジェの均衡化概念の形成と発展	日下正一	風間書房	¥9,785
00009245	光とともに・・・12　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009246	光とともに・・・14　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009247	光とともに・・・15　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009248	光とともに・・・8　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009249	ピクルス聴覚生理学	J.O.ピクルス／著	二瓶社	¥3,845
00009250	ピジン・クレオール入門	ロレト・トッド	大修館書店	¥1,700
00009251	ひとと集団・場　　ひとの集まりと場を利用する　第2版	山根 寛・香山 明美・ 加藤 寿宏／他著	三輪書店	¥3,300
00009252	人の顔または表情の識別について	池田進	関西大学出版部	¥4,500
00009253	ヒトのからだ	三木成夫	うぶすな書院	¥2,200
00009254	人を賢くする道具	D.A.ノーマン	新曜社 認知科学選書	¥3,600
00009255	比喩の処理過程と意味構造	楠見　孝	風間書房	¥12,000
00009256	病院心理臨床入門　第２版	長尾 博／著	ナカニシ出版	¥1,999
00009257	病院における心理療法-ユング心理学の臨床-	渡辺 雄三／著	金剛出版	¥4,000
00009258	描画から箱庭まで　ユング派による子どもの心理療法	ジョン・アラン／著	学苑社	¥2,816
00009259	描画から箱庭までーユング派による子どもの心理療法	ジョン・アラン／著	学苑社	¥2,816
00009260	標準形成科学 第４版	秦維郎	医学書院	¥6,800
00009261	標準形成科学 第４版	秦維郎	医学書院	¥6,800
00009262	標準形成外科学　第５版	秦 維郎・野﨑 幹弘／編	医学書院	¥6,800
00009263	標準言語聴覚障害学　失語症学	藤田郁代、立石雅子	三美印刷	¥5,000
00009264	標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害学概論	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009265	標準言語聴覚障害学 言語発達障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009266	標準言語聴覚障害学 聴覚障害学	中村 公枝／他編	医学書院	¥5,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00009267	標準言語聴覚障害学 発声発語障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009268	標準言語聴覚障害学 発声発語障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009269	標準口腔外科学	高橋庄二郎	医学書院	¥12,000
00009270	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版社	¥6,800
00009271	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版社	¥6,800
00009272	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版社	¥6,800
00009273	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版社	¥6,800
00009274	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版社	¥6,800
00009275	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版社	¥6,800
00009276	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版社	¥6,800
00009277	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小委員会マニュアル改訂部会／著	新興医学出版	¥6,800
00009278	標準失語症検査マニュアル　改訂第２版	日本高次脳機能障害学会／著	新興医学出版社	¥7,000
00009279	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第3版	鈴木淳一・ 中井義明/他編	医学書院	¥8,000
00009280	標準小児科学	森川昭廣・内山聖	医学書院	¥8,800
00009281	標準小児科学　第4版	前川 喜平・ 辻 芳郎／監修	医学書院	¥8,800
00009282	標準整形外科学　第8版	石井清一・平澤泰介	医学書院	¥9,200
00009283	標準ディサースリア検査	西尾 正輝／著	インテルナ出版	¥5,700
00009284	標準ディサースリア検査	西尾正輝	インテルナ出版	¥5,700
00009285	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　小児科学	奈良勲、鎌倉矩子	医学書院	¥4,000
00009286	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　生理学	石澤光郎、冨永淳	医学書院	¥4,200
00009287	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　生理学	奈良勲、鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00009288	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　生理学　第3版	シリーズ監修 奈良 勲 他 石沢 光郎･富永 淳/執筆	医学書院	¥4,200
00009289	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　内科学	奈良　勲・鎌倉矩子	医学書院	¥6,000
00009290	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　病理学	梶原　博毅/編	医学書院	¥4,400
00009291	標準理学療法学・作業療法学　老年学　第2版	大内尉義　編	医学書院	¥4,200
00009292	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学　第2版	大成 浄志／著	医学書院	¥6,000
00009293	標準リハビリテーション医学	津山　直一　監修	医学書院	¥6,800
00009294	病巣感染を考える	形浦昭克	金原出版	¥4,800
00009295	病態で学ぶ呼吸・循環・消化器学	大地陸男	丸善	¥3,800
00009296	病態で学ぶ神経・免疫・遺伝学	藤原道夫	丸善	¥2,800
00009297	病名辞典	大屋　崇	榮光堂	¥4,000
00009298	病理学への招待	伏木信次	共和書院	¥3,619
00009299	開かれてゆく心-自閉症児を育てた母親の記憶－	中川 真理子／著	学苑社	¥1,500
00009300	福祉の思想	糸賀 一雄／著	日本放送出版協会	¥970
00009301	福祉文化論	一番ケ瀬康子、他	有斐閣ブック	¥2,200
00009302	ブックガイド心理療法　-河合 隼雄が読む-	河合 隼雄／著	日本評論社	¥1,700
00009303	普遍文法と第二言語獲得 原理とパラメータのアプローチ	リディア・ワイド／著	リーベル出版	¥2,600
00009304	遊戯法（プレイセラピィ）　子どもの心理臨床入門	飽田 典子／著	明光社	¥3,200
00009305	ブレインサイエンスⅣ	佐藤 昌康／編	朝倉書店	¥5,500
00009306	フロイト草稿の再評価	安野英紀	金剛出版	¥4,800
00009307	フロイトの技法論　上巻	ジャック-アラン・ミレール	岩波書店	¥3,600
00009308	プロセスモデルで考える 摂食・嚥下リハビリテーションの臨床　咀嚼嚥下と食機能	才藤 栄一／監修	医歯薬出版	¥6,800
00009309	プロセスモデルで考える 摂食・嚥下リハビリテーションの臨床　咀嚼嚥下と食機能	才藤 栄一／監修	医歯薬出版	¥6,800
00009310	分化の中の子ども	箕浦康子	東京大学出版	¥2,500
00009311	分子医科学で病気を識るシリーズ　第5巻 チャネルとトランスポータ：その働きと病気	井村裕夫・ 豊島久眞男・他	メジカルビュー社	¥8,500
00009312	分子医科学で病気を識るシリーズ2　脳 高次機能と分子構造からさぐる脳疾患	辻 省次／編	メジカルビュー社	¥8,500
00009313	文章ダ題解答中の非言語的行動の表出と読み取りに関する研究	河野　義章	風間書房	¥12,000
00009314	分析的処理方略と全体的処理方略の情報処理特性 -方略選択の頑健性を中心に－	出口 毅／著	風間書房	¥8,500
00009315	分裂病の認知神経心理学	クリストファーD・フリス	医学書院	¥5,500
00009316	平成12年版　社会福祉六法	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規	¥5,000
00009317	平成13年版　保健医療六法	保健医療法規研究会／監修	中央法規	¥5,400
00009318	平成１８年度版厚生労働省白書　ＣＤ－ＲＯＭ１枚	厚生労働省／編	ぎょうせい	¥2,762
00009319	平成19年版　社会福祉六法	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規	¥5,300
00009320	平凡社新書454 声と話し方のトレーニング	村上由美	平凡社	¥760
00009321	ペインクリニック診療に必要なリハビリテーションの知識	小川節郎	克誠堂出版	¥4,800
00009322	ベーシック言語聴覚療法　―目指せ！プロフェッショナル―	山田弘幸	医歯薬出版	¥2,400
00009323	別冊日経サイエンス　進化する脳	J.M.オールマン	日経サイエンス編集部	¥2,300

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009324	別冊日経サイエンス　知能のミステリー	小林豊彦	日経サイエンス編集部	¥2,000
00009325	別冊日経サイエンス　特集　脳と心の科学　心のミステリー	小林豊彦	日経サイエンス編集部	¥2,300
00009326	別冊日経サイエンス　脳と心	松本　元	日経サイエンス編集部	¥2,233
00009327	別冊日経サイエンス　脳と心のミステリー　心はなぜ病むのか	高木靱生	日経サイエンス編集部	¥1,900
00009328	別冊発達19　赤ちゃんウォッチングのすすめ ―乳幼児研究の現在と未来―	正高 伸男／編	ミネルヴァ書房	¥2,200
00009329	ヘレン・ケラー自伝	ヘレン・ケラー　著	ぶどう社	¥1,165
00009330	ヘレン・ケラーはどう教育されたか	アン・サリバン 著	明治図書出版	¥1,107
00009331	ヘレン・ケラーはどう教育されたか	アン・サリバン 著	明治図書出版	¥1,420
00009332	保育講座26巻 発達心理学	無藤隆/他著	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009333	保育者のための乳幼児発達心理学	大平勝馬	建帛社	¥1,950
00009334	保育心理学Ⅰ	大場幸夫・前原寛	東京書籍	¥2,000
00009335	保育のための発達心理学	藤崎真知代、他	新陽社	¥1,900
00009336	保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る　障害児保育	渡部　信一・本郷　一夫・無藤　隆/編著	北大路書房	¥1,900
00009337	保育ライブラリー子どもを知る　発達心理学	無藤 隆・藤崎 眞知代／編著	北大路書房	¥1,900
00009338	ボイスノート　コミュニケーションを拡げるため	小嶋和幸、佐野洋子	新興医学出版社	¥9,500
00009339	訪問看護における摂食・嚥下リハビリテーション 退院から在宅まで	鎌倉やよい・向井美恵	医歯薬出版	¥2,400
00009340	訪問リハビリテーション　生活再建とQOL向上	青山　智	三輪書店	¥3,600
00009341	訪問リハビリテーションの実際	山本和儀	医歯薬出版	¥2,800
00009342	ホープ・スルー・ハートソング　ぼくらの願い	マティ・ステパネク	PHP研究所	¥1,200
00009343	ホームヘルパーブックシリーズ１０ ヘルパーさんに役立つ医学知識のきほん	三瀬順一	中央法規	¥1,400
00009344	ぼくたちの言葉をうばわないで！	樋陽子　他	明石書店	¥1,500
00009345	ぼくに「老後」がくる前に　―老人体験レポート―	永井 明／著	飛鳥新社	¥1,400
00009346	ポケット医学・看護略語辞典	大石　実	医学書院	¥2,300
00009347	ポケット医学用語集	宮野　康日己	同成社	¥1,200
00009348	ポケット医学ラテン語辞典	國原　吉之助　他	南江堂	¥2,575
00009349	ぼけ老人と生活する	江藤文夫	医歯薬出版	¥1,500
00009350	母語の言語学	レオ・ヴァイスゲルバー	三元社	¥3,200
00009351	母子関係の理論　1愛着行動　改訂４刷	J・ボウルビイ	岩崎学術出版	¥10,000
00009352	母子関係の理論　2分離不安　改訂３刷	J・ボウルビイ	岩崎学術出版	¥10,000
00009353	ポジティブ心理学　21世紀の心理学の可能性	島井哲志	ナカニシヤ出版	¥3,000
00009354	補聴器フィッティングの考え方	小寺一興	診断と治療社	¥2,800
00009355	補聴の進歩と社会的応用	小寺一興	診断と治療社	¥3,200
00009356	補聴の進歩と釈迦的応用	小寺　一興	診断と治療社	¥3,200
00009357	滅びゆく思考力	ジェーン・ハーリー	大修館書店	¥2,000
00009358	マインドエージ―シリーズ13 続アドラー心理学トーキングセミナー 勇気づけの家族コミュニケーション	野田 俊作／著	星雲社	¥2,000
00009359	マインドエージ―シリーズ9 性格はいつでも変えられる	蓮見　将敏・小山　望／編著	福村出版	¥2,000
00009360	末梢神経の鍛え方 元気を作り、老化を防ぐとっておきの方法	長谷川修	ごま書房	¥777
00009361	まなざしの誕生　赤ちゃん学革命	下条　信輔	新曜社	¥2,200
00009362	マルチメディア時代の医療と福祉	高野健人	日本評論社	¥1,900
00009363	マンウォッチング　上	デズモンド・モリス	小学館	¥900
00009364	マンウオッチング（下）	デズモンド・モリス	小学館	¥900
00009365	慢性化した脳卒中片麻痺の家庭実習	萩島　秀男	創造出版	¥3,495
00009366	慢性麻痺の運動障害-評価と治療の考え方　原著第2版	Karel Bobath／著	医歯薬出版	¥2,650
00009367	右半球損傷　―認知とコミュニケーションの障害―	Penelope S.myers／著	協同医書出版社	¥5,000
00009368	未熟児―その異なった出発	William A.H. Sammons・Jennifer M. Lewis	医学書院	¥7,500
00009369	魅せられて	ひらの りょうこ／著	かもがわ出版	¥1,300
00009370	見てすぐわかる！すぐに役立つ　リハビリ用語526	田中綿三/景山　明日香/岩間　誠司　編著	メディカ出版	¥2,400
00009371	耳音響放射活用ガイド	田中康夫	金原出版	¥4,800
00009372	耳と脳幹・脳神経の最新ＭＲＩ	熊川 孝三・煎本 正博／編	メジカルビュー社	¥7,500
00009373	耳の病気-実りある治療を行うために	市村 恵一／著	金原出版	¥4,660
00009374	ミューズの病跡学Ⅰ　音楽家　篇	早川　智	診断と治療社	¥2,300
00009375	ミューズの病跡学Ⅱ　美術家　篇	早川　智	診断と治療社	¥2,300
00009376	見る脳・描く脳　絵画のニューロサイエンス	岩田 誠／著	東京大学出版会	¥2,600
00009377	見る脳・描く脳　絵画のニューロサイエンス	岩田　誠	東京大学出版会	¥2,600
00009378	みんなが手話で話した島	ノーラ・Ｅ／グロース著	築地書館	¥2,000
00009379	みんなのこえが聴こえる	アツキヨ	講談社	¥1,000
00009380	ムーア　人体発生学　原著第8版	moore and persaud 原著	医歯薬出版	¥12,000
00009381	メイキングコネクション	宮崎 みわこ／訳	パシフィックサプライ株式会社	¥1,900
00009382	メイザーの学習と行動	ジェームズ　Ｅ．メイザー	二瓶社	¥4,000
00009383	メイザーの学習と行動　日本語版第２版	ジェームズ・Ｅ・メイザー／著	二瓶社	¥4,000
00009384	命名の言語学 ネーミングの諸相	森岡 健二・山口 仲美／著	東海大学出版会	¥2,400
00009385	メディカルスタッフのための内科学　第4版	森　博愛/伊東　進　編著	医学出版社	¥4,725
00009386	目でみる解剖生理学	猪俣　賢一郎	医歯薬出版	¥3,010
00009387	眼で見る小児のリハビリテーション	栗原まな	診断と治療社	¥5,800
00009388	眼で見る小児のリハビリテーション　改訂第2版	栗原まな	診断と治療社	¥5,400
00009389	目でみる脳卒中リハビリテーション	上田敏	東京大学出版会	¥3,400
00009390	目でみるリハビリテーション医学　　第２版	上田 敏／著	東京大学出版会	¥3,800
00009391	目でみる嚥下障害（DVD付） ー嚥下内視鏡・嚥下造影の所見を中心として	藤島一郎	医歯薬出版	¥3,400
00009392	目でみる嚥下障害（DVD付） ー嚥下内視鏡・嚥下造影の所見を中心として	藤島一郎	医歯薬出版	¥3,400
00009393	めまい・難聴・耳鳴　　改訂第2版	八木 聰明／著	金原出版	¥5,049
00009394	めまいの構造	加我 君孝／著	金原出版	¥4,660

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009395	もうひとりで悩まないで！教師・親のための子ども相談機関利用ガイド	小林正幸・嶋崎政男	きょうせい	¥2,400
00009396	盲ろう者の移動介助	前田晃秀	特定非営利活動法人 東京盲ろう者友の会	
00009397	もう声なんかいらないと思った	大橋弘枝	出窓社	¥1,300
00009398	文字の情報理論序説	鹿島　英一	風間書房	¥31,000
00009399	モダリティの文法	益岡隆志	くろしお出版	¥4,200
00009400	もっと気楽に生きてみようよ～ある精神科医の思い～	越智眞理		¥1,143
00009401	モデリングによるルールの獲得過程に関する研究 ―学習者の視点を中心に―	安永悟	風間書房	¥9,500
00009402	物語理解における視覚的イメージの視点の役割	福田由紀	風間書房	¥16,000
00009403	薬物依存と脳障害	佐藤 光原・沼知 陽太郎 ／編	学会出版センター	¥4,466
00009404	やさしい音声学　［２０週・講義概要］	佐藤 努／編著	南雲堂	¥2,200
00009405	やさしいリハビリテーション	江藤文夫	日本医事新報社	¥2,200
00009406	やさしさと出会う本 「障害」をテーマとする絵本・児童文学のブックガイド	菊地 澄子・長谷川 潮 ／他編	ぶどう社	¥1,602
00009407	病の心理学	小山 充道／著	学苑社	¥1,900
00009408	病の心理学－医療カウンセリングへのいざない-	小山 充道／著	学苑社	¥1,900
00009409	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ　よくわかる発達心理学	無藤　隆・岡本　祐子・ 大坪　治彦/編	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009410	やわらかに生きる－論理療法と吃音に学ぶ	石隈利紀・伊藤伸二	金子書房	¥1,800
00009411	誘発電位	下地恒毅	西村書店	¥12,000
00009412	誘発耳音響放射の臨床	田中 康夫／著	金原出版	¥4,660
00009413	ゆたかなコミュニケーションのために 失語症の症状と接し方	大畠 明子／ほか著	コミュニケーショ ン・アシスト・ネッ トワーク	¥500
00009414	癒着性中耳炎の正しい取扱い	中野 雄一／著	金原出版	¥4,500
00009415	指文字の研究	神田 和幸／著	光生館	¥2,800
00009416	よい聞こえのために　難聴と補聴器について	クラウス・エルバリング ／他	海文堂	¥1,800
00009417	ようこそ　きこえない娘たち -監督、この映画に字幕を付けてください	佐原　郁代　著	明石書房	¥1,600
00009418	幼児・児童のself-controlの発達とその規定要因に関する研究	庄司一子	風間書房	¥15,000
00009419	幼児吃音に関する診断・治療法研究	内須川洸　早坂菊子	風間書房	¥22,000
00009420	幼児期における事物名解釈方略の変化	針生　悦子	風間書房	¥9,500
00009421	幼児期の自閉症-発達と診断および指導法	Ｅ．ショプラー／他編	学苑社	¥3,398
00009422	幼児言語における語順の心理学的研究	岩立　志津夫	風間書房	¥12,000
00009423	幼児語彙の統合的発達の研究	前田　富祺／前田紀代子	武蔵野書院	¥8,738
00009424	幼児の発達と教育	リュリンスカヤ	明治図書	¥1,500
00009425	幼児の発話における非流暢性に関する言語心理学的研究	伊藤　友彦	風間書房	¥9,270
00009426	よくわかる 介護保険制度イラストレイテッド　第2版	澤田　信子・島津　淳・ 戸栗　栄次／（他）著	医歯薬出版	¥2,200
00009427	よくわかるオージオグラム	立木孝・村井和夫	金原出版	¥2,800
00009428	よくわかる介護保険制度　イラストレイテッド	澤田信子　他	医歯薬出版	¥2,600
00009429	よくわかる失語症と高次脳機能障害	鹿島 晴雄／編	永井書店	¥9,000
00009430	よくわかる失語症と高次脳機能障害	鹿島晴雄、種村純	永井書店	¥9,000
00009431	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田 好秋／著	医歯薬出版	¥3,800
00009432	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田 好秋／著	医歯薬出版	¥3,800
00009433	よくわかる内科	福山 裕三・高杉 佑一 ／共著	金原出版	¥6,311
00009434	よくわかる認知発達とその支援	子安増生	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009435	よくわかる脳卒中のすべて	山口武典・岡田靖	永井書店	¥7,600
00009436	よくわかる脳の障害とケア	酒井　保治郎　監修/ 小宮　桂治　編集	南江堂	¥2,500
00009437	よくわかる脳の障害とケア	酒井　保治郎　監修/ 小宮　桂治　編集	南江堂	¥2,500
00009438	よくわかる発達心理学	無藤　隆・岡本祐子・ 大坪治彦	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009439	よくわかる発達と学習	杉原一昭、他	福村出版	¥2,400
00009440	よくわかる病理学	小田島肅夫	金原出版	¥5,400
00009441	よみがえった音の世界　人口内耳を使用して	人口内耳友の会 （ＡＣＩＴＡ）／編	学苑社	¥1,553
00009442	よみがえれ思考力	ジェーン・ハーリー	大修館書店	¥2,400
00009443	読み書き障害の克服〈ディスレクシア入門〉	Bevē Hornsby	共同医書出版社	¥1,900
00009444	ライフサイクルからみた 発達臨床心理学	川端 啓之・杉野 欽吾 ／共著	ナカニシ出版	¥2,200
00009445	ライフサイクルからみた　発達臨床心理学	川端啓之・杉野欽吾・ 後藤晶子他	ナカニシ出版	¥2,200
00009446	ライブラリ明日に育つ子どもたち-1 想像力の発達 －創造的想像のメカニズム－	内田伸子	サイエンス社	¥1,650
00009447	ライブラリ脳の世紀8　心のメカニズムを探る 意識と脳 心の電源としての意識	山本 健一／著	サイエンス社	¥2,200
00009448	落語の言語学	野村 雅昭／著	平凡社	¥2,400
00009449	リーディングの認知心理学	広瀬雄彦他	伸山社出版	¥3,200
00009450	理解できる高次機能障害 家庭でできる脳のリハビリ「注意障害」編	中島 恵子／著	ゴマグックス	¥1,333
00009451	理解できる高次能機能障害 やってみよう！記憶のリハビリ	中島 恵子／著	ゴマグックス	¥1,333
00009452	理学療法士・作業療法士のための小児反射と発達の診かた	前川喜平・鶴見隆正・ 清水順市	新興医学出版社	¥3,200
00009453	離乳期の食事のすすめ方	田原 喜久江／著	風人社	¥1,800
00009454	リハ実践テクニック　脳卒中	千田富義・高見彰淑	メジカルビュー社	¥5,200
00009455	リハビリテーション医学講座第11巻　脳性麻痺	五味 重春／編著	医歯薬出版	¥4,000
00009456	リハビリテーション医学講座第2巻 人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	¥2,913
00009457	リハビリテーション医学全書　11　　言語障害　第2版 失語症・運動障害性構音障害・嚥下障害・脳性麻痺の言語障害	笹沼澄子・柴田貞雄・ 伊藤裕之・矢守真奈・ 進藤美津子・森永京子・ 森山梅千代	医歯薬出版	¥6,000

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009458	リハビリテーション医学全書11　　言語障害　　第２版 ―失語症・運動障害性構音障害・嚥下障害・脳性麻痺の言語障害―	笹沼 澄子・柴田 貞雄・ 伊藤 裕之／他著	医歯薬出版	¥6,000
00009459	リハビリテーション医学全書13　聴覚障害 第2版	後藤 修二／編	医歯薬出版	¥8,300
00009460	リハビリテーション医学大辞典	上田 敏・ 大川 弥生／編	医歯薬出版	¥8,300
00009461	リハビリテーション医学テキスト	三上 真弘・ 石田　暉／編	南江堂	¥5,300
00009462	リハビリテーション医療入門　増補版	武智　秀夫　著	医学書院	¥1,800
00009463	リハビリテーション患者の心理とケア	渡辺俊之・本田哲三	医学書院	¥2,800
00009464	リハビリテーション技術全書　第2版	服部一郎	医学書院	¥23,000
00009465	リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎	栢下 淳・ 若林 秀隆／著	医歯薬出版	¥3,800
00009466	リハビリテーション入門	大田 仁史／著	ＩＤＰ出版	¥800
00009467	リハビリテーションのための　神経生物学入門	森岡周	協同医書出版社	¥3,800
00009468	リハビリテーションのための神経性物学入門	森岡 周／著	協同医書出版社	¥3,800
00009469	リハビリテーションのための神経内科学　第2版	安藤　一也・ 杉村　公也　著	医歯薬出版	¥7,200
00009470	リハビリテーションのための脳・神経科学入門	森岡周	協同医書出版社	¥2,000
00009471	リハビリテーションのための発達科学入門　身体をもった心の発達	浅野大喜	協同医書出版社	¥2,000
00009472	リハビリテーションの理念と実践　２１世紀へのメッセージ	（財）日本障害者リハビリテーション協会・総合リハビリテーション研究大会常任委員会	エンパワメント研究所	¥2,800
00009473	リハビリテーションビジュアルブック	落合 慈之／監修	学研 メディカル秀潤社	¥3,000
00009474	リハビリテーションを考える	上田敏	青木書店	¥2,500
00009475	リハビリテーション医学テキスト	三上真弘、石田暉	南江堂	¥5,300
00009476	リハビリテーション看護	高橋美智	医学書院	¥2,100
00009477	リハビリナース，ＰＴ，ＯＴ，ＳＴのための 患者さんの行動から理解する高次脳機能障害	稲村 純・稲村 留美／編	メディカ出版	¥3,400
00009478	リハビリナース，PT，OT，STのための 患者さんの行動から理解する高次脳機能障害	椿原彰夫、石井雅之	メディカ出版	¥3,400
00009479	リハビリ力アップに役立つ　セラピストのための疾患の知識	河村廣幸	メディカ出版	¥4,200
00009480	量の発達心理学	J. ピアジェ B. インヘルダー	国土社	¥3,883
00009481	臨床援助の心理学	久留 一郎／編著	北大路書房	¥2,097
00009482	臨床音声学の理論と実際　-正しい構音と発音-	濱崎　健治／著	慶應通信	¥6,000
00009483	臨床過程と発達②　精神分析的考え方・かかわり方の実際	斎藤久美子・水田一郎	岩崎学術出版社	¥4,120
00009484	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris Winitz 監訳者　船山美奈子 岡崎恵子	協同医書出版社	¥3,800
00009485	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris Winitz 監訳者　船山美奈子 岡崎恵子	協同医書出版社	¥3,800
00009486	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris winitz／著	協同医書出版社	¥3,800
00009487	臨床言語学	紺野 加奈江／他訳	西村書店	¥6,500
00009488	臨床高次脳機能評価マニュアル2000	今村 陽子／著	新興医学出版社	¥6,000
00009489	臨床耳科学　カラーアトラス	原田 康夫／監訳	西村書店	¥25,000
00009490	臨床歯科全身管理ハンドブック	東理十三雄	南江堂	¥7,282
00009491	臨床失語症学－言語聴覚士のための理論と実践	佐藤ひとみ	医学書院	¥4,000
00009492	臨床失語症学ハンドブック	本村暁	医学書院	¥3,200
00009493	臨床心理学　文化・背景	河合隼雄	創元社	¥3,200
00009494	臨床心理学大系　パーソナリティ　2	小川　捷行/詫摩　武俊/ 三好　暁光	金子書房	¥4,854
00009495	臨床心理学大系　ライフサイクル　3	小川　捷行/斎藤　久美子/ 鑪　幹二郎	金子書房	¥4,855
00009496	臨床心理学への招待	野島 一彦／編著	ミネルヴァ書房	¥2,500
00009497	臨床心理学への招待	野島 一彦／編著	ミネルヴァ書房	¥2,500
00009498	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男・天野隆弘	中外医学社	¥16,000
00009499	臨床発達心理学1　臨床発達心理学概論	長崎 勤／他 編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009500	臨床発達心理学2　認知発達とその支援	田島 信元 ／他　編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009501	臨床発達心理学3　社会・情動発達とその支援	須田 治／他　編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009502	臨床発達心理学4　言語発達とその支援	岩立 志津夫／編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009503	臨床病態学1巻	北村　聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00009504	臨床病態学2巻	北村　聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00009505	臨床病態学3巻	北村　聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00009506	レイルマン２-自閉症文化の愉しみ方-	奥平 綾子／著	山洋社	¥1,700
00009507	レイルマン－自閉症文化への道しるべ-	奥平 綾子／著	山洋社	¥1,500
00009508	レクリエーション　改訂第２版 社会参加を促す治療的レクリエーション	寺山 久美子／監修	三輪書店	¥3,200
00009509	連続切片標本による脳・脊髄解剖アトラス	ジェームスＤ・フィックス	医学書院	¥5,000
00009510	聾・聴覚障害百科事典	キャロル・ターキントン＋ アレン・E.サスマン	明石書店	¥7,500
00009511	老化と脳	大村 裕・大浦 彦吉／編	共立出版	¥4,660
00009512	ろう教育と言語権 ろう児の人権救済申立の全容	小嶋 勇／編	明石書店	¥4,800
00009513	老人・障害者の心理	中野善達・守谷国光	福村出版	¥2,000
00009514	老人六法	荘村多加史	中央法規	¥5,500
00009515	老年期　生き生きしたかかわりあい	E.H.エリクソン／他著	みすず書房	¥2,900
00009516	老年期の自我発達心理学的研究	守屋國光	風間書房	¥14,000
00009517	老年者脳疾患症例のMRI	田中　真	医薬ジャーナル社	¥3,800
00009518	老年性精神疾患	エーミール・クレペリン	みすず書房	¥6,000
00009519	ロールシャッハ・テスト―自動診断システムへの招待―	村上 宣寛・村上 千恵子 ／共著	日本文化科学社	¥8,500
00009520	ロジャーズ全集15　クライエント中心療法の最近の発展	伊東 博／編訳	岩崎学術出版	¥6,000
00009521	ロジャーズ全集17　クライエント中心療法の評価	伊東 博／編訳	岩崎学術出版	¥6,000
00009522	ロボット化する子どもたち―「学び」の認知科学	渡部信一	大修館書店	¥1,800
00009523	論文のレトリック　わかりやすいまとめ方	澤田 昭夫／著	講談社	¥1,100

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009524	論理的思考の発達過程　差と類についての思考の発達	杉原 一昭／著	田研出版	¥5,500
00009525	論理療法と吃音 自分とうまくつき合う発想と実践	石隈利紀	芳賀書店	¥1,500
00009526	ワークショップ心理学	藤本 忠明・栗田 喜勝 ／他著	ナカニシ出版	¥2,000
00009527	わが子をどう守るか　―不登校・虐待・治療・いじめ・教育・法律―	石川憲彦　奥地圭子ほか	学苑社	¥1,900
00009528	わかりやすい　小児の高次脳機能障害対応マニュアル	栗原まな	診断と治療社	¥3,600
00009529	分かりやすい社会福祉・社会保障	眞船 拓子・杉本 正子 ／ほか編	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,100
00009530	わかりやすい内科学　第2版	井村裕夫	文光堂	¥9,000
00009531	わかりやすい脳卒中リハビリテーション	宮上光祐	新興医学出版社	¥3,000
00009532	わかるＬＤシリーズ1　ＬＤとは何か 基本的な理解のために	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥1,750
00009533	わかるＬＤシリーズ２　ＬＤの見分け方　診断とアセスメント	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,100
00009534	わかるＬＤシリーズ3　ＬＤと学校教育	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,100
00009535	わかるＬＤシリーズ4　ＬＤの治療と医療	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,400
00009536	わかるＬＤシリーズ5　ＬＤと家庭教育	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,100
00009537	わかるLDシリーズ6　LDの思春期・青年期	日本LD学会/編集	日本文化科学社	¥2,100
00009538	わかる音響学	中村顕一	日新出版	¥1,900
00009539	ワーキングメモリの認知神経心理学的研究 -脳波からのアプローチー	苧阪 満里子／著	風間書房	¥13,000
00009540	私たちの社会福祉法	佐藤進　児島美都子	法律文化社	¥2,900
00009541	わたしたちの手話　総さくいん2002年版	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥550
00009542	わたしたちの手話（7）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009543	わたしたちの手話（1）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009544	わたしたちの手話（10）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009545	わたしたちの手話（2）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009546	わたしたちの手話（3）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009547	わたしたちの手話（4）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009548	わたしたちの手話（5）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009549	わたしたちの手話（6）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009550	わたしたちの手話（8）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009551	わたしたちの手話（9）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009552	わたしたちの手話（会話編1）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009553	わたしたちの手話（会話編2）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009554	わたしたちの手話（会話編3）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009555	私の障害、私の個性。	ウェンディ・ローソン	花風社	¥1,600
00009556	私の脳卒中体験	田中 良太／著	同時代社	¥1,262
00009557	笑ってよ、ゆっぴぃ	石井めぐみ	フジテレビ出版	¥1,165
00009558	我,自閉症に生まれて	テンプル・グランディン マーガレット・M. スカリアーノ	学習研究社	¥2,400
00009559	意味と発話行為	ダニエル・ヴァンダーヴェーゲン	ひつじ書房	¥5,000
00009560	意味論	ピエール・ギロー	白水社	¥951
00009561	異常心理学講座　第10巻　文化・社会の病理	土居 健郎／他編	みすず書房	¥5,000
00009562	異常心理学講座　第8巻　テストと診断	土居 健郎／他編	みすず書房	¥5,000
00009563	異常心理学講座1　　学派と方法	南光 進一郎／共著	みすず書房	¥5,000
00009564	異常心理学講座8　　テストと診断	笠原 嘉／共著	みすず書房	¥5,000
00009565	医学概論	日野原重明	医学書院	¥1,600
00009566	医学概論	日野原重明	医学書院	¥1,600
00009567	医学概論	日野原重明	医学書院	¥1,600
00009568	医学概論	小坂樹徳	株式会社メヂカルフレンド社	¥2,400
00009569	医学概論（新版看護学全書（別巻9））	小坂 樹徳	株式会社メヂカルフレンド社	¥2,400
00009570	医療学総論	広井良典	金原出版	¥1,500
00009571	音遊びの聴覚学習	徳島県立聾学校	学苑社	¥2,500
00009572	学生のための医療概論	千代豪昭、黒田研二	医学書院	¥2,800
00009573	機能文法のすすめ	M.A.Kハリデー, R.ハッサン	大修館書店	¥2,700
00009574	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤　伸二	芳賀書店	¥1,600
00009575	結果可能表現の研究	張威	くろしお出版	¥3,800
00009576	健康長寿診療ハンドブック-実地医家のための老年医学のエッセンス	日本老年医学会	メジカルビュー社	¥1,000
00009577	言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00009578	言語を生み出す本能（下）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,262
00009579	言語を生み出す本能（上）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,262
00009580	言語聴覚シリーズ　器質性構音障害	斎藤裕恵	建帛社	¥2,600
00009581	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内紀子	建帛社	¥2,400
00009582	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内紀子	建帛社	¥2,400
00009583	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎京子	建帛社	¥2,500
00009584	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎京子	建帛社	¥2,400
00009585	言語聴覚シリーズ　言語発達障害Ⅰ	大貝茂	建帛社	¥2,400
00009586	言語聴覚シリーズ　言語発達障害Ⅰ	大貝茂	建帛社	¥2,400
00009587	言語聴覚シリーズ　失語症	石川裕治	建帛社	¥2,400
00009588	言語聴覚シリーズ　摂食・嚥下障害	清水充子	建帛社	¥2,400
00009589	言語聴覚シリーズ　聴覚障害Ⅰ　基礎編	山田弘他	建帛社	¥2,400

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009590	言語聴覚シリーズ　聴覚障害Ⅱ　臨床編	佐場野優一他	建帛社	¥2,400
00009591	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学　第2版	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00009592	言語聴覚士のための基礎知識 小児科学・発達障害学	宮尾 益知	医学書院	¥3,500
00009593	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村 健	医歯薬出版	¥4,000
00009594	言語聴覚士国家試験過去問題3年間の解答と解説　2008年版	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥3,500
00009595	言語聴覚士国家試験過去問題3年間の解答と解説　2009年版	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥3,500
00009596	言語聴覚士国家試験過去問題3年間の解答と解説　2009年版	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥3,500
00009597	言語聴覚士国家試験合格のための基本問題300	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥2,600
00009598	言語聴覚士国家試験合格のための基本問題300	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥2,600
00009599	言語聴覚士国家試験問題過去３年間の回答と解説　２００３年版	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥3,400
00009600	言語聴覚士国家試験問題過去３年間の回答と解説　２０５年版	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥3,400
00009601	言語聴覚士国家試験問題過去３年間の回答と解説　２１０年版	言語聴覚士国家試験対策委員会	大揚社	¥3,500
00009602	言語聴覚士国家試験予想問題集　2001年	板倉　徹，板倉　登志子 瀧本　孝雄	ブレーン出版	¥1,200
00009603	言語聴覚士国家試験予想問題集　2001年	板倉　徹，板倉　登志子 瀧本　孝雄	ブレーン出版	¥1,200
00009604	言語聴覚士国家試験予想問題集　改訂版	板倉　徹，板倉　登志子 瀧本　孝雄	ブレーン出版	¥1,800
00009605	言語聴覚士指定講習会テキスト	財団法人医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥3,500
00009606	言語聴覚士指定講習会テキスト	医療研修推進財団	医歯薬出版	¥3,500
00009607	言語聴覚士指定講習会テキスト　第２版	財団法人医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥3,500
00009608	言語聴覚療法 臨床マニュアル	平野哲雄　他	協同医書出版社	¥6,800
00009609	言語聴覚療法シリーズ11 言語発達障害Ⅱ	斉藤 吉人／編著	建帛社	¥2,400
00009610	言語聴覚療法シリーズ11 言語発達障害Ⅱ	斉藤 吉人／編著	建帛社	¥2,400
00009611	言語聴覚療法シリーズ11 言語発達障害Ⅱ	斉藤 吉人／編著	建帛社	¥2,400
00009612	言語聴覚療法シリーズ12 言語発達障害Ⅲ	笠井 新一郎／編著	建帛社	¥2,400
00009613	言語聴覚療法臨床マニュアル	小寺 富子	協同医書出版社	¥6,800
00009614	言語聴覚療法臨床マニュアル	小寺 富子	協同医書出版社	¥6,800
00009615	言語発達障害３	笠井新一郎	株式会社建帛社	¥2,400
00009616	言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹恒夫、小寺富子、 倉井成子	医学書院	¥3,700
00009617	光とともに・・・1	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009618	光とともに・・・10	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009619	光とともに・・・11	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009620	光とともに・・・13	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009621	光とともに・・・2	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009622	光とともに・・・3	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009623	光とともに・・・4	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009624	光とともに・・・5	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009625	光とともに・・・6	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009626	光とともに・・・7	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009627	光とともに・・・9	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009628	厚生の指標臨時増刊 国民の福祉の動向　２００３年第５０巻第１２号	厚生統計協会／編	厚生統計協会	¥1,800
00009629	厚生の指標臨時増刊 国民の福祉の動向　２００３年第５０巻第９号	厚生統計協会／編	厚生統計協会	¥2,095
00009630	口蓋裂の言語臨床	岡崎恵子、加藤正子、 北野市子	医学書院	¥5,000
00009631	口蓋裂の言語臨床	岡崎恵子、加藤正子	医学書院	¥5,000
00009632	講座「言語障害児の診断と指導」第4巻　聴覚障害の診断と指導	小川　仁・谷　俊治・ 出口　利定/編	学苑社	¥3,398
00009633	最新 脳と神経科学シリーズ3 遅発ウイルス感染症とその類縁疾患	高倉 公朋／監修	メジカルビュー社	¥9,270
00009634	最新育児小児病学	黒田 泰弘	南江堂	¥2,800
00009635	最新育児小児病学	黒田 泰弘	南江堂	¥2,800
00009636	最新育児小児病学	黒田 泰弘	南江堂	¥2,800
00009637	耳鼻咽喉科学	鳥山稔、田内光	医学書院	¥3,800
00009638	耳鼻咽喉科診療プラクティス3　新生児・幼児・小児の難聴	池田 勝久・ 加我 君孝／編	文光堂	¥13,000
00009639	自閉症の理解	G.B.メジボブ　他	学苑社	¥2,200
00009640	失語症のリハビリテーション―全体構造法のすべて	道関 京子	医歯薬出版	¥3,800
00009641	失語症の訓練教材―139の教材と活用法	鈴木 勉	三輪書店	¥3,800
00009642	失語症訓練のためのドリル集4 漢字・仮名の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,600
00009643	失語症訓練のためのドリル集5 文構成の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,200
00009644	失語症訓練のためのドリル集7 分作成と難しい語句の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,200
00009645	失語症訓練のためのドリル集8 難しい内容表現の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥2,800
00009646	失語症臨床ガイド	竹内愛子	協同医書出版社	¥5,500
00009647	失聴　豊かな世界の発見	ハンナ・メーカ	晶文社	¥2,300
00009648	瞬目反射の先行刺激効果―その心理学的意義と応用	山田 冨美雄	多賀出版	¥7,200
00009649	小児人工内耳	本庄巖	金原出版	¥4,300
00009650	症例から学ぶ実践脳卒中リハビリテーション	宮野佐年，三上真弘	全日本病院出版会	¥4,600
00009651	症例から学ぶ実践脳卒中リハビリテーション	宮野佐年，三上真弘	全日本病院出版会	¥4,600
00009652	新 ことばの科学入門	Gloria J. Borden他	医学書院	¥6,200

（資料27）図書リスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009653	新ことばの科学入門	廣瀬 肇	医学書院	¥6,200
00009654	新心理学ライブラリー13　心理測定法への招待	市川 伸一／編著	サイエンス社	¥2,700
00009655	新心理学ライブラリー13　心理測定法への招待	市川 伸一／編著	サイエンス社	¥2,700
00009656	新心理学ライブラリー15　心理学史への招待	梅本 堯夫／編著	サイエンス社	¥2,800
00009657	新心理学ライブラリー7　最新認知心理学への招待	御領 謙・菊地 正 ／他 共著	サイエンス社	¥2,600
00009658	新心理学ライブラリー7　最新認知心理学への招待	御領 謙・菊地 正 ／他 共著	サイエンス社	¥2,600
00009659	新心理学ライブラリー8　実験心理学への招待	大山 正・中島　義明 ／共編	サイエンス社	¥2,000
00009660	新心理学ライブラリー9　性格心理学への招待	詫摩 武俊・瀧本 孝雄 ／他　共著	サイエンス社	¥2,000
00009661	神経科学原著第3版コミュニケーション障害理解のために	SubhashC. Bhatnagar他	医歯薬出版	¥9,200
00009662	神経心理学コレクション　記憶の神経心理学	山鳥　重	医学書院	¥2,600
00009663	神経心理学コレクション　彦坂興秀の課外授業　眼と精神	彦坂興秀・山鳥　重・ 河村　満	医学書院	¥3,000
00009664	神経心理学入門	山鳥重	医学書院	¥6,400
00009665	人間の発達と臨床心理学6　老年期の臨床心理学	伊藤 隆二／他編	駿河台出版	¥3,107
00009666	人権の絵本②　ちがいを豊かさに	岩川 直樹／文	大月書店	¥1,800
00009667	人権の絵本③　それって人権？	喜多 明人／文	大月書店	¥1,800
00009668	人権の絵本④　わたしたちの人権宣言	喜多 明人／文	大月書店	¥1,800
00009669	人工内耳とコミュニケーション	黒田生子	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009670	図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション	山永 裕明，野尻 晋一	三輪書店	¥3,200
00009671	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 2 遺伝子異常と耳疾患	神崎　仁/編	メジカルビュー社	¥9,000
00009672	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 3 遺伝子異常と耳疾患	神崎　仁/編	メジカルビュー社	¥9,000
00009673	成人看護学	三条大助、丸茂町子	金原出版	¥1,456
00009674	正常発達―脳性まひ治療への応用	Jung Sun Hong,紀伊/克昌	三輪書店	¥3,200
00009675	生成文法用語辞典	安藤貞雄、小野隆啓	大修館書店	¥2,400
00009676	精神障害の臨床（日本医師会生涯教育シリーズ）	上島国利	日本医師会	
00009677	声の検査法（基礎編）	日本音声言語医学会	医歯薬出版	¥4,400
00009678	摂食・嚥下障害の評価法と食事指導	金子芳洋・向井美恵	医歯薬出版	¥3,600
00009679	摂食・嚥下リハビリテーション	金子芳洋・千野直一	医歯薬出版	¥6,200
00009680	摂食・嚥下リハビリテーション	金子芳洋・千野直一	医歯薬出版	¥6,200
00009681	総合学習に役立つボランティア② ひとりでできるボランティア	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00009682	総合学習に役立つボランティア③ 友だちとできるボランティア	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00009683	総合学習に役立つボランティア④ 家族でできるボランティア	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00009684	大人の手話子どもの手話　手話にみる空間認知の発達	中野　聡子	明石書店	¥2,400
00009685	大田仁史リハビリエッセイ　心にふれる	大田 仁史／著	荘道社	¥1,457
00009686	知覚と認知の心理学1　視知覚の形成１ 開眼手術後の定位と弁別	鳥居 修晃・立花 政夫 ／共著	培風館	¥4,078
00009687	痴呆の症候学（神経心理学コレクション）	田邉 敬貴	医学書院	¥4,300
00009688	中途聴者と難聴者の世界	山口利勝	一橋出版	¥1,400
00009689	聴覚障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,200
00009690	聴覚障害者が見たアメリカ社会	しみず・よりお	現代書館	¥2,200
00009691	聴覚障害者への統合的アプローチ	村瀬嘉代子	日本評論社	¥2,200
00009692	聴覚障害者も使える図書館に―図書館員のためのマニュアル	日本図書館協会障害者サービス委員会聴覚障害者に対する図書館サービスを考えるワーキンググループ	日本図書館協会	¥800
00009693	突発性難聴の正しい取り扱い　改訂第2版	柳田則之	金原出版	¥4,800
00009694	内科学	伊東進、森博愛	医学出版社	¥4,500
00009695	難聴児の幸せのために―早期教育とインテグレーションへの道	母と子の教室親の会	ぶどう社	¥1,850
00009696	日本語の特質	佐久間鼎	くろしお出版	¥4,175
00009697	日本語の論理	三上章	くろしお出版	¥2,500
00009698	日本語文法研究序説	仁田義雄	くろしお出版	¥2,800
00009699	乳幼児期の視覚運動発達	河合 優年	風間書房	¥11,500
00009700	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00009701	認知意味論	田中茂範	三友社出版	¥2,000
00009702	認知科学選書13　ことばからみた心	大津 由紀雄／編	東京大学出版会	¥2,600
00009703	認知科学選書14　「わざ」から知る	生田 久美子／著	東京大学出版会	¥2,600
00009704	認知科学選書15　からだ：認識の原点	佐々木 正人／著	東京大学出版会	¥2,600
00009705	認知科学選書16　なぜ人は書くのか	茂呂　雄二／著	東京大学出版会	¥2,600
00009706	認知科学選書17　比喩と理解	山梨 正明／著	東京大学出版会	¥2,800
00009707	認知科学選書17　比喩と理解	山梨 正明／著	東京大学出版会	¥2,800
00009708	認知科学選書18　決心を支援する	小橋 康章／著	東京大学出版会	¥2,700
00009709	認知科学選書19　心の計算理論	佐住　彰文／著	東京大学出版会	¥2,600
00009710	認知科学選書20　機械の知　人間の知	辻井 潤一・安西 祐一郎 ／著	東京大学出版会	¥2,600
00009711	認知科学選書21　認識と文化	福井 勝義／著	東京大学出版会	¥2,600
00009712	認知科学選書22　神経回路網モデルとコネクショニズム	甘利 俊一／著	東京大学出版会	¥2,200
00009713	認知科学選書23　チンパンジーから見た世界	松沢 哲郎／著	東京大学出版会	¥2,200
00009714	認知科学選書24　感情	戸田 正直／著	東京大学出版会	¥2,800
00009715	認知症（アクチュアル 脳・神経疾患の臨床）	河村　満	中山書店	¥10,000
00009716	脳を学ぶ―「ひと」がわかる生物学	森岡周　他	協同医書出版社	¥2,800
00009717	発語内行為の意味ネットワーク	阿部桂子、越智希美子、 鈴木光代、向井留実子	晃洋書房	¥2,600
00009718	発話行為の言語理論へ向けて	ジェラルドM. セイダック	文化書房博文社	¥6,200
00009719	文字の科学	大沢一爽	財団法人 法政大学出版局	¥1,600
00009720	文法と音声	音声文法研究会	くろしお出版	¥3,500
00009721	目でみるリハビリテーション医学	上田 敏	東京大学出版会	¥3,800
00009722	老年医学テキスト	日本老年医学会	メジカルビュー社	¥7,000
00009723	話言葉の文法	三尾砂	くろしお出版	¥4,600
00009724	嚥下障害の内視鏡検査と治療	藤島一郎	医歯薬出版	¥6,600
00009725	嚥下障害の内視鏡検査と治療	藤島一郎	医歯薬出版	¥6,600
00009726	嚥下のしくみと臨床	丘村熙	金原出版	¥4,660

（資料27）図書リスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00009727	嚥下のしくみと臨床	丘村熙	金原出版	¥4,660
00009728	嚥下の見える評価をしよう!頸部聴診法トレーニング 57症例の嚥下音と嚥下造影画像で繰り返し練習できるDVD付き!	大野木宏彰	メディカ出版	¥6,200
00009729	嚥下障害のリハビリテーション―訓練と食餌計画の実際	Jill S.Steefel　他	協同医書出版社	¥3,000

(図書)洋書購入リスト

No.	書　　名	発行年	価格
1	Gray's Anatomy:The Anatomical Basis of Clinical Practice, 41st ed. (Gray's Anatomy)	2016	27,592
2	Gray's Anatomy for Students, 3rd ed. (Gray's Anatomy)	2015	12,024
3	Gray's Basic Anatomy paper 2nd ed.	2017	8,312
4	Gray's Atlas of Anatomy, 2nd ed. (Gray's Anatomy)	2015	10,616
5	Gray's Clinical Neuroanatomy(Gray's Anatomy)	2011	12,792
6	Grant's Atlas of Anatomy 14th ed./IE. paper	2017	9,568
7	Atlas of Human Anatomy, 6th ed. (Netter Basic Science)	2014	10,616
8	Atlas of Human Anatomy:Professional Edition, 6th ed. (Netter Basic	2014	25,472
9	Netter's Clinical Anatomy 3rd ed.(Netter Basic Science) '14	2014	8,056
10	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 1:Reproductive System, 2nd ed. (Netter Green Book Collection, Vol. 1)	2011	12,672
11	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 2:The Endocrine System, 2nd ed. (Netter Green Book Collection, Vol. 2)	2011	12,672
12	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 3:Respiratory System, 2nd ed. (Netter Green Book Collection, Vol. 3) '11	2011	12,672
13	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 4:Integumentary System, 2nd ed. (Netter Green Book Collection, Vol. 4)	2012	12,672
14	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 5:Urinary System, 2nd ed. (Netter Green Book Collection, Vol. 5) '12	2012	12,792
15	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 6 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 6/Pt. 1) '12	2013	12,792
16	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 6 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 6/Pt. 2) '13	2013	12,792
17	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 6 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 6/Pt. 3) '13	2013	12,792
18	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 7 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 7/Pt. 1) hardcover 392 p. 13	2013	12,792
19	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 7 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 7/Pt. 2) '13	2013	12,792
20	The Netter Collection of Medical Illustrations, Volume 8:Cardiovascular System, 2nd ed. (Netter Green Book Collection, Vol. 8)	2014	12,792
21	The Netter Collection of Medical Illustrations 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 9/Pt. 1) hardcover 296 p. 16	2017	10,400
22	The Netter Collection of Medical Illustrations 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 9/Pt. 2) hardcover 240 p. 16	2017	10,400
23	The Netter Collection of Medical Illustrations 2nd ed.(Netter Green Book Collection Vol. 9/Pt. 3) hardcover 184 p. 16	2017	10,400
24	Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology, 13th ed. (Guyton Physiology) '15	2016	15,992
25	Ganong's Review of Medical Physiology, 25th ed. '15	2016	8,320
26	Human Biology 14th ed./ISE. paper 672 p. 15	2018	7,760
27	Lippincott's Illustrated Reviews: Physiology, IE. '12	2013	6,696
28	Principles of Neural Science 5th ed. hardcover 1760 p. 12	2013	20,352
29	Neuroscience:Exploring the Brain, 4th ed./IE. '15	2016	14,040
30	Fundamental Neuroscience, 4th ed. '12	2012	9,560
31	Networks of the Brain '10	2016	4,914
32	From Neuron to Brain	2012	17,400
33	Guide to Research Techniques in Neuroscience, 2nd ed. '15	2015	9,592
34	Mathematics for Neuroscientists	2017	15,000
35	Decision Making in Health and Medicine	2014	15,640
36	Goldman-Cecil Medicine	2016	25,592
37	Andreoli and Carpenter's Cecil Essentials of Medicine	2016	9,848
38	The Washington Manual of Medical Therapeutics	2016	7,976
39	Oxford Textbook of Medicine	2010	50,736
40	CURRENT Medical Diagnosis and Treatment 2018	2018	9,792
41	Davidson's Principles and Practice of Medicine	2014	9,744
42	Psychiatric Care of the Medical Patient	2016	20,541
43	CURRENT Diagnosis and Treatment Family Medicine	2015	10,112
44	Primary Care Medicine	2014	13,296
45	Bates' Guide to Physical Examination and History Taking	2017	13,824
46	Bates' Pocket Guide to Physical Examination and History Taking	2017	6,696
47	Differential Diagnosis in Primary Care	2018	8,136
48	Symptom to Diagnosis	2015	7,808
49	Evidence-Based Physical Diagnosis	2018	8,952
50	Sapira's Art and Science of Bedside Diagnosis	2010	13,296
51	Henry's Clinical Diagnosis and Management by Laboratory Methods	2017	24,952
52	Textbook of Physical Diagnosis	2014	14,080
53	Pharmacotherapy 病態生理学的アプローチによる薬物療法 第10版	2017	29,312
54	Pharmacotherapy 薬物療法の原理と実際 第3版	2013	20,352
55	Nutrition in Clinical Practice	2015	8,824
56	Campbell's Core Orthopaedic Procedures	2015	25,592
57	Surgical Exposures in Orthopaedics	2017	28,192
58	Operative Techniques in Orthopaedic Surgery	2016	63,832

No.	書　　名	発行年	価格
59	Basic Biomechanics of the Musculoskeletal System	2012	9,360
60	Operative Arthroscopy	2013	39,896
61	Green's Operative Hand Surgery	2017	47,992
62	Tendon Surgery of the Hand	2012	29,312
63	Operative Elbow Surgery	2012	34,776
64	Surgery of the Hip	2013	45,480
65	Insall & Scott Surgery of the Knee	2018	47,992
66	Sarrafian's Anatomy of the Foot and Ankle	2011	31,808
67	Mann's Surgery of the Foot and Ankle	2014	48,600
68	Rothman-Simeone The Spine	2018	46,792
69	Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics	2014	53,192
70	Tachdjian's Pediatric Orthopaedics	2014	59,400
71	Braunwald's Heart Disease, 2-Volume Set	2015	31,080
72	Hurst's the Heart	2017	33,600
73	Physiology of the Heart	2011	10,632
74	McDonald's Blood Flow in Arteries	2011	33,536
75	Feigenbaum's Echocardiography	2010	27,656
76	Cardiac Electrophysiology	2018	31,192
77	Catheter Ablation of Cardiac Arrhythmias	2015	29,312
78	Hemostasis and Thrombosis	2013	45,216
79	Kaplan's Clinical Hypertension	2015	10,632
80	Murray & Nadel's Textbook of Respiratory Medicine	2016	47,992
81	Fishman's Pulmonary Diseases and Disorders	2015	54,000
82	Muller's Diseases of the Lung	2012	21,064
83	Respiratory Physiology	2006	5,424
84	Egan's Fundamentals of Respiratory Care	2017	18,560
85	Pleural Diseases	2013	17,016
86	Clinical Respiratory Medicine	2012	22,912
87	Kaplan and Sadock's Comprehensive Textbook of Psychiatry	2017	42,552
88	Kaplan and Sadock's Synopsis of Psychiatry	2015	13,192
89	New Oxford Textbook of Psychiatry	2012	27,088
90	Lishman's Organic Psychiatry	2012	12,160
91	CURRENT Diagnosis and Treatment Psychiatry	2018	10,880
92	The Oxford Handbook of Philosophy and Psychiatry	2015	12,034
93	The SAGE Encyclopedia of Theory in Counseling and Psychotherapy	2015	48,425
94	DSM-5:Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, 5th ed. '13	2013	19,072
95	The Oxford Handbook of Suicide and Self-Injury	2014	23,400
96	The Wiley Blackwell Handbook of Mood Disorders	2013	24,840
97	Handbook of Autism and Pervasive Developmental Disorders	2014	38,400
98	The Wiley Handbook of Anxiety Disorders	2014	48,600
99	Traumatic Stress	2006	10,664
100	The Wiley Handbook of Eating Disorders	2015	47,400
101	Brocklehurst's Textbook of Geriatric Medicine and Gerontology	2017	33,664
102	Hazzard's Geriatric Medicine and Gerontology 7th ed. hardcover 2096 p., 95 illus. 16	2017	34,680
103	Pathy's Principles and Practice of Geriatric Medicine	2012	67,800
104	CURRENT Diagnosis and Treatment Geriatrics	2014	9,600
105	The Epidemiology of Aging '12	2012	31,192
106	Exercise Physiology	2016	11,696
107	Nutrition for Health, Fitness & Sport	2013	22,528
108	Athletic and Sport Issues in Musculoskeletal Rehabilitation	2010	12,240
109	DeLee & Drez's Orthopaedic Sports Medicine	2015	47,880
110	Surgical Techniques of the Shoulder, Elbow, and Knee in Sports Medicine	2014	30,600
111	Foot and Ankle Sports Medicine	2012	26,592
112	Sports Injuries in Children and Adolescents	2014	8,279
113	ACSM's Guidelines for Exercise Testing and Prescription	2018	5,104
114	Whittle's Gait Analysis	2012	7,352
115	Orthotics and Prosthetics in Rehabilitation	2013	15,488
116	Textbook of Neural Repair and Rehabilitation	2014	25,481
117	Neurological Rehabilitation	2013	13,696
118	Stroke Rehabilitation	2016	14,720
119	Clinical Orthopaedic Rehabilitation	2018	12,792
120	Rehabilitation of the Hand and Upper Extremity	2011	35,880
121	Braddom's Physical Medicine and Rehabilitation	2016	35,992
122	Physical Therapy for Children	2012	14,848
123	Pedretti's Occupational Therapy	2012	13,696
124	Physical Agents in Rehabilitation	2017	10,794
125	Differential Diagnosis for Physical Therapists	2017	11,994
126	Pedretti's Occupational Therapy	2011	13,560
127	Introduction to Occupational Therapy	2017	8,394
128	Occupational Therapy for People Experiencing Illness, Injury or Impairment [previously entitled Occupational Therapy and Physical Dysfunction]	2017	9,834
129	Psychologically-Informed Physiotherapy	2017	7,434
130	Occupational Therapies Without Borders	2016	8,274
131	Campbell's Physical Therapy for Children Expert Consult	2016	13,920

No.	書　名	発行年	価格
132	International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems, 10th Revision (ICD-10)	2015年	69,624
133	Dorland's Illustrated Medical Dictionary	2011年	6,966
134	The Language of Medicine	2016年	13,393
135	AMA Manual of Style	2007年	10,080
136	Principles of Biomedical Ethics	2012年	9,838
137	Biology	2017年	8,204
138	Life	2016年	14,024
139	Structure & Function of the Body	2015年	9,428
140	The Human Body in Health & Disease	2017年	9,564
141	Gray's Anatomy	2015年	27,579
142	Gray's Anatomy for Students	2014年	12,852
143	Grant's Atlas of Anatomy	2016年	11,960
144	Grant's Dissector	2016年	8,640
145	Atlas of Human Anatomy	2018年	11,348
146	The Netter Collection of Medical Illustrations	2016年	136,738
147	Atlas of Anatomy	2016年	11,283
148	Human Anatomy	2016年	9,191
149	Clinically Oriented Anatomy	2017年	13,290
150	Sectional Anatomy by MRI and CT	2016年	41,020
151	Weir & Abrahams' Imaging Atlas of Human Anatomy	2016年	8,272
152	Histology and Cell Biology	2015年	11,348
153	Molecular Biology of the Cell	2014年	27,029
154	Essential Cell Biology	2013年	22,248
155	Developmental Biology	2016年	13,702
156	Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology	2015年	17,091
157	Medical Physiology	2016年	16,407
158	Cellular and Molecular Immunology	2017年	12,441
159	Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease	2014年	17,091
160	Rosai and Ackerman's Surgical Pathology	2017年	61,531
161	Orthopaedic Pathology	2015年	50,000
162	Greenfield's Neuropathology	2015年	77,871
163	Lehninger Principles of Biochemistry	2017年	14,508
164	Biochemistry	2015年	13,702
165	Human Molecular Genetics	2010年	12,871
166	Principles of Neural Science	2012年	25,440
167	Neuroscience	2015年	17,550
168	Principles of Neurobiology	2015年	19,306
169	Atlas of the Human Brain	2015年	34,185
170	Harrison's Principles of Internal Medicine	2015年	37,350
171	Kelley and Firestein's Textbook of Rheumatology	2016年	61,531
172	Sabiston Textbook of Surgery	2016年	27,346
173	Campbell's Operative Orthopaedics	2016年	82,042
174	Surgical Exposures in Orthopaedics	2016年	35,240
175	Orthopaedic Neurology	2017年	13,290
176	Green's Operative Hand Surgery	2016年	54,694
177	Morrey's The Elbow and Its Disorders	2017年	47,857
178	Insall & Scott Surgery of the Knee	2017年	54,694
179	Rockwood, Green, and Wilkins' Fractures in Adults and Children	2014年	93,090
180	AO Principles of Fracture Management	2017年	67,710
181	Rothman-Simeone and Herkowitz's The Spine	2017年	53,327
182	Clinical Orthopaedic Rehabilitation	2017年	13,672
183	Pathology and Intervention in Musculoskeletal Rehabilitation	2015年	13,667
184	Plastic Surgery	2017年	205,108
185	Nolte's The Human Brain	2015年	10,254
186	The Brain Atlas	2017年	8,204
187	Fundamental Neuroscience for Basic and Clinical Applications	2017年	13,672
188	Netter's Atlas of Neuroscience	2015年	8,613
189	Adams and Victor's Principles of Neurology	2014年	32,480
190	Neuromodulation	2017年	95,164
191	Principles and Practice of Movement Disorders	2011年	32,680
192	Handbook of Neurosurgery	2016年	16,120
193	Nelson Textbook of Pediatrics	2015年	23,244
194	Brocklehurst's Textbook of Geriatric Medicine and Gerontology	2016年	34,934
195	Oxford Textbook of Geriatric Medicine	2017年	45,049
196	Reichel's Care of the Elderly	2016年	18,459
197	Geriatric Physical Therapy	2011年	15,178
198	A Comprehensive Guide to Geriatric Rehabilitation	2014年	10,111
199	The Encyclopedia of Elder Care	2017年	37,603
200	Radiology Review Manual	2017年	21,270
201	Osborn's Brain	2017年	47,857
202	Encyclopedia of Sports Medicine	2011年	146,181
203	Netter's Sports Medicine	2017年	17,091
204	Sports Injuries	2015年	96,570
205	DeLee & Drez's Orthopaedic Sports Medicine	2014年	54,694

No.	書　　名	発行年	価格
206	Oxford Textbook of Children's Sport and Exercise Medicine	2017年	24,823
207	Braddom's Physical Medicine and Rehabilitation	2015年	41,020
208	The Oxford Handbook of Rehabilitation Psychology	2012年	24,613
209	Rehabilitation Research	2015年	10,795
210	ACSM's Guidelines for Exercise Testing and Prescription	2017年	6,380
211	Musculoskeletal Physical Examination	2016年	13,672
212	Whittle's Gait Analysis	2012年	7,904
213	Orthotics and Prosthetics in Rehabilitation	2012年	18,459
214	Neuromechanics of Human Movement	2015年	17,434
215	Kinesiology	2016年	11,342
216	Kinesiology	2016年	14,490
217	Motor Control	2016年	14,090
218	Neuroscience	2017年	13,120
219	Neurological Rehabilitation	2012年	16,955
220	Stroke Rehabilitation	2015年	15,725
221	Rehabilitation of the Hand and Upper Extremity	2011年	43,756
222	Introduction to Physical Therapy	2015年	10,522
223	Cardiovascular and Pulmonary Physical Therapy	2012年	15,861
224	Campbell's Physical Therapy for Children	2016年	15,861
225	Pedretti's Occupational Therapy	2017年	13,237
226	Occupational Therapies Without Borders	2016年	8,272
227	Kielhofner's Model of Human Occupation	2017年	11,560
228	The New Public Health	2014年	16,408

（資料28） 履修モデル

履修モデル（理学療法学科）

最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材を育成する。

科目区分		1年次					2年次					3年次					4年次					計
		授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		大学入門	前	1			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								22
		職業人の倫理と道徳論	後	2			国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
		心理学	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								
		日本の歴史と文化	前	2																		
		基礎生物	前	1																		
		基礎物理	前	1																		
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後	2								91
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	理学療法概論	前	2			基礎理学療法学	前	2			基礎理学療法実習Ⅱ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
		理学療法評価学Ⅰ	後	2			基礎理学療法実習Ⅰ	後	1			理学療法管理学概論	前	2			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	前	1			
		運動療法	後	1			理学療法評価学Ⅱ	前	1			理学療法評価学実習Ⅲ	前	1			総合実習Ⅱ	前	8			
		見学実習	通	1			理学療法評価学実習Ⅰ	後	1			物理療法実習	前	1								
							理学療法評価学実習Ⅱ	後	1			理学療法治療学実習Ⅲ	前	1								
							運動療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害理学療法学	前	1								
							運動療法実習Ⅱ	後	1			生涯スポーツ実習	前	1								
							物理療法	後	1			義肢装具学	後		1							
							理学療法治療学Ⅰ	前	2			地域理学療法学	前	1								
							理学療法治療学Ⅱ	前	1			予防理学療法学	後		1							
							理学療法治療学Ⅲ	後	1			評価実習	前	3								
							理学療法治療学Ⅳ	後	1			総合実習Ⅰ	後	8								
							理学療法治療学実習Ⅰ	前	1													
							理学療法治療学実習Ⅱ	後	1													
							日常生活活動学	前	1													
							日常生活活動学実習	後	1													
							スポーツ理学療法特論	後	1													
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			NPO論	前	2			20
												食生活マネジメント論	前	2			スポーツ科学	前	2			
												生体情報科学	後	2			起業入門	前	2			
																	マネジメント論	前	2			
																	コーチング論	前	2			
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				36	2	0			36	0	0			34	4	0			25	0	0	137

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目131単位、選択科目4単位以上を履修すること。
　基礎科目22単位以上
　　必修科目18単位以上
　　選択科目4単位以上
　職業専門科目89単位以上
　　専門基礎分野科目から必修科目32単位以上
　　専門分野科目から必修科目57単位以上
　展開科目必修科目20単位以上
　総合科目必修科目４単位以上

　実習・実験科目から40単位以上
　　うち、臨地実務実習20単位以上

　履修登録上限は、1年間において39単位とする。
ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

（資料28） 履修モデル

履修モデル（作業療法学科）

最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成する。

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次				計
		授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		大学入門	前	1			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								
		職業人の倫理と道徳論	後	2			国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
		心理学	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								22
		日本の歴史と文化	前	2																		
		基礎生物	前	1																		
		基礎物理	前	1																		
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後	2			地域包括マネジメント論	前	1			
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	作業療法概論	前	2			基礎作業学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
		基礎作業学	後	1			基礎作業学実習Ⅱ	後	1			作業療法管理学概論	後	2			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学	前	1			
		作業療法評価学	後	2			作業療法評価学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学	前	1			総合実習Ⅱ	前	9			90
		見学実習	通	1			作業療法評価学実習Ⅱ	後	1			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	前	1								
							作業療法評価学実習Ⅲ	後	1			身体障害作業療法学Ⅲ	前	1								
							身体障害作業療法学Ⅰ	前	2			身体障害作業療法学Ⅳ	前	1								
							身体障害作業療法学Ⅱ	前	2			身体障害作業療法実習Ⅲ	前	1								
							身体障害作業療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害作業療法実習	前	1								
							身体障害作業療法実習Ⅱ	後	1			義肢装具学	後		1							
							老年期障害作業療法学	後	1			地域作業療法学	後	1								
							精神障害作業療法学	後	1			予防作業療法学	後	1								
							日常生活活動学	前	1			評価実習	前	3								
							日常生活活動学実習	後	1			総合実習Ⅰ	後	9								
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			地域生活と健康	前	2			
												家族関係論	前	2			特別支援教育	前	2			
												地域社会論	後	2			人間工学	前	2			20
												コミュニティ形成論	後	2			ライフサイクル論	前	2			
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			
																	卒業論文	後	2			4
単位数				36	2	0			32	0	0			38	3	0			25	0	0	136

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目131単位、選択科目4単位以上を履修すること。
基礎科目22単位以上
必修科目18単位以上
選択科目4単位以上
職業専門科目89単位以上
専門基礎分野科目から必修科目32単位以上
専門分野科目から必修科目57単位以上
展開科目必修科目20単位以上
総合科目必修科目4単位以上

実習・実験科目から40単位以上
うち、臨地実務実習22単位以上

履修登録上限は、1年間において39単位とする。
ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

（資料 29）OSCE に関するデータ

（資料 29－1）医療面接試験評価表（理学療法学科・作業療法学科共通）

医療面接試験　評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	可（できる）		不可 （できない） （0 点）	評価者
	問題なし （2 点）	少しの助言が 必要（1 点）		
①大きな声で挨拶ができる	□	□	□	
②身だしなみが整っている	□	□	□	
③言葉づかいが適切である	□	□	□	
④自己紹介，患者確認等	□	□	□	
⑤評価や治療の承諾を得る	□	□	□	

合計：＝　　／10 点

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	その他：コメントを記載してください

（資料 29-2）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　理学療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	（できない）（0 点）	
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可(できない)(0 点)	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4．MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5．形態測定				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6．DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7．BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8．感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9．ROM-ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10．筋力増強 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②

小　計	点	点	

合計：A）＋ B）＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

（資料 29-3）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　作業療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可（できない）（0 点）	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）		
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可（できない）（0 点）	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4．MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5．DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6．BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7．感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8．認知機能検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9．更衣動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10．整容動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
小　計	点	点		

合計：A）＋ B）＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

（資料 29-4）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　理学療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	（できない）（0 点）	
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可(できない)(0 点)	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4．MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5．形態測定				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6．DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7．BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8．感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9．ROM-ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10．筋力増強 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②

小　計	点	点	

合計：A）＋ B）＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

（資料 29-5）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　作業療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可（できない）（0 点）	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）		
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可（できない）（0 点）	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4．MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5．DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6．BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7．感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8．認知機能検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9．更衣動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10．整容動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
小　計	点	点		

合計：A）＋ B）＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

（資料 29-6）OSCE ステーション工程表

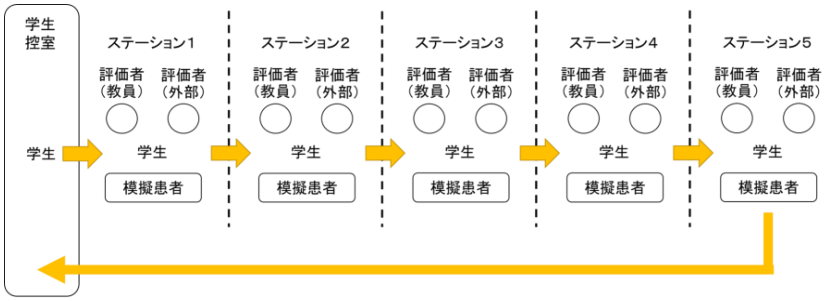
Pre OSCE

1. OSCE ステーション配置図

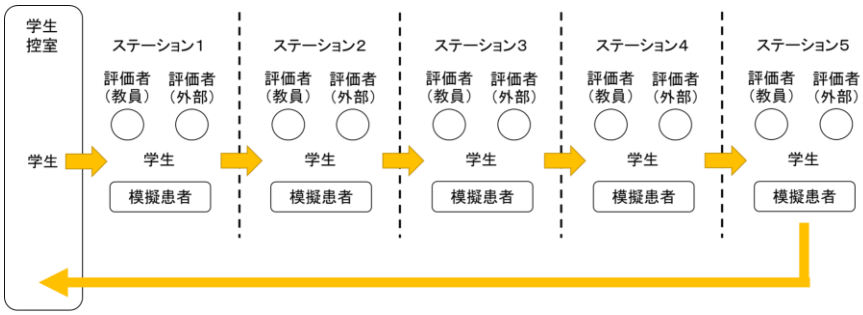
【理学療法学科】

●１日目

・グループ１（40 名）

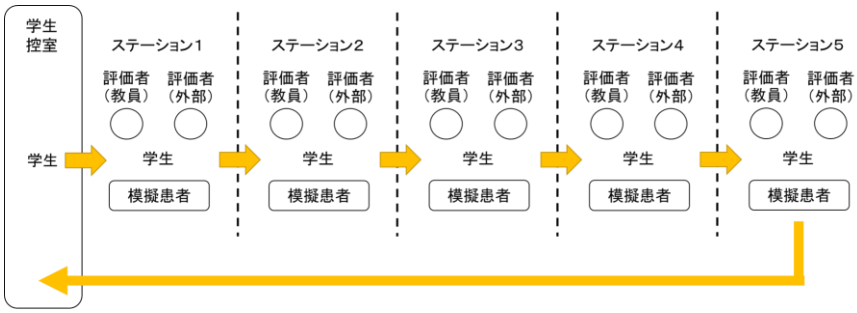


・グループ２（40 名）

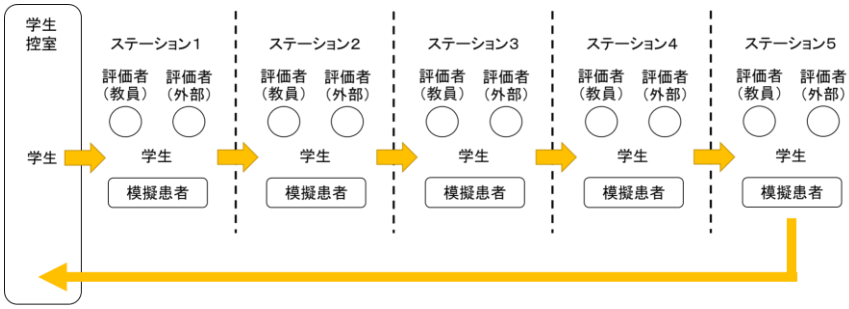


●２日目

・グループ１（40 名）

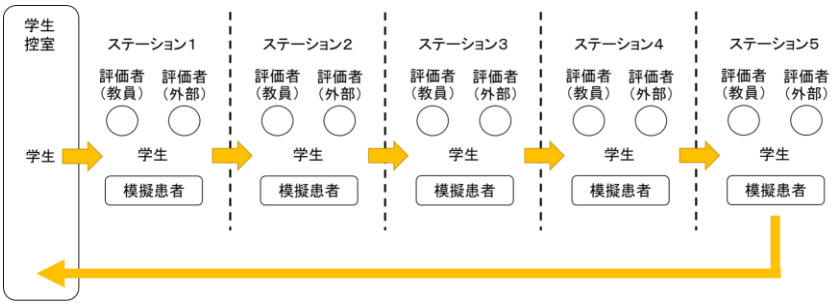


・グループ２（40 名）

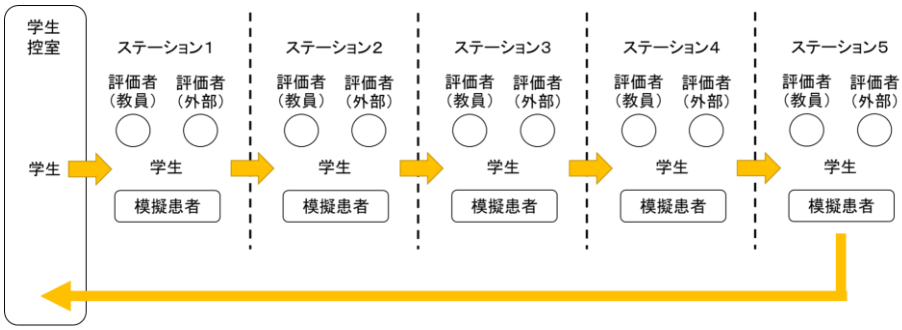


【作業療法学科】

●１日目



●2 日目



2. ステーション担当者及び評価者の配置

各ステーションは、学生１名に対し、評価者２名（教員評価者１名、外部評価者１名）、模擬患者１名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役１名で構成される。なお、評価者のうち１名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

評価者の配置は以下のとおりである。

【理学療法学科】

	ステーション名	評価者	
グループ1	ステーション1	山田　英司	外部評価者①
	ステーション2	増川　武利	外部評価者②
	ステーション3	那須　宣弘	外部評価者③
	ステーション4	田村　正樹	外部評価者④
	ステーション5	田中　雅侑	外部評価者⑤

	ステーション名	評価者	
グループ2	ステーション1	片岡　弘明	外部評価者⑥
	ステーション2	山下　裕之	外部評価者⑦
	ステーション3	横山　暁大	外部評価者⑧
	ステーション4	鈴木　啓子	外部評価者⑨
	ステーション5	小島　一範	外部評価者⑩

【作業療法学科】

ステーション名	評価者	
ステーション1	吉田　直樹	外部評価者①
ステーション2	林　聡	外部評価者②
ステーション3	十河　正樹	外部評価者③
ステーション4	渡部　悠司	外部評価者④
ステーション5	野口　泰子	外部評価者⑤

3. 学生配置表

【理学療法学科】

1 日目

	グループ1					グループ2				
	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	山田 英司	増川 武利	那須 宣弘	田村 正樹	田中 雅侑	片岡 弘明	山下 裕之	横山 暁大	鈴木 啓子	小島 一範
	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者
8:40	学生1					学生41				
8:46	学生2	学生1				学生42	学生41			
8:52	学生3	学生2	学生1			学生43	学生42	学生41		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1		学生44	学生43	学生42	学生41	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1	学生45	学生44	学生43	学生42	学生41
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2	学生46	学生45	学生44	学生43	学生42
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3	学生47	学生46	学生45	学生44	学生43
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4	学生48	学生47	学生46	学生45	学生44
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5	学生49	学生48	学生47	学生46	学生45
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6	学生50	学生49	学生48	学生47	学生46
9:40										
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7	学生51	学生50	学生49	学生48	学生47
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8	学生52	学生51	学生50	学生49	学生48
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9	学生53	学生52	学生51	学生50	学生49
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10	学生54	学生53	学生52	学生51	学生50
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11	学生55	学生54	学生53	学生52	学生51
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12	学生56	学生55	学生54	学生53	学生52
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13	学生57	学生56	学生55	学生54	学生53
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14	学生58	学生57	学生56	学生55	学生54
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15	学生59	学生58	学生57	学生56	学生55
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16	学生60	学生59	学生58	学生57	学生56
10:46										
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17	学生61	学生60	学生59	学生58	学生57
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18	学生62	学生61	学生60	学生59	学生58
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19	学生63	学生62	学生61	学生60	学生59
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20	学生64	学生63	学生62	学生61	学生60
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21	学生65	学生64	学生63	学生62	学生61
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22	学生66	学生65	学生64	学生63	学生62
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23	学生67	学生66	学生65	学生64	学生63
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生68	学生67	学生66	学生65	学生64
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25	学生69	学生68	学生67	学生66	学生65
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26	学生70	学生69	学生68	学生67	学生66
11:52										
11:58										
12:04										
12:10										
12:16										
12:22										
12:28										
12:34										
12:40										
12:46										
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27	学生71	学生70	学生69	学生68	学生67
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28	学生72	学生71	学生70	学生69	学生68
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29	学生73	学生72	学生71	学生70	学生69
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30	学生74	学生73	学生72	学生71	学生70
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31	学生75	学生74	学生73	学生72	学生71
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32	学生76	学生75	学生74	学生73	学生72
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33	学生77	学生76	学生75	学生74	学生73
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34	学生78	学生77	学生76	学生75	学生74
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35	学生79	学生78	学生77	学生76	学生75
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生80	学生79	学生78	学生77	学生76
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37		学生80	学生79	学生78	学生77
13:58			学生40	学生39	学生38			学生80	学生79	学生78
14:04				学生40	学生39				学生80	学生79
14:10					学生40					学生80

【作業療法学科】

●１日目

	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	吉田　直樹 外部評価者	林　聡 外部評価者	十河　正樹 外部評価者	渡部　悠司 外部評価者	野口　泰子 外部評価者
8:40	学生1				
8:46	学生2	学生1			
8:52	学生3	学生2	学生1		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6
9:40					
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16
10:46					
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26
11:52					
11:58					
12:04					
12:10					
12:16					
12:22					
12:28					
12:34					
12:40					
12:46					
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37
13:58			学生40	学生39	学生38
14:04				学生40	学生39
14:10					学生40

2 日目の学生配置も、1 日目と同様である。

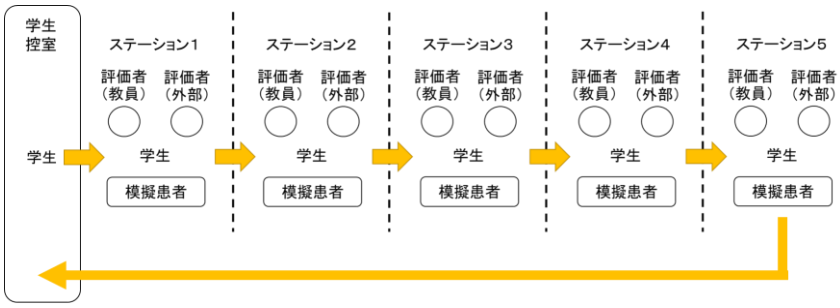
Post OSCE

1．OSCE ステーション配置図

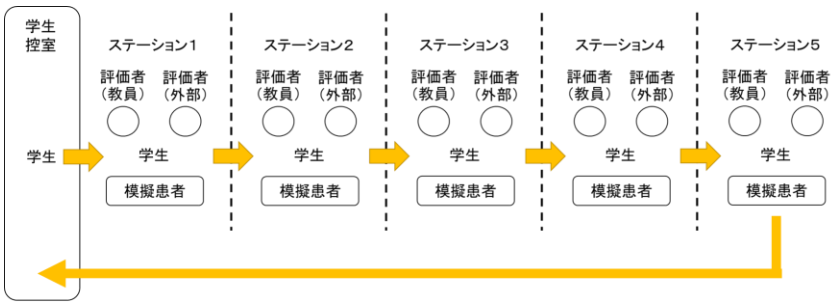
【理学療法学科】

●１日目

・グループ１（40 名）

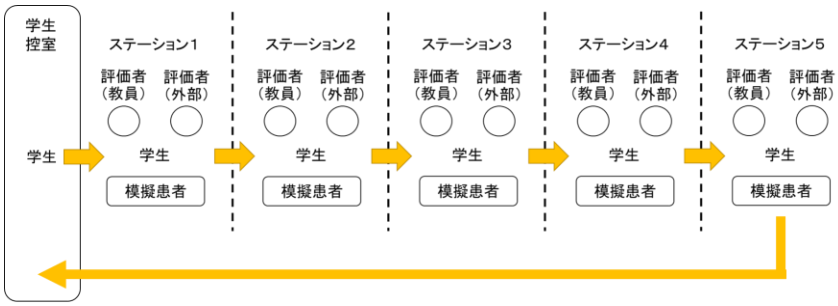


・グループ２（40 名）

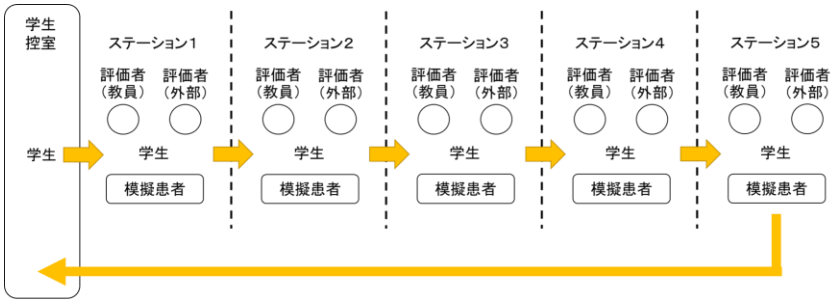


●２日目

・グループ１（40 名）

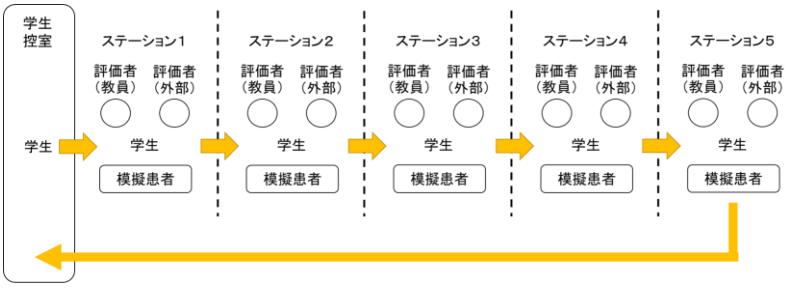


・グループ２（40 名）

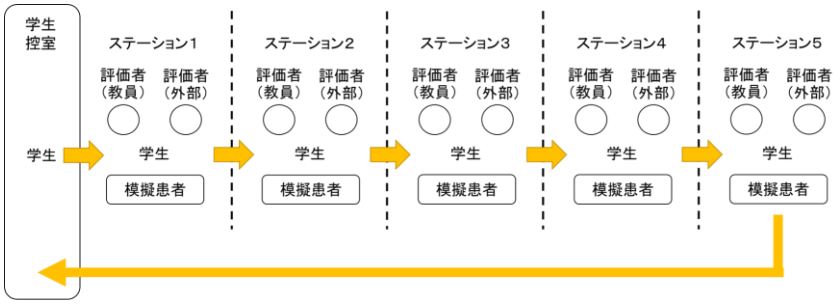


【作業療法学科】

●１日目



●2 日目



2.　ステーション担当者及び評価者の配置

各ステーションは、学生１名に対し、評価者２名（教員評価者１名、外部評価者１名）、模擬患者１名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役１名で構成される。なお、評価者のうち１名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

評価者の配置は以下のとおりである。

【理学療法学科】

	ステーション名	評価者	
グループ1	ステーション1	山田　英司	外部評価者①
	ステーション2	増川　武利	外部評価者②
	ステーション3	那須　宣弘	外部評価者③
	ステーション4	田村　正樹	外部評価者④
	ステーション5	田中　雅侑	外部評価者⑤

	ステーション名	評価者	
グループ2	ステーション1	片岡　弘明	外部評価者⑥
	ステーション2	山下　裕之	外部評価者⑦
	ステーション3	横山　暁大	外部評価者⑧
	ステーション4	鈴木　啓子	外部評価者⑨
	ステーション5	小島　一範	外部評価者⑩

【作業療法学科】

ステーション名	評価者	
ステーション1	吉田　直樹	外部評価者①
ステーション2	林　聡	外部評価者②
ステーション3	十河　正樹	外部評価者③
ステーション4	渡部　悠司	外部評価者④
ステーション5	野口　泰子	外部評価者⑤

3. 学生配置表

【理学療法学科】

1 日目

	グループ1					グループ2				
	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	山田 英司	増川 武利	那須 宣弘	田村 正樹	田中 雅侑	片岡 弘明	山下 裕之	横山 暁大	鈴木 啓子	小島 一範
	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者
8:40	学生1					学生41				
8:46	学生2	学生1				学生42	学生41			
8:52	学生3	学生2	学生1			学生43	学生42	学生41		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1		学生44	学生43	学生42	学生41	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1	学生45	学生44	学生43	学生42	学生41
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2	学生46	学生45	学生44	学生43	学生42
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3	学生47	学生46	学生45	学生44	学生43
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4	学生48	学生47	学生46	学生45	学生44
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5	学生49	学生48	学生47	学生46	学生45
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6	学生50	学生49	学生48	学生47	学生46
9:40										
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7	学生51	学生50	学生49	学生48	学生47
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8	学生52	学生51	学生50	学生49	学生48
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9	学生53	学生52	学生51	学生50	学生49
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10	学生54	学生53	学生52	学生51	学生50
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11	学生55	学生54	学生53	学生52	学生51
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12	学生56	学生55	学生54	学生53	学生52
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13	学生57	学生56	学生55	学生54	学生53
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14	学生58	学生57	学生56	学生55	学生54
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15	学生59	学生58	学生57	学生56	学生55
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16	学生60	学生59	学生58	学生57	学生56
10:46										
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17	学生61	学生60	学生59	学生58	学生57
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18	学生62	学生61	学生60	学生59	学生58
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19	学生63	学生62	学生61	学生60	学生59
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20	学生64	学生63	学生62	学生61	学生60
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21	学生65	学生64	学生63	学生62	学生61
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22	学生66	学生65	学生64	学生63	学生62
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23	学生67	学生66	学生65	学生64	学生63
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生68	学生67	学生66	学生65	学生64
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25	学生69	学生68	学生67	学生66	学生65
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26	学生70	学生69	学生68	学生67	学生66
11:52										
11:58										
12:04										
12:10										
12:16										
12:22										
12:28										
12:34										
12:40										
12:46										
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27	学生71	学生70	学生69	学生68	学生67
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28	学生72	学生71	学生70	学生69	学生68
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29	学生73	学生72	学生71	学生70	学生69
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30	学生74	学生73	学生72	学生71	学生70
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31	学生75	学生74	学生73	学生72	学生71
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32	学生76	学生75	学生74	学生73	学生72
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33	学生77	学生76	学生75	学生74	学生73
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34	学生78	学生77	学生76	学生75	学生74
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35	学生79	学生78	学生77	学生76	学生75
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生80	学生79	学生78	学生77	学生76
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37		学生80	学生79	学生78	学生77
13:58			学生40	学生39	学生38			学生80	学生79	学生78
14:04				学生40	学生39				学生80	学生79
14:10					学生40					学生80

2 日目の学生配置も、1 日目と同様である。

【作業療法学科】

●１日目

	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	吉田　直樹	林　聡	十河　正樹	渡部　悠司	野口　泰子
	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者
8:40	学生1				
8:46	学生2	学生1			
8:52	学生3	学生2	学生1		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6
9:40					
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16
10:46					
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26
11:52					
11:58					
12:04					
12:10					
12:16					
12:22					
12:28					
12:34					
12:40					
12:46					
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37
13:58			学生40	学生39	学生38
14:04				学生40	学生39
14:10					学生40

2 日目の学生配置も、1 日目と同様である。

臨地実務実習施設一覧

岡山医療専門職大学　健康科学部　理学療法学科

施設番号	施設名	所在地	見学実習	評価実習	総合実習Ⅰ	総合実習Ⅱ
1	医療法人聖ルカ会 木原病院	愛媛県今治市別宮町3-7-8	○	○	○	○
2	医療法人慈風会 白石病院	愛媛県今治市松本町1-5-9	○	○	○	○
3	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル	岡山県倉敷市中庄3542-1	○	○	○	○
4	医療法人慶真会 大杉病院	岡山県高梁市柿木町24	○	○	○	○
5	総合病院 玉野市立玉野市民病院	岡山県玉野市宇野2-3-1	○	○	○	○
6	医療法人社団新風会 玉島中央病院	岡山県倉敷市玉島阿賀崎2-1-1	○	○	○	○
7	社会福祉法人聖風会 千種川リハビリテーションセンター	兵庫県佐用郡佐用町平福780	○	○	○	○
8	医療法人社団一陽会 服部病院	兵庫県三木市大塚218-3	○	○	○	○
9	一般財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院	岡山県岡山市中区倉田503-1	○	○	○	○
10	医療法人竜操整形 竜操整形外科病院	岡山県岡山市中区藤原21-1	○	○	○	○
11	医療法人創和会 重井医学研究所附属病院	岡山県岡山市南区山田2117	○	○	○	○
12	医療法人自由会 岡山光南病院	岡山県岡山市南区東畦767-3	○	○	○	○
13	介護老人保健施設 若宮老人保健センター	岡山県岡山市南区箕島3566-1	○	○	○	○
14	医療法人雄風会 あしもりクリニック	岡山県岡山市北区下足守1900番地の1	○	○	○	○
15	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	岡山県岡山市北区田益1711-1	○	○	○	○
16	社会医療法人鴻仁会 岡山中央奉還町病院	岡山県岡山市北区奉還町二丁目18-19	○	○	○	○
17	医療法人社団吉美会 吉備高原ルミエール病院	岡山県加賀郡吉備中央町宮地3336-15	○	○	○	○
18	社会医療法人緑壮会 金田病院	岡山県真庭市西原63	○	○	○	○
19	大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	岡山県倉敷市美和1-1-1	○	○	○	○
20	医療法人社団増原会 東城病院	広島県庄原市東城町川東1463-1	○	○	○	○
21	地方独立行政法人府中市病院機構 府中市民病院	広島県府中市鵜飼町555-3	○	○	○	○
22	医療法人社団花園医療福祉会 花園クリニック	広島県福山市花園町1丁目3-9	○	○	○	○
23	医療法人社団常仁会 介護老人保健施設サンスクエア沼南	広島県福山市水呑町3332-1	○	○	○	○
24	医療法人叙叙会 福山第一病院	広島県福山市南蔵王町5-14-5	○	○	○	○
25	社会医療法人仁生会 細木病院	高知県高知市大膳町37	○	○	○	○
26	医療法人五月会 須崎くろしお病院	高知県須崎市緑町4-30	○	○	○	○
27	医療法人 中谷医院	徳島県名西郡神山町神領西野間23-1	○	○	○	○
28	医療法人聖医会 佐用中央病院	兵庫県佐用郡佐用町佐用3529-3	○	○	○	○
29	医療法人郁芳会 青木診療所	兵庫県尼崎市大庄北4丁目12番10号	○	○	○	○
30	医療法人福寿会 老人保健施設倉敷藤戸荘	岡山県倉敷市藤戸町藤戸1580	○	○	○	○
31	医療法人行堂会 介護老人保健施設ナーシングホーム大樹	岡山県総社市黒尾232	○	○	○	○
32	医療法人東浩会 石川病院	岡山県津山市川崎554-5	○	○	○	○
33	医療法人閑谷会 介護老人保健施設備前閑谷苑	岡山県備前市木谷217-1	○	○	○	○
34	医療法人敬和会 近藤病院	岡山県真庭市勝山1070	○	○	○	○
35	医療法人長光会 長島病院	岡山県岡山市東区瀬戸町瀬戸40-1	○	○	○	○
36	医療法人草加草仁会 草加病院	岡山県備前市西片上1122	○	○	○	○
37	医療法人社団操仁会 岡山第一病院	岡山県岡山市中区高屋343	○	○	○	○
38	一般財団法人操風会 岡山旭東病院	岡山県岡山市中区倉田567-1	○	○	○	○
39	医療法人社団 藤田病院	岡山県岡山市東区西大寺上3丁目8-63	○	○	○	○
40	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック西大寺	岡山県岡山市東区西大寺東3-8-27	○	○	○	○
41	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック下中野	岡山県岡山市南区下中野1415-10	○	○	○	○
42	岡山大学病院	岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1	○	○	○	○
43	医療法人 小西整形外科・腰痛クリニック	岡山県岡山市北区牟佐120-7	○	○	○	○
44	医療法人社団恵誠会 大西病院	岡山県玉野市田井3-8-11	○	○	○	○

45	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィックセカンド	岡山県玉野市東高崎25-31	○	○	○	○
46	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック	岡山県玉野市東高崎25-34	○	○	○	○
47	医療法人 さとう記念病院	岡山県勝田郡勝央町黒土45	○	○	○	○
48	真庭市国民健康保険 湯原温泉病院	岡山県真庭市下湯原56	○	○	○	○
49	医療法人敬和会 老人保健施設ゆうあい	岡山県真庭市勝山1070	○	○	○	○
50	地域医療支援病院 赤磐医師会病院	岡山県赤磐市下市187-1	○	○	○	○
51	医療法人社団同仁会 金光病院	岡山県浅口市金光町占見新田740	○	○	○	○
52	倉敷医療生活協同組合 玉島協同病院	岡山県倉敷市玉島柏島5209-1	○	○	○	○
53	医療法人水清会 水島第一病院	岡山県倉敷市神田2-3-33	○	○	○	○
54	医療法人祥風会 山本整形外科医院	岡山県倉敷市林348	○	○	○	○
55	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック総社	岡山県総社市三須1524-4	○	○	○	○
56	内田整形外科医院	岡山県津山市山北550	○	○	○	○
57	医療法人平野同仁会 総合病院津山第一病院	岡山県津山市中島438	○	○	○	○
58	備前市国民健康保険 市立吉永病院	岡山県備前市吉永町吉永中563-4	○	○	○	○
59	医療法人豊医会 原医院	岡山県美作市豊国原363-2	○	○	○	○
60	医療法人 平病院	岡山県和気郡和気町尺所438	○	○	○	○
61	医療法人慈彗会 亀川病院	広島県福山市神辺町字下御領682-1	○	○	○	○
62	医療法人社団福匡会 奥坊クリニック	広島県福山市西桜町1-6-1	○	○	○	○
63	医療法人辰川会 山陽病院	広島県福山市野上町2-8-2	○	○	○	○
64	医療法人紫苑会 藤井病院	広島県福山市鞆町鞆323	○	○	○	○
65	IHI播磨病院	兵庫県相生市旭3-5-15	○	○	○	○

臨地実務実習施設一覧

岡山医療専門職大学　健康科学部　作業療法学科

施設番号	施設名	所在地	見学実習	評価実習	総合実習Ⅰ	総合実習Ⅱ
1	医療法人慶真会 大杉病院	岡山県高梁市柿木町24	○	○	○	○
2	医療法人社団新風会 玉島中央病院	岡山県倉敷市玉島阿賀崎2-1-1	○	○	○	○
3	社会医療法人仁厚会 医療福祉センター 倉吉病院	鳥取県倉吉市山根43	○	○	○	○
4	社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院	兵庫県姫路市仁豊野650番地	○	○	○	○
5	一般財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院	岡山県岡山市中区倉田503-1	○	○	○	○
6	医療法人竜操整形 竜操整形外科病院	岡山県岡山市中区藤原21-1	○	○	○	○
7	医療法人自由会 岡山光南病院	岡山県岡山市南区東畦767-3	○	○	○	○
8	公益財団法人林精神医学研究所 岡山ひだまりの里病院	岡山県岡山市南区北浦822-2	○	○	○	○
9	介護老人保健施設 若宮老人保健センター	岡山県岡山市南区箕島3566-1	○	○	○	○
10	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	岡山県岡山市北区田益1711-1	○	○	○	○
11	社会医療法人鴻仁会 岡山中央奉還町病院	岡山県岡山市北区奉還町二丁目18-19	○	○	○	○
12	医療法人淳和会 長谷川紀念病院	岡山県新見市高尾793-6	○	○	○	○
13	社会医療法人緑壮会 金田病院	岡山県真庭市西原63	○	○	○	○
14	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル	岡山県倉敷市中庄3542-1	○	○	○	○
15	大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	岡山県倉敷市美和1-1-1	○	○	○	○
16	医療法人 比治山病院	広島県広島市南区上東雲町3-1	○	○	○	○
17	医療法人大林会 福山こころの病院	広島県福山市佐波町576-1	○	○	○	○
18	医療法人叙叙会 福山第一病院	広島県福山市南蔵王町5-14-5	○	○	○	○
19	医療法人五月会 須崎くろしお病院	高知県須崎市緑町4－30	○	○	○	○
20	医療法人青鳳会 老人保健施設やすらぎ荘	徳島県吉野川市鴨島町上下島495-5	○	○	○	○
21	老人保健施設 ゆめの里	岡山県岡山市南区彦崎2869-8	○	○	○	○
22	医療法人社団一陽会 服部病院	兵庫県三木市大塚218-3	○	○	○	○
23	医療法人内海慈仁会 姫路北病院	兵庫県神崎郡福崎町南田原1134-2	○	○	○	○
24	医療法人社団魚橋会 魚橋病院	兵庫県相生市若狭野町若狭野235-26	○	○	○	○
25	医療法人敬和会 近藤病院	岡山県真庭市勝山1070	○	○	○	○
26	医療法人豊医会 介護老人保健施設美作リハビリテーションホーム	岡山県美作市豊国原1057-1	○	○	○	○
27	医療法人長光会 長島病院	岡山県岡山市東区瀬戸町瀬戸40-1	○	○	○	○
28	医療法人こまくさ会 河口医院	岡山県玉野市宇野5-1-1	○	○	○	○
29	一般財団法人操風会 岡山旭東病院	岡山県岡山市中区倉田567-1	○	○	○	○
30	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック東川原	岡山県岡山市中区東川原160-1	○	○	○	○
31	岡山大学病院	岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1	○	○	○	○
32	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック十日市	岡山県岡山市北区十日市西町11-6	○	○	○	○
33	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック尾上	岡山県岡山市北区尾上356-1	○	○	○	○
34	医療法人社団恵誠会 大西病院	岡山県玉野市田井3-8-11	○	○	○	○
35	医療法人 さとう記念病院	岡山県勝田郡勝央町黒土45	○	○	○	○
36	医療法人敬和会 老人保健施設ゆうあい	岡山県真庭市勝山1070	○	○	○	○
37	地域医療支援病院 赤磐医師会病院	岡山県赤磐市下市187-2	○	○	○	○
38	株式会社アール・ケア デイサービスセンターアルフィック山陽	岡山県赤磐市岩田57-1	○	○	○	○
39	倉敷医療生活協同組合 玉島協同病院	岡山県倉敷市玉島柏島5209-1	○	○	○	○
40	医療法人平野同仁会 総合病院津山第一病院	岡山県津山市中島438	○	○	○	○
41	医療法人 平病院	岡山県和気郡和気町尺所438	○	○	○	○
42	医療法人慈彗会 亀川病院	広島県福山市神辺町字下御領682-1	○	○	○	○
43	医療法人辰川会 山陽病院	広島県福山市野上町2-8-2	○	○	○	○
44	IHI播磨病院	兵庫県相生市旭3-5-15	○	○	○	○

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

１．学生確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
① 学生の確保の見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
ア 定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
イ 定員充足の根拠となる客観的データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
ウ 学生納付金の設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
② 学生の確保に向けた具体的な取組状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P7

２．人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的・・・・・・・・・・・・P9
② 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・P9

学生の確保の見通し等を記載した書類

１．学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

（１）岡山医療専門職大学健康科学部の定員充足の見込み（資料 1）

新設する岡山医療専門職大学健康科学部への志願動向を把握するために、理学療法学科（入学定員 80 名）および作業療法学科（入学定員 40 名）についての高校生の志向調査を、ライセンスアカデミーに委託(高等学校に対するアンケートと WEB アンケートを並行実施)し、岡山県を中心に、3,547 名に対して行った。アンケートは、一段上の高い実践力と新しいサービスを生み出す展開力を身につける専門職大学の内容と特徴を明記したうえで実施し、新たな専門職大学としての本学への入学の意思を確認したものである。

その結果、3,353 名から回答を得た。この内、本学に「入学を希望する」と答えた者は 178 名であり、入学定員 120 名に対する倍率は 1.5 倍であった。また「受験先の候補の一つとして考える」と答えた者は 587 名であり、定員に対する倍率は 4.9 倍であった。「本学へ入学を希望する、または受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は合計 765 名であり、全体として入学定員 120 名に対する倍率は 6.4 倍となる。この中で理学療法学科（入学定員 80 名）を希望するもの 429 名、作業療法学科（入学定員 40 名）を希望する者 320 名であり、志願倍率は理学療法学科 5.4 倍および作業療法学科 8.0 倍であった（資料 1)。

このうち本学のオープンキャンパスに参加し、専門職大学で行う模擬授業を実際に体験し、大学の内容や特徴の詳細説明を受けたうえでアンケート調査に回答した 334 名においては、専門職大学としての本学への入学意思の有無がさらに明瞭に示されている。

334 名の内、「本学へ入学を希望する」と回答した者は 152 名、「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は 146 名であった。入学を希望すると回答した者の割合は入学定員 120 名の 1.3 倍であり、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つとする」と回答した者 298 名の入学定員に対する倍率は 2.5 倍となっている（資料 2)。

岡山地域（全国的にも同様な傾向が確認されている　資料 2－1）では、専門学校や短期大学進学希望者が大学進学希望へと進路を変更し、また大学を併願することも少なくなく、夏休み前後に最終的に進路先を決定する生徒が多い。このような事情を考慮して、オープンキャンパス参加時点で大学進学希望者のみならず専門学校・短大進学希望者を特に区分せずに、すべての参加者を対象としたアンケートを行い、高校生の進路変更意志も踏まえた進学希望を確認し、岡山専門職大学への入学希望・受験希望の状況を的確に把握している。

補足資料

上記のアンケートは、本学が平成 30 年 7 月に専門職大学設置申請を一旦取り下げ新たな内容の専門職大学として 10 月に再申請した関係で、平成 30 年 7 月 25 日から平成 30 年 10 月 2 日までの期間の OC 参加者のデータに基づいたものであるが、令和元年 6 月末現在、その後に開催された OC 参加者のアンケート結果を含めた 11 カ月間（平成 30 年 7 月 25 日から平成 31（令和元）年 6 月 22 日まで）のデータが存在し、岡山（医療）専門職大学への入学希望・受験希望動向をより明確に説明することができる（資料 2－2)。

アンケート有効回答数は 495 名であり、内訳は、大学進学希望 299 名、短大進学希望 50

名、専門学校進学希望 112 名、就職 26 名、その他 8 名である。
そのうち、岡山（医療）専門職大学に「入学を希望する」者 268 名、「受験先の候補の一つとして考える」者 188 名、「希望しない」者 39 名であった。入学を希望する者は、入学定員の 2.23 倍、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つと考える」者は入学定員の 3.8 倍となる。

これらの結果は、専門職大学としての本学の理学療法学科および作業療法学科に対して、定員を充足するに十分な志願者があることを示している。
加えて、本学のキャンパスは JR 岡山駅から徒歩 10 分の岡山市都心部に位置しており、交通アクセスに優れた場所にある。そのため、学生のみならず社会人の修学に極めて便利であり、岡山県に限らず、香川県、兵庫県西部、広島県東部地域の一部が通学圏となりうるため（資料 3)、より広域にわたる学生の志願を見込むこともできる。

（２）近隣受験エリアにある競合大学等の志願動向
専門職大学としての本学は、地理的な受験エリアから考えて、岡山県に立地する川崎医療福祉大学、吉備国際大学と競合関係になると考えられるが、吉備国際大学は岡山県西北部の高梁市（人口3.2万人）に位置している関係から主たる競合校とはならないと考えられる。これに対して岡山県南の倉敷市（人口47.7万人）に立地する川崎医療福祉大学は、これまで岡山市（人口72.0万人）に位置する岡山医療技術専門学校が競合してきた大学であることから、専門職大学としての本学も、同大学との競合関係に立つものと考えられる。
川崎医療福祉大学医療技術学部の理学療法専攻志願者は、平成 26 年度 460 名、平成 27 年度 437 名、平成 28 年度 379 名、平成 29 年度 611 名、平成 30 年度 441 名であり、志願倍率はほぼ 10 倍で推移している（資料 4）。
作業療法専攻志願者は、平成 26 年度 239 名から平成 27 年度 307 名、平成 28 年度 233 名、平成 29 年度 310 名、平成 30 年度 237 名と推移しており、全体として安定した志願者を集め、志願倍率は 4.0～6.0 倍と高い水準で推移している（資料 5）。
また平成 27 年度～平成 30 年度の定員充足率を見ると、理学療法学科は 113～135%、作業療法学科は 110～142%であった（資料 6)。
川崎医療福祉大学の志願者数、志願倍率、入学者数、定員充足率の状況が示すとおり、理学療法・作業療法分野の大学入学定員は明らかに地域ニーズに比して不足していると見られる。

（３）入学定員設定の考え方
超高齢社会のなかで医療現場のみならず医療現場以外の地域や福祉に関わる高度な技能をもつ理学療法士および作業療法士の育成がますます期待されるとともに、AI の高度化と医療現場のロボット化の加速度的な進行が予想されるなか、対象者の目線に立って心を通わせる徹底的にヒューマンなサービスを提供する理学療法士・作業療法士の需要が高まると予想している。

このような社会的要請に応え、1 クラス 40 人以下での少人数の専門職大学教育と専任教員数とバランスさせるためには、健康科学部の入学定員を理学療法学科 80 名、作業療法学科 40 名とすることが適当であるとの考えに至った。

（４）リハビリテーション分野への入学志願者の動向

日本の 18 歳人口は、平成 29 年の 118.0 万人より平成 35 年の 106.2 万人へと減少していくが、平成 36 年以降は持ち直し、108.3～109.0 万人の水準で推移すると予測されている（資料 7)。岡山県でも平成 29 年の 1.84 万人から平成 35 年の 1.68 万人へと減少し同様の傾向を示すなか、平成 36 年以降は持ち直して 1.70～1.72 万人の水準で推移し、急激な人口減少は見込まれていない（資料 8)。

また大学への進学者および進学率を見ると、平成 24 年度の 51.7 万人（進学率 47.4%）から平成 28 年度には 53.3 万人（進学率 49.6%）へと着実に上昇している（資料 9)。

近年、大学受験生の就職や資格取得を見据えた進路選択意識が高まるなかで、就職に直結するリハビリテーション学分野への興味・関心や進学意欲は極めて高いものがある。その全国で見た募集定員は、1992 年 50 名から 2016 年 8,152 名へと増大してきたが、その間志願者は 1992 年の 243 名から 2016 年の 50,353 名へと顕著に増大した（資料 10)。今後も全国的に理学療法・作業療法を取り扱うリハビリテーション学分野への志願者増加傾向は続くと予想される。リハビリテーション学分野における学生の進学志望の高まりは、全国的に強いトレンドとなって継続していくものと考えられる。

全国的に大学における理学療法・作業療法分野への志願者数が著増する傾向が続くなかで、近隣大学に対する高い志願者数・志願倍率・定員充足率の状況および本学設置に対するアンケート調査の結果から、今後も長期的に安定して本学の定員を充足するに十分な志願者を確保することができる見通しであり、学生確保の見通しは十分であると予測される。

（５）既設の岡山医療技術専門学校の志願状況

既設の岡山医療技術専門学校における理学療法学科の入学志願者数は、平成 26 年度 78 名から平成 27 年度 86 名、平成 28 年度 94 名、平成 29 年度 91 名と安定して推移したが、専門学校を中心とする全国的な志願倍率の低下とともに平成 30 年度においては 63 名へと落ち込んでいる（志願倍率 0.8～1.2 倍)。作業療法学科の入学志願者数は、平成 26 年度 45 名であったが、平成 27 年度 35 名、平成 28 年度 36 名、平成 29 年度 31 名と若干低下し横ばい傾向で推移し、全国的に志願倍率の低下した平成 30 年度には 28 名となっている（志願倍率 0.7～1.1 倍）（資料 11)。

この間、高等学校卒業者の卒業後の進路状況は、次のように変化していた。

表 A　　高等学校卒業者の状況　　単位（千人、%）

区分	卒業者	大学進学者	%	専門学校進学者	%	就職者	%
平成25年3月	1,091.6	517.4	47.4	185.6	17.0	184.7	16.9
平成26年3月	1,051.3	505.2	48.1	178.7	17.0	183.6	17.5
平成27年3月	1,069.0	522.7	48.9	178.1	16.7	189.7	17.7
平成28年3月	1,064.3	525.2	49.3	173.6	16.3	189.9	17.8
平成29年3月	1,074.7	532.6	49.6	173.9	16.2	190.3	17.7

（備考）文部科学省「平成 29 年 3 月高等学校卒業者の就職状況（平成 29 年 3 月末現在）に関する調査について」

高等学校の卒業者が平成 25 年 3 月の 109 万 2 千人から 105 万人～107 万人前後へとジグザグに減少する中で、大学進学者は平成 25 年 3 月の 51 万 7 千人から平成 29 年 3 月の 53 万 3 千人へと着実な増加を示し、大学進学率は平成 25 年 3 月の 47.4%から平成 29 年 3 月の 49.6%へと上昇している。

一方、同期間に、専門学校進学者と就職者は対照的な動きを示した。専門学校進学者は、18 万 6 千人から 17 万 4 千人へと大きく減少したのに対して、就職者は 18 万 5 千人から 19 万人へと着実に増加してその差が拡大し、平成 29 年 3 月には専門学校進学者を大きく凌駕する状況が生じている。

高等学校卒業者数が減少する中で、大学教育への需要が継続的に高まり、大学への進学者数および進学率がともに増加し、加えて日本経済の持続的な景気回復によって就職に有利な状況が生まれ卒業後就職する学生が増加するという状況が生じた。このことが、専門学校である本校への志願者低迷の大きな原因になったと考えられる。

また日本経済の景気回復と人手不足の状況は、本学に入学を志願する社会人や大学生の減少を導く原因となったと考えられる。表 B で、理学療法学科の受験者別割合の推移をみると、大学生の割合は平成 26 年度 10.4%を占めていたが、平成 28 年度以降急減し、平成 30 年度には 0.0%となり、社会人の占める割合も、平成 26 年度 22.1%から、増減を繰り返しながら減少し、平成 30 年度には 6.6%へと急減した。作業療法学科を見ると、大学生の割合は平成 26 年度 9.3%から平成 30 年度 3.7%へと大きく低下し、社会人の割合も平成 26 年度の 20.9%から平成 29 年度 9.7%へと急減し、30 年度には 14.8%へと増加するが全体的に大きく比重を下げている。全体としての社会人および大学生の志願者の大幅な減少は、定員未充足の要因となっている。

表 B　過去 5 年間における受験者別割合の推移

区分	受験者別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
理学療法学科	高校生(%)	67.5%	74.7%	73.4%	85.7%	93.4%
	大学生(%)	10.4%	9.6%	3.2%	2.2%	0.0%
	社会人(%)	22.1%	15.7%	22.3%	12.1%	6.6%
作業療法学科	高校生(%)	69.8%	82.4%	82.4%	87.1%	85.2%
	大学生(%)	9.3%	5.9%	5.9%	3.2%	3.7%
	社会人(%)	20.9%	11.8%	11.8%	9.7%	14.8%

（備考）法人事務局

またこれらのデータから、本学への社会人志願者の割合は、1 割内外になるものと予測することができる。

イ　定員充足の根拠となる客観的データ

(1)「全国の 18 歳人口と高等教育への進学率等の推移」で用いたデータの概要

（資料 7）18 歳人口予測（全国）（平成 29 年～平成 38 年）

（資料 8）18 歳人口予測（岡山県）（平成 29 年～平成 38 年）

（資料 9）大学進学率の推移

(2)「全国の学部系統別の動向」で用いたデータの概要

（資料 10）リハビリテーション学の募集定員と志願者数

(3)「近隣競合校の入学志願者数推移」で用いたデータの概要

（資料 4）近隣等競合校の入学志願者数の推移　理学療法学科（専攻を含む）

（資料 5）近隣等競合校の入学志願者数の推移　作業療法学科（専攻を含む）

（資料 6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率

(4)「第三者機関による高校生アンケート調査」で用いたデータの概要

（資料 1）岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査（ライセンスアカデミー、WEB 調査）

（資料 2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査（WEB 調査）

資料 1 よりオープンキャンパス対象者に行った本学の WEB 調査結果を抜粋

(5)「既設の岡山医療技術専門学校の定員充足状況」で用いたデータの概要

（資料 11）岡山医療技術専門学校過去 5 カ年の入学志願者数

ウ　学生納付金の設定の考え方

（１）本学の学生納付金（初年度納付金）を以下のように設定する。

入学金	300,000円
授業料	1,060,000円
施設設備費	400,000円
初年度納付金合計	1,760,000円

（２）本学園が経営する岡山医療技術専門学校の学納金と所要経費（資料 12）を参考として、新設大学の収容定員増加と教職員増加、教育研究経費増加、新施設整備、既設校舎の改築・充実、管理経費の増加などを勘案して検討した結果、学納金を上記のように設定することが適切であるとの結論に達した。

（３）これを岡山県内の同領域の理学療法・作業療法学科（専攻を含む）を有する私立大学学部の納付金（資料 13）と比較すれば、総額では川崎医療福祉大学と同額、吉備国際大学より 7.2 万円低額となっている。

本大学では、大学開設に向けて新校舎及び図書館の建設を行うとともに、現校舎の教育研究及び管理機能を一層強化し、さらに体育館を整備するために大規模な改築を行う。また学生が余裕をもって休息・交流し、快適な大学生活を享受できる環境をさらに充実するために、現校舎に広々とした屋上庭園を設け、また学生向けの大規模ラウンジを新たに整備する。

②学生の確保に向けた具体的な取組状況

本学では、大学事務局内の広報入試チームが、学生募集・入試に関する事務を担当する。学生確保に向けた取組は、専門学校での広報活動ならびに学生募集活動の経験を踏まえ、新たに以下の取組を積極的に行う。

（１）オープンキャンパス

教職員と広報入試チームが協力して、オープンキャンパスを月 1～2 回開催する。オープンキャンパスは、通常のオープンキャンパスに加え、学園祭内オープンキャンパスを実施するとともに、新たに学生主体で行う学生企画オープンキャンパスの実施を予定している。学生からオープンキャンパスサポーターを募り、学生が学生目線で企画・運営し、大学の活きた情報を発信していく。

高校生、社会人、保護者ならびに高校教員に対して、本学の施設・設備や教育方針、教育内容をはじめ、キャンパスライフに対する理解を深めていただくよう多彩な体験プログラムを用意し、少人数編成の大学講義や基盤ゼミの実際を体験する機会を設ける。オープンキャンパス内の学校説明会では、入学志願者に対し、詳しい教育システム、教育内容、学部・学科の特色、入試の説明を行い、教員や在学生と参加者が気楽に話せる十分な機会を設ける。また、入試説明においては受験に際しての入試のポイント等を解説する。保護者に対しては、大学生活や経済的負担など保護者の関心に従って丁寧に説明を行う。さらに、本学が提供している栄養バランスの取れた朝食を体験する機会を設ける。

キャンパス見学ツアーでは、新校舎と本館の見学を行い、教室、実習室、図書館、体育館、屋上庭園、学生大ラウンジ、スカイホールをはじめとしたキャンパス見学を実施する。

以上のとおり、魅力に富んだ体験をふんだんに取り入れた活きたオープンキャンパスを企画することで、多くの参加者を集め、学習意欲の高い入学者を獲得していく。

（２）高校訪問

広報委員会で岡山県、広島県、香川県を中心とした中四国エリアの高校への訪問計画を策定し、教員ならびに広報入試チームが年間 7 回、約 270 校の訪問を行う。訪問校では大学の学部・学科の特色や内容、人材育成への取組について詳細に説明するとともに、各校生徒の志望動向など情報交換を行い、学生確保に向けた活動に活かす。また、遠隔地の高校に対して資料を送付する。

（３）出前講座

高校生を対象とした出前講座を実施し、理学療法・作業療法への理解を深め、将来の進路

を考えるうえでの一助とする。教員と広報入試チームが高校訪問に先立って、理学療法・作業療法分野への関心の高い生徒が在籍する学校を調べ、訪問時に出前講座の広報を行い、利用を促す。また、生徒指導の参考にしていただくため、高校教員を対象にした部活動の際に活用できる講義も実施する。

（４）進学ガイダンス

岡山県を含む中四国エリアおよび兵庫県で開催される進学ガイダンスへ、年間 50 回程度参加する。広報委員会でエリア、高校、対象学年等を分析し、参加する進学ガイダンスを選定し、教員および広報入試チームを派遣する。

（５）高校内学校説明会

高校内で開催される学校説明会（入試説明会）ならびに分野別説明会に年間 60 回程度参加する。広報委員会で開催校の過去の入学者数やオープンキャンパス参加者数などを分析し、教員および広報入試チームを派遣する。また、分野別説明会には専任教員を派遣し、大学の教育内容について説明を行う。

（６）学校説明会

高校生、社会人、保護者、高校教員を対象に開催し、大学・学部・学科説明、入試説明を行うとともに、キャンパス見学会を開催する。

（７）高校教員対象入試説明会

高校の進路指導担当教員を本校に招き、専門職大学の教育内容や入試全般の説明、授業見学および校内見学を実施する。広報委員会で高校の進路指導に適した時期を検討し、最も効果的な開催日を設定する。

（８）学校見学

本校に興味関心を持つ高校生や社会人を随時受け入れ、施設設備の見学だけでなく、授業見学や朝食などの体験を行う。

（９）ホームページ・SNS を利用した WEB 広報

広報入試チームが中心となり、WEB サイトまたは SNS などのインターネットを利用し、大学の最新情報などを高校生や保護者、高校教員、社会人等に発信する。生きた授業・実習等を写真または動画で随時配信し、高校生等の関心を高めることに役立てる。また、SNS を活用し、オープンキャンパスやイベントへの勧誘も行う。平成 29 年度の本山学園全体（3 校）の WEB サイトの月平均アクセス数は 16,256 件で、岡山医療技術専門学校のアクセス数は 4,417 件であった（資料 14）。今後、新大学のホームページを開設し、SNS 等で開設告知をするとともに、メーリングリストで配信を行い、月 10,000 アクセスを目標とする。

（10）大学案内等

広報委員会を中心として、学校案内を制作する。高校訪問やオープンキャンパス、進学ガイダンス等で高校生ならびに社会人に配布し、志望意欲の喚起につなげる。さらに、進学情報誌を積極的に活用し、受験者獲得を図る。

（11）メディア広報

大学学部での取組・教育内容について、マスメディア（新聞、テレビ、ラジオ、インターネットニュース）に対して、ニュースリリース等の積極的な情報配信を行い、大学の取組等を広く周知する。

２．人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

超高齢社会の中で、AI の高度化と医療現場のロボット化が急速に進行して職務領域の代替が進展し、理学療法・作業療法サービスのあり方自体が大きく変化していく世界においては、健康や幸せや生きがいあるいは終末ケアのあり方といった人間の根源的な視点からアプローチする視座がとりわけ重要となる。対象者目線に立って心を通わせる徹底的にヒューマンなサービスの重要性が増すとともに、現場の多様なニーズを新たなサービスの形にしていく創造力を備えた人材への需要が増していくものと考えられる。

このような社会的人材需要の動向を踏まえ、本学は次の方針に沿って、高度専門職業人を育成する。

（１）高い倫理観と豊かな人間力を備え、自ら考え学び続ける自主の精神を備える。

（２）論理的思考能力と研究スキルを備える。

（３）医療専門分野の最新の知識と専門技能を備え、高質なヒューマンサービスを基礎として専門業務を主導できる高度な実践力を備える。

（４）関連する他分野の視点と知識を活用して、新たなサービスを生み出していく豊かな創造力を備える。

（５）医療現場で必要な国際的視野を備える。

これらの方針を達成するために、職業現場や地域のニーズを迅速に教育課程に取り込む教育課程連携協議会システムの下で、豊かな人間性とコミュニケーション力と自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む基盤ゼミと、一段高い実践力を涵養する専門技能錬成プログラムおよび活動領域を広げ新たなサービスを創造する能力を組織的に鍛える展開力育成プログラムとを有機的体系的に運用する。これにより、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備え多様な職業分野で活躍できる人材を育成することが本学の教育目的である。

②社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

現在、全国の理学療法士は約 15 万名、作業療法士は約 8.5 万名に達しているが、未だ社会的・地域的な需要に比して不足しており、地域包括ケアシステムをはじめとする新たな需要に対応できる人材の必要性は増している。理学療法士・作業療法士の職域拡大につれて人材需要が増していることは、その高い求人倍率に表れている（資料 15)。一方、理学療法士・作業療法士の約 7 割が医療施設に就業しており、それ以外の分野に就業している者は 3 割に止まるという状況にある（資料 16，17)。したがって、今後、医療施設にとどまらず、地域包括ケアシステムその他の多様な分野で活躍できる理学療法士・作業療法士への需要が急速に増加することが予測される。

本学が養成する人材に対する評価や卒業生に対する需要の動向を把握するために、岡山県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県、広島県、兵庫県内の医療機関 487 施設（病院、クリニック、介護老人保健施設等）に対してアンケート調査を実施し、176 施設から回答を得た（資料 21)。

医療施設が理学療法士および作業療法士を採用するにあたり重視する資質として、「コミュニケーション能力・発信力・挑戦力」（基盤力）163 施設（93.7%)、「豊かな創造力」（新た

なサービスを生み出す力）62 施設(35.6%)、「リーダーシップ、応用力」（基盤力） 57 施設（32.8%）が上位を占めている（資料 21)。

岡山県医師会会員に対する調査報告書の「他職種連携における問題点」においても、「こちらの意図をあまり理解してもらえない」「相手のコミュニケーション能力に問題」という点が多く指摘されており（資料 18)、相手の意見を理解し自分の考えを正確に伝えるコミュニケーション能力を持つ医療人の育成が強く求められている。

本学の教育プログラムは、まさにこうした医療人に必要な資質を育むことを重視しており、本学部の教育に対する社会的需要が大きいことを示している。

本学の卒業生に対する採用希望の有無については、採用する 49 施設（28.3%)、採用を検討する 108 施設（62.4%）であり、医療施設の 9 割以上が「採用する・採用を検討する」との結果を得た。また「1－2 名採用」が 91 施設、「3－4 名採用」が 6 施設、「5 名以上採用」が 2 施設、未定 57 施設となり（資料 21)、複数名の採用希望が相当数あることから、大学の定員 120 名に対する需要は十分であると判断できる。

地元の岡山県から、本学の設立は高校生の進路選択の幅が広がり社会人の学び直しの場も広がることから安心で豊かさが実感できる地域の創造と発展に寄与する、また岡山市からは、地域包括ケアシステムで連携し、さらに岡山市・地元 NPO・地元団体・企業と本学の学生が協働して地域活動を通じた人材育成、地域活性化につなげる機会を創出していきたいとの意見を頂いており（資料 19)、本学の育成する人材に対する地域の期待が大きいことが示されている。

さらに業界団体からは、地域包括ケアシステムの充実を目指して、医療のみならず、地域や福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する（公益法人日本理学療法士協会　理事（岡山県選出）山根一人氏および一般社団法人岡山県理学療法士会　会長　國安勝司氏)、専門分野の知識と結び付け新たなアイディアを生み出す創造力を育成する独自の教育課程、上級実習科目を設定し総合実習Ⅱ期へ向かう取り組み、および医療機関や保健施設、地域と連携し学生自身が企画しサービスを提供する取り組みは、非常に魅力的である（公益法人岡山県作業療法士会　常務執行理事　古澤潤一氏）との意見をいただいている（資料 20)。

以上のように、本学の教育課程により育まれる人材は、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであり、かつそれに十分に応える内実を備えている。

資料目次

（資料 1）岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査
（資料 2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査
（資料 2－1）高校生の進路選択に関する調査
（資料 2－2)【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査
（調査期間：平成 30 年 7 月 25 日から平成 31（令和元）年 6 月 22 日まで）
（資料 3）近隣の主要駅から本学の最寄り駅への所要時間
（資料 4）近隣等競合校の入学志願者数の推移　理学療法学科（専攻を含む）
（資料 5）近隣等競合校の入学志願者数の推移　作業療法学科（専攻を含む）
（資料 6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率
（資料 7）18 歳人口予測（全国）（平成 29 年～平成 38 年）
（資料 8）18 歳人口予測（岡山県）（平成 29 年～平成 38 年）
（資料 9）大学進学率の推移
（資料 10）リハビリテーション学の募集定員と志願者数
（資料 11）岡山医療技術専門学校過去 5 カ年の入学志願者数
（資料 12）岡山医療技術専門学校（理学療法学科・作業療法学科）初年度学納金
（資料 13）近隣大学の納付金（2018 年度）
（資料 14）ホームページアクセス数（平成 29 年度、本山学園、岡山医療技術専門学校）
（資料 15）岡山医療技術専門学校　平成 29 年度求人数
（資料 16）日本理学療法士協会会員分布（2018.3）
（資料 17）日本作業療法士協会関連法領域別会員数
（資料 18）他職種連携における問題点
（資料 19）地方公共団体へのヒアリング（岡山県,岡山市）
（資料 20）業界団体へのヒアリング
（資料 21）岡山専門職大学（仮称）設置構想についての事業所向け調査

（資料1）岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査

岡山専門職大学　健康科学部 理学療法学科・作業療法学科(仮称) 設置についての高校生志向調査【設置構想中】	アンケート集計	作成日：　2018/10/4 作成者：　㈱ライセンスアカデミー

実施期間：平成30年7月25日（水）～10月2日（火）
対象：高校生
アンケート総配布数：3,547枚
アンケート有効回答数：3,353名
アンケート回収率：94.5%

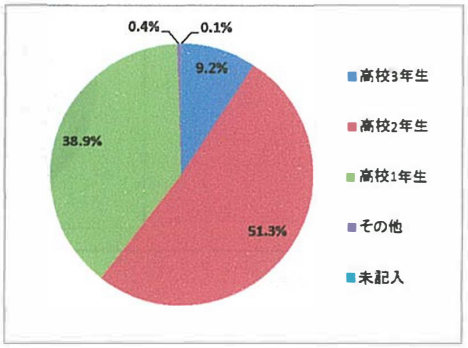


アンケート実施高等学校

※別報告データ参照

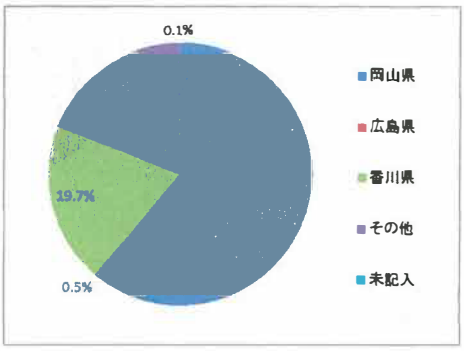
Q1.あなたの学年を教えてください。
（1つに○をつけてください）

①	高校3年生	308 名
②	高校2年生	1721 名
③	高校1年生	1305 名
④	その他	15 名
⑤	未記入	4 名



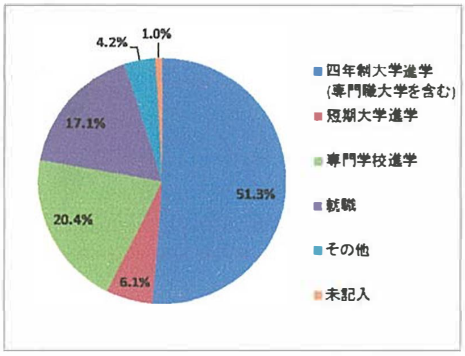
Q2.高校の所在地を教えてください。
（1つに○をつけてください）

①	岡山県	2035 名
②	広島県	18 名
③	香川県	662 名
④	その他	635 名
⑤	未記入	3 名



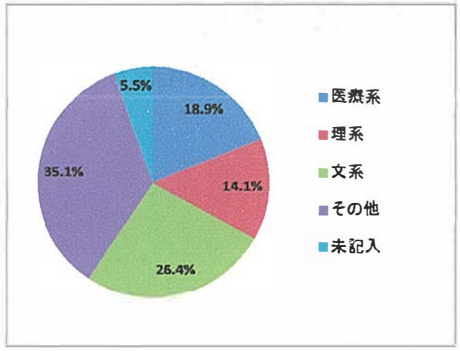
Q4.あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。（1つに○をつけてください）

①	四年制大学進学（専門職大学を含む）	1719 名
②	短期大学進学	204 名
③	専門学校進学	685 名
④	就職	573 名
⑤	その他	140 名
⑥	未記入	32 名



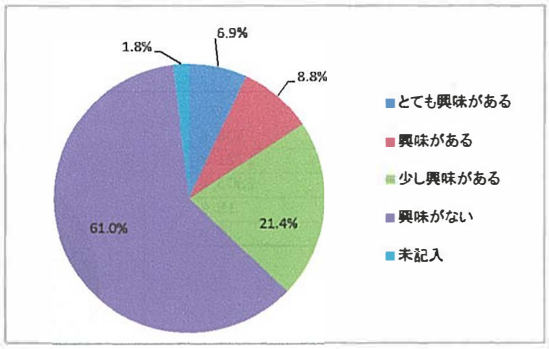
Q5.あなたが進学したいと考えている分野は次のうちどれですか。
次の中から1つ選んでください。

①	医療系	633 名
②	理系	474 名
③	文系	886 名
④	その他	1176 名
⑤	未記入	184 名



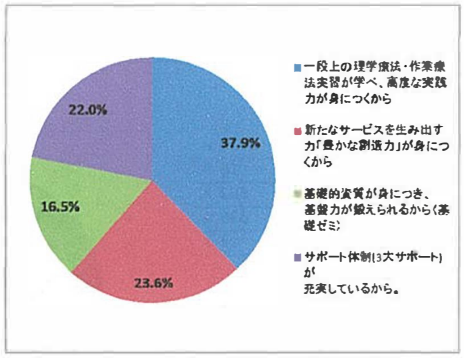
Q6.あなたは岡山医療専門職大学(仮称)に興味がありますか。(1つに○をつけてください)

①	とても興味がある	230 名
②	興味がある	296 名
③	少し興味がある	719 名
④	興味がない	2047 名
⑤	未記入	61 名



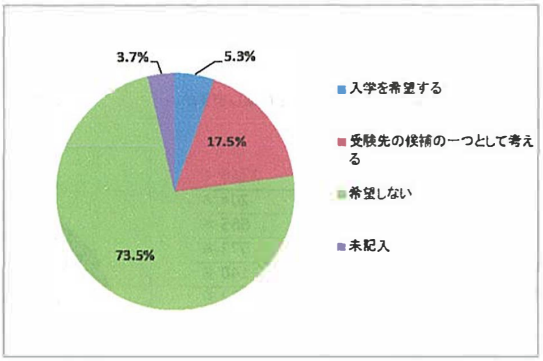
Q7.Q6で興味を持った理由を教えてください。
(複数回答可)

①	一段上の理学療法・作業療法実習が学べ、高度な実践力が身につくから	564 名
②	新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから	351 名
③	基礎的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基礎ゼミ）	246 名
④	サポート体制(3大サポート)が充実しているから。	327 名



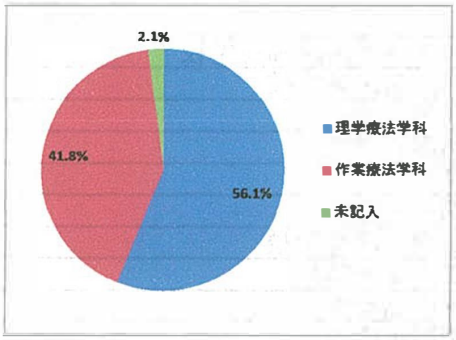
Q8．あなたは「岡山医療専門職大学(仮称)」に入学したいと思いますか。
(1つに○をつけてください)

①	入学を希望する	178 名
②	受験先の候補の一つとして考える	587 名
③	希望しない	2,463 名
④	未記入	125 名



Q９．Q８で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
次のどの学科への入学を希望しますか。
（１つに○をつけてください）

① 理学療法学科	429 名
② 作業療法学科	320 名
③ 未記入	16 名



アンケート調査実施校

都道府県	高校名	回収数
兵庫	東洋大学附属姫路高等学校	117
岡山	岡山学芸館高等学校	344
岡山	鴨方高等学校	95
岡山	瀬戸南高等学校	152
岡山	倉敷高等学校	302
岡山	和気閑谷高等学校	314
岡山	岡山東商業高等学校	310
岡山	津山工業高等学校	85
岡山	玉野光南高等学校	76
岡山	岡山南高等学校	79
岡山	瀬戸南高等学校	3
岡山	井原高等学校	2
岡山	岡山朝日高等学校	2
岡山	岡山操山高等学校	6
岡山	岡山一宮高等学校	1
岡山	岡山県共生高等学校	2
岡山	岡山県作陽高等学校	5
岡山	岡山県美作高等学校	9
岡山	岡山工業高等学校	4
岡山	岡山高等学校	9
岡山	岡山御津高等学校	1
岡山	おかやま山陽高等学校	4
岡山	岡山商科大学附属高等学校	2
岡山	岡山城東高等学校	4
岡山	岡山白陵高等学校	2
岡山	岡山南高等学校	6
岡山	岡山芳泉高等学校	4
岡山	岡山理科大学附属高等学校	6
岡山	邑久高等学校	1
岡山	岡山学芸館高等学校	6
岡山	笠岡工業高等学校	1
岡山	笠岡高等学校	1
岡山	笠岡商業高等学校	1
岡山	勝間田高等学校	1
岡山	勝山高等学校	22
岡山	鴨方高等学校	1
岡山	金光学園高等学校	1
岡山	関西高等学校	7
岡山	吉備高原学園高等学校	2
岡山	興譲館高等学校	2
岡山	興陽高等学校	1
岡山	倉敷工業高等学校	1
岡山	倉敷商業高等学校	2
岡山	倉敷翔南高等学校	1
岡山	倉敷翠松高等学校	2
岡山	倉敷青陵高等学校	3
岡山	倉敷中央高等学校	15
岡山	倉敷天城高等学校	22
岡山	倉敷古城池高等学校	5
岡山	倉敷南高等学校	2
岡山	倉敷鷲羽高等学校	1
岡山	西大寺高等学校	12
岡山	山陽女子高等学校	3
岡山	就実高等学校	4
岡山	清心女子高等学校	3
岡山	瀬戸高等学校	3
岡山	創志学園高等学校	6

岡山	総社高等学校	3
岡山	総社南高等学校	2
岡山	玉島高等学校	1
岡山	玉野高等学校	21
岡山	玉野商工高等学校	4
岡山	玉野光南高等学校	4
岡山	津山工業高等学校	5
岡山	津山商業高等学校	3
岡山	津山東高等学校	4
岡山	新見高等学校	6
岡山	林野高等学校	1
岡山	東岡山工業高等学校	4
岡山	真庭高等学校	2
岡山	水島工業高等学校	6
岡山	明誠学院高等学校	3
岡山	矢掛高等学校	5
岡山	和気閑谷高等学校	3
広島	油木高等学校	2
広島	呉工業高等専門学校	1
広島	戸手高等学校	1
広島	広島大学附属福山高等学校	5
広島	尾道高等学校	2
広島	福山高等学校	2
広島	福山明王台高等学校	1
広島	福山葦陽高等学校	1
島根	島根中央高等学校	1
島根	開星高等学校	1
香川	善通寺第一高等学校	196
香川	丸亀城西高等学校	32
香川	高松東高等学校	247
香川	三本松高等学校	173
香川	坂出第一高等学校	1
香川	琴平高等学校	2
香川	香川高等専門学校　高松キャンパス	1
香川	小豆島中央高等学校	2
香川	英明高等学校	10
愛媛	新田青雲中等教育学校	92
愛媛	今治北等学校	1
愛媛	三島高等学校	1
高知	高知高等学校	146
高知	高知西高等学校	274
徳島	川島高等学校	1
徳島	つるぎ高等学校	1
徳島	徳島商業高等学校	1
合計		3353

岡山専門職大学　健康科学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称）
設置についての高校生志向調査【設置構想中】

学校法人本山学園 岡山医療技術専門学校は26年にわたり、理学療法士並びに作業療法士を養成して参りました。この度、新しい高等教育機関「専門職大学」が制度化されたことを受け、豊かな創造力と高度な実践力を備えた人材を育成する『岡山専門職大学(仮称) 』を、2020年4月 岡山市北区に開設する計画です。

このアンケート調査では、高校生の皆さんの進学に関わる率直なご意見をお聞きし、結果を岡山専門職大学(仮称) の教育に反映していきたいと考えております。高校生の皆さんから寄せられた情報は、統計資料としてのみ活用し、その他の目的に使用することは一切ございませんので、ご協力、よろしくお願いいたします。

※詳細につきましては、同封した「岡山専門職大学（仮称）チラシ」をご覧ください。

Q1. あなたの学年を教えてください。（１つに○をつけてください）

①高校３年生　②高校２年生　③高校１年生　④その他

Q2. 高校の所在地を教えてください。（１つに○をつけてください）

①岡山県　②広島県　③香川県　④その他

Q3. 高校名を教えてください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Q4.あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。（１つに○をつけてください）

①四年制大学進学（専門職大学を含む）　②短期大学進学　③専門学校進学　④就職　⑤その他

Q5. あなたが進学したいと考えている分野は次のうちどれですか。次の中から１つ選んでください。

①医療系　②理系　③文系　④その他

ここからは、同封した『岡山専門職大学（仮称）チラシ』を参照して回答してください。

Q6. あなたは岡山専門職大学（仮称）に興味がありますか。（１つに○をつけてください）

①とても興味がある　②興味がある　③少し興味がある　④興味がない

Q7. Q6で①～③のいずれかを選んだ方にお聞きします。興味を持った理由を教えてください。（複数回答可）

①他校にはない一段上の理学療法・作業療法実習（上級治療実習）が学べ、高度な実践力が身につくから
②新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから
③基盤的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基盤ゼミ）
④サポート体制（3大サポート：就職・キャンパスライフ・国家試験サポート）が充実しているから

Q8. あなたは「岡山専門職大学（仮称）」に入学したいと思いますか。（１つに○をつけてください）

①入学を希望する　②受験先の候補の一つとして考える　③希望しない

Q9. Q8で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
次のどの学科への入学を希望しますか。（１つに○をつけてください）

①理学療法学科　②作業療法学科

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

OPEN CAMPUS
専門職大学　説明会開催！！

新しい大学で、ワンランク上の
理学・作業療法士を共にめざしましょう！

7/28（土）　8/8（水）　8/25（土）　9/15（土）　9/30（日）

時間 9:00-12:30（受付8:30より）　参加無料　要予約



当日の流れ

- 8:30〜 受付
- 9:00〜10:00 全体・学科説明
- 10:10〜11:15 体験授業
- 11:20〜12:20 施設見学｜個別相談
- 12:30 終了予定

参加者の声！

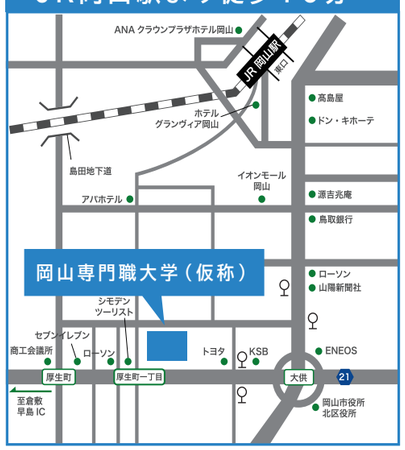
\ VOICE! /

「OPUでの学びにとても興味を持ちました」S.Mさん
「OPU進学希望者の人たちと会話ができ、楽しかった」A.Hさん
「リハビリ系の体験内容が充実していて、参考になった!」Y.Mさん
「教職員の皆さんが優しく対応してくれて良かった」M.Yさん
「参加するか悩んでましたが、参加して本当に良かったです!」Y.Tさん





JR岡山駅より徒歩10分



JR岡山駅からのアクセス方法

- 徒歩　『JR岡山駅』東口から南へ徒歩10分
- 車　『JR岡山駅』より5分
- タクシー　岡山ICより20分／早島ICより22分
- バス
  - ●岡電・両備・下電バスで中庄・倉敷方面行き『大供』下車すぐ
  - ●市役所方面行き『山陽新聞社前』下車、徒歩2分
  - ●循環バスめぐりんで『山陽新聞社・TSC前』下車、徒歩2分

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。

学校法人本山学園

お問い合わせ　岡山専門職大学（仮称）開設準備室
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供3-2-18
http://isen-u.ac.jp/TEL.（086）233-8020
学校見学・相談　月〜金曜日（祝日除く）9:00〜16:00（要予約）
QRコード

患者さまと医療現場
どちらからも選ばれる
理学療法士・作業療法士に





岡山専門職大学[OPU]（仮称）

2020年4月岡山市中心部に開学（予定）

健康科学部
設置構想中

- ●理学療法学科（定員80名）
- ●作業療法学科（定員40名）

効果的・先進的な実習の段階的教育システムの大学で学ぶ。

～新しく、より効果的なスタイルの教育課程で、高度な実践力と創造力を身につけ、
ワンランク上の理学療法士・作業療法士を育成する～

岡山専門職大学とは？（仮称・設置構想中）

効果的、先進的な実習教育システムを備えた専門職大学です。
単なる理学療法士・作業療法士ではなく、高度な実践力と豊かな創造力が身につきます。

学部：健康科学部
学科：理学療法学科（80名）
　　作業療法学科（40名）
学位：理学療法学士（専門職）
　　作業療法学士（専門職）

臨床実習が充実！

高度な実践力

即戦力の理学・作業療法士へ

OPUだから、卒業後のレベルが違う！

基盤力・創造力・実践力の3つの力を伸ばす教育

他リハビリ系大学
- 基礎科目、（職業）専門科目、臨床実習

岡山専門職大学
- 基礎科目、職業専門科目、臨床実習
- ＋
- 基盤的資質を鍛える：基盤ゼミ
- 新たなサービスを創造する力：展開科目
- 高度な実践力：上級治療実習

ワンランク上の理学療法士・作業療法士になれる！

上級治療実習 ～総合実習Ⅱとのシナジー効果でより高度な技術が身につく～

3年次に実施する総合実習Ⅰ（臨床実習）では、臨床現場を体験し、自分の興味のある分野（疾患）と課題を見つけます。4年次の上級治療実習では、自分の関心のある分野の実習を選択し、自分の興味を深めると共に課題を解決し、強みに変えていきます。この上級治療実習（学内）とその後に実施する総合実習Ⅱのシナジー効果（相乗効果）で1段上の実践技術を修得することができる本学独自のプログラムです。

3年次
総合実習Ⅰ　課題を発見

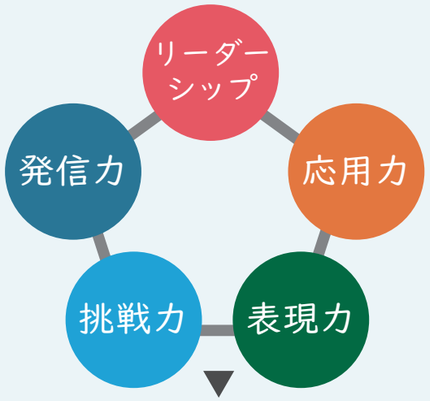
この2つの実習でシナジー効果！！
4年次
上級治療実習 課題解決・強みの拡大 ＋ 総合実習Ⅱ 実践

3大サポート

- 就職サポート
- キャンパスライフサポート
- 国家試験サポート

5つの力を基盤に、創造力を鍛える！

自分自身をアップデートする力を備える







豊かな創造力

新たなサービスを生み出す力

基盤ゼミ ～基盤的資質を鍛える、少人数制ゼミ～

4年一貫して教育を行う、少人数制のゼミ。学年ごとに特定のテーマと内容を設定し、自立した社会人・責任感を備えた創造性豊かな医療人としての基盤的資質を養う、本学独自の教育システムです。

- 1年次
  - ・自己の将来像の明確化
  - ・人間性や職業倫理を涵養
  - ・キャリア形成
- 2年次
  - ・論理的思考力と問題解決能力の錬磨
  - ・思考力、創造力、学習志向性を鍛える
- 3年次
  - ・プレゼンテーション力とリーダーシップの錬磨
  - ・自己表現力と発信力を鍛える
- 4年次
  - ・持続的な自己成長のテクニック、生涯学習力を育む

展開科目 ～新たなサービスを生み出す力～

革新的サービスの創出
＋
暖かみのあるサービスの創出
▼
地域社会を牽引する懐の深い人材



※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。



健康科学部

最新の専門知識と高度な実践力及び研究スキルを備え、人を思いやる心と豊かな創造力を身につけます。医療現場や地域包括ケアシステムの中で、即戦力として活躍し、関連職種と連携しつつ、専門業務を主導できる人材を育成します。

理学療法学科　定員80名

高度な知識・技能を持ち、チーム医療を支える理学療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）理学療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 理学療法学士（専門職）



作業療法学科　定員40名

職業現場を牽引し、多様化する社会のニーズに応えられる作業療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）作業療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 作業療法学士（専門職）



キャンパス紹介

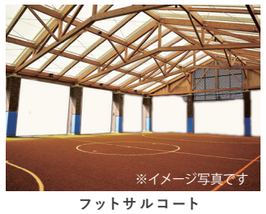


岡山専門職大学（仮称）新校舎2018年12月完成予定

1クラス40人以下の少人数制で学べる、新しいキャンパス！
本館に屋上庭園、学生大ラウンジ、新体育館（フットサルコート）も新設！


大教室


普通教室



フットサルコート


スポーツトレーニングルーム


学生大ラウンジ


図書館


スカイホール


木工・金工・陶工室


機能訓練室


織物・絵画室

＜新館＞

○新図書館
- 蔵書1万冊以上
- ディスカッションルーム2室完備

○スチューデントホール
- 各階に憩いのスペースを完備

○講義が聞きやすい階段教室
- 全教室対応

○全フロア Wi-Fi対応



＜専門職大学とは＞

専門職大学は、職業現場の意見を教育課程に取り込む実践的教育を実施し、高度な「実践力」と新しいサービスを創り出せる豊かな「創造性」を備えた人材を養成する高等教育機関です。

専門職大学と大学・専門学校 特徴の比較

大　学	専門職大学	専門学校
興味のある分野を深く学ぶ	めざす職業に必要な知識を豊富な実習で学ぶ	めざす職業に必要な技術を身につける
本格的な施設や設備で研究を行える	現場の意見を反映させたカリキュラムで学ぶ	就職に直結した、専門的な分野の学びができる
さまざまな教養を身につける	現場経験豊富な教員から教わる	仕事に必要な資格取得をめざす
仕事に必要な資格取得をめざす	独自の展開科目を学べる	現場で直接必要なことを学べる
学士を取得	仕事に必要な資格取得をめざす	
	学士（専門職）を取得	
	就職へ直結する学びを行うので就職に有利	

	大　学	専門職大学	専門学校
修業年限	4-6 年	4 年	1-4 年
めざす教育	幅広い教養や、学術研究の成果に基づく知識・理論を身につける	専門業務を牽引でき、新たなサービスなどをつくり出せる人材を育成する	特定職種の実務に直接必要となる知識や技術を身につける
学びの特色	幅広いテーマやものの見方や考え方を学ぶ	高度な実践力と変化に対応できる創造力を学び、即戦力の人材となる	即戦力になれる技能や知識を学ぶ
授業の内容	専門的な研究のほか、一般教養を学ぶ授業もある	現場のニーズを取り込み、現場と連携した授業で学ぶ	仕事に必要な知識を中心に学ぶ
実習の内容	充実したゼミなどを選択可能	医療施設や企業などで実習が行える（現場実習）	実際の現場での実習や体験授業で技術を身につける
教員	1 つの学問に精通した教員が多数在籍	4 割以上が業界経験のある実務家教員	その分野の仕事に熟知した教員が在籍

岡山専門職大学は就職に強い！

岡山専門職大学では、通常の大学で学ぶ基礎科目、（職業）専門科目に加え、独自の展開科目と総合科目を学び、4 年次では上級治療実習を行うことで、ワンランク上の人材になることができます。高度な実践力と豊かな創造力を身につけて卒業できるため、医療現場の人事担当者からも歓迎されています。



学費

※臨地実務実習費は学納金に含まれます。

学　部	学　科	入学金	学納金	1 年次合計
健康科学部	理学療法・作業療法学科	300,000 円	1,460,000 円	1,760,000 円

奨学金サポート

本山学園奨学金

ランクA 100万円　ランクB 30万円　ランクC 20万円　ランクD 10万円

AO入試合格者に支給します。

成績優秀者奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　ランクA 45万円　ランクB 23万円

経済支援奨学金

経済的理由により、就学が困難な者に対し、支給する。（住民税・所得税非課税世帯）　25万円

親族割引奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　20万円

スポーツ奨励奨学金

スポーツにおける全国規模で開催される大会（インターハイ、国体他）出場経験者等で、AO 入試など専願制入試合格者に支給します。　5万円

キャリアアップ支援奨学金（社会人対象）

本学指定の国家資格の免許を有する者で AO 入試など専願制入試合格者に支給します。（下記本校指定国家資格対象）　10万円

※理学・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士・看護師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・社会福祉士・介護福祉士・薬剤師・柔道整復師・歯科衛生士・歯科技工士・臨床検査技師・臨床工学技士・診療放射線技師・視能訓練士・救急救命士

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。

岡山専門職大学(仮称・設置構想中)と近隣の大学・学部・学科一覧表

※別途、教科書代金等必要　※参考：2018年度募集要項等

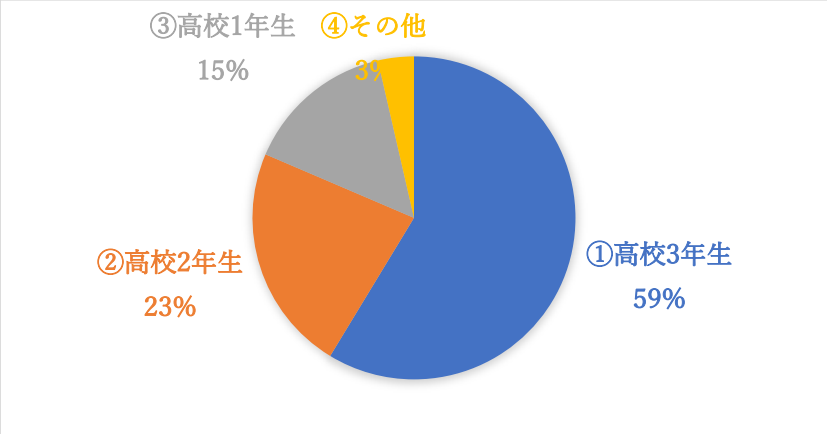
大学名	学部	学科名	所在地	入学定員	入学初年度年間学納金(単位：円)				2年次以降年間学納金等(単位：円)	備考
					内訳			総額		
					入学金	学納金等	その他			
吉備国際大学	保健医療福祉学部	理学療法学科	岡山県 高梁市	40	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000	1,496,000	※入学年度のみ：学友会費 30,000円 ※教育後援会費 6,000円(年間)
吉備国際大学	保健医療福祉学部	作業療法学科	岡山県 高梁市	40	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000	1,496,000	※入学年度のみ：学友会費 30,000円 ※教育後援会費 6,000円(年間)
川崎医療福祉大学	医療技術学部	リハビリテーション学科 理学療法専攻	岡山県 倉敷市	60	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000	1,400,000	※入学時のみ：学友会入会金 10,000円 ※入学時のみ：学友会費 20,000円 ※入学時のみ：協助会費 30,000円
川崎医療福祉大学	医療技術学部	リハビリテーション学科 作業療法専攻	岡山県 倉敷市	60	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000	1,400,000	※入学時のみ：学友会入会金 10,000円 ※入学時のみ：学友会費 20,000円 ※入学時のみ：協助会費 30,000円
広島都市学園大学	健康科学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	広島県 広島市	60	250,000	1,500,000	20,000	1,770,000	1,500,000	※毎年：委託徴収金として「保護者の会」会費 20,000円 ※4年次：同窓会入会金 不明
広島都市学園大学	健康科学部	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	広島県 広島市	40	250,000	1,500,000	20,000	1,770,000	1,500,000	※毎年：委託徴収金として「保護者の会」会費 20,000円 ※4年次：同窓会入会金 不明
広島国際大学	総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	広島県 東広島市	60	250,000	1,520,000	16,000	1,786,000	1,645,000	※振興費：10,000円 ※互助会費：入会金 1,000円、会費(年額) 5,000円
広島国際大学	総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	広島県 東広島市	40	250,000	1,520,000	16,000	1,786,000	1,645,000	※振興費：10,000円 ※互助会費：入会金 1,000円、会費(年額) 5,000円
徳島文理大学	保健福祉学部	理学療法学科	徳島県 徳島市	60	280,000	1,350,000	36,640	1,666,640	1,350,000	※臨地実習経費が別途必要 ※協力費(前・後期)：各16,200円 ※研修部費(前・後期)：各1,620円 ※研修部入会金(入学時のみ)：1,000円
神戸学院大学	総合リハビリテーション学部	理学療法学科	兵庫県 神戸市	40	400,000	1,796,300	0	2,196,300	1,757,000	
神戸学院大学	総合リハビリテーション学部	作業療法学科	兵庫県 神戸市	40	400,000	1,796,300	0	2,196,300	1,757,000	
岡山専門職大学 (仮称・設置構想中)	健康科学部	理学療法学科	岡山県 岡山市	80	300,000	1,460,000	0	1,760,000	1,460,000	※臨地実務実習費は学納金に含まれる
岡山専門職大学 (仮称・設置構想中)	健康科学部	作業療法学科	岡山県 岡山市	40	300,000	1,460,000	0	1,760,000	1,460,000	※臨地実務実習費は学納金に含まれる

（資料 2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査

【調査期間】平成 30 年 7 月 25 日（水）～10 月 2 日（火）

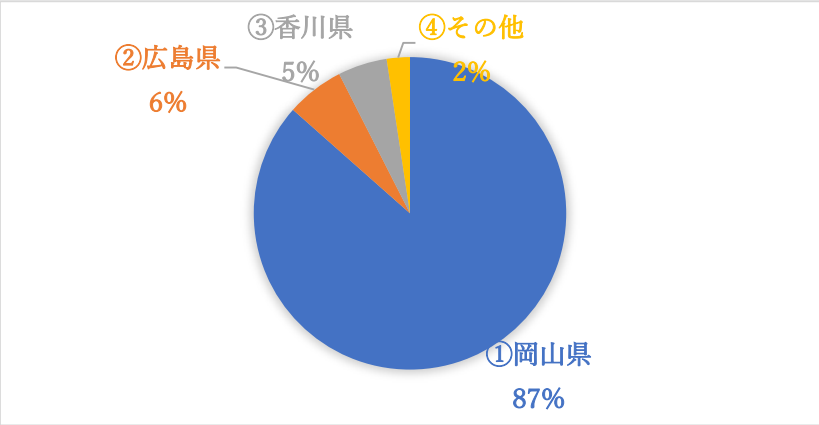
Q1.　あなたの学年を教えてください。

選択肢	人数（名）
①高校 3 年生	196
②高校 2 年生	76
③高校 1 年生	50
④その他	12
合計	334



Q2. 高校の所在地を教えてください。

選択肢	人数（名）
①岡山県	289
②広島県	20
③香川県	17
④その他	8
合計	334



Q3.　高校名を記入してください。

高校名	人数（名）
岡山県立勝山高等学校	22
岡山県立倉敷天城高等学校	22
岡山県立玉野高等学校	21
岡山県立倉敷中央高等学校	13
岡山県立西大寺高等学校	12
岡山県美作高等学校	9
岡山県立和気閑谷高等学校	9
岡山高等学校	9
関西高等学校	7
岡山学芸館高等学校	6
岡山県立岡山操山高等学校	6
岡山県立岡山東商業高等学校	6
岡山県立岡山南高等学校	6
岡山県立水島工業高等学校	6
岡山理科大学附属高等学校	6
創志学園高等学校	6
岡山県作陽高等学校	5
岡山県立新見高等学校	5
岡山県立倉敷古城池高等学校	5
岡山県立矢掛高等学校	5
おかやま山陽高等学校	4
岡山県立岡山工業高等学校	4
岡山県立岡山城東高等学校	4
岡山県立岡山芳泉高等学校	4
岡山県立玉野光南高等学校	4
岡山県立津山東高等学校	4
岡山県立東岡山工業高等学校	4

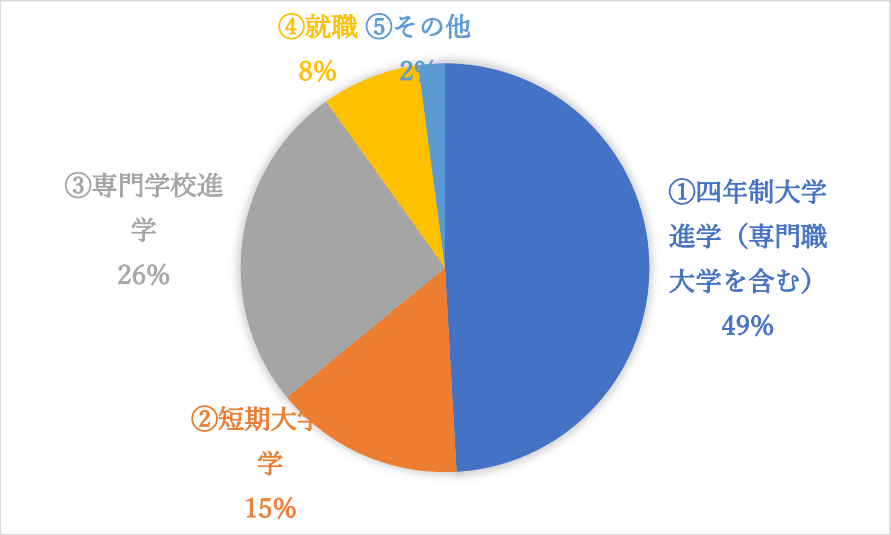
玉野市立玉野商工高等学校	4
就実高等学校	4
岡山県立真庭高等学校	3
岡山県立瀬戸高等学校	3
岡山県立瀬戸南高等学校	3
岡山県立倉敷青陵高等学校	3
岡山県立総社高等学校	3
岡山県立津山工業高等学校	3
岡山県立津山商業高等学校	3
山陽女子高等学校	3
清心女子高等学校	3
明誠学院高等学校	3
岡山県共生高等学校	2
岡山県立井原高等学校	2
岡山県立岡山朝日高等学校	2
岡山県立倉敷工業高等学校	2
岡山県立倉敷商業高等学校	2
岡山県立倉敷中央高校	2
岡山県立倉敷南高等学校	2
岡山県立総社南高等学校	2
岡山白陵高等学校	2
吉備高原学園高等学校	2
興譲館高等学校	2
倉敷高等学校	2
倉敷翠松高等学校	2
津山工業高等専門学校	2
岡山県立岡山一宮高等学校	1
岡山県立岡山御津高等学校	1
岡山県立笠岡工業高等学校	1
岡山県立笠岡高等学校	1
岡山県立笠岡商業高等学校	1
岡山県立鴨方高等学校	1
岡山県立興陽高等学校	1
岡山県立玉島高等学校	1
岡山県立勝間田高等学校	1
岡山県立倉敷鷲羽高等学校	1
岡山県立邑久高等学校	1

岡山県立林野高等学校	1
岡山商科大学付属高等学校	1
岡山商科大学附属高等学校	1
金光学園高等学校	1
倉敷市立倉敷翔南高等学校	1
広島大学附属高等学校	4
広島県立油木高等学校	2
尾道高等学校	2
福山市立福山高等学校	2
呉工業高等専門学校	1
広島県立戸手高等学校	1
広島県立福山葦陽高等学校	1
広島県立福山明王台高等学校	1
広島大学附属福山高等学校	1
英明高等学校	10
香川県立琴平高等学校	2
香川県立小豆島中央高等学校	2
香川高等専門学校	1
坂出第一高等学校	1
徳島県立つるぎ高等学校	1
徳島県立川島高等学校	1
徳島県立徳島商業高等学校	1
愛媛県立今治北高等学校	1
愛媛県立三島高等学校	1
開星高等学校	1
島根県立島根中央高等学校	1
合計	334

Q4.　あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。

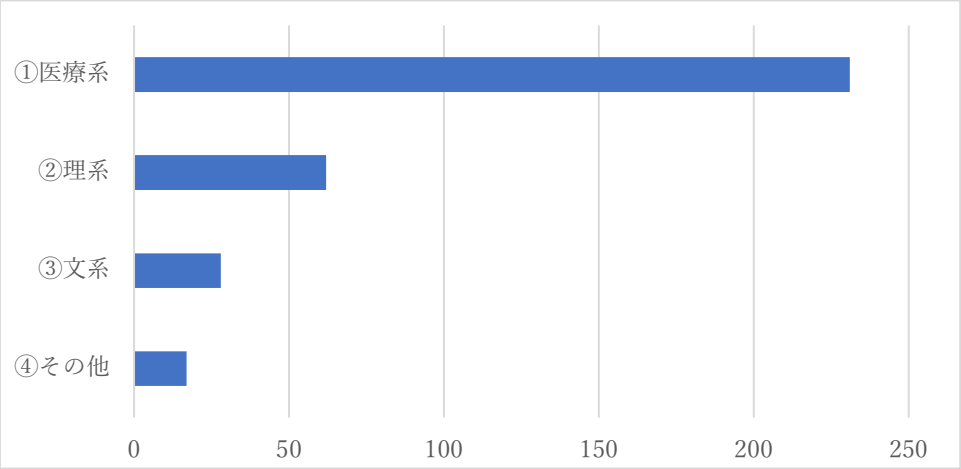
選択肢	人数
①四年制大学進学（専門職大学を含む）	164
②短期大学進学	50
③専門学校進学	87
④就職	26
⑤その他	7

合計	334



Q5.　あなたが進学したいと考えている学問分野は次のうちどれですか。次の中から選んでください。（複数回答可）

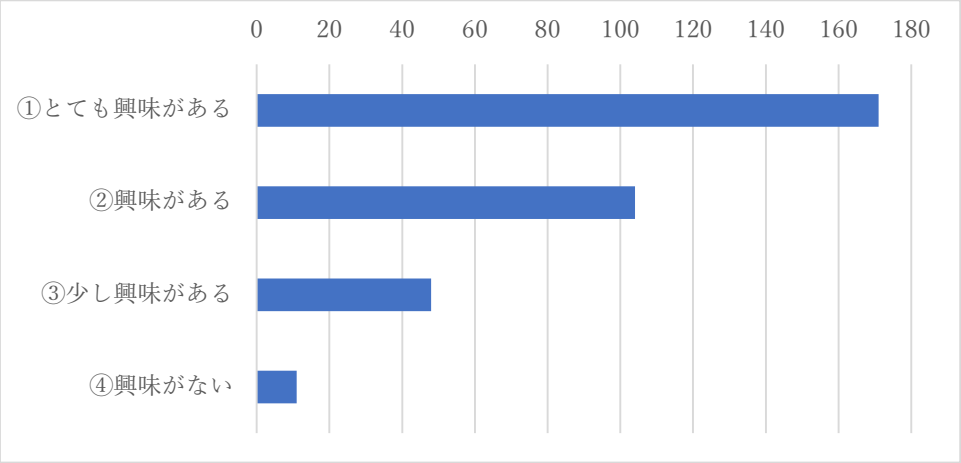
選択肢	人数
①医療系	231
②理系	62
③文系	28
④その他	17
合計	334



Q6.　あなたは岡山医療専門職大学（仮称）に興味がありますか。

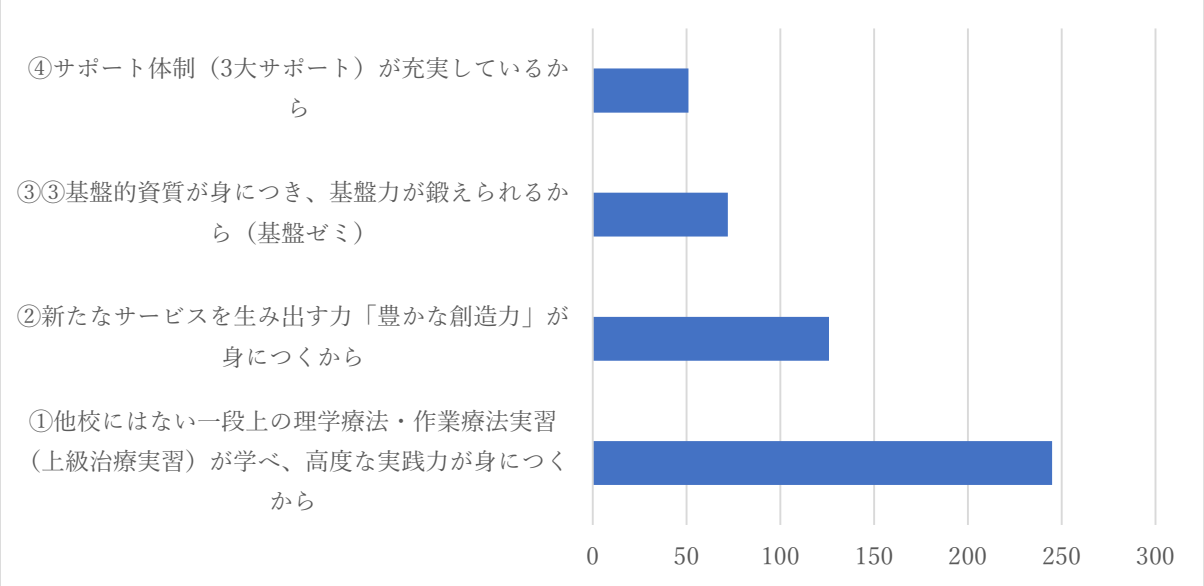
選択肢	人数
①とても興味がある	171
②興味がある	104

③少し興味がある	48
④興味がない	11
合計	334



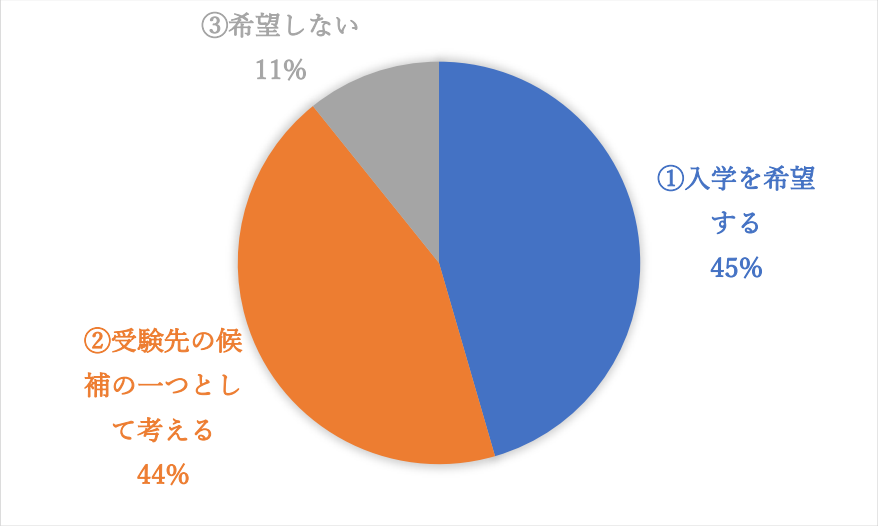
Q7.Q6 で「①とても興味がある、②興味がある、③少し興味がある」のいずれかを選んだ方にお聞きします。興味を持った理由を教えてください。(複数回答可)

選択肢	人数
①他校にはない一段上の理学療法・作業療法実習（上級治療実習）が学べ、高度な実践力が身につくから	245
②新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから	126
③基盤的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基盤ゼミ）	72
④サポート体制（3 大サポート）が充実しているから	51
合計	326



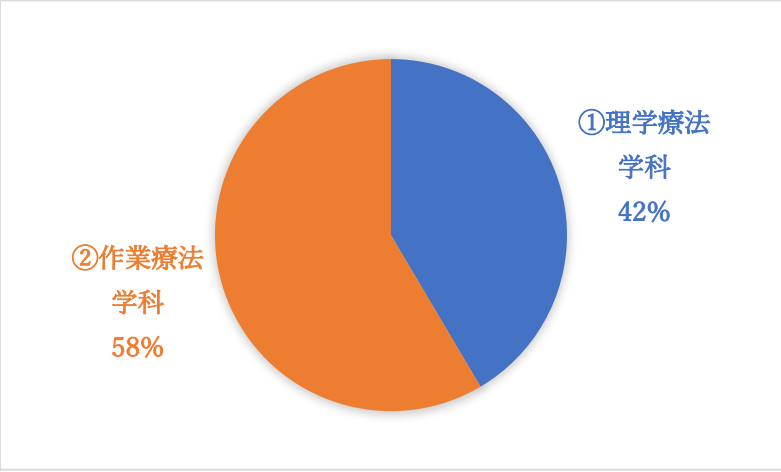
Q８.あなたは「岡山専門職大学（仮称）」に入学したいと思いますか。（１つに○をつけてください）

選択肢	人数（名）
①入学を希望する	152
②受験先の候補の一つとして考える	146
③希望しない	36
合計	334

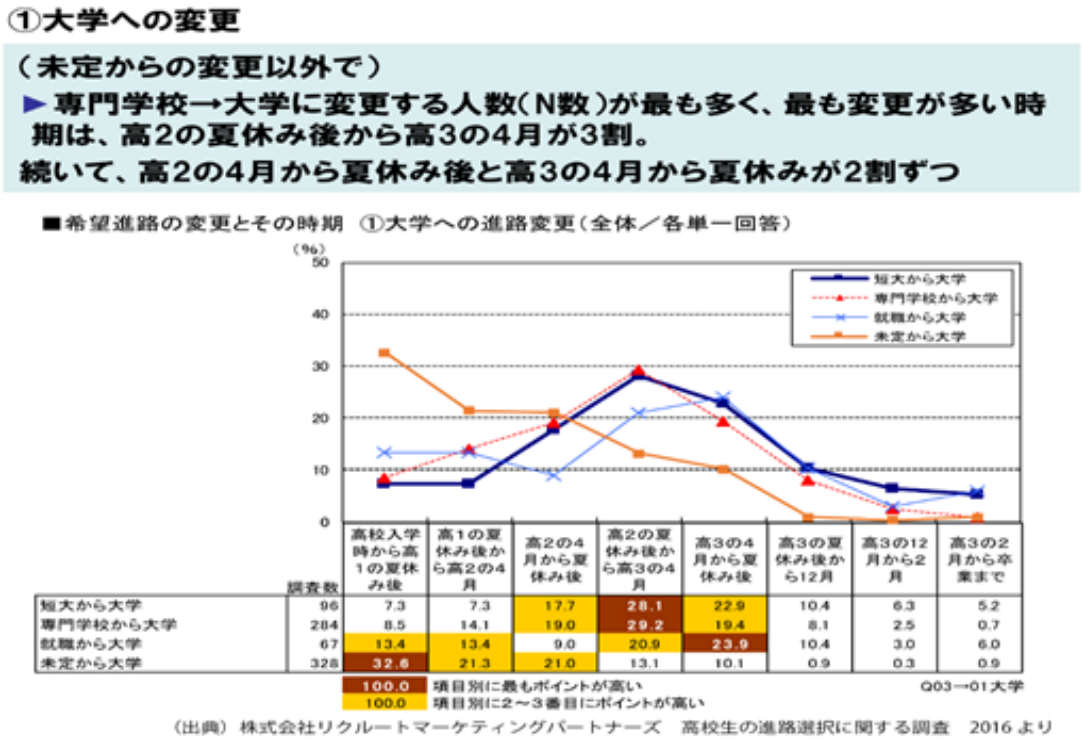


Q９.Q8 で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。次のどの学科への入学を希望しますか。

選択肢	人数（名）
①理学療法学科	127
②作業療法学科	179
合計	306



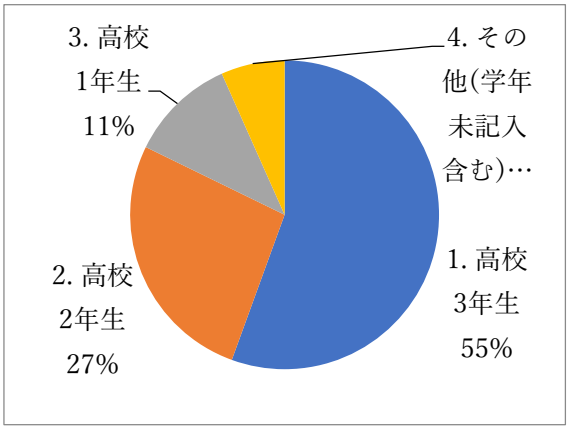
（資料２－1）高校生の進路選択に関する調査



（資料２－2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査（調査期間：平成 30 年 7 月 25 日から平成 31（令和元）年 6 月 22 日まで）

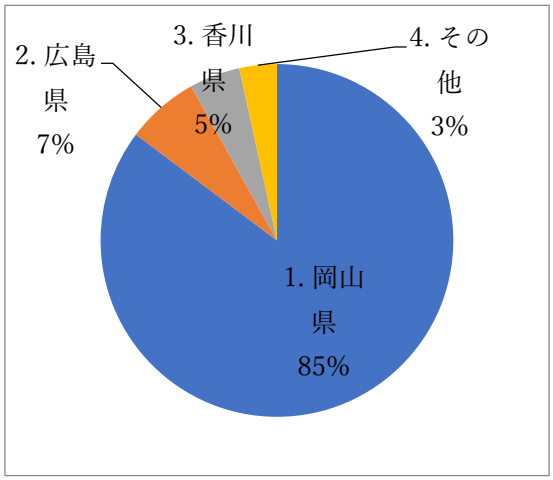
Q１　あなたの学年を教えてください。

	回答	比率（%）
1. 高校3年生	275	55.6%
2. 高校2年生	132	26.7%
3. 高校1年生	55	11.1%
4. その他(学年未記入含む)	33	6.7%
合計	495	100.0%



Q２　高校の所在地を教えてください。

	回答	比率(%)
1. 岡山県	422	85.3%
2. 広島県	33	6.7%
3. 香川県	23	4.6%
4. その他	17	3.4%
合計	495	100.0%



Q３　高校名を記入してください。

高校名	人数	比率（%）
岡山県立倉敷中央高等学校	32	6.5%
岡山県立勝山高等学校	28	5.7%
岡山県立倉敷天城高等学校	22	4.4%
岡山県立玉野高等学校	21	4.2%
岡山県立岡山東商業高等学校	14	2.8%
岡山県立新見高等学校	13	2.6%
岡山県立西大寺高等学校	12	2.4%
玉野市立玉野商工高等学校	12	2.4%
岡山県美作高等学校	11	2.2%
英明高等学校	10	2.0%
岡山学芸館高等学校	9	1.8%
岡山県立岡山南高等学校	9	1.8%
岡山県立矢掛高等学校	9	1.8%
岡山高等学校	9	1.8%
関西高等学校	9	1.8%
就実高等学校	9	1.8%
創志学園高等学校	9	1.8%
明誠学院高等学校	8	1.6%
岡山県立岡山工業高等学校	7	1.4%
岡山理科大学附属高等学校	7	1.4%

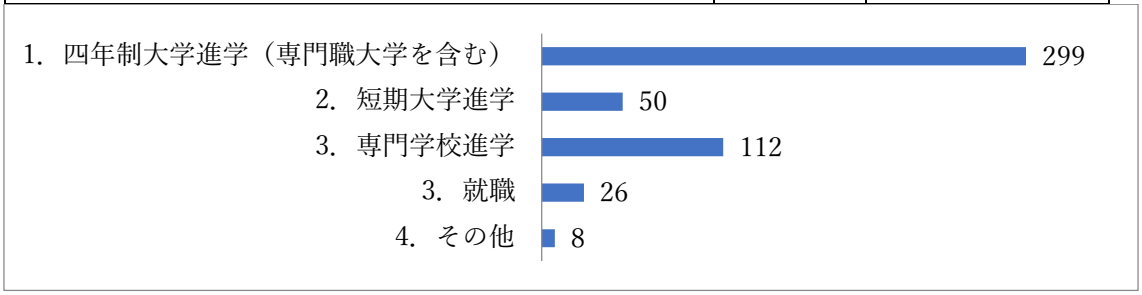
おかやま山陽高等学校	6	1.2%
岡山県立岡山操山高等学校	6	1.2%
岡山県立玉野光南高等学校	6	1.2%
岡山県立水島工業高等学校	6	1.2%
岡山県立倉敷古城池高等学校	6	1.2%
岡山県立総社高等学校	6	1.2%
倉敷高等学校	6	1.2%
岡山県立備前緑陽高等学校	5	1.0%
岡山県作陽高等学校	5	1.0%
岡山県立備前緑陽高等学校	5	1.0%
岡山県立津山商業高等学校	5	1.0%
岡山県立東岡山工業高等学校	5	1.0%
岡山龍谷高等学校	5	1.0%
岡山県立岡山城東高等学校	4	0.8%
岡山県立岡山芳泉高等学校	4	0.8%
岡山県立倉敷鷲羽高等学校	4	0.8%
岡山県立津山東高等学校	4	0.8%
玉野市立玉野商工高等学校	4	0.8%
広島大学附属高等学校	4	0.8%
香川県立琴平高等学校	4	0.8%
山陽女子高等学校	4	0.8%
岡山県立真庭高等学校	3	0.6%
岡山県立瀬戸高等学校	3	0.6%
岡山県立瀬戸南高等学校	3	0.6%
岡山県立倉敷商業高等学校	3	0.6%
岡山県立倉敷青陵高等学校	3	0.6%
岡山県立総社南高等学校	3	0.6%
岡山県立津山工業高等学校	3	0.6%
清心女子高等学校	3	0.6%
倉敷翠松高等学校	3	0.6%
岡山県共生高等学校	2	0.4%
岡山県立井原高等学校	2	0.4%
岡山県立岡山御津高等学校	2	0.4%
岡山県立岡山朝日高等学校	2	0.4%
岡山県立玉島高等学校	2	0.4%
岡山県立倉敷工業高等学校	2	0.4%
岡山県立倉敷南高等学校	2	0.4%

岡山県立林野高等学校	2	0.4%
岡山白陵高等学校	2	0.4%
吉備高原学園高等学校	2	0.4%
興譲館高等学校	2	0.4%
広島県立福山明王台高等学校	2	0.4%
広島県立油木高等学校	2	0.4%
香川県立小豆島中央高等学校	2	0.4%
津山工業高等専門学校	2	0.4%
尾道高等学校	2	0.4%
福山市立福山高等学校	2	0.4%
高知県立高知商業高等学校	2	0.4%
広島県立庄原格致高等学校	2	0.4%
岡山県立岡山一宮高等学校	1	0.2%
岡山県立笠岡工業高等学校	1	0.2%
岡山県立笠岡高等学校	1	0.2%
岡山県立笠岡商業高等学校	1	0.2%
岡山県立鴨方高等学校	1	0.2%
岡山県立興陽高等学校	1	0.2%
岡山県立勝間田高等学校	1	0.2%
岡山県立勝間田高等学校	1	0.2%
岡山県立邑久高等学校	1	0.2%
岡山商科大学付属高等学校	1	0.2%
岡山商科大学附属高等学校	1	0.2%
開星高等学校	1	0.2%
金光学園高等学校	1	0.2%
呉工業高等専門学校	1	0.2%
広島県立戸手高等学校	1	0.2%
広島県立神辺高等学校	1	0.2%
広島県立福山葦陽高等学校	1	0.2%
広島大学附属福山高等学校	1	0.2%
香川県藤井高等学校	1	0.2%
香川高等専門学校	1	0.2%
高水高等学校	1	0.2%
坂出第一高等学校	1	0.2%
崇徳高等学校	1	0.2%
倉敷外語学院	1	0.2%
倉敷市立倉敷翔南高等学校	1	0.2%

島根県立島根中央高等学校	1	0.2%
徳島県立つるぎ高等学校	1	0.2%
徳島県立川島高等学校	1	0.2%
徳島県立徳島商業高等学校	1	0.2%
日本航空高等学校	1	0.2%
並木学院高等学校	1	0.2%
明誠高等学校	1	0.2%
香川県立高松西高等学校	1	0.2%
香川県立坂出商業高等学校	1	0.2%
香川県立志度高等学校	1	0.2%
高知県立幡多農業高等学校	1	0.2%
島根県立三刀屋高等学校	1	0.2%
島根県立飯南高等学校	1	0.2%
ヒューマンキャンパス高等学校	1	0.2%
広島県立油木高等学校	1	0.2%
広島県立庄原実業高等学校	1	0.2%
広島県立尾道高等学校	1	0.2%
愛媛県立今治北高等学校	1	0.2%
愛媛県立三島高等学校	1	0.2%
英数学館高等学校	1	0.2%
その他(未回答、不明含む)	21	4.2%
合計	495	100.0%

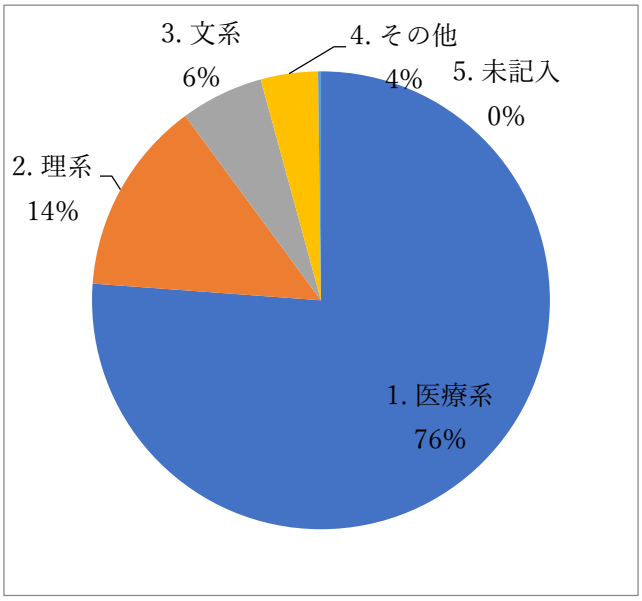
Q４　あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。

	回答	比率（%）
1. 四年制大学進学（専門職大学を含む）	299	60.4%
2. 短期大学進学	50	10.1%
3. 専門学校進学	112	22.6%
3. 就職	26	5.3%
4. その他	8	1.6%
合計	495	100.0%



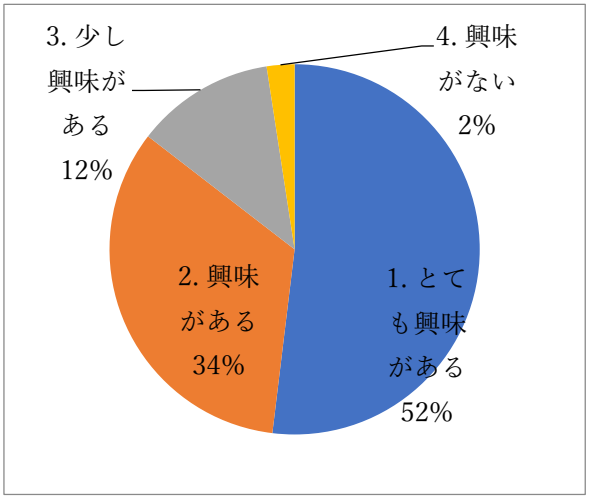
Q５　あなたが進学したいと考えている学問分野は次のうちどれですか。次の中から選んでください。

	回答	比率（%）
1. 医療系	377	76. 2%
2. 理系	68	13. 7%
3. 文系	29	5. 9%
4. その他	20	4. 0%
5. 未記入	1	0. 2%
合計	495	100. 0%



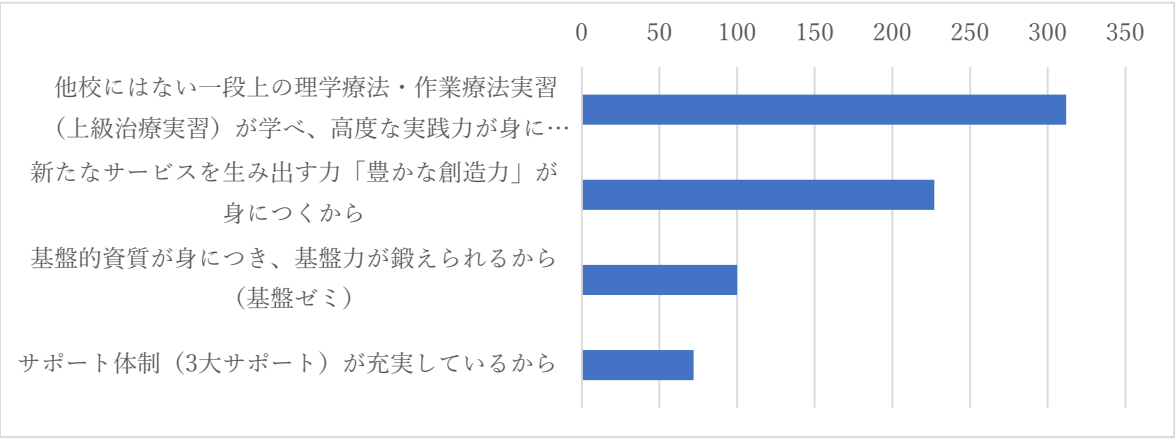
Q6 あなたは岡山医療専門職大学（仮称）に興味がありますか。

	回答	比率（%）
1. とても興味がある	257	51. 9%
2. 興味がある	166	33. 5%
3. 少し興味がある	60	12. 1%
4. 興味がない	12	2. 4%
合計	495	100. 0%



Q7　Q6 で「①とても興味がある、②興味がある、③少し興味がある」のいずれかを選んだ方にお聞きします。興味を持った理由を教えてください。（複数回答可）

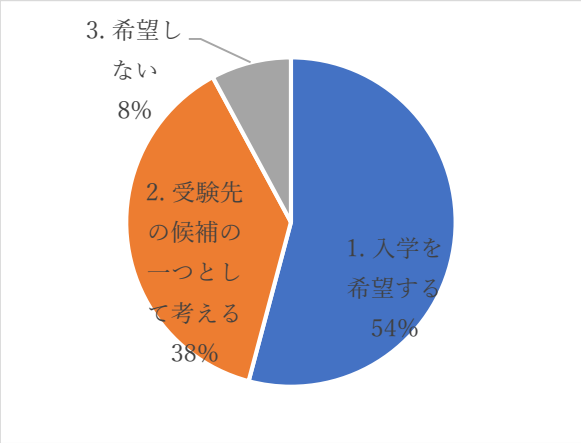
	回答	比　率（%）
他校にはない一段上の理学療法・作業療法実習（上級治療実習）が学べ、高度な実践力が身につくから	312	63.0%
新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから	227	45.9%
基盤的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基盤ゼミ）	100	20.2%
サポート体制（3 大サポート）が充実しているから	72	14.5%



Q8 あなたは「岡山医療専門職大学（仮称）」に入学したいと思いますか。（１つに○をつけてください）

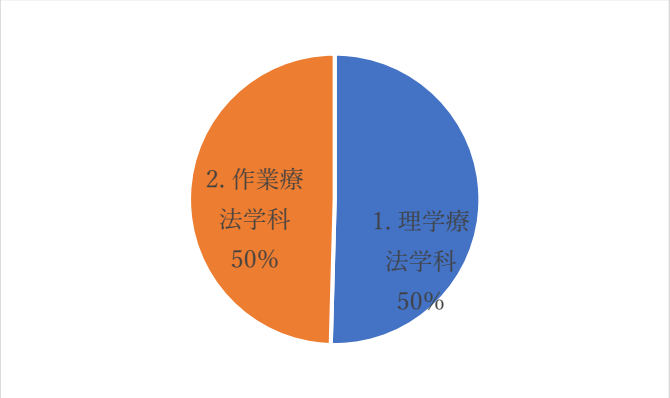
	回答	比率（%）
1. 入学を希望する	268	54.1%
2. 受験先の候補の一つとして考える	188	38.0%

3. 希望しない	39	7.9%
合計	495	100.0%

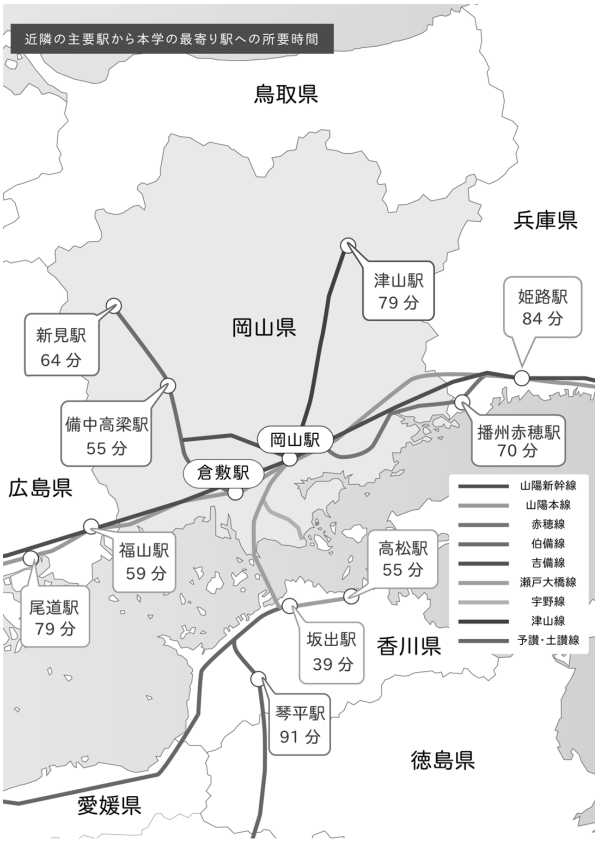


Q9 Q8 で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。次のどの学科への入学を希望しますか。

	回答	比率（%）
1. 理学療法学科	234	50.4%
2. 作業療法学科	230	49.6%
合計	464	100.0%



（資料 3）近隣の主要駅から本学の最寄り駅への所要時間



（資料 4）近隣等競合校の入学志願者数の推移　理学療法学科（専攻を含む）

川崎医療福祉大学（医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻）

入試年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	460	437	379	611	441
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	11.5	10.93	9.48	10.18	7.35

（備考）川崎医療福祉大学ホームページ、株式会社　リクルートマーケティングパートナーズ調査：各大学情報公開・入試結果より抜粋　2018.7.31 時点

（資料 5）近隣等競合校の入学志願者数の推移　作業療法学科（専攻を含む）

川崎医療福祉大学（医療技術学部リハビリテーション学科作業療法専攻）

入試年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	239	307	233	310	237
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	5.48	5.98	5.83	5.17	3.95

（備考）川崎医療福祉大学ホームページ、株式会社　リクルートマーケティングパートナーズ調査：各大学情報公開・入試結果より抜粋　2018.7.31 時点　※平成 25 年度のデータ（ママ）

（資料 6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率

川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科（旧医療技術学部）

○理学療法学科

対象年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	460	437	379	611	441
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	11.5	10.93	9.48	10.18	7.35
入学者数	不明	54	54	68	68
入学定員超過率	不明	1.35	1.35	1.13	1.13

○作業療法学科

対象年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	239	307	233	310	237
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	5.48	5.98	5.83	5.17	3.95
入学者数	不明	57	54	68	66
入学定員超過率	不明	1.42	1.35	1.13	1.10

（川崎医療福祉大学公表データより）

（資料 7）18 歳人口予測（全国）（平成 29 年～平成 38 年）

		平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年
全国	人数	1,179,810	1,175,152	1,166,874	1,139,843	1,122,017
	割合	99.1	98.7	98.0	95.8	94.3

		平成 34 年	平成 35 年	平成 36 年	平成 37 年	平成 38 年
全国	人数	1,097,275	1,061,776	1,088,705	1,090,569	1,082,772
	割合	92.2	89.2	91.5	91.6	91.0

（備考）リクルート進学総研マーケットリポート Vol.11 2015 年 12 月号

18 歳人口予測　大学・短大・専門学校進学率　地元残留率の動向　中国版より

（資料 8）18 歳人口予測（岡山県）（平成 29 年～平成 38 年）

		平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年
岡山県	人数	18,439	18,811	18,661	18,193	17,632
	割合	96.5	98.4	97.6	95.2	92.2

		平成 34 年	平成 35 年	平成 36 年	平成 37 年	平成 38 年

岡山県	人数	17,282	16,823	17,116	17,243	16,985
	割合	90.4	88.0	89.5	90.2	88.9

（備考）リクルート進学総研マーケットリポート Vol.11 2015 年 10 月号「18 歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向　2016」、リクルート進学総研マーケットリポート Vol.11　2015 年 11 月号「18 歳人口予測　大学・短大・専門学校進学率　地元残留率の動向　中国版」、リクルート進学総研マーケットリポート Vol.20 2015 年 12 月号「18 歳人口予測　大学・短大・専門学校進学率　地元残留率の動向　近畿版」より

（資料 9）大学進学率の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
大学（学部）進学者	517,416	505,240	522,656	525,195	532,699
進学率	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6

（備考）学校基本調査

（資料 10）リハビリテーション学の募集定員と志願者数

	募集定員	志願者
1992 年	50	243
1996 年	454	5,437
2000 年	716	7,975
2004 年	1,811	12,630
2008 年	3,649	18,143
2012 年	4,639	21,040
2016 年	8,152	50,353

（備考）リクルート進学総研「カレッジマネジメント 205 号　学部・学科トレンド 2017」

スポーツ・健康・医療系統の動向

分析対象：リクルート入試実態調査の集計データを基に、2016 年時点で国公私立大学が設置していた 5136 学科の学科系統を、リクルート独自の 12 の大分類と 78 の小分類に振り分けて分析が行われている。

https://shingakunet.com/ebook/cm/205/?openpage=1#page=1

（資料 11）岡山医療技術専門学校過去 5 カ年の入学志願者数

学科	定員	入試年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
理学療法学科	80 名	志願者数	78	86	94	91	63
		受験者数	77	83	94	91	58
		合格者数	65	73	83	83	57
		入学者数	54	62	75	73	48

		志願倍率	0.98	1.08	1.18	1.14	0.79
		定員超過率	0.68	0.78	0.94	0.91	0.60
作業療法学科	40 名	志願者数	45	35	36	31	28
		受験者数	43	35	34	31	28
		合格者数	36	27	34	29	27
		入学者数	31	19	30	27	26
		志願倍率	1.13	0.88	0.90	0.78	0.70
		定員超過率	0.78	0.48	0.75	0.68	0.65
医療福祉ビジネス学科/医療事務学科	40	志願者数	19	16	18	36	27
		受験者数	19	15	23	27	27
		合格者数	19	13	20	27	25
		入学者数	19	13	19	26	23
		定員充足率	47.5	32.5	47.5	65	57.5
		定員超過率	0.48	0.33	0.48	0.65	0.58

（備考）学校法人本山学園　法人事務局

平成 26 年度～平成 27 年度医療福祉ビジネス学科（2 年制）、※平成 28 年度医療事務学科（2 年制）

※平成 29 年度より医療事務学科（1 年制）

（資料 12）岡山医療技術専門学校（理学療法学科・作業療法学科）初年度学納金

学校名	学科	修業年限	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	初年度合計
岡山医療技術専門学校	理学療法学科 作業療法学科	3 年制	200,000 円	890,000 円	300,000 円	300,000 円	1,690,000 円

(備考)学校法人本山学園　法人事務局

（資料 13）近隣大学の納付金（2018 年度）

大学名	学部	学科（専攻）	入学金	学納金等	その他	初年度合計
川崎医療福祉大学	医療技術学部	リハビリテーション学科（理学療法専攻）	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000
		リハビリテーション学科（作業療法専攻）	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000
吉備国際大学	保健医療福祉学部	理学療法学科	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000
		作業療法学科	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000

(備考)学校法人本山学園　法人事務局調査　※参考：2018 年度募集要項等

（資料 14）ホームページアクセス数（平成 29 年度、本山学園、岡山医療技術専門学校）

	岡山医療技術専門学校	本山学園全体
4 月	5, 055	16, 776
5 月	5, 026	17, 021
6 月	4, 730	17, 598
7 月	5, 555	16, 649
8 月	4, 687	16, 409
9 月	4, 687	16, 067
10 月	4, 286	21, 408
11 月	4, 123	14, 535
12 月	3, 397	14, 736
1 月	3, 463	14, 599
2 月	3, 615	13, 811
3 月	4, 380	15, 468
合計	53, 004	195, 077
平均	4, 417	16, 256

(備考)学校法人本山学園　法人事務局

（資料 15）岡山医療技術専門学校　平成 29 年度求人数

職種	理学療法士		作業療法士	
県内・県外別	県内	県外	県内	県外
求人数	2543（31.78 倍）		2627（65.67 倍）	
（求人倍率）	185	2358	221	2406
求人施設数	78	382	81	398

(備考)学校法人本山学園　法人事務局、求人倍率は定員数に対して

（資料 16）日本理学療法士協会会員分布（2018. 3）

施設別	会員数	施設数
医療施設	77, 569	9, 620
医療中間施設	8, 294	3, 657
老人福祉施設	1, 826	1, 406
介護保険法関連施設	486	308
身体障害者福祉施設	224	174
児童福祉施設	771	253
精神障害者社会復帰施設	4	4

知的障害者福祉施設	6	6
障害者自立支援	75	56
教育・研究施設	2,610	462
行政関係施設	369	292
健康産業	80	62
その他	2,433	1,482
海外	106	―
不明	48	36
自宅	20,924	-
合計	115,825	17,818

※:「自宅」に休会者 8,914 名を含む

（備考）日本理学療法士ホームページより

http://www.japanpt.or.jp/about/data/statistics/

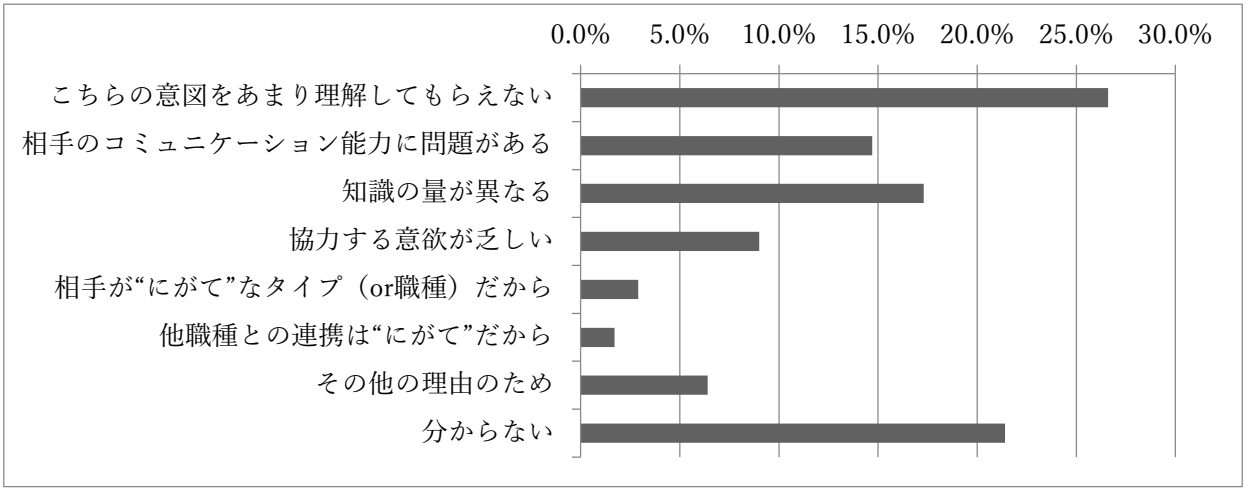
（資料 17）日本作業療法士協会関連法領域別会員数

医療法関連施設	34109
身体障害者福祉法関連施設	76
精神保健福祉法関連施設	44
児童福祉法関連施設	740
知的障害者福祉法関連施設	1
老人福祉法関連施設	1807
介護保険法関連施設	5236
障害者総合支援法関連施設	387
その他	2639
法外施設	90

（備考）作業療法白書 2015 より

（資料 18）他職種連携における問題点

Q　ケアマネージャー、その他の職種との連携について困難を覚えることがある、或いは覚えることが想定される場合、その理由をお答えください。



（備考）調査対象：調査対象　岡山県医師会会員（診療所開設者）（1444 名に調査、回答数 636 名、回収率 44.0%）

岡山県「地域の状況に応じた医療・介護供給体制構築のための調査報告書2016年3月」より

http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/469840_3317708_misc.pdf

（資料 19）地方公共団体へのヒアリング（岡山県,岡山市）

1．岡山県総務部総務学事課へのヒアリング

本学の専門職大学の設置に関して岡山県総務部総務学事課にヒアリングを実施したところ、以下の意見をいただいた。（実施日）平成３０年８月２２日

岡山専門職大学の設置が認められた場合、医療現場の課題やニーズを迅速に教育課程に反映させ、最新の知識と実技を身に付ける実践的仕組みにより、新しいサービスを創り出せる創造力を備えた専門職業人の育成を行うという新たな枠組みの教育が行われるとのことであり、県内高校生の進路選択の幅が広がるのみならず、医療関係者を中心とした社会人の学び直しの場も増加することから、県政推進の重点戦略に掲げている「安心で豊かさが実感できる地域の創造」にも繋がるものと期待しています。

また、地域がその特長を生かし、自主的で持続可能な社会の創生を目指す地方創生が喫緊の課題となっている中、専修学校教育で培った職業人材育成力に更に磨きをかけていただき、社会人や職業人として必要な能力や勤労観・職業観をしっかりと身に付けた人材を輩出し、地域社会の発展に貢献することを期待しています。

（ヒアリング担当者）

岡山県総務部総務学事課　学事班　分嶋　陽子

〒700-8570　岡山市北区内山下２丁目４－６

TEL 086-226-7198（直通）

2．岡山県医療推進課へのヒアリング（実施日）平成 30 年 7 月 26 日

高齢者人口の増加、介護保険制度の利用の拡大、さらに介護予防事業の普及等により、リハビリテーションの主要な担い手である理学療法士及び作業療法士の役割は重要になっています。

専門職大学は、大学制度の中に実践的な職業教育に重点を置いた仕組みとして制度化されるものであり、産業界との密接な連携により、専門職業人材の養成強化が図られるとのことから、開学により、良質かつ適切な医療を提供できる人材の養成が強化されることを期待します。

また、社会人の学び直し等多様な学習スタイルを選択できるとのことから、医療従事者の資質向上にもつながることを期待します。

（岡山県医療推進課ヒアリング担当者）
岡山県保健福祉部医療推進課医事班　服部　正樹
TEL 086-226-7403

3．岡山市へのヒアリング　（実施日）平成 30 年 8 月 23 日

岡山専門職大学の設置に関して岡山市政策局政策企画課、保健福祉局地域包括ケア推進課、保健福祉局保健福祉企画総務課にヒアリングした所、以下のご意見をいただいた。

岡山市の介護予防センターでは専門職による介護予防事業等を行っており、来年度からフレイル予防（※フレイル：健康と要介護の中間のこと）事業の実施も予定している。その際に学生の方に一緒に来て貰えるとこちらとしてもありがたいし、学生にとっても高齢者が進む社会の現状に触れる良い機会になるのではないか。地域包括ケアシステムで、高齢者に携わってくださる人は医療職に就職してからの人転職や再就職人が多いので人材が育ちにくい面もある。我々はもっともっと学生さんや学校と連携して、福祉職の魅力を発信していかなければいけないと思っている。

岡山専門職大学では従来よりもアクティブラーニングを重視されるということで、専門分野以外でも地域に関わりを持つことで、知識も広がっていくと思います。展開科目ではフィジカルな面だけでなく、メンタル面はもちろんソーシャル面の部分でも鍛えていかれるということですね。展開科目の中でも高齢者の経済論で高齢者のケアをやっていただいて、すぐに活かしていただくといった点を協力しあえれば良い。高齢者のファイナンスに関することだけでなく、オレオレ詐欺など高齢者が被害者になりやすいことや、社会との関わりをほとんど持たない男性高齢者が家にこもってしまうという問題もあるので理学療法士・作業療法士として取組を行って貰えれば良い。

岡山市は「大学生まちづくりチャレンジ事業」を実施しており、本年度は 14 グループが参加している。専門職大学も対象としたいと考えるので、岡山専門職大学にも参加して貰い、

岡山市・地元 NPO・地元団体・企業と本山学園の学生が協働して地域活動を通じた人材育成につなげていきたい。将来的には大学の枠を越えて一緒に事業参画する部門も設ける予定であり、地域の活性化につなげる機会を創出する。大学を卒業する年代の方が極めて転出超過となっているので学生に関心を持って貰って、社会に目を向けて学生生活と社会と関わることで、岡山市への定着率が高まることを期待する。また岡山市に設置されることで、県外からの進学者が岡山市に増えること、就職で県外から移住者が県内へ定着することは喜ばしいことである。

岡山市では、岡山専門職大学の設置を歓迎する。

（岡山市ヒアリング担当者）
岡山市政策局政策企画課　地方創生・政策調整担当課長　折口　範昭氏
岡山市政策局政策企画課　地方創生担当　副主査　流尾　正亮氏
岡山市保健福祉局地域包括ケア推進課　課長　岸川　和忠氏
岡山市保健福祉局　保健福祉企画総務課　課長補佐　岡村　誠氏

（資料 20）業界団体へのヒアリング
１．公益法人日本理学療法士協会　理事（岡山県選出）山根一人氏
（実施日）平成 30 年 7 月 23 日
理学療法士指定規則改定に入っており、それに準じた教育内容で養成できれば、質の高い理学療法士の輩出ができるのではないか。近年、理学療法士の質の低下が指摘されており、3 年次の臨床実習（総合実習Ⅰ）の後に一旦ヒントや解決させる期間をおくことで、その知識や知恵を持って次の臨床実習（総合実習Ⅱ）を行える 2 分割のシステムはとても良いと思う。2025 年までの需給をみると理学療法士不足が言われているが、医療分野では充足されてきており、福祉分野の人員不足が叫ばれている。地域包括ケアシステムの充実を目指している国の方針に準じて医療のみならず、地域、福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する。

２．一般社団法人岡山県理学療法士会　会長　國安勝司氏
（実施日）平成 30 年 8 月 26 日
厚生労働省の人口推移と、医療・福祉政策では 2025 年までは理学療法士の活躍が必要とされている。岡山県の理学療法士会員数が 2,000 人を超えているが、医療分野では地域の偏りがあるため、岡山県下の医療・福祉を必要とする全員に平等なサービスを提供するために、定員も妥当であると思われる。
専門職大学という名称が浸透するには時間が必要であるが、施設によっては大学卒業生を優先採用としていたり、給与面での差も生じおり、岡山専門職大学設置は理学療法士の地位向上に役立つと思われる。
地域包括ケアを推し進めている中、活躍できる人材育成に努めて欲しい。

３．岡山県リハビリテーション専門職団体　会長　國安勝司氏

（実施日）平成 30 年 8 月 26 日

専門職団体としては、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との連携活動の中で、地域包括ケアに取り組んでいるが、人材育成の面での働きかけが重要だと認識しており期待できるのではないかと考える。

教育面では偏りをもたず、医療・福祉について広く設定し、医療人としての思考、行動等充実されることを期待する。

病院・施設内にとどまらず、活躍できる場を拡大していくことも重要で、社会性に富み、人間性の豊かな信頼のおける理学療法士の育成に努めていただきたい。

４．公益法人岡山県作業療法士会　常務執行理事　古澤潤一氏

（実施日）平成 30 年 7 月 24 日

卒業後、ただ資格取得した理学療法士、作業療法士として社会や地域に輩出するのではなく、より高度な実践力と、人間力を高め豊かな創造力を兼ね備えた卒業生を輩出される方針はたいへんに素晴らしいことであり、職能団体として協力は惜しまない。

専門学校や大学で標準的な知識や技術を修得することは可能である。岡山専門職大学は基盤ゼミなどを通じて、医療人としての学び続ける姿勢や人の基礎力を高める取り組みを実施されており、このような人材の育成は現在の社会情勢を鑑みても急務な課題であり、先進的で素晴らしいことである。

専門職大学では他分野から学ぶ科目が必修要件となっており、専門分野の知識と結び付け新たなアイディアを生み出す創造力を育成するプログラムは、他の専門学校や大学にはなく、専門職大学らしい独自の教育課程は魅力的である。また、既存の大学と同様に研究能力を修得できるため、卒業後、臨床研究などに取り組みやすくなる。日本作業療法士協会が進める生涯教育として進める、認定作業療法士や専門作業療法士といった上級資格取得を促進することにつながり、本職業全体の質向上に貢献できる。

臨床実習について臨床現場の管理者として意見を申し上げると、学生を指導するなかで、統合と解釈の理解に時間を要することが多く、十分な実技指導までに至らないことが少なくない。岡山専門職大学の総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱの間の期間に、学内で総合実習Ⅰ期の振り返りはもとより上級実習科目を設定し、総合実習Ⅱ期へ向かうといった取り組みは非常に魅力的で、総合実習Ⅱを開始する学生の水準を引き上げ、総合実習を受ける指導者も十分な臨床指導ができると同時に、卒業後の臨床現場での活躍が期待できる。

医療機関や保健施設、地域と連携し学生自身が企画しサービスを提供する取り組みは、社会性、医療人としての素養、それまでに修得した知識や技能をアウトプットして確立させるといった発想は魅力的である。当医療法人でも、積極的に活用して、患者さんへの良い刺激にしたいと思う。

昨今、作業療法士も社会的認知が高まり希望者が増加しており、今後も安定供給が可能と考えられる。しかし、どこでも同じような学校では、養成校としての未来はなく、岡山専門職大学の取り組みは他学と一線を画すため、将来構想として設置されるには納得の方針である。

岡山専門職大学（仮称）
設置構想についての事業所向け調査結果

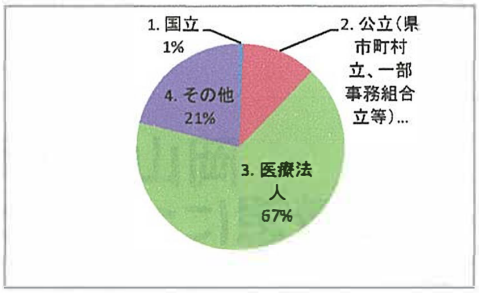
（対象）	岡山県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県、広島県、兵庫県内にある医療機関 （病院、クリニック、介護老人保健施設等）
（送付数）	487施設
（回答数）	176件
（アンケート調査期間）	平成30年7月25日～平成30年8月20日（必着）

学校法人本山学園　法人事務局調査
2018年8月21日

岡山専門職大学(仮称)健康科学部　理学療法学科・作業療法学科(仮称)
設置構想についての事業者向けアンケート調査【設置構想中】

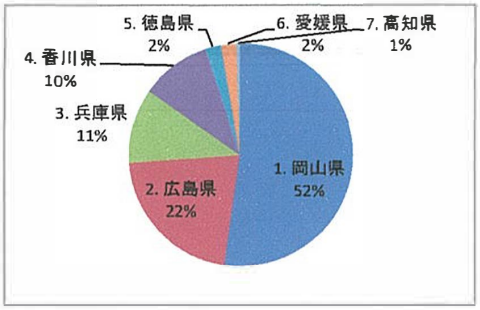
問1　貴施設の設置主体を1～4の中から**1つ選び**、○をつけてください。

	回答	比率（%）
1. 国立	1	0.6%
2. 公立(県市町村立、一部事務組合立等)	20	11.4%
3. 医療法人	117	66.9%
4. その他	37	21.1%
合計	175	100.0%



問2　貴施設の所在地を1～10の中から**1つ選び**、○をつけてください。

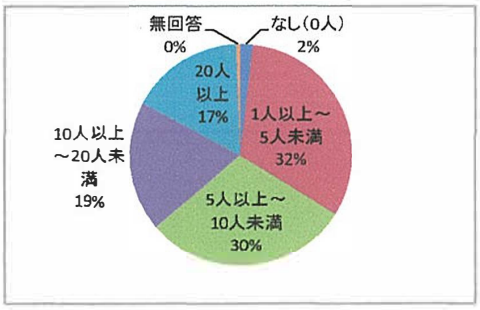
	回答	比率（%）
1. 岡山県	92	52.3%
2. 広島県	38	21.6%
3. 兵庫県	19	10.8%
4. 香川県	18	10.2%
5. 徳島県	4	2.3%
6. 愛媛県	4	2.3%
7. 高知県	1	0.6%
合計	176	100.0%



問3　平成30年4月1日現在の貴施設の①理学療法士、②作業療法士の**人数**(非常勤を含む)をご記入ください。

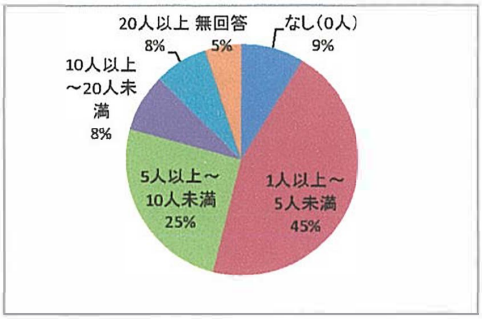
①理学療法士　職員数

	回答	比率（%）
なし(0人)	3	1.7%
1人以上～5人未満	56	32.2%
5人以上～10人未満	52	29.9%
10人以上～20人未満	33	19.0%
20人以上	29	16.7%
無回答	1	0.6%
合計	174	100.0%



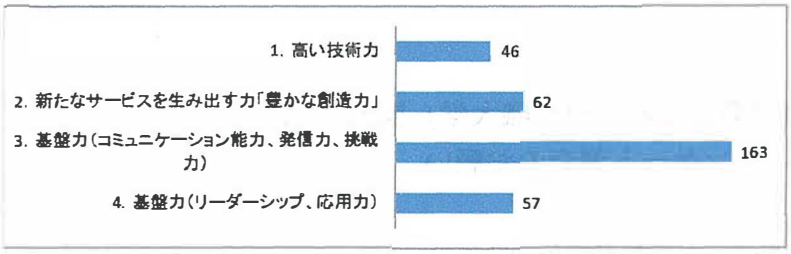
②作業療法士　職員数

	回答	比率（%）
なし(0人)	15	8.6%
1人以上～5人未満	79	45.4%
5人以上～10人未満	44	25.3%
10人以上～20人未満	14	8.0%
20人以上	13	7.5%
無回答	9	5.2%
合計	174	100.0%



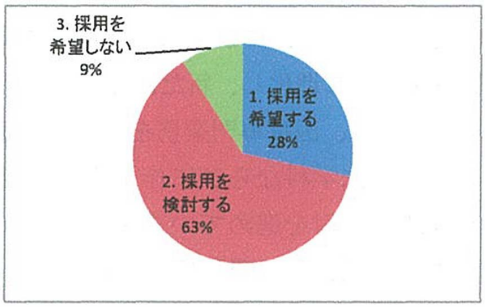
問4　理学療法士、作業療法士を採用するにあたり、重視する項目は何でしょうか。(複数回答可)

	回答	比率（%）
1. 高い技術力	46	26.4%
2. 新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」	62	35.6%
3. 基盤力(コミュニケーション能力、発信力、挑戦力)	163	93.7%
4. 基盤力(リーダーシップ、応用力)	57	32.8%



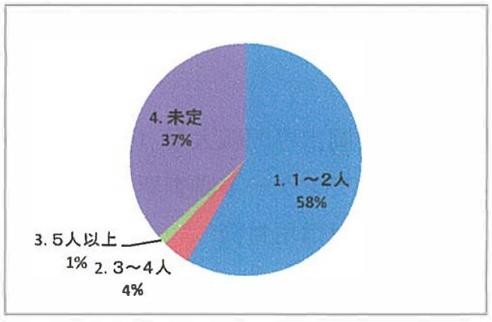
問5　本学では対象者へ思いやりと真心で対応でき、高度な実践能力と新たなサービスを創造する力を有する理　学療法士・作業療法士を育成していきます。本学卒業生の採用について貴施設のお考えにもっとも近いものを、次の1～3の中から**1つ選び**、○をつけてください。

	回答	比率（%）
1. 採用を希望する	49	28.3%
2. 採用を検討する	108	62.4%
3. 採用を希望しない	16	9.2%
合計	173	100.0%



問6　問5で「1. 採用を希望する」または「2. 採用を検討する」とご回答された場合のみ、お答えください。採用人数につきまして、次の1～4の中から**1つ選び**、○をつけてください。

	回答	比率（%）
1. 1～2人	91	58.3%
2. 3～4人	6	3.8%
3. 5人以上	2	1.3%
4. 未定	57	36.5%
合計	156	100.0%



問7　現在構想中の「岡山専門職大学(仮称)」について、ご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

(主なご意見)

・教育の質が上がることはよいことです。

・自ら考え、積極的に行動できる学生さんを多く育てていただきたい。最近すごく受身な姿勢の新入職員が目につく。

・学習意欲のある方、社会人として人格の高い方を多く育成していただきたいと思います。

・人間教育に力を入れてほしい。

・専門学校がさらに進化した養成機関とのことで実際の開校後も期待しております。

・現状通り、豊かな人間性を育てる方針を続けていただけるとありがたいです。

・介護保険改正、第8期に向け、現場でのリハより事務作業がより多くなり、訪問によるアセスメントなど、実践的な学習をされることを期待しております。

平成30年7月吉日

各施設長　様

（理学療法士・作業療法士採用ご担当者　様）

学校法人本山学園

理事長　室山　義正

公　印　省　略

学校法人本山学園による「専門職大学」開設に関する アンケート調査のお願い

貴施設におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本学園の学校運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学園では、「岡山医療技術専門学校」において平成4年より26年にわたり、理学療法士並びに作業療法士を養成して参りました。

この度、学校教育法の改正により新たに設けられた大学種「専門職大学」では、岡山医療技術専門学校の教育をさらに進化し、新たに優れた専門知識・技能と高度な実践力を備え、高質なヒューマンサービスを生みだし、医療専門業務を主導できる人材を育成するために、岡山専門職大学（仮称）健康科学部　理学療法学科ならびに作業療法学科（仮称・設置構想中）を平成32年（2020年）4月に開設する構想の検討を進めています。

つきましては、その開設に向けた資料とさせていただくために、事業所の皆様の教育課程への期待及び採用意向等につきましてご意見をいただきたく、別添のアンケート調査をお願いするものでございます。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、下記の要領にてご協力いただきますようにお願い申し上げます。

記

1．同封書類：岡山専門職大学（仮称）リーフレット
　　アンケート調査票
　　返信用封筒

以上

【アンケートのご回答とご返送について】

■回答締切：平成30年8月20日（月）【必着】

■提出方法：アンケートにご協力いただける場合は、**FAXでのご返信もしくは添付の返信用封筒にて、ご返送ください（切手は不要です）。**

■連 絡 先：学校法人本山学園　岡山専門職大学　設置準備室　担当：増川、十河

〒700-0913 岡山県岡山市北区大供３－２－１８

TEL.０８６－２３３－８０２０　FAX.０８６－２３３－８０３０

メールアドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

«番号»（事業者）

岡山専門職大学（仮称）

健康科学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称）　設置構想中
設置構想についての事業者向けアンケート調査

アンケート締切：平成30年8月20日（月）（必着）

【岡山専門職大学（仮称）概要】

○構想の大学：岡山専門職大学（仮称）　健康科学部　理学療法学科　入学定員80名（仮称・予定）
作業療法学科　入学定員40名（仮称・予定）

○取得学位：学士（専門職）　○開設時期：2020年4月（平成32年4月）

○開設場所：岡山県岡山市北区大供3-2-1

問1　貴施設の設置主体を1～4の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 国立　2. 公立（県市町村立、一部事務組合立等）　3. 医療法人　4. その他

問2　貴施設の所在地を1～10の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 岡山県　2. 広島県　3. 兵庫県　4. 香川県　5. 徳島県
6. 愛媛県　7. 高知県

問3　平成30年4月1日現在の貴施設の①理学療法士、②作業療法士の**人数**（非常勤を含む）をご記入ください。

①理学療法士　職員数　＿＿＿人　　②作業療法士　職員数　＿＿＿人

問4　理学療法士、作業療法士を採用するにあたり、重視する項目は何でしょうか。（複数回答可）

1. 高い技術力　2. 新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」
3. 基盤力（コミュニケーション能力、発信力、挑戦力）　4. 基盤力（リーダーシップ、応用力）

問5　本学では対象者へ思いやりと真心で対応でき、高度な実践能力と新たなサービスを創造する力を有する理学療法士・作業療法士を育成していきます。本学卒業生の採用について貴施設のお考えにもっとも近いものを、次の1～3の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 採用を希望する　2. 採用を検討する　3. 採用を希望しない

問6　問5で「1. 採用を希望する」または「2. 採用を検討する」とご回答された場合のみ、お答えください。採用人数につきまして、次の1～4の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 1～2人　2. 3～4人　3. 5人以上　4. 未定

問7　現在構想中の「岡山専門職大学（仮称）」について、ご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。　FAX:086-233-8030

OPEN CAMPUS
専門職大学　説明会開催！！

新しい大学で、ワンランク上の
理学・作業療法士を共にめざしましょう！

7/28（土）　8/8（水）　8/25（土）　9/15（土）　9/30（日）

時間 9:00-12:30（受付8:30より）　参加無料　要予約



当日の流れ

- 8:30〜 受付
- 9:00〜10:00 全体・学科説明
- 10:10〜11:15 体験授業
- 11:20〜12:20 施設見学｜個別相談
- 12:30 終了予定

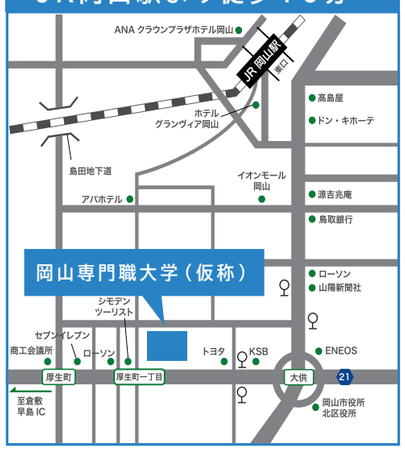
参加者の声！

「OPUでの学びにとても興味を持ちました」S.Mさん
「OPU進学希望者の人たちと会話ができ、楽しかった」A.Hさん
「リハビリ系の体験内容が充実していて、参考になった!」Y.Mさん
「教職員の皆さんが優しく対応してくれて良かった」M.Yさん
「参加するか悩んでましたが、参加して本当に良かったです!」Y.Tさん





JR岡山駅より徒歩10分



JR岡山駅からのアクセス方法

- 徒歩　『JR岡山駅』東口から南へ徒歩10分
- 車　『JR岡山駅』より5分
- タクシー　岡山ICより20分／早島ICより22分
- バス
  - ●岡電・両備・下電バスで中庄・倉敷方面行き『大供』下車すぐ
  - ●市役所方面行き『山陽新聞社前』下車、徒歩2分
  - ●循環バスめぐりんで『山陽新聞社・TSC前』下車、徒歩2分

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。



患者さまと医療現場
どちらからも選ばれる
理学療法士・作業療法士に

岡山専門職大学[OPU]（仮称）

2020年4月岡山市中心部に開学（予定）

健康科学部

設置構想中

- 理学療法学科（定員80名）
- 作業療法学科（定員40名）

学校法人本山学園
お問い合わせ　岡山専門職大学（仮称）開設準備室
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供3-2-18
http://isen-u.ac.jp/TEL.（086）233-8020
学校見学・相談　月〜金曜日（祝日除く）9:00〜16:00（要予約）

効果的・先進的な実習の段階的教育システムの大学で学ぶ。

～新しく、より効果的なスタイルの教育課程で、高度な実践力と創造力を身につけ、
ワンランク上の理学療法士・作業療法士を育成する～

岡山専門職大学とは？（仮称・設置構想中）

効果的、先進的な実習教育システムを備えた専門職大学です。
単なる理学療法士・作業療法士ではなく、高度な実践力と豊かな創造力が身につきます。

学部：健康科学部
学科：理学療法学科（80名）
　　作業療法学科（40名）
学位：理学療法学士（専門職）
　　作業療法学士（専門職）

臨床実習が充実！

高度な実践力

即戦力の理学・作業療法士へ

OPUだから、卒業後のレベルが違う！

基盤力・創造力・実践力の3つの力を伸ばす教育

他リハビリ系大学
- 基礎科目、（職業）専門科目、臨床実習

岡山専門職大学
- 基礎科目、職業専門科目、臨床実習
- ＋
- 基盤的資質を鍛える：基盤ゼミ
- 新たなサービスを創造する力：展開科目
- 高度な実践力：上級治療実習

▼

ワンランク上の理学療法士・作業療法士になれる！

▲

上級治療実習 ～総合実習Ⅱとのシナジー効果でより高度な技術が身につく～

3年次に実施する総合実習Ⅰ（臨床実習）では、臨床現場を体験し、自分の興味のある分野（疾患）と課題を見つけます。4年次の上級治療実習では、自分の関心のある分野の実習を選択し、自分の興味を深めると共に課題を解決し、強みに変えていきます。この上級治療実習（学内）とその後に実施する総合実習Ⅱのシナジー効果（相乗効果）で1段上の実践技術を修得することができる本学独自のプログラムです。

3年次
総合実習Ⅰ　課題を発見

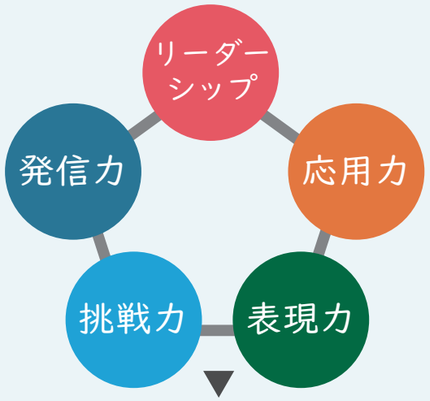
この2つの実習でシナジー効果！！
4年次
上級治療実習 課題解決・強みの拡大 ＋ 総合実習Ⅱ 実践

3大サポート

- 就職サポート
- キャンパスライフサポート
- 国家試験サポート

5つの力を基盤に、創造力を鍛える！

自分自身をアップデートする力を備える







豊かな創造力

新たなサービスを生み出す力

基盤ゼミ ～基盤的資質を鍛える、少人数制ゼミ～

4年一貫して教育を行う、少人数制のゼミ。学年ごとに特定のテーマと内容を設定し、自立した社会人・責任感を備えた創造性豊かな医療人としての基盤的資質を養う、本学独自の教育システムです。

- 1年次
  - ・自己の将来像の明確化
  - ・人間性や職業倫理を涵養
  - ・キャリア形成
- 2年次
  - ・論理的思考力と問題解決能力の錬磨
  - ・思考力、創造力、学習志向性を鍛える
- 3年次
  - ・プレゼンテーション力とリーダーシップの錬磨
  - ・自己表現力と発信力を鍛える
- 4年次
  - ・持続的な自己成長のテクニック、生涯学習力を育む

展開科目 ～新たなサービスを生み出す力～

革新的サービスの創出
＋
暖かみのあるサービスの創出
▼
地域社会を牽引する懐の深い人材



※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。



健康科学部

最新の専門知識と高度な実践力及び研究スキルを備え、人を思いやる心と豊かな創造力を身につけます。医療現場や地域包括ケアシステムの中で、即戦力として活躍し、関連職種と連携しつつ、専門業務を主導できる人材を育成します。

理学療法学科　定員80名

高度な知識・技能を持ち、チーム医療を支える理学療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）理学療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 理学療法学士（専門職）



作業療法学科　定員40名

職業現場を牽引し、多様化する社会のニーズに応えられる作業療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）作業療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 作業療法学士（専門職）



キャンパス紹介

岡山専門職大学（仮称） 新校舎2018年12月完成予定



1クラス40人以下の少人数制で学べる、新しいキャンパス！
本館に屋上庭園、学生大ラウンジ、新体育館（フットサルコート）も新設！


大教室


普通教室



フットサルコート


スポーツトレーニングルーム


学生大ラウンジ


図書館


スカイホール


木工・金工・陶工室


機能訓練室


織物・絵画室

＜新館＞

○新図書館
- 蔵書1万冊以上
- ディスカッションルーム2室完備

○スチューデントホール
- 各階に憩いのスペースを完備

○講義が聞きやすい階段教室
- 全教室対応

○全フロア Wi-Fi対応



＜専門職大学とは＞

専門職大学は、職業現場の意見を教育課程に取り込む実践的教育を実施し、高度な「実践力」と新しいサービスを創り出せる豊かな「創造性」を備えた人材を養成する高等教育機関です。

専門職大学と大学・専門学校 特徴の比較

大　学	専門職大学	専門学校
興味のある分野を深く学ぶ	めざす職業に必要な知識を豊富な実習で学ぶ	めざす職業に必要な技術を身につける
本格的な施設や設備で研究を行える	現場の意見を反映させたカリキュラムで学ぶ	就職に直結した、専門的な分野の学びができる
さまざまな教養を身につける	現場経験豊富な教員から教わる	仕事に必要な資格取得をめざす
仕事に必要な資格取得をめざす	独自の展開科目を学べる	現場で直接必要なことを学べる
学士を取得	仕事に必要な資格取得をめざす	
	学士（専門職）を取得	
	就職へ直結する学びを行うので就職に有利	

	大　学	専門職大学	専門学校
修業年限	4-6 年	4 年	1-4 年
めざす教育	幅広い教養や、学術研究の成果に基づく知識・理論を身につける	専門業務を牽引でき、新たなサービスなどをつくり出せる人材を育成する	特定職種の実務に直接必要となる知識や技術を身につける
学びの特色	幅広いテーマやものの見方や考え方を学ぶ	高度な実践力と変化に対応できる創造力を学び、即戦力の人材となる	即戦力になれる技能や知識を学ぶ
授業の内容	専門的な研究のほか、一般教養を学ぶ授業もある	現場のニーズを取り込み、現場と連携した授業で学ぶ	仕事に必要な知識を中心に学ぶ
実習の内容	充実したゼミなどを選択可能	医療施設や企業などで実習が行える（現場実習）	実際の現場での実習や体験授業で技術を身につける
教員	1 つの学問に精通した教員が多数在籍	4 割以上が業界経験のある実務家教員	その分野の仕事に熟知した教員が在籍

岡山専門職大学は就職に強い！

岡山専門職大学では、通常の大学で学ぶ基礎科目、（職業）専門科目に加え、独自の展開科目と総合科目を学び、4 年次では上級治療実習を行うことで、ワンランク上の人材になることができます。高度な実践力と豊かな創造力を身につけて卒業できるため、医療現場の人事担当者からも歓迎されています。



学費

※臨地実務実習費は学納金に含まれます。

学　部	学　科	入学金	学納金	1 年次合計
健康科学部	理学療法・作業療法学科	300,000 円	1,460,000 円	1,760,000 円

奨学金サポート

本山学園奨学金

ランクA 100万円　ランクB 30万円　ランクC 20万円　ランクD 10万円

AO入試合格者に支給します。

成績優秀者奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　ランクA 45万円　ランクB 23万円

経済支援奨学金

経済的理由により、就学が困難な者に対し、支給する。（住民税・所得税非課税世帯）　25万円

親族割引奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　20万円

スポーツ奨励奨学金

スポーツにおける全国規模で開催される大会（インターハイ、国体他）出場経験者等で、AO 入試など専願制入試合格者に支給します。　5万円

キャリアアップ支援奨学金（社会人対象）

本学指定の国家資格の免許を有する者で AO 入試など専願制入試合格者に支給します。（下記本校指定国家資格対象）　10万円

※理学・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士・看護師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・社会福祉士・介護福祉士・薬剤師・柔道整復師・歯科衛生士・歯科技工士・臨床検査技師・臨床工学技士・診療放射線技師・視能訓練士・救急救命士

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本工業規格Ａ４縦型）

教　　員　　名　　簿

学　　長　　の　　氏　　名　　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
1	学長	アサリ　ショウジ 浅利　正二 ＜令和2年4月＞		博士 （医学）		倉敷リハビリテーション病院 名誉院長（平成30.8） 岡山医療技術専門学校校長 （平成31.4）

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部理学療法学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職（就任年月）	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授 （学長）	アサリ　ショウジ 浅利　正二 ＜令和2年4月＞		医師、医学博士		職業人の倫理と道徳論	1後	4	2	岡山医療技術専門学校 （平31.3）	5日
							岡山経営者論	4前	2	1		
2	専	教授 （学部長）	クボヤマ　イズミ 窪山　泉 ＜令和2年4月＞		医師、医学博士		人間発達学	1前	4	2	国士舘大学体育学部教授 （平17.4）	5日
							臨床医学概論	1前	4	2		
							内科学	1後	4	2		
							小児科学	2前	4	2		
							卒業論文	4後	2	1		
①	専	教授 （学科長）	ヒサノ　カツヒト 永野　克人 〈令和2年4月〉		博士（薬学） 修士（保健学）		研究デザイン	3前	1	1	福井医療大学保健医療学部教授 【平29.4】	5日
							理学療法概論	1前	4	2		
							物理療法	2後	2	2		
							理学療法治療学Ⅰ	2前	4	2		
							理学療法治療学Ⅱ	2前	2	2		
							総合実習Ⅰ	3後	8	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							総合演習Ⅰ	3後	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
3	専	教授	ササキ　ジュンゾウ 佐々木　順造 〈令和2年4月〉		医師、医学博士		テーマ設定と研究方法	3前	2	2	新見公立大学健康科学部 看護学科特任教授 （平29.4）	4日
							研究デザイン	3前	1	1		
							解剖学	1前	4	2		
							解剖学実習Ⅰ	1後	2	2		
							解剖学実習Ⅱ	2前	2	2		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
△1	専	教授	オノ　トシロウ 小野　俊朗 〈令和2年4月〉		医学博士、理学修士		大学入門	1前	1	1	岡山大学中性子医療研究センター特任教授 （平30.4）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							研究デザイン	3前	1	1		
							病理学	1後	4	2		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
△2	実専	教授	ナカガワ　ノリカズ 中川　法一 〈令和2年4月〉		保健学博士		リハビリテーション概論	1前	2	2	医療法人増原クリニック 副院長 （平25.4） 株式会社 フルーション （平20.5）	3日
							運動療法	1後	2	2		
							理学療法治療学Ⅲ	2後	2	2		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
③	実専	講師	ヤマシタ　ヤスユキ 山下　裕之 〈令和3年4月〉		博士（健康科学） 修士（健康体育学）		大学入門	1前	1	1	川崎医科大学総合医療センター （平4.4）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							研究デザイン	3前	1	1		
							基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1	1		
							理学療法治療学実習Ⅱ	2後	2	2		
							理学療法演習Ⅰ	2後	2	1		
							生涯スポーツ実習	3前	1	1		
							スポーツ理学療法特論	2後	2	2		
							応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	2	2		
							総合実習Ⅰ	3後	8	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							総合演習Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部理学療法学科）

④	実専	講師	マスカワ タケトシ 増川 武利 ＜令和2年4月＞		修士 （理学療法学）		大学入門	1前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平17.5）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							基礎理学療法実習Ⅰ	2後	2	2		
							理学療法セミナーⅠ	4前	1	1		
							理学療法評価学Ⅱ	2前	2	2		
							理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1	1		
							理学療法演習Ⅱ	3後	2	1		
							生涯スポーツ実習	3前	1	1		
							見学実習	1通	1	1		
							総合実習Ⅱ	4前	8	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							総合演習Ⅰ	3後	1	1		
							総合演習Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
⑤	実専	講師	ヨコヤマ アキヒロ 横山 暁大 ＜令和3年4月＞		修士（教育）		大学入門	1前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平24.9）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							基礎理学療法実習Ⅱ	3前	2	2		
							理学療法評価学Ⅰ	1後	4	2		
							理学療法評価学実習Ⅰ	2後	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅲ	3前	2	2		
							日常生活活動学実習	2後	1	1		
							生涯スポーツ実習	3前	1	1		
							応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	2	2		
							評価実習	3前	3	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
	兼任	講師	ヨコヤマ アキヒロ 横山 暁大 ＜令和2年4月＞		修士（教育）		大学入門	1前	2	1		
							理学療法評価学Ⅰ	1後	4	2		
⑥	実専	助教	ナス ノブヒロ 那須 宣宏 ＜令和4年4月＞		修士（教育） 教育学士		大学入門	1前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平18.4）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							理学療法セミナーⅡ	4後	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅰ	2後	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅱ	2後	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅲ	3前	2	2		
							生涯スポーツ実習	3前	1	1		
							応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	2	2		
							評価実習	3前	3	1		
							総合実習Ⅰ	3後	8	1		
	兼任	講師	ナス ノブヒロ 那須 宣宏 ＜令和2年4月＞		修士（教育） 教育学士		大学入門	1前	1	1		
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							理学療法評価学実習Ⅰ	2後	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅱ	2後	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅲ	3前	2	2		
							生涯スポーツ実習	3前	1	1		
							評価実習	3前	3	1		
							総合実習Ⅰ	3後	8	1		
⑦	実専	助教	スズキ ヒロコ 鈴木 啓子 ＜令和4年4月＞		修士（心身健康科学） 教育学士		大学入門	1前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平20.4）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							運動学実習	2前	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅱ	2後	2	2		
							運動療法実習Ⅰ	2前	2	2		
							運動療法実習Ⅱ	2後	2	2		
							理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1	1		
							理学療法演習Ⅰ	2後	4	2		
							生涯スポーツ実習	3前	1	1		
							スポーツ理学療法特論	2後	2	2		
							応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1	1		
							総合実習Ⅱ	4前	8	1		
	兼任	講師	鈴木 啓子 ＜令和3年4月＞		修士（心身健康科学） 教育学士		基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							運動学実習	2前	2	2		
							理学療法評価学実習Ⅱ	2後	2	2		
							運動療法実習Ⅰ	2前	2	2		
							運動療法実習Ⅱ	2後	2	2		
							理学療法演習Ⅰ	2後	4	2		
							スポーツ理学療法特論	2後	1	1		

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部理学療法学科）

⑧	実専	助教	タムラ　マサキ 田村　正樹 ＜令和2年4月＞		修士（保健学）		大学入門 基盤ゼミⅠ 基盤ゼミⅡ 研究デザイン 物理療法実習 基礎理学療法実習Ⅰ 基礎理学療法実習Ⅱ 運動療法実習Ⅰ 理学療法治療学実習Ⅰ 評価実習 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業論文	1前 2前 3前 3前 3前 2後 3前 2前 2前 3前 3後 4前 3後 4前 4後	1 1 1 1 1 2 1 2 2 3 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 2 1 2 2 1 1 1 1 1 1	朝日医療大学校　理学療法学科教員 （平29.4）	5日
⑩	実 （研）	教授	ヤマダ　エイジ 山田　英司 〈令和2年4月〉		博士（医学）		基盤ゼミⅠ 基盤ゼミⅡ 情報収集と処理 研究デザイン 運動学 運動学実習 理学療法管理学概論 理学療法治療学実習Ⅰ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 総合演習Ⅰ 卒業論文	2前 3前 1後 3前 1後 2前 3前 2前 3後 4前 3後 4後	1 1 2 1 4 2 4 1 1 1 1 2	1 1 2 1 2 2 2 1 1 1 1 1	岡山医療技術専門学校　教員 （平30.10）	4日
⑪	実（研）	准教授	カタオカ　ヒロアキ 片岡　弘明 ＜令和2年4月＞		博士（医学） 修士（保健福祉学）		大学入門 基盤ゼミⅠ 基盤ゼミⅡ 統計分析の基礎 研究デザイン 基礎理学療法学 理学療法治療学Ⅳ 理学療法治療学実習Ⅲ 日常生活活動学実習 見学実習 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 卒業論文	1前 2前 3前 2後 3前 2前 2後 3前 2後 1通 3後 4前 4後	1 1 1 2 1 4 2 2 1 1 1 1 2	1 1 1 2 1 2 2 2 1 1 1 1 1	岡山医療技術専門学校　教員 （平31.3）	5日
⑫	実（研）	助教	コジマ　カズノリ 小島　一範 ＜令和2年4月＞		博士（リハビリテーション学）、理学修士		大学入門 基盤ゼミⅠ 基盤ゼミⅡ 研究デザイン 多職種連携論 老年期障害理学療法学 日常生活活動学 生活環境学 地域理学療法学 予防理学療法学 総合実習Ⅱ 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 卒業論文	1前 2前 3前 3前 1後 3前 2前 2後 3前 3後 4前 3後 4前 4後	1 1 1 1 2 2 2 4 2 1 8 1 1 2	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1	ナーシングヘルスケア株式会社　訪問看護ステーション児島 （平22.4）	5日
⑬	実（研）	助教	タナカ　マサユキ 田中　雅侑 ＜令和2年4月＞		博士（保健学） 修士（保健学） 学士（保健学）		大学入門 基盤ゼミⅠ 基盤ゼミⅡ 研究デザイン 運動療法実習Ⅱ 物理療法実習 理学療法治療学実習Ⅱ 理学療法演習Ⅱ 見学実習 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 卒業論文	1前 2前 3前 3前 2後 3前 2後 3後 1通 3後 4前 4後	1 1 1 1 2 1 2 2 1 1 1 2	1 1 1 1 2 1 2 1 1 1 1 1	大阪人間科学大学人間科学部理学療法学科助教 （平28.4）	5日
⑭	実み	教授	センダ　マスオ 千田　益生 ＜令和4年4月＞		医師、医学博士		研究デザイン 整形外科学 リハビリテーション医学 総合研究Ⅰ 総合研究Ⅱ 卒業論文	3前 2前 1後 3後 4前 4後	1 4 2 1 1 2	1 2 2 1 1 1	岡山大学病院総合リハビリテーション部　教授・部長 （昭62.4）	3日
	兼任	講師	センダ　マスオ 千田　益生 ＜令和2年4月＞		医師、医学博士		整形外科学 リハビリテーション医学	2前 1後	4 2	2 2		
⑮	実み	教授	ヤマシタ　タツジ 山下　立次 ＜令和4年4月＞		体育学士		研究デザイン 生涯スポーツ実習 コーチング論 卒業論文	3前 3前 4前 4後	1 1 2 2	1 1 1 1	岡山県サッカー協会会長 （平29.2）	3日
18	兼担	教授	テシガワラ　キヨシ 勅使川原　匡 〈令和2年4月〉		医学博士、理学修士		基礎生物 生理学 生理学実習	1前 1前 1後	2 4 2	2 2 2	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科助教 （平23.8）	
△3	兼担	教授	ヤスダ　ノブオ 安田　従生 〈令和2年4月〉		Doctor of Philosophy Master of Science 教育学修士 体育学士		健康科学概論 メディカル英語 スポーツ科学	1後 3後 4前	2 4 2	2 2 1	岡山医療技術専門学校　教員 （平30.7）	

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部理学療法学科）

20	兼担	教授	ヨシダ　ナオキ 吉田　直樹 〈令和5年4月〉		博士（工学） 修士（工学）		応用治療技術実習Ⅱ （リハビリ工学）	4前	2	2	関西リハビリテーション病院 （平17.7）	
19	兼任	講師	アキヤマ ツトム 秋山　努 ＜令和2年4月＞		理学士		基礎物理	1前	2	2	元　大阪府立高石高等学校 （平24.3まで）	
△4	兼任	講師	ウエツキ マ リ 植月　眞理 ＜令和2年4月＞		英文学士		コミュニケーション英語 日本の歴史と文化	1前 1前	4 4	2 2	元　株式会社ベネッセコーポレーション （平28.3まで）	
21	兼任	講師	オオタ　ヤスユキ 太田　康之 ＜令和3年4月＞		医師、医学博士		神経内科学	2前	2	1	岡山大学病院　脳神経内科講師 （平10.4）	
22	兼任	講師	ヒシカワ ノゾミ 菱川　望 ＜令和3年4月＞		医師、医学博士		神経内科学	2前	2	1	岡山大学病院　講師 （平25.4）	
23	兼任	講師	ヤマダ　ノリヒト 山田　了士 ＜令和3年4月＞		医師、医学博士		精神医学	2後	4	2	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授 （平27.4）	
21	兼任	講師	ミヤケ　ヒロユキ 三宅　浩之 ＜令和3年4月＞		法学修士		国際政治経済論	2後	2	2	西南学院大学非常勤講師 （平26.3）	
25	兼任	講師	サイキ　タケヒコ 佐生　武彦 〈令和4年4月〉		Mater of Arts in Speech Communication （米国）		コミュニケーション論	3前	2	2	中国学園大学国際教養学部教授、学部長 （平2.4）	
22	兼任	講師	平林　眞弓 〈令和4年4月〉		修士(環境科学)、管理栄養士		食生活マネジメント論	4前	2	1	山陽女子短期大学食物栄養学科教授 （平26.4）	
27	兼任	講師	ヤマネ　カズト 山根　一人 〈令和5年4月〉		専門学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社アールケア　代表取締役 （平2.12）	
28	兼任	講師	フタガミ　マサカズ 二神　雅一 〈令和5年4月〉		専門学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社創心會　代表取締役 （平12.10）	
29	兼任	講師	コヤマ　トシアキ 小山　敏章 〈令和5年4月〉		学士(薬科学) 薬剤師		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社ケイ・クリエイト　代表取締役 （平6.6）	
30	兼任	講師	ウエダ　タイスケ 上田　泰輔 〈令和5年4月〉		専門学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	医療法人社団　プライムケア代表取締役 （平7.3）	
31	兼任	講師	オオツカ　マナブ 大塚　学 〈令和5年4月〉		文学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社大塚デザイン　代表取締役 （平21.2）	
32	兼任	講師	タナカ　ヒデキ 田中　英樹 〈令和5年4月〉		教育学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社オアシスジャパン代表取締役 （平15.11）	
33	兼任	講師	シミズ　ツトム 清水　努 〈令和5年4月〉		高等学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	有限会社清風庵　専務取締役 （平2.8）	
34	兼任	講師	ミヤシタ ブイチロウ　ブイチロウ 宮下　附一竜(武一郎) 〈令和5年4月〉		法学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	宮下酒造株式会社　代表取締役 （昭41.5）	
35	兼任	講師	カモイ　タカシ 鴨井　尚志 〈令和5年4月〉		学士(経営)		岡山経営者論※	4前	0.2	1	カモ井加工紙株式会社　代表取締役社長 （平7.7）	

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部理学療法学科）

36	兼任	講師	ミヤケ　タカシ 三宅　崇之 〈令和5年4月〉		経済学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	和研ハーディ株式会社　代表取締役社長 （平19.9）	
37	兼任	講師	ササキ　キミユキ 佐々木　公之 〈令和5年4月〉		Master of Business Administration（MBA）		マネジメント論	4前	2	1	中国学園大学国際教養学部准教授 （平26.4）	
38	兼任	講師	タナカ　ナツミ 田中　菜摘 ＜令和4年4月＞		修士（文学）		人間形成論	3後	4	2	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校非常勤講師 （平26.4）	
41	兼任	講師	ウチダ　タカノブ 内田　孝信 ＜令和4年4月＞		専門学校卒業		義肢装具学	3後	2	2	橋本義肢製作株式会社 （平28.6）	
42	兼任	講師	イケモト　サダコ 池本　貞子 ＜令和3年4月＞		博士（社会福祉学）、修士（学校教育学）		ヒューマンサービス論	2後	4	2	吉備国際大学通信教育部特任教授 （平28.4）	
23	兼任	講師	タカハシ　フミヒロ 高橋　文博 ＜令和2年4月＞		博士（人文科学）		哲学概論	1前	2	1	就実大学教育学部初等教育学科教授 （平26.4）	
24	兼任	講師	ホリウチ　タカシ 堀内　孝 ＜令和2年4月＞		博士（教育心理学）		心理学	1前	2	1	**岡山大学大学院社会文化科学研究科　教授** **（平16.10）**	
25	兼任	講師	ヒョウドウ　ヨシミ 兵藤　好美 ＜令和4年4月＞		学校教育学博士		人間関係論	3前	2	1	**岡山大学大学院保健学研究科　教授** **（平12.4）**	
26	兼任	講師	オカ　ヒサオ 岡　久雄 ＜令和4年9月＞		工学博士		生体情報科学	3後	4	2	岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科　教授 （昭53.4）	
27	兼任	講師	シオミ　ヒトシ 塩見　均 ＜令和5年4月＞		外国学学士		起業入門	4前	4	2	桃太郎源株式会社　代表取締役社長 （平19.8）	
△5	兼任	講師	オサダ　タカヒト 長田　貴仁 ＜令和5年4月＞		博士（経営学）		NPO論	4前	4	2	岡山商科大学　経営学部長・教授 （平25.4）	
⑯	兼任	講師	ハマダ　ジュン 浜田　淳 ＜令和4年4月＞		経済学士		地域包括マネジメント論	3後	0.4	1	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科　教授 （平19.4）	
⑰	兼任	講師	エンドウ　ヒロシ 遠藤　浩 ＜令和4年4月＞		医学博士		地域包括マネジメント論	3後	0.4	1	岡山県地域包括ケアシステム学名誉会員 （令1.4）	
⑱	兼任	講師	キシカワ　カズタダ 岸川　和忠 ＜令和4年4月＞		法学士		地域包括マネジメント論	3後	0.4	1	岡山市保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課長 （昭63.4）	

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部作業療法学科）

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
①	専	教授	テシガワラ キヨシ 勅使川原　匡 〈令和2年4月〉		医学博士、理学修士		大学入門	1前	1	1	岡山大学院医歯薬学研究科助教 (平23.8)	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							基礎生物	1前	1	1		
							統計分析の基礎	2後	1	1		
							テーマ設定と研究方法	3前	1	1		
							研究デザイン	3前	1	1		
							生理学	1前	2	1		
							生理学実習	1後	1	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
△1	専	教授	ヤスダ ノブオ 安田　従生 〈令和2年4月〉		PhD in health and human performance (米国) master of science in kinesiology (カナダ) master of science in exercise science (米国) 修士（教育学） 学士（体育学）		健康科学概論	1後	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 (平30.7)	5日
							研究デザイン	3前	1	1		
							メディカル英語	3後	2	1		
							運動学	1後	2	1		
							地域生活と健康	4前	2	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							総合演習Ⅰ	3後	1	1		
							総合演習Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
3	専	教授（学科長）	フタキ トシコ 二木　淑子 〈令和2年4月〉		博士（医学） 修士（リハビリテーション）		研究デザイン	3前	1	1	京都大学　名誉教授、京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻　客員研究員 (平30.4)	4日
							作業療法概論	1前	2	1		
							作業療法セミナーⅠ	4前	1	1		
							作業療法セミナーⅡ	4後	1	1		
							身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2	1		
							老年期障害作業療法学	2後	1	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
③	専	教授	コバヤシ リュウジ 小林　隆司 〈令和4年4月〉		博士（保健学） 修士（保健学）		研究デザイン	3前	1	1	首都大学東京大学院人間健科学研究科作業療法科学域・教授 (平26.4)	5日
							作業療法管理学概論	3後	2	1		
							基礎作業療法治療学	3前	1	1		
							身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1	1		
							身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1	1		
							地域作業療法学	3後	1	1		
							予防作業療法学	3後	1	1		
							特別支援教育	4前	2	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							総合演習Ⅰ	3後	1	1		
							総合演習Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部作業療法学科）

④	実専	講師	ソゴウ　マサキ 十河　正樹 〈令和2年4月〉		専門士		基盤ゼミⅠ	2前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平27.3）	5日
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							運動学実習	2前	1	1		
							作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1	1		
							作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1	1		
							作業療法評価学実習Ⅲ	3前	1	1		
							基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1	1		
							身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1	1		
							老年期障害作業療法実習	3前	1	1		
							日常生活活動学実習	2後	1	1		
							見学実習	1通	1	1		
							評価実習	3前	3	1		
							総合実習Ⅱ	4前	9	1		
							総合演習Ⅰ	3後	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
⑤	実専	助教	ワタナベユウジ 渡部　悠司 ＜令和2年4月＞		修士（教育） 専門士		大学入門	1前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平17.4）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1	1		
							作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1	1		
							作業療法評価学実習Ⅲ	3前	1	1		
							基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1	1		
							身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1	1		
							身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1	1		
							身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1	1		
							老年期障害作業療法実習	3前	1	1		
							見学実習	1通	1	1		
							評価実習	3前	3	1		
							総合実習Ⅰ	3後	9	1		
							卒業論文	4後	2	1		
⑥	実専	助教	ノグチ　ヤスコ 野口　泰子 ＜令和3年4月＞		修士（教育） 福祉経営学学士		大学入門	1前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平12.4）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							基礎作業学実習Ⅰ	2前	1	1		
							基礎作業学実習Ⅱ	2後	1	1		
							基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1	1		
							基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1	1		
							身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1	1		
							身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1	1		
							老年期障害作業療法実習	3前	1	1		
							作業療法演習Ⅰ	2後	2	1		
							作業療法演習Ⅱ	3後	2	1		
							日常生活活動学実習	2後	1	1		
							総合実習Ⅱ	4前	9	1		
8	実（研）	教授	ヨシダ　ナオキ 吉田　直樹 〈令和2年4月〉		博士（工学） 修士（工学）		情報収集と処理	1後	1	1	関西リハビリテーション病院（平17.7）	5日
							研究デザイン	3前	1	1		
							リハビリテーション概論	1前	1	1		
							身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1	1		
							応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1	1		
							生活環境学	2後	2	1		
							見学実習	1通	1	1		
							総合実習Ⅰ	3後	9	1		
							人間工学	4前	2	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部作業療法学科）

	実 （研）	准教授	ハヤシ　サトシ 林　　聡 ＜令和2年4月＞		修士 （医科学）		大学入門	1前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平26.4）	5日
							基盤ゼミⅠ	2前	1	1		
							基盤ゼミⅡ	3前	1	1		
							研究デザイン	3前	1	1		
							多職種連携論	1後	1	1		
							基礎作業学	1後	1	1		
							作業療法評価学	1後	2	1		
							身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2	1		
							老年期障害作業療法実習	3前	1	1		
							精神障害作業療法学	2後	1	1		
							日常生活活動学	2前	1	1		
							評価実習	3前	3	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
10	実み	教授	イセ　マサキ 伊勢　眞樹 〈令和5年4月〉		医師、医学博士		研究デザイン	3前	1	1	倉敷紀念病院　リハビリテーション科統括部長 （平16.2）	3日
							リハビリテーション医学	1後	1	1		
							総合研究Ⅰ	3後	1	1		
							総合研究Ⅱ	4前	1	1		
							卒業論文	4後	2	1		
11	兼担	教授 （学長）	アサリ　ショウジ 浅利　正二 ＜令和2年4月＞		医師、医学博士		職業人の倫理と道徳論	1後	2	1	岡山医療技術専門学校 （平31.3）	
							臨床医学概論	1前	2	1		
							岡山経営者論	4前	2	1		
11	兼担	教授 （学部長）	クボヤマ　イズミ 窪山　泉 ＜令和2年4月＞		医師、医学博士		人間発達学	1前	2	1	国士舘大学体育学部教授 （平17.4）	
							内科学	1後	2	1		
							小児科学	2前	2	1		
12	兼担	教授	ササキ　ジュンゾウ 佐々木　順造 〈令和2年4月〉		医師、医学博士		解剖学	1前	2	1	新見公立大学健康科学部 看護学科特任教授 （平29.4）	
							解剖学実習Ⅰ	1後	1	1		
							解剖学実習Ⅱ	2前	1	1		
18	兼担	教授	オノ　トシロウ 小野　俊朗 〈令和2年4月〉		医学博士、理学修士		病理学	1後	2	1	岡山大学中性子医療研究センター特任教授 （平30.4）	
13	兼担	講師	ヤマシタ　ヤスユキ 山下　裕之 〈令和5年4月〉		健康科学博士		応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1	1	川崎医科大学総合医療センター （平4.4）	
14	兼担	講師	ヨコヤマ　アキヒロ 横山　暁大 ＜令和5年4月＞		修士（教育）		応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平17.5）	
15	兼担	助教	ナス　ノブヒロ 那須　宣宏 ＜令和5年4月＞		修士（教育） 教育学士		応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平18.4）	
16	兼担	助教	スズキ　ヒロコ 鈴木　啓子 ＜令和5年4月＞		修士（心身健康科学） 教育学士		応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1	1	岡山医療技術専門学校　教員 （平20.4）	
17	兼担	教授	センダ　マスオ 千田　益生 ＜令和4年4月＞		医師、医学博士		整形外科学	2前	2	1	岡山大学病院総合リハビリテーション部　教授・部長 （昭62.4）	
	兼任	講師	センダ　マスオ 千田　益生 ＜令和2年4月＞		医師、医学博士		整形外科学	2前	2	1		
							リハビリテーション医学	1後	1	1		
21	兼任	講師	アキヤマツトム 秋山　努 ＜令和2年4月＞		理学士		基礎物理	1前	1	1	元　大阪府立高石高等学校 （平24.3まで）	
2	兼任	講師	ウエツキ　マリ 植月　眞理 ＜令和2年4月＞		英文学士		コミュニケーション英語	1前	2	1	元　株式会社ベネッセコーポレーション （平28.3まで）	
							日本の歴史と文化	1前	1	1		
23	兼任	講師	ヤマシタ　トオル 山下　徹 〈令和3年4月〉		医学博士		神経内科学	2前	2	1	岡山大学病院脳神経内科講師 （平13.4）	
24	兼任	講師	タカキ　マナブ 髙木　学 ＜令和3年4月＞		医師、医学博士		精神医学	2後	2	1	岡山大学病院精神科神経科講師 （平12.4）	

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部作業療法学科）

18	兼任	講師	ミヤケ　ヒロユキ 三宅　浩之 ＜令和3年4月＞		法学修士		国際政治経済論	2後	1	1	西南学院大学非常勤講師 （平26.3）	
26	兼任	講師	サイキ　タケヒコ 佐生　武彦 〈令和4年4月〉		Mater of Arts in Speech Communication （米国）		コミュニケーション論	3前	1	1	中国学園大学国際教養学部教授、学部長 （平2.4）	
28	兼任	講師	ヤマネ　カズト 山根　一人 〈令和5年4月〉		専門学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社アールケア　代表取締役 （平2.12）	
29	兼任	講師	フタガミ　マサカズ 二神　雅一 〈令和5年4月〉		専門学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社創心會　代表取締役 （平12.10）	
30	兼任	講師	コヤマ　トシアキ 小山　敏章 〈令和5年4月〉		学士(薬科学) 薬剤師		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社ケイ・クリエイト　代表取締役 （平6.6）	
31	兼任	講師	ウエダ　タイスケ 上田　泰輔 〈令和5年4月〉		専門学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	医療法人社団　プライムケア　代表取締役 （平7.3）	
32	兼任	講師	オオツカ　マナブ 大塚　学 〈令和5年4月〉		文学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社大塚デザイン　代表取締役 （平21.2）	
33	兼任	講師	タナカ　ヒデキ 田中　英樹 〈令和5年4月〉		教育学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	株式会社オアシスジャパン　代表取締役 （平15.11）	
34	兼任	講師	シミズ　ツトム 清水　努 〈令和5年4月〉		高等学校卒		岡山経営者論※	4前	0.2	1	有限会社清風庵　専務取締役 （平2.8）	
35	兼任	講師	ミヤシタ　ブイチロウ　ブイチロウ 宮下　附一竜(武一郎) 〈令和5年4月〉		法学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	宮下酒造株式会社　代表取締役 （昭41.5）	
36	兼任	講師	カモイ　タカシ 鴨井　尚志 〈令和5年4月〉		学士(経営)		岡山経営者論※	4前	0.2	1	カモ井加工紙株式会社　代表取締役社長 （平7.7）	
37	兼任	講師	ミヤケ　タカシ 三宅　崇之 〈令和5年4月〉		経済学士		岡山経営者論※	4前	0.2	1	和研ハーディ株式会社　代表取締役社長 （平19.9）	
38	兼任	講師	ササキ　キミユキ 佐々木　公之 〈令和5年4月〉		Master of Business Administration(MBA)		マネジメント論	4前	2	1	中国学園大学国際教養学部准教授 （平26.4）	
39	兼任	講師	タナカ　ナツミ 田中　菜摘 ＜令和4年4月＞		修士(文学)		人間形成論	3後	2	1	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校非常勤講師 （平26.4）	
40	兼任	講師	コバヤシ　マイコ 小林　麻衣子 ＜令和4年4月＞		教育学修士		家族関係論 ライフサイクル論	3前 4前	2 2	1 1	小林臨床心理オフィス　代表 （平24.9）	
41	兼任	講師	ウチダ　タカノブ 内田　孝信 ＜令和4年4月＞		専門学校卒業		義肢装具学	3後	1	1	橋本義肢製作株式会社 （平28.6）	
42	兼任	講師	イケモト　サダコ 池本　貞子 ＜令和3年4月＞		博士(社会福祉学)、修士(学校教育学)		ヒューマンサービス論	2後	2	1	吉備国際大学通信教育部特任教授 （平28.4）	
19	兼任	講師	タカハシ　フミヒロ 高橋　文博 ＜令和2年4月＞		博士（人文科学）		哲学概論	1前	2	1	就実大学教育学部初等教育学科教授 （平26.4）	
20	兼任	講師	ホリウチ　タカシ 堀内　孝 ＜令和2年4月＞		博士（教育心理学）		心理学	1前	2	1	岡山大学大学院社会文化科学研究科　教授 （平16.10）	

様式第3号（その2の1）

教　員　の　氏　名　等

（健康科学部作業療法学科）

21	兼任	講師	ヒョウドウ ヨシミ 兵藤　好美 ＜令和4年4月＞		学校教育学博士		人間関係論	3前	2	1	岡山大学大学院保健学研究科　教授 （平12.4）	
22	兼任	講師	オサダ　タカヒト 長田　貴仁 ＜令和4年4月＞		博士（経営学）		地域社会論 コミュニティ形成論	3後 3後	2 2	1 1	岡山商科大学　経営学部長・教授 （平25.4）	
⑧	兼任	講師	ハマダ　ジュン 浜田　淳 ＜令和4年4月＞		経済学士		地域包括マネジメント論	3後	0.4	1	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科　教授 （平19.4）	
⑨	兼任	講師	エンドウ ヒロシ 遠藤　浩 ＜令和4年4月＞		医学博士		地域包括マネジメント論	3後	0.4	1	岡山県地域包括ケアシステム学名誉会員 （令1.4）	
⑩	兼任	講師	キシカワ カズタダ 岸川　和忠 ＜令和4年4月＞		**法学士**		地域包括マネジメント論	3後	0.4	1	岡山市保健福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課長 （昭63.4）	

別記様式第３号（その３の１）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（健康科学部　理学療法学科）

職　位	学　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	2人	1人	1人	4人	8人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	修　士	人	1人	2人	1人	人	人	人	4人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	2人	3人	1人	1人	4人	11人	
	修　士	人	1人	3人	2人	人	人	人	6人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

別記様式第３号（その３の１）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（健康科学部　作業療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	4人	人	人	2人	6人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	人	4人	人	人	2人	6人	
	修　士	人	人	3人	人	人	人	人	3人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	人	人	人	人	1人	

（注）
1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
2　この書類は，専任教員についてのみ，作成すること。
3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。
4　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。

別記様式第３号（その３の２）

専任教員の年齢構成・学位保有状況
（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

（健康科学部　理学療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （1人）	1人 （1人）	1人 （　人）	人 （　人）	3人 （2人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （1人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （1人）	
	修　士	人 （　人）	1人 （1人）	2人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	4人 （1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	2人 （1人）	1人 （1人）	1人 （　人）	人 （　人）	6人 （4人）	
	修　士	人 （　人）	1人 （1人）	3人 （　人）	2人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	6人 （1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	

別記様式第３号（その３の２）

専任教員の年齢構成・学位保有状況
（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

（健康科学部　作業療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　1人)	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　人)	2人 (　1人)	
	修　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	学　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	短期大学士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	その他	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
准教授	博　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	修　士	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　1人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　1人)	
	学　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	短期大学士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	その他	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
講　師	博　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	修　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	学　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	短期大学士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	その他	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　人)	
助　教	博　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	修　士	人 (　人)	人 (　人)	2人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	2人 (　人)	
	学　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	短期大学士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	その他	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
合　計	博　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　1人)	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　人)	2人 (　1人)	
	修　士	人 (　人)	人 (　人)	3人 (　1人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	3人 (　1人)	
	学　士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	短期大学士	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	
	その他	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	人 (　人)	1人 (　人)	

審査意見への対応を記載した書類（9 月）

（目次）

1. ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに掲げられた「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」について、外国人患者の受入れに「違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることのないよう基礎的な知識と基礎的英語力を備えておく」水準と説明し、「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置するとしているが、当該授業科目だけで外国人患者を受け入れる姿勢が備わるとは言えず、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーと教育課程とが整合していないため、適切に改めること。また、前述の水準やこれらの授業科目が高等教育水準であるかどうか疑義があることから、水準の妥当性並びにその到達目標について外部検定における到達度を例示するなど、より適切かつ具体的に修正すること。・・・

デルを示すこと。また、一般学生並びに社会人学生の双方の教育に支障を来すことがないように、適切な履修指導体制を整備すること。

（２）作業療法学科について２２単位を限度として単位認定すると説明されているが、専門職大学設置基準上、臨地実務実習の単位認定の上限は２０単位であるため、適切に改めること。

５．新たに基礎科目に「大学入門」という科目が設けられたが、科目名からは大学教育水準か疑義が生じるため、講義内容を適切に示す科目名称に改めることが望ましい。・・・・・・・54

６．　OSCE（客観的臨床能力試験）は臨地実務実習前に科目ごとに３回実施するとされているが、その実現可能性に疑義がある。一般的にはOSCEは臨地実務実習前に全体で１回、臨地実務実習後に成績評価のために１回実施されている現状を踏まえ、以下の内容を明らかとすること。・・・・・・・

審査意見への対応を記載した書類（9 月）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

1.ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに掲げられた「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」について、外国人患者の受入れに「違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることのないよう基礎的な知識と基礎的英語力を備えておく」水準と説明し、「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置するとしているが、当該授業科目だけで外国人患者を受け入れる姿勢が備わるとは言えず、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーと教育課程とが整合していないため、適切に改めること。また、前述の水準やこれらの授業科目が高等教育水準であるかどうか疑義があることから、水準の妥当性並びにその到達目標について外部検定における到達度を例示するなど、より適切かつ具体的に修正すること。

（対応）ディプロマ・ポリシーに「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」を掲げたが、その水準を、外国人患者の受入れに「違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることのないよう基礎的な知識と基礎的英語力を備えておく」水準と説明し、「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置するとしているが、当該授業科目だけで外国人患者を受け入れる姿勢が備わるとは言えず、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーと教育課程とが不整合であるので適切に改めるようにとのご指摘を受けた。また、これらの授業科目が高等教育水準であるかどうかとの疑義があることから、水準の妥当性並びにその到達目標における外部検定における到達度の例示などの修正が必要とのご指摘も頂いた。これらの 2 点のご指摘について、以下のように改め説明させて頂く。

1. ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーと教育課程との不整合性への対応について

前回の審査意見でご指摘を受け、理学療法学科と作業療法学科のディプロマ・ポリシー（2）を「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」へと変更し、求める水準を引き下げた。このディプロマ・ポリシー（2）を掲げた理由は、岡山市において最近増加し続けている在住外国人がリハビリテーションを必要とする患者となった場合を想定して、大学として対応する必要があるとの判断からであった。その目的を達成するために、橋渡し的教養科目（2 科目）と英語科目（2 科目）を配置した。今回改めて受けたご指摘は、現在の 2 科目の英語科目では、ディプロマ・ポリシーを達成するには不十分であり、この教育課程では掲げたディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの間には整合性が取れていないとのご指摘と理解している。英語科目と掲げたディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの間の整合性を図るためには、ディプロマ・ポリシーの水準をさらに下げるか、ディプロマ・ポリシーの達成に相応しい英語科目を増やすかの選択になる。ディプロマ・ポリシーの水準をさらに下げることは、大学として掲げるディプロマ・ポリシーの最低限の水準を担保できないのではないかとの危惧が生じる。一方で、ディプロマ・ポリシーの達成に必要な英語科目を増やすことが最良の対応策であると思われるが、現在、学生が 4 年間で取得する総単位数は、理学療法学科 135 単位、作業療法学科 135 単位と既に上限に至っており、これ以上単位数を増やすことはできないのが本学の実情である。このような本学の実情も踏まえた上で、また、これまでの審査過程の中で現状では実現の可能性が低いとのご指摘を受けているディプロマ・ポリシー（2）については、さらにディプロマ・ポリシーの内容を下げるか、あるいはこの項目を取り下げるか、このいずれかの選択肢から結論を導かざるを得ないと思われる。いずれを選択するべきかを前述のような理由を踏まえて熟慮した結果、この

ディプロマ・ポリシー（2）の「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」を取り下げざるを得ないという結論に至った。

またディプロマ・ポリシーからこの項目を取り下げることにともない、これに対応する理学療法学科と作業療法学科のカリキュラム・ポリシーの「外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。」という項目を削除させて頂く。

以上の内容を受けて新たに改訂した両学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを改めて以下に示す。

理学療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

理学療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
3）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。
4）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。
②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。
③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。
④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。
⑤健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。
⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。
⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。
⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。
⑩完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実

施する。
⑪最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。
⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。
⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。
⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

作業療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

作業療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
3）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。
4）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。
②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。
③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。
④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。
⑤地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。
⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。
⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直

しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。

⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。

⑩完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑪最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。

⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。

⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

2.英語科目の教育水準の妥当性と水準の評価基準について

今回、ディプロマ・ポリシーの「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」の項目を取り下げ、それを踏まえて、カリキュラム・ポリシーの「外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。」という項目を削除する。この取り下げと削除に伴い、英語科目について、改めて授業内容とその水準を検証し、高等教育の水準にあることを説明する。また英語科目の水準を具体的に評価する基準についても説明する。

まず「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」の授業内容を以下に示し、高等教育水準にあることを説明し、次いで、授業内容の水準を評価する指標として採用する CEFR（図 1）について説明する。なお、両英語科目のシラバスを別紙 1 として添付する。

「コミュニケーション英語」の授業内容は、大学生が、留学生と交流しながら社会生活の様々な状況に英語で対処するという想定で、段階的に会話力が向上するよう構成された内容で授業を進めていく。各章ごとに、外国人との交際や電話のやり取り等の様々な日常生活での出来事や場面への対応、岡山市の文化や特徴の伝達、留学生との交わりの中で自分の考えを述べ、意見を交えるスキル、医療現場で患者を想定したやり取り等、日常生活や社会生活での身近な話題から専門分野の基礎編まで、幅広く様々な出来事や場面を英語で疑似体験をすることにより会話力を向上させる。授業では、独自に作成した大学生向けの英語教材を使用し、日本語を交えて主に英語で行われ、グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイ等の実践を中心としたアクティブラーニングを行う。到達目標に以下の 2 点を置く。①日常的に出会う様々な話題について、自然な英語表現を使ってやり取りができる。②外国人と自然体で接し、説明すべき状況や自分の考えを

筋道立てて発言できる。

「コミュニケーション英語」の授業内容は、 CEFR の B1 レベルであり、また実用英語技能検定（以下、英検）では準 1 級に寄ったレベルであり、大学の医療系学生としての英会話力の涵養に適している。

「メディカル英語」については、授業は、初診時の様々な基本的な対応を踏まえて、療法士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成である。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現を修得し、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図り、英文読解に必要となる基本英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解を目指す。授業は日本語を交えて英語で行い、グループ討議や臨場感を体験するためにロールプレイを中心とした実践的授業を行う。この授業での学びを通じて、4 年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。到達目標に以下の 3 点を置く。①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。②英語論文(症例報告や研究論文等)における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。

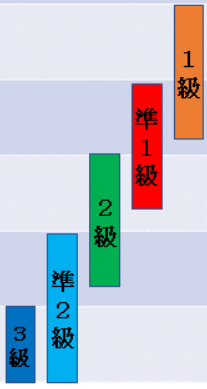
「メディカル英語」の授業内容は、CEFR の B1 レベルをやや上回る水準であり、英検では準 1 級レベルに相当し、大学水準が担保されている。

到達水準について具体的指標が示されていないとのご指摘を頂いたことを踏まえて、今回、水準の評価基準として言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際基準 CEFR （Common European Framework of Reference for Languages、外国語の学修・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）を採用する。CEFR は「何ができるか」を主たる評価基準とし、コミュニケーションの状況や話題、人が行う行為、目的に関する分析等により等級が定められており、この CEFR は、英語科目の水準の判断基準として、現在多くの大学で採用されている。

CEFR の評価は、基礎的なレベルの A0 レベルから、A1、A2、B1、B2、C1、C2 の 7 段階に分けられており、C2 レベルが最高レベルとされている。このうち B1 レベルは、「社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる」レベルとされ、具体的には、日常生活なら大体理解できる、海外を旅行中に様々な対応ができる、簡単だが首尾一貫した文章を作れる、等のレベルとされている。CEFR と他の資格や検定と比較した文部科学省の対照表（図 1）によれば、B1 レベルは、英検では 2 級から準 1 級のレベルに相当しており、また英検の 2 級は高校卒業レベル、準 1 級は大学中級レベルとされている。

（図 1）CEFR と各資格・検定との対照表

CEFR	実用英語技能検定	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2			
C1	2600-3299	95-120	1845-1990
B2	2300-2599	72-94	1560-1840
B1	1950-2299	42-71	1150-1555
A2	1700-1949		625-1145
A1	1400-1699		320-620



文部科学省（平成 30 年３月）および英語４技能試験情報サイトホームページを基に作成
L：リスニング、R：リーディング、S:スピーキング、W：ライティング

＜添付＞
（別紙 1）シラバス：コミュニケーション英語、メディカル英語

（新旧対照表）授業科目の概要　理学療法学科、作業療法学科
コミュニケーション英語

新	旧
講義概要： 大学生が留学生と交流しながら、社会生活での様々な状況に英語で対処する内容で構成され、身近な話題から専門分野の基礎編まで、幅広く多様な出来事を英語で疑似体験する。授業内容は、CEFR の B1 レベルである。 到達目標： ①日常的に出会う様々な話題について、自然な英語表現を使ってやり取りができる。 ②外国人と自然体で接し、説明すべき状況や自分の考えを筋道立てて発言できる。	外国人と簡単な対応ができるようになるために、繰り返し発言する体験を通してコミュニケーションをとる姿勢を養う。 到達目標：①日常生活でありがちな場面の英会話スキルを習得し、外国人と簡単な対話ができるようになる。②発言する体験を頻繁に繰り返すことで、英語で話すことへの躊躇や抵抗感をなくする。③上記をとおして、自主的に英語でコミュニケーションする姿勢を育む。

メディカル英語

新	旧
講義概要： 授業は、初診時の様々な基本的対応を踏まえて、療法	医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報

士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成とする。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の修得を基礎に置き、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力を修得しその向上を図り、英文読解に必要となる基本的な英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容を理解する。授業内容は、CEFR の B1 レベルをやや上回る水準に相当する。 到達目標： ①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。 ②英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。 ③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。	告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4 年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。 到達目標：①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。②リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーションをとることができる。③基礎的英語力を身につけて外国人患者を受け入れることができる。

（新旧対照表）シラバス　作業療法学科、メディカル英語

新	旧
【講義の概要および到達目標】 講義概要： 授業は、初診時の様々な基本的対応を踏まえて、療法士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成とする。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の修得を基礎に置き、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力を修得しその向上を図り、英文読解に必要となる基本的な英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容を理解する。授業内容は、CEFR の B1 レベルをやや上回る水準に相当する。 到達目標： ①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現	【講義の概要および到達目標】 概要：医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4 年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。 到達目標：①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。②リハビリの臨床現場で

が理解できる。 ②英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。 ③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。 【授業の方法】 ①英語と日本語による授業。 ②臨場感を体験するために、グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイ等による実践的授業を行う。 ③辞書持ち込み可。スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。	英語による基本的なコミュニケーションをとることができる。③基礎的英語力を身につけて外国人患者を受け入れることができる。 【授業の方法】 ＊日本語と英語による講義。 ＊グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイなどの実践を中心としたアクティブラーニング。 ＊辞書持ち込み可能。（スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（14 ページ）

新	旧
２．教育課程の特色 （中略） 基礎科目群では、まず初年次教育として、「大学での学び」の入門講座である少人数編成のゼミ科目「大学入門」を配置し、大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を修得する。次いで専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。	２．教育課程の特色 （中略） 基礎科目群では、まず、大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として「大学入門」を配置する。専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（17 ページ）

新	旧
４）国際理解と日本社会の歴史と文化 １年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」（必修とし、職業専門科目に配置）では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。専門職業人としての英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。 なお、英語科目の授業水準は「コミュニケーション	４）国際理解と日本社会の歴史と文化 １年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」（必修とし、職業専門科目に配置）では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。 なお、基礎的英語力については、前記 4 科目の単位

英語」はCEFR（注１）のB1レベルであり、「メディカル英語」はCEFR のB1 レベルをやや上回る水準である。 （注１）Common European Framework of Reference for Languages、外国語の学修・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠	を取得できるレベルを考えているが、中でもリハビリの臨床現場を想定して行われる「メディカル英語」のシラバスの到達目標に達することで評価する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（6ページ）

新	旧
各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 4）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 4）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（39 ページ）

新	旧
３．卒業要件 （１）卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマポリシー） 本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を取得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 （理学療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3) 対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 4) 理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 （作業療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3) 対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 4) 作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	３．卒業要件 （１）卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマポリシー） 本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を取得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 （理学療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3) 理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4) 対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5) 理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3) 作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4) 対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5) 作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（11-13 ページ）

新	旧
④教育課程の編成の考え方及び特色	④教育課程の編成の考え方及び特色

１．カリキュラム編成の考え方 　各学科のカリキュラム・ポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。 **教育内容・方法** ⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。 ⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑩完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑪最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。	１．カリキュラム編成の考え方 　各学科のカリキュラム・ポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。 ⑥健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。 **教育内容・方法** ⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。 ⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑪完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。	⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。 ⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。
学修成果の評価 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。	**学修成果の評価** 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。
（作業療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒	（作業療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。 ⑥地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。

業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。	⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。
教育内容・方法 ⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。 ⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑩完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑪最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。 ⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。	**教育内容・方法** ⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。 ⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑪完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。 ⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。
学修成果の評価 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。	**学修成果の評価** 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 2）カリキュラムマップ

新	旧
別紙 2 参照	別紙 2 参照

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

2.ディプロマ・ポリシー等と教育課程の整合性について、以下の点を改めること。 （1）ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに掲げられた「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」について、外国人患者の受入れに「違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることのないよう基礎的な知識と基礎的英語力を備えておく」水準と説明し、「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置するとしているが、当該授業科目だけで外国人患者を受け入れる姿勢が備わるとは言えず、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーと教育課程とが整合していないため、適切に改めること。また、前述の水準やこれらの授業科目が高等教育水準であるかどうか疑義があることから、水準の妥当性並びにその到達目標について外部検定における到達度を例示するなど、より適切かつ具体的に修正すること。（再掲）

（対応）ディプロマ・ポリシーに「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」を掲げたが、その水準を、外国人患者の受入れに「違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることのないよう基礎的な知識と基礎的英語力を備えておく」水準と説明し、「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置するとしているが、当該授業科目だけで外国人患者を受け入れる姿勢が備わるとは言えず、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーと教育課程とが不整合であるので適切に改めるようにとのご指摘を受けた。また、これらの授業科目が高等教育水準であるかどうかとの疑義があることから、水準の妥当性並びにその到達目標における外部検定における到達度の例示などの修正が必要とのご指摘も頂いた。これらの 2 点のご指摘について、以下のように改め説明させて頂く。

1. ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーと教育課程との不整合性への対応について

前回の審査意見でご指摘を受け、理学療法学科と作業療法学科のディプロマ・ポリシー（2）を「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」へと変更し、求める水準を引き下げた。このディプロマ・ポリシー（2）を掲げた理由は、岡山市において最近増加し続けている在住外国人がリハビリテーションを必要とする患者となった場合を想定して、大学として対応する必要があるとの判断からであった。その目的を達成するために、橋渡し的教養科目（2 科目）と英語科目（2 科目）を配置した。今回改めて受けたご指摘は、現在の 2 科目の英語科目では、ディプロマ・ポリシーを達成するには不十分であり、この教育課程では掲げたディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの間には整合性が取れていないとのご指摘と理解している。英語科目と掲げたディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーとの間の整合性を図るためには、ディプロマ・ポリシーの水準をさらに下げるか、ディプロマ・ポリシーの達成に相応しい英語科目を増やすかの選択になる。ディプロマ・ポリシーの水準をさらに下げることは、大学として掲げるディプロマ・ポリシーの最低限の水準を担保できないのではないかとの危惧が生じる。一方で、ディプロマ・ポリシーの達成に必要な英語科目を増やすことが最良の対応策であると思われるが、現在、学生が 4 年間で取得する総単位数は、理学療法学科 135 単位、作業療法学科 135 単位と既に上限に至っており、これ以上単位数を増やすことはできないのが本学の実情である。このような本学の実情も踏まえた上で、また、これまでの審査過程の中で現状では実現の可能性が低いとのご指摘を受けているディプロマ・ポリシー（2）については、さらにディプロマ・ポリシーの内容を下げるか、あるいはこの項目を取り下げるか、このいずれかの選択肢から結論を導かざるを得ないと思われる。いずれを選択するべきかを前述のような理由を踏まえて熟慮した結果、この

ディプロマ・ポリシー（2）の「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」を取り下げざるを得ないという結論に至った。

またディプロマ・ポリシーからこの項目を取り下げることにともない、これに対応する理学療法学科と作業療法学科のカリキュラム・ポリシーの「外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。」という項目を削除させて頂く。

以上の内容を受けて新たに改訂した両学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを改めて以下に示す。

理学療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

理学療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
3）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。
4）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。
②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。
③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。
④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。
⑤健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。
⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。
⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。
⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。
⑩完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実

施する。
⑪最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。
⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。
⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。
⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

作業療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

作業療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
3）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。
4）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。
②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。
③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。
④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。
⑤地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。
⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。
⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直

しを行う。

教育内容・方法

⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。

⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。

⑩完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑪最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。

⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。

⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

2. 英語科目の教育水準の妥当性と水準の評価基準について

今回、ディプロマ・ポリシーの「職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える」の項目を取り下げ、それを踏まえて、カリキュラム・ポリシーの「外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。」という項目を削除する。この取り下げと削除に伴い、英語科目について、改めて授業内容とその水準を検証し、高等教育の水準にあることを説明する。また英語科目の水準を具体的に評価する基準についても説明する。

まず「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」の授業内容を以下に示し、高等教育水準にあることを説明し、次いで、授業内容の水準を評価する指標として採用する CEFR（図 1）について説明する。なお、両英語科目のシラバスを別紙 1 として添付する。

「コミュニケーション英語」の授業内容は、大学生が、留学生と交流しながら社会生活の様々な状況に英語で対処するという想定で、段階的に会話力が向上するよう構成された内容で授業を進めていく。各章ごとに、外国人との交際や電話のやり取り等の様々な日常生活での出来事や場面への対応、岡山市の文化や特徴の伝達、留学生との交わりの中で自分の考えを述べ、意見を交えるスキル、医療現場で患者を想定したやり取り等、日常生活や社会生活での身近な話題から専門分野の基礎編まで、幅広く様々な出来事や場面を英語で疑似体験をすることにより会話力を向上させる。授業では、独自に作成した大学生向けの英語教材を使用し、日本語を交えて主に英語で行われ、グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイ等の実践を中心としたアクティブラーニングを行う。到達目標に以下の 2 点を置く。①日常的に出会う様々な話題について、自然な英語表現を使ってやり取りができる。②外国人と自然体で接し、説明すべき状況や自分の考えを

筋道立てて発言できる。

「コミュニケーション英語」の授業内容は、 CEFR の B1 レベルであり、また実用英語技能検定（以下、英検）では準 1 級に寄ったレベルであり、大学の医療系学生としての英会話力の涵養に適している。

「メディカル英語」については、授業は、初診時の様々な基本的な対応を踏まえて、療法士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成である。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現を修得し、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図り、英文読解に必要となる基本英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解を目指す。授業は日本語を交えて英語で行い、グループ討議や臨場感を体験するためにロールプレイを中心とした実践的授業を行う。この授業での学びを通じて、4 年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。到達目標に以下の 3 点を置く。①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。②英語論文(症例報告や研究論文等)における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。

「メディカル英語」の授業内容は、CEFR の B1 レベルをやや上回る水準であり、英検では準 1 級レベルに相当し、大学水準が担保されている。

到達水準について具体的指標が示されていないとのご指摘を頂いたことを踏まえて、今回、水準の評価基準として言語の枠や国境を越えて、外国語の運用能力を同一の基準で測ることができる国際基準 CEFR （Common European Framework of Reference for Languages、外国語の学修・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）を採用する。CEFR は「何ができるか」を主たる評価基準とし、コミュニケーションの状況や話題、人が行う行為、目的に関する分析等により等級が定められており、この CEFR は、英語科目の水準の判断基準として、現在多くの大学で採用されている。

CEFR の評価は、基礎的なレベルの A0 レベルから、A1、A2、B1、B2、C1、C2 の 7 段階に分けられており、C2 レベルが最高レベルとされている。このうち B1 レベルは、「社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる」レベルとされ、具体的には、日常生活なら大体理解できる、海外を旅行中に様々な対応ができる、簡単だが首尾一貫した文章を作れる、等のレベルとされている。CEFR と他の資格や検定と比較した文部科学省の対照表（図 1）によれば、B1 レベルは、英検では 2 級から準 1 級のレベルに相当しており、また英検の 2 級は高校卒業レベル、準 1 級は大学中級レベルとされている。

（図 1）CEFR と各資格・検定との対照表

CEFR	実用英語技能検定	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2			
C1	2600-3299	95-120	1845-1990
B2	2300-2599	72-94	1560-1840
B1	1950-2299	42-71	1150-1555
A2	1700-1949		625-1145
A1	1400-1699		320-620

文部科学省（平成 30 年３月）および英語４技能試験情報サイトホームページを基に作成
L：リスニング、R：リーディング、S:スピーキング、W：ライティング

＜添付＞
（別紙 1）シラバス：コミュニケーション英語、メディカル英語

（新旧対照表）授業科目の概要　理学療法学科、作業療法学科
コミュニケーション英語

新	旧
講義概要： 大学生が留学生と交流しながら、社会生活での様々な状況に英語で対処する内容で構成され、身近な話題から専門分野の基礎編まで、幅広く多様な出来事を英語で疑似体験する。授業内容は、CEFR の B1 レベルである。 到達目標： ①日常的に出会う様々な話題について、自然な英語表現を使ってやり取りができる。 ②外国人と自然体で接し、説明すべき状況や自分の考えを筋道立てて発言できる。	外国人と簡単な対応ができるようになるために、繰り返し発言する体験を通してコミュニケーションをとる姿勢を養う。 到達目標：①日常生活でありがちな場面の英会話スキルを習得し、外国人と簡単な対話ができるようになる。②発言する体験を頻繁に繰り返すことで、英語で話すことへの躊躇や抵抗感をなくする。③上記をとおして、自主的に英語でコミュニケーションする姿勢を育む。

メディカル英語

新	旧
講義概要： 授業は、初診時の様々な基本的対応を踏まえて、療法	医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報

士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成とする。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の修得を基礎に置き、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力を修得しその向上を図り、英文読解に必要となる基本的な英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容を理解する。授業内容は、CEFR の B1 レベルをやや上回る水準に相当する。	告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4 年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。
到達目標： ①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。 ②英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。 ③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。	到達目標：①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。②リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーションをとることができる。③基礎的英語力を身につけて外国人患者を受け入れることができる。

（新旧対照表）シラバス　作業療法学科、メディカル英語

新	旧
【講義の概要および到達目標】 講義概要： 授業は、初診時の様々な基本的対応を踏まえて、療法士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成とする。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の修得を基礎に置き、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力を修得しその向上を図り、英文読解に必要となる基本的な英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容を理解する。授業内容は、CEFR の B1 レベルをやや上回る水準に相当する。	【講義の概要および到達目標】 概要：医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4 年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。
到達目標： ①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現	到達目標：①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。②リハビリの臨床現場で

が理解できる。 ②英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。 ③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。 【授業の方法】 ①英語と日本語による授業。 ②臨場感を体験するために、グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイ等による実践的授業を行う。 ③辞書持ち込み可。スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。	英語による基本的なコミュニケーションをとることができる。③基礎的英語力を身につけて外国人患者を受け入れることができる。 【授業の方法】 ＊日本語と英語による講義。 ＊グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイなどの実践を中心としたアクティブラーニング。 ＊辞書持ち込み可能。（スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（14 ページ）

新	旧
２．教育課程の特色 （中略） 基礎科目群では、まず初年次教育として、「大学での学び」の入門講座である少人数編成のゼミ科目「大学入門」を配置し、大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を修得する。次いで専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。	２．教育課程の特色 （中略） 基礎科目群では、まず、大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として「大学入門」を配置する。専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（17 ページ）

新	旧
４）国際理解と日本社会の歴史と文化 １年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」（必修とし、職業専門科目に配置）では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。専門職業人としての英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。 なお、英語科目の授業水準は「コミュニケーション	４）国際理解と日本社会の歴史と文化 １年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」（必修とし、職業専門科目に配置）では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。 なお、基礎的英語力については、前記 4 科目の単位

英語」はCEFR（注１）のB1レベルであり、「メディカル英語」はCEFR のB1 レベルをやや上回る水準である。 （注１）Common European Framework of Reference for Languages、外国語の学修・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠	を取得できるレベルを考えているが、中でもリハビリの臨床現場を想定して行われる「メディカル英語」のシラバスの到達目標に達することで評価する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（6ページ）

新	旧
各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 4）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 4）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（39 ページ）

新	旧
３．卒業要件 （１）卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマポリシー） 本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を取得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 （理学療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3) 対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 4) 理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 （作業療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 3) 対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 4) 作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	３．卒業要件 （１）卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマポリシー） 本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を取得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 （理学療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3) 理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4) 対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5) 理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3) 作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4) 対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5) 作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（11-13 ページ）

新	旧
④教育課程の編成の考え方及び特色	④教育課程の編成の考え方及び特色

１．カリキュラム編成の考え方 　各学科のカリキュラム・ポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。 **教育内容・方法** ⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。 ⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑩完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑪最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。	１．カリキュラム編成の考え方 　各学科のカリキュラム・ポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。 ⑥健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。 **教育内容・方法** ⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。 ⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑪完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。	⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。 ⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。
学修成果の評価 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。	**学修成果の評価** 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。
（作業療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑥教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒	（作業療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。 ⑥地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。

業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑦教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。	⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。
教育内容・方法 ⑧発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。 ⑨科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑩完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑪最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。 ⑫地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。	**教育内容・方法** ⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。 ⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑪完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。 ⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。
学修成果の評価 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑬科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑭評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑮臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。	**学修成果の評価** 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 2）カリキュラムマップ

新	旧
別紙 2 参照	別紙 2 参照

（是正意見）健康科学部　理学療法学科

（２）ディプロマ・ポリシーに掲げられた「健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。」とされているが、展開科目として掲げられた「起業入門」、「ＮＰＯ論」等との関係が明らかにされていない。具体的講義内容や到達目標を示しながらディプロマ・ポリシーの関係を説明すること。

（対応）ディプロマ・ポリシーに掲げた「健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。」と展開科目として掲げた「起業入門」、「NPO 論」等との関係が明らかにされていないので、具体的に講義内容や到達目標を示しながらディプロマ・ポリシーの関係を説明するようにとのご指摘を頂きました。地域や業界団体のニーズも踏まえて、このご指摘のディプロマ・ポリシーの内容を達成するために展開科目に配置した「起業入門」、「NPO 論」及び関連する「マネジメント論」と「コーチング論」の科目について、配置された科目の具体的講義内容や到達目標を説明し、これらの科目とディプロマ・ポリシーとの関係を説明する。

理学療法学科では、育成する人材像の中に「身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」を掲げ、この育成する人材像を踏まえて、ディプロマ・ポリシーの中に今回ご指摘の「健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。」を掲げている。

現在、健康寿命の延伸に関する知識と技能を身につけた理学療法士が、その知識と技能を活用して、多職種（注１）と協働して新たなサービス事業の展開へと繋げていくために必要な力を育み、地域の活性化に寄与することが求められている。

岡山市は、「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月」（別紙 3）を策定し、その中で健康寿命を延伸する多様なサービスの展開を基本目標の一つに掲げ、地域包括ケアシステム構想の中核に位置づけている。

さらに岡山県理学療法士会からは、岡山県では、地域と連携する上での地域との連携の取り方、アピールの方法、マネジメント等の能力不足が現在の理学療法士の課題として挙げられ、最終的には起業にまで持っていくことが期待されている（資料 1)。

これに応えるためには、地域における健康寿命を延伸するサービスの展開とその事業化（起業）に関する知識やスキルの修得は必須である。そのために重要な核となる力は、多職種と協働して組織を運営するマネジメント力、サービスにかかわる人材資源の能力を伸ばし有効活用するためのスキル、地域のニーズに沿った事業を起業するためのノウハウ、社会事業のために広く活用される非営利組織の設立・運営に関する能力である。これらの力を身につけるために「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」の４科目を配置する。これらの講義のシラバスは、別紙 4 のとおりである。

サービスを事業化する上で、組織のマネジメントに関わる基本理論を学ぶことは極めて重要である。「**マネジメント論**」は、組織マネジメントの基本概念や組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得し、組織運営のポイントを踏まえた上で、グループワークを活用して、多職種と連携して行う活動をマネジメントする力を修得し、地域包括ケアマネジメントのポイントを押さえ、さらには医療事業の効果的な運営スキルを涵養する。対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にし、目標を

達成するための能力（管理力）を身につけることが到達目標となる。

サービスを最も適合的な形で提供するためには、当該サービスにかかわる個性を伸ばし専門技能を引き出していくスキルを身につけることは欠かせない。「**コーチング論**」は、コーチングの基礎理論とコミュニケーションスキルを理解し、サービスを形にして提供する上で必須となる他者の協力を獲得するためのスキルを修得し、あわせてビジネス現場における人的資源の活用方法や課題について学ぶ。到達目標を、この科目を履修することにより、当該サービスにかかわる人材の成長を支援する能力を育成し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にするために必要な知識と技術を修得することに置く。

「**起業入門**」では、ベンチャービジネスを起業した経験者の活動実例に基づき、起業とは何か、起業のメリットやデメリット、起業のために必要な事項や資金計画を理解し、その上で実際に健康寿命を延伸する力を核にした事業化のアイディアを煮詰めプランを作成するグループワークを行い、ワークシートを用いた事業計画を作成して発表し、意見交換を行う。

この講義を通じて、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法が修得できる。自ら起業し事業化することを想定し思考することを通して、ごく簡単な事業計画を作成できることが到達目標である。

「地域や社会に貢献したい」と思った場合、私的な企業活動として事業を展開する場合の他に、社会や地域課題の解決に向けた「非営利」の活動を起こす必要が生じる場合がある。

「**NPO 論**」では、企業統治の視点を導入してソーシャルビジネスという大きな枠組みから、NPO の仕組みとその社会的役割にアプローチし、その上で岡山の NPO の活動事例として、実際に高齢者や障害者を支援する NPO、岡山地域の活性化に貢献している NPO、健康寿命延伸のために活動する NPO を取り上げ、何を、どのように準備し、どう運営して、ミッションを達成しているかの実際を学び、次いで非営利組織のマネジメント、非営利組織の統治に進み、社会貢献における営利企業と非営利組織の役割を比較して締めくくる。到達目標は、経営という視点から NPO を理解できるようになり、社会貢献についての知見を深め、社会貢献への多様なアプローチを認識し、NPO の設立方法を修得できることである。

これらの科目によって、対象者や地域のニーズに対応する新しいサービスを創造し、新しいサービス事業を多様な形で展開できる能力を身につけ、健康寿命の延伸を図る他の展開科目と相まって、ディプロマ・ポリシーに掲げる「健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える」という目的を達成することができる。

このように、配置された 4 科目は、ディプロマ・ポリシーに掲げる内容の実現に整合性を持つ科目配置であり、これらの科目により、これからの理学療法士に求められる多様な能力を身につけ、地域や自治体さらには業界団体の要請に応え得ると考えている。

注 1

本項で用いられている「多職種」の意味について以下に説明する。

「多職種」とは、医療分野では一般的に、保健・医療・福祉にかかわる様々な職種、即ち、医師・看護師・介護福祉士・各療法士・薬剤師・管理栄養士等、医療分野における異なる専門職を意味しており、これらの異なる専門職で構成される医療提供体制が「チーム医療」と呼ばれるものである。現在一般的に用いられている「多職種」とはこのような内容である。

しかし今後、本項で示す展開科目により育成される本学の卒業生の就職先として、スポーツ関

連事業や住宅関連企業等の一般企業の分野への進出が見込まれ、また一般企業の職員の健康の維持・向上への取り組みが進む中での企業の産業医や保健師との連携等を含めて、医療関連分野のみならず一般企業と連携を図ることが重要となる。また、現在岡山市が進めている「地域包括ケアシステム」の構築の中で、システムの中核を担う行政職、さらにはこのシステムにかかわる一般企業や非営利組織（NPO）等との連携も必要になり、医療分野以外の多様な職種との協働が必須となる。本学が目指す「多職種」連携は、医療専門職に加えて、それ以外の一般企業や NPO や行政職等の多様な職種を包含する連携を意味する。

（資料 1）業界団体（一般社団法人岡山県理学療法士会）へのヒアリング

一般社団法人岡山県理学療法士会　会長　國安勝司氏

（実施日）平成 31 年 3 月 15 日

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の３団体で、現在市町村のリハビリテーション支援事業に参画をし、一般社団法人岡山県理学療法士会として力をいれている。こういった事業の協力があることは、理学療法士に対して、市町村からの理解が深まった結果だと考えている。具体的な支援事業の内容には、「健康を維持するための体操教室」の開催も含まれている。そのため、予防の観点から携われる理学療法士は必要であり、大学で学ぶ「地域理学療法」科目だけでは時間数、量ともに足りていない。また今後需要が増えてくると考えられることもあり、協会としては予防に関する実践力を高める講習会を行っている。そのため、予防に関する実践力を高めることは必要であり、大学教育の中で予防に関する授業を行う大学は必要だと考える。

市町村と連携する上で、理学療法士に不足しているものがある。それは、市町村との連携の取り方、アピールの方法、マネジメント、ノウハウであり、この部分を得意な他県の理学療法士に協力を仰いでいる。そのため、「マネジメント論」「コーチング」「NPO 論」「起業入門」「地域社会学」「コミュニティ形成論」などを学ぶことは、自分で事を起こすことのベースとなり、重要であり、良いことだと思う。最終的には、起業まで持って行けると良いと考える。

＜添付＞

（別紙 3）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月

（別紙 4）シラバス

・マネジメント論
・コーチング
・起業入門
・NPO 論

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（27-28 ページ）

新	旧
（３）展開科目 （前略）	（３）展開科目 （前略）

1. 理学療法学科 （中略） さらに健康寿命の延伸のためのサービス提供力を発展させるためには、地域のニーズに合った新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域に貢献するための能力を涵養する必要がある。そのために重要な核となる力は、多職種と協働して組織を運営するマネジメント力、サービスにかかわる人材資源の能力を伸ばし有効活用するためのスキル、地域のニーズに沿った事業を起業するためのノウハウ、社会事業のために広く活用される非営利組織の設立・運営に関する能力である。これらの力を身につけるために「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」の４科目を配置した。 サービスを事業化する上で、組織のマネジメントに関わる基本理論を学ぶことは極めて重要である。「**マネジメント論**」は、組織マネジメントの基本概念や組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得し、組織運営のポイントを踏まえた上で、グループワークを活用して、多職種と連携して行う活動をマネジメントする力を修得し、地域包括ケアマネジメントのポイントを押さえ、さらには医療事業の効果的な運営スキルを涵養する。対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にし、目標を達成するための能力（管理力）を身につけることが到達目標となる。 サービスを最も適合的な形で提供するためには、当該サービスにかかわる個性を伸ばし専門技能を引き出していくスキルを身につけることは欠かせない。「**コーチング論**」は、コーチングの基礎理論とコミュニケーションスキルを理解し、サービスを形にして提供する上で必須となる他者の協力を獲得するためのスキルを修得し、あわせてビジネス現場における人的資源の活用方法や課題について学ぶ。到達目標を、この科目を履修することにより、当該サービスにかかわる人材の成長を支援する能力を育成し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にするために必要な知識と技術を修得することに置く。 「**起業入門**」では、ベンチャービジネスを起業した	1. 理学療法学科 （中略） そして、前記の科目で修得した健康寿命の延伸に関する知識を基にして、これらを地域のニーズに合わせて、多職種と協働して新たなサービスへと発展させる能力が必要となる。そのためには、多職種と協働して組織のマネジメントができ、組織の人材を有効活用し、さらに組織の運営の実際を知り、地域のニーズに沿った起業活動のノウハウを修得することが必要である。この目的で「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」を配置した。 「マネジメント論」では、組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にして目標を達成するための能力を修得する。「コーチング論」では、人の能力や可能性を伸ばし、他者との協働や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。「起業入門」では、自らが起業することを想定して思考することを通じて起業に関わる基礎的知識を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。「NPO 論」では、非営利組織である NPO の理念を知り組織の運営のあり方を学び、市民や行政や企業等多職種と協働し、社会や地域課題の解決に向けたサービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する能力を育成する。

経験者の活動実例に基づき、起業とは何か、起業のメリットやデメリット、起業のために必要な事項や資金計画を理解し、その上で実際に健康寿命を延伸する力を核にした事業化のアイディアを煮詰めプランを作成するグループワークを行い、ワークシートを用いた事業計画を作成して発表し、意見交換を行う。 この講義を通じて、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法が修得できる。自ら起業し事業化することを想定し思考することを通して、ごく簡単な事業計画を作成できることが到達目標である。 「地域や社会に貢献したい」と思った場合、私的な企業活動として事業を展開する場合の他に、社会や地域課題の解決に向けた「非営利」の活動を起こす必要が生じる場合がある。 「NPO 論」では、企業統治の視点を導入してソーシャルビジネスという大きな枠組みから、NPO の仕組みとその社会的役割にアプローチし、その上で岡山の NPO の活動事例として、実際に高齢者や障害者を支援する NPO、岡山地域の活性化に貢献している NPO、健康寿命延伸のために活動する NPO を取り上げ、何を、どのように準備し、どう運営して、ミッションを達成しているかの実際を学び、次いで非営利組織のマネジメント、非営利組織の統治に進み、社会貢献における営利企業と非営利組織の役割を比較して締めくくる。到達目標は、経営という視点から NPO を理解できるようになり、社会貢献についての知見を深め、社会貢献への多様なアプローチを認識し、NPO の設立方法を修得できることである。 これらの科目から、組織のマネジメントに関わる基本理論、他者との協力や人的資源を有効に活用する方法やスキル、起業にかかわる基本的なノウハウ、非営利組織によるサービス提供等について学び、健康寿命の延伸に係る新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域のニーズに貢献できる能力を修得する。	これらの科目から、他者との協力や人的資源を有効に活用する方法やスキル、起業にかかわる基本的なノウハウ、対象者や地域のニーズに対応する新しいサービスの創造等について学び、新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域のニーズに対応できる能力を修得する。

設置の趣旨等を記載した書類（87 ページ）

新	旧
⑯　社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 １．教育課程内の取組について （前略） 理学療法学科では対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを事業化するスキルを身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する科目として、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「食生活マネジメント論」「生体情報科学」「NPO 論」「スポーツ科学」「起業入門」「マネジメント論」「コーチング論」「岡山経営者論」を配置する。	⑯　社会的・職業的自立に関する指導等及び体制 １．教育課程内の取組について （前略） 理学療法学科では対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを組織化する力を身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する科目として、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「食生活マネジメント論」「生体情報科学」「NPO 論」「スポーツ科学」「起業入門」「マネジメント論」「コーチング論」「岡山経営者論」を配置する。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

３．アドミッション・オフィス入試や推薦入試の二次試験は、講義受講後に講義内容のレポート作成、筆記試験、グループによるディスカッションの実施が計画されているが、審査内容が不明確であり、効率化を図りつつ入試の質と公平性を確保する方法について明らかとすること。

（対応）アドミッション・オフィス入試や推薦入試の二次試験は、講義受講後に講義内容のレポート作成、筆記試験、グループによるディスカッションの実施が計画されているが、審査内容が不明確であり、効率化を図りつつ入試の質と公平性を確保する方法について明らかとするようにご意見をいただいたため、アドミッション・オフィス入試ならびに自己推薦入試について次の通り明確にする。

また、審査意見 1，2 でディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを改めたことにともない、整合性を図るためにアドミッション・ポリシー（２）から「英語力」を削除する。

①入学者選抜について

(1) 実施計画変更と審査内容の明確化

アドミッション・オフィス入学試験および自己推薦入学試験の 2 次試験では、「学習試験（講義受講後のレポート作成と筆記試験)」と「発表とディスカッション」の実施を計画していたが、効率化を図りつつ入試の質と公平性を確保するために、「講義と筆記試験」を取りやめ、「学生が事前に準備するレポート」に基づき、「発表とディスカッション」を実施することへと改め、さらに「面談」を「面接」に変更する。

またレポート課題および各試験の審査項目ごとの配点を明示し、「発表とディスカッション」と「面接」には別の試験官を充てることで、審査内容を明確化するとともに、公平性を担保する。

レポート課題のテーマについては、以下に参考例を示す。

・チーム医療とリハビリテーション
・地域包括ケアシステムと高齢社会
・地球温暖化問題
・SNS の浸透と人間関係
・人口減少と社会生産性

(2) 選抜方法及び配点

＜AO（アドミッション・オフィス）入学試験＞

岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。エントリー資格は、入学資格があり、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上で、入学前に本学のオープンキャンパスもしくは学校見学のいずれかに参加した者とする。

実施期間：8 月、9 月、10 月の期間で 4 回実施

選考方法：書類審査・レポート・発表とディスカッション・面接

【1 次試験】

書類審査（本学指定様式のエントリーシート、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。

・配点（20 点）

審査項目	配点

エントリーシート	10 点
調査書	10 点
合計	20 点

・評価観点

エントリーシート

・本学に向いているか（AP 適合性）（10 点）

調査書

・評定平均による基礎学力の評価（10 点）

【2 次試験】

1） レポート

1 次試験合格者に対して、2 次試験実施に先立ってレポートの課題を知らせる。受験生は、課題について自分の考え方や意見をまとめ、事前に大学所定の用紙に記述して提出する。(1,000 字程度)

2）発表とディスカッション（60 分）

5 人程度のグループに分け、1 人 5 分程度でレポートの課題について発表し、全員の発表に基づき、ディスカッションを行う。

3）面接（1 人 20 分）

エントリーシート、レポートを基に面接を行う。面接は、学校側 2 人、受験生 1 人で行う。

・配点（100 点）

審査項目	配点
レポート	30 点
発表・ディスカッション	30 点
面接	40 点
合計	100 点

・評価観点

レポート

・問題の把握と構成力は適切か（10 点）

・問題に対する考えが論理的に述べられているか（10 点）

・文章表現が適切になされているか（10 点）

発表とディスカッション

・課題の本質をとらえ、簡潔にまとめて表現できるか（10 点）

・自分の意見を相手に分かり易く伝えるコミュニケーション力を備えているか（10 点）

・相手の意見を踏まえて問題を深め、より発展的な考えが述べられるか（10 点）

面接

・旺盛な好奇心、探求心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか（10 点）

・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか（10 点）
・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか（10 点）
・変化の激しい時代の地域社会に貢献したいという思いがあるか（10 点）

合否判定

1 次試験（20 点）、2 次試験（100 点）を合わせた総合評価（120 点）により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の AP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

＜自己推薦入学試験＞

出願資格は、入学資格がある者で、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上、岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、資格や検定取得実績等を有し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査・レポート・発表とディスカッション・面接

【1 次試験】

書類審査（資格や検定取得実績等に基づく任意の様式の自己推薦書、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。

・配点（20 点）

審査項目	配点
自己推薦書	10 点
調査書	10 点
合計	20 点

・評価観点

自己推薦書

・本学に向いているか（AP 適合性）（10 点）

調査書

・評定平均による基礎学力の評価（10 点）

【2 次試験】

1） レポート

1 次試験合格者に対して、2 次試験実施に先立ってレポートの課題を知らせる。受験生は、課題について自分の考え方や意見をまとめ、事前に大学所定の用紙に記述して提出する。(1,000 字程度)

2）発表とディスカッション（60 分）

5 人程度のグループに分け、1 人 5 分程度でレポートの課題について発表し、全員の発表に基づき、ディスカッションを行う。

3）面接（1 人 20 分）

エントリーシート、レポートを基に面接を行う。面接は、学校側 2 人、受験生 1 人で行う。

・配点（100 点）

審査項目	配点
レポート	30 点
発表・ディスカッション	30 点
面接	40 点
合計	100 点

・評価観点

レポート

・問題の把握と構成力は適切か（10 点）
・問題に対する考えが論理的に述べられているか（10 点）
・文章表現が適切になされているか（10 点）

発表とディスカッション

・課題の本質をとらえ、簡潔にまとめて表現できるか（10 点）
・自分の意見を相手に分かり易く伝えるコミュニケーション力を備えているか（10 点）
・相手の意見を踏まえて問題を深め、より発展的な考えが述べられるか（10 点）

面接

・理学療法士・作業療法士として、地域社会に貢献しようとする明確な目的意識をもち、勉学に対する意欲を十分に備えているか（10 点）
・活動実績やそれを踏まえた自分の意見を他人に的確に伝えられるような論理的思考力と表現力を身につけているか（10 点）
・十分なコミュニケーション力はもっているか（10 点）
・多様な価値観を受け入れ、旺盛な好奇心、探求心、目的意識や実践力をもっているか（10 点）

・合否判定

1 次試験（20 点）、2 次試験（100 点）を合わせた総合評価（120 点）により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の AP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッションオフィス入学試験ならびに自己推薦入学試験以外の入試についても、公平性を担保し審査内容を明確化するために、審査項目ごとの配点を明示する。

なお、推薦入学試験の小論文のテーマについては、次に例を示す。

＜小論文課題例＞

・認知症問題と地域のかかわり
・高齢社会とリハビリテーション
・健康寿命の延伸とリハビリテーション
・臓器移植問題
・終末期医療

＜指定校推薦入学試験＞

・配点（100 点）

審査項目	配点
書類審査	40 点
面接	60 点
合計	100 点

＜推薦入学試験＞

・配点（130 点）

審査項目	配点
書類審査	10 点
小論文	100 点
面接	20 点
合計	130 点

＜一般入学試験＞

・配点（230 点）

審査項目	配点
書類審査	10 点
国語（現代文）	100 点
コミュニケーション英語	100 点
面接	20 点
合計	230 点

②入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。

（理学療法学科）

(1) 理学療法を修得するという強い意欲を有する人

(2) 高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人

(3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人

(4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人

(5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人

（作業療法学科）

(1) 作業療法を修得するという強い意欲を有する人

(2) 高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人

(3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人
(4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人
(5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人

③アドミッション・ポリシーへの対応

AP と AO 入学試験との関係性

(理学療法学科)

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
調査書		○			
エントリーシート	○			○	○
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

(作業療法学科)

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
調査書		○			
エントリーシート	○			○	○
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

AP と自己推薦入学試験との関係性

(理学療法学科)

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
自己推薦書	○			○	○
調査書		○			
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

(作業療法学科)

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
自己推薦書	○			○	○
調査書		○			
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

④提出書類

1）AO（アドミッション・オフィス）入学試験

・エントリーシート（自己アピール、取得資格・検定記載）
・入学願書
・調査書
・レポート
・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）
・出願資格認定通知書（AO 入試の結果、出願資格が認められた者に発行したもの）

2）自己推薦入学試験

・入学願書
・自己推薦書
※自己推薦に関連する証明書類：資格・検定等証明書
・調査書
・レポート
・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（47-57 ページ）

新	旧
⑨　入学者選抜の概要 ＜入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）＞ 本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。 （理学療法学科） (1) 理学療法を修得するという強い意欲を有する人 (2) 高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人 (3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人 (4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人 (5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人	⑨　入学者選抜の概要 ＜入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）＞ 本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。 （理学療法学科） (1) 理学療法を修得するという強い意欲を有する人 (2) 高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 (3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人 (4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人 (5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人

（作業療法学科） (1) 作業療法を修得するという強い意欲を有する人 (2) 高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人 (3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人 (4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人 (5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人 （中略） （３）選抜方法 １）AO（アドミッション・オフィス）入学試験 岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。エントリー資格は、入学資格があり、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上で、入学前に本学のオープンキャンパスもしくは学校見学のいずれかに参加した者とする。 実施期間：8 月、9 月、10 月の期間で 4 回実施 選考方法：書類審査・レポート・発表とディスカッション・面接 **1 次試験** 書類審査（本学指定様式のエントリーシート、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。 ・配点（20 点） 審査項目 / 配点 エントリーシート / 10 点 調査書 / 10 点 合計 / 20 点 ・評価観点 エントリーシート ・本学に向いているか（AP 適合性）（10 点） 調査書 ・評定平均による基礎学力の評価（10 点） **２次試験** 1） レポート 1 次試験合格者に対して、2 次試験実施に先立ってレポートの課題を知らせる。受験生は、課題につ	（作業療法学科） (1) 作業療法を修得するという強い意欲を有する人 (2) 高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 (3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人 (4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人 (5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人 （中略） （３）選抜方法 １）AO（アドミッション・オフィス）入学試験 岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。エントリー資格は、入学資格があり、入学前に本学のオープンキャンパスもしくは学校見学のいずれかに参加した者とする。 実施期間：8 月、9 月、10 月の期間で 4 回実施 選考方法：書類審査、学習試験、面談 **1 次試験** 書類審査（本学指定様式のエントリーシート、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。 （追加）

いて自分の考え方や意見をまとめ、事前に大学所定の用紙に記述して提出する。(1,000 字程度)

(レポート課題のテーマ：参考例)

・チーム医療とリハビリテーション
・地域包括ケアシステムと高齢社会
・地球温暖化問題
・SNS の浸透と人間関係
・人口減少と社会生産性

2) 発表とディスカッション (60 分)

5 人程度のグループに分け、1 人 5 分程度でレポートの課題について発表し、全員の発表に基づき、ディスカッションを行う。

3) 面接 (1 人 20 分)

エントリーシート、レポートを基に面接を行う。面接は、学校側 2 人、受験生 1 人で行う。

※公平性を担保するために「発表とディスカッション」「面接」の試験官は別の試験官とする。

・配点 (100 点)

審査項目	配点
レポート	30 点
発表・ディスカッション	30 点
面接	40 点
合計	100 点

・評価観点

レポート

・問題の把握と構成力は適切か (10 点)
・問題に対する考えが論理的に述べられているか (10 点)
・文章表現が適切になされているか (10 点)

発表とディスカッション

・課題の本質をとらえ、簡潔にまとめて表現できるか (10 点)
・自分の意見を相手に分かり易く伝えるコミュニケーション力を備えているか (10 点)
・相手の意見を踏まえて問題を深め、より発展的な考えが述べられるか (10 点)

講義 (60 分) を受講する。

2) レポート作成 (30 分)

講義受講後、大学規定のレポート用紙に、講義中の筆記ノートを参照しつつ、講義内容をまとめ、その中で自分が最も関心・興味をもった点について併せて記述し、提出する。

3) 筆記試験 (30 分)

講義の内容の理解度を確認する。

2　発表とディスカッション (45 分)

5 人程度のグループに分けて、自分が最も興味をもったこと、関連した発展的なテーマ等について全員発表 (1 人 2 分程度) を行う。全員の発表に基づき、ディスカッションをする。

面談試験

学校側２人、受験生１人で面談試験を行う。

評価のポイント

1　学習試験

・講義の内容を正確に理解できる基礎学力をもっているか。
・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。

2　ディスカッション

・問題を理解して、自分の考えや意見をまとめる論理的思考力をもっているか。
・その考えや意見を適切な言葉で表現し、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション力をもっているか。

面談試験の評価ポイント

・旺盛な好奇心、探求心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。
・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。
・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。
・変化の激しい時代の地域社会に貢献したいという思いがあるか。

面接

・旺盛な好奇心、探求心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか（10 点）

・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか（10 点）

・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか（10 点）

・変化の激しい時代の地域社会に貢献したいという思いがあるか（10 点）

合否判定

1 次試験（20 点）、2 次試験（100 点）を合わせた総合評価（120 点）により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の AP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応

AP と AO 入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
調査書		○			
エントリーシート	○			○	○
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

1 次試験、2 次試験、面談試験により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の DP,CP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応

AP と AO 入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
調査書	○				
エントリーシート	○			○	○
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書		○			
エントリーシート	○			○	○
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 40 名、作業療法学科 20 名

	理学療法学科	作業療法学科
A 日程	10 名	5 名
B 日程	15 名	7 名
C 日程	10 名	5 名
D 日程	5 名	3 名
合計	40 名	20 名

2）自己推薦入学試験

出願資格は、入学資格がある者で、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上、岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、資格や検定取得実績等を有し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査・レポート・発表とディスカッション・面接

1 次試験

書類審査（資格や検定取得実績等に基づく任意の様式の自己推薦書、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。

配点（20 点）

審査項目	配点
自己推薦書	10 点

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書	○				
エントリーシート	○			○	○
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 40 名、作業療法学科 20 名

	理学療法学科	作業療法学科
A 日程	10 名	5 名
B 日程	15 名	7 名
C 日程	10 名	5 名
D 日程	5 名	3 名
合計	40 名	20 名

2）自己推薦入学試験

出願資格は、入学資格がある者で、岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、資格や検定取得実績等を有し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査・学修試験・面談

1 次試験

書類審査（資格や検定取得実績等に基づく任意の様式の自己推薦書、調査書）

募集人員の 2 倍以内に絞る。

調査書	10 点
合計	20 点

・評価観点

自己推薦書

・本学に向いているか（AP 適合性）（10 点）

調査書

・評定平均による基礎学力の評価（10 点）

２次試験

1） レポート

1 次試験合格者に対して、2 次試験実施に先立ってレポートの課題を知らせる。受験生は、課題について自分の考え方や意見をまとめ、事前に大学所定の用紙に記述して提出する。（1,000 字程度）

2）発表とディスカッション（60 分）

5 人程度のグループに分け、1 人 5 分程度でレポートの課題について発表し、全員の発表に基づき、ディスカッションを行う。

3）面接（1 人 20 分）

エントリーシート、レポートを基に面接を行う。面接は、学校側 2 人、受験生 1 人で行う。

配点（100 点）

審査項目	配点
レポート	30 点
発表・ディスカッション	30 点
面接	40 点
合計	100 点

・評価観点

レポート

・問題の把握と構成力は適切か（10 点）

・問題に対する考えが論理的に述べられているか（10 点）

・文章表現が適切になされているか（10 点）

発表とディスカッション

・課題の本質をとらえ、簡潔にまとめて表現できるか（10 点）

・自分の意見を相手に分かり易く伝えるコミュニ

２次試験

１　学習試験

１）講義の受講

志願者は、リハビリテーションに関する講義（60 分）を受講する。

２）レポート作成（30 分）

講義受講後、大学規定のレポート用紙に、講義中の筆記ノートを参照しつつ、講義内容をまとめ、その中で自分が最も関心・興味をもった点について併せて記述し、提出する。

３）筆記試験（30 分）

講義の内容の理解度を確認する。

２　発表とディスカッション（45 分）

5 人程度のグループに分けて、自分が最も興味をもったこと、関連した発展的なテーマ等について全員発表（一人 2 分程度）する。全員の発表に基づき、ディスカッションする。

面談試験

学校側２人、志願者１人で面談試験を行う。

評価のポイント

１　学習試験

・講義の内容を正確に理解できる基礎学力をもっているか。

・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。

２　ディスカッション

・問題を理解して、自分の考えや意見をまとめる論理的思考力をもっているか。

・その考えや意見を適切な言葉で表現し、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション力をもっ

ケーション力を備えているか（10 点）
・相手の意見を踏まえて問題を深め、より発展的な考えが述べられるか（10 点）
面接
・理学療法士・作業療法士として、地域社会に貢献しようとする明確な目的意識をもち、勉学に対する意欲を十分に備えているか（10 点）
・活動実績やそれを踏まえた自分の意見を他人に的確に伝えられるような論理的思考力と表現力を身につけているか（10 点）
・十分なコミュニケーション力はもっているか（10 点）
・多様な価値観を受け入れ、旺盛な好奇心、探求心、目的意識や実践力をもっているか（10 点）

・合否判定
1 次試験（20 点）、2 次試験（100 点）を合わせた総合評価（120 点）により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の AP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応
AP と自己推薦入学試験との関係性
（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○			
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

ているか。

面談試験の評価ポイント
・理学療法士・作業療法士として、地域社会に貢献しようとする明確な目的意識をもち、勉学に対する意欲を十分に備えているか。
・活動実績やそれを踏まえた自分の意見を他人に的確に伝えられるような論理的思考力と表現力を身につけているか。
・十分なコミュニケーション力はもっているか。
・多様な価値観を受け入れ、旺盛な好奇心、探求心、目的意識や実践力をもっているか。

1 次試験、2 次試験、面談試験により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の DP,CP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応
AP と自己推薦入学試験との関係性
（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○		○	
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○			
レポート				○	
発表・ディスカッション			○	○	
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科：8名、作業療法学科5名

3）指定校推薦入学試験

（中略）

実施時期：10月下旬

選考方法：書類審査、面接

・配点（100点）

審査項目	配点
書類審査	40点
面接	60点
合計	100点

（中略）

4）推薦入学試験

（中略）

実施時期：11月下旬

選考方法：書類審査、学力試験：小論文、面接

・配点（130点）

審査項目	配点
書類審査	10点
小論文	100点
面接	20点
合計	130点

小論文試験（60分、800字以内）

志願者がリハビリテーション分野に関連するテーマについて小論文を800字以内で書く。

＜小論文課題例＞

・認知症問題と地域のかかわり

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○		○	
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科：8名、作業療法学科5名

3）指定校推薦入学試験

（中略）

実施時期：10月下旬

選考方法：書類審査、面接

（追加）

（中略）

4）推薦入学試験

（中略）

実施時期：11月下旬

選考方法：書類審査、学力試験：小論文、面接

小論文試験（60分、800字以内）

志願者がリハビリテーション分野に関連するテーマについて小論文を800字以内で書く。

・高齢社会とリハビリテーション ・健康寿命の延伸とリハビリテーション **小論文の評価ポイント** （中略） ５）一般入学試験 出願資格は、入学資格がある者とする。 実施時期：2 月、3 月で 3 回実施 選考方法：書類審査、学力試験：国語（現代文）、コミュニケーション英語、面接 ・配点（230 点） 審査項目／配点 書類審査／10 点 国語（現代文）／100 点 コミュニケーション英語／100 点 面接／20 点 合計／230 点 （中略） （4）提出書類 １）AO（アドミッション・オフィス）入学試験 ・エントリーシート（自己アピール、取得資格・検定記載） ・入学願書 ・調査書 ・レポート ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外） ・出願資格認定通知書（AO 入試の結果、出願資格が認められた者に発行したもの） ２）自己推薦入学試験 ・入学願書 ・自己推薦書 ※自己推薦に関連する証明書類：資格・検定等証明書 ・調査書 ・レポート ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）	**小論文の評価ポイント** （中略） ５）一般入学試験 出願資格は、入学資格がある者とする。 実施時期：2 月、3 月で 3 回実施 選考方法：書類審査、学力試験：国語（現代文）、コミュニケーション英語、面接 （追加） （中略） （4）提出書類 １）AO（アドミッション・オフィス）入学試験 ・エントリーシート（自己アピール、取得資格・検定記載） ・入学願書 ・調査書 ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外） ・出願資格認定通知書（AO 入試の結果、出願資格が認められた者に発行したもの） ２）自己推薦入学試験 ・入学願書 ・自己推薦書 ※自己推薦に関連する証明書類：資格・検定等証明書 ・調査書 ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

3）指定校推薦入学試験 ・入学願書 ・推薦書（出身高等学校長の推薦書） ・調査書 4）推薦入学試験 ・入学願書 ・推薦書（出身高等学校長の推薦書） ・調査書 5）一般入学試験 ・入学願書 ・調査書 ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）	3）指定校推薦入学試験 ・入学願書 ・推薦書（出身高等学校長の推薦書） ・調査書 4）推薦入学試験 ・入学願書 ・推薦書（出身高等学校長の推薦書） ・調査書 5）一般入学試験 ・入学願書 ・調査書 ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

（新旧対照表）学則

新	旧
（入学志願者の選考） 第20条　前条の入学志願者の選考は、入学願書、エントリーシート、調査書、学科試験、小論文、レポート、発表・ディスカッション、面接及びその他必要な書類などによって行なう。 2　入学志願者の選考に関する必要な事項については別に定める。	（入学志願者の選考） 第20条　前条の入学志願者の選考は、調査書、学科試験、学習試験、面接及びその他必要な書類などによって行なう。 2　入学志願者の選考に関する必要な事項については別に定める。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

４．編入学に関して、以下の点を是正すること。（是正意見） （１）社会人の編入は、欠員がある場合に、理学療法士・作業療法士の資格を有する者について実施することとし、実務経験が本学の臨地実務実習に相当すると判定できる場合、当該単位とみなし単位履修状況に応じて、編入年次を決定すると説明されている。そのため２年次以降に編入が認められた学生は、下の学年の基礎科目や展開科目等を学ぶことが想定されるため、社会人の編入学生が適切に大学水準の教育を履修できる方策を明確にし、併せてその履修モデルを示すこと。また、一般学生並びに社会人学生の双方の教育に支障を来すことがないように、適切な履修指導体制を整備すること。 （２）作業療法学科について２２単位を限度として単位認定すると説明されているが、専門職大学設置基準上、臨地実務実習の単位認定の上限は２０単位であるため、適切に改めること。

（対応）

（１）教育の質に責任を持つ専門職大学として、社会人の編入学を実施するには不透明要因が大きすぎると判断されるため、熟慮の結果、編入学は実施しないこととした。その理由は、以下の通りである。

本学で十分かつ適切な教育効果を上げるためには、専門職大学として体系的・有機的に組み上げられた教育課程を踏んで、系統的・段階的に積み上げていく学修が必須となる。したがって、社会人を含めて全学生は、１年生から入学し、４年間在学して学修することが大原則である。

ご指摘にある「社会人の編入は、欠員がある場合に、理学療法士・作業療法士の資格を有する者について実施することとし、実務経験が本学の臨地実務実習に相当すると判定できる場合、当該単位とみなし単位履修状況に応じて、編入年次を決定する」という方針は、現場で働いている優秀な社会人の学び直しニーズに対して、できうる限りその修学負担を低減することを目的とするものである。

社会人編入は、理学療法士・作業療法士の資格を有し、地域包括ケアや地域づくりの現場を主導し新サービス創造に中核的な役割を果たすことを目指す優秀な人材に対して、定員に欠員がある場合、定員の枠内で若干名に限定して、編入学試験によって選抜することを予定していた。

履修モデルを検討した結果、2 年次編入を実施し、実際上体系的学修が極めて困難であると判断される 3 年次編入は実施しないことで準備を進めていた。

2 年次編入履修モデルの具体的骨子は、職業専門科目の内、通常 1－2 年次に履修する専門基礎分野の科目を中心に、理学療法学科 54 単位、作業療法学科 46 単位（実務経験については、理学療法学科は見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・Ⅱの 20 単位、作業療法学科は、見学実習・評価実習・総合実習Ⅰの 13 単位を認定するモデルである）の単位認定が行われ、3 年間で理学療法学科 81 単位、作業療法学科 89 単位を履修するモデルである。

編入学生は、2 年次（編入初年次）に、通常 1 年次に履修する基礎科目「大学入門、職業人の倫理と道徳論、健康科学概論、心理学、コミュニケーション英語、日本の歴史と文化、基礎生物、基礎物理、情報収集と処理、統計分析の基礎」を履修し、基盤ゼミⅠ、基盤ゼミⅡについては学修効果を担保するために、各々3 年前期、4 年前期に履修する。その他の基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の全履修科目については、他の学生と区別なく同様の学年・学期で同様の履修順序で学修するよう配置することにより、社会人の編入学生が無理なく適切に大学水準の教育を履修できる体制を整え、編入時に履修ガイダンスを実施することで、一般学生並びに社会人学

生の双方の教育に支障を来すことがないように配意しようとしていた。

最後まで問題となったのが、社会人が他の大学等とりわけ専門学校で取得した単位を本学の履修単位として認定する基準をどのように設定するかであった。

本学では、大学教育としての質を担保するために、大学設置審査に合格した教員で構成される教務委員会において、科目ごとに内容を精査し、本学の当該科目に相当する内容と水準を備えていると確認できた科目について単位の認定を行ない、教授会で審議して決定する。

その際、受験生が単位認定申請を行なう科目の内容と水準を適切に判定できる十分な資料を提出できるか、また専門学校等での履修科目が専門職大学の履修科目としてどれだけ認定されることになるかが極めて不確実であるという問題に直面した。

結局、教務委員会が本学の当該科目に相当する内容と水準を備えていると確実に認定できる科目は、それほど多くはないのではないか、したがって規定上は６０単位まで認定可能であっても、現実にはその半分にも満たないということも大いにありうるとの判断に至った。

１００単位を超える履修単位となる場合も想定すると、適切な教育効果を担保する体系的・有機的な教育課程を、段階を踏んで履修することは極めて困難となり、専門職大学として本学が目指す教育の質を担保することは、極めて難しくなると考えざるをえなかった。

したがって教育の質に責任を持つ専門職大学として熟慮の結果、社会人の編入学は実施しないこととした。

（２）単位認定について、「作業療法学科について２２単位を限度として単位認定すると説明されているが、専門職大学設置基準上、臨地実務実習の単位認定の上限は２０単位であるため、適切に改めること。」とのご指摘を頂いたので、回答する。

ご指摘を頂いた作業療法学科の臨地実務実習の単位認定については、専門職大学設置基準第２６条第３項および文部科学省告示１０９号第４条の規定に基づき、単位認定の上限を２０単位に改める。

（新旧対照表）学則

新	旧
（大学以外の教育施設等における学修） 第 34 条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学または、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。 2　前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項から第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。 3　実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実務経験による単位認定は、病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる	（大学以外の教育施設等における学修） 第 34 条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学または、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。 2　前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項から第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。 3　実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実務経験による単位認定は、病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる

場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では20単位、作業療法学科では20単位を限度として所属学科において修得した単位とみなすことができる。 4　前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。	場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では20単位、作業療法学科では22単位を限度として所属学科において修得した単位とみなすことができる。 4　前1項の実施に関して必要な事項は別に定める。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（41-42ページ）

新	旧
４．単位互換制度 他大学等での取得単位は60単位を限度として所属学科において取得した単位とみなすことができる。単位の認定については、教授会で審議した上で決定する。 実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実務経験による単位認定は、理学療法士・作業療法士として病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では20単位、作業療法学科では20単位を限度として所属学科において取得した単位として認定する。なお、社会人編入学は実施しない。	４．単位互換制度 他大学等での取得単位は60単位を限度として所属学科において取得した単位とみなすことができる。単位の認定については、教授会で審議した上で決定する。 実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実務経験による単位認定は、理学療法士・作業療法士として病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では20単位、作業療法学科では22単位を限度として所属学科において取得した単位として認定する。なお、編入受け入れに際しては、単位履修状況に応じて、編入年次を決定する。

（改善意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

５．新たに基礎科目に「大学入門」という科目が設けられたが、科目名からは大学教育水準か疑義が生じるため、講義内容を適切に示す科目名称に改めることが望ましい。

（対応）新たに設置した「大学入門」という科目について、科目名からは大学教育水準か疑義が生じるため、講義内容を適切に示す科目名称に改めることが望ましい、とのご意見を頂いた。この科目名称とした理由について、前回では全く説明がなされていなかったので、改めて説明する。

先の面接審査において、初年次教育の重要性とその導入の必要性のご指摘を受け、1 年次前期に科目名を「大学入門」とする初年次教育科目を設置し、基礎科目に配置した。初年次教育は、高校教育から大学教育への円滑な移行のための橋渡し的教育と位置付けられることから、大学で自律的に学ぶために必要な基本的事項を系統的に配置し、新しい大学での学びへの導入教育を実施することとした。この目的を達成するために講義内容は以下のような構成とした。即ち、最初に、新たな大学制度として設けられた専門職大学が目指す教育と特色は何か、一般大学や高校の教育との違いは何かについて知り、さらに、本学独自の人材育成像について理解を深め自らが目指す理学療法士と作業療法士への確固たる動機づけを行う。次いで、大学生として図書館をはじめとする大学資源を学修・研究に有効活用するスキルを身につけ、自ら考え、自らまとめて、自ら発表し、他者と議論していくための方法を学ぶ。具体的には、文献や資料の扱い方、要約の仕方、レポートの作成・発表の仕方、ディスカッションスキルの養成等について段階的に学ぶことで大学で新たに経験する教育への対応の基本が身につく構成となっている。これらの授業により、大学で自律的に学ぶ心構えを身につけ、自らが進む専門領域の基礎を知り、さらに必要な資料や文献等の調査、文献内容の要約、レポートの作成・発表やディスカッション等が実践できる能力を身につけさせ、高校教育から大学教育への円滑な移行を支援する。なお、初年次教育の授業方法は、原則として 1 グループ 10 名以下の少人数編成のゼミ形式で行なう。

このような考え方により構成した初年次教育に、「大学入門」という名称をつけた理由は以下のとおりである。

本学の初年次教育は、高校での受動的教育から脱皮して大学での自律的な学び方や主体的に考える力を修得させ、自分で考え、自分の言葉で無理なくレポートを書き、発表しディスカッションできるスキル等の基本を身につけることを目指す内容で構成されている。即ち、この授業は、新入生に対して、まさにこれから始まろうとする「大学での学び」へ入っていく「入門」講義として位置づけられるため、この「大学での学び入門」という本学の初年次教育の内容を最も良く表す名称として「大学入門」という科目名称を採用した。科目名称については、再度、「入門ゼミ」「基礎ゼミ」「初年次基礎教育」「大学初年次講座」等の科目名称も慎重に検討してみたが、「大学での学び入門」という本学の趣旨に照らして、これらの科目名称が講義科目の内容を適切に反映した名称であるか確信が持てなかった。

「大学入門」という科目名称は、あまり見慣れない科目名称との印象もあり、大学のオリエンテーション的な印象を与えることがあるかも知れないが、現在では、既存の国立大学法人や私立大学の中でも、初年次教育の科目名称として、「大学入門」「大学入門ゼミ」「大学入門科目」「大学入門講座」等、「大学入門」を冠する科目名称を使用する大学が増えてきている（資料 1)。

高校卒業生が、大学での学びに円滑に移行し、より進んだ学修への道を整えるという意味で、「大学での学び入門」という意味合いを込めた「大学入門」という科目名称は、本学の初年次教育科目の講義内容を表す科目名称として適切ではないかと考えた次第である。

（資料 1）初年次教育の科目名称として「大学入門」を冠する大学一覧

1. 国公立大学

科目名	導入大学	内容
大学入門科目	佐賀大学	「大学入門科目Ⅰ」「大学入門科目Ⅱ」を配置。Ⅰは佐賀大学や学部の歴史や特徴、計画的な履修方法、学生生活、国際交流、キャリアガイダンスなどについて議論し、大学生としての学習態度を養う。Ⅱは特定の課題についての調査、分析、デザイン、報告、討論など、各学部で必要とされる基礎的なスキルや問題解決能力を身に付けるとともに、他者とともに共同して目標を達成することを学ぶ。
大学入門科目	滋賀大学	大学での学習に必要な基本的スキルと心構えを身につける。レポート、論文の書き方、カリキュラムの特徴、ディベートなどを学ぶ。
大学入門ゼミ	茨城大学	大学という自由な環境の中で自律的・意欲的な学生生活を行うための知識・技能を身につけ、自らの専門分野を学ぶことに必要な思考力・判断力・表現力を知り、主体的・意欲的な学習の習慣を持つようになることを目標とする。全学共通部分（5 回）と学部独自部分で構成する。全学共通部分では、キャリアに関する基本的なことを含める。
大学入門ゼミ	鳥取大学	大学入門ゼミでは、課題の発見・探求に必要な基礎知識・技法を学ぶことによって、自主的・継続的な学習能力を養うとともに、教員と触れあい、学生が互いに学びあうことによって、大学生活を営む上で必要なコミュニケーション能力・チームワークを培う。
大学入門ゼミ	福山市立大学	入学直後から集中的に大学生としての立場を理解し，「大学で学ぶことの重要性」，「自分で考え行動する自主性」，「自己責任」に対する意識を高めるために授業を行う。内容は「高校と大学との違い」「大学で学ぶとは」「大学 4 年間の流れ」「将来の進路について」「チーム作業を通じて新しい仲間をつくる」「チームの重要さを学ぶ」など。
大学入門ゼミ	香川大学	具体的なテーマに取り組みながら、情報整理の方法、レポートの書き方、発表のコツ、状況に応じた日本語の使い方などを学ぶ。また、協同学習（グループワーク）を通じて他の学生と協力してテーマに取り組む。
岡山大学入門講座	岡山大学	初年次の全学生が必修で受講する。「大学生としてのスタートを切るために」「大学生として必ず知っておいてほしいこと」「ハラスメント対策をするために」「キャリアについて考える」「コミュニケーション力を身に付ける」「岡山大学を知る」などの内容。

大学入門講座	徳島大学	全学部学科必修で１単位。内容は，各学部，各学科の教務担当と学生担当の教員が中心となって、徳島大学の学生としてのアイデンティティを持ち、これまでの学習方法とは異なる，大学での自発的な自学自習の方法を身に付けることを主眼としている。
大学教育入門	広島大学	大学で学ぶということはどういうことかを考え、大学での目標を明確にするとともに、大学で学ぶ上で基本となる技能や態度を身につける。 大学での学び、学びのための知識と技法、キャンパスライフ、社会とのかかわりなど。

2. 私立大学

科目名	導入大学	内容
大学入門	杏林大学	双方向・対話型の授業を行い、学生一人一人に問いかけながら、授業を通じて学ぶ意義を自分の立場で考えられるようにしている。内容は 「大学で学ぶこととは」「外国語学部で＜英語＞や＜コミュニケーション＞を学ぶ意義とは」「 外国語学部で＜中国語＞を学ぶ意義とは」「外国語学部で＜観光学＞を学ぶ意義とは」
大学入門	大正大学	大学での生活や、履修計画についてなど学生生活に必要な知識のほか、仏教に関わる知識も学ぶ。
大学入門	京都精華大学	学生たちが京都精華大学への理解を深めると同時に、自分の興味・関心がどこにあるのかを発見することを目的に実施されている。内容は学内フィールドワーク、理事長・学長との対話、大学の理念、ダイバーシティの考え方など。
大学入門講座	国際医療福祉大学	高校までの「受け身の勉強」から大学での「自主的な学び」へと学修スタイルを転換する重要性について理解を深め、大学で学ぶことの意義、学修スキル、学生生活の自己管理の方法などを学び、新しい学生生活に円滑に適応していく能力を高められるような内容。
大学入門講座	獨協大学	大学生活にスムーズに移行できるよう、大学生活のポイント、キャリアガイダンス、思考技術入門等から主体的に学ぶための講義。
大学入門ゼミ	人間総合科学大学	入学者に対して、建学の精神や教育理念をはじめとし、教育課程の体系、科目履修の流れや方法、学修システムの活用方法など、本学での学修に必要な情報を提供することを通し、卒業までの計画的で自律的な学修を可能にするための動機づけを行う。
大学入門ゼミ	広島経済大学	「大学で何をどのように学んでいくのか」について学生自身が考え、自分なりの答えを見つけることができるように、導入教育を行う。「大学での学び」の基礎となる「調べる」「話す」「書く」技術を身につける。

大学入門ゼミ	阪南大学	大学入門ゼミは、フィールドワークを中心とする課題探求型の授業を通じて、大学で学ぶことの楽しさと意義を理解してもらう。あわせて、課題にチャレンジするなかで、教員、先輩および他の学生とのコミュニケーション能力を向上させ、大学生活を円滑に始めるための環境作りを目指す。これにより、社会問題の分析力、主体性をもって協働する力を身につける。
大学入門ゼミ	仙台白百合女子大学	導入教育として、４年間の学びにおける見通しを持てるようにすることに加え、大学での学びに必要な能力（ノート・レポートを書く力、情報検索能力、プレゼンテーション能力など）を獲得することを目的とする。内容は４年間の見通しを立てる、図書館利用法、ゼミに分かれての学習の進め方、ワークショップなど。
大学入門ゼミナール	関東学院大学	大学生として授業を受けるにあたり、必要とされるスキルの初歩を習得するための授業。シラバス、カリキュラム、単位など、大学の学びの仕組みについて、科目の内容、課題レポート、クラスメートについて、大学生活における最低限のマナー、トラブルの防止対策などを学ぶ。大学生活を送るためのスキル、知識を学ぶことで、高校から大学の生活及び学修への円滑な移行をサポートする。
大学入門ゼミナール	羽衣国際大学	充実した大学生活を送るための目標の立て方や学習の実践法のアドバイスを行う。
専修大学入門科目	専修大学	少人数制（約 20～25 名）の「専修大学入門ゼミナール」で、大学で学ぶ意義、専修大学の歴史、大学での学び方、アカデミックスキル（レポートの書き方や発表の仕方など）の修得など、大学生活に欠かせない知識を学ぶ。 1 年生全員に配布する大学独自のハンドブックなどを通じて、大学生にとって必要なアカデミックスキルを学ぶ。
日本福祉大学入門	日本福祉大学	大学で学ぶ上で必要なことや学生生活について解説するもので、ビデオオンデマンドで配信し、PC やスマートフォンで視聴するかたちになっている。内容は学長メッセージ、１年生で学ぶべきもの、大学生の「学び」とは、大学生活のスタートについて、地域研究、CDP 講座など。
大学生活入門	東北学院大学	大学での学びに必要な実践的知識を総合的に修得することによって、大学生活に積極的に取り組む姿勢を養成し、学生としてだけでなく社会人としての基本姿勢を形成する。内容は、大学の歴史や組織、履修科目の設定の仕方、授業への取り組み方、ノートの取り方、レポート作成法や参考文献の書き方、プレゼンテーションや議論の仕方、サークルやアルバイトに対する考え方など。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（14-15 ページ）

新	旧
２．教育課程の特色 （中略） 基礎科目群では、まず初年次教育として、「大学での学び」の入門講座である少人数編成のゼミ科目「大学入門」を配置し、大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を修得する。次いで専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。 （中略） （１）基礎科目（両学科共通） 大学での自立的学びに必要な、自分で考え、自分の言葉でレポートを書き、発表し、ディスカッションするスキル等の基本的事項を系統的に学修し、高校から大学教育へスムーズに移行できるよう、1 年前期に初年次教育として「大学入門」を配置する。 （中略） **運営方法** 「基盤ゼミ」を履修するにあたっては、まず 1 年次前期に設置する初年次ゼミ科目「大学入門」（必修）を履修し、基盤ゼミに必要な基本的事項を系統的に学んだ上で、「基盤ゼミ」に参加する。	２．教育課程の特色 （中略） 基礎科目群では、まず、大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として「大学入門」を配置する。専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。 （中略） （１）基礎科目（両学科共通） 大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として 1 年前期に「大学入門」を配置する。 （中略） **運営方法** 基盤ゼミを受けるにあたっては、まず 1 年次前期に設置する初年次教育「大学入門」（必修）を受けることによって、基盤ゼミに必要な基本的事項を系統的に学ぶことができ、「大学入門」において基礎的知識とスキルを修得した上で基盤ゼミに参加する。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

６．OSCE（客観的臨床能力試験）は臨地実務実習前に科目ごとに３回実施するとされているが、その実現可能性に疑義がある。一般的には OSCE は臨地実務実習前に全体で１回、臨地実務実習後に成績評価のために１回実施されている現状を踏まえ、以下の内容を明らかとすること。 （１）OSCE を実施するに当たり、ステーションの数や工程表、評価方法等が抽象的な表現であるため、客観的に判断できるよう具体的な数字や指標を示して明らかとすること。 （２）臨地実務実習後の成績評価について、臨地実務実習先の評価だけでなく、大学として学生の能力を正当に評価できるよう臨地実務実習後の OSCE を実施すること。

（対応）OSCE（客観的臨床能力試験）は臨地実務実習前に科目ごとに３回実施するとされているが、その実現可能性に疑義がある。「一般的には OSCE は臨地実務実習前に全体で１回、臨地実務実習後に成績評価のために１回実施されている現状を踏まえ、以下の内容を明らかにすること」、として（1）および（2）の 2 点のご指摘を頂いたので、以下に項目別にお答えさせて頂く。

（1）OSCE を実施するに当たり、ステーションの数や工程表、評価方法等が抽象的な表現であるため、客観的に判断できるよう具体的な数字や指標を示して明らかとするようにとのご指摘に従い、OSCE を実施するに当たってのステーション数や工程表、評価方法などについて具体的に説明させて頂く。

従来は、OSCE を臨地実務実習前に科目ごとに 3 回実施するとしていたが、今回、「評価実習」の前には OSCE に替えて「医療面接試験」を実施し、OSCE については「総合実習Ⅰ」の実習前に Pre OSCE を実施し、「総合実習Ⅱ」の実習終了後に Post OSCE を実施することに変更し、全体で 2 回行うように改める。また、新指定規則に準じ Pre OSCE は「総合実習Ⅰ」、Post OSCE は「総合実習Ⅱ」の科目内にて実施する。

この変更に伴い、まず「評価実習」前の「医療面接試験」と「評価実習」の参加資格について説明し、次いで Pre OSCE と Post OSCE について説明する。

1.「評価実習」前の「医療面接試験」の実施について

「医療面接試験」を実施する理由は、「評価実習」は初めて臨床現場で対象者に対面し、コミュニケーションを図りながら検査・測定を実施する実習であるため、「評価実習」の遂行に必要な、対象者に接する時の基本的な態度やコミュニケーション能力及び評価実習の遂行に必要な知識と技術の有無を確認する必要があるためである。

「評価実習」前の「医療面接試験」は、理学療法学科（80 名）では 8 ブースで、作業療法学科（40 名）では 4 ブースで実施し、各ブースには、模擬患者 1 名、教員評価者 1 名を配置する。学生は 1 名ずつ順次各ブースにて医療面接試験を受ける。試験時間は、学生 1 名に対し 8 分とし、医療面接試験評価表に従って実施する。

以下の①と②の条件を満たす者を「評価実習」への参加者とする。

①「医療面接試験」の評価は所定の評価表（資料 1）に基づいて行い、10 点満点の 5 点以上を合格とする。

②実習の遂行に必要な理学療法検査・測定、作業療法検査・測定に関する知識、技能の担保については、理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、理学療法評価学実習Ⅰ・Ⅱ、作業療法評価学、作業療法評価学

実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの全てに合格している者とする。

（資料 1）医療面接試験評価表（理学療法学科・作業療法学科共通）

医療面接試験　評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

	可（できる）		不可	評価者
	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	（できない）（0 点）	
①大きな声で挨拶ができる	□	□	□	
②身だしなみが整っている	□	□	□	
③言葉づかいが適切である	□	□	□	
④自己紹介，患者確認等	□	□	□	
⑤評価や治療の承諾を得る	□	□	□	

合計：＝　　／10 点

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	その他：コメントを記載してください

2. Pre OSCE と Post OSCE の実施目的と学修内容の向上程度の評価

「総合実習Ⅰ」「総合実習Ⅱ」は、「職業専門科目」で学んだ専門知識と技術を基礎とし、臨床現場で対象者への検査・測定の実施、治療計画の立案・実施という理学療法・作業療法の全過程を本格的に実践する実習である。そのため、理学療法・作業療法の基本的評価技能・訓練技能・態度を備えているかを「総合実習Ⅰ」の実習前に Pre OSCE で評価することで「総合実習Ⅰ」へ参加する技能水準を担保する。また「総合実習Ⅱ」の実習終了後に Post OSCE を実施することで、「総合実習Ⅰ」と「総合実習Ⅱ」を通じての学修内容の向上の程度を評価する。

Pre OSCE と Post OSCE の実施に当たっては、それぞれの OSCE の実施前に「患者基本情報」と「評価課題」を公表する。「患者基本情報」については、Pre OSCE と Post OSCE ではいずれも試験一週間前に公表するのに対して、「評価課題」については、Pre OSCE と Post OSCE での課題内容は同一であるが、Pre OSCE では試験一週間前に公表するのに対し、Post OSCE では試験当日に公表する。その理由は、臨床現場で、各々の評価課題の内容が速やかに実践できるかを確認するこ

とにより、「総合実習Ⅰ」と「総合実習Ⅱ」を通じての技能スキル及び臨床現場での対応力の向上の程度を評価することができるからである。

● OSCE の実施要領

【理学療法学科及び作業療法学科】

「OSCE 検討会議」の設置

OSCE を円滑に実施するために、OSCE 検討会議を設置する。

構成員は、各学科長と臨地実務実習（総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ）の担当教員とする。

会議は、Pre OSCE 及び Post OSCE の開始 2 か月前から 3 回程度開催し、協議事項等を確認し円滑な実施を図る。

協議事項

①OSCE 実施計画の策定について

②OSCE の評価項目、評価方法及び評価基準について

③外部評価者への説明会の開催について

④その他 OSCE の実施にあたり必要となる事項について

Pre OSCE

【理学療法学科】

1）対象と実施時期

3 年生（80 名）を対象として、グループ 1（40 名）とグループ 2（40 名）に分けて、1 日 5 ステーションずつ 2 日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅰ」の実習前の 11 月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表

評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設け、合計 10 ステーションを配置する。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。両日とも、グループ 1 とグループ 2 で同時に開始する。

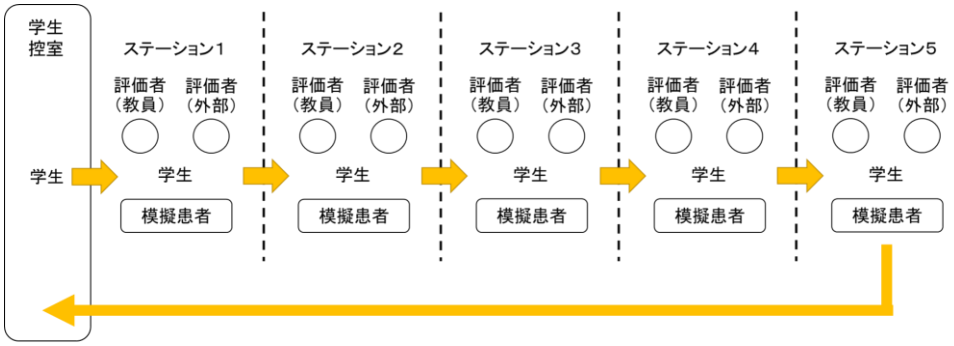
学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。

2 日目も同様のスケジュールで実施する。

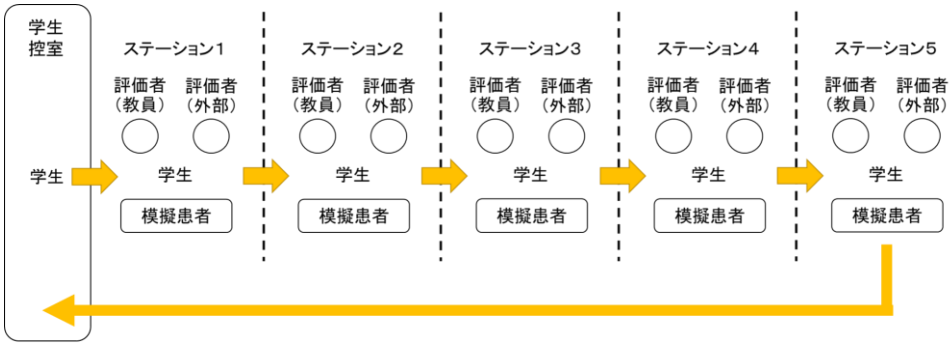
各ステーションでの評価時間は 5 分、移動時間は 1 分とする。

●1 日目

・グループ 1 （40 名）

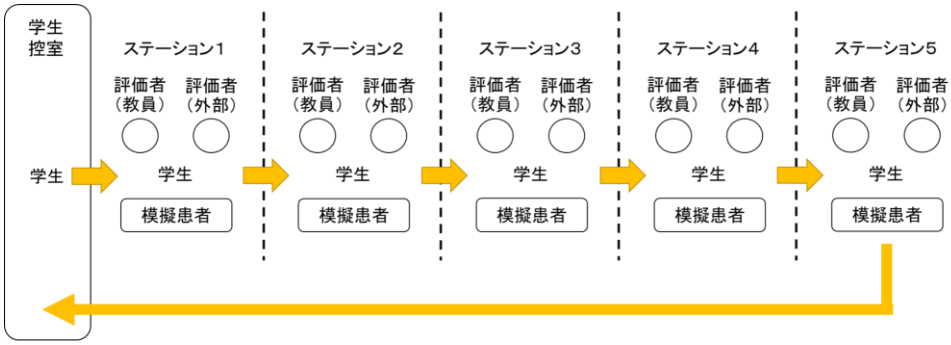


・グループ 2（40 名）

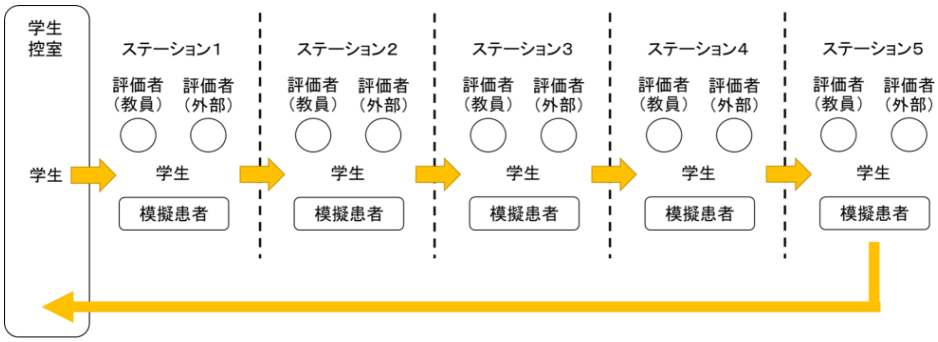


●２日目

・グループ１（40 名）



・グループ２（40 名）



3）ステーション担当者及び評価者の配置

各ステーションは、学生１名に対し、評価者２名（教員評価者１名、外部評価者１名）、模擬患者１名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役１名で構成される。なお、評価者のうち１名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

評価者の配置は以下のとおりである。

	ステーション名	評価者	
グループ1	ステーション1	山田　英司	外部評価者①
	ステーション2	増川　武利	外部評価者②
	ステーション3	那須　宣弘	外部評価者③
	ステーション4	田村　正樹	外部評価者④
	ステーション5	田中　雅侑	外部評価者⑤

	ステーション名	評価者	
グループ2	ステーション1	片岡　弘明	外部評価者⑥
	ステーション2	山下　裕之	外部評価者⑦
	ステーション3	横山　暁大	外部評価者⑧
	ステーション4	鈴木　啓子	外部評価者⑨
	ステーション5	小島　一範	外部評価者⑩

4）評価課題

以下の 10 評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、形態測定、DTR、BRS、感覚検査、ROM-ex、筋力増強 ex。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 2)。

① 各評価課題で、「目的に応じて正確に実施できたか」「時間内に実施できたか」の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題 21 項目の 42 点満点で評価する。

②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。

（資料 2）客観的臨床能力試験（OSCE） 評価表 理学療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE） 評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可（できない）（0 点）	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）		
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可(できない)(0 点)	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①

①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4. MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5. 形態測定				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6. DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7. BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8. 感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9. ROM-ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10. 筋力増強 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
小　計	点	点		

合計：A) + B) ＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

6）学生配置表

1 日目

	グループ1					グループ2				
	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	山田　英司	増川　武利	那須　宣弘	田村　正樹	田中　雅侑	片岡　弘明	山下　裕之	横山　暁大	鈴木　啓子	小島　一範
	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者
8:40	学生1					学生41				
8:46	学生2	学生1				学生42	学生41			
8:52	学生3	学生2	学生1			学生43	学生42	学生41		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1		学生44	学生43	学生42	学生41	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1	学生45	学生44	学生43	学生42	学生41
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2	学生46	学生45	学生44	学生43	学生42
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3	学生47	学生46	学生45	学生44	学生43
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4	学生48	学生47	学生46	学生45	学生44
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5	学生49	学生48	学生47	学生46	学生45
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6	学生50	学生49	学生48	学生47	学生46
9:40										
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7	学生51	学生50	学生49	学生48	学生47
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8	学生52	学生51	学生50	学生49	学生48
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9	学生53	学生52	学生51	学生50	学生49
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10	学生54	学生53	学生52	学生51	学生50
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11	学生55	学生54	学生53	学生52	学生51
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12	学生56	学生55	学生54	学生53	学生52
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13	学生57	学生56	学生55	学生54	学生53
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14	学生58	学生57	学生56	学生55	学生54
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15	学生59	学生58	学生57	学生56	学生55
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16	学生60	学生59	学生58	学生57	学生56
10:46										
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17	学生61	学生60	学生59	学生58	学生57
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18	学生62	学生61	学生60	学生59	学生58
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19	学生63	学生62	学生61	学生60	学生59
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20	学生64	学生63	学生62	学生61	学生60
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21	学生65	学生64	学生63	学生62	学生61
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22	学生66	学生65	学生64	学生63	学生62
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23	学生67	学生66	学生65	学生64	学生63
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生68	学生67	学生66	学生65	学生64
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25	学生69	学生68	学生67	学生66	学生65
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26	学生70	学生69	学生68	学生67	学生66
11:52										
11:58										
12:04										
12:10										
12:16										
12:22										
12:28										
12:34										
12:40										
12:46										
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27	学生71	学生70	学生69	学生68	学生67
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28	学生72	学生71	学生70	学生69	学生68
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29	学生73	学生72	学生71	学生70	学生69
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30	学生74	学生73	学生72	学生71	学生70
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31	学生75	学生74	学生73	学生72	学生71
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32	学生76	学生75	学生74	学生73	学生72
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33	学生77	学生76	学生75	学生74	学生73
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34	学生78	学生77	学生76	学生75	学生74
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35	学生79	学生78	学生77	学生76	学生75
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生80	学生79	学生78	学生77	学生76
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37		学生80	学生79	学生78	学生77
13:58			学生40	学生39	学生38			学生80	学生79	学生78
14:04				学生40	学生39				学生80	学生79
14:10					学生40					学生80

2 日目の学生配置も、1 日目と同様である。

【作業療法学科】

1）対象と実施時期

3 年生（40 名）を対象として、2 日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅰ」の実習前の 11 月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表

評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設けるため、合計 10 ステーションを設ける。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。

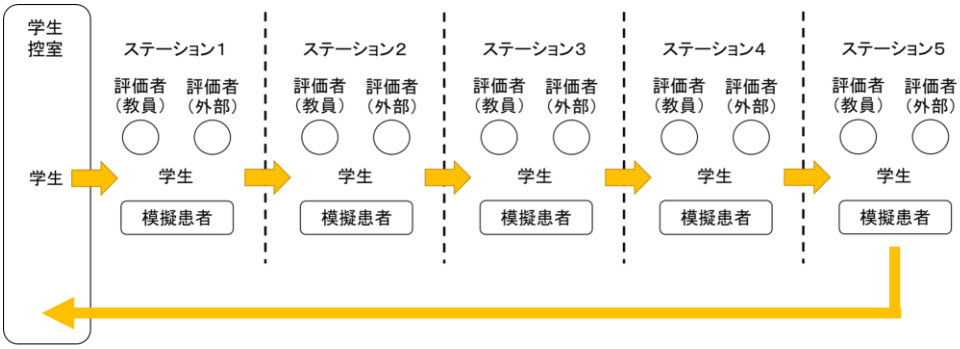
学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最

初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。

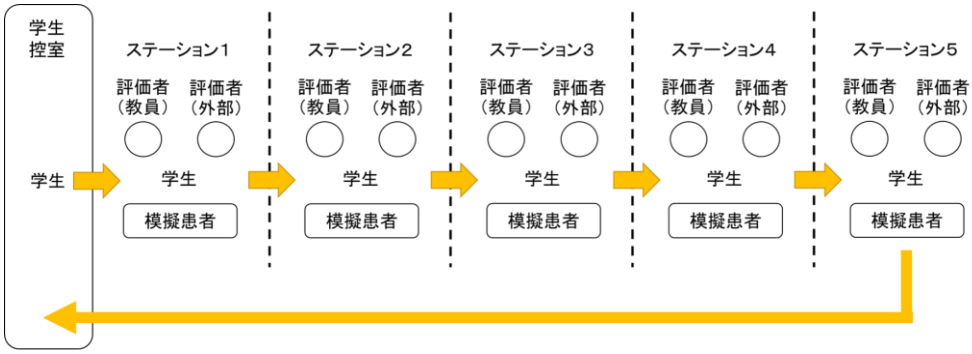
2 日目も同様のスケジュールで実施する。

各ステーションでの評価時間は 5 分、移動時間は 1 分とする。

●1 日目



●2 日目



3）ステーション担当者及び評価者の配置

各ステーションは、学生 1 名に対し、評価者 2 名（教員評価者 1 名、外部評価者 1 名）、模擬患者 1 名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役 1 名で構成される。なお、評価者のうち 1 名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

評価者の配置は以下のとおりである。

ステーション名	評価者	
ステーション1	吉田　直樹	外部評価者①
ステーション2	林　聡	外部評価者②
ステーション3	十河　正樹	外部評価者③
ステーション4	渡部　悠司	外部評価者④
ステーション5	野口　泰子	外部評価者⑤

4）評価課題

以下の 10 評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、DTR、BRS、感覚検査、認知機能検査、更衣動作 ex、整容動作 ex。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 3）。

①　各評価課題で、目的に応じて正確に実施できたか、時間内に実施できたか、の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題

21 項目の 42 点満点で評価する。
②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。
③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。

（資料 3）客観的臨床能力試験（OSCE） 評価表 作業療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE） 評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿ 学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	（できない）（0 点）	
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可（できない）（0 点）	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4．MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5．DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6．BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7．感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8．認知機能検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9．更衣動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	

②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10．整容動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
小　計	点	点		

合計：A）＋ B）＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

6）学生配置表

●1 日目

	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	吉田　直樹	林　聡	十河　正樹	渡部　悠司	野口　泰子
	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者
8:40	学生1				
8:46	学生2	学生1			
8:52	学生3	学生2	学生1		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6
9:40					
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16
10:46					
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26
11:52					
11:58					
12:04					
12:10					
12:16					
12:22					
12:28					
12:34					
12:40					
12:46					
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37
13:58			学生40	学生39	学生38
14:04				学生40	学生39
14:10					学生40

2 日目の学生配置も、1 日目と同様である。

Post OSCE

【理学療法学科】

1）対象と実施時期

3 年生（80 名）を対象として、グループ 1（40 名）とグループ 2（40 名）に分けて、1 日 5 ステーションずつ 2 日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅱ」の実習後の 9 月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表

評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設けるため、合計 10 ステーションを設ける。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。両日とも、グループ 1 とグループ 2 で同時に開始する。

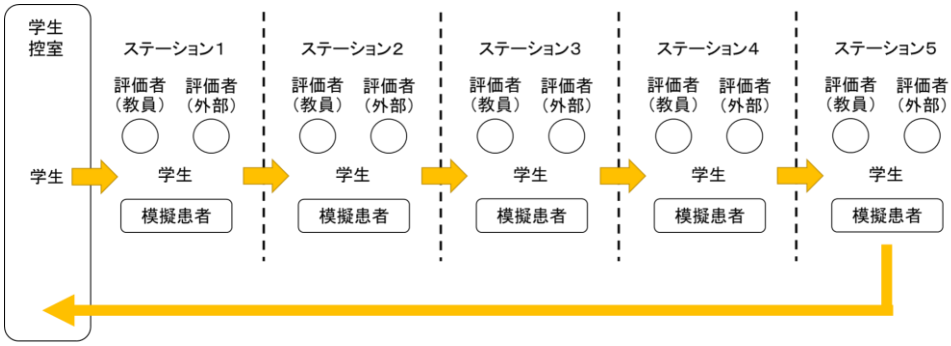
学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。

2 日目も同様のスケジュールで実施する。

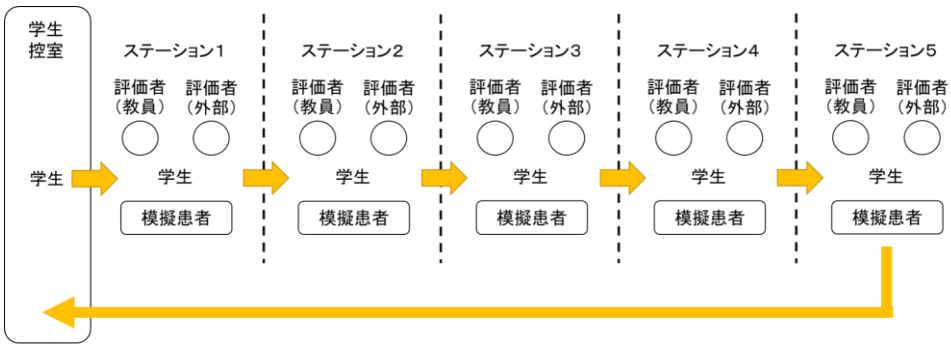
各ステーションでの評価時間は 5 分、移動時間は 1 分とする。

●1 日目

・グループ 1 （40 名）

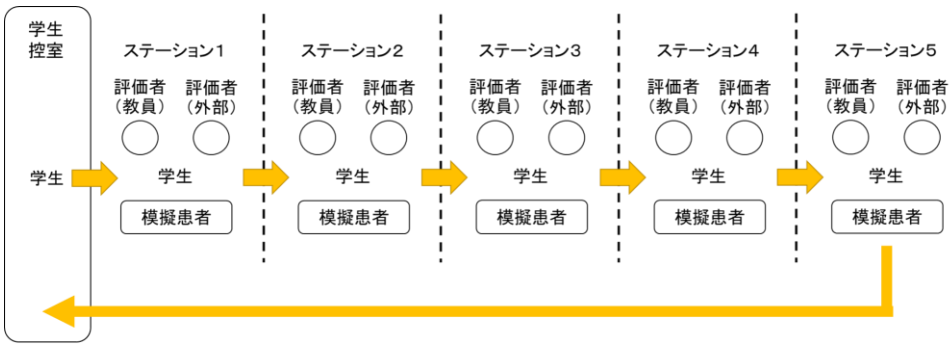


・グループ 2（40 名）

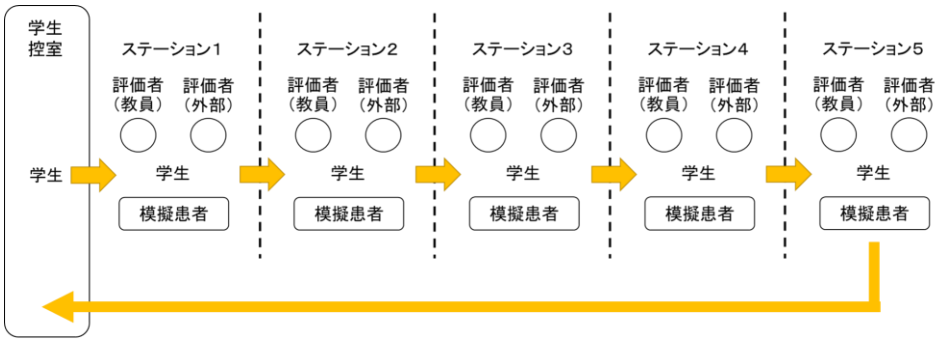


●2 日目

・グループ 1 （40 名）



・グループ２（40 名）



3）ステーション担当者及び評価者の配置

各ステーションは、学生 1 名に対し、評価者 2 名（教員評価者 1 名、外部評価者 1 名）、模擬患者 1 名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役 1 名で構成される。なお、評価者のうち 1 名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

評価者の配置は以下のとおりである。

	ステーション名	評価者	
グループ1	ステーション1	山田　英司	外部評価者①
	ステーション2	増川　武利	外部評価者②
	ステーション3	那須　宣弘	外部評価者③
	ステーション4	田村　正樹	外部評価者④
	ステーション5	田中　雅侑	外部評価者⑤

	ステーション名	評価者	
グループ2	ステーション1	片岡　弘明	外部評価者⑥
	ステーション2	山下　裕之	外部評価者⑦
	ステーション3	横山　暁大	外部評価者⑧
	ステーション4	鈴木　啓子	外部評価者⑨
	ステーション5	小島　一範	外部評価者⑩

4）評価課題

以下の 10 評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、形態測定、DTR、BRS、感覚検査、ROM-ex、筋力増強 ex。

Post OSCE は Pre OSCE と同一課題・項目にて実施し評価する。同一課題・項目にて実施、評価を行うことで、総合実習Ⅰと総合実習Ⅱを通じての学修度の向上を判断することが出来るためである。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 4）。

①　各評価課題で、「目的に応じて正確に実施できたか」「時間内に実施できたか」の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題 21 項目の 42 点満点で評価する。

②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教

育を行った後に再評価を行う。

（資料 4）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表　理学療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	（できない）（0 点）	
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可(できない)(0 点)	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4．MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5．形態測定				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6．DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7．BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8．感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9．ROM-ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10．筋力増強 ex				①

①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
小　計	点	点		

合計：A）＋ B）＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

6）学生配置表

1 日目

	グループ1					グループ2				
	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	山田　英司	増川　武利	那須　宣弘	田村　正樹	田中　雅侑	片岡　弘明	山下　裕之	横山　暁大	鈴木　啓子	小島　一範
	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者
8:40	学生1					学生41				
8:46	学生2	学生1				学生42	学生41			
8:52	学生3	学生2	学生1			学生43	学生42	学生41		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1		学生44	学生43	学生42	学生41	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1	学生45	学生44	学生43	学生42	学生41
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2	学生46	学生45	学生44	学生43	学生42
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3	学生47	学生46	学生45	学生44	学生43
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4	学生48	学生47	学生46	学生45	学生44
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5	学生49	学生48	学生47	学生46	学生45
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6	学生50	学生49	学生48	学生47	学生46
9:40										
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7	学生51	学生50	学生49	学生48	学生47
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8	学生52	学生51	学生50	学生49	学生48
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9	学生53	学生52	学生51	学生50	学生49
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10	学生54	学生53	学生52	学生51	学生50
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11	学生55	学生54	学生53	学生52	学生51
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12	学生56	学生55	学生54	学生53	学生52
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13	学生57	学生56	学生55	学生54	学生53
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14	学生58	学生57	学生56	学生55	学生54
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15	学生59	学生58	学生57	学生56	学生55
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16	学生60	学生59	学生58	学生57	学生56
10:46										
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17	学生61	学生60	学生59	学生58	学生57
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18	学生62	学生61	学生60	学生59	学生58
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19	学生63	学生62	学生61	学生60	学生59
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20	学生64	学生63	学生62	学生61	学生60
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21	学生65	学生64	学生63	学生62	学生61
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22	学生66	学生65	学生64	学生63	学生62
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23	学生67	学生66	学生65	学生64	学生63
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生68	学生67	学生66	学生65	学生64
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25	学生69	学生68	学生67	学生66	学生65
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26	学生70	学生69	学生68	学生67	学生66
11:52										
11:58										
12:04										
12:10										
12:16										
12:22										
12:28										
12:34										
12:40										
12:46										
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27	学生71	学生70	学生69	学生68	学生67
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28	学生72	学生71	学生70	学生69	学生68
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29	学生73	学生72	学生71	学生70	学生69
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30	学生74	学生73	学生72	学生71	学生70
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31	学生75	学生74	学生73	学生72	学生71
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32	学生76	学生75	学生74	学生73	学生72
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33	学生77	学生76	学生75	学生74	学生73
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34	学生78	学生77	学生76	学生75	学生74
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35	学生79	学生78	学生77	学生76	学生75
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生80	学生79	学生78	学生77	学生76
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37		学生80	学生79	学生78	学生77
13:58			学生40	学生39	学生38			学生80	学生79	学生78
14:04				学生40	学生39				学生80	学生79
14:10					学生40					学生80

2 日目の学生配置も、1 日目と同様である。

【作業療法学科】

1）対象と実施時期

3 年生（40 名）を対象として、2 日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅱ」の実習後の 9 月とする。

2）ステーションの配置と評価実施工程表

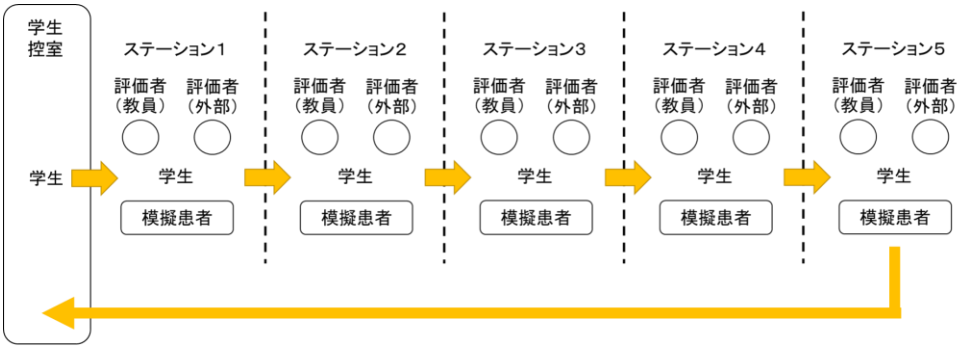
評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設けるため、合計 10 ステーションを設ける。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最

初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。

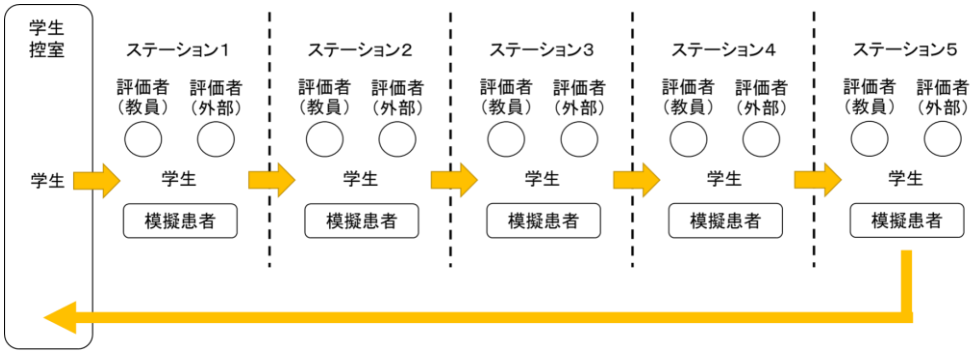
2 日目も同様のスケジュールで実施する。

各ステーションでの評価時間は 5 分、移動時間は 1 分とする。

●1 日目



●2 日目



3）ステーション担当者及び評価者の配置

各ステーションは、学生 1 名に対し、評価者 2 名（教員評価者 1 名、外部評価者 1 名）、模擬患者 1 名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役 1 名で構成される。なお、評価者のうち 1 名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。

評価者の配置は以下のとおりである。

ステーション名	評価者	
ステーション1	吉田　直樹	外部評価者①
ステーション2	林　聡	外部評価者②
ステーション3	十河　正樹	外部評価者③
ステーション4	渡部　悠司	外部評価者④
ステーション5	野口　泰子	外部評価者⑤

4）評価課題

以下の 10 評価課題とする。

医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、DTR、BRS、感覚検査、認知機能検査、更衣動作 ex、整容動作 ex。

Post OSCE は Pre OSCE と同一課題・項目にて実施し評価する。同一課題・項目にて実施、評価を行うことで、総合実習Ⅰと総合実習Ⅱを通じての学修度の向上を判断することが出来るためである。

5）成績評価方法

各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 5)。

① 各評価課題で、目的に応じて正確に実施できたか、時間内に実施できたか、の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題 21 項目の 42 点満点で評価する。

②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。

（資料 5）客観的臨床能力試験（OSCE） 評価表 作業療法学科

客観的臨床能力試験（OSCE） 評価表

学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿ 学生氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿

A）コミュニケーション	可（できる）		不可	評価者
課題 1．医療面接	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	（できない）（0 点）	
①挨拶（開始時および終了時）	□	□	□	①
②自己紹介，患者確認等	□	□	□	
③評価や治療の承諾を得る	□	□	□	②
B）技能	問題なし（2 点）	少しの助言が必要（1 点）	不可（できない）（0 点）	
課題 2．バイタルチェック				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 3．ROM-T				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 4．MMT				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 5．DTR				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 6．BRS				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 7．感覚検査				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 8．認知機能検査				①

①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 9．更衣動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
課題 10．整容動作 ex				①
①実施手順および操作技術	□	□	□	
②口頭指示および誘導	□	□	□	②
小　計	点	点		

合計：A）＋ B）＝　　／42 点

不可の場合は裏面も記入してください。

不可の場合はその理由を必ず記載してください	
□	過度に緊張していた
□	リスク管理に配慮できていなかった
□	その他：コメントを記載してください

6）学生配置表

●１日目

	ステーション1	ステーション2	ステーション3	ステーション4	ステーション5
評価者	吉田　直樹	林　聡	十河　正樹	渡部　悠司	野口　泰子
	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者	外部評価者
8:40	学生1				
8:46	学生2	学生1			
8:52	学生3	学生2	学生1		
8:58	学生4	学生3	学生2	学生1	
9:04	学生5	学生4	学生3	学生2	学生1
9:10	学生6	学生5	学生4	学生3	学生2
9:16	学生7	学生6	学生5	学生4	学生3
9:22	学生8	学生7	学生6	学生5	学生4
9:28	学生9	学生8	学生7	学生6	学生5
9:34	学生10	学生9	学生8	学生7	学生6
9:40					
9:46	学生11	学生10	学生9	学生8	学生7
9:52	学生12	学生11	学生10	学生9	学生8
9:58	学生13	学生12	学生11	学生10	学生9
10:04	学生14	学生13	学生12	学生11	学生10
10:10	学生15	学生14	学生13	学生12	学生11
10:16	学生16	学生15	学生14	学生13	学生12
10:22	学生17	学生16	学生15	学生14	学生13
10:28	学生18	学生17	学生16	学生15	学生14
10:34	学生19	学生18	学生17	学生16	学生15
10:40	学生20	学生19	学生18	学生17	学生16
10:46					
10:52	学生21	学生20	学生19	学生18	学生17
10:58	学生22	学生21	学生20	学生19	学生18
11:04	学生23	学生22	学生21	学生20	学生19
11:10	学生24	学生23	学生22	学生21	学生20
11:16	学生25	学生24	学生23	学生22	学生21
11:22	学生26	学生25	学生24	学生23	学生22
11:28	学生27	学生26	学生25	学生24	学生23
11:34	学生28	学生27	学生26	学生25	学生24
11:40	学生29	学生28	学生27	学生26	学生25
11:46	学生30	学生29	学生28	学生27	学生26
11:52					
11:58					
12:04					
12:10					
12:16					
12:22					
12:28					
12:34					
12:40					
12:46					
12:52	学生31	学生30	学生29	学生28	学生27
12:58	学生32	学生31	学生30	学生29	学生28
13:04	学生33	学生32	学生31	学生30	学生29
13:10	学生34	学生33	学生32	学生31	学生30
13:16	学生35	学生34	学生33	学生32	学生31
13:22	学生36	学生35	学生34	学生33	学生32
13:28	学生37	学生36	学生35	学生34	学生33
13:34	学生38	学生37	学生36	学生35	学生34
13:40	学生39	学生38	学生37	学生36	学生35
13:46	学生40	学生39	学生38	学生37	学生36
13:52		学生40	学生39	学生38	学生37
13:58			学生40	学生39	学生38
14:04				学生40	学生39
14:10					学生40

2 日目の学生配置も、1 日目と同様である。

（2）臨地実務実習後の成績評価について、臨地実務実習先の評価だけでなく、大学として学生の能力を正当に評価できるよう臨地実務実習後の OSCE を実施するようにご意見を頂いたため、総合実習Ⅱの終了後に 1 回、Post OSCE を実施する。

＜添付＞

（別紙 5）シラバス

理学療法学科：評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ

作業療法学科：評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ

（新旧対照表）シラバス　理学療法学科

新	旧
評価実習 講義計画 【実習前】医療面接試験 オリエンテーション 履修上の留意事項 医療面接試験の合格者	評価実習 講義計画 【実習前】オリエンテーション 実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。 医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等 履修上の留意事項 OSCE の合格者
総合実習Ⅰ 講義計画 【実習前】OSCE　内容：理学療法評価（検査・測定）、訓練。医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査/ROM-ex/筋力増強運動 オリエンテーション	総合実習Ⅰ 講義計画 【実習前】オリエンテーション 実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。 ②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
総合実習Ⅱ 講義計画 【実習前】オリエンテーション 【実習後】実習実施報告会での発表、 OSCE　内容：理学療法評価　（検査・測定）、訓練。医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査/ROM-ex/筋力増強運動 成績評価の方法・基準 実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法	総合実習Ⅱ 講義計画 【実習前】オリエンテーション 実技試験　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。 【実習後】実習実施報告会での発表 成績評価の方法・基準 実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法

実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE 履修上の留意事項 （追加） ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容 履修上の留意事項 OSCE の合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする。

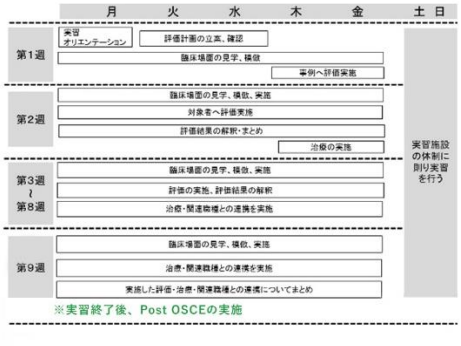
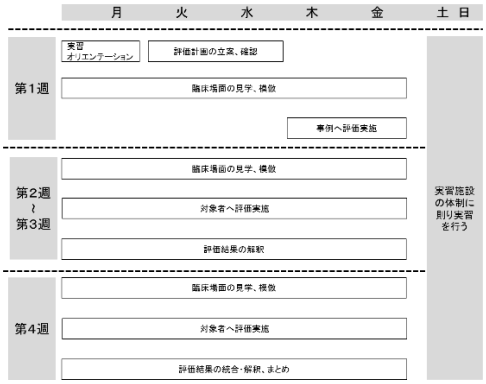
（新旧対照表）シラバス　作業療法学科

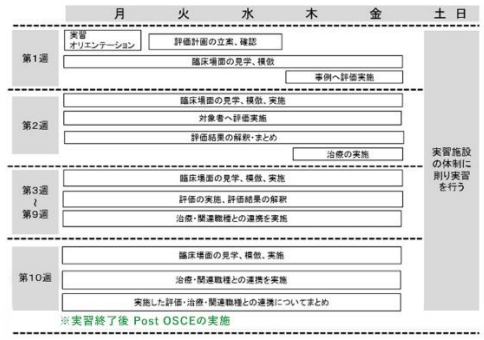
新	旧
評価実習 講義計画 【実習前】医療面接試験 オリエンテーション （削除） 試験の方法 実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容 履修上の留意事項 医療面接試験の合格者	評価実習 講義計画 【実習前】オリエンテーション 実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。 医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等 試験の方法 実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定） 医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等とする。 実習実施報告会での発表 履修上の留意事項 OSCE の合格者
総合実習Ⅰ 【実習前】OSCE　内容：作業療法評価（検査・測定）、訓練。 医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/認知機能検査/ROM-ex/更衣動作訓練/整容動作訓練。 オリエンテーション 試験の方法 実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容	総合実習Ⅰ 【実習前】オリエンテーション 実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。 ②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。 試験の方法 実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定） 作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練等）とする。 実習実施報告会での発表

総合実習Ⅱ 【実習前】オリエンテーション 【実習後】OSCE　内容：作業療法評価（検査・測定）、訓練。医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/認知機能検査/ROM-ex/更衣動作訓練/整容動作訓練。 実習実施報告会での発表 成績評価の方法・基準 実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法 実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE 履修上の留意事項 （削除） ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする	総合実習Ⅱ 【実習前】オリエンテーション 実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。 【実習後】実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。 実習実施報告会での発表 成績評価の方法・基準 実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法 実習後実技試験：内容は作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会での発表 履修上の留意事項 OSCE の合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　（66-73 ページ）

新	旧
（図 11）総合実習Ⅰの流れ 	（図 11）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱの流れ 

（図 12）総合実習Ⅱの流れ  	（追加）
（図 13）評価実習の流れ	（図 12）評価実習の流れ 
（図 14）総合実習Ⅰの流れ  	（図 13）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱの流れ 
（図 15）総合実習Ⅱの流れ	（追加）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（73-83 ページ）

新	旧
（２）実習前・実習中・実習後における指導計画 １）実習前教育 （中略） また、臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、対象者に対面し、コミュニケーションを図りながら検査・測定を実施する「評価実習」の前に医療面接試験を実施し、対象者に直接かかわり理学・作業療法評価、治療・訓練を行う最初の実習である「総合実習Ⅰ」の前に Pre OSCE を実施する。 a　評価実習前の医療面接試験 「評価実習」は初めて臨床現場で対象者に対面し、コミュニケーションを図りながら検査・測定を実施する実習であるため、「評価実習」の前に、「評価実習」の遂行に必要な、対象者に接する時の基本的な態度やコミュニケーション能力及び評価実習の遂行に必要な知識と技術の有無を確認する必要があり、以下の条件を満たす者を「評価実習」の実施対象者とする。 ①対象者に接するための基本的な態度、コミュニケーション能力を評価するために「医療面接試験」を実施し、その評価は所定の評価表（資料 29－1）に基づいて行う。10 点満点の 5 点以上を合格とする。 ②実習の遂行に必要な理学療法検査・測定、作業療法検査・測定に関する知識、技能の担保については、理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、理学療法評価学実習Ⅰ・Ⅱ、作業療法評価学、作業療法評価学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの全てに合格している者とする。	（２）実習前・実習中・実習後における指導計画 １）実習前教育 （中略） また、臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、実習前における能力の到達度の確認のため OSCE を実施する。 （理学療法学科） 評価実習は、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等を行い、理学療法評価（検査・測定）が正確に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅰでは、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法評価（検査・測定）、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅱでは、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。 （作業療法学科） 評価実習では、医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、作業療法評価（検査・測定）を正確に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅰでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法評価（検査・測定）、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。

「医療面接試験」は、理学療法学科（80名）では8ブースで、作業療法学科（40名）では4ブースで実施する。各ブースには、模擬患者1名、教員評価者1名を配置する。学生は1名ずつ順次各ブースにて医療面接試験を受ける。試験時間は、学生1名に対し8分とし、医療面接試験評価表に従って実施する。 b　総合実習Ⅰ前のPre OSCE **・OSCEの実施要領** 【理学療法学科及び作業療法学科】 「OSCE検討会議」の設置 OSCEを円滑に実施するために、OSCE検討会議を設置する。 構成員は、各学科長と臨地実務実習（総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ）の担当教員とする。 会議は、Pre OSCE及びPost OSCEの開始2か月前から3回程度開催し、協議事項等を確認し円滑な実施を図る。 協議事項 ①OSCE実施計画の策定について ②OSCEの評価項目、評価方法及び評価基準について ③外部評価者への説明会の開催について ④その他OSCEの実施にあたり必要となる事項について **・Pre OSCE** 「総合実習Ⅰ」「総合実習Ⅱ」は、「職業専門科目」で学んだ専門知識と技術を基礎とし、臨床現場で対象者への検査・測定の実施、治療計画の立案・実施という理学療法・作業療法の全過程を本格的に実践する実習である。そのため、理学療法・作業療法の基本的評価技能・訓練技能・態度を備えているかを「総合実習Ⅰ」の実習前にPre OSCEで評価することで「総合実習Ⅰ」へ参加する技能水準を担保する。 「患者基本情報」と「評価課題」については、試験一週間前に公表する。 【理学療法学科】 1）対象と実施時期	総合実習Ⅱでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。試験結果が不十分な場合には再指導を行い、事前準備を万全に行う。 （中略）

3年生（80名）を対象として、グループ1（40名）とグループ2（40名）に分けて、1日5ステーションずつ2日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅰ」の実習前の11月とする。 2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料29-6） 評価課題は10課題であり、1評価課題に対して1ステーションを設け、合計 10 ステーションを配置する。1日目に5ステーションを、2日目に5ステーションをローテーションする。両日とも、グループ1とグループ2で同時に開始する。 学生は控室から1名ずつ、ステーション1からステーション5までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション1を終了したらステーション2へ移動し、次の学生がステーション1を開始する。以下これを繰り返す。 2日目も同様のスケジュールで実施する。 各ステーションでの評価時間は5分、移動時間は1分とする。 3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料29-6） 各ステーションは、学生1名に対し、評価者2名（教員評価者 1 名、外部評価者 1 名）、模擬患者1名及びタイムキーパー1名、学生誘導役1名で構成される。なお、評価者のうち1名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。 4）評価課題 以下の10評価課題とする。 医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、形態測定、DTR、BRS、感覚検査、ROM-ex、筋力増強ex。 5）成績評価方法 各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料29－2)。 ①各評価課題で、「目的に応じて正確に実施できたか」「時間内に実施できたか」の2点について「可（問題なし）2点」、「可（少しの助言が必要）1点」、「不可0点」で評価し、10評価課題21項目の42点満点で評価する。 ②合計点が21点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。 ③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った	

後に再評価を行う。 6）学生配置表（資料 29-6） 【作業療法学科】 1）対象と実施時期 3 年生（40 名）を対象として、2 日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅰ」の実習前の 11 月とする。 2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料 29-6） 評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設けるため、合計 10 ステーションを設ける。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。 学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。 2 日目も同様のスケジュールで実施する。 各ステーションでの評価時間は 5 分、移動時間は 1 分とする。 3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料 29-6） 各ステーションは、学生 1 名に対し、評価者 2 名（教員評価者 1 名、外部評価者 1 名）、模擬患者 1 名及びタイムキーパー1 名、学生誘導役 1 名で構成される。なお、評価者のうち 1 名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。 4）評価課題 以下の 10 評価課題とする。 医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、DTR、BRS、感覚検査、認知機能検査、更衣動作 ex、整容動作 ex。 5）成績評価方法 各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料 29-3）。 ①各評価課題で、目的に応じて正確に実施できたか、時間内に実施できたか、の 2 点について「可（問題なし）2 点」、「可（少しの助言が必要）1 点」、「不可 0 点」で評価し、10 評価課題 21 項目の 42 点満点で評価する。 ②合計点が 21 点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。	2）実習中教育（実習施設との連携） （中略）

③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。 6）学生配置表（資料 29-6） ２）実習中教育（実習施設との連携） （中略） ３）実習後評価教育 （前略） 実習終了後に実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法・作業療法内容の発表を行わせ評価する。また、実習後における能力の到達度を確認するため、各学科で次のとおりの試験を行う。 **・Post OSCE** 「総合実習Ⅱ」の実習終了後に Post OSCE を実施することで、「総合実習Ⅰ」と「総合実習Ⅱ」を通じての学修内容の向上を評価する。学習内容の向上を評価するために、「患者基本情報」と「評価課題」を公表する。「患者基本情報」につては、Pre OSCE と Post OSCE では試験一週間前に公表するが、「評価課題」については、Pre OSCE では試験一週間前に公表するのに対して、Post OSCE では「総合実習Ⅰ」と「総合実習Ⅱ」を通じての技能スキルの向上度、現場での対応力を評価するため、試験当日に公表する。 **【理学療法学科】** 1）対象と実施時期 3 年生（80 名）を対象として、グループ 1（40 名）とグループ 2（40 名）に分けて、1 日 5 ステーションずつ 2 日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅱ」の実習後の 9 月とする。 2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料 29-6） 評価課題は 10 課題であり、1 評価課題に対して 1 ステーションを設けるため、合計 10 ステーションを設ける。1 日目に 5 ステーションを、2 日目に 5 ステーションをローテーションする。両日とも、グループ 1 とグループ 2 で同時に開始する。 学生は控室から 1 名ずつ、ステーション 1 からステーション 5 までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション 1 を終了したらステーション 2 へ移動し、次の学生がステーション 1 を開始する。以下これを繰り返す。	３）実習後評価教育 （前略） また、実習後における能力の到達度を確認するため、各学科で次のとおりの試験を行う。 （理学療法学科） 実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した作業療法内容の発表を行わせ評価する。

2日目も同様のスケジュールで実施する。 各ステーションでの評価時間は5分、移動時間は1分とする。 3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料29-6） 各ステーションは、学生1名に対し、評価者2名（教員評価者1名、外部評価者1名）、模擬患者1名及びタイムキーパー1名、学生誘導役1名で構成される。なお、評価者のうち1名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。 4）評価課題 以下の10評価課題とする。 医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、形態測定、DTR、BRS、感覚検査、ROM-ex、筋力増強ex。 Post OSCEはPre OSCEと同一課題・項目にて実施し評価する。同一課題・項目にて実施、評価を行うことで、総合実習Ⅰと総合実習Ⅱを通じての学修度の向上を判断することが出来るためである。 5）成績評価方法 各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料29-4）。 ①　各評価課題で、「目的に応じて正確に実施できたか」「時間内に実施できたか」の2点について「可（問題なし）2点」、「可（少しの助言が必要）1点」、「不可0点」で評価し、10評価課題21項目の42点満点で評価する。 ②合計点が21点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。 ③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。 6）学生配置表（資料29-6） **【作業療法学科】** 1）対象と実施時期 3年生（40名）を対象として、2日間で実施する。実施時期は「総合実習Ⅱ」の実習後の9月とする。 2）ステーションの配置と評価実施工程表（資料29-6） 評価課題は10課題であり、1評価課題に対して1ステーションを設けるため、合計10ステーションを設ける。1日目に5ステーションを、2日目に5ス	（作業療法学科） 実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した作業療法内容の発表を行わせ評価する。 実習委員会は、学生の実習成果と課題を総括し、各学科で情報を共有するとともに、次年度実習実施計画の立案に生かす。

テーションをローテーションする。 学生は控室から1名ずつ、ステーション1からステーション5までを順に回り控室に戻る。最初の学生がステーション1を終了したらステーション2へ移動し、次の学生がステーション1を開始する。以下これを繰り返す。 2日目も同様のスケジュールで実施する。 各ステーションでの評価時間は5分、移動時間は1分とする。 3）ステーション担当者及び評価者の配置（資料29-6） 各ステーションは、学生1名に対し、評価者2名（教員評価者1名、外部評価者1名）、模擬患者1名及びタイムキーパー1名、学生誘導役1名で構成される。なお、評価者のうち1名は評価の公平性と質を担保するために外部評価者とする。 4）評価課題 以下の10評価課題とする。 医療面接、バイタルチェック、ROM-T、MMT、DTR、BRS、感覚検査、認知機能検査、更衣動作ex、整容動作ex。 Post OSCEはPre OSCEと同一課題・項目にて実施し評価する。同一課題・項目にて実施、評価を行うことで、総合実習Ⅰと総合実習Ⅱを通じての学修度の向上を判断することが出来るためである。 5）成績評価方法 各々の課題は、客観的臨床能力試験（OSCE）評価表に基づいて評価される（資料29-5）。 ①各評価課題で、目的に応じて正確に実施できたか、時間内に実施できたか、の2点について「可（問題なし）2点」、「可（少しの助言が必要）1点」、「不可0点」で評価し、10評価課題21項目の42点満点で評価する。 ②合計点が21点以上であり、かつ評価課題全てが「可」であることを合格の条件とする。 ③評価にて不可となった者への対応は、担当した評価者が、不可となった評価課題について再教育を行った後に再評価を行う。 6）学生配置表（資料29-6） 実習委員会は、OSCEの評価を踏まえ学生の実習成果と課題を総括し、各学科で情報を共有するとともに、	

次年度実習実施計画の立案に生かす。	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　(80 ページ)

新	旧
（4）成績評価体制および単位認定方法 （前略） 4）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 4 項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 ・OSCE	（4）成績評価体制および単位認定方法 （前略） 4）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 （追加）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　(60 ページ)

新	旧
（5）実習参加基準・要件 1）見学実習 特になし。 2）評価実習 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 医療面接試験に合格していること。 3）総合実習Ⅰ 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 OSCE に合格していること。 4）総合実習Ⅱ 3 年次までの必修科目、全てを履修していること。	（5）実習参加基準・要件 1）見学実習 特になし。 2）評価実習 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 OSCE に合格していること。 3）総合実習Ⅰ 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 OSCE に合格していること。 4）総合実習Ⅱ 3 年次までの必修科目、全てを履修していること。 OSCE に合格していること。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　（資料 14）理学療法学科臨地実務実習指導要項（9 ページ）

新	旧
4．成績評価体制および単位認定方法 （4）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、	4．成績評価体制および単位認定方法 （4）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、

E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 4 項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 ・OSCE	E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 （追加）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類　（資料 15）作業療法学科臨地実務実習指導要項（9 ページ）

新	旧
４．成績評価体制および単位認定方法 （４）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 4 項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 ・OSCE	４．成績評価体制および単位認定方法 （４）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 （追加）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 29）OSCE に関するデータ

新	旧
（資料 29）OSCE に関するデータ （資料 29－1）医療面接試験評価表（理学療法学科・作業療法学科共通） （資料 29-2）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表 理学療法学科 （資料 29-3）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表 作業療法学科 （資料 29-4）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表 理学療法学科	（追加）

（資料 29-5）客観的臨床能力試験（OSCE）　評価表 作業療法学科 （資料 29-6）OSCE ステーション工程表	

審査意見への対応を記載した書類（9 月）

別紙目次

（別紙 1）シラバス：コミュニケーション英語、メディカル英語

（別紙 2）カリキュラムマップ

（別紙 3）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月

（別紙 4）シラバス：マネジメント論、コーチング、起業入門、NPO 論

（別紙 5）シラバス：理学療法学科：評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ 、作業療法学科：評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ

（別紙1）シラバス：コミュニケーション英語、メディカル英語

科目名	コミュニケーション英語			担当者	植月　眞理			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

講義概要：
大学生が留学生と交流しながら、社会生活での様々な状況に英語で対処する内容で構成され、身近な話題から専門分野の基礎編まで、幅広く多様な出来事を英語で疑似体験する。授業内容は、CEFRのB1レベルである。
到達目標：
①日常的に出会う様々な話題について、自然な英語表現を使ってやり取りができる。
②外国人と自然体で接し、説明すべき状況や自分の考えを筋道立てて発言できる。

【授業の方法】

①英語教材により、日本語と英語で授業を行う。
②グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイ等の実践を中心としたアクティブラーニングを行う。
③英語が自然に口をついて出てくるまで徹底した反復練習を行う。
④辞書持ち込み可。スマホ可（指示による調べものの場合のみ）。電子辞書可。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	＊導入：英会話に対する意識を再確認し、英語コミュニケーションへの期待を高める ＊初対面の人と話す方法を習得：入りやすい話題から次第に親しみを加えて自己紹介する
2	＊英語で道案内する（道を尋ねる）表現を習得：外国人観光客に目的地への行き方を移動手段や汽車の乗り換え、所要時間などを交えて説明、岡山の街を案内する
3	＊外国人と友だちになる会話表現を習得：会話の口火を切る、より詳しく聞く、聞き直す、いろいろな非言語表現などを駆使して、話題を膨らませて会話す
4	※CH.1～CH.3の応用：自己アピールおよびお互いを知るためのより深い会話など
5	＊友人と週末を楽しむ時の英語表現を習得：誘う、スケジュールを調整する、待合せする
6	＊パーティに招待された場合の対応を習得：複数の外国人たちと話す、話題に困ったり話を切り上げたいときの対応、招待状の書き方など、パーティ全般の英語対処法を学ぶ
7	＊英語で電話するテクニックを習得：電話をかける（受ける）、用件を聞く、伝言を残す、綴りを正確に伝えるなど、見えない相手に英語で意思を伝える方法を習得する 例1）健康寿命を延伸するための事業の起業例
8	※CH.5～CH.7の応用：知らない単語を言い換えで説明する(paraphrase)、phonetic codeを作ってみる、small talkを使って雑談する、電話で用件を伝えるなど
9	＊岡山の観光案内ができる知識とスキルを習得：岡山の特徴を説明する、観光名所や国宝について来歴や特色を解説するなど、英語による観光案内を模擬体験する
10	※CH.9の応用：出身地について詳述する、地域の特徴説明から場所を当てる、岡山出身の著名な歴史人物を調べて説明するなど、当地の歴史・文化を紹介する
11	＊考え・意見を交わすスキルを習得：自分の考えとその根拠を述べる、意見を求める、同意する、ディスカッションで相手を尊重しつつ反論するなどの英語表現を習得する
12	＊病院で英語で対話するテクニックを学ぶ：受付での応対、問診でのやりとり、検査と治療方法の説明、いろんな痛み方の表現など、医療現場での基本会話を英語で行う
13	＊将来の夢や計画を語る表現方法を習得：仮定法と確実度（確信度）の表現を使って、自分の意思や考え方、将来の希望や目標など、現実と仮定の話を交わす
14	※CH.11～CH.13の応用：設定されたテーマについて賛否をその根拠とともに論じる、仮定の話で過去・現在・未来を語る、病院で身体の状況を説明するなど
15	※本講座の総まとめ

成績評価の方法・基準

①ミニレポート及び提出物：５０点（5点×１０回 review回を除く）
②授業への参加度　　：２０点（講義中に発言・発表を求め
③テスト　　：３０点

試験の方法

①ミニレポート及び提出物、②授業への参加度、③テスト

授業時間外学修（予習・復習等）

＊テーマによっては準備を指示する場合あり。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

特に指定しない

参考書

随時紹介

参考文献

必要時に指示・配布する。

科目名	メディカル英語			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期 単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

講義概要：
授業は、初診時の様々な基本的対応を踏まえて、療法士特有のリハビリ評価時から治療・訓練時の種々なる基本的対応へと進み、これらの対応の中でコミュニケーション技法を鍛え、さらにメディカルスタッフとのコミュニケーション技法へと発展させる構成とする。この過程の中で、医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の修得を基礎に置き、現場で普通に行われる英会話力を鍛えるとともに、英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力を修得しその向上を図り、英文読解に必要となる基本的な英単語を押さえ文法項目の確認を行い、医療分野に関連したトピックスの内容を理解する。授業内容は、CEFRのB1レベルをやや上回る水準に相当する。
到達目標：
①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。
②英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力が身につき、英語論文が理解できる。
③リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーション力を身につけることができる。

【授業の方法】

①英語と日本語による授業。
②臨場感を体験するために、グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイ等による実践的授業を行う。
③辞書持ち込み可。スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	英語論文の読解に必要な基本的知識（医用英単語・文法・表現等）を押さえる
2	関連する英語論文から学ぶ初診時の基本的対応
3	関連する英語論文から学ぶ初診の実践
4	初診時の基本的対応における英語コミュニケ―ション技法
5	英語で行うロールプレイによる初診時場面の実践
6	関連する英語論文から学ぶリハビリ評価時の基本的対応
7	関連する英語論文から学ぶリハビリ評価の実践
8	リハビリ評価時の基本的対応における英語コミュニケーション技法
9	関連する英語論文から学ぶリハビリ治療・訓練時の基本的対応
10	関連する英語論文から学ぶリハビリ治療・訓練の実践
11	リハビリ治療・訓練時の基本的対応における英語コミュニケーション技法
12	英語で行うロールプレイによる評価・治療・訓練場面の実践
13	英語で学ぶ医療分野のトピックス
14	メディカルスタッフとの英語コミュニケーション技法
15	本講義で学んだ内容を総動員して英語で行うロールプレイによる講義の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート及び提出物：20% 筆記試験：80%	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等） ＊各授業についての予習をして臨むこと。テーマによっては準備を指示する場合あり。	履修上の留意事項 特になし

質問に関する連絡先

☐ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

☐ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書	参考書
PT・OTが書いたリハビリテーション英会話　medical view	英語で診療　内科系 英語で診療　外科系 実践！メディカル英語

参考文献
授業中に指示する。

(別紙2)カリキュラムマップ

(資料2)健康科学部 理学療法学科
カリキュラムマップ

(新)

岡山医療専門職大学　健康科学部 理学療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた理学療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。	理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ	スポーツ科学　マネジメント論 起業入門　コーチング論 NPO論　岡山経営者論
3年次	基盤ゼミⅡ コミュニケーション論	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 基礎理学療法実習Ⅱ 理学療法管理学概論 理学療法評価学実習Ⅲ 物理療法実習 理学療法治療学実習Ⅲ 老年期障害理学療法学 理学療法演習Ⅱ 生涯スポーツ実習 義肢装具学 地域理学療法学 予防理学療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ メディカル英語	食生活マネジメント論 生体情報科学 人間形成論 人間関係論
2年次	基盤ゼミⅠ 国際政治経済論	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎理学療法学 基礎理学療法実習Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 運動療法実習Ⅰ 運動療法実習Ⅱ 物理療法 理学療法治療学Ⅰ 理学療法治療学Ⅱ 理学療法治療学Ⅲ 理学療法治療学Ⅳ 理学療法治療学実習Ⅰ 理学療法治療学実習Ⅱ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 生活環境学 理学療法演習Ⅰ スポーツ理学療法特論	ヒューマンサービス論
1年次	大学入門 職業人の倫理と道徳論 コミュニケーション英語 日本の歴史と文化	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 理学療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 理学療法評価学Ⅰ 見学実習 リハビリテーション医学 運動療法 多職種連携論	健康科学概論 心理学 哲学概論

学びの流れ

(資料2)健康科学部 理学療法学科
カリキュラムマップ

(旧)

岡山医療専門職大学　健康科学部 理学療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた理学療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。	理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。	職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ	スポーツ科学　マネジメント論 起業入門　コーチング論 NPO論　岡山経営者論	
3年次	基盤ゼミⅡ コミュニケーション論	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 基礎理学療法実習Ⅱ 理学療法管理学概論 理学療法評価学実習Ⅲ 物理療法実習 理学療法治療学実習Ⅲ 老年期障害理学療法学 理学療法演習Ⅱ 生涯スポーツ実習 義肢装具学 地域理学療法学 予防理学療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ	食生活マネジメント論 生体情報科学 人間形成論 人間関係論	メディカル英語
2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎理学療法学 基礎理学療法実習Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ 理学療法評価学実習Ⅰ 理学療法評価学実習Ⅱ 運動療法実習Ⅰ 運動療法実習Ⅱ 物理療法 理学療法治療学Ⅰ 理学療法治療学Ⅱ 理学療法治療学Ⅲ 理学療法治療学Ⅳ 理学療法治療学実習Ⅰ 理学療法治療学実習Ⅱ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 生活環境学 理学療法演習Ⅰ スポーツ理学療法特論	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
1年次	職業人の倫理と道徳論 大学入門	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 理学療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 理学療法評価学Ⅰ 見学実習 リハビリテーション医学 運動療法 多職種連携論	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

学びの流れ

（資料2）健康科学部 作業療法学科
カリキュラムマップ

（新）

岡山医療専門職大学　健康科学部　作業療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた作業療法士になる。

学びの流れ

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が生み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。。
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法セミナーⅡ	人間工学 地域生活と健康 特別支援教育 ライフサイクル論 岡山経営者論
3年次	コミュニケーション論 基盤ゼミⅡ	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 作業療法管理学概論 身体障害作業療法実習Ⅲ 老年期障害作業療法実習 義肢装具学 基礎作業療法治療学 基礎作業療法治療学実習Ⅰ 基礎作業療法治療学実習Ⅱ メディカル英語 予防作業療法学 地域作業療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅲ 身体障害作業療法学Ⅳ 作業療法演習Ⅱ	地域社会論 コミュニティ形成論 人間形成論 人間関係論 家族関係論
2年次	基盤ゼミⅠ 国際政治経済論	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅰ 作業療法評価学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅲ 生活環境学 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法実習Ⅰ 身体障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法学 作業療法演習Ⅰ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 精神障害作業療法学	ヒューマンサービス論
1年次	大学入門 職業人の倫理と道徳論 コミュニケーション英語 日本の歴史と文化	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 作業療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 見学実習 リハビリテーション医学 基礎作業学 多職種連携論 作業療法評価学	健康科学概論 心理学 哲学概論

（資料2）健康科学部 作業療法学科
カリキュラムマップ

（旧）

岡山医療専門職大学　健康科学部　作業療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた作業療法士になる。

学びの流れ

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が生み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。。	職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法セミナーⅡ	人間工学 地域生活と健康 特別支援教育 ライフサイクル論 岡山経営者論	
3年次	コミュニケーション論 基盤ゼミⅡ	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 作業療法管理学概論 身体障害作業療法実習Ⅲ 老年期障害作業療法実習 義肢装具学 基礎作業療法治療学 基礎作業療法治療学実習Ⅰ 基礎作業療法治療学実習Ⅱ 予防作業療法学 地域作業療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅲ 身体障害作業療法学Ⅳ 作業療法演習Ⅱ	地域社会論 コミュニティ形成論 人間形成論 人間関係論 家族関係論	メディカル英語
2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅰ 作業療法評価学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅲ 生活環境学 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法実習Ⅰ 身体障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法学 作業療法演習Ⅰ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 精神障害作業療法学	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
1年次	職業人の倫理と道徳論 大学入門	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 作業療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 見学実習 リハビリテーション医学 基礎作業学 多職種連携論 作業療法評価学	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

（別紙3）

岡山市

第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

（地域包括ケア計画）

【概要版】



平成30(2018)年３月

岡　山　市

1 計画の策定にあたって

計画策定の趣旨

岡山市における高齢者人口は、平成27年の約17万５千人（高齢化率24.7%）から、団塊の世代（1947～1949年生まれ）が75歳以上となる平成37（2025）年には約19万５千人（高齢化率27.0%）まで上昇する見込みであり、ひとり暮らし高齢者の増加、人間関係の希薄化等による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等への対応が喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、健康寿命の延伸や高齢者が生涯現役で活躍できる環境づくりを進めるとともに、医療・介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、市民、事業者との有機的な連携・協働により、地域ごとに「地域包括ケアシステム」を構築していくことが求められています。

「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」は、平成37（2025）年を見据えた「地域包括ケア計画」として、第６期計画での取組を評価・検証した上で策定しています。本計画に基づき、中長期的な視点を持ちながら、平成30（2018）年度から平成32（2020）年度までの３年間で、高齢者に関する保健福祉施策を総合的・体系的に展開し、岡山市の地域包括ケアシステムを深化・推進します。

本計画の位置づけ

本計画は、岡山市政の基本指針である「岡山市第六次総合計画」を上位計画とし、「地域共生社会推進計画（地域福祉計画）」等の関連計画との整合性を保ちながら策定しています。

計画期間

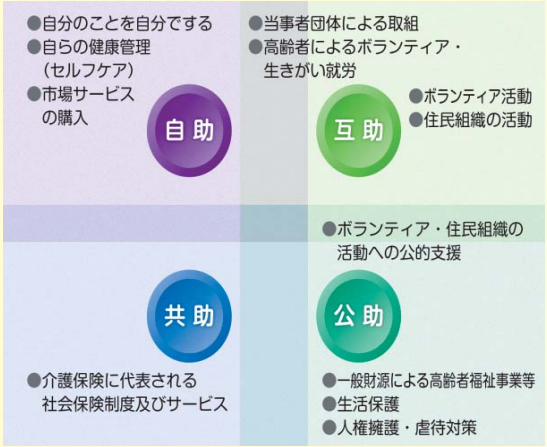
本計画の計画期間は、平成30（2018）年度から平成32（2020）年度までの３年間です。計画期間の最終年度である平成32（2020）年度中には、市民ニーズや社会動向の変化を把握しながら、第７期計画の取組状況について点検し、必要な見直しを行い、第８期計画を策定します。

コラム　地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り、住み慣れた自宅や地域で人生の最後まで暮らし続けられるよう「医療」「介護」「住まい」「介護予防」「生活支援」の５つのサービスを一体的に受けられる、地域における支援体制のことです。国では、これらの５つのサービスが、利用者のニーズに応じて包括的かつ継続的に、概ね30分で駆けつけられる圏域（日常生活圏域）で提供されることを想定しています。

地域包括ケアシステムは、「自助・互助・共助・公助」の考え方の下、高齢者自身も含め、地域住民やボランティア・NPO、事業者・関係機関、専門多職種など、それぞれの地域の関係者の参加により、地域社会全体で形成していくものとされています。





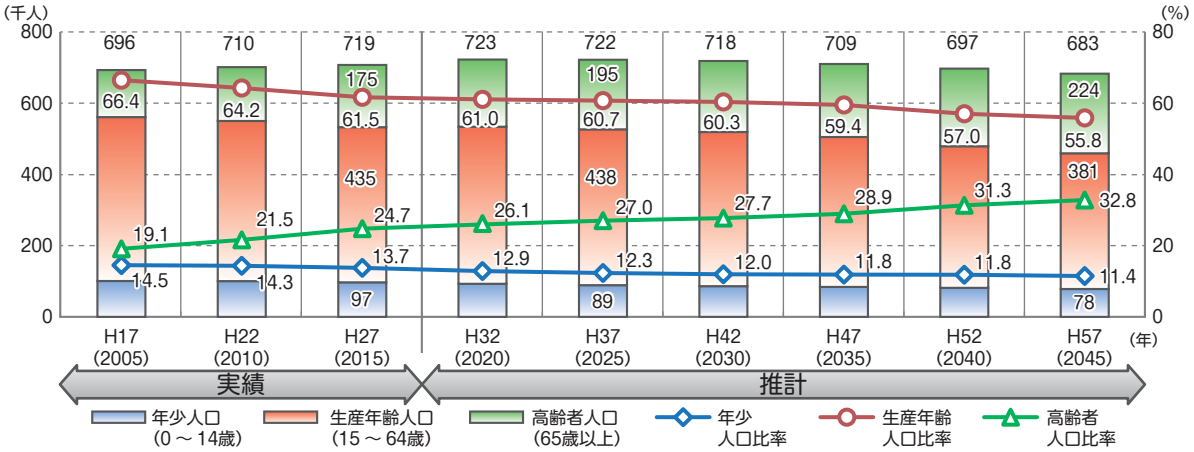
※三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

2 岡山市の高齢者を取り巻く現状と課題

岡山市の総人口の動向と長期的な推計人口

○岡山市の総人口は、平成27年時点で719,474人であり、平成32（2020）年の約72万３千人をピークに減少に転じる見込みです。

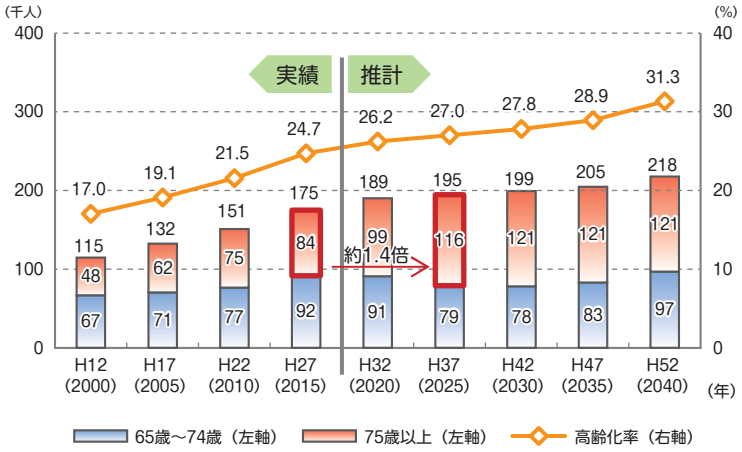
○高齢者人口の増加が続く一方で、介護や看護等の担い手ともなる年少人口・生産年齢人口は長期的に減少し続ける見込みです。



出典：平成27年までは国勢調査、平成32（2020）年以降は岡山市将来推計人口（国勢調査に基づく推計値）

※人口には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出

岡山市の高齢者人口の動向と今後の見通し

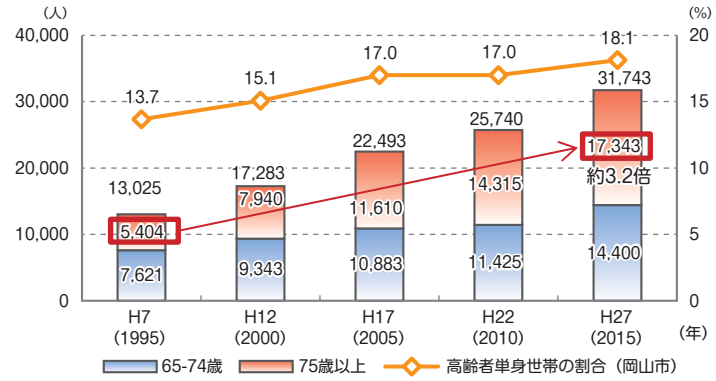


出典：平成27年までは国勢調査、平成32（2020）年以降は岡山市将来推計人口（国勢調査に基づく推計値）※四捨五入の関係で総数と一致しないことがある。

○高齢者人口は、平成27年の約17万５千人から、平成37（2025）年には約19万５千人となり、高齢化率は、24.7%から27.0%まで上昇する見込みです。

○75歳以上の後期高齢者は、平成27年で約８万４千人であり、平成37（2025）年には約11万６千人と大幅に増加する見込みです（約1.4倍）。

岡山市の高齢者単身世帯の推移

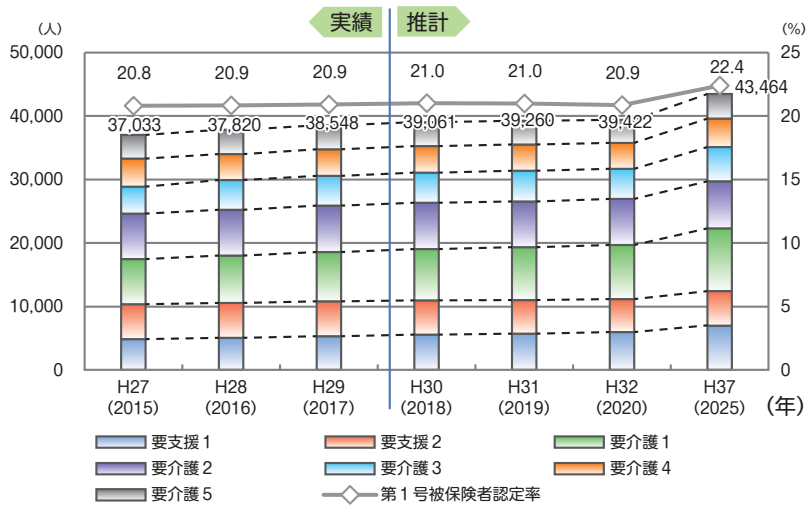


出典：国勢調査

○高齢者単身世帯は、平成27年時点で、31,743人であり、高齢者に占める割合は18.1%となっており、平成７年からの20年間で約2.4倍に増加しています。

○特に、75歳以上の高齢者単身世帯は平成27年に17,343人となり、平成７年からの20年間で約3.2倍に増加しています。

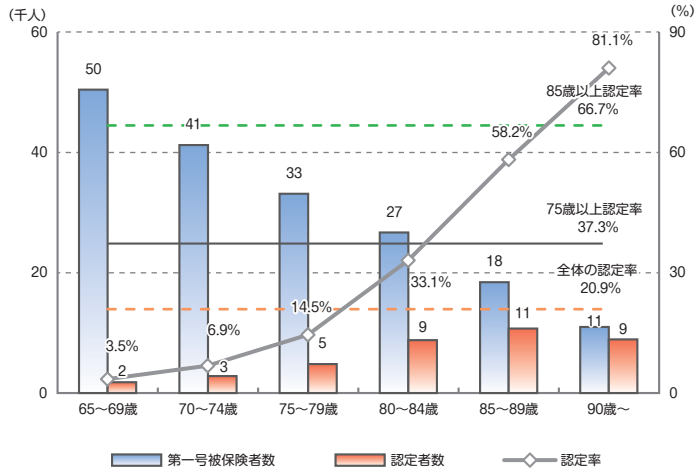
岡山市の要介護（要支援）認定者と第１号被保険者認定率の推移・推計



○岡山市の第1号被保険者認定率は、平成32（2020）年度には20.9%、平成37（2025）年度には22.4%となる見込みです。

※平成29年度までの要介護認定者数、認定者のうち第１号被保険者数は実績（介護保険事業状況報告各年９月分）、
　平成30年度以降は独自推計。要介護（要支援）認定者には第２号被保険者数を含む。
※第１号被保険者数は、平成29年度までは各年９月末住民基本台帳人口、平成30年度以降は独自推計。
※第１号被保険者認定率＝認定者のうち第１号被保険者数／第１号被保険者数

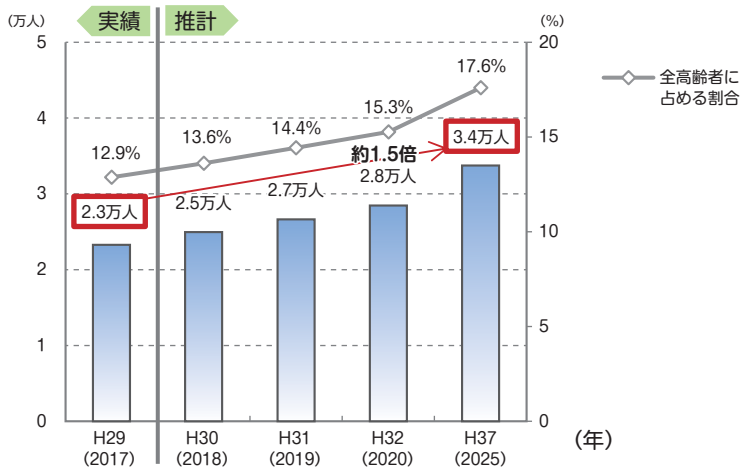
岡山市の年齢階級別の要介護（支援）認定率



○要介護(要支援)認定率は年齢を重ねるほど高くなります。
○「70～74歳」では、6.9%に止まっていますが、「75～79歳」では14.5%、「80～84歳」では33.1%、「85～89歳」では58.2%と大きく上昇していきます。

※第一号被保険者数は岡山市統計、認定者数は岡山市介護保険事業状況報告（平成29年9月分）

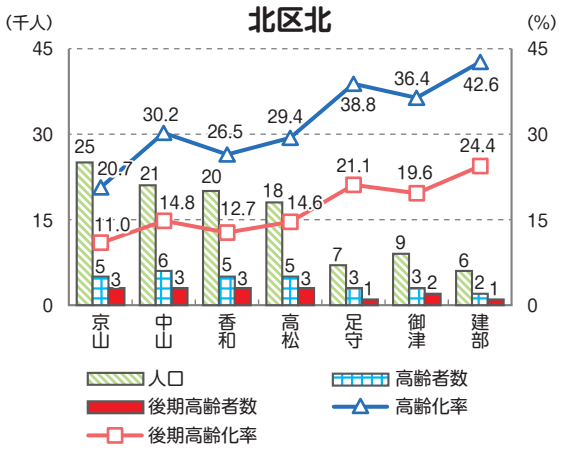
岡山市の認知症高齢者数の推計

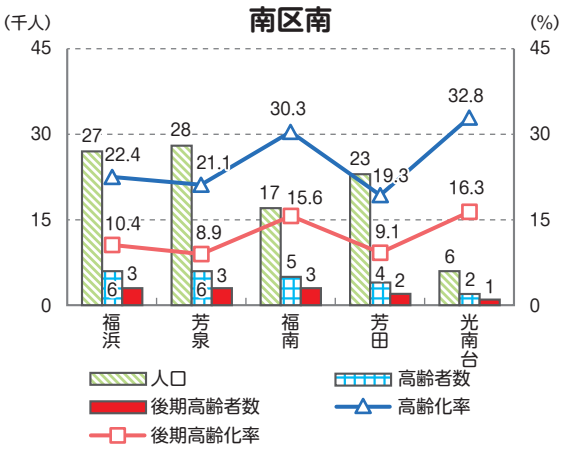


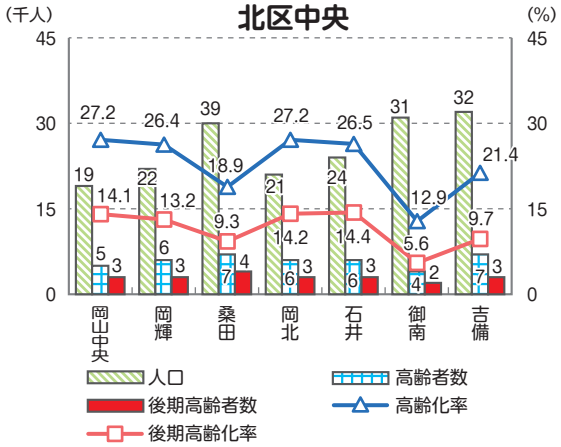
○認知症高齢者は、平成29年時点で約2.3万人（全高齢者の約13%）であり、平成37（2025）年には約3.4万人（全高齢者の約18%）に達する見込みです（約1.5倍）。

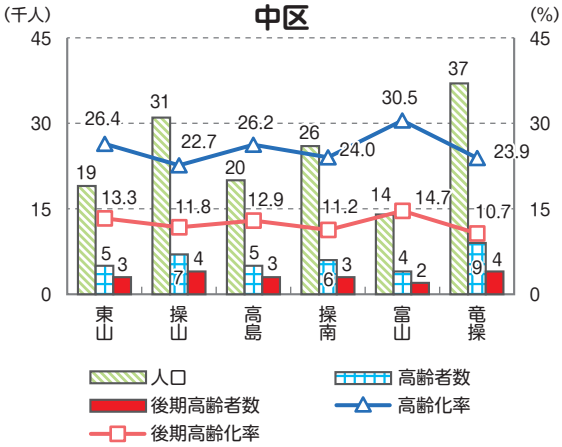
※岡山市介護認定データ（平成29年9月末）をもとに推計

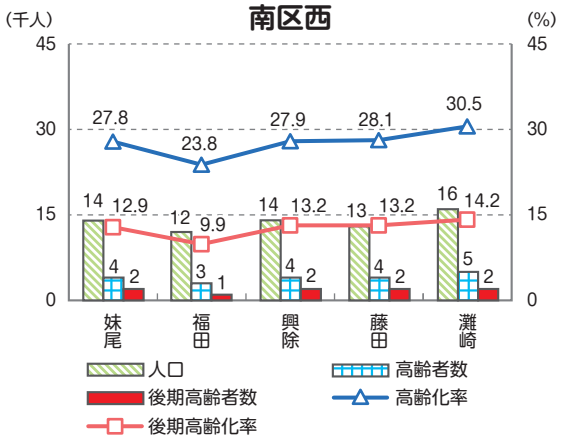
日常生活圏域別の高齢化等の状況

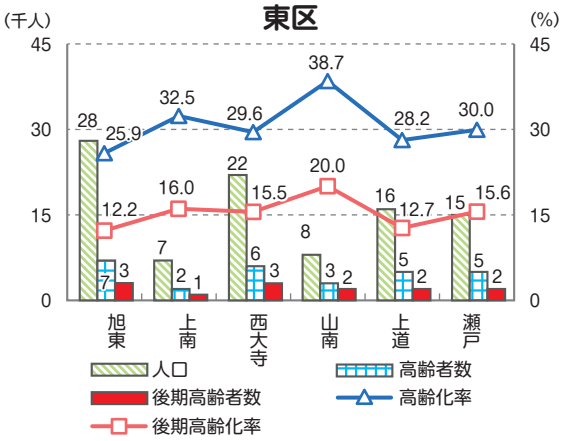










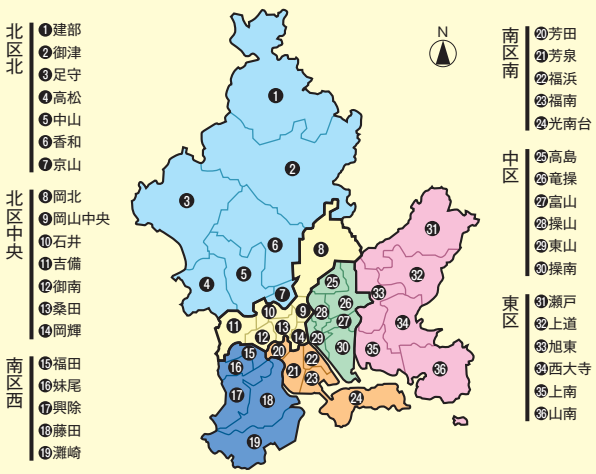


※人口は平成29年３月末住民基本台帳人口

コラム　日常生活圏域

○日常生活圏域は、地理的条件、人口、交通事情、その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設整備の状況、その他の条件を総合的に勘案して定めることとされており、岡山市では、中学校区を単位として36の日常生活圏域を設定しています。

○なお、地域包括ケアの推進にあたっては、通いの場の創出や見守り・支え合い活動の促進など、より身近な区域で取り組むべきものもあることから、提供するサービスや取組に応じた区域を設定し、柔軟に地域づくりを進めていく必要があります。



3 基本理念・基本目標

基本理念

住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

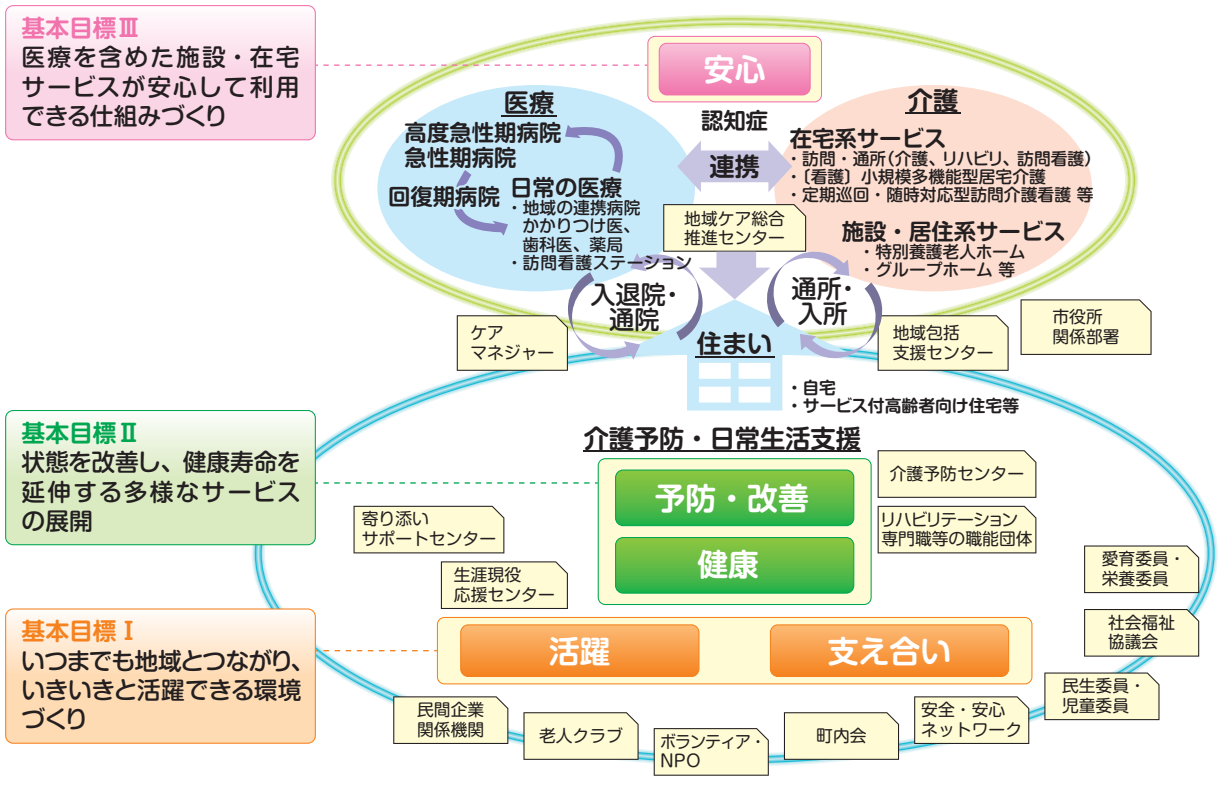
高齢者が自ら健康寿命の延伸に努め、地域社会でいきいきと活躍し、医療や介護が必要になっても、これまで培ってきた地域や人とのつながりを保ちつつ、自分らしい生活を人生の最後まで安心して続けられるよう、高齢者を含めた多様な主体が支え合う、「健康・福祉」の包括的な支援体制（地域包括ケアシステム）が整ったまちをめざします。

基本理念を実現するため、地域に関わる人や組織が目標を共有し、適切な役割分担のもと、保健・医療・介護・福祉などの分野を超えて協働し、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化・推進します。

基本目標

- **Ⅰ** いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり
- **Ⅱ** 状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開
- **Ⅲ** 医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

岡山市の目指す地域包括ケアシステム



4 施策展開

〈施策体系図〉

本計画においては、基本理念及び３つの基本目標の実現を図るため、次のとおり9つの重点施策を推進します。

【基本理念】

住み慣れた地域で　ともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

【基本目標】	【重点施策】	【施策展開の方向性】
Ⅰ いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり（支え合い、活躍）	1 高齢者が活躍できる環境づくり	(1) 高齢者の就労促進と社会貢献活動の機会づくり (2) 高齢者の多様な交流・活動の促進
	2 支え合いの地域社会づくり	(1) 地域の支え合い活動を進める体制づくり (2) 多様な主体による地域活動の活性化 (3) 地域に根差した相談支援体制の充実・強化 (4) 高齢者虐待の防止と権利擁護の推進
Ⅱ 状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開（健康、予防・改善）	3 健康寿命を延伸する健康づくりの推進	(1) 主体的な健康づくりの促進 (2) 健康づくりを地域全体で支援する環境づくり
	4 状態の改善につながる介護予防・生活支援サービス等の提供	(1) 介護予防センターの専門性を活かした予防事業の推進 (2) 介護予防の訪問・通所サービスの充実 (3) 生活支援・福祉サービスの提供
Ⅲ 医療を含めた施設・在宅サービスを安心して利用できる仕組みづくり（安心）	5 在宅医療・介護連携の推進	(1) 在宅を支える基盤づくり（人材育成） (2) 在宅への流れの構築（多職種連携） (3) 市民とつくる在宅医療（意識醸成） (4) 地域ケア総合推進センターの機能強化 (5) 持続可能な社会経済モデル構築に向けた取組の推進
	6 認知症施策の推進	(1) 認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立 (2) 認知症に対する医療・介護連携の推進 (3) 認知症の人と家族への支援の強化 (4) 地域における認知症への理解の浸透と見守り体制の充実・強化
	7 安心・快適な住まいの確保	(1) 安定した住まいの確保 (2) 快適な住環境づくり
	8 最適な介護サービスの提供	(1) 在宅系サービスの適正な提供 (2) 地域密着型サービスの適正な提供 (3) 施設・居住系サービスの適正な提供
	9 介護サービスの適切な運営	(1) 介護人材の確保・育成・定着 (2) 介護事業者への支援 (3) 介護保険サービスの質の確保と向上

〈施策展開の方向性〉

重点施策１　高齢者が活躍できる環境づくり

⑴　高齢者の就労促進と社会貢献活動の機会づくり

▷高齢者一人ひとりの多様なニーズに柔軟に対応できるよう、希望する活動レベルや分野でのマッチングの模索、新たな担い手として活躍でき、地域社会に積極的に参加する機会を拡充します。

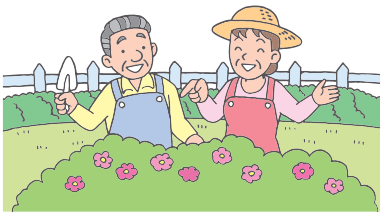
▷特に、就労に関する相談・支援体制の充実・強化について関係機関とともに検討します。

▷類似するセンターの関係やつながりを整理し、ワンストップ機能を高めるなど、高齢者がわかりやすく、利用しやすい相談・支援体制を整備します。

▷高齢者が地域や社会へ積極的に参加できる機会を提供し、高齢者の仲間づくり、いきがいや健康づくりを推進します。

⑵　高齢者の多様な交流・活動の促進

▷様々な機会を通じて、地域や社会とつながっていない比較的元気な高齢者の社会参加を促進し、高齢者同士や高齢者と地域住民等との多様な交流を創出します。



重点施策２　支え合いの地域社会づくり

⑴　地域の支え合い活動を進める体制づくり

▷地域づくりの重要性の普及啓発や、地域課題、先行事例の一層の見える化を進め、小学校区単位を基本に、「地域支え合い推進会議」の設置を促進し、地域の支え合い活動のすそ野を拡げます。

▷また、地域づくりのノウハウを蓄積し、的確なコーディネートを行うことのできる人材の確保・育成や、生活支援サポーターをはじめ地域活動を担う人材の発掘・育成・効果的な活用を進めます。

▷地域づくりに係る庁内関係部署や関係機関が組織横断的な体制の下、地域の情報を共有し、施策・事業を効果的に連動させながら、支え合いの地域づくりを推進します。

⑵　多様な主体による地域活動の活性化

▷岡山市支え合い推進員（生活支援コーディネーター）も活用しつつ、地域住民や地域の各種団体、地域包括支援センター、社会福祉協議会、医療・介護等の関係機関・事業者等によるそれぞれの地域の見守り・支え合い活動を活性化し、高齢者が安心・安全に暮らせる地域づくりを進めます。

⑶　地域に根差した相談支援体制の充実・強化

▷地域における高齢者の包括的な支援の中心となる地域包括支援センターの体制の充実・強化や、関係機関との連携のあり方、地域の高齢者情報の効果的な把握・集積方法等について検討し、必要な見直しを行います。

▷地域ケア会議等を活用し、地域課題の把握・整理や、地域に関わる関係者等での情報共有、政策形成を進めます。

▷あわせて、世帯単位で検討すべき地域課題に対応し、地域共生社会を進める体制づくりについて検討します。

⑷　高齢者虐待の防止と権利擁護の推進

▷関係機関と連携し、高齢者虐待の早期の発見、迅速な対応・支援のための体制を強化するとともに、成年後見制度の利用の促進を図るなど、権利擁護が必要な高齢者への支援を実施します。



重点施策３　健康寿命を延伸する健康づくりの推進

⑴　主体的な健康づくりの促進

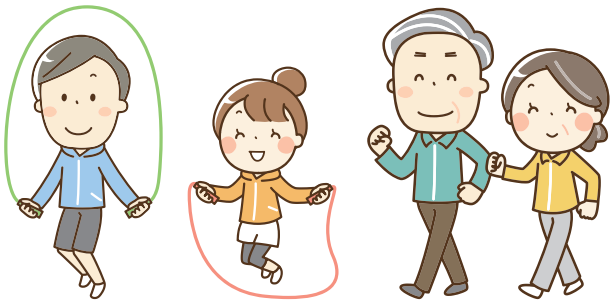
▷生活習慣病や低栄養、筋力低下等を予防するため、市民が自らの身体・健康状態を意識できるよう、健康づくりや介護予防に関する知識の普及啓発を進めるとともに、健康診査の受診率を高めます。

▷加齢に伴う筋力低下の予防や回復を目指し、若い頃からの運動習慣の定着化、転倒やロコモティブシンドロームの予防に取り組みます。また、寝たきりの原因となる脳卒中予防や認知症予防のために、青壮年期から高血圧・糖尿病・高脂血症等の生活習慣病予防の取組を進めます。

▷栄養バランスの悪化、口腔機能の低下、孤食等に起因する粗食等の環境面の連鎖に誘引される「低栄養」に関するリスクの普及啓発を進め、フレイル、サルコペニアを予防するとともに、口腔機能の低下を予防するため、歯科医師会や個々の歯科医療機関等との連携を強化し、自己チェック方法の周知など、口腔ケアの向上に向けた取組を進めます。

⑵　健康づくりを地域全体で支援する環境づくり

▷地域の健康づくりボランティアや事業者、医療機関等との連携を深め、健康づくりを地域で支え・守るための地域のつながり（ソーシャルキャピタル）を強化します。



重点施策４　状態の改善につながる介護予防・生活支援サービス等の提供

⑴　介護予防センターの専門性をいかした予防事業の推進

▷住民主体の通いの場、地域ケア会議、訪問・通所事業所等へのリハビリテーション専門職等の関与を一層促進する観点から、介護予防センターの専門職の効果的な活用方法や、リハビリテーション専門職団体等とも連携した取組について検討します。

▷介護予防センターの専門性をいかし、介護予防教室の開催や、体操を行う地域活動グループの立ち上げ支援等に注力しつつ、介護予防の重要性について市民に広く周知し、住民主体の介護予防活動の充実を図ります。

▷介護予防を効果的に推進する鍵となる地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネジメント能力の向上に向けて、介護予防センターの専門職の適切な関与のもと、地域ケア会議（個別プラン検討会）の充実を図ります。

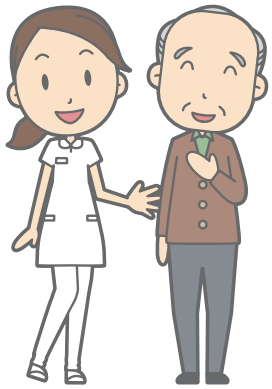
⑵　介護予防の訪問・通所サービスの充実

▷専門職の助言指導のもと、短期間で集中的にケアを行う短期集中通所サービスを実施し、高齢者の生活機能の維持・向上を図るとともに、サービス終了後も高齢者自らが継続して介護予防に取り組めるよう、働きかけていきます。

⑶　生活支援・福祉サービスの提供

▷地域活動を担う人材の育成・発掘や、地域活動を実践する機会の提供等を進めます。また、高齢者自らが地域の生活支援の担い手として活躍できる場を拡大します。

▷家庭内での緊急時の対応や安否確認を行い、日常の安全を確保し、不安感の解消を図るとともに、給食サービスにより食生活の安定と改善を図ります。また、在宅で高齢者を介護する人への支援を行います。



重点施策５　在宅医療・介護連携の推進の推進

⑴　在宅を支える基盤づくり（人材育成）

▷在宅医療を行う医師を増やすため、医師会等と協力して訪問診療スタート支援を推進します。また、医師のほか、訪問看護師の確保、在宅介護対応薬局認定制度による薬局の在宅参入の促進など、在宅医療に欠かせない基盤づくりを進めます。

▷在宅医療を行う医師への在宅医療に関するスキルアップ研修、介護支援専門員への医療に関する研修、病院看護師の退院支援・調整機能強化のための研修など、在宅医療・介護連携を担う専門職を対象とした研修を実施し、在宅医療・介護の質の向上を図ります。

▷これまでの事業の成果等を踏まえて、より効果的・効率的な研修となるよう、開催方法や対象の検討を行います。

⑵　在宅への流れの構築（多職種連携）

▷それぞれの地域における将来的な人口及び年齢構成や、医療・介護資源の今後の状況予測などの具体的なデータに基づき、地域ごとの特性に応じた入院から看取りまでの在宅医療連携体制について検討し、あるべき姿の構築を進めます。

▷また、地域ごとに開催している顔の見えるネットワーク構築会議（多職種意見交換会）など、多職種連携の取組を引き続き実施します。

⑶　市民とつくる在宅医療（意識醸成）

▷市民自らが在宅医療や介護予防等に関する知識を深め、地域全体で在宅医療・介護を支えられるよう市民公開講座や出前講座等を通じて意識啓発を推進します。

▷また、住み慣れたまちで最期まで暮らせるまちの実現に向けたアプローチとして、終末期における本人や家族の納得のいく医療・介護を受けられるよう、かかりつけ医を持つことや、今後の治療・療養について、患者、家族等と医療従事者があらかじめ話し合うプロセスである、ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）の普及・啓発を推進します。

⑷　地域ケア総合推進センターの機能強化

▷各医療機関の退院調整等に関する課題を抽出し、退院調整が困難なケースをサポートする仕組みを検討するなど、地域ケア総合推進センターの退院支援機能等を強化します。



⑸　持続可能な社会経済モデル構築に向けた取組の推進

▷引き続き総合特区を推進し、従来の取組を更に発展させつつ、高齢者の就労促進などの新たな提案も加えることにより、高齢者が生涯現役で活躍し、超高齢社会にも対応できる、持続可能な都市の構築を目指します。

重点施策６　認知症施策の推進

⑴　認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立

▷認知症の人を適切な医療やケアにつなげるため、認知症の正しい知識や理解、早期発見・早期診断の重要性等について、普及啓発を行います。

▷かかりつけ医や、地域包括支援センター等の認知症に関する初期相談を受ける機関がそれぞれの役割を果たし、専門医につなげるための相談体制や認知症初期集中支援チームのあり方を検討します。

⑵　認知症に対する医療・介護連携の推進

▷認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、急性期医療に関する対応及び専門医療相談など、症状の進行予防から地域生活の維持まで、必要となる医療を提供できる体制の構築を推進します。

▷認知症診療に習熟し、かかりつけ医の支援や専門医療機関と地域包括支援センター等との連携役を担う、「認知症サポート医」を養成することにより、初期段階から状況に応じて一体的に医療・介護サービスを提供する体制づくりを進めます。

▷かかりつけ医に対し、認知症診療の知識・技術や、本人及び家族を支えるための知識等に係る研修を実施し、認知症サポート医等との連携を強化します。

⑶　認知症の人と家族への支援の強化

▷認知症の人や家族が地域で孤立することなく、認知症の人が持つ力を最大限に活かしながら、地域社会で生きがいを持って生活できるよう、認知症カフェ等の居場所づくりや、生きがいづくりを進めます。

▷認知症の人や家族が気軽に相談できる体制を充実し、介護の負担軽減を図ります。また、認知症の人やその家族の視点を施策等へ反映させます。さらに、若年性認知症については、高齢者の認知症とは違った課題があるため、若年性認知症の人やその家族の意見を聞くなどし、その実態を把握し、その特性に配慮した就労・社会参加等の支援を推進します。



(4) 地域における認知症への理解の浸透と見守り体制の充実・強化

▷認知症の人が地域で暮らし続けることができるよう、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成を進めます。

▷徘徊等で行方不明になった時の早期発見や事故の未然防止を図るために、地域での見守り・支援体制を充実します。養成した認知症サポーターが地域での見守り活動等で実際に活躍できる機会の提供に努めます。

重点施策７　安心・快適な住まい等の確保

(1) 安定した住まいの確保

▷養護老人ホームや軽費老人ホーム等による家賃が低廉な住まいの提供や適切な生活支援体制を確保するとともに、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームにおいて、入居者に対して適切なサービスが提供されるよう、指導監督を行います。

▷また、都市整備局での「住宅セーフティネット制度の推進」の取組と連携し、高齢者等が安心して住まうことのできる住宅等の供給を促進します。

(2) 快適な住環境づくり

▷関係する部局や事業者と連携・協働しながら、バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識の浸透を進めるとともに、高齢者の住宅や施設等のバリアフリー化を促進します。

▷また、シルバーハウジングに生活援助員を派遣し、高齢者が安心して生活できるよう支援します。

重点施策８　最適な介護サービスの提供

(1) 在宅系サービスの適正な提供

▷在宅系サービスは、全般的に他の政令指定都市と比較しても事業者数は多くなっていますが、医療と介護の両方を必要とする、中・重度の要介護者の増加にも備え、在宅生活の継続に資するサービスの充実を促進します。

▷リハビリテーション分野の充実強化等により、状態改善・重度化防止に努めます。看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護など、整備が進んでいないサービスについては、国・県の補助制度を活用し、計画的な整備を促進します。

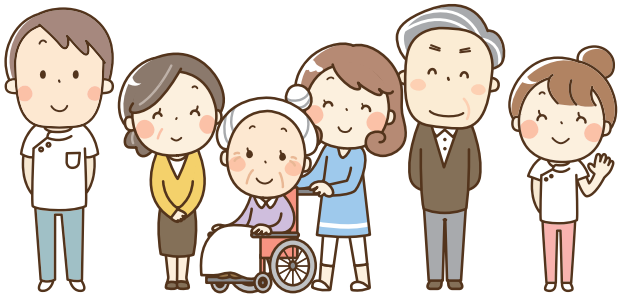
▷利用者の「状態像」を維持・改善する事業者への評価・インセンティブの付与や、事業者への適正な指導・監督等を通じて、介護サービスの質のさらなる向上を進めます。

(2) 施設・居住系サービスの適正な提供

▷様々な状況により在宅生活が困難となった人に必要なサービスが提供できるよう、政令指定都市の中でも比較的高い整備率である現状も踏まえながら、将来的な高齢者の人口動態、待機者や認知症高齢者の状況、介護離職の防止や介護負担の軽減の観点、地域におけるサービスの偏在性等を総合的に検証し、適正な施設整備を進めます。

▷地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は、地域の介護・福祉の拠点としての位置付けも考慮し、2施設58床の整備を行います。

▷認知症対応型共同生活介護は、今後も認知症高齢者数の増加が予想されることから、事業所の質を担保しつつ、引き続き適正な施設整備を進め、2施設36床の整備を行います。



重点施策９　介護サービスの適切な運営

⑴　介護人材の確保・育成・定着

▷介護人材の確保・育成・定着に向けて、中長期的な視点を持ちながら、介護事業所や関係団体等と連携し、様々な取組を総合的に進めます。学生など若年層への介護職の魅力・やりがい等を発信するとともに、離職した介護人材の呼び戻しや中高年齢者等の就労促進を進めます。

▷介護事業所への講師派遣による課題解決や離職防止支援、就労環境の改善の働きかけ、介護職員の資質向上やキャリア形成に向けた各種研修等により、介護人材の育成・定着を図ります。

⑵　介護事業者への支援

▷介護ロボットの貸与等を通じて介護事業所、介護人材等の負担軽減を図るとともに、利用者の状態を維持・改善する事業者への評価・インセンティブの付与や、事業者への適正な指導・監督等を通じて、介護サービスの質のさらなる向上を進めます。

⑶　介護保険サービスの質の確保と向上

▷介護サービスの利用者が安心して多様なサービスを利用できるよう、わかりやすい情報提供や相談・苦情対応に努めるなど、情報提供・相談体制を充実させます。あわせて、様々な場面を通じて、地域包括ケアシステムや介護保険制度の趣旨、「自立」の意味等について、市民理解の醸成を進めます。

▷要介護認定や介護給付の適正化をさらに進め、適切なサービスを確保し、結果として、介護給付費や介護保険料の増大を抑制し、持続可能な介護保険制度の構築を進めます。

▷引き続き、低所得者に対する費用負担の配慮を行い、必要なサービスを安心して利用できる体制づくりを進めます。



コラム　福祉・介護施設等での外国人人材の活用事例

○国の推計では、2025年（平成37年）における福祉・介護人材の需給ギャップは全国で約38万人とされており、そのうち岡山県では約６千人に達する見込みです。こうした中、本市においても福祉・介護人材不足の解消策の一つとして、外国人人材の活用等を進める施設があります。

１　障がい福祉施設の事例（外国人人材の活用等）

・ある施設では、系列や連携している専門学校に、現地で面接を行った東南アジアの外国人学生を入学させ、要件を満たす学生には奨学金を支援することで、より優れたスキルを有する人材を積極的に育成しています。また、日本人・外国人共通の技能・給与体系等の判定基準を適用しており、スキルの高い人材に高い給与を出せるようにして、自発的な定着につなげています。

２　特別養護老人ホームの事例（外国人人材の活用等）

・ある施設では、経済連携協定（EPA）を活用し、常勤・非常勤を含めた全職員55人中４人について、外国人人材を採用しています。いずれの方もインドネシアの出身で、介護サービスの提供に支障のない程度の日本語会話能力を有しています。将来的には、訪問サービスへの外国人人材の活用を図りたいとのことですが、訪問サービスは、より自立度の高い高齢者へのサービス提供となり、一層高度な日本語会話能力が求められるため、まずは、施設への外国人人材の定着・活用を進めたいとのことでした。

・当施設では、外国人人材の定着に向けて、国で定められた日本語研修に加え、市の観光名所への案内や地元町内会との交流等の独自の取組を行っています。

5 介護保険給付費等の見込み及び保険料額

今後の各介護保険サービス必要量及び施設・居住系の整備計画等を踏まえ、各介護保険サービス給付費等を推計しました。

図表　介護予防サービス見込量

■介護予防サービス		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
介護予防訪問介護	人　数（人）			
介護予防訪問入浴介護	回　数（回）	0	0	0
	人　数（人）	0	0	0
介護予防訪問看護	回　数（回）	3,239	3,697	4,174
	人　数（人）	429	493	560
介護予防訪問リハビリテーション	回　数（回）	1,048	1,319	1,595
	人　数（人）	102	130	159
介護予防居宅療養管理指導	人　数（人）	274	319	355
介護予防通所介護	人　数（人）			
介護予防通所リハビリテーション	人　数（人）	1,328	1,443	1,571
介護予防短期入所生活介護	日　数（日）	254	258	264
	人　数（人）	48	48	48
介護予防短期入所療養介護（老健）	日　数（日）	29	29	30
	人　数（人）	5	5	5
介護予防短期入所療養介護（病院等）	日　数（日）	0	0	0
	人　数（人）	0	0	0
介護予防福祉用具貸与	人　数（人）	3,063	3,437	3,841
特定介護予防福祉用具購入費	人　数（人）	62	64	65
介護予防住宅改修	人　数（人）	97	108	120
介護予防特定施設入居者生活介護	人　数（人）	192	193	196
■地域密着型介護予防サービス				
介護予防認知症対応型通所介護	回　数（回）	211	313	403
	人　数（人）	26	37	47
介護予防小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	183	206	225
介護予防認知症対応型共同生活介護	人　数（人）	6	7	7
■介護予防支援	人　数（人）	3,815	3,889	3,985

※回（日）数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数

図表　介護サービス見込量

■居宅サービス		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
訪問介護	回　数（回）	103,838	104,118	104,408
	人　数（人）	5,206	5,220	5,234
訪問入浴介護	回　数（回）	684	686	686
	人　数（人）	140	140	140
訪問看護	回　数（回）	24,505	25,115	25,418
	人　数（人）	2,325	2,403	2,459
訪問リハビリテーション	回　数（回）	4,900	5,046	5,145
	人　数（人）	408	420	428
居宅療養管理指導	人　数（人）	4,407	4,717	4,971
通所介護	回　数（回）	73,134	75,108	77,184
	人　数（人）	6,513	6,672	6,839

通所リハビリテーション	回　数（回）	28,287	28,462	28,519
	人　数（人）	2,977	2,995	3,000
短期入所生活介護	日　数（日）	21,232	21,559	21,818
	人　数（人）	1,820	1,822	1,824
短期入所療養介護（老健）	日　数（日）	1,167	1,221	1,270
	人　数（人）	151	155	157
短期入所療養介護（病院等）	日　数（日）	262	266	269
	人　数（人）	27	27	27
福祉用具貸与	人　数（人）	9,840	9,966	10,013
特定福祉用具購入費	人　数（人）	181	183	184
住宅改修費	人　数（人）	167	174	180
特定施設入居者生活介護	人　数（人）	1,498	1,558	1,620
■地域密着型サービス				
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人　数（人）	226	256	301
夜間対応型訪問介護	人　数（人）	15	15	15
認知症対応型通所介護	回　数（回）	2,188	2,304	2,417
	人　数（人）	187	196	205
小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	1,186	1,216	1,234
認知症対応型共同生活介護	人　数（人）	1,643	1,676	1,716
地域密着型 特定施設入居者生活介護	人　数（人）	0	0	0
地域密着型 介護老人福祉施設入所者生活介護	人　数（人）	848	881	938
看護小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	46	75	104
地域密着型通所介護	回　数（回）	24,824	25,344	25,602
	人　数（人）	2,335	2,364	2,388
■施設サービス				
介護老人福祉施設	人　数（人）	2,414	2,421	2,421
介護老人保健施設	人　数（人）	1,990	2,003	2,013
介護医療院	人　数（人）	0	0	0
介護療養型医療施設	人　数（人）	76	76	76
■居宅介護支援	人　数（人）	14,847	14,860	14,887

※回（日）数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数

▶ 介護保険給付にかかる費用等の推計

第７期計画期間における各介護（介護予防）サービスの給付見込みの推計に基づいて、介護保険給付にかかる費用を算定し、その他費用として、第６期の実績に基づき、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費、審査支払手数料を算定しました。

図表　介護保険給付にかかる費用等の推計　　単位：千円

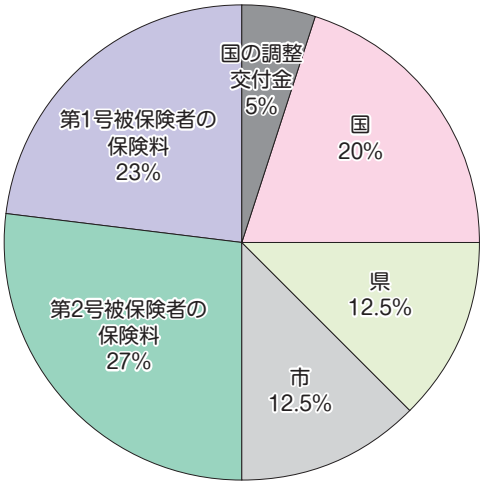
	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）
給付費等見込額	56,665,106	57,924,722	59,162,185
介護予防サービス給付費	1,576,670	1,720,342	1,866,546
介護サービス給付費	52,073,584	53,036,907	53,966,214
特定入所者介護サービス費等給付額	1,659,763	1,681,799	1,716,315
高額介護サービス費等給付額	1,057,792	1,174,525	1,243,656
高額医療合算介護サービス費等給付額	219,315	230,281	285,594
算定対象審査支払手数料	77,982	80,868	83,860
地域支援事業費	3,386,260	3,465,926	3,533,924
合　　計	60,051,366	61,390,648	62,696,109

▶ 介護保険給付費の財源構成

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合うためにつくられたものです。

介護サービスの提供に必要な費用（自己負担分を除く）は、その50%を公費で、27%を40歳から64歳までの医療保険加入者（第2号被保険者）の保険料で、残りの23%を65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料で支えるしくみとなっています。

図表　介護保険給付費の財源構成



▶ 介護保険料の算定について

第１号被保険者の介護保険料は、各保険者（市町村）が、計画の策定を通じて、３年ごとに算定・見直しを行います。第７期計画期間中の基準月額については、高齢者数の増加に伴うサービス利用者数の増加や、第１号被保険者の保険料負担割合の変更などの上昇要因もありますが、介護予防・状態改善の取組や、介護給付適正化をさらに推進した上で、岡山市の介護給付費準備基金を充当することにより、第６期の6,160円と同額にします。

なお、平成37（2025）年度における介護保険料基準月額は、高齢者人口及び要介護（要支援）認定者の将来推計を踏まえ、第７期における給付費算定の利用人数の伸び、サービス利用率、サービス利用回数等が、今後も同様に推移すると想定し、8,200円程度と見込んでいます。

第７期介護保険料額（基準月額）6,160円

図表　介護保険料等の推移・推計

	第６期（平成28年10月）	第７期（平成31年10月）	伸び率
総人口	708,134人	711,307人	0.4%
第1号被保険者	178,072人	184,449人	3.6%
65～74歳	92,216人	89,761人	-2.7%
75歳以上	85,856人	94,688人	10.3%
要介護認定者	37,820人	39,260人	3.8%
主な介護保険給付費（年度）	514.2億円	547.6億円	6.5%
居宅介護（介護予防）	260.9億円	264.8億円	1.5%
地域密着型	120.8億円	141.5億円	17.1%
施設介護	132.5億円	141.3億円	6.6%
介護保険料	6,160円	6,160円	0.0%

図表　介護保険料段階区分（平成30（2018）～32（2020）年度）

所得段階	対　象　者	保険料率	保険料月額
第１段階	生活保護の受給者 老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税 中国残留邦人支援給付受給者	基準額 ×0.45	2,772円
	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円以下		
第２段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円を超え120万円以下	基準額 ×0.7	4,312円
第３段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が120万円を超える	基準額 ×0.75	4,620円
第４段階	本人が市民税非課税で世帯に課税者がいる人で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円以下	基準額 ×0.85	5,236円
第５段階	本人が市民税非課税で世帯に課税者がいる人で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円を超える	基準額	6,160円
第６段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円未満	基準額 ×1.15	7,084円
第７段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円以上190万円未満	基準額 ×1.25	7,700円
第８段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が190万円以上400万円未満	基準額 ×1.5	9,240円
第９段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が400万円以上600万円未満	基準額 ×1.75	10,780円
第10段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が600万円以上800万円未満	基準額 ×2.0	12,320円
第11段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が800万円以上1,000万円未満	基準額 ×2.25	13,860円
第12段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が1,000万円以上	基準額 ×2.5	15,400円

平成30年度 ～ 平成32年度
岡山市第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
（地域包括ケア計画）

発行元　岡山市 保健福祉局 高齢福祉部 地域包括ケア推進課
住　所　〒700-8546 岡山県岡山市北区鹿田町一丁目１－１
連絡先　TEL:086-803-1246　FAX:086-803-1780

（別紙4）シラバス：マネジメント論、コーチング、起業入門、NPO論

科目名	マネジメント論			担当者	佐々木公之			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

組織のマネジメントに関わる基本理論を学ぶ。組織全体をマネジメントするという発想だけでなく、組織に所属する個人、下位組織としての集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得する。この科目を履修することで対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にし、目標を達成するための力（管理力）を身につける。

【授業の方法】

講義形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス - マネジメント論とは -
2	経営戦略の意義 - 経営理念・組織構成 -
3	全社戦略 - 事業領域（ドメイン）とコア・コンピタンス -
4	事業戦略 - 外部環境分析と業界分析（５つの力） -
5	マーケティング① - 環境分析と市場戦略（ＳＴＰ） -
6	マーケティング② - マーケティング・ミックス -
7	会計とファイナンス① - 経営と企業財務 -
8	会計とファイナンス② - 決算と投資 -
9	人・組織のマネジメント① - 組織行動学と人的資源 -
10	人・組織のマネジメント② - モチベーションと集団のメカニズム -
11	人・組織のマネジメント③ - 組織と人事システム -
12	グループワーク① - 多職種連携におけるリーダーシップとマネジメント -
13	グループワーク② - 地域包括ケアにおけるマネジメント
14	グループワーク③ - 医療事業における効果的マネジメント
15	総括 - 医療業界とマネジメント力の可能性 -

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験80%、発表20%で総合的に判定する。総合得点が60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。ノートにまとめて振り返ること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

☐ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

☐ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献

必要時に指示・配布する。

（別紙4）シラバス：マネジメント論、コーチング、起業入門、NPO論

科目名	コーチング論			担当者	山下立次			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：サービスを形にし提供するためには、他者の協力は欠かせない。そこで、コーチングの観点から学びサービスを創造し、ビジネス場面での人的資源の活用方法や課題について学ぶ。

日本におけるコーチングは、ここ10年ぐらいでビジネス界を中心に管理職の必須スキルとして広がり、多くの人々の成長や変化に大きく貢献している。このコーチングの基礎理論とコミュニケーションスキルを理解し、上司や部下の関係、仲間や親子関係等の普段の生活や仕事において実践できる能力を身につける。この科目を履修することで対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にするために必要な知識と技術を身につける。

【授業の方法】 1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	コーチングとは何か
2	目的と目標
3	傾聴・質問・承認・フィードバック
4	夢の実現に向けた逆算
5	PDCAの習慣化
6	論理的に考える力を引き出す
7	コミュニケーションⅠ
8	コミュニケーションⅡ
9	課題解決Ⅰ
10	課題解決Ⅱ
11	ボスとリーダー
12	対象に応じたコーチング
13	コーチングにおけるモラル&バランス
14	職業人に求められる資質と能力
15	コーチングのまとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて配布資料を熟読する。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
毎回の授業でプリント資料を配布する。	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（別紙4）シラバス：マネジメント論、コーチング、起業入門、NPO論

科目名	起業入門			担当者	塩見均			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】
この授業では、ベンチャーキャピタルを起業した経験から、起業活動の実例を教授し、それを紐解くことにより、起業という活動がどのような活動であるのかを理解していく。またワークショップ形式により、ごく簡単な事業計画を作成する。

【到達目標】
自ら起業することを想定し、思考することを通して、ごく簡単な事業計画を作成できる。

【授業の方法】

講義形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	起業とは何か
2	自らの起業・ビジネス体験
3	起業のメリットとデメリット
4	どのように起業するかを学び、グループ討論を行う。
5	技術を核にしてビジネス化
6	資金調達とベンチャーキャピタルについて
7	ビジネスプラン作成：健康寿命を延伸するビジネスのアイディアを探す
8	起業のアイディア：30秒で自分のアイディアを人に伝えてみる。
9	グループワーク1）アイディアを事業化に向けて煮詰める
10	グループワーク2）健康寿命を延伸するアイディアを事業化するプランの検討
11	事業計画書の作成、構成について
12	事業計画案作成１：ワークシートを用いて事業計画書を作成する。
13	事業計画案作成２：ワークシートを用いて事業計画書を作成する。
14	事業計画発表会：各自が立案した事業計画を発表し、意見交換する。
15	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
提出物：事業計画書を80%、事業計画発表会の発表を20%で評価する。	事業計画書提出、事業計画発表会でのプレゼンテーション
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。ノートにまとめて振り返ること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献

必要時に指示・配布する。

（別紙4）シラバス：マネジメント論、コーチング、起業入門、NPO論

科目名	NPO論			担当者	長田貴仁			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「NPO論」ではあるが、NPOに特化し過ぎることで、NPOしか知らない「井の中の蛙」にならないようにしたい。そのため、経営学の企業統治（コーポレート・ガバナンス）についての知識を深め、「経営」についての基礎的知識を修得した上で、ソーシャルビジネスという大きな枠組みから俯瞰しNPOについて解説する。

到達目標：１．経営という視点からNPOを理解できるようになる。２．事業を通しての社会貢献について知見を深められる。３．NPOとは何かが学べ、その設立方法を修得できる。

【授業の方法】

講義形式。適宜、Q&Aセッションを設ける。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ソーシャルビジネスの定義
2	市場による社会問題の解決
3	政府による社会問題の解決
4	慈善による社会問題の解決
5	事業による社会問題の解決
6	非営利組織（NPO）とは
7	非営利組織の役割とミッション
8	NPO法人の仕組みと実態
9	日本における非営利組織の分類
10	岡山の非営利組織の活動事例1）高齢者や障害者を支援するNPO
11	岡山の非営利組織の活動事例2）岡山地域の活性化に貢献するNPO
12	岡山の非営利組織の活動事例3）健康寿命延伸のために活動するNPO
13	非営利組織のマネジメント
14	非営利組織の統治
15	社会貢献における営利企業と非営利組織

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
期末試験：100％	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等） 予習：1時間　テキストや指示したペーパーを熟読しておくこと。 復習：1時間　講義ノートを整理する。	履修上の留意事項 居眠り、私語のような組織（クラス）のモチベーションを落とす行動、無断欠席は言語道断。 「社会人の基準」をすべての点で適用する。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
吉村典彦・他『企業統治』中央経済社	NPOの設立方法に関する書籍を講義内で紹介する。

参考文献

適宜、紹介する。

(別紙5)シラバス:理学療法学科:評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ 、作業療法学科:評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ

科目名	評価実習			担当者	横山暁大・那須宣宏・田村正樹			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。

到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　医療面接試験
オリエンテーション

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	医療面接試験の合格者

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	永野克人・山下裕之・那須宣宏			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】

理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　OSCE　内容：理学療法評価（検査・測定）、訓練。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査/ROM-ex/筋力増強運動
オリエンテーション

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	OSCEの合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	増川武利・鈴木啓子・小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	前期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要： 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。

到達目標：①諸種の理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】

理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表、
OSCE　内容：理学療法評価（検査・測定）、訓練。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査/ROM-ex/筋力増強運動

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE
授業時間外学修（予習・復習等） 実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	履修上の留意事項 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する

科目名	評価実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期 単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。

到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　医療面接試験
オリエンテーション

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	医療面接試験の合格者

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期 単位数	後期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　OSCE　内容：作業療法評価（検査・測定）、訓練。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/認知機能検査/ROM-ex/
更衣動作訓練/整容動作訓練。
オリエンテーション

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等） 実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	履修上の留意事項 OSCEの合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【watanabe@motoyama-e.com　　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期 単位数	前期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】　作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表、
OSCE　内容：作業療法評価（検査・測定）、訓練。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/認知機能検査/ROM-ex/
更衣動作訓練/整容動作訓練。

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、OSCE
授業時間外学修（予習・復習等） 実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	履修上の留意事項 OSCEの合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

審査意見への対応を記載した書類（７月）

（目次）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

1. 補正申請書で示された専門職大学として養成する人材像は、実現可能性に疑義がある。ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて、目標設定について審査意見【２】、【３】、【８】、【９】及び【１０】 の意見対応を踏まえ、改めて実現可能性のある教育課程を説明すること。（是正意見）・・・

6. 一定程度の定員充足の見通しが示されたが、定員充足の根拠の一つとしている客観的データのクロス集計方法に疑義がある。例えば、本学のオープンキャンパス参加者を対象としたアンケート調査の分析は、４年制大学への進学希望学生と、短期大学や専門学校への進学希望学生を区分せずに、専門職大学への進学希望者と想定した分析がされており、不適切であるため改めること。（改善意見）・・・

見）・・91

11. 臨地実務実習の以下の点を是正すること。（是正意見）

（１）臨地実務実習前に、能力到達度確認としてOSCE（客観的臨床能力試験）を行うことが説明されたが、臨地実務実習の各シラバスでは実習の前後でＯＳＣＥを行うと思われる記載がされているが、実現可能性に疑義があるため、ＯＳＣＥの実施方法や時期について具体的に明らかにすること。・・104

（２）臨地実務実習はＯＳＣＥに合格しなければ参加できないことを踏まえると、履修登録後にＯＳＣＥに不合格だった者は科目を履修することができないため、臨地実務実習の履修条件にＯＳＣＥの合格を含めること。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

（３）臨地実務実習指導要項に記載されている臨地実務実習の成績評価の割合が、シラバス上の成績評価の割合と不一致となっているため改めること。また、臨地実務実習指導要項で成績評価体制及び単位認定方法として実技試験、筆記試験、実習実施報告会等が挙げられているが、その具体的な評価内容と基準を明らかにすること。・・・・・・・・・・・

12. 専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。（是正意見）・・115

審査意見への対応を記載した書類（７月）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

1. 補正申請書で示された専門職大学として養成する人材像は、実現可能性に疑義がある。ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて、目標設定について審査意見【２】、【３】、【８】、【９】及び【１０】 の意見対応を踏まえ、改めて実現可能性のある教育課程を説明すること。

（対応）是正意見１において、専門職大学として養成する人材像は、実現可能性に疑義があるため、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて人材像の実現可能性について説明するようご指摘をいただいた。さらに先の面接審査において、本学が提示したカリキュラム・ポリシーは､カリキュラム･ポリシーとして不適切であるとのご指摘をいただいたことを受けて、カリキュラム・ポリシーを全面的に改めた。また、「外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力」の問題については、審査意見【３】、【８】、【９】および面接審査で多くのご指摘を受けたため、これに関するディプロマ・ポリシーも一部変更した。このような経緯を踏まえて、最初に、一部変更したディプロマ・ポリシーと、新しく策定したカリキュラム・ポリシーを提示します。

理学療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

理学療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。

2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。

3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。

5）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。

②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。

③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。

④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。

⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。
⑥健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。
⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。
⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。
⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。
⑪完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。
⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。
⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。
⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。
⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

作業療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

作業療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。
3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。

5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。

②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。

③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。

④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。

⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。

⑥地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。

⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。

⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。

⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。

⑪完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。

⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。
⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

(2) 専門職大学として養成する人材像の実現可能性について疑義があり、その対応には、審査意見【２】、【３】、【８】、【９】及び【１０】 の意見対応を踏まえ、改めて実現可能性のある教育課程を説明するようにとのご指摘をいただいたので、改めて説明いたします。

1) 今回、審査意見【３】【８】【９】で、「外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力」の修得の実現可能性への疑義をいただいたことから、まずこの疑義に対して、本学が意図した英語力、その達成に向けての科目配置、科目から修得する能力および目標の実現可能性について以下に説明いたします。

「外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力」という表現について、本学がディプロマ・ポリシー2) で意図している内容と求める英語力のレベルについては以下のとおりである。

ディプロマ・ポリシー2) で、外国人患者の受け入れに対する本学の意図は、岡山市で増え続ける在留外国人（岡山県の在留外国人数は、2017 年時点で 25,994 人であり、最近ではアジア圏を中心に 1 年に約 1,700 人超のペースで増加を続けている。そしてこの在留外国人のうち 47.1%は岡山市に在住している）が、病気や怪我でリハビリテーションを必要とする状況になった時に、職業現場で、外国人患者の受け入れに違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることのないように基礎的な知識と基礎的英語力を身につけておくことであり、必ずしも相当程度高い英語力を意図したものではなかった。この意図を明確にするため、ディプロマ・ポリシー2) については、「職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。」としていたものを、「職業現場で、外国人患者を受け入れることができる基礎的な姿勢を備える。」に改めた。

この基礎的な姿勢を備えるという目標の実現のために以下のような科目を配置した。まず、外国人と接する時に必要な基礎的な知識として、日本人として改めて日本の文化や歴史を知ることが肝要であることから「日本の歴史と文化」を、同時に外国の政治や経済の動きを知ることも必要であることから「国際政治経済論」を配置した。この 2 科目は、基礎的な姿勢の大切な要素と位置づけられ、また後述の英語力の習得のための科目との橋渡し的役割を担うものである。これらの科目では、いずれも英語教材を使用することにより、英語により日本の文化や歴史を理解する力を養い、英語により外国の政治や経済の動きを知ることで外国への親近感をもたせることができる。このような基礎的な知識と合わせて、基礎的英語力については、入学前にリメディアル教育（教育課程外）を行い、基礎的英語力の確認と補完を行う。そして基礎的英語力を鍛錬するために「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置した。これらの科目では、日本語

を交えて主に英語により授業が行われる。前者では、自主的に英語によるコミュニケーションを行う姿勢を育み、英語を話すことに対する抵抗感や躊躇する気持ちを薄め、外国人への基礎的な対応ができるようになることを目指す。「メディカル英語」（【8】でご指摘をいただいた選択科目になっている「メディカル英語」については、必修科目に変更する。）では、実際に患者を想定して初診から治療に至るまでの基礎的な対応、訓練時に必要なコミュニケーション力等、臨床現場に関連した様々な内容について実践的な授業を主に英語により行い、リハビリの臨床現場に必要な医療英語の理解力と英会話力を身につける。このような科目配置と、リメディアル教育の導入、「メディカル英語」の必修化等により、外国人患者に対し、違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることなく受け入れる姿勢を身につけるための基礎的な知識と基礎的英語力を備える、という本学の意図を実現することができると考える。なお英語力の評価については、この目的で配置する 4 科目の単位を取得できるレベルを考えているが、中でも臨床現場を想定して行われる「メディカル英語」のシラバスの到達目標に達することで対応可能と考えている。

2)　人材育成の実現に疑義があるとのご指摘を、審査意見【１0】において、両学科の展開科目に新しく設置した 7 科目と人材育成像との関係が不明確であるとのご指摘をいただいたことに基づき、審査意見【１0】への対応と一部に【２】への対応も踏まえて、以下に説明いたします。

理学療法学科が育成する人材像は、「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」である。そして作業療法学科が育成する人材像は、「最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」である。

いずれも理学療法士あるいは作業療法士として、まず各々の領域の最新の専門知識と高度な実践技能をもち、自己研鑽を怠らない姿勢をもつことを掲げ、それに加えて、様々な地域のニーズに対して、各々の学科の独自性を活かしたサービスが展開できる理学療法士あるいは作業療法士を育成することを主眼としている。即ち、【２】において示したように、理学療法学科の独自性は、身体機能の向上に寄与するサービスを展開することで地域に居住する人々の健康寿命の延伸に貢献し、さらにそれを通じて地域の活性化に寄与する視点をもった理学療法士を育成するところにあり、作業療法学科の独自性は、作業活動を活用した自立生活支援に寄与するサービスを展開することで障害者等の地域生活移行の促進に貢献し、さらに健常者・障害者を問わず幅広い世代の人々が住み慣れた地域で共生するために、生活に密着した地域コミュニティづくりの視点を持った作業療法士を養成するところにある。

この両学科の独自性を踏まえた人材像の実現には、展開科目が大きな役割を担うことになる。そこで、各々の学科の独自性を踏まえて、各々の学科に独自の展開科目としてそれぞれ 7 科目を配置した。これらの 7 科目を配置した理由と 7 科目から修得される能力および人材像の実現可能

性について学科別に以下のとおり説明する。

理学療法学科

地域のニーズに対して、本学科で育成する理学療法士の役割として、まず健康寿命の延伸を挙げた。この健康寿命の延伸についての知識を修得するための教育内容は多岐にわたるが、中でも、健康な体の維持のための食生活、日常生活やスポーツの中での身体運動、生体からの様々な情報を知ることの三つの要素が重要であると考え、この三つの要素を修得するために、「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」「生体情報科学」を配置した。

「食生活マネジメント論」では、健康における食生活の重要性と食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深め、在宅生活を支える食生活の重要性の理解も深める。「スポーツ科学」では、身体運動を科学するためのアプローチの仕方を学び、対象者の課題やニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探求する。「生体情報科学」では、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などのからウエアラブル端末や IoT 等を活用した健康に関する情報を収集する基本的な技能について学び、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために情報を活用する力を修得する。

これらの科目から、健康寿命の延伸の基本となる健全な食生活や身体運動のあり方、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な生体情報の収集方法を学修することによって、対象者の身体機能の維持・改善と予防に寄与し、健康寿命の延伸およびそのためのサービスを提供する上で必須の能力を修得することができる。

そして、健康寿命の延伸の主な要素に関する知識を修得した後には、これらを地域のニーズに合わせて、多職種と協働して新たなサービスへと発展させる能力を身につけることが必要である。そのためには、多職種と協働して組織をマネジメントでき、組織の人材を有効活用し、さらに組織の運営の実際を知り、非営利組織を含めて地域のニーズに沿った起業活動のノウハウを知ることが必要である。このような考え方から「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」を配置した。

「マネジメント論」では、組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にして目標を達成するための能力を修得する。「コーチング論」では、人の能力や可能性を伸ばし、他者との協働や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。「起業入門」では、自らが起業することを想定して思考することを通じて起業に関わる基礎的知識を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。「NPO 論」では、非営利組織である NPO の理念を知り組織の運営のあり方を学び、市民や行政や企業等多職種と協働し、社会や地域課題の解決に向けたサービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する能力を育成する。

これらの科目から、他者との協力や人的資源を有効に活用する方法やスキル、起業にかかわる基本的なノウハウ、対象者や地域のニーズに対応する新しいサービスの創造等について学び、新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域のニーズに対応できる能力を修得することができる。

このように、理学療法学科に配置した 7 科目は、人材像に掲げた「身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する」という目的に合致した科目配置であり、これらを学修しそれぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能と考える。

作業療法学科

本学で育成する作業療法士が地域のニーズに対して担う役割として、地域を理解し地域生活を支援するためのサービスを展開し地域コミュニティづくりにつなげていく能力を身につける必要がある。そのためには、社会の基本構成単位である家族の理解、地域および地域生活のあり方、そして地域コミュニティへの関わり方の三つの要素を理解することが欠かせない。それらを学修するために、「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」を配置した。

「家族関係論」では、社会を構成する基本単位としての家族関係を中心とした人間相互の関わりの成り立ちやその意義を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を修得する。「地域社会論」では、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する能力を修得し、地域活性化に向けての新規事業の創造の重要性を学ぶ。

「コミュニティ形成論」では、地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、コミュニティ形成の基本知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。

これらの科目から、社会を構成する最小単位である家族についてその課題を分析し解決する能力、地域づくりや地域の活性化に向けた新しいサービスの創造や地域コミュニティを活性化させるコーディネート力やマネジメント力を学修し、地域生活を支援する能力を修得することができる。

そして、修得した家族や地域に関する理解や地域生活を支える能力を基にして、次は子供から高齢者に至る幅広い世代がそれぞれのライフサイクルに合わせて、いきいきと生活できる環境づくりに発展させていく能力の修得が必要になる。具体的には、対象者のライフサイクルに沿った生活課題を知り、子供から大人までの各世代の健康課題を知り、対象者を取り巻く環境因子について知ることが肝要であり、それらを知った上で対象者や地域への新たなサービスを提供していくことになる。またライフステージを考える時に、障害をもつ子供への教育環境づくりは欠かせない課題である。これらを学ぶために、「ライフサイクル論」「地域生活と健康」「人間工学」「特別支援教育」を配置した。

「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。「地域生活と健康」では、様々な対象者やライフステージに合わせた健康の維持・増進および健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を修得する。「人間工学」では、人と人を取り囲む様々なものや環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。教育現場で期待され

ている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学修し、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成していくための基礎的な力を修得するために「特別支援教育」を配置した。

これらの科目から、弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と子供を含め障害を持つ人が共にいきいきと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須のライフステージに適した新たなサービスを提供する知識と能力が修得できる。

このように、作業療法学科に独自に配置した 7 科目は、人材像に掲げた「子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材」を育成するという目的に合致した科目配置であり、これらを学修しそれぞれの能力を身につけることにより掲げた人材像の実現は可能であると考える。

今回ご指摘をいただいた専門職大学として養成する人材像の実現可能性に対する疑義について、その疑義の主たる対象となった「外国人患者の受け入れにおける英語力の問題」および「各学科で設置した展開科目の 7 科目と人材像との関係」について、科目を配置した理由、配置した科目の学習内容、科目により修得される能力および修得した能力と人材像の実現可能性について、前者では、審査意見【３】、【８】、【９】を踏まえて、後者では、審査意見【２】、【１０】を踏まえて、改めて実現可能性のある教育課程を配置していることを説明した。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P6）、ディプリマ・ポリシー

新	旧
① 設置の趣旨及び必要性 （中略） **3）本学の人材育成教育** 各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。	**① 設置の趣旨及び必要性** （中略） **3）本学の人材育成教育** 各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニ

5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	ーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P38）

新	旧
３．卒業要件 （１）卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマポリシー） 本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を取得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。	３．卒業要件 （１）卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマポリシー） 本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を取得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。

3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。 3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	3)理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持･改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し､地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3)作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し､多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P11）

新	旧
④教育課程の編成の考え方及び特色 １．カリキュラム編成の考え方 各学科のカリキュラム・ポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） **教育課程の編成**	④教育課程の編成の考え方及び特色 １．カリキュラム編成の考え方 各学科のカリキュラムポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。 2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。 ⑥健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。 **教育内容・方法** ⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。 ⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑪完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。	勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）理論と実習を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。 4）対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。 5）理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。 （作業療法学科） 1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。 2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）理論と実習を架橋し、作業療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。 4）対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。 5）作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。

⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。 **学修成果の評価** 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。 （作業療法学科） **教育課程の編成** ①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。 ②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。 ③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。 ④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。 ⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。	

⑥地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。 ⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。 ⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。 **教育内容・方法** ⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。 ⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。 ⑪完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。 ⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。 ⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。 **学修成果の評価** 全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。 ⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。 ⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。 ⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置さ	

れ、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P26－30）

新	旧
（３）展開科目 （前略） 1.理学療法学科 理学療法学科が育成する人材像は、「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持･改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持･改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。」を掲げている。このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために 10 科目の展開科目を配置し、配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学修内容、科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係等について以下に説明する。 理学療法士として対象者や地域との連携を深め新たなサービスを展開していくためには、まず、基本的資質として人の尊厳を遵守し豊かな感性をもって対応していくことが肝要である。その基本的資質を涵養するために、人を深く知り人の尊厳を知り豊かな感性をもつ必要があり、また社会の中での人間形成について知る必要がある。これが以下の科目を配置する理由である。前者の修得のために、「ヒューマンサービス論」を置き、	（３）展開科目 （前略） 1） 理学療法学科における展開科目を通じて育成する力 理学療法学科では対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを組織化する力を身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する。 人々が幸せに暮らし社会で活躍するためには、健やかな心身は欠かせない。急速に進む高齢化社会では、人々が病を抱えて生きることも当たり前となり、それを公的負担で支えるには限界がある。そこで人々の健康にかかわる新たな枠組みを創出し、多様な主体と連携して人々が健康で社会に参画し続けるために必要なサービスを提供する力を養う。 具体的には、2 年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービス創造の基盤を育成する。3 年後期「人間形成論」では、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。 さらに 3 年後期「生体情報科学」で、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などからウェアラブル端末や IoT などを活用した健康に関する情報を収集する基本的技能について学び、効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために生体情報を活用する

この科目で、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、深い人間理解を基盤としてヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を修得する。後者の修得のために「人間形成論」を配置し、社会生活における人間形成に理解を深め、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。

これらの科目から、深い人間理解を基盤として対象者に対してその思いを深く受け止め共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する力を修得する。

このような資質を基盤として、次は、対象者および地域のニーズである健康寿命の延伸を図るサービスの展開へとつなげていく。

この健康寿命の延伸のために必要な要素は多様であるが、中でも、健康な体の維持のための食生活、日常生活やスポーツの中での身体運動、生体からの様々な情報を知ることの三つの要素が重要であると考えた。そこで、健康寿命を延伸する能力を修得するために、この三つの要素を組み入れて、「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」「生体情報科学」を配置した。

「食生活マネジメント論」では、健康における食生活の重要性と食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深め、在宅生活を支える食生活の重要性の理解も深める。「スポーツ科学」では、身体運動を科学するためのアプローチの仕方を学び、対象者の課題やニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。「生体情報科学」では、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などのからウエアラブル端末や IoT 等を活用した健康に関する情報を収集する基本的な技能について学び、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するため力を育成する。

4 年前期「スポーツ科学」で、身体運動を科学するためのアプローチ方法を学び、対象者のニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。また 3 年前期「食生活マネジメント論」で、健康における食生活の重要性と、食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深める。

このようにして、対象者の置かれた状況を的確に把握し、心と体を深く理解し尊重する姿勢と、健全な運動と食生活のあり方を修得することによって、対象者の身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供するうえで必須の能力を育成する。

また 4 年前期「マネジメント論」において、組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、さらに 4 年前期「コーチング論」で、人の能力や可能性を伸ばし、人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。さらに 4 年前期「起業入門」では、起業に関わる基礎的知識と技能を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。加えて 4 年前期「NPO 論」によって、NPO の理念を知り組織の運営の在り方を学び、サービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する力を育成する。最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。

こうして展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関連事業・福祉機器関連事業など新たな職業現場において、対象者が真に

に情報を活用する力を修得する。

これらの科目から、健康寿命の延伸の基本となる健全な食生活や身体運動のあり方、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な生体情報の収集方法を学ぶことによって、対象者の身体機能の維持・改善と予防に寄与し、健康寿命の延伸およびそのためのサービスを提供する上で必須の能力を修得する。

そして、前記の科目で修得した健康寿命の延伸に関する知識を基にして、これらを地域のニーズに合わせて、多職種と協働して新たなサービスへと発展させる能力が必要となる。そのためには、多職種と協働して組織のマネジメントができ、組織の人材を有効活用し、さらに組織の運営の実際を知り、地域のニーズに沿った起業活動のノウハウを修得することが必要である。この目的で「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」を配置した。

「マネジメント論」では、組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にして目標を達成するための能力を修得する。「コーチング論」では、人の能力や可能性を伸ばし、他者との協働や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。「起業入門」では、自らが起業することを想定して思考することを通じて起業に関わる基礎的知識を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。「NPO 論」では、非営利組織である NPO の理念を知り組織の運営のあり方を学び、市民や行政や企業等多職種と協働し、社会や地域課題の解決に向けたサービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する能力を育成する。

これらの科目から、他者との協力や人的資源を有効に活用する方法やスキル、起業にかかわる基本的なノウハウ、対象者や地域のニーズに対応す必要とするサービスを提案し活躍の場を広げることができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

2）作業療法学科における展開科目を通じて育成する力

作業療法学科では、対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識と専門技術を駆使して、対象者が住み慣れた地域で自立した生活を実現するために、人の健康と生活にかかわる諸問題を解決する力とライフステージに適した新たなサービスを提供する力を身につけ、地域で住民が共に支えあいながら生き生きと生活できる環境づくりを支援する力を育成する。

一人ひとりの日々の生活は地域で営まれ、その生活は各々のライフステージに応じて変化し交錯する。その中で人々が安心して暮し活躍しつづけるためには、人と地域をつなぐコミュニティを活性化させ、それぞれが地域で役割を担えるように支援する必要がある。

そのためには、地域社会の成り立ちを知り地域の特性や課題についての理解を深め、地域を分析し実情を把握する力を育成する必要がある。また、近年、人口減少や高齢化による地域コミュニティの弱体化が進んでいる。地域の支えあいの基盤となる地域コミュニティの特性を深く把握し、人々の地域生活を支えるコミュニティの形成に貢献できる力を育成する必要がある。そして、家族の重要機能について理解を深め、一人ひとりの生活と家族と地域を有機的・相関的にとらえる視点を養い、新たなサービスを提供できる力を養う必要がある。

2 年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造す

る新しいサービスの創造等について学び、新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域のニーズに対応できる能力を修得する。 そして、展開科目の集大成として「岡山経営者論」を配置する。この「岡山経営者論」においては、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターにより、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）等をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創造する能力を修得する。 この「岡山経営者論」により、岡山という地域の中で、理学療法士として「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるかを学び、地域の活性化に寄与することができる能力を修得する。さらに「岡山経営者論」でのつながりを契機として、医療関連分野以外の一般企業との連携も視野に入ってくることが期待される。 このように、理学療法学科に配置された展開科目を学修し、それぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能である。 そして本学を卒業した理学療法士が活動する場は、これまで主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関係事業・福祉機器関連事業・地方自治体等の様々な領域に拡がり、それぞれの職業現場では、対象者が真に必要とするサービスを提案し展開していくことができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、人々の新しい交流の場と雇用を生み出し、理学療法士として地域を活性化する動力として活躍することが期待される。 2.作業療法学科 作業療法学科が育成する人材像は、「最新の作	る基盤を育成する。そして、3年後期「人間形成論」で、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスを創造する力を涵養する。3年前期「家族関係論」は、社会を構成する基本単位としての家族の変動を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を育成する。3年後期「地域社会論」は、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する力を育成する。3年後期「コミュニティ形成論」は、地域コミュニティの機能に焦点をあて、コミュニティ形成の基礎知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。4年前期「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。4年前期「地域生活と健康」は、健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成する。4 年前期「人間工学」は、人と人をとり囲むさまざまな物や環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。4年前期「特別支援教育」は、教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成してくための基礎的な力を育成する。 こうして弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と障害を持つ人が共に生き生きと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須の知識と力を育成する。

業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。」を掲げている。 　このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために 10 科目の展開科目を配置し、配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学修内容、科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係等について以下に説明する。 　まず、作業療法士の基本的資質として、対象者や地域との連携を深め新たなサービスを展開していくためには、人の尊厳を遵守し豊かな感性をもって対応していくことが肝要である。その基本的資質を涵養するために、人を深く知り人の尊厳を知り豊かな感性をもつ必要があり、また社会の中での人間形成について知る必要がある。これが以下の科目を配置する根拠である。前者の修得のために、「ヒューマンサービス論」を置き、この科目で、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、深い人間理解を基盤としてヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を修得する。後者の修得のために「人間形成論」を配置し、社会生活における人間形成に理解を深め、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。	最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。 　展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業，地方自治体，福祉機器関連事業，住宅関連企業，教育機関，就労支援事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案し活躍の場を広げることができる。そして、新たな視点から人々の健康と生活を支える創造的サービスを提案することで、地域コミュニティの形成に参加し、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

これらの科目から、深い人間理解を基盤として対象者に対してその思いを深く受け止め共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する能力を修得する。 このような資質を基盤として、地域を理解し地域生活を支援するためのサービスを展開し地域コミュニティづくりへとつなげていく。そのためには、社会の基本構成単位である家族の理解、地域および地域生活のあり方、そして地域コミュニティへの関わり方の三つの要素を知ることが欠かせない。それらを学ぶために、「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」を配置した。 「家族関係論」では、社会を構成する基本単位としての家族関係を中心とした人間相互の関わりの成り立ちやその意義を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を修得する。「地域社会論」では、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する能力を修得し、地域活性化に向けての新規事業の創造の重要性を学ぶ。 「コミュニティ形成論」では、地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、コミュニティ形成の基本知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。 これらの科目から、社会を構成する最小単位である家族についてその課題を分析し解決する能力、地域づくりや地域の活性化に向けた新しいサービスの創造や地域コミュニティを活性化させるコーディネート力やマネジメント力を学び、地域生活を支援する能力を修得することができる。 そして、家族や地域に関する理解を広げ、地域生活を支える能力を修得して、次は子供から高齢者に至る幅広い世代がそれぞれのライフサイク	

ルに合わせて、いきいきと生活できる環境づくりに発展させていく能力の修得が必要である。具体的には、対象者のライフサイクルに沿った生活課題を知り、子供から大人までの各世代の健康課題を知り、対象者を取り巻く環境因子について知ることが肝要であり、それらを知った上で対象者や地域への新たなサービスを提供していくことになる。またライフステージを考える時に、障害をもつ子供への教育環境づくりは欠かせない課題である。これらを学ぶために、「ライフサイクル論」「地域生活と健康」「人間工学」「特別支援教育」を配置した。 「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。「地域生活と健康」では、様々な対象者やライフステージに合わせた健康の維持・増進および健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を修得する。「人間工学」では、人と人を取り囲む様々なものや環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。このような観点から本科目を作業療法学科の展開科目に配置したが、理学療法学科の学生も選択することは可能である。教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成していくための基礎的な力を修得するために「特別支援教育」を配置した。 これらの科目から、弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と子供を含め障害を持つ人が共にいきいきと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須のライフステージに適した新たなサービス	

を提供する知識と能力を修得する。 　そして、「岡山経営者論」においては、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターにより、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）等をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創造する能力を修得する。 　この「岡山経営者論」は、展開科目の集大成として位置づけられ、この科目により、岡山という地域の中で、理学療法士として「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるかを学び、地域の活性化に寄与することができる能力を修得する。さらに「岡山経営者論」でのつながりを契機として、医療関連分野以外の一般企業との連携も視野に入ってくることが期待される。 　このように、作業療法学科に配置された展開科目を学修し、それぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能である。 　そして本学を卒業した作業療法士は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・地方自治体・住宅関連企業・福祉機器関連企業・教育機関・就労支援事業等の新たな職業現場に活躍の場が広がり、対象者が真に必要とするサービスの革新を提案し活躍の場を広げることができ、地域に根付いた新たな視点から人々の生活を支える創造的サービスを提案することで、地域に人々の交流の場が提供され新たな雇用も生み出され、作業療法士として地域を活性化する動力としての役割を担うことができる。 　なおここで、医療関連分野とそれ以外の一般企業等との連携について補足しておく。 　「多職種連携」とは、医療界では、通常、保健・医療・福祉にかかわる様々な職種（医師・看護師・介護福祉士・各療法士・薬剤師・管理栄養士・医	

療行政職等）の間、即ち、各種医療職種間および医療関連機関の間での連携を意味する。しかし今後、前記の展開科目により育成された本学の卒業生の就職先として、スポーツ関連事業や住宅関連企業等の一般企業の分野への進出が見込まれるため、また一般企業の職員の健康の維持・向上への取り組みが進む中での企業の産業医や保健師との連携等を含めて、医療関連分野のみならず一般企業との連携を進めていく必要があると認識している。また、現在岡山市が進めている「地域包括ケアシステム」の構築の中で、システムの中核を担う行政職、さらにはこのシステムにかかわる一般企業との連携も必要になってくる。カリキュラムでは、前記の「岡山経営者論」で実際に様々な種類の一般企業のリーダーを招聘するため、この科目を通して医療関連分野と一般企業との連携を考え、場合によっては実践する機会になることが期待される。さらに、行政との連携については、「教育課程連携協議会」の構成員として行政職にも参加をいただいているので、この協議会を通じて行政との連携について協議できるものと思われる。	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P37）

新	旧
２．履修指導方法 本学に入学する学生に対して、リハビリテーション人材として必要な科目の未履修者や学力について課題を有する学生に対しては、入学前に教育課程外授業として、e-learning によるリメディアル教育を行う。リメディアル教育で補完する科目に関しては、調査書により判断する。学習状況はシステムやレポートで確認し指導を行う。また到達度をはかるために、到達度テストを行い、大学教員が到達度を確認し指導を行う。 また、1 年前期において、大学で自立的に学ぶ	２．履修指導方法 （追加）

ために、必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として「大学入門」を設置する。 （１）履修に関するガイダンス	（１）履修に関するガイダンス

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

2．理学療法学科、作業療法学科ともに育成する人材像が一定程度説明されたが、下記の点を改めて明らかにすること。
（1）カリキュラム・ポリシーに理学療法分野・作業療法分野の諸課題を解決するとしているが、両分野の諸課題の具体例を明らかにすること。
（2） 理学療法学科と作業療法学科の独自性が曖昧になっているため、審査意見【1】を踏まえ両学科の違いを再度明らかにすること。

（対応）当初、カリキュラム・ポリシーの 5）に、「理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を養う」および「作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を養う」と記載していたため、カリキュラム・ポリシーに書かれた各々の分野の諸課題の具体例を明らかにすること、とのご指摘をいただいた。今回、面接審査でカリキュラム・ポリシーが不適切であるとのご指摘をいただいたことを踏まえて、カリキュラム・ポリシーを全面的に改めたのに合わせて、当初は、諸課題を、卒業研究に向けての様々な課題として位置づけていたことを改めて、本学部の両分野がもつ課題を抽出し、各々の課題を解決する能力を身につけるための科目を編成していることを以下に説明する。

（1）本学部の両分野がもつ諸課題の具体例を抽出し、各々の課題を解決する能力を修得するための科目を編成していることを説明する。

理学療法分野の諸課題

① 運動療法、物理療法を活用した身体機能向上に寄与すること。
② 身体機能向上に寄与するサービスを展開し地域に居住する人々の健康寿命の延伸に貢献すること。
③ 理学療法をもとにした新たなサービス形態を提案し実行することで地域の健康寿命の延伸を中心に地域活性化に貢献すること。

これらの課題を解決するための能力を身につけるために配置された科目は以下のとおりである。

①については、職業専門科目で対応するが、中でも、「運動学」・「運動学実習」、「運動療法」・「運動療法実習Ⅰ・Ⅱ」、「物理療法」・「物理療法実習Ⅰ・Ⅱ」、「理学療法治療学Ⅰ～Ⅳ」・「理学療法治療学実習Ⅰ～Ⅲ」、および「臨地実務実習」や「応用治療実習Ⅰ～Ⅲ」、さらには理論と実習を連動させて展開する「専門技能錬成プログラム」等により対応する。

②と③については、展開科目の中の健康寿命の延伸とそれを地域へのサービスとして生かす力を修得するために配置された科目、即ち、「食生活マネジメント論」「生体情報科学」「スポーツ科学」および「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」と「岡山経営者論」等により対応する。

作業療法分野の諸課題

① 作業活動を活用した自立生活支援に寄与する。
② 自立生活支援に寄与するサービスを展開し障害者等の地域生活移行の促進に貢献すること。

③　健常者・障害者を問わず幅広い世代の人々が住み慣れた地域で共生するために地域コミュニティを活性化し地域の実情に適した生活基盤の構築に貢献すること。

これらの課題を解決するための能力を身につけるために配置された科目は以下のとおりである。

①については、職業専門科目で対応するが、中でも、「運動学」・「運動学実習」、「基礎作業学」・「基礎作業学実習Ⅰ・II」、「身体障害作業療法学Ⅰ～IV]・「身体障害作業療法実習Ⅰ～III」、「日常生活活動学」・「日常生活活動学実習」および「臨地実務実習」や「応用治療実習Ⅰ~III」、さらには理論と実習を連動させて展開する「専門技能錬成プログラム」等により対応する。

②と③については、展開科目の中の、家族や地域に関する理解を広げ、地域生活を支える能力を修得して地域コミュニティの活性化に寄与する能力を修得するために配置された科目、即ち、「家族関係論」「地域社会学」「コミュニティ形成論」および「地域生活と健康」「特別支援教育」「人間工学」「ライフサイクル論」と「岡山経営者論」等により対応する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P31）

新	旧
イ．卒業論文 卒業論文の執筆にあたっては、4年間の総括として学生が学習や臨地実務実習による様々な経験から興味・関心をもった医療・保健・福祉分野のテーマや臨床現場で遭遇した事例、さらには、現在各々の分野がもつ諸課題を取りあげ、テーマを選択し、関連する書籍・論文・症例等を幅広く検索し、その意味や論点を明確化するとともに、関連するデータを収集、分析し、論文にまとめる。卒業論文の執筆を通じて、自ら課題を見いだし、自分で考え抜き、討論して問題を深め、結論を出し、推敲を重ねて論文にまとめる。この経験を通じて、大学や職業現場で学んだ知識や技術が有機的に統合され活性化されて医療と地域の問題についての創造的、論理的な思考力を鍛え、テーマや症例研究から新たな知見を見いだす作業によって創造的な役割を果たす応用的な能力を育む。同時に、物事に挑戦し探求する楽しさを実感し、研究スキルを身につけ、自ら学び生涯にわたって学習し続ける積極的な姿勢を錬磨する。 各々の分野がもつ諸課題は以下の通りである。 理学療法分野の諸課題 ①　運動療法、物理療法を活用した身体機能向上に寄与すること。	イ．卒業論文 卒業論文では、4年間の総括として学生が学習や臨地実務実習による様々な経験から興味・関心をもった医療・保健・福祉分野のテーマや臨床現場で遭遇した事例を取りあげ、関連する書籍・論文・症例等を幅広く検索し、その意味や論点を明確化するとともに、関連するデータを収集、分析し、論文にまとめる。卒業論文の執筆を通じて、自ら課題を見いだし、自分で考え抜き、討論して問題を深め、結論を出し、推敲を重ねて論文にまとめる。この経験を通じて、大学や職業現場で学んだ知識や技術が有機的に統合され活性化されて医療と地域の問題についての創造的、論理的な思考力を鍛え、テーマや症例研究から新たな知見を見いだす作業によって創造的な役割を果たす応用的な能力を育む。同時に、物事に挑戦し探求する楽しさを実感し、研究スキルを身につけ、自ら学び生涯にわたって学習し続ける積極的な姿勢を錬磨する。 （追加）

② 身体機能向上に寄与するサービスを展開し地域に居住する人々の健康寿命の延伸に貢献すること。 ③ 理学療法をもとにした新たなサービス形態を提案し実行することで地域の健康寿命の延伸を中心に地域活性化に貢献すること。 作業療法分野の諸課題 ① 作業活動を活用した自立生活支援に寄与する。 ② 自立生活支援に寄与するサービスを展開し障害者等の地域生活移行の促進に貢献すること。 ③ 健常者・障害者を問わず幅広い世代の人々が住み慣れた地域で共生するために地域コミュニティを活性化し地域の実情に適した生活基盤の構築に貢献すること。	

(2) 理学療法学科と作業療法学科の独自性が曖昧になっているため、審査意見【1】を踏まえ両学科の違いを再度明らかにすること、とのご指摘をいただいたので、両学科の違いについて以下に説明いたします。

理学療法学科の独自性

人材像を踏まえ理学療法学科の独自性を簡潔に表現すれば、本学の理学療法学科は、「失われた身体の機能を回復させ、健康寿命の延伸を図り、地域へ貢献できる理学療法士を育成する学科」であると言える。

理学療法学科の使命は、基本的には「身体に障害のある人に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えて回復を図る理学療法士を養成する」ことであるが、本学科ではこれに加えて、「身体機能の向上に寄与するサービスを展開することで、地域に居住する人々の健康寿命の延伸に貢献し、さらに健康寿命の延伸を通じて地域活性化に寄与する視点を持った理学療法士を養成する」点に独自性がある。

本学科の独自性である後者の目的を実現するための科目配置としては、展開科目の中の健康寿命の延伸とそれを地域へのサービスとして生かす力を修得するために配置された科目、即ち、「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」「生体情報科学」および「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」が挙げられる。

作業療法学科の独自性

人材像を踏まえ作業療法学科の独自性を簡潔に表現すれば、「作業活動を活用して自立生活を支援し、暮らしやすさを取り戻し、住み慣れた地域で共生できる生活に密着した地域コミュニティづくりに貢献できる作業療法士を育成する学科」であると言える。

作業療法の使命は、基本的には「人々の生活に関わる活動を通して、こころと身体のリハビリテーションを行う専門家として、各個人のニーズに合わせた福祉用具や生活環境を整備し、その人らしい暮らしに導くため、対象者に寄り添い、社会の中で生きがいをもって生活できるように支援する作業療法士を養成する」ことであるが、本学科ではこれに加えて、「作業活動を活用した自立生活支援に寄与するサービスを展開することで障害者等の地域生活移行の促進に貢献し、さらに健常者・障害者を問わず幅広い世代の人々が住み慣れた地域で共生するために、生活に密着した地域コミュニティづくりの視点を持った作業療法士を養成する」点に独自性がある。

本学科の独自性である後者の目的を実現するための科目配置としては、展開科目の中の、家族や地域に関する理解を広げ、地域生活を支える能力を修得して地域コミュニティづくりに寄与する能力を修得するために配置された科目、即ち、「家族関係論」「地域社会学」「コミュニティ形成論」および「地域生活と健康」「特別支援教育」「人間工学」「ライフサイクル論」が挙げられる。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P7－8）

新	旧
② 学科・専攻の特徴 （前略） 理学療法学科の使命は、基本的には「身体に障害のある人に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、電気刺激、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加えて回復を図る理学療法士を養成する」ことであるが、本学科ではこれに加えて、「身体機能の向上に寄与するサービスを展開することで、地域に居住する人々の健康寿命の延伸に貢献し、さらに健康寿命の延伸を通じて地域活性化に寄与する視点を持った理学療法士を養成する」点に独自性がある。簡潔に表現すれば「失われた身体の機能を回復させ、健康寿命の延伸を図り、地域へ貢献できる理学療法士を育成する学科」である。 また作業療法学科は、最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生	**③ 学科・専攻の特徴** （前略） （追加） また作業療法学科は、最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生

活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成することを目標としている。 作業療法の使命は、基本的には「人々の生活に関わる活動を通して、こころと身体のリハビリテーションを行う専門家として、各個人のニーズに合わせた福祉用具や生活環境を整備し、その人らしい暮らしに導くため、対象者に寄り添い、社会の中で生きがいをもって生活できるように支援する作業療法士を養成する」ことであるが、本学科ではこれに加えて、「作業活動を活用した自立生活支援に寄与するサービスを展開することで障害者等の地域生活移行の促進に貢献し、さらに健常者・障害者を問わず幅広い世代の人々が住み慣れた地域で共生するために、生活に密着した地域コミュニティづくりの視点を持った作業療法士を養成する」点に独自性がある。簡潔に表現すれば、「作業活動を活用して自立生活を支援し、暮らしやすさを取り戻し、住み慣れた地域で共生できる生活に密着した地域コミュニティづくりに貢献できる作業療法士を育成する学科」である。	活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成することを目標としている。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

3. カリキュラム・ポリシーが見直されたが、カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの関係が不明確であり、ディプロマ・ポリシーを実現するための教育課程を明らかとすること、また以下の点を是正すること。 （１）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の 訴えが理解できるレベルの英語力を備えるというポリシーから、４つの科目を配置したと説明されているが、外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力は相当程度高いと考えられ、配置された科目の みでこれらが達成できるか疑義がある。審査意見【８】、【９】の対応も含め、必要に応じてカリキュラム・ポリシーを改めるか、ポリシーを達成するための科目を追加すること。 （２）多職種との連携について１年次に「多職種連携論」にて保健・医療・福祉にかかわる職種の専門性と連携を学ぶことは一定の説明がなされているが、医療分野以外の一般企業との連携が医療分野における多職種連携とどのようにつながるのか不明瞭なため、考え方 を明らかとすること。

（対応）カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの関係が不明確であり、ディプロマ・ポリシーを実現するための教育課程を明らかとすること、とのご指摘をいただいたので、今回ディプロマ・ポリシー2)（一部を変更）と整合性をもたせたカリキュラム・ポリシーに全面的に改めたので、まず改めたカリキュラム・ポリシーを示し、それも踏まえて最初にディプロマ・ポリシーを実現するための教育課程について説明し、次いで（1）と（2）について説明する。

1.　理学療法学科

まず、理学療法学科が育成する人材像を踏まえて策定したディプロマ・ポリシーを示し、次いで改めたカリキュラム・ポリシーを提示し、さらにディプロマ・ポリシーを実現するための教育課程について説明する。

理学療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

理学療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。
3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。
5）理学療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。
②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。
③高度で専門的な理学療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。
④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。
⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。
⑥健康寿命の延伸等地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。
⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。
⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを活用する。
⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。
⑪完成度の高い臨床実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。
⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。
⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ理学療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。
⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。
⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。
⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。

⑮評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、E の 6 段階評価で行い、C 判定以上を合格とする。

⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

ディプロマ・ポリシーを実現するための教育課程

1)高い倫理観とコミュニケーション力を身につけるために、基礎科目に「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」「心理学」「人間関係論」「コミュニケーション論」、および初年次教育として「大学入門」を置き、続いて「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」を配置する。

「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」により、社会人としての深い倫理観を育み、「心理学」「人間関係論」により、人の思いを受け止める共有する心を養い、「コミュニケーション論」では、日常生活における円滑な対人間コミュニケーション力を身につける。これらの授業は主に講義形式と一部ではグループワークで行われる。論理的思考に基づく発信力とプレゼンテーション力を段階的に磨き、自己研鑽の姿勢を修得するために、まず「大学入門」で、大学教育に必要な基本的知識とスキルを修得し、それを基に、「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」に進む。いずれも 10 人以下の小グループでのプロコン形式を援用して行われる。「基盤ゼミⅠ」では、テーマは担当教員が提示した中から学生が選択するが、「基盤ゼミⅡ」では、学生自らが興味を示したテーマを採り上げる。

2) 職業現場で外国人患者を受け入れるための基礎的な知識と基礎的な英語力を備えるために、以下の科目を配置する。まず、基礎的英語力の確認と補完を行うため、入学前にリメディアル授業（教育課程外）を行う。そして、外国人に接する時に必要な要素である日本の歴史と文化を知り、外国の動向を知っておくために「日本の歴史と文化」と「国際政治経済論」を、英語力育成の橋渡し的教養科目として配置する。いずれも英語教材を使用し、英語により日本の文化や歴史を理解する力を養い、英語により外国の政治や経済の動きを知ることで外国への理解を深めることができる。基礎的英語力を鍛錬するために「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置する。これらの科目では、日本語を交えて主に英語により授業が行われる。「コミュニケーション英語」では、自主的に英語によるコミュニケーションを行うことにより、英語に対する抵抗感を薄める。「メディカル英語」では、実際に患者を想定して、初診から治療までの基本的な対応や、治療や訓練時のコミュニケーション技法を主に英語で学び、グループ討議や臨場感を体験するためにロールプレイを中心とした実践的学習を行う。この科目で、臨床現場に必要な医療英語の理解力と基礎的英会話力を身につける。

3) 理学療法士に必要な基礎から最新の知識と技術を修得するために、「職業専門科目」を配置し、

さらに「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」を活用する「専門技能錬成プログラム」を展開する。「職業専門科目」の「専門基礎分野」では、「専門分野」の基礎的科目として、「解剖学」・「解剖学実習」、「生理学」・「生理学実習」、「運動学」・「運動学実習」、「病理学」等の基礎医学系科目、および「精神医学」「内科学」「整形外科学」「神経内科学」「小児科学」等の臨床医学系科目を配置して、理学療法士に必要な基礎的医学知識を修得する。実習以外の科目は主に講義形式で行われる。解剖学実習については、岡山大学人体解剖学実習に見学参加する。これらの知識を基礎として、「リハビリテーション医学」および「リハビリテーション概論」によりリハビリテーションの全体像を理解する。「専門分野」では、「理学療法概論」で理学療法の全体像を理解した上で、理学療法に関する療法学や評価学、運動療法、物理療法について、講義・実習・セミナー等の形式で配置し、専門知識と技術を修得する。臨地実務実習として、「見学実習」「評価実習」「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を学年進行に伴い段階的に配置する。また「職業専門科目」の理論科目と実習科目を組み合わせて編成することを基本とし、これにより「理論」と「実践」を架橋することができ、さらに「総合実習Ⅱ」と新たに設ける「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」を連動させることにより、一層高度な専門技術を修得することができる。このような一連の理論と実践を連動させた教育課程の編成を「専門技能錬成プログラム」として展開する。この「専門技能錬成プログラム」により、専門性・実践性を錬磨した応用力が涵養され、一段高い実践力と応用力を育成することができる。

4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える力を身につけるために、展開科目として10科目を配置する。まず、深い人間理解と対象者の思いを共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する力を修得するために「ヒューマンサービス論」「人間形成論」を配置する。次いで、「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」で健全な食生活と身体運動のあり方を修得して心と体を深く理解し、対象者の身体機能を改善し、「生体情報科学」で対象者の置かれた状況を的確に把握するスキルを身につけ、健康寿命を延伸する能力を育成する。次に、これらを地域のニーズに合わせて、多職種と協働して新たなサービスへと発展させる能力を涵養するために、「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO論」を配置する。「マネジメント論」で組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、「コーチング論」で人の能力や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。「起業入門」で起業に関わる基礎的知識とサービスモデルを構築する方法を身につけ、「NPO論」では、非営利組織であるNPOの理念と運営のあり方を学びサービス提供の選択肢としてNPOを活用する力を育成する。これらは主に講義形式で行われるが、一部ではグループワークや演習として行われる。そして「岡山経営者論」では、地域で活躍する様々な分野のリーダーから直接、新サービスの創造、新規事業の起業や展開、地域活性化等、他の分野の視点やアイディアの実践を学び、かつ展開力を育成し、地域を活性化する能力を育成する。「岡山経営者論」は、オムニバス形式で作業療法学科と合同で行う。

5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備えるために、「総合科目」を配置す

る。「総合科目」では、それまでの学修の成果を統括的に活用し、職業現場や地域が抱える課題やニーズについての「気づき」を育て、「アイディア」へ具体化していき卒業論文へとつなげていく。臨地実務実習の中で気づく理学療法分野の課題を卒業論文として完成する過程において、対象を論理的に分析し思考する力を養う。「総合研究 I」では、課題の背景や関連する先行研究を把握し、課題の問題点を抽出する力を身につけ、研究の目的を設定し仮説を立て論理的な組み立てができる力を身につける。「総合研究 II」では、具体的な論文執筆に向けて、論文の骨格を明確にし、科学的根拠に基づいた思考過程を涵養する。「総合演習 I」では、これまでの様々な経験を振り返りながら、職業現場や地域生活が持つ課題やニーズについて課題を特定化し具体化していく。「総合演習Ⅱ」は「総合演習 I」の発展形と位置付けられ、職業現場や地域生活がもつ課題やニーズを具体的にサービスの形にしていくアプローチを段階的に学習する。「卒業論文」では、「総合研究 I」「総合研究Ⅱ」および「総合演習 I」「総合演習Ⅱ」で培った課題の分析力や探究力を基盤として、さらに対象とする課題について、課題の背景、仮設の設定、期待される効果等について文献的考察を行い、課題の分析力や思考力を高める。

また、基礎的な研究スキルを身につけるために、1 年次後期から「情報収集と処理」「統計分析の基礎」「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」を段階的に配置し、3 年次前期までに研究に対する基本的知識と論理的思考力を体系的に身につけることができる。従って、「評価実習」、「総合実習 I」、「総合実習Ⅱ」の臨床実習では、研究に関する基礎的知識を身につけた上で臨地実務実習へ臨むことができるため、研究と実習が連動され、臨床現場での「気づき」をさらに深めることができ、より深い現場での課題探求力を修得することができる。なお研究倫理については、「テーマ設定と研究方法」の中で学ぶ。

1. 作業療法学科

まず、作業療法学科が育成する人材像を踏まえて策定したディプロマ・ポリシーを示し、次いで改めたカリキュラム・ポリシーを提示し、さらにディプロマ・ポリシーを実現するための教育課程について説明する。

作業療法学科のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

作業療法学科が育成する人材像を踏まえて以下のディプロマ・ポリシーを策定する。

ディプロマ・ポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える。
3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。
5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラム・ポリシー

作業療法学科では、本学が育成する人材像および人材像を踏まえたディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

教育課程の編成

①大学での学修の基礎となる学力とスキルを身につけ、主体的に学ぶ姿勢を涵養するため、「初年次教育」を配置する。

②高い倫理観とコミュニケーション力や基礎的な知識を身につけるため、「基礎科目」を編成する。

③高度で専門的な作業療法の知識と技能を身につけるために、「専門基礎科目」と「専門科目」からなる「職業専門科目」を編成する。

④臨床現場での実践的な職業教育として、「臨地実務実習」を学年進行に沿って段階的に編成する。

⑤外国人患者の受け入れに必要な基礎的な姿勢を身につけるために、橋渡し的教養科目と英語科目を編成する。

⑥地域コミュニティづくりなどの地域のニーズに対応できる幅広い視野を涵養するために「展開科目」を編成する。

⑦教育成果の集大成として「総合科目」を配置し、卒業論文の執筆のために必要な科目を体系的に編成する。

⑧教育課程連携協議会を通じて、地域のニーズに沿った授業であるために絶えず教育課程の見直しを行う。

教育内容・方法

⑨発信力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高めるために、少人数編成によるアクティブラーニングを取り入れる。

⑩科目に応じて、講義やゼミ、あるいはそれらの組み合わせ等により、効果的な授業を実施する。

⑪完成度の高い臨地実務実習にするために、理論系科目と臨床実務実習とを連動させた教育を実施する。

⑫最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけるため独自の「専門技能錬成プログラム」を実施する。

⑬地域のニーズに応えることができる幅広い視野をもつ作業療法士になるために、独自の「展開力育成プログラム」を実施する。

学修成果の評価

全ての授業において、成績判定基準に則り厳正に評価する。

⑭科目授業では、筆記試験、レポート、小テスト等で評価する。

⑮評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階評価で行い、C判定以上を合格とする。

⑯臨地実務実習授業では、評価は、S、A、B、C、D、Eの6段階評価で行い、C判定以上を合格とする。

⑰卒業論文は「合」「否」で判定され、目的・方法・結果・考察・引用論文が適切に配置され、研究テーマに沿って論理的な展開がなされているものを「合」とする。

ディプロマ・ポリシーを実現するための教育課程

1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけるために、基礎科目に「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」「心理学」「人間関係論」「コミュニケーション論」および初年次教育として「大学入門」を置き、「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」を配置する。

「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」により、社会人としての深い倫理観を育み、「心理学」「人間関係論」により、人の思いを受け止める共有する心を養い、「コミュニケーション論」では、日常生活における円滑な対人間コミュニケーション力を身につける。これらの授業は主に講義形式で行われ、一部ではグループワークで行われ、論理的思考に基づく発信力とプレゼンテーション力を段階的に磨き、自己研鑽の姿勢を修得するために、「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」を置く。まず「大学入門」で身につけた基礎的な知識とスキルを基に、「基盤ゼミ I」では、担当教員が提示したテーマの中から学生が選択したテーマについて、「基盤ゼミⅡ」では、学生自らが興味あるテーマを選択して、いずれもプロコン形式を援用して進められる。10 人以下の小グループで行われる。

2) 職業現場で外国人患者を受け入れるための基礎的な知識と基礎的英語力を備えるために以下の科目を配置する。まず、基礎的英語力の確認と補完を行うため、入学前にリメディアル授業（教育課程外）を行う。そして、英語力育成への橋渡し的教養科目として、外国人に接する時に必要な要素である日本の歴史と文化を知り、外国の政治や経済の動向を知るために「日本の歴史と文化」と「国際政治経済論」を配置する。いずれも英語教材を使用し、英語により日本の文化や歴史を理解する力を養い、英語により外国の政治や経済の動きを知ることで外国への理解を深めることができる。これらは主に講義として行われ、評価は筆記試験およびレポート提出による。基礎的英語力を鍛錬するために「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置する。これらの科目では、日本語を交えて主に英語により授業が行われる。「コミュニケーション英語」では、自主的に英語によるコミュニケーションを行うことにより、英語に対する抵抗感を薄める。「メディカル英語」では、実際に患者を想定して、初診から治療までの基本的な対応や、治療や訓練時のコミュニケーション技法を主に英語で学び、グループ討議や臨場感を体験するためにロールプレイを中心とした実践的学習を行う。この科目で、臨床現場に必要な医療英語の理解力と基礎的英会話力を身につける。

3) 作業療法士に必要な基礎から最新の知識と技術を修得するために「職業専門科目」を配置し、その上に「応用治療技術実習 I～Ⅲ」を活用する「専門技能錬成プログラム」を展開する。「職業専門科目」の「専門基礎分野」では、「専門分野」の基礎的科目として、「解剖学」・「解剖学実習」、「生理学」・「生理学実習」、「運動学」・「運動学実習」、「病理学」等の基礎医学系科目を配置し、さらに「精神医学」「内科学」「整形外科学」「神経内科学」「小児科学」等の臨床医学系科目を配置して、作業療法士に必要な基礎的医学知識を修得する。実習を除く科目は主に

講義形式で行われるが、解剖学実習については、岡山大学人体解剖学実習に見学参加する。これらの知識を基礎として、「リハビリテーション医学」および「リハビリテーション概論」によりリハビリテーションの全体像を理解する。専門分野では、「作業療法概論」で作業療法の全体像を理解した上で、作業療法に関する療法学や評価学、また身体障害や精神障害の作業療法について、講義・実習・セミナー等の形式で学び、専門知識と技術を修得する。臨地実務実習として、「見学実習」「評価実習」「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を学年進行に伴い段階的に配置する。また「職業専門科目」の理論科目と実習科目を組み合わせて編成することを基本とし、これにより「理論」と「実践」を架橋することができ、さらに「総合実習Ⅱ」と新たに設ける「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」を連動させることにより、一層高度な専門技術を修得することができる。このような一連の理論と実践を連動させた教育課程の編成を「専門技能錬成プログラム」として展開する。この「専門技能錬成プログラム」により、専門性・実践性を錬磨した応用力が涵養され、一段高い実践力と応用力を育成することができる。

4) 対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を身につけるために、展開科目として10科目を配置する。まず、基盤的科目として、深い人間理解を基に、対象者の思いを受け止め共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する力を修得するために「ヒューマンサービス論」「人間形成論」を配置する。次いで、社会を構成する基本単位である家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえるために「家族関係論」を、地域の課題や地域自治のあり方と住民の生活原理について理解を深めるために「地域社会論」を配置し、これらの科目から家族と地域について理解することができる。さらに、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する「コミュニティ形成論」を配置する。「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な課題に対して最適な支援を行うために必須の知見を修得する。健康的なライフスタイルを形成することによって健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成するために「地域社会と健康」を配置する。「人間工学」では、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を修得する。「特別支援教育」では、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成してくための基礎的な力を育成する。これらは主に講義形式で行われるが、一部ではグループワークや演習として行われる。そして「岡山経営者論」では、地域で活躍する様々な分野のリーダーから直接、新サービスの創造、新規事業の起業や展開、地域活性化等、他の分野の視点やアイディアの実践を学び、かつ展開力を育成し、地域を活性化する能力を修得することができる。「岡山経営者論」は、オムニバス形式で理学療法学科と合同で行う。

5) 作業療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備えるために、「総合科目」を配置する。「総合科目」では、それまでの学修の成果を統括的に活用し、職業現場や地域が抱える課題やニーズについての「気づき」を育て、「アイディア」へ具体化していき卒業論文へとつなげていく。臨死実務実習の中で気づく作業療法分野の課題を卒業論文として完成する過程において、

対象を論理的に分析し思考する力を養う。「総合研究 I」では、課題の背景や関連する先行研究を把握し、課題の問題点を抽出する力を身につけ、研究の目的を設定し仮説を立て論理的な組み立てができる力を身につける。「総合研究 II」では、具体的な論文執筆に向けて、論文の骨格を明確にし、科学的根拠に基づいた思考過程を涵養する。「総合演習 I」では、これまでの様々な経験を振り返りながら、職業現場や地域生活が持つ課題やニーズについて課題を特定化し具体化していく。「総合演習Ⅱ」は「総合演習 I」の発展形と位置付けられ、職業現場や地域生活がもつ課題やニーズを具体的にサービスの形にしていくアプローチを段階的に学習する。「卒業論文」では、「総合研究 I」「総合研究 II」および「総合演習 I」「総合演習Ⅱ」で培った課題の分析力や探究力を基盤として、さらに対象とする課題について、課題の背景、仮設の設定、期待される効果等について文献的考察を行い、課題の分析力や思考力を高める。

また、基礎的な研究スキルを身につけるために、1 年次後期から「情報収集と処理」「統計分析の基礎」「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」を配置し、3 年次前期までに研究に対する基本的知識と論理的思考力を体系的に身につける。従って、「評価実習」「総合実習 I」「総合実習Ⅱ」の臨地実務実習では、研究に関する基礎的知識を身につけた上で臨地実務実習へ臨むことができるため、研究と実習が連動され、臨床現場での「気づき」をさらに深めることができ、より深い現場での課題探求力を身につけることができる。なお研究倫理については、「テーマ設定と研究方法」の中で学ぶ。

（1）外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力は相当程度高いと考えられるのに対して、対応する科目が 4 科目しかなく、配置された科目でカリキュラム・ポリシーに掲げる内容が達成できるかに疑義があり、カリキュラム・ポリシーを改めるか、ポリシーを達成するための科目を追加すること、とのご指摘をいただいたことに対して、以下のように改めます。

今回、「外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力」という表現について、本学が意図した英語力のレベルが伝わるように、以下に説明する。

外国人患者の受け入れに対して本学が意図するところは、岡山市で増え続ける在留外国人が、病気や怪我でリハビリテーションを必要とする状況になった時に、職業現場で、外国人患者の受け入れに違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることのない基礎的姿勢を身につけておくことである。なお、基礎的姿勢には、基礎的な知識と基礎的な英語力が含まれる。

この意図から、ディプロマ・ポリシー2）については、「職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。」となっているのを、「職業現場で、外国人患者を受け入れることができる基礎的な姿勢を備える。」と改めた。基礎的な姿勢の中には、基礎的な知識と基礎的英語力が含まれる。

なお、先の面接審査で、カリキュラム・ポリシーが不適切とのご指摘をいただいたことを踏まえて、カリキュラム・ポリシー全体を改めたことにより、当初のカリキュラム・ポリシー2）への対応から、今回ディプロマ・ポリシー2）に掲げた「職業現場で、外国人患者を受け入れることができる基礎的な姿勢を備える。」の実現性について説明する。

この基礎的な姿勢を備えるという目標の実現のために以下のような科目を配置した。まず、外国

人と接する時に必要な基礎的な知識として、日本人として改めて日本の文化や歴史を知ることが肝要であることから「日本の歴史と文化」を、同時に外国の政治や経済の動向を知るために「国際政治経済論」を配置した。いずれも英語教材を使用し、英語により日本の文化や歴史を理解する力を養い、英語により外国の政治や経済の動きを知ることで外国への親近感をもつことができる。このような基礎的な知識と合わせて、基礎的英語力については、入学前にリメディアル教育（教育課程外）を行い、基礎的英語力の確認と補完を行う。そして、基礎的英語力を鍛錬するために「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置した。これらの科目では、日本語を交えて主に英語により授業が行われる。「コミュニケーション英語」では、自主的に英語によるコミュニケーションを行うことにより、英語に対する抵抗感を薄める。「メディカル英語」では、実際に患者を想定して、初診から治療までの基本的な対応や、治療や訓練時のコミュニケーション技法を主に英語で学び、グループ討議や臨場感を体験するためにロールプレイを中心とした実践的学習を行う。この科目で、臨床現場に必要な医療英語の理解力と基礎的英会話力を身につける。英語力の評価については、対象となる 4 科目の単位取得を基準とするが、中でも臨床現場に即した内容を教授する「メディカル英語」のシラバスの到達目標に達していることで対応可能と考えている。

新たに追加するリメディアル教育や「メディカル英語」の必修化を含めた科目配置および教育内容により、本学が意図する、外国人患者を違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることなく受け入れる基礎的な姿勢をもつための基礎的な知識と基礎的英語力を備える、というレベルに到達し得ると考える。

なお、本学が外国人患者への対応をディプロマ・ポリシーに掲げた理由について、以下に説明する。

岡山県の在留外国人数は、2017 年時点で 25,994 人であり、最近ではアジア圏を中心に 1 年に約 1,700 人超のペースで増加を続けている。そしてこの在留外国人のうち 47.1%は岡山市に在住している。このような状況を鑑みると、岡山市でも、臨床現場において、今後、多様な国籍の外国人が病気や怪我でリハビリテ―ションを必要とする機会が発生することは容易に予想され、外国人患者が安心してリハビリテーションを受けることができる環境づくりが必要であり、その対応が地域のニーズとして高まってきている。

ディプロマ・ポリシー2）は、このような地域のニーズに対応するため、外国人患者であるという理由で受け入れに違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることなく、国籍に関係なく患者を受け入れることができるようになるために、基礎的な知識と基礎的英語力を備えておくことが必要である、と考えたことにより掲げられたものである。

（新旧対照表）教育課程の概要、学則（案）

新	旧
大学入門　1 前　必修 1 単位	なし
基礎科目 18 科目　必修単位 17 単位 合計　95 科目	基礎科目 17 科目　必修単位 15 単位 合計　94 科目

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P6）

新	旧
3）本学の人材育成教育 （中略） 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 　このような能力を備えた理学療法士および作業療法士は、地域が進める「地域包括ケアシステム」の深化・推進に中心的な役割を担うことができ、地域から「地域包括ケアシステム」に参画できる人材の育成を求められていること（資料 1-5）にもマッチする。 　また、プレゼンテーション能力の涵養を重視している。	**3）本学の人材育成教育** （中略） 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 　このような能力を備えた理学療法士および作業療法士は、地域が進める「地域包括ケアシステム」の深化・推進に中心的な役割を担うことができ、地域から「地域包括ケアシステム」に参画できる人材の育成を求められていること（資料 1-5）にもマッチする。 　また、知識と技術の提供に重点が置かれた既存の医療系の専門学校や大学では必ずしも十分な取り組みとは言えなかったプレゼンテーション能力の涵養を重視している。

（新旧対照表）シラバス

新	旧
総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ 別紙 4	総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ 別紙 4

（２）医療分野以外の一般企業との連携が医療分野における多職種連携とどのようにつながるのか不明瞭なため考え方を明らかとすること、とのご指摘をいただいたため以下にその考え方を説明する。

「多職種連携」とは、医療界では、通常、保健・医療・福祉にかかわる様々な職種（医師・看護師・介護福祉士・各療法士・薬剤師・管理栄養士・医療行政職等）の間、即ち、各種医療職種間および医療関連機関の間での連携を意味する。しかし今後、本学では、卒業生の就職先として、スポーツ関連事業や住宅関連企業等の一般企業の分野への進出が見込まれるため、また一般企業の職員の健康の維持・向上への取り組みが進む中での企業の産業医や保健師との連携等を含めて、医療関連分野のみならず一般企業との連携を進めていく必要があると認識している。また、現在岡山市が進めている「地域包括ケアシステム」の構築の中で、システムの中核を担う行政職、さらにはこのシステムにかかわる一般企業との連携も必要になってくる。カリキュラムでは、展開科目の「岡山経営者論」で実際に様々な種類の一般企業のリーダーを招聘するため、この科目を通して医療関連分野と一般企業との連携を考え、場合によっては実践する機会になることが期待

される。さらに、行政との連携については、「教育課程連携協議会」の構成員として行政職にも参加をいただいているので、この協議会を通じて行政との連携について協議できるものと思われる。

なお今回、「審査意見への対応を記載した書類（3 月）」の 48 ページの「岡山経営者論」の説明の中で、「・・・地域で活躍する多職種のリーダーから直接・・・」という表現があったが、この表現を「様々な職種のリーダー」に改める。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P18）

新	旧
ウ．保健医療福祉とリハビリテーションの理念 （前略） 「多職種連携論」では、関連職種の役割について理解し、チーム医療を主導するための基本的知識と多職種における連携のあり方および課題について学ぶ。	ウ．保健医療福祉とリハビリテーションの理念 （前略） 「多職種連携論」は、関連職種の役割について理解し、チーム医療を主導するための基本的知識と多職種における連携のあり方および課題について学ぶ。「地域包括マネジメント論」は、超高齢社会における地域のケアマネジメントの実際を学ぶ。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

4. 一般入学試験では学力試験が課されるが、アドミッション・オフィス入試、自己推薦入学試験、指定校推薦入学試験、推薦入学試験の４つの試験区分ではどのように学生の学力をはかり質を担保するのか、明らかとすること。

（対応）アドミッション・オフィス入試、自己推薦入学試験、指定校推薦入学試験、推薦入学試験の４つの試験区分ではどのように学生の学力をはかり質を担保するのかというご意見をいただいたため、次の通り明確にする。

岡山医療専門職大学では、基礎科目・職業専門科目・展開科目および総合科目を体系化したカリキュラムで提供することにより、ディプロマ・ポリシーに掲げる学士力を備え、変化の激しい時代とニーズに対応できる人材を養成する。

本学の教育を受けるのに必要な資質と基礎学力を有し、本学のディプロマ・ポリシーに掲げる学士力を身につけたいという強い意欲をもつ者で、変化の激しい時代の地域社会に貢献しようという意志を有する者を、多様な入学試験方法により受け入れる。

選抜の基本方針（アドミッション・ポリシー）は、次のとおりとする。

アドミッション・ポリシー

（理学療法学科）

(1) 理学療法を修得するという強い意欲を有する人

(2) 高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人

(3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人

(4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人

(5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人

（作業療法学科）

(1) 作業療法を修得するという強い意欲を有する人

(2) 高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人

(3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人

(4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人

(5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人

審査意見【１】および面接審査でのご意見を踏まえてディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを改めたことにともない、DP,CP との整合性を確保し、学力の３要素をはかる視点から、現行のアドミッション・ポリシーを再整理し、さらに明確化した。

入試区分別の学力のはかり方、質の担保の方法は次のとおりである。

AO（アドミッション・オフィス）入学試験

・岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。

1 次試験

書類審査（本学指定様式のエントリーシート、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。

２次試験

１　学習試験

１）講義の受講

受験者は、リハビリテーションに関連する講義（60 分）を受講する。

２）レポート作成（30 分）

講義受講後、大学規定のレポート用紙に、講義中の筆記ノートを参照しつつ、講義内容をまとめ、その中で自分が最も関心・興味をもった点について併せて記述し、提出する。

３）筆記試験（30 分）

講義の内容の理解度を確認する。

２　発表とディスカッション（45 分）

5 人程度のグループに分けて、自分が最も興味をもったこと、関連した発展的なテーマ等について全員発表（1 人 2 分程度）を行う。全員の発表に基づき、ディスカッションをする。

面談試験の評価ポイント

学校側２人、受験生１人で面談試験を行う。

評価のポイント

１　学習試験

・講義の内容を正確に理解できる基礎学力をもっているか。

・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。

２　ディスカッション

・問題を理解して、自分の考えや意見をまとめる論理的思考力をもっているか。

・その考えや意見を適切な言葉で表現し、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション力をもっているか。

面談試験の評価ポイント

・旺盛な好奇心、探求心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。

・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。

・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

・変化の激しい時代の地域社会に貢献したいという思いがあるか。

1 次試験、2 次試験、面談試験により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の DP,CP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応

AP と AO 入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
調査書	○				
エントリーシート	○			○	○
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
調査書	○				
エントリーシート	○			○	○
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

自己推薦入学試験

岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、資格や検定取得実績等を有し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。

1次試験

書類審査（資格や検定取得実績等に基づく任意の様式の自己推薦書、調査書）

募集人員の2倍以内に絞る。

2次試験

1　学習試験

1）講義の受講

志願者は、リハビリテーションに関する講義（60分）を受講する。

2）レポート作成（30分）

講義受講後、大学規定のレポート用紙に、講義中の筆記ノートを参照しつつ、講義内容をまとめ、その中で自分が最も関心・興味をもった点について併せて記述し、提出する。

3）筆記試験（30分）

講義の内容の理解度を確認する。

2　発表とディスカッション（45分）

5人程度のグループに分けて、自分が最も興味をもったこと、関連した発展的なテーマ等について全員発表（一人2分程度）する。全員の発表に基づき、ディスカッションする。

面談試験

学校側２人、志願者１人で面談試験を行う。

評価のポイント

１　学習試験

・講義の内容を正確に理解できる基礎学力をもっているか。

・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。

２　ディスカッション

・問題を理解して、自分の考えや意見をまとめる論理的思考力をもっているか。

・その考えや意見を適切な言葉で表現し、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーション力をもっているか。

面談試験の評価ポイント

・理学療法士・作業療法士として、地域社会に貢献しようとする明確な目的意識をもち、勉学に対する意欲を十分に備えているか。

・活動実績やそれを踏まえた自分の意見を他人に的確に伝えられるような論理的思考力と表現力を身につけているか。

・十分なコミュニケーション力はもっているか。

・多様な価値観を受け入れ、旺盛な好奇心、探求心、目的意識や実践力をもっているか。

1 次試験、2 次試験、面談試験により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の DP,CP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応

AP と自己推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○		○	
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP（5）
自己推薦書	○			○	○
調査書		○		○	
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

指定校推薦入学試験

・岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することが確約できる者で、本校が指定する高等学校長が人物・能力・資質・適性等に責任をもって推薦できる者
・調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.5 以上の者
・卒業後、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようという強い意志を有する者

面接試験の評価ポイント

・本学への志望動機、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会へ貢献しようとする姿勢をもっているか。
・旺盛な好奇心、探究心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。
・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。
・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

書類審査（調査書・推薦書・入学願書志望理由）、面接において学力の 3 要素を総合的に判定する。

AP と指定校推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○	○	
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○	○	
面接	○		○	○	○

推薦入学試験

・岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、出身学校長が、人物・能力・資質・適性等に責任をもって推薦できる者

・調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上の者

・卒業後、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようという強い意志を有する者

小論文試験（60 分、800 字以内）

志願者がリハビリテーション分野に関連するテーマについて小論文を 800 字以内で書く。

評価のポイント

・的確な問題提起がなされているか。

・論文構成が適切か。

・自分の考えが論理的に述べられているか。

・正確な文章表現ができているか。

面接試験の評価ポイント

・本学への志望動機、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようとする姿勢をもっているか。

・旺盛な好奇心、探究心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。

・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。

・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

書類審査（調査書・推薦書・入学願書志望理由）、小論文、面接において学力の 3 要素を総合的に判定する。

AP と推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○		
小論文		○	○	○	○
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP（1）	AP（2）	AP（3）	AP（4）	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○		
小論文		○	○	○	○
面接	○		○	○	○

以上のとおりAO入学試験、自己推薦入学試験、指定校推薦入学試験、推薦入学試験で学力の3要素をはかり、本学のDP,CPに合致すると考えられる多様な入学者を選抜し、学生の質が担保することができる。

面接審査において、アドミッション・ポリシーで求める人材が、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを達成するための人材としてギャップがあるとのご指摘をいただいたが、本学では上記で説明した入学試験によってDP,CPを十分に達成できる水準の学生を選抜できると考えている。また、AO入学試験・指定校推薦入学試験・自己推薦入学試験・推薦入学試験合格者を対象に、入学前に学力レベルのさらなる充実をはかるためのリメディアル教育として、国語、数学、英語、理科、社会の全分野においてe-learningによる補完教育を実施する。

入学後には、全学生に少人数編成で双方向の授業を行う初年次教育を導入し、大学での学びに円滑に移行し自立的に学ぶために必要な、文献や資料の要約スキルやレポートの書き方、ディスカッションスキル等の修得をはかり、DPやCPを確実に達成できる能力を身につける。

（新旧対照表）アドミッション・ポリシー、設置の趣旨等を記載した書類（P46－47）

新	旧
アドミッション・ポリシー （理学療法学科） (1) 理学療法を修得するという強い意欲を有する人 (2) 高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 (3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人 (4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人 (5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人 （作業療法学科）	アドミッション・ポリシー （理学療法学科） (1) 理学療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 (2) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人 (3) 自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 (4) 地域に貢献したいと考える人 （作業療法学科）

(1) 作業療法を修得するという強い意欲を有する人 (2) 高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 (3) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を備えている人 (4) 自らの考えを的確に表現でき、問題解決に取り組む姿勢と論理的思考力をもち、主体的に学べる人 (5) 変化の激しい時代の地域社会に貢献したいと考える人	(1) 作業療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 (2) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人 (3) 自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 (4) 地域に貢献したいと考える人

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P47－54）

新	旧
２．入学者の選抜方法 （１）選抜区分と募集人員 入学者選抜は、文部科学省「大学入学者選抜実施要項」に基づき実施する。 本学の教育を受けるのに必要な資質と基礎学力を有し、本学のディプロマ・ポリシーに掲げる学士力を身につけたいという強い意欲をもつ者で、変化の激しい時代の地域社会に貢献しようという意志を有する者を、多様な入学試験方法により受け入れる。 （中略） （３）選抜方法 １）AO（アドミッション・オフィス）入学試験 岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。エントリー資格は、入学資格があり、入学前に本学のオープンキャンパスもしくは学校見学のいずれかに参加した者とする。 実施期間：8 月、9 月、10 月の期間で 4 回実施	２．入学者の選抜方法 （１）選抜区分と募集人員 入学者選抜は、文部科学省「大学入学者選抜実施要項」に基づき実施する。本学部において、意欲が高く多様な資質・能力・適性等を備える学生を選抜するため、次のとおり入学試験を実施する。 （中略） （３）選抜方法 １）AO（アドミッション・オフィス）入学試験 エントリー資格は、入学資格があり、入学前に本学のオープンキャンパスもしくは学校見学のいずれかに参加した者とする。 実施期間：8 月、9 月、10 月の期間で 4 回実施 選考方法：書類審査、学習試験※1、面談 ※1 学習試験は 30 分の講義を行

選考方法：書類審査、学修試験、面談

1次試験

書類審査（本学指定様式のエントリーシート、調査書）を行い、募集人員の 2 倍以内に絞る。

2次試験

1　学習試験

1）講義の受講

受験者は、リハビリテーションに関連する講義（60 分）を受講する。

2）レポート作成（30 分）

講義受講後、大学規定のレポート用紙に、講義中の筆記ノートを参照しつつ、講義内容をまとめ、その中で自分が最も関心・興味をもった点について併せて記述し、提出する。

3）筆記試験（30 分）

講義の内容の理解度を確認する。

2　発表とディスカッション（45 分）

5 人程度のグループに分けて、自分が最も興味をもったこと、関連した発展的なテーマ等について全員発表（1 人 2 分程度）を行う。全員の発表に基づき、ディスカッションをする。

面談試験

学校側２人、受験生１人で面談試験を行う。

評価のポイント

1　学習試験

・講義の内容を正確に理解できる基礎学力をもっているか。

・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。

2　ディスカッション

・問題を理解して、自分の考えや意見をまとめる論理的思考力をもっているか。

・その考えや意見を適切な言葉で表現し、相手に分かりやすく伝えるコミュニケーい、講義に対する理解度を見る。思考力、理解力、問題整理能力、問題解決能力を測るために、筆記試験とする。また学習試験の内容をテーマにグループディスカッションを行い、ディスカッションする姿勢・意見の内容・他者の意見を取り入れる姿勢を含め、審査を行う。

募集人員：理学療法学科 40 名、作業療法学科 20 名

	理学療法学科	作業療法学科
A 日程	10 名	5 名
B 日程	15 名	7 名
C 日程	10 名	5 名
D 日程	5 名	3 名
合計	40 名	20 名

ション力をもっているか。

面談試験の評価ポイント

・旺盛な好奇心、探求心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。

・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。

・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

・変化の激しい時代の地域社会に貢献したいという思いがあるか。

1 次試験、2 次試験、面談試験により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の DP,CP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応

AP と AO 入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
調査書	○				
エントリーシート	○			○	○
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
調査書	○				
エントリーシート	○			○	○
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 40 名、作業療法学科 20 名

	理学療法学科	作業療法学科
A 日程	10 名	5 名
B 日程	15 名	7 名
C 日程	10 名	5 名
D 日程	5 名	3 名
合計	40 名	20 名

２）自己推薦入学試験

出願資格は、入学資格がある者で、岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、資格や検定取得実績等を有し、合格した場合必ず入学することを確約できる者。

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査・学修試験・面談

２）自己推薦入学試験

出願資格は、入学資格がある者とする。

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査、学習試験※1、面談

※1 学習試験は 30 分の講義を行い、講義に対する理解度を見る。思考力、理解力、問題整理能力、問題解決能力を測るために、筆記試験とする。また学習試験の

1次試験 書類審査（資格や検定取得実績等に基づく任意の様式の自己推薦書、調査書） 募集人員の2倍以内に絞る。 **2次試験** 1　学習試験 1）講義の受講 志願者は、リハビリテーションに関する講義（60分）を受講する。 2）レポート作成（30分） 講義受講後、大学規定のレポート用紙に、講義中の筆記ノートを参照しつつ、講義内容をまとめ、その中で自分が最も関心・興味をもった点について併せて記述し、提出する。 3）筆記試験（30分） 講義の内容の理解度を確認する。 2　発表とディスカッション（45分） 5人程度のグループに分けて、自分が最も興味をもったこと、関連した発展的なテーマ等について全員発表（一人2分程度）する。全員の発表に基づき、ディスカッションする。 **面談試験** 学校側2人、志願者1人で面談試験を行う。 **評価のポイント** 1　学習試験 ・講義の内容を正確に理解できる基礎学力をもっているか。 ・講義の内容を踏まえて、論理的に思考し、より発展的な考えが述べられるか。 2　ディスカッション ・問題を理解して、自分の考えや意見をまとめる論理的思考力をもっているか。 ・その考えや意見を適切な言葉で表現し、相手に分かりやすく伝えるコミュニケー	内容をテーマにグループディスカッションを行い、ディスカッションする姿勢・意見の内容・他者の意見を取り入れる姿勢を含め、審査を行う。 募集人員：理学療法学科：8名、作業療法学科5名

ション力をもっているか。

面談試験の評価ポイント

・理学療法士・作業療法士として、地域社会に貢献しようとする明確な目的意識をもち、勉学に対する意欲を十分に備えているか。

・活動実績やそれを踏まえた自分の意見を他人に的確に伝えられるような論理的思考力と表現力を身につけているか。

・十分なコミュニケーション力はもっているか。

・多様な価値観を受け入れ、旺盛な好奇心、探求心、目的意識や実践力をもっているか。

1 次試験、2 次試験、面談試験により、学習の 3 要素を多角的・総合的にはかり、本学の DP,CP に合致すると考えられる多様な入学者を選抜する。

アドミッション・ポリシーへの対応

AP と自己推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
自己推薦書	○			○	○
調査書		○		○	
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP (1)	AP (2)	AP (3)	AP (4)	AP (5)
自己推薦書	○			○	○
調査書		○		○	
学習試験（筆記）		○		○	
学習試験（グループディスカッション）	○		○	○	
面談	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科：8 名、作業療法学科 5 名

３）指定校推薦入学試験

・岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、合格した場合必ず入学することが確約できる者で、本校が指定する高等学校長が人物・能力・資質・適性等に責任をもって推薦できる者

・調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.5 以上の者

・卒業後、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようという強い意志を有する者

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査、面接

面接試験の評価ポイント

・本学への志望動機、理学療法士・作業療法

３）指定校推薦入学試験

出願資格は、入学年の 3 月までに高等学校等を卒業見込みで、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.5 以上であり、本学が指定校とする学校長の推薦を受けた者とする。

実施時期：10 月下旬

選考方法：書類審査、面接

募集人員：理学療法学科 10 名、作業療法学科 5 名

士として岡山地域社会へ貢献しようとする姿勢をもっているか。
・旺盛な好奇心、探究心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。
・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。
・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。

書類審査（調査書・推薦書・入学願書志望理由）、面接において学力の 3 要素を総合的に判定する。

AP と指定校推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○	○	
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○	○	
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 10 名、作業療法学科 5 名

４）推薦入学試験

４）推薦入学試験

出願資格は、入学年の 3 月までに高等学校

出願資格は、入学年の 3 月までに高等学校等を卒業見込みで、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上であり，学校長の推薦を受けた者とする。 ・岡山医療専門職大学での勉学を強く希望し、出身学校長が、人物・能力・資質・適性等に責任をもって推薦できる者 ・調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上の者 ・卒業後、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようという強い意志を有する者 実施時期：11 月下旬 選考方法：書類審査、学力試験：小論文、面接 小論文試験（60 分、800 字以内） 志願者がリハビリテーション分野に関連するテーマについて小論文を 800 字以内で書く。 **小論文の評価ポイント** ・的確な問題提起がなされているか。 ・論文構成が適切か。 ・自分の考えが論理的に述べられているか。 ・正確な文章表現ができているか。 **面接試験の評価ポイント** ・本学への志望動機、理学療法士・作業療法士として岡山地域社会に貢献しようとする姿勢をもっているか。 ・旺盛な好奇心、探究心、目的意識、自主的に取り組む姿勢をもっているか。 ・多様な価値観を尊重し、協調性、思いやり、誠実に対応する心構えがあるか。 ・質問の意図や意味を正確に理解し、自分の考えをきちんと相手に伝えられるコミュニケーション力があるか。	等を卒業見込みで、調査書の評定平均値が 5 段階評価において 3.2 以上であり，学校長の推薦を受けた者とする。 実施時期：11 月下旬 選考方法：書類審査、学力試験：小論文、面接 募集人員：理学療法学科 5 名、作業療法学科 3 名

書類審査（調査書・推薦書・入学願書志望理由)、小論文、面接において学力の 3 要素を総合的に判定する。

AP と推薦入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○		
小論文		○	○	○	○
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書		○			
推薦書	○		○		
小論文		○	○	○	○
面接	○		○	○	○

募集人員：理学療法学科 5 名、作業療法学科 3 名

５）一般入学試験

出願資格は、入学資格がある者とする。

実施時期：2 月、3 月で 3 回実施

選考方法：書類審査、学力試験：国語（現代文)、コミュニケーション英語、面接

５）一般入学試験

出願資格は、入学資格がある者とする。

実施時期：2 月、3 月で 3 回実施

選考方法：書類審査、学力試験：国語（現代文)、コミュニケーション英語、面接

募集人員：理学療法学科 17 名、作業療法学科 6 名

募集人員：理学療法学科 17 名、作業療法学科 6 名

	理学療法学科	作業療法学科
1 次	6 名	2 名
2 次	7 名	2 名
3 次	4 名	2 名
合計	17 名	6 名

	理学療法学科	作業療法学科
1 次	6 名	2 名
2 次	7 名	2 名
3 次	4 名	2 名
合計	17 名	6 名

書類審査（調査書・入学願書志望理由）、学力試験：国語（現代文）、コミュニケーション英語、面接において学力の 3 要素を総合的に判定する。

AP と一般入学試験との関係性

（理学療法学科）

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書		○			
学力試験		○			
面接	○		○	○	○

（作業療法学科）

選抜方法	AP(1)	AP(2)	AP(3)	AP(4)	AP(5)
調査書		○			
学力試験		○			
面接	○		○	○	○

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

5．社会人は学則第 34 条第 3 項により社会人（実務経験）として単位認定を行うとしており、実務経験による単位認定は、病院並びに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習の当該単位とみなして認定すると説明されているが、実務経験として単位認定がされる具体例を挙げて明らかとすること。その際、既に理学療法士、作業療法士の資格を有している社会人を想定しているのであれば、その旨を記載するとともに、仮にそうした学生を編入生として受け入れる場合、学生の臨地実務実習はどのような扱いとなるのか明らかにすること。

（対応）社会人の実務経験を単位認定する際、既に理学療法士、作業療法士の資格を有している社会人を想定しているのであれば、その旨を記載するとともに、仮にそうした学生を編入生として受け入れる場合、学生の臨地実務実習はどのような扱いとなるのか明らかにすることとご意見をいただいたため、明確にする。

本学では、実務経験を単位認定する社会人とは既に理学療法士、作業療法士の資格を有している社会人を想定している。そのため仮に編入生として受け入れる場合、理学療法士・作業療法士としての病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合に、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 22 単位を限度として単位認定をする。また学則第 33 条第 1 項、第 3 項により既修単位の認定を行い、実務経験と併せて 60 単位を限度として認め、単位履修状況に応じて、編入年次を決定する。

面接審査において実務経験を有する者の編入学年次についてのご質問に対し、専門職大学設置基準第 29 条第 1 項「専門職大学に四年以上在学すること。」から在学期間が 4 年以上必要であると考え、1 年次編入を受け入れると回答させていただきました。しかしながら、文部科学省高等教育局専門教育課に確認した所、専門職大学においても大学と同様、学校教育法施行規則第 186 条第 2 項を準用し編入学が可能であるとの回答をいただいたことから、理学療法士・作業療法士を養成する専門学校卒業者ならびに大学卒業者については、単位履修状況に応じて、編入年次を決定する。

また、他大学・他学部等における授業科目の履修に係る単位認定は学則第 33 条第 1 項から第 3 項を適用し、60 単位を限度として所属学科において単位認定する。

ただし、編入学に関しては定員に欠員が出た場合のみとする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P41）

新	旧
⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ４．単位互換制度 　他大学等での取得単位は 60 単位を限度として所属学科において取得した単位とみなすことができる。単位の認定については、教授会で審議し	⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ４．単位互換制度 　他大学等での取得単位は 60 単位を限度として所属学科において取得した単位とみなすことができる。単位の認定については、教授会で審議し

た上で決定する。 実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実 務経験による単位認定は、理学療法士・作業療法士として病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 22 単位を限度として所属学科において取得した単位認定をする。なお、編入受け入れに際しては、単位履修状況に応じて、編入年次を決定する。	た上で決定する。 実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実 務経験による単位認定は、病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 22 単位を限度として所属学科において取得した単位とみなすことができる。

（新旧対照表）学則第 34 条

新	旧
（大学以外の教育施設等における学修） 第 34 条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学または、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。 2　前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項から第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。 3　実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実務経験による単位認定は、理学療法士・作業療法士としての病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 22 単位を限度として所属学科において修得した単位とみなすことができる。	（大学以外の教育施設等における学修） 第 34 条　本学において教育上有益と認めるときは、学生が行なう短期大学または、高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。 2　前項により与えることができる単位数は、前条第 1 項から第 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。 3　実務経験による単位認定は、その都度個別に教授会で審査した上で決定する。なお、実 務経験による単位認定は、病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 22 単位を限度として所属学科において修得した単位とみなすことができる。 4　前 1 項の実施に関して必要な事項は別に定め

4　前 1 項の実施に関して必要な事項は別に定める。	る。

（改善意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

6. 一定程度の定員充足の見通しが示されたが、定員充足の根拠の一つとしている客観的データのクロス集計方法に疑義がある。例えば、本学のオープンキャンパス参加者を対象としたアンケート調査の分析は、４年制大学への進学希望学生と、短期大学や専門学校への進学希望学生を区分せずに、専門職大学への進学希望者と想定した分析がされており、不適切であるため改めること。

（対応）４年制大学進学希望者と短期大学や専門学校進学希望者とを区分せずに専門職大学への進学希望者と想定した分析がなされており不適切である、とのご意見を頂きましたので、アンケート調査の分析について改めて説明いたします。

ご指摘の通り、本アンケートでは、学生がオープンキャンパス（OC）に参加した時点での、４年制大学へ進学希望者（164 名）、短大へ進学希望者（50 名）、専門学校へ進学希望者（87 名）、就職希望者（26 名）、その他（7 名）合計 334 名からの回答を集計して、岡山専門職大学への入学希望の有無を調査し分析したものである。

結果は、岡山専門職大学（定員 120 名）に、「入学を希望する」者 152 名、「受験先の一つとして考える」者 146 名、「入学を希望しない」者 36 名であった。

この結果は、OC に参加した高校生の岡山専門職大学への入学希望・受験希望の有無の状況を適切に反映していると考えられますので、その理由を以下に説明いたします。

アンケートに回答した時点(平成 30 年 7 月 25 日から平成 30 年 10 月 2 日の間に開催された OC)で、大学進学希望としていた生徒だけでなく、専門学校進学希望や短期大学進学希望と答えた生徒も、岡山専門職大学に非常に高い関心を示しており、171 名が本専門職大学に「とても興味がある」と答え、104 名が「興味がある」と答えている。このことは、高校生の進路選択希望がかなり流動的であるという状況を示しているということができる。

岡山地域では、専門学校進学希望者や短期大学進学希望者が大学進学希望へと進路変更することは珍しくなく、大学を併願することも少なくない。特に夏休み前後に、最終的に進路先を決定する生徒が多いため、高校生の進路希望が最終的に固まっていくプロセスを反映した回答になっているとみられる。

このような高校生の進路決定状況を全国的に調査し分析した結果が、(株）リクルートマーケティングパートナーズ「志望校種変更時期（進学センサス 2016)」として公表されている。それによると、高校生の進路変更で最も多いのは「専門学校から大学」であり、変更の時期は「高 2 の夏休み後から高 3 の 4 月」が 3 割、「高 2 の 4 月から夏休み後」が 2 割、「高 3 の 4 月から夏休み」が 2 割を占めている。そして短大から大学への希望進路変更についても同じような傾向がみられることが示されている（資料１）。

このような高校生の進路決定事情を考慮すれば、大学進学希望者のみならず専門学校進学希望者・短大進学希望者を特に区分せずに、すべての参加者を対象としたアンケートを行い、高校生の進路変更意志も踏まえて入学希望を確認することで、岡山専門職大学への入学希望・受験希望の状況を的確に把握することができると考えられる。したがって、そのデータを基にして定員充足の程度を判断することは自然であり適切な方法であると考えられる。そのため、このアンケート結果は、本学の定員充足に必要な十分な志願者があることを示していると考えることができる。

補足資料

上記のアンケート結果は、本学が平成 30 年 7 月に専門職大学設置申請を一旦取り下げ新たな内容の専門職大学として 10 月に再申請した関係で、平成 30 年 7 月 25 日から平成 30 年 10 月 2 日までの期間の OC 参加者のデータに基づいたものであるが、令和元年 6 月末現在、その後に開催された OC 参加者のアンケート結果を含めた 11 カ月間（平成 30 年 7 月 25 日から平成 31（令和元）年 6 月 22 日まで）のデータが存在し、岡山（医療）専門職大学への入学希望動向をより明確に説明することができる（資料２）。

アンケート有効回答数は 495 名であり、内訳は、大学進学希望 299 名、短大進学希望 50 名、専門学校進学希望 112 名、就職 26 名、その他 8 名である。

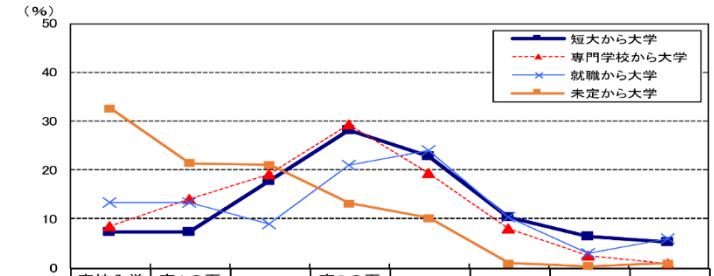
そのうち、岡山（医療）専門職大学に「入学を希望する」者 268 名、「受験先の候補の一つとして考える」者 188 名、「希望しない」者 39 名であった。入学を希望する者は、入学定員の 2.23 倍、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つと考える」者は入学定員の 3.8 倍となる。

（資料１）大学希望者の希望進路変更とその時期

①大学への変更

（未定からの変更以外で）
►専門学校→大学に変更する人数（N数）が最も多く、最も変更が多い時期は、高2の夏休み後から高3の4月が3割。
続いて、高2の4月から夏休み後と高3の4月から夏休みが2割ずつ

■希望進路の変更とその時期　①大学への進路変更（全体／各単一回答）



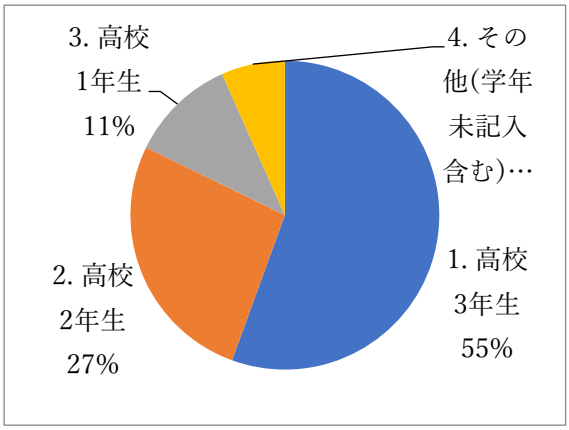
	調査数	高校入学時から高1の夏休み後	高1の夏休み後から高2の4月	高2の4月から夏休み後	高2の夏休み後から高3の4月	高3の4月から夏休み後	高3の夏休み後から12月	高3の12月から2月	高3の2月から卒業まで
短大から大学	96	7.3	7.3	17.7	28.1	22.9	10.4	6.3	5.2
専門学校から大学	284	8.5	14.1	19.0	29.2	19.4	8.1	2.5	0.7
就職から大学	67	13.4	13.4	9.0	20.9	23.9	10.4	3.0	6.0
未定から大学	328	32.6	21.3	21.0	13.1	10.1	0.9	0.3	0.9
		100.0	項目別に最もポイントが高い						Q03→01大学
		100.0	項目別に2～3番目にポイントが高い						

（出典）株式会社リクルートマーケティングパートナーズ　高校生の進路選択に関する調査　2016 より

（資料２）OC アンケート（有効回答数 495 名）の結果（平成 30 年 7 月から平成 31（令和元）年 6 月実施分）

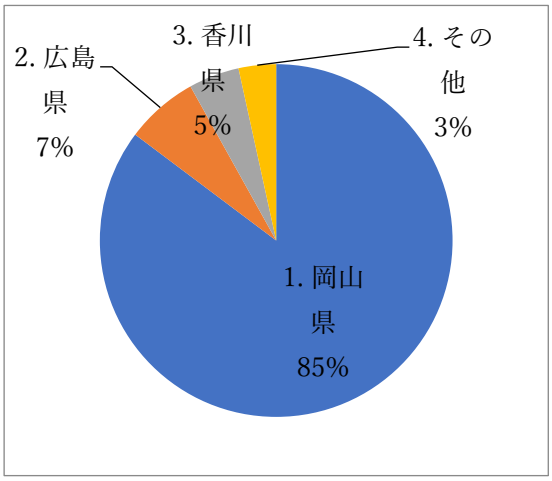
Q１　あなたの学年を教えてください。

	回答	比率（%）
1. 高校3年生	275	55.6%
2. 高校2年生	132	26.7%
3. 高校1年生	55	11.1%
4. その他(学年未記入含む)	33	6.7%
合計	495	100.0%



Q２　高校の所在地を教えてください。

	回答	比率(%)
1. 岡山県	422	85.3%
2. 広島県	33	6.7%
3. 香川県	23	4.6%
4. その他	17	3.4%
合計	495	100.0%



Q３　高校名を記入してください。

高校名	人数	比率（%）
岡山県立倉敷中央高等学校	32	6.5%
岡山県立勝山高等学校	28	5.7%
岡山県立倉敷天城高等学校	22	4.4%
岡山県立玉野高等学校	21	4.2%
岡山県立岡山東商業高等学校	14	2.8%
岡山県立新見高等学校	13	2.6%
岡山県立西大寺高等学校	12	2.4%
玉野市立玉野商工高等学校	12	2.4%

岡山県美作高等学校	11	2.2%
英明高等学校	10	2.0%
岡山学芸館高等学校	9	1.8%
岡山県立岡山南高等学校	9	1.8%
岡山県立矢掛高等学校	9	1.8%
岡山高等学校	9	1.8%
関西高等学校	9	1.8%
就実高等学校	9	1.8%
創志学園高等学校	9	1.8%
明誠学院高等学校	8	1.6%
岡山県立岡山工業高等学校	7	1.4%
岡山理科大学附属高等学校	7	1.4%
おかやま山陽高等学校	6	1.2%
岡山県立岡山操山高等学校	6	1.2%
岡山県立玉野光南高等学校	6	1.2%
岡山県立水島工業高等学校	6	1.2%
岡山県立倉敷古城池高等学校	6	1.2%
岡山県立総社高等学校	6	1.2%
倉敷高等学校	6	1.2%
岡山県立備前緑陽高等学校	5	1.0%
岡山県作陽高等学校	5	1.0%
岡山県立備前緑陽高等学校	5	1.0%
岡山県立津山商業高等学校	5	1.0%
岡山県立東岡山工業高等学校	5	1.0%
岡山龍谷高等学校	5	1.0%
岡山県立岡山城東高等学校	4	0.8%
岡山県立岡山芳泉高等学校	4	0.8%
岡山県立倉敷鷲羽高等学校	4	0.8%
岡山県立津山東高等学校	4	0.8%
玉野市立玉野商工高等学校	4	0.8%
広島大学附属高等学校	4	0.8%
香川県立琴平高等学校	4	0.8%
山陽女子高等学校	4	0.8%
岡山県立真庭高等学校	3	0.6%
岡山県立瀬戸高等学校	3	0.6%
岡山県立瀬戸南高等学校	3	0.6%
岡山県立倉敷商業高等学校	3	0.6%

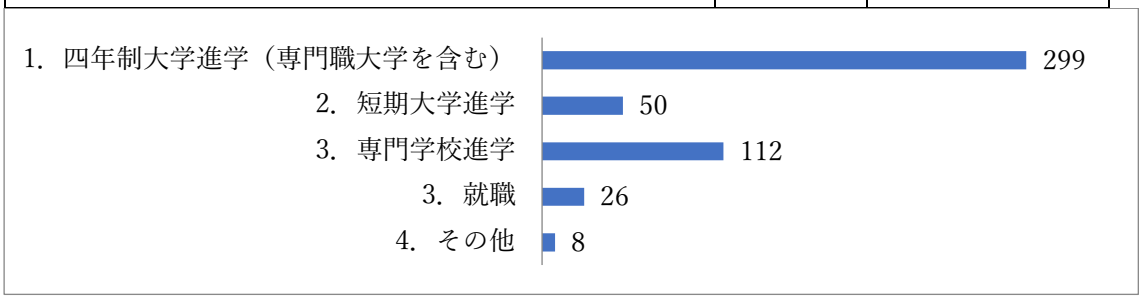
岡山県立倉敷青陵高等学校	3	0.6%
岡山県立総社南高等学校	3	0.6%
岡山県立津山工業高等学校	3	0.6%
清心女子高等学校	3	0.6%
倉敷翠松高等学校	3	0.6%
岡山県共生高等学校	2	0.4%
岡山県立井原高等学校	2	0.4%
岡山県立岡山御津高等学校	2	0.4%
岡山県立岡山朝日高等学校	2	0.4%
岡山県立玉島高等学校	2	0.4%
岡山県立倉敷工業高等学校	2	0.4%
岡山県立倉敷南高等学校	2	0.4%
岡山県立林野高等学校	2	0.4%
岡山白陵高等学校	2	0.4%
吉備高原学園高等学校	2	0.4%
興譲館高等学校	2	0.4%
広島県立福山明王台高等学校	2	0.4%
広島県立油木高等学校	2	0.4%
香川県立小豆島中央高等学校	2	0.4%
津山工業高等専門学校	2	0.4%
尾道高等学校	2	0.4%
福山市立福山高等学校	2	0.4%
高知県立高知商業高等学校	2	0.4%
広島県立庄原格致高等学校	2	0.4%
岡山県立岡山一宮高等学校	1	0.2%
岡山県立笠岡工業高等学校	1	0.2%
岡山県立笠岡高等学校	1	0.2%
岡山県立笠岡商業高等学校	1	0.2%
岡山県立鴨方高等学校	1	0.2%
岡山県立興陽高等学校	1	0.2%
岡山県立勝間田高等学校	1	0.2%
岡山県立勝間田高等学校	1	0.2%
岡山県立邑久高等学校	1	0.2%
岡山商科大学付属高等学校	1	0.2%
岡山商科大学附属高等学校	1	0.2%
開星高等学校	1	0.2%
金光学園高等学校	1	0.2%

呉工業高等専門学校	1	0.2%
広島県立戸手高等学校	1	0.2%
広島県立神辺高等学校	1	0.2%
広島県立福山葦陽高等学校	1	0.2%
広島大学附属福山高等学校	1	0.2%
香川県藤井高等学校	1	0.2%
香川高等専門学校	1	0.2%
高水高等学校	1	0.2%
坂出第一高等学校	1	0.2%
崇徳高等学校	1	0.2%
倉敷外語学院	1	0.2%
倉敷市立倉敷翔南高等学校	1	0.2%
島根県立島根中央高等学校	1	0.2%
徳島県立つるぎ高等学校	1	0.2%
徳島県立川島高等学校	1	0.2%
徳島県立徳島商業高等学校	1	0.2%
日本航空高等学校	1	0.2%
並木学院高等学校	1	0.2%
明誠高等学校	1	0.2%
香川県立高松西高等学校	1	0.2%
香川県立坂出商業高等学校	1	0.2%
香川県立志度高等学校	1	0.2%
高知県立幡多農業高等学校	1	0.2%
島根県立三刀屋高等学校	1	0.2%
島根県立飯南高等学校	1	0.2%
ヒューマンキャンパス高等学校	1	0.2%
広島県立油木高等学校	1	0.2%
広島県立庄原実業高等学校	1	0.2%
広島県立尾道高等学校	1	0.2%
愛媛県立今治北高等学校	1	0.2%
愛媛県立三島高等学校	1	0.2%
英数学館高等学校	1	0.2%
その他(未回答、不明含む)	21	4.2%
合計	495	100.0%

Q４　あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。

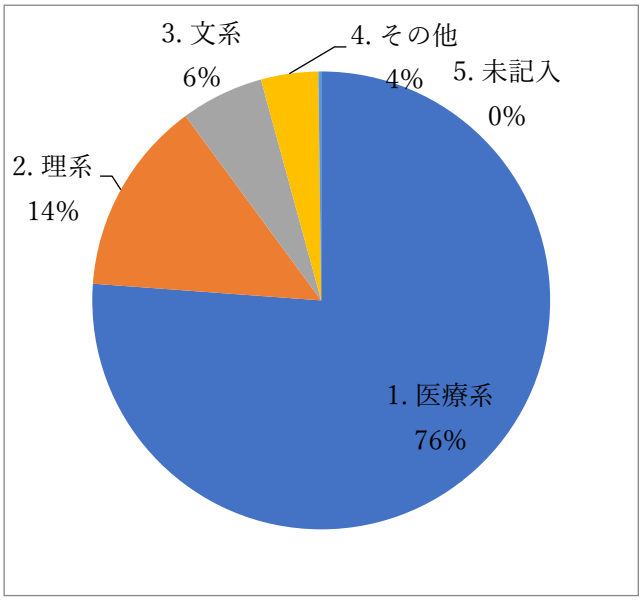
	回答	比率（%）

1. 四年制大学進学（専門職大学を含む）	299	60.4%
2. 短期大学進学	50	10.1%
3. 専門学校進学	112	22.6%
3. 就職	26	5.3%
4. その他	8	1.6%
合計	495	100.0%



Q５　あなたが進学したいと考えている学問分野は次のうちどれですか。次の中から選んでください。

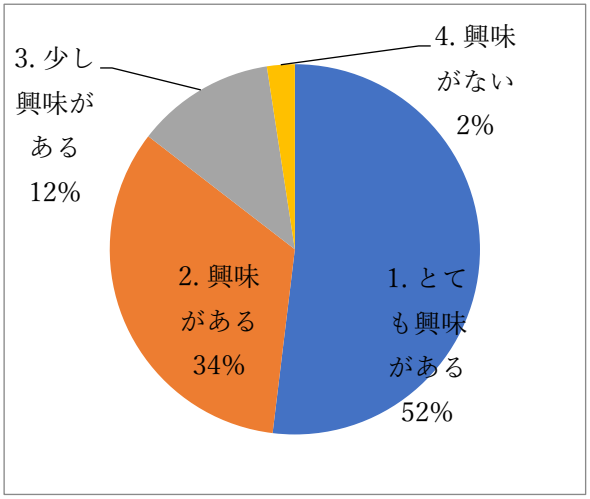
	回答	比率（%）
1. 医療系	377	76.2%
2. 理系	68	13.7%
3. 文系	29	5.9%
4. その他	20	4.0%
5. 未記入	1	0.2%
合計	495	100.0%



Q6 あなたは岡山医療専門職大学（仮称）に興味がありますか。

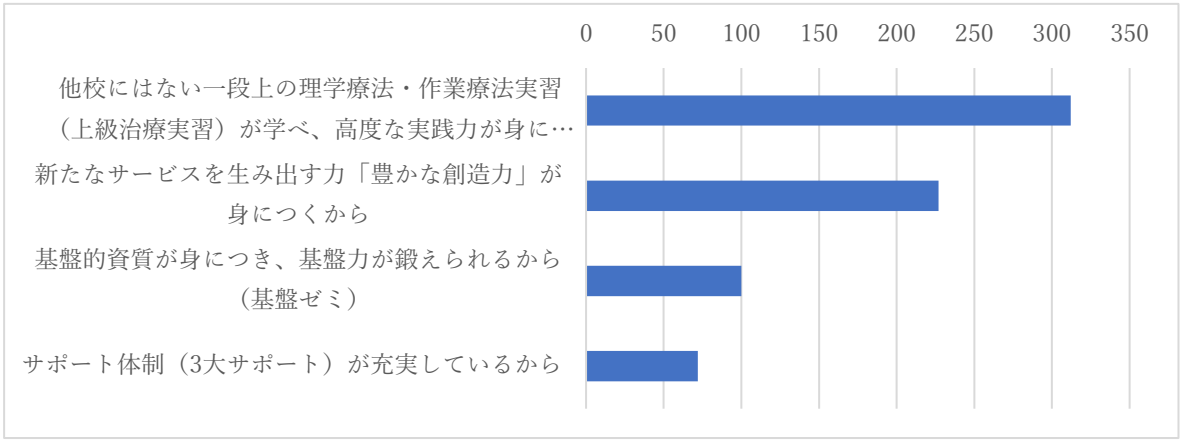
	回答	比率（%）

1. とても興味がある	257	51.9%
2. 興味がある	166	33.5%
3. 少し興味がある	60	12.1%
4. 興味がない	12	2.4%
合計	495	100.0%



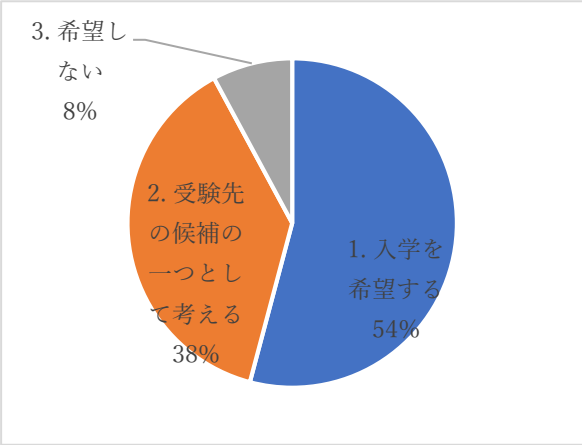
Q7　Q6 で「①とても興味がある、②興味がある、③少し興味がある」のいずれかを選んだ方にお聞きします。興味を持った理由を教えてください。（複数回答可）

	回答	比　率（%）
他校にはない一段上の理学療法・作業療法実習（上級治療実習）が学べ、高度な実践力が身につくから	312	63.0%
新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから	227	45.9%
基盤的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基盤ゼミ）	100	20.2%
サポート体制（3 大サポート）が充実しているから	72	14.5%



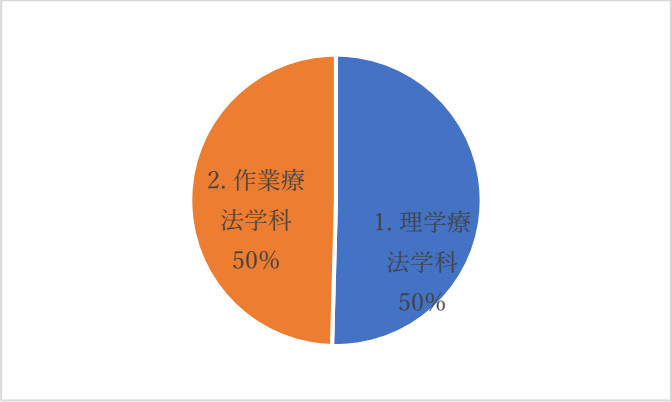
Q8 あなたは「岡山医療専門職大学（仮称）」に入学したいと思いますか。（１つに○をつけてください）

	回答	比率（%）
1. 入学を希望する	268	54.1%
2. 受験先の候補の一つとして考える	188	38.0%
3. 希望しない	39	7.9%
合計	495	100.0%



Q9 Q8 で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。次のどの学科への入学を希望しますか。

	回答	比率（%）
1. 理学療法学科	234	50.4%
2. 作業療法学科	230	49.6%
合計	464	100.0%



（新旧対照表）学生確保の見通し（P1－2）

新	旧
１．学生確保の見通し及び申請者としての取組状況	１．学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し ア　定員充足の見込み （１）岡山医療専門職大学健康科学部の定員充足の見込み（資料 1） （中略） 334 名の内、「本学へ入学を希望する」と回答した者は 152 名、「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は 146 名であった。入学を希望すると回答した者の割合は入学定員 120 名の 1.3 倍であり、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つとする」と回答した者 298 名の入学定員に対する倍率は 2.5 倍となっている（資料 2)。 岡山地域（全国的にも同様な傾向が確認されている資料 2－1）では、専門学校や短期大学進学希望者が大学進学希望へと進路を変更し、また大学を併願することも少なくなく、夏休み前後に最終的に進路先を決定する生徒が多い。このような事情を考慮して、オープンキャンパス参加時点で大学進学希望者のみならず専門学校・短大進学希望者を特に区分せずに、すべての参加者を対象としたアンケートを行い、高校生の進路変更意志も踏まえた進学希望を確認し、岡山専門職大学への入学希望・受験希望の状況を的確に把握している。 **補足資料** 上記のアンケートは、本学が平成 30 年 7 月に専門職大学設置申請を一旦取り下げ新たな内容の専門職大学として 10 月に再申請した関係で、平成 30 年 7 月 25 日から平成 30 年 10 月 2 日までの期間の OC 参加者のデータに基づいたものであるが、令和元年 6 月末現在、その後に開催された OC 参加者のアンケート結果を含めた 11 カ月間（平成 30 年 7 月 25 日から平成 31（令和元）年 6 月 22 日まで）のデータが存在し、岡山（医療）専門職大学への入学希望・受験希望動向をより明確に説明することができる（資料 2－2)。 アンケート有効回答数は 495 名であり、内訳は、大学進学希望 299 名、短大進学希望 50 名、専門学校進学希望 112 名、就職 26 名、その他 8 名である。 そのうち、岡山（医療）専門職大学に「入学を希望	①学生の確保の見通し ア　定員充足の見込み （１）岡山医療専門職大学健康科学部の定員充足の見込み（資料 1） （中略） 334 名の内、「本学へ入学を希望する」と回答した者は 152 名、「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は 146 名であった。入学を希望すると回答した者の割合は入学定員 120 名の 1.3 倍であり、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つとする」と回答した者 298 名の入学定員に対する倍率は 2.5 倍となっている（資料 2)。 （追加）

する」者 268 名、「受験先の候補の一つとして考える」者 188 名、「希望しない」者 39 名であった。入学を希望する者は、入学定員の 2.23 倍、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つと考える」者は入学定員の 3.8 倍となる。	

（新旧対照表）（資料）

新	旧
（資料 2－1）高校生の進路選択に関する調査 資料 1 参照（審査意見 6 対応内）	（追加）
（資料 2－2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査（調査期間：平成 30 年 7 月 25 日から平成 31（令和元）年 6 月 22 日まで） 資料 2 参照（審査意見 6 対応内）	（追加）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

7．基礎科目の内容について、以下の点を是正すること。 （1）新たに示された基盤ゼミⅠ・Ⅱの内容は、各講義回で学ぶ内容が抽象的であり大学教育として適切な内容か判断できないため、具体的な学習内容を記載すること。例えば、議論のテーマの一例として、延命が図られにくい人工呼吸器の装着の是非などが考えられるが、扱うテーマの具体例を挙げ、大学教育として適切な内容であることを明らかとすること。また、ゼミメンバーを２グループに分け、グループごとに課題を煮詰める作業を行うとされているが、運営方法についても具体的に説明すること。 （2）基礎科目に配置された基礎物理や基礎生物は既修者が相当程度いるため必修科目から選択科目に変更したと説明されているが、教育課程の特色で、基礎物理、基礎生物に関する知識を修得することで、専門職業人として、生涯にわたり自らの基盤的資質を高めていくための素養を涵養すると説明していることを踏まえると、リハビリテーション人材として両科目の履修は重要であるため、既修者でない学生が両科目を修得する仕組みを明らかとすること。

（対応）

（1）基盤ゼミⅠ・Ⅱの内容に関して具体的な学習内容を記載すること、および基盤ゼミの運用方法を具体的に説明するようにとのご指摘をいただいたので、以下に、想定される議論のテーマを明らかにし、また運営方法についても具体的に説明する。

想定される議論のテーマ例

脳死は人の死か
脳死からの臓器移植
安楽死と尊厳死
延命治療
人工妊娠中絶・体外受精・出生前診断・代理出産
定年制と終身雇用
AI の進歩と失われる職業
外国人労働者の受け入れと移民問題

議論の対象としては、このようなテーマ例を想定している。いずれのテーマも医療界と一般社会において、なお大きな課題として残る重要な内容を含んでおり、いずれも大学生として認識していなければいかない課題であり、大学教育のレベルで考えるべき課題である。

なお、「基盤ゼミⅡ」では、討議するテーマは学生自らが考え出すことになるので、前記のテーマ例は「基盤ゼミⅠ」で担当教師が学生に提示するものである。

運営方法

基盤ゼミを受けるにあたっては、まず 1 年次前期に設置する初年次教育「大学入門」（必修）を受けることによって、基盤ゼミに必要な基本的事項を系統的に学ぶことができ、「大学入門」において基礎的知識とスキルを修得した上で基盤ゼミに参加する。

基盤ゼミの運営方法については次の通りである。

「基盤ゼミ」では、10 人以下の少人数編成で行い、それぞれに担当教員を配置する。理学療法学科では 11 人の、作業療法学科では 5 人の担当教員を配置する予定である。

「基盤ゼミⅠ」では、教員が提示する前記のテーマ例の中から、学生がテーマを選択し、シラバスの内容に沿ってプロコン形式を援用して議論を進めていく。「基盤ゼミⅡ」では、「基盤ゼミⅠ」で獲得した課題の核心を特定して最善の課題解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択したテーマに基づいて、必要なデータや資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表し、その発表についてプロコン形式で討論していく。

担当教員は、討議を進めていく過程で、学生の主体性を重んじることを基本とする。

以下にゼミの進行の具体例を示す。

基盤ゼミでは、ストーリーの明確な説得性の高いプレゼンテーションを行う力を涵養するために、選択した課題について、プレゼンテーションの主要構成要素ごとに、順を追って問題を深める作業を繰り返し行う。ゼミは、議論を活発化させ深めるために、ゼミメンバーを A.B の２グループに分けて、A は選択された課題について賛成する立場、B は反対する立場に立たせ、必ずメンバー全員に意見を述べさせるように運営する。

各グループのメンバーは、個人的な考え方や価値観等からは中立的な姿勢で、グループの立場にたって、あくまで論理と論拠のみで議論するよう指導する。

A グループは、課題について「賛成」の立場に立ち、グループ内で議論して立論をまとめ、B は「反対」の立場で立論をまとめる。この過程で学生は必ず何らかの意見あるいはコメントを述べることを義務化する。

担当教員を司会として、A グループが肯定的見解を述べ、B グループが否定的見解を述べ、ディスカッションを行う。A.B に所属する学生は、全員相手の見解に対して反対の意見あるいはコメントを述べる。ここでは出来るだけ多くの観点からの賛成意見、反対意見を引き出すことを主要目標とし、議論や意見の優劣を競うことは目的としない。

担当教員は議論を整理し、双方の見解の「最も良い点・メリット」と「最も悪い点・デメリット」を明らかにする。

A.B 双方のグループで、このような作業をストーリー・プレゼンの主要構成要素ごとに繰り返し、プレゼンの骨格を形成する作業を行い、有力な選択肢となり得るいくつかの案を検討し、それを踏まえて、「メリットを最大化」し、「デメリットを最小化」する作業を行い、グループのプレゼン原案を作成する。

担当教員を司会として、A.B 双方の原案のプレゼンを行い、質疑応答を行い、A.B 双方で相手の選択肢に否定的意見を表明し、担当教員はその結果をまとめる。

各グループは、これらの否定的意見やコメントを参考にしながら、ストロング・ポイントとウイーク・ポイントを整理し、グループとしての最善の選択肢に煮詰め、プレゼン形式の最終案にまとめる。

再度、各グループは、最終案に基づきプレゼンと議論を行い、双方の反対意見の結果を集約し、同様のプロセスを踏まえて A.B グループのプレゼンテーションをまとめ完成させる。

各グループは、完成したプレゼンテーションを行い、ゼミ学生全員が A.B の立場を離れて、ス

トーリー（組み立てと論拠となるデータの優劣と論理の一貫性）に注目して、「非常に説得的、説得力あり、平凡、説得力に欠ける」等に分けて、評価シートを提出させ、集計結果を発表する。

この結果を踏まえて、最後に、担当教員が全体を講評し、効果的なストーリー・プレゼンを行なうための要点について総括する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P37）

新	旧
⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ２．履修指導方法 本学に入学する学生に対して、本学のディプロマ・ポリシーを踏まえて、またリハビリテーション人材として必要な科目の未履修者や学力について課題を有する学生に対しては、入学前に教育課程外授業として、e-learning によるリメディアル教育を行う。リメディアル教育で補完する科目に関しては、調査書により判断する。学習状況はシステムやレポートで確認し指導を行う。また到達度をはかるために、到達度テストを行い、大学教員が到達度を確認し指導を行う。 また、1 年前期において、大学で自立的に学ぶために、必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として「大学入門」を設置する。 （１）履修に関するガイダンス	⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ２．履修指導方法 （追加） （１）履修に関するガイダンス

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P15－17）

新	旧
２．教育課程の特色 （中略） （１）基礎科目（両学科共通） 大学で自立的に学ぶために必要な基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるように初年次教育として 1 年前期に「大学入門」を配置する。 １）発信力・対話力と自己研鑽の姿勢 少人数編成の２年前期「基盤ゼミⅠ」、３年前	２．教育課程の特色 （中略） （１）基礎科目（両学科共通） （追加） １）発信力・対話力と自己研鑽の姿勢 少人数編成の２年前期「基盤ゼミⅠ」、３年前

期「基盤ゼミⅡ」により、プレゼンテーション力を磨き、論理的思考に基づく発信力と問題解決力を身につけ、自己研鑽の姿勢を涵養する。 「基盤ゼミⅠ」および「基盤ゼミⅡ」のテーマ例と運営方法は、次の通りである。 **想定される議論のテーマ例** 脳死は人の死か 脳死からの臓器移植 安楽死と尊厳死 延命治療 人工妊娠中絶・体外受精・出生前診断・代理出産 定年制と終身雇用 AI の進歩と失われる職業 外国人労働者の受け入れと移民問題 なお、「基盤ゼミⅡ」では、討議するテーマは学生自らが考え出すことになるので、前記のテーマ例は「基盤ゼミⅠ」で担当教師が学生に提示するものである。 **運営方法** 基盤ゼミを受けるにあたっては、まず 1 年次前期に設置する初年次教育「大学入門」（必修）を受けることによって、基盤ゼミに必要な基本的事項を系統的に学ぶことができ、「大学入門」において基礎的知識とスキルを修得した上で基盤ゼミに参加する。 基盤ゼミの運営方法については次の通りである。 「基盤ゼミ」では、10 人以下の少人数編成で行い、それぞれのグループに担当教員を配置する。理学療法学科では 11 人の、作業療法学科では 5 人の担当教員を配置する予定である。 「基盤ゼミⅠ」では、教員が提示する前記のテーマ例の中から、学生がテーマを選択し、シラバスの内容に沿ってプロコン形式を援用して議論を進めていく。「基盤ゼミⅡ」では、「基盤ゼミⅠ」で獲得した課題の核心を特定して最善の課題	期「基盤ゼミⅡ」により、プレゼンテーション力を磨き、論理的思考に基づく発信力と問題解決力を身につけ、自己研鑽の姿勢を涵養する。 （追加）

解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択したテーマに基づいて、必要なデータや資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表し、その発表についてプロコン形式で討論していく。 担当教員は、討議を進めていく過程で、学生の主体性を重んじることを基本とする。 以下にゼミの進行の具体例を示す。 基盤ゼミでは、ストーリーの明確な説得性の高いプレゼンテーションを行う力を涵養するために、選択した課題について、プレゼンテーションの主要構成要素ごとに、順を追って問題を深める作業を繰り返し行う。ゼミは、議論を活発化させ深めるために、ゼミメンバーをA.Bの２グループに分けて、Aは選択された課題について賛成する立場、Bは反対する立場に立たせ、必ずメンバー全員に意見を述べさせるように運営する。 各グループのメンバーは、個人的な考え方や価値観等からは中立的な姿勢で、グループの立場にたって、あくまで論理と論拠のみで議論するよう指導する。 Aグループは、課題について「賛成」の立場に立ち、グループ内で議論して立論をまとめ、Bは「反対」の立場で立論をまとめる。この過程で学生は必ず何らかの意見あるいはコメントを述べることを義務化する。 担当教員を司会として、Aグループが肯定的見解を述べ、Bグループが否定的見解を述べ、ディスカッションを行う。A.Bに所属する学生は、全員相手の見解に対して反対の意見あるいはコメントを述べる。ここでは出来るだけ多くの観点からの賛成意見、反対意見を引き出すことを主要目標とし、議論や意見の優劣を競うことは目的としない。 担当教員は議論を整理し、双方の見解の「最も良い点・メリット」と「最も悪い点・デメリット」を明らかにする。 A.B双方のグループで、このような作業をスト	

ーリー・プレゼンの主要構成要素ごとに繰り返し、プレゼンの骨格を形成する作業を行い、有力な選択肢となり得るいくつかの案を検討し、それを踏まえて、「メリットを最大化」し、「デメリットを最小化」する作業を行い、グループのプレゼン原案を作成する。 担当教員を司会として、A.B 双方の原案のプレゼンを行い、質疑応答を行い、A.B 双方で相手の選択肢に否定的意見を表明し、担当教員はその結果をまとめる。 各グループは、これらの否定的意見やコメントを参考にしながら、ストロング・ポイントとウイーク・ポイントを整理し、グループとしての最善の選択肢に煮詰め、プレゼン形式の最終案にまとめる。 再度、各グループは、最終案に基づきプレゼンと議論を行い、双方の反対意見の結果を集約し、同様のプロセスを踏まえて A.B グループのプレゼンテーションをまとめ完成させる。 各グループは、完成したプレゼンテーションを行い、ゼミ学生全員が A.B の立場を離れて、ストーリー（組み立てと論拠となるデータの優劣と論理の一貫性）に注目して、「非常に説得的、説得力あり、平凡、説得力に欠ける」等に分けて、評価シートを提出させ、集計結果を発表する。 この結果を踏まえて、最後に、担当教員が全体を講評し、効果的なストーリー・プレゼンを行なうための要点について総括する。	

（2）基礎科目に配置された基礎物理や基礎生物は既修者が相当程度いるため必修科目から選択科目に変更したと説明されているが、教育課程の特色で、基礎物理、基礎生物に関する知識を修得することで、専門職業人として、生涯にわたり自らの基盤的資質を高めていくための素養を涵養すると説明していることを踏まえると、リハビリテーション人材として両科目の履修は重要であるため、既修者でない学生が両科目を修得する仕組みを明らかとすることとのご意見をいただいたため、以下のように対応する。

基礎物理に関しては運動学、基礎生物に関しては解剖学や生理学の分野のより深い学修や研究

を志す者に専門的知識を提供するための科目として重要であると判断したため再考し、選択科目から必修科目に改めた。

リハビリテーション人材として重要な知識である物理や生物の未履修者に対しては、リメディアル教育（教育課程外）として e-learning で補完学修を行い、修得するように指導する。リメディアル教育で補完する科目に関しては、調査書により判断する。学習状況はシステムやレポートで確認し指導を行う。また到達度をはかるために、到達度テストを一度行い、大学教員が到達度を確認し指導を行う。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P17）

新	旧
２．教育課程の特色 （中略） ５）科学的思考の基盤とツール 1 年前期に、保健・医療・福祉分野において、科学的基盤となる「基礎生物」と「基礎物理」を必修科目として配置する。	２．教育課程の特色 （中略） ５）科学的思考の基盤とツール 1 年前期に、保健・医療・福祉分野において、科学的基盤となる「基礎生物」（選択科目）「基礎物理」（選択科目）を配置する。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

8．メディカル英語は必修科目から選択科目に改められているが、養成する人材像とディプロマ・ポリシーを踏まえると選択ではなく必修にすべき科目であるため、改めること。

（対応）メディカル英語について選択ではなく必修にすべき科目であるとご意見をいただいたので、養成する人材像とディプロマ・ポリシーを踏まえて、メディカル英語を選択科目から必修科目に改める。

（新旧対照表）教育課程の概要、学則別表 1、設置の趣旨等を記載した書類（資料 13、28）

新	旧
職業専門科目　専門基礎分野：メディカル英語　3 後　必修 2 単位	職業専門科目　専門基礎分野：メディカル英語　3 後　選択 2 単位
単位数合計 理学療法学科 職業専門科目単位数合計 必修 89 単位、選択 9 単位 合計 必修 131 単位、選択 17 単位 作業療法学科 職業専門科目単位数合計 必修 89 単位、選択 8 単位 合計 必修 131 単位、選択 16 単位	単位数合計 理学療法学科 職業専門科目単位数合計 必修 87 単位、選択 11 単位 合計 必修 126 単位、選択 21 単位 作業療法学科 職業専門科目単位数合計 必修 87 単位、選択 10 単位 合計 必修 126 単位、選択 20 単位
卒業要件及び履修方法 理学療法学科 【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1）本学に 4 年以上在学すること。 2）次により、必修科目 131 単位、選択科目 4 単位以上を履修すること。 基礎科目 22 単位以上 必修科目 18 単位以上 選択科目 4 単位以上 職業専門科目 89 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 32 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目必修科目 20 単位以上	卒業要件及び履修方法 理学療法学科 【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1）本学に 4 年以上在学すること。 2）次により、必修科目 126 単位、選択科目 3 単位以上を履修すること。 基礎科目 20 単位以上 必修科目 15 単位以上 選択科目 5 単位以上 職業専門科目 87 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 30 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目必修科目 20 単位以上 総合科目必修科目 4 単位以上

総合科目必修科目４単位以上 実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 20 単位以上 履修登録上限は、１年間において 39 単位とする。 ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。 作業療法学科 【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 １）本学に４年以上在学すること。 ２）次により、必修科目 131 単位、選択科目 4 単位以上を履修すること。 基礎科目 22 単位以上 必修科目 18 単位以上 選択科目 4 単位以上 職業専門科目 89 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 32 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目必修科目 20 単位以上 総合科目必修科目４単位以上 実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 22 単位以上 履修登録上限は、１年間において 39 単位とする。 ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。	実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 20 単位以上 履修登録上限は、1 年間において 39 単位とする。ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。 作業療法学科 【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 １）本学に４年以上在学すること。 ２）次により、必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上を履修すること。 基礎科目 20 単位以上 必修科目 15 単位以上 選択科目 5 単位以上 職業専門科目 87 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 30 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目必修科目 20 単位以上 総合科目必修科目４単位以上 実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 22 単位以上 履修登録上限は、1 年間において 39 単位とする。ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。

（新旧対照表）学則（P7-8）

新	旧
（卒業単位）	（卒業単位）

第 35 条　本学を卒業するためには、次の各号に定める所定の単位を修得しなければならない。 健康科学部 理学療法学科 基礎科目　22 単位以上 必修科目　18 単位以上 選択科目　4 単位以上 職業専門科目　89 単位以上 基礎分野科目から必修科目　32 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 135 単位以上（必修科目 131 単位、選択科目 4 単位以上)修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）修得しなければならない。 作業療法学科 基礎科目　22 単位以上 必修科目　18 単位以上 選択科目　4 単位以上 職業専門科目　89 単位以上 基礎分野科目から必修科目　32 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 135 単位以上（必修科目 131 単位、選択科目 4 単位以上)修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）修得しなければならない。	第 35 条　本学を卒業するためには、次の各号に定める所定の単位を修得しなければならない。 健康科学部 理学療法学科 基礎科目　20 単位以上 必修科目　15 単位以上 選択科目　5 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 基礎分野科目から必修科目　30 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上（必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）修得しなければならない。 作業療法学科 基礎科目　20 単位以上 必修科目　15 単位以上 選択科目　5 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 基礎分野科目から必修科目　30 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 133 単位以上（必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）修得しなければならない。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P40）、（図５）卒業要件　対比表

新	旧
（３）卒業要件を135単位以上とした理由 （中略） 卒業時に、専門職大学設置基準で定められた要件と国家試験受験資格の要件を満たすためには、基礎科目20単位、職業専門科目87単位、展開科目20単位、総合科目4単位、合計131単位の取得が最低限必要となる。これを踏まえると本学の教育目的を達成するために必要な単位は135単位以上となる。	（３）卒業要件を131単位以上とした理由 （中略） 卒業時に、専門職大学設置基準で定められた要件と国家試験受験資格の要件を満たすためには、基礎科目20単位、職業専門科目87単位、展開科目20単位、総合科目4単位、合計131単位の取得が最低限必要となる。したがって卒業要件は131単位以上となる。
	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P17）

新	旧
４）国際理解と日本社会の歴史と文化 1 年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」（必修とし、職業専門科目に配置）では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。なお、基礎的英語力については、前記４科目の単位	４）国際理解と日本社会の歴史と文化 1 年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年前後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。患者の訴えを理解できる英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。

を取得できるレベルを考えているが、中でもリハビリの臨床現場を想定して行われる「メディカル英語」のシラバスの到達目標に達することで評価する。	

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

9．ディプロマ・ポリシーに対応する教育内容として、以下の点を是正すること。 （1）ディプロマ・ポリシーで、「医療現場で必要な国際的視野を備える」としていることを踏まえ、「職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える」と明確化されたが、開講されている英語科目を確認すると、コミュニケーション英語とメディカル英語のみである。外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力は相当程度高いと考えられるが、患者とコミュニケーションがとれる英語力の到達試験はどの程度の水準を求めるのかが不明である。例えば、医療面接ができるのか、痛みについて多様な英語の言葉で理解できるのか、ＴＯＥＦＬ等のスコアが何点以上なのか、具体例を挙げて明らかとすること。 （2）研究スキルを身に付けさせる科目について一定の説明がなされたが、研究倫理に関する内容が不明確となっているため、明らかとするか、必要に応じて追加すること。

（対応）

(1) ディプロマ・ポリシーで、「医療現場で必要な国際的視野を備える」としていることを踏まえ、「職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える」とのディプロマ・ポリシーと、開講されている英語科目が少ないこと、そして患者とコミュニケーションがとれる英語力の到達試験はどの程度の水準を求めるのかが不明である、とのご指摘をいただいたため、以下のように説明する。

「医療現場で必要な国際的視野を備える」というディプロマ・ポリシーは、前に掲げていたものであり、現在は変更しているためこの表現は使用していない。

今回、「外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力」という表現について、本学が意図した内容（英語力のレベル）が伝わるように、改めて以下に説明する。

外国人患者の受け入れに対して本学が意図したところは、以下に示すように岡山市で増え続ける在留外国人が病気や怪我でリハビリテーションを必要とする状況になった時に、職業現場で、外国人患者の受け入れに抵抗感や違和感をもったり躊躇したりすることのない基礎的な知識と基礎的英語力を身につけておくことである。

この意図から、ディプロマ・ポリシー2）については、「職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。」となっていたのを、「職業現場で、外国人患者を受け入れることができる基礎的な姿勢を備える。」と改めた。

岡山県の在留外国人数は、2017 年時点で 25,994 人であり、最近ではアジア圏を中心に 1 年に約 1,700 人超のペースで増加を続けている。そしてこの在留外国人のうち 47.1%は岡山市に在住している。このような状況を鑑みると、岡山市でも、職業現場において、今後、多様な国籍の外国人が病気や怪我でリハビリテーションを必要とする機会が発生することは容易に予想され、外国人患者が安心してリハビリテーションを受けることができる環境づくりが必要であり、その対応が地域のニーズとして高まってきている。

このような環境の変化に対応するため、外国人患者であるという理由で受け入れに違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることなく、外国人患者を受け入れることができる基礎的な姿勢を

もっておくために、基礎的な知識と基礎的英語力を備えておくことが必要であり、ディプロマ・ポリシー2）にこの内容を掲げた。この基礎的な姿勢を備えるという目標の実現のために以下のような科目を配置した。まず、外国人と接する時に必要な基礎的な知識として、日本人として改めて日本の文化や歴史を知ることが肝要であることから「日本の歴史と文化」を、同時に外国の政治や経済の動きを知ることも必要であることから「国際政治経済論」を配置した。この２科目は、基礎的な姿勢の大切な要素と位置づけられ、また後述の英語力の習得のための科目との橋渡し的役割を担うものである。これらの科目では、いずれも英語教材を使用することにより、英語により日本の文化や歴史を理解する力を養い、英語により外国の政治や経済の動きを知ることで外国への親近感をもたせることができる。このような基礎的な知識と合わせて、基礎的英語力については、入学前にリメディアル教育（教育課程外）を行い、基礎的英語力の確認と補完を行う。そして基礎的英語力を鍛錬するために「コミュニケーション英語」と「メディカル英語」を配置する（「メディカル英語」は選択科目から必修科目に変更した）。これらの科目では、日本語を交えて主に英語により授業が行われる。前者では、自主的に英語によるコミュニケーションを行う姿勢を育み、英語を話すことに対する抵抗感や躊躇する気持ちを薄め、外国人への基本的な対応ができるようになることを目指す。後者では、実際に患者を想定して、初診から治療までの基本的な対応や、治療や訓練時のコミュニケーション技法を主に英語で学び、グループディスカッションや臨場感をもたせるためにロールプレイを実施する。このようにして臨床現場に必要な医療英語の理解力と英会話力を身につける。

新たに追加するリメディアル教育と「メディカル英語」の必修化を含めた科目配置により、外国人患者に対し、違和感や抵抗感をもったり躊躇したりすることなく受け入れる基礎的な姿勢をもつために必要な基礎的な知識と基礎的英語力を備える、という本学の意図を実現することができると考える。

英語力の評価については、本学の意図が、外国人患者であるという理由で、受け入れに違和感や抵抗感を持ったり躊躇したりすることのない基礎的な姿勢と基礎的英語力を備えておくことにあることから、英語力の評価については、この目的で配置する４科目の単位を取得できるレベルを考えているが、中でもリハビリの臨床現場を想定して行われる「メディカル英語」のシラバスの到達目標に達することで対応可能と考える。

（２）研究倫理に関する内容が不明確となっているため、明らかとするか、必要に応じて追加すること、とのご指摘をいただいたので、以下のように説明する。

研究倫理については、「テーマ設定と研究方法」（３年前期、必修）において、「研究倫理の意義」として、研究者に求められる様々な倫理観とその姿勢について学ぶことになっている。また、「研究デザイン」（３年前期、必修）および「総合研究Ⅰ」（３年後期、必修）においても、同意書の取得方法等について学ぶことになっている。学生の卒業研究に向けての研究倫理については、これらの科目により対応可能と考えている。詳細な研究倫理に関する内容が必要な場合には、開学時に設置予定の「研究倫理委員会」の規定（書面およびホームページで公開予定）を参照することで対応する。

なお、卒業研究を始めるに当たっては、前述の「研究倫理委員会」が定める研究倫理に関する所定の書類に必要事項を記入して、指導教員の校閲を受け、さらに「研究倫理委員会」に提出し、委員会の審査を経た上で卒業研究に着手することとする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P17）

新	旧
２．教育課程の特色 ５）科学的思考の基盤とツール （中略） さらに 3 年前期に、卒業論文をデザインし研究スキルを育む「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」を配置する。なお研究倫理については、「テーマ設定と研究方法」において、「研究倫理の意義」の項で研究者に求められる様々な倫理観とその姿勢について学ぶ。	２．教育課程の特色 ５）科学的思考の基盤とツール （中略） さらに 3 年前期に、卒業論文をデザインし研究スキルを育む「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」を配置する。 （追加）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

10．理学療法学科、作業療法学科にそれぞれ異なる７科目の展開科目が配置されたが、養成する人材像と、これらの科目が配置された関係性が不明瞭となっている。特に、地域活性化に貢献できる展開力を掲げているが、養成する人材像との関係も不明確であり、意見対応として記載された内容が科目を羅列しているように見えるため再度説明すること。

（対応）理学療法学科および作業療法学科にそれぞれ異なる７科目の展開科目が配置されたが、養成する人材像と配置されたこれらの科目との関係性、特に地域活性化に貢献できる展開力の育成との関係を明確にするようご指摘をいただいたため、また意見対応として記載された内容が科目を羅列しているように見えるとのご指摘をいただいたため、改めて以下のように説明する。

1. 理学療法学科

理学療法学科が育成する人材像は、「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。」を掲げている。このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学習内容と科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係について以下に説明いたします。

なお、ご指摘では展開科目 10 科目のうち学科共通科目を除いた 7 科目での説明を求められておりますので、7 科目について説明いたします。

地域のニーズに対して、本学で育成する理学療法士としての主な役割として、健康寿命の延伸を図るサービスの展開を挙げた。健康寿命の延伸は、対象者のみならず地域においても、理学療法士が担う重要な役割として位置づけられる。この健康寿命の延伸のために必要な要素は多様であるが、中でも、健康な体の維持のための食生活、日常生活やスポーツの中での身体運動、生体からの様々な情報を知ることの三つの要素が重要であると考えた。そこで、健康寿命を延伸する能力を修得するために、この三つの要素を組み入れて、「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」「生体情報科学」を配置した。

「食生活マネジメント論」では、健康における食生活の重要性と食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深め、在宅生活を支える食生活の重要性の理解も深める。「スポーツ科学」では、身体運動を科学するためのアプローチの仕方を学び、対象者の課題やニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。「生体情報科学」では、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などのからウエアラブル端末や IoT 等を活用した健康に関する情報を収集する基本的な技能について学び、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために情報を活用する力を修得する。これらの科目は、大学ではじめて接する科学的内容であるので、学生には理解しやすいように丁寧に

講義を進める。

これらの科目から、健康寿命の延伸の基本となる健全な食生活や身体運動のあり方、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な生体情報の収集方法を学ぶことによって、対象者の身体機能の維持・改善と予防に寄与し、健康寿命の延伸およびそのためのサービスを提供する上で必須の能力を修得する。

そして、前記の科目で修得した健康寿命の延伸に関する知識を基にして、これらを地域のニーズに合わせて、多職種と協働して新たなサービスへと発展させる能力が必要となる。そのためには、多職種と協働して組織のマネジメントができ、組織の人材を有効活用し、さらに組織の運営の実際を知り、さらに地域のニーズに沿った起業活動のノウハウを修得することが必要である。この目的で「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」を配置した。

「マネジメント論」では、組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識と技能を修得し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にして目標を達成するための能力を修得する。「コーチング論」では、人の能力や可能性を伸ばし、他者との協働や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。「起業入門」では、自らが起業することを想定して思考することを通じて起業に関わる基礎的知識を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。「NPO 論」では、非営利組織である NPO の理念を知り組織の運営のあり方を学び、市民や行政や企業等多職種と協働し、社会や地域課題の解決に向けたサービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する能力を育成する。

これらの科目から、他者との協力や人的資源を有効に活用する方法やスキル、起業にかかわる基本的なノウハウ、対象者や地域のニーズに対応する新しいサービスの創造等について学び、新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域のニーズに対応できる能力を修得する。

このように、理学療法学科の展開科目に配置した 7 科目は、人材像に掲げた「身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する」という目的に合致した科目配置であり、これらを学修しそれぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能と考える。

そして本学を卒業した理学療法士が活動する場は、これまで主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関係事業・福祉機器関連事業・地方自治体等の様々な領域に拡がり、それぞれの職業現場では、対象者が真に必要とするサービスを提案し展開していくことができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、人々の新しい交流の場と雇用を生み出し、理学療法士として地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

2. 作業療法学科

作業療法学科が育成する人材像は、「最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して

暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。」を掲げている。このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学習内容と科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係について以下に説明いたします。

なお、ご指摘では展開科目 10 科目のうち学科共通科目を除いた 7 科目での説明を求められておりますので、7 科目について説明いたします。

地域のニーズに対して、本学で育成する作業療法士としての主な役割は、地域を理解し地域生活を支援するためのサービスを展開し地域コミュニティづくりにつなげていくことである。そのためには、社会の基本構成単位である家族の理解、地域および地域生活のあり方、そして地域コミュニティへの関わり方の三つの要素を知ることが欠かせない。それらを学ぶために、「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」を配置した。

「家族関係論」では、社会を構成する基本単位としての家族関係を中心とした人間相互の関わりの成り立ちやその意義を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を修得する。「地域社会論」では、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する能力を修得し、地域活性化に向けての新規事業の創造の重要性を学ぶ。

「コミュニティ形成論」では、地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、コミュニティ形成の基本知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。

これらの科目から、社会を構成する最小単位である家族についてその課題を分析し解決する能力、地域づくりや地域の活性化に向けた新しいサービスの創造や地域コミュニティを活性化させるコーディネート力やマネジメント力を学び、地域生活を支援する能力を修得することができる。

そして、家族や地域に関する理解を広げ、地域生活を支える能力を修得して、次は子供から高齢者に至る幅広い世代がそれぞれのライフサイクルに合わせて、いきいきと生活できる環境づくりに発展させていく能力の修得が必要である。具体的には、対象者のライフサイクルに沿った生活課題を知り、子供から大人までの各世代の健康課題を知り、対象者を取り巻く環境因子について知ることが肝要であり、それらを知った上で対象者や地域への新たなサービスを提供していくことになる。またライフステージを考える時に、障害をもつ子供への教育環境づくりは欠かせない課題である。これらを学ぶために、「ライフサイクル論」「地域生活と健康」「人間工学」「特別支援教育」を配置した。

「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。「地域生活と健康」では、様々な対象者やライフステージに合わせた健康の維持・増進および健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる

力を修得する。「人間工学」では、人と人を取り囲む様々なものや環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。このような観点から本科目を作業療法学科の展開科目に配置したが、理学療法学科の学生も選択することは可能である。教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成していくための基礎的な力を修得するためには「特別支援教育」を配置した。

これらの科目から、弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と子供を含め障害を持つ人が共にいきいきと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須のライフステージに適した新たなサービスを提供する知識と能力を修得する。

このように、作業療法学科に独自に配置した展開科目の 7 科目は、人材像に掲げた「子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材」を育成するという目的に合致した科目配置であり、これらを学修することでそれぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能と考える。

そして本学を卒業した作業療法士は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・地方自治体・住宅関連企業・福祉機器関連企業・教育機関・就労支援事業等の新たな職業現場に活躍の場が広がり、対象者が真に必要とするサービスの革新を提案し活躍の場を広げることができ、地域に根付いた新たな視点から人々の生活を支える創造的サービスを提案することで、地域に人々の交流の場が提供され新たな雇用も生み出され、作業療法士として地域を活性化する動力としての役割を担うことができる。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P26－30）

新	旧
（３）展開科目 （前略） 1.理学療法学科 理学療法学科が育成する人材像は、「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持･改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持･改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニー	（３）展開科目 （前略） 2） 理学療法学科における展開科目を通じて育成する力 理学療法学科では対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを組織化する力を身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する。 人々が幸せに暮らし社会で活躍するためには、健やかな心身は欠かせない。急速に進む高齢化社会では、人々が病を抱えて生きることも当たり前となり、それを公的負担で支えるには限界がある。そこで人々の健康にかかわる新たな枠組みを

ズに多職種と協働して貢献する力を備える。」を掲げている。このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために 10 科目の展開科目を配置し、配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学修内容、科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係等について以下に説明する。 理学療法士として対象者や地域との連携を深め新たなサービスを展開していくためには、まず、基本的資質として人の尊厳を遵守し豊かな感性をもって対応していくことが肝要である。その基本的資質を涵養するために、人を深く知り人の尊厳を知り豊かな感性をもつ必要があり、また社会の中での人間形成について知る必要がある。これが以下の科目を配置する理由である。前者の修得のために、「ヒューマンサービス論」を置き、この科目で、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、深い人間理解を基盤としてヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を修得する。後者の修得のために「人間形成論」を配置し、社会生活における人間形成に理解を深め、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。 これらの科目から、深い人間理解を基盤として対象者に対してその思いを深く受け止め共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する力を修得する。 このような資質を基盤として、次は、対象者および地域のニーズである健康寿命の延伸を図るサービスの展開へとつなげていく。 この健康寿命の延伸のために必要な要素は多様であるが、中でも、健康な体の維持のための食生活、日常生活やスポーツの中での身体運動、生体からの様々な情報を知ることの三つの要素が	創出し、多様な主体と連携して人々が健康で社会に参画し続けるために必要なサービスを提供する力を養う。 具体的には、2 年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービス創造の基盤を育成する。3 年後期「人間形成論」では、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。 さらに 3 年後期「生体情報科学」で、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などからウェアラブル端末や IoT などを活用した健康に関する情報を収集する基本的技能について学び、効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために生体情報を活用する力を育成する。 4 年前期「スポーツ科学」で、身体運動を科学するためのアプローチ方法を学び、対象者のニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。また 3 年前期「食生活マネジメント論」で、健康における食生活の重要性と、食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深める。 このようにして、対象者の置かれた状況を的確に把握し、心と体を深く理解し尊重する姿勢と、健全な運動と食生活のあり方を修得することによって、対象者の身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供するうえで必須の能力を育成する。 また 4 年前期「マネジメント論」において、組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、さらに 4 年前期「コーチング論」で、人の能力や可能性を伸ばし、人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。さらに 4 年前期「起業入門」では、起業に関わる基礎的知識と技能を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモ

重要であると考えた。そこで、健康寿命を延伸する能力を修得するために、この三つの要素を組み入れて、「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」「生体情報科学」を配置した。

「食生活マネジメント論」では、健康における食生活の重要性と食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深め、在宅生活を支える食生活の重要性の理解も深める。「スポーツ科学」では、身体運動を科学するためのアプローチの仕方を学び、対象者の課題やニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。「生体情報科学」では、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などのからウエアラブル端末や IoT 等を活用した健康に関する情報を収集する基本的な技能について学び、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために情報を活用する力を修得する。

これらの科目から、健康寿命の延伸の基本となる健全な食生活や身体運動のあり方、日常生活（生活習慣）に寄与できる効果的な生体情報の収集方法を学ぶことによって、対象者の身体機能の維持・改善と予防に寄与し、健康寿命の延伸およびそのためのサービスを提供する上で必須の能力を修得する。

そして、前記の科目で修得した健康寿命の延伸に関する知識を基にして、これらを地域のニーズに合わせて、多職種と協働して新たなサービスへと発展させる能力が必要となる。そのためには、多職種と協働して組織のマネジメントができ、組織の人材を有効活用し、さらに組織の運営の実際を知り、地域のニーズに沿った起業活動のノウハウを修得することが必要である。この目的で「マネジメント論」「コーチング論」「起業入門」「NPO 論」を配置した。

「マネジメント論」では、組織に所属する個人や集団、外部環境、組織の動態的プロセスを総合的にマネジメントするために必要な基礎的知識デルを創造し構築する方法を身につける。加えて 4 年前期「NPO 論」によって、NPO の理念を知り組織の運営の在り方を学び、サービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する力を育成する。最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。

こうして展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関連事業・福祉機器関連事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスを提案し活躍の場を広げることができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

2）作業療法学科における展開科目を通じて育成する力

作業療法学科では、対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識と専門技術を駆使して、対象者が住み慣れた地域で自立した生活を実現するために、人の健康と生活にかかわる諸問題を解決する力とライフステージに適した新たなサービスを提供する力を身につけ、地域で住民が共に支えあいながら生き生きと生活できる環境づくりを支援する力を育成する。

一人ひとりの日々の生活は地域で営まれ、その生活は各々のライフステージに応じて変化し交錯する。その中で人々が安心して暮し活躍しつづけるためには、人と地域をつなぐコミュニティを活性化させ、それぞれが地域で役割を担えるよう

と技能を修得し、対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にして目標を達成するための能力を修得する。「コーチング論」では、人の能力や可能性を伸ばし、他者との協働や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。「起業入門」では、自らが起業することを想定して思考することを通じて起業に関わる基礎的知識を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。「NPO論」では、非営利組織であるNPOの理念を知り組織の運営のあり方を学び、市民や行政や企業等多職種と協働し、社会や地域課題の解決に向けたサービス提供の選択肢の一つとしてNPOを活用する能力を育成する。

これらの科目から、他者との協力や人的資源を有効に活用する方法やスキル、起業にかかわる基本的なノウハウ、対象者や地域のニーズに対応する新しいサービスの創造等について学び、新しいサービス事業を展開し、多職種と協働して地域のニーズに対応できる能力を修得する。

そして、展開科目の集大成として「岡山経営者論」を配置する。この「岡山経営者論」においては、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターにより、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）等をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創造する能力を修得する。

この「岡山経営者論」により、岡山という地域の中で、理学療法士として「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるかを学び、地域の活性化に寄与することができる能力を修得する。さらに「岡山経営者論」でのつながりを契機として、医療関連分野以外の一般企業との連携も視野に入ってくることが期待される。

このように、理学療法学科に配置された展開科に支援する必要がある。

そのためには、地域社会の成り立ちを知り地域の特性や課題についての理解を深め、地域を分析し実情を把握する力を育成する必要がある。また、近年、人口減少や高齢化による地域コミュニティの弱体化が進んでいる。地域の支えあいの基盤となる地域コミュニティの特性を深く把握し、人々の地域生活を支えるコミュニティの形成に貢献できる力を育成する必要がある。そして、家族の重要機能について理解を深め、一人ひとりの生活と家族と地域を有機的・相関的にとらえる視点を養い、新たなサービスを提供できる力を養う必要がある。

2年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を育成する。そして、3年後期「人間形成論」で、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスを創造する力を涵養する。3年前期「家族関係論」は、社会を構成する基本単位としての家族の変動を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を育成する。3年後期「地域社会論」は、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する力を育成する。3年後期「コミュニティ形成論」は、地域コミュニティの機能に焦点をあて、コミュニティ形成の基礎知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。4年前期「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。4年前期「地域生活と健康」は、健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的

目を学修し、それぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能である。

そして本学を卒業した理学療法士が活動する場は、これまで主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関係事業・福祉機器関連事業・地方自治体等の様々な領域に拡がり、それぞれの職業現場では、対象者が真に必要とするサービスを提案し展開していくことができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、人々の新しい交流の場と雇用を生み出し、理学療法士として地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

2.作業療法学科

作業療法学科が育成する人材像は、「最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」である。この人材像の実現に向けて、ディプロマ・ポリシー4）に「対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。」を掲げている。

このディプロマ・ポリシー4）に掲げた内容を達成するために 10 科目の展開科目を配置し、配置された科目を踏まえて、科目が配置された理由、配置された科目の学修内容、科目により修得される能力およびその能力と人材像との関係等について以下に説明する。

まず、作業療法士の基本的資質として、対象者知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成する。4 年前期「人間工学」は、人と人をとり囲むさまざまな物や環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。4 年前期「特別支援教育」は、教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成してくための基礎的な力を育成する。

こうして弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と障害を持つ人が共に生き生きと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須の知識と力を育成する。

最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。

展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業，地方自治体，福祉機器関連事業，住宅関連企業，教育機関，就労支援事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案し活躍の場を広げることができる。そして、新たな視点から人々の健康と生活を支える創造的サービスを提案することで、地域コミュニティの形成に参加し、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

や地域との連携を深め新たなサービスを展開していくためには、人の尊厳を遵守し豊かな感性をもって対応していくことが肝要である。その基本的資質を涵養するために、人を深く知り人の尊厳を知り豊かな感性をもつ必要があり、また社会の中での人間形成について知る必要がある。これが以下の科目を配置する根拠である。前者の修得のために、「ヒューマンサービス論」を置き、この科目で、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、深い人間理解を基盤としてヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を修得する。後者の修得のために「人間形成論」を配置し、社会生活における人間形成に理解を深め、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。 　これらの科目から、深い人間理解を基盤として対象者に対してその思いを深く受け止め共有し、対象者が置かれた状況を的確に把握し、それぞれの対象者に適したサービスを創造する能力を修得する。 　このような資質を基盤として、地域を理解し地域生活を支援するためのサービスを展開し地域コミュニティづくりへとつなげていく。そのためには、社会の基本構成単位である家族の理解、地域および地域生活のあり方、そして地域コミュニティへの関わり方の三つの要素を知ることが欠かせない。それらを学ぶために、「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」を配置した。 　「家族関係論」では、社会を構成する基本単位としての家族関係を中心とした人間相互の関わりの成り立ちやその意義を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を修得する。「地域社会論」では、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を	

深め、地域社会の課題と可能性を分析する能力を修得し、地域活性化に向けての新規事業の創造の重要性を学ぶ。 「コミュニティ形成論」では、地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、コミュニティ形成の基本知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。 　これらの科目から、社会を構成する最小単位である家族についてその課題を分析し解決する能力、地域づくりや地域の活性化に向けた新しいサービスの創造や地域コミュニティを活性化させるコーディネート力やマネジメント力を学び、地域生活を支援する能力を修得することができる。 　そして、家族や地域に関する理解を広げ、地域生活を支える能力を修得して、次は子供から高齢者に至る幅広い世代がそれぞれのライフサイクルに合わせて、いきいきと生活できる環境づくりに発展させていく能力の修得が必要である。具体的には、対象者のライフサイクルに沿った生活課題を知り、子供から大人までの各世代の健康課題を知り、対象者を取り巻く環境因子について知ることが肝要であり、それらを知った上で対象者や地域への新たなサービスを提供していくことになる。またライフステージを考える時に、障害をもつ子供への教育環境づくりは欠かせない課題である。これらを学ぶために、「ライフサイクル論」「地域生活と健康」「人間工学」「特別支援教育」を配置した。 　「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。「地域生活と健康」では、様々な対象者やライフステージに合わせた健康の維持・増進および健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を修得する。「人間工学」では、人と人を取り	

囲む様々なものや環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。このような観点から本科目を作業療法学科の展開科目に配置したが、理学療法学科の学生も選択することは可能である。教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成していくための基礎的な力を修得するために「特別支援教育」を配置した。 　これらの科目から、弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と子供を含め障害を持つ人が共にいきいきと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須のライフステージに適した新たなサービスを提供する知識と能力を修得する。 　そして、「岡山経営者論」においては、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターにより、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）等をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創造する能力を修得する。 　この「岡山経営者論」は、展開科目の集大成として位置づけられ、この科目により、岡山という地域の中で、理学療法士として「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるかを学び、地域の活性化に寄与することができる能力を修得する。さらに「岡山経営者論」でのつながりを契機として、医療関連分野以外の一般企業との連携も視野に入ってくることが期待される。 　このように、作業療法学科に配置された展開科目を学修し、それぞれの能力を身につけることにより、掲げた人材像の実現は可能である。	

そして本学を卒業した作業療法士は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・地方自治体・住宅関連企業・福祉機器関連企業・教育機関・就労支援事業等の新たな職業現場に活躍の場が広がり、対象者が真に必要とするサービスの革新を提案し活躍の場を広げることができ、地域に根付いた新たな視点から人々の生活を支える創造的サービスを提案することで、地域に人々の交流の場が提供され新たな雇用も生み出され、作業療法士として地域を活性化する動力としての役割を担うことができる。 なおここで、医療関連分野とそれ以外の一般企業等との連携について補足しておく。 「多職種連携」とは、医療界では、通常、保健・医療・福祉にかかわる様々な職種（医師・看護師・介護福祉士・各療法士・薬剤師・管理栄養士・医療行政職等）の間、即ち、各種医療職種間および医療関連機関の間での連携を意味する。しかし今後、前記の展開科目により育成された本学の卒業生の就職先として、スポーツ関連事業や住宅関連企業等の一般企業の分野への進出が見込まれるため、また一般企業の職員の健康の維持・向上への取り組みが進む中での企業の産業医や保健師との連携等を含めて、医療関連分野のみならず一般企業との連携を進めていく必要があると認識している。また、現在岡山市が進めている「地域包括ケアシステム」の構築の中で、システムの中核を担う行政職、さらにはこのシステムにかかわる一般企業との連携も必要になってくる。カリキュラムでは、前記の「岡山経営者論」で実際に様々な種類の一般企業のリーダーを招聘するため、この科目を通して医療関連分野と一般企業との連携を考え、場合によっては実践する機会になることが期待される。さらに、行政との連携については、「教育課程連携協議会」の構成員として行政職にも参加をいただいているので、この協議会を通じて行政との連携について協議できるものと	

思われる。	

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

11．臨地実務実習の以下の点を是正すること。 （１）臨地実務実習前に、能力到達度確認としてOSCE（客観的臨床能力試験）を行うことが説明されたが、臨地実務実習の各シラバスでは実習の前後でＯＳＣＥを行うと思われる記載がされているが、実現可能性に疑義があるため、ＯＳＣＥの実施方法や時期について具体的に明らかにすること。 （２）臨地実務実習はＯＳＣＥに合格しなければ参加できないことを踏まえると、履修登録後にＯＳＣＥに不合格だった者は科目を履修することができないため、臨地実務実習の履修条件にＯＳＣＥの合格を含めること。 （３）臨地実務実習指導要項に記載されている臨地実務実習の成績評価の割合が、シラバス上の成績評価の割合と不一致となっているため改めること。また、臨地実務実習指導要項で成績評価体制及び単位認定方法として実技試験、筆記試験、実習実施報告会等が挙げられているが、その具体的な評価内容と基準を明らかにすること。

（対応）

（１）臨地実務実習の各シラバスでは実習の前後でOSCEを行うと思われる記載がされているが、実現可能性に疑義があるため、OSCEの実施方法や時期について具体的に明らかにするようご意見をいただき、各臨地実務実習（評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）の前後で実技試験を実施するとしていたのを実習前のみにOSCEを実施するよう改める。

理学療法学科では2年生(80名)および3年生(80名)を対象に3月期にOSCEの試験を実施する。

＜OSCEの方法について＞

Ⅰ．OSCEの開催回数と時期

【理学療法学科】

評価実習に対するOSCE(2年生3月の4日間)

総合実習Ⅰに対するOSCE(2年生3月の2日間)

総合実習Ⅱに対するOSCE(3年生3月の2日間)

【作業療法学科】

評価実習に対するOSCE(2年生3月の2日間)

総合実習Ⅰに対するOSCE(2年生3月の1日間)

総合実習Ⅱに対するOSCE(3年生3月の1日間)

Ⅱ．OSCEの実施に関する事項

1．対象は理学療法学科80名、作業療法学科40名の2年生および3年生である。

2.試験官の構成は、試験内容によって異なるものの理学療法学科作業療法学科ともに教職員(最大14名)と外部評価者(最大10名)と事務職員(最大8名)で運営する。患者役は基本的に教職員(PTもしくはOT学科の専任教員)が勤め評価者は外部評価者と教職員が1組になって学生を評価する。

3．試験を実施

4．学生への OSCE 課題と採点項目については、事前に説明し必要な資料を配布する。

5．学生は実習時に求められる態度、身だしなみで試験を受験する。

6．試験で使用する基本的な検査器具および訓練用具については学生が準備する。

7．試験時間は最大で 20 分とし、後日、全体にむけて総評をおこない必要に応じて個別指導を行う。

（＊後日、フィードバックを行う理由として、同一の試験を複数日に分けて行う可能性があるため、学生間での公平性を可能な限り担保するため）

8．合格は 60%以上の得点率とする。

9．実施手順

1）試験開始時刻になったら、学生を教室に入れる。

2）試験官は開始前に学生氏名を確認する。

3）タイムキーパの合図で試験を開始する

4）各試験で設定された試験時間の終了 2 分前に呼び鈴を鳴らし設定時間に終了を告げる。

5）試験官および患者役は評価シートに採点を記入する。

6）各実習に対する OSCE の試験終了時に教員と外部評価者が会議を行い総評コメントを作成する。

7）試験終了後 1 週間以内を目安に総評および個別指導を教職員が実施する。

理学療法学科

評価実習、総合実習Ⅰに対する OSCE

１）課題

（１）医療面接

（２）バイタルチェック

（３）形態測定

（４）ROMt

（５）MMT

（６）DTR’s

（７）BRST

（８）感覚検査

（９）病的反射

(10) 筋緊張検査

(11) 脳神経検査

(12) トランスファー

総合実習Ⅱに対する OSCE

１）課題

理学療法治療・訓練

（１）ROMex

（２）筋力増強 ex

作業療法学科

評価実習、総合実習Ⅰに対する OSCE

１）課題

（１）医療面接

（２）バイタルチェック

（３）ROMt

（４）BRST

（５）感覚検査

（６）認知機能検査

（７）感覚検査

（８）病的反射

（９）筋緊張検査

(10) 脳神経検査

(11) トランスファー

総合実習Ⅱに対する OSCE

１）課題

作業療法治療・訓練

（１）ROMex

（２）作業活動

（３）応用的動作訓練

このように試験日を分けて実施することで、学生の学修を促進するとともにその他の大学業務への影響を最小限にすることが可能である。

（新旧対照表）シラバス

新	旧
理学療法学科 評価実習 成績評価の方法・基準 実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発	理学療法学科 評価実習 【実習後】　実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。医療面接/バイタルチェック/形態測定

表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法 　実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容 総合実習Ⅰ 成績評価の方法・基準 　実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法 　実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容 総合実習Ⅱ 成績評価の方法・基準 　実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法 　実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容	/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等 　評価実習課題（レポート） 　実習実施報告会 総合実習Ⅰ 講義計画（テーマと内容等） 【実習後】実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練 等）　が安全に実施可能か試験する。 実習実施報告会 総合実習Ⅱ 講義計画（テーマと内容等） 【実習後】 実技試験　内容:理学療法治療・訓練(ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。 実習実施報告会 作業療法学科 評価実習 【実習後】　実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査/認知機能検査等 実習実施報告会 総合実習Ⅰ 講義計画（テーマと内容等） 【実習後】実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。 実習実施報告会

作業療法学科 評価実習 成績評価の方法・基準 　実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法 　実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢 総合実習Ⅰ 成績評価の方法・基準 　実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法 　実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢 総合実習Ⅱ 成績評価の方法・基準 　実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。 試験の方法	総合実習Ⅱ 講義計画（テーマと内容等） 【実習後】 実技試験　内容:作業療法治療・訓練(ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等)が安全に効果的に実施可能か試験する。 実習実施報告会

実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢	

（２）臨地実務実習の履修登録後にＯＳＣＥに不合格だった者は科目を履修することができないため、臨地実務実習の履修条件にＯＳＣＥの合格を含めるようにご意見をいただき、臨地実務実習の履修条件を OSCE の合格者と変更する。

（新旧対照表）シラバス

新	旧
理学療法学科 評価実習 履修上の留意事項 OSCE の合格者 総合実習Ⅰ 履修上の留意事項 OSCE の合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする 総合実習Ⅱ 履修上の留意事項 OSCE の合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする 作業療法学科 評価実習 履修上の留意事項 OSCE の合格者 総合実習Ⅰ	理学療法学科 評価実習 履修上の留意事項 実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。 総合実習Ⅰ 履修上の留意事項 実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする。 総合実習Ⅱ 履修上の留意事項 実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする。 作業療法学科 評価実習 履修上の留意事項 実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

履修上の留意事項 OSCE の合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする 総合実習Ⅱ 履修上の留意事項 OSCE の合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする	総合実習Ⅰ 履修上の留意事項 実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする。 総合実習Ⅱ 履修上の留意事項 実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーションに関する実習を 45 時間（1 単位）行うこととする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P71）

新	旧
（２）実習前・実習中・実習後における指導計画 １）実習前教育 （中略） また、臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、実習前における能力の到達度の確認のため OSCE を実施する。	（２）実習前・実習中・実習後における指導計画 １）実習前教育 （中略） また、臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、実習前における能力の到達度の確認のため下記の実技試験を実施する。 （理学療法学科） 評価実習は、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等を行い、理学療法評価（検査・測定）が正確に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅰでは、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法評価（検査・測定）、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。

	総合実習Ⅱでは、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。 （作業療法学科） 評価実習では、医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、作業療法評価（検査・測定）を正確に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅰでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法評価（検査・測定）、、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅱでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。試験結果が不十分な場合には再指導を行い、事前準備を万全に行う。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P71）

新	旧
（削除） また、実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法内容の発表を行わせ評価する。	また、実習後における能力の到達度を確認するため、各学科で次のとおりの試験を行う。 （理学療法学科） 評価実習では、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等を行い、理学療法評価の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 総合実習Ⅰでは、形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法評価、理学療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリ

	ック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 総合実習Ⅱでは、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技が安全性かつ効果的に実施できるかを採点する。 併せて実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法内容の発表を行わせ評価する。 （作業療法学科） 評価実習では、医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、作業療法評価の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 総合実習Ⅰでは、ROMt/BRST/COPM/認知機能検査等、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等 を行い、作業療法評価、作業療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 総合実習Ⅱでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の安全性と効果的に実施できるかを採点する。 併せて実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した作業療法内容の発表を行わせ評価する。
実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した作業療法内容の発表を行わせ評価する。	

（３）臨地実務実習指導要項に記載されている臨地実務実習の成績評価の割合が、シラバス上の成績評価の割合と不一致となっているため改めるようご意見をいただき、臨地実務実習指導要項に記載されている臨地実務実習の成績評価の割合を次の通り改める。

○理学療法学科の臨地実務実習指導要項

成績評価体制及び単位認定方法として実技試験、筆記試験、実習実施報告会等を挙げているが、、筆記試験の実施は記載ミスであり、また審査意見 11（1）のご意見により OSCE の実施を実習開始前のみと改める。

したがって、成績評価体制及び単位認定方法は、実習指導教員による巡回指導時のルーブリック評価、実習後実習実施報告会での発表、実習指導者による各実習施設における実習状況の科目担当者による評価に基づき、臨地実務実習判定会議で総合的に成績を評価する。

単位認定は、教授会で行う。

【成績評価における評価項目】

・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）
・実習課題の実施状況
・実習実施報告会での発表

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P72）、（資料 14）臨地実務実習指導要領（P9）、（資料 15）臨地実務実習指導要領（P8－9）

新	旧
（４）成績評価体制および単位認定方法 成績評価体制及び単位認定方法は、実習指導教員による巡回指導時のルーブリック評価、実習後実習実施報告会での発表、実習指導者による各実習施設における実習状況の科目担当者による評価に基づき、臨地実務実習判定会議で総合的に成績を評価する。 なお、単位認定は、教授会で行う。 １）見学実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準を、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（50%） ・レポート（50%） ２）評価実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、	（４）成績評価体制および単位認定方法 次の基準に基づいて実習担当教員が実習指導者の意見をもとに評定を行い、臨地実務実習判定会議で判定する。実習判定会議は学部長、各学科長、各学科教員、大学事務局長を以って実施する。 なお、単位認定は、教授会で行う。 １）見学実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準を、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（50%） ・レポート（50%） ２）評価実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80

Eの6段階で行い、評価基準は、100点満点とする場合、S（100点から90点）、A（89点から80点）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（59点以下）、E（未履修）の6段階に区分し、C判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の3項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 3）総合実習Ⅰの総合成績判定は、S、A、B、C、D、Eの6段階で行い、評価基準は、100点満点とする場合、S（100点から90点）、A（89点から80点）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（59点以下）、E（未履修）の6段階に区分し、C判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の3項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表 4）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、Eの6段階で行い、評価基準は、100点満点とする場合、S（100点から90点）、A（89点から80点）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（59点以下）、E（未履修）の6段階に区分し、C判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の3項目を総合して判定する。 ・実習時間（各実習の規定時間を満たすこと） ・実習課題の実施状況 ・実習実施報告会での発表	点）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（59点以下）、E（未履修）の6段階に区分し、C判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の2項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（30%） ・実技試験（70%） 3）総合実習Ⅰの総合成績判定は、S、A、B、C、D、Eの6段階で行い、評価基準は、100点満点とする場合、S（100点から90点）、A（89点から80点）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（59点以下）、E（未履修）の6段階に区分し、C判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の2項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（30%） ・実技試験（70%） 4）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、Eの6段階で行い、評価基準は、100点満点とする場合、S（100点から90点）、A（89点から80点）、B（79点から70点）、C（69点から60点）、D（59点以下）、E（未履修）の6段階に区分し、C判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の2項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（30%） ・実技試験（70%）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

12．専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。

（対応）専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないとのご意見をいただき、以下の通り適切に改める。

【理学療法学科】

教授を１名、実務家研究者（実（研））を新たに２名以上補充し、みなし専任教員を３名から２名に改める。

（新旧対照表）

新	旧
理学療法学科 専任教授 中川　法一　専　教授 実務家研究者 小野　俊朗　実（研）教授 山田 英司　実（研）教授 田中　雅侑　実（研）助教 実務家 田村　正樹　実　助教	理学療法学科 専任　准教授 村西　壽祥　専　准教授 濱岡　克伺　専　准教授

（新旧対照表）別記様式第２号その１基本計画書

（新）

	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
教員組織の概要	新設分	健康科学部 理学療法学科	9人 (7)	1人 (1)	3人 (1)	5人 (3)	18人 (12)	0人 (0)	31人 (4)
		健康科学部 作業療法学科	6 (4)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	10 (7)	0 (0)	28 (4)
		計	15 (11)	2 (2)	4 (2)	7 (4)	28 (19)	0 (0)	34 (4)
	既設分	該当なし	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		計	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)

	合　　計	15 (11)	2 (2)	4 (2)	7 (4)	28 (19)	0 (0)	34 (4)

（旧）

	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
教員組織の概要	新設分	健康科学部 理学療法学科	8人 (6)	3人 (2)	3人 (1)	4人 (0)	18人 (9)	0人 (0)	28人 (4)
		健康科学部 作業療法学科	6 (4)	1 (1)	1 (1)	2 (0)	10 (6)	0 (0)	25 (4)
		計	14 (10)	4 (3)	4 (2)	6 (0)	28 (15)	0 (0)	31 (4)
	既設分	該当なし	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
		計	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	合　　計		14 (10)	4 (3)	4 (2)	6 (0)	28 (15)	0 (0)	31 (4)

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（P45）

新	旧
⑧　施設、設備等の整備計画 ２．校舎等施設の整備計画 （中略） 研究室は、5階2室、6階に8室、7階に8室、8階に10室、合計28室の個室研究室を設ける。各研究室には、個別の研究机、椅子、書棚、学生指導用机、椅子7脚、保管用ロッカー（鍵付き）を備え、個人情報や個別研究の内容が保持される良好な研究環境を整備する。 また5階の予備室（大共同研究室）に、新指定規則に沿って概略図のように 3 次元動作解析装置、筋電図計測装置、重心動揺分析装置を配置し、教育研究室として活用する。 同時に、所属する教員の主要研究分野である運動器系、神経系、内部障害系、物理療法系、基礎系の研究を支援するための機器を整備する。なお	⑧　施設、設備等の整備計画 ２．校舎等施設の整備計画 （中略） 研究室は、5階2室、6階に8室、7階に8室、8階に10室、合計28室の個室研究室を設ける。各研究室には、個別の研究机、椅子、書棚、学生指導用机、椅子7脚、保管用ロッカー（鍵付き）を備え、個人情報や個別研究の内容が保持される良好な研究環境を整備する。 また5階の予備室（大共同研究室）に、新指定規則に沿って概略図のように 3 次元動作解析装置、筋電図計測装置、重心動揺分析装置を配置し、教育研究室として活用する。 同時に、所属する教員の主要研究分野である運動器系、神経系、内部障害系、物理療法系、基礎系の研究を支援するための機器を整備する。なお

学園の研究施設を使用して動物実験を行う教員はいない。	動物実験を行う教員はいない。

（新旧対照表）設置の趣旨等が記載された書類（P32）

新	旧
⑤　教員組織等の編成の考え方及び特色 １．基準専任教員数と配置専任教員数 設置基準により、実務家教員を 4 割以上配置する。また、設置基準第 36 条第 3 項の「専任以外の者であっても、一年につき六単位以上の授業科目を担当し、かつ、教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う者」（以下「みなし専任教員」という。）は、各学科 2 名以下とする。	⑤　教員組織等の編成の考え方及び特色 １．基準専任教員数と配置専任教員数 設置基準により、実務家教員を 4 割以上配置する。また、設置基準第 36 条第 3 項の「専任以外の者であっても、一年につき六単位以上の授業科目を担当し、かつ、教育課程の編成その他の学部の運営について責任を担う者」（以下「みなし専任教員」という。）は、各学科 5 名以下とする。

（新旧対照表）設置の趣旨等が記載された書類（P33）

新	旧
２．教員組織 （１）教員組織の編成の考え方 教員は、理学療法学科に専任教員 18 名（教授 9 名、准教授 1 名、講師 3 名、助教 5 名）を配置し、作業療法学科に専任教員 10 名（教授 6 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 2 名）を配置する。理学療法学科専任教員には 2 名、作業療法学科には 1 名のみなし専任教授が含まれる。 また、理学療法学科の教授 1 名は、現在年次進行中の新設大学の教授として在任しているが、所属する大学学長から本学へ移籍することについての許可を得ている。 （中略） （３）授業担当 （前略） 専任教員の年齢構成は、70 歳以上 6 名、60 歳代の教員 3 名、50 歳代の教員 9 名、40 歳代の教員 9 名、30 歳代の教員 1 名となっており、教育・研究で最も活躍できる 40～50 代の教員が多数を占める編成となっている。	２．教員組織 （１）教員組織の編成の考え方 教員は、理学療法学科に専任教員 18 名（教授 8 名、准教授 3 名、講師 3 名、助教 4 名）を配置し、作業療法学科に専任教員 10 名（教授 6 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 2 名）を配置する。理学療法学科専任教員には 3 名、作業療法学科には 1 名のみなし専任教授が含まれる。また、理学療法学科の教授 1 名は、現在年次進行中の新設大学の教授として在任しているが、所属する大学学長から本学へ移籍することについての許可を得ている。 （中略） （３）授業担当 （前略） 専任教員の年齢構成は、70 歳代 6 名、60 歳代の教員 2 名、50 歳代の教員 11 名、40 歳代の教員 8 名、30 歳代の教員 1 名となっており、教育・研究で最も活躍できる 40～50 代の教員が多数を占める編成となっている。

別紙目次

別紙１　カリキュラムマップ
別紙２　履修モデル
別紙３　時間割
別紙４　シラバス
別紙５　教育課程と新指定規則等との対比表

別紙１　カリキュラムマップ

（資料2）健康科学部 理学療法学科
カリキュラムマップ

（新）

岡山医療専門職大学　健康科学部 理学療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた理学療法士になる。

	ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。	理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。	職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える
学びの流れ	4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ	スポーツ科学　マネジメント論 起業入門　コーチング論 ＮＰＯ論　岡山経営者論	
	3年次	基盤ゼミⅡ コミュニケーション論	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論　生涯スポーツ実習 基礎理学療法実習Ⅱ　義肢装具学 理学療法管理学概論　地域理学療法学 理学療法評価学実習Ⅲ　子防理学療法学 物理療法実習　評価実習 理学療法治療学実習Ⅲ　総合実習Ⅰ 老年期障害理学療法学　総合演習Ⅰ 理学療法演習Ⅱ	食生活マネジメント論 生体情報科学 人間形成論 人間関係論	メディカル英語
	2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ　物理療法 運動学実習　理学療法治療学Ⅰ 精神医学　理学療法治療学Ⅱ 整形外科学　理学療法治療学Ⅲ 神経内科学　理学療法治療学Ⅳ 小児科学　理学療法治療学実習Ⅰ 基礎理学療法学　理学療法治療学実習Ⅱ 基礎理学療法実習Ⅰ　日常生活活動学 理学療法評価学Ⅱ　日常生活活動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ　生活環境学 理学療法評価学実習Ⅱ　理学療法演習Ⅰ 運動療法実習Ⅰ　スポーツ理学療法特論 運動療法実習Ⅱ	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
	1年次	職業人の倫理と道徳論 大学入門	情報収集と処理	基礎生物　理学療法概論 基礎物理　病理学 解剖学　内科学 解剖学実習Ⅰ　リハビリテーション概論 生理学　理学療法評価学Ⅰ 生理学実習　見学実習 運動学　リハビリテーション医学 人間発達学　運動療法 臨床医学概論　多職種連携論	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

（資料2）健康科学部 理学療法学科
カリキュラムマップ

（旧）

岡山医療専門職大学　健康科学部 理学療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた理学療法士になる。

	ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。	理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。	職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
	カリキュラムポリシー	社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。	理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。	理論と実習を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。	対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。	職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
学びの流れ	4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ	スポーツ科学　マネジメント論 起業入門　コーチング論 ＮＰＯ論　岡山経営者論	
	3年次	基盤ゼミⅡ コミュニケーション論	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論　生涯スポーツ実習 基礎理学療法実習Ⅱ　義肢装具学 理学療法管理学概論　地域理学療法学 理学療法評価学実習Ⅲ　子防理学療法学 物理療法実習　評価実習 理学療法治療学実習Ⅲ　総合実習Ⅰ 老年期障害理学療法学　総合演習Ⅰ 理学療法演習Ⅱ	食生活マネジメント論 生体情報科学 人間形成論 人間関係論	メディカル英語
	2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ　物理療法 運動学実習　理学療法治療学Ⅰ 精神医学　理学療法治療学Ⅱ 整形外科学　理学療法治療学Ⅲ 神経内科学　理学療法治療学Ⅳ 小児科学　理学療法治療学実習Ⅰ 基礎理学療法学　理学療法治療学実習Ⅱ 基礎理学療法実習Ⅰ　日常生活活動学 理学療法評価学Ⅱ　日常生活活動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ　生活環境学 理学療法評価学実習Ⅱ　理学療法演習Ⅰ 運動療法実習Ⅰ　スポーツ理学療法特論 運動療法実習Ⅱ	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
	1年次	職業人の倫理と道徳論	情報収集と処理	基礎生物　理学療法概論 基礎物理　病理学 解剖学　内科学 解剖学実習Ⅰ　リハビリテーション概論 生理学　理学療法評価学Ⅰ 生理学実習　見学実習 運動学　リハビリテーション医学 人間発達学　運動療法 臨床医学概論　多職種連携論	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

(資料2)健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

（新）

岡山医療専門職大学 健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた作業療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。。	職業現場で外国人患者を受け入れる基礎的な姿勢を備える
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法セミナーⅡ	人間工学 地域生活と健康 特別支援教育 ライフサイクル論 岡山経営者論	
3年次	コミュニケーション論 基盤ゼミⅡ	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 作業療法管理学概論 身体障害作業療法実習Ⅲ 老年期障害作業療法実習 義肢装具学 基礎作業療法治療学 基礎作業療法治療学実習Ⅰ 基礎作業療法治療学実習Ⅱ 予防作業療法学 地域作業療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅲ 身体障害作業療法学Ⅳ 作業療法演習Ⅱ	地域社会論 コミュニティ形成論 人間形成論 人間関係論 家族関係論	メディカル英語
2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅰ 作業療法評価学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅲ 生活環境学 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法実習Ⅰ 身体障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法学 作業療法演習Ⅰ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 精神障害作業療法学	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
1年次	職業人の倫理と道徳論 大学入門	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 作業療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 見学実習 リハビリテーション医学 基礎作業学 多職種連携論 作業療法評価学	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

学びの流れ

(資料2)健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

（旧）

岡山医療専門職大学 健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた作業療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。。	職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
カリキュラムポリシー	社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。	作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。	理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得し、医療現場で専門性・実践性を練磨し、関連職種と連携する技能を育成する。	対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。	職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法セミナーⅡ	人間工学 地域生活と健康 特別支援教育 ライフサイクル論 岡山経営者論	
3年次	コミュニケーション論 基盤ゼミⅡ	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 作業療法管理学概論 身体障害作業療法実習Ⅲ 老年期障害作業療法実習 義肢装具学 基礎作業療法治療学 基礎作業療法治療学実習Ⅰ 基礎作業療法治療学実習Ⅱ 予防作業療法学 地域作業療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅲ 身体障害作業療法学Ⅳ 作業療法演習Ⅱ	地域社会論 コミュニティ形成論 人間形成論 人間関係論 家族関係論	メディカル英語
2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅰ 作業療法評価学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅲ 生活環境学 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法実習Ⅰ 身体障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法学 作業療法演習Ⅰ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 精神障害作業療法学	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
1年次	職業人の倫理と道徳論	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 作業療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 見学実習 リハビリテーション医学 基礎作業学 多職種連携論 作業療法評価学	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

学びの流れ

別紙2

新

（資料28） 履修モデル

履修モデル（理学療法学科）

最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材を育成する。

科目区分		1年次					2年次					3年次					4年次					計
		授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		大学入門	前	1			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								22
		職業人の倫理と道徳論	後	2			国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
		心理学	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								
		日本の歴史と文化	前	2																		
		基礎生物	前	1																		
		基礎物理	前	1																		
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後	2								91
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	理学療法概論	前	2			基礎理学療法学	前	2			基礎理学療法実習Ⅱ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
		理学療法評価学Ⅰ	後	2			基礎理学療法実習Ⅰ	後	1			理学療法管理学概論	前	2			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	前	1			
		運動療法	後	1			理学療法評価学Ⅱ	前	1			理学療法評価学実習Ⅲ	前	1			総合実習Ⅱ	前	8			
		見学実習	通	1			理学療法評価学実習Ⅰ	後	1			物理療法実習	前	1								
							理学療法評価学実習Ⅱ	後	1			理学療法治療学実習Ⅲ	前	1								
							運動療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害理学療法学	前	1								
							運動療法実習Ⅱ	後	1			生涯スポーツ実習	前	1								
							物理療法	後	1			義肢装具学	後		1							
							理学療法治療学Ⅰ	前	2			地域理学療法学	前	1								
							理学療法治療学Ⅱ	前	1			予防理学療法学	後		1							
							理学療法治療学Ⅲ	後	1			評価実習	前	3								
							理学療法治療学Ⅳ	後	1			総合実習Ⅰ	後	8								
							理学療法治療学実習Ⅰ	前	1													
							理学療法治療学実習Ⅱ	後	1													
							日常生活活動学	前	1													
							日常生活活動学実習	後	1													
							スポーツ理学療法特論	後	1													
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			NPO論	前	2			20
												食生活マネジメント論	前	2			スポーツ科学	前	2			
												生体情報科学	後	2			起業入門	前	2			
																	マネジメント論	前	2			
																	コーチング論	前	2			
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				36	2	0			36	0	0			34	4	0			25	0	0	137

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目131単位、選択科目4単位以上を履修すること。
　基礎科目22単位以上
　　必修科目18単位以上
　　選択科目4単位以上
　職業専門科目89単位以上
　　専門基礎分野科目から必修科目32単位以上
　　専門分野科目から必修科目57単位以上
　展開科目必修科目20単位以上
　総合科目必修科目４単位以上

　実習・実験科目から40単位以上
　　うち、臨地実務実習20単位以上

　履修登録上限は、1年間において39単位とする。
ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

（資料28） 履修モデル

履修モデル（理学療法学科）　　旧

最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材を育成する。

科目区分		1年次					2年次					3年次					4年次					計
		授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		職業人の倫理と道徳論	後	2			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								22
		心理学	前		2		国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
		哲学概論	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								
		日本の歴史と文化	前	2																		
		基礎物理	前		1																	
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後		2							91
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	理学療法概論	前	2			基礎理学療法学	前	2			基礎理学療法実習Ⅱ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
		理学療法評価学Ⅰ	後	2			基礎理学療法実習Ⅰ	後	1			理学療法管理学概論	前	2			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	前	1			
		運動療法	後	1			理学療法評価学Ⅱ	前	1			理学療法評価学実習Ⅲ	前	1			総合実習Ⅱ	前	8			
		見学実習	通	1			理学療法評価学実習Ⅰ	後	1			物理療法実習	前	1								
							理学療法評価学実習Ⅱ	後	1			理学療法治療学実習Ⅲ	前	1								
							運動療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害理学療法学	前	1								
							運動療法実習Ⅱ	後	1			生涯スポーツ実習	前	1								
							物理療法	後	1			義肢装具学	後		1							
							理学療法治療学Ⅰ	前	2			地域理学療法学	前	1								
							理学療法治療学Ⅱ	前	1			予防理学療法学	後		1							
							理学療法治療学Ⅲ	後	1			評価実習	前	3								
							理学療法治療学Ⅳ	後	1			総合実習Ⅰ	後	8								
							理学療法治療学実習Ⅰ	前	1													
							理学療法治療学実習Ⅱ	後	1													
							日常生活活動学	前	1													
							日常生活活動学実習	後	1													
							スポーツ理学療法特論	後	1													
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			NPO論	前	2			20
												食生活マネジメント論	前	2			スポーツ科学	前	2			
												生体情報科学	後	2			起業入門	前	2			
																	マネジメント論	前	2			
																	コーチング論	前	2			
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				33	5	0			36	0	0			32	6	0			25	0	0	137

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目126単位、選択科目5単位以上を履修すること。
　基礎科目20単位以上
　　必修科目15単位以上
　　選択科目5単位以上
　職業専門科目87単位以上
　　専門基礎分野科目から必修科目30単位以上
　　専門分野科目から必修科目57単位以上
　展開科目必修科目20単位以上
　総合科目必修科目４単位以上
　実習・実験科目から40単位以上
　　うち、臨地実務実習20単位以上

　履修登録上限は、1年間において39単位とする。
ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

（資料28） 履修モデル

新

履修モデル（作業療法学科）

最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成する。

科目区分		1年次				2年次				3年次				4年次				計
		授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前〜後）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		大学入門	前	1			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								22
		職業人の倫理と道徳論	後	2			国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
		心理学	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								
		日本の歴史と文化	前	2																		
		基礎生物	前	1																		
		基礎物理	前	1																		
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後	2			地域包括マネジメント論	前	1			90
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	作業療法概論	前	2			基礎作業学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
		基礎作業学	後	1			基礎作業学実習Ⅱ	後	1			作業療法管理学概論	後	2			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学	前	1			
		作業療法評価学	後	2			作業療法評価学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学	前	1			総合実習Ⅱ	前	9			
		見学実習	通	1			作業療法評価学実習Ⅱ	後	1			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	前	1								
							作業療法評価学実習Ⅲ	後	1			身体障害作業療法学Ⅲ	前	1								
							身体障害作業療法学Ⅰ	前	2			身体障害作業療法学Ⅳ	前	1								
							身体障害作業療法学Ⅱ	前	2			身体障害作業療法実習Ⅲ	前	1								
							身体障害作業療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害作業療法実習	前	1								
							身体障害作業療法実習Ⅱ	後	1			義肢装具学	後		1							
							老年期障害作業療法学	後	1			地域作業療法学	後	1								
							精神障害作業療法学	後	1			予防作業療法学	後	1								
							日常生活活動学	前	1			評価実習	前	3								
							日常生活活動学実習	後	1			総合実習Ⅰ	後	9								
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			地域生活と健康	前	2			20
												家族関係論	前	2			特別支援教育	前	2			
												地域社会論	後	2			人間工学	前	2			
												コミュニティ形成論	後	2			ライフサイクル論	前	2			
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				36	2	0			32	0	0			38	3	0			25	0	0	136

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目131単位、選択科目4単位以上を履修すること。
　基礎科目22単位以上
　　必修科目18単位以上
　　選択科目4単位以上
　職業専門科目89単位以上
　　専門基礎分野科目から必修科目32単位以上
　　専門分野科目から必修科目57単位以上
　展開科目必修科目20単位以上
　総合科目必修科目4単位以上

　実習・実験科目から40単位以上
　　うち、臨地実務実習22単位以上
　履修登録上限は、1年間において39単位とする。
ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

（資料28） 履修モデル

履修モデル（作業療法学科）　　旧

最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成する。

科目区分		1年次					2年次					3年次					4年次					計
		授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期（前後）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		職業人の倫理と道徳論	後	2			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								22
		心理学	前		2		国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
		哲学概論	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								
		日本の歴史と文化	前	2																		
		基礎生物	前		1																	
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後		2		地域包括マネジメント論	前	1			90
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	作業療法概論	前	2			基礎作業学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
		基礎作業学	後	1			基礎作業学実習Ⅱ	後	1			作業療法管理学概論	後	2			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学	前	1			
		作業療法評価学	後	2			作業療法評価学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学	前	1			総合実習Ⅱ	前	9			
		見学実習	通	1			作業療法評価学実習Ⅱ	後	1			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	前	1								
							作業療法評価学実習Ⅲ	後	1			身体障害作業療法学Ⅲ	前	1								
							身体障害作業療法学Ⅰ	前	2			身体障害作業療法学Ⅳ	前	1								
							身体障害作業療法学Ⅱ	前	2			身体障害作業療法実習Ⅲ	前	1								
							身体障害作業療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害作業療法実習	前	1								
							身体障害作業療法実習Ⅱ	後	1			義肢装具学	後		1							
							老年期障害作業療法学	後	1			地域作業療法学	後	1								
							精神障害作業療法学	後	1			予防作業療法学	後	1								
							日常生活活動学	前	1			評価実習	前	3								
							日常生活活動学実習	後	1			総合実習Ⅰ	後	9								
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			地域生活と健康	前	2			20
												家族関係論	前	2			特別支援教育	前	2			
												地域社会論	後	2			人間工学	前	2			
												コミュニティ形成論	後	2			ライフサイクル論	前	2			
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				33	5	0			32	0	0			36	5	0			25	0	0	136

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目126単位、選択科目5単位以上を履修すること。
　基礎科目20単位以上
　　必修科目15単位以上
　　選択科目5単位以上
　職業専門科目87単位以上
　　専門基礎分野科目から必修科目30単位以上
　　専門分野科目から必修科目57単位以上
　展開科目必修科目20単位以上
　総合科目必修科目4単位以上

　実習・実験科目から40単位以上
　　うち、臨地実務実習22単位以上

　履修登録上限は、1年間において39単位とする。
　ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

PT 専 教授(学科長) 永野 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞
火			理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
水				
木			理学療法治療学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	
金	理学療法概論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火		物理療法 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
水				
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 専 教授(学科長) 永野 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞
火			理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
水				
木				
金	理学療法概論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス		理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス		
火		物理療法 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
水				
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 専 教授 中川

（新）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス			
火				
水		研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス	リハビリテーション概論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス･Bクラス			
火				
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	運動療法 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（旧）

なし

PT 実専 講師 山下 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス			
木				基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス
金	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	大学入門 〈研究室〉	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
火				
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Aクラス		
木		理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ Aクラス		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
金				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・増川・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 専 講師 山下 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス			
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス			
木				基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス
金	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Aクラス		
木				理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
金				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・増川・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実専 講師 増川

（新）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	
火			理学療法セミナーⅠ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス	
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス	物理療法 ＜本館 7-1教室/本館3F治療訓練室＞ 医専		
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	大学入門 〈研究室〉	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス		
火				
水	理学療法治療学2(脳障害2) ＜本館 7-1教室＞ 医専			
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス・Bクラス	運動療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2(R1まで) /基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ 医専/Bクラス
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学13(老年期障害) ＜本館 7-1教室＞ 医専
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実専 講師 増川

（旧）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス		理学療法セミナーⅠ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス	
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス	物理療法 ＜本館 7-1教室/本館3F治療訓練室＞ 医専		
木	生活環境論 ＜本館 7-1教室＞ 医専		理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス		
火				
水	理学療法治療学2(脳障害2) ＜本館 7-1教室＞ 医専			
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス・Bクラス	運動療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2 ＜本館 5F機能訓練室＞ 医専
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学13(老年期障害) ＜本館 7-1教室＞ 医専
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実専 講師 横山 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	
火			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	
水			応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	理学療法治療学8(内部障害) ＜本館 7-1教室＞ 医専
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ OT	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス	大学入門 〈研究室〉		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス･Bクラス			
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ Aクラス			
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス		運動療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2 ＜本館 5F機能訓練室＞ 医専
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		

PT 実専 講師 横山 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	
火			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	
水			応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	理学療法治療学8(内部障害) ＜本館 7-1教室＞ 医専
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ OT	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス			生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス･Bクラス			
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ Aクラス			
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス		運動療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2 ＜本館 5F機能訓練室＞ 医専
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		

PT 実専 助教 那須 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	
火				
水			応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館 5F 機能訓練室＞ OT	
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス	大学入門 〈研究室〉		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス	
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館 2-4教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
水				
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス		理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス	
金				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				

PT 実専 助教 那須 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	
火				
水			応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜本館 5F 機能訓練室＞ OT	
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス			生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス	
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館 2-4教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
水				
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス		理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス	
金		日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				

PT 実専 助教 鈴木 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 〈研究室〉	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
水	運動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス			
木		運動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	
金	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	
総合実習Ⅱ＜各施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Bクラス
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス			
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
木		理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス	
金				運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
卒業論文＜研究室＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				

PT 実専 助教 鈴木 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス			
木			理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	
金	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	
総合実習Ⅱ＜各施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス			
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
木			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス	
金				運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
卒業論文＜研究室＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				

PT 実専 助教 田村

（新）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス			
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス			理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
金		物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	大学入門 ＜研究室＞	
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス		
火				
水				
木				基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	
卒業論文＜研究室＞				

（旧）

なし

PT 実(研) 教授 小野 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木				
金		大学入門 〈研究室〉		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水				
木				
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	病理学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	病理学 ＜新館 2-1教室＞ OT
卒業論文＜研究室＞				

PT 実み 教授 小野 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水				
木				
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	病理学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	病理学 ＜新館 2-1教室＞ OT
卒業論文＜研究室＞				

PT 実(研) 教授 山田 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	理学療法管理学概論 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス		理学療法管理学概論 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス	
水	運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス			
木		運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス		理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ Bクラス	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ Aクラス	
水				
木				
金		運動学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	運動学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
卒業論文＜研究室＞				

PT 専 教授 山田 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	理学療法管理学概論 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス		理学療法管理学概論 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス	
水	運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス			
木		運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス		理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ Bクラス	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ Aクラス	
水				
木				
金		運動学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	運動学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
卒業論文＜研究室＞				

PT 実(研) 片岡 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	基礎理学療法学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
木			理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	
金		大学入門 〈研究室〉		基礎理学療法学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火			理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
水				
木				
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	統計分析の基礎 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実(研) 片岡 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	基礎理学療法学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
木			理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	
金				基礎理学療法学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火			理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
水				
木				
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	統計分析の基礎 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実(研) 小島 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	日常生活活動学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	老年期障害理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス		老年期障害理学療法学 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス
水	地域理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス	日常生活活動学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		
木				
金			大学入門 〈研究室〉	地域理学療法学 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	
火			多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	生活環境学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス
水				
木				
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞		
卒業論文＜研究室＞				

PT 実(研) 小島 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	日常生活活動学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス			
水	地域理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス	日常生活活動学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		
木				
金		物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス		地域理学療法学 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	
火			多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	生活環境学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス
水	地域包括マネジメント論 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス			
木				地域包括マネジメント論 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス			
卒業論文＜研究室＞				

PT 実(研) 助教 田中 雅侑

（新）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木				
金		物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	大学入門 ＜研究室＞	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス			理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス・Bクラス
水				
木				理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
金				運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅＞				
卒業論文＜研究室＞				

（旧）

なし

PT 実み 教授 千田

（新）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		整形外科学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木				
金	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ OT	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス		リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実み 教授 千田

（旧）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		整形外科学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木				
金	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ OT	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス		
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実み 教授 山下立次

（新）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木	コーチング論 ＜新館 4-4教室＞ Aクラス	コーチング論 ＜新館 4-4教室＞ Bクラス		
金				生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火				
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

PT 実み 教授 山下立次

（旧）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木	コーチング論 ＜新館 4-4教室＞ Aクラス	コーチング論 ＜新館 4-4教室＞ Bクラス		
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和2年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館 2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語 ＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館 2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和2年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館 2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和2年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館 2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館 2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜永野＞	

令和2年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和2年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和2年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　2年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学2 7-1教室＜今井＞	小児科学 7-1教室＜井上＞	内科学1 7-1教室＜植田＞	整形外科学1 7-1教室＜横山＞
火	地域理学療法学1 7-1教室＜渡辺＞	理学療法評価法2 3F治療訓練室＜那須＞	義肢装具学 7-1教室＜藤原・鴨生＞	運動療法2 5F機能訓練室＜立山＞
水		物理療法 7-1教室/3F水治療室＜増川＞	臨床実習セミナー1 7-1教室＜鈴木・渡辺＞	理学療法治療学8(内部障害1) 7-1教室＜横山＞
木	生活環境論 7-1教室＜増川＞	理学療法治療学3(整形疾患1) 7-1教室＜立山＞	理学療法治療学6(神経筋疾患1) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学実習1 5F機能訓練室＜横山・立山＞
金	理学療法治療学5(脊髄損傷) 7-1教室＜三雲＞	理学療法治療学1(脳障害1) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学10(日常生活活動1) 7-1教室/3F機能訓練室＜濱本＞	理学療法評価法実習2 5F機能訓練室＜那須＞

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　2年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習セミナー2 7-1教室＜横山・立山＞		臨床実習セミナー2 7-1教室＜那須＞	神経内科学 7-1教室＜山下・佐藤・武本・森原＞
火	理学療法評価法実習3 5F機能訓練室＜三雲＞	理学療法治療学11(日常生活活動2) 7-1教室/3F機能訓練室＜濱本＞	理学療法治療学4(整形疾患2) 7-1教室＜立山＞	整形外科学2 7-1教室＜横山＞
水	理学療法治療学2(脳障害2) 7-1教室＜増川＞	理学療法治療学9(内部障害2) 7-1教室＜横山＞	内科学2 7-1教室＜植田＞	スポーツ障害トレーニング論 7-1教室 スポーツトレーニング室＜立山＞
木	地域理学療法学2 7-1教室＜渡辺＞	臨床実習セミナー2 7-1教室＜杉野・三雲＞	運動療法実習 3F治療訓練室＜増川・横山・立山＞	理学療法治療学実習2 5F機能訓練室＜増川・横山・立山・原＞
金	理学療法治療学7(神経筋疾患2)(A) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学2(脳障害2)(B) 7-1教室＜鈴木＞	理学療法治療学12(発達障害) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学13(老年期障害) 7-1教室＜増川＞

令和2年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･山田＞
金		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜永野＞	

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜増川･田村＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館　2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館　2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館　3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火		物理療法 ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-1教室＞ ＜中川＞	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和3年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館　2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館　2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館　2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館　2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Bクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞	生活環境学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館　3-2教室＞ ＜山田了士＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-2教室＞ ＜中川＞
木		物理療法 ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

令和3年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　令和3年度前期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　令和3年度後期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･山田＞
金		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	コミュニケーション論 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐生＞	国際政治経済論 ＜新館　4-1教室＞ ＜三宅＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下･増川＞		理学療法管理学概論 ＜新館　4-1教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡･鈴木＞	研究デザイン ＜研究室＞ ＜中川＞	人間関係論 ＜新館　4-1教室＞ ＜兵頭＞	
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐々木＞			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下･横山＞
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山･那須＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下立･増川･鈴木＞	地域理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山･那須･田村＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜永野＞	

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村･鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜増川･田村＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　4-2教室＞ ＜三宅＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐生＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	理学療法管理学概論 ＜新館　4-2教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜田村･横山＞	
水	地域理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	研究デザイン ＜研究室＞ 中川	人間関係論 ＜新館　4-2教室＞ ＜兵頭＞	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山･那須＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡･鈴木＞	
金		物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜田中雅･田村＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下･横山･那須＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山･那須･田村＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館　2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館　2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館　3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火		物理療法 ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-1教室＞ ＜中川＞	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞		人間形成論 ＜新館　4-1教室＞ ＜田中＞	
火			メディカル英語 ＜新館　4-1教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F 機能訓練室＞ ＜田中　雅＞
水				地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木	生体情報科学 ＜新館　4-1教室＞ ＜岡＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		
金		予防理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館　4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館　2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館　2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館　2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館　2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Bクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞	生活環境学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館　3-2教室＞ ＜山田了士＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-2教室＞ ＜中川＞
木		物理療法 ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和4年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞	人間形成論 ＜新館　4-2教室＞ ＜田中＞		
火			メディカル英語 ＜新館　4-2教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F 機能訓練室＞ ＜田中　雅＞
水		生体情報科学 ＜新館　4-2教室＞ ＜岡＞		
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
金		予防理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館　4-2教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火		コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞	大学入門 ＜研究室＞	大学入門 ＜研究室＞	基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・山田＞
金		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	コミュニケーション論 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐生＞	国際政治経済論 ＜新館　4-1教室＞ ＜三宅＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下・増川＞		理学療法管理学概論 ＜新館　4-1教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・鈴木＞	研究デザイン ＜研究室＞ ＜中川＞	人間関係論 ＜新館　4-1教室＞ ＜兵頭＞	
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐々木＞			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下・横山＞
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下立・増川・鈴木＞	地域理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山・那須・田村＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　4年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞		起業入門 ＜新館　4-4教室＞ ＜塩見＞	
火		スポーツ科学 ＜新館　4-4教室＞ ＜安田＞	理学療法セミナーⅠ ＜新館　2-4教室＞ ＜増川＞	応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜吉田＞
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ ＜山下・田村・増川＞			
木	コーチング論 ＜新館　4-4教室＞ ＜山下立次＞	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜横山・那須＞		NPO論 ＜新館　4-4教室＞ ＜長田＞
金	応用治療技術実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	マネジメント論 ＜新館　4-4教室＞ ＜佐々木＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜安田＞		
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-1教室＞ ＜横山＞	運動療法 ＜新館　2-1教室＞ ＜中川＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-1教室＞ ＜千田＞	
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館　2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館　2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館　3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火		物理療法 ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞
水	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-1教室＞ ＜中川＞	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞		人間形成論 ＜新館　4-1教室＞ ＜田中＞	
火			メディカル英語 ＜新館　4-1教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F 機能訓練室＞ ＜田中　雅＞
水				地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木	生体情報科学 ＜新館　4-1教室＞ ＜岡＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館　5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		
金		予防理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館　4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　4年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館　2-4教室＞ ＜那須＞			
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	大学入門 ＜研究室＞	基礎物理 ＜新館　2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	基礎生物 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	コミュニケーション英語 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜中川＞
木		心理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	
金	生理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 ＜研究室＞	理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜永野＞	

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜田村・鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜増川・田村＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　4-2教室＞ ＜三宅＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐生＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	理学療法管理学概論 ＜新館　4-2教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜田村・横山＞	
水	地域理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	研究デザイン ＜研究室＞ 中川	人間関係論 ＜新館　4-2教室＞ ＜兵頭＞	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・鈴木＞	
金		物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜田中雅・田村＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下・横山・那須＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山・那須・田村＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　4年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	起業入門 ＜新館　4-4教室＞ ＜塩見＞		
火	スポーツ科学 ＜新館　4-4教室＞ ＜安田＞		理学療法セミナーⅠ ＜新館　3-4教室＞ ＜増川＞	応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜吉田＞
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ ＜山下・田村・増川＞		応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜横山・那須＞	
木		コーチング論 ＜新館　4-4教室＞ ＜山下立次＞	NPO論 ＜新館　4-4教室＞	
金	マネジメント論 ＜新館　4-4教室＞ ＜佐々木＞	応用治療技術実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞		運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜中川＞	
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜田中雅・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Bクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・山下＞	生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ ＜鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜田中雅・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館 3-2教室＞ ＜山田了士＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ ＜中川＞
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜田村・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞	人間形成論 ＜新館 4-2教室＞ ＜田中＞		
火			メディカル英語 ＜新館 4-2教室＞ ＜安田＞	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜田中 雅＞
水		生体情報科学 ＜新館 4-2教室＞ ＜岡＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ ＜増川＞		
金		予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ ＜永野・山田・田村・増川＞	義肢装具学 ＜新館 4-2教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				

令和5年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　4年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館 2-4教室＞ ＜那須＞			
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成32年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成32年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館 2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火	リハビリテーション概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜村西＞	コミュニケーション英語 ＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-1教室＞ ＜植月＞		
木	人間発達学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館 2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜永野＞			基礎生物 ＜新館 2-1教室＞ ＜勅使川原＞

平成32年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成32年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館 2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館 2-1教室＞ ＜安田＞	運動療法 ＜新館 2-1教室＞ ＜濱岡＞	
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ ＜横山＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ ＜千田＞		
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館 2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館 2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成32年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成32年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館 2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞		コミュニケーション英語 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館 2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館 2-2教室＞ ＜植月＞	
木		心理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜村西＞
金	生理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞		理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜永野＞	基礎生物 ＜新館 2-2教室＞ ＜勅使川原＞

平成32年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成32年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞			
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜濱岡＞	
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成32年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　平成32年度前期　2年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学2 7-1教室＜今井＞	小児科学 7-1教室＜井上＞	内科学1 7-1教室＜植田＞	整形外科学1 7-1教室＜横山＞
火	地域理学療法学1 7-1教室＜渡辺＞	理学療法評価法2 3F治療訓練室＜那須＞	義肢装具学 7-1教室＜藤原・鴨生＞	運動療法2 5F機能訓練室＜立山＞
水		物理療法 7-1教室/3F水治療室＜増川＞	臨床実習セミナー1 7-1教室＜鈴木・渡辺＞	理学療法治療学8(内部障害1) 7-1教室＜横山＞
木	生活環境論 7-1教室＜増川＞	理学療法治療学3(整形疾患1) 7-1教室＜立山＞	理学療法治療学6(神経筋疾患1) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学実習1 5F機能訓練室＜横山・立山＞
金	理学療法治療学5(脊髄損傷) 7-1教室＜三雲＞	理学療法治療学1(脳障害1) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学10(日常生活活動1) 7-1教室/3F機能訓練室＜濱本＞	理学療法評価法実習2 5F機能訓練室＜那須＞

岡山医療技術専門学校　平成32年度後期　2年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習セミナー2 7-1教室＜横山・立山＞		臨床実習セミナー2 7-1教室＜那須＞	神経内科学 7-1教室＜山下・佐藤・武本・森原＞
火	理学療法評価法実習3 5F機能訓練室＜三雲＞	理学療法治療学11(日常生活活動2) 7-1教室/3F機能訓練室＜濱本＞	理学療法治療学4(整形疾患2) 7-1教室＜立山＞	整形外科学2 7-1教室＜横山＞
水	理学療法治療学2(脳障害2) 7-1教室＜増川＞	理学療法治療学9(内部障害2) 7-1教室＜横山＞	内科学2 7-1教室＜植田＞	スポーツ障害トレーニング論 7-1教室　スポーツトレーニング室＜立山＞
木	地域理学療法学2 7-1教室＜渡辺＞	臨床実習セミナー2 7-1教室＜杉野・三雲＞	運動療法実習 3F治療訓練室＜増川・横山・立山＞	理学療法治療学実習2 5F機能訓練室＜増川・横山・立山・原＞
金	理学療法治療学7(神経筋疾患2)(A) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学2(脳障害2)(B) 7-1教室＜鈴木＞	理学療法治療学12(発達障害) 7-1教室＜原＞	理学療法治療学13(老年期障害) 7-1教室＜増川＞

平成32年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　平成32年度前期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　平成32年度後期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成33年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成33年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜村西＞	コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞			基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　平成33年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜渡辺・鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜濱岡・山田＞
金	理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜濱岡＞		小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成33年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成33年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館　2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞		コミュニケーション英語 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
木		心理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜村西＞
金	生理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞		理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜永野＞	基礎生物 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　平成33年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜渡辺・鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜濱岡・渡辺＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜濱岡＞	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成33年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成33年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜安田＞	運動療法 ＜新館　2-1教室＞ ＜濱岡＞	
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-1教室＞ ＜横山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-1教室＞ ＜千田＞		
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館　2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館　2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　平成33年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館　3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜永野・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-1教室＞ ＜村西＞	物理療法 ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞
水		スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜村西・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜濱岡・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成33年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成33年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館　2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館　2-2教室＞ ＜千田＞			
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	運動療法 ＜新館　2-2教室＞ ＜濱岡＞	
金		病理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館　2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　平成33年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Bクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜村西・山下＞	生活環境学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜濱岡・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-2教室＞ ＜村西＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館　3-2教室＞ ＜山田了士＞	
木		物理療法 ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜永野・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

平成33年度　岡山医療技術専門学校　PT

岡山医療技術専門学校　平成33年度前期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　平成33年度後期　3年生　時間割（理学療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞	国家試験対策 7-1教室＜理学療法学科　教員＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜村西＞	コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞			基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜渡辺・鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜濱岡・山田＞
金	理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜濱岡＞		小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	コミュニケーション論 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐生＞	国際政治経済論 ＜新館　4-1教室＞ ＜三宅＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下･増川＞		理学療法管理学概論 ＜新館　4-1教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜濱岡＞
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡･鈴木＞	人間関係論 ＜新館　4-1教室＞ ＜兵頭＞		
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐々木＞			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下･横山＞
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山･那須＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜村西･増川･鈴木＞	地域理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山･那須･渡辺＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館　2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞		コミュニケーション英語 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
木		心理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜村西＞
金	生理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞		理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜永野＞	基礎生物 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜渡辺･鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田･鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜濱岡･渡辺＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜濱岡＞	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　4-2教室＞ ＜三宅＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐生＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	理学療法管理学概論 ＜新館　4-2教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜濱岡＞	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜渡辺･横山＞	
水	地域理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	人間関係論 ＜新館　4-2教室＞ ＜兵頭＞		
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山･那須＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡･鈴木＞	
金		物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜村西･小島＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下･横山･那須＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山･那須･渡辺＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜安田＞	運動療法 ＜新館　2-1教室＞ ＜濱岡＞	
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-1教室＞ ＜横山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-1教室＞ ＜千田＞		
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館　2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館　2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館　3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜永野・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-1教室＞ ＜村西＞	物理療法 ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞
水		スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜村西・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜濱岡・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞		人間形成論 ＜新館　4-1教室＞ ＜田中＞	
火			メディカル英語 ＜新館　4-1教室＞ ＜安田＞	
水	地域包括マネジメント論 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞			
木	生体情報科学 ＜新館　4-1教室＞ ＜岡＞			
金		予防理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜濱岡＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ ＜永野・山田・渡辺・増川＞	義肢装具学 ＜新館　4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜永野・山下・那須＞				

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館　2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館　2-2教室＞ ＜千田＞			
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	運動療法 ＜新館　2-2教室＞ ＜濱岡＞	
金		病理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館　2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜村西・山下＞	生活環境学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜濱岡・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-2教室＞ ＜村西＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館　3-2教室＞ ＜山田了士＞	
木		物理療法 ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜永野・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成34年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞	人間形成論 ＜新館　4-2教室＞ ＜田中＞		
火			メディカル英語 ＜新館　4-2教室＞ ＜安田＞	
水		生体情報科学 ＜新館　4-2教室＞ ＜岡＞		
木				地域包括マネジメント論 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞
金		予防理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜濱岡＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ ＜永野・山田・渡辺・増川＞	義肢装具学 ＜新館　4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜永野・山下・那須＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館　2-1教室＞ ＜秋山＞	生理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞	
火	リハビリテーション概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜村西＞	コミュニケーション英語 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		臨床医学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞
水	哲学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜高橋＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-1教室＞ ＜植月＞		
木	人間発達学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	心理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜堀内＞		解剖学 ＜新館　2-1教室＞ ＜佐々木＞
金	理学療法概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜永野＞			基礎生物 ＜新館　2-1教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	整形外科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜千田＞	
火	日常生活活動学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜渡辺・鈴木＞
水		基礎理学療法学 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	神経内科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜太田＞	
木		運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜増川＞	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜濱岡・山田＞
金	理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-1教室＞ ＜濱岡＞		小児科学 ＜新館　3-1教室＞ ＜窪山＞	

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	コミュニケーション論 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐生＞	国際政治経済論 ＜新館　4-1教室＞ ＜三宅＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下・増川＞		理学療法管理学概論 ＜新館　4-1教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜濱岡＞
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・鈴木＞	人間関係論 ＜新館　4-1教室＞ ＜兵頭＞		
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-1教室＞ ＜佐々木＞			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜山下・横山＞
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山・那須＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜村西・増川・鈴木＞	地域理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山・那須・渡辺＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　4年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞		起業入門 ＜新館　4-4教室＞ ＜塩見＞	
火		スポーツ科学 ＜新館　4-4教室＞ ＜安田＞	理学療法セミナーⅠ ＜新館　2-4教室＞ ＜増川＞	応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜吉田＞
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ ＜山下・渡辺・増川＞			
木	コーチング論 ＜新館　4-4教室＞ ＜山下立次＞	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜横山・那須＞		NPO論 ＜新館　4-4教室＞
金	応用治療技術実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	マネジメント論 ＜新館　4-4教室＞ ＜佐々木＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　1年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館　2-1教室＞ ＜窪山＞	健康科学概論 ＜新館　2-1教室＞ ＜安田＞	運動療法 ＜新館　2-1教室＞ ＜濱岡＞	
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		情報収集と処理 ＜本館　8F PC室＞ ＜山田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-1教室＞ ＜浅利＞
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館　2-1教室＞ ＜横山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-1教室＞ ＜千田＞		
木				生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞
金	多職種連携論 ＜新館　2-1教室＞ ＜小島＞	運動学 ＜新館　2-1教室＞ ＜山田＞	病理学 ＜新館　2-1教室＞ ＜小野＞	
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　2年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学 ＜新館　3-1教室＞ ＜山田了士＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜永野・増川＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	
火	理学療法治療学Ⅲ ＜新館　3-1教室＞ ＜村西＞	物理療法 ＜新館　3-1教室＞ ＜永野＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	生活環境学 ＜新館　3-1教室＞ ＜小島＞
水		スポーツ理学療法特論 ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館　3-1教室＞ ＜池本＞	
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館　3-1教室＞ ＜山下・鈴木＞		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜村西・山下＞
金	日常生活活動学実習 ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館　3-1教室＞ ＜片岡＞	運動療法実習Ⅱ ＜本館　3F　治療訓練室＞ ＜濱岡・鈴木＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-A

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　3年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞		人間形成論 ＜新館　4-1教室＞ ＜田中＞	
火			メディカル英語 ＜新館　4-1教室＞ ＜安田＞	
水	地域包括マネジメント論 ＜新館　4-1教室＞ ＜小島＞			
木	生体情報科学 ＜新館　4-1教室＞ ＜岡＞			
金		予防理学療法学 ＜新館　4-1教室＞ ＜濱岡＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-1教室＞ ＜永野・山田・渡辺・増川＞	義肢装具学 ＜新館　4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜永野・山下・那須＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　4年生　時間割（理学療法学科Aクラス）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館　2-4教室＞ ＜那須＞			
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基礎物理 ＜新館　2-2教室＞ ＜秋山＞		
火	臨床医学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞		コミュニケーション英語 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
水	哲学概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-2教室＞ ＜佐々木＞	日本の歴史と文化 ＜新館　2-2教室＞ ＜植月＞	
木		心理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜堀内＞	人間発達学 ＜新館　2-2教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜村西＞
金	生理学 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞		理学療法概論 ＜新館　2-2教室＞ ＜永野＞	基礎生物 ＜新館　2-2教室＞ ＜勅使川原＞

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜渡辺・鈴木＞		理学療法治療学Ⅰ ＜新館　3-2教室＞ ＜永野＞
水	運動学実習 ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山田・鈴木＞	日常生活活動学 ＜新館　3-2教室＞ ＜小島＞	神経内科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜菱川＞	
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜濱岡・渡辺＞		理学療法治療学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜濱岡＞	小児科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜窪山＞
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館　3-2教室＞ ＜増川＞	整形外科学 ＜新館　3-2教室＞ ＜千田＞		基礎理学療法学 ＜新館　3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　4-2教室＞ ＜三宅＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐生＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	研究デザイン ＜研究室＞
火	理学療法管理学概論 ＜新館　4-2教室＞ ＜山田＞	老年期障害理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜濱岡＞	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜渡辺・横山＞	
水	地域理学療法学 ＜新館　4-2教室＞ ＜小島＞	人間関係論 ＜新館　4-2教室＞ ＜兵頭＞		
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-2教室＞ ＜佐々木＞	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館　5F機能訓練室＞ ＜片岡・鈴木＞	
金		物理療法実習 ＜本館　3F治療訓練室＞ ＜村西・小島＞		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ ＜山下・横山・那須＞
評価実習＜各実習施設＞＜横山・那須・渡辺＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　4年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		起業入門 ＜新館　4-4教室＞ ＜塩見＞		
火	スポーツ科学 ＜新館　4-4教室＞ ＜安田＞		理学療法セミナーⅠ ＜新館　3-4教室＞ ＜増川＞	応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜吉田＞
水	総合演習Ⅱ ＜新館　3-4教室＞ ＜山下・渡辺・増川＞		応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜横山・那須＞	
木		コーチング論 ＜新館　4-4教室＞ ＜山下立次＞	NPO論 ＜新館　4-4教室＞	
金	マネジメント論 ＜新館　4-4教室＞ ＜佐々木＞	応用治療技術実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館　5F　機能訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　1年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			健康科学概論 ＜新館 2-2教室＞ ＜安田＞	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ ＜浅利＞
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ ＜横山＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ ＜山田＞	多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ ＜小島＞	
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ ＜千田＞			
木	生理学実習 ＜生理学実習室＞ ＜勅使川原＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	運動療法 ＜新館 2-2教室＞ ＜濱岡＞	
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ ＜小野＞	内科学 ＜新館 2-2教室＞ ＜窪山＞	運動学 ＜新館 2-2教室＞ ＜山田＞
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　2年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜村西・山下＞	生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ ＜小島＞	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜濱岡・鈴木＞	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ ＜村西＞	理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ ＜山下・鈴木＞	ヒューマンサービス論 ＜新館 3-2教室＞ ＜池本＞	精神医学 ＜新館 3-2教室＞ ＜山田丁士＞	
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ ＜永野＞	理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ ＜鈴木・那須＞	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜永野・増川＞
金		日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ ＜片岡・横山＞		統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ ＜片岡＞

理学療法学科をAとBクラスに分けて40名以下で編成している。

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　3年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜研究室＞	人間形成論 ＜新館 4-2教室＞ ＜田中＞		
火			メディカル英語 ＜新館 4-2教室＞ ＜安田＞	
水		生体情報科学 ＜新館 4-2教室＞ ＜岡＞		
木				地域包括マネジメント論 ＜新館 4-2教室＞ ＜小島＞
金		予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ ＜濱岡＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ ＜永野・山田・渡辺・増川＞	義肢装具学 ＜新館 4-1教室＞ ＜内田＞
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜永野・山下・那須＞				

平成35年度　岡山医療専門職大学　PT-B

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　4年生　時間割(理学療法学科Bクラス)

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館 2-4教室＞ ＜那須＞			
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

OT 専 教授 勅使川原 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火			生理学 ＜新館 2-3教室＞ PT-Aクラス	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-3教室＞
水				
木	基礎生物 ＜新館 2-3教室＞			大学入門 ＜研究室＞
金	生理学 ＜新館 2-3教室＞ PT-Bクラス		生理学 ＜新館 2-3教室＞	基礎生物 ＜新館 2-1教室＞ PT-A･Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火			生理学実習 ＜生理医学実習室＞	
水				
木	生理学実習 ＜生理医学実習室＞ PT-Bクラス		統計分析の基礎 ＜新館 3-3教室＞	生理学実習 ＜生理学実習室＞ PT-Aクラス
金				

OT 専 教授 勅使川原 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火			生理学 ＜新館 2-3教室＞ PT-Aクラス	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-3教室＞
水				
木	基礎生物 ＜新館 2-3教室＞			
金	生理学 ＜新館 2-3教室＞ PT-Bクラス		生理学 ＜新館 2-3教室＞	基礎生物 ＜新館 2-1教室＞ PT-A･Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火			生理学実習 ＜生理医学実習室＞	
水				
木	生理学実習 ＜生理医学実習室＞ PT-Bクラス		統計分析の基礎 ＜新館 3-3教室＞	生理学実習 ＜生理学実習室＞ PT-Aクラス
金				

OT 実専 講師 十河 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞			
木		運動学実習 ＜5F 機能訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	
金	住環境支援学2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
評価実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専			
火				
水		日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木	作業療法治療学3B ＜本館 7-2 教室＞ 医専	地域マネジメント学 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞		
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

OT 実専 講師 十河 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		地域包括ケアマネジメント論 ＜新館 4-3教室＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞			
木		運動学実習 ＜5F 機能訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	
金	住環境支援学2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
評価実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専			総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火				
水		日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木	作業療法治療学3B ＜本館 7-2 教室＞ 医専	地域マネジメント学 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞		
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

OT 実専 助教 渡部 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火		作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		
水				
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	日常生活活動学1 ＜本館 7-2 教室＞ 医専	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	大学入門 〈研究室〉
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法評価法3 ＜5F 治療訓練室＞ 医専		
水				
木				
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	
見学実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

OT 実専 助教 渡部 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火		作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		
水				
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	日常生活活動学1 ＜本館 7-2 教室＞ 医専	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法評価法3 ＜5F 治療訓練室＞ 医専		
水				
木				
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	
見学実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

OT 実専 助教 野口 **（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞			
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F 織物絵画室＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	大学入門 〈研究室〉
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法演習Ⅰ ＜新館 3-3教室＞		
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館 4-3教室＞	日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F 織物絵画室＞		
金				

OT 実専 助教 野口 **（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞			
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F 織物絵画室＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法演習Ⅰ ＜新館 3-3教室＞		
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館 4-3教室＞	日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F 織物絵画室＞		
金				

OT　実(研)　准教授　林　　**（新）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞
火			作業療法評価法実習2 ＜3F　治療訓練室＞ 医専	作業療法治療学6(老年期障害) ＜本館　7-2教室＞ 医専
水		大学入門 〈研究室〉		
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞			作業療法治療学2(神経系疾患2) ＜本館　7-2教室＞ 医専
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F　治療訓練室＞	身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館　7-2 教室＞ 医専			総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火	日常生活活動学2 ＜本館　7-2 教室＞ 医専			作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞			
木				
金	作業療法治療学3A ＜本館　7-2 教室＞ 医専		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞
卒業論文＜研究室＞				

OT 実(研)准教授　林　　**（旧）**

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞
火			作業療法評価法実習2 ＜3F　治療訓練室＞ 医専	作業療法治療学6(老年期障害) ＜本館　7-2教室＞ 医専
水				
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞			作業療法治療学2(神経系疾患2) ＜本館　7-2教室＞ 医専
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F　治療訓練室＞	身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館　7-2 教室＞ 医専			総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火	日常生活活動学2 ＜本館　7-2 教室＞ 医専			作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞			
木				
金	作業療法治療学3A ＜本館　7-2 教室＞ 医専		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞
卒業論文＜研究室＞				

令和2年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和2年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和2年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉 ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

令和2年度　岡山医療技術専門学校　OT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学2 7-1教室＜今井＞	小児科学 7-1教室＜井上＞	内科学1 7-1教室＜植田＞	整形外科学1 7-1教室＜横山＞
火	作業療法治療学9(精神障害2) 7-2教室＜森＞	作業療法治療学7(内部障害) 7-2教室＜渡部＞	作業療法評価法実習2 3F治療室＜林＞	作業療法治療学6(老年期障害) 7-2教室＜林＞
水	作業療法評価法2 7-2教室/3F治療訓練室＜徳地＞			生活環境論 7-2教室＜原＞
木	地域作業療法学 7-2教室＜徳地＞	日常生活活動学1 7-2教室/3F治療訓練室＜渡部＞	臨床実習セミナー1 7-2教室＜徳地・野口＞	作業療法治療学2(神経系疾患2) 7-2教室＜徳地・林＞
金	住環境支援学2 7-2教室＜十河＞	作業療法治療学4(整形外科疾患) 7-2教室＜徳地＞	基礎作業学実習1 3F織物・絵画教室,金工・木工・陶工室＜野口＞	

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 7-2教室＜林・十河＞		神経内科学 7-2教室＜山下＞	
火	日常生活活動学2 7-2教室/3F治療訓練室＜林＞	作業療法評価法3 5F機能訓練室＜渡部＞	義肢装具学 7-2教室＜杉山・内田＞	整形外科学2 7-1教室＜横山＞
水	臨床実習セミナー2 7-2教室＜徳地・野口＞	臨床実習セミナー3 7-2教室＜徳地・野口＞	内科学2 7-1教室＜植田＞	作業療法治療学5(発達障害) 7-2教室＜野口＞
木	作業療法治療学3B(神経系疾患3) 7-2教室＜十河＞	地域マネジメント学 7-2教室＜十河＞	脳のアンチエイジングと作業療法1 7-2教室＜徳地＞	
金	作業療法治療学3A(神経系疾患3) 7-2教室＜林＞		基礎作業学実習2 3F織物・絵画教室,金工・木工・陶工室＜野口＞	

令和2年度　岡山医療技術専門学校　OT

岡山医療技術専門学校　令和2年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　令和2年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞

令和3年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和3年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F　機能訓練室＞ ＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

令和3年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　令和3年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　3-3教室＞ ＜三宅＞	精神医学 ＜新館　3-3教室＞ ＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館　3-3教室＞ ＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館　3-3教室＞ ＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館　3-3教室＞ ＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞ ＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

岡山医療技術専門学校　令和3年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　令和3年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館 2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館 2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館 2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館 2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館 2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館 2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館 2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館 2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館 3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館 3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F 織物絵画室＞ ＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館 3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F 機能訓練室＞ ＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館 3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館 3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館 3-3教室＞ ＜林＞

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	コミュニケーション論 ＜新館 4-3教室＞ ＜佐伯＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞ ＜学科専任教員＞
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・野口＞	基礎作業療法治療学 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	家族関係論 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-3教室＞ ＜勅使川原＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞	人間関係論 ＜新館 4-3教室＞ ＜兵頭＞	身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞ ＜林・十河・野口・渡部＞	
評価実習＜各実習施設＞＜林・十河・渡部＞				

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉 ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　3-3教室＞ ＜三宅＞	精神医学 ＜新館　3-3教室＞ ＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館　3-3教室＞ ＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館　3-3教室＞ ＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館　3-3教室＞ ＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞ ＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

令和4年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和4年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		人間形成論 ＜新館　4-3教室＞ ＜田中＞	予防作業療法学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞ ＜学科専任教員＞
火		地域社会論 ＜新館　4-3教室＞ ＜藤井＞	作業療法管理学概論 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館　4-3教室＞ ＜野口＞	コミュニティ形成論 ＜新館　4-3教室＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木	メディカル英語 ＜新館　4-3教室＞ ＜安田＞		地域作業療法学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林・安田・十河＞
金			義肢装具学 ＜新館　4-3教室＞ ＜内田＞	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜吉田・渡部＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館 2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館 2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館 2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館 2-3教室＞ ＜植月＞	大学入門 〈研究室〉 〈林〉		
木	基礎生物 ＜新館 2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館 2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜吉田＞	大学入門 〈研究室〉 〈勅使川原〉
金	基礎物理 ＜新館 2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館 2-3教室＞ ＜勅使川原＞	大学入門 〈研究室〉 〈渡部・野口〉

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館 3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館 3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F 織物絵画室＞ ＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館 3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F 機能訓練室＞ ＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館 3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館 3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館 3-3教室＞ ＜林＞

令和5年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	コミュニケーション論 ＜新館 4-3教室＞ ＜佐伯＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞ ＜学科専任教員＞
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・野口＞	基礎作業療法治療学 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	家族関係論 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-3教室＞ ＜勅使川原＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞	人間関係論 ＜新館 4-3教室＞ ＜兵頭＞	身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞ ＜林・十河・野口・渡部＞	
評価実習＜各実習施設＞＜林・十河・渡部＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度前期　4年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	地域生活と健康 ＜新館 4-4教室＞ ＜安田＞		総合研究Ⅱ ＜研究室＞	
火	特別支援教育 ＜新館 4-4教室＞ ＜小林＞	作業療法セミナーⅠ ＜新館 4-4教室＞ ＜二木＞		
水	ライフサイクル論 ＜新館 4-4教室＞ ＜小林＞	地域包括マネジメント論 ＜新館 4-4教室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞		
木	人間工学 ＜新館 4-4教室＞ ＜吉田＞		応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜3F 治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	総合演習Ⅱ ＜新館 4-4教室＞ ＜小林・安田・十河＞
金	応用治療技術実習Ⅲ （セルフコンディショニング） ＜3F 治療訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	応用治療技術実習Ⅱ （リハビリ工学） ＜3F 治療訓練室＞ ＜吉田＞	岡山経営者論 ＜新館 5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館 5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜十河・野口＞				

令和5年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　3-3教室＞ ＜三宅＞	精神医学 ＜新館　3-3教室＞ ＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館　3-3教室＞ ＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館　3-3教室＞ ＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館　3-3教室＞ ＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞ ＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

令和5年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		人間形成論 ＜新館　4-3教室＞ ＜田中＞	予防作業療法学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火		地域社会論 ＜新館　4-3教室＞ ＜藤井＞	作業療法管理学概論 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館　4-3教室＞ ＜野口＞	コミュニティ形成論 ＜新館　4-3教室＞		地域包括マネジメント論 ＜大講義室＞ ＜浜田・遠藤・岸川＞
木	メディカル英語 ＜新館　4-3教室＞ ＜安田＞		地域作業療法学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林・安田・十河＞
金			義肢装具学 ＜新館　4-3教室＞ ＜内田＞	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜吉田・渡部＞				

岡山医療専門職大学　令和5年度後期　4年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火				作業療法セミナーⅡ ＜新館　4-3教室＞ ＜二木＞
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

平成32年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成32年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞			
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	

岡山医療専門職大学　平成32年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉 ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

平成32年度　岡山医療技術専門学校　OT

岡山医療技術専門学校　平成32年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	精神医学2 7-1教室＜今井＞	小児科学 7-1教室＜井上＞	内科学1 7-1教室＜植田＞	整形外科学1 7-1教室＜横山＞
火	作業療法治療学9(精神障害2) 7-2教室＜森＞	作業療法治療学7（内部障害） 7-2教室＜渡部＞	作業療法評価法実習2 3F治療室＜林＞	作業療法治療学6（老年期障害） 7-2教室＜林＞
水	作業療法評価法2 7-2教室/3F治療訓練室＜徳地＞			生活環境論 7-2教室＜原＞
木	地域作業療法学 7-2教室＜徳地＞	日常生活活動学1 7-2教室/3F治療訓練室＜渡部＞	臨床実習セミナー1 7-2教室＜徳地・野口＞	作業療法治療学2(神経系疾患2) 7-2教室＜徳地・林＞
金	住環境支援学2 7-2教室＜十河＞	作業療法治療学4(整形外科疾患) 7-2教室＜徳地＞	基礎作業学実習1 3F織物・絵画教室,金工・木工・陶工室＜野口＞	

岡山医療技術専門学校　平成32年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 7-2教室＜林・十河＞		神経内科学 7-2教室＜山下＞	
火	日常生活活動学2 7-2教室/3F治療訓練室＜林＞	作業療法評価法3 5F機能訓練室＜渡部＞	義肢装具学 7-2教室＜杉山・内田＞	整形外科学2 7-1教室＜横山＞
水	臨床実習セミナー2 7-2教室＜徳地・野口＞	臨床実習セミナー3 7-2教室＜徳地・野口＞	内科学2 7-1教室＜植田＞	作業療法治療学5（発達障害） 7-2教室＜野口＞
木	作業療法治療学3B（神経系疾患3） 7-2教室＜十河＞	地域マネジメント学 7-2教室＜十河＞	脳のアンチエイジングと作業療法1 7-2教室＜徳地＞	
金	作業療法治療学3A（神経系疾患3） 7-2教室＜林＞		基礎作業学実習2 3F織物・絵画教室,金工・木工・陶工室＜野口＞	

平成32年度　岡山医療技術専門学校　OT

岡山医療技術専門学校　平成32年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期 （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　平成32年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞

平成33年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成33年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞			
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	

岡山医療専門職大学　平成33年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F　機能訓練室＞ ＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

平成33年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成33年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉 ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館　8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館　2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館　2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館　2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　平成33年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館　3-3教室＞ ＜三宅＞	精神医学 ＜新館　3-3教室＞ ＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館　3-3教室＞ ＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館　3-3教室＞ ＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館　3-3教室＞ ＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館　3-3教室＞ ＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

岡山医療技術専門学校　平成33年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
火	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
水	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
木	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			
金	**臨床実習　第Ⅰ期 ～ 第Ⅲ期** （実習期間中は各学科・学級において必要な講義等を実施する）			

岡山医療技術専門学校　平成33年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
火	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
水	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
木	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞
金	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞	国家試験対策 7-2教室＜作業療法学科　教員＞

平成34年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞			
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F　機能訓練室＞ ＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

平成34年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成34年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-3教室＞ ＜佐伯＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞ ＜学科専任教員＞
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口＞	基礎作業療法治療学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林/初年度　吉田＞	家族関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-3教室＞ ＜勅使川原＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞	人間関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜兵頭＞	身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	老年期障害作業療法実習 ＜3F　治療訓練室＞ ＜林・十河・野口・渡部＞	
評価実習＜各実習施設＞＜林・十河・渡部＞				

平成34年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉 ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館 2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館 2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館 2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館 2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館 2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館 2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館 3-3教室＞ ＜三宅＞	精神医学 ＜新館 3-3教室＞ ＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞ ＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館 3-3教室＞ ＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館 3-3教室＞ ＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞ ＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館 3-3教室＞ ＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F 織物絵画室＞ ＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館 3-3教室＞ ＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞ ＜林＞

平成35年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成34年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		人間形成論 ＜新館 4-3教室＞ ＜田中＞	予防作業療法学 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞ ＜学科専任教員＞
火		地域社会論 ＜新館 4-3教室＞ ＜藤井＞	作業療法管理学概論 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	地域包括マネジメント論 ＜新館 4-3教室＞ ＜十河＞
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館 4-3教室＞ ＜野口＞	コミュニティ形成論 ＜新館 4-3教室＞		
木	メディカル英語 ＜新館 4-3教室＞ ＜安田＞		地域作業療法学 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞ ＜小林・安田・十河＞
金			義肢装具学 ＜新館 4-3教室＞ ＜内田＞	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜吉田・渡部＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			人間発達学 ＜新館　2-3教室＞ ＜窪山＞	
火	コミュニケーション英語 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞	哲学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜高橋＞	解剖学 ＜新館　2-3教室＞ ＜佐々木＞	作業療法概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜二木＞
水	日本の歴史と文化 ＜新館　2-3教室＞ ＜植月＞			
木	基礎生物 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	心理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜堀内＞	リハビリテーション概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜吉田＞	
金	基礎物理 ＜新館　2-3教室＞ ＜秋山＞	臨床医学概論 ＜新館　2-3教室＞ ＜浅利＞	生理学 ＜新館　2-3教室＞ ＜勅使川原＞	

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	神経内科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜山下＞		
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ ＜佐々木＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館　3-3教室＞ ＜二木＞	
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F　織物絵画室＞ ＜野口＞			
木	日常生活活動学 ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞	運動学実習 ＜5F　機能訓練室＞ ＜十河＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口・渡部＞	
金	整形外科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜千田＞	小児科学 ＜新館　3-3教室＞ ＜窪山＞		身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館　3-3教室＞ ＜林＞

平成35年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	コミュニケーション論 ＜新館　4-3教室＞ ＜佐伯＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞ ＜学科専任教員＞
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・野口＞	基礎作業療法治療学 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林/初年度　吉田＞	家族関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	テーマ設定と研究方法 ＜新館　4-3教室＞ ＜勅使川原＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞	人間関係論 ＜新館　4-3教室＞ ＜兵頭＞	身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F　治療訓練室＞ ＜野口・渡部＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館　4-3教室＞ ＜小林＞	老年期障害作業療法実習 ＜3F　治療訓練室＞ ＜林・十河・野口・渡部＞	
評価実習＜各実習施設＞＜林・十河・渡部＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度前期　4年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	地域生活と健康 ＜新館　4-4教室＞ ＜安田＞		総合研究Ⅱ ＜研究室＞	
火	特別支援教育 ＜新館　4-4教室＞ ＜小林＞	作業療法セミナーⅠ ＜新館　4-4教室＞ ＜二木＞	応用治療技術実習Ⅰ （徒手療法） ＜3F　治療訓練室＞ ＜横山・那須＞	
水	ライフサイクル論 ＜新館　4-4教室＞ ＜小林＞	地域包括マネジメント論 ＜新館　4-4教室＞ ＜十河＞		
木	人間工学 ＜新館　4-4教室＞ ＜吉田＞			総合演習Ⅱ ＜新館　4-4教室＞ ＜小林・安田・十河＞
金	応用治療技術実習Ⅲ （セルフコンディショニング） ＜3F　治療訓練室＞ ＜山下・鈴木＞	応用治療技術実習Ⅱ （リハビリ工学） ＜3F　治療訓練室＞ ＜吉田＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞	岡山経営者論 ＜新館　5F大教室＞ ＜オムニバス＞
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜十河・野口＞				

平成35年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　1年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-3教室＞ ＜浅利＞	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室〉 ＜佐々木＞		
火	健康科学概論 ＜新館 2-3教室＞ ＜安田＞		生理学実習 ＜生理医学実習室＞ ＜勅使川原＞	作業療法評価学 ＜新館 2-3教室＞ ＜林＞
水	多職種連携論 ＜新館 2-3教室＞ ＜林＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC教室＞ ＜吉田＞		
木			内科学 ＜新館 2-3教室＞ ＜窪山＞	リハビリテーション医学 ＜新館 2-3教室＞ ＜伊勢＞
金	運動学 ＜新館 2-3教室＞ ＜安田＞		基礎作業学 ＜新館 2-3教室＞ ＜林＞	病理学 ＜新館 2-3教室＞ ＜小野＞
見学実習＜各実習施設＞＜吉田・十河＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　2年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	国際政治経済論 ＜新館 3-3教室＞ ＜三宅＞	精神医学 ＜新館 3-3教室＞ ＜川田＞		
火	老年期障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞ ＜二木＞	作業療法演習Ⅰ ＜新館 3-3教室＞ ＜野口＞		
水	生活環境学 ＜新館 3-3教室＞ ＜吉田＞	日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞ ＜十河・野口＞		ヒューマンサービス論 ＜新館 3-3教室＞ ＜池本＞
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F 織物絵画室＞ ＜野口＞	統計分析の基礎 ＜新館 3-3教室＞ ＜勅使川原＞	
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞ ＜十河・渡部＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞ ＜吉田・渡部＞	精神障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞ ＜林＞

平成35年度　岡山医療専門職大学　OT

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　3年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		人間形成論 ＜新館 4-3教室＞ ＜田中＞	予防作業療法学 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火		地域社会論 ＜新館 4-3教室＞ ＜藤井＞	作業療法管理学概論 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	地域包括マネジメント論 ＜新館 4-3教室＞ ＜十河＞
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館 4-3教室＞ ＜野口＞	コミュニティ形成論 ＜新館 4-3教室＞		
木	メディカル英語 ＜新館 4-3教室＞ ＜安田＞		地域作業療法学 ＜新館 4-3教室＞ ＜小林＞	総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞ ＜小林・安田・十河＞
金			義肢装具学 ＜新館 4-3教室＞ ＜内田＞	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜吉田・渡部＞				

岡山医療専門職大学　平成35年度後期　4年生　時間割（作業療法学科）

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火				作業療法セミナーⅡ ＜新館 4-3教室＞ ＜二木＞
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

別紙４　シラバス

（新）

（削除）

（旧）

科目名	地域包括マネジメント論			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域包括ケアシステムについて理解を深めるとともに現場におけるマネジメントおよび介入・支援方法について学ぶ。 特に、高齢化が進む現在におけるケアマネジメントの実際を理解する。また、各社会保障制度（障害者福祉、生活保護、介護保険、児童福祉等）におけるケアマネジメントの現状と関連性と理解を深める。
到達目標:①地域包括ケアシステムとケアマネジメントの概要と方法について理解する。②ケアマネジメントの具体的な支援方法について理解する。③地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントを理解し、他者と協力する力を身につける。

【授業の方法】

授業は座学での講義だけではなく、ディスカッションを重視している。ディスカッションはテーマを絞ったうえで2回おこなわれる。受講生は積極的に学習したことを活用したり、調査したりして、ディスカッションに積極的に参加してほしい。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス　-なぜ「地域包括ケアシステム」が必要なのか-
2	介護保険制度①　-制度概要、介護保険料、要介護認定、地域包括支援センター-
3	介護保険制度②　-ケアプラン、介護サービスの種類、利用者負担と支払限度額-
4	ディスカッション①　-岡山での地域包括ケアシステムはどのような現状か調査し、議論しよう。-
5	多職種協働の融合①　-地域包括ケア実現のためになぜ多職種協働が必要なのか、それを阻むものは何か。-
6	多職種協働の融合②　-居宅看護と病院の役割、がん患者の事例-
7	ディスカッション②　-多職種協働を実現するために必須条件とは何か、議論しよう。-
8	先進事例の研究①　-介護保険サービスの充実強化、医療との連携強化に関する取り組み-
9	先進事例の研究②　-介護予防の推進に関する取り組み-
10	総括と学習到達度の確認テスト

成績評価の方法・基準	試験の方法
達成度確認テスト40%、課題レポート60%	筆記試験（達成度確認テスト）課題レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
ディスカッションに積極的に参加するためには、授業時間外の事前学習が大切となる。ディスカッションテーマはシラバスに記載してあるので、テーマについて積極的に発言できるように準備をすること。	20分以上遅刻の場合は欠席とみなします。また、遅刻3回で欠席1回とみなします。なお、2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することはできません。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

■ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
地域包括ケアにおけるPT・OTの役割：文光堂	特になし

参考文献

必要時に配布する。

（新）　**審査意見7(1)(2)を踏まえて、初年次教育として追加する。**

（旧）

科目名	大学入門			担当者	山下裕之　他9名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

大学で自立的に学ぶために必要な、基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるようにする。大学教育の基本と学び方の基本を修得する。到達目標は、①大学で自律的に学ぶ心構えを身につけることができる。②自分が進む専門領域の基礎を知ることができる。③必要な資料や文献などを調査することができる。④文献などの内容を要約することができる。⑤定められた形式に従ってレポートを書くことができる。⑥レポートの内容を発表し、議論して自分の考えを再構成することができる。

【授業の方法】

一部の講義形式を除いては、10人程度の少人数編成のゼミ形式により授業を進める。テーマ終了時には小テストあるいはレポートにより、各々のテーマの理解度を確認する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	大学での学び(大学と高校との違い、大学教育の基本、理学療法・作業療法とは)
2	大学資源の有効活用　図書館の使い方と資料検索の方法
3	文献や資料の読み方（新聞記事・雑誌記事を利用）
4	文献や資料の要約スキル（新聞記事・雑誌記事を利用）①
5	文献や資料の要約スキル（新聞記事・雑誌記事を利用）②
6	レポートの書き方①
7	レポートの作成と発表①
8	レポートの作成と発表②
9	ディスカッションスキルを養う①
10	ディスカッションスキルを養う②

成績評価の方法・基準	試験の方法
授業内の発表　60%テーマ修了時の小テストあるいはレポート40%で判定する。	発表、レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
授業終了後の復習と次の授業のテーマについて予習をしておく。	大学教育を円滑に進めるための知識を得る授業であることから、積極的な姿勢で授業に参加すること。

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　　必要時に指示・配布する。

（新）

科目名	リハビリテーション概論			担当者	中川法一		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。
到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。④自立生活について理解できる。⑤ 就労支援について理解できる。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	リハビリテーションの理念と歴史
2	急性期リハビリテーションと廃用症候群
3	回復期リハビリテーションとは
4	生活期リハビリテーションとは
5	リハビリテーション関連職種の役割
6	生涯論・障害受容と機能評価
7	リハビリテーションの対象者とは/職業的・社会的・医学的・教育的リハビリテーション
8	リハビリテーションと自立支援(関連する支援制度を含む)
9	リハビリテーションと自立支援(関連する支援制度を含む)
10	関連法規・地域福祉事業

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
PT・OT・ST・ナースを目指すためのリハビリテーション総論 診断と治療社	最新リハビリテーション医学 医歯薬出版株式会社

参考文献
授業中に紹介する。

（旧）

科目名	リハビリテーション概論			担当者	村西嘉祥		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。
到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。④自立生活について理解できる。⑤ 就労支援について理解できる。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	リハビリテーションの理念と歴史
2	急性期リハビリテーションと廃用症候群
3	回復期リハビリテーションとは
4	生活期リハビリテーションとは
5	リハビリテーション関連職種の役割
6	生涯論・障害受容と機能評価
7	リハビリテーションの対象者とは/職業的・社会的・医学的・教育的リハビリテーション
8	リハビリテーションと自立支援(関連する支援制度を含む)
9	リハビリテーションと自立支援(関連する支援制度を含む)
10	関連法規・地域福祉事業

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
PT・OT・ST・ナースを目指すためのリハビリテーション総論 診断と治療社	最新リハビリテーション医学 医歯薬出版株式会社

参考文献
授業中に紹介する。

（新）

科目名	基礎理学療法実習Ⅰ			担当者	増川武利・田村正樹		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法学」の内容を基に、基本的動作訓練の内容を学ぶ。理論に沿った基本的動作訓練の立案を模擬患者等のケースカンファレンス等から学ぶ。また、基本的動作の介助を利用した治療を学び、ImpairmentとDisabilityの目的別に使用する基本的動作を学ぶ。
到達目標：①理論に沿った基本的動作訓練を立案できる②基本的動作訓練を実施できる③基本的動作の介助を使用した治療ができる

【授業の方法】

1クラス40人講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	基本的動作動作訓練と治療
3	可動域制限による基本的動作障害１
4	可動域制限による基本的動作障害２
5	筋力低下による基本的動障害１
6	筋力低下による基本的動作障害２
7	筋持久力低下による基本的動作障害１
8	筋持久力低下による基本的動作障害２
9	協調性低下による基本的動作障害１
10	協調性低下による基本的動作障害２
11	全身調整能力低下による基本的動作障害１
12	全身調整能力低下による基本的動作障害２
13	臨床推考１
14	臨床推考２
15	臨床推考３

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート 課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、患者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・支柱等を機物的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 masukawa@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
・基礎運動学 第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ 運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献
講義時に配布する資料

（旧）

科目名	基礎理学療法実習Ⅰ			担当者	永野克人・増川武利		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法学」の内容を基に、基本的動作訓練の内容を学ぶ。理論に沿った基本的動作訓練の立案を模擬患者等のケースカンファレンス等から学ぶ。また、基本的動作の介助を利用した治療を学び、ImpairmentとDisabilityの目的別に使用する基本的動作を学ぶ。
到達目標：①理論に沿った基本的動作訓練を立案できる②基本的動作訓練を実施できる③基本的動作の介助を使用した治療ができる

【授業の方法】

1クラス40人講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	基本的動作動作訓練と治療
3	可動域制限による基本的動作障害１
4	可動域制限による基本的動作障害２
5	筋力低下による基本的動障害１
6	筋力低下による基本的動作障害２
7	筋持久力低下による基本的動作障害１
8	筋持久力低下による基本的動作障害２
9	協調性低下による基本的動作障害１
10	協調性低下による基本的動作障害２
11	全身調整能力低下による基本的動作障害１
12	全身調整能力低下による基本的動作障害２
13	臨床推考１
14	臨床推考２
15	臨床推考３

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート 課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、患者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・支柱等を機物的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 masukawa@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
・基礎運動学 第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ 運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献
講義時に配布する資料

（新）

科目名	基礎理学療法実習Ⅱ			担当者	山下裕之・横山 暁大・田村正樹		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法実習Ⅰ」の基本的概念を理解した上で、トランスファーを含む起居移乗動作の内容を学ぶ。運動学的内容を理解し、移乗動作の介助を行うことで、患者の動作スキル向上や、最小限の介助量にて最大限の効果を得る方法を学ぶ。また、移乗動作における問題解決方法の基礎的知識と技術を学ぶ。
到達目標：①起き上がりの介助ができる。②立ち上がりの介助ができる。③床からの立ち上がりの介助ができる。④ベッドと車椅子間のトランスファー介助ができる。⑤歩行の介助ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	基本的動作の運動学を実技を通して学ぶ。
2	寝返り介助法
3	起き上がり介助法①
4	起き上がり介助法②
5	坐位（静的アライメントの調整法①）
6	坐位（動的アライメントの調整法②）
7	立ち上がり介助法①
8	立ち上がり介助法②
9	立位（静的アライメントの調整法①）
10	立位（動的アライメントの調整法②）
11	移乗・移動介助法①
12	移乗・移動介助法②
13	歩行介助法①
14	歩行介助法②
15	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で講義に臨むこと。・支援等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【watanabe_h@motoyama-e.com/yokoyama_a@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献　適宜配布する。

（旧）

科目名	基礎理学療法実習Ⅱ			担当者	山下裕之・横山 暁大・渡辺大喜		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法実習Ⅰ」の基本的概念を理解した上で、トランスファーを含む起居移乗動作の内容を学ぶ。運動学的内容を理解し、移乗動作の介助を行うことで、患者の動作スキル向上や、最小限の介助量にて最大限の効果を得る方法を学ぶ。また、移乗動作における問題解決方法の基礎的知識と技術を学ぶ。
到達目標：①起き上がりの介助ができる。②立ち上がりの介助ができる。③床からの立ち上がりの介助ができる。④ベッドと車椅子間のトランスファー介助ができる。⑤歩行の介助ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	基本的動作の運動学を実技を通して学ぶ。
2	寝返り介助法
3	起き上がり介助法①
4	起き上がり介助法②
5	坐位（静的アライメントの調整法①）
6	坐位（動的アライメントの調整法②）
7	立ち上がり介助法①
8	立ち上がり介助法②
9	立位（静的アライメントの調整法①）
10	立位（動的アライメントの調整法②）
11	移乗・移動介助法①
12	移乗・移動介助法②
13	歩行介助法①
14	歩行介助法②
15	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で講義に臨むこと。・支援等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【watanabe_h@motoyama-e.com/yokoyama_a@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献　適宜配布する。

（新）

科目名	運動療法			担当者	中川法一		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・運動学・生理学・病理学などの基礎科目を基に、運動療法の基礎である可動域運動、筋力増強運動・持久性運動、協調性運動、全身調整運動について知識と最新の技術を教授する。本講義は基礎科目と運動療法のつながりを理解し、医学的根拠に基づいた運動療法の基礎を学習・習得することを目的とする。
到達目標：①運動療法の基礎を理解する。②可動域運動に必要な知識を理解する。③筋力増強運動に必要な知識を理解できる。④筋持久力運動の理論を理解できる。⑤協調性運動の理論を理解できる。⑥全身調整運動の理論を理解できる。⑦運動学習に必要な知識を理解する。⑧治療体操・動作を利用した運動療法を理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	運動療法とは　（運動の必要性と効果　順序　基礎的原理）
2	関節可動域運動：関節の機能と構造
3	ストレッチ：基礎理論とその効果
4	筋力増強運動：筋の構造と機能
5	筋持久力運動
6	運動と呼吸・循環・エネルギー代謝
7	運動学習理論
8	協調性運動
9	姿勢・バランス運動
10	治療体操・動作障害に対する運動療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト，南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学，文光堂

参考文献　講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法			担当者	濵岡克何		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・運動学・生理学・病理学などの基礎科目を基に、運動療法の基礎である可動域運動、筋力増強運動・持久性運動、協調性運動、全身調整運動について知識と最新の技術を教授する。本講義は基礎科目と運動療法のつながりを理解し、医学的根拠に基づいた運動療法の基礎を学習・習得することを目的とする。
到達目標：①運動療法の基礎を理解する。②可動域運動に必要な知識を理解する。③筋力増強運動に必要な知識を理解できる。④筋持久力運動の理論を理解できる。⑤協調性運動の理論を理解できる。⑥全身調整運動の理論を理解できる。⑦運動学習に必要な知識を理解する。⑧治療体操・動作を利用した運動療法を理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	運動療法とは　（運動の必要性と効果　順序　基礎的原理）
2	関節可動域運動：関節の機能と構造
3	ストレッチ：基礎理論とその効果
4	筋力増強運動：筋の構造と機能
5	筋持久力運動
6	運動と呼吸・循環・エネルギー代謝
7	運動学習理論
8	協調性運動
9	姿勢・バランス運動
10	治療体操・動作障害に対する運動療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト，南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学，文光堂

参考文献　講義担当者が配布する。

（新）

科目名	運動療法実習Ⅰ			担当者	鈴木啓子・<u>田村正樹</u>			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、可動域運動、筋力増強運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実習を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②可動域運動を実施できる。③筋力増強運動を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節可動域運動①　上肢１
2	関節可動域運動②　上肢２
3	関節可動域運動③　上肢３
4	関節可動域運動④　上肢４
5	関節可動域運動⑤　下肢１
6	関節可動域運動⑥　下肢２
7	関節可動域運動⑦　下肢３
8	関節可動域運動⑧　下肢４
9	関節可動域運動⑨　体幹１
10	関節可動域運動⑩　体幹２
11	筋力増強運動①　上肢１
12	筋力増強運動②　上肢２
13	筋力増強運動③　下肢１
14	筋力増強運動④　下肢２
15	筋力増強運動⑤　体幹

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題(実技に関する内容)
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法実習Ⅰ			担当者	鈴木啓子・<u>渡辺大寒</u>			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、可動域運動、筋力増強運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実習を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②可動域運動を実施できる。③筋力増強運動を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節可動域運動①　上肢１
2	関節可動域運動②　上肢２
3	関節可動域運動③　上肢３
4	関節可動域運動④　上肢４
5	関節可動域運動⑤　下肢１
6	関節可動域運動⑥　下肢２
7	関節可動域運動⑦　下肢３
8	関節可動域運動⑧　下肢４
9	関節可動域運動⑨　体幹１
10	関節可動域運動⑩　体幹２
11	筋力増強運動①　上肢１
12	筋力増強運動②　上肢２
13	筋力増強運動③　下肢１
14	筋力増強運動④　下肢２
15	筋力増強運動⑤　体幹

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題(実技に関する内容)
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（新）

科目名	運動療法実習Ⅱ			担当者	鈴木啓子・<u>田中雅佑</u>			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、持久力運動、協調性運動、全身調整運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実技を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②筋持久力運動を実施できる。③協調性運動を実施できる。④全身調整運動を実施できる。⑤治療体操・動作を利用した運動療法を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	筋持久力運動①
2	筋持久力運動②
3	協調性運動①
4	協調性運動②
5	協調性運動③
6	全身調整運動①
7	全身調整運動②
8	全身調整運動③
9	治療体操①
10	治療体操②
11	治療体操③
12	動作介助法①
13	動作介助法②
14	動作介助法③
15	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題（実技に関する内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法実習Ⅱ			担当者	<u>遠岡克伺</u>・鈴木啓子			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、持久力運動、協調性運動、全身調整運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実技を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②筋持久力運動を実施できる。③協調性運動を実施できる。④全身調整運動を実施できる。⑤治療体操・動作を利用した運動療法を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	筋持久力運動①
2	筋持久力運動②
3	協調性運動①
4	協調性運動②
5	協調性運動③
6	全身調整運動①
7	全身調整運動②
8	全身調整運動③
9	治療体操①
10	治療体操②
11	治療体操③
12	動作介助法①
13	動作介助法②
14	動作介助法③
15	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題（実技に関する内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（新）

科目名	物理療法実習			担当者	田村正樹・田中雅佑			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「物理療法」の内容を基に、温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実技を学ぶ。
到達目標：①温熱療法が使用できる。②光線療法が使用できる。③電気刺激療法が使用できる。④牽引療法ができる。⑤マッサージ療法ができる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	温熱療法③
4	温熱療法④
5	光線療法
6	寒冷療法
7	水治療法
8	超音波療法
9	電気刺激療法①
10	電気刺激療法②
11	電気刺激療法③
12	電気刺激療法④
13	牽引療法
14	マッサージ療法①
15	マッサージ療法②

成績評価の方法・基準

実技試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

実技試験・小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行います。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

15レクチャーシリーズ 物理療法学・実習

参考書

ＥＢＭ物理療法　渡部　一郎　医歯薬出版
標準理学療法学「物理療法」吉尾　雅春　医学書院

参考文献

科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	物理療法実習			担当者	村西壽祥・小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「物理療法」の内容を基に、温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実技を学ぶ。
到達目標：①温熱療法が使用できる。②光線療法が使用できる。③電気刺激療法が使用できる。④牽引療法ができる。⑤マッサージ療法ができる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	温熱療法③
4	温熱療法④
5	光線療法
6	寒冷療法
7	水治療法
8	超音波療法
9	電気刺激療法①
10	電気刺激療法②
11	電気刺激療法③
12	電気刺激療法④
13	牽引療法
14	マッサージ療法①
15	マッサージ療法②

成績評価の方法・基準

実技試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

実技試験・小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行います。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

15レクチャーシリーズ 物理療法学・実習

参考書

ＥＢＭ物理療法　渡部　一郎　医歯薬出版
標準理学療法学「物理療法」吉尾　雅春　医学書院

参考文献

科目担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学Ⅱ			担当者	永野克人			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像・検査所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）のデータを理解することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	授業入門と脳、神経の働き
2	パーキンソン病 臨床症状
3	パーキンソン病　評価・理学療法アプローチ
4	脊髄小脳変性症　臨床症状
5	脊髄小脳変性症　評価・理学療法アプローチ
6	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　臨床症状
7	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　評価・理学療法アプローチ
8	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　臨床症状
9	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ①
10	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ②

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項

特記事項無し

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

リハビリテーションのための神経内科
病気がみえる⑦脳・神経

参考書

ベッドサイドの神経の診方
今日の理学療法指針

参考文献

必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学Ⅱ			担当者	蓮岡克何			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像・検査所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）のデータを理解することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	授業入門と脳、神経の働き
2	パーキンソン病 臨床症状
3	パーキンソン病　評価・理学療法アプローチ
4	脊髄小脳変性症　臨床症状
5	脊髄小脳変性症　評価・理学療法アプローチ
6	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　臨床症状
7	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　評価・理学療法アプローチ
8	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　臨床症状
9	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ①
10	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ②

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項

特記事項無し

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

リハビリテーションのための神経内科
病気がみえる⑦脳・神経

参考書

ベッドサイドの神経の診方
今日の理学療法指針

参考文献

必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学Ⅲ			担当者	中川法一		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動器疾患に関わる解剖学・運動学・生理学を基に、運動器障害理学療法を学ぶ。整形外科領域における運動器疾患を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択するための知識（治療プログラム立案）と実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患の障害学を理解する。②運動器疾患の評価内容を理解する。③運動器疾患の治療プログラムを作成できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	変形性関節症（股関節・膝関節）
2	上肢骨折
3	下肢骨折
4	頚部疾患
5	腰部疾患
6	肩関節疾患
7	肘手関節疾患
8	膝関節・足関節疾患
9	関節リウマチ
10	運動器疾患における装具療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験：70%　小テスト：20%　　提出物：10%	筆記試験　小テスト　レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、予習復習をすること。	各講義における確認テストを実施する。 実技の際には動きやすい服装を着用すること。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　】

教科書	参考書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅰ	15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献
講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学Ⅲ			担当者	村西靈祥		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動器疾患に関わる解剖学・運動学・生理学を基に、運動器障害理学療法を学ぶ。整形外科領域における運動器疾患を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択するための知識（治療プログラム立案）と実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患の障害学を理解する。②運動器疾患の評価内容を理解する。③運動器疾患の治療プログラムを作成できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	変形性関節症（股関節・膝関節）
2	上肢骨折
3	下肢骨折
4	頚部疾患
5	腰部疾患
6	肩関節疾患
7	肘手関節疾患
8	膝関節・足関節疾患
9	関節リウマチ
10	運動器疾患における装具療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験：70%　小テスト：20%　　提出物：10%	筆記試験　小テスト　レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、予習復習をすること。	各講義における確認テストを実施する。 実技の際には動きやすい服装を着用すること。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　】

教科書	参考書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅰ	15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献
講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学実習Ⅰ			担当者	増川武利・田村正樹・山田　英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅰ・Ⅱ」の内容を基に、神経系疾患の機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患の障害像を理解することができる。②神経系疾患の評価項目を実施することができる。③神経系疾患の画像を理解することができる。④理学療法の実施ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義　　実習中心の内容でアクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法①
2	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法②
3	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法①
4	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法②
5	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法①
6	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法②
7	脊髄障害患者に対する理学療法①
8	脊髄障害患者に対する理学療法②
9	脊髄障害患者に対する理学療法③
10	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法①
11	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法②
12	筋委縮性側索硬化症患者に対する理学療法
13	多発性硬化症患者に対する理学療法
14	ギランバレー症候群患者に対する理学療法
15	末梢神経損傷患者に対する理学療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験（各疾患に対する理学療法の内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、実技の予習復習をすること。	・KC着用　小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店	絵でみる脳と神経，馬場元毅，医学書院 神経診察クローズアップ，鈴木則宏，ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学実習Ⅰ			担当者	山田　英司・湯岡克朗・渡辺大喜			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅰ・Ⅱ」の内容を基に、神経系疾患の機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患の障害像を理解することができる。②神経系疾患の評価項目を実施することができる。③神経系疾患の画像を理解することができる。④理学療法の実施ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義　　実習中心の内容でアクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法①
2	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法②
3	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法①
4	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法②
5	脳障害（脳性麻痺）に対する理学療法①
6	脳障害（脳性麻痺）に対する理学療法②
7	脊髄障害患者に対する理学療法①
8	脊髄障害患者に対する理学療法②
9	脊髄障害患者に対する理学療法③
10	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法①
11	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法②
12	筋委縮性側索硬化症患者に対する理学療法
13	多発性硬化症患者に対する理学療法
14	ギランバレー症候群患者に対する理学療法
15	末梢神経損傷患者に対する理学療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験（各疾患に対する理学療法の内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、実技の予習復習をすること。	・KC着用　小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店	絵でみる脳と神経，馬場元毅，医学書院 神経診察クローズアップ，鈴木則宏，ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学実習Ⅱ			担当者	山下裕之・田中雅侑		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数 30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅲ」の内容を基に、主に運動器障害理学療法の実際を学ぶ。整形外科領域における骨折と変形性関節症を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択し実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患における理学療法が実施できる。②変形性関節症の障害学を理解する。③変形性関節症の治療内容を理解する。④変形性膝関節症の治療のプログラムを作成できる。⑤変形性関節症の治療プログラムが実施できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	上肢骨折に対する理学療法
2	下肢骨折に対する理学療法
3	頚部疾患に対する理学療法
4	腰部疾患に対する理学療法
5	肩関節疾患に対する理学療法
6	肘・手関節疾患に対する理学療法
7	股関節疾患に対する理学療法
8	膝・足関節疾患に対する理学療法
9	慢性関節リウマチに対する理学療法
10	変形性股関節症①　評価・治療（プログラム立案）
11	変形性股関節症②　理学療法プログラム実施１
12	変形性股関節症③　理学療法プログラム実施２
13	変形性膝関節症①　評価・治療（プログラム立案）
14	変形性膝関節症②　理学療法プログラム実施１
15	変形性膝関節症③　理学療法プログラム実施２

成績評価の方法・基準

筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む）
小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項

小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅰ

参考書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献

講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学実習Ⅱ			担当者	村西壽挂・山下裕之		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数 30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅲ」の内容を基に、主に運動器障害理学療法の実際を学ぶ。整形外科領域における骨折と変形性関節症を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択し実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患における理学療法が実施できる。②変形性関節症の障害学を理解する。③変形性関節症の治療内容を理解する。④変形性膝関節症の治療のプログラムを作成できる。⑤変形性関節症の治療プログラムが実施できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	上肢骨折に対する理学療法
2	下肢骨折に対する理学療法
3	頚部疾患に対する理学療法
4	腰部疾患に対する理学療法
5	肩関節疾患に対する理学療法
6	肘・手関節疾患に対する理学療法
7	股関節疾患に対する理学療法
8	膝・足関節疾患に対する理学療法
9	慢性関節リウマチに対する理学療法
10	変形性股関節症①　評価・治療（プログラム立案）
11	変形性股関節症②　理学療法プログラム実施１
12	変形性股関節症③　理学療法プログラム実施２
13	変形性膝関節症①　評価・治療（プログラム立案）
14	変形性膝関節症②　理学療法プログラム実施１
15	変形性膝関節症③　理学療法プログラム実施２

成績評価の方法・基準

筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む）
小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項

小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅰ

参考書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献

講義担当者が配布する。

（新）

科目名	老年期障害理学療法学			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習、就職での対象者が高齢者となる可能性が高いなかで、複数の病気を持った高齢者や虚弱な老年者など、老年期における理学療法の理解を深める。また、高齢者に対するレクリエーションセラピーについて学ぶ。
到達目標：①レクリエーションセラピーの理論を理解できる。②加齢による身体変化を理解できる。③高齢者に多い問題を理解できる。④在宅におけるリハビリテーションを理解できる。⑤リハビリテーションにおけるリスク管理が理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（加齢と疾患・老人の尊厳とその接し方）
2	レクリエーションセラピー
3	加齢による身体変化①（廃用・誤用・過用症候群）
4	加齢による身体変化②（高次脳機能障害・認知症）
5	高齢者に多い問題への対応（尿路感染・嚥下障害等）
6	脳血管障害のリハビリテーション
7	高齢者の運動器疾患に対するリハビリテーション
8	リハビリテーションに伴うリスク管理
9	高齢者総合機能評価
10	症例基盤学習

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項

特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

高齢者リハビリテーション実践マニュアル

参考書

・レクリエーション社会参加を促す治療的レクリエーション
・老人のリハビリテーション
・標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野老年学第4版

参考文献

講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	老年期障害理学療法学			担当者	邉岡克何			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習、就職での対象者が高齢者となる可能性が高いなかで、複数の病気を持った高齢者や虚弱な老年者など、老年期における理学療法の理解を深める。また、高齢者に対するレクリエーションセラピーについて学ぶ。
到達目標：①レクリエーションセラピーの理論を理解できる。②加齢による身体変化を理解できる。③高齢者に多い問題を理解できる。④在宅におけるリハビリテーションを理解できる。⑤リハビリテーションにおけるリスク管理が理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（加齢と疾患・老人の尊厳とその接し方）
2	レクリエーションセラピー
3	加齢による身体変化①（廃用・誤用・過用症候群）
4	加齢による身体変化②（高次脳機能障害・認知症）
5	高齢者に多い問題への対応（尿路感染・嚥下障害等）
6	脳血管障害のリハビリテーション
7	高齢者の運動器疾患に対するリハビリテーション
8	リハビリテーションに伴うリスク管理
9	高齢者総合機能評価
10	症例基盤学習

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項

特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

高齢者リハビリテーション実践マニュアル

参考書

・レクリエーション社会参加を促す治療的レクリエーション
・老人のリハビリテーション
・標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野老年学第4版

参考文献

講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法演習Ⅱ			担当者	増川武利・田中雅侑		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床場面で遭遇する多様な対象者に対して、環境と社会的背景に目を向けることで、理学療法士として支援を行うための知識・技術の統合を図る。演習を通じ事例やペーパーペイシェントを活用し退院指導の方法から地域社会へのはたらきかけまでの基本的な思考能力を鍛える。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	臨床推考1)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
2	症例①　1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
3	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
4	3)統合解釈	レポート作成
5	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
6	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
7	6)再評価	レポート作成
8	臨床推考2)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
9	症例②　1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
10	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
11	3)統合解釈	レポート作成
12	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
13	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
14	6)再評価	レポート作成
15	まとめ	

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法

レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書

症例に関わる教科書全て

参考書

その都度提示する。

参考文献

必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法演習Ⅱ			担当者	村西壽祥・増川武利		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床場面で遭遇する多様な対象者に対して、環境と社会的背景に目を向けることで、理学療法士として支援を行うための知識・技術の統合を図る。演習を通じ事例やペーパーペイシェントを活用し退院指導の方法から地域社会へのはたらきかけまでの基本的な思考能力を鍛える。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	臨床推考1)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
2	症例①　1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
3	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
4	3)統合解釈	レポート作成
5	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
6	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
7	6)再評価	レポート作成
8	臨床推考2)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
9	症例②　1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
10	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
11	3)統合解釈	レポート作成
12	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
13	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
14	6)再評価	レポート作成
15	まとめ	

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法

レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書

症例に関わる教科書全て

参考書

その都度提示する。

参考文献

必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	予防理学療法学			担当者	小島一範		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：現在、本邦の高齢化が問題となってきており、高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。近年、運動習慣により生活習慣病をはじめ多くの疾患の発症リスクを減少することが示され、理学療法士による適切な介入が期待されている。予防理学療法学では、日本理学療法士協会が推奨している介護予防を中心に学び理学療法士として予防医学に寄与する方法を学ぶことを目的とする。
到達目標：①本邦の公衆衛生の状況を理解できる。②地域包括ケアシステムを理解できる。③高齢者に対する予防理学療法を理解できる。④健康増進に関わる予防理学療法を理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（公衆衛生の動向）
2	介護予防　（地域包括ケアシステム）
3	加齢による身体構造の変化
4	認知症の発生予防と進行予防
5	高齢者に対する転倒予防
6	栄養学からみた予防理学療法学
7	健康増進・ヘルスプロモーション・スポーツや就労を通じた健康づくりや傷害予防
8	再発予防に資する運動習慣、行動変容
9	予防の社会的支援・制度設計に資する科学的検証
10	地域における健康増進活動（シルバーリハビリ体操など）

成績評価の方法・基準

小テスト：20%　レポート：20%　期末試験：60%

試験の方法

小テスト　レポート　筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書　配布資料を熟読し予習・復習をすること

履修上の留意事項

小テストは講義前10分程度で行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

予防理学療法学要論　医歯薬出版

参考書

高齢者理学療法学　医歯薬出版

参考文献

講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	予防理学療法学			担当者	蓮岡克何		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：現在、本邦の高齢化が問題となってきており、高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。近年、運動習慣により生活習慣病をはじめ多くの疾患の発症リスクを減少することが示され、理学療法士による適切な介入が期待されている。予防理学療法学では、日本理学療法士協会が推奨している介護予防を中心に学び理学療法士として予防医学に寄与する方法を学ぶことを目的とする。
到達目標：①本邦の公衆衛生の状況を理解できる。②地域包括ケアシステムを理解できる。③高齢者に対する予防理学療法を理解できる。④健康増進に関わる予防理学療法を理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（公衆衛生の動向）
2	介護予防　（地域包括ケアシステム）
3	加齢による身体構造の変化
4	認知症の発生予防と進行予防
5	高齢者に対する転倒予防
6	栄養学からみた予防理学療法学
7	健康増進・ヘルスプロモーション・スポーツや就労を通じた健康づくりや傷害予防
8	再発予防に資する運動習慣、行動変容
9	予防の社会的支援・制度設計に資する科学的検証
10	地域における健康増進活動（シルバーリハビリ体操など）

成績評価の方法・基準

小テスト：20%　レポート：20%　期末試験：60%

試験の方法

小テスト　レポート　筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書　配布資料を熟読し予習・復習をすること

履修上の留意事項

小テストは講義前10分程度で行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

予防理学療法学要論　医歯薬出版

参考書

高齢者理学療法学　医歯薬出版

参考文献

講義担当者が配布する。

（新）

科目名	見学実習			担当者	増川武利・片岡弘明・田中雅佳		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　レポート　1施設1名～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会での発表
レポート

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会での発表（50%）、レポート（50%）を総合して判定する。	実習実施報告会・見学実習課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	見学実習			担当者	村西壽祥・増川武利・片岡弘明		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　レポート　1施設1名～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会
見学実習課題（レポート）

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会（50%）見学実習課題（50%）で判断する。	実習実施報告会・見学実習課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	評価実習			担当者	横山暁大・那須宜宏・田村正樹		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを実践として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を遵たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を遵たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	OSCEの合格

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	評価実習			担当者	横山暁大・那須宜宏・渡辺大喜		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等
評価実習課題（レポート）
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は医療面接/バイタルチェック/理学療法評価（形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	永野克人・山下裕之・那須宣宏		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	OSCEの合格者。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	永野克人・山下裕之・那須宣宏		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は理学療法評価形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査 等）理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	増川武利・鈴木啓子・小島一範		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	前期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要： 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	OSCEの合格者。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する

（旧）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	増川武利・鈴木啓子・小島一範		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	前期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要： 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する

（新）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	永野克人・増川武利・田村正樹・山田英司		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション
2	職業現場における現状とニーズに関する情報収集　Ⅰ
3	地域社会における現状とニーズに関する情報収集　Ⅱ
4	対象者に関する情報収集　Ⅲ
5	情報収集（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）に基づいた職業別、地域別、対象者別における分類
6	職業現場における課題の抽出　Ⅰ
7	地域社会における課題の抽出　Ⅱ
8	対象者における課題の抽出　Ⅲ
9	課題の抽出（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）に基づいた職業現場や地域社会における現状と課題の整理
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/yamada@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献
必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	永野克人・山田英司・増川武利・渡辺大喜		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション、「気づき」を育て問題を特定化するアプローチ
2	課題や問題点に関する感性を磨く①　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
3	課題や問題点に関する感性を磨く②　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
4	課題や問題点に関する感性を磨く③　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
5	課題や問題点に関する感性を磨く④　－現場での「気づき」を得るための視角－
6	課題や問題点に関する感性を磨く⑤　－「気づき」を選定するための視角－
7	課題や問題点に関する感性を磨く⑥　－「気づき」を選定するための視角－
8	課題や問題点に関する感性を磨く⑦　－「気づき」の特定化－
9	課題や問題点に関する感性を磨く⑧　－「気づき」の特定化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/yamada@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献
必要時に配布する。

（新）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	山下裕之・増川武利・田村正樹		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション
2	職業現場や地域生活が抱える現状と課題
3	職業現場別（病院等の施設別）に分類した課題分析　Ⅰ
4	地域別（県及び市町村別）に分類した課題分析　Ⅱ
5	対象者別（小児、成人、高齢者等）に分類した課題分析　Ⅲ
6	課題分析（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を踏まえた課題解決のための情報収集
7	課題分析（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を踏まえた課題解決のための斬新的アイデアの考案
8	課題解決のための斬新的アイデアの導入についての検討
9	職業現場や対象者の地域生活における課題解決のための包括的提案
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献
必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	山下裕之・増川武利・渡辺大喜		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション、「気づき」を「アイディア」へと具体化するアプローチ
2	課題や問題点に関する「気づき」を育てる①　－「アイディア」の洗練－
3	課題や問題点に関する「気づき」を育てる②　－「アイディア」の洗練－
4	課題や問題点に関する「気づき」を育てる③　－「アイディア」の洗練－
5	課題や問題点に関する「気づき」を育てる④　－「アイディア」の発展－
6	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑤　－「アイディア」の発展－
7	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑥　－「アイディア」の発展－
8	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑦　－「アイディア」の具体化－
9	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑧　－「アイディア」の具体化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献
必要時に配布する。

【実験・実習又は実技による授業科目】

（新）

科目名	基礎理学療法実習Ⅰ			担当者	増川武利・田村正樹			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法学」の内容を基に、基本的動作訓練の内容を学ぶ。理論に沿った基本的動作訓練の立案を模擬患者等のケースカンファレンス等から学ぶ。また、基本的動作の介助を利用した治療を学び、ImpairmentとDisabilityの目的別に使用する基本的動作を学ぶ。
到達目標：①理論に沿った基本的動作訓練を立案できる②基本的動作訓練を実施できる③基本的動作の介助を使用した治療ができる

【授業の方法】

1クラス40人講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	基本的動作動作訓練と治療
3	可動域制限による基本的動作障害１
4	可動域制限による基本的動作障害２
5	筋力低下による基本的動障害１
6	筋力低下による基本的動作障害２
7	筋持久力低下による基本的動作障害１
8	筋持久力低下による基本的動作障害２
9	協調性低下による基本的動作障害１
10	協調性低下による基本的動作障害２
11	全身調整能力低下による基本的動作障害１
12	全身調整能力低下による基本的動作障害２
13	臨床推考１
14	臨床推考２
15	臨床推考３

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で講義に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　masukawa@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	基礎理学療法実習Ⅰ			担当者	永野克人・増川武利			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法学」の内容を基に、基本的動作訓練の内容を学ぶ。理論に沿った基本的動作訓練の立案を模擬患者等のケースカンファレンス等から学ぶ。また、基本的動作の介助を利用した治療を学び、ImpairmentとDisabilityの目的別に使用する基本的動作を学ぶ。
到達目標：①理論に沿った基本的動作訓練を立案できる②基本的動作訓練を実施できる③基本的動作の介助を使用した治療ができる

【授業の方法】

1クラス40人講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	基本的動作動作訓練と治療
3	可動域制限による基本的動作障害１
4	可動域制限による基本的動作障害２
5	筋力低下による基本的動障害１
6	筋力低下による基本的動作障害２
7	筋持久力低下による基本的動作障害１
8	筋持久力低下による基本的動作障害２
9	協調性低下による基本的動作障害１
10	協調性低下による基本的動作障害２
11	全身調整能力低下による基本的動作障害１
12	全身調整能力低下による基本的動作障害２
13	臨床推考１
14	臨床推考２
15	臨床推考３

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で講義に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　masukawa@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	基礎理学療法実習Ⅱ			担当者	山下裕之・横山 暁大・田村正樹			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法実習Ⅰ」の基本的概念を理解した上で、トランスファーを含む起居移乗動作の内容を学ぶ。運動学的内容を理解し、移乗動作の介助を行うことで、患者の動作スキル向上や、最小限の介助量にて最大限の効果を得る方法を学ぶ。また、移乗動作における問題解決方法の基礎的知識と技術を学ぶ。
到達目標：①起き上がりの介助ができる。②立ち上がりの介助ができる。③床からの立ち上がりの介助ができる。④ベッドと車椅子間のトランスファー介助ができる。⑤歩行の介助ができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	基本的動作の運動学を実技を通して学ぶ。
2	寝返り介助法
3	起き上がり介助法①
4	起き上がり介助法②
5	坐位（静的アライメントの調整法①）
6	坐位（動的アライメントの調整法②）
7	立ち上がり介助法①
8	立ち上がり介助法②
9	立位（静的アライメントの調整法①）
10	立位（動的アライメントの調整法②）
11	移乗・移動介助法①
12	移乗・移動介助法②
13	歩行介助法①
14	歩行介助法②
15	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で講義に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【watanabe_h@motoyama-e.com/yokoyama_a@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献　適宜配布する。

（旧）

科目名	基礎理学療法実習Ⅱ			担当者	山下裕之・横山 暁大・渡辺太喜			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法実習Ⅰ」の基本的概念を理解した上で、トランスファーを含む起居移乗動作の内容を学ぶ。運動学的内容を理解し、移乗動作の介助を行うことで、患者の動作スキル向上や、最小限の介助量にて最大限の効果を得る方法を学ぶ。また、移乗動作における問題解決方法の基礎的知識と技術を学ぶ。
到達目標：①起き上がりの介助ができる。②立ち上がりの介助ができる。③床からの立ち上がりの介助ができる。④ベッドと車椅子間のトランスファー介助ができる。⑤歩行の介助ができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	基本的動作の運動学を実技を通して学ぶ。
2	寝返り介助法
3	起き上がり介助法①
4	起き上がり介助法②
5	坐位（静的アライメントの調整法①）
6	坐位（動的アライメントの調整法②）
7	立ち上がり介助法①
8	立ち上がり介助法②
9	立位（静的アライメントの調整法①）
10	立位（動的アライメントの調整法②）
11	移乗・移動介助法①
12	移乗・移動介助法②
13	歩行介助法①
14	歩行介助法②
15	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で講義に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【watanabe_h@motoyama-e.com/yokoyama_a@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献　適宜配布する。

（新）

科目名	運動療法実習Ⅰ			担当者	鈴木啓子・田村正樹			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、可動域運動、筋力増強運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実習を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②可動域運動を実施できる。③筋力増強運動を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節可動域運動①　上肢１
2	関節可動域運動②　上肢２
3	関節可動域運動③　上肢３
4	関節可動域運動④　上肢４
5	関節可動域運動⑤　下肢１
6	関節可動域運動⑥　下肢２
7	関節可動域運動⑦　下肢３
8	関節可動域運動⑧　下肢４
9	関節可動域運動⑨　体幹１
10	関節可動域運動⑩　体幹２
11	筋力増強運動①　上肢１
12	筋力増強運動②　上肢２
13	筋力増強運動③　下肢１
14	筋力増強運動④　下肢２
15	筋力増強運動⑤　体幹

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題(実技に関する内容)
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法実習Ⅰ			担当者	鈴木啓子・渡辺大寧			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、可動域運動、筋力増強運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実習を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②可動域運動を実施できる。③筋力増強運動を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節可動域運動①　上肢１
2	関節可動域運動②　上肢２
3	関節可動域運動③　上肢３
4	関節可動域運動④　上肢４
5	関節可動域運動⑤　下肢１
6	関節可動域運動⑥　下肢２
7	関節可動域運動⑦　下肢３
8	関節可動域運動⑧　下肢４
9	関節可動域運動⑨　体幹１
10	関節可動域運動⑩　体幹２
11	筋力増強運動①　上肢１
12	筋力増強運動②　上肢２
13	筋力増強運動③　下肢１
14	筋力増強運動④　下肢２
15	筋力増強運動⑤　体幹

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題（実技に関する内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（新）

科目名	運動療法実習Ⅱ			担当者	鈴木啓子・田中雅佑			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、持久力運動、協調性運動、全身調整運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実技を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②筋持久力運動を実施できる。③協調性運動を実施できる。④全身調整運動を実施できる。⑤治療体操・動作を利用した運動療法を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	筋持久力運動①
2	筋持久力運動②
3	協調性運動①
4	協調性運動②
5	協調性運動③
6	全身調整運動①
7	全身調整運動②
8	全身調整運動③
9	治療体操①
10	治療体操②
11	治療体操③
12	動作介助法①
13	動作介助法②
14	動作介助法③
15	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題（実技に関する内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法実習Ⅱ			担当者	道岡克伺・鈴木啓子			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、持久力運動、協調性運動、全身調整運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実技を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②筋持久力運動を実施できる。③協調性運動を実施できる。④全身調整運動を実施できる。⑤治療体操・動作を利用した運動療法を実施できる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	筋持久力運動①
2	筋持久力運動②
3	協調性運動①
4	協調性運動②
5	協調性運動③
6	全身調整運動①
7	全身調整運動②
8	全身調整運動③
9	治療体操①
10	治療体操②
11	治療体操③
12	動作介助法①
13	動作介助法②
14	動作介助法③
15	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題（実技に関する内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂 石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法	市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献　科目担当者が配布する。

（新）

科目名	物理療法実習			担当者	田村正樹・田中雅侑		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態 実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「物理療法」の内容を基に、温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実技を学ぶ。
到達目標：①温熱療法が使用できる。②光線療法が使用できる。③電気刺激療法が使用できる。④牽引療法ができる。⑤マッサージ療法ができる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	温熱療法③
4	温熱療法④
5	光線療法
6	寒冷療法
7	水治療法
8	超音波療法
9	電気刺激療法①
10	電気刺激療法②
11	電気刺激療法③
12	電気刺激療法④
13	牽引療法
14	マッサージ療法①
15	マッサージ療法②

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	実技試験・小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行います。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
15レクチャーシリーズ 物理療法学・実習	ＥＢＭ物理療法　渡部　一郎　医歯薬出版 標準理学療法学「物理療法」吉尾　雅春　医学書院

参考文献　科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	物理療法実習			担当者	村西壽祥・小島一範		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態 実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「物理療法」の内容を基に、温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実技を学ぶ。
到達目標：①温熱療法が使用できる。②光線療法が使用できる。③電気刺激療法が使用できる。④牽引療法ができる。⑤マッサージ療法ができる。

【授業の方法】

理学療法学科　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	温熱療法③
4	温熱療法④
5	光線療法
6	寒冷療法
7	水治療法
8	超音波療法
9	電気刺激療法①
10	電気刺激療法②
11	電気刺激療法③
12	電気刺激療法④
13	牽引療法
14	マッサージ療法①
15	マッサージ療法②

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	実技試験・小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行います。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
15レクチャーシリーズ 物理療法学・実習	ＥＢＭ物理療法　渡部　一郎　医歯薬出版 標準理学療法学「物理療法」吉尾　雅春　医学書院

参考文献　必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学実習Ⅰ			担当者	増川武利・田村正樹・山田 英司		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態 実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅰ・Ⅱ」の内容を基に、神経系疾患の機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患の障害像を理解することができる。②神経系疾患の評価項目を実施することができる。③神経系疾患の画像を理解することができる。④理学療法の実施ができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　　実習中心の内容でアクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法①
2	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法②
3	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法①
4	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法②
5	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法①
6	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法②
7	脊髄障害患者に対する理学療法①
8	脊髄障害患者に対する理学療法②
9	脊髄障害患者に対する理学療法③
10	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法①
11	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法②
12	筋委縮性側索硬化症患者に対する理学療法
13	多発性硬化症患者に対する理学療法
14	ギランバレー症候群患者に対する理学療法
15	末梢神経損傷患者に対する理学療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験（各疾患に対する理学療法の内容）

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、実技の予習復習をすること。	・KC着用　小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店	絵でみる脳と神経,馬場元毅,医学書院 神経診察クローズアップ,鈴木則宏,ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献　必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学実習Ⅰ			担当者	山田 英司・濵岡克伺・渡辺大喜		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態 実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅰ・Ⅱ」の内容を基に、神経系疾患の機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患の障害像を理解することができる。②神経系疾患の評価項目を実施することができる。③神経系疾患の画像を理解することができる。④理学療法の実施ができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　　実習中心の内容でアクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法①
2	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法②
3	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法①
4	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法②
5	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法①
6	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法②
7	脊髄障害患者に対する理学療法①
8	脊髄障害患者に対する理学療法②
9	脊髄障害患者に対する理学療法③
10	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法①
11	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法②
12	筋委縮性側索硬化症患者に対する理学療法
13	多発性硬化症患者に対する理学療法
14	ギランバレー症候群患者に対する理学療法
15	末梢神経損傷患者に対する理学療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験（各疾患に対する理学療法の内容）

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、実技の予習復習をすること。	・KC着用　小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店	絵でみる脳と神経,馬場元毅,医学書院 神経診察クローズアップ,鈴木則宏,ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献　必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学実習Ⅱ			担当者	山下裕之・田中雅侑		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数 30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅲ」の内容を基に、主に運動器障害理学療法の実際を学ぶ。整形外科領域における骨折と変形性関節症を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択し実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患における理学療法が実施できる。②変形性関節症の障害学を理解する。③変形性関節症の治療内容を理解する。④変形性膝関節症の治療のプログラムを作成できる。⑤変形性関節症の治療プログラムが実施できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	上肢骨折に対する理学療法
2	下肢骨折に対する理学療法
3	頚部疾患に対する理学療法
4	腰部疾患に対する理学療法
5	肩関節疾患に対する理学療法
6	肘・手関節疾患に対する理学療法
7	股関節疾患に対する理学療法
8	膝・足関節疾患に対する理学療法
9	慢性関節リウマチに対する理学療法
10	変形性股関節症①　評価・治療（プログラム立案）
11	変形性股関節症②　理学療法プログラム実施１
12	変形性股関節症③　理学療法プログラム実施２
13	変形性膝関節症①　評価・治療（プログラム立案）
14	変形性膝関節症②　理学療法プログラム実施１
15	変形性膝関節症③　理学療法プログラム実施２

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む） 小テスト
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
教科書を熟読し予習復習をすること。	小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅰ	15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献　講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学実習Ⅱ			担当者	村西壽挂・山下裕之		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数 30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅲ」の内容を基に、主に運動器障害理学療法の実際を学ぶ。整形外科領域における骨折と変形性関節症を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択し実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患における理学療法が実施できる。②変形性関節症の障害学を理解する。③変形性関節症の治療内容を理解する。④変形性膝関節症の治療のプログラムを作成できる。⑤変形性関節症の治療プログラムが実施できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	上肢骨折に対する理学療法
2	下肢骨折に対する理学療法
3	頚部疾患に対する理学療法
4	腰部疾患に対する理学療法
5	肩関節疾患に対する理学療法
6	肘・手関節疾患に対する理学療法
7	股関節疾患に対する理学療法
8	膝・足関節疾患に対する理学療法
9	慢性関節リウマチに対する理学療法
10	変形性股関節症①　評価・治療（プログラム立案）
11	変形性股関節症②　理学療法プログラム実施１
12	変形性股関節症③　理学療法プログラム実施２
13	変形性膝関節症①　評価・治療（プログラム立案）
14	変形性膝関節症②　理学療法プログラム実施１
15	変形性膝関節症③　理学療法プログラム実施２

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む） 小テスト
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
教科書を熟読し予習復習をすること。	小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅰ	15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト 運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献　講義担当者が配布する。

（新）

科目名	見学実習			担当者	増川武利・片岡弘明・田中雅侑		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数 45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　レポート　1施設1名～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会での発表
レポート

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会での発表（50%）、レポート（50%）を総合して判定する。	実習実施報告会・見学実習課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	見学実習			担当者	村西壽挂・増川武利・片岡弘明		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数 45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　レポート　1施設1名～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会
見学実習課題（レポート）

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会（50%）見学実習課題（50%）で判断する。	実習実施報告会・見学実習課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	評価実習			担当者	横山暁大・那須宣宏・田村正樹		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基礎科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	ＯＳＣＥの合格を履修条件をとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	評価実習			担当者	横山暁大・那須宣宏・渡辺大喜		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基礎科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等
評価実習課題（レポート）
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は医療面接/バイタルチェック/理学療法評価（形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	水野克人・山下裕之・那須宣宏		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基礎科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）
が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	ＯＳＣＥの合格を履修条件をとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	水野克人・山下裕之・那須宣宏		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基礎科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）
が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）
が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は理学療法評価形態測定（ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査 等）理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。 学総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	増川武利・鈴木啓子・小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要： 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①道理の理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）
が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習規定会議で総合的に判定する。	実習時間（各実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	ＯＳＣＥの合格を履修条件をとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する

（旧）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	増川武利・鈴木啓子・小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要： 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①道理の理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）
が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）
が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する

新旧対照表　作業療法学科

（新）　**学室室見7(1)(2)を踏まえて、初年次教育として追加する。**　　（旧）

科目名	大学入門			担当者	勅使川原匡　他3名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間
【講義の概要および到達目標】 大学で自立的に学ぶために必要な、基本的事項を系統的に配置し、高校から大学教育にスムーズに移行できるようにする。大学教育の基本と学び方の基本を修得する。到達目標は、①大学で自律的に学ぶ心構えを身につけることができる。②自分が進む専門領域の基礎を知ることができる。③必要な資料や文献などを調査することができる。④文献などの内容を要約することができる。⑤定められた形式に従ってレポートを書くことができる。⑥レポートの内容を発表し、議論して自分の考えを再構成することができる。									
【授業の方法】 一部の講義形式を除いては、10人程度の少人数編成のゼミ形式により授業を進める。テーマ終了時には小テストあるいはレポートにより、各々のテーマの理解度を確認する。									
講 義 計 画（テーマと内容等）									
1	大学での学びとは(大学と高校との違い、大学教育の基本、理学療法・作業療法とは)								
2	大学資源の有効活用　図書館の使い方と資料検索の方法								
3	文献や資料の読み方（新聞記事・雑誌記事を利用）								
4	文献や資料の要約スキル（新聞記事・雑誌記事を利用）①								
5	文献や資料の要約スキル（新聞記事・雑誌記事を利用）②								
6	レポートの書き方①								
7	レポートの作成と発表①								
8	レポートの作成と発表②								
9	ディスカッションスキルを養う①								
10	ディスカッションスキルを養う②								
成績評価の方法・基準 授業内の発表　60%テーマ修了時の小テストあるいはレポート40%で判定する。				試験の方法 発表、レポート課題					
授業時間外学修（予習・復習等） 授業終了後の復習と次の授業のテーマについて予習をしておく。				履修上の留意事項 大学教育を円滑に進めるための知識を得る授業であることから、積極的な姿勢で授業に参加すること。					
本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com □ その他連絡先【　　】									
教科書 特に指定しない				参考書 随時紹介					
参考文献 必要時に指示・配布する。									

（新）　　（旧）

科目名	基礎生物			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間
【講義の概要および到達目標】 概要：生命の基本が細胞レベルで完結し、遺伝、分化、発生、病気、死といった生命現象が細胞の基本機能の上に成り立つしくみを理解する。核酸やタンパク質、脂質、同永化物の構造といった基礎項目をはじめ、細胞内情報伝達、糖脂質代謝、神経生理、内分泌、免疫、疾患などの生物学や医学を学ぶために必要な基本事項を広範に取り扱う。 到達目標：①細胞の構成物質や小器官について分子レベルで、その働きを理解する。 ②遺伝子情報の転写翻訳を理解する。③細胞分裂の仕組みを理解する。 ④物質とエネルギーの違いを理解する。⑤神経生理、内分泌、免疫の働きについて理解する。									
【授業の方法】 1クラス40名講義　主に座学									
講 義 計 画（テーマと内容等）									
1	オリエンテーション～生物学とは～　細胞の構造と生命誕生								
2	生命体を構成する物質・遺伝子の構造と機能								
3	生体とエネルギー・光合成と窒素同化								
4	細胞の分裂・情報伝達・がん化								
5	生命体の受精と成長								
6	多細胞生物の自己維持機構								
7	遺伝のしくみと遺伝病								
8	生物と環境がつくる生態系								
9	生物の進化と多様性								
10	生命科学技術と社会								
成績評価の方法・基準 筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。				試験の方法 筆記試験					
授業時間外学修（予習・復習等） 予習課題を授業中に配布する。				履修上の留意事項 課題を欠かさず取り組むこと。					
質問に関する連絡先 □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com □ その他連絡先【　　】									
教科書 やさしい基礎生物学　第2版　羊土社				参考書 授業中に生物学関連の資料を紹介する。					
参考文献 授業中に指示する。									

（旧）

科目名	基礎生物			担当者	勅使川原匡			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	1年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間
【講義の概要および到達目標】 概要：生命の基本が細胞レベルで完結し、遺伝、分化、発生、病気、死といった生命現象が細胞の基本機能の上に成り立つしくみを理解する。核酸やタンパク質、脂質、同永化物の構造といった基礎項目をはじめ、細胞内情報伝達、糖脂質代謝、神経生理、内分泌、免疫、疾患などの生物学や医学を学ぶために必要な基本事項を広範に取り扱う。 到達目標：①細胞の構成物質や小器官について分子レベルで、その働きを理解する。 ②遺伝子情報の転写翻訳を理解する。③細胞分裂の仕組みを理解する。 ④物質とエネルギーの違いを理解する。⑤神経生理、内分泌、免疫の働きについて理解する。									
【授業の方法】 1クラス40名講義　主に座学									
講 義 計 画（テーマと内容等）									
1	オリエンテーション～生物学とは～　細胞の構造と生命誕生								
2	生命体を構成する物質・遺伝子の構造と機能								
3	生体とエネルギー・光合成と窒素同化								
4	細胞の分裂・情報伝達・がん化								
5	生命体の受精と成長								
6	多細胞生物の自己維持機構								
7	遺伝のしくみと遺伝病								
8	生物と環境がつくる生態系								
9	生物の進化と多様性								
10	生命科学技術と社会								
成績評価の方法・基準 筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。				試験の方法 筆記試験					
授業時間外学修（予習・復習等） 予習課題を授業中に配布する。				履修上の留意事項 課題を欠かさず取り組むこと。					
質問に関する連絡先 □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com □ その他連絡先【　　】									
教科書 やさしい基礎生物学　第2版　羊土社				参考書 授業中に生物学関連の資料を紹介する。					
参考文献 授業中に指示する。									

（新）

科目名	メディカル英語			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。
到達目標：①リハビリの臨床現場で使用される専門用語や表現が理解できる。②リハビリの臨床現場で英語による基本的なコミュニケーションをとることができる。③基礎的英語力を身につけて外国人患者を受け入れることができる。

【授業の方法】

＊日本語と英語による講義。
＊グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイなどの実践を中心としたアクティブラーニング。
＊辞書持ち込み可能。（スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義概要の説明と学習目標の確認
2	人体の各部名称：上肢・下肢・体幹・頭頚部の各部名称
3	初診時の基本的対応：患者背景の聴取における英語コミュニケーション技法
4	初診時の基本的対応：現病歴・経過・既往歴の聴取におけるコミュニケーション技法
5	初診時の基本的対応：症候・ニーズ・デマンズ・主訴の聴取におけるコミュニケーション技法
6	初診時の基本的対応：ロールプレイ（第2講～第4講までのコミュニケーション場面を実践する）
7	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法1
8	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法2
9	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法1
10	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法2
11	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法3
12	評価・治療・訓練時の基本的対応：ロールプレイ（第7講～第11講までのコミュニケーション場面を実践する）
13	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（基礎編）
14	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（応用編）
15	本講座で学んだことを総動員したロールプレイ

成績評価の方法・基準
レポート及び提出物：20%
筆記試験：80%

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
＊各授業についての予習をして臨むこと。テーマによっては準備を指示する場合あり。

履修上の留意事項
特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書
PT・OTが書いたリハビリテーション英会話 medical view

参考書
英語で診療 内科系
英語で診療 外科系
実践！メディカル英語

参考文献
授業中に指示する。

（旧）

科目名	メディカル英語			担当者	安田従生			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。

【授業の方法】

＊日本語と英語による講義。
＊グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイなどの実践を中心としたアクティブラーニング。
＊辞書持ち込み可能。（スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義概要の説明と学習目標の確認
2	人体の各部名称：上肢・下肢・体幹・頭頚部の各部名称
3	初診時の基本的対応：患者背景の聴取における英語コミュニケーション技法
4	初診時の基本的対応：現病歴・経過・既往歴の聴取におけるコミュニケーション技法
5	初診時の基本的対応：症候・ニーズ・デマンズ・主訴の聴取におけるコミュニケーション技法
6	初診時の基本的対応：ロールプレイ（第2講～第4講までのコミュニケーション場面を実践する）
7	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法1
8	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法2
9	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法1
10	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法2
11	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法3
12	評価・治療・訓練時の基本的対応：ロールプレイ（第7講～第11講までのコミュニケーション場面を実践する）
13	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（基礎編）
14	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（応用編）
15	本講座で学んだことを総動員したロールプレイ

成績評価の方法・基準
レポート及び提出物：20%
筆記試験：80%

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
＊各授業についての予習をして臨むこと。テーマによっては準備を指示する場合あり。

履修上の留意事項
特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書
PT・OTが書いたリハビリテーション英会話 medical view

参考書
英語で診療 内科系
英語で診療 外科系
実践！メディカル英語

参考文献
授業中に指示する。

（新）

科目名	見学実習			担当者	吉田直樹・十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会での発表
レポート

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準
実習実施報告会での発表（50%）、レポート（50%）を総合して判定する。

試験の方法
実習実施報告会での発表・レポート提出

授業時間外学修（予習・復習等）
実習に係る事前準備
プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。

履修上の留意事項
実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書
実習で必要とするすべての専門書

参考書
指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する

（旧）

科目名	見学実習			担当者	吉田直樹・十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会
見学実習課題（レポート）

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準
実習実施報告会（50%）見学実習課題（50%）で判断する。

試験の方法
実習実施報告会・見学実習課題

授業時間外学修（予習・復習等）
実習に係る事前準備
プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。

履修上の留意事項
実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書
実習で必要とするすべての専門書

参考書
指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する

（新）

科目名	評価実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・林聡		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等
実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等とする。 実習実施報告会での発表
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	OSCEの合格者

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	評価実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・林聡		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・吉田直樹		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携と実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を満たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会での発表
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	OSCEの合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【watanabe@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・吉田直樹		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携と実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携と実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【watanabe@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期 単位数	前期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた高い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。

到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術×指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・練認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習時間（実習の規定時間を遵たすこと）、実習課題の実施状況、実習実施報告会での発表内容、実習に取り組む姿勢、これらを科目担当者が評定し、各実習の臨地実務実習判定会議で総合的に判定する。	実習後実技試験：内容は作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会での発表
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	OSCEの合格者 ※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期 単位数	前期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた高い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。

到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術×指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・練認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	安田従生・小林隆司・十河正樹		必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	職業現場における現状とニーズに関する情報収集　Ⅰ
3	地域社会における現状とニーズに関する情報収集　Ⅱ
4	対象者に関する情報収集　Ⅲ
5	情報収集（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)に基づいた職業別、地域別、対象者別における分類
6	職業現場における課題の抽出　Ⅰ
7	地域社会における課題の抽出　Ⅱ
8	対象者における課題の抽出　Ⅲ
9	課題の抽出（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)に基づいた職業現場や地域社会における現状と課題の整理
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 遂捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com/sogo@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	安田従生・小林隆司・十河正樹		必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション、「気づき」を育て問題を特定化するアプローチ
2	課題や問題点に関する感性を磨く①　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
3	課題や問題点に関する感性を磨く②　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
4	課題や問題点に関する感性を磨く③　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
5	課題や問題点に関する感性を磨く④　－現場での「気づき」を得るための視角－
6	課題や問題点に関する感性を磨く⑤　－「気づき」を適正するための視角－
7	課題や問題点に関する感性を磨く⑥　－「気づき」を適正するための視角－
8	課題や問題点に関する感性を磨く⑦　－「気づき」の特定化－
9	課題や問題点に関する感性を磨く⑧　－「気づき」の特定化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 遂捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com/sogo@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	安田従生・小林隆司			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション
2	職業現場や地域生活が抱える現状と課題
3	職業現場別（病院等の施設別）に分類した課題分析　Ⅰ
4	地域別（県及び市町村別）に分類した課題分析　Ⅱ
5	対象者別（小児、成人、高齢者等）に分類した課題分析　Ⅲ
6	課題分析（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を踏まえた課題解決のための情報収集
7	課題分析（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を踏まえた課題解決のための斬新的アイデアの考案
8	課題解決のための斬新的アイデアの導入についての検討
9	職業現場や対象者の地域生活における課題解決のための包括的提案
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献
必要時に配布する

（旧）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	安田従生・小林隆司			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション、「気づき」を「アイディア」へと具体化するアプローチ
2	課題や問題点に関する「気づき」を育てる①　－「アイディア」の洗練－
3	課題や問題点に関する「気づき」を育てる②　－「アイディア」の洗練－
4	課題や問題点に関する「気づき」を育てる③　－「アイディア」の洗練－
5	課題や問題点に関する「気づき」を育てる④　－「アイディア」の発展－
6	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑤　－「アイディア」の発展－
7	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑥　－「アイディア」の発展－
8	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑦　－「アイディア」の具体化－
9	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑧　－「アイディア」の具体化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献
必要時に配布する

【実験・実習又は実技による授業科目】

（新）

科目名	見学実習			担当者	吉田直樹・十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会での発表
見学実習課題（レポート）

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会での発表（50%）、見学実習課題（50%）で判定する。	実習実施報告会での発表・見学実習課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する

（旧）

科目名	見学実習			担当者	吉田直樹・十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会
見学実習課題（レポート）

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会（50%）見学実習課題（50%）で判断する。	実習実施報告会・見学実習課題
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する

（新）

科目名	評価実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等
実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）、実習実施報告会での発表（30%）を総合して判定する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等とする。 実習実施報告会発表
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	評価実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献
オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期 単位数	後期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会での発表（30%）を総合して判定する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会での発表
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。
質問に関する連絡先 □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com □ その他連絡先【watanabe@motoyama-e.com　　】	
教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし
参考文献 オリエンテーション時に配布する。	

（旧）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期 単位数	後期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会で総合的に判断する。	実習後実技試験・内容は作業療法評価（検査・測定）作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。
質問に関する連絡先 □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com □ その他連絡先【watanabe@motoyama-e.com　　】	
教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし
参考文献 オリエンテーション時に配布する。	

（新）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期 単位数	前期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会での発表

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会での発表（30%）を総合して判定する。	実習後実技試験：内容は作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会での発表
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。
質問に関する連絡先 □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com □ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】	
教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし
参考文献 オリエンテーション時に配布する。	

（旧）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期 単位数	前期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。
質問に関する連絡先 □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com □ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】	
教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし
参考文献 オリエンテーション時に配布する。	

別紙５

（資料13）教育課程と新指定規則等との対比表

新

教育課程等の概要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分	新指定区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件	専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	大学入門	1前	1				○		基礎科目 必修18単位を含め22単位以上	22	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅠ	2前	1				○						
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1			○							
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（ 18科目）	－	16	6	0	—	—	—					
専門基礎分野	専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	メディカル英語	3後	2			○			専門基礎分野 必修科目32単位以上	32		12	
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
			生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
		疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	臨床医学概論	1前	2			○							栄養・薬理・画像・救命救急・予防の基礎
			病理学	1後	2			○						14	
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○							
			リハビリテーション概論	1前	1			○							リハビリテーションの理念 地域包括ケアシステム 多職種連携の理解
			地域包括マネジメント論	3後	1			○						4	
			多職種連携論	1後	1			○							
	専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	2			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習20単位以上を含む）	37	60単位以上		
			基礎理学療法学	2前	2			○							
			基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○				6	
			基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○					
			理学療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			理学療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		理学療法管理学	理学療法管理学概論	3前	2			○						2	理学療法倫理・職場管理
		理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○							
			理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○							画像
			理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○				6	
			理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○					画像
			理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○					
		理学療法治療学	運動療法	1後	1			○							
			運動療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			運動療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			物理療法	2後	1			○							
			物理療法実習	3前	1					○					
			理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○							
			理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○							
			理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○							
			理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○							
			理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○					
			理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○				20	
			理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○					喀痰等の吸引
			老年期障害理学療法学	3前	1				○						
			理学療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			理学療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			生涯スポーツ実習	3前	1					○					
			スポーツ理学療法特論	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1				○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1					○					

		地域理学療法学	生活環境学	2後	2			○						
			地域理学療法学	3前	1			○					3	
			予防理学療法学	3後		1		○						
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨				
			評価実習	3前	3					臨		20		
			総合実習Ⅰ	3後	8					臨			20	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	8					臨				
			小計（62科目）	—	89	9	0	—	—	—				
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○						
			人間形成論	3後	2			○						
			食生活マネジメント論	3前	2			○						
			生体情報科学	3後	2			○						
			NPO論	4前	2			○						
			スポーツ科学	4前	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上	
			起業入門	4前	2			○						
			マネジメント論	4前	2			○						
			コーチング論	4前	2			○						
			岡山経営者論	4前	2			○						
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—				
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○					
			総合研究Ⅱ	4前	1				○					
			総合演習Ⅰ	3後		1			○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上	
			総合演習Ⅱ	4前		1			○					
			卒業論文	4後	2				○					
			小計（ 5科目）	—	4	2	0	—	—	—				
			合計（95科目）	—	131	17	0	—	—	—	135	124単位以上	101	

（資料13）教育課程と新指定規則等との対比表

旧

教育課程等の概要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分	新指定区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件		専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		基礎科目 必修15単位を含め20単位以上	20	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1			○							
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（17科目）	－	15	8	0	—	—	—					
職業専門科目	専門基礎分野	専門基礎分野	メディカル英語	3後		2		○			専門基礎分野 必修科目30単位以上	30		12	栄養・薬理・画像・救命救急・予防の基礎
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
		人体の構造と機能及び心身の発達	生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
			臨床医学概論	1前	2			○							栄養・薬理・画像・救命救急・予防の基礎
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	2			○						14	
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○							リハビリテーションの理念 地域包括ケアシステム 多職種連携の理解
			リハビリテーション概論	1前	1			○						4	
			地域包括マネジメント論	3後	1			○							
			多職種連携論	1後	1			○							
	専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	2			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習20単位以上を含む）	37	60単位以上	6	
			基礎理学療法学	2前	2			○							
			基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○					
			基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○					
			理学療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			理学療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		理学療法管理学	理学療法管理学概論	3前	2			○						2	理学療法倫理・職場管理
		理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○						6	画像
			理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○							
			理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○					画像
			理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○					
			理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○					
		理学療法治療学	運動療法	1後	1			○						20	
			運動療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			運動療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			物理療法	2後	1			○							
			物理療法実習	3前	1					○					
			理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○							
			理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○							
			理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○							
			理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○							
			理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○					
			理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○					
			理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○					嚥下等の吸引
			老年期障害理学療法学	3前	1				○						
			理学療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			理学療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			生涯スポーツ実習	3前	1					○					
			スポーツ理学療法特論	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1				○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1					○					

		地域理学療法学	生活環境学	2後	2			○							
			地域理学療法学	3前	1			○						3	
			予防理学療法学	3後		1		○							
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨					
			評価実習	3前	3					臨		20			
			総合実習Ⅰ	3後	8					臨				20	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	8					臨					
		小計（62科目）		—	87	11	0	—	—	—					
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○							
			人間形成論	3後	2			○							
			食生活マネジメント論	3前	2			○							
			生体情報科学	3後	2			○							
			NPO論	4前	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上		
			スポーツ科学	4前	2			○							
			起業入門	4前	2			○							
			マネジメント論	4前	2			○							
			コーチング論	4前	2			○							
			岡山経営者論	4前	2			○							
		小計（10科目）		—	20	0	0	—	—	—					
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○						
			総合研究Ⅱ	4前	1				○						
			総合演習Ⅰ	3後		1			○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上		
			総合演習Ⅱ	4前		1			○						
			卒業論文	4後	2				○						
		小計（5科目）		—	4	2	0	—	—	—					
		合計（94科目）		—	126	21	0	—	—	—	131		124単位以上	101	

（資料13）教育課程と新指定規則等との対比表

新

教育課程等の概要													専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
（健康科学部作業療法学科）															
科目区分	新指定区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件					
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	大学入門	1前	1			○		基礎科目 必修18単位を含め22単位以上	22	20単位以上	14		
			基盤ゼミⅠ	2前	1			○							
			基盤ゼミⅡ	3前	1			○							
			職業人の倫理と道徳論	1後	2		○								
			心理学	1前		2	○								
			哲学概論	1前		2	○								
			健康科学概論	1後	1		○								
			コミュニケーション英語	1前	2		○								
			日本の歴史と文化	1前	2		○								
			国際政治経済論	2後	1		○								
			基礎生物	1前		1	○								
			基礎物理	1前		1	○								
			情報収集と処理	1後	1		○								
			統計分析の基礎	2後	1		○								
			人間関係論	3前		2	○								人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1		○								
			テーマ設定と研究方法	3前	1		○								
			研究デザイン	3前	1			○							
			小計（ 18科目）	—	18	6	0	—	—	—					
専門基礎分野	専門基礎分野	人体の構造と機能 及び心身の発達	メディカル英語	3後	2			○		専門基礎科目 必修32単位以上	32		12		
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1				○						
			解剖学実習Ⅱ	2前	1				○						
			生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1				○						
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1				○						
			人間発達学	1前	2			○							
		疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	臨床医学概論	1前	2			○							栄養・薬理・画像・救命 救急・予防の基礎
			病理学	1後	2			○					14		
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○					4		リハビリテーションの理念 地域包括ケアシステム 多職種連携の理解
			リハビリテーション概論	1前	1			○							
			地域包括マネジメント論	3後	1			○							
			多職種連携論	1後	1			○							
職業専門科目	専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	2			○		専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習22単位以上を含む）	35	60単位以上	5		
			基礎作業学	1後	1			○							
			基礎作業学実習Ⅰ	2前	1				○						
			基礎作業学実習Ⅱ	2後	1				○						
			作業療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			作業療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		作業療法管理学	作業療法管理学概論	3後	2			○					2		作業療法倫理・職場管理
		作業療法評価学	作業療法評価学	1後	2			○							画像
			作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1				○						
			作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1				○				5		
			作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1				○						
		作業療法治療学	基礎作業療法治療学	3前	1			○							
			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1				○						
			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1				○						
			身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○							
			身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○							
			身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1				○						
			身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1				○				19		
			身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1				○						喀痰等の吸引
			老年期障害作業療法学	2後	1			○							
			老年期障害作業療法実習	3前	1				○						
			精神障害作業療法学	2後	1			○							
			作業療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			作業療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1				○						
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1				○						
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1				○						
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1			○						

		地域作業療法学	生活環境学	2後	2			○					
			地域作業療法学	3後	1			○				4	
			予防作業療法学	3後	1			○					
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨			
			評価実習	3前	3					臨			
			総合実習Ⅰ	3後	9					臨	22	22	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	9					臨			
			小計（ 59科目）	—	89	8	0	—	—	—			
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○					
			人間形成論	3後	2			○					
			家族関係論	3前	2			○					
			地域社会論	3後	2			○					
			コミュニティ形成論	3後	2			○					
			地域生活と健康	4前	2			○			展開科目必修20単位以上	20単位以上	
			特別支援教育	4前	2			○					
			人間工学	4前	2			○					
			ライフサイクル論	4前	2			○					
			岡山経営者論	4前	2			○					
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—			
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○				
			総合研究Ⅱ	4前	1				○				
			総合演習Ⅰ	3後		1			○		総合科目必修4単位以上	4単位以上	
			総合演習Ⅱ	4前		1			○				
			卒業論文	4後	2				○				
			小計（5 科目）	—	4	2	0	—	—	—			
			合計（92科目）	—	131	16	0	—	—	—	135	124単位以上	101

（資料13）教育課程と新指定規則等との対比表

旧

教育課程等の概要

（健康科学部作業療法学科）

科目区分	新指定区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件		専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		基礎科目 必修15単位を含め20単位以上	20	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1			○							
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（ 17科目）	—	15	8	0	—	—	—					
職業専門科目	専門基礎分野	専門基礎分野	メディカル英語	3後		2		○			専門基礎科目 必修30単位以上	30		12	
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
		人体の構造と機能及び心身の発達	生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
			臨床医学概論	1前	2			○							栄養・薬理・画像・救命 救急・予防の基礎
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	2			○						14	
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉と リハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○						4	リハビリテーションの理念
			リハビリテーション概論	1前	1			○							地域包括ケアシステム
			地域包括マネジメント論	3後	1			○							多職種連携の理解
			多職種連携論	1後	1			○							
	専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	2			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習22単位以上を含む）	37	60単位以上	5	
			基礎作業学	1後	1			○							
			基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○					
			基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○					
			作業療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			作業療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		作業療法管理学	作業療法管理学概論	3後	2			○						2	作業療法倫理・職場管理
		作業療法評価学	作業療法評価学	1後	2			○						5	画像
			作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○					
			作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○					
			作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1					○					
		作業療法治療学	基礎作業療法治療学	3前	1			○						19	
			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1					○					
			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○					
			身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○							
			身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○							
			身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○					喀痰等の吸引
			老年期障害作業療法学	2後	1			○							
			老年期障害作業療法実習	3前	1					○					
			精神障害作業療法学	2後	1			○							
			作業療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			作業療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1				○					

		地域作業療法学	生活環境学	2後	2			○						
			地域作業療法学	3後	1			○					4	
			予防作業療法学	3後	1			○						
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨				
			評価実習	3前	3					臨				
			総合実習Ⅰ	3後	9					臨		22	22	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	9					臨				
			小計（ 59科目）	—	87	10	0	—	—	—				
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上	
			人間形成論	3後	2			○						
			家族関係論	3前	2			○						
			地域社会論	3後	2			○						
			コミュニティ形成論	3後	2			○						
			地域生活と健康	4前	2			○						
			特別支援教育	4前	2			○						
			人間工学	4前	2			○						
			ライフサイクル論	4前	2			○						
			岡山経営者論	4前	2			○						
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—				
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上	
			総合研究Ⅱ	4前	1				○					
			総合演習Ⅰ	3後		1			○					
			総合演習Ⅱ	4前		1			○					
			卒業論文	4後	2				○					
			小計(5 科目)	—	4	2	0	—	—	—				
			合計(91科目)	—	126	20	0	—	—	—	131		124単位以上	101

審査意見への対応を記載した書類（3 月）

（目次）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

1. 専門職大学と専門学校との違いとして、人材養成の目的や教育課程について説明されているが教育課程をはじめとした本学の具体的な設置計画が既設の専門学校とどう質的に異なるのか違いが不明確である。このため、専門職大学の設置の趣旨・必要性を明確にする とともに、大学において開設する授業科目としての到達目標や教育水準等の設定が専門学校との違い及びその違いを踏まえた専門職大学における学修の質をどのように確保・充実させるのかを明確にすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2. 理学療法学科、作業療法学科ともに養成する人材像が同一の内容で記載されているが、進路はそれぞれ異なるため、養成する人材像や３つのポリシーについて学科ごとに明らかにするとともに、養成する人材像に沿った科目配置の考え方を明らかとすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

3. カリキュラム・ポリシーに記載されている内容が、ディプロマ・ポリシーに記載されている内容と同一であり、不適切である。ディプロマ・ポリシーに定められた内容を実現するためのカリキュラム・ポリシーとして、具体的な教育課程の編成方針を明確にすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

4. アドミッション・オフィス入試や自己推薦入学試験の書類審査において、どのような書類の提出を求めるのか不明確なため明らかにするとともに、アドミッション・ポリシーに沿った適切なものであるか説明すること。また、「学習試験」の免除制度があると記載されているが、どのような基準で学習試験が免除されるのか具体例を示し明らかとすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56

5. 留学生や社会人の受験生を、どのように選抜し受け入れていくのか具体的な記載がないため、方針について具体的に記載するとともに、入学後の履修指導体制についても明らかとすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61

6. 定員充足の根拠となる客観的データとして、本学近隣の他大学の理学・作業療法学科の志願状況をもって、本学への志願者が十分に見込まれるとしているが、本学園が設置する専門学校のリハビリ系学科は入学定員を割っていることを踏まえると、本学の定員充足の見込みに疑義があるため、学生確保の見通しについて再度適切な方法で分析し、定員充足の見込みを明らかとすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63

7. 基盤ゼミⅠ～Ⅳ並びに研究手法や研究指導に関する科目が大学教育としてふさわしい内

容であるか疑義があるため是正すること。また、教育内容の重複もみられるため、整理の上、配当されている単位数に相当する教育内容であることを明らかとすること。さらに、基礎科目に配置された科目は全て必修科目であるが、養成する人材像にふさわしい多様性がうまれないため、基礎科目に選択科目を設けること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・81

8. メディカル英語の科目は基礎科目に区分されているが、職業としての専門英語を学習するであれば、専門科目に区分すること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・92

9. ディプロマ・ポリシーに対応する教育内容として、以下の点を是正すること。（是正意見）
（１）医療現場で必要な国際的視野を備えるとしているが、国際性をどのように身に付けさせるのか不明確。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
（２）論理的思考能力と研究スキルを備えるとしているが、研究スキルをどのように身に付けさせるのか不明確。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93

10. 「上級治療実習Ⅰ～Ⅲ」において、「上級」という言葉が使用されているが、上級という言葉の定義が不明なため、教育内容にふさわしい科目名称を再考すること。（是正意見）・・99

11. 展開科目は理学療法学科・作業療法学科ともに同一内容の科目が 配置されているが、各学科で養成する人材像に応じて、適切な科目が配置されているのか疑義があるため、ディプロマ・ポリシーとカリ キュラム・ポリシーを具体的に関連付けて明らかとすること。（是正意見）・・101

12. 改正された理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に対応した教育課程とされているか不明確であるため、指定規則との対比表等を用いて以下の点を是正すること。（是正意見）
（１）開学時は新指定規則が施行されているが、新指定規則で新たに定められた内容がどの科目で担保されているのか不明確。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・114
（２）卒業要件として所定の単位を取得することが定められているが、新指定規則に対応した国家試験受験資格の要件を満たす教育課程が、卒業に必要な編成とされているのか不明確。・・114

13. 臨地実務実習の以下の点を是正すること。（是正意見）
（１）臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、例えば「OSCE（客観的臨床能力試験）」などにより、実習前における能力の到達度の確認や、実習後にお

ける公平な成績評価の実施が重要であるが、本学科の教育課程上、どのような取組を実施するのか具体的な内容を明確に説明すること。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・117
（２）臨地実務実習の成績評価に「臨地実務実習指導者による実習 成績表」と記載があるが、大学として責任をもって成績評価を行うのか不明なため、具体の成績評価方法を明らかとすること。・・118
（３）臨地実務実習のシラバスにおいて、具体の講義計画が記載されていない講義回があるため、適切に改めること。また、指定規則が定める実習時間を満たしているのか資料上で不明確。・・119
（４）臨地実務実習先に県外の施設が含まれており、巡回指導が円滑に行われるか疑義があるため、個別臨地実務実習先の具体の巡回計画として、個々の教員の巡回状況が不明確。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

ため、専門学校の兼務も含めて専任教員ごとの勤務状況を時間割等で明らかにし、無理なく教育活動及び研究活動ができることを明確にすること。（是正意見）・・・・・・・・・160

22. 理学療法学科、作業療法学科それぞれの学科長予定者が不明なため、明らかにすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・162

23. 専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・163

24. 教員研究室は大部屋を用意してパーティションで区切りすべての専任教員が使用できる環境を用意すると説明があるが、実際の学生指導や研究活動を行うに当たり、十分なものであるのか疑義があるため、教員一人当たりの面積や研究室に備える設備、部屋のレイアウト、想定される研究内容等を明確にした上で、教育研究上支援がない計画とすること。（是正意見）・・・166

25. 図面上、学生と個別相談ができる空間が限られた場所しかなく、適切に学生指導ができるか疑義があるため、必要に応じて施設の計画を修正しつつ、どのように学生のプライバシーを守り、指導を行うのか明確にすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・170

26. 運動場を近隣に確保することができないため、岡山県総合グラウンドを利用することで代替すると説明がなされているが、大学として利用可能な状況の詳細が不明なため、実際の利用頻度や学生の経済的負担を踏まえて明らかとすること。（是正意見）・・・・・・172

27. 図書館は主要な学術雑誌へのアクセスを保証すると記述があるが、添付されたジャーナルリストでは大学水準の教育研究活動を行うことができると認められないため、大学水準の図書、電子ジャーナル、国際雑誌を収集するよう抜本的に是正すること。（是正意見）・・・174

28. 大学名について、「岡山」という都市名単独が大学名に冠されることで総合大学のような印象を受けるが、大学の教育組織はリハビリテーションに関する学部のみが置かれていることを踏まえると、大学名が教育内容を適切に表しているとは考えにくいため、再考すること。（是正意見）・・176

29. 研究活動を事務局としてどのように支援をしていくのか、外部資金の獲得計画をどのようにとらえているのか、考え方を明らかとすることが望ましい。（是正意見）・・・・177

理学療法学科

14. 専門職大学の設置基準上、授業は１クラス４０人以下で行うと定められているが、理学療法学科の入学定員は８０名であり理学療法学科では同一科目同一内容を複数回開講する必要があるため、複数回科目が開講されていることが分かるように、教員の時間割を示し明らかとすること。（是正意見）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・178

審査意見への対応を記載した書類（3 月）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

1．専門職大学と専門学校との違いとして、人材養成の目的や教育課程について説明されているが教育課程をはじめとした本学の具体的な設置計画が既設の専門学校とどう質的に異なるのか違いが不明確である。このため、専門職大学の設置の趣旨・必要性を明確にするとともに、大学において開設する授業科目としての到達目標や教育水準等の設定が専門学校との違い及びその違いを踏まえた専門職大学における学修の質をどのように確保・充実させるのかを明確にすること。

（対応）専門職大学の設置の趣旨・必要性を明確にするとともに、大学において開設する授業科目としての到達目標や教育水準等の設定が専門学校との違い及びその違いを踏まえた専門職大学における学修の質をどのように確保・充実させるのかを明確にするようにご意見をいただいたため、以下の通り明確にする。

１．設置の趣旨と必要性

学校法人本山学園は、急激に変化する時代のニーズを背景とした地域の課題に応えるため、岡山市北区に岡山医療専門職大学（以下「本学」という。）を設置する計画である。

設置の趣旨と必要性は以下のとおりである。

(1) 社会および地域のニーズ

AI の高度化と医療現場のロボット化が急速に進行し、今後リハビリテーションや介護に関する知識や技術に大変革がもたらされ、サービスのあり方自体が大きく変化していくことが予測されている。このような医療介護提供体制の変化の中で、理学療法士および作業療法士がその職務能力を十分に発揮するためには、変化に対応して常に最新の専門知識と技術を吸収し、新しい技術や治療方法を探究し、新たなニーズを満たすサービスの創出に挑戦し続ける姿勢と力が必要となる。持続的な自己研鑽の姿勢を備え、新たな領域のサービス課題に取り組むために必要な論理的な思考力と探究力を持つとともに、AI とロボットの時代では特に必要性が増大する人間味溢れるサービスを対象者に提供することが強く求められることになる。

同時に、超高齢化と少子化が急速に進行し、低成長経済が持続する中で、「国民皆保険制度」の危機が深まり、高齢者は、医療保険に依存した医療サービスから脱却して自助努力で自立した生活力を回復し維持することが求められる。理学療法・作業療法サービスのあり方自体も変革が迫られる。これまでの医療保険制度の枠組みで医療機関の中でサービスを提供する方式は限界を迎えている。医療機関外へ活動範囲を広げるとともに従来領域外とみなされていた予防や自立支援などの新領域で活躍できる幅広い見識と応用力を備えた理学療法士および作業療法士の必要性が増している。

本学が設置される岡山県に目を向けると、医療機関で必要とされる理学療法士・作業療法士はほぼ充足される一方、それ以外の介護福祉や地域をはじめ幅広い分野で活躍が期待される療法士の不足が顕在化している。日本理学療法士協会理事山根一人氏（岡山県選出）は、次のように述べている。「2025 年までの需給を見ると理学療法士不足が言われているが、医

療分野では充足されてきており、福祉分野の人員不足が叫ばれている。地域包括ケアシステムの充実を目指している国の方針に準じて、医療のみならず、地域、福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する」（資料 1－1)。

既存の教育機関で養成された人材は、その大部分が医療機関で働き、現在社会的ニーズの高まっている介護施設や地域で働くものはいまだ少数派である。そしてこれからの社会で特に必要性が高まる「地域」に関わる新分野で働こうとする姿勢には乏しいことが窺われる。新たな時代の課題に進んで取り組み、地域に関わる分野で働く意欲と創意にあふれた人材の育成が焦眉であると言えよう。

岡山県理学療法士会からは、岡山県では、地域と連携する上での地域との連携の取り方、アピールの方法、マネジメントなどの能力不足が現在の理学療法士の課題として挙げられ、この部分では他県からの支援を仰いでいるのが現状であるとの指摘をいただいている。さらに、最終的には起業にまで持っていくことができれば良いと期待されている。（資料 1－2)

本学が立地する岡山市（総人口 719,474 人、平成 27 年現在）における高齢者人口は、平成 27 年の 17 万 5 千人（高齢化率 24.7%）から平成 37 年には 19 万 5 千人（高齢化率 27%）へと上昇する見込みであり、一人暮らしの高齢者の増加、人間関係の希薄化による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等への対応が喫緊の課題となっている。

岡山市は、この緊急かつ重要課題に対処するため「第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月」（資料 1－3）を策定している。その基本理念は、「住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進)」であり、基本目標を、次のように掲げている。

Ⅰ　いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり

Ⅱ　状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開

Ⅲ　医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

岡山市は、高齢者が健康寿命の延伸に努め、地域社会でいきいきと活躍し、地域や人とのつながりを保ちつつ自分らしい生活を最後まで安心して続けられるよう、地域に関わる人や組織が目標を共有し、適切な役割分担のもとで、保健・医療・介護・福祉などの分野を超えて協働し、多様な主体が支え合う包括的なシステムを構築し、深化させていくことを目指している。住民の関心は「平均寿命」から「健康寿命」へと向かっており、健康寿命が延伸すれば、人々の生活の質が改善され、社会保障費の軽減につながることが期待される。岡山市は、この「健康寿命の延伸」を基本目標Ⅱに掲げ「地域包括ケアシステム」構想の中核として位置づけている。

「健康寿命の延伸」の基本は「運動訓練」による「自発的日常生活機能」の維持・改善であり、この効果はさらに「寝たきり予防」、「疾病・介護予防」につながる。理学療法士の主たる職務は、運動療法による対象者の身体機能・動作の維持・改善であることから、地域における「運動訓練」の推進、さらにはその結果もたらされる「健康寿命の延伸」に深くかかわる職種は、職能上理学療法士である。具体的な活動としては、地域で「転倒予防事業」「介

護予防事業」「腰痛予防事業」等をはじめとする各種「運動訓練」を展開し、また「健康寿命の延伸」にかかわる様々な取り組みの啓蒙活動を展開することが挙げられる。

理学療法士に対する岡山地域のニーズは、高齢社会で多様な主体が支えあう地域包括ケアシステムの中で、特に身体機能の向上や健康寿命の延伸などの分野であり、介護福祉をはじめ、疾病予防や介護予防などの幅広い分野で、自立して生活できる自助能力を回復・維持し、健康寿命を延伸する様々なサービスを展開することである。また先にも触れた、地域との連絡の取り方、アピールの方法、マネジメントのノウハウの修得であり、最終的には起業にまでもっていく能力である（資料1－2)。

このような岡山地域のニーズに応えるために、本学理学療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」

また最近岡山市では、独居高齢者の増加、人間関係の過疎化による地域コミュニティの機能低下などの諸問題が顕在化してきており、地域の住民や諸団体が協働して活動し、支え合い機能を持つ地域コミュニティづくりの再構築を進め、地域活性化につなげていこうとする機運が高まってきている。

岡山市においては「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基本理念Ⅲにおいて、「医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり」を掲げており、岡山県作業療法士会副会長の西出康晴氏は、作業療法士の役割として、地域の生活を知り、地域を理解し、自治体と協力して、独居老人や引きこもり高齢者の居場所づくりや地域のコミュニティ形成を行うことが重要である、と述べている（資料1－4)。岡山県健康福祉部医療推進課課長の則安俊昭氏も「高齢者、認知症、独居高齢者などの社会との共生のためには地域を包括した支援体制が必須であり、その意味でコミュニティの形成は非常に重要である。大学でこのような基礎知識を養成してもらえることは非常にありがたい。コミュニティの中では作業療法士が果たす役割は非常に大きい。」と述べている（資料 1－5)。また日本作業療法士協会は「第三次作業療法 5 カ年戦略（2018-2022)」において、高齢社会の中で「共生社会の実現に向けた地域を基盤とする包括的ケアにおける作業療法の活用推進」と「共生社会に寄与する作業療法士を育成する教育の整備と強化」を掲げている（資料1－6)。このように地域包括ケアシステムや共生社会の実現に向けては、作業療法士が担う責務が非常に重要であり、地域コミュニティの再構築や地域共生に向けての重要な役割が作業療法士に求められる。

岡山地域の作業療法士に対する主要なニーズは、高齢者や障害者の社会進出、居場所づくり、社会の中で活躍する場を創設することであり、高齢者、認知症、独居高齢者などが住み慣れた地域で自立した生活を実現するために多様な生活課題に適合するサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して地域コミュニティの新しい仕組みづくりに貢献することである。

このような岡山地域のニーズに応えるために、本学作業療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の作業療法専門知識と高度な実践力を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」

岡山市は、本学の設置計画に対して、医療施設だけではなく地域包括ケアシステムの中核を担う人材を育成することを期待し、さらに岡山市・地元 NPO・地元団体・企業と本学学生が協働して、地域活動を通じた人材育成、地域活性化につなげる機会を創出していきたいとの積極姿勢を示している（資料 1－7)。さらに前述の則安氏は本学に対して「地域の中に入ってもらって一緒に解決していく能力を持った人が育ってくれることに期待したい。リハビリテーションの根幹は、人権の回復であると考えているので、この目的を果たすためには、各領域がバラバラでは難しい、組織化して解決に向かう必要があると思う。その組織の中核を担う人材の育成を期待したい。」と強調された（資料 1－5)。

岡山地域では、前述のように地域の住民や諸団体が協働して活動し、支え合い機能を持つ地域コミュニティづくりを進め、地域活性化につなげていこうとする機運が高まっている。介護福祉、疾病予防、介護予防など幅広い分野で、自立して生活できる自助能力を改善・維持し、健康寿命を延伸する様々なサービスを展開する人材への需要が高まるとともに、住み慣れた地域で自立した生活を実現する地域包括ケアシステムと、それを補完し充実する保険外サービスなどの自助サービスを組み合わせて提供する仕組みをコーディネイトできる人材が強く求められていると言えよう。

また岡山地域に必要な人材を岡山で育成し、岡山地域への定着力を高める取組みが、岡山地域の「地方創生」の実現にとって極めて重要となる。岡山市は、岡山市に在籍する大学生のかなりの割合が大都市圏を中心に転出している現状を受け、地域を担う人材の育成および岡山市への定着率の向上を目指しており、あらたに本学が岡山市に設置されることにより、県外からの進学者が増え、県内への定着も期待できるとしている（資料 1－7)。

岡山県からは、本学の設立により高校生の進路選択の幅が広がり社会人の学び直しの場も広がることから安心で豊かさが実感できる地域の創造と発展に寄与するとの評価をいただいている（資料 1－8)。

(2) 既設専門学校の教育

しかし既設の専門学校では、このような地域的・社会的ニーズに応える人材を養成することはできない。既設専門学校の教育は、国家資格を取得し、職業現場で実務を担うために必要な標準的な知識・技術の修得を目的としており、最新かつ高度な専門知識や技術の修得、新たなサービスや技術の研究を行うための論理的思考力やスキルを鍛える教育、対象者の思いを受け止め共有できる懐の深い人間味あふれるサービスを提供するための教育プログラムは持っていない。また地域コミュニティの再建を視野に入れて、新領域で活動し、地域

活性化に繋げていく教育や、健康寿命を延伸させるための応用技能の育成や、本格的な地域包括ケアシステムの展開に関わる仕組みづくりを担うための教育も行うことはできない。

地域の喫緊の課題に応え、変化の激しい時代のサービス展開に挑む理学療法士・作業療法士を育成するためには、これらの足らざる部分を組織的に育成する教育プログラムが必要となる。

(3) 本学の人材育成教育

新設する岡山医療専門職大学は、以上の足らざる部分に重点的に取り組む教育を行う。特に岡山地域の新しいニーズに応え、地域活性化に貢献するための能力を、理学療法学科および作業療法学科で、それぞれの学科の目指す人材像に沿った「展開科目」を中心に構成される「展開力育成プログラム」により組織的に育成する。理学療法学科では、人々が健康で幸せな人生を全うする社会を実現するために、健康の維持・改善・予防の側面から、理学療法の最新の知識と専門技術を駆使し対象者に健康寿命を延伸する力を与え、かつ対象者がもつ課題を地域や多職種と協働して解決できる能力を養い、作業療法学科では、生活再建の側面から、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れた地域でいきいきと生活できるように、作業療法の最新の知識と専門技術を駆使し、積極的に地域の中に入り、地域コミュニティの再建に尽力できる能力を育成する。

このような能力を持った理学療法士および作業療法士は、地域が進める「地域包括ケアシステム」の深化・推進に中心的な役割を担うことができ、地域から「地域包括ケアシステム」に参画できる人材の育成を求められていること（資料1－7）にもマッチする。

また、知識と技術の提供に重点が置かれた既存の医療系の専門学校や大学では必ずしも十分な取り組みとは言えなかったプレゼンテーション能力の涵養を重視している。

その理由は、論理的思考と発信力を鍛え、自ら学び続ける姿勢を身につけるとともに、地域のニーズに直結した活動を行う上で、プレゼンテーション能力は必須のスキルとなるからである。

理学療法士および作業療法士が地域に関わり、住民など関係者の積極的関与を引き出すうえで必須の能力となる。地域の特徴に配慮した地域包括ケアシステムの理念と地域コミュニティ再建の必要性を、地域の団体や住民と共有するためには、サービスの全体像を整理して示す能力を備え、関係者に筋道立てて論理的に説明し、行動を促す説明能力が極めて重要となる。そのための現場を牽引する中核としての役割を担うには、優れたプレゼンテーション能力が必須となる。

あわせて卒業後に持続的な自己研鑽を行う能力を身につけるため、卒業論文執筆にいたる系統的な研究指導により分析力と基礎的研究能力を丁寧に育成する。

このように生涯にわたり基盤となる資質を丁寧に育む一方、職業現場のニーズを不断に取り入れる最新の専門教育課程と一段高い応用技能を錬成する「専門技能錬成プログラム」の展開等のハイレベルの実践実習教育を行う。そして高い倫理観に基づく懐の深いヒューマンサービスの在り方を探求し、多彩に構成された「展開力育成プログラム」により変化するニーズに対応して必要な新サービスを創出する柔軟な応用力を組織的に育成する先進的な「展開力育成」教育をおこない、「地域」に関わるサービスに積極的に参加し、「健康と福

祉」のコミュニティづくりを主導し、創造的役割を果たすことができる新しいタイプの理学療法士・作業療法士を育成する教育を行う。

このような本学の教育を受けた学生は、今後、地域が必要とする理学療法士および作業療法士として活躍できる人材となり得ることを確信する。

2. 専門職大学と専門学校の到達目標や教育水準の違い

本学が立地する岡山市では、今後の高齢者人口の増加に伴い、独居高齢者問題や人間関係の希薄化による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等への対応が、その担い手の確保を含め喫緊の課題となっている。この緊急かつ重要課題に対処するため岡山市では平成 30 年 3 月に「第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画)」（資料１－3）を策定した。その基本理念は、「住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進)」であり、基本目標として、

Ⅰ　いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり

Ⅱ　状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開

Ⅲ　医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

の 3 本の柱となる施策を掲げた。

これらの目標を達成するためには、課題に対応できる最新かつ高度な専門的知識と技量はもとより、地域が掲げるこのような課題を深く認識できる人材が要求され、そしてその一翼を担う職種として療法士に多大なる期待が寄せられている（資料 1－1，2，4，5，7，8）。

そこで本学では、このような地域が持つ諸課題に対応できる人材を育成する必要性を強く感じ、既存専門学校や大学の教育とは異なる以下のような取り組みを行い、地域のニーズに応える方針である。

まず、理学療法士・作業療法士に共通して要求される生涯にわたり基盤となる資質―高い倫理観に基づき相手の思いを受け止め共有するヒューマンサービスの在り方―を基礎科目、基盤ゼミおよび展開科目において丁寧に育む。また、現在の療法士において不足しているとされる地域へのアピールの方法やマネジメント等の地域との連携能力を、基盤ゼミ、展開科目群（マネジメント論、コーチング論、NPO 論、コミュニティ形成論、岡山経営者論、等）を通じて養い、地域へ積極的に進出できる能力を身につける。同様に療法士に欠ける資質としてプレゼンテーション力の欠如が挙げられている。本学では、基盤ゼミや卒業論文の作成に至る系統的な教育体系の中でプレゼンテーション力を鍛える。卒業論文の作成では、執筆にいたる研究指導に力を入れることで、課題探究力・分析力・論理的思考力等の基礎的研究能力を系統的に育成し、さらにこの一連の系統的教育の中で自ら学び続ける姿勢を身につける。

「専門技能錬成プログラム」は、基礎的な知識や技能の修得から最新の専門的知識や高度な技能が体系的に獲得できるプログラムであり、一段高い応用技能を錬成するハイレベルの実践実習教育である。現在、専門学校や大学では取り入れられていない内容を含む応用治療技術実習を別途取り入れることにより、これと総合実習Ⅱを有機的に連動させた実習体

系や、総合実習Ⅰと総合実習Ⅱの期間を開けることにより、総合実習Ⅰまでの実習成果を検証できる期間を設ける工夫を行っていること等は、日本理学療法士協会理事からも高い評価を受けている（資料1－1)。

また急激に変化する地域のニーズに対応して新サービスを創出する柔軟な応用力を組織的に育成する先進的な展開力育成教育を行う「展開力育成プログラム」では、各々の学科の特性を踏まえて、地域のニーズに視点が向けられるよう工夫した科目配置であるため、本プログラムを修了した学生は、各々の学科の特性を生かして、従来の医療機関のみならず、自治体をはじめとする幅広い活動の場が提供される。本学独自の二つのプログラムは、地域の課題に対応できる最新かつ高度な専門的知識と技量と地域が掲げる課題を深く認識できる人材の育成に役に立つことが期待される。

このような高水準の教育によって、自己研鑽を続け卒業後も成長し続けるための高い資質を備え、職業現場を主導し創造的役割を果たす今までにない新しいタイプの理学療法士・作業療法士を育成することが可能となる。

また、新たに設置する「教育課程連携協議会」では、刻々と変化する職業現場のニーズを不断に取り入れ教育課程に反映させる。

本学の教育は、学生の主体的学修を促すため、自ら考え、調べ、解決策を見出していく姿勢と力を身につけることを基本とした教育を行い、各学科の人材養成の目標を達成するために必要な高水準の教育内容を担保するディプロマポリシーとカリキュラムポリシーに基づいて体系的な教育を実施する。予習復習を含めて授業時間外の学修時間を十分に確保し、組織的な履修指導と履修科目登録の上限設定を行い、学生の主体的な学修を促し十分な学修成果が上がるように学修時間を確保する。

一方、既設専門学校の教育は、国家資格を取得し職業現場で実務を担うために必要な標準的な知識・技術の修得を目的としている。国家資格取得に必要な最低限の知識・技術を効率的に身につける実業教育に力点が置かれる。したがって、学生の主体的な学習や単位の実質化への配慮には重きを置かず、自ら学び続ける姿勢、最新かつ高度な専門知識や応用技術の修得、新サービスの創出や職業現場を主導する役割を担うための教育は目標とされない。また論理的思考力やプレゼンテーション力、課題に対する研究力の育成、新たなニーズに柔軟に対応する応用力の育成などの高水準の能力育成も、その教育目標とはされていない。国家資格取得が到達目標であり、そのために必要とされる教育内容が教育水準となる。

このように、本学が目指す教育の到達目標や水準は、既存の専門学校や大学とは根本的に異なるものであり、専門職大学が求めるレベルにかなっている。

3．大学の学修の質を確保・充実させる方策

(1) 教員組織の構成

教員は、専門職大学設置分科会（専門委員）の審査を経た教育、研究、あるいは実務に十分な業績と力量を有する教員により教員組織を編成することを基本的な考え方とし、保有学位、研究業績、実務家としての実績、教育経験と、担当授業科目との適合性を考慮して各科目の担当教員を配置する。また、理学療法、作業療法における専門基礎分野の主要科目を

担当する教授および准教授は、全員大学で教育経験があり博士や修士の学位と研究業績を有している。専門分野の主要科目を担当する教員は、理学療法、作業療法の各分野において博士や修士の学位と教育、研究業績を有し、理学療法士、作業療法士の資格と医療機関や医療施設で5年以上の実務経験をもつ教授および准教授を配置する。

その他の理論と実習を架橋する専門分野を担当する教員は、すべて医療機関や医療施設で5年以上の実務経験をもつ理学療法士、作業療法士の実務家教員であり、さらに全員が高度な実務能力と学術論文などの研究業績をもち、9割以上が高い研究能力を保持する博士と修士で占められている。

(2) 専門職大学における学修の質を確保し向上するための取り組み

大学教育における質を担保し、教育・研究の向上を図り、本学の教育目的および社会的使命を果たすために、以下に示す各評価を実施する。

① 自己点検評価

大学設置計画に基づいて、実施する教育課程、授業内容および教員の研究状況について学科単位で自己点検評価を行う。毎年度の点検評価を経て、完成年度の翌年に、4年間の点検評価を総括し、新たな教育課程、授業内容および重点研究計画を策定する。その新計画を、翌年度から実行に移す。原則として5年単位でPDCAサイクルを形成し、絶えず教育研究の質を確保し充実させていく。自己点検・評価結果と取組状況の公表は、本学ホームページ、刊行物および電子媒体等により行う。

② 学校関係者評価

自己点検評価報告をもとに、大学独自に学校関係者による評価を行い、その意見を教育研究活動の改善計画に生かす。

③ 認証評価

自己点検評価等の大学における評価を基に、外部の認証評価を受ける。

また毎年次のような多様な観点からの取り組みを実施し、教員の教育研究の点検評価による改善、学生のニーズを適切に反映した教育内容の実現、職業現場や地域社会からの要請を反映する教育内容を確保するとともに、教職員の資質向上を図る。

④ 学長等による評価

毎年度、学長・学部長・学科長による各教員に対する授業評価ならびに研究活動評価を実施し、授業内容の質の向上を図り、研究計画および実績を評価する。その結果を、教員の教育研究活動の改善に生かす。研究実績に応じて、研究費の傾斜配分を行う。

⑤ 学生による授業評価

毎学期末に学生による授業評価を行い、学生の評価結果について各教員がどのような対応を行うのか学部長および学科長に回答するとともに、学生にフィードバックして、授業の改善を図る。

⑥ 教育課程連携協議会

産業界や地域のニーズを不断に反映した教育課程を編成するため、毎年2回開催し、学長

主導で迅速に教育課程あるいは授業内容の改善に生かす措置を実行する。

⑦　FD（ファカルティ・ディベロップメント）研修会

教育、授業内容および方法の改善や教員の教育能力の開発や資質向上を図るために、先進的な取り組みを行っている組織から講師を招き講演会を開催する。そしてその知見を活かして課題解決のための方策を検討する研修会を開催し、具体的解決策を策定し、次年度の教育研究改良に取り入れる。

⑧　SD（スタッフ・ディベロップメント）研修会

本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、大学職員に必要な知識および技能を習得させ､その能力および資質を向上させるために定期的に SD 研修会を実施する。

中期的に実施する学部学科全体の自己点検評価システムと、毎年度実施する教育研究改善の取組を組み合わせて実施することで、継続して学修の質を確保し、向上を図る取り組みを推進する。

(3) 学生の主体的な学びを促進する大学としての取り組み

教育課程の編成は、学生にとって学びやすく、興味が湧き、学習意欲が高まるよう、理学療法、作業療法の各人材育成の目的を踏まえ、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーを実現するため、基礎科目から職業専門科目、展開科目、総合科目へと、段階的かつ体系的に科目を編成し、丁寧に学生の成長を育む方法をとっている。

また、専門知識と技能を円滑に学ぶことができるよう講義と演習と実習とを適切に組み合わせるとともに、理論と実践を架橋する授業を重点的に配置し、個々の学生の知識と技術の習熟度を確認しきめ細やかに指導できるよう、同時に授業を行う学生数は 40 名以下で開講する。実習科目では原則として複数担当制で指導を徹底し、さまざまな状況を理論的に考察しつつ対応できる応用力と実践力を涵養する。卒業までに必要な単位数は 131 単位以上で、一週間の科目数は理学療法学科 12～15 科目、作業療法学科 12～14 科目であり、学生の主体的な学習を促し十分な学習時間も確保できている。講義形式の科目においては、自主学習を実質化し、学生の自ら学ぶ姿勢を涵養するため、事前学習のためのアサインメントを課す。さらに、授業中に事前学習の程度を確認し、進んだ学習課題を明示し、授業後の復習と課題学習を促し、教員がチェックして助言を与えることで、学生が自ら学ぶ姿勢を日常的に実践する学習運営方式を徹底する。

（資料 1－1）業界団体（公益法人日本理学療法士協会）へのヒアリング

公益法人日本理学療法士協会　理事（岡山県選出）山根一人氏

（実施日）平成 30 年 7 月 23 日

理学療法士指定規則改定に入っており、それに準じた教育内容で養成できれば、質の高い理学療法士の輩出ができるのではないか。近年、理学療法士の質の低下が指摘されており、3 年次の臨床実習（総合実習Ⅰ）の後に一旦ヒントや解決させる期間をおくことで、その知識や知恵を持って次の臨床実習（総合実習Ⅱ）を行える 2 分割のシステムはとても良いと思

う。2025 年までの需給をみると理学療法士不足が言われているが、医療分野では充足されてきており、福祉分野の人員不足が叫ばれている。地域包括ケアシステムの充実を目指している国の方針に準じて医療のみならず、地域、福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する。

（資料１－2）業界団体（一般社団法人岡山県理学療法士会）へのヒアリング
一般社団法人岡山県理学療法士会　会長　國安勝司氏
（実施日）平成 30 年 8 月 26 日
厚生労働省の人口推移と、医療・福祉政策では 2025 年までは理学療法士の活躍が必要とされている。岡山県の理学療法士会員数が 2,000 人を超えているが、医療分野では地域の偏りがあるため、岡山県下の医療・福祉を必要とする全員に平等なサービスを提供するために、定員も妥当であると思われる。
専門職大学という名称が浸透するには時間が必要であるが、施設によっては大学卒業生を優先採用としていたり、給与面での差も生じており、岡山専門職大学設置は理学療法士の地位向上に役立つと思われる。
地域包括ケアを推し進めている中、活躍できる人材育成に努めて欲しい。

（実施日）平成 31 年 3 月 15 日
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の３団体で、現在市町村のリハビリテーション支援事業に参画をし、一般社団法人岡山県理学療法士会として力をいれている。こういった事業の協力があることは、理学療法士に対して、市町村からの理解が深まった結果だと考えている。具体的な支援事業の内容には、「健康を維持するための体操教室」の開催も含まれている。そのため、予防の観点から携われる理学療法士は必要であり、大学で学ぶ「地域理学療法」科目だけでは時間数、量ともに足りていない。また今後需要が増えてくると考えられることもあり、協会としては予防に関する実践力を高める講習会を行っている。そのため、予防に関する実践力を高めることは必要であり、大学教育の中で予防に関する授業を行う大学は必要だと考える。
市町村と連携する上で、理学療法士に不足しているものがある。それは、市町村との連携の取り方、アピールの方法、マネジメント、ノウハウであり、この部分を得意な他県の理学療法士に協力を仰いでいる。そのため、「マネジメント論」「コーチング」「NPO 論」「起業入門」「地域社会学」「コミュニティ形成論」などを学ぶことは、自分で事を起こすことのベースとなり、重要であり、良いことだと思う。最終的には、起業まで持って行けると良いと考える。

応用治療技術実習については、躊躇なく現場に出て行くベースを作ることは大切です。徒手療法をされるということで、たくさんある手技の中から一つの手技として教えて貰うと良いです。例えば、AI が治療プログラムを作成した場合、経験の少ない療法士よりはきちんとしたプログラムはできると思うが、動かすのは療法士であり、回数をその人をみて調整

したり、コミュニケーションを行ったり、接するのはきちんとした技術を持った人間である。以前から療法士と同じ動きをするロボット開発を行っており、完成に至っていない現状を鑑みると「手で触る大切さ」や療法士と同じ働きをすることの難しさがロボットには難しいのではないか。特に徒手療法の場合は、繊細な技術のため、ロボットには真似できない。

身障者のスポーツのサポートを理学療法士も行っていて、積極的に出ていくことで、活躍の場が広がっている。例えば、障がい者のスポーツをサポートするなどの授業を行うことは、本学（川崎医療福祉大学）では行っていないので、特徴になると考える。

（資料 1－3）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）
平成 30 年 3 月（別紙１）

（資料 1－4）一般社団法人　岡山県作業療法士会　副会長　西出　康晴氏
（実施日）平成 31 年 3 月 19 日

地域包括ケアに向かうこの 5 年間で、いかに作業療法士会として地域に寄与できるかが課題である。現在、市町村をあげてその事業を推進しているところであり、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の 3 団体でリハビリ団体を作り、地域に派遣している。ただし、派遣先で上手くやってくれるかが課題となっている。他職種連携をすることと成果を上げることが大事である。

作業療法士として大切なことが、二つある。医療職としての基本的な知識、作業療法士の知識と地域の生活を知り、活動することである。作業療法士として地域に根ざすには、地域を理解し、自治体と協力をすることが必要である。現在、作業療法士会としては、自治体からの要請で「転倒予防教室」を行っている。また独居老人や引きこもりの高齢者の居場所づくりや地域のコミュニティ形成が重要で、地域に貢献することで、コミュニティがつながってくる。

近年、起業する理学療法士、作業療法士が増えており、ニーズもある。地域包括ケアシステムが進むまでは追い風である。

発達障害や障がい者に対しては、子供から高齢者までのストーリーを知って関わるのが重要である。また教育機関での修学支援の需要も高い。作業療法士としては就労の継続支援を行っていくことが大切であると考えている。そのために発達障害を授業科目に取り入れ、知識を得るのは良いと思う。

（資料 1－5）岡山県健康福祉部医療推進課へのヒアリング
岡山県健康福祉部医療推進課課長　則安俊昭氏　（実施日）平成 31 年 3 月 13 日

Q：岡山県で求められている療法士（理学療法士、作業療法士）の実践力とは。

A：岡山県が出している資料を示され、岡山県の療法士の需給の現状について説明された。理学療法士、作業療法士の実践力として特に明確に規定されたものはないが、これからの超高齢社会の中での地域包括ケアシステムを構築していく上で療法士が占める位置づけは重要である。

Q 岡山地域のニーズを背景とした次のサービスについて、理学療法士・作業療法士としてどのようにかかわっていけるのでしょうか。もしくは果たす役割は何でしょうか。

Q1：高齢者（地域包括ケアシステム、自立して暮らすための役割）

A1：超超高齢社会では地域共生社会であることが重要である。身体機能あるいは認知機能に障害がある人々が、地域の中で共に支えあって生き生きとした生活ができる街づくりが必要―このような街づくりに理学療法士・作業療法士の果たす役割は重要と思う一具体的にはどのような役割を担えるかということか。

Q2：障がい者

A2：障がい者支援についても高齢者支援と基本的には同じ視点。地域の中で共生できるシステムづくりが重要。

1 および 2 のいずれも、高齢者や障がい者の社会進出、居場所づくり、社会の中で活躍する場を創設することが大事―作業療法士が支援できるのではないか。
生活の確保のための身体機能の向上、装具や補助具などの支援、などは理学療法士が支援できるのではないか。

Q3：発達障害（児）と発達課題（発達段階における）

A4：1,2 と同様、居場所づくり、社会と共生できる環境づくりが重要。－作業療法士の関わりが必要になる。

Q4：予防

A4：超高齢社会での生き方や健康寿命の延伸のための地域住民へのいろいろな啓蒙活動は必須―転倒予防などには理学療法士の支援が必要。

岡山県の現状

Q1）高齢者の活動的な状態を身近な地域生活の中でバランスよく維持するため、運動の習慣化に向けた啓発活動の必要性が言われていますが、どのように考えられますか。

A1）現在は、人生 100 年時代と言われ生涯現役社会となってきている。労働力確保が必要。シルバー人材センターなどが役立っている。健康のために運動しなさい、働きなさいではだめで、運動する、働く動機づけが必要。この意味において啓発活動は必要である。

Q2）高齢者の日常生活の困りごとへの支援ニーズに対応する地域活動を担う人材の育成、活動の促進を図る必要性が言われていますが、どのように考えられますか。

A2）超高齢社会、独居老人問題など非常に多岐に亘る方面での支援が必要となる。この問題に対応できる人材の育成は非常に重要である。特に自治体の中に入ってもらって対応できる人が必要。作業療法士に期待したい。

Q3）地域コミュニティの重要性

高齢者の居場所づくりを含め、コミュニティの形成が重要と思いますが、作業療法士としてコミュニティを形成する基礎知識があれば、高齢者の居場所づくりに貢献できますか。

A3）高齢者、認知症、独居高齢者などの社会との共生のためには地域を包括した支援体制が必須であり、その意味でコミュニティの形成は非常に重要である。大学でこのような基礎知識を養成してもらえることは非常にありがたい。コミュニティの中では作業療法士が果たす役割は非常に大きいのではないか。

多様な主体による生活支援サービスについて

Q：民間企業、NPO、地方自治体などと、理学療法士・作業療法士が協力し、高齢住民のニーズを踏まえて支援する体制が必要と思います。例えば、マネジメント、コーチング、NPO論、起業入門、地域社会論、コミュニティ形成論などの知識を活用することで他団体等と連携し、プロジェクトを推進していく力がつくと考えていますが、いかがでしょうか。

A：同感である。超高齢社会を迎えて解決すべき非常に多くの課題がある中で、このような知識を学生が持つことは、療法士としてのこれまでの域を超えた幅広い視野を持たせることになり、学生のモチベーションを高めることになる。このような幅広い基礎知識を持った学生が関連職種と協働して地域での活動を推進していく力になってくれると思う。

Q：他大学では、地域のニーズを解決するために必要な能力を備えた理学療法士や作業療法士を育成する大学教育では不足していると思いますが、このような養成を行う大学は魅力的でしょうか。

A：大いに魅力的である。超高齢社会にどのように対応していくか、大問題である。この対応は本当に大変であるが、地域の中に入ってもらって一緒に解決していく能力を持った人が育ってくれることに期待したい。

リハビリテーションの根幹は、人権の回復であると考えているので、この目的を果たすためには、各領域がバラバラでは難しいので、組織化して解決に向かう必要があると思う。その組織の中核を担う人材の育成を期待したい。

（ヒアリング担当者）

岡山県健康福祉部医療推進課課長　則安俊昭氏
〒700-8570　岡山市北区内山下２丁目４－６
TEL.086－226－7330

（資料1－6）第3次作業療法5カ年計画（一般社団法人 日本作業療法士協会）（別紙2）

（資料1－7）岡山市へのヒアリング　（実施日）平成30年8月23日

岡山専門職大学の設置に関して岡山市政策局政策企画課、保健福祉局地域包括ケア推進課、保健福祉局保健福祉企画総務課にヒアリングした所、以下のご意見をいただいた。

岡山市の介護予防センターでは専門職による介護予防事業等を行っており、来年度からフレイル予防（※フレイル：健康と要介護の中間のこと）事業の実施も予定している。その際に学生の方に一緒に来て貰えるとこちらとしてもありがたいし、学生にとっても高齢者が進む社会の現状に触れる良い機会になるのではないか。地域包括ケアシステムで、高齢者に携わってくださる人は医療職に就職してからの人転職や再就職人が多いので人材が育ちにくい面もある。我々はもっともっと学生さんや学校と連携して、福祉職の魅力を発信していかなければいけないと思っている。

岡山専門職大学では従来よりもアクティブラーニングを重視されるということで、専門分野以外でも地域に関わりを持つことで、知識も広がっていくと思います。展開科目ではフィジカルな面だけでなく、メンタル面はもちろんソーシャル面の部分でも鍛えていかれるということですね。展開科目の中でも高齢者の経済論で高齢者のケアをやっていただいて、すぐに活かしていただくといった点を協力しあえれば良い。高齢者のファイナンスに関することだけでなく、オレオレ詐欺など高齢者が被害者になりやすいことや、社会との関わりをほとんど持たない男性高齢者が家にこもってしまうという問題もあるので理学療法士・作業療法士として取組を行って貰えれば良い。

岡山市は「大学生まちづくりチャレンジ事業」を実施しており、本年度は14グループが参加している。専門職大学も対象としたいと考えるので、岡山専門職大学にも参加して貰い、岡山市・地元NPO・地元団体・企業と本山学園の学生が協働して地域活動を通じた人材育成につなげていきたい。将来的には大学の枠を越えて一緒に事業参画する部門も設ける予定であり、地域の活性化につなげる機会を創出する。大学を卒業する年代の方が極めて転出超過となっているので学生に関心を持って貰って、社会に目を向けて学生生活と社会と関わることで、岡山市への定着率が高まることを期待する。また岡山市に設置されることで、県外からの進学者が岡山市に増えること、就職で県外から移住者が県内へ定着することは喜

ばしいことである。

岡山市では、岡山専門職大学の設置を歓迎する。

（岡山市ヒアリング担当者）
岡山市政策局政策企画課　地方創生・政策調整担当課長　折口　範昭氏
岡山市政策局政策企画課　地方創生担当　副主査　流尾　正亮氏
岡山市保健福祉局地域包括ケア推進課　課長　岸川　和忠氏
岡山市保健福祉局　保健福祉企画総務課　課長補佐　岡村　誠氏

（資料1−8）岡山県総務部総務学事課へのヒアリング
本学の専門職大学の設置に関して岡山県総務部総務学事課にヒアリングを実施したところ、以下の意見をいただいた。（実施日）平成３０年８月２２日

岡山専門職大学の設置が認められた場合、医療現場の課題やニーズを迅速に教育課程に反映させ、最新の知識と実技を身に付ける実践的仕組みにより、新しいサービスを創り出せる創造力を備えた専門職業人の育成を行うという新たな枠組みの教育が行われるとのことであり、県内高校生の進路選択の幅が広がるのみならず、医療関係者を中心とした社会人の学び直しの場も増加することから、県政推進の重点戦略に掲げている「安心で豊かさが実感できる地域の創造」にも繋がるものと期待しています。
また、地域がその特長を生かし、自主的で持続可能な社会の創生を目指す地方創生が喫緊の課題となっている中、専修学校教育で培った職業人材育成力に更に磨きをかけていただき、社会人や職業人として必要な能力や勤労観・職業観をしっかりと身に付けた人材を輩出し、地域社会の発展に貢献することを期待しています。

（ヒアリング担当者）
岡山県総務部総務学事課　学事班　分嶋　陽子
〒700-8570　岡山市北区内山下２丁目４－６
TEL 086-226-7198（直通）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（2-7 ページ）

新	旧
①　設置の趣旨及び必要性 別紙１－１　設置の趣旨等を記載した書類	①　設置の趣旨及び必要性 別紙１－１　設置の趣旨等を記載した書類

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（32 ページ）

新	旧
⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ３．卒業要件 （３）卒業要件を131単位以上とした理由 （中略） 　この卒業要件の下での標準的な時間割をみれば（図６）、一週間当たりの科目配置は理学療法学科 12～15 科目､作業療法学科 12～14 科目となる。	⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 ３．卒業要件 （３）卒業要件を131単位以上とした理由 （中略） この卒業要件の下での標準的な時間割をみれば（図６）、一週間当たりの科目配置は 13 科目となる。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料１）

新	旧
（資料 1）設置の趣旨及び必要性に関するデータ （資料 1－1）業界団体（公益法人日本理学療法士協会）へのヒアリング （資料 1－2）業界団体（一般社団法人岡山県理学療法士会）へのヒアリング （資料 1－3）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月 （資料 1－4）業界団体(一般社団法人　岡山県作業療法士会)へのヒアリング （資料 1－5）岡山県健康福祉部医療推進課へのヒアリング （資料 1－6)第 3 次作業療法 5 カ年計画(一般社団法人 日本作業療法士協会） （資料 1－7）岡山市へのヒアリング （資料 1－8）岡山県総務部総務学事課へのヒアリング ※本文の同名データ	（資料 1）履修モデル

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 28）

新	旧
（資料 28）履修モデル	（資料１）履修モデル

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

2．理学療法学科、作業療法学科ともに養成する人材像が同一の内容で記載されているが、進路はそれぞれ異なるため、養成する人材像や３つのポリシーについて学科ごとに明らかにするとともに、養成する人材像に沿った科目配置の考え方を明らかとすること。

（対応）健康科学部理学療法学科、作業療法学科で養成する人材像を同一にしていたが、ご意見をいただき、学科それぞれの進路が異なるため、養成する人材像を以下の通り明確にし、3 つのポリシーについて明らかにするとともに、養成する人材像に沿った科目配置の考え方を明らかとする。

理学療法学科の育成する人材像とその策定の理由

独居高齢者の増加、人間関係の希薄化による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等の緊急かつ重要課題に対処するため、岡山市は「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月」（資料 2－1）を策定したが、その基本理念は、「住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）」であり、基本目標を、次のように掲げている。

Ⅰ　いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり

Ⅱ　状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開

Ⅲ　医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

Ⅱに掲げられた「健康寿命の延伸」の基本は「運動訓練」による「自発的日常生活機能」の維持・改善であり、この効果はさらに「寝たきり予防」、「疾病・介護予防」につながることから、「健康寿命の延伸」は地域にとって極めて重要な課題である。「健康寿命の延伸」ができれば、人々の生活の質が改善されるだけでなく社会保障費の軽減につながることが期待されている。理学療法士の主たる職務は、運動療法による対象者の身体機能・動作の維持・改善であることから、地域における「運動訓練」の推進、さらにはその結果もたらされる「健康寿命の延伸」に深くかかわる職種は、職能上理学療法士であり、具体的には、地域で「転倒予防事業」「介護予防事業」「腰痛予防事業」等をはじめとする各種「運動訓練」を展開し、また「健康寿命の延伸」にかかわる様々な取り組みの啓蒙活動を展開することが挙げられる。

理学療法士に対するニーズは、高齢社会で多様な主体が支えあう地域包括ケアシステムの中で、特に身体機能の向上や健康寿命の延伸などの分野であり、介護福祉をはじめ、疾病予防や介護予防などの幅広い分野で、自立して生活できる自助能力を回復・維持し、健康寿命を延伸する様々なサービスを展開することである。

このような地域のニーズに応えるために、本学理学療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」

理学療法学科のポリシー

理学療法学科が育成する人材像に沿って以下のディプロマポリシーを策定する。

ディプロマポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。

2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。

3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。

4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。

5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。

カリキュラムポリシー

育成する人材像およびディプロマポリシーに沿って以下のカリキュラムポリシーを策定する。

1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。

2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。

3）理論と実習を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。

4）対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。

5）理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。

アドミッションポリシー

１）理学療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人

２）倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人

３）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人

４）地域に貢献したいと考える人

理学療法学科が育成する人材像に沿った科目配置の考え方

対象者の思いを受け止め共有することができる人材を育成するために、1年次の「基礎科目」の「職業人の倫理と道徳論」において、最初に職業人として必要な倫理観と道徳観の浸透を図る。障害をもつ対象者と向き合い、優しい心で接する対応力をもつ力と教養を身につけるために、「心理学」「哲学概論」「人間関係論」等の人を深めるための基礎的科目を配置し、専門職としての理学療法士に必要な豊かな人間性を養い幅広い基礎的教養を身につけ、対象者の思いを受け止め共有できる心を養う。

最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけ、自己研鑽を継続する心を持つための教育課程は以下のとおりである。前者に対しては「職業専門科目」と「専門技能錬成プログラム」を配置する。即ち、1年次から2年次にかけては、リハビリテーションおよび理学療法領域に欠かせない基礎的知識を修得するために「専門基礎分野」を配置し、1年次から3年次にかけては、順次理学療法領域の「専門分野」の専門科目を体系的に配置し、段階的に理学療法の理論と実習への理解度を深めていく。さらに4年次には、3年次までの実習実績を基に、理論に裏付けられた深い応用力を習得できる「応用治療技術実習 Ⅰ～Ⅲ」（学内実習）を新たに配置し、「総合実習Ⅱ」（臨地実務実習）と連動させることにより理論と実践のシナジー効果が生まれ、最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を身につけることができる。後者に対しては、2年次の「基盤ゼミⅠ」で、プレゼンテーションにおける明確なストーリー構成力等の技法を学び、自らの意見を正確に人に伝える力を身につける。3年次の「基盤ゼミⅡ」では、自ら興味をもった地域社会の課題について調査し、論理的な思考過程を学び、教員とゼミメンバーで濃密な討論を重ねることで課題の本質的な問題に気づく力と、新たな解決力を見出す力を身につける。1人の担当教員が少人数編成の教育体制で、諸課題について学生が相互に報告・討論を重ねることで、本質的な問題に気づく力と論理的思考能力を丁寧に鍛える。また3年次には、対象者・多職種・地域・異文化社会での幅広いコミュニケーション力を培うために「コミュニケーション論」を配置し、円滑な対人スキルを身につける。こうして理学療法士としての「生涯の基盤的資質」を涵養し、志をもって自己研鑽を継続させる前向きな姿勢を養う。

また、2年次後期から4年次前期にかけて、各展開科目と産業界と連携して行う各段階の臨地実務実習とを連動させることにより、豊かな創造力を発展的かつ系統的に学べるよう工夫した「展開力育成プログラム」を配置する。この「展開力育成プログラム」では、2年次から3年次にかけての「ヒューマンサービス論」と「人間形成論」において、ヒューマンサービスのあり方を多方向から学び社会生活における人間形成を理解し、人を探究する力および対象者の思いを尊重する姿勢を身につける。さらに3年次後期から4年次前期の「生体情報科学」で対象者の置かれた状況を的確に把握するスキルを身につけ、「スポーツ科学」「食生活マネジメント論」で健全な運動と食生活のあり方を修得して心と体を深く理解し、対象者の身体機能を改善し、また３年次後期に配置した「予防理学療法学」により、現在高齢化にともない重要視されている介護予防を中心に理学療法士として予防医学に寄与する方法を学び、健康寿命を延伸するサービスを提供するうえで必須の能力を育成する。加えて、多職種との連携に関しては、１年次後期の「多職種連携論」において保健・医療・福祉にかかわる職種の専門性と連携について学び、多職種連携の在り方を身につけ、３年次後期の「地域包括マネジメント論」では地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントについて学ぶ。さらに、「起業入門」で起業に関わる基礎的知識とサービスモデルを構築する方法を身につけ、「マネジメント論」で組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、「コーチング論」で人の能力や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得し、加えて4年前期「NPO 論」によって、NPO の理念と運営のあり方を学びサービス提供の選択肢として NPO を活用する力を育成する。そして「岡山経営者論」において、企業・経営者の観点からサー

ビスの創造に欠かせない思考と創造力および他分野の視角からのアイディアを形にする手法を学び、これまでの理学療法から一歩進んだ新たなサービスを創出する力を育成する。このような科目配置により、目的とする身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材を育成する。

以上に示したように、理学療法学科においては地域のニーズに対応して育成する人材像を明確化し、その人材像に沿ってディプロマポリシー、カリキュラムポリシーが定められ、かつ各ポリシー間では整合性をもち、また育成される人材像および各ポリシーに沿った科目配置となっている。

作業療法学科の育成する人材像とその策定の理由

最近岡山市では、独居高齢者の増加、人間関係の過疎化による地域コミュニティの機能低下などの諸問題が顕在化してきており、地域の住民や諸団体が協働して活動し、支え合い機能を持つ地域コミュニティづくりの再構築を進め、地域活性化につなげていこうとする機運が高まってきている。

岡山市においては「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基本理念Ⅲで「医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり」を掲げており（資料２－1)、岡山県作業療法士会副会長の西出康晴氏は、作業療法士の責務として、地域の生活を知り、地域を理解し、自治体と協力して、独居老人や引きこもり高齢者の居場所づくりや地域のコミュニティ形成を行うことが重要である、と述べている（資料 2－2)。岡山県健康福祉部医療推進課課長の則安俊昭氏も「高齢者、認知症、独居高齢者などの社会との共生のためには地域を包括した支援体制が必須であり、その意味でコミュニティの形成は非常に重要である。大学でこのような基礎知識を養成してもらえることは非常にありがたい。コミュニティの中では作業療法士が果たす役割は非常に大きい。」と述べている（資料 2－3)。また日本作業療法士協会は「第三次作業療法５カ年戦略（2018-2022)」において、高齢社会の中で「共生社会の実現に向けた地域を基盤とする包括的ケアにおける作業療法の活用推進」と「共生社会に寄与する作業療法士を育成する教育の整備と強化」を掲げている（資料 2－4)。このように地域包括ケアシステムや共生社会の実現に向けては、作業療法士が担う責務が非常に重要であり、地域コミュニティの再構築や地域共生の実現に向けての重要な役割が作業療法士に求められる。

岡山地域の作業療法士に対する主要なニーズは、高齢者や障害者の社会進出、居場所づくり、社会の中で活躍する場を創設することであり、高齢者、認知症、独居高齢者などが住み慣れた地域で自立した生活を実現するために多様な生活課題に適合するサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して地域コミュニティの新しい仕組みづくりに貢献することである。

このような地域のニーズに応えるために、本学作業療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思い

を受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」

作業療法学科のポリシー

作業療法学科が育成する人材像に沿って以下のディプロマポリシーを策定する。

ディプロマポリシー

1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。
2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。
4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。
5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。

カリキュラムポリシー

育成する人材像およびディプロマポリシーに沿って以下のカリキュラムポリシーを策定する。

1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。
2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
3）理論と実習を架橋し、作業療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。
4）対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。
5）作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。

アドミッションポリシー

１）作業療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人
２）倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人
３）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人
４）地域に貢献したいと考える人

作業療法学科が育成する人材像に沿った科目配置の考え方

対象者の思いを受け止め共有することができる人材を育成するために、1 年次の「基礎科目」の「職業人の倫理と道徳論」において、生涯の基盤となる職業人として必要な倫理観と

道徳観を培う。さらに「心理学」「哲学概論」「人間関係論」により、人を深く理解し、障害をもつ対象者と向き合い、優しい心で接する対応力を養い、専門職としての作業療法士に必要な豊かな人間性を養い幅広い基礎的教養を身につけ、対象者の思いを共有できる心を養う。

最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけ、自己研鑽を継続する心を持つための教育課程は以下のとおりである。前者に対しては「職業専門科目」と「専門技能錬成プログラム」を配置する。即ち、1年次から2年次にかけては、リハビリテーションおよび作業療法領域に欠かせない基礎的知識を修得するために「専門基礎分野」を配置し、1年次から3年次にかけては、順次作業療法領域の「専門分野」の専門科目を体系的に配置し、段階的に作業療法の理論と実習への理解度を深めていく。さらに4年次には、3年次までの実習実績を基に、理論に裏付けられた深い応用力を習得できる「応用治療技術実習 Ⅰ～Ⅲ」（学内実習）を新たに配置し、「総合実習Ⅱ」（臨地実務実習）と連動させることにより理論と実践のシナジー効果が生まれ、最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を身につけることができる。後者に対しては、2年次の「基盤ゼミⅠ」で、プレゼンテーションにおける明確なストーリー構成力等の技法を学び、自らの意見を正確に人に伝える力を身につける。3年次の「基盤ゼミⅡ」では、自ら興味をもった地域社会の課題について調査し、論理的な思考過程を学び、教員とゼミメンバーで濃密な討論を重ねることで課題の本質的な問題に気づく力と、新たな解決力を見出す力を身につける。さらに、1人の担当教員が少人数編成の教育体制で、諸課題について学生が相互に報告・討論を重ねることで、本質的な問題に気づく力と論理的思考能力を丁寧に鍛える。また3年次には、対象者・多職種・地域・異文化社会での幅広いコミュニケーション力を培うために「コミュニケーション論」を配置し、円滑な対人スキルを身につける。こうして作業療法士としての「生涯の基盤的資質」を涵養し、志をもって自己研鑽を継続させる前向きな姿勢を養う。

作業療法学科では、対象者の住み慣れた地域でのいきいきした生活を実現するために、人の健康と生活にかかわる諸問題を解決する力とライフステージに適した新たなサービスを提供する力を身につけ、地域で住民が共に支えあいながら生活できる環境づくりを支援する力を育成する目的で、2年次後期から4年次前期にかけて、各展開科目と産業界と連携して行う各段階の臨地実務実習とを連動させることにより、豊かな創造力を発展的かつ系統的に学べるよう工夫した「展開力育成プログラム」を配置する。

具体的には、ヒューマンサービスを深堀する「ヒューマンサービス」「人間形成論」で対象者の思いを受け止め共有する姿勢を涵養し、「家族関係論」で社会を構成する基本単位である家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえ、「地域社会論」で地域自治のあり方と住民の生活原理について理解を深め、「コミュニティ形成論」で地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。「ライフサイクル論」で、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。「地域社会と健康」では、健康的なライフスタイルを形成することによって健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成する。「人間工学」では、地域コミュ

ニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。「特別支援教育」では、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成してくための基礎的な力を育成する。加えて、多職種との連携に関しては、１年次後期の「多職種連携論」において保健・医療・福祉にかかわる職種の専門性と連携について学び多職種連携のあり方を身につけ、３年次後期の「地域包括マネジメント論」では地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントについて学ぶ。こうして弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と障害を持つ人が共に生き生きと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須の知識と力を育成する。そして「岡山経営者論」において、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、新たなサービスを創造する力を育成する。

このような科目配置により、作業療法学科が目的とする幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、積極的に地域へ進出し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材の育成が可能となる。

以上に示したように、作業療法学科においては地域のニーズに対応して育成する人材像を明確化し、その人材像に沿ってディプロマポリシー、カリキュラムポリシーが定められ、かついずれもが整合性をもち、また育成される人材像および各ポリシーに沿った科目配置となっている。

（資料 2－1）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月（別紙１）

（資料 2－2）一般社団法人　岡山県作業療法士会　副会長　西出　康晴氏
（実施日）平成 31 年 3 月 19 日

地域包括ケアに向かうこの 5 年間で、いかに作業療法士会として地域に寄与できるかが課題である。現在、市町村をあげてその事業を推進しているところであり、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の 3 団体でリハビリ団体を作り、地域に派遣している。ただし、派遣先で上手くやってくれるかが課題となっている。他職種連携をすることと成果を上げることが大事である。

作業療法士として大切なことが、二つある。医療職としての基本的な知識、作業療法士の知識と地域の生活を知り、活動することである。作業療法士として地域に根ざすには、地域を理解し、自治体と協力をすることが必要である。現在、作業療法士会としては、自治体からの要請で「転倒予防教室」を行っている。また独居老人や引きこもりの高齢者の居場所づくりや地域のコミュニティ形成が重要で、地域に貢献することで、コミュニティがつながってくる。

近年、起業する理学療法士、作業療法士が増えており、ニーズもある。地域包括ケアシステムが進むまでは追い風である。

発達障害や障がい者に対しては、子供から高齢者までのストーリーを知って関わるのが重

要である。また教育機関での修学支援の需要も高い。作業療法士としては就労の継続支援を行っていくことが大切であると考えている。そのために発達障害を授業科目に取り入れ、知識を得るのは良いと思う。

（資料2－3）岡山県健康福祉部医療推進課へのヒアリング
岡山県健康福祉部医療推進課課長　則安俊昭氏　（実施日）平成31年3月13日

Q：岡山県で求められている療法士（理学療法士、作業療法士）の実践力とは。
A：岡山県が出している資料を示され、岡山県の療法士の需給の現状について説明された。理学療法士、作業療法士の実践力として特に明確に規定されたものはないが、これからの超高齢社会の中での地域包括ケアシステムを構築していく上で療法士が占める位置づけは重要である。

Q 岡山地域のニーズを背景とした次のサービスについて、理学療法士・作業療法士としてどのようにかかわっていけるのでしょうか。もしくは果たす役割は何でしょうか。

Q1：高齢者（地域包括ケアシステム、自立して暮らすための役割）
A1：超超高齢社会では地域共生社会であることが重要である。身体機能あるいは認知機能に障害がある人々が、地域の中で共に支えあって生き生きとした生活ができる街づくりが必要―このような街づくりに理学療法士・作業療法士の果たす役割は重要と思う一具体的にはどのような役割を担えるかということか。

Q2：障がい者
A2：障がい者支援についても高齢者支援と基本的には同じ視点。地域の中で共生できるシステムづくりが重要。

1および2のいずれも、高齢者や障がい者の社会進出、居場所づくり、社会の中で活躍する場を創設することが大事―作業療法士が支援できるのではないか。
生活の確保のための身体機能の向上、装具や補助具などの支援、などは理学療法士が支援できるのではないか。

Q3：発達障害（児）と発達課題（発達段階における）
A4：1,2と同様、居場所づくり、社会と共生できる環境づくりが重要。－作業療法士の関わりが必要になる。

Q4：予防
A4：超高齢社会での生き方や健康寿命の延伸のための地域住民へのいろいろな啓蒙活動は必須―転倒予防などには理学療法士の支援が必要。

岡山県の現状

Q1）高齢者の活動的な状態を身近な地域生活の中でバランスよく維持するため、運動の習慣化に向けた啓発活動の必要性が言われていますが、どのように考えられますか。

A1）現在は、人生 100 年時代と言われ生涯現役社会となってきている。労働力確保が必要。シルバー人材センターなどが役立っている。健康のために運動しなさい、働きなさいではだめで、運動する、働く動機づけが必要。この意味において啓発活動は必要である。

Q2）高齢者の日常生活の困りごとへの支援ニーズに対応する地域活動を担う人材の育成、活動の促進を図る必要性が言われていますが、どのように考えられますか。

A2）超高齢社会、独居老人問題など非常に多岐に亘る方面での支援が必要となる。この問題に対応できる人材の育成は非常に重要である。特に自治体の中に入ってもらって対応できる人が必要。作業療法士に期待したい。

Q3）地域コミュニティの重要性

高齢者の居場所づくりを含め、コミュニティの形成が重要と思いますが、作業療法士としてコミュニティを形成する基礎知識があれば、高齢者の居場所づくりに貢献できますか。

A3）高齢者、認知症、独居高齢者などの社会との共生のためには地域を包括した支援体制が必須であり、その意味でコミュニティの形成は非常に重要である。大学でこのような基礎知識を養成してもらえることは非常にありがたい。コミュニティの中では作業療法士が果たす役割は非常に大きいのではないか。

多様な主体による生活支援サービスについて

Q：民間企業、NPO、地方自治体などと、理学療法士・作業療法士が協力し、高齢住民のニーズを踏まえて支援する体制が必要と思います。例えば、マネジメント、コーチング、NPO論、起業入門、地域社会論、コミュニティ形成論などの知識を活用することで他団体等と連携し、プロジェクトを推進していく力がつくと考えていますが、いかがでしょうか。

A：同感である。超高齢社会を迎えて解決すべき非常に多くの課題がある中で、このような知識を学生が持つことは、療法士としてのこれまでの域を超えた幅広い視野を持たせることになり、学生のモチベーションを高めることになる。このような幅広い基礎知識を持った学生が関連職種と協働して地域での活動を推進していく力になってくれると思う。

Q：他大学では、地域のニーズを解決するために必要な能力を備えた理学療法士や作業療法士を育成する大学教育では不足していると思いますが、このような養成を行う大学は魅力的でしょうか。

A：大いに魅力的である。超高齢社会にどのように対応していくか、大問題である。この対応は本当に大変であるが、地域の中に入ってもらって一緒に解決していく能力を持った

人が育ってくれることに期待したい。
リハビリテーションの根幹は、人権の回復であると考えているので、この目的を果たすためには、各領域がバラバラでは難しいので、組織化して解決に向かう必要があると思う。その組織の中核を担う人材の育成を期待したい。

（ヒアリング担当者）
岡山県健康福祉部医療推進課課長　則安俊昭氏
〒700-8570　岡山市北区内山下２丁目４－６
TEL. 086－226－7330

（資料 2－4）第 3 次作業療法 5 カ年計画（一般社団法人 日本作業療法士協会）（別紙 2）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（2-7 ページ）

新	旧
①　設置の趣旨及び必要性 別紙 1－1 設置の趣旨等を記載した書類	①　設置の趣旨及び必要性 別紙 1－1 設置の趣旨等を記載した書類

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（7-8 ページ）

新	旧
②学科・専攻の特徴 健康科学部は、理学療法学科と作業療法学科の２学科から構成される。 理学療法学科は、最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材を育成することを目標としている。 また作業療法学科は、最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要	②　学科・専攻の特色 健康科学部は、理学療法学科と作業療法学科の 2 学科から構成される。理学療法学科は身体の機能と構造を理解し、科学的根拠に基づく治療的運動を用いて身体機能を改善することを基礎として、医療・保健・福祉・スポーツ等の幅広い分野において創造的役割を果たし、職業現場を牽引し、地域社会に貢献できる理学療法士を育成する。作業療法学科は、身体機能・精神機能の回復、社会的適応力・対人関係能力の改善、発達の促進など多様な分野に関わり、職業分野を牽引し、地域社会に貢献できる創造性豊かな作業療法士を育成する。 各学科は、その職種に起因する違いから、それぞれ独自の特徴をもっているが、他方では健康科学部として両学科に通底する次

なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成することを目標としている。 　両学科とも、変化の激しい職業現場や地域ニーズを不断に教育課程に取り込み、常に学生が最新の知識と技術を修得することができるよう教育課程を編制するための教育課程連携協議会システムをもっている。	のような特色を備えている。 （１）職業現場や地域ニーズを不断に教育課程に取り込み、常に最新の知識と技術を修得するための教育課程連携協議会システム （２）4 年一貫して豊かな人間性とコミュニケーション力と自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む基盤ゼミプログラム （３）理論に裏付けられた深い理解と応用力を錬磨する上級治療技術科目と総合実習を有機的に組み合わせ、一段高い実践力を涵養する専門技能錬成プログラム（図 1） （４）新たなサービスを創造する能力を組織的に鍛える充実した展開科目と連動する展開力育成プログラム（サービス革新モデル・地域活性化モデル）（図 2）
関連職業団体・地方公共団体・臨地実務実習事業者等からの医療・保健・福祉分野に関する意見を迅速に教育内容に反映させ、不断に教育課程を革新していくシステムである。産業界や地域の保健・医療・福祉・行政との連携により、現場の意見を迅速に取り入れた教育課程を編成するとともに、地域産業界や医療現場や地域社会などとの密接なつながりのなかで、豊富な現場実践を組織的に体験することにより、社会のニーズや人々の地域生活に即したリハビリテーションのあり方を考え、現場の課題とニーズを探究し、新しいサービスの創造につなげていく実践教育を行う上で原動力となる役割を担っている。	特に、教育課程連携協議会システムは、関連職業団体・地方公共団体・臨地実務実習事業者等からの医療・保健・福祉分野に関する意見を迅速に教育内容に反映させ、不断に教育課程を革新していくシステムである。産業界や地域の保健・医療・福祉・行政との連携により、現場の意見を迅速に取り入れた教育課程を編成するとともに、地域産業界や医療現場や地域社会などとの密接なつながりのなかで、豊富な現場実践を組織的に体験することにより、社会のニーズや人々の地域生活に即したリハビリテーションのあり方を考え、現場の課題とニーズを探究し、新しいサービスの創造につなげていく実践教育を行う上で原動力となる役割を担っている。
また、実習教育の充実については、特に力を注いでおり、その効果を高める独自の工夫がなされている。豊富な実習を組織的に配置することによって、医療現場や地域産業、市町村や地域住民との多様な交流の場を創り出し、各世代の障害や疾病による	また、実習教育の充実については、特に力を注いでおり、その効果を高める独自の工夫がなされている。豊富な実習を組織的に配置することによって、医療現場や地域産業、市町村や地域住民との多様な交流の場を創り出し、各世代の障害や疾病による

地域生活の困難さや不便さを理解し、共感できる機会を豊富に経験することを通じて、人間性とコミュニケーション能力を錬磨していく。さらに、臨地実務実習と連動して、職業現場における実践実習教育を高度化し、高い実践力と豊かな創造力を育む仕組みとして、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを整備している。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い理解と応用力が修得できる応用治療技術実習と総合実習を組み合わせ連動して実施することを通じて、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、より高い実践力を身につける（図 1)。 　さらに他の専門分野の多様な視点と知識を活用する展開力育成プログラムによって、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について、対象者が真に必要とする創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける（図２)。理学療法学科では、身体機能の維持・改善と健康寿命の延伸のために必要な力を養い、作業療法学科では地域の共生構造の中で対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成していく。	地域生活の困難さや不便さを理解し、共感できる機会を豊富に経験することを通じて、人間性とコミュニケーション能力を錬磨していく。さらに、臨地実務実習と連動して、職業現場における実践実習教育を高度化し、高い実践力と豊かな創造力を育む仕組みとして、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを整備している。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い理解と応用力が修得できる上級治療実習と総合実習を組み合わせ連動して実施することを通じて、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、より高い実践力を身につける（図 1)。また、展開力育成プログラムでは、関連する他分野の多様な視点と知識を身につけ、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新と生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける（図 2)。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（11－12）

新	旧
④　教育課程の編成の考え方及び特色 中略 １．カリキュラム編成の考え方 　本学の人材育成の目的を達成するため、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科	④　教育課程の編成の考え方及び特色 中略 １．カリキュラム編成の考え方 　本学の人材育成の目的を達成するため、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科

目を有機的に組み合わせ、次のカリキュラムポリシーにより 4 年制教育課程を編成する。 （理学療法学科） 1) 社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。 2) 職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3) 理論と実習を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。 4) 対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。 5) 理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。 （作業療法学科） 1) 社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。 2) 職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3) 理論と実習を架橋し、作業療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。 4) 対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。 5) 作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。	目を有機的に組み合わせ、次のカリキュラムポリシーにより 4 年制教育課程を編成する。 （１）高い倫理観と、他者に共感できる誠実な人間力を育み、持続的な自己研鑽の姿勢を涵養する。 （２）論理的思考能力と基本的な研究スキルを身につける。 （３）理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得し、医療現場で専門性・実践性を練磨し、関連職種と連携する技能を育成する。 （４）職業現場で創造的な役割を果たし、関連する他分野の視角と知識を活用して新たなサービスを提供できる力を育成する。 （５）国際的視野を広げ、職業現場で必要な英語力を身につける。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（13-14 ページ）

新	旧
④　教育課程の編成の考え方及び特色 中略 ２）職業人の倫理と道徳 １年後期「職業人の倫理と道徳論」において、最初に職業人として必要な倫理観と道徳観の浸透を図る。障害をもつ対象者と向き合い、優しい心で接する対応力をもつ力と教養を身につけるために、「心理学」「哲学概論」「人間関係論」等の人を深めるための基礎的科目を配置し、専門職としての理学療法士に必要な豊かな人間性を養い幅広い基礎的教養を身につけ、対象者の思いを受け止め共有できる心を養う。 （中略） ４）国際理解と日本社会の歴史と文化 １年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、２年前後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。患者の訴えを理解できる英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。	④　教育課程の編成の考え方及び特色 中略 ２）職業人の倫理と道徳 １年後期「職業人の倫理と道徳論」は、人命の尊重と人々の多様性を理解し、職業人としての社会的役割と責務を果たすため自らの行動を律する高い職業倫理観と責任感を育成する。サービスを受ける人の人格を尊重し人間味あふれる思いやりと誠実さを備え、人々から信頼される職業人としての基盤的資質を涵養する。 （中略） ４）国際理解と日本社会の歴史と文化 1 年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、3 年前期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。国際的なコミュニケーション力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（16 ページ）

新	旧
エ．理学療法治療学 （中略）	エ．理学療法治療学 （中略）

また、3年後期に「義肢装具学」（選択科目）を配置し、義肢・装具の意義と適応となる疾患や障害を学び、構造と機能を理解する。同時に義肢・装具の適応と適合判定能力の基礎力を養い、動作訓練時の機能と活用について理解する。 4 年前期の「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法)」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学)」(選択科目）では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング)」では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。 （中略） カ． 臨地実務実習 （中略） そして、4年前期の「総合実習Ⅱ」は、「総合実習Ⅰ」の経験を踏まえ、応用治療技術実習と組み合わせた専門技能錬成プログラムとして運用することにより、理論に裏付けられた専門技術の更なる深い理解と応用力を育み、一段高い完成度と応用力を備えた即戦力を身につける。同時に、展開力育成プログラムと連動して運用することにより、「気づき」を掘り下げ、アイディアへと煮詰め、それが対象者に受け入れられるかどうか観察しつつ実践する。このようなプロセスを通じて、現場のニーズを新	また、3年後期に「義肢装具学」（選択科目）を配置し、義肢・装具の意義と適応となる疾患や障害を学び、構造と機能を理解する。同時に義肢・装具の適応と適合判定能力の基礎力を養い、動作訓練時の機能と活用について理解する。 4年前期の「上級治療実習Ⅰ（徒手療法）」「上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）」「上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」では、3年次までの臨地実務実習の経験をもとに、理論で裏付けられた深い応用力を学修する。「上級治療実習Ⅰ（徒手療法）」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）」（選択科目）では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。 （中略） カ． 臨地実務実習 （中略） そして、4年前期の「総合実習Ⅱ」は、「総合実習Ⅰ」の経験を踏まえ、上級治療技術と組み合わせた専門技能錬成プログラムとして運用することにより、理論に裏付けられた専門技術の更なる深い理解と応用力を育み、一段高い完成度と応用力を備えた即戦力を身につける。同時に、展開力育成プログラムと連動して運用することにより、「気づき」を掘り下げ、アイディアへと煮詰め、それが対象者に受け入れられるかどうか観察しつつ実践する。このようなプロセスを通じて、現場のニーズを新たな

たな形にしていく豊かな創造力を育み、地域活動・福祉領域を含めたサービスの革新と新サービスの創造およびその活用・事業化に必要な能力を組織的に涵養する。 （中略） イ．作業療法管理学 3年後期に「作業療法管理学概論」を配置し、作業療法倫理と作業療法部門の管理について理解を深める。より質の高い作業療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する能力を涵養する。 ウ．作業療法評価学 作業療法における評価は、対象者の心身機能や精神機能の特徴を的確に把握し、治療対象とすべき事柄を明らかにし、熟考された統合解釈のうえに、効果的な治療計画を立案するために必須である。1 年後期に「作業療法評価学」を配置し、作業療法評価の目的や具体的手段について学ぶ。「作業」や「作業活動」が人の生活に及ぼす影響を理解し、作業療法実施に必要な評価技能と分析力を涵養する。また、2 年前期に「作業療法評価学実習Ⅰ」、2 年後期に「作業療法評価学実習Ⅱ」、2 年後期に「作業療法評価学実習Ⅲ」を配置し、各対象領域の評価技術を身につけ、評価結果の統合解釈について理解を深める。 エ．基礎作業療法治療学 作業療法の実践場面で用いるさまざまな技能に関する理論を学び適切に活用する力を育むことを目的とし、3 年前期に「基礎作業療法治療学」を配置する。3 年前期に「基礎作業療法治療学実習Ⅰ」、3 年前期に「基礎作業療法治療学実習Ⅱ」を配置し、実習を通して医療人として求められる基本的な	形にしていく豊かな創造力を育み、地域活動・福祉領域を含めたサービスの革新と新サービスの創造およびその活用・事業化に必要な能力を組織的に涵養する。 （中略） イ．作業療法管理学 3年前期に「作業療法管理学概論」を配置し、作業療法倫理と作業療法部門の管理について理解を深める。より質の高い作業療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する能力を涵養する。 ウ．作業療法評価学 作業療法における評価は、対象者の心身機能や精神機能の特徴を的確に把握し、治療対象とすべき事柄を明らかにし、熟考された統合解釈のうえに、効果的な治療計画を立案するために必須である。1 年後期に「作業療法評価学」を配置し、作業療法評価の目的や具体的手段について学ぶ。「作業」や「作業活動」が人の生活に及ぼす影響を理解し、作業療法実施に必要な評価技能と分析力を涵養する。また、2 年前期に「作業療法評価学実習Ⅰ」、2 年後期に「作業療法評価学実習Ⅱ」、3 年前期に「作業療法評価学実習Ⅲ」を配置し、各対象領域の評価技術を身につけ、評価結果の統合解釈について理解を深める。 エ．基礎作業療法治療学 作業療法の実践場面で用いるさまざまな技能に関する理論を学び適切に活用する力を育むことを目的とし、2 年前期に「基礎作業療法治療学」を配置する。2 年後期に「基礎作業療法治療学実習Ⅰ」、3 年前期に「基礎作業療法治療学実習Ⅱ」を配置し、実習を通して医療人として求められる基本的な

医療技術と専門職として求められる支援の基本や障害別介助法の特徴と留意点、福祉用具の活用などの対象者の生活を支援する基本的かつ応用的技術を学ぶ。 オ．作業療法治療学 2年前期に「身体障害作業療法学Ⅰ」「身体障害作業療法学Ⅱ」、3年前期に「身体障害作業療法学Ⅲ」「身体障害作業療法学Ⅳ」、2 年後期に「精神障害作業療法学」を配置し、作業療法の主な対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を涵養する。また、作業療法の対象者は各々に異なる特徴を有し治療アプローチも一様ではないため、主要な病態・障害像に対応したアプローチが実践できるよう、運動器系、神経系、内部系、発達系の各疾患に対する治療技術を錬磨するため、2 年前期「身体障害作業療法実習Ⅰ」、2年後期に「身体障害作業療法実習Ⅱ」、3年前期に「身体障害作業療法実習Ⅲ」を系統的に配置する。 2年前期の「日常生活活動学」では、基礎理論を学習し、2年後期の「日常生活活動学実習」で対象者の支援方法や援助技術を実践的に身につける。さらに超高齢社会のニーズに対応するため 2 年後期に「老年期障害作業療法学」、3年前期に「老年期障害作業療法実習」を配置する。「老年期障害作業療法学」では、加齢による身体的・心理的変化と認知症患者に対する評価・治療に関する概要を学び、具体的援助について理論的に学ぶ。3 年前期「老年期障害作業療法実習」では、行政・病院・企業などと連携して、地域住民に対し、各種評価と作業療法の実践を行う。 3年後期の「義肢装具学」（選択科目）は、	医療技術と専門職として求められる支援の基本や障害別介助法の特徴と留意点、福祉用具の活用などの対象者の生活を支援する基本的かつ応用的技術を学ぶ。 オ．作業療法治療学 2年前期に「身体障害作業療法学Ⅰ」「身体障害作業療法学Ⅱ」、2年後期に「身体障害作業療法学Ⅲ」「身体障害作業療法学Ⅳ」、3 年前期に「精神障害作業療法学」を配置し、作業療法の主な対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を涵養する。また、作業療法の対象者は各々に異なる特徴を有し治療アプローチも一様ではないため、主要な病態・障害像に対応したアプローチが実践できるよう、運動器系、神経系、内部系、発達系の各疾患に対する治療技術を錬磨するため、2 年前期「身体障害作業療法実習Ⅰ」、2年後期に「身体障害作業療法実習Ⅱ」、3年前期に「身体障害作業療法実習Ⅲ」を系統的に配置する。 2年前期の「日常生活活動学」では、基礎理論を学習し、2年後期の「日常生活活動学実習」で対象者の支援方法や援助技術を実践的に身につける。さらに超高齢社会のニーズに対応するため 2 年後期に「老年期障害作業療法学」、3年前期に「老年期障害作業療法実習」を配置する。「老年期障害作業療法学」では、加齢による身体的・心理的変化と認知症患者に対する評価・治療に関する概要を学び、具体的援助について理論的に学ぶ。3 年前期「老年期障害作業療法実習」では、行政・病院・企業などと連携して、地域住民に対し、各種評価と作業療法の実践を行う。 3年後期の「義肢装具学」（選択科目）は、

義肢・装具の意義と適応となる疾患や障害を学び、構造と機能を理解する。同時に、義肢・装具の適応と適合判定能力の基礎力を養い、動作訓練時の機能と活用について理解する。 4年前期の「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）」「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）」「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」では、3年次までの臨地実務実習の経験をもとに、理論で裏付けられた深い応用力を学修する。「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）」では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」（選択科目）では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。 また、2年後期に「作業療法演習Ⅰ」（選択科目）と、3年後期に「作業療法演習Ⅱ」（選択科目）を配置し、身体・老年期・発達・精神障害領域における演習を行い、訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践することで知識と技術の定着を図り職業現場で求められる応用力を練磨する。 カ．地域作業療法学 対象者の生活に主眼をおいた在宅支援によって、こころと暮らしをサポートできる専門職の育成を目的とする科目である。2年後期の「生活環境学」は、福祉制度や施策といった制度的環境や家族や介護者等の人的	義肢・装具の意義と適応となる疾患や障害を学び、構造と機能を理解する。同時に、義肢・装具の適応と適合判定能力の基礎力を養い、動作訓練時の機能と活用について理解する。 4年前期の「上級治療実習Ⅰ（徒手療法）」「上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）」「上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」では、3年次までの臨地実務実習の経験をもとに、理論で裏付けられた深い応用力を学修する。「上級治療実習Ⅰ（徒手療法）」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）」では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」（選択科目）では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。 また、2年後期に「作業療法演習Ⅰ」（選択科目）と、3年後期に「作業療法演習Ⅱ」（選択科目）を配置し、身体・老年期・発達・精神障害領域における演習を行い、訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践することで知識と技術の定着を図り職業現場で求められる応用力を練磨する。 カ．地域作業療法学 対象者の生活に主眼をおいた在宅支援によって、こころと暮らしをサポートできる専門職の育成を目的とする科目である。2年後期の「生活環境学」は、福祉制度や施策といった制度的環境や家族や介護者等の人的環境の視点から、障害者や高齢者が自立し

環境の視点から、障害者や高齢者が自立し主体的な生活が保障される生活環境について理解する。3 年後期「地域作業療法学」では、地域リハビリテーションの理念や現状を学び、各地域のニーズに対応できる創造力を養う。作業療法介入のツールである生活行為向上マネジメントを理解し、各種シートを活用できる実践力を養う。 3 年後期の「予防作業療法学」では予防医学を基礎とし、作業療法の豊富な知識を保健・健康関連分野の予防など幅広い分野へ応用するための知識と実践的方法について学ぶ。 （中略） キ．臨地実務実習 （中略） そして、4 年前期の「総合実習Ⅱ」は、「総合実習Ⅰ」の経験を踏まえ、応用治療技術実習と組み合わせた専門技能錬成プログラムとして運用することにより、理論に裏付けられた専門技術の更なる深い理解と応用力を育み、一段高い完成度と応用力を備えた即戦力を身につける。同時に、展開力育成プログラムと連動して運用することにより、「気づき」を掘り下げ、アイディアへと煮詰め、それが対象者に受け入れられるかどうか観察しつつ実践する。このようなプロセスを通じて、現場のニーズを新たな形にしていく豊かな創造力を育み、地域活動・福祉領域を含めたサービスの革新と新サービスの創造およびその活用・事業化に必要な能力を組織的に涵養する。 （中略） （３）展開科目 展開科目では、「基礎科目」、「職業専門科目」で修得した知識・技能に加え、理学療法・作業療法に関連する他分野の多様な視角と知識を身につけ、専門職業分野で創造	主体的な生活が保障される生活環境について理解する。3 年前期「地域作業療法学」では、地域リハビリテーションの理念や現状を学び、各地域のニーズに対応できる創造力を養う。作業療法介入のツールである生活行為向上マネジメントを理解し、各種シートを活用できる実践力を養う。 2 年後期の「予防作業療法学」では予防医学を基礎とし、作業療法の豊富な知識を保健・健康関連分野の予防など幅広い分野へ応用するための知識と実践的方法について学ぶ。 （中略） キ．臨地実務実習 （中略） そして、4年前期の「総合実習Ⅱ」は、「総合実習Ⅰ」の経験を踏まえ、上級治療技術と組み合わせた専門技能錬成プログラムとして運用することにより、理論に裏付けられた専門技術の更なる深い理解と応用力を育み、一段高い完成度と応用力を備えた即戦力を身につける。同時に、展開力育成プログラムと連動して運用することにより、「気づき」を掘り下げ、アイディアへと煮詰め、それが対象者に受け入れられるかどうか観察しつつ実践する。このようなプロセスを通じて、現場のニーズを新たな形にしていく豊かな創造力を育み、地域活動・福祉領域を含めたサービスの革新と新サービスの創造およびその活用・事業化に必要な能力を組織的に涵養する。 （中略） （３）展開科目 これからの医療・福祉その他の職業分野において求められる人材は、思いやりと誠実な心で対応できる豊かな人間性を備え、専門職業分野の枠にとらわれず、他分野の

的な役割を果たす能力を涵養する。そして展開科目と臨地実務実習を有機的に運用し対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスを工夫し、住み慣れた地域で安定した生活を支援する創造的サービスを提案し、地域を活性化する展開力を涵養する。 急速な少子化と超高齢化が進展するにともない、理学療法および作業療法サービスの供給システムは大きく変化し、医療・福祉サービスは「病院・施設で完結する構造」から「地域で支えあう構造」へと変化している。地域で支えあう充実した医療・福祉サービスを提供するには、あらゆる医療従事者および福祉従事者と住民が連携し、対象者やその家族が安心して暮らし活躍し続けられる地域機能を作り出していく必要がある。そのために、理学療法士および作業療法士は、最新の知識・技能と展開力を駆使して、一人ひとりの多様な生活や価値観を理解し、対象者の思いを受けとめ共有し、多様な主体と連携して新たなサービスを創造できる能力を備える必要がある。 理学療法士と作業療法士とは、その特性と役割に違いがある。物理的治療を中心に身体機能の改善に重きを置く理学療法サービスと、地域の共生構造の中で生活に密着した日常生活支援サービスの提供に重きを置く作業療法サービスとでは、それぞれに必要となる展開力に大きな違いがある。そのため、各々に求められる展開力を育成するために、学科ごとに開発した展開科目を配置する。 1) 理学療法学科における展開科目を通じて育成する力 理学療法学科では対象者を尊重する人間	異なる視点と知識を柔軟に活用して、職業現場の課題やニーズを汲み上げ、新しいサービスの創出につなげ、自らの活動の場を広げていく創造力豊かな高度専門職業人であると考えられる。 他分野のさまざまな視点と知識を身につけ、人の多様性を理解し、共感し、誠実さと思いやりにあふれる豊かな人間性をもって、対象者が人として真に必要とするサービスと生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案できる応用力が必要となる。また、地域で生活を営むうえで対象者が必要とする核心的ニーズをつかみ、それに的確に応える新たなサービスを生み出し、地域の活性化につなげていくことができる豊かな創造力が求められる。 そのため展開科目では、地域や職業現場や対象者の課題とニーズをもとにした新たなサービスを創造し、社会に実装され活用されるサービスを生み出す力を育成するために、他分野の多様な視角と知識を身につけ、幅広い職業分野で活躍できる力を培う。 必修科目 6 科目 12 単位と選択科目から 4 科目 8 単位以上、合計 20 単位以上を履修する。学生は、学習や臨地実務実習で見出した課題や問題意識をもとに、自己の目的に合わせて必要な科目を学習し、職業現場や対象者のニーズを新たなサービスの形にし、地域の課題やニーズを新たなサービスの形へモデル化し、さらに地域の活性化に繋げていくうえで必要な視点と知識を修得する。 ア. ヒューマンサービスを究める基盤を培う科目群 この科目群は、職業専門領域の枠を離れ、ヒューマンサービスのあり方を多面的に探究し、柔軟な視点と発想力を育むこと

味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを組織化する力を身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する。

人々が幸せに暮らし社会で活躍するためには、健やかな心身は欠かせない。急速に進む高齢化社会では、人々が病を抱えて生きることも当たり前となり、それを公的負担で支えるには限界がある。そこで人々の健康にかかわる新たな枠組みを創出し、多様な主体と連携して人々が健康で社会に参画し続けるために必要なサービスを提供する力を養う。

具体的には、2 年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービス創造の基盤を育成する。3 年後期「人間形成論」では、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。

さらに 3 年後期「生体情報科学」で、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などからウェアラブル端末や IoT などを活用した健康に関する情報を収集する基本的技能について学び、効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために生体情報を活用する力を育成する。

4 年前期「スポーツ科学」で、身体運動を科学するためのアプローチ方法を学び、対象者のニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。また 3 年前期「食生活マネジメント論」で、健康における食生活の重要性と、食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深を目的とする。

2 年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を育成する。次いで、3 年前期「家族関係論」で、社会を構成する基本単位としての家族の変動を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を育成する。そして、3 年後期「人間形成論」では、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、多様なライフサイクルを考慮したサービスを創造する力を涵養する。また、3 年後期「生活経済論Ⅰ」において、経済およびファイナンスの観点から、対象者がより良い生活を実現するためのライフマネジメントの基礎を学び、対象者の経済的側面を理解した適切なサービスを創造し提供できる力を育む。さらに、3 年後期「サービス創造論」によって、組織や地域で必要とされるサービスを形にするスキルを学び、対象者目線に立ったサービスを創造するための広い視角を身につける。

これらの科目によって、人が人として必要とする真のサービスを探究していくための基盤力を総合的に涵養する。

イ. サービスの革新力と創出力を育み地域の活性化を担う力を育成する科目群

職業現場で対象者のニーズや課題を解決し、地域の活性化に貢献する力を培うために、新たな発想でサービス革新に取り組む力を育み、新しいサービスの創出へとつなげていく創造力を養う。そのために、次の２つの科目群を 4 年前期に配置する。

１）新たな発想でサービスを革新するための科目群

める。 　このようにして、対象者の置かれた状況を的確に把握し、心と体を深く理解し尊重する姿勢と、健全な運動と食生活のあり方を修得することによって、対象者の身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供するうえで必須の能力を育成する。 　また 4 年前期「マネジメント論」において、組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、さらに 4 年前期「コーチング論」で、人の能力や可能性を伸ばし、人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。さらに 4 年前期「起業入門」では、起業に関わる基礎的知識と技能を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。加えて 4 年前期「NPO 論」によって、NPO の理念を知り組織の運営の在り方を学び、サービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する力を育成する。最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。 　こうして展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関連事業・福祉機器関連事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスを提案し活躍の場を広げることができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、	新たな発想でサービスを革新し、対象者のニーズに適したサービスを創出する豊かな創造力を培うために、「スポーツ科学」「歯科保健論」「人間工学」「食生活マネジメント論」の 4 科目を配置する。 　サービスの革新には、当該職業分野にとどまらず、多様な分野の視点を活用して、新たな「気づき」を得ることが有効な手段となるが、人々が真に必要とする健康な生活を創造するサービスを考える上で、適切な身体運動、健全な口腔機能、快適な生活空間、バランスの取れた食生活の 4 つの視点は特に枢要な地位を占めている。「スポーツ科学」で、身体運動を科学するためのアプローチ方法を学び、対象者のニーズやライフステージに適したサービスの在り方を探求する。また「歯科保健論」では、健全な口腔機能や歯科保健衛生の視点を踏まえたサービスの重要性を学ぶ。そして「人間工学」では、人と人をとり囲むさまざまな物や環境との整合性を図る工学的視点を学ぶ。さらに「食生活マネジメント論」で、健康における食生活の重要性と、食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深める。 ２）新たな発想でサービスを創出し地域活性化につなげる科目群 　地域の活性化に繋がる新たな発想とサービスを創出し、モデル化していく力を養うために、「ライフサイクル論」「生活経済論Ⅱ」「マネジメント論」「コーチング論」の 4 科目を配置する。 　地域活性化に資するサービスを創造していくためには、ライフステージに適した健康な地域生活に対する深い理解と、高齢者の経済環境の変動を十全に把握し、対象者が真に必要とする的確なサービスを創造し

地域を活性化する動力として活躍することが期待される。 2) 作業療法学科における展開科目を通じて育成する力 作業療法学科では、対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識と専門技術を駆使して、対象者が住み慣れた地域で自立した生活を実現するために、人の健康と生活にかかわる諸問題を解決する力とライフステージに適した新たなサービスを提供する力を身につけ、地域で住民が共に支えあいながら生き生きと生活できる環境づくりを支援する力を育成する。 一人ひとりの日々の生活は地域で営まれ、その生活は各々のライフステージに応じて変化し交錯する。その中で人々が安心して暮し活躍しつづけるためには、人と地域をつなぐコミュニティを活性化させ、それぞれが地域で役割を担えるように支援する必要がある。 そのためには、地域社会の成り立ちを知り地域の特性や課題についての理解を深め、地域を分析し実情を把握する力を育成する必要がある。また、近年、人口減少や高齢化による地域コミュニティの弱体化が進んでいる。地域の支えあいの基盤となる地域コミュニティの特性を深く把握し、人々の地域生活を支えるコミュニティの形成に貢献できる力を育成する必要がある。そして、家族の重要機能について理解を深め、一人ひとりの生活と家族と地域を有機的・相関的にとらえる視点を養い、新たなサービスを提供できる力を養う必要がある。 2年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まなければならない。またそのサービスを活用しビジネス化するうえで必須となる経営的視点と人的資源を最適に活用する人材育成スキルを備える必要がある。 「ライフサイクル論」で、ライフサイクルのなかで生じる様々な課題を知り、対象者の生活を支援するために必須の知見を修得する。そして「生活経済論Ⅱ」で、人々の生活経済環境を分析し、人生の時間軸に応じて、より良い生活を実現するためのライフマネジメントのキーポイントを学ぶ。また「マネジメント論」において、組織の目標を効率的に達成するためのスキルを身につける。さらに「コーチング論」において、人の能力や可能性を伸ばし、人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。 これらの科目群によって、対象者が真に必要とするサービスへと革新する力を育て、対象者の生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、あるいは事業化して、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける。 ウ．展開力育成を総括する科目 「岡山経営者論」は企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を育む。講義では、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、他分野の視点やアイディアを形にする方法を学び、サービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。 こうして展開力育成プログラムで育成された学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関連事業・福祉機器関連

えたサービスを創造する基盤を育成する。そして、3 年後期「人間形成論」で、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスを創造する力を涵養する。3 年前期「家族関係論」は、社会を構成する基本単位としての家族の変動を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を育成する。3 年後期「地域社会論」は、地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する力を育成する。3 年後期「コミュニティ形成論」は、地域コミュニティの機能に焦点をあて、コミュニティ形成の基礎知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。4 年前期「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。4 年前期「地域生活と健康」は、健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成する。4 年前期「人間工学」は、人と人をとり囲むさまざまな物や環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。4 年前期「特別支援教育」は、教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成してくための基礎的な力を育成する。 　こうして弱体化したコミュニティの機能	事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案し活躍の場を広げることができる。また、地方自治体・住宅関連事業・就労支援事業などで、職業現場や地域生活が抱える課題について、新たな視点から生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案することで、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

を再構築し、個人と家族と障害を持つ人が共に生き生きと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須の知識と力を育成する。 最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。 展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業，地方自治体，福祉機器関連事業，住宅関連企業，教育機関，就労支援事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案し活躍の場を広げることができる。そして、新たな視点から人々の健康と生活を支える創造的サービスを提案することで、地域コミュニティの形成に参加し、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。 （４）総合科目（両学科共通）	

た卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 （理学療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3) 理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4) 対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5) 理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1) 高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2) 職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3) 作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4) 対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5) 作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。 １）高い倫理観と豊かな人間力を備え、自ら考え学び続ける自主の精神を備える。 ２）論理的思考能力と研究スキルを備える。 ３）医療専門分野の最新の知識と専門技能を備え、高質なヒューマンサービスを基礎として専門業務を主導できる高度な実践力を備える。 ４）関連する他分野の視角と知識を活用して、新たなサービスを生み出していく豊かな創造力を備える。 ５）医療現場で必要な国際的視野を備える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（40-41 ページ）

新	旧
⑨　入学者選抜の概要 １．入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー） 本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。 （理学療法学科） 1) 理学療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 2) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人 3) 自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 4) 地域に貢献したいと考える人 （作業療法学科） 1) 作業療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 2) 倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人 3) 自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 4) 地域に貢献したいと考える人	⑨　入学者選抜の概要 １．入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー） 本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。 （１）理学療法・作業療法を修学するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人 （２）倫理観と他者への思いやり、誠実な心をもつ人 （３）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 （４）国際的視野を身につけ、コミュニケーション力を高めたい人 （５）地域に貢献したいと考える人

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料１）

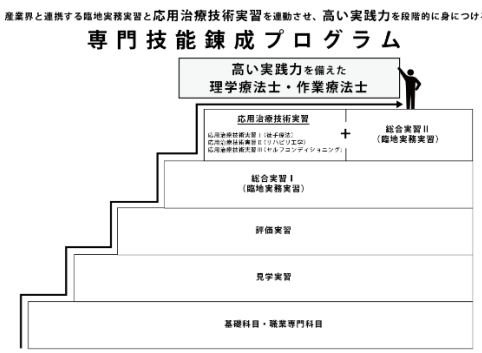
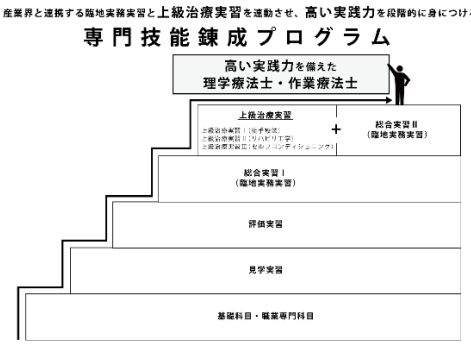
新	旧
（資料 1）設置の趣旨及び必要性に関するデータ	（資料 1）履修モデル

（資料 1－1）業界団体（公益法人日本理学療法士協会）へのヒアリング （資料 1－2）業界団体（一般社団法人岡山県理学療法士会）へのヒアリング （資料 1－3）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成 30 年 3 月 （資料 1－4）業界団体(一般社団法人　岡山県作業療法士会)へのヒアリング （資料 1－5）岡山県健康福祉部医療推進課へのヒアリング （資料 1－6)第 3 次作業療法 5 カ年計画(一般社団法人 日本作業療法士協会） （資料 1－7）岡山市へのヒアリング （資料 1－8）岡山県総務部総務学事課へのヒアリング ※本文の同名データ	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 28）

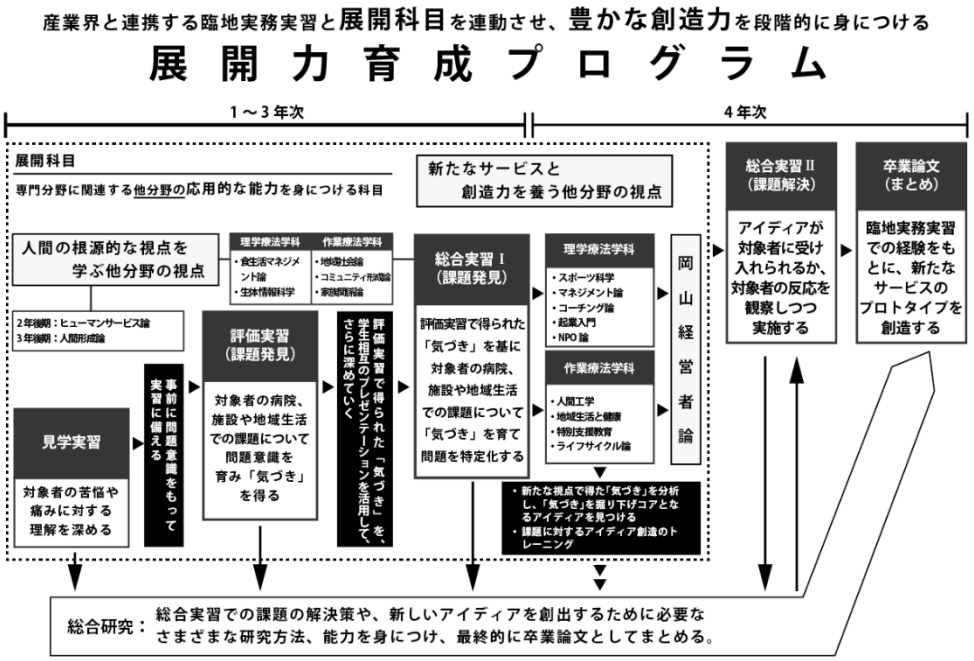
新	旧
（資料 28）履修モデル	（資料１）履修モデル

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（図１）

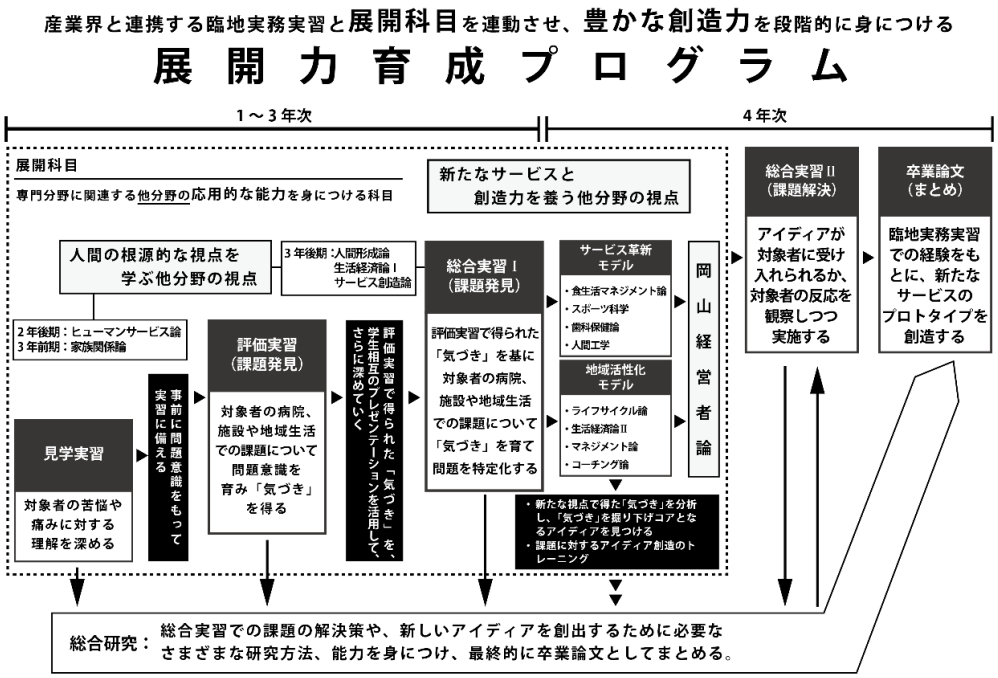
新	旧
	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（図２）

新

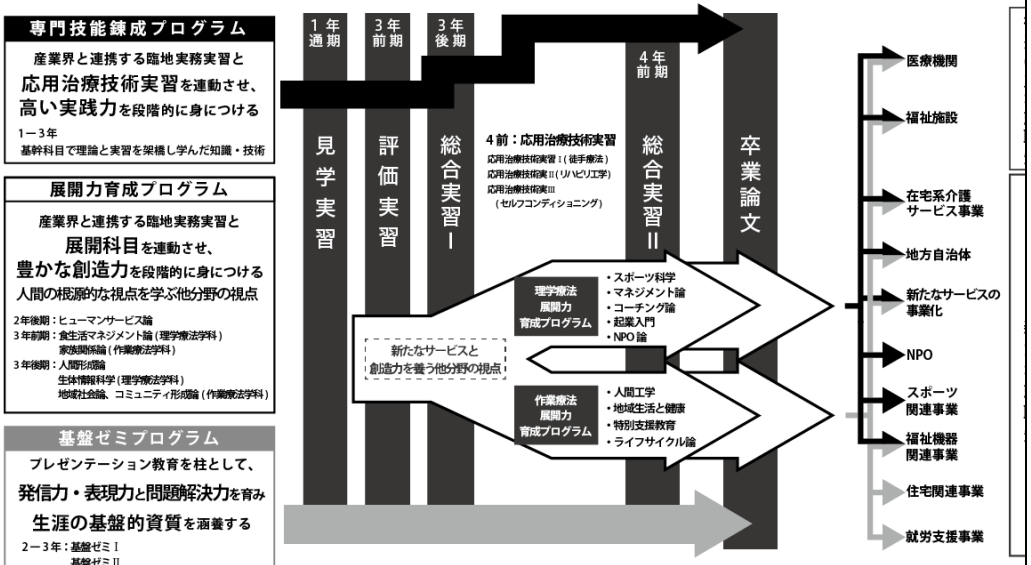


旧

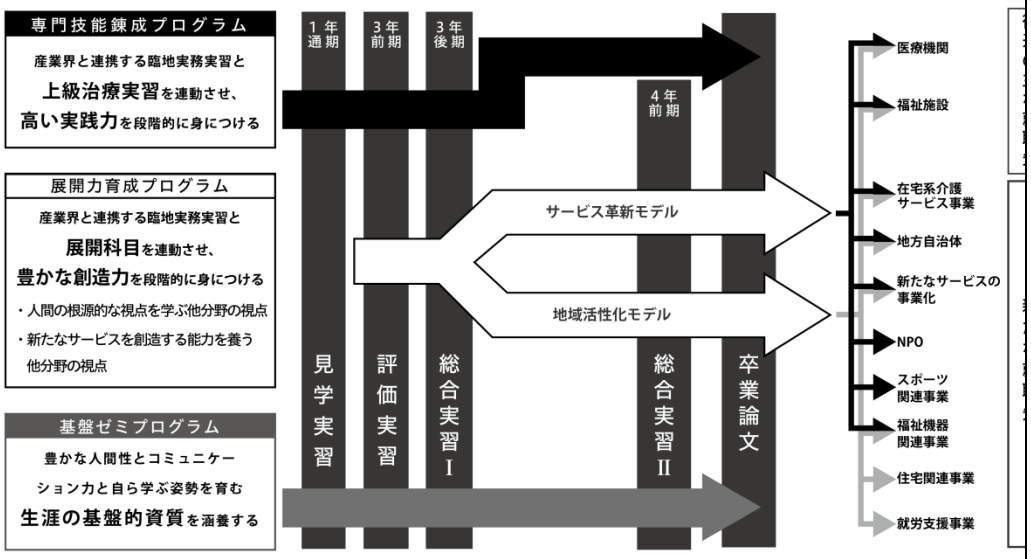


（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（図３）

新



旧



（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

3．カリキュラム・ポリシーに記載されている内容が、ディプロマ・ポリシーに記載されている内容と同一であり、不適切である。ディプロマ・ポリシーに定められた内容を実現するためのカリキュラム・ポリシーとして、具体的な教育課程の編成方針を明確にすること。

（対応）審査意見を踏まえ、育成人材像に沿って定められたディプロマポリシーを実現するカリキュラムポリシーとして、具体的な教育課程の編成方針を明確化する。

＜理学療法学科のカリキュラムポリシー＞

1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。
2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
3）理論と実習を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。
4）対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。
5）理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。

理学療法学科におけるカリキュラムポリシーに沿った教育課程の編成方針

カリキュラムポリシー1)

社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。

カリキュラムポリシー1）に沿って、基礎科目に、「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」「心理学」「人間関係論」「コミュニケーション論」「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」を配置する。この内、「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」により、社会人としての深い倫理性を育み、「心理学」「人間関係論」「コミュニケーション論」により、人の思いを受け止める対話力を育み、少人数編成の「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」により、段階的に論理的思考に基づく発信力とプレゼンテーション力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する編成であり、カリキュラムポリシー1）を具体化した教育課程となっている。

カリキュラムポリシー2)

職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。

カリキュラムポリシー2）に沿って、「日本の歴史と文化」「国際政治経済論」「コミュニケーション英語」「メディカル英語」を配置している。英語教材による「日本の歴史と文化」「国際政治経済論」により外国人を受け入れる姿勢を身につけ、また「コミュニケーション英語」「メディカル英語」により、外国人患者の訴えが理解できるレベルの英

語力を身につけることができ、カリキュラムポリシー2）に対応した教育課程となっている。

カリキュラムポリシー3)

理論と実習を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用能力を涵養し、一段高い実践力を育成する。

カリキュラムポリシー3）に沿って、理学療法士に必要な基礎から最新の知識と技術を修得する「職業専門科目」と「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」を活用する「専門技能錬成プログラム」を配置する。また臨地実務実習としては、「見学実習」「評価実習」「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を配置する。「職業専門科目」の理論科目と実習科目を組み合わせて編成することを基礎として、新たに設ける「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」と「総合実習Ⅱ」を連動させることにより、理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得する。また、学年進行に伴い段階的に配置された「見学実習」「評価実習」「総合実習Ⅰ」の後に「総合実習Ⅰ」までの実習を検証できる期間を設ける工夫を行い、その後の「総合実習Ⅱ」と「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」を組み合わせた教育を行うことで「専門技能錬成プログラム」の到達水準を引き上げることができ、専門性・実践性を錬磨した応用力が涵養され、一段高い実践力を育成する教育課程となっている。このような科目配置は、カリキュラムポリシー3）に沿ったものである。

カリキュラムポリシー4)

対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。

主に「展開力育成プログラム」を展開することによりカリキュラムポリシー4）に掲げた内容を実践する。即ち「ヒューマンサービス論」「人間形成論」により、対象者を深く理解する力を養い、「生体情報科学」で対象者の置かれた状況を的確に把握するスキルを身につけ、「スポーツ科学」「食生活マネジメント論」で健全な運動と食生活のあり方を修得して心と体を深く理解し、対象者の身体機能を改善し、健康寿命を延伸する力を育成する。多職種との連携に関しては、１年次後期の「多職種連携論」において保健・医療・福祉にかかわる職種の専門性と連携について学び、多職種連携の在り方を身につけ、３年次後期の「地域包括マネジメント論」では地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントについて学ぶ。また、「起業入門」で起業に関わる基礎的知識とサービスモデルを構築する方法を身につけ、「マネジメント論」で組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、「コーチング論」で人の能力や人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。「NPO 論」では、NPO の理念と運営のあり方を学びサービス提供の選択肢として NPO を活用する力を育成する。そして「岡山経営者論」では、地域で活躍する多職種のリーダーから直接、新サービスの創造、新規事業の起業や展開、地域活性化等、他の分野の視点や

アイディアの実践を学び、かつ展開力を育成し、地域を活性化する力を育成する。一連の科目配置は、理学療法学科のカリキュラムポリシー4）に沿ったものである。

カリキュラムポリシー5)

理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。

カリキュラムポリシー5）に沿って、「情報収集と処理」「統計分析の基礎」「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」「卒業論文」を配置する。「情報収集と処理」で、データベースの基本的な構造やその作成技術を修得し、「統計分析の基礎」では、統計学の基礎から統計分析やデータ解析の手法を学ぶ。「テーマ設定と研究方法」では、テーマの設定手順や研究手法について学び、これと並行して配置する「研究デザイン」では、研究を遂行していくための組織・設備・対象・仮説の立て方等を学ぶ。各臨地実務実習と連動させ、研究テーマにおける気づきを育て、臨地実務実習の場で対象者や地域の課題を抽出し、段階的・系統的教育により、具体的に卒業論文にまとめる科目を配置する。「総合研究Ⅰ」では、研究テーマに沿って具体的に研究計画を進めていき、「総合研究Ⅱ」では、研究の骨格を組み立て研究精度を高める。「卒業論文」では、自らのテーマに沿った研究の結果を解析し、先行研究と対比して自らの研究の独自性を考察し、実際に論文を執筆することにより、自らの研究を総括する。一連の科目配置は、課題に対する論理的思考能力を養い、基礎的研究力が養われる科目配置となっており、カリキュラムポリシー5）に沿った科目配置となっている。

作業療法学科におけるカリキュラムポリシーに沿った教育課程の編成方針

＜作業療法学科のカリキュラムポリシー＞

1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。
2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
3）理論と実習を架橋し、作業療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。
4）対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。
5）作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。

カリキュラムポリシー1)

社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。

カリキュラムポリシー1）に沿って、基礎科目に、「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」「心理学」「人間関係論」「コミュニケーション論」「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」を配置する。この内、「職業人の倫理と道徳論」「哲学概論」により社会人としての深い

倫理性を育み、「心理学」「人間関係論」「コミュニケーション論」により人の思いを受け止める対話力を育み、「基盤ゼミⅠ」「基盤ゼミⅡ」により論理的思考に基づく発信力を磨き自己研鑽の姿勢を涵養する編成であり、カリキュラムポリシー1）を具体化した教育課程となっている。

カリキュラムポリシー2)

職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。

カリキュラムポリシー2）の内容を実現するために、「日本の歴史と文化」「国際政治経済論」「コミュニケーション英語」「メディカル英語」を配置している。英語教材による「日本の歴史と文化」「国際政治経済論」により外国人患者を受け入れる姿勢を身につけ、「コミュニケーション英語」「メディカル英語」により、外国人患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備えることができ、カリキュラムポリシー2）に対応した教育課程となっている。

カリキュラムポリシー3)

理論と実習を架橋し、作業療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。

カリキュラムポリシー3）に沿って、作業療法士に必要な基礎から最新の知識と技術を修得する「職業専門科目」と「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」を活用する「専門技能錬成プログラム」を配置する。また臨地実務実習としては、「見学実習」「評価実習」「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を配置する。「職業専門科目」の理論科目と実習科目を組み合わせて編成することを基礎として、新たに設ける「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」と「総合実習Ⅱ」を連動させることにより、理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得する。また、学年進行に伴い段階的に配置された「見学実習」「評価実習」「総合実習Ⅰ」の後に「総合実習Ⅰ」までの実習を検証できる期間を設ける工夫を行い、その後の「総合実習Ⅱ」と「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」を組み合わせた教育を行うことで「専門技能錬成プログラム」の到達水準を引き上げることができ、専門性・実践性を錬磨した応用力が涵養され、一段高い実践力を育成する教育課程となっている。このような科目配置は、カリキュラムポリシー3）に沿ったものである。

カリキュラムポリシー4)

対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。

主に「展開力育成プログラム」を展開することによりカリキュラムポリシー4）に掲げた内容を実践する。即ち、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」により対象者を深く理解

する力を養い、「家族関係論」で社会を構成する基本単位である家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえ、「地域社会論」で地域の課題や地域自治のあり方と住民の生活原理について理解を深める。「コミュニティ形成論」で地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。「ライフサイクル論」で、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。「地域社会と健康」では、健康的なライフスタイルを形成することによって健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成する。「人間工学」では、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。「特別支援教育」では、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成してくための基礎的な力を育成する。多職種との連携に関しては、1年次後期の「多職種連携論」において保健・医療・福祉にかかわる職種の専門性と連携について学び、多職種連携の在り方を身につけ、3年次後期の「地域包括マネジメント論」では地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントについて学ぶ。こうして子供から高齢者に至る幅広い世代および家族から地域に亘る様々な課題に対応できる力を養い、弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と障害を持つ人が共に生き生きと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須の知識と力を育成する。そして「岡山経営者論」において、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、新たなサービスを創造する力を育成する。

カリキュラムポリシー5)

作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。

カリキュラムポリシー5）に沿って、「情報収集と処理」「統計分析の基礎」「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」「卒業論文」を配置する。「情報収集と処理」で、データベースの基本的な構造やその作成技術を修得し、「統計分析の基礎」では、統計学の基礎から統計分析やデータ解析の手法を学ぶ。「テーマ設定と研究方法」では、テーマの設定手順や研究手法について学び、これと並行して配置する「研究デザイン」では、研究を遂行していくための組織・設備・対象・仮説の立て方等を学ぶ。各臨地実務実習と連動させ、研究テーマにおける気づきを育て、臨地実務実習による対象者や地域の課題を抽出し、段階的・系統的教育により、具体的に卒業論文にまとめる科目を配置する。「総合研究Ⅰ」では、研究テーマに沿って具体的に研究計画を進めていく。「総合研究Ⅱ」では、研究の骨格を組み立て研究精度を高める。「卒業論文」では、自らのテーマに沿った研究の結果を解析し、先行研究と対比して自らの研究の独自性を考察し、実際に論文を執筆することにより、自らの研究を総括する。一連の科目配置は、課題に対する論理的思考能力を養い、基礎的研究力が養われ、カリキュラムポリシー5）に沿った科目配置となっている。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（2-7 ページ）

新	旧
②　設置の趣旨及び必要性 別紙 1－1 設置の趣旨等を記載した書類	②　設置の趣旨及び必要性 別紙 1－1 設置の趣旨等を記載した書類

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（11-12 ページ）

新	旧
④教育課程の編成の考え方及び特色 １．カリキュラム編成の考え方 各学科のカリキュラムポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。 2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）理論と実習を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。 4）対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。 5）理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。 （作業療法学科） 1）社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。 2）職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）理論と実習を架橋し、作業療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵	④　教育課程の編成の考え方及び特色 １．カリキュラム編成の考え方 本学の人材育成の目的を達成するため、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目を有機的に組み合わせ、次のカリキュラムポリシーにより 4 年制教育課程を編成する。 （１）高い倫理観と、他者に共感できる誠実な人間力を育み、持続的な自己研鑽の姿勢を涵養する。 （２）論理的思考能力と基本的な研究スキルを身につける。 （３）理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得し、医療現場で専門性・実践性を練磨し、関連職種と連携する技能を育成する。 （４）職業現場で創造的な役割を果たし、関連する他分野の視角と知識を活用して新たなサービスを提供できる力を育成する。 （５）国際的視野を広げ、職業現場で必要な英語力を身につける。

養し、一段高い実践力を育成する。 4）対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。 5）作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（12 ページ）

新	旧
２．教育課程の特色 基礎科目群では、専門職業人としての高い倫理観、発信力と対話力、職業現場で患者の訴えを理解できるレベルの英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握し、分析するスキルを涵養する。また、豊かな人間性を涵養するとともに、基礎物理、基礎生物、国際的感覚、論理的思考、健康増進に関する知識を修得することで、専門職業人として、生涯にわたり自らの基盤的資質を高めていくための素養を涵養する。	２．教育課程の特色 基礎科目群では、社会人および専門職業人としての高い倫理観と職業現場で最低限必要な英語力と医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握する分析スキルを涵養する。また、豊かな人間性を涵養するとともに、基礎物理、基礎生物、国際的感覚、論理的思考、健康増進に関する知識を修得することで、専門職業人として、生涯にわたり自らの基盤的資質を高めていくための素養を涵養する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（13-14 ページ）

新	旧
２．教育課程の特色 （中略） （１）基礎科目（両学科共通） １）発信力・対話力と自己研鑽の姿勢 少人数編成の２年前期「基盤ゼミⅠ」、３年前期「基盤ゼミⅡ」により、プレゼンテーション力を磨き、論理的思考に基づく発信力と問題解決力を身につけ、自己研鑽の姿勢を涵養する。 ２）職業人の倫理と道徳	３．科目区分の設定およびその理由 （中略） （１）基礎科目 職業人としての基礎的能力と、生涯にわたり自ら学び続ける姿勢を身につけるための科目を系統的に配置し、自立した社会人、医療人として生きていく上での基盤となる資質を涵養する必修科目 20 単位を配置する。 １）自ら学ぶ姿勢とコミュニケーション力

1年後期「職業人の倫理と道徳論」において、最初に職業人として必要な倫理観と道徳観の浸透を図る。また障害をもつ対象者と向き合い、人への理解を深め優しい心で接する対応力と教養を身につけるため、1年前期「心理学」（選択科目）1年前期「哲学概論」（選択科目）3年前期「人間関係論」（選択科目）を配置し、豊かな人間性を養い幅広い基礎的教養を身につけ、対象者の思いを受け止め共有できる心を養う。	とリーダーシップ 1年前期「基盤ゼミⅠ」、2年前期「基盤ゼミⅡ」、3年前期「基盤ゼミⅢ」、4年後期「基盤ゼミⅣ」は、自ら学ぶ姿勢とコミュニケーション力とリーダーシップならびに社会人としての一般的な基盤を養う役割を果たすものである。1人の教員が4年一貫して担当する少人数のゼミであり、本学の教育方針を端的に体現している。また「コミュニケーション論」において、職業人として必要となる良好な人間関係を構築するための基礎を涵養する。 2）職業人の倫理と道徳 1年後期「職業人の倫理と道徳論」は、人命の尊重と人々の多様性を理解し、職業人としての社会的役割と責務を果たすため自らの行動を律する高い職業倫理観と責任感を育成する。サービスを受ける人の人格を尊重し人間味あふれる思いやりと誠実さを備え、人々から信頼される職業人としての基盤的資質を涵養する。
3）健康科学 1年後期「健康科学概論」は、人々が健康な生活を送るために必要な健康観を育成する。一次予防に係る生活習慣病を基礎とした運動やスポーツの重要性について理解するとともに、日本の食文化と健康の関係性を学ぶことで、人の健康に係る身体的・精神的・社会的健康とは何かを深く考える。	3）健康科学 1年後期「健康科学概論」は、人々が健康な生活を送るために必要な健康観を育成する。一次予防に係る生活習慣病を基礎とした運動やスポーツの重要性について理解するとともに、日本の食文化と健康の関係性を学ぶことで、人の健康に係る身体的・精神的・社会的健康とは何かを深く考える。
4）国際理解と日本社会の歴史と文化 1年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、2年前後期「国際政治経済論」、3年後期「メディカル英語」では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。患者の訴えを理解できる英語力を涵養するとともに、	4）国際理解と日本社会の歴史と文化 1年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、3年前期「国際政治経済論」、3年後期「メディカル英語」では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。国際的なコミュニケーション力を涵養するとともに、国

国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。 ５）科学的思考の基盤とツール 1 年前期に、保健・医療・福祉分野において、科学的基盤となる「基礎生物」（選択科目）「基礎物理」（選択科目）を配置する。また医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握するため、1 年後期に「情報収集と処理」、2 年後期に「統計分析の基礎」を配置する。さらに 3 年前期に、卒業論文をデザインし研究スキルを育む「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」を配置する。 （２）職業専門科目 リハビリテーション医療分野全般にわたる専門知識や技能を修得できる科目群を整備し、専門職務に関する実践力や応用力を修得するために必要な理論的科目および実践的科目として、必修科目を 87 単位、選択科目を理学療法学科 9 単位、作業療法学科 8 単位配置する。 １）専門基礎分野（両学科共通）	際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。 ５）科学的思考の基盤とツール 1 年前期に、保健・医療・福祉分野において、科学的基盤となる「基礎生物」「基礎物理」を配置する。また医療分野の諸現象を理論的・実証的に把握するため、1 年後期に「情報収集と処理」、2 年後期に「統計分析の基礎」を配置する。さらに 3 年前期に、卒業論文をデザインし研究スキルを育む「テーマ設定と研究方法」「研究デザイン」を配置する。 （２）職業専門科目 リハビリテーション医療分野全般にわたる専門知識や技能を修得できる科目群を整備し、専門職務に関する実践力や応用力を修得するために必要な理論的科目および実践的科目として、必修科目を 87 単位、選択科目を理学療法学科 9 単位、作業療法学科 8 単位配置する。 １）専門基礎分野

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

4．アドミッション・オフィス入試や自己推薦入学試験の書類審査において、どのような書類の提出を求めるのか不明確なため明らかにするとともに、アドミッション・ポリシーに沿った適切なものであるか説明すること。また、「学習試験」の免除制度があると記載されているが、どのような基準で学習試験が免除されるのか具体例を示し明らかとすること。

（対応）アドミッション・オフィス入試や自己推薦入学試験の書類審査における提出書類が不明確とのご意見を踏まえて、提出書類を明確にし、追記するとともに、アドミッション・ポリシーに沿った適切な試験であることを以下で説明する。

なお、「学習試験」の免除制度については、各学科ごとに定めたアドミッションポリシーに沿って適切に行うためには学習試験が必要なため、試験の免除をなくする。

（提出書類）

1）AO（アドミッション・オフィス）入学試験

・エントリーシート（自己アピール、取得資格・検定記載）
・入学願書
・調査書
・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）
・出願資格認定通知書（AO 入試の結果、出願資格が認められた者に発行したもの）

2）自己推薦入学試験

・入学願書
・自己推薦書
　※自己推薦に関連する証明書類：資格・検定等証明書
・調査書
・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

3）指定校推薦入学試験

・入学願書
・推薦書（出身高等学校長の推薦書）
・調査書

4）推薦入学試験

・入学願書
・推薦書（出身高等学校長の推薦書）
・調査書

5）一般入学試験

・入学願書

・調査書
・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）

本学のアドミッションポリシーは次の通りである。

本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の修得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。

（理学療法学科）

（1）理学療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人

（2）倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人

（3）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人

（4）地域に貢献したいと考える人

（作業療法学科）

（1）作業療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人

（2）倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人

（3）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人

（4）地域に貢献したいと考える人

書類審査は、アドミッションポリシーに沿って適正に行う。エントリーシートならびに自己推薦書を通して、自己表現力，理学療法・作業療法を修得するという意欲、問題解決に取り組む姿勢、チャレンジ精神、地域への貢献姿勢を評価する。そして調査書によって、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を評価し判断する。アドミッションポリシーへの対応は以下の通りである。

アドミッションポリシーへの対応

（理学療法学科）

	(1)理学療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人	(2)倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人	(3)自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人	(4)地域に貢献したいと考える人
AO 入学試験	調査書、エントリーシート、学習試	エントリーシート、面談	エントリーシート、学習試験、面	エントリーシート、面談

	験、面談		談	
自己推薦入試	自己推薦書、調査書、学習試験、面談	自己推薦書、面談	自己推薦書、学習試験、面談	自己推薦書、面談
指定校推薦入試	調査書、面接	面接	面接	面接
推薦入試	調査書、面接	面接	面接	面接
一般入試	調査書、面接	面接	面接	面接

（作業療法学科）

	(1)作業療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人	(2)倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人	(3)自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人	(4)地域に貢献したいと考える人
AO 入学試験	調査書、エントリーシート、学習試験、面談	エントリーシート、面談	エントリーシート、学習試験、面談	エントリーシート、面談
自己推薦入試	自己推薦書、調査書、学習試験、面談	自己推薦書、面談	自己推薦書、学習試験、面談	自己推薦書、面談
指定校推薦入試	調査書、面接	面接	面接	面接
推薦入試	調査書、面接	面接	面接	面接
一般入試	調査書、面接	面接	面接	面接

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（40-43 ページ）

新	旧
⑨　入学者選抜の概要 1．入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー） 本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。	⑨　入学者選抜の概要 １．入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー） 本学部は、医療・福祉・保健分野に対する高い関心をもち、専門知識と技能の獲得を目指すとともに、自ら考え課題解決に取り組む姿勢をもち、地域に貢献したいと考え、新たなサービスを生み出していく創造性豊かな人材を求めている。よって、次のような人材を広く受け入れる。

（理学療法学科） （１）理学療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 （２）倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人 （３）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 （４）地域に貢献したいと考える人 （作業療法学科） （１）作業療法を修得するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力と英語力を備えている人 （２）倫理観と他者への思いやりと誠実な心をもち、コミュニケーション力を高めたい人 （３）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 （４）地域に貢献したいと考える人	（１）理学療法・作業療法を修学するという強い意欲を有し、高等学校卒業程度の基礎学力を備えている人 （２）倫理観と他者への思いやり、誠実な心をもつ人 （３）自らの考えをもち、問題解決に取り組む姿勢とチャレンジ精神のある人 （４）国際的視野を身につけ、コミュニケーション力を高めたい人 （５）地域に貢献したいと考える人 中略
（３）選抜方法 ２）自己推薦入学試験 出願資格は、入学資格がある者とする。 実施時期：10 月下旬 選考方法：書類審査、学習試験※1、面談 （削除）	（３）選抜方法 ２）自己推薦入学試験 出願資格は、入学資格がある者とする。 実施時期：10 月下旬 選考方法：書類審査、学習試験※1、面談 ※試験の免除制度あり 資格・検定・部活動による受賞等本学の定める審査基準を満たした場合、学習試験を免除する。
（4）提出書類について（追記） １）AO（アドミッション・オフィス）入学試験 ・エントリーシート（自己アピール、取得資格・検定記載） ・入学願書	なし

・調査書 ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外） ・出願資格認定通知書（AO 入試の結果、出願資格が認められた者に発行したもの） ２）自己推薦入学試験 ・入学願書 ・自己推薦書 ※自己推薦に関連する証明書類:資格・検定等証明書 ・調査書 ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外） ３）指定校推薦入学試験 ・入学願書 ・推薦書（出身高等学校長の推薦書） ・調査書 ４）推薦入学試験 ・入学願書 ・推薦書（出身高等学校長の推薦書） ・調査書 ５）一般入学試験 ・入学願書 ・調査書 ・卒業証明書（高校卒業見込み者以外）	

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

5．留学生や社会人の受験生を、どのように選抜し受け入れていくのか具体的な記載がないため、方針について具体的に記載するとともに、入学後の履修指導体制についても明らかとすること。

（対応）留学生をどのように選抜し受け入れていくのか具体的な記載がないというご意見をいただいたが、留学生については特段の措置はしない。なぜなら、日本の国家試験に合格する必要があるため、日本人と同等の日本語能力と学力が必要と考えられるからである。

本学の留学生在留資格については以下の通りである。

（在留資格について）

① 日本語能力試験 1 級取得
② 本学の入学試験（AO 入学試験、自己推薦入学試験、推薦入学試験、一般入学試験）に合格する
③ 在学中の学費の支弁に関する証明書
④ 身元保証人（本国の保証人及び日本人の保証人）
⑤ 誓約書

なお、AO 入学試験、自己推薦入学試験、推薦入学試験、一般入学試験においては、留学生も日本人同様の入学者選抜とする。

同様に、社会人の受験生についても選抜における特段の措置は行わず、選抜方法は AO 入学試験、自己推薦入学試験、一般入学試験とする。ただし、社会人については、学則第 34 条第 3 項により社会人（実務経験）として単位認定を行う。実務経験による単位認定は、病院ならびに施設等における実務経験が本学の理学療法・作業療法実習に相当すると判定できる場合には、臨地実務実習（見学実習、評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ）の当該単位とみなし、理学療法学科では 20 単位、作業療法学科では 22 単位を限度として所属学科において修得した単位とみなすことができるとともに、免除科目の授業料を免除する。

社会人入試については実施しない。

入学後の履修指導体制について明確になっていなかったとのご意見を踏まえ、「留学生、社会人ともに特別の履修指導体制はとらない」旨明記する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（31 ページ）

新	旧
①教育方法、履修指導方法及び卒業要件 （中略） ２．履修指導方法 （１）履修に関するガイダンス	①教育方法、履修指導方法及び卒業要件 （中略） ２．履修指導方法 （１）履修に関するガイダンス

入学時に、学事暦、カリキュラム、単位制度、授業時間、履修登録の方法、国家試験に必要な履修単位等、資格取得方法、卒業に関わる事項についてガイダンスを実施する。2 年次以降については、前期開始の際に、当該年次に関する履修方法等についてガイダンスを実施する。実習科目については、ガイダンスに加えて、各実習の開始前にオリエンテーションを実施する。卒業論文については、2 年次後期にオリエンテーションを実施する。 なお、留学生、社会人ともに特別の履修指導体制はとらないものとする。	入学時に、学事暦、カリキュラム、単位制度、授業時間、履修登録の方法、国家試験に必要な履修単位等、資格取得方法、卒業に関わる事項についてガイダンスを実施する。2 年次以降については、前期開始の際に、当該年次に関する履修方法等についてガイダンスを実施する。実習科目については、ガイダンスに加えて、各実習の開始前にオリエンテーションを実施する。卒業論文については、2 年次後期にオリエンテーションを実施する。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

6．定員充足の根拠となる客観的データとして、本学近隣の他大学の理学・作業療法学科の志願状況をもって、本学への志願者が十分に見込まれるとしているが、本学園が設置する専門学校のリハビリ系学科は入学定員を割っていることを踏まえると、本学の定員充足の見込みに疑義があるため、学生確保の見通しについて再度適切な方法で分析し、定員充足の見込みを明らかとすること。

（対応）本学近隣の他大学の理学療法学科・作業療法学科の志願状況をもって、本学の定員充足の根拠としているというご指摘をいただいているが、学生確保の見通しについては、本学への高校生志向調査および WEB アンケート調査に基づいて分析を行っている。アンケートは、一段高い実践力と新しいサービスを生み出す展開力を身につける専門職大学の内容と特徴を明記したうえで実施し、新たな専門職大学としての本学への入学意思を確認したものである。

回答総数 3,353 名の内、「入学を希望する」と答えた者は 178 名、入学定員 120 名に対する倍率は 1.5 倍であった。「受験先の候補の一つとして考える」と答えた者は 587 名であり、定員に対する倍率は 4.9 倍であった。また「入学を希望する、または受験先の候補の一つとして考える」と答えた者は合計 765 名であり、入学定員に対する倍率は 6.4 倍となる。この内、理学療法学科（定員 80 名）を希望する者 429 名、作業療法学科（定員 40 名）を希望する者 320 名であり、志願倍率は理学療法学科 5.4 倍、作業療法学科 8.0 倍であった。

この内、本学のオープンキャンパスに参加し、専門職大学で行う模擬授業を実際に体験し、専門職大学の内容や特徴の詳細説明を受けたうえでアンケート調査に回答した 334 名においては、「入学を希望する」と答えた者は 152 名、入学定員に対する倍率 1.3 倍であり、「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者 146 名、入学定員に対する倍率は 1.2 倍であり、「入学を希望するあるいは受験先の候補の一つとする」と答えた者 298 名は、入学定員の 2.5 倍であった。

これらの結果は、専門職大学としての本学理学療法学科及び作業療法学科に対して、定員を充足するに十分な志願者があることを示している。

また近隣の競合大学である川崎医療福祉大学の志願倍率と定員充足率を見ると、直近 5 年間の志願者倍率は、理学療法専攻（学科）においては 10 倍前後、作業療法専攻（学科）では 4～6 倍と高い水準で推移しており、定員充足率は、理学療法専攻（学科）113～135%、作業療法専攻（学科）110～142%となっている。

川崎医療福祉大学理学療法学科・作業療法学科の志願倍率、定員充足率が示すとおり、理学療法・作業療法分野の大学定員は、明らかに地域ニーズに比して不足しているとみられる。

既設の岡山医療技術専門学校が定員を割っている原因は、一つには高等学校卒業者数が減少する中で、大学教育への需要が継続的に高まり、大学への進学者数および進学率がともに増加し、加えて日本経済の持続的な景気回復によって就職に有利な状況が生まれ卒業後就職する学生が増加して、専門学校進学者が減少するという状況が生じたことである。

また日本経済の景気回復と人手不足の状況は、本学に入学を志願する社会人や大学生の大幅減少を導く主要な原因となったと考えられる。理学療法学科では、平成 26 年度には大

学生・社会人が入学者の 32.5%を占めていたが、平成 30 年には 6.6%へと激減した。作業療法学科でも平成 26 年度 30.2%を占めていた大学生・社会人が平成 30 年度には 18.5%へとほぼ半減している。大学生や社会人の志願者が多い短期修了の 3 年制専門学校の特性から、就職状況が改善し人手不足が深刻化するという事態は、定員未充足の大きな原因となったと考えられる。

以上の分析を含めて、学生確保の見通しの詳細について、別紙 3（学生確保の見通し）を添付する。

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（1－5 ページ）

新	旧
１．学生確保の見通し及び申請者としての取組状況 ①学生の確保の見通し ア　定員充足の見込み （１）岡山医療専門職大学健康科学部の定員充足の見込み（資料 1） 新設する岡山医療専門職大学健康科学部への志願動向を把握するために、理学療法学科（入学定員 80 名）および作業療法学科（入学定員 40 名）についての高校生の志向調査を、ライセンスアカデミーに委託（高等学校に対するアンケートと WEB アンケートを並行実施）し、岡山県を中心に、3,547 名に対して行った。アンケートは、一段上の高い実践力と新しいサービスを生み出す展開力を身につける専門職大学の内容と特徴を明記したうえで実施し、新たな専門職大学としての本学への入学の意思を確認したものである。 その結果、3,353 名から回答を得た。この内、本学に「入学を希望する」と答えた者は 178 名であり、入学定員 120 名に対する倍率は 1.5 倍であった。また「受験先の候補の一つとして考える」と答えた者は 587 名であり、定員に対する倍率は 4.9 倍であった。「本学へ入学を希望する、または受験先の候補の一つとして考える」と回答した者	１．学生確保の見通し及び申請者としての取組状況 ①学生の確保の見通し ア　定員充足の見込み （１）入学定員設定の考え方 健康科学部は、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた高度専門職業人の育成を目的としている。超高齢社会のなかで医療現場のみならず医療現場以外の地域や福祉に関わる高度な技能をもつ理学療法士および作業療法士の育成がますます期待されるとともに、AI の高度化と医療現場のロボット化の加速度的な進行が予想されるなか、対象者の目線に立って心を通わせる徹底的にヒューマンなサービスを提供する理学療法士・作業療法士の需要が高まると予想している。 このような社会的要請に応えるためには、1 クラス 40 人以下での専門職大学教育と少人数の双方向基盤ゼミ教育を両立させることが不可欠であり、個々の学生にきめ細かく対応できる体制を整え、専任教員とバランスさせるためには、健康科学部の入学定員を理学療法学科 80 名、作業療法学科 40 名とすることが適当であるとの考えに至

は合計 765 名であり、全体として入学定員 120 名に対する倍率は 6.4 倍となる。この中で理学療法学科（入学定員 80 名）を希望するもの 429 名、作業療法学科（入学定員 40 名）を希望する者 320 名であり、志願倍率は理学療法学科 5.4 倍および作業療法学科 8.0 倍であった（資料 1)。 このうち本学のオープンキャンパスに参加し、専門職大学で行う模擬授業を実際に体験し、大学の内容や特徴の詳細説明を受けたうえでアンケート調査に回答した 334 名においては、専門職大学としての本学への入学意思の有無がさらに明瞭に示されている。 334 名の内、「本学へ入学を希望する」と回答した者は 152 名、「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は 146 名であった。入学を希望すると回答した者の割合は入学定員 120 名の 1.3 倍であり、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つとする」と回答した者 298 名の入学定員に対する倍率は 2.5 倍となっている（資料 2)。 これらの結果は、専門職大学としての本学の理学療法学科および作業療法学科に対して、定員を充足するに十分な志願者があることを示している。 加えて、本学のキャンパスは JR 岡山駅から徒歩 10 分の岡山市都心部に位置しており、交通アクセスに優れた場所にある。そのため、学生のみならず社会人の修学に極めて便利であり、岡山県に限らず、香川県、兵庫県西部、広島県東部地域の一部が通学圏となりうるため（資料 3)、より広域にわたる学生の志願を見込むこともできる。 （２）近隣受験エリアにある競合大学等の志願動向 専門職大学としての本学は、地理的な受	った。 （２）入学定員を充足する見込み 日本の 18 歳人口は、平成 29 年の 118.0 万人より平成 35 年の 106.2 万人へと減少していくが、平成 36 年以降は持ち直し、108.3～109.0 万人の水準で推移すると予測されている（資料 1)。岡山県でも平成 29 年の 1.84 万人から平成 35 年の 1.68 万人へと減少し同様の傾向を示すなか、平成 36 年以降は持ち直して 1.70～1.72 万人の水準で推移し、急激な人口減少は見込まれていない（資料 2)。 近年、大学受験生の就職や資格取得を見据えた進路選択意識が高まるなかで、就職に直結するリハビリテーション学分野への興味・関心や進学意欲は極めて高いものがある。その全国で見た募集定員は、1992 年 50 名から 2016 年 8,152 名へと増大してきたが、その間志願者は 1992 年の 243 名から 2016 年の 50,353 名へと顕著に増大した（資料 3)。今後も全国的に理学療法・作業療法を取り扱うリハビリテーション学分野への志願者増加傾向は続くと予想される。 実際の大学への進学者および進学率を見ると、平成 24 年度の 51.7 万人（進学率 47.4%）から平成 28 年度には 53.3 万人（進学率 49.6%）へと着実に上昇している（資料 4)。また、全国の私立大学の志願倍率は、平成 25 年度の 7.4 倍から平成 29 年度には 8.1 倍に上昇している（資料 5）。本学が所在する岡山県の私立大学志願倍率は、平成 25 年度の 3.2 倍から平成 29 年度には 3.4 倍へと着実に上昇しており、本学の受験エリアとなる広島県では平成 25 年度の 3.8 倍から平成 29 年度の 4.3 倍へと急上昇し、兵庫県では過去 5 ヵ年 6.5 倍以上で推移している（資料 6）。

験エリアから考えて、岡山県に立地する川崎医療福祉大学、吉備国際大学と競合関係になると考えられるが、吉備国際大学は岡山県西北部の高梁市（人口3.2万人）に位置している関係から主たる競合校とはならないと考えられる。これに対して岡山県南の倉敷市（人口47.7万人）に立地する川崎医療福祉大学は、これまで岡山市（人口72.0万人）に位置する岡山医療技術専門学校が競合してきた大学であることから、専門職大学としての本学も、同大学との競合関係に立つものと考えられる。

川崎医療福祉大学医療技術学部の理学療法専攻志願者は、平成26年度460名、平成27年度437名、平成28年度379名、平成29年度611名、平成30年度441名であり、志願倍率はほぼ10倍で推移している（資料4）。

作業療法専攻志願者は、平成26年度239名から平成27年度307名、平成28年度233名、平成29年度310名、平成30年度237名と推移しており、全体として安定した志願者を集め、志願倍率は4.0～6.0倍と高い水準で推移している（資料5）。

また平成27年度～平成30年度の定員充足率を見ると、理学療法学科は113～135%、作業療法学科は110～142%であった（資料6）。

川崎医療福祉大学の志願者数、志願倍率、入学者数、定員充足率の状況が示すとおり、理学療法・作業療法分野の大学入学定員は明らかに地域ニーズに比して不足していると見られる。

（３）入学定員設定の考え方

超高齢社会のなかで医療現場のみならず医療現場以外の地域や福祉に関わる高度な技能をもつ理学療法士および作業療法士の

私立大学への志願動向を見ると、保健系（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・保健師・助産師等）の入学志願者数は平成25年157,627人から平成29年179,962人へと大幅に増加しており（資料7）、リハビリテーション学分野の入学志願者は平成24(2012)年の21,040人から平成28(2016)年度の50,353人へと2.4倍へ着実に上昇し、顕著に増大している（資料3)。リハビリテーション学分野における学生の進学志望の高まりは、全国的に強いトレンドとなって継続していくものと考えられる。

このような全国的状況と、次に見る岡山県および近隣受験エリアにある競合大学の高い志願者数・志願倍率の状況（資料8, 9）を併せ考えると、専門職大学としての本学部への十分な志願者を見込むことができる。

加えて、本学のキャンパスはJR岡山駅から徒歩10分の都心部に位置しており、交通アクセスに優れた場所にある。そのため、学生のみならず社会人の修学に極めて便利であり、岡山県南部地域に限らず、岡山県北部、香川県、兵庫県西部、広島県東部地域が通学圏となるため（資料10)、広域にわたって学生の確保を図ることができる。

（３）既設の岡山医療技術専門学校の志願状況

岡山医療技術専門学校における理学療法学科の入学志願者数は、平成26年度78名から平成27年度86名、平成28年度94名へと上昇し、平成29年度91名と安定して推移したが、専門学校を中心とする全国的な志願倍率の低下とともに平成30年度においては63名へと落ち込んでいる（志願倍率0.8～1.2倍)(資料11)。

作業療法学科の入学志願者数は、平成26

育成がますます期待されるとともに、AIの高度化と医療現場のロボット化の加速度的な進行が予想されるなか、対象者の目線に立って心を通わせる徹底的にヒューマンなサービスを提供する理学療法士・作業療法士の需要が高まると予想している。

このような社会的要請に応え、1クラス40人以下での少人数の専門職大学教育と専任教員数とバランスさせるためには、健康科学部の入学定員を理学療法学科80名、作業療法学科 40 名とすることが適当であるとの考えに至った。

（4）リハビリテーション分野への入学志願者の動向

日本の 18 歳人口は、平成 29 年の 118.0 万人より平成 35 年の 106.2 万人へと減少していくが、平成 36 年以降は持ち直し、108.3～109.0 万人の水準で推移すると予測されている（資料 7）。岡山県でも平成 29 年の 1.84 万人から平成 35 年の 1.68 万人へと減少し同様の傾向を示すなか、平成 36 年以降は持ち直して 1.70～1.72 万人の水準で推移し、急激な人口減少は見込まれていない（資料 8）。

また大学への進学者および進学率を見ると、平成 24 年度の 51.7 万人（進学率 47.4%）から平成 28 年度には 53.3 万人（進学率 49.6%）へと着実に上昇している（資料 9）。

近年、大学受験生の就職や資格取得を見据えた進路選択意識が高まるなかで、就職に直結するリハビリテーション学分野への興味・関心や進学意欲は極めて高いものがある。その全国で見た募集定員は、1992 年 50 名から 2016 年 8,152 名へと増大してきたが、その間志願者は 1992 年の 243 名から 2016 年の 50,353 名へと顕著に増大した（資料 10）。今後も全国的に理学療法・作業療法

年度 45 名であったが、平成 27 年度 35 名、平成 28 年度 36 名、平成 29 年度 31 名と若干低下し横ばい傾向で推移したが、全国的に志願倍率の低下した平成 30 年度には 28 名となっている（志願倍率 0.7～1.1 倍）（資料 11）。

18 歳人口が急減する時期に差し掛かり、その中で大学への進学者数および進学率が増加するという状況が生じたことが、専門学校である本校への志願者低迷の大きな原因になったと考えられる。

他方、岡山医療技術専門学校における過去 5 年間の志願者内訳をみると、高校卒業見込み者 7～9 割、社会人 1～2 割、大学生 1 割以下であり、全体として社会人等の割合は減少傾向にある（資料 12）。ここから、社会人志願者の割合は、1 割内外になると予測することができる。

を取り扱うリハビリテーション学分野への志願者増加傾向は続くと予想される。リハビリテーション学分野における学生の進学志望の高まりは、全国的に強いトレンドとなって継続していくものと考えられる。 全国的に大学における理学療法・作業療法分野への志願者数が著増する傾向が続くなかで、近隣大学に対する高い志願者数・志願倍率・定員充足率の状況および本学設置に対するアンケート調査の結果から、今後も長期的に安定して本学の定員を充足するに十分な志願者を確保することができる見通しであり、学生確保の見通しは十分であると予測される。 （５）既設の岡山医療技術専門学校の志願状況 既設の岡山医療技術専門学校における理学療法学科の入学志願者数は、平成 26 年度 78 名から平成 27 年度 86 名、平成 28 年度 94 名、平成 29 年度 91 名と安定して推移したが、専門学校を中心とする全国的な志願倍率の低下とともに平成 30 年度においては 63 名へと落ち込んでいる（志願倍率 0.8～1.2 倍)。作業療法学科の入学志願者数は、平成 26 年度 45 名であったが、平成 27 年度 35 名、平成 28 年度 36 名、平成 29 年度 31 名と若干低下し横ばい傾向で推移し、全国的に志願倍率の低下した平成 30 年度には 28 名となっている（志願倍率 0.7～1.1 倍）（資料 11)。 この間、高等学校卒業者の卒業後の進路状況は、次のように変化していた。 **表 A　高等学校卒業者の状況（表 A)** 高等学校の卒業者が平成 25 年 3 月の 109 万 2 千人から 105 万人～107 万人前後へとジグザグに減少する中で、大学進学者は平成 25 年 3 月の 51 万 7 千人から平成 29 年 3	

月の 53 万 3 千人へと着実な増加を示し、大学進学率は平成 25 年 3 月の 47.4%から平成 29 年 3 月の 49.6%へと上昇している。 一方、同期間に、専門学校進学者と就職者は対照的な動きを示した。専門学校進学者は、18 万 6 千人から 17 万 4 千人へと大きく減少したのに対して、就職者は 18 万 5 千人から 19 万人へと着実に増加してその差が拡大し、平成 29 年 3 月には専門学校進学者を大きく凌駕する状況が生じている。 高等学校卒業者数が減少する中で、大学教育への需要が継続的に高まり、大学への進学者数および進学率がともに増加し、加えて日本経済の持続的な景気回復によって就職に有利な状況が生まれ卒業後就職する学生が増加するという状況が生じた。このことが、専門学校である本校への志願者低迷の大きな原因になったと考えられる。 また日本経済の景気回復と人手不足の状況は、本学に入学を志願する社会人や大学生の減少を導く原因となったと考えられる。表 B で、理学療法学科の受験者別割合の推移をみると、大学生の割合は平成 26 年度 10.4%を占めていたが、平成 28 年度以降急減し、平成 30 年度には 0.0%となり、社会人の占める割合も、平成 26 年度 22.1%から、増減を繰り返しながら減少し、平成 30 年度には 6.6%へと急減した。作業療法学科を見ると、大学生の割合は平成 26 年度 9.3%から平成 30 年度 3.7%へと大きく低下し、社会人の割合も平成 26 年度の 20.9%から平成 29 年度 9.7%へと急減し、30 年度には 14.8%へと増加するが全体的に大きく比重を下げている。全体としての社会人および大学生の志願者の大幅な減少は、定員未充足の要因となっている。 **表 B　過去 5 年間における受験者別割合の推移（表 B）**	

またこれらのデータから、本学への社会人志願者の割合は、1 割内外になるものと予測することができる。	
イ　定員充足の根拠となる客観的データ **(1)「全国の 18 歳人口と高等教育への進学率等の推移」で用いたデータの概要** （資料 7）18 歳人口予測（全国）（平成 29 年～平成 38 年） （資料 8）18 歳人口予測（岡山県）（平成 29 年～平成 38 年） （資料 9）大学進学率の推移 **(2)「全国の学部系統別の動向」で用いたデータの概要** （資料 10）リハビリテーション学の募集定員と志願者数 **(3)「近隣競合校の入学志願者数推移」で用いたデータの概要** （資料 4）近隣等競合校の入学志願者数の推移　理学療法学科（専攻を含む） （資料 5）近隣等競合校の入学志願者数の推移　作業療法学科（専攻を含む） （資料 6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率 **(4)「第三者機関による高校生アンケート調査」で用いたデータの概要** （資料 1）岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置について の高校生志向調査（ライセンスアカデミー、WEB 調査） （資料 2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査（WEB 調査）	イ　定員充足の根拠となる客観的データの概要 （１）志願者の動向 専門職大学としての本学は、受験エリアから考えて、川崎医療福祉大学、吉備国際大学、広島国際大学、広島都市学園大学、姫路獨協大学の5校と競合すると判断される。この中で、本学と同じ岡山県に立地する川崎医療福祉大学（倉敷市）と吉備国際大学（高梁市）は、これまで岡山医療技術専門学校が競合してきた大学であることから、専門職大学としての本学も、両校と直接競合するものと考えられる。 １）近隣大学の理学療法学科の志願状況（資料 8） 川崎医療福祉大学の理学療法専攻志願者は、平成 25 年度 417 名、平成 26 年度 460 名、平成 27 年度 437 名、平成 28 年度 661 名、平成 29 年度 441 名であり、志願倍率はほぼ 10 倍で推移している。吉備国際大学は、平成 28 年度は非公開であるが、平成 25 年度からの 5 ヵ年は志願倍率 2.8～6.3 倍で推移している。県内の 2 校の志願者数・志願倍率の状況が示すとおり、理学療法分野への志望学生に対する大学入学定員は明らかに社会的ニーズに比して不足していると見られ、その点から専門職大学としての本学部理学療法学科への十分な志願者数を見込むことができる。 また、近県の広島国際大学の志願倍率は 11.2～14.0 倍、広島都市学園大学は 2.4～4.3 倍、姫路獨協大学は 3.9～9.8 倍となっており、受験エリア内にある近県 3 校の志願者数・志願倍率から考えて、広島・兵庫か

資料 1 よりオープンキャンパス対象者に行った本学の WEB 調査結果を抜粋 **(5)「既設の岡山医療技術専門学校の定員充足状況」で用いたデータの概要** （資料 11）岡山医療技術専門学校過去 5 カ年の入学志願者数	らかなりの志願者数を見込むことができる。 ２）近隣大学の作業療法学科の志願状況（資料9） 川崎医療福祉大学の作業療法専攻志願者総数は、平成 25 年度 219 名から、平成 26 年度 239 名、平成 27 年度 307 名、平成 28 年度 310 名、平成 29 年度 237 名と推移しており、全体として安定した志願者を集め、志願倍率は 4.0～7.9 倍と高い水準で推移している。吉備国際大学は、平成 28 年度は不明であるが、1.3～2.2 倍の志願倍率で推移している。県内の競合校 2 校の志願状況から見て、作業療法分野の大学定員は志願者のニーズを満たすには至っておらず、専門職大学としての本学部作業療法学科への十分な志願者数を見込むことができる。 近県の広島国際大学の志願倍率は 8.8～14.1 倍、広島都市学園大学は 1.7～2.9 倍、姫路獨協大学は 2.6～4.6 倍となっており、受験エリアの広島・兵庫からも志願者を見込むことができる。 ３）岡山専門職大学健康科学部への志願状況（資料 23） 岡山専門職大学健康科学部理学療法学科（入学定員 80 名）および作業療法学科（入学定員 40 名）設置について、高校生の志向調査をライセンスアカデミーに委託（高等学校に対するアンケートと WEB アンケートを並行実施）し、岡山県を中心に、3,547 名に対して行った。 その結果、3,353 名から回答を得た。この内、本学に「入学を希望する」と答えた者は 178 名であり、入学定員 120 名に対する志願倍率 1.5 倍であった。また「受験先の候補の一つとして考える」と答えた者は 587

	名であり、定員に対する志願倍率 4.9 倍であった。「本学へ入学を希望する、または受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は合計 765 名であり、全体として入学定員 120 名に対する志願倍率は 6.4 倍となる（資料 23)。この中で理学療法学科（入学定員 80 名）を希望するもの 429 名、作業療法学科（入学定員 40 名）を希望する者 320 名であり、志願倍率は理学療法学科 5.4 倍および作業療法学科 8.0 倍であった（資料 23)。これらの結果は、本学の理学療法学科および作業療法学科に対して、定員を充足するに十分な志願者があることを示している。 以上のように、全国的に大学における理学療法・作業療法分野への志願者数が著増する傾向が続くなかで、岡山県ならびに近県受験エリアの理学療法士・作業療法士を養成する大学に対する高い志願者数・志願倍率の状況および本学設置に対するアンケート調査の結果から、今後も長期的に安定して本学の定員を充足するに十分な志願者を確保することができる見通しであり、学生確保の見通しは十分であると予測される。

表 A　　高等学校卒業者の状況

単位（千人、%）

区分	卒業者	大学進学者	%	専門学校進学者	%	就職者	%
平成25年3月	1,091.6	517.4	47.4	185.6	17.0	184.7	16.9
平成26年3月	1,051.3	505.2	48.1	178.7	17.0	183.6	17.5
平成27年3月	1,069.0	522.7	48.9	178.1	16.7	189.7	17.7
平成28年3月	1,064.3	525.2	49.3	173.6	16.3	189.9	17.8
平成29年3月	1,074.7	532.6	49.6	173.9	16.2	190.3	17.7

（備考）文部科学省「平成 29 年 3 月高等学校卒業者の就職状況（平成 29 年 3 月末現在）に関する調査について」

表Ｂ　過去５年間における受験者別割合の推移

区分	受験者別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
理学療法学科	高校生(%)	67.5%	74.7%	73.4%	85.7%	93.4%
	大学生(%)	10.4%	9.6%	3.2%	2.2%	0.0%
	社会人(%)	22.1%	15.7%	22.3%	12.1%	6.6%
作業療法学科	高校生(%)	69.8%	82.4%	82.4%	87.1%	85.2%
	大学生(%)	9.3%	5.9%	5.9%	3.2%	3.7%
	社会人(%)	20.9%	11.8%	11.8%	9.7%	14.8%

（備考）法人事務局

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（資料２）

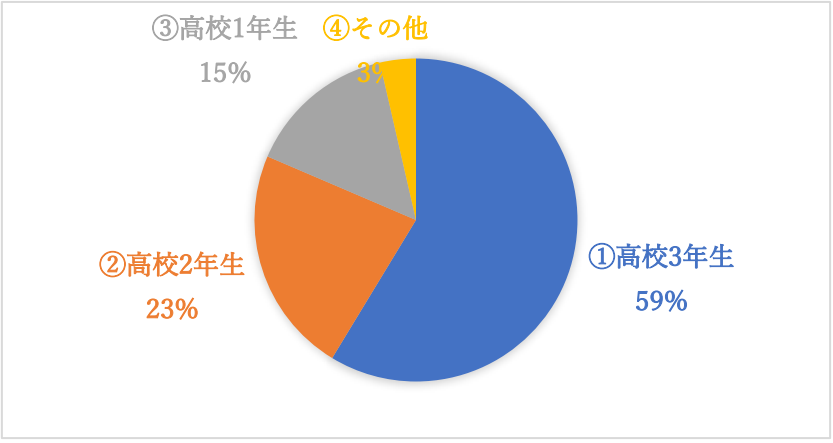
新	旧
【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査　追加	なし

（資料 2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査

【調査期間】平成 30 年 7 月 25 日（水）～10 月 2 日（火）

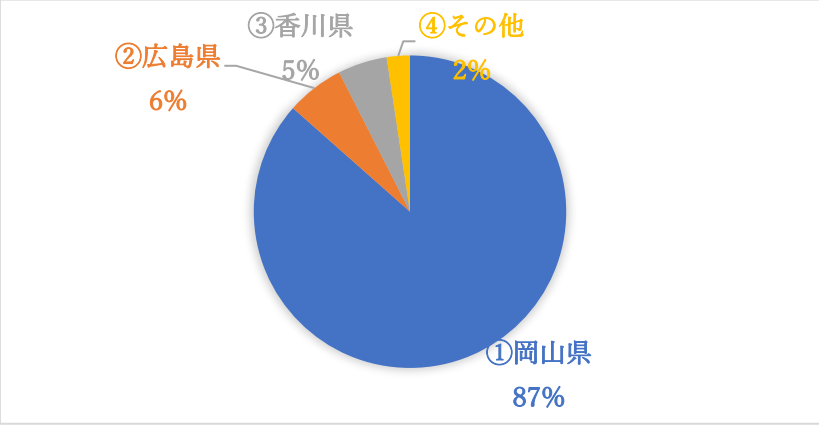
Q1.　あなたの学年を教えてください。

選択肢	人数（名）
①高校３年生	196
②高校２年生	76
③高校１年生	50
④その他	12
合計	334



Q2. 高校の所在地を教えてください。

選択肢	人数（名）
①岡山県	289
②広島県	20
③香川県	17
④その他	8
合計	334



Q3.　高校名を記入してください。

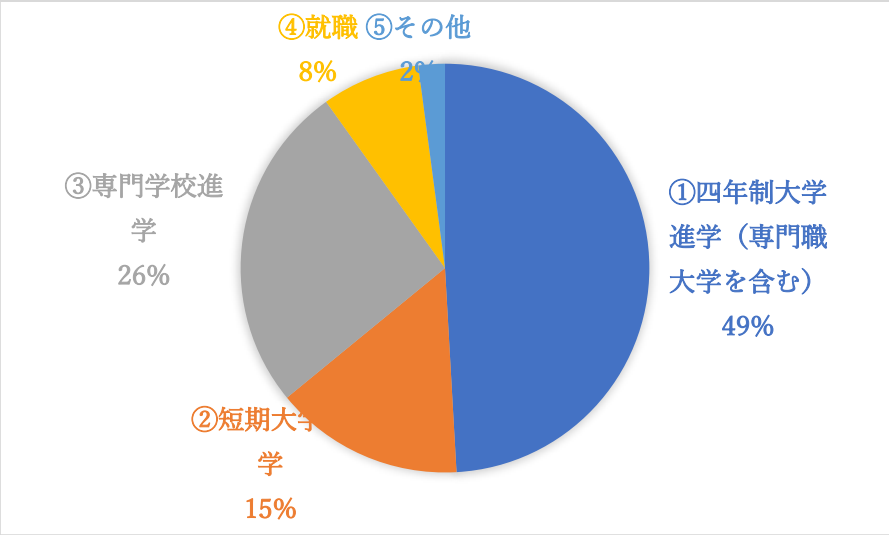
高校名	人数（名）
岡山県立勝山高等学校	22
岡山県立倉敷天城高等学校	22
岡山県立玉野高等学校	21
岡山県立倉敷中央高等学校	13
岡山県立西大寺高等学校	12
岡山県美作高等学校	9
岡山県立和気閑谷高等学校	9
岡山高等学校	9
関西高等学校	7
岡山学芸館高等学校	6
岡山県立岡山操山高等学校	6
岡山県立岡山東商業高等学校	6
岡山県立岡山南高等学校	6
岡山県立水島工業高等学校	6
岡山理科大学附属高等学校	6
創志学園高等学校	6
岡山県作陽高等学校	5
岡山県立新見高等学校	5
岡山県立倉敷古城池高等学校	5

岡山県立矢掛高等学校	5
おかやま山陽高等学校	4
岡山県立岡山工業高等学校	4
岡山県立岡山城東高等学校	4
岡山県立岡山芳泉高等学校	4
岡山県立玉野光南高等学校	4
岡山県立津山東高等学校	4
岡山県立東岡山工業高等学校	4
玉野市立玉野商工高等学校	4
就実高等学校	4
岡山県立真庭高等学校	3
岡山県立瀬戸高等学校	3
岡山県立瀬戸南高等学校	3
岡山県立倉敷青陵高等学校	3
岡山県立総社高等学校	3
岡山県立津山工業高等学校	3
岡山県立津山商業高等学校	3
山陽女子高等学校	3
清心女子高等学校	3
明誠学院高等学校	3
岡山県共生高等学校	2
岡山県立井原高等学校	2
岡山県立岡山朝日高等学校	2
岡山県立倉敷工業高等学校	2
岡山県立倉敷商業高等学校	2
岡山県立倉敷中央高校	2
岡山県立倉敷南高等学校	2
岡山県立総社南高等学校	2
岡山白陵高等学校	2
吉備高原学園高等学校	2
興譲館高等学校	2
倉敷高等学校	2
倉敷翠松高等学校	2
津山工業高等専門学校	2
岡山県立岡山一宮高等学校	1
岡山県立岡山御津高等学校	1
岡山県立笠岡工業高等学校	1

岡山県立笠岡高等学校	1
岡山県立笠岡商業高等学校	1
岡山県立鴨方高等学校	1
岡山県立興陽高等学校	1
岡山県立玉島高等学校	1
岡山県立勝間田高等学校	1
岡山県立倉敷鷲羽高等学校	1
岡山県立邑久高等学校	1
岡山県立林野高等学校	1
岡山商科大学付属高等学校	1
岡山商科大学附属高等学校	1
金光学園高等学校	1
倉敷市立倉敷翔南高等学校	1
広島大学附属高等学校	4
広島県立油木高等学校	2
尾道高等学校	2
福山市立福山高等学校	2
呉工業高等専門学校	1
広島県立戸手高等学校	1
広島県立福山葦陽高等学校	1
広島県立福山明王台高等学校	1
広島大学附属福山高等学校	1
英明高等学校	10
香川県立琴平高等学校	2
香川県立小豆島中央高等学校	2
香川高等専門学校	1
坂出第一高等学校	1
徳島県立つるぎ高等学校	1
徳島県立川島高等学校	1
徳島県立徳島商業高等学校	1
愛媛県立今治北高等学校	1
愛媛県立三島高等学校	1
開星高等学校	1
島根県立島根中央高等学校	1
合計	334

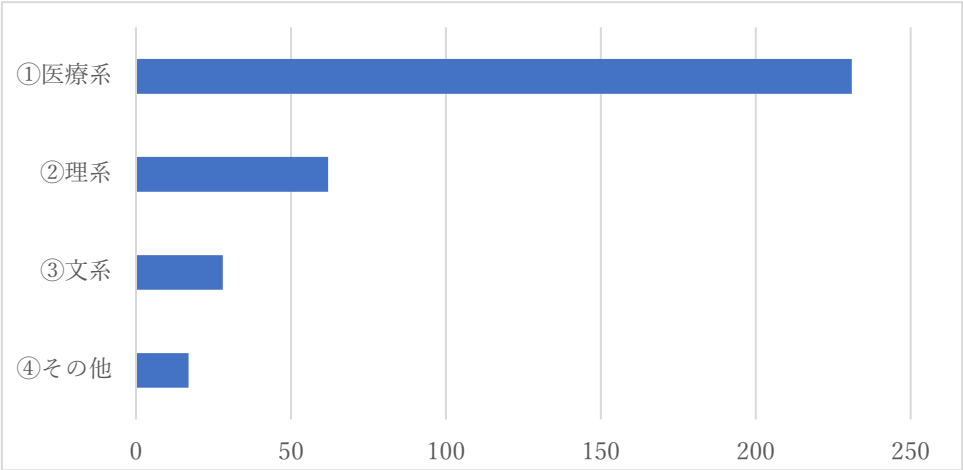
Q4.　あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。

選択肢	人数
①四年制大学進学（専門職大学を含む）	164
②短期大学進学	50
③専門学校進学	87
④就職	26
⑤その他	7
合計	334



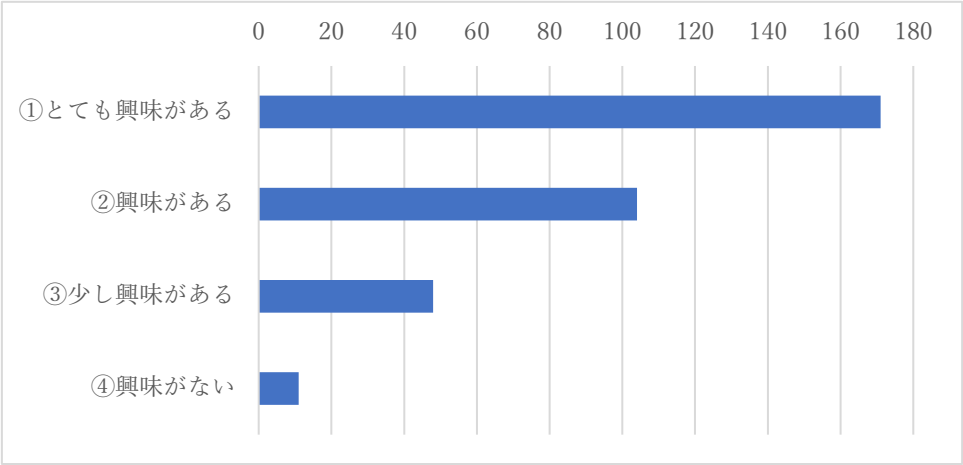
Q5.　あなたが進学したいと考えている学問分野は次のうちどれですか。次の中から選んでください。（複数回答可）

選択肢	人数
①医療系	231
②理系	62
③文系	28
④その他	17
合計	334



Q6.　あなたは岡山医療専門職大学（仮称）に興味がありますか。

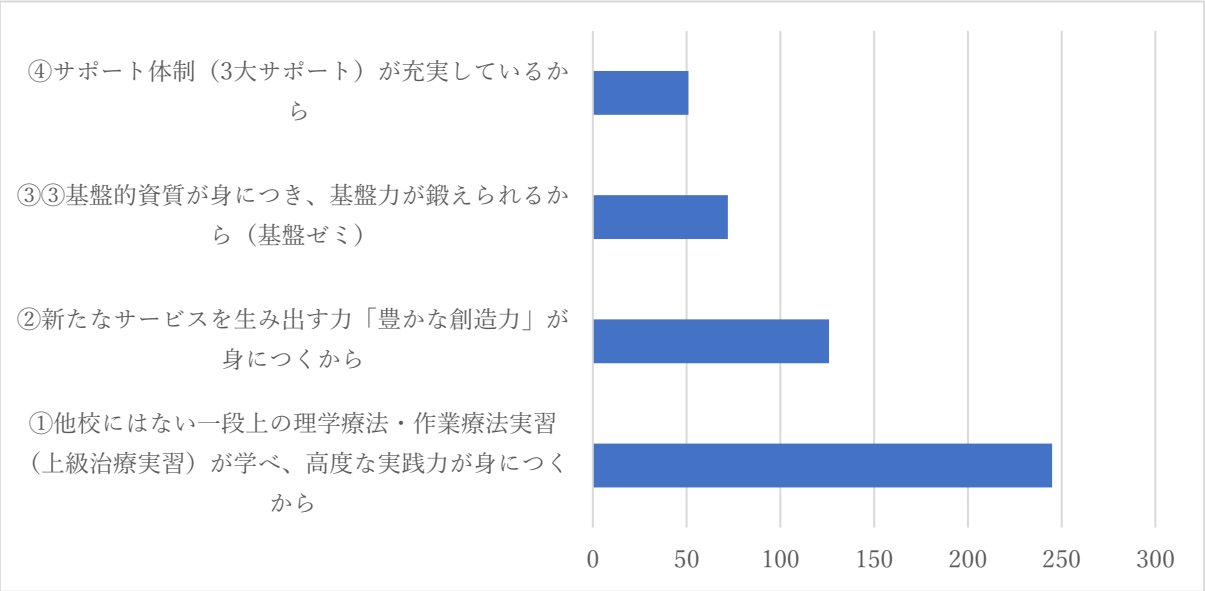
選択肢	人数
①とても興味がある	171
②興味がある	104
③少し興味がある	48
④興味がない	11
合計	334



Q7.Q6 で「①とても興味がある、②興味がある、③少し興味がある」のいずれかを選んだ方にお聞きします。興味を持った理由を教えてください。（複数回答可）

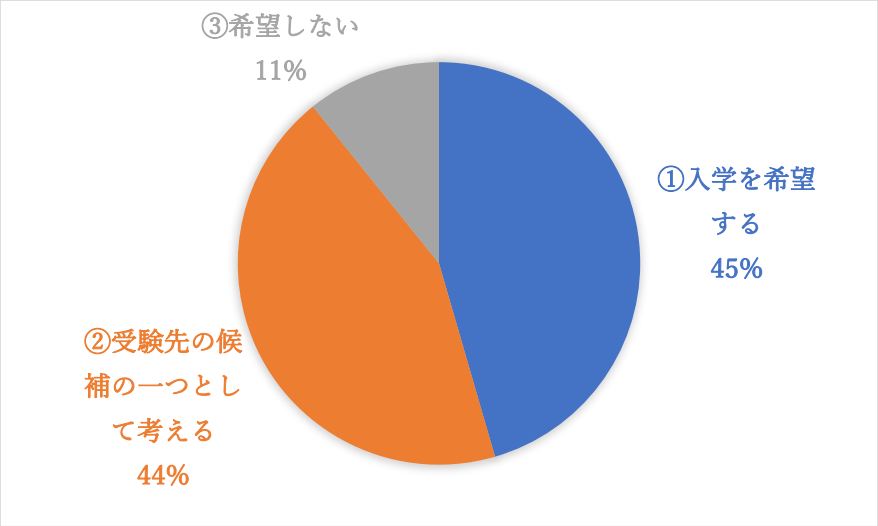
選択肢	人数
①他校にはない一段上の理学療法・作業療法実習（上級治療実習）が学べ、高度な実践力が身につくから	245
②新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから	126
③基盤的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基盤ゼミ）	72
④サポート体制（3 大サポート）が充実しているから	51

合計	326



Q８.あなたは「岡山専門職大学（仮称）」に入学したいと思いますか。（１つに○をつけてください）

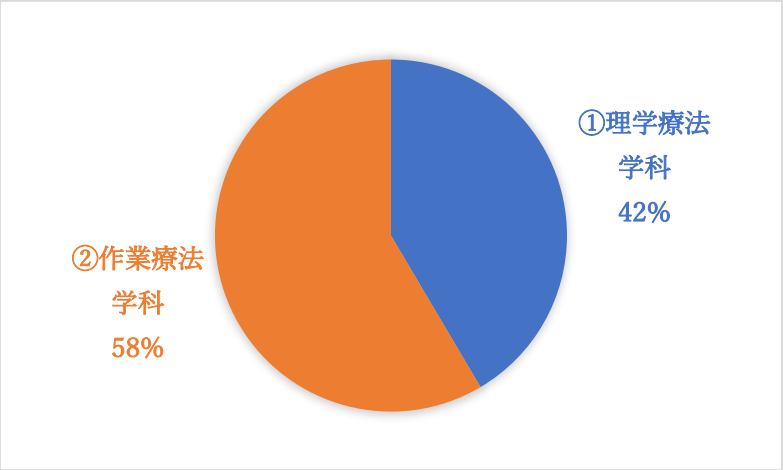
選択肢	人数（名）
①入学を希望する	152
②受験先の候補の一つとして考える	146
③希望しない	36
合計	334



Q９.Q8 で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。次のどの学科への入学を希望しますか。

選択肢	人数（名）
①理学療法学科	127

②作業療法学科	179
合計	306



（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（資料 6）

新	旧
川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率	なし

（資料 6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率

川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学部（旧医療技術学部）

○理学療法学科

対象年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	460	437	379	611	441
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	11.5	10.93	9.48	10.18	7.35
入学者数	不明	54	54	68	68
入学定員超過率	不明	1.35	1.35	1.13	1.13

○作業療法学科

対象年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	239	307	233	310	237
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	5.48	5.98	5.83	5.17	3.95
入学者数	不明	57	54	68	66
入学定員超過率	不明	1.42	1.35	1.13	1.10

（川崎医療福祉大学公表データより）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

7．基盤ゼミⅠ～Ⅳ並びに研究手法や研究指導に関する科目が大学教育としてふさわしい内容であるか疑義があるため是正すること。また、教育内容の重複もみられるため、整理の上、配当されている単位数に相当する教育内容であることを明らかとすること。さらに、基礎科目に配置された科目は全て必修科目であるが、養成する人材像にふさわしい多様性がうまれないため、基礎科目に選択科目を設けること。

（対応）基盤ゼミ I～IV が大学教育としてふさわしい内容であるかに疑義があるため説明し、教育内容の重複を整理するようにとのご指摘と、配当されている単位数に相当する教育内容であることを説明するようにとのご指摘があり、次のように是正する。

旧基盤ゼミ I～IV は基本的には大学教育としてふさわしいと考えているが、他の科目と重複している部分については削除し、また同じ基盤ゼミ科目間の重複等を整理したうえで、授業形態をプレゼン教育中心に統一し、配当単位数と内容との調整を図り、新基盤ゼミ I、Ⅱの２科目（各１単位）に整理統合するように是正した。

新基盤ゼミⅠ、Ⅱの内容は、下表に示す通りである。新基盤ゼミⅠで、教育テーマとして「急激に変化する時代を生き抜くための課題」群を設定し、旧基盤ゼミ Ⅰ の「自分の将来像」や旧基盤ゼミ IV の「志を持って前向きに学び続ける志向性」をテーマとして取り込む。また旧基盤ゼミⅠで目標としていた高い倫理観の涵養は「職業人の倫理と道徳論」と重複しているため基盤ゼミ内容から削除する。

このようにして旧基盤ゼミ I～IV を、大学レベルの内容を備えた質の異なる２段階のプレゼン教育を主体とする新基盤ゼミ I，Ⅱに再構成することによって、配当されている単位数に相当する教育内容に是正した。

科目名	講義内容
基盤ゼミⅠ	基盤ゼミ１では、少人数編成のプレゼン教育を活用して、担当教員が準備する急激に変化する時代を生き抜くための課題群から学生が選択し、課題のあるべき姿と現実、その原因と解決策のオプションをまとめ、さらに最善の解決策へと絞り込んでいく思考過程を身につけていく。ゼミメンバーを２グループに分け、グループごとに課題を煮詰める作業を行い、教師が議長となりプロ（賛成）とコン（反対）に分かれて討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることで、問題への認識を深め、より洗練された解決策を見出していくという方法をとる。 到達目標：①課題についての問題意識を明確にする。②課題の問題点を明確にできる。③課題の解決に向けての選択肢を示し、最善の選択肢を選ぶことができる。④課題に関して説得力ある形で人に伝える発信力とコミュニケーション力を身につける。⑤効果的なプレゼンテーションの組み立て方法を修得する。

基盤ゼミⅡ	基盤ゼミⅠで修得した、問題の核心を特定し最善の解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択した課題に基づき、必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表する。 自ら学ぶ姿勢を丁寧に鍛え、問題の核心を認知し、問題を掘り下げ、自ら必要なデータを調査し、論理的な思考過程を通して、最善の解決策を見出していく能力を育成する。　教師が議長となり、各人のプレゼンテーションについてプロコン・メソッドで討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることでより洗練された解決策を見出していくという方法をとる。 到達目標：①課題を発見し、問題を特定することができる。②問題を掘り下げるのに必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめることができる。③本格的なプレゼンテーション形式で課題の解決策を提示することができる。④自ら学び、調べ、解決策を探究する学修姿勢と力を身につける。

研究手法や研究指導に関する科目への対応

研究手法や研究指導に関する以下の科目の内容を、次のように是正する。

理学療法学科・作業療法学科

科目名	講義内容
テーマ設定と研究方法	臨床現場で働くためになぜ研究マインド・研究スキルを身につける必要があるかを理解し、社会や対象者が抱える課題解決に寄与できる可能性を探ることができる。 到達目標：①研究テーマを設定する手順を理解する。②研究手法について理解することができる。
研究デザイン	各分野の指導教員のもと、研究計画の立案を通して、研究を実施するための必要な知識を段階的に獲得していく。具体的には、緒言、研究方法、結果及び考察というセクション別で、重要なポイントを学んでいく。 到達目標：研究の背景から予測される成果まで論理的に説明し、研究を実施するための研究計画を立案することができる。
総合研究Ⅰ	学生が設定しようとする研究テーマについて、先行研究の把握（論文抄読）とその要約・レビュー、実現可能な研究計画書の作成演習（倫理委員会での審査を含む研究手法の組み立てとその手順）を通じて、論文執筆演習を段階的に行う。 到達目標：①実際の研究テーマに沿った、先行研究の要約・レビューができる。②研究計画書の作成ができる。
総合研究	総合研究Ⅱでは、総合研究Ⅰでの執筆演習を受けて、実際に遂行中の研究精

Ⅱ	度を吟味し、研究結果を解釈しまとめる。各種専門領域別の担当指導教官の下、実施中の研究とその確認（研究計画の修正及び追加実験等の必要性）を段階的に行う。具体的には、学生が設定した研究テーマについて、①先行研究における要約の妥当性、②テーマに沿った疑問点、問題点及びそれに伴う仮説の適切性、③研究方法の透明性、④統計処理の有効性、⑤結果の解釈に伴う科学的根拠の信頼性等について議論し、研究の精度を高めていく。 到達目標：①論文の骨格を明確にする。②科学的根拠に基づいた研究結果の解釈ができる。

（別紙 4）シラバス

基礎科目の選択科目への対応

基礎科目に配置された科目が全て必修科目であり、養成する人材像にふさわしい多様性がうまれないため、基礎科目に選択科目を設けるようにご意見をいただいたため、次の通り選択科目を追加配置した。

理学療法学科・作業療法学科　教育課程　基礎科目内、選択科目

新	旧
心理学（1 前）2 単位 哲学概論（1 前）2 単位 基礎生物（1 前）1 単位 基礎物理（1 前）1 単位 人間関係論（3 前）2 単位	なし

多様な学問の学びを通じて、幅広く基礎的な知識を獲得し、理学療法および作業療法の専門性を高める学問的基盤を構築することを目的に基礎科目に選択科目を設ける。

障害をもつ対象者と向き合い、優しい心で接する対応力をもつ力と教養を身につけるために、「心理学」「哲学概論」「人間関係論」等の人を深めるための基礎的科目を配置した。「基礎生物」「基礎物理」については、人を対象とする専門職として人を多角的（生物学的・物理学的・心理学的・哲学的）に理解する基礎的な力を養うため配置しているが、既修者が相当程度いる可能性があるため、必修科目から選択科目に変更した。

（新旧対照表）教育課程の概要、学則別表 1

新	旧
別紙 1－2	別紙 1－2

（新旧対照表）授業科目の概要

新	旧
基盤ゼミⅠ 　基盤ゼミ１では、少人数編成のプレゼン教育を活用して、担当教員が準備する急激に変化する時代を生き抜くための課題群から学生が選択し、課題のあるべき姿と現実、その原因と解決策のオプションをまとめ、さらに最善の解決策へと絞り込んでいく思考過程を身につけていく。ゼミメンバーを２グループに分け、グループごとに課題を煮詰める作業を行い、教師が議長となりプロ（賛成）とコン（反対）に分かれて討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることで、問題への認識を深め、より洗練された解決策を見出していくという方法をとる。 到達目標：①課題についての問題意識を明確にする。②課題の問題点を明確にできる。③課題の解決に向けての選択肢を示し、最善の選択肢を選ぶことができる。④課題に関して説得力ある形で人に伝える発信力とコミュニケーション力を身につける。⑤効果的なプレゼンテーションの組み立て方法を修得する。	基盤ゼミⅡ 　与えられたテーマに関して、報告し、討論を重ね論理的思考力と表現力を身につける。 到達目標：与えられたテーマについて、自己の意見を伝えるための表現力を身につける。また、相互に報告・討論を重ね、論理的思考力を鍛え、持続的な学習志向性を身につける。 基盤ゼミⅢ 　自ら選んだテーマに基づいて、メンバーに行動を促すためのプレゼンテーションを準備・実行し質疑応答を行うなかで、メンバーが納得する自己表現力とリーダーシップを養う。 到達目標：専門職業人として必要となるプレゼンテーションスキル（明確な構成と根拠のある主張を展開できる論理性、わかりやすく伝えられる発信力）とコミュニケーション力を養う。そして、他者の意見・考え方を尊重し建設的な議論を促す質疑応答ができる即興力、自己表現力を養う。また、協同学習を行うことで状況に応じた役割を理解しながらゼミ活動を牽引するリーダーシップを養う。

基盤ゼミⅡ 基盤ゼミⅠで修得した、問題の核心を特定し最善の解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択した課題に基づき、必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表する。自ら学ぶ姿勢を丁寧に鍛え、問題の核心を認知し、問題を掘り下げ、自ら必要なデータを調査し、論理的な思考過程を通して、最善の解決策を見出していく能力を育成する。教師が議長となり、各人のプレゼンテーションについてプロコン・メソッドで討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることでより洗練された解決策を見出していくという方法をとる。　到達目標：①課題を発見し、問題を特定することができる。②問題を掘り下げるために必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめることができる。③本格的なプレゼンテーション形式で課題の解決策を提示することができる。④自ら学び、調べ、解決策を探究する学修姿勢と力を身につける。	基盤ゼミⅡ 　与えられたテーマに関して、報告し、討論を重ね論理的思考力と表現力を身につける。 到達目標：与えられたテーマについて、自己の意見を伝えるための表現力を身につける。また、相互に報告・討論を重ね、論理的思考力を鍛え、持続的な学習志向性を身につける。 基盤ゼミⅢ 　自ら選んだテーマに基づいて、メンバーに行動を促すためのプレゼンテーションを準備・実行し質疑応答を行うなかで、メンバーが納得する自己表現力とリーダーシップを養う。 到達目標：専門職業人として必要となるプレゼンテーションスキル（明確な構成と根拠のある主張を展開できる論理性、わかりやすく伝えられる発信力）とコミュニケーション力を養う。そして、他者の意見・考え方を尊重し建設的な議論を促す質疑応答ができる即興力、自己表現力を養う。また、協同学習を行うことで状況に応じた役割を理解しながらゼミ活動を牽引するリーダーシップを養う。

テーマ設定と研究方法 臨床現場で働くためになぜ研究マインド・研究スキルを身に付ける必要があるかを理解し、社会や対象者が抱える課題解決に寄与できる可能性を探ることができる。 到達目標：①研究テーマを設定する手順を理解する。②研究手法について理解することができる。	テーマ設定と研究方法 研究を開始するにあたって、基礎知識を備えることが重要である。研究手法や方法、手順、またその発表の方法について、知識を学ぶ。さらに、臨床や地域の課題をテーマ設定する際の手順とその基礎を学ぶ。 到達目標：①研究に親近感を持つ。②理学療法研究の方法としてどのようなものがありうるかを理解する。③研究発表の最低必要条件を理解する。④研究テーマの設定について理解する。
研究デザイン 各分野の指導教員のもと、研究計画の立案を通して、研究を実施するための必要な知識を段階的に獲得していく。具体的には、緒言、研究方法、結果及び考察というセクション別で、重要なポイントを学んでいく。 到達目標：研究の背景から予測される成果まで論理的に説明し、研究を実施するための研究計画を立案することができる。	研究デザイン 「テーマ設定と研究方法」と連動して研究手法や方法、手順やその発表等を実際に行い、研究デザインを固めるために予備研究等の演習を行う。ゼミ形式で、指導教官の下に、グループディスカッションやアクティブラーニングの手法をとる。「総合研究Ⅰ」がスムーズに行えるよう研究デザインを作成する。 到達目標：①研究手法や方法、手順を確認できる。②研究デザインが作成できる。③研究についてのディスカッションができる。

総合研究Ⅰ 学生が設定しようとする研究テーマについて、先行研究の把握（論文抄読）とその要約・レビュー、実現可能な研究計画書の作成演習（倫理委員会での審査を含む研究手法の組み立てとその手順）を通じて、論文執筆演習を段階的に行う。 到達目標：①実際の研究テーマに沿った、先行研究の要約・レビューができる。②研究計画書の作成ができる。	総合研究Ⅰ 本講義では、3年前期までの総合的な学びと「テーマ設定と研究方法」を基に、障害や地域の諸問題に関するテーマについて議論し、実際に研究デザインを計画・実行し進める。なお、本講義はゼミ形式で行うため、講義時間などは指導教官の指示に従うこと。 到達目標：①テーマを適切に設定できる。②研究に必要な文献レビューができる。③研究計画を適切に立案できる。④研究デザインをプレゼンテーションできる。
総合研究Ⅱ 総合研究Ⅱでは、総合研究Ⅰでの執筆演習を受けて、実際に遂行中の研究精度を吟味し、研究結果を解釈しまとめる。各種専門領域別の担当指導教官の下、実施中の研究とその確認（研究計画の修正及び追加実験等の必要性）を段階的に行う。具体的には、学生が設定した研究テーマについて、①先行研究における要約の妥当性、②テーマに沿った疑問点、問題点及びそれに伴う仮説の適切性、③研究方法の透明性、④統計処理の有効性、⑤結果の解釈に伴う科学的根拠の信頼性等について議論し、研究の精度を高めていく。 到達目標：①論文の骨格を明確にする。②科学的根拠に基づいた研究結果の解釈ができる。	総合研究Ⅱ 本講義では、3年後期までの総合的な学びと各疾患や各地域の諸問題に関する研究デザインを基に、ゼミ形式で議論を繰り返し行い、研究結果を統合・解釈し、卒業論文を作成する。また、卒業論文発表に向けての準備、プレゼンテーション力を育成する。なお、本講義はゼミ形式で行うため、講義時間などは指導教官の指示に従うこと。 到達目標：①研究デザインに沿って、論文作成を進めることができる。②適切に論文について、討議ができる。③自主的に論文レビューができ、系統的に考察できる。④卒業論文を進度に応じてプレゼンテーションできる。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（29ページ）

新	旧
⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 1．教育方法 本学部の教育課程は、学生にとって学びやすく、興味が湧き、学習意欲が高まるよう、基礎科目から専門科目、さらに展開科目・総合科目へと段階的・系統的な科目配	⑥　教育方法、履修指導方法及び卒業要件 1．教育方法 本学部の教育課程は、学生にとって学びやすく、興味が湧き、学習意欲が高まるよう、基礎科目から専門科目、さらに展開科目・総合科目へと段階的・系統的な科目配

置を工夫し、丁寧に学生の成長を育む方法をとっている。 基盤ゼミプログラムでは、1 名の教員に対して各学年で原則 10 名以下の学生で構成され、本格的なプレゼンテーション教育により、プレゼンテーションスキルと論理的思考力を培い、自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む双方向の授業システムを採用し、生涯にわたり自らを向上させる基盤的資質を体系的に涵養する。	置を工夫し、丁寧に学生の成長を育む方法をとっている。 基盤ゼミプログラムでは、1 名の教員に対して各学年で原則 10 名以下の学生で構成され、1 年次より 4 年次まで一貫して豊かな人間性とコミュニケーション力と自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む双方向の授業システムを採用し、生涯にわたり自らを向上させる基盤的資質を体系的に涵養する。

（新旧対照表）教育課程の概要

新	旧
【卒業要件】 （理学療法学科） 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 １）本学に 4 年以上在学すること。 ２）次により、必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上を履修すること。 基礎科目 20 単位以上 必修科目 15 単位以上 選択科目 5 単位以上 職業専門科目 87 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 30 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目必修科目 20 単位以上 総合科目必修科目 4 単位以上 実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 22 単位以上 履修登録上限は、1 年間において 39 単位とする。 ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。	【卒業要件】 （理学療法学科） 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 １）本学に 4 年以上在学すること。 ２）次により、必修科目 123 単位、選択科目 8 単位以上を履修すること。 基礎科目 20 単位以上 職業専門科目 87 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 30 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目 20 単位以上 必修科目 12 単位以上 選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論から 8 単位以上を選択必修とする。 総合科目必修 4 単位以上 実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 20 単位以上

（作業療法学科） 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 １）本学に 4 年以上在学すること。 ２）次により、必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上を履修すること。 基礎科目 20 単位以上 必修科目 15 単位以上 選択科目 5 単位以上 職業専門科目 87 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 30 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目必修科目 20 単位以上 総合科目必修科目４単位以上 実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 22 単位以上 履修登録上限は、1 年間において 39 単位とする。 ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。	（作業療法学科） 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 １）本学に 4 年以上在学すること。 ２）次により、必修科目 123 単位、選択科目 8 単位以上を履修すること。 基礎科目 20 単位以上 職業専門科目 87 単位以上 専門基礎分野科目から必修科目 30 単位以上 専門分野科目から必修科目 57 単位以上 展開科目 20 単位以上 必修科目 12 単位以上 選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、 人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論から 8 単位以上を選択必修とする。 総合科目必修４単位以上 実習・実験科目から 40 単位以上 うち、臨地実務実習 22 単位以上 履修登録上限は、1 年間において 39 単位とする。 ただし、成績優秀者は 41 単位まで履修登録することができる。

（新旧対照表）学則（7-8 ページ）

新	旧
（卒業単位） 第 35 条　本学を卒業するためには、次の各号に定める所定の単位を修得しなければならない。 健康科学部 理学療法学科	（卒業単位） 第 35 条　本学を卒業するためには、次の各号に定める所定の単位を修得しなければならない。 健康科学部 理学療法学科

基礎科目　20 単位以上 　必修科目　15 単位以上 　選択科目　5 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 基礎分野科目から必修科目　30 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上（必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）修得しなければならない。 作業療法学科 基礎科目　20 単位以上 　必修科目　15 単位以上 　選択科目　5 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 基礎分野科目から必修科目　30 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上（必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上）修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）修得しなければならない。	基礎科目　20 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）修得しなければならない。 作業療法学科 基礎科目　20 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上修得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 22 単位以上を含む）修得しなければならない。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（32-33 ページ）

新	旧
（２）卒業要件 本学の卒業要件は、次のとおりとする。 １）本学に 4 年以上在学すること。 ２）卒業に必要な次の所定単位を取得する	（２）卒業要件 本学の卒業要件は、次のとおりとする。 １）本学に 4 年以上在学すること。 ２）卒業に必要な次の所定単位を取得する

こと。 健康科学部 理学療法学科 基礎科目　20 単位以上 必修科目　15 単位以上 選択科目　5 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 基礎分野科目から必修科目　30 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上（必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上）取得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）取得しなければならない。 作業療法学科 基礎科目　20 単位以上 必修科目　15 単位以上 選択科目　5 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 基礎分野科目から必修科目　30 単位以上 専門分野科目から必修科目　57 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上（必修科目 126 単位、選択科目 5 単位以上）取得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）取得しなければならない。	こと。 健康科学部 理学療法学科 基礎科目　20 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上取得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 20 単位以上を含む）取得しなければならない。 作業療法学科 基礎科目　20 単位以上 職業専門科目　87 単位以上 展開科目　20 単位以上 総合科目　4 単位以上 基礎科目・職業専門科目・展開科目・総合科目をあわせて 131 単位以上取得しなければならない。なお、実習・実験科目を 40 単位以上（臨地実務実習 22 単位以上を含む）取得しなければならない。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

8．メディカル英語の科目は基礎科目に区分されているが、職業としての専門英語を学習するであれば、専門科目に区分すること。

（対応）メディカル英語の科目の区分について、職業としての専門英語を学習するのであれば基礎科目から専門科目に区分するようご意見をいただいたので、職業として専門英語を学ぶため専門科目に選択科目として配置する。

（新旧対照表）教育課程の概要、学則別表 1

新	旧
職業専門科目　専門基礎分野：メディカル英語　3 後　選択 2 単位	基礎科目:メディカル英語　3 後　必修 2 単位

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

9．ディプロマ・ポリシーに対応する教育内容として、以下の点を是正すること。 （1）医療現場で必要な国際的視野を備えるとしているが、国際性をどのように身に付けさせるのか不明確。 （2）論理的思考能力と研究スキルを備えるとしているが、研究スキルをどのように身に付けさせるのか不明確。

（対応）

（1）医療現場で必要な国際的視野を備えるとしているが、国際性を身につける具体的な対応が不明確とのご意見をいただいたが、審査意見2に対応して学科ごとに養成する人材像を明確にしたため、「医療現場に必要な国際的視野を備える」としたディプロマポリシーを、具体的に「職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える」と明確化した。

日本の歴史と文化の理解を基礎として国際社会を理解することを目的として、1 年次に「日本の歴史と文化」を、2年次に「国際政治経済論」を配置する。いずれも目的に合わせて独自に作成した英語教材を使用する。さらに英語力の向上のために、1年次に「コミュニケーション英語」、3 年次に「メディカル英語」を配置する。日本の歴史と文化や諸外国の情勢について英語を通じて知ることにより外国人患者を理解し、患者の訴えが理解できるレベルの英語力を習得する。

（2）論理的思考能力と研究スキルを身につけさせるプロセスは、以下の通りである。

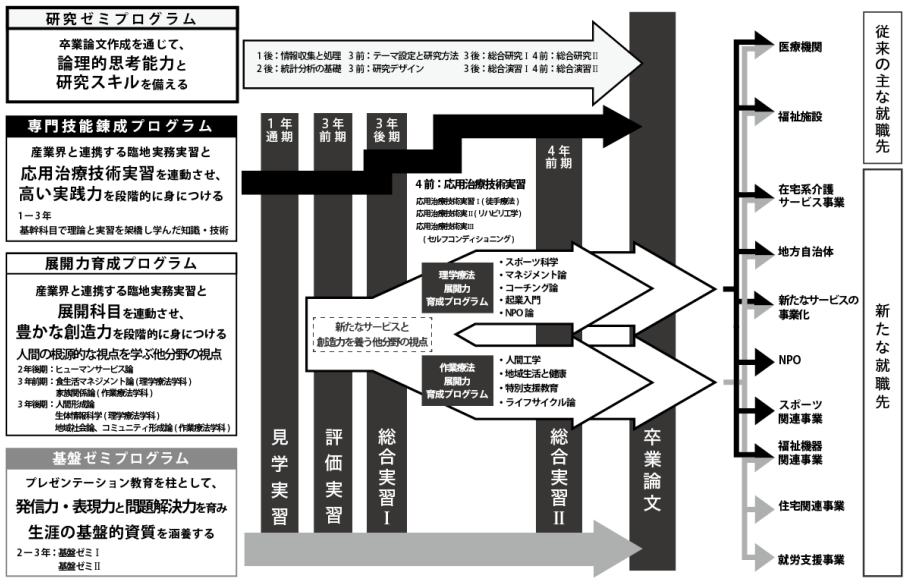
1年次から2年次にかけては、研究に必要な基礎的な知識と技術を培うために、1年次後期に「情報収集と処理」を配置し、データベースの基本的な構造を理解しその作成技術を修得し、2年次後期の「統計分析の基礎」では、統計学の基礎から統計分析やデータ解析の手法を学ぶ。3年次前期の「テーマ設定と研究方法」では、テーマの設定手順と研究手法を学び、これと並行する「研究デザイン」では、研究を遂行していくための組織・設備・対象・仮説の立て方等を身につける。この段階までに、研究に対する基本的知識を身に付ける。また、3年次前期に「評価実習」が、3年次後期に「総合実習Ⅰ」が、4年次前期に「総合実習Ⅱ」が配置されているが、研究に関する基礎的な知識を身につけた上で臨地実務実習へ臨むことができるため、研究と実習が連動され、臨床現場での「気づき」をさらに深めることができ、現場での課題探求に役立つ。3年次後期「総合研究Ⅰ」では、学生の研究テーマに沿って具体的に研究計画を進めていく。4年次前期の「総合研究Ⅱ」では、論文の骨格を明確にし、研究精度を高める。4年次後期の「卒業論文」では、自らのテーマに沿った研究の結果を解析し、先行研究と対比して自らの研究の独自性を考察し、実際に論文を執筆することにより、自らの研究を総括する。このように、4年次の卒業論文の作成に必要な科目を学年進行につれて段階的かつ系統的に配置することにより、課題に対する論理的思考能力を養い、研究に対する興味がわき研究スキルが向上していく。

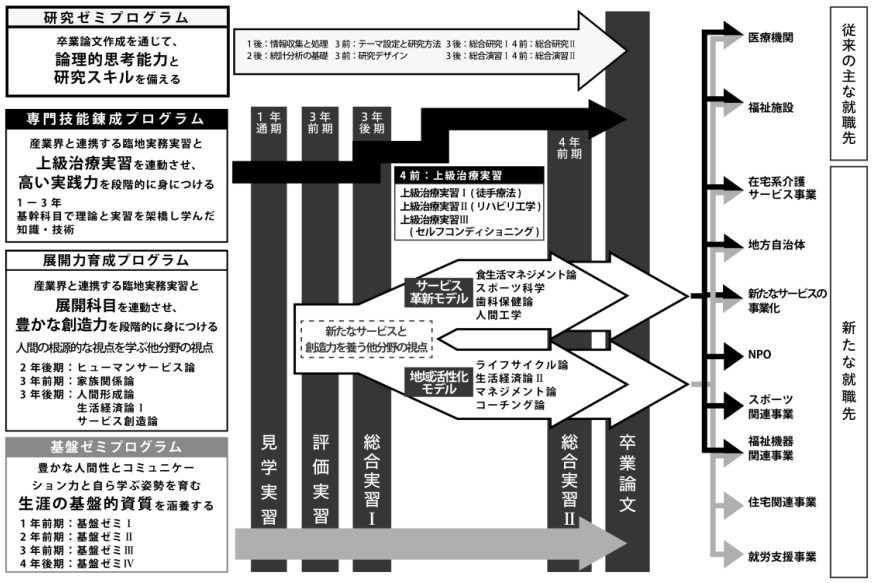
（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（13-14 ページ）

新	旧
④　教育課程の編成の考え方及び特色 中略 ４）国際理解と日本社会の歴史と文化 1 年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、2 年前後期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。患者の訴えを理解できる英語力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。	④　教育課程の編成の考え方及び特色 中略 （中略） ４）国際理解と日本社会の歴史と文化 1 年前期「コミュニケーション英語」「日本の歴史と文化」、3 年前期「国際政治経済論」、3 年後期「メディカル英語」では、社会人として最低限必要な国際性を養うことを目的とする。グローバル化した現代社会に対応するため、自ら思考し行動できる開かれた態度と実践力を育む。国際的なコミュニケーション力を涵養するとともに、国際政治経済と日本の歴史や文化をわかりやすい英語教材を用いて教授する。職業人として国際通用性を高め社会的および職業的自立を図るとともに、国籍の異なるさまざまな文化の対象者を受け入れるオープンマインドな姿勢を育む。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（図４）学生研究指導体制　科目関連図

新



旧	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（6-７）

新	旧
3）本学の人材育成教育 新設する岡山医療専門職大学は、以上の足らざる部分に重点的に取り組む教育を行う。特に岡山地域の新しいニーズに応え、地域活性化に貢献するための能力を、理学療法学科および作業療法学科で、それぞれの学科の目指す人材像に沿った「展開科目」を中心に構成される「展開力育成プログラム」により組織的に育成する。理学療法学科では、人々が健康で幸せな人生を全うする社会を実現するために、健康の維持・改善・予防の側面から、理学療法の最新の知識と専門技術を駆使し対象者に健康寿命を延伸する力を与え、かつ対象者がもつ課題を地域や多職種と協働して解決できる能力を養い、作業療法学科では、生活再建の側面から、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れた地域でいきいきと生活できるように、作業療法の最新の知識と専門技術を駆使し、積極的に地域の中に入り、地域コミュニティの再建に尽力できる能力を育	なし

成する。 　各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 　このような能力を備えた理学療法士および作業療法士は、地域が進める「地域包括ケアシステム」の深化・推進に中心的な役割を担うことができ、地域から「地域包括ケアシステム」に参画できる人材の育成を	

求められていること（資料 1-5）にもマッチする。 　また、知識と技術の提供に重点が置かれた既存の医療系の専門学校や大学では必ずしも十分な取り組みとは言えなかったプレゼンテーション能力の涵養を重視している。 　その理由は、論理的思考と発信力を鍛え、自ら学び続ける姿勢を身につけるとともに、地域のニーズに直結した活動を行う上で、プレゼンテーション能力は必須のスキルとなるからである。 　プレゼンテーション能力は、理学療法士および作業療法士が地域に関わり、住民など関係者の積極的関与を引き出すうえで必須の能力となる。地域の特徴に配慮した地域包括ケアシステムの理念と地域コミュニティ再建の必要性を、地域の団体や住民と共有するためには、サービスの全体像を整理して示す能力を備え、関係者に筋道立てて論理的に説明し、行動を促す説明能力が極めて重要となる。そのための現場を牽引する中核としての役割を担うには、優れたプレゼンテーション能力が必須となる。 　あわせて卒業後に持続的な自己研鑽を行う能力を身につけるため、卒業論文執筆にいたる系統的な研究指導により分析力と基礎的研究能力を丁寧に育成する。 　このように生涯にわたり基盤となる資質を丁寧に育む一方、職業現場のニーズを不断に取り入れる最新の専門教育課程と一段高い応用技能を錬成する「専門技能錬成プログラム」の展開等のハイレベルの実践実習教育を行う。そして高い倫理観に基づく懐の深いヒューマンサービスのあり方を探究し、多彩に構成された「展開力育成プログラム」により変化するニーズに対応して必要な新サービスを創出する柔軟な応用力	

を組織的に育成する先進的な「展開力育成」教育をおこない、「地域」に関わるサービスに積極的に参加し、「健康と福祉」のコミュニティづくりを主導し、創造的役割を果たすことができる新しいタイプの理学療法士・作業療法士を育成する教育を行う。 　このような本学の教育を受けた学生は、今後、地域が必要とする理学療法士および作業療法士として活躍できる人材となり得ることを確信する。	

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

10.「上級治療実習Ⅰ～Ⅲ」において、「上級」という言葉が使用されているが、上級という言葉の定義が不明なため、教育内容にふさわしい科目名称を再考すること。

（対応）「上級治療実習Ⅰ～Ⅲ」において、「上級」という言葉の定義が不明なため、教育内容にふさわしい科目名称を再考するようご意見をいただき、理論に裏付けられた専門技術のさらに進んだ応用力を涵養することを目的とした実習科目であるため、科目名を「応用治療技術実習Ⅰ～Ⅲ」に改める。

（授業内容）

「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）」では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）」では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。

新	旧
応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法） 応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学） 応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	上級治療実習Ⅰ（徒手療法） 上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学） 上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）

（新旧対照表）教育課程の概要、学則（別表１）（健康科学部理学療法学科）

新	旧
教育課程 応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）4 前、必修 1 単位 応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）4 前、選択 1 単位 応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）4 前、必修 1 単位	教育課程 上級治療実習Ⅰ（徒手療法）4 前、必修 1 単位 上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）4 前、選択 1 単位 上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）4 前、必修 1 単位

（新旧対照表）教育課程の概要、学則（別表１）（健康科学部作業療法学科）

新	旧
教育課程 応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）4 前、必修	教育課程 上級治療実習Ⅰ（徒手療法）4 前、必修 1 単

1 単位 応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）4 前、必修 1 単位 応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）4 前、選択 1 単位	位 上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）4 前、必修 1 単位 上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）4 前、選択 1 単位

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（17 ページ）

新	旧
4 年前期の「応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法)」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学)」では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング)」では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。	4 年前期の「上級治療実習Ⅰ（徒手療法)」「上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学)」「上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング)」では、3 年次までの臨地実務実習の経験をもとに、理論で裏付けられた深い応用力を学修する。「上級治療実習Ⅰ（徒手療法)」では、運動学を基礎にした応用テクニックである徒手療法の治療手技を学ぶことで、より効果的な治療技術を修得する。そして、「上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学)」（選択科目）では、対象者の支援に必要な福祉機器・医療ロボットについて理解を深め実用的な活用方法を学ぶ。また、「上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング)」では、セルフコンディショニングや予防的観点からの有用な運動指導方法について学修する。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

11. 展開科目は理学療法学科・作業療法学科ともに同一内容の科目が配置されているが、各学科で養成する人材像に応じて、適切な科目が配置されているのか疑義があるため、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを具体的に関連付けて明らかとすること。

（対応）展開科目は理学療法学科・作業療法学科ともに同一内容の科目が配置されているため、各学科で養成する人材像に応じて、適切な科目が配置されているのか疑義があるとのご意見を踏まえ、育成する人材像を学科ごとに明確にし、育成する人材像に応じた各学科のディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに対応した展開科目を次のように配置する。

（展開科目）

理学療法学科	作業療法学科
ヒューマンサービス論（2単位）	ヒューマンサービス論（2単位）
人間形成論（2単位）	人間形成論（2単位）
食生活マネジメント論（2単位）	家族関係論（2単位）
生体情報科学（2単位）	地域社会論（2単位）
NPO 論（2単位）	コミュニティ形成論（2単位）
スポーツ科学（2単位）	地域生活と健康（2単位）
起業入門（2単位）	特別支援教育（2単位）
マネジメント論（2単位）	人間工学（2単位）
コーチング論（2単位）	ライフサイクル論（2単位）
岡山経営者論（2単位）	岡山経営者論（2単位）

ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーとの対応については次の通りである。

（理学療法学科）

ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー
4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。	4）対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。

（作業療法学科）

ディプロマポリシー	カリキュラムポリシー
4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、	4）対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携し

多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。	て地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。

1.理学療法学科が育成する人材像は、「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」である。育成する人材像を踏まえたディプロマポリシーの「4) 対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。」およびカリキュラムポリシーの「4) 対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。」に対応する展開科目として、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「食生活マネジメント論」「生体情報科学」「NPO 論」「スポーツ科学」「起業入門」「マネジメント論」「コーチング論」「岡山経営者論」を配置する。

理学療法学科の展開科目により修得される能力は以下のとおりである。

２年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を育成する。３年後期「人間形成論」で、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。３年後期「生体情報科学」で、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などのからウェアラブル端末や IoT 等を活用した健康に関する情報を収集する基本的な技能について学び、効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために情報を活用する力を育成する。３年前期「食生活マネジメント論」で、健康における食生活の重要性と食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深める。４年前期「スポーツ科学」で身体運動を科学するためのアプローチ方法を学び、対象者のニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探求する。

このようにして、対象者の置かれた状況を的確に把握し、心と体を深く理解し尊重する姿勢と、健全な運動と食生活のあり方を修得することによって、対象者の身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供するうえで必須の能力を育成する。

また４年前期「マネジメント論」で、組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、４年前期「コーチング論」で、人の能力や可能性を伸ばし人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。４年前期「起業入門」で、起業に関わる基礎的知識を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。４年前期「NPO 論」によって、NPO の理念を知り組織の運営の在り方を学びサービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する力を育成する。４年前期「岡山経営者論」において、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの

革新と新たなサービスを創造する力を育成する。

理学療法学科の学生は、このような展開科目を修めることにより、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材に成長し、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関係事業・福祉機器関連事業・地方自治体等の新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスを提案し活躍の場を広げることができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

2.作業療法学科が育成する人材像は、「最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」である。育成する人材像を踏まえたディプロマポリシーの「4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。」およびカリキュラムポリシーの「4）対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。」に対応する展開科目として、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」「地域生活と健康」「特別支援教育」「人間工学」「ライフサイクル論」「岡山経営者論」を配置する。

作業療法学科の展開科目により修得される能力は以下のとおりである。

２年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する力を涵養する。３年後期「人間形成論」では、人のライフスタイルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。３年前期「家族関係論」は社会を構成する基本単位としての家族の変動を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を育成する。３年後期「地域社会論」で地域づくりの基本を学び、地域社会の歴史及び地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する力を育成する。３年後期「コミュニティ形成論」は、地域コミュニティの機能形成に焦点をあて、コミュニティ形成の基本知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。４年前期「ライフサイクル論」で、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。４年前期「地域生活と健康」で、健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成する。４年前期「人間工学」では、人と人を取り囲む様々なものや環境との整合性を図り、地域コミュ

ニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。４年前期「特別支援教育」で、教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成していくための基礎的な力を育成する。

こうして弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と障害を持つ人が共に生き生きと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須の知識と力を育成する。

そして４年前期「岡山経営者論」において、岡山を代表する様々な分野の経営者並びにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイデアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創造する力を育成する。

作業療法学科の学生は、このような展開科目を修めることにより、幅広い世代が住み慣れたところで生き生きと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材に成長し、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・地方自治体・住宅関連企業・福祉機器関連企業・教育機関・就労支援事業等の新たな職業現場に活躍の場が広がり、対象者が真に必要とするサービスの革新を提案し活躍の場を広げることができ、地域に根付いた新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、地域を活性化する動力としての役割を担うことができる。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（22 ページ）

新	旧
（３）展開科目 展開科目では、「基礎科目」、「職業専門科目」で修得した知識・技能に加え、理学療法・作業療法に関連する他分野の多様な視角と知識を身につけ、専門職業分野で創造的な役割を果たす能力を涵養する。そして展開科目と臨地実務実習を有機的に運用し対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスを工夫し、住み慣れた地域で安定した生活を支援する創造的サービスを提案し、地域を活性化する展開力を涵養する。 急速な少子化と超高齢化が進展するにともない、理学療法および作業療法サービス	３．科目区分の設定およびその理由 （３）展開科目 これからの医療・福祉その他の職業分野において求められる人材は、思いやりと誠実な心で対応できる豊かな人間性を備え、専門職業分野の枠にとらわれず、他分野の異なる視点と知識を柔軟に活用して、職業現場の課題やニーズを汲み上げ、新しいサービスの創出につなげ、自らの活動の場を広げていく創造力豊かな高度専門職業人であると考えられる。 他分野のさまざまな視点と知識を身につけ、人の多様性を理解し、共感し、誠実さと思いやりにあふれる豊かな人間性をもって、対象者が人として真に必要とするサー

の供給システムは大きく変化し、医療・福祉サービスは「病院・施設で完結する構造」から「地域で支えあう構造」へと変化している。地域で支えあう充実した医療・福祉サービスを提供するには、あらゆる医療従事者および福祉従事者と住民が連携し、対象者やその家族が安心して暮らし活躍し続けられる地域機能を作り出していく必要がある。そのために、理学療法士および作業療法士は、最新の知識・技能と展開力を駆使して、一人ひとりの多様な生活や価値観を理解し、対象者の思いを受けとめ共有し、多様な主体と連携して新たなサービスを創造できる能力を備える必要がある。

理学療法士と作業療法士とは、その特性と役割に違いがある。物理的治療を中心に身体機能の改善に重きを置く理学療法サービスと、地域の共生構造の中で生活に密着した日常生活支援サービスの提供に重きを置く作業療法サービスとでは、それぞれに必要となる展開力に大きな違いがある。そのため、各々に求められる展開力を育成するために、学科ごとに開発した展開科目を配置する。

1) 理学療法学科における展開科目を通じて育成する力

理学療法学科では対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを組織化する力を身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する。

人々が幸せに暮らし社会で活躍するためには、健やかな心身は欠かせない。急速に進む高齢化社会では、人々が病を抱えて生きることも当たり前となり、それを公的負担で支えるには限界がある。そこで人々のビスと生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案できる応用力が必要となる。また、地域で生活を営むうえで対象者が必要とする核心的ニーズをつかみ、それに的確に応える新たなサービスを生み出し、地域の活性化につなげていくことができる豊かな創造力が求められる。

そのため展開科目では、地域や職業現場や対象者の課題とニーズをもとにした新たなサービスを創造し、社会に実装され活用されるサービスを生み出す力を育成するために、他分野の多様な視角と知識を身につけ、幅広い職業分野で活躍できる力を培う。

必修科目 6 科目 12 単位と選択科目から 4 科目 8 単位以上、合計 20 単位以上を履修する。学生は、学習や臨地実務実習で見出した課題や問題意識をもとに、自己の目的に合わせて必要な科目を学習し、職業現場や対象者のニーズを新たなサービスの形にし、地域の課題やニーズを新たなサービスの形へモデル化し、さらに地域の活性化に繋げていくうえで必要な視点と知識を修得する。

イ. ヒューマンサービスを究める基盤を培う科目群

この科目群は、職業専門領域の枠を離れ、ヒューマンサービスのあり方を多面的に探究し、柔軟な視点と発想力を育むことを目的とする。

2 年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を育成する。次いで、3 年前期「家族関係論」で、社会を構成する基本単位としての家族の変動を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問

健康にかかわる新たな枠組みを創出し、多様な主体と連携して人々が健康で社会に参画し続けるために必要なサービスを提供する力を養う。 具体的には、2 年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービス創造の基盤を育成する。3 年後期「人間形成論」では、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスのあり方を修得する。 さらに 3 年後期「生体情報科学」で、医療・ヘルスケア分野、健診データ、スポーツ分野、在宅・家庭などからウェアラブル端末や IoT などを活用した健康に関する情報を収集する基本的技能について学び、効果的な医療・ヘルスケア・健康サービスを提供するために生体情報を活用する力を育成する。 4 年前期「スポーツ科学」で、身体運動を科学するためのアプローチ方法を学び、対象者のニーズやライフステージに適したサービスのあり方を探究する。また 3 年前期「食生活マネジメント論」で、健康における食生活の重要性と、食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深める。 このようにして、対象者の置かれた状況を的確に把握し、心と体を深く理解し尊重する姿勢と、健全な運動と食生活のあり方を修得することによって、対象者の身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供するうえで必須の能力を育成する。 また 4 年前期「マネジメント論」において、組織の目標を効率的に達成するためのスキルを、さらに 4 年前期「コーチング論」	題を分析的にとらえる基本的な能力を育成する。そして、3 年後期「人間形成論」では、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、多様なライフサイクルを考慮したサービスを創造する力を涵養する。また、3 年後期「生活経済論Ⅰ」において、経済およびファイナンスの観点から、対象者がより良い生活を実現するためのライフマネジメントの基礎を学び、対象者の経済的側面を理解した適切なサービスを創造し提供できる力を育む。さらに、3 年後期「サービス創造論」によって、組織や地域で必要とされるサービスを形にするスキルを学び、対象者目線に立ったサービスを創造するための広い視角を身につける。 これらの科目によって、人が人として必要とする真のサービスを探究していくための基盤力を総合的に涵養する。 ロ. サービスの革新力と創出力を育み地域の活性化を担う力を育成する科目群 職業現場で対象者のニーズや課題を解決し、地域の活性化に貢献する力を培うために、新たな発想でサービス革新に取り組む力を育み、新しいサービスの創出へとつなげていく創造力を養う。そのために、次の２つの科目群を 4 年前期に配置する。 １）新たな発想でサービスを革新するための科目群 新たな発想でサービスを革新し、対象者のニーズに適したサービスを創出する豊かな創造力を培うために、「スポーツ科学」「歯科保健論」「人間工学」「食生活マネジメント論」の 4 科目を配置する。 サービスの革新には、当該職業分野にとどまらず、多様な分野の視点を活用して、新たな「気づき」を得ることが有効な手段となるが、人々が真に必要とする健康な生

で、人の能力や可能性を伸ばし、人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。さらに 4 年前期「起業入門」では、起業に関わる基礎的知識と技能を修得し、地域で生活する人々に真に必要なサービスモデルを創造し構築する方法を身につける。加えて 4 年前期「NPO 論」によって、NPO の理念を知り組織の運営の在り方を学び、サービス提供の選択肢の一つとして NPO を活用する力を育成する。最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。

こうして展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関連事業・福祉機器関連事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスを提案し活躍の場を広げることができる。また、新たな視点から人々の健康を支える創造的サービスを提案することで、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

2）作業療法学科における展開科目を通じて育成する力

作業療法学科では、対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識と専門技術を駆使して、対象者が住み慣れた地域で自立した生活を実現するために、人の健康と生活にかかわる諸問題を解決する力とライフを創造するサービスを考える上で、適切な身体運動、健全な口腔機能、快適な生活空間、バランスの取れた食生活の 4 つの視点は特に枢要な地位を占めている。「スポーツ科学」で、身体運動を科学するためのアプローチ方法を学び、対象者のニーズやライフステージに適したサービスの在り方を探求する。また「歯科保健論」では、健全な口腔機能や歯科保健衛生の視点を踏まえたサービスの重要性を学ぶ。そして「人間工学」では、人と人をとり囲むさまざまな物や環境との整合性を図る工学的視点を学ぶ。さらに「食生活マネジメント論」で、健康における食生活の重要性と、食生活における老化予防、生活習慣病予防についての見識を深める。

２）新たな発想でサービスを創出し地域活性化につなげる科目群

地域の活性化に繋がる新たな発想とサービスを創出し、モデル化していく力を養うために、「ライフサイクル論」「生活経済論Ⅱ」「マネジメント論」「コーチング論」の 4 科目を配置する。

地域活性化に資するサービスを創造していくためには、ライフステージに適した健康な地域生活に対する深い理解と、高齢者の経済環境の変動を十全に把握し、対象者が真に必要とする的確なサービスを創造しなければならない。またそのサービスを活用しビジネス化するうえで必須となる経営的視点と人的資源を最適に活用する人材育成スキルを備える必要がある。

「ライフサイクル論」で、ライフサイクルのなかで生じる様々な課題を知り、対象者の生活を支援するために必須の知見を修得する。そして「生活経済論Ⅱ」で、人々の生活経済環境を分析し、人生の時間軸に応

フステージに適した新たなサービスを提供する力を身につけ、地域で住民が共に支えあいながら生き生きと生活できる環境づくりを支援する力を育成する。 一人ひとりの日々の生活は地域で営まれ、その生活は各々のライフステージに応じて変化し交錯する。その中で人々が安心して暮し活躍しつづけるためには、人と地域をつなぐコミュニティを活性化させ、それぞれが地域で役割を担えるように支援する必要がある。 そのためには、地域社会の成り立ちを知り地域の特性や課題についての理解を深め、地域を分析し実情を把握する力を育成する必要がある。また、近年、人口減少や高齢化による地域コミュニティの弱体化が進んでいる。地域の支えあいの基盤となる地域コミュニティの特性を深く把握し、人々の地域生活を支えるコミュニティの形成に貢献できる力を育成する必要がある。そして、家族の重要機能について理解を深め、一人ひとりの生活と家族と地域を有機的・相関的にとらえる視点を養い、新たなサービスを提供できる力を養う必要がある。 2年後期「ヒューマンサービス論」で、ヒューマンサービスとは何かを掘り下げ、人の痛みや悲しみを受け止める感性と豊かな人間性を鍛え、人間の尊厳と多様性を踏まえたサービスを創造する基盤を育成する。そして、3年後期「人間形成論」で、人のライフサイクルの全体と異なる世代間の相互性という観点から、ライフステージを考慮したサービスを創造する力を涵養する。3年前期「家族関係論」は、社会を構成する基本単位としての家族の変動を読み解き、家族と家庭生活に生じる様々な問題を分析的にとらえる基本的な能力を育成する。3 年後期「地域社会論」は、地域づくりの基本を学	じて、より良い生活を実現するためのライフマネジメントのキーポイントを学ぶ。また「マネジメント論」において、組織の目標を効率的に達成するためのスキルを身につける。さらに「コーチング論」において、人の能力や可能性を伸ばし、人的資源を最大限に活用する考え方とスキルを修得する。 これらの科目群によって、対象者が真に必要とするサービスへと革新する力を育て、対象者の生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、あるいは事業化して、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける。 ウ．展開力育成を総括する科目 「岡山経営者論」は企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造力を育む。講義では、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、他分野の視点やアイディアを形にする方法を学び、サービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。 こうして展開力育成プログラムで育成された学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業・特定非営利活動法人（NPO）・スポーツ関連事業・福祉機器関連事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案し活躍の場を広げることができる。また、地方自治体・住宅関連事業・就労支援事業などで、職業現場や地域生活が抱える課題について、新たな視点から生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案することで、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。

び、地域社会の歴史および地域自治のあり方、住民の生活原理について理解を深め、地域社会の課題と可能性を分析する力を育成する。3 年後期「コミュニティ形成論」は、地域コミュニティの機能に焦点をあて、コミュニティ形成の基礎知識を修得し、地域のコミュニティを活性化させ対象者と地域社会を結びつけるために必要な知識を修得する。4 年前期「ライフサイクル論」では、ライフサイクルのなかで時系列的に生じる様々な生活課題の全体像を系統的に把握し、最適な支援を行うために必須の知見を修得する。4 年前期「地域生活と健康」は、健康的なライフスタイルの形成のために必要な基本的知識と技能を身につけ、健やかな地域コミュニティの構築に貢献できる力を育成する。4 年前期「人間工学」は、人と人をとり囲むさまざまな物や環境との整合性を図り、地域コミュニティで多様な主体が快適に生活するために必要な工学的視点を学ぶ。4 年前期「特別支援教育」は、教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもを支援する方法について学び、学校内外の機関および専門家と連携して、障害を持つ子供が地域で共生できるようなコミュニティを形成してくための基礎的な力を育成する。 　こうして弱体化したコミュニティの機能を再構築し、個人と家族と障害を持つ人が共に生き生きと活躍できる地域環境づくりに、作業療法士として積極的に参加する上で必須の知識と力を育成する。 　最後に 4 年前期「岡山経営者論」で、岡山を代表する様々な分野の経営者ならびにイノベーターを招き、新サービス・起業・新規事業展開・海外事業展開・地域創生（地域活性化）をテーマに、企業・経営者の観点からサービスの創造に欠かせない思考と創造	

力を学び、他分野の視点やアイディアを形にする方法やサービスの革新と新たなサービスを創出する力を育成する。 　展開科目を修めた学生は、これまで活動の主舞台であった医療機関や福祉施設にとどまらず、在宅系介護サービス事業，地方自治体，福祉機器関連事業，住宅関連企業，教育機関，就労支援事業など新たな職業現場において、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案し活躍の場を広げることができる。そして、新たな視点から人々の健康と生活を支える創造的サービスを提案することで、地域コミュニティの形成に参加し、地域を活性化する動力として活躍することが期待される。	

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（13 ページ）

新	旧
また、展開科目群では、各学科の育成人材像をもとに理学療法士と作業療法士の特性と役割に応じて必要な科目を編成した。関連する他分野の多様な視角と知識を身につけ、理学療法・作業療法分野において創造的な役割を果たすための力を育成する。そして展開科目と臨地実務実習を有機的に運用して構成される展開力育成プログラムによって、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者や地域が真に必要とする創造的サービスを提案し、社会に貢献する豊かな創造力を身につける。	また、展開科目群では、関連する他分野の多様な視角と知識を身につけ、理学療法・作業療法分野において創造的な役割を果たすために必要な科目を編成した。そして展開科目と臨地実務実習を有機的に運用して構成される展開力育成プログラム（サービス革新モデルと地域活性化モデル）によって、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新と生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（67－68 ページ）

新	旧
⑯　社会的・職業的自立に関する指導等及	⑯　社会的・職業的自立に関する指導等及

び体制 本学の学生は理学療法士および作業療法士の資格を生かした進路を想定し、入学してくるものと考えられる。医療、保健、福祉、介護などの多様な場で活躍できるよう、学生の志望に沿った進路の指導を行う必要がある。そのため、様々な分野で自立した専門職業人として活躍できるよう必要な資質を身につけ、希望の職種に就職することができるように、入学時から体系的に取り組む体制を整備する。 １．教育課程内の取組について 教育課程内の取り組みとして、次の（1）から（3）のプログラムと 4 年間の学修の集大成として卒業論文作成を体系的に実施する。 （1）本格的なプレゼンテーション教育を導入して、これからの社会人として必須のプレゼンスキルを育む「基盤ゼミプログラム」 （2）理論に裏付けられた深い理解と応用力を錬磨する応用治療技術実習と連動して一段高い実践力を涵養する「専門技能錬成プログラム」 （3）新たなサービスを創造する能力を組織的に鍛える充実した展開科目と連動する「展開力育成プログラム」 「専門技能錬成プログラム」は、理論に裏付けされた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習を組み合わせ、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過	び体制 本学の学生は理学療法士および作業療法士の資格を生かした進路を想定し、入学してくるものと考えられる。医療、保健、福祉、介護などの多様な場で活躍できるよう、学生の志望に沿った進路の指導を行う必要がある。そのため、様々な分野で自立した専門職業人として活躍できるよう必要な資質を身につけ、希望の職種に就職することができるように、入学時から体系的に取り組む体制を整備する。 １．教育課程内の取組について 教育課程内の取り組みとして、次の（1）から（3）のプログラムと 4 年間の学修の集大成として卒業論文作成を体系的に実施する。 （1）4 年一貫して豊かな人間性とコミュニケーション力と自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む「基盤ゼミプログラム」 （2）理論に裏付けられた深い理解と応用力を錬磨する上級治療技術科目と連動して一段高い実践力を涵養する「専門技能錬成プログラム」 （3）新たなサービスを創造する能力を組織的に鍛える充実した展開科目と連動する「展開力育成プログラム」(サービス革新モデル・地域活性化モデル) 「基盤ゼミプログラム」は、1 年次から 4 年次まで一貫して一人の教員が担当し、豊かな人間性とコミュニケーション力と生涯にわたり基盤となる資質を身につけるプログラムである。 「専門技能錬成プログラム」は、理論に裏付けされた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習を組み合わせ、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を

程を練磨し、より高い実践力を身につける。 「展開力育成プログラム」は、関連する他分野の多様な視点と知識を身につけ、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新と生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける。 理学療法学科では対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識・専門技術を駆使して、身体機能を改善し、健康寿命を延伸するサービスを提供し、サービスを組織化する力を身につけて、地域活性化に貢献できる展開力を育成する科目として、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「食生活マネジメント論」「生体情報科学」「NPO論」「スポーツ科学」「起業入門」「マネジメント論」「コーチング論」「岡山経営者論」を配置する。 作業療法学科では、対象者を尊重する人間味あふれる姿勢と最新の知識と専門技術を駆使して、対象者が住み慣れた地域で自立した生活を実現するために、人の健康と生活にかかわる諸問題を解決する力とライフステージに適した新たなサービスを提供する力を身につけ、地域で住民が共に支えあいながら生き生きと生活できる環境づくりを支援する力を育成するため、「ヒューマンサービス論」「人間形成論」「家族関係論」「地域社会論」「コミュニティ形成論」「地域生活と健康」「特別支援教育」「人間工学」「ライフサイクル論」「岡山経営者論」を配置する。 4年間の学修を総括する科目として、「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」「卒業論文」を配置する。「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」は学修や	練磨し、より高い実践力を身につける。 「展開力育成プログラム」は、関連する他分野の多様な視点と知識を身につけ、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者や職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新と生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域活性化につなげていくことができる豊かな創造力を身につける。 関連する他分野の科目として、14科目（「ヒューマンサービス論」「家族関係論」「人間形成論」「生活経済論Ⅰ」「サービス創造論」「食生活マネジメント論」「スポーツ科学」「歯科保健論」「人間工学」「ライフサイクル論」「生活経済論Ⅱ」「マネジメント論」「コーチング論」「岡山経営者論」）を配置する。 4年間の学修を総括する科目として、「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」「卒業論文」を配置する。「総合研究Ⅰ」「総合研究Ⅱ」は学修や臨地実務実習で身につけた高い実践力とサービスを創出する展開力にさらに磨きをかけ卒業論文を作成する。 以上の教育課程内の取組により、豊かな人間性と実践力と創造力を統合し、職業現場や地域のニーズに即応できる高度専門職業人を育成する。

臨地実務実習で身につけた高い実践力とサービスを創出する展開力にさらに磨きをかけ卒業論文を作成する。 　以上の教育課程内の取組により、豊かな人間性と実践力と創造力を統合し、職業現場や地域のニーズに即応できる高度専門職業人を育成する。	

（新旧対照表）教育課程の概要

新	旧
別紙１－２	資料１－２

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

12．改正された理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に対応した教育課程とされているか不明確であるため、指定規則との対比表等を用いて以下の点を是正すること。 （１）開学時は新指定規則が施行されているが、新指定規則で新たに定められた内容がどの科目で担保されているのか不明確。 （２）卒業要件として所定の単位を取得することが定められているが、新指定規則に対応した国家試験受験資格の要件を満たす教育課程が、卒業に必要な編成とされているのか不明確。

（対応）

（１）指定規則との対比表等を用いて改正された理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に対応した教育課程であることを明確にするようにご意見をいただいたため、別表（別紙12－1）にまとめて明確にする。

新指定規則での新設事項、「栄養、薬理、医療画像、救急救命、予防の基礎」は専門基礎分野の臨床医学概論に含む。「自立支援、就労支援、地域包括ケアシステム、多職種連携の理解」はリハビリテーション医学、リハビリテーション概論、地域包括マネジメント論、多職種連携論に含む。「職場管理、理学療法教育及び職業倫理、作業療法教育及び職業倫理」は専門分野に理学療法管理学、作業療法管理学を開設する。「喀痰等の吸引」は専門分野の理学療法治療学実習Ⅲ、身体障害作業療法実習Ⅲに含む。

臨床実習の「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習」は総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて実施する。以上により本学卒業要件は新指定規則（改正された理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則）を満たす。

（２）新指定規則に対応した国家試験受験資格の要件を満たす教育課程は、別表８の通り、卒業に必要な要件を満たすことで新指定規則に対応した国家試験受験資格の要件を満たす。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 13）

新	旧
別紙１－４	別紙１－４

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（46-47 ページ）

新	旧
ウ．実習先の確保の状況 （１）実習先の確保の状況 （理学療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験５年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍	ウ．実習先の確保の状況 （１）実習先の確保の状況 （理学療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験５年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍

する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（65 施設）・評価実習（65 施設）・総合実習Ⅰ（65 施設）・総合実習Ⅱ（65 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 130 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。新指定規則で定められている「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」は、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱで実施する。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。	する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（65 施設）・評価実習（65 施設）・総合実習Ⅰ（65 施設）・総合実習Ⅱ（65 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 130 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。
（作業療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・	（作業療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・

一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（46 施設）・評価実習（46 施設）・総合実習Ⅰ（46 施設）・総合実習Ⅱ（46 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 92 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。新指定規則で定められている「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」は、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱで実施する。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、精神科の専門病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。	一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（46 施設）・評価実習（46 施設）・総合実習Ⅰ（46 施設）・総合実習Ⅱ（46 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 92 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、精神科の専門病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

13．臨地実務実習の以下の点を是正すること。
（１）臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、例えば「OSCE（客観的臨床能力試験）」などにより、実習前における能力の到達度の確認や、実習後における公平な成績評価の実施が重要であるが、本学科の教育課程上、どのような取組を実施するのか具体的な内容を明確に説明すること。
（２）臨地実務実習の成績評価に「臨地実務実習指導者による実習成績表」と記載があるが、大学として責任をもって成績評価を行うのか不明なため、具体の成績評価方法を明らかとすること。
（３）臨地実務実習のシラバスにおいて、具体の講義計画が記載されていない講義回があるため、適切に改めること。また、指定規則が定める実習時間を満たしているのか資料上で不明確。
（４）臨地実務実習先に県外の施設が含まれており、巡回指導が円滑に行われるか疑義があるため、個別臨地実務実習先の具体の巡回計画として、個々の教員の巡回状況が不明確。

（対応）
（１）臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、実習前における能力の到達度の確認が重要であるというご意見をいただき、評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱでは実習前に学生の到達度確認のため、下記の実技試験を実施する。

（理学療法学科）

評価実習では、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等を行い、理学療法評価（検査・測定）を正確に実施出来る能力があるか試験する。

総合実習Ⅰでは、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法評価（検査・測定）、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。

総合実習Ⅱでは、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。

（作業療法学科）

評価実習では、医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、作業療法評価（検査・測定）を正確に実施出来る能力があるか試験する。

総合実習Ⅰでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法評価（検査・測定）、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。

総合実習Ⅱでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。試験結果が不十分な場合には再指導を行い、事前準備を万全に行う。

また、実習後における能力の到達度を確認するため、各学科で次の試験を行う。

（理学療法学科）

評価実習では、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等

を行い、理学療法評価の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅰでは、形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法評価、理学療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅱでは、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技が安全性かつ効果的に実施できるかを採点する。

(作業療法学科)

評価実習では、医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、作業療法評価の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅰでは、ROMt/BRST/COPM/認知機能検査等、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法評価、作業療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅱでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の安全性と効果的に実施できるかを採点する。

（2）大学が責任をもって成績評価を行うため、「臨地実務実習指導者による実習成績表」は求めず、臨地実務実習担当者から「各実習学習目標到達度確認表（見学実習学習目標到達度確認表、評価実習学習目標到達度確認表、総合実習Ⅰ・Ⅱ学習目標到達度確認表)」の提出を求め、成績評価にあたっての参考資料にする。

実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法・作業療法内容の発表について評価する。成績評価は、上記の実習実施報告会 30%、実習終了後に行う実技試験70%にて評価する。

実習後における能力の到達度を確認するため、各学科で次のとおりの試験を行う。

(理学療法学科)

評価実習では、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等を行い、理学療法評価の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅰでは、形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等、ROMex/筋力増強 ex/基本

的動作訓練等を行い、理学療法評価、理学療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅱでは、ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技が安全性かつ効果的に実施できるかを採点する。

併せて実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法内容の発表を行わせ評価する。

（作業療法学科）

評価実習では、医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、作業療法評価の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅰでは、ROMt/BRST/COPM/認知機能検査等、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法評価、作業療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。

総合実習Ⅱでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の安全性と効果的に実施できるかを採点する。

併せて実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法内容の発表を行わせ評価する。

（３）臨地実務実習のシラバスにおいて、具体の講義計画が記載されていない講義回があるため、適切に改めるようにご意見をいただき、各臨地実務実習内容に則した具体的な講義計画を記載したシラバスに訂正をする。また、新指定規則で定められている「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」は、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて実施し、新指定規則の定める「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」を含む実習時間 900 時間以上、実習単位 20 単位以上の要件を満たす。

【実習時間・単位　、新指定規則との対比】

（理学療法学科）

本学実習時間・単位			新指定規則実習時間単位	
実習科目	実習時間	実習単位	実習時間	実習単位

見学実習	45	合計 900 時間	1	合計 20 単位 ※うち訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関わる実習を 1 単位含む	900 時間以上	20 単位以上
評価実習	135		3			
総合実習Ⅰ	360		8			
総合実習Ⅱ	360		8			

（作業療法学科）

本学実習時間・単位					新指定規則実習時間単位	
実習科目	実習時間		実習単位		実習時間	実習単位
見学実習	45	合計 990 時間	1	合計 22 単位 ※うち訪問リハビリテーション又は通所リハビリーションに関わる実習を 1 単位含む	990 時間以上	22 単位以上
評価実習	135		3			
総合実習Ⅰ	405		9			
総合実習Ⅱ	405		9			

（4）個別臨地実務実習先の具体の巡回計画として、個々の教員の巡回状況が不明確というご意見をいただいたため、巡回指導が円滑に行われるように配意し、巡回指導計画を訂正する。専任教員の増員により、一人当たりの巡回指導担当施設数の軽減を図る。また、巡回時の移動時間を軽減するために巡回担当施設を地域別に区分する。

臨地実務実習先に県外の施設が含まれているが、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、広島県東部（福山市）の実習施設は岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。その他県外施設として、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県の実習施設が含まれるが、これらの施設では自立支援施設でのリハビリテーション、急性期から在宅まで一貫したリハビリテーション、整形外科分野に特化したリハビリテーション、内部疾患障害に特化したリハビリテーション、対象者の生活場面に則したリハビリテーション、スポーツ分野のリハビリテーション、精神分野のリハビリテーション、医療・介護・福祉の連携したリハビリテーション、小児から成人まで幅広い年齢層に対するリハビリテーション、訪問リハビリテーション、介護領域のリハビリテーション等の経験を行うことが可能であり学生の学修に非常に有益である（資料１）。また、これらの実習施設は本学の所在地である岡山市から公共交通機関又は自家用車にて日帰り可能な圏内であるため、速やかに巡回指導を行うことが可能である。また、評価実習は前学期の講義終了後に実施予定であり、学内講義が開講されない時期のため無理なく巡回指導が可能である。総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱでは専任教員増員により担当科目の軽減を図り、学内講義に支障なく巡回指導が可能な計画へと改めた（資料 2,3　巡回計画表）。

（資料 1）

	県名	施設名	選定理由
1	兵庫県	社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター	障害者支援施設として、自立訓練、機能訓練、生活介護を中心に社会生活力サポートプログラムに基づき様々なサービスを提供しておりこれらの経験ができるため。
2	兵庫県	医療法人社団一陽会　服部病院	急性期、回復期リハビリテーションまた、退院後の通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションなど一貫したリハビリテーションを経験できるため。
3	兵庫県	IHI 播磨病院	地域の中核施設でもあり、中枢性疾患から整形疾患まで幅広く対応しているため。また、術前から退院、その後の外来通院までフォローしており、一連の過程を経験できるため。また経験豊富な理学療法士が在籍しており、本校の実習理念に対して深く理解を得ているため。
4	兵庫県	医療法人聖医会佐用中央病院	地域の中核施設として整形外科を中心に多くの診療科目を有している。また、実務経験ならびに実習指導経験の豊富な理学療法士が在籍しているため。
5	兵庫県	医療法人郁芳会青木診療所	内部障害（消化器系）に特化したリハビリテーションを実施されているため。また、地域に密着した訪問リハビリテーションも実施しているため。
6	兵庫県	医療法人内海慈仁会　姫路北病院	精神科、心療内科の専門病院で、認知症患者治療病棟、精神科デイケア、重度認知症患者デイケアを併設しており、患者の社会復帰を目指した過程が経験できるため。
7	兵庫県	医療法人社団魚橋会　魚橋病院	山間部に位置した地域の中核施設として様々な診療科目を有している。そして医療、看護、介護、福祉が互いに連携し一元化されており一連の過程を経験することができるため。また、実務経験ならびに実習指導経験の豊富な作業療法士が在籍しているため。
8	兵庫県	社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院	多くの診療科目を有し、地域の中核施設として機能しており様々な疾患や症候を呈した患者の作業療法を経験できるため。また、認知症ケア専門士、AMPS 評価認知評価者など様々な認定資格を持つ経験豊富な作業療法士が在籍しているため。

9	広島県	医療法人社団増原会　東城病院	山間部に位置した病院で地域の中核施設として機能しており、入院、外来、通所、訪問リハビリテーションを提供している。また、高齢者医療に特化していることや療養型主体の病院でもあるため、治療の場だけでなく生活の場としての理学療法士の役割を経験することができるため。
10	広島県	地方独立行政法人　府中市病院機構　府中市民病院	地域に密着した中核施設として、実務経験豊富な理学療法士が活躍しているため。また、心臓リハビリテーションも行っており、この様な分野に対しても経験ができるため。
11	広島県	医療法人　比治山病院	精神科病院でストレスケア病棟も設けており時代にニーズに即した精神科作業療法を経験できるため。また、チーム医療も強化しており、他職種連携における作業療法士の位置づけ役割も経験できるため。
12	鳥取県	社会医療法人仁厚会　医療福祉センター　倉吉病院	精神科病院として、精神科急性期治療病棟、認知症治療病棟、精神科療養病棟、精神一般病棟を有しており各患者の社会復帰に向けた精神科作業療法を経験できるため。また、実務経験ならびに実習指導経験の豊富な作業療法士が在籍しているため。
13	愛媛県	医療法人聖ルカ会　木原病院	急性期から維持期まで多くの入院・外来患者に対応しており、また、地域包括ケア病床や医療療養病床を有していることで、さまざまな期における患者を経験できるため。そして、本学の臨床実習の指導方針にご賛同を得られており、実務経験ならびに指導者経験の豊富な理学療法士が在籍しているため。
14	愛媛県	医療法人慈風会白石病院	糖尿病センターを有しており、糖尿病療養指導士の資格を持つ理学療法士が在籍していることや、スポーツ外来もありスポーツ選手に対するリハビリテーションを経験できるため。また、他にはない下肢装具療法や徒手療法におけるリハビリテーションも経験できるため。
15	高知県	社会医療法人仁生会　細木病院	地域の中核病院として、外来リハビリテーション（小児・成人）、入院リハビリテーション（急性期・回復期・維持期）、在宅リハビリテーションと各疾患や幅広い年齢層でリハビリテーションを提供している。また、呼吸療法認定士、糖尿病療養指導士、認定理学療法士（呼吸・運動器・介護予防・生活環境支援・臨

			床教育）と様々な資格を持つ経験豊富な理学療法士が在籍しているため。
16	高知県	医療法人五月会須崎くろしお病院	小児から成人まで幅広い年齢層を対象とし、急性期・回復期・維持期・終末期・在宅リハビリテーションまで一貫したリハビリテーション医療を提供しているため。また、心臓リハビリテーション指導士、がんのリハビリテーション実践セミナー研修、訪問リハビリ管理者研修、学習療法士など様々な認定資格を有する経験豊富な理学療法士が指導者として在籍しているため。
17	徳島県	医療法人　中谷医院	地域に密着した中核施設として、実務経験豊富な理学療法士が活躍しているため。また、訪問リハビリや認知症対応の地域密着型のグループホームが併設されており、これらの分野に対しても経験ができるため。
18	徳島県	医療法人青鳳会老人保健施設やすらぎ荘	介護老人保健施設であり、介護領域の作業療法が学べることや、病院と家庭もしくは病院と福祉施設の中間施設としての機能・役割を経験できるため。

（資料 2）巡回担当施設数

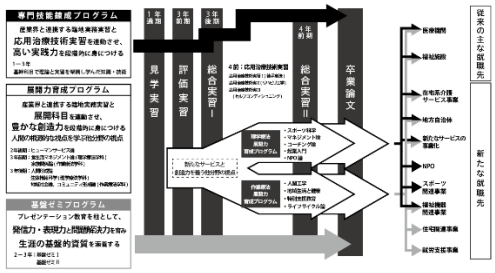
学科	新	旧
理学療法学科	5～6 施設以下	8 施設以下
作業療法学科	5～7 施設以下	8 施設以下

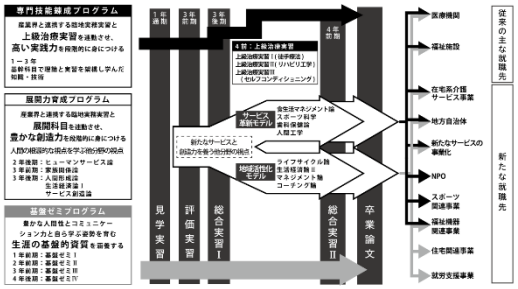
移動時間を軽減するために巡回担当施設を地域別に区分する。

（資料 3）別紙 1－9　巡回指導計画

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（図 8）臨地実務実習　科目関連図

新	旧





（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（44 ページ）

新	旧
⑪　実習の具体的計画 ア．臨地実務実習の目的と実施計画 （中略） さらに専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、一段高い実践力と豊かな創造力を養うことができるように配意している（図 8）。	⑪　実習の具体的計画 ア．臨地実務実習の目的と実施計画 （中略） さらに専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラム（サービス革新モデルと地域活性化モデル）を有機的に組み合わせて運用することにより、一段高い実践力と豊かな創造力を養うことができるように配意している（図 8）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（45－48）

新	旧
⑪　実習の具体的計画 イ．臨地実務実習の概要 （4）総合実習Ⅱ 4 年次の「総合実習Ⅱ」では、これまでの経験を基に、専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムとを組み合わせる効果により、さらに一段高い専門業務を主導できる実践力と豊かな創造力を養う。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と連動し、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、高度な実践力を身につける。また、展開力育成プログラムと有機的に組み合わせ運用すること	⑪　実習の具体的計画 イ．臨地実務実習の概要 （4）総合実習Ⅱ 4 年次の「総合実習Ⅱ」では、これまでの経験を基に、専門技能錬成プログラムおよび展開力育成プログラムとを組み合わせる効果により、さらに一段高い専門業務を主導できる実践力と豊かな創造力を養う。専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と連動し、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、高度な実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性

により、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決について「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービスの革新と新たなサービスを創造する力を涵養し、地域の課題解決に資する豊かな創造力を身につける。 （５）実習参加基準・要件 １）見学実習 特になし。 ２）評価実習 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 実習前の実技試験に合格していること。 ３）総合実習Ⅰ 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 実習前の実技試験に合格していること。 ４）総合実習Ⅱ 3 年次までの必修科目、全てを履修していること。 実習前の実技試験に合格していること。 （６）実習費等について 実習費は学費に含み、宿舎が必要な場合は本学で準備する。移動にかかる交通費は個人負担とする。	化モデルと有機的に組み合わせ運用することにより、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決について「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービスの革新と新たなサービスを創造する力を涵養し、地域の課題解決に資する豊かな創造力を身につける。 （５）実習参加基準・要件 １）見学実習 特になし。 ２）評価実習 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 ３）総合実習Ⅰ 2 年次までの必修科目、全てを履修していること。 ４）総合実習Ⅱ 3 年次までの必修科目、全てを履修していること。 （６）実習費等について 実習費は学費に含み、宿舎が必要な場合は本学で準備する。移動にかかる交通費は個人負担とする。
ウ．実習先の確保の状況 （１）実習先の確保の状況 （理学療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心に	ウ．実習先の確保の状況 （１）実習先の確保の状況 （理学療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心に

リハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（65 施設）・評価実習（65 施設）・総合実習Ⅰ（65 施設）・総合実習Ⅱ（65 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 130 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。新指定規則で定められている「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」は、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱで実施する。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。	リハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（65 施設）・評価実習（65 施設）・総合実習Ⅰ（65 施設）・総合実習Ⅱ（65 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 130 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。
（作業療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（46 施設）・評価実習（46 施設）・総合実習Ⅰ（46 施設）・総合実	（作業療法学科） 臨地実務実習（見学実習・評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ）では、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設を実習施設としており、大学の実習施設として相応しい内容を備えている。平成 32 年度より、中国・四国地区を中心にリハビリテーションを総合的に学ぶことができる特定機能病院・地域医療支援病院・一般病院・診療所・介護老人保健施設・通所介護施設から見学実習（46 施設）・評価実習（46 施設）・総合実習Ⅰ（46 施設）・総合実

習Ⅱ（46 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 92 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。新指定規則で定められている「訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習を 1 単位以上」は、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱで実施する。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、精神科の専門病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。 （資料 14）臨地実務実習指導要項（健康科学部理学療法学科） （資料 15）臨地実務実習指導要項（健康科学部作業療法学科）	習Ⅱ（46 施設）に関して実習受け入れ承諾を受けている。臨地実務実習の受け入れ人数は各実習 92 人の承諾を受けており、必要な施設数を十分に確保している。また、医療・福祉の幅広い分野での実習が可能となるように配意している。既設校の岡山医療技術専門学校で確保していた実習施設の内、高度専門的医療を担う特定機能病院のほか、地域の一般病院・診療所との連携を強化した地域医療支援病院、精神科の専門病院、回復期におけるリハビリテーション病院、生活期を担う介護老人保健施設・通所リハビリテーション・通所介護・訪問リハビリテーションを展開する施設の中で、臨床経験 5 年以上で実習指導経験が豊富な指導者が在籍する施設とは継続して提携する。 （資料 14）臨地実務実習指導要項（健康科学部理学療法学科） （資料 15）臨地実務実習指導要項（健康科学部作業療法学科）
（２）教員の配置並びに巡回指導計画 評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱでは、理学療法士・作業療法士として 5 年以上の臨床経験を持つ専任教員を巡回指導担当および実習担当教員として配置する。教員配置数および巡回指導計画は表 2 の通りである。	（２）教員の配置並びに巡回指導計画 評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱでは、理学療法士・作業療法士として 5 年以上の臨床経験を持つ専任教員を巡回指導担当および実習担当教員として配置する。教員配置数および巡回指導計画は表 2 の通りである。 （表 2）巡回指導計画 （理学療法学科） （表削除） （作業療法学科） （表削除）

臨地実務実習先に県外の施設が含まれているが、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、広島県東部（福山市）の実習施設は岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。その他県外施設として、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県の実習施設が含まれるが、これらの施設では自立支援施設でのリハビリテーション、急性期から在宅まで一貫したリハビリテーション、整形外科分野に特化したリハビリテーション、内部疾患障害に特化したリハビリテーション、対象者の生活場面に則したリハビリテーション、スポーツ分野のリハビリテーション、精神分野のリハビリテーション、医療・介護・福祉の連携したリハビリテーション、小児から成人まで幅広い年齢層に対するリハビリテーション、訪問リハビリテーション、介護領域のリハビリテーション等の経験を行うことが可能であり学生の学修に非常に有益である（資料 2）。また、これらの実習施設は本学の所在地である岡山市から公共交通機関又は自家用車で日帰り可能な圏内にあるため、速やかに巡回指導を行うことが可能である。 （資料 16）実習計画表 （資料 17）施設別巡回指導計画	巡回指導教員は、毎週 1 回実習施設へ電話連絡を行い、実習実施計画に基づき、学生の実習進捗状況を確認する。巡回担当教員は、確認事項を実習担当教員を経て、実習委員会に報告し、実習委員会から必要な指示を得て、評価実習では実習 1～3 週目に、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱでは実習 3～6 週目に、全施設の巡回指導を実施する。 巡回指導の結果は実習担当教員及び実習委員会へ報告し、実習状況について各学科内で情報共有を図る。 巡回指導担当施設は、1 教員あたり 8 施設以下とし、個別指導を徹底する。 見学実習においても必要に応じ、理学療法士・作業療法士資格をもつ専任教員を巡回指導担当として配置する（資料 17）。巡回指導教員は移動手段として公共交通機関・自動車を利用する。 （資料 16）実習計画表 （資料 17）巡回指導計画表
巡回指導教員は、毎週 1 回実習施設へ電話連絡を行い、実習実施計画に基づき、学生の実習進捗状況を確認する。巡回担当教員は、確認事項を実習担当教員を経て、実習委員会に報告し、実習委員会から必要な指示を得て、評価実習では実習 1～3 週目に、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱでは実習 3～6 週目に、全施設の巡回指導を実施する。 巡回指導の結果は実習担当教員及び実習委員会へ報告し、実習状況について各学科	巡回指導教員は、毎週 1 回実習施設へ電話連絡を行い、実習実施計画に基づき、学生の実習進捗状況を確認する。巡回担当教員は、確認事項を実習担当教員を経て、実習委員会に報告し、実習委員会から必要な指示を得て、評価実習では実習 1～3 週目に、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱでは実習 3～6 週目に、全施設の巡回指導を実施する。 巡回指導の結果は実習担当教員及び実習委員会へ報告し、実習状況について各学科

内で情報共有を図る。 巡回指導担当施設は、理学療法学科 5～6 施設以下、作業療法学科 5～7 施設以下とし、個別指導を徹底する。 見学実習においても必要に応じ、理学療法士・作業療法士資格をもつ専任教員を巡回指導担当として配置する（資料 17）。巡回指導教員は移動手段として公共交通機関・自動車を利用する。	内で情報共有を図る。 巡回指導担当施設は、1 教員あたり 8 施設以下とし、個別指導を徹底する。 見学実習においても必要に応じ、理学療法士・作業療法士資格をもつ専任教員を巡回指導担当として配置する（資料 17）。巡回指導教員は移動手段として公共交通機関・自動車を利用する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（48－53）

新	旧
エ. 実習水準の確保の方策 ４）総合実習Ⅱ（4 年前期、8 単位） 【目的】 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。 また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。 専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。	エ. 実習水準の確保の方策 ４）総合実習Ⅱ（4 年前期、8 単位） 【目的】 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。 また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。 専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造

（中略） ４）総合実習Ⅱ（4 年前期、8 単位） 【目的】 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。 　また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。 　専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。 （中略） 【履修指導の概要】 　実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。応用治療技術実習で学んだ応用力を活かすことが専門技術の深い理解と応用力につながることについて指導を徹底する。また、サービス革新モデルと地域活性化モデルを効果的に活用し、他分野からの視点を十分に生かして、「気づき」を深め、	力を養う。 （中略） ４）総合実習Ⅱ（4 年前期、8 単位） 【目的】 実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。 　また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。 　専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。 （中略） 【履修指導の概要】 　実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。上級治療実習で学んだ応用力を活かすことが専門技術の深い理解と応用力につながることについて指導を徹底する。また、サービス革新モデルと地域活性化モデルを効果的に活用し、他分野からの視点を十分に生かして、「気づき」を深め、

アイディアの創造と新たなサービスの創造につなげていけるよう指導する。 実習期間中には、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して、実習水準と内容が適切に実施されるよう指導する。実習終了後には、応用治療技術実習で学んだ応用力が総合実習に与えた効果を評価し、対象者の実践で生じた変化や自身の課題を整理し、理学療法探究の奥深さと自主的に課題をもって研鑽することの重要性が理解できるよう指導する。また、対象者の課題や地域の課題を踏まえ、自己の研究課題を特定化し、「気づき」を掘り下げるよう指導し、プレゼンテーションを実施する。そして学生が他者の視点や地域特性等の観点から得た多様な「気づき」を参考にしつつ、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へつなげていく準備を整えるよう指導する。	アイディアの創造と新たなサービスの創造につなげていけるよう指導する。 実習期間中には、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して、実習水準と内容が適切に実施されるよう指導する。実習終了後には、上級治療実習で学んだ応用力が総合実習に与えた効果を評価し、対象者の実践で生じた変化や自身の課題を整理し、理学療法探究の奥深さと自主的に課題をもって研鑽することの重要性が理解できるよう指導する。また、対象者の課題や地域の課題を踏まえ、自己の研究課題を特定化し、「気づき」を掘り下げるよう指導し、プレゼンテーションを実施する。そして学生が他者の視点や地域特性等の観点から得た多様な「気づき」を参考にしつつ、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へつなげていく準備を整えるよう指導する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（56－57）

新	旧
4）総合実習Ⅱ（4年前期、9単位） 【目的】 実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。 また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。 専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることに	4）総合実習Ⅱ（4年前期、9単位） 【目的】 実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。 また、専門技能錬成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。 専門技能錬成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習Ⅱを連動させることによ

より、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムの他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。 （中略） 【履修指導の概要】 実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。応用治療技術実習で学んだ応用力を活かすことが専門技術の深い理解と応用力につながることについて指導を徹底する。また、他分野からの視点を十分に生かして、「気づき」を深め、アイディアの創造と新たなサービスの創造につなげていけるよう指導する。 実習期間中には、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して、実習水準と内容が適切に実施されるよう指導する。実習終了後には、応用治療技術実習で学んだ応用力が総合実習に与えた効果を評価し、対象者の実践で生じた変化や自身の課題を整理し、作業療法探究の奥深さと自主的に課題をもって研鑽することの重要性が理解できるよう指導する。また、対象者の課題や地域の課題を踏まえ、自己の研究課題を特定化し、「気づき」を掘り下げるよう指導し、プレゼンテーションを行わせる。そして学生が他者の視点や地域特性等の観点から得た多様な「気づき」を参考にしつつ、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へつなげていく準備を整えるよう指	り、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。 （中略） 【履修指導の概要】 実習前オリエンテーションにおいてアンケートを実施し、実習に対する意識調査を行い、事前指導を行うことで実習目的を明確化させる。上級治療実習で学んだ応用力を活かすことが専門技術の深い理解と応用力につながることについて指導を徹底する。また、サービス革新モデルと地域活性化モデルを効果的に活用し、他分野からの視点を十分に生かして、「気づき」を深め、アイディアの創造と新たなサービスの創造につなげていけるよう指導する。 実習期間中には、担当専任教員は実習施設を訪問し、実習指導者と協力して、実習水準と内容が適切に実施されるよう指導する。実習終了後には、上級治療実習で学んだ応用力が総合実習に与えた効果を評価し、対象者の実践で生じた変化や自身の課題を整理し、作業療法探究の奥深さと自主的に課題をもって研鑽することの重要性が理解できるよう指導する。また、対象者の課題や地域の課題を踏まえ、自己の研究課題を特定化し、「気づき」を掘り下げるよう指導し、プレゼンテーションを行わせる。そして学生が他者の視点や地域特性等の観点から得た多様な「気づき」を参考にしつつ、アイディアを創出し、新たなサービス

導する。	の創造へつなげていく準備を整えるよう指導する。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（58－61 ページ）

新	旧
（２）実習前・実習中・実習後における指導計画 １）実習前教育 （中略） 総合実習Ⅱでは、①治療計画について、②応用治療技術実習の活用について、③他分野からの視点について、④チーム医療における理学療法士・作業療法士の役割について、④対象者を取り巻く環境および制度の課題解決について、学生の意識調査を行う。 実習委員会は、各実習について調査結果をまとめ、実習担当教員はそれに基づいて各実習の目的と注意点を学生に周知させる。その上で、実習担当教員と巡回担当教員は、各実習の主要ポイントをまとめたシートを配布し、実習目標を達成できるよう指導を徹底し、個別指導を行って万全の事前準備を行う。 また、臨地実務実習の実施に当たっては、専門性の高い臨床能力の担保のため、実習前における能力の到達度の確認のため下記の実技試験を実施する。 （理学療法学科） 評価実習は、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査等を 行い、理学療法評価（検査・測定）が正確に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅰでは、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR’s/BRST/感覚検査	（２）実習前・実習中・実習後における指導計画 １）実習前教育 （中略） 総合実習Ⅱでは、①治療計画について、②上級治療実習の活用について、③他分野から の視点について、④チーム医療における理学療法士・作業療法士の役割について、④対象者を取り巻く環境および制度の課題解決について、学生の意識調査を行う。 実習委員会は、各実習について調査結果をまとめ、実習担当教員はそれに基づいて各実習の目的と注意点を学生に周知させる。その上で、実習担当教員と巡回担当教員は、各実習の主要ポイントをまとめたシートを配布し、実習目標を達成できるよう指導を徹底し、個別指導を行って万全の事前準備を行う。

等､ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法評価（検査・測定）、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅱでは､ROMex/筋力増強 ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。 （作業療法学科） 評価実習では､医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、作業療法評価（検査・測定）を正確に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅰでは､ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い､作業療法評価（検査・測定）、、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。 総合実習Ⅱでは､ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を安全に実施出来る能力があるか試験する。試験結果が不十分な場合には再指導を行い、事前準備を万全に行う。	
（中略）	（中略）
３）実習後評価教育 巡回担当教員は、大学が目標とする実習内容が行われたかどうか、目標の達成度を確認するため個別面談を実施する。また実習担当教員は、各学生が実習で体験・実践した評価･治療計画立案･実施･考察という理学療法・作業療法過程、関連職種との情報交換についてプレゼンテーションを行う機会を設定する。学生はプレゼンテーションを行うことで自身の実習内容を振り返り、対象者の実践で生じた変化や自身の研究課題を整理し、自身の課題を特定化し、「気づき」を掘り下げる。また他者のプレゼンテーションを聞くことで、他者の経験と自己の経験を比較評価し、自らの視点や	３）実習後評価教育 巡回担当教員は、大学が目標とする実習内容が行われたかどうか、目標の達成度を確認するため個別面談を実施する。また実習担当教員は、各学生が実習で体験・実践した評価･治療計画立案･実施･考察という理学療法・作業療法過程、関連職種との情報交換についてプレゼンテーションを行う機会を設定する。学生はプレゼンテーションを行うことで自身の実習内容を振り返り、対象者の実践で生じた変化や自身の研究課題を整理し、自身の課題を特定化し、「気づき」を掘り下げる。また他者のプレゼンテーションを聞くことで、他者の経験と自己の経験を比較評価し、自らの視点や

地域特性の観点から得た多様な「気づき」を活用して、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へと繋げていけるよう指導する。 　また、実習後における能力の到達度を確認するため、各学科で次のとおりの試験を行う。 （理学療法学科） 　評価実習では、医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等を行い、理学療法評価の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 　総合実習Ⅰでは、形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等、ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法評価、理学療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 　総合実習Ⅱでは、ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練等を行い、理学療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技が安全性かつ効果的に実施できるかを採点する。 　併せて実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した理学療法内容の発表を行わせ評価する。 （作業療法学科） 　評価実習では、医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等を行い、 作業療法評価の水準を試験する。患者役に	地域特性の観点から得た多様な「気づき」を活用して、アイディアを創出し、新たなサービスの創造へと繋げていけるよう指導する。 　実習委員会は、学生の実習成果と課題を総括し、各学科で情報を共有するとともに、次年度実習実施計画の立案に生かす。 （中略）

扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 総合実習Ⅰでは、ROMt/BRST/COPM/認知機能検査等、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等 を行い、作業療法評価、作業療法治療・訓練の水準を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の正確性と安全性を採点する。 総合実習Ⅱでは、ROMex/作業活動/応用的動作訓練等を行い、作業療法治療・訓練を試験する。患者役に扮する教員を対象に実技試験を行う。試験の採点については公平性を確保するためルーブリック評価表を使用し、実技の安全性と効果的に実施できるかを採点する。 併せて実習終了後には実習実施報告会を開催し、実習で経験した作業療法内容の発表を行わせ評価する。 実習委員会は、学生の実習成果と課題を総括し、各学科で情報を共有するとともに、次年度実習実施計画の立案に生かす。 （中略） （４）成績評価体制および単位認定方法 次の基準に基づいて実習担当教員が実習指導者の意見をもとに評定を行い、臨地実務実習判定会議で判定する。実習判定会議は学部長、各学科長、各学科教員、大学事務局長を以って実施する。 なお、単位認定は、教授会で行う。 １）見学実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準を、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、	（４）成績評価体制および単位認定方法 次の基準に基づいて実習担当教員が実習指導者の意見をもとに評定を行い、臨地実務実習判定会議で判定する。実習判定会議は学部長、各学科長、各学科教員、大学事務局長を以って実施する。 なお、単位認定は、教授会で行う。 １）見学実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準を、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、

C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（50%） ・レポート（50%）	C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・レポート（20%）
２）評価実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（30%） ・実技試験（70%）	２）評価実習の総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%）
３）総合実習Ⅰの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（30%） ・実技試験（70%）	３）総合実習Ⅰの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%）
４）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、	４）総合実習Ⅱの総合成績判定は、S、A、B、C、D、E の 6 段階で行い、評価基準は、100 点満点とする場合、S（100 点から 90 点）、

A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（30%） ・実技試験（70%） （資料 19）岡山医療専門職大学授業科目履修規程	A（89 点から 80 点）、B（79 点から 70 点）、C（69 点から 60 点）、D（59 点以下）、E（未履修）の 6 段階に区分し、C 判定以上を合格とする。 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%） （資料 19）岡山専門職大学授業科目履修規程

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（表 1）実習実施計画に関する記載事項

新	項目	内容
	1 実習内容	「設置の趣旨等を記載した書類」p 49～p 58 の当該実習内容に記載
	2 実習期間	「設置の趣旨等を記載した書類」p 49～p 58、(1) 各臨地実務実習の目的・内容・修得する知識・技能・履修指導の概要、(資料 18) 実習計画表に記載
	3 一日あたりの実習時間	(資料 14) 臨地実務実習指導要項（健康科学部理学療法学科）p 31、(資料 15) 臨地実務実習指導要項（健康科学部作業療法学科）p 27 に記載
	4 主たる実習場所・受け入れ学生数	添付資料、臨地実務実習施設の概要（別記様式第 7 号の 4（その 3））に記載
	5 実習指導者の配置	添付資料、臨地実務実習施設の概要（別記様式第 7 号の 4（その 3））に記載
	6 成績評価の基準及び方法	「設置の趣旨等を記載した書類」p 61 (4) 成績評価体制および単位認定方法に記載
	7 学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い	学生に対する報酬はなし。交通費は学生負担とする。
	8 実習中の災害補償及び損害賠償責任	「設置の趣旨等を記載した書類」p 62～63 (1) 実習先との契約内容に記載
旧	項目	内容
	1 実習内容	「設置の趣旨等を記載した書類」p 48～p 58 の当該実習内容に記載
	2 実習期間	「設置の趣旨等を記載した書類」p 48～p 58、(1) 各臨地実務実習の目的・内容・修得する知識・技能・履修指導の概要、(資料 18) 実習計画表に記載

3一日あたりの実習時間	（資料 14）臨地実務実習指導要項（健康科学部理学療法学科） p 31、（資料 15）臨地実務実習指導要項（健康科学部作業療法学科）p 26 に記載
4主たる実習場所・受け入れ学生数	添付資料、臨地実務実習施設の概要（別記様式第 7 号の 4（その 3））に記載
5実習指導者の配置	添付資料、臨地実務実習施設の概要（別記様式第 7 号の 4（その 3））に記載
6成績評価の基準及び方法	「設置の趣旨等を記載した書類」p 59～ p 60（4）成績評価体制および単位認定方法に記載
7学生に対する報酬及び交通費支給等の取扱い	学生に対する報酬はなし。交通費は学生負担とする。
8実習中の災害補償及び損害賠償責任	「設置の趣旨等を記載した書類」p 62（1）実習先との契約内容に記載

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 16）

新	旧
担当専任教員 1健康科学部理学療法学科 （1）見学実習 ・村西　壽祥 ・片岡　弘明 ・増川　武利 （2）評価実習 ・横山　暁大 ・那須　宣弘 ・渡辺　大喜 （3）総合実習Ⅰ ・永野　克人 ・山下　裕之 ・那須　宣弘 （4）総合実習Ⅱ ・増川　武利 ・鈴木　啓子 ・小島　一範 2．健康科学部作業療法学科 （1）見学実習 ・吉田　直樹	担当専任教員 1健康科学部理学療法学科 （1）見学実習 ・山田　英司 ・片岡　弘明 ・増川　武利 （2）評価実習 ・小島　一範 ・横山　暁大 ・那須　宣弘 （3）総合実習Ⅰ ・横山　暁大 ・那須　宣弘 ・鈴木　啓子 （4）総合実習Ⅱ ・永野　克人 ・増川　武利 ・立山　暢一郎 2．健康科学部作業療法学科 （1）見学実習 ・吉田　直樹

・十河　正樹 ・渡部　悠司 （２）評価実習 ・林　聡 ・十河　正樹 ・渡部　悠司 （３）総合実習Ⅰ ・吉田　直樹 ・渡部　悠司 （４）総合実習Ⅱ ・十河　正樹 ・野口　泰子	・十河　正樹 （２）評価実習 ・林　聡 ・十河　正樹 （３）総合実習Ⅰ ・野口　泰子 ・渡部　悠司 （４）総合実習Ⅱ ・林　聡 ・野口　泰子

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 14）臨地実習指導要項理学療法学科

新	旧
Ⅴ.臨地実務実習の目的と概要 ４．成績評価体制および単位認定方法 (1)成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（50%） ・レポート（50%） (2) 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実技試験（70%） ・実習実施報告会での発表（30%） (3) 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実技試験（70%） ・実習実施報告会での発表（30%） (4) 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。	Ⅴ.臨地実務実習の目的と概要 ４．成績評価体制および単位認定方法 (1)成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・レポート（20%） (2) 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%） (3) 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%） (4) 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。

・実技試験（70%） ・実習実施報告会での発表（30%）	・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%）
VI. 実習関係書類 （1）見学実習学習目標到達度確認表 （2）見学実習デイリーノート（実習日誌） （3）実習出席簿（評価実習・総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （4）デイリーノート（実習日誌）（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （5）症例報告書の書き方（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （6）評価実習学習目標到達度確認表 （7）巡回指導時の評価（評価実習） （8）施設間連絡表 （9）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表 （１０）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ） （１１）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ）	VI. 実習関係書類 （1）見学実習成績表 （2）見学実習デイリーノート（実習日誌） （3）実習出席簿（評価実習・総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （4）デイリーノート（実習日誌）（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （5）症例報告書の書き方（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （6）評価実習成績表 （7）巡回指導時の評価（評価実習） （8）施設間連絡表 （9）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ評価表 （１０）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ） （１１）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ）
（1）見学実習学習目標到達度確認表 1年生見学実習学習目標到達度確認表 中略 （5）症例報告書の書き方 ※学校課題ではありません。学生の能力に応じて可能な範囲で実施させてください。	（1）見学実習成績表 1年生見学実習成績表 中略 5）症例報告書の書き方 ※評価実習では統合解釈～治療プログラムは学生の能力に応じて実施させてください。
（6）評価実習学習目標到達度確認表 確認基準 Ⅰ適正について 確認項目　到達水準 Ⅱ　記録・報告について 確認項目　到達水準 Ⅲ　理学療法評価について 確認項目　到達水準	（6）評価実習成績表 評価基準 Ⅰ適正に関する評価 評価項目　評価 Ⅱ　記録・報告に関する評価 評価項目　評価 Ⅲ　理学療法評価に関する評価 評価項目　評価

（9）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表 確認表について Ⅰ：理学療法士としての適性および態度 1．社会性 到達水準 2．規律性 到達水準 3．接遇・コミュニケーション 到達水準 4．患者の尊厳 到達水準 5．自己動機・洞察 到達水準 ※⑤:総合実習Ⅰの確認項目　⑥:総合実習Ⅱの確認項目 6．記録と報告　到達水準 Ⅱ：理学療法評価 1．評価前準備 到達水準 2．情報収集 到達水準 3．理学療法評価実施　到達水準 4．統合と解釈　到達水準 Ⅲ：治療計画 1．問題点の抽出　到達水準 2．目標設定　到達水準 3．治療計画　到達水準 4．短期目標および治療計画の変更　到達水準 Ⅳ：理学療法の実施 1．事前準備　到達水準 2．各種治療手技　到達水準 3．治療手技実施　到達水準 4．実施経過　到達水準 削除	（9）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ成績表 評価採点表について Ⅰ：理学療法士としての適性および態度 1．社会性 評価点 2．規律性 評価点 3．接遇・コミュニケーション 評価点 4．患者の尊厳 評価点 5．自己動機・洞察 評価点 ※⑤:総合実習Ⅰの評価項目　⑥:総合実習Ⅱの評価項目 6．記録と報告　評価点 Ⅱ：理学療法評価 1．評価前準備 評価点 2．情報収集 評価点 3．理学療法評価実施　評価点 4．統合と解釈　評価点 Ⅲ：治療計画 1．問題点の抽出　評価点 2．目標設定　評価点 3．治療計画　評価点 4．短期目標および治療計画の変更　評価点 Ⅳ：理学療法の実施 1．事前準備　評価点 2．各種治療手技　評価点 3．治療手技実施　評価点 4．実施経過　評価点 総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ　評価点 Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ/(１００－N)×5

Ⅷ.実習指導に当たってのお願い １．実習時間について １日８時間、週４０時間を実習時間とし実習時間以外に行う学習等を含め４５時間以内でお願いいたします。	＝　　％ Ⅷ.実習指導に当たってのお願い １．実習時間について １日８時間、週４０時間を上限とする実習をお願いいたします。

（新旧対照表）臨地実習指導要項作業療法学科（資料 14）

新	旧
Ⅴ.臨地実務実習の目的と概要 ４．成績評価体制および単位認定方法 (1)成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実習実施報告会での発表（50%） ・レポート（50%） (2) 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実技試験（70%） ・実習実施報告会での発表（30%） (3) 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実技試験（70%） ・実習実施報告会での発表（30%） (4) 成績評価は、以下の 2 項目を総合して判定する。 ・実技試験（70%） ・実習実施報告会での発表（30%）	Ⅴ.臨地実務実習の目的と概要 ４．成績評価体制および単位認定方法 (1)成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・レポート（20%） (2) 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%） (3) 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%） (4) 成績評価は、以下の 3 項目を総合して判定する。 ・臨地実務実習指導者による実習成績表（60%） ・実習実施報告会での発表（20%） ・実技試験（20%）

Ⅳ. 実習関係書類 （1）見学実習学習目標到達度確認表 （2）見学実習デイリーノート（実習日誌） （3）実習出席簿（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （4）評価実習学習目標到達度確認表 （5）巡回指導時の評価（評価実習） （6）施設間連絡表 （7）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表 （8）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ） （9）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ） （1）見学実習学習目標到達度確認表 1年生見学実習学習目標到達度確認表 中略 （4）評価実習学習目標到達度確認表 評価実習学習目標到達度確認表 <A.職業人としての基本的態度や規律を身につける> 確認項目／確認段階　到達水準 <B.実習生としての意欲・向上心・創造性を養う > 確認項目／確認段階　到達水準 <C.作業療法の評価の計画および実践力を養う > 確認項目／確認段階　到達水準 （7）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ学習目標到達度確認表 成績評価基準 Ⅰ．確認分野及び到達度 確認分野は5分野から成り、以下の通りです。 Ⅱ．各項目は6段階とし、到達基準は以下の通りです。 Ⅰ．職業人としての適正 <A:職業人としての基本的態度を身につける > 確認項目　到達水準（中間）　到達水	Ⅳ. 実習関係書類 （1）見学実習成績表 （2）見学実習デイリーノート（実習日誌） （3）実習出席簿（評価実習、総合実習Ⅰ・Ⅱ共通） （4）評価実習成績表 （5）巡回指導時の評価（評価実習） （6）施設間連絡表 （7）総合実習Ⅰ・総合Ⅱ成績表 （8）巡回指導時の評価（総合実習Ⅰ） （9）巡回指導時の評価（総合実習Ⅱ） （1）見学実習成績表 1年生見学実習成績表 中略 （4）評価実習成績表 評価実習成績表 <A.職業人としての基本的態度や規律を身につける> 評価項目／評価段階　評価 <B.実習生としての意欲・向上心・創造性を養う > 評価項目／評価段階　評価 <C.作業療法の評価の計画および実践力を養う > 評価項目／評価段階　評価 （7）総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱ成績表 成績評価基準 Ⅰ．成績分野及び配点 成績分野は5分野から成り、各項目数と配点は以下の通りです。 Ⅱ．各項目は6段階評価とし、評価基準は以下の通りです。 Ⅰ．職業人としての適正 <A:職業人としての基本的態度を身につける > 評価項目　中間評価　最終評

準（最終） ＜B：職業人・社会人としての規律や心得を身につける＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜C:実習生としての意欲・向上心・創造性を養う＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ※C14:総合実習Ⅰの確認項目 C15:総合実習Ⅱの確認項目 ＜D:文章構成能力を身につける＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜E:対象者と望ましい人間関係を構築する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜F:個人情報保護と情報管理および守秘義務を理解する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） Ⅱ．作業療法評価 ＜G:評価計画を立案する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜H:評価を実施する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜I:評価結果を統合し解釈する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） Ⅲ．作業療法計画 ＜J：目標を設定する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜K:治療・指導・援助を計画する（治療プログラムの立案）＞	価 ＜B：職業人・社会人としての規律や心得を身につける＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜C:実習生としての意欲・向上心・創造性を養う＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ※C14:総合実習Ⅰの評価項目 C15:総合実習Ⅱの評価項目 ＜D:文章構成能力を身につける＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜E:対象者と望ましい人間関係を構築する＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜F:個人情報保護と情報管理および守秘義務を理解する＞ 評価項目　中間評価　最終評価 Ⅱ．作業療法評価 ＜G:評価計画を立案する＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜H:評価を実施する＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜I:評価結果を統合し解釈する＞

確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） Ⅳ．作業療法実施 ＜L:作業療法の実施の準備＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜M:治療・指導・援助を実施する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜N：再評価を実施する＞ Ⅴ．管理・運営 ＜0:組織の概要および管理業務の概要を理解する＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終） ＜P:関連職種との連携＞ 確認項目　到達水準（中間）　到達水準（最終）」 Ⅷ.実習指導に当たってのお願い １．実習時間について １日８時間、週４０時間を実習時間とし実習時間以外に行う学習等を含め４５時間以内でお願いいたします。	評価項目　中間評価　最終評価 Ⅲ．作業療法計画 ＜J：目標を設定する＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜K:治療・指導・援助を計画する（治療プログラムの立案）＞ 評価項目　中間評価　最終評価 Ⅳ．作業療法実施 ＜L:作業療法の実施の準備＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜M:治療・指導・援助を実施する＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜N：再評価を実施する＞ Ⅴ．管理・運営 ＜0:組織の概要および管理業務の概要を理解する＞ ＜P:関連職種との連携＞ 評価項目　中間評価　最終評価 ＜P:関連職種との連携＞ 評価項目　中間評価　最終評価 Ⅷ.実習指導に当たってのお願い １．実習時間について １日８時間、週４０時間を上限とする実習をお願いいたします。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 17）

新	旧
別紙 1－9	別紙 1－9

（新旧対照表）シラバス

新	旧
別紙 1－6	別紙 1－6

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

15．シラバス上の成績評価方法・基準の欄で、定期試験と「再試験」が行われることが前提となった記載がされているが、到達目標を達成したことを図る仕組みとして大学教育にふさわしい対応に改めること。あわせて、科目履修で不合格となった学生への対応が不明確なため、 具体の対応について明らかにすること。

（対応）定期試験と再試験が行われることが前提とのご指摘をいただき、シラバス上の成績評価方法・基準の欄の再試験については改め、削除する。

また、科目履修で不合格となった学生は単位未修得となるため再履修の指導を行う。

（新旧対照表）シラバス

新	旧
試験の方法 筆記試験　課題（小テストも含む）	試験の方法（再試験の方法も含む） 筆記試験および課題 再試験はレポート

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

16. 学則（案）では、教育課程連携協議会の位置付けが不明なため、明らかとすること。（是正意見）

（対応）学則（案）では、教育課程連携協議会の位置付けが不明なため、明らかとするようにご意見をいただいたため、学則（案）第 5 章第 11 条に教育課程連携協議会に関する規定を追加し、位置付けを明確にする。

（新旧対照表）学則（2 ページ）

新	旧
追加 第5章　教育課程連携協議会 （教育課程連携協議会） 第11条　本学に、教育課程連携協議会を置く。 2　教育課程連携協議会の運営に関する必要な事項は別に定める。 以下、章、条文を繰り下げる。	記載なし

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

17. 学則（案）では、多様なメディアを高度に利用して行う授業について言及されているが、具体的な計画が示されていないため、多様なメディア教育を行う科目を予定しているのであればシラバス上で明確にすること。

（対応）学則（案）で、多様なメディア教育を行う科目を予定しているのであればシラバス上で明確にするようにご意見をいただいたが、単位を認定する科目としてメディア教育を行う科目を予定していないため、学則から削除する。

（新旧対照表）学則

新	旧
削除	（メディアを利用して行う授業） 第 28 条　多様なメディアを高度に利用して行う授業は、パーソナルコンピュータその他双方向の通信手段によって行う。 2　前項の授業を実施する授業科目については、別に定める。

（改善意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

18. 設置の趣旨として、新たなサービスを創生し、地域経済を振興すると掲げていることから、教育課程連携協議会の委員に地域の産業界の代表者を充実することが望ましい。

（対応）設置の趣旨として、新たなサービスを創生し、地域経済を振興すると掲げていることから、教育課程連携協議会の委員に地域の産業界の代表者を充実することが望ましいとご意見をいただき、教育課程連携協議会の委員に、新たに地域の産業界の代表者として岡山県中小企業団体中央会の池田博昭理事を加え、充実を図る。なお、池田博昭氏からは、既に就任承諾を得ており、地域区分の構成員に加える。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（36 ページ）

新	旧
⑦　教育課程連携協議会について 中略 本学の教育課程連携協議会の構成員は、資料 26 の通りである。 構成員は、専門職大学設置基準第 11 条第 2 項に規定された構成員を配置している。学校側構成員は、（１）学部長 窪山泉、（２）理学療法学科 永野克人、作業療法学科二木淑子、（３）学長が必要と認めた者　安田従生からなる。業界側構成員は、（１）当該専門職大学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者　理学療法士で（一社）岡山県理学療法士会理事である荒尾賢氏、作業療法士で（一社）岡山県作業療法士会理事の藤岡晃氏、理学療法士で関節ファシリテーション学会理事の築山尚司氏、（２）地方公共団体の職員、中島英彦氏、岸川和忠氏、産業団体の理事の池田博昭氏、（３）臨地実務実習先である（医）ふたば会うちおグリーンクリニック　青景遵之氏、（一財）倉敷成人病センター 河本聡志氏であり、専門職大学設置基準第 11 条第 2 項に規定された構成員の各区分の要件に合致した構成である。また、学校側構成員と業界	⑦　教育課程連携協議会について 中略 本学の教育課程連携協議会の構成員は、資料 26 の通りである。 構成員は、専門職大学設置基準第 11 条第 2 項に規定された構成員を配置している。学校側構成員は、（１）学部長 窪山泉、（２）理学療法学科 増川武利、作業療法学科 十河正樹、（３）学長が必要と認めた者　安田従生からなる。業界側構成員は、（１）当該専門職大学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であって、当該職業の実務に関し豊富な経験を有する者　理学療法士で（一社）岡山県理学療法士会理事である荒尾賢氏、作業療法士で（一社）岡山県作業療法士会理事の藤岡晃氏、理学療法士で関節ファシリテーション学会理事の築山尚司氏、（２）地方公共団体の職員、中島英彦氏、岸川和忠氏、（３）臨地実務実習先である（医）ふたば会 うちおグリーンクリニック 青景遵之氏、（一財）倉敷成人病センター 河本聡志氏であり、専門職大学設置基準第 11 条第 2 項に規定された構成員の各区分の要件に合致した構成である。また、学校側構成員と業界側構成員ともに、それぞれの職

側構成員ともに、それぞれの職業専門分野において広い見識をもっており、教育課程について実質的な審議を行うことができる構成員である。	業専門分野において広い見識をもっており、教育課程について実質的な審議を行うことができる構成員である。

（新旧対照表）教育課程連携協議会構成員名簿

新	旧
（追加） （番号）１２ （構成員区分）地域 （関係する学部等又は研究科等） 健康科学部　理学療法学科　作業療法学科 （氏名、年齢）池田　博昭（53） （現所属及び役職名） 岡山県中小企業団体中央会　理事 （構成員区分）③ 中島　英彦氏、岸川　和忠氏は地方公共団体の職員、池田　博昭氏は産業団体の理事であり、③地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者の要件を満たしている。臨地実務実習先である（医）ふたば会　うちおグリーンクリニック　青景　遵之氏、(一財）倉敷成人病センター　河本　聡志氏は、④臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において当該専門職大学と協力する事業者としての要件を満たしている。	なし 中島　英彦氏、岸川　和忠氏は地方公共団体の職員、③地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者の要件を満たしている。臨地実務実習先である（医）ふたば会　うちおグリーンクリニック　青景　遵之氏、(一財）倉敷成人病センター　河本　聡志氏は、④臨地実務実習その他の授業科目の開設又は授業の実施において当該専門職大学と協力する事業者としての要件を満たしている。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 26）

新	旧
（追加） （区分）地域 （関係する学部等又は研究科等） 健康科学部　理学療法学科　作業療法学科 （氏名、年齢）池田　博昭（53） （現所属及び役職名） 岡山県中小企業団体中央会　理事 （主な経歴）	なし

平成 22 年　有限会社トラベルシリウス代表取締役就任 平成 25 年　株式会社シリウスリレーションズ　代表取締役就任 平成 24 年　岡山県中小企業団体青年中央会　会長就任 平成 28 年　岡山県中小企業団体中央会理事就任（現在に至る）	

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

19. 設置の趣旨と養成する人材像と照らして、教育上主要と認める授業科目に専任の教授又は准教授が配置されていることを説明し、教育上支障がないことを明らかとすること。

（対応）本学の理学療法学科および作業療法学科の設置の趣旨、育成する人材像、並びに各科目の学問上の位置づけを考慮して、理学療法士・作業療法士教育に必須と思われる専門科目を、教育上主要と認め、専任の教授又は准教授を配置した。

最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し幅広い領域で活動できる人材を育成するとする本学の設置の趣旨および理学療法学科および作業療法学科で育成する人材像に沿って、またこの目的の遂行のための両学科の教育課程における各科目の学問上の位置づけを考慮し、理学療法士および作業療法士教育のコアとなると思われる職業専門科目を、教育上必要と認め主要科目として配置した。そしてこれらの科目には、博士あるいは修士の学位をもち教育経験が豊富な教授あるいは准教授を配置することで教育効果を高める。主要科目を中心として、基礎科目から職業専門科目へと段階的に積み上げられた教育課程の中で培われた力は、幅広い視野と応用力を育成する展開科目や総合科目への発展に繋がり、そこに主要科目としての意義が生まれる。

理学療法学科と作業療法学科の主要科目は以下に示す通りである。

健康科学部理学療法学科	健康科学部作業療法学科
解剖学	解剖学
生理学	生理学
運動学	運動学
リハビリテーション概論	リハビリテーション概論
理学療法概論	作業療法概論
運動療法	基礎作業学
物理療法	基礎作業療法治療学
理学療法治療学Ⅰ	身体障害作業療法学Ⅰ（神経系疾患）
（脳卒中を中心とした神経系理学療法）	身体障害作業療法学Ⅱ（運動器系疾患）
理学療法治療学Ⅱ	身体障害作業療法学Ⅲ（内部障害系）
（他の神経疾患を中心とした神経系理学療法）	身体障害作業療法学Ⅳ（発達障害系）
理学療法治療学Ⅲ（運動器理学療法）	
理学療法治療学Ⅳ（内部障害理学療法）	

主要科目を担当する教員は、いずれも博士あるいは修士の学位を持つ教授あるいは准教授であり教育上高い水準を保つことができる。

主要科目を担当する教員

健康科学部理学療法学科	健康科学部作業療法学科
解剖学：佐々木順造（教授） 生理学：勅使川原匡（教授） 運動学：山田英司（教授） リハビリテーション概論：村西壽祥（准教授） 理学療法概論：永野克人（教授） 運動療法：濱岡克伺（准教授） 物理療法：永野克人（教授） 理学療法治療学Ⅰ：永野克人（教授） 理学療法治療学Ⅱ：濱岡克伺（准教授） 理学療法治療学Ⅲ：村西壽祥（准教授） 理学療法治療学Ⅳ：片岡弘明 （准教授・実（研））	解剖学：佐々木順造（教授） 生理学：勅使川原匡（教授） 運動学：安田従生（教授） リハビリテーション概論：吉田直樹（教授・実（研）） 作業療法概論：二木淑子（教授） 基礎作業学：林　聡（准教授・実（研）） 基礎作業療法治療学：小林隆司（教授） 身体障害作業療法学Ⅰ：二木淑子（教授） 身体障害作業療法学Ⅱ：吉田直樹（教授・実（研）） 身体障害作業療法学Ⅲ：小林隆司（教授） 身体障害作業療法学Ⅳ：小林隆司（教授）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

20．理学療法学、作業療法学に関する専門性を持った理論系教員が不足しているため、各学科において適切な教員組織を再考すること。

（対応）理学療法士および作業療法士に関する専門性を持った理論系教員が不足しているとのご指摘を踏まえ、理学療法学科に、博士あるいは修士の学位を持つ理学療法士の理論系専任教員５名（教授２名、准教授２名、講師１名）を、作業療法学科に、博士の学位を持つ作業療法士の理論系専任教員２名（教授２名）を新たに配置し、教員組織を適切に改めた。

新たに配置した教員の主たる業績と教育実績および担当する主要科目は以下の通りである。

理学療法学科

永野克人（教授）

研究分野は、人間医工学、神経科学、外科系臨床医学であり、研究内容は、リハビリテーション科学・福祉工学、神経生理学・神経解剖学等の神経科学領域、脳神経外科学、整形外科学等の外科医学領域である。理学療法領域および物理療法の領域に関する多くの業績やテキスト作成に実績がある。さらに、健康科学大学（健康科学部）や福井医療大学（保健医療学部）等での理学療法学や物理療法学に関する豊富な教育実績を有する。担当する主要科目は、「理学療法概論」「物理療法」「理学療法治療学Ⅰ（脳卒中を中心とした神経系理学療法)」である。

山田英司（教授）

研究分野は人間医工学であり、研究内容はリハビリテーション科学および福祉工学である。運動器疾患と理学療法を中心として筋肉や骨・関節を含む運動器と理学療法に関する多くの著書・論文を発表している。さらに、徳島文理大学（保健福祉学部）では運動学や理学療法学に関する豊富な教育実績を有している。担当する主要科目は「運動学」である。

村西壽祥（准教授）

研究分野は骨関節機能障害、人間医工学であり、研究内容はリハビリテーション科学、福祉工学、肩関節の理学療法等である。業績は、肩関節をはじめとする関節運動障害と理学療法に関する内容を主としており、大学での教育歴は、大阪河﨑リハビリテーション大学（リハビリテーション学部）において、主として関節・筋肉など運動器疾患の理学療法や義肢装具学に関する豊富な教育歴を有する。担当する主要科目は「リハビリテーション概論」「理学療法治療学Ⅲ（運動器理学療法)」である。

濱岡克伺（准教授）

研究分野は理学療法学であり、研究内容は脳卒中、身体活動、転倒等に関する領域である。脳血管障害や高次脳機能障害に関する業績を有するが、中でも脳血管障害と理学療法に関する多視点からの研究が多い。また大和大学（保健医療学部）では、中枢神経系理学療法学

や神経系理学療法学等の神経系障害とその理学療法に関する豊富な教育実績を有している。担当する主要科目は「理学療法治療学Ⅱ（他の神経疾患を中心とした神経系理学療法）」である。

山下裕之（講師）

研究分野は健康・スポーツ科学、人間医工学、外科系臨床医学であり、研究内容はスポーツ障害、スポーツバイオメカニクス、理学療法・リハビリテーション学、骨・関節、加齢・老化等多岐の領域に亘る。主たる業績はスポーツ障害や運動障害に関するものである。日本体育協会公認アスレティックトレーナーの資格を持ち、岡山県内はもとより全国レベルでスポーツ障害の予防と対策に関する領域の指導的役割を担っている。主要科目は担当しない。

作業療法学科

二木淑子（教授）

研究分野は人間医工学、リハビリテーション科学であり、研究内容は障害学、作業療法全般、生活技術支援、高次脳機能、認知症である。業績は作業療法全般にわたり、中でも高次脳機能や認知機能に関する脳神経系の研究業績が多く、また大学での教育歴としては、金沢大学（医学部・大学院）、また京都大学（医学部・大学院）において、作業療法学や高次脳機能に関する神経系作業療法学等の領域において豊富な教育実績を有する。担当する主要科目は「作業療法概論」「身体障害作業療法学Ⅰ（神経系）」である。

小林隆司（教授）

研究分野は人間医工学、教育学であり、研究内容は地域総合作業療法、特別支援教育の領域である。心大血管系、呼吸器系、がん等の内部障害に対する作業療法に関する多くの教科書やテキストの執筆業績があり、また障害児の学童保育や小学校特殊学級での特別支援教育などの領域での業績を有している。さらに神奈川県立保健福祉大学（リハビリテーション学科）、吉備国際大学（保健医療福祉学部・保健科学研究科大学院）、首都大学東京（健康福祉学部・大学院人間健康科学研究科）において、身体障害作業療法学や発達障害作業療法学豊富な教育実績を持つ。担当する主要科目は「基礎作業療法治療学」「身体障害作業療法学Ⅲ（内部障害系）」「身体障害作業療法学Ⅳ（発達障害系）」である。

（理学療法学、作業療法学に関する専門性を持った理論系追加教員）

○理学療法学科

区分	職位	氏名	学位	現職	備考
専	教授（学科長）	永野　克人 〈平成 32 年 4 月〉	博士（薬学） 修士（保健学）	福井医療大学保健医療学部教授	理学療法士

専	教授	山田　英司 〈平成 32 年 4 月〉	博士(医学)	岡山医療技術専門学校　教員	理学療法士
専	准教授	村西　壽祥 〈平成 32 年 4 月〉	修士(医学)	大阪河﨑リハビリテーション大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科　准教授	理学療法士
専	准教授	濱岡　克伺 〈平成 32 年 4 月〉	修士(学術)	大和大学　総合保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法専攻　講師	理学療法士
専	講師	山下　裕之 〈平成 32 年 4 月〉	健康科学博士	川崎医科大学総合医療センター理学療法士	理学療法士

※永野　克人、山田　英司は、実（研）区分より専へ区分を変更

○作業療法学科

区分	職位	氏名	学位	現職	備考
専	教授 （学科長）	二木　淑子 〈平成 32 年 4 月〉	博士(医学) 修士（リハビリテーション）	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻　客員研究員	作業療法士
専	教授	小林　隆司 〈平成 34 年 4 月〉	博士（保健学） 修士（保健学）	首都大学東京大学院人間健科学研究科作業療法科学域・教授	作業療法士

（新旧対照表）専任教員の年齢構成・学位保有状況、専任教員の年齢構成・学位保有状況（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

新	旧
別紙 1－3	別紙 1－3

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（28 ページ）

新	旧
専任教員の年齢構成は、70 歳代 6 名、60 歳代の教員 2 名、50 歳代の教員 11 名、40 歳代の教員 8 名、30 歳代の教員 1 名と	専任教員の年齢構成は、70 歳代の学長 1 名、60 歳代の教員 5 名、50 歳代の教員 3 名、40 歳代の教員 14 名、30 歳代の教員 1 名と

なっており、教育・研究で最も活躍できる40～50代の教員が多数を占める編成となっている。 　専任教員は、全員本学の定年規程に適合している（資料4)。	なっており、教育・研究で最も活躍できる40歳代の教員が多数を占める編成となっている。 　専任教員は、全員本学の定年規程に適合している（資料4)。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

21. 教員の年間担当単位数が過剰であり、教育活動以外に研究活動を行えるのか疑義があるため、専門学校の兼務も含めて専任教員ごとの勤務状況を時間割等で明らかにし、無理なく教育活動及び研究活動ができることを明確にすること。

（対応）教員の年間担当単位数が過剰であるというご意見を踏まえて、教員数を増員（理学療法学科 18 名、作業療法学科 10 名）し無理なく教育活動及び研究活動ができるように配意した。

よって、理学療法学科では最大 41 単位（講師　横山 暁大）が最大 21 単位、38 単位（講師 増川 武利）が最大 25 単位となり、作業療法学科では最大 38 単位（助教　野口 泰子）が最大 23 単位となり、過剰な教員を中心に調整した。

専任教員の勤務状況については、時間割（別紙７　教員一人当たりの時間割）の通り、教育活動および研究活動に支障はない。

なお、専門学校には専門学校専任の別教員を配置しているため、専門学校での兼務は行わない。ただし、開学初年度のみ、2 名（理学療法学科　増川武利、作業療法学科　渡部　悠司）が専門学校への兼務を行うものとする。

（理学療法学科）

氏名	申請時単位数（年間）	補正単位数（年間）	
増川 武利	41 単位	25 単位	内、臨地実務実習（見学実習、総合実習Ⅱ）9 単位を含む
横山 暁大	38 単位	21 単位	内、臨地実務実習（評価実習）3 単位を含む

（作業療法学科）

氏名	申請時単位数（年間）	補正単位数（年間）	
野口 泰子	38 単位	23 単位	内、臨地実務実習（総合実習Ⅱ）9 単位を含む

（新旧対照表）専任教員の年齢構成・学位保有状況、専任教員の年齢構成・学位保有状況（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

新	旧
別紙 1－3	別紙 1－3

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（28 ページ）

新	旧
専任教員の年齢構成は、70 歳代 6 名、	専任教員の年齢構成は、70 歳代の学長 1

60 歳代の教員 2 名、50 歳代の教員 11 名、40 歳代の教員 8 名、30 歳代の教員 1 名となっており、教育・研究で最も活躍できる 40～50 代の教員が多数を占める編成となっている。 専任教員は、全員本学の定年規程に適合している（資料 4)。	名、60 歳代の教員 5 名、50 歳代の教員 3 名、40 歳代の教員 14 名、30 歳代の教員 1 名となっており、教育・研究で最も活躍できる 40 歳代の教員が多数を占める編成となっている。 専任教員は、全員本学の定年規程に適合している（資料 4)。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

22. 理学療法学科、作業療法学科それぞれの学科長予定者が不明なため、明らかにすること。

（対応）理学療法学科、作業療法学科それぞれの学科長予定者が不明なため、明らかにするようご意見をいただいたため、学科長予定者を理学療法学科　永野克人（教授）、作業療法学科　二木淑子（教授）とする。

また、教育課程連携協議会の構成員を理学療法学科　増川武利から永野克人、作業療法学科十河正樹から二木淑子に変更する。

（新旧対照表）様式第 3 号（その 2 の 1）健康科学部理学療法学科

新	旧
2 教授（学科長）永野　克人 〈平成 32 年 4 月〉	なし

（新旧対照表）様式第 3 号（その 2 の 1）健康科学部作業療法学科

新	旧
3 教授（学科長）二木　淑子 〈平成 32 年 4 月〉	なし

（新旧対照表）教育課程連携協議会構成員名簿

新	旧
健康科学部理学療法学科 永野　克人　53 歳 福井医療大学保健医療学部教授 ※平成 32 年 4 月 岡山医療専門職大学 健康科学部　理学療法学科　学科長・教授	健康科学部理学療法学科 増川　武利　44 歳 岡山医療技術専門学校　専任教員 ※平成 32 年 4 月 岡山専門職大学 健康科学部　理学療法学科　講師
健康科学部作業療法学科 二木　淑子　67 歳 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻　客員研究員 ※平成 32 年 4 月 岡山医療専門職大学 健康科学部　作業療法学科　学科長・教授	健康科学部作業療法学科 十河　正樹　45 歳 岡山医療技術専門学校　専任教員 ※平成 32 年 4 月 岡山専門職大学 健康科学部　作業療法学科　講師

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

23．専任教員数について、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めること。

（対応）専任教員数について、教員審査の結果、専門職大学設置基準の規定を満たしていないため、適切に改めるようご意見をいただいたため、以下の通り適切に改める。

（理学療法学科）

【職位別人数】

教授	准教授	講師	助教	合計
8	3	3	4	18

【区分別人数】

専任	実	実（研）	実（み）	合計
8	4	3	3	18

（作業療法学科）

【職位別人数】

教授	准教授	講師	助教	合計
6	1	1	2	10

【区分別人数】

専任	実	実（研）	実（み）	合計
4	3	2	1	10

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（26－27 ページ）

新	旧
専門分野を担当する教員は、すべて医療機関や医療施設で 5 年以上の実務経験をもつ理学療法士 12 名、作業療法士 7 名、計 19 名からなる。専門分野の主要科目には、原則として高い研究能力を有する教授、准教授を配置し、主として実習科目を担当する実務家教員と役割を分担し、互いに補完しあう教員編成をとっている。実務家教員は全員が高度な実務能力と学術論文等の研究業績をもち、そのうち博士の学位をもつ者 8 名、修士の学位をもつ者 10 名である。実務家教員の 9 割以上が、高い研究能力を保	専門分野を担当する教員は、すべて医療機関や医療施設で 5 年以上の実務経験をもつ理学療法士 9 名、作業療法士 6 名、計 15 名からなる。実務家教員は全員が高度な実務能力と学術論文等の研究業績をもち、そのうち博士の学位をもつ者 9 名、修士の学位をもつ者 4 名である。実務家教員の 6 割が、高い研究能力を保持する博士・修士で占められている。実務家教員は、実務現場の教育ニーズに通暁し、経験豊富で熟練治療技術を有しており、充実した実習教育および上級治療技術を教授する上で欠くこと

持する博士・修士で占められている。実務家教員は、実務現場の教育ニーズに通暁し、経験豊富で熟練治療技術を有しており、充実した実習教育および応用治療技術実習を教授する上で欠くことのできない存在である。 みなし専任教員 4 名は、実務現場や大学研究機関の第一線で活躍しており、3 名は博士の学位をもっている。みなし専任教員は、専門分野において研究業績や実務実績が豊富であり、専任教員と協力して教育運営に参加し、教務委員会のカリキュラム担当委員と協力して教育課程連携協議会の意見を迅速に反映した授業科目の開発や教育課程の編成、不断の見直しに協力する。 教員は、理学療法学科に専任教員 18 名（教授 8 名、准教授 3 名、講師 3 名、助教 4 名）を配置し、作業療法学科に専任教員 10 名（教授 6 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 2 名）を配置する。理学療法学科専任教員には 3 名、作業療法学科には 1 名のみなし専任教授が含まれる。また、理学療法学科の教授 1 名は、現在年次進行中の新設大学の教授として在任しているが、所属する大学学長から本学へ移籍することについての許可を得ている。	のできない存在である。そして専門分野の主要科目には、原則として高い研究能力を有する教授、准教授を配置し、主として実習科目を担当する実務家教員と役割を分担し、互いに補完しあう教員編成をとっている。 みなし専任教員 5 名は、実務現場や大学研究機関の第一線で活躍しており、4 名は博士の学位をもっている。みなし専任教員は、専門分野において研究業績や実務実績が豊富であり、専任教員と協力して教育運営に参加し、教務委員会のカリキュラム担当委員と協力して教育課程連携協議会の意見を迅速に反映した授業科目の開発や教育課程の編成、不断の見直しに協力する。 教員は、理学療法学科に専任教員 15 名（教授 8 名、准教授 2 名、講師 2 名、助教 3 名）を配置し、作業療法学科に専任教員 9 名（教授 5 名、准教授 1 名、講師 1 名、助教 2 名）を配置する。理学療法学科専任教員には 3 名、作業療法学科には 2 名のみなし専任教授が含まれる。また、理学療法学科の教授 1 名は、現在年次進行中の新設大学の教授として在任しているが、所属する大学学長から本学へ移籍することについての許可を得ている。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（28 ページ）

新	旧
専任教員の年齢構成は、70 歳代 6 名、60 歳代の教員 2 名、50 歳代の教員 11 名、40 歳代の教員 8 名、30 歳代の教員 1 名となっており、教育・研究で最も活躍できる 40～50 代の教員が多数を占める編成となっている。 専任教員は、全員本学の定年規程に適合している（資料 4）。	専任教員の年齢構成は、70 歳代の学長 1 名、60 歳代の教員 5 名、50 歳代の教員 3 名、40 歳代の教員 14 名、30 歳代の教員 1 名となっており、教育・研究で最も活躍できる 40 歳代の教員が多数を占める編成となっている。 専任教員は、全員本学の定年規程に適合している（資料 4）。

（新旧対照表）専任教員の年齢構成・学位保有状況、専任教員の年齢構成・学位保有状況（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

新	旧
別紙１－３	別紙１－３

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

24．教員研究室は大部屋を用意してパーティションで区切りすべての専任教員が使用できる環境を用意すると説明があるが、実際の学生指導や研究活動を行うに当たり、十分なものであるのか疑義があるため、教員一人当たりの面積や研究室に備える設備、部屋のレイアウト、想定される研究内容等を明確にした上で、教育研究上支援がない計画とすること。

（対応）現行計画は、大共同研究室 3 室をパーティションで区切り、1 室 8 区画で全 24 区画とするものであるが、実際の学生指導や研究活動について十分なものにするようにとのご意見を受け、新計画では 6-8 階の新区域に、6 階に 8 室、7 階に 8 室、8 階に 10 室の個室研究室を設ける。

教員の研究室をすべて個室として整備するため、大共同研究室 3 室と、4 階の教員更衣室（女）1 室と 5 階の教員更衣室（男）1 室が空き部屋となり、予備室となる。

そこで 5 階の北側の演習室（5-6）と演習室（5-5）を 4 階と 5 階の更衣室に移動させ、空いた（5-5）を学部長室とし、元の学部長室と演習室（5-6）を教員研究室とする。教員の個室には、個別の研究机、椅子、書棚、学生指導用机、椅子 7 脚、保管用ロッカー（鍵付き）を整備する。個室研究室の面積は 16.69 ㎡－21.84 ㎡となる（資料 1 参照）。

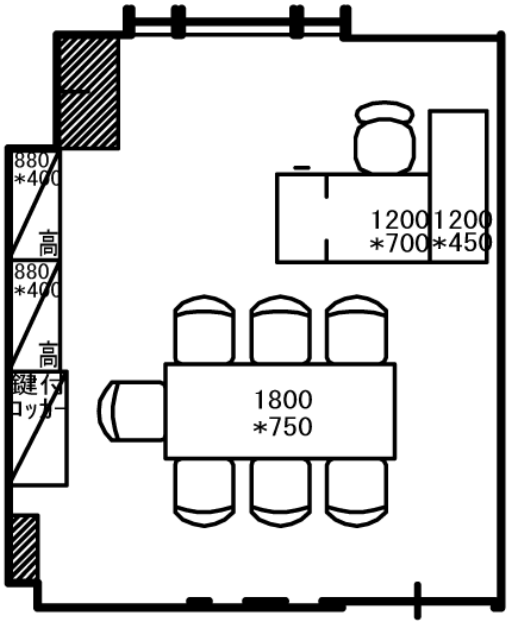
この改修計画によって、研究室は、5 階 2 室、6 階 8 室、7 階 8 室、8 階 10 室の合計 28 室となる。教員の増員を織り込んだ研究室数となっている。

また 5 階の予備室（大共同研究室）に、新指定規則に沿って概略図のように 3 次元動作解析装置、筋電図計測装置、重心動揺分析装置を配置し、教育研究室として活用する。

同時に、所属する教員の主要研究分野である運動器系、神経系、内部障害系、物理療法系、基礎系の研究を支援するための機器を整備する。なお動物実験を行う教員はいない。

具体的には、４階の予備室（大共同研究室）のスペースに、運動器系の研究を支えるためのスパイナルマウス、超音波画像診断装置、運動器系および内部障害系の研究を支えるインボディ、ポラール携帯型心拍数計、無酸素系運動パワー測定装置（パワーマックス Ⅷ）、物理療法系の研究を支えるインテレクト・アドバンス・コンボ、内部障害系の研究を支える CPex-1、神経系および運動器系の研究を支える DELSYSTrigno、WinFDM システム、基礎系研究を支えるマイナス 80 度フリーザー、神経系研究を支えるアイトラッキングシステムを設置した健康科学部実験共同研究室を整備する。

（資料 1）

標準的な個室研究室	教育研究室	
 面積 18.92 ㎡		

工事工程表

	2019年					2020年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
準備										
6階研究室改修										
7階研究室改修										
8階研究室改修										
検査										

※参考工程表となります。あくまで予定となりますので、変更になる可能性があります。

（添付）別紙 5　平面図

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（38－39 ページ）

新	旧
⑧　施設、設備等の整備計画 （中略）	⑧　施設、設備等の整備計画 （中略）

２．校舎等施設の整備計画 （中略） 研究室は、5 階 2 室、6 階に 8 室、7 階に 8 室、8 階に 10 室、合計 28 室の個室研究室を設ける。各研究室には、個別の研究机、椅子、書棚、学生指導用机、椅子 7 脚、保管用ロッカー（鍵付き）を備え、個人情報や個別研究の内容が保持される良好な研究環境を整備する。 また 5 階の予備室（大共同研究室）に、新指定規則に沿って概略図のように 3 次元動作解析装置、筋電図計測装置、重心動揺分析装置を配置し、教育研究室として活用する。 同時に、所属する教員の主要研究分野である運動器系、神経系、内部障害系、物理療法系、基礎系の研究を支援するための機器を整備する。なお動物実験を行う教員はいない。 具体的には、４階の予備室（大共同研究室）のスペースに、運動器系の研究を支えるためのスパイナルマウス、超音波画像診断装置、運動器系および内部障害系の研究を支えるインボディ、ポラール携帯型心拍数計、無酸素系運動パワー測定装置（パワーマックスⅧ)、物理療法系の研究を支えるインテレクト・アドバンス・コンボ、内部障害系の研究を支える CPex-1、神経系および運動器系の研究を支える DELSYSTrigno、WinFDM システム、基礎系研究を支えるマイナス 80 度フリーザー、神経系研究を支えるアイトラッキングシステムを設置した健康科学部実験共同研究室を整備する。	２．校舎等施設の整備計画 （中略） 研究室は、本館 4 階、5 階にパーティションで区分された 24 区画を整備し（共同利用 3 区画を含む)、すべての専任教員が使用する。各区画は、独立性に配慮するとともに、個別の研究机、書棚、学生指導用机、資料等保管用ロッカーを備え、個人情報や個別研究の内容が保持される良好な研究環境が整備されている。このほか本館 5 階には、学長室・学部長室と大会議室を備える。

（添付）別紙　平面図

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 8）

新	旧
別紙 1－7	別紙 1－7

（新旧対照表）校地校舎の図面　添付資料　工事工程表

新	旧
工事工程表	

（新旧対照表）基本計画書　専任教員研究室

新			旧		
新設学部等の名称	室	数	新設学部等の名称	室	数
健康科学部研究室	28	室	健康科学部理学療法学科	2	室
教育研究室	1	室	健康科学部作業療法学科	1	室
健康科学部実験共同研究室	1	室			

（新旧対照表）基本計画書　校舎面積

新				旧			
専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計
6091．19 ㎡	5689．91 ㎡	4158．45 ㎡	15939．55 ㎡	5621.77 ㎡	5,044.82 ㎡	4,713.59 ㎡	15380.17 ㎡
（3282．27 ㎡）	（8498．84 ㎡）	（4158．45 ㎡）	（15939．55 ㎡）	（5621.77 ㎡）	（5,044.82 ㎡）	（4,713.59 ㎡）	（15380.17 ㎡）

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

25．図面上、学生と個別相談ができる空間が限られた場所しかなく、適切に学生指導ができるか疑義があるため、必要に応じて施設の計画を修正しつつ、どのように学生のプライバシーを守り、指導を行うのか明確にすること。

（対応）適切に学生指導ができるか疑義があるとのご意見を踏まえ、教員研究室について当初の計画を修正し、教員研究室を個室にすることで、学生のプライバシーを守り、個別指導を行うことが可能となる。研究室で行う以外の学生指導については、臨床心理士を配置した「学生相談室」で行うものとする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載したショル（38－39 ページ）

新	旧
⑧　施設、設備等の整備計画 （中略） ２．校舎等施設の整備計画 （中略） 研究室は、5 階 2 室、6 階に 8 室、7 階に 8 室、8 階に 10 室、合計 28 室の個室研究室を設ける。各研究室には、個別の研究机、椅子、書棚、学生指導用机、椅子 7 脚、保管用ロッカー（鍵付き）を備え、個人情報や個別研究の内容が保持される良好な研究環境を整備する。 また 5 階の予備室（大共同研究室）に、新指定規則に沿って概略図のように 3 次元動作解析装置、筋電図計測装置、重心動揺分析装置を配置し、教育研究室として活用する。 同時に、所属する教員の主要研究分野である運動器系、神経系、内部障害系、物理療法系、基礎系の研究を支援するための機器を整備する。なお動物実験を行う教員はいない。 具体的には、４階の予備室（大共同研究室）のスペースに、運動器系の研究を支えるためのスパイナルマウス、超音波画像診断装置、運動器系および内部障害系の研究を支えるインボディ、ポラール携帯型心拍	⑧　施設、設備等の整備計画 （中略） ２．校舎等施設の整備計画 （中略） 研究室は、本館 4 階、5 階にパーティションで区分された 24 区画を整備し（共同利用 3 区画を含む）、すべての専任教員が使用する。各区画は、独立性に配慮するとともに、個別の研究机、書棚、学生指導用机、資料等保管用ロッカーを備え、個人情報や個別研究の内容が保持される良好な研究環境が整備されている。このほか本館 5 階には、学長室・学部長室と大会議室を備える。

数計、無酸素系運動パワー測定装置（パワーマックスⅧ)、物理療法系の研究を支えるインテレクト・アドバンス・コンボ、内部障害系の研究を支える CPex-1、神経系および運動器系の研究を支える DELSYSTrigno、WinFDM システム、基礎系研究を支えるマイナス 80 度フリーザー、神経系研究を支えるアイトラッキングシステムを設置した健康科学部実験共同研究室を整備する。	

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

26. 運動場を近隣に確保することができないため、岡山県総合グラウンドを利用することで代替すると説明がなされているが、大学として利用可能な状況の詳細が不明なため、実際の利用頻度や学生の経済的負担を踏まえて明らかとすること。

（対応）岡山県総合グラウンドの利用可能な状況について明らかとするようにご意見をいただいたため、実際の利用頻度、学生の経済負担について以下の通り明確にする。

本学は体育館を保有しているため、大学の学修に必要な運動等は体育館を使用する。運動場を使用する授業は行わないため、実際に運動場を使用するのは体育祭のみとなる。

1. 実際の利用頻度

年 1 回

2. 学生の経済的負担

（利用料）学生の負担なし。

（アクセスに関する費用）自転車を利用できるため、学生の負担はなし。雨天の際にバスを利用する場合にはバス代のみ学生の自己負担となる。（岡山総合グラウンドまで片道 200 円、岡山ドームまで片道 170 円）

3. 利用方法

学生がサークル等課外活動で利用したい場合には、その都度申請して貰い、随時使用できるようにする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（38 ページ）

新	旧
⑧　施設、設備等の整備計画 １．校地、運動場の整備計画 （中略） キャンパスが都心部にあるため、運動場を近隣に確保することが困難であるが、教育上必要な運動等を実施するために体育館を整備している。体育祭を開催する場合には運動場が必要となるが、本学から 2.8 ㎞に位置する岡山ドームおよび 3 ㎞に位置する岡山県総合グラウンドを利用することで代替する（資料 7)。岡山ドームとは規定上年間契約を結ぶことができないため、体育祭で利用する場合、2 ヶ月前に予約をして対応する。 また学生がサークル等課外活動でグラウ	⑧　施設、設備等の整備計画 ２．校地、運動場の整備計画 （中略） キャンパスが都心部にあるため、運動場を近隣に確保することが困難である。そのため本学から 2.8 ㎞に位置する岡山ドームおよび 3 ㎞に位置する岡山県総合グラウンドを利用することで代替する（資料 7)。岡山ドームとは規定上年間契約を結ぶことができないため、授業や課外活動でグラウンド、テニスコート、野球場を利用する場合、2 ヶ月前に予約をして対応する。陸上競技場（および野球場、テニスコート）は、岡山県総合グラウンドを利用する。いずれの施設も学生が自転車で行ける距離であり、経

ンド、テニスコート、野球場を利用したい場合には、その都度申請して貰い、随時使用できるようにする。また、岡山県総合グラウンドの陸上競技場（および野球場、テニスコート）を利用する場合も同様とする。いずれの施設も使用料の負担はない。また交通費に関しても、学生が自転車で行ける距離であり、経済的負担もない。ただし、雨天の際バスを利用する場合にはバス代のみ学生の自己負担となる。（岡山総合グラウンドまで片道 200 円、岡山ドームまで片道 170 円） 　課外授業や課外活動を実施する際には、設備の整った施設を利用できるので、運動場を設けることにより得られる効用と同等以上の効果が得られ、教育に支障はない。	済的負担もない。バスの便も充実している。 　授業や課外活動を実施する際には、設備の整った施設を利用できるので、運動場を設けることにより得られる効用と同等以上の効果が得られ、教育に支障はない。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

27. 図書館は主要な学術雑誌へのアクセスを保証すると記述があるが、添付されたジャーナルリストでは大学水準の教育研究活動を行うことができると認められないため、大学水準の図書、電子ジャーナル、国際雑誌を収集するよう抜本的に是正すること。

（対応）大学水準の図書、電子ジャーナル、国際雑誌を収集するよう抜本的に是正するようにご意見をいただいたため、資料の通り、大学水準の図書 4,739 冊（既存蔵書 5,212 冊を含まない）、主要ジャーナル 5 誌、7 タイトルの電子ジャーナル（英語）を収集するとともに、1,401 タイトルを収録したデータベース「メディカルオンライン　ライブラリー」、計 1,408 タイトルを整備する。

（新旧対照表）基本計画書　図書・設備　健康科学部

新			旧		
図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち外国書〕	図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち外国書〕
9,723〔338〕 (9,723〔338〕)	1413〔7〕 (1413〔7〕)	1408〔7〕 (1408〔7〕)	10,282〔241〕 (10,151〔110〕)	21〔0〕 (21〔0〕)	10〔0〕 (10〔0〕)
9,723〔338〕 (9,723〔338〕)	1413〔7〕 (1413〔7〕)	1408〔7〕 (1408〔7〕)	10,282〔241〕 (10,151〔110〕)	21〔0〕 (21〔0〕)	10〔0〕 (10〔0〕)

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（39 ページ）

新	旧
３．図書等の資料および図書館の整備計画 新館 1 階に、図書館（484.56 ㎡）を設ける。既存の岡山医療技術専門学校が保有する蔵書 5,212 冊（内洋書 110 冊）に加え、大学教育課程に沿って新たに 4,739 冊（内洋書 228 冊）購入し、本学の教育・研究に必要な図書等を網羅した学術書籍・資料等を整備する。一般図書、専門図書、国家資格取得に必要な図書、開設科目に関連する心理学、英語コミュニケーション、日本歴史と文化、現代社会、統計学、問題解決能力、ロジカルシンキング、情報処理・データ収集に関する図書等を体系的に整備する。 学術雑誌については、当該専門分野の主	３．図書等の資料および図書館の整備計画 新館 1 階に、図書館（484.56 ㎡）を設ける。既存の岡山医療技術専門学校が保有する蔵書 5,212 冊（内洋書 110 冊）に加え、大学教育課程に沿って新たに 5,070 冊（内洋書 131 冊）購入し、本学の教育・研究に必要な図書等を網羅した学術書籍・資料等を整備する。一般図書、専門図書、国家資格取得に必要な図書、開設科目に関連する心理学、英語コミュニケーション、日本歴史と文化、現代社会、統計学、問題解決能力、ロジカルシンキング、情報処理・データ収集に関する図書等を体系的に整備する。 学術雑誌については、当該専門分野の主

要 5 誌のジャーナルと 7 タイトルの電子ジャーナル（英語）、1,401 タイトルを収録したデータベース「メディカルオンラインライブラリー」を整備する（資料 11）。視聴覚教材（DVD,動画、CD など）では、学生の修学に有用なものを選択し、さらに継続的に整備を進めていく（資料 12）。	要 21 誌のジャーナルと 10 タイトルの電子ジャーナルを整備する（資料 11）。視聴覚教材（DVD,動画、CD など）では、学生の修学に有用なものを選択し、さらに継続的に整備を進めていく（資料 12）。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 11）

新	旧
資料 11 （別紙 6）図書、ジャーナルリスト	資料 11

設置の趣旨等を記載した書類（資料 27）

新	旧
追加 （別紙 6）図書、ジャーナルリスト	なし

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

28．大学名について、「岡山」という都市名単独が大学名に冠されることで総合大学のような印象を受けるが、大学の教育組織はリハビリテーションに関する学部のみが置かれていることを踏まえると、大学名が教育内容を適切に表しているとは考えにくいため、再考すること。

（対応）大学名について、大学名が教育内容を適切に表しているとは考えにくいため、再考するようにご意見をいただいたため、大学名にリハビリテーション分野の教育内容を表すため、名称を「岡山医療専門職大学」へと変更する。
大学の英語名称については、「Okayama Healthcare Professional University」とする。

（新旧対照表）大学名を一括して下記の通り変更する。

新	旧
大学の名称 ｵｶﾔﾏｲﾘｮｳｾﾝﾓﾝｼｮｸﾀﾞｲｶﾞｸ 岡山医療専門職大学（Okayama Healthcare Professional University）	大学の名称 ｵｶﾔﾏｾﾝﾓﾝｼｮｸﾀﾞｲｶﾞｸ 岡山専門職大学（Okayama Professional University）

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（11 ページ）

新	旧
４．大学名を「岡山医療専門職大学」にした理由 本大学は、岡山県岡山市に位置し、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた高度専門職業人を育成する専門職大学であり、リハビリテーション分野の教育を行うことから、大学名を「岡山医療専門職大学」とすることが適当であるとの結論となった。 本学の英語名称については岡山県岡山市に位置する医療専門職大学（Healthcare Professional University）であることと、社会的、国際通用性を併せて考え、「Okayama Healthcare Professional University」とする。	４．大学名を「岡山専門職大学」にした理由 本大学は、岡山県岡山市に位置し、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた高度専門職業人を育成する専門職大学であることから、大学名を「岡山専門職大学」とすることが適当であるとの結論となった。 本学の英語名称については岡山県岡山市に位置する専門職大学（Professional University）であることと、社会的、国際通用性を併せて考え、「Okayama Professional University」とする。

（是正意見）健康科学部　理学療法学科，作業療法学科

29. 研究活動を事務局としてどのように支援をしていくのか、外部資金の獲得計画をどのようにとらえているのか、考え方を明らかとすることが望ましい。

（対応）研究活動を事務局としてどのように支援をしていくか、外部資金の獲得計画をどのようにとらえているのかについて考え方を明らかにすることが望ましいとのご意見を踏まえて、次の通り明らかとする。

大学事務局として研究活動を支援していくために、科学研究費等外部資金の情報提供を行い、獲得するように支援を行う。また書類作成のサポートを大学事務局総務チームの研究支援担当者が行う。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（29 ページ）

新	旧
⑥ 教員組織等の編成の考え方及び特色 中略 （４）研究分野と研究体制 中略 ３）大学事務局の支援体制 大学事務局として研究活動を支援していくために、科学研究費等外部資金の情報提供を行い、獲得するように支援を行う。また書類作成のサポートは、大学事務局総務チームの研究支援担当者が行う。	⑦ 教員組織等の編成の考え方及び特色 中略 （４）研究分野と研究体制 中略 追加

（是正意見）健康科学部　理学療法学科

14. 専門職大学の設置基準上、授業は１クラス４０人以下で行うと定められているが、理学療法学科の入学定員は８０名であり理学療法学科では同一科目同一内容を複数回開講する必要があるため、複数回科目が開講されていることが分かるように、教員の時間割を示し明らかとすること。（是正意見）

（対応）理学療法学科において、同一科目同一内容を複数回開講されていることが分からないとご指摘をいただいたが、資料 10 で理学療法学科 A（クラス）と理学療法学科 B（クラス）として各クラス 40 名以下の編成で、担当者、講義室名を記載し、同一科目同一内容を 2 回（開講数 2）ずつ行い、開講時間が重複しないように配置していた。しかしながら、同一科目同一内容を複数回開講していることが明らかになるよう、新たに教員の時間割を具体的に示して明らかにする。

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 10）

新	旧
（追加） 理学療法学科を A と B クラスに分けて 40 名以下で編成している。	なし

（新旧対照表）設置の趣旨等を記載した書類（資料 10）時間割表（大学・専門学校）

新	旧
（別紙 7）教員一人当たりの時間割	なし

別紙リスト

（別紙 1）（岡山市）第 7 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）
平成 30 年 3 月

（別紙 2）第 3 次作業療法 5 カ年計画（一般社団法人 日本作業療法士協会）

（別紙 3）学生確保の見通し

（別紙 4）基盤ゼミ・研究関係シラバス（新旧対照表）

（別紙 5）平面図

（別紙 6）図書、ジャーナルリスト

（別紙 7）教員一人当たりの時間割

（別紙 8）教育課程と新指定規則等との対比表

（別紙1）

岡山市

第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

（地域包括ケア計画）

【概要版】



平成30(2018)年３月

岡　山　市

1 計画の策定にあたって

計画策定の趣旨

岡山市における高齢者人口は、平成27年の約17万５千人（高齢化率24.7%）から、団塊の世代（1947～1949年生まれ）が75歳以上となる平成37（2025）年には約19万５千人（高齢化率27.0%）まで上昇する見込みであり、ひとり暮らし高齢者の増加、人間関係の希薄化等による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等への対応が喫緊の課題となっています。

こうした状況を踏まえ、健康寿命の延伸や高齢者が生涯現役で活躍できる環境づくりを進めるとともに、医療・介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるよう、市民、事業者との有機的な連携・協働により、地域ごとに「地域包括ケアシステム」を構築していくことが求められています。

「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」は、平成37（2025）年を見据えた「地域包括ケア計画」として、第６期計画での取組を評価・検証した上で策定しています。本計画に基づき、中長期的な視点を持ちながら、平成30（2018）年度から平成32（2020）年度までの３年間で、高齢者に関する保健福祉施策を総合的・体系的に展開し、岡山市の地域包括ケアシステムを深化・推進します。

本計画の位置づけ

本計画は、岡山市政の基本指針である「岡山市第六次総合計画」を上位計画とし、「地域共生社会推進計画（地域福祉計画）」等の関連計画との整合性を保ちながら策定しています。

計画期間

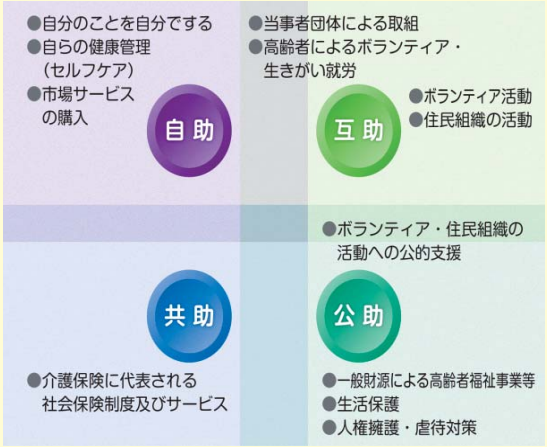
本計画の計画期間は、平成30（2018）年度から平成32（2020）年度までの３年間です。計画期間の最終年度である平成32（2020）年度中には、市民ニーズや社会動向の変化を把握しながら、第７期計画の取組状況について点検し、必要な見直しを行い、第８期計画を策定します。

コラム　地域包括ケアシステムについて

地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り、住み慣れた自宅や地域で人生の最後まで暮らし続けられるよう「医療」「介護」「住まい」「介護予防」「生活支援」の５つのサービスを一体的に受けられる、地域における支援体制のことです。国では、これらの５つのサービスが、利用者のニーズに応じて包括的かつ継続的に、概ね30分で駆けつけられる圏域（日常生活圏域）で提供されることを想定しています。

地域包括ケアシステムは、「自助・互助・共助・公助」の考え方の下、高齢者自身も含め、地域住民やボランティア・NPO、事業者・関係機関、専門多職種など、それぞれの地域の関係者の参加により、地域社会全体で形成していくものとされています。





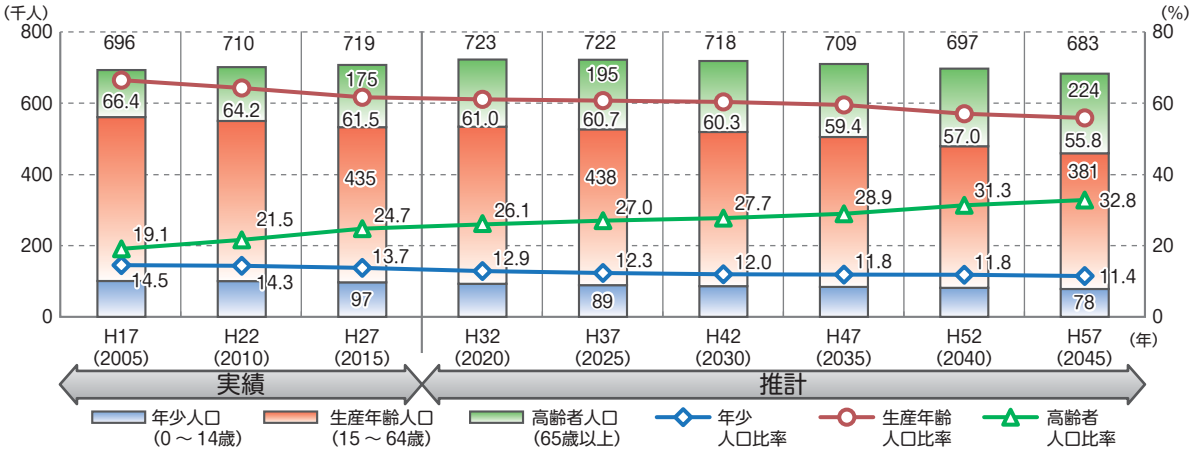
※三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

2 岡山市の高齢者を取り巻く現状と課題

岡山市の総人口の動向と長期的な推計人口

○岡山市の総人口は、平成27年時点で719,474人であり、平成32（2020）年の約72万３千人をピークに減少に転じる見込みです。

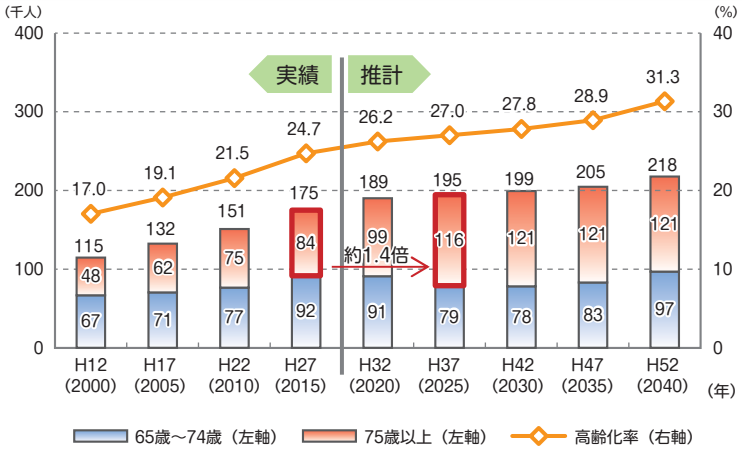
○高齢者人口の増加が続く一方で、介護や看護等の担い手ともなる年少人口・生産年齢人口は長期的に減少し続ける見込みです。



出典：平成27年までは国勢調査、平成32（2020）年以降は岡山市将来推計人口（国勢調査に基づく推計値）

※人口には年齢「不詳」を含む。ただし、人口比率は年齢「不詳」を除いて算出

岡山市の高齢者人口の動向と今後の見通し

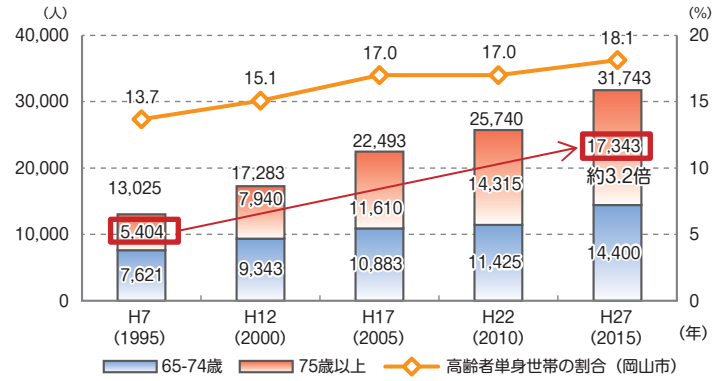


出典：平成27年までは国勢調査、平成32（2020）年以降は岡山市将来推計人口（国勢調査に基づく推計値）※四捨五入の関係で総数と一致しないことがある。

○高齢者人口は、平成27年の約17万５千人から、平成37（2025）年には約19万５千人となり、高齢化率は、24.7%から27.0%まで上昇する見込みです。

○75歳以上の後期高齢者は、平成27年で約８万４千人であり、平成37（2025）年には約11万６千人と大幅に増加する見込みです（約1.4倍）。

岡山市の高齢者単身世帯の推移

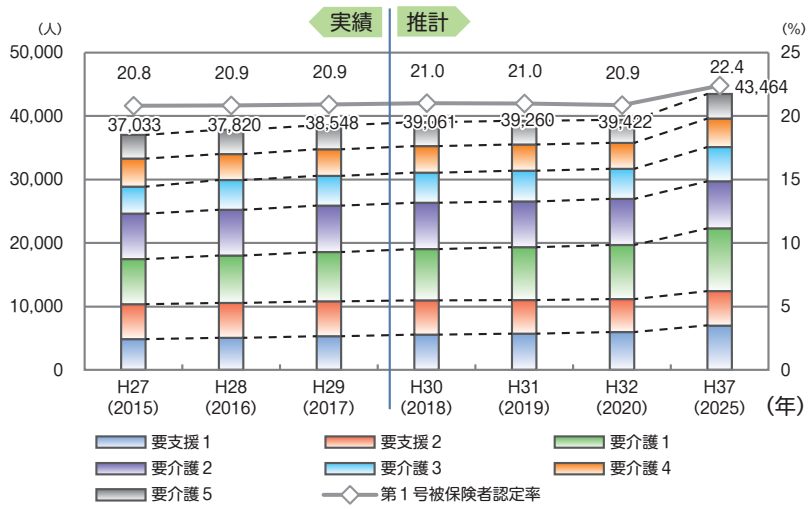


出典：国勢調査

○高齢者単身世帯は、平成27年時点で、31,743人であり、高齢者に占める割合は18.1%となっており、平成７年からの20年間で約2.4倍に増加しています。

○特に、75歳以上の高齢者単身世帯は平成27年に17,343人となり、平成７年からの20年間で約3.2倍に増加しています。

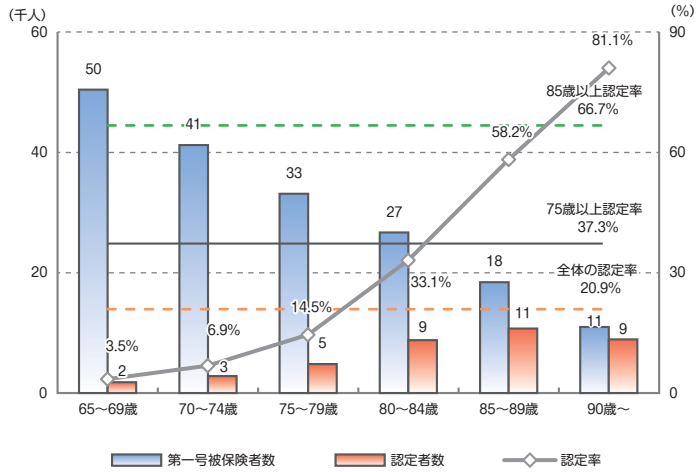
岡山市の要介護（要支援）認定者と第１号被保険者認定率の推移・推計



○岡山市の第1号被保険者認定率は、平成32（2020）年度には20.9%、平成37（2025）年度には22.4%となる見込みです。

※平成29年度までの要介護認定者数、認定者のうち第１号被保険者数は実績（介護保険事業状況報告各年９月分）、
　平成30年度以降は独自推計。要介護（要支援）認定者には第２号被保険者数を含む。
※第１号被保険者数は、平成29年度までは各年９月末住民基本台帳人口、平成30年度以降は独自推計。
※第１号被保険者認定率＝認定者のうち第１号被保険者数／第１号被保険者数

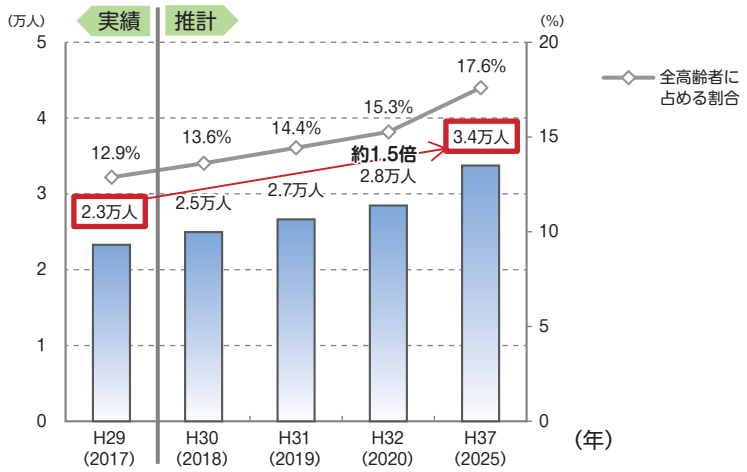
岡山市の年齢階級別の要介護（支援）認定率



○要介護(要支援)認定率は年齢を重ねるほど高くなります。
○「70～74歳」では、6.9%に止まっていますが、「75～79歳」では14.5%、「80～84歳」では33.1%、「85～89歳」では58.2%と大きく上昇していきます。

※第一号被保険者数は岡山市統計、認定者数は岡山市介護保険事業状況報告（平成29年9月分）

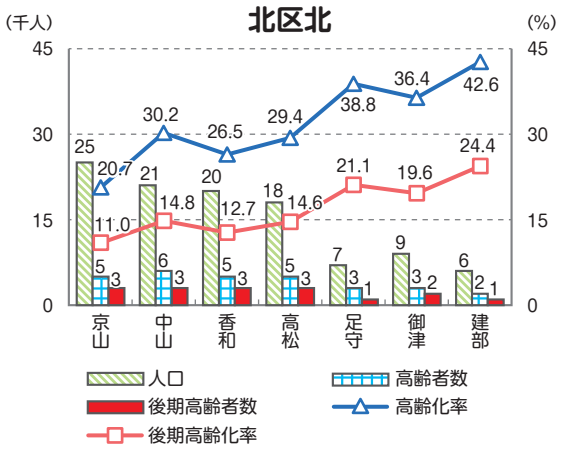
岡山市の認知症高齢者数の推計

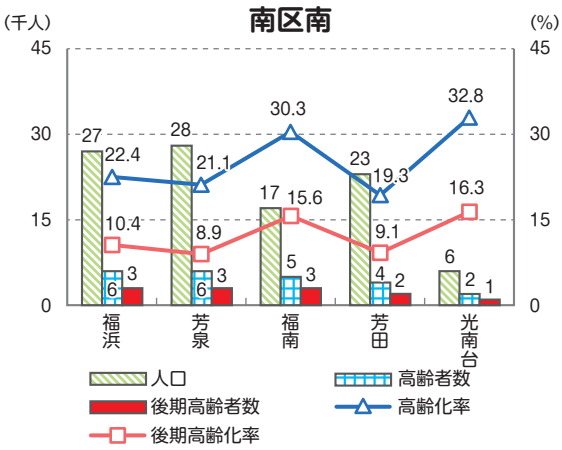


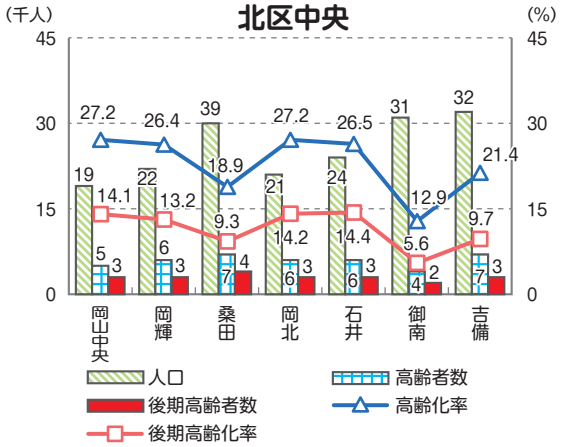
○認知症高齢者は、平成29年時点で約2.3万人（全高齢者の約13%）であり、平成37（2025）年には約3.4万人（全高齢者の約18%）に達する見込みです（約1.5倍）。

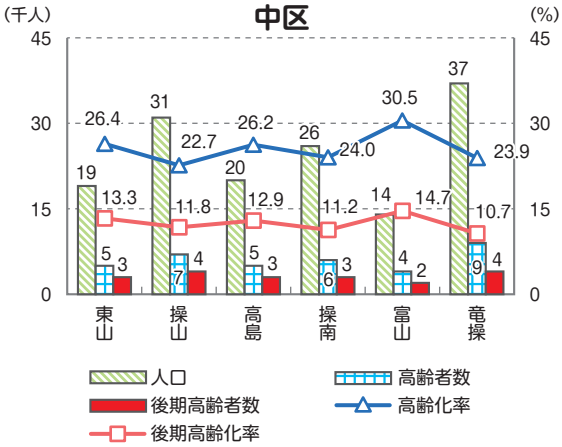
※岡山市介護認定データ（平成29年9月末）をもとに推計

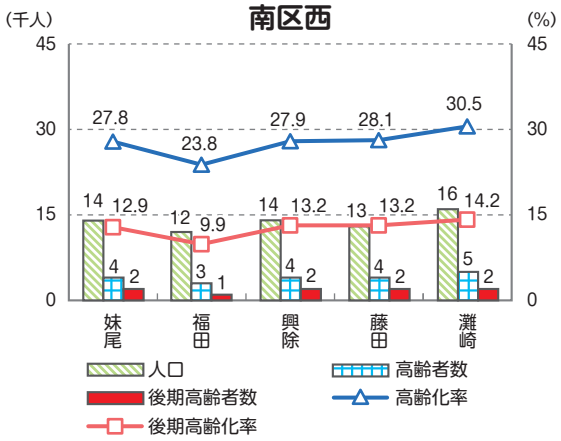
日常生活圏域別の高齢化等の状況

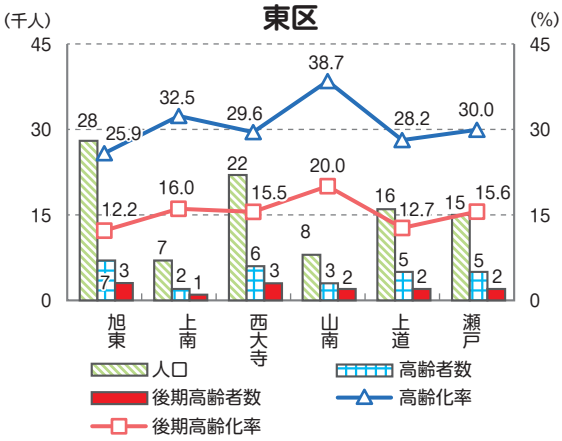










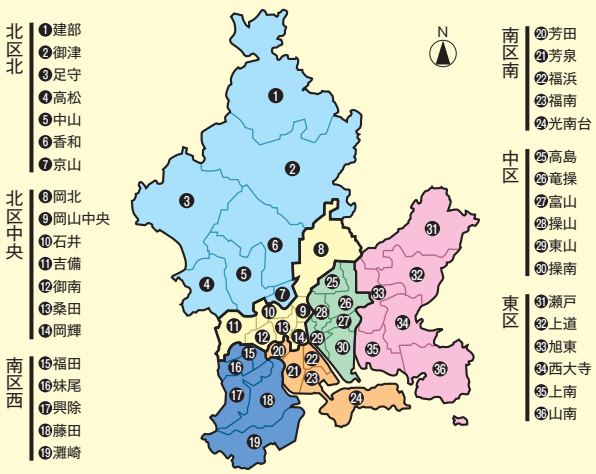


※人口は平成29年３月末住民基本台帳人口

コラム　日常生活圏域

○日常生活圏域は、地理的条件、人口、交通事情、その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設整備の状況、その他の条件を総合的に勘案して定めることとされており、岡山市では、中学校区を単位として36の日常生活圏域を設定しています。

○なお、地域包括ケアの推進にあたっては、通いの場の創出や見守り・支え合い活動の促進など、より身近な区域で取り組むべきものもあることから、提供するサービスや取組に応じた区域を設定し、柔軟に地域づくりを進めていく必要があります。



3 基本理念・基本目標

基本理念

住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

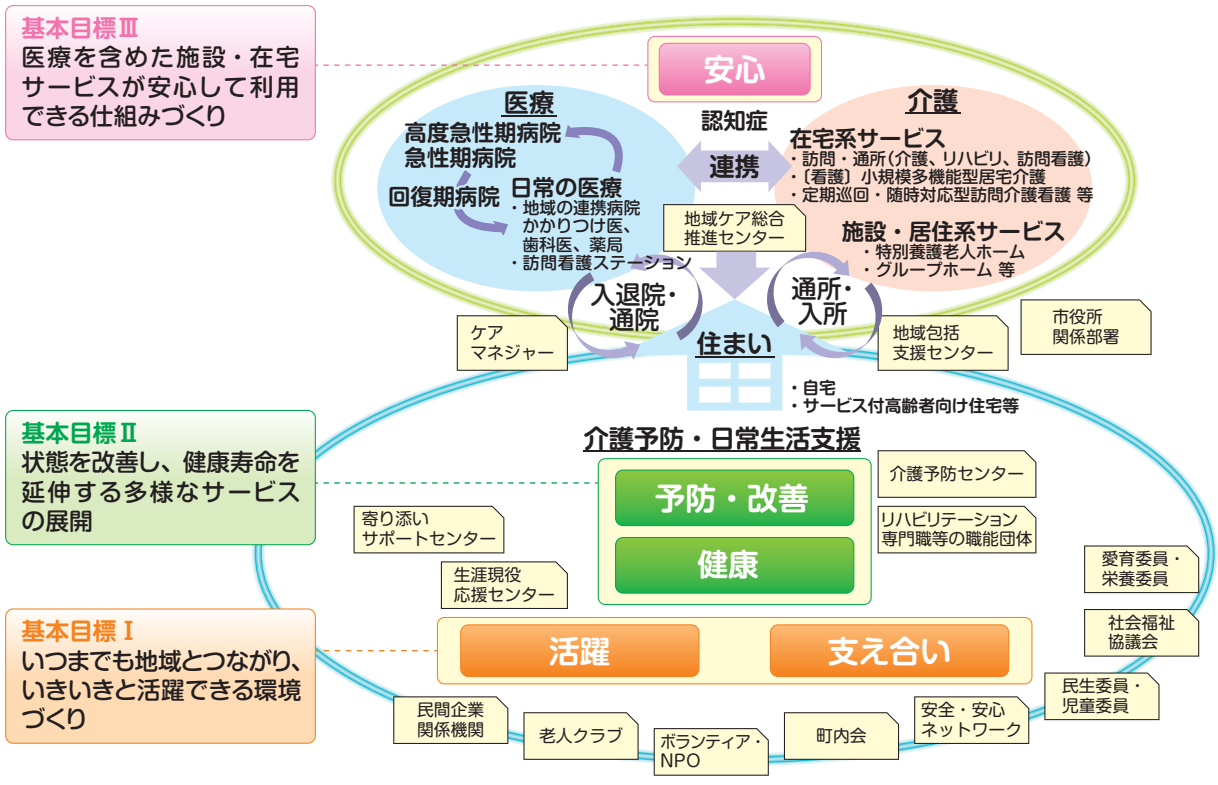
高齢者が自ら健康寿命の延伸に努め、地域社会でいきいきと活躍し、医療や介護が必要になっても、これまで培ってきた地域や人とのつながりを保ちつつ、自分らしい生活を人生の最後まで安心して続けられるよう、高齢者を含めた多様な主体が支え合う、「健康・福祉」の包括的な支援体制（地域包括ケアシステム）が整ったまちをめざします。

基本理念を実現するため、地域に関わる人や組織が目標を共有し、適切な役割分担のもと、保健・医療・介護・福祉などの分野を超えて協働し、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化・推進します。

基本目標

- **Ⅰ** いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり
- **Ⅱ** 状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開
- **Ⅲ** 医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

岡山市の目指す地域包括ケアシステム



4 施策展開

〈施策体系図〉

本計画においては、基本理念及び３つの基本目標の実現を図るため、次のとおり9つの重点施策を推進します。

【基本理念】

住み慣れた地域で　ともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）

【基本目標】	【重点施策】	【施策展開の方向性】
Ⅰ いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり（支え合い、活躍）	1 高齢者が活躍できる環境づくり	(1) 高齢者の就労促進と社会貢献活動の機会づくり (2) 高齢者の多様な交流・活動の促進
	2 支え合いの地域社会づくり	(1) 地域の支え合い活動を進める体制づくり (2) 多様な主体による地域活動の活性化 (3) 地域に根差した相談支援体制の充実・強化 (4) 高齢者虐待の防止と権利擁護の推進
Ⅱ 状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開（健康、予防・改善）	3 健康寿命を延伸する健康づくりの推進	(1) 主体的な健康づくりの促進 (2) 健康づくりを地域全体で支援する環境づくり
	4 状態の改善につながる介護予防・生活支援サービス等の提供	(1) 介護予防センターの専門性を活かした予防事業の推進 (2) 介護予防の訪問・通所サービスの充実 (3) 生活支援・福祉サービスの提供
Ⅲ 医療を含めた施設・在宅サービスを安心して利用できる仕組みづくり（安心）	5 在宅医療・介護連携の推進	(1) 在宅を支える基盤づくり（人材育成） (2) 在宅への流れの構築（多職種連携） (3) 市民とつくる在宅医療（意識醸成） (4) 地域ケア総合推進センターの機能強化 (5) 持続可能な社会経済モデル構築に向けた取組の推進
	6 認知症施策の推進	(1) 認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立 (2) 認知症に対する医療・介護連携の推進 (3) 認知症の人と家族への支援の強化 (4) 地域における認知症への理解の浸透と見守り体制の充実・強化
	7 安心・快適な住まいの確保	(1) 安定した住まいの確保 (2) 快適な住環境づくり
	8 最適な介護サービスの提供	(1) 在宅系サービスの適正な提供 (2) 地域密着型サービスの適正な提供 (3) 施設・居住系サービスの適正な提供
	9 介護サービスの適切な運営	(1) 介護人材の確保・育成・定着 (2) 介護事業者への支援 (3) 介護保険サービスの質の確保と向上

〈施策展開の方向性〉

重点施策１　高齢者が活躍できる環境づくり

⑴　高齢者の就労促進と社会貢献活動の機会づくり

▷高齢者一人ひとりの多様なニーズに柔軟に対応できるよう、希望する活動レベルや分野でのマッチングの模索、新たな担い手として活躍でき、地域社会に積極的に参加する機会を拡充します。

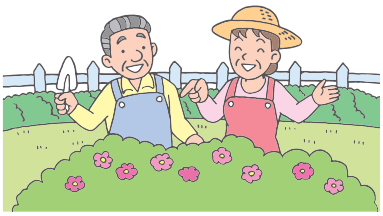
▷特に、就労に関する相談・支援体制の充実・強化について関係機関とともに検討します。

▷類似するセンターの関係やつながりを整理し、ワンストップ機能を高めるなど、高齢者がわかりやすく、利用しやすい相談・支援体制を整備します。

▷高齢者が地域や社会へ積極的に参加できる機会を提供し、高齢者の仲間づくり、いきがいや健康づくりを推進します。

⑵　高齢者の多様な交流・活動の促進

▷様々な機会を通じて、地域や社会とつながっていない比較的元気な高齢者の社会参加を促進し、高齢者同士や高齢者と地域住民等との多様な交流を創出します。



重点施策２　支え合いの地域社会づくり

⑴　地域の支え合い活動を進める体制づくり

▷地域づくりの重要性の普及啓発や、地域課題、先行事例の一層の見える化を進め、小学校区単位を基本に、「地域支え合い推進会議」の設置を促進し、地域の支え合い活動のすそ野を拡げます。

▷また、地域づくりのノウハウを蓄積し、的確なコーディネートを行うことのできる人材の確保・育成や、生活支援サポーターをはじめ地域活動を担う人材の発掘・育成・効果的な活用を進めます。

▷地域づくりに係る庁内関係部署や関係機関が組織横断的な体制の下、地域の情報を共有し、施策・事業を効果的に連動させながら、支え合いの地域づくりを推進します。

⑵　多様な主体による地域活動の活性化

▷岡山市支え合い推進員（生活支援コーディネーター）も活用しつつ、地域住民や地域の各種団体、地域包括支援センター、社会福祉協議会、医療・介護等の関係機関・事業者等によるそれぞれの地域の見守り・支え合い活動を活性化し、高齢者が安心・安全に暮らせる地域づくりを進めます。

⑶　地域に根差した相談支援体制の充実・強化

▷地域における高齢者の包括的な支援の中心となる地域包括支援センターの体制の充実・強化や、関係機関との連携のあり方、地域の高齢者情報の効果的な把握・集積方法等について検討し、必要な見直しを行います。

▷地域ケア会議等を活用し、地域課題の把握・整理や、地域に関わる関係者等での情報共有、政策形成を進めます。

▷あわせて、世帯単位で検討すべき地域課題に対応し、地域共生社会を進める体制づくりについて検討します。

⑷　高齢者虐待の防止と権利擁護の推進

▷関係機関と連携し、高齢者虐待の早期の発見、迅速な対応・支援のための体制を強化するとともに、成年後見制度の利用の促進を図るなど、権利擁護が必要な高齢者への支援を実施します。



重点施策３　健康寿命を延伸する健康づくりの推進

⑴　主体的な健康づくりの促進

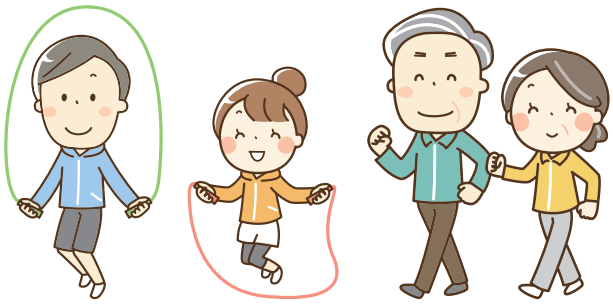
▷生活習慣病や低栄養、筋力低下等を予防するため、市民が自らの身体・健康状態を意識できるよう、健康づくりや介護予防に関する知識の普及啓発を進めるとともに、健康診査の受診率を高めます。

▷加齢に伴う筋力低下の予防や回復を目指し、若い頃からの運動習慣の定着化、転倒やロコモティブシンドロームの予防に取り組みます。また、寝たきりの原因となる脳卒中予防や認知症予防のために、青壮年期から高血圧・糖尿病・高脂血症等の生活習慣病予防の取組を進めます。

▷栄養バランスの悪化、口腔機能の低下、孤食等に起因する粗食等の環境面の連鎖に誘引される「低栄養」に関するリスクの普及啓発を進め、フレイル、サルコペニアを予防するとともに、口腔機能の低下を予防するため、歯科医師会や個々の歯科医療機関等との連携を強化し、自己チェック方法の周知など、口腔ケアの向上に向けた取組を進めます。

⑵　健康づくりを地域全体で支援する環境づくり

▷地域の健康づくりボランティアや事業者、医療機関等との連携を深め、健康づくりを地域で支え・守るための地域のつながり（ソーシャルキャピタル）を強化します。



重点施策４　状態の改善につながる介護予防・生活支援サービス等の提供

⑴　介護予防センターの専門性をいかした予防事業の推進

▷住民主体の通いの場、地域ケア会議、訪問・通所事業所等へのリハビリテーション専門職等の関与を一層促進する観点から、介護予防センターの専門職の効果的な活用方法や、リハビリテーション専門職団体等とも連携した取組について検討します。

▷介護予防センターの専門性をいかし、介護予防教室の開催や、体操を行う地域活動グループの立ち上げ支援等に注力しつつ、介護予防の重要性について市民に広く周知し、住民主体の介護予防活動の充実を図ります。

▷介護予防を効果的に推進する鍵となる地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のケアマネジメント能力の向上に向けて、介護予防センターの専門職の適切な関与のもと、地域ケア会議（個別プラン検討会）の充実を図ります。

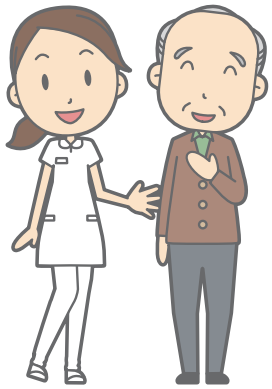
⑵　介護予防の訪問・通所サービスの充実

▷専門職の助言指導のもと、短期間で集中的にケアを行う短期集中通所サービスを実施し、高齢者の生活機能の維持・向上を図るとともに、サービス終了後も高齢者自らが継続して介護予防に取り組めるよう、働きかけていきます。

⑶　生活支援・福祉サービスの提供

▷地域活動を担う人材の育成・発掘や、地域活動を実践する機会の提供等を進めます。また、高齢者自らが地域の生活支援の担い手として活躍できる場を拡大します。

▷家庭内での緊急時の対応や安否確認を行い、日常の安全を確保し、不安感の解消を図るとともに、給食サービスにより食生活の安定と改善を図ります。また、在宅で高齢者を介護する人への支援を行います。



重点施策５　在宅医療・介護連携の推進の推進

⑴　在宅を支える基盤づくり（人材育成）

▷在宅医療を行う医師を増やすため、医師会等と協力して訪問診療スタート支援を推進します。また、医師のほか、訪問看護師の確保、在宅介護対応薬局認定制度による薬局の在宅参入の促進など、在宅医療に欠かせない基盤づくりを進めます。

▷在宅医療を行う医師への在宅医療に関するスキルアップ研修、介護支援専門員への医療に関する研修、病院看護師の退院支援・調整機能強化のための研修など、在宅医療・介護連携を担う専門職を対象とした研修を実施し、在宅医療・介護の質の向上を図ります。

▷これまでの事業の成果等を踏まえて、より効果的・効率的な研修となるよう、開催方法や対象の検討を行います。

⑵　在宅への流れの構築（多職種連携）

▷それぞれの地域における将来的な人口及び年齢構成や、医療・介護資源の今後の状況予測などの具体的なデータに基づき、地域ごとの特性に応じた入院から看取りまでの在宅医療連携体制について検討し、あるべき姿の構築を進めます。

▷また、地域ごとに開催している顔の見えるネットワーク構築会議（多職種意見交換会）など、多職種連携の取組を引き続き実施します。

⑶　市民とつくる在宅医療（意識醸成）

▷市民自らが在宅医療や介護予防等に関する知識を深め、地域全体で在宅医療・介護を支えられるよう市民公開講座や出前講座等を通じて意識啓発を推進します。

▷また、住み慣れたまちで最期まで暮らせるまちの実現に向けたアプローチとして、終末期における本人や家族の納得のいく医療・介護を受けられるよう、かかりつけ医を持つことや、今後の治療・療養について、患者、家族等と医療従事者があらかじめ話し合うプロセスである、ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング）の普及・啓発を推進します。

⑷　地域ケア総合推進センターの機能強化

▷各医療機関の退院調整等に関する課題を抽出し、退院調整が困難なケースをサポートする仕組みを検討するなど、地域ケア総合推進センターの退院支援機能等を強化します。



⑸　持続可能な社会経済モデル構築に向けた取組の推進

▷引き続き総合特区を推進し、従来の取組を更に発展させつつ、高齢者の就労促進などの新たな提案も加えることにより、高齢者が生涯現役で活躍し、超高齢社会にも対応できる、持続可能な都市の構築を目指します。

重点施策６　認知症施策の推進

⑴　認知症に関する正しい知識の普及啓発と、早期発見から適切な支援につなげる体制の確立

▷認知症の人を適切な医療やケアにつなげるため、認知症の正しい知識や理解、早期発見・早期診断の重要性等について、普及啓発を行います。

▷かかりつけ医や、地域包括支援センター等の認知症に関する初期相談を受ける機関がそれぞれの役割を果たし、専門医につなげるための相談体制や認知症初期集中支援チームのあり方を検討します。

⑵　認知症に対する医療・介護連携の推進

▷認知症疾患に関する鑑別診断とその初期対応、急性期医療に関する対応及び専門医療相談など、症状の進行予防から地域生活の維持まで、必要となる医療を提供できる体制の構築を推進します。

▷認知症診療に習熟し、かかりつけ医の支援や専門医療機関と地域包括支援センター等との連携役を担う、「認知症サポート医」を養成することにより、初期段階から状況に応じて一体的に医療・介護サービスを提供する体制づくりを進めます。

▷かかりつけ医に対し、認知症診療の知識・技術や、本人及び家族を支えるための知識等に係る研修を実施し、認知症サポート医等との連携を強化します。

⑶　認知症の人と家族への支援の強化

▷認知症の人や家族が地域で孤立することなく、認知症の人が持つ力を最大限に活かしながら、地域社会で生きがいを持って生活できるよう、認知症カフェ等の居場所づくりや、生きがいづくりを進めます。

▷認知症の人や家族が気軽に相談できる体制を充実し、介護の負担軽減を図ります。また、認知症の人やその家族の視点を施策等へ反映させます。さらに、若年性認知症については、高齢者の認知症とは違った課題があるため、若年性認知症の人やその家族の意見を聞くなどし、その実態を把握し、その特性に配慮した就労・社会参加等の支援を推進します。



(4) 地域における認知症への理解の浸透と見守り体制の充実・強化

▷認知症の人が地域で暮らし続けることができるよう、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成を進めます。

▷徘徊等で行方不明になった時の早期発見や事故の未然防止を図るために、地域での見守り・支援体制を充実します。養成した認知症サポーターが地域での見守り活動等で実際に活躍できる機会の提供に努めます。

重点施策７　安心・快適な住まい等の確保

(1) 安定した住まいの確保

▷養護老人ホームや軽費老人ホーム等による家賃が低廉な住まいの提供や適切な生活支援体制を確保するとともに、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームにおいて、入居者に対して適切なサービスが提供されるよう、指導監督を行います。

▷また、都市整備局での「住宅セーフティネット制度の推進」の取組と連携し、高齢者等が安心して住まうことのできる住宅等の供給を促進します。

(2) 快適な住環境づくり

▷関係する部局や事業者と連携・協働しながら、バリアフリー・ユニバーサルデザインの意識の浸透を進めるとともに、高齢者の住宅や施設等のバリアフリー化を促進します。

▷また、シルバーハウジングに生活援助員を派遣し、高齢者が安心して生活できるよう支援します。

重点施策８　最適な介護サービスの提供

(1) 在宅系サービスの適正な提供

▷在宅系サービスは、全般的に他の政令指定都市と比較しても事業者数は多くなっていますが、医療と介護の両方を必要とする、中・重度の要介護者の増加にも備え、在宅生活の継続に資するサービスの充実を促進します。

▷リハビリテーション分野の充実強化等により、状態改善・重度化防止に努めます。看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護など、整備が進んでいないサービスについては、国・県の補助制度を活用し、計画的な整備を促進します。

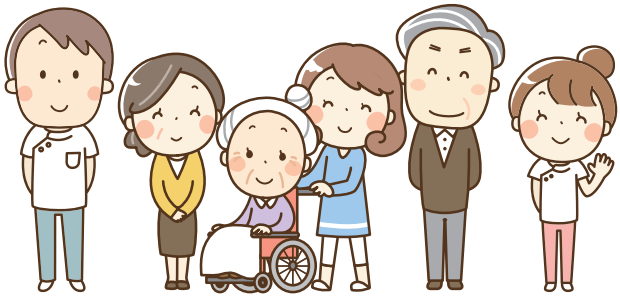
▷利用者の「状態像」を維持・改善する事業者への評価・インセンティブの付与や、事業者への適正な指導・監督等を通じて、介護サービスの質のさらなる向上を進めます。

(2) 施設・居住系サービスの適正な提供

▷様々な状況により在宅生活が困難となった人に必要なサービスが提供できるよう、政令指定都市の中でも比較的高い整備率である現状も踏まえながら、将来的な高齢者の人口動態、待機者や認知症高齢者の状況、介護離職の防止や介護負担の軽減の観点、地域におけるサービスの偏在性等を総合的に検証し、適正な施設整備を進めます。

▷地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は、地域の介護・福祉の拠点としての位置付けも考慮し、2施設58床の整備を行います。

▷認知症対応型共同生活介護は、今後も認知症高齢者数の増加が予想されることから、事業所の質を担保しつつ、引き続き適正な施設整備を進め、2施設36床の整備を行います。



重点施策９　介護サービスの適切な運営

⑴　介護人材の確保・育成・定着

▷介護人材の確保・育成・定着に向けて、中長期的な視点を持ちながら、介護事業所や関係団体等と連携し、様々な取組を総合的に進めます。学生など若年層への介護職の魅力・やりがい等を発信するとともに、離職した介護人材の呼び戻しや中高年齢者等の就労促進を進めます。

▷介護事業所への講師派遣による課題解決や離職防止支援、就労環境の改善の働きかけ、介護職員の資質向上やキャリア形成に向けた各種研修等により、介護人材の育成・定着を図ります。

⑵　介護事業者への支援

▷介護ロボットの貸与等を通じて介護事業所、介護人材等の負担軽減を図るとともに、利用者の状態を維持・改善する事業者への評価・インセンティブの付与や、事業者への適正な指導・監督等を通じて、介護サービスの質のさらなる向上を進めます。

⑶　介護保険サービスの質の確保と向上

▷介護サービスの利用者が安心して多様なサービスを利用できるよう、わかりやすい情報提供や相談・苦情対応に努めるなど、情報提供・相談体制を充実させます。あわせて、様々な場面を通じて、地域包括ケアシステムや介護保険制度の趣旨、「自立」の意味等について、市民理解の醸成を進めます。

▷要介護認定や介護給付の適正化をさらに進め、適切なサービスを確保し、結果として、介護給付費や介護保険料の増大を抑制し、持続可能な介護保険制度の構築を進めます。

▷引き続き、低所得者に対する費用負担の配慮を行い、必要なサービスを安心して利用できる体制づくりを進めます。



コラム　福祉・介護施設等での外国人人材の活用事例

○国の推計では、2025年（平成37年）における福祉・介護人材の需給ギャップは全国で約38万人とされており、そのうち岡山県では約６千人に達する見込みです。こうした中、本市においても福祉・介護人材不足の解消策の一つとして、外国人人材の活用等を進める施設があります。

１　障がい福祉施設の事例（外国人人材の活用等）

・ある施設では、系列や連携している専門学校に、現地で面接を行った東南アジアの外国人学生を入学させ、要件を満たす学生には奨学金を支援することで、より優れたスキルを有する人材を積極的に育成しています。また、日本人・外国人共通の技能・給与体系等の判定基準を適用しており、スキルの高い人材に高い給与を出せるようにして、自発的な定着につなげています。

２　特別養護老人ホームの事例（外国人人材の活用等）

・ある施設では、経済連携協定（EPA）を活用し、常勤・非常勤を含めた全職員55人中４人について、外国人人材を採用しています。いずれの方もインドネシアの出身で、介護サービスの提供に支障のない程度の日本語会話能力を有しています。将来的には、訪問サービスへの外国人人材の活用を図りたいとのことですが、訪問サービスは、より自立度の高い高齢者へのサービス提供となり、一層高度な日本語会話能力が求められるため、まずは、施設への外国人人材の定着・活用を進めたいとのことでした。

・当施設では、外国人人材の定着に向けて、国で定められた日本語研修に加え、市の観光名所への案内や地元町内会との交流等の独自の取組を行っています。

5 介護保険給付費等の見込み及び保険料額

今後の各介護保険サービス必要量及び施設・居住系の整備計画等を踏まえ、各介護保険サービス給付費等を推計しました。

図表　介護予防サービス見込量

■介護予防サービス		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
介護予防訪問介護	人　数（人）			
介護予防訪問入浴介護	回　数（回）	0	0	0
	人　数（人）	0	0	0
介護予防訪問看護	回　数（回）	3,239	3,697	4,174
	人　数（人）	429	493	560
介護予防訪問リハビリテーション	回　数（回）	1,048	1,319	1,595
	人　数（人）	102	130	159
介護予防居宅療養管理指導	人　数（人）	274	319	355
介護予防通所介護	人　数（人）			
介護予防通所リハビリテーション	人　数（人）	1,328	1,443	1,571
介護予防短期入所生活介護	日　数（日）	254	258	264
	人　数（人）	48	48	48
介護予防短期入所療養介護（老健）	日　数（日）	29	29	30
	人　数（人）	5	5	5
介護予防短期入所療養介護（病院等）	日　数（日）	0	0	0
	人　数（人）	0	0	0
介護予防福祉用具貸与	人　数（人）	3,063	3,437	3,841
特定介護予防福祉用具購入費	人　数（人）	62	64	65
介護予防住宅改修	人　数（人）	97	108	120
介護予防特定施設入居者生活介護	人　数（人）	192	193	196
■地域密着型介護予防サービス				
介護予防認知症対応型通所介護	回　数（回）	211	313	403
	人　数（人）	26	37	47
介護予防小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	183	206	225
介護予防認知症対応型共同生活介護	人　数（人）	6	7	7
■介護予防支援	人　数（人）	3,815	3,889	3,985

※回（日）数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数

図表　介護サービス見込量

■居宅サービス		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)
訪問介護	回　数（回）	103,838	104,118	104,408
	人　数（人）	5,206	5,220	5,234
訪問入浴介護	回　数（回）	684	686	686
	人　数（人）	140	140	140
訪問看護	回　数（回）	24,505	25,115	25,418
	人　数（人）	2,325	2,403	2,459
訪問リハビリテーション	回　数（回）	4,900	5,046	5,145
	人　数（人）	408	420	428
居宅療養管理指導	人　数（人）	4,407	4,717	4,971
通所介護	回　数（回）	73,134	75,108	77,184
	人　数（人）	6,513	6,672	6,839

通所リハビリテーション	回　数（回）	28,287	28,462	28,519
	人　数（人）	2,977	2,995	3,000
短期入所生活介護	日　数（日）	21,232	21,559	21,818
	人　数（人）	1,820	1,822	1,824
短期入所療養介護（老健）	日　数（日）	1,167	1,221	1,270
	人　数（人）	151	155	157
短期入所療養介護（病院等）	日　数（日）	262	266	269
	人　数（人）	27	27	27
福祉用具貸与	人　数（人）	9,840	9,966	10,013
特定福祉用具購入費	人　数（人）	181	183	184
住宅改修費	人　数（人）	167	174	180
特定施設入居者生活介護	人　数（人）	1,498	1,558	1,620
■地域密着型サービス				
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人　数（人）	226	256	301
夜間対応型訪問介護	人　数（人）	15	15	15
認知症対応型通所介護	回　数（回）	2,188	2,304	2,417
	人　数（人）	187	196	205
小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	1,186	1,216	1,234
認知症対応型共同生活介護	人　数（人）	1,643	1,676	1,716
地域密着型 特定施設入居者生活介護	人　数（人）	0	0	0
地域密着型 介護老人福祉施設入所者生活介護	人　数（人）	848	881	938
看護小規模多機能型居宅介護	人　数（人）	46	75	104
地域密着型通所介護	回　数（回）	24,824	25,344	25,602
	人　数（人）	2,335	2,364	2,388
■施設サービス				
介護老人福祉施設	人　数（人）	2,414	2,421	2,421
介護老人保健施設	人　数（人）	1,990	2,003	2,013
介護医療院	人　数（人）	0	0	0
介護療養型医療施設	人　数（人）	76	76	76
■居宅介護支援	人　数（人）	14,847	14,860	14,887

※回（日）数は1月当たりの数、人数は1月当たりの利用者数

▶ 介護保険給付にかかる費用等の推計

第７期計画期間における各介護（介護予防）サービスの給付見込みの推計に基づいて、介護保険給付にかかる費用を算定し、その他費用として、第６期の実績に基づき、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費、審査支払手数料を算定しました。

図表　介護保険給付にかかる費用等の推計　　単位：千円

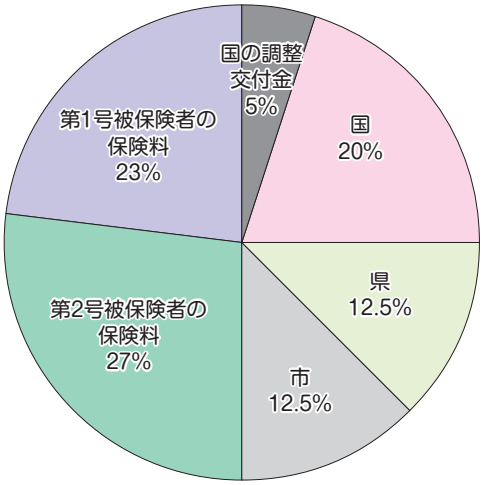
	H30（2018）	H31（2019）	H32（2020）
給付費等見込額	56,665,106	57,924,722	59,162,185
介護予防サービス給付費	1,576,670	1,720,342	1,866,546
介護サービス給付費	52,073,584	53,036,907	53,966,214
特定入所者介護サービス費等給付額	1,659,763	1,681,799	1,716,315
高額介護サービス費等給付額	1,057,792	1,174,525	1,243,656
高額医療合算介護サービス費等給付額	219,315	230,281	285,594
算定対象審査支払手数料	77,982	80,868	83,860
地域支援事業費	3,386,260	3,465,926	3,533,924
合　　計	60,051,366	61,390,648	62,696,109

▶ 介護保険給付費の財源構成

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支え合うためにつくられたものです。

介護サービスの提供に必要な費用（自己負担分を除く）は、その50%を公費で、27%を40歳から64歳までの医療保険加入者（第2号被保険者）の保険料で、残りの23%を65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料で支えるしくみとなっています。

図表　介護保険給付費の財源構成



▶ 介護保険料の算定について

第１号被保険者の介護保険料は、各保険者（市町村）が、計画の策定を通じて、３年ごとに算定・見直しを行います。第７期計画期間中の基準月額については、高齢者数の増加に伴うサービス利用者数の増加や、第１号被保険者の保険料負担割合の変更などの上昇要因もありますが、介護予防・状態改善の取組や、介護給付適正化をさらに推進した上で、岡山市の介護給付費準備基金を充当することにより、第６期の6,160円と同額にします。

なお、平成37（2025）年度における介護保険料基準月額は、高齢者人口及び要介護（要支援）認定者の将来推計を踏まえ、第７期における給付費算定の利用人数の伸び、サービス利用率、サービス利用回数等が、今後も同様に推移すると想定し、8,200円程度と見込んでいます。

第７期介護保険料額（基準月額）6,160円

図表　介護保険料等の推移・推計

	第６期（平成28年10月）	第７期（平成31年10月）	伸び率
総人口	708,134人	711,307人	0.4%
第1号被保険者	178,072人	184,449人	3.6%
65～74歳	92,216人	89,761人	-2.7%
75歳以上	85,856人	94,688人	10.3%
要介護認定者	37,820人	39,260人	3.8%
主な介護保険給付費（年度）	514.2億円	547.6億円	6.5%
居宅介護（介護予防）	260.9億円	264.8億円	1.5%
地域密着型	120.8億円	141.5億円	17.1%
施設介護	132.5億円	141.3億円	6.6%
介護保険料	6,160円	6,160円	0.0%

図表　介護保険料段階区分（平成30（2018）～32（2020）年度）

所得段階	対　象　者	保険料率	保険料月額
第１段階	生活保護の受給者 老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税 中国残留邦人支援給付受給者	基準額 ×0.45	2,772円
	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円以下		
第２段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円を超え120万円以下	基準額 ×0.7	4,312円
第３段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が120万円を超える	基準額 ×0.75	4,620円
第４段階	本人が市民税非課税で世帯に課税者がいる人で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円以下	基準額 ×0.85	5,236円
第５段階	本人が市民税非課税で世帯に課税者がいる人で、本人の課税年金収入額＋年金以外の合計所得金額が80万円を超える	基準額	6,160円
第６段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円未満	基準額 ×1.15	7,084円
第７段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円以上190万円未満	基準額 ×1.25	7,700円
第８段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が190万円以上400万円未満	基準額 ×1.5	9,240円
第９段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が400万円以上600万円未満	基準額 ×1.75	10,780円
第10段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が600万円以上800万円未満	基準額 ×2.0	12,320円
第11段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が800万円以上1,000万円未満	基準額 ×2.25	13,860円
第12段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が1,000万円以上	基準額 ×2.5	15,400円

平成30年度 ～ 平成32年度
岡山市第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
（地域包括ケア計画）

発行元　岡山市 保健福祉局 高齢福祉部 地域包括ケア推進課
住　所　〒700-8546 岡山県岡山市北区鹿田町一丁目１－１
連絡先　TEL:086-803-1246　FAX:086-803-1780

（別紙２）第３次作業療法５カ年計画（一般社団法人 日本作業療法士協会）

①第３次作業療法５カ年計画

②出典：一般社団法人 日本作業療法士協会

③書類等の利用範囲：ホームページ

http://www.jaot.or.jp/wp-content/uploads/2019/01/3rd-5years-strategy.pdf

(別紙3)学生確保の見通し

学生の確保の見通し等を記載した書類

１．学生確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア　定員充足の見込み

（１）岡山医療専門職大学健康科学部の定員充足の見込み（資料 1）

新設する岡山医療専門職大学健康科学部への志願動向を把握するために、理学療法学科（入学定員 80 名）および作業療法学科（入学定員 40 名）についての高校生の志向調査を、ライセンスアカデミーに委託(高等学校に対するアンケートと WEB アンケートを並行実施)し、岡山県を中心に、3,547 名に対して行った。アンケートは、一段上の高い実践力と新しいサービスを生み出す展開力を身につける専門職大学の内容と特徴を明記したうえで実施し、新たな専門職大学としての本学への入学の意思を確認したものである。

その結果、3,353 名から回答を得た。この内、本学に「入学を希望する」と答えた者は 178 名であり、入学定員 120 名に対する倍率は 1.5 倍であった。また「受験先の候補の一つとして考える」と答えた者は 587 名であり、定員に対する倍率は 4.9 倍であった。「本学へ入学を希望する、または受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は合計 765 名であり、全体として入学定員 120 名に対する倍率は 6.4 倍となる。この中で理学療法学科（入学定員 80 名）を希望するもの 429 名、作業療法学科（入学定員 40 名）を希望する者 320 名であり、志願倍率は理学療法学科 5.4 倍および作業療法学科 8.0 倍であった（資料 1)。

このうち本学のオープンキャンパスに参加し、専門職大学で行う模擬授業を実際に体験し、大学の内容や特徴の詳細説明を受けたうえでアンケート調査に回答した 334 名においては、専門職大学としての本学への入学意思の有無がさらに明瞭に示されている。

334 名の内、「本学へ入学を希望する」と回答した者は 152 名、「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者は 146 名であった。入学を希望すると回答した者の割合は入学定員 120 名の 1.3 倍であり、「入学を希望するあるいは受験先の候補の 1 つとする」と回答した者 298 名の入学定員に対する倍率は 2.5 倍となっている（資料 2)。

これらの結果は、専門職大学としての本学の理学療法学科および作業療法学科に対して、定員を充足するに十分な志願者があることを示している。

加えて、本学のキャンパスは JR 岡山駅から徒歩 10 分の岡山市都心部に位置しており、交通アクセスに優れた場所にある。そのため、学生のみならず社会人の修学に極めて便利であり、岡山県に限らず、香川県、兵庫県西部、広島県東部地域の一部が通学圏となりうるため（資料 3)、より広域にわたる学生の志願を見込むこともできる。

（２）近隣受験エリアにある競合大学等の志願動向

専門職大学としての本学は、地理的な受験エリアから考えて、岡山県に立地する川崎医療福祉大学、吉備国際大学と競合関係になると考えられるが、吉備国際大学は岡山県西北部の高梁市（人口3.2万人）に位置している関係から主たる競合校とはならないと考えられる。これに対して岡山県南の倉敷市（人口47.7万人）に立地する川崎医療福祉大学は、これまで岡山市（人口72.0万人）に位置する岡山医療技術専門学校が競合してきた大学であることから、専門職大学としての本学も、同大学との競合関係に立つものと考えられ

る。

川崎医療福祉大学医療技術学部の理学療法専攻志願者は、平成 26 年度 460 名、平成 27 年度 437 名、平成 28 年度 379 名、平成 29 年度 611 名、平成 30 年度 441 名であり、志願倍率はほぼ 10 倍で推移している（資料 4）。

作業療法専攻志願者は、平成 26 年度 239 名から平成 27 年度 307 名、平成 28 年度 233 名、平成 29 年度 310 名、平成 30 年度 237 名と推移しており、全体として安定した志願者を集め、志願倍率は 4.0～6.0 倍と高い水準で推移している（資料 5）。

また平成 27 年度～平成 30 年度の定員充足率を見ると、理学療法学科は 113～135%、作業療法学科は 110～142%であった（資料 6）。

川崎医療福祉大学の志願者数、志願倍率、入学者数、定員充足率の状況が示すとおり、理学療法・作業療法分野の大学入学定員は明らかに地域ニーズに比して不足していると見られる。

（３）入学定員設定の考え方

超高齢社会のなかで医療現場のみならず医療現場以外の地域や福祉に関わる高度な技能をもつ理学療法士および作業療法士の育成がますます期待されるとともに、AI の高度化と医療現場のロボット化の加速度的な進行が予想されるなか、対象者の目線に立って心を通わせる徹底的にヒューマンなサービスを提供する理学療法士・作業療法士の需要が高まると予想している。

このような社会的要請に応え、1 クラス 40 人以下での少人数の専門職大学教育と専任教員数とバランスさせるためには、健康科学部の入学定員を理学療法学科 80 名、作業療法学科 40 名とすることが適当であるとの考えに至った。

（４）リハビリテーション分野への入学志願者の動向

日本の 18 歳人口は、平成 29 年の 118.0 万人より平成 35 年の 106.2 万人へと減少していくが、平成 36 年以降は持ち直し、108.3～109.0 万人の水準で推移すると予測されている（資料 7）。岡山県でも平成 29 年の 1.84 万人から平成 35 年の 1.68 万人へと減少し同様の傾向を示すなか、平成 36 年以降は持ち直して 1.70～1.72 万人の水準で推移し、急激な人口減少は見込まれていない（資料 8）。

また大学への進学者および進学率を見ると、平成 24 年度の 51.7 万人（進学率 47.4%）から平成 28 年度には 53.3 万人（進学率 49.6%）へと着実に上昇している（資料 9）。

近年、大学受験生の就職や資格取得を見据えた進路選択意識が高まるなかで、就職に直結するリハビリテーション学分野への興味・関心や進学意欲は極めて高いものがある。その全国で見た募集定員は、1992 年 50 名から 2016 年 8,152 名へと増大してきたが、その間志願者は 1992 年の 243 名から 2016 年の 50,353 名へと顕著に増大した（資料 10）。今後も全国的に理学療法・作業療法を取り扱うリハビリテーション学分野への志願者増加傾向は続くと予想される。リハビリテーション学分野における学生の進学志望の高まりは、全国的に強いトレンドとなって継続していくものと考えられる。

全国的に大学における理学療法・作業療法分野への志願者数が著増する傾向が続くなか

で、近隣大学に対する高い志願者数・志願倍率・定員充足率の状況および本学設置に対するアンケート調査の結果から、今後も長期的に安定して本学の定員を充足するに十分な志願者を確保することができる見通しであり、学生確保の見通しは十分であると予測される。

（５）既設の岡山医療技術専門学校の志願状況

既設の岡山医療技術専門学校における理学療法学科の入学志願者数は、平成 26 年度 78 名から平成 27 年度 86 名、平成 28 年度 94 名、平成 29 年度 91 名と安定して推移したが、専門学校を中心とする全国的な志願倍率の低下とともに平成 30 年度においては 63 名へと落ち込んでいる（志願倍率 0.8～1.2 倍）。作業療法学科の入学志願者数は、平成 26 年度 45 名であったが、平成 27 年度 35 名、平成 28 年度 36 名、平成 29 年度 31 名と若干低下し横ばい傾向で推移し、全国的に志願倍率の低下した平成 30 年度には 28 名となっている（志願倍率 0.7～1.1 倍）（資料 11）。

この間、高等学校卒業者の卒業後の進路状況は、次のように変化していた。

表 A　　高等学校卒業者の状況　　単位（千人、%）

区分	卒業者	大学進学者	%	専門学校進学者	%	就職者	%
平成25年3月	1,091.6	517.4	47.4	185.6	17.0	184.7	16.9
平成26年3月	1,051.3	505.2	48.1	178.7	17.0	183.6	17.5
平成27年3月	1,069.0	522.7	48.9	178.1	16.7	189.7	17.7
平成28年3月	1,064.3	525.2	49.3	173.6	16.3	189.9	17.8
平成29年3月	1,074.7	532.6	49.6	173.9	16.2	190.3	17.7

（備考）文部科学省「平成 29 年 3 月高等学校卒業者の就職状況（平成 29 年 3 月末現在）に関する調査について」

高等学校の卒業者が平成 25 年 3 月の 109 万 2 千人から 105 万人～107 万人前後へとジグザグに減少する中で、大学進学者は平成 25 年 3 月の 51 万 7 千人から平成 29 年 3 月の 53 万 3 千人へと着実な増加を示し、大学進学率は平成 25 年 3 月の 47.4%から平成 29 年 3 月の 49.6%へと上昇している。

一方、同期間に、専門学校進学者と就職者は対照的な動きを示した。専門学校進学者は、18 万６千人から 17 万４千人へと大きく減少したのに対して、就職者は 18 万５千人から 19 万人へと着実に増加してその差が拡大し、平成 29 年 3 月には専門学校進学者を大きく凌駕する状況が生じている。

高等学校卒業者数が減少する中で、大学教育への需要が継続的に高まり、大学への進学者数および進学率がともに増加し、加えて日本経済の持続的な景気回復によって就職に有利な状況が生まれ卒業後就職する学生が増加するという状況が生じた。このことが、専門学校である本校への志願者低迷の大きな原因になったと考えられる。

また日本経済の景気回復と人手不足の状況は、本学に入学を志願する社会人や大学生の減少を導く原因となったと考えられる。表 B で、理学療法学科の受験者別割合の推移をみると、大学生の割合は平成 26 年度 10.4%を占めていたが、平成 28 年度以降急減し、平成 30

年度には0.0%となり、社会人の占める割合も、平成26年度22.1%から、増減を繰り返しながら減少し、平成30年度には6.6%へと急減した。作業療法学科を見ると、大学生の割合は平成26年度9.3%から平成30年度3.7%へと大きく低下し、社会人の割合も平成26年度の20.9%から平成29年度9.7%へと急減し、30年度には14.8%へと増加するが全体的に大きく比重を下げている。全体としての社会人および大学生の志願者の大幅な減少は、定員未充足の要因となっている。

表B　過去5年間における受験者別割合の推移

区分	受験者別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
理学療法学科	高校生(%)	67.5%	74.7%	73.4%	85.7%	93.4%
	大学生(%)	10.4%	9.6%	3.2%	2.2%	0.0%
	社会人(%)	22.1%	15.7%	22.3%	12.1%	6.6%
作業療法学科	高校生(%)	69.8%	82.4%	82.4%	87.1%	85.2%
	大学生(%)	9.3%	5.9%	5.9%	3.2%	3.7%
	社会人(%)	20.9%	11.8%	11.8%	9.7%	14.8%

（備考）法人事務局

またこれらのデータから、本学への社会人志願者の割合は、1割内外になるものと予測することができる。

イ　定員充足の根拠となる客観的データ

(1)「全国の18歳人口と高等教育への進学率等の推移」で用いたデータの概要

（資料7）18歳人口予測（全国）（平成29年～平成38年）

（資料8）18歳人口予測（岡山県）（平成29年～平成38年）

（資料9）大学進学率の推移

(2)「全国の学部系統別の動向」で用いたデータの概要

（資料10）リハビリテーション学の募集定員と志願者数

(3)「近隣競合校の入学志願者数推移」で用いたデータの概要

（資料4）近隣等競合校の入学志願者数の推移　理学療法学科（専攻を含む）

（資料5）近隣等競合校の入学志願者数の推移　作業療法学科（専攻を含む）

（資料6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去5カ年の定員充足率

(4)「第三者機関による高校生アンケート調査」で用いたデータの概要

（資料1）岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査（ライセンスアカデミー、WEB調査）

（資料2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査（WEB調査）

資料1よりオープンキャンパス対象者に行った本学のWEB調査結果を抜粋

(5)「既設の岡山医療技術専門学校の定員充足状況」で用いたデータの概要

（資料 11）岡山医療技術専門学校過去 5 カ年の入学志願者数

ウ　学生納付金の設定の考え方

（１）本学の学生納付金（初年度納付金）を以下のように設定する。

入学金	300,000円
授業料	1,060,000円
施設設備費	400,000円
初年度納付金合計	1,760,000円

（２）本学園が経営する岡山医療技術専門学校の学納金と所要経費（資料 12）を参考として、新設大学の収容定員増加と教職員増加、教育研究経費増加、新施設整備、既設校舎の改築・充実、管理経費の増加などを勘案して検討した結果、学納金を上記のように設定することが適切であるとの結論に達した。

（３）これを岡山県内の同領域の理学療法・作業療法学科（専攻を含む）を有する私立大学学部の納付金（資料 13）と比較すれば、総額では川崎医療福祉大学と同額、吉備国際大学より 7.2 万円低額となっている。

本大学では、大学開設に向けて新校舎及び図書館の建設を行うとともに、現校舎の教育研究及び管理機能を一層強化し、さらに体育館を整備するために大規模な改築を行う。また学生が余裕をもって休息・交流し、快適な大学生活を享受できる環境をさらに充実するために、現校舎に広々とした屋上庭園を設け、また学生向けの大規模ラウンジを新たに整備する。

②学生の確保に向けた具体的な取組状況

本学では、大学事務局内の広報入試チームが、学生募集・入試に関する事務を担当する。学生確保に向けた取組は、専門学校での広報活動ならびに学生募集活動の経験を踏まえ、新たに以下の取組を積極的に行う。

（１）オープンキャンパス

教職員と広報入試チームが協力して、オープンキャンパスを月 1～2 回開催する。オープンキャンパスは、通常のオープンキャンパスに加え、学園祭内オープンキャンパスを実施するとともに、新たに学生主体で行う学生企画オープンキャンパスの実施を予定している。学生からオープンキャンパスサポーターを募り、学生が学生目線で企画・運営し、大学の活きた情報を発信していく。

高校生、社会人、保護者ならびに高校教員に対して、本学の施設・設備や教育方針、教育内容をはじめ、キャンパスライフに対する理解を深めていただくよう多彩な体験プログラムを用意し、少人数編成の大学講義や基盤ゼミの実際を体験する機会を設ける。オープンキャンパス内の学校説明会では、入学志願者に対し、詳しい教育システム、教育内容、学部・学科の特色、入試の説明を行い、教員や在学生と参加者が気楽に話せる十分な機会を設ける。また、入試説明においては受験に際しての入試のポイント等を解説する。保護者に対しては、

大学生活や経済的負担など保護者の関心に従って丁寧に説明を行う。さらに、本学が提供している栄養バランスの取れた朝食を体験する機会を設ける。

キャンパス見学ツアーでは、新校舎と本館の見学を行い、教室、実習室、図書館、体育館、屋上庭園、学生大ラウンジ、スカイホールをはじめとしたキャンパス見学を実施する。

以上のとおり、魅力に富んだ体験をふんだんに取り入れた活きたオープンキャンパスを企画することで、多くの参加者を集め、学習意欲の高い入学者を獲得していく。

（2）高校訪問

広報委員会で岡山県、広島県、香川県を中心とした中四国エリアの高校への訪問計画を策定し、教員ならびに広報入試チームが年間7回、約270校の訪問を行う。訪問校では大学の学部・学科の特色や内容、人材育成への取組について詳細に説明するとともに、各校生徒の志望動向など情報交換を行い、学生確保に向けた活動に活かす。また、遠隔地の高校に対して資料を送付する。

（3）出前講座

高校生を対象とした出前講座を実施し、理学療法・作業療法への理解を深め、将来の進路を考えるうえでの一助とする。教員と広報入試チームが高校訪問に先立って、理学療法・作業療法分野への関心の高い生徒が在籍する学校を調べ、訪問時に出前講座の広報を行い、利用を促す。また、生徒指導の参考にしていただくため、高校教員を対象にした部活動の際に活用できる講義も実施する。

（4）進学ガイダンス

岡山県を含む中四国エリアおよび兵庫県で開催される進学ガイダンスへ、年間50回程度参加する。広報委員会でエリア、高校、対象学年等を分析し、参加する進学ガイダンスを選定し、教員および広報入試チームを派遣する。

（5）高校内学校説明会

高校内で開催される学校説明会（入試説明会）ならびに分野別説明会に年間60回程度参加する。広報委員会で開催校の過去の入学者数やオープンキャンパス参加者数などを分析し、教員および広報入試チームを派遣する。また、分野別説明会には専任教員を派遣し、大学の教育内容について説明を行う。

（6）学校説明会

高校生、社会人、保護者、高校教員を対象に開催し、大学・学部・学科説明、入試説明を行うとともに、キャンパス見学会を開催する。

（7）高校教員対象入試説明会

高校の進路指導担当教員を本校に招き、専門職大学の教育内容や入試全般の説明、授業見学および校内見学を実施する。広報委員会で高校の進路指導に適した時期を検討し、最も効果的な開催日を設定する。

（8）学校見学

本校に興味関心を持つ高校生や社会人を随時受け入れ、施設設備の見学だけでなく、授業見学や朝食などの体験を行う。

（9）ホームページ・SNSを利用したWEB広報

広報入試チームが中心となり、WEBサイトまたはSNSなどのインターネットを利用し、大

学の最新情報などを高校生や保護者、高校教員、社会人等に発信する。生きた授業・実習等を写真または動画で随時配信し、高校生等の関心を高めることに役立てる。また、SNS を活用し、オープンキャンパスやイベントへの勧誘も行う。平成 29 年度の本山学園全体（3 校）の WEB サイトの月平均アクセス数は 16,256 件で、岡山医療技術専門学校のアクセス数は 4,417 件であった（資料 14）。今後、新大学のホームページを開設し、SNS 等で開設告知をするとともに、メーリングリストで配信を行い、月 10,000 アクセスを目標とする。

（10）大学案内等

広報委員会を中心として、学校案内を制作する。高校訪問やオープンキャンパス、進学ガイダンス等で高校生ならびに社会人に配布し、志望意欲の喚起につなげる。さらに、進学情報誌を積極的に活用し、受験者獲得を図る。

（11）メディア広報

大学学部での取組・教育内容について、マスメディア（新聞、テレビ、ラジオ、インターネットニュース）に対して、ニュースリリース等の積極的な情報配信を行い、大学の取組等を広く周知する。

２．人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

超高齢社会の中で、AI の高度化と医療現場のロボット化が急速に進行して職務領域の代替が進展し、理学療法・作業療法サービスのあり方自体が大きく変化していく世界においては、健康や幸せや生きがいあるいは終末ケアのあり方といった人間の根源的な視点からアプローチする視座がとりわけ重要となる。対象者目線に立って心を通わせる徹底的にヒューマンなサービスの重要性が増すとともに、現場の多様なニーズを新たなサービスの形にしていく創造力を備えた人材への需要が増していくものと考えられる。

このような社会的人材需要の動向を踏まえ、本学は次の方針に沿って、高度専門職業人を育成する。

（１）高い倫理観と豊かな人間力を備え、自ら考え学び続ける自主の精神を備える。

（２）論理的思考能力と研究スキルを備える。

（３）医療専門分野の最新の知識と専門技能を備え、高質なヒューマンサービスを基礎として専門業務を主導できる高度な実践力を備える。

（４）関連する他分野の視点と知識を活用して、新たなサービスを生み出していく豊かな創造力を備える。

（５）医療現場で必要な国際的視野を備える。

これらの方針を達成するために、職業現場や地域のニーズを迅速に教育課程に取り込む教育課程連携協議会システムの下で、豊かな人間性とコミュニケーション力と自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む基盤ゼミと、一段高い実践力を涵養する専門技能錬成プログラムおよび活動領域を広げ新たなサービスを創造する能力を組織的に鍛える展開力育成プログラムとを有機的体系的に運用する。これにより、高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備え多様な職業分野で活躍できる人材を育成することが本学の教育目的である。

②社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

現在、全国の理学療法士は約15万名、作業療法士は約8.5万名に達しているが、未だ社会的・地域的な需要に比して不足しており、地域包括ケアシステムをはじめとする新たな需要に対応できる人材の必要性は増している。理学療法士・作業療法士の職域拡大につれて人材需要が増していることは、その高い求人倍率に表れている（資料15）。一方、理学療法士・作業療法士の約7割が医療施設に就業しており、それ以外の分野に就業している者は3割に止まるという状況にある（資料16, 17）。したがって、今後、医療施設にとどまらず、地域包括ケアシステムその他の多様な分野で活躍できる理学療法士・作業療法士への需要が急速に増加することが予測される。

本学が養成する人材に対する評価や卒業生に対する需要の動向を把握するために、岡山県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県、広島県、兵庫県内の医療機関487施設（病院、クリニック、介護老人保健施設等）に対してアンケート調査を実施し、176施設から回答を得た（資料21）。

医療施設が理学療法士および作業療法士を採用するにあたり重視する資質として、「コミュニケーション能力・発信力・挑戦力」（基盤力）163施設（93.7%）、「豊かな創造力」（新たなサービスを生み出す力）62施設(35.6%)、「リーダーシップ、応用力」（基盤力）57施設（32.8%）が上位を占めている（資料21）。

岡山県医師会会員に対する調査報告書の「他職種連携における問題点」においても、「こちらの意図をあまり理解してもらえない」「相手のコミュニケーション能力に問題」という点が多く指摘されており（資料18）、相手の意見を理解し自分の考えを正確に伝えるコミュニケーション能力を持つ医療人の育成が強く求められている。

本学の教育プログラムは、まさにこうした医療人に必要な資質を育むことを重視しており、本学部の教育に対する社会的需要が大きいことを示している。

本学の卒業生に対する採用希望の有無については、採用する49施設（28.3%）、採用を検討する108施設（62.4%）であり、医療施設の9割以上が「採用する・採用を検討する」との結果を得た。また「1－2名採用」が91施設、「3－4名採用」が6施設、「5名以上採用」が2施設、未定57施設となり（資料21）、複数名の採用希望が相当数あることから、大学の定員120名に対する需要は十分であると判断できる。

地元の岡山県から、本学の設立は高校生の進路選択の幅が広がり社会人の学び直しの場も広がることから安心で豊かさが実感できる地域の創造と発展に寄与する、また岡山市からは、地域包括ケアシステムで連携し、さらに岡山市・地元NPO・地元団体・企業と本学の学生が協働して地域活動を通じた人材育成、地域活性化につなげる機会を創出していきたいとの意見を頂いており（資料19）、本学の育成する人材に対する地域の期待が大きいことが示されている。

さらに業界団体からは、地域包括ケアシステムの充実を目指して、医療のみならず、地域や福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する（公益法人日本理学療法士協会　理事（岡山県選出）山根一人氏および一般社団法人岡山県理学療法士会　会長　國安勝司氏）、専門分野の知識と結び付け新たなアイディアを生み出す創造力を育成する独自の教育課程、上級実習科目を設定し総合実習Ⅱ期へ向かう取り組み、および医療機関や保健施設、地域と

連携し学生自身が企画しサービスを提供する取り組みは、非常に魅力的である（公益法人岡山県作業療法士会　常務執行理事　古澤潤一氏）との意見をいただいている（資料 20）。

以上のように、本学の教育課程により育まれる人材は、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであり、かつそれに十分に応える内実を備えている。

資料目次

（資料 1）岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査
（資料 2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査
（資料 3）近隣の主要駅から本学の最寄り駅への所要時間
（資料 4）近隣等競合校の入学志願者数の推移　理学療法学科（専攻を含む）
（資料 5）近隣等競合校の入学志願者数の推移　作業療法学科（専攻を含む）
（資料 6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率
（資料 7）18 歳人口予測（全国）（平成 29 年～平成 38 年）
（資料 8）18 歳人口予測（岡山県）（平成 29 年～平成 38 年）
（資料 9）大学進学率の推移
（資料 10）リハビリテーション学の募集定員と志願者数
（資料 11）岡山医療技術専門学校過去 5 カ年の入学志願者数
（資料 12）岡山医療技術専門学校（理学療法学科・作業療法学科）初年度学納金
（資料 13）近隣大学の納付金（2018 年度）
（資料 14）ホームページアクセス数（平成 29 年度、本山学園、岡山医療技術専門学校）
（資料 15）岡山医療技術専門学校　平成 29 年度求人数
（資料 16）日本理学療法士協会会員分布（2018. 3）
（資料 17）日本作業療法士協会関連法領域別会員数
（資料 18）他職種連携における問題点
（資料 19）地方公共団体へのヒアリング（岡山県, 岡山市）
（資料 20）業界団体へのヒアリング
（資料 21）岡山専門職大学（仮称）設置構想についての事業所向け調査

岡山専門職大学　健康科学部 理学療法学科・作業療法学科(仮称) 設置についての高校生志向調査【設置構想中】	アンケート集計	作成日：　2018/10/4 作成者：　㈱ライセンスアカデミー

実施期間：平成30年7月25日（水）～10月2日（火）
対象：高校生
アンケート総配布数：3,547枚
アンケート有効回答数：3,353名
アンケート回収率：94.5%

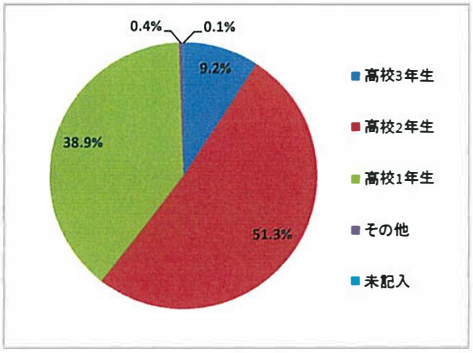


アンケート実施高等学校

※別報告データ参照

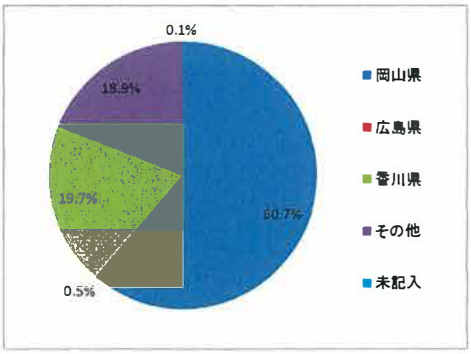
Q1.あなたの学年を教えてください。
（1つに○をつけてください）

①	高校3年生	308 名
②	高校2年生	1721 名
③	高校1年生	1305 名
④	その他	15 名
⑤	未記入	4 名



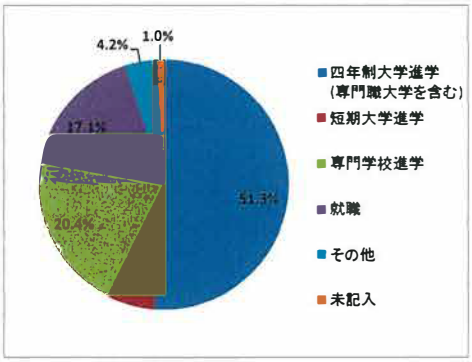
Q2.高校の所在地を教えてください。
（1つに○をつけてください）

①	岡山県	2035 名
②	広島県	18 名
③	香川県	662 名
④	その他	635 名
⑤	未記入	3 名



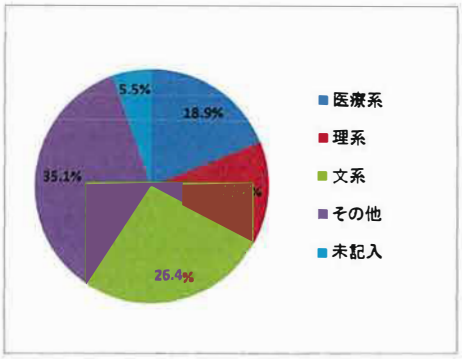
Q4.あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。（1つに○をつけてください）

①	四年制大学進学（専門職大学を含む）	1719 名
②	短期大学進学	204 名
③	専門学校進学	685 名
④	就職	573 名
⑤	その他	140 名
⑥	未記入	32 名



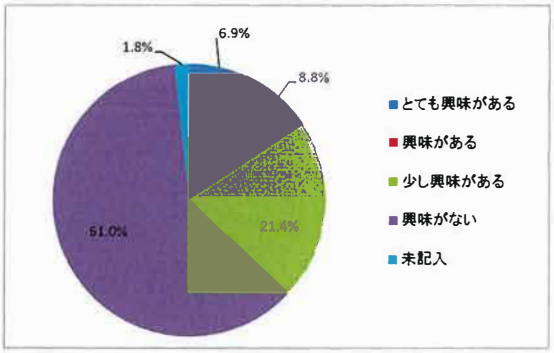
Q5.あなたが進学したいと考えている分野は次のうちどれですか。
次の中から1つ選んでください。

①	医療系	633 名
②	理系	474 名
③	文系	886 名
④	その他	1176 名
⑤	未記入	184 名



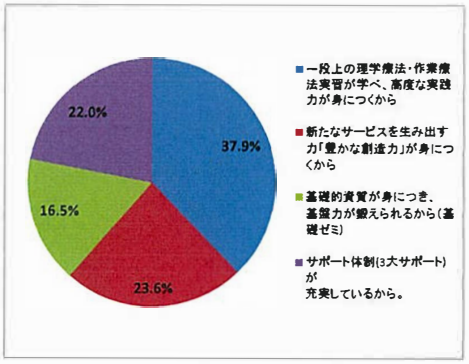
Q6.あなたは岡山医療専門職大学(仮称)に興味がありますか。(1つに○をつけてください)

①	とても興味がある	230 名
②	興味がある	296 名
③	少し興味がある	719 名
④	興味がない	2047 名
⑤	未記入	61 名



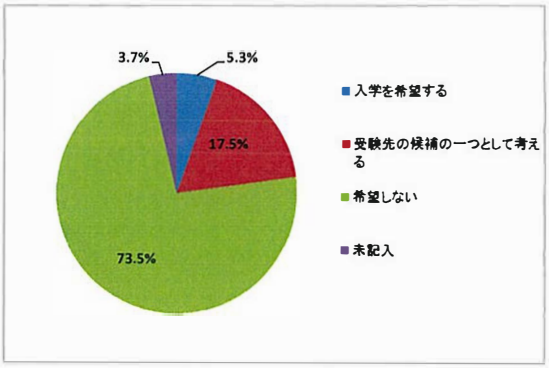
Q7.Q6で興味を持った理由を教えてください。
(複数回答可)

①	一段上の理学療法・作業療法実習が学べ、高度な実践力が身につくから	564 名
②	新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから	351 名
③	基礎的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基礎ゼミ）	246 名
④	サポート体制(3大サポート)が充実しているから。	327 名



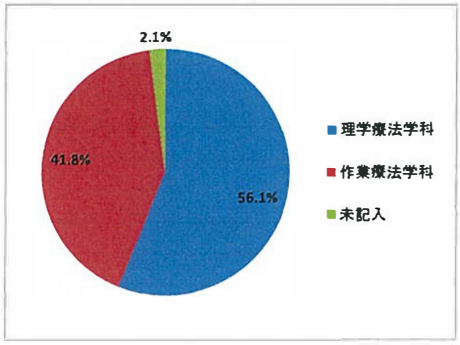
Q8．あなたは「岡山医療専門職大学(仮称)」に入学したいと思いますか。
(1つに○をつけてください)

①	入学を希望する	178 名
②	受験先の候補の一つとして考える	587 名
③	希望しない	2,463 名
④	未記入	125 名



Q9．Q8で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
次のどの学科への入学を希望しますか。
（1つに○をつけてください）

① 理学療法学科	429 名
② 作業療法学科	320 名
③ 未記入	16 名



アンケート調査実施校

都道府県	高校名	回収数
兵庫	東洋大学附属姫路高等学校	117
岡山	岡山学芸館高等学校	344
岡山	鴨方高等学校	95
岡山	瀬戸南高等学校	152
岡山	倉敷高等学校	302
岡山	和気閑谷高等学校	314
岡山	岡山東商業高等学校	310
岡山	津山工業高等学校	85
岡山	玉野光南高等学校	76
岡山	岡山南高等学校	79
岡山	瀬戸南高等学校	3
岡山	井原高等学校	2
岡山	岡山朝日高等学校	2
岡山	岡山操山高等学校	6
岡山	岡山一宮高等学校	1
岡山	岡山県共生高等学校	2
岡山	岡山県作陽高等学校	5
岡山	岡山県美作高等学校	9
岡山	岡山工業高等学校	4
岡山	岡山高等学校	9
岡山	岡山御津高等学校	1
岡山	おかやま山陽高等学校	4
岡山	岡山商科大学附属高等学校	2
岡山	岡山城東高等学校	4
岡山	岡山白陵高等学校	2
岡山	岡山南高等学校	6
岡山	岡山芳泉高等学校	4
岡山	岡山理科大学附属高等学校	6
岡山	邑久高等学校	1
岡山	岡山学芸館高等学校	6
岡山	笠岡工業高等学校	1
岡山	笠岡高等学校	1
岡山	笠岡商業高等学校	1
岡山	勝間田高等学校	1
岡山	勝山高等学校	22
岡山	鴨方高等学校	1
岡山	金光学園高等学校	1
岡山	関西高等学校	7
岡山	吉備高原学園高等学校	2
岡山	興譲館高等学校	2
岡山	興陽高等学校	1
岡山	倉敷工業高等学校	1
岡山	倉敷商業高等学校	2
岡山	倉敷翔南高等学校	1
岡山	倉敷翠松高等学校	2
岡山	倉敷青陵高等学校	3
岡山	倉敷中央高等学校	15
岡山	倉敷天城高等学校	22
岡山	倉敷古城池高等学校	5
岡山	倉敷南高等学校	2
岡山	倉敷鷲羽高等学校	1
岡山	西大寺高等学校	12
岡山	山陽女子高等学校	3
岡山	就実高等学校	4
岡山	清心女子高等学校	3
岡山	瀬戸高等学校	3
岡山	創志学園高等学校	6

岡山	総社高等学校	3
岡山	総社南高等学校	2
岡山	玉島高等学校	1
岡山	玉野高等学校	21
岡山	玉野商工高等学校	4
岡山	玉野光南高等学校	4
岡山	津山工業高等学校	5
岡山	津山商業高等学校	3
岡山	津山東高等学校	4
岡山	新見高等学校	6
岡山	林野高等学校	1
岡山	東岡山工業高等学校	4
岡山	真庭高等学校	2
岡山	水島工業高等学校	6
岡山	明誠学院高等学校	3
岡山	矢掛高等学校	5
岡山	和気閑谷高等学校	3
広島	油木高等学校	2
広島	呉工業高等専門学校	1
広島	戸手高等学校	1
広島	広島大学附属福山高等学校	5
広島	尾道高等学校	2
広島	福山高等学校	2
広島	福山明王台高等学校	1
広島	福山葦陽高等学校	1
島根	島根中央高等学校	1
島根	開星高等学校	1
香川	善通寺第一高等学校	196
香川	丸亀城西高等学校	32
香川	高松東高等学校	247
香川	三本松高等学校	173
香川	坂出第一高等学校	1
香川	琴平高等学校	2
香川	香川高等専門学校　高松キャンパス	1
香川	小豆島中央高等学校	2
香川	英明高等学校	10
愛媛	新田青雲中等教育学校	92
愛媛	今治北等学校	1
愛媛	三島高等学校	1
高知	高知高等学校	146
高知	高知西高等学校	274
徳島	川島高等学校	1
徳島	つるぎ高等学校	1
徳島	徳島商業高等学校	1
合計		3353

岡山専門職大学　健康科学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称）
設置についての高校生志向調査【設置構想中】

学校法人本山学園 岡山医療技術専門学校は26年にわたり、理学療法士並びに作業療法士を養成して参りました。この度、新しい高等教育機関「専門職大学」が制度化されたことを受け、豊かな創造力と高度な実践力を備えた人材を育成する『岡山専門職大学(仮称) 』を、2020年4月 岡山市北区に開設する計画です。

このアンケート調査では、高校生の皆さんの進学に関わる率直なご意見をお聞きし、結果を岡山専門職大学(仮称）の教育に反映していきたいと考えております。高校生の皆さんから寄せられた情報は、統計資料としてのみ活用し、その他の目的に使用することは一切ございませんので、ご協力、よろしくお願いいたします。

※詳細につきましては、同封した「岡山専門職大学（仮称）チラシ」をご覧ください。

Q1. あなたの学年を教えてください。（１つに○をつけてください）

①高校３年生　②高校２年生　③高校１年生　④その他

Q2. 高校の所在地を教えてください。（１つに○をつけてください）

①岡山県　②広島県　③香川県　④その他

Q3. 高校名を教えてください。

_____

Q4.あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。（１つに○をつけてください）

①四年制大学進学（専門職大学を含む）　②短期大学進学　③専門学校進学　④就職　⑤その他

Q5. あなたが進学したいと考えている分野は次のうちどれですか。次の中から１つ選んでください。

①医療系　②理系　③文系　④その他

ここからは、同封した『岡山専門職大学（仮称）チラシ』を参照して回答してください。

Q6. あなたは岡山専門職大学（仮称）に興味がありますか。（１つに○をつけてください）

①とても興味がある　②興味がある　③少し興味がある　④興味がない

Q7. Q6で①～③のいずれかを選んだ方にお聞きします。興味を持った理由を教えてください。（複数回答可）

①他校にはない一段上の理学療法・作業療法実習（上級治療実習）が学べ、高度な実践力が身につくから
②新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから
③基盤的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基盤ゼミ）
④サポート体制（３大サポート：就職・キャンパスライフ・国家試験サポート）が充実しているから

Q8. あなたは「岡山専門職大学（仮称）」に入学したいと思いますか。（１つに○をつけてください）

①入学を希望する　②受験先の候補の一つとして考える　③希望しない

Q9. Q8で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。
次のどの学科への入学を希望しますか。（１つに○をつけてください）

①理学療法学科　②作業療法学科

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

OPEN CAMPUS
専門職大学　説明会開催！！

新しい大学で、ワンランク上の
理学・作業療法士を共にめざしましょう！

7/28（土）　8/8（水）　8/25（土）　9/15（土）　9/30（日）

時間 9:00-12:30（受付8:30より）　参加無料　要予約



当日の流れ

- 8:30〜 受付
- 9:00〜10:00 全体・学科説明
- 10:10〜11:15 体験授業
- 11:20〜12:20 施設見学｜個別相談
- 12:30 終了予定

参加者の声！

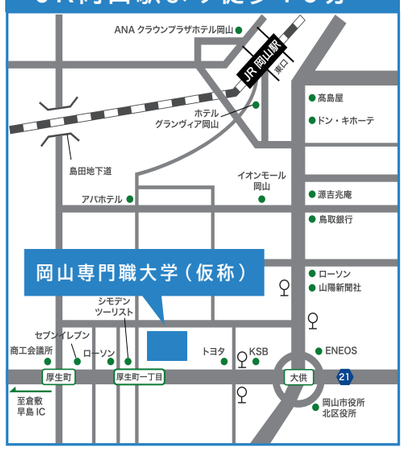
「OPUでの学びにとても興味を持ちました」S.Mさん
「OPU進学希望者の人たちと会話ができ、楽しかった」A.Hさん
「リハビリ系の体験内容が充実していて、参考になった!」Y.Mさん
「教職員の皆さんが優しく対応してくれて良かった」M.Yさん
「参加するか悩んでましたが、参加して本当に良かったです!」Y.Tさん







JR岡山駅より徒歩10分



JR岡山駅からのアクセス方法

- 徒歩　『JR岡山駅』東口から南へ徒歩10分
- 車　『JR岡山駅』より5分
- タクシー　岡山ICより20分／早島ICより22分
- バス
  - ●岡電・両備・下電バスで中庄・倉敷方面行き『大供』下車すぐ
  - ●市役所方面行き『山陽新聞社前』下車、徒歩2分
  - ●循環バスめぐりんで『山陽新聞社・TSC前』下車、徒歩2分

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。

学校法人本山学園
お問い合わせ　岡山専門職大学（仮称）開設準備室
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供3-2-18
http://isen-u.ac.jp/TEL.（086）233-8020
学校見学・相談　月〜金曜日（祝日除く）9:00〜16:00（要予約）
QRコード

患者さまと医療現場
どちらからも選ばれる
理学療法士・作業療法士に





岡山専門職大学[OPU]（仮称）

2020年4月岡山市中心部に開学（予定）

健康科学部
設置構想中

- ●理学療法学科（定員80名）
- ●作業療法学科（定員40名）

効果的・先進的な実習の段階的教育システムの大学で学ぶ。

～新しく、より効果的なスタイルの教育課程で、高度な実践力と創造力を身につけ、
ワンランク上の理学療法士・作業療法士を育成する～

臨床実習が充実！

高度な実践力

即戦力の理学・作業療法士へ

OPUだから、卒業後のレベルが違う！

他リハビリ系大学：基礎科目、（職業）専門科目、臨床実習

岡山専門職大学：基礎科目、職業専門科目、臨床実習 ＋
- 基盤的資質を鍛える：基盤ゼミ
- 新たなサービスを創造する力：展開科目
- 高度な実践力：上級治療実習

基盤力・創造力・実践力の3つの力を伸ばす教育

ワンランク上の理学療法士・作業療法士になれる！

上級治療実習 ～総合実習Ⅱとのシナジー効果でより高度な技術が身につく～

3年次に実施する総合実習Ⅰ（臨床実習）では、臨床現場を体験し、自分の興味のある分野（疾患）と課題を見つけます。4年次の上級治療実習では、自分の関心のある分野の実習を選択し、自分の興味を深めると共に課題を解決し、強みに変えていきます。この上級治療実習（学内）とその後に実施する総合実習Ⅱのシナジー効果（相乗効果）で1段上の実践技術を修得することができる本学独自のプログラムです。

3年次：総合実習Ⅰ（課題を発見）

この2つの実習でシナジー効果！！

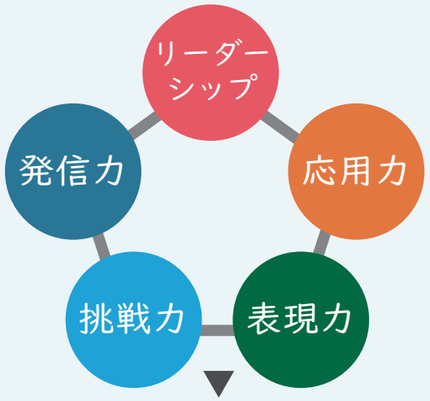
4年次：上級治療実習（課題解決・強みの拡大） ＋ 総合実習Ⅱ（実践）

3大サポート

- 就職サポート
- キャンパスライフサポート
- 国家試験サポート

5つの力を基盤に、創造力を鍛える！

自分自身をアップデートする力を備える







豊かな創造力

新たなサービスを生み出す力

基盤ゼミ ～基盤的資質を鍛える、少人数制ゼミ～

4年一貫して教育を行う、少人数制のゼミ。学年ごとに特定のテーマと内容を設定し、自立した社会人・責任感を備えた創造性豊かな医療人としての基盤的資質を養う、本学独自の教育システムです。

- 1年次：・自己の将来像の明確化 ・人間性や職業倫理を涵養 ・キャリア形成
- 2年次：・論理的思考力と問題解決能力の錬磨 ・思考力、創造力、学習志向性を鍛える
- 3年次：・プレゼンテーション力とリーダーシップの錬磨 ・自己表現力と発信力を鍛える
- 4年次：・持続的な自己成長のテクニック、生涯学習力を育む

展開科目 ～新たなサービスを生み出す力～

革新的サービスの創出 ＋ 暖かみのあるサービスの創出 ▼ 地域社会を牽引する懐の深い人材



※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。

岡山専門職大学とは？（仮称・設置構想中）

効果的、先進的な実習教育システムを備えた専門職大学です。
単なる理学療法士・作業療法士ではなく、高度な実践力と豊かな創造力が身につきます。

学部：健康科学部
学科：理学療法学科（80名）
　　作業療法学科（40名）
学位：理学療法学士（専門職）
　　作業療法学士（専門職）



健康科学部

最新の専門知識と高度な実践力及び研究スキルを備え、人を思いやる心と豊かな創造力を身につけます。医療現場や地域包括ケアシステムの中で、即戦力として活躍し、関連職種と連携しつつ、専門業務を主導できる人材を育成します。

理学療法学科　定員80名

高度な知識・技能を持ち、チーム医療を支える理学療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）理学療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 理学療法学士（専門職）



作業療法学科　定員40名

職業現場を牽引し、多様化する社会のニーズに応えられる作業療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）作業療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 作業療法学士（専門職）



キャンパス紹介

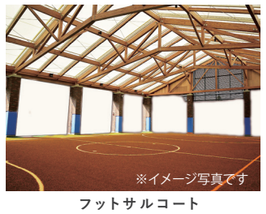


岡山専門職大学（仮称）新校舎2018年12月完成予定

1クラス40人以下の少人数制で学べる、新しいキャンパス！
本館に屋上庭園、学生大ラウンジ、新体育館（フットサルコート）も新設！


大教室


普通教室



フットサルコート


スポーツトレーニングルーム


学生大ラウンジ


図書館


スカイホール


木工・金工・陶工室


機能訓練室


織物・絵画室

＜新館＞

○新図書館
- 蔵書1万冊以上
- ディスカッションルーム2室完備

○スチューデントホール
- 各階に憩いのスペースを完備

○講義が聞きやすい階段教室
- 全教室対応

○全フロア Wi-Fi対応



＜専門職大学とは＞

専門職大学は、職業現場の意見を教育課程に取り込む実践的教育を実施し、高度な「実践力」と新しいサービスを創り出せる豊かな「創造性」を備えた人材を養成する高等教育機関です。

専門職大学と大学・専門学校 特徴の比較

大　学	専門職大学	専門学校
興味のある分野を深く学ぶ	めざす職業に必要な知識を豊富な実習で学ぶ	めざす職業に必要な技術を身につける
本格的な施設や設備で研究を行える	現場の意見を反映させたカリキュラムで学ぶ	就職に直結した、専門的な分野の学びができる
さまざまな教養を身につける	現場経験豊富な教員から教わる	仕事に必要な資格取得をめざす
仕事に必要な資格取得をめざす	独自の展開科目を学べる	現場で直接必要なことを学べる
学士を取得	仕事に必要な資格取得をめざす	
	学士（専門職）を取得	
	就職へ直結する学びを行うので就職に有利	

	大　学	専門職大学	専門学校
修業年限	4-6 年	4 年	1-4 年
めざす教育	幅広い教養や、学術研究の成果に基づく知識・理論を身につける	専門業務を牽引でき、新たなサービスなどをつくり出せる人材を育成する	特定職種の実務に直接必要となる知識や技術を身につける
学びの特色	幅広いテーマやものの見方や考え方を学ぶ	高度な実践力と変化に対応できる創造力を学び、即戦力の人材となる	即戦力になれる技能や知識を学ぶ
授業の内容	専門的な研究のほか、一般教養を学ぶ授業もある	現場のニーズを取り込み、現場と連携した授業で学ぶ	仕事に必要な知識を中心に学ぶ
実習の内容	充実したゼミなどを選択可能	医療施設や企業などで実習が行える（現場実習）	実際の現場での実習や体験授業で技術を身につける
教員	1 つの学問に精通した教員が多数在籍	4 割以上が業界経験のある実務家教員	その分野の仕事に熟知した教員が在籍

岡山専門職大学は就職に強い！

岡山専門職大学では、通常の大学で学ぶ基礎科目、（職業）専門科目に加え、独自の展開科目と総合科目を学び、4 年次では上級治療実習を行うことで、ワンランク上の人材になることができます。高度な実践力と豊かな創造力を身につけて卒業できるため、医療現場の人事担当者からも歓迎されています。



学費

※臨地実務実習費は学納金に含まれます。

学　部	学　科	入学金	学納金	1 年次合計
健康科学部	理学療法・作業療法学科	300,000 円	1,460,000 円	1,760,000 円

奨学金サポート

本山学園奨学金

ランクA 100万円　ランクB 30万円　ランクC 20万円　ランクD 10万円

AO入試合格者に支給します。

成績優秀者奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　ランクA 45万円　ランクB 23万円

経済支援奨学金

経済的理由により、就学が困難な者に対し、支給する。（住民税・所得税非課税世帯）　25万円

親族割引奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　20万円

スポーツ奨励奨学金

スポーツにおける全国規模で開催される大会（インターハイ、国体他）出場経験者等で、AO 入試など専願制入試合格者に支給します。　5万円

キャリアアップ支援奨学金（社会人対象）

本学指定の国家資格の免許を有する者で AO 入試など専願制入試合格者に支給します。（下記本校指定国家資格対象）　10万円

※理学・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士・看護師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・社会福祉士・介護福祉士・薬剤師・柔道整復師・歯科衛生士・歯科技工士・臨床検査技師・臨床工学技士・診療放射線技師・視能訓練士・救急救命士

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。

岡山専門職大学(仮称・設置構想中)と近隣の大学・学部・学科一覧表

※別途、教科書代金等必要　※参考:2018年度募集要項等

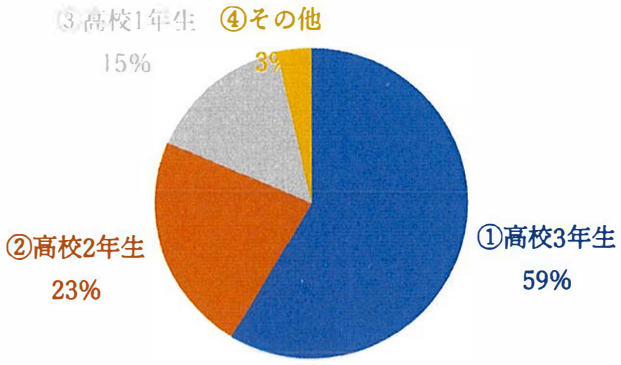
大学名	学部	学科名	所在地	入学定員	入学初年度年間学納金(単位:円)				2年次以降年間学納金等(単位:円)	備考
					内訳			総額		
					入学金	学納金等	その他			
吉備国際大学	保健医療福祉学部	理学療法学科	岡山県 高梁市	40	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000	1,496,000	※入学年度のみ:学友会費 30,000円 ※教育後援会費 6,000円(年間)
吉備国際大学	保健医療福祉学部	作業療法学科	岡山県 高梁市	40	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000	1,496,000	※入学年度のみ:学友会費 30,000円 ※教育後援会費 6,000円(年間)
川崎医療福祉大学	医療技術学部	リハビリテーション学科 理学療法専攻	岡山県 倉敷市	60	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000	1,400,000	※入学時のみ:学友会入会金 10,000円 ※入学時のみ:学友会費 20,000円 ※入学時のみ:協助会費 30,000円
川崎医療福祉大学	医療技術学部	リハビリテーション学科 作業療法専攻	岡山県 倉敷市	60	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000	1,400,000	※入学時のみ:学友会入会金 10,000円 ※入学時のみ:学友会費 20,000円 ※入学時のみ:協助会費 30,000円
広島都市学園大学	健康科学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	広島県 広島市	60	250,000	1,500,000	20,000	1,770,000	1,500,000	※毎年:委託徴収金として「保護者の会」会費 20,000円 ※4年次:同窓会入会金 不明
広島都市学園大学	健康科学部	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	広島県 広島市	40	250,000	1,500,000	20,000	1,770,000	1,500,000	※毎年:委託徴収金として「保護者の会」会費 20,000円 ※4年次:同窓会入会金 不明
広島国際大学	総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	広島県 東広島市	60	250,000	1,520,000	16,000	1,786,000	1,645,000	※振興費:10,000円 ※互助会費:入会金 1,000円、会費(年額) 5,000円
広島国際大学	総合リハビリテーション学部	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	広島県 東広島市	40	250,000	1,520,000	16,000	1,786,000	1,645,000	※振興費:10,000円 ※互助会費:入会金 1,000円、会費(年額) 5,000円
徳島文理大学	保健福祉学部	理学療法学科	徳島県 徳島市	60	280,000	1,350,000	36,640	1,666,640	1,350,000	※臨地実習経費が別途必要 ※協力費(前・後期):各16,200円 ※研修部費(前・後期):各1,620円 ※研修部入会金(入学時のみ):1,000円
神戸学院大学	総合リハビリテーション学部	理学療法学科	兵庫県 神戸市	40	400,000	1,796,300	0	2,196,300	1,757,000	
神戸学院大学	総合リハビリテーション学部	作業療法学科	兵庫県 神戸市	40	400,000	1,796,300	0	2,196,300	1,757,000	
岡山専門職大学 (仮称・設置構想中)	健康科学部	理学療法学科	岡山県 岡山市	80	300,000	1,460,000	0	1,760,000	1,460,000	※臨地実務実習費は学納金に含まれる
岡山専門職大学 (仮称・設置構想中)	健康科学部	作業療法学科	岡山県 岡山市	40	300,000	1,460,000	0	1,760,000	1,460,000	※臨地実務実習費は学納金に含まれる

（資料 2）【オープンキャンパス参加者対象】岡山専門職大学健康科学部理学療法学科・作業療法学科（仮称）設置についての高校生志向調査

【調査期間】平成 30 年 7 月 25 日（水）～10 月 2 日（火）

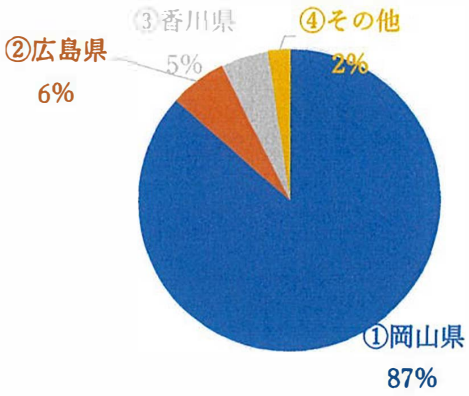
Q1.　あなたの学年を教えてください。

選択肢	人数（名）
①高校 3 年生	196
②高校 2 年生	76
③高校 1 年生	50
④その他	12
合計	334



Q2. 高校の所在地を教えてください。

選択肢	人数（名）
①岡山県	289
②広島県	20
③香川県	17
④その他	8
合計	334



Q3.　高校名を記入してください。

高校名	人数（名）
岡山県立勝山高等学校	22
岡山県立倉敷天城高等学校	22
岡山県立玉野高等学校	21
岡山県立倉敷中央高等学校	13
岡山県立西大寺高等学校	12
岡山県美作高等学校	9
岡山県立和気閑谷高等学校	9
岡山高等学校	9
関西高等学校	7
岡山学芸館高等学校	6
岡山県立岡山操山高等学校	6
岡山県立岡山東商業高等学校	6
岡山県立岡山南高等学校	6
岡山県立水島工業高等学校	6
岡山理科大学附属高等学校	6
創志学園高等学校	6
岡山県作陽高等学校	5
岡山県立新見高等学校	5
岡山県立倉敷古城池高等学校	5
岡山県立矢掛高等学校	5
おかやま山陽高等学校	4
岡山県立岡山工業高等学校	4
岡山県立岡山城東高等学校	4
岡山県立岡山芳泉高等学校	4
岡山県立玉野光南高等学校	4
岡山県立津山東高等学校	4
岡山県立東岡山工業高等学校	4

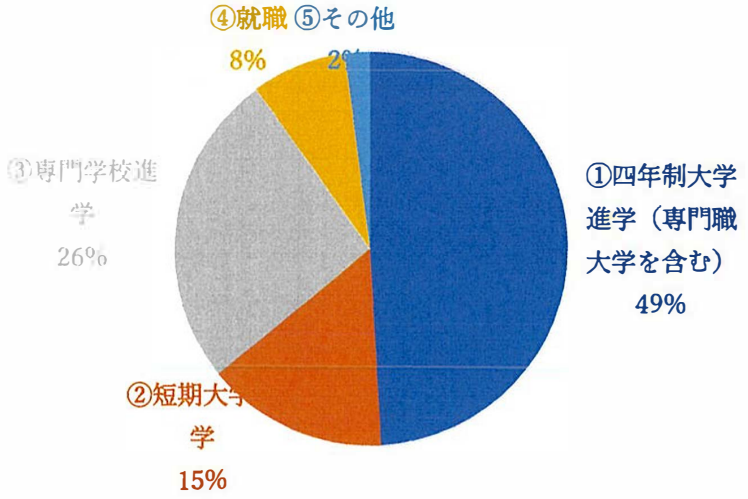
玉野市立玉野商工高等学校	4
就実高等学校	4
岡山県立真庭高等学校	3
岡山県立瀬戸高等学校	3
岡山県立瀬戸南高等学校	3
岡山県立倉敷青陵高等学校	3
岡山県立総社高等学校	3
岡山県立津山工業高等学校	3
岡山県立津山商業高等学校	3
山陽女子高等学校	3
清心女子高等学校	3
明誠学院高等学校	3
岡山県共生高等学校	2
岡山県立井原高等学校	2
岡山県立岡山朝日高等学校	2
岡山県立倉敷工業高等学校	2
岡山県立倉敷商業高等学校	2
岡山県立倉敷中央高校	2
岡山県立倉敷南高等学校	2
岡山県立総社南高等学校	2
岡山白陵高等学校	2
吉備高原学園高等学校	2
興譲館高等学校	2
倉敷高等学校	2
倉敷翠松高等学校	2
津山工業高等専門学校	2
岡山県立岡山一宮高等学校	1
岡山県立岡山御津高等学校	1
岡山県立笠岡工業高等学校	1
岡山県立笠岡高等学校	1
岡山県立笠岡商業高等学校	1
岡山県立鴨方高等学校	1
岡山県立興陽高等学校	1
岡山県立玉島高等学校	1
岡山県立勝間田高等学校	1
岡山県立倉敷鷲羽高等学校	1
岡山県立邑久高等学校	1

岡山県立林野高等学校	1
岡山商科大学付属高等学校	1
岡山商科大学附属高等学校	1
金光学園高等学校	1
倉敷市立倉敷翔南高等学校	1
広島大学附属高等学校	4
広島県立油木高等学校	2
尾道高等学校	2
福山市立福山高等学校	2
呉工業高等専門学校	1
広島県立戸手高等学校	1
広島県立福山葦陽高等学校	1
広島県立福山明王台高等学校	1
広島大学附属福山高等学校	1
英明高等学校	10
香川県立琴平高等学校	2
香川県立小豆島中央高等学校	2
香川高等専門学校	1
坂出第一高等学校	1
徳島県立つるぎ高等学校	1
徳島県立川島高等学校	1
徳島県立徳島商業高等学校	1
愛媛県立今治北高等学校	1
愛媛県立三島高等学校	1
開星高等学校	1
島根県立島根中央高等学校	1
合計	334

Q4.　あなたは高校卒業後にどのような進路を希望しますか。

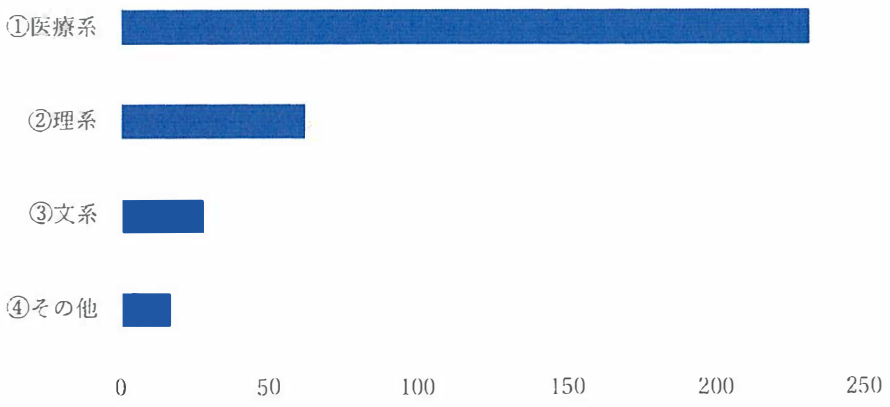
選択肢	人数
①四年制大学進学（専門職大学を含む）	164
②短期大学進学	50
③専門学校進学	87
④就職	26
⑤その他	7

合計	334



Q5.　あなたが進学したいと考えている学問分野は次のうちどれですか。次の中から選んでください。（複数回答可）

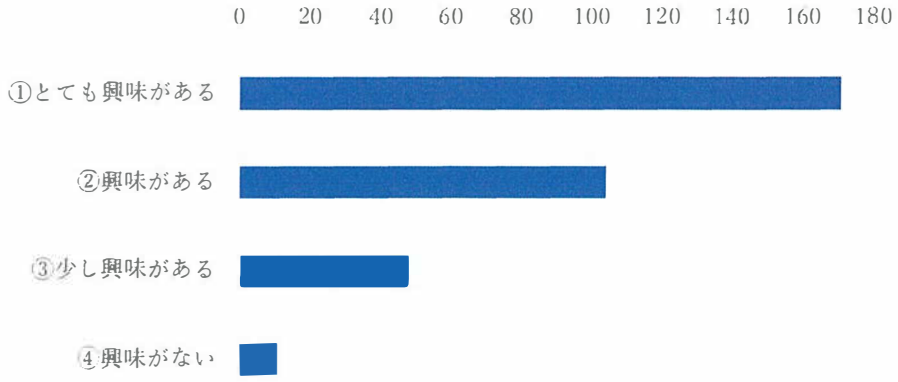
選択肢	人数
①医療系	231
②理系	62
③文系	28
④その他	17
合計	334



Q6.　あなたは岡山医療専門職大学（仮称）に興味がありますか。

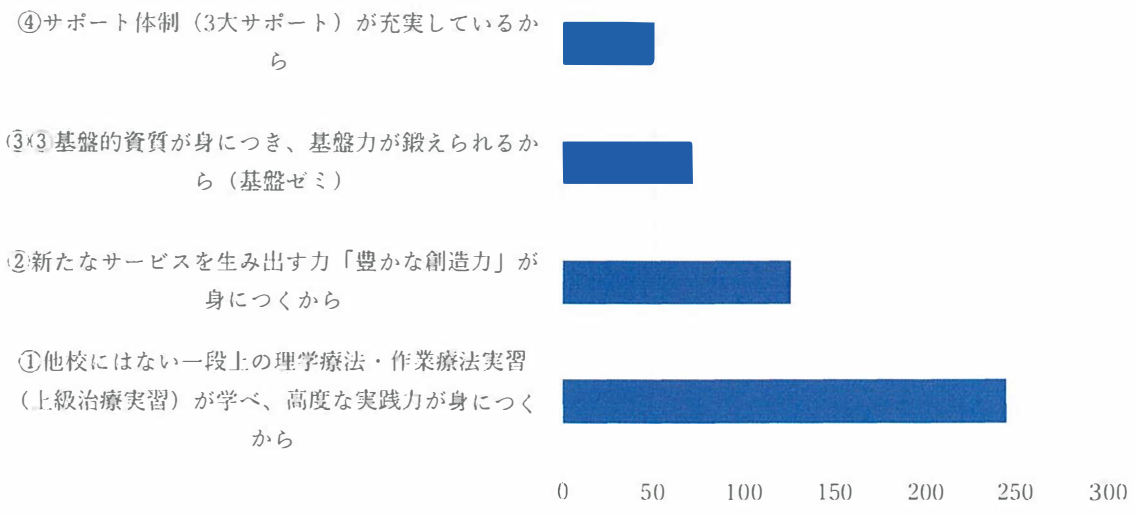
選択肢	人数
①とても興味がある	171
②興味がある	104

③少し興味がある	48
④興味がない	11
合計	334



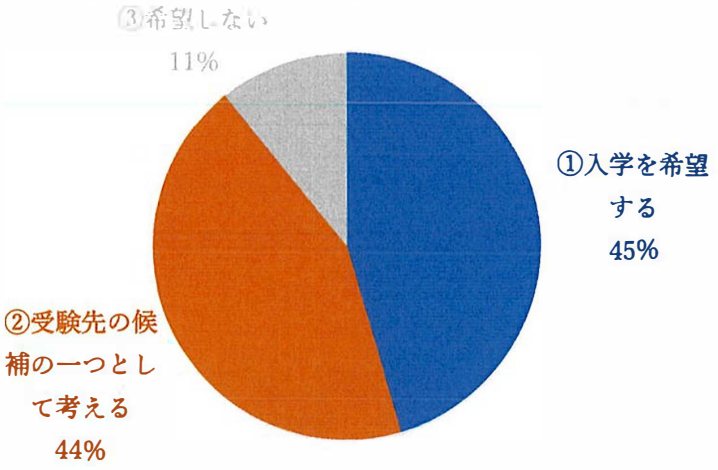
Q7. Q6 で「①とても興味がある、②興味がある、③少し興味がある」のいずれかを選んだ方にお聞きします。興味を持った理由を教えてください。（複数回答可）

選択肢	人数
①他校にはない一段上の理学療法・作業療法実習（上級治療実習）が学べ、高度な実践力が身につくから	245
②新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」が身につくから	126
③基盤的資質が身につき、基盤力が鍛えられるから（基盤ゼミ）	72
④サポート体制（3 大サポート）が充実しているから	51
合計	326



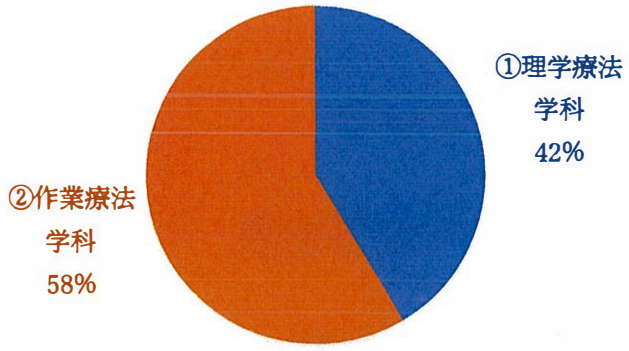
Q８．あなたは「岡山専門職大学（仮称）」に入学したいと思いますか。（１つに○をつけてください）

選択肢	人数（名）
①入学を希望する	152
②受験先の候補の一つとして考える	146
③希望しない	36
合計	334

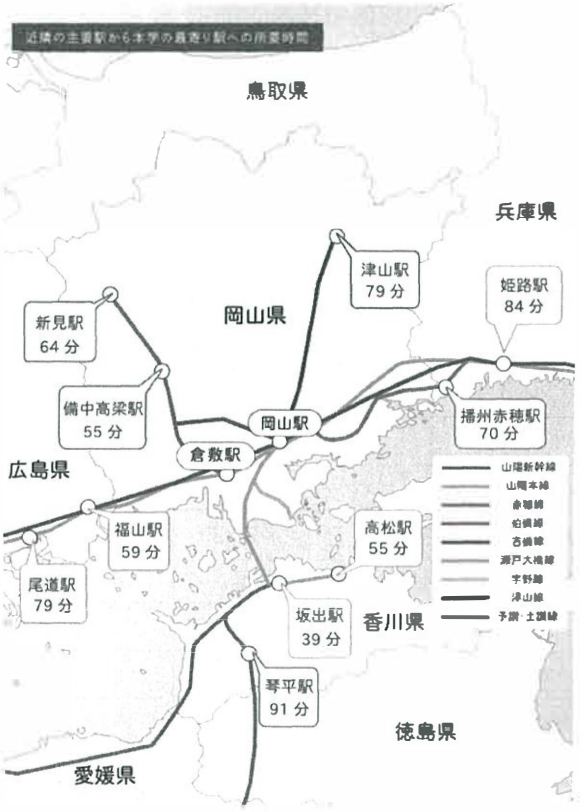


Q９．Q8 で「①、②」のいずれかを選んだ方にお聞きします。次のどの学科への入学を希望しますか。

選択肢	人数（名）
①理学療法学科	127
②作業療法学科	179
合計	306



（資料 3）近隣の主要駅から本学の最寄り駅への所要時間



（資料 4）近隣等競合校の入学志願者数の推移　理学療法学科（専攻を含む）

川崎医療福祉大学（医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻）

入試年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	460	437	379	611	441
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	11.5	10.93	9.48	10.18	7.35

（備考）川崎医療福祉大学ホームページ、株式会社　リクルートマーケティングパートナーズ調査：各大学情報公開・入試結果より抜粋　2018.7.31 時点

（資料 5）近隣等競合校の入学志願者数の推移　作業療法学科（専攻を含む）

川崎医療福祉大学（医療技術学部リハビリテーション学科作業療法専攻）

入試年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	239	307	233	310	237
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	5.48	5.98	5.83	5.17	3.95

（備考）川崎医療福祉大学ホームページ、株式会社　リクルートマーケティングパートナーズ調査：各大学情報公開・入試結果より抜粋　2018.7.31 時点　※平成 25 年度のデータ（ママ）

（資料 6）川崎医療福祉大学医療技術学部過去 5 カ年の定員充足率

川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科（旧医療技術学部）

○理学療法学科

対象年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	460	437	379	611	441
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	11.5	10.93	9.48	10.18	7.35
入学者数	不明	54	54	68	68
入学定員超過率	不明	1.35	1.35	1.13	1.13

○作業療法学科

対象年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志願者数	239	307	233	310	237
入学定員	40	40	40	60	60
志願倍率	5.48	5.98	5.83	5.17	3.95
入学者数	不明	57	54	68	66
入学定員超過率	不明	1.42	1.35	1.13	1.10

（川崎医療福祉大学公表データより）

（資料 7）18 歳人口予測（全国）（平成 29 年～平成 38 年）

		平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年
全国	人数	1,179,810	1,175,152	1,166,874	1,139,843	1,122,017
	割合	99.1	98.7	98.0	95.8	94.3

		平成 34 年	平成 35 年	平成 36 年	平成 37 年	平成 38 年
全国	人数	1,097,275	1,061,776	1,088,705	1,090,569	1,082,772
	割合	92.2	89.2	91.5	91.6	91.0

（備考）リクルート進学総研マーケットリポート Vol.11 2015 年 12 月号

18 歳人口予測　大学・短大・専門学校進学率　地元残留率の動向　中国版より

（資料 8）18 歳人口予測（岡山県）（平成 29 年～平成 38 年）

		平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年
岡山県	人数	18,439	18,811	18,661	18,193	17,632
	割合	96.5	98.4	97.6	95.2	92.2

		平成 34 年	平成 35 年	平成 36 年	平成 37 年	平成 38 年

岡山県	人数	17,282	16,823	17,116	17,243	16,985
	割合	90.4	88.0	89.5	90.2	88.9

（備考）リクルート進学総研マーケットリポート Vol.11 2015 年 10 月号「18 歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向　2016」、リクルート進学総研マーケットリポート Vol.11　2015 年 11 月号「18 歳人口予測　大学・短大・専門学校進学率　地元残留率の動向　中国版」、リクルート進学総研マーケットリポート Vol.20 2015 年 12 月号「18 歳人口予測　大学・短大・専門学校進学率　地元残留率の動向　近畿版」より

（資料 9）大学進学率の推移

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
大学（学部）進学者	517,416	505,240	522,656	525,195	532,699
進学率	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6

（備考）学校基本調査

（資料 10）リハビリテーション学の募集定員と志願者数

	募集定員	志願者
1992 年	50	243
1996 年	454	5,437
2000 年	716	7,975
2004 年	1,811	12,630
2008 年	3,649	18,143
2012 年	4,639	21,040
2016 年	8,152	50,353

（備考）リクルート進学総研「カレッジマネジメント 205 号　学部・学科トレンド 2017」

スポーツ・健康・医療系統の動向

分析対象：リクルート入試実態調査の集計データを基に、2016 年時点で国公私立大学が設置していた 5136 学科の学科系統を、リクルート独自の 12 の大分類と 78 の小分類に振り分けて分析が行われている。

https://shingakunet.com/ebook/cm/205/?openpage=1#page=1

（資料 11）岡山医療技術専門学校過去 5 カ年の入学志願者数

学科	定員	入試年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
理学療法学科	80 名	志願者数	78	86	94	91	63
		受験者数	77	83	94	91	58
		合格者数	65	73	83	83	57
		入学者数	54	62	75	73	48

		志願倍率	0.98	1.08	1.18	1.14	0.79
		定員超過率	0.68	0.78	0.94	0.91	0.60
作業療法学科	40名	志願者数	45	35	36	31	28
		受験者数	43	35	34	31	28
		合格者数	36	27	34	29	27
		入学者数	31	19	30	27	26
		志願倍率	1.13	0.88	0.90	0.78	0.70
		定員超過率	0.78	0.48	0.75	0.68	0.65
医療福祉ビジネス学科/医療事務学科	40	志願者数	19	16	18	36	27
		受験者数	19	15	23	27	27
		合格者数	19	13	20	27	25
		入学者数	19	13	19	26	23
		定員充足率	47.5	32.5	47.5	65	57.5
		定員超過率	0.48	0.33	0.48	0.65	0.58

（備考）学校法人本山学園　法人事務局

平成26年度～平成27年度医療福祉ビジネス学科（2年制）、※平成28年度医療事務学科（2年制）

※平成29年度より医療事務学科（1年制）

（資料12）岡山医療技術専門学校（理学療法学科・作業療法学科）初年度学納金

学校名	学科	修業年限	入学金	授業料	教育充実費	施設設備費	初年度合計
岡山医療技術専門学校	理学療法学科 作業療法学科	3年制	200,000円	890,000円	300,000円	300,000円	1,690,000円

（備考）学校法人本山学園　法人事務局

（資料13）近隣大学の納付金（2018年度）

大学名	学部	学科（専攻）	入学金	学納金等	その他	初年度合計
川崎医療福祉大学	医療技術学部	リハビリテーション学科（理学療法専攻）	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000
		リハビリテーション学科（作業療法専攻）	300,000	1,400,000	60,000	1,760,000
吉備国際大学	保健医療福祉学部	理学療法学科	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000
		作業療法学科	300,000	1,496,000	36,000	1,832,000

（備考）学校法人本山学園　法人事務局調査　※参考：2018年度募集要項等

（資料 14）ホームページアクセス数（平成 29 年度、本山学園、岡山医療技術専門学校）

	岡山医療技術専門学校	本山学園全体
4 月	5, 055	16, 776
5 月	5, 026	17, 021
6 月	4, 730	17, 598
7 月	5, 555	16, 649
8 月	4, 687	16, 409
9 月	4, 687	16, 067
10 月	4, 286	21, 408
11 月	4, 123	14, 535
12 月	3, 397	14, 736
1 月	3, 463	14, 599
2 月	3, 615	13, 811
3 月	4, 380	15, 468
合計	53, 004	195, 077
平均	4, 417	16, 256

（備考）学校法人本山学園　法人事務局

（資料 15）岡山医療技術専門学校　平成 29 年度求人数

職種	理学療法士		作業療法士	
県内・県外別	県内	県外	県内	県外
求人数	2543（31.78 倍）		2627（65.67 倍）	
（求人倍率）	185	2358	221	2406
求人施設数	78	382	81	398

（備考）学校法人本山学園　法人事務局、求人倍率は定員数に対して

（資料 16）日本理学療法士協会会員分布（2018. 3）

施設別	会員数	施設数
医療施設	77, 569	9, 620
医療中間施設	8, 294	3, 657
老人福祉施設	1, 826	1, 406
介護保険法関連施設	486	308
身体障害者福祉施設	224	174
児童福祉施設	771	253
精神障害者社会復帰施設	4	4

知的障害者福祉施設	6	6
障害者自立支援	75	56
教育・研究施設	2,610	462
行政関係施設	369	292
健康産業	80	62
その他	2,433	1,482
海外	106	—
不明	48	36
自宅	20,924	-
合計	115,825	17,818

※:「自宅」に休会者 8,914 名を含む

（備考）日本理学療法士ホームページより

http://www.japanpt.or.jp/about/data/statistics/

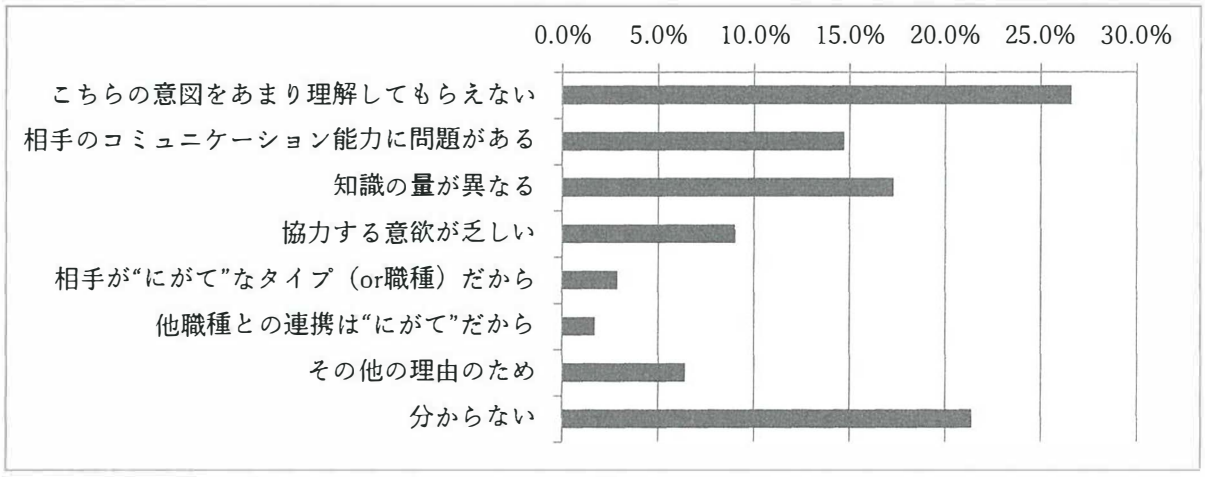
（資料 17）日本作業療法士協会関連法領域別会員数

医療法関連施設	34109
身体障害者福祉法関連施設	76
精神保健福祉法関連施設	44
児童福祉法関連施設	740
知的障害者福祉法関連施設	1
老人福祉法関連施設	1807
介護保険法関連施設	5236
障害者総合支援法関連施設	387
その他	2639
法外施設	90

（備考）作業療法白書 2015 より

（資料 18）他職種連携における問題点

Q　ケアマネージャー、その他の職種との連携について困難を覚えることがある、或いは覚えることが想定される場合、その理由をお答えください。



（備考）調査対象：調査対象　岡山県医師会会員（診療所開設者）（1444 名に調査、回答数 636 名、回収率 44.0%）

岡山県「地域の状況に応じた医療・介護供給体制構築のための調査報告書2016年3月」より

http://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/469840_3317708_misc.pdf

（資料 19）地方公共団体へのヒアリング（岡山県, 岡山市）

1. 岡山県総務部総務学事課へのヒアリング

本学の専門職大学の設置に関して岡山県総務部総務学事課にヒアリングを実施したところ、以下の意見をいただいた。（実施日）平成３０年８月２２日

岡山専門職大学の設置が認められた場合、医療現場の課題やニーズを迅速に教育課程に反映させ、最新の知識と実技を身に付ける実践的仕組みにより、新しいサービスを創り出せる創造力を備えた専門職業人の育成を行うという新たな枠組みの教育が行われるとのことであり、県内高校生の進路選択の幅が広がるのみならず、医療関係者を中心とした社会人の学び直しの場も増加することから、県政推進の重点戦略に掲げている「安心で豊かさが実感できる地域の創造」にも繋がるものと期待しています。

また、地域がその特長を生かし、自主的で持続可能な社会の創生を目指す地方創生が喫緊の課題となっている中、専修学校教育で培った職業人材育成力に更に磨きをかけていただき、社会人や職業人として必要な能力や勤労観・職業観をしっかりと身に付けた人材を輩出し、地域社会の発展に貢献することを期待しています。

（ヒアリング担当者）

岡山県総務部総務学事課　学事班　分嶋　陽子

〒700-8570　岡山市北区内山下２丁目４－６

TEL 086-226-7198（直通）

2. 岡山県医療推進課へのヒアリング（実施日）平成30年7月26日

高齢者人口の増加、介護保険制度の利用の拡大、さらに介護予防事業の普及等により、リハビリテーションの主要な担い手である理学療法士及び作業療法士の役割は重要になっています。

専門職大学は、大学制度の中に実践的な職業教育に重点を置いた仕組みとして制度化されるものであり、産業界との密接な連携により、専門職業人材の養成強化が図られるとのことから、開学により、良質かつ適切な医療を提供できる人材の養成が強化されることを期待します。

また、社会人の学び直し等多様な学習スタイルを選択できるとのことから、医療従事者の資質向上にもつながることを期待します。

（岡山県医療推進課ヒアリング担当者）
岡山県保健福祉部医療推進課医事班　服部　正樹
TEL 086-226-7403

3. 岡山市へのヒアリング　（実施日）平成30年8月23日

岡山専門職大学の設置に関して岡山市政策局政策企画課、保健福祉局地域包括ケア推進課、保健福祉局保健福祉企画総務課にヒアリングした所、以下のご意見をいただいた。

岡山市の介護予防センターでは専門職による介護予防事業等を行っており、来年度からフレイル予防（※フレイル：健康と要介護の中間のこと）事業の実施も予定している。その際に学生の方に一緒に来て貰えるとこちらとしてもありがたいし、学生にとっても高齢者が進む社会の現状に触れる良い機会になるのではないか。地域包括ケアシステムで、高齢者に携わってくださる人は医療職に就職してからの人転職や再就職人が多いので人材が育ちにくい面もある。我々はもっともっと学生さんや学校と連携して、福祉職の魅力を発信していかなければいけないと思っている。

岡山専門職大学では従来よりもアクティブラーニングを重視されるということで、専門分野以外でも地域に関わりを持つことで、知識も広がっていくと思います。展開科目ではフィジカルな面だけでなく、メンタル面はもちろんソーシャル面の部分でも鍛えていかれるということですね。展開科目の中でも高齢者の経済論で高齢者のケアをやっていただいて、すぐに活かしていただくといった点を協力しあえれば良い。高齢者のファイナンスに関することだけでなく、オレオレ詐欺など高齢者が被害者になりやすいことや、社会との関わりをほとんど持たない男性高齢者が家にこもってしまうという問題もあるので理学療法士・作業療法士として取組を行って貰えれば良い。

岡山市は「大学生まちづくりチャレンジ事業」を実施しており、本年度は14グループが参加している。専門職大学も対象としたいと考えるので、岡山専門職大学にも参加して貰い、

岡山市・地元NPO・地元団体・企業と本山学園の学生が協働して地域活動を通じた人材育成につなげていきたい。将来的には大学の枠を越えて一緒に事業参画する部門も設ける予定であり、地域の活性化につなげる機会を創出する。大学を卒業する年代の方が極めて転出超過となっているので学生に関心を持って貰って、社会に目を向けて学生生活と社会と関わることで、岡山市への定着率が高まることを期待する。また岡山市に設置されることで、県外からの進学者が岡山市に増えること、就職で県外から移住者が県内へ定着することは喜ばしいことである。

岡山市では、岡山専門職大学の設置を歓迎する。

（岡山市ヒアリング担当者）
岡山市政策局政策企画課　地方創生・政策調整担当課長　折口　範昭氏
岡山市政策局政策企画課　地方創生担当　副主査　流尾　正亮氏
岡山市保健福祉局地域包括ケア推進課　課長　岸川　和忠氏
岡山市保健福祉局　保健福祉企画総務課　課長補佐　岡村　誠氏

（資料20）業界団体へのヒアリング
1．公益法人日本理学療法士協会　理事（岡山県選出）山根一人氏
（実施日）平成30年7月23日
理学療法士指定規則改定に入っており、それに準じた教育内容で養成できれば、質の高い理学療法士の輩出ができるのではないか。近年、理学療法士の質の低下が指摘されており、3年次の臨床実習（総合実習Ⅰ）の後に一旦ヒントや解決させる期間をおくことで、その知識や知恵を持って次の臨床実習（総合実習Ⅱ）を行える2分割のシステムはとても良いと思う。2025年までの需給をみると理学療法士不足が言われているが、医療分野では充足されてきており、福祉分野の人員不足が叫ばれている。地域包括ケアシステムの充実を目指している国の方針に準じて医療のみならず、地域、福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する。

2．一般社団法人岡山県理学療法士会　会長　國安勝司氏
（実施日）平成30年8月26日
厚生労働省の人口推移と、医療・福祉政策では2025年までは理学療法士の活躍が必要とされている。岡山県の理学療法士会員数が2,000人を超えているが、医療分野では地域の偏りがあるため、岡山県下の医療・福祉を必要とする全員に平等なサービスを提供するために、定員も妥当であると思われる。
専門職大学という名称が浸透するには時間が必要であるが、施設によっては大学卒業生を優先採用としていたり、給与面での差も生じおり、岡山専門職大学設置は理学療法士の地位向上に役立つと思われる。
地域包括ケアを推し進めている中、活躍できる人材育成に努めて欲しい。

３．岡山県リハビリテーション専門職団体　会長　國安勝司氏

（実施日）平成 30 年 8 月 26 日

専門職団体としては、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士との連携活動の中で、地域包括ケアに取り組んでいるが、人材育成の面での働きかけが重要だと認識しており期待できるのではないかと考える。

教育面では偏りをもたず、医療・福祉について広く設定し、医療人としての思考、行動等充実されることを期待する。

病院・施設内にとどまらず、活躍できる場を拡大していくことも重要で、社会性に富み、人間性の豊かな信頼のおける理学療法士の育成に努めていただきたい。

４．公益法人岡山県作業療法士会　常務執行理事　古澤潤一氏

（実施日）平成 30 年 7 月 24 日

卒業後、ただ資格取得した理学療法士、作業療法士として社会や地域に輩出するのではなく、より高度な実践力と、人間力を高め豊かな創造力を兼ね備えた卒業生を輩出される方針はたいへんに素晴らしいことであり、職能団体として協力は惜しまない。

専門学校や大学で標準的な知識や技術を修得することは可能である。岡山専門職大学は基盤ゼミなどを通じて、医療人としての学び続ける姿勢や人の基礎力を高める取り組みを実施されており、このような人材の育成は現在の社会情勢を鑑みても急務な課題であり、先進的で素晴らしいことである。

専門職大学では他分野から学ぶ科目が必修要件となっており、専門分野の知識と結び付け新たなアイディアを生み出す創造力を育成するプログラムは、他の専門学校や大学にはなく、専門職大学らしい独自の教育課程は魅力的である。また、既存の大学と同様に研究能力を修得できるため、卒業後、臨床研究などに取り組みやすくなる。日本作業療法士協会が進める生涯教育として進める、認定作業療法士や専門作業療法士といった上級資格取得を促進することにつながり、本職業全体の質向上に貢献できる。

臨床実習について臨床現場の管理者として意見を申し上げると、学生を指導するなかで、統合と解釈の理解に時間を要することが多く、十分な実技指導までに至らないことが少なくない。岡山専門職大学の総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱの間の期間に、学内で総合実習Ⅰ期の振り返りはもとより上級実習科目を設定し、総合実習Ⅱ期へ向かうといった取り組みは非常に魅力的で、総合実習Ⅱを開始する学生の水準を引き上げ、総合実習を受ける指導者も十分な臨床指導ができると同時に、卒業後の臨床現場での活躍が期待できる。

医療機関や保健施設、地域と連携し学生自身が企画しサービスを提供する取り組みは、社会性、医療人としての素養、それまでに修得した知識や技能をアウトプットして確立させるといった発想は魅力的である。当医療法人でも、積極的に活用して、患者さんへの良い刺激にしたいと思う。

昨今、作業療法士も社会的認知が高まり希望者が増加しており、今後も安定供給が可能と考えられる。しかし、どこでも同じような学校では、養成校としての未来はなく、岡山専門職大学の取り組みは他学と一線を画すため、将来構想として設置されるには納得の方針である。

岡山専門職大学（仮称）
設置構想についての事業所向け調査結果

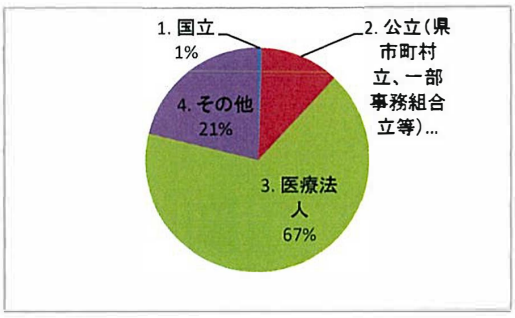
（対象）	岡山県、香川県、愛媛県、高知県、徳島県、広島県、兵庫県内にある医療機関 （病院、クリニック、介護老人保健施設等）
（送付数）	487施設
（回答数）	176件
（アンケート調査期間）	平成30年7月25日～平成30年8月20日（必着）

学校法人本山学園　法人事務局調査
2018年8月21日

岡山専門職大学(仮称)健康科学部　理学療法学科・作業療法学科(仮称)
設置構想についての事業者向けアンケート調査【設置構想中】

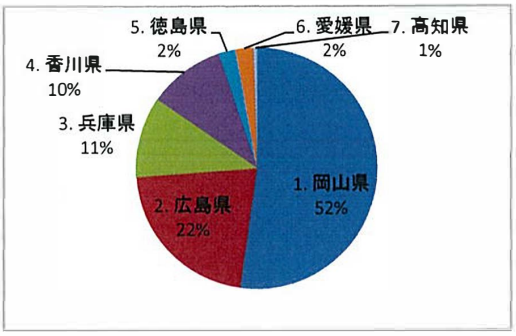
問1　貴施設の設置主体を1～4の中から1つ選び、○をつけてください。

	回答	比率（%）
1. 国立	1	0.6%
2. 公立(県市町村立、一部事務組合立等)	20	11.4%
3. 医療法人	117	66.9%
4. その他	37	21.1%
合計	175	100.0%



問2　貴施設の所在地を1～10の中から1つ選び、○をつけてください。

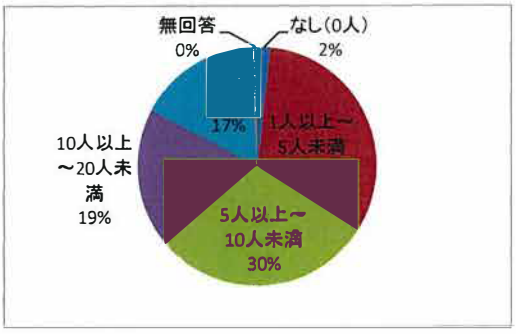
	回答	比率（%）
1. 岡山県	92	52.3%
2. 広島県	38	21.6%
3. 兵庫県	19	10.8%
4. 香川県	18	10.2%
5. 徳島県	4	2.3%
6. 愛媛県	4	2.3%
7. 高知県	1	0.6%
合計	176	100.0%



問3　平成30年4月1日現在の貴施設の①理学療法士、②作業療法士の人数(非常勤を含む)をご記入ください。

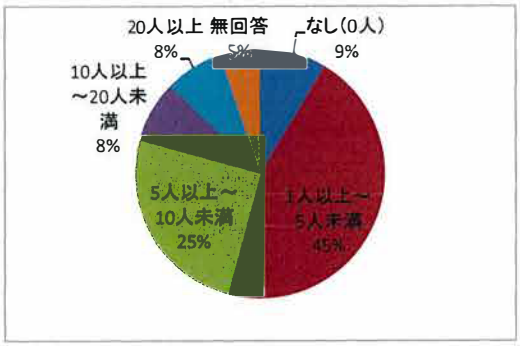
①理学療法士　職員数

	回答	比率（%）
なし(0人)	3	1.7%
1人以上～5人未満	56	32.2%
5人以上～10人未満	52	29.9%
10人以上～20人未満	33	19.0%
20人以上	29	16.7%
無回答	1	0.6%
合計	174	100.0%



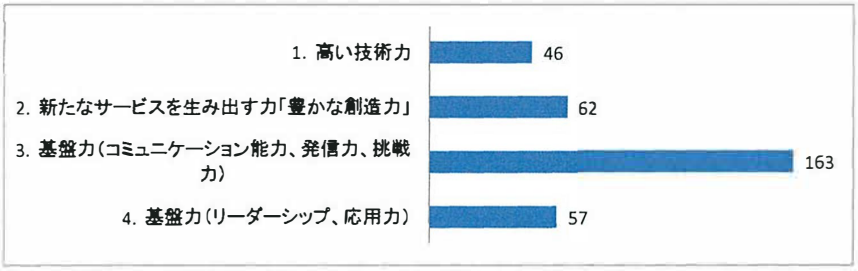
②作業療法士　職員数

	回答	比率（%）
なし(0人)	15	8.6%
1人以上～5人未満	79	45.4%
5人以上～10人未満	44	25.3%
10人以上～20人未満	14	8.0%
20人以上	13	7.5%
無回答	9	5.2%
合計	174	100.0%



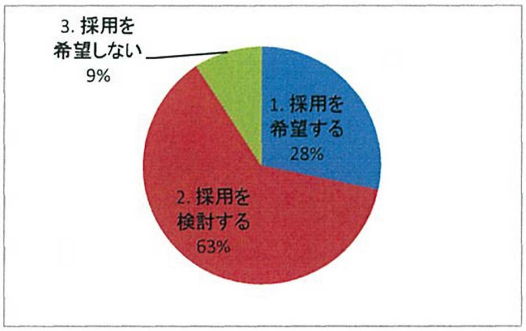
問4　理学療法士、作業療法士を採用するにあたり、重視する項目は何でしょうか。(複数回答可)

	回答	比率（%）
1. 高い技術力	46	26.4%
2. 新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」	62	35.6%
3. 基盤力(コミュニケーション能力、発信力、挑戦力)	163	93.7%
4. 基盤力(リーダーシップ、応用力)	57	32.8%



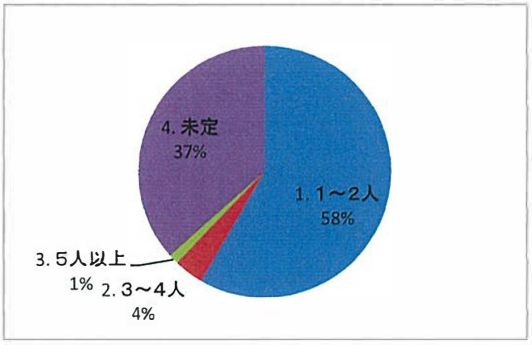
問5　本学では対象者へ思いやりと真心で対応でき、高度な実践能力と新たなサービスを創造する力を有する理　学療法士・作業療法士を育成していきます。本学卒業生の採用について貴施設のお考えにもっとも近いものを、次の1～3の中から**1つ選び**、○をつけてください。

	回答	比率（%）
1. 採用を希望する	49	28.3%
2. 採用を検討する	108	62.4%
3. 採用を希望しない	16	9.2%
合計	173	100.0%



問6　問5で「1. 採用を希望する」または「2. 採用を検討する」とご回答された場合のみ、お答えください。採用人数につきまして、次の1～4の中から**1つ選び**、○をつけてください。

	回答	比率（%）
1. 1～2人	91	58.3%
2. 3～4人	6	3.8%
3. 5人以上	2	1.3%
4. 未定	57	36.5%
合計	156	100.0%



問7　現在構想中の「岡山専門職大学(仮称)」について、ご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

(主なご意見)

・教育の質が上がることはよいことです。

・自ら考え、積極的に行動できる学生さんを多く育てていただきたい。最近すごく受身な姿勢の新入職員が目につく。

・学習意欲のある方、社会人として人格の高い方を多く育成していただきたいと思います。

・人間教育に力を入れてほしい。

・専門学校がさらに進化した養成機関とのことで実際の開校後も期待しております。

・現状通り、豊かな人間性を育てる方針を続けていただけるとありがたいです。

・介護保険改正、第8期に向け、現場でのリハより事務作業がより多くなり、訪問によるアセスメントなど、実践的な学習をされることを期待しております。

平成30年7月吉日

各施設長　様
（理学療法士・作業療法士採用ご担当者　様）

学校法人本山学園
理事長　室山　義正
公　印　省　略

学校法人本山学園による「専門職大学」開設に関する アンケート調査のお願い

貴施設におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本学園の学校運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本学園では、「岡山医療技術専門学校」において平成4年より26年にわたり、理学療法士並びに作業療法士を養成して参りました。

この度、学校教育法の改正により新たに設けられた大学種「専門職大学」では、岡山医療技術専門学校の教育をさらに進化し、新たに優れた専門知識・技能と高度な実践力を備え、高質なヒューマンサービスを生みだし、医療専門業務を主導できる人材を育成するために、岡山専門職大学（仮称）健康科学部　理学療法学科ならびに作業療法学科（仮称・設置構想中）を平成32年（20 20年）4月に開設する構想の検討を進めています。

つきましては、その開設に向けた資料とさせていただくために、事業所の皆様の教育課程への期待及び採用意向等につきましてご意見をいただきたく、別添のアンケート調査をお願いするものでございます。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、下記の要領にてご協力いただきますようにお願い申し上げます。

記

1．同封書類：岡山専門職大学（仮称）リーフレット
　　アンケート調査票
　　返信用封筒

以上

【アンケートのご回答とご返送について】
■回答締切：平成30年8月20日（月）【必着】
■提出方法：アンケートにご協力いただける場合は、**FAXでのご返信もしくは添付の返信用封筒にて、ご返送ください（切手は不要です）。**

■連 絡 先：学校法人本山学園　岡山専門職大学　設置準備室　担当：増川、十河
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供３－２－１８
TEL.０８６－２３３－８０２０　FAX.０８６－２３３－８０３０
メールアドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

«番号»（事業者）

岡山専門職大学（仮称）

健康科学部　理学療法学科・作業療法学科（仮称）　設置構想中
設置構想についての事業者向けアンケート調査
アンケート締切：平成30年8月20日（月）（必着）

【岡山専門職大学（仮称）概要】

○構想の大学：岡山専門職大学（仮称）　健康科学部　理学療法学科　入学定員80名（仮称・予定）
作業療法学科　入学定員40名（仮称・予定）

○取得学位：学士（専門職）　○開設時期：2020年4月（平成32年4月）

○開設場所：岡山県岡山市北区大供3-2-1

問1　貴施設の設置主体を1～4の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 国立　2. 公立（県市町村立、一部事務組合立等）　3. 医療法人　4. その他

問2　貴施設の所在地を1～10の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 岡山県　2. 広島県　3. 兵庫県　4. 香川県　5. 徳島県
6. 愛媛県　7. 高知県

問3　平成30年4月1日現在の貴施設の①理学療法士、②作業療法士の**人数**（非常勤を含む）をご記入ください。

①理学療法士　職員数　＿＿＿人　　②作業療法士　職員数　＿＿＿人

問4　理学療法士、作業療法士を採用するにあたり、重視する項目は何でしょうか。（複数回答可）

1. 高い技術力　2. 新たなサービスを生み出す力「豊かな創造力」
3. 基盤力（コミュニケーション能力、発信力、挑戦力）4. 基盤力（リーダーシップ、応用力）

問5　本学では対象者へ思いやりと真心で対応でき、高度な実践能力と新たなサービスを創造する力を有する理学療法士・作業療法士を育成していきます。本学卒業生の採用について貴施設のお考えにもっとも近いものを、次の1～3の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 採用を希望する　2. 採用を検討する　3. 採用を希望しない

問6　問5で「1. 採用を希望する」または「2. 採用を検討する」とご回答された場合のみ、お答えください。採用人数につきまして、次の1～4の中から**1つ選び**、○をつけてください。

1. 1～2人　2. 3～4人　3. 5人以上　4. 未定

問7　現在構想中の「岡山専門職大学（仮称）」について、ご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。　FAX:086-233-8030

OPEN CAMPUS
専門職大学　説明会開催！！

新しい大学で、ワンランク上の
理学・作業療法士を共にめざしましょう！

7/28（土）　8/8（水）　8/25（土）　9/15（土）　9/30（日）

時間 9:00-12:30（受付8:30より）　参加無料　要予約



当日の流れ

- 8:30〜 受付
- 9:00〜10:00 全体・学科説明
- 10:10〜11:15 体験授業
- 11:20〜12:20 施設見学｜個別相談
- 12:30 終了予定

参加者の声！

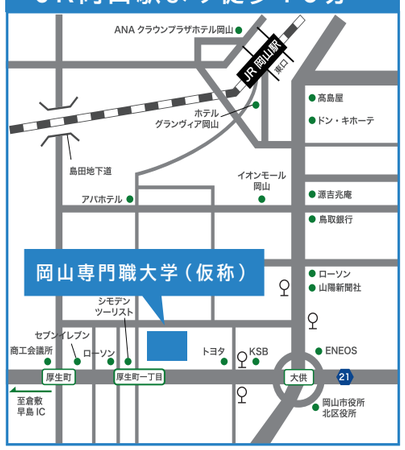
「OPUでの学びにとても興味を持ちました」S.Mさん
「OPU進学希望者の人たちと会話ができ、楽しかった」A.Hさん
「リハビリ系の体験内容が充実していて、参考になった!」Y.Mさん
「教職員の皆さんが優しく対応してくれて良かった」M.Yさん
「参加するか悩んでましたが、参加して本当に良かったです!」Y.Tさん







JR岡山駅より徒歩10分



JR岡山駅からのアクセス方法

- 徒歩　『JR岡山駅』東口から南へ徒歩10分
- 車　『JR岡山駅』より5分
- タクシー　岡山ICより20分／早島ICより22分
- バス
  - ●岡電・両備・下電バスで中庄・倉敷方面行き『大供』下車すぐ
  - ●市役所方面行き『山陽新聞社前』下車、徒歩2分
  - ●循環バスめぐりんで『山陽新聞社・TSC前』下車、徒歩2分

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。



患者さまと医療現場
どちらからも選ばれる
理学療法士・作業療法士に

岡山専門職大学[OPU]（仮称）

2020年4月岡山市中心部に開学（予定）

健康科学部

設置構想中

- ●理学療法学科（定員80名）
- ●作業療法学科（定員40名）

学校法人本山学園

お問い合わせ　岡山専門職大学（仮称）開設準備室
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供3-2-18
http://isen-u.ac.jp/TEL.（086）233-8020
学校見学・相談　月〜金曜日（祝日除く）9:00〜16:00（要予約）

効果的・先進的な実習の段階的教育システムの大学で学ぶ。

～新しく、より効果的なスタイルの教育課程で、高度な実践力と創造力を身につけ、
ワンランク上の理学療法士・作業療法士を育成する～

岡山専門職大学とは？（仮称・設置構想中）

効果的、先進的な実習教育システムを備えた専門職大学です。
単なる理学療法士・作業療法士ではなく、高度な実践力と豊かな創造力が身につきます。

学部：健康科学部
学科：理学療法学科（80名）
　　作業療法学科（40名）
学位：理学療法学士（専門職）
　　作業療法学士（専門職）

臨床実習が充実！

高度な実践力

即戦力の理学・作業療法士へ

OPUだから、卒業後のレベルが違う！

基盤力・創造力・実践力の3つの力を伸ばす教育

他リハビリ系大学：基礎科目、（職業）専門科目、臨床実習

岡山専門職大学：基礎科目、職業専門科目、臨床実習 ＋
- 基盤的資質を鍛える：基盤ゼミ
- 新たなサービスを創造する力：展開科目
- 高度な実践力：上級治療実習

▼

ワンランク上の理学療法士・作業療法士になれる！

▲

上級治療実習 ～総合実習Ⅱとのシナジー効果でより高度な技術が身につく～

3年次に実施する総合実習Ⅰ（臨床実習）では、臨床現場を体験し、自分の興味のある分野（疾患）と課題を見つけます。4年次の上級治療実習では、自分の関心のある分野の実習を選択し、自分の興味を深めると共に課題を解決し、強みに変えていきます。この上級治療実習（学内）とその後に実施する総合実習Ⅱのシナジー効果（相乗効果）で1段上の実践技術を修得することができる本学独自のプログラムです。

3年次：総合実習Ⅰ（課題を発見）

この2つの実習でシナジー効果！！

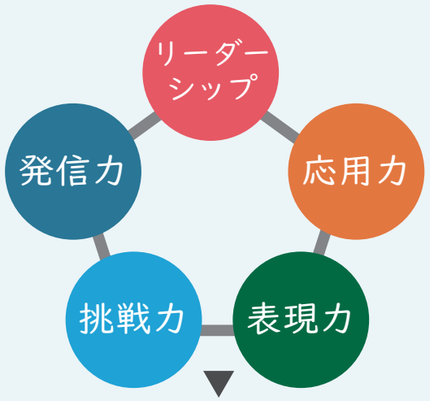
4年次：上級治療実習（課題解決・強みの拡大） ＋ 総合実習Ⅱ（実践）

3大サポート

- 就職サポート
- キャンパスライフサポート
- 国家試験サポート

5つの力を基盤に、創造力を鍛える！

自分自身をアップデートする力を備える







豊かな創造力

新たなサービスを生み出す力

基盤ゼミ ～基盤的資質を鍛える、少人数制ゼミ～

4年一貫して教育を行う、少人数制のゼミ。学年ごとに特定のテーマと内容を設定し、自立した社会人・責任感を備えた創造性豊かな医療人としての基盤的資質を養う、本学独自の教育システムです。

- 1年次：・自己の将来像の明確化 ・人間性や職業倫理を涵養 ・キャリア形成
- 2年次：・論理的思考力と問題解決能力の錬磨 ・思考力、創造力、学習志向性を鍛える
- 3年次：・プレゼンテーション力とリーダーシップの錬磨 ・自己表現力と発信力を鍛える
- 4年次：・持続的な自己成長のテクニック、生涯学習力を育む

展開科目 ～新たなサービスを生み出す力～

革新的サービスの創出 ＋ 暖かみのあるサービスの創出

▼

地域社会を牽引する懐の深い人材



※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。



健康科学部

最新の専門知識と高度な実践力及び研究スキルを備え、人を思いやる心と豊かな創造力を身につけます。医療現場や地域包括ケアシステムの中で、即戦力として活躍し、関連職種と連携しつつ、専門業務を主導できる人材を育成します。

理学療法学科　定員80名

高度な知識・技能を持ち、チーム医療を支える理学療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）理学療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 理学療法学士（専門職）



作業療法学科　定員40名

職業現場を牽引し、多様化する社会のニーズに応えられる作業療法士の育成

◆ 取得資格
- （国）作業療法士（受験資格）[指定申請予定]
- キネシオテーピングトレーナー
- 福祉住環境コーディネーター

◆ 取得学位
- 作業療法学士（専門職）



キャンパス紹介

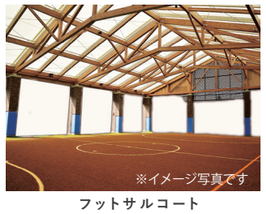


岡山専門職大学（仮称）新校舎2018年12月完成予定

1クラス40人以下の少人数制で学べる、新しいキャンパス！
本館に屋上庭園、学生大ラウンジ、新体育館（フットサルコート）も新設！


大教室


普通教室



フットサルコート


スポーツトレーニングルーム


学生大ラウンジ


図書館


スカイホール


木工・金工・陶工室


機能訓練室


織物・絵画室

＜新館＞

○新図書館
- 蔵書1万冊以上
- ディスカッションルーム2室完備

○スチューデントホール
- 各階に憩いのスペースを完備

○講義が聞きやすい階段教室
- 全教室対応

○全フロア Wi-Fi対応



＜専門職大学とは＞

専門職大学は、職業現場の意見を教育課程に取り込む実践的教育を実施し、高度な「実践力」と新しいサービスを創り出せる豊かな「創造性」を備えた人材を養成する高等教育機関です。

専門職大学と大学・専門学校 特徴の比較

大　学	専門職大学	専門学校
興味のある分野を深く学ぶ	めざす職業に必要な知識を豊富な実習で学ぶ	めざす職業に必要な技術を身につける
本格的な施設や設備で研究を行える	現場の意見を反映させたカリキュラムで学ぶ	就職に直結した、専門的な分野の学びができる
さまざまな教養を身につける	現場経験豊富な教員から教わる	仕事に必要な資格取得をめざす
仕事に必要な資格取得をめざす	独自の展開科目を学べる	現場で直接必要なことを学べる
学士を取得	仕事に必要な資格取得をめざす	
	学士（専門職）を取得	
	就職へ直結する学びを行うので就職に有利	

	大　学	専門職大学	専門学校
修業年限	4-6 年	4 年	1-4 年
めざす教育	幅広い教養や、学術研究の成果に基づく知識・理論を身につける	専門業務を牽引でき、新たなサービスなどをつくり出せる人材を育成する	特定職種の実務に直接必要となる知識や技術を身につける
学びの特色	幅広いテーマやものの見方や考え方を学ぶ	高度な実践力と変化に対応できる創造力を学び、即戦力の人材となる	即戦力になれる技能や知識を学ぶ
授業の内容	専門的な研究のほか、一般教養を学ぶ授業もある	現場のニーズを取り込み、現場と連携した授業で学ぶ	仕事に必要な知識を中心に学ぶ
実習の内容	充実したゼミなどを選択可能	医療施設や企業などで実習が行える（現場実習）	実際の現場での実習や体験授業で技術を身につける
教員	1 つの学問に精通した教員が多数在籍	4 割以上が業界経験のある実務家教員	その分野の仕事に熟知した教員が在籍

岡山専門職大学は就職に強い！

岡山専門職大学では、通常の大学で学ぶ基礎科目、（職業）専門科目に加え、独自の展開科目と総合科目を学び、4 年次では上級治療実習を行うことで、ワンランク上の人材になることができます。高度な実践力と豊かな創造力を身につけて卒業できるため、医療現場の人事担当者からも歓迎されています。



学費

※臨地実務実習費は学納金に含まれます。

学　部	学　科	入学金	学納金	1 年次合計
健康科学部	理学療法・作業療法学科	300,000 円	1,460,000 円	1,760,000 円

奨学金サポート

本山学園奨学金

ランクA 100万円　ランクB 30万円　ランクC 20万円　ランクD 10万円

AO入試合格者に支給します。

成績優秀者奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　ランクA 45万円　ランクB 23万円

経済支援奨学金

経済的理由により、就学が困難な者に対し、支給する。（住民税・所得税非課税世帯）　25万円

親族割引奨学金

成績優秀者（年間成績上位者）に支給します。　20万円

スポーツ奨励奨学金

スポーツにおける全国規模で開催される大会（インターハイ、国体他）出場経験者等で、AO 入試など専願制入試合格者に支給します。　5万円

キャリアアップ支援奨学金（社会人対象）

本学指定の国家資格の免許を有する者で AO 入試など専願制入試合格者に支給します。（下記本校指定国家資格対象）　10万円

※理学・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士・看護師・あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・社会福祉士・介護福祉士・薬剤師・柔道整復師・歯科衛生士・歯科技工士・臨床検査技師・臨床工学技士・診療放射線技師・視能訓練士・救急救命士

※設置構想中のため、予定であり変更となる場合があります。

（別紙 4）基盤ゼミ・研究関係シラバス（新旧対照表）

（新）　　（削除）

（旧）

科目名	基盤ゼミⅠ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期 単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：自己の将来像を明確にし、自ら学ぶ姿勢と社会人としての倫理を涵養し、豊かな人間力を身につける。

到達目標：自己の将来像を明確にすることや、自ら学ぶ姿勢を養う。また、社会人として他者の人格を尊重し、人間味あふれる思いやりと誠実さの必要性を学ぶ。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ゼミ・ガイダンスを行い、基盤ゼミの趣旨の説明、各自の自己紹介とゼミでの取り組みについて発表を行う。
2	自己の将来像について討論する。
3	自己の将来像について発表する。
4	大学におけるコンプライアンスについて、討論し、学生であると同時に社会の一員としての自覚をもって行動することの重要性を学ぶ。
5	社会人としての信頼関係の重要性を学ぶ。
6	自己評価をまとめると同時に、メンバーに対する評価を準備し、それを材料に討論し、自己の言動が他者から見てどのように映るかを認識する。
7	職業人として必要な行動などについて各自の意見を発表し、討論する。
8	専門職として必要な職業倫理について各自の意見を発表し、討論する。
9	このゼミで学んだことを各自レポートにまとめ、日常的に実行できるかどうかについて自己評価、それを発表して討論する。
10	各自がまとめたレポートに基づき、担当教員が、ゼミの総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

(新)　**※「基盤ゼミⅡ」・「基盤ゼミⅢ」の内容を統合し「基盤ゼミⅠ」・「基盤ゼミⅡ」を再編成した。**

科目名	基盤ゼミⅠ			担当者	動使川原匡 他4名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

基盤ゼミ1では、少人数編成のプレゼン教育を活用して、担当教員が準備する急激に変化する時代を生き抜くための課題群から学生が選択し、課題のあるべき姿と現実、その原因と解決策のオプションをまとめ、さらに最善の解決策へと絞り込んでいく思考過程を身につけていく。ゼミメンバーを2グループに分け、グループごとに課題を素話める作業を行い、教師が議長となりプロ（賛成）とコン（反対）に分かれて討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることで、問題への認識を深め、より洗練された解決策を見出していくという方法をとる。
到達目標：①課題についての問題意識を明確にする。②課題の問題点を明確にできる。③課題の解決に向けての選択肢を示し、最善の選択肢を選ぶことができる。④課題に関して説得力ある形で人に伝える発信力とコミュニケーション力を身につける。⑤効果的なプレゼンテーションの組み立て方法を修得する。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	学生が課題を選択する（なぜその課題を選択するのか問題意識を明確にする。）
2	学生が課題に対して理想とする姿や状態を創造し明示する。
3	課題の現状について問題点を明確にする。
4	問題の所在を明らかにしその原因を探究する。
5	課題解決のための複数の選択肢を探究する。
6	選択肢を比較検討して最善の解決策を提示する。
7	課題を解決する具体的行動を促す手段を検討する。
8	グループごとに考えた内容を発表形式にまとめる。
9	実際に発表を行いその成果を検証する。
10	学生のこれまでの意見を踏まえ教員が総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法
課題レポート（50%）発表（40%）その他（10%）	課題レポート、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容によって総合的に判断する。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

(旧)

科目名	基盤ゼミⅡ			担当者	動使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：与えられたテーマについて、報告し、討論を重ね論理的思考力と表現力を身につける。

到達目標：与えられたテーマについて、自己の意見を伝えるための表現力を身につける。また、相互に報告・討論を重ね、論理的思考力を鍛え、持続的な学習志向性を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門職に必要な「思考力」「創造力」「学習志向性」について討論する。
2	自己の内省に必要な観点とは何かを討論する。
3	講義1・2で討論した結果をまとめ発表する。
4	「職業人として必要な力とは」をテーマに自らの考えをまとめ、討論する。
5	第4回講義の結果を受けて、自らに必要な「力」とは何かをまとめ、討論する。
6	「継続する力を保つために必要なこと」をまとめ、討論する。
7	「自らの考えを正確に伝えるには」をまとめて発表し、討論する。
8	これまでのゼミ活動に対して自己評価を行い、メンバーに対する評価を準備し、それを材料に討論し、自己の考えを正確にやり取りできたかを確認する。
9	このゼミで導かれた結論をレポートにまとめ、自己評価し、それを討論する。
10	各自がまとめたレポートに基づき、担当教員がゼミの総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、コミュニケーション能力、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

(新)　**※「基盤ゼミⅡ」・「基盤ゼミⅢ」の内容を統合し「基盤ゼミⅠ」・「基盤ゼミⅡ」を再編成した。**

科目名	基盤ゼミⅡ			担当者	動使川原匡 他4名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

基盤ゼミⅠで修得した、問題の核心を特定し最善の解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択した課題に基づき、必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表する。自ら学ぶ姿勢を丁寧に鍛え、問題の核心を認知し、問題を掘り下げ、自ら必要なデータを調査し、論理的な思考過程を通して、最善の解決策を見出していく能力を育成する。教師が議長となり、各人のプレゼンテーションについてブロコン・メソッドで討議し、さらに立場を変えて討論を重ねることでより洗練された解決策を見出していくという方法をとる。　到達目標：①課題を発見し、問題を特定することができる。②問題を掘り下げるために必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめることができる。③本格的なプレゼンテーション形式で課題の解決策を提示することができる。④自ら学び、調べ、解決策を探究する学修姿勢と力を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	学生が自ら選んだ課題とその問題意識を発表する
2	それぞれの課題について必要となる資料収集や効果的な図表の準備について議論し方針を明確にする
3	自己の発表準備の進捗状況について経過報告し他者から意見をもらい発表の順番を決定する
4	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第1組)
5	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第2組)
6	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第3組)
7	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第4組)
8	発表と討議の結果を反映して、さらに効果的な発表にまとめる①
9	発表と討議の結果を反映して、さらに効果的な発表にまとめる②
10	教員が総括を行う

成績評価の方法・基準	試験の方法
課題レポート（50%）発表（40%）その他（10%）	課題レポート、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容によって総合的に判断する。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

(旧)

科目名	基盤ゼミⅢ			担当者	動使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：自ら選んだテーマに基づいて、メンバーに行動を促すためのプレゼンテーションを準備・実行し質疑応答を行うなかで、メンバーが納得する自己表現力とリーダシップを養う。

到達目標：専門職業人として必要となるプレゼンテーションスキル（明確な構成と根拠のある主張を展開できる論理性、わかりやすく伝えられる発信力）を養う。そして、他者の理解に配慮し建設的な議論を促す質疑応答ができる即興力、自己表現力を養う。また、協同学習を行うことで状況に応じた役割を理解しながらゼミ活動を牽引するリーダーシップを養う。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業のガイダンスを実施し、基盤ゼミⅢの説明および到達目標を理解する。学習の骨幹となるテーマを決定し、いくつかのアイディアを練りその概要をイメージしまとめる。
2	自ら選んだいくつかのテーマについて発表し他者の意見を取り入れ今後の学習テーマを選定する。
3	学習テーマの概要をまとめて発表し、他者の共感をえる発表を行う。
4	学習テーマと地域社会や身近な生活とのつながりを見出し発表し討論する。
5	学習テーマをもとに見出した社会的課題を焦点化し、精査された学習テーマを創出する。
6	課題解決策を見出すために援用できる理論や先行事例を抽出しその応用について考える。
7	学習テーマをもとに具体的な課題解決策を考案し、プレゼンテーション資料を作成する。
8	メンバーと最終報告に向けた中間発表を行い、内容の改善点について討論する。
9	自ら選んだテーマにおける学習成果を報告し、他者評価によりその成果を測る。
10	他者の報告と自身の報告との共通点を見出し、新たな相乗効果が期待できる課題解決プランを模索し討論する。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

（削除）

（旧）

科目名	基盤ゼミⅣ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：興趣に富んだ人物を選びその生涯の事績を学ぶことで持続的な自己成長を続ける姿勢を身につけるとともに、目標や志を持った生き方の意味と重要性を学ぶ。

到達目標：一連の学習を行うことで専門職業人として必要となる自己分析力を身につける。前向きな姿勢で、さらなる成長を目指し、他者の生涯を参考に生涯にわたり自らを向上させる基盤的資質を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業のガイダンスを実施し、基盤ゼミⅣの説明および到達目標を理解する。今後の授業における学習プランを策定する。
2	興趣に富んだ人物の選定および分析に必要な観点を討論し、学習に必要な着眼点を整理しワークシートを自ら作成する。
3	身近な興趣に富んだ人物を選定しワークシートに基づき分析を行い、シートの修正案について討論し着眼点を深める。
4	興趣に富んだ人物を選定しその面白みについて発表しその思想観について議論し職業人としてのアイデンティティを高める。
5	第4回講義で選定した人物の事績を分析し発表を行い専門職業人としての感性を養う。
6	新たな興趣に富んだ人物を選定しその思想観や事績を分析し発表を行い、その人物について議論する。
7	これまで取り上げた人物の共通点や相違点を抽出し討論することで自身の自己成長に必要な志や感性を養う。
8	学んだ自己成長に必要な志や感性をもとに現在の自己を分析し、今後身につけたい能力と必要な実践について発表し討論する。
9	ゼミの仲間の事例を題材にし、他者の成長を促す経験を示すことで自己成長に必要な分析力を養う。
10	5年後の自分を想像し、自己成長プランを策定し他者に意見を聞く。/担当教員が総括する。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	テーマ設定と研究方法			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床現場で働くためになぜ研究マインド・研究スキルを身に付ける必要があるかを理解し、社会や対象者が抱える課題解決に寄与できる可能性を探ることができる。
到達目標：①研究テーマを設定する手順を理解する。②研究手法について理解することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究の必要性と意義（なぜ研究マインド・研究スキルが必要か/研究の意義）
2	研究倫理の意義（研究活動で求められる倫理観とその姿勢）
3	研究の目的と進め方（研究目的と論文提出までの流れの理解）
4	理学療法（作業療法）分野とその関連分野に関する研究の動向
5	文献検索および先行研究の系統別分類
6	研究テーマの設定方法（現場での気付きをどのように研究テーマに繋げるか）
7	研究手法の設定 I：目的による類型と手法による類型の違い
8	研究手法の設定 II：研究に用いられる調査・データ収集の方法
9	研究手法の設定 III：データ分析の方法（量的・質的分析）
10	期待される成果の予測（仮説通りの結果及び仮説に反する結果の解釈）

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験にて判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献：講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	テーマ設定と研究方法			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：研究を開始するにあたって、基礎知識を備えることが重要である。研究手法や方法、手順、またその発表の方法について、知識を学ぶ。また、臨床や地域の課題をテーマ設定する際の手順とその基礎を学ぶ。
到達目標：①研究に親近感を持つ。②理学療法研究の方法としてどのようなものがありうるかを理解する。③研究発表の最低必要条件を理解する。④研究テーマの設定について理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション・研究テーマ検討
2	研究テーマ検討・設定
3	先行研究論文検索
4	先行研究論文検索
5	先行研究論文検索・先行研究論文検討
6	先行研究論文検索・先行研究論文検討
7	研究テーマ決定
8	研究方法について（量的・質的研究等）
9	研究方法について（質的研究とは）
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
課題提出状況・研究計画書の内容から総合的に評価する。	レポート課題（再試験も同様とする。）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
研究計画の策定・文献の検索、収集・研究テーマ検討等、講義の進行に応じて主体的に取り組むこと	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献：指定なし

（新）

科目名	研究デザイン			担当者	小林隆司　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：各分野の指導教員のもと、研究計画の立案を通して、研究を実施するための必要な知識を段階的に獲得していく。具体的には、緒言、研究方法、結果及び考察というセクション別で、重要なポイントを学んでいく。
到達目標：研究の背景から予測される成果まで論理的に説明し、研究を実施するための研究計画を立案することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/研究デザインについて（概説）
2	研究計画全体の構成法（緒言、方法、結果、考察、参考文献）
3	研究計画の立案 I：緒言（研究の背景；研究立案に際してのこれまでの経緯）
4	研究計画の立案 II：緒言（先行研究の紹介及びその導入）
5	研究計画の立案 III：緒言（研究課題を設定する際の疑問点、課題点の位置づけ）
6	研究計画の立案 IV：緒言（研究の目的と仮説の設定）
7	研究計画の立案 VI：研究手法（同意書の取得から研究実施における具体的手順）
8	研究計画の立案 V：研究手法（正規分布または非正規分布に基づいた統計処理の選定）
9	研究計画の立案 VI：結果（期待される成果とその学術的意義）
10	研究計画の立案 VII：考察（結果の解釈）及び総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
なし	

参考文献：講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	研究デザイン			担当者	勅使川原匡　他8名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「テーマ設定と研究方法」と連動して研究手法や方法、手順やその発表等を実際に行い、研究デザインを固めるために予備研究等の演習を行う。ゼミ形式で、指導教官の下に、グループディスカッションやアクティブラーニングの手法をとる。「総合研究 I 」がスムーズに行えるよう研究デザインを作成する。
到達目標：①研究手法や方法、手順を確認できる。②研究デザインが作成できる。③研究についてのディスカッションができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	研究デザインと倫理的配慮（倫理綱領/倫理的配慮/研究の説明と同意について）
3	研究の流れと研究計画
4	研究計画書に必要な事項
5	基本的な研究デザイン（シングルケース:ABデザイン/ABAデザイン/ABABデザインなど）
6	実験研究のデザイン(比較研究・観察研究など)
7	研究計画書の作成
8	研究計画書の作成
9	研究計画の修正および変更の仕方
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
課題提出状況・研究計画書の内容・筆記試験から総合的に評価する。	筆記試験80%　提出物20%
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
研究計画の策定・文献の検索、収集・研究テーマ検討等、講義の進行に応じて主体的に取り組むこと	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献：指定なし

（新）

科目名	総合研究Ⅰ			担当者	勅使川原匡　他5名		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：学生が設定しようとする研究テーマについて、先行研究の把握（論文抄読）とその要約・レビュー、実現可能な研究計画書の作成演習（倫理委員会での審査を含む研究手法の組み立てとその手順）を通じて、論文執筆演習を段階的に行う。

到達目標：①実際の研究テーマに沿った、先行研究の要約・レビューができる。②研究計画書の作成ができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/研究論文執筆演習（研究立案から研究開始までの研究計画）
2	緒言の執筆演習 I（研究の学術的背景）
3	緒言の執筆演習 II（先行研究の選定及び論理的展開とその列挙）
4	緒言の執筆演習 III（研究目的を設定する際の疑問点、課題点）
5	緒言の執筆演習 IV（研究の目的及び仮説の設定）
6	研究方法の執筆演習 I（被検者数、身体的特徴）
7	研究方法の執筆演習 II（同意書の取得及び調査・実験に関する方法・手順）
8	研究方法の執筆演習 III（統計処理；パラメトリック、ノンパラメトリック検定）
9	期待される結果の執筆演習（仮説通りの結果及び仮説に反する結果の取り扱い）
10	緒言から期待される結果までの整合性のチェック

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に取り組むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献：講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	総合研究Ⅰ			担当者	勅使川原匡　他8名		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、3年前期までの総合的な学びと「テーマ設定と研究方法」を基に、障害や地域の諸問題に関するテーマについて議論し、実際に研究デザインを計画・実行し進める。なお、本講義はゼミ形式で行うため、講義時間などは指導教官の指示に従うこと。

到達目標：①テーマを適切に設定できる。②研究に必要な文献レビューができる。③研究計画を適切に立案できる。④研究デザインをプレゼンテーションできる。

【授業の方法】

ゼミ形式（10名程度）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究デザインから論文執筆までの一連の流れ
2	ヒトを対象とした研究遂行
3	動物を対象とした研究遂行
4	研究倫理と同意書（障害や地域の諸問題）
5	予備実験の設定①（被験者の仮設定）
6	予備実験の設定②（実験場所・設備の確認）
7	予備調査の設定①（質問用紙の作成）
8	予備調査の設定②（対象集団の仮選定）
9	期待される結果①（データ処理の至適検討）
10	期待される結果②（現象の抽出）

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
研究計画書（指導教官の認証を得たものに限る）	研究計画書提出（指導教官の認証を得たものに限る）

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	研究についてのディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献：必要時に配布する。

（新）

科目名	総合研究Ⅱ			担当者	勅使川原匡　他5名		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：総合研究Ⅱでは、総合研究Ⅰでの執筆演習を受けて、実際に遂行中の研究精度を吟味し、研究結果を解釈しまとめる。各種専門領域別の担当指導教官の下、実施中の研究とその確認（研究計画の修正及び追加実験等の必要性）を段階的に行う。具体的には、学生が設定した研究テーマについて、①先行研究における要約の妥当性、②テーマに沿った疑問点、問題点及びそれに伴う仮説の適切性、③研究方法の透明性、④統計処理の有効性、⑤結果の解釈に伴う科学的根拠の信頼性等について議論し、研究の精度を高めていく。

到達目標：①論文の骨格を明確にする。②科学的根拠に基づいた研究結果の解釈ができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/論文執筆への手順
2	緒言の執筆 I（研究の背景における適切な明示）
3	緒言の執筆 II（先行研究に基づく科学的根拠の紹介及び選定）
4	緒言の執筆 III（課題点の明確な説明と研究の目的及び仮説の設定）
5	研究方法の執筆 I（被検者数、身体的特徴等の正確な記載）
6	研究方法の執筆 II（調査並びに実験の方法・手順、統計処理の具体的表示）
7	結果の執筆 I（研究結果に基づいた適切なデータ図表の作成）
8	結果の執筆 II（作成したデータ図表に基づく顕著な結果の記載）
9	考察の執筆（先行研究と本研究とにおける類似点の科学的根拠の対照）
10	緒言から考察及び参考文献の整合性のチェック

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に取り組むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定なし	随時紹介

参考文献：講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	総合研究Ⅱ			担当者	勅使川原匡　他8名		必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、3年後期までの総合的な学びと各疾患や各地域の諸問題に関する研究デザインを基に、ゼミ形式で議論を繰り返し行い、研究結果を統合・解釈し、卒業論文を作成する。また、卒業論文発表に向けての準備、プレゼンテーション力を育成する。なお、本講義はゼミ形式で行うため講義時間などは指導教官の指示に従うこと。

到達目標：①研究デザインに沿って、論文作成を進めることができる②適切に論文について、討議ができる。③自主的に論文レビューができ、系統的に考察できる。④卒業論文を進度に応じてプレゼンテーションできる。

【授業の方法】

ゼミ形式（10人程度）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究指導１　（研究の進め方ガイダンス・研究方法指導）
2	研究指導２　（研究機器使用説明・研究実施について）
3	研究指導３　（研究実施について１）
4	研究指導４　（研究実施について２）
5	研究指導５　（研究実施について３）
6	研究指導６　（論文指導・結果のまとめ方１）
7	研究指導７　（論文指導・結果のまとめ方２）
8	研究指導８　（論文指導・結果のまとめ方３・研究報告会プレゼンテーション指導１）
9	研究指導９　（論文指導・研究報告会プレゼンテーション指導２）
10	研究指導１０　（論文指導・研究報告会プレゼンテーション指導３）

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
報告発表会の内容にて判断する。	論文進捗状況の発表と内容にて判断する。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	研究についてのディスカッションを自主的に行う。 発表の内容・スライド・に関しては事前に指導教官に相談し承認を得ること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献：必要時に配布する。

（別紙5）平面図

① （別紙5）平面図

② （出典）学校法人本山学園

③ その他

校舎内の図面のため安全面を考慮し、平面図を省略する。

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000001	標準皮膚科学　第10版　/ Standard Textbook	橋本隆	医学書院	8000円
00000002	標準外科学　第14版　/ Standard Textbook	北野正剛	医学書院	8500円
00000003	標準臨床検査医学　第4版　/ Standard Textbook	高木康	医学書院	6500円
00000004	標準薬理学　第7版　/ Standard Textbook	飯野正光	医学書院	6500円
00000005	標準解剖学　/ Standard Textbook	坂井建雄　執筆	医学書院	9000円
00000006	標準細胞生物学　第2版　/ Standard textbook	近藤尚武	医学書院	5400円
00000007	標準生化学　/ Standard Textbook	藤田道也　執筆	医学書院	5000円
00000008	標準免疫学　第3版　/ Standard textbook	宮坂昌之	医学書院	7500円
00000009	標準麻酔科学　第7版　/ Standard Textbook	稲田英一	医学書院	5200円
00000010	標準精神医学　第7版　/ Standard Textbook	尾崎紀夫	医学書院	6500円
00000011	標準小児科学　第8版　/ Standard Textbook	原寿郎	医学書院	8800円
00000012	標準産科婦人科学　第4版　/ Standard textbook	岡井崇	医学書院	8200円
00000013	標準脳神経外科学　第14版　/ Standard Textbook	新井一	医学書院	7000円
00000014	標準小児外科学　第7版　/ Standard Textbook	上野滋	医学書院	7000円
00000015	概説理学療法　第2版　理学療法の原点とその展開	有馬慶美　編集	文光堂	5000円
00000016	運動療法のための運動器超音波機能解剖拘縮治療との接点 WEB動画付き	林典雄　著	文光堂	5500円
00000017	運動の成り立ちとは何か　理学療法・作業療法のためのBiNI Approach	舟波真一	文光堂	6300円
00000018	運動のつながりから導く肩の理学療法	千葉慎一　編集	文光堂	4000円
00000019	PT・OTのための高次脳機能障害ABC	網本和　編集	文光堂	5500円
00000020	PT・OTのための生理学テキスト	安藤啓司　著	文光堂	3000円
00000021	PT・OT・STのための気道吸引実践マニュアル アセスメントから気道吸引まで	平林弦大	文光堂	2500円
00000022	病理組織マップ&ガイド	深山正久　編集	文光堂	5500円
00000023	寄生虫学テキスト　第3版	上村清	文光堂	5000円
00000024	理学療法から診る廃用症候群　基礎・予防・介入	奈良勲	文光堂	6000円
00000025	理学療法研究の進めかた　基礎から学ぶ研究のすべて	森山英樹　編集	文光堂	5200円
00000026	理学療法・作業療法のための実践編BiNI Approach　運動の成り立ちから導く，治療をシンプルにする法則性	舟波真一　編集	文光堂	7000円
00000027	理学療法士のための在宅療養者の診かた　評価をプログラムに反映させる	杉元雅晴　編集	文光堂	3800円
00000028	脳卒中後の運動機能回復レビュー　PT・OTが知っておきたい基礎知識	今井樹　著	文光堂	3600円
00000029	パリス・アプローチ　腰，骨盤編　評価と適応	佐藤友紀　著	文光堂	5000円
00000030	パリス・アプローチ　実践編　徒手理学療法の試み	佐藤友紀　著	文光堂	7000円
00000031	運動療法学　第2版　障害別アプローチの理論と実際	市橋則明　編集	文光堂	7000円
00000032	脊髄損傷理学療法マニュアル　第2版	岩崎洋　編集	文光堂	6500円
00000033	高次脳機能障害に対する理学療法	阿部浩明　編集	文光堂	6000円
00000034	理学療法士のための物理療法臨床判断ガイドブック	木村貞治　編	文光堂	7000円
00000035	実学としての理学療法概観	奈良勲　編集主幹	文光堂	7000円
00000036	実学としてのリハビリテーション概観　理学療法士・作業療法士のために	奈良勲　編集主幹	文光堂	3000円
00000037	筋骨格系理学療法を見直す はじめに技術ありきの現状から，どう新展開するか	対馬栄輝　編	文光堂	7000円
00000038	ケースで学ぶ徒手理学療法クリニカルリーズニング	藤縄理　編集	文光堂	5800円
00000039	イラストでわかる高齢者の生活機能向上支援 地域ケアでの実践と手法の活用	山田実　編著	文光堂	3000円
00000040	認知症の標準的解釈とリハビリテーション介入	金谷さとみ　著	文光堂	3000円
00000041	姿勢制御と理学療法の実際	淺井仁	文光堂	8600円
00000042	神経症候障害学　病態とエビデンスに基づく治療と理学療法	内山靖	文光堂	7500円
00000043	練達PTタケトミのからだの動きの診かたポイントとコツ 実践理学療法評価	武富由雄　著	文光堂	6500円
00000044	絵でみる老人介助の基本テクニック　第2版 あなたのケアを活かし，評価する199のチェックポイント	大渕律子	文光堂	3000円
00000045	スタンダード生理学　第3版	二宮石雄	文光堂	4500円
00000046	スタンダード微生物学　第2版　保健微生物学・感染症学	土肥義胤	文光堂	5000円
00000047	スタンダード病理学　第4版	沢辺元司	文光堂	7200円
00000048	目の不自由な方を誘導するガイドヘルプの基本　第2版初心者からベテランまで	村上琢磨	文光堂	3200円
00000049	人間ドック健診フォローアップガイド	山門實　編	文光堂	2800円
00000050	症候障害学序説　理学療法の臨床思考過程モデル	内山靖　著	文光堂	1800円
00000051	健康づくりへのアプローチ　第4版生活習慣病の予防 生活習慣改善マニュアル	石川兵衛　著	文光堂	2600円
00000052	急性期作業療法マネジメント　生活の行為を紡ぐ作業療法プラクティス シームレスにつなぐ早期のアプローチ	小林毅	文光堂	5000円
00000053	ベッドサイド理学療法の基本技術・技能 / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	嶋田智明	文光堂	4800円
00000054	運動連鎖～リンクする身体　/ 実践mook・理学療法プラクティス	山岸茂則　編	文光堂	5300円
00000055	脊柱機能の臨床的重要性と上下肢との連関 / 実践mook・理学療法プラクティス	小林聖　編	文光堂	4500円
00000056	膝・足関節障害　全身から評価・治療することの意義と実際 / 実践mook・理学療法プラクティス	杉原敏道　編	文光堂	5000円
00000057	リスク管理　その解釈と統合～積極的な理学療法を目指して / 実践mook・理学療法プラクティス	神先秀人　編	文光堂	4800円
00000058	関節可動制限　発展途上の理学療法－その可能性 / 実践mook・理学療法プラクティス	百瀬公人　編	文光堂	4800円
00000059	大腿骨頸部骨折　何を考え、どう対処するか / 実践mook・理学療法プラクティス	加藤浩　編	文光堂	4800円
00000060	肩関節運動機能障害　何を考え、どう対処するか / 実践mook・理学療法プラクティス	立花孝　編	文光堂	4800円
00000061	極める大腿骨骨折の理学療法　医師と理学療法士の協働による術式別アプローチ/ 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5500円
00000062	感覚入力で挑む　感覚・運動機能回復のための理学療法アプローチ / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5200円
00000063	筋緊張に挑む　筋緊張を深く理解し，治療技術をアップする！ / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5200円
00000064	極める変形性膝関節症の理学療法　保存的および術後理学療法の評価とそのアプローチ/ 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5200円
00000065	極める変形性股関節症の理学療法　病期別評価とそのアプローチ / 臨床思考を踏まえる理学療法プラクティス	斉藤秀之	文光堂	5000円
00000066	パーキンソン病に対する標準的理学療法介入　何を考え，どう進めるか？	松尾善美　編集	文光堂	6500円
00000067	生理学問題集	日本生理学会教育委員会／編	文光堂	3600円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000068	データに基づく臨床動作分析	藤澤宏幸　編著	文光堂	2600円
00000069	よくわかる理学療法評価・診断のしかた　エビデンスから考える	嶋田智明	文光堂	6300円
00000070	臨床実践足部・足関節の理学療法 教科書にはない敏腕PTのテクニック	橋本雅至　編集	文光堂	4500円
00000071	理学療法を活かす褥瘡ケア　評価・治療・予防	杉元雅晴　編著	文光堂	3600円
00000072	高齢者の機能障害に対する運動療法　運動療法学各論	市橋則明　編	文光堂	5500円
00000073	作業療法のとらえかた	古川宏　編	文光堂	5200円
00000074	高齢者のその人らしさを捉える作業療法　大切な作業の実現	籔脇健司　編集	文光堂	6500円
00000075	考える作業療法　活動能力障害に対して	澤田雄二　編	文光堂	6000円
00000076	脳卒中に対する標準的理学療法介入　第2版 何を考え，どう進めるか？	潮見泰藏　編集	文光堂	6500円
00000077	脳卒中患者に対する課題指向型トレーニング	潮見泰藏　編集	文光堂	6000円
00000078	脳卒中理学療法ベスト・プラクティス 科学としての理学療法実践の立場から	奈良勲	文光堂	6200円
00000079	歩行を診る　観察から始める理学療法実践	松尾善美　編	文光堂	6800円
00000080	糖尿病治療における理学療法　戦略と実践	野村卓生　著	文光堂	4000円
00000081	地域理学療法にこだわる	日高正巳　編	文光堂	6500円
00000082	地域包括ケアにおけるPT・OTの役割　個別地域ケア会議・介護予防事業から学ぶ	田中康之	文光堂	4800円
00000083	理学療法評価学　障害別・関節別評価のポイントと実際	市橋則明　編集	文光堂	7000円
00000084	臨床実践動きのとらえかた　何をみるのかその思考と試行	山岸茂則　編集	文光堂	6500円
00000085	リアルフィジカルアセスメント　リハ臨床のためのケーススタディ	星孝　編著	文光堂	4000円
00000086	腰痛の病態別運動療法　体幹筋機能向上プログラム	金岡恒治　編集	文光堂	3000円
00000087	臨床実践変形性膝関節症の理学療法 / 教科書にはない敏腕PTのテクニック	橋本雅至　編集	文光堂	4500円
00000088	理学療法臨床診断学への志向　ARIMAの問題解決モデル	有馬慶美　著	文光堂	3600円
00000089	理学療法リスク管理・ビューポイント	丸山仁司　編	文光堂	3800円
00000090	理学療法プログラムデザイン　ケース別アプローチのポイントと実際	市橋則明　編	文光堂	7000円
00000091	理学療法プログラムデザイン　2　ケース別アプローチのポイントと実際	市橋則明　編集	文光堂	7000円
00000092	評価から治療手技の選択　考える理学療法	丸山仁司　[ほか編]	文光堂	5500円
00000093	評価から治療手技の選択　内部障害編　考える理学療法	丸山仁司	文光堂	6500円
00000094	評価から治療手技の選択　中枢神経疾患編　考える理学療法	丸山仁司	文光堂	5700円
00000095	ケースで学ぶ理学療法臨床思考　臨床推論能力スキルアップ	嶋田智明　編	文光堂	6190円
00000096	なっとく解剖生理学　1　やりとりする細胞と血液	五十嵐雅　著・イラスト	文光堂	2800円
00000097	なっとく解剖生理学　3　ぐるぐる回る呼吸器	五十嵐雅　著・イラスト	文光堂	3500円
00000098	筋力向上のための一週間献立集　体づくりと試合に向けて ：アスリート食堂	吉谷佳代　著	文光堂	2000円
00000099	筋力向上のための一週間献立集　体づくりと試合に向けて ：アスリート食堂	吉谷佳代　著	文光堂	2000円
00000100	運動器の徒手検査法　機能解剖から導く手技の実際	福林徹	文光堂	7000円
00000101	骨・関節系理学療法クイックリファレンス　第2版	岡西哲夫	文光堂	7000円
00000102	入門組織学　改訂第2版	牛木辰男　著	南江堂	5000円
00000103	神経内科学テキスト　改訂第4版	江藤文夫	南江堂	4800円
00000104	運動器系解剖学テキスト　/ シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	五味敏昭	南江堂	6000円
00000105	生化学ガイドブック　改訂第3版 増補	遠藤克己	南江堂	3200円
00000106	大学課程の生理学　改訂第9版　ヒトのからだを識るために	山本敏行	南江堂	2200円
00000107	わかりやすい病理学　改訂第6版	恒吉正澄	南江堂	2700円
00000108	整形外科学テキスト　改訂第4版	高橋邦泰	南江堂	5300円
00000109	運動学テキスト　改訂第2版 / シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	藤縄理	南江堂	4800円
00000110	Medical Walking　ウォーキング指導者必携	矢野英雄	南江堂	2000円
00000111	精神医学テキスト　改訂第4版　精神障害の理解と治療のために	上島国利	南江堂	4200円
00000112	糖尿病療養指導の手びき　改訂第5版	日本糖尿病学会　編/著	南江堂	2800円
00000113	CDによる聴診トレーニング　改訂第2版　呼吸音編	川城丈夫	南江堂	5000円
00000114	メカニズムから読み解く痛みの臨床テキスト	小川節郎　編集	南江堂	6000円
00000115	ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種目別スポーツ障害の診療　改訂第2版	林光俊　編集主幹	南江堂	6800円
00000116	わかる！スポーツ傷害　病態理解と復帰へのHow to	福林徹	南江堂	3000円
00000117	生活環境学テキスト　/ シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	村田伸	南江堂	3800円
00000118	人間発達学テキスト　/ シンプル理学療法学作業療法学シリーズ	植松光俊	南江堂	3800円
00000119	死亡直前と看取りのエビデンス	森田達也	医学書院	3000円
00000120	みるトレ リウマチ・膠原病	松村正巳　著	医学書院	3800円
00000121	アスリートを救え　スポーツ外傷・障害の画像診断完全攻略	帖佐悦男　編集	医学書院	8000円
00000122	臨床老年医学入門　第2版　すべてのヘルスケア・プロフェッショナルのために	道場信孝　著	医学書院	3200円
00000123	医療者のためのインフルエンザの知識	泉孝英	医学書院	2800円
00000124	摂食障害治療ガイドライン	「摂食障害治療ガイドライン」作成委員会　編	医学書院	4000円
00000125	災害時のメンタルヘルス	大塚耕太郎	医学書院	3200円
00000126	図解骨折治療の進め方　第3版	Ronald McRae	医学書院	7200円
00000127	病院前救護とメディカルコントロール	日本救急医学会 メディカルコントロール体制検討委員会　編	医学書院	6500円
00000128	スポーツ外傷・障害ハンドブック　発生要因と予防戦略	Roald Bahr	医学書院	5800円
00000129	めまいの診かた・考えかた	二木隆　著	医学書院	4500円
00000130	医療者のための結核の知識　第4版	四元秀毅	医学書院	3400円
00000131	ジェネラリストのための呼吸器診療勘どころ　Dr.宮城×Dr.藤田	宮城征四郎	医学書院	3800円
00000132	エキスパートに学ぶ呼吸器診療のアートとサイエンス　Dr.宮城×Dr.藤田	宮城征四郎	医学書院	4800円
00000133	運動器疾患の「なぜ？」がわかる臨床解剖学	工藤慎太郎　編著	医学書院	4600円
00000134	運動機能障害の「なぜ？」がわかる評価戦略	工藤慎太郎　編著	医学書院	5200円
00000135	脳卒中機能評価・予後予測マニュアル	道免和久　編集	医学書院	4500円
00000136	発達障害のリハビリテーション　多職種アプローチの実際	宮尾益知	医学書院	4500円
00000137	NPPVハンドブック	聖路加国際病院呼吸療法チーム　執筆	医学書院	3800円
00000138	誤りやすい異常脳波　第3版	市川忠彦　著	医学書院	5500円
00000139	神経診察ビジュアルテキスト	小嶺幸弘　著	医学書院	4800円
00000140	非特異的腰痛の運動療法　症状にあわせた実践的アプローチ	荒木秀明　著	医学書院	4200円
00000141	そのとき理学療法士はこう考える　事例で学ぶ臨床プロセスの導きかた	藤野雄次　編集	医学書院	3800円
00000142	検証「健康格差社会」　介護予防に向けた社会疫学的大規模調査	近藤克則　編	医学書院	4200円
00000143	病院早わかり読本　第5版増補版	飯田修平　編著	医学書院	2300円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000144	理学療法臨床実習サポートブック　レポート作成に役立つ素材データ付	岡田慎一郎　[ほか]著	医学書院	3000円
00000145	研修医のための整形外科診療これだけは！　第2版	高橋正明　編集	医学書院	5600円
00000146	心電図・不整脈　個人授業 ホルター心電図でひもとく循環器診療	杉山裕章　執筆	医学書院	4000円
00000147	睡眠時無呼吸症候群診療ハンドブック	榊原博樹　編	医学書院	5400円
00000148	主治医と検査者の相互理解を深める心エコー奥義　エコーでコラボ	湯田聡	医学書院	5000円
00000149	高次脳機能障害ハンドブック　診断・評価から自立支援まで	中島八十一	医学書院	4200円
00000150	国際頭痛分類　第3版 beta版	国際頭痛学会・ 頭痛分類委員会　著	医学書院	4000円
00000151	発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子　編	医学書院	6000円
00000152	実践にいかす歩行分析　明日から使える観察・計測のポイント	Oliver Ludwig　著	医学書院	5000円
00000153	介助にいかすバイオメカニクス	勝平純司　[ほか]著	医学書院	3900円
00000154	作業療法がわかるCOPM・AMPS実践ガイド	吉川ひろみ	医学書院	3800円
00000155	作業療法がわかるCOPM・AMPSスターティングガイド	吉川ひろみ　著	医学書院	3800円
00000156	作業療法がわかるPBLテュートリアルStep by Step	宮前珠子	医学書院	3500円
00000157	作業で結ぶマネジメント　作業療法士のための自分づくり・仲間づくり・組織づくり	澤田辰徳　編集	医学書院	3500円
00000158	フィドラーのアクティビティ論　現実とシンボル	ゲイル・フィドラー	医学書院	3600円
00000159	呼吸理学療法標準手技	石川朗	医学書院	3200円
00000160	作業療法実践の理論	ギャーリー・ キールホフナー　著	医学書院	4700円
00000161	作業で語る事例報告　作業療法レジメの書きかた・考えかた	齋藤佑樹　編集	医学書院	3500円
00000162	二関節筋　運動制御とリハビリテーション	熊本水頼　編	医学書院	4200円
00000163	四肢麻痺と対麻痺　第2版	Ida Bromley　[著]	医学書院	4800円
00000164	新ことばの科学入門　第2版	Lawrence J.Raphael	医学書院	6200円
00000165	聴覚障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	中村公枝	医学書院	5200円
00000166	言語聴覚障害学概論　/ 標準言語聴覚障害学	藤田郁代　編	医学書院	5000円
00000167	言語発達障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	玉井ふみ	医学書院	5000円
00000168	発声発語障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	熊倉勇美	医学書院	5000円
00000169	失語症学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	藤田郁代	医学書院	5000円
00000170	小児科学・発達障害学　第2版　/ 言語聴覚士のための基礎知識	宮尾益知　編	医学書院	3500円
00000171	音声学・言語学　/ 言語聴覚士のための基礎知識	今泉敏　編	医学書院	3800円
00000172	神経伝導検査と筋電図を学ぶ人のために　第2版	木村淳	医学書院	9000円
00000173	高次脳機能障害のリハビリテーション　第3版　実践的アプローチ	本田哲三　編集	医学書院	4200円
00000174	言語聴覚士のための失語症訓練教材集	立石雅子　編	医学書院	4700円
00000175	TIAと脳卒中	Sarah T.Pendlebury	医学書院	8000円
00000176	神経診断学を学ぶ人のために　第2版	柴崎浩　著	医学書院	8500円
00000177	画像からみた脳梗塞と神経心理学	田川皓一　著	医学書院	8000円
00000178	医療レジリエンス　医学アカデミアの社会的責任	福原俊一　編集代表	医学書院	2800円
00000179	呼吸器疾患　/ Navigate	石橋賢一　著	医学書院	3400円
00000180	神経疾患　/ Navigate	石橋賢一　著	医学書院	3200円
00000181	ジェネラリストのための外来初療・処置ガイド	田島知郎　編集	医学書院	8000円
00000182	実践漢方ガイド　日常診療に活かすエキス製剤の使い方	中野哲	医学書院	5800円
00000183	公認心理師必携精神医療・臨床心理の知識と技法	下山晴彦	医学書院	3200円
00000184	こどもの整形外科疾患の診かた 診断・治療から患者家族への説明まで	亀ヶ谷真琴　編	医学書院	9000円
00000185	訪問リハ危険予知トレーニング　KYT50の場面	石黒友康	医歯薬出版	3200円
00000186	リハ研究の進め方・まとめ方　若手研究者のための入門書	志波直人　編著	医歯薬出版	2900円
00000187	PT・OT・STのための一般臨床医学　第3版	椿原彰夫	医歯薬出版	2600円
00000188	在宅リハビリテーション栄養	若林秀隆　編著	医歯薬出版	3400円
00000189	外来整形外科のためのスポーツ外傷・障害の理学療法	小関博久　編	医歯薬出版	8500円
00000190	プール活動レベル　認知症をもつ人の活動評価から個別支援まで チームでよりよいケアを実践するために	Jackie Pool　原著	医歯薬出版	3800円
00000191	言語聴覚士のための音声障害学	大森孝一　編集	医歯薬出版	4000円
00000192	言語聴覚士のための解剖・生理学	小林靖　著	医歯薬出版	4000円
00000193	言語聴覚士のための摂食・嚥下障害学	倉智雅子　編集	医歯薬出版	4400円
00000194	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村健　編	医歯薬出版	4000円
00000195	言語聴覚士のための機能性構音障害学	白坂康俊	医歯薬出版	4000円
00000196	呼吸リハビリテーション最前線　身体活動の向上とその実践	塩谷隆信	医歯薬出版	3800円
00000197	サルコペニアと運動　エビデンスと実践	島田裕之　編	医歯薬出版	3800円
00000198	最新リハビリテーション医学　第3版	安保雅博	医歯薬出版	6400円
00000199	内部障害系理学療法学　系統理学療法学	居村茂幸　編	医歯薬出版	4000円
00000200	作業療法評価のエッセンス　/ 作業療法ケースブック	澤俊二	医歯薬出版	5200円
00000201	イラストでわかる発達障害の作業療法	辛島千恵子　編集	医歯薬出版	4000円
00000202	PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方　第2版　国試画像問題攻略	中島雅美	医歯薬出版	3000円
00000203	イラストでわかる小児理学療法	上杉雅之　監修	医歯薬出版	4200円
00000204	膝診療マニュアル　第5版	腰野富久　著	医歯薬出版	5000円
00000205	足診療マニュアル　第2版	藤井英夫	医歯薬出版	5200円
00000206	母親のメンタルヘルスサポートハンドブック　気づいて・つないで・支える多職種地域連携 妊娠期からの	立花良之　著	医歯薬出版	2800円
00000207	高次脳機能障害者とデイサービス　地域で進めるあきらめない回復支援	世田谷ボランティア協会身体障害者デイサービスセンターふらっと　編著	医歯薬出版	2800円
00000208	"見える化"医療経済学入門	川渕孝一　著	医歯薬出版	2600円
00000209	PT・OT・STのための診療ガイドライン活用法	日高正巳	医歯薬出版	3600円
00000210	よくわかる内部障害の運動療法	上月正博　編著	医歯薬出版	5800円
00000211	リハビリテーションと精神医学	鹿島晴雄　編著	医歯薬出版	3800円
00000212	リハビリテーションにおける評価　Ver.3	上月正博	医歯薬出版	6400円
00000213	学生のための精神医学　第3版	太田保之	医歯薬出版	3500円
00000214	フレイルの予防とリハビリテーション	島田裕之　編	医歯薬出版	3600円
00000215	摂食嚥下の機能解剖　基本のきほん	阿部伸一　著	医歯薬出版	3000円
00000216	口蓋帆・咽頭閉鎖不全　その病理・診断・治療	舘村卓　著	医歯薬出版	4000円
00000217	高次脳機能障害学　第2版	石合純夫　著	医歯薬出版	4400円
00000218	脳卒中の機能評価と予後予測　新版	中村隆一	医歯薬出版	8500円
00000219	肩診療マニュアル　新版	乾浩明	医歯薬出版	5400円
00000220	筋骨格障害系理学療法学　系統理学療法学	居村茂幸　編	医歯薬出版	6000円
00000221	認知症のリハビリテーション栄養	若林秀隆　編著	医歯薬出版	4000円
00000222	脳性麻痺ハンドブック　第2版　療育にたずさわる人のために	穐山富太郎	医歯薬出版	6600円
00000223	リハビリテーション・ADLトレーニング 患者さんに渡せる姿勢・動作指導71	高橋仁美	医歯薬出版	3600円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000224	片麻痺の運動療法	シグネ・ブルンストローム／著	医歯薬出版	5600円
00000225	嚥下食ピラミッドによるレベル別市販食品250　第2版，補訂	栢下淳　編著	医歯薬出版	2700円
00000226	新てんかんテキスト　てんかんと向き合うための本	井上有史	南江堂	3000円
00000227	実践理学療法スーパーバイズマニュアル 写真で学ぶ臨床実習のポイント	新田收　[ほか]共著	南江堂	4200円
00000228	CDによる聴診トレーニング　改訂第2版　心音編	沢山俊民　著	南江堂	4660円
00000229	医療現場の清浄と滅菌	ヤン・ハュス　著	中山書店	5500円
00000230	嚥下食をおいしくする101のソース	東京湾岸リハビリテーション病院栄養科　編	中山書店	2700円
00000231	マンガでわかる生理学	小山富康　著	中山書店	3100円
00000232	マンガでわかる生理学　2	小山富康　著	中山書店	3100円
00000233	情動と記憶　しくみとはたらき	小野武年　著	中山書店	8000円
00000234	さぁ，はじめよう！NST　事例でわかる栄養療法の進め方	磯崎泰介　監修	中山書店	3000円
00000235	義肢製作マニュアル　第2版	田澤英二　編	医歯薬出版	7800円
00000236	ベッドサイドから在宅で使える嚥下食のすべて	金谷節子　編著	医歯薬出版	3400円
00000237	人体の構造と機能　第4版	内田さえ	医歯薬出版	2800円
00000238	認知症のコミュニケーション障害　その評価と支援	三村將	医歯薬出版	3000円
00000239	認知症の人の摂食障害最短トラブルシューティング 食べられる環境，食べられる食事がわかる	吉田貞夫　編	医歯薬出版	3600円
00000240	心理・精神領域の理学療法　はじめの一歩	奈良勲	医歯薬出版	3400円
00000241	エッセンシャル免疫学　第3版	ピーター・パーラム　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6400円
00000242	ラングマン人体発生学　第11版	T.W.サドラー　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8400円
00000243	神経ブロックのための3D解剖学講座	武田吉正	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7600円
00000244	リープマン神経解剖学　第3版	S.David Gertz　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4700円
00000245	あたらしい人体解剖学アトラス	パトリック・W.タンク	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7000円
00000246	微生物学　基礎から臨床へのアプローチ	アンソニー・ストレルコースカス	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000247	細胞のシグナル伝達　システムとしての共通原理にもとづく理解	ウェンデル・リム	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8200円
00000248	カラー図説細胞周期　細胞増殖の制御メカニズム	デービッド・O.モーガン　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6800円
00000249	カラー図説免疫　感染症と炎症性疾患における免疫応答	アンソニー・L.デフランコ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000250	カラー図説タンパク質の構造と機能　ゲノム時代のアプローチ	グレゴリー・A.ペツコ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	5400円
00000251	老化生物学　老いと寿命のメカニズム	ロジャー・B.マクドナルド　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7200円
00000252	一目でわかる医科生化学	J.G.サルウェー　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000253	一目でわかる血液ガス　第2版	飯野靖彦　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000254	一目でわかる腎臓　第2版	Chris A.O'Callaghan　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3200円
00000255	一目でわかる水電解質　第3版	飯野靖彦　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000256	一目でわかる免疫学　第4版	J.H.L.プレーフェア	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2400円
00000257	一目でわかるクリティカルケア	リチャード・M.リーチ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3000円
00000258	一目でわかる内分泌学　第2版	ベン・グリーンスタイン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3200円
00000259	一目でわかる臨床検査　第2版	松野一彦	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2800円
00000260	一目でわかる臨床遺伝学　第2版	ドリアン・J.プリチャード	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3800円
00000261	眼で見る小児のリハビリテーション　改訂第3版	栗原まな　著	診断と治療社	5400円
00000262	外反母趾FAQ予防・治療の実践ガイド　正しい靴の選び方，履き方	柴田義守　著	診断と治療社	4200円
00000263	リハビリテーション総論　改訂第3版　PT・OT・ST・ナースを目指す人のための 要点整理と用語解説	椿原彰夫　編著	診断と治療社	3600円
00000264	ハインズ神経解剖学アトラス　第4版	デュアン・E.ハインズ　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7200円
00000265	入門・呼吸療法　改訂第2版	大村昭人	克誠堂出版	3800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000266	呼吸の生理と病態生理　症例から考える統合的アプローチ	John B.West ［著］	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3900円
00000267	とことん症例から学ぶ呼吸器疾患	エマ・H.ベイカー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00000268	よくわかる筋の機能解剖　第2版　描いて覚える筋の名称とはたらき	Bernard Kingston ［著］	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3800円
00000269	骨外傷の画像診断ハンドブック	江原茂　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4600円
00000270	足の画像診断	小橋由紋子　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7400円
00000271	整形外科ペインクリニック	小川節郎　編	克誠堂出版	7600円
00000272	ペインクリニック診療に必要なリハビリテーションの知識	保岡正治　編	克誠堂出版	4800円
00000273	要説産業精神保健　職場におけるメンタルヘルス対策の手引き	廣尚典　著	診断と治療社	4000円
00000274	看護・医療系スタッフのための質問紙作成ワークブック	土屋雅子　著	診断と治療社	2500円
00000275	医療系学生のための図解生理学テキスト&ノート	丹羽利充　著	診断と治療社	2800円
00000276	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテーション入門　改訂第2版　ライフステージに沿った支援のために	橋本圭司	診断と治療社	3600円
00000277	骨関節画像診断入門　第4版	Clyde A.Helms　著	エルゼビア・ジャパン	6000円
00000278	日常診療における子どもの睡眠障害	谷池雅子　編集	診断と治療社	5800円
00000279	乳幼児の発達からみる保育"気づき"ポイント44　保育士・幼稚園教諭・支援者のための	横山浩之　著	診断と治療社	2800円
00000280	脳卒中上下肢痙縮Expertボツリヌス治療　私はこう治療している	正門由久	診断と治療社	4500円
00000281	慢性疾患の認知行動療法　アドヒアランスとうつへのアプローチ ワークブック	Steven A.Safren	診断と治療社	2400円
00000282	ここまでわかった心身相関　科学的にみたこころとからだの相互作用	久保千春　編集	診断と治療社	4000円
00000283	理学療法学自習ワークブック　フィードバック方式実践問題集	田畑稔　責任編集	ヌンク	3200円
00000284	そこが知りたい！在宅療養Q&A　実践と多職種連携を深めるために	日本ホスピス・在宅ケア研究会　編集	診断と治療社	2800円
00000285	補聴器のフィッティングと適用の考え方	小寺一興　著	診断と治療社	3200円
00000286	画像とチャートでわかる小児の整形外科診療エッセンス	久保俊一　責任編集	診断と治療社	6800円
00000287	チームで取り組む職場のメンタルヘルス	廣尚典	診断と治療社	2800円
00000288	看護・医療系研究のためのアンケート・面接調査ガイド　初心者にもできる質問紙・インタビューガイドのつくり方	土屋雅子	診断と治療社	2500円
00000289	PT・OTのための臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技OT版	椿原彰夫　責任編集	診断と治療社	2500円
00000290	トータルケアで理解する子どもの摂食嚥下リハビリテーション　食べる機能を支援する40のポイント	田角勝　著	診断と治療社	2500円
00000291	発達障害のある子へのことば・コミュニケーション指導の実際　評価からスタートする段階的指導	湯汲英史　編	診断と治療社	2800円
00000292	2歳からはじめる自閉症児の言語訓練　あなたが育てる自閉症のことば 子どもの世界マップから生まれる伝え方の工夫	藤原加奈江　著	診断と治療社	1900円
00000293	五十肩のリハビリテーション　病期に合わせた適切な運動療法 正しいストレッチとマッサージを学ぶ	山本良彦　編集	診断と治療社	2800円
00000294	在宅・訪問リハビリテーションリスク管理実践テキスト　改訂第2版　ホスピタリティに基づく医療サービス	石黒友康	ヌンク	3000円
00000295	小児の高次脳機能障害リハビリテーション実践ガイドブック　写真と症例でわかる	栗原まな　著	診断と治療社	3400円
00000296	小児リハビリテーション評価マニュアル	問川博之　編集	診断と治療社	5400円
00000297	自閉症かな？と思ったとき 寝返り，ハイハイ，お座り，歩行からわかること	オスナット・テイテルバウム	診断と治療社	2800円
00000298	小児筋疾患診療ハンドブック	小牧宏文　編	診断と治療社	5800円
00000299	医療保育　改訂第4版　ぜひ知っておきたい小児科知識	梶谷喬	診断と治療社	2500円
00000300	医療系のためのやさしい統計学入門	中村好一　編	診断と治療社	2500円
00000301	不安とうつの統一プロトコル　バーロウ教授によるクリニカルデモンストレーション バーロウ教授の認知行動療法講義	デイビッド・H.バーロウ 講演	診断と治療社	6500円
00000302	不安とうつの統一プロトコル 診断を越えた認知行動療法 セラピストガイド	デイビッド・H.バーロウ［ほか］著	診断と治療社	2800円
00000303	不安とうつの統一プロトコル　診断を越えた認知行動療法 ワークブック	デイビッド・H.バーロウ［ほか］著	診断と治療社	2400円
00000304	ダウン症リハビリテーションガイド イラストでよくわかる 楽しくはじめる	山本良彦　編集	診断と治療社	1900円
00000305	言語発達遅滞の言語治療　改訂第2版	小寺富子　著	診断と治療社	3500円
00000306	子どもの精神保健テキスト　医療・心理・教育・保育にかかわる人たちのための	古荘純一　編集	診断と治療社	2800円
00000307	PT/OTリハ演習メソッド　評価プロセス×リハプログラム 患者の訴えと症候から理解する！	杉江秀夫　総編集	診断と治療社	3600円
00000308	知的障害者の健康管理マニュアル　身心ともに健康な成長・加齢のために	大野耕策	診断と治療社	3200円
00000309	脳性まひの療育と理学療法　上田法およびボツリヌス療法による筋緊張のコントロールと評価	東條恵　著	診断と治療社	2600円
00000310	症例で理解するベッドサイドの臨床薬理学	藤村昭夫　編	診断と治療社	4500円
00000311	末梢神経と筋のみかた　ビジュアルガイド	The Guarantors of Brain／著	エルゼビア・ジャパン	3600円
00000312	尿沈渣　改訂第2版　標本の作製から診断まで/ 診断と治療Exシリーズ	上田尚彦	診断と治療社	3800円
00000313	リウマチ病学テキスト　改訂第2版	日本リウマチ財団 教育研修委員会	診断と治療社	5500円
00000314	多発性硬化症<MS>診療のすべて　multiple sclerosis	山村隆　編集	診断と治療社	5500円
00000315	子どもの食と栄養　改訂第2版　健康なからだとこころを育む小児栄養学	水野清子	診断と治療社	2300円
00000316	いきいき栄養学　改訂第3版　おいしく楽しくダイエット 武庫川女子大学栄養クリニック	小西すず　編著	診断と治療社	2100円
00000317	コンパクト微生物学　改訂第4版	小熊惠二	南江堂	2200円
00000318	呼吸療法　/ CE技術シリーズ	渡辺敏	南江堂	5200円
00000319	基礎から学ぶ健康管理概論　改訂第4版	柳川洋	南江堂	2400円
00000320	人工心肺　/ CE技術シリーズ	四津良平	南江堂	5300円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000321	理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション　理論と実践	日本ヘルスプロモーション理学療法学会　編集	南江堂	3200円
00000322	臨床データから読み解く理学療法学	中山恭秀　編著	南江堂	4200円
00000323	医学概論　医学のコンセプトと医療のエッセンス	中島泉　著	南江堂	2800円
00000324	救急で役立つ頭部CT・MRI　研修医必携	細矢貴亮	南江堂	6300円
00000325	国立障害者リハビリテーションセンター 社会復帰をめざす高次脳機能障害リハビリテーション	飛松好子	南江堂	4600円
00000326	介護食ハンドブック　第2版　カラー献立57点	大越ひろ	医歯薬出版	2800円
00000327	関節外科診療ファーストステップ　これ一冊で基本をマスター！	齋藤知行　編集	南江堂	7000円
00000328	DVDで学ぶ脳血管障害の理学療法テクニック 病巣病型別アプローチがわかる動画73	今井保	南江堂	6500円
00000329	リウマチ上肢の治療とリハビリテーション	水関隆也　著	南江堂	8000円
00000330	神経伝導検査テキスト　筋電図CD-ROM付	栢森良二　著	医歯薬出版	4800円
00000331	DVDで学ぶ運動器疾患の理学療法テクニック　臨床的感性をみがく動画106	林義孝　編	南江堂	6500円
00000332	DVDで学ぶ呼吸理学療法テクニック 呼吸と手技のタイミングがわかる動画91	玉木彰　編	南江堂	6000円
00000333	DVDで学ぶ理学療法特殊テクニック　215の動画でよくわかる	柳澤健　編	南江堂	6500円
00000334	DVDでみるアスレチック・マッサージの実際	栗山節郎	南江堂	5200円
00000335	DVDで学ぶ運動器徒手検査法	山本謙吾　編	南江堂	6700円
00000336	前十字靭帯<ACL>損傷診療ガイドライン　2012	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会前十字靭帯(ACL)損傷診療ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	4000円
00000337	大腿骨頚部/転子部骨折診療ガイドライン　改訂第2版	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会大腿骨頚部/転子部骨折診療ガイドライン策定委員会　編	南江堂	3800円
00000338	軟部腫瘍診療ガイドライン　2012	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会軟部腫瘍診療ガイドライン策定委員会　編	南江堂	3600円
00000339	骨・関節術後感染予防ガイドライン　改訂第2版　2015	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会骨・関節術後感染予防ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	3200円
00000340	頚椎後縦靱帯骨化症診療ガイドライン　改訂第2版　2011	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会頚椎後縦靱帯骨化症診療ガイドライン策定委員会　編	南江堂	3800円
00000341	外反母趾診療ガイドライン　改訂第2版　2014	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会外反母趾診療ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	3500円
00000342	腰椎椎間板ヘルニア診療ガイドライン　改訂第2版	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会腰椎椎間板ヘルニアガイドライン策定委員会　編	南江堂	2600円
00000343	変形性股関節症診療ガイドライン　改訂第2版　2016	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会変形性股関節症診療ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	4000円
00000344	橈骨遠位端骨折診療ガイドライン　改訂第2版　2017	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会橈骨遠位端骨折診療ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	3800円
00000345	重症筋無力症診療ガイドライン　2014	「重症筋無力症診療ガイドライン」作成委員会　編集	南江堂	3500円
00000346	日本整形外科学会症候性静脈血栓塞栓症予防ガイドライン　2017	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会	南江堂	2800円
00000347	標準理学療法学　理学療法学概説　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5400円
00000348	標準理学療法学　第3版　理学療法研究法　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000349	標準理学療法学　第2版　理学療法評価学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000350	標準理学療法学　臨床動作分析　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000351	標準理学療法学　病態運動学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000352	標準理学療法学　第4版　運動療法学総論　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000353	標準理学療法学　第4版　運動療法学各論　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000354	標準理学療法学　第4版　物理療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000355	標準理学療法学　第5版　日常生活活動学・生活　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5400円
00000356	標準理学療法学　骨関節理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4800円
00000357	標準理学療法学　神経理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5000円
00000358	標準理学療法学　内部障害理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	5000円
00000359	標準理学療法学　第4版　地域理学療法学　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000360	標準理学療法学　第2版　理学療法臨床実習とケ　専門分野 PT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲　シリーズ監修	医学書院	4700円
00000361	標準作業療法学　第3版　作業療法学概論　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4000円
00000362	標準作業療法学　第3版　基礎作業学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4000円
00000363	標準作業療法学　第2版　作業療法研究法　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000364	標準作業療法学　第3版　作業療法評価学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	5800円
00000365	標準作業療法学　第3版　身体機能作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	5000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000366	標準作業療法学　第2版　精神機能作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000367	標準作業療法学　第2版　発達過程作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4200円
00000368	標準作業療法学　第3版　高齢期作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4000円
00000369	標準作業療法学　高次脳機能作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000370	標準作業療法学　日常生活活動・社会生　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4200円
00000371	標準作業療法学　第3版　地域作業療法学　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	3800円
00000372	標準作業療法学　第2版　作業療法臨床実習とケ　専門分野 OT/ STANDARD TEXTBOOK	矢谷令子　シリーズ監修	医学書院	4200円
00000373	標準理学療法学・作業療法学　第4版　解剖学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	6000円
00000374	標準理学療法学・作業療法学　第4版　生理学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4400円
00000375	標準理学療法学・作業療法学　運動学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	5000円
00000376	標準理学療法学・作業療法学　第2版　人間発達学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	5200円
00000377	標準理学療法学・作業療法学　第4版　病理学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4600円
00000378	標準理学療法学・作業療法学　臨床心理学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	3000円
00000379	標準理学療法学・作業療法学　第3版　内科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	6000円
00000380	標準理学療法学・作業療法学　第4版　精神医学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4400円
00000381	標準理学療法学・作業療法学　第4版　神経内科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	5600円
00000382	標準理学療法学・作業療法学　第5版　小児科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4200円
00000383	標準理学療法学・作業療法学　第4版　老年学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	4500円
00000384	糖尿病腎症の食品交換表　第3版	日本糖尿病学会　編・著	文光堂	1500円
00000385	糖尿病食事療法のための食品交換表　第7版	日本糖尿病学会　編・著	文光堂	900円
00000386	糖尿病食事療法のための食品交換表　第2版　活用編　献立例とその実践	日本糖尿病学会　編・著	文光堂	1200円
00000387	基礎知識のエッセンス　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　1	山鳥重	医歯薬出版	2600円
00000388	画像の見かた・使いかた　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　2	三村將	医歯薬出版	2800円
00000389	リハビリテーション評価　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　3	鈴木孝治	医歯薬出版	2600円
00000390	リハビリテーション介入　/ 高次脳機能障害マエストロシリーズ　4	鈴木孝治	医歯薬出版	2600円
00000391	すぐできる！リハビリテーション統計 データのみかたから検定・多変量解析まで	勝平純司	南江堂	3200円
00000392	高齢者の栄養スクリーニングツールMNAガイドブック	葛谷雅文	医歯薬出版	3500円
00000393	障害別・ケースで学ぶ理学療法臨床思考　PBLで考え進める	嶋田智明　編	文光堂	6190円
00000394	障害別・ケースで学ぶ理学療法臨床思考　続　CBLで考え，学ぶ	嶋田智明　編	文光堂	5714円
00000395	スリングエクササイズセラピー　レッドコードテクニック	中島雅美　著	南江堂	3500円
00000396	仙腸関節の痛み　診断のつかない腰痛	村上栄一　著	南江堂	6000円
00000397	しこりをみたらどう考える？　日常診療で遭遇するしこりへの対応法	生越章　著	南江堂	4700円
00000398	ステップで判読！心電図	奥村謙　著	南江堂	3800円
00000399	食品学　改訂第3版　1　食品の化学・物性と機能性	中山勉	南江堂	2200円
00000400	食品学　改訂第3版　2　食品の分類と利用法	中山勉	南江堂	2400円
00000401	運動療法ガイド　第5版	野崎大地	日本医事新報社	5700円
00000402	N教授の生理学講義ノート　人体のしくみとしかけをわかりやすく伝授	二宮治明　著	日本医事新報社	3500円
00000403	カラー図解高齢者の栄養管理ガイドブック　高齢者福祉施設・病院・住宅などで役立つ お年寄りの栄養ケアマネジメントを適切に行うために	下田妙子　編	文光堂	2600円
00000404	カラー図解高齢者の栄養管理ガイドブック　高齢者福祉施設・病院・住宅などで役立つ お年寄りの栄養ケアマネジメントを適切に行うために	下田妙子　編	文光堂	2600円
00000405	人体解剖カラーアトラス　1	ヴォルフ=ハイデッガー[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000406	PT・OT・STのための脳画像のみかたと神経所見	森惟明	医学書院	5000円
00000407	整形外科のクリティカルパス	佛淵孝夫	医学書院	3400円
00000408	図解生理学　第2版	中野昭一　編	医学書院	8700円
00000409	アナトミー・トレイン　第3版 徒手運動療法のための筋筋膜経線 Web動画付	トーマス・W.マイヤース著	医学書院	6500円
00000410	カラーアトラス人体　第4版　解剖と機能	横地千仭	医学書院	5000円
00000411	カパンジー機能解剖学　第2版　1　上肢　カラー版	A.I.Kapandji　原著	医歯薬出版	8200円
00000412	カパンジー機能解剖学　第3版　2　下肢　カラー版	A.I.Kapandji　著	医歯薬出版	8200円
00000413	カパンジー機能解剖学　第2版　3　脊椎・体幹・頭部　カラー版	A.I.Kapandji　原著	医歯薬出版	8200円
00000414	触診機能解剖カラーアトラス　上　総論・身体の面と軸・骨/関節・靭帯	竹井仁　著	文光堂	7000円
00000415	触診機能解剖カラーアトラス　下　筋・血管・神経	竹井仁　著	文光堂	7000円
00000416	スポーツ外傷障害からみたテーピングの実技と理論　第5版	山本郁榮	文光堂	4500円
00000417	スポーツ外傷障害からみたテーピングの実技と理論　第5版	山本郁榮	文光堂	4500円
00000418	観察による運動・動作分析演習ノート	藤澤宏幸	医歯薬出版	3400円
00000419	目でみるMMT　新版	佐藤三矢	医歯薬出版	5800円
00000420	リハビリテーション解剖アトラス	佐藤達夫	医歯薬出版	8000円
00000421	アスレティックリハビリテーション　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	小林寛和　編	文光堂	2400円
00000422	運動器の解剖とスポーツ外傷・障害の基礎知識　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	福林徹　編	文光堂	2200円
00000423	運動器の解剖とスポーツ外傷・障害の基礎知識　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	福林徹　編	文光堂	2200円
00000424	救急処置 / 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	山本利春　編	文光堂	1800円
00000425	救急処置 / 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	山本利春　編	文光堂	1800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000426	健康管理とスポーツ医学　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	赤間高雄　編	文光堂	2200円
00000427	健康管理とスポーツ医学　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	赤間高雄　編	文光堂	2200円
00000428	検査・測定と評価　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	片寄正樹　編	文光堂	2000円
00000429	スポーツ科学 / 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	山本利春　編	文光堂	2400円
00000430	予防とコンディショニング　/ 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト+ワークブック	石山修盟　編	文光堂	2000円
00000431	女性アスリートのための傷害予防トレーニング	小林直行	医歯薬出版	4200円
00000432	カラー写真で学ぶ四肢関節の触診法	竹内義享	医歯薬出版	3800円
00000433	カラー写真で学ぶ機能解剖学に基づく手技療法	竹内義享　著	医歯薬出版	4800円
00000434	高口光子の介護保険施設における看護介護のリーダー論	高口光子	医歯薬出版	2400円
00000435	高口光子のはじめてのケアリーダー編 介護保険施設における看護介護のリーダー論 その2	高口光子	医歯薬出版	3000円
00000436	高口光子の上級ケアリーダー編　やりたいケアをやりぬくリーダーになるために 介護保険施設における看護介護のリーダー論 その3	高口光子	医歯薬出版	2800円
00000437	カラー写真で学ぶ骨・関節の機能解剖	竹内義享	医歯薬出版	4000円
00000438	カラー写真で学ぶ運動器疾患のみかたと保存的治療	竹内義享	医歯薬出版	3800円
00000439	カラー写真で学ぶ実践スポーツ障害のみかた 上肢・体幹編　触診からのアプローチ	武田康志	医歯薬出版	4200円
00000440	カラー写真で学ぶ実践スポーツ障害のみかた 下肢編　触診からのアプローチ	武田康志	医歯薬出版	4400円
00000441	基礎バイオメカニクス　第2版　理解が深まるパワーポイント	山本澄子	医歯薬出版	3900円
00000442	新イラストによる安全な動作介助のてびき　第3版	飛松好子　編著	医歯薬出版	3800円
00000443	生理学実習NAVI　第2版	大橋敦子　監修	医歯薬出版	2500円
00000444	高齢者の食介護ハンドブック　おいしく食べてQOLを高める	手嶋登志子	医歯薬出版	3000円
00000445	ビジュアル治療食300　第2版 カラー版 栄養成分別・病態別栄養食事療法	宗像伸子	医歯薬出版	6000円
00000446	糖尿病フットケアガイド　診断・治療・ケアの指針	新城孝道　著	医歯薬出版	4000円
00000447	写真でみる基本スプリントの作りかた	田中一成　編	医歯薬出版	2200円
00000448	整形外科領域の超音波検査 / 月刊Medical technology別冊. 超音波エキスパート　7	扇谷浩文	医歯薬出版	3300円
00000449	介護・看護職のための言葉づかいチェックリスト	有馬良建　著	医歯薬出版	1500円
00000450	介護・看護職のための虐待防止チェックリスト　ケースアドポケイト実践	有馬良建　著	医歯薬出版	1800円
00000451	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 [1]　作業療法学概論	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4200円
00000452	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版　[2]　作業学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4700円
00000453	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 [3]　作業療法評価学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	5600円
00000454	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 [4]　身体障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	5400円
00000455	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 [5]　高次脳機能障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4200円
00000456	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版 [6]　精神障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4200円
00000457	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　改訂第2版[7]　発達障害作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4600円
00000458	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　[8]　老年期作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000459	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　[9]　地域作業療法学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000460	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　[10]　日常生活活動学(ADL)	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000461	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト　[11]　福祉用具学	長崎重信　監修	メジカルビュー社	4000円
00000462	リハビリテーションテキスト リハビリテーション統計学 / 15レクチャーシリーズ	対馬栄輝	中山書店	2400円
00000463	理学療法・作業療法テキスト 運動学実習　/ 15レクチャーシリーズ	小島悟	中山書店	2400円
00000464	理学療法・作業療法テキスト 臨床運動学　/ 15レクチャーシリーズ	小林麻衣	中山書店	2400円
00000465	理学療法テキスト 運動療法学　/ 15レクチャーシリーズ	解良武士	中山書店	2400円
00000466	理学療法テキスト 内部障害理学療法学呼吸　第2版/ 15レクチャーシリーズ	玉木彰　責任編集	中山書店	2600円
00000467	理学療法テキスト 理学療法評価学　1　/ 15レクチャーシリーズ	森山英樹　責任編集	中山書店	2400円
00000468	理学療法テキスト 理学療法評価学　2　/ 15レクチャーシリーズ	森山英樹　責任編集	中山書店	2400円
00000469	理学療法テキスト 運動器障害理学療法学　1　/ 15レクチャーシリーズ	河村廣幸　責任編集	中山書店	2400円
00000470	理学療法テキスト 運動器障害理学療法学　2　/ 15レクチャーシリーズ	河村廣幸　責任編集	中山書店	2400円
00000471	理学療法テキスト 義肢学　/ 15レクチャーシリーズ	永冨史子　責任編集	中山書店	2400円
00000472	理学療法テキスト 装具学　/ 15レクチャーシリーズ	佐竹將宏　責任編集	中山書店	2400円
00000473	Ross組織学	Michael H.Ross	南江堂	9000円
00000474	Di Fiore人体組織図譜	Victor P.Eroschenko　著	南江堂	7500円
00000475	Essential解剖学　テキスト&アトラス	Anne M.Gilroy　著	南江堂	6600円
00000476	Janeway's免疫生物学	Kenneth Murphy	南江堂	8300円
00000477	関節内運動学　4D-CTで解き明かす	片岡寿雄　著	南江堂	7000円
00000478	小児運動器疾患のプライマリケア　愁訴・症状からのアプローチ	藤井敏男	南江堂	6000円
00000479	人体解剖学実習　要点と指針	大谷修　編	南江堂	7800円
00000480	みえる人体　構造・機能・病態	Steve Parker　著	南江堂	4500円
00000481	腰痛　第2版	菊地臣一　編著	医学書院	8600円
00000482	標準組織学総論　第5版 岩永敏彦改訂	藤田尚男	医学書院	8200円
00000483	Disease　人類を襲った30の病魔	Mary Dobson　著	医学書院	3800円
00000484	病理形態学で疾病を読む	井上泰　著	医学書院	8400円
00000485	臨床が変わる！PT・OTのための認知行動療法入門	マリー・ダナヒー	医学書院	4200円
00000486	摂食嚥下障害学　/ 標準言語聴覚障害学	熊倉勇美	医学書院	5000円
00000487	高次脳機能障害学　第2版　/ 標準言語聴覚障害学	藤田郁代	医学書院	4800円
00000488	耳鼻咽喉科学　第2版　/ 言語聴覚士のための基礎知識	鳥山稔	医学書院	3800円
00000489	臨床神経学・高次脳機能障害学　/ 言語聴覚士のための基礎知識	岩田誠	医学書院	5200円
00000490	臨床歯科医学・口腔外科学　第2版　/ 言語聴覚士のための基礎知識	夏目長門　編集	医学書院	4200円
00000491	認知リハビリテーション実践ガイド	Mckay Moore Sohlberg	医学書院	4800円
00000492	腰痛に対するモーターコントロールアプローチ腰椎骨盤の安定性のための運動療法	Carolyn Richardson	医学書院	5600円
00000493	「病院」の教科書　知っておきたい組織と機能	今中雄一　編	医学書院	3800円
00000494	口蓋裂の言語臨床　第3版	岡崎恵子	医学書院	5000円
00000495	みるトレ感染症	笠原敬	医学書院	3800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000496	みるトレ神経疾患	岩崎靖　著	医学書院	3800円
00000497	病態のしくみがわかる免疫学	関修司	医学書院	4000円
00000498	標準血液病学　/ Standard textbook	池田康夫	医学書院	4500円
00000499	標準腎臓病学　/ Standard textbook	菱田明	医学書院	5500円
00000500	標準医動物学　第2版　/ Standard textbook	石井明	医学書院	7000円
00000501	標準呼吸器病学　/ Standard textbook	泉孝英　編	医学書院	6200円
00000502	変形性関節症の診かたと治療　第2版	尾崎敏文	医学書院	8000円
00000503	基礎からわかる軽度認知障害〈MCI〉　効果的な認知症予防を目指して	島田裕之　編集	医学書院	5800円
00000504	運動器マネジメントが患者の生活を変える！がんの骨転移ナビ	岩瀬哲	医学書院	3800円
00000505	パニック障害ハンドブック　治療ガイドラインと診療の実際	熊野宏昭	医学書院	3800円
00000506	みるよむわかる精神医学入門	ニール・バートン　著	医学書院	4200円
00000507	モリソン先生の精神科診断講座	James Morrison　著	医学書院	4500円
00000508	図解自立支援のための患者ケア技術	潮見泰藏	医学書院	3800円
00000509	拘縮の予防と治療　第2版	奈良勲	医学書院	3500円
00000510	ニューロリハビリテーション	道免和久　編集	医学書院	4200円
00000511	細菌学の歴史	William Bulloch　著	天児和暢	3700円
00000512	動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション	田中宏太佳	医学書院	5700円
00000513	片麻痺回復のための運動療法　第3版促通反復療法「川平法」の理論と実際	川平和美	医学書院	6200円
00000514	異常値の出るメカニズム　第7版　KAWAI's LABORATORY MEDICINE	山田俊幸	医学書院	6000円
00000515	生理学ワークブック	西川彰	医歯薬出版	3800円
00000516	MNA在宅栄養ケア　在宅高齢者の低栄養予防と早期発見	葛谷雅文	医歯薬出版	2100円
00000517	図説運動器の機能解剖	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	6000円
00000518	新編内部障害のリハビリテーション　第2版	上月正博　編著	医歯薬出版	9200円
00000519	スポーツ理学療法　/ PTマニュアル	浦辺幸夫　著	医歯薬出版	4400円
00000520	ベーシック言語聴覚療法　目指せ！プロフェッショナル	山田弘幸　編	医歯薬出版	2400円
00000521	ディサースリア臨床標準テキスト	西尾正輝　著	医歯薬出版	4200円
00000522	失語症のリハビリテーション　新版　基本編　全体構造法	道関京子　編著	医歯薬出版	3800円
00000523	失語症のリハビリテーション　新版　応用編　全体構造法	道関京子　編著	医歯薬出版	4000円
00000524	精神障害作業療法　第2版　生活を支援する 急性期から地域実践まで	香山明美	医歯薬出版	3900円
00000525	運動器疾患の病態と理学療法	森山英樹	医歯薬出版	6400円
00000526	変形性股関節症のリハビリテーション　第2版患者とセラピストのためのガイドブック	勝又壮一　[ほか]著	医歯薬出版	3200円
00000527	歩行障害の診断・評価入門	臨床歩行分析研究会　編	医歯薬出版	7400円
00000528	エビデンスに基づく高齢者の理想的な運動プログラム	Meg Morris	医歯薬出版	5000円
00000529	脳卒中リハビリテーション　第3版　早期リハからケアマネジメントまで	水尻強志	医歯薬出版	5600円
00000530	骨関節X線像のみかた　リハビリテーションに役立つ	白倉賢二　編	医歯薬出版	3200円
00000531	メディカルスタッフのための神経内科学	河村満　編著	医歯薬出版	6400円
00000532	新編言語治療マニュアル	伊藤元信	医歯薬出版	6400円
00000533	図解四肢と脊椎の診かた	Stanley Hoppenfeld　[著]	医歯薬出版	5200円
00000534	言語治療ハンドブック	伊藤元信	医歯薬出版	6400円
00000535	臨床につながる整形外科学　理学療法・作業療法専門基礎分野	芳賀信彦　編	医歯薬出版	3000円
00000536	臨床につながる精神医学　理学療法・作業療法専門基礎分野	渡辺雅幸　著	医歯薬出版	2800円
00000537	リハビリテーションのための行動分析学入門	辻下守弘	医歯薬出版	2800円
00000538	小児の理学療法　/ PTマニュアル	河村光俊　著	医歯薬出版	3800円
00000539	生活環境論　第6版　生活支援の視点と方法	安梅勅江　[ほか]執筆	医歯薬出版	6800円
00000540	Newエッセンシャル産科学・婦人科学　第3版	池ノ上克　[ほか]編	医歯薬出版	9200円
00000541	摂食・嚥下障害への作業療法アプローチ　基礎理解から疾患別対応まで	東嶋美佐子　編	医歯薬出版	5400円
00000542	認知症の作業療法　第2版　ソーシャルインクルージョンをめざして	小川敬之	医歯薬出版	4700円
00000543	実践！理学療法スキル　新人3年目までに身につけたい	小林賢　編	医歯薬出版	4900円
00000544	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学　第2版　器質性構音障害	道健一	医歯薬出版	4200円
00000545	姿勢アセスメント　セラピストのためのハンズ・オンガイド	Jane Johnson　著	医歯薬出版	4000円
00000546	早産児と満期産児のためのデュボヴィッツ新生児神経学的評価法	Lilly MS Dubowitz	医歯薬出版	4400円
00000547	テキスト物理療法学　基礎と臨床	濱出茂治	医歯薬出版	5600円
00000548	日常生活活動の分析　身体運動学的アプローチ	藤澤宏幸　編	医歯薬出版	5600円
00000549	動作のメカニズムがよくわかる実践！動作分析	西守隆　編著	医歯薬出版	4200円
00000550	姿勢調節障害の理学療法　第2版	奈良勲	医歯薬出版	8600円
00000551	種目別にみるスポーツ外傷・障害とリハビリテーション	渡會公治	医歯薬出版	3600円
00000552	患者さんとスタッフのための糖尿病食事のすべて	増子マキ子　著	医歯薬出版	3000円
00000553	糖尿病運動療法のてびき　新版	糖尿病治療研究会　編	医歯薬出版	3200円
00000554	基礎理学療法学　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	大橋ゆかり　編	医歯薬出版	2800円
00000555	理学療法基礎評価学　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	臼田滋　編	医歯薬出版	4500円
00000556	地域理学療法学　第2版　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	浅川育世　編	医歯薬出版	2500円
00000557	内部障害理学療法学　第2版　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	高橋哲也　編	医歯薬出版	4800円
00000558	神経理学療法学　コアカリ準拠/ ビジュアルレクチャー	潮見泰藏　編著	医歯薬出版	4800円
00000559	理学療法基礎治療学　1　運動療法　コアカリ準拠 / ビジュアルレクチャー	中山孝　編著	医歯薬出版	2800円
00000560	理学療法基礎治療学　2　物理療法　コアカリ準拠 / ビジュアルレクチャー	中山孝	医歯薬出版	2000円
00000561	理学療法基礎治療学　3　補装具療法　コアカリ準拠 / ビジュアルレクチャー	中山孝	医歯薬出版	2400円
00000562	脳損傷のリハビリテーション高次脳機能障害支援病院から在宅へ，そしてその先へ	土屋辰夫　編	医歯薬出版	4000円
00000563	専門医に聞きたいコメディカルのための糖尿病・糖尿病性腎症Q&A 101　経験とエビデンスで答える	西沢良記	医歯薬出版	3400円
00000564	脳卒中最前線　第4版　急性期の診断からリハビリテーションまで	福井圀彦	医歯薬出版	8800円
00000565	食事指導のための生活習慣病ケーススタディ	富野康日己　著	医歯薬出版	2600円
00000566	地域理学療法　第2版　/ PTマニュアル	伊藤日出男	医歯薬出版	3600円
00000567	介護老人保健施設の作業療法	新井健五　総編集	医歯薬出版	5600円
00000568	神経障害系理学療法学　系統理学療法学	丸山仁司　編	医歯薬出版	6000円
00000569	PT・OT・STのための訪問・通所リハビリテーション　はじめの一歩	高橋仁美	医歯薬出版	3800円
00000570	そこが知りたい尿沈渣検査	横山貴	医歯薬出版	6000円
00000571	高齢者援助における相談面接の理論と実際　第2版	渡部律子　著	医歯薬出版	2800円
00000572	うつ病の作業療法	早坂友成	医歯薬出版	3600円
00000573	PT・OT基礎から学ぶ精神医学ノート	中島雅美	医歯薬出版	3200円
00000574	PT・OT基礎から学ぶ内科学ノート	中島雅美	医歯薬出版	3800円
00000575	石井均糖尿病ビジュアルガイド　第2版 患者さんの疑問にどう答えますか？	石井均　著	医歯薬出版	3200円
00000576	高次脳機能障害CD-ROMで情報提供	渡邉修　編著	医歯薬出版	4400円
00000577	CD-ROMでレッスン脳画像の読み方　第2版	石原健司　著	医歯薬出版	4600円
00000578	自信がもてる！リハビリテーション臨床実習脳卒中ケースで臨場感を体験	川上途行　[ほか]編集	医歯薬出版	4600円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000579	神経原性発声発語障害dysarthria	苅安誠　著	医歯薬出版	7200円
00000580	目でみる神経内科学　第2版	平井俊策　[ほか]著	医歯薬出版	8500円
00000581	エビデンスに基づく理学療法　第2版 実践的なQ&Aによる 評価と治療指標を総まとめ	内山靖　編	医歯薬出版	7500円
00000582	脳血管障害の理学療法　片麻痺患者の運動療法を中心に/ PTマニュアル	奈良勲　著	医歯薬出版	3400円
00000583	関節リウマチの運動療法　/ PTマニュアル	椎野泰明　著	医歯薬出版	4000円
00000584	肥満症の生活指導　行動変容のための実践ガイド	大野誠　ほか著	医歯薬出版	3800円
00000585	知りたいことがよくわかる腎臓病教室　第4版	中尾俊之　編著	医歯薬出版	3100円
00000586	気になるコミュニケーション障害の診かた	廣實真弓　編著	医歯薬出版	3800円
00000587	ここまでわかった言語発達障害　理論から実践まで	Courtenay Frazier Norbury	医歯薬出版	2600円
00000588	イラストによる中枢神経系の理解　第3版	杉浦和朗　著	医歯薬出版	6600円
00000589	予防理学療法学要論	吉田剛	医歯薬出版	4600円
00000590	脊髄損傷の理学療法　第3版　/ PTマニュアル	武田功　編著	医歯薬出版	4500円
00000591	小児リハビリテーション医学　第2版	栗原まな　著	医歯薬出版	5800円
00000592	事例で学ぶ生活行為向上マネジメント	日本作業療法士協会　編著	医歯薬出版	4000円
00000593	神経科学の最前線とリハビリテーション　脳の可塑性と運動	岡野ジェイムス洋尚 [ほか]編	医歯薬出版	5000円
00000594	活動と転倒　リハ効果を最大に，リスクを最小に 回復期リハビリテーションの実践戦略	大高洋平　編著	医歯薬出版	3400円
00000595	小児の摂食嚥下リハビリテーション　第2版	田角勝	医歯薬出版	5000円
00000596	運動学習理論に基づくリハビリテーションの実践　第2版	長谷公隆　編著	医歯薬出版	5000円
00000597	遺伝医学やさしい系統講義18講	日本人類遺伝学会 第55回大会事務局　編集	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4500円
00000598	ムーア臨床解剖学　第3版	キース L.ムーア	メディカル・サイエンス・インターナショナル	8000円
00000599	介護覚え書　老人の食事・排泄・入浴ケア	三好春樹　著	医学書院	2000円
00000600	診療情報学　第2版	日本診療情報管理学会 編集	医学書院	8000円
00000601	図説筋の機能解剖　第4版	ジョン・H.ウォーフィル／著	医学書院	3900円
00000602	下肢運動器疾患の診かた・考えかた　関節機能解剖学的リハビリテーション・アプローチ	中図健　編集	医学書院	4600円
00000603	神経解剖集中講義　第2版	ジェームス D.フィックス 原著	医学書院	3600円
00000604	図解腰痛学級　第5版	川上俊文　著	医学書院	3800円
00000605	こどもの神経疾患の診かた	新島新一	医学書院	6500円
00000606	現場から学ぶ自立支援のための住宅改修　みてわかる工夫事例・不適事例	鶴見隆正	医学書院	2400円
00000607	観察による歩行分析	Kirsten Gotz-Neumann 原著	医学書院	5000円
00000608	装具　第3版	武智秀夫	医学書院	5000円
00000609	脳卒中の運動訓練プログラム	Janet H.Carr	医学書院	5800円
00000610	解いてなっとく使えるバイオメカニクス	前田哲男	医学書院	3500円
00000611	小児から高齢者までの姿勢保持　第2版　工学的視点を臨床に活かす	日本リハビリテーション工学協会SIG姿勢保持　編集	医学書院	4700円
00000612	運動療法の「なぜ？」がわかる超音波解剖　Web動画付	工藤慎太郎　編著	医学書院	4800円
00000613	レベルアップ心電図　波形パターンから学ぶ	山科章	医学書院	3800円
00000614	上肢運動器疾患の診かた・考えかた 関節機能解剖学的リハビリテーション・アプローチ	中図健　編	医学書院	4600円
00000615	見逃してはいけない耳・鼻・のどの危険なサイン	堀井新	中山書店	6800円
00000616	働く人のうつ病	上島国利　編	中山書店	4500円
00000617	驚くほど相手に伝わる学会発表の技術　わかるデザイン60のテクニック	飯田英明　著	中山書店	3000円
00000618	呼吸からみた摂食機能障害	太田清人　編集	中山書店	2800円
00000619	心臓リハビリテーション　知っておくべきtips	ジャパンハートクラブ　編	中山書店	4800円
00000620	心電図パーフェクトマスター　簡単に楽しく読める！	Malcolm S.Thaler　著	中山書店	4800円
00000621	これが知りたかった！糖尿病診療・療養指導Q&A	吉田洋子　編集	中山書店	4000円
00000622	即解こんなときどうする！ リハビリテーションスタッフのためのトラブルシューティング	高橋仁美	中山書店	3500円
00000623	リハビリテーションのためのパッとみてわかる心電図	丸岡弘　著	中山書店	2800円
00000624	統合失調症の作業療法の進め方	堀田英樹　著	中山書店	3200円
00000625	言語聴覚士のための呼吸ケアとリハビリテーション / 呼吸ケア&リハビリテーションシリーズ	石川朗　編	中山書店	2800円
00000626	医歯薬系学生のためのビジュアル生化学・分子生物学　改訂第3版	大塚吉兵衛	日本医事新報社	5600円
00000627	健診・健康管理専門職のための新セミナー生活習慣病　第2版	田中逸　著	日本医事新報社	3200円
00000628	産業医ガイド　第2版　基本管理業務からメンタルヘルスまで	日本産業衛生学会関東産業医部会　編	日本医事新報社	6800円
00000629	変形性膝関節症の運動療法ガイド　保存的治療から術後リハまで	千田益生　編	日本医事新報社	4500円
00000630	コウノメソッドでみる認知症診療　第2版	河野和彦　著	日本医事新報社	4700円
00000631	コウノメソッドでみる認知症処方セレクション　第2版	河野和彦　著	日本医事新報社	4400円
00000632	コウノメソッドでみる認知症Q&A	河野和彦　著	日本医事新報社	4400円
00000633	コウノメソッド流臨床認知症学	河野和彦　著	日本医事新報社	8000円
00000634	コウノメソッドでみる認知症の歩行障害・パーキンソニズム	河野和彦　著	日本医事新報社	5700円
00000635	臨床医のための免疫キーワード110　4版	矢田純一　著	日本医事新報社	4500円
00000636	上級医がやっている危ない心電図の見分け方	簗島直紀　著	日本医事新報社	5200円
00000637	もつれない患者との会話術　第2版 させない！つくらない！モンスターペイシェント	大江和郎　編著	日本医事新報社	3200円
00000638	新病理学　第5版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	山本雅博	日本医事新報社	3500円
00000639	新薬理学　第6版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	安原一　監修	日本医事新報社	3200円
00000640	新生理学　第6版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	竹内昭博　著	日本医事新報社	3200円
00000641	新発生学　第4版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	白澤信行　編著	日本医事新報社	3300円
00000642	新組織学　第6版 フルカラー新装版　/ Qシリーズ	野上晴雄　編著	日本医事新報社	3300円
00000643	新微生物学　/ Qシリーズ	舘田一博　[ほか]編著	日本医事新報社	3200円
00000644	新腎不全・透析患者指導ガイド	湯村和子	日本医事新報社	3200円
00000645	膠原病診療ノート　第3版　症例の分析 文献の考察 実践への手引き	三森明夫　著	日本医事新報社	5800円
00000646	ペインクリニック診断・治療ガイド　第5版　痛みからの解放とその応用	飯田宏樹　[ほか]編集	日本医事新報社	8000円
00000647	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　1　理学療法評価学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4900円
00000648	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　2　運動療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4900円
00000649	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　3　物理療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	3600円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000650	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　4　整形外科系理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4800円
00000651	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　5　中枢神経系理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4200円
00000652	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　6　内部障害系理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	4500円
00000653	理学療法学ゴールド・マスター・テキスト　7　地域理学療法学	柳澤健　編	メジカルビュー社	3800円
00000654	関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション　改訂第2版　上肢・体幹	整形外科リハビリテーション学会　編集	メジカルビュー社	6800円
00000655	関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション　改訂第2版　下肢	整形外科リハビリテーション学会　編集	メジカルビュー社	6800円
00000656	運動療法のための機能解剖学的触診技術　改訂第2版　上肢	林典雄　執筆	メジカルビュー社	5700円
00000657	運動療法のための機能解剖学的触診技術　改訂第2版　下肢・体幹	林典雄　執筆	メジカルビュー社	5700円
00000658	解剖からアプローチするからだの機能と運動療法　上肢・体幹	青木光広　編著	メジカルビュー社	6500円
00000659	解剖からアプローチするからだの機能と運動療法　下肢・骨盤	内山英一	メジカルビュー社	6500円
00000660	動作分析臨床活用講座　バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践	石井慎一郎　編著	メジカルビュー社	5600円
00000661	心不全治療に心エコーを生かすQ&A115	瀬尾由広	メジカルビュー社	5800円
00000662	糖尿病の理学療法	大平雅美	メジカルビュー社	5200円
00000663	発達OTが考える子どもセラピィの思考プロセス　あなたのセラピィを構築するためのいくつかのヒント	小松則登　編集	メジカルビュー社	4000円
00000664	作業処方　症例の分析と思考プロセス	浅沼辰志　編集	メジカルビュー社	3800円
00000665	Visual NAVI！整形外科学	岡田恭司　著	メジカルビュー社	4800円
00000666	脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション	阿部浩明	メジカルビュー社	5500円
00000667	高齢者の転倒予防ガイドライン	運動器の不安定性に関与する姿勢と中枢制御機能に着目した転倒予防ガイドライン策定研究班　執筆	メジカルビュー社	3500円
00000668	骨腫瘍の画像診断　そのX線正常ですか？ 疑う目を養う・鍛える	尾崎敏文	メジカルビュー社	5000円
00000669	運動療法に役立つ単純X線像の読み方	浅野昭裕　著	メジカルビュー社	5400円
00000670	投球障害肩こう診てこう治せ　改訂第2版　ここが我々の切り口！	筒井廣明	メジカルビュー社	7800円
00000671	リハビリテーションリスク管理ケーススタディ	宮越浩一　著	メジカルビュー社	4000円
00000672	患者さんとご家族から学ぶ認知症なんでも相談室	国立長寿医療研究センター　編	メジカルビュー社	2800円
00000673	スポーツ理学療法学競技動作と治療アプローチ	赤坂清和	メジカルビュー社	5800円
00000674	体操療法オールブック　主要疾患・全身網羅！ ひとめでわかる効果的な筋の使い方	高平尚伸　編集	メジカルビュー社	5500円
00000675	睡眠障害知る診る治す	高橋昌克　編集	メジカルビュー社	4500円
00000676	実例による英文診断書・医療書類の書き方　改訂第2版	篠塚規　著	メジカルビュー社	2800円
00000677	運動器の痛みをとる・やわらげる　現場で使えるペインコントロール	宗圓聰	メジカルビュー社	7000円
00000678	医療現場ですぐに役立つ外国人患者対応マニュアル	高山赤十字病院　編	メジカルビュー社	3500円
00000679	足の運動療法　術前・術後にも効果的な外来テクニック	高倉義典　編著	メジカルビュー社	8500円
00000680	ROM測定法　臨床での測定精度を高める！ 代償運動のとらえ方と制動法の理解と実践	齋藤慶一郎　著	メジカルビュー社	4200円
00000681	リハに役立つ脳画像　コツさえわかればあなたも読める	大村優慈　著	メジカルビュー社	3500円
00000682	精神科作業療法運動プログラム実践ガイドブック	高橋章郎	メジカルビュー社	4200円
00000683	がん患者のリハビリテーション　リスク管理とゴール設定	宮越浩一　編集	メジカルビュー社	4200円
00000684	整形外科術後理学療法プログラム　改訂第2版	島田洋一	メジカルビュー社	5500円
00000685	脳機能の基礎知識と神経症候ケーススタディ　脳血管障害を中心に	沼田憲治　編集	メジカルビュー社	5600円
00000686	リハビリテーションのためのニューロサイエンス 脳科学からみる機能回復	浦川将　編集	メジカルビュー社	4800円
00000687	医学英語読解15のポイント	名木田恵理子	メジカルビュー社	2500円
00000688	ウィメンズヘルスリハビリテーション	ウィメンズヘルス理学療法研究会　編集	メジカルビュー社	4800円
00000689	保育・学校生活の作業療法サポートガイド 発達が気になる子どもを地域で支援！	酒井康年　編集	メジカルビュー社	3800円
00000690	終末期リハビリテーションの臨床アプローチ	安部能成　編集	メジカルビュー社	4600円
00000691	認知症をもつ人への作業療法アプローチ　視点・プロセス・理論	小川真寛	メジカルビュー社	4300円
00000692	地域包括ケア時代の脳卒中慢性期の地域リハビリテーション エビデンスを実践につなげる	吉本好延　編集	メジカルビュー社	4800円
00000693	運動器疾患の治療とリハビリテーション 手術・保存療法とリハプログラム	島田洋一	メジカルビュー社	6000円
00000694	骨軟部画像解剖徹頭徹尾　画像解剖を極め的確に診断する	江原茂　編集	メジカルビュー社	8000円
00000695	糖尿病こころのよろづ相談　石井先生にもっと聞いてみよう患者の気持ち	石井均　著	メジカルビュー社	4500円
00000696	糖尿病診療よろづ相談　石井先生に聞いてみよう患者の気持ち	石井均　著	メジカルビュー社	4800円
00000697	目で見る臨床検査	芝紀代子	メジカルビュー社	5200円
00000698	神経難病領域のリハビリテーション実践アプローチ	田中勇次郎	メジカルビュー社	5600円
00000699	リハビリテーションのための画像の読み方	本間光信	メジカルビュー社	3000円
00000700	結果の出せる整形外科理学療法　運動連鎖から全身をみる	山口光國	メジカルビュー社	7500円
00000701	肩の診かた治しかた　これだけは知っておこう	昭和大学藤が丘リハビリテーション病院　編	メジカルビュー社	8000円
00000702	膝痛知る診る治す	宗田大　著	メジカルビュー社	8500円
00000703	呼吸ケア　第3版　/ リハ実践テクニック	塩谷隆信	メジカルビュー社	4000円
00000704	骨・関節疾患の理学療法　改訂第2版　/ リハ実践テクニック	島田洋一	メジカルビュー社	5200円
00000705	脳卒中　第3版　/ リハ実践テクニック	千田富義	メジカルビュー社	5600円
00000706	ハンドセラピィ　/ リハ実践テクニック	齋藤慶一郎　編集	メジカルビュー社	5500円
00000707	関節リウマチ　改訂第2版　/ リハ実践テクニック	佐浦隆一	メジカルビュー社	4800円
00000708	集中講義医事法学・法医学　カラーイラストで学ぶ	寺野彰	メジカルビュー社	3800円
00000709	集中講義病理学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	清水道生	メジカルビュー社	5800円
00000710	集中講義生理学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	岡田隆夫　編集	メジカルビュー社	5500円
00000711	集中講義薬理学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	渡邊康裕　編集	メジカルビュー社	4200円
00000712	集中講義生化学　改訂2版　カラーイラストで学ぶ	鈴木敬一郎	メジカルビュー社	5800円
00000713	頭痛外来　/ 神経内科外来シリーズ　1	荒木信夫　担当編集	メジカルビュー社	7000円
00000714	パーキンソン病外来　/ 神経内科外来シリーズ　2	山元敏正	メジカルビュー社	7000円
00000715	もの忘れ外来　/ 神経内科外来シリーズ　3	丸木雄一　担当編集	メジカルビュー社	7000円
00000716	てんかん外来　/ 神経内科外来シリーズ　4	辻貞俊　担当編集	メジカルビュー社	7000円
00000717	脳卒中外来　/ 神経内科外来シリーズ　5	棚橋紀夫　担当編集	メジカルビュー社	8000円
00000718	急性期呼吸理学療法　臨床アプローチ	高橋仁美	メジカルビュー社	4000円
00000719	脳卒中理学療法の理論と技術　改訂第2版	原寛美	メジカルビュー社	6500円
00000720	循環器理学療法の理論と技術	増田卓	メジカルビュー社	5700円
00000721	理学療法士のためのコンディショニング入門 運動療法の効果を引き出すためのアプローチ	高橋仁美	中山書店	3800円
00000722	チームのための実践呼吸リハビリテーション	植木純	中山書店	3200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000723	声に出して覚える心電図　改訂第2版 7つのスーパーフレーズにアンサーフレーズもついた！！ 最強版	高沢謙二　著	南江堂	2500円
00000724	理学療法士・作業療法士のためのできる！ADL練習	山崎裕司　編集	南江堂	3800円
00000725	学生と健康　新版　若者のためのヘルスリテラシー	国立大学法人保健管理施設協議会　監修	南江堂	2000円
00000726	ストレッチングと筋の解剖　原書第2版	ブラッド・ウォーカー［著］	南江堂	3700円
00000727	骨格筋ハンドブック　機能解剖からエクササイズまで一目でわかる	Chris Jarmey	南江堂	3800円
00000728	生化学実践問題　基礎と臨床をつなぐ420題	Michael A.Lieberman	南江堂	3200円
00000729	ネッター解剖生理学アトラス	ネッター　［画］	南江堂	3800円
00000730	障害と活動の測定・評価ハンドブック　改訂第2版　機能からQOLまで	岩谷力	南江堂	5600円
00000731	摂食嚥下リハビリテーション　第3版	出江紳一	医歯薬出版	7600円
00000732	エッセンシャル・キネシオロジー　機能的運動学の基礎と臨床	Paul Jackson Mansfield	エルゼビア・ジャパン	5200円
00000733	Essentialタンパク質科学	Mike Williamson　著	南江堂	6800円
00000734	生命科学のためのウイルス学　感染と宿主応答のしくみ，医療への応用	David R.Harper　著	南江堂	4800円
00000735	組織細胞生物学	Abraham L.Kierszenbaum	エルゼビア・ジャパン	8500円
00000736	上手に食べるために　発達を理解した支援	田村文誉	医歯薬出版	3000円
00000737	小児の肥満症マニュアル	日本肥満学会　編	医歯薬出版	2600円
00000738	新しい食物学　改訂第3版　食生活と健康を考える	加藤陽治	南江堂	1800円
00000739	食生活論　改訂第2版　「人と食」のかかわりから	遠藤金次	南江堂	1800円
00000740	コメディカルのための生理学実習ノート　改訂第2版	杉晴夫　著	南江堂	1800円
00000741	整形徒手理学療法　Kaltenborn-Evjenth Concept	林寛	医歯薬出版	7600円
00000742	理学療法テクニック　発達的アプローチ	對馬均	医歯薬出版	4700円
00000743	親と専門家のための脳性まひ児の運動スキルガイドブック	Sieglinde Martin　原著	医歯薬出版	5400円
00000744	臨床足装具学　生体工学的アプローチ	Thomas C.Michaud　著	医歯薬出版	7000円
00000745	Dr.マスコリーノKnow the Body　筋・骨格の理解と触診のすべて	Joseph E.Muscolino／原著	エルゼビア・ジャパン	8000円
00000746	ペリー歩行分析　正常歩行と異常歩行	Jacquelin Perry	医歯薬出版	9000円
00000747	運動学実習　第3版	中村隆一	医歯薬出版	3400円
00000748	イラストでわかるスペシャルシーティング　姿勢評価アプローチ	Jean Anne Zollars　原著	医歯薬出版	6600円
00000749	言語聴覚士のための事例で学ぶことばの発達障害	大石敬子	医歯薬出版	4500円
00000750	運動機能障害症候群のマネジメント 理学療法評価・MBSアプローチ・ADL指導	Shirley A.Sahrmann　著	医歯薬出版	7800円
00000751	体表解剖と代償運動	竹内孝仁	医歯薬出版	4800円
00000752	作業療法士が行うIT活用支援	宮永敬市	医歯薬出版	5400円
00000753	日常生活活動(ADL)　新版　評価と支援の実際	伊藤利之	医歯薬出版	6800円
00000754	日常生活活動のキネシオロジー	David Paul Greene	医歯薬出版	6800円
00000755	腎臓病食品交換表　第9版　治療食の基準	中尾俊之　編者代表	医歯薬出版	1500円
00000756	生化学　/ インテグレーテッドシリーズ　1	John W.Pelley　著	東京化学同人	3800円
00000757	免疫学・微生物学　/ インテグレーテッドシリーズ　2	Jeffrey K.Actor　著	東京化学同人	3400円
00000758	解剖学・発生学　/ インテグレーテッドシリーズ　3	Bruce Ian Bogart	東京化学同人	6200円
00000759	薬理学　/ インテグレーテッドシリーズ　4	Mark Kester	東京化学同人	4200円
00000760	生理学　/ インテグレーテッドシリーズ　5	Robert G.Carroll　著	東京化学同人	4200円
00000761	医者がすすめる！薬いらずの食べ方 / 日経ホームマガジン．日経おとなのOFF		日経BP社	639円
00000762	胸部X線　画像診断の基本/ 日経メディクイズ	日経メディカル　編	日経BP社	5800円
00000763	呼吸機能検査症例集　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会　監修	じほう	2800円
00000764	実践！脳リハビリ　早期認知症の診断と介入	川瀬康裕	真興交易医書出版部	3000円
00000765	脳のはたらきからみた認知症　予防と介護の新しい視点	渕上哲　著	真興交易医書出版部	3700円
00000766	まるわかり！人工知能最前線　2018 AIセカンドステージ始動/ 日経BPムック		日経BP社	2400円
00000767	プロジェクトマネジャー最強の指南書　日経ITエンジニアスクール/ 日経BPムック		日経BP社	2400円
00000768	プロジェクトマネジャーのバイブル　システム構築を成功させる/ 日経BPムック	日経SYSTEMS　編	日経BP社	2400円
00000769	サービス付き高齢者向け住宅完全ガイド　改訂版 / NHCスタートアップシリーズ	日経ヘルスケア編集部企画・編集	日経BP社	6800円
00000770	筋：機能とテスト　姿勢と痛み	ケンダル	西村書店	7500円
00000771	カラーリングで覚える生物学　英語－日本語	R.D.グリフィン　著	西村書店	2800円
00000772	カラーアトラス基礎組織病理学　第4版	A.スティーヴンス	西村書店	6800円
00000773	線描人体解剖学　増補第3版	千葉正司　著	考古堂書店	6000円
00000774	線描体表解剖学　デルマトームへの挑戦	千葉正司　著	考古堂書店	5714円
00000775	アニマル・モデリング動物造形解剖学	片桐裕司　著	玄光社	2700円
00000776	大山竜作品集&造形テクニック	大山竜　著	玄光社	2200円
00000777	脳・神経科学入門講座　改訂版　前編　はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤　みる見るわかる	渡辺雅彦　著	羊土社	3600円
00000778	脳・神経科学入門講座　改訂版　後編　はじめて学ぶ、情報伝達の制御と脳の機能システム　みる見るわかる	渡辺雅彦　著	羊土社	3600円
00000779	消っして忘れない解剖学要点整理ノート　改訂第2版 / PT・OT必修シリーズ	井上馨	羊土社	3800円
00000780	消っして忘れない生理学要点整理ノート　改訂第2版 / PT・OT必修シリーズ	佐々木誠一　編集	羊土社	3800円
00000781	イラストで徹底理解するシグナル伝達キーワード事典	山本雅	羊土社	6600円
00000782	ICUから始める早期リハビリテーション　病態にあわせて安全に進めるための考え方と現場のコツ/ Surviving ICUシリーズ	中村俊介　編	羊土社	4600円
00000783	症例でわかる足関節・足部のMRI すぐに役立つ撮り方・読み方のポイント	小橋由紋子　著	羊土社	5800円
00000784	理系のアナタが知っておきたいラボ生活の中身　バイオ系の歩き方	野地澄晴　著	羊土社	2800円
00000785	薬物トランスポーター活用ライブラリー 機能・輸送基質から創薬・臨床応用まで	乾賢一　編	羊土社	7000円
00000786	呼吸・心臓リハビリテーション　改訂第2版　ビジュアル実践リハ カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	高橋哲也	羊土社	4600円
00000787	脳・神経系リハビリテーション ビジュアル実践リハ カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	潮見泰藏　編集	羊土社	5700円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00000788	整形外科リハビリテーション ビジュアル実践リハ カラー写真でわかるリハの根拠と手技のコツ	相澤純也	羊土社	6500円
00000789	はじめの一歩の生化学・分子生物学　第3版	前野正夫	羊土社	3800円
00000790	めざそう！保健体育教師　教師志望学生の応援テキスト	杉山重利	朝日出版社	2400円
00000791	イラストレイテッド生理学　/ リッピンコットシリーズ	Robin R.Preston	丸善出版	7800円
00000792	カラーアトラス病態病理学　改訂2版	長澤治夫	丸善出版	6800円
00000793	食品保健の科学　健全な食生活と役に立つサプリメントの基礎知識	日本健康・栄養食品協会／編	丸善出版	5900円
00000794	医学薬学のためのコア生化学	Dawn B.Marks ［著］	丸善出版	3000円
00000795	生化学　第2版	鈴木紘一　編	東京化学同人	2400円
00000796	生物学の基礎　生き物の不思議を探る	和田勝　著	東京化学同人	2500円
00000797	スター生物学	C.STARR	東京化学同人	2900円
00000798	医学細胞生物学	Steven R.Goodman　編	東京化学同人	4800円
00000799	基礎コース細胞生物学	Stephen R.BOLSOVER	東京化学同人	4800円
00000800	生命科学の基礎　生命の不思議を探る	野島博　著	東京化学同人	2400円
00000801	医学・薬学のための免疫学　第2版	豊島聰	東京化学同人	3800円
00000802	化合物命名法　第2版　IUPAC勧告に準拠	日本化学会命名法専門委員会　／編	東京化学同人	1400円
00000803	徹底攻略！病理解剖カラー図解	清水道生　編著	金芳堂	8000円
00000804	イラストと写真でわかる実践装具療法　装具の選択と疾患別使用例	久保俊一	金芳堂	4600円
00000805	ケースで学ぶディサースリア	西尾正輝　著	インテルナ出版	3700円
00000806	STのための音声障害診療マニュアル	城本修	インテルナ出版	3500円
00000807	解剖トレーニングノート　第6版	竹内修二　著	医学教育出版社	2800円
00000808	生理学トレーニングノート	生理学TN編集委員会　編著	医学教育出版社	2500円
00000809	楽しくいきいき、認知症予防！ 利用者像に合わせた認知機能低下予防プログラムの実際	高橋龍太郎　監修	インターメディカ	2200円
00000810	イラスト版子どものソーシャルスキル 友だち関係に勇気と自信がつく42のメソッド	相川充	合同出版	1600円
00000811	実習ADL/APDL　学生のためのワークブック	原和子　［ほか］著	協同医書出版社	3500円
00000812	地域に根ざした作業療法　理論と実践	Marjorie E.Scaffa　編著	協同医書出版社	5500円
00000813	音楽家と医師のための音楽家医学入門	根本孝一	協同医書出版社	2800円
00000814	作業－その治療的応用　改訂第2版	日本作業療法士協会　編	協同医書出版社	3500円
00000815	地域分析ハンドブック　Excelによる図表づくりの道具箱	半澤誠司	ナカニシヤ出版	2700円
00000816	新版K式発達検査反応実例集	中瀬惇	ナカニシヤ出版	2500円
00000817	脳卒中後のコミュニケーション障害　改訂第2版　成人コミュニケーション障害者のリハビリテーション：失語症を中心に	竹内愛子	協同医書出版社	5600円
00000818	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris Winitz　編著	協同医書出版社	3800円
00000819	肩のリハビリテーションの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　2	鈴川仁人	ナップ	3000円
00000820	足部スポーツ障害治療の科学的基礎 / Sports Physical Therapy Seminar Series　7	山内弘喜	ナップ	3000円
00000821	ADL　/ PT・OTビジュアルテキスト	柴喜崇	羊土社	5200円
00000822	義肢・装具学　異常とその対応がわかる動画付き / PT・OTビジュアルテキスト	豊田輝	羊土社	6800円
00000823	国際リハビリテーション学　国境を越えるPT・OT・ST / PT・OTビジュアルテキスト	河野眞　編集	羊土社	6800円
00000824	姿勢・動作・歩行分析　/ PT・OTビジュアルテキスト	畠中泰彦　編集	羊土社	5000円
00000825	地域理学療法学　/ PT・OTビジュアルテキスト	重森健太　編集	羊土社	4500円
00000826	内部障害理学療法学　/ PT・OTビジュアルテキスト	松尾善美　編集	羊土社	5000円
00000827	リハビリテーション基礎評価学　/ PT・OTビジュアルテキスト	潮見泰藏	羊土社	5900円
00000828	がん増殖と悪性化の分子機構　/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　03	宮澤恵二	化学同人	5800円
00000829	がんの分子イメージング　/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　22	浦野泰照　編	化学同人	6300円
00000830	オートファジー　生命をささえる細胞の自己分解システム / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　04	水島昇	化学同人	5000円
00000831	エピジェネティクス　その分子機構から高次生命機能まで / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　12	田嶋正二　編	化学同人	6000円
00000832	最新義肢装具ハンドブック	三上真弘	全日本病院出版会	7000円
00000833	絵でみる最新足診療エッセンシャルガイド	高尾昌人　編	全日本病院出版会	7000円
00000834	イチから知りたいアレルギー診療　領域を超えた総合対策	大久保公裕　編集	全日本病院出版会	5000円
00000835	肩こり、首・腰の痛みを自分で治す・予防する	林浩一郎　著	全日本病院出版会	2200円
00000836	ここが聞きたい！スポーツ診療Q&A	桜庭景植　編	全日本病院出版会	5500円
00000837	スポーツ医学常識のうそ	横江清司　著	全日本病院出版会	2600円
00000838	これでわかる！スポーツ損傷超音波診断　肩・肘+α	杉本勝正　著	全日本病院出版会	4600円
00000839	老いを内包する膝　早期診断と早期治療	井原秀俊　編	全日本病院出版会	5500円
00000840	運動連鎖から考える投球障害　パフォーマンスUP！ 診察室からグラウンドまでをつなぐアプローチ	森原徹	全日本病院出版会	3900円
00000841	のどの病気Q&A	山中昇　編著	全日本病院出版会	6000円
00000842	イラストレイテッド免疫学　/ リッピンコットシリーズ	Thao Doan	丸善出版	6800円
00000843	生命科学入門　理工系の基礎	池北雅彦　［ほか］著	丸善出版	2500円
00000844	疾患からみた臨床薬理学　第3版	大橋京一	じほう	6500円
00000845	がん治療と化学療法　第3版　がんチーム医療スタッフのための Cancer Treatments notes for profession	奥村学	じほう	4000円
00000846	関節可動障害　その評価と理学療法・作業療法	嶋田智明	メディカルプレス	5340円
00000847	コア病理学	Arthur S.Schneider	丸善	6500円
00000848	イラストレイテッドハーパー・生化学　/ Lange Textbookシリーズ	Victor W.Rodwell	丸善出版	7900円
00000849	微生物学　上	R.Y.スタニエ［ほか］共著	培風館	5800円
00000850	微生物学　下	R.Y.スタニエ［ほか］共著	培風館	5800円
00000851	まんがでわかる脳卒中回復期リハビリ	誠愛リハビリテーション病院リハビリまんが研究会　脚本	メディカルレビュー社	2200円
00000852	失敗から学ぶプロマネ技術36のQ&A	小浜耕己　著	日経BP社	2400円
00000853	「コンセプト力」でプロジェクトを動かす　プロマネの新必修スキル	好川哲人　著	日経BP社	2400円
00000854	シンプルプレゼン	ガー・レイノルズ　著	日経BP社	2600円
00000855	世界最高のプレゼン教室	ガー・レイノルズ　著	日経BP社	2600円
00000856	絶対に遅延しないプロジェクト進捗管理　マスタースケジュール、アーンドバリュー・マネジメント、PMSによる科学的・定量的な進捗管理	岡村正司　著	日経BP社	2800円
00000857	基礎から学ぶプロマネ技術必携マニュアル	小浜耕己　著	日経BP社	2800円
00000858	プレゼン資料作成のツボとコツがゼッタイにわかる本　元外資系コンサル会社のパワポの達人が教える！	奥秋和歌子　著	秀和システム	2200円
00000859	驚異の未来生物　人類が消えた1000万年後の世界	マルク・ブレー	創元社	2300円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000860	認知症高齢者のリスクマネジメント	湯浅美千代　編著	すぴか書房	2800円
00000861	火山全景　写真でめぐる世界の火山地形と噴出物	白尾元理　写真	誠文堂新光社	3800円
00000862	はじめてでもかんたん！大人のかぎ針編み わかりやすい編み方プロセス付き	リトルバード　編	西東社	1200円
00000863	からだをまもる免疫のふしぎ	日本免疫学会　編	羊土社	1800円
00000864	宇宙48の謎　地球外生命体を探せ！/ 日経BPムック．ナショナルジオグラフィック別冊　5		日経ナショナルジオグラフィック社	1400円
00000865	恐竜がいた地球　2億5000万年の旅にGO!/ 日経BPムック．ナショナルジオグラフィック別冊　6		日経ナショナルジオグラフィック社	1400円
00000866	傷病者の搬送と移乗　/ 救急現場活動シリーズ　1	安田康晴　著	へるす出版	2000円
00000867	リーダーシップと救急隊長の役割　/ 救急現場活動シリーズ　5	竹井豊　著	へるす出版	2000円
00000868	生命史図譜　/ 生物ミステリーPRO	土屋健　著	技術評論社	2680円
00000869	エディアカラ紀・カンブリア紀の生物　/ 生物ミステリーPRO　1	土屋健　著	技術評論社	2680円
00000870	オルドビス紀・シルル紀の生物　/ 生物ミステリーPRO　2	土屋健　著	技術評論社	2680円
00000871	あなたが心電図を読めない本当の理由(わけ)	村川裕二　著	文光堂	2800円
00000872	あなたが心電図を読めない本当の理由(わけ)　続	村川裕二　著	文光堂	2800円
00000873	あなたが心電図を読めない本当の理由(わけ)　続々	村川裕二　著	文光堂	2800円
00000874	介護がわかる　1　介護保険のしくみ / 介護・看護・医療の現場で役立つシリーズ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1200円
00000875	介護がわかる　2　生活を支える制度 / 介護・看護・医療の現場で役立つシリーズ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1200円
00000876	神社の解剖図鑑　日本各地の神様とご利益がマルわかり	米澤貴紀　著	エクスナレッジ	1600円
00000877	神社の解剖図鑑　2　神様とご利益の深い関係の読み解き方	本間美加子　著	エクスナレッジ	1600円
00000878	誰でもわかる動作分析　私もこれで理解できました	小島正義　著	南江堂	2000円
00000879	誰でもわかる動作分析　2　これでますます理解できました	小島正義　編著	南江堂	2300円
00000880	誰でもわかる動作分析　3　実習形式！バイオメカニクスのオモシロ授業	小島正義　編著	南江堂	2300円
00000881	日本の動物学の歴史　/ シリーズ21世紀の動物科学　1	毛利秀雄	培風館	3600円
00000882	動物の多様性　/ シリーズ21世紀の動物科学　2	片倉晴雄	培風館	3600円
00000883	動物の形態進化のメカニズム　/ シリーズ21世紀の動物科学　3	倉谷滋	培風館	3700円
00000884	性と生殖　/ シリーズ21世紀の動物科学　4	安部眞一	培風館	3200円
00000885	発生　/ シリーズ21世紀の動物科学　5	浅島誠	培風館	3800円
00000886	細胞の生物学　/ シリーズ21世紀の動物科学　6	鈴木範男	培風館	3400円
00000887	神経系の多様性　その起源と進化/ シリーズ21世紀の動物科学　7	阿形清和	培風館	3800円
00000888	行動とコミュニケーション　/ シリーズ21世紀の動物科学　8	岡良隆	培風館	3700円
00000889	動物の感覚とリズム　/ シリーズ21世紀の動物科学　9	七田芳則	培風館	3000円
00000890	内分泌と生命現象　/ シリーズ21世紀の動物科学　10	長濱嘉孝	培風館	3800円
00000891	生態と環境　/ シリーズ21世紀の動物科学　11	松本忠夫	培風館	3800円
00000892	腸内細菌　第3版　上巻　概論, Salmonella属	坂崎利一	近代出版	6500円
00000893	腸内細菌　第3版　下巻　各論	坂崎利一	近代出版	7500円
00000894	がんサバイバー　医学・心理・社会的アプローチでがん治療を結いなおす	Kenneth D.Miller　[編]	医学書院	4000円
00000895	Dr.大津の誰でもわかる医療用麻薬　選べる・使える・説明できる	大津秀一　著	医学書院	3400円
00000896	大人の発達障害ってそういうことだったのか	宮岡等	医学書院	2800円
00000897	自閉症スペクトラムの精神病理　星をつぐ人たちのために	内海健　著	医学書院	3500円
00000898	地域医療と暮らしのゆくえ　超高齢社会をともに生きる	高山義浩　著	医学書院	1800円
00000899	医療政策集中講義　医療を動かす戦略と実践	東京大学公共政策大学院 医療政策教育・研究ユニット　／編	医学書院	2800円
00000900	今日の理学療法指針	内山靖　総編集	医学書院	5400円
00000901	こころの病を診るということ　私の伝えたい精神科診療の基本	青木省三　著	医学書院	3000円
00000902	構造と診断　ゼロからの診断学	岩田健太郎　著	医学書院	2500円
00000903	死生学のすすめ	山本俊一　著	医学書院	3000円
00000904	認知症と診断されたあなたへ	小澤勲	医学書院	1600円
00000905	ここで差がつく"背景疾患別"理学療法Q&A　/ 理学療法NAVI	高橋哲也　編	医学書院	2700円
00000906	"臨床思考"が身につく運動療法Q&A　/ 理学療法NAVI	高橋哲也　編	医学書院	2700円
00000907	死にゆく患者(ひと)と、どう話すか	國頭英夫　著	医学書院	2100円
00000908	精神科初回面接	JAMES MORRISON　著	医学書院	4500円
00000909	人間ドックマニュアル　第3版　健康評価と指導のポイント	田村政紀	医学書院	6000円
00000910	トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント　第2版	Robert Twycross	医学書院	3800円
00000911	アクション　/ 神経心理学コレクション	丹治順	医学書院	3400円
00000912	失われた空間　/ 神経心理学コレクション	石合純夫　著	医学書院	3000円
00000913	音楽の神経心理学　/ 神経心理学コレクション	緑川晶　著	医学書院	2800円
00000914	記憶の神経心理学　/ 神経心理学コレクション	山鳥重　著	医学書院	2600円
00000915	高次機能のブレインイメージング　/ 神経心理学コレクション	川島隆太　著	医学書院	5200円
00000916	視覚性認知の神経心理学　/ 神経心理学コレクション	鈴木匡子　著	医学書院	2800円
00000917	失行　/ 神経心理学コレクション	河村満	医学書院	5000円
00000918	失語の症候学　/ 神経心理学コレクション	相馬芳明	医学書院	4300円
00000919	ジャクソンの神経心理学　/ 神経心理学コレクション	山鳥重　著	医学書院	3400円
00000920	神経心理学の挑戦　/ 神経心理学コレクション	山鳥重	医学書院	3000円
00000921	タッチ　/ 神経心理学コレクション	岩村吉晃　著	医学書院	3500円
00000922	痴呆の症候学　/ 神経心理学コレクション	田邉敬貴　著	医学書院	4300円
00000923	痴呆の臨床　CDR判定用ワークシート解説/ 神経心理学コレクション	目黒謙一　著	医学書院	2800円
00000924	手　/ 神経心理学コレクション	チャールズ・ベル　著	医学書院	3600円
00000925	ドイツ精神医学の原典を読む　/ 神経心理学コレクション	池村義明　著	医学書院	3800円
00000926	道具を使うサル　/ 神経心理学コレクション	入來篤史　著	医学書院	3000円
00000927	頭頂葉　/ 神経心理学コレクション	酒田英夫　著	医学書院	3800円
00000928	認知症の「みかた」　/ 神経心理学コレクション	三村將	医学書院	3000円
00000929	脳を繙く　歴史でみる認知神経科学/ 神経心理学コレクション	マックス・ベネット	医学書院	4800円
00000930	ピック病　二人のアウグスト/ 神経心理学コレクション	松下正明	医学書院	3500円
00000931	表情を解剖する　/ 神経心理学コレクション	チャールズ・ベル　著	医学書院	4000円
00000932	病理から見た神経心理学　/ 神経心理学コレクション	石原健司	医学書院	3800円
00000933	ふるえ　/ 神経心理学コレクション	柴崎浩	医学書院	5200円
00000934	街を歩く神経心理学　/ 神経心理学コレクション	高橋伸佳　著	医学書院	3000円
00000935	眼と精神　彦坂興秀の課外授業/ 神経心理学コレクション	彦坂興秀	医学書院	3000円
00000936	レビー小体型認知症の臨床　/ 神経心理学コレクション	小阪憲司	医学書院	3400円
00000937	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹恒夫	医学書院	3700円
00000938	言語聴覚士のための子どもの聴覚障害訓練ガイダンス	立石恒雄	医学書院	3500円
00000939	言語聴覚士のための失語症訓練ガイダンス	日本言語療法士協会 学術支援局専門委員会失語症系　／編	医学書院	2800円
00000940	大人の発達障害を診るということ　診断や対応に迷う症例から考える	青木省三	医学書院	3000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00000941	「話せない」と言えるまで　言語聴覚士を襲った高次脳機能障害	関啓子　著	医学書院	2500円
00000942	WHOをゆく　感染症との闘いを超えて	尾身茂　著	医学書院	2800円
00000943	臨床倫理学入門	福井次矢	医学書院	2800円
00000944	健康格差社会への処方箋	近藤克則　著	医学書院	2500円
00000945	健康格差社会　何が心と健康を蝕むのか	近藤克則　著	医学書院	2500円
00000946	脳科学のコスモロジー　幹細胞，ニューロン，グリア	藤田晢也	医学書院	5200円
00000947	心因性非てんかん性発作へのアプローチ	ローナ・マイヤーズ　著	医学書院	3400円
00000948	神経発達症群　/ DSM-5セレクションズ	American Psychiatric Association ［著］	医学書院	2700円
00000949	抑うつ障害群　/ DSM-5セレクションズ	American Psychiatric Association ［著］	医学書院	2700円
00000950	思春期・青年期のうつ病治療と自殺予防	DAVID A.BRENT	医学書院	5000円
00000951	"脳と心"からみた統合失調症の理解	倉知正佳　著	医学書院	4800円
00000952	脳卒中の下肢装具　第3版　病態に対応した装具の選択法	渡邉英夫	医学書院	4200円
00000953	今日から使える医療統計	新谷歩　著	医学書院	2800円
00000954	基礎から学ぶ楽しい保健統計	中村好一　著	医学書院	2800円
00000955	基礎から学ぶ楽しい疫学　第3版	中村好一　著	医学書院	3000円
00000956	クリニックで診る摂食障害	切池信夫　著	医学書院	3400円
00000957	摂食障害　第2版　食べない，食べられない，食べたら止まらない	切池信夫　著	医学書院	3400円
00000958	摂食障害の認知行動療法	Christopher G.Fairburn 原著	医学書院	5500円
00000959	自殺のポストベンション　遺された人々への心のケア	高橋祥友	医学書院	2600円
00000960	筋・筋膜性腰痛のメカニズムとリハビリテーション / Sports physical therapy seminar series　4	加賀谷善教	ナップ	3000円
00000961	呼吸リハビリテーションの理論と技術　改訂第2版	田中一正	メジカルビュー社	5200円
00000962	基本動作の評価と治療アプローチ	弓岡光徳	メジカルビュー社	6200円
00000963	整形外科医のための骨のバイオメカニクス解析 CT画像からモデルを作って有限要素法で解析しよう！	稲葉裕	メジカルビュー社	7000円
00000964	リハビリテーション義肢装具学	清水順市	メジカルビュー社	5800円
00000965	リハビリテーション運動生理学	解良武士　編集	メジカルビュー社	5800円
00000966	リハビリテーションリスク管理ハンドブック　第3版	亀田メディカルセンターリハビリテーション科リハビリテーション室　編集	メジカルビュー社	4200円
00000967	アレルギー疾患のすべて　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	小川郁	日本医師会	5500円
00000968	消化器疾患診療のすべて　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	跡見裕 ［ほか］監修・編集	日本医師会	5500円
00000969	脳卒中の臨床神経リハビリテーション　理論と実践	鈴木恒彦	市村出版	3800円
00000970	妊娠・出産・産後をケアする妊婦マッサージ	Carole Osborne　著	医道の日本社	4200円
00000971	マッサージのための機能解剖学　学習と臨床に役立つ	Cindy Moorcroft　著	医道の日本社	4800円
00000972	英国医師会腰痛・頚部痛ガイド 解剖、診断、治療、そして生活指導と運動療法の詳細	英国医師会　［編］	医道の日本社	3800円
00000973	これで解決！PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド	大塚裕一　監修〈代表〉	金芳堂	2600円
00000974	運動による脳の制御　認知症予防のための運動	島田裕之　編集	杏林書院	4000円
00000975	断層解剖カラーアトラス	Harold Ellis	南江堂	4700円
00000976	シンプル小児科学	香美祥二　編集	南江堂	4400円
00000977	シンプル皮膚科学	眞鍋求	南江堂	4000円
00000978	シンプル呼吸器学	興梠博次　編集	南江堂	4000円
00000979	シンプル循環器学	犀川哲典	南江堂	4500円
00000980	シンプル生化学　改訂第6版	野口正人	南江堂	2900円
00000981	シンプル病理学　改訂第7版	笹野公伸	南江堂	2900円
00000982	シンプル薬理学　改訂第5版	野村隆英	南江堂	2900円
00000983	中枢神経障害理学療法学テキスト　改訂第2版 / シンプル理学療法学シリーズ	植松光俊	南江堂	4800円
00000984	物理療法学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	木村貞治	南江堂	4500円
00000985	日常生活活動学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	河元岩男	南江堂	4000円
00000986	運動療法学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	植松光俊	南江堂	4800円
00000987	運動器障害理学療法学テキスト　改訂第2版 / シンプル理学療法学シリーズ	高柳清美	南江堂	4500円
00000988	股関節の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5000円
00000989	肘・手の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5000円
00000990	頚部・肩の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5300円
00000991	腰背部の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編	南江堂	5000円
00000992	下腿・足の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編集	南江堂	5500円
00000993	膝・大腿部の痛み　/ 運動器の痛みプライマリケア	菊地臣一　編集	南江堂	5500円
00000994	患者さんと家族のための胆石症ガイドブック	日本消化器病学会　編	南江堂	1000円
00000995	患者さんと家族のための消化性潰瘍ガイドブック	日本消化器病学会　編	南江堂	1000円
00000996	患者さんと家族のためのクローン病ガイドブック	日本消化器病学会　編	南江堂	1000円
00000997	Q&Aでわかる呼吸器疾患ガイドライン実践ブック	須田隆文	南江堂	4500円
00000998	患者さんのための頚椎後縦靭帯骨化症ガイドブック 診療ガイドラインに基づいて	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会	南江堂	1200円
00000999	患者さんとともに理解するCKDと血液透析　Q&Aで理解する	門川俊明　著	南江堂	2800円
00001000	糖尿病運動療法指導マニュアル	佐藤祐造　編	南江堂	2000円
00001001	新入門食品衛生学　改訂第3版	和泉喬　［ほか］共著	南江堂	2300円
00001002	運動器慢性痛診療の手引き	日本整形外科学会運動器疼痛対策委員会　編集	南江堂	3400円
00001003	新・栄養指導論　改訂第2版	岡崎光子　編	南江堂	2300円
00001004	よくわかる人工呼吸管理テキスト　改訂第6版	並木昭義	南江堂	4800円
00001005	PT・OT・PO身体運動の理解につなげる物理学	江原義弘	南江堂	2800円
00001006	新しい臨床栄養学　改訂第6版	後藤昌義	南江堂	2800円
00001007	新しい食品加工学　改訂第2版　食品の保存・加工・流通と栄養	小川正	南江堂	2400円
00001008	小児科学テキスト	清野佳紀	南江堂	5300円
00001009	人工呼吸管理の第一歩　まんが	松本真希　著	南江堂	1800円
00001010	キャスト法マニュアル　改訂第2版	田中寿一	南江堂	3200円
00001011	エビデンスで解決！緩和医療ケースファイル	森田達也	南江堂	3400円
00001012	医科細菌学　改訂第4版	笹川千尋	南江堂	6800円
00001013	新しい解剖生理学　改訂第12版	山本敏行	南江堂	3200円
00001014	医科ウイルス学　改訂第3版	高田賢藏　編	南江堂	8500円
00001015	スポーツPNFハンドブック	覚張秀樹　著	南江堂	3800円
00001016	基礎栄養学　改訂第5版　/ 健康・栄養科学シリーズ	奥恒行	南江堂	2800円
00001017	3日間で行う理学療法臨床評価プランニング	中山恭秀　編集	南江堂	3800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001018	病院情報システムの利用者心得解説書	日本医療情報学会医療情報技師育成部会　編集	南江堂	1400円
00001019	変形性股関節症テキスト　疾患理解と治療法	安藤謙一　著	南江堂	2300円
00001020	肘が痛い方のために　診療ガイドラインに基づいた上腕骨外側上顆炎<テニス肘>ガイドブック	日本整形外科学会診療ガイドライン委員会上腕骨外側上顆炎ガイドライン策定委員会　編集	南江堂	1200円
00001021	みんなで学ぶパーキンソン病　患者さんとともに歩む診療をめざして	柏原健一	南江堂	2800円
00001022	転倒予防のための運動機能向上トレーニングマニュアル	植松光俊	南江堂	2300円
00001023	スポーツ指導者のためのスポーツ医学　改訂第2版	小出清一	南江堂	3200円
00001024	痛みの注射法アトラス	Juergen Fischer　［著］	南江堂	5700円
00001025	わかりやすい外科学	馬場秀夫	文光堂	4800円
00001026	身体作業療法クイックリファレンス	坪田貞子　編	文光堂	6500円
00001027	臨床精神科作業療法入門	田端幸枝	文光堂	5000円
00001028	臨床ハンドセラピィ	坪田貞子　編	文光堂	6800円
00001029	はじめての訪問言語聴覚療法　「在宅で食べる」を支援する！	大澤真理	文光堂	3200円
00001030	実践EBM心臓リハビリテーション　エビデンス診療ギャップとその対応	松尾善美	文光堂	7500円
00001031	最新産科学　改訂第22版　正常編	荒木勤　著	文光堂	5000円
00001032	最新産科学　改訂第22版　異常編	荒木勤　著	文光堂	7000円
00001033	アスレティックリハビリテーションガイド　競技復帰・再発予防のための実践的アプローチ	福林徹　編	文光堂	5000円
00001034	わかりやすい内科学　第4版	井村裕夫　編集主幹	文光堂	9000円
00001035	ランニング障害のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	増田雄一　編集	文光堂	4500円
00001036	競技種目特性からみたリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	山本利春　編集	文光堂	4500円
00001037	上肢急性外傷のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	宮下浩二　編集	文光堂	4500円
00001038	腰痛のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	片寄正樹　編	文光堂	4000円
00001039	下肢スポーツ外傷のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	小柳磨毅　編	文光堂	4000円
00001040	投球障害のリハビリテーションとリコンディショニング　リスクマネジメントに基づいたアプローチ	山口光國　編	文光堂	4000円
00001041	入院高齢者診療マニュアル　/ Bunkodo Essential & Advanced Mook	神崎恒一	文光堂	6000円
00001042	スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド　第2版	臨床スポーツ医学編集委員会　／編	文光堂	7000円
00001043	スポーツ医学研修ハンドブック　第2版　基礎科目	日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会　／監修	文光堂	3800円
00001044	スポーツ医学研修ハンドブック　第2版　応用科目	日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会　／監修	文光堂	4500円
00001045	解剖・動作・エコーで導くFasciaリリースの基本と臨床　筋膜リリースからFasciaリリースへ Fasciaの評価と治療	木村裕明　編集主幹	文光堂	4500円
00001046	積極的保存療法　スポーツ障害の評価と治療	村上成道	文光堂	3800円
00001047	手軽にとれる神経所見　カラーイラスト図解	塩尻俊明　著	文光堂	4500円
00001048	エクササイズ科学　健康体力つくりと疾病・介護予防のための基礎と実践	田中喜代次	文光堂	4500円
00001049	スポーツ鍼灸ハンドブック　第2版 M-Testによる経絡運動学的アプローチ	向野義人	文光堂	4000円
00001050	トレーニング科学　/ 健康・スポーツ科学テキスト	北川薫　編	文光堂	3000円
00001051	機能解剖・バイオメカニクス　/ 健康・スポーツ科学テキスト	北川薫　編	文光堂	3000円
00001052	ファンクショナルトレーニング 機能向上と障害予防のためのパフォーマンストレーニング	渡部賢一	文光堂	4500円
00001053	走動作のファンクショナルトレーニング 機能改善と障害予防のためのパフォーマンストレーニング	角勝義	文光堂	4500円
00001054	睡眠障害診療ガイド	日本睡眠学会認定委員会睡眠障害診療ガイド・ワーキンググループ　監修	文光堂	3000円
00001055	クローン病の診療ガイド　第2版	日本炎症性腸疾患協会　編	文光堂	3800円
00001056	図解心電図テキスト　Dr.Dubin式はやわかり心電図読解メソッド	Dale Dubin　著	文光堂	4500円
00001057	リンパ浮腫治療のセルフケア	佐藤佳代子　著	文光堂	3800円
00001058	イラストでわかる整形外科診療	久保俊一	文光堂	8500円
00001059	脳血管障害の評価とアプローチ　回復期における着眼点と行動プロセス 生活の行為を紡ぐ作業療法プラクティス	小林毅	文光堂	5500円
00001060	図解臨床細菌検査　第2版	坂崎利一　編	文光堂	5200円
00001061	嚥下食ピラミッドによる嚥下食レシピ125	江頭文江	医歯薬出版	2200円
00001062	病院・施設のための嚥下食ピラミッドによる咀嚼・嚥下困難者レシピ100	栢下淳　編著	医歯薬出版	2800円
00001063	嚥下食ピラミッドによるペースト・ムース食レシピ230　補訂	栢下淳　編著	医歯薬出版	2600円
00001064	理学療法士のためのウィメンズ・ヘルス運動療法	山本綾子	医歯薬出版	4800円
00001065	高齢者理学療法学	島田裕之　総編集	医歯薬出版	9000円
00001066	運動器疾患ワークブック	小林直行　編	医歯薬出版	4000円
00001067	環境と理学療法	内山靖　編著	医歯薬出版	6600円
00001068	スタンダード細胞診テキスト　第3版	東京都保健医療公社東京都がん検診センター　編	医歯薬出版	7000円
00001069	サルコペニアの摂食・嚥下障害　リハビリテーション栄養の可能性と実践	若林秀隆	医歯薬出版	4400円
00001070	実践リハビリテーション栄養　病院・施設・在宅でのチーム医療のあり方	若林秀隆　編著	医歯薬出版	3400円
00001071	現代医学概論　第2版	柳澤信夫　著	医歯薬出版	3100円
00001072	コメディカル統計テキスト　エクセル活用	宮城重二　著	医歯薬出版	2400円
00001073	院内事故調査実践マニュアル	生存科学研究所医療政策研究会　／編著	医歯薬出版	2600円
00001074	新編声の検査法	日本音声言語医学会　編	医歯薬出版	6800円
00001075	重症心身障害通園マニュアル　第2版　在宅生活を支えるために	岡田喜篤　［ほか］編	医歯薬出版	3000円
00001076	介護基礎学　新版　高齢者自立支援の理論と実践	竹内孝仁　著	医歯薬出版	3200円
00001077	肘診療マニュアル　第2版	石井清一	医歯薬出版	4600円
00001078	わかりやすい臨床中医診断学　第2版	王財源　著	医歯薬出版	6400円
00001079	わかりやすい臨床中医臓腑学　第3版	王財源　著	医歯薬出版	4200円
00001080	上肢骨折の保存療法	武田功	医歯薬出版	4800円
00001081	外来整形外科のための退行変性疾患の理学療法	小関博久　編	医歯薬出版	5800円
00001082	ヘルス21栄養教育・栄養指導論　新版　/ Nutrition Education	辻とみ子	医歯薬出版	2800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00001083	Q&Aでひも解く高次脳機能障害	廣實真弓	医歯薬出版	3400円
00001084	検査数値でみる生活習慣病　症例からスキルチェック	富野康日己　著	医歯薬出版	3600円
00001085	生殖補助医療技術学テキスト	荒木康久　著	医歯薬出版	2400円
00001086	解剖学ワークブック	西川彰	医歯薬出版	4000円
00001087	運動学　改訂第3版	齋藤宏	医歯薬出版	4200円
00001088	食品学・食品機能学・食品加工学　第3版　/ 食べ物と健康	長澤治子　編著	医歯薬出版	2800円
00001089	維持透析患者の補完代替医療ガイド	阿岸鉄三　編著	医歯薬出版	6800円
00001090	人の生命科学　第3版	佐々木史江	医歯薬出版	2600円
00001091	応用栄養学栄養マネジメント演習・実習　第4版	竹中優	医歯薬出版	3000円
00001092	演習栄養教育　第7版	大里進子	医歯薬出版	2900円
00001093	言語聴覚士のための音響学	今泉敏　著	医歯薬出版	3800円
00001094	言語聴覚士のための失語症学	波多野和夫　[ほか]著	医歯薬出版	5000円
00001095	言語聴覚士のための言語発達障害学　第2版	石田宏代	医歯薬出版	4400円
00001096	言語聴覚士のための心理学　補訂	山田弘幸　編	医歯薬出版	4000円
00001097	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬肇	医歯薬出版	5000円
00001098	情報科学　/ 最新臨床検査学講座	松戸隆之　著	医歯薬出版	2000円
00001099	公衆衛生学　2018年版　社会・環境と健康	柳川洋	医歯薬出版	2600円
00001100	ウエルネス公衆栄養学　2018年版	前大道教子	医歯薬出版	2800円
00001101	新食品衛生学要説　2018年版　食べ物と健康・食品と衛生	細貝祐太郎	医歯薬出版	2800円
00001102	歩き始めと歩行の分析　ボディダイナミクス入門	江原義弘	医歯薬出版	5600円
00001103	エッセンシャル社会・環境と健康　第2版	高島豊	医歯薬出版	3000円
00001104	栄養素でわかる食品と健康　WEB連動テキスト	柴田克己	培風館	2800円
00001105	体のしくみを理解するための解剖生理学	相澤徹　[ほか]共著	丸善	2900円
00001106	人体解剖カラーリングブック	T.Alan Twietmeyer	丸善	3800円
00001107	ブラック微生物学　第3版	Jacquelyn G.Black　著	丸善出版	8500円
00001108	エッセンシャル・キャンベル生物学	Simon	丸善出版	7000円
00001109	ボディセラピーのためのトートラ標準解剖生理学	Andrew J.Kuntzman	丸善出版	8500円
00001110	イラストレイテッド生化学　/ リッピンコットシリーズ	Denise R.Ferrier　[著]	丸善出版	7800円
00001111	イラストレイテッド薬理学　/ リッピンコットシリーズ	Karen Whalen	丸善出版	7800円
00001112	頚椎診療のてびき	遠藤健司	丸善出版	5500円
00001113	クイックレビュー臨床発生学	Ronald W.Dudek　[著]	丸善出版	2800円
00001114	不明熱を減らすための〈外来発熱診療ガイド〉　症候別の診かた・考えかた	中村造	丸善出版	3600円
00001115	血液内科学　/ 医学スーパーラーニングシリーズ	大屋敷一馬	丸善出版	3600円
00001116	生理学　症例ファイル	Eugene C.Toy　[ほか著]	丸善	3800円
00001117	PT症例レポート赤ペン添削ビフォー&アフター	相澤純也	羊土社	3600円
00001118	現代生命科学	東京大学生命科学教科書編集委員会　編	羊土社	2800円
00001119	演習で学ぶ生命科学　第2版　物理・化学・数理からみる生命科学入門	東京大学生命科学教科書編集委員会　編	羊土社	3200円
00001120	食品衛生学　/ 栄養科学イラストレイテッド	田崎達明　編	羊土社	2800円
00001121	はじめの一歩の病理学　第2版	深山正久　編	羊土社	2900円
00001122	はじめの一歩のイラスト感染症・微生物学 はじめて学ぶ人のための目で見る教科書	本田武司　編	羊土社	3200円
00001123	はじめの一歩のイラスト薬理学 薬がどうして効くのか目で見てよくわかる教科書	石井邦雄　著	羊土社	2900円
00001124	基礎から学ぶ生物学・細胞生物学　第3版	和田勝　著	羊土社	3200円
00001125	分子生物学イラストレイテッド　改訂第3版	田村隆明	羊土社	4900円
00001126	タンパク質科学イラストレイテッド	竹縄忠臣　編	羊土社	5400円
00001127	免疫・アレルギー疾患イラストレイテッド　病態と治療戦略がみえる	田中良哉　編集	羊土社	7200円
00001128	ラボノートの書き方　改訂版　理系なら知っておきたい：論文作成，データ捏造防止，特許に役立つ書き方+管理法がよくわかる！	岡崎康司	羊土社	3000円
00001129	やさしい基礎生物学　第2版	南雲保　編著	羊土社	2900円
00001130	PT・OTのための臨床研究はじめの一歩　研究デザインから統計解析、ポスター・口述発表のコツまで実体験から教えます	山田実　編著	羊土社	3200円
00001131	PT・OTゼロからの物理学	望月久	羊土社	2700円
00001132	消っして忘れない運動学要点整理ノート　/ PT・OT必修シリーズ	福井勉	羊土社	3600円
00001133	基礎からしっかり学ぶ生化学	山口雄輝　編著	羊土社	2900円
00001134	あらゆる診療科でよく出会う精神疾患を見極め、対応する　適切な診断・治療と患者への説明、専門医との連携のために/ ジェネラル診療シリーズ	堀川直史　編	羊土社	4700円
00001135	すべての内科医が知っておきたい神経疾患の診かた、考え方とその対応 症状・疾患へのアプローチの基本から鑑別と治療、コンサルテーションまでわかる	大生定義　編	羊土社	5200円
00001136	生命科学　改訂第3版	東京大学生命科学教科書編集委員会　編	羊土社	2800円
00001137	大学で学ぶ身近な生物学	吉村成弘　著	羊土社	2800円
00001138	よくわかるゲノム医学　改訂第2版 ヒトゲノムの基本から個別化医療まで	服部成介	羊土社	3700円
00001139	必ず診療に役立つスポーツ傷害の画像診断 スポーツ傷害ならではの診断・撮影の基本と読影のポイント、治療方針の考え方と患者への上手な説明	帖佐悦男　編	羊土社	6300円
00001140	骨ペディア　骨疾患・骨代謝キーワード事典	日本骨代謝学会　編集	羊土社	6800円
00001141	免疫・アレルギー疾患の分子標的と治療薬事典　生物学的製剤，低分子化合物のターゲット分子と作用機序，薬効のすべて	田中良哉　編	羊土社	7600円
00001142	重要ワードで一気にわかる分子生物学超図解ノート　改訂版	田村隆明　著	羊土社	3800円
00001143	新遺伝子工学ハンドブック　改訂第5版	村松正實	羊土社	7600円
00001144	小児リハビリテーションのための神経と発達の診かた	前川喜平　著	新興医学出版社	3300円
00001145	睡眠検査学の基礎と臨床	松浦雅人　編	新興医学出版社	5900円
00001146	多職種で取り組む転倒予防チームはこう作る！	武藤芳照	新興医学出版社	3500円
00001147	コ・メディカルのための症候学ノート	塩見文俊　著	新興医学出版社	2900円
00001148	交通事故で多発する"脳外傷による高次脳機能障害"とは　見過ごしてはならない脳画像所見と臨床症状のすべて	益澤秀明　著	新興医学出版社	3300円
00001149	軸性脊椎関節炎　診断からリハビリ・患者指導まで	浦野房三　著	新興医学出版社	3500円
00001150	高齢者の摂食嚥下サポート 老嚥・オーラルフレイル・サルコペニア・認知症 医原性サルコペニアの嚥下障害を防ぐ高齢者モデルを完全マスター！	若林秀隆　編著	新興医学出版社	4300円
00001151	摂食・嚥下障害リハビリテーション	馬場尊	新興医学出版社	3500円
00001152	神経疾患の診察・診断のしかた　第2版	後藤幾生　著	新興医学出版社	6700円
00001153	標準失語症検査マニュアル　改訂第2版	日本高次脳機能障害学会／編	新興医学出版社	7000円
00001154	身ぶりで語ろう　第5版　適応・時間別54の治療ゲーム集	A.Jane Remocker	協同医書出版社	3500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001155	基礎作業学実習ガイド　作業活動のポイントを学ぶ	岩瀬義昭　編著	協同医書出版社	2500円
00001156	クライエント中心の作業療法　カナダ作業療法の展開	Mary Law　編著	協同医書出版社	3800円
00001157	人間の運動学　ヒューマン・キネシオロジー	宮本省三　[ほか]著	協同医書出版社	8000円
00001158	失語症者の実用コミュニケーション臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	4500円
00001159	人間作業モデル　改訂第4版　理論と応用	Gary Kielhofner　編著	協同医書出版社	8500円
00001160	認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント　第3版 快一徹！脳活性化リハビリテーションで進行を防ごう	山口晴保　編著	協同医書出版社	3500円
00001161	言語聴覚療法臨床マニュアル　改訂第3版	平野哲雄　[ほか]編集	協同医書出版社	6800円
00001162	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	John E.Bernthal	協同医書出版社	6400円
00001163	失語症臨床の認知神経心理学的アプローチ 評価とリハビリテーションのためのガイドブック	Anne Whitworth	協同医書出版社	6300円
00001164	エガース・片麻痺の作業療法　Bobath理論による	Ortrud Eggers　著	協同医書出版社	3800円
00001165	系統別・治療手技の展開　改訂第3版　感覚器系－外皮/リンパ系/結合組織〈非収縮組織〉と筋系/関節系/神経系/その他の治療手技	竹井仁	協同医書出版社	6500円
00001166	有機化合物のスペクトルによる同定法　第8版　MS,IR,NMRの併用	Silverstein	東京化学同人	4600円
00001167	クーパー細胞生物学	Geoffrey M.Cooper	東京化学同人	7800円
00001168	生物学　第2版	石川統　編	東京化学同人	2400円
00001169	生化学　分子から病態まで	香川靖雄　編	東京化学同人	4200円
00001170	病原微生物学　基礎と臨床	荒川宜親	東京化学同人	5200円
00001171	生命科学	柳田充弘	東京化学同人	2400円
00001172	エリオット生化学・分子生物学　第5版	Despo Papachristodoulou	東京化学同人	6200円
00001173	免疫学　基礎と臨床	Gordon MacPherson	東京化学同人	4900円
00001174	ウィルト発生生物学	Fred H.Wilt	東京化学同人	5200円
00001175	肺聴診エキスパート　視て、聴いて、自信がもてる	中野博　編著	リブロ・サイエンス	4500円
00001176	自律神経と免疫の法則　体調と免疫のメカニズム	安保徹　著	三和書籍	6500円
00001177	テキスト医学生物学	太田美智男　編	名古屋大学出版会	6000円
00001178	患者安全	Charles Vincent　著	篠原出版新社	6200円
00001179	がん患者さんの心と体の悩み解決ガイド / 日経メディカル・ブックス	日経メディカル　編	日経BP社	2000円
00001180	入門コンピュータサイエンス	白井靖敏	学術図書出版社	1700円
00001181	C言語で学ぶコンピュータ科学とプログラミング	小高知宏　著	近代科学社	2400円
00001182	コンピュータ科学とプログラミング入門 コンピュータとアルゴリズムの基礎	小高知宏　著	近代科学社	2300円
00001183	コンピュータ科学の基礎	田嶋拓也	共立出版	2400円
00001184	経営・経済のための情報科学の基礎	石川修一　[ほか]著	共立出版	2700円
00001185	情報学基礎　第2版	慶應義塾大学理工学部　編	共立出版	2200円
00001186	コンピュテーショナル・シンキング	磯辺秀司	共立出版	1500円
00001187	運動器の超音波診断	Jon A.Jacobson　著	ナップ	5400円
00001188	ACL再建術前後のリハビリテーションの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　6	渡邊裕之　[ほか]編	ナップ	3600円
00001189	利用者と共有する介護保険のポイント 2012年4月改正で何が変わったか：Q&Aでわかる	阿部崇　著	じほう	2000円
00001190	在宅医療チームのための臨床検査	臨床検査振興協議会　監修	じほう	2000円
00001191	初学者から専門医までの腎臓学入門　改訂第2版	日本腎臓学会編集委員会　編	東京医学社	3000円
00001192	キャンベル・スミス図解生化学	Peter N.Campbell	西村書店	3200円
00001193	介護予防のための運動器の機能向上マニュアル	佐竹恵治　編著	建帛社	1429円
00001194	介護予防のための口腔機能向上マニュアル　アセスメント様式例収録	菊谷武　編著	建帛社	1429円
00001195	生化学実験　/ Nブックス．実験シリーズ	後藤潔　編著	建帛社	1900円
00001196	高齢者の言語聴覚障害　症例から学ぶ評価と支援のポイント	飯干紀代子	建帛社	2700円
00001197	応用栄養学実習書　第2版　PDCAサイクルによる栄養ケア	柳沢幸江	建帛社	2300円
00001198	医療的ケア　介護福祉士養成課程・介護職等のための	柊崎京子	建帛社	2800円
00001199	高齢化と栄養　第2回「栄養とエイジング」国際会議	日本国際生命科学協会　編	建帛社	6000円
00001200	身体運動と呼吸・循環機能	宮村実晴　編集	真興交易医書出版部	7500円
00001201	イギリスの医療は問いかける　「良きバランス」へ向けた戦略	森臨太郎　著	医学書院	2800円
00001202	医療法学入門　第2版	大磯義一郎	医学書院	3800円
00001203	理学療法の本質を問う	奈良勲　著	医学書院	1900円
00001204	薬理学プレテスト	アーノルド・スターン　著	医学書院	3300円
00001205	帰してはいけない外来患者	前野哲博	医学書院	3800円
00001206	在宅酸素療法マニュアル　第2版　新しいチーム医療をめざして	木田厚瑞　著	医学書院	4300円
00001207	運動学で心が折れる前に読む本	松房利憲　著	医学書院	1800円
00001208	生きているしくみがわかる生理学	大橋俊夫	医学書院	2300円
00001209	脳卒中ことはじめ　第2版	山口武典　編著	医学書院	2800円
00001210	「医療クライシス」を超えて　イギリスと日本の医療・介護のゆくえ	近藤克則　著	医学書院	2800円
00001211	失名辞(アノミア)　失語症モデルの現在と治療の新地平	マッティ・ライネ	医学書院	4000円
00001212	こどもの感染症ハンドブック　第2版	脇口宏　編	医学書院	4000円
00001213	チーム医療のための呼吸ケアハンドブック	木田厚瑞	医学書院	4200円
00001214	関節・軟部組織注射マニュアル　基本テクニックと診断	Trevor Silver　[著]	丸善出版	3800円
00001215	極論で語る感染症内科	岩田健太郎　著	丸善出版	3500円
00001216	極論で語る睡眠医学	河合真　著	丸善出版	3700円
00001217	極論で語る総合診療	桑間雄一郎　著	丸善出版	3900円
00001218	生物を知るための生化学　第4版	池北雅彦	丸善出版	2500円
00001219	スタンダード免疫学　第4版	小林芳郎	丸善出版	3200円
00001220	免疫学　「わたしの体」をまもる仕組み/ 初めの一歩は絵で学ぶ	田中稔之　著	じほう	1800円
00001221	免疫学の入門　第7版	今西二郎　著	金芳堂	2600円
00001222	微生物学250ポイント　改訂7版	今西二郎　著	金芳堂	3400円
00001223	生理学　第8版　/ Minor textbook	岡田隆夫	金芳堂	4000円
00001224	研修医・指導医のための地域医療・地域保健	河野公一	金芳堂	4200円
00001225	スポーツ医学テキスト	前田如矢　編著	金芳堂	3000円
00001226	Quack-quack博士の健康・スポーツ講座	朝井均　著	金芳堂	2800円
00001227	人間関係が楽になる医療・福祉現場のコミュニケーション コーチング思考で"人"を理解するための25の事例	小薗真知子	三輪書店	1800円
00001228	Q&Aとイラストで学ぶ神経内科 これだけは知っておきたい神経症候の発症機序	黒田康夫　著	新興医学出版社	3000円
00001229	超皮質性失語	日本高次脳機能障害学会教育・研修委員会　編	新興医学出版社	4200円
00001230	やさしい肩こり・腰痛・シビレの話　第2版	見松健太郎	名古屋大学出版会	2200円
00001231	才能を引き出した情報空間　トップランナーの図書館活用術 /ライブラリーぶっくす	岡部晋典　著	勉誠出版	2000円
00001232	教育と学びの心理学　基礎力のある教師になるために	速水敏彦　編	名古屋大学出版会	2800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001233	トコトンやさしいクロスカップリング反応の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	山本靖典	日刊工業新聞社	1500円
00001234	トコトンやさしい高分子の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	扇澤敏明	日刊工業新聞社	1500円
00001235	トコトンやさしい電源回路の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	相良岩男　著	日刊工業新聞社	1400円
00001236	トコトンやさしい土壌の本　/ B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	藤原俊六郎	日刊工業新聞社	1500円
00001237	情報整理からはじめるテクニカル・ライティング	Thomas E.Pearsall	丸善	1900円
00001238	情報システム　/ 東京大学工学教程. 情報工学	萩谷昌己　著	丸善出版	2300円
00001239	テクニカル・ライティング必須ポイント50	Gary Blake	丸善出版	1900円
00001240	近代日本の体操科授業改革　成城小学校における体操科の「改造」	木原成一郎　著	不昧堂出版	3300円
00001241	電磁気学　第2版　/ 大学院入試問題から学ぶシリーズ	中村徹　著	日本評論社	2300円
00001242	"お理工さん"の微分積分	西野友年　著	日本評論社	2500円
00001243	入門経済学　第4版	伊藤元重　著	日本評論社	3000円
00001244	オープンダイアローグを実践する	ヤーコ・セイックラ [ほか]シンポジスト	日本評論社	1200円
00001245	パリコレで数学を　サーストンと挑んだポアンカレ予想	阿原一志　著	日本評論社	2500円
00001246	運動の指導－6つの"なぜ"に迫る　すべての運動指導者のために	宮下充正　著	杏林書院	1600円
00001247	リハビリテーションのための発達科学入門　身体をもった心の発達	浅野大喜　著	協同医書出版社	2000円
00001248	はじめての言語障害学　言語聴覚士への第一歩	伊藤元信　著	協同医書出版社	2800円
00001249	構音訓練に役立つ音声表記・音素表記記号の使い方ハンドブック	今村亜子　著	協同医書出版社	2200円
00001250	はじめてのAIアプリケーション C言語で作るネットワークエージェントと機械学習	小高知宏　著	オーム社	2400円
00001251	伊藤真の民法入門　第6版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1700円
00001252	ミクロ経済学の力	神取道宏　著	日本評論社	3200円
00001253	国家試験受験のためのよくわかる憲法　第6版　憲法・基礎法学をやさしく学びたい人のために 公務員試験/行政書士/司法書士	中谷彰吾　著	自由国民社	2000円
00001254	国家試験受験のためのよくわかる会社法　第6版　会社法・商法の苦手意識を克服したい人のために 行政書士/司法書士/公認会計士	神余博史　著	自由国民社	2500円
00001255	労働法の基本がわかる　改訂11版　やさしく解説	佐々木力　著	自由国民社	1600円
00001256	集合知入門　インターネットで実現した「知識の統合」/ I/O BOOKS	赤間世紀　著	工学社	2300円
00001257	高校教師が教える化学実験室　3訂版　高校大学の授業にプラスアルファ！ユニークな実験集/ I/O BOOKS	山田暢司　著	工学社	2400円
00001258	日本の恐竜図鑑　じつは恐竜王国日本列島 オールカラー	宇都宮聡	築地書館	2200円
00001259	論理の基礎と活用　知識成長・問題解決・論述文読み書きのために	内田詔夫　著	北樹出版	2000円
00001260	プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門　第4版	広兼修　著	オーム社	2000円
00001261	かわらの小石の図鑑　日本列島の生い立ちを考える	千葉とき子	東海大学出版会	2500円
00001262	PT・OT学生の文章力を育てる！レポートの書き方 正しく学ぼう「書く基本」「文章の組み立て」	高谷修　著	金芳堂	2000円
00001263	エピジェネティクス　/ 新・生命科学シリーズ	大山隆	裳華房	2700円
00001264	トコトンやさしい界面活性剤の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	阿部正彦	日刊工業新聞社	1400円
00001265	トコトンやさしい薬の本　/ B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	加藤哲太　著	日刊工業新聞社	1400円
00001266	トコトンやさしい人工知能の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	産業技術総合研究所人工知能研究センター　編	日刊工業新聞社	1500円
00001267	トコトンやさしい染料・顔料の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	中澄博行	日刊工業新聞社	1500円
00001268	トコトンやさしい電磁気の本 / B&Tブックス. 今日からモノ知りシリーズ	面谷信　著	日刊工業新聞社	1500円
00001269	がん患者の「知りたい」がわかる本　日常生活の安心を支援するQ&A集	阿南節子	じほう	2200円
00001270	子どもたちの笑顔を支える小児緩和ケア	多田羅竜平　著	金芳堂	3600円
00001271	解剖生理学　からだの構造と働きがひと目でわかる / 初めの一歩は絵で学ぶ	林洋　監修	じほう	2000円
00001272	生化学　からだの不思議を解き明かす/ 初めの一歩は絵で学ぶ	生田哲　著	じほう	1800円
00001273	微生物学　細菌・真菌・ウイルスと感染症/ 初めの一歩は絵で学ぶ	杉田隆　著	じほう	1800円
00001274	薬理学　疾患と薬の作用がひと目でわかる/ 初めの一歩は絵で学ぶ	黒山政一	じほう	1800円
00001275	患者さんに説明できるうつ病治療	稲田泰之　著	じほう	1800円
00001276	骨疾患と痛み　確実な診断・治療のために	林泰史　編	医薬ジャーナル社	3600円
00001277	浜松医大流エビデンスに基づく精神療法実践集	森則夫	金芳堂	3400円
00001278	拒食症身体治療マニュアル　精神科医もできる！	栗田大輔　著	金芳堂	1800円
00001279	肢体不自由児の医療・療育・教育　改訂3版	沖高司	金芳堂	3200円
00001280	てんかん教室　改訂第3版	兼子直　編著	新興医学出版社	4200円
00001281	言語発達遅滞　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　1	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3800円
00001282	吃音　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　2	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3000円
00001283	脳性麻痺　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　3	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3500円
00001284	運動性構音障害　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　4	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3200円
00001285	失語症　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　5	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3500円
00001286	口蓋裂・構音障害　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　6	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	3800円
00001287	聴覚障害　/ アドバンスシリーズ コミュニケーション障害の臨床　7	日本聴能言語士協会講習会実行委員会　編	協同医書出版社	4000円
00001288	作業療法学全書　改訂第3版　第1巻　作業療法概論	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3400円
00001289	作業療法学全書　改訂第3版　第2巻　基礎作業学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001290	作業療法学全書　改訂第3版　第3巻　作業療法評価学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3800円
00001291	作業療法学全書　改訂第3版　第4巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3800円
00001292	作業療法学全書　改訂第3版　第5巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3800円
00001293	作業療法学全書　改訂第3版　第6巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001294	作業療法学全書　改訂第3版　第7巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	2800円
00001295	作業療法学全書　改訂第3版　第8巻　作業治療学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001296	作業療法学全書　改訂第3版　第9巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001297	作業療法学全書　改訂第3版　第10巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3000円
00001298	作業療法学全書　改訂第3版　第11巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3600円
00001299	作業療法学全書　改訂第3版　第12巻　作業療法技術学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3000円
00001300	作業療法学全書　改訂第3版　第13巻　地域作業療法学	日本作業療法士協会　監修	協同医書出版社	3200円
00001301	言語聴覚障害総論　改訂　1　/ 言語聴覚療法シリーズ　1	倉内紀子　編著	建帛社	2800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00001302	言語聴覚障害総論　改訂　2　/ 言語聴覚療法シリーズ　2	山崎京子　編著	建帛社	2500円
00001303	高次脳機能障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　3	長谷川賢一　編著	建帛社	2600円
00001304	失語症　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　4	石川裕治　編著	建帛社	2600円
00001305	聴覚障害　改訂　1　基礎編/ 言語聴覚療法シリーズ　5	山田弘幸　編著	建帛社	2500円
00001306	聴覚障害　改訂　2　臨床編/ 言語聴覚療法シリーズ　6	山田弘幸　編著	建帛社	2500円
00001307	機能性構音障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　7	本間慎治　編著	建帛社	2500円
00001308	器質性構音障害　/ 言語聴覚療法シリーズ　8	斉藤裕恵　編著	建帛社	2600円
00001309	運動障害性構音障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　9	熊倉勇美　編著	建帛社	2500円
00001310	言語発達障害　改訂　1　/ 言語聴覚療法シリーズ　10	大貝茂　編著	建帛社	2500円
00001311	言語発達障害　改訂　2　/ 言語聴覚療法シリーズ　11	斉藤吉人　編著	建帛社	2500円
00001312	言語発達障害　改訂　3　/ 言語聴覚療法シリーズ　12	笠井新一郎　編著	建帛社	2700円
00001313	吃音　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　13	都筑澄夫　編著	建帛社	2500円
00001314	音声障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　14	苅安誠	建帛社	3100円
00001315	摂食・嚥下障害　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　15	清水充子　編著	建帛社	2800円
00001316	AAC　改訂　/ 言語聴覚療法シリーズ　16	久保健彦　編著	建帛社	2500円
00001317	側弯症治療の最前線　基礎編	日本側彎症学会　編	医薬ジャーナル社	6800円
00001318	側弯症治療の最前線　手術編	日本側彎症学会　編	医薬ジャーナル社	7600円
00001319	よくわかる野球肘 肘の内側部障害　病態と対応 肘実践講座	山崎哲也	全日本病院出版会	8500円
00001320	よくわかる野球肘 離断性骨軟骨炎　肘実践講座	岩瀬毅信	全日本病院出版会	7500円
00001321	医用機器　1　/ ヘルスプロフェッショナルのためのテクニカルサポートシリーズ　4	田村俊世	コロナ社	2700円
00001322	医用機器　2　/ ヘルスプロフェッショナルのためのテクニカルサポートシリーズ　5	山形仁　編著	コロナ社	2700円
00001323	こどもの心と体の成長・発達によい食事　1　妊娠期・乳児期　こども病院の医師と栄養士による食育レシピ	惠谷ゆり	金芳堂	2000円
00001324	こどもの心と体の成長・発達によい食事　2　幼児期　こども病院の医師と栄養士による食育レシピ	惠谷ゆり	金芳堂	2000円
00001325	こどもの心と体の成長・発達によい食事　3　学童期・思春期　こども病院の医師と栄養士による食育レシピ	惠谷ゆり	金芳堂	2000円
00001326	ニュー運動生理学　1	宮村実晴　編集	真興交易医書出版部	8000円
00001327	ニュー運動生理学　2	宮村実晴　編集	真興交易医書出版部	8200円
00001328	薬がみえる　vol.1 神経系の疾患と薬 循環器系の疾患と薬 腎・泌尿器系の疾患と薬	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	3600円
00001329	薬がみえる　vol.2　代謝系の疾患と薬 内分泌系の疾患と薬 産婦人科系の疾患と薬 血液系の疾患と薬 免疫・炎症・アレルギー疾患と薬 眼	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	3600円
00001330	薬がみえる　vol.3 消化器系の疾患と薬 呼吸器系の疾患と薬 感染症と薬 悪性腫瘍と薬	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	3900円
00001331	機能的運動療法　エクササイズ編 クラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.Klein-Vogelbach	丸善出版	5800円
00001332	運動科学の基礎　アスリートのパフォーマンス向上のために	G.カーメン　編著	西村書店	4500円
00001333	摂食嚥下障害の患者さんと家族のために　改訂第3版　第1巻　総合編	西尾正輝　著	インテルナ出版	1000円
00001334	摂食嚥下障害の患者さんと家族のために　改訂版　第2巻　嚥下食編	西尾正輝　著	インテルナ出版	1600円
00001335	パンスキー ジェスト解剖学　1　背部・上肢・下肢　基礎と臨床に役立つ	ベン・パンスキー	西村書店東京出版編集部	2800円
00001336	パンスキー ジェスト解剖学　2　胸部・腹部・骨盤と会陰　基礎と臨床に役立つ	ベン・パンスキー	西村書店東京出版編集部	2800円
00001337	パンスキー ジェスト解剖学　3　頸部・頭部・脳と脳神経　基礎と臨床に役立つ	ベン・パンスキー	西村書店東京出版編集部	2900円
00001338	高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション　1	蜂須賀研二　編著	金芳堂	2800円
00001339	高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション　2	蜂須賀研二　編著	金芳堂	2800円
00001340	高次脳機能障害者の自動車運転再開とリハビリテーション　3	蜂須賀研二	金芳堂	2800円
00001341	CT・MRI画像解剖ポケットアトラス　第4版　1　頭部・頸部	トルステン・B.メーラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001342	CT・MRI画像解剖ポケットアトラス　第4版　2　胸部・心臓・腹部・骨盤	トルステン・B.メーラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001343	アメリカ医療の光と影　医療過誤防止からマネジドケアまで	李啓充　著	医学書院	2000円
00001344	アメリカ医療の光と影　続 バースコントロール・終末期医療の倫理と患者の権利	李啓充　著	医学書院	2200円
00001345	分冊解剖学アトラス　第6版　1　運動器	W.PLATZER　［著］	文光堂	5600円
00001346	分冊解剖学アトラス　第6版　2　内臓	H.Fritsch	文光堂	5600円
00001347	分冊解剖学アトラス　第6版　3　神経系と感覚器	W.KAHLE	文光堂	5600円
00001348	日本の橋　その物語・意匠・技術/ シリーズ・ニッポン再発見　5	五十畑弘　著	ミネルヴァ書房	2000円
00001349	トイレ　排泄の空間から見る日本の文化と歴史 / シリーズ・ニッポン再発見　4	屎尿・下水研究会　編著	ミネルヴァ書房	1800円
00001350	中国文化55のキーワード　/ 世界文化シリーズ　6	武田雅哉	ミネルヴァ書房	2500円
00001351	統計学がわかる　ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学/ ファーストブック	向後千春	技術評論社	1680円
00001352	統計学がわかる　回帰分析・因子分析編　アイスクリームで味わう、〝関係〟の統計学/ ファーストブック	向後千春	技術評論社	1680円
00001353	地図を学ぶ　地図の読み方・作り方・考え方 / めぐろシティカレッジ叢書　5	菊地俊夫	二宮書店	1300円
00001354	森を知り森に学ぶ　森と親しむために/ めぐろシティカレッジ叢書　6	菊地俊夫	二宮書店	1500円
00001355	地域包括ケアシステム　その考え方と課題 / 地域ケアシステム・シリーズ　1	太田貞司　編	光生館	2400円
00001356	医療制度改革と地域ケア　急性期病院から慢性期病院、そして地域・在宅へ/ 地域ケアシステム・シリーズ　2	太田貞司　編	光生館	2600円
00001357	地域ケアシステムとその変革主体　市民・当事者と地域ケア/ 地域ケアシステム・シリーズ　3	太田貞司　編	光生館	2600円
00001358	大都市の地域包括ケアシステム　「見えにくさ」と「描く力」 / 地域ケアシステム・シリーズ　4	太田貞司　編集代表編著	光生館	2500円
00001359	神経情報伝達分子　脳機能の分子レベルでの理解をめざして / 情報生物学シリーズ　2	葛西道生　［ほか］共編	培風館	2900円
00001360	シナプス伝達のダイナミクス　記憶と学習のメカニズムをさぐる / 情報生物学シリーズ　4	吉岡亨　［ほか］共編	培風館	2400円
00001361	微生物　感染と病気のポイント 講義ノート	高野利也　著	南山堂	2200円
00001362	医学のための細胞生物学	永田和宏	南山堂	4800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001363	なるほどなっとく！解剖生理学	多久和典子	南山堂	3200円
00001364	解剖学きほんノート	安谷屋均　著	南山堂	1900円
00001365	生理学きほんノート	安谷屋均　著	南山堂	1900円
00001366	人類遺伝学ノート　ゲノム医学・疾患遺伝子探索研究の基礎	徳永勝士　編	南山堂	3600円
00001367	神経変性疾患のサイエンス　/ The frontiers in medical sciences	高橋良輔　編	南山堂	5400円
00001368	免疫学コア講義　改訂4版	熊ノ郷淳	南山堂	5000円
00001369	ワンポイントウイルス学	豊田哲也　編	南山堂	4000円
00001370	わかる！身につく！病原体・感染・免疫　改訂3版	藤本秀士　編著	南山堂	2800円
00001371	スポーツを楽しむための栄養・食事計画　理論と実践	川野因	光生館	2500円
00001372	生体イメージング研究Update　光が描く免疫・がん・神経系の時空間動態/ The Frontiers in Life Sciences	石井優　編集	南山堂	4800円
00001373	生化学ドリル　スッキリわかる！グングン身につく！	田村隆明　著	南山堂	2000円
00001374	ZEROからの生命科学　改訂4版	木下勉	南山堂	2400円
00001375	わかりやすい免疫疾患　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	宮坂信之　監修・編集	日本医師会	5500円
00001376	認知症でお困りですか？　かかりつけ医のギモンにお答えします！	川畑信也　編著	南山堂	3800円
00001377	国際保健医療のキャリアナビ	日本国際保健医療学会　編	南山堂	2700円
00001378	健康教育・健康管理のレシピ	神田晃	南山堂	3200円
00001379	「はたらく」を支える！職場×発達障害	五十嵐良雄　編著	南山堂	2500円
00001380	医動物学　改訂7版	吉田幸雄	南山堂	5700円
00001381	実践音声治療マニュアル	Alison Behrman	インテルナ出版	3800円
00001382	コグトレ　みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング プリントして使えるCD付き	宮口幸治　著	三輪書店	2000円
00001383	動画でわかる呼吸コンディショニングテクニック	堀竜次　著	メディカ出版	6200円
00001384	大田仁史の脳卒中いきいきヘルス体操　新訂版	大田仁史　著	荘道社	1900円
00001385	発話障害へのアプローチ　診療の基礎と実際	廣瀬肇　監修	インテルナ出版	4900円
00001386	院内医療事故調査の指針　第2版 事故発生時の適切な対応が時系列でわかる	飯田修平　編著	メディカ出版	2500円
00001387	骨折の保存的治療　日常診療の疑問に答える 手術上達の近道は保存的治療の理解にある 外傷整形外科医が伝える治療戦略	松村福広　編著	メディカ出版	8000円
00001388	目の不自由な人の"こころのケア"　本当のこころの杖となるために	山田幸男	考古堂書店	1800円
00001389	目の不自由な人の転倒予防 目と平衡感覚、ビタミンDの転倒予防、ロコモ、骨粗鬆症	山田幸男	考古堂書店	1300円
00001390	こどものスポーツ外来　親もナットク！このケア・この説明	田中康仁	全日本病院出版会	6400円
00001391	カラー基本解剖アトラス	ピエール・カミナ　著	西村書店	1800円
00001392	グループ回想法実践マニュアル	梅本充子　著	すぴか書房	2000円
00001393	これからの精神保健福祉　第4版　精神保健福祉士ガイドブック	柏木昭	へるす出版	3200円
00001394	ACL損傷予防プログラムの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　1	渡邊裕之	ナップ	3000円
00001395	下肢のスポーツ疾患治療の科学的基礎　筋・腱・骨・骨膜 / Sports physical therapy seminar series　9	吉田昌弘	ナップ	3000円
00001396	骨盤・股関節・鼠径部のスポーツ疾患治療の科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　8	永野康治	ナップ	3000円
00001397	膝関節疾患のリハビリテーションの科学的基礎 / Sports Physical Therapy Seminar Series　10	玉置龍也	ナップ	4300円
00001398	スポーツにおける肘関節疾患のメカニズムとリハビリテーション　/ Sports physical therapy seminar series　5	鈴川仁人	ナップ	3000円
00001399	足関節捻挫予防プログラムの科学的基礎 / Sports physical therapy seminar series　3	加賀谷善教	ナップ	2500円
00001400	カラー基本生理学	R.M.バーン	西村書店	4900円
00001401	病院前救急医学	小濱啓次　編著	へるす出版	3600円
00001402	ケアマネジャー必携24時間ケアプラン	村嶋幸代	へるす出版	3000円
00001403	ボルハルト・ショアー現代有機化学問題の解き方　第6版	N.E. Schore ［著］	化学同人	4700円
00001404	事例カンファレンスで学ぶ高次脳機能障害リハビリテーション よりよい支援のためのヒント	川原薫　編著	三輪書店	4200円
00001405	知っておきたい認知症ケア最前線　理解と実践	本間昭	ぱーそん書房	2700円
00001406	医学概論　医学生が学ぶべき生命・医療倫理と医学史	井内康輝　編集	篠原出版新社	3800円
00001407	EBM公衆衛生	Ross C.Brownson	篠原出版新社	3000円
00001408	コメディカルのためのピラティスアプローチ	中村尚人　編著	ナップ	3500円
00001409	姿勢制御の神経生理機構	藤原勝夫　編著	杏林書院	3600円
00001410	新癌についての質問に答える　第2版	『コンセンサス癌治療』編集委員会　編集	へるす出版	6000円
00001411	化学受容の科学　匂い・味・フェロモン分子から行動まで / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　01	東原和成　編	化学同人	5600円
00001412	共生微生物　生物と密接に関わるミクロな生命体 / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　27	大野博司　編	化学同人	6000円
00001413	酵母の生命科学と生物工学　産業応用から基礎科学へ / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　09	原島俊	化学同人	5600円
00001414	時間生物学　/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　02	海老原史樹文	化学同人	4800円
00001415	進化を続ける構造生物学　新たなタンパク質機能の解明と創出 / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　15	松島正明	化学同人	4500円
00001416	睡眠科学　最新の基礎研究から医療・社会への応用まで / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　26	三島和夫　編	化学同人	7000円
00001417	生命システム工学　進化分子工学から進化生命工学へ / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　05	田口精一　編	化学同人	4800円
00001418	動植物の受精学　共通機構と多様性/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　13	澤田均　編	化学同人	7000円
00001419	脳の発生学　ニューロンの誕生・分化・回路形成 / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　07	宮田卓樹	化学同人	5400円
00001420	分子脳科学　分子から脳機能と心に迫る/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　20	三品昌美　編	化学同人	6300円
00001421	メカノバイオロジー　細胞が力を感じ応答する仕組み / DOJIN BIOSCIENCE SERIES　21	曽我部正博　編	化学同人	7500円
00001422	揺らぎ・ダイナミクスと生体機能　物理化学的視点から見た生体分子/ DOJIN BIOSCIENCE SERIES　10	寺嶋正秀　編	化学同人	7500円
00001423	ディサースリアの基礎と臨床　第1巻(理論編)	西尾正輝　著	インテルナ出版	5600円
00001424	ディサースリアの基礎と臨床　第2巻(臨床基礎編)	西尾正輝　著	インテルナ出版	4000円
00001425	ディサースリアの基礎と臨床　第3巻(臨床実用編)	西尾正輝　著	インテルナ出版	4400円
00001426	生活支援総論　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	太田貞司	光生館	2400円
00001427	生活支援の基礎理論　1　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	上之園佳子	光生館	2600円
00001428	生活支援の基礎理論　2　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	谷口敏代	光生館	2500円
00001429	生活支援の実践　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	鈴木聖子	光生館	2400円
00001430	介護福祉の組織・制度論　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	諏訪徹	光生館	2500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001431	介護福祉総合演習　/「地域ケアを拓く介護福祉学」シリーズ	本名靖	光生館	2500円
00001432	公衆栄養学	今木雅英　編著	南山堂	2800円
00001433	食事調査マニュアル　改訂3版　はじめの一歩から実践・応用まで	伊達ちぐさ	南山堂	2800円
00001434	栄養指導・教育マニュアル	岩間範子	南山堂	4000円
00001435	社会福祉マニュアル	柳川洋	南山堂	3500円
00001436	産業保健マニュアル　改訂7版	森晃爾　総編集	南山堂	6800円
00001437	医学のための基礎分子細胞生物学　改訂3版	平賀紘一　[ほか]編	南山堂	4200円
00001438	運動器の超音波	木野達司　編著	南山堂	8000円
00001439	トリガーポイント治療セルフケアのメソッド	Valerie DeLaune　著	緑書房	4800円
00001440	頚部の手技療法　写真で学ぶ治療法とセルフケア	Joseph E.Muscolino　著	緑書房	7800円
00001441	よくわかる臨床心理学　改訂新版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	下山晴彦　編	ミネルヴァ書房	3000円
00001442	よくわかる社会福祉　第11版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	山縣文治	ミネルヴァ書房	2500円
00001443	よくわかる文化人類学　第2版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	綾部恒雄	ミネルヴァ書房	2500円
00001444	よくわかる障害者福祉　第6版 / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	小澤温　編	ミネルヴァ書房	2200円
00001445	新版K式発達検査にもとづく発達研究の方法　操作的定義による発達測定	中瀬惇　著	ナカニシヤ出版	3500円
00001446	子供のためのトリガーポイントマッサージ&タッチ 病気の仕組みとツボの位置がよくわかる	Donna Finando　著	緑書房	2500円
00001447	ノンスラストによる関節モビライゼーション　四肢・脊柱のテクニック	糟谷俊彦　著	緑書房	3800円
00001448	ノンスラストによる関節モビライゼーション　2　運動器系疾患に対する マッサージ、指圧、関節モビライゼーション	糟谷俊彦　著	緑書房	3800円
00001449	1日5分朝の「禅のことば」練習帖 書き込み式気軽にはじめる、ちょこっと仏教習慣	南泉和尚　著	ナツメ社	1100円
00001450	人気陶芸作家の凄技ファイル　作陶のスキルを上げる極意がわかる	陶工房編集部　編	誠文堂新光社	2000円
00001451	ゼロからの金継ぎ入門　器を蘇らせる、漆の繕い	伊良原満美	誠文堂新光社	2000円
00001452	製靴書　オーダーからその製作技術と哲学まで ビスポーク・シューメイキング	山口千尋　監修	誠文堂新光社	3500円
00001453	実践大工道具仕立ての技法　曼陀羅屋流研ぎと仕込みのテクニック	手柴正範　著	誠文堂新光社	3200円
00001454	木工手道具の基礎と実践 道具の種類・特徴から刃研ぎや仕込みの技術までをすべて網羅	大工道具研究会　編	誠文堂新光社	2400円
00001455	岩石薄片図鑑　精細写真で読み解く鉱物組成と生い立ち	青木正博　著	誠文堂新光社	2400円
00001456	元素周期表パーフェクトガイド 元素でできたこの世界が手に取るようにわかる	元素周期表パーフェクトガイド編集チーム　編	誠文堂新光社	1500円
00001457	奇跡の島・西表島の動物たち イリオモテヤマネコとその仲間たちの知られざる生態	鈴木直樹　著	誠文堂新光社	3500円
00001458	生命の化学と分子生物学	E.J.Wood	東京化学同人	2800円
00001459	ケイン基礎生物学	Michael L.Cain	東京化学同人	6100円
00001460	カープ分子細胞生物学	Gerald C.Karp　著	東京化学同人	8000円
00001461	ヴォート基礎生化学　第5版	Donald Voet	東京化学同人	7600円
00001462	ヴォート生化学　第4版　上	Donald Voet	東京化学同人	6800円
00001463	ヴォート生化学　第4版　下	Donald Voet	東京化学同人	6800円
00001464	ストライヤー基礎生化学	John L.Tymoczko	東京化学同人	7900円
00001465	ケイン生物学　第5版	A.Singh-Cundy	東京化学同人	8600円
00001466	エッセンシャル遺伝子	Benjamin Lewin　著	東京化学同人	6800円
00001467	ホートン生化学　第5版	Laurence A.Moran [ほか]著	東京化学同人	6800円
00001468	救急検査指針　救急検査認定技師テキスト	日本救急検査技師認定機構テキスト編集委員会　編集	へるす出版	4500円
00001469	DMAT標準テキスト　改訂第2版	日本集団災害医学会DMATテキスト改訂版編集委員会　編集	へるす出版	5200円
00001470	機能性表示食品　適正な研究レビューのための必携マニュアル	上岡洋晴	ライフサイエンス出版	2500円
00001471	絵本作家61人のアトリエと道具		玄光社	2300円
00001472	片手で料理をつくる　片麻痺の人のための調理の手引き	遠藤てる　著	協同医書出版社	3800円
00001473	組みひも・作業療法への適用法　治療・援助・評価の手引き	遠藤てる　編著	協同医書出版社	3500円
00001474	保健・医療のための研究法入門　発想から発表まで	Diana M.Bailey　著	協同医書出版社	5400円
00001475	失語症の日常会話訓練　イラストフル活用	竹内愛子	協同医書出版社	4000円
00001476	シュルツ・上肢の痛みの評価法	Karen Schultz-Johnson 著	協同医書出版社	3000円
00001477	認知神経リハビリテーション入門	カルロ・ペルフェッティ 著	協同医書出版社	2500円
00001478	一日10分家庭で行う手のリハビリ	遠藤てる	協同医書出版社	3200円
00001479	「研究方法」入門　アイデアを研究にするための13の講義	小林宣泰　著	協同医書出版社	4700円
00001480	大迫力！写真と絵でわかる日本の城・城合戦　/ 大判ビジュアル図解	小和田泰経　著	西東社	1400円
00001481	骨格系画像診断　/ 放射線医学	江原茂　編集	金芳堂	5600円
00001482	人体解剖学実習書	中河志朗　編	金芳堂	7200円
00001483	実習にも役立つ人体の構造と体表解剖	三木明徳　著	金芳堂	3800円
00001484	例題で学ぶ初歩からの統計学　第2版	白砂堤津耶　著	日本評論社	2500円
00001485	徹底入門解析学	梅田亨　著	日本評論社	3000円
00001486	コンパクトMRI	巨瀬勝美　編著	共立出版	3300円
00001487	分子生物学の基礎　第4版	George M.Malacinski [著]	東京化学同人	5600円
00001488	科学と表象　「病原菌」の歴史	田中祐理子　著	名古屋大学出版会	5400円
00001489	福祉のアジア　国際比較から政策構想へ	上村泰裕　著	名古屋大学出版会	4500円
00001490	社会科学の考え方　認識論、リサーチ・デザイン、手法	野村康　著	名古屋大学出版会	3600円
00001491	会社法　第20版　/ 法律学講座双書	神田秀樹　著	弘文堂	2500円
00001492	労働法　第11版補正版　/ 法律学講座双書	菅野和夫　著	弘文堂	6200円
00001493	行政法　第5版	櫻井敬子	弘文堂	3300円
00001494	現代日本語訳法華経	正木晃　著	春秋社	2600円
00001495	痛みが楽になるトリガーポイント筋肉トレーニング	伊藤和憲　著	緑書房	1800円
00001496	痛みが楽になるトリガーポイントストレッチ&マッサージ	伊藤和憲　著	緑書房	1800円
00001497	頭にしみこむ微分積分　/ 瀬山先生の数学講義シリーズ	瀬山士郎　著	技術評論社	1680円
00001498	鳥類学者無謀にも恐竜を語る　/ 生物ミステリー	川上和人　著	技術評論社	1880円
00001499	はじめてのPMBOK	下田卓治	技術評論社	2480円
00001500	1冊でマスター大学の線形代数	石井俊全　著	技術評論社	2280円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001501	確率がわかる　豊富な例題と図解で、基本からやさしく解説！集合からていねいに勉強したい人に最適！/ ファーストブック	小泉力一　著	技術評論社	1680円
00001502	書誌学入門　古典籍を見る・知る・読む	堀川貴司　著	勉誠出版	1800円
00001503	栄養と運動と休養　その科学と最近の進歩	飯尾雅嘉	光生館	3600円
00001504	牛乳成分の特性と健康	山内邦男［ほか］責任編集	光生館	3400円
00001505	情報資源組織演習　情報メディアへのアクセスの仕組みをつくる/ 講座・図書館情報学　11	竹之内禎	ミネルヴァ書房	3500円
00001506	ヘーゲル論理学と矛盾・主体・自由　/ 阪南大学叢書　106	牧野広義　著	ミネルヴァ書房	6500円
00001507	地図の文化史　新装版　世界と日本	海野一隆　著	八坂書房	3600円
00001508	日本ゲーム産業史　ゲームソフトの巨人たち	日経BP社ゲーム産業取材班　著	日経BP社	2800円
00001509	新時代の現代社会学6講	池田勝徳　編著	福村出版	2300円
00001510	論理学考究　アポリアへの挑戦	戸辺弘之　著	東京図書出版	2200円
00001511	極論で語る腎臓内科	今井直彦　著	丸善出版	3400円
00001512	糖質と健康　国際シンポジウム	日本国際生命科学協会糖類研究部会　編	建帛社	3500円
00001513	会社法	田中亘　著	東京大学出版会	3800円
00001514	基礎情報学のヴァイアビリティ ネオ・サイバネティクスによる開放系と閉鎖系の架橋	西垣通	東京大学出版会	4400円
00001515	基礎統計学　1　統計学入門	東京大学教養学部統計学教室　／編	東京大学出版会	2800円
00001516	基礎統計学　2　人文・社会科学の統計学	東京大学教養学部統計学教室　／編	東京大学出版会	2900円
00001517	基礎統計学　3　自然科学の統計学	東京大学教養学部統計学教室　／編	東京大学出版会	2900円
00001518	免疫学の要点	G.フェインバーグ	培風館	2524円
00001519	生命体の科学と技術	久保幹	培風館	2800円
00001520	"生きている"ってどういうこと？　生命のしくみを探る生物学	種田保穂	培風館	2400円
00001521	遺伝子は行動をいかに語るか	M.ラター　著	培風館	2600円
00001522	緩和医療の基本と実践、手とり足とり教えます がん患者さんの身体と心の痛みの診かた	沢村敏郎　著	羊土社	3300円
00001523	筋機能改善の理学療法とそのメカニズム　第3版 理学療法の科学的基礎を求めて	望月久	ナップ	3500円
00001524	PT・OTのための画像診断マニュアル	百島祐貴　著	医学教育出版社	2700円
00001525	ライトノベルのための正しい日本語 表現をより良くするための文章テクニック	榎本秋	秀和システム	1300円
00001526	民法のツボとコツがゼッタイにわかる本 / 最初からそう教えてくれればいいのに！	石川正樹　著	秀和システム	1400円
00001527	よくわかる最新熱処理技術の基本と仕組み　第3版　金属の資質を引き出す技術を学ぶ！ 赤めて冷やす技術/ 図解入門	山方三郎　著	秀和システム	1600円
00001528	貿易実務の基本と仕組みがよ～くわかる本　第4版　貿易、グローバルビジネスの必須スキル！/ 図解入門ビジネス．How-nual	布施克彦　著	秀和システム	1500円
00001529	深海生物の「なぜそうなった？」がわかる本 摩訶不思議な姿形と生態の謎を解き明かす！！	北村雄一　著	秀和システム	1500円
00001530	これだけ！高校化学	杉山美次　著	秀和システム	1600円
00001531	これだけ！分析化学	西本右子　著	秀和システム	1400円
00001532	分析化学における測定値の正しい取り扱い方 "測定値"を"分析値"にするために	上本道久　著	日刊工業新聞社	2000円
00001533	新人製品設計者と学ぶプラスチック製品設計の基礎	伊藤英樹　著	日刊工業新聞社	2200円
00001534	最初に読む光化学の本	前田秀一　編著	日刊工業新聞社	2200円
00001535	数学フリーの化学結合	齋藤勝裕　著	日刊工業新聞社	1600円
00001536	図解よくわかるナノセルロース	ナノセルロースフォーラム　編	日刊工業新聞社	2000円
00001537	ノイズ対策は基本式を理解すれば必ずできる！	鈴木茂夫　著	日刊工業新聞社	2400円
00001538	地層の科学　/ B&Tブックス．おもしろサイエンス	西川有司　著	日刊工業新聞社	1600円
00001539	温泉の科学　/ B&Tブックス．おもしろサイエンス	西川有司　著	日刊工業新聞社	1600円
00001540	トコトンやさしい化粧品の本 / B&Tブックス．今日からモノ知りシリーズ	福井寛　著	日刊工業新聞社	1400円
00001541	トコトンやさしい光合成の本 / B&Tブックス．今日からモノ知りシリーズ	園池公毅　著	日刊工業新聞社	1400円
00001542	トコトンやさしいゴムの本　/ B&Tブックス．今日からモノ知りシリーズ	ゴムと生活研究会　編著	日刊工業新聞社	1400円
00001543	よくわかる炭素繊維コンポジット入門	平松徹　著	日刊工業新聞社	2200円
00001544	耳で覚える！どんどん話せる！はじめての日常英会話	古藤晃　著	西東社	1000円
00001545	すぐ分かるスーパーマーケット使える計数ハンドブック	紙谷佳伸　著	商業界	1600円
00001546	身につく入門統計学　/ ファーストブックSTEP	向後千春	技術評論社	1680円
00001547	憲法判例の射程	横大道聡　編著	弘文堂	2700円
00001548	高齢者のせん妄　安心をとどけるケアと介護の心得	守本とも子　編	すぴか書房	2000円
00001549	自分で「痛み」を管理しよう　慢性痛に順応する積極的取り組み	Michael Nicholas	真興交易医書出版部	3200円
00001550	病理学　3訂	青笹克之　編著	光生館	2000円
00001551	はじめてのR　ごく初歩の操作から統計解析の導入まで	村井潤一郎　著	北大路書房	1600円
00001552	地域包括ケアシステムのすすめ これからの保健・医療・福祉/ 実践のすすめ	豊島泰子	ミネルヴァ書房	2600円
00001553	治すことにこだわらない，吃音とのつき合い方	水町俊郎	ナカニシヤ出版	2000円
00001554	傾聴・心理臨床学アップデートとフォーカシング 感じる・話す・聴くの基本	池見陽　編著	ナカニシヤ出版	2800円
00001555	文化地理学ガイダンス　あたりまえを読み解く三段活用	中川正	ナカニシヤ出版	2400円
00001556	児童相談所一時保護所の子どもと支援　子どもへのケアから行政評価まで	和田一郎　編著	明石書店	2800円
00001557	ネグレクトされた子どもへの支援　理解と対応のハンドブック	安部計彦	明石書店	2600円
00001558	子ども・家族支援に役立つアセスメントの技とコツ よりよい臨床のための4つの視点、8つの流儀	笹川宏樹　［ほか］著	明石書店	2200円
00001559	その人を中心にした認知症ケア　みんなで学ぼう	長谷川和夫	ぱーそん書房	1500円
00001560	介護スタッフのための高齢者施設の感染対策	松本哲哉　編著	ヴァンメディカル	1800円
00001561	コラージュを聴く　対人援助としてのコラージュ療法	山本映子　著	すぴか書房	2400円
00001562	誰でもできる心のケア　リハビリテーション心理学からのアプローチ	南雲直二　著	荘道社	800円
00001563	今日の心のケア　リハビリテーション心理学からのアプローチ	南雲直二　著	荘道社	550円
00001564	私はこうしてサバイバルした　/ メンタル系サバイバルシリーズ	松本俊彦	日本評論社	1300円
00001565	これでわかる大人の発達障害	林寧哲　監修	成美堂出版	1300円
00001566	有期労働契約の無期転換がわかる本　2018年4月から本格発生！	岡田良則　著	自由国民社	1100円
00001567	不動産登記を見る・読むならこの1冊　第5版　/ はじめの一歩	近藤誠　著	自由国民社	1800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00001568	図解による会社法・商法のしくみ　第6版	神田将　著	自由国民社	1800円
00001569	生物学入門　第2版　/ 大学生のための基礎シリーズ　2	石川統	東京化学同人	2200円
00001570	どうして普通にできないの！ 「かくれ」発達障害女子の見えない不安と孤独	こだまちの　著	協同医書出版社	1500円
00001571	認知症予防　最新第2版　読めば納得！脳を守るライフスタイルの秘訣	山口晴保　著	協同医書出版社	1800円
00001572	リハビリテーションのための脳・神経科学入門　改訂第2版	森岡周　著	協同医書出版社	2800円
00001573	国際経済学　国際貿易編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	中西訓嗣　著	ミネルヴァ書房	3500円
00001574	国際経済学　国際金融編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	岩本武和　著	ミネルヴァ書房	3000円
00001575	統計学　/ Minervaベイシック・エコノミクス	白旗慎吾　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001576	ミクロ経済学　静学的一般均衡理論からの出発 / Minervaベイシック・エコノミクス	浦井憲	ミネルヴァ書房	3000円
00001577	最後の超大国インド　元大使が見た親日国のすべて	平林博　著	日経BP社	1700円
00001578	Dr.Saijoのがんレッスン　がん薬物療法と臨床試験のエッセンス	西條長宏　編著	日経メディカル 開発	3000円
00001579	1億人のための統計解析　エクセルを最強の武器にする	西内啓　著	日経BP社	1800円
00001580	スティーブ・ジョブズに学ぶ英語プレゼン 聞き手の心をつかむストーリーと50表現	上野陽子　著	日経BP社	1600円
00001581	商談・会議を成功させるビジネスプレゼン必勝法 相手の心をつかむ資料作りとプレゼンのポイント	大平邦登	日経BP社	1800円
00001582	モビリティー革命2030　自動車産業の破壊と創造	デロイトトーマツコンサル ティング　著	日経BP社	1600円
00001583	プロジェクトを絶対に失敗させない！　やり切るための100のヒント	後藤年成　著	日経BP社	2600円
00001584	抵抗勢力との向き合い方 働き方改革、業務改革を阻む最大の壁を乗り越えろ	榊巻亮　著	日経BP社	1600円
00001585	ロスマンの疫学　第2版　科学的思考への誘い	Kenneth J.Rothman　［著］	篠原出版新社	2500円
00001586	医療従事者のためのプレゼンテーション成功マニュアル	伊藤誠一郎　著	篠原出版新社	2000円
00001587	小説を書きたい人の本　新版　コツさえつかめば小説は誰でも書ける！	誉田龍一　著	成美堂出版	1100円
00001588	日本の火山図鑑　110すべての活火山の噴火と特徴がわかる	高橋正樹　著	誠文堂新光社	2200円
00001589	鉱物・岩石入門　増補版 色や形の不思議、でき方のメカニズムがよくわかる	青木正博　著	誠文堂新光社	1600円
00001590	年代で見る日本の地質と地形　日本列島5億年の生い立ちや特徴がわかる	高木秀雄　著	誠文堂新光社	2200円
00001591	マンガでわかる「西洋絵画」の見かた　美術展がもっと愉しくなる！	まつおかたかこ　イラスト	誠文堂新光社	1600円
00001592	財布でひも解く江戸あんない　マンガで辿る江戸時代の暮らしと遊び	いずみ朔庵　著	誠文堂新光社	1500円
00001593	わかりやすい借地　第11版　見る+読む=わかる/ イラスト六法	山川直人　絵	自由国民社	1500円
00001594	この道のりが楽しみ　《訪問》言語聴覚士の仕事	平澤哲哉　著	協同医書出版社	2000円
00001595	臨床は、とまらない	唐沢彰太　著	協同医書出版社	2500円
00001596	高次脳機能検査の解釈過程 知能，感覚－運動，空間，言語，学力，遂行，記憶，注意	Charles J.Golden	協同医書出版社	3800円
00001597	痴呆症のケア入門	Kathryn A.Bayles	協同医書出版社	2200円
00001598	作業療法実践のための6つの理論　理論の形成と発展	B.Rosalie Johanna Miller ［ほか］共著	協同医書出版社	3200円
00001599	高次脳機能障害者の世界　改訂第2版　私の思うリハビリや暮らしのこと	山田規畝子　編著	協同医書出版社	2000円
00001600	片麻痺の作業療法　QOLの新しい次元へ	中里瑠美子　著	協同医書出版社	2600円
00001601	医療スタッフのための心の生物学入門	廣中直行　著	協同医書出版社	2500円
00001602	最新航空事業論　第2版　エアライン・ビジネスの未来像	井上泰日子　著	日本評論社	2800円
00001603	オープンダイアローグ	ヤーコ・セイックラ	日本評論社	2200円
00001604	伊藤真の憲法入門　第6版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1700円
00001605	伊藤真の刑法入門　第6版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1700円
00001606	伊藤真の法学入門　補訂版　講義再現版	伊藤真　著	日本評論社	1500円
00001607	高校で教わりたかった化学　/ シリーズ大人のための科学	渡辺正	日本評論社	1900円
00001608	高校で教わりたかった生物　/ シリーズ大人のための科学	趙大衛　編著	日本評論社	1800円
00001609	自傷行為の理解と援助　「故意に自分の健康を害する」若者たち	松本俊彦　著	日本評論社	2400円
00001610	相対性理論　/ 日評ベーシック・シリーズ	小林努　著	日本評論社	2200円
00001611	解析力学　/ 日評ベーシック・シリーズ	十河清　著	日本評論社	2400円
00001612	生物科学入門　代謝・遺伝・恒常性	白木賢太郎　著	東京化学同人	1600円
00001613	基礎の生化学　第2版	猪飼篤　著	東京化学同人	1900円
00001614	集合知の作り方・活かし方　多様性とソーシャルメディアの視点から	石川博　著	共立出版	2300円
00001615	AIによる大規模データ処理入門	小高知宏　著	オーム社	2800円
00001616	人工知能の創発　知能の進化とシミュレーション	伊庭斉志　著	オーム社	2800円
00001617	トリアージ　1人でも多くの命を救うために 日常からトリアージを考える	二宮宣文	荘道社	2400円
00001618	介護予防と介護期・終末期リハビリテーション	大田仁史　著	荘道社	1500円
00001619	介助犬を知る　肢体不自由者の自立のために	高柳哲也　編	名古屋大学出版会	2800円
00001620	最新よくわかる股関節の病気　手術をすすめられた人のために	長谷川幸治　著	名古屋大学出版会	2200円
00001621	はじめまして物理	吉田武　著	東海大学出版部	2700円
00001622	現代統計学	美添泰人	日本評論社	2700円
00001623	テキスト現代社会学　第3版　/ MINERVA TEXT LIBRARY　30	松田健　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001624	改正労働者派遣法がわかる本　最新版	加藤利昭　著	成美堂出版	1500円
00001625	はじめてでもよくわかる！特許・実用新案の手続き	コンデックス情報研究所 編著	成美堂出版	1500円
00001626	図解いちばんやさしく丁寧に書いた貿易実務の本　最新改訂版	片山立志　著	成美堂出版	1400円
00001627	知っておきたい発達障がいキーワード 自閉症スペクトラム・AD/HDそして支援のための用語集	東條惠　著	考古堂書店	2200円
00001628	本人と家族のための認知症介護百科　知りたいことがなんでもわかる	須貝佑一	永井書店	1500円
00001629	医学英語の基礎知識　新装版	A.R.ハットン　著	西村書店	4300円
00001630	マンガ面白いほどよくわかる！古事記	かみゆ歴史編集部　編	西東社	1200円
00001631	日本の仏像　写真・図解 この一冊ですべてがわかる！	薬師寺君子　著	西東社	1400円
00001632	シニアのためのやさしい英会話入門	多羅深雪　監修	西東社	1300円
00001633	障害者総合支援法がよ～くわかる本　第4版 / 図解入門ビジネス. How-nual	福祉行政法令研究会　著	秀和システム	1800円
00001634	ヒューマンファクターからみた医療安全 病院でのヒューマンエラーを減らすために	釘宮豊城　編	真興交易医書 出版部	3800円
00001635	マンガ・アニメで論文・レポートを書く　「好き」を学問にする方法	山田奨治　編著	ミネルヴァ書房	3500円
00001636	社会学入門	盛山和夫	ミネルヴァ書房	2800円
00001637	数学フリーの分析化学	齋藤勝裕　著	日刊工業新聞社	1600円
00001638	シリコーン大全　/ 技術大全シリーズ	信越化学工業　編著	日刊工業新聞社	3800円
00001639	実務解説改正債権法	日本弁護士連合会　編	弘文堂	4000円
00001640	Project Onlineではじめる最強最速のプロジェクトマネジメント入門	佐山宇宏	日経BP社	2700円
00001641	PMBOKが教えない成功の法則　「手探りプロジェクト」を賢く乗り切る プロマネがすぐ使えるテクニック満載！	本園明史　著	日経BP社	2500円
00001642	シグナル&ノイズ　天才データアナリストの「予測学」	ネイト・シルバー　著	日経BP社	2400円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001643	筋電図のための解剖ガイド　第3版　四肢・体幹	Aldo O.Perotto　著	西村書店	5800円
00001644	恐怖の病原体図鑑　ウイルス・細菌・真菌完全ビジュアルガイド	トニー・ハート　著	西村書店	1800円
00001645	カラー臨床微生物学チャート&アトラス	トニー・ハート	西村書店	3800円
00001646	元素検定	桜井弘　編著	化学同人	1800円
00001647	シュレーディンガー方程式入門　今度こそ理解できる！	榛葉豊　著	化学同人	1800円
00001648	人文地理学への招待	竹中克行　編著	ミネルヴァ書房	3000円
00001649	自然地理学	松山洋　[ほか]著	ミネルヴァ書房	3000円
00001650	知って役立つ民俗学　現代社会への40の扉	福田アジオ　責任編集	ミネルヴァ書房	2800円
00001651	目からウロコの文化人類学入門　人間探検ガイドブック / Minerva text library　27	斗鬼正一　著	ミネルヴァ書房	2200円
00001652	スポーツ栄養士のキッチンから　アスリート・ジュニアのための絶品レシピ 手軽で美味しい98品目	こばたてるみ　著	日本医療企画	2200円
00001653	進化・情報・かたち　"生命知"のパースペクティブ	伏見譲	培風館	3500円
00001654	免疫　第5版　からだを護る不思議なしくみ	矢田純一　著	東京化学同人	1800円
00001655	知の協創支援　脳と計算機でアイデアを紡ぎ出す	井越昌紀	オーム社	3800円
00001656	よくわかる初等力学	前野昌弘　著	東京図書	2500円
00001657	よくわかる量子力学	前野昌弘　著	東京図書	3200円
00001658	論文作成デザイン　テーマの発見から研究の構築へ	細川英雄　著	東京図書	1800円
00001659	大学1・2年生のためのすぐわかる物理	前田和貞　著	東京図書	2800円
00001660	弱点克服大学生の微積分	江川博康　著	東京図書	2800円
00001661	医療系はじめまして！統計学	奥田千恵子　著	金芳堂	2400円
00001662	医薬研究者の視点からみた道具としての統計学　改訂2版	奥田千恵子　著	金芳堂	3400円
00001663	医学論文英訳のテクニック　改訂4版	横井川泰弘　著	金芳堂	5400円
00001664	伝導失語　復唱障害、STM障害、音韻性錯語	日本高次脳機能障害学会教育・研修委員会　編	新興医学出版社	4200円
00001665	マンガで学ぶ生命倫理　わたしたちに課せられた「いのち」の宿題	児玉聡　著	化学同人	1000円
00001666	われらの子ども　米国における機会格差の拡大	ロバート・D・パットナム　著	創元社	3700円
00001667	われら勝ち得し世界　セクシュアリティの歴史と親密性の倫理	ジェフリー・ウィークス　著	弘文堂	4500円
00001668	医用生体工学	神谷暸	培風館	4500円
00001669	生活用品の化学が一番わかる　生活に不可欠な化学の力を身近な製品で解説/ しくみ図解　052	武田徳司	技術評論社	1880円
00001670	品質管理のための統計学　生きた実例で理解する：このとおりやればすぐできる/ 基礎からやさしくわかる現場の統計学	川野常夫　著	技術評論社	2180円
00001671	プロ野球でわかる！はじめての統計学	佐藤文彦　著	技術評論社	2280円
00001672	現場ですぐ使える時系列データ分析 データサイエンティストのための基礎知識	横内大介	技術評論社	1980円
00001673	ゼロからわかる構造化学入門　図解/ わかる基礎入門シリーズ	齋藤勝裕　著	技術評論社	2180円
00001674	親切ガイドで迷わない統計学	高橋麻奈　著	技術評論社	1880円
00001675	はじめての生化学　化学・生物学の初歩から始めよう	三浦義彰	杏林書院	2000円
00001676	農業への影響を品目別に精査する　よくわかるTPP協定 / 農文協ブックレット　16	三島徳三　著	農山漁村文化協会	1200円
00001677	食事管理の栄養学	井川正治	西村書店	1900円
00001678	髄膜炎の100章　/ 神経学の100章シリーズ	Karen L.Roos　著	西村書店	5500円
00001679	精神科作業療法研究のイロハ エビデンスを探し読みこなし臨床研究に役立てるために	山下瞳	新興医学出版社	2000円
00001680	喘息教室	石原享介　編著	新興医学出版社	3000円
00001681	いちばんやさしいつまみ細工の手習い帖	ひなぎく　著	ナツメ社	1200円
00001682	翻訳できない世界のことば	エラ・フランシス・サンダース　著/イラスト	創元社	1600円
00001683	なくなりそうな世界のことば	吉岡乾　著	創元社	1600円
00001684	ファット・キャット・アート　デブ猫、名画を語る	スヴェトラーナ・ペトロヴァ&ツァラトゥストラ　著	エクスナレッジ	1800円
00001685	旅のことば　認知症とともによりよく生きるためのヒント	井庭崇	丸善出版	1300円
00001686	日本国憲法はこうして生まれた　施行70年の歴史の原点を検証する	川村俊夫　著	本の泉社	1250円
00001687	バイオセラミックス	田中順三	コロナ社	2800円
00001688	生命・医療・福祉ハンドブック	早稲田大学生命・生体・福祉研究所　編	コロナ社	2400円
00001689	はじめての老化学・病理学　人間科学のためのライフサイエンス入門	千葉卓哉　著	コロナ社	2200円
00001690	力学の基礎とバイオメカニクス	山田宏　著	コロナ社	3000円
00001691	生体システム工学の基礎　/ 計測・制御テクノロジーシリーズ　21	福岡豊	コロナ社	3200円
00001692	英語で学ぶ医科学入門　/ 英語で学ぶ自然科学シリーズ　1	渡邉和男　編著	コロナ社	2200円
00001693	バイオメカニクス入門	林紘三郎　著	コロナ社	2400円
00001694	金属バイオマテリアル　/ バイオマテリアルシリーズ　1	塙隆夫	コロナ社	2400円
00001695	ポリマーバイオマテリアル　先端医療のための分子設計 / バイオマテリアルシリーズ　2	石原一彦　著	コロナ社	2400円
00001696	セラミックバイオマテリアル　/ バイオマテリアルシリーズ　3	岡崎正之	コロナ社	3200円
00001697	生体機械工学入門	橋本成広　著	コロナ社	2200円
00001698	メディア学入門　/ メディア学大系　1	飯田仁	コロナ社	2600円
00001699	生体計測工学入門	橋本成広　著	コロナ社	2600円
00001700	生化学・分子生物学演習　第2版	猪飼篤	東京化学同人	2900円
00001701	免疫学　巧妙なしくみを解き明かす	Peter Wood　著	東京化学同人	3700円
00001702	基礎細胞生物学	田村隆明　著	東京化学同人	3800円
00001703	基礎分子生物学　第4版	田村隆明	東京化学同人	2900円
00001704	有機化学演習　基本から大学院入試まで	山本学	東京化学同人	3800円
00001705	微生物学への誘い	山中健生　著	培風館	2000円
00001706	くり返し聞きたい分子生物学講座	坂口謙吾　著	羊土社	2400円
00001707	Dr.リトルが教える医学英語スピーキングが素晴らしく上達する方法 症例プレゼンや日常臨床，学会発表などで聞き手を惹きつける話し方の秘訣と英文例	ドーリック・リトル　著	羊土社	3400円
00001708	Dr.北野の0から始めるシステムバイオロジー	北野宏明　企画・執筆	羊土社	3400円
00001709	地層の見方がわかるフィールド図鑑　増補改訂版 岩石・地層・地形から地球の成り立ちや活動を知る	青木正博	誠文堂新光社	2200円
00001710	薄片でよくわかる岩石図鑑　含まれる鉱物や組織で種類を知る	チームG　編	誠文堂新光社	2600円
00001711	マンガでわかる「日本絵画」の見かた　美術展がもっと愉しくなる！	唐木みゆ　イラスト	誠文堂新光社	1600円
00001712	マンガで覚える元素周期	元素周期研究会　編	誠文堂新光社	1600円
00001713	漆芸の見かた　日本伝統の名品がひと目でわかる	小林真理　編著	誠文堂新光社	2200円
00001714	情報科学の基礎知識　新版	宮内ミナミ	朝倉書店	2200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00001715	人工知能と知識処理　新版	木下哲男　著	朝倉書店	2600円
00001716	弦とブレーン　/ Yukawaライブラリー　2	細道和夫　著	朝倉書店	3500円
00001717	入門ベイズ統計学　/ ファイナンス・ライブラリー　10	中妻照雄　著	朝倉書店	3600円
00001718	情報トレーニング　パズルで学ぶ，なっとくの60題	丸岡章　著	朝倉書店	2700円
00001719	地域包括ケア時代における行動変容と継続支援　かかりつけ医必携！	小谷和彦　編集	じほう	2700円
00001720	微生物学　細菌・真菌・ウイルスと感染症/ 初めの一歩は絵で学ぶ	杉田隆　著	じほう	1800円
00001721	大学編入・大学院入試合格！論文の書き方　第2版	中央ゼミナール　編	東京図書	2800円
00001722	弱点克服大学生の確率・統計	藤田岳彦　著	東京図書	2800円
00001723	解析力学　/ 基幹講座物理学	畑浩之　著	東京図書	3000円
00001724	よくわかる解析力学	前野昌弘　著	東京図書	2800円
00001725	元素に恋して　マンガで出会う不思議なelementsの世界	千代田ラフト　原作	創元社	1200円
00001726	3D地形図で歩く日本の活断層	柴山元彦　著	創元社	1800円
00001727	シュレディンガーの猫　実験でたどる物理学の歴史 / 創元ビジュアル科学シリーズ　2	アダム・ハート＝デイヴィス　／著	創元社	1800円
00001728	自閉症の人の人間力を育てる	篁一誠　著	ぶどう社	2000円
00001729	肝臓病教室	与芝真　著	新興医学出版社	2200円
00001730	医療従事者のための同意能力評価の進め方・考え方	SCOTT Y.H.KIM　［著］	新興医学出版社	4000円
00001731	ケースに学ぶ心理学　交流分析のサイコセラピー	島田凉子　著	新興医学出版社	2400円
00001732	こうして乗り切る、切り抜ける認知症ケア 家族とプロの介護者による究極の知恵袋	朝田隆	新興医学出版社	1700円
00001733	高次脳機能障害のリハビリテーション リハビリテーション専門家のための実践ガイド	Brick Johnstone	新興医学出版社	4500円
00001734	学校・職場のメンタルヘルスの実践と応用ストレス関連健康障害への対処	牧野真理子　著	新興医学出版社	2700円
00001735	予防接種マニュアル　改訂版	加藤達夫　編著	新興医学出版社	4800円
00001736	場の量子論　不変性と自由場を中心にして/ 量子力学選書	坂本眞人　著	裳華房	5300円
00001737	責任という虚構	小坂井敏晶　著	東京大学出版会	3500円
00001738	アメリカ医療制度の政治史　20世紀の経験とオバマケア / 南山大学学術叢書	山岸敬和　著	名古屋大学出版会	4500円
00001739	介護市場の経済学　ヒューマン・サービス市場とは何か	角谷快彦　著	名古屋大学出版会	5400円
00001740	人間進化の科学哲学　行動・心・文化	中尾央　著	名古屋大学出版会	4800円
00001741	地球学入門　惑星地球と大気・海洋のシステム	酒井治孝　編著	東海大学出版会	2800円
00001742	活性酸素と栄養	水上茂樹	光生館	3800円
00001743	食物アレルギー	菅野道廣	光生館	3200円
00001744	脂肪酸栄養の現代的視点	五十嵐脩	光生館	3800円
00001745	成人病予防からみた脂肪の選択	柘植治人	光生館	3400円
00001746	成人病と栄養　高齢化社会に向けて	板倉弘重	光生館	3800円
00001747	アルコールと栄養　お酒とうまく付き合うために	糸川嘉則	光生館	3400円
00001748	食品の安全性評価の考え方　畜産食品を中心に	本間清一　責任編集	光生館	1600円
00001749	人間の遺伝学	シンガー　［著］	東京化学同人	3500円
00001750	マクマリー生化学反応機構　第2版　ケミカルバイオロジーによる理解	John McMurry	東京化学同人	5400円
00001751	ブラウン分子遺伝学　第3版	T.A.Brown　著	東京化学同人	5200円
00001752	免疫学の基礎　第4版	小山次郎	東京化学同人	2700円
00001753	期待・感情モデルによる体育における学習意欲の喚起に関する研究	西田保　著	杏林書院	3810円
00001754	期待・感情モデルによる体育における学習意欲の喚起に関する研究	西田保　著	杏林書院	3810円
00001755	人はなぜ依存症になるのか　自己治療としてのアディクション	エドワード・J・カンツィアン	星和書店	2400円
00001756	郊外世代と大都市圏	稲垣稜　著	ナカニシヤ出版	2500円
00001757	感じる情動・学ぶ感情　感情学序説	福田正治　著	ナカニシヤ出版	2600円
00001758	熟議民主主義の困難　その乗り越え方の政治理論的考察	田村哲樹　著	ナカニシヤ出版	3500円
00001759	体力づくりからフィットネス教育へ　アメリカの体育教育と身体づくりへの責任	井谷惠子　著	明石書店	5000円
00001760	高齢者診療のワンポイント・アドバイス	岩本俊彦　著	ライフ・サイエンス	3500円
00001761	姿勢と歩行　協調からひも解く	樋口貴広	三輪書店	3200円
00001762	身体運動学　知覚・認知からのメッセージ	樋口貴広	三輪書店	2800円
00001763	皮膚運動学　機能と治療の考え方	福井勉　編	三輪書店	2800円
00001764	イメージの科学　リハビリテーションへの応用に向けて	森岡周	三輪書店	3600円
00001765	危険ドラッグ対応ハンドブック　精神科救急医療ガイドライン追補版	成瀬暢也	へるす出版	1800円
00001766	心療内科実践学　入門から臨床研究まで	芦原睦　編著	フジメディカル出版	3000円
00001767	プライマリケア・メンタルヘルス活動のための10の心理テスト　入門から応用まで	芦原睦　編著	フジメディカル出版	2300円
00001768	ヒト卵黄嚢　卵黄嚢腫瘍とその周辺	岡本司　著	岡本司	3500円
00001769	日本における義肢装着者の生活援護史研究	坪井良子　著	風間書房	8500円
00001770	生命科学・医科学のためのヒトの生物学　/ Catch up	Philip Bradley	東京化学同人	2400円
00001771	免疫系のしくみ　第4版　免疫学入門	Lauren Sompayrac　著	東京化学同人	3200円
00001772	性別に違和感がある子どもたち　トランスジェンダー・SOGI・性の多様性/ 子どものこころの発達を知るシリーズ　07	康純　編著	合同出版	1500円
00001773	プロジェクトを成功させる実践力が身につく本	北野利光　［ほか］共著	オーム社	2400円
00001774	プロジェクト現場のメンタルサバイバル術　16の物語から読み解くプロジェクトマネジメント術と人間術	プロジェクトマネジメント学会　編	鹿島出版会	2200円
00001775	経済数学　微分積分編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	中井達　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001776	経済数学　線形代数編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	中井達　著	ミネルヴァ書房	2800円
00001777	臨床心理士・公認心理師まるごとガイド　資格のとり方・しごとのすべて/ まるごとガイドシリーズ　8	亀口憲治　監修	ミネルヴァ書房	1500円
00001778	食物栄養学　3訂版	柘植治人　［ほか］共著	培風館	2500円
00001779	生物学と生命観　新訂	小田隆治　著	培風館	2500円
00001780	輸出管理の基本と実務がよ～くわかる本　第2版　実務の流れから輸出管理が理解できる！/ 図解入門ビジネス，How-nual	橋本かおる　著	秀和システム	1600円
00001781	災害時の栄養・食糧問題	板倉弘重	建帛社	2200円
00001782	栄養とがん	矢ケ崎一三　［ほか］共著	建帛社	1800円
00001783	栄養とエピジェネティクス　食による身体変化と生活習慣病の分子機構	小川佳宏　［ほか］共著	建帛社	2100円
00001784	脳と栄養　行動の分子基盤を求めて	斉藤昌之	建帛社	3800円
00001785	肥満と脂肪エネルギー代謝　メタボリックシンドロームへの戦略	河田照雄	建帛社	3900円
00001786	世界の食事指針の動向	坂本元子	建帛社	2300円
00001787	テーラーメイド個人対応栄養学	合田敏尚	建帛社	3000円
00001788	亜鉛の機能と健康　新たにわかった多彩な機能	駒井三千夫	建帛社	3800円
00001789	高齢者の食と栄養管理	渡邊孟	建帛社	3800円
00001790	アミノ酸の機能特性　ライフサイエンスにおける新しい波	矢ヶ崎一三	建帛社	4600円
00001791	生化学実験　新訂	浅野勉　［ほか］共著	建帛社	1700円

(別紙6)図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001792	ロコモティブシンドロームと栄養	田中清	建帛社	2500円
00001793	食品因子による栄養機能制御	芦田均	建帛社	4200円
00001794	脂質栄養と健康	宮澤陽夫	建帛社	3900円
00001795	機能性タンパク質・ペプチドと生体利用	岡達三	建帛社	3600円
00001796	栄養・食品機能とトランスポーター	竹谷豊	建帛社	4200円
00001797	ゲノムビタミン学　遺伝子対応栄養教育の基礎	香川靖雄	建帛社	3500円
00001798	七十人訳ギリシア語聖書エゼキエル書	秦剛平　訳	青土社	3600円
00001799	認知症ケアの新しい風　支え合う温もりの絆を創る	長谷川和夫　著	メディア・ケアプラス	2000円
00001800	認知症ケアの作法　よりよいケアを目指して	長谷川和夫　著	ぱーそん書房	1200円
00001801	認知症知りたいこと百科　Q&A介護ガイド 毎日、悩んで、迷ったときに	須貝佑一	ぱーそん書房	1800円
00001802	睡眠	Steven W.Lockley	ぱーそん書房	2000円
00001803	検査のしくみと進め方　検体，生理機能，画像検査のすべて	大塚喜人	総合医学社	3000円
00001804	脳・脊髄の画像診断"鑑別診断力"を磨く厳選22題 専門医試験の画像問題に自信がもてる！ 研修医・若手医師必携！神経内科医・脳外科医・放射線	里見淳一郎	メディカ出版	5000円
00001805	故事成語で読み解く中国経済	李智雄　著	日経BP社	2800円
00001806	医療訴訟のここがポイント　/ 注目判例に学ぶ医療トラブル回避術　2	日経メディカル　編	日経BP社	3800円
00001807	精神障害作業療法入門	簗瀬誠　著	協同医書出版社	2000円
00001808	言語障害の研究入門　はじめての研究そして発表まで	伊藤元信　著	協同医書出版社	3000円
00001809	結核作業療法とその時代　甦る作業療法の原点	加賀谷一　著	協同医書出版社	2500円
00001810	運動の生物学　改訂第2版　臨床家のための脳科学	塚本芳久　著	協同医書出版社	3500円
00001811	アンダーソン血液学アトラス	シャウナ C.アンダーソン ヤング	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4400円
00001812	骨粗鬆症　診断・予防・治療ガイド	ライナー・バートル	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001813	結末への道筋　アポトーシスとさまざまな細胞死	ダグラス R.グリーン　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4400円
00001814	ピッツバーグの人工呼吸「集中講義」	ジョン W.クライト　編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3600円
00001815	女性のうつ病　ライフステージからみた理解と対応	松島英介	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00001816	はじめて学ぶ医療英語	大垣雅昭	メディカル・サイエンス・インターナショナル	900円
00001817	エマージェンシー神経学　日常診療で遭遇する51のケーススタディ	サラ T.ペンドルベリー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00001818	感染症999の謎	岩田健太郎　編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	5000円
00001819	え！？ここまでわかるの？人工呼吸器グラフィックス	ジョナサン B.ウォー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2600円
00001820	カラー図解これならわかる薬理学　第2版	ハインツ・ルールマン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6400円
00001821	カラー図解症状の基礎からわかる病態生理　第2版	ステファン・シルバーナグル	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6200円
00001822	見てわかる生化学　第2版　カラー図解	ヤン コールマン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7000円
00001823	カラー図解臨床に役立つ免疫学	ゲルト・リュディガー・ブルメスター	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6000円
00001824	カラー図解神経の解剖と生理	Ben Greenstein	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7800円
00001825	カラーアトラス顕微鏡写真で見る細胞組織学	ヴォルフガング・キューネル　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	7500円
00001826	カラー図解基礎から疾患までわかる遺伝学	エーベルハルト・パッサルゲ　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	6800円
00001827	予防接種の手びき　2018-19年度版	岡部信彦　[ほか]編著	近代出版	6500円
00001828	知っておきたい脊柱側弯症　改訂版　側弯のしおり	日本側弯症学会　編	インテルナ出版	1143円
00001829	双極性気分障害の治療戦略	稲田俊也　著	じほう	1800円
00001830	入院医療のための保険診療ガイド　DPCの基礎からレセプトチェックまで	藍真澄　編著	じほう	2300円
00001831	トレーニングという仕事　水族館トレーナーの知恵と技	志村博　著	東海大学出版部	2400円
00001832	野球ヒジ診療ハンドブック　肘の診断から治療，検診まで	柏口新二	全日本病院出版会	3600円
00001833	宝石　手のひらに広がる宝石の世界/ ネイチャーガイド・シリーズ	ロナルド・ルイス・ボネウィッツ　文	化学同人	2000円
00001834	鉱物結晶図鑑	野呂輝雄　編著	東海大学出版会	3200円
00001835	論理学	野矢茂樹　著	東京大学出版会	2600円
00001836	情報　第2版　東京大学教養学部テキスト	山口和紀　編	東京大学出版会	1900円
00001837	明日からつかえるシンプル統計学 身近な事例でするする身につく最低限の知識とコツ：このとおりやればすぐできる/ 基礎からやさしくわかる現場の統計学	柏木吉基　著	技術評論社	1780円
00001838	身につくシュレーディンガー方程式　/ ファーストブックSTEP	牟田淳　著	技術評論社	1880円
00001839	ワナにはまらない微分積分　オオカミ流高校数学再入門	大上丈彦　著	技術評論社	1880円
00001840	おっぱいの進化史　/ 生物ミステリー	浦島匡	技術評論社	1880円
00001841	世界を動かすプロジェクトマネジメントの教科書　グローバルなチャレンジを成功させるOSの作り方	佐藤知一　著	技術評論社	1780円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001842	有機化学がわかる　最初のコツさえ覚えればこんなにわかってくるやさしくてためになる有機化学/ ファーストブック	齋藤勝裕　著	技術評論社	1680円
00001843	量子力学がわかる　逐一数式の意味が解説され、思考の筋道が理解できる入門書/ ファーストブック	伊東正人　著	技術評論社	1880円
00001844	DMO観光地経営のイノベーション	高橋一夫　著	学芸出版社	2400円
00001845	フランスの地方都市にはなぜシャッター通りがないのか 交通・商業・都市政策を読み解く	ヴァンソン藤井由実	学芸出版社	2300円
00001846	日本の戦争解剖図鑑　日本近現代史がマルわかり	拳骨拓史　著	エクスナレッジ	1600円
00001847	仏像とお寺の解剖図鑑 お寺の境内に散りばめられた仏の世界の読み解き方	スタジオワーク　著	エクスナレッジ	1600円
00001848	食と健康のための免疫学入門　/ 人と食と自然シリーズ　1	上野川修一	建帛社	2400円
00001849	もうひとつの脳　微小脳の研究入門	山口恒夫	培風館	4200円
00001850	カンブリアンモンスター図鑑 カンブリア爆発の不思議な生き物たち　図説	千崎達也　文・絵	秀和システム	1500円
00001851	図説鉱物の博物学　地球をつくる鉱物たち	松原聰	秀和システム	2400円
00001852	会社法のツボとコツがゼッタイにわかる本 / 最初からそう教えてくれればいいのに！	大越一毅　著	秀和システム	1600円
00001853	これだけ！生化学	生化学若い研究者の会　著	秀和システム	1600円
00001854	よくわかる最新分析化学の基本と仕組み　第2版　現場で必要とされる分析法のノウハウ 分析の基礎/ 図解入門. Visual Guide B	津村ゆかり　著	秀和システム	2300円
00001855	オリジナリティあふれる物語作りのためのライトノベル・マンガ・ゲームで使えるストーリー80	榎本秋	秀和システム	1600円
00001856	高齢者住宅職場トラブル対応術　45の困った！事例に学ぶ / NHCスタートアップシリーズ	小嶋勝利　著	日経BP社	1800円
00001857	FinTechの法律　2017-2018　/ 日経FinTech選書	増島雅和	日経BP社	2700円
00001858	バリアフリー住宅読本　改訂新版　必携実例でわかる福祉住環境 高齢者の自立を支援する住環境デザイン	高齢者住環境研究所	三和書籍	2500円
00001859	写真でわかる安心介護	日野原重明　監修	インターメディカ	2200円
00001860	臨床疫学　臨床研究の原理・方法・応用	Diederick E. Grobbee	インターメディカ	4700円
00001861	介護福祉教育の展望　カリキュラム改正に臨み	西村洋子	光生館	2200円
00001862	子どもと関わる人のためのアンガーマネジメント 怒りの感情をコントロールする方法	川上陽子	合同出版	1500円
00001863	ここからはじめる観光学　楽しさから知的好奇心へ	大橋昭一	ナカニシヤ出版	2600円
00001864	食品包装の科学　/ B&Tブックス. おもしろサイエンス	日本食品包装協会　編著	日刊工業新聞社	1600円
00001865	これで書ける企業論文　失敗例と図解で納得	永田恒一　著	森北出版	2000円
00001866	骨格筋のバイオメカニクス　筋線維から運動協調性まで	Vladimir M.Zatsiorsky	ナップ	4600円
00001867	整形外科・スポーツ傷害診察ハンドブック	Chad Starkey	ナップ	4000円
00001868	毎日つぶやく英会話1秒レッスン　CD BOOK	清水建二　著	成美堂出版	1000円
00001869	DVD & CDでマスター英語の発音が正しくなる本	鷲見由理　著	ナツメ社	2200円
00001870	<最新>熱処理のしくみと技術　オールカラー図解	仁平宣弘　著	ナツメ社	1800円
00001871	世界服飾史のすべてがわかる本　史上最強カラー図解	能澤慧子　監修	ナツメ社	2000円
00001872	図解仕事の流れが一目でわかる！はじめての貿易実務	木村雅晴　著	ナツメ社	1400円
00001873	元素のすべてがわかる図鑑　世界をつくる118元素をひもとく	若林文高　監修	ナツメ社	1680円
00001874	プロが教える鉱物・宝石のすべてがわかる本　/ 史上最強カラー図解	下林典正	ナツメ社	1500円
00001875	価値がわかる宝石図鑑	諏訪恭一　著	ナツメ社	2200円
00001876	プロカウンセラーが教えるはじめての傾聴術	古宮昇　著	ナツメ社	1400円
00001877	ここだけ押さえる！会社法のきほん　スイスイわかる！グッと深まる！	神田秀樹　監修	ナツメ社	1400円
00001878	これならわかる！図解場合の数と確率	佐藤敏明　著	ナツメ社	1580円
00001879	文豪図鑑　完全版　あの文豪の素顔がすべてわかる	開発社　編	自由国民社	1300円
00001880	生活保護の受け方がわかる本　第2版　やさしく案内 最後の頼り / Social Law Book	法律知識普及会 企画・執筆	自由国民社	1300円
00001881	負けない人たち　金子勝の列島経済探訪レポート 近い未来にどういう社会を創るのか	金子勝　著	自由国民社	1500円
00001882	スタッフに「辞める！」と言わせない介護現場のマネジメント　新版 できる介護職を失わないための現場管理者の実践マニュアル	田中元　著	自由国民社	1900円
00001883	人工知能の基礎　第2版	馬場口登	オーム社	2900円
00001884	人工知能と人工生命の基礎	伊庭斉志　著	オーム社	2800円
00001885	人工知能　改訂2版　/ IT Text	松本一教	オーム社	2800円
00001886	健康と病気にまつわる体の仕組み	加藤征治　著	金芳堂	3200円
00001887	万能コンピュータ　ライプニッツからチューリングへの道すじ チューリング生誕100周年記念版	マーティン・デイヴィス 原著	近代科学社	3600円
00001888	医療・看護・介護で役立つ嚥下治療エッセンスノート	福村直毅　編著	全日本病院出版会	3300円
00001889	情報リテラシー　第3版　メディアを手中におさめる基礎能力	山川修	森北出版	2000円
00001890	おしっこのはなし　賢い腎臓の役割を知ろう	北岡建樹　著	ぱーそん書房	1800円
00001891	分子細胞学	中村運　著	培風館	2600円
00001892	「認知運動療法」日記　ボクは日々、変容する身体 リハビリテーション・レポート	藤田貴史　著	協同医書出版社	1500円
00001893	「のーさいど」から　脳がこわれてもボクは漫画家！ リハビリテーション・コミック	藤田貴史　作	協同医書出版社	1200円
00001894	砂原茂一さんの『リハビリテーション』を読む 遠いビジョンを読み直す リハビリテーション・エッセイ	藤田貴史　著	協同医書出版社	1800円
00001895	関節可動域測定法　改訂第2版　可動域測定の手引き	Cynthia C.Norkin	協同医書出版社	4000円
00001896	音楽家の手　臨床ガイド	イアン・ウィンスパー	協同医書出版社	5700円
00001897	子どもの食と栄養　改訂　保育士養成課程	岡崎光子　編著	光生館	2400円
00001898	食学入門　食べるヒト・食べるモノ・食べるコト	荒井三津子　編著	光生館	2200円
00001899	スポーツを楽しむための栄養・食事計画　理論と実践	川野因	光生館	2500円
00001900	介護予防　日本と北欧の戦略	笹谷春美	光生館	2600円
00001901	エンドレス・ウェブ　身体の動きをつくり出す筋膜の構造とつながり	R.Louis Schultz	市村出版	2800円
00001902	脳性麻痺のリハビリテーション実践ハンドブック	梶浦一郎	市村出版	2600円
00001903	入門運動神経生理学　ヒトの運動の巧みさを探る	矢部京之助	市村出版	5400円
00001904	子どもの遊び・運動・スポーツ	浅見俊雄	市村出版	2600円
00001905	見て読んで学ぶ人体解剖生理学	堀川宗之　著	真興交易医書 出版部	3800円
00001906	重度障害者の職業リハビリテーション入門　誰もが働ける社会をめざして 障害者の福祉・教育・医療・労働に携わるすべての人に	南雲直二　監修	荘道社	2200円
00001907	教養のための昆虫学	平嶋義宏	東海大学出版部	3000円
00001908	放射線と免疫・ストレス・がん	佐渡敏彦　著	医療科学社	5500円
00001909	失語症Q&A　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村純　編著	新興医学出版社	4000円
00001910	意思伝達装置操作スイッチ適合マニュアル　重度障害者用	日向野和夫　著	三輪書店	2800円
00001911	寄生虫・害虫マニュアル	広島県安佐医師会　編	杏林書院	3500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001912	病態と治療　第3版	鳥海純	杏林書院	5000円
00001913	読んでわかる解剖生理学　テキスト	竹内修二　著	医学教育出版社	2900円
00001914	活火山・活断層赤色立体地図でみる日本の凸凹　最新版	千葉達朗　編	技術評論社	1880円
00001915	ジオ・パルNEO　第2版　地理学・地域調査便利帖	野間晴雄　[ほか]編著	海青社	2500円
00001916	図解スポーツ傷害とリハビリ治療のためのテーピング技術	Anne Keil　著	緑書房	4800円
00001917	福祉関係法規ハンドブック	本井治　著	共和書院	1800円
00001918	ダイバージョナルセラピー　施設ケアの新発想！ オーストラリアのプロメソッド	芹澤隆子　著	三輪書店	2600円
00001919	病棟で働く人のための生理学　改訂第4版	香山雪彦	学研メディカル秀潤社	2800円
00001920	エッセンシャル解剖・生理学　新版 / 臨床工学ライブラリーシリーズ　3	堀川宗之　著	学研メディカル秀潤社	3400円
00001921	レーヴン/ジョンソン生物学　上	P.レーヴン	培風館	6400円
00001922	身体(からだ)が見える・疾患を学ぶ解剖アトラス ソボッタの解剖図に秘められた人体の世界	井上泰　監訳	メディカ出版	7800円
00001923	プロッパー細胞生物学　細胞の基本原理を学ぶ	George Plopper　著	化学同人	6500円
00001924	コスタンゾ明解生理学	コスタンゾ　原著	エルゼビア・ジャパン	6000円
00001925	ヴォルフ カラー人体解剖学図譜	Petra Ko¨pf-Maier　編	西村書店	4800円
00001926	カラー人体解剖学　構造と機能：ミクロからマクロまで	F.H.マティーニ	西村書店	7800円
00001927	新しい、美しいペンギン図鑑	テュイ・ド・ロイ	エクスナレッジ	3900円
00001928	世界で一番美しい元素図鑑	セオドア・グレイ　著	創元社	3800円
00001929	世界で一番美しい分子図鑑	セオドア・グレイ　著	創元社	3800円
00001930	世界の夢の図書館　37 Wonderful Libraries around the World		エクスナレッジ	3800円
00001931	慢性腎臓病生活・食事指導マニュアル　医師・コメディカルのための	腎疾患重症化予防実践事業生活・食事指導マニュアル改訂委員会　編集	東京医学社	2000円
00001932	成長障害のマネジメント　改訂3版　/ マネジメントシリーズ	横谷進　編	医薬ジャーナル社	3600円
00001933	患者さんと家族のための気管支喘息の知識　改訂版 これだけは知っておきたい	東田有智　編	医薬ジャーナル社	2600円
00001934	骨粗鬆症　改訂3版　/ インフォームドコンセントのための図説シリーズ	杉本利嗣　編	医薬ジャーナル社	4800円
00001935	統合失調症　/ インフォームドコンセントのための図説シリーズ	丹羽真一　編	医薬ジャーナル社	4800円
00001936	認知症の予防と生活指導 / インフォームドコンセントのための図説シリーズ	遠藤英俊　著	医薬ジャーナル社	4800円
00001937	図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション　Parkinson's Disease	山永裕明	三輪書店	3200円
00001938	医療事故ゼロのための60の鉄則　事例・判例から学ぶケーススタディ60	柴田義朗　著	医学通信社	2800円
00001939	医療事故調運用ガイドライン	日本医療法人協会 医療事故調運用ガイドライン作成委員会　編	へるす出版	3000円
00001940	ドクターヘリハンドブック　ドクターヘリ安全運航のために	日本航空医療学会 ドクターヘリハンドブック編集委員会　編集	へるす出版	5000円
00001941	「ありがとう」は奇跡の言葉　病気が治る！と医師も大推奨		マキノ出版	780円
00001942	ID触診術　第2版	鈴木重行　編集	三輪書店	7600円
00001943	IDストレッチング　第2版	鈴木重行　編	三輪書店	4500円
00001944	アクティブIDストレッチング	鈴木重行　編	三輪書店	4500円
00001945	やさしいC型肝炎の自己管理　改訂3版	岡上武　著	医薬ジャーナル社	1800円
00001946	やさしい肩の痛みの自己管理	井樋栄二　編	医薬ジャーナル社	1600円
00001947	やさしい肝臓病の自己管理　改訂版	林紀夫　編	医薬ジャーナル社	2200円
00001948	やさしい高齢者肝疾患の自己管理　改訂版	八橋弘　編著	医薬ジャーナル社	2800円
00001949	やさしい高齢者の健康教室	東京大学医学部附属病院老年病科　編	医薬ジャーナル社	2800円
00001950	やさしい腎臓病患者のためのリン・カルシウム代謝の自己管理　改訂版 保存期・透析期から移植期まで	深川雅史　編著	医薬ジャーナル社	2600円
00001951	やさしい生活習慣病の自己管理　改訂3版	北村諭　著	医薬ジャーナル社	2100円
00001952	やさしい統合失調症の自己管理　改訂版	丹羽真一　編	医薬ジャーナル社	2800円
00001953	やさしい透析患者の自己管理　改訂4版	秋澤忠男　編	医薬ジャーナル社	2600円
00001954	やさしい透析患者のための血圧と心臓・血管の自己管理	深川雅史	医薬ジャーナル社	2800円
00001955	やさしい慢性腎臓病の自己管理　改訂4版	今井圓裕　編	医薬ジャーナル社	2800円
00001956	事例で学ぶデイサービス計画書のつくりかた　改訂版　「自宅等での生活」とデイサービスを結ぶアセスメントの実践	貝塚誠一郎　編著	日本医療企画	2000円
00001957	食事摂取基準による栄養管理・給食管理　PDCAサイクルの実践	由田克士	建帛社	2700円
00001958	大迫力！写真と絵でわかる古事記・日本書紀　/ 大判ビジュアル図解	加唐亜紀　著	西東社	1400円
00001959	大迫力！写真と絵でわかる日本史　/ 大判ビジュアル図解	橋場日月　著	西東社	1300円
00001960	大迫力！写真と絵でわかる日本の合戦　/ 大判ビジュアル図解	加唐亜紀　著	西東社	1400円
00001961	呼吸機能検査技術教本　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会監修	じほう	4200円
00001962	髄液検査技術教本　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会監修	丸善出版	3700円
00001963	神経生理検査技術教本　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会監修	じほう	4600円
00001964	神経生理検査症例集　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会監修	じほう	3700円
00001965	超音波検査症例集　/ JAMT技術教本シリーズ	日本臨床衛生検査技師会監修	じほう	5500円
00001966	神経解剖学講義ノート　カラー図解	寺島俊雄　著	金芳堂	4600円
00001967	写真で学ぶ新しいコンセプトによる脳卒中リハビリテーション 自立度向上と介助量軽減のために	古田晃	メディカルプレス	3600円
00001968	医療安全管理実務者標準テキスト	日本臨床医学リスクマネジメント学会テキスト作成委員会　／編集	へるす出版	5500円
00001969	石綿関連疾患の病理とそのリスクコミュニケーション	井内康輝　編著	篠原出版新社	5000円
00001970	スポーツアナトミー　人体解剖生理学	塩田清二	丸善出版	2900円
00001971	マウス解剖イラストレイテッド　改訂版　動画でわかる解剖手技と細胞組織像/ 細胞工学別冊. 目で見る実験ノートシリーズ	野村慎太郎	学研メディカル秀潤社	3600円
00001972	いちばんやさしい和裁の基本	松井扶江　監修	ナツメ社	1890円
00001973	「臨床血液図説」血液を視る　患者さんを診て看て観るために	満谷進　著	医薬ジャーナル社	3800円
00001974	線描骨学実習　第2版	千葉正司　著	考古堂書店	3000円
00001975	大量調理施設衛生管理のポイント　6訂 HACCPの考え方に基づく衛生管理手法		中央法規出版	2400円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00001976	イラストで学ぶスタディスキル図鑑　自ら学習する力をつける	キャロル・ヴォーダマン ほか著	創元社	2800円
00001977	New生体のしくみ標準テキスト　第2版　新しい解剖生理	高松研	医学映像教育センター(制作・発売)	2800円
00001978	事例・症例に学ぶ栄養管理　改訂2版	中村丁次	南山堂	2800円
00001979	STI性感染症アトラス　改訂第2版	安元慎一郎	学研メディカル秀潤社	7000円
00001980	不思議で美しい石の図鑑	山田英春　著	創元社	3800円
00001981	ベッドサイドの高齢者運動器の診かた Locomotive organs disorders in the elderly	中村耕三　編	南山堂	7000円
00001982	ベッドサイドの神経の診かた　改訂18版	田崎義昭	南山堂	7200円
00001983	Dr.ジンゾーの透析療法の初歩　medicalコミック	佐藤良和　著	南山堂	1800円
00001984	エキスパートに学ぶパーキンソン病・パーキンソニズムQ&A	大江田知子	南山堂	6500円
00001985	この症状を見逃さない戦略的循環器疾患の診かた	東條美奈子　編	南山堂	4000円
00001986	在宅整形が得意技になる本	飯島治　著	南山堂	3500円
00001987	脳卒中の再発を防ぐ！知っておきたいQ&A76	橋本洋一郎	南山堂	3500円
00001988	実践！ケースに学ぶ栄養管理・食事指導エキスパートガイド	稲垣暢也	南山堂	3500円
00001989	イラストを見せながら説明する育児のポイントと健康相談	金子堅一郎　編	南山堂	4000円
00001990	イラストを見せながら説明する子どもの病気とその診かた	金子堅一郎　編	南山堂	9000円
00001991	禁煙学　改訂3版	日本禁煙学会　編	南山堂	3900円
00001992	みんなはどう診るこの症状	横林賢一　編著	南山堂	3200円
00001993	症例から学ぶ戦略的てんかん診断・治療	池田昭夫　編集	南山堂	3800円
00001994	血管外科基本手技アトラス　改訂2版	古森公浩　編	南山堂	8500円
00001995	THE整形内科	白石吉彦	南山堂	4200円
00001996	TEXT麻酔・蘇生学　改訂4版	土肥修司	南山堂	6800円
00001997	TEXT形成外科学　改訂3版	中塚貴志	南山堂	6000円
00001998	心電図読み方の極意　エキスパートはここを見る	三田村秀雄　編	南山堂	3600円
00001999	心電図と不整脈の手びき　改訂4版	黒澤利郎	南山堂	5200円
00002000	法医学　改訂3版	福島弘文　編	南山堂	5500円
00002001	がん患者の輸液・栄養療法	大村健二　編	南山堂	3800円
00002002	ケースで学ぶ認知症ケアの倫理と法 / 静岡大学人文社会科学部研究叢書　57	松田純	南山堂	2000円
00002003	認知症患者の摂食・嚥下リハビリテーション	野原幹司　編	南山堂	2500円
00002004	下肢臨床症候の診かた・考え方	吉矢晋一	南山堂	6500円
00002005	学生のための現代公衆衛生　改訂7版	野中浩一　編著	南山堂	2300円
00002006	学生のための健康管理学　改訂2版	木村康一	南山堂	2000円
00002007	基礎栄養学　改訂9版	飯塚美和子	南山堂	2600円
00002008	応用栄養学　改訂7版	寺田和子	南山堂	2600円
00002009	理学療法のクリティカルパス　上巻　上肢・脊椎　症例から学ぶグローバルスタンダード	David C.Saidoff	エルゼビア・ジャパン	4800円
00002010	理学療法のクリティカルパス　下巻　下肢　症例から学ぶグローバルスタンダード	David C.Saidoff	エルゼビア・ジャパン	6500円
00002011	健康と長寿への挑戦　食品栄養科学からのアプローチ	木苗直秀　編著	南山堂	1900円
00002012	プライマリ・ケア医のための睡眠障害　スクリーニングと治療・連携	内村直尚　編	南山堂	2800円
00002013	ここが知りたい職場のメンタルヘルスケア　改訂2版 精神医学の知識&精神医療との連携法	日本産業精神保健学会　編	南山堂	4500円
00002014	なるほどなっとく！病理学　病態形成の基本的なしくみ	小林正伸　著	南山堂	2200円
00002015	なるほどなっとく！内科学	浅野嘉延　編	南山堂	6000円
00002016	はじめての病理・病態学　病気の成り立ち	伊藤隆	南山堂	5000円
00002017	はじめる！つかえる！看護のための薬理学	時政孝行　著	南山堂	2300円
00002018	プログレッシブ生命科学	米田悦啓	南山堂	4800円
00002019	Clinical生体機能学　生理学から症状がわかる	當瀬規嗣　著	南山堂	6000円
00002020	TEXT眼科学　改訂3版	坪田一男	南山堂	6800円
00002021	聴覚検査の実際　改訂4版	日本聴覚医学会　編集	南山堂	3400円
00002022	重度失語症検査　重度失語症者へのアプローチの手がかり	竹内愛子　[ほか]共著	協同医書出版社	5200円
00002023	知的機能の簡易評価実施マニュアル　Japanese Adult Reading Test (JART)	松岡恵子	新興医学出版社	3000円
00002024	標準高次動作性検査　改訂第2版　失行症を中心として	日本高次脳機能障害学会 編	新興医学出版社	5700円
00002025	標準ディサースリア検査　新装版	西尾正輝　著	インテルナ出版	5700円
00002026	美しい鉱物と宝石の事典　ロイヤル・オンタリオ博物館名品コレクション	キンバリー・テイト　著	創元社	4500円
00002027	聞く注意力の練習帳　1-[1]：聞く注意力の練習帳 I. 1-[2]：聞く注意力の練習帳：注意材料を読む方のために I. 2-[1]：聞く注意	藤井正子　編	新興医学出版社	7600円
00002028	見る注意力の練習帳　1：見る注意力の練習帳 I. 2：見る注意力の練習帳 II. 3：見る注意力の練習帳 III. 4：見る注意力の練習帳 IV	藤井正子　編	新興医学出版社	4600円
00002029	記憶の練習帳　1：記憶の練習帳 I(第1週、第2週). 2：記憶の練習帳 II(第3週、第4週). 3：記憶の練習帳 III(第5週、第6週)	藤井正子	新興医学出版社	4800円
00002030	頭が働く練習帳　1：頭が働く練習帳 I. 2：頭が働く練習帳 II. 3：頭が働く練習帳 III. 4：頭が働く練習帳 IV　脳損傷のリハビリ	藤井正子　著	新興医学出版社	4200円
00002031	癌と血管新生の分子生物学　/ The frontiers in medical sciences	澁谷正史　編	南山堂	5800円
00002032	図解よくわかる生化学	中島邦夫	南山堂	3600円
00002033	一般医化学　改訂7版	菊地吾郎　[ほか]共著	南山堂	6500円
00002034	図解薬理学　/ みてわかる薬学	鍋島俊隆	南山堂	8800円
00002035	神経・精神疾患診療マニュアル　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	飯森眞喜雄	日本医師会	5500円
00002036	TEXT精神医学　改訂4版	加藤進昌	南山堂	6500円
00002037	TEXT整形外科学　改訂4版	糸満盛憲	南山堂	8000円
00002038	元素からみた生化学　第4版	中野稔	金芳堂	3800円
00002039	やさしく学ぶ認知症のケア	長谷川和夫　編著	永井書店	3000円
00002040	わかる！できる！骨粗鬆症リエゾンサービス　改訂版　骨粗鬆症マネージャー実践ガイドブック	日本骨粗鬆症学会骨粗鬆症リエゾンサービス委員会ワーキンググループ　編集	医薬ジャーナル社	3600円
00002041	4Stepsエクセル統計　第4版	柳井久江　著	オーエムエス出版	4000円
00002042	エビデンスに基づく疾患別クリニカルマッサージ　評価と治療	Celia Bucci　著	丸善出版	4800円
00002043	すぐわかるイラスト微生物学	Mark Gladwin	丸善	5900円
00002044	イラストレイテッド微生物学　/ リッピンコットシリーズ	Richard A.Harvey	丸善出版	7800円
00002045	症例問題から学ぶ生理学　原書3版	Linda S.Costanzo　著	丸善出版	4800円
00002046	ルービンカラー病理学Q&A	Bruce A.Fenderson	丸善	6600円
00002047	見て知るリハビリテーション医学	小松泰喜　編集	丸善出版	4600円
00002048	片麻痺　バビンスキーからペルフェッティへ	宮本省三　著	協同医書出版社	5500円
00002049	最新女性心身医学	日本女性心身医学会　編集	ぱーそん書房	5000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002050	ImageJではじめる生物画像解析	三浦耕太	学研メディカル秀潤社	4000円
00002051	あなたの医療は安全か？　異業種から学ぶリスクマネジメント	危機管理システム研究学会メディカルリスクマネジメント分科会　編	南山堂	2800円
00002052	精神医学入門　改訂25版	西丸四方	南山堂	5100円
00002053	症状と薬からひも解く生理学	富瀬規嗣　著	南山堂	1900円
00002054	在宅でみる排尿介護のコツ	奥井識仁	南山堂	1700円
00002055	生命倫理への招待　改訂5版	塩野寛	南山堂	1900円
00002056	介護のための老人医療入門　老人の身体と精神と生活の視点からの医療	三宅貴夫　著	南山堂	2100円
00002057	入門傷寒論	森由雄　著	南山堂	3000円
00002058	不眠症　/ 症候別漢方治療論	石毛敦	南山堂	2000円
00002059	月経関連症候　/ 症候別漢方治療論	石毛敦	南山堂	2000円
00002060	冷え症　/ 症候別漢方治療論	石毛敦	南山堂	2000円
00002061	在宅栄養管理　改訂2版　経口から胃瘻・経静脈栄養まで / 在宅医療の技とこころ	小野沢滋　編著	南山堂	3600円
00002062	在宅で褥瘡に出会ったら　改訂2版　/ 在宅医療の技とこころ	鈴木央　編著	南山堂	3000円
00002063	ここに目をつける！脳波判読ナビ	飛松省三　著	南山堂	3200円
00002064	認知症診療に役立つ77のQ&A	川畑信也　著	南山堂	3200円
00002065	検死ハンドブック　改訂3版	高津光洋　著	南山堂	8500円
00002066	現代微生物学入門　改訂4版	南嶋洋一	南山堂	5000円
00002067	入門病理学	梶田昭　著	南山堂	3690円
00002068	身体(カラダ)が求める運動とは何か　法則性を活かした運動誘導	水口慶高	文光堂	2500円
00002069	コンディショニング・ケアのための物理療法実践マニュアル	川口浩太郎　編	文光堂	2500円
00002070	理学療法士のための6ステップ式臨床動作分析マニュアル	黒川幸雄	文光堂	5200円
00002071	図解理学療法技術ガイド　第4版 理学療法臨床の場で必ず役立つ実践のすべて	石川齊	文光堂	8500円
00002072	図解作業療法技術ガイド　第3版 根拠と臨床経験にもとづいた効果的な実践のすべて	石川齊	文光堂	8500円
00002073	作業療法士プロフェッショナル・ガイド　作業療法士とは何か	杉原素子	文光堂	7000円
00002074	理学療法士プロフェッショナル・ガイド 臨床の現場で役立つマネジメントのすべて	細田多穂　[ほか]編	文光堂	6500円
00002075	痛みの漢方治療　今日から実践	世良田和幸	医歯薬出版	3000円
00002076	脳のはたらきと行動のしくみ	八田武志　著	医歯薬出版	2800円
00002077	最新メタボリックシンドローム診療マニュアル	戸邉一之　編	医歯薬出版	5000円
00002078	要介護3・4・5の人のための在宅リハビリ やる気がでる簡単リハビリのすすめ	飯島治　著	医歯薬出版	3200円
00002079	「なつかしの国」の扉を開けよう 要介護3・4・5の人のためのやる気がでる在宅リハビリ	飯島治　著	医歯薬出版	3400円
00002080	器官の異常と誤嚥・摂食嚥下のメカニズム　CGと機能模型でわかる！	里田隆博	医歯薬出版	5400円
00002081	循環器疾患の理学療法　第2版　/ PTマニュアル	奈須田鎮雄	医歯薬出版	3400円
00002082	超音波検査必携肩こり・腰痛解消book	佐久間浩	医歯薬出版	2400円
00002083	理学療法士のためのわかったつもり？！の糖尿病知識Q&A	石黒友康	医歯薬出版	3200円
00002084	手診療マニュアル	南条文昭　著	医歯薬出版	5100円
00002085	NEWエッセンシャル法医学　第5版	長尾正崇	医歯薬出版	8500円
00002086	NEWエッセンシャル眼科学　第8版	丸尾敏夫　著	医歯薬出版	6200円
00002087	NEWエッセンシャル腎臓内科学　第2版	富野康日己　編	医歯薬出版	6200円
00002088	医療スタッフのためのセルフマネジメント リーダーシップを成功させる7つの鍵	Christopher S.Frings　著	医歯薬出版	2200円
00002089	正しい腰痛のなおしかた　カリエ博士の腰痛ガイド	レネ・カリエ　著	医歯薬出版	1500円
00002090	上肢リハビリテーション評価マニュアル	Thomas Platz	医歯薬出版	4200円
00002091	こんなときどうする？リハビリテーション臨床現場のモヤモヤ解決！	上月正博　編著	医歯薬出版	3600円
00002092	食卓の生化学　第2版	三浦義彰	医歯薬出版	2400円
00002093	失語症のホームケア	波多野和夫　編著	医歯薬出版	1800円
00002094	線維筋痛症とたたかう　未知の病に挑む医師と患者のメッセージ	ホールネス研究会　著	医歯薬出版	2400円
00002095	全体構造法でとり組む失語症の在宅リハビリ　補訂	道関京子　編著	医歯薬出版	1800円
00002096	仕事としての老人ケアの気合	高口光子　著	医歯薬出版	2400円
00002097	インスリン物語　新装復刻版	二宮陸雄　著	医歯薬出版	3200円
00002098	癒しの国のアリス　人間としての尊厳と権利を求めて	高柳和江　著	医歯薬出版	1600円
00002099	足と足関節の痛み　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4500円
00002100	軟部組織の痛みと機能障害　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	5700円
00002101	膝の痛みと機能障害　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4200円
00002102	肩の痛み　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4100円
00002103	痛み　そのメカニズムとマネジメント	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	4900円
00002104	頸と腕の痛み　第3版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	3700円
00002105	腰痛症　第4版	Rene Cailliet　著	医歯薬出版	5300円
00002106	こんなときどうする？ホームヘルパーと家族のための医療講座	和田忠志　著	医歯薬出版	2400円
00002107	国際論文English査読・執筆ハンドブック	C.S.Langham　著	医歯薬出版	3500円
00002108	インスタントアナトミー	Robert H.Whitaker	医歯薬出版	4000円
00002109	疾患別に診る嚥下障害	片桐伯真　[ほか]編集	医歯薬出版	7000円
00002110	小澤竹俊の緩和ケア読本　苦しむ人と向き合うすべての人へ	小澤竹俊　著	日本医事新報社	1900円
00002111	老年医学テキスト　改訂第3版	日本老年医学会　編	メジカルビュー社	7000円
00002112	OT臨地実習ルートマップ	菊池恵美子　編	メジカルビュー社	5000円
00002113	動画でチェック！運動器・関節エコー 100のQuestion & Answerでみるみるわかる！エコーが読める！	前田佳彦　著	メジカルビュー社	4000円
00002114	今さら聞けない心エコー図100	村田和也　編	メジカルビュー社	4800円
00002115	医療ソーシャルワーカーの七転び八起きミッション "ダメよ…ダメダメ"ケアから"ありのままで"を支えるケアへ	清家理　著	メジカルビュー社	2000円
00002116	パターンでうまく書ける！看護・医療・福祉の英文抄録作成術	平野美津子	メジカルビュー社	2400円
00002117	PT臨床実習ルートマップ	柳澤健　編	メジカルビュー社	4500円
00002118	今さら聞けない心電図	池田隆徳　編	メジカルビュー社	4800円
00002119	老年期うつ病の作業療法　高齢者のやりがい・生きがいを見つけよう！	高橋章郎　編集	メジカルビュー社	3000円
00002120	免疫難病の克服をめざして	岸本忠三　著	中山書店	3000円
00002121	かわる！わかる！おもしろい！コペルニクスな呼吸生理	北岡裕子　著	克誠堂出版	3600円
00002122	呼吸を科学する　息の長い話	西野卓　著	克誠堂出版	3200円
00002123	超音波ガイド下神経ブロック法ポケットマニュアル　改訂第2版	小松徹	克誠堂出版	3800円
00002124	臨床実習フィールドガイド　改訂第2版	石川朗	南江堂	5500円
00002125	医の倫理と法　改訂第2版　その基礎知識	森岡恭彦　著	南江堂	1800円
00002126	痛みの考えかた　しくみ・何を・どう効かす	丸山一男　著	南江堂	3200円
00002127	運動負荷試験Q&A119　改訂第2版	上嶋健治　著	南江堂	3300円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002128	IDATENのプロが答えるそこが知りたかった感染症	IDATEN<日本感染症教育研究会>　編	南江堂	3300円
00002129	遺伝医学への招待　改訂第5版	新川詔夫	南江堂	1800円
00002130	運動処方の指針　運動負荷試験と運動プログラム	American College of Sports Medicine　編	南江堂	3500円
00002131	はじめての臨床脳血管障害　理学療法スタートライン	新田收	南江堂	3800円
00002132	はじめての臨床運動器疾患　理学療法スタートライン	新田收	南江堂	3800円
00002133	これでわかるピロリ除菌療法と保険適用　改訂第5版 ガイドラインに基づく活用法	高橋信一　著	南江堂	2500円
00002134	免疫学への招待	Norman Staines　[ほか]著	南江堂	1500円
00002135	あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ！　シンプルに伝える魔法のテクニック 医師・研究者必読！！	渡部欣忍　著	南江堂	3000円
00002136	新・足のクリニック　教科書に書けなかった診療のコツ	井口傑　著	南江堂	4800円
00002137	イラスト麻酔科　第2版　/ Bunkodo illustrated basic series	高崎眞弓　著	文光堂	5000円
00002138	理学療法士のための足と靴のみかた	坂口顕　編集	文光堂	4000円
00002139	理学療法士のための運動処方マニュアル　第2版	奈良勲	文光堂	4000円
00002140	脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル　第2版	長澤弘　編集	文光堂	5500円
00002141	一般内科医のためのそうだったんだ！リハビリテーション 治療にリハビリを取り入れる方法を教えます	上月正博　著	文光堂	4500円
00002142	身体機能・歩行動作からみたフットケア	野村卓生	文光堂	3500円
00002143	セラピストの動きの基本　運動器リハビリテーション新時代	山口光國	文光堂	3500円
00002144	ゼロから始めるパーキンソン病診療	川上忠孝　著	文光堂	3800円
00002145	検査値ベーシックレクチャー　第2版 何がわかるかどんな時に行うか解釈と進め方	宮地勇人　著	文光堂	3000円
00002146	そうだったんだ！認知症 治療・ケアがうまくいかないのは認知症のせい？	小川朝生　編集	文光堂	3500円
00002147	そうだったんだ！透析患者 外来・入院診療で迷わないための35のアドバイス	加藤明彦　編集	文光堂	4000円
00002148	透析の話をする・聞く前に読む本	菅野義彦　著	文光堂	2800円
00002149	心臓の機能と力学	山本一博　著	文光堂	3500円
00002150	循環器診療プライマリ・レファレンス 学生と研修医のためのQ&Aで追う診療のコツ	香坂俊　編著	文光堂	4500円
00002151	精神科リハビリテーションの流儀　援助者必携デイリーケアのエッセンス	宮脇稔　編著	文光堂	1800円
00002152	介護ケア・ガイド	日高正巳　編集主幹	文光堂	5000円
00002153	テーピング　アスリートケアマニュアル	中江徳彦　[ほか]編	文光堂	3500円
00002154	臨床検査ガイド　2015年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた	三橋知明　[ほか]編	文光堂	8500円
00002155	異所性脂肪　第2版　メタボリックシンドロームの新常識 皮下脂肪・内臓脂肪に次ぐ「第三の脂肪」	小川佳宏　編	日本医事新報社	3800円
00002156	プライマリケア漢方　新装版	喜多敏明　著	日本医事新報社	4400円
00002157	医療職をめざす人の解剖学はじめの一歩　東大講義録	坂井建雄　著	日本医事新報社	2400円
00002158	かぜ診療マニュアル　第2版　かぜとかぜにみえる重症疾患の見わけ方	山本舜悟　編著	日本医事新報社	4000円
00002159	慢性疼痛の認知行動療法　"消えない痛み"へのアプローチ	伊豫雅臣	日本医事新報社	2500円
00002160	HAPPY！こどものみかた　2版	笠井正志	日本医事新報社	4400円
00002161	事例別医事法Q&A　第6版	高田利廣	日本医事新報社	4800円
00002162	診療実践小児神経科　改訂第3版　小児神経疾患のプライマリ・ケア	鳥取大学医学部 脳神経小児科 編集	診断と治療社	5500円
00002163	保険診療におけるカルテ記載のあり方　改訂第4版	高木泰　著	診断と治療社	2800円
00002164	生活習慣病と健康管理　100歳を元気に生きるために	斎藤征夫	診断と治療社	2200円
00002165	慢性疾患の認知行動療法　アドヒアランスとうつへのアプローチ セラピストガイド	Steven A.Safren	診断と治療社	3000円
00002166	現代の認知行動療法　CBTモデルの臨床実践	ステファン・G・ホフマン　著	診断と治療社	3000円
00002167	高次脳機能障害　診断・治療・支援のコツ	橋本圭司　著	診断と治療社	3200円
00002168	子どもの摂食指導　食べる機能の発達をうながす子育て	田角勝	診断と治療社	1500円
00002169	失語症言語治療の基礎　診断法から治療理論まで	紺野加奈江　著	診断と治療社	3500円
00002170	潰瘍性大腸炎ってどんな病気	里見匡迪	診断と治療社	2000円
00002171	クローン病ってこんな病気　新版　食生活から見直す	福田能啓	診断と治療社	2800円
00002172	子どものための食材Q&A	根岸由紀子	診断と治療社	1800円
00002173	5歳児健診　発達障害の診療・指導エッセンス	小枝達也　編	診断と治療社	4600円
00002174	そこが知りたい！成人の予防接種パーフェクト・ガイド	渡辺彰	診断と治療社	3800円
00002175	オオカミたちの隠された生活　/ NATIONAL GEOGRAPHIC	ジム・ダッチャー	エクスナレッジ	2800円
00002176	医療専門職のための二度目の物理学入門 / 臨床工学ライブラリーシリーズ　6	嶋津秀昭　著	秀潤社	3200円
00002177	透析運動療法　健康長寿を実現するために	稲葉雅章	医薬ジャーナル社	5600円
00002178	スパイナル・コントロール　体幹機能と腰痛の最新科学	Paul W Hodges	ナップ	5500円
00002179	筋膜ストレッチセラピー	Ann Frederick	ナップ	5400円
00002180	サプリメントのほんととウソ エビデンスに基づいたサプリメントの有効性	下村吉治　編集	ナップ	2000円
00002181	健康食品・中毒百科	内藤裕史　著	丸善	2800円
00002182	分子生物学　第3版	田沼靖一　編著	丸善出版	5200円
00002183	ポイントで学ぶ薬理学	丸山敬	丸善	2800円
00002184	SJF関節ファシリテーション　第2版	宇都宮初夫　編	丸善出版	5500円
00002185	カイロプラクティック　/ 医道の日本PLUS		医道の日本社	3600円
00002186	新入門解剖図譜	三井但夫	建帛社	1800円
00002187	英語で学ぶ医療と健康　新訂版	西村月満　[ほか]編著	朝日出版社	1800円
00002188	医療接遇ワークブック　スタッフと考える"おもてなし"の心とスキル	山下郁子　著	プリメド社	1600円
00002189	医療器材の洗浄から滅菌まで	島崎豊	ヴァンメディカル	3200円
00002190	神経筋促通手技　改訂第3版　パターンとテクニック	Dorothy E.Voss	協同医書出版社	8000円
00002191	機能的姿勢ー運動スキルの発達　誕生から1歳まで	Rona Alexander	協同医書出版社	4500円
00002192	半分の時間で3倍の説得力に仕上げるPowerPoint活用企画書作成術 PowerPointのイライラを解消	小湊孝志　著	宣伝会議	1800円
00002193	骨軟部疾患の画像診断　第2版　/ 画像診断別冊. Key bookシリーズ	上谷雅孝　編著	学研メディカル秀潤社	5400円
00002194	エレンベッカー肩関節検査法	T.S.エレンベッカー　著	西村書店	3800円
00002195	細胞の世界	ベッカー	西村書店	7600円
00002196	カラーリングで覚える神経解剖学	レイ・ポリスキー	西村書店	2600円
00002197	最新カラー組織学	L.P.ガートナー	西村書店	4900円
00002198	軽度外傷性脳損傷のためのリハビリテーション・ワークブック　高次脳機能障害の回復にむけて	ダグラス・J.メイソン　著	西村書店	2200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00002199	ロアットカラー基本免疫学	ピーター・J.デルヴス	西村書店	4800円
00002200	メディカル免疫学　カラー版	ロアット	西村書店	2800円
00002201	カラーアトラスマクロ病理学　第3版	ロビン・A.クック	西村書店	6500円
00002202	カラーダイナミック病理学　365症例からのアプローチ	鈴木利光	西村書店	7600円
00002203	自己評価型病理学ノート	ボール・バス　[ほか]著	西村書店	2800円
00002204	ロス&ウィルソン健康と病気のしくみがわかる解剖生理学　改訂版	アン・ウォー	西村書店	4500円
00002205	脳とホルモンの行動学　行動神経内分泌学への招待 カラー版	近藤保彦　[ほか]編	西村書店	4000円
00002206	ピネル脳と心のカラーリングブック　塗り絵でマスターする神経解剖	ジョン・ピネル　著	西村書店	2500円
00002207	生きている人体	エスペン・ディートリクス　[ほか]著	時空出版	3689円
00002208	大判書き込み式心を整える「般若心経」練習帖	小林隆彰	西東社	1000円
00002209	解いてわかる解剖生理学　問題集	竹内修二　著	医学教育出版社	1800円
00002210	高齢者の糖尿病と栄養　合併する疾患ごとの栄養ケア	福田也寸子　編	フジメディカル出版	3500円
00002211	保健指導に求められる個別運動プログラム作成・実践ガイド　専門職が指導するメタボリックシンドローム・介護予防プログラムとは	久野譜也　編著	杏林書院	2700円
00002212	健康スポーツ学概論　プロモーション，ジェロントロジー，コーチング	山羽教文	杏林書院	4100円
00002213	健康・スポーツ科学の基礎	島田茂	杏林書院	1900円
00002214	こころとからだを知る心拍数	山地啓司　著	杏林書院	5000円
00002215	生理学　/ Nブックス	田中明　編著	建帛社	2700円
00002216	生化学　3訂　/ Nブックス．人体の構造と機能	木元幸一	建帛社	2600円
00002217	NSTのための疾患診断・治療と臨床検査の基礎知識	田中明	建帛社	2300円
00002218	「食べる」ことを支えるケアとIPW 保健・医療・福祉におけるコミュニケーションと専門職連携	諏訪さゆり	建帛社	2200円
00002219	医療安全と医療訴訟	安本和正　編集	イムジック出版	4000円
00002220	衛星画像で読み解く噴火しそうな日本の火山	福田重雄　著	日本評論社	2400円
00002221	よくわかる都市地理学　/ やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	藤井正	ミネルヴァ書房	2600円
00002222	運動・認知機能改善へのアプローチ 子どもと高齢者の健康・体力・脳科学	藤原勝夫　編著	市村出版	3600円
00002223	アダプテッド・スポーツの科学 障害者・高齢者のスポーツ実践のための理論	矢部京之助	市村出版	3800円
00002224	公衆衛生がみえる　2018-2019	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア	3600円
00002225	きずのきれいな治し方　改訂第2版 アトラス：外傷、褥瘡、足の壊疽からレーザー治療まで	百束比古	全日本病院出版会	5000円
00002226	ボディ・ナビゲーション　改訂版　触ってわかる身体解剖	Andrew Biel　著	医道の日本社	4300円
00002227	イラストでわかる寝たきりにさせないPNF介助術 家庭でできるリハビリテーション	市川繁之　著	医道の日本社	1800円
00002228	目醒める！大腰筋　コアを鍛えて内面から身心を改善	Jo Ann Staugaard-Jones　著	医道の日本社	3200円
00002229	ファッシャル・リリース・テクニック 身体構造のバランスを整える筋膜リリース技術	James Earls	医道の日本社	4500円
00002230	目で見る真菌と真菌症	亀井克彦　編	医薬ジャーナル社	4900円
00002231	基礎から学ぶ胃癌の病理　胃粘膜の正常構造・分化に基づいた胃生検診断〈Group分類〉へのアプローチ	塚本徹哉　著	日本メディカルセンター	5400円
00002232	精神科・身体合併症のリハビリテーション 総合的な治療計画から実践まで	平川淳一　[ほか]編集	協同医書出版社	3800円
00002233	赤ちゃんの運動発達　絵でみる治療アプローチ	Regi Boehme　著	協同医書出版社	3200円
00002234	アテトーゼ・失調・低緊張の評価と治療　子どもへの感覚運動入力の実際	Regi Boehme　著	協同医書出版社	3200円
00002235	新しい装具学　バイオメカニクス・素材と加工法・適合	Pat McKee	協同医書出版社	6000円
00002236	言語聴覚士のための摂食嚥下リハビリテーションQ&A 臨床がわかる50のヒント	福岡達之　編著	協同医書出版社	3200円
00002237	事例でわかる人間作業モデル	山田孝　編著	協同医書出版社	3700円
00002238	モビライゼーションPNF	新井光男　著	メディカルプレス	5000円
00002239	StatMateによる実例で学ぶ医療統計　改訂第2版	高橋泰生　著	アトムス	3600円
00002240	視覚障がいの歩行の科学　安全で安心なひとり歩きをめざして	大倉元宏	コロナ社	1800円
00002241	医用工学入門	木村雄治　著	コロナ社	3000円
00002242	文系学生がまなぶ情報学	大内東　編	コロナ社	2200円
00002243	生体計測装置学入門	木村雄治　著	コロナ社	2500円
00002244	生活支援工学概論	日本生活支援工学会	コロナ社	2800円
00002245	CTとMRI　その原理と装置技術	森一生	コロナ社	4700円
00002246	福祉工学の基礎　/ 電子情報通信レクチャーシリーズ　D-25	伊福部達　著	コロナ社	4100円
00002247	X線イメージング　/ ME教科書シリーズ　D-2	飯沼武	コロナ社	3800円
00002248	生体電気計測　/ ME教科書シリーズ　A-3	山本尚武	コロナ社	3000円
00002249	超音波　/ ME教科書シリーズ　D-3	千原國宏　著	コロナ社	2700円
00002250	循環系のバイオメカニクス　/ ME教科書シリーズ　B-8	神谷瞭　編著	コロナ社	3500円
00002251	身体運動のバイオメカニクス　/ ME教科書シリーズ　B-4	石田明允　[ほか]共著	コロナ社	3400円
00002252	大学1・2年生のためのすぐわかる有機化学	石川正明　著	東京図書	2400円
00002253	在宅生活を支える！これからの新しい嚥下食レシピ	江頭文江　著	三輪書店	1800円
00002254	正常発達　第2版　脳性まひの治療アイディア	Jung Sun Hong　著	三輪書店	3800円
00002255	おうちで食べる！飲み込みが困難な人のための食事づくりQ&A	江頭文江　著	三輪書店	1800円
00002256	上肢の理学療法 局所機能と全身運動を結びつけるインタラクティブ・アプローチ	地神裕史	三輪書店	5600円
00002257	手にとるようにわかる骨関節単純X線写真はじめの一歩	佐志隆士　著	ベクトル・コア	5800円
00002258	地図投影法　地理空間情報の技法	政春尋志　著	朝倉書店	4000円
00002259	脳・神経科学の研究ガイド	マット・カーター	朝倉書店	5400円
00002260	実践臨床薬理学	中谷晴昭	朝倉書店	5400円
00002261	地理エクスカーション　地理を学ぼう	伊藤徹哉	朝倉書店	2200円
00002262	自然地理学概論　/ 地理学基礎シリーズ　2	高橋日出男	朝倉書店	3300円
00002263	脳神経科学イラストレイテッド　改訂第3版　分子・細胞から実験技術まで	真鍋俊也　[ほか]編集	羊土社	6600円
00002264	免疫学最新イラストレイテッド　改訂第2版	小安重夫　編	羊土社	5200円
00002265	臨床につながる解剖学イラストレイテッド	松村譲児　著	羊土社	6200円
00002266	やさしい基礎生物学　第2版	南雲保　編著	羊土社	2900円
00002267	新調理学	下村道子	光生館	2400円
00002268	食生活論	岡崎光子　編著	光生館	2000円
00002269	栄養教育論	岡崎光子　編著	光生館	2400円
00002270	健康のためのスポーツ生理学	池川繁樹　編著	光生館	1800円
00002271	新生児理学療法	大城昌平	メディカルプレス	4000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002272	地図学の聖地を訪ねて 地形図片手にたどる測量の原点と地理教科書ゆかりの地	松山洋　編著	二宮書店	1900円
00002273	シュロス法による側弯症治療 エクササイズと呼吸テクニックで脊柱の弯曲と捻れを矯正する	クリスタ・レーネルト・シュロス	ガイアブックス	4800円
00002274	ヒューマンボディ　からだがわかる解剖生理学	Barbara Herlihy　著	エルゼビア・ジャパン	6600円
00002275	エビデンスに基づく整形外科徒手検査法　/ ネッターシリーズ	Joshua Cleland　原著	エルゼビア・ジャパン	7200円
00002276	安保徹の免疫学講義	安保徹　著	三和書籍	6500円
00002277	食up to date　食と健康・食と安全・食と環境	松田覚　編	金芳堂	2800円
00002278	Dr.レイの病理学講義　第3版	高橋玲　編著	金芳堂	4200円
00002279	医療福祉学の道標	星野政明	金芳堂	2400円
00002280	運動器の疾患と外傷　整形外科学Update	平澤泰介　編	金芳堂	5800円
00002281	新しい認知行動療法　健康に生きるための18の秘訣 実践ワークブック	Erik Peper	金芳堂	2800円
00002282	医療従事者のためのこれだけは知っておきたい61の法律	河野公一　編集代表	金芳堂	4400円
00002283	からだの動きの解剖生理学	加藤征治　編	金芳堂	3800円
00002284	子ども家庭のウェルビーイング	星野政明　編集代表	金芳堂	2200円
00002285	人体解剖学ノート　改訂8版	清木勘治　著	金芳堂	3700円
00002286	Dr.塩尻の神経所見とり方トレーニング	塩尻俊明　著	金芳堂	3800円
00002287	医学英語communication & writing能力アップ！	土居治	金芳堂	4200円
00002288	不器用な子どもたちへの認知作業トレーニング	宮口幸治	三輪書店	3800円
00002289	パーキンソン病はこうすれば変わる！ 日常生活の工夫とパーキンソンダンスで生活機能を改善	高畑進一	三輪書店	2800円
00002290	患者応対マナーbook　3訂版 イラストでわかる実践実例集 言葉と態度は"処方"である	深堀幸次　著	医学通信社	2200円
00002291	注意欠如・多動症－ADHD－の診断・治療ガイドライン　第4版	ADHDの診断・治療指針に関する研究会	じほう	4200円
00002292	感染対策実践マニュアル　第3版　考え方と運営のポイント	堀賢　編集	じほう	3600円
00002293	スポーツマッサージ　運動・フィットネス・リハビリテーションのケア	S.フリッツ　著	西村書店	4200円
00002294	筋肉メカニクスとトレーニング技術　カラー図解	エバレット・アーバーグ著	西村書店	2800円
00002295	脳神経　解剖・病理・画像診断	デヴィン・K・ビンダー	西村書店	7800円
00002296	EBMスポーツ医学　エビデンスに基づく診断・治療・予防	ドンホール・マッコーリー	西村書店	5400円
00002297	臨床児童青年精神医学ハンドブック	本城秀次	西村書店	8000円
00002298	写真でわかる生活支援技術　自立を助け、尊厳を守る介護を行うために / 写真でわかるシリーズ	井藤英喜	インターメディカ	2700円
00002299	大腿骨近位部骨折ゼロを目指す治療・予防戦略 多職種連携による取り組み	遠藤直人　編	医薬ジャーナル社	6800円
00002300	医薬系のための生物学	丸山敬	裳華房	3000円
00002301	医療・看護系のための生物学　改訂版	田村隆明　著	裳華房	2700円
00002302	子どものこころのケア SOSを見逃さないために 知りたいことがなんでもわかる	市川宏伸	永井書店	5500円
00002303	解剖学スケッチ練習帳	金光秀晃　編著	共立出版	2800円
00002304	精神障害者の自立をどう支えるか　精神障害者の理解と居宅生活支援(ホームヘルプ) ホームヘルパー研修テキスト	精神保健福祉普及啓発研究会　編	へるす出版	2600円
00002305	認知リハビリテーション　2008	認知リハビリテーション研究会　編	新興医学出版社	2200円
00002306	写真でわかる介護職のための医療的ケア　喀痰吸引と経管栄養を中心に、安全・確実なケアの流れとポイントを解説！/ DVD BOOK.	境美代子	インターメディカ	3000円
00002307	福島メソッド失語症の認知言語治療　その方法と実践	福島和子　著	真興交易医書出版部	5000円
00002308	前線医療の処置マニュアル	佐々木勝　著	新興医学出版社	3500円
00002309	脳波所見をどう読むか　92症例の臨床現場から	東間正人　著	新興医学出版社	4800円
00002310	認知症のスピリチュアルケア　こころのワークブック	エリザベス・マッキンレー	新興医学出版社	2000円
00002311	和食を伝え継ぐとはどういうことか 地域がそだてた食のしくみと技に学ぶ	木村信夫　著	農山漁村文化協会	2000円
00002312	セックス・アンド・ザ・シックスティーズ フランス人に学ぶいつまでも素敵な男女生活の秘訣	マリー・ド・エヌゼル　著	エクスナレッジ	1700円
00002313	食でたどるニッポンの記憶	小泉武夫　著	東京堂出版	1500円
00002314	イスラーム基礎講座	渥美堅持　著	東京堂出版	2200円
00002315	いやな気分よ、さようなら　増補改訂第2版　自分で学ぶ「抑うつ」克服法	デビッド・D.バーンズ　著	星和書店	3680円
00002316	作業療法はおもしろい　あるパイオニアOTのオリジナルな半生	勝屋なつみ　著	シービーアール	1800円
00002317	自然死を創る終末期ケア　高齢者の最期を地域で看取る	川上嘉明　著	現代社	1600円
00002318	看護のための「いのちの歴史」の物語　/ 現代社白鳳選書　20	本田克也	現代社	1700円
00002319	自己カウンセリングとアサーションのすすめ	平木典子　著	金子書房	1500円
00002320	MRI骨・関節アトラス　改訂新版　/ コンパクトMRI αシリーズ	藤本肇　著	ベクトル・コア	4500円
00002321	キャリアカウンセリング再考　第2版　実践に役立つQ&A	渡辺三枝子　編著	ナカニシヤ出版	2400円
00002322	哲学してもいいですか？　文系学部不要論へのささやかな反論	三谷尚澄　著	ナカニシヤ出版	2200円
00002323	地球儀の社会史　愛しくも、物憂げな球体/ 叢書・地球発見　1	千田稔　著	ナカニシヤ出版	1700円
00002324	温泉と地球科学　温泉を通して読み解く地球の営み	大沢信二	ナカニシヤ出版	2000円
00002325	まちゼミ　さあ、商いを楽しもう！	松井洋一郎　著	商業界	1600円
00002326	「リーダー力」の教科書　現場の実戦に役立つ！	小澤信夫　著	商業界	1400円
00002327	逮捕されたらこうなります！　第2版	Satoki　著	自由国民社	1400円
00002328	はじめての刑事訴訟法　第7版　/ 3日でわかる法律入門	尾崎哲夫　著	自由国民社	1200円
00002329	PR視点のインバウンド戦略 訪日中国人の興味は「爆買い」から「体験」、「都市」から「地方」へ	電通パブリックリレーションズ	宣伝会議	1900円
00002330	ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか 近距離移動が地方都市を活性化する	村上敦　著	学芸出版社	2200円
00002331	アジサイはなぜ葉にアルミ毒をためるのか 樹木19種の個性と生き残り戦略	渡辺一夫　著	築地書館	1800円
00002332	先生、イソギンチャクが腹痛を起こしています！/ 鳥取環境大学の森の人間動物行動学	小林朋道　著	築地書館	1600円
00002333	先生、犬にサンショウウオの捜索を頼むのですか！ / 鳥取環境大学の森の人間動物行動学	小林朋道　著	築地書館	1600円
00002334	10代の子をもつ親が知っておきたいこと　思春期の心と向きあう	水島広子　著	紀伊國屋書店	1300円
00002335	幸福実現論　幸せだと感じる心を育てる：幸せの築き方、心の持ち方から国づくりを問う	佐藤茂則	万来舎	1500円
00002336	一発診断！フローチャートで判る心電図	草間芳樹　著	総合医学社	3200円
00002337	認知症の介護　共に暮らす家族のために	長谷川和夫　著	ぱーそん書房	1200円
00002338	プリオン病　第2版　BSE(牛海綿状脳症)のなぞ	山内一也	近代出版	2200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00002339	高校数学でわかるアインシュタイン　科学という考え方	酒井邦嘉　著	東京大学出版会	2400円
00002340	政治を動かすメディア	芹川洋一	東京大学出版会	2400円
00002341	100の思考実験　あなたはどこまで考えられるか	ジュリアン・バジーニ　著	紀伊国屋書店	1800円
00002342	童話でわかるプロジェクトマネジメント	飯田剛弘　著	秀和システム	1700円
00002343	米国人エグゼクティブから学んだポジティブ・リーダーシップ　やる気を引き出すAI〈アプリシエイティブ・インクワイアリー〉	渡辺誠　著	秀和システム	1400円
00002344	モノの見方が180度変わる化学	齋藤勝裕　著	秀和システム	1500円
00002345	客先に連れ出されてしまったエンジニアのためのプレゼン力向上講座	渡邉秀美　著	秀和システム	1600円
00002346	いじめは生存戦略だった！？進化生物学で読み解く生き物たちの不可解な行動の原理	小松正　著	秀和システム	1500円
00002347	プレゼン心理術　「見た目」と「しぐさ」でイエスと言わせる即効テクニック	内藤誼人　著	日経BP社	1400円
00002348	誰も教えてくれない計画するスキル	芝本秀徳　著	日経BP社	1600円
00002349	基本の78パターンで英会話フレーズ800 パターンがわかればどんどん話せる！	伊藤太	西東社	1000円
00002350	依存症の科学　いちばん身近なこころの病	岡本卓	化学同人	1400円
00002351	先端医療を支える工学　生体医工学への誘い/ 新コロナシリーズ　59	日本生体医工学会　編	コロナ社	1200円
00002352	天からの授かりもの　がんの患者会ができるまで	戸川敦　著	新興医学出版社	1000円
00002353	神経内科検査・処置マニュアル　ポケット版	阿部康二　編著	新興医学出版社	4500円
00002354	脳が言葉を取り戻すとき　［復刻版］　失語症のカルテから	佐野洋子	新興医学出版社	1800円
00002355	障害受容からの自由　あなたのあるがままに	田島明子　編著	シービーアール	1800円
00002356	ポストデジタル時代の公共図書館　/ ライブラリーぶっくす	植村八潮	勉誠出版	2000円
00002357	私立大学はなぜ危ういのか	渡辺孝　著	青土社	2000円
00002358	知られざる地下微生物の世界　極限環境に生命の起源と地球外生命を探る	タリス・オンストット　著	青土社	2800円
00002359	ソーシャルワーク協働の思想　〝クリネー〟から〝トポス〟へ	柏木昭	へるす出版	1800円
00002360	必携在宅医療・介護基本手技マニュアル　改訂第2版	谷亀光則　編	永井書店	4900円
00002361	刀剣目録	小和田泰経　著	新紀元社	1380円
00002362	現代知識チートマニュアル　/ MORNING STAR BOOKS	山北篤　著	新紀元社	1600円
00002363	〈小説家になろう〉で書こう　もうすぐアイディアが降臨しそうな人へ	ヒナプロジェクト　監修	新紀元社	1600円
00002364	論理学入門　推論のセンスとテクニックのために/ NHKブックス　895	三浦俊彦　著	日本放送出版協会	970円
00002365	日本人の腰痛　痛みの原因と正しい治療法	遠藤健司　編著	丸善	2000円
00002366	エピジェネティクス革命　世代を超える遺伝子の記憶	ネッサ・キャリー　著	丸善出版	2800円
00002367	医学・医療系のための生物学の基礎知識 生命の誕生・くすり・再生医療まで	都河明子　著	丸善	2000円
00002368	生体リズムと健康　/ 京大人気講義シリーズ	若村智子　編著	丸善	1900円
00002369	ジャンクDNA　ヒトゲノムの98%はガラクタなのか？	ネッサ・キャリー　著	丸善出版	2800円
00002370	子ども・家族支援に役立つ面接の技とコツ　〈仕掛ける・さぐる・引き出す・支える・紡ぐ〉児童福祉臨床	宮井研治　編	明石書店	2200円
00002371	子ども食堂をつくろう！　人がつながる地域の居場所づくり	豊島子どもWAKUWAKUネットワーク　編著	明石書店	1400円
00002372	難民を知るための基礎知識　政治と人権の葛藤を越えて	滝澤三郎	明石書店	2500円
00002373	現代韓国を知るための60章　第2版　/ エリア・スタディーズ　6	石坂浩一	明石書店	2000円
00002374	現代中国を知るための44章　第5版　/ エリア・スタディーズ　8	藤野彰	明石書店	2000円
00002375	シンガポールを知るための65章　第4版　/ エリア・スタディーズ　17	田村慶子　編著	明石書店	2000円
00002376	タイを知るための72章　第2版　/ エリア・スタディーズ　30	綾部真雄　編著	明石書店	2000円
00002377	現代台湾を知るための60章　第2版　/ エリア・スタディーズ　34	亜洲奈みづほ　著	明石書店	2000円
00002378	現代ベトナムを知るための60章　第2版　/ エリア・スタディーズ　39	今井昭夫	明石書店	2000円
00002379	香港を知るための60章　/ エリア・スタディーズ　142	吉川雅之	明石書店	2000円
00002380	イギリスの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　150. ヒストリー	川成洋　編著	明石書店	2000円
00002381	ドイツの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　151. ヒストリー	森井裕一　編著	明石書店	2000円
00002382	ロシアの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　152. ヒストリー	下斗米伸夫　編著	明石書店	2000円
00002383	スペインの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　153. ヒストリー	立石博高	明石書店	2000円
00002384	フィリピンを知るための64章　/ エリア・スタディーズ　154	大野拓司	明石書店	2000円
00002385	カナダの歴史を知るための50章 / エリア・スタディーズ　156. ヒストリー	細川道久　編著	明石書店	2000円
00002386	ストップ！認知症　しくみがわかれば予防ができる！	中谷一泰　著	西村書店	1500円
00002387	内科学　ポケット判　カラー	門脇孝	西村書店	4900円
00002388	カラー人体図鑑　ビジュアル・アナトミー	ジェーン・ダ・バーグ　編	西村書店	1500円
00002389	本当に怖い！薬物依存がわかる本	西勝英　著	西村書店	1600円
00002390	量子論はなぜわかりにくいのか　「粒子と波動の二重性」の謎を解く / 知の扉シリーズ	吉田伸夫　著	技術評論社	1580円
00002391	証明と論理に強くなる　論理式の読み方から、ゲーデルの門前まで / 知の扉シリーズ	小島寛之　著	技術評論社	1780円
00002392	マルコフ方程式　方程式から読み解く美しい数学/ 数学への招待	小林吹代　著	技術評論社	1720円
00002393	ガロア理論「超」入門　方程式と図形の関係から考える / 知りたい！サイエンス　137	小林吹代　著	技術評論社	1680円
00002394	ウイルス・細菌の図鑑　感染症がよくわかる重要微生物ガイド / 知りたい！サイエンスiLLUSTRATED　003	北里英郎	技術評論社	2180円
00002395	生と死を握るミトコンドリアの謎　健康と長寿を支配するミクロな器官/ 知りたい！サイエンス　114	米川博通　著	技術評論社	1580円
00002396	正しく知る不安障害　不安を理解し怖れを手放す / ぐっと身近に人がわかる	水島広子　著	技術評論社	1480円
00002397	戦国の合戦と武将の絵事典　見て楽しむ	高橋伸幸　著	成美堂出版	1500円
00002398	世界スタジアム物語　競技場の誕生と紡がれる記憶	後藤健生　著	ミネルヴァ書房	2500円
00002399	カリスマ体育教師の常勝教育	原田隆史　著	日経BP社	1400円
00002400	日本経済論講義　ビジネスパーソンの「たしなみ」としての	小峰隆夫　著	日経BP社	1500円
00002401	現代貧乏物語	橘本健二　著	弘文堂	2000円
00002402	失敗のメカニズム　忘れ物から巨大事故まで	芳賀繁　著	日本出版サービス	1900円
00002403	本心と抵抗　自発性の精神病理	笠原敏雄　著	すびか書房	2800円
00002404	悪の起源　ライプニッツ哲学へのウィトゲンシュタイン的理解	黒崎宏　著	春秋社	2500円
00002405	人間とは何か　実存的精神療法	ヴィクトール・E.フランクル　／著	春秋社	3800円
00002406	ブッダの瞑想法　ヴィパッサナー瞑想の理論と実践	地橋秀雄　著	春秋社	2100円
00002407	〈仏教3.0〉を哲学する	藤田一照	春秋社	1800円
00002408	裸足のソクラテス　哲学の祖の実像を追う	八木雄二　著	春秋社	3200円
00002409	シュタイナー根源的霊性論　バガヴァッド・ギーターとパウロの書簡	ルドルフ・シュタイナー　著	春秋社	2500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002410	病気を起こす遺伝子	フィリップ・R.レイリー　著	東京化学同人	2400円
00002411	森は考える　人間的なるものを超えた人類学	エドゥアルド・コーン　著	亜紀書房	2700円
00002412	理想の図書館とは何か　知の公共性をめぐって	根本彰　著	ミネルヴァ書房	2500円
00002413	福祉の哲学とは何か　ポスト成長時代の幸福・価値・社会構想	広井良典　編著	ミネルヴァ書房	3000円
00002414	徳川家康　われ一人腹を切て、万民を助くべし/ ミネルヴァ日本評伝選	笠谷和比古　著	ミネルヴァ書房	3500円
00002415	自国史の行方　オーストリアの歴史政策	近藤孝弘　著	名古屋大学出版会	3200円
00002416	良心論　その哲学的試み	石川文康　著	名古屋大学出版会	2800円
00002417	医学の復権　医学体系の科学化へ向けて	瀬江千史　著	現代社	2621円
00002418	福岡伸一、西田哲学を読む 生命をめぐる思索の旅 動的平衡と絶対矛盾的自己同一	池田善昭	明石書店	1800円
00002419	虚無感について　心理学と哲学への挑戦	ヴィクトール・E・フランクル　著	青土社	2600円
00002420	クラウド時代の思考術　Googleが教えてくれないただひとつのこと	ウィリアム・パウンドストーン　著	青土社	2400円
00002421	パラドックス大全　世にも不思議な逆説パズル	ウィリアム・パウンドストーン　著	青土社	2800円
00002422	一緒にいてもスマホ　SNSとFTF	シェリー・タークル　著	青土社	2400円
00002423	論理の構造　上巻	中村元　著	青土社	3600円
00002424	論理の構造　下巻	中村元　著	青土社	3600円
00002425	人類学者への道	川田順造　著	青土社	2600円
00002426	セクシュアリティをことばにする　上野千鶴子対談集	上野千鶴子　著	青土社	2200円
00002427	なぜペニスはそんな形なのか　ヒトについての不謹慎で真面目な科学	ジェシー・ベリング　著	化学同人	2500円
00002428	身体はトラウマを記録する　脳・心・体のつながりと回復のための手法	ベッセル・ヴァン・デア・コーク　著	紀伊國屋書店	3800円
00002429	マイクロバイオームの世界 あなたの中と表面と周りにいる何兆もの微生物たち	ロブ・デサール	紀伊國屋書店	2000円
00002430	動物の賢さがわかるほど人間は賢いのか	フランス・ドゥ・ヴァール［著］	紀伊國屋書店	2200円
00002431	土と内臓　微生物がつくる世界	デイビッド・モントゴメリー	築地書館	2700円
00002432	日本の土　地質学が明かす黒土と縄文文化	山野井徹　著	築地書館	2300円
00002433	MI6対KGB英露インテリジェンス抗争秘史	レム・クラシリニコフ　著	東京堂出版	3000円
00002434	プーチンの国家戦略　岐路に立つ「強国」ロシア	小泉悠　著	東京堂出版	2200円
00002435	免疫学はやっぱりおもしろい	小安重夫　著	羊土社	2800円
00002436	世界宗教の経済倫理　比較宗教社会学の試み序論・中間考察/ NIKKEI BP CLASSICS	マックス・ウェーバー　著	日経BP社	1800円
00002437	債務、さもなくば悪魔　ヘリコプターマネーは世界を救うか?	アデア・ターナー　著	日経BP社	2800円
00002438	リーダーの基準　見えない経営の「あたりまえ」	清水勝彦　著	日経BP社	1800円
00002439	ダイエットの科学　「これを食べれば健康になる」のウソを暴く	ティム・スペクター　著	白揚社	2500円
00002440	不思議の国のトムキンス　復刻版	ジョージ・ガモフ　著	白揚社	1500円
00002441	論語コンプリート　全文完全対照版 本質を捉える「一文超訳」+現代語訳・書き下し文・原文	［孔子］［著］	誠文堂新光社	1800円
00002442	音声と例文でおぼえる基本医療英語1000　イラストページ入り	笹島茂	南雲堂	1400円
00002443	ネイティブ英会話フレーズ集3240	佐々木隆　監修	西東社	1800円
00002444	いちばん最初のネイティブ英会話フレーズ2000	メディアビーコン　編著	西東社	1400円
00002445	一番やさしい基本の日常英会話	Betty Palen	西東社	1000円
00002446	パターンで話せる海外旅行の英会話	清水建二　著	成美堂出版	1000円
00002447	的確に伝わる！ホテルの英会話	ホテルオークラ東京　監修	ナツメ社	1800円
00002448	まんがでマスターネイティブが教えるやりなおしの中学英文法	デイビッド・セイン　著	ナツメ社	1300円
00002449	プロカウンセラーが教える場面別傾聴術レッスン	古宮昇　監修	ナツメ社	1400円
00002450	物語と挿絵で楽しむ聖書	古川順弘　著	ナツメ社	1500円
00002451	今日から役立つ統計学の教科書　スッキリわかる！	渡辺美智子　監修	ナツメ社	1300円
00002452	「みんなの健康学」序説　公衆衛生を動かした先達からのメッセージ	神馬征峰　著	風間書房	2000円
00002453	障害者のリアル×東大生のリアル	野澤和弘　編著	ぶどう社	1500円
00002454	不登校に、なりたくてなる子はいない。 子どもといっしょに考える登校支援	上野良樹　著	ぶどう社	1700円
00002455	四本足のあしながおじさん　難病患者に対する支持的作業療法の経験	風間忠道　著	協同医書出版社	1600円
00002456	図解&事例で学ぶビジネス統計の教科書	倉橋一成　著	マイナビ	1380円
00002457	人生案内心の悩み心の不調に答えます	野村総一郎	日本評論社	1400円
00002458	公教育をイチから考えよう	リヒテルズ直子	日本評論社	1700円
00002459	非行・犯罪の心理臨床　/ こころの科学叢書	藤岡淳子　著	日本評論社	2000円
00002460	地方イノベーション　強い地方こそが日本の明日を創る	池田弘　著	日経BP社	1400円
00002461	世界トップ企業のAI戦略　Google、GE、IBM	EYアドバイザリー　著	日経BP社	1800円
00002462	ぼくらのリノベーションまちづくり　ほしい暮らしは自分でつくる	嶋田洋平　著	日経BP社	2200円
00002463	フロックの確率	ジョセフ・メイザー　著	日経BP社	2200円
00002464	経営者には、幸せにするべき5人の人がいる 「感動経営」を実現するリーダーの条件	久保華図八　著	日経BP社	1500円
00002465	ビジネスと人を動かす驚異のストーリープレゼン 人生・仕事・世界を変えた37人の伝え方	カーマイン・ガロ　著	日経BP社	1800円
00002466	プレゼンのパワーを最大限にする50のジェスチャー	ヨッヘン・バイヤー　著	日経BP社	1500円
00002467	ヴァージン・ウェイ　R・ブランソンのリーダーシップを磨く教室	リチャード・ブランソン著	日経BP社	1800円
00002468	スティーブ・ジョブズ驚異のプレゼン　人々を惹きつける18の法則	カーマイン・ガロ　著	日経BP社	1800円
00002469	プレゼンをキメる30秒のつくり方　話し下手でも提案が通る勝ちパターン	高橋晋平　著	日経BP社	1400円
00002470	だから数字にダマされる　「若者の○○離れ」「昔はよかった」の9割はウソ	小林直樹　著	日経BP社	1500円
00002471	新ビジョン2050　地球温暖化、少子高齢化は克服できる	小宮山宏	日経BP社	1800円
00002472	リーダーの本義	門田隆将　著	日経BP社	1400円
00002473	カリブ海世界を知るための70章　/ エリア・スタディーズ　157	国本伊代　編著	明石書店	2000円
00002474	その島のひとたちは、ひとの話をきかない 精神科医、「自殺希少地域」を行く	森川すいめい　著	青土社	1400円
00002475	口語民法　新補訂2版　/ 口語六法全書		自由国民社	1800円
00002476	戦争まで　歴史を決めた交渉と日本の失敗	加藤陽子　著	朝日出版社	1700円
00002477	コラーゲン物語　第2版　/ 科学のとびら　52	藤本大三郎　著	東京化学同人	1400円
00002478	細胞　基礎から細胞治療まで/ 科学のとびら　53	T.アレン	東京化学同人	1300円
00002479	ウイルスってなに？	今西二郎　著	金芳堂	1800円
00002480	あなたと私はどうして違う？体質と遺伝子のサイエンス　99.9%同じ設計図から個性や病気が生じる秘密	中尾光善　著	羊土社	1800円
00002481	驚異のエピジェネティクス 遺伝子がすべてではない！？生命のプログラムの秘密	中尾光善　著	羊土社	2400円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00002482	生けるブッダ、生けるキリスト　新版	ティク・ナット・ハン　著	春秋社	2100円
00002483	死にゆく人と共にあること　マインドフルネスによる終末期ケア	ジョアン・ハリファックス 著	春秋社	2500円
00002484	春夏秋冬〈自然〉に生きる	塩沼亮潤　著	春秋社	1400円
00002485	プロカウンセラーの聞く技術	東山紘久　著	創元社	1400円
00002486	戦後史の正体　1945-2012/「戦後再発見」双書　1	孫崎享　著	創元社	1500円
00002487	本当は憲法より大切な「日米地位協定入門」　/「戦後再発見」双書　2	前泊博盛　編著	創元社	1500円
00002488	核の戦後史　Q&Aで学ぶ原爆・原発・被ばくの真実/「戦後再発見」双書　4	木村朗	創元社	1500円
00002489	「日米合同委員会」の研究　謎の権力構造の正体に迫る	吉田敏浩　著	創元社	1500円
00002490	生命と医療の倫理学　第2版　/ 現代社会の倫理を考える　2	伊藤道哉　著	丸善出版	2000円
00002491	放射線の遺伝影響　/ ボビュラー・サイエンス　287	安田徳一　著	裳華房	1700円
00002492	新・細胞の起源と進化　生命のしくみを探る	中村運　著	培風館	2500円
00002493	カウンセリング心理学　生き生きとした心を取り戻す / 心理学の世界　専門編 3	松原達哉	培風館	2500円
00002494	暗い時代の人々	森まゆみ　著	亜紀書房	1700円
00002495	性表現規制の文化史	白田秀彰　著	亜紀書房	1800円
00002496	プレップ労働法　第5版　/ プレップシリーズ	森戸英幸　著	弘文堂	2000円
00002497	プレップ法学を学ぶ前に　第2版　/ プレップシリーズ	道垣内弘人　著	弘文堂	1000円
00002498	「甘え」の構造　増補普及版	土居健郎　著	弘文堂	1300円
00002499	リベンジポルノ　性を拡散される若者たち	渡辺真由子　著	弘文堂	1300円
00002500	図解テキスト社会保険の基礎	長沼建一郎　著	弘文堂	2000円
00002501	クリエートする哲学　新行為論入門	山口誠一　著	弘文堂	1500円
00002502	医療の場のコミュニケーション　言葉を贈る心を贈る	日下隼人　著	篠原出版新社	1800円
00002503	命は食に宿る　大脳で食べる食事と身体の関連	江藤賢治　著	東京図書出版	1000円
00002504	知って得する図書館の楽しみかた　/ ライブラリーぶっくす	吉井潤　著	勉誠出版	1800円
00002505	わかる！図書館情報学シリーズ　第3巻　メタデータとウェブサービス	日本図書館情報学会研究委員会　／編	勉誠出版	1800円
00002506	児童養護施設の心理臨床　「虐待」のその後を生きる/ こころの科学叢書	内海新祐　著	日本評論社	2000円
00002507	勉強するのは何のため？　僕らの「答え」のつくり方	苫野一徳　著	日本評論社	1400円
00002508	リフレーミングの秘訣　東ゼミで学ぶ家族面接のエッセンス	東豊　著	日本評論社	1600円
00002509	新法令解釈・作成の常識	吉田利宏　著	日本評論社	1500円
00002510	やっかいな子どもや大人との接し方マニュアル	宮田雄吾　著	日本評論社	1600円
00002511	コミュニティーバス・デマンド交通　地域の足を支える	堀内重人　著	鹿島出版会	2300円
00002512	わかりやすいバスケットボールのルール　[2015]　/ [SPORTS SERIES]	伊藤恒　監修	成美堂出版	700円
00002513	わかりやすい野球のルール　[2018]　/ [SPORTS SERIES]	粟村哲志　監修	成美堂出版	750円
00002514	わかりやすいゴルフのルール　[2016年版]　/ [SPORTS SERIES]	飯田雅樹　監修	成美堂出版	660円
00002515	臨床心理学頻出キーワード&キーパーソン事典 臨床心理士試験・指定大学院入試対策	心理学専門校ファイブアカデミー　著	ナツメ社	2000円
00002516	心理院単　臨床心理士指定大学院入試のための必須英単語1500	山崎有紀子　著	ナツメ社	1800円
00002517	高血圧診療ハンドブック エビデンスに基づく，食事・運動・薬物療法の進め方	浦信行　編	羊土社	3800円
00002518	「だから女はダメなんだ」と言われない女性リーダーの心得	古谷治子　著	日経BPコンサルティング	1200円
00002519	ベッドサイドで使える褥瘡治療薬ナビ　吸水・補水・保湿の視点から	古田勝経　著	じほう	1400円
00002520	ネットワーク科学　つながりが解き明かす世界のかたち	Guido Caldarelli	丸善出版	1000円
00002521	幹細胞と再生医療	中辻憲夫　著	丸善出版	1000円
00002522	コンピュータサイエンス　計算を通して世界を観る	渡辺治　著	丸善出版	1000円
00002523	医学の歴史　/ サイエンス・パレット　029	William Bynum　著	丸善出版	1000円
00002524	日本文化をよむ　5つのキーワード	藤田正勝　著	岩波書店	780円
00002525	高気圧酸素療法再考　虚血を救う－治せるものは何か	八木博司　著	へるす出版事業部	1200円
00002526	かかわりの途上で　こころの伴走者、PSWが綴る19のショートストーリー	相川章子	へるす出版事業部	1200円
00002527	なぜなぜ生物学	日本分子生物学会　編	東京化学同人	1400円
00002528	認知とは何か	中村三夫	協同医書出版社	1500円
00002529	認知症の緩和ケア　診断時から始まる患者と家族の支援	Victor Pace	新興医学出版社	3000円
00002530	症状からみた高齢者感染症介護マニュアル	河野公一	金芳堂	1800円
00002531	在宅でも役立つ高齢者口腔ケアマニュアル　改訂2版	島原政司	金芳堂	2000円
00002532	病気からみた高齢者感染症ケアマニュアル	河野公一	金芳堂	1800円
00002533	障害からみた高齢者在宅リハビリテーションマニュアル	河野公一	金芳堂	1800円
00002534	高齢者介護の緊急事態マニュアル　改訂3版　症状別対応	橋本篤孝　著	金芳堂	2200円
00002535	子どものこころの診療ハンドブック / 日本総合病院精神医学会治療指針　　7	日本総合病院精神医学会児童・青年期委員会　編集	星和書店	2600円
00002536	アメリカ微生物学会臨床微生物学ポケットガイド メディカルスタッフのための臨床微生物検査ガイド	Patrick R.Murray　著	近代出版	4500円
00002537	免疫学の要点　第2版　カラーイラスト	David Male　著	西村書店	2900円
00002538	認知症診療ハンドブック	宇高不可思　編	医薬ジャーナル社	4200円
00002539	クリニックでよくみるCommon Diseases100処方　第2版	西崎統　著	総合医学社	2800円
00002540	地質調査入門　/ minimum　4	柴正博　著	東海大学出版部	1200円
00002541	リハビリポケットブック　臨床評価ガイド	Ellen Z.Hillegass　[著]	医学書院	2800円
00002542	感染症プラチナマニュアル　2018	岡秀昭　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2000円
00002543	理学療法データブック	有馬慶美　責任編集	文光堂	3200円
00002544	病院で使えるイラスト英単語	奥裕美	メジカルビュー社	1600円
00002545	ゴロから覚える筋肉&神経	高橋仁美　著	中山書店	1600円
00002546	今日からなれる！評価の達人　リハビリテーション・ポケットナビ	玉木彰	中山書店	3200円
00002547	リハビリテーションのための解剖学ポケットブック	鵜尾泰輔	中山書店	3400円
00002548	循環器内科ゴールデンハンドブック　改訂第4版	半田俊之介	南江堂	4800円
00002549	呼吸器診療ゴールデンハンドブック	永井厚志　編	南江堂	4200円
00002550	体表からわかる人体解剖学　ポケットチューター	[Richard Tunstall]	南江堂	2700円
00002551	患者さんのための鎮静 なぜよい医療者は鎮静を上手に取り入れられるのか？	濱口大輔　著	メジカルビュー社	2800円
00002552	がん化学療法レジメン管理マニュアル　第2版	青山剛　[ほか]編集	医学書院	3800円
00002553	療育マニュアル	落合靖男　編	医学書院	2200円
00002554	脳卒中リハビリテーションマニュアル	宮越浩一　編集	医学書院	3200円
00002555	そのまま使える病院英語表現5000　第2版	森島祐子	医学書院	2800円
00002556	機能解剖ポケットブック	Nigel Palastanga	医学書院	3400円
00002557	血液浄化療法スタッフマニュアル　第2版	佐中孜	医学書院	3500円
00002558	プロメテウス解剖学アトラス　コンパクト版	Anne M.Gilroy	医学書院	4500円
00002559	こころを診る技術　精神科面接と初診時対応の基本	宮岡等　著	医学書院	2500円
00002560	トラブルに巻き込まれないための医事法の知識	福永篤志　著	医学書院	2200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002561	内科ポケットレファランス　第2版	マーク S.サバティン　編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00002562	気分障害ハンドブック	S.ナシア・ガミー　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00002563	精神科面接マニュアル　第3版	ダニエルJ.カラット　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4000円
00002564	薬の散歩道　薬理学入門	仁木一郎　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2200円
00002565	これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現　第3版	藤枝宏壽	メジカルビュー社	2000円
00002566	症候からみる神経内科 診断のコツ治療のポイント 当直で外来でもう困らない！	鈴木則宏　編集	中山書店	4000円
00002567	包括的呼吸リハビリテーションポケットマニュアル　/ リハ・ポケット	上月正博	診断と治療社	2800円
00002568	運動器のリハビリテーションポケットマニュアル　/ リハ・ポケット	久保俊一　責任編集	診断と治療社	2800円
00002569	レジデントのための栄養管理基本マニュアル NSTディレクターになるための必読書	山東勤弥	文光堂	4000円
00002570	チームで実践！！小児臨床栄養マニュアル	高増哲也	文光堂	3500円
00002571	解剖学　/ メディカルイメージブック	中島雅美　編	医歯薬出版	1600円
00002572	生理学　/ メディカルイメージブック	中島雅美　編	医歯薬出版	1600円
00002573	心臓リハビリテーションポケットマニュアル	ジャパンハートクラブ編集	医歯薬出版	3400円
00002574	高次脳機能障害ポケットマニュアル　第3版	原寛美　監修	医歯薬出版	2100円
00002575	整形外科テストポケットマニュアル　臨床で使える徒手的検査法86	高橋仁美	医歯薬出版	2200円
00002576	運動療法・徒手療法ビジュアルポケットガイド　関節モビライゼーション・ストレッチング・筋力トレーニング・有酸素性運動	Carolyn Kisner	医歯薬出版	5400円
00002577	筋学ハンドブック	飯島治之	医歯薬出版	2300円
00002578	○×問題でマスター解剖生理	石橋治雄　編著	医歯薬出版	2200円
00002579	やさしい生理　新訂	石橋治雄	医歯薬出版	2600円
00002580	PT・OT学生のための実習を乗り切るらくらく実践術	長野康博　著	医歯薬出版	1800円
00002581	特定保健用食品データブック	国立健康・栄養研究所監修	南山堂	3500円
00002582	脳と心はどこまで科学でわかるか　/ 東大社会人科学講座　生命科学編	石浦章一	南山堂	1800円
00002583	英語でつたえる病気のあらまし　外国人患者さんが来ても困らない！	一杉正仁	メジカルビュー社	2800円
00002584	外国人の子ども白書　権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から	荒牧重人　[ほか]編	明石書店	2500円
00002585	英国ボバース講師会議によるボバース概念　改訂新訳 神経リハビリテーションの理論と実践	メアリ・リンチ・エラリントン	ガイアブックス	3800円
00002586	最新図解大人の発達障害サポートブック / 発達障害を考える 心をつなぐ	小野和哉　著	ナツメ社	1500円
00002587	図解よくわかる発達障害の子どもたち　/ 発達障害を考える 心をつなぐ	榊原洋一　著	ナツメ社	1500円
00002588	新しい介護食・嚥下(えんげ)食レシピ集 食を楽しんで栄養を取り入れるために	西尾正輝	インテルナ出版	3800円
00002589	身体活動・体力と健康　活動的生活スタイルの推進	Claude Bouchard	朝倉書店	6500円
00002590	地盤の液状化　発生原理と予測・影響・対策	石原研而　著	朝倉書店	2700円
00002591	人体の構造と機能　コア・スタディ	有田秀穂	朝倉書店	5600円
00002592	人体のしくみとはたらき	澤口彰子　[ほか]著	朝倉書店	2500円
00002593	人体生理学	黒島晨汎　[ほか]共著	朝倉書店	3800円
00002594	保健医療福祉のための臨床推論　チーム医療・チームケアのための実学	北島政樹　総編集	朝倉書店	3200円
00002595	子どもをあずかる人のための救命マニュアル	日本小児蘇生研究機構監修	学研メディカル秀潤社	1800円
00002596	呼吸器疾患ビジュアルブック	石原照夫　編	学研メディカル秀潤社	3000円
00002597	見てわかる医療スタッフのための痰の吸引　基礎と技術	布宮伸	学研メディカル秀潤社	1200円
00002598	基礎免疫学　アバスーリックマンーピレ 免疫システムの機能とその異常	Abul K.Abbas	エルゼビア・ジャパン	5800円
00002599	裸のプレゼンター 「自然さ」とインパクトのあるプレゼンのための心得	ガー・レイノルズ　著	丸善出版	2300円
00002600	片麻痺の人のためのリハビリガイド　感じることで動きが生まれる	中里瑠美子　著	協同医書出版社	2200円
00002601	失語症臨床ガイド　症状別ー理論と42症例による訓練・治療の実際	竹内愛子　編	協同医書出版社	5500円
00002602	生体工学概論	村上輝夫　編著	コロナ社	4000円
00002603	失語症の障害メカニズムと訓練法　改訂第2版	小嶋知幸　著	新興医学出版社	6500円
00002604	言語聴覚障害学　基礎・臨床	石合純夫　編著	新興医学出版社	4800円
00002605	わかりやすい画像からみた脳卒中リハビリテーション よくある症例を中心に	宮上光祐　著	新興医学出版社	3000円
00002606	消化器における感染症・寄生虫症	千種雄一	新興医学出版社	6000円
00002607	心身医療のための認知行動療法ハンドブック	Arthur J.Barsky　原著	新興医学出版社	3300円
00002608	エビデンスからみた森林浴のストレス低減効果と今後の展開 心身健康科学の視点から	高山範理　著	新興医学出版社	3500円
00002609	「骨」を知る53の質問　ウェルエイジングをサポートするために	太田博明　編	医薬ジャーナル社	4800円
00002610	日本のワクチン　開発と品質管理の歴史的検証	倉根一郎　日本ワクチン学会編集委員会代表	医薬ジャーナル社	7800円
00002611	股関節と膝関節疾患のためのピラティス 予防・改善と手術前後の運動アプローチ	ベス・A・カプレニク	ガイアブックス	3800円
00002612	療法士のための体表解剖学　800枚以上の人体写真に、骨、筋、血管等、内部が見えているかのように三次元グラフィックで再現	ペルンハルト・ライヒヤルト　著	ガイアブックス	8000円
00002613	顎関節の徒手理学療法　顎関節症における機能的な関連を明らかにする検査・診断・治療・症例	カイ・バルトロウ　著	ガイアブックス	5500円
00002614	医用工学　第2版　医療技術者のための電気・電子工学	若松秀俊	共立出版	3100円
00002615	リハビリテーション概論　改訂第3版 医学生・コメディカルのための手引書	上好昭孝	永井書店	3000円
00002616	人体生理学の基礎　改訂第2版	池原敏孝	医学出版社	3600円
00002617	認知症のすべて　あなたはわかっていますか	十束支朗　著	医学出版社	1800円
00002618	健康とスポーツを科学する　第2版　これからの幸せを求めて	長尾光城　監修	中央法規出版	2500円
00002619	競技志向と健康志向のスポーツ科学	宮下充正　著	杏林書院	1800円
00002620	筋電図バイオフィードバック療法	辻下守弘	金芳堂	3000円
00002621	コメディカルのやさしい組織学	山下昭　著	金芳堂	2400円
00002622	人体の解剖生理学　第2版	木山博資	金芳堂	3900円
00002623	図解整形外科　第3版	久保俊一　[ほか]編著	金芳堂	5200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002624	嚥下障害とPEG	三原千惠　編	フジメディカル出版	3000円
00002625	マッキー生化学　分子から解き明かす生命	Trudy McKee	化学同人	7400円
00002626	ビジュアルでわかるトリガーポイント治療　増補改訂版	Simeon Niel-Asher　著	緑書房	4800円
00002627	学びやすい社会福祉概論　第3版　含地域・在宅・施設・医療福祉	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2200円
00002628	学びやすい老人福祉論　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1700円
00002629	学びやすい障害者福祉論　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1600円
00002630	学びやすいリハビリテーション論　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1500円
00002631	学びやすい社会福祉援助技術	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1600円
00002632	学びやすいレクリエーション援助　第3版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2000円
00002633	学びやすい老人・障害者の心理　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002634	学びやすい家政学概論　第3版　含栄養・調理	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2100円
00002635	学びやすい医学一般　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002636	学びやすい精神保健　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1400円
00002637	学びやすい介護概論　第3版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	2000円
00002638	学びやすい介護技術	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1700円
00002639	学びやすい形態別介護技術　第2版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002640	学びやすい社会福祉法制度　第3版	硯川眞旬　編集代表	金芳堂	1800円
00002641	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第1巻　理学療法の基礎と評価	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002642	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第2巻　治療アプローチ	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002643	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第3巻 疾患別・理学療法基本プログラム	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002644	理学療法ハンドブック　改訂第4版　第4巻　疾患別・理学療法の臨床思考	細田多穂	協同医書出版社	5500円
00002645	人間の尊厳と自立　生活支援場面における「人間」の理解/ 介護福祉士養成テキスト　1. 人間と社会	黒澤貞夫　著	建帛社	1900円
00002646	人間関係とコミュニケーション　体験学習型ワークブック/ 介護福祉士養成テキスト　2. 人間と社会	諏訪茂樹　編著	建帛社	2200円
00002647	生活と福祉　家庭，地域，社会・組織の福祉的機能と生活支援/ 介護福祉士養成テキスト　3. 人間と社会	小澤温　編著	建帛社	1900円
00002648	社会保障制度・介護福祉の制度と実践　第2版　制度の基礎的理解と事例研究/ 介護福祉士養成テキスト　4. 人間と社会	横倉聡	建帛社	2200円
00002649	介護の基本　1　自立に向けた介護福祉の理念と介護福祉士/ 介護福祉士養成テキスト　5. 介護	西村洋子	建帛社	2200円
00002650	介護の基本　2　利用者の理解と介護サービス/ 介護福祉士養成テキスト　6. 介護	西村洋子	建帛社	2200円
00002651	コミュニケーション技術　人間関係の形成と実践技術/ 介護福祉士養成テキスト　7. 介護	黒澤貞夫	建帛社	2200円
00002652	生活支援技術　1　自立に向けた生活支援の基礎とICFの理解/ 介護福祉士養成テキスト　8. 介護	柴田範子	建帛社	2200円
00002653	生活支援技術　2　自立に向けた移動・姿勢保持・生活経営・住まい・安全の支援/ 介護福祉士養成テキスト　9. 介護	井上由起子　[ほか]編著	建帛社	2200円
00002654	生活支援技術　3　自立に向けた入浴・身じたく・家事・レクリエーションの支援/ 介護福祉士養成テキスト　10. 介護	久保田トミ子　[ほか]編著	建帛社	2200円
00002655	生活支援技術　4　自立に向けた食事・調理・睡眠・排泄の支援と終末期の支援/ 介護福祉士養成テキスト　11. 介護	川村佐和子　[ほか]編著	建帛社	2200円
00002656	介護過程の展開　基礎的理解と実践演習 / 介護福祉士養成テキスト　12. 介護	黒澤貞夫	建帛社	2400円
00002657	介護総合演習　実習をとおした学びの目標と課題 / 介護福祉士養成テキスト　13. 介護	峯尾武巳	建帛社	2200円
00002658	発達と老化の理解　介護の視点からみる高齢者の心理と健康/ 介護福祉士養成テキスト　14. こころとからだのしくみ	長谷川和夫	建帛社	2000円
00002659	認知症の理解　介護の視点からみる支援の概要/ 介護福祉士養成テキスト　15. こころとからだのしくみ	長谷川和夫　編著	建帛社	2200円
00002660	こころとからだのしくみ　生活場面・状態像に応じた支援の理解/ 介護福祉士養成テキスト　17. こころとからだのしくみ	長谷川和夫	建帛社	2200円
00002661	NEW薬理学　改訂第7版	田中千賀子	南江堂	8800円
00002662	わかる！身につく！生物・生化学・分子生物学　改訂2版	田村隆明　著	南山堂	2800円
00002663	学会発表のための動画編集マニュアル　第2版 パワポにすぐ貼付！間違いなく動く！	大須賀覚	金原出版	3000円
00002664	傷の正しい治し方　創傷から褥瘡のラップ療法	水原章浩　著	金原出版	2800円
00002665	傷の正しい治し方　pt.2　そこが知りたいラップ療法実践編	水原章浩　著	金原出版	3000円
00002666	傷の正しい治し方　pt.3　ラップ療法による新しい熱傷、皮膚科治療	水原章浩　著	金原出版	2900円
00002667	きこえと遺伝子　改訂第2版　難聴の遺伝子診断とその社会的貢献	宇佐美真一　編	金原出版	3800円
00002668	がんの痛みよ、さようなら！　こうすればとれる「がんの痛み」	武田文和	金原出版	2200円
00002669	運動療法学　改訂第2版	柳澤健　編	金原出版	6200円
00002670	必携・衛生試験法　第2版	日本薬学会　編	金原出版	4000円
00002671	透視人体解剖図　新訂版	新井正治　編	金原出版	2200円
00002672	知りたかった！PT・OTのための発達障害ガイド	新田收	金原出版	4600円
00002673	PT・OTのための画像のみかた　国試・現場で役立つ	山下敏彦　監修	金原出版	3700円
00002674	失語症の源流を訪ねて　言語聴覚士のカルテから	小嶋知幸　著	金原出版	3500円
00002675	「なぜ」から導く循環器疾患のリハビリテーション 急性期から在宅まで これでわかる！	内昌之	金原出版	4500円
00002676	転倒・転落を防ぐセーフティマネジメント	小松泰喜	金原出版	3200円
00002677	移動補助具　第2版　杖・松葉杖・歩行器・車椅子	松原勝美　著	金原出版	5500円
00002678	実践的医療ソーシャルワーク論　改訂第2版　保健医療サービスを学ぶ	村上須賀子	金原出版	3000円
00002679	ベッドサイドからはじめるやさしい介助技術 介護職・コメディカル・ご家族のために	細江さよ子　著	金原出版	2800円
00002680	摂食・嚥下障害のグループゲーム集 介護予防にも使える楽しい機能訓練！	大塚裕一	金原出版	3400円
00002681	なるほど！失語症の評価と治療　検査結果の解釈から訓練法の立案まで	小嶋知幸　編著	金原出版	4800円
00002682	最新体外循環　第2版　基本的知識と安全の確保	井野隆史	金原出版	6000円
00002683	臨床栄養治療の実践　基礎編	栢下淳	金原出版	2900円
00002684	臨床栄養治療の実践　病態別編	栢下淳	金原出版	4800円
00002685	現代の眼科学　改訂第13版	吉田晃敏	金原出版	7200円
00002686	よくわかる内科　第2版増補　ILLUSTRATED MEDICINE	福山裕三	金原出版	6500円
00002687	SUCCESS耳鼻咽喉科　第2版	野中学	金原出版	3800円
00002688	症例に学ぶ精神科診断・治療・対応	阿部隆明	金原出版	9000円
00002689	現代臨床精神医学　改訂第12版	大熊輝雄　原著	金原出版	7700円
00002690	うつ病のTMS療法	鬼頭伸輔　編	金原出版	4000円
00002691	病気がわかる検査値ガイド　改訂第3版　読んで上達！	斉藤嘉禎　著	金原出版	3800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002692	標準東洋医学	仙頭正四郎　著	金原出版	4700円
00002693	脳卒中のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.2	千野直一	金原出版	5300円
00002694	介護保険とリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.3	千野直一	金原出版	5300円
00002695	運動療法・物理療法・作業療法　/ リハビリテーションmook　no.5	千野直一	金原出版	5300円
00002696	骨関節疾患のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.6	千野直一	金原出版	5500円
00002697	義肢装具とリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.7	千野直一	金原出版	5300円
00002698	小児のリハビリテーション　病態とライフステージへの対応 / リハビリテーションmook　no.8	千野直一	金原出版	5700円
00002699	ADL・IADL・QOL　/ リハビリテーションmook　no.9	千野直一	金原出版	5300円
00002700	脊髄損傷のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.11	千野直一	金原出版	6600円
00002701	言語障害・摂食嚥下障害とリハビリテーション / リハビリテーションmook　no.12	千野直一	金原出版	6200円
00002702	高齢者のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.13	千野直一	金原出版	6600円
00002703	内部障害のリハビリテーション　/ リハビリテーションmook　no.14	千野直一	金原出版	6000円
00002704	リハビリテーション工学と福祉機器　/ リハビリテーションmook　no.15	千野直一	金原出版	6600円
00002705	上腕骨近位端骨折　適切な治療法の選択のために	玉井和哉　編	金原出版	6800円
00002706	スポーツと腰痛　メカニズム&マネジメント	山下敏彦　編	金原出版	4500円
00002707	スポーツと腰痛　メカニズム&マネジメント	山下敏彦　編	金原出版	4500円
00002708	スポーツ傷害のリハビリテーション　第2版　Science and Practice	山下敏彦	金原出版	7400円
00002709	コーチとプレーヤーのためのサッカー医学テキスト	日本サッカー協会スポーツ医学委員会　編	金原出版	3800円
00002710	脳卒中上肢機能評価ARATパーフェクトマニュアル	中野枝里子	金原出版	3500円
00002711	臨床実習のための歩行分析トレーニングブック	臨床歩行分析研究会　編	金原出版	2000円
00002712	上肢痙縮に対するボツリヌス治療とリハビリテーション	安保雅博	金原出版	4600円
00002713	メディカルストレッチング　第2版　筋学からみた関節疾患の運動療法	丹羽滋郎　[ほか]共著	金原出版	3800円
00002714	医療マッサージの基礎と応用	藤原實　編著	金原出版	3000円
00002715	医療文書の正しい書き方と医療補償の実際　改訂第5版 診断書から社会保障まで	日野原重明	金原出版	4800円
00002716	よくわかる脳波判読　第3版	音成龍司	金原出版	6800円
00002717	脳性麻痺リハビリテーションガイドライン　第2版	日本リハビリテーション医学会診療ガイドライン委員会　編	金原出版	3400円
00002718	障害者の体力評価ガイドライン　脳血管障害・脊髄損傷	日本リハビリテーション医学会障害者の体力評価ガイドライン策定委員会　編	金原出版	2400円
00002719	一緒に治せるめまいと頭痛	五島史行　著	金原出版	1500円
00002720	自宅で治せるめまいリハビリ　第2版	五島史行　著	金原出版	1200円
00002721	スポーツ救命講習会テキスト	池田浩　[ほか]著	金原出版	1000円
00002722	スポーツ救命講習会テキスト	池田浩　[ほか]著	金原出版	1000円
00002723	話せる医学英語	荒木勤	金原出版	2800円
00002724	行為と幻覚　レジリアンスを拓く統合失調症	小林聡幸　著	金原出版	4600円
00002725	職場結合性うつ病	加藤敏　編著	金原出版	2800円
00002726	よくわかるWHO方式がん疼痛治療法　すべてのがん患者さんが痛みのない日々を過ごすために，その後の新情報も含めて	武田文和	金原出版	2000円
00002727	PT・OTが現場ですぐに使えるリハビリのコミュ力	西尾幸敏　著	金原出版	2200円
00002728	患者から早く死なせてほしいと言われたらどうしますか？ 本当に聞きたかった緩和ケアの講義	新城拓也　著	金原出版	2800円
00002729	認知症のリハビリテーション　ケア、薬物療法から施設入所まで / 実践リハビリテーション・シリーズ	瀬川浩　著	金原出版	3000円
00002730	NICUマニュアル　第5版	新生児医療連絡会　編	金原出版	7000円
00002731	アプリ開発チームのためのプロジェクトマネジメント チーム駆動開発でいこう！	稲山文孝　著	マイナビ	2680円
00002732	生化学・分子生物学　第2版　/ 管理栄養士講座	伊東蘆一	建帛社	3200円
00002733	人体の構造と機能　/ 管理栄養士講座	岸恭一	建帛社	3400円
00002734	超訳哲学者図鑑	富増章成　著	かんき出版	1500円
00002735	うそつきのパラドックス　論理的に考えることへの挑戦	山岡悦郎　著	海鳴社	1800円
00002736	孫正義奇跡のプレゼン　人を動かす23の法則	三木雄信　著	ソフトバンククリエイティブ	1500円
00002737	本願のこころ　『尊号真像銘文』を読む	梯實圓　著	法藏館	1600円
00002738	倉山満が読み解く足利の時代　力と陰謀がすべての室町の人々	倉山満　著	青林堂	1200円
00002739	マイクロソフト伝説マネジャーの世界No.1プレゼン術	澤円　著	ダイヤモンド社	1500円
00002740	社会保険の教科書　いちばんわかる！トクする！	キャッスルロック・パートナーズ　著	ダイヤモンド社	1400円
00002741	経済は地理から学べ！	宮路秀作　著	ダイヤモンド社	1500円
00002742	世界の頂点(トップ)に立つ人の最強プレゼン術	松本幸夫　著	総合法令出版	1200円
00002743	「ポスト爆買い」時代のインバウンド戦略 日本人が知らない外国人観光客の本音	中村正人　著	扶桑社	1300円
00002744	フッサールの現象学　新装版	ダン・ザハヴィ　著	晃洋書房	2400円
00002745	哲学する子どもたち　パカロレアの国フランスの教育事情	中島さおり　著	河出書房新社	1600円
00002746	折々の民俗学	常光徹　著	河出書房新社	1500円
00002747	3年でプロになれる脚本術	尾崎将也　著	河出書房新社	1300円
00002748	白山信仰の謎と被差別部落	前田速夫　著	河出書房新社	2000円
00002749	被差別の民俗学	折口信夫　著	河出書房新社	2400円
00002750	賤民にされた人びと　非常民の民俗世界	柳田国男　著	河出書房新社	2400円
00002751	これからの幸福論	小浜逸郎　著	時事通信社	1700円
00002752	インバウンドの罠　脱「観光消費」の時代	姫田小夏　著	時事通信出版局	1500円
00002753	怪我と病気の英語力　病院・医院で役に立つ文例2800	倉骨彰	日本経済新聞出版社	4000円
00002754	悪いヤツほど出世する	ジェフリー・フェファー　著	日本経済新聞出版社	1800円
00002755	ミステリ国の人々	有栖川有栖　著	日本経済新聞出版社	1500円
00002756	TPPが日本農業を強くする	山下一仁　著	日本経済新聞出版社	1800円
00002757	ささる。プレゼン	村山涼一　著	日本経済新聞出版社	1400円
00002758	中国共産党闇の中の決戦	中澤克二　著	日本経済新聞出版社	1600円
00002759	生命・人間・経済学　科学者の疑義	宇沢弘文	日本経済新聞出版社	2500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002760	財政と民主主義　ポピュリズムは債務危機への道か	加藤創太	日本経済新聞出版社	2000円
00002761	マイナス金利政策　3次元金融緩和の効果と限界	岩田一政	日本経済新聞出版社	2800円
00002762	錬金術の終わり　貨幣、銀行、世界経済の未来	マーヴィン・キング　著	日本経済新聞出版社	3200円
00002763	ハーバード流逆転のリーダーシップ	リンダ・A・ヒル	日本経済新聞出版社	2000円
00002764	心を操る寄生生物　感情から文化・社会まで	キャスリン・マコーリフ　著	インターシフト	2300円
00002765	タテの会議ヨコの会議　時間半減、生産性倍増の実践ノウハウ	久恒啓一　著	ダイヤモンド社	1500円
00002766	樋口愉美子のアップリケ刺しゅう	樋口愉美子　［著］	日本ヴォーグ社	1300円
00002767	もういちど読む山川地理　新版	田邉裕　著	山川出版社	1500円
00002768	もういちど読む山川倫理	小寺聡　編	山川出版社	1500円
00002769	もういちど読む山川日本史史料	下山忍	山川出版社	1500円
00002770	歴史的思考力を育てる　歴史学習のアクティブ・ラーニング	永松靖典　編	山川出版社	2000円
00002771	会社に入る前に知っておきたいこれだけ経済学	坪井賢一　著	ダイヤモンド社	1500円
00002772	完全独習統計学入門	小島寛之　著	ダイヤモンド社	1800円
00002773	統計学のための数学教室　この1冊で腑に落ちる	永野裕之　著	ダイヤモンド社	2400円
00002774	この世で一番おもしろい統計学　誰も「データ」でダマされなくなるかもしれない16講+α	アラン・ダブニー　著	ダイヤモンド社	1500円
00002775	この世で一番おもしろいミクロ経済学　誰もが「合理的な人間」になれるかもしれない16講	ヨラム・バウマン　著	ダイヤモンド社	1500円
00002776	この世で一番おもしろいマクロ経済学　みんながもっと豊かになれるかもしれない16講	ヨラム・バウマン　著	ダイヤモンド社	1500円
00002777	グロービスMBAで教えているプレゼンの技術　人を動かす勝利の方程式	グロービス　著	ダイヤモンド社	1800円
00002778	社外プレゼンの資料作成術	前田鎌利　著	ダイヤモンド社	1600円
00002779	法律を読む技術・学ぶ技術　改訂第3版　元法制局キャリアが教える	吉田利宏　著	ダイヤモンド社	1800円
00002780	マインドマップ会議術　会議の質を劇的に高める「1枚の地図」	高橋政史	ダイヤモンド社	1600円
00002781	今までで一番やさしい経済の教科書　最新版	木暮太一　著	ダイヤモンド社	1300円
00002782	完全独習ベイズ統計学入門	小島寛之　著	ダイヤモンド社	1800円
00002783	文系でもわかるビジネス統計入門	内田学	東洋経済新報社	1800円
00002784	経済がわかる論点50　2017	みずほ総合研究所　著	東洋経済新報社	1600円
00002785	ここからはじまる早わかり労働安全衛生法　新版	近藤恵子	東洋経済新報社	1400円
00002786	超図解一番わかりやすいキリスト教入門	インフォビジュアル研究所　著	東洋経済新報社	1500円
00002787	18歳からの格差論　日本に本当に必要なもの	井手英策　著	東洋経済新報社	1000円
00002788	富国と強兵　地政経済学序説	中野剛志　著	東洋経済新報社	3600円
00002789	経済分析のための統計的方法　第2版	岩田暁一　著	東洋経済新報社	3600円
00002790	経済統計の活用と論点　第3版	梅田雅信	東洋経済新報社	3200円
00002791	統計学　第2版　/ プログレッシブ経済学シリーズ	刈屋武昭	東洋経済新報社	3200円
00002792	定量分析の教科書　ビジネス数字力養成講座	グロービス　著	東洋経済新報社	2600円
00002793	LEADERSHIP 2030　リーダーの未来を変える6つのメガトレンド	ゲオルク・ヴィエルメッター	生産性出版	2800円
00002794	12のリーダーシップストーリー 課題は状況対応リーダーシップで乗り切れ	網あづさ　著	生産性出版	2000円
00002795	日本文化入門　その基層から美意識まで	板垣俊一　著	武蔵野書院	2300円
00002796	新説応仁の乱　歴史の転換点となった大乱。最新研究の成果		宝島社	1300円
00002797	神々が見える神社100選	芸術新潮編集部　編	新潮社	2000円
00002798	井筒俊彦　増補新版　言語の根源と哲学の発生	安藤礼二	河出書房新社	1800円
00002799	素敵な時間を楽しむカフェのある美術館	青い日記帳　監修	世界文化社	1600円
00002800	残したい手しごと日本の染織　美しく希少な18の染織	片柳草生　著	世界文化社	2600円
00002801	大学4年間の経済学がマンガでざっと学べる　学び直しの決定版	井堀利宏	KADOKAWA	1200円
00002802	2017年7月7日国連会議で採択 核兵器禁止条約の意義と課題	冨田宏治　著	かもがわ出版	930円
00002803	子どもの貧困ハンドブック	松本伊智朗　［ほか］編著	かもがわ出版	2200円
00002804	プロジェクトマネジャーの決断　富士通の現場から プロジェクトマネジメントに悩んでいるあなたへ。 実践	富士通株式会社PMコミュニティ「実践的PM力向上のための問題集検討」WG　著	FOM出版	1200円
00002805	観光資源としての博物館	中村浩	芙蓉書房出版	2500円
00002806	図解いちばんよくわかる最新個人情報保護法	辻畑泰喬　著	日本実業出版社	1800円
00002807	激わかる！実例つきビジネス統計学	造事務所　編著	実業之日本社	1600円
00002808	統計学の7原則　人びとが築いた知恵の支柱	スティーブン・M・スティグラー　著	パンローリング	2800円
00002809	貿易実務の基礎がわかる本　改訂3版　/ 貿易実務シリーズ	曽我しのぶ　著	シーアンドアール研究所	3420円
00002810	健康に生きるための保健体育	谷川尚己	サンライズ出版	1000円
00002811	ゼロからスタート英語で話すトレーニングBOOK　だれにでもできるスピーキング入門書 自己紹介からショートスピーチまでレッスン90	安河内哲也	Jリサーチ出版	1400円
00002812	英語がどんどん聞き取れる！リスニンガールの耳ルール30 アメリカの子どもはこう学ぶ	リサ・ヴォート　著	Jリサーチ出版	1400円
00002813	ゼロからスタートリスニング だれにでもできる英語の耳作りトレーニング	安河内哲也　著	Jリサーチ出版	1400円
00002814	英語高速メソッド旅行英会話集　ネイティヴの脳&耳になる	笠原禎一　著	新星出版社	1800円
00002815	英語高速メソッドパーフェクト英会話集　ネイティヴの脳&耳になる	笠原禎一　著	新星出版社	1900円
00002816	高速(ハイ・スピード)CDを聞くだけで英語が話せる本　英語高速メソッド	笠原禎一　著	新星出版社	1000円
00002817	英語で話す力。　141のサンプル・スピーチで鍛える！	長尾和夫	三修社	2400円
00002818	基礎から学ぶ！スポーツテーピング	高橋仁　編著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002819	基礎から学ぶ！スポーツ救急医学	奥水健治　著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002820	基礎から学ぶ！スポーツマッサージ	溝口秀雪　編著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002821	基礎から学ぶ！スポーツ障害	鳥居俊　著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002822	基礎から学ぶ！スポーツ栄養学	鈴木志保子　著	ベースボール・マガジン社	1600円
00002823	地域活性化マーケティング　地域価値を創る・高める方法論	宮副謙司　著	同友館	2800円
00002824	情報学の展開　情報文化研究への視座	米山優　著	昭和堂	3800円
00002825	Q&Aで学ぶ図書館の著作権基礎知識　第3版 / ユニ知的所有権ブックス　no.12	黒澤節男　著	太田出版	2800円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002826	文化を超えるグローバルリーダーシップ 優れたCEOと劣ったCEOの行動スタイル	R.J.ハウス　[ほか]著	中央経済社	4800円
00002827	行動探求　個人・チーム・組織の変容をもたらすリーダーシップ	ビル・トルバート　ほか著	英治出版	2400円
00002828	精神現象学	G.W.F.ヘーゲル　[著]	作品社	4800円
00002829	人格　応用倫理学の基礎概念	ミヒャエル・クヴァンテ 著	知泉書館	4800円
00002830	マンガでわかる聖書	真野隆也　著	池田書店	1300円
00002831	マンガでわかる古事記	志水義夫　著	池田書店	1350円
00002832	マンガでわかる地政学	武楽清	池田書店	1350円
00002833	ブッダと親鸞　教えに生きる	一楽真　[ほか]著	真宗大谷派宗務所 出版部	1000円
00002834	浄土真宗本願寺派のお経　お西/ わが家の宗教を知るシリーズ	早島大英　監修	双葉社	1800円
00002835	真宗大谷派のお経　お東/ わが家の宗教を知るシリーズ	坂東浩　監修	双葉社	1800円
00002836	日本人が大切にしたい7つ　入門編　文化・伝統/神話・天皇/神社・仏閣/ 大和言葉/和食・食文化/出来事/偉人 日本道入門テキスト&実践シート	全国日本道連盟　編集	日本ベンチャー大學 パブリッシング	1000円
00002837	夏目漱石解体全書	香日ゆら　著	河出書房新社	1300円
00002838	文豪春秋　百花繚乱の文豪秘話	ライブ　編著	カンゼン	1400円
00002839	祇園祭の愉しみ　山鉾と御神輿をめぐる悦楽/ 京都しあわせ倶楽部	芳賀直子　著	PHP研究所	1500円
00002840	図解自分の気持ちをきちんと〈伝える〉技術 人間関係がラクになる自己カウンセリングのすすめ	平木典子　著	PHP研究所	1200円
00002841	言葉から社会を考える　この時代に〈他者〉とどう向き合うか	東京外国語大学 言語文化学部　編	白水社	1000円
00002842	民法改正の解説　不動産関係者必携本！	渡辺晋　著	住宅新報社	2400円
00002843	最新借地借家法の解説　3訂版	渡辺晋　著	住宅新報社	2200円
00002844	成功17事例で学ぶ自治体PR戦略　情報発信でまちは変わる	電通パブリックリレーショ ンズ　編著	時事通信出版局	1400円
00002845	飲食店の品質管理のしくみがわかる本　/ DO BOOKS. ビジュアル図解	渡邉常和　著	同文舘出版	1700円
00002846	サクッとわかる貿易実務問題集　第3版　10days	池田隆行　著	ネットスクール出 版本部	1600円
00002847	サクッとわかる貿易実務　第3版　10days 試験対策もOK!!	池田隆行　著	ネットスクール出 版本部	1600円
00002848	貿易実務完全バイブル	黒岩章　著	かんき出版	2600円
00002849	ふるさと納税の理論と実践　/ 地方創生シリーズ	保田隆明	日本教育研究団事業 構想大学院大学 出版部	1800円
00002850	もういちど読む数研の高校化学	小林正光	数研出版	1500円
00002851	チベット聖地の路地裏　八年のラサ滞在記	村上大輔　著	法藏館	2400円
00002852	差し掛けられた傘　米国の核抑止力と日本の安全保障	佐藤行雄　著	時事通信出版局	2300円
00002853	ちいさな天使のものがたり	かわかみせいじ　文	東洋館出版社	1200円
00002854	近現代の空間を読み解く	ジョン・モリッシー	古今書院	3200円
00002855	地域分析　新版　データ入手・解析・評価	村山祐司	古今書院	2800円
00002856	観光サービス論　観光を初めて学ぶ人の14章	安田亘宏　著	古今書院	2300円
00002857	役に立つ地理学	伊藤修一　[ほか]編	古今書院	2600円
00002858	関東のジオパーク　/ シリーズ大地の公園	目代邦康	古今書院	2600円
00002859	百選の棚田を歩く	中島峰広　著	古今書院	2200円
00002860	洪水と人間　その相剋の歴史	伊藤安男　著	古今書院	4000円
00002861	場所をめぐる問題　人文地理学の再構築のために / 大学の地理学advanced course	ロン・J.ジョンストン　著	古今書院	3800円
00002862	都市社会地理学　改訂新版　/ 大学の地理学advanced course	ポール・ノックス	古今書院	7500円
00002863	人文地理学の基礎　/ 大学の地理学　2	C.J.ラインズ	古今書院	2300円
00002864	地理学の声　アメリカ地理学者の自伝エッセイ集	ピーター・グールド	古今書院	6200円
00002865	人間の営みがわかる地理学入門　「なぜ」がわかる地理学講義	水野一晴　著	ベレ出版	1800円
00002866	自然のしくみがわかる地理学入門　「なぜ」がわかる地理学講義	水野一晴　著	ベレ出版	1800円
00002867	「物理・化学」の法則・原理・公式がまとめてわかる事典	涌井貞美　著	ベレ出版	1800円
00002868	「数学」の公式・定理・決まりごとがまとめてわかる事典	涌井良幸　著	ベレ出版	1800円
00002869	大学数学ほんとうに必要なのは『集合』　/ BERET SCIENCE	大蔵陽一　著	ベレ出版	1900円
00002870	意味がわかる多変量解析　まずはこの一冊から/ BERET SCIENCE	石井俊全　著	ベレ出版	1900円
00002871	意味がわかる線形代数　まずはこの一冊から/ Beret science	石井俊全　著	ベレ出版	2000円
00002872	意味がわかるベイズ統計学　まずはこの一冊から/ BERET SCIENCE	一石賢　著	ベレ出版	2000円
00002873	ガロア理論の頂を踏む　/ BERET SCIENCE	石井俊全　著	ベレ出版	3000円
00002874	物理学のための数学　/ Beret science	一石賢　著	ベレ出版	2100円
00002875	「なぜ？どうして？」をとことん考える高校数学　/ BERET SCIENCE	南みや子　著	ベレ出版	1700円
00002876	小・中・高で習った計算まるごとドリル　加減乗除から微分積分まで	間地秀三　著	ベレ出版	1600円
00002877	小・中・高の計算がまるごとできる　足し算・引き算から微分・積分まで	間地秀三　著	ベレ出版	1600円
00002878	生きて動いている「有機化学」がわかる　/ BERET SCIENCE	齋藤勝裕　著	ベレ出版	1800円
00002879	観察する目が変わる動物学入門　/ BERET SCIENCE	浅場明莉	ベレ出版	1600円
00002880	絶対数学原論	黒川信重　著	現代数学社	2300円
00002881	決まり・ならわし　暮らしのルール！/ 日本文化キャラクター図鑑	本木洋子　文	玉川大学出版部	1400円
00002882	自分でできる認知行動療法　うつ・パニック症・強迫症のやさしい治し方/ ココロの健康シリーズ	浅岡雅子　著	翔泳社	1200円
00002883	本人も家族もラクになる強迫症がわかる本　/ ココロの健康シリーズ	松田慶子　著	翔泳社	1200円
00002884	書き込み式ボールペン「般若心経」練習帖　怒り、迷いがスーッと消える	岡田崇花　書	河出書房新社	1000円
00002885	不登校・ひきこもりの心がわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	磯部潮　監修	講談社	1200円
00002886	認知行動療法のすべてがわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	清水栄司　監修	講談社	1200円
00002887	統合失調症の人の気持ちがわかる本　不思議な「心」のメカニズムが一目で わかる/ こころライブラリー　イラスト版	伊藤順一郎	講談社	1300円
00002888	強迫性障害のすべてがわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	原田誠一　監修	講談社	1200円
00002889	知的障害のことがよくわかる本　/ 健康ライブラリー　イラスト版	有馬正高　監修	講談社	1200円
00002890	独習コンピュータ科学基礎　1　離散構造	James L.Hein　著	翔泳社	3200円
00002891	独習コンピュータ科学基礎　2　論理構造	James L. Hein　著	翔泳社	3200円
00002892	独習コンピュータ科学基礎　3　計算構造	James L.Hein　著	翔泳社	2800円
00002893	暮らしを彩る実用折り紙	川村晟　著	日本文芸社	1200円
00002894	諸星大二郎の世界　/ コロナ・ブックス　205	コロナ・ブックス編集部 編	平凡社	1600円
00002895	いちばんやさしい人工知能ビジネスの教本　人気講師が教えるAI・機械学 習の事業化	二木康晴	インプレス	1850円
00002896	自閉症スペクトラム〈アスペルガー症候群〉の本　じょうずなつきあい方が わかる/ セレクトBOOKS. 育ちあう子育ての本	主婦の友社　[編]	主婦の友社	1400円
00002897	よくわかる双極性障害〈躁うつ病〉　両極端な気分の変動をコントロールす る/ セレクトBOOKS. こころのクスリBOOKS	貝谷久宣　監修	主婦の友社	1400円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00002898	いちばん親切な西洋美術史	池上英洋	新星出版社	1800円
00002899	入門コンピュータ科学　ITを支える技術と理論の基礎知識	J.Glenn Brookshear　著	ドワンゴ	3800円
00002900	エクセルで分析、パワポでプレゼン！　説得力を高めるプレゼン活用テクニック/ SCC Books　B-373	「SCCライブラリーズ」制作グループ　編著	エスシーシー	2000円
00002901	大人の発達障害<アスペルガー症候群・ADHD>シーン別解決ブック　/ 主婦の友新実用BOOKS. Clinic	司馬理英子　著	主婦の友社	1600円
00002902	イチバン親切なハンドメイドアクセサリーの教科書	新星出版社編集部　編	新星出版社	1400円
00002903	きょうのカラダを、起動しよう。　カラダ・ココロ・マインドが整う食べ方と暮らし/ veggy Books	アントレックス　監修	キラジェンヌ	926円
00002904	深海生物の謎　発光、巨大化、超長寿、未進化… オールカラー美麗写真で見る奇妙でかわいい生物100/ TJ MOOK	石垣幸二　監修	宝島社	630円
00002905	スポーツ選手のための食事400レシピ　最新版 小学生・中高生・大学生～プロスポーツ選手まで/ GAKKEN SPORTS BOOKS	石川三知　著	学研プラス	1680円
00002906	3DCGでよみがえる「信長公記」	小和田哲男　監修	宝島社	1000円
00002907	ASD<アスペルガー症候群>、ADHD、LD女の子の発達障害　"思春期"の心と行動の変化に気づいてサポートする本	宮尾益知　監修	河出書房新社	1400円
00002908	ASD<アスペルガー症候群>、ADHD、LD女性の発達障害　女性の悩みと問題行動をサポートする本	宮尾益知　監修	河出書房新社	1400円
00002909	<図解>大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏　著	KADOKAWA	925円
00002910	コメディカルのための社会福祉概論　第3版	鬼崎信好	講談社	2400円
00002911	免疫測定法　基礎から先端まで	生物化学的測定研究会　編	講談社	7800円
00002912	臨床免疫学　新版 第3版	山田俊幸　[ほか]編	講談社	5400円
00002913	医療系学生のための病理学　第4版	中村仁志夫	講談社	3500円
00002914	初歩から学ぶ固体物理学	矢口裕之　著	講談社	3600円
00002915	公衆栄養学概論　/ 栄養科学シリーズNEXT	友竹浩之	講談社	2600円
00002916	医歯薬系のための生物学　コアカリキュラムを基礎から学ぶ	小林賢　編著	講談社	4400円
00002917	カラー図解生化学ノート　書く！塗る！わかる！	森誠　著	講談社	2200円
00002918	高齢者の筋力トレーニング 安全に楽しく行うための指導者向け実践ガイド	都竹茂樹　著	講談社	2800円
00002919	ディズニーの刺しゅう　糸で紡ぐディズニーストーリー	川畑杏奈　刺しゅう・指導	講談社	1500円
00002920	情報システム入門	鈴木昇一　著	創成社	2000円
00002921	情報力学入門　心をもった認識機械RECOGNITRON	鈴木昇一　著	創成社	2600円
00002922	すべての子どもが必ずできる体育の基本 走る・泳ぐ・投げる・回る・跳ぶ…	高橋健夫	学研教育みらい	1800円
00002923	高齢者が喜ぶ！壁面かざり12か月　全77点掲載！/ 学研介護レクシリーズ	高野龍昭　監修	学研プラス	2000円
00002924	気持ちが伝わる介護スタッフのためのマナーと声かけ　イラスト図解	高橋好美　監修	学研教育出版	1500円
00002925	日本海軍艦艇図鑑　超ワイド&精密図解/ 学研ムック	歴史群像編集部　編	学研プラス	2100円
00002926	イラストで丸わかり！神社入門　日本人の原点神様を知りたい！		洋泉社	1200円
00002927	江戸ビジュアル図鑑　時代小説の用語と場面がよくわかる		双葉社	1400円
00002928	PowerPointビジネスプレゼン　第2版　論理を磨き・信頼を獲得し・心を動かすプレゼンテーション/ ビジテクBUSINESS TECHNIQUE	菅野誠二　著	翔泳社	2280円
00002929	Rビジネス統計分析　/ ビジテクBUSINESS TECHNIQUE	豊澤栄治　著	翔泳社	3000円
00002930	教育法規速習ノート　補訂版<全訂新版>　学校管理職選考	学校管理職研究会　編	教育開発研究所	1900円
00002931	図解・表解教育法規　新訂第3版 "確かにわかる"法規・制度の総合テキスト	坂田仰	教育開発研究所	3000円
00002932	鉱物レシピ　結晶づくりと遊びかた	さとうかよこ　著	グラフィック社	2000円
00002933	図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント	山下秋二	大修館書店	2400円
00002934	一流サンプル職人が教える本格革財布の仕立て方	池田耕平　監修	スタジオタッククリエイティブ	3500円
00002935	アスリートのための分子栄養学	星真理　著	体育とスポーツ出版社	2130円
00002936	パラスポーツルールブック　パラリンピックを楽しもう	コンデックス情報研究所編著	清水書院	2900円
00002937	クローズアップ日本事情15　日本語で学ぶ社会と文化	佐々木瑞枝　著	ジャパンタイムズ	2500円
00002938	バイオインフォマティクス入門　学会公認	日本バイオインフォマティクス学会　編	慶應義塾大学出版会	2700円
00002939	石ころ博士入門　/ 全農教観察と発見シリーズ	高橋直樹	全国農村教育協会	2700円
00002940	日本の幻獣図譜　大江戸不思議生物出現録	湯本豪一　著	東京美術	2300円
00002941	これ1冊できちんと作れる！手作りアクセサリーLESSON BOOK	朝日新聞出版　編著	朝日新聞出版	1400円
00002942	やさしいスポーツ医科学の基礎知識	藤本繁夫	嵯峨野書院	1800円
00002943	やる気スイッチが入る秋田県式家庭学習ノートで勉強しよう！　最新版	主婦の友社　編	主婦の友社	1000円
00002944	ブリューゲルへの招待	朝日新聞出版　編	朝日新聞出版	1400円
00002945	若沖の「花」 Ito Jakuchu	朝日新聞出版　編	朝日新聞出版	2000円
00002946	論文執筆のためのパソコンの使い方　第2版 Windows XPとMicrosoft Office 2003を中心に	宇多文雄	清水弘文堂書房	1886円
00002947	学生のレポート・論文作成トレーニング　改訂版 スキルを学ぶ21のワーク	桑田てるみ　編	実教出版	1200円
00002948	西洋美術史を変えた名画150　古代ギリシャからキュビスムまで…西洋の"美"の歴史がここにある！/ タツミムック	木村泰司　[著]	辰巳出版	1500円
00002949	新しい介護保険のしくみ　よくわかる！	長谷憲明　著	瀬谷出版	2600円
00002950	図説ユーラシアと日本の国境　ボーダー・ミュージアム	岩下明裕	北海道大学出版会	1800円
00002951	表でまとめる日本文化史	菅野晴夫　編著	山川出版社	750円
00002952	ヨーロッパの民族衣装　衣装ビジュアル資料	芳賀日向　著	グラフィック社	2300円
00002953	小さなお人形のためのドール・コーディネイト・レシピ はじめてから、応用アレンジまで/ Dolly*Dolly Books	関口妙子　著	グラフィック社	1600円
00002954	週末でつくる紙文具 書く、整理する、保存する－目的別・30種類のつくり方	永岡綾　著	グラフィック社	1500円
00002955	Croak!　世界の不思議なカエル Illustration Book	黒川宇吉　著	実業之日本社	1680円
00002956	美人画づくし	池永康晟　監修	芸術新聞社	2800円
00002957	椅子に腰かけたままでできるシニアのための脳トレ体操&ストレッチ体操	斎藤道雄　著	黎明書房	1650円
00002958	椅子に腰かけたままでできるシニアのための筋力アップトレーニング	斎藤道雄　著	黎明書房	1650円
00002959	シニアが楽しむ言葉遊びと思い出クイズ・記憶遊び	今井弘雄　著	黎明書房	1700円
00002960	世界の国々を調べる　改訂版　/ 東京学芸大学地理学会シリーズ　4	矢ケ崎典隆	古今書院	2800円
00002961	地域と人口からみる日本の姿	石川義孝	古今書院	2800円
00002962	地理空間情報の基本と活用	橋本雄一　編	古今書院	3200円
00002963	GISと地理空間情報　4訂版　ArcGIS10.3.1とダウンロードデータの活用	橋本雄一　編	古今書院	2600円
00002964	参加型GISの理論と応用　みんなで作り・使う地理空間情報	若林芳樹	古今書院	3800円
00002965	QGIS入門　第2版	今木洋大	古今書院	3300円
00002966	地図読解入門　追補版　/ 大学テキスト	籠瀬良明　著	古今書院	2000円
00002967	いとちり式地理の授業にGIS	伊藤智章　著	古今書院	3000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00002968	古今妖怪[ルイ][ルイ]　湯本豪一コレクション	湯本豪一　著	パイインターナショナル	2900円
00002969	アルフォンス・ミュシャの世界　2つのおとぎの国への旅	アルフォンス・ミュシャ[画]	パイインターナショナル	3000円
00002970	ヨーロッパの幻想美術 世紀末デカダンスとファム・ファタール〈宿命の女〉たち	海野弘　解説・監修	パイインターナショナル	3800円
00002971	巴水の日本憧憬	川瀬巴水　画	河出書房新社	3200円
00002972	河道変遷の地理学	大矢雅彦　著	古今書院	6500円
00002973	経験学習によるリーダーシップ開発　米国CCLによる次世代リーダー育成のための実践事例	シンシア・D・マッコーレイ	日本能率協会マネジメントセンター	8800円
00002974	食鳥処理衛生ハンドブック　第4版		日本食品衛生協会	3500円
00002975	医療・看護のためのやさしい総合英語	西原俊明	金星堂	1600円
00002976	よくわかる介護記録の書き方　第4版	富川雅美　著	メヂカルフレンド社	2000円
00002977	姿勢と動作　第3版　ADLその基礎から応用	齋藤宏	メヂカルフレンド社	3600円
00002978	情報科学の基礎	松下孝太郎　編著	アイ・ケイコーポレーション	2000円
00002979	学校では教えてくれない戦前のニッポン 大正～昭和初期の裏歴史の教科書！		コスミック出版	926円
00002980	宇宙最新情報完全解説　緊急特集地球外生命発見への道	岡本典明　執筆	笠倉出版社	590円
00002981	レベニュー・マネージメント概論　ホスピタリティー産業の経営理念	David K.Hayes	流通経済大学出版会	2700円
00002982	図書館が街を創る。　「武雄市図書館」という挑戦	楽園計画　編	ネコ・パブリッシング	1429円
00002983	世界の美しいフクロウ　神秘的なポートレートと生態	マリアンヌ・テイラー　文	グラフィック社	2000円
00002984	幻想版画　ゴヤからルドンまでの奇怪コレクション	ヴァレリー・シュール=エルメル　著	グラフィック社	2800円
00002985	アートオブJ.C.ライエンデッカー	J.C.ライエンデッカー／画	マール社	2900円
00002986	ソーイングきほんの基本　これならできる！みんなの教科書	水野佳子　監修	高橋書店	1500円
00002987	完全図解介護予防リハビリ体操大全集　/ 介護ライブラリー	大田仁史　編著	講談社	3800円
00002988	完全図解新しい認知症ケア　医療編　/ 介護ライブラリー	河野和彦　著	講談社	3000円
00002989	完全図解新しい認知症ケア　介護編　/ 介護ライブラリー	三好春樹　著	講談社	3000円
00002990	在宅介護　完全図解 実践・支援ガイド/ 介護ライブラリー	金田由美子	講談社	3500円
00002991	新しい介護　全面改訂版　完全図解/ 介護ライブラリー	大田仁史	講談社	3800円
00002992	介護のしくみ　改訂第3版　完全図解/ 介護Library	東田勉　編著	講談社	3000円
00002993	日本の自然災害　危機の対策/ なるほど知図帳		昭文社	1800円
00002994	合本・読書入門。　/ マガジンハウスムック		マガジンハウス	815円
00002995	地形と地理で読み解く古代史　オールカラーの地形図で徹底解説！		洋泉社	1200円
00002996	第2次世界大戦「戦闘」の真実 ハルファヤ峠攻防戦、プロホロフカの戦車戦……/ 別冊宝島　2610		宝島社	1000円
00002997	生物進化38億年の奇跡　5回の絶滅を繰り返し、辿りついた今/ TJ MOOK	平山廉　監修	宝島社	630円
00002998	葛飾北斎傑作選DVD付きBOOK　/ 死ぬまでに見ておきたい日本の文化		宝島社	980円
00002999	若冲の世界　異才・若冲の超絶技巧を味わう/ TJ MOOK	狩野博幸　監修	宝島社	680円
00003000	免疫力が上がる食べ方　決定版/ MAGAZINE HOUSE MOOK		マガジンハウス	750円
00003001	免疫力アップ、痩せる、若返る腸内フローラ健康法　/ MAGAZINE HOUSE MOOK. Dr.クロワッサン	藤田紘一郎　監修	マガジンハウス	750円
00003002	手編みのかんたんこもの82　ワークショップでも人気！	岡本啓子　監修	ブティック社	1000円
00003003	図解応仁の乱　難解な戦国乱世が、ざっくりわかる！/ エイムック　3743	小和田泰経　監修	枻出版社	880円
00003004	究極の美仏運慶と快慶　完全保存版 天才仏師・運慶と快慶の至宝を撮りおろしの写真で紹介！/ エイムック　3806		枻出版社	1500円
00003005	よくわかる関ケ原 権謀術策渦巻く、大小合わせ23の戦い 完全保存版		英和出版社	699円
00003006	新選組その始まりと終わり　幕府に忠義を尽くした男たち/ サンエイムック. 時空旅人ベストシリーズ		三栄書房	796円
00003007	知っておけば3倍たのしい奈良の古社寺　/ 淡交ムック	淡交社編集局　編	淡交社	1200円
00003008	成功する人が通う神社ベストランキング　あなたの仕事&人生を導く、スゴすぎる神社！/ 晋遊舎ムック		晋遊舎	980円
00003009	くすりの地図帳　The atlas of medication	伊賀立二	講談社	4000円
00003010	超ワイド&パノラマ鳥瞰イラストでよみがえる歴史の舞台　なるほど！地形もよくわかる/ 学研ムック	歴史群像編集部　編	学研プラス	1800円
00003011	戦国武将勢力パノラマ大地図帖	武光誠　監修	宝島社	640円
00003012	もっと知りたいミュシャの世界　1枚のポスターで時代の寵児となったアール・ヌーヴォーの旗手/ TJ MOOK	[大友義博]　[監修]	宝島社	1000円
00003013	お経と仏像で仏教がわかる本　完全保存版/ 洋泉社MOOK		洋泉社	1400円
00003014	賛歌千頭森林鉄道	谷田部英雄　著	文芸社	1800円
00003015	効く！生甘酒　酵素いきいき「食べる点滴・美容液」アルコールなし 天然の甘さ 砂糖がわりに/ 主婦の友生活シリーズ	今津嘉宏　医学監修	主婦の友社	880円
00003016	食べる甘酒で血糖値もヘモグロビンA1cもぐんぐん下がる　米麹と水だけでかんたん手作り！/ 主婦の友ヒットシリーズ. しあわせMOOK	『健康』編集部　編	主婦の友インフォス	880円
00003017	江戸300年の暮らし大全　スーパービジュアル	大江戸歴史文化研究会著	PHPエディターズ・グループ	850円
00003018	美しい情景イラストレーション 魅力的な風景を描くクリエイターズファイル	パイインターナショナル編著	パイインターナショナル	2600円
00003019	イスラム文様とモザイクのぬり絵ブック		パイインターナショナル	1100円
00003020	インド文様とペイズリーのぬり絵ブック		パイインターナショナル	1100円
00003021	お姫さまと妖精のぬり絵ブック　/ おとぎ話のぬり絵シリーズ	田代知子　著	パイインターナショナル	1300円
00003022	ファンタジーのぬり絵ブック　/ おとぎ話のぬり絵シリーズ	田代知子　著	パイインターナショナル	1300円
00003023	世界の美しい文様ぬり絵アラベスク文様　Arabesque Colouring Book		パイインターナショナル	1400円
00003024	紙バンドを結んで作るずっと持ちたいかご	古木明美　著	日本ヴォーグ社	1200円
00003025	ファスナーの本　ファスナーのつけ方がばっちりわかる！		日本ヴォーグ社	1200円
00003026	花のデザイン帖　川島詠子のトールペイント	川島詠子　[著]	日本ヴォーグ社	1600円
00003027	一年中楽しめるおりがみ壁飾り　指先を使っていきいき！ 65作品	堀込好子　著	日本ヴォーグ社	1400円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003028	大人のカルトナージュ　トワル・ド・ジュイで楽しむ豊かな毎日	永島聡美　著	日本ヴォーグ社	1600円
00003029	フェルト花の作り方BOOK 小さな雑貨とアクセサリー シートフェルトでハンドメイド		日本ヴォーグ社	1200円
00003030	つゆつき流つまみ細工のいろは　作品63点収録	土田由紀子　［著］	日本ヴォーグ社	1400円
00003031	つゆつきと晴れの日、卦の日のつまみ細工　作品77点収録	土田由紀子　［著］	日本ヴォーグ社	1300円
00003032	こうの早苗のデイリーコーディネート ソーイング&布バッグ My Fabric Style	こうの早苗　著	NHK出版	1700円
00003033	認知症予防運動プログラムコグニサイズ入門	島田裕之　監修・編著	ひかりのくに	2500円
00003034	ディズニーツムツムの魔法のタワシ　/ レディブティックシリーズ　4393	齊藤郁子　著	ブティック社	944円
00003035	ディズニーの魔法のタワシ　/ レディブティックシリーズ　4262		ブティック社	944円
00003036	手編みのどんぐり帽子　トップがちょこんととんがったどんぐりみたいな かわいい手編みの帽子/ レディブティックシリーズ　4126		ブティック社	907円
00003037	未来ダイアリー　もしも、自民党改憲草案が実現したら？ 弁護士が描く憲法改定後の世界	内山宙　著	金曜日	1000円
00003038	ウェルビーイングの設計論　人がよりよく生きるための情報技術	ラファエル・A・カルヴォ	ビー・エヌ・エヌ新社	2800円
00003039	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会西日本部会　編	芙蓉書房出版	1900円
00003040	美人はコレを食べている。ビジュアルBOOK　食べるほど綺麗になる食事法	木下あおい　著	大和書房	1000円
00003041	マンガでわかる英語がスッと出てくる新感覚英会話	深堀司朗	高橋書店	1300円
00003042	コクヨの1分間プレゼンテーション	下地寛也　著	中経出版	1429円
00003043	ロジカル・ディスカッション　チーム思考の整理術	堀公俊	日本経済新聞出版社	2000円
00003044	ワークショップ・デザイン　知をつむぐ対話の場づくり	堀公俊	日本経済新聞出版社	2000円
00003045	3時間でわかる！図解民法改正	熊谷則一　著	日本経済新聞出版社	1500円
00003046	日本の医療と介護　歴史と構造、そして改革の方向性	池上直己　著	日本経済新聞出版社	2200円
00003047	キャッシュフリー経済　日本活性化のFinTech戦略	淵田康之　著	日本経済新聞出版社	2800円
00003048	はじめての統計学	鳥居泰彦　著	日本経済新聞出版社	2233円
00003049	働き方の男女不平等　理論と実証分析	山口一男　著	日本経済新聞出版社	3200円
00003050	ハイン地の果ての祭典　南米フエゴ諸島先住民セルクナムの生と死	アン・チャップマン　著	新評論	3000円
00003051	大都市都心地区の変容とマンション立地	富田和暁　著	古今書院	4800円
00003052	ヘーゲルの反省論　自立と矛盾	中野眞　著	西田書店	3200円
00003053	スピリチュアル経営のリーダーシップ働きがいのある最高の組織づくりに向けて	狩俣正雄　著	中央経済社	3200円
00003054	フォロワーが語るリーダーシップ　認められるリーダーの研究	小野善生　著	有斐閣	5900円
00003055	体育の人間形成論	友添秀則　著	大修館書店	3200円
00003056	真理・存在・意識　フッサール『論理学研究』を読む	植村玄輝　著	知泉書館	5500円
00003057	新しい都市地理学	高橋伸夫　[ほか]著	東洋書林	2500円
00003058	なぜ分数の割り算はひっくり返すのか？　新版　数学ギライも図に描けばすぐ理解できる	板橋悟　著	主婦の友社	1200円
00003059	知識社会で活躍しよう	JAIST知識科学研究科　著	社会評論社	1200円
00003060	論理学研究	中島聰　著	ふくろう出版	2000円
00003061	貿易実務検定C級合格ガイド　第2版	日本貿易実務検定協会　編	税務経理協会	3300円
00003062	伊豆の大地の物語	小山真人　著	静岡新聞社	1524円
00003063	論理トレーニング101題	野矢茂樹　著	産業図書	2000円
00003064	体育・部活動指導の基本原則　スポーツ基本法の理念を活かす	入澤充　編著	エイデル研究所	2000円
00003065	たたかう地理学	小野有五　著	古今書院	3200円
00003066	フィンランド育ちと暮らしのダイアリー	藤井ニエメラみどり	かもがわ出版	1800円
00003067	革命的共産主義運動　新装版　その理論と歴史	日本革命的共産主義者同盟政治組織局　編	解放社	2500円
00003068	はじめて学ぶリー群　線型代数から始めよう	井ノ口順一　著	現代数学社	2800円
00003069	日本手話とろう教育　日本語能力主義をこえて	クァク・ジョンナン　著	生活書院	2500円
00003070	現場発！失敗しないいじめ対応の基礎・基本	辻川和彦　編著	日本標準	1800円
00003071	地方公共団体歳入歳出科目解説　8訂	月刊「地方財務」編集局　編	ぎょうせい	2500円
00003072	竹島水族館の本	蒲郡市竹島水族館　著	風媒社	1300円
00003073	病気にならない体をつくる「ミルク酢」健康法 血糖値、血圧が下がる78のレシピ	小山浩子　著	青春出版社	1460円
00003074	スポーツクライミング教本　完全図解 クライマー必須のクライミング技術を分析	東秀磯　著	山と溪谷社	2000円
00003075	アンガーマネジメント怒りやすい子の育て方	菅野昭子　著	かんき出版	1600円
00003076	子どもの学力は「ふせんノート」で伸びる	栗田正行　著	かんき出版	1400円
00003077	情報システムの基礎	東明佐久良　編	ムイスリ出版	1900円
00003078	情報科学基礎　コンピュータとネットワークの基本	伊東俊彦　著	ムイスリ出版	2300円
00003079	古文書くずし字見わけかたの極意	油井宏子　著	柏書房	1800円
00003080	江戸時代&(あんど)古文書虎の巻	柏書房編集部　編	柏書房	1400円
00003081	シゴトに役立つデータ分析・統計のトリセツ 実務のスキルをアップするビジネス数学の基本テクニック	増井敏克　著	ソシム	1600円
00003082	世界一わかりやすい介護　第4版　業界のしくみとながれ	イノウ　編著	ソシム	1300円
00003083	息をのむ写実絵画の世界　美しき女性像	近衛ロンド　編	日東書院本社	1600円
00003084	村上春樹翻訳ほとんど全仕事	村上春樹　著	中央公論新社	1500円
00003085	民法改正がわかった	田中嗣久	法学書院	2300円
00003086	パラリンピックを学ぶ	平田竹男	早稲田大学出版部	1500円
00003087	論理トレーニング　新版　/ 哲学教科書シリーズ	野矢茂樹　著	産業図書	2200円
00003088	相模武士団	関幸彦　編	吉川弘文館	2500円
00003089	食品の異物混入時におけるお客様対応 適切なクレーム対応を行うための手引き	食品安全ネットワーク　著	日科技連出版社	1900円
00003090	深海生物　ゆかいでヘンテコないきもの	石垣幸二　執筆・監修	笠倉出版社	950円
00003091	図解これ1冊でぜんぶわかる！貿易実務	大須賀祐　著	あさ出版	1500円
00003092	思考を鍛えるレポート・論文作成法　第2版	井下千以子　著	慶應義塾大学出版会	1200円
00003093	判断の論理学	藤川吉美　著	慶應義塾大学出版会	2800円
00003094	資料検索入門　レポート・論文を書くために/ アカデミック・スキルズ	市古みどり　編著	慶應義塾大学出版会	1200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003095	日本の地震地図　南海トラフ・首都直下地震対応版	岡田義光　著	東京書籍	1700円
00003096	もういちど読む山川日本史	五味文彦	山川出版社	1500円
00003097	妖怪・憑依・擬人化の文化史	伊藤慎吾　編	笠間書院	2200円
00003098	探検家と地理学者　18世紀フランスの啓蒙思想と地誌学	大嶽幸彦　著	古今書院	3200円
00003099	美人をつくる栄養レッスン	朝日新聞出版　編著	朝日新聞出版	1200円
00003100	伝統と革新　私が読んだ99の地理学	竹内啓一　著	古今書院	3800円
00003101	はじめてのディベート聴く・話す・考える力を身につける　しくみから試合の模擬練習まで/ スーパー・ラーニング	西部直樹　著	あさ出版	1500円
00003102	図書館ノート　沖縄から「図書館の自由」を考える	山口真也　著	教育史料出版会	1700円
00003103	そのまま使える基本のビジネス英語話す	デイビッド・セイン　著	ジャパンタイムズ	1600円
00003104	洗練された会話のための英語表現集　ネイティブとのコミュニケーションを円滑にする1050例文/ CD book	濱田伊織　著	ベレ出版	2200円
00003105	地図化すると世の中が見えてくる　自然∥産業∥資源・エネルギー∥生活・文化∥人口	伊藤智章　著	ベレ出版	1500円
00003106	東大病院発医療スタッフのための英会話	東京大学医学部附属病院英語マニュアル出版プロジェクトチーム　著	ベレ出版	1900円
00003107	意味がわかる統計学　まずはこの一冊から/ Beret science	石井俊全　著	ベレ出版	2000円
00003108	意味がわかる微分・積分　まずはこの一冊から/ Beret science	岡部恒治	ベレ出版	1900円
00003109	意味がわかる統計解析　まずはこの一冊から/ BERET SCIENCE	涌井貞美　著	ベレ出版	2000円
00003110	意味がわかれば数学の風景が見えてくる　改訂合本	野崎昭弘	ベレ出版	2900円
00003111	新・単位がわかると物理がわかる　SI単位系の成り立ちから自然単位系まで/ BERET SCIENCE	和田純夫	ベレ出版	1500円
00003112	観察する目が変わる植物学入門　意外と知らない草木のつくり/ BERET SCIENCE	矢野興一　著	ベレ出版	1700円
00003113	科学の目で見る日本列島の地震・津波・噴火の歴史　/ BERET SCIENCE	山賀進　著	ベレ出版	1700円
00003114	大切にしたい、にっぽんの暮らし。	さとうひろみ　著	サンクチュアリ出版	1500円
00003115	今日からはじめる情報設計　センスメイキングするための7ステップ	アビー・コパート　著	ビー・エヌ・エヌ新社	2000円
00003116	クラウゼヴィッツの「正しい読み方」　『戦争論』入門	ベアトリス・ホイザー　著	芙蓉書房出版	2900円
00003117	地質職人たちのアーカイブス	六連星の会　編	郁朋社	1500円
00003118	春画で学ぶ江戸かな入門	車浮代	幻冬舎	1600円
00003119	知識ゼロからの行動経済学入門	川西諭　著	幻冬舎	1300円
00003120	知識ゼロからの会議・プレゼンテーション入門	弘兼憲史　著	幻冬舎	1300円
00003121	地域密着型デイサービス大競争時代を生き抜く黒字戦略	浅岡雅子	翔泳社	2000円
00003122	認知症700万人時代の失敗しない「成年後見」の使い方	鈴木雅人　著	翔泳社	1700円
00003123	スパッと決まる！プレゼン　3ステップで結果を出せるトータルテクニック	山田進一　著	翔泳社	1800円
00003124	社内プレゼンの決定力を上げる本　シンプル×PowerPoint	天野暢子　著	翔泳社	1600円
00003125	論理思考×PowerPointで企画を作り出す本	田中耕比古　著	翔泳社	1600円
00003126	ここが変わった！民法改正の要点がわかる本	有吉尚哉　著	翔泳社	2300円
00003127	これならわかるスッキリ図解実地指導介護事業	小濱道博　著	翔泳社	2200円
00003128	これならわかるスッキリ図解障害者差別解消法	二本柳覚　編著	翔泳社	1800円
00003129	水木しげるの憑物百怪　愛蔵版	水木しげる　著	学研プラス	3000円
00003130	ジュニアのためのスポーツ食事学　みんなで一緒に強くなろう	柴田麗　[著]	学研プラス	1400円
00003131	アスリートのためのスポーツ栄養学　最新版 栄養の基本と食事計画/ GAKKEN SPORTS BOOKS	柳沢香絵　監修	学研プラス	1400円
00003132	子ども虐待という第四の発達障害　/ 学研のヒューマンケアブックス	杉山登志郎　著	学研プラス	1700円
00003133	うちのダンナがかわいすぎるっ！　元♀のイケメンと入籍しました！！	安藤たむ　著	学研プラス	1000円
00003134	Beリーダーとしてのセルフイメージを作れ　米国陸軍士官学校「ウエストポイント」の教えるリーダーシップ教本/ SHOEISHA DIGITAL	村上知紀　著	翔泳社	1800円
00003135	ブッダと親鸞　教えに生きる	一楽真　[ほか]著	真宗大谷派宗務所出版部	1000円
00003136	民法<債権関係>改正法新旧対照条文	商事法務　編	商事法務	1000円
00003137	マンガでわかる統計学入門	滝川好夫　著	新星出版社	1700円
00003138	だから昆虫は面白い　くらべて際立つ多様性	丸山宗利　著	東京書籍	1500円
00003139	引用する極意引用される極意	林紘一郎	勁草書房	2700円
00003140	平成29年大改正！民法の全条文	三省堂編修所　編	三省堂	1000円
00003141	新しい債権法を読みとく	山野目章夫　著	商事法務	2800円
00003142	「経験代謝」によるキャリアカウンセリング　自己を見つめ、学びを得る力	立野了嗣　著	晃洋書房	1500円
00003143	地球惑星科学入門　第2版	在田一則	北海道大学出版会	3000円
00003144	貿易実務ハンドブック　アドバンスト版 第5版　「貿易実務検定」A級・B級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会　編	日本能率協会マネジメントセンター	3600円
00003145	図解貿易実務ハンドブック　第6版 ベーシック版　「貿易実務検定」C級オフィシャルテキスト	日本貿易実務検定協会　編	日本能率協会マネジメントセンター	3400円
00003146	よくわかる貿易実務入門　改訂3版　/ 実務入門	片山立志　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003147	マンガでやさしくわかる統計学	小島寛之　著	日本能率協会マネジメントセンター	1800円
00003148	実践プロジェクト&プログラムマネジメント	清水基夫　著	日本能率協会マネジメントセンター	2800円
00003149	P2Mプログラム&プロジェクトマネジメント標準ガイドブック　改訂3版 P2M資格試験教科書	日本プロジェクトマネジメント協会　編著	日本能率協会マネジメントセンター	3800円
00003150	IT分野のためのP2Mプロジェクト&プログラムマネジメントハンドブック	日本プロジェクトマネジメント協会　編	日本能率協会マネジメントセンター	2200円
00003151	資料作成から発表までたったの4STEPでこんなに通る！プレゼン	家弓正彦　著	明日香出版社	1700円
00003152	障害者総合支援法のしくみと福祉施設運営手続きマニュアル　事業者必携	若林美佳　監修	三修社	1800円
00003153	すぐに役立つ入門図解最新成年後見のしくみと申請手続き	安部高樹　監修	三修社	1800円
00003154	最新刑事訴訟法のしくみ　図解で早わかり	木島康雄　監修	三修社	1800円
00003155	速習！マクロ経済学　試験攻略入門塾	石川秀樹　著	中央経済社	2400円
00003156	速習！ミクロ経済学　試験攻略入門塾	石川秀樹　著	中央経済社	2600円
00003157	論理学の初歩　改訂版	大貫義久	梓出版社	2000円
00003158	社会福祉法人の運営と財務　第2版	古田清和　[ほか]著	同文舘出版	2400円
00003159	シティプロモーション：地域創生とまちづくり　その論理と実践	田中道雄	同文舘出版	2500円
00003160	Zooっとたのしー！動物園 小さい耳にはワケがある！大きな角には意味がない？	小宮輝之　著・写真	文一総合出版	1800円
00003161	フィールドの観察から論文を書く方法　観察事例の報告から研究論文まで	濱尾章二　著	文一総合出版	1200円
00003162	社会学ドリル　この理不尽な世界の片隅で	中村英代　著	新曜社	1900円
00003163	整数と群・環・体　素数と数の認識論	河田直樹　著	現代数学社	2300円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00003164	リーマンの夢　ゼータ関数の探求	黒川信重　著	現代数学社	2100円
00003165	算数MANIA	初代算数仮面	現代数学社	3500円
00003166	ふたたびの高校数学　大人のための再入門&再発見	永野裕之　著	すばる舎	3200円
00003167	地理学入門　[2010年]改訂版　マルティ・スケール・ジオグラフィ	浮田典良　著	原書房	2200円
00003168	統計の世界　物の見方・考え方・心構え	原俊彦　著	原書房	1800円
00003169	ダメな統計学　悲惨なほど完全なる手引書	アレックス・ラインハート　著	勁草書房	2200円
00003170	航空とホスピタリティ	山路顕　編著	NTT出版	2500円
00003171	中学数学xやyの意味と使い方がわかる　わかりにくいxやyの意味と、問題の解き方がわかる！　方程式 関数 因数分解 式の計算	小林道正　著	ベレ出版	1500円
00003172	新人広告プランナーが入社時に叩き込まれる「プレゼンテーション」基礎講座	長沢朋哉　著	日本実業出版社	1800円
00003173	中学数学でわかる統計の授業	涌井良幸	日本実業出版社	1800円
00003174	もう一度高校数学　数1A・数2B・数3Cがこの1冊でいっきにわかる	高橋一雄　著	日本実業出版社	2800円
00003175	日本一やさしい法律の教科書　これから勉強する人のための	品川皓亮　著	日本実業出版社	1600円
00003176	これならわかる改正民法と不動産賃貸業	中島成　著	日本実業出版社	1100円
00003177	Google流資料作成術	コール・ヌッスバウマー・ナフリック　著	日本実業出版社	2000円
00003178	この1冊でわかる！改正民法要点のすべて	早稲田リーガルコモンズ法律事務所　著	日本実業出版社	1500円
00003179	社会保険・労働保険の届出と手続きがミスなくモレなくできる本	グローバル・ネットワーク　著	日本実業出版社	1500円
00003180	知りたいことがすぐわかる図解会社法のしくみ	中島成　著	日本実業出版社	1600円
00003181	生命と機械をつなぐ知　基礎情報学入門	西垣通　著	高陵社書店	1600円
00003182	一般相対性理論を一歩一歩数式で理解する	石井俊全　著	ベレ出版	3500円
00003183	要支援・要介護の人もいっしょに楽しめるゲーム&体操 / シリーズシニアが笑顔で楽しむ　14	斎藤道雄　著	黎明書房	1600円
00003184	「集中」すれば子どもは伸びる！モンテッソーリ園 0歳から6歳までの気になる教育メソッド		東京書籍	1600円
00003185	図書館情報学　第2版	上田修一	勁草書房	3200円
00003186	図書館は市民と本・情報をむすぶ	池谷のぞみ	勁草書房	3600円
00003187	知識資源のメタデータ　第2版	谷口祥一	勁草書房	3500円
00003188	ビジネスリーダーのための老子「道徳経」講義	田口佳史　著	致知出版社	2600円
00003189	ラルース地図で見る国際関係　新版　現代の地政学 ヴィジュアル版	イヴ・ラコスト　著	原書房	5800円
00003190	ロンドン大火　歴史都市の再建	大橋竜太　著	原書房	2800円
00003191	接ぎ手完全ガイド　基礎から学ぶ多彩な接ぎの技法	テリー・ノール　著	グラフィック社	2500円
00003192	東京美術館案内　名画と出会えるミュージアムガイド		昭文社	1200円
00003193	藤沢周平のこころ　没後二十年 完全保存版/ 文春ムック	オール讀物　責任編集	文藝春秋	926円
00003194	人生を変える！食の新常識　カラダにいい食事決定版 / 文春ムック. 文藝春秋クリニック		文藝春秋	880円
00003195	日本国憲法　第2版　/ 小学館アーカイヴス	「写楽」編集部　編集	小学館	500円
00003196	捨てトレ　モノを捨てるトレーニング/ オレンジページムック	野沢恭恵　著	オレンジページ	1300円
00003197	一番やさしい自治体予算の本	定野司　著	学陽書房	1900円
00003198	駐車場事故の法律実務　過失相殺・駐車場管理者の責任	中込一洋	学陽書房	3200円
00003199	50のポイントでわかる自治体職員はじめての出納事務　支出や収入、契約、債権管理など必須の財務の知識	大崎映二　著	学陽書房	2400円
00003200	地方議員のための役所を動かす質問のしかた	川本達志　著	学陽書房	2300円
00003201	これだけは知っておきたい公務員の議会対応	藤川潤　著	学陽書房	2200円
00003202	スッキリわかる！地方自治法のきほん	塩浜克也　著	学陽書房	1800円
00003203	スッキリわかる！自治体財政のきほん	武田正孝　著	学陽書房	1800円
00003204	諸手当質疑応答集　第13次全訂版	公務人材開発協会人事行政研究所　編集	学陽書房	4000円
00003205	図解福祉行政はやわかり　第1次改訂版	石川久　著	学陽書房	2100円
00003206	どんな場面も切り抜ける！公務員の議会答弁術	森下寿　著	学陽書房	2200円
00003207	アダルト・チルドレン癒しのワークブック 本当の自分を取りもどす16の方法	西尾和美　著	学陽書房	1800円
00003208	ビジネス統計入門　Excelで経営情報を分析する 決定版	関正行　著	プレジデント社	2400円
00003209	来週のプレゼンに勝つ！　1日2400時間吉良式発想法マンガデザイン版	吉良俊彦　著	プレジデント社	1600円
00003210	古地図で読み解く江戸東京地形の謎	芳賀ひらく　著	二見書房	1800円
00003211	論理パラドクス　論証力を磨く99問	三浦俊彦　著	二見書房	1500円
00003212	イラストで解る！英語で日本のしきたりと文化を伝える本	荒井弥栄　著	二見書房	1600円
00003213	日本のほとけさまに甘える　たよれる身近な17仏	大江吉秀　文	東邦出版	1500円
00003214	日本の神様と楽しく生きる　日々ご利益とともに	平藤喜久子　著	東邦出版	1500円
00003215	大学院・大学編入学社会人入試の小論文　改訂版 思考のメソッドとまとめ方	吉岡友治　著	実務教育出版	1700円
00003216	図説・ゼロからわかる日本の安全保障	森本敏　監修	実務教育出版	1500円
00003217	初学者のための数論入門	西来路文朗	講談社	1600円
00003218	ひとりでマスターする生化学	亀井碩哉　著	講談社	3800円
00003219	いちばんやさしい生化学	坂本順司　著	講談社	2200円
00003220	力学　/ 講談社基礎物理学シリーズ　1	副島雄児	講談社	2500円
00003221	電磁気学　/ 講談社基礎物理学シリーズ　4	横山順一　著	講談社	2800円
00003222	物理のための数学入門　/ 講談社基礎物理学シリーズ　10	二宮正夫	講談社	2800円
00003223	完全独習相対性理論	吉田伸夫　著	講談社	3600円
00003224	デジタル鳥瞰47都道府県庁所在都市　東日本編　/ The New Fifties	八幡和郎　著	講談社	1800円
00003225	デジタル鳥瞰47都道府県庁所在都市　西日本編　/ The New Fifties	八幡和郎　著	講談社	1800円
00003226	デジタル鳥瞰江戸の崖東京の崖　/ The New Fifties	芳賀ひらく　著	講談社	1800円
00003227	大阪アースダイバー	中沢新一　著・写真	講談社	1900円
00003228	絶対わかる有機化学の基礎知識　concept 100/ 絶対わかる化学シリーズ	齋藤勝裕　著	講談社	2400円
00003229	絶対わかる有機化学　/ 絶対わかる化学シリーズ	齋藤勝裕　著	講談社	2400円
00003230	Q&Aで学ぶやさしい微生物学	浜本哲郎	講談社	2000円
00003231	休み時間の生化学　/ 休み時間シリーズ	大西正健　著	講談社	2200円
00003232	これからはじめる人のためのバイオ実験基本ガイド	武村政春　編著	講談社	2700円
00003233	乳酸を活かしたスポーツトレーニング　新版	八田秀雄　著	講談社	1900円
00003234	博物館教育論　学芸員の現場で役立つ基礎と実践	黒沢浩　編著	講談社	2400円
00003235	からだを活性化させる魔法の油！「オメガ3」レシピ　えごま油 あまに油 サチャインチオイル/ 講談社のお料理BOOK	青木絵麻　著	講談社	1200円
00003236	よくわかる貿易の実務　改訂新版 輸出・輸入のしくみから書類手続きまで	木村雅晴　著	PHP研究所	1500円
00003237	ユーザーがつくる知のかたち 集合知の深化/ 角川インターネット講座　06	西垣通　監修	KADOKAWA	2500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003238	写真民俗学　東西の神々	芳賀日出男　著	KADOKAWA	2500円
00003239	怖い絵のひみつ。「怖い絵」スペシャルブック	中野京子　著	KADOKAWA	1300円
00003240	流れるようにわかる統計学　こんなふうに教わりたかった！	佐々木隆宏　著	KADOKAWA	2300円
00003241	伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業	伊藤真　著	KADOKAWA	1400円
00003242	生まれる性別をまちがえた！　/ Kadokawa Comics. 単行本コミックス	小西真冬　著	KADOKAWA	1000円
00003243	ネイティブなら子どものときに身につける英会話なるほどフレーズ100　誰もここまで教えてくれなかった使える裏技	スティーブ・ソレイシィ	アルク	1680円
00003244	英会話ペラペラビジネス100 ビジネス・コミュニケーションを成功させる知的な大人の会話術	スティーブ・ソレイシィ	アルク	2000円
00003245	古神道祝詞CDブック	古川陽明　著	太玄社	2100円
00003246	はじめての物理数学　自然界を司る法則を数式で導く	永野裕之　著	SBクリエイティブ	2700円
00003247	世界一わかりやすいプロジェクトマネジメント　第4版	G・マイケル・キャンベル　著	総合法令出版	2900円
00003248	SNOOPYはじめての刺繍	チャールズ・M・シュルツ　著	KADOKAWA	1400円
00003249	豆乳ヨーグルト　おなかすっきり！やせて健康になる	小山有希　料理	日本文芸社	750円
00003250	図説・ゼロからわかる世界情勢地図の読み方	世界情勢を読む会　編著	実務教育出版	1600円
00003251	ホテルと旅館の事業展開　改訂版	徳江順一郎　著	創成社	1900円
00003252	職場のLGBT読本　「ありのままの自分」で働ける環境を目指して	柳沢正和	実務教育出版	2000円
00003253	ネコろんで学べる英語発音の本	明場由美子　著	実務教育出版	1600円
00003254	図書館100連発	岡本真	青弓社	1800円
00003255	サブカルで読むナショナリズム　可視化されるアイデンティティ	谷川建司	青弓社	2000円
00003256	ひとが優しい博物館　ユニバーサル・ミュージアムの新展開	広瀬浩二郎　編著	青弓社	2000円
00003257	図解物理の話　眠れなくなるほど面白い	長澤光晴　著	日本文芸社	680円
00003258	図解化学の話　眠れなくなるほど面白い	大宮信光　監修	日本文芸社	680円
00003259	図解「心の病」がよくわかる！臨床心理学 身近にある「心の問題」を心理学で読み解く！	稲富正治　著	日本文芸社	680円
00003260	どうか忘れないでください、子どものことを。	佐々木正美　著	ポプラ社	1200円
00003261	城のつくり方図典　改訂新版	三浦正幸　著	小学館	2800円
00003262	トポロジカル絶縁体入門	安藤陽一　著	講談社	3600円
00003263	亀田講義ナマ中継生化学　/ わかりすぎてヤバい！	亀田和久　著	講談社	2300円
00003264	好きになる生理学　からだについての身近な疑問/ 好きになるシリーズ	田中越郎　著	講談社	2000円
00003265	好きになる免疫学　「私」が「私」であるしくみ/ 好きになるシリーズ	萩原清文　著	講談社	1800円
00003266	好きになる救急医学　第3版 病院前から始まる救急医療/ 好きになるシリーズ	小林國男　著	講談社	2000円
00003267	好きになる精神医学　第2版 こころの病気と治療の新しい理解/ 好きになるシリーズ	越野好文	講談社	1800円
00003268	好きになる病理学　るみと健太の病理学教室訪問記/ 好きになるシリーズ	早川欽哉　著	講談社	2200円
00003269	好きになる微生物学　感染症の原因と予防法/ 好きになるシリーズ	渡辺渡　著	講談社	2000円
00003270	好きになる栄養学　第2版 食生活の大切さを見直そう/ 好きになるシリーズ	麻見直美	講談社	2200円
00003271	好きになる睡眠医学　第2版 眠りのしくみと睡眠障害/ 好きになるシリーズ	内田直　著	講談社	2000円
00003272	好きになる解剖学　自分の体をさわって確かめよう/ 好きになるシリーズ	竹内修二　著	講談社	2200円
00003273	好きになる解剖学　pt.2 関節を動かし骨や筋を確かめよう/ 好きになるシリーズ	竹内修二　著	講談社	2000円
00003274	好きになる生化学　生体内で進み続ける化学反応/ 好きになるシリーズ	田中越郎　著	講談社	1800円
00003275	好きになるヒトの生物学 私たちの身近な問題身近な疑問/ 好きになるシリーズ	吉田邦久　著	講談社	2000円
00003276	好きになる分子生物学 分子からみた生命のスケッチ/ 好きになるシリーズ	萩原清文　著	講談社	2000円
00003277	ゼロから学ぶ線形代数　/ ゼロから学ぶシリーズ	小島寛之　著	講談社	2500円
00003278	ゼロから学ぶ微分積分　/ ゼロから学ぶシリーズ	小島寛之　著	講談社	2500円
00003279	休み時間の免疫学　第3版　/ 休み時間シリーズ	齋藤紀先　著	講談社	2000円
00003280	休み時間の解剖生理学　/ 休み時間シリーズ	加藤征治　著	講談社	2200円
00003281	休み時間の微生物学　第2版　/ 休み時間シリーズ	北元憲利　著	講談社	2200円
00003282	単位が取れる物理化学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	吉田隆弘　著	講談社	2400円
00003283	単位が取れる量子力学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	橋元淳一郎　著	講談社	2800円
00003284	単位が取れる有機化学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	小川裕司　著	講談社	2600円
00003285	単位が取れる線形代数ノート　/ 単位が取れるシリーズ	齋藤寛靖　著	講談社	2000円
00003286	単位が取れる流体力学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	武居昌宏　著	講談社	2800円
00003287	単位が取れる量子化学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	福間智人　著	講談社	2400円
00003288	単位が取れる電磁気学ノート　/ 単位が取れるシリーズ	橋元淳一郎　著	講談社	2600円
00003289	絵でわかる寄生虫の世界　/ 絵でわかるシリーズ	長谷川英男　著	講談社	2000円
00003290	絵でわかる感染症withもやしもん　/ 絵でわかるシリーズ	岩田健太郎　著	講談社	2200円
00003291	絵でわかるゲノム・遺伝子・DNA(ディーエヌエー)　新版 / 絵でわかるシリーズ	中込弥男　著	講談社	2000円
00003292	絵でわかる免疫　/ 絵でわかるシリーズ	安保徹　著	講談社	2000円
00003293	絵でわかる地震の科学　/ 絵でわかるシリーズ	井出哲　著	講談社	2200円
00003294	絵でわかる日本列島の誕生　/ 絵でわかるシリーズ	堤之恭　著	講談社	2200円
00003295	絵でわかるプレートテクトニクス　地球進化の謎に挑む / 絵でわかるシリーズ	是永淳　著	講談社	2200円
00003296	集中講義旧約聖書　「一神教」の根源を見る/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	加藤隆　著	NHK出版	900円
00003297	老子×孫子「水」のように生きる　/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	蜂屋邦夫	NHK出版	900円
00003298	「日本人」とは何者か？　/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	松岡正剛　[ほか]著	NHK出版	900円
00003299	集中講義大乗仏教　こうしてブッダの教えは変容した/ [教養・文化シリーズ]. 別冊NHK100分de名著	佐々木閑　著	NHK出版	900円
00003300	「幸せ」について考えよう　/ 教養・文化シリーズ. 別冊NHK100分de名著	島田雅彦　[ほか]著	NHK出版	900円
00003301	菜根譚×呻吟語　成功から学ぶのか、失敗から学ぶのか/ [教養・文化シリーズ]. 別冊NHK100分de名著	湯浅邦弘　著	NHK出版	900円
00003302	量子と統計の物理　/ 放送大学教材	米谷民明	放送大学教育振興会	3200円
00003303	ダイナミックな地球　/ 放送大学教材	大森聡一	放送大学教育振興会	3500円
00003304	博物館概論　改訂新版　/ 放送大学教材	吉田憲司　編著	放送大学教育振興会	2900円
00003305	博物館教育論　新訂　/ 放送大学教材	大高幸	放送大学教育振興会	2900円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003306	場と時間空間の物理　電気、磁気、重力と相対性理論/ 放送大学教材	米谷民明	放送大学教育振興会	3200円
00003307	情報学へのとびら　/ 放送大学教材	加藤浩	放送大学教育振興会	2800円
00003308	交通心理学　改訂版　/ 放送大学教材	蓮花一己	放送大学教育振興会	2600円
00003309	パレスチナ問題　/ 放送大学教材	高橋和夫　著	放送大学教育振興会	2800円
00003310	日本政治思想史　/ 放送大学教材	原武史　著	放送大学教育振興会	2800円
00003311	化学反応論　分子の変化と機能/ 放送大学教材	安池智一　編著	放送大学教育振興会	3100円
00003312	音楽・情報・脳　改訂版　情報学プログラム/ 放送大学大学院教材. 放送大学大学院文化科学研究科	仁科エミ	放送大学教育振興会	2700円
00003313	情報学の新展開　/ 放送大学大学院教材. 放送大学大学院文化科学研究科	川合慧　編著	放送大学教育振興会	2700円
00003314	どうなる！？どうする！？社会福祉法人の運営とリスク管理	外岡潤　著	中央経済社	2500円
00003315	すらすら図解貿易・為替のしくみ	後藤守孝	中央経済社	2200円
00003316	帰化・永住・在留許可申請業務　第3版　行政書士の実務	木本博之　著	法学書院	2300円
00003317	放課後等デイサービスハンドブック　子どもたちのゆたかな育ちのために	障害のある子どもの放課後保障全国連絡会　編	かもがわ出版	2000円
00003318	スイスイ解ける高校数学	間地秀三　著	ベレ出版	1800円
00003319	12歳の少年が書いた量子力学の教科書	近藤龍一　著	ベレ出版	1600円
00003320	イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑	澤宮優　文	原書房	2200円
00003321	ディープ・アクティブラーニング　大学授業を深化させるために	松下佳代	勁草書房	3000円
00003322	ワークショップ型教員研修はじめの一歩　わかる！使える！理論・技法・課題・子ども・ツール・プラン77	村川雅弘　著	教育開発研究所	1800円
00003323	私の記憶が確かなうちに　「私は誰？」「私は私」から続く旅	クリスティーン・ブライデン　著	クリエイツかもがわ	2000円
00003324	行動障害が穏やかになる「心のケア」　障害の重い人、関わりの難しい人への実践	藤本真二　著	クリエイツかもがわ	2000円
00003325	Q&A社会福祉法人制度改革の解説と実務　平成29年全面施行対応版	菅田正明	ぎょうせい	3000円
00003326	ここまで変わった日本史教科書	高橋秀樹	吉川弘文館	1800円
00003327	人文地理学　その主題と課題	杉浦章介	慶應義塾大学出版会	3200円
00003328	国民国家とナショナリズム　/ 世界史リブレット　35	谷川稔　著	山川出版社	729円
00003329	牛車で行こう！　平安貴族と乗り物文化	京樂真帆子　著	吉川弘文館	1900円
00003330	波動と場の物理学入門	糸山浩司　著	京都大学学術出版会	2200円
00003331	フィリピンのことがマンガで3時間でわかる本 ASEANの落第生から、No.1成長国へ！	鈴木紘司	明日香出版社	1600円
00003332	手話の社会学　教育現場への手話導入における当事者性をめぐって	金澤貴之　著	生活書院	2800円
00003333	現代社会論　社会学で探る私たちの生き方/ 有斐閣ストゥディア	本田由紀　編	有斐閣	1800円
00003334	マンガ超ひも理論をパパに習ってみた 天才物理学者・浪速阪教授の70分講義	橋本幸士　原作	大阪大学出版会	1200円
00003335	大学生のための論文・レポートの論理的な書き方	渡邊淳子　著	研究社	1300円
00003336	ten to senの模様づくり　増補改訂版　The story of "Pattern book from the north"/ 読む手しごとBOOKS	岡理恵子　著	グラフィック社	1600円
00003337	図解・社会保険入門の入門　平成29年版	吉田正敏　著	税務研究会出版局	2200円
00003338	初めから学べると評判の大学基礎数学確率統計キャンパス・ゼミ　高校数学から大学数学へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之　著	マセマ出版社	1800円
00003339	初めから学べると評判の大学基礎数学線形代数キャンパス・ゼミ　高校数学から大学数学へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之　著	マセマ出版社	1800円
00003340	初めから学べると評判の大学基礎数学微分積分キャンパス・ゼミ　高校数学から大学数学へ！スムーズに実力UP!	馬場敬之　著	マセマ出版社	1800円
00003341	数学ガール　フェルマーの最終定理	結城浩　著	SBクリエイティブ	1800円
00003342	数学ガール　ガロア理論	結城浩　著	SBクリエイティブ	1900円
00003343	数学ガールの秘密ノート　丸い三角関数	結城浩　著	SBクリエイティブ	1500円
00003344	数学ガールの秘密ノート　やさしい統計	結城浩　著	SBクリエイティブ	1500円
00003345	数学ガールの秘密ノート　整数で遊ぼう	結城浩　著	SBクリエイティブ	1400円
00003346	数学ガールの秘密ノート　積分を見つめて	結城浩　著	SBクリエイティブ	1500円
00003347	数学ガールの秘密ノート　微分を追いかけて	結城浩　著	SBクリエイティブ	1400円
00003348	数学ガールの秘密ノート　式とグラフ	結城浩　著	SBクリエイティブ	1200円
00003349	憲法事例演習	大沢秀介	成文堂	3500円
00003350	日本会議の全貌　知られざる巨大組織の実態	俵義文　著	花伝社	1200円
00003351	医療的ケア児者の地域生活を支える「第3号研修」　日本型パーソナル・アシスタンス制度の創設を/ 在宅・地域で生きる支える	医療的ケアネット　編	クリエイツかもがわ	1400円
00003352	南海トラフ巨大地震はズバリいつ起きるのか！！	クッパ72　著	文芸社	1100円
00003353	図説アーサー王と円卓の騎士　その歴史と伝説	マーティン・J・ドハティ　著	原書房	2800円
00003354	地理学と歴史学　分断への架け橋	アラン・ベイカー　著	原書房	3800円
00003355	テクノシステム時代の人間の責任と良心　現代応用倫理学入門	ハンス・レンク　著	東信堂	3500円
00003356	体験的教育舞踊・児童舞踊論　子どもと学生と共に創ったダンス	賀来良江　著	創英社/三省堂書店	3200円
00003357	賢治と鉱物　文系のための鉱物学入門	加藤碵一	工作舎	3200円
00003358	戦後初期学校体育の研究　広島県の小学校を手掛かりとして	崎田嘉寛　著	溪水社	5300円
00003359	体育の学びを豊かにする「新しい学習評価」の考え方 学習評価としてのコミュニケーション	鈴木直樹　著	大学教育出版	2000円
00003360	21世紀の論理	大窪徳行	八千代出版	2800円
00003361	謎床　思考が発酵する編集術	松岡正剛	晶文社	1800円
00003362	環境と経済がまわる、森の国ドイツ	森まゆみ　著	晶文社	1800円
00003363	図解いちばんやさしい地政学の本	沢辺有司　著	彩図社	880円
00003364	ドイツ旅行で見つけたルターの偉業　今も続く宗教改革のうねり	井関康子	文芸社	1100円
00003365	観光の波、激変する京のまちと商い　活性化の目玉を探せ	齊藤哲雄　著	文芸社	1100円
00003366	日本経済再生25年の計　金融・資本市場の新見取り図	池尾和人	日本経済新聞出版社	1800円
00003367	私が最近弱っているのは毎日「なんとなく」食べているからかもしれない	小倉朋子　著	文響社	1250円
00003368	金閣寺・銀閣寺の住職が教える人生は引き算で豊かになる	有馬頼底　著	文響社	1280円
00003369	傷つきやすい人のための図太くなれる禅思考	枡野俊明　［著］	文響社	1380円
00003370	地方創生大全	木下斉　著	東洋経済新報社	1500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003371	プロフェッショナルリーダーシップ　結果を出す意志とスキル / BBT大学シリーズ	森時彦	東洋経済新報社	1500円
00003372	デービッド・アトキンソン新・所得倍増論 潜在能力を活かせない「日本病」の正体と処方箋	デービッド・アトキンソン 著	東洋経済新報社	1500円
00003373	「つくる生活」がおもしろい　小さなことから始める地域おこし、 まちづくり	牧野篤　著	さくら舎	1400円
00003374	江戸城の全貌　世界的巨大城郭の秘密	萩原さちこ　著	さくら舎	1600円
00003375	恐怖の地政学　地図と地形でわかる戦争・紛争の構図	T・マーシャル　著	さくら舎	1800円
00003376	「英語で案内」ができる本　もう困らない！どんなときも！	リサ・ヴォート　著	大和書房	1400円
00003377	明治維新という過ち　改訂増補版 日本を滅ぼした吉田松陰と長州テロリスト	原田伊織　著	毎日ワンズ	1500円
00003378	官賊と幕臣たち　列強の日本侵略を防いだ徳川テクノクラート	原田伊織　著	毎日ワンズ	1400円
00003379	人を動かすリーダーの「おもてなし力」の磨き方	蓬台浩明　著	日本実業出版社	1500円
00003380	「国際関係」の基本がイチからわかる本　″知ってるつもり″から抜け出す！	坂東太郎　著	日本実業出版社	1500円
00003381	それちょっと、数字で説明してくれる？と言われて困らないできる人の データ・統計術	柏木吉基　著	SBクリエイティブ	1400円
00003382	アメリカの大学生が学んでいる「伝え方」の教科書	スティーブン E.ルーカス 著	SBクリエイティブ	1500円
00003383	図解と実例と論理で、今度こそわかるガロア理論	鈴木智秀　著	SBクリエイティブ	2000円
00003384	キーフレーズでがっちり身につける会話できる英文法大特訓　80の文法 ルールで話しまくれ！：基本720フレーズ：SUPER EXERCISE	妻鳥千鶴子　著	Jリサーチ出版	1400円
00003385	導く力　自分をみつめ、自ら動く	守屋智敬　著	KADOKAWA	1400円
00003386	心が動く伝え方	前刀禎明　著	KADOKAWA	1400円
00003387	うちの子は育てにくい子　発達障害の息子と私が学んだ大切なこと	アマミモヨリ　文・絵	KADOKAWA	1100円
00003388	哲学バトル　大論争！	畠山創　著	KADOKAWA	1200円
00003389	21世紀の民俗学	畑中章宏　著	KADOKAWA	1800円
00003390	まんがでわかる量子論　新装増補版	竹内薫　著	PHP研究所	556円
00003391	天照大神は卑弥呼だった　邪馬台国北九州説の終焉	大平裕　著	PHP研究所	1600円
00003392	一流のリーダーの考え方二流のリーダーの考え方	小宮一慶　著	PHP研究所	1400円
00003393	ササッとわかる「パーソナリティ障害」 / 見やすい・すぐわかる図解大安心シリーズ	岡田尊司　著	講談社	952円
00003394	アキレスとカメ　パラドックスの考察	吉永良正　著	講談社	1429円
00003395	カント美と倫理とのはざまで	熊野純彦　著	講談社	2300円
00003396	ハーバード大学特別講義リーダーシップが滅ぶ時代	バーバラ・ケラーマン　著	ソフトバンククリエイティブ	1600円
00003397	劇的に運が良くなるお経　般若心経・延命十句観	立花大敬　著	KADOKAWA	1300円
00003398	子どもが育つ魔法の言葉	ドロシー・ロー・ノルト	PHP研究所	1500円
00003399	最後の資本主義	ロバート・B・ライシュ 著	東洋経済新報社	2200円
00003400	善と悪の経済学 ギルガメシュ叙事詩、アニマルスピリット、ウォール街占拠	トーマス・セドラチェク 著	東洋経済新報社	3400円
00003401	人材覚醒経済	鶴光太郎　著	日本経済新聞 出版社	2800円
00003402	蕎麦の旅人　なぜ、日本人は「そば」が好きなのか	福原耕　著	文芸社	1600円
00003403	マッキンダーの地政学　デモクラシーの理想と現実	ハルフォード・ジョン・ マッキンダー　著	原書房	3200円
00003404	人はこうして「食べる」を学ぶ	ビー・ウィルソン　著	原書房	2800円
00003405	サイバー戦争論　ナショナルセキュリティの現在	伊東寛　著	原書房	2500円
00003406	「接続性」の地政学　上　グローバリズムの先にある世界	パラグ・カンナ　著	原書房	2400円
00003407	「接続性」の地政学　下　グローバリズムの先にある世界	パラグ・カンナ　著	原書房	2400円
00003408	コーベット海洋戦略の諸原則	ジュリアン・スタフォー ド・コーベット　著	原書房	3600円
00003409	ヒトとイヌがネアンデルタール人を絶滅させた	パット・シップマン　著	原書房	2400円
00003410	ネット時代の図書館戦略	ジョン・ポールフリー　著	原書房	3500円
00003411	占星術の文化誌	鏡リュウジ　著	原書房	2800円
00003412	地図をつくった男たち　明治の地図の物語	山岡光治　著	原書房	2400円
00003413	開高健　生きた、書いた、ぶつかった！	小玉武　著	筑摩書房	2500円
00003414	「本をつくる」という仕事	稲泉連　著	筑摩書房	1600円
00003415	出版と流通　/ シリーズ〈本の文化史〉 4	横田冬彦　編	平凡社	3200円
00003416	日本神話伝	はしの蓮　著	飛鳥新社	1500円
00003417	キリスト教はどんな救いを約束しているのか 愛の福音が真価を発揮するための一石	西山俊彦　著	文芸社	1900円
00003418	文学効能事典　あなたの悩みに効く小説	エラ・バーサド	フィルムアート社	2000円
00003419	ジェンダーで学ぶ社会学　全訂新版	伊藤公雄	世界思想社	1800円
00003420	図書館情報学を学ぶ人のために	逸村裕	世界思想社	2400円
00003421	これからの体育を学ぶ人のために	佐伯年詩雄　著	世界思想社	1900円
00003422	〈あいだ〉を開く　レンマの地平/ 世界思想社現代哲学叢書	木岡伸夫　著	世界思想社	1800円
00003423	論理開眼　「事・物ノ理ヲ論ラフ学ヒ」としての論理学 / Sekaishiso seminar	山川偉也	世界思想社	1900円
00003424	地形で読み解く古代史	関裕二　著	ベストセラーズ	1222円
00003425	呪われた明治維新　歴史認識「長州嫌い」の150年	星亮一　著	さくら舎	1500円
00003426	法のデザイン　創造性とイノベーションは法によって加速する	水野祐　著	フィルムアート社	2200円
00003427	早わかり日本史　最新版　ビジュアル図解でわかる時代の流れ！	河合敦　著	日本実業出版社	1400円
00003428	エバンジェリストの仕事術　自分の価値を高め、市場で勝ち抜く	西脇資哲　著	日本実業出版社	1500円
00003429	数学〈超・超絶〉難問	小野田博一　著	日本実業出版社	1500円
00003430	月曜日の朝9分ですべてがうまく回りだす チームの力を最大化するリーダーの教科書	ジェームズ・ロビンス　著	日本実業出版社	1600円
00003431	リーダーに必要なことはすべて「オーケストラ」で学んだ プロ指揮者の″最強チームマネジメント″	桜井優徳　著	日本実業出版社	1500円
00003432	本当にわかる地球科学　フシギなくらい見えてくる！	鎌田浩毅　監修・著	日本実業出版社	1600円
00003433	本当にわかる社会学　フシギなくらい見えてくる！	現代位相研究所　編	日本実業出版社	1400円
00003434	リーダーになる勇気　迷わない、あきらめない自分をつくる	辻野晃一郎　著	日本実業出版社	1400円
00003435	世界〈経済〉全史　「51の転換点」で現在と未来が読み解ける	宮崎正勝　著	日本実業出版社	1600円
00003436	世界を動かすリーダーは何を学び、どう考え、何をしてきたのか？ プラチナリーダー550人を調査してわかったこと	D・マイケル・リンゼイ	日本実業出版社	1700円
00003437	広告・ニュースの数字のカラクリがわかる統計学	涌井良幸　著	日本実業出版社	1300円
00003438	大間違いの織田信長	倉山満　著	ベストセラーズ	1296円
00003439	日本史100人の履歴書　あの偉人たちにも黒歴史！？	矢部健太郎　監修	宝島社	600円
00003440	教え子が成長するリーダーは何をしているのか	夏まゆみ　著	サンマーク出版	1400円
00003441	「ついていきたい」と思われるリーダーになる51の言葉	岩田松雄　著	サンマーク出版	1400円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00003442	ウェゲナーの大陸移動説は仮説実験の勝利	西村寿雄　著	文芸社	1200円
00003443	能力・体力は素質で決まる	沢走郎　著	文芸社	600円
00003444	ニーチェ　すべてを思い切るために：力への意志 / 入門・哲学者シリーズ　1	貫成人　著	青灯社	1000円
00003445	〈帰国子女〉という日本人　/ フィギュール彩　94	品川亮　著	彩流社	1800円
00003446	最強のプレゼン　5分で聞き手の心を動かす技術	小峯隆生　著	飛鳥新社	1574円
00003447	はじめよう、お金の地産地消 地域の課題を「お金と人のエコシステム」で解決する	木村真樹　著	英治出版	1600円
00003448	「会議ファシリテーション」の基本がイチから身につく本 リーダーシップも話術も不要！	釘山健一　著	すばる舎	1500円
00003449	0秒リーダーシップ　「これからの世界」で圧倒的な成果を上げる仕事術	ピョートル・フェリークス・グジバチ　著	すばる舎	1500円
00003450	日本精神史　自然宗教の逆襲	阿満利麿　著	筑摩書房	1800円
00003451	経済ってこうなってるんだ教室	海老原嗣生　著	プレジデント社	1400円
00003452	未来がみえた！　10人のメンバーがみた地域発「チーム力」	筒井義信	プレジデント社	1200円
00003453	論文の教室　新版　レポートから卒論まで/ NHKブックス　1194	戸田山和久　著	NHK出版	1200円
00003454	歩くだけで不調が消える歩行禅のすすめ	塩沼亮潤　著	KADOKAWA	1400円
00003455	大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏　著	KADOKAWA	1500円
00003456	大学4年間の哲学が10時間でざっと学べる	貫成人　著	KADOKAWA	1500円
00003457	大学4年間の統計学が10時間でざっと学べる	倉田博史　著	KADOKAWA	1500円
00003458	親なら知っておきたい学歴の経済学	西川純　著	学陽書房	1400円
00003459	2020年激変する大学受験！　あなたの子どもは間に合いますか？	西川純　著	学陽書房	1200円
00003460	子どものやる気を引き出す7つのしつもん スポーツメンタルコーチに学ぶ！	藤代圭一　著	旬報社	1300円
00003461	未来の学校　テスト教育は限界か	トニー・ワグナー　著	玉川大学出版部	3200円
00003462	アダルト・チルドレンと癒し　本当の自分を取りもどす	西尾和美　著	学陽書房	1500円
00003463	脱サラ就農、九条ねぎで年商10億円　京都発 新・農業経営のカタチ	山田敏之　著	PHP研究所	1500円
00003464	巷の神々　上	石原慎太郎　著	PHP研究所	1700円
00003465	巷の神々　下	石原慎太郎　著	PHP研究所	1700円
00003466	新怖い絵	中野京子　著	KADOKAWA	1800円
00003467	明治維新の正体　徳川慶喜の魁、西郷隆盛のテロ	鈴木荘一　著	毎日ワンズ	1500円
00003468	人間関係が楽になるアドラーの教え	岩井俊憲　著	大和書房	1400円
00003469	リーダーはストーリーを語りなさい 顧客と従業員を魅了し、説得し、鼓舞する究極の方法	ポール・スミス　著	日本経済新聞出版社	1800円
00003470	激論マイナス金利政策	日本経済研究センター編	日本経済新聞出版社	2500円
00003471	私たちの国づくりへ	西水美恵子　著	英治出版	1700円
00003472	最難関のリーダーシップ　変革をやり遂げる意志とスキル	ロナルド・A・ハイフェッツ	英治出版	2400円
00003473	宇宙一美しい奇跡の数式　0=∞=1	ノ・ジェス　著	きこ書房	1600円
00003474	貨幣・勤労・代理人　経済文明論/ 放送大学叢書　038	坂井素思　著	左右社	1850円
00003475	トランプ現象とアメリカ保守思想　崩れ落ちる理想国家	会田弘継　著	左右社	1800円
00003476	京都観光　40人の提言	三好克之　[著]	白川書院	1500円
00003477	自由貿易は私たちを幸せにするのか？	上村雄彦	コモンズ	1500円
00003478	明治維新というクーデター	星亮一　著	イースト・プレス	1500円
00003479	ニュートリノで探る宇宙と素粒子	梶田隆章　著	平凡社	1800円
00003480	量子力学で生命の謎を解く	ジム・アル=カリーリ	SBクリエイティブ	2400円
00003481	3秒でOKがもらえる「伝え方」の基本 「プレゼン&資料作成」のプロが明かす！ 図解	天野暢子　著	大和出版	1400円
00003482	無宗教でも知っておきたい宗教のことば	島田裕巳　著	朝日新聞出版	1300円
00003483	強運な子供の育て方	藤枝洋子　著	たちばな出版	1000円
00003484	世界をつくった6つの革命の物語　新・人類進化史	スティーブン・ジョンソン著	朝日新聞出版	1900円
00003485	対話ヘーゲル『大論理学』　存在の旅へ/ 愛知大学文學會叢書　18	海老澤善一　著	梓出版社	1400円
00003486	誰が何を論じているのか　現代日本の思想と状況	小熊英二　著	新曜社	3200円
00003487	部下がついてくる、動いてくれるリーダーの教科書	室井俊男　著	明日香出版社	1500円
00003488	人を使うのが上手な人のリーダー〈上司〉のワザ　不安・苦手ゼロ！	黒川勇二　著	明日香出版社	1500円
00003489	やむなくリーダーになる人が結果を出すために読む本	折戸裕子　著	明日香出版社	1500円
00003490	英会話フレーズブック　リアルな日常表現2900/ Asuka business & language books. CD book	多岐川恵理　著	明日香出版社	2500円
00003491	日常英会話の基本の基本フレーズが身につく本　朝から夜まで、毎日使える1200フレーズ/ Asuka business & language books. CD book	野村真美　著	明日香出版社	1400円
00003492	日常英会話の初級の初級フレーズが身につく本　親しい人との会話でよく使われる定番フレーズ850/ Asuka business & language books. CD book	野村真美　著	明日香出版社	1500円
00003493	たったの72パターンでこんなに話せる英会話　/ Asuka business & language books. CD book	味園真紀　著	明日香出版社	1400円
00003494	聞いて書きとる英語リスニング300問	藤澤慶已　著	DHC	1500円
00003495	今すぐ言える！英会話フレーズブック	石原真弓　著	学研教育出版	1900円
00003496	生産性向上だけを考えれば日本経済は大復活する シンギュラリティの時代へ	三橋貴明　著	彩図社	1400円
00003497	超訳論語　孔子に学ぶ処世術	許成準　著	彩図社	1200円
00003498	自己愛性人格障害　/ 21世紀カウンセリング叢書	町沢静夫　著	駿河台出版社	1700円
00003499	富士山大爆発のすべて　いつ噴火してもおかしくない	島村英紀　著	花伝社	1500円
00003500	江戸っ子が好んだ日々の和食	中江克己　著	第三文明社	1500円
00003501	インディゴレッスン　真実を見きわめ想いを貫く力	ドリーン・バーチュー	JMA・アソシエイツステップワークス事業	1800円
00003502	本当はブラックな江戸時代	永井義男　著	辰巳出版	1400円
00003503	江戸→TOKYOなりたちの教科書　一冊でつかむ東京の都市形成史	岡本哲志　著	淡交社	1700円
00003504	クライアントの信頼を深め心を開かせるカウンセリングの技術 / DO BOOKS	今泉智樹　著	同文舘出版	1500円
00003505	一瞬で場をつかむ！プレゼン伝え方のルール　/ DO BOOKS	森本曜子　著	同文舘出版	1400円
00003506	顧客に必ず"Yes"と言わせるプレゼン　/ DO BOOKS	新名史典　著	同文舘出版	1400円
00003507	女性リーダーのためのレジリエンス思考術 女性リーダーが、職場での落ち込みから素早く立ち直り、元気はつらつと仕事に取り組むためのノウハウとは	三田村薫　著	同文舘出版	1500円
00003508	男子劣化社会　ネットに繋がりっぱなしで繋がれない	フィリップ・ジンバルドー	晶文社	2000円
00003509	現代の地政学　/ 犀の教室Liberal Arts Lab	佐藤優　著	晶文社	1500円
00003510	これからの地域再生　/ 犀の教室Liberal Arts Lab	飯田泰之　編	晶文社	1600円
00003511	データで読む教育の論点　/ 犀の教室Liberal Arts Lab	舞田敏彦　著	晶文社	1900円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00003512	ゼロから教えて発達障害	小野寺敦子　著	かんき出版	1400円
00003513	シンプルだけれど重要なリーダーの仕事 メンバーと最高の成果を生み出す	守屋智敬　著	かんき出版	1400円
00003514	心の病に薬はいらない！	内海聡　著	かんき出版	1300円
00003515	オンラインデートで学ぶ経済学	ポール・オイヤー　著	NTT出版	2400円
00003516	曲がり角に立つ中国　トランプ政権と日中関係のゆくえ	豊田正和	NTT出版	2500円
00003517	遊戯の起源　遊びと遊戯具はどのようにして生まれたか	増川宏一　著	平凡社	3600円
00003518	なぜ、あなたがリーダーなのか　新版　本物は「自分らしさ」を武器にする	ロブ・ゴーフィー	英治出版	1800円
00003519	サーバントであれ　奉仕して導く、リーダーの生き方	ロバート・K・グリーンリーフ　著	英治出版	1800円
00003520	優れたリーダーは、なぜ「立ち止まる」のか　自分と周囲の潜在能力を引き出す法則	ケヴィン・キャッシュマン著	英治出版	1800円
00003521	戸籍と無戸籍　「日本人」の輪郭	遠藤正敬　著	人文書院	4200円
00003522	不幸の心理幸福の哲学　人はなぜ苦悩するのか	岸見一郎　著	唯学書房	1800円
00003523	ベルクソニズム　新訳/ 叢書・ウニベルシタス　1063	ジル・ドゥルーズ　［著］	法政大学出版局	2100円
00003524	反教養の理論　大学改革の錯誤/ 叢書・ウニベルシタス　1061	コンラート・パウル・リースマン　［著］	法政大学出版局	2800円
00003525	日本経済最後の戦略　債務と成長のジレンマを超えて	田代毅　著	日本経済新聞出版社	2000円
00003526	自由は進化する	ダニエル・C.デネット　著	NTT出版	2800円
00003527	ヘーゲル論理学と弁証法	海老澤善一　著	梓出版社	3000円
00003528	タオは笑っている　改訂版　愉快な公案集	レイモンド・M.スマリヤン著	工作舎	2000円
00003529	アラー世代　イスラム過激派から若者たちを取り戻すために	アフマド・マンスール　著	晶文社	2500円
00003530	激動の日本近現代史　1852-1941 歴史修正主義の逆襲	宮崎正弘	ビジネス社	1800円
00003531	パンツをはいたサル　増補版　人間は、どういう生物か	栗本慎一郎　著	現代書館	2000円
00003532	見てわかる小論文短時間攻略法　改訂第3版	前田進　著	法学書院	1400円
00003533	身近に潜む危ない化学反応　/ SUPERサイエンス	齋藤勝裕　著	シーアンドアール研究所	1630円
00003534	「この人なら」と慕われるリーダーになれる	佐々木順子　著	サンマーク出版	1300円
00003535	フツーの会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた 47の言葉	原晋　著	アスコム	1300円
00003536	好かれる女性リーダーになるための五十条	有川真由美　著	集英社	1100円
00003537	地震・火山や生物でわかる地球の科学　/ 阪大リーブル　059	松田准一　著	大阪大学出版会	1600円
00003538	聖徳太子本当は何がすごいのか	田中英道　著	育鵬社	1500円
00003539	マシュマロ・テスト　成功する子・しない子	ウォルター・ミシェル　著	早川書房	1900円
00003540	最新版覚えやすいサッカールールブック　/ GAKKEN SPORTS BOOKS	三村高之　著	学研プラス	700円
00003541	統計思考入門　プロの分析スキルで「ひらめき」をつかむ	水越孝　著	プレジデント社	1600円
00003542	実践「経営プロジェクト」講座 会社の未来づくりに、取り組む人のための実践テキスト	鈴木成裕　著	プレジデント社	1600円
00003543	リーダーたる者の極意	梅谷忠洋　著	プレジデント社	1500円
00003544	量子論のすべてがわかる本	科学雑学研究倶楽部　編	学研プラス	580円
00003545	仕事英会話まるごとフレーズ	細井京子	アルク	1200円
00003546	英語で日本紹介ハンドブック　改訂版	松本美江　著	アルク	1600円
00003547	文士の遺言　なつかしき作家たちと昭和史	半藤一利　著	講談社	1600円
00003548	「プレゼン」力　未来を変える「伝える」技術	山中伸弥	講談社	1200円
00003549	これを英語で言えますか？　化学版	齋藤勝裕	講談社	1900円
00003550	超ひも理論をパパに習ってみた　天才物理学者・浪速阪教授の70分講義	橋本幸士　著	講談社	1500円
00003551	辺境図書館	皆川博子　著	講談社	2200円
00003552	パラドックスの悪魔	池内了　著	講談社	1429円
00003553	心という難問　空間・身体・意味	野矢茂樹　著	講談社	2400円
00003554	私家版精神医学事典	春日武彦　著	河出書房新社	2800円
00003555	世界一受けたい「心理学×哲学」の授業	嶋田将也　著	ワニブックス	1200円
00003556	新共謀罪の恐怖　危険な平成の治安維持法	平岡秀夫	緑風出版	1800円
00003557	答えのない世界を生きる	小坂井敏晶　著	祥伝社	1800円
00003558	医学常識はウソだらけ　図解版 分子生物学が明かす「生命の法則」	三石巌　著	祥伝社	1400円
00003559	ヘーゲル『大論理学』　/ 哲学書概説シリーズ　5	海老澤善一　著	晃洋書房	1400円
00003560	子どもとスマホ　おとなの知らない子どもの現実	石川結貴　著	花伝社	1200円
00003561	マンガでやさしくわかる認知行動療法	玉井仁　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003562	神武天皇はたしかに存在した　神話と伝承を訪ねて	産経新聞取材班　著	産経新聞出版	1400円
00003563	日本再生は、生産性向上しかない！　/ 双書月刊Hanada	デービッド・アトキンソン著	飛鳥新社	1296円
00003564	大西郷という虚像　「明治維新という過ち」完結篇「官」と「賊」を往復したこの男を解明せずに維新の実相は語れない	原田伊織　著	悟空出版	1500円
00003565	学んでみると量子論はおもしろい　/ BERET SCIENCE	牟田淳　著	ベレ出版	1500円
00003566	学びなおすと地学はおもしろい	小川勇二郎　著	ベレ出版	1500円
00003567	高校生からわかる社会科学の基礎知識	酒井峻一　著	ベレ出版	1500円
00003568	植物の体の中では何が起こっているのか　動かない植物が生きていくためのしくみ/ BERET SCIENCE	嶋田幸久	ベレ出版	1800円
00003569	植物の形には意味がある　/ BERET SCIENCE	園池公毅　著	ベレ出版	1600円
00003570	なるほど世界地理　気になる疑問から学ぶ地理の世界 地図・自然環境・民族・生活文化・産業・環境問題	宇田川勝司　著	ベレ出版	1500円
00003571	トラウマが99%消える本	中島輝　著	すばる舎	1400円
00003572	ベストプレゼンテーション　マスターすべき98のスキルとトレーニング	William R.Steele　著	すばる舎	2400円
00003573	キリスト教を世に問う！	奥山篤信　著	展転社	1800円
00003574	いかに人物を練るか　士学論講	安岡正篤　著	致知出版社	1800円
00003575	狩猟型プロジェクトマネジャーの哲学	伊藤健太郎　著	生産性出版	2800円
00003576	変貌するミュージアムコミュニケーション 来館者と展示空間をめぐるメディア論的想像力	光岡寿郎　著	せりか書房	4000円
00003577	ウォークス　歩くことの精神史	レベッカ・ソルニット　著	左右社	4500円
00003578	瞬時に出てくる英会話フレーズ大特訓　カンタン英語で話しまくれ！	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1400円
00003579	瞬時にわかる英語リスニング大特訓　カンタン英語を聴きまくれ！	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1400円
00003580	すぐに使える接客英会話大特訓 誰でもカンタン・テキパキ対応できる！ 鉄板フレーズ810	柴山かつの　著	Jリサーチ出版	1200円
00003581	世界中使える旅行英会話大特訓　海外旅行が100倍楽しくなる！	柴山かつの　著	Jリサーチ出版	1200円
00003582	英語のスピーキングが驚くほど上達するNOBU式トレーニング 中学で習う英文法だけでネイティブのような会話ができる！	山田暢彦　著	IBCパブリッシング	1600円
00003583	14歳からの哲学入門　「今」を生きるためのテキスト	飲茶　著	二見書房	1500円
00003584	芥川賞の偏差値	小谷野敦　著	二見書房	1500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00003585	お母さんのための「女の子」の育て方	高濱正伸　著	実務教育出版	1300円
00003586	いまさら聞けない！「経済」のギモン、ぶっちゃけてもいいですか？	高橋洋一　著	実務教育出版	1300円
00003587	なぜか惹かれるふしぎな数学	蟹江幸博　著	実務教育出版	1400円
00003588	統計力クイズ　そのデータから何が読みとれるのか？	涌井良幸　著	実務教育出版	1400円
00003589	ぼくらは「物理」のおかげで生きている / 素晴らしきサイエンスPHYSICS	横川淳　著	実務教育出版	1400円
00003590	日本嫌いのアメリカ人がたった7日間で日本を大好きになった理由	マックス桐島　著	実務教育出版	1300円
00003591	子どもの「書く力」は家庭で伸ばせる　作文・読書感想文 お母さんができること、してあげたいこと	高濱正伸	実務教育出版	1400円
00003592	世にも不思議で美しい「相対性理論」 / 素晴らしきサイエンス．THEORY OF RELATIVITY	佐藤勝彦　著	実務教育出版	1400円
00003593	面白いほどよくわかる論語　新版　時代を超えて生き続ける、日常生活で役立つ孔子の教え/ 学校で教えない教科書	石田琢智　監修	日本文芸社	1400円
00003594	面白いほどよくわかる般若心経　新版　大乗仏教の精髄を説く262文字の大宇宙/ 学校で教えない教科書	武田鏡村　著	日本文芸社	1500円
00003595	面白いほどよくわかる相対性理論　時空の歪みからブラックホールまで科学常識を覆した大理論の全貌/ 学校で教えない教科書	大宮信光　著	日本文芸社	1200円
00003596	面白いほどよくわかる聖書のすべて　天地創造からイエスの教え・復活の謎まで/ 学校で教えない教科書	中見利男　著	日本文芸社	1400円
00003597	だから、子ども時代に一番学習しなければいけないのは、幸福です　ママたちとの対話から生まれた子育ての知恵ツイート41	陰山英男　著	小学館	1200円
00003598	ミッションリーダーシップ組織を動かす無敵のチカラ　最強の英国特殊部隊式ビジネスマネジメント術	岩本仁　著	小学館	1500円
00003599	「みんなの学校」が教えてくれたこと 学び合いと育ち合いを見届けた3290日	木村泰子　著	小学館	1400円
00003600	毎日新聞・校閲グループのミスがなくなるすごい文章術	岩佐義樹　著	ポプラ社	1300円
00003601	ディズニーランドの社会学　脱ディズニー化するTDR	新井克弥　著	青弓社	1600円
00003602	未来の図書館、はじめませんか？	岡本真	青弓社	2000円
00003603	仕事に役立つ専門紙・業界紙	吉井潤　著	青弓社	1600円
00003604	勉強の哲学　来たるべきバカのために	千葉雅也　著	文藝春秋	1400円
00003605	中野京子と読み解く運命の絵	中野京子　著	文藝春秋	1780円
00003606	日本国憲法　大阪おばちゃん語訳	谷口真由美　著	文藝春秋	1100円
00003607	「100分de名著」名作セレクション	NHK「100分de名著」制作班編	文藝春秋	1200円
00003608	日本100名城公式ガイドブック　ハンディ版　/ 歴史群像シリーズ	中城正堯	学研プラス	571円
00003609	プレゼンテーション　一瞬で伝え、感情を揺さぶる / VISIONARY SEMINARS　03	清水久三子　著	KADOKAWA	1400円
00003610	教えて、お坊さん！「さとり」ってなんですか	小出遥子　著	KADOKAWA	1400円
00003611	自分で考える練習　毎日の悩みを解決できる「哲学思考」	平原卓　著	KADOKAWA	1300円
00003612	世界最高のリーダー育成機関で幹部候補だけに教えられているプレゼンの基本　Speak Simple	田口力　著	KADOKAWA	1400円
00003613	ゼロから話せる接客のひとこと英会話	菅野有花　著	KADOKAWA	1500円
00003614	お金の流れでわかる世界の歴史　富、経済、権力……はこう「動いた」こんな見方があった！	大村大次郎　著	KADOKAWA	1400円
00003615	使える統計学　/ 図解　04	涌井良幸	KADOKAWA	1500円
00003616	技者　日本の伝統と文化を支える職人たち	七田祐子　著	創藝社	1300円
00003617	本気で英語を話したいあなたのための"英語筋"トレーニング　ペンもノートも、教科書も辞書もいらない英語習得の新常識！！	阿部大地郎　著	サンライズパブリッシング	1500円
00003618	陰陽バランス食養学　現代に蘇る医食同源 21世紀の究極の食養学がついに誕生！	伊東久雄	日本ブレインウェア Function5出版	1200円
00003619	くり返し読みたい般若心経	加藤朝胤　監修	リベラル社	1200円
00003620	くり返し読みたい論語	野村茂夫　監修	リベラル社	1200円
00003621	最強のプレゼン段取り術	西脇資哲　著	総合法令出版	1300円
00003622	瞑想	J.クリシュナムルティ　著	UNIO	1200円
00003623	お稲荷さんと霊能者　伏見稲荷の謎を解く	内藤憲吾　著	洋泉社	1800円
00003624	本当は世界がうらやむ最強の日本経済　データで読む、好都合な近未来！	イェスパー・コール　著	プレジデント社	1500円
00003625	アレックス・ファーガソン人を動かす つねに「限界より5%上の力」を目指してー	アレックス・ファーガソン	日本文芸社	2300円
00003626	限界費用ゼロ社会　〈モノのインターネット〉と共有型経済の台頭	ジェレミー・リフキン　著	NHK出版	2400円
00003627	明るく死ぬための哲学	中島義道　著	文藝春秋	1500円
00003628	切腹考	伊藤比呂美　著	文藝春秋	1700円
00003629	最古の文字なのか？　氷河期の洞窟に残された32の記号の謎を解く	ジェネビーブ・ボン・ペッツィンガー　著	文藝春秋	1650円
00003630	死者は生きている　「見えざるもの」と私たちの幸福	町田宗鳳　著	筑摩書房	1600円
00003631	最高のリーダーは、チームの仕事をシンプルにする	阿比留眞二　著	三笠書房	1300円
00003632	日本の「黒幕」100の名言	別冊宝島編集部　編	宝島社	800円
00003633	親鸞100の言葉　われわれを導く「本物」の言葉	釈徹宗　監修	宝島社	1000円
00003634	マンガ徳川15代の裏話	小和田哲男　監修	宝島社	556円
00003635	マンガ応仁の乱	小和田哲男　監修	宝島社	600円
00003636	こんなに変わった！日本史教科書	山本博文　監修	宝島社	800円
00003637	超現代語訳戦国時代　笑って泣いてドラマチックに学ぶ	房野史典　著	幻冬舎	1300円
00003638	人はなぜ老いるのか　老化の物理学	瀬戸浩二　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1200円
00003639	統合失調症患者と家族が選ぶ社会復帰をめざす認知矯正療法	高橋太郎　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1200円
00003640	情報	九島伸一　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1800円
00003641	町の未来をこの手でつくる　紫波町オガールプロジェクト	猪谷千香　著	幻冬舎	1400円
00003642	よみがえる飛騨の匠　地場産業を復活させる6つの改革	岡田贊三　著	幻冬舎メディアコンサルティング	1400円
00003643	日本の礼儀作法　宮家のおしえ	竹田恒泰　著	マガジンハウス	1300円
00003644	ゼロから始めるプロジェクトマネジメント大全　立ち上げから問題解決、実行、終結までの管理手法と実践例	西村克己　著	大和出版	2300円
00003645	外資系コンサルが教えるプロジェクトマネジメント	山口周　著	大和書房	1400円
00003646	食べるほど「美肌」になる食事法	木下あおい　著	大和書房	1300円
00003647	新エバンジェリスト養成講座　Tips for Presentation	西脇資哲　著	翔泳社	1600円
00003648	書く人はここで躓く！　増補新版　作家が明かす小説の「作り方」	宮原昭夫　著	河出書房新社	1500円
00003649	プルーストと過ごす夏	アントワーヌ・コンパニョン	光文社	2300円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003650	海を渡ってきた漢籍　江戸の書誌学入門 / 図書館サポートフォーラムシリーズ	高橋智　著	日外アソシエーツ	3200円
00003651	歎異抄　浄土真宗聖典 現代語版	浄土真宗聖典編纂委員会 編纂	浄土真宗本願寺派	800円
00003652	キャリアカウンセリング　/ 21世紀カウンセリング叢書	宮城まり子　著	駿河台出版社	1700円
00003653	「日経新聞」には絶対に載らない日本の大正解	高橋洋一　著	ビジネス社	1300円
00003654	マンガでやさしくわかるプレゼン	山田進一　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003655	世界飛び地大全　不思議な国境線の舞台裏	吉田一郎　著	社会評論社	2400円
00003656	不登校になったら最初に読む本 親と先生と子どものための再出発へのヒント	小林高子　［著］	クロスメディア・マーケティング	1480円
00003657	「生き抜く力」の育て方　逆境を成長につなげるために	蝦名玲子　著	大修館書店	1800円
00003658	甲骨文の話　/ あじあブックス　079	松丸道雄　著	大修館書店	1800円
00003659	保健体育教師になろう！　不安に応える現役教師からのアドバイス	伊藤博子　著	大修館書店	1500円
00003660	「書ける」大学生に育てる　A0入試現場からの提言	島田康行　著	大修館書店	1700円
00003661	教養としての社会保障	香取照幸　著	東洋経済新報社	1600円
00003662	2060年の日本産業論　日本は衰退しない！	鈴木将之　著	東洋経済新報社	1600円
00003663	子ども格差の経済学　「塾、習い事」に行ける子・行けない子	橘木俊詔　著	東洋経済新報社	1500円
00003664	水力発電が日本を救う　今あるダムで年間2兆円超の電力を増やせる	竹村公太郎　著	東洋経済新報社	1400円
00003665	決定版インダストリー4.0　第4次産業革命の全貌	尾木蔵人　著	東洋経済新報社	1400円
00003666	欲望の資本主義　ルールが変わる時	丸山俊一	東洋経済新報社	1500円
00003667	今さら聞けない経済教室　こどもに聞かれても困らない60の疑問と答え	池田信夫　著	東洋経済新報社	1400円
00003668	米海軍で屈指の潜水艦艦長による「最強組織」の作り方	L・デビッド・マルケ　著	東洋経済新報社	1600円
00003669	プロ野球の経済学 労働経済学の視点で捉えた選手、球団経営、リーグ運営	橘木俊詔　著	東洋経済新報社	1500円
00003670	陰山式ぜったい成績が上がる学習法	陰山英男　著	毎日新聞出版	1200円
00003671	齋藤孝の絶対幸福論	齋藤孝　著	実業之日本社	1400円
00003672	教養のヘーゲル『法の哲学』　国家を哲学するとは何か	佐藤康邦　著	三元社	1500円
00003673	「移民時代」の日本のこれから　現代社会と多文化共生	大重史朗　著	揺籃社	1800円
00003674	必ず受かる小論文・作文の書き方　実戦添削例から学ぶ	石井秀明　著	新星出版社	1000円
00003675	教養としての「税法」入門	木山泰嗣　著	日本実業出版社	1750円
00003676	意味がわかる経済学　現実の経済のしくみを理解する	南英世　著	ベレ出版	1600円
00003677	心で勝つプレゼン　10分で上司も顧客も共感者になる	福島正伸　著	WAVE出版	1400円
00003678	平凡な仕事をすごいプロジェクトに変える教科書　小さくスタートしてでっかく変化させる「プロジェクトマインド」とは	安東邦彦　著	WAVE出版	1400円
00003679	自衛隊最前線の現場に学ぶ最強のリーダーシップ 普通の若者を劇的に成長させる組織術	松村五郎　著	WAVE出版	1600円
00003680	きみと地球を幸せにする方法　/ 知のトレッキング叢書	植島啓司　著	集英社インターナショナル	1200円
00003681	「空気」で人を動かす　チームの実力以上の力を引き出す技術	横山信弘　著	フォレスト出版	1400円
00003682	これだけは知っておきたい「プレゼンテーション」の基本と常識　改訂新版 会社では教えてくれないノウハウ！	ザ・アール　著	フォレスト出版	1300円
00003683	これだけは知っておきたい「経済」の基本と常識　改訂版　高校生から社会人まで、経済の知識がしっかり身につく！	吉野薫　著	フォレスト出版	1300円
00003684	恐慌化する世界で日本が一人勝ちする　2017日本経済投資のシナリオ	今井澂　著	フォレスト出版	1600円
00003685	食べるクスリ甘酒ヨーグルト 甘酒+ヨーグルトのW発酵で究極の発酵食品が誕生しました	主婦の友社　編	主婦の友社	1100円
00003686	何もしないまま出発日になってしまった人の機内で一夜づけ海外旅行英会話	デイビッド・セイン	主婦の友社	1000円
00003687	龍馬を守った新撰組　禁断の幕末維新史 偽装日本史新発見続々！	加治将一　著	水王舎	1600円
00003688	禁断の幕末維新史　封印された写真編　偽装日本史	加治将一　著	水王舎	1400円
00003689	国語が変わる　答えは「探す」から「創る」へわが子の学力を伸ばす方法	出口汪　著	水王舎	1400円
00003690	スプーン一杯で認知症を防ぐ！えごま油健康法 いつもの食事にかけるだけ！	守口徹　著	アチーブメント出版	1300円
00003691	いつか見たしあわせ　市井の幸福論	勢古浩爾　著	草思社	1400円
00003692	面白くて眠れなくなる社会学	橘爪大三郎　著	PHPエディターズ・グループ	1300円
00003693	図解地政学入門　世界のニュースがわかる！	高橋洋一　著	あさ出版	1400円
00003694	現代現象学　経験から始める哲学入門/ ワードマップ	植村玄輝	新曜社	2600円
00003695	ひといちばい敏感な子　子どもたちは、パレットに並んだ絵の具のように、さまざまな個性を持っている	エレイン・N・アーロン 著	1万年堂出版	1800円
00003696	ケネディの言葉　名言に学ぶ指導者の条件	御手洗昭治　編著	東洋経済新報社	1400円
00003697	お母さんだからできる！男の子の国語力の伸ばし方	高濱正伸　著	東洋経済新報社	1300円
00003698	政府の隠れ資産	ダグ・デッター	東洋経済新報社	2800円
00003699	ビジネス現場で役立つ経済を見る眼	伊丹敬之　著	東洋経済新報社	1800円
00003700	幼児教育の経済学	ジェームズ・J・ヘックマン　著	東洋経済新報社	1600円
00003701	経済成長という呪い　欲望と進歩の人類史	ダニエル・コーエン　著	東洋経済新報社	2000円
00003702	移民の経済学	ベンジャミン・パウエル 編	東洋経済新報社	2800円
00003703	世界一訪れたい日本のつくりかた　新・観光立国論〈実践編〉	デービッド・アトキンソン 著	東洋経済新報社	1500円
00003704	社会学者がニューヨークの地下経済に潜入してみた	スディール・ヴェンカテッシュ　著	東洋経済新報社	2200円
00003705	中東・エネルギー・地政学　全体知への体験的接近	寺島実郎　著	東洋経済新報社	2000円
00003706	高校生からの法学入門	中央大学法学部　編	中央大学出版部	900円
00003707	〈戦後思想〉入門講義　丸山眞男と吉本隆明	仲正昌樹　著	作品社	2000円
00003708	ラカン的思考	宇波彰　著	作品社	2400円
00003709	言うことと、なにも言わないこと　非論理性・不可能性・ナンセンス	ジャック・ブーヴレス　著	国文社	3600円
00003710	人体5億年の記憶　解剖学者・三木成夫の世界	布施英利　［著］	海鳴社	2000円
00003711	社史の図書館と司書の物語　神奈川県立川崎図書館社史室の5年史	高田高史　著	柏書房	1900円
00003712	老いの荷風	川本三郎　著	白水社	2400円
00003713	渡部昇一の少年日本史　日本人にしか見えない虹を見る	渡部昇一　著	致知出版社	2000円
00003714	日本の死活問題　国際法・国連・軍隊の真実	色摩力夫　著	グッドブックス	1600円
00003715	渋沢栄一「論語」の読み方	渋沢栄一　原著	三笠書房	1500円
00003716	「他者」の倫理学　レヴィナス、親鸞、そして宇野弘蔵を読む	青木孝平　著	社会評論社	2600円
00003717	日本人のための憲法原論	小室直樹　著	集英社インターナショナル	1800円
00003718	日本近現代史入門　黒い人脈と金脈	広瀬隆　著	集英社インターナショナル	2500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003719	二〇世紀日本レコード産業史　グローバル企業の進攻と市場の発展	生明俊雄　著	勁草書房	3800円
00003720	道徳的実在論の擁護　/ 双書エニグマ　5	菅豊彦　著	勁草書房	2800円
00003721	歴史に見る日本の図書館　知的精華の受容と伝承	高山正也　著	勁草書房	2800円
00003722	地方自治と図書館　「知の地域づくり」を地域再生の切り札に	片山善博	勁草書房	2300円
00003723	パースの哲学について本当のことを知りたい人のために	コーネリス・ドヴァール　著	勁草書房	3200円
00003724	福祉政治史　格差に抗するデモクラシー	田中拓道　著	勁草書房	3000円
00003725	グリーフケア入門　悲嘆のさなかにある人を支える	高木慶子　編著	勁草書房	2400円
00003726	子育て支援が日本を救う　政策効果の統計分析	柴田悠　著	勁草書房	2500円
00003727	文化財の現在過去・未来	彬子女王　編	宮帯出版社	4500円
00003728	マタギ聞き書き　その狩猟民俗と怪異譚	武藤鉄城　著	河出書房新社	1800円
00003729	論理ノート	D.Q.マキナニー　著	ダイヤモンド社	1600円
00003730	41歳からの哲学	池田晶子　著	新潮社	1200円
00003731	骸骨考　イタリア・ポルトガル・フランスを歩く The European Burial Ritual	養老孟司　著	新潮社	1500円
00003732	100歳まで元気な人は何を食べているか？	辨野義己　著	三笠書房	1300円
00003733	織田信長　不器用すぎた天下人	金子拓　著	河出書房新社	1600円
00003734	この子は育てにくい、と思っても大丈夫　生まれてきてくれて、ありがとう子どもに伝えたいあなたのために	星山麻木　著	河出書房新社	1400円
00003735	縄文の神　よみがえる精霊信仰	戸矢学　著	河出書房新社	1800円
00003736	心と体が最強になる禅の食 道元禅師が説いた「食の教え」は人生を確実に変えていく	千葉公慈　著	河出書房新社	1300円
00003737	漱石漫談	いとうせいこう	河出書房新社	1600円
00003738	あたらしい憲法草案のはなし	自民党の憲法改正草案を爆発的にひろめる有志連合	太郎次郎社エディタス	741円
00003739	ネイティブ日常英会話　リアルフレーズ3100	ジェフリー・トランブリー　著	新星出版社	1500円
00003740	「チクチクする」「ピンとこない」を英語でパッと言えますか？　ネイティブ思考の感情・感覚・イメージを表す英会話フレーズ1100	ジェームス・M・バーダマン　著	DHC	1800円
00003741	みるみる英語力がアップする音読パッケージトレーニング　/ CD book	森沢洋介　著	ベレ出版	1700円
00003742	基礎英語ができない大人の英会話	デイビッド・セイン　著	主婦の友社	1400円
00003743	何でも英語で言ってみる！シンプル英語フレーズ2000	光藤京子　著	高橋書店	1600円
00003744	ブッダ100の言葉　仕事で家庭で、毎日をおだやかに過ごす心得	佐々木閑　訳・監修	宝島社	1000円
00003745	リーダーをめざす貴女へ	シスコシステムズ合同会社	ダイヤモンド社	1000円
00003746	プロジェクトマネージャー　プロジェクトを成功させる方法	蒲原寧　著	ダイヤモンド社	1600円
00003747	親子で考えるはじめての民事信託　新しい相続・資産引き継ぎ対策20事例	石川和司	ダイヤモンド社	1500円
00003748	ぼくは「技術」で人を動かす 今いるメンバーで結果を出す〈チームリーダー〉のレシピ	高島宏平　著	ダイヤモンド社	1500円
00003749	会話もメールも英語は3語で伝わります　Simple English for Everyone	中山裕木子　著	ダイヤモンド社	1500円
00003750	「原因と結果」の経済学　データから真実を見抜く思考法	中室牧子	ダイヤモンド社	1600円
00003751	会議質	おちまさと　著	ダイヤモンド社	1300円
00003752	ナディアが群れを離れる理由 変われない組織が変わるためのリーダーシップ	ジョン・P・コッター	ダイヤモンド社	1400円
00003753	捨てる力　ブッダの問題解決入門	大喜多健吾　著	ダイヤモンド社	1400円
00003754	いま世界の哲学者が考えていること Philosophical Challenges in the 21st Century	岡本裕一朗　著	ダイヤモンド社	1600円
00003755	ニーチェが京都にやってきて17歳の私に哲学のこと教えてくれた。	原田まりる　著	ダイヤモンド社	1400円
00003756	金利と経済　高まるリスクと残された処方箋	翁邦雄　著	ダイヤモンド社	1800円
00003757	ビジネスで使える経済予測入門　小さな変化で大きな流れを見極める	中原圭介　著	ダイヤモンド社	1500円
00003758	好きになる生理学ミニノート 楽しく覚えて、らくらく実力アップ！/ 好きになるシリーズ	田中越郎　著	講談社	1500円
00003759	好きになる病理学ミニノート 楽しく覚えて、らくらく実力アップ！/ 好きになるシリーズ	早川欽哉	講談社	1800円
00003760	好きになる解剖学ミニノート 楽しく覚えて、らくらく実力アップ！/ 好きになるシリーズ	竹内修二　著	講談社	1600円
00003761	良寛詩歌集　「どん底目線」で生きる/ NHK100分de名著ブックス	中野東禅　著	NHK出版	1000円
00003762	ブッダ真理のことば　/ NHK「100分de名著」ブックス	佐々木閑　著	NHK出版	1000円
00003763	ブッダ最期のことば　/ NHK100分de名著ブックス	佐々木閑　著	NHK出版	1000円
00003764	般若心経　/ NHK「100分de名著」ブックス	佐々木閑　著	NHK出版	1000円
00003765	荘子　/ NHK100分de名著ブックス	玄侑宗久　著	NHK出版	1000円
00003766	ルソー エミール　自分のために生き、みんなのために生きる / NHK100分de名著ブックス	西研　著	NHK出版	1000円
00003767	フランクル夜と霧　/ NHK「100分de名著」ブックス	諸富祥彦　著	NHK出版	1000円
00003768	漱石激読　/ 河出ブックス　104	石原千秋	河出書房新社	1800円
00003769	忘れられた日本の村	筒井功　著	河出書房新社	1800円
00003770	リーダーシップの本質　改訂3版	堀紘一　著	ダイヤモンド社	1600円
00003771	インフォメーション　情報技術の人類史	ジェイムズ・グリック　著	新潮社	3200円
00003772	写本の文化誌　ヨーロッパ中世の文学とメディア	クラウディア・ブリンカー・フォン・デア・ハイデ　／著	白水社	3300円
00003773	分断された時代を生きる　/ 知のフィールドガイド	東京大学教養学部　編	白水社	2200円
00003774	図解論語　正直者がバカをみない生き方	齋藤孝　著	ウェッジ	1200円
00003775	成長しない子はいない　生まれ変わっても教師になりたい	仲島正教　著	大修館書店	1500円
00003776	最強兵器としての地政学　あなたも国際政治を予測できる！	藤井厳喜　著	ハート出版	1500円
00003777	神と仏の日本文化　遍照の宝鑰	小峰彌彦　著	大法輪閣	1800円
00003778	地球のほとけお地蔵さま　あなたを必ず守ってくれる	羽田守快　著	大法輪閣	1800円
00003779	読むだけで不動明王から力をもらえる本	羽田守快　著	大法輪閣	1800円
00003780	あなたの願いを叶える最強の守護神聖天さま	羽田守快　著	大法輪閣	1800円
00003781	新1分間リーダーシップ　どんな部下にも通用する4つの方法	ケン・ブランチャード	ダイヤモンド社	1300円
00003782	プロフェッショナル・リーダー　難局を突破する「9つのスキル」	野田努　著	ダイヤモンド社	1600円
00003783	プレゼンは「目線」で決まる　No.1プレゼン講師の人を動かす全77メソッド スライド シナリオ トーク	西脇資哲　著	ダイヤモンド社	1500円
00003784	子どもの頭がグンと良くなる！国語の力	出口汪　著	水王舎	1300円
00003785	発酵文化人類学　微生物から見た社会のカタチ	小倉ヒラク　著・イラスト	木楽舎	1600円
00003786	〈推定3000歳の〉ゾンビの哲学に救われた僕〈底辺〉は、クソッタレな世界をもう一度、生きることにした。	さくら剛　著	ライツ社	1500円
00003787	不安のメカニズム　完全版　ストレス・不安・恐怖を克服し人生を取り戻すためのセルフヘルプガイド	クレア・ウィークス　著	筑摩書房	1800円
00003788	現代に息づく陰陽五行　増補改訂版	稲田義行　著	日本実業出版社	1600円
00003789	ゼロからわかるキリスト教	佐藤優　著	新潮社	1200円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00003790	無敵のソクラテス	池田晶子　著	新潮社	2800円
00003791	アメリカ海軍に学ぶ「最強のリーダー」	マイケル・アブラショフ 著	三笠書房	1500円
00003792	自衛隊メンタル教官が教える折れないリーダーの仕事	下園壮太　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00003793	航空機産業と日本　再成長の切り札	中村洋明　著	中央公論新社	2000円
00003794	自分を知るための社会学入門	岩本茂樹　著	中央公論新社	1500円
00003795	腸医が教えるこうすりゃ健康コンビニ飯	松生恒夫　著	中央公論新社	1400円
00003796	学校では教えてくれない地政学の授業　日本一わかりやすい！	茂木誠	PHPエディターズ・グループ	1300円
00003797	U理論入門　人と組織の問題を劇的に解決する	中土井僚　著	PHPエディターズ・グループ	1800円
00003798	面白くて眠れなくなる物理	左巻健男　著	PHPエディターズ・グループ	1300円
00003799	リーダーに強さはいらない　フォロワーを育て、最高のチームをつくる	三城雄児　著	あさ出版	1400円
00003800	ロベタでも人を動かす魔法のプレゼン	山田進一　著	あさ出版	1300円
00003801	図解経済学入門　たった1つの図でわかる！	高橋洋一　著	あさ出版	1400円
00003802	新・大人のための〈読む力・書く力〉トレーニング 東大・慶應の小論文入試問題は知の宝庫	樋口裕一　著	新評論	1500円
00003803	アメリカの教室に入ってみた 貧困地区の公立学校から超インクルーシブ教育まで	赤木和重　著	ひとなる書房	1700円
00003804	子どもと性必読25問タジタジ親にならないために	村瀬幸浩　著	子どもの未来社	1200円
00003805	不登校でも子は育つ　母親たち10年の証明	親子支援ネットワークあんだんて　著	学びリンク	1200円
00003806	プレゼンかけこみ寺　手元に1冊置いておきたい：資料作成から話し方、トラブル対策まで即解決！/ Nanaブックス　0103	天野暢子　著	ナナ・コーポレート・コミュニケーション	1400円
00003807	怒り　心の炎の静め方	ティク・ナット・ハン　著	サンガ	1238円
00003808	映画でレポート・卒論ライティング術	小野俊太郎　著	松柏社	1800円
00003809	沖縄鉄血勤皇隊　人生の蕾のまま戦場に散った学徒兵	大田昌秀　編著	高文研	2000円
00003810	「アクティブ・ラーニング」を考える	教育課程研究会　編著	東洋館出版社	2000円
00003811	世界が喰いつくす日本経済　なぜ東芝はアメリカに嵌められたのか	大村大次郎　著	ビジネス社	1300円
00003812	禅と生きる　生活につながる思想と知恵20のレッスン	宇野全智　著	山川出版社	1600円
00003813	嘔吐　新訳	ジャン＝ポール・サルトル 著	人文書院	1900円
00003814	平安京はいらなかった　古代の夢を喰らう中世 / 歴史文化ライブラリー　438	桃崎有一郎　著	吉川弘文館	1800円
00003815	文明に抗した弥生の人びと　/ 歴史文化ライブラリー　449	寺前直人　著	吉川弘文館	1800円
00003816	「うつわ」を食らう　日本人と食事の文化/ 読みなおす日本史	神崎宣武　著	吉川弘文館	2200円
00003817	オドロキモモノキ英語発音　子音がキマればうまくいく	藤澤慶巳　著	ジャパンタイムズ	1600円
00003818	人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか	玄田有史　編	慶應義塾大学出版会	2000円
00003819	良心の復権　21世紀における良心の諸問題	遠藤順子　［ほか述］	宗教心理出版	1550円
00003820	モディが変えるインド　台頭するアジア巨大国家の「静かな革命」	笠井亮平　著	白水社	2200円
00003821	都市化と食　/ 食の文化フォーラム	高田公理	ドメス出版	2300円
00003822	遠山啓　行動する数楽者の思想と仕事	友兼清治　編著	太郎次郎社エディタス	3000円
00003823	歎異抄をひらく	高森顕徹　著	1万年堂出版	1600円
00003824	赦すこと　赦し得ぬものと時効にかかり得ぬもの/ ポイエーシス叢書　63	ジャック・デリダ　著	未來社	1800円
00003825	ハヤブサ　その歴史・文化・生態	ヘレン・マクドナルド　著	白水社	2700円
00003826	仏教思想のゼロポイント　「悟り」とは何か	魚川祐司　［著］	新潮社	1600円
00003827	幻の料亭・日本橋「百川」　黒船を饗した江戸料理	小泉武夫　著	新潮社	1300円
00003828	介護ポケットナビ	大阪府介護福祉士養成校連絡協議会　編	メヂカルフレンド社	1200円
00003829	「おじぎ」の日本文化　/［角川ソフィア文庫］［N201-4］	神崎宣武　［著］	KADOKAWA	880円
00003830	日々のことば	マザー・テレサ　著	女子パウロ会	1200円
00003831	はじめて読む禅語	武山廣道　監修	リベラル社	1000円
00003832	心があったまる般若心経	リベラル社　編集	リベラル社	1000円
00003833	ワークショップ入門　/ 日経文庫　1192	堀公俊　著	日本経済新聞出版社	830円
00003834	プレゼンに勝つ図解の技術　第2版　/ 日経文庫　1272	飯田英明　著	日本経済新聞出版社	950円
00003835	統計データが語る日本人の大きな誤解　/ 日経プレミアシリーズ　223	本川裕　著	日本経済新聞出版社	890円
00003836	きもの文化と日本　/ 日経プレミアシリーズ　329	伊藤元重	日本経済新聞出版社	870円
00003837	正法眼蔵　新訳 迷いのなかに悟りがあり、悟りのなかに迷いがある	道元　著	PHP研究所	950円
00003838	リーダーは夢を語りなさい　新幹線清掃会社「TESSEIの奇跡」が起きるまで/ PHPビジネス新書　335	矢部輝夫　著	PHP研究所	850円
00003839	ロジックの世界　論理学の哲人たちがあなたの思考を変える / ブルーバックス　B-1906	ダン・クライアン	講談社	800円
00003840	論理が伝わる世界標準の「プレゼン術」　一生モノの「説得技法」 / ブルーバックス　B-1847	倉島保美　著	講談社	900円
00003841	昭和50年の食事で、その腹は引っ込む　なぜ1975年に日本人が家で食べていたものが理想なのか/ 講談社+α新書　685-1B	都築毅　［著］	講談社	840円
00003842	知性の限界　不可測性・不確実性・不可知性/ 講談社現代新書　2048	高橋昌一郎　著	講談社	760円
00003843	理性の限界　不可能性・不確定性・不完全性/ 講談社現代新書　1948	高橋昌一郎　著	講談社	800円
00003844	自由とは何か　「自己責任論」から「理由なき殺人」まで / 講談社現代新書　1749	佐伯啓思　著	講談社	840円
00003845	幸福論　/ 講談社現代新書　1744	春日武彦　著	講談社	700円
00003846	食をめぐるほんとうの話　/ 講談社現代新書　2342	阿部尚樹	講談社	760円
00003847	〈情報〉帝国の興亡　ソフトパワーの五〇〇年史/ 講談社現代新書　2386	玉木俊明　著	講談社	760円
00003848	だまされない〈議論力〉　/ 講談社現代新書　1855	吉岡友治　著	講談社	720円
00003849	幸せのメカニズム　実践・幸福学入門/ 講談社現代新書　2238	前野隆司　著	講談社	800円
00003850	幸福の哲学　アドラー×古代ギリシアの智恵/ 講談社現代新書　2406	岸見一郎　著	講談社	760円
00003851	東大生の論理　「理性」をめぐる教室/ ちくま新書　881	高橋昌一郎　著	筑摩書房	760円
00003852	論より詭弁　反論理的思考のすすめ/ 光文社新書　290	香西秀信　著	光文社	700円
00003853	勝つための論文の書き方　/ 文春新書　295	鹿島茂　著	文藝春秋	700円
00003854	集合知とは何か　ネット時代の「知」のゆくえ/ 中公新書　2203	西垣通　著	中央公論新社	820円
00003855	入門！論理学　/ 中公新書　1862	野矢茂樹　著	中央公論新社	740円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003856	ぎりぎり合格への論文マニュアル　/ 平凡社新書　103	山内志朗　著	平凡社	700円
00003857	食べ物のことはからだに訊け！　健康情報にだまされるな / ちくま新書　　1109	岩田健太郎　著	筑摩書房	820円
00003858	功利主義入門　はじめての倫理学/ ちくま新書　967	児玉聡　著	筑摩書房	780円
00003859	プレゼンテーションの技術　/ 日経文庫　1253	山本御稔　著	日本経済新聞 出版社	830円
00003860	やめたい食べグセ　/ ベスト新書　490	森拓郎　著	ベストセラーズ	800円
00003861	性と国家	北原みのり	河出書房新社	820円
00003862	なぜ日本人は神社にもお寺にも行くのか	島田裕巳　著	双葉社	1000円
00003863	日本への遺言　地域再生の神様《豊重哲郎》が起こした奇跡	出町譲　著	幻冬舎	1100円
00003864	神父さま、なぜ日本に？　ザビエルに続く宣教師たち	女子パウロ会　編著	女子パウロ会	1200円
00003865	封じ込められた子ども、その心を聴く　性同一性障害の生徒に向き合う	中塚幹也　著	ふくろう出版	600円
00003866	5感を揺さぶり相手を口説くプレゼンテーション / Forest 2545 Shinsyo　058	小林弘茂　著	フォレスト出版	900円
00003867	世界で大活躍できる13歳からの学び	高橋一也　著	主婦と生活社	1000円
00003868	〈新訳〉老子　雲のように、水のように、自由に生きる	岬龍一郎　編訳	PHP研究所	900円
00003869	灯し続けることば	大村はま　著	小学館	952円
00003870	交通事故を7割減らすたった2つの習慣	江上喜朗　著	日本経済新聞 出版社	650円
00003871	新カミキリムシハンドブック	鈴木知之　著	文一総合出版	1600円
00003872	わかる！！わかる！！わかる！！小論文&作文　［'20年度版］	阪東恭一　著	新星出版社	600円
00003873	小論文これだけ！	樋口裕一　著	東洋経済新報社	1000円
00003874	自助論	サミュエル・スマイルズ 著	三笠書房	1100円
00003875	武士道	新渡戸稲造　著	三笠書房	1000円
00003876	暴政　20世紀の歴史に学ぶ20のレッスン	ティモシー・スナイダー 著	慶應義塾大学 出版会	1200円
00003877	学問のすゝめ	福澤諭吉　著	慶應義塾大学 出版会	1000円
00003878	やってはいけない「食べ合わせ」　体にいいつもりが逆効果！ / 青春新書PLAY BOOKS　P-1044	白鳥早奈英　著	青春出版社	1100円
00003879	外国人は日本文化の「何」を知りたがっているのか そのエッセンスは茶道の中に/ 淡交新書	山崎武也　著	淡交社	1200円
00003880	なぜ日本人は「のし袋」を使うのか？　/ 淡交新書	齋藤和胡　著	淡交社	1200円
00003881	なぜ僕は、4人以上の場になると途端に会話が苦手になるのか	岩本武範　著	サンマーク出版	1100円
00003882	すぐに試合で役に立つ！テニスのルール審判の基本　ルールに強くなれば テニスに強くなる/ LEVEL UP BOOK	岡川恵美子　監修	実業之日本社	1200円
00003883	観戦&プレーで役に立つ！ラグビーのルール　/ LEVEL UP BOOK	日本ラグビーフットボール 協会　監修	実業之日本社	1200円
00003884	経済と"世界の動き"が見えてくる！東大のクールな地理	伊藤彰芳　著	青春出版社	1330円
00003885	暇と退屈の倫理学　増補新版	國分功一郎　著	太田出版	1200円
00003886	今このとき、すばらしいこのとき　毎日が輝くマインドフルネスのことば	ティク・ナット・ハン　著	サンガ	2200円
00003887	足の下のステキな床	今井晶子	グラフィック社	1600円
00003888	HAPPINESS IS…　幸せを感じる500のこと	リサ・スウェーリング	文響社	1380円
00003889	カナヘイの小動物ゆるっと・カンタン英会話 サクサク使える基本フレーズ120	リサ・ヴォート　文	Jリサーチ出版	1000円
00003890	カナヘイの小動物ゆるっと・まいにち英会話 まいにち使えるほっこり基本フレーズ120	リサ・ヴォート　文	Jリサーチ出版	1000円
00003891	ビジネスで1番よく使う英語Eメール　基本から実践まで実例シーン140	ミゲル・E・コーティ	Jリサーチ出版	1600円
00003892	ビジネスで1番よく使う英単語　最重要1000語	成重寿　著	Jリサーチ出版	1600円
00003893	世界一やさしいすぐに使える英会話超ミニフレーズ300	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1300円
00003894	とっさに使えるカンタン接客英会話　外国人がいつ来ても大丈夫！ 店員さんの決まり文句400	佐野なおこ　著	Jリサーチ出版	1000円
00003895	ネイティブが1番よく使う英会話　一日まるごとミニフレーズ500	山崎祐一　著	Jリサーチ出版	1300円
00003896	魔法のリスニング 英語の音がどんどん聞き取れる 英語の耳づくりルール120	リサ・ヴォート　著	Jリサーチ出版	1000円
00003897	すぐに使える英会話ミニフレーズ2500　世界中どこでも通じる	宮野智靖	Jリサーチ出版	1600円
00003898	子どもをのばすアドラーの言葉　子育ての勇気	岸見一郎　著	幻冬舎	1100円
00003899	これで安心！個人情報保護・マイナンバー	日本経済新聞出版社　編	日本経済新聞 出版社	500円
00003900	英語　/ ことりっぷ会話帖		昭文社	1000円
00003901	マジ文章書けないんだけど 朝日新聞ベテラン校閲記者が教える一生モノの文章術	前田安正　著	大和書房	1300円
00003902	もう一度読みたい教科書の泣ける名作	学研プラス　編	学研プラス	800円
00003903	世界の美しい図書館		パイインターナ ショナル	1800円
00003904	君の音と僕の色	フクザワ　著	KADOKAWA	1000円
00003905	うつくしい組ひもと小物のレシピ	多田牧子　監修	日本文芸社	1300円
00003906	小さなてまりとかわいい雑貨　糸をかがって、ころころ、てんてん	寺島綾子　著	日本文芸社	1300円
00003907	宝石みたいなてまりとくらしの小物	寺島綾子　著	日本文芸社	1300円
00003908	愛らしい加賀のゆびぬき	寺島綾子　著	日本文芸社	1600円
00003909	医療機関のホスピタリティ・マネジメント	榊原陽子　著	中外医学社	1800円
00003910	ぼくのかわいい病原体　ライトノベルでざっくり学べる感染病原体入門	夏緑　著	中外医学社	1400円
00003911	ギャンブル依存症サバイバル　パチンコ・スロット・競馬・競輪におぼれる人を救済するため、患者・家族・医療者に贈る指南書	熊木徹夫	中外医学社	1800円
00003912	脳出血・くも膜下出血診療読本	豊田一則	中外医学社	6600円
00003913	パーキンソン病　発症機序に基づく治療	水野美邦　著	中外医学社	3400円
00003914	明日のアクションが変わる循環器救急の真髄教えます	川上将司　著	中外医学社	6400円
00003915	スポーツ整形外科マニュアル　新版	篠塚昌述　編集	中外医学社	5600円
00003916	初学者のための免疫学問答　改訂11版	矢田純一　著	中外医学社	3800円
00003917	緩和ケアの壁にぶつかったら読む本	西智弘　著	中外医学社	2600円
00003918	寝ころんで読む傷寒論・温熱論	入江祥史　著	中外医学社	2600円
00003919	こういうことだったのか！！酸素療法	小尾口邦彦　著	中外医学社	1800円
00003920	こどもの身体(からだ)の基準　検査値と身体所見	金子一成　責任編集	中外医学社	4400円
00003921	子どもの心を診る医師のための発達検査・心理検査入門	橋本浩　著	中外医学社	2800円
00003922	こどもの「症状」から考える　Medical Note presents 外来小児診療伝え方の極意	安藤恵美子　編集	中外医学社	2800円
00003923	日常診療でよく出会う足病変の診かた	桑原靖　編著	中外医学社	6000円
00003924	こうすればうまくいく！精神科臨床はじめの一歩	宮内倫也　著	中外医学社	4600円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00003925	産業医・労働安全衛生担当者のためのストレスチェック制度対策 まるわかり	武神健之　[ほか]著	中外医学社	3600円
00003926	アメリカで学んだ医学統計　8時間集中講義	塩田星児　著	中外医学社	3600円
00003927	もしも「死にたい」と言われたら　自殺リスクの評価と対応	松本俊彦　著	中外医学社	2000円
00003928	起立性調節障害の診かた　「朝，起きられない」はこうして治せ	森下克也　著	中外医学社	2800円
00003929	呼吸のトリビア　レスピ・サピエンス	桑平一郎	中外医学社	1900円
00003930	呼吸のトリビア　2　レスピ・サピエンス	千原幸司	中外医学社	2000円
00003931	呼吸のトリビア　3　レスピ・サピエンス	塩谷隆信	中外医学社	2200円
00003932	頭痛治療薬の考え方，使い方　改訂2版	竹島多賀夫　編著	中外医学社	4600円
00003933	医療機関における暴力対策ハンドブック 患者も医療者も安心できる環境をめざして	和田耕治	中外医学社	3600円
00003934	保健・医療従事者が被災者と自分を守るためのポイント集	和田耕治	中外医学社	1800円
00003935	病棟・ICUで出会うせん妄の診かた	八田耕太郎	中外医学社	2400円
00003936	ベッドサイドの神経心理学　改訂2版	武田克彦　著	中外医学社	3400円
00003937	ひきこもりに出会ったら　こころの医療と支援	齊藤万比古　編著	中外医学社	2800円
00003938	健診・人間ドックハンドブック　改訂6版	小川哲平	中外医学社	5000円
00003939	めまいの診かた，治しかた	室伏利久　著	中外医学社	3400円
00003940	発達障害　早めの気づきとその対応	市川宏伸	中外医学社	2800円
00003941	肝炎の診かた，考えかた	柴田実　著	中外医学社	3400円
00003942	診断学概論　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	北村諭　編	中外医学社	2200円
00003943	病理学　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	神山隆一　編	中外医学社	4800円
00003944	臨床心理学　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	名嘉幸一　編	中外医学社	2400円
00003945	神経内科学　2版　/ コメディカルのための専門基礎分野テキスト	細川武	中外医学社	4200円
00003946	マンガで学ぶ漢方薬	板倉英俊　著	中外医学社	2000円
00003947	マンガで学ぶ心電図&不整脈	池田隆徳　著	中外医学社	1900円
00003948	CKD患者のための運動サポート	富野康日己　編著	中外医学社	2000円
00003949	臨床栄養実践ガイド	丹羽利充　編著	中外医学社	3800円
00003950	イラスト解剖学　第9版	松村譲児　著	中外医学社	7600円
00003951	医系免疫学　改訂14版	矢田純一　著	中外医学社	8400円
00003952	Q&A医療事故調ガイドブック	日本医療法人協会　監修	中外医学社	4800円
00003953	こどものスポーツ障害診療ハンドブック	山下敏彦　編集	中外医学社	6800円
00003954	めまいは寝てては治らない　第5版 実践！めまい・ふらつきを治す24のリハビリ	新井基洋　著	中外医学社	1300円
00003955	めまいは寝てては治らない　第5版 実践！めまい・ふらつきを治す24のリハビリ	新井基洋　著	中外医学社	1300円
00003956	これだけは知っておきたい透析療法	富野康日己　編著	中外医学社	3400円
00003957	リハビリテーションのための臨床神経生理学	正門由久　編集	中外医学社	4800円
00003958	マンガで学ぶ透析療法	佐藤良和　著	中外医学社	1800円
00003959	がんのリハビリテーションQ&A	辻哲也　編著	中外医学社	3900円
00003960	メディカルスタッフのための腎臓病学　改訂2版	富野康日己　著	中外医学社	2800円
00003961	日常診療で出会う腰痛の診かた	高橋和久　編著	中外医学社	6800円
00003962	すぐに使える！実践リハビリマスターガイド 臨床で役立つ基本知識から評価・訓練まで	上月正博	中外医学社	4200円
00003963	訪問呼吸ケア・リハビリテーション　誰でもわかる在宅呼吸管理	塩谷隆信	中外医学社	4600円
00003964	現場の疑問に答える呼吸リハビリ徹底攻略Q&A	塩谷隆信	中外医学社	6800円
00003965	イラストでわかる患者さんのための心臓リハビリ入門	上月正博	中外医学社	1800円
00003966	心臓リハビリテーションスタッフのための心電図ハンドブック	安達仁　著	中外医学社	3200円
00003967	リハビリテーション栄養Q&A	若林秀隆　編著	中外医学社	3200円
00003968	はじめての精神科作業療法	山口芳文	中外医学社	4900円
00003969	はじめての人工呼吸管理　基本がわかると先が見える	岡元和文　編著	中外医学社	6400円
00003970	ある日、ワタルさんはエイズになった。	岩田健太郎　作	中外医学社	1200円
00003971	神経疾患At a glance diagnosis	田中真　著	中外医学社	5000円
00003972	作業療法士ポケット・レビュー帳　専門編	長崎重信　編	メジカルビュー社	3500円
00003973	統計学　日本統計学会公式認定統計検定1級対応	日本統計学会　編	東京図書	3200円
00003974	データの分析　日本統計学会公式認定統計検定3級対応	日本統計学会　編	東京図書	2200円
00003975	資料の活用　日本統計学会公式認定統計検定4級対応	日本統計学会　編	東京図書	2000円
00003976	腸炎ビブリオ　第4集	篠田純男　[ほか]編集	近代出版	6000円
00003977	微生物学入門　微生物と生活科学/ 基礎微生物学　1	J.F.ウィルキンソン　著	培風館	2233円
00003978	実用医微生物学　/ 基礎微生物学　3	J.G.コリー　著	培風館	2200円
00003979	脳の発生・発達　神経発生学入門/ 脳科学ライブラリー　2	大隅典子　著	朝倉書店	2800円
00003980	脳と情動　ニューロンから行動まで/ 脳科学ライブラリー　3	小野武年　著	朝倉書店	3800円
00003981	脳の再生　中枢神経系の幹細胞生物学と再生戦略 / 脳科学ライブラリー　4	岡野栄之　著	朝倉書店	2900円
00003982	イメカラ　消化管　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1700円
00003983	イメカラ　呼吸器　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編	メディックメディア	1600円
00003984	イメカラ　循環器　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編	メディックメディア	1400円
00003985	イメカラ　腎臓　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1500円
00003986	イメカラ　肝・胆・膵　イメージするカラダのしくみ	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	1800円
00003987	腰痛をめぐる常識の嘘　続	菊地臣一　著	金原出版	3000円
00003988	脳卒中の機能評価　基礎編　SIASとFIM / 実践リハビリテーション・シリーズ	千野直一　[ほか]編著	金原出版	2600円
00003989	マンガでわかる！統合失調症　家族の対応編	中村ユキ　マンガ・構成	日本評論社	1400円
00003990	基本刑法　第2版　1　総論	大塚裕史	日本評論社	3800円
00003991	基本憲法　1　基本的人権	木下智史	日本評論社	3000円
00003992	重力　上　アインシュタインの一般相対性理論入門	ジェームズ・B・ハートル 著	日本評論社	3600円
00003993	食品安全検定テキスト　初級	食品安全検定協会　編集	中央法規出版	2200円
00003994	がん医療におけるコミュニケーション・スキル　続	藤森麻衣子	医学書院	2800円
00003995	トランプ就任演説　対訳	トランプ　[述]	朝日出版社	926円
00003996	トランプ演説集　永久保存版　対訳	トランプ　[述]	朝日出版社	1000円
00003997	オバマ広島演説　対訳	オバマ　[述]	朝日出版社	700円
00003998	オバマ退任演説　対訳	オバマ　[述]	朝日出版社	926円
00003999	series田園回帰　8　世界の田園回帰	大森彌	農山漁村文化協会	2200円
00004000	国立科学博物館のひみつ　地球館探検編	成毛眞　著	ブックマン社	1800円
00004001	物理化学　上　分子論的アプローチ	マッカーリ	東京化学同人	5400円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004002	マクマリー有機化学　第9版　上	John McMurry　著	東京化学同人	4600円
00004003	マクマリー有機化学　第9版　中	John McMurry　著	東京化学同人	4500円
00004004	ウエスト呼吸生理学入門　第2版　正常肺編	ジョン B ウエスト	メディカル・サイエンス・インターナショナル	3800円
00004005	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　第5巻　地域福祉論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編	へるす出版	2500円
00004006	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　第7巻　社会保障論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編	へるす出版	2200円
00004007	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　第10巻　法学	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編	へるす出版	2100円
00004008	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー　11　障害者に対する支援と障害者自立支援制度	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　編集	へるす出版	2200円
00004009	精神保健福祉士養成セミナー　第6版　1　精神医学	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会　編集	へるす出版	3200円
00004010	新ME早わかりQ&A　1　血液浄化装置	「新ME早わかりQ&A」編集委員会　編集	南江堂	4800円
00004011	理学療法フィールドノート　3　呼吸・循環・代謝疾患	石川朗	南江堂	5700円
00004012	理学療法フィールドノート　4　地域・在宅	石川朗	南江堂	5700円
00004013	理学療法士・作業療法士グリーン・ノート　第2版　基礎編	柳澤健　編	メジカルビュー社	4500円
00004014	理学療法士イエロー・ノート　2nd edition　専門編	柳澤健　編	メジカルビュー社	5600円
00004015	作業療法士グリーン・ノート　専門編	長崎重信　編	メジカルビュー社	4900円
00004016	セラピストのための機能解剖学的ストレッチング上肢	鵜飼建志　編著	メジカルビュー社	5500円
00004017	アスリートのリハビリテーションとリコンディショニング　上巻 外傷学総論/検査・測定と評価/ Skill-Upリハビリテーション&リコンディショニング	小林寛和　編	文光堂	4200円
00004018	標準徒手医学　1　入門編	安藤正志　監修	医学映像教育センター(発売)	4500円
00004019	がん患者のこころに寄り添うために　サイコロジスト編　サイコオンコロジーの基礎と実践	大木桃代　編著	真興交易医書出版部	3900円
00004020	理科の地図帳　改訂版　地形・気象編　日本の地形と気象がまるごとわかる/ ビジュアルはてなマップ	ザ・ライトスタッフオフィス　編	技術評論社	2480円
00004021	医学・医療系学生のための総合医学英語テキスト　Step1	日本医学英語教育学会　編	メジカルビュー社	2800円
00004022	ビジュアルで学ぶ筋膜リリーステクニック　Volume1 肩、骨盤、下肢・足部	Til Luchau　著	医道の日本社	4200円
00004023	よくわかる統計学　第2版　1(基礎編) / やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	金子治平	ミネルヴァ書房	2600円
00004024	病気がみえる　第5版　vol.1　消化器	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3600円
00004025	病気がみえる　第4版　vol.3　糖尿病・代謝・内分泌	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3300円
00004026	病気がみえる　第2版　vol.4　呼吸器	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3500円
00004027	病気がみえる　第2版　vol.8　腎・泌尿器	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3300円
00004028	理学療法技術の再検証　科学的技術の確立に向けて/ 理学療法MOOK　17	福井勉	三輪書店	4000円
00004029	ICUの理学療法　/ 理学療法MOOK　18	神津玲　責任編集	三輪書店	4800円
00004030	ニューロリハと理学療法　/ 理学療法MOOK　19	大畑光司　責任編集	三輪書店	3600円
00004031	ウィメンズヘルスと理学療法　/ 理学療法MOOK　20	石井美和子	三輪書店	4000円
00004032	筋膜マニピュレーション　理論編　筋骨格系疼痛治療	Luigi Stecco　著	医歯薬出版	9000円
00004033	最新運動療法大全　1　基礎編	キャロリン・キスナー	ガイアブックス	6800円
00004034	言語聴覚障害と認知症がある人のための会話訓練集　1 臨床家用マニュア導入的課題・食生活編	西尾正輝　著	インテルナ出版	2600円
00004035	言語聴覚障害と認知症がある人のための会話訓練集　1 訓練教材集　導入的課題・食生活編	西尾正輝　著	インテルナ出版	4600円
00004036	カラー図解人体の正常構造と機能　改訂第3版　7　血液・免疫・内分泌	坂井建雄	日本医事新報社	6200円
00004037	カラー図解人体の正常構造と機能　改訂第3版　10　運動器	坂井建雄	日本医事新報社	6800円
00004038	ネッター医学図譜　筋骨格系 1　学生版	Frank H.Netter　[著]	丸善	9000円
00004039	ネッター医学図譜　筋骨格系 3　学生版	Frank H.Netter　[著]	丸善	9000円
00004040	ネッター医学図譜　脳・神経系 1　構造と機能　学生版	Frank H.Netter　[著]	丸善	9000円
00004041	摂食障害という生き方　続　医療刑務所から見えてくるもの	瀧井正人　著	中外医学社	3900円
00004042	寝る前5分暗記ブック英会話フレーズ集　海外旅行編 頭にしみこむメモリータイム！	メディアビーコン　著	学研プラス	1000円
00004043	プロジェクトマネジメント　第2版　理論編 / 通勤大学文庫. 図解PMコース　1	浅見淳一　著	総合法令出版	890円
00004044	キクタン英会話　初級編　聞いてマネしてすらすら話せる	一杉武史　編著	アルク	1200円
00004045	究極の英語リスニング　v.1　1000語レベルで1万語「最初の1000語」		アルク	1700円
00004046	絵で見てパッと言う英会話トレーニング　海外旅行編	Nobu Yamada　著	学研プラス	1600円
00004047	対談！　2　日本人が英語を学ぶ理由	三宅義和　著	プレジデント社	1000円
00004048	日本の論点　2017～18　Global Perspective and Strategic Thinking	大前研一　著	プレジデント社	1600円
00004049	スタンフォード大学で一番人気の経済学入門　マクロ編	ティモシー・テイラー　著	かんき出版	1500円
00004050	学校では教えない「社会人のための現代史」 / 池上彰教授の東工大講義　国際篇	池上彰　著	文藝春秋	1500円
00004051	マンガでやさしくわかる貿易実務　輸入編	片山立志　著	日本能率協会マネジメントセンター	1500円
00004052	統計学が最強の学問である　データ社会を生き抜くための武器と教養	西内啓　著	ダイヤモンド社	1600円
00004053	統計学が最強の学問である　ビジネス編 データを利益に変える知恵とデザイン	西内啓　著	ダイヤモンド社	1800円
00004054	統計学が最強の学問である　実践編　データ分析のための思想と方法	西内啓　著	ダイヤモンド社	1900円
00004055	発見・検証日本の古代　1　纒向発見と邪馬台国の全貌	古代史シンポジウム「発見・検証日本の古代」編集委員会　編	角川文化振興財団	2000円
00004056	〈世界史〉の哲学　近世篇	大澤真幸　著	講談社	2500円
00004057	逆説の日本史　22(明治維新編)　西南戦争と大久保暗殺の謎	井沢元彦　著	小学館	1800円
00004058	図書館の基本を求めて　8　『風』『談論風発』2014～2015より	田井郁久雄　著	大学教育出版	1500円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004059	池上彰のやさしい経済学　1　しくみがわかる	池上彰　著	日本経済新聞出版社	1500円
00004060	新訳ベルクソン全集　7　思考と動くもの	アンリ・ベルクソン　著	白水社	4100円
00004061	吉本隆明質疑応答集　1　宗教	吉本隆明　著	論創社	2200円
00004062	日中戦争全史　下　日中全面戦争からアジア太平洋戦争敗戦まで	笠原十九司　著	高文研	2300円
00004063	数学の研究をはじめよう　1　高校生にもできる新しい数学研究へのいざない	飯高茂　著	現代数学社	1800円
00004064	英語高速メソッド日常英会話集　v.1(第1週目) 2週間でネイティヴの脳&耳になる	笠原禎一　著	新星出版社	1800円
00004065	電気鉄道のセクション　直流・交流の電力供給と区分装置/ 戎光祥レイルウェイリブレット　2	持永芳文　著	戎光祥出版	1500円
00004066	マインドフルネス　仏教瞑想と近代科学が生み出す、心の科学の現在形/別冊サンガジャパン　3	蓑輪顕量　監修	サンガ	2200円
00004067	論理的思考の技法　2　三段論法と誤謬	鈴木美佐子　著	法学書院	1600円
00004068	現代の量子力学　第2版　上　/ 物理学叢書　108	J.J.サクライ　著	吉岡書店	5500円
00004069	没後20年司馬遼太郎の言葉　3　/ 週刊朝日MOOK		朝日新聞出版	920円
00004070	池上彰のニュースそうだったのか！！　4 教養として知っておきたい池上彰の現代史	池上彰	SBクリエイティブ	1000円
00004071	ピュイゼ子どものための味覚教育　食育入門編	石井克枝	講談社	2800円
00004072	新ゼロからスタートシャドーイング　入門編 「話す力」と「聞く力」がビックリするほど伸びる！	宮野智靖　著	Jリサーチ出版	1400円
00004073	おとなの基礎英語　Season5　オーストラリア　NHKテレビDVD BOOK	主婦の友社　編	主婦の友社	1900円
00004074	理系なら知っておきたい化学の基本ノート　カラー改訂版　物理化学編	岡島光洋　著	KADOKAWA	1700円
00004075	理系なら知っておきたい化学の基本ノート　カラー改訂版　有機化学編	岡島光洋　著	KADOKAWA	1900円
00004076	理系なら知っておきたい物理の基本ノート　カラー改訂版　力学編	為近和彦　著	KADOKAWA	1700円
00004077	ジョレス・メドヴェージェフ、ロイ・メドヴェージェフ選集　2 ウラルの核惨事	ジョレス・A・メドヴェージェフ　著	現代思潮新社	3600円
00004078	量子力学　1	猪木慶治	講談社	4660円
00004079	日本地理学人物事典　現代編2	岡田俊裕　著	原書房	7500円
00004080	ファイナンス法大全　全訂版　上	西村あさひ法律事務所　編	商事法務	9000円
00004081	脳神経外科学　改訂12版　1	太田富雄　総編集	金芳堂	11333円
00004082	脳神経外科学　改訂12版　2	太田富雄　総編集	金芳堂	11333円
00004083	脳神経外科学　改訂12版　3	太田富雄　総編集	金芳堂	11334円
00004084	図解運動療法ガイド	内山靖	文光堂	10000円
00004085	図解理学療法検査・測定ガイド　第2版	奈良勲	文光堂	9500円
00004086	図解訪問理学療法技術ガイド　訪問の場で必ず役立つ実践のすべて	伊藤隆夫	文光堂	9500円
00004087	図解言語聴覚療法技術ガイド	深浦順一　編集主幹	文光堂	10000円
00004088	今日の精神疾患治療指針　第2版	樋口輝彦　[ほか]編集	医学書院	14000円
00004089	新臨床内科学　第9版 縮刷版	貫和敏博　[ほか]編	医学書院	18000円
00004090	脳神経外科周術期管理のすべて　第4版	松谷雅生	メジカルビュー社	9800円
00004091	ベッドサイドの新生児の診かた　改訂3版	河野寿夫	南山堂	13000円
00004092	呼吸器外科学　改訂4版	藤井義敬　編	南山堂	15000円
00004093	臨床神経内科学　改訂6版	廣瀬源二郎	南山堂	15000円
00004094	医科薬理学　改訂4版	遠藤政夫　[ほか]編著	南山堂	12000円
00004095	骨折・脱臼　改訂4版	冨士川恭輔	南山堂	32000円
00004096	健康づくりトレーニングハンドブック	進藤宗洋	朝倉書店	9500円
00004097	皮膚科学　第10版	上野賢一　原著	金芳堂	12500円
00004098	手　第6版　その機能と解剖	上羽康夫　著	金芳堂	18000円
00004099	最新食物アレルギー	中村晋	永井書店	9500円
00004100	よくわかる甲状腺疾患のすべて　改訂第2版	伴良雄　編	永井書店	9500円
00004101	ボイスノート　コミュニケーションを拡げるために	小嶋知幸	新興医学出版社	9500円
00004102	メイトランド脊椎マニピュレーション	Geoffrey D.Maitland	エルゼビア・ジャパン	9800円
00004103	メイトランド四肢関節マニピュレーション	Elly Hengeveld	医学映像教育センター	9800円
00004104	血管生物医学事典	日本血管生物医学会　編	朝倉書店	17000円
00004105	人工肩関節置換術　基礎と実際	末永直樹　編著	メディカ出版	10000円
00004106	運動器診療最新ガイドライン	中村耕三　編集	総合医学社	16000円
00004107	ジュンケイラ組織学　第4版　/ Lange Textbookシリーズ	Anthony L.Mescher　[著]	丸善出版	9800円
00004108	シグナル伝達　第2版　生命システムの情報ネットワーク	バスティアン D.ゴンパーツ	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9500円
00004109	ガートナー/ハイアット組織学アトラスとテキスト　第3版	レスリー・P・ガートナー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9500円
00004110	スネル臨床解剖学　第3版	スネル　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14000円
00004111	人体機能生理学　改訂第5版	杉晴夫　編著	南江堂	10000円
00004112	神経局在診断　改訂第6版　その解剖，生理，臨床	Mathias Ba¨hr	文光堂	11000円
00004113	結核　第4版	冨岡洋海　編	医学書院	14500円
00004114	標準整形外科学　第13版　/ Standard Textbook	井樋栄二	医学書院	9400円
00004115	標準放射線医学　第7版　/ Standard textbook	西谷弘	医学書院	10000円
00004116	標準病理学　第5版　/ Standard Textbook	北川昌伸	医学書院	11000円
00004117	標準生理学　第8版　/ Standard Textbook	本間研一　[ほか]編集	医学書院	12000円
00004118	臨床神経生理学	柳澤信夫	医学書院	9500円
00004119	サバイラ身体診察のアートとサイエンス	サバイラ	医学書院	12000円
00004120	服部リハビリテーション技術全書　第3版	蜂須賀研二　編集	医学書院	18000円
00004121	関節のMRI　第2版	福田国彦	メディカル・サイエンス・インターナショナル	15000円
00004122	心臓リハビリテーション	上月正博　編著	医歯薬出版	9500円
00004123	膜・筋膜　人体の張力ネットワーク 最新知見と治療アプローチ	Robert Schleip	医歯薬出版	10000円
00004124	NEWエッセンシャル整形外科学	星野雄一	医歯薬出版	9500円
00004125	Newエッセンシャル病理学　第6版	長村義之　[ほか]編	医歯薬出版	11000円
00004126	臨床病態栄養学　第3版	武田英二　編	文光堂	10000円
00004127	自律神経機能検査　第5版	日本自律神経学会　編	文光堂	13000円
00004128	図説神経機能解剖テキスト	浦上克哉	文光堂	16000円
00004129	腰痛のサイエンス　/ 痛みのScience & Practice　4	山本達郎　編集	文光堂	12000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004130	小児・発達期の包括的アプローチ PT・OTのための実践的リハビリテーション	新田收	文光堂	10000円
00004131	運動器スペシャリストのための整形外科外来診療の実際	日本臨床整形外科学会　編	中山書店	10000円
00004132	心臓リハビリテーション　改訂第2版 実践マニュアル 評価・処方・患者指導/ 循環器臨床サピア　4	長山雅俊　責任編集	中山書店	11000円
00004133	小児神経学	加我牧子	診断と治療社	12000円
00004134	NEW外科学　改訂第3版　/ Nankodo's essential well-advanced series	出月康夫	南江堂	9500円
00004135	新心臓血管外科管理ハンドブック　改訂第2版	国立循環器病研究センター心臓血管部門　編集	南江堂	13000円
00004136	重度四肢外傷の標準的治療　Japan Strategy	土田芳彦　編著	南江堂	10000円
00004137	図説足の臨床　改訂3版	田中康仁	メジカルビュー社	22000円
00004138	整形外科学・外傷学　改訂第7版	岩本幸英　[ほか]編	文光堂	12000円
00004139	神経疾患診療ガイドライン	日本神経学会　監修	医学書院	25000円
00004140	今日の整形外科治療指針　第7版	土屋弘行　[ほか]編集	医学書院	18000円
00004141	臨床てんかん学	兼本浩祐　[ほか]編集	医学書院	15000円
00004142	気分障害	上島国利　[ほか]編	医学書院	16000円
00004143	あたらしい皮膚病診療アトラス	清水宏　著	中山書店	9800円
00004144	ヒト発生の3次元アトラス	塩田浩平　編	日本医事新報社	9500円
00004145	眼底図譜　第6版　カラーアトラス	湯澤美都子	日本医事新報社	11500円
00004146	臨床神経解剖学	M J Turlough Fitzgerald	エルゼビア・ジャパン	9600円
00004147	カバンジー生体力学の世界　次世代へのメッセージ 地球上の生物に共通する動きの仕組み	Adalbert I.KAPANDJI　原著	医歯薬出版	18000円
00004148	内部機能障害への筋膜マニピュレーション　理論編	Luigi Stecco	医歯薬出版	12000円
00004149	筋膜マニピュレーション　実践編　筋骨格系疼痛治療	Luigi Stecco	医歯薬出版	13000円
00004150	骨折の治療とリハビリテーション　ゴールへの至適アプローチ	Stanley Hoppenfeld	南江堂	10000円
00004151	解剖学アトラス	Platzer　[ほか著]	文光堂	10000円
00004152	ムーア人体発生学　原著第8版	Moore	医歯薬出版	12000円
00004153	グラント解剖学図譜　第7版	Anne M.R.Agur	医学書院	15000円
00004154	脳卒中ビジュアルテキスト　第4版	荒木信夫	医学書院	12000円
00004155	肩　第4版　その機能と臨床	信原克哉　著	医学書院	18000円
00004156	整形靴と足部疾患　オーソペディ・シューテクニック	Rene´ Baumgartner	医学書院	13000円
00004157	プロメテウス解剖学コアアトラス　第2版	Anne M.Gilroy	医学書院	9500円
00004158	プロメテウス解剖学アトラス　第2版　胸部/腹部・骨盤部	Michael Schu¨nke	医学書院	11000円
00004159	プロメテウス解剖学アトラス　第3版　解剖学総論/運動器系	Michael Schu¨nke	医学書院	12000円
00004160	胃と腸アトラス　第2版　1　上部消化管	「胃と腸」編集委員会　編集	医学書院	14000円
00004161	胃と腸アトラス　第2版　2　下部消化管	「胃と腸」編集委員会　編集	医学書院	14000円
00004162	運動器臨床解剖アトラス	M.Llusa´	医学書院	18000円
00004163	解剖学カラーアトラス　第8版	J.W.Rohen	医学書院	12000円
00004164	運動器外傷治療学	糸満盛憲　編	医学書院	32000円
00004165	口腔咽頭の臨床　第3版	吉原俊雄	医学書院	15000円
00004166	機能を中心とした図説組織学　第5版	B.Young	医学書院	9500円
00004167	図説人体解剖学　第5版　第1巻　頭部・頚部・上肢	Sobotta　[原著]	医学書院	16000円
00004168	図説人体解剖学　第5版　第2巻　体幹・内臓・下肢	Sobotta　[原著]	医学書院	16000円
00004169	実習人体組織学図譜　第5版	Ulrich Welsch　[著]	医学書院	11000円
00004170	狭心症・心筋梗塞ビジュアルテキスト	堀江俊伸　著	医学書院	16000円
00004171	膝関節の臨床　臨床経験に基づく疾患へのアプローチ	白岡格　著	南江堂	15000円
00004172	みえる腰痛体性感覚構造図　運動器疼痛の診断のための示説	高橋弦　著	南江堂	9500円
00004173	下肢静脈瘤血管内焼灼術　改題改訂第2版　レーザーおよび高周波焼灼術	広川雅之　著	日本医事新報社	12000円
00004174	臨床のための解剖学　第2版	キース L.ムーア	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14000円
00004175	スポーツ診療ビジュアルブック	マーク D.ミラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	13000円
00004176	脳卒中症候群	ルイス R.カプラン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	12000円
00004177	ウォルパート発生生物学	ルイス・ウォルパート	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9500円
00004178	重要血管へのアプローチ　第3版　外科医のための局所解剖アトラス	ガリー G.ウィンド	メディカル・サイエンス・インターナショナル	20000円
00004179	プリンシプル産科婦人科学　第3版　1　婦人科編	武谷雄二	メジカルビュー社	13000円
00004180	プリンシプル産科婦人科学　第3版　2　産科編	武谷雄二	メジカルビュー社	13000円
00004181	整形外科徒手検査法	高岡邦夫　編	メジカルビュー社	9500円
00004182	新脊椎インストゥルメンテーション　テクニカルポイントと合併症対策	野原裕	メジカルビュー社	9800円
00004183	新骨軟部画像診断の勘ドコロ	藤本肇　編集	メジカルビュー社	9500円
00004184	小児整形外科テキスト　改訂第2版	日本小児整形外科学会教育研修委員会　編集	メジカルビュー社	9500円
00004185	膠原病・リウマチ診療　第3版　Evidence Based Medicineを活かす	東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター編	メジカルビュー社	9500円
00004186	一般消化器外科手術達人へのSuccess Road　手術書をレビューする！	白石憲男	メジカルビュー社	10000円
00004187	整形外科理学療法の理論と技術	山嵜勉　編	メジカルビュー社	9500円
00004188	復帰をめざすスポーツ整形外科	宗田大　編	メジカルビュー社	9500円
00004189	脊椎脊髄外科サージカル・テクニック	今栄信治	メジカルビュー社	15000円
00004190	DVDで動きがわかるモーション解剖アトラス　上肢・体幹	青木光広　編著	メジカルビュー社	25000円
00004191	DVDで動きがわかるモーション解剖アトラス　下肢・骨盤	青木光広	メジカルビュー社	25000円
00004192	DVDで動きがわかるモーション解剖アトラス　脊椎	青木光広	メジカルビュー社	25000円
00004193	整形外科骨折ギプスマニュアル	日本骨折治療学会教育委員会　／編集	メジカルビュー社	11000円
00004194	人工股関節全置換術<THA>のすべて　改訂第2版	伊藤浩　編集	メジカルビュー社	17000円
00004195	カラーアトラス機能組織学	Jeffrey B.Kerr　原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004196	PNF基本的手技と機能的訓練	Susanne Hedin　[著]	医歯薬出版	10000円
00004197	運動機能障害症候群のマネジメント　続　頸椎・胸椎・肘・手・膝・足	Shirley Sahrmann and Associates　原著	医歯薬出版	12000円
00004198	筋骨格系のキネシオロジー　第2版　カラー版	Donald A.Neumann　原著	医歯薬出版	12000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004199	モーターコントロール　第4版　研究室から臨床実践へ	Anne Shumway-Cook	医歯薬出版	12000円
00004200	整形外科的理学療法　第2版　基礎と実践	Gary A.Shankman	医歯薬出版	11000円
00004201	画像でみる脊椎・脊髄　その基礎と臨床 Expert Radiology	Thomas P.Naidich ほか原著	医歯薬出版	21000円
00004202	日本人体解剖学　改訂19版 金子勝治，穐田真澄改訂　上巻	金子丑之助　原著	南山堂	12000円
00004203	日本人体解剖学　改訂19版 金子勝治，穐田真澄改訂　下巻	金子丑之助　原著	南山堂	10000円
00004204	運動器疾患臨床ガイドブック　診断とリハビリテーションプロトコール	S.Brent Brotzman	診断と治療社	23000円
00004205	運動器局所解剖アトラス	越智隆弘	中山書店	15000円
00004206	Dr.夏秋の臨床図鑑虫と皮膚炎 皮膚炎をおこす虫とその生態/臨床像・治療・対策	夏秋優　著	学研メディカル秀潤社	12000円
00004207	人工股関節置換術<THA・BHA>　人工関節の基礎知識，基本テクニック，合併症対策 写真・WEB動画で理解が深まる	大谷卓也	メディカ出版	10000円
00004208	「エッセンシャル」遺伝学	D.L.ハートル	培風館	9400円
00004209	病医院のための職員トラブル解決マニュアル　労務管理の悩みを解消する秘策を公開！	日経ヘルスケア編集部　企画・編集	日経BP社	21429円
00004210	運動器リハビリテーションの機能評価　1	David J.Magee　原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004211	運動器リハビリテーションの機能評価　2	David J.Magee　原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004212	グレイ解剖学　原著第3版	Richard L.Drake	エルゼビア・ジャパン	12000円
00004213	グレイ解剖学アトラス　原著第2版	Richard L.Drake　[ほか]原著	エルゼビア・ジャパン	10000円
00004214	血液学を語る　/ FUTURE最新・血液内科シリーズ	高久史麿　監修	インターメディカ	10000円
00004215	Cowan and Steel's医学細菌同定の手びき　第3版	Cowan	近代出版	13000円
00004216	重複障害のリハビリテーション	上月正博　編著	三輪書店	9500円
00004217	カルシウムと骨　普及版	西井易穂	朝倉書店	14000円
00004218	自然地理学事典	小池一之　[ほか]編集	朝倉書店	18000円
00004219	最新栄養学　専門領域の最新情報	John W.Erdman Jr.	建帛社	25000円
00004220	身体障害の作業療法　改訂第6版	Heidi McHugh Pendleton	協同医書出版社	22000円
00004221	脳・神経リハビリテーション大事典	アンフレッド　編著	西村書店	12000円
00004222	"Uncommon"脳卒中学　見落とせない発症要因	Julien Bogousslavsky	西村書店	18000円
00004223	スポーツ整形外科学　理論と実践/ スポーツ科学・医学大事典	W.E.ギャレット	西村書店	18000円
00004224	図説ダンスの解剖・運動学大事典 テクニックの上達と損傷予防のための基礎とエクササイズ	クリッピンガー　著	西村書店	9500円
00004225	消化器病学　カラー版 基礎と臨床	浅香正博	西村書店	19500円
00004226	健康長寿学大事典　QOLからEBMまで	横出正之	西村書店	9500円
00004227	膠原病学　改訂6版　免疫学・リウマチ性疾患の理解のために	塩沢俊一　著	丸善出版	15000円
00004228	ギャノング生理学　/ Lange Textbookシリーズ	Kim E.Barrett	丸善出版	10000円
00004229	分子生物学	クラーク　[著]	丸善	9800円
00004230	トートラ人体の構造と機能　第4版	Gerard J.Tortora	丸善出版	10000円
00004231	トートラ解剖学　第2版	Gerard J.Tortora	丸善	10000円
00004232	オックスフォード・生理学	Gillian Pocock	丸善出版	9800円
00004233	イラストでわかる神経症候　機能・解剖学から診断へのアプローチ	Cary D.Alberstone	丸善出版	13000円
00004234	機能性食品の作用と安全性百科	上野川修一　[ほか]編	丸善出版	18000円
00004235	新呼吸療法テキスト	3学会(日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会)合同呼吸療法認定士認定委員会　編集	アトムス	9500円
00004236	新ME機器ハンドブック	電子情報技術産業協会　編	コロナ社	10000円
00004237	ウイルス感染症の検査・診断スタンダード	田代眞人	羊土社	19000円
00004238	解剖学講義　改訂3版 高野廣子改訂	伊藤隆　原著	南山堂	11000円
00004239	組織学　改訂19版 阿部和厚改訂	伊藤隆　著	南山堂	11000円
00004240	標準組織学各論　第5版 岩永敏彦，石村和敬改訂	藤田尚男	医学書院	11000円
00004241	人体解剖カラーアトラス　2	ヴォルフ=ハイデッガー　[著]	メディカル・サイエンス・インターナショナル	10000円
00004242	レーヴン/ジョンソン生物学　下	P.レーヴン	培風館	9700円
00004243	カラーアトラスdermoscopy	斎田俊明　[ほか]編	金原出版	15000円
00004244	現代の組織学　改訂第3版	山田安正　著	金原出版	9515円
00004245	橈骨遠位端骨折　進歩と治療法の選択	斎藤英彦	金原出版	9500円
00004246	脊椎脊髄病学　第2版	岩崎幹季　著	金原出版	15000円
00004247	臨床検査法提要　改訂第34版	奥村伸生	金原出版	15000円
00004248	日常診療のための検査値のみかた	野村文夫	中外医学社	9500円
00004249	肩と肘のスポーツ障害　診断と治療のテクニック	菅谷啓之　編	中外医学社	9500円
00004250	医学生・研修医のための神経内科学　改訂3版	神田隆　著	中外医学社	12000円
00004251	手術のための脳局所解剖学	大畑建治	中外医学社	18000円
00004252	わかる！解剖生理用語チェック1000	飯島治之　著	医歯薬出版	2000円
00004253	医学漢字マスターブック　第2版　これでスラスラ読めるポケット単語帳	古橋洋子　編	文光堂	950円
00004254	幻想由来辞典	新紀元社編集部	新紀元社	1300円
00004255	医学英語表現辞典	横井川泰弘　著	金芳堂	12000円
00004256	社会福祉用語辞典　第9版　福祉新時代の新しいスタンダード	山縣文治	ミネルヴァ書房	2200円
00004257	ミネルヴァ社会福祉六法　2018	ミネルヴァ書房編集部　編	ミネルヴァ書房	2500円
00004258	深海生物大事典	佐藤孝子　著	成美堂出版	1500円
00004259	医学略語辞典　改訂4版	医学略語編集委員会　編	金芳堂	6400円
00004260	図解による法律用語辞典　補訂4版追補　辞書+入門書の1冊2役！		自由国民社	2500円
00004261	整形外科用語マニュアル　第2版	カロリン T.ブロウベルト	医学書院	6800円
00004262	図解解剖学事典　第3版	Heinz Feneis　[著]	医学書院	3800円
00004263	解剖学用語　改訂13版	解剖学用語委員会　編	医学書院	3600円
00004264	医学英語論文表現法辞典	大井静雄　著	南山堂	5000円
00004265	医療スタッフのための現代カルテ用語	吉田彌太郎　著	医薬ジャーナル社	9500円
00004266	栄養・食糧学用語辞典　第2版	日本栄養・食糧学会　編	建帛社	11000円
00004267	栄養学英和辞典　改訂第2版	久木野憲司	金原出版	4762円
00004268	日本食品大事典　新版	杉田浩一	医歯薬出版	9000円
00004269	最新医学大辞典　第3版	最新医学大辞典編集委員会　編	医歯薬出版	13000円
00004270	コツと科学の調理事典　第3版 大滝緑，奥田豊子，山口米子補訂	河野友美　著	医歯薬出版	3400円
00004271	分子生物学・免疫学キーワード辞典　第2版	永田和宏　[ほか]編	医学書院	9800円
00004272	医学書院医学大辞典　第2版	伊藤正男	医学書院	18000円
00004273	南山堂医学大辞典　第20版		南山堂	14000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004274	転倒予防白書　2016	武藤芳照	日本医事新報社	4500円
00004275	高齢者リハビリテーション学大事典	C.B.ルイス	西村書店	8800円
00004276	異常心理学大事典	M.E.P.セリグマン	西村書店	8800円
00004277	医学英語活用辞典	ミハエル・フリードビヒレル	メジカルビュー社	8000円
00004278	地形の辞典	日本地形学連合　編	朝倉書店	26000円
00004279	解剖学辞典　新装版	中井準之助　[ほか]編	朝倉書店	16000円
00004280	まるごと使える！日常英会話辞典	Wit House　編	高橋書店	1500円
00004281	からだの地図帳解剖学用語　/ 地図帳・ナース	佐藤達夫　監修	講談社	2200円
00004282	医療現場の英語辞典	山田政美	三省堂	2300円
00004283	デイリー法学用語辞典	三省堂編修所　編	三省堂	1600円
00004284	日本一読みやすい会社六法　関連政省令付き条文集	浜田道代　監修	三省堂	2400円
00004285	神話と伝説にみる花のシンボル事典	杉原梨江子　著	説話社	2800円
00004286	医学実用辞典　病院で困らないための日中英対訳	松本洋子　編著	日本僑報社	2500円
00004287	解剖学イラスト事典　第3版	松村讓兒　著	中外医学社	3800円
00004288	日本の家紋大事典	森本勇矢　著	日本実業出版社	1600円
00004289	性格類語辞典　ネガティブ編	アンジェラ・アッカーマン	フィルムアート社	1300円
00004290	世界の妖精・妖怪事典　普及版　/ シリーズ・ファンタジー百科	キャロル・ローズ　著	原書房	2800円
00004291	世界の怪物・神獣事典　普及版　/ シリーズ・ファンタジー百科	キャロル・ローズ　著	原書房	2800円
00004292	実用介護事典　改訂新版　/ 介護ライブラリー	大田仁史	講談社	3800円
00004293	全47都道府県幸福度ランキング　2016年版	日本総合研究所　編	東洋経済新報社	3500円
00004294	世界のクジラ・イルカ百科図鑑	アナリサ・ベルタ　編	河出書房新社	4500円
00004295	世界一うつくしい生物図鑑　かたちと色、その不思議	クリストファー・マーレー著	世界文化社	4000円
00004296	世界一うつくしい昆虫図鑑	クリストファー・マーレー著	宝島社	3800円
00004297	世界甲虫大図鑑	パトリス・ブシャー 総編集	東京書籍	6500円
00004298	驚くべき世界の野生動物生態図鑑	小菅正夫　日本語版監修	日東書院本社	7400円
00004299	地球博物学大図鑑	デイヴィッド・バーニー 顧問編集	東京書籍	9500円
00004300	世界の国旗・国章歴史大図鑑	苅安望　著	山川出版社	12000円
00004301	ポケット教育小六法　2017年版	伊藤良高　編集代表	晃洋書房	1300円
00004302	世界国勢図会　第27版　2016/17　世界がわかるデータブック	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004303	世界国勢図会　第28版　2017/18　世界がわかるデータブック	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004304	日本国勢図会　第75版　2017/18　日本がわかるデータブック	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004305	データでみる県勢　第26版　2017　日本国勢図会地域統計版	矢野恒太記念会　編	矢野恒太記念会	2685円
00004306	東海エリアデータブック　2017	中日新聞社広告局	中日新聞社出版部	2000円
00004307	世界年鑑　2017	共同通信社　編	共同通信社	6800円
00004308	レジャー白書　2017	日本生産性本部　編	日本生産性本部	7000円
00004309	情報メディア白書　2017	電通総研　編	ダイヤモンド社	16000円
00004310	ハリソン内科学　第5版　volume 1	デニス L.カスパー ほか編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14900円
00004311	ハリソン内科学　第5版　volume 2	デニス L.カスパー ほか編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	14900円
00004312	細菌及免疫学綱要　オンデマンド版	志賀潔　著	南山堂	10000円
00004313	イヤーノート　2019年版 内科・	岡庭豊	メディックメディア	24000円
00004314	口蓋裂言語検査(言語臨床用)	日本コミュニケーション障害学会口蓋裂言語委員会　編	日本コミュニケーション障害学会	27000円
00004315	修身教授録　現代に甦る人間学の要諦	森信三　著	致知出版社	2300円
00004316	キャリアの心理学　新版 第2版　キャリア支援への発達的アプローチ	渡辺三枝子　編著	ナカニシヤ出版	2000円
00004317	最短で達成する全体最適のプロジェクトマネジメント	岸良裕司　著	KADOKAWA	2000円
00004318	鉱物見タテ図鑑　鉱物アソビの博物学	フジイキョウコ　編・著	スペースシャワーネットワーク	1800円
00004319	在宅医療臨床入門　改訂2版　/ 在宅医療の技とこころ	和田忠志　著	南山堂	2200円
00004320	マクスウェル方程式から始める電磁気学　第2版	小宮山進	裳華房	2700円
00004321	文化地理学入門	高橋伸夫	東洋書林	2500円
00004322	論証と論理　3版	大崎博　著	成隆出版	2100円
00004323	医療と看護の総合英語　3訂版	笹島茂	三修社	1900円
00004324	機能解剖で斬る神経系疾患　第2版	中野隆　編著	メディカルプレス	6000円
00004325	患者さんとスタッフのためのペン型インスリン注射のすべて 第3刷(補訂)	清野弘明	医歯薬出版	2000円
00004326	患者さんとスタッフのための糖尿病教室　補訂版	阿部隆三　編著	医歯薬出版	3000円
00004327	最新腰痛症ハンドブック 腰椎椎間板ヘルニアからスポーツ・事故の治療まで	遠藤健司	丸善出版	4200円
00004328	教養のコンピュータサイエンス情報科学入門　第2版	小舘香椎子	丸善出版	3800円
00004329	機能的運動療法　基礎編 クラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.クラインフォーゲルバッハ	丸善出版	4500円
00004330	機能的運動療法　治療テクニック編 クラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.クラインフォーゲルバッハ	丸善出版	3600円
00004331	機能的運動療法　ボール・エクササイズ クラインフォーゲルバッハのリハビリテーション	S.クラインフォーゲルバッハ	丸善出版	3600円
00004332	微生物学キーノート　/ キーノートシリーズ	J.ニックリン　[ほか]著	丸善出版	3600円
00004333	神経科学キーノート　/ キーノートシリーズ	A.ロングスタッフ　著	丸善出版	4800円
00004334	分子生物学キーノート　/ キーノートシリーズ	P.C.ターナー　[ほか]著	丸善出版	4000円
00004335	遺伝学キーノート　/ キーノートシリーズ	P.C.ウィンター	丸善出版	3800円
00004336	生化学キーノート　/ キーノートシリーズ	B.D.ヘイムズ	丸善出版	4600円
00004337	発生生物学キーノート　/ キーノートシリーズ	R.M.トゥイマン　著	丸善出版	4800円
00004338	免疫学キーノート　/ キーノートシリーズ	P.M.Lydyard	丸善出版	3500円
00004339	入門酵素と補酵素の化学	T.D.H.Bugg　著	丸善出版	6500円
00004340	PNFハンドブック　第3版	S.S.アドラー	丸善出版	4800円
00004341	RとBioconductorを用いたバイオインフォマティクス	R.ジェントルマン [ほか]編	丸善出版	7900円
00004342	レクチン　第2版　歴史，構造・機能から応用まで	N.シャロン	丸善出版	6300円
00004343	ステップス・トゥ・フォロー　改訂第2版	P.M.デービス　著	丸善出版	4800円
00004344	スイスボール　理論と実技，基礎から応用まで	B.カリエール　著	丸善出版	4600円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004345	ライト・イン・ザ・ミドル　成人片麻痺の選択的な体幹活動	P.M.デービス　著	丸善出版	4660円
00004346	ベルゲソン生化学の物理的基礎	ピーター・R.ベルゲソン　著	丸善出版	8000円
00004347	マウスラボマニュアル　第2版　ポストゲノム時代の実験法 / Springer lab manual	東京都臨床医学総合研究所 実験動物研究部門　編	丸善出版	8000円
00004348	エピジェネティクス　/ Springer reviews	佐々木裕之　編	丸善出版	5400円
00004349	メタボローム研究の最前線　/ Springer reviews	冨田勝	丸善出版	5600円
00004350	標準微生物学　第13版　/ Standard Textbook	神谷茂	医学書院	7000円
00004351	君と白血病　新訂版　この1日を貴重な1日に	Lynn S.Baker	医学書院	2800円
00004352	心エコーのABC　/ 日本医師会生涯教育シリーズ	五島雄一郎	日本医師会	5340円
00004353	ハンドスプリント　作り方・用い方	生田宗博　編	メディカルプレス	5000円
00004354	PT・OT基礎から学ぶ神経内科学ノート　第2版　理学療法士・作業療法士	中島雅美	医歯薬出版	4200円
00004355	日本食品成分表　2018(7訂)	医歯薬出版　編	医歯薬出版	1300円
00004356	犬と猫のサイエンス　/ 別冊日経サイエンス　209	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004357	人類危機　未来への扉を求めて/ 別冊日経サイエンス　214	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004358	AI　人工知能の軌跡と未来/ 別冊日経サイエンス　216	竹内郁雄　編	日経サイエンス	2000円
00004359	大地震と大噴火　日本列島の地下を探る/ 別冊日経サイエンス　217	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004360	脳科学のダイナミズム　睡眠 学習 空間認識 医薬 / 別冊日経サイエンス　218	日経サイエンス編集部　編	日経サイエンス	2000円
00004361	よみがえる恐竜　最新研究が明かす姿/ 別冊日経サイエンス　220	真鍋真　編	日経サイエンス	2000円
00004362	微生物の驚異　マイクロバイオームから多剤耐性菌まで / 別冊日経サイエンス　221	中西真人　編	日経サイエンス	2000円
00004363	失語症訓練のためのドリル集　1　語想起(名詞)の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004364	失語症訓練のためのドリル集　2 意味・音韻面から語想起(名詞)の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004365	失語症訓練のためのドリル集　3 動作・状態を表す語(動詞・形容詞・形容動詞)の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004366	失語症訓練のためのドリル集　4　漢字・仮名の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004367	失語症訓練のためのドリル集　5　文構成の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3200円
00004368	失語症訓練のためのドリル集　6　長い文の理解の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	2800円
00004369	失語症訓練のためのドリル集　7　文作成と難しい語句の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3200円
00004370	失語症訓練のためのドリル集　8　難しい内容表現の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	2800円
00004371	失語症訓練のためのドリル集　9 日常コミュニケーションの改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	3600円
00004372	作業の科学　Vol.1	作業療法関連科学研究会　編	協同医書出版社	3500円
00004373	作業の科学　Vol.2	作業療法関連科学研究会　編	協同医書出版社	3500円
00004374	作業の科学　Vol.3	作業療法関連科学研究会　編	協同医書出版社	3500円
00004375	作業の科学　Vol.4	作業療法関連科学研究会　編	協同医書出版社	4000円
00004376	作業の科学　Vol.5	作業療法関連科学研究会　編	協同医書出版社	3800円
00004377	作業の科学　Vol.6	作業療法関連科学研究会　編	協同医書出版社	3800円
00004378	作業の科学　Vol.7	作業療法関連科学研究会　編	協同医書出版社	3800円
00004379	絵でみる江戸の町とくらし図鑑　時代小説のお供に	善養寺ススム　絵・文	廣済堂出版	1400円
00004380	ビジネス統計学　下	アミール・D.アクゼル	ダイヤモンド社	4200円
00004381	図解！ArcGIS 10　Part2　GIS実践に向けてのステップアップ	川崎昭如	古今書院	2600円
00004382	都市の景観地理　韓国編	阿部和俊　編	古今書院	2300円
00004383	大学テキスト自然地理学　下巻	大山正雄	古今書院	2600円
00004384	新・スポーツ医学　新版 / やさしいスチューデントトレーナーシリーズ　4	藤本繁夫	嵯峨野書院	2700円
00004385	新・スポーツ栄養学　/ やさしいスチューデントトレーナーシリーズ　5	井奥加奈　編著	嵯峨野書院	2600円
00004386	嚥下調整食学会分類2013に基づく市販食品300　2018年データ更新	栢下淳	医歯薬出版	3000円
00004387	バラエティクイズ&ぬり絵で脳トレーニング / シニアの脳トレーニング　1	脳トレーニング研究会　編	黎明書房	1600円
00004388	公衆栄養学　第6版	古畑公	光生館	3000円
00004389	運動器リハビリテーションシラバス　改訂第4版 セラピストのための実践マニュアル	岩谷力　[ほか]編集	南江堂	3500円
00004390	マナーとホスピタリティの英語　1　医療・看護・介護	古閑博美	鷹書房弓プレス	1800円
00004391	絵とDVDでわかるスポーツルールとテクニック　9 ダンス・創作ダンス・フォークダンス・現代的なリズムのダンス	中村和彦　総合監修	学研教育出版	3300円
00004392	オリンピック・パラリンピック大百科　6 パラリンピックと障がい者スポーツ	日本オリンピック・アカデミー　／監修	小峰書店	3000円
00004393	悪について　/ 岩波新書　935	中島義道　著	岩波書店	780円
00004394	河合隼雄のカウンセリング入門　実技指導をとおして	河合隼雄　著	創元社	1500円
00004395	この1冊でわかる世界経済の新常識　2018	大和総研　編著	日経BP社	1500円
00004396	トコトンやさしい水素の本　第2版 / B&Tブックス，今日からモノ知りシリーズ	水素エネルギー協会　編	日刊工業新聞社	1500円
00004397	解剖学　第11版　/ MINOR TEXTBOOK	清木勘治　著	金芳堂	5800円
00004398	本当のところを教えて！放射線のリスク 放射線影響研究者からのメッセージ	日本放射線影響学会Q&A対応グループ　編	医療科学社	1800円
00004399	国際経済学　国際金融編　/ Minervaベイシック・エコノミクス	岩本武和　著	ミネルヴァ書房	3000円
00004400	経済統計入門　第2版	中村隆英　[ほか]著	東京大学出版会	3000円
00004401	自分を知るいのちの科学　改訂版	伊藤明夫　著	培風館	1800円
00004402	遺伝学概説	J.F.クロー　著	培風館	2700円
00004403	物理学　3訂版	小出昭一郎　著	裳華房	2200円
00004404	量子力学　改訂版　1　/ 基礎物理学選書　5A	小出昭一郎　著	裳華房	2700円
00004405	哲学の道具箱	ジュリアン・バッジーニ	共立出版	2600円
00004406	病気がみえる　第2版　vol.5　血液	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3200円
00004407	病気がみえる　第2版　vol.6　免疫・膠原病・感染症	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3500円
00004408	病気がみえる　第2版　vol.7　脳・神経	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3900円
00004409	病気がみえる　第4版　vol.9　婦人科・乳腺外科	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3300円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004410	病気がみえる　第4版　vol.10　産科	医療情報科学研究所　編集	メディックメディア	3600円
00004411	わかりやすい糖尿病テキスト　第5版	宮崎久義	じほう	1600円
00004412	病院感染対策ガイドライン　2018年版	国公立大学附属病院感染対策協議会　編集	じほう	3800円
00004413	医事課のお仕事　2018-19年版　コミック医療事務入門「入門・解説編」「医療事務試験・入門編」付き！！	山田雅資　作	医学通信社	1400円
00004414	胸郭運動システムの再建法　第2版 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療	柿崎藤泰　編集	ヒューマン・プレス	6000円
00004415	細胞診断学入門　第3版　臨床検査技師・細胞検査士をめざす人のために	長坂徹郎	名古屋大学出版会	6300円
00004416	人体生理学ノート　第8版	岡田隆夫　著	金芳堂	2900円
00004417	むち打ち損傷ハンドブック　第3版 頸椎捻挫，脳脊髄液減少症から慢性疼痛の治療	遠藤健司	丸善出版	4500円
00004418	入門病理学　病気の形態となりたち	町並陸生　著	丸善出版	3700円
00004419	応用栄養学実習　3訂　ケーススタディーで学ぶ栄養マネジメント	五関正江	建帛社	2700円
00004420	感染と生体防御　改訂　/ 管理栄養士講座	酒井徹	建帛社	3400円
00004421	よくわかる社会学　第2版　/ やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ	宇都宮京子　編	ミネルヴァ書房	2500円
00004422	演習で学ぶ「流体の力学」入門　第2版	西海孝夫	秀和システム	3600円
00004423	看護系で役立つ生物の基本	西沢いづみ	化学同人	1600円
00004424	エッセンシャル生化学　第3版	Charlotte W.Pratt	東京化学同人	6300円
00004425	カラー生化学	マシューズ	西村書店	8800円
00004426	ルービン カラー基本病理学	エマニュエル・ルービン	西村書店	6600円
00004427	マーティン カラー神経解剖学　テキストとアトラス	ジョン・H・マーティン 著	西村書店	6400円
00004428	最新臨床栄養学　第3版	上原誉志夫	光生館	3400円
00004429	基礎栄養学	細川優	光生館	2500円
00004430	基礎栄養学　改訂	伏木亨	光生館	2400円
00004431	コメディカルのための薬理学　第3版	渡邊泰秀	朝倉書店	3700円
00004432	人体発生学講義ノート　第2版　カラー図解	塩田浩平　著	金芳堂	5900円
00004433	神経伝導検査ポケットマニュアル　第2版	正門由久	医歯薬出版	3000円
00004434	嚥下障害ポケットマニュアル　第4版	聖隷嚥下チーム　執筆	医歯薬出版	2800円
00004435	CT・MRI画像解剖ポケットアトラス　第4版　3　脊椎・四肢・関節	トルステン B.メーラー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00004436	教えるということ	大村はま　著	共文社	750円
00004437	創造的論文の書き方	伊丹敬之　著	有斐閣	1700円
00004438	地方公務員法の要点　第10次改訂版　試験・実務に役立つ！	米川謹一郎　編著	学陽書房	2100円
00004439	論理学入門	仲本章夫　著	創風社	1600円
00004440	地理学の古典	手塚章　編	古今書院	4000円
00004441	言志四録　座右版	佐藤一斎　著	講談社	4400円
00004442	公認心理師・臨床心理士大学院対策鉄則10&キーワード100　心理英語編	木澤利英子　著	講談社	2500円
00004443	公認心理師・臨床心理士大学院対策鉄則10&キーワード25　心理統計編	宮川純　著	講談社	2400円
00004444	医療従事者のための医学英語入門	清水雅子　著	講談社	2500円
00004445	労働基準法と就業規則　改訂版 そのまま使える！文書サンプルを豊富に収録	松山正光　著	新星出版社	1850円
00004446	失業保険150%トコトン活用術　[2017]第8版 辞める前に知っておきたい77の知恵！/ DO BOOKS	日向咲嗣　著	同文舘出版	1500円
00004447	スバラシク実力がつくと評判の統計学キャンパス・ゼミ　改訂4　大学の数学がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2300円
00004448	スバラシク実力がつくと評判の演習線形代数キャンパス・ゼミ　改訂5	高杉豊	マセマ出版社	2180円
00004449	スバラシク実力がつくと評判の線形代数キャンパス・ゼミ　改訂6　大学の数学がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2370円
00004450	スバラシク実力がつくと評判の演習微分積分キャンパス・ゼミ　改訂4	馬場敬之	マセマ出版社	2130円
00004451	スバラシク実力がつくと評判の微分積分キャンパス・ゼミ　改訂5　大学の数学がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2380円
00004452	スバラシク実力がつくと評判の力学キャンパス・ゼミ　改訂5　大学の物理がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2530円
00004453	スバラシク実力がつくと評判の熱力学キャンパス・ゼミ　改訂4　大学の物理がこんなに分かる！単位なんて楽に取れる！	馬場敬之　著	マセマ出版社	2280円
00004454	図解でわかる社会保険いちばん最初に読む本　改訂4版	山田芳子　編著	アニモ出版	1500円
00004455	すぐわかる！教育法規　第2次改訂版	窪田眞二　編	学陽書房	2500円
00004456	もういちど読む山川政治経済　新版	山崎広明　編	山川出版社	1500円
00004457	論理的思考の技法　第2版　1　「ならば」をめぐって	鈴木美佐子　著	法学書院	1500円
00004458	民法がわかった　改訂第4版	田中嗣久	法学書院	2500円
00004459	Q&Aでわかる！管理職のための労基署対策マニュアル	安中繁　監修	宝島社	780円
00004460	ちょっと気になる社会保障　知識補給増補版	権丈善一　著	勁草書房	1800円
00004461	ちょっと気になる医療と介護　増補版	権丈善一　著	勁草書房	2500円
00004462	予防接種の現場で困らないまるわかりワクチンQ&A　2版	中野貴司　編著	日本医事新報社	4800円
00004463	観光と情報システム　改訂版	中谷秀樹　編著	流通経済大学出版会	1800円
00004464	日本の沖積層　改訂版　未来と過去を結ぶ最新の地層	遠藤邦彦　著	冨山房インターナショナル	5500円
00004465	論理学	井上昌計　著	成文堂	2200円
00004466	統計学	山根太郎　著	東洋経済新報社	3000円
00004467	ウエスト呼吸生理学入門　第2版　疾患肺編	ジョン B ウエスト	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4200円
00004468	ペコリーノがんの分子生物学　第3版　メカニズム・分子標的・治療	ローレン ペコリーノ　著	メディカル・サイエンス・インターナショナル	4800円
00004469	現代リハビリテーション医学　改訂第4版	椿原彰夫	金原出版	6200円
00004470	MR・超音波・眼底基礎知識図解ノート　第2版 図，表，画像が満載！要点がわかる！	磯辺智範　編集	金原出版	6800円
00004471	あたらしい皮膚科学　第3版	清水宏　著	中山書店	7800円
00004472	「イラスト」めまいの検査　改訂第3版	日本めまい平衡医学会　編集	診断と治療社	4800円
00004473	QGISの基本と防災活用　2訂版	橋本雄一　編	古今書院	3000円
00004474	在宅医療バイブル　第2版 家庭医療学，老年医学，緩和医療学の3領域からアプローチする	川越正平　編著	日本医事新報社	7000円
00004475	食物アレルギーの栄養指導　新版	今井孝成	医歯薬出版	3000円

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00004476	立ち上がりと歩行の分析　/ 新ボディダイナミクス入門	江原義弘	医歯薬出版	7000円
00004477	片麻痺者の歩行と短下肢装具　/ 新ボディダイナミクス入門	山本澄子	医歯薬出版	6000円
00004478	「作業」って何だろう　第2版　作業科学入門	吉川ひろみ　著	医歯薬出版	2800円
00004479	PT・OT基礎から学ぶ病理学ノート　第2版　理学療法士・作業療法士	中島雅美	医歯薬出版	3200円
00004480	臨床の口腔生理学に基づく摂食嚥下障害のキュアとケア　第2版	舘村卓　著	医歯薬出版	5300円
00004481	末梢神経の臨床　診断・治療・リハビリテーション	山野慶樹　著	医歯薬出版	4800円
00004482	臨床歩行分析ワークブック　改訂第2版	廣瀬浩昭　編集	メジカルビュー社	4000円
00004483	シンプル衛生公衆衛生学　2018	小山洋	南江堂	2400円
00004484	シンプル微生物学　改訂第6版	小熊惠二	南江堂	3200円
00004485	シンプル免疫学　改訂第5版	中島泉	南江堂	2900円
00004486	コンパクト生化学　改訂第4版	大久保岩男	南江堂	2200円
00004487	コンパクト栄養学　改訂第4版	久保田俊一郎	南江堂	2200円
00004488	理学療法評価学テキスト　改訂第2版　/ シンプル理学療法学シリーズ	星文彦	南江堂	5500円
00004489	内部障害理学療法学テキスト　改訂第3版/ シンプル理学療法学シリーズ	山崎裕司	南江堂	5000円
00004490	理学療法概論テキスト　改訂第3版　/ シンプル理学療法学シリーズ	中島喜代彦	南江堂	4000円
00004491	小児理学療法学テキスト　改訂第3版　/ シンプル理学療法学シリーズ	田原弘幸	南江堂	4500円
00004492	やさしい生理学　改訂第7版	彼末一之	南江堂	2600円
00004493	標準理学療法学・作業療法学　第4版 整形外科学　専門基礎分野 PT OT/ STANDARD TEXTBOOK	奈良勲	医学書院	3600円
00004494	神経症状の診かた・考えかた　第2版　General Neurologyのすすめ	福武敏夫　著	医学書院	5200円
00004495	医療福祉総合ガイドブック　2018年度版	日本医療ソーシャルワーク研究会　編集	医学書院	3300円
00004496	理学療法テキスト 内部障害理学療法学循環・代謝　第2版 / 15レクチャーシリーズ	木村雅彦　責任編集	中山書店	2600円
00004497	PT・OTのための臨床技能とOSCE　コミュニケーションと介助・検査測定編	金田嘉清　[ほか]編集	金原出版	5500円
00004498	ライブ！現代社会　2018　世の中の動きに強くなる	帝国書院編集部　編	帝国書院	870円
00004499	学生のための解剖・組織・発生学　第2版	諏訪文彦	医歯薬出版	5500円
00004500	てんかん学ハンドブック　第4版	兼本浩祐　著	医学書院	4000円
00004501	わかりやすい臨床中医実践弁証トレーニング　第2版	王財源　著	医歯薬出版	5000円
00004502	理由と人格　非人格性の倫理へ	デレク・パーフィット　著	勁草書房	10000円
00004503	カラールービン病理学　改訂版　臨床医学への基盤	ラファエル・ルービン	西村書店	12500円
00004504	解明病理学　第3版　病気のメカニズムを解く	青笹克之　総編集	医歯薬出版	16000円
00004505	プロメテウス解剖学アトラス　第2版　口腔・頭頸部	Eric W.Baker　[編]	医学書院	16000円
00004506	労働安全衛生規則実務便覧　平成30年6月1日現　安全衛生担当者必携	労働調査会出版局　編	労働調査会	1760円
00004507	解説教育六法　2018	解説教育六法編修委員会編	三省堂	2600円
00004508	学習六法　第9版　憲法・民法・刑法	日本評論社編集部　編	日本評論社	1000円
00004509	教育小六法　平成30年版	市川須美子 [ほか]編集委員	学陽書房	2700円
00004510	教育法規便覧　平成30年版　学校の法律がこれ1冊でわかる	窪田眞二	学陽書房	3800円
00004511	社会福祉小六法　平成30年版	ミネルヴァ書房編集部　編	ミネルヴァ書房	1600円
00004512	観光ビジネス未来白書　2018年版 統計に見る実態・分析から見える未来戦略	加藤弘治　編著	同友館	2500円
00004513	標準世界史地図　増補第48版	亀井高孝	吉川弘文館	750円
00004514	データブックオブ・ザ・ワールド　2018(Vol.3　世界各国要覧と最新統計		二宮書店	680円
00004515	たまごからヒトへ　生命の始まりをやさしく科学的に描いた/ DVD BOOK	武田純一郎　監督	アイカム	3800円
00004516	DVD版関節運動学的アプローチ(AKA)－博田法　第2版 DISC1 副運動技術編. DISC2 構成運動技術編	博田節夫　編	医歯薬出版	57000円
00004517	動画でマスター！機能解剖学的触診技術上肢+下肢・体幹セット	林典雄　監修	メジカルビュー社	5000円
00004518	脳を鍛える ： 東大講義「人間の現在」	立花隆	新潮社	¥667
00004519	University text book　哲学	東京都私立短期大学協会	酒井書店・育英堂	¥1,456
00004520	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004521	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004522	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004523	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004524	コンパクト新心理学ライブラリ1　心理学 第2版	梅本堯夫／共著	サイエンス社	¥1,400
00004525	心理学　　こころを科学する	笹野完二	ナカニシ出版	¥2,200
00004526	心理学入門	多屋頼典／著	岡山大学出版会	¥952
00004527	心理学入門	桂広介	金子書房	頒価不明
00004528	心理学入門	多屋頼典	岡山大学出版会	¥952
00004529	人間行動の心理	木村忠雄/他編	福村出版	頒価不明
00004530	岩波心理学小辞典	宮城音弥	岩波書店	¥1,650
00004531	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200
00004532	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200
00004533	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200
00004534	テキストブック心理学7　臨床心理学	藤永保/他編	有斐閣ブックス	¥2,200
00004535	HTP診断法	J.N.バック	新曜社	頒価不明
00004536	新訂増補　心理テスト入門	伊藤隆二・松原達哉／共著	日本文化科学社	頒価不明
00004537	臨床描画研究Ⅲ	家族画研究会	金原出版	¥3,200
00004538	臨床描画研究Ⅳ	家族画研究会	金原出版	¥3,200
00004539	心理学のための統計学，6 パーソナリティ心理学のための統計学 ： 構造方程式モデリング	尾崎幸謙,荘島宏二郎	誠信書房	¥2,600
00004540	心理検査法	塩見邦雄/他編	ナカニシヤ出版	頒価不明
00004541	パーソナリティの心理学	J.B.ロッター, D.J.ホックレイク	新曜社	頒価不明
00004542	医療スタッフのための心の生物学入門	廣中直行／著	協同医書出版社	¥2,500
00004543	視覚の心理学	鳥居修晃／著	サイエンス社	頒価不明
00004544	記憶の神経心理学 ： 記憶と健忘のメカニズムを探る	A.J.パーキン	朝倉書店	¥3,500
00004545	思考の整理学	外山 滋比古／著	筑摩書房	¥520
00004546	認知の発達心理学	古浦一郎	誠信書房	頒価不明
00004547	ライブラリ人間と行動，4　行動の形成と発達	斎藤幸一郎	サイエンス社	頒価不明
00004548	意思と性格の心理学	戸川行男／著	金子書房	頒価不明
00004549	主要5因子性格検査ハンドブック　改訂版	村上宣寛・村上千恵子／著	学芸図書	¥3,600
00004550	人間のこころを探る	小口忠彦	産能大学出版部	頒価不明
00004551	健康な人格 ： 人間の可能性と七つのモデル	D.シュルツ	川島書店	頒価不明
00004552	性格心理学ハンドブック	長島貞夫	金子書房	¥3,600
00004553	血液型と性格	大村政男／著	福村出版	頒価不明
00004554	人を見ぬく知恵	島影盟／著	白揚社	頒価不明
00004555	小児ケアのための発達臨床心理	岡堂哲夫／著	へるす出版	¥3,200
00004556	人生移行の発達心理学	山本多喜司,S・ワップナー	北大路書房	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004557	発達臨床心理学	相田貞夫/他編	朝倉書店	¥2,700
00004558	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004559	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004560	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004561	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004562	心とかかわる臨床心理　基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004563	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004564	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004565	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004566	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004567	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004568	心とかかわる臨床心理　第２版 基礎・実際・方法	川瀬正裕／他著	ナカニシ出版	¥2,200
00004569	精神分析セミナーⅠ　精神療法の基礎	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004570	不安の問題　フロイド選集，第10巻	フロイド	日本教文社	頒価不明
00004571	フロイド選集改訂版1　精神分析入門上	井村恒郎／訳	日本教文社	¥650
00004572	フロイド選集改訂版10　不安の問題	加藤正明／訳	日本教文社	¥600
00004573	フロイド選集改訂版11　夢判断上	高橋義孝／訳	日本教文社	¥650
00004574	フロイド選集改訂版12　夢判断下	高橋義孝／訳	日本教文社	¥700
00004575	フロイド選集改訂版13　生活心理の錯誤	浜川祥枝／訳	日本教文社	¥700
00004576	フロイド選集改訂版14　愛情の心理学	高橋義孝／訳	日本教文社	¥600
00004577	フロイド選集改訂版15　精神分析療法	小此木啓吾／訳	日本教文社	¥700
00004578	フロイド選集改訂版16　勝利の研究	小此木啓吾／訳	日本教文社	¥700
00004579	フロイド選集改訂版17　自らを語る	懸田克躬／訳	日本教文社	¥650
00004580	フロイド選集改訂版2　精神分析入門下	井村恒郎／訳	日本教文社	¥650
00004581	フロイド選集改訂版3　続精神分析入門	古沢平作／訳	日本教文社	¥600
00004582	フロイド選集改訂版4　自我論	井村恒郎／訳	日本教文社	¥650
00004583	フロイド選集改訂版5　性欲論	懸田克躬／訳	日本教文社	¥600
00004584	フロイド選集改訂版6　文化論	吉田正己／訳	日本教文社	¥700
00004585	フロイド選集改訂版7　芸術論	高橋義孝／訳	日本教文社	¥700
00004586	フロイド選集改訂版8　宗教論	土井正徳／訳	日本教文社	¥650
00004587	フロイド選集改訂版9　ヒステリー研究	懸田克躬／訳	日本教文社	¥700
00004588	自分のこころからよむ臨床心理学入門	丹野義彦,坂本真士	東京大学出版会	¥2,400
00004589	精神分析セミナーⅡ　精神分析の分析治療機序	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004590	精神分析セミナーⅢ　フロイトの治療技術	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004591	精神分析セミナーⅣ　フロイトの精神病理学理論	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004592	精神分析セミナーⅤ　発達とライフサイクルの観点	小此木啓吾/他編	岩崎学術出版	頒価不明
00004593	癒され上手になりましょう	本城稔	サンマーク出版	頒価不明
00004594	カウンセリングのすすめ方　あなたもカウンセラー	中西信男	有斐閣	頒価不明
00004595	カウンセリングの技術	ロロ・メイ	岩崎学術出版社	頒価不明
00004596	サイコドラマのすすめ方	金剛出版	増野肇	¥2,330
00004597	子供の心理療法 ： サイコセラピーの理論と実際	森脇要/他編	慶應通信	頒価不明
00004598	思春期危機と家族 ： 登校拒否・家庭内暴力のチーム治療	石川義博,青木四郎著	岩崎学術出版	頒価不明
00004599	集団心理療法	水島恵一,岡堂哲雄	金子書房	頒価不明
00004600	倫理学入門　現代に生きる人間の哲学	将積茂／ほか著	朝倉書店	¥2,400
00004601	応用倫理学のすすめ	加藤尚武／著	丸善	¥602
00004602	松村春繁　断酒会初代会長	小林哲夫	特定非営利活動法人ＡＳＫ	¥2,000
00004603	松村春繁 ： 断酒会初代会長	小林哲夫／著	アルコール問題全国市民協会	¥2,000
00004604	「企業と人権」ハンドブック	東京人権啓発企業連絡会	明石書店	¥2,524
00004605	わたしと人権	人権文化を育てる会	ぎょうせい	¥3,000
00004606	路地裏の人権 ： 暮らしの中に人間らしさを求めて	田中正人	明石書店	¥1,631
00004607	法学の基本原理	赤坂昭二／著	成文堂	¥2,800
00004608	エコノミックス入門	ウィリアムJ.バウモル／著	HBJ出版局	頒価不明
00004609	経済学入門	鎌倉孝夫	労働教育センター	頒価不明
00004610	日本の経済社会を考える	岡本憲也,佐藤誠	文眞堂	頒価不明
00004611	近代経済学入門	美濃口武雄／著	中央経済社	頒価不明
00004612	経済学　下	P.サムエルソン,W.ノードハウス著;都留重人訳	岩波書店	¥4,369
00004613	現代社会科学叢書:新装版　ケインズ経済学入門	A.H.ハンセン	東京創元社	頒価不明
00004614	改訂版　どうみる世界と日本の経済	佐々木憲昭／著	新日本出版社	頒価不明
00004615	データ・ブック日本の経済構造	経済企画庁総合計画局	東洋経済新報	頒価不明
00004616	これからの世界経済	竹内宏	日本実業出版	頒価不明
00004617	文部科学省後援　ビジネス能力検定1級テキスト 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥2,500
00004618	文部科学省後援　ビジネス能力検定2級試験問題集 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,500
00004619	文部科学省後援　ビジネス能力検定2級テキスト 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,943
00004620	文部科学省後援　ビジネス能力検定3級試験問題集 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,300
00004621	文部科学省後援　ビジネス能力検定3級テキスト 2008年版	専修学校教育振興会／監修	日本能率協会マネジメントセンター	¥1,943
00004622	ビジネスマナーBOOK	住友信託銀行・住信ビジネス・インスティテュート	社団法人金融財政事情研究会	¥1,748
00004623	よくわかる自信がつくビジネスマナー 改訂2版	富士通エフ・オー・エム株式会社／著作・制作	FOM出版	¥1,700
00004624	法と経済学	N.マーキュロ／ほか著	成文堂	¥2,500
00004625	現代のインフレーション 病理と治療法	小松憲治／著	早稲田大学出版	頒価不明
00004626	統計学が最強の学問である[実践編]	西内啓／著	ダイヤモンド社	¥1,900
00004627	ソーシャル・キャピタル ： 社会構造と行為の理論	ナン・リン	ミネルヴァ書房	¥3,600
00004628	人間関係の心理学	齊藤勇	誠信書房	頒価不明
00004629	文化の諸相	新田義之	大学教育出版	¥1,800
00004630	文化の諸相ー比較文化を学ぶためにー	新田義之	大学教育出版	¥1,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004631	個と集団の社会心理学	狩野素朗	ナカニシヤ出版	頒価不明
00004632	文化の諸相 ： 比較文化を学ぶために	新田義之	大学教育出版	¥1,800
00004633	都市と人間	柴田徳衛	東京大学出版会	頒価不明
00004634	Ｑ＆Ａ市民と企業のえせ同和行為対策	警察庁暴力問題研究会	民事法情報センター	¥1,942
00004635	訪問診療・訪問看護のための在宅診療報酬Q&A	医学通信社編集部	医学通信社	¥2,400
00004636	保険請求のための検査・疾病早見表 2009年4月版		サンライズ社	¥4,571
00004637	レセプト作成テキストブック ： 医科 点数表の基本と レセプト記載の原則　平成28年4月版	社会保険研究所	社会保険研究所	¥3,400
00004638	診療報酬・完全攻略マニュアル ： ビジュアル速解　2004	青山美智子	医学通信社	¥2,800
00004639	入門・診療報酬の請求 ： 点数算定・レセプト請求を100%理解するために	杉本恵申,佐藤麻菜	医学通信社	¥2,800
00004640	保険診療基本法令テキストブック ： 医療保険制度の概要と関係法令 平成28年4月版	社会保険研究所	社会保険研究所	¥2,100
00004641	よくわかる労災・自賠責請求マニュアル　2008-09年版 窓口対応・制度・請求方法の全知識	武田匡弘／著	医学通信社	¥2,600
00004642	障害者雇用ガイドブック	日本障害者雇用促進協会	社団法人 雇用問題研究会	¥1,699
00004643	障害者雇用ガイドブック	日本障害者雇用促進協会	社団法人 雇用問題研究会	¥1,699
00004644	知っていますか？ジェンダーと人権一問一答	舟橋邦子	解放出版	¥1,000
00004645	「男だてら」に「女泣き」	奥山和弘／著	文芸社	¥1,300
00004646	性というつくりごと	伊奈正人	勁草書房	頒価不明
00004647	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004648	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004649	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004650	改訂介護概論・基本介護技術	千葉典子	共栄出版	¥2,000
00004651	改訂新・セミナー介護福祉1 社会福祉概論	仲村優一・秋山智久	ミネルヴァ書房	¥2,600
00004652	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004653	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004654	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004655	改訂第3版　精神保健福祉士養成セミナー 医学一般	精神保健福祉士養成セミナー編集委員会	へるす出版	¥3,000
00004656	改訂　社会福祉士養成講座14　医学一般	福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	¥2,427
00004657	新・セミナー介護福祉9　一般医学	上田敏	ミネルヴァ書房	¥2,600
00004658	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー9 保健医療サービス論 精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会　／編	へるす出版	¥2,100
00004659	セミナー介護福祉⑩　一般医学	上田敏	ミネルヴァ書房	¥2,500
00004660	社会福祉施設実践講座，6　施設とリハビリテーション	石井哲夫,小島蓉子	東京書籍	¥2,000
00004661	新版 福祉事務管理シリーズ1　社会福祉論１	岡本栄一,守本友美	建帛社	¥2,200
00004662	新版 福祉事務管理シリーズ2　社会福祉論２	岡本栄一,守本友美	建帛社	¥2,200
00004663	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー1 医学一般	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,200
00004664	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー3 社会学	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,200
00004665	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー4 社会福祉原論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,500
00004666	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー6 福祉行財政論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,100
00004667	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー8 公的扶助論	精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会	へるす出版	¥2,100
00004668	第2版 よくわかる専門基礎講座　社会福祉	児島美都子,内山治夫	金原出版	¥2,200
00004669	福祉事務管理技能検定テキスト1　社会保障・社会福祉論	大嶋泰子,川口博	建帛社	¥2,000
00004670	ケアマネジメント　TAKEUCHI実践ケア学	竹内孝仁／緒	医歯薬出版	¥1,800
00004671	ケアマネジメント　TAKEUCHI実践ケア学	竹内孝仁／緒	医歯薬出版	¥1,800
00004672	ケアマネジメント　TAKEUCHI実践ケア学	竹内孝仁／緒	医歯薬出版	¥1,800
00004673	ソーシャルワーク実践への道	小関康之・塚口伍喜夫	角川書店	¥2,000
00004674	地域リハビリテーション白書93	澤村誠志	三輪書店	¥6,796
00004675	福祉用具プランナーテキスト	財団法人テクノエイド協会	財団法人テクノエイド協会	¥8,000
00004676	福祉住環境コーディネーター2級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,600
00004677	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004678	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004679	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004680	福祉住環境コーディネーター3級検定試験 過去問題集2013年版		ハウジングエージェンシー	¥1,500
00004681	福祉住環境コーディネーター　二訂版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,000
00004682	福祉住環境コーディネーター　二訂版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,000
00004683	福祉住環境コーディネーター　二訂版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,000
00004684	福祉住環境コーディネーター　改訂4版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004685	福祉住環境コーディネーター　改訂4版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,500
00004686	福祉住環境コーディネーター　改訂4版 検定試験2級公式テキスト	東京商工会議所	東京商工会議所	¥4,500
00004687	医療福祉シリーズ　身体障碍・難病百問百答	児島美都子	中央法規出版	頒価不明
00004688	経済を学ぶ・経済を教える	岩田年浩	ミネルヴァ書房	頒価不明
00004689	これからの老人保健施設 　モデル施設からの報告と提言	モデル老人保健施設連絡協議会	メヂカルフレンド社	¥3,000
00004690	社会福祉選書⑦障害者福祉論第二版	手塚直樹	光生館	頒価不明
00004691	シリーズ生活リハビリ講座，２　生活障害論	三好春樹	雲母書房	¥2,500
00004692	生活環境論　第2版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004693	生活環境論　第2版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004694	生活環境論　第3版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004695	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004696	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004697	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004698	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004699	生活環境論　第4版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004700	生活環境論　第5版	木村哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00004701	バリア・フリーの生活環境論　第２版	野村みどり	医歯薬出版	¥6,600
00004702	フロイトの読み方	外林大作／著	誠信書房	頒価不明
00004703	ホイストを活かす吊具の選び方・使い方	市川洌	三輪書店	¥1,942
00004704	ホイストを活かす吊具の選び方・使い方	市川洌	三輪書店	¥1,942
00004705	老化のプロセスと精神障害	戸川行男	垣内出版	頒価不明
00004706	障害者の教育と福祉入門 ： イラストとミニマム・エッセンシャルズでつづる ： 共に生きる社会をめざして	津曲裕次	川島書店	頒価不明
00004707	精神薄弱問題白書　1991・92年版	日本精神薄弱者福祉連盟	日本文化科学社	¥3,500
00004708	老化のプロセスと精神障害 老年心理学をめざして	戸川行男/他編	垣内出版	頒価不明
00004709	ケアマネジメント	竹内孝仁／著	医歯薬出版	¥1,800
00004710	福祉機器用品最新情報	時事通信社	時事通信社	¥6,311
00004711	生活環境論 ： 生活支援の視点と方法　第6版	安梅勅江/他編	医歯薬出版	¥6,800
00004712	すぐに役立つ公費負担医療の実際知識 ： 実例・図解による請求事務マニュアル　2005年版	安藤秀雄	医学通信社	¥3,200
00004713	保健・医療ソーシャルワーク ： 総合的対人サービス実践の手びき	斎藤安弘・阪上裕子	川島書店	頒価不明
00004714	A・S・ニイル　人間育成の基礎	霜田静志／訳者	誠信書房	頒価不明
00004715	学習心理学	梶田正巳	福村出版	頒価不明
00004716	新・児童心理学講座第１５巻　子どもの発達障害と教育	野村庄語	金子書房	頒価不明
00004717	発達と学習の心理	岩井勇児	福村出版	頒価不明
00004718	子どもから大人へ　心身発達の移行期の諸問題	佐藤正	学芸図書	頒価不明
00004719	自我と防衛機制　　アンナ・フロイト著作集２	黒丸正四郎／訳	岩崎学術出版	頒価不明
00004720	WAIS-R成人知能検査法　日本版	品川不二郎・小林重雄	日本文化科学社	頒価不明
00004721	日本版 WISC-III知能検査法　　実施・採点編	DavidWechsler	日本文化科学社	頒価不明
00004722	日本版 WISC-III知能検査法　　尺度換算表	DavidWechsler	日本文化科学社	頒価不明
00004723	日本版 WISC-III知能検査法　　理論編	DavidWechsler	日本文化科学社	頒価不明
00004724	教育・心理系研究のためのデータ分析入門 ： 理論と実践から学ぶSPSS活用法	平井明代	東京図書	¥2,800
00004725	地域社会と教育ー教育委員会の社会的構成ー	中谷彪／著	明治図書出版	頒価不明
00004726	パソコンによる学校保健のデータ処理	横尾能範／著	南江堂	¥3,500
00004727	救急保健管理と保健指導 ： 学校における	阿部滋子,石原昌江	東山書房	¥680
00004728	コピーしてすぐに使える　２ 　ソーシャルスキルが身につくレクチャー&ワークシート	西村宣幸	学事出版	¥1,800
00004729	コピーしてすぐに使える　コミュニケーションスキルが身に付くレクチャー＆ワークシート	西村宣幸	学事出版	¥1,800
00004730	ノーマライゼーションをめざして　いっしょにあるこう 障害者プラン	上條章雄	厚有出版	¥1,600
00004731	体育教育概論	井上一男/他編	杏林書院	¥2,000
00004732	粘土細工から彫塑教育へ	上野省策／著	明治図書	頒価不明
00004733	書写　指導理論と実践	片岸年雄／著	教育出版	¥3,200
00004734	はんがの本 技法と実践	伊東彌四夫	サクラクレパス出版	¥2,800
00004735	描画のための色彩指導　ー実技指導編ー	多田信作	黎明書房	頒価不明
00004736	大学教員のためのルーブリック評価入門	ダネル・スティーブンス アントニア・レビ／著	玉川大学出版部	¥2,800
00004737	PEP教育診断検査　1	E.ショプラー，茨木俊夫	川島書店	頒価不明
00004738	PEP教育診断検査　2	E.ショプラー，茨木俊夫	川島書店	頒価不明
00004739	機能訓練の教具と方法ー日常生活動作・作業動作ー	小杉長平	学研	頒価不明
00004740	障害児教育小辞典	佐藤泰正	協同出版	頒価不明
00004741	障害をもつ子の手づくりおもちゃ	中林稔堯	同朋舎出版	¥2,300
00004742	聴覚障害児の言語とコミュニケーション	岩城謙／著	教育出版	頒価不明
00004743	男の子は母親次第	宗内数雄/著	毎日新聞社	頒価不明
00004744	新紀元社の子育てシリーズ　「心の基地」はおかあさん ： やる気と思いやりを育てる親子実例集	平井信義	新紀元社	¥1,200
00004745	イラスト　現代マナーの常識・非常識　特装版	三省堂企画編集部	三省堂	頒価不明
00004746	新版　科学論文のまとめ方と書き方	冨田軍二／著	朝倉書店	¥3,200
00004747	新版　科学論文のまとめ方と書き方	冨田軍二／著	朝倉書店	¥3,200
00004748	１億人のための統計解析	西内啓／著	日経BP社	¥1,800
00004749	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004750	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004751	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004752	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004753	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004754	初歩からしっかり学ぶ　実習統計学入門	涌井良幸・涌井貞美／著	技術評論社	¥1,980
00004755	人間科学のための統計分析 こころに関心があるすべての人のために	石井秀宗	医歯薬出版	¥3,200
00004756	プレイマイコンシリーズ②統計解析　改訂版	古林隆	培風館	頒価不明
00004757	まなびの図鑑　統計学の図鑑	涌井良幸	技術評論社	¥2,480
00004758	理論応用　数学演習全書9　確率・統計の演習	野中敏雄・笹井敏夫／共著	森北出版	¥750
00004759	推計学の手ほどき	佐藤信／著	南江堂	¥600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004760	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004761	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004762	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004763	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004764	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004765	《基礎固め》　生物	澤田肇／緒	化学同人	¥1,800
00004766	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004767	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004768	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004769	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004770	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004771	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004772	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004773	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004774	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004775	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004776	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004777	看護と医療技術者のためのぶつり学　第２版	横田俊昭／著	共立出版	¥2,000
00004778	教養課程 物理学Ⅰ	竹田宏	朝倉書店	¥2,300
00004779	教養課程物理学Ⅱ	竹田宏	朝倉書店	¥2,300
00004780	力と運動	ポール・G.ヒューエット著	共立出版	頒価不明
00004781	電気と光	ポール・G.ヒューエット著	共立出版	頒価不明
00004782	物質と原子	ポール・G.ヒューエット著	共立出版	頒価不明
00004783	医療系のための物理　第2版	佐藤幸一,藤城敏幸	東京教学社	¥2,000
00004784	基礎の物理　力学	川口光年／著	朝倉書店	¥2,900
00004785	光と電波	好村滋洋／著	培風館	頒価不明
00004786	基礎の物理　熱学	市村浩／著	朝倉書店	¥2,900
00004787	熱エネルギーのおはなし	高田誠二／著	日本規格協会	¥1,200
00004788	図解雑学　化学のしくみ	小川邦康・大矢浩史／監修	ナツメ社	¥1,200
00004789	生活の化学	門多和広／他著	建帛社	¥1,699
00004790	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004791	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004792	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004793	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004794	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004795	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004796	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004797	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004798	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004799	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004800	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004801	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004802	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004803	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004804	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004805	《基礎固め》生物	松村瑛子・安田正秀／著	化学同人	¥1,800
00004806	学生・社会人のための対話式生命科学の基礎知識	濱越唯利		¥1,000
00004807	教養のための　図説生物学	井上清恒・富樫裕／著	実教出版	頒価不明
00004808	教養のための　図説生物学	井上清恒	実教出版	頒価不明
00004809	系統看護学講座　基礎3　教師用　　生物学	桑沢清明／ほか著	医学書院	非売品
00004810	図説　現代生物学　改訂五版	新津恒良／ほか著	丸善	¥3,200
00004811	生物科学入門　改訂改題	石川統／著	裳華房	¥2,000
00004812	生物科学入門　改訂改題	石川統／著	裳華房	¥2,000
00004813	生物科学入門　改訂改題	石川統／著	裳華房	¥2,000
00004814	生物学一般　生物とは何か	古澤潔夫	芦書房	頒価不明
00004815	生命科学　ミクロコスモスの世界	野間口隆/他編	丸善	¥1,900
00004816	生命の意味ー進化生態から見た教養の生物学ー	桑村哲生	裳華房	¥2,000
00004817	人間の生物学　改訂版	菊池俊英／著	理工学社	頒価不明
00004818	人の生命科学	渡辺強三・佐々木史江・堀口毅／著	医歯薬出版	¥2,300
00004819	身近な生命科学を知る	土屋隆英／著	丸善	¥1,300
00004820	動的平衡 生命はなぜそこに宿るのか	福岡伸一	木楽舎	¥1,524
00004821	生物物理化学	中垣正幸/他編	南江堂	¥4,800
00004822	人類遺伝学入門	大倉興司／著	医学書院	¥2,200
00004823	人類遺伝学入門	大倉興司／著	医学書院	¥2,200
00004824	ヒトを中心とした遺伝学概論	太田次郎/他編	朝倉書店	¥467
00004825	人間の遺伝　改訂版	田島弥太郎・松永英／著	日本放送出版協会	¥757
00004826	人間を考える：人間科学からのアプローチ	本間三郎/他編	朝倉書店	¥2,200
00004827	基礎生物学シーリーズ　9　神経と筋肉	山下智・宗岡洋二郎・日高徹／共著	共立出版	頒価不明
00004828	医療倫理学　医師の倫理的責任	宗像恒次／監訳	医歯薬出版	頒価不明
00004829	医学と人間	山村雄一	クリニック マガジン	¥7,000
00004830	医学と私	黒川利雄／ほか著	メディカルトリビューン	¥2,900
00004831	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004832	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004833	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004834	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004835	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004836	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004837	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004838	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004839	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004840	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004841	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004842	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004843	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004844	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004845	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004846	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004847	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004848	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004849	20ユニット・シリーズ⑧　20Medical　Dialogs	古閑博美／ほか著	鷹書房弓プレス	¥1,000
00004850	手のかたち手のうごき	鎌倉矩子	医歯薬出版	¥5,000
00004851	「脳」整理法	茂木健一郎	筑摩書房	¥700
00004852	新　脳のレセプター	小川紀雄／著	世界保健通信社	¥7,000
00004853	身体と心のしくみ	本間三郎・井口潔	朝倉書店	¥2,200
00004854	単純な脳、複雑な「私」	池谷裕二／著	朝日出版社	¥1,700
00004855	手と脳	久保田競／著	紀伊国屋書店	頒価不明
00004856	脳と発達	津本忠治／著	朝倉書店	¥3,800
00004857	ひらめき脳	茂木健一郎	新潮社	¥680
00004858	脳と意識の地形図 ： ビジュアル版	リタ・カーター	原書房	¥2,400
00004859	脳の認知と進化	理化学研究所脳科学総合研究センター	講談社	¥1,140
00004860	バイオテクノロジーと医療	高久史麿	東京大学出版会	頒価不明
00004861	臨床に役立つ微生物の知識	横田健／著	ライフ・サイエンス	¥1,801
00004862	救急法講習教本	日本赤十字社	日赤会館	頒価不明
00004863	救急法講習教本	日本赤十字社	日赤会館	頒価不明
00004864	図説救急処置　新版	建帛社	建帛社	頒価不明
00004865	クライオ・セラピー　理論,テクニック,生理学	Kenneth L. Knight／著	メディカル葵出版	¥4,600
00004866	治療の目でみるレクリエーション	清水和代	神陵文庫	¥2,000
00004867	心臓病の食事療法	芦沢千代／他著	医歯薬出版	¥400
00004868	病気と食事療法	日本薬剤師会	薬事日報社	¥4,200
00004869	医療用具の一般的名称と分類	厚生省薬務局／監修	薬事日報社	¥400
00004870	高分子機能材料シリーズ9　医療機能材料	高分子学会	共立出版	頒価不明
00004871	1984～1988　生活行動援助の文献集　Ⅱ	小玉香津子/他編	日本看護協会出版会	¥2,233
00004872	創元新書，45　人間回復の医学 ： セルフ・コントロール医学の展開	池見酉次郎	創元社	頒価不明
00004873	エイズ　いま、何を、どう伝えるか	岩室紳也	大修館書店	¥1,200
00004874	エイズ　いま、何を、どう伝えるか	岩室紳也	大修館書店	¥1,200
00004875	糖尿病の食事療法　処方箋から献立まで	神戸照雄／著	医学書院	¥2,400
00004876	成人病シリーズ，2　慢性疾患のFollow Up	長尾透	医学図書出版	¥3,800
00004877	成人病シリーズ，7　膠原病 ： 初診から治療管理まで	奥田正治	医学図書出版	¥6,300
00004878	老人診療マニュアル	大友英一	医学書院	¥4,800
00004879	老人診療マニュアル	大友英一	医学書院	¥4,800
00004880	ストレスの科学と健康	河野友信	朝倉書店	¥5,800
00004881	うつ病とは何か 集学的パースペクティヴ	竹内龍雄	中央洋書出版部	¥3,000
00004882	家系図と家族療法	日本家族研究・家族療法学会	金剛出版	頒価不明
00004883	心身医学のための心理テスト	河野友信・末松弘行/他編	朝倉書店	¥4,300
00004884	精神療法家への道ーその出発ー	阪本良男	金原出版	¥2,800
00004885	てんかんの治療と生活指導	大原貢	金剛出版	¥3,800
00004886	やさしい精神医学　第３版	西丸四方	南山堂	¥2,330
00004887	音楽療法の手引 ： 音楽療法家のための	松井紀和	牧野出版	¥2,524
00004888	精神科作業療法の手引 ： 診断から治療まで	松井紀和	牧野出版	¥2,427
00004889	精神神経科必携	保崎秀夫,牧田清志	鳳鳴堂書店	頒価不明
00004890	精神療法と精神分析	土居健郎	金子書房	頒価不明
00004891	脳から心へ ： 神経心理学へのいざない	杉下守弘	サイエンス社	頒価不明
00004892	ボケても心は生きている	佐々木健／著	創元社	¥1,165
00004893	痴呆老人の理解とケア	室伏君士	金剛出版	¥3,800
00004894	スキーマ療法	ジェフリー・E・ヤング／ほか著	金剛出版	¥6,600
00004895	赤ちゃんの発達　その生涯の最初の365日	テオドール・ヘルブルッケ／共著	同朋舎	頒価不明
00004896	子どものうつ病	ドナルド・マックニュー,リーアン・サイトリン,ハーバート・ヤーレス著	晶文社	頒価不明
00004897	幼児の心理療法	高橋雅春	新曜社	頒価不明
00004898	自閉症の総合療法 ： この未知なる病についての新しい病因論と新しい治療法	飯野節夫	鳳鳴堂書店	頒価不明
00004899	自閉症児と家族	E.ショプラー,G.B.メジボブ	黎明書房	¥7,800
00004900	障害児の小児神経学的,発達診断・治療的問題　第3巻	TheodorHellbrügge	医学書院	¥4,200
00004901	ブラゼルトン新生児行動評価　第2版	T.BerryBrazelton	医歯薬出版	頒価不明
00004902	ブラゼルトン新生児行動評価　第2版	T.BerryBrazelton	医歯薬出版	頒価不明
00004903	がんのセルフ・コントロール ： サイモントン療法の理論と実際	カール・サイモントン/他編	創元社	頒価不明
00004904	ギプス法マニュアル	桜井修・田中寿一／共著	南江堂	¥2,200
00004905	キャスト法マニュアル	桜井修・田中寿一・山田博／共著	南江堂	¥2,800
00004906	第３　人間の手足の制御	Rajko Tomovic	学献社	頒価不明
00004907	第４　人間の手足の制御	Rajko Tomovic	学献社	頒価不明
00004908	リハビリテーション・ルネサンス ： 心と脳と身体の回復 ： 認知運動療法の挑戦	宮本省三	春秋社	頒価不明
00004909	新しいリハビリテーション　人間「復権」への挑戦	大川弥生／著	講談社	¥700
00004910	車いす	大川嗣雄	医学書院	¥3,700
00004911	2008年版　公負負担医療の実際知識	安藤秀雄・栗林令子／共著	医学通信社	¥3,200
00004912	2009年版　最新医事関連法の完全知識	安藤秀雄・望月稔之・並木洋／共著	医学通信社	¥3,200
00004913	2010年版　公負負担医療の実際知識	安藤秀雄・栗林令子／共著	医学通信社	¥3,000
00004914	2010年版　最新医事関連法の完全知識	安藤秀雄・望月稔之・並木洋／共著	医学通信社	¥3,200
00004915	安心して生活できるゆたかな地域社会を目指して 一県民の皆さんとともに歩む島根県立中央病院	島根県立中央病院	バリューメディカル	¥1,200
00004916	医療経済学　臨床医の視角から	二木立／著	医学書院	¥3,300
00004917	厚生白書1991	厚生省	ぎょうせい	¥1,456
00004918	厚生労働白書	厚生労働省／監修	ぎょうせい	¥2,762

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004919	作業療法マニュアル　手元に置きたい関連法規	日本作業療法士協会	日本作業療法士協会	頒価不明
00004920	点数表の解釈甲表編　平成4年4月版	厚生省保険局医療課	社会保険研究所	¥4,369
00004921	診療点数早見表 ： 標準点数と準用点数　2012年4月版	医学通信社	医学通信社	¥4,500
00004922	診療点数早見表 ： 標準点数と準用点数　2016年4月版	医学通信社	医学通信社	¥4,500
00004923	診療点数早見表 ： 標準点数と準用点数　平成12年4月版	医学通信社	医学通信社	¥4,500
00004924	診療報酬 ： BASIC点数表　2016	医学通信社	医学通信社	頒価不明
00004925	医療過誤 ： Q&A事例相談集	医療過誤弁護士グループ,石川寛俊	三一書房	¥700
00004926	精神科・老人医療ガイド2000	NOVA出版	NOVA出版	¥1,200
00004927	健康科学概論	後閑容子	廣川書店	¥2,300
00004928	健康科学概論	後閑容子	廣川書店	¥2,300
00004929	生活環境論	千住秀明／監修	神陵文庫	¥4,500
00004930	栄養指導マニュアル	藤沢良知/他編	南山堂	¥3,800
00004931	薬のウラがわかる本 ： 医者・製薬メーカー・薬剤師がしゃべった実録!クスリと業界のあぶないカラクリ!	青山正明/他編	宝島社	¥1,068
00004932	保険請求のための薬価・薬効早見表 ： 用法・用量付　2009年4月版	医事様式	サンライズ社	¥5,333
00004933	エンジニアリング・サイエンス講座3　感覚と工学	樋渡涓二	共立出版	¥1,500
00004934	おはなし科学・技術シリーズ　計測のおはなし	矢野宏	日本規格協会	¥1,330
00004935	改訂版 基礎機械工学全書1　材料力学	黒木剛司郎	森北出版	頒価不明
00004936	塑性変形と加工の力学 ： 基礎と工学的応用	H.リップマン	森北出版	頒価不明
00004937	新素材の開発と応用Ⅱ	Ｐ.Ｈ.エーベルソン	東京大学出版	頒価不明
00004938	新訂　金属材料の基礎	長崎相正	成山堂書店	頒価不明
00004939	新素材の開発と応用1	P.H.エーベルソン,M.ドーフマン	東京大学出版会	頒価不明
00004940	複合材料入門	D.ハル／原著	培風館	頒価不明
00004941	計測値のデザイン資料　人体を測る	小原二郎	日本出版サービス	¥2,800
00004942	現代の人間工学	長町三生／著	朝倉書店	¥2,900
00004943	人間工学	林喜男/他編	日本規格協会	¥3,700
00004944	人間工学入門	人間工学教育研究会	日刊工業新聞社	頒価不明
00004945	身障者を考えた建築設計	健康環境システム研究会著	理工図書	頒価不明
00004946	身障者を考えた建築のディテール	健康環境システム研究会	理工図書	頒価不明
00004947	身体障碍者のための生活環境設計	青木正夫	日本出版サービス	¥9,200
00004948	だれにでもわかる建築図面の見方・かき方	岸田林太郎	オーム社	頒価不明
00004949	バリアフリーの生活環境論　第3版	野村みどり	医歯薬出版	¥6,800
00004950	ハンディキャップ者配慮の住宅計画	日本建築学会	彰国社	¥2,500
00004951	高齢化時代の住まいづくり ： いま考えること、なすべきこと	吉田あこ	彰国社	頒価不明
00004952	高齢化時代の住まいづくり ： いま考えること、なすべきこと	吉田あこ	彰国社	頒価不明
00004953	肢体不自由者の住宅 ： 住環境整備援助の手引	東京都心身障害者福祉センター	東京都心身障害者福祉センター	頒価不明
00004954	終の住処をつくるには ： 加齢対応住宅の考え方と実際	太田昭夫／著	プレジデント社	¥1,500
00004955	OT・PTのための住環境整備論　第２版	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥4,200
00004956	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004957	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004958	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004959	OT・PTのための住環境整備論	野村歡・橋本美芽／緒	三輪書店	¥3,600
00004960	高齢者・障害者の住まいの改造とくふう 新築からリフォームまで	野村歡／著	保健同人社	頒価不明
00004961	終の住処をつくるには ： 加齢対応住宅の考え方と実際	太田昭夫	プレジデント社	¥1,500
00004962	老人のための居住空間 ： 一般住宅と老人ホームの設計	イギリス政府	学芸出版社	頒価不明
00004963	図面の見方・描き方　新訂版	真部富男	工学図書	頒価不明
00004964	コンピュータ工学概論　情報・電子入門シリーズ４	藤岡旭	共立出版	¥2,200
00004965	マイコン徹底研究　3級　91年版	渡辺茂／監修	日本経済新聞社	頒価不明
00004966	マイコン徹底研究　4級　91年版	渡辺茂／監修	日本経済新聞社	頒価不明
00004967	図解とシミュレーションによる自動制御工学演習	太平洋工業株式会社	日刊工業新聞社	頒価不明
00004968	フィードバック制御の基礎	片山徹／著	朝倉書店	¥3,400
00004969	形状記憶合金	大塚和弘／著	産業図書	¥3,400
00004970	セラミックスの科学	柳田博明	技報堂出版	頒価不明
00004971	プラスチック入門　改訂版	伊保内賢／著	工業調査会	頒価不明
00004972	カーボンファイバー入門	大谷杉郎	オーム社	頒価不明
00004973	造形の基礎技法	宮脇理	建帛社	頒価不明
00004974	みみずくデッサン講座①油彩・水彩デッサン	視覚デザイン研究所	視覚デザイン研究所	頒価不明
00004975	みみずくデッサン講座②油彩・水彩デッサン	視覚デザイン研究所	視覚デザイン研究所	頒価不明
00004976	みみずくデッサン講座③油彩・水彩デッサン	視覚デザイン研究所	視覚デザイン研究所	頒価不明
00004977	KYOの歳時記　和紙はり絵　湯浅 三郎作品集	湯浅三郎	京都書院	¥3,800
00004978	美しく生きる力・抒常　後藤伸行切り絵集	後藤伸行	ニューカラー写真印刷	¥4,500
00004979	心を遊ばせる	廣田光前	文芸社	¥1,500
00004980	ＢＡＳＩＣ　ＤＥＳＩＧＮ　ＡＮＤＣＯＬＯＲ	中川廣一	光生館	頒価不明
00004981	運動と健康	保健体育理論研究会	道和書院	頒価不明
00004982	こどものスポーツ障害診療ハンドブック	山下敏彦	中外医学社	¥6,800
00004983	指導者のための基礎知識 フィットネスQ&A	宮下充正/他編	南江堂	¥2,427
00004984	ジュニアアスリートをサポートするスポーツ医科学ガイドブック	金岡恒治,赤坂清和	メジカルビュー社	¥5,400
00004985	スポーツ・バイオメカニクス入門	金子公宥／著	杏林書院	¥2,000
00004986	スポーツ・バイオメカニクス入門	金子公宥／著	杏林書院	¥2,000
00004987	スポーツ・バイオメカニクス入門	金子公宥／著	杏林書院	¥2,000
00004988	スポーツトレーニング教本	窪田登	大修館書店	¥1,200
00004989	スポーツの科学	松浦義行	朝倉書店	頒価不明
00004990	体育と人格形成 体育における民主主義の追求	城丸章夫／著	青木書店	頒価不明
00004991	発育期のスポーツ医学	リレー・Ｊ・ミッケリー	メジカルビュー社	¥5,500
00004992	運動処方 ： その生理学的基礎	加賀谷熙彦,加賀谷淳子	杏林書院	¥5,500
00004993	運動心理学入門　新版	松田岩男,杉原隆	大修館書店	¥2,200
00004994	健康・体力づくりハンドブック　改訂版	永田晟/他編	大修館書店	¥4,000
00004995	アスレチック・リハビリテーションの実際	栗山節郎，山田保／共著	南江堂	¥3,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00004996	子どものスポーツ医学	宮下充正/他編	南江堂	¥2,800
00004997	スポーツ・マッサージ	高橋華王	遊戯社	¥6,000
00004998	スポーツ・マッサージ	高橋華王	遊戯社	¥6,000
00004999	スポーツと疲労骨折	武藤芳照/他編	南江堂	¥7,573
00005000	スポーツ医学　改訂第6版	石河利寛,松井秀治	杏林書院	¥8,000
00005001	スポーツ医学Q&A　1	黒田善雄,中嶋寛之	金原出版	¥9,500
00005002	スポーツ医学Q&A　2	黒田善雄,中嶋寛之	金原出版	¥6,500
00005003	スポーツ外傷学3　上肢	黒澤尚/他編	医歯薬出版	¥7,000
00005004	トレーニングとスポーツ医学	林浩一郎／監訳	文光堂	¥12,000
00005005	運動の生理学	中原凱文	文化書房博文社	頒価不明
00005006	加齢のスポーツ科学	永田晟/他編	ぎょうせい	¥2,400
00005007	外傷学総論/検査・測定と評価 :リスクマネジメントに基づいたアプローチ　下巻	小林寛和	文光堂	¥5,800
00005008	外傷学総論/検査・測定と評価 :リスクマネジメントに基づいたアプローチ　上巻	小林寛和	文光堂	¥4,200
00005009	現代の体育・スポーツ科学　高齢者の運動と体力	小林寛道,近藤孝晴	朝倉書店	¥3,300
00005010	臨床スポーツ心臓学	前田如矢,宇佐美暢久	朝倉書店	¥3,700
00005011	臨床医のためのスポーツ医学2　妊産婦のためのスポーツ医学	室岡一	朝倉書店	¥2,700
00005012	臨床医のためのスポーツ医学3　糖尿病のスポーツ医学	池田義雄	朝倉書店	¥4,000
00005013	臨床医のためのスポーツ医学3　糖尿病のスポーツ医学	池田義雄	朝倉書店	¥4,000
00005014	リハビリテーション医学全書3 運動生理学・神経生理学	石川友衛／著	医歯薬出版	¥6,900
00005015	現代保健体育学体系20　　疾病学	阿部正和／著	大修館書店	¥2,800
00005016	スポーツ医学・健康シリーズ　体操と健康づくり	D. Lagerstrøm, B. Bjarnason, H. Rösch	オーム社	頒価不明
00005017	ストレッチングの実際	栗山節郎・山田保／著	南江堂	¥2,200
00005018	水泳医学百科	財団法人日本水泳連盟	南江堂	¥2,200
00005019	水泳医学百科	日本水泳連盟科学技術委員会編集	南江堂	¥3,800
00005020	ゲームガイドブック	トミー工業	小学館	頒価不明
00005021	遊びの大事典　実技編	日本レクリエーション協会／監修	東京書籍	頒価不明
00005022	新しい外国語教育	アール・W・ステヴィック／著	アルク	¥2,200
00005023	ディスカッションとディベートの基本表現 Let's enjoy talking in English	Clayton Naff	金星堂	¥1,311
00005024	最新最強の作文小論文　１１年版	風早健史	成美堂出版	頒価不明
00005025	現代英語をさぐる	W.R.オドネル,L.トッド	南雲堂	頒価不明
00005026	英語の習得法	最所フミ／著	研究社出版	頒価不明
00005027	速読英単語 = Vocabulary building X rapid reading　増訂第2版　1	風早寛	増進会出版社	¥900
00005028	会話英語慣用表現	K.P.Dobbyn	研究社	頒価不明
00005029	新潮世界文学1　シェイクスピアⅠ		新潮社	頒価不明
00005030	新潮世界文学29　ジッドⅡ		新潮社	頒価不明
00005031	新潮世界文学37　ヘッセⅡ		新潮社	頒価不明
00005032	トルストイ	木村浩	新潮社	頒価不明
00005033	教養の文学　作家と作品	高田瑞穂／監修	建帛社	頒価不明
00005034	教養のための日本の文学　新訂	石井庄司	東海大学出版会	頒価不明
00005035	雨月物語	近世文学史研究の会	文化書房	¥1,500
00005036	京語り	吉野栄／著	文芸社	¥1,200
00005037	頭注近代小説	中野恵海	桜楓社	¥1,845
00005038	五体不満足	乙武洋匡	講談社	¥1,600
00005039	五体不満足	乙武洋匡	講談社	¥1,600
00005040	スルメを見てイカがわかるか!	養老孟司,茂木健一郎	角川書店	¥667
00005041	女の器量はことばしだい	広瀬久美子	新潮社	¥400
00005042	涼風　親しい人達へ	何川涼／著		非売品
00005043	涼風　親しい人達へ	何川涼／著		非売品
00005044	ルポ・精神病棟	大熊一夫	朝日新聞社	¥480
00005045	新潮日本文学, 1　森鴎外集	森鴎外	新潮社	頒価不明
00005046	新潮日本文学, 45　三島由紀夫集	三島由紀夫	新潮社	¥2,300
00005047	新潮日本文学, 49　福永武彦集	福永武彦	新潮社	頒価不明
00005048	新潮日本文学, 6　谷崎潤一郎集	谷崎潤一郎	新潮社	¥2,600
00005049	新潮日本文学, 61　北杜夫集	北杜夫	新潮社	頒価不明
00005050	夜と霧　ドイツ強制収容所の体験記録	Ｖ．Ｅ．フランクル	みすず書房	¥1,800
00005051	改訂第２版基礎からわかる情報リテラシー	奥村晴彦	技術評論社	¥1,480
00005052	趣味発見！なるほど楽しいワード2013作品づくりにチャレンジ編	目黒正俊	FOM出版	¥1,200
00005053	標準教科書よくわかる情報リテラシー	岡本敏雄	技術評論社	¥1,480
00005054	例題３０+演習問題70でしっかり学ぶＷｏｒｄ／Ｅｘｃｅｌ／Ｐｏｗｅｒｐｏｉｎｔｏ標準テキストWindows7/Office2010対応版	定平誠	技術評論社	¥1,980
00005055	考える伝える分かち合う　情報活用力	吉川聡	ワークアカデミー	¥2,381
00005056	基礎からわかる情報リテラシー　改訂第2版	奥村晴彦／著	技術評論社	¥1,480
00005057	しっかり学ぶ　Word／Excel／PowerPoint 標準テキスト　Windows7　Office2010対応版	定平誠／著	技術評論社	¥1,980
00005058	趣味発見　なるほど楽しいワード2013 作品づくりにチャレンジ編	富士通エフ・オー・エム株式会社／著作・制作	FOM出版	¥1,200
00005059	標準教科書　よくわかる情報リテラシー	岡本敏雄／監修	技術評論社	¥1,480
00005060	米国国立医学図書館分類法　2016年版 日本語版	日本医学図書館協会	日本医学図書館協会	¥23,000
00005061	日本書籍総目録1991 書名編アース	日本書籍出版協会	日本書籍出版協会	¥47,000
00005062	日本書籍総目録1991 書名編セーン　A-Z	日本書籍出版協会	日本書籍出版協会	¥47,000
00005063	日本書籍総目録1992 索引編	日本書籍出版協会	日本書籍出版協会	¥47,000
00005064	心理教育データの解析法50講　基礎編	海保博之	福村出版	頒価不明
00005065	学習と記憶一種と個体の歴史	Ｒ・ジンツ	誠信書房	頒価不明
00005066	記憶術　心理学が発見した20のルール	南博	公文書	¥748
00005067	ピアジェ思考の発達診断法	山内光哉	ナカニシヤ出版	¥9,500
00005068	基礎経済学	三土修平	日本評論社	頒価不明
00005069	近代経済学を学ぶ	伊達邦春	有斐社	頒価不明
00005070	今、光っていたい 娘の遺してくれたもの	田中蔚	明石書店	¥2,500
00005071	男女共同参画の時代	鹿島敬	岩波新書	¥780

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005072	生きがい実感 福祉のしごと	小池康夫	日経事業出版	¥1,400
00005073	社会福祉小六法2000	ミネルヴァ書房編集部	ミネルヴァ書房	¥1,500
00005074	検証訪問リハと訪問看護	河本のぞみ	三輪書店	¥2,400
00005075	生活障害論	三好春樹	雲母書房	¥2,500
00005076	はさみ・のりの本　技法と実践	根津三郎	サクラクレパス出版	頒価不明
00005077	授業を変えれば大学は変わる	安岡高志	プレジデント社	¥1,800
00005078	子どもの音楽療法ハンドブック	若尾裕	音楽之友社	頒価不明
00005079	心身障害教育と福祉の情報事典	心身障害教育・福祉研究会	同文書院	¥5,631
00005080	日英故事ことわざ辞典	常名鉾二郎	北星堂書店	¥3,301
00005081	基礎の確立・統計学	野中敏夫	理工学社	頒価不明
00005082	統計学入門第５版	杉田暉道	医学書院	¥2,300
00005083	統計の基礎ー考え方と使い方ー	Ｍ．Ｋ．ジョンソン	サイエンス社	頒価不明
00005084	相対性理論　物理入門コース9	中野董夫	岩波書店	¥2,301
00005085	生物　そのつくりとはたらき	津田誠三	裳華房	¥1,900
00005086	生物学の歴史１	矢部一郎	みすず書房	頒価不明
00005087	生命とはー思索の断章ー	赤堀四郎	共立出版	¥1,800
00005088	ポケット版カルテ用語辞典　第２版	大井静雄	照林社	頒価不明
00005089	鳥山診療所 医者主体から患者主体の診察をめざして	神山五郎	大揚社	¥1,500
00005090	医事百般質疑応答第１８集	梅澤信二	日本医事新報社	¥6,602
00005091	初心者のための動物実験手技Ⅰーマウス・ラットー	鈴木潔	講談社	¥3,301
00005092	初心者のための動物実験手技Ⅱーウサギ・モルモットー	鈴木潔	講談社	¥3,786
00005093	初心者のための動物実験手技Ⅲーイヌ・ネコー	鈴木潔	講談社	¥5,049
00005094	メディカルスタッフのための救急医学	渡邉隆夫	医学出版社	¥3,000
00005095	バイオセラミック セラミックサイエンスシリーズ７	牧島亮男	技報堂出版	¥1,957
00005096	脊髄損傷者の社会参加マニュアル	住田幹男	ＮＰＯ日本せきずい基金	頒価不明
00005097	続人間の手足の制御	加藤一郎	学献社	¥6,000
00005098	先生が燃え学生が燃え学校がある	山本克郎	地湧社	¥1,500
00005099	トレースの実技（改訂版）	遠藤俊次	理工学社	頒価不明
00005100	図でわかる木工の手工具	橘本喜代太	理工学社	頒価不明
00005101	日本画入門	西山英雄	保育社	¥602
00005102	油絵入門	伊藤継郎	保育社	¥602
00005103	Ｈｏｉｋｕｓｈａａ：ＱｕａｌｉｔｙＢｏｏｋｓ やきもの入門	田賀井秀夫	保育社	頒価不明
00005104	Ｈｏｉｋｕｓｈａａ：ＱｕａｌｉｔｙＢｏｏｋｓ やきもの入門	田賀井秀夫	保育社	頒価不明
00005105	21世紀造形ブックス おもしろ空間への招待	鈴木悦郎	理工学社	頒価不明
00005106	デザイン小辞典	福井晃一	ダヴィット社	頒価不明
00005107	スポーツの科学	松浦義行	朝倉書店	¥3,200
00005108	体育の測定・評価	野口義之	第一法規	¥2,718
00005109	からだを育む	武藤芳照	丸善	¥1,800
00005110	体力・健康・運動ーその科学的基礎ー	田口貞善	文理閣	頒価不明
00005111	調査とサンプリング	林知乙夫	同文書院	¥3,200
00005112	650のプログラム教程 臨床解剖学へのアプローチ	酒井恒／著	医学書院	¥5,200
00005113	650のプログラム教程 臨床解剖学へのアプローチ	酒井恒／著	医学書院	¥5,200
00005114	PT・OT自己学習　解剖学	渡辺正仁／著	金芳堂	¥3,800
00005115	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート第２版	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00005116	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート第２版	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00005117	Qシリーズ 新解剖学　フルカラー新装版	加藤征／監修	日本医事新報社	¥3,500
00005118	イラスト解剖学	松村譲児	中外医学社	¥7,400
00005119	イラスト解剖学	松村譲児	中外医学社	¥7,600
00005120	解剖学　第7版	清木勘治／著	金芳堂	¥5,049
00005121	解剖学イラスト事典　第2版	松村攘児／著	中外医学社	¥3,800
00005122	解剖学用語　改訂12版	日本解剖学会／著	丸善	¥2,472
00005123	解剖学用語　改訂12版	日本解剖学会／著	丸善	¥2,472
00005124	解剖学ワークブック	西川彰・小林直行／著	医歯薬出版	¥4,000
00005125	解剖実習の手びき	寺田春水・藤田恒夫／著	南山堂	¥7,000
00005126	学習必携解剖学要覧	森優・山元寅男／著	南山堂	¥3,700
00005127	画僧診断のための正常解剖図譜	前原忠行	新興医学出版	¥6,500
00005128	カバンジー生体力学の世界	Adalbert i.KAPANDJI／著	医歯薬出版	¥18,000
00005129	カラーイラストで学ぶ集中講義　解剖学	坂井建雄	メジカルビュー社	¥6,800
00005130	カラー図解　人体解剖の基本がわかる事典	竹内修二／監修	西東社	¥1,750
00005131	カラー図解人体の正常構造と機能Ⅸ　神経系（2）	久野みゆき・安藤啓司／他著	日本医事新報社	¥6,200
00005132	カラースケッチ解剖学	廣川節男	廣川書店	¥3,900
00005133	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅰ呼吸器	牛木辰男・小林弘祐	日本医事新報社	¥5,800
00005134	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅰ呼吸器	牛木辰男・小林弘祐	日本医事新報社	¥5,800
00005135	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器	大谷修・堀尾嘉幸	日本医事新報社	¥6,000
00005136	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器	大谷修・堀尾嘉幸	日本医事新報社	¥6,000
00005137	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅲ消化器	河原克雅・佐々木克典	日本医事新報社	¥5,600
00005138	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅳ肝・胆・膵	泉位亮・妹尾春樹・金田研司	日本医事新報社	¥5,600
00005139	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅴ腎・泌尿器	坂井建雄・河原克雅	日本医事新報社	¥5,600
00005140	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅵ生殖器	年森清隆・川内博人	日本医事新報社	¥6,000
00005141	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅵ生殖器	年森清隆・川内博人	日本医事新報社	¥6,000
00005142	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅷ神経系（１）	河田光博・稲瀬正彦	日本医事新報社	¥6,200
00005143	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅷ神経系（１）	河田光博・稲瀬正彦	日本医事新報社	¥6,200
00005144	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット　／著	西村書店	¥4,800
00005145	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット　／著	西村書店	¥4,800
00005146	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット　／著	西村書店	¥4,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005147	からだの構造と機能	A.シェフラー,S.シュミット　／著	西村書店	¥4,800
00005148	からだの構造と機能　Ⅰ	ユッタ・ホッホシールド／著	ガイアブックス	¥3,800
00005149	からだの構造と機能　Ⅱ	ユッタ・ホッホシールド／著	ガイアブックス	¥3,800
00005150	からだの働きと運動	堀清記	金芳堂	¥2,000
00005151	筋電図のための解剖ガイド　四肢	田島達也／監訳	西村書店	¥4,500
00005152	筋電図のための解剖ガイド　四肢	田島達也／監訳	西村書店	¥4,500
00005153	グラント解剖学図譜　第３版　原書第８版	森田茂・楠豊和／訳	医学書院	¥17,000
00005154	グラント解剖学図譜　第３版　原書第８版	森田茂・楠豊和／訳	医学書院	¥17,000
00005155	グレイ 解剖学　Ⅱ	嶋井和世／監修	廣川書店	¥9,000
00005156	グレイ 解剖学　Ⅲ	嶋井和世／監修	廣川書店	¥9,000
00005157	グレイ解剖学　原書第１版	Richard L.Drake,Wayne Vogl,AdamW/著	エルゼビア・ジャパン	¥10,000
00005158	骨格筋の形と観察法	河上敬介・磯貝香／著	大峰閣	¥9,000
00005159	コメディカル専門基礎科目シリーズ　解剖学	澤田和彦・坂田ひろみ	理工図書	¥5,000
00005160	実習解剖学	山田致知・萬年甫／共著	南江堂	¥8,500
00005161	実習解剖学	山田致知・萬年甫／共著	南江堂	¥8,500
00005162	実習で学ぶ骨学	山鳥崇・梅谷健彦	金原出版	¥5,825
00005163	写真でみる運動百科	小清水英司・今野睦夫/他編	道和書院	頒価不明
00005164	人体解剖学	藤田恒太郎／著	南江堂	¥7,500
00005165	人体解剖学ノート	清木勘／著	金芳堂	¥3,300
00005166	人体解剖カラーアトラス　原書第４版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005167	人体解剖カラーアトラス　原書第４版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005168	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005169	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005170	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005171	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005172	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005173	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005174	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005175	人体解剖カラーアトラス　原書第5版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005176	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005177	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005178	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005179	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005180	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005181	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005182	人体解剖カラーアトラス　原書第6版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,700
00005183	人体解剖カラーアトラス　原書第7版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,800
00005184	人体解剖カラーアトラス　原書第7版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,800
00005185	人体解剖カラーアトラス　原書第7版	佐藤達夫／訳	南江堂	¥5,800
00005186	人体系統解剖学	吉川文雄／著	南山堂	¥13,000
00005187	人体の構造と機能　第4版	内田さえ・原田玲子	医歯薬出版	¥2,800
00005188	人体の構造と機能　第4版	内田さえ・原田玲子	医歯薬出版	¥2,800
00005189	図解　解剖学事典　第3版	山田英智／監訳	医学書院	¥3,800
00005190	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005191	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005192	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005193	図解　関節・運動器の機能解剖　下肢編	J.Castaing・Ph.Burdin/他著	協同医書出版社	¥3,800
00005194	世界で一番美しい人体図鑑	奈良信雄／監訳	エクスナレッジ	¥2,800
00005195	体表解剖学	吉岡郁夫・武藤浩／著	南江堂	¥3,800
00005196	日本人体解剖学　下巻　改訂19版	金子丑之助／原著	南山堂	¥10,000
00005197	日本人体解剖学　上巻　改訂19版	金子丑之助／原著	南山堂	¥12,000
00005198	日本人体解剖学　第一巻	金子丑之助／著	南山堂	¥8,500
00005199	入門人体解剖学　改訂第3版	藤田恒夫／著	南江堂	¥4,854
00005200	ぬりえで学ぶヒトのからだ	安田康晴	ぱーそん書房	¥2,000
00005201	ネッター解剖学アトラス　　原書第３版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005202	ネッター解剖学アトラス　原書第4版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005203	ネッター解剖学アトラス　原書第4版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005204	ネッター解剖学アトラス　原書第5版	Frank H.Netter／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥10,000
00005205	ネッター解剖学カラーリングテキスト	John T.Hansen／著 相磯貞和／監訳	南江堂	¥3,200
00005206	美術解剖学アトラス	中尾喜保・宮永美知代／著	南山堂	¥5,800
00005207	ヒト発生の不思議	藤本十四秋／著	金芳堂	¥2,400
00005208	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005209	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005210	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005211	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005212	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005213	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005214	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005215	ヒト発生の不思議	藤本十四秋	金芳堂	¥2,400
00005216	ヒューマンボディ原書第3版 からだの不思議がわかる解剖生理学	片桐康雄／ほか監訳	エルゼビア・ジャパン	¥6,600
00005217	プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部／神経解剖　第2版	坂井建雄・河田光博／監訳	医学書院	¥11,000
00005218	分冊　解剖学アトラスⅡ	長島聖司／訳	文光堂	¥4,800
00005219	分冊　解剖学アトラスⅡ	長島聖司／訳	文光堂	¥4,800
00005220	分冊　解剖学アトラスⅡ	長島聖司／訳	文光堂	¥4,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00005221	分担　解剖学　続巻　組織学・発生学	森優・山元寅男／著	金原出版	¥7,000
00005222	リハビリテーション解剖アトラス	佐藤達夫・坂本裕和／著	医歯薬出版	¥8,000
00005223	わかりやすい解剖生理	酒井恒訳	文光堂	¥4,000
00005224	わかりやすい人体の構造と機能	塩田浩平／著	中山書店	¥3,800
00005225	阿波清五郎の解剖学語呂合わせ	鹿野俊一	理工図書	¥1,600
00005226	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005227	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005228	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005229	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,200
00005230	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,400
00005231	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,400
00005232	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,600
00005233	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,600
00005234	医学要点双書　発生学	藤本十四秋・受島敦美	金芳堂	¥3,600
00005235	解剖学トレーニングノート	竹内修二	アート印刷	¥2,700
00005236	語呂で覚える解剖学	村井和人	ユリシス・出版社	¥1,800
00005237	四肢・脊柱の機能解剖第５版	W.H.Hollinshead,David B.Jenkins	協同医書出版社	¥6,500
00005238	人体解剖カラーアトラス（原書第７版）	Pete H.Abrahams, Jonathan D.Spratt, Marios Loukas N.Van Schoor	南江堂	¥5,800
00005239	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005240	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005241	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005242	図解　関節・運動器の機能解剖　上肢・脊柱編	J.Castaing・J.J.Santini/共著	協同医書出版社	¥4,200
00005243	図解解剖学事典（代2版）	山田英知	医学書院	¥3,200
00005244	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学	奈良勲・鎌倉矩子	医学書院	¥6,000
00005245	分担　解剖学　1巻　総説・骨学・筋学	浦良治／著	南江堂	¥9,300
00005246	分担　解剖学　3巻　感覚器学・内臓学	小川鼎三・山田英智・養老孟司／著	金原出版	¥8,600
00005247	略和・和略語用語集	英和人体用語編集委員会	ユリシス・出版部	¥1,200
00005248	臨床解剖カラーアトラス	R.M.H.McMinn,R.T.Hutchings,B.M.Logan	南江堂	¥13,000
00005249	OT・PT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005250	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	頒価不明
00005251	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005252	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005253	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥4,000
00005254	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00005255	PT・OT基礎から学ぶ生理学ノート第２版・解答集つき	中島雅美	医歯薬出版	頒価不明
00005256	医学要点双書　発生学	藤本十四秋	金芳堂	¥3,200
00005257	イラスト運動生理学	朝山正己	東京教学社	¥2,000
00005258	医療系学生のための図解生理学テキスト＆ノート	丹羽利光	診断と治療社	¥2,800
00005259	医療系学生のための図解生理学テキスト＆ノート	丹羽利光	診断と治療社	¥2,800
00005260	医療系のための物理	佐藤幸一	東京教学社	¥1,700
00005261	運動生理学の基礎と発展	春日規克/他編	フリースペース	¥2,300
00005262	運動生理学の基礎と発展	浅野勝己/他編	大修館書店	¥5,800
00005263	運動の生理学ー骨から神経までー	神野耕太郎	南山堂	¥2,500
00005264	解剖・生理・栄養＜普及版＞図説・ヒトのからだ	中野昭一	医歯薬出版	¥3,000
00005265	外来整形外科のためのスポーツ外傷・障害の理学療法	小関博久	医歯薬出版	¥8,500
00005266	カラーイラストで学ぶ集中講義　生理学	岡田隆夫	メジカルビュー社	¥5,500
00005267	カラー図解症状からわかる病態生理	フロリアン・ラング	メディカルサイエンス　インターナショナル	¥6,200
00005268	キネシオテーピング療法プロの技～診たてのテーピング～	加瀬建造	創芸社	¥3,800
00005269	筋紡錘（理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習）	真野行生	医歯薬出版	¥3,000
00005270	健康と運動の生理学	堀清記	金芳堂	¥1,800
00005271	コメディカルのための生理学実習ノート　改訂版２版	杉晴夫	南江堂	¥1,800
00005272	コメディカルのための専門基礎分野テキスト生理学	黒澤美枝子/他編	中外医学社	¥3,900
00005273	生涯人間発達学	上田礼子	三輪書店	¥3,786
00005274	生涯人間発達学	上田礼子	三輪書店	¥3,786
00005275	生涯人間発達学　改訂第２版	上田礼子	三輪書店	¥3,800
00005276	生涯人間発達学改訂第２版	上田礼子	三輪書店	¥3,800
00005277	女性のスポーツ医学	寺島芳輝	中外医学者	¥3,400
00005278	身体運動の生理学	猪飼道夫	杏林書院	¥6,000
00005279	人体生理学ノート改訂４版	真島英信	金芳堂	¥2,233
00005280	人体生理学ノート改訂第６版	真島英信	金芳堂	¥2,600
00005281	シンプル解剖生理学	樋口隆/他編	南江堂	¥3,200
00005282	シンプル生理学　改訂第３版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005283	シンプル生理学　改訂第３版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005284	シンプル生理学　改訂第4版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005285	シンプル生理学　改訂第6版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005286	シンプル生理学　改訂第6版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005287	シンプル生理学　改訂第6版	根来英雄/他編	南江堂	¥2,900
00005288	シンプル生理学（改訂第４版）	根来英雄	南江堂	¥2,900
00005289	シンプル生理学（改訂版第６版）	根来英雄	南江堂	¥2,900
00005290	図説・運動の仕組みと応用	中野昭一	医歯薬出版	頒価不明
00005291	スポーツ外傷・障害の理学診断・理学療法ガイド第２版	臨床スポーツ医学編集委員会	文光堂	¥7,000
00005292	スポーツ障害のリハビリテーション	山下敏彦/他編	金原出版	¥7,400
00005293	生理学	藤森聞一/他編	南山堂	¥7,800
00005294	生理学1	外山敬介/他編	文光堂	¥14,000
00005295	生理学2	外山敬介/他編	文光堂	¥14,000
00005296	生理学実習NAVI	鈴木敦子/他編	医歯薬出版	¥2,400
00005297	生理学実習NAVI第２版	大橋敦子	医歯薬出版	¥2,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005298	生理学実習NAVI第２版別冊ノート付	大橋敦子	医歯薬出版	¥2,500
00005299	生理学テキスト	大地陸男	文光堂	¥4,800
00005300	生理学テキスト	大地陸男	文光堂	¥4,800
00005301	積極的保存療法スポーツ障害の評価と治療	村上成道/他編	文光堂	¥3,800
00005302	超カラー図解看護自己学習　解剖生理学	森禎章	金芳堂	¥2,800
00005303	人間生物学ー解剖学と生理学の理解のためにー	John K. Inglis	三輪書店	¥3,800
00005304	人間発達学	北村論	中外医学者	¥2,600
00005305	ビジュアル解剖生理学	藤田守/他編	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,500
00005306	病棟で働く人のための生理学改訂第３版	香山雪彦/他編	学研 マーケティング	¥3,000
00005307	やさしい基礎生物学第２版	南雲保	羊土社	¥2,900
00005308	やさしい基礎生物学第２版	南雲保	羊土社	¥2,900
00005309	医用工学シリーズ，１　これからのメディカルエンジニアリング	阪本捷房/他編	コロナ社	頒価不明
00005310	新しい臨床栄養学	後藤昌義	南江堂	¥2,500
00005311	基礎の生化学	猪飼篤	東京化学同人	¥1,845
00005312	臨床代謝学	井村裕夫	朝倉書店	¥2,900
00005313	ＡｎｎｕａｌＲｅｐｏｒｔ1991　医薬品の副作用	伊藤宗元	中外医学者	¥5,300
00005314	今日の治療薬解説と便覧97	水島裕	南江堂	¥4,400
00005315	医療薬日本医薬品集1991	日本医薬情報センター	薬業時報社	¥18,447
00005316	現代薬学叢書　薬理学	福田英臣	朝倉書店	¥4,900
00005317	常用薬の正しい使い方：その理論と実践　改訂第2版	橘敏也	文光堂	¥7,000
00005318	図説薬理学のポイント	Gordon E. Johnson	医学書院	¥4,000
00005319	薬学の歴史	石坂哲夫	南山堂	¥4,500
00005320	コア免疫学　免疫システムを解き明かす	藤原道夫	丸善	¥1,900
00005321	生態防御のしくみーその理論と応用ー	野本亀久雄	ライフ・ サイエンス	¥1,751
00005322	戸田新細菌学	森良一	南山堂	¥14,000
00005323	看護微生物学	内田勝久/他編	医歯薬出版	¥2,000
00005324	免疫薬理と免疫療法	塩川優一	朝倉書店	¥9,800
00005325	Dr。レイの病理学講義　改訂2版	高橋玲	金芳堂	¥4,200
00005326	新体制看護学全書　疾病の成り立ちと回復の促進①　病理学	深山正久	メヂカル フレンド社	¥3,100
00005327	新体制看護学全書　疾病の成り立ちと回復の促進①　病理学	深山正久	メヂカル フレンド社	¥3,100
00005328	ナースの臨床検査	奈良信雄	中外医学者	¥3,800
00005329	臨床検査の知識と介助	柴田進	医学書院	¥3,400
00005330	臨床病態学	佐藤良暢	南江堂	¥4,500
00005331	臨床病態学1巻	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00005332	臨床病態学1巻　第2版	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00005333	臨床病態学2巻	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00005334	臨床病態学2巻　第2版	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00005335	臨床病態学3巻	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00005336	臨床病態学3巻第2版	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00005337	臨床病態学総論	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005338	臨床病態学総論	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005339	臨床病態学総論　第2版	北村聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005340	わかりやすい薬理学第２版	安原一	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,300
00005341	新検査診断学	高橋浩/他編	金芳堂	¥8,500
00005342	臨床検査の知識と介助	柴田進	医学書院	¥3,400
00005343	カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断　第5版	赤木忠厚	医歯薬出版	¥13,000
00005344	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005345	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005346	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005347	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005348	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005349	カラーで学べる病理学　第2版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005350	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005351	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005352	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005353	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005354	カラーで学べる病理学　第3版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005355	カラーで学べる病理学　第4版	渡辺照男	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,500
00005356	がん患者のリハビリテーション　リスク管理とゴール設定	宮越浩一	メジカルビュー社	¥4,200
00005357	がんと緩和ケアの作業療法	三木恵美	三輪書店	¥3,800
00005358	がんのリハビリテーションガイドライン	古谷純朗	金原出版	¥2,800
00005359	がんのリハビリテーションベストプラクティス	古谷純朗	金原出版	¥3,500
00005360	がんのリハビリテーションマニュアル	辻哲也	医学書院	¥4,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00005361	がんのリハビリテーションマニュアル	辻哲也	医学書院	¥4,600
00005362	緩和ケアが主体となる時期のがんのリハビリテーション	島崎寛将	中山書店	¥3,800
00005363	現在の病理学	横山武	金原出版	¥12,000
00005364	現代の病理学　総論　改定第２版増補	横山武	金原出版	¥8,000
00005365	疾病の成り立ちと回復の促進１病理学	中村恭一/他編	医学書院	¥2,000
00005366	疾病の成り立ちと回復の促進1病理学	中村恭一/他編	医学書院	¥2,000
00005367	疾病の成り立ちと回復の促進1病理学	中村恭一/他編	医学書院	¥2,000
00005368	新版看護学全書　第4巻　病理学	石河利隆	メヂカル フレンド社	¥1,942
00005369	新版看護学全書　第4巻　病理学	石河利隆	メヂカル フレンド社	¥1,942
00005370	新版看護学全書　第4巻　病理学	石河利隆	メヂカル フレンド社	¥2,000
00005371	図説　基礎病理学	赤井契一郎	メヂカル フレンド社	¥6,000
00005372	病態生理・生化学・栄養一普及版図解・病気の成り立ちとからだ１	中野昭一	医歯薬出版	¥3,000
00005373	病態生理・生化学・栄養一普及版図解・病気の成り立ちとからだ2	中野昭一	医歯薬出版	¥3,400
00005374	病態生理・生化学・栄養一普及版図解・病気の成り立ちとからだ2	中野昭一	医歯薬出版	¥3,400
00005375	病理学　第４版	影山圭三	医学書院	¥6,500
00005376	病理学　第５版	遠城寺宗知	医学書院	頒価不明
00005377	病理学各論Ⅰ	赤崎兼義	南山堂	¥8,000
00005378	病理学各論Ⅱ	赤崎兼義	南山堂	¥7,800
00005379	やさしい病態生理～主要症状のしくみ～	秋山房雄	南山堂	¥3,300
00005380	よくわかる専門基礎講座　病理学	高橋徹	金原出版	¥2,200
00005381	臨床症状シリーズ1　頭痛	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,200
00005382	臨床症状シリーズ10　動悸	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥3,800
00005383	臨床症状シリーズ12　腰痛・背痛・肩こり	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥5,600
00005384	臨床症状シリーズ13　しびれ	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥5,600
00005385	臨床症状シリーズ14　やせ	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,500
00005386	臨床症状シリーズ2　呼吸困難	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,300
00005387	臨床症状シリーズ5　発熱	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,200
00005388	臨床症状シリーズ6　意識障害	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥5,200
00005389	臨床症状シリーズ9　出血性素因	上田英雄・武内重五郎	南江堂	¥4,800
00005390	医学英語語法辞典	海老塚博／著	英宝社	¥6,000
00005391	医学英和大辞典　改訂版1997	加藤勝治	南山堂	¥25,000
00005392	医学書院　医学大辞典	伊藤正男・井村裕夫・ 高久史麿	医学書院	¥20,000
00005393	医学書院　医学大辞典	伊藤正男・井村裕夫・ 高久史麿	医学書院	¥20,000
00005394	医用放射線辞典	医用放射線辞典編集委員会	共立出版	頒価不明
00005395	岩波　数学事典　第3版	日本数学会	岩波書店	¥9,796
00005396	岩波　理化学辞典　第4版	久保亮五/他編	岩波書店	¥9,505
00005397	英語科学論文用語辞典	黒屋政彦	朝倉書店	¥4,900
00005398	英和医学事典	大矢全節／著	金原出版	¥7,000
00005399	カウンセリング辞典	國分康孝	誠信書房	頒価不明
00005400	学習百科事典　増補修訂版	三省堂編修所	三省堂	¥800
00005401	看護法令要覧　平成19年版	門脇豊子/他編	日本看護協会 出版会	¥4,200
00005402	基礎物理学ハンドブック	豊田博慈／訳	森北出版	頒価不明
00005403	研究社新英和大辞典　第五版	小稲義男	研究社	¥13,107
00005404	研究社新英和大辞典　第五版	小稲義男	研究社	¥13,107
00005405	研究社新英和大辞典　第五版	小稲義男	研究社	¥13,107
00005406	研究社新英和大辞典　第四版	増田剛	研究社	頒価不明
00005407	健康政策六法　平成3年版	厚生省健康政策局	中央法規出版	¥5,243
00005408	健康政策六法　平成3年版	厚生省健康政策局	中央法規出版	¥5,243
00005409	現代　家庭医学百科	石川数雄	主婦の友社	頒価不明
00005410	現代社会福祉事典	仲村優一/他編	社会福祉法人 全国社会福祉 協議会	¥4,806
00005411	現代社会福祉事典	仲村優一/他編	社会福祉法人 全国社会福祉 協議会	¥4,806
00005412	現代難病辞典　改訂・追補版	西谷裕	東山書房	¥3,398
00005413	現代和独辞典（デスク版）	ロベルト・シンチンゲル	三修社	頒価不明
00005414	現代和独辞典（デスク版）	ロベルト・シンチンゲル	三修社	頒価不明
00005415	ケンドール統計学用語辞典	千葉大学統計グループ	丸善	¥5,800
00005416	広辞苑　第3版	新村出	岩波書店	頒価不明
00005417	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005418	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005419	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005420	最新　医学大辞典　第2版	後藤稠	医歯薬出版	¥13,000
00005421	最新　医学略語辞典	牛場大蔵／監修	中央法規出版	¥3,500
00005422	私学必携　第七次改訂	文部省高等教育局私学部	第一法規	¥4,660
00005423	児童福祉六法　平成4年版	厚生省児童家庭局	中央法規出版	¥4,660
00005424	社会福祉小六法　第4版	佐藤進／監修	誠信書房	¥2,900
00005425	社会福祉六法　平成16年版	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規	¥5,200
00005426	障害保健福祉六法　平成12年版	障害者福祉研究会	中央法規出版	¥5,300
00005427	私立学校教職員共済制度関係法令集 平成十二年版	日本私立学校振興・共済事業団	日本私立学校振興・ 共済事業団 共済事業部	非売品
00005428	新学校保健実務必携　【改訂版】	渋谷敬三・能美光房・国崎弘／共著	第一法規	頒価不明
00005429	鍼灸経穴事典	李　丁／著	東洋学術出版社	頒価不明
00005430	心身障害辞典	石部元雄	福村出版	頒価不明
00005431	新版　心理学事典	下中弘	平凡社	頒価不明
00005432	スタンダード和佛辞典	鈴木信太郎／監修	大修館書店	¥3,800
00005433	ステッドマン医学事典　【英和・和英】　ナース版	ナース版ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥6,000
00005434	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005435	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005436	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005437	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005438	ステッドマン医学大辞典　　カラー版 改訂第5版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥14,000
00005439	ステッドマン医学大辞典　　縮刷版 改訂第3版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥13,000
00005440	ステッドマン医学大辞典　　縮刷版 改訂第3版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥13,000
00005441	ステッドマン医学大辞典　　縮刷版 改訂第3版【英和・和英】	ステッドマン医学大辞典編集委員会	メジカルビュー社	¥13,000
00005442	生化学辞典　第2版	今堀和友／監修	東京化学同人	頒価不明
00005443	生化学辞典　第3版	今堀和友／監修	東京化学同人	¥9,800
00005444	生活綴方成立史研究	中内敏夫／著	明治図書	¥7,000
00005445	精神薄弱者福祉六法	厚生省 児童家庭局障害福祉課	中央法規出版	¥5,437
00005446	哲学事典	下中弘	平凡社	頒価不明
00005447	ドーランド図説医学大事典　28版	ドーランド医学大事典編集委員会	廣川書店	¥15,000
00005448	ドーランド図説医学大事典　28版	ドーランド医学大事典編集委員会	廣川書店	¥15,000
00005449	ドーランド図説医学大事典　増補27版	ドーランド医学大事典編集委員会	廣川書店	¥38,000
00005450	特殊教育必携　第三次改訂	文部省特殊教育課特殊教育研究会	第一法規	¥4,369
00005451	南山堂　医学大辞典	南山堂	南山堂	¥10,000
00005452	日英独医語小辞典	藤田拓男	南山堂	¥2,000
00005453	日本医学会　医学用語辞典　英和	日本医学会医学用語管理委員会	南山堂	¥12,000
00005454	日本医学会　医学用語辞典　英和	日本医学会医学用語管理委員会	南山堂	¥12,000
00005455	標準医学事典	賀川哲夫／原著	南山堂	¥5,000
00005456	ポケット医学英和辞典	渡辺良孝	医学書院	¥4,500
00005457	薬事衛生六法　　1995年版	厚生省薬剤師会	薬事日報社	¥4,564
00005458	有斐閣　経済辞典　新版	金森久雄/他編	有斐閣	頒価不明
00005459	養護訓練法ハンドブック	伊藤隆二	福村出版	頒価不明
00005460	ランニング医学大事典 評価・診断・治療・予防・リハビリテーション	福林徹／監訳	西村書店	¥9,500
00005461	理学療法学事典	奈良勲	医学書院	¥9,000
00005462	老人六法　　平成3年版	厚生省大臣官房老人保健福祉部	中央法規出版	¥4,660
00005463	六法全書　昭和四十六年版	我妻栄	有斐閣	¥2,600
00005464	和英独医語辞典	高島令三	文光堂	¥1,236
00005465	わが国における心身障害教育文献集成	伊藤隆二/他編	風間書房	¥20,000
00005466	医学英和大辞典	加藤勝治	南山堂	¥18,000
00005467	研究社新英和大辞典	勝俣銓吉郎	研究社	¥6,000
00005468	スーパー・アンカー英和辞典　全面新版	山岸勝榮	学習研究社	¥2,820
00005469	リハビリテーション医学大辞典	上田敏,大川弥生	医歯薬出版	頒価不明
00005470	臨床精神医学辞典　第2版	西丸四方	南山堂	¥5,825
00005471	臨床精神医学辞典　第2版	西丸四方	南山堂	¥5,825
00005472	2005年版最新医療事務入門　窓口業務から保険請求、統計業務まで	木津正昭	医学通信社	¥2,400
00005473	90年代の医療	二木立／著	勁草書房	頒価不明
00005474	APPROACH　SERIES　2000 消化管・腹壁・腹膜疾患　1	伊東洋,大谷信夫	医学評論社	頒価不明
00005475	Ｄｒ．ロビンスの上手な英語医学論文の書き方	Mary Louise Robbins／著	医学書院	¥1,700
00005476	新しい医療観を求めて	石渡隆司	時空出版	頒価不明
00005477	医学英語慣用表現集　第３版	小林充尚	文光堂	¥6,311
00005478	医学のためのパーソナルコンピューター	芦田廣／著	丸善	¥3,600
00005479	医学論文の書き方　第４版	田中潔	医学書院	¥1,900
00005480	医学を変えた発見の物語	諏訪邦夫／訳	中外医学社	¥2,800
00005481	医の倫理　原書第二版	舘野之男／訳	東京大学出版会	頒価不明
00005482	医の倫理　原書第二版	舘野之男／訳	東京大学出版会	頒価不明
00005483	医の論理	中川米造	玉川大学出版部	頒価不明
00005484	医の論理 いのちを考える拠点	日野原重明	ＨＢＪ出版局	頒価不明
00005485	医療科学	江川寛	医学書院	¥4,800
00005486	医療科学入門	的場恒孝	南江堂	¥2,800
00005487	医療ケースワークの初歩的実践	柴山悦子／著	医学書院	¥1,800
00005488	医療職が覚えておきたい運動・動作の英語表現	飯田恭子	医学書院	¥2,000
00005489	医療職が覚えておきたい運動・動作の英語表現	飯田恭子	医学書院	¥2,000
00005490	医療とことば	永井友二郎	中外医学社	¥2,400
00005491	医療とことば	永井友二郎・阿部正和	中外医学社	¥2,400
00005492	医療と人権	福武直／ほか監修	中央法規出版	¥4,800
00005493	医療の場のコミュニケーション　言葉を贈る心を贈る	日下隼人	篠原出版新社	¥1,800
00005494	医療福祉をつなぐ関連職種連携-講義と実習にもとづく学習のすべて-	北島政樹	南江堂	¥3,200
00005495	学生のための医療概論	千代豪昭	医学書院	¥2,500
00005496	学生のための医療概論　第2版	千代豪昭	医学書院	¥2,800
00005497	学生のための法医学	永田武朗	南山堂	¥5,000
00005498	カバンディ手のデッサン	萩島秀男	医歯薬出版	¥2,330
00005499	カルテ&レセプト略語8500 :傷病・検査・処置・手術・薬剤等の臨床略語全集	清水尊	医学通信社	¥2,200
00005500	基本パーツ101語分解方式で学ぶ医学用語	津波古澄子	日本看護協会出版	¥2,200
00005501	系統的にみた医学・生物学領域の英語術語辞典	宮野成二／著	廣川書店	¥2,000
00005502	講義録　医学英語Ｉ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005503	講義録　医学英語Ｉ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005504	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005505	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005506	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005507	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005508	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005509	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005510	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005511	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005512	講義録　医学英語Ⅰ 語彙の充実地読解力の向上	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,500
00005513	講座人間と医療を考える第１巻哲学と医療	中川米造	弘文堂	頒価不明
00005514	講座人間と医療を考える第３巻行動科学と医療	長谷川浩	弘文堂	頒価不明
00005515	講座人間と医療を考える第５巻社会学と医療	園田恭一	弘文堂	頒価不明
00005516	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論	北村諭	中外医学社	¥2,400
00005517	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論	北村諭	中外医学社	¥2,400
00005518	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 運動学	丸山仁司	中外医学社	¥2,600
00005519	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 公衆衛生学	柳川洋	中外医学社	¥3,600
00005520	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 公衆衛生学	柳川洋	中外医学社	¥3,600
00005521	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 小児科学	外間登美子	中外医学社	¥3,600
00005522	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 診断学概論	北村諭	中外医学社	¥2,200
00005523	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 診断学概論	北村諭	中外医学社	¥2,200
00005524	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 精神医学	上野修一他	中外医学社	¥3,200
00005525	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 精神医学	上野修一他	中外医学社	¥3,200
00005526	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 生理学	黒澤美枝子他	中外医学社	¥3,900
00005527	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005528	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005529	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005530	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005531	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005532	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005533	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005534	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005535	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005536	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005537	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 人間発達学	福田恵美子	中外医学社	¥2,600
00005538	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 臨床心理学	名嘉幸一	中外医学社	¥2,400
00005539	コメディカルのための専門基礎分野テキスト 老年医学	松本和則	中外医学社	¥3,600
00005540	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　解剖学	五味敏昭, 岸清	中外医学社	¥4,600
00005541	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　公衆衛生学	柳川洋, 萱場一則	中外医学社	¥3,600
00005542	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　臨床心理学	名嘉幸一	中外医学社	¥2,400
00005543	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　臨床心理学	名嘉幸一	中外医学社	¥2,400
00005544	これからの医療コミュニケーションへ向けて	石崎雅人他	篠原出版新社	¥3,200
00005545	これからの地域医療「健康づくり」の進め方	宮原伸二／著	医学書院	¥2,200
00005546	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005547	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005548	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005549	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005550	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005551	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005552	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005553	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005554	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005555	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005556	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005557	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005558	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005559	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005560	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005561	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005562	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005563	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005564	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005565	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005566	最新医学用語演習 ： 医学英語演習	岡田聚 名木田恵理子	南雲堂	¥2,600
00005567	宗教学と医療	黒岩卓夫	弘文堂	頒価不明
00005568	ショートコース医学英語 ： プラス・マイナス暗記法	小松信彦訳	廣川書店	¥2,884
00005569	新　医療秘書実務シリーズ　2 病院管理	田島誠一他	建帛社	¥2,500
00005570	新　医療秘書実務シリーズ　2 病院管理	田島誠一他	建帛社	¥2,500
00005571	新訂　平静の心　オスラー博士講演集	日野原重明／訳	医学書院	¥3,800
00005572	新版医学概論・用語ー保健・医療・福祉についてー	緒方正名	大学教育出版	¥2,200
00005573	第94回医師国家試験問題解説	医師国試対策編集委員会	医学教育出版社	¥3,900
00005574	日本の医倫理	関根透／著	学建書院	¥2,800
00005575	脳死　医学と社会の接点	太田富雄／訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥3,200
00005576	プログラム学習による医学用語の学び方　第２版	裏田武夫	医学書院	¥4,500
00005577	法医学	何川涼／著	日本医事新報社	¥8,700
00005578	法医学	何川涼／著	日本医事新報社	¥8,700
00005579	面接による患者理解　改訂版	ブレイン・バード／著	診断と治療社	¥3,786
00005580	面接による患者理解　改訂版	ブレイン・バード／著	診断と治療社	¥3,786
00005581	臨床におけるコミュニケーション よりよき治療関係のために	木戸幸聖	創元社	頒価不明
00005582	レセプト作成テキストブック ： 医科 点数表の基本とレセプト記載の原則 平成21年4月版	川上雪彦	社会保険研究所	¥3,465
00005583	忘れえぬカルテ	鈴木秀郎／著	金芳堂	¥2,000
00005584	医の教育1　医の統合3　一般教養課程	医の統合を語る会	日本医事新報社	¥1,900
00005585	医の統合5　医療と社会	医の統合を語る会	日本医事新報社	¥1,900
00005586	医の倫理 ： ミニ事典	森岡恭彦 畔柳達雄	メジカルビュー社	¥2,000
00005587	医科系学生のための総合英語	神山省吾/他著	南雲堂	¥2,800
00005588	医科系学生のための総合英語	神山省吾/他著	南雲堂	¥2,718
00005589	医学英語 ： プラス・マイナス暗記法	Davi-Ellen Chabner	広川書店	¥4,800
00005590	医学英語文例集　増訂第2版	入内島十郎	中外医学社	¥7,600
00005591	医師・医療機関のための保険診療ルールBOOK ： 療養担当規則の完全読解と保険診療80カ条 2008-09年版	ヘルスケア21研究会	医学通信社	¥1,800
00005592	医師・医療機関のための保険診療ルールBOOK ： 療養担当規則の完全読解と保険診療80カ条 2010-11年版	ヘルスケア21研究会	医学通信社	¥1,800
00005593	医療のためのコンピュータプログラミング ： MUMPS言語による	椎名晋一／著	朝倉書店	頒価不明
00005594	医療の実例英会話 ： 英和対訳	Joy Parkinson	南雲堂 フェニックス	¥2,427
00005595	医療学入門　第2版	高橋政祺	医学書院	¥2,000
00005596	医療技術者のための医学英語入門	清水雅子	講談社サイエンティフィック	¥2,718
00005597	医療技術者のための医学英語入門	清水雅子	講談社サイエンティフィック	¥2,718
00005598	医療職が覚えておきたい運動・動作の英語表現	飯田恭子	医学書院	¥2,000
00005599	学生のための法医学　第3版	永田武明,原三郎	南山堂	¥5,000
00005600	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	頒価不明
00005601	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	¥2,200
00005602	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	¥2,200
00005603	看護学生のための医学英語	小林充尚	朝倉書店	¥2,200
00005604	高度先進医療の実際	伊藤忠厚	薬事新報社	¥2,700
00005605	最新・医療事務用語1600 ： 医療事務に必要な医事・医学用語事典	医療事務協議会	医学通信社	¥2,600
00005606	最新医事法学　増補第2版	穴田秀男	金原出版	¥4,800
00005607	最新医事法学　増補第2版	穴田秀男	金原出版	¥4,800
00005608	実践PBLチュートリアルガイド	吉田一郎・大西弘高	南山堂	¥3,900
00005609	重症失語の症状学 ： ジャルゴンとその周辺	波多野和夫	金芳堂	頒価不明
00005610	症候群小辞典	沢木修二	金芳堂	¥3,500
00005611	生きる権利と死ぬ権利	フランソア・サルダ	みすず書房	頒価不明
00005612	生と死の医療	河野友信,河野博臣	朝倉書店	¥5,000
00005613	平静の心 ： オスラー博士講演集	オスラー	医学書院	¥3,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005614	保険診療基本法令テキストブック ： 医療保険制度の概要と関係法令 平成21年4月版	川上雪彦	社会保険研究所	¥2,100
00005615	未知との遭遇 ： 癒しとしての面接	奥川幸子	三輪書店	¥2,427
00005616	明日の医療，9　医療と人権	唄孝一	中央法規出版	¥4,800
00005617	面接による患者理解 ： 患者心理も含めて　改訂第2版	ブレイン・バード	診断と治療社	¥3,786
00005618	和・英・独・ラ対照カルテ用語	金芳堂	金芳堂	頒価不明
00005619	ＡＥＤを用いた救急蘇生法の指針	心配蘇生法委員会	へるす出版	¥400
00005620	SF-36v2™日本語版マニュアル	福原俊一・鈴鴨よしみ	特定非営利活動法人 健康医療評価 研究機構	¥9,524
00005621	医学・公衆衛生学のための統計学入門	永田久紀	南江堂	¥1,200
00005622	医学・公衆衛生学のための統計学入門 改訂第2版	永田久紀・浅野弘明／共著	南江堂	¥1,200
00005623	医学・公衆衛生学のための統計学入門ー改訂第２版ー	永田久記	南江堂	¥1,200
00005624	医学・保健学の例題による統計学	豊川裕之	現代数学者	頒価不明
00005625	医学統計的方法	伊藤樹史／著	医学書院	¥11,500
00005626	医学への統計学	古川俊之	丹後俊郎	¥3,900
00005627	医学への統計学	古川俊之	丹後俊郎	¥3,900
00005628	学校医マニュアル　第２版	大国真彦	文光堂	¥6,311
00005629	からだの発達 ： 身体発達学へのアプローチ	高石昌弘/他編	大修館書店	¥2,500
00005630	これからの地域医療「健康づくり」の進め方	宮原伸二	医学書院	¥2,200
00005631	これからの健康づくり ： 基礎から実践までのガイドブック	東京都健康づくり推進センター	東京都健康づくり推進センター	¥2,858
00005632	最新健康科学概論	緒方正名	朝倉書店	¥3,200
00005633	地域健康づくり	桐木逸郎	総合労働研究所	¥1,800
00005634	地域健康づくり	桐木逸朗	総合労働研究所	¥1,800
00005635	難病への取組みと展望	重松逸造／監修	日本公衆衛生協会	¥2,200
00005636	脳性まひ児の水泳	矢部京之助/他編	杏林書院	¥2,000
00005637	プライマリ・ケアのための疫学	勝沼晴雄,田中恒男	杏林書院	¥5,500
00005638	マナーとホスピタリティの英語　　ＣＤ付 ： 医療・看護・介護	古閑博美 垂石幸与 土谷宣子著	鷹書房弓プレス	¥1,800
00005639	やさしい保健統計学	縣俊彦／著	南江堂	¥1,748
00005640	やさしい保健統計学　改訂第2版	縣俊彦著	南江堂	¥1,800
00005641	臨床統計解析のためのソフトウェアＦＬＳＨＥＲ	開原成允	中山書店	頒価不明
00005642	わかりやすい公衆衛生学	清水忠彦,佐藤拓代	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,200
00005643	医学・公衆衛生学のための統計学入門	永田久紀,浅野弘明	南江堂	¥1,200
00005644	医療・保健・衛生法規の概説	今村晋,高野健人	南山堂	¥1,200
00005645	疫学マニュアル　第4版	柳川洋	南山堂	¥4,500
00005646	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法	遠城寺宗徳,合屋長英	慶應通信	¥700
00005647	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法	遠城寺宗徳,合屋長英	慶應通信	¥700
00005648	救急蘇生法の指針	日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会	へるす出版	¥400
00005649	救急蘇生法の指針 ： 市民用	日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会	へるす出版	¥400
00005650	救急蘇生法の指針 ： 市民用　改訂3版	日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会	へるす出版	¥400
00005651	救急蘇生法の指針2010	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	¥400
00005652	救急蘇生法の指針2010　改訂4版	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会	へるす出版	¥400
00005653	健康づくりの基礎 ： 予防医学の立場から	小山内博	労働科学研究所 出版部	¥2,233
00005654	健康づくりへのアプローチ ： 生活習慣病の予防・生活習慣改善マニュアル 第3版	石川兵衛	文光堂	¥2,600
00005655	健康と環境 ： 環境科学	斎藤和雄	朝倉書店	¥3,900
00005656	公衆衛生実践シリーズ，第10巻　難病と保健活動	乾死乃生,木下安子	医学書院	¥2,200
00005657	今日から使えるリハビリテーションのための統計学 ： 初心者のための実践的手引き	高橋仁美,加賀谷斉	医歯薬出版	¥2,800
00005658	最新育児小児病学	香美祥二,二宮恒夫	南江堂	¥2,800
00005659	最新育児小児病学	香美祥二,二宮恒夫	南江堂	¥2,800
00005660	最新育児小児病学	香美祥二,二宮恒夫	南江堂	¥2,800
00005661	最新健康科学概論	前橋明,大森豊緑	朝倉書店	¥3,200
00005662	最新健康科学概論	前橋明,大森豊緑	朝倉書店	¥3,200
00005663	治療効果判定のための実用統計学 ：　第3回改訂版 生命表法の解説と臨床試験の実際	富永祐民著	蟹書房	頒価不明
00005664	治療効果判定のための実用統計学 ：　第3回改訂版 生命表法の解説と臨床試験の実際	富永祐民著	蟹書房	頒価不明
00005665	小児リハビリテーションポケットマニュアル	本田真美/他編	診断と治療社	¥4,200
00005666	小児リハビリテーションポケットマニュアル	本田真美/他編	診断と治療社	¥4,200
00005667	新版　行動科学からみた健康と病気	宗像恒次	メヂカル フレンド社	¥3,010
00005668	新編臨床検査知識の整理，1　公衆衛生学	新臨床検査技師教育研究会	医歯薬出版	¥1,068
00005669	赤ちゃんの心と体の図鑑	デズモンド・モリス	柊風舎	¥8,500
00005670	赤ちゃんの心と体の図鑑	デズモンド・モリス	柊風舎	¥8,500
00005671	二分脊椎・筋ジストロフィー・ダウン症候群・小児切断・血友病・先天性多発性関節拘縮症・神経筋疾患・精神遅滞	岩谷力,土肥信之	医歯薬出版	¥5,650
00005672	二分脊椎・筋ジストロフィー・ダウン症候群・小児切断・血友病・先天性多発性関節拘縮症・神経筋疾患・精神遅滞	岩谷力,土肥信之	医歯薬出版	¥5,650
00005673	二分脊椎・筋ジストロフィー・ダウン症候群・小児切断・血友病・先天性多発性関節拘縮症・神経筋疾患・精神遅滞	岩谷力,土肥信之	医歯薬出版	¥5,650
00005674	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600
00005675	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600
00005676	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600
00005677	臨床疫学 ： EBM実践のための必須知識	ロバート・H・フレッチャー,スーザン・W・フレッチャー	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥4,700
00005678	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005679	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005680	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005681	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005682	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005683	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005684	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005685	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005686	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005687	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005688	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005689	15レクチャーシリーズ，．理学療法・作業療法テキスト　運動学	小島悟	中山書店	¥2,400
00005690	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005691	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005692	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005693	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005694	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005695	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005696	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005697	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005698	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005699	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005700	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005701	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　義肢学	永冨史子	中山書店	¥2,400
00005702	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　神経障害理学療法学 1	大畑光司,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005703	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　神経障害理学療法学 2	大畑光司,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005704	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　装具学	佐竹將宏	中山書店	¥2,400
00005705	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　物理療法学・実習	日高正巳,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005706	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　物理療法学・実習	日高正巳,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005707	15レクチャーシリーズ，．理学療法テキスト　物理療法学・実習	日高正巳,玉木彰	中山書店	¥2,400
00005708	ABCDEsバンドルとICUにおける早期リハビリテーション	氏家良人/他編	克誠堂出版	¥5,200
00005709	ADL	柴喜崇,下田信明	羊土社	¥5,200
00005710	EBM物理療法	Michelle H.Cameron	エルゼビア・ジャパン	¥9,000
00005711	OSCE１客観的臨床能力試験 ： アンダーグラジュエイツ ： 態度・技能・知識の統合を図る	A.Feather/他編	文光堂	¥3,500
00005712	OSCE２客観的臨床能力試験 ： アンダーグラジュエイツ ： 態度・技能・知識の統合を図る	A.Feather/他編	文光堂	¥3,500
00005713	OT臨床ハンドブック　ポケット版	聖マリアンナ医科大学病院リハビリテーション部作業療法科	三輪書店	¥4,700
00005714	PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養 ： 栄養ケアがリハを変える	若林秀隆	医歯薬出版	¥3,200
00005715	PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド　第２版	山口美和	医学書院	¥2,800
00005716	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005717	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005718	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005719	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,500
00005720	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005721	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005722	PT・OTのための一般臨床医学	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005723	PT・OTのための一般臨床医学　第2版	明石謙	医歯薬出版	¥2,600
00005724	PT・OTのための臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技	椿原彰夫	診断と治療社	¥2,500
00005725	PT・OTのための臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技	椿原彰夫	診断と治療社	¥2,500
00005726	PT臨床ハンドブック ： ポケット版　第2版	亀田メディカルセンターリハビリテーション事業部	三輪書店	¥4,800
00005727	ROM測定	伊藤俊一,星文彦	三輪書店	¥3,800
00005728	ROM測定	伊藤俊一,星文彦	三輪書店	¥3,800
00005729	The Ciba collection of medical illustrations 筋骨格　　vol.8	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥25,000
00005730	The Ciba collection of medical illustrations 呼吸器　　vol.7	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005731	The Ciba collection of medical illustrations 消化器　　vol.3　第１部上部消化管	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005732	The Ciba collection of medical illustrations 消化器　vol.3　第３部肝臓、胆道および膵臓	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥15,000
00005733	The Ciba collection of medical illustrations 神経　vol.1　第１部解剖学および生理学	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥23,000
00005734	The Ciba collection of medical illustrations 神経　vol.1　第２部神経系および神経筋疾患	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥23,000
00005735	The Ciba collection of medical illustrations 心臓　　vol.5	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥19,000
00005736	The Ciba collection of medical illustrations 腎臓　vol. 6	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005737	The Ciba collection of medical illustrations 生殖器　　vol.2	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005738	The Ciba collection of medical illustrations 内分泌　　vol.4	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥20,000
00005739	The Ciba collection of medical illustrations 消化器　　第2部下部消化管　vol.3	Frank H. Netter［著］	日本チバガイギー	¥18,000
00005740	The electromyography research for physical therapy and acupuncture ： 理学療法・鍼灸治療における筋電図研究のすべて	関西理学療法学会	アイペック	¥4,000
00005741	痛みの新しい治療法ー東洋医学の近代的応用ー	兵頭正義	中外医学者	¥5,200
00005742	イラストわかりやすい移動のしかた ： 患者と介助者のために	井口恭一	三輪書店	¥2,500
00005743	合併症の管理　リハビリテーション医学全書Ⅱ	明石謙	医歯薬出版	¥4,900
00005744	合併症の管理　リハビリテーション医学全書Ⅱ	明石謙	医歯薬出版	¥4,900
00005745	患者診断学アートとサイエンスを活かして第２版	日野原重明	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,500
00005746	がんと緩和ケアの作業療法	Jill Cooper	三輪書店	¥3,800
00005747	救急医学の実際	下地恒毅/他編	朝倉書店	¥7,800
00005748	着る・装うことの障害とアプローチ	山根寛	三輪書店	¥2,800
00005749	クライオセラピー ： 理論,テクニック,生理学	Kenneth L.Knight著	メディカル葵出版	¥4,600
00005750	言語障害	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005751	言語障害	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明
00005752	コ・メディカルのための基礎医学の知識	橘敏也	薬業時報社	¥3,090
00005753	コ・メディカルのための基礎医学の知識	橘敏也	薬業時報社	¥3,000
00005754	呼吸障害・循環障害・老人　リハビリテーション医学全書２１	砂原茂一	医歯薬出版	¥5,300
00005755	これだけで十分コメディカルの内科学	北村諭	中外医学社	¥3,800
00005756	これだけは知っておきたいリハビリテーションの臨床とケア ： 実地教育テキスト	土肥信之	ライフ・サイエンス・センター	¥3,600
00005757	作業ーその治療的応用　改訂第２版	社団法人日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,500
00005758	作業ーその治療的応用　改訂第2版	社団法人日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,500
00005759	作業療法マニュアル３８　大腿骨頚部／転子部骨折の作業療法	日本作業療法士協会学術部	日本作業療法士協会	頒価不明
00005760	シンプル内科学	寺野彰総	南江堂	¥6,500
00005761	図解　痛みの治療 神経ブロック療法を中心として	山本亨・若杉文吉／著	医学書院	¥5,500
00005762	スポーツとリハビリテーション	佐藤捷／著	廣川書店	頒価不明
00005763	スポーツとリハビリテーション医学	佐藤捷	廣川書店	¥3,000
00005764	スリングエクササイズセラピー ： 自重免荷と固有受容感覚を利用した効果的運動療法	中島雅美著	中島雅美著	¥3,500
00005765	セラピストのための概説リハビリテーション	嶋田智明	文光堂	¥4,000
00005766	セラピストのための概説リハビリテーション	嶋田智明	文光堂	¥4,000
00005767	セラピストのための概説リハビリテーション	嶋田智明	文光堂	¥4,000
00005768	セラピストの動きの基本 ： 運動器リハビリテーション新時代	山口光國,春木豊	文光堂	¥3,500
00005769	全訂新版 オステオパシー手技教本	アラン・スタッダードD.O.原著	科学新聞社	¥9,500
00005770	ターミナルケア医学	岡安大仁	医学書院	¥2,000
00005771	ターミナルケア医学	岡安大仁,柏木哲夫	医学書院	¥2,000
00005772	だから、作業療法が大好きです!	葉山靖明	三輪書店	¥2,000
00005773	だから、作業療法が大好きです!	葉山靖明	三輪書店	¥2,000
00005774	地域リハビリテーション原論　Ver.3	大田仁史	医歯薬出版	¥1,400
00005775	地域リハビリテーション原論　Ver.3	大田仁史	医歯薬出版	¥1,400
00005776	地域リハビリテーション論	浜村明徳	三輪書店	¥2,400
00005777	つくる・あそぶを治療にいかす作業活動実習マニュアル	古川宏	医歯薬出版	¥4,000
00005778	手の装具療法	内西兼一郎	医学書院	¥11,000
00005779	徳島県における初めての取り組み　ニューロリハビリテーション　―鴨島病院の新たなる挑戦―	鴨島病院歩こう会		頒価不明
00005780	徳島県における初めての取り組み　ニューロリハビリテーション　―鴨島病院の新たなる挑戦―	鴨島病院歩こう会		頒価不明
00005781	ナースの内科学　改訂４版	奈良信雄	中外医学社	¥8,000
00005782	ナースの内科学　改訂６版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005783	ナースの内科学　改訂６版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005784	ナースの内科学　改訂８版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005785	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005786	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005787	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005788	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005789	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005790	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005791	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005792	ナースの内科学　改訂９版	奈良信雄	中外医学社	¥8,400
00005793	内科セミナーPN５　基底核疾患	織田敏次/他編	永井書店	¥4,900
00005794	日本作業療法士協会　五十年史	日本作業療法士協会	医歯薬出版	頒価不明
00005795	日本人のためのリハビリ医療	三島博信	ジーベック	¥2,600
00005796	日本人のためのリハビリ医療	三島博信	ジーベック	¥2,600
00005797	日本理学療法士協会　五十年史　～たくさんの『一歩』と歩んで50年～	50周年記念誌編集委員会	日本理学療法士協会	頒価不明
00005798	日本理学療法士協会　五十年史　～たくさんの『一歩』と歩んで50年～	50周年記念誌編集委員会	日本理学療法士協会	頒価不明
00005799	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥3,800
00005800	脳卒中片麻痺の肩	Rene Cailliet	医歯薬出版	¥2,800
00005801	ノーマライゼーション実践学 凡人から達人をめざす作業療法士道	大丸幸・吉田隆幸	青海社	¥2,600
00005802	はじめての研究法 ： コ・メディカルの研究法入門	千住秀明,玉利光太郎	九州神陵文庫	¥4,500
00005803	はじめての研究法 ： コ・メディカルの研究法入門	千住秀明/他編	神陵文庫	¥4,500
00005804	はじめての研究法 ： コ・メディカルの研究法入門	千住秀明/他編	神陵文庫	¥4,500
00005805	はじめての訪問リハビリテーション	吉良健司	医学書院	¥3,800
00005806	はじめての訪問リハビリテーション	吉良健司	医学書院	¥3,800
00005807	はじめての訪問リハビリテーション	吉良健司	医学書院	¥3,800
00005808	ハリソン内科学　第2版	ハリソン	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥29,800
00005809	ひとと作業・作業活動 ： ひとにとって作業とは?どのように使うのか? 第２版	鎌倉矩子/他編	三輪書店	¥3,300
00005810	標準作業療法学　専門分野　基礎作業学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005811	標準作業療法学　専門分野　基礎作業学	矢谷令子	医学書院	¥3,801
00005812	標準作業療法学　専門分野　高齢期作業療法	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005813	標準作業療法学　専門分野　作業療法学概論	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005814	標準作業療法学　専門分野　作業療法学概論	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005815	標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学	矢谷令子	医学書院	¥5,700
00005816	標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学	矢谷令子	医学書院	¥5,700
00005817	標準作業療法学　専門分野　作業療法評価学	矢谷令子	医学書院	¥5,700
00005818	標準作業療法学　専門分野　社会生活行為学	矢谷令子	医学書院	¥4,700
00005819	標準作業療法学　専門分野　身体機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,700
00005820	標準作業療法学　専門分野　身体機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,700
00005821	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005822	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005823	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005824	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800
00005825	標準作業療法学　専門分野　精神機能作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥3,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005826	標準作業療法学　専門分野　発達過程作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,000
00005827	標準作業療法学　専門分野　発達過程作業療法学	矢谷令子	医学書院	¥4,200
00005828	標準作業療法学　専門分野　臨床実習とケーススタディ	矢谷令子	医学書院	¥4,200
00005829	標準理学療法学　専門分野　運動療法学各論	奈良勲	医学書院	¥5,600
00005830	標準理学療法学　専門分野　運動療法学総論	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005831	標準理学療法学　専門分野　運動療法学総論	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005832	標準理学療法学　専門分野　運動療法学総論	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005833	標準理学療法学　専門分野　基礎理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005834	標準理学療法学　専門分野　基礎理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005835	標準理学療法学　専門分野　基礎理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005836	標準理学療法学　専門分野　神経理学療法学	吉尾雅春,森岡周	医学書院	¥5,000
00005837	標準理学療法学　専門分野　内部障害理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,000
00005838	標準理学療法学　専門分野　内部障害理学療法学	奈良勲	医学書院	¥5,000
00005839	標準理学療法学　専門分野　日常生活活動学・生活環境学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005840	標準理学療法学　専門分野　日常生活活動学・生活環境学	奈良勲	医学書院	¥5,400
00005841	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005842	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005843	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005844	標準理学療法学　専門分野　物理療法学	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005845	標準理学療法学　専門分野　理学療法研究法	内山靖	医学書院	¥4,700
00005846	標準理学療法学　専門分野　理学療法評価学	内山靖	医学書院	¥5,800
00005847	標準理学療法学　専門分野　臨床実習とケーススタディ	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005848	標準理学療法学　専門分野　臨床動作分析	奈良勲	医学書院	¥4,700
00005849	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005850	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005851	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005852	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005853	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005854	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005855	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005856	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005857	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005858	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005859	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005860	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005861	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005862	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005863	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005864	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005865	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005866	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005867	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005868	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005869	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　精神医学	奈良勲,鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00005870	病歴と現症のとり方	五島雄一郎	朝倉書店	¥4,900
00005871	病歴と現症のとり方	五島雄一郎	朝倉書店	¥4,900
00005872	物理療法の実際	森和／著	南山堂	¥6,500
00005873	メディカルスタッフのための内科学　第4版	伊東進,森博愛	医学出版社	¥4,500
00005874	モゼイ・作業療法 ： 専門職としての位置づけ	Anne Cronin Mosey	協同医書出版社	¥3,800
00005875	ヤンダアプローチ ： マッスルインバランスに対する評価と治療	PhilPage/他編	三輪書店	¥4,800
00005876	リサーチ・クエスチョンの作り方 ： 診療上の疑問を研究可能な形に	福原俊一	健康医療評価研究機構	¥2,000
00005877	リスク管理 ： その解釈と統合 ： 積極的な理学療法を目指して	嶋田智明/他編	文光堂	¥4,800
00005878	リハカルテ活用ハンドブック	南場芳文	メジカルビュー社	¥4,200
00005879	リハカルテ活用ハンドブック	南場芳文	メジカルビュー社	¥4,200
00005880	リハに役立つ脳画像 ： コツさえわかればあなたも読める	大村優慈	メジカルビュー社	¥3,500
00005881	リハビリテーション ： 評価と治療計画	S.B.オサリバン T.J.シュミッツ	西村書店	¥12,000
00005882	リハビリテーション　ケーススタディ	岩倉博光	医学書院	¥4,900
00005883	リハビリテーションMOOK４　高次脳機能障害とリハビリテーション	大橋正洋/他編	金原出版	¥5,000
00005884	リハビリテーション医学講座　第13巻神経筋疾患	宇尾野公義	医歯薬出版	¥2,000
00005885	リハビリテーション医学講座　第13巻神経筋疾患	宇尾野公義	医歯薬出版	¥2,000
00005886	リハビリテーション医学講座　第15巻関節リウマチとその近縁疾患	吉野槇一	医歯薬出版	¥2,200
00005887	リハビリテーション医学講座　第1巻 リハビリテーション医学概論　第2版	岩倉博光著	医歯薬出版	頒価不明
00005888	リハビリテーション医学講座　第1巻 リハビリテーション医学概論　第2版	岩倉博光著	医歯薬出版	頒価不明
00005889	リハビリテーション医学講座　第1巻 リハビリテーション医学概論　第2版	岩倉博光著	医歯薬出版	頒価不明
00005890	リハビリテーション医学講座　第2巻人間発達学	上田礼子著	医歯薬出版	頒価不明
00005891	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005892	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005893	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005894	リハビリテーション医学講座　第9巻障害と心理	三沢義一著	医歯薬出版	¥2,000
00005895	リハビリテーション医学講座第４巻　神経生理学・臨床神経学	中村隆一	医歯薬出版	¥2,600
00005896	リハビリテーション医学全書14　脳卒中その他の片麻痺	福井圀彦	医歯薬出版	¥6,900
00005897	リハビリテーション医学全書２　リハビリテーション診断学＜下＞検査	千野直一	医歯薬出版	¥6,500
00005898	リハビリテーション医学の実際	飯野三郎/他編	昭学社	頒価不明
00005899	リハビリテーション概論	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明
00005900	リハビリテーション概論	砂原茂一監修他	医歯薬出版	頒価不明
00005901	リハビリテーション序説	安藤徳彦	医学書院	¥3,400
00005902	リハビリテーションと理学療法エッセンシャル ： 臨床で役立つ診断と治療	Walter R. Frontera, Julie K. Silver	西村書店	¥9,500
00005903	リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎	栢下淳,若林秀隆	医歯薬出版	¥3,800
00005904	リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎	栢下淳,若林秀隆	医歯薬出版	¥3,800
00005905	リハビリテーションのための疾患ガイド	水間正澄/他編	医歯薬出版	¥6,000
00005906	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,800
00005907	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005908	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005909	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005910	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005911	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,600
00005912	リハビリテーションのための人間発達学	大城昌平	メディカルプレス	¥3,800
00005913	リハビリテーションの基礎英語 = Basic English textbook for learners of rehabilitation sciences	清水雅子	メジカルビュー社	¥2,400
00005914	リハビリテーションの思想 : 人間復権の医療を求めて	上田敏	医学書院	¥1,400
00005915	リハビリテーションの思想 : 人間復権の医療を求めて	上田敏	医学書院	¥1,400
00005916	リハビリテーションの歩み : その源流とこれから	上田敏	医学書院	¥3,000
00005917	リハビリテーションリスク管理ケーススタディ	宮越浩一	メジカルビュー社	¥4,000
00005918	リハビリテーションリスク管理ハンドブック	亀田メディカルセンターリハビリテーション科リハビリテーション室	メジカルビュー社	¥4,000
00005919	リハビリテーション医学テキスト　改訂第4版	出江紳一, 加賀谷斉	南江堂	¥5,300
00005920	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005921	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005922	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005923	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005924	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005925	リハビリテーション医学の世界 : 科学技術としてのその本質、その展開、そしてエトス	上田敏	三輪書店	¥3,204
00005926	リハビリテーション医学講座　第2巻　人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005927	リハビリテーション医学講座　第2巻　人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005928	リハビリテーション医学講座, 第12巻　脊髄損傷 :包括的リハビリテーション	初山泰弘, 二瓶隆一	医歯薬出版	¥4,500
00005929	リハビリテーション医学講座, 第13巻　神経筋疾患	宇尾野公義	医歯薬出版	¥2,000
00005930	リハビリテーション医学講座, 第17巻　循環器疾患/呼吸器疾患	芳賀敏彦/他編	医歯薬出版	¥2,400
00005931	リハビリテーション医学講座, 第17巻　循環器疾患/呼吸器疾患	芳賀敏彦/他編	医歯薬出版	¥3,200
00005932	リハビリテーション医学講座, 第4巻　神経生理学・臨床神経学　第2版	中村隆一	医歯薬出版	¥3,200
00005933	リハビリテーション医学全書11　言語障害	笹沼澄子	医歯薬出版	頒価不明
00005934	リハビリテーション医学全書11　言語障害	笹沼澄子	医歯薬出版	頒価不明
00005935	リハビリテーション医学全書2　人間発達	新井清三郎, 上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005936	リハビリテーション医学全書, 2　人間発達	新井清三郎, 上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005937	リハビリテーション医学全書, 2　人間発達	新井清三郎,上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00005938	リハビリテーション医学全書, 2　人間発達	新井清三郎,上田礼子	医歯薬出版	¥3,350
00005939	リハビリテーション医学全書, II-8　リハビリテーション工学	明石謙,岡本卓爾	医歯薬出版	¥4,660
00005940	リハビリテーション医学全書12　視覚障害　第２版	原田政美	医歯薬出版	¥4,800
00005941	リハビリテーション医学全書12　視覚障害　第２版	原田政美	医歯薬出版	¥4,800
00005942	リハビリテーション医学全書2　人間発達	新井清三郎,上田礼子	医歯薬出版	¥3,300
00005943	リハビリテーション医学全書21　呼吸障害・循環障害・老人	砂原茂一	医歯薬出版	¥5,300
00005944	リハビリテーション医学全書22　精神障害　第２版	井上正吾,小池清廉	医歯薬出版	¥6,000
00005945	リハビリテーション医学全書22　精神障害　第２版	井上正吾,小池清廉	医歯薬出版	¥6,000
00005946	リハビリテーション医学全書6　装具・自助具・車椅子　第２版	荻島秀男	医歯薬出版	¥3,800
00005947	リハビリテーション医学全書6　装具・自助具・車椅子　第２版	荻島秀男	医歯薬出版	¥3,800
00005948	リハビリテーション医学大辞典	上田敏,大川弥生	医歯薬出版	¥8,300
00005949	リハビリテーション医学白書	リハビリテーション医学白書委員会	医学書院	¥3,000
00005950	リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン	日本リハビリテーション医学会 診療ガイドライン委員会	医歯薬出版	¥2,000
00005951	リハビリテーション医療入門	武智秀夫著	医学書院	¥1,800
00005952	リハビリテーション英語の基本用語と表現 = Essential terms and expressions for rehabilitation	清水雅子,服部しのぶ	メジカルビュー社	¥2,000
00005953	リハビリテーション英語の基本用語と表現 = Essential terms and expressions for rehabilitation	清水雅子,服部しのぶ	メジカルビュー社	¥2,000
00005954	リハビリテーション看護論	中西純子,石川ふみよ	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00005955	リハビリテーション基礎医学	上田敏/他編	医学書院	¥9,500
00005956	リハビリテーション機器 : 適応と選択	加倉井周一	医学書院	¥5,600
00005957	リハビリテーション効果を最大限に引き出すコツ : 応用行動分析で運動療法とADL訓練は変わる	山崎裕司,山本淳一	三輪書店	¥3,400
00005958	リハビリテーション国際協力入門	久野研二,中西由起子	三輪書店	¥3,000
00005959	リハビリテーション国際協力入門	久野研二,中西由起子	三輪書店	¥3,000
00005960	リハビリテーション事典 = Encyclopedia of rehabilitation	伊藤利之/他編	中央法規出版	¥7,000
00005961	リハビリテーション序説	安藤徳彦	医学書院	¥3,400
00005962	リハビリテーション序説	安藤徳彦	医学書院	¥3,400
00005963	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005964	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005965	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005966	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005967	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005968	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005969	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005970	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005971	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005972	リハビリテーション総論 : PT・OT・ST・ナースを目指す人のための : 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00005973	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005974	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005975	リハビリテーション総論 ： PT・OT・ST・ナースを目指す人のための ： 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00005976	リハビリテーション白書	日本リハビリテーション医学会	医歯薬出版	¥5,825
00005977	リハビリテーション評価データブック	道免和久	医学書院	¥4,200
00005978	リハビリテーション用語解説ポケットブック	梅田悦生，梅田紘子	診断と治療社	¥2,800
00005979	リハビリテーション臨床のための脳科学 ： 運動麻痺治療のポイント	富永孝紀/他編	協同医書出版社	¥2,800
00005980	リハビリテーション臨床現場のモヤモヤ解決！ ： こんなときどうする?	上月正博	医歯薬出版	¥3,600
00005981	リハ医とコメディカルのための最新リハビリテーション医学	上月正博/他編	寺田国際事務所/先端医療技術研究所	¥7,000
00005982	レッドコード・ニューラック・マニュアル ： スリング・エクササイズ・セラピーからの進化	日本ニューラック研究会	三輪書店	¥4,800
00005983	わかりやすいリハビリテーション	岡島康友	中山書店	¥4,300
00005984	わたしのからだをさがして ： リハビリテーションでみつけたこと	小川奈々，中里瑠美子	協同医書出版社	¥2,000
00005985	運動の成り立ちとは何か ： 理学療法・作業療法のためのBiNI approach ： biomechanics and neuroscience integrative approach	舟波真一，山岸茂則	文光堂	¥6,300
00005986	運動療法ガイド ： 正しい運動処方を求めて	宮下充正，武藤芳照	日本醫事新報社	¥3,786
00005987	運動療法のための機能解剖学的触診技術	林典雄	メジカルビュー社	¥5,700
00005988	延命の医学から生命を与えるケアへ	日野原重明	医学書院	¥980
00005989	演習・実習に役立つ基礎看護技術 ： 根拠に基づいた実践をめざして	三上れつ，小松万喜子	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,900
00005990	音楽療法	ジュリエット・アルヴァン	音楽之友社	頒価不明
00005991	家庭でできるリハビリ用具の選び方、使い方	長野大輔	健友館	¥1,200
00005992	科学的根拠に基づく理学療法 ： 理論を実践に生かすヒント	Kathryn Refshauge/他編	エルゼビア・ジャパン	¥5,200
00005993	回復期につながる急性期理学療法の実際	井上悟，松尾善美	文光堂	¥7,000
00005994	回復期リハビリ病院のスタッフが教える知って役立つリハビリのお話 ： 西広島リハビリテーション病院 ： 開院30周年企画	西広島リハビリテーション病院	南々社	¥1,200
00005995	改訂第3版 作業療法学全書，11　日常生活活動	酒井ひとみ	協同医書出版社	¥3,600
00005996	改訂第3版 作業療法学全書，第6巻　発達障害	田村良子	協同医書出版社	¥3,200
00005997	絵でみる指圧・マッサージ	寺澤捷年，津田昌樹	医学書院	¥2,400
00005998	外科領域リハビリテーション最新マニュアル	宇佐美眞	協同医書出版社	¥4,800
00005999	学生のためのリハビリテーション医学概論	栢森良二	医歯薬出版	¥2,400
00006000	学生のためのリハビリテーション医学概論 = rehabilitation medicine	栢森良二	医歯薬出版	¥2,600
00006001	学生のためのリハビリテーション医学概論　第２版	栢森良二	医歯薬出版	¥2,600
00006002	患者診断学 ： アートとサイエンスを活かして　第２版	Richard D.Judge/他編	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,500
00006003	患者力を引き出す作業療法 :認知行動療法の応用による身体領域作業療法	大嶋伸雄	三輪書店	¥3,600
00006004	患者力を引き出す作業療法 :認知行動療法の応用による身体領域作業療法	大嶋伸雄	三輪書店	¥3,600
00006005	環境適応 ： 中枢神経系障害への治療的アプローチ	柏木正好	青海社	¥3,000
00006006	間違いだらけの国家試験勉強術 ： 理学療法士・作業療法士	目黒力／著	三輪書店	¥2,000
00006007	基礎作業学	澤田雄二	協同医書出版社	¥3,200
00006008	基礎作業学	鷲田孝保	協同医書出版社	¥2,600
00006009	基礎作業学	鷲田孝保	協同医書出版社	¥2,600
00006010	基礎作業学　作業療法学全書，第2巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥2,575
00006011	義肢，装具，リハビリテーション機器，住宅改造	古川宏,黒岩貞枝	協同医書出版社	¥3,500
00006012	義肢，装具，リハビリテーション機器，住宅改造	古川宏,黒岩貞枝	協同医書出版社	¥3,500
00006013	義肢学	澤村誠志	医歯薬出版	¥8,600
00006014	義肢学	澤村誠志	医歯薬出版	¥8,600
00006015	義肢学 = Prosthetics	澤村誠志/他編	医歯薬出版	¥8,600
00006016	義肢装具学	川村次郎/他編	医学書院	¥7,000
00006017	義肢装具学テキスト	磯崎弘司/他編	南江堂	¥4,800
00006018	義肢装具学テキスト	磯崎弘司/他編	南江堂	¥4,800
00006019	救急医療 ： その初期治療の実際	大塚敏文	栄光堂	¥3,500
00006020	筋骨格障害系理学療法学	居村茂幸	医歯薬出版	¥6,000
00006021	筋膜リリース ： 神経発達学的治療への応用	Regi Boehme	協同医書出版社	¥2,500
00006022	筋膜リリース ： 神経発達学的治療への応用	Regi Boehme	協同医書出版社	¥2,500
00006023	形態測定・反射検査	伊藤俊一,星文彦	三輪書店	¥3,800
00006024	計測法入門 ： 計り方,計る意味	内山靖	協同医書出版社	¥5,500
00006025	健康体力評価・基準値事典	日丸哲也/他編	ぎょうせい	¥11,650
00006026	現代リハビリテーション医学	千野直一	金原出版	¥9,800
00006027	現代リハビリテーション医学	千野直一	金原出版	¥9,800
00006028	現代リハビリテーション医学	千野直一	金原出版	¥9,800
00006029	考える作業療法 ： 活動能力障害に対して	澤田雄二	文光堂	¥6,000
00006030	高次脳機能障害	渕雅子	協同医書出版社	¥3,200
00006031	高次脳機能障害	渕雅子	協同医書出版社	¥3,200
00006032	高齢者リハビリテーション実践マニュアル	宮越浩一	メジカルビュー社	¥5,400
00006033	高齢者リハビリテーション実践マニュアル	宮越浩一	メジカルビュー社	¥5,400
00006034	高齢者リハビリテーション実践マニュアル	宮越浩一	メジカルビュー社	¥5,400
00006035	今日のリハビリテーション指針	伊藤利之/他編	医学書院	¥9,000
00006036	今日の治療指針 ： 私はこう治療している	日野原重明,阿部正和	医学書院	¥16,000
00006037	今日の治療指針 ： 私はこう治療している	日野原重明,阿部正和	医学書院	¥16,000
00006038	昏迷と昏睡の診断　　第三版	Fred Plum，Jerome B.Posner著	西村書店	¥9,500
00006039	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006040	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006041	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006042	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006043	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006044	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006045	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006046	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006047	最新リハビリテーション医学　第2版	石神重信/他編	医歯薬出版	¥6,200
00006048	最新物理療法の臨床適応	庄本康治	文光堂	¥8,000
00006049	作業 : その治療的応用　改訂第２版	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,500
00006050	作業で語る事例報告 : 作業療法レジメの書きかた・考えかた	斎藤佑樹	医学書院	¥3,500
00006051	作業学　作業療法学ゴールド・マスター・テキスト２	浅沼辰志	メジカルビュー社	¥4,700
00006052	作業学　作業療法学ゴールド・マスター・テキスト２	浅沼辰志	メジカルビュー社	¥4,700
00006053	作業処方 : 症例の分析と思考プロセス = Prescription of occupational therapy: case analysis and thinking process	浅沼辰志	メジカルビュー社	¥3,800
00006054	作業療法 : 心身障害に対するアプローチ　下巻	加藤伸勝/他編	創造出版	¥5,048
00006055	作業療法 : 心身障害に対するアプローチ　上巻	加藤伸勝/他編	創造出版	¥4,466
00006056	作業療法　上巻　改訂第6版	Helen L. Hopkins, Helen D. Smith	協同医書出版社	¥11,500
00006057	作業療法がわかるPBLチュートリアルStep by Step	宮前珠子,新宮尚人	医学書院	¥3,500
00006058	作業療法の実際 : 精神科における実践	丸山晋[ほか]訳	星和書店	¥3,340
00006059	作業療法の世界 : 作業療法を知りたい・考えたい人のために　第２版	鎌倉矩子	三輪書店	¥3,300
00006060	作業療法ルネッサンス : ひとと生活障害 3 着る・装うことの障害とアプローチ	山根寛/他編	三輪書店	¥2,800
00006061	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006062	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006063	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006064	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006065	作業療法概論	矢谷令子	協同医書出版社	¥3,200
00006066	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006067	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006068	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006069	作業療法概論　作業療法学全書, 第1巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥3,200
00006070	作業療法学概論　作業療法学ゴールド・マスター・テキスト１	栗原トヨ子,里村恵子	メジカルビュー社	¥4,200
00006071	作業療法学全書, 第2巻　基礎作業学	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥2,500
00006072	作業療法学全書, 第4巻　作業治療学1　身体障害　改定第２版	金子翼	協同医書出版社	¥3,500
00006073	作業療法学全書, 第8巻　作業治療学５　高次脳機能障害　改訂第3版	渕雅子	協同医書出版社	¥3,200
00006074	作業療法学全書, 第9巻 . 作業療法技術論１　義肢・装具学,リハビリテーション関連機器	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥4,200
00006075	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,800
00006076	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,800
00006077	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,300
00006078	作業療法士のためのハンドセラピー入門	中田眞由美	三輪書店	¥3,300
00006079	作業療法士のためのハンドセラピー入門　第2版	中田真由美,大山峰生	三輪書店	¥3,800
00006080	作業療法士のためのハンドセラピー入門　第2版	中田真由美,大山峰生	三輪書店	¥3,800
00006081	作業療法士のための研究法入門	鎌倉矩子/他編	三輪書店	¥3,200
00006082	作業療法士プロフェッショナル・ガイド : 作業療法士とは何か	杉原素子,古川宏	文光堂	¥7,000
00006083	作業療法実践の仕組み	矢谷令子,福田恵美子	協同医書出版社	¥3,500
00006084	作業療法実践の仕組み　改訂第２版	矢谷令子,福田恵美子	協同医書出版社	¥4,500
00006085	作業療法実践の仕組み　改訂第２版	矢谷令子,福田恵美子	協同医書出版社	¥4,500
00006086	作業療法評価学	生田宗博	協同医書出版社	¥3,800
00006087	作業療法評価法　作業療法学全書, 第3巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥2,900
00006088	作業療法臨床実習マニュアル : 指導者と学生のために	山口昇	三輪書店	¥3,600
00006089	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006090	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006091	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	斎藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006092	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006093	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006094	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006095	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006096	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,500
00006097	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006098	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006099	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006100	姿勢と動作 : ADLその基礎から応用　第3版	齋藤宏/他編	メヂカルフレンド社	¥3,600
00006101	事例で学ぶOSCE基本臨床技能試験のコアスキル	Tim Dornan, Paul O'Neill	西村書店	¥3,000
00006102	自信がもてる!リハビリテーション臨床実習 : 脳卒中ケースで臨場感を体験	川上途行/他編	医歯薬出版	¥4,600
00006103	疾病の成り立ちと回復の促進	下正宗/他編	医学書院	¥2,600
00006104	実学としてのリハビリテーション概観 : 理学療法士・作業療法士のために	奈良勲	文光堂	¥3,000
00006105	実習ADL/APDL : 学生のためのワークブック	原和子/他編	協同医書出版社	¥3,500
00006106	社会リハビリテーション論	相澤譲治/他編	三輪書店	¥2,800
00006107	社会リハビリテーション論	相澤譲治/他編	三輪書店	¥2,800
00006108	主体性をひきだすリハビリテーション : 教科書をぬりかえた障害の人々	長谷川幹	日本医事新報社	¥3,800
00006109	終末期理学療法の実践	日高正巳,桑山浩明	文光堂	¥4,500
00006110	循環器疾患/呼吸器疾患　第2版 リハビリテーション医学講座, 第17巻	芳賀敏彦/他編	医歯薬出版	¥3,200
00006111	循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200
00006112	小児の理学療法	河村光俊	医歯薬出版	¥3,800
00006113	障害受容再考 : 「障害受容」から「障害との自由」へ	田島明子	三輪書店	¥1,800
00006114	職業リハビリテーション学 : キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系	松為信雄,菊池恵美子	協同医書出版社	¥4,000
00006115	職業リハビリテーション学 : キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系	松為信雄,菊池恵美子	協同医書出版社	¥4,000
00006116	職業関連活動	平賀昭信,岩瀬義昭	協同医書出版社	¥3,000
00006117	職業関連活動	平賀昭信,岩瀬義昭	協同医書出版社	¥3,000
00006118	食事療法ハンドブック	五島雄一郎編集	朝倉書店	¥19,000
00006119	新・病態生理できった内科学,1　循環器疾患　第2版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,200
00006120	新・病態生理できった内科学,3　腎疾患　第2版	横山啓太郎	医学教育出版社	¥3,700
00006121	新・病態生理できった内科学,4　内分泌疾患　第2版	相馬正義	医学教育出版社	¥4,000
00006122	新・病態生理できった内科学,5　血液疾患　第3版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,100
00006123	新・病態生理できった内科学,6　免疫・アレルギー・膠原病　第2版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥3,700
00006124	新・病態生理できった内科学,7　神経疾患　第3版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,200
00006125	新・病態生理できった内科学,8　消化器疾患　第2版	矢久保修嗣	医学教育出版社	¥4,200
00006126	新・病態生理できった内科学,9　感染症　第2版	できった編集委員会	医学教育出版社	¥3,800
00006127	新イラストによる安全な動作介助のてびき	飛松好子	医歯薬出版	¥3,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006128	新しいコンセプトによる脳卒中リハビリテーション ： 写真で学ぶ ： 自立度向上と介助量軽減のために	古田晃/他編	メディカルプレス	¥3,600
00006129	新編内部障害のリハビリテーション	上月正博	医歯薬出版	¥9,000
00006130	神経疾患　第2版 新・病態生理できった内科学, 7	できった編集委員会	医学教育出版社	¥4,200
00006131	診察と手技がみえる１　第2版	古谷伸之	Medic Media	¥6,000
00006132	診察と手技がみえる２	田辺政裕	Medic Media	¥6,000
00006133	身体作業療法クイックリファレンス	坪田貞子	文光堂	¥6,500
00006134	身体障害	菅原洋子	協同医書出版社	¥3,800
00006135	身体障害　作業療法学全書, 第4巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥4,326
00006136	身体障害の作業療法 ： 症例・評価・治療の実際　第2版	Lorraine Williams Pedretti	協同医書出版社	¥18,000
00006137	身体障害の作業療法 ： 症例・評価・治療の実際　第2版	Lorraine Williams Pedretti	協同医書出版社	¥18,000
00006138	身体障害の作業療法 ： 症例・評価・治療の実際　第2版	Lorraine Williams Pedretti	協同医書出版社	¥18,000
00006139	身体障害の作業療法　改訂第6版	Heidi McHugh Pendleton, Winifred Schultz-Krohn	協同医書出版社	¥22,000
00006140	身体障害領域の作業療法	大嶋伸雄	中央法規出版	¥4,600
00006141	図解リハビリテーション事典	竹内孝仁	広川書店	¥4,000
00006142	図解理学療法技術ガイド ： 理学療法臨床の場で必ず役立つ実践のすべて	石川齊/他編	文光堂	¥8,500
00006143	図説訪問リハビリテーション ： 生活再建とQOL向上	訪問リハビリテーションセンター清雅苑	三輪書店	¥3,600
00006144	水治療法	ダッフィールド	杏林書院	¥2,200
00006145	正常発達 ： 脳性まひの治療アイディア	Jung Sun Hong	三輪書店	¥3,800
00006146	生と死の医療	河野友信, 河野博臣	朝倉書店	¥5,000
00006147	精神科・身体合併症のリハビリテーション ： 総合的な治療計画から実践まで	平川淳一/他編	協同医書出版社	¥3,800
00006148	切断と義肢	砂原茂一監修他	医歯薬出版	¥5,800
00006149	切断と義肢	砂原茂一監修他	医歯薬出版	¥5,800
00006150	切断のリハビリテーション ： 知っておきたい全プロセス	Barbara Engstrom, Catherine Van de Ven	協同医書出版社	¥5,200
00006151	川モデル ： 文化に適した作業療法	Michael K. Iwama	三輪書店	¥4,800
00006152	組みひも・作業療法への適用法 ： 治療・援助・評価の手引き	遠藤てる	協同医書出版社	¥3,500
00006153	創る・楽しむことの障害とアプローチ　作業療法ルネッサンス ： ひとと生活障害, 5	山根寛	三輪書店	¥2,800
00006154	装具学	加倉井周一	医歯薬出版	¥6,050
00006155	装具学	飛松好子,高嶋孝倫	医歯薬出版	¥6,200
00006156	装具学	飛松好子,高嶋孝倫	医歯薬出版	¥6,200
00006157	第2版 Step series　内科　神経・遺伝・免疫	高橋茂樹	海馬書房	¥5,000
00006158	第2版 理学療法学テキスト４　中枢神経疾患の理学療法	山元総勝	九州神陵文庫	¥4,500
00006159	地域に根ざした作業療法 ： 理論と実践	Marjorie E. Scaffa	協同医書出版社	頒価不明
00006160	地域リハビリテーションマニュアル	伊藤俊之／著	三輪書店	¥4,078
00006161	地域リハビリテーションマニュアル	伊藤利之/他編	三輪書店	¥4,200
00006162	地域リハビリテーションマニュアル	伊藤利之/他編	三輪書店	¥4,200
00006163	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006164	地域リハビリテーション学テキスト	備酒伸彦/他編	南江堂	¥4,200
00006165	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,000
00006166	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,900
00006167	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,900
00006168	地域リハビリテーション原論	大田仁史	医歯薬出版	¥1,800
00006169	地域リハビリテーション白書	浜村明徳/他編	三輪書店	¥6,796
00006170	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006171	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006172	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006173	地域リハビリテーション論 = Community based rehabilitation	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006174	地域リハビリテーション論 = Community based rehabilitation	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006175	地域リハビリテーション論Ver.4	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006176	地域リハビリテーション論Ver.4	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00006177	地域作業療法学	太田睦美	協同医書出版社	¥3,200
00006178	地域理学療法学	浅川育世	医歯薬出版	¥2,300
00006179	中医学入門 ： 病理学からみた中医学	匡調元	金原出版	¥6,800
00006180	中枢神経疾患　脳のリハビリテーション ： 認知運動療法の提言, 1	Carlo Perfetti	協同医書出版社	¥4,000
00006181	中枢神経障害理学療法学テキスト	植松光俊/他編	南江堂	¥4,800
00006182	痛みの新しい治療法 ： 東洋医学の近代的応用	兵頭正義	中外医学社	¥5,200
00006183	東洋医学を学ぶ人のために	山下九三夫/他編	医学書院	¥13,000
00006184	動画で学ぶ脊髄損傷のリハビリテーション	田中宏太佳,園田茂	医学書院	¥5,700
00006185	内科学　第5版	上田英雄/他編	朝倉書店	¥25,000
00006186	内科学　疾患篇	小坂樹徳	診断と治療社	¥19,000
00006187	内科学　疾患篇 下	診断と治療社	診断と治療社	¥14,000
00006188	内科学　疾患篇 上	診断と治療社	診断と治療社	¥14,000
00006189	内科学書１　代謝疾患 内分泌疾患 血液・造血器疾患	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006190	内科学書２　免疫・アレルギー・結合織疾患 循環器疾患 呼吸器疾患	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006191	内科学書３　消化管・腹膜疾患 肝・胆道・膵疾患 感染症	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006192	内科学書４　腎・尿路疾患 神経疾患 物理的・化学的因子による障害	荒川正昭/他編	中山書店	¥5,000
00006193	内科診断マニュアル ： 症状・病態からのアプローチ	沢山俊民	南江堂	¥4,660
00006194	内部障害理学療法学　ビジュアルレクチャー	高橋哲也	医歯薬出版	¥4,800
00006195	日常生活活動	酒井ひとみ	協同医書出版社	¥3,600
00006196	日常生活活動(ADL)	橋元隆,天満和人	神陵文庫	¥4,500
00006197	日常生活活動(ADL)	全国PT・OT学校養成施設連絡協議会理学療法部会 九州ブロック会	神陵文庫	¥4,500
00006198	日常生活活動(ADL)・福祉用具学	木之瀬隆	メジカルビュー社	¥4,200
00006199	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	¥6,650
00006200	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際　第2版	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	頒価不明
00006201	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際　第3版	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	¥6,650
00006202	日常生活活動(動作) ： 評価と訓練の実際　第3版	土屋弘吉/他編	医歯薬出版	¥6,650
00006203	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800
00006204	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800
00006205	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800
00006206	日常生活活動「ADL」 ： 評価と支援の実際	伊藤利之,江藤文夫	医歯薬出版	¥6,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006207	日常生活活動学(ADL)	木之瀬隆	メジカルビュー社	¥4,000
00006208	日常生活活動学テキスト	河元岩男/他編	南江堂	¥4,200
00006209	入門リハビリテーション医学	岩谷力/他編	医歯薬出版	¥10,000
00006210	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006211	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006212	入門リハビリテーション概論　第２版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,100
00006213	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00006214	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00006215	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00006216	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,200
00006217	入門リハビリテーション概論　第４版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,200
00006218	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006219	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006220	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006221	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006222	入門リハビリテーション概論　第5版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00006223	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006224	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006225	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006226	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006227	入門リハビリテーション概論　第6版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006228	入門リハビリテーション概論　第６版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006229	入門リハビリテーション概論　第６版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006230	入門リハビリテーション概論　第６版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00006231	入門リハビリテーション概論　第７版	中村隆一,佐直信彦	医歯薬出版	¥5,800
00006232	入門リハビリテーション概論　第２版増補	中村隆一	医歯薬出版	¥4,078
00006233	入門義肢装具	関川伸哉,小峯敏文	医歯薬出版	¥4,600
00006234	入門義肢装具	関川伸哉,小峯敏文	医歯薬出版	¥4,600
00006235	脳外傷リハビリテーションマニュアル	神奈川リハビリテーション病院「脳外傷リハビリテーションマニュアル編集委員会」	医学書院	¥4,500
00006236	脳性麻痺	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,600
00006237	脳性麻痺のリハビリテーション実践ハンドブック	梶浦一郎,鈴木恒彦	市村出版	¥2,600
00006238	発達障害	田村良子	協同医書出版社	¥3,200
00006239	発達障害	田村良子	協同医書出版社	¥3,200
00006240	発達障害　作業療法学全書，第6巻	日本作業療法士協会	協同医書出版社	¥4,200
00006241	発達障害作業療法学	神作一実	メジカルビュー社	¥4,600
00006242	発達障害作業療法学	神作一実	メジカルビュー社	¥4,600
00006243	標準リハビリテーション医学	津山直一／監修	医学書院	¥5,900
00006244	標準リハビリテーション医学	上田敏/他編	医学書院	¥6,800
00006245	標準作業療法学専門分野　基礎作業学	小林夏子,福田恵美子	医学書院	¥3,800
00006246	標準作業療法学専門分野　高齢期作業療法学	松房利憲,小川恵子	医学書院	¥3,600
00006247	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　小児科学　第３版	冨田豊	医学書院	¥4,200
00006248	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　小児科学　第4版	冨田豊	医学書院	¥4,200
00006249	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　小児科学　第4版	冨田豊	医学書院	¥4,200
00006250	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学	川平和美	医学書院	¥5,600
00006251	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006252	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006253	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006254	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第3版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006255	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　神経内科学　第４版	川平和美	医学書院	¥5,600
00006256	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学	上野武治	医学書院	¥4,400
00006257	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第２版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006258	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第３版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006259	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第３版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006260	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　精神医学　第３版	上野武治	医学書院	¥4,400
00006261	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　内科学　第２版	大成浄志	医学書院	¥6,000
00006262	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　内科学　第３版	前田眞治/他編	医学書院	¥6,000
00006263	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　病理学	梶原博毅	医学書院	¥4,400
00006264	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　病理学　　第３版	梶原博毅,横井豊治	医学書院	¥4,600
00006265	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　病理学　　第４版	横井豊治,村雲芳樹	医学書院	¥4,600
00006266	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006267	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006268	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006269	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　臨床心理学	町沢静夫	医学書院	¥3,000
00006270	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　老年学　　第３版	大内尉義	医学書院	¥4,500
00006271	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　老年学　　第４版	大内尉義	医学書院	¥4,500
00006272	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　老年学　　第４版	大内尉義	医学書院	¥4,500
00006273	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　　第３版	野村嶽	医学書院	¥6,000
00006274	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　　第３版	野村嶽	医学書院	¥6,000
00006275	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　　第３版	野村嶽	医学書院	¥6,000
00006276	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　　第３版	野村嶽	医学書院	¥6,000
00006277	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　　第４版	野村嶽	医学書院	¥6,000
00006278	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　解剖学　　第４版	野村嶽	医学書院	¥6,000
00006279	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　生理学　　第４版	岡田隆夫,長岡正範	医学書院	¥4,400
00006280	標準理学療法学・作業療法学 ： 専門基礎分野　生理学　　第４版	岡田隆夫,長岡正範	医学書院	¥4,400
00006281	福祉用具の使い方・住環境整備	木之瀬隆	協同医書出版社	¥3,000
00006282	福祉用具の使い方・住環境整備	木之瀬隆	協同医書出版社	¥3,000
00006283	物理療法学	松澤正	金原出版	¥4,800
00006284	物理療法学　改訂第２版	松澤正,江口勝彦	金原出版	¥4,800
00006285	物理療法学テキスト	木村貞治/他編	南江堂	¥4,500
00006286	物理療法学テキスト　改訂第２版	木村貞治/他編	南江堂	¥4,500
00006287	補装具療法	中山孝,土屋辰夫	医歯薬出版	¥2,400
00006288	理学療法・作業療法のSOAPノートマニュアル ： 問題志向型診療記録の書き方	Ginge Kettenbach	協同医書出版社	¥4,000
00006289	理学療法・作業療法のための実践編BiNI approach ： 運動の成り立ちから導く,治療をシンプルにする法則性	舟波真一	文光堂	¥7,000
00006290	理学療法MOOK，12　循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200
00006291	理学療法MOOK，12　循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006292	理学療法MOOK, 13　QOLと理学療法 : 患者満足度をいかに高めるか	清水和彦,黒川幸雄	三輪書店	¥4,000
00006293	理学療法MOOK, 16　脳科学と理学療法	大西秀明,森岡周	三輪書店	¥4,200
00006294	理学療法MOOK, 4　呼吸理学療法　　第２版	宮川哲夫	三輪書店	¥4,800
00006295	理学療法スーパーバイズマニュアル ：臨床実習生・新人理学療法士指導のために	新田收/他編	南江堂	¥5,500
00006296	理学療法科学シリーズ　理学療法概論　　第3版	丸山仁司	アイペック	¥3,500
00006297	理学療法概論	奈良勲	医歯薬出版	¥5,900
00006298	理学療法概論	奈良勲	医歯薬出版	¥5,900
00006299	理学療法学テキスト１０　生活環境論	橋元隆,千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006300	理学療法学テキスト９　物理療法	全国PT・OT学校養成施設連絡協議会理学療法部会九州ブロック会	神陵文庫	¥4,500
00006301	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006302	理学療法学概論	全国PT・OT学校養成施設連絡協議会理学療法部会九州ブロック会	神陵文庫	¥4,500
00006303	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006304	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006305	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006306	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006307	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006308	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	九州神陵文庫	¥4,500
00006309	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006310	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006311	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006312	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006313	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006314	理学療法学概論	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006315	理学療法学概論　　第2版 理学療法学テキスト	高橋精一郎/他編	神陵文庫	¥4,500
00006316	理学療法学教育論	奈良勲	医歯薬出版	¥4,200
00006317	理学療法基礎評価学	臼田滋	医歯薬出版	¥4,500
00006318	理学療法技術の再検証 : 科学的技術の確立に向けて	福井勉/他編	三輪書店	¥4,000
00006319	理学療法研究の進めかた : 基礎から学ぶ研究のすべて	森山英樹	文光堂	¥5,200
00006320	理学療法士・作業療法士のためのヘルスプロモーション : 理論と実践	日本ヘルスプロモーション理学療法学会	南江堂	¥3,200
00006321	理学療法士・作業療法士ポケット・レビュー帳 : 基礎編	柳澤健	メジカルビュー社	¥3,800
00006322	理学療法士ポケット・レビュー帳 : 専門編	柳澤健	メジカルビュー社	¥3,500
00006323	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006324	理学療法評価学	松澤正,江口勝彦	金原出版	¥6,200
00006325	理学療法評価学	松澤正,江口勝彦	金原出版	¥6,200
00006326	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006327	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006328	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006329	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006330	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006331	理学療法評価学	松澤正	金原出版	¥6,200
00006332	理学療法評価学	柳澤健	メジカルビュー社	¥4,900
00006333	理学療法評価法	中島喜代彦,千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006334	理学療法評価法	中島喜代彦,千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006335	臨床運動学	中村隆一,斎藤宏	医歯薬出版	¥5,650
00006336	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006337	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006338	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006339	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006340	臨床運動学	中村隆一	医歯薬出版	¥7,200
00006341	臨床運動学ワークブック	Jan F. Perry/他編	医学書院	¥3,800
00006342	臨床症状の評価と戦略的理学療法	渡辺敏	中外医学社	¥3,800
00006343	臨床判断学入門	内山靖	協同医書出版社	¥4,200
00006344	老人のリハビリテーション	前田真治	医学書院	¥5,800
00006345	老年期	村田和香	協同医書出版社	¥2,800
00006346	老年期障害	松下起士	協同医書出版社	¥2,600
00006347	頸髄損傷のリハビリテーション	二瓶隆一/他編	協同医書出版社	¥5,200
00006348	打ち明けてくれてありがとう	武田淳	大学教育出版	¥381
00006349	最新AIDS読本	西岡 久壽彌／著	講談社	頒価不明
00006350	患者と治療者の間で	田中順子	三輪書店	¥2,400
00006351	軟部組織の痛みと機能障害　原著第2版	Rene Cailliet	医歯薬出版	¥4,320
00006352	代謝管理のてびき	稲田豊	医歯薬出版	¥3,500
00006353	膠原病・免疫アレルギーの要点	奥田生治	新興医学出版	¥5,300
00006354	軟部組織の痛みと機能障害　原著第2版	Rene Cailliet著	医歯薬出版	¥4,320
00006355	Practical handbooks　整形外科神経疾患ハンドブック	蓮江光男	南江堂	¥7,000
00006356	PT・OTのための運動学テキスト : 基礎・実習・臨床	小柳磨毅/他編	金原出版	¥6,000
00006357	PT・OTのための臨床技能とOSCE	金田嘉清/他編	金原出版	¥5,500
00006358	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006359	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006360	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006361	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006362	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006363	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006364	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006365	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006366	PT・OT基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美, 中島喜代彦	医歯薬出版	¥3,800
00006367	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006368	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006369	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006370	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006371	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006372	PT・OT基礎から学ぶ解剖学ノート	中島雅美	医歯薬出版	¥3,800
00006373	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,800
00006374	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,000
00006375	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,400

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006376	Q&Aフローチャートによる下肢切断の理学療法	細田多穂	医歯薬出版	¥4,400
00006377	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006378	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006379	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006380	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006381	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006382	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006383	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006384	足博士 適正な靴と生体力学	グレン・コペランド スタン・ソロモン	ミドリ安全	頒価不明
00006385	綾仁整形外科書	綾仁富弥	金芳堂	¥4,078
00006386	カラーアトラス　リウマチ診断のポイント	V.Wright,A.R.Harvey	医歯薬出版	¥2,800
00006387	カルシウム・ビタミンと骨粗鬆症	折茂肇	メジカルビュー社	¥2,800
00006388	義肢学	日本義肢装具学会	医歯薬出版	¥6,800
00006389	今日の治療 リウマチ性疾患の診療	安倍達	永井書店	¥5,500
00006390	クリニカルスタッフのためのしびれ・痛み診療と薬物治療	井須豊彦，金景成	中外医学社	¥3,600
00006391	コメディカルのための専門基礎分野テキスト　整形外科学	茂原重雄	中外医学社	¥3,000
00006392	これでできるリウマチの作業療法	石原義恕，今野孝彦	南江堂	¥2,800
00006393	四肢を無くして	松岡博史		頒価不明
00006394	身体運動工学	永田 晟・北本 拓・ 室 増男／著	杏林書院	頒価不明
00006395	スポーツ膝の臨床 = Sports knee clinic	史野根生	金原出版	¥4,700
00006396	整形外科診療チェックポイント	三浦隆行	医歯薬出版	頒価不明
00006397	成人病シリーズ１０　腰痛と坐骨神経痛	蓮江光男	医学図書出版	¥5,600
00006398	成人病シリーズ１０　腰痛と坐骨神経痛	蓮江光男	医学図書出版	¥5,600
00006399	脊椎・脊髄・四肢のCT診断	井上駿一・田中清介	医学書院	¥14,000
00006400	痛風と高尿酸血症	御巫清允	医薬ジャーナル社	¥3,200
00006401	手の痛みと機能障害　原著第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006402	手の外科手術アトラス	Robert A. Chase	医学書院	頒価不明
00006403	手の末梢神経障害	Morton Spinner	南江堂	¥7,500
00006404	バイオキネティクス ： 運動力学からリハビリテーション工学	永田晟	杏林書院	¥4,466
00006405	表情を解剖する	チャールズ・ベル	医学書院	¥4,000
00006406	ベッドサイドの牽引療法 ： 自己学習方式による	Geraldine K.Carini,Jacqueline Joseph Birmingham	協同医書出版社	¥2,800
00006407	ボディ・ナビゲーション ： 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥3,800
00006408	ボディ・ナビゲーション ： 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006409	ボディ・ナビゲーション ： 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥3,800
00006410	ボディ・ナビゲーション ： 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006411	ボディ・ナビゲーション ： 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006412	ボディ・ナビゲーション ： 触ってわかる身体解剖	Andrew Biel	医道の日本社	¥4,300
00006413	モーターコントロール ： 研究室から臨床実践へ ： 理解が深まるDVDビデオ付	Anne Shumway-Cook, Marjorie Woollacott	医歯薬出版	¥12,000
00006414	腰痛治療法	Ｒ．Ａ．ＭｃＫｅｎｚｉｅ	医歯薬出版	¥4,500
00006415	ロコモティブシンドローム	中村耕三	メディカル レビュー社	¥5,400
00006416	運動の成り立ちとは何か ： 理学療法・作業療法のためのBiNI approach	舟波真一，山岸茂則	文光堂	¥6,300
00006417	運動の生物学 ： 臨床家のための運動学入門	塚本芳久	協同医書出版社	¥2,000
00006418	運動学テキスト	藤縄理/他編	南江堂	¥4,800
00006419	運動学テキスト	藤縄理/他編	南江堂	¥4,800
00006420	運動器疾患とリハビリテーション	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥5,800
00006421	運動処方と至適体力 ： あなた自身の体力づくり	Joseph DiGennaro	泰流社	頒価不明
00006422	運動療法学 ： 障害別アプローチの理論と実際	市橋則明	文光堂	¥7,000
00006423	下肢	末國恵/他編	医歯薬出版	¥2,600
00006424	下肢切断の理学療法 ： Q&A・フローチャートによる	細田多穂	医歯薬出版	¥4,000
00006425	改訂第2版 リハ実践テクニック　関節リウマチ	佐浦隆一，八木範彦	メジカルビュー社	¥4,800
00006426	改訂第2版　関節リウマチ ： 病態と治療	吉野槙一	金原出版	¥4,800
00006427	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006428	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006429	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006430	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006431	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006432	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,800
00006433	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006434	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006435	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	¥6,700
00006436	基礎運動学	中村隆一/他編	医歯薬出版	頒価不明
00006437	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006438	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006439	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006440	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006441	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006442	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006443	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006444	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006445	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006446	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006447	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006448	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006449	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥5,500
00006450	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥5,500
00006451	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006452	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006453	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006454	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006455	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006456	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006457	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006458	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006459	義肢装具のチェックポイント	日本整形外科学会，日本リハビリテーション医学会	医学書院	¥7,600
00006460	義肢装具学	千住秀明	九州神陵文庫	¥4,500
00006461	義肢装具学	千住秀明	神陵文庫	¥4,500
00006462	筋ジストロフィーのリハビリテーション	野島元雄	愛媛大学医学部整形外科前教室	頒価不明
00006463	筋骨格系検査法	J. Gross/他編	医歯薬出版	¥7,200
00006464	頚と腕の痛み　第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	¥3,689
00006465	頚椎の臨床	中野昇，中野達	南江堂	¥6,796
00006466	頚椎の臨床	中野昇，中野達	南江堂	¥6,796
00006467	牽引治療マニュアル	Andrew F.Brooker,Jr.，Gerhard Schmeisser	医学書院	¥2,300
00006468	拘縮手	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,200
00006469	荒木茂 ： マッスルインバランスの考え方による腰痛症の評価と治療	荒木茂	三輪書店	¥2,800
00006470	腰痛のスポーツ医学	鞆田幸徳	朝倉書店	¥3,700
00006471	腰痛症　第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006472	腰痛症　第3版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006473	骨格筋の形と触察法	河上敬介・磯貝香/他編	大峰閣	¥9,000
00006474	骨格筋の構造・機能と可塑性 ： 理学療法のための筋機能学	Richard L. Lieber	医歯薬出版	¥8,000
00006475	骨折・外傷シリーズ，No.11　小児の骨・関節外傷	村上實久	南江堂	¥5,500
00006476	骨折１	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,500
00006477	骨転移の診療とリハビリテーション	大森まいこ/他編	医歯薬出版	¥4,900
00006478	最新外科学　総論	山手昇	医学出版社	¥3,200
00006479	最新整形外科学大系　１５Ａ	越智隆弘/他編	中山書店	¥26,000
00006480	最新整形外科学大系　１５Ａ	越智隆弘/他編	中山書店	¥28,000
00006481	最新整形外科学大系　１５Ｂ	越智隆弘/他編	中山書店	¥28,000
00006482	最新整形外科学大系　４	越智隆弘/他編	中山書店	¥32,000
00006483	作業療法士のためのハンドセラピー入門　第2版	中田真由美/他編	三輪書店	¥3,800
00006484	私の手の外科 ： 手術アトラス　改訂第4版	津下健哉	南江堂	¥34,000
00006485	手のスプリントのすべて　第3版	矢崎潔	三輪書店	¥6,600
00006486	手のスプリント療法	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,500
00006487	手の外傷 ： 初期治療から機能再建まで	三浦隆行	医歯薬出版	頒価不明
00006488	手指腱損傷１	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,500
00006489	手指腱損傷２	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥2,800
00006490	職業リハビリテーション入門 ： キャリア発達と社会参加への包括的支援体系	松為信雄・菊池恵美子	協同医書出版社	¥3,800
00006491	触れてわかる腰痛診療 ： 画像でわからない痛みをみつけて治療する	井須豊彦，金景成	中外医学社	¥2,800
00006492	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006493	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006494	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006495	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006496	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006497	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695
00006498	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006499	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695
00006500	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,500
00006501	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ．　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006502	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ.　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥6,695
00006503	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ.　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006504	新・徒手筋力検査法	Ｈｅｌｅｎ　Ｊ.　Ｈｉｓｌｏｐ	協同医書出版社	¥7,500
00006505	神経筋骨格系の検査と評価	Nicola J Petty	医歯薬出版	¥6,800
00006506	神経筋疾患のマネージメント ： インテグレイテッド・アプローチ	Irwin M.Siegel	三輪書店	¥6,602
00006507	神中整形外科学　下巻	岩本幸英	南山堂	¥28,000
00006508	神中整形外科学　上巻	岩本幸英	南山堂	¥25,000
00006509	図解腰痛学級 ： 日常生活における自己管理のすすめ	川上俊文	医学書院	¥2,500
00006510	図解四肢と脊椎の診かた	Stanley Hoppenfeld	医歯薬出版	¥5,200
00006511	図解整形外科診察の進め方　第2版	Ronald McRae	医学書院	¥3,300
00006512	図説整形外科診断治療講座２　整形外科の画像診断	白井康正	メジカルビュー社	頒価不明
00006513	図説臨床整形外科講座，2巻　　頚椎・胸椎・胸郭	小野村敏信/他編	メジカルビュー社	頒価不明
00006514	整形外科 MOOK12　筋性斜頸	高岸直人	金原出版	¥4,800
00006515	整形外科 MOOK13　小児の骨折	泉田重雄	金原出版	¥4,800
00006516	整形外科 MOOK14　ペルテス病	西尾篤人	金原出版	¥4,800
00006517	整形外科 MOOK15　手指新鮮開放創	矢部裕	金原出版	¥4,800
00006518	整形外科 MOOK17　先天性内反足	松野誠夫	金原出版	¥4,800
00006519	整形外科 MOOK18　脊柱側彎症と周辺疾患	井上駿一	金原出版	¥4,800
00006520	整形外科 MOOK2　整形外科的神経・筋疾患	桜井実	金原出版	¥4,800
00006521	整形外科 MOOK20　脳性麻痺	鈴木良平	金原出版	¥4,800
00006522	整形外科 MOOK21　化膿性骨髄炎	河路渡	金原出版	¥4,800
00006523	整形外科 MOOK22　偽関節と変形治癒骨折	榊田喜三郎	金原出版	¥4,800
00006524	整形外科 MOOK23　骨系統疾患	吉川靖三	金原出版	¥4,800
00006525	整形外科 MOOK24　大腿骨頭壊死	西尾篤人	金原出版	¥4,800
00006526	整形外科 MOOK26　骨腫瘍	鳥山貞宜	金原出版	¥5,200
00006527	整形外科 MOOK30　DIC ： 基礎と臨床	松田保	金原出版	¥4,800
00006528	整形外科 MOOK30　足の変形と痛み	三好邦達	金原出版	¥5,200
00006529	整形外科 MOOK31　整形外科領域におけるCTの応用	伊丹康人	金原出版	¥5,200
00006530	整形外科 MOOK32　関節疾患と関節液	猪狩忠	金原出版	¥5,200
00006531	整形外科 MOOK34　骨粗鬆症	若松英吉	金原出版	¥5,200
00006532	整形外科 MOOK35　手の先天異常	津下健哉	金原出版	¥5,200
00006533	整形外科 MOOK38　軟部腫瘍	古屋光太郎	金原出版	¥5,200
00006534	整形外科 MOOK4　手指屈筋腱の損傷	津下健哉	金原出版	¥4,800
00006535	整形外科 MOOK43　足関節部の外傷	島津晃	金原出版	¥5,200
00006536	整形外科 MOOK44　関節鏡的診断と関節鏡視下手術	渡辺正毅	金原出版	¥5,200
00006537	整形外科 MOOK47　整形外科救急処置	星秀逸	金原出版	¥5,200
00006538	整形外科 MOOK48　整形外科マイクロサージャリー	玉井進	金原出版	¥5,200
00006539	整形外科 MOOK49　二分脊椎症とその周辺疾患	金田清志	金原出版	¥5,200
00006540	整形外科 MOOK50　脊柱靭帯骨化症	井上駿一	金原出版	¥5,200
00006541	整形外科 MOOK51　腕神経叢麻痺の診断と治療	野村進	金原出版	¥5,200
00006542	整形外科 MOOK52　代謝性骨疾患	真角昭吾	金原出版	¥5,200
00006543	整形外科 MOOK54　肘関節の外傷と疾患	柏木大治	金原出版	¥5,200
00006544	整形外科 MOOK6　頸椎症の臨床	服部奨	金原出版	¥4,800
00006545	整形外科 MOOK60　脊椎インストルメンテーション	金田清志	金原出版	¥5,500
00006546	整形外科 MOOK9　膝の損傷	今井望	金原出版	¥4,800
00006547	整形外科X線撮影の実際	田中仁/他編	金原出版	¥3,000
00006548	整形外科外傷マニュアル	Larry D.Iversen, D.Kay Clawson	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥4,800
00006549	整形外科学 ： 筋・骨格系の疾患と損傷	ソルター	廣川書店	¥9,800
00006550	整形外科学用語集　第5版増補	日本整形外科学会	南江堂	¥3,800
00006551	整形外科関節鏡マニュアル　膝関節鏡	緒方公介	メジカルビュー社	¥12,000
00006552	整形外科疾患ケーススタディ ： 60例のPO研修	辻陽雄,加藤正	医学書院	¥6,000
00006553	切断と義肢	沢村誠志	医歯薬出版	¥6,700
00006554	切断と義肢	沢村誠志	医歯薬出版	¥7,000
00006555	切断と義肢	沢村誠志	医歯薬出版	¥7,000
00006556	装具学　第３版	加倉井周一	医歯薬出版	¥6,200
00006557	足の解剖カラーアトラス ： 二国語版	R.M.H.McMinn, R.T.Hutchings, B.M.Logan	南江堂	¥7,000
00006558	第4版 Standard textbook　標準整形外科学	広畑和志，寺山和雄	医学書院	¥7,500
00006559	頭部・頸部・体幹・上肢	末國恵/他編	医歯薬出版	¥3,800
00006560	頭部外傷 ： 急性期のメカニズムと診断	中村紀夫	文光堂	¥24,000
00006561	熱可塑性スプリント作製マニュアル ： 動画でわかる！ ： 基礎から臨床応用まで	坪田貞子	三輪書店	¥4,200
00006562	膝の痛みと機能障害　原著第2版	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006563	膝関節靭帯損傷診療マニュアル	守屋秀繁	全日本病院出版会	¥6,311
00006564	膝診療マニュアル	腰野富久	医歯薬出版	頒価不明
00006565	膝診療マニュアル	腰野富久	医歯薬出版	頒価不明
00006566	片麻痺回復のための運動療法 ： 促通反復療法「川平法」の理論と実際	川平和美	医学書院	¥6,200
00006567	末梢神経損傷	日本ハンドセラピィ学会	メディカルプレス	¥3,700
00006568	理学療法士のための運動療法	田口順子	金原出版	¥6,602
00006569	臨床家のためのベーネシュ運動記載法	Helen Atkinson	協同医書出版社	¥3,200
00006570	頸と腕の痛み	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006571	頸と腕の痛み	Rene Cailliet	医歯薬出版	頒価不明
00006572	頸肩腕障害の診断と治療	岩破康博,藤木幸雄	金原出版	¥2,500
00006573	COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン　第4版	日本呼吸器学会COPDガイドライン第4版作成委員会	メディカルレビュー社	¥3,500
00006574	NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)ガイドライン　　改訂第2版	日本呼吸器学会NPPVガイドライン作成委員会	南江堂	¥3,300
00006575	イラストでわかる呼吸器内科学	一ノ瀬正和	文光堂	¥4,500
00006576	カラー版呼吸のしくみとその管理	赤柴恒人	照林社	¥2,400
00006577	カラー版呼吸のしくみとその管理	赤柴恒人	照林社	¥2,400
00006578	なっとく解剖生理学３　ぐるぐる回る呼吸器	五十嵐雅	文光堂	¥3,500
00006579	ブロンプトン病院の胸部理学療法	D.V.Gaskell,B.A.Webber	医学書院	¥2,700
00006580	ブロンプトン病院の胸部理学療法	D.V.Gaskell,B.A.Webber	医学書院	¥2,700
00006581	よくわかる呼吸療法の基本 ： ベッドサイド呼吸ケアから人工呼吸療法、在宅酸素療法まで	山崎史朗	医学芸術社	¥2,700

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006582	呼吸とその管理 ： 基礎となる呼吸機能の理解	岡安大仁/他編	医学書院	¥2,500
00006583	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006584	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006585	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006586	呼吸リハビリテーション入門 ： 理学療法士の立場から 第4版	千住秀明	神陵文庫	¥3,500
00006587	呼吸療法テキスト 改訂第2版	日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会合同呼吸療法認定士認定委員会	克誠堂出版	¥9,500
00006588	呼吸療法テキスト 改訂第2版	日本胸部外科学会・日本呼吸器学会・日本麻酔科学会合同呼吸療法認定士認定委員会	克誠堂出版	¥9,500
00006589	神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン = Japanese guidelines for pulmonary rehabilitation of neuromuscular disease and spinal cord injury	日本リハビリテーション医学会診療ガイドライン委員会, 日本リハビリテーション医学会神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン策定委員会	金原出版	¥2,800
00006590	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006591	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006592	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006593	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006594	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006595	動画でわかる呼吸リハビリテーション	高橋仁美/他編	中山書店	¥3,200
00006596	理学療法MOOK, 12　循環器疾患のリハビリテーション	山田純生	三輪書店	¥4,200
00006597	運動処方のための心拍数の科学	山地啓司	大修館書店	¥3,000
00006598	改定心電図モニター	谷村仲一	へるす出版	¥3,200
00006599	冠動脈疾患の運動療法第２版予防・診断・治療のための役割	土肥湖豊	協同医書出版社	¥4,200
00006600	今日の治療　不整脈の診断と治療	福島正勝	永井書店	¥9,800
00006601	実習ＡＤＬ/ＡＰＤＬ「学生のためのワークブック」	原和子	協同医書出版社	¥3,500
00006602	心臓術後管理マニュアル	M.V.Braimbridge	南江堂	¥6,500
00006603	すいすいマスター循環器 ： コアカリ・国試対応	増山理	南江堂	¥3,800
00006604	すいすいマスター循環器 ： コアカリ・国試対応	増山理	南江堂	¥3,800
00006605	図説高血圧	熊原雄一, 荻原俊男	朝倉書店	¥14,000
00006606	やさしい心電図　日本語訳第3版	John R.Hampton	総合医学社	¥1,200
00006607	運動負荷テストとその評価法 ： 心肺運動負荷テストの基礎と臨床	K. Wasserman/他編	南江堂	¥8,738
00006608	眼でみる実践心臓リハビリテーション	安達仁	中外医学社	¥5,400
00006609	狭心症・心筋梗塞のリハビリテーション　改訂第3版	木全心一, 齋藤宗靖	南江堂	¥7,000
00006610	現場の疑問に答える心臓リハビリ徹底攻略Q&A	上月正博	中外医学社	¥6,400
00006611	高血圧診療のチェックポイント	荒川規矩男	日本メディカルセンター	¥4,500
00006612	心音 ： 基礎と臨床	ルイサダ,ポータルッピー	東京大学出版会	頒価不明
00006613	心筋梗塞とリハビリテーション ： 誰にでもわかる動脈硬化性心臓病の予防と治療	Carola Halhuber, Max J. Halhuber	杏林書院	¥2,500
00006614	心血管機能の神経性調節	Walter C. Randall	医薬ジャーナル社	¥12,000
00006615	心臓リハビリテーション ： 昨日・今日・明日	濱本紘, 野原隆司	最新医学社	¥4,600
00006616	図解・成人病の運動処方・運動療法　虚血性心疾患編	伊賀六一, 波多野義郎	医歯薬出版	¥2,700
00006617	成人病シリーズ, 1　高血圧症 ： 初診から治療管理まで	岸本道太	医学図書出版	¥3,200
00006618	第2版 PTマニュアル　循環器疾患の理学療法	奈須田鎮雄/他編	医歯薬出版	¥3,400
00006619	第2版 PTマニュアル　循環器疾患の理学療法	奈須田鎮雄/他編	医歯薬出版	¥3,400
00006620	第3版 病気がみえる / 医療情報科学研究所編, v. 2　循環器	医療情報科学研究所	Medic Media	¥3,300
00006621	図解血液病学　改訂第2版	柴田進	金芳堂	頒価不明
00006622	ケーススタディ摂食・嚥下リハビリテーション ： 50症例から学ぶ実践的アプローチ ： in DVD	植松宏/他編	医歯薬出版	¥5,200
00006623	実践で身につく！ 摂食・嚥下障害へのアプローチ ： 急性期から「食べたい」を支えるケアと技術	小山珠美/他編	学研メディカル秀潤社	¥3,200
00006624	小児の摂食嚥下リハビリテーション = Dysphagia rehabilitation in children　第2版	田角勝, 向井美惠	医歯薬出版	¥5,000
00006625	摂食嚥下の機能解剖 ： 基本のきほん	阿部伸一	医歯薬出版	¥3,000
00006626	嚥下障害のリハビリテーション ： 訓練と食餌計画の実際	Jill S. Steefel	協同医書出版社	¥3,000
00006627	嚥下障害の臨床 ： リハビリテーションの考え方と実際　第2版	日本嚥下障害臨床研究会	医歯薬出版	¥6,400
00006628	腎臓病食品交換表 ： 治療食の基準　第6版	平田清文/他編	医歯薬出版	¥1,165
00006629	透析患者の運動療法	平沢由平	日本メディカルセンター	¥4,600
00006630	標準泌尿器科学　第3版	北川龍一,小磯謙吉	医学書院	¥6,000
00006631	標準泌尿器科学　第3版	北川龍一,小磯謙吉	医学書院	¥6,000
00006632	病態生理と臨床　腎・泌尿器病学	A.W. Asscher, D.B. Moffat	南江堂	¥3,500
00006633	糖尿病の治療マニュアル	平田幸正	医歯薬出版	頒価不明
00006634	膠原病診療の基礎と臨床	橋本信也	世界保健通信社	¥4,300
00006635	病態生理学シリーズ　糖尿病	阿部正和	朝倉書店	頒価不明
00006636	糖尿病性末梢神経障害　病態生理と臨床ガイドライン	馬場茂明	医歯薬出版	¥2,000
00006637	糖尿病の食事療法	山田幸男	日本メディカルセンター	頒価不明
00006638	14　リハビリテーション・介護	山浦　晶	中山書店	¥40,000
00006639	ACECガイドブック2014	日本救急医学会	へるす出版	¥3,000
00006640	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴのための神経学レクチャーノート	森惟明	医学書院	¥4,800
00006641	ＰＴマニュアル脊髄損傷の理学療法	武田功	医歯薬出版	¥3,800
00006642	ＰＴマニュアル脊髄損傷の理学療法第２版	奥田邦晴	医歯薬出版	¥4,400
00006643	ＰＴマニュアル脊髄損傷の理学療法第３版	羽田晋也	医歯薬出版	¥4,500
00006644	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第２版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006645	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第２版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006646	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第２版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006647	ＰＴマニュアル脊椎損傷の理学療法第2版	武田功	医歯薬出版	¥4,400
00006648	誤りやすい異常脳波	市川 忠彦／著	医学書院	¥3,600
00006649	医学生・研修医のための神経内科学	神田隆	中外医学者	¥12,000
00006650	運動による脳の制御ー認知症予防のための運動	島田裕之	杏林書院	¥4,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006651	運動の神経科学　基礎から応用まで	西野仁雄/他編	ナップ	¥2,800
00006652	運動の神経科学　基礎から応用まで	西野仁雄	ナップ	¥2,800
00006653	運動発達と反射ー反射検査の手技と評価ー	真野行生	医歯薬出版	頒価不明
00006654	絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム	馬場　元毅	医学書院	¥2,800
00006655	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006656	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006657	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006658	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第２版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00006659	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版	馬場元毅	医学書院	¥2,800
00006660	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版	馬場元毅	医学書院	¥2,800
00006661	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム第３版	馬場元毅	医学書院	¥2,800
00006662	改訂　てんかん	秋元波留夫	日本文科学社	頒価不明
00006663	改訂版神経内科学のスピード学習と専門医学習第２版	泉義雄	医薬出版	¥12,000
00006664	片麻痺　能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	¥5,200
00006665	片麻痺の運動療法	佐久間穣爾	医歯薬出版	¥5,600
00006666	カラーアトラス　神経内科診断のポイント	高須俊明	医歯薬出版	¥2,800
00006667	感覚統合の理論と実際　エアーズ研究論文集	佐藤剛	協同医書出版社	¥5,000
00006668	記憶と脳 心理学と神経科学の統合	河内十郎	医学書院	¥4,600
00006669	機能解剖で斬る神経系疾患	中野隆	メディカルプレス	¥6,000
00006670	高次神経機能障害の作業療法	山根寛/他編	三輪書店	¥4,800
00006671	高次神経機能障害の臨床　実践入門	宇野彰	新興医学出版	¥3,500
00006672	高次脳機能障害支援コーディネートマニュアル	高次脳機能障害支援コーディネート研究会	中央法規出版	¥3,000
00006673	高次脳機能障害支援コーディネートマニュアル	平林直次/他編	医歯薬出版	¥3,400
00006674	高次脳機能障害のための認知リハビリテーション　統合的な神経心理学的アプローチ	Ｍｃｋａｙ　Ｍｏｏｒｅ Ｓｏｈｌｂｅｒｇ	協同医書出版社	¥6,000
00006675	失行・失人の評価と治療	ﾊﾞｰﾊﾞﾗ　ゾルタン	医学書院	¥3,800
00006676	実践Mook　理学療法プラクティスこれだけは知っておきたい脳卒中の障害・病態とその理学療法アプローチ	嶋田智明/他編	文光堂	¥4,500
00006677	写真で見る四肢麻痺患者のリハビリテーション	ＦＯＲＤ　ａｎｄ　ＤＵＣＫＷＯＲＴＨ	医歯薬出版	¥15,000
00006678	小神経学	加藤伸勝/他編	金芳堂	¥4,800
00006679	初心者のための脳波の読み方	森 温理・佐藤 譲二／著	新興医学出版	¥1,300
00006680	神経解剖学講義ノート	寺島俊雄	金芳堂	¥4,600
00006681	神経系のMRI診断	加川瑞夫・赫彰郎著	中外医学社	頒価不明
00006682	神経疾患の診察・診断のしかた	後藤 幾生／著	新興医学出版	¥6,700
00006683	神経疾患の診かた 難しい症例をめぐる診断過程の着眼点	亀山正邦・荒木淑郎	医学書院	¥20,000
00006684	神経疾患のみかた―症例とその解説	祖父江逸郎	東京医学社	¥8,000
00006685	神経症候群	平山 恵造／著	文光堂	¥16,000
00006686	神経診察クローズアップ　正しい病巣診断のコツ	鈴木則宏	メジカルビュー社	¥7,000
00006687	神経診察クローズアップ改訂第2版	鈴木則宏	メジカルビュー社	¥7,000
00006688	神経心理学と病巣解析	ハンナ・ダマジオ	医学書院	¥8,000
00006689	神経心理学評価ハンドブック	田川浩一	西村書店	¥8,500
00006690	神経心理学臨床的アプローチ	椿忠雄	医学書院	¥7,200
00006691	神経生理学	内園耕二ほか訳	金芳堂	¥4,700
00006692	神経内科Ｑｕｉｃｋ　Ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ第２版	水野美邦	文光堂	¥12,000
00006693	神経内科Ｑｕｉｃｋ　Ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ第２版	水野美邦	文光堂	¥12,000
00006694	神経内科Ｑｕｉｃｋ　Ｒｅｆｅｒｅｎｃｅ第２版	水野美邦	文光堂	¥12,000
00006695	神経内科学	細川武	中外医学者	¥4,200
00006696	神経内科学テキスト	江藤文夫	南江堂	¥4,800
00006697	神経内科学テキスト　改訂第3版	江藤文夫/他編	南江堂	¥4,800
00006698	神経内科シークレット第２版	ローレンＡ・ローラック	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,000
00006699	神経内科シークレット第２版	ローレンＡ・ローラック	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥7,000
00006700	神経難病のリハビリテーションー症例を通じて学ぶ	江藤文夫	医歯薬出版	¥4,800
00006701	神経病のケーススタディ　76例のPO研修　第2版	荒木淑郎	医学書院	¥4,800
00006702	脊髄損傷者のための性と出産のガイドブック	岩坪暎二	三輪書店	¥1,942
00006703	脊髄損傷も理学療法　第２版	武田　功	医歯薬出版	¥4,400
00006704	脊髄損傷理学療法マニュアル	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006705	脊髄損傷理学療法マニュアル	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006706	脊髄損傷理学療法マニュアル第２版	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006707	脊髄損傷理学療法マニュアル第２版	岩崎洋	文光堂	¥6,500
00006708	体性感覚誘発電位　その臨床応用	山田徹	西村書店	¥6,000
00006709	頭部CT診断のポイント	久留裕	朝倉書店	¥8,500
00006710	とことんわかる図解　基礎神経科学	池田和正	オーム社	¥4,000
00006711	なるほど　失語症の評価と治療	小嶋知幸	金原出版	¥4,800
00006712	日本人のためのリハビリ医療ー脳卒中後遺症の診断学	三島博信	ジーベック	¥2,600
00006713	人間の脳と心理過程	松野豊	金子書房	頒価不明
00006714	脳・神経科学入門講座　下巻	渡辺雅彦	羊土社	¥4,900
00006715	脳・神経リハビリテーション大辞典	アンフレッド	西村書店	¥12,000
00006716	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテージョン入門	橋本圭司	診断と治療社	¥3,600
00006717	脳が言葉を取り戻すとき　失語症のカルテから	佐野洋子	新興医学出版	¥1,800
00006718	脳血管疾患のME検査	坪川孝志	中外医学社	¥12,000
00006719	脳血管障害と神経心理学	平山恵造/他編	医学書院	¥12,000
00006720	脳血管障害の解剖学的診断	後藤潤/他編	三輪書店	¥25,000
00006721	脳神経外科医がしっておくべきﾆｭｰﾛｻｲｴﾝｽの知識	橋本信夫	文光堂	¥15,000
00006722	脳神経外科学１	太田富雄	金芳堂	頒価不明
00006723	脳神経外科学２	太田富雄	金芳堂	¥30,000
00006724	脳神経外科手術アトラス　画像診断から手術まで	三宅 悦夫／著	朝日出版社	¥10,000
00006725	脳脊髄誘発電位	中西孝雄	朝倉書店	¥10,000
00006726	脳卒中・その他の片麻痺　第２版	福井　圀彦	医歯薬出版	¥8,550
00006727	脳卒中１　脳卒中のみかた	岩倉博光/他編	医歯薬出版	¥4,200
00006728	脳卒中患者の機能評価　SIASとFIMの実際	千野直一/他編	シュプリンガー・ジャパン	¥2,800
00006729	脳卒中後のコミュニケーション障害　改定第２版	竹内愛子	協同医書出版社	¥5,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006730	脳卒中最前線　急性期の診断からリハビリテーションまで	藤田勉	医歯薬出版	¥8,800
00006731	脳卒中症候学	田川浩一	西村書店	¥16,000
00006732	脳卒中診察のコツ	阿部康二	文光堂	¥3,500
00006733	脳卒中の運動訓練プログラム	横山徹	医学書院	¥5,800
00006734	脳卒中の運動療法　ｴﾋﾞﾃﾞﾝｽに基づく機能回復トレーニング	潮見泰蔵/他編	医学書院	¥4,800
00006735	脳卒中ビジュアルテキスト	海老原進一郎	医学書院	¥9,000
00006736	脳卒中理学療法の理論と技術	原寛美	メジカルビュー社	¥6,500
00006737	脳卒中理学療法ベスト・プラクティス	奈良勲	文光堂	¥6,200
00006738	脳損傷のリハビリテーション ―神経心理学的療法―	George P, Prigatano ／ほか著	医歯薬出版	¥3,800
00006739	脳とコミュニケーション	岩田誠	朝倉書店	¥3,900
00006740	脳の機能とポジトロンCT	松浦啓一・中尾弘之・ 小嶋正治	秀潤社	¥7,000
00006741	脳の進化	伊藤正男	東京大学出版会	¥3,200
00006742	脳を学ぶ「ひと」と社会がわかる生物学改定第２版	ごとうけい	協同医書出版社	¥3,400
00006743	パーキンソン病に対する標準的理学療法介入	松尾善美	文光堂	¥6,500
00006744	パーキンソン病ハンドブック	水野美邦	中外医学社	¥10,000
00006745	発達期言語コミニケーシュン障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00006746	一目でわかるﾆｭｰﾛｻｲｴﾝｽ.	ミカエルJ、ﾆｰﾙ	メディカルサイエンス	¥3,200
00006747	複合性局所疼痛症候群をもっと知ろう	堀内　行雄	全日本病院出版会	¥4,500
00006748	ブレインブック　みえる脳	内山安男	南江堂	¥4,000
00006749	ペインリハビリテーション	松原貴子	三輪書店	¥4,200
00006750	ベッドサイドの神経の診かた	田崎 義昭・斎藤 佳雄／著	南山堂	¥6,200
00006751	ベッドサイドの神経の診かた　改訂17版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006752	ベッドサイドの神経の診かた　改訂17版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006753	ベッドサイドの神経の診かた　改定第１６飯	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006754	ベッドサイドの神経の診かた　改定第１６飯	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006755	ベッドサイドの神経の診かた改訂16版	田崎義昭	南山堂	¥7,200
00006756	末梢神経の臨床	山野慶樹	医歯薬出版	¥4,800
00006757	みる見るわかる　脳・神経科学入門講座上巻	渡辺雅彦	羊土社	¥3,900
00006758	目でみる神経内科学	平井俊策	医歯薬出版	¥8,500
00006759	目で見るリハビリテーション医学　第2版	上田　敏	東京大学出版会	¥3,400
00006760	眼と神経　神経心理学コレクション	彦坂興秀	医学書院	¥3,000
00006761	メリット神経病学　第2版	椿 忠雄／監訳	医学書院	頒価不明
00006762	もっとよくわかる　脳神経学　やっぱり脳はすごいのだ	工藤佳久	羊土社	¥4,200
00006763	リハビリテーション医学講座第１２巻脊髄損傷―包括的リハビリテーション―	初山泰弘	医歯薬出版	¥4,500
00006764	リハビリテーションのための神経生物学入門	森岡周	協同医書出版社	¥3,800
00006765	リハビリテーションのための神経内科学　第２版	安藤一也	医歯薬出版	¥7,200
00006766	リハビリテーションのための神経内科学第２版	安東一也	医歯薬出版	¥7,200
00006767	臨床医学講座　全２４巻　２１巻脳と行動	松下正明	中山書店	¥33,000
00006768	臨床高次脳機能評価マニュアル2000	今村陽子	新興医学出版	¥6,000
00006769	臨床神経学の基礎　第３版	大西晃生	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥9,400
00006770	臨床神経精神医学　意識・知能・記憶の病理	濱中淑彦	医学書院	¥14,500
00006771	臨床神経内科学　改定第５版	廣瀬源二郎	南山堂	¥15,000
00006772	臨床脳波　判読の手びき	井上 令一・赤沢 滋／共著	南山堂	¥4,800
00006773	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男/他編	中外医学社	¥16,000
00006774	臨床誘発電位診断学	中西孝雄・吉江信夫	南江堂	¥9,500
00006775	ルリア神経心理学的検査法	西村健	医歯薬出版	¥12,000
00006776	ルリア神経心理学的検査法　vol.1	Anne-Lise Christensen著；西村健監訳	医歯薬出版	頒価不明
00006777	ルリア神経心理学的検査法　vol.2	Anne-Lise Christensen著；西村健監訳	医歯薬出版	頒価不明
00006778	ルリア神経心理学的検査法　別冊	Anne-Lise Christensen著；西村健監訳	医歯薬出版	頒価不明
00006779	感覚統合研究　第1集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,800
00006780	感覚統合研究　第2集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006781	感覚統合研究　第3集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006782	感覚統合研究　第4集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006783	感覚統合研究　第５集	日本感覚統合障害研究会	協同医書出版社	¥3,500
00006784	簡要神経学	I.M.S.Wilkinson[著]；岩田淳訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥4,600
00006785	高次脳機能の基礎：動物と人間における離断症候群	N.ゲシュヴィンド	新曜社	頒価不明
00006786	治療薬学シリーズ　神経,精神	塩川優一、斎藤太郎	地人書館	頒価不明
00006787	自律神経の基礎と臨床	後藤由夫/他編	医薬ジャーナル社	¥6,800
00006788	自律神経失調症	筒井末春,中野弘一	永井書店	¥6,800
00006789	失語の経過と予後	祖父江逸郎/他編	医学教育出版社	¥7,000
00006790	失語の経過と予後	祖父江逸郎/他編	医学教育出版社	¥7,000
00006791	失行症	Jean-Louis Signoret,Pierre North	医学書院	¥2,500
00006792	神経心理学入門	山鳥重	医学書院	¥6,400
00006793	神経生理学　改訂第2版	Robert F.Schmidt	金芳堂	頒価不明
00006794	神経内科治療マニュアル：診断の要点と治療の実際　第3版	Martin A.Samuels	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥6,500
00006795	神経病へのアプローチ：400のプログラム教程	本多虔夫	医学書院	¥3,500
00006796	神経病へのアプローチ：470のプログラム教程　第4版	本多虔夫	医学書院	¥3,800
00006797	叢書・脳を考える　男の脳と女の脳	川上正澄	紀伊国屋書店	頒価不明
00006798	痛みの考えかた：しくみ・何を・どう効かす	丸山一男	南江堂	¥3,200
00006799	痛みの理解と治療	Michael R. Bond	医学書院	¥3,000
00006800	脳と平衡障害：ヒト大脳の働きについて考える	鈴木淳一	篠原出版	¥2,900
00006801	脳障害者の心理臨床：病める心のリハビリテーション	小山充道	学苑社	頒価不明
00006802	脳神経外科マニュアル　改訂2版	高倉公朋	中外医学社	¥3,400
00006803	臨床神経学の手引き	秋口一郎	南江堂	¥6,000
00006804	「うつ」を生かす―うつ病の認知療法	大野裕	星和書店	¥2,330
00006805	616のプログラム教程 精神疾患へのアプローチ　第３版	高橋三郎	医学書院	¥5,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006806	ＤＳＭ-5精神疾患の診断・統計マニュアル	高橋三郎	医学書院	¥20,000
00006807	あたらしい精神保健	十束支朗	医学出版社	¥2,000
00006808	アルコール症治療の手びき 診療・援助にたずさわる人のために	清水信	医学書院	¥4,000
00006809	うつ病治療の最新リハビリテーションー作業療法の効果ー	徳永雄一郎	昭和堂	¥2,600
00006810	うつ病の心理ー精神療法的アプローチ	水上忠巨	誠信書房	¥5,800
00006811	改訂第２版精神医学マイテキスト	武田雅俊	金芳堂	¥3,800
00006812	改訂版精神疾患100の仮説	石郷岡純	星和書店	¥4,500
00006813	回復と成長をめざして	Joan M. Erikson／著	協同医書出版社	¥3,800
00006814	回復と成長をめざして	Joan M. Erikson／著	協同医書出版社	¥3,800
00006815	カウンセリングの心と技術 ： 心理療法と対人関係のあり方	平木 典子／著	金剛出版	¥3,500
00006816	カウンセリングを学ぶ	水島恵一	有斐閣	¥1,700
00006817	学生のための精神医学　第３版	太田保之	医歯薬出版	¥3,500
00006818	家族と家族療法	山根常男	誠信書房	頒価不明
00006819	家族と家族療法	山根常男	誠信書房	頒価不明
00006820	境界パーソナリティ障害 その臨床病理と治療	Ｊ．Ｇ．ガンダーソン	岩崎学術出版	頒価不明
00006821	言語障害の診断と治療	隈江月晴	ナカニシヤ出版	¥2,600
00006822	現代臨床精神医学改訂第７版	大熊輝雄	金原出版	¥7,200
00006823	こころと行動の発達 ： アクティビティー・セラピストのための3つの理論	Anne Cronin Mosey	協同医書出版社	¥6,000
00006824	こころと行動の発達 ： アクティビティー・セラピストのための3つの理論	Anne Cronin Mosey	協同医書出版社	¥6,000
00006825	こころを診る技術	宮岡等	医学書院	¥2,500
00006826	作業療法学全書第5巻　改訂第３版	富岡詔子	協同医書出版社	¥3,800
00006827	新・医療心理学読本	小此木啓吾	日本論社	¥2,000
00006828	神経症の臨床	山懸博	金剛出版	頒価不明
00006829	新精神医学入門　改訂２版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006830	新精神医学入門　改訂2版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006831	新精神医学入門　改訂2版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006832	新精神医学入門　改訂2版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006833	新精神医学入門　第２版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006834	新精神医学入門　第２版	志水彰	金芳堂	¥4,500
00006835	新版現代精神医学	中尾弘之	朝倉書店	¥6,900
00006836	心理学　心理学理論と心理的支援	岩井壽夫	へるす出版	¥2,100
00006837	ストレス状態と心身医学的アプローチ ： 医療の現場から	筒井末春	診断と治療社	¥4,800
00006838	生活を支援する精神障害作業療法急性期から地域実践まで第２版	香山明美	医歯薬出版	¥3,900
00006839	精神医学・心理学的対応リハビリテーション	先崎章	医歯薬出版	¥4,400
00006840	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006841	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006842	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006843	精神医学ソーシャル・ワーク	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006844	精神医学的作業療法の実際	長谷川峰子	シービーアール	¥1,500
00006845	精神科・老人　医療ガイド98	宮本吉博	ＮＯＶＡ	¥1,200
00006846	精神科・老人医療ガイド98	宮本吉博	ＮＯＶＡ	¥1,200
00006847	精神科ＭＯＯＫ家族精神医学	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006848	精神科ＭＯＯＫ家庭と学校の精神衛生	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006849	精神科ＭＯＯＫ自殺	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006850	精神科ＭＯＯＫ思春期の危機	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006851	精神科ＭＯＯＫ身体疾患と精神障害	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006852	精神科ＭＯＯＫ青少年の社会病理	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006853	精神科ＭＯＯＫ精神科救急医療	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006854	精神科ＭＯＯＫ躁うつ病の治療と予後	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006855	精神科ＭＯＯＫてんかんの身体精神障害	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006856	精神科ＭＯＯＫ分裂病のリハビリテーション	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006857	精神科ＭＯＯＫ法と精神医療	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006858	精神科ＭＯＯＫ老年期痴呆	島薗安雄	金原出版	¥4,900
00006859	精神科身体合併症マニュアル	野村総一郎	医学書院	¥4,500
00006860	精神科診断面接のコツ	神田橋條治	岩崎学術出版	頒価不明
00006861	精神科デイ・ケア	柏木昭	岩崎学術出版	頒価不明
00006862	精神科のソーシャル・スキル　日常生活援助と作業療法	アイリーン	協同医書出版社	¥2,000
00006863	精神科リハビリテーション	谷岡哲也	中外医学社	¥3,400
00006864	精神疾患の脳画像解析・診断学	平安良雄	南山堂	¥4,500
00006865	精神疾患の理解と精神科作業療法第２版	朝田隆	中央法規出版	¥3,800
00006866	精神障害と作業療法　第２版	山根寛	三輪書店	¥3,700
00006867	精神障害領域の作業療法	石井良和	中央法規出版	¥4,400
00006868	精神病を耕す　心病む人への治療の歩み	星野 弘／著	星和書店	¥2,300
00006869	精神分裂病の陰性症状	栗秋要	星和書店	¥3,800
00006870	性の臨床　患者の性的問題の理解とケアのために	河野友信	医学書院	¥1,900
00006871	性の臨床　患者の性的問題の理解とケアのために	河野友信	医学書院	¥1,900
00006872	摂食障害という生き方	瀧井正人	中外医学社	¥3,200
00006873	統合失調症の早期発見と認知療法	Ｐａｕｌ　Ｆｒｅｎｃｈ	星和書店	¥2,600
00006874	認知療法入門	アーサー・フリーマン	星和書店	頒価不明
00006875	不安の科学と健康	河野友信	朝倉書店	¥5,600
00006876	プライマリ・ケアにおける心身医学ーバリント・グループの実際ー	マイクル・バリント	診断と治療社	¥4,500
00006877	分裂病ＶＳ失語症　言語症状の構造	大平健	海鳴社	¥500
00006878	分裂病の少女の手記	セシュエー	みすず書房	¥1,900
00006879	分裂病の少女の手記	セシュエー	みすず書房	¥1,900
00006880	目でみる精神医学	平井富雄, 関谷透／共著	文光堂	¥9,000
00006881	ライフサイクル精神医学	西園昌久	医学書院	¥4,500
00006882	リセット禁煙のすすめ	磯村毅	東京六法出版	¥476
00006883	リハビリテーションと精神医学	鹿島晴雄	医歯薬出版	¥3,800
00006884	リハビリテーションを考える ： 障害者の全人間的復権	上田敏	青木書店	頒価不明
00006885	リラクセーションのすすめ ： その理論と実際	三谷恵一/他編	大学教育出版	¥2,427
00006886	臨床精神医学事典	西丸四方	南山堂	¥5,825
00006887	臨床精神医学辞典	西丸四方	南山堂	¥5,825
00006888	可能性としての心理療	児島 達美／著	金剛出版	¥3,600
00006889	家族療法技法ハンドブック	R.シャーマン, N.フレッドマン	星和書店	頒価不明
00006890	家族療法入門 ： システムズ・アプローチの理論と実際	遊佐安一郎	星和書店	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00006891	解決のための面接技法　　第３版 ソリューション・フォーカスト・アプローチの手引き	ピーター・ディヤング， インスー・キム・バーグ ／著	金剛出版	¥4,800
00006892	記憶のリハビリテーション	Barbara A. Wilson	医歯薬出版	頒価不明
00006893	講座言語障害児の診断と指導　第1巻　構音障害の診断と指導	飯高京子/他編	学苑社	頒価不明
00006894	支持的精神療法の上手な使い方	D・S・ワーマン	星和書店	頒価不明
00006895	小児自閉症 ： 自閉性を再考する	平井信義	日本小児医事 出版社	¥6,500
00006896	小精神医学書	加藤伸勝	金芳堂	頒価不明
00006897	小精神医学書	加藤伸勝	金芳堂	頒価不明
00006898	心と身体の医療 ： ストレス病とバイオフィードバック	バーバラ・B.ブラウン	紀伊國屋書店	¥4,500
00006899	心身医学のための心理療法と心身医学的療法	河野友信/他編	朝倉書店	¥4,300
00006900	心身症	石川中，末松弘行	日本文化科学社	頒価不明
00006901	心身症へのアプローチ ストレス社会の疾病像とその対策	筒井末春	ライフ・サイエンス	¥2,800
00006902	心理学 ： こころを科学する	笹野完二	ナカニシヤ出版	¥2,136
00006903	心理学 ： こころを科学する	笹野完二	ナカニシヤ出版	¥2,136
00006904	心理治療法ハンドブック	伊藤隆二	福村出版	頒価不明
00006905	新・行動療法と心身症 ： 行動医学への展開	赤木稔	医歯薬出版	¥3,700
00006906	新精神医学	新福尚武	医学出版社	¥900
00006907	人間学 ： 医学的アプローチ	高島博原	丸善	頒価不明
00006908	睡眠・覚醒障害の臨床	中沢洋一	医学書院	¥5,300
00006909	生と死の心理 ： ユング心理学と心身症	河野博臣	創元社	頒価不明
00006910	精神科・老人医療ガイド'99	NOVA出版	NOVA出版	¥1,200
00006911	精神科MOOK19　森田療法 ： 理論と実際	大原健士郎	金原出版	¥4,900
00006912	精神障害者のナイト・ケア	竹村堅次	医学書院	¥4,000
00006913	精神障害者のナイト・ケア	竹村堅次	医学書院	¥4,000
00006914	精神障害者の地域リハビリテーション	蜂矢英彦，村田信男	医学書院	¥6,800
00006915	続 分裂病とはなにか　慢性化の機構	稲永和豊，融道男	東京大学出版会	頒価不明
00006916	中年期の精神医学	飯田眞	医学書院	¥8,000
00006917	日常性の精神医学 ： 写真と症例による招待	J.H.ヴァン・デン・ベルク	川島書店	頒価不明
00006918	分裂病の人間学 ： ドイツ精神病理学アンソロジー	木村敏	医学書院	¥4,800
00006919	妄想 ： 分裂病妄想の記述現象学的研究	G.フーバー，G.グロス	金剛出版	¥6,800
00006920	臨床心理検査入門 ： 諸検査の施行とその解釈	松本啓，鮫島和子	医学出版社	¥2,800
00006921	臨床心理検査入門 ： 諸検査の施行とその解釈	松本啓，鮫島和子	医学出版社	¥2,800
00006922	躁病の診断と治療	渡辺昌祐,江原嵩	新興医学出版社	¥4,600
00006923	生涯各期の心身症とその周辺疾患	並木正義	診断と治療社	¥4,800
00006924	生涯各期の心身症とその周辺疾患	並木正義	診断と治療社	¥4,800
00006925	MRI診断マニュアル	有水昇・植松貞夫	篠原出版	¥7,500
00006926	ＭＲＩの基本パワーテキスト第2版　基礎理論から最新撮像法まで	荒木力	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥6,500
00006927	ＮＭＲ医学ー基礎と臨床　改訂第２版	海老原熊雄	丸善	頒価不明
00006928	ＰＴ・ＯＴのための画像診断マニュアル	百島祐貴	医学教育出版社	¥2,700
00006929	関節ＭＲＩ撮像のコツとアトラス	新藤雅司	メジカルビュー社	¥7,000
00006930	救急放射線診断マニュアル	稲本一夫	丸善	頒価不明
00006931	デジタルイメージングの落とし穴　ＣＴ&ＭＲＩ編	安野泰史	医療科学者	¥4,000
00006932	ポケット正常画像ＡｔｏＺ	後閑武彦	メジカルビュー社	¥3,500
00006933	リハビリテーションのための画像の読み方	本間光信	メジカルビュー社	¥3,000
00006934	放射線物理の基礎	原田芳廣	東海大学出版会	頒価不明
00006935	ＳＴＥＰ①外科総論・脳神経外科第２版	小林士郎	海馬書房	¥5,000
00006936	一般外科　術前・術中・術後管理	梶谷鐶	へるす出版	¥19,000
00006937	外傷	大塚敏文	日本医事新報社	¥13,500
00006938	外科学	阿部令彦	朝倉書店	¥12,000
00006939	外科治療ハンドブックーメスとくすりー	穴沢雄作	医学図書出版	¥7,600
00006940	新臨床外科学　第２版	中村紀夫	医学書院	¥14,000
00006941	標準形成外科学　第２版	鬼塚卓弥	医学書院	¥6,700
00006942	今日の麻酔1　慢性痛の治療	S.リプトン	朝倉書店	頒価不明
00006943	図説包帯法　第4版	石山俊次，石山功	医学書院	¥650
00006944	包帯の巻き方	藤原文夫	南江堂	¥1,200
00006945	プルミエ産婦人科各論	秋谷清/他編	医歯薬出版	¥4,700
00006946	産婦人科サブノート	福島穣，河上征治	南江堂	¥4,800
00006947	全身性疾患・内臓疾患の皮ふ病変	北村啓次郎	日本医事新報社	¥6,900
00006948	皮膚科感染症夏期セミナーテキストブック皮膚科領域の感染症ー診断と治療指数ー	マッキャン・ヘルスケア	グラクソ・スミスクライン	頒価不明
00006949	皮膚科感染症夏期セミナーテキストブック皮膚科領域の感染症ー診断と治療指数ー	マッキャン・ヘルスケア	グラクソ・スミスクライン	頒価不明
00006950	現代の皮膚科学　改訂第2版	三木吉治/他編	金原出版	¥6,800
00006951	０・１・２歳児　こころとからだの発達	二木武	医歯薬出版	¥2,200
00006952	Introduction to psychology，3　子どもの発達を探る	小嶋秀夫，速水敏彦	福村出版	頒価不明
00006953	PTマニュアル 小児の理学療法	河村光俊	医歯薬出版	¥3,800
00006954	アクチュアル脳・神経疾患の臨床 小脳と運動失調 ： 小脳はなにをしているのか	西沢正豊	中山書店	¥12,000
00006955	遊びと探索学習-知的好奇心による行動の研究-	山田　孝　訳	協同医書出版社	¥4,800
00006956	アプローチシリーズ　臓器別医師国試問題解説４　小児科	金岡毅，赤司俊二	医学評論社	頒価不明
00006957	医学概論３版	北村論	中外医学者	¥2,400
00006958	イラストでわかる人間発達学	上杉雅之	医歯薬出版	¥4,200
00006959	医療「救命ボード」に乗り遅れるなーアメリカの医療に学ぶー	Ｈｏｗａｒｄ　Ｈ．　Ｈｉａｔｔ	日本医事新報社	¥2,700
00006960	親と子のきずな	クラウス・ケネル／著	医学書院	¥3,000
00006961	ぎょうせいヘルス・ライブラリー，47　発達障害児の保健指導	伊藤隆二	ぎょうせい	¥1,300
00006962	言語発達とその障害	高木隆郎	医学書院	¥3,000
00006963	ことばの発達の障害とその指導	飯高　京子	学苑社	頒価不明
00006964	子どもの精神医学	マイケルー・ラター	ルガール社	¥6,800
00006965	子どもの精神療法 症例とスーパービジョン	森省二	金剛出版	頒価不明
00006966	子どもの脳機能障害	松本和雄	医歯薬出版	¥4,800
00006967	子どもの発達と遊び	上田礼子	岩崎学術出版社	頒価不明
00006968	これからの精神保健・精神医療（改題　これからの精神医療）	谷中輝雄	やどかり出版	¥1,165

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00006969	シェルボーンのムーブメント入門 ： 発達のための新しい療育指導法	ベロニカ・シェルボーン	三輪書店	¥2,330
00006970	シェルボーンのムーブメント入門 ： 発達のための新しい療育指導法	ベロニカ・シェルボーン	三輪書店	¥2,330
00006971	障害児教育実践ハンドブック	大久保哲夫/他編	労働旬報社	頒価不明
00006972	障害児食事指導の実際	S.E.Morris	協同医書出版社	¥1,200
00006973	障害児のためのテクノエイド	高松鶴吉・繁成剛	ぶどう社	¥4,000
00006974	障害乳幼児の発達と医療	堀江重信	青木書店	頒価不明
00006975	小児外科／示唆にとむ症例	葛西洋一・内野純一	日本医学館	¥5,000
00006976	小児の発達と行動	ゲゼル/他編	福村出版	頒価不明
00006977	小児リハビリテーションⅠ-脳性麻痺	岩倉博光	医歯薬出版	¥4,600
00006978	心身障害児の理解と保育：リハビリテーション保育とその展開	深津時吉・岸勝利	医歯薬出版	頒価不明
00006979	身体障害児～教師のための医学アトラス　第2版	Eugene E.Bleck,Donald A.Nagel	協同医書出版社	¥8,500
00006980	身体障害児～教師のための医学アトラス　第2版	Eugene E.Bleck,Donald A.Nagel	協同医書出版社	¥8,500
00006981	正常児・異常児の運動発達検査	松村秩・矢谷令子	医歯薬出版	¥1,900
00006982	青年臨床心理学	関俊峋	朝倉書店	¥2,700
00006983	接触から排泄まで　小児の発達栄養行動：生理・心理・臨床	二木武	医歯薬出版	¥3,400
00006984	ダウン症児の育ち方・育て方	安藤忠・北九州市立総合センター	学研	頒価不明
00006985	手の発達機能障害	Ｒ．Ｐ．ＥＲＨＡＲＤＴ	医歯薬出版	¥5,000
00006986	手の発達機能障害	Ｒ．Ｐ．ＥＲＨＡＲＤＴ	医歯薬出版	¥5,000
00006987	日本版デンバー式発達スクリーニング検査　増補版	上田礼子	医歯薬出版	頒価不明
00006988	乳児期における情緒の表れ	R.N.エムデ他	風媒社	¥3,500
00006989	乳児期における情緒の表われ	R.N.エムデ他	風媒社	¥3,500
00006990	乳児の対人世界　理論編	D. N. スターン	岩崎学術出版社	頒価不明
00006991	脳性麻痺の類型別運動発達	梶浦一郎	医歯薬出版	¥2,300
00006992	ボバース法による脳性まひの言語治療	嵯峨崎順子	医歯薬出版	¥2,500
00006993	メラニー・クライン著作集，1　子どもの心的発達 ： 1921-1931	メラニー・クライン	誠信書房	¥3,800
00006994	文字とことばの指導のための　言語発達診断検査	酒井芳文	田研出版	頒価不明
00006995	臨床薬物療法シリーズ　小児科の薬物療法	北山徹	朝倉書店	¥3,900
00006996	学習障害 ： LDの理解と取りくみ	上村　菊朗[ほか]著	医歯薬出版	頒価不明
00006997	感覚統合と学習障害	A.Jean Ayres	協同医書出版社	¥4,800
00006998	感覚統合と学習障害	A.Jean Ayres	協同医書出版社	¥4,800
00006999	基本小児外科学	日本小児外科学会教育委員会	金原出版	¥12,000
00007000	高次脳機能障害ファシリテーター養成講座 = The lecture of facilitator for higher brain dysfunction	高次脳機能障害支援ネット著	三輪書店	¥2,800
00007001	今日の小児治療指針	塙嘉之/他編	医学書院	頒価不明
00007002	今日の小児診断指針　第2版	前川喜平/他編	医学書院	¥12,500
00007003	今日の小児診断指針　第2版	前川喜平/他編	医学書院	¥12,500
00007004	最新育児小児病学	宮尾益英	南江堂	¥2,816
00007005	最新育児小児病学	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007006	最新育児小児病学　改訂第3版	宮尾益英	南江堂	¥2,816
00007007	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007008	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007009	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007010	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007011	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007012	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007013	最新育児小児病学 改正第4版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007014	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007015	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007016	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007017	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007018	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007019	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007020	最新育児小児病学 改正第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00007021	子どものこころの医学	中村和彦	金芳堂	¥3,600
00007022	子どもの生活における発達と学習	無藤隆	ミネルヴァ書房	頒価不明
00007023	子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ	小西紀一/他編	メジカルビュー社	¥5,500
00007024	子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ	小西紀一/他編	メジカルビュー社	¥5,500
00007025	子どもの脳機能障害 ： 自閉,多動,学習障害の神経メカニズム	Isabelle Rapin	医歯薬出版	¥4,800
00007026	子どもの発達-0歳から6歳	E・J・キパート　著	同朋出版	¥2,800
00007027	子どもの発達と感覚統合	A.Jean Ayres	協同医書出版社	¥3,914
00007028	子どもの発達と遊び	上田　礼子　訳	岩崎学術出版社	頒価不明
00007029	児童発達の理論 ： ラーニングガイド	R.M.トーマス	新曜社	頒価不明
00007030	写真でみる乳児の運動発達 ： 生後10日から12カ月まで	Lois Bly　著	協同医書出版社	¥5,500
00007031	写真でみる乳児健診の神経学的チェック法	前川喜平	南山堂	¥5,800
00007032	写真でみる乳児健診の神経学的チェック法	前川喜平	南山堂	¥5,800
00007033	就学前児の発達指導法	Diane B.D'Eugenio・Martha S.Moersch	医歯薬出版	¥3,600
00007034	重度発達障害児の家庭養育技術（青年期）	今泉昭雄	全国心身障害児福祉財団	頒価不明
00007035	小児・発達期の包括的アプローチ ：PT・OTのための実践的リハビリテーション	新田收/他編	文光堂	¥10,000
00007036	小児のメディカル・ケア・シリーズ11　小児の肥満	村田光範	医歯薬出版	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007037	小児のメディカル・ケア・シリーズ12　小児の糖尿病	北川照男	医歯薬出版	頒価不明
00007038	小児のメディカル・ケア・シリーズ13 小児のことばの障害 ： 言語障害・音声障害	田中美郷/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007039	小児のメディカル・ケア・シリーズ14　自閉症	村田豊久	医歯薬出版	頒価不明
00007040	小児のメディカル・ケア・シリーズ14　自閉症	村田豊久	医歯薬出版	頒価不明
00007041	小児のメディカル・ケア・シリーズ15　小児の心身症	河野友信	医歯薬出版	¥1,200
00007042	小児のメディカル・ケア・シリーズ16　小児の先天性代謝異常症 ： フェニルケトン尿症を中心に	藤井邦生/他編	医歯薬出版	¥1,200
00007043	小児のメディカル・ケア・シリーズ18　小児の脊柱変形・下肢変形	井上駿一，山根友二郎	医歯薬出版	頒価不明
00007044	小児のメディカル・ケア・シリーズ18　小児の脊柱変形・下肢変形	井上駿一，山根友二郎	医歯薬出版	頒価不明
00007045	小児のメディカル・ケア・シリーズ19　小児の運動障害 ： 筋ジストロフィー症と脳性麻痺を中心に	福山幸夫/他編	医歯薬出版	¥1,200
00007046	小児のメディカル・ケア・シリーズ2　小児の気管支喘息　改訂第2版	飯倉洋治，早川浩	医歯薬出版	頒価不明
00007047	小児のメディカル・ケア・シリーズ22　小児の感染症	平山宗宏，南谷幹夫	医歯薬出版	頒価不明
00007048	小児のメディカル・ケア・シリーズ23　小児の成長障害	村田光範	医歯薬出版	頒価不明
00007049	小児のメディカル・ケア・シリーズ24　起立性調節障害 ： 小児の立ちくらみ・めまいを中心として	木村隆夫	医歯薬出版	頒価不明
00007050	小児のメディカル・ケア・シリーズ25　小児の問題行動 ： 心配な行動・性格とその対策	中村孝/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007051	小児のメディカル・ケア・シリーズ26　スポーツ障害 ： 発育期を中心に	高沢晴夫/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007052	小児のメディカル・ケア・シリーズ27　小児がん ： よりよい療養生活のために　改訂第3版	塙嘉之	医歯薬出版	頒価不明
00007053	小児のメディカル・ケア・シリーズ29　ダウン症	日暮眞/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007054	小児のメディカル・ケア・シリーズ3　小児の骨折	小野三嗣，宮崎義憲	医歯薬出版	¥1,200
00007055	小児のメディカル・ケア・シリーズ30　小児のノイローゼ ： 強迫神経症・チックを中心に	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007056	小児のメディカル・ケア・シリーズ30　小児のノイローゼ ： 強迫神経症・チックを中心に	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007057	小児のメディカル・ケア・シリーズ4　小児のアレルギー	飯倉洋治，早川浩	医歯薬出版	頒価不明
00007058	小児のメディカル・ケア・シリーズ5　小児の心臓病	草川三治	医歯薬出版	頒価不明
00007059	小児のメディカル・ケア・シリーズ6　小児のMBD ： 微細脳障害症候群の臨床	上村菊朗，森永良子	医歯薬出版	¥1,200
00007060	小児のメディカル・ケア・シリーズ7　登校拒否症	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007061	小児のメディカル・ケア・シリーズ7　登校拒否症	若林慎一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007062	小児のメディカル・ケア・シリーズ8　小児のてんかん	福山幸夫/他編	医歯薬出版	頒価不明
00007063	小児の姿勢	有馬　著	診断と治療社	¥6,000
00007064	小児科診察入門	Denis Gill，Niall O'Brien	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥3,000
00007065	小児外科手術用語集	日本小児外科学会用語委員会	金原出版	¥3,800
00007066	小児精神医学	安藤　春彦	ヒューマンティワイ	¥8,252
00007067	小児頭部外傷 ： 急性期からリハビリテーションまで	栗原まな	医歯薬出版	¥4,600
00007068	小児脳波と臨床	福山幸夫	金原出版	¥12,000
00007069	小児発育学 ： 胎児から成熟まで	J.M.Tanner	日本小児医事出版社	¥6,000
00007070	障害児の育て方・指導法 ： 行動療法を基礎にして	鈴村　健治	ミネルヴァ書房	¥2,233
00007071	障害児の発達を促す動作法	今野　義孝　著	学苑社	頒価不明
00007072	食べる機能の障害 ： その考え方とリハビリテーション	金子芳洋	医歯薬出版	頒価不明
00007073	心身障害児のリハビリテーション	安藤春彦	南山堂	¥8,800
00007074	心身障害児の臨床検査マニュアル	安藤春彦	南山堂	¥4,800
00007075	心身障害児の臨床検査マニュアル	安藤春彦	南山堂	¥4,800
00007076	新しい遊戯療法 ： セラプレイ	高野清純，杉原一昭	日本文化科学社	頒価不明
00007077	人間性の発達 ： 幼年期から老年期まで	ゴードン・R・ロウ	法政大学出版局	頒価不明
00007078	正常発達 ： 脳性まひ治療への応用	Jung Sun Hong	三輪書店	¥3,200
00007079	静的弛緩誘導法 ： 動作の不自由な子どものための基礎的指導	立川　博著	御茶の水書房	頒価不明
00007080	赤ちゃんのめざめ ： 神経生理学にもとづく運動のさせ方・遊ばせ方	Janine Lévy	医歯薬出版	頒価不明
00007081	第10回日本脳性麻痺研究会記録	村地俊二	協同医書出版社	¥4,200
00007082	第11回日本脳性麻痺研究会記録	三宅良昌	協同医書出版社	¥4,200
00007083	第12回日本脳性麻痺研究会記録	高柳慎八郎	協同医書出版社	¥4,200
00007084	第13回日本脳性麻痺研究会記録	穐山富太郎	協同医書出版社	¥4,200
00007085	第14回日本脳性麻痺研究会記録	坂口亮	協同医書出版社	¥3,500
00007086	第15回日本脳性麻痺研究会記録	井沢淑郎，陣内一保	協同医書出版社	¥3,605
00007087	第9回日本脳性麻痺研究会記録	児玉和夫	協同医書出版社	¥5,800
00007088	特殊学習障害・理解と援助 ： 親，保育者，教師へのガイド	Donald H.Painting	協同医書出版社	¥2,800
00007089	二分脊椎の子どもとの接し方	中新井　邦夫 著	ルガール社	頒価不明
00007090	乳児・小児の神経学的診察法	Henry W.Baird，Eleanora C.Gordon	中央洋書出版部	¥7,900
00007091	乳児・小児の神経学的診察法	Henry W.Baird，Eleanora C.Gordon	中央洋書出版部	¥7,900
00007092	乳児のこころとからだ ： 写真で知る発達のすがた	中原弘之 川口隆司	大日本図書	頒価不明
00007093	乳児のこころとからだ ： 写真で知る発達のすがた	中原弘之 川口隆司	大日本図書	頒価不明
00007094	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	Mark van Blankenstein /他編	医歯薬出版	¥1,900
00007095	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	Mark van Blankenstein /他編	医歯薬出版	¥1,900
00007096	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	高橋　孝文　監訳	医歯薬出版	¥1,650
00007097	乳児の発達 ： 写真でみる0歳児	高橋　孝文　監訳	医歯薬出版	¥1,845
00007098	乳幼児の健康診査とスクリーニング	中山健太郎	医学書院	¥3,900
00007099	乳幼児の健康診査とスクリーニング	中山健太郎	医学書院	¥3,900
00007100	脳と発達 ： 環境と脳の可塑性　シリーズ《脳の科学》	津本忠治	朝倉書店	¥3,800
00007101	脳性麻痺　第2版	五味　重春　著	医歯薬出版	頒価不明
00007102	脳性麻痺　第3版	五味　重春　著	医歯薬出版	頒価不明
00007103	脳性まひの療育と理学療法 ： 上田法およびボツリヌス療法による筋緊張のコントロールと評価	東條惠	診断と治療社	¥2,600
00007104	脳性まひ児の家庭療育　第２版	梶浦一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007105	脳性まひ児の家庭療育　第２版	梶浦一郎	医歯薬出版	頒価不明
00007106	脳性まひ児の家庭療育	Eva Bower	医歯薬出版	¥4,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007107	脳性まひ児の家庭療育　第4版	Eva Bower	医歯薬出版	¥4,200
00007108	脳性まひ児の早期治療	Alfred L. Scherzer, Ingrid Tscharnuter	医学書院	¥3,000
00007109	脳性まひ児の早期治療	今川忠男訳	医学書院	¥3,000
00007110	脳性麻痺のクリニカルリーズニングアプローチ ：理学療法・作業療法評価と治療	Karen J. Dodd/他編	医歯薬出版	¥6,800
00007111	脳性麻痺の研究 Cerebral palsy for understanding, care and help	津山直一	同文書院	¥25,000
00007112	脳性麻痺の評価と治療：整形外科的チームアプローチ	Robert L. Samilson	協同医書出版社	¥7,500
00007113	発達OTが考える子どもセラピィの思考プロセス：あなたのセラピィを構築するためのいくつかのヒント	小松則登	メジカルビュー社	¥4,000
00007114	発達を促す遊びの指導：重度障害児のために	村田茂/他編	学習研究社	頒価不明
00007115	発達小児科学	K.S.Holt	日本小児医事出版社	¥7,000
00007116	発達障害と作業療法	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007117	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007118	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007119	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007120	発達障害と作業療法[基礎編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007121	発達障害と作業療法[実践編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,000
00007122	発達障害と作業療法[実践編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007123	発達障害と作業療法[実践編]	岩崎清隆	三輪書店	¥3,300
00007124	発達障害の評価と治療-小児の作業療法-	Barbara Sharpe Banus［ほか］著	協同医書出版社	頒価不明
00007125	発達障害医学の進歩	有馬正高，熊谷公明	診断と治療社	¥2,913
00007126	発達的視点からみた障害児の療育　第1巻　障害児の社会小児科学的診断とリハビリテーション	Theodor Hellbrügge	医学書院	¥4,200
00007127	発達的視点からみた障害児の療育 第2巻　障害児の心理的,社会的問題と教育	山下文雄　監訳	医学書院	¥5,600
00007128	理学療法士・作業療法士のための小児の反射と発達の診かた	前川喜平/他編	新興医学出版社	¥3,200
00007129	理学療法士・作業療法士のための小児の反射と発達の診かた	前川喜平/他編	新興医学出版社	¥3,200
00007130	Clinical nursing guide，16　老年	大友英一	メディカ出版	頒価不明
00007131	図説臨床老年医学講座リハビリテーション	上田慶二	メジカルビュー社	頒価不明
00007132	痴呆のすべて	宮武正	科学評論社	頒価不明
00007133	ベッドサイドの老人の診かた	熊原雄一,島健二	南山堂	¥8,300
00007134	ユニットケア実践!ケアワークブック　改訂版	武田和典,泉田照雄	全国コミュニティライフサポートセンター	¥1,000
00007135	感染症,免疫・アレルギー疾患,血液疾患	嶋田甚五郎/他編	メジカルビュー社	頒価不明
00007136	口腔,感覚器,皮膚,泌尿・生殖器疾患	渡辺郁馬/他編	メジカルビュー社	頒価不明
00007137	主訴・症候からみた老年病の診断	上田慶二	メジカルビュー社	頒価不明
00007138	消化器疾患,外科手術と麻酔	深沢俊男・金澤暁太郎	メジカルビュー社	頒価不明
00007139	図説臨床老年医学講座3　老年疾患の治療と管理・看護	中村治雄	メジカルビュー社	頒価不明
00007140	保健医療,福祉の制度とサービスの実際	桑名忠・奥川幸子	メジカルビュー社	頒価不明
00007141	老化に伴う機能と検査・検査値の特徴	折茂肇	メジカルビュー社	頒価不明
00007142	老化を考える	江上信雄	講談社	¥2,796
00007143	老化性痴呆の臨床	小阪 憲司／著	金剛出版	¥15,000
00007144	老人のリハビリテーション	厚生省保健医療局老人保健部老人保健課	社会保険出版社	¥1,600
00007145	老人の診療：その特性と周辺	相澤 豊三・村上 元孝／監修	南山堂	¥9,000
00007146	老人科診療必携	折茂肇，福地義之助	朝倉書店	¥6,800
00007147	老年の精神医学	Raymond Levy,Felix Post	医学書院	¥6,700
00007148	老年の精神医学	Raymond Levy,Felix Post	医学書院	¥6,700
00007149	老年医学入門：アプローチと診療の要点	H.M.Hodkinson	丸善	¥2,800
00007150	老年医学入門：アプローチと診療の要点	H.M.Hodkinson	丸善	¥2,800
00007151	老年学テキスト	柴田博/他編	南江堂	¥4,200
00007152	老年期の臨床心理学：その実際と問題行動へのアプローチ	井上勝也	川島書店	頒価不明
00007153	老年者の総合ヘルスケア	J・D・ロウマクス	医歯薬出版	¥2,900
00007154	老年者の総合ヘルスケア	J・D・ロウマクス	医歯薬出版	¥2,900
00007155	老年薬物療法の注意点	大友英一,加藤隆一	中外医学社	¥5,000
00007156	顎関節の徒手理学療法	カイ・バルトウ	ガイアブックス	¥5,500
00007157	口蓋裂患者の言語障害と治療	伊東節子	クインテッセンス出版	頒価不明
00007158	呼吸・嚥下・発声の制御	平野実	篠原出版	¥3,200
00007159	コメディカルのための外科学総論	長田博昭	医学出版社	¥3,900
00007160	耳鼻咽喉科・頭頸部外科ＭＯＯＫ4・コミュニケーション障害	野村恭也	金原出版	¥12,000
00007161	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第２版	鈴木淳一	医学書院	¥7,000
00007162	標準整形外科学　第１１版	中村利孝	医学書院	¥9,400
00007163	標準整形外科学　第１３版	中村利孝	医学書院	¥9,400
00007164	ベッドサイド基本手技アトラス　第２版	石川浩一	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥5,500
00007165	めまい・平衡障害の診断と治療：情報処理システムを中心に	水越鉄理/他編	現代医療社	¥10,000
00007166	めまい・平衡障害の診断と治療：情報処理システムを中心に	水越鉄理/他編	現代医療社	¥10,000
00007167	めまいと平衡障害	W. Stoll/他編	南江堂	¥6,500
00007168	平衡機能検査の実際　第2版	日本平衡神経科学会	南山堂	¥5,000
00007169	眼疾患　説明の仕方と解説	菅謙治	金芳堂	¥3,400
00007170	眼の病変　各科臨床医のために	稲富昭太	金芳堂	頒価不明
00007171	「いい病院」への挑戦：患者のためにできること	宗田理 宗田律	角川学芸出版 角川グループパブリッシング	¥1,300
00007172	Pocket Reference to hospital-acquired infection 病院感染	edited by G. A. J. Ayliffe, J. R. Babb	Science Press	頒価不明
00007173	POSを活用するすべての医療者のためのSOAP パーフェクト・トレーニング　pt. 2	岡村祐聡	診断と治療社	¥2,300
00007174	シナリオで理解する!手指衛生トレーニング2	佐々木浩美/他著	へるす出版	¥2,000
00007175	にぎやかなトラブルの雨音：医療現場の法律・患者応対の「灰色事例」解決法40幕 アカシア病院物語，Part3　2005	楡一郎	医学通信社	¥1,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007176	ホスピス　末期医療の思想と方法	斎藤武	医学書院	¥1,800
00007177	医科診療報酬点数表	舟木庸行	社会保険研究所	¥1,800
00007178	医療機関はトラブルがいっぱい ： 法律・接遇・患者クレームの解決事例42幕 アカシア病院物語, Part2　2005年改訂版	楡一郎	医学通信社	¥1,500
00007179	医療秘書医学シリーズ ・1 改訂　医療概論	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007180	医療秘書医学シリーズ ・2 改訂　基礎医学	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007181	医療秘書医学シリーズ ・3 改訂　臨床医学Ⅰ	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007182	医療秘書医学シリーズ ・4 改訂　臨床医学Ⅱ	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007183	医療秘書医学シリーズ ・5 改訂　臨床医学Ⅲ	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥1,600
00007184	医療秘書医学シリーズ ・6 改訂　検査・薬理	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007185	医療秘書医学シリーズ ・7 改訂　患者・看護論	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007186	医療秘書実務シリーズ ・1 改訂　医療秘書	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007187	医療秘書実務シリーズ ・1 改訂　医療秘書	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007188	医療秘書実務シリーズ ・2 改訂　病院管理	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007189	医療秘書実務シリーズ ・3 改訂　診療録管理－診療情報管理－	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007190	医療秘書実務シリーズ ・4 三訂　診療報酬請求事務・基礎編	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,000
00007191	医療秘書実務シリーズ ・6 改訂　医療関連法規	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007192	医療秘書実務シリーズ ・8 改訂　医学用語	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥1,600
00007193	医療秘書実務シリーズ ・9 診療情報	医療秘書教育全国協議会	建帛社	¥2,100
00007194	医療秘書実務士選書 改訂　医療事務総論	倉戸啓子・中川雅登	建帛社	¥2,300
00007195	医療秘書実務士選書 改訂　医療秘書実務	美馬信・東野國子	建帛社	¥2,300
00007196	院内トラブル・スケッチ40幕 ： 患者応対と法律グレイゾーン解決事例集 アカシア病院物語,Part1 2005年改訂版	楡一郎	医学通信社	¥1,500
00007197	集中治療マニュアル	奥秋晟/他編	医学書院	¥7,800
00007198	点数表の解釈乙表編 ： 社会保険・老人保健診療報酬 厚生省保険局医療課,厚生省老人保健福祉部老人保健課編	舟木庸行	社会保険研究所	¥4,300
00007199	点数表の解釈甲表編 ： 社会保険・老人保健診療報酬 厚生省保険局医療課,厚生省老人保健福祉部老人保健課編	舟木庸行	社会保険研究所	¥4,300
00007200	JJNスペシャル 看護師のためのWeb検索・文献検索入門	佐藤淑子　他	医学書院	¥2,200
00007201	新しい精神医学と看護　力動的理解と実践	西園 昌久／著	医学書院	¥2,000
00007202	家庭看護学	松下和子	医歯薬出版	¥2,233
00007203	がん化学療法と患者ケア　改訂第2版	福島雅典　他	医学芸術新社	¥2,800
00007204	看護学生必修シリーズ バイタルサインの見方・読み方	日野原　重明	照林社	¥1,800
00007205	看護職のための　社会福祉・社会保障	眞舩拓子　他	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,200
00007206	看護卒後研修セミナー　3 循環器系	石川恭三	へるす出版	¥5,900
00007207	看護卒後研修セミナー１　脳神経系	斎藤勇	へるす出版	¥5,800
00007208	看護に必要なリハビリテーションの知識と技術	石田肇	医学書院	¥3,800
00007209	患者ケアの臨床心理 人間発達学的アプローチ	岡堂哲雄	医学書院	¥2,200
00007210	患者ケアの臨床心理 人間発達学的アプローチ	岡堂哲雄	医学書院	¥2,200
00007211	系統看護学講座　専門15　成人看護学　12	丸尾敏夫	医学書院	頒価不明
00007212	系統看護学講座　専門16　成人看護学　12	丸尾敏夫	医学書院	頒価不明
00007213	高看基礎講座　生物学	宮治清一　他	メヂカル フレンド社	¥1,300
00007214	高齢者の転倒ケア-予測・予防と自立支援のすすめ方	鈴木みずえ　他	医学書院	¥2,000
00007215	神経内科看護	平山恵三	医学書院	¥2,200
00007216	新訂　看護英会話入門	植木武　他	医学書院	¥1,700
00007217	整形外科ケアの実際	池澤康郎	メヂカル フレンド社	¥2,500
00007218	成人看護学各論 骨・関節・筋系疾患と看護 標準看護学講座　20	加藤文雄	金原出版	¥1,300
00007219	ターミナルケアと今後の医療 ： いま医療が求められているものは何か	形浦昭克/他編	南山堂	¥3,800
00007220	ナーシング・グラフィカ16　看護学概論	川村佐和子	メディカ出版	¥2,400
00007221	ナーシング・グラフィカ17　ヘルスアセスメント	川村佐和子	メディカ出版	¥3,200
00007222	ナーシング・グラフィカ2　臨床生化学	三井和浩	メディカ出版	¥2,600
00007223	ナーシング・グラフィカ2　臨床生化学	三井和浩	メディカ出版	¥2,600
00007224	ナーシング・グラフィカ33　生活障害と看護の実践	出口禎子	メディカ出版	¥2,200
00007225	ナーシング・グラフィカ5　臨床微生物・医動物	矢野久子	メディカ出版	¥3,200
00007226	ナーシング・マニュアル　第10巻 骨・関節疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007227	ナーシング・マニュアル　第10巻 骨・関節疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007228	ナーシング・マニュアル　第12巻 精神障害・心身症看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007229	ナーシング・マニュアル　第13巻 看護過程マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007230	ナーシング・マニュアル　第14巻 基礎看護術マニュアル(Ｉ)	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007231	ナーシング・マニュアル　第17巻 循環ケアマニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007232	ナーシング・マニュアル　第18巻 術前・術中・術後ケアマニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007233	ナーシング・マニュアル　第19巻 救急ケアマニュアル	日野原重明	学習研究社	¥3,000
00007234	ナーシング・マニュアル　第1巻 がん看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007235	ナーシング・マニュアル　第21巻（別巻） 看護ケア評価マニュアル	前田マスヨ	学習研究社	頒価不明
00007236	ナーシング・マニュアル　第3巻 狭心症・心筋梗塞看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007237	ナーシング・マニュアル　第5巻 糖尿病・甲状腺疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007238	ナーシング・マニュアル　第6巻 消化器疾患看護マニュアル(Ｉ)-食道・胃・腸	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007239	ナーシング・マニュアル　第7巻 消化器疾患看護マニュアル(Ⅱ)-肝・胆・膵	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007240	ナーシング・マニュアル　第8巻 腎・泌尿器疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007241	ナーシング・マニュアル　第9巻 血液・造血器疾患看護マニュアル	日野原重明	学習研究社	頒価不明
00007242	ナースの外科学	磯野可一	中外医学社	¥6,700
00007243	ナースの外科学のためのコロナリー・ケア	高木誠　他	金芳堂	頒価不明
00007244	熱傷看護ハンドブック	塚田貞夫	メディカ出版	¥3,000
00007245	病院心理学 看護をめぐる対人関係	ＷＡＬＴＥＲ　Ｊ．ＳＣＨＲＡＭＬ	医学書院	¥2,000
00007246	プライマリ・ナーシング 新しい看護方式の展開	松木光子　他	医学書院	¥3,200
00007247	慢性疾患を生きる ケアとクォリティ・ライフの接点	南 裕子／監訳	医学書院	¥3,000
00007248	リハと看護の協働-22のコツ	谷川正浩　他	三輪書店	¥2,000
00007249	患者との接し方 : 看護活動とカウンセリング	渡辺三枝子/他編	へるす出版	頒価不明
00007250	看護教育学　第4版	杉森みど里，舟島なをみ	医学書院	¥4,800
00007251	在宅ケア : 基盤づくりと発展への方法論　増補	島内節・川村佐和子	文光堂	¥3,800
00007252	在宅看護論 : 実践をことばに　第5版	杉本正子，真船拓子	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00007253	在宅末期がん患者のケア	Patricia H.Kennedy〔著〕	医学書院	¥1,700
00007254	食事指導の看護へのいかしかた : 症状・疾患別	富野康日己/他編	医歯薬出版	¥4,175
00007255	保健婦活動講座6　難病・公害と保健婦活動	保健婦活動研究会	中央法規出版	¥1,800
00007256	呆け老人と家族を支える看護 : 地域での援助事例から	高崎絹子，野川とも江	日本看護協会出版会	¥2,300
00007257	慢性疾患の新しい理解とリハビリテーション看護	日野原重明	医学書院	¥3,200
00007258	老人ケアの社会学	木下康仁	医学書院	¥2,500
00007259	世界医療史	E.H. Ackerknecht／著	内田 老鶴圃	¥3,800
00007260	医学と社会のあゆみ : 医学・社会・哲学	P・ローズ	朝倉書店	¥2,800
00007261	図説医学史	マイヤー・シュタイネック，ズートホフ	朝倉書店	¥5,900
00007262	日本の医療史	酒井シヅ	東京書籍	¥9,800
00007263	2012年版　理学療法士・作業療法士国家試験 過去問題集	久美出版編集部	久美	¥1,200
00007264	PT/OT国家試験必修ポイント 2010 作業療法　障害別編Ｉ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007265	PT/OT国家試験必修ポイント 2015 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007266	PT/OT国家試験必修ポイント 2015 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007267	PT/OT国家試験必修ポイント 2016 専門基礎分野　基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007268	PT/OT国家試験必修ポイント 2016 専門基礎分野　基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007269	PT/OT国家試験必修ポイント　2017 障害別OT治療学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007270	PT・OT国家試験のための臨床医学のまとめ 第1版	理学療法科学学会	アイペック	¥1,800
00007271	PT・OT国家試験のための臨床医学のまとめ 第1版	理学療法科学学会	アイペック	¥1,800
00007272	PT・OT国試対策共通問題ワークブック　改訂第2版	三輪書店国試模試センター	三輪書店	¥3,000
00007273	PT・OT国試対策共通問題ワークブック　改訂第3版	三輪書店国試模試センター	三輪書店	¥3,600
00007274	PT・OT国試直前チェックノート　2010年版	宮城淳弘	医歯薬出版	¥2,600
00007275	PT・OT国試直前チェックノート　2011年版	宮城淳弘	医歯薬出版	¥2,600
00007276	PT・OT国試直前チェックノート　2011年版	宮城淳弘	医歯薬出版	¥2,600
00007277	イラスト理学療法ブラウン・ノート : 見て学ぶ理学療法の極意 : 1176のイラストで極める	柳澤健	メジカルビュー社	¥5,600
00007278	クエスチョン・バンク作業療法士国家試験問題解説 2011専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007279	クエスチョン・バンク作業療法士国家試験問題解説 2011専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007280	クエスチョン・バンク作業療法士国家試験問題解説 2012専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007281	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2010共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007282	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2011共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007283	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2012共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007284	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2012共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007285	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2012共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007286	クエスチョン・バンク理学療法士・作業療法士国家試験問題解説 2013共通問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007287	クエスチョン・バンク理学療法士国家試験問題解説 2010専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007288	クエスチョン・バンク理学療法士国家試験問題解説 2011専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007289	クエスチョン・バンク理学療法士国家試験問題解説 2013専門問題	医療情報科学研究所	メディックメディア	¥4,500
00007290	合格へのガイドライン　PT・OT共通科目	PT・OT教育ガイドライン基準委員会	アイペック	¥4,000
00007291	合格へのガイドライン　PT専門科目	PT・OT教育ガイドライン基準委員会	アイペック	¥4,000
00007292	国試内科学　3　改訂第2版	東田 俊彦／著	医学評論社	¥5,243
00007293	第21回―25回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	頒価不明
00007294	第21回―25回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	頒価不明
00007295	第21回―26回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,311
00007296	第21回―26回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,311
00007297	第21回―26回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,311
00007298	第24回―28回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,825
00007299	第26回―30回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,825
00007300	第27回―31回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,825
00007301	第28回―32回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007302	第29回―33回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007303	第29回―33回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007304	第29回―33回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007305	第30回―34回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007306	第31回―35回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007307	第31回―35回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007308	第31回―35回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007309	第32回―36回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007310	第32回―36回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007311	第32回―36回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007312	第33回―37回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,800
00007313	第38回―42回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007314	第39回―43回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007315	第39回―43回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,000
00007316	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007317	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007318	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007319	第40回―44回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007320	第41回―45回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007321	第42回―46回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007322	第42回―46回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007323	第43回―47回 理学療法士・作業療法士国家試験問題解答と解説 CD－ROM付	医歯薬出版	医歯薬出版	¥6,200
00007324	ひとりで学べる看護婦国家試験・問題と詳解　2009年版	看護学研究会	廣川書店	¥5,900
00007325	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2000年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007326	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2000年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007327	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2000年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007328	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007329	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007330	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007331	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2001年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007332	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007333	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007334	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007335	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2002年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007336	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2003年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007337	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2004年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007338	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2004年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007339	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2005年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007340	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2006年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007341	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2007年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007342	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2007年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007343	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2008年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007344	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2009年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007345	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2010年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007346	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2011年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007347	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2011年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007348	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2011年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007349	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2012年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007350	ひとりで学べる作業療法士国家試験問題と詳解　2013年版	作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007351	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2000年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007352	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2000年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007353	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007354	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007355	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007356	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007357	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007358	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2001年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007359	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2002年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007360	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2002年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007361	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2002年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007362	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2005年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007363	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2006年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007364	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2008年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007365	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2008年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007366	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2009年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007367	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007368	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007369	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007370	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2010年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007371	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2011年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007372	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2011年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007373	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2011年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007374	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2012年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007375	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2012年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007376	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2013年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007377	ひとりで学べる理学・作業療法士国家試験共通問題と詳解　2013年版	理学・作業療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007378	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2001年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007379	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2001年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007380	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2002年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007381	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2003年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007382	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2003年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007383	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2004年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007384	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2005年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007385	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2008年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007386	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2009年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007387	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007388	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007389	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007390	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2010年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007391	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2011年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007392	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2012年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007393	ひとりで学べる理学療法士国家試験問題と詳解　2013年版	理学療法学研究会	廣川書店	¥4,500
00007394	平成22年版　理学療法士・作業療法士 国家試験出題基準	全国理学療法士・作業療法士学校連絡協議会	メジカルビュー社	¥2,500
00007395	ポケットマスター ： PT/OT国家試験必修ポイント　臨床医学　2015	医歯薬出版	医歯薬出版	¥1,800
00007396	ポケットマスター ： PT/OT国家試験必修ポイント　臨床医学　2016	医歯薬出版	医歯薬出版	¥1,800
00007397	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎OT学　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007398	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎OT学　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007399	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎PT学　　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,700
00007400	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,600
00007401	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法　障害別編Ⅰ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007402	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　基礎編　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007403	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　障害別編Ⅰ　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007404	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　障害別編Ⅰ　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007405	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 作業療法専門分野　障害別編Ⅱ　第3版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007406	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　OT治療学Ⅰ　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007407	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　OT治療学Ⅰ　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007408	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　OT治療学Ⅱ（精神障害領域）第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007409	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　PT治療学　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,700
00007410	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別　PT治療学　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,700
00007411	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 障害別OT治療学Ⅱ（精神障害領域）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥5,000
00007412	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　基礎医学　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007413	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　基礎医学　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,000
00007414	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　　第6版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007415	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007416	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007417	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 専門基礎分野　臨床医学　第5版	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007418	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007419	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法　疾患別編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007420	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法基礎分野　疾患別編　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,500
00007421	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 理学療法専門分野　基礎編　第4版（付録付）	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,500
00007422	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2010 作業療法　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007423	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2010 作業療法　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007424	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007425	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007426	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅰ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007427	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅰ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007428	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007429	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 作業療法分野　障害別編Ⅱ	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,800
00007430	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,000
00007431	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007432	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007433	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 専門基礎分野　臨床医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,200
00007434	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 理学療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007435	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 理学療法専門分野　基礎編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007436	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2011 理学療法専門分野　疾患別編	医歯薬出版	医歯薬出版	¥4,400
00007437	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2001　第6版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007438	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2002　第7版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007439	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2002　第7版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007440	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第4版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007441	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第4版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007442	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第8版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007443	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2003　第8版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007444	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2004　第9版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007445	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2009　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007446	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2010　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007447	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2010　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007448	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2011　第16版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007449	国試の達人 ： 運動解剖生理学編　2012　第17版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007450	国試の達人 : 運動解剖生理学編　2012　第17版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007451	国試の達人 : 運動解剖生理学編　2013　第18版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007452	国試の達人 : 運動解剖生理学編　2014　第19版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007453	国試の達人 : 運動解剖生理学編　2014　第19版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007454	国試の達人 : 運動解剖生理学編　2014　第19版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007455	国試の達人 : 運動解剖生理学編　2015　第20版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007456	国試の達人 : 作業療法編　2003　第1版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007457	国試の達人 : 作業療法編　2004　第2版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007458	国試の達人 : 作業療法編　2005　第3版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007459	国試の達人 : 作業療法編　2006　第4版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007460	国試の達人 : 作業療法編　2006　第4版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007461	国試の達人 : 作業療法編　2007　第5版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007462	国試の達人 : 作業療法編　2007　第5版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007463	国試の達人 : 作業療法編　2009　第7版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007464	国試の達人 : 作業療法編　2010　第8版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007465	国試の達人 : 作業療法編　2010　第8版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007466	国試の達人 : 作業療法編　2011　第9版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007467	国試の達人 : 作業療法編　2011　第9版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007468	国試の達人 : 作業療法編　2012　改訂第1版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007469	国試の達人 : 作業療法編　2013　改訂第2版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007470	国試の達人 : 作業療法編　2014　改訂第3版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007471	国試の達人 : 作業療法編　2014　改訂第3版	作業療法科学研究会	アイペック	頒価不明
00007472	国試の達人 : 理学療法編　2002　第2版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007473	国試の達人 : 理学療法編　2003　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007474	国試の達人 : 理学療法編　2010　第10版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007475	国試の達人 : 理学療法編　2011　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007476	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007477	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007478	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007479	国試の達人 : 理学療法編　2012　第12版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007480	国試の達人 : 理学療法編　2014　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007481	国試の達人 : 理学療法編　2014　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007482	国試の達人 : 臨床医学編　2001　第2版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007483	国試の達人 : 臨床医学編　2001　第2版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007484	国試の達人 : 臨床医学編　2002　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007485	国試の達人 : 臨床医学編　2002　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007486	国試の達人 : 臨床医学編　2002　第3版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007487	国試の達人 : 臨床医学編　2004　第5版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007488	国試の達人 : 臨床医学編　2005　第6版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007489	国試の達人 : 臨床医学編　2009　第10版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007490	国試の達人 : 臨床医学編　2009　第10版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007491	国試の達人 : 臨床医学編　2010　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007492	国試の達人 : 臨床医学編　2010　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007493	国試の達人 : 臨床医学編　2010　第11版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007494	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007495	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007496	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007497	国試の達人 : 臨床医学編　2012　第13版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007498	国試の達人 : 臨床医学編　2013　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007499	国試の達人 : 臨床医学編　2013　第14版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007500	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007501	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007502	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007503	国試の達人 : 臨床医学編　2014　第15版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007504	国試の達人 : 臨床医学編　2016　第17版	理学療法科学学会	アイペック	頒価不明
00007505	作業療法士イエロー・ノート : 専門編	鷲田孝保	メジカルビュー社	¥5,600
00007506	作業療法士グリーン・ノート : 専門編	長崎重信	メジカルビュー社	¥4,900
00007507	理学療法士・作業療法士グリーン・ノート : 基礎編	柳澤健	メジカルビュー社	¥4,500
00007508	理学療法士・作業療法士ブルー・ノート : 基礎編	柳澤健	メジカルビュー社	¥5,600
00007509	理学療法士・作業療法士国家試験合格のためのX(2)タイプ問題徹底トレーニング　作業療法問題	医歯薬出版	医歯薬出版	¥2,200
00007510	理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 基礎医学	医歯薬出版	医歯薬出版	¥3,800
00007511	理学療法士グリーン・ノート : 専門編	柳澤健	メジカルビュー社	¥4,500
00007512	A colour atlas of human anatomy	R.M.H. McMinn, R.T. Hutchings	Wolfe Medical	頒価不明
00007513	A colour atlas of muscle disorders in childhood	Victor Dubowitz	Wolfe Medical	頒価不明
00007514	A functional approach to group work in occupational therapy	Margot C. Howe, Sharan L. Schwartzberg	Lippincott	頒価不明
00007515	Amputation surgery and lower limb prosthetics	G. Murdoch	Blackwell Scientific	頒価不明
00007516	Anatomy : a regional atlas of the human body	Carmine D. Clemente	Urban & Schwarzenberg	頒価不明
00007517	Anatomy : a regional atlas of the human body	Carmine D. Clemente	Lippincott Williams & Wilkins	頒価不明
00007518	Athletic ability & the anatomy of motion	Rolf Wirhed	Wolfe Medical	頒価不明
00007519	Athletic training and sports medicine	American Academy of Orthopaedic Surgeons	American Academy of Orthopaedic Surgeons	頒価不明
00007520	Atlas of spinal diseases	Peter G. Bullough, Oheneba Boachie-Adjei	Lippincott	頒価不明
00007521	Biomechanics IX A	David A. Winter/他編	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007522	Biomechanics of sport	Christopher L. Vaughan	CRC Press	頒価不明
00007523	Biomechanics VIII : proceedings of the Eighth International Congress of Biomechanics, Nagoya, Japan v. A	Hideji Matsui, Kando Kobayashi	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007524	Biomechanics X v. 6A	Bengt Jonsson	Human Kinetics Pub	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　名	著者名	出版社	定価
00007525	Biomechanics X v. 6B	Bengt Jonsson	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007526	Biomechanics XI A	Gert de Groot/他編	Free University Press	頒価不明
00007527	Campbell's operative orthopaedics v. 1 8th ed	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007528	Campbell's operative orthopaedics v. 2	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007529	Campbell's operative orthopaedics v. 3	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007530	Campbell's operative orthopaedics v. 4	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007531	Campbell's operative orthopaedics v. 5	A.H. Crenshaw	Mosby-Year Book	頒価不明
00007532	Clinical examination of the injured knee	Mervyn J. Cross, Kenneth J. Crichton	Gower Medical Publishing	頒価不明
00007533	Clinical psychiatry	Harold I. Kaplan, Benjamin J. Sadock	Williams & Wilkins	頒価不明
00007534	Color atlas of anatomy : a photographic study of the human body	Johannes W. Rohen, Chihiro Yokochi	医学書院	頒価不明
00007535	Complications in orthopaedic surgery 1	Charles H. Epps, Jr	Lippincott	頒価不明
00007536	Complications in orthopaedic surgery 2	Charles H. Epps, Jr	Lippincott	頒価不明
00007537	Comprehensive management of the upper-limb amputee	D.J. Atkins, R.H. Meier III	Springer-Verlag	頒価不明
00007538	Computed tomography of the musculoskeletal system	William W. Scott/他編	Churchill Livingstone	頒価不明
00007539	Current Topics In Burn Care	Thomas L. Wachtel/他編	An aspen Publication	頒価不明
00007540	Disorders of the hip	David M. Gruebel Lee	Lippincott	頒価不明
00007541	Disorders of voluntary muscle	John Walton/他編	Churchill Livingstone	頒価不明
00007542	East Asia : the great tradition	Edwin O. Reischauer	Rainbow-Bridge Book	頒価不明
00007543	East Asia : the great tradition	Edwin O. Reischauer	Rainbow-Bridge Book	頒価不明
00007544	Essentials of pathophysiology : concepts and applications for health care professionals	Thomas J. Nowak, A. Gordon Handford	Wm. C. Brown	頒価不明
00007545	Exercise and sport sciences reviews16	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007546	Exercise and sport sciences reviews17	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007547	Exercise and sport sciences reviews18	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007548	Exercise and sport sciences reviews19	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007549	Exercise and sport sciences reviews20	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007550	Exercise and sport sciences reviews21	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007551	Exercise and sport sciences reviews22	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007552	Exercise and sport sciences reviews23	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007553	Exercise and sport sciences reviews24	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007554	Exercise and sport sciences reviews25	Jack H. Wilmore	Academic Press	頒価不明
00007555	Exercise physiology : energy, nutrition, and human performance	William D. McArdle/他編	Lea & Febiger	頒価不明
00007556	Fitzpatrick's dermatology in general medicine v. 1	Irwin M. Freedberg/他編	McGraw-Hill	頒価不明
00007557	Fitzpatrick's dermatology in general medicine v. 2	Irwin M. Freedberg/他編	McGraw-Hill	頒価不明
00007558	Foot function : a programmed text	Michael O. Seibel	Williams & Wilkins	頒価不明
00007559	Functional restoration for spinal disorders : the sports medicine approach	Tom G. Mayer, Robert J. Gatchel	Lea & Febiger	頒価不明
00007560	Grant's atlas of anatomy	Anne M.R. Agur	Williams & Wilkins	頒価不明
00007561	Harrison's principles of internal medicine	Eugene Braunwald/他編	McGraw-Hill	頒価不明
00007562	IL CORPO LA STORIA LA VITA	Carlo Perfetti/他編	Vila Miari	頒価不明
00007563	Intensive and rehabilitative respiratory care : a practical approach to the management of acute and chronic respiratory failure	Thomas L. Petty	Lea & Febiger	頒価不明
00007564	International series on biomechanics v. 5B Biomechanics IX	David A. Winter/他編	Human Kinetics Pub	頒価不明
00007565	Kaplan's Functional and surgical anatomy of the hand ; with 10 contributorts	Morton Spinner	Lippincott	頒価不明
00007566	Kinesiology and applied anatomy	Philip J. Rasch	Lea & Febiger	頒価不明
00007567	Low back pain : assessment and management	Dan M. Spengler	Grune & Stratton	頒価不明
00007568	Managing low back pain	William H. Kirkaldy-Willis	Churchill Livingstone	頒価不明
00007569	Manual examination and treatment of the spine and extremities	Carolyn T. Wadsworth	Williams & Wilkins	頒価不明
00007570	Manual of clinical microbiology	Patrick R. Murray	ASM Press	頒価不明
00007571	Microsurgical technique in orthopaedics	Robert W.H. Pho	Butterworths	頒価不明
00007572	Molecular genetics in diseases of brain, nerve, and muscle	Lewis P. Rowland/他編	Oxford University Press	頒価不明
00007573	Muscle injury and rehabilitation	William E. Garrett/他編	Williams & Wilkins	頒価不明
00007574	Muscles alive : their functions revealed by electromyography	John V. Basmajian, Carlo J. De Luca	Williams & Wilkins	頒価不明
00007575	Muscles, testing and function : with Posture and pain	Florence Peterson Kendall/他編	Williams & Wilkins	頒価不明
00007576	Nelson textbook of pediatrics 16th ed	Richard E. Behrman/他編	W.B. Saunders	頒価不明
00007577	Neurological examination in clinical practice	Edwin Robert Bickerstaff,John A. Spillane	Blackwell Scientific	頒価不明
00007578	Occupational therapy for physical dysfunction	Catherine A. Trombly	Williams & Wilkins	頒価不明
00007579	Orthopedic physical assessment	David J. Magee	Saunders	頒価不明
00007580	Oxford textbook of medicine v. 1	D.J. Weatherall/他編	Oxford University Press	頒価不明
00007581	Oxford textbook of medicine v. 2	D.J. Weatherall/他編	Oxford University Press	頒価不明
00007582	Oxford textbook of medicine v.3	D.J. Weatherall/他編	Oxford University Press	頒価不明

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　名	著者名	出版社	定価
00007583	Photographic atlas of the human body	Branislav Vidić, Faustino R. Suarez	C.V. Mosby	頒価不明
00007584	Physical therapy of the shoulder 2nd ed	Robert A. Donatelli	Churchill Livingstone	頒価不明
00007585	Planning and reduction technique in fracture surgery	J. Mast, R. Jakob, R. Ganz	Springer-Verlag	頒価不明
00007586	Plastic surgery in the sexually handicapped	W. Eicher	Springer-Verlag	頒価不明
00007587	Psychiatric interviewing : the art of understanding	Shawn C. Shea	Saunders	頒価不明
00007588	Rehabilitation management of rheumatic conditions	George E. Ehrlich	Williams & Wilkins	頒価不明
00007589	Rehabilitation medicine	Joseph Goodgold	Mosby	頒価不明
00007590	Rehabilitation of the hand : surgery and therapy	James M. Hunter/他編	Mosby	頒価不明
00007591	Rehabilitation of the injured knee	Letha Y. Hunter, F. James Funk, Jr	Mosby	頒価不明
00007592	Rheumatoid arthritis : an illustrated guide to pathology, diagnosis, and management	H. Ralph Schumacher, Eric P. Gall	Gower Medical Publishing	頒価不明
00007593	Right hemisphere contributions to lexical semantics	Christine Chiarello	Springer-Verlag	頒価不明
00007594	Skeletal development of the wrist and hand in Macaca mulatta and man : a roentgenographic atlas	Maria Michejda	Karger	頒価不明
00007595	Soft tissue rheumatic pain : recognition, management, prevention	Robert P. Sheon/他編	Lea & Febiger	頒価不明
00007596	Spinal cord dysfunction Assessment	L.S. Illis	Oxford University Press	頒価不明
00007597	Sports medicine	Richard H. Strauss	W.B. Saunders	頒価不明
00007598	Sports medicine : a practical guide	Nathan J. Smith, Carl L. Stanitski	Saunders	頒価不明
00007599	Sports medicine of the lower extremity	Steven I. Subotnick	Churchill Livingstone	頒価不明
00007600	Study guide to accompany Occupational therapy for physical dysfunction, third edition	Mary Ann Bush	Williams & Wilkins	頒価不明
00007601	Surgery of the foot and ankle	Kenneth A. Johnson	Raven Press	頒価不明
00007602	Surgical management of cerebrovascular disease	Robert G. Ojemann/他編	Williams & Wilkins	頒価不明
00007603	Surgical management of the burn wound	David M. Heimbach/他編	Raven	頒価不明
00007604	Textbook of dermatology volume1 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007605	Textbook of dermatology volume2 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007606	Textbook of dermatology volume3 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007607	Textbook of dermatology volume4 sixth edition	Rook, Wilkinson, Ebling	Blackwell Scientific	頒価不明
00007608	Textbook of medical physiology	Arthur C. Guyton	Saunders	頒価不明
00007609	Textbook of medicine	Russell Cecil	Saunders	頒価不明
00007610	The hand : diagnosis and indications	Graham Lister	Churchill Livingstone	頒価不明
00007611	The hand : from the seventh edition of Campbell's Operative orthopaedics, edited by A.H. Crenshaw	Lee Milford	C.V. Mosby	頒価不明
00007612	The hand book	Stephan Ariyan	Williams & Wilkins	頒価不明
00007613	The human central nervous system : a synopsis and atlas	R. Nieuwenhuys/他編	Springer-Verlag	頒価不明
00007614	The kinesiology workbook	Jan F. Perry/他編	F.A. Davis	頒価不明
00007615	The Olympic book of sports medicine v. 1	A. Dirix, H.G. Knuttgen & K. Tittel	Blackwell Scientific	頒価不明
00007616	The shoulder : surgical and nonsurgical management	Melvin Post	Lea & Febiger	頒価不明
00007617	The wrist	Julio Taleisnik	Churchill Livingstone	頒価不明
00007618	The Wrist	J.P. Razemon,G.R. Fisk	Churchill Livingstone	頒価不明
00007619	The wrist and its disorders	David M. Lichtman	Saunders	頒価不明
00007620	Therapeutic exercise	John V. Basmajian, Steven L. Wolf	Williams & Wilkins	頒価不明
00007621	Upper cervical syndrome : chiropractic diagnosis and treatment	Howard Vernon	Williams & Wilkins	頒価不明
00007622	脳を繙く―歴史でみる認知神経科学（神経心理学コレクション） 脳を繙く―歴史でみる認知神経科学（神経心理学コレクション）	M. R. Bennett,河村満	医学書院	¥4,800
00007623	脳卒中機能評価・予後予測マニュアル	道免 和久	医学書院	¥4,500
00007624	脳卒中機能評価・予後予測マニュアル	道免 和久	医学書院	¥4,500
00007625	視覚障害心理学	佐藤 泰正	学芸図書	¥2,500
00007626	認知症の「みかた」（神経心理学コレクション）	三村 將，山鳥 重，河村 満	医学書院	¥3,000
00007627	脳卒中の摂食・嚥下障害第2版	藤島 一郎	医歯薬出版	
00007628	難聴・言語障害児童・生徒の学校教育―通級による指導援助の実際	村上 宗一	協同医書出版社	¥5,200
00007629	（新版）社会言語学の方法	ブリギッテ・シェリーベン＝ランゲ	三元社	¥3,000
00007630	*何のための知識シリーズ1 耳は何のためにあるか	山田 宗睦 著	風人社	¥2,300
00007631	[DVD付] 失行（神経心理学コレクション）	河村 満	医学書院	¥5,000
00007632	《赤ちゃんのきこえの検査》 「リファー（要再検査）」となったお子さんのお母さんと家族の方へ	全国早期支援研究協議会/編	全国早期支援研究協議会	¥300
00007633	「お子さんの耳がきこえない」と言われたら	河崎佳子 他	全国早期支援研究協議会	¥700
00007634	「思い込み」を変える自己トレーニング	リタ・スペンサー，アンジェラ・ロスマニス／著	東京図書	¥1,800
00007635	「特別支援教育におけるコミュニケーション支援」 ＡＡＣか情報教育まで	「特別支援教育におけるコミュニケーション支援」編集委員会／編著	ジアース教育新社	¥1,714
00007636	「認知的複雑性」と「社会的知覚システムの進展」	坂元章	風間書房	¥12,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007637	「寝たきり老人」のいる国いない国	大熊由紀子	ぶどう社	¥1,456
00007638	「の（だ）」の機能	野田春美	くろしお出版	¥3,800
00007639	「ノーマリゼーションの父」N.E. バンクーミケルセン	花村春樹	ミネルヴァ書房	¥2,000
00007640	「話せない」と言えるまで 言語聴覚士を襲った高次脳機能障害	関 啓子／著	医学書院	¥2,500
00007641	＜図解＞学習の基礎をつくる100の遊び―重度,中・軽度障害児のために	川村秀忠	学習研究社	¥1,500
00007642	〈入門コース・ことばの発達と障害〉 ③ことばの障害の評価と指導	大石　敬子/編	大修館書店	¥2,400
00007643	●シリーズ・これからの幼児教育　14● 言葉のバイエル教室 ～言葉の獲得・知的発達を援助するトレーニング～	五十野惇	明治図書出版 株式会社	¥1,806
00007644	0歳から3歳　保育・子育てと発達研究をむすぶ 〈乳児編〉	神田英雄	草土文化	¥1,000
00007645	0歳児がことばを獲得するとき	正高信男	中央新書	¥660
00007646	2000年度入試対策用　国際医療福祉大学入試問題集	大学通信	大学通信	¥1,238
00007647	2006年4月版　診療点数早見表　医科		医学通信社	¥4,500
00007648	2007社会福祉士国家試験過去問一問一答＋α 〈共通科目編〉	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規出版	¥3,000
00007649	21世紀耳鼻咽喉科領域の臨床6　聴覚	野村恭也，小松崎篤， 本庄巖	中山書店	¥31,000
00007650	2歳からはじめる自閉症児の言語訓練 ーあなたが育てる自閉症のことばー	藤原 加奈江／著	診断と治療社	¥1,900
00007651	ABR　ハンドブック	加我君孝	金原出版株式会社	¥8,600
00007652	ADHDのすべて	ラッセル・A・バークレー	株式会社ヴォイス	¥2,800
00007653	BRAIN NURSING　第12巻　春季増刊	柏木敏宏	メディカ出版	¥4,200
00007654	ＣＡＲＳ小児自閉症評定尺度　評定シール付	Ｅ.ショプラー， Ｒ.Ｊ・ライクラー／著	岩崎学術出版	¥3,500
00007655	CLIENT 21―21世紀耳鼻咽喉科領域の臨床― 11.言語聴覚リハビリテーション	野村恭也・ 小松崎篤/他編	中山書店	¥31,000
00007656	ClinicalNursing Guide10 眼科・耳鼻咽喉科・口腔外科	西田 祥藏／他編	メディカ出版	¥4,660
00007657	Cognitive Science&Information Processing=1 認知科学入門ー「知」の構造へのアプローチー	戸田正直・阿部純一・ 桃内佳雄　他	サイエンス社	¥2,816
00007658	Cognitive Science&Information Processing=9 顔の認知と情報処理	V. ブルース	サイエンス社	¥2,400
00007659	Cognitive Science&Information Processing=ex.1 認知科学のフロンティア　Ⅰ	箱田裕司	サイエンス社	¥2,500
00007660	Developing through Relationships	Alan Fogel／著	Chicgo press	頒価不明
00007661	DFDLによる痴呆性老人生活対応マニュアル　施設編	痴呆性老人ケア研究会・ 特別養護老人ホームサンビレッジ新生苑	中央法規	¥2,500
00007662	DSM-Ⅲ-R　小児精神障害の診断	訳　高橋三郎・花田耕一	医学書院	¥4,800
00007663	DSM-Ⅳ精神疾患の分類と診断の手引	訳　高橋三郎・大野裕・ 染矢俊幸	医学書院	¥3,800
00007664	DSM-IV-TR精神疾患の分類と診断の手引	高橋三郎・大野　裕	医学書院	¥3,800
00007665	Duchenne型筋ジストロフィーの認知特性	小野純平	多賀出版	¥8,000
00007666	ENT Now Treatment and Surgery 耳鼻咽喉科・頭頸部外科―処置・手術シリーズ　3　音声・嚥下障害	佃守・森山寛/他編	メジカルビュー社	¥8,500
00007667	Face to Face 英語で話せるリハビリテーション	佐藤　デール　アン	三輪書店	¥2,039
00007668	HAZOP 誤嚥・嚥下障害のリスクマネジメント Hazard and Operability study法による 評価と対策	山脇正永・野村徹	医歯薬出版	¥4,000
00007669	ICD-10　精神および行動の障害 DCR研究用診断基準	中根 允文／共訳	医学書院	¥4,500
00007670	ICD-10　精神および行動の障害 DCR研究用診断基準	中根 允文／共訳	医学書院	¥4,500
00007671	ICD-10　精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン	融　道男／他監訳	医学書院	¥4,800
00007672	ICD-10「精神・行動の障害」マニュアル-用語集・対照表付-	中根允文・岡崎祐士	医学書院	¥3,200
00007673	ICF　国際機能分類 ―国際障害分類改訂版―	障害者福祉研究会	中央法規出版	¥3,500
00007674	ICF 国際生活機能分類　-国際障害分類改訂版-	障害者福祉研究会　編	中央法規出版	¥3,500
00007675	ITPAによる　学習能力障害の診断と治療	S.A.カーク　W.D.カーク	日本文化科学社	¥4,000
00007676	ITPAの理論とその活用	旭出学園教育研究所	日本文化科学社	¥3,600
00007677	ITPAの理論とその活用	旭出学園教育研究所	日本文化科学社	¥3,600
00007678	JJNブックス　絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00007679	JJNブックス　絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00007680	JJNブックス　絵で見る脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場元毅	医学書院	¥2,400
00007681	ＬＤ・ＡＤＨＡへのソーシャルスキルトレーニング	小貫 悟・名越 斉子／他著	日本文化科学社	¥3,000
00007682	ＬＤ教育選書１　ＬＤとは ー症状・原因・診断理解のためにー	上野 一彦／ほか編	学研	¥2,500
00007683	LDの教育と医学 ー学習課題と教育方法（LD教育選書・2）	上野 一彦 北脇 三知也 緒方 明子/他編	株式会社 学習研究社	¥2,500
00007684	ＬＤ判断のための調査票　手引き	上野 一彦・篁 倫子・ 海津 亜希子／著	日本文化科学社	頒価不明
00007685	ＬＤ教育選書3　ＬＤの領域別指導事例集 ー集団参加から教科指導までー	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,500
00007686	Logemann　摂食・嚥下障害	JeriA.Logemann	医歯薬出版 株式会社	¥4,800
00007687	Logemann摂食・嚥下障害	道 健一／監修	医歯薬出版 株式会社	¥4,800
00007688	ＭＦＴ入門-初歩から学ぶ口腔金機能療法	山口秀晴	若葉出版	¥5,700
00007689	ＭＲＩとＣＴ診断Ⅳ 頭頚部・骨・軟部組織・脊椎・椎間板・膀胱・前立腺・女性骨盤	木村修治	金芳堂	¥6,019
00007690	ＭＲＩ脳部位診断	平山恵造	医学書院	¥24,000
00007691	Ｎｅｗ精神医学	上島 国利・丹羽 真一／編	南江堂	¥6,500
00007692	NHKサイエンススペシャル　驚異の小宇宙・人体Ⅱ　脳と心6 果てしなき脳宇宙（無意識と創造性）	NHK取材班	日本放送出版協会	¥3,107
00007693	NHKブックス482　脳からみた心	山鳥　重	三秀舎	¥970
00007694	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ解剖学ノート　第2版	中島　雅美　編	医歯薬出版	¥3,800
00007695	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ生理学ノート	中島　雅美　編	医歯薬出版	¥3,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007696	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ生理学ノート	中島　雅美　編	医歯薬出版	¥3,800
00007697	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ内科学ノート	中島　雅美 松本　貴子　編	医歯薬出版	¥3,800
00007698	ＰＴ・ＯＴ　基礎から学ぶ病理学ノート	中島　雅美/野口　敦　編	医歯薬出版	¥3,000
00007699	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説	椿原 彰夫／編著	診断と治療社	¥3,600
00007700	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説　　改訂第２版	椿原 彰夫／編著	診断と治療社	¥3,600
00007701	ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説　　改訂第２版	椿原 彰夫／編著	診断と治療社	¥3,600
00007702	PT・OT・ST・ナースを目指す人のためのリハビリテーション総論 要点整理と用語解説	椿原彰夫	診断と治療社	¥3,600
00007703	PT・OT基礎から学ぶ　精神医学ノート	中島雅美・松本貴子　編	医歯薬出版	¥3,200
00007704	ＰＴ・ＯＴ基礎から学ぶ解剖学ノート　　第２版	中島 雅美／編	医歯薬出版	¥3,800
00007705	ＰＴ・ＯＴ必修シリーズ　消っして忘れない生理学要点整理ノート	佐々木　誠一　編集	羊土社	¥3,600
00007706	Ｑ＆Ａ　障害者の欠陥条項 ―撤廃と社会参加拡大のために―	臼井 久実子／編著	明石書店	¥1,300
00007707	Ｑ＆Ａでひも解く高次脳機能障害	廣實 真弓・平林 直次 ／編著	医歯薬出版	¥3,400
00007708	ＳＢＣ大学講義シリーズ31 医事福祉法講義	前田 和彦／著	信山社	¥4,000
00007709	S-HTP法　統合型HTP法の臨床的・発達的アプローチ	三上直子	誠信書房	¥3,500
00007710	STEP series 耳鼻咽喉科 第2版	渡辺健介	海馬書房	¥4,100
00007711	Ｓｔｅｐｂｙ Ｓｔｅｐ　遅れている子どもを育てる　　ことば	山下 勲・江藤 モモヨ／著	日本文化科学社	¥2,200
00007712	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本 修・小池 美奈子・ 遠藤 裕子／他著	インテルナ出版	¥3,500
00007713	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本 修・小池 美奈子・ 遠藤 裕子／他著	インテルナ出版	¥3,500
00007714	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本修、小池三奈子、 遠藤裕子、生井友紀子	インテルナ出版	¥3,500
00007715	ＳＴのための音声障害診療マニュアル	城本修、小池三奈子、 遠藤裕子、生井友紀子	インテルナ出版	¥3,500
00007716	Super Hospital　小児科	村瀬澄夫	中山書店	¥3,200
00007717	TEXT　整形外科学	糸満盛憲・早乙女紘一・守 屋秀繁	南山堂	¥8,000
00007718	ＴＥＸＴ形成外科学	藤野豊美	南山堂	¥8,800
00007719	ＴＥＸＴ形成外科学	藤野豊美	南山堂	¥8,800
00007720	TEXT小児科学	柳澤正義・阿部敏明・他	南江堂	¥10,000
00007721	WISC-Ⅳの臨床的利用と解釈	A・プリフィテラ+D・H・ サクロフスキー/他編	日本文化科学社	単価不明
00007722	WISC-IVの臨床的利用と解釈	アウレリオ･プリフィテラ ドナルド･H･サクロフスキー ローレンス・Ｇ・ワイス	株式会社 日本文化科学社	頒価
00007723	アートマンプロジェクト 精神発達のトランスパーソナル理論	ケン・ウィルバー／著	春秋社	¥2,800
00007724	アイデンティティ発達の心理学	岡本　裕子	ナカニシヤ出版	¥3,000
00007725	愛と反抗の群像	水島恵一	大日本図書	¥2,900
00007726	愛は脳を活性化させる	松本　元	岩波書店	¥1,000
00007727	愛他行動における認知機能の役割 ―その情況要因と個人内要因の検討―	川島一夫	風間書房	¥9,500
00007728	赤ちゃんの認識世界	正高信男	ミネルヴァ書房	¥2,857
00007729	赤ちゃんは知っている　認知学のフロンティア	ジャック・メレール、他	藤原書店	¥3,800
00007730	アクチュアル　脳・神経疾患の臨床　認知症 神経心理学的アプローチ	辻　省次/編	中山書店	¥10,000
00007731	アクティブストレッチング	鈴木　重行　編集	三輪書店	¥4,500
00007732	顎と顔の痛み -顎関節症を理解していただくために-	Ｊｏｓｅｐｈ　Ａ.Ｇｉｂｂｉｌｉｓｃｏ	クインテッセンス出版	¥3,786
00007733	旭式発話メカニズム検査	西尾 正輝／著	インテルナ出版	¥5,728
00007734	アスペルガー症候群と非言語性学習障害 -子どもたちとその親のために-	キャスリン・スチュワート ／著	明石書店	¥2,200
00007735	アセスメントと指導 解釈の進め方と指導の実際	前川 久男・石隅 利紀 ／他編著	丸善メイツ	¥2,893
00007736	遊びという謎 シリーズ 発達と障害を探る 第2巻	麻生武 綿巻徹	株式会社 ミネルヴァ書房	¥2,600
00007737	遊びの発達心理学	山崎　愛世・ 心理科学研究会	萌文社	¥2,500
00007738	遊び論研究	山田 敏／著	風間書房	¥27,000
00007739	頭蓋下顎障害（ＣＭＤ）の理学療法	ＴｏｒｅＬ. Ｈａｎｓｓｏｎ	クインテッセンス出版	¥4,854
00007740	新しいＳＣＤの臨床 脊髄小脳変性症の臨床	阿部 康二／編著	新興医学出版社	¥4,800
00007741	新しい時代の口の科学	松本俊文	医歯薬出版	¥2,000
00007742	新しい失語症療法Ｅ-ＣＡＴ	中島健一	中央法規出版	¥2,575
00007743	新しい失語症療法Ｅ－ＣＡＴ	中島 健一／著	中央法規出版	¥2,500
00007744	新しい失語症療法Ｅ－ＣＡＴ	中島 健一／著	中央法規出版	¥2,500
00007745	新しい自分をクリエイトする　感性トレーニング	MAN研究会	創拓社	¥1,165
00007746	新しい聴覚障害者像を求めて	「新しい聴覚障害者像を求 めて」編集員会／編	財団法人全日本ろう あ連盟出版局	¥3,884
00007747	アドバンスシリーズ　コミュニケーション障害の臨床6 口蓋裂・構音障害	日本聴能言語士協会講習会 実行委員会／編	協同医書出版社	¥3,800
00007748	アドバンスシリーズ　コミュニケーション障害の臨床7 聴覚障害	福田登美子、高須賀直人、 斎藤佐知子他	協同医書出版社	¥4,000
00007749	アドバンスシリーズ/コミュニケーション障害の臨床　2 吃音	日本聴能言語士協会講習会 実行委員会	協同医書出版社	¥3,000
00007750	アドバンスシリーズ/コミュニケーション障害の臨床　3 脳性麻痺	日本聴能言語士協会講習会 実行委員会	協同医書出版社	¥3,500
00007751	アドバンスシリーズ/コミュニケーション障害の臨床 4 運動性構音障害	日本聴能言語士協会講習会 実行委員会/編	協同医書出版社	¥3,200
00007752	アドラー心理学への招待	アレックス・L・チュウ	株式会社金子書房	¥1,800
00007753	あなたの声が聴きたい	藤田保　他	文理閣	¥1,900

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00007754	あなたの知らない「家族」 遺された者の口からこぼれ落ちる13の物語	柳原 清子／著	医学書院	¥2,000
00007755	あなたの老後の運命は	大熊一夫	ぶどう社	¥1,650
00007756	アフォーダンスの心理学　―生体心理学への道―	エドワード・Ｓ・リード／著	新曜社	¥4,800
00007757	アメリカ手話で世界が広がった	高村真理子	日貿出版社	¥1,800
00007758	アメリカ障害児教育の魅力	佐藤 恵利子・佐藤 裕／著	学苑社	¥1,400
00007759	アレルギーシリーズ　眼科・耳鼻咽喉科領域のアレルギー	岸本 進／監修	医薬ジャーナル社	¥4,700
00007760	医学概論	日野原 重明／著	医学書院	¥1,600
00007761	医学書院　医学大辞典	伊藤正男・井村裕夫・他	医学書院	¥20,000
00007762	医学書院医学大辞典	伊藤 正男・井村 裕夫／他総編集	医学書院	¥20,000
00007763	医学書院医学大辞典	伊藤　正男・井村　裕夫・高久 史麿／編	医学書院	¥20,000
00007764	医学書院医学大辞典	伊藤　正男・井村　裕夫・高久 史麿／編	医学書院	¥20,000
00007765	医学図譜集　神経編（Ⅱ）	佐野　圭司　他	日本チバガイギー株式会社	¥23,000
00007766	医学を学ぶ人の歯科口腔外科テキスト	都温彦	医学情報社	¥6,000
00007767	生かされ　また生きる　―失語症者の日常―	藤原 保／著	創風社	¥1,000
00007768	いき・こえ・ことばのイメージ 日本語のための呼吸・発声・発声法	石塚　雄康／著	青雲書房	¥3,000
00007769	生きいきケア選書 老人ケアかるた　　-ケアのなかの言葉-	村上 重紀／著	医学書院	¥2,300
00007770	生きいきケア選書 老人ケアの元気ぐすり	稲川 利光／著	医学書院	¥2,000
00007771	生き方のツケがボケに出る	金子満雄	角川書店	¥552
00007772	イギリス福祉国家の研究	毛利健三	東京大学出版	¥5,356
00007773	生きること生かされること　共につくる福祉社会へ	坂巻 熙／著	ぶどう社	¥1,456
00007774	育児・保育現場での発達とその支援	藤崎眞知代・本郷一夫・金田利子他	株式会社ミネルヴァ書房	¥2,800
00007775	医師・歯科医師のための 摂食・嚥下障害ハンドブック　第2版	本多知行・溝尻源太郎	医歯薬出版	¥3,600
00007776	医師・歯科医師のための摂食・嚥下障害ハンドブック	本多 知行・溝尻 源太郎／編	医歯薬出版	¥3,400
00007777	意識　ユング心理学における意識形成	C.A.マイヤー	創元社	¥2,800
00007778	意識障害の現象学　下巻	安芸 都司雄／著	世界書院	¥6,900
00007779	意識障害の現象学　上巻	安芸 都司雄／著	世界書院	¥7,400
00007780	意識と存在の謎　ある宗教者との対話	高橋たか子	講談社	¥650
00007781	意識とは何か	苧坂直行	岩波書店	¥1,100
00007782	意識の科学	ケネス・ペレンティエ	工作舎	¥2,200
00007783	意識のかたち　現代に甦る天才の秘密	高岡英夫	講談社	¥1,700
00007784	意識の現象学	加藤　茂	世界書院	¥2,300
00007785	医師のための紹介状・返信の正しい書き方（改訂第2版）	加我君孝	金原出版	¥3,400
00007786	いじめの発見と対策　　イギリスの実践に学ぶ	デルウィン・Ｐ・タツム／編	日本評論社	¥1,900
00007787	異常心理学講座　第１巻　学派と方法	土居 健郎／他編	みすず書房	¥5,000
00007788	異常心理学講座10　文化・初会の病理	小此木 啓吾／共著	みすず書房	¥5,800
00007789	一週間でバイクに乗れた車椅子の脳梗塞患者	廣海 輝明／著	現代書林	¥825
00007790	医の道を求めて　ウィリアム・オスラー博士の生涯に学ぶ	日野原　重明	医学書院	¥4,800
00007791	いま　子どもたちの生きるかたち	浜田寿美男	ミネルヴァ書房	¥1,600
00007792	今すぐ体験！パソコンで認知心理学実験	酒井浩二・森下正修・松本寛史	株式会社ナカニシヤ出版	¥2,800
00007793	今どき子育て事情　２０００人の母親インタビューから	丹羽 洋子／著	ミネルヴァ書房	¥2,200
00007794	いまを生きる　言語聴覚士と当事者の記録	東京都言語聴覚士／編	三輪書店	¥1,800
00007795	意味的な期待の心理生理学	片山順一	多賀出版	¥6,500
00007796	意味の形成と発達　　生涯発達心理学序説	岡本 夏木／編	ミネルヴァ書房	¥3,200
00007797	イメージの科学　リハビリテーションの応用に向けて	森岡周・松尾篤　編	三輪出版	¥3,600
00007798	癒しの森　心理療法と宗教	加藤　清	創元社	¥2,000
00007799	イラスト解剖学　第5版	松村　譲児	中外医学社	¥7,600
00007800	イラスト耳鼻咽喉科	森満 保／著	文光堂	¥4,700
00007801	イラスト耳鼻咽喉科	森満保	文光堂	¥4,900
00007802	イラスト耳鼻咽喉科	森満保	文光堂	¥4,700
00007803	イラストで学ぶ生理学	田中　越郎	医学書院	¥2,900
00007804	イラストでわかるPT・OT・STのための神経内科学	安徳恭演	メディカ出版	¥3,600
00007805	医療者が知っておきたい自殺のリスクマネジメント	高橋祥友	医学書院	¥2,600
00007806	医療秘書実務シリーズ６　改訂 医療関連法規	医療秘書教育全国協議会／編	建帛社	¥2,100
00007807	医療福祉関係法規　改訂版	森川 祐一郎・今村 元／著	嵯峨野書院	¥2,500
00007808	医療倫理Q&A	医療倫理Q&A刊行委員会編	太陽出版	¥2,000
00007809	岩波　科学ライブラリー１２ アフォーダンス―新しい認知の理論	佐々木正人	岩波書店	¥1,000
00007810	岩波講座認知科学３　視覚と聴覚	川人 光男・行場 次朗・藤田 一郎／他著	岩波書店	¥3,400
00007811	インディアンは手で話す	渡辺 義彦／編著	径書房	¥3,500
00007812	ウィゴーツキーの発達論	中村　和夫	東京大学出版会	¥5,200
00007813	ウィズダム英和辞典	井上 永幸・赤野 一郎／編	三省堂	¥3,100
00007814	ウイリス動脈輪閉塞症	半田 肇・北村 勝俊／他編著	シュプリンガー・フェアラーク東京	¥8,738
00007815	ヴォイスに関する比較言語学的研究	伊藤眞、大矢俊明、岡本順治、加賀信広、佐々木勲人、鷲尾龍一、山田博志	株式会社三修社	¥7,800
00007816	失われた空間（神経心理学コレクション）	石合 純夫	医学書院	¥3,000
00007817	うちの子、ことばが遅いのかな	言の葉通信/編	ぶどう社	¥1,500
00007818	運動性構音障害	木下攝	協同医書株式会社	¥3,200
00007819	運動性構音障害 ―基礎・鑑別診断・マネージメント―	JOSEPH R. DUFFY	医歯薬出版株式会社	¥9,000
00007820	運動性発話障害の臨床　小児から成人まで	伊藤元信 西尾正輝／監訳	インテルナ出版	¥5,880
00007821	英国自閉症研究の源流	久保紘章	相川書房	¥2,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007822	エッセンシャルズ DN-CASによる心理アセスメント	ジャック・A・ナグリエリ／著	日本文化科学社	¥3,400
00007823	絵でみる　脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第2版	馬場　元毅	医学書院	¥2,400
00007824	絵でみる脳と神経　しくみと障害のメカニズム　第２版	馬場 元毅／著	医学書院	¥2,400
00007825	絵でみる脳と神経―しくみと障害のメカニズム（JJNブックス）	馬場 元毅	医学書院	¥2,400
00007826	絵でわかる言語障害 -言葉のメカニズムから対応まで-	毛束 真知子／著	学研	¥1,800
00007827	絵でわかる言語障害 -言葉のメカニズムから対応まで-	毛束 真知子／著	学研	¥1,800
00007828	エピレプシーガイド＜てんかんの本＞	久郷　敏明　著	星和書店	¥2,400
00007829	絵本を読みあうということ 「読書療法」の向こう側とこちら側	村中 李衣／著	ぶどう社	¥1,500
00007830	演繹推理の認知モデル	山祐嗣	ナカニシヤ出版	¥6,000
00007831	エンカウンター・グループと個人の心理的成長過程	平山栄治	風間書房	¥5,500
00007832	嚥下障害Ｑ＆Ａ	吉田 哲二／責任編集	医薬ジャーナル社	¥3,800
00007833	嚥下障害その病態とリハビリテーション　原著第３版	Michael　E. Groher/著	医歯薬出版 株式会社	¥5,300
00007834	嚥下障害の臨床　　第2版 リハビリテーションの考え方と実際	日本嚥下障害臨床研究会	医歯薬出版	¥6,400
00007835	嚥下障害の臨床　リハビリテーションの考え方と実際	日本嚥下障害臨床研究会 ／監修	医歯薬出版 株式会社	¥5,500
00007836	嚥下障害の臨床　リハビリテーションの考え方と実際	日本嚥下障害臨床研究会 ／監修	医歯薬出版 株式会社	¥5,500
00007837	嚥下障害への対応と危機管理 ―歯科口腔外科領域における嚥下リハビリテーションと安全管理―	大井久美子　一戸達也 植松宏　菊谷　武	口腔保健学会	¥3,600
00007838	嚥下のしくみと臨床	丘村熙	金原出版	¥4,660
00007839	演習で学ぶ 言語聴覚療法評価入門	山田弘幸	医歯薬出版	¥2,700
00007840	老いと病む人のこころの動き	都留春夫	医学書院	¥2,200
00007841	老いを支える医療福祉　第2版	宮原伸二	三輪書店	¥2,900
00007842	おうちでできるえんげ食	板垣 卓美／解説	インプレスコミュニケーションズ	¥1,700
00007843	応用倫理学のすすめ	加藤尚武	丸善	¥680
00007844	大田仁史リハビリエッセンス　芯から支える	大田 仁史／著	荘道社	¥1,748
00007845	遅れている子どもを育てる　　かず	山下 勲・江藤 モモヨ／著	日本文化科学社	¥1,900
00007846	お譲さんの春夏秋冬　愛をはぐくむ智恵２４章	草柳 大蔵／著	大和書房	¥600
00007847	オックスフォード言語学辞典	中島平三・瀬田幸人	朝倉書店	¥12,000
00007848	音・振動のスペクトル解析	金井浩	コロナ社	¥5,000
00007849	音遊びの聴覚学習	高梁信雄	株式会社学苑社	¥2,500
00007850	音入門	チャールズ・E・スピークス	KAIBUNDO	¥3,500
00007851	音入門	チャールズ・E・スピークス	KAIBUNDO	¥3,500
00007852	音の科学	山田信志	パワー社	¥1,600
00007853	音のしくみ	中村健太郎	ナツメ社	¥1,300
00007854	音のなんでも小事典	日本音響学会	講談社	¥1,100
00007855	音の百科事典	岩宮眞一郎	丸善株式会社	¥23,000
00007856	音の評価のための心理学的測定法	難波精一郎他	コロナ社	¥3,500
00007857	音の評価のための心理学的測定法	難波精一郎他	コロナ社	¥3,500
00007858	思いやり行動の発達心理	菊池章夫・二宮克美	金子書房	¥3,200
00007859	親業―子どもの考える力をのばす親子関係のつくり方	トマス・ゴードン	大和書房	¥1,900
00007860	親と教師で取り組む障害児教育　５ 歌にのって「ことば」が出せたよ　―発語を促す音楽療法入門―	堀田喜久男	明治図書	¥1,806
00007861	音響・音声工学入門	幸田晃	新文堂株式会社	¥1,900
00007862	音響・音声工学入門	幸田晃	新文堂株式会社	¥1,900
00007863	音響・音声工学入門	幸田晃	新文堂株式会社	¥1,900
00007864	音響音声学入門	Ｐ．ラディフォギッド／著	大修館書店	¥1,200
00007865	音響額	山下充康	建築技術	¥1,600
00007866	音響学入門	吉久信幸他	日新出版	¥1,500
00007867	音響学入門	吉久信幸他	日新出版	¥1,500
00007868	音響用語辞典	日本音響学会	コロナ社	¥10,000
00007869	音声・聴覚のための信号とシステム	スチュアート・ローゼン他	KAIBUNDO	¥4,200
00007870	音声学・音韻論	窪薗晴夫	くろしお出版	¥2,000
00007871	音声学・音韻論	窪薗晴夫	くろしお出版	¥2,000
00007872	音声学・音韻論	窪薗　晴夫	くろしお出版	¥2,000
00007873	音声学・言語学	今泉敏	医学書院	¥3,800
00007874	音声学・言語学	今泉敏	医学書院	¥3,800
00007875	音声学入門	小泉 保／著	大学書林	¥3,000
00007876	音声学入門	小泉保	東京大学書林	¥3,200
00007877	音声学入門	小泉保	東京大学書林	¥3,200
00007878	音声障害と音声治療	廣瀬肇 藤生雅子	医歯薬出版 株式会社	¥9,600
00007879	音性障害のクリニカルマネジメント	JAMESL.CASE	医歯薬出版 株式会社	¥4,600
00007880	音声障害のクリニカルマネジメント	濱村真理	医歯薬出版 株式会社	¥4,600
00007881	音声障害の臨床	廣瀬肇	インテルナ出版	¥3,700
00007882	音声障害の臨床	廣瀬 肇／著	インテルナ出版	¥3,700
00007883	音声生成の科学-発声とその障害	新美　成二　監訳	医歯薬出版	¥6,600
00007884	音声知覚の基礎	ジャック・ライアルズ	KAIBUNDO	¥2,500
00007885	音声治療アクセント法	M. Nasser　Kotby／著	医歯薬出版 株式会社	頒価不明
00007886	音声治療学　―音声障害の診断と治療―	小池　泰夫	金原出版株式会社	¥3,900
00007887	音声の音響分析	レイ・D・ケント他	KAIBUNNDO	¥3,200
00007888	音節とモーラ	本間猛他	KENKYUSHA	¥2,500
00007889	女であることの十八章 -日本の女にとって日本とは何であったか-	草柳 大蔵／著	大和書房	¥680
00007890	女とはなにか	草柳 大蔵／著	大和書房	¥650
00007891	女の脳・男の脳	田中冨久子	日本放送出版協会	¥870
00007892	介護・看護職のための言葉づかいチェックリスト	有馬 良建／著	医歯薬出版	¥1,500
00007893	介護が変わるみんなで変える 女性が進める介護の社会化Ⅳ	樋口 恵子／編	ミネルヴァ書房	¥2,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00007894	介護の仕事	山懸 文治・山本 和儀／他著	朱鷺書房	¥1,600
00007895	介護のための小さなハイテク―生活に役立つ道具やアイデア―	中邑賢龍	こころリソースブック出版会	頒価不明
00007896	介護報酬早見表[2008年5月増補版]	清水尊	医学通信社	¥2,800
00007897	介護保険と聴覚障害者	奥野英子　他	全国手話通訳問題研究会	¥1,500
00007898	介護保険と福祉施設サービスの戦略	平松 一夫／著	医歯薬出版	¥3,200
00007899	介護予防のための認知と嚥下の練習帳	小薗 真知子／著	三輪書店	¥2,800
00007900	改訂　音声学入門	小泉保	大学書林	¥3,200
00007901	改訂新版　入門言語学	ジーン・エイチソン	金星堂	¥2,600
00007902	改訂新版　入門言語学	ジーン・エイチソン	金星堂	¥2,600
00007903	改訂新版　入門言語学	ジーン・エイチソン	金星堂	¥2,600
00007904	改訂増補 日英語の音響音声学	本間 弥生／著	山口書店	¥1,942
00007905	改訂第２版　よくわかる嚥下障害	藤島 一郎／編著	永井書店	¥6,800
00007906	改訂版　心理検査の実際	澤田 丞司／著	新興医学出版社	¥4,200
00007907	改訂版 標準高次動作性検査 先行症を中心として	日本失語症学会 高次動作検査法作成小委員会／著	新興医学出版	¥5,700
00007908	ガイドブック アスペルガー症候群 親と専門家のために	トニー・アトウッド	東京書籍株式会社	¥2,800
00007909	概念と方法	マイケル・Ｉ・ポズナー	産業図書	¥3,200
00007910	回復する聾　人工内耳で聴覚は甦る	舩坂宗太郎	人間と歴史社	¥3,800
00007911	解剖学カラーアトラス　第6版	J.W.Rohen,横地 千仭／他共著	医学書院	¥12,000
00007912	解剖学講義	伊藤　隆	南山堂	¥11,000
00007913	解剖学はおもしろい	上野　正彦	医学書院	¥1,800
00007914	解明される意識	ダニエル・C・デネット	青土社	¥3,800
00007915	外来でのコミュニケーション技法【診療に生かしたい問診・面接のコツ】	飯島克巳	日本医事新報社	¥1,553
00007916	カウンセラー　専門家としての条件	金沢吉展	株式会社誠信書房	¥2,500
00007917	カウンセリングと教育	村山 正治／著	ナカニシ出版	¥2,500
00007918	カウンセリングにおける禅心理学的研究 －韓国人の心理学的構造の見地から－	李 光濬／著	山喜房佛書林	¥9,500
00007919	カウンセリングを語る　上	河合隼雄	講談社	¥780
00007920	カウンセリングを語る　下	河合 隼雄／著	創元社	¥1,262
00007921	カウンセリングを語る　下	河合隼雄	講談社	¥780
00007922	カウンセリングを語る　上	河合 隼雄／著	創元社	¥1,262
00007923	顔と心　顔の心理学入門	吉川左紀子他	サイエンス社	¥2,800
00007924	科学と意識シリーズ5　科学と意識・結論	瓜谷侑広	たま出版	¥1,359
00007925	かかわりのコスモロジー　-認知と臨床の間-	野村　幸正	関西大学書院	¥2,000
00007926	学習障害児の青年・成人期　93ケースの臨床研究	Ｄｏｒｉｓ Ｊ. Ｊｏｈｎｓｏｎ,Ｊａｎｅ Ｗ. Ｂｌａｌｏｃｋ／編著	協同医書出版社	¥4,800
00007927	学習能力の障害 －心理神経的診断と治療教育－	D.J.ジョンソン H.R.マイクルバスト	株式会社 日本文化科学社	¥5,825
00007928	学習の理論　下　原書第５版	Ｇ．Ｈ．バウアー　・Ｅ．Ｒ．ヒルガー／原著	培風館	¥4,300
00007929	格助詞獲得の時期と過程に関する発達学的研究	瓜生　淑子	風間書房	¥5,000
00007930	学生のための　精神医学	太田保之・上野武治 編集	医歯薬出版	¥3,400
00007931	学生のための医療概論	千代豪昭・黒田研二	医学書院	¥2,500
00007932	学生のための医療概論　第2版	千代豪昭・黒田研二	医学書院	¥2,800
00007933	学生のための疾病学	井上泰	医学書院	¥2,600
00007934	学生のための精神医学	太田保之・上野武治	医歯薬出版	¥3,400
00007935	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston/編著	協同医書出版社	¥7,000
00007936	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston／編著	協同医書出版社	¥7,000
00007937	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston／編著	協同医書出版社	¥7,000
00007938	拡大・代替コミュニケーション入門 -医療現場における活用-	Kathryn M.Yorkston／編著	協同医書出版社	¥7,000
00007939	過去、現在、未来における 自己の価値づけの変容過程とその規定要因の検討	塚野州一	風間書房	¥13,000
00007940	数の発達心理学	J. ピアジェ A. シェミンスカ	株式会社国土社	¥3,883
00007941	家族のための摂食障害ガイドブック	ジェームス・ロック ダニエル・ル・グラン	星和書店	¥2,500
00007942	家族変容の技法を学ぶ 入門：親と子どものための社会的学習理論	Ｇ．Ｒ．パターソン／著	川島書店	¥2,000
00007943	片麻痺の評価と治療　原著第３版／新訂	Berta Bobath／著	医歯薬出版	¥4,900
00007944	学校は義務じゃない	エデュケーション　・　アザワイズ	明石書店	¥2,000
00007945	必ず治る自律神経失調症	菊池長徳	主婦と生活社	¥1,068
00007946	可能性に挑んだ聴覚障害者	浅見英子　他	文理閣	¥2,500
00007947	可能性療法 効果的なブリーフ・セラピーのための51の方法	ビル・オハンロン, サンディ・ビードル／著	誠信書房	¥1,800
00007948	構音訓練のためのドリルブック	日本音声言語医学会／編著	協同医書出版社	¥2,987
00007949	構音訓練のためのドリルブック　改訂第２版	岡崎 恵子・船山 美奈子／編著	協同医書出版社	¥3,000
00007950	かみにくい・飲み込みにくい人の食事	藤谷順子	主婦と生活社	¥1,400
00007951	カラーアトラス 顎関節病変診断	岡達/大越基弘	クインテッセンス出版株式会社	¥12,000
00007952	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅷ神経系1	河田光博・稲瀬正彦	ラン印刷社	¥6,200
00007953	カラー図解　人体の正常構造と機能　Ⅸ神経系2	久野みゆき・安藤啓司・他	ラン印刷社	¥6,200
00007954	カラーで学べる　病理学[第3版]	渡辺　照男/編	ヌーヴェルヒロカワ	¥2,500
00007955	カラー図解 人体の正常構造と機能〈10〉運動器	坂井 建雄　他	日本医事新報社	¥7,200
00007956	体が神経を支配する　トロフィック説と脳の可塑性	デイル・パーベス／著	羊土社	¥3,398
00007957	からだノート	中山 千夏／著	ダイヤモンド社	¥880
00007958	からだの不自由な お年寄りの食事－つくり方と介助－	三浦裕士（発行者）	医歯薬出版	¥2,500
00007959	からだを通して心にふれる　アルバム　地域リハビリテーションのあゆみ	大田仁史	医歯薬出版	¥2,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00007960	カルテ用語辞典　第３版	大井　静雄	照林社	¥1,800
00007961	変わる妻たち	アゴ･ビュルキ-フィレンツ	新曜社	¥2,500
00007962	考える６１症例―老年医学編―	老籾宗忠	医歯薬出版株式会社	¥2,800
00007963	感覚の地図帳	山内 昭雄・鮎川 武二／共著	講談社	¥3,800
00007964	眼球運動と空間定位	本田 仁視／著	風間書房	¥16,000
00007965	看護のための最新医学講座21　第２版 耳鼻咽喉科疾患	日野原 重明・井村 裕夫／監修	中山書店	¥9,800
00007966	看護のための精神医学	中井久夫・山口直彦	医学書院	¥2,940
00007967	患者から学ぶ-ウィニコットとビオンの臨床応用―	Ｐ．ケースメント／著	岩崎学術出版	¥4,500
00007968	感性のことばを研究する	苧阪　直行	新曜社	¥2,600
00007969	感性の窓を開けて	増成隆士	みすず書房	¥2,700
00007970	完全図解　新しい介護	大田仁史・三好春樹	講談社	¥3,800
00007971	癌のリハビリテーション	辻哲也	金原出版	¥9,000
00007972	キーワードコレクション　発達心理学　　改訂版	子安 増生・二宮 克美／編	新曜社	¥2,400
00007973	記憶	G.コーエン他	海文堂	¥2,200
00007974	記憶障害の臨床	アマンＵ．カーン／著	医学書院	¥8,400
00007975	記憶と脳 －心理学と神経科学の統合	河内十郎	医学書院	¥4,600
00007976	記憶におけるリハーサルの機能に関する実験的研究	清水 寛之／著	風間書房	¥11,500
00007977	記憶のリハビリテーション	江藤 文夫／監訳	医歯薬出版	¥5,680
00007978	記号学小辞典	脇阪 豊・川島 淳夫／他編著	同学社	¥2,800
00007979	きこえと遺伝子　難聴遺伝子診断と遺伝カウンセリング	宇佐美　真一	金原出版株式会社	¥3,800
00007980	聞こえないってどんなこと 聴覚障害者25人。それぞれの生き方	財団法人全日本ろうあ連盟／監修	一橋出版	¥1,200
00007981	聞こえの臨床	中井　義明	株式会社新興医学出版社	¥3,300
00007982	器質性構音障害治療のポイント 口腔顎顔面領域の異常と言語障害	伊東 節子／編	医歯薬出版	¥4,500
00007983	器質脳症候群　［神経行動障害入門］	江藤 文夫／監修	西村書店	¥8,500
00007984	基礎日本語文法―改訂版―	益岡　隆志，田窪行則	くろしお出版	¥2,300
00007985	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007986	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007987	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007988	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00007989	吃音の診断と指導	飯高京子　若葉陽子 長崎勤	学苑社	¥2,950
00007990	機能解剖で斬る 神経系疾患	中野 隆	メディカルプレス	¥6,000
00007991	機能解剖で斬る神経系疾患	中野　隆/編著	メディカルプレス	¥6,000
00007992	ギブソン　生態学的視覚論 ―ヒトの知覚世界を探る―	J.J. ギブソン	サイエンス社	¥4,175
00007993	虐待を受けた子どものプレイセラピー	エリアナ・ギル／著	誠信書房	¥3,000
00007994	教育小六法	兼子仁、他	学陽書房	¥2,250
00007995	教育法令辞典	田中壮一郎、他	ぎょうせい	¥8,000
00007996	強化の学習心理学　連合か認知か	石田 雅人／著	北大路書房	¥5,340
00007997	今日から使えるリハビリテーションのための統計学 初心者のための実践的手引き	高橋 仁美・ 加賀谷 斉／編	医歯薬出版	¥2,800
00007998	共感体験とカウンセリング 共感できない体験をどうとらえ直すか	角田 豊／著	福村出版	¥2,600
00007999	共感の心理学　そのメカニズムと発達	澤田瑞也	世界思想社	¥1,950
00008000	教材心理学　心の世界を実験する　第4版	木下 冨雄／編	ナカニシ出版	¥2,000
00008001	教材による認知リハビリテーション　その評価と訓練法	種村純、椿原彰夫	永井書店	¥5,000
00008002	教室で行う特別支援教育１ ここがポイント学級担任の特別視線教育	河村 茂雄／編	図書文化社	¥2,200
00008003	教室でどう教えるかどう学ぶか	吉田甫　栗山和広	北大路書房	¥2,330
00008004	教室における非言語的コミュニケーション	訳者／河野義章，和田実	学芸図書	¥3,800
00008005	強勢の理論	M.ハレ，J.-R.ヴェルニョ／著	研究社出版	¥4,369
00008006	教養のための言語学コース	小泉　保	大修館書店	¥2,300
00008007	きよしこ	重松清	新潮社	¥1,300
00008008	近代東京の下層社会―社会事業の展開	安岡憲彦	明石書店	¥4,500
00008009	筋肉の崩壊と常に闘う男　進行性筋ジストロフィーなんて怖くない	鈴木進二	東京図書出版会	¥1,200
00008010	空間のエコロジー 空間の認知とイメージ	加藤孝義	新曜社	¥1,800
00008011	クォンタム・セルフ　意識の量子物理学	ダナー・ゾーハー	青土社	¥2,524
00008012	草柳大蔵のお譲さんの人物論24	草柳 大蔵／著	大和書房	¥630
00008013	薬と摂食・嚥下障害 作用機序と臨床応用ガイド	金子芳洋・土肥敏博	医歯薬出版	¥5,800
00008014	口から食べる　―嚥下障害Q&A　第3版	藤島一郎	中央法規出版	¥2,500
00008015	口唇口蓋裂の理解のために　第2版 －すこやかな成長を願って－	夏目長門・鈴木俊夫	医歯薬出版	¥1,600
00008016	口唇口蓋裂のチーム医療	高戸毅	金原出版	¥3,800
00008017	口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床	高橋庄二郎	日本歯科評論社	¥32,000
00008018	口唇裂口蓋裂の総合治療 成長に応じた諸問題の解決	森口隆彦・中川皓文	克誠堂出版	¥9,200
00008019	口は何のためにあるか	山田宗睦	風人社	¥2,500
00008020	口蓋帆・咽頭閉鎖不全　その病理・診断・治療	舘村 卓／著	医歯薬出版	¥4,000
00008021	グラフィック　認知心理学	森敏昭・井上毅・ 松井孝雄	サイエンス社	¥2,400
00008022	グランドコンサイス和英辞典	三省堂編修所／編	三省堂	¥7,000
00008023	クローさんの愉快な苦労話 デンマーク式自立生活は、こうして誕生した	エーバルド・クロー	ぶどう社	¥1,553
00008024	ケアマネージャーアセスメントとケアパッケージ	竹内孝仁	医歯薬出版	¥1,800
00008025	形成外科ＡＤＶＡＮＣＥシリーズⅠ－７ 唇破裂・口蓋裂の治療：最近の進歩	上石弘	克誠堂出版	¥20,000
00008026	系統看護学講座　専門19　成人看護学15	小島愛子	大日本法令	¥1,800
00008027	系統看護学講座　専門基礎分野 病理学　疾病のなりたちと回復の促進①　第4版	坂本　穆彦　編	医学書院	¥2,300

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008028	系統看護学講座　専門基礎分野 病理学　　疾病のなりたちと回復の促進①	坂本 穆彦／編	医学書院	¥2,300
00008029	系統看護学講座　別巻3　リハビリテーション看護	高橋美智	医学書院	¥2,100
00008030	系統看護学講座　別巻⑪　医学概論　第8版	日野原　重明　著	医学書院	¥1,680
00008031	軽度発達障害の教育 ＬＤ・ＡＤＨＤ・高機能ＰＤＤ等への特別支援	上野 一彦・花熊 曉／編	日本文化科学社	¥1,800
00008032	軽度発達障害の心理アセスメント　WISC-Ⅲの上手な利用と事例	上野一彦･海津亜希子･他	日本文化科学社	¥2,600
00008033	頸部聴診法トレーニング	大野木 宏彰／著	メディカ出版	¥6,200
00008034	言語科学の百科事典	鈴木良次	丸善株式会社	¥23,000
00008035	言語学基本問題集	佐久間淳一	研究社	¥1,900
00008036	言語学基本問題集	佐久間　淳一	研究社	¥1,900
00008037	言語学は科学である	城生佰太郎	情報センター 出版局	¥1,408
00008038	言語教育学入門―応用言語学を言語教育に活かす―	山内進	大修館書店	¥2,400
00008039	言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00008040	言語障害　事例による用語解説	松本治雄　他	ナカニシヤ出版	¥2,500
00008041	言語障害こわくない	高橋儉	風媒社	¥3,500
00008042	言語障害児の診断と指導第5巻 自閉症児の言語指導	野村 東助・伊藤 英夫 ／他編	学苑社	¥2,913
00008043	言語障害用語辞典	内須川　洸	風間書房	¥1,900
00008044	言語障害用語辞典	内須川　洸	風間書房	¥1,900
00008045	言語障害用語辞典	内須川　洸	風間書房	¥1,900
00008046	言語処理における記憶表象の活性化・抑制過程に関する研究	都築 誉史／著	風間書房	¥9,600
00008047	言語心理学	坂野　登／天野　清	新読書社	¥2,500
00008048	言語聴覚士国家試験出題基準	医療研修推進財団　監修	医歯薬出版	¥2,200
00008049	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成15年4月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008050	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２0年4月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008051	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２５年４月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008052	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２５年４月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008053	言語聴覚士国家試験出題基準　　平成２５年４月版	公益財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥2,200
00008054	言語聴覚士国家試験出題基準　平成20年4月版	公益財団法人 医療研修推進財団	医歯薬出版	¥2,200
00008055	言語聴覚士国家試験出題基準 平成25年4月版	医療研修推進財団　監修	医歯薬出版	¥2,200
00008056	言語聴覚士国家試験出題基準　平成25年4月版	公益財団法人 医療研修推進財団	医歯薬出版	¥2,200
00008057	言語聴覚士国家試験予想問題２００	言語聴覚士国家試験対策委員会／編	大揚社	¥2,500
00008058	言語聴覚士試験　受験対策「実践」講座　2003～04年版	梅田　悦生・ 梅田　紘子／著	診断と治療社	¥4,500
00008059	言語聴覚士試験 受験対策「実践」講座　2005～06年版	梅田　悦生・ 梅田　紘子／著	診断と治療社	¥5,000
00008060	言語聴覚士試験 受験対策「実践」講座2001～02年版	梅田　悦生　著	診断と治療社	¥3,800
00008061	言語聴覚士指定講習会テキスト	医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥3,500
00008062	言語聴覚士指定講習会テキスト　第2版	財団法人 医療研修推進財団／監修	医歯薬出版	¥3,500
00008063	言語聴覚士指定講習会テキスト　第2版	財団法人 医療研修推進財団	医歯薬出版	¥3,500
00008064	言語聴覚士テキスト	廣瀬 肇／監修	医歯薬出版	¥3,800
00008065	言語聴覚士テキスト	廣瀬肇	医歯薬出版	¥3,800
00008066	言語聴覚士テキスト	廣瀬肇	医歯薬出版	¥3,800
00008067	言語聴覚士テキスト 第2版	廣瀬肇	医歯薬出版	¥4,000
00008068	言語聴覚士に必要な歯科の知識	谷口　尚・片倉　伸郎・ 大野　友久　他/著	インテルナ出版	¥2,000
00008069	言語聴覚士に必要な歯科の知識	谷口尚	インテルナ出版	¥2,000
00008070	言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	海文堂出版	¥2,600
00008071	言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	KAIBUNDO	¥2,600
00008072	言語聴覚士の仕事	日本言語療法士協会編	朱鷺書房	¥1,600
00008073	言語聴覚士のための　解剖・生理学	小林靖	医歯薬出版	¥4,000
00008074	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬 肇／著	医歯薬出版	¥5,000
00008075	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬 肇／著	医歯薬出版	¥5,000
00008076	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬 肇／著	医歯薬出版	¥4,000
00008077	言語聴覚士のための運動障害性構音障害学	廣瀬肇・柴田貞雄/他編	医歯薬出版	¥5,000
00008078	言語聴覚士のための音響学	今泉　敏	医歯薬出版	¥3,800
00008079	言語聴覚士のための音響学	今泉　敏	医歯薬出版	¥3,800
00008080	言語聴覚士のための音響学	今泉　敏	医歯薬出版	¥3,800
00008081	言語聴覚士のための音声障害学	大森孝一	医歯薬出版	¥4,000
00008082	言語聴覚士のための基礎知識　耳鼻咽喉化学	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00008083	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00008084	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00008085	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学	鳥山　稔	医学書院;	¥3,800
00008086	言語聴覚士のための基礎知識　臨床神経学・高次脳機能障害学	岩田誠・鹿島晴雄　編	医学書院	¥5,200
00008087	言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学	夏目長門	医学書院	¥4,200
00008088	言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学	夏目長門	医学書院	¥4,200
00008089	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008090	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008091	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008092	言語聴覚士のための言語発達障害学	石田 宏代・大石 敬子／編	医歯薬出版	¥4,400
00008093	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹 恒夫／編	医学書院	¥3,700
00008094	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹 恒夫／編	医学書院	¥3,700
00008095	言語聴覚士のための言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹 恒夫・小寺 富子・ 倉井　成子／編	医学書院	¥3,700
00008096	言語聴覚士のための子どもの聴覚障害訓練ガイダンス	立石恒雄・木場由紀子	医学書院	¥3,500
00008097	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村　健/編	医歯薬出版	¥4,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008098	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村　健	医歯薬出版	¥4,000
00008099	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学	道健一	医歯薬出版	¥4,000
00008100	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学	道健一	医歯薬出版	¥4,000
00008101	言語聴覚障害学　　基礎・臨床	石合 純夫／編著	新興医学出版	¥4,800
00008102	言語聴覚シリーズ　高次脳機能障害	長谷川賢一	建帛社	¥2,400
00008103	言語聴覚療法　臨床マニュアル	鈴木重忠　他	協同医書出版社	¥9,500
00008104	言語聴覚療法　臨床マニュアル　改訂第2版	小寺富子	協同医書出版社	¥6,800
00008105	言語聴覚療法　臨床マニュアル　改訂第2版	小寺富子	協同医書出版社	¥6,800
00008106	言語聴覚療法　臨床マニュアル　改訂第3版	平野哲雄・長谷川賢一・ 立石恒雄・能登谷晶子・ 倉井成子・斉藤吉人・ 椎名英貴・藤原百合・ 苅安誠・城本修・矢守麻奈	協同医書出版社	¥6,800
00008107	言語聴覚療法―臨床マニュアル	日本言語療法士協会	協同医書出版社	¥9,500
00008108	言語聴覚療法シリーズ 13　吃音	都筑　澄夫/編	建泉社	¥2,400
00008109	言語聴覚療法シリーズ　16 改訂　AAC	久保健彦	建帛社	¥2,500
00008110	言語聴覚療法シリーズ　5 聴覚障害Ⅰ－基礎編	山田弘幸・佐場野優一	建帛社	¥2,400
00008111	言語聴覚療法シリーズ　6 聴覚障害Ⅱ－臨床編	佐場野優一・山田弘幸	建帛社	¥2,400
00008112	言語聴覚療法シリーズ　7 改訂　機能性構音障害	本間慎治	建帛社	¥2,500
00008113	言語聴覚療法シリーズ　7 改訂　機能性構音障害	本間慎治	建帛社	¥2,500
00008114	言語聴覚療法シリーズ1 言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内 紀子／編著	建帛社	¥2,400
00008115	言語聴覚療法シリーズ10 言語発達障害Ⅰ	大貝 茂／編著	建帛社	¥2,400
00008116	言語聴覚療法シリーズ１１　言語発達障害Ⅱ	斉藤吉人	建帛社	¥2,400
00008117	言語聴覚療法シリーズ１６　AAC	久保健彦	建帛社	¥2,400
00008118	言語聴覚療法シリーズ１６　AAC	久保健彦	建帛社	¥2,400
00008119	言語聴覚療法シリーズ2 言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎 京子／編著	建帛社	¥2,400
00008120	言語聴覚療法シリーズ７　機能性構音障害	本間慎治	建帛社	¥2,400
00008121	言語聴覚療法シリーズ8 器質性構音障害	斉藤 裕恵／編著	建帛社	¥2,600
00008122	言語聴覚療法臨床マニュアル	日本言語療法士協会／編著	協同医書出版社	¥9,500
00008123	言語聴覚療法臨床マニュアル　改訂第2版	小寺 富子／監修	協同医書出版社	¥6,800
00008124	言語聴覚療法臨床マニュアル　改訂第2版	小寺 富子／監修	協同医書出版社	¥6,800
00008125	言語治療用ハンドブック	田口恒夫	日本文化科学社	¥3,000
00008126	言語治療用ハンドブック	田口恒夫	日本文化科学社	¥3,000
00008127	言語と脳	杉下守弘	豊国印刷株式会社	¥960
00008128	言語と脳	杉下守弘	紀伊国屋書店	¥1,700
00008129	言語の構造-理論と分析 -　音声・音韻篇	柴谷方 良・影山 太郎 ／他著	くろしお出版	¥2,500
00008130	言語の事典	中島平三	朝倉書店	¥28,000
00008131	言語の脳科学　脳はどのようにことばを生みだすか	酒井邦嘉	中公新書	¥900
00008132	言語の風景学	岩本　一	新典社	¥2,600
00008133	言語発達心理学	内田　伸子	日本放送協会 出版会	¥3,000
00008134	言語発達遅滞の言語治療	小寺 富子／著	診断と治療社	¥2,500
00008135	言語発達遅滞の言語治療	小寺 富子／著	診断と治療社	¥2,500
00008136	言語発達遅滞の言語治療	小寺富子	診断と治療社	¥2,500
00008137	言語発達ってみんな同じ？　言語獲得の多様性を考える	C.M.ショア―	学苑社	¥2,000
00008138	言語病理学診断法	Frederic L. Darley　他	協同医書出版社	¥14,000
00008139	言語病理学診断法	Frederic L. Darley　他	協同医書出版社	¥14,000
00008140	言語病理学診断法	Frederic L. Darley　他	協同医書出版社	¥14,000
00008141	言語病理学診断法　改訂第2版	FrederixL.Darley・ D.C.Spriesterbach	協同医書出版社	¥14,000
00008142	言語モダリティ間相互作用に関する臨床神経心理学的研究 -失語症の言語機能回復の検討―	稲村 純／著	風間書房	¥12,000
00008143	言語理解	Ｊ．グリーン	海文堂	¥2,000
00008144	言語理解	Ｊ．グリーン	海文堂	¥2,000
00008145	言語を生みだす本能（上）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,280
00008146	言語を生みだす本能（下）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,280
00008147	検証子どもの権利条約 市民がつくる“子どもの権利条約白書”	喜多 明人／他編	日本評論社	¥1,700
00008148	健診とことばの相談	中川 信子／著	ぶどう社	¥2,000
00008149	現代　老年精神医療	武田雅俊	永井書店	¥13,000
00008150	現代言語学辞典	田中 春美／編	成美堂	¥15,000
00008151	現代言語学の基礎シリーズ３　生成音韻論	サンフォードＡ．シェイン ／著	研究社出版	¥2,330
00008152	現代進学入門２　発達心理学	無藤 隆・久保 ゆかり ／他著	岩波書店	¥2,800
00008153	現代心理学シリーズ5　言語と記憶	浮田 潤・賀集 寛／共編	培風館	¥1,600
00008154	現代心理学シリーズ７　発達心理学	山本 利和／編	培風館	¥1,600
00008155	現代心理学双書第2巻 神経心理学―脳と心の接点	坂野登	新読書社	¥2,800
00008156	現代心理学入門1 認知心理学	守一雄	岩波書店	¥2,500
00008157	現代心理学入門2 発達心理学	無藤隆 久保ゆかり 遠藤利彦	岩波書店	¥2,800
00008158	現代日本人のライフ・サイクル	山添　正	ブレーン出版	¥2,800
00008159	現代の病シリーズ　6.高齢化社会の病	河野友信・唐木正敏/他編	医学書院	¥2,700
00008160	現代ロールシャッハ・テスト体系（上）	ジョン・Ｅ・エクスナー ／著	金剛出版	¥9,300
00008161	現代ロールシャッハ・テスト体系（下）	ジョン・Ｅ・エクスナー ／著	金剛出版	¥6,300

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008162	現代ロールシャッハ・テスト体系・別巻 ロールシャッハ・テストワークブック	ジョン・Ｅ・エクスナー ／著	金剛出版	¥5,400
00008163	現場心理学の発想	やまだ ようこ／編	新曜社	¥2,400
00008164	現場で役立つ特別支援教育ハンドブック（ＣＤ－ＲＯＭなし）	下司 昌一／編	日本文化科学社	¥4,600
00008165	権利としての自己決定	施設変革と自己決定 編集委員会	エンパワメント 研究所	¥1,700
00008166	構音障害の指導技法　―音の出し方とそのプログラム	湧井　豊	学苑社	¥3,500
00008167	構音障害の臨床　―基礎知識と実践マニュアル―	阿部雅子	金原出版	¥2,800
00008168	構音障害の臨床　―基礎知識と実践マニュアル―	阿部雅子	金原出版	¥2,800
00008169	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008170	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008171	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008172	構音障害の臨床　－基礎知識と実践マニュアル-	阿部 雅子／著	金原出版	¥2,400
00008173	構音障害の臨床―基礎知識と実践マニュアル―	阿部雅子	金原出版	¥2,400
00008174	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	John E.Bernthal, Nicholas W.Bankson／編著	協同医書出版社	¥6,400
00008175	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	John E.Bernthal, Nicholas W.Bankson／編著	協同医書出版社	¥6,400
00008176	構音と音韻の障害　音韻発達から評価・訓練まで	JohnE.Bernthal・ NicholasW.Bankson	協同医書出版社	¥6,400
00008177	口蓋裂 第2版　　言語障害の病理・診断・治療	Sally J.Peterson-Falzone	医歯薬出版	¥15,000
00008178	口蓋裂の言語臨床	岡崎啓子・相野田紀子・ 加藤正子	医学書院	¥5,000
00008179	口蓋裂の言語臨床	岡崎啓子・相野田紀子・ 加藤正子	医学書院	¥5,000
00008180	口蓋裂の言語臨床　第2版	岡崎啓子・加藤正子	医学書院	¥5,000
00008181	口蓋裂の言語臨床　第3版	岡崎啓子・加藤正子・ 北野市子	医学書院	¥5,000
00008182	高機能自閉症・アスペルガー症候群　その子らしさを生かす子育て	吉田友子	中央法規出版	¥1,800
00008183	高機能自閉症・アスペルガー症候群入門　正しい理解と対応のために	内山登紀夫・水野　薫・ 吉田友子	中央法規出版	¥2,000
00008184	高機能自閉症の子育てと療育・教育 発達と障害の視点から	高城 寛志・星河 美雪 ／編著	かもがわ出版	¥2,200
00008185	講義ノート　新耳鼻咽喉科学入門	中野雄一	考古堂書店	¥2,500
00008186	口腔・中咽頭がんのリハビリテーション 構音障害、摂食・嚥下障害	溝尻 源太郎・熊倉 勇美 ／編著	医歯薬出版	¥4,800
00008187	口腔顎顔面領域の異常と言語障害	伊東節子	医歯薬出版	¥4,500
00008188	口腔外科専門医マニュアル	社団法人日本口腔外科学会	医歯薬出版	¥12,000
00008189	口腔諸組織の加齢変化	浦郷篤史	クインテッセンス 出版株式会社	¥22,000
00008190	口腔の発生と組織第２版	相山誉夫	南山堂	¥4,000
00008191	講座　生涯発達心理学　子ども時代を生きる	内田伸子、南博文	金子書房	¥4,120
00008192	講座　生涯発達心理学　第2巻人生への旅立ち	麻生武、内田伸子	金子書房	¥4,120
00008193	講座　生涯発達心理学　第4巻自己のへの問い直し	落合良行、他	金子書房	¥4,120
00008194	講座　生涯発達心理学　第5巻　老いることの意味	南博文、やまだようこ	金子書房	¥4,000
00008195	講座　生涯発達心理学　生涯発達心理学とは何か	無藤隆、やまだようこ	金子書房	¥4,000
00008196	講座　幼児の生活と教育4 理解と表現の発達	安江良介	岩波書店	¥2,330
00008197	講座「言語障害児の診断と指導」第4巻　　聴覚障害の診断と指導	小川　仁・谷　俊治・ 出口　利定/編	学苑社	¥3,398
00008198	講座サイコセラピー　第11巻　ソーシャル・スキル・トレーニング	渡辺弥生	日本文化科学社	¥2,530
00008199	高次神経機能障害	石合 純夫／著	新興医学出版社	¥6,800
00008200	高次神経機能障害の臨床はここまで変わった	宇野 彰・波多野 和夫／編	医学書院	¥3,800
00008201	高次脳機能検査の解釈過程	CharlesJ.Golden他	協同医書出版社	¥3,800
00008202	高次脳機能検査の解釈過程	CharlesJ.Golden他	協同医書出版社	¥3,800
00008203	高次脳機能障害 診断・治療・支援のコツ	橋本 圭司／著	診断と治療社	¥3,200
00008204	高次脳機能障害　CD-ROMで情報提供	渡邉修	医歯薬出版	¥4,400
00008205	高次脳機能障害　症候辞典	河村満・高橋伸佳	医歯薬出版	¥2,500
00008206	高次脳機能障害　精神医学・心理学的対応　ポケットマニュアル	先崎章	医歯薬出版	¥1,800
00008207	高次脳機能障害　その概念と画像診断	武田克彦、波多野和夫	中外医学社	¥7,800
00008208	高次脳機能障害 第2版	石合 純夫／著	医歯薬出版	¥4,400
00008209	高次脳機能障害　ポケットマニュアル	監修　原　寛美	医歯薬出版	¥2,000
00008210	高次脳機能障害学	石合純夫	医歯薬出版	¥4,000
00008211	高次脳機能障害のリハビリテーション	江藤文夫他	医歯薬出版	¥4,800
00008212	高次脳機能障害のリハビリテーション　実践的アプローチ	本田哲三	医学書院	¥3,800
00008213	高次脳機能障害のリハビリテーション　社会復帰支援ケーススタディ	本田哲三・坂爪一幸・ 高橋玖美子	真興交易(株) 医書出版部	¥4,200
00008214	高次脳機能障害ハンドブック	中島八十一、寺島彰	医学書院	¥4,200
00008215	高次脳機能障害ポケットマニュアル	原廣美	医歯薬出版	¥2,000
00008216	高次脳機能障害ポケットマニュアル　第2版	原 寛美／監修	医歯薬出版	¥2,000
00008217	高次脳機能障害ポケットマニュアル　第３版	原 寛美／監修	医歯薬出版	¥2,100
00008218	高次脳機能障害マエストロシリーズ1　基礎知識のエッセンス	山鳥重、早川裕子、 博野信次他	医歯薬出版	¥2,600
00008219	口唇口蓋裂の理解のために　―すこやかな成長を願って―	監修　河合幹	医歯薬出版	¥1,600
00008220	口唇口蓋裂の理解のために　―すこやかな成長を願って―	監修　河合幹	医歯薬出版	¥1,600
00008221	厚生の指標臨時増刊 保険と年金の動向　２００３年第５０巻第１４号	厚生統計協会／編	厚生統計協会	¥1,800
00008222	喉頭がん　舌がんの人たちの言語と摂食・嚥下ガイドブック －将来に向けて－原著第4版	Jack E.Thomas Robert L.Keith	医歯薬出版	¥3,200
00008223	行動と視覚的注意	三浦 利章	風間書房	¥13,000
00008224	行動分析学入門	杉山 尚子・島宗　理 ／ほか著	産業図書	¥3,600
00008225	行動分析学入門	杉山尚子・島宗理・ 佐藤方哉他	産業図書株式会社	¥3,600
00008226	行動分析学入門	杉山尚子	集英社	¥660
00008227	行動分析学入門	杉山尚子・島宗理・ 佐藤方哉他	産業図書株式会社	¥3,600
00008228	行動変容法入門	レイモンド・Gーミルテン バーガー	有限会社　二瓶社	¥3,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008229	行動変容法入門	レイモンド・Gーミルテンバーガー	有限会社　二瓶社	¥3,600
00008230	広汎性発達障害の作業療法 ー根拠と実践ー	辛島 千恵子／編	三輪書店	¥3,400
00008231	交流分析入門	桂 戴作・杉田 峰康／他著	チーム医療	¥1,500
00008232	交流分析のすすめ　人間関係に悩むあなたへ	杉田 峰康／著	日本文化科学社	¥1,400
00008233	高齢者・障害者の「食」の援助プログラム 食べる・食べさせる・食べさせてもらう	大塚彰	医歯薬出版	¥2,500
00008234	高齢社会の生活保障システム	八代尚宏	東京大学出版	¥3,400
00008235	高齢者を知る事典　気づいてわかるケアの根拠	介護・医療・予防研究会編	厚生科学研究所	¥4,800
00008236	声の検査法　基礎編	日本音声言語医学会	医歯薬出版	¥4,400
00008237	声の検査法 臨床編　　第２版	日本音声言語医学会／編	医歯薬出版	¥5,400
00008238	語外の言語学	小泉　保	三省堂	¥3,000
00008239	国語科授業改革双書22　思考力育成への方略 -メタ認知・自己学習・言語論理-	井上　尚美	明治図書	¥2,560
00008240	国語教師が知っておきたい日本語文法	山田敏宏	くろしお出版	¥1,600
00008241	国語という思想	イ・ヨンスク	岩波書店	¥3,000
00008242	国際音声記号ガイドブック	国際音声学会	大修館書店	¥4,300
00008243	国立国語研究所報告43　動詞の意味・用法の記述的研究	宮島　達夫	秀英出版	¥7,500
00008244	心とことばの脳科学	山鳥和美・辻　幸夫	大修館書店	¥1,800
00008245	心の一生　ユング派に依るこころの原風景	氏原 寛／著	ミネルヴァ書房	¥1,800
00008246	心の階梯	アーウィン・スコット	産業図書	¥3,000
00008247	こころの科学　新臨床心理学入門	遠藤俊夫	日本評論社	¥1,800
00008248	こころの科学3 発達の科学	岡村一成 西野泰広	福村出版株式会社	¥1,500
00008249	こころの科学セレクション 自閉症	中根　晃/編	日本評論社	¥1,400
00008250	心のシミュレーション	フィリップ・ジョンソン＝レアード	三協印刷	¥4,500
00008251	心のつぶやきがあなたを変える 認知療法自習マニュアル	井上 和臣／著	星和書店	¥1,900
00008252	心の発達と心の病　普及版　ー発達と障害と再生	岸本 弘／著	学文社	¥3,500
00008253	心の比較認知科学	渡辺茂	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008254	心の理論(下) ー自閉症の視点からー	Simon Baron-Cohen Helen Tager-Flusberg Donald J.Cohen	八千代出版	¥3,800
00008255	心の理論(上) ー自閉症の視点からー	Simon Baron-Cohen Helen Tager-Flusberg Donald J.Cohen	八千代出版	¥3,800
00008256	心の臨床・その実践　かかわることの原点から	池田豊應・他	ナカニシヤ出版	¥1,800
00008257	こころの耳	早瀬久美	講談社	¥1,500
00008258	こころもからだもイキイキ　「癒し」のボディ・ワーク	今野 義孝／著	学苑社	¥3,800
00008259	こころをラクに、あたまをクリアに 遅れのある子をはぐくむ親と専門家のために	大林　泉	ぶどう社	¥1,600
00008260	固執と抑制の諸問題	川村幹	風間書房	¥8,800
00008261	孤独感に関する社会心理学的研究 ―原因帰属および対処方略との関係を中心として―	諸井克英	風間書房	¥10,000
00008262	ことばあそびえほん さかさま　はやくち　ならべかえ	石津ちひろ・飯野和好	のら書店	¥1,000
00008263	言葉が消えた！―失語症と闘う新人賞作家の手記―	早野 貢司／著	風媒社	¥1,505
00008264	ことばが育つ条件　言語獲得期にある子どもの発達	小山　正	培風館	¥2,700
00008265	ことばが育つ条件　言語獲得期にある子どもの発達	小山　正	培風館	¥2,700
00008266	ことばと聞こえの解剖学	ジョンM.パーマー	学苑社	¥4,500
00008267	ことばと心の発達 第4巻 ことばの障害と脳のはたらき	久保田競	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008268	ことばと発達	岡本 夏木／著	岩波書店	¥660
00008269	ことばと発達人間　新しい言語学への試み	伊藤 克敏・牧内 勝 ／他編著	三省堂	¥3,592
00008270	ことばの海へ―失語症ケアのはじまりと深まり―	遠藤 尚志／著	筒井書房	¥1,700
00008271	ことばの科学入門	GLORIA J. BORDEN・ KATHERINE S.HARRIS	MRCメディカルリサーチセンター	¥8,000
00008272	ことばの科学入門	廣瀬肇	MRC	¥8,000
00008273	ことばの科学ハンドブック	郡司　隆男　　西垣内泰介	研究社	¥2,800
00008274	ことばの獲得	桐谷滋	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008275	言葉のごちそう	市堀艶子	三笠書房	¥533
00008276	ことばの習得と喪失	伊藤　克敏	勁草書房	¥2,500
00008277	ことばの習得と喪失　心理言語学への招待	伊藤克敏	勁草書房	¥2,500
00008278	ことばの習得と喪失　心理言語学への招待	伊藤克敏	勁草書房	¥2,500
00008279	ことばの障害と脳のはたらき	久保田競	ミネルヴァ書房	¥2,857
00008280	言葉のない世界に生きた男	スーザン・シャラー／著	晶文社	¥2,330
00008281	ことばの認知科学事典	辻幸夫	大修館書店	¥3,600
00008282	ことばの発達と認知の心理学	鹿取 廣人／著	東京大学出版会	¥3,200
00008283	言葉の発達を促す手作り教材	子どものことばの発達問題研究会	株式会社学苑社	¥1,845
00008284	ことばの前のことば　ことばが生まれるすじみち1	やまだ ようこ／著	光明社	¥2,600
00008285	ことば始まりと進化の謎を解く	ジーン・エイスチン	新曜社	¥3,800
00008286	ことばは世界とどうかかわるか	ヤコブL. メイ	ひつじ書房	¥3,880
00008287	言葉をきく脳　しゃべる脳	本庄巌	中山書店	¥2,400
00008288	言葉をとりもどす日々―失語症からの復帰―	岩島 正／著	章文館	¥1,500
00008289	言葉を復元する	吉田　和彦	三省堂	¥2,300
00008290	子どもたちの言語獲得	小林　春美　　佐々木正人	大修館書店	¥2,300
00008291	子ども達のための困ったとき事典　親、教師、指導員向け解説書	森　正人・ 多田早百合・他	こころリソースブック出版会	
00008292	子どもとの豊かなコミュニケーションを築く インリアル・アプローチ	竹田契一 里見恵子	株式会社日本文化科学社	¥2,240
00008293	子どもとの豊かなコミュニケーションを築く インリアル・アプローチ	竹田契一 里見恵子	株式会社日本文化科学社	¥2,240
00008294	子どもにとって死とは？	エリック・ローフス	晶文社	¥1,240
00008295	子どもの音楽療法ハンドブック	若尾裕・田中由身子/他編	音楽之友社	¥1,359
00008296	子どもの顎関節症を防ぐ・治す	萩原和彦・河野壽一	講談社	¥1,300
00008297	子どもの虐待ーその実態と援助ー	津崎 哲郎／著	朱鷺書房	¥1,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008298	子どもの言語とコミュニケーション	D,K. バーンスタイン	東信堂	¥3,200
00008299	こどものことば　習得と創造	伊藤 克敏／著	勁草書房	¥2,600
00008300	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008301	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008302	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008303	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008304	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008305	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008306	こどものことば　習得と創造	伊藤克敏	勁草書房	¥2,600
00008307	こどものことば　習得と創造	伊藤　克敏	勁草書房	¥2,600
00008308	子どもの摂食・嚥下障害　その理解と援助の実際	北住 映二／編著	永井書店	¥7,600
00008309	こどもの摂食・嚥下障害-その理解と援助の実際-	北住　映二・尾本　和彦・ 藤島　一郎　他/編著	永井書店	¥7,600
00008310	子どものためのＡＡＣ入門 ―文字盤からコンピューターへ―	安藤 忠・大貝 茂・ 太田 茂／他編著	協同医書出版社	¥4,700
00008311	子どものためのAAC入門―文字盤からコンピュータへ―	安藤忠	協同医書出版社	¥4,700
00008312	子どものディスコースの発達	内田　伸子	風間書房	¥11,000
00008313	子どものディスコースの発達	内田　伸子	風間書房	¥11,000
00008314	子どもの中にことばを見つけて コミュニケーションそれは、風	添島 康夫／著	ぶどう社	¥1,450
00008315	子どもの発達心理学	高橋道子 仲真紀子 藤崎真知代/他著	株式会社新曜社	¥1,900
00008316	こどもの発達と教育1　ことばと学び	内田　伸子	金子書房	¥1,600
00008317	子どもの発達と教育2　＜自己＞を育てる 真の主体性の確立	梶田　叡一／著	金子書房	¥1,600
00008318	こどもの発達と教育7　子どもが心を理解するとき	子安　増生	金子書房	¥1,600
00008319	子どもの歯のけが　口のけが相談室	中村社綱	医歯薬出版	頒価
00008320	子どものふり遊びの世界	高橋たまき	ブレーン出版	¥1,845
00008321	子どものユーモア　その起源と発達	ポール・E・マッギー	誠信書房	¥3,800
00008322	子どもの養育に心理学がいえること	H. R. シャファー／著	新曜社	¥2,800
00008323	この星のぬくもり	曽根富美子	株式会社ベネッセ コーポレーション	¥680
00008324	コミュニケーション・ノート	西尾 正輝／著	インテルナ出版	¥9,000
00008325	コミュニケーション障害辞典	David W.H.Morris	医歯薬出版	¥5,500
00008326	コミュニケーション障害辞典	David W.H.Morris	医歯薬出版	¥5,500
00008327	コミュニケーション障害入門	エレナ・プラント ペラジー・M. ・ビーソン	大修館書店	¥2,800
00008328	コミュニケーションという謎	秦野悦子　他	ミネルヴァ書房	¥2,200
00008329	コミュニケーションの心理学	松尾太加志	ナカニシヤ出版	¥2,500
00008330	コメディカルのための内科学	伊東　進・森　博愛/編著	医学出版	¥4,700
00008331	コメディカルのための内科学	伊東　進・森　博愛/編著	医学出版社	¥4,700
00008332	コメディカルのための内科学　第２版	森　博愛・伊東 進／編著	医学出版社	¥3,900
00008333	コメディカルのための内科学　第2版	森　博愛/伊東　進　編著	医学出版社	¥3,900
00008334	コメディカルのための内科学　第3版	伊東 進・森 博愛／編著	医学出版	¥4,700
00008335	コメディカルのための脳神経外科	板倉 徹　他	コメディカル エディター	¥2,800
00008336	これからの老人保健活動	新井宏朋、中島紀恵子	医学書院	¥3,296
00008337	これからの老年学	井口昭久	名古屋大学出版会	¥3,800
00008338	こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち	渡辺一史	北海道新聞社	¥1,800
00008339	サイエンスライブラリ心理学９ オペラント心理学入門 行動分析への道	G.S. レイノルズ／著	サイエンス社	¥1,748
00008340	最新　脳と神経科学シリーズ　第10巻　睡眠とその障害	高倉公朋・宮本忠雄	メディカルビュー	¥12,000
00008341	最新 脳と神経科学シリーズ9　腫瘍性病変の神経科学	高橋 徹／他編	メジカルビュー社	¥13,000
00008342	最新医学大辞典　第2版	後藤 稠／編	医歯薬出版	¥13,000
00008343	最新育児小児病学　改訂第４版	二木 武・二宮 恒夫・ 松田 博／他著	南江堂	¥2,800
00008344	細心育児小児病学　改訂第5版	黒田泰弘	南江堂	¥2,800
00008345	最新育児小児病学（改訂第5版）	黒田　泰弘/編著	南江堂	¥2,800
00008346	最新神経難病	宇尾野公義	金原出版	¥18,447
00008347	最新神経病学　改訂3版	荒木 淑郎	金芳堂	¥11,000
00008348	最新版　全国リハビリテーション病院ガイド	ウェルネス医療情報センター　／編	実業之日本社	¥2,000
00008349	最新版 テクニカルエイド　福祉用具の選び方・使い方	作業療法ジャーナル編集委員会　／編	三輪書店	¥3,500
00008350	最新リハビリテーション医学	米本恭三	医歯薬出版	¥5,900
00008351	最新リハビリテーション医学	米本恭三	医歯薬出版	¥5,900
00008352	在宅・施設リハビリテーションにおける 言語聴覚士のための地域言語聴覚療法	森田秋子・黒羽真美	三輪出版	¥3,600
00008353	在宅における緊急看護	一番ヶ瀬康子・城正子	一橋出版	¥900
00008354	作業療法ルネッサンス―ひとと生活障害　３ 着る・装うことの障害とアプローチ	山根寛・ 菊池恵美子/他編	三輪書店	¥2,800
00008355	作業療法ルネッサンス―ひとと生活障害　４ 伝えることの障害とアプローチ	山根寛	三輪書店	¥2,800
00008356	さようなら施設	大滝昌之	ぶどう社	¥1,400
00008357	ジェンダー・アイデンティティ ―社会心理学的測定と応用―	下條英子	風間書房	¥11,000
00008358	ジェンダーの発達心理学	スーザン・ゴロンボク、他	田研出版	¥6,500
00008359	視覚機能の発達障害　その評価と援助	P.R.ERHARDT／著	医歯薬出版	¥6,600
00008360	視覚性失認	Martha J.Farah／著	新興医学出版社	¥4,800
00008361	視覚的対象認知に関する実験的研究	松川 順子／著	風間書房	¥7,800
00008362	視覚の時間周派数処理と色処理の機能連関に関する研究 -光駆動法を中心としたフリッカー応用技法による接近-	小松 紘／著	風間書房	¥17,000
00008363	視覚の謎	本田仁視	福村出版	¥2,600
00008364	自我と，＜力動的基盤＞ 人間発達のトランスパーソナル理論	マイケル・ウォシュバーン ／著	雲母書房	¥3,400
00008365	時間的展望の生涯発達心理学	白井利明	勁草書房	¥8,240
00008366	色彩の心理-子どもの絵の心理的記憶-	久保　貞次郎	文化書房博文社	¥1,900
00008367	思考の神経心理学	D.F. Benson M.D.	金芳堂	¥11,650

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008368	自己実現への旅立ち　こころの発達と人間関係	千原 美重子／著	創元社	¥2,000
00008369	自己対象反応の傾向からみた知的障害児と自閉症障害児の発達的、臨床的研究	西村 章次／著	風間書房	¥18,000
00008370	自殺の危険　臨床的評価と危機介入	高橋祥友	金剛出版	¥4,500
00008371	しじみ貝の詩-聴力障害者の体験から	岩渕　紀雄　著	日本放送出版	¥880
00008372	思春期挫折症候群－現代の国民病	稲村 博／著	新曜社	¥1,650
00008373	自信がもてる！リハビリテーション臨床実習 脳卒中ケースで臨場感を体験	川上 途行／ほか編	医歯薬出版	¥4,600
00008374	死生学　―他者の死と自己の死	山本 俊一／著	医学書院	¥3,500
00008375	死生学のすすめ	山本 俊一／著	医学書院	¥3,000
00008376	施設に生きるということ	湯浅民子	ぶどう社	¥1,600
00008377	施設の子どもへの援助　事例を通して考える	内山 元夫／著	学苑社	¥1,500
00008378	視知覚	松田　隆夫	培風館	¥3,400
00008379	視聴覚情報科学	国際電気通信基礎技術研究所	オーム社	¥4,757
00008380	失語症　そして笑顔の明日へ	小薗真知子	シモダ印刷	¥1,429
00008381	失語症Ｑ＆Ａ　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村 純／編著	新興医学出版	¥4,000
00008382	失語症Ｑ＆Ａ　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村 純／編著	新興医学出版	¥4,000
00008383	失語症Ｑ＆Ａ　検査結果のみかたとリハビリテーション	種村 純／編著	新興医学出版	¥4,000
00008384	失語症訓練の考え方と実際	鈴木勉	三報社印刷	¥3,600
00008385	失語症訓練のためのドリル集　語想起（名詞）の改善をめざす	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥3,600
00008386	失語症訓練のためのドリル集－3 動作・状態を表す語(動詞・形容詞・形容動詞)の改善をめざす	竹内愛子	協同医書出版社	¥3,600
00008387	失語症訓練のためのドリル集6 長い文の理解の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥2,800
00008388	失語症訓練のためのドリル集9 日常コミュニケーションの改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,600
00008389	失語症訓練のためのドリル集－第2巻 意味・音韻面から語想起(名詞)の改善をめざす	竹内愛子	協同医書出版社	¥3,600
00008390	失語症言語訓練講座	杉下守弘	壮光舎印刷	¥3,300
00008391	失語症言語治療の基礎	紺野加菜江	新富印刷株式会社	¥3,500
00008392	失語症言語治療の基礎　　診断法から治療理論まで	紺野 加奈江／著	診断と治療社	¥3,500
00008393	失語症言語治療の基礎　診断法から治療理論まで	紺野　加奈江　著	診断と治療社	¥3,500
00008394	失語症言語治療の基礎　診断法から治療理論まで	紺野佳奈江	診断と治療社	¥3,500
00008395	失語症言語治療の理論と実際　第３版	河内 十郎・河村 満／監訳	創造出版	¥18,000
00008396	失語症言語治療の理論と実際　第3版	RobertaChapy	創造出版	¥18,000
00008397	失語症者、言語聴覚士になる ことばを失った人は何を求めているのか	平澤 哲哉／著	雲母書房	¥1,800
00008398	失語症者の教育リハビリテーションと看護	岡部克己・岡部聰子	コレール社	¥3,000
00008399	失語症者の実用コミュニケーション　臨床ガイド	竹内愛子	協同医書出版社	¥4,500
00008400	失語症者の実用コミュニケーション臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥4,500
00008401	失語症の記録　―奪われた言葉・取り戻した言葉―	笹沼 澄子／他編	大修館書店	¥1,800
00008402	失語症のグループ訓練－基礎と122の課題－	鈴木 勉・鶴田 薫・小川 節子／ほか著	三輪書店	¥3,398
00008403	失語症の障害メカニズムと訓練法	加藤正弘	新興医学出版	¥6,500
00008404	失語症の障害メカニズムと訓練法　改訂第二版	小嶋 知幸／著	新興医学出版社	¥6,500
00008405	失語症のすべてがわかる本	加藤 正弘・小嶋 知幸／監修	講談社	¥1,200
00008406	失語症の人と話そう 失語症の理解と豊かなコミュニケーションのために	失語症会話パートナー養成部会／編集	中央法規	¥2,200
00008407	失語症のリハビリテーション　第2版 全体構造法のすべて	米本 恭三／監修	医歯薬出版	¥3,800
00008408	失語症のリハビリテーション 全体構造法のすべて　　第２版	米本 恭三／監修	医歯薬出版	¥3,800
00008409	失語症臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥5,500
00008410	失語症臨床ガイド	竹内愛子　編	協同医書出版社	¥5,500
00008411	失語症臨床ガイド 症例別－理論と42症例による訓練・治療の実際	竹内 愛子／編	協同医書出版社	¥5,500
00008412	失語の症候学	相馬芳明　田邉敬貴	医学書院	¥4,300
00008413	失語論　―批判的研究―	S・フロイト／著	平凡社	¥2,718
00008414	実践鼓膜・鼓室形成術　中耳手術の基本・各論・症例	湯浅 涼／著	金原出版	¥9,800
00008415	実践式ファイナルチェック！ 言語聴覚士国家試験 受験対策実戦講座 2010年版	梅田　悦生・梅田　紘子　著	診断と治療社	¥4,200
00008416	実践式ファイナルチェック！ 言語聴覚士国家試験 受験対策実戦講座 2013～14年版	梅田　悦生・梅田　紘子・神山　政恵 他　著	診断と治療社	¥3,200
00008417	実践的知行行動カウンセリング	トローワー・P/ケーシー・A/ドライデン・W	川島書店	¥2,800
00008418	実践的認知療法	J・パーソンズ	金剛出版	¥5,500
00008419	実践にいかす成人看護学	小笠原知枝・阪本恵子	福村出版	¥3,200
00008420	知っていますか？聴覚障害者の暮らし一問一答	稲葉 通太／監修	解放出版社	¥1,000
00008421	知っていますか？どもりと向き合う　一問一答	伊藤伸二	解放出版社	¥1,200
00008422	知っておきたい医療英単語	飯田　恭子　他	医学書院	¥2,200
00008423	知っておきたいくも膜下出血　その臨床の最前線	宮坂佳男	新興医学出版社	¥4,500
00008424	疾病の成り立ちと回復の促進　総論	下正宗	医学書院	¥2,600
00008425	質問紙法による<言語・コミュニケーション>障害の早期発見	川島喜代詩	有限会社川島書店	¥4,500
00008426	実用コミュニケーション能力検査－ＣＡＤＬ検査-　付録付	綿森 淑子・竹内 愛子・福迫 陽子／他著	医歯薬出版	¥5,631
00008427	実用神経解剖学	山鳥　崇	金原出版	¥20,600
00008428	視点と言語行動	田窪 行則／編	くろしお出版	¥3,800
00008429	児童・青年期の広汎性発達障害	栗田広 畑中邦比古	社会福祉法人全国心身障害児福祉財団	¥2,200
00008430	児童虐待への介入　その制度と法　増補版	吉田 恒雄／編	尚学社	¥3,000
00008431	児童虐待防止ハンドブック	David N. Jones／著	医学書院	¥3,000
00008432	児童精神科医が語る	佐々木正美	岩崎学術出版社	¥2,200
00008433	児童福祉六法　　平成１７年版	児童福祉法規研究会／監修	中央法規出版	¥5,600
00008434	柴田浩美の高齢者の口腔ケアを考える	柴田浩美	医歯薬出版	¥2,400
00008435	柴田浩美の高齢者の食事介助を考える	柴田 浩美／著	医歯薬出版	¥2,400
00008436	耳鼻咽喉科・学校保健マニュアル	社団法人日本耳鼻咽喉科学会学校保健委員会／編	診断と治療社	¥6,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008437	耳鼻咽喉科学用語解説集　改訂第2版	日本耳鼻咽喉科学会／編	金原出版	¥4,000
00008438	耳鼻咽喉科疾患への免疫学的アプローチ	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,500
00008439	耳鼻咽喉科診療プラクティス	池田勝久，他	文光堂	¥13,000
00008440	耳鼻咽喉科診療プラクティス　２．聴覚の獲得	池田勝久・加我君孝/他編	文光堂	¥13,000
00008441	耳鼻咽喉科診療プラクティス　４． 頭頸部腫瘍治療におけるDiction Making	池田勝久・ 加我君孝/他編	文光堂	¥13,000
00008442	耳鼻咽喉科診療プラクティス2　聴覚の獲得	池田 勝久・加我 君孝／編	文光堂	¥13,000
00008443	耳鼻咽喉科の集中レッスン	市村恵一	金原出版	¥6,000
00008444	自分をこえていく心理学	尾崎 真奈美／編	ナカニシ出版	¥1,600
00008445	自閉児教育の再構築	阿部 秀雄／編著	学苑社	¥3,398
00008446	自閉症　その本態、診断および治療	野村東助・清水康夫	日本文化科学社	¥9,000
00008447	自閉症 成人期にむけての準備	パトリシア・ハウリン	ぶどう社	¥2,700
00008448	自閉症サポートマニュアル集-自閉症者を支援して下さる方々へ-	自閉症支援マニュアル編集委員会／編		¥1,200
00008449	自閉症児の運動発達　神経心理学視点からの評価と支援	是枝喜代治	多賀出版	¥6,000
00008450	自閉症児のための絵で見る構造化	佐々木 正美 ／監修・指導・文	学研	¥1,900
00008451	自閉症スペクトラムの子どもの言語・象徴機能の発達	小山　正・神土陽子	ナカニシヤ出版	¥2,600
00008452	自閉症スペクトル 親と専門家のためのガイドブック	ローナ・ウィング／著	東京書籍	¥2,400
00008453	自閉症だったわたしへ	河野万里子	新潮社	¥781
00008454	自閉症とアスペルガー症候群	ウタ・フリス	東京書籍	¥4,078
00008455	自閉症とインクルージョン教育の実践	G・メジボフ+M・ハウリー	岩崎学術出版社	¥2,800
00008456	自閉症とインクルージョン教育の実践 学校現場のＴＥＡＣＣＨプログラム	Ｇ・メジボフ,Ｍ・ハウリー／著	岩崎学術出版	¥2,800
00008457	自閉症と心の発達　心の理論を越えて	R.P.ホブソン	学苑社	¥5,200
00008458	自閉症とことばの成り立ち	小林　隆児　著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00008459	自閉症と発達障害研究の進歩　2001　Vol.5	高木隆郎	星和書店	¥7,800
00008460	自閉症と発達障害研究の進歩　2002　Vol.6	高木隆郎	星和書店	¥7,800
00008461	自閉症と発達障害研究の進歩　2003　Vol.7	高木隆郎	星和書店	¥7,800
00008462	自閉症と発達障害研究の進歩1998／Ｖｏｌ．２	高木 隆郎・ Ｍ．ラター／編	日本文化科学社	¥12,000
00008463	自閉症と発達障害研究の進歩-1999年／Vol.3	髙木 隆郎・ マイケル・タラー／編	日本文化科学社	¥8,500
00008464	自閉症入門	バロン　＝　コーエン　・　ボルトン	中央法規出版	¥1,800
00008465	自閉症のTEACCH実践	佐々木正美	岩崎学術出版社	¥3,600
00008466	自閉症の才能開発 －自閉症と天才をつなぐ環－	テンプル・グランディン	学習研究社	¥2,500
00008467	自閉症の世界へようこそ-自閉症支援マニュアル-	自閉症支援マニュアル 編集委員会／編		¥700
00008468	自閉症のトータルケア ＴＥＡＣＣＨプログラムの最前線	佐々木 正美／監修	ぶどう社	¥1,650
00008469	自閉症の人たちのらいふステージ	横浜市自閉症児・者親の会／編	ぶどう社	¥1,800
00008470	自閉症の理解　原因・診断・治療に関する最新情報	Ｇ．Ｂ．メジボブ／他著	学苑社	¥2,200
00008471	姉妹	庵原　高子／著	小沢書店	
00008472	社会言語学への招待―社会・文化・コミュニケーション―	田中春美・田中幸子	ミネルヴァ書房	¥2,500
00008473	社会性とコミュニケーションを育てる自閉症療育	Kathleen Ann Quill/編	松柏社	¥4,000
00008474	社会性と人格の発達心理学	Ｗ・デーモン	北大路書房	¥4,660
00008475	社会福祉基礎構造改革でどうなる日本の福祉	浅井春夫	日本評論社	¥2,600
00008476	社会福祉基礎シリーズ11 社会保障の制度と行財政	秋元 美世・一圓 光彌 ／他編	有斐閣	¥2,000
00008477	社会福祉専門職ライブラリー ［社会福祉士編］社会保障論　第５版	一圓 光彌／著	誠信書房	¥2,200
00008478	社会福祉の動向2008	社会福祉の動向編集委員会	中央法規	¥2,400
00008479	社会福祉の法律入門　第3版	佐藤進　児島美都子	有斐閣	¥1,200
00008480	社会福祉六法　平成１６年版	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規出版	¥5,200
00008481	社会保障入門	荘村多加史	中央法規	¥2,200
00008482	社会保障入門	竹本善次	講談社	¥680
00008483	社会保障入門(平成16年度版)	社会保障入門編集委員会	中央法規出版	¥2,300
00008484	社会保障入門(平成17年度版)	社会保障入門編集委員会	中央法規出版	¥2,300
00008485	社会保障の手引き　―施策の概要と基礎資料―		中央法規出版	¥2,800
00008486	写真でみる脳性まひ-30年をともに歩んで-	五味 重春／著	医歯薬出版	¥3,689
00008487	写真で読むアメリカ心理学のあゆみ	Ｊ．Ａ．ポップルストーン Ｍ．Ｗ．マクファーソン ／著	新曜社	¥4,500
00008488	集団精神療法の進め方	山口　隆・石澤雄司	星和書店	¥5,850
00008489	集団のなかで育つ子どもたち	諏訪きぬ	明治図書	¥1,960
00008490	重度脳障害児の定位反射系活動に関する発達神経心理学	片桐 和雄／著	風間書房	¥20,000
00008491	終末期ケアハンドブック	アリソン　チャールズ-エドワーズ	医学書院	¥2,900
00008492	シューラーの認知療法入門	ディーン・シューラー	金剛出版	¥3,500
00008493	授業が変わる―認知心理学と教育実践が手を結ぶとき	監訳　松田文子　森敏昭	北大路書房	¥3,200
00008494	手話教室	全国手話通訳問題研究会	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,400
00008495	手話通訳者養成講座　応用課程	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,200
00008496	手話通訳者養成講座　基本課程	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,000
00008497	手話通訳者養成講座　実践課程	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥1,200
00008498	手話通訳者養成講座　入門	財団法人全日本ろうあ連盟	財団法人全日本ろうあ連盟出版局	¥850
00008499	手話でいこう　ろう者の言い分 聴者のホンネ	亀井 信孝／著	ミネルヴァ書房	¥1,500
00008500	手話で歌おう	藤野 信行／著	福村出版	¥1,600
00008501	手話で歌おう PART2手あそびの世界	藤野 信行／著	福村出版	¥1,600
00008502	手話の本１名詞　　くらしの手話	井崎 哲也／監修	あすなろ書房	¥922
00008503	手話の本２名詞　　みぢかな手話	井崎 哲也／監修	あすなろ書房	¥922
00008504	手話の本３名詞　　うごきときもちの手話	井崎 哲也／監修	あすなろ書房	¥922

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008505	純粋失読　　書けるのに読めない	土本 亜理子／著	三輪書店	¥1,800
00008506	障害児医学ケア相談辞典 １　病名別・症状別にみる医学ケア	高松鶴吉・佐々木正美	学習研究社	¥6,200
00008507	障害児医学ケア相談辞典 ２　保育・教育活動の中の医学ケア	高松鶴吉・佐々木正美	学習研究社	¥6,800
00008508	障害児教育にチャレンジ9　「言葉遊び歌」が発語を促す 障害児の言葉をひらく教材開発	堀田 喜久男／著	明治図書	¥1,806
00008509	障害児早期療育ハンドブック	船越知行	学苑社	¥2,500
00008510	障害児と親・教師のかかわり方	井原 栄二／編著	明治図書	¥1,700
00008511	障害者　高齢者のためのバリアフリーガーデニング	ジーン・ロサート	エンパワメント 研究所	¥2,000
00008512	障害者・高齢者のレクリエーション活動 ―セラピューティック・レクリエーションプログラムのつくり方・ 基本と応用―	キャロル　Ａ．ピーターソン・ スカウト　Ｌ．ガン	学苑社	¥2,524
00008513	障害者が恋愛と性を語り始めた	障害者の性と生の研究会	かもがわ出版	¥2,136
00008514	障害者の暮らしとコミュニケーション1 コミュニケーション障害とその援助	井原　栄二／他編	明治図書	¥1,650
00008515	障害者の暮らしとコミュニケーション2 学校での暮らしとコミュニケーション	井原　栄二／他編	明治図書	¥1,709
00008516	障害者の暮らしとコミュニケーション3 社会での暮らしとコミュニケーション	井原　栄二／他編	明治図書	¥1,806
00008517	障害者の暮らしとコミュニケーション5 看護する者・される者とコミュニケーション	井原　栄二／他編	明治図書	¥2,000
00008518	障害者旅行ハンドブック	草薙威一郎	学苑社	¥2,000
00008519	障害児理解の方法　臨床観察と検査法	坂本 龍生・田川 元康 ／他編著	学苑社	¥3,700
00008520	障害児臨床と発達研究	村井 潤一／編著	コレール社	¥3,399
00008521	生涯人間発達学	上田礼子	三輪書店	¥3,786
00008522	生涯発達　生活心理学的アプローチ	村田 孝次／著	培風館	¥1,800
00008523	生涯発達心理学入門	村田 孝次／著	培風館	¥1,400
00008524	生涯発達心理学のすすめ	子安 増生／著	有斐閣	¥1,600
00008525	生涯発達心理学のすすめ　生から死へ　この尊きライフ・サイクル	守屋 光雄／著	黎明書房	¥2,330
00008526	生涯発達の心理学　家族・社会	東　洋、他	新曜社	¥3,914
00008527	生涯発達の心理学　気質・自己・パーソナリティ	東　洋、他	新陽社	¥3,090
00008528	生涯発達の心理学　認知・知能・知恵	東　洋、他	新曜社	¥3,605
00008529	生涯発達の道	守屋光雄	近代文藝社	¥1,500
00008530	障害を知る本⑨　知的なおくれのある子どもたち	茂木俊彦	大月書店	¥1,800
00008531	障害児者の摂食・嚥下・呼吸リハビリテーション その基礎と実践	金子芳洋	医歯薬出版	¥5,800
00008532	小学生の読み書きスクリーニング検査 発達性読み書き障害（発達性dyslexia）検出のために―	宇野 彰・春原 則子／著	インテルナ出版	¥1,800
00008533	症候から診断へ第4集　日本医師会雑誌第125巻第8号	日本医師会学術企画委員会	日本医師会	
00008534	小児のメディカル・ケア・シリーズ LD-学習障害-治療教育的アプローチ	森永　良子・ 上村　菊朗　著	医歯薬出版	¥1,800
00008535	情緒・言語・学習に障害を持つ子の指導	信濃教育会	文教書院	¥1,700
00008536	情緒がつむぐ発達	須田　治	新曜社	¥2,400
00008537	衝動型ー熟慮型認知スタイルの走査方略に関する研究	山崎晃	北大路書房	¥16,019
00008538	小児耳鼻咽喉科・頭頸部外科マニュアル	森山寛	メジカルビュー	¥8,000
00008539	小児人口内耳	本庄 巖／編著	金原出版	¥4,300
00008540	小児心身症とその関連疾患	吾郷晋浩・生野照子・ 赤坂徹	医学書院	¥10,000
00008541	小児の口腔軟部組織疾患診断アトラス	甘利英一，武田泰典	医学情報社	¥12,360
00008542	小児の高次脳機能障害	栗原まな	診断と治療社	¥4,800
00008543	小児の高次脳機能障害	栗原まな	診断と治療社	¥4,800
00008544	小児のメディカルケアシリーズ３２　うつ病―児童期・青年期を中心に	中根允文	医歯薬出版	¥1,408
00008545	情報処理の心理学	多鹿秀継他	サイエンス社	¥2,300
00008546	情報整理の技術　個人用データバンクの作り方	遠藤 昭／著	実業之日本社	¥680
00008547	小児の摂食・嚥下リハビリテーション	田角　勝・向井　美恵/編	医歯薬出版	¥4,000
00008548	ジョークとレトリックの語用論	小泉　保	大修館書店	¥1,900
00008549	職業リハビリテーション学　改定第2版 キャリア発達と社会参加に向けた就労支援体系	松為信雄・菊池恵美子	協同医書出版社	¥4,000
00008550	食道発声法 ー喉摘者のリハビリテーションー	佐藤武男	金原出版	¥2,718
00008551	食道発声法―喉摘者のリハビリテーション―	佐藤武男	金原出版	¥2,718
00008552	女性のセルフフィットネス	中村延江	誠信書房	¥2,100
00008553	女性の不安　ウーマン・パワーとしての不安エネルギー活用法	斎藤　学	誠信書房	¥2,884
00008554	初歩の心理教育統計法	住田 幸次郎／著	ナカニシ出版	¥2,200
00008555	初歩の心理教育統計法	住田 幸次郎／著	ナカニシ出版	¥2,200
00008556	知られざる高次脳機能障害	松崎有子	せせらぎ出版	¥1,429
00008557	シリーズ ことばの障害　第1巻 言語障害と言語理論	今井　邦彦/編	大修館書店	¥2,500
00008558	シリーズ２１世紀の社会福祉　新版社会保障論	川村匡由	ミネルヴァ書房	¥2,400
00008559	シリーズ教室で行う特別支援教育2 応用行動分析で特別支援教育が変わる 子どもへの指導方略を見つける方程式	山本 淳一・ 池田 聡子／著	図書文化社	¥2,400
00008560	シリーズ言語臨床事例集 第2巻 言語発達遅滞(1)	飯高京子 畦上恭彦 大伴潔/編	学苑社	¥4,200
00008561	シリーズ言語臨床事例集第10巻 地域生活を支える言語聴覚士の取り組み	中川 信子／編	学苑社	¥3,200
00008562	シリーズ言語臨床事例集第1巻　口蓋裂	岡崎恵子・福田登美子 /他編	学苑社	¥4,200
00008563	シリーズ言語臨床事例集第2巻　言語発達遅滞（１）	飯高京子・畦上恭彦/他編	学苑社	¥4,200
00008564	シリーズ言語臨床事例集第3巻　言語発達遅滞（２）	飯高 京子／他編	学苑社	¥4,200
00008565	シリーズ言語臨床事例集第3巻　言語発達遅滞（２）	飯高京子・畦上恭彦/他編	学苑社	¥4,200
00008566	シリーズ言語臨床事例集第４巻　失語症	竹内 愛子／編	学苑社	¥4,200
00008567	シリーズ言語臨床事例集第4巻　失語症	竹内愛子・藤林眞理子 /他編	学苑社	¥4,200
00008568	シリーズ言語臨床事例集第9巻　吃音	盛由紀子・小澤恵美	学苑社	¥3,000
00008569	シリーズ人間の発達1　子どもの文章　書くこと考えること	内田　伸子	東京大学出版会	¥2,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008570	シリーズ認知言語学入門＜第1巻＞認知言語学への招待	辻幸夫	大修館書店	¥2,300
00008571	シリーズ認知言語学入門＜第2巻＞認知音韻・形態論	吉村公宏	大修館書店	¥2,400
00008572	シリーズ認知言語学入門＜第3巻＞認知意味論	松本曜	大修館書店	¥2,400
00008573	シリーズ認知言語学入門＜第5巻＞認知文法論Ⅱ	中村芳久	大修館書店	¥2,300
00008574	シリーズ認知言語学入門＜第6巻＞認知コミュニケーション論	大堀嘉夫	大修館書店	¥2,400
00008575	シリーズ脳の科学　脳のホルモンと記憶	伊藤 眞次／著	朝倉書店	¥5,200
00008576	シリーズ臨床発達心理学②　認知発達とその支援	田島信元・子安増生/他編	ミネルヴァ書房	¥2,800
00008577	シリーズ脳の科学　脳とコミュニケーション	岩田 誠／著	朝倉書店	¥4,500
00008578	シリーズ脳の科学　脳と性	下河内 稔／著	朝倉書店	¥4,300
00008579	自律神経機能検査　第2版	日本自律神経学会編	文光堂	¥12,360
00008580	自律神経失調症　ストレスを上手にコントロールする	井出雅弘	高橋書店	¥1,200
00008581	自律神経失調症　乱れた身体のリズムを治す	松崎博光	新星出版社	¥1,260
00008582	自律神経失調法の生活法	難波経彦	主婦と生活社	¥1,400
00008583	自律神経障害と疾患―基礎と臨床からのアプローチ―	安藤正幸	診療新社	¥7,748
00008584	自立と共生を語る	大江健三郎、他	三輪書店	¥1,600
00008585	自立と共生を語る	大江健三郎、他	三輪書店	¥1,600
00008586	事例でわかる摂食・嚥下リハビリテーション 現場力を高めるヒント	出江紳一・近藤健男・ 瀬田拓	中央法規出版	¥2,400
00008587	事例に学ぶ心理療法	河合隼雄	日本評論社	¥2,800
00008588	事例発達臨床心理学事典	高野 清純／監修	福村出版	¥4,700
00008589	新　ことばの科学入門	廣瀬肇	医学書院	¥6,200
00008590	新　ことばの科学入門	廣瀬肇	医学書院	¥6,200
00008591	新　生理心理学＜１＞ 生理心理学の基礎	宮田洋	北大路書房	¥3,500
00008592	新　生理心理学＜２＞ 生理心理学の応用分野	宮田洋	北大路書房	¥3,500
00008593	新 臨床耳鼻咽喉科学	加我君孝，市村恵一， 新美成二	中外医学社	¥23,000
00008594	新・吃音者宣言	伊藤伸二	芳賀書店	¥1,600
00008595	新・言語指導の遊びと教具	柚木馥	学習研究社	¥1,800
00008596	新・食事療法シリーズ12 脳卒中の食事療法	織田敏次	同文書院	¥1,457
00008597	新・平家物語 1	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008598	新・平家物語 10	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008599	新・平家物語 11	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008600	新・平家物語 12	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008601	新・平家物語 2	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008602	新・平家物語 3	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008603	新・平家物語 4	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008604	新・平家物語 5	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008605	新・平家物語 6	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008606	新・平家物語 7	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008607	新・平家物語 8	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008608	新・平家物語 9	吉川 英治／著	六興出版	¥520
00008609	人格障害の認知療法	アーロン・T・ベック、 アーサー・フリーマン	岩崎学術出版	¥5,500
00008610	新学校用語辞典	牧昌見	ぎょうせい	¥7,400
00008611	新グローバル英和辞典　第２版	木原 研三／編	三省堂	¥3,100
00008612	神経解剖学	新見　嘉兵衛	朝倉書店	¥6,800
00008613	神経科学　―コミュニケーション障害理解のために―	SubhashC.Bhatnagar・ OrlandoJ.Andy	医歯薬出版	¥6,600
00008614	神経系のＭＲＩ診断	香川瑞夫	中外医学者	¥9,800
00008615	神経疾患によるコミュニケーション障害入門	Robert H.Brookshire／著	協同医書出版社	¥5,600
00008616	神経疾患によるコミュニケーション障害入門	Robert H.Brookshire	協同医書出版社	¥5,600
00008617	神経疾患によるコミュニケーション障害入門	Robert H.Brookshire	協同医書出版社	¥5,600
00008618	神経疾患のＣＴ（改訂第２版）	高橋睦正	南江堂	¥27,000
00008619	神経疾患のMRI	高橋睦正	南江堂	¥35,000
00008620	神経疾患の呼吸異常	安間文彦	医薬ジャーナル社	¥6,500
00008621	神経疾患のプライマリーケア　一般臨床医のための診療ガイド	近藤喜代太郎・鴨下重彦	診断と治療社	¥6,311
00008622	神経疾患のリハビリテーション	平井俊策・江藤文夫	南山堂	¥6,000
00008623	神経症候学を学ぶ人のために	岩田　誠	医学書院	¥9,700
00008624	神経症者とつきあうには 家庭・学校・職場における論理療養	アルバート・エリス／著	川島書店	¥1,700
00008625	神経心理学コレクション　Homo faber　道具を使うサル	入來篤史	医学書院	¥3,000
00008626	神経心理学コレクション　神経心理学の挑戦	山鳥　重・河村　満	医学書院	¥3,000
00008627	神経心理学コレクション　痴呆の症候学　CD-ROM付	田邉敬貴	医学書院	¥4,300
00008628	神経心理学コレクション　痴呆の臨床　CDR判定用ワークシート解説	目黒謙一	医学書院	¥2,800
00008629	神経心理学的視点からのＬＤ（学習障害）	Ｂｙｒｏｎ　Ｐ．Ｒｏｕｒｋｅ／著	文教資料協会	¥3,790
00008630	神経心理学と精神医学	日本生物学的精神医学会編	学会出版センター	¥4,466
00008631	神経心理学入門	山鳥 重／著	医学書院	¥6,400
00008632	神経心理学入門	山鳥 重／著	医学書院	¥6,400
00008633	神経心理学入門	山鳥　重　著	医学書院	¥6,400
00008634	神経心理学入門	山鳥　重	医学書院	¥6,400
00008635	神経心理学入門	山鳥　重	医学書院	¥6,400
00008636	神経心理学評価ハンドブック	田川皓一	西村書店	¥8,500
00008637	神経心理学を学ぶ人のための基礎神経学　第3版	Russell J.LOVE	西村書店	¥5,500
00008638	神経伝達物質update―基礎から臨床まで　第３版	中村　重信	中外医学社	¥9,600
00008639	神経内科学書	豊倉康夫　編	朝倉書店	¥42,000
00008640	神経の再生と機能再建　基礎と臨床	志水 義房／他編	西村書店	¥17,000
00008641	人権の絵本①　じぶんを大切に	岩川 直樹／文	大月書店	¥1,800
00008642	人権の絵本⑤　タイムトラベル人権号	満川 尚美／文	大月書店	¥1,800
00008643	人権の絵本⑥　学びの手引き	岩辺 泰吏／文	大月書店	¥1,800
00008644	人工内耳装用児の言語トレーニング	船坂宗太郎	学苑社	¥2,000
00008645	人工内耳装用者と難聴児の学習	城間将江	学苑社	¥2,500
00008646	人口内耳のはなし	ジューン・エプスタイン	学苑社	¥1,456
00008647	人工内耳のはなし	ジェーン・エプスタイン	学苑社	¥1,456
00008648	人工内耳のリハビリテーション 世界の先進的取り組み	Dianne J.Allum/編	協同医書出版社	¥5,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008649	人工内耳のリハビリテーション 世界の先進的取り組み	DIANNE J.ALLUM／編著	協同医書出版社	¥5,000
00008650	新視覚新論	大森 荘蔵	東京大学出版会	¥5,000
00008651	新自己理解のための心理学　性格心理学入門	西川 隆蔵・善明 宣夫 ／ほか著	福村出版	¥2,200
00008652	真実を伝える　コミュニケーション技術と精神的援助の指針	ロバート・バックマン	診断と治療社	¥2,500
00008653	新耳鼻咽喉科学	切替一郎，野村恭也	南山堂	¥16,000
00008654	真珠腫の治療　その問題点と対策	柳原 尚明・比野平 恭之 ／著	金原出版	¥6,200
00008655	新書太閤記　第三巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008656	新書太閤記　第五巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008657	新書太閤記　第六巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008658	新書太閤記　第一巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008659	新書太閤記　第九巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008660	新書太閤記　第十巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008661	新書太閤記　第十一巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008662	新書太閤記　第十二巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008663	新書太閤記　第七巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008664	新書太閤記　第二巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008665	新書太閤記　第八巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008666	新書太閤記　第四巻	吉川 英治／著	読売新聞社	¥330
00008667	新心理学ライブラリ＝1 心理学への招待－こころの科学を知る－	梅本堯夫 大山正	サイエンス社	¥1,942
00008668	新心理学ライブラリ＝2 幼児心理学への招待 －子どもの世界づくり－	内田伸子	サイエンス社	¥2,200
00008669	新心理学ライブラリ＝3 児童心理学への招待 －学童期の発達と生活－	森平勇三	サイエンス社	¥1,800
00008670	新心理学ライブラリー5　発達心理学への招待	矢野 喜夫・落合 正行 ／共著	サイエンス社	¥2,900
00008671	新図解 耳鼻咽喉科検査法	小林武夫	金原出版	¥7,500
00008672	新図解 耳鼻咽喉科検査法	小林武夫	金原出版	¥7,500
00008673	人生以降の発達心理学	山本多喜司	北大路書房	¥5,340
00008674	新生児・幼児・小児の難聴	池田勝尚・加我君孝・ 岸本誠司・久保武他	文光堂	¥13,000
00008675	新生児聴覚スクリーニング	加我君孝	金原出版	¥4,800
00008676	新生児の神経発達	内藤壽七郎	日本小児医事 出版社	¥2,136
00008677	新生理学	小幡　邦彦　他	文光堂	¥5,500
00008678	新体系　看護学全書　健康支援と社会保障制度①　現代医療論　第3版	小坂　樹徳/ 田村　京子　編著	メヂカルフレンド社	¥2,730
00008679	人体系統解剖学	吉川文雄	南山堂	¥14,078
00008680	人体生理学	黒島　晨汎/浦野　哲盟/ 柏柳　誠　他共著	朝倉書院	¥3,800
00008681	人体の構造と機能	佐藤昭夫	医歯薬出版	¥2,800
00008682	人体の構造と機能	エレイン N. マリーブ	医学書院	¥4,800
00008683	人体の構造と機能　第2版	佐藤昭夫・佐伯由香	医歯薬出版	¥2,800
00008684	新訂　血液型と性格	大村政男	福村出版	¥2,200
00008685	新訂 言語治療用ハンドブック	田口 恒夫／編	日本文化科学社	¥3,000
00008686	心と発達	岸本弘	学文社	¥3,800
00008687	新乳幼児心理学	中央幼児教育研究会	学芸図書株式会社	¥2,000
00008688	新版　音声学入門	M. シュービゲル／著	大修館書店	¥1,500
00008689	新版 社会福祉士養成講座3 障害者福祉論　　第２版	福祉士養成講座編集委員会 ／編	中央法規出版	¥2,500
00008690	新版　小児のことばの障害	加我 牧子／編著	医歯薬出版	¥2,000
00008691	新版　小児のことばの障害	加我 牧子／編著	医歯薬出版	¥2,000
00008692	新版　すこやかシルバー介護３　楽しい食事の工夫	ＮＨＫ福祉番組取材班／編	旬報社	¥1,800
00008693	新版 聴覚と音声	三浦 種敏／監修	電子情報通信学会	¥5,825
00008694	新版 聴覚と音声	三浦 種敏／監修	電子情報通信学会	¥5,825
00008695	新版　脳卒中の生活ガイド	前田 真治／著	医歯薬出版	¥1,800
00008696	新版　発声の技巧とその活用法	酒井弘	音楽之友社	¥2,400
00008697	新版　発達心理学への招待　人間発達をひも解く30の扉	柏木 恵子・ 古澤 頼雄／他著	ミネルヴァ書房	¥2,500
00008698	新版　病気の地図帳	山口和克　監修	講談社	¥4,000
00008699	新版 老年心理学	井上 勝也・木村 周／編	朝倉書店	¥3,900
00008700	新版Ｋ式発達検査反応実例集	中瀬 惇・西尾 博／編著	ナカニシ出版	¥2,500
00008701	新版看護学全書　別巻9　医学概論	小坂樹徳	メヂカル フレンド社	¥2,400
00008702	新版看護学全書　別巻9　医学概論	小坂樹徳	メヂカル フレンド社	¥2,400
00008703	新版看護学全書　別巻9　医学概論　第2版	小坂　樹徳　著	メヂカル フレンド社	¥2,400
00008704	新版口から食べる嚥下障害　Ｑ＆A	藤島 一郎／著	中央法規	¥2,500
00008705	シンプル衛生公衆衛生学2002	鈴木庄亮、久道茂	南江堂	¥2,400
00008706	シンプル生理学　改訂第4版	貴邑　冨久子/ 根來　英雄　共著	南江堂	¥2,900
00008707	シンプル生理学（改訂第5版）	貴邑　冨久子・ 根来　英雄　著	南江堂	¥2,900
00008708	シンプル病理学　　改訂第６版	笹野 公伸・岡田 保典・ 安井 弥／編	南江堂	¥2,900
00008709	シンプル病理学　第3版	綿貫勤・若狭治毅・他	南江堂	¥2,900
00008710	シンプル病理学　第3版	綿貫勤・若狭治毅・他	南江堂	¥2,900
00008711	シンプル病理学　改訂第3版	綿貫　勤/若狭　治毅/ 並木　恒夫　他　編集	南江堂	¥2,900
00008712	シンプル病理学　改訂第3版	綿貫　勤/若狭　治毅/ 並木　恒夫　他　編集	南江堂	¥2,900
00008713	新聞記者で死にたい	牧太郎	中公新書	¥720
00008714	新編 感覚・知覚・心理学ハンドブック	大山 正・今井 省吾・ 和気 典二／編	誠信書房	¥50,000
00008715	新編　声の検査法	日本音声言語医学会	医歯薬出版	¥6,800
00008716	新編　脳卒中の生活ガイド	前田 真治／著	医歯薬出版	¥1,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008717	新約聖書			
00008718	新約聖書			
00008719	心理音響学	山田由紀子	西村書店	¥4,500
00008720	心理学　第２版	鹿取 廣人・杉本 敏夫／編	東京大学出版会	¥2,400
00008721	心理学の基礎　三訂版	今田 寛・宮田 洋／共編	培風館	¥1,700
00008722	心理学の基礎知識	東 洋　／他編	有斐閣	¥3,600
00008723	心理学のための実験マニュアル―　入門から基礎・発展へ―	利島 保・生和 秀敏／編著	北大路書房	¥3,689
00008724	心理学のためのデータ解析テクニカルバック	森 敏昭・吉田 寿夫／編著	北大路書房	¥3,592
00008725	心理学のためのデータ解析テクニカルブック	森敏昭・吉田寿夫	北大路書房	¥3,592
00008726	心理学のためのデータ分析テクニカルブック	森敏昭　吉田寿夫	北大路書房	¥3,592
00008727	心理学マニュアル 観察法	中澤 潤・大野木 裕明／編著	北大路書房	¥1,300
00008728	心理学マニュアル 質問紙法	鎌原 雅彦・宮下 一博／編著	北大路書房	¥1,500
00008729	心理学マニュアル 質問紙法	鎌原 雅彦・宮下 一博／他編著	北大路書房	¥1,500
00008730	心理検査学　増補新版　臨床心理査定の基本	岡堂 哲雄／編	垣内出版	¥11,330
00008731	心理検査の実際	澤田 丞司／著	新興医学出版	¥3,700
00008732	心理検査の実際	澤田 丞司／著	新興医学出版	¥3,700
00008733	心理職・福祉職をめざすひとへ	森野 礼一・北村 圭三／編著	ナカニシ出版	¥3,200
00008734	心理テスト法入門　第４版	松原達哉	日本文化科学社	¥4,500
00008735	心理面接のすすめ方　精神力動的心理療法入門	西村良二	ナカニシヤ出版	¥2,000
00008736	診療点数早見表[2008年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500
00008737	診療点数早見表[平成16年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500
00008738	診療点数早見表[平成16年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500
00008739	診療点数早見表[平成16年4月版]	清水尊	医学通信社	¥4,500
00008740	心理療法家の自己開示と傷つき　心理療法における相互的プロセス	J.M.シュピーゲルマン	山王出版	¥3,883
00008741	心理療法における言葉と身体	李　敏子	ミネルヴァ書房	¥2,800
00008742	心理療法の実際	河合隼雄	誠信書房	¥3,200
00008743	心理療法の臨床と科学	鈴木　龍	誠信書房	¥3,900
00008744	心理療法を学ぶ　改訂版	霜山徳爾	有斐閣	¥2,200
00008745	心理臨床大事典	氏原 寛・小川 捷之・東山 紘久／他編	培風館	¥28,155
00008746	心理臨床入門Ⅱ　臨床発達心理学の基礎	小川 捷之／編	山王出版	¥3,500
00008747	心理臨床プラクティス　第２巻　教育心理臨床	乾　吉佑/飯長　喜一郎/篠木　満	星和書店	¥4,800
00008748	心理臨床プラクティス第１巻　開業心理臨床	乾 吉佑・飯長 喜一郎／他編	星和書店	¥4,660
00008749	新臨床耳鼻咽喉科学4巻 喉頭・気管・気管支・食堂・音声言語	加我 君孝・市村 恵一／他編著	中外医学社	¥23,000
00008750	新臨床耳鼻咽喉科学5巻 基本手術主義	加我 君孝・市村 恵一／他編著	中外医学社	¥20,000
00008751	新編　言語治療マニュアル	伊藤 元信	医歯薬出版	¥6,400
00008752	図解　四肢と脊椎の診かた	野島元雄	医歯薬出版	¥5,200
00008753	図解　四肢と脊椎の診かた	野島元雄	医歯薬出版	¥5,200
00008754	図解高血圧・動脈硬化の安心読本 脳卒中の予防と治療	水上 公宏／著	主婦と生活社	¥1,400
00008755	スキナーの心理学　応用行動分析学（ABA)の誕生	ウイリアム・T・オドノヒュー カイル・E/ファーガソン	二瓶社	¥2,300
00008756	スキルの認知心理学	神宮英夫	川島書店	¥1,800
00008757	すぐに使える！実践リハビリマスターガイド 臨床で役立つ基本知識から評価・訓練まで	上月正博・長谷川敬一	中外医学社	¥4,200
00008758	すぐに役立つ画像診断の基本（シリーズ一覧） Ⅰ中枢神経・頭頸部	鳥塚莞爾	医薬ジャーナル社	¥4,600
00008759	スクリプトによるコミュニケーション指導 障害児との豊かなかかわりづくりをめざして	長崎 勤・佐竹 真次／他編著	川島書店	¥2,300
00008760	スクリプトによる社会的スキル発達支援	長崎勤　他	川島書店	¥2,800
00008761	すぐわかる統計解析	石村 貞夫／著	東京出版	¥2,000
00008762	図説 神経耳科・頭蓋底手術	神崎 仁／編	メジカルビュー社	¥20,000
00008763	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 1　補聴器の選択と評価	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,000
00008764	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 1　補聴器の選択と評価	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,000
00008765	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 3 聴覚情報処理とその異常	神崎　仁/編	メジカルビュー社	¥9,500
00008766	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 3　聴覚情報処理とその異常	神崎　仁	メジカルビュー社	¥9,000
00008767	図説耳鼻咽喉科Ｎｅｗ　Ａｐｐｒｏａｃｈ2 遺伝子異常と耳疾患	喜多村 健／編	メジカルビュー社	¥9,000
00008768	図説乳幼児発達心理学	川上清文	同文書院	¥1,950
00008769	ずっと「普通」になりたかった。	グニラ・ガーランド	花風社	¥1,700
00008770	すてきなすてきな世界のため　ハートソング２	マティ・ステパネク	PHP研究所	¥1,150
00008771	ステッドマン医学大辞典	中尾　俊治	メジカルビュー	¥14,000
00008772	ステップ方式で学ぶ摂食・嚥下リハビリテーション	リハビリテーション加賀八幡温泉病院／編著	日総研出版	¥2,800
00008773	ストループ効果	嶋田博行	培風館	¥2,200
00008774	スピーチの言語心理学モデル	田中　敏	風間書房	¥10,000
00008775	性格心理学ハンドブック	詫摩 武俊／監修	福村出版	¥18,000
00008776	生活環境論　第5版	木村 哲彦／監修	医歯薬出版	¥6,400
00008777	生活期リハ・訪問期リハで役立つフィジカルアセスメントリスク管理ハンドブック	阿部勉・大越満/他編	合同会社gene	¥2,800
00008778	生活者としての人間発達	金田　利子/岡野　雅子/室田　洋子	家政教育社	¥2,300
00008779	生活を支える高次脳機能リハビリテーション	橋本圭司	三輪書店	¥1,800
00008780	精神・心理症状学ハンドブック　第２版	北村 俊則／著	日本評論社	¥2,850
00008781	精神医学・心理学的対応リハビリテーション	先崎 章／著	医歯薬出版	¥4,400
00008782	精神医学選書②　幼児自閉症の研究	十亀史郎・斉藤聡明	黎明書房	¥7,500
00008783	精神医学テキスト	上島 国利・立山 萬里／編	南江堂	¥4,200
00008784	成人期における自我同一性の発達過程とその要因に関する研究	岡本祐子	風間書房	¥17,000
00008785	精神機能評価　増補版	土肥信之・岩谷力/他編	医歯薬出版	¥9,800
00008786	精神心理的アプローチによるリハビリテーション医学	水島繁美・土肥信之	医歯薬出版	¥4,400
00008787	精神遅滞児の心理学	小宮 三弥・山内 光哉／編著	川島書店	¥3,301

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008788	精神分析的カウンセリング　精神分析とカウンセリング	中西信男・葛西真記子・他	ナカニシヤ出版	¥2,500
00008789	精神療法	立石　正信	金剛出版	¥1,800
00008790	精神療法		金剛出版	¥1,800
00008791	精神療法		金剛出版	¥1,800
00008792	成人臨床看護⑬歯・口腔外科疾患患者の看護	小西照美	廣川書店	¥1,700
00008793	生と死のケア	日野原重明・山本俊一	医学書院	¥3,000
00008794	性の心理　セクシュアリティと人格の発達	中野 明徳／著	学校図書	¥600
00008795	生命倫理の成立	香川知晶	勁草書房	¥2,800
00008796	生理学テキスト　第3版	大地　陸男　著	東京　文光堂	¥4,800
00008797	世界文学全集20　パール・バック	大久保康雄	河出書房新社	¥680
00008798	世界文学全集21　　風と共に去りぬ　1	ミッチェル／著	河出書房	¥580
00008799	世界文学全集22　ミッチェル	大久保康雄、竹内道之助	河出書房新社	¥580
00008800	世界文学全集23　ヘミングウェイ	大久保康雄	河出書房新社	¥480
00008801	脊髄損傷―日常生活における自己管理のすすめ	徳弘昭博	医学書院	¥3,000
00008802	脊髄損傷者のための性と出産のガイドブック	（財）労災年金福祉協会	三輪書店	¥1,942
00008803	セクシャルカウンセリング ―人間的な性の悩みに応えるために―	Ｅ．ケネディ／著	北大路書房	¥2,427
00008804	摂食・嚥下機能評価マニュアル －医療面接から訓練計画立案まで－	Jpseph Murray／著	医歯薬出版	¥3,200
00008805	摂食・嚥下障害の患者さんとその家族のために　第2版	西尾正輝	インテルナ出版	¥1,000
00008806	摂食・嚥下メカニズムUPDATE 構造・機能からみる新たな臨床への展開	訳者　金子芳洋	医歯薬出版	¥5,400
00008807	摂食・嚥下リハビリテーション	金子 芳洋／監修	医歯薬出版	¥6,200
00008808	摂食機能療法マニュアル	道健一・黒澤崇四/他編	医歯薬出版	¥4,200
00008809	摂食スキルの発達と障害　原著第2版 －子どもの全体像から考える包括的支援	金子芳洋	医歯薬出版	¥10,000
00008810	セミナー　わかる!摂食・嚥下リハビリテーション3巻 栄養管理と障害へのアプローチ	植松宏	医歯薬出版	¥3,200
00008811	ゼムリン　言語聴覚学の解剖生理	Willard R. Zemlin	医歯薬出版	¥9,400
00008812	ゼムリン　言語聴覚学の解剖生理　原著第4版	willard R.Zemlim 著 館村　卓　監訳	医歯薬出版	¥9,400
00008813	セラピスト教育のためのクリニカル・クラークシップのすすめ	中川法一	三輪書店	¥3,400
00008814	セルフ・カウンセリング　ひとりでできる自己発見法	渡辺 康麿／著	ミネルヴァ書房	¥1,800
00008815	潜在性肝性脳症　診断と治療	渡邊 明治／著	メディカル レビュー社	¥3,689
00008816	全体構造法でとり組む失語症の在宅リハビリ	道関京子	医歯薬出版	¥1,800
00008817	先天性奇形症候群 イラストとパソコンによる診断の手引き[FD付]	木田盈四郎・杉山幸八郎/ 他編	医学書院	¥24,000
00008818	前頭葉機能不全その先の戦略 Ｒｕｓｋ通院プログラムと神経心理ピラミッド	立神 粧子／著	医学書院	¥4,500
00008819	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集	ウイネット	ウイネット	¥1,200
00008820	専門職のためのてんかん援助マニュアル１	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008821	専門職のためのてんかん援助マニュアル２	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008822	専門職のためのてんかん援助マニュアル３	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008823	専門職のためのてんかん援助マニュアル４	小林 良子／編	社団法人 日本てんかん協会東京都支部	¥1,500
00008824	総合学習に役立つボランティア① ボランティア入門	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00008825	総合学習に役立つボランティア5 クラスでできるボランティア	こどもくらぶ／編著	偕成社	¥2,500
00008826	総合学習に役立つボランティア6 学校でできるボランティア	こどもくらぶ／編著	偕成社	¥2,500
00008827	総合学習に役立つボランティア7 ボランティア情報館	こどもくらぶ／編著	偕成社	¥2,500
00008828	増補　精神発達と精神病理　増補版4版	北田　穣之介/馬場　謙一 /下坂　幸三　編	金剛出版	¥4,800
00008829	増補　知的障害者の自己決定権	平田 厚／著	エンパワメント 研究所	¥1,700
00008830	ソーシャル・ワークを考える 社会福祉の方法と実践	高橋 重宏・宮崎 俊策・ 定藤 丈弘／編	川島書店	¥2,000
00008831	ソーシャルロールバロリゼーション入門	W.ウルフェンスバーガー	学苑社	¥1,400
00008832	育て　はぐくむ　かかわる ～障害発達心理学の支店から発達行動を探る～	倉戸　ツギオ	北大路書房	¥2,800
00008833	尊厳ある痴呆　Dementia With Dignity 痴呆性老人のふれあい介護マニュアル	ミセス・バーバラ	医歯薬出版	¥2,720
00008834	ターミナルケア医学	日野原重明	医学書院	¥2,000
00008835	第2回日本言語聴覚士協会総会・学術集会　抄録集	藤田郁代	日本言語聴覚士 協会	頒価不明
00008836	第37回-41回　理学療法士 作業療法士　国家試験問題 解答と解説　(CD-ROM付)	医歯薬出版　編	医歯薬出版	¥6,000
00008837	大学生のための日本語表現トレーニング　スキルアップ編	橋本修・安部朋世/他編	三省堂	¥1,900
00008838	胎児は学ぶ	W・フォン・ラフラー ＝ エンゲル	大修館書店	¥1,442
00008839	対人関係の基礎知識 カウンセリングとグループダイナミクスの活用	平野 馨／著	日本看護協会 出版会	¥1,748
00008840	対人行動学研究シリーズ8 社会的認知	山本眞理子・外山みどり	誠信書房	¥2,200
00008841	対人社会心理学重要研究集5　対人知覚と社会的認知の心理	齊藤　勇	誠信書房	¥2,500
00008842	対人スキルズ・トレーニング　対人関係の技能促進修練ガイドブック	福井康之	ナカニシヤ出版	¥1,800
00008843	対人認知の心的機構－ポスト認知モデルへの提言－	池上知子	風間書房	¥9,500
00008844	ダイナミック・メモリ	ロジャー・Ｃ・シャンク	近代科学社	¥3,400
00008845	ダイナミック神経診断学	柴崎　浩・田川皓一	西村書店	¥16,000
00008846	タイプＡ性格の形成に関する発達心理学的研究	山崎勝之	風間書房	¥13,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008847	対話で学ぶ認知心理学	塩見邦雄	ナカニシヤ出版	¥2,000
00008848	ダウン症候群と療育の発展-理解の向上のために	Valentine Dmitriev／他編著	協同医書出版社	¥3,800
00008849	ダウン症児の家庭教育	丹波 淑子／編著	学苑社	¥2,039
00008850	ダウン症児の心理と指導	水田 善次郎／編著	学苑社	¥2,524
00008851	多角的に診る　発達障害	冨田　和巳　　加藤　敬	診断と治療社	¥4,200
00008852	多職種のための口腔ケア―期待される介護―	阪口英夫　足立三枝子 鈴木俊夫	財団法人 口腔保健協会	¥2,800
00008853	達成動機の心理学的考察	堀野緑	風間書房	¥8,500
00008854	タッチ（神経心理学コレクション）	岩村 吉晃	医学書院	¥3,500
00008855	愉しく食べる		協同医書出版社	¥1,800
00008856	食べすぎてしまう女たち　愛の依存症	ジェニーン・ロス	講談社	¥1,553
00008857	食べる機能の障害 ―その考え方とリハビリテーション―	金子芳洋	医歯薬出版	¥3,400
00008858	多変量解析入門	長田理	オーエムエス出版	¥3,500
00008859	だれでもできる発音・発語指導	柳生 浩	湘南出版社	¥2,427
00008860	地域で働くことを支える	飯田進	ぶどう社	¥1,650
00008861	地域に根ざした作業療法	山田孝	協同医書出版社	¥5,500
00008862	地域リハビリテーション	山口　昇	医学書院	¥3,200
00008863	地域リハビリテーション言論 Ｖｅｒ．４	大田 仁史／著	医歯薬出版	¥1,600
00008864	地域リハビリテーションマニュアル　第2版	伊藤利之・白野明	三輪書店	¥4,200
00008865	地域リハビリテーション論	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00008866	地域リハビリテーション論　Ver.4	大田仁史	三輪書店	¥2,400
00008867	小さいことにくよくよするな！	リチャード・カールソン／著	サンマーク出版	¥1,500
00008868	小さな魔術師	Ｓ．Ｈ．フレイバーグ	金子書房	¥3,500
00008869	チームアプローチによる総合的リハビリテーション	三輪敏	三輪書店	¥8,000
00008870	知恵おくれと自閉 増補改訂版 現代心理学と発達保障理論の批判	柴崎 律／著	社会評論社	¥2,000
00008871	知覚心理学	相場覚他	大蔵省印刷局	¥2,400
00008872	知覚と認知の心理学4 知覚の機序	鳥居 修晃・立花 政夫／共著	培風館	¥3,200
00008873	知覚と表象	Ｉ．ロス　Ｊ．Ｐ．フリスビー	海文堂	¥2,400
00008874	知覚の発達心理学（1）	Ｅ．Ｊ．ギブソン／著	田研出版	
00008875	知覚の発達心理学（2）	Ｅ．Ｊ．ギブソン／著	田研出版	¥10,000
00008876	知識・知能と情報　脳のはたらきと情報処理	板橋　秀一	近代科学社	¥3,000
00008877	知性・感性・邪性　ヒューマンウェアの解剖	牧野 昇・高尾 建次／他著	東洋経済新報社	¥1,500
00008878	知性の進化	ジョゼフ・Ｃ・ピアス	大修館書店	¥2,472
00008879	知的障害・発達障害を持つ人のＱＯＬ	Ｒｏｂｅｒｔ Ｌ．Ｓｃｈａｌｏｃｋ／編	医歯薬出版	¥4,400
00008880	知的障害児の特別支援教育入門	阿部芳久	日本文化科学社	¥2,850
00008881	知的障害児の発達と認知・行動	堅田 明義・ 梅谷 忠勇／編著	田研出版	¥2,500
00008882	知的文章とプレゼンテーション	黒木登志夫	中公新書	¥800
00008883	痴呆症のケア入門	Kathryn A.Bayles・ Cheryl K.Tomoeda	協同医書出版社	¥2,200
00008884	痴呆性疾患の画像診断シリーズ6 ウェルニッケ-コルサコフ症候群とその類縁疾患	北村　伸・ 酒寄　修・他	ワールドプランニング	¥1,600
00008885	痴呆性老人のユースフルアクティビティ	竹内孝仁	三輪書店	¥3,800
00008886	痴呆ハンドブック① 痴呆症の診断　アルツハイマライゼーションと時計描画検査	河野和彦	フジメディカル出版	¥2,500
00008887	痴呆病棟の一日 モーニングケアからナイトケアまで	佐々木 健／編	医学書院	¥2,500
00008888	痴呆老人のアセスメントとケア リアリティ・オリエンテーションによるアプローチ	ウナ・ホールデン/ ロバート・ウッズ	医学書院	¥4,700
00008889	痴呆を生きるということ	小澤勲	岩波新書	¥740
00008890	チャールズ・ベル 表情を解剖する（神経心理学コレクション）	チャールズ ベル	医学書院	¥4,000
00008891	中枢神経疾患のＭＲ診断	小野山靖人	金原出版	¥10,680
00008892	中枢神経疾患の画像診断	山口武典・早川　徹・他	最新医学社	¥7,400
00008893	中枢性聴覚障害の基礎と臨床	加我君孝	金原出版	¥5,500
00008894	聴覚・言語・嚥下の基礎と障害－リハビリから福祉まで－	宮本 健作／編著	ブレーン出版	¥3,800
00008895	聴覚・言語・嚥下の基礎と障害－リハビリから福祉まで－	宮本 健作／編著	ブレーン出版	¥3,800
00008896	聴覚学習	今井　秀雄/編訳	コレール社	¥2,505
00008897	聴覚器ハンドブック	中川雅文	医歯薬出版	¥8,000
00008898	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会/編	南山堂	¥3,400
00008899	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会/編	南山堂	¥3,400
00008900	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会/編	南山堂	¥3,400
00008901	聴覚検査の実際	立木孝	南江堂	¥3,400
00008902	聴覚検査の実際	日本聴覚医学会	南山堂	¥3,400
00008903	聴覚検査の実際　改訂2版	日本聴覚医学会	南山堂	¥3,400
00008904	聴覚検査の実際　改訂3版	立木孝	南山堂	¥3,400
00008905	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008906	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008907	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008908	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008909	聴覚障害	木下攝	協同医書出版社	¥4,000
00008910	聴覚障害学入門	佐藤 泰正／編	学芸図書	¥2,600
00008911	聴覚障害教育コミュニケーション論争史	都築 繁幸／著	御茶の水書房	¥7,400
00008912	聴覚障害児の言語指導	我妻敏博	田研出版	¥2,600
00008913	聴覚障害児の言語とコミュニケーション	岩城　謙　著	教育出版	¥1,900
00008914	聴覚障害児の残存聴力活用	須藤　貢明・濱田　豊彦・ 荒木　紫乃　著	教育出版	¥2,800
00008915	聴覚障害の心理	中野善達　他	田研出版	¥2,800
00008916	聴覚進学概論	B.C.J.ムーア／著	誠信書房	¥4,500
00008917	聴覚進学概論	B.C.J.ムーア／著	誠信書房	¥4,500
00008918	聴覚進学概論	B.C.J.ムーア／著	誠信書房	¥4,500
00008919	聴覚と音響心理	境久雄	コロナ社	¥4,600
00008920	聴覚と音声	三浦種敏	電子情報通信学会	¥5,825
00008921	直感	ドリス・Ｊ・シャルクロス	日本教分社	¥1,619
00008922	チョムスキー理論辞典	原口 庄輔・中村 捷／編	研究社出版	¥5,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00008923	追補改訂版　パニック障害	竹内 龍雄／著	新興医学出版社	¥3,000
00008924	通所リハビリテーション様態別プログラム実践ガイド	荘村明彦	中央法規出版	¥2,800
00008925	使える統計 Excelで学ぶ実践心理統計	櫻井 広幸・神宮 英夫／著	ナカニシ出版	¥2,000
00008926	作って遊ぼう！ハンド・パペット	寺西恵里子	PHP研究所	¥1,200
00008927	つくってさわって感じて楽しい！ 実習に役立つ表現遊び　　指導案つき	岡本 拡子／編著	北大路書房	¥2,300
00008928	ディサースリア　臨床標準テキスト	西尾 正輝／著	医歯薬出版	¥4,200
00008929	ディサースリア臨床標準テキスト	西尾正輝	医歯薬出版	¥4,200
00008930	定本言語にとって美とはなにかⅡ	吉本　隆明	角川書店	¥1,500
00008931	デイリーコンサイス英和・国語辞典　第3版	三省堂編修所	三省堂	¥2,920
00008932	デキルことを活かす　シンプル・テクノロジー	福島　勇 塩田　佳子	こころリソースブック出版社	
00008933	手は脳について何を語るか ―手話失語からみたことばと脳―	H. ポイズナー，Ｅ・クリマ,Ｕ・ベルギ／著	新曜社	¥4,200
00008934	伝承のこどものあそび　えかきうたのほん	尾原　昭夫	アイ企画	¥1,500
00008935	動画でわかる　摂食・嚥下リハビリテーション	藤島一郎・柴本勇	中山書店	¥3,600
00008936	動画でわかるスクイージング 安全で効果的に行う排痰のテクニック	宮川　哲夫／編著	中山書店	¥3,800
00008937	動画でわかる摂食・嚥下障害患者のリスクマネジメント	藤島 一郎・ 柴本 勇／監修	中山書店	¥3,800
00008938	動画でわかる摂食・嚥下リハビリテーション	藤島 一郎・ 柴本 勇／監修	中山書店	¥3,600
00008939	統計でウソをつく法 数式を使わない統計学入門	ダレル・ハフ	講談社	¥880
00008940	瞳孔運動の心理学	松永 勝也／著	ナカニシ出版	¥3,500
00008941	登校拒否・不登校をめぐって 発達の危機、その＜治療＞と＜教育＞	高垣　一郎／著	青木書店	¥1,800
00008942	統合失調症の前駆期治療	宮岡等・齋藤正範	中外医学社	¥3,000
00008943	東洋医学からの贈り物　疲労を回復する強精薬	根本幸夫	健友館	¥204
00008944	トーク認知症-臨床と病理　神経心理学コレクション	小阪憲司・田邉敬貴	医学書院	¥3,500
00008945	特殊児童の教育	サミュエル　Ａ．カーク／著	学苑社	¥5,800
00008946	特別支援教育の新たな展開	柘植雅義	勁草書房	¥2,800
00008947	トポスの知　箱庭療法の世界	河合隼雄	TBSブリタニカ	¥1,942
00008948	どもってもいいんだよ	ことばの臨床教育研究会 代表　長澤泰子（発行）	なし	なし
00008949	どもるあなたに　ようこそ言友会	池田邦彦（発行者）	全国言友会連絡協議会出版委員会	なし
00008950	どもるあなたに ようこそ言友会　私たちの体験談集	池田邦彦（発行責任者）	NPO法人 全国言友会連絡協議会（発行）	なし
00008951	どもる君へ　いま伝えたいこと	伊藤伸二	解放出版社	¥1,200
00008952	どんぐりの家3	山本　おさむ　著	凸版印刷	¥933
00008953	ナーシンググラフィカ⑰　基礎看護学　ヘルスアセスメント	川村佐和子・ 志自岐康子・他	メディカ出版	¥3,200
00008954	ナースのための解剖学	伊藤　隆	南山堂	¥6,800
00008955	ナースのためのくすりの事典２００６	守安洋子	へるす出版	¥3,800
00008956	ナースのための新形成外科学	鬼塚卓弥	金原出版	¥1,942
00008957	内科サブノート　改定第2版	龍野辰郎・阿部達樹	南江堂	¥7,300
00008958	内部障害のリハビリテーション	佐藤徳太郎	医歯薬出版	¥5,200
00008959	治すことにこだわらない，吃音とのつき合い方	水町俊郎　伊藤伸二	ナカニシヤ出版	¥2,000
00008960	なぜかれらは天才的能力を示すのか	ダロルド　・　Ａ　・　トレッファート	草思社	¥2,500
00008961	謎解き音響学	山下光康	丸善	¥1,800
00008962	ナチュラルコンピュテーション 視覚の生物計算理論	ホイットマン・リチャーズ／編	パーソナルメディア	¥4,800
00008963	ナチュラルコンピュテーション2 ―聴覚と触覚・力センシング・運動の計算理論―	Whitman Richards／編	パーソナルメディア	¥4,800
00008964	名前と人間	田中　克彦	岩波書店	¥631
00008965	悩める保護者・先生へ 落ち着きのない子どもたち 多動症候群への理解と対応	石崎 朝世／編著	すずき出版	¥1,600
00008966	なるほど！失語症の評価と治療	小嶋知幸・大塚裕一・ 宮本恵美	金原出版	¥4,800
00008967	難聴　それを克服するために	岡本途也　他	真興交易	¥920
00008968	なんでもできる片まひの生活―くらしが変わる知恵袋―	臼田喜久江	青波社	¥2,400
00008969	日英語対照による　英語学演習シリーズ１　音声学・音韻論	窪薗晴夫	くろしお出版	¥2,000
00008970	日英語対照による英語学演習シリーズ１ 音声学・音韻論	窪薗 晴夫／著	くろしお出版	¥2,000
00008971	日英語対照による英語学演習シリーズ4　機能的統語論	高見 健一／著	くろしお出版	¥2,000
00008972	日英語比較選書10　音韻構造とアクセント	窪薗　晴夫　太田　聡	研究者出版	¥2,400
00008973	日欧比較音声学入門	神山　孝夫	鳳書房	¥2,884
00008974	日本漢字音論究	高松政雄	風間書房	¥16,000
00008975	日本語音声学	天沼 寧・ 大坪 一夫／他著	くろしお出版	¥1,800
00008976	日本語音声学	天沼　寧	くろしお出版	¥1,806
00008977	日本語音声学入門	斎藤 純男／著	三省堂	¥2,000
00008978	日本語教育のための基本語彙調査	国立国語研究所	秀英出版	¥6,000
00008979	日本語教師のための言語学入門	小泉　保	大修館書店	¥2,500
00008980	日本語要覧	工藤浩・小林賢次/他編	ひつじ書房	¥1,900
00008981	日本障害者センター発達保障講座 広汎性発達障害の子どもと医療	市川　宏伸　著	かもがわ出版	¥1,200
00008982	日本人の鳴き声	中野純	ＮＴＴ出版	¥1,845
00008983	日本人の脳　脳の働きと東西の文化	角田 忠信／著	大修館書店	¥2,500
00008984	日本人の発育発達 ―青少年の発育促進現象の研究―	川畑愛義	誠信社	¥3,000
00008985	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会eラーニング対応 大２分野 摂食・嚥下リハビリテーションの前提	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会・編	医歯薬出版	¥2,900
00008986	日本の社会保障	大塚信一	岩波書店	¥740

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00008987	日本版WAIS-R採点の実際	小林重雄 前川久男 藤田和弘/他著	日本文化科学社	¥2,200
00008988	日本版デンバー式発達スクリーニング検査　増補版 ＪＤＤＳＴとＪＰＤＱ	W.K.Frankenburg／原著	医歯薬出版	¥3,000
00008989	乳児心理学	小嶋謙四郎	川島書店	¥3,296
00008990	ニューバイオフィジックス8 脳・神経システムの数理モデル　視覚系を中心に	臼井 支朗／編	共立出版	¥3,400
00008991	入門 感覚統合法の理論と実践	坂本　龍生/編	学習研究社	¥1,456
00008992	入門　リハビリテーション概論　第3版	中村隆一　編	医歯薬出版	¥4,100
00008993	入門　リハビリテーション概論　第4版	中村隆一　編	医歯薬出版	
00008994	入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 ①子どものコミュニケーションの障害	笹沼 澄子／監修	大修館書店	¥2,000
00008995	入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 ②成人のコミュニケーション障害	笹沼 澄子／監修	大修館書店	¥1,900
00008996	入門人体解剖学 改定第４版	藤田恒夫	南江堂	¥5,000
00008997	入門リハビリテーション医学　第2版	中村隆一	医歯薬出版	¥7,300
00008998	入門リハビリテーション概論　第4版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,500
00008999	入門リハビリテーション概論　第７版	中村 隆一／編	医歯薬出版	¥5,800
00009000	入門リハビリテーション概論第５版	中村隆一	医歯薬出版	¥4,600
00009001	乳幼児心理学 －人生最初期の発達を考える－	若井邦夫 高橋義信 高橋道子/他著	サイエンス社	¥2,400
00009002	乳幼児の家庭療育プログラム	LaVonne Jaeger／著	医歯薬出版	¥3,150
00009003	乳幼児の摂食指導-お母さんの疑問にこたえる-	向井　美惠/編	医歯薬出版	¥3,800
00009004	乳幼児の発達としつけ	小関 康之／著	中央法規出版	¥1,553
00009005	乳幼児の発達の見方と指導	高橋種昭 高野陽 加藤忠明/他著	日本小児医事出版社	¥1,553
00009006	乳幼児発育評価マニュアル	小林　登／監修	文光堂	¥2,800
00009007	ニューロサイエンス&テクノロジーシリーズ 音声・聴覚と神経回路網モデル	中川 聖一・鹿野 清宏 ／他著	オーム社	¥3,400
00009008	人間関係が楽しくなる　エンカウンター・グループへの招待	福井 康之／著	新水社	¥2,000
00009009	人間関係の心理学－体験をとおして学ぶ心理学－	蓮見　将敏・小山　望 ／編著	福村出版	¥2,000
00009010	人間関係の発達心理学　1巻　人間関係の障害発達	澤田　端也	培風館	¥2,350
00009011	人間関係の発達心理学　2巻　乳幼児期の人間関係	佐藤　眞子　編	培風館	¥2,400
00009012	人間関係の発達心理学　4巻　青年期の人間関係	斎藤　誠一　編	培風館	¥2,400
00009013	人間行動学　心理人類学への道	荘厳 舜哉 ／著	福村出版	¥2,500
00009014	人間精神学序説	中塚　善次郎	風間書房	¥13,000
00009015	人間の学習と発達	堂野恵子	北大路書房	¥4,800
00009016	人間の情報処理と生理心理学	松田俊	多賀出版	¥5,700
00009017	人間の発達と臨床心理学１　生涯発達と臨床心理学	伊藤 隆二／他編	駿河台出版	¥3,301
00009018	人間発達の心理学	藤永　保	サイエンス社	¥2,300
00009019	認識心理学（上）	アーサー．W．コームズ アン．C．リチャーズ フレッド．リチャーズ	ブレーン出版	¥4,855
00009020	認識心理学（下）	アーサー．W．コームズ アン．C．リチャーズ フレッド．リチャーズ	ブレーン出版	¥4,855
00009021	認知意味論の原理	中右 実／著	大修館書店	¥4,500
00009022	認知科学	相場覚他	大蔵省印刷局	¥3,000
00009023	認知科学選書11　傾いた図形の謎	高野 陽太郎／著	東京大学出版会	¥2,200
00009024	認知科学選書12　音楽と認知	波多野 誼余夫／編	東京大学出版会	¥2,600
00009025	認知科学選書5　読むということ	御領　謙	東京大学出版会	¥2,678
00009026	認知科学通論	N．A．スティリングス M．H．ファインシュタイン 他	新曜社	¥6,300
00009027	認知科学の基礎3 記憶と思考	マイケル・I・ポズナー	産業図書	¥3,200
00009028	認知科学のフロンティア	箱田裕司	サイエンス社	¥2,500
00009029	認知科学ハンドブック	岩崎 俊・波多野 誼余夫 ／編	共立出版	¥23,000
00009030	認知科学モノグラフ9 自己と感情　文か心理学による問いかけ	北山 忍／著	共立出版	¥2,600
00009031	認知機能からみた精神分裂病　生物学的精神医学Vol.4	日本生物学的精神医学会	学会出版センター	¥4,660
00009032	認知言語学の基礎	河上 誓作／編著	研究社出版	¥2,700
00009033	認知行動療法	板野　雄二	日本評論社	¥2,500
00009034	認知行動療法の理論と実際	岩本　隆茂/大野　裕/ 板野　雄二	培風館	¥3,700
00009035	認知障害のリハビリテーション	清水一・千島亮・原寛美・ 宮森孝史・綿森淑子	医歯薬出版	¥5,600
00009036	認知症のコミュニケーション障害 その評価と支援	三村將・飯干紀代子	医歯薬出版	¥3,000
00009037	認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント	山口晴保	協同医書出版社	¥3,300
00009038	認知情報処理	太原育夫	オーム社	¥3,300
00009039	認知神経心理学	相馬芳明・本田仁視	医学書院	¥8,500
00009040	認知心理学	小谷津孝明他	大蔵省印刷局	¥2,505
00009041	認知心理学：理論とデータ	太田信夫・多鹿秀継	誠信書房	¥3,000
00009042	認知心理学１　知覚と運動	乾 敏郎／編	東京大学出版会	¥3,400
00009043	認知心理学２　記憶	高野 陽太郎／編	東京大学出版会	¥3,400
00009044	認知心理学３　言語	大津 由紀雄／編	東京大学出版会	¥3,400
00009045	認知心理学４　思考	市川 伸一／編	東京大学出版会	¥3,400
00009046	認知心理学５　学習と発達	波多野 誼余夫 ／編	東京大学出版会	¥3,400
00009047	認知心理学事典	A.エリス、E.ハント／編	新曜社	¥7,200
00009048	認知心理学重要研究集1－視覚認知	齊藤勇	誠信書房	¥2,800
00009049	認知心理学重要研究集2－記憶認知	齊藤勇	誠信書房	¥3,200
00009050	認知心理学選書1　視点	宮崎　清孝・上野 直樹 ／著	東京大学出版会	¥2,600

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009051	認知心理学選書10　認知科学の方法	佐伯 胖／著	東京大学出版会	¥2,700
00009052	認知心理学選書4　理解とは何か	佐伯 胖／編	東京大学出版会	¥2,200
00009053	認知心理学選書6　認知とパフォーマンス	梅本 堯夫／著	東京大学出版会	¥2,200
00009054	認知心理学選書7　心の科学は可能か	土屋 俊／著	東京大学出版会	¥2,200
00009055	認知心理学選書8　知るということ	渡辺 慧／著	東京大学出版会	¥2,600
00009056	認知心理学選書9　緊急時の情報処理	池田 謙一／著	東京大学出版会	¥2,900
00009057	認知心理学と人間の情報処理　Ⅰ －情報処理パラダム－	R. ラックマン J. L. ラックマン E. C. バターフィールド	サイエンス社	¥2,621
00009058	認知心理学と人間の情報処理 Ⅱ －意識と記憶－	R. ラックマン J. L. ラックマン E. C. バターフィールド	サイエンス社	¥2,621
00009059	認知心理学と人間の情報処理Ⅲ －言語と理解－	R. ラックマン J. L. ラックマン E. C. バターフィールド	サイエンス社	¥2,621
00009060	認知心理学入門	D. A. ノーマン	誠信書房	¥1,800
00009061	認知心理学入門－その基礎理論と応用	岡林春雄	金子書房	¥2,500
00009062	認知心理学の源流 ヘルムホルツの思想	大村敏輔	ブレーン出版	¥9,515
00009063	認知心理学の視点 理論と測定法	長縄久生・ 椎名乾平　他	ナカニシヤ出版	¥2,800
00009064	認知心理学を語る1　おもしろ記憶のラボラトリー	森 敏昭／編著	北大路書房	¥2,500
00009065	認知心理学を語る2　おもしろ言語のラボラトリー	森 敏昭／編著	北大路書房	¥2,500
00009066	認知心理学を語る3　おもしろ思考のラボラトリー	森 敏昭／編著	北大路書房	¥2,500
00009067	認知心理学を知る	市川伸一	ブレーン出版	¥1,900
00009068	認知と思考 －思考心理学の最前線－	多鹿秀継	サイエンス社	¥2,300
00009069	認知の大脳半球機能差に関する研究	小川 嗣夫／著	風間書房	¥8,500
00009070	認知の微視的構造―哲学、認知科学、ＰＤＰモデル―	アンディ・クラーク／著	産業図書	¥4,500
00009071	認知発達と生得性―心はどこから来るのか―	乾 敏郎・今井 むつみ・ 山下 博志／訳	共立出版	¥7,500
00009072	認知療法-精神療法の新しい発展-	アーロン・T・ベック	岩崎学術出版	¥5,000
00009073	認知療法入門	アーサー・フリーマン	星和書店	¥3,000
00009074	認知療法ハンドブック　下巻	大野　裕/小谷津　孝明	星和書店	¥3,800
00009075	認知療法ハンドブック　上巻	大野　裕/小谷津　孝明	星和出版	¥3,680
00009076	認知療法臨床ハンドブック	A.フリーマン・Ｊ.プレッツァー／著	金剛出版	¥7,300
00009077	認知臨床心理学入門	W・ドライデン/ R・レントゥル	東京大学出版	¥4,000
00009078	ねたきり老人の介助	松村 秩／著	医歯薬出版	¥1,400
00009079	ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス 原著第１版	Ｎｅｉｌ　Ｓ．Ｎｏｒｔｏｎ　／著	医歯薬出版	¥10,000
00009080	脳・頭頸部のＭＲＩ診断 頭頚部・骨・軟部組織・脊椎・椎間板・膀胱・前立腺・女性骨盤	竹中榮一	メジカルビュー社	¥5,500
00009081	脳・神経系のＭＲＩ診断 基礎と臨床	高倉公朋	朝倉書店	¥17,000
00009082	脳外傷者のリハビリテーション 就労をめざして	Dale F. Thomas,Ph.D.／著	三輪書店	¥3,200
00009083	脳外傷リハビリテーションマニュアル	大橋正洋	医学書院	¥4,500
00009084	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテーション入門	橋本 圭司・上久保 毅 ／編著	診断と治療社	¥3,600
00009085	脳解剖から学べる高次脳機能障害リハビリテーション入門	橋本圭司、上久保毅	診断と治療社	¥3,600
00009086	脳が言葉を取り戻すとき－失語所のカルテから-	佐野 洋子・ 加藤 正弘／著	日本放送出版協会	¥1,070
00009087	脳からみた心	山鳥 重／著	日本放送出版協会	¥970
00009088	脳からみた心	山鳥　重	日本放送出版協会	¥970
00009089	脳幹　　神経科学の基礎と臨床	板倉 徹・ 前田 敏博／編著	ブレーン出版	¥12,000
00009090	脳血管障害　その臨床的アプローチ	山口武典・高木誠・ 亀山正邦他	医学書院	¥4,000
00009091	脳梗塞の診断と治療　ブレインアタック時代の新たな展開	橋本洋一郎	診療新社	¥8,000
00009092	脳循環代謝改善薬	大友 英一／編	医薬ジャーナル社	¥3,800
00009093	脳障害者の心理臨床　病める心のリハビリテーション	小山充道	学苑社	¥3,200
00009094	脳神経・末梢神経検査マニュアル	大石 実・小野 真一／訳	医学書院	¥2,500
00009095	脳神経疾患のみかたABC	篠原幸人・水野美邦	日本医師会	¥5,340
00009096	脳神経の機能解剖	高倉　公明	医学書院	¥5,500
00009097	脳性まひ児の家庭療育　原著第3版	梶浦一郎・鈴木恒彦	医歯薬出版	¥3,500
00009098	脳性まひ児の早期治療　第2版　　［原著第3版］	今川 忠男／監訳	医学書院	¥3,500
00009099	脳性麻痺リハビリテーションガイドライン	日本リハビリテーション 医学会	医学書院	¥3,200
00009100	脳生理心理学重要研究集1 －意識と行動	堀忠雄・齊藤勇	誠信書房	¥3,750
00009101	脳卒中・神経難病による　発音・発声の障害 －ST・家族・医療福祉専門職のためのディスアースリア・ガイドブック－	玉井直子	ライブストーン	¥2,600
00009102	脳卒中患者の機能評価　SIASとFIMの実際	千野直一	シュプリンガー・ フェアラーク東京	¥2,800
00009103	脳卒中患者の口腔ケア	植田耕一郎	医歯薬出版	¥4,700
00009104	脳卒中後遺症の最新知見　　薬物療法を中心に	大友 英一／著	医薬ジャーナル社	¥3,200
00009105	脳卒中ことはじめ第2版	種田二郎・杉本啓子・ 今井保・今井由美子・ 阪本君代・谷川佐智子	医学書院	¥2,800
00009106	脳卒中後のコミュニケーション障害	竹内 愛子・河内 十郎 ／編著	協同医書出版社	¥5,600
00009107	脳卒中後のコミュニケーション障害	竹内愛子、河内十郎	協同医書出版社	¥5,600
00009108	脳卒中後のコミュニケーション障害　改訂第2版	竹内　愛子・河内　十郎 /編	協同医書出版	¥5,600
00009109	脳卒中後のコミュニケーション障害　改訂第2版 成人コミュニケーション障害者のリハビリテーション：失語症を中心に	竹内愛子・河内十郎	協同医書出版社	¥5,600
00009110	脳卒中最前線　急性期の診断から	藤田勉	医歯薬出版	¥8,100
00009111	脳卒中者の集団リハビリテーション訓練の13原則	大田 仁史／著	三輪書店	¥2,400

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009112	脳卒中治療ガイドライン２００４	篠原幸人・ 吉本高志/他編	協和企画	¥4,000
00009113	脳卒中に勝つ	水上 公宏／著	北隆館	¥650
00009114	脳卒中の機能評価と予後予測　第２版	中村 隆一・ 長崎 浩／編	医歯薬出版	¥5,400
00009115	脳卒中の生活ガイド	前田 真治／著	医歯薬出版	¥1,700
00009116	脳卒中の摂食・嚥下障害　第２版	藤島 一郎／著	医歯薬出版	¥4,600
00009117	脳卒中の摂食・嚥下障害　第２版	藤島 一郎／著	医歯薬出版	¥4,600
00009118	脳卒中の早期リハビリテーション　第２版	二木 立・上田 敏／共著	医学書院	¥3,800
00009119	脳卒中のホーム・エクササイズ　第2版	井口 恭一／著	医歯薬出版	¥3,200
00009120	脳卒中のリハビリテーション―基礎から実際まで―	江藤 文夫／著	新興医学出版	¥4,000
00009121	脳卒中リハビリテーション　早期リハからケアマネジメントまで 第2版	近藤克則・大井通正	医歯薬出版	¥5,200
00009122	脳卒中リハビリテーション 早期リハからケアマネジメントまで	近藤克則・大井通正	医歯薬出版	¥5,200
00009123	脳卒中リハビリテーションポケットマニュアル	原　寛美	医歯薬出版	¥2,200
00009124	脳卒中リハビリテーション連携パス　基本と実践のポイント	日本リハビリテーション医学会診療ガイドライン委員	医学書院	¥3,800
00009125	脳卒中を生きる意味　病と障害の社会学	細田満知子	青海社	¥3,200
00009126	脳損傷による視覚障害のリハビリテーション	平山和美	医学書院	¥3,500
00009127	脳損傷の理解	小暮久也	MEDSI	¥5,800
00009128	脳損傷のリハビリテーションのための方法　頭が働く練習帳シリーズ	藤井正子	新興医学出版社	¥4,200
00009129	脳損傷のリハビリテーションのための方法　記憶の練習帳	藤井正子・松岡恵子	新興医学出版社	¥4,800
00009130	脳損傷のリハビリテーションのための方法　聞く注意力の練習帳	藤井正子	新興医学出版社	¥7,600
00009131	脳単（ノウタン）―語源から覚える解剖学英単語集―	原島 広至 ／本文・イラスト	エヌ・ティー・エス	¥2,600
00009132	脳と科学のメカニズム	松本元	丸善株式会社	¥7,500
00009133	脳と教育	坂野登	朝倉書店	¥2,600
00009134	脳と行動のしくみ	八田 武志／著	医歯薬出版	¥2,330
00009135	脳とこころの科学	鶴　紀子	新興医学出版社	¥4,700
00009136	脳とこころの不思議な関係	古川聡	川島書店	¥2,500
00009137	脳とことば	岩田誠	井立出版	¥2,900
00009138	脳と情動	堀哲郎	共立出版	¥3,400
00009139	脳と神経内科	小長谷正明	岩波新書	¥660
00009140	脳とニューロンの科学	新井康允	裳華房	¥3,200
00009141	脳とワーキングメモリ	苧阪直行	京都大学 学術出版会	¥7,000
00009142	脳の科学　脳とコミュニケーション	岩倉　誠	朝倉書店	¥5,500
00009143	脳のしくみとはたらき　神経心理学からさぐる脳と心	クリスティーヌ・テンプル	講談社	¥1,100
00009144	脳の発達と子どものからだ　　改訂増補版	久保田 競・斎藤 公子 ／共著	築地書館	¥1,200
00009145	脳の話	時実利彦	岩波新書	¥740
00009146	脳のリハビリテーション：認知運動療法の提言　[1]中枢神経疾患	CarloPerfetti	協同医書出版社	¥4,000
00009147	脳は絵をどのように理解するか	ロバート・Ｌ・ソルソ	新曜社	¥3,500
00009148	脳リハビリテーションの実際 早期認知症の予防と改善プログラム	金子満雄・杉田フミエ	医歯薬出版	¥2,200
00009149	能力という謎 シリーズ 発達と障害を探る 第3巻	長崎勤 本郷一夫	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009150	脳を鍛える大人の音読ドリル 名作音読・漢字書き取り60日	川島隆太	くもん出版	¥1,000
00009151	脳を究める　脳研究最前線	立花 隆／著	朝日新聞社	¥2,200
00009152	脳を学ぶ～「ひと」がわかる生物学	森岡　周	横山印刷	¥2,800
00009153	脳を観る　認知神経科学が明かす心の謎	M・Iポスナー・ M・E・レイクル	日経サイエンス社	¥3,500
00009154	ノーザン聴覚言語障害学マニュアル	クロード・ロベルシュ	岩崎学術出版社	¥4,500
00009155	ノーマライゼーションの町づくり	山本和義	医歯薬出版	¥2,000
00009156	ノーマライゼーションをめざして	姥山寛代	中央法規	¥2,000
00009157	歯/歯列の発育	Frans P.G.M. van der Linden（三浦不二夫/黒田敬之　共訳）	クインテッセンス出版	¥10,000
00009158	パーソナリティ障害　いかに接し、どう克服するか	岡田 尊司／著	PHP研究所	¥780
00009159	ハートソング　すべての人のこころに歌を	マティ・ステパネク	PHP研究所	¥1,000
00009160	バイオサイコロジーⅡ　［第2版］　心理学の新しい流れ	J.W.カラット／著	サイエンス社	¥2,427
00009161	バイオサイコロジーⅢ　［第2版］　心理学の新しい流れ	J.W.カラット／著	サイエンス社	¥2,427
00009162	バイオマニュアルUPシリーズ　脳・神経研究プロトコール	御子柴 克彦／編	羊土社	¥6,505
00009163	ハインズ神経解剖学アトラス　第２版	山内　昭雄	メディカル・サイエンス・インターナショナル	¥5,800
00009164	ハヴィガーストの発達課題と教育	ハヴィガースト	川島書店	¥2,000
00009165	箱庭療法　基礎的研究と実践	木村 晴子／著	創元社	¥2,800
00009166	はじめてであう小児科の本　改訂第二版	山田真	福音館書店	¥2,600
00009167	はじめての応用行動分析	ポール　A.アルバート・アン　C.トルートマン	二瓶社	¥3,200
00009168	はじめての手話〈1〉 （バリアフリーの本―「障害」のある子も“みんないっしょに”）	矢沢 国光	偕成社	¥2,500
00009169	パソコンで学ぶ言語聴覚士・高専学生のための音響・音声工学入門	幸田晃	斯文堂	¥1,900
00009170	働く人のための精神医学	岡田 尊司／著	PHP研究所	¥820
00009171	発声矯正と語学教育　ザグレブ言語教育の理論と実際	クロード・ロベルジュ ／編著	大修館書店	¥2,300
00009172	発声障害外来	小宮山荘太郎	MEDICALVIEW	¥7,000
00009173	発声の基礎　生理的・物理的・言語的分析	ウィリアム・ワン／著	研究社出版	¥2,184
00009174	発達からみた脳性運動障害の治療	中島　雅之輔	新興医学出版社	¥7,500
00009175	発達期言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00009176	発達障害児のリハビリテーション	伊藤　利之	永井書店	¥6,000
00009177	発達障害の基礎	有馬 正高／監修	日本文化科学社	¥8,000
00009178	発達障害の子どもを理解する	小西　行郎	集英社新書	¥720
00009179	発達障害の子を育てる家族への支援	柘植雅義　他	金子書房	¥2,400
00009180	発達障害の豊かな世界	杉山　登志郎 著	日本評論社	¥1,900
00009181	発達障害の理解と支援のためのアセスメント	前川 久男・梅永 雄二／編	日本文化科学社	¥2,800

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009182	発達障害の理解と支援のためのアセスメント	前川　久男・梅永　雄二・ 中山　健/編	日本文化科学社	¥2,800
00009183	発達障害の臨床	有馬 正高／監修	日本文化科学社	¥6,500
00009184	発達障害白書　2003年版	日本知的障害福祉連盟	日本文化科学社	¥4,200
00009185	発達障害白書　2004年版	日本知的障害福祉連盟	日本文化科学社	¥4,200
00009186	発達障害白書　2005年版	日本知的障害福祉連盟／編	日本文化科学社	¥4,200
00009187	発達障害白書2002　メインテーマ主体性の確立	日本知的障害福祉連盟／編	日本文化科学社	¥4,000
00009188	発達障害白書2007年版	湯汲英史　他	明石書店	¥2,800
00009189	発達障害白書2008年版	湯汲英史　他	明石書店	¥2,800
00009190	発達障害白書2009年版	湯汲英史　他	明石書店	¥2,800
00009191	発達障害白書2010年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009192	発達障害白書2011年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009193	発達障害白書2012年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,400
00009194	発達障害白書2013年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009195	発達障害白書2014年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009196	発達障害白書2015年版	湯汲英史　他	明石書店	¥3,000
00009197	発達障害をもつ高齢者とQOL	三谷嘉明	明治図書出版	¥2,204
00009198	発達診断と大津方式	田中杉恵	青木書店	¥2,800
00009199	発達心理学	岩田純一 吉田直子 山上雅子/他著	有斐閣	¥1,800
00009200	発達心理学　子どもと教育	岡本夏木 浜田寿美男	岩波書店	¥1,700
00009201	発達心理学概説(下)	秋葉英則	清風堂書店出版部	¥1,748
00009202	発達心理学概説(上)	秋葉英則	清風堂書店出版部	¥1,456
00009203	発達心理学ガイドブック	安西豪行 尾形和男 春原由紀	建帛社	¥1,900
00009204	発達心理学再考のための序説	浜田寿美男	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009205	発達心理学史	村田孝次	培風館	¥9,000
00009206	発達心理学とフェミニズム	柏木惠子 高橋惠子	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009207	発達心理学とフェミニズム	柏木惠子 高橋惠子	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009208	発達心理学入門Ⅱ 青年・成人・老人	無藤隆 高橋惠子 田島信元	東京大学出版会	¥2,400
00009209	発達心理学入門Ⅰ 乳児・幼児・児童	無藤隆 高橋惠子 田島信元	東京大学出版会	¥2,400
00009210	発達心理学の基礎Ⅰ ライフサイクル	平山諭 鈴木隆男	ミネルヴァ書房	¥2,300
00009211	発達心理学の基礎Ⅱ 機能の発達	平山諭 鈴木隆男	ミネルヴァ書房	¥2,300
00009212	発達心理学の基礎Ⅲ 発達ニーズの臨床	平山諭 鈴木隆男	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009213	発達心理学の基本を学ぶ －人間発達の生物学的・文化的基盤－	ジョージ・バターワース マーガレット・ハリス	ミネルヴァ書房	¥3,800
00009214	発達心理学への招待	柏木惠子 古沢頼雄 宮下孝広	ミネルヴァ書房	¥2,500
00009215	発達心理学用語辞典	山本 多喜司／監修	北大路書房	¥3,592
00009216	発達心理学要論	平井誠也	北大路書房	¥2,500
00009217	発達心理学を愉しむ	宮原英種 宮原和子	ナカニシヤ出版	¥2,200
00009218	発達と障害を考える本１　ふしぎだね!? 自営症のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009219	発達と障害を考える本２　ふしぎだね!? アスペルガー症候群（高機能自閉症）のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009220	発達と障害を考える本３　ふしぎだね!? ＬＤ（学習障害）のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009221	発達と障害を考える本４　ふしぎだね!? ＡＤＨＤ（注意欠陥多動性障害）のおともだち	内山 登紀夫／監修	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009222	発達に遅れがある子どもの日常生活指導 ①食事指導編	飯田雅子・(財)鉄道弘済会 総合福祉センター弘済学園	学習研究社	¥2,500
00009223	発達の神経心理学的評価 －学習障害・MBDの診断のために	萱村俊哉	多賀出版	¥8,000
00009224	発達のダイナミックスと地域性	上田礼子	ミネルヴァ書房	¥3,600
00009225	発達の理論	W.C.クレイン	田中出版	¥7,000
00009226	発話メカニズムの解剖と生理	JOEL C.KAHANE	インテルナ出版	¥2,800
00009227	歯で殺されないために -全身を狂わし人生の屋台骨まで狂わす顎関節症闘病記-	岬奈美	ＪＤＣ	¥1,166
00009228	鼻アレルギー 診療ガイドブック	形浦 昭克・朝倉 光司／編	南江堂	¥4,854
00009229	話すことが苦手な人のアサーション　どもる人とのワークショップの記録	平木典子・伊藤伸二	金子書房	¥1,800
00009230	花開く自己ーカウンセリングのためのサイコシンセシス	国谷誠朗・平松園枝	誠信書房	¥3,500
00009231	母親法　聴覚に障害がある子どもの早期教育	金山 千代子／著	ぶどう社	¥3,000
00009232	バリアフリーの本　1　目に障害のある子といっしょに	竹内恒之	偕成社	¥2,500
00009233	バリアフリーの本　10　「障害」ってなんだろう？	藤田雅子　湯汲英史	偕成社	¥2,500
00009234	バリアフリーの本　2　はじめての点字	石井みどり	偕成社	¥2,500
00009235	バリアフリーの本　3　耳に障害のある子といっしょに	廣田栄子	偕成社	¥2,500
00009236	バリアフリーの本　5　まじめての手話②	矢沢国光	偕成社	¥2,500
00009237	バリアフリーの本　6　からだに障害のある子といっしょに	野辺明子	偕成社	¥2,500
00009238	バリアフリーの本　7　知的障害のある子といっしょに	石井葉　湯汲英史	偕成社	¥2,500
00009239	バリアフリーの本　8　重い障害のある子といっしょに	石崎朝世　一松麻実子	偕成社	¥2,500
00009240	バリアフリーの本　9　障害のある人へのボランディア活動	山崎美貴子　瀧澤利行	偕成社	¥2,500
00009241	春の夢　ＡＬＳの方へのコミュニケーション支援	木村 康子／編著	コミュニケーション・アシスト・ネットワーク	頒価不明
00009242	半側無視の神経心理学	ラインハルト・ヴェルト ／著	シュプリンガー・フェアラーク東京	¥3,689

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009243	ピアジェ×ワロン論争	加藤義信、他	ミネルヴァ書房	¥2,369
00009244	ピアジェの均衡化概念の形成と発展	日下正一	風間書房	¥9,785
00009245	光とともに・・・12　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009246	光とともに・・・14　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009247	光とともに・・・15　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009248	光とともに・・・8　　自閉症児を抱えて	戸部 けいこ／著	秋田書店	¥760
00009249	ピクルス聴覚生理学	J.0.ピクルス／著	二瓶社	¥3,845
00009250	ピジン・クレオール入門	ロレト・トッド	大修館書店	¥1,700
00009251	ひとと集団・場　　ひとの集まりと場を利用する　第2版	山根 寛・香山 明美・ 加藤 寿宏／他著	三輪書店	¥3,300
00009252	人の顔または表情の識別について	池田進	関西大学出版部	¥4,500
00009253	ヒトのからだ	三木成夫	うぶすな書院	¥2,200
00009254	人を賢くする道具	D.A.ノーマン	新曜社 認知科学選書	¥3,600
00009255	比喩の処理過程と意味構造	楠見　孝	風間書房	¥12,000
00009256	病院心理臨床入門　第２版	長尾 博／著	ナカニシ出版	¥1,999
00009257	病院における心理療法-ユング心理学の臨床-	渡辺 雄三／著	金剛出版	¥4,000
00009258	描画から箱庭まで　ユング派による子どもの心理療法	ジョン・アラン／著	学苑社	¥2,816
00009259	描画から箱庭まで－ユング派による子どもの心理療法	ジョン・アラン／著	学苑社	¥2,816
00009260	標準形成科学 第４版	秦維郎	医学書院	¥6,800
00009261	標準形成科学 第４版	秦維郎	医学書院	¥6,800
00009262	標準形成外科学　第５版	秦 維郎・野﨑 幹弘／編	医学書院	¥6,800
00009263	標準言語聴覚障害学　失語症学	藤田郁代、立石雅子	三美印刷	¥5,000
00009264	標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害学概論	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009265	標準言語聴覚障害学 言語発達障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009266	標準言語聴覚障害学 聴覚障害学	中村 公枝／他編	医学書院	¥5,200
00009267	標準言語聴覚障害学 発声発語障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009268	標準言語聴覚障害学 発声発語障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,000
00009269	標準口腔外科学	高橋庄二郎	医学書院	¥12,000
00009270	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版社	¥6,800
00009271	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版社	¥6,800
00009272	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版社	¥6,800
00009273	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版社	¥6,800
00009274	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版社	¥6,800
00009275	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版社	¥6,800
00009276	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版社	¥6,800
00009277	標準失語症検査マニュアル	日本失語症学会ＳＬＴＡ小 委員会マニュアル改訂部会 ／著	新興医学出版	¥6,800
00009278	標準失語症検査マニュアル　改訂第２版	日本高次脳機能障害学会 ／著	新興医学出版社	¥7,000
00009279	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学　第3版	鈴木淳一・ 中井義明/他編	医学書院	¥8,000
00009280	標準小児科学	森川昭廣・内山聖	医学書院	¥8,800
00009281	標準小児科学　第4版	前川 喜平・ 辻 芳郎／監修	医学書院	¥8,800
00009282	標準整形外科学　第8版	石井清一・平澤泰介	医学書院	¥9,200
00009283	標準ディサースリア検査	西尾 正輝／著	インテルナ出版	¥5,700
00009284	標準ディサースリア検査	西尾正輝	インテルナ出版	¥5,700
00009285	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　小児科学	奈良勲、鎌倉矩子	医学書院	¥4,000
00009286	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　生理学	石澤光郎、冨永淳	医学書院	¥4,200
00009287	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　生理学	奈良勲、鎌倉矩子	医学書院	¥4,400
00009288	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　生理学　第3版	シリーズ監修 奈良 勲 他 石沢 光郎・富永 淳/執筆	医学書院	¥4,200
00009289	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　内科学	奈良　勲・鎌倉矩子	医学書院	¥6,000
00009290	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　病理学	梶原　博毅/編	医学書院	¥4,400
00009291	標準理学療法学・作業療法学　老年学　第2版	大内尉義　編	医学書院	¥4,200
00009292	標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 内科学　第2版	大成 浄志／著	医学書院	¥6,000
00009293	標準リハビリテーション医学	津山　直一　監修	医学書院	¥6,800
00009294	病巣感染を考える	形浦昭克	金原出版	¥4,800
00009295	病態で学ぶ呼吸・循環・消化器学	大地陸男	丸善	¥3,800
00009296	病態で学ぶ神経・免疫・遺伝学	藤原道夫	丸善	¥2,800
00009297	病名辞典	大屋　崇	榮光堂	¥4,000
00009298	病理学への招待	伏木信次	共和書院	¥3,619
00009299	開かれてゆく心-自閉症児を育てた母親の記憶－	中川 真理子／著	学苑社	¥1,500
00009300	福祉の思想	糸賀 一雄／著	日本放送出版協会	¥970
00009301	福祉文化論	一番ケ瀬康子、他	有斐閣ブック	¥2,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009302	ブックガイド心理療法　-河合 隼雄が読む-	河合 隼雄／著	日本評論社	¥1,700
00009303	普遍文法と第二言語獲得 原理とパラメータのアプローチ	リディア・ワイド／著	リーベル出版	¥2,600
00009304	プレイセラピィ 遊戯法　　子どもの心理臨床入門	飽田 典子／著	明光社	¥3,200
00009305	プレインサイエンスⅣ	佐藤 昌康／編	朝倉書店	¥5,500
00009306	フロイト草稿の再評価	安野英紀	金剛出版	¥4,800
00009307	フロイトの技法論　上巻	ジャック-アラン・ミレール	岩波書店	¥3,600
00009308	プロセスモデルで考える 摂食・嚥下リハビリテーションの臨床　咀嚼嚥下と食機能	才藤 栄一／監修	医歯薬出版	¥6,800
00009309	プロセスモデルで考える 摂食・嚥下リハビリテーションの臨床　咀嚼嚥下と食機能	才藤 栄一／監修	医歯薬出版	¥6,800
00009310	分化の中の子ども	箕浦康子	東京大学出版	¥2,500
00009311	分子医科学で病気を識るシリーズ　第5巻 チャネルとトランスポータ：その働きと病気	井村裕夫・ 豊島久眞男・他	メジカルビュー社	¥8,500
00009312	分子医科学で病気を識るシリーズ2　脳 高次機能と分子構造からさぐる脳疾患	辻 省次／編	メジカルビュー社	¥8,500
00009313	文章ダ題解答中の非言語的行動の表出と読み取りに関する研究	河野　義章	風間書房	¥12,000
00009314	分析的処理方略と全体的処理方略の情報処理特性 -方略選択の頑健性を中心に－	出口 毅／著	風間書房	¥8,500
00009315	分裂病の認知神経心理学	クリストファーD・フリス	医学書院	¥5,500
00009316	平成12年版　社会福祉六法	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規	¥5,000
00009317	平成13年版　保健医療六法	保健医療法規研究会／監修	中央法規	¥5,400
00009318	平成１８年度版厚生労働省白書　ＣＤ－ＲＯＭ１枚	厚生労働省／編	ぎょうせい	¥2,762
00009319	平成19年版　社会福祉六法	社会福祉法規研究会／監修	新日本法規	¥5,300
00009320	平凡社新書454 声と話し方のトレーニング	村上由美	平凡社	¥760
00009321	ペインクリニック診療に必要なリハビリテーションの知識	小川節郎	克誠堂出版	¥4,800
00009322	ベーシック言語聴覚療法　―目指せ！プロフェッショナル―	山田弘幸	医歯薬出版	¥2,400
00009323	別冊日経サイエンス　進化する脳	J.M.オールマン	日経サイエンス 編集部	¥2,300
00009324	別冊日経サイエンス　知能のミステリー	小林豊彦	日経サイエンス 編集部	¥2,000
00009325	別冊日経サイエンス　特集　脳と心の科学　心のミステリー	小林豊彦	日経サイエンス 編集部	¥2,300
00009326	別冊日経サイエンス　脳と心	松本　元	日経サイエンス 編集部	¥2,233
00009327	別冊日経サイエンス　脳と心のミステリー　心はなぜ病むのか	高木靱生	日経サイエンス 編集部	¥1,900
00009328	別冊発達19　赤ちゃんウォッチングのすすめ ―乳幼児研究の現在と未来－	正高 伸男／編	ミネルヴァ書房	¥2,200
00009329	ヘレン・ケラー自伝	ヘレン・ケラー　著	ぶどう社	¥1,165
00009330	ヘレン・ケラーはどう教育されたか	アン・サリバン 著	明治図書出版	¥1,107
00009331	ヘレン・ケラーはどう教育されたか	アン・サリバン 著	明治図書出版	¥1,420
00009332	保育講座26巻 発達心理学	無藤隆/他著	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009333	保育者のための乳幼児発達心理学	大平勝馬	建帛社	¥1,950
00009334	保育心理学Ⅰ	大場幸夫・前原寛	東京書籍	¥2,000
00009335	保育のための発達心理学	藤崎真知代、他	新陽社	¥1,900
00009336	保育ライブラリ 保育の内容・方法を知る　　障 害児保育	渡部　信一・本郷　一夫・ 無藤　隆/編著	北大路書房	¥1,900
00009337	保育ライブラリー子どもを知る　発達心理学	無藤 隆・藤崎 眞知代 ／編著	北大路書房	¥1,900
00009338	ボイスノート　コミュニケーションを拡げるため	小嶋和幸、佐野洋子	新興医学出版社	¥9,500
00009339	訪問看護における摂食・嚥下リハビリテーション 退院から在宅まで	鎌倉やよい・向井美恵	医歯薬出版	¥2,400
00009340	訪問リハビリテーション　生活再建とQOL向上	青山　智	三輪書店	¥3,600
00009341	訪問リハビリテーションの実際	山本和儀	医歯薬出版	¥2,800
00009342	ホープ・スルー・ハートソング　ぼくらの願い	マティ・ステパネク	PHP研究所	¥1,200
00009343	ホームヘルパーブックシリーズ１０ ヘルパーさんに役立つ医学知識のきほん	三瀬順一	中央法規	¥1,400
00009344	ぼくたちの言葉をうばわないで！	樋陽子　他	明石書店	¥1,500
00009345	ぼくに「老後」がくる前に　―老人体験レポート―	永井 明／著	飛鳥新社	¥1,400
00009346	ポケット医学・看護略語辞典	大石　実	医学書院	¥2,300
00009347	ポケット医学用語集	宮野　康日己	同成社	¥1,200
00009348	ポケット医学ラテン語辞典	國原　吉之助　他	南江堂	¥2,575
00009349	ぼけ老人と生活する	江藤文夫	医歯薬出版	¥1,500
00009350	母語の言語学	レオ・ヴァイスゲルバー	三元社	¥3,200
00009351	母子関係の理論　1愛着行動　改訂４刷	J・ボウルビイ	岩崎学術出版	¥10,000
00009352	母子関係の理論　2分離不安　改訂３刷	J・ボウルビイ	岩崎学術出版	¥10,000
00009353	ポジティブ心理学　21世紀の心理学の可能性	島井哲志	ナカニシヤ出版	¥3,000
00009354	補聴器フィッティングの考え方	小寺一興	診断と治療社	¥2,800
00009355	補聴の進歩と社会的応用	小寺一興	診断と治療社	¥3,200
00009356	補聴の進歩と釈迦的応用	小寺　一興	診断と治療社	¥3,200
00009357	滅びゆく思考力	ジェーン・ハーリー	大修館書店	¥2,000
00009358	マインドエージ―シリーズ13 続アドラー心理学トーキングセミナー 勇気づけの家族コミュニケーション	野田 俊作／著	星雲社	¥2,000
00009359	マインドエージ―シリーズ9 性格はいつでも変えられる	蓮見　将敏・小山　望 ／編著	福村出版	¥2,000
00009360	末梢神経の鍛え方 元気を作り、老化を防ぐとっておきの方法	長谷川修	ごま書房	¥777
00009361	まなざしの誕生　赤ちゃん学革命	下条　信輔	新曜社	¥2,200
00009362	マルチメディア時代の医療と福祉	高野健人	日本評論社	¥1,900
00009363	マンウォッチング　上	デズモンド・モリス	小学館	¥900
00009364	マンウオッチング（下）	デズモンド・モリス	小学館	¥900
00009365	慢性化した脳卒中片麻痺の家庭実習	萩島　秀男	創造出版	¥3,495
00009366	慢性麻痺の運動障害-評価と治療の考え方　原著第2版	Karel Bobath／著	医歯薬出版	¥2,650
00009367	右半球損傷　―認知とコミュニケーションの障害―	Penelope S.myers／著	協同医書出版社	¥5,000

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009368	未熟児―その異なった出発	William A.H. Sammons・Jennifer M. Lewis	医学書院	¥7,500
00009369	魅せられて	ひらの りょうこ／著	かもがわ出版	¥1,300
00009370	見てすぐわかる！すぐに役立つ　リハビリ用語526	田中綿三/景山　明日香/岩間　誠司　編著	メディカ出版	¥2,400
00009371	耳音響放射活用ガイド	田中康夫	金原出版	¥4,800
00009372	耳と脳幹・脳神経の最新ＭＲＩ	熊川 孝三・煎本 正博／編	メジカルビュー社	¥7,500
00009373	耳の病気-実りある治療を行うために	市村 恵一／著	金原出版	¥4,660
00009374	ミューズの病跡学Ⅰ　音楽家　篇	早川　智	診断と治療社	¥2,300
00009375	ミューズの病跡学Ⅱ　美術家　篇	早川　智	診断と治療社	¥2,300
00009376	見る脳・描く脳　絵画のニューロサイエンス	岩田 誠／著	東京大学出版会	¥2,600
00009377	見る脳・描く脳　絵画のニューロサイエンス	岩田　誠	東京大学出版会	¥2,600
00009378	みんなが手話で話した島	ノーラ・Ｅ／グロース著	築地書館	¥2,000
00009379	みんなのこえが聴こえる	アツキヨ	講談社	¥1,000
00009380	ムーア　人体発生学　原著第8版	moore and persaud 原著	医歯薬出版	¥12,000
00009381	メイキングコネクション	宮崎 みわこ／訳	パシフィックサプライ株式会社	¥1,900
00009382	メイザーの学習と行動	ジェームズ　Ｅ．メイザー	二瓶社	¥4,000
00009383	メイザーの学習と行動　日本語版第２版	ジェームズ・Ｅ・メイザー／著	二瓶社	¥4,000
00009384	命名の言語学 ネーミングの諸相	森岡 健二・山口 仲美／著	東海大学出版会	¥2,400
00009385	メディカルスタッフのための内科学　第4版	森　博愛/伊東　進　編著	医学出版社	¥4,725
00009386	目でみる解剖生理学	猪俣　賢一郎	医歯薬出版	¥3,010
00009387	眼で見る小児のリハビリテーション	栗原まな	診断と治療社	¥5,800
00009388	眼で見る小児のリハビリテーション　改訂第2版	栗原まな	診断と治療社	¥5,400
00009389	目でみる脳卒中リハビリテーション	上田敏	東京大学出版会	¥3,400
00009390	目でみるリハビリテーション医学　　第２版	上田 敏／著	東京大学出版会	¥3,800
00009391	目でみる嚥下障害（DVD付） ー嚥下内視鏡・嚥下造影の所見を中心として	藤島一郎	医歯薬出版	¥3,400
00009392	目でみる嚥下障害（DVD付） ー嚥下内視鏡・嚥下造影の所見を中心として	藤島一郎	医歯薬出版	¥3,400
00009393	めまい・難聴・耳鳴　　改訂第2版	八木 聰明／著	金原出版	¥5,049
00009394	めまいの構造	加我 君孝／著	金原出版	¥4,660
00009395	もうひとりで悩まないで！教師・親のための子ども相談機関利用ガイド	小林正幸・嶋崎政男	きょうせい	¥2,400
00009396	盲ろう者の移動介助	前田晃秀	特定非営利活動法人東京盲ろう者友の会	
00009397	もう声なんかいらないと思った	大橋弘枝	出窓社	¥1,300
00009398	文字の情報理論序説	鹿島　英一	風間書房	¥31,000
00009399	モダリティの文法	益岡隆志	くろしお出版	¥4,200
00009400	もっと気楽に生きてみようよ～ある精神科医の思い～	越智眞理		¥1,143
00009401	モデリングによるルールの獲得過程に関する研究 ―学習者の視点を中心に―	安永悟	風間書房	¥9,500
00009402	物語理解における視覚的イメージの視点の役割	福田由紀	風間書房	¥16,000
00009403	薬物依存と脳障害	佐藤 光原・沼知 陽太郎／編	学会出版センター	¥4,466
00009404	やさしい音声学　［２０週・講義概要］	佐藤 努／編著	南雲堂	¥2,200
00009405	やさしいリハビリテーション	江藤文夫	日本医事新報社	¥2,200
00009406	やさしさと出会う本 「障害」をテーマとする絵本・児童文学のブックガイド	菊地 澄子・長谷川 潮／他編	ぶどう社	¥1,602
00009407	病の心理学	小山 充道／著	学苑社	¥1,900
00009408	病の心理学ー医療カウンセリングへのいざないー	小山 充道／著	学苑社	¥1,900
00009409	やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ　よくわかる発達心理学	無藤　隆・岡本　祐子・大坪　治彦/編	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009410	やわらかに生きるー論理療法と吃音に学ぶ	石隈利紀・伊藤伸二	金子書房	¥1,800
00009411	誘発電位	下地恒毅	西村書店	¥12,000
00009412	誘発耳音響放射の臨床	田中 康夫／著	金原出版	¥4,660
00009413	ゆたかなコミュニケーションのために 失語症の症状と接し方	大畠 明子／ほか著	コミュニケーション・アシスト・ネットワーク	¥500
00009414	癒着性中耳炎の正しい取扱い	中野 雄一／著	金原出版	¥4,500
00009415	指文字の研究	神田 和幸／著	光生館	¥2,800
00009416	よい聞こえのために　難聴と補聴器について	クラウス・エルバリング／他	海文堂	¥1,800
00009417	ようこそ　きこえない娘たち -監督、この映画に字幕を付けてください	佐原　郁代　著	明石書房	¥1,600
00009418	幼児・児童のself-controlの発達とその規定要因に関する研究	庄司一子	風間書房	¥15,000
00009419	幼児吃音に関する診断・治療法研究	内須川洸　早坂菊子	風間書房	¥22,000
00009420	幼児期における事物名解釈方略の変化	針生　悦子	風間書房	¥9,500
00009421	幼児期の自閉症-発達と診断および指導法	Ｅ．ショプラー／他編	学苑社	¥3,398
00009422	幼児言語における語順の心理学的研究	岩立　志津夫	風間書房	¥12,000
00009423	幼児語彙の統合的発達の研究	前田　富祺／前田紀代子	武蔵野書院	¥8,738
00009424	幼児の発達と教育	リュリンスカヤ	明治図書	¥1,500
00009425	幼児の発話における非流暢性に関する言語心理学的研究	伊藤　友彦	風間書房	¥9,270
00009426	よくわかる 介護保険制度イラストレイテッド　第2版	澤田　信子・島津　淳・戸栗　栄次／（他）著	医歯薬出版	¥2,200
00009427	よくわかるオージオグラム	立木孝・村井和夫	金原出版	¥2,800
00009428	よくわかる介護保険制度　イラストレイテッド	澤田信子　他	医歯薬出版	¥2,600
00009429	よくわかる失語症と高次脳機能障害	鹿島 晴雄／編	永井書店	¥9,000
00009430	よくわかる失語症と高次脳機能障害	鹿島晴雄、種村純	永井書店	¥9,000
00009431	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田 好秋／著	医歯薬出版	¥3,800
00009432	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田 好秋／著	医歯薬出版	¥3,800
00009433	よくわかる内科	福山 裕三・高杉 佑一／共著	金原出版	¥6,311
00009434	よくわかる認知発達とその支援	子安増生	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009435	よくわかる脳卒中のすべて	山口武典・岡田靖	永井書店	¥7,600
00009436	よくわかる脳の障害とケア	酒井　保治郎　監修/小宮　桂治　編集	南江堂	¥2,500
00009437	よくわかる脳の障害とケア	酒井　保治郎　監修/小宮　桂治　編集	南江堂	¥2,500

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009438	よくわかる発達心理学	無藤　隆・岡本祐子・ 大坪治彦	ミネルヴァ書房	¥2,400
00009439	よくわかる発達と学習	杉原一昭、他	福村出版	¥2,400
00009440	よくわかる病理学	小田島肅夫	金原出版	¥5,400
00009441	よみがえった音の世界　人口内耳を使用して	人口内耳友の会 （ＡＣＩＴＡ）／編	学苑社	¥1,553
00009442	よみがえれ思考力	ジェーン・ハーリー	大修館書店	¥2,400
00009443	読み書き障害の克服<ディスレクシア入門>	Bevē Hornsby	共同医書出版社	¥1,900
00009444	ライフサイクルからみた 発達臨床心理学	川端 啓之・杉野 欽吾 ／共著	ナカニシ出版	¥2,200
00009445	ライフサイクルからみた　発達臨床心理学	川端啓之・杉野欽吾・ 後藤晶子他	ナカニシ出版	¥2,200
00009446	ライブラリ明日に育つ子どもたち-1 想像力の発達 －創造的想像のメカニズム－	内田伸子	サイエンス社	¥1,650
00009447	ライブラリ脳の世紀8　心のメカニズムを探る 意識と脳 心の電源としての意識	山本 健一／著	サイエンス社	¥2,200
00009448	落語の言語学	野村 雅昭／著	平凡社	¥2,400
00009449	リーディングの認知心理学	広瀬雄彦他	伸山社出版	¥3,200
00009450	理解できる高次機能障害 家庭でできる脳のリハビリ「注意障害」編	中島 恵子／著	ゴマグックス	¥1,333
00009451	理解できる高次能機能障害 やってみよう！記憶のリハビリ	中島 恵子／著	ゴマグックス	¥1,333
00009452	理学療法士・作業療法士のための小児反射と発達の診かた	前川喜平・鶴見隆正・ 清水順市	新興医学出版社	¥3,200
00009453	離乳期の食事のすすめ方	田原 喜久江／著	風人社	¥1,800
00009454	リハ実践テクニック　脳卒中	千田富義・高見彰淑	メジカルビュー社	¥5,200
00009455	リハビリテーション医学講座第11巻　脳性麻痺	五味 重春／編著	医歯薬出版	¥4,000
00009456	リハビリテーション医学講座第2巻 人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	¥2,913
00009457	リハビリテーション医学全書　11　　言語障害　第2版 失語症・運動障害性構音障害・嚥下障害・脳性麻痺の言語障害	笹沼澄子・柴田貞雄・ 伊藤裕之・矢守真奈・ 進藤美津子・森永京子・ 森山梅千代	医歯薬出版	¥6,000
00009458	リハビリテーション医学全書11　　言語障害　　第２版 ―失語症・運動障害性構音障害・嚥下障害・脳性麻痺の言語障害－	笹沼 澄子・柴田 貞雄・ 伊藤 裕之／他著	医歯薬出版	¥6,000
00009459	リハビリテーション医学全書13　聴覚障害 第2版	後藤 修二／編	医歯薬出版	¥8,300
00009460	リハビリテーション医学大辞典	上田 敏・ 大川 弥生／編	医歯薬出版	¥8,300
00009461	リハビリテーション医学テキスト	三上 真弘・ 石田　暉／編	南江堂	¥5,300
00009462	リハビリテーション医療入門　増補版	武智　秀夫　著	医学書院	¥1,800
00009463	リハビリテーション患者の心理とケア	渡辺俊之・本田哲三	医学書院	¥2,800
00009464	リハビリテーション技術全書　第2版	服部一郎	医学書院	¥23,000
00009465	リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎	栢下 淳・ 若林 秀隆／著	医歯薬出版	¥3,800
00009466	リハビリテーション入門	大田 仁史／著	ＩＤＰ出版	¥800
00009467	リハビリテーションのための　神経生物学入門	森岡周	協同医書出版社	¥3,800
00009468	リハビリテーションのための神経性物学入門	森岡 周／著	協同医書出版社	¥3,800
00009469	リハビリテーションのための神経内科学　第2版	安藤　一也・ 杉村　公也　著	医歯薬出版	¥7,200
00009470	リハビリテーションのための脳・神経科学入門	森岡周	協同医書出版社	¥2,000
00009471	リハビリテーションのための発達科学入門　身体をもった心の発達	浅野大喜	協同医書出版社	¥2,000
00009472	リハビリテーションの理念と実践　２１世紀へのメッセージ	（財）日本障害者リハビリテーション協会・総合リハビリテーション研究大会常任委員会	エンパワメント研究所	¥2,800
00009473	リハビリテーションビジュアルブック	落合 慈之／監修	学研 メディカル秀潤社	¥3,000
00009474	リハビリテーションを考える	上田敏	青木書店	¥2,500
00009475	リハビリテーション医学テキスト	三上真弘、石田暉	南江堂	¥5,300
00009476	リハビリテーション看護	高橋美智	医学書院	¥2,100
00009477	リハビリナース，ＰＴ，ＯＴ，ＳＴのための 患者さんの行動から理解する高次脳機能障害	稲村 純・稲村 留美／編	メディカ出版	¥3,400
00009478	リハビリナース，PT，OT，STのための 患者さんの行動から理解する高次脳機能障害	椿原彰夫、石井雅之	メディカ出版	¥3,400
00009479	リハビリ力アップに役立つ　セラピストのための疾患の知識	河村廣幸	メディカ出版	¥4,200
00009480	量の発達心理学	J. ピアジェ B. インヘルダー	国土社	¥3,883
00009481	臨床援助の心理学	久留 一郎／編著	北大路書房	¥2,097
00009482	臨床音声学の理論と実際　-正しい構音と発音-	濱崎　健治／著	慶應通信	¥6,000
00009483	臨床過程と発達②　精神分析的考え方・かかわり方の実際	斎藤久美子・水田一郎	岩崎学術出版社	¥4,120
00009484	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris Winitz 監訳者　船山美奈子 岡崎恵子	協同医書出版社	¥3,800
00009485	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris Winitz 監訳者　船山美奈子 岡崎恵子	協同医書出版社	¥3,800
00009486	臨床家による臨床家のための構音障害の治療	Harris winitz／著	協同医書出版社	¥3,800
00009487	臨床言語学	紺野 加奈江／他訳	西村書店	¥6,500
00009488	臨床高次脳機能評価マニュアル2000	今村 陽子／著	新興医学出版社	¥6,000
00009489	臨床耳科学　カラーアトラス	原田 康夫／監訳	西村書店	¥25,000
00009490	臨床歯科全身管理ハンドブック	東理十三雄	南江堂	¥7,282
00009491	臨床失語症学－言語聴覚士のための理論と実践	佐藤ひとみ	医学書院	¥4,000
00009492	臨床失語症学ハンドブック	本村暁	医学書院	¥3,200
00009493	臨床心理学　文化・背景	河合隼雄	創元社	¥3,200
00009494	臨床心理学大系　パーソナリティ　2	小川　捷行/詫摩　武俊/ 三好　暁光	金子書房	¥4,854
00009495	臨床心理学大系　ライフサイクル　3	小川　捷行/斎藤　久美子/ 鑪　幹二郎	金子書房	¥4,855

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00009496	臨床心理学への招待	野島 一彦／編著	ミネルヴァ書房	¥2,500
00009497	臨床心理学への招待	野島 一彦／編著	ミネルヴァ書房	¥2,500
00009498	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男・天野隆弘	中外医学社	¥16,000
00009499	臨床発達心理学1　臨床発達心理学概論	長崎 勤／他 編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009500	臨床発達心理学2　認知発達とその支援	田島 信元 ／他　編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009501	臨床発達心理学3　社会・情動発達とその支援	須田 治／他　編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009502	臨床発達心理学4　言語発達とその支援	岩立 志津夫／編著	ミネルヴァ書房	¥2,800
00009503	臨床病態学1巻	北村　聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00009504	臨床病態学2巻	北村　聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00009505	臨床病態学3巻	北村　聖	ヌーヴェル ヒロカワ	¥3,000
00009506	レイルマン２-自閉症文化の愉しみ方-	奥平 綾子／著	山洋社	¥1,700
00009507	レイルマン－自閉症文化への道しるべ-	奥平 綾子／著	山洋社	¥1,500
00009508	レクリエーション　改訂第２版 社会参加を促す治療的レクリエーション	寺山 久美子／監修	三輪書店	¥3,200
00009509	連続切片標本による脳・脊髄解剖アトラス	ジェームスＤ・フィックス	医学書院	¥5,000
00009510	聾・聴覚障害百科事典	キャロル・ターキントン＋ アレン・E. サスマン	明石書店	¥7,500
00009511	老化と脳	大村 裕・大浦 彦吉／編	共立出版	¥4,660
00009512	ろう教育と言語権 ろう児の人権救済申立の全容	小嶋 勇／編	明石書店	¥4,800
00009513	老人・障害者の心理	中野善達・守谷国光	福村出版	¥2,000
00009514	老人六法	荘村多加史	中央法規	¥5,500
00009515	老年期　生き生きしたかかわりあい	E. H. エリクソン／他著	みすず書房	¥2,900
00009516	老年期の自我発達心理学的研究	守屋國光	風間書房	¥14,000
00009517	老年者脳疾患症例のMRI	田中　真	医薬ジャーナル社	¥3,800
00009518	老年性精神疾患	エーミール・クレペリン	みすず書房	¥6,000
00009519	ロールシャッハ・テスト―自動診断システムへの招待―	村上 宣寛・村上 千恵子 ／共著	日本文化科学社	¥8,500
00009520	ロジャーズ全集15　クライエント中心療法の最近の発展	伊東 博／編訳	岩崎学術出版	¥6,000
00009521	ロジャーズ全集17　クライエント中心療法の評価	伊東 博／編訳	岩崎学術出版	¥6,000
00009522	ロボット化する子どもたち―「学び」の認知科学	渡部信一	大修館書店	¥1,800
00009523	論文のレトリック　わかりやすいまとめ方	澤田 昭夫／著	講談社	¥1,100
00009524	論理的思考の発達過程　差と類についての思考の発達	杉原 一昭／著	田研出版	¥5,500
00009525	論理療法と吃音 自分とうまくつき合う発想と実践	石隈利紀	芳賀書店	¥1,500
00009526	ワークショップ心理学	藤本 忠明・栗田 喜勝 ／他著	ナカニシ出版	¥2,000
00009527	わが子をどう守るか　―不登校・虐待・治療・いじめ・教育・法律―	石川憲彦　奥地圭子ほか	学苑社	¥1,900
00009528	わかりやすい　小児の高次脳機能障害対応マニュアル	栗原まな	診断と治療社	¥3,600
00009529	分かりやすい社会福祉・社会保障	眞船 拓子・杉本 正子 ／ほか編	ヌーヴェル ヒロカワ	¥2,100
00009530	わかりやすい内科学　第2版	井村裕夫	文光堂	¥9,000
00009531	わかりやすい脳卒中リハビリテーション	宮上光祐	新興医学出版社	¥3,000
00009532	わかるＬＤシリーズ1　ＬＤとは何か 基本的な理解のために	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥1,750
00009533	わかるＬＤシリーズ２　ＬＤの見分け方　診断とアセスメント	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,100
00009534	わかるＬＤシリーズ3　ＬＤと学校教育	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,100
00009535	わかるＬＤシリーズ4　ＬＤの治療と医療	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,400
00009536	わかるＬＤシリーズ5　ＬＤと家庭教育	日本ＬＤ学会／編	日本文化科学社	¥2,100
00009537	わかるLDシリーズ6　LDの思春期・青年期	日本LD学会/編集	日本文化科学社	¥2,100
00009538	わかる音響学	中村顕一	日新出版	¥1,900
00009539	ワーキングメモリの認知神経心理学的研究 -脳波からのアプローチー	苧阪 満里子／著	風間書房	¥13,000
00009540	私たちの社会福祉法	佐藤進　児島美都子	法律文化社	¥2,900
00009541	わたしたちの手話　総さくいん2002年版	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥550
00009542	わたしたちの手話（7）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009543	わたしたちの手話（1）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009544	わたしたちの手話（10）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009545	わたしたちの手話（2）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009546	わたしたちの手話（3）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009547	わたしたちの手話（4）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009548	わたしたちの手話（5）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009549	わたしたちの手話（6）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009550	わたしたちの手話（8）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009551	わたしたちの手話（9）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009552	わたしたちの手話（会話編1）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009553	わたしたちの手話（会話編2）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥800
00009554	わたしたちの手話（会話編3）	土屋準一　他	財団法人 全日本聾唖連盟	¥900
00009555	私の障害、私の個性。	ウェンディ・ローソン	花風社	¥1,600
00009556	私の脳卒中体験	田中 良太／著	同時代社	¥1,262
00009557	笑ってよ、ゆっぴぃ	石井めぐみ	フジテレビ出版	¥1,165

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009558	我,自閉症に生まれて	テンプル・グランディン マーガレット・M. スカリ アーノ	学習研究社	¥2,400
00009559	意味と発話行為	ダニエル・ヴァンダー ヴェーゲン	ひつじ書房	¥5,000
00009560	意味論	ピエール・ギロー	白水社	¥951
00009561	異常心理学講座　第10巻　文化・社会の病理	土居 健郎／他編	みすず書房	¥5,000
00009562	異常心理学講座　第8巻　テストと診断	土居 健郎／他編	みすず書房	¥5,000
00009563	異常心理学講座1　　学派と方法	南光 進一郎／共著	みすず書房	¥5,000
00009564	異常心理学講座8　　テストと診断	笠原 嘉／共著	みすず書房	¥5,000
00009565	医学概論	日野原重明	医学書院	¥1,600
00009566	医学概論	日野原重明	医学書院	¥1,600
00009567	医学概論	日野原重明	医学書院	¥1,600
00009568	医学概論	小坂樹徳	株式会社メヂカルフレンド社	¥2,400
00009569	医学概論（新版看護学全書（別巻9)）	小坂 樹徳	株式会社メヂカルフレンド社	¥2,400
00009570	医療学総論	広井良典	金原出版	¥1,500
00009571	音遊びの聴覚学習	徳島県立聾学校	学苑社	¥2,500
00009572	学生のための医療概論	千代豪昭、黒田研二	医学書院	¥2,800
00009573	機能文法のすすめ	M.A.Kハリデー, R.ハッサン	大修館書店	¥2,700
00009574	吃音と上手につきあうための吃音相談室	伊藤　伸二	芳賀書店	¥1,600
00009575	結果可能表現の研究	張威	くろしお出版	¥3,800
00009576	健康長寿診療ハンドブック-実地医家のための老年医学のエッセンス	日本老年医学会	メジカルビュー社	¥1,000
00009577	言語コミュニケーション障害の新しい視点と介入理論	笹沼澄子	医学書院	¥6,000
00009578	言語を生み出す本能（下）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,262
00009579	言語を生み出す本能（上）	スティーブン・ピンカー	日本放送出版協会	¥1,262
00009580	言語聴覚シリーズ　器質性構音障害	斎藤裕恵	建帛社	¥2,600
00009581	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内紀子	建帛社	¥2,400
00009582	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内紀子	建帛社	¥2,400
00009583	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎京子	建帛社	¥2,500
00009584	言語聴覚シリーズ　言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎京子	建帛社	¥2,400
00009585	言語聴覚シリーズ　言語発達障害Ⅰ	大貝茂	建帛社	¥2,400
00009586	言語聴覚シリーズ　言語発達障害Ⅰ	大貝茂	建帛社	¥2,400
00009587	言語聴覚シリーズ　失語症	石川裕治	建帛社	¥2,400
00009588	言語聴覚シリーズ　摂食・嚥下障害	清水充子	建帛社	¥2,400
00009589	言語聴覚シリーズ　聴覚障害Ⅰ　基礎編	山田弘他	建帛社	¥2,400
00009590	言語聴覚シリーズ　聴覚障害Ⅱ　臨床編	佐場野優一他	建帛社	¥2,400
00009591	言語聴覚士のための基礎知識 耳鼻咽喉科学　第2版	鳥山稔	医学書院	¥3,800
00009592	言語聴覚士のための基礎知識 小児科学・発達障害学	宮尾 益知	医学書院	¥3,500
00009593	言語聴覚士のための聴覚障害学	喜多村 健	医歯薬出版	¥4,000
00009594	言語聴覚士国家試験過去問題3年間の解答と解説　2008年版	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥3,500
00009595	言語聴覚士国家試験過去問題3年間の解答と解説　2009年版	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥3,500
00009596	言語聴覚士国家試験過去問題3年間の解答と解説　2009年版	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥3,500
00009597	言語聴覚士国家試験合格のための基本問題300	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥2,600
00009598	言語聴覚士国家試験合格のための基本問題300	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥2,600
00009599	言語聴覚士国家試験問題過去３年間の回答と解説　２００３年版	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥3,400
00009600	言語聴覚士国家試験問題過去３年間の回答と解説　２０５年版	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥3,400
00009601	言語聴覚士国家試験問題過去３年間の回答と解説　２１０年版	言語聴覚士国家試験 対策委員会	大揚社	¥3,500
00009602	言語聴覚士国家試験予想問題集　2001年	板倉　徹，板倉　登志子 瀧本　孝雄	ブレーン出版	¥1,200
00009603	言語聴覚士国家試験予想問題集　2001年	板倉　徹，板倉　登志子 瀧本　孝雄	ブレーン出版	¥1,200
00009604	言語聴覚士国家試験予想問題集　改訂版	板倉　徹，板倉　登志子 瀧本　孝雄	ブレーン出版	¥1,800
00009605	言語聴覚士指定講習会テキスト	財団法人医療研修推進財団 ／監修	医歯薬出版	¥3,500
00009606	言語聴覚士指定講習会テキスト	医療研修推進財団	医歯薬出版	¥3,500
00009607	言語聴覚士指定講習会テキスト　第２版	財団法人医療研修推進財団 ／監修	医歯薬出版	¥3,500
00009608	言語聴覚療法 臨床マニュアル	平野哲雄　他	協同医書出版社	¥6,800
00009609	言語聴覚療法シリーズ11 言語発達障害Ⅱ	斉藤 吉人／編著	建帛社	¥2,400
00009610	言語聴覚療法シリーズ11 言語発達障害Ⅱ	斉藤 吉人／編著	建帛社	¥2,400
00009611	言語聴覚療法シリーズ11 言語発達障害Ⅱ	斉藤 吉人／編著	建帛社	¥2,400
00009612	言語聴覚療法シリーズ12 言語発達障害Ⅲ	笠井 新一郎／編著	建帛社	¥2,400
00009613	言語聴覚療法臨床マニュアル	小寺 富子	協同医書出版社	¥6,800
00009614	言語聴覚療法臨床マニュアル	小寺 富子	協同医書出版社	¥6,800
00009615	言語発達障害３	笠井新一郎	株式会社建帛社	¥2,400
00009616	言語発達遅滞訓練ガイダンス	佐竹恒夫、小寺富子、 倉井成子	医学書院	¥3,700
00009617	光とともに・・・1	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009618	光とともに・・・10	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009619	光とともに・・・11	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009620	光とともに・・・13	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009621	光とともに・・・2	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009622	光とともに・・・3	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009623	光とともに・・・4	戸部けいこ	秋田書店	¥760

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ．	書　　名	著者名	出版社	定価
00009624	光とともに・・・5	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009625	光とともに・・・6	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009626	光とともに・・・7	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009627	光とともに・・・9	戸部けいこ	秋田書店	¥760
00009628	厚生の指標臨時増刊 国民の福祉の動向　２００３年第５０巻第１２号	厚生統計協会／編	厚生統計協会	¥1,800
00009629	厚生の指標臨時増刊 国民の福祉の動向　２００３年第５０巻第９号	厚生統計協会／編	厚生統計協会	¥2,095
00009630	口蓋裂の言語臨床	岡崎恵子、加藤正子、 北野市子	医学書院	¥5,000
00009631	口蓋裂の言語臨床	岡崎恵子、加藤正子	医学書院	¥5,000
00009632	講座「言語障害児の診断と指導」第4巻　　聴 覚障害の診断と指導	小川　仁・谷　俊治・ 出口　利定/編	学苑社	¥3,398
00009633	最新 脳と神経科学シリーズ3 遅発ウイルス感染症とその類縁疾患	高倉 公朋／監修	メジカルビュー社	¥9,270
00009634	最新育児小児病学	黒田 泰弘	南江堂	¥2,800
00009635	最新育児小児病学	黒田 泰弘	南江堂	¥2,800
00009636	最新育児小児病学	黒田 泰弘	南江堂	¥2,800
00009637	耳鼻咽喉科学	鳥山稔、田内光	医学書院	¥3,800
00009638	耳鼻咽喉科診療プラクティス3　新生児・幼児・小児の難聴	池田 勝久・ 加我 君孝／編	文光堂	¥13,000
00009639	自閉症の理解	G.B.メジボフ　他	学苑社	¥2,200
00009640	失語症のリハビリテーション―全体構造法のすべて	道関 京子	医歯薬出版	¥3,800
00009641	失語症の訓練教材―139の教材と活用法	鈴木 勉	三輪書店	¥3,800
00009642	失語症訓練のためのドリル集4 漢字・仮名の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,600
00009643	失語症訓練のためのドリル集5 文構成の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,200
00009644	失語症訓練のためのドリル集7 分作成と難しい語句の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥3,200
00009645	失語症訓練のためのドリル集8 難しい内容表現の改善をめざす	竹内 愛子／編集	協同医書出版社	¥2,800
00009646	失語症臨床ガイド	竹内愛子	協同医書出版社	¥5,500
00009647	失聴　豊かな世界の発見	ハンナ・メーカ	晶文社	¥2,300
00009648	瞬目反射の先行刺激効果―その心理学的意義と応用	山田 冨美雄	多賀出版	¥7,200
00009649	小児人工内耳	本庄巖	金原出版	¥4,300
00009650	症例から学ぶ実践脳卒中リハビリテーション	宮野佐年，三上真弘	全日本病院出版会	¥4,600
00009651	症例から学ぶ実践脳卒中リハビリテーション	宮野佐年，三上真弘	全日本病院出版会	¥4,600
00009652	新 ことばの科学入門	Gloria J. Borden他	医学書院	¥6,200
00009653	新ことばの科学入門	廣瀬 肇	医学書院	¥6,200
00009654	新心理学ライブラリー13　心理測定法への招待	市川 伸一／編著	サイエンス社	¥2,700
00009655	新心理学ライブラリー13　心理測定法への招待	市川 伸一／編著	サイエンス社	¥2,700
00009656	新心理学ライブラリー15　心理学史への招待	梅本 堯夫／編著	サイエンス社	¥2,800
00009657	新心理学ライブラリー7　最新認知心理学への招待	御領 謙・菊地 正 ／他 共著	サイエンス社	¥2,600
00009658	新心理学ライブラリー7　最新認知心理学への招待	御領 謙・菊地 正 ／他 共著	サイエンス社	¥2,600
00009659	新心理学ライブラリー8　実験心理学への招待	大山 正・中島　義明 ／共編	サイエンス社	¥2,000
00009660	新心理学ライブラリー9　性格心理学への招待	詫摩 武俊・瀧本 孝雄 ／他　共著	サイエンス社	¥2,000
00009661	神経科学原著第3版コミュニケーション障害理解のために	SubhashC. Bhatnagar他	医歯薬出版	¥9,200
00009662	神経心理学コレクション　記憶の神経心理学	山鳥　重	医学書院	¥2,600
00009663	神経心理学コレクション　彦坂興秀の課外授業　眼と精神	彦坂興秀・山鳥　重・ 河村　満	医学書院	¥3,000
00009664	神経心理学入門	山鳥重	医学書院	¥6,400
00009665	人間の発達と臨床心理学6　老年期の臨床心理学	伊藤 隆二／他編	駿河台出版	¥3,107
00009666	人権の絵本②　ちがいを豊かさに	岩川 直樹／文	大月書店	¥1,800
00009667	人権の絵本③　それって人権？	喜多 明人／文	大月書店	¥1,800
00009668	人権の絵本④　わたしたちの人権宣言	喜多 明人／文	大月書店	¥1,800
00009669	人工内耳とコミュニケーション	黒田生子	ミネルヴァ書房	¥1,800
00009670	図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション	山永 裕明，野尻 晋一	三輪書店	¥3,200
00009671	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 2 遺伝子異常と耳疾患	神崎　仁/編	メジカルビュー社	¥9,000
00009672	図説耳鼻咽喉科NEW APPROACH 3 遺伝子異常と耳疾患	神崎　仁/編	メジカルビュー社	¥9,000
00009673	成人看護学	三条大助、丸茂町子	金原出版	¥1,456
00009674	正常発達―脳性まひ治療への応用	Jung Sun Hong,紀伊/克昌	三輪書店	¥3,200
00009675	生成文法用語辞典	安藤貞雄、小野隆啓	大修館書店	¥2,400
00009676	精神障害の臨床（日本医師会生涯教育シリーズ）	上島国利	日本医師会	
00009677	声の検査法（基礎編）	日本音声言語医学会	医歯薬出版	¥4,400
00009678	摂食・嚥下障害の評価法と食事指導	金子芳洋・向井美恵	医歯薬出版	¥3,600
00009679	摂食・嚥下リハビリテーション	金子芳洋・千野直一	医歯薬出版	¥6,200
00009680	摂食・嚥下リハビリテーション	金子芳洋・千野直一	医歯薬出版	¥6,200
00009681	総合学習に役立つボランティア② ひとりでできるボランティア	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00009682	総合学習に役立つボランティア③ 友だちとできるボランティア	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00009683	総合学習に役立つボランティア④ 家族でできるボランティア	こどもくらぶ	偕成社	¥2,500
00009684	大人の手話子どもの手話　手話にみる空間認知の発達	中野　聡子	明石書店	¥2,400
00009685	大田仁史リハビリエッセイ　心にふれる	大田 仁史／著	荘道社	¥1,457
00009686	知覚と認知の心理学1　視知覚の形成１ 開眼手術後の定位と弁別	鳥居 修晃・立花 政夫 ／共著	培風館	¥4,078
00009687	痴呆の症候学（神経心理学コレクション）	田邉 敬貴	医学書院	¥4,300
00009688	中途聴者と難聴者の世界	山口利勝	一橋出版	¥1,400
00009689	聴覚障害学	藤田郁代	医学書院	¥5,200
00009690	聴覚障害者が見たアメリカ社会	しみず・よりお	現代書館	¥2,200
00009691	聴覚障害者への統合的アプローチ	村瀬嘉代子	日本評論社	¥2,200

（別紙6）図書、ジャーナルリスト

Ｎｏ.	書　　名	著者名	出版社	定価
00009692	聴覚障害者も使える図書館に―図書館員のためのマニュアル	日本図書館協会障害者サービス委員会聴覚障害者に対する図書館サービスを考えるワーキンググループ	日本図書館協会	¥800
00009693	突発性難聴の正しい取り扱い　改訂第2版	柳田則之	金原出版	¥4,800
00009694	内科学	伊東進、森博愛	医学出版社	¥4,500
00009695	難聴児の幸せのために―早期教育とインテグレーションへの道	母と子の教室親の会	ぶどう社	¥1,850
00009696	日本語の特質	佐久間鼎	くろしお出版	¥4,175
00009697	日本語の論理	三上章	くろしお出版	¥2,500
00009698	日本語文法研究序説	仁田義雄	くろしお出版	¥2,800
00009699	乳幼児期の視覚運動発達	河合 優年	風間書房	¥11,500
00009700	入門リハビリテーション概論	中村隆一	医歯薬出版	¥4,800
00009701	認知意味論	田中茂範	三友社出版	¥2,000
00009702	認知科学選書13　ことばからみた心	大津 由紀雄／編	東京大学出版会	¥2,600
00009703	認知科学選書14　「わざ」から知る	生田 久美子／著	東京大学出版会	¥2,600
00009704	認知科学選書15　からだ：認識の原点	佐々木 正人／著	東京大学出版会	¥2,600
00009705	認知科学選書16　なぜ人は書くのか	茂呂　雄二／著	東京大学出版会	¥2,600
00009706	認知科学選書17　比喩と理解	山梨 正明／著	東京大学出版会	¥2,800
00009707	認知科学選書17　比喩と理解	山梨 正明／著	東京大学出版会	¥2,800
00009708	認知科学選書18　決心を支援する	小橋 康章／著	東京大学出版会	¥2,700
00009709	認知科学選書19　心の計算理論	佐住　彰文／著	東京大学出版会	¥2,600
00009710	認知科学選書20　機械の知　人間の知	辻井 潤一・安西 祐一郎／著	東京大学出版会	¥2,600
00009711	認知科学選書21　認識と文化	福井 勝義／著	東京大学出版会	¥2,600
00009712	認知科学選書22　神経回路網モデルとコネクショニズム	甘利 俊一／著	東京大学出版会	¥2,200
00009713	認知科学選書23　チンパンジーから見た世界	松沢 哲郎／著	東京大学出版会	¥2,200
00009714	認知科学選書24　感情	戸田 正直／著	東京大学出版会	¥2,800
00009715	認知症（アクチュアル 脳・神経疾患の臨床）	河村　満	中山書店	¥10,000
00009716	脳を学ぶ―「ひと」がわかる生物学	森岡周　他	協同医書出版社	¥2,800
00009717	発語内行為の意味ネットワーク	阿部桂子、越智希美子、鈴木光代、向井留実子	晃洋書房	¥2,600
00009718	発話行為の言語理論へ向けて	ジェラルドM. セイダック	文化書房博文社	¥6,200
00009719	文字の科学	大沢一爽	財団法人法政大学出版局	¥1,600
00009720	文法と音声	音声文法研究会	くろしお出版	¥3,500
00009721	目でみるリハビリテーション医学	上田 敏	東京大学出版会	¥3,800
00009722	老年医学テキスト	日本老年医学会	メジカルビュー社	¥7,000
00009723	話言葉の文法	三尾砂	くろしお出版	¥4,600
00009724	嚥下障害の内視鏡検査と治療	藤島一郎	医歯薬出版	¥6,600
00009725	嚥下障害の内視鏡検査と治療	藤島一郎	医歯薬出版	¥6,600
00009726	嚥下のしくみと臨床	丘村熙	金原出版	¥4,660
00009727	嚥下のしくみと臨床	丘村熙	金原出版	¥4,660
00009728	嚥下の見える評価をしよう!頸部聴診法トレーニング 57症例の嚥下音と嚥下造影画像で繰り返し練習できるDVD付き!	大野木宏彰	メディカ出版	¥6,200
00009729	嚥下障害のリハビリテーション―訓練と食餌計画の実際	Jill S.Steefel　他	協同医書出版社	¥3,000

ジャーナルリスト（電子ジャーナル含む）

1．ジャーナル

No.	雑誌名	出版社名	刊行頻度	概算見積（税込）(10%)
1	運動器リハビリテーション	インテルナ出版	季刊	11,000
2	作業療法ジャーナル（含増刊）	三輪書店	月刊	27,940
3	総合リハビリテーション	医学書院	月刊	27,720
4	理学療法ジャーナル	医学書院	月刊	22,000
5	リハビリテーション医学	三輪書店	月刊	23,320
合計				111,980

2．電子ジャーナル（洋雑誌）

No.	タイトル	出版社名	年間冊数	概算見積税込金額（2020年）
1	American Journal of Occupational Therapy	American Occupational Therapy Association	6	97,240
2	American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation	Lippincott Williams & Wilkins, a Wolters Kluwer Co	12	293,150
3	American Journal of Sports Medicine (including Sports Health)	Sage Publications Ltd.	20	254,100
4	Archives of Physical Medicine and Rehabilitati	W.B. Saunders Co.	12	241,890
5	Clinical Rehabilitation	Sage Publications Ltd.	12	457,160
6	Developmental Medicine & Child Neurology (Incl. Supplements)	John Wiley & Sons Ltd. (formerly: Blackwell)	12	180,950
7	Physical Therapy	Oxford University Press	12	46,640
合計			86	1,571,130

3．電子ジャーナル（和雑誌）

No.	データベース名	出版社名	年間冊数	概算見積税込金額（2020年）
1	メディカルオンライン　ライブラリー	メテオ	1,401	2,420,000

メディカルオンラインライブラリー内、主要ジャーナルリスト（和文）

No.	タイトル	出版社名
1	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine	日本リハビリテーション医学会
2	The Journal of Clinical Physical Therapy	臨床理学療法研究会
3	JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION	医歯薬出版
4	Journal of Physical Therapy Science	理学療法科学学会
5	Journal of the Japanese Physical Therapy Association	日本理学療法士協会
6	PAIN REHABILITATION	日本ペインリハビリテーション学会
7	Physical Therapy Research	日本理学療法士協会
8	運動生理	理学療法科学学会
9	呼吸器ケア	メディカ出版

10	こころの健康	日本精神衛生学会
11	作業行動研究	日本作業行動学会
12	作業療法	日本作業療法士協会
13	児童青年精神医学とその近接領域	日本児童青年精神医学会
14	小児リハビリテーション	gene
15	職業リハビリテーション	日本職業リハビリテーション学会
16	自立支援介護・パワーリハ学	日本自立支援介護・パワーリハ学会
17	自立支援介護学	日本自立支援介護・パワーリハ学会
18	心臓リハビリテーション	日本心臓リハビリテーション学会
19	スポーツメディスン	ブックハウス・エイチディ
20	整形外科バイオメカニクス	日本臨床バイオメカニクス学会
21	精神科臨床Legato	メディカルレビュー社
22	精神障害とリハビリテーション	日本精神障害者リハビリテーション学会
23	徒手理学療法	日本徒手理学療法学会
24	トレーニング・ジャーナル	ブックハウス・エイチディ
25	日本在宅ケア学会誌	日本在宅ケア学会
26	日本作業療法研究学会雑誌	日本作業療法研究学会
27	日本障害者スポーツ学会誌	日本障害者スポーツ学会
28	日本生理学雑誌	日本生理学会
29	日本認知症ケア学会誌	日本認知症ケア学会
30	日本腰痛学会雑誌	日本腰痛学会
31	日本臨床作業療法研究	日本臨床作業療法学会
32	日本臨床スポーツ医学会誌	日本臨床スポーツ医学会
33	日本臨床バイオメカニクス学会誌	日本臨床バイオメカニクス学会
34	人間工学	日本人間工学会
35	認知行動療法研究	日本認知・行動療法学会
36	認知症の最新医療	フジメディカル出版
37	脳科学とリハビリテーション	脳機能とリハビリテーション研究会
38	脳梗塞と心房細動	フジメディカル出版
39	脳卒中	日本脳卒中学会
40	脳卒中リハビリテーション	gene
41	脳と循環	メディカルレビュー社
42	脳と精神の医学（日本生物学的精神医学会）	日本生物学的精神医学会
43	物理療法科学	日本物理療法学会
44	ブレインサイエンス	厚生社
45	慢性疼痛	日本慢性疼痛学会
46	理学療法科学	理学療法科学学会
47	理学療法学	日本理学療法士協会
48	理学療法の医学的基礎	理学療法の医学的基礎研究会
49	リハビリテーション医学	日本リハビリテーション医学会
50	リハビリテーション栄養	医歯薬出版
51	臨床スポーツ医学	文光堂
52	臨床精神医学	アークメディア
53	臨床と理学療法	宮崎県理学療法士会
54	臨床バイオメカニクス	日本臨床バイオメカニクス学会
55	臨床理学療法研究	日本私立医科大学理学療法研究会

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 専 教授（学長） 浅利

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火				
水				
木				
金		臨床医学概論 ＜新館 2-3教室＞ OT		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
火				職業人の倫理と道徳論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス
水				
木				
金			岡山経営者論 ＜新館 5F大教室＞ Aクラス・Bクラス	岡山経営者論 ＜新館 5F大教室＞ Aクラス・Bクラス

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 専 教授(学部長) 窪山

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火	臨床医学概論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス			臨床医学概論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス
水				
木	人間発達学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス		人間発達学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	小児科学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
金		小児科学 ＜新館 3-1教室＞ OT	小児科学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	内科学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス			
火				
水				
木				
金				内科学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 専 教授(学科長) 永野

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞
火			理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅰ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
水				
木				
金	理学療法概論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス		理学療法概論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス		
火		物理療法 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
水				
木		物理療法 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 専 教授 佐々木

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ OT	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ OT	解剖学実習Ⅱ ＜基礎医学実習室＞ Aクラス	解剖学 ＜新館 2-3教室＞ OT	
水		解剖学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス		
木	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス		解剖学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ OT	
火	解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ Aクラス			
水				
木		解剖学実習Ⅰ ＜基礎医学実習室＞ Bクラス		
金				
卒業論文＜研究室＞				

(別紙7) 教員一人当たりの時間割

PT 専 教授 山田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	理学療法管理学概論 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス		理学療法管理学概論 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス	
水	運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス			
木		運動学実習 ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス		理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火		情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ Bクラス	情報収集と処理 ＜本館 8F PC室＞ Aクラス	
水				
木				
金		運動学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	運動学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 専 准教授 村西

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	リハビリテーション概論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス			
水				
木				リハビリテーション概論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス
金		物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
火	理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		理学療法治療学Ⅲ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス・Bクラス
水				
木				理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
金				
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 専 准教授 濱岡

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス
火		老年期障害理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス		老年期障害理学療法学 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス
水				
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		理学療法治療学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
金	理学療法治療学Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス			

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス･Bクラス		運動療法 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス			
水				
木			運動療法 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	
金		予防理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ A･Bクラス		運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 専 講師 山下

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス			
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス			
木				基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス
金	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Aクラス		
木				理学療法治療学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
金				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞＜那須・永野・増川・山下＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実専 講師 増川

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス		理学療法セミナーⅠ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス	
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス	物理療法 ＜本館 7-1教室/本館3F治療訓練室＞ 医専		
木	生活環境論 ＜本館 7-1教室＞ 医専		理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	
金	理学療法評価学Ⅱ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞＜鈴木・小島・増川＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス	基礎理学療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス		
火				
水	理学療法治療学2(脳障害2) ＜本館 7-1教室＞ 医専			
木		理学療法演習Ⅱ ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス・Bクラス	運動療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2 ＜本館 5F機能訓練室＞ 医専
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	理学療法治療学13(老年期障害) ＜本館 7-1教室＞ 医専
見学実習＜各実習施設＞＜村西・片岡・増川＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実専 講師 横山

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	
火			基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	
水			応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	理学療法治療学8(内部障害) ＜本館 7-1教室＞ 医専
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ OT	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス			生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス･Bクラス			
火	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
水	理学療法評価学Ⅰ ＜新館 2-1教室＞ Aクラス			
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス		運動療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ 医専	理学療法治療学実習2 ＜本館 5F機能訓練室＞ 医専
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実専 助教 那須

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス	
火				
水			応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	
木	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	応用治療技術実習Ⅰ (徒手療法) ＜本館 5F 機能訓練室＞ OT	
金	理学療法評価学実習Ⅲ ＜本館 3F治療訓練室＞ Aクラス			生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Bクラス
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス	
火	理学療法セミナーⅡ ＜新館 2-4教室＞ Aクラス･Bクラス	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス		
水				
木	理学療法評価学実習Ⅰ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス		理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス	
金		日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実専 助教 鈴木

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月		基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス			
木			理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	
金	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Aクラス	上級治療学実習Ⅲ (セルフコンディショニング) ＜本館 5F 機能訓練室＞ Bクラス	生涯スポーツ実習 ＜校外授業＞ Aクラス	

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス	理学療法演習Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス
火	運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス			
水	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	スポーツ理学療法特論 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
木			理学療法評価学実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Bクラス	
金				運動療法実習Ⅱ ＜本館 3F 治療訓練室＞ Aクラス
卒業論文＜研究室＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実(研) 片岡

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水	理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	基礎理学療法学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス		
木			理学療法治療学実習Ⅲ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	
金				基礎理学療法学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火			理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	理学療法治療学Ⅳ ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
水				
木				
金	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス	日常生活活動学実習 ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	統計分析の基礎 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	統計分析の基礎 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実(研) 小島

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅢ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火	日常生活活動学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス			
水	地域理学療法学 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス	日常生活活動学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		
木				
金		物理療法実習 ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス		地域理学療法学 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		生活環境学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス	
火			多職種連携論 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	生活環境学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス
水	地域包括マネジメント論 ＜新館 4-1教室＞ Aクラス			
木				地域包括マネジメント論 ＜新館 4-2教室＞ Bクラス
金	多職種連携論 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス			
卒業論文＜研究室＞				

(別紙7) 教員一人当たりの時間割

PT 実(研) 渡辺

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火		運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス	基礎理学療法実習Ⅱ ＜本館 3F治療訓練室＞ Bクラス	運動療法実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Aクラス
水	総合演習Ⅱ ＜新館 3-4教室＞ Aクラス・Bクラス			
木	理学療法治療学実習Ⅰ ＜本館 5F機能訓練室＞ Bクラス			
金				
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水				
木				
金			総合演習Ⅰ ＜新館 4-1教室＞ Aクラス・Bクラス	
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実み 教授 小野

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス･Bクラス
火				
水				
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス･Bクラス			
火				
水				
木				
金		病理学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	病理学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス	病理学 ＜新館 2-1教室＞ OT
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実み 教授 千田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス		整形外科学 ＜新館 3-1教室＞ Aクラス	研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木				
金	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ OT	整形外科学 ＜新館 3-2教室＞ Bクラス		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水	リハビリテーション医学 ＜新館 2-2教室＞ Bクラス	リハビリテーション医学 ＜新館 2-1教室＞ Aクラス		
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

PT 実み 教授 山下立次

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅱ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			研究デザイン ＜研究室＞ Aクラス・Bクラス
火				
水				
木	コーチング論 ＜新館 4-4教室＞ Aクラス	コーチング論 ＜新館 4-4教室＞ Bクラス		
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	総合研究Ⅰ ＜新館 3-1教室＞ Aクラス・Bクラス			
火				
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT 専 教授 勅使川原

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火			生理学 ＜新館 2-3教室＞ PT-Aクラス	テーマ設定と研究方法 ＜新館 4-3教室＞
水				
木	基礎生物 ＜新館 2-3教室＞			
金	生理学 ＜新館 2-3教室＞ PT-Bクラス		生理学 ＜新館 2-3教室＞	基礎生物 ＜新館 2-1教室＞ PT-A･Bクラス

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火			生理学実習 ＜生理医学実習室＞	
水				
木	生理学実習 ＜生理医学実習室＞ PT-Bクラス		統計分析の基礎 ＜新館 3-3教室＞	生理学実習 ＜生理学実習室＞ PT-Aクラス
金				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT 専 教授 安田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	地域生活と健康 ＜新館 4-4教室＞		総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火				
水				
木				総合演習Ⅱ ＜新館 4-4教室＞
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火	健康科学概論 ＜新館 2-3教室＞		メディカル英語 ＜新館 4-2教室＞ PT-A･B	
水				
木	メディカル英語 ＜新館 4-3教室＞			総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞
金	運動学 ＜新館 2-3教室＞			
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT 専 教授 二木

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火		作業療法セミナーⅠ ＜新館 4-4教室＞	身体障害作業療法学Ⅱ ＜新館 3-3教室＞	作業療法概論 ＜新館 2-3教室＞
水				
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜新館 3-3教室＞
火	老年期障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞			作業療法セミナーⅡ ＜新館 4-3教室＞
水				
木				
金				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT専　教授　小林

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜新館　4-3教室＞	研究デザイン ＜新館　4-3教室＞
火	特別支援教育 ＜新館　4-4教室＞	基礎作業療法治療学 ＜新館　4-3教室＞ 2年目以降		
水				
木			身体障害作業療法学Ⅳ ＜新館　4-3教室＞	総合演習Ⅱ ＜新館　4-4教室＞
金		身体障害作業療法学Ⅲ ＜新館　4-3教室＞		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			予防作業療法学 ＜新館　4-3教室＞	総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火			作業療法管理学概論 ＜新館　4-3教室＞	
水				
木			地域作業療法学 ＜新館　4-3教室＞	総合演習Ⅰ ＜新館　4-3教室＞
金				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT 実専 講師 十河

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		地域包括マネジメント論 ＜新館 4-3教室＞
水	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞			
木		運動学実習 ＜5F 機能訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	
金	住環境支援学2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
評価実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専			総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火				
水		日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木	作業療法治療学3B ＜本館 7-2 教室＞ 医専	地域マネジメント学 ＜本館 7-2 教室＞ 医専		総合演習Ⅰ ＜新館 4-3教室＞
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞		
見学実習＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT 実専 助教 渡部

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火		作業療法評価学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		
水				
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	日常生活活動学1 ＜本館 7-2 教室＞ 医専	身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法評価法3 ＜5F 治療訓練室＞ 医専		
水				
木				
金	作業療法評価学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	作業療法評価学実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	
見学実習＜各実習施設＞				
総合実習Ⅰ＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT 実専 助教 野口

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞		
火	基礎作業療法治療学実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞			
水	基礎作業学実習Ⅰ ＜3F 織物絵画室＞			
木	基礎作業療法治療学実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞		身体障害作業療法実習Ⅰ ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法実習Ⅲ ＜3F 治療訓練室＞
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	
総合実習Ⅱ＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				
火		作業療法演習Ⅰ ＜新館 3-3教室＞		
水	作業療法演習Ⅱ ＜新館 4-3教室＞	日常生活活動学実習 ＜新館 3-3教室＞		
木		基礎作業学実習Ⅱ ＜3F 織物絵画室＞		
金				

(別紙7) 教員一人当たりの時間割

OT 実(研)教授 吉田

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火		基礎作業療法治療学 ＜新館 4-3教室＞ 初年度のみ		応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜3F 治療訓練室＞ PT-Aクラス・Bクラス
水				
木	人間工学 ＜新館 4-4教室＞		リハビリテーション概論 ＜新館 2-3教室＞	
金		応用治療技術実習Ⅱ (リハビリ工学) ＜3F 治療訓練室＞		

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火				
水	生活環境学 ＜新館 3-3教室＞	情報収集と処理 ＜本館 8F PC教室＞		
木				
金			身体障害作業療法実習Ⅱ ＜3F 治療訓練室＞	
臨床実習Ⅰ＜各実習施設＞				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

OT 実(研)准教授　林

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	基盤ゼミⅠ ＜研究室＞	基盤ゼミⅡ ＜研究室＞	総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火			作業療法評価法実習2 ＜3F 治療訓練室＞ 医専	作業療法治療学6(老年期障害) ＜本館 7-2教室＞ 医専
水				
木	日常生活活動学 ＜新館 3-3教室＞			作業療法治療学2(神経系疾患2) ＜本館 7-2教室＞ 医専
金			老年期障害作業療法実習 ＜3F 治療訓練室＞	身体障害作業療法学Ⅰ ＜新館 3-3教室＞
評価実習＜各実習施設＞				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月	脳のアンチエイジングと作業療法2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専			総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火	日常生活活動学2 ＜本館 7-2 教室＞ 医専			作業療法評価学 ＜新館 2-3教室＞
水	多職種連携論 ＜新館 2-3教室＞			
木				
金	作業療法治療学3A ＜本館 7-2 教室＞ 医専		基礎作業学 ＜新館 2-3教室＞	精神障害作業療法学 ＜新館 3-3教室＞
卒業論文＜研究室＞				

（別紙7）教員一人当たりの時間割

●T 実み 教授 伊勢

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月			総合研究Ⅱ ＜研究室＞	研究デザイン ＜新館 4-3教室＞
火				
水				
木				
金				

	1限目(9:00～10:30)	2限目(10:40～12:10)	3限目(13:00～14:30)	4限目(14:40～16:10)
月				総合研究Ⅰ ＜研究室＞
火				
水				
木				リハビリテーション医学 ＜新館 2-3教室＞
金				
卒業論文＜研究室＞				

（別紙8）教育課程と新指定規則等との対比表

教育課程等の概要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分		新指定区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件	専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		基礎科目 必修15単位を含め20単位以上	20	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1			○							
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（17科目）	－	15	8	0	—	—	—					
職業専門科目	専門基礎分野	専門基礎分野	メディカル英語	3後		2		○			専門基礎分野 必修科目30単位以上	30		12	
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
			生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
			臨床医学概論	1前	2			○							栄養・薬理・画像・救命救急・予防の基礎
			病理学	1後	2			○						14	
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
			リハビリテーション医学	1後	1			○							
			リハビリテーション概論	1前	1			○							リハビリテーションの理念 地域包括ケアシステム 多職種連携の理解
			地域包括マネジメント論	3後	1			○						4	
			多職種連携論	1後	1			○							
	専門分野		理学療法概論	1前	2			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習20単位以上を含む）	37	60単位以上	6	
			基礎理学療法学	2前	2			○							
			基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○					
			基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○					
			理学療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			理学療法セミナーⅡ	4後		1			○						
			理学療法管理学概論	3前	2			○						2	理学療法倫理・職場管理
			理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○							
			理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○							画像
			理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○				6	
			理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○					画像
			理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○					
			運動療法	1後	1			○						20	
			運動療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			運動療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			物理療法	2後	1			○							
			物理療法実習	3前	1					○					
			理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○							
			理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○							
			理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○							
			理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○							
			理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○					
			理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○					
			理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○					疼痛等の吸引
			老年期障害理学療法学	3前	1				○						
			理学療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			理学療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			生涯スポーツ実習	3前	1					○					
			スポーツ理学療法特論	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1				○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1					○					

		地域理学療法学	生活環境学	2後	2			○							
			地域理学療法学	3前	1			○						3	
			予防理学療法学	3後		1		○							
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨					
			評価実習	3前	3					臨		20		20	
			総合実習Ⅰ	3後	8					臨					訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	8					臨					
			小計（62科目）	—	87	11	0	—	—	—					
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上		
			人間形成論	3後	2			○							
			食生活マネジメント論	3前	2			○							
			生体情報科学	3後	2			○							
			NPO論	4前	2			○							
			スポーツ科学	4前	2			○							
			起業入門	4前	2			○							
			マネジメント論	4前	2			○							
			コーチング論	4前	2			○							
			岡山経営者論	4前	2			○							
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—					
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上		
			総合研究Ⅱ	4前	1				○						
			総合演習Ⅰ	3後		1			○						
			総合演習Ⅱ	4前		1			○						
			卒業論文	4後	2				○						
			小計（ 5科目）	—	4	2	0	—	—	—					
			合計（ 94科目）	—	126	21	0	—	—	—	131		124単位以上	101	

（別紙8）教育課程と新指定規則等との対比表

教育課程等の概要

（健康科学部作業療法学科）

科目区分	新指定区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件		専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		基礎科目 必修15単位を含め20単位以上	20	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論
			コミュニケーション論	3前	1			○							コミュニケーション論
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（ 17科目）	—	15	8	0	—	—	—					
職業専門科目	専門基礎分野	専門基礎分野	メディカル英語	3後		2		○			専門基礎科目 必修30単位以上	30		12	
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
		人体の構造と機能及び心身の発達	生理学	1前	2			○							
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
			臨床医学概論	1前	2			○							栄養・薬理・画像・救命救急・予防の基礎
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	2			○						14	
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○						4	リハビリテーションの理念
			リハビリテーション概論	1前	1			○							地域包括ケアシステム
			地域包括マネジメント論	3後	1			○							多職種連携の理解
			多職種連携論	1後	1			○							
	専門分野		作業療法概論	1前	2			○							
		基礎作業療法学	基礎作業学	1後	1			○							
			基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○				5	
			基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○					
			作業療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			作業療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		作業療法管理学	作業療法管理学概論	3後	2			○						2	作業療法倫理・職場管理
		作業療法評価学	作業療法評価学	1後	2			○							画像
			作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○				5	
			作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○			60単位以上		
			作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1					○					
		作業療法治療学	基礎作業療法治療学	3前	1			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習22単位以上を含む）	37		19	
			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1					○					
			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○					
			身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○							
			身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○							
			身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○							
			身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○					喀痰等の吸引
			老年期障害作業療法学	2後	1			○							
			老年期障害作業療法実習	3前	1					○					
			精神障害作業療法学	2後	1			○							
			作業療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			作業療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1				○					

		地域作業療法学	生活環境学	2後	2			○						
			地域作業療法学	3後	1			○					4	
			予防作業療法学	3後	1			○						
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨				
			評価実習	3前	3					臨				
			総合実習Ⅰ	3後	9					臨		22	22	
			総合実習Ⅱ	4前	9					臨				訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			小計（ 59科目）	—	87	10	0	—	—	—				
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○						
			人間形成論	3後	2			○						
			家族関係論	3前	2			○						
			地域社会論	3後	2			○						
			コミュニティ形成論	3後	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上	
			地域生活と健康	4前	2			○						
			特別支援教育	4前	2			○						
			人間工学	4前	2			○						
			ライフサイクル論	4前	2			○						
			岡山経営者論	4前	2			○						
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—				
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○					
			総合研究Ⅱ	4前	1				○					
			総合演習Ⅰ	3後		1			○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上	
			総合演習Ⅱ	4前		1			○					
			卒業論文	4後	2				○					
			小計（5 科目）	—	4	2	0	—	—	—				
			合計（ 91科目）	—	126	20	0	—	—	—	131		124単位以上	101	

新旧対照表

別紙目次

1－1　設置の趣旨等を記載した書類
1－2　教育課程の概要
1－3　専任教員の年齢構成・学位保有状況
1－4　教育課程と新指定規則等との対比表
1－5　平面図
1－6　シラバス
1－7　教育上必要な機械器具標本及び模型等
1－8　履修モデル
1－9　巡回指導計画表
1-10　カリキュラムマップ

別紙（新旧対照表）

1－1　設置の趣旨等を記載した書類（１－７ページ）

新	旧
①　設置の趣旨及び必要性 学校法人本山学園（位置：岡山県岡山市北区大供三丁目２番１８号）の創設者は、「豊かな人間性と創造力を養う」「自主の精神を養う」「国際的視野を養う」という建学精神と「医食同源」の教育理念の下で、昭和43（1968）年10月に西日本調理師学校（現：西日本調理製菓専門学校）を開設し、その後平成４（1992）年４月に岡山健康医療技術専門学校（現：岡山医療技術専門学校）を開校した。高齢化が急速に進行し、理学療法士、作業療法士の養成が急務とされるなかでの開校であった。 そして現在、超高齢社会が到来するなかで、技術革新が急速に進行し、理学療法士および作業療法士の育成のあり方は、新たな次元の課題に直面している。 学校法人本山学園は、急激に変化する時代のニーズを背景とした地域の課題に応えるため、これまで岡山医療技術専門学校で蓄積してきた教育研究実績を発展的に継承して、岡山市北区大供キャンパスに岡山医療専門職大学健康科学部（理学療法学科入学定員80名、作業療法学科入学定員40名）を設置する計画である。なお既設の岡山医療技術専門学校（医療事務学科を除く）は、岡山医療専門職大学の設立に伴い廃止する。 岡山医療専門職大学の設置の趣旨と必要性は、以下の通りである。 1）社会および地域のニーズ AIの高度化と医療現場のロボット化が急速に進行し、今後リハビリテーションや介	①　設置の趣旨及び必要性 １．学校法人本山学園（位置：岡山県岡山市北区大供三丁目２番１８号）の創設者は、「豊かな人間性と創造力を養う」「自主の精神を養う」「国際的視野を養う」という建学精神と「医食同源」の教育理念の下で、昭和43（1968）年10月に西日本調理師学校（現：西日本調理製菓専門学校）を開設し、その後平成４（1992）年４月に岡山健康医療技術専門学校（現：岡山医療技術専門学校）を開校した。高齢化が急速に進行し、理学療法士、作業療法士の養成が急務とされるなかでの開校であった。 その後、理学療法士の職域は、医療・保健・福祉・スポーツ等の分野に拡大し、行政・地域との連携、疾病予防への貢献、スポーツ障害サポートなど幅広い社会的役割を担うことが求められ、作業療法士は、小児期から老年期にまで職域を拡大するなかで、身体機能・精神機能の回復、社会適応力・対人関係能力の改善、発達の促進など多様な分野に関わり、地域の多様性を担う存在となってきた。 そして現在、超高齢社会が到来するなかで、理学療法士および作業療法士の育成のあり方は、新たな次元の課題に直面している。AIの高度化と医療現場のロボット化が急速に進行して職務領域の代替が進展し、理学療法・作業療法サービスのあり方自体が大きく変化していくことが予想されるようになったからである。 このような世界においては、現場における課題を踏まえ、健康や幸せや生きがいあ

護に関する知識や技術に大変革がもたらされ、サービスのあり方自体が大きく変化していくことが予測されている。このような医療介護提供体制の変化の中で、理学療法士および作業療法士がその職務能力を十分に発揮するためには、変化に対応して常に最新の専門知識と技術を吸収し、新しい技術や治療方法を探究し、新たなニーズを満たすサービスの創出に挑戦し続ける姿勢と力が必要となる。持続的な自己研鑽の姿勢を備え、新たな領域のサービス課題に取り組むために必要な論理的な思考力と探究力を持つとともに、AIとロボットの時代では特に必要性が増大する人間味溢れるサービスを対象者に提供することが強く求められることになる。

同時に、超高齢化と少子化が急速に進行し、低成長経済が持続する中で、「国民皆保険制度」の危機が深まり、高齢者は、医療保険に依存した医療サービスから脱却して自助努力で自立した生活力を回復し維持することが求められる。理学療法・作業療法サービスのあり方自体も変革が迫られる。これまでの医療保険制度の枠組みで医療機関の中でサービスを提供する方式は限界を迎えている。医療機関外へ活動範囲を広げるとともに従来領域外とみなされていた予防や自立支援などの新領域で活躍できる幅広い見識と応用力を備えた理学療法士および作業療法士の必要性が増している。

本学が設置される岡山県に目を向けると、医療機関で必要とされる理学療法士・作業療法士はほぼ充足される一方、それ以外の介護福祉や地域をはじめ幅広い分野で活躍が期待される療法士の不足が顕在化している。日本理学療法士協会理事山根一人るいは終末ケアのあり方といった人間の根源的な視点からアプローチする視座がとりわけ重要となる。対象者目線に立って心を通わせる徹底的にヒューマンなサービスの重要性が増すとともに、現場の多様なニーズを新たなサービスの形にしていく創造力の役割が飛躍的に増していくものと考えられる。

このような状況の中で、医療現場や地域包括ケアシステムをはじめとする幅広い分野で、サービスを革新し、地域や福祉に関わる専門業務を牽引し、新たなサービスを創出し活用・事業化していく力を備え、職業現場や関連分野で創造的な役割を果たすことができる高い実践力と豊かな創造力を備えた人材を育成することが喫緊の課題となっている。

また岡山など「地方」にとっては、新たなサービスを創生し、地域経済を振興して新たな雇用を生み出し、地域を活性化させることのできる創造的な人材を、地域で育成し、AIやロボットの時代に持続的な地域発展を支える動力にすることができるかどうかが、死活的重要性をもつ課題となる。

2．この度「専門職大学」が制度化されたことを受け、本山学園は、新たに提起された上記の諸課題に正面から取り組み、高度な実践力と豊かな創造力を備えた人材を養成することを目指して、岡山専門職大学を設立する計画である。本学の設立は、地域で自律的に新たなサービス活動を生み出し、地域の活性化を担うことができる人材を養成する機能を担うことになる。

地元の岡山県からは、本学の設立は高校生の進路選択の幅が広がり社会人の学び直

氏（岡山県選出）は、次のように述べている。「2025年までの需給を見ると理学療法士不足が言われているが、医療分野では充足されてきており、福祉分野の人員不足が叫ばれている。地域包括ケアシステムの充実を目指している国の方針に準じて、医療のみならず、地域、福祉に関わる能力を備えた学生の育成に期待する」（資料1-1）。

既存の教育機関で養成された人材は、その大部分が医療機関で働き、現在社会的ニーズの高まっている介護施設や地域で働くものはいまだ少数派である。そしてこれからの社会で特に必要性が高まる「地域」に関わる新分野で働こうとする姿勢には乏しいことが窺われる。新たな時代の課題に進んで取り組み、地域に関わる分野で働く意欲と創意にあふれた人材の育成が焦眉であると言えよう。

岡山県理学療法士会からは、岡山県では、地域と連携する上での地域との連携の取り方、アピールの方法、マネジメントなどの能力不足が現在の理学療法士の課題として挙げられ、この部分では他県からの支援を仰いでいるのが現状であるとの指摘をいただいている。さらに、最終的には起業にまで持っていくことができれば良いと期待されている。（資料1-2）

本学が立地する岡山市（総人口 719,474人、平成27年現在）における高齢者人口は、平成27年の17万5千人（高齢化率24.7%）から平成37年には19万5千人（高齢化率27%）へと上昇する見込みであり、一人暮らしの高齢者の増加、人間関係の希薄化による地域コミュニティでの支え合い機能の低下、在宅での介護・療養ニーズの高まり等への対応が喫緊の課題となっている。しの場も広がることから安心で豊かさが実感できる地域の創造と発展に寄与する、また岡山市からは、地域包括ケアシステムで連携し、さらに岡山市・地元NPO・地元団体・企業と本学の学生が協働して地域活動を通じた人材育成、地域活性化につなげる機会を創出していきたいとの意見を頂いている。

本学の設立は、長年医療教育に携わり率先して社会の要請に応えてきた本学園に課せられた使命であると考えている。時代の先行きを見据え、直面する喫緊の重要課題に的確に応える教育を行うためには、これまで専門学校として蓄積してきた職業教育資源とノウハウを発展的に継承するとともに、職業現場で創造的役割を果たし、地域のニーズに応えることができる人材を重点的に育成する先進的教育プログラムが必要となる。また職業現場を深く理解し、現場のニーズを的確につかみ、実際に使えるサービスを創出することができてはじめて社会に実装され活用されるサービスとなる。このような考えから、より高度な実践力と豊かな創造力を涵養し、専門職業分野において創造的な役割を果たす人材を重点的に育成することを使命とする専門職大学を開設することが、時代が必要とし地域が求める人材を育成する上で、最もふさわしいとの結論に達した。

本学には、理学療法学科と作業療法学科の2学科からなる4年制の健康科学部を置く。なお既設の岡山医療技術専門学校（医療事務学科を除く）は、岡山専門職大学の設立に伴い廃止する。

3．本学のディプロマポリシーおよびカ

岡山市は、この緊急かつ重要課題に対処するため「第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）平成30年3月」（資料1-3）を策定している。その基本理念は、「住み慣れた地域でともに支え合い安心して暮らせる「健康・福祉」のまち（地域包括ケアシステムの深化・推進）」であり、基本目標を、次のように掲げている。

Ⅰ　いつまでも地域とつながり、いきいきと活躍できる環境づくり

Ⅱ　状態を改善し、健康寿命を延伸する多様なサービスの展開

Ⅲ　医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり

このように、岡山市では、高齢者が健康寿命の延伸に努め、地域社会でいきいきと活躍し、地域や人とのつながりを保ちつつ自分らしい生活を最後まで安心して続けられるよう、地域に関わる人や組織が目標を共有し、適切な役割分担のもとで、保健・医療・介護・福祉などの分野を超えて協働し、多様な主体が支え合う包括的なシステムを構築し、深化させていくことを目指している。住民の関心も「平均寿命」から「健康寿命」へ向かっており、健康寿命が「延伸」されれば、人々の生活の質が改善され、社会保障費の軽減にもつながると期待される。岡山市は、この「健康寿命の延伸」を基本目標Ⅱに掲げ「地域包括ケアシステム」構想の中核として位置づけている。

「健康寿命の延伸」の基本は「運動訓練」による「自発的日常生活機能」の維持・改善であり、この効果はさらに「寝たきり予防」、「疾病・介護予防」につながる。理学療法士の主たる職務は、運動療法による対象者のリキュラムポリシーは、次の通りである。

ディプロマポリシー

本学の人材育成目的に沿って設定した科目を履修し、所定の単位を修得し、提出した卒業論文が合格することをもって、次の条件を満たしたものとみなし、卒業を認定し、学士（専門職）の学位を授与する。

（1）高い倫理観と豊かな人間力を備え、自ら考え学び続ける自主の精神を備える。

（2）論理的思考能力と研究スキルを備える。

（3）医療専門分野の最新の知識と専門技能を備え、高質なヒューマンサービスを基礎として専門業務を主導できる高度な実践力を備える。

（4）関連する他分野の視角と知識を活用して、新たなサービスを生み出していく豊かな創造力を備える。

（5）医療現場で必要な国際的視野を備える。

カリキュラムポリシー

本学の人材育成の目的を達成するため、基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目を有機的に組み合わせ、次の方針により教育課程を編成する。

（1）高い倫理観と、他者に共感できる誠実な人間力を育み、持続的な自己研鑽の姿勢を涵養する。

（2）論理的思考能力と基本的な研究スキルを身につける。

（3）理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得し、医療現場で専門性・実践性を練磨し、関連職種と連携する技能を育成する。

（4）職業現場で創造的な役割を果たし、関連する他分野の視角と知識を活用して新

身体機能・動作の維持・改善であることから、地域における「運動訓練」の推進、さらにはその結果もたらされる「健康寿命の延伸」に深くかかわる職種は、職能上理学療法士である。具体的な活動としては、地域で「転倒予防事業」「介護予防事業」「腰痛予防事業」等をはじめとする各種「運動訓練」を展開し、また「健康寿命の延伸」にかかわる様々な取り組みの啓蒙活動を展開することが挙げられる。

理学療法士に対する岡山地域のニーズは、高齢社会で多様な主体が支えあう地域包括ケアシステムの中で、特に身体機能の向上や健康寿命の延伸などの分野であり、介護福祉をはじめ、疾病予防や介護予防などの幅広い分野で、自立して生活できる自助能力を回復・維持し、健康寿命を延伸する様々なサービスを展開することである。また先にも触れた、地域との連絡の取り方、アピールの方法、マネジメントのノウハウの修得であり、最終的には起業にまでもっていく能力である（資料 1-2）。

このような岡山地域のニーズに応えるために、本学理学療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材。」

また最近岡山市では、独居高齢者の増加、人間関係の過疎化による地域コミュニティの機能低下などの諸問題が顕在化してきてたなサービスを提供できる力を育成する。

（５）国際的視野を広げ、職業現場で必要な英語力を身につける。

４．基礎科目において、生涯にわたり自らを向上させる基盤的資質を養い、専門職業人として自立するに必要な素養を身につける。物理や生物などの自然科学の基礎をはじめ、職業現場で最低限必要な英語力を涵養し、日本の歴史・文化や精神性および国際問題に対する理解を深め、諸事象を理論的・実証的に把握するための統計手法、情報処理技術、研究方法を学び、健康と運動と食についての科学的知識を修める。

また学生は入学から卒業まで一貫して一人の教員が担当する少人数編成の基盤ゼミに所属し、自ら学ぶ姿勢とコミュニケーション力とリーダーシップを備えた創造性豊かな人間性を育み、教員とゼミメンバーで濃密な議論を行う 4 年間を過ごす。1 年次には、自ら目標を定め自ら学ぶ姿勢と高い倫理観を涵養し、2 年次には与えられたテーマについて報告し、討論を重ね、導かれた結論を文章にまとめる作業を通じて、論理的思考力と文章表現力を練磨する。3 年次には自分の関心あるテーマを選び、仲間に行動を促すプレゼンテーションを行って、発信力とリーダーシップとコミュニケーション力を錬磨し、4 年次には興趣に富んだ人物の生涯の事績を学ぶことで、志をもって自己成長を持続させる前向きな姿勢と学び続ける志向性を育む。このような濃密なゼミ環境の中で丁寧に育成された資質は、責任感をもって判断し行動できる能力を育むとともに、専門領域の知識・技術を活用してより高質なヒューマンサービスを

おり、地域の住民や諸団体が協働して活動し、支え合い機能を持つ地域コミュニティづくりの再構築を進め、地域活性化につなげていこうとする機運が高まってきている。

岡山市においては「第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基本理念Ⅲにおいて、「医療を含めた施設・在宅サービスが安心して利用できる仕組みづくり」を掲げており、岡山県作業療法士会副会長の西出康晴氏は、作業療法士の役割として、地域の生活を知り、地域を理解し、自治体と協力して、独居老人や引きこもり高齢者の居場所づくりや地域のコミュニティ形成を行うことが重要である、と述べている（資料 1-4）。岡山県健康福祉部医療推進課課長の則安俊昭氏も「高齢者、認知症、独居高齢者などの社会との共生のためには地域を包括した支援体制が必須であり、その意味でコミュニティの形成は非常に重要である。大学でこのような基礎知識を養成してもらえることは非常にありがたい。コミュニティの中では作業療法士が果たす役割は非常に大きい。」と述べている（資料 1-5）。また日本作業療法士協会は「第三次作業療法 5 カ年戦略（2018-2022）」において、高齢社会の中で「共生社会の実現に向けた地域を基盤とする包括的ケアにおける作業療法の活用推進」と「共生社会に寄与する作業療法士を育成する教育の整備と強化」を掲げている（資料 1-6）。このように地域包括ケアシステムや共生社会の実現に向けては、作業療法士が担う責務が非常に重要であり、地域コミュニティの再構築や地域共生に向けての重要な役割が作業療法士に求められる。

提供し、新たなサービスのあり方を提示していく上での素地となる。

５．職業専門科目領域では、医療現場等との密接な連携により開発されたカリキュラムに基づき、理論的かつ実践的な能力を育成する。基礎分野から専門教育の基幹分野へさらにその上に展開する上級科目や展開科目へと体系的有機的な教育課程を編成し、リハビリテーション分野全般にわたり必要な能力を育成する。

そして４年次は、より高度な実践力と応用力を身につけ、思考力を鍛える１年となる。３年次の臨地実務実習（総合実習Ⅰ）の経験を踏まえ、上級治療実習により理論に裏付けられた専門技術のさらなる深い理解と応用力を育み、それを臨床現場の総合実習Ⅱと有機的に組み合わせることで、一段高い完成度と応用力を備えた即戦力の実践力を身につける。

また従来の大学教育課程とは大きく異なり、職業現場で創造的な役割を果たすための展開科目群が重点的に設定されており、他分野の多様な視角と知識を活用して現場ニーズを新たなサービスの形にしていく豊かな創造力を育成する教育プログラムが編成されている。科学技術の進歩とともに変容していく医療現場やさらに重要性を増す地域活動・福祉領域を含めた新しい職域に関わり、既存サービスの革新と新サービス創造およびその活用・事業化に必要な知識を組織的に修得することができる。

４年間の学修を総括する総合科目においては、医療・福祉・介護などの現場や地域で見つけた課題をもとに、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を生かして、

岡山地域の作業療法士に対する主要なニーズは、高齢者や障害者の社会進出、居場所づくり、社会の中で活躍する場を創設することであり、高齢者、認知症、独居高齢者などが住み慣れた地域で自立した生活を実現するために多様な生活課題に適合するサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して地域コミュニティの新しい仕組みづくりに貢献することである。

このような岡山地域のニーズに応えるために、本学作業療法学科の育成する人材像を以下のように定めた。

「最新の作業療法専門知識と高度な実践力を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材。」

岡山市は、本学の設置計画に対して、医療施設だけではなく地域包括ケアシステムの中核を担う人材を育成することを期待し、さらに岡山市・地元NPO・地元団体・企業と本学学生が協働して、地域活動を通じた人材育成、地域活性化につなげる機会を創出していきたいとの積極姿勢を示している（資料1-7）。さらに前述の則安氏は本学に対して「地域の中に入ってもらって一緒に解決していく能力を持った人が育ってくれることに期待したい。リハビリテーションの根幹は、人権の回復であると考えているので、この目的を果たすためには、各領域がバラバラでは難しい、組織化して解決に向かう必要があると思う。その組織の中

卒業論文の制作に取り組み、論理的思考力と研究スキルと問題解決能力を錬磨する。

このように本学の教育は、一段高い実践力と豊かな創造力を備え、医療現場や地域包括ケアシステムなど幅広い分野で現場ニーズを汲み上げ、新たなサービスへと展開する創造的スキルを備えた高度専門職業人を育成していく。

6．職業専門大学としての本学の教育は、従来の4年制大学課程とも専門学校教育とも、その特徴において大きな違いがある。

従来の4年制大学課程のなかで行われる職業人教育は、幅広い教養教育の基盤に立ち、学術研究の成果に基づき、理論的・分析的見地から行われる点に特徴があると考えられる。

これに対して本学の教育は、（1）職業現場や地域のニーズを迅速に教育課程に取り込み常に最新の専門知識と技術を修得できる教育課程連携協議会システムをもっていること、（2）4年一貫して豊かな人間性とコミュニケーション力と自ら学ぶ姿勢を丁寧に育む「基盤ゼミプログラム」を備えていること、（3）理論に裏付けられた深い理解と応用力を錬磨する上級治療技術科目と連動した一段高い実践力を涵養する「専門技能錬成プログラム」をもっていること、（4）新たなサービスを創造する能力を組織的に鍛える「展開力育成プログラム」を備えていることなどの特徴をもっている。

職業現場を牽引し、職業専門分野で創造的な役割を果たすことを目的として、より高い実践力と豊かな創造力を備えた即戦力として活躍できる人材を重点的に育成する高度職業実践教育プログラムが整備されてい

核を担う人材の育成を期待したい。」と強調された（資料 1-5）。

岡山地域では、前述のように地域の住民や諸団体が協働して活動し、支え合い機能を持つ地域コミュニティづくりを進め、地域活性化につなげていこうとする機運が高まっている。介護福祉、疾病予防、介護予防など幅広い分野で、自立して生活できる自助能力を改善・維持し、健康寿命を延伸する様々なサービスを展開する人材への需要が高まるとともに、住み慣れた地域で自立した生活を実現する地域包括ケアシステムと、それを補完し充実する保険外サービスなどの自助サービスを組み合わせて提供する仕組みをコーディネイトできる人材が強く求められていると言えよう。

また岡山地域に必要な人材を岡山で育成し、岡山地域への定着力を高める取組みが、岡山地域の「地方創生」の実現にとって極めて重要となる。岡山市は、岡山市に在籍する大学生のかなりの割合が大都市圏を中心に転出している現状を受け、地域を担う人材の育成および岡山市への定着率の向上を目指しており、あらたに本学が岡山市に設置されることにより、県外からの進学者が増え、県内への定着も期待できるとしている（資料 1-7）。

岡山県からは、本学の設立により高校生の進路選択の幅が広がり社会人の学び直しの場も広がることから安心で豊かさが実感できる地域の創造と発展に寄与するとの評価をいただいている（資料 1-8）。

2）既設専門学校の教育

しかし既設の専門学校では、このような地域的・社会的ニーズに応える人材を養成する。

そしてこれらの諸点は、本学の教育が従来の専門学校教育とも、本質的に異なるものであることを示している。既存の岡山医療技術専門学校は、実務に直接必要な知識・技術を最短の 3 年間で集中的に身につける教育プログラムにより、現場で実務を担う人材育成を行うことをその目的としている。岡山医療技術専門学校と新設の岡山専門職大学とは、育成する人材像、期待される役割、教育システムおよび教育内容のいずれにおいても、根本的に異なるものである。

7．新しい時代の課題と地域の必要性に応え、多様性を増す職務領域で実務を主導し、創造的な役割を果たすことができる、高い実践力と豊かな創造力を備えた理学療法士・作業療法士を育成するためには、専門職大学制度による 4 年制課程を整備する必要がある。

医療施設や介護福祉施設などの現場施設と緊密に協力する教育体制の下で、高度な技能と応用力を磨き、新たなサービスをつくりだす豊かな創造力を育み、自己研鑽を続ける姿勢やコミュニケーション力などの基盤的資質を錬磨する密度の高い取組みを一貫して継続することで、現場が抱える問題や新しいニーズに的確に応え、職業現場で創造的な役割を果たし、地域の活性化の動力として活躍することのできる高度専門職業人を育成することができる。

本学の教育プログラムは、大学教育における高等職業教育の質を創造的に飛躍させることはもとより、医療関連施設や地域社会と学生の双方に大きな利益をもたらし、

することはできない。既設専門学校の教育は、国家資格を取得し、職業現場で実務を担うために必要な標準的な知識・技術の修得を目的としており、最新かつ高度な専門知識や技術の修得、新たなサービスや技術の研究を行うための論理的思考力やスキルを鍛える教育、対象者の思いを受け止め共有できる懐の深い人間味あふれるサービスを提供するための教育プログラムは持っていない。また地域コミュニティの再建を視野に入れて、新領域で活動し、地域活性化に繋げていく教育や、健康寿命を延伸させるための応用技能の育成や、本格的な地域包括ケアシステムの展開に関わる仕組みづくりを担うための教育も行うことはできない。 地域の喫緊の課題に応え、変化の激しい時代のサービス展開に挑む理学療法士・作業療法士を育成するためには、これらの足らざる部分を組織的に育成する教育プログラムが必要となる。 3）本学の人材育成教育 新設する岡山医療専門職大学は、以上の足らざる部分に重点的に取り組む教育を行う。特に岡山地域の新しいニーズに応え、地域活性化に貢献するための能力を、理学療法学科および作業療法学科で、それぞれの学科の目指す人材像に沿った「展開科目」を中心に構成される「展開力育成プログラム」により組織的に育成する。理学療法学科では、人々が健康で幸せな人生を全うする社会を実現するために、健康の維持・改善・予防の側面から、理学療法の最新の知識と専門技術を駆使し対象者に健康寿命を延伸する力を与え、かつ対象者がもつ課題	また豊富な経験をもつ社会人の本格的な学び直しのニーズに対しても有効な手段を提供するものとなる。 本学園が新たに岡山専門職大学健康科学部を設置する趣旨と必要性は、以上の通りである。

を地域や多職種と協働して解決できる能力を養い、作業療法学科では、生活再建の側面から、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れた地域でいきいきと生活できるように、作業療法の最新の知識と専門技術を駆使し、積極的に地域の中に入り、地域コミュニティの再建に尽力できる能力を育成する。 　各学科のディプロマポリシーは、次の通りである。 （理学療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。 5）理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。 （作業療法学科） 1）高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。 2）職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。 3）作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。 4）対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、	

多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。 5）作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。 　このような能力を備えた理学療法士および作業療法士は、地域が進める「地域包括ケアシステム」の深化・推進に中心的な役割を担うことができ、地域から「地域包括ケアシステム」に参画できる人材の育成を求められていること（資料７則安氏）にもマッチする。 　また、知識と技術の提供に重点が置かれた既存の医療系の専門学校や大学では必ずしも十分な取り組みとは言えなかったプレゼンテーション能力の涵養を重視している。 　その理由は、論理的思考と発信力を鍛え、自ら学び続ける姿勢を身につけるとともに、地域のニーズに直結した活動を行う上で、プレゼンテーション能力は必須のスキルとなるからである。 　プレゼンテーション能力は、理学療法士および作業療法士が地域に関わり、住民など関係者の積極的関与を引き出すうえで必須の能力となる。地域の特徴に配慮した地域包括ケアシステムの理念と地域コミュニティ再建の必要性を、地域の団体や住民と共有するためには、サービスの全体像を整理して示す能力を備え、関係者に筋道立てて論理的に説明し、行動を促す説明能力が極めて重要となる。そのための現場を牽引する中核としての役割を担うには、優れたプレゼンテーション能力が必須となる。 　あわせて卒業後に持続的な自己研鑽を行う能力を身につけるため、卒業論文執筆にいたる系統的な研究指導により分析力と基	

礎的研究能力を丁寧に育成する。 　このように生涯にわたり基盤となる資質を丁寧に育む一方、職業現場のニーズを不断に取り入れる最新の専門教育課程と一段高い応用技能を錬成する「専門技能錬成プログラム」の展開等のハイレベルの実践実習教育を行う。そして高い倫理観に基づく懐の深いヒューマンサービスのあり方を探究し、多彩に構成された「展開力育成プログラム」により変化するニーズに対応して必要な新サービスを創出する柔軟な応用力を組織的に育成する先進的な「展開力育成」教育をおこない、「地域」に関わるサービスに積極的に参加し、「健康と福祉」のコミュニティづくりを主導し、創造的役割を果たすことができる新しいタイプの理学療法士・作業療法士を育成する教育を行う。 　このような本学の教育を受けた学生は、今後、地域が必要とする理学療法士および作業療法士として活躍できる人材となり得ることを確信する。	

（1-2）教育課程の概要
別記様式第2号（その2の1）

補正後

教　育　課　程　等　の　概　要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		1	3	3	4		
	基盤ゼミⅡ	3前	1				○		1	3	3	4		
	職業人の倫理と道徳論	1後	2			○			1					
	心理学	1前		2		○								兼1
	哲学概論	1前		2		○								兼1
	健康科学概論	1後	1			○								兼1
	コミュニケーション英語	1前	2			○								兼1
	日本の歴史と文化	1前	2			○								兼1
	国際政治経済論	2後	1			○								兼1
	基礎生物	1前		1		○								兼1
	基礎物理	1前		1		○								兼1
	情報収集と処理	1後	1			○			1					
	統計分析の基礎	2後	1			○				1				
	人間関係論	3前		2		○								兼1
	コミュニケーション論	3前	1			○								兼1
	テーマ設定と研究方法	3前	1			○			1					
	研究デザイン	3前	1				○		6	3	1	2		
	小計（ 17科目）	－	15	8	0	－	－	－	7	3	3	4	0	兼9
職業専門科目 専門基礎分野	メディカル英語	3後		2		○								兼1
	解剖学	1前	2			○			1					
	解剖学実習Ⅰ	1後	1					○	1					
	解剖学実習Ⅱ	2前	1					○	1					
	生理学	1前	2			○								兼1
	生理学実習	1後	1					○						兼1
	運動学	1後	2			○			1					
	運動学実習	2前	1					○	1			1		
	人間発達学	1前	2			○			1					
	臨床医学概論	1前	2			○			1					
	病理学	1後	2			○			1					
	精神医学	2後	2			○								兼1
	整形外科学	2前	2			○			1					
	内科学	1後	2			○			1					
	神経内科学	2前	2			○								兼2
	小児科学	2前	2			○			1					
	リハビリテーション医学	1後	1			○			1					
	リハビリテーション概論	1前	1			○				1				
	地域包括マネジメント論	3後	1			○						1		
	多職種連携論	1後	1			○						1		
職業専門科目 専門分野	理学療法概論	1前	2			○			1					
	基礎理学療法学	2前	2			○				1				
	基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○	1		1			
	基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○			2	1		
	理学療法セミナーⅠ	4前		1			○				1			
	理学療法セミナーⅡ	4後		1			○					1		
	理学療法管理学概論	3前	2			○			1					
	理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○					1			
	理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○					1			
	理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○			1	1		
	理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○				2		
	理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○			1	1		
	運動療法	1後	1			○				1				
	運動療法実習Ⅰ	2前	1					○				2		
	運動療法実習Ⅱ	2後	1					○		1		1		
	物理療法	2後	1			○			1					
	物理療法実習	3前	1					○		1		1		
	理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○			1					
	理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○				1				

	理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○				1					
	理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○			1	1					
	理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○	1	1		1			
	理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○		1	1				
	理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○		1		1			
	老年期障害理学療法学	3前	1				○			1					
	理学療法演習Ⅰ	2後		2			○				1	1			
	理学療法演習Ⅱ	3後		2			○			1	1				
	日常生活活動学	2前	1			○						1			
	日常生活活動学実習	2後	1					○		1	1				
	生涯スポーツ実習	3前	1					○		1	3	2			
	スポーツ理学療法特論	2後	1					○			1	1			
	義肢装具学	3後		1		○								兼1	
	応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○			1	1			
	応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1				○						兼1	
	応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1					○			1	1			
	生活環境学	2後	2			○						1			
	地域理学療法学	3前	1			○						1			
	予防理学療法学	3後		1		○				1					
	見学実習	1通	1					臨		2	1				
	評価実習	3前	3					臨			1	2			
	総合実習Ⅰ	3後	8					臨	1		1	1			
	総合実習Ⅱ	4前	8					臨			1	2			
	小計（ 62科目）	－	87	11	0	—	—	—	7	3	3	4	0	兼7	
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○								兼1	
	人間形成論	3後	2			○								兼1	
	食生活マネジメント論	3前	2			○								兼1	
	生体情報科学	3後	2			○								兼1	
	NPO論	4前	2			○								兼1	
	スポーツ科学	4前	2			○								兼1	
	起業入門	4前	2			○								兼1	
	マネジメント論	4前	2			○								兼1	
	コーチング論	4前	2			○			1						
	岡山経営者論	4前	2			○			1					兼10	オムニバス
	小計（ 10科目）	－	20	0	0	—	—	—	2	0	0	0	0	兼18	
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○		6	3	3	2			
	総合研究Ⅱ	4前	1				○		6	3	3	2			
	総合演習Ⅰ	3後		1			○		2		1	1			
	総合演習Ⅱ	4前		1			○				2	1			
	卒業論文	4後	2				○		7	3	2	2			
	小計（ 5科目）	—	4	2	0	—	—	—	7	3	3	2	0	－	
	合計（ 94科目）	—	126	21	0	—	—	—	8	3	3	4	0	兼30	

学位又は称号	理学療法学士（専門職）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1）本学に4年以上在学すること。 2）次により、必修科目126単位、選択科目5単位以上を履修すること。 基礎科目20単位以上 必修科目15単位以上 選択科目5単位以上 職業専門科目87単位以上 専門基礎分野科目から必修科目30単位以上 専門分野科目から必修科目57単位以上 展開科目必修科目20単位以上 総合科目必修科目4単位以上 実習・実験科目から40単位以上 うち、臨地実務実習20単位以上 履修登録上限は、1年間において39単位とする。 ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

補正前

教　育　課　程　等　の　概　要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
基礎科目		基盤ゼミⅠ	1前	1				○		3	2	2	3		
		基盤ゼミⅡ	2前	1				○		3	2	2	3		
		基盤ゼミⅢ	3前	1				○		3	2	2	3		
		基盤ゼミⅣ	4後	1				○		3	2	2	3		
		職業人の倫理と道徳論	1後	2			○			1					
		コミュニケーション論	3前	1			○								兼1
		健康科学概論	1後	1			○								兼1
		コミュニケーション英語	1前	2			○								兼1
		メディカル英語	3後	2			○								兼1
		日本の歴史と文化	1前	1			○								兼1
		国際政治経済論	3前	1			○								兼1
		基礎生物	1前	1			○								兼1
		基礎物理	1前	1			○								兼1
		情報収集と処理	1後	1			○			1					
		統計分析の基礎	2後	1			○				1				
		テーマ設定と研究方法	3前	1			○				1				
		研究デザイン	3前	1				○		6	2	2			
		小計（ 17科目）	－	20	0	0	－	－	－	7	2	2	3	0	兼6
職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	1前	2			○			1					
		解剖学実習Ⅰ	1後	1					○						兼1
		解剖学実習Ⅱ	2前	1					○	1					
		生理学	1前	2			○								兼1
		生理学実習	1後	1					○						兼1
		運動学	1後	2			○			1					
		運動学実習	2前	1					○				1		
		人間発達学	1前	2			○			1					
		臨床医学概論	1前	2			○			1					
		病理学	1後	2			○			1					
		精神医学	2後	2			○								兼1
		整形外科学	2前	2			○			1					
		内科学	1後	2			○			1					
		神経内科学	2前	2			○								兼2
		小児科学	2前	2			○			1					
		リハビリテーション医学	1後	1			○			1					
		リハビリテーション概論	1前	1			○				1				
		地域包括マネジメント論	3後	1			○			1					
		多職種連携論	1後	1			○				1				
	専門分野	理学療法概論	1前	2			○			1					
		基礎理学療法学	2前	2			○				1				
		基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○	1		1			
		基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○		1		1		
		理学療法セミナーⅠ	4前		1			○				1			
		理学療法セミナーⅡ	4後		1			○					1		
		理学療法管理学概論	3前	2			○			1					
		理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○					1			
		理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○					1			
		理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○			1	1		
		理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○				2		
		理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○			1	1		
		運動療法	1後	1			○			1					
		運動療法実習Ⅰ	2前	1					○				2		
		運動療法実習Ⅱ	2後	1					○		1		1		
		物理療法	2後	1			○			1					
		物理療法実習	3前	1					○			1	1		
		理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○			1					
		理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○			1					

	理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○			1						
	理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○				1					
	理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○			1	1			
	理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○			1	1			
	理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○			1	1			
	老年期障害理学療法学	3前	1			○				1					
	理学療法演習Ⅰ	2後		2			○					2			
	理学療法演習Ⅱ	3後		2			○				1	1			
	日常生活活動学	2前	1			○				1					
	日常生活活動学実習	2後	1					○	1			1			
	生涯スポーツ実習	3前	1					○			2	3			
	スポーツ理学療法特論	2後	1					○				2			
	義肢装具学	3後		1		○								兼1	
	上級治療実習Ⅰ(徒手療法)	4前	1					○			1	1			
	上級治療実習Ⅱ(リハビリ工学)	4前		1				○						兼1	
	上級治療実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	4前	1					○				2			
	生活環境学	2後	2			○				1					
	地域理学療法学	3前	1			○				1					
	予防理学療法学	3後		1		○				1					
	見学実習	1通	1					臨	1	1	1				
	評価実習	3前	3					臨		1	1	1			
	総合実習Ⅰ	3後	8					臨			1	2			
	総合実習Ⅱ	4前	8					臨	1		1	1			
	小計(61科目)	－	87	9	0	－	－	－	7	2	2	3	0	兼6	
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○								兼1	
	家族関係論	3前	2			○								兼1	
	人間形成論	3後	2			○								兼1	
	生活経済論Ⅰ	3後	2			○			1						
	サービス創造論	3後	2			○			1						
	食生活マネジメント論	4前		2		○								兼1	
	スポーツ科学	4前		2		○								兼1	
	歯科保健論	4前		2		○								兼1	
	人間工学	4前		2		○								兼1	
	ライフサイクル論	4前		2		○								兼1	
	生活経済論Ⅱ	4前		2		○			1						
	マネジメント論	4前		2		○								兼1	
	コーチング論	4前		2		○			1						
	岡山経営者論	4前	2			○			2					兼10	オムニバス
	小計(14科目)	－	12	16	0	－	－	－	3	0	0	0	0	兼19	
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○		6	2	2				
	総合研究Ⅱ	4前	1				○		6	2	2				
	総合演習Ⅰ	3後		1			○		1		2				
	総合演習Ⅱ	4前		1			○		1		2				
	卒業論文	4後	2				○		7	2	2				
	小計(5科目)	－	4	2	0	－	－	－	7	2	2	3	0	－	
	合計(97科目)	－	123	27	0	－	－	－	7	2	2	3	0	兼28	

学位又は称号	理学療法学士（専門職）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1）本学に4年以上在学すること。 2）次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。 基礎科目20単位以上 職業専門科目87単位以上 専門基礎分野科目から必修科目30単位以上 専門分野科目から必修科目57単位以上 展開科目20単位以上 必修科目12単位以上 選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論から8単位以上を選択必修とする。 総合科目必修4単位以上 実習・実験科目から40単位以上 うち、臨地実務実習20単位以上 履修登録上限は、1年間において39単位とする。 ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

補正後

教　育　課　程　等　の　概　要

（健康科学部作業療法学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		1	1	1	2		
	基盤ゼミⅡ	3前	1				○		1	1	1	2		
	職業人の倫理と道徳論	1後	2			○								兼1
	心理学	1前		2		○								兼1
	哲学概論	1前		2		○								兼1
	健康科学概論	1後	1			○			1					
	コミュニケーション英語	1前	2			○								兼1
	日本の歴史と文化	1前	2			○								兼1
	国際政治経済論	2後	1			○								兼1
	基礎生物	1前		1		○			1					
	基礎物理	1前		1		○								兼1
	情報収集と処理	1後	1			○			1					
	統計分析の基礎	2後	1			○			1					
	人間関係論	3前		2		○								兼1
	コミュニケーション論	3前	1			○								兼1
	テーマ設定と研究方法	3前	1			○			1					
	研究デザイン	3前	1				○		6	1				
	小計（ 17科目）	—	15	8	0	—	—	—	6	1	1	2	0	兼8
専門基礎分野	メディカル英語	3後		2		○			1					
	解剖学	1前	2			○								兼1
	解剖学実習Ⅰ	1後	1					○						兼1
	解剖学実習Ⅱ	2前	1					○						兼1
	生理学	1前	2			○			1					
	生理学実習	1後	1					○	1					
	運動学	1後	2			○			1					
	運動学実習	2前	1					○			1			
	人間発達学	1前	2			○								兼1
	臨床医学概論	1前	2			○								兼1
	病理学	1後	2			○								兼1
	精神医学	2後	2			○								兼1
	整形外科学	2前	2			○								兼1
	内科学	1後	2			○								兼1
	神経内科学	2前	2			○								兼1
	小児科学	2前	2			○								兼1
	リハビリテーション医学	1後	1			○			1					
	リハビリテーション概論	1前	1			○			1					
	地域包括マネジメント論	3後	1			○					1			
	多職種連携論	1後	1			○				1				
職業専門科目	作業療法概論	1前	2			○			1					
	基礎作業学	1後	1			○				1				
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○				1		
	基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○				1		
	作業療法セミナーⅠ	4前		1			○		1					
	作業療法セミナーⅡ	4後		1			○		1					
	作業療法管理学概論	3後	2			○			1					
	作業療法評価学	1後	2			○				1				
	作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○			1	1		
	作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○			1	1		
	作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1					○			1	1		
	基礎作業療法治療学	3前	1			○			1					
	基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1					○				2		
	基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○			1	1		
	身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○				1				
	身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○			1					

専門分野	身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○			1						
	身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○			1						
	身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○			1	1			
	身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○	1			1			
	身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○				2			
	老年期障害作業療法学	2後	1			○			1						
	老年期障害作業療法実習	3前	1					○		1	1	2			
	精神障害作業療法学	2後	1			○				1					
	作業療法演習Ⅰ	2後		2			○					1			
	作業療法演習Ⅱ	3後		2			○					1			
	日常生活活動学	2前	1			○				1					
	日常生活活動学実習	2後	1					○			1	1			
	義肢装具学	3後		1		○								兼1	
	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法)	4前	1					○						兼2	
	応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学)	4前	1					○	1						
	応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	4前		1				○						兼2	
	生活環境学	2後	2			○			1						
	地域作業療法学	3後	1			○			1						
	予防作業療法学	3後	1			○			1						
	見学実習	1通	1					臨	1		1	1			
	評価実習	3前	3					臨		1	1	1			
	総合実習Ⅰ	3後	9					臨	1			1			
	総合実習Ⅱ	4前	9					臨			1	1			
	小計(59科目)	—	87	10	0	—	—	—	6	1	1	2	0	兼12	
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○								兼1	
	人間形成論	3後	2			○								兼1	
	家族関係論	3前	2			○								兼1	
	地域社会論	3後	2			○								兼1	
	コミュニティ形成論	3後	2			○								兼1	
	地域生活と健康	4前	2			○			1						
	特別支援教育	4前	2			○			1						
	人間工学	4前	2			○			1						
	ライフサイクル論	4前	2			○								兼1	
	岡山経営者論	4前	2			○								兼11	オムニバス
	小計(10科目)	—	20	0	0	—	—	—	3	0	0	0	0	兼17	
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○		6	1					
	総合研究Ⅱ	4前	1				○		6	1					
	総合演習Ⅰ	3後		1			○		2		1				
	総合演習Ⅱ	4前		1			○		2						
	卒業論文	4後	2				○		6	1	1	1			
	小計(5 科目)	—	4	2	0	—	—	—	6	1	1	1	0	-	
	合計(91科目)	—	126	20	0	—	—	—	6	1	1	2	0	兼34	

学位又は称号	作業療法学士（専門職）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1）本学に4年以上在学すること。 2）次により、必修科目126単位、選択科目5単位以上を履修すること。 基礎科目20単位以上 必修科目15単位以上 選択科目5単位以上 職業専門科目87単位以上 専門基礎分野科目から必修科目30単位以上 専門分野科目から必修科目57単位以上 展開科目必修科目20単位以上 総合科目必修科目4単位以上 実習・実験科目から40単位以上 うち、臨地実務実習22単位以上 履修登録上限は、1年間において39単位とする。 ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

別記様式第2号（その2の1）

補正前

教　育　課　程　等　の　概　要

（健康科学部作業療法学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	基盤ゼミⅠ	1前	1				○		3	1	1	2		
	基盤ゼミⅡ	2前	1				○		3	1	1	2		
	基盤ゼミⅢ	3前	1				○		3	1	1	2		
	基盤ゼミⅣ	4後	1				○		3	1	1	2		
	職業人の倫理と道徳論	1後	2			○								兼1
	コミュニケーション論	3前	1			○								兼1
	健康科学概論	1後	1			○			1					
	コミュニケーション英語	1前	2			○								兼1
	メディカル英語	3後	2			○			1					
	日本の歴史と文化	1前	1			○								兼1
	国際政治経済論	3前	1			○								兼1
	基礎生物	1前	1			○			1					
	基礎物理	1前	1			○								兼1
	情報収集と処理	1後	1			○			1					
	統計分析の基礎	2後	1			○			1					
	テーマ設定と研究方法	3前	1			○			1					
	研究デザイン	3前	1				○		5	1	1	2		
	小計（ 17科目）	－	20	0	0	－	－	－	5	1	1	2	0	兼5
専門基礎分野	解剖学	1前	2			○								兼1
	解剖学実習Ⅰ	1後	1					○	1					
	解剖学実習Ⅱ	2前	1					○						兼1
	生理学	1前	2			○			1					
	生理学実習	1後	1					○	1					
	運動学	1後	2			○			1					
	運動学実習	2前	1					○	1					
	人間発達学	1前	2			○								兼1
	臨床医学概論	1前	2			○								兼1
	病理学	1後	2			○								兼1
	精神医学	2後	2			○								兼1
	整形外科学	2前	2			○								兼1
	内科学	1後	2			○								兼1
	神経内科学	2前	2			○								兼1
	小児科学	2前	2			○								兼1
	リハビリテーション医学	1後	1			○			1					
	リハビリテーション概論	1前	1			○			1					
	地域包括マネジメント論	3後	1			○								兼1
	多職種連携論	1後	1			○				1				
職業専門科目	作業療法概論	1前	2			○			1					
	基礎作業学	1後	1			○				1				
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1					○				1		
	基礎作業学実習Ⅱ	2後	1					○				1		
	作業療法セミナーⅠ	4前		1			○					1		
	作業療法セミナーⅡ	4後		1			○					1		
	作業療法管理学概論	3前	2			○			1					
	作業療法評価学	1後	2			○				1				
	作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1					○			1	1		
	作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○			1	1		
	作業療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○			1	1		
	基礎作業療法治療学	2前	1			○			1					
	基礎作業療法治療学実習Ⅰ	2後	1					○				2		
	基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1					○			1	1		
	身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○				1				
	身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○			1					
	身体障害作業療法学Ⅲ	2後	1			○			1					

専門分野	身体障害作業療法学Ⅳ	2後	1			○				1					
	身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1					○			1	1			
	身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1					○			1	1			
	身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1					○	1			1			
	老年期障害作業療法学	2後	1			○			1						
	老年期障害作業療法実習	3前	1					○		1	1	2			
	精神障害作業療法学	3前	1			○				1					
	作業療法演習Ⅰ	2後		2			○					1			
	作業療法演習Ⅱ	3後		2			○					1			
	日常生活活動学	2前	1			○				1					
	日常生活活動学実習	2後	1					○			1	1			
	義肢装具学	3後		1		○								兼1	
	上級治療実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○						兼2	
	上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1					○	1						
	上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1				○						兼2	
	生活環境学	2後	2			○			1						
	地域作業療法学	3前	1			○				1					
	予防作業療法学	2後	1			○				1					
	見学実習	1通	1					臨	1		1				
	評価実習	3前	3					臨		1	1				
	総合実習Ⅰ	3後	9					臨				2			
	総合実習Ⅱ	4前	9					臨		1		1			
	小計（ 58科目）	－	87	8	0	－	－	－	5	1	1	2	0	兼12	
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			○								兼1	
	家族関係論	3前	2			○								兼1	
	人間形成論	3後	2			○								兼1	
	生活経済論Ⅰ	3後	2			○								兼1	
	サービス創造論	3後	2			○								兼1	
	食生活マネジメント論	4前		2		○								兼1	
	スポーツ科学	4前		2		○			1						
	歯科保健論	4前		2		○								兼1	
	人間工学	4前		2		○			1						
	ライフサイクル論	4前		2		○								兼1	
	生活経済論Ⅱ	4前		2		○								兼1	
	マネジメント論	4前		2		○								兼1	
	コーチング論	4前		2		○								兼1	
	岡山経営者論	4前	2			○								兼12	オムニバス
	小計（ 14科目）	－	12	16	0	－	－	－	2	0	0	0	0	兼19	
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1				○		5	1	1	2			
	総合研究Ⅱ	4前	1				○		5	1	1	2			
	総合演習Ⅰ	3後		1			○		1		1	1			
	総合演習Ⅱ	4前		1			○		1		1	1			
	卒業論文	4後	2				○		5	1	1	2			
	小計（ 5科目）	－	4	2	0	－	－	－	5	1	1	2	0	－	
	合計（ 94科目）	－	123	26	0	－	－	－	5	1	1	2	0	兼34	

学位又は称号	作業療法学士（専門職）	学位又は学科の分野	保健衛生学関係（リハビリテーション関係）

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 本学科の卒業要件は、以下の通りとする。 1）本学に4年以上在学すること。 2）次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。 基礎科目20単位以上 職業専門科目87単位以上 専門基礎分野科目から必修科目30単位以上 専門分野科目から必修科目57単位以上 展開科目20単位以上 必修科目12単位以上 選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論から8単位以上を選択必修とする。 総合科目必修4単位以上 実習・実験科目から40単位以上 うち、臨地実務実習22単位以上 履修登録上限は、1年間において39単位とする。 ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

(別紙1-3)専任教員の年齢構成･学位保有状況
別記様式第３号（その３の１）

（新）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（健康科学部　理学療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	2人	人	1人	4人	7人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学字士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	修　士	人	人	人	2人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	修　士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	1人	1人	1人	人	人	人	3人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	2人	3人	人	1人	4人	10人	
	修　士	人	1人	2人	4人	人	人	人	7人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

別記様式第３号（その３の１）

（旧）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（健康科学部　理学療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	2人	1人	1人	3人	7人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	1人	人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	2人	1人	人	人	人	3人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	2人	2人	1人	1人	3人	9人	
	修　士	人	人	1人	1人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	2人	1人	人	1人	人	4人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	

別記様式第３号（その３の２）

（新）

専任教員の年齢構成・学位保有状況
（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

（健康科学部　理学療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	2人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	1人 （1人）	1人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	3人 （1人）	
	学字士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	4人 （2人）	
	修　士	人 （　人）	1人 （1人）	2人 （　人）	2人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	5人 （1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	

別記様式第３号（その３の２）

（旧）

専任教員の年齢構成・学位保有状況
（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

（健康科学部　理学療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	4人 （2人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	3人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （2人）	2人 （2人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	6人 （4人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	4人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	

別記様式第３号（その３の１）

（新）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（健康科学部　作業療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	人	4人	人	人	2人	6人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	人	4人	人	人	2人	6人	
	修　士	人	人	3人	人	人	人	人	3人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	人	人	人	人	1人	

別記様式第３号（その３の１）

（旧）

専任教員の年齢構成・学位保有状況

（健康科学部　作業療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人	人	1人	3人	人	人	1人	5人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准教授	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　師	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
助　教	博　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	学　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　計	博　士	人	人	1人	3人	人	人	1人	5人	
	修　士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	学　士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	短期大学士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	その他	人	人	1人	人	人	人	人	1人	

別記様式第３号（その３の２）

（新）

専任教員の年齢構成・学位保有状況
（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

（健康科学部　作業療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	2人 （　1人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	2人 （　1人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	3人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	3人 （　1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	

別記様式第３号（その３の２）

（旧）

専任教員の年齢構成・学位保有状況
（専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の実務の経験等を有する専任教員）

（健康科学部　作業療法学科）

職　位	学　位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合　計	備　考
教　授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	3人 （　1人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
准教授	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
講　師	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
助　教	博　士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
合　計	博　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	1人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	3人 （　1人）	
	修　士	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	2人 （　1人）	
	学　士	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	
	短期大学士	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	
	その他	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	人 （　人）	1人 （　人）	

（別紙1-4）教育課程と新指定規則等との対比表

（新）

教育課程等の概要

（健康科学部理学療法学科）

科目区分	新指定区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件		専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		基礎科目 必修15単位を含め20単位以上	20	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1			○							
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（17科目）	－	15	8	0	—	—	—					
職業専門科目	専門基礎分野	専門基礎分野	メディカル英語	3後		2		○							
			解剖学	1前	2			○							
			解剖学実習Ⅰ	1後	1					○					
			解剖学実習Ⅱ	2前	1					○					
			生理学	1前	2			○						12	
			生理学実習	1後	1					○					
			運動学	1後	2			○							
			運動学実習	2前	1					○					
			人間発達学	1前	2			○							
		人体の構造と機能及び心身の発達	臨床医学概論	1前	2			○			専門基礎分野 必修科目30単位以上	30			栄養・薬理・画像・救命救急・予防の基礎
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	2			○						14	
			精神医学	2後	2			○							
			整形外科学	2前	2			○							
			内科学	1後	2			○							
			神経内科学	2前	2			○							
			小児科学	2前	2			○							
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○						4	リハビリテーションの理念 地域包括ケアシステム 多職種連携の理解
			リハビリテーション概論	1前	1			○							
			地域包括マネジメント論	3後	1			○							
			多職種連携論	1後	1			○							
	専門分野	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	2			○				37		6	
			基礎理学療法学	2前	2			○							
			基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1					○					
			基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1					○					
			理学療法セミナーⅠ	4前		1			○						
			理学療法セミナーⅡ	4後		1			○						
		理学療法管理学	理学療法管理学概論	3前	2			○						2	理学療法倫理・職場管理
		理学療法評価学	理学療法評価学Ⅰ	1後	2			○			専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習20単位以上を含む）		60単位以上		
			理学療法評価学Ⅱ	2前	1			○							画像
			理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1					○				6	
			理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1					○					画像
			理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1					○					
		理学療法治療学	運動療法	1後	1			○							
			運動療法実習Ⅰ	2前	1					○					
			運動療法実習Ⅱ	2後	1					○					
			物理療法	2後	1			○							
			物理療法実習	3前	1					○					
			理学療法治療学Ⅰ	2前	2			○							
			理学療法治療学Ⅱ	2前	1			○							
			理学療法治療学Ⅲ	2後	1			○							
			理学療法治療学Ⅳ	2後	1			○							
			理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1					○					
			理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1					○				20	
			理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1					○					喀痰等の吸引
			老年期障害理学療法学	3前	1				○						
			理学療法演習Ⅰ	2後		2			○						
			理学療法演習Ⅱ	3後		2			○						
			日常生活活動学	2前	1			○							
			日常生活活動学実習	2後	1					○					
			生涯スポーツ実習	3前	1					○					
			スポーツ理学療法特論	2後	1					○					
			義肢装具学	3後		1		○							
			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1					○					
			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1				○					
			応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1					○					

		地域理学療法学	生活環境学	2後	2			○							
			地域理学療法学	3前	1			○						3	
			予防理学療法学	3後		1		○							
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨					
			評価実習	3前	3					臨		20			
			総合実習Ⅰ	3後	8					臨				20	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	8					臨					
		小計（62科目）		—	87	11	0	—	—	—					
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○							
			人間形成論	3後	2			○							
			食生活マネジメント論	3前	2			○							
			生体情報科学	3後	2			○							
			NPO論	4前	2			○							
			スポーツ科学	4前	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上		
			起業入門	4前	2			○							
			マネジメント論	4前	2			○							
			コーチング論	4前	2			○							
			岡山経営者論	4前	2			○							
		小計（10科目）		—	20	0	0	—	—	—					
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○						
			総合研究Ⅱ	4前	1				○						
			総合演習Ⅰ	3後		1			○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上		
			総合演習Ⅱ	4前		1			○						
			卒業論文	4後	2				○						
		小計（5科目）		—	4	2	0	—	—	—					
		合計（94科目）		—	126	21	0	—	—	—	131		124単位以上	101	

岡山専門職大学　健康科学部　理学療法学科　　（旧）

教育課程 ＼ 指定規則の教育課程								理学療法士課程指定規則										
								基礎分野		専門基礎分野			専門分野						
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	1単位あたりの時間数	履修方法及び卒業要件	科学的思考の基礎	人間と生活	人間の構造と心身の発達	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	基礎理学療法学	理学療法管理学	理学療法評価学	理学療法治療学	地域理学療法学	臨床実習	合計
								14		12	14	4	6	2	6	20	3	20	101
基礎科目	基盤ゼミⅠ	1前	1			15	基礎科目20単位以上	○											
	基盤ゼミⅡ	2前	1			15		○											
	基盤ゼミⅢ	3前	1			15		○											
	基盤ゼミⅣ	4後	1			15		○											
	職業人の倫理と道徳論	1後	2			15		○											
	コミュニケーション論	3前	1			15		○											
	健康科学概論	1後	1			15		○											
	コミュニケーション英語	1前	2			15		○											
	メディカル英語	3後	2			15		○											
	日本の歴史と文化	1前	1			15		○											
	国際政治経済論	3前	1			15		○											
	基礎生物	1前	1			15		○											
	基礎物理	1前	1			15		○											
	情報収集と処理	1後	1			15		○											
	統計分析の基礎	2後	1			15		○											
	テーマ設定と研究方法	3前	1			15		○											
	研究デザイン	3前	1			15		○											
	小計（ 17科目）	—	20	—	—	—		20		—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
職業専門科目 専門基礎分野	解剖学	1前	2			15	職業専門科目87単位以上（専門基礎分野から必修科目30単位以上、専門分野から必修科目57単位以上）			○									
	解剖学実習Ⅰ	1後	1			30				○									
	解剖学実習Ⅱ	2前	1			30				○									
	生理学	1前	2			15				○									
	生理学実習	1後	1			30				○									
	運動学	1後	2			15				○									
	運動学実習	2前	1			30				○									
	人間発達学	1前	2			15				○									
	臨床医学概論	1前	2			15					○								
	病理学	1後	2			15					○								
	精神医学	2後	2			15					○								
	整形外科学	2前	2			15					○								
	内科学	1後	2			15					○								
	神経内科学	2前	2			15					○								
	小児科学	2前	2			15					○								
	リハビリテーション医学	1後	1			15						○							
	リハビリテーション概論	1前	1			15						○							
	地域包括マネジメント論	3後	1			15						○							
	多職種連携論	1後	1			15						○							
職業専門科目 専門分野	理学療法概論	1前	2			15							○						
	基礎理学療法学	2前	2			15							○						
	基礎理学療法実習Ⅰ	2後	1			30							○						
	基礎理学療法実習Ⅱ	3前	1			30							○						
	理学療法セミナーⅠ	4前		1		15							○						
	理学療法セミナーⅡ	4後		1		15							○						
	理学療法管理学概論	3前	2			15								○					
	理学療法評価学Ⅰ	1後	2			15									○				
	理学療法評価学Ⅱ	2前	1			15									○				
	理学療法評価学実習Ⅰ	2後	1			30									○				
	理学療法評価学実習Ⅱ	2後	1			30									○				
	理学療法評価学実習Ⅲ	3前	1			30									○				
	運動療法	1後	1			15										○			
	運動療法実習Ⅰ	2前	1			30										○			
	運動療法実習Ⅱ	2後	1			30										○			
	物理療法	2後	1			15										○			
	物理療法実習	3前	1			30										○			
	理学療法治療学Ⅰ	2前	2			15										○			
	理学療法治療学Ⅱ	2前	1			15										○			
	理学療法治療学Ⅲ	2後	1			15										○			
	理学療法治療学Ⅳ	2後	1			15										○			

	理学療法治療学実習Ⅰ	2前	1			30									○			
	理学療法治療学実習Ⅱ	2後	1			30									○			
	理学療法治療学実習Ⅲ	3前	1			30									○			
	老年期障害理学療法学	3前	1			15									○			
	理学療法演習Ⅰ	2後		2		15									○			
	理学療法演習Ⅱ	3後		2		15									○			
	日常生活活動学	2前	1			15									○			
	日常生活活動学実習	2後	1			30									○			
	生涯スポーツ実習	3前	1			30									○			
	スポーツ理学療法特論	2後	1			30									○			
	義肢装具学	3後		1		15									○			
	上級治療実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1			30									○			
	上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前		1		30									○			
	上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前	1			30									○			
	生活環境学	2後	2			15										○		
	地域理学療法学	3前	1			15										○		
	予防理学療法学	3後		1		15										○		
	見学実習	1通	1			45											○	
	評価実習	3前	3			45											○	
	総合実習Ⅰ	3後	8			45											○	
	総合実習Ⅱ	4前	8			45											○	
	小計（ 61科目）		87	9	0	—		—	12	14	4	8	2	6	26	4	20	96
展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			15	展開科目20単位以上（必修科目12単位以上選択科目から8単位以上を選択必修）	○										
	家族関係論	3前	2			15		○										
	人間形成論	3後	2			15		○										
	生活経済論Ⅰ	3後	2			15		○										
	サービス創造論	3後	2			15		○										
	食生活マネジメント論	4前		2		15		○										
	スポーツ科学	4前		2		15		○										
	歯科保健論	4前		2		15		○										
	人間工学	4前		2		15		○										
	ライフサイクル論	4前		2		15		○										
	生活経済論Ⅱ	4前		2		15		○										
	マネジメント論	4前		2		15		○										
	コーチング論	4前		2		15		○										
	岡山経営者論	4前	2			15		○										
	小計（ 14科目）		12	16	0	—		28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28
総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1			15	総合科目4単位以上					○						
	総合研究Ⅱ	4前	1			15						○						
	総合演習Ⅰ	3後		1		15						○						
	総合演習Ⅱ	4前		1		15						○						
	卒業論文	4後	2			15						○						
	小計（ 5科目）		4	2	0	—		—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	6
合計（ 97科目）			123	27	0	—		48	12	14	4	14	2	6	26	4	20	150
卒業要件単位数							131	40	12	14	4	10	2	6	20	3	20	131
指定規則に対する増単位数								26	0	0	0	4	0	0	0	0	0	30

卒業要件及び履修方法

1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。
基礎科目20単位以上
職業専門科目87単位以上
専門基礎分野科目群から必修科目30単位以上
専門分野科目群から必修科目57単位以上
展開科目20単位以上
必修科目12単位以上
選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論から8単位以上を選択必修とする。
総合科目必修４単位以上

実習・実験科目から40単位以上
うち、臨地実務実習20単位以上

（新）

教育課程等の概要

（健康科学部作業療法学科）

科目区分		新指定区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	履修方法及び卒業要件		専門職大学規定単位数	新指定規則単位数	新指定規則追加事項
基礎科目	基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活 社会の理解	基盤ゼミⅠ	2前	1				○		基礎科目 必修15単位を含め20単位以上	20	20単位以上	14	
			基盤ゼミⅡ	3前	1				○						
			職業人の倫理と道徳論	1後	2			○							
			心理学	1前		2		○							
			哲学概論	1前		2		○							
			健康科学概論	1後	1			○							
			コミュニケーション英語	1前	2			○							
			日本の歴史と文化	1前	2			○							
			国際政治経済論	2後	1			○							
			基礎生物	1前		1		○							
			基礎物理	1前		1		○							
			情報収集と処理	1後	1			○							
			統計分析の基礎	2後	1			○							
			人間関係論	3前		2		○							人間関係論 コミュニケーション論
			コミュニケーション論	3前	1			○							
			テーマ設定と研究方法	3前	1			○							
			研究デザイン	3前	1				○						
			小計（ 17科目）	—	15	8	0	—	—	—					
職業専門科目	専門基礎分野	専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	メディカル英語	3後		2		○					12	
				解剖学	1前	2			○						
				解剖学実習Ⅰ	1後	1				○					
				解剖学実習Ⅱ	2前	1				○					
				生理学	1前	2			○						
				生理学実習	1後	1				○					
				運動学	1後	2			○						
				運動学実習	2前	1				○					
				人間発達学	1前	2			○						
			疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学概論	1前	2			○		専門基礎科目 必修30単位以上	30			栄養・薬理・画像・救命 救急・予防の基礎
				病理学	1後	2			○					14	
				精神医学	2後	2			○						
				整形外科学	2前	2			○						
				内科学	1後	2			○						
				神経内科学	2前	2			○						
				小児科学	2前	2			○						
			保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション医学	1後	1			○					4	リハビリテーションの理念
				リハビリテーション概論	1前	1			○						地域包括ケアシステム
				地域包括マネジメント論	3後	1			○						多職種連携の理解
				多職種連携論	1後	1			○						
	専門分野		基礎作業療法学	作業療法概論	1前	2			○					5	
				基礎作業学	1後	1			○						
				基礎作業学実習Ⅰ	2前	1				○					
				基礎作業学実習Ⅱ	2後	1				○					
				作業療法セミナーⅠ	4前		1		○						
				作業療法セミナーⅡ	4後		1		○						
			作業療法管理学	作業療法管理学概論	3後	2			○					2	作業療法倫理・職場管理
			作業療法評価学	作業療法評価学	1後	2			○						画像
				作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1				○				5	
				作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1				○					
				作業療法評価学実習Ⅲ	2後	1				○			60単位以上		
			作業療法治療学	基礎作業療法治療学	3前	1			○		専門分野必修57単位以上 （臨地実務実習22単位以上を含む）	37			
				基礎作業療法治療学実習Ⅰ	3前	1				○					
				基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1				○					
				身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			○						
				身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			○						
				身体障害作業療法学Ⅲ	3前	1			○						
				身体障害作業療法学Ⅳ	3前	1			○						
				身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1				○					
				身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1				○				19	
				身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1				○					喀痰等の吸引
				老年期障害作業療法学	2後	1			○						
				老年期障害作業療法実習	3前	1				○					
				精神障害作業療法学	2後	1			○						
				作業療法演習Ⅰ	2後		2			○					
				作業療法演習Ⅱ	3後		2			○					
				日常生活活動学	2前	1			○						
				日常生活活動学実習	2後	1				○					
				義肢装具学	3後		1		○						
				応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1				○					
				応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1				○					
				応用治療技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1			○					

		地域作業療法学	生活環境学	2後	2			○						
			地域作業療法学	3後	1			○					4	
			予防作業療法学	3後	1			○						
		臨床実習	見学実習	1通	1					臨				
			評価実習	3前	3					臨				
			総合実習Ⅰ	3後	9					臨		22	22	訪問リハビリテーション又は通所リハビリテーションに関する実習
			総合実習Ⅱ	4前	9					臨				
			小計（ 59科目）	—	87	10	0	—	—	—				
展開科目			ヒューマンサービス論	2後	2			○						
			人間形成論	3後	2			○						
			家族関係論	3前	2			○						
			地域社会論	3後	2			○						
			コミュニティ形成論	3後	2			○						
			地域生活と健康	4前	2			○			展開科目必修20単位以上	20	20単位以上	
			特別支援教育	4前	2			○						
			人間工学	4前	2			○						
			ライフサイクル論	4前	2			○						
			岡山経営者論	4前	2			○						
			小計（ 10科目）	—	20	0	0	—	—	—				
総合科目			総合研究Ⅰ	3後	1				○					
			総合研究Ⅱ	4前	1				○					
			総合演習Ⅰ	3後		1			○		総合科目必修4単位以上	4	4単位以上	
			総合演習Ⅱ	4前		1			○					
			卒業論文	4後	2				○					
			小計（5 科目）	—	4	2	0	—	—	—				
			合計（ 91科目）	—	126	20	0	—	—	—	131		124単位以上	101	

教育課程 ＼ 指定規則の教育課程								作業療法士課程指定規則										
								基礎分野		専門基礎分野			専門分野						
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	1単位あたりの時間数	履修方法及び卒業要件	科学的思考の基礎	人間と生活	人間の心身の構造と機能及び発達	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	基礎作業療法学	作業療法管理学	作業療法評価学	作業療法治療学	地域理学療法学	臨床実習	合計
								14		12	14	4	5	2	5	19	4	22	101
①基礎科目	基盤ゼミⅠ	1前	1			15	基礎科目20単位以上	○											
	基盤ゼミⅡ	2前	1			15		○											
	基盤ゼミⅢ	3前	1			15		○											
	基盤ゼミⅣ	4後	1			15		○											
	職業人の倫理と道徳論	1後	2			15		○											
	コミュニケーション論	3前	1			15		○											
	健康科学概論	1後	1			15		○											
	コミュニケーション英語	1前	2			15		○											
	メディカル英語	3後	2			15		○											
	日本の歴史と文化	1前	1			15		○											
	国際政治経済論	3前	1			15		○											
	基礎生物	1前	1			15		○											
	基礎物理	1前	1			15		○											
	情報収集と処理	1後	1			15		○											
	統計分析の基礎	2後	1			15		○											
	テーマ設定と研究方法	3前	1			15		○											
	研究デザイン	3前	1			15		○											
	小計(17科目)	－	20	0	0	—		20		—	—	—	—	—	—	—	—	—	20
②職業専門科目 専門基礎分野	解剖学	1前	2			15	職業専門科目87単位以上（専門基礎分野科から必修科目30単位以上、専門分野科から必修科目57単位以上）			○									
	解剖学実習Ⅰ	1後	1			30				○									
	解剖学実習Ⅱ	2前	1			30				○									
	生理学	1前	2			15				○									
	生理学実習	1後	1			30				○									
	運動学	1後	2			15				○									
	運動学実習	2前	1			30				○									
	人間発達学	1前	2			15				○									
	臨床医学概論	1前	2			15					○								
	病理学	1後	2			15					○								
	精神医学	2後	2			15					○								
	整形外科学	2前	2			15					○								
	内科学	1後	2			15					○								
	神経内科学	2前	2			15					○								
	小児科学	2前	2			15					○								
	リハビリテーション医学	1後	1			15						○							
	リハビリテーション概論	1前	1			15						○							
	地域包括マネジメント論	3後	1			15						○							
	多職種連携論	1後	1			15						○							
②職業専門科目 専門分野	作業療法概論	1前	2			15							○						
	基礎作業学	1後	1			15							○						
	基礎作業学実習Ⅰ	2前	1			30							○						
	基礎作業学実習Ⅱ	2後	1			30							○						
	作業療法セミナーⅠ	4前		1		15							○						
	作業療法セミナーⅡ	4後		1		15							○						
	作業療法管理学概論	3前	2			15								○					
	作業療法評価学	1後	2			15									○				
	作業療法評価学実習Ⅰ	2前	1			30									○				
	作業療法評価学実習Ⅱ	2後	1			30									○				
	作業療法評価学実習Ⅲ	3前	1			30									○				
	基礎作業療法治療学	2前	1			15										○			
	基礎作業療法治療学実習Ⅰ	2後	1			30										○			
	基礎作業療法治療学実習Ⅱ	3前	1			30										○			
	身体障害作業療法学Ⅰ	2前	2			15										○			
	身体障害作業療法学Ⅱ	2前	2			15										○			
	身体障害作業療法学Ⅲ	2後	1			15										○			
	身体障害作業療法学Ⅳ	2後	1			15										○			
	身体障害作業療法実習Ⅰ	2前	1			30										○			
	身体障害作業療法実習Ⅱ	2後	1			30										○			
	身体障害作業療法実習Ⅲ	3前	1			30										○			
	老年期障害作業療法学	2後	1			15										○			
	老年期障害作業療法実習	3前	1			30										○			

	精神障害作業療法学	3前	1			15									○				
	作業療法演習Ⅰ	2後		2		15									○				
	作業療法演習Ⅱ	3後		2		15									○				
	日常生活活動学	2前	1			15									○				
	日常生活活動学実習	2後	1			30									○				
	義肢装具学	3後		1		15									○				
	上級治療実習Ⅰ（徒手療法）	4前	1			30									○				
	上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	4前	1			30									○				
	上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）	4前		1		30									○				
	生活環境学	2後	2			15										○			
	地域作業療法学	3前	1			15										○			
	予防作業療法学	2後	1			15										○			
	見学実習	1通	1			45											○		
	評価実習	3前	3			45											○		
	総合実習Ⅰ	3後	9			45											○		
	総合実習Ⅱ	4前	9			45											○		
	小計（58科目）	—	87	8	0	—		—	12	14	4	7	2	5	25	4	22	95	
③展開科目	ヒューマンサービス論	2後	2			15	展開科目20単位以上（必修科目12単位以上、選択科目から8単位以上を選択必修）	○											
	家族関係論	3前	2			15		○											
	人間形成論	3後	2			15		○											
	生活経済論Ⅰ	3後	2			15		○											
	サービス創造論	3後	2			15		○											
	食生活マネジメント論	4前		2		15		○											
	スポーツ科学	4前		2		15		○											
	歯科保健論	4前		2		15		○											
	人間工学	4前		2		15		○											
	ライフサイクル論	4前		2		15		○											
	生活経済論Ⅱ	4前		2		15		○											
	マネジメント論	4前		2		15		○											
	コーチング論	4前		2		15		○											
	岡山経営者論	4前	2			15		○											
	小計（10科目）	—	12	16	0	—		28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28	
④総合科目	総合研究Ⅰ	3後	1			15	総合科目4単位以上					○							
	総合研究Ⅱ	4前	1			15						○							
	総合演習Ⅰ	3後		1		15						○							
	総合演習Ⅱ	4前		1		15						○							
	卒業論文	4後	2			15						○							
	小計（5科目）	—	4	2	0	—		—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	6	
	合計（90科目）	—	123	26	0	—		48	12	14	4	13	2	5	25	4	22	149	
卒業要件単位数							131	40	12	14	4	9	2	5	19	4	22	131	
指定規則に対する増単位数								26	0	0	0	4	0	0	0	0	0	30	

卒業要件及び履修方法

本学科の卒業要件は、以下のとおりとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。
基礎科目20単位以上
職業専門科目87単位以上
専門基礎分野科目群から必修科目30単位以上
専門分野科目群から必修科目57単位以上
展開科目20単位以上
必修科目12単位以上
選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論から8単位以上を
選択必修とする。
総合科目必修４単位以上

実習・実験科目から40単位以上
うち、臨地実務実習22単位以上

（１－５）平面図

① （１－５）平面図

② （出典）学校法人本山学園

③ その他

校舎内の図面のため安全面を考慮し、平面図を省略する。

(1-6)シラバス

(新)

(削除)

(旧)

科目名	基盤ゼミⅠ			担当者	三好秀和　他9名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：自己の将来像を明確にし、自ら学ぶ姿勢と社会人としての倫理を涵養し、豊かな人間力を身につける。
到達目標：自己の将来像を明確にすることや、自ら学ぶ姿勢を養う。また、社会人として他者の人格を尊重し、人間味あふれる思いやりと誠実さの必要性を学ぶ。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ゼミ・ガイダンスを行い、基盤ゼミの趣旨の説明、各自の自己紹介とゼミでの取り組みについて発表を行う。
2	自己の将来像について討論する。
3	自己の将来像について発表する。
4	大学におけるコンプライアンスについて、討論し、学生であると同時に社会の一員としての自覚をもって行動することの重要性を学ぶ。
5	社会人としての信頼関係の重要性を学ぶ。
6	自己評価をまとめると同時に、メンバーに対する評価を準備し、それを材料に討論し、自己の言動が他者から見てどのように映るかを認識する。
7	職業人として必要な行動などについて各自の意見を発表し、討論する。
8	専門職として必要な職業倫理について各自の意見を発表し、討論する。
9	このゼミで学んだことを各自レポートにまとめ、日常的に実行できるかどうかについて自己評価、それを発表して討論する。
10	各自がまとめたレポートに基づき、担当教員が、ゼミの総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献
授業中に紹介する。

(新)　**※「基盤ゼミⅡ」・「基盤ゼミⅢ」の内容を統合し「基盤ゼミⅠ」・「基盤ゼミⅡ」を再編成した。**

科目名	基盤ゼミⅠ			担当者	山田英司　他10名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

基盤ゼミⅠでは、少人数編成のプレゼン教育を活用して、担当教員が準備する急激に変化する時代を生き抜くための課題群から学生が選択し、課題のあるべき姿と現実、その原因と解決策のオプションをまとめ、さらに最善の解決策へと絞り込んでいく思考過程を身につけていく。ゼミメンバーをグループに分け、グループごとに課題と考察める作業を行い、教師が議長となりプロ（賛成）とコン（反対）に分かれて討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることで、問題への認識を深め、より洗練された解決策を見出していくという方法をとる。
到達目標：①課題についての問題意識を明確にする。②課題の問題点を明確にできる。③課題の解決に向けての選択肢を示し、最善の選択肢を選ぶことができる。④課題に関して説得力ある形で人に伝える発信力とコミュニケーション力を身につける。⑤効果的なプレゼンテーションの組み立て方を修得する。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	学生が課題を選択する（なぜその課題を選択するのか問題意識を明確にする。）
2	学生が課題に対して理想とする姿や状態を創造し明示する。
3	課題の現状について問題点を明確にする。
4	問題の所在を明らかにしその原因を探究する。
5	課題解決のための複数の選択肢を探究する。
6	選択肢を比較検討して最善の解決策を提示する。
7	課題を解決する具体的行動を促す手段を検討する。
8	グループごとに考えた内容を発表形式にまとめる。
9	実際に発表を行いその成果を検証する。
10	学生のこれまでの意見を踏まえ教員が総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法
課題レポート（50%）発表（40%）その他（10%）	課題レポート、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容によって総合的に判断する。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献
授業中に紹介する。

(旧)

科目名	基盤ゼミⅡ			担当者	三好秀和　他9名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：与えられたテーマに関して、報告し、討論を重ね論理的思考力と表現力を身につける。

到達目標：与えられたテーマについて、自己の意見を伝えるための表現力を身につける。また、相互に報告・討論を重ね、論理的思考力を鍛え、持続的な学習志向性を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門職に必要な「思考力」「創造力」「学習志向性」について討論する。
2	自己の内省に必要な観点とは何かを討論する。
3	講義1・2で討論した結果をまとめ発表する。
4	「職業人として必要な力とは」をテーマに自らの考えをまとめ、討論する。
5	第4回講義の結果を受けて、自らに必要な「力」とは何かをまとめ、討論する。
6	「継続する力を保つために必要なこと」をまとめ、討論する。
7	「自らの考えを正確に伝えるには」をまとめて発表し、討論する。
8	これまでのゼミ活動に対して自己評価を行い、メンバーに対する評価を準備し、それを材料に討論し、自己の考えを正確にやり取りできたかを確認する。
9	このゼミで導かれた結論をレポートにまとめ、自己評価し、それを討論する。
10	各自がまとめたレポートに基づき、担当教員がゼミの総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、コミュニケーション能力、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献
授業中に紹介する。

（新）　**※「基盤ゼミⅡ」・「基盤ゼミⅢ」の内容を統合し「基盤ゼミⅠ」・「基盤ゼミⅡ」を再編成した。**

科目名	基盤ゼミⅡ		担当者	山田英司　他11名		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年 3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

基盤ゼミⅠで修得した、問題の核心を特定し最善の解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択した課題に基づき、必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表する。自ら学ぶ姿勢を工業に鍛え、問題の核心を認知し、問題を掘り下げ、自ら必要なデータを調査し、論理的な思考過程を通して、最善の解決策を見出していく能力を育成する。教師が議長となり、各人のプレゼンテーションについてブロコン・メソッドで討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることでより洗練された解決策を見出していくという方法をとる。　到達目標：①課題を発見し、問題を特定することができる。②問題を掘り下げるために必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめることができる。③本格的なプレゼンテーション形式で課題の解決策を提示することができる。④自ら学び、調べ、解決策を探索する学修姿勢と力を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	学生が自ら選んだ課題とその問題意識を発表する
2	それぞれの課題について必要となる資料収集や効果的な図表の準備について議論し方針を明確にする
3	自己の発表準備の進捗状況について経過報告し他者から意見をもらい発表の順番を決定する
4	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第1組)
5	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第2組)
6	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第3組)
7	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第4組)
8	発表と討議の結果を反映して、さらに効果的な発表にまとめる①
9	発表と討議の結果を反映して、さらに効果的な発表にまとめる②
10	教員が総括を行う

成績評価の方法・基準	試験の方法
課題レポート（50%）発表（40%）その他（10%）	課題レポート、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容によって総合的に判断する。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	基盤ゼミⅢ		担当者	三好秀和　他9名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年 3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：自ら選んだテーマに基づいて、メンバーに行動を促すためのプレゼンテーションを準備・実行し質疑応答を行うなかで、メンバーが納得する自己表現力とリーダーシップを養う。

到達目標：専門職業人として必要となるプレゼンテーションスキル（明確な構成と根拠のある主張を展開できる論理性、わかりやすく伝えられる発信力）とコミュニケーション力を養う。そして、他者の意見・考え方を尊重し建設的な議論を促す質疑応答ができる即興力、自己表現力を養う。また、協同学習を行うことで状況に応じた役割を理解しながらゼミ活動を牽引するリーダーシップを養う。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業のガイダンスを実施し、基盤ゼミⅢの説明および到達目標を理解する。学習の骨幹となるテーマを決定し、いくつかのアイディアを練りその概要をイメージしまとめる。
2	自ら選んだいくつかのテーマについて発表し他者の意見を取り入れ今後の学習テーマを選定する。
3	学習テーマの概要をまとめて発表し、他者の共感をえる発表を行う。
4	学習テーマと地域社会や身近な生活とのつながりを見出し発表し討論する。
5	学習テーマをもとに見出した社会的課題を焦点化し、精査された学習テーマを創出する。
6	課題解決策を見出すために援用できる理論や先行事例を抽出しその応用について考える。
7	学習テーマをもとに具体的な課題解決策を考案し、プレゼンテーション資料を作成する。
8	メンバーと最終報告に向けた中間発表を行い、内容の改善点について討論する。
9	自ら選んだテーマにおける学習成果を報告し、他者評価によりその成果を測る。
10	他者の報告と自身の報告との共通点を見出し、新たな相乗効果が期待できる課題解決プランを模索し討論する。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

（削除）

科目名	基盤ゼミⅣ		担当者	三好秀和　他9名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年 4年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：興趣に富んだ人物を選びその生涯の事績を学ぶことで持続的な自己成長を続ける姿勢を身につけるとともに、目標や志を持った生き方の意味と重要性を学ぶ。

到達目標：一連の学習を行うことで専門職業人として必要となる自己分析力を身につける。前向きな姿勢で、さらなる成長を目指し、他者の生涯を参考に生涯にわたり自らを向上させる基盤的資質を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業のガイダンスを実施し、基盤ゼミⅣの説明および到達目標を理解する。今後の授業における学習プランを策定する。
2	興趣に富んだ人物の選定および分析に必要な観点を討論し、学習に必要な着眼点を整理しワークシートを自ら作成する。
3	身近な興趣に富んだ人物を選定しワークシートに基づき分析を行い、シートの修正案について討論し着眼点を深める。
4	興趣に富んだ人物を選定しその面白みについて発表しその思想観について議論し職業人としてのアイデンティティを高める。
5	第4回講義で選定した人物の事績を分析し発表を行い専門職業人としての感性を養う。
6	新たな興趣に富んだ人物を選定しその思想観や事績を分析し発表を行い、その人物について議論する。
7	これまで取り上げた人物の共通点や相違点を抽出し討論することで自身の自己成長に必要な志や感性を養う。
8	学んだ自己成長に必要な志や感性をもとに現在の自己を分析し、今後身につけたい能力と必要な実践について発表し討論する。
9	ゼミの仲間の事例を題材にし、他者の成長を促す経験を示すことで自己成長に必要な分析力を養う。
10	5年後の自分を想像し、自己成長プランを策定し他者に意見を聞く。/担当教員が総括する。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	職業人の倫理と道徳論			担当者	浅利正二			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「医の倫理」が社会的問題となっている。「倫理」とは、人間の尊厳にかかわる我々人間の行動に対する規範や基準の事である。特に、人間を対象とする保健・医療の分野では様々な倫理的問題が生じている。そのため、医療従事者には適切な倫理的判断能力が求められる。本講義を通じて、人として倫理的感受性や倫理的判断力、倫理的意志決定力を高め、医療やリハビリテーションの質の向上を目指すことを目的とする。
到達目標：①倫理とその意義・重要性を説明できる。②保健・医療の現場における倫理的問題とその成り立ち・影響について説明できる。③保健・医療の現場における倫理的問題を識別できる。④保健・医療の現場における倫理的問題に対する自らの考え・立場（価値観）を述べることができる。⑤保健・医療の現場における倫理的問題に対するよりよい判断・意思決定のあり方を説明できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	導入ー人間の尊厳と倫理、倫理的規範
2	保健・医療・福祉の倫理的問題と倫理的判断の意義・重要性
3	リハビリテーションの役割・責務の変遷、リハビリテーションと倫理のかかわり
4	QOLに関する倫理的問題
5	よりよい倫理的意思決定を導くための基本と方法（1）
6	よりよい倫理的意思決定を導くための基本と方法（2）
7	尊厳ある死とは何か(1)　＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点１
8	尊厳ある死とは何か(2)　＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点２
9	尊厳ある死とは何か(3)　＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点３
10	体外受精と代理母(1)　生殖補助技術の進歩と＜誕生する命＞の尊厳との葛藤
11	脳死と臓器移植をめぐる問題(1)　脳死とは何か・・・
12	脳死と臓器移植をめぐる問題(2)　改正臓器移植法と脳死臓器移植をめぐって
13	脳死と臓器移植をめぐる問題(3)　移植医療の根本的問題
14	終末期医療における倫理的問題（1）；小児の死、脳死と臓器移植
15	終末期医療における倫理的問題（2）；小児の死、脳死と臓器移植

成績評価の方法・基準
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書
医療倫理　岩波書店

参考書
バイオエシックスの基礎ー欧米の「生命倫理」論　東海大学出版会
臨床倫理学　新興医学出版

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	職業人の倫理と道徳論			担当者	浅利正二			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「医の倫理」が社会的問題となっている。「倫理」とは、人間の尊厳にかかわる我々人間の行動に対する規範や基準の事である。特に、人間を対象とする保健・医療の分野では様々な倫理的問題が生じている。そのため、医療従事者には適切な倫理的判断能力が求められる。本講義を通じて、人として倫理的感受性や倫理的判断力、倫理的意志決定力を高め、医療やリハビリテーションの質の向上を目指すことを目的とする。
到達目標：①倫理とその意義・重要性を説明できる。②保健・医療の現場における倫理的問題とその成り立ち・影響について説明できる。③保健・医療の現場における倫理的問題を識別できる。④保健・医療の現場における倫理的問題に対する自らの考え・立場（価値観）を述べることができる。⑤保健・医療の現場における倫理的問題に対するよりよい判断・意思決定のあり方を説明できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	導入ー人間の尊厳と倫理、倫理的規範
2	保健・医療・福祉の倫理的問題と倫理的判断の意義・重要性
3	リハビリテーションの役割・責務の変遷、リハビリテーションと倫理のかかわり
4	QOLに関する倫理的問題
5	よりよい倫理的意思決定を導くための基本と方法（1）
6	よりよい倫理的意思決定を導くための基本と方法（2）
7	尊厳ある死とは何か(1)　＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点１
8	尊厳ある死とは何か(2)　＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点２
9	尊厳ある死とは何か(3)　＜尊厳死（dignified death）＞の一般的定義と問題点３
10	体外受精と代理母(1)　生殖補助技術の進歩と＜誕生する命＞の尊厳との葛藤
11	脳死と臓器移植をめぐる問題(1)　脳死とは何か・・・
12	脳死と臓器移植をめぐる問題(2)　改正臓器移植法と脳死臓器移植をめぐって
13	脳死と臓器移植をめぐる問題(3)　移植医療の根本的問題
14	終末期医療における倫理的問題（1）；小児の死、脳死と臓器移植
15	終末期医療における倫理的問題（2）；小児の死、脳死と臓器移植
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書
医療倫理　岩波書店

参考書
バイオエシックスの基礎ー欧米の「生命倫理」論　東海大学出版会
臨床倫理学　新興医学出版

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	情報収集と処理			担当者	山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：コンピュータの普及によって、多様なデータベースを療法士自身で作成できるようになり、日々の療法士業務で活用している。本講義ではデータベースの基本的な構造とその作成について講義・演習を行う。また、論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成する。
到達目標：①データベースの概念を理解し説明できる。②医療現場におけるデータベースの重要性を認識する。③基本的なデータベース作成技術を習得する。④データベースが持つ様々な意味を理解できる。⑤論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	医用情報処理概論、データベース概論１
2	データの検索・置換・抽出、名前付きセル範囲１
3	条件付き書式を用いた分類１
4	統合機能、ピボットテーブル１
5	データの入力補助、入力規則１
6	リスト切り替え、テーブル機能１
7	ワークシート関数
8	論文収集と情報整理
9	アブストラクトテーブルの作成
10	まとめ

成績評価の方法・基準
筆記試験（90%）と課題提出（10%）を基準とし60%以上を合格とする。

試験の方法
筆記試験　課題提出

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書
配布する資料

参考書
特に指定なし

参考文献
講義時に随時配布。

（旧）

科目名	情報収集と処理			担当者	山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：コンピュータの普及によって、多様なデータベースを療法士自身で作成できるようになり、日々の療法士業務で活用している。本講義ではデータベースの基本的な構造とその作成について講義・演習を行う。また、論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成する。
到達目標：①データベースの概念を理解し説明できる。②医療現場におけるデータベースの重要性を認識する。③基本的なデータベース作成技術を習得する。④データベースが持つ様々な意味を理解できる。⑤論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	医用情報処理概論、データベース概論１
2	データの検索・置換・抽出、名前付きセル範囲１
3	条件付き書式を用いた分類１
4	統合機能、ピボットテーブル１
5	データの入力補助、入力規則１
6	リスト切り替え、テーブル機能１
7	ワークシート関数
8	論文収集と情報整理
9	アブストラクトテーブルの作成
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準
筆記試験と課題提出を基準とする。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験（90%）　課題提出（10%）
（再試は筆記試験のみで判定する。）

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書
配布する資料

参考書
特に指定なし

参考文献
講義時に随時配布。

（新）

科目名	統計分析の基礎			担当者	片岡弘明				必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数		15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：統計学は、社会に根づいた学問であるが初学者には苦手意識を抱きやすい学問である。そのため、本講義では、統計学の基礎となる分野を重点的に学ぶ。具体的な統計解析に習熟することを目的として、「統計学のための資料整理」、「確率論の基本」、「推測と検定」の理論について解説し、演習を行う。さらに、医学・保健学のための応用的な話題や活用できるデータ解析の手法を習得する。

【授業の方法】

講義の進行に合わせて演習を行う。演習は1クラスを半数に分けて開講する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーションと資料整理（度数分布、ヒストグラム）
2	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）
3	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）の演習
4	統計学のための資料整理(相関、共分散、相関係数)の演習
5	統計学のための資料整理（相関、共分散、相関係数）
6	確率論の基本（確率変数と確率分布、正規分布）
7	確率論の基本(正規分布)の演習
8	推定と検定
9	推定と検定の演習
10	総まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験：100%で判定し、60%以上を合格とする。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に合わせて指示する。	予習・復習を怠らないこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
・初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門（技術評論社） ・適宜プリントを配布する	授業中に指示する。

参考文献

授業中に指示する。

（旧）

科目名	統計分析の基礎			担当者	片岡弘明				必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数		15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：統計学は、社会に根づいた学問であるが初学者には苦手意識を抱きやすい学問である。そのため、本講義では、統計学の基礎となる分野を重点的に学ぶ。具体的な統計解析に習熟することを目的として、「統計学のための資料整理」、「確率論の基本」、「推測と検定」の理論について解説し、演習を行う。さらに、医学・保健学のための応用的な話題や活用できるデータ解析の手法を習得する。

【授業の方法】

講義の進行に合わせて演習を行う。演習は1クラスを半数に分けて開講する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーションと資料整理（度数分布、ヒストグラム）
2	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）
3	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）の演習
4	統計学のための資料整理(相関、共分散、相関係数)の演習
5	統計学のための資料整理（相関、共分散、相関係数）
6	確率論の基本（確率変数と確率分布、正規分布）
7	確率論の基本(正規分布)の演習
8	推定と検定
9	推定と検定の演習
10	総まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
期末試験：100%で判定し、60%以上を合格とする。	筆記試験（再試験も同様）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に合わせて指示する。	予習・復習を怠らないこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
・初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門（技術評論社） ・適宜プリントを配布する	授業中に指示する。

参考文献

授業中に指示する。

（新）

科目名	テーマ設定と研究方法			担当者	佐々木順造			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床現場で働くためになぜ研究マインド・研究スキルを身に付ける必要があるかを理解し、社会や対象者が抱える課題解決に寄与できる可能性を探ることができる。
到達目標：①研究テーマを設定する手順を理解する。②研究手法について理解することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究の必要性と意義（なぜ研究マインド・研究スキルが必要か/研究の意義）
2	研究倫理の意義（研究活動で求められる倫理観とその姿勢）
3	研究の目的と進め方（研究目的と論文提出までの流れの理解）
4	理学療法（作業療法）分野とその関連分野に関する研究の動向
5	文献検索および先行研究の系統別分類
6	研究テーマの設定方法（現場での気付きをどのように研究テーマに繋げるか）
7	研究手法の設定 I：目的による類型と手法による類型の違い
8	研究手法の設定 II：研究に用いられる調査・データ収集の方法
9	研究手法の設定 III：データ分析の方法（量的・質的分析）
10	期待される成果の予測（仮説通りの結果及び仮説に反する結果の解釈）

成績評価の方法・基準	試験の方法
定期試験にて判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献 講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	テーマ設定と研究方法			担当者	片岡弘明			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：研究を開始するにあたって、基礎知識を備えることが重要である。研究手法や方法、手順、またその発表の方法について、知識を学ぶ。また、臨床や地域の課題をテーマ設定する際の手順とその基礎を学ぶ。
到達目標：①研究に親近感を持つ。②理学療法研究の方法としてどのようなものがありうるかを理解する。③研究発表の最低必要条件を理解する。④研究テーマの設定について理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション・研究テーマ検討
2	研究テーマ検討・設定
3	先行研究論文検索
4	先行研究論文検索
5	先行研究論文検索・先行研究論文検討
6	先行研究論文検索・先行研究論文検討
7	研究テーマ決定
8	研究方法について（量的・質的研究等）
9	研究方法について（質的研究とは）
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
課題提出状況・研究計画書の内容から総合的に評価する。	レポート課題（再試験も同様とする）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
研究計画の策定・文献の検索、収集・研究テーマ検討等、講義の進行に応じて主体的に取り組むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献

指定なし

（新）

科目名	研究デザイン			担当者	永野克人　他11名		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：各分野の指導教員のもと、研究計画の立案を通して、研究を実施するための必要な知識を段階的に獲得していく。具体的には、緒言、研究方法、結果及び考察というセクション別で、重要なポイントを学んでいく。
到達目標：研究の背景から予測される成果まで論理的に説明し、研究を実施するための研究計画を立案することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/研究デザインについて（概説）
2	研究計画全体の構成法（緒言、方法、結果、考察、参考文献）
3	研究計画の立案 I：緒言（研究の背景；研究立案に際してのこれまでの経緯）
4	研究計画の立案 II：緒言（先行研究の紹介及びその導入）
5	研究計画の立案 III：緒言（研究課題を設定する際の疑問点、課題点の位置づけ）
6	研究計画の立案 IV：緒言（研究の目的と仮説の設定）
7	研究計画の立案 VI：研究手法（同意書の取得から研究実施における具体的手順）
8	研究計画の立案 V：研究手法（正規分布または非正規分布に基づいた統計処理の選定）
9	研究計画の立案 VI：結果（期待される成果とその学術的意義）
10	研究計画の立案 VII：考察（結果の解釈）及び総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	研究デザイン			担当者	三好秀和　他9名		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「テーマ設定と研究方法」と連動して研究手法や方法、手順やその発表等を実際に行い、研究デザインを固めるために予備研究等の演習を行う。ゼミ形式で、指導教官の下に、グループディスカッションやアクティブラーニングの手法をとる。「総合研究Ⅰ」がスムーズに行えるよう研究デザインを作成する。
到達目標：①研究手法や方法、手順を確認できる。②研究デザインが作成できる。③研究についてのディスカッションができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	研究デザインと倫理的配慮（倫理綱領/倫理的配慮/研究の説明と同意について）
3	研究の流れと研究計画
4	研究計画書に必要な事項
5	基本的な研究デザイン（シングルケース:ABデザイン/ABAデザイン/ABABデザインなど）
6	実験研究のデザイン（比較研究・観察研究など）
7	研究計画書の作成
8	研究計画書の作成
9	研究計画の修正および変更の仕方
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
課題提出状況・研究計画書の内容・筆記試験から総合的に評価する。	筆記試験80%　提出物20%
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
研究計画の策定・文献の検索、収集・研究テーマ検討等、講義の進行に応じて主体的に取り組むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献
指定なし

（新）

科目名	解剖学			担当者	佐々木 順造		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

「講義の概要」：理学療法士として従事する際に必要な知識（正常な人体の構造および機能）を学び理解する。
①筋骨格系（四肢・体幹の骨・関節・筋肉）を学び理解する。
②神経系を学び理解する。
③感覚系を学び理解する。
④循環器系～呼吸器系を学び理解する。
⑤消化器系を学び理解する。
⑥泌尿器系、その他を学び理解する。
「到達目標」：正常な人体の各器官系の構造と機能を説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	序論　＜身体の区分＞＜身体の構成＞＜発生＞
3	骨格系　1.骨の構造と種類　2.関節・靭帯　3.骨格
4	骨格系（上肢・体幹・下肢）
5	筋系（筋肉の構造と種類、上肢・体幹）
6	筋系（体幹・下肢）
7	神経系（１）中枢神経系・末梢神経系と神経伝導路の構造
8	神経系（２）交感神経と副交感神経
9	感覚器系　1.視覚　2.嗅覚　3. 味覚　4.聴覚・平衡覚　5.皮膚　6. 体性感覚
10	呼吸器系　1.呼吸経路　2.気管・気管支　3.肺
11	循環器系　1.心臓　2.動脈・静脈
12	消化器系　1.消化管　2.腺　3.肝臓と膵臓
13	泌尿器系　1.腎臓　2.尿管　3.膀胱　4.尿道
14	生殖器系　1.男性生殖器　2.女性生殖器
15	内分泌系　1.下垂体　2.松果体　3.甲状腺　4.上皮小体　5.副腎　6.精巣と卵巣　7.膵島

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験100%で判定する。 筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。ノートにまとめて振り返ること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
標準PT・OT学　解剖学（医学書院） 人体解剖カラーアトラス（南山堂）	解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献
講義時に配布する資料

（旧）

科目名	解剖学			担当者	小野俊朗		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法士として従事する際に必要な知識（正常な人体の構造および機能）を学び理解する。
①筋骨格系（四肢・体幹の骨・関節・筋肉）を学び理解する。
②神経系を学び理解する。
③感覚系を学び理解する。
④循環器系～呼吸器系を学び理解する。
⑤消化器系を学び理解する。
⑥泌尿器系、その他を学び理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	序論　＜身体の区分＞＜身体の構成＞＜発生＞
3	骨格系　1.骨の構造と種類　2.関節・靭帯　3.骨格
4	骨格系（上肢・体幹・下肢）
5	筋系（上肢・体幹）
6	筋系（体幹・下肢）
7	神経系（１）中枢神経系・末梢神経系と神経伝導路の構造
8	神経系（２）交感神経と副交感神経
9	感覚器系　1.視覚　2.嗅覚　3. 味覚　4.聴覚・平衡覚　5.皮膚　6. 体性感覚
10	呼吸器系　1.呼吸経路　2.気管・気管支　3.肺
11	循環器系　1.心臓　2.動脈・静脈
12	消化器系
13	泌尿器系　1.腎臓　2.尿管　3.膀胱　4.尿道
14	生殖器系
15	内分泌系　1.下垂体　2.松果体　3.甲状腺　4.上皮小体　5.副腎　6.精巣と卵巣　7.膵島
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。 定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。ノートにまとめて振り返ること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
標準PT・OT学　解剖学（医学書院） 人体解剖カラーアトラス（南山堂）	解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献
講義時に配布する資料

（新）

科目名	解剖学実習Ⅰ			担当者	佐々木 順造			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

「講義の概要」：上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋について、骨模型等を利用した実習、体表解剖学を通して、機能解剖を学ぶことで、人体の構造を理解する。また、機能解剖の基礎知識を身につけ、骨標本や身体運動に適用することができるよう学ぶ。
「到達目標」：体表にあらわれる構造を解剖学的に説明できる。身体各部の運動を各部の骨・関節・筋の機能を使って説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	全身骨格について
2	上肢帯の骨と体表解剖
3	自由上肢と体表解剖
4	上肢の関節と靭帯
5	自由下肢骨
6	股関節と仙腸関節
7	膝関節・脛腓関節と足関節
8	下肢帯の骨と骨盤
9	脊柱と体表解剖
10	胸郭と体表解剖
11	脊柱と胸郭の連結
12	頭蓋骨１（顔面頭蓋の構成）
13	頭蓋骨２（脳頭蓋の構成）
14	総復習１（全身の骨格）
15	総復習２（体表解剖）

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

筆記試験　課題（小テストも含む）

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時に知識定着度を確認する小テストを実施する。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

標準PT・OT学　解剖学（医学書院）
人体解剖カラーアトラス（南山堂）

参考書

解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	解剖学実習Ⅰ			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋について、骨模型等を利用した実習、体表解剖学を通して、機能解剖を学ぶことで、人体の構造を理解することを目標とする。また、機能解剖の基礎知識を身につけ、骨標本や身体運動に適用することができるよう学ぶ。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	全身骨格について
2	上肢帯の骨と体表解剖
3	自由上肢と体表解剖
4	上肢の関節と靭帯
5	自由下肢骨
6	股関節と仙腸関節
7	膝関節・脛腓関節と足関節
8	下肢帯の骨と骨盤
9	脊柱と体表解剖
10	胸郭と体表解剖
11	脊柱と胸郭の連結
12	頭蓋骨１
13	頭蓋骨２
14	総復習１
15	総復習２
16	試験

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験および課題
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時に知識定着度を確認する小テストを実施する。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

標準PT・OT学　解剖学（医学書院）
人体解剖カラーアトラス（南山堂）

参考書

解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	解剖学実習Ⅱ			担当者	佐々木 順造			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

「講義の概要」：生前のご遺志により献体されたご遺体を通して、上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋および、全身の臓器に関して、人体の構造を理解する。岡山大学で行われる人体解剖実習見学を軸として、その前後に骨模型やウェブ上から得られる模型画像を用いて予習・復習を行う。解剖学の基礎知識を身につけ、身体運動に適用することができるよう学ぶ。
「到達目標」：精緻に創られた人体に接することにより生命の大切さを実感できる。中枢神経系から出る脳脊髄神経・自律神経の走行を観察し、その機能を理解できる。胸部・腹部内臓の配置と構造を学び、その機能を理解できる。四肢において骨格系・筋系・脈管系・神経系を同時に観察することにより四肢の構造と機能を理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	献体、系統解剖・局所解剖について
2	解剖見学実習１（中枢神経系と末梢神経系）
3	解剖見学実習２（胸部・腹部内臓）
4	解剖見学実習３（四肢の局所解剖）
5	上肢１（上肢帯：鎖骨と肩甲骨、上腕骨、肩関節、上肢の筋）、上肢の血管と神経
6	上肢２（前腕骨：橈骨・尺骨、肘関節、手の骨）、下肢１（下肢帯：寛骨、大腿骨、股関節）
7	下肢１（下肢の筋、下腿骨：脛骨・腓骨、膝関節、足の骨）、下肢の血管と神経
8	体幹１（脊柱、椎骨の構造、肋骨）
9	体幹２（体幹の筋）
10	胸部（胸部内臓：心臓を中心とする脈管系、肺、食道、気管等）
11	腹部（腹部内臓：胃、肝臓、腎臓、小腸、大腸等）
12	頭蓋内１（大脳、小脳）
13	頭蓋内２（脳幹部、脳脊髄神経・自律神経）
14	総まとめ１（骨格系、筋系、神経系、脈管系）
15	総まとめ２（胸部内臓と腹部内臓）

成績評価の方法・基準

課題レポート（100%）で判定する。

試験の方法

課題レポート：①献体について考えたこと　②解剖により得られたこと

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時にレポート提出を課す。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

標準PT・OT学　解剖学（医学書院）
人体解剖カラーアトラス（南山堂）

参考書

解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	解剖学実習Ⅱ			担当者	小野俊朗			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋および、全身の臓器に関して、死体解剖を通して、人体の構造を理解することを目標とする。また、解剖学の基礎知識を身につけ、身体運動に適用することができるよう学ぶ。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	死体解剖について
2	上肢１
3	上肢２
4	上肢３
5	下肢１
6	下肢２
7	下肢３
8	体幹１
9	体幹２
10	胸部
11	腹部
12	頭蓋内１
13	頭蓋内２
14	総まとめ１
15	総まとめ２
16	試験

成績評価の方法・基準

課題レポート（100%）で判定する。再試験は再度レポート課題を提示し判定する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

課題レポート

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時にレポート提出を課す。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

標準PT・OT学　解剖学（医学書院）
人体解剖カラーアトラス（南山堂）

参考書

解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	生理学実習			担当者	勅使河原匡			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・生理学・運動学の講義を踏まえ、環境の変化・運動に対する生体の反応や、恒常性維持について学ぶ。人と動物の生理機能を自らの手で測定し、その結果を解析・考察することにより、人体機能が維持されるメカニズムを理解する。また、この実習を通して、医療従事者として必要な姿勢や洞察力を養うことを目標とする。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	ヒト及び動物における生体機能の測定・解析法
3	生体機能測定・解析機器における取扱いと測定データの解釈の仕方
4	実習１　血液（採血法）
5	実習２　血液（ヘマトクリット値測定、ヘモグロビン定量）
6	実習３　循環（心電図の測定と解析）
7	実習４　呼吸（スパイロメトリーによる肺機能検査）
8	実習５　呼吸（最大酸素摂取量の推定）
9	実習６　腎機能及び体液調節（尿比重値及び尿浸透圧の測定）
10	実習７　内分泌（グルコース負荷実験）
11	実習８　骨格筋（筋電図の測定と解析）
12	実習９　神経・感覚（動体視力）
13	実習１０　環境（体温の測定）
14	実習１１　口腔（唾液分泌量及び唾液中生化学関連物質の測定）
15	実習の総括

成績評価の方法・基準

小テスト（50%）・筆記試験（50%）で判定する。

試験の方法

小テスト　筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時にレポート提出を課す。

履修上の留意事項

特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

生理学テキスト（文光堂）

参考書

標準生理学（医学書院）・シンプル生理学（南江堂）・やさしい生理学（文光堂）等

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	生理学実習			担当者	勅使河原匡			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・生理学・運動学の講義を踏まえ、環境の変化・運動に対する生体の反応や、恒常性維持について学ぶ。人と動物の生理機能を自らの手で測定し、その結果を解析・考察することにより、人体機能が維持されるメカニズムを理解する。また、この実習を通して、医療従事者として必要な姿勢や洞察力を養うことを目標とする。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	ヒト及び動物における生体機能の測定・解析法
3	生体機能測定・解析機器における取扱いと測定データの解釈の仕方
4	実習１　血液（採血法）
5	実習２　血液（ヘマトクリット値測定、ヘモグロビン定量）
6	実習３　循環（心電図の測定と解析）
7	実習４　呼吸（スパイロメトリーによる肺機能検査）
8	実習５　呼吸（最大酸素摂取量の推定）
9	実習６　腎機能及び体液調節（尿比重値及び尿浸透圧の測定）
10	実習７　内分泌（グルコース負荷実験）
11	実習８　骨格筋（筋電図の測定と解析）
12	実習９　神経・感覚（動体視力）
13	実習１０　環境（体温の測定）
14	実習１１　口腔（唾液分泌量及び唾液中生化学関連物質の測定）
15	実習の総括
16	試験

成績評価の方法・基準

小テスト（50%）・筆記試験（50%）で判定する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

再試験は筆記試験のみ100%換算する。

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時にレポート提出を課す。

履修上の留意事項

特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

生理学テキスト（文光堂）

参考書

標準生理学（医学書院）・シンプル生理学（南江堂）・やさしい生理学（文光堂）等

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	運動学			担当者	山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学は、リハビリテーション医療の基礎科学であり、理学療法にとっても基礎でありながら、将来にわたって学び続ける専門職の根幹をなす科目である。また、専門的な評価や治療の根拠となる知識であるため、最重要科目の1つといえる。本講義では、人の身体運動に関する基本的な知識を習得するために、次のことを目標とする。

到達目標：①運動学で扱う用語を知り、実際の身体運動と結びつけられる。②運動学に必要な生体力学の知識を身につける。③上肢、下肢、体幹の機能解剖と運動について知識を身につける。④姿勢、歩行についての知識を身につける。

【授業の方法】

1クラス40人講義　講義中に適宜演習を含むことで、実体験と合わせて理解する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
2	運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
3	運動器の構造と機能（関節の構造と機能、骨格筋の構造と機能）
4	肩複合体の運動学
5	肘関節・前腕の運動学
6	手関節・手指の運動学
7	股関節の運動学
8	膝関節の運動学
9	足関節・足部の運動学
10	脊柱・体幹の運動学①（脊柱の概要 他、頭頸部の構造と機能）
11	脊柱・体幹の運動学②（胸部の構造と機能、腰部の構造と機能）
12	生体力学
13	姿勢
14	歩行
15	運動学習

成績評価の方法・基準

小テストの総合点から20%、筆記試験の総合点から80%を合算して評価する。

試験の方法

小テスト　筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項

特になし。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書

・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）

・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）

参考書

・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	運動学			担当者	山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学は、リハビリテーション医療の基礎科学であり、理学療法にとっても基礎でありながら、将来にわたって学び続ける専門職の根幹をなす科目である。また、専門的な評価や治療の根拠となる知識であるため、最重要科目の1つといえる。本講義では、人の身体運動に関する基本的な知識を習得するために、次のことを目標とする。

到達目標：①運動学で扱う用語を知り、実際の身体運動と結びつけられる。②運動学に必要な生体力学の知識を身につける。③上肢、下肢、体幹の機能解剖と運動について知識を身につける。④姿勢、歩行についての知識を身につける。

【授業の方法】

1クラス40人講義　講義中に適宜演習を含むことで、実体験と合わせて理解する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
2	運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
3	運動器の構造と機能（関節の構造と機能、骨格筋の構造と機能）
4	肩複合体の運動学
5	肘関節・前腕の運動学
6	手関節・手指の運動学
7	股関節の運動学
8	膝関節の運動学
9	足関節・足部の運動学
10	脊柱・体幹の運動学①（脊柱の概要 他、頭頸部の構造と機能）
11	脊柱・体幹の運動学②（胸部の構造と機能、腰部の構造と機能）
12	生体力学
13	姿勢
14	歩行
15	運動学習
16	試験

成績評価の方法・基準

小テストの総合点から20%、定期試験の総合点から80%を合算して評価する。
再試験は小テストの点数を加味しない。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項

特になし。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書

・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）

・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）

参考書

・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	運動学実習			担当者	山田英司・鈴木啓子		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学や運動学などの学問から習得した知識を踏まえ、正常な身体の機能解剖および身体運動を理解した上で、その観察および分析方法を学ぶ。また、観察・分析の結果を文章化できるようにする。
到達目標：①四肢・体幹の機能解剖および関節運動を理解する。②機能解剖を理解したうえで、理学療法評価の基礎となる触診技術を習得する。③関節運動を専門的に説明し、実際に運動で表すことができる。④正常動作を観察し、それを運動学・運動力学的に分析して運動学的用語でまとめる。⑤分析した内容をレポートにまとめ、発表する。

【授業の方法】

1クラス40人講義　少人数でグループを構成し、実習中心に講義を実施する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・班分け
2	下肢帯および下肢の機能解剖
3	下肢帯および下肢の関節運動
4	上肢帯および上肢の機能解剖
5	上肢帯および上肢の関節運動
6	頭頚部・体幹の機能解剖および背柱・体幹の関節運動
7	動作観察・分析の考え方から文章化する方法まで
8	正常動作①　寝返り・起き上がり　観察・分析
9	正常動作②　寝返り・起き上がり　観察・分析
10	正常動作③　立ち上がり　観察・分析
11	正常動作④　立ち上がり　観察・分析
12	正常動作⑤　歩行　観察・分析
13	正常動作⑥　歩行　観察・分析
14	正常動作の観察・分析について　発表①
15	正常動作の観察・分析について　発表②

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題（実技に関する内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 yamadaeiji@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	運動学実習			担当者	鈴木啓子		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学や運動学などの学問から習得した知識を踏まえ、正常な身体の機能解剖および身体運動を理解した上で、その観察および分析方法を学ぶ。また、観察・分析の結果を文章化できるようにする。
到達目標：①四肢・体幹の機能解剖および関節運動を理解する。②機能解剖を理解したうえで、理学療法評価の基礎となる触診技術を習得する。③関節運動を専門的に説明し、実際に運動で表すことができる。④正常動作を観察し、それを運動学・運動力学的に分析して運動学的用語でまとめる。⑤分析した内容をレポートにまとめ、発表する。

【授業の方法】

1クラス40人講義　少人数でグループを構成し、実習中心に講義を実施する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・班分け
2	下肢帯および下肢の機能解剖
3	下肢帯および下肢の関節運動
4	上肢帯および上肢の機能解剖
5	上肢帯および上肢の関節運動
6	頭頚部・体幹の機能解剖および背柱・体幹の関節運動
7	動作観察・分析の考え方から文章化する方法まで
8	正常動作①　寝返り・起き上がり　観察・分析
9	正常動作②　寝返り・起き上がり　観察・分析
10	正常動作③　立ち上がり　観察・分析
11	正常動作④　立ち上がり　観察・分析
12	正常動作⑤　歩行　観察・分析
13	正常動作⑥　歩行　観察・分析
14	正常動作の観察・分析について　発表①
15	正常動作の観察・分析について　発表②
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポートおよび課題（実技に関する内容） 再試験はレポート
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。	・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版） ・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）	・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	人間発達学			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人間発達学では、胎児期から老年期までの人間の成長について、また、その成長過程にある病気について学ぶ。本講義を学ぶことで、医療従事者である理学療法士・作業療法士として、また、人間として障害のある人およびその家族の思いを理解できるようになることが目標である。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	総論
2	胎児期･新生児期の発達
3	乳児期の発達(1)
4	乳児期の発達(2)
5	幼児期の発達
6	学童期の発達
7	青年期の発達
8	成人期の発達
9	老年期の発達
10	身体の運動機能と構造の発達と障害
11	知覚･認知機能の発達と障害
12	情緒･社会性の発達と障害
13	言語機能の発達と障害
14	脳神経系の発達と障害
15	総まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
教科書に沿って授業が進むため、講義前には熟読しておくこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　】

教科書	参考書
リハビリテーションのための人間発達学（メディカルプレス）	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	人間発達学			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人間発達学では、胎児期から老年期までの人間の成長について、また、その成長過程にある病気について学ぶ。本講義を学ぶことで、医療従事者である理学療法士・作業療法士として、また、人間として障害のある人およびその家族の思いを理解できるようになることが目標である。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	総論
2	胎児期･新生児期の発達
3	乳児期の発達(1)
4	乳児期の発達(2)
5	幼児期の発達
6	学童期の発達
7	青年期の発達
8	成人期の発達
9	老年期の発達
10	身体の運動機能と構造の発達と障害
11	知覚･認知機能の発達と障害
12	情緒･社会性の発達と障害
13	言語機能の発達と障害
14	脳神経系の発達と障害
15	総まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
教科書に沿って授業が進むため、講義前には熟読しておくこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　】

教科書	参考書
リハビリテーションのための人間発達学（メディカルプレス）	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	臨床医学概論			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床医学とは、疾患によらず患者に対して行われる診断・治療についての学問である。本講義では、救急医学、画像診断学、薬学、栄養学などリハビリテーションに関連した分野を中心に学ぶ。
到達目標：①救急医療がわかる。一次救命処置（BLS含む）が実践できる。②X線、CT・MRI等の基礎知識を身につける。解剖と機能の関連性が説明できる。③薬物の作用様式と作用機序を説明できる。リハビリに関連した主な薬物の薬理作用を説明できる。④各栄養素の性質や働きを理解する。栄養不良や過栄養の身体への影響を理解する。

【授業の方法】

1クラス40名以下、主に座学で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	講義オリエンテーション/予防医学の概論（1次予防）
2	予防医学の概論（2次予防～3次予防）/救急医療
3	Basic Life Supportについて（AED演習を含む）
4	重症救急疾患と患者管理（集中治療，救急処置，ショックなど）
5	レントゲン、CT、MRI等の概論
6	脳血管撮影、脳出血、脳梗塞、クモ膜下出血の画像
7	脊髄、脊椎疾患の画像
8	運動器疾患の画像、肺疾患の画像
9	薬理：薬物の作用機序、薬物の体内動態
10	薬理：中枢神経系の薬理、末梢神経系の薬理
11	薬理：抗血栓薬、心血管系に作用する薬物について
12	薬理：向精神薬等について
13	栄養の役割について、基礎代謝・推定エネルギー必要量について
14	栄養素の働き：糖質、タンパク質、脂質等について
15	栄養不良や過栄養の身体への影響、運動時の栄養

成績評価の方法・基準	試験の方法
小テスト（40%）、定期試験（60%）で判定する。	小テスト　筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。ノートにまとめて振り返ること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　　　　　　　　　】

教科書	参考書
メディカルスタッフのための画像診断学-PT・OT国家試験対応-（金原出版）・薬のはたらきを知る　やさしい薬理のメカニズム（改訂版）（学研メディカル秀潤社）・リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎（医歯薬出版）	救急蘇生法の指針 医療従事者用 2015　へるす出版

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	臨床医学概論			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床医学とは、疾患によらず患者に対して行われる診断・治療についての学問である。本講義では、救急医学、画像診断学、薬学、栄養学などリハビリテーションに関連した分野を中心に学ぶ。
到達目標：①救急医療がわかる。一次救命処置（BLS含む）が実践できる。②X線、CT・MRI等の基礎知識を身につける。解剖と機能の関連性が説明できる。③薬物の作用様式と作用機序を説明できる。リハビリに関連した主な薬物の薬理作用を説明できる。④各栄養素の性質や働きを理解する。栄養不良や過栄養の身体への影響を理解する。

【授業の方法】

1クラス40名以下、主に座学で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	講義オリエンテーション
2	救急医療および予防医学の概論
3	Basic Life Supportについて（AED演習を含む）
4	重症救急疾患と患者管理（集中治療，救急処置，ショックなど）
5	レントゲン、CT、MRI等の概論
6	脳血管撮影、脳出血、脳梗塞、クモ膜下出血の画像
7	脊髄、脊椎疾患の画像
8	運動器疾患の画像、肺疾患の画像
9	薬物の作用機序、薬物の体内動態
10	中枢神経系の薬理、末梢神経系の薬理
11	抗血栓薬、心血管系に作用する薬物について
12	向精神薬等について
13	栄養の役割について、基礎代謝・推定エネルギー必要量について
14	栄養素の働き：糖質、タンパク質、脂質等について
15	栄養不良や過栄養の身体への影響、運動時の栄養
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
小テスト（40%）、定期試験（60%）で判定する。なお、再試験は100%で判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。ノートにまとめて振り返ること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　　　　　　　　　】

教科書	参考書
メディカルスタッフのための画像診断学-PT・OT国家試験対応-（金原出版）・薬のはたらきを知る　やさしい薬理のメカニズム（改訂版）（学研メディカル秀潤社）・リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎（医歯薬出版）	救急蘇生法の指針 医療従事者用 2015　へるす出版

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	病理学			担当者	小野俊朗			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：病理学とはヒトの病気の成り立ちを考え、明らかにすることである。さまざまな病気と向き合う理学療法士にとって欠かせない知識となる。本講義では、各器官系の病気を理解するために、まず、生体の基本反応を学び、患者の全体像をとらえる思考力を涵養した上で、各器官系の代表疾患について学ぶ。
到達目標：①生体の基本反応が理解できる。②病因・病態（主に癌）を理解できる。③各種疾患の病理について理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名以下、主に座学で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	病気とは何か～病気の原因を学ぶ～
2	生体の基本反応（Ⅰ）組織･細胞に生じる異常と修復
3	生体の基本反応（Ⅱ）炎症･免疫反応
4	生体の基本反応（Ⅲ）免疫反応とその異常
5	生体の基本反応（Ⅳ）止血･凝固反応と循環
6	病因･病態を理解する（Ⅰ）癌
7	病因･病態を理解する（Ⅱ）生活習慣病
8	循環器の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識、（Ⅱ）代表的な疾患
9	呼吸器の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識、（Ⅱ）代表的な疾患
10	腎･泌尿器の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識、（Ⅱ）代表的な疾患
11	内分泌･代謝疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識
12	内分泌･代謝疾患:（Ⅱ）代表的な疾患(1)
13	内分泌･代謝疾患:（Ⅲ）代表的な疾患(2)
14	消化管の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識
15	消化管の疾患：（Ⅱ）代表的な疾患

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
講義前には教科書を読んでおいてください。	できるだけ平易に授業します。知的好奇心を持って出席してください。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　　　　　　　　　】

教科書	参考書
病理学　新体系看護学全書3（メヂカルフレンド社）	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	病理学			担当者	小野俊朗			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期 単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：病理学とはヒトの病気の成り立ちを考え、明らかにすることである。さまざまな病気と向き合う理学療法士にとって欠かせない知識となる。本講義では、各器官系の病気を理解するために、まず、生体の基本反応を学び、患者の全体像をとらえる思考力を涵養した上で、各器官系の代表疾患について学ぶ。
到達目標：①生体の基本反応が理解できる。②病因・病態（主に癌）を理解できる。③各種疾患の病理について理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名以下、主に座学で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	病気とは何か～病気の原因を学ぶ～
2	生体の基本反応（Ⅰ）組織･細胞に生じる異常と修復
3	生体の基本反応（Ⅱ）炎症･免疫反応
4	生体の基本反応（Ⅲ）免疫反応とその異常
5	生体の基本反応（Ⅳ）止血･凝固反応と循環
6	病因･病態を理解する（Ⅰ）癌
7	病因･病態を理解する（Ⅱ）生活習慣病
8	循環器の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識、（Ⅱ）代表的な疾患
9	呼吸器の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識、（Ⅱ）代表的な疾患
10	腎･泌尿器の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識、（Ⅱ）代表的な疾患
11	内分泌･代謝疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識
12	内分泌･代謝疾患:（Ⅱ）代表的な疾患(1)
13	内分泌･代謝疾患:（Ⅲ）代表的な疾患(2)
14	消化管の疾患:（Ⅰ）病態理解のための基礎知識
15	消化管の疾患：（Ⅱ）代表的な疾患
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
出席点10%、定期試験90%で判定する。なお、再試験は試験結果のみで判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
講義前には教科書を読んでおいてください。	できるだけ平易に授業します。知的好奇心を持って出席してください。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　　　　　　　　　】

教科書	参考書
病理学　新体系看護学全書3（メヂカルフレンド社）	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	整形外科学			担当者	千田益生			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：整形外科の基礎で、特に最近の進歩に即応した知識を習得し、次いで機能解剖と臨床診断・治療を総論的にまとめ、リハビリテーションにつなげる。また、初歩的・基本的項目だけを学ぶのではなく、常に新しい知見を取り入れた講義を展開する。主に、整形外科に関連した疾病の定義や種類に関すること及び関連の理学療法について学ぶ。
到達目標：①整形外科に関連した疾病の概要および治療について理解する。②代表的な整形外科疾患に関連した治療、後療法について理解する。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	整形外科基礎科学
2	整形外科基礎科学　（疾患総論）
3	先天性骨系統疾患　　先天異常症候群
4	代謝性骨疾患・骨腫瘍
5	軟部腫瘍
6	神経疾患
7	筋疾患
8	肩関節　（疾患各論）
9	肘関節
10	整形外科　外傷　総論1
11	整形外科　外傷　総論2
12	整形外科　外傷　各論1
13	整形外科　外傷　各論2
14	整形外科　外傷　各論3
15	講義のまとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
標準整形外科学（医学書院）	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	整形外科学			担当者	千田益生			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：整形外科の基礎で、特に最近の進歩に即応した知識を習得し、次いで機能解剖と臨床診断・治療を総論的にまとめ、リハビリテーションにつなげる。また、初歩的・基本的項目だけを学ぶのではなく、常に新しい知見を取り入れた講義を展開する。主に、整形外科に関連した疾病の定義や種類に関すること及び関連の理学療法について学ぶ。
到達目標：①整形外科に関連した疾病の概要および治療について理解する。②代表的な整形外科疾患に関連した治療、後療法について理解する。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	整形外科基礎科学
2	整形外科基礎科学　（疾患総論）
3	先天性骨系統疾患　　先天異常症候群
4	代謝性骨疾患・骨腫瘍
5	軟部腫瘍
6	神経疾患
7	筋疾患
8	肩関節　（疾患各論）
9	肘関節
10	整形外科　外傷　総論1
11	整形外科　外傷　総論2
12	整形外科　外傷　各論1
13	整形外科　外傷　各論2
14	整形外科　外傷　各論3
15	講義のまとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験の結果で合否を判定する。定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
標準整形外科学（医学書院）	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	内科学			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：呼吸器、循環器などの内科学に関連した主要疾患の定義、特徴、病態および治療を概観する。
到達目標：①呼吸器、循環器等の内科学に関連した各種疾患の概要がわかる。
②各種主要疾患の治療の概要がわかる。
③各種主要疾患へのリハビリテーションの概要がわかる。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション
2	呼吸器（1）呼吸器系の解剖、主要疾患の概要と治療①
3	呼吸器（2）主要疾患の概要と治療②
4	循環器（1）循環器系の解剖、主要疾患の概要と治療①
5	循環器（2）主要疾患の概要と治療②
6	消化器（1）消化器系の解剖、主要疾患の概要と治療①
7	消化器（2）主要疾患の概要と治療②
8	血液（血液の基本事項、貧血と多血、出血性疾患、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫等）
9	中間テストと第1～8講の復習
10	代謝（1）（糖尿病、メタボリック症候群等）
11	代謝（2）（高脂血症、動脈硬化等）
12	腎臓（腎臓の解剖、主要疾患の概要と治療）
13	内分泌（視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎等）の解剖、主要疾患の概要と治療
14	感染症
15	総まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
中間試験20%、定期試験80%で判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。紛失した際、追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
ナースの内科学（中外医学社）	必要に応じて配布、紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	内科学			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：呼吸器、循環器などの内科学に関連した主要疾患の定義、特徴、病態および治療を概観する。
到達目標：①呼吸器、循環器等の内科学に関連した各種疾患の概要がわかる。
②各種主要疾患の治療の概要がわかる。
③各種主要疾患へのリハビリテーションの概要がわかる。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション
2	呼吸器（1）呼吸器系の解剖、主要疾患の概要と治療①
3	呼吸器（2）主要疾患の概要と治療②
4	循環器（1）循環器系の解剖、主要疾患の概要と治療①
5	循環器（2）主要疾患の概要と治療②
6	消化器（1）消化器系の解剖、主要疾患の概要と治療①
7	消化器（2）主要疾患の概要と治療②
8	血液（血液の基本事項、貧血と多血、出血性疾患、白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫等）
9	中間テストと第1～8講の復習
10	代謝（1）（糖尿病、メタボリック症候群等）
11	代謝（2）（高脂血症、動脈硬化等）
12	腎臓（腎臓の解剖、主要疾患の概要と治療）
13	内分泌（視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎等）の解剖、主要疾患の概要と治療
14	感染症
15	総まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
中間試験20%、定期試験80%で判定する。なお、再試験は当該試験100%で判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。紛失した際、追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
ナースの内科学（中外医学社）	必要に応じて配布、紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	小児科学			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：小児は大人の「小型版」ではない。成人との相違点と成長・発達にしたがって変化する各年齢における小児の特性を、理解し、問題点を解決できる力を養えるようにする。特に、小児に特有の疾患や、成人との相違に、主眼を置き解説する。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	小児の特徴と小児保健
2	小児の循環器疾患
3	内分泌・代謝疾患
4	免疫・アレルギー疾患
5	小児の神経・筋疾患
6	小児の血液疾患
7	小児の腎・泌尿器疾患
8	新生児・未熟児疾患
9	小児の呼吸器疾患
10	小児の消化器疾患
11	小児の感染症
12	小児の精神医学疾患
13	骨系統疾患と先天異常
14	小児の腫瘍性疾患
15	講義の振り返りとまとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
ナースとコメディカルのための小児科学　日本小児医事出版社	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	小児科学			担当者	窪山泉			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：小児は大人の「小型版」ではない。成人との相違点と成長・発達にしたがって変化する各年齢における小児の特性を、理解し、問題点を解決できる力を養えるようにする。特に、小児に特有の疾患や、成人との相違に、主眼を置き解説する。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	小児の特徴と小児保健
2	小児の循環器疾患
3	内分泌・代謝疾患
4	免疫・アレルギー疾患
5	小児の神経・筋疾患
6	小児の血液疾患
7	小児の腎・泌尿器疾患
8	新生児・未熟児疾患
9	小児の呼吸器疾患
10	小児の消化器疾患
11	小児の感染症
12	小児の精神医学疾患
13	骨系統疾患と先天異常
14	小児の腫瘍性疾患
15	講義の振り返りとまとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
ナースとコメディカルのための小児科学　日本小児医事出版社	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	リハビリテーション医学			担当者	千田益生			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：病気を理解することで、障がいなどの後遺症（機能障害や能力低下）を理解することができ、根拠に裏づけられたリハビリテーションが実践できる。そこで、本講義はリハビリテーションの対象となりやすい病気について、診断、治療について概説する。これにより、各疾患の診断や治療の概要や各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できることを目的とする。
到達目標：①各疾患の特徴や診断、治療の概要、各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できる。②理学療法士として患者の機能回復・能力回復を支援することができる知識を習得する。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション
2	リハビリテーション医学・医療の概要
3	リハビリテーション診療の手順・画像診断・神経筋の電気診断
4	障がいの理解：運動障害（運動麻痺・不随意運動・運動失調）、歩行障害
5	障がいの理解：循環機能障害、呼吸機能障害、摂食・嚥下障害、排尿障害
6	障がいの理解：高次脳機能障害（巣症状）、認知症
7	障がいの理解：加齢による障害、発達障害
8	中枢神経障害（主に脳卒中）の概要とリハビリテーション
9	末梢循環障害、切断の概要とリハビリテーション
10	関節リウマチを含む骨関節疾患の概要とリハビリテーション

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
最新リハビリテーション医学 医歯薬出版	老人のリハビリテーション（医学書院）・標準POT学専門基礎分野　内科学（医学書院）等

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	リハビリテーション医学			担当者	浅利正二			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：病気を理解することで、障がいなどの後遺症（機能障害や能力低下）を理解することができ、根拠に裏づけられたリハビリテーションが実践できる。そこで、本講義はリハビリテーションの対象となりやすい病気について、診断、治療について概説する。これにより、各疾患の診断や治療の概要や各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できることを目的とする。
到達目標：①各疾患の特徴や診断、治療の概要、各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できる。②理学療法士として患者の機能回復・能力回復を支援することができる知識を習得する。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション
2	リハビリテーション医学・医療の概要
3	リハビリテーション診療の手順・画像診断・神経筋の電気診断
4	障がいの理解：運動障害（運動麻痺・不随意運動・運動失調）、歩行障害
5	障がいの理解：循環機能障害、呼吸機能障害、摂食・嚥下障害、排尿障害
6	障がいの理解：高次脳機能障害（巣症状）、認知症
7	障がいの理解：加齢による障害、発達障害
8	中枢神経障害（主に脳卒中）の概要とリハビリテーション
9	末梢循環障害、切断の概要とリハビリテーション
10	関節リウマチを含む骨関節疾患の概要とリハビリテーション
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
最新リハビリテーション医学 医歯薬出版	老人のリハビリテーション（医学書院）・標準POT学専門基礎分野　内科学（医学書院）等

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	リハビリテーション概論	担当者	村西壽祥	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。
到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。④自立生活について理解できる。⑤ 就労支援について理解できる。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	リハビリテーションの理念と歴史
2	急性期リハビリテーションと廃用症候群
3	回復期リハビリテーションとは
4	生活期リハビリテーションとは
5	リハビリテーション関連職種の役割
6	生涯論・障害受容と機能評価
7	リハビリテーションの対象者とは/職業的・社会的・医学的・教育的リハビリテーション
8	リハビリテーションと自立支援(関連する支援制度を含む)
9	リハビリテーションと自立支援(関連する支援制度を含む)
10	関連法規・地域福祉事業

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
PT・OT・ST・ナースを目指すためのリハビリテーション総論　診断と治療社	最新リハビリテーション医学　医歯薬出版株式会社

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	リハビリテーション概論	担当者	片岡弘明	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。
到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。

【授業の方法】

理学療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	リハビリテーションの理念と歴史
2	急性期リハビリテーションと廃用症候群
3	回復期リハビリテーションとは
4	生活期リハビリテーションとは
5	リハビリテーション関連職種の役割
6	生涯論・障害受容と機能評価
7	リハビリテーションの対象者とは
8	職業的・社会的リハビリテーション
9	医学的・教育的リハビリテーション
10	関連法規・地域福祉事業
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100％で判定する。定期試験の結果が総合得点の60％を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
PT・OT・ST・ナースを目指すためのリハビリテーション総論　診断と治療社	最新リハビリテーション医学　医歯薬出版株式会社

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	地域包括マネジメント論	担当者	小島一範	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域包括ケアシステムについて理解を深めるとともに現場におけるマネジメントおよび介入・支援方法について学ぶ。特に、高齢化が進む現在におけるケアマネジメントの実際を理解する。また、各社会保障制度（障害者福祉、生活保護、介護保険、児童福祉等）におけるケアマネジメントの現状と関連性と理解を深める。
到達目標：①地域包括ケアシステムとケアマネジメントの概要と方法について理解する。②ケアマネジメントの具体的な支援方法について理解する。③地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントを理解し、他者と協力する力を身につける。

【授業の方法】

授業は座学での講義だけではなく、ディスカッションを重視している。ディスカッションはテーマを絞ったうえで2回おこなわれる。受講生は積極的に学習したことを活用したり、調査したりして、ディスカッションに積極的に参加してほしい。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス　-なぜ「地域包括ケアシステム」が必要なのか-
2	介護保険制度①　-制度概要、介護保険料、要介護認定、地域包括支援センター-
3	介護保険制度②　-ケアプラン、介護サービスの種類、利用者負担と支払限度額-
4	ディスカッション①　-岡山での地域包括ケアシステムはどのような現状か調査し、議論しよう。-
5	多職種協働の融合①　-地域包括ケア実現のためになぜ多職種協働が必要なのか、それを阻むものは何か。-
6	多職種協働の融合②　-居宅看護と病院の役割、がん患者の事例-
7	ディスカッション②　-多職種協働を実現するために必須条件とは何か、議論しよう。-
8	先進事例の研究①　-介護保険サービスの充実強化、医療との連携強化に関する取り組み-
9	先進事例の研究②　-介護予防の推進に関する取り組み-
10	総括と学習到達度の確認テスト

成績評価の方法・基準	試験の方法
達成度確認テスト40%、課題レポート60%	筆記試験（達成度確認テスト）課題レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
ディスカッションに積極的に参加するためには、授業時間外の事前学習が大切となる。ディスカッションテーマはシラバスに記載してあるので、テーマについて積極的に発言できるように準備をすること。	20分以上遅刻の場合は欠席とみなします。また、遅刻3回で欠席1回とみなします。なお、2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することはできません。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

■ その他連絡先【 】

教科書	参考書
地域包括ケアにおけるPT・OTの役割：文光堂	特になし

参考文献

必要時に配布する。

（旧）

科目名	地域包括マネジメント論	担当者	三好秀和	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域包括ケアにおけるマネジメントの概要について理解し、具体的な方法について学ぶ。 特に、高齢化が進む現在におけるケアマネジメントの実際を理解する。また、各社会保障制度（障害者福祉、生活保護、介護保険、児童福祉等）におけるケアマネジメントの現状と関連性と理解を深める。
到達目標：①ケアマネジメントの概要と方法について理解する。②ケアマネジメントの具体的な支援方法について理解する。③地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントを理解し、他者と協力する力を身につける。

【授業の方法】

授業は座学での講義だけではなく、ディスカッションを重視している。ディスカッションはテーマを絞ったうえで2回おこなわれる。受講生は積極的に学習したことを活用したり、調査したりして、ディスカッションに積極的に参加してほしい。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス　-なぜ「地域包括ケアシステム」が必要なのか-
2	介護保険制度①　-制度概要、介護保険料、要介護認定、地域包括支援センター-
3	介護保険制度②　-ケアプラン、介護サービスの種類、利用者負担と支払限度額-
4	ディスカッション①　-岡山での地域包括ケアシステムはどのような現状か調査し、議論しよう。-
5	多職種協働の融合①　-地域包括ケア実現のためになぜ多職種協働が必要なのか、それを阻むものは何か。-
6	多職種協働の融合②　-居宅看護と病院の役割、がん患者の事例-
7	ディスカッション②　-多職種協働を実現するために必須条件とは何か、議論しよう。-
8	先進事例の研究①　-介護保険サービスの充実強化、医療との連携強化に関する取り組み-
9	先進事例の研究②　-介護予防の推進に関する取り組み-
10	総括と学習到達度の確認テスト
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
達成度確認テスト40%、課題レポート40%、授業への参加態度20%	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
ディスカッションに積極的に参加するためには、授業時間外の事前学習が大切となる。ディスカッションテーマはシラバスに記載してあるので、テーマについて積極的に発言できるように準備をすること。	20分以上遅刻の場合は欠席とみなします。また、遅刻3回で欠席1回とみなします。なお、2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することはできません。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

■ その他連絡先【 】

教科書	参考書
「高齢社会の医療介護と地方創生～一億総活躍時代の日本版CCRCと地域包括ケアのありかを問う～」同友館2017/1　三好秀和、斎藤清一編著。	必要に応じて授業中に紹介する。地域包括ケアシステムの構築に係る自治体の取組状況の整理・分析に関する調査研究事業 報告書「地域包括ケアシステム事例集成」2014/3 日本総合研究所

参考文献

授業中に紹介する。「地域社会での維痩型福祉のモデル事業の調査・研究」大阪ガスグループ福祉財団研究報告書29,(p53～p58)2016/7三好秀和著はコピーを配布する。

（新）

科目名	多職種連携論			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：今後の社会状況では、保健・医療・福祉の統合において、臨床では各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人間的視点を行うには、関連職種が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携について理解することが必要となる。
到達目標：①専門職種間連携の概要を理解し、自職種について説明できる。②保健・医療・福祉に関わる職種の専門性と関連について説明できる。③職種間連携実践のあり方について概説できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門職種間連携教育（IPE）の展開のための基礎知識1　WHO・ICFの理念含む
2	IPE展開のための基礎知識2　保健医療福祉圏間の連携と各職種の専門性
3	IPE展開のための基礎知識3　医療と福祉の接点
4	IPE展開のための基礎知識4　診療報酬と介護報酬
5	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携1
6	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携2
7	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携3
8	医療領域における専門職種連携（IPE）の実際　脳血管障害・終末期（がん含む）
9	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　発達障害・知的障害の自立支援と専門職種間連携法
10	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　精神障害の自立支援と専門職種間連携法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
医療福祉をつなぐ関連職種連携（南江堂） 保健医療福祉のための臨床推論（朝倉書店）	全国社会福祉協議会「障害者福祉論」2012年 沢村誠志・奥野英子編「リハビリテーション連携論」2009年三輪書店

参考文献

講義時に配布

（旧）

科目名	多職種連携論			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：今後の社会状況では、保健・医療・福祉の統合において、臨床では各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人間的視点を行うには、関連職種が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携について理解することが必要となる。
到達目標：①専門職種間連携の概要を理解し、自職種について説明できる。②保健・医療・福祉に関わる職種の専門性と関連について説明できる。③職種間連携実践のあり方について概説できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門職種間連携教育（IPE）の展開のための基礎知識1　WHO・ICFの理念含む
2	IPE展開のための基礎知識2　保健医療福祉圏間の連携と各職種の専門性
3	IPE展開のための基礎知識3　医療と福祉の接点
4	IPE展開のための基礎知識4　診療報酬と介護報酬
5	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携1
6	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携2
7	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携3
8	医療領域における専門職種連携（IPE）の実際　脳血管障害・終末期（がん含む）
9	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　発達障害・知的障害の自立支援と専門職種間連携法
10	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　精神障害の自立支援と専門職種間連携法
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
医療福祉をつなぐ関連職種連携（南江堂） 保健医療福祉のための臨床推論（朝倉書店）	全国社会福祉協議会「障害者福祉論」2012年 沢村誠志・奥野英子編「リハビリテーション連携論」2009年三輪書店

参考文献

講義時に配布

（新）

科目名	理学療法概論			担当者	永野克人			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法およびリハビリテーションの歴史・概念・定義を基礎から学び理解する。また、理学療法の業務内容等を理解するとともに医学的リハビリテーションにおける理学療法士の役割および他の関連医療職との連携についても学習する。
到達目標：①理学療法の全体像を理解し説明できる。②理学療法業務内容を理解し説明できる。③理学療法士と多職種連携について説明できる。④自ら調べた内容をまとめてプレゼンテーションすることができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義
学生は（教員の指導を受け）教科書の内容を熟読しその内容を学生全体にプレゼンテーションする。
アクティブラーニングの手法を取る。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	記録と報告・授業の進め方
2	①理学療法って何だろう？
3	②理学療法士の役割って何だろう？
4	③理学療法の実際ってどんな流れ?
5	④理学療法(士)に求められる使命・倫理って何だろう?
6	⑤理学療法士に求められる臨床思考って何だろう?
7	⑥理学療法士ってどんなところで活躍しているの？
8	①～⑥まとめ
9	⑦理学療法士の職能って何だろう?
10	⑧理学療法士に関連する法律を学ぼう
11	⑨理学療法(士)教育とは？
12	⑩フィールドワークをやってみよう
13	⑪理学療法研究ってどうすればいいの？
14	⑫理学療法士に必要な管理や運営ってなんだろう？
15	⑦～⑫まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験：70% プレゼンテーション評価・授業態度：30%	筆記試験　プレゼンテーション　授業取組態度
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、各講義の項目の内容を理解しておくこと。講義内で各回の内容についての意見を求める。	記述試験　授業態度も評価対象とします。 提出物は〆切日を厳守のこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
細田多穂：理学療法概論テキスト,南江堂	奈良勲編：理学療法概論,医歯薬出版株式会社

参考文献　配布資料等

（旧）

科目名	理学療法概論			担当者	永野克人			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法およびリハビリテーションの歴史・概念・定義を基礎から学び理解する。また、理学療法の業務内容等を理解するとともに医学的リハビリテーションにおける理学療法士の役割および他の関連医療職との連携についても学習する。
到達目標：①理学療法の全体像を理解し説明できる。②理学療法業務内容を理解し説明できる。③理学療法士と多職種連携について説明できる。④自ら調べた内容をまとめてプレゼンテーションすることができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義
学生は（教員の指導を受け）教科書の内容を熟読しその内容を学生全体にプレゼンテーションする。
アクティブラーニングの手法を取る。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	記録と報告・授業の進め方
2	①理学療法って何だろう？
3	②理学療法士の役割って何だろう？
4	③理学療法の実際ってどんな流れ?
5	④理学療法(士)に求められる使命・倫理って何だろう?
6	⑤理学療法士に求められる臨床思考って何だろう?
7	⑥理学療法士ってどんなところで活躍しているの？
8	①～⑥まとめ
9	⑦理学療法士の職能って何だろう?
10	⑧理学療法士に関連する法律を学ぼう
11	⑨理学療法(士)教育とは？
12	⑩フィールドワークをやってみよう
13	⑪理学療法研究ってどうすればいいの？
14	⑫理学療法士に必要な管理や運営ってなんだろう？
15	⑦～⑫まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験：70% プレゼンテーション評価・授業態度：30%	記述試験　プレゼンテーション
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書を熟読し、各講義の項目の内容を理解しておくこと。講義内で各回の内容についての意見を求める。	記述試験　授業態度も評価対象とします。 提出物は〆切日を厳守のこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
細田多穂：理学療法概論テキスト,南江堂	奈良勲編：理学療法概論,医歯薬出版株式会社

参考文献　配布資料等

（新）

科目名	基礎理学療法学			担当者	片岡弘明			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学で学習した知識を踏まえ、正常な基本的動作の遂行に必要な心身機能を理解するとともに、疾患や障害による動作障害の特徴を正常と対比させ運動学的に理解する。よって、講義に際しては運動学の基礎知識を自主的に予習・復習すること。毎回小テストを実施し、現状を把握して予習・復習に繋げる。
到達目標：①運動学で学習した基礎知識をもとに、姿勢・動作との関連性がわかる。②姿勢・動作に及ぼす随意運動と反射について理解できる。③基本的動作のメカニズムが理解できる。④基本的動作介助のメカニズムが理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向　等）
3	運動器の構造と機能
4	臥位（背臥位・側臥位・伏臥位等　アライメント）
5	寝返りのバイオメカニクス
6	起き上がりのバイオメカニクス
7	坐位（静的アライメント・動的アライメント・バランス機構）
8	立ち上がりのバイオメカニクス
9	立位（静的アライメント・動的アライメント・バランス機構）
10	正常歩行のバイオメカニクス
11	異常歩行のバイオメカニクス
12	移乗・移動動作のバイオメカニクス
13	基本的動作と応用的動作
14	臨床推考
15	まとめ

成績評価の方法・基準
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）
・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）

参考書
・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献
講義担当者が必要に応じて配布する

（旧）

科目名	基礎理学療法学			担当者	片岡弘明			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学で学習した知識を踏まえ、正常な基本的動作の遂行に必要な心身機能を理解するとともに、疾患や障害による動作障害の特徴を正常と対比させ運動学的に理解する。よって、講義に際しては運動学の基礎知識を自主的に予習・復習すること。毎回小テストを実施し、現状を把握して予習・復習に繋げる。
到達目標：①運動学で学習した基礎知識をもとに、姿勢・動作との関連性がわかる。②姿勢・動作に及ぼす随意運動と反射について理解できる。③基本的動作のメカニズムが理解できる。④基本的動作介助のメカニズムが理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向　等）
3	運動器の構造と機能
4	臥位（背臥位・側臥位・伏臥位等　アライメント）
5	寝返りのバイオメカニクス
6	起き上がりのバイオメカニクス
7	坐位（静的アライメント・動的アライメント・バランス機構）
8	立ち上がりのバイオメカニクス
9	立位（静的アライメント・動的アライメント・バランス機構）
10	正常歩行のバイオメカニクス
11	異常歩行のバイオメカニクス
12	移乗・移動動作のバイオメカニクス
13	基本的動作と応用的動作
14	臨床推考
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書
クエスチョンバンク
PT/OT国家試験必修ポイント

参考書
国試の達人

参考文献
講義担当者が必要に応じて配布する

（新）

科目名	基礎理学療法実習Ⅰ			担当者	永野克人・増川武利			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法学」の内容を基に、基本的動作訓練の内容を学ぶ。理論に沿った基本的動作訓練の立案を模擬患者等のケースカンファレンス等から学ぶ。また、基本的動作の介助を利用した治療を学び、ImpairmentとDisabilityの目的別に使用する基本的動作を学ぶ。
到達目標：①理論に沿った基本的動作訓練を立案できる②基本的動作訓練を実施できる③基本的動作の介助を使用した治療ができる

【授業の方法】
1クラス40人講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	基本的動作動作訓練と治療
3	可動域制限による基本的動作障害１
4	可動域制限による基本的動作障害２
5	筋力低下による基本的動障害１
6	筋力低下による基本的動作障害２
7	筋持久力低下による基本的動作障害１
8	筋持久力低下による基本的動作障害２
9	協調性低下による基本的動作障害１
10	協調性低下による基本的動作障害２
11	全身調整能力低下による基本的動作障害１
12	全身調整能力低下による基本的動作障害２
13	臨床推考１
14	臨床推考２
15	臨床推考３

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法
レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項
・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　masukawa@motoyama-e.com　】

教科書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）
・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）

参考書
・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献
講義時に配布する資料

（旧）

科目名	基礎理学療法実習Ⅰ			担当者	永野克人・増川武利			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法学」の内容を基に、基本的動作訓練の内容を学ぶ。理論に沿った基本的動作訓練の立案を模擬患者等のケースカンファレンス等から学ぶ。また、基本的動作の介助を利用した治療を学び、ImpairmentとDisabilityの目的別に使用する基本的動作を学ぶ。
到達目標：①理論に沿った基本的動作訓練を立案できる②基本的動作訓練を実施できる③基本的動作の介助を使用した治療ができる

【授業の方法】
1クラス40人講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	基本的動作動作訓練と治療
3	可動域制限による基本的動作障害１
4	可動域制限による基本的動作障害２
5	筋力低下による基本的動障害１
6	筋力低下による基本的動作障害２
7	筋持久力低下による基本的動作障害１
8	筋持久力低下による基本的動作障害２
9	協調性低下による基本的動作障害１
10	協調性低下による基本的動作障害２
11	全身調整能力低下による基本的動作障害１
12	全身調整能力低下による基本的動作障害２
13	臨床推考１
14	臨床推考２
15	臨床推考３
16	試験

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）
レポートおよび課題（実技に関する内容）
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項
・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　masukawa@motoyama-e.com　】

教科書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）
・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）

参考書
・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献
講義時に配布する資料

（新）

科目名	基礎理学療法実習Ⅱ			担当者	山下裕之・横山 暁大・渡辺大喜			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法実習Ⅰ」の基本的概念を理解した上で、トランスファーを含む起居移乗動作の内容を学ぶ。運動学的内容を理解し、移乗動作の介助を行うことで、患者の動作スキル向上や、最小限の介助量にて最大限の効果を得る方法を学ぶ。また、移乗動作における問題解決方法の基礎的知識と技術を学ぶ。
到達目標：①起き上がりの介助ができる。②立ち上がりの介助ができる。③床からの立ち上がりの介助ができる。④ベッドと車椅子間のトランスファー介助ができる。⑤歩行の介助ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	基本的動作の運動学を実技を通して学ぶ。
2	寝返り介助法
3	起き上がり介助法①
4	起き上がり介助法②
5	坐位（静的アライメントの調整法①）
6	坐位（動的アライメントの調整法②）
7	立ち上がり介助法①
8	立ち上がり介助法②
9	立位（静的アライメントの調整法①）
10	立位（動的アライメントの調整法②）
11	移乗・移動介助法①
12	移乗・移動介助法②
13	歩行介助法①
14	歩行介助法②
15	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法
レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項
・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・支援等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【watanabe_h@motoyama-e.com/yokoyama_a@motoyama-e.com　】

教科書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）
・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）

参考書
・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献　適宜配布する。

（旧）

科目名	基礎理学療法実習Ⅱ			担当者	片岡弘明・立山暢一郎			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「基礎理学療法実習Ⅰ」の基本的概念を理解した上で、トランスファーを含む起居移乗動作の内容を学ぶ。運動学的内容を理解し、移乗動作の介助を行うことで、患者の動作スキル向上や、最小限の介助量にて最大限の効果を得る方法を学ぶ。また、移乗動作における問題解決方法の基礎的知識と技術を学ぶ。
到達目標：①起き上がりの介助ができる。②立ち上がりの介助ができる。③床からの立ち上がりの介助ができる。④ベッドと車椅子間のトランスファー介助ができる。⑤歩行の介助ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	基本的動作の運動学を実技を通して学ぶ。
2	寝返り介助法
3	起き上がり介助法①
4	起き上がり介助法②
5	坐位（静的アライメントの調整法①）
6	坐位（動的アライメントの調整法②）
7	立ち上がり介助法①
8	立ち上がり介助法②
9	立位（静的アライメントの調整法①）
10	立位（動的アライメントの調整法②）
11	移乗・移動介助法①
12	移乗・移動介助法②
13	歩行介助法①
14	歩行介助法②
15	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）
16	実技試験

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）
レポートおよび課題（実技に関する内容）
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）
運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項
・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・支援等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【tateyama@motoyama-e.com　】

教科書
・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）
・15レクチャーシリーズ　運動学（中山書店）

参考書
・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献　適宜配布する。

（新）

科目名	理学療法セミナーⅠ			担当者	増川武利			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：3年間で身に付けた理学療法に関する知識を総括し内容を理解することを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、理学療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは基礎・専門基礎科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。

【授業の方法】
1クラス40名で行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学１
2	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学２
3	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学３
4	専門基礎分野　臨床医学１
5	専門基礎分野　臨床医学２
6	専門基礎分野　臨床医学３
7	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学４
8	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学５
9	専門基礎分野　臨床医学４
10	専門基礎分野　臨床医学５

成績評価の方法・基準
筆記試験100%で判定する。得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。

履修上の留意事項
定期試験の60%以上で単位認定とする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com　】

教科書
クエスチョンバンク
PT/OT国家試験必修ポイント(出版状況に応じて購入)

参考書
国試の達人

参考文献　講義担当者が必要に応じて配布する。

（旧）

科目名	理学療法セミナーⅠ			担当者	増川武利			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：3年間で身に付けた理学療法に関する知識を総括し内容を理解することを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、理学療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは基礎・専門基礎科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。

【授業の方法】
1クラス40名で行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学１
2	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学２
3	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学３
4	専門基礎分野　臨床医学１
5	専門基礎分野　臨床医学２
6	専門基礎分野　臨床医学３
7	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学４
8	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学５
9	専門基礎分野　臨床医学４
10	専門基礎分野　臨床医学５
11	試験

成績評価の方法・基準
定期試験100%で判定する。得点の60%を超えた場合に合格と判断する。再試験は行わない。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。

履修上の留意事項
定期試験の60%以上で単位認定とする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com　】

教科書
クエスチョンバンク
PT/OT国家試験必修ポイント(出版状況に応じて購入)

参考書
国試の達人

参考文献　講義担当者が必要に応じて配布する。

（新）

科目名	理学療法セミナーⅡ			担当者	那須宣宏			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法セミナーⅠ」の内容をもとに専門分野の知識を総括し内容を整理して身につけることを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、理学療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは専門科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。

【授業の方法】

1クラス40名で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門分野　理学療法１
2	専門分野　理学療法２
3	専門分野　理学療法３
4	専門分野　理学療法４
5	専門分野　理学療法５
6	専門分野　理学療法６
7	専門分野　理学療法７
8	専門分野　理学療法８
9	専門分野　理学療法９
10	専門分野　理学療法１０

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験100%で判定する。得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。	定期試験の60%以上で単位認定とする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
クエスチョンバンク PT/OT国家試験必修ポイント(出版状況に応じて購入)	国試の達人

参考文献　講義担当者が必要に応じて配布する。

（旧）

科目名	理学療法セミナーⅡ			担当者	那須宣宏			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期 単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法セミナーⅠ」の内容をもとに専門分野の知識を総括し内容を整理して身につけることを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、理学療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは専門科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。

【授業の方法】

1クラス40名で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門分野　理学療法１
2	専門分野　理学療法２
3	専門分野　理学療法３
4	専門分野　理学療法４
5	専門分野　理学療法５
6	専門分野　理学療法６
7	専門分野　理学療法７
8	専門分野　理学療法８
9	専門分野　理学療法９
10	専門分野　理学療法１０
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験、それぞれ100%で判定する。得点の60%を超えた場合に合格と判断する。再試験は行わない。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。	定期試験の60%以上で単位認定とする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
クエスチョンバンク PT/OT国家試験必修ポイント(出版状況に応じて購入)	国試の達人

参考文献　講義担当者が必要に応じて配布する。

（新）

科目名	理学療法管理学概論			担当者	山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について学ぶ。理学療法倫理と理学療法部門の管理、理学療法教育について理解を深め、より質の高い理学療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する総合的能力を身につける。チームアプローチを基盤とした組織の管理と運営の基礎応用について教授する。また、理学療法士として就業するうえで、人・物・金・時間・情報の管理と人間関係の構築、倫理観や、病院、施設の組織および理学療法施設基準、診療報酬等を含む理学療法部門の管理・運営について学ぶ。

到達目標：①組織における管理の重要性を説明できる。②施設内の管理法について説明できる。③リーダーシップの重要性を説明できる。④理学療法倫理を理解できる。⑤医療保険制度、介護保険制度を理解できる。⑥職場管理、理学療法教育について理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/理学療法部門における管理とは
2	組織化(職員配置と業務の組織化、体制づくり)①
3	組織化(職員配置と業務の組織化、体制づくり)②
4	業務管理(病棟・施設業務管理、情報および情報伝達の管理)①
5	業務管理(病棟・施設業務管理、情報および情報伝達の管理)②
6	人事労務管理(職業倫理、人事計画、職員の目標管理)
7	教育システム(理学療法教育:臨床実習教育をふくめた臨床教育の基礎と管理、キャリア開発)①
8	教育システム(理学療法教育:臨床実習教育をふくめた臨床教育の基礎と管理、キャリア開発)②
9	管理者のあるべき姿(リーダーシップ)
10	リスクマネジメント(医療福祉サービス　在宅サービス)
11	チームアプローチ・多職種連携について
12	理学療法をとりまく諸制度（医療保険制度・介護保険制度・障害者福祉制度・地域包括ケアシステムの理解を深める）
13	理学療法をとりまく諸制度（医療保険制度・介護保険制度・障害者福祉制度・地域包括ケアシステムの理解を深める）
14	これからの理学療法の役割と職域
15	総括(理学療法における管理・マネジメントの意義を理解し実践場面での活用について総括する)

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック　メジカルビュー社 理学療法管理学　医歯薬出版	看護管理学　南江堂 作業療法技術ガイド第3版 古川宏他編（文光堂） 看護管理者のための医療経営学―地域で選ばれる医療機関を目指して（看護管理実践guide）日本看護協会出版会

参考文献　講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法管理学概論			担当者	山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法倫理と理学療法部門の管理について理解を深め、より質の高い理学療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する総合的能力を身につける。チームアプローチを基盤とした組織の管理と運営の基礎応用について教授する。また、理学療法士として就業するうえで、人・物・金・時間・情報の管理と人間関係の構築、倫理観や、病院、施設の組織および理学療法施設基準、診療報酬等を含む理学療法部門の管理・運営について学ぶ。

到達目標：①組織における管理の重要性を説明できる。②施設内の管理法について説明できる。③リーダーシップの重要性を説明できる。④理学療法倫理を理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	理学療法倫理と管理学について
2	日本の理学療法士の現状・今後の課題
3	理学療法業務・組織について①　医療分野１
4	理学療法業務・組織について②　医療分野２
5	理学療法業務・組織について③　保健分野　福祉分野
6	チームアプローチ・多職種連携について
7	社会保障・障害年金１
8	社会保障・障害年金２
9	社会保障・生活保護１
10	社会保障・生活保護２
11	理学療法　管理・運営１
12	理学療法　管理・運営２
13	理学療法　管理・運営３
14	理学療法　管理・運営４
15	理学療法　管理・運営５
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック　メジカルビュー社	看護管理学　南江堂 作業療法技術ガイド第3版 古川宏他編（文光堂） 看護管理者のための医療経営学―地域で選ばれる医療機関を目指して（看護管理実践guide）日本看護協会出版会

参考文献　講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法評価学Ⅰ	担当者	横山暁大	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法における検査・測定に関しての知識を深め、それぞれに対する意義・目的を学習する。形態測定の意義・目的・方法を理解する。関節可動域検査に関しては、意義・目的・基本軸・移動軸・正常可動範囲を理解する。また、徒手筋力検査法では意義・目的・起始・付着を理解し判定基準を理解する。
到達目標：①検査・測定の意義目的を理解できる。②形態測定の目的・方法を理解できる。③関節可動域検査の目的・方法を理解できる。④徒手筋力検査法の目的・方法を理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	評価の意義・目的
2	一般的評価事項
3	関節可動域測定１
4	関節可動域測定２
5	関節可動域測定３
6	形態測定１
7	形態測定２
8	徒手筋力検査法１
9	徒手筋力検査法２
10	徒手筋力検査法３
11	徒手筋力検査法４
12	徒手筋力検査法５
13	徒手筋力検査法６
14	徒手筋力検査法７
15	徒手筋力検査法８

成績評価の方法・基準
筆記試験（80%）小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読しておくこと

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com 】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書
ベッドサイドの神経の診かた　南山堂

参考文献
配布資料

（旧）

科目名	理学療法評価学Ⅰ	担当者	横山暁大	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法における検査・測定に関しての知識を深め、それぞれに対する意義・目的を学習する。形態測定の意義・目的・方法を理解する。関節可動域検査に関しては、意義・目的・基本軸・移動軸・正常可動範囲を理解する。また、徒手筋力検査法では意義・目的・起始・付着を理解し判定基準を理解する。
到達目標：①検査・測定の意義目的を理解できる。②形態測定の目的・方法を理解できる。③関節可動域検査の目的・方法を理解できる。④徒手筋力検査法の目的・方法を理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	評価の意義・目的
2	一般的評価事項
3	関節可動域測定１
4	関節可動域測定２
5	関節可動域測定３
6	形態測定１
7	形態測定２
8	徒手筋力検査法１
9	徒手筋力検査法２
10	徒手筋力検査法３
11	徒手筋力検査法４
12	徒手筋力検査法５
13	徒手筋力検査法６
14	徒手筋力検査法７
15	徒手筋力検査法８
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。筆記試験：80%　小テスト：20%

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読しておくこと

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com 】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書
ベッドサイドの神経の診かた　南山堂

参考文献
配布資料

（新）

科目名	理学療法評価学Ⅱ	担当者	増川武利	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法における検査・測定に関しての知識を深め、それぞれに対する意義・目的を学習する。バイタルチェックの方法や画像情報を利用した評価、疼痛検査、反射検査、筋緊張検査、運動耐容能、平行機能検査、動作観察及び分析の方法を学ぶ。
到達目標：①各測定・検査項目の目的が説明できる。②画像の情報から異常を答えることができる。③疼痛検査：痛みの質・種類を分類できる。代表的なペインスケールの名称を上げることができる。④知覚検査：表在感覚・深部感覚・複合感覚それぞれの違いを理解できる。⑤反射検査：反射のメカニズムを理解できる。各検査法を理解できる。⑥筋緊張検査：痙縮・固縮・筋スパズムの違いを説明できる。⑦血圧・心拍数：適切な手順を説明することができる。⑧運動耐容能・平衡機能検査：各種テストを理解することができる。⑨動作・歩行分析：正常方向を理解できる。観察手順を理解する。原因を明らかにできる。⑩各測定・検査結果を記載できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	バイタル（血圧、心拍数）
2	画像情報を利用した評価方法１
3	画像情報を利用した評価方法２
4	疼痛検査法
5	知覚検査法
6	反射検査
7	筋緊張検査
8	運動耐容能・平衡機能検査
9	動作観察・分析１（映像を使用した動作観察・分析方法）
10	動作観察・分析２（映像を利用した動作観察・分析方法）

成績評価の方法・基準
筆記試験（80%）小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読しておくこと

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う（配分20%）。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com 】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書
ベッドサイドの神経の診かた　南山堂
理学療法検査・測定ガイド

参考文献
配布資料

（旧）

科目名	理学療法評価学Ⅱ	担当者	増川武利	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法における検査・測定に関しての知識を深め、それぞれに対する意義・目的を学習する。バイタルチェックの方法や徒手筋力検査、疼痛検査、反射検査、筋緊張検査、運動耐容能、平行機能検査、動作観察及び分析の方法を学ぶ。
到達目標：①各測定・検査項目の目的が説明できる。②MMT：主動作筋・起始・付着を答えることができる。③疼痛検査：痛みの質・種類を分類できる。代表的なペインスケールの名称を上げることができる。④知覚検査：表在感覚・深部感覚・複合感覚それぞれの違いを理解できる。⑤反射検査：反射のメカニズムを理解できる。各検査法を理解できる。⑥筋緊張検査：痙縮・固縮・筋スパズムの違いを説明できる。⑦血圧・心拍数：適切な手順を説明することができる。⑧運動耐容能・平衡機能検査：各種テストを理解することができる。⑨動作・歩行分析：正常方向を理解できる。観察手順を理解する。原因を明らかにできる。⑩各測定・検査結果を記載できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	バイタル（血圧、心拍数）
2	徒手筋力検査法１
3	徒手筋力検査法２
4	疼痛検査法
5	知覚検査法
6	反射検査
7	筋緊張検査
8	運動耐容能・平衡機能検査
9	動作観察・分析１
10	動作観察・分析２
11	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。筆記試験：80%　小テスト：20%

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読しておくこと

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う（配分20%）。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com 】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書
ベッドサイドの神経の診かた　南山堂
理学療法検査・測定ガイド

参考文献
配布資料

（新）

科目名	理学療法評価学実習Ⅰ	担当者	横山暁大・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法評価学Ⅰ」に対応した検査・測定に関して実技を通して技術を習得する。形態測定ではランドマークを正確に触診でき、メジャーの適切な使用を学ぶ。関節可動域検査では基本軸・移動軸を把握し適切な角度計の当て方を学ぶ。徒手筋力検査では、適切な肢位、順序で測定する方法を学ぶ。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①形態測定が実施できる。②関節可動域検査が実施できる。③徒手筋力検査を実施できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義　　各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	評価の意義・目的・一般的評価事項
2	関節可動域測定１
3	関節可動域測定２
4	関節可動域測定３
5	関節可動域測定４
6	形態測定１
7	形態測定２
8	徒手筋力検査法１
9	徒手筋力検査法２
10	徒手筋力検査法３
11	徒手筋力検査法４
12	徒手筋力検査法５
13	徒手筋力検査法６
14	徒手筋力検査法７
15	徒手筋力検査法８

成績評価の方法・基準
筆記試験(40%)・実技試験(60%)を合算して評価する。

試験の方法
筆記試験　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書
ベッドサイドの神経の診かた　南山堂

参考文献
随時配布する。

（旧）

科目名	理学療法評価学実習Ⅰ	担当者	横山暁大・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法評価学Ⅰ」に対応した検査・測定に関して実技を通して技術を習得する。形態測定ではランドマークを正確に触診でき、メジャーの適切な使用を学ぶ。関節可動域検査では基本軸・移動軸を把握し適切な角度計の当て方を学ぶ。徒手筋力検査では、適切な肢位、順序で測定する方法を学ぶ。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①形態測定が実施できる。②関節可動域検査が実施できる。③徒手筋力検査を実施できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義　　各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	評価の意義・目的・一般的評価事項
2	関節可動域測定１
3	関節可動域測定２
4	関節可動域測定３
5	関節可動域測定４
6	形態測定１
7	形態測定２
8	徒手筋力検査法１
9	徒手筋力検査法２
10	徒手筋力検査法３
11	徒手筋力検査法４
12	徒手筋力検査法５
13	徒手筋力検査法６
14	徒手筋力検査法７
15	徒手筋力検査法８
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験（筆記試験40%・実技試験60%）を合算して評価する。再試験は実技試験とする。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書
ベッドサイドの神経の診かた　南山堂

参考文献
随時配布する。

（新）

科目名	理学療法評価学実習Ⅱ	担当者	鈴木啓子・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法評価学Ⅱ」の内容に基づき、検査・測定に関して、実技を通して技術を習得する。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①各測定・検査項目の技術を正確に行うことができる。②画像の情報から異常を答えることができる。③疼痛検査：痛みについて順を追って検査できる。またそれを使い強さを評価できる。④知覚検査：表在感覚・深部感覚・複合感覚を検査することができる。⑤反射検査：深部反射・病的反射・表在反射を実施することができる。⑥筋緊張検査：筋緊張検査を実施できる。⑦血圧・心拍数：適切な手順で測定することができる。⑧運動耐容能・平行機能検査：各種テストを実施することができる。⑨動作・歩行分析：歩行周期に基づいて歩容を観察できる。原因を明らかにできる。⑩各測定・検査結果を記載できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ケーシーで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	バイタル（血圧、心拍数）
2	意識障害・精神障害（JCS・GCS・HDS－R）
3	画像情報を利用した評価１
4	画像情報を利用した評価２
5	画像情報を利用した評価３
6	画像情報を利用した評価４
7	疼痛・知覚検査法１
8	疼痛・知覚検査法２
9	反射検査１
10	反射検査２
11	筋緊張検査１
12	筋緊張検査２
13	運動耐容能・平衡機能検査
14	動作観察・分析１（映像を利用した動作観察・分析）
15	動作観察・分析２（映像を利用した動作観察・分析）

成績評価の方法・基準
筆記試験(60%)・実技試験(60%)を合算して評価する。

試験の方法
筆記試験　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社
ベッドサイドの神経の診かた/株式会社　南山堂

参考書
神経診察クローズアップ

参考文献
配布資料

（旧）

科目名	理学療法評価学実習Ⅱ	担当者	鈴木啓子・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法評価学Ⅱ」の内容に基づき、検査・測定に関して、実技を通して技術を習得する。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①各測定・検査項目の技術を正確に行うことができる。②MMT：適切な肢位順序で測定することができる。③疼痛検査：痛みについて順を追って検査できる。またそれを使い強さを評価できる。④知覚検査：表在感覚・深部感覚・複合感覚を検査することができる。⑤反射検査：深部反射・病的反射・表在反射を実施することができる。⑥筋緊張検査：筋緊張検査を実施できる。⑦血圧・心拍数：適切な手順で測定することができる。⑧運動耐容能・平行機能検査：各種テストを実施することができる。⑨動作・歩行分析：歩行周期に基づいて歩容を観察できる。原因を明らかにできる。⑩各測定・検査結果を記載できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ケーシーで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	バイタル（血圧、心拍数）
2	意識障害・精神障害（JCS・GCS・HDS－R）
3	徒手筋力検査法１
4	徒手筋力検査法２
5	徒手筋力検査法３
6	徒手筋力検査法４
7	疼痛・知覚検査法１
8	疼痛・知覚検査法２
9	反射検査１
10	反射検査２
11	筋緊張検査１
12	筋緊張検査２
13	運動耐容能・平衡機能検査
14	動作観察・分析１
15	動作観察・分析２
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験（筆記試験40%・実技試験60%）を合算して評価する。再試験は実技試験とする。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書
理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書
ベッドサイドの神経の診かた/株式会社　南山堂
神経診察クローズアップ

参考文献
配布資料

（新）

科目名	理学療法評価学実習Ⅲ			担当者	横山暁大・那須宣宏			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法評価学実習Ⅲでは、「理学療法実習Ⅰ」「理学療法実習Ⅱ」で身に付けた検査・測定の実技を組み合わせ、問題点の抽出を行う。模擬患者を利用し技術を習得すると共に臨床推考を行う。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①検査項目を立案することができる。②複数の検査項目を組み合わせて実施することができる。③検査結果を統合解釈し問題点の抽出ができる。④各測定・検査結果を記載できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ケーシーで実技を行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（症例レポートの書き方・カルテの書き方）
2	臨床推考1)症候から原因を探る：機能障害の推論（仮説を立てる）
3	運動器障害　1)疾患調べ、情報収集
4	2)評価項目列挙を列挙する（優先順位）
5	3)各評価結果からアセスメントを行う
6	4)問題点を抽出する
7	5)統合と解釈　文献を参考に
8	まとめ
9	臨床推考2)症候から原因を探る：機能障害の推論（仮説を立てる）
10	脳障害　1)疾患調べ、情報収集
11	2)評価項目列挙を列挙する（優先順位）
12	3)各評価結果からアセスメントを行う
13	4)問題点を抽出する
14	5)統合と解釈　文献を参考に
15	まとめ

成績評価の方法・基準

口頭試問(40%)・実技試験(60%)を合算して評価する。

試験の方法

口頭試問　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書

理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社
ベッドサイドの神経の診かた/株式会社　南山堂

参考書

神経診察クローズアップ

参考文献

配布資料

（旧）

科目名	理学療法評価学実習Ⅲ			担当者	横山暁大・那須宣宏			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：理学療法評価学実習Ⅲでは、「理学療法実習Ⅰ」「理学療法実習Ⅱ」で身に付けた検査・測定の実技を組み合わせ、問題点の抽出を行う。模擬患者を利用し技術を習得すると共に臨床推考を行う。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①検査項目を立案することができる。②複数の検査項目を組み合わせて実施することができる。③検査結果を統合解釈し問題点の抽出ができる。④各測定・検査結果を記載できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ケーシーで実技を行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（症例レポートの書き方・カルテの書き方）
2	臨床推考1)症候から原因を探る：機能障害の推論（仮説を立てる）
3	運動器障害　1)疾患調べ、情報収集
4	2)評価項目列挙を列挙する（優先順位）
5	3)各評価結果からアセスメントを行う
6	4)問題点を抽出する
7	5)統合と解釈　文献を参考に
8	まとめ
9	臨床推考2)症候から原因を探る：機能障害の推論（仮説を立てる）
10	脳障害　1)疾患調べ、情報収集
11	2)評価項目列挙を列挙する（優先順位）
12	3)各評価結果からアセスメントを行う
13	4)問題点を抽出する
14	5)統合と解釈　文献を参考に
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験（口頭試問40%・実技試験60%）を合算して評価する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

口頭試問　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

①ケーシーを着用すること。②角度計・メジャー持参。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書

理学療法評価法/金原出版株式会社
新徒手筋力検査法/株式会社協同医書出版社

参考書

ベッドサイドの神経の診かた/株式会社　南山堂
神経診察クローズアップ

参考文献

配布資料

（新）

科目名	運動療法			担当者	廣岡克伺			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・運動学・生理学・病理学などの基礎科目を基に、運動療法の基礎である可動域運動、筋力増強運動・持久性運動、協調性運動、全身調整運動について知識と最新の技術を教授する。本講義は基礎科目と運動療法のつながりを理解し、医学的根拠に基づいた運動療法の基礎を学習・習得することを目的とする。
到達目標：①運動療法の基礎を理解する。②可動域運動に必要な知識を理解する。③筋力増強運動に必要な知識を理解できる。④筋持久力運動の理論を理解できる。⑤協調性運動の理論を理解できる。⑥全身調整運動の理論を理解できる。⑦運動学習に必要な知識を理解する。⑧治療体操・動作を利用した運動療法を理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	運動療法とは　（運動の必要性と効果　順序　基礎的原理）
2	関節可動域運動：関節の機能と構造
3	ストレッチ：基礎理論とその効果
4	筋力増強運動：筋の構造と機能
5	筋持久力運動
6	運動と呼吸・循環・エネルギー代謝
7	運動学習理論
8	協調性運動
9	姿勢・バランス運動
10	治療体操・動作障害に対する運動療法

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂
石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法

参考書

市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献

講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法			担当者	山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・運動学・生理学・病理学などの基礎科目を基に、運動療法の基礎である可動域運動、筋力増強運動・持久性運動、協調性運動、全身調整運動について知識と最新の技術を教授する。本講義は基礎科目と運動療法のつながりを理解し、医学的根拠に基づいた運動療法の基礎を学習・習得することを目的とする。
到達目標：①運動療法の基礎を理解する。②可動域運動に必要な知識を理解する。③筋力増強運動に必要な知識を理解できる。④筋持久力運動の理論を理解できる。⑤協調性運動の理論を理解できる。⑥全身調整運動の理論を理解できる。⑦運動学習に必要な知識を理解する。⑧治療体操・動作を利用した運動療法を理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	運動療法とは　（運動の必要性と効果　順序　基礎的原理）
2	関節可動域運動：関節の機能と構造
3	ストレッチ：基礎理論とその効果
4	筋力増強運動：筋の構造と機能
5	筋持久力運動
6	運動と呼吸・循環・エネルギー代謝
7	運動学習理論
8	協調性運動
9	姿勢・バランス運動
10	治療体操・動作障害に対する運動療法
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書

細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂
石川朗：15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法

参考書

市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献

講義担当者が配布する。

（新）

科目名	運動療法実習Ⅰ			担当者	鈴木啓子・渡辺大喜			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、可動域運動、筋力増強運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実習を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②可動域運動を実施できる。③筋力増強運動を実施できる。

【授業の方法】
理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節可動域運動①　上肢１
2	関節可動域運動②　上肢２
3	関節可動域運動③　上肢３
4	関節可動域運動④　上肢４
5	関節可動域運動⑤　下肢１
6	関節可動域運動⑥　下肢２
7	関節可動域運動⑦　下肢３
8	関節可動域運動⑧　下肢４
9	関節可動域運動⑨　体幹１
10	関節可動域運動⑩　体幹２
11	筋力増強運動①　上肢１
12	筋力増強運動②　上肢２
13	筋力増強運動③　下肢１
14	筋力増強運動④　下肢２
15	筋力増強運動⑤　体幹

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法
レポート　課題(実技に関する内容)

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂
石川朗：ISレクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法

参考書
市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献
科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法実習Ⅰ			担当者	立山暢一郎・鈴木啓子			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、可動域運動、筋力増強運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実習を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②可動域運動を実施できる。③筋力増強運動を実施できる。

【授業の方法】
理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節可動域運動①　上肢１
2	関節可動域運動②　上肢２
3	関節可動域運動③　上肢３
4	関節可動域運動④　上肢４
5	関節可動域運動⑤　下肢１
6	関節可動域運動⑥　下肢２
7	関節可動域運動⑦　下肢３
8	関節可動域運動⑧　下肢４
9	関節可動域運動⑨　体幹１
10	関節可動域運動⑩　体幹２
11	筋力増強運動①　上肢１
12	筋力増強運動②　上肢２
13	筋力増強運動③　下肢１
14	筋力増強運動④　下肢２
15	筋力増強運動⑤　体幹
16	試験

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）
レポートおよび課題(実技に関する内容)
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【tateyama@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com　】

教科書
実習で必要とするすべての専門書

参考書
指定なし

参考文献
科目担当者が配布する。

（新）

科目名	運動療法実習Ⅱ			担当者	濵岡克伺・鈴木啓子			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、持久力運動、協調性運動、全身調整運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実技を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②筋持久力運動を実施できる。③協調性運動を実施できる。④全身調整運動を実施できる。⑤治療体操・動作を利用した運動療法を実施できる。

【授業の方法】
理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	筋持久力運動①
2	筋持久力運動②
3	協調性運動①
4	協調性運動②
5	協調性運動③
6	全身調整運動①
7	全身調整運動②
8	全身調整運動③
9	治療体操①
10	治療体操②
11	治療体操③
12	動作介助法①
13	動作介助法②
14	動作介助法③
15	まとめ

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法
レポート　課題（実技に関する内容）

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書
細田多穂：運動療法学テキスト,南江堂
石川朗：ISレクチャーシリーズ　理学療法テキスト運動療法

参考書
市橋則明：運動療法学,文光堂

参考文献
科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	運動療法実習Ⅱ			担当者	小島一範・鈴木啓子			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「運動療法」の内容を基に、持久力運動、協調性運動、全身調整運動について実際に実技を行うことで、運動療法の基礎を身につける。実技を行うことで、理論と技術を架橋する役割を果たし、実践力を身につける。
到達目標：①理論に沿った運動療法を立案し実施できる。②筋持久力運動を実施できる。③協調性運動を実施できる。④全身調整運動を実施できる。⑤治療体操・動作を利用した運動療法を実施できる。

【授業の方法】
理学療法学科　1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	筋持久力運動①
2	筋持久力運動②
3	協調性運動①
4	協調性運動②
5	協調性運動③
6	全身調整運動①
7	全身調整運動②
8	全身調整運動③
9	治療体操①
10	治療体操②
11	治療体操③
12	動作介助法①
13	動作介助法②
14	動作介助法③
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）
レポートおよび課題（実技に関する内容）
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書
実習で必要とするすべての専門書

参考書
指定なし

参考文献
科目担当者が配布する。

（新）

科目名	物理療法			担当者	永野克人			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：各種物理療法について講義と実習により理論と実際を学ぶ。その中で最も使用頻度の高い温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実際を学ぶ。また、その中から新しい概念に対してもトピックスを学ぶことで修得する。
到達目標：①各種物理療法についての生理的な作用機序を理解する。②各種物理療法の適応と禁忌、リスク管理を理解する。③温熱療法の使用法がわかる。④光線療法の使用法がわかる。⑤電気刺激療法の使用法がわかる。⑥牽引療法の使用法がわかる。⑦マッサージ療法の方法がわかる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	光線療法
4	寒冷療法
5	水治療法
6	超音波療法
7	電気刺激療法①
8	電気刺激療法②
9	牽引療法
10	マッサージ療法①

成績評価の方法・基準
筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項
小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書
15レクチャーシリーズ 物理療法学・実習

参考書
ＥＢＭ物理療法　渡部　一郎　医歯薬出版
標準理学療法学「物理療法」古尾　雅幸　医学書院

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	物理療法			担当者	永野克人			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：各種物理療法について講義と実習により理論と実際を学ぶ。その中で最も使用頻度の高い温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実際を学ぶ。また、その中から新しい概念に対してもトピックスを学ぶことで修得する。
到達目標：①各種物理療法についての生理的な作用機序を理解する。②各種物理療法の適応と禁忌、リスク管理を理解する。③温熱療法の使用法がわかる。④光線療法の使用法がわかる。⑤電気刺激療法の使用法がわかる。⑥牽引療法の使用法がわかる。⑦マッサージ療法の方法がわかる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	光線療法
4	寒冷療法
5	水治療法
6	超音波療法
7	電気刺激療法①
8	電気刺激療法②
9	牽引療法
10	マッサージ療法①
11	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。定期試験：80%　小テスト：20%

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項
小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書
15レクチャーシリーズ 物理療法学・実習

参考書
ＥＢＭ物理療法　渡部　一郎　医歯薬出版
標準理学療法学「物理療法」古尾　雅幸　医学書院

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	物理療法実習			担当者	村西壽祥・小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「物理療法」の内容を基に、温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実技を学ぶ。
到達目標：①温熱療法が使用できる。②光線療法が使用できる。③電気刺激療法が使用できる。④牽引療法ができる。⑤マッサージ療法ができる。

【授業の方法】
理学療法学科　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	温熱療法③
4	温熱療法④
5	光線療法
6	寒冷療法
7	水治療法
8	超音波療法
9	電気刺激療法①
10	電気刺激療法②
11	電気刺激療法③
12	電気刺激療法④
13	牽引療法
14	マッサージ療法①
15	マッサージ療法②

成績評価の方法・基準
実技試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
実技試験・小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行います。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書
15レクチャーシリーズ 物理療法学・実習

参考書
ＥＢＭ物理療法　渡部　一郎　医歯薬出版
標準理学療法学「物理療法」古尾　雅幸　医学書院

参考文献
科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	物理療法実習			担当者	増川武利・立山暢一郎			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「物理療法」の内容を基に、温熱療法・光線療法・水治療法・電気刺激療法・牽引療法・マッサージ療法（浮腫軽減）の実技を学ぶ。
到達目標：①温熱療法が使用できる。②光線療法が使用できる。③電気刺激療法が使用できる。④牽引療法ができる。⑤マッサージ療法ができる。

【授業の方法】
理学療法学科　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	温熱療法①
2	温熱療法②
3	温熱療法③
4	温熱療法④
5	光線療法
6	寒冷療法
7	水治療法
8	超音波療法
9	電気刺激療法①
10	電気刺激療法②
11	電気刺激療法③
12	電気刺激療法④
13	牽引療法
14	マッサージ療法①
15	マッサージ療法②
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。定期テスト：80%　小テスト：20%

試験の方法（再試験の方法も含む）
実技試験・小テスト（再試験は実技試験のみ）

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
ケーシーを着用すること。※授業の最初に小テストを行います。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/tateyama@motoyama-e.com　】

教科書
実習で必要とするすべての専門書

参考書
指定なし

参考文献
科目担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学Ⅰ	担当者	永野克人	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：神経系疾患（脳障害・脊髄障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の画像を理解することができる。④神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の理学療法を立案できる。⑤正常発達と発達障害の特性を理解することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	中枢神経系のしくみと働き
2	脳・脊髄損傷の定義と病態
3	画像
4	医学管理（リスク管理）
5	リハビリテーションの流れ
6	脳血管障害における運動障害の特徴
7	片麻痺に対する評価
8	片麻痺に対する理学療法
9	正常発達概論
10	脳性麻痺の分類
11	発達障害の障害特性
12	脳性麻痺児に対する理学療法
13	脊髄障害における運動障害の特徴
14	脊髄障害に対する評価
15	脊髄障害に対する理学療法

成績評価の方法・基準
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項
特記事項無し

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店

参考書
絵でみる脳と神経，馬場元毅，医学書院
神経診察クローズアップ，鈴木則宏，ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学Ⅰ	担当者	永野克人	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：神経系疾患（脳障害・脊髄障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の画像を理解することができる。④神経系疾患（脳障害・脊髄障害）の理学療法を立案できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	中枢神経系のしくみと働き
2	脳・脊髄損傷の定義と病態
3	画像
4	医学管理（リスク管理）
5	リハビリテーションの流れ
6	脳血管障害における運動障害の特徴
7	片麻痺に対する評価
8	片麻痺に対する理学療法
9	正常発達概論
10	脳性麻痺の分類
11	発達障害の障害特性
12	脳性麻痺児に対する理学療法
13	脊髄障害における運動障害の特徴
14	脊髄障害に対する評価
15	脊髄障害に対する理学療法
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。定期試験：80%小テスト：20%

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項
小テストは①授業終了時、②授業開始前

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店

参考書
絵でみる脳と神経，馬場元毅，医学書院
神経診察クローズアップ，鈴木則宏，ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学Ⅱ	担当者	瀧岡克伺	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像・検査所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）のデータを理解することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業入門と脳、神経の働き
2	パーキンソン病　臨床症状
3	パーキンソン病　評価・理学療法アプローチ
4	脊髄小脳変性症　臨床症状
5	脊髄小脳変性症　評価・理学療法アプローチ
6	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　臨床症状
7	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　評価・理学療法アプローチ
8	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　臨床症状
9	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ①
10	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ②

成績評価の方法・基準
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項
特記事項無し

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
リハビリテーションのための神経内科
病気がみえる⑦脳・神経

参考書
ベッドサイドの神経の診方
今日の理学療法指針

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学Ⅱ	担当者	永野克人	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）に関わる病理学を基に、機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像・検査所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の障害像を理解することができる。②神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）の評価項目を実施することができる。③神経系疾患（末梢神経障害・神経筋障害）のデータを理解することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業入門と脳、神経の働き
2	パーキンソン病　臨床症状
3	パーキンソン病　評価・理学療法アプローチ
4	脊髄小脳変性症　臨床症状
5	脊髄小脳変性症　評価・理学療法アプローチ
6	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　臨床症状
7	筋萎縮性側索硬化症・多発性硬化症　評価・理学療法アプローチ
8	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　臨床症状
9	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ①
10	ギランバレー症候群・末梢神経損傷　評価・理学療法アプローチ②
11	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。定期試験：80%小テスト：20%

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項
小テストは①授業終了時、②授業開始前

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
リハビリテーションのための神経内科
病気がみえる⑦脳・神経

参考書
ベッドサイドの神経の診方
今日の理学療法指針

参考文献
必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学Ⅲ	担当者	村西壽祥	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動器疾患に関わる解剖学・運動学・生理学を基に、運動器障害理学療法を学ぶ。整形外科領域における運動器疾患を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択するための知識（治療プログラム立案）と実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患の障害学を理解する。②運動器疾患の評価内容を理解する。③運動器疾患の治療プログラムを作成できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	変形性関節症（股関節・膝関節）
2	上肢骨折
3	下肢骨折
4	頚部疾患
5	腰部疾患
6	肩関節疾患
7	肘手関節疾患
8	膝関節・足関節疾患
9	関節リウマチ
10	運動器疾患における装具療法

成績評価の方法・基準
筆記試験：70%　小テスト：20%　提出物：10%

試験の方法
筆記試験　小テスト　レポート

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項
各講義における確認テストを実施する。
実技の際には動きやすい服装を着用すること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　】

教科書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅰ

参考書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献
講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学Ⅲ	担当者	山田英司	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動器疾患に関わる解剖学・運動学・生理学を基に、運動器障害理学療法を学ぶ。整形外科領域における運動器疾患を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択するための知識（治療プログラム立案）と実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患の障害学を理解する。②運動器疾患の評価内容を理解する。③運動器疾患の治療プログラムを作成できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	変形性関節症（股関節・膝関節）
2	上肢骨折
3	下肢骨折
4	頚部疾患
5	腰部疾患
6	肩関節疾患
7	肘手関節疾患
8	膝関節・足関節疾患
9	関節リウマチ
10	運動器疾患における装具療法
11	試験

成績評価の方法・基準
筆記試験：70%　小テスト：20%　提出物：10%

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　小テスト　レポート

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項
各講義における確認テストを実施する。
実技の際には動きやすい服装を着用すること。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com　】

教科書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅰ

参考書
15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献
講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学Ⅳ	担当者	片岡弘明	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動療法を行う上で呼吸・循環・代謝の知識は必要不可欠であり、この講義では呼吸器疾患・心疾患・代謝疾患を通して基礎的内容を理解し最新のトピックスと治療について学ぶ。呼吸器疾患では急性・慢性呼吸器疾患の概要と呼吸理学療法を学び、心疾患では心電図の見方や各疾患の特徴から見た理学療法を学び、代謝疾患では、糖尿病・腎障害・肝障害・脂質異常についての理学療法を学ぶ。
到達目標：①呼吸・循環器の解剖・生理学を理解することができる。②心疾患特有の心電図波形を説明できる。③呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法の基礎を理解できる。④呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法リスク管理が理解できる。⑤代謝異常の生理学的機序・病理を理解することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	呼吸器疾患総論
2	呼吸理学療法評価
3	呼吸理学療法（呼吸介助手技～吸引まで）
4	循環器疾患総論
5	心電図のみかた
6	循環器理学療法評価
7	循環器理学療法
8	代謝疾患総論
9	糖尿病・脂質異常患者に対する理学療法
10	心・肺・腎障害に対する理学療法

成績評価の方法・基準
筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項
・小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　】

教科書
吉尾雅春：標準理学療法学　内部障害理学療法学，医学書院

参考書
「呼吸・心臓リハビリテーション」半土社
「ハート先生の心電図教室」医学同人社
「人体の正常構造と機能　Ⅰ呼吸器」日本医事新報社
「人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器」日本医事新報社

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	理学療法治療学Ⅳ	担当者	片岡弘明	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動療法を行う上で呼吸・循環・代謝の知識は必要不可欠であり、この講義では呼吸器疾患・心疾患・代謝疾患を通して基礎的内容を理解し最新のトピックスと治療について学ぶ。呼吸器疾患では急性・慢性呼吸器疾患の概要と呼吸理学療法を学び、心疾患では心電図の見方や各疾患の特徴から見た理学療法を学び、代謝疾患では、糖尿病・腎障害・肝障害・脂質異常についての理学療法を学ぶ。
到達目標：①呼吸・循環器の解剖・生理学を理解することができる。②心疾患特有の心電図波形を説明できる。③呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法の基礎を理解できる。④呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法リスク管理が理解できる。⑤代謝異常の生理学的機序・病理を理解することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	呼吸器疾患総論
2	呼吸理学療法評価
3	呼吸理学療法
4	循環器疾患総論
5	心電図のみかた
6	循環器理学療法評価
7	循環器理学療法
8	代謝疾患総論
9	糖尿病・脂質異常患者に対する理学療法
10	心・肺・腎障害に対する理学療法
11	試験

成績評価の方法・基準
小テスト:20%　・期末試験：80%の総合判定とする
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項
・小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　】

教科書
吉尾雅春：標準理学療法学　内部障害理学療法学，医学書院

参考書
「呼吸・心臓リハビリテーション」半土社
「ハート先生の心電図教室」医学同人社
「人体の正常構造と機能　Ⅰ呼吸器」日本医事新報社
「人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器」日本医事新報社

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	理学療法治療学実習Ⅰ	担当者	山田 英司・濵岡克伺・渡辺大喜	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅰ・Ⅱ」の内容を基に、神経系疾患の機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患の障害像を理解することができる。②神経系疾患の評価項目を実施することができる。③神経系疾患の画像を理解することができる。④理学療法の実施ができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　　実習中心の内容でアクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法①
2	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法②
3	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法①
4	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法②
5	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法①
6	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法②
7	脊髄障害患者に対する理学療法①
8	脊髄障害患者に対する理学療法②
9	脊髄障害患者に対する理学療法③
10	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法①
11	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法②
12	筋委縮性側索硬化症患者に対する理学療法
13	多発性硬化症患者に対する理学療法
14	ギランバレー症候群患者に対する理学療法
15	末梢神経損傷患者に対する理学療法

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験（各疾患に対する理学療法の内容）

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し、実技の予習復習をすること。

履修上の留意事項

・KC着用　小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com　】

教科書

神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店

参考書

絵でみる脳と神経，馬場元毅，医学書院
神経診察クローズアップ，鈴木則宏，ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献

必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学実習Ⅰ	担当者	増川武利・立山暢一郎	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅰ・Ⅱ」の内容を基に、神経系疾患の機能障害を理解する。各障害に対する評価項目、画像所見を踏まえた障害像の把握をはじめ、治療・訓練内容を学ぶとともに最近のトピックスについても学ぶ。
到達目標：①神経系疾患の障害像を理解することができる。②神経系疾患の評価項目を実施することができる。③神経系疾患の画像を理解することができる。④理学療法の実施ができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　　実習中心の内容でアクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法①
2	脳障害（脳血管障害）患者に対する理学療法②
3	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法①
4	脳障害（パーキンソン氏病）患者に対する理学療法②
5	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法①
6	脳障害（脳性麻痺児）に対する理学療法②
7	脊髄障害患者に対する理学療法①
8	脊髄障害患者に対する理学療法②
9	脊髄障害患者に対する理学療法③
10	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法①
11	失調症（脊髄小脳変性症）患者に対する理学療法②
12	筋委縮性側索硬化症患者に対する理学療法
13	多発性硬化症患者に対する理学療法
14	ギランバレー症候群患者に対する理学療法
15	末梢神経損傷患者に対する理学療法
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験（各疾患に対する理学療法の内容）

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し、実技の予習復習をすること。

履修上の留意事項

・KC着用　小テストは毎時間実施する。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　masukawa@motoyama-e.com/tateyama@motoyama-e.com　】

教科書

神経障害　理学療法Ⅰ，石川朗，中山書店

参考書

絵でみる脳と神経，馬場元毅，医学書院
神経診察クローズアップ，鈴木則宏，ﾒﾃﾞｨｶﾙﾚﾋﾞｭｰ社

参考文献

必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学実習Ⅱ	担当者	村西壽祥・山下裕之	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅲ」の内容を基に、主に運動器障害理学療法の実際を学ぶ。整形外科領域における骨折と変形性関節症を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択し実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患における理学療法が実施できる。②変形性関節症の障害学を理解する。③変形性関節症の治療内容を理解する。④変形性膝関節症の治療のプログラムを作成できる。⑤変形性関節症の治療プログラムが実施できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	上肢骨折に対する理学療法
2	下肢骨折に対する理学療法
3	頚部疾患に対する理学療法
4	腰部疾患に対する理学療法
5	肩関節疾患に対する理学療法
6	肘・手関節疾患に対する理学療法
7	股関節疾患に対する理学療法
8	膝・足関節疾患に対する理学療法
9	慢性関節リウマチに対する理学療法
10	変形性股関節症①　評価・治療（プログラム立案）
11	変形性股関節症②　理学療法プログラム実施１
12	変形性股関節症③　理学療法プログラム実施２
13	変形性膝関節症①　評価・治療（プログラム立案）
14	変形性膝関節症②　理学療法プログラム実施１
15	変形性膝関節症③　理学療法プログラム実施２

成績評価の方法・基準

筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む）
小テスト

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項

小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅰ

参考書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献

講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法治療学実習Ⅱ	担当者	横山暁大・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅲ」の内容を基に、主に運動器障害理学療法の実際を学ぶ。整形外科領域における骨折と変形性関節症を例に疾患学・障害学の病態を理解し、必要な理学療法を選択し実施するための技術を養う。
到達目標：①運動器疾患における理学療法が実施できる。②変形性関節症の障害学を理解する。③変形性関節症の治療内容を理解する。④変形性膝関節症の治療のプログラムを作成できる。⑤変形性関節症の治療プログラムが実施できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	上肢骨折に対する理学療法
2	下肢骨折に対する理学療法
3	頚部疾患に対する理学療法
4	腰部疾患に対する理学療法
5	肩関節疾患に対する理学療法
6	肘・手関節疾患に対する理学療法
7	股関節疾患に対する理学療法
8	膝・足関節疾患に対する理学療法
9	慢性関節リウマチに対する理学療法
10	変形性股関節症①　評価・治療（プログラム立案）
11	変形性股関節症②　理学療法プログラム実施１
12	変形性股関節症③　理学療法プログラム実施２
13	変形性膝関節症①　評価・治療（プログラム立案）
14	変形性膝関節症②　理学療法プログラム実施１
15	変形性膝関節症③　理学療法プログラム実施２
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。定期試験：80%　小テスト：20%

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む）
小テスト　（再試験は筆記試験のみで判定する）

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書を熟読し予習復習をすること。

履修上の留意事項

小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅰ

参考書

15レクチャーシリーズ　理学療法テキスト
運動器障害理学療法治療学Ⅱ

参考文献

講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法治療学実習Ⅲ			担当者	鈴木啓子・片岡弘明			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅳ」の講義を基に、呼吸器・心疾患・代謝疾患を通して基礎的内容を理解し最新のトピックスと治療について学ぶ。呼吸器疾患では呼吸管理と呼吸理学療法を学び、心疾患では心電図のみかたや各疾患の特徴からみた理学療法を学び、代謝疾患では、糖尿病・腎障害・肝障害・脂質異常についての理学療法の実際を学ぶ。
到達目標：①呼吸・循環器障害の運動療法ができる。②心疾患特有の心電図波形を説明できる。③呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法の基礎を理解できる。④呼吸器疾患患者・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法リスク管理が理解できる。⑤呼吸・循環・代謝異常の生理学的機序・病理を理解することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	呼吸機能の評価　（スパイロメトリー）
2	フィジカルアセスメント（視診・触診・打診・聴診）
3	呼吸理学療法①（呼吸介助手技１）
4	呼吸理学療法②（呼吸介助手技２）
5	喀痰等の吸引に関する管理実践
6	慢性閉塞性肺疾患（COPD）
7	急性期肺疾患（ARDS　外科手術後）
8	心電図のみかた
9	身体所見のとり方①（運動負荷試験１）
10	身体所見のとり方②（運動負荷試験２）
11	虚血性心疾患患者の理学療法
12	心不全患者の理学療法
13	糖尿病患者の理学療法
14	腎臓・肝臓障害患者の理学療法
15	脂質異常（高血圧・肥満症・メタボリックシンドローム）患者の理学療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験(80%)小テスト(20%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む） 小テスト
授業時間外学修（予習・復習等） 教科書を熟読し予習復習をすること。	履修上の留意事項 小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 suzuki@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
吉尾雅春：標準理学療法学　内部障害理学療法学,医学書院	「呼吸・心臓リハビリテーション」羊土社 「ハート先生の心電図教室」医学同人社 「人体の正常構造と機能　Ⅰ呼吸器」日本医事新報社 「人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器」日本医事新報社

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	理学療法治療学実習Ⅲ			担当者	横山暁大・鈴木啓子			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「理学療法治療学Ⅳ」の講義を基に、呼吸器・心疾患・代謝疾患を通して基礎的内容を理解し最新のトピックスと治療について学ぶ。呼吸器疾患では呼吸管理と呼吸理学療法を学び、心疾患では心電図のみかたや各疾患の特徴からみた理学療法を学び、代謝疾患では、糖尿病・腎障害・肝障害・脂質異常についての理学療法の実際を学ぶ。
到達目標：①呼吸・循環器障害の運動療法ができる。②心疾患特有の心電図波形を説明できる。③呼吸・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法の基礎を理解できる。④呼吸器疾患患者・循環器障害患者・代謝異常患者の運動療法リスク管理が理解できる。⑤呼吸・循環・代謝異常の生理学的機序・病理を理解することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	呼吸機能の評価　（スパイロメトリー）
2	フィジカルアセスメント（視診・触診・打診・聴診）
3	呼吸理学療法①（呼吸介助手技１）
4	呼吸理学療法②（呼吸介助手技２）
5	吸引
6	慢性閉塞性肺疾患（COPD）
7	急性期肺疾患（ARDS　外科手術後）
8	心電図のみかた
9	身体所見のとり方①（運動負荷試験１）
10	身体所見のとり方②（運動負荷試験２）
11	虚血性心疾患患者の理学療法
12	心不全患者の理学療法
13	糖尿病患者の理学療法
14	腎臓・肝臓障害患者の理学療法
15	脂質異常（高血圧・肥満症・メタボリックシンドローム）患者の理学療法
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。定期試験：80%　小テスト：20%	筆記試験（理学療法プログラムの内容も含む） 小テスト　（再試験は筆記試験のみで判定する）
授業時間外学修（予習・復習等） 教科書を熟読し予習復習をすること。	履修上の留意事項 小テストは授業終了時に行う。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
吉尾雅春：標準理学療法学　内部障害理学療法学,医学書院	「呼吸・心臓リハビリテーション」羊土社 「ハート先生の心電図教室」医学同人社 「人体の正常構造と機能　Ⅰ呼吸器」日本医事新報社 「人体の正常構造と機能　Ⅱ循環器」日本医事新報社

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	老年期障害理学療法学			担当者	濵岡克伺			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習、就職での対象者が高齢者となる可能性が高いなかで、複数の病気を持った高齢者や虚弱な老年者など、老年期における理学療法の理解を深める。また、高齢者に対するレクリエーションセラピーについて学ぶ。
到達目標：①レクリエーションセラピーの理論を理解できる。②加齢による身体変化を理解できる。③高齢者に多い問題を理解できる。④在宅におけるリハビリテーションを理解できる。⑤リハビリテーションにおけるリスク管理が理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（加齢と疾患・老人の尊厳とその接し方）
2	レクリエーションセラピー
3	加齢による身体変化①（廃用・誤用・過用症候群）
4	加齢による身体変化②（高次脳機能障害・認知症）
5	高齢者に多い問題への対応（尿路感染・嚥下障害等）
6	脳血管障害のリハビリテーション
7	高齢者の運動器疾患に対するリハビリテーション
8	リハビリテーションに伴うリスク管理
9	高齢者総合機能評価
10	症例基盤学習

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等） 教科書を熟読し、予習復習をすること。	履修上の留意事項 特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
高齢者リハビリテーション実践マニュアル	・レクリエーション社会参加を促す治療的レクリエーション ・老人のリハビリテーション ・標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野老年学第4版

参考文献　講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	老年期障害理学療法学			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習、就職での対象者が高齢者となる可能性が高いなかで、複数の病気を持った高齢者や虚弱な老年者など、老年期における理学療法の理解を深める。また、高齢者に対するレクリエーションセラピーについて学ぶ。
到達目標：①レクリエーションセラピーの理論を理解できる。②加齢による身体変化を理解できる。③高齢者に多い問題を理解できる。④在宅におけるリハビリテーションを理解できる。⑤リハビリテーションにおけるリスク管理が理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（加齢と疾患・老人の尊厳とその接し方）
2	レクリエーションセラピー
3	加齢による身体変化①（廃用・誤用・過用症候群）
4	加齢による身体変化②（高次脳機能障害・認知症）
5	高齢者に多い問題への対応（尿路感染・嚥下障害等）
6	脳血管障害のリハビリテーション
7	高齢者の運動器疾患に対するリハビリテーション
8	リハビリテーションに伴うリスク管理
9	高齢者総合機能評価
10	症例基盤学習
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等） 教科書を熟読し、予習復習をすること。	履修上の留意事項 特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
高齢者リハビリテーション実践マニュアル	・レクリエーション社会参加を促す治療的レクリエーション ・老人のリハビリテーション ・標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野老年学第4版

参考文献　講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法演習Ⅰ	担当者	鈴木啓子・山下裕之	必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：疾病から障害を捉え、特に医療現場にて遭遇する多様な患者に対して、患者に適した理学療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し理学療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。

【授業の方法】

1クラス40名講義　　アクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	臨床推考1)症候から原因を探る　機能障害の推論（仮説を立てる）	
2	症例① 1)疾患調べ・情報収集・評価項目列挙を列挙する（優先順位）	レポート作成
3	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
4	3)統合解釈	レポート作成
5	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
6	5)プログラム作成	レポート作成
7	6)再評価	レポート作成
8	臨床推考2)症候から原因を探る　機能障害の推論（仮説を立てる）	
9	症例② 1)疾患調べ・情報収集・評価項目列挙を列挙する（優先順位）	レポート作成
10	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
11	3)統合解釈	レポート作成
12	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
13	5)プログラム作成	レポート作成
14	6)再評価	レポート作成
15	まとめ	

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 suzuki@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
症例に関わる教科書全て	その都度提示する。

参考文献　必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法演習Ⅰ	担当者	立山暢一郎・鈴木啓子	必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：疾病から障害を捉え、特に医療現場にて遭遇する多様な患者に対して、患者に適した理学療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し理学療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。

【授業の方法】

1クラス40名講義　　アクティブラーニングの手法をとる。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	臨床推考1)症候から原因を探る　機能障害の推論（仮説を立てる）	
2	症例① 1)疾患調べ・情報収集・評価項目列挙を列挙する（優先順位）	レポート作成
3	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
4	3)統合解釈	レポート作成
5	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
6	5)プログラム作成	レポート作成
7	6)再評価	レポート作成
8	臨床推考2)症候から原因を探る　機能障害の推論（仮説を立てる）	
9	症例② 1)疾患調べ・情報収集・評価項目列挙を列挙する（優先順位）	レポート作成
10	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
11	3)統合解釈	レポート作成
12	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
13	5)プログラム作成	レポート作成
14	6)再評価	レポート作成
15	まとめ	
16	試験	

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポートおよび課題 再試験はレポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 tateyama@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
症例に関わる教科書全て	その都度提示する。

参考文献　必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	理学療法演習Ⅱ	担当者	村西嘉祥・増川武利	必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床場面で遭遇する多様な対象者に対して、環境と社会的背景に目を向けることで、理学療法士として支援を行うための知識・技術の統合を図る。演習を通じ事例やペーパーペイシェントを活用し退院指導の方法から地域社会へのはたらきかけまでの基本的な思考能力を鍛える。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	臨床推考1)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
2	症例① 1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
3	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
4	3)統合解釈	レポート作成
5	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
6	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
7	6)再評価	レポート作成
8	臨床推考2)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
9	症例② 1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
10	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
11	3)統合解釈	レポート作成
12	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
13	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
14	6)再評価	レポート作成
15	まとめ	

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
症例に関わる教科書全て	その都度提示する。

参考文献　必要に応じて講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	理学療法演習Ⅱ	担当者	増川武利・那須宣宏	必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床場面で遭遇する多様な対象者に対して、環境と社会的背景に目を向けることで、理学療法士として支援を行うための知識・技術の統合を図る。演習を通じ事例やペーパーペイシェントを活用し退院指導の方法から地域社会へのはたらきかけまでの基本的な思考能力を鍛える。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	臨床推考1)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
2	症例① 1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
3	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
4	3)統合解釈	レポート作成
5	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
6	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
7	6)再評価	レポート作成
8	臨床推考2)環境と社会的背景から支援方法を探る　社会的背景の推論	
9	症例② 1)社会的背景（行政サービス・介護保険等）	レポート作成
10	2)各評価結果からアセスメント・問題点抽出	レポート作成
11	3)統合解釈	レポート作成
12	4)社会的背景を考慮したゴール設定を立案する	レポート作成
13	5)介入方法戦略（地域社会への働きかけ）	レポート作成
14	6)再評価	レポート作成
15	まとめ	
16	試験	

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポートおよび課題 再試験はレポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
症例に関わる教科書全て	その都度提示する。

参考文献　必要に応じて講義担当者が配布する。

（新）

科目名	日常生活活動学			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人々の日常生活を医療・福祉の観点から理論的にとらえ対象者のアプローチを行うための基礎的能力を養う。ADLの概念を理解し、ADLの評価手法、福祉用具の構造、種類、処方についての理解を深める。そして、疾患・障害によって異なるADL障害の特徴を知り、日常生活動作の自立および介助量の軽減に向けた指導、訓練方法を学ぶ。また、在宅や施設で生活する高齢者・障害者の生活を支援するために住環境整備に関する知識と関連づけ自立的な生活にあたって必要な福祉機器について、その種類、適応について学習する。
到達目標：①日常生活活動(ADL)の概念および評価方法について説明できる。②福祉用具をあげて、その適応・使用法・指導法について説明できる。③疾患・障害によって異なるADL障害の特徴およびその訓練方法および指導方法について説明できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/日常生活活動と障害者
2	日常生活活動の概念と意義について(ADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)
3	生活関連活動の概念とその範囲と介入例(IADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)
4	日常生活活動および生活関連動作の評価方法(FIM,BI,その他)
5	日常生活活動および生活関連動作の評価の実践(模擬症例におけるFIMの実践)
6	福祉用具（車椅子・杖）の分類と操作、適応について①
7	福祉用具（自助具・在宅生活における支援機器）の分類と操作、適応について②
8	福祉用具（在宅生活における支援機器・コミュニケーション機器）の分類と操作、適応について③
9	疾患・障害別日常生活活動訓練①（運動器疾患：障害の概要・評価のポイント）
10	疾患・障害別日常生活活動訓練②（神経系疾患：障害の概要・評価のポイント）

成績評価の方法・基準

筆記試験(90%)、課題(10%)で総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL（PT・OTビジュアルテキスト）(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布

（旧）

科目名	日常生活活動学			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人々の日常生活を医療・福祉の観点から理論的にとらえ対象者のアプローチを行うための基礎的能力を養う。ADLの概念を理解し、ADLの評価手法、福祉用具の構造、種類、処方についての理解を深める。そして、疾患・障害によって異なるADL障害の特徴を知り、日常生活動作の自立および介助量の軽減に向けた指導、訓練方法を学ぶ。また、在宅や施設で生活する高齢者・障害者の生活を支援するために住環境整備に関する知識と関連づけ自立的な生活にあたって必要な福祉機器について、その種類、適応について学習する。
到達目標：①日常生活活動(ADL)の概念および評価方法について説明できる。②福祉用具をあげて、その適応・使用法・指導法について説明できる。③疾患・障害によって異なるADL障害の特徴およびその訓練方法および指導方法について説明できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/日常生活活動と障害者
2	日常生活活動の概念と意義について(ADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)
3	生活関連活動の概念とその範囲と介入例(IADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)
4	日常生活活動および生活関連動作の評価方法(FIM,BI,その他)
5	日常生活活動および生活関連動作の評価の実践(模擬症例におけるFIMの実践)
6	福祉用具（車椅子・杖）の分類と操作、適応について①
7	福祉用具（自助具・在宅生活における支援機器）の分類と操作、適応について②
8	福祉用具（在宅生活における支援機器・コミュニケーション機器）の分類と操作、適応について③
9	疾患・障害別日常生活活動訓練①（運動器疾患：障害の概要・評価のポイント）
10	疾患・障害別日常生活活動訓練②（神経系疾患：障害の概要・評価のポイント）
11	試験

成績評価の方法・基準

筆記試験、課題で判定する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験（90%）　課題（10%）

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL（PT・OTビジュアルテキスト）(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布

（新）

科目名	日常生活活動学実習			担当者	横山暁大・片岡弘明			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：　対象者における日常生活動作の自立および介助量を軽減するための具体的な支援技術と方法について実践を通して学ぶ。対象者の多様なニーズや個人因子・環境因子などの背景を考慮した支援技術を身につける。対象者に合わせた介助法、自助具・福祉用具の適応方法、動作指導に必要な技能を身につける。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	日常生活活動総論
2	寝返り・起き上がり介助法
3	坐位（静的・静的アライメントの調整法）
4	立ち上がり介助法
5	立位（静的・動的アライメントの調整法）
6	移乗・移動介助法①
7	移乗・移動介助法②
8	歩行介助法①
9	歩行介助法②
10	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）
11	車椅子駆動①
12	車椅子駆動②
13	福祉用具①（歩行補助具：杖・歩行器等）
14	福祉用具②（自助具・在宅生活支援機器）
15	福祉用具③（在宅生活支援機器・コミュニケーション機器）

成績評価の方法・基準

講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）実技試験（50%）

試験の方法

課題　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com　】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL（PT・OTビジュアルテキスト）(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布

（旧）

科目名	日常生活活動学実習			担当者	那須宣宏・山田英司			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：　対象者における日常生活動作の自立および介助量を軽減するための具体的な支援技術と方法について実践を通して学ぶ。対象者の多様なニーズや個人因子・環境因子などの背景を考慮した支援技術を身につける。対象者に合わせた介助法、自助具・福祉用具の適応方法、動作指導に必要な技能を身につける。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	日常生活活動総論
2	寝返り・起き上がり介助法
3	坐位（静的・静的アライメントの調整法）
4	立ち上がり介助法
5	立位（静的・動的アライメントの調整法）
6	移乗・移動介助法①
7	移乗・移動介助法②
8	歩行介助法①
9	歩行介助法②
10	応用歩行介助法（階段昇降・屋外歩行）
11	車椅子駆動①
12	車椅子駆動②
13	福祉用具①（歩行補助具：杖・歩行器等）
14	福祉用具②（自助具・在宅生活支援機器）
15	福祉用具③（在宅生活支援機器・コミュニケーション機器）
16	試験

成績評価の方法・基準

講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）実技試験（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）

課題および実技試験
再試験は実技試験のみで判定

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL（PT・OTビジュアルテキスト）(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布

（新）

科目名	生涯スポーツ実習			担当者	村西壽祥　他5名		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域と協力しながらスポーツ障害予防の指導を行う。学内の講義を基礎として、スポーツ障害予防のプログラムを立案し実行することにより、幅広い知識と指導力を錬磨する。
到達目標：①スポーツ障害予防プログラムを立案できる。②スポーツ障害予防プログラムを実行できる。③スポーツ障害プログラムを指導できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーションと学校体育・地域スポーツにおける傷害(外傷＋障害)の予防法
2	学校体育・地域スポーツにおける種目別スポーツ外傷・障害の予防法①（捻挫、肉離れ等）
3	学校体育・地域スポーツにおける種目別スポーツ外傷・障害の予防法②（オスグット病等）
4	学校体育・地域スポーツにおける内科的疾患の予防法①（貧血、喘息等）
5	学校体育・地域スポーツにおける内科的疾患の予防法②（肥満と糖尿病）
6	コンディショニングの理論と手法①　（ストレッチ、テーピング）
7	コンディショニングの理論と手法②　（アイシング、スポーツマッサージ）
8	特殊環境下でのコンディショニング（暑熱対策、寒冷対策、高地対策等）
9	スポーツ障害予防のためのトレーニング法基礎①（スタティック、ダイナミック、バリスティック）
10	スポーツ障害予防のためのトレーニング法応用②（スタティック、ダイナミック、バリスティック）
11	スポーツ障害予防のためのトレーニング法基礎③（アイソメトリック）
12	スポーツ障害予防のためのトレーニング法応用④（コンセントリック、エキセントリック）
13	止血法の確認
14	心肺蘇生法とAEDの使用法
15	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験（60%）小テスト（40%）で総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験　小テスト
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
事前準備 資料の作成に係る準備を自主的に行うこと。	指導者と事前打ち合わせを行うこと。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
担当者が配布する資料 必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　科目担当者が配布する。

（旧）

科目名	生涯スポーツ実習			担当者	増川武利　他4名		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域と協力しながらスポーツ障害予防の指導を行う。学内の講義を基礎として、スポーツ障害予防のプログラムを立案し実行することにより、幅広い知識と指導力を錬磨する。
到達目標：①スポーツ障害予防プログラムを立案できる。②スポーツ障害予防プログラムを実行できる。③スポーツ障害プログラムを指導できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーションと学校体育・地域スポーツにおける傷害(外傷＋障害)の予防法
2	学校体育・地域スポーツにおける種目別スポーツ外傷・障害の予防法①（捻挫、肉離れ等）
3	学校体育・地域スポーツにおける種目別スポーツ外傷・障害の予防法②（オスグット病等）
4	学校体育・地域スポーツにおける内科的疾患の予防法①（貧血、喘息等）
5	学校体育・地域スポーツにおける内科的疾患の予防法②（肥満と糖尿病）
6	コンディショニングの理論と手法①　（ストレッチ、テーピング）
7	コンディショニングの理論と手法②　（アイシング、スポーツマッサージ）
8	特殊環境下でのコンディショニング（暑熱対策、寒冷対策、高地対策等）
9	スポーツ障害予防のためのトレーニング法基礎①（スタティック、ダイナミック、バリスティック）
10	スポーツ障害予防のためのトレーニング法応用②（スタティック、ダイナミック、バリスティック）
11	スポーツ障害予防のためのトレーニング法基礎③（アイソメトリック）
12	スポーツ障害予防のためのトレーニング法応用④（コンセントリック、エキセントリック）
13	止血法の確認
14	心肺蘇生法とAEDの使用法
15	授業の総括
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験（60%）小テスト（40%）	再試験は筆記試験（100%）で計算する。 （試験内容は実技の内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
事前準備 資料の作成に係る準備を自主的に行うこと。	指導者と事前打ち合わせを行うこと。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
担当者が配布する資料 必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　科目担当者が配布する。

（新）

科目名	スポーツ理学療法特論			担当者	山下裕之・鈴木啓子		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：生涯スポーツへの理学療法士の関わりやロコモティブシンドロームなど介護予防の観点からスポーツの有用性を熟考しながら、理学療法の関連について学ぶ。また、基礎的なスポーツ理学療法を通して、プログラム立案から実施までを実習形式にて学ぶ。さらに、スポーツトレーニングの基礎を体験・経験し、スポーツに興味を持ち、また理学療法士がスポーツにどのように関わるかを学ぶ。
到達目標：①健康と日常運動とスポーツの関連性を理解できる。②スポーツ障害の基礎を理解できる。③スポーツ理学療法のプログラムを立案できる。④基礎的なスポーツ理学療法が実施できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	生涯スポーツとスポーツ文化の歴史
2	食とスポーツの関わり
3	老化とスポーツ（介護予防との関わり）
4	ロコモティブシンドロームとスポーツ理学療法
5	運動指導計画とトレーニング論
6	スポーツ障害概論（ケガについて&一般的評価（タイトネス・FMS）
7	準備運動（WP/CD）一般的評価
8	体幹トレーニング1（マット&ボールエクササイズ）
9	コーディネーショントレーニング1（ラディアン含む）
10	筋力トレーニング
11	持久力トレーニング
12	アジリティトレーニング1(カッティング・ドリル・ミラー)
13	アジリティトレーニング2（ラダー・リング）
14	競技別トレーニング1（班別企画）
15	競技別トレーニング2（実践）

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポート　課題（実技に関する内容）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
配布資料を熟読し、予習復習をすること。	レポート課題の取り組み方、授業態度を評価する。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
新スポーツ外傷・障害とリハビリテーション　ナップ 配布資料	スポーツ障害のリハビリテーション　金原出版

参考文献　講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	スポーツ理学療法特論			担当者	立山暢一郎・鈴木啓子		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：生涯スポーツへの理学療法士の関わりやロコモティブシンドロームなど介護予防の観点からスポーツの有用性を熟考しながら、理学療法の関連について学ぶ。また、基礎的なスポーツ理学療法を通して、プログラム立案から実施までを実習形式にて学ぶ。さらに、スポーツトレーニングの基礎を体験・経験し、スポーツに興味を持ち、また理学療法士がスポーツにどのように関わるかを学ぶ。
到達目標：①健康と日常運動とスポーツの関連性を理解できる。②スポーツ障害の基礎を理解できる。③スポーツ理学療法のプログラムを立案できる。④基礎的なスポーツ理学療法が実施できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	生涯スポーツとスポーツ文化の歴史
2	食とスポーツの関わり
3	老化とスポーツ（介護予防との関わり）
4	ロコモティブシンドロームとスポーツ理学療法
5	運動指導計画とトレーニング論
6	スポーツ障害概論（ケガについて&一般的評価（タイトネス・FMS）
7	準備運動（WP/CD）一般的評価
8	体幹トレーニング1（マット&ボールエクササイズ）
9	コーディネーショントレーニング1（ラディアン含む）
10	筋力トレーニング
11	持久力トレーニング
12	アジリティトレーニング1(カッティング・ドリル・ミラー)
13	アジリティトレーニング2（ラダー・リング）
14	競技別トレーニング1（班別企画）
15	競技別トレーニング2（実践）
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）	レポートおよび課題（実技に関する内容） 再試験はレポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
配布資料を熟読し、予習復習をすること。	レポート課題の取り組み方、授業態度を評価する。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【tateyama@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
新スポーツ外傷・障害とリハビリテーション　ナップ 配布資料	スポーツ障害のリハビリテーション　金原出版

参考文献　講義担当者が配布する。

（新）

科目名	応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	担当者	横山暁大・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：この講義では、関節運動学を主に学ぶ。関節内運動の治療を中心に関節に対しての治療手技を実習において学ぶ。関節内運動を考慮した治療を行うには、高度な技術と知識が必要であるため、この講義では、各関節の関節内運動を理解し、関節内運動を実際に使用して治療できることを目標とする。この単元では、触診から上肢下肢～体幹の関節をターゲットとする。

【授業の方法】
1クラス40名で行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節運動学とは
2	触診技術１
3	触診技術２
4	中手指節関節・指節間関節・大菱形中手骨関節
5	橈骨手根関節・手根骨間関節
6	上橈尺関節・下橈尺関節
7	肩甲上腕関節
8	肩鎖関節・胸鎖関節
9	脛骨大腿関節・距腿関節
10	足部の関節・足根中足関節・中足指節関節
11	股関節
12	体幹の関節内運動
13	肋横突関節・肋椎関節
14	胸椎・頸椎
15	腰椎

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（100%）で判定する。	実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
SJF関節ファシリテーション　丸善出版	AKA　関節運動学的アプローチ

参考文献　関節運動学の成書は数多くあり、その都度紹介する。

（旧）

科目名	上級治療実習Ⅰ（徒手療法）	担当者	横山暁大・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：この講義では、関節運動学を主に学ぶ。関節内運動の治療を中心に関節に対しての治療手技を実習において学ぶ。関節内運動を考慮した治療を行うには、高度な技術と知識が必要であるため、この講義では、各関節の関節内運動を理解し、関節内運動を実際に使用して治療できることを目標とする。この単元では、触診から上肢下肢～体幹の関節をターゲットとする。

【授業の方法】
1クラス40名で行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節運動学とは
2	触診技術１
3	触診技術２
4	中手指節関節・指節間関節・大菱形中手骨関節
5	橈骨手根関節・手根骨間関節
6	上橈尺関節・下橈尺関節
7	肩甲上腕関節
8	肩鎖関節・胸鎖関節
9	脛骨大腿関節・距腿関節
10	足部の関節・足根中足関節・中足指節関節
11	股関節
12	体幹の関節内運動
13	肋横突関節・肋椎関節
14	胸椎・頸椎
15	腰椎
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
実技試験（100%）で判定する。	実技試験・再試験も実技試験とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
SJF関節ファシリテーション　丸善出版	AKA　関節運動学的アプローチ

参考文献　関節運動学の成書は数多くあり、その都度紹介する。

（新）

科目名	応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	担当者	吉田直樹	必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：工学技術をリハビリテーション分野に応用した、治療やトレーニング、生活支援、介護支援に関するシステム・装置などについて学習する。具体的には、リハビリテーションロボット、介護ロボット、入力・操作補助装置、コミュニケーション補助装置、移動・移乗支援機器、ICTを利用した支援システム、機能的電気刺激などを理解し応用することができる。

【授業の方法】
1クラス40名で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	治療・訓練場面におけるリハビリテーション工学の活用例
3	工学機器の活用方法1（ロボット）
4	工学機器の活用方法2（ロボット）
5	工学機器の活用方法3（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
6	工学機器の活用方法4（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
7	工学機器の活用方法5（移動・移乗支援機器）
8	工学機器の活用方法6（移動・移乗支援機器）
9	工学機器の活用方法7（移動・移乗支援機器）
10	工学機器の活用方法8（ICTを利用した支援システム）
11	工学機器の活用方法9（ICTを利用した支援システム）
12	工学機器の活用方法10（機能的電気刺激）
13	工学機器の活用方法11（機能的電気刺激）
14	工学機器の活用方法12（その他）
15	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)	レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
配布資料あり	特に指定なし

参考文献　リハビリテーション工学と福祉機器（リハビリテーションMOOK）

（旧）

科目名	上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	担当者	吉田直樹	必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：工学技術をリハビリテーション分野に応用した、治療やトレーニング、生活支援、介護支援に関するシステム・装置などについて学習する。具体的には、リハビリテーションロボット、介護ロボット、入力・操作補助装置、コミュニケーション補助装置、移動・移乗支援機器、ICTを利用した支援システム、機能的電気刺激などを理解し応用することができる。

【授業の方法】
1クラス40名で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	治療・訓練場面におけるリハビリテーション工学の活用例
3	工学機器の活用方法1（ロボット）
4	工学機器の活用方法2（ロボット）
5	工学機器の活用方法3（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
6	工学機器の活用方法4（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
7	工学機器の活用方法5（移動・移乗支援機器）
8	工学機器の活用方法6（移動・移乗支援機器）
9	工学機器の活用方法7（移動・移乗支援機器）
10	工学機器の活用方法8（ICTを利用した支援システム）
11	工学機器の活用方法9（ICTを利用した支援システム）
12	工学機器の活用方法10（機能的電気刺激）
13	工学機器の活用方法11（機能的電気刺激）
14	工学機器の活用方法12（その他）
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)	レポートおよび課題 再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
配布資料あり	特に指定なし

参考文献　リハビリテーション工学と福祉機器（リハビリテーションMOOK）

（新）

科目名	応用臨床技術実習Ⅲ（セルフコンディショニング）			担当者	山下裕之・鈴木啓子		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：セルフコンディショニングや予防的観点から有用な運動指導方法について学習する。運動学習理論に基づくトレーニングやストレッチング、姿勢を整えるためのボディワークを実習を通して実際に行い、身体への気づきを通して身体感覚を高め、自己調整力やストレス対処能力の向上を図ることを目的とする。身体の動きに対する知識を深めるとともに、運動プログラム指導を立案し実習することで、臨床の場で活用できる高度な指導技術の習得を目指す。
到達目標：①運動学習理論に基づくトレーニングを立案できる。②運動学習理論に基づくトレーニングを行うことができる。③運動学習理論に基づくトレーニングを指導できる。

【授業の方法】
1クラス40名で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	身体感覚を高めるボディワーク①
2	身体感覚を高めるボディワーク②
3	身体感覚を高めるボディワーク③
4	姿勢改善のためのボディワーク①
5	姿勢改善のためのボディワーク②
6	姿勢改善のためのボディワーク③
7	運動制御のためのボディワーク①
8	運動制御のためのボディワーク②
9	運動制御のためのボディワーク③
10	リラクゼーションのためのボディワーク①
11	リラクゼーションのためのボディワーク②
12	リラクゼーションのためのボディワーク③
13	運動プログラム指導の立案①
14	運動プログラム指導の立案②
15	運動プログラム指導の実践③

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（指導技術点）:50%、筆記試験：50%	実技試験　筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
機能解剖に関する知識の復習	動きやすい服装で臨むこと

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　suzuki@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
オリジナル教科書にて行う。配布資料あり。	講義内で紹介する。

参考文献
講義内で紹介する。

（旧）

科目名	上級治療実習Ⅲ（セルフコンディショニング）			担当者	立山暢一郎・鈴木啓子		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：セルフコンディショニングや予防的観点から有用な運動指導方法について学習する。運動学習理論に基づくトレーニングやストレッチング、姿勢を整えるためのボディワークを実習を通して実際に行い、身体への気づきを通して身体感覚を高め、自己調整力やストレス対処能力の向上を図ることを目的とする。身体の動きに対する知識を深めるとともに、運動プログラム指導を立案し実習することで、臨床の場で活用できる高度な指導技術の習得を目指す。
到達目標：①運動学習理論に基づくトレーニングを立案できる。②運動学習理論に基づくトレーニングを行うことができる。③運動学習理論に基づくトレーニングを指導できる。

【授業の方法】
1クラス40名で行う。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	身体感覚を高めるボディワーク①
2	身体感覚を高めるボディワーク②
3	身体感覚を高めるボディワーク③
4	姿勢改善のためのボディワーク①
5	姿勢改善のためのボディワーク②
6	姿勢改善のためのボディワーク③
7	運動制御のためのボディワーク①
8	運動制御のためのボディワーク②
9	運動制御のためのボディワーク③
10	リラクゼーションのためのボディワーク①
11	リラクゼーションのためのボディワーク②
12	リラクゼーションのためのボディワーク③
13	運動プログラム指導の立案①
14	運動プログラム指導の立案②
15	運動プログラム指導の実践③
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
実技試験（指導技術点）:50%、筆記試験：50%	再試験は実技試験、筆記試験とする。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
機能解剖に関する知識の復習	動きやすい服装で臨むこと

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　tateyama@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
オリジナル教科書にて行う。配布資料あり。	講義内で紹介する。

参考文献
講義内で紹介する。

（新）

科目名	生活環境学			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域リハビリテーションに基づき、地域・家庭に暮らす高齢者や障害者の生活環境を理解する。限られた環境の中で、QOLやADLの低下をもたらす環境の障壁について学習をすすめ、住環境整備の評価、改善案の実践や指導が行えるように知識を身に付ける。
到達目標：①障害者、高齢者を取り囲む生活環境の障壁(バリアー)を理解し説明できる。②QOLの向上を目指した生活環境整備の基本的知識、基本的支援技術を理解し、説明できる。③障害者・高齢者のための居住環境調整案（住宅改修案）を作成し、生活支援ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	総論：日常生活活動（ADL）の概念
2	ADL評価：評価とは（評価の目的・尺度・ポイント・意義）
3	代表的な評価法（BI・FIM、その他の評価）
4	補装具（移動補助具を中心）
5	総論：起居・移動動作
6	ADLを支援する機器
7	学内環境調査、自宅環境調査
8	生活環境の変遷、高齢者と障害者の生活
9	住環境整備
10	住宅チェックポイント
11	身体的因子、環境因子
12	住環境の評価、改善の実践について
13	内的因子、外的因子
14	疾患各論
15	車椅子実習

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト シンプル理学療法シリーズ　日常生活活動テキスト 改定第2版	地域理学療法学（PT・OTビジュアルテキスト）新版　日常生活滑動（ADL）－評価と支援の実際－ ・姿勢と動作(ADLその基礎から応用)第3版 ・PT・OTビジュアルテキストADL　第1版

参考文献　講義担当者が必要に応じて配布する.

（旧）

科目名	生活環境学			担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域リハビリテーションに基づき、地域・家庭に暮らす高齢者や障害者の生活環境を理解する。限られた環境の中で、QOLやADLの低下をもたらす環境の障壁について学習をすすめ、住環境整備の評価、改善案の実践や指導が行えるように知識を身に付ける。
到達目標：①障害者、高齢者を取り囲む生活環境の障壁(バリアー)を理解し説明できる。②QOLの向上を目指した生活環境整備の基本的知識、基本的支援技術を理解し、説明できる。③障害者・高齢者のための居住環境調整案（住宅改修案）を作成し、生活支援ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	総論：日常生活活動（ADL）の概念
2	ADL評価：評価とは（評価の目的・尺度・ポイント・意義）
3	代表的な評価法（BI・FIM、その他の評価）
4	補装具（移動補助具を中心）
5	総論：起居・移動動作
6	ADLを支援する機器
7	学内環境調査、自宅環境調査
8	生活環境の変遷、高齢者と障害者の生活
9	住環境整備
10	住宅チェックポイント
11	身体的因子、環境因子
12	住環境の評価、改善の実践について
13	内的因子、外的因子
14	疾患各論
15	車椅子実習
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト シンプル理学療法シリーズ　日常生活活動テキスト 改定第2版	地域理学療法学（PT・OTビジュアルテキスト）新版　日常生活滑動（ADL）－評価と支援の実際－ ・姿勢と動作(ADLその基礎から応用)第3版 ・PT・OTビジュアルテキストADL　第1版

参考文献　講義担当者が必要に応じて配布する.

（新）

科目名	地域理学療法学		担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年 3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域包括ケアシステムの構築において理学療法士に期待される役割を担うためには、介護予防や地域ケア会議といった場所に参画していくことが重要となる。その中で、個をみるだけでなく、地域全体を見ることが求められ、その現場から得たことを事業化、施策化、そして政策化につなげるための、基礎的知識を身につける。
到達目標：①地域包括ケアシステムを説明できる。②リハビリテーション専門職の役割を説明できる。③介護予防の取り組みを理解できる。④理学療法士・作業療法士の役割・機能を説明できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	地域包括ケアシステムとは
2	介護予防とは
3	リハビリテーション専門職の役割
4	実践事例
5	住民主体の介護予防への取り組み
6	地域の力～地域資源について～
7	リハビリテーション専門職に期待したいこと
8	ヘルスプロモーションとICF
9	多職種連携
10	理学療法士・作業療法士の役割・機能

成績評価の方法・基準
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
配布資料を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
地域包括ケアにおけるPT,OTの役割　文光堂

参考書
地域リハビリテーション学テキスト　南江堂

参考文献
講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	地域理学療法学		担当者	小島一範			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年 3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域包括ケアシステムの構築において理学療法士に期待される役割を担うためには、介護予防や地域ケア会議といった場所に参画していくことが重要となる。その中で、個をみるだけでなく、地域全体を見ることが求められ、その現場から得たことを事業化、施策化、そして政策化につなげるための、基礎的知識を身につける。
到達目標：①地域包括ケアシステムを説明できる。②リハビリテーション専門職の役割を説明できる。③介護予防の取り組みを理解できる。④理学療法士・作業療法士の役割・機能を説明できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	地域包括ケアシステムとは
2	介護予防とは
3	リハビリテーション専門職の役割
4	実践事例
5	住民主体の介護予防への取り組み
6	地域の力～地域資源について～
7	リハビリテーション専門職に期待したいこと
8	ヘルスプロモーションとICF
9	多職種連携
10	理学療法士・作業療法士の役割・機能
11	試験

成績評価の方法・基準
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
配布資料を熟読し、予習復習をすること。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
地域包括ケアにおけるPT,OTの役割　文光堂

参考書
地域リハビリテーション学テキスト　南江堂

参考文献
講義担当者が配布する。

（新）

科目名	予防理学療法学		担当者	濵岡克伺			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年 3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：現在、本邦の高齢化が問題となってきており、高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。近年、運動習慣により生活習慣病をはじめ多くの疾患の発症リスクを減少することが示され、理学療法士による適切な介入が期待されている。予防理学療法学では、日本理学療法士協会が推奨している介護予防を中心に学び理学療法士として予防医学に寄与する方法を学ぶことを目的とする。
到達目標：①本邦の公衆衛生の状況を理解できる。②地域包括ケアシステムを理解できる。③高齢者に対する予防理学療法を理解できる。④健康増進に関わる予防理学療法を理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（公衆衛生の動向）
2	介護予防　（地域包括ケアシステム）
3	加齢による身体構造の変化
4	認知症の発生予防と進行予防
5	高齢者に対する転倒予防
6	栄養学からみた予防理学療法学
7	健康増進・ヘルスプロモーション・スポーツや就労を通じた健康づくりや傷害予防
8	再発予防に資する運動習慣、行動変容
9	予防の社会的支援・制度設計に資する科学的検証
10	地域における健康増進活動（シルバーリハビリ体操など）

成績評価の方法・基準
小テスト：20%　レポート：20%　期末試験：60%

試験の方法
小テスト　レポート　筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書　配布資料を熟読し予習・復習をすること

履修上の留意事項
小テストは講義前10分程度で行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
予防理学療法学要論　医歯薬出版

参考書
高齢者理学療法学　医歯薬出版

参考文献
講義担当者が配布する。

（旧）

科目名	予防理学療法学		担当者	小島一範			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年 3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：現在、本邦の高齢化が問題となってきており、高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。近年、運動習慣により生活習慣病をはじめ多くの疾患の発症リスクを減少することが示され、理学療法士による適切な介入が期待されている。予防理学療法学では、日本理学療法士協会が推奨している介護予防を中心に学び理学療法士として予防医学に寄与する方法を学ぶことを目的とする。
到達目標：①本邦の公衆衛生の状況を理解できる。②地域包括ケアシステムを理解できる。③高齢者に対する予防理学療法を理解できる。④健康増進に関わる予防理学療法を理解できる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション（公衆衛生の動向）
2	介護予防　（地域包括ケアシステム）
3	加齢による身体構造の変化
4	認知症の発生予防と進行予防
5	高齢者に対する転倒予防
6	栄養学からみた予防理学療法学
7	健康増進・ヘルスプロモーション・スポーツや就労を通じた健康づくりや傷害予防
8	再発予防に資する運動習慣、行動変容
9	予防の社会的支援・制度設計に資する科学的検証
10	地域における健康増進活動（シルバーリハビリ体操など）
11	試験

成績評価の方法・基準
小テスト：20%　レポート：20%　期末試験：60%

試験の方法（再試験の方法も含む）
小テスト　レポート　筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書　配布資料を熟読し予習・復習をすること

履修上の留意事項
小テストは講義前10分程度で行う。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書
予防理学療法学要論　医歯薬出版

参考書
高齢者理学療法学　医歯薬出版

参考文献
講義担当者が配布する。

（新）

科目名	見学実習			担当者	村西慶珠・増川武利・片岡弘明		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　レポート　1施設1名～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会
見学実習課題（レポート）

※実習時間は1日8時間とする。□

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会（50%）見学実習課題（50%）で判断する。	実習実施報告会・見学実習課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	見学実習			担当者	山田英司・片岡弘明・増川武利		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の理学療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と理学療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や理学療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　レポート　1施設1名～3名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設3日間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設3日間）
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
12	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
13	実習終了後セミナー　見学実習課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　見学実習課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　見学実習課題・セミナー発表
16	実習終了後セミナー　見学実習課題・セミナー発表

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
見学実習60%、プレゼンテーション20%、レポート20%を合算して評価する。	見学実習　プレゼンテーション　レポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yamadaeiji@motoyama-e.com/masukawa@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	評価実習			担当者	横山暁大・那須宣宏・渡辺太寿		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等
評価実習課題（レポート）
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は医療面接/バイタルチェック/理学療法評価（形態測定/ROMt/MMT/DTR's/BRST/感覚検査等）とする。 実習実施報告会

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	評価実習			担当者	横山暁大・那須宣宏・小島一範		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの理学療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における理学療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　1施設1～3名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設3週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験は、実習成績60%、実技試験30%、プレゼンテーション10%、を合算して評価する。	評価実習　実技試験　プレゼンテーション

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	永野克人・山下裕之・那須宣宏		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①理学療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設10週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は理学療法評価形態測定（ROMex/MMT/DTR'S/BRST/感覚検査 等）理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	横山暁大・鈴木啓子・那須宣宏		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程と関連職種との連携を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～3名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設10週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験は、実習成績60%、実技試験30%、プレゼンテーション10%、を合算して評価する。	総合実習　実技試験　プレゼンテーション

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yokoyama_s@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	増川武利・鈴木啓子・小島一範		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：　実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技術実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～2名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】
臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設10週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験・内容は理学療法治療・訓練（ROMex/筋力増強ex/基本的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する

（旧）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	増川武利・立山暢一郎・永野克人		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期8単位	授業形態	実習	時間数	360時間

【講義の概要および到達目標】

概要：　実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という理学療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、理学療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の理学療法評価技術を修得する。②理学療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という理学療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な理学療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における理学療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
理学療法学科40名　実習　　プレゼンテーション　　1施設1～3名程度

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設10週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験は、実習成績60%、実技試験30%、プレゼンテーション10%、を合算して評価する。	総合実習　実技試験　プレゼンテーション

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/tateyama@motoyama-e.com】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する

（新）　（旧）

（削除）

科目名	生活経済論Ⅰ			担当者	三好秀和			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：我々は今、人生100年時代をむかえている。本講座は生活を経済学およびファイナンスの観点から、より良い生活を実現するため、多様なライフコースに対応できるライフマネジメントの基礎を身に着けることを目標とする。
　本講義では平均的な日本人の生活がどのようなものであるか、さまざまな統計から抽出できる能力を身に着ける。そして、生活に関係する社会の諸制度（社会保険制度や年金制度など）を学ぶ。

【授業の方法】
　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス(生活経済論とは何か？　その目的と学び方)
2	概論(キッシュフロー表とライフイベント、個人バランスシート、現在価値と将来価値を説明できますか？)
3	教育資金設計(教育費、資金準備、教育ローンと奨学金制度を説明できますか？)
4	住宅資金設計①(住宅の意義を学び、資金計画、諸費用など生活設計との関係で考えてみよう)
5	住宅資金設計②(住宅資金計画と住宅ローン、返済計画について説明できますか？)
6	住宅資金設計③(買い替え、建て替えやリフォーム、バリアフリーについて説明できますか？)
7	社会保険の知識①(社会保険の概要、目的、制度の種類と給付)
8	社会保険の知識②(医療保険制度について/健康保険・国民健康保険、制度の種類と給付)
9	社会保険の知識③(労働保険・雇用保険制度について/業務災害及び通勤災害の認定、失業認定など)
10	年金制度①(年金制度の全体像を理解しよう)
11	年金制度②(公的年金制度/国民年金制度について)
12	年金制度③(公的年金制度/厚生年金保険制度について)
13	年金制度④(その他の年金制度と退職金制度について)
14	公的介護保険制度(適用と施設、成年後見制度について)
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	定期試験100%。授業中の積極的な発言には加点することがある。
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
教科書に沿って授業が進むため、講義前には熟読しておくこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- ■ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
「パーソナルファイナンス」日本ＦＰ協会、このテキストは日本ＦＰ協会に直接申し込む必要があり毎年改定されます。	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献
講義時に配布する資料

（新）　（旧）

（削除）

科目名	サービス創造論			担当者	三好秀和			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期 単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

　理学・作業療法士の技術を生かしたサービスを創造することを目標としている。創造するとはある意味これまでの既存概念を取り除きゼロベースでサービスを創り上げることである。ただし、その根底には医療人として地域や社会のニーズを探求し、対象者の生活困難さに共感できる感性が必要となる。
　日本ではイノベーションは技術革新してものづくりの製造業として研究されてきたが、本講座ではサービス創造（Service Innovation）の諸概念を学びながら、グループワークにて地域に根差したサービス創造を行う。

【授業の方法】
　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス（講義の位置づけ/医療・福祉・保健分野におけるサービスの根幹、これまで学んだことの整理）
2	サービスとは何か？(医療・福祉・保健分野における新たなサービスとは？価値共創とは？)
3	サービスにおける顧客満足と顧客価値/（サービスの品質評価と顧客満足の測定はどのようにおこなうのか？）
4	サービスの共創について①（サービス共創はどのように創り上げるか考えてみよう/コンセプト設計）
5	サービスの共創について②（サービス創造計画書を考えてみよう/サービスプロセス設計と管理）
6	サービスの共創について③（サービス創造計画書を考えてみよう/サービスプロセスの評価）
7	サービス創造計画書の策定:発表(グループ内での意見交換)
8	サービス創造計画書のリモデリング（再設計の方法-事例研究-）
9	サービス創造計画書のリモデリング:(グループワーク①　サービスプロセスの実現可能性について)
10	サービス創造計画書のリモデリング:(グループワーク②　財務面からの実現可能性について)
11	サービス創造計画書のリモデリング:(グループワーク③　発表　意見交換)
12	サービス創造のためのサービスモデルを構築する方法(基本的な事業計画の作成方法)
13	サービス創造のためのサービスモデルを構築する方法(基本的な財務諸表の知識)
14	サービス創造のためのサービスモデル：発表(グループワーク)
15	総括：最優秀サービスの報告と今後の展開方法について
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	レポート課題と発表により評価する。授業中の積極的な発言には加点をおこなうことがある。
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
授業資料に沿って授業が進むため、講義前には熟読しておくこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
「サービス・イノベーション」有斐閣.南知恵子.西岡健一著の理論編をベースに講義する。事例編は医療人向けではないので割愛する。ディスカッションに注力されたい。	「イノベーション・マネジメント入門第2版」日本経済新聞社出版、一橋大学イノベーション研究センターはアドバンステキストとして有益である。

参考文献
講義時に配布する資料

（新）

（削除）

（旧）

科目名	生活経済論Ⅱ		担当者	三好秀和			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年 4年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講座は生活経済論Ⅰの上級科目である。生活経済論1で学んだ基礎知識をベースに、よりよく生きるためにはどのような暮らしぶりがよいか受講生自らが規定し、実現可能な計画を立てることを目標とする。
人生１００年を５つの時間軸と３つの切り口で講義する。時間軸は「親からの扶養されている時期」「自立し子育てをおこなう時期」「子育て後の壮年期」「健康な老年期」「介護が必要な時期」である。そして、3つの切り口とは「おかね」「からだ」「こころ」である。生活経済論1では経済面で講義したが生活経済Ⅱでは３つの切り口から人生のあり方を学ぶことができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス(ライフプランニングとは何か？ その目的と学び方)
2	課題提示、ライフプランニングの手法の説明と改善方法の説明
3	グループ・ディスカッション「親からの扶養されている時期」をどう生きるか？
4	グループ発表、3つの切り口「おかね」「からだ」「こころ」からチェックしよう。
5	グループ・ディスカッション「自立し子育てをおこなう時期」をどう生きるか？
6	グループ発表、3つの切り口「おかね」「からだ」「こころ」からチェックしよう。
7	グループ・ディスカッション「子育て後の壮年期」をどう生きるか？
8	グループ発表、3つの切り口「おかね」「からだ」「こころ」からチェックしよう。
9	中間まとめ、個人課題の進捗状況の確認
10	グループ・ディスカッション「健康な老年期」をどう生きるか？
11	グループ発表、3つの切り口「おかね」「からだ」「こころ」からチェックしよう。
12	グループ・ディスカッション「介護が必要な時期」をどう生きるか？
13	グループ発表、3つの切り口「おかね」「からだ」「こころ」からチェックしよう。
14	トピックス、少子高齢化の岡山の課題
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	レポート課題。授業中の積極的な発言には加点をおこなうことがある。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
課題は明示されるので、ディスカッションをおこなう講義前には熟考しておくこと。	ある程度は授業でも説明するが、エクセル・シートを活用するので基本的な操作ができることが望ましい。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
■ その他連絡先【】

教科書	参考書
必要に応じて授業中に紹介する。	「パーソナルファイナンス」日本ＦＰ協会、生活経済論Ⅰの教科書であるが有用なデータと解説が含まれるので持参すること。

参考文献 講義担当者が配布する。

（新）

科目名	コーチング論		担当者	山下立次			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年 4年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：サービスを形にし提供するためには、他者の協力は欠かせない。そこで、コーチングの観点から学びサービスを創造し、ビジネス場面での人的資源の活用方法や課題について学ぶ。
日本におけるコーチングは、ここ10年ぐらいでビジネス界を中心に管理職の必須スキルとして広がり、多くの人々の成長や変化に大きく貢献している。このコーチングの基礎理論とコミュニケーションスキルを理解し、上司や部下の関係、仲間や親子関係等の普段の生活や仕事において実践できる能力を身につける。この科目を履修することで対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にするために必要な知識と技術を身につける。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	コーチングとは何か
2	目的と目標
3	傾聴・質問・承認・フィードバック
4	夢の実現に向けた逆算
5	PDCAの習慣化
6	論理的に考える力を引き出す
7	コミュニケーションⅠ
8	コミュニケーションⅡ
9	課題解決Ⅰ
10	課題解決Ⅱ
11	ボスとリーダー
12	対象に応じたコーチング
13	コーチングにおけるモラル＆バランス
14	職業人に求められる資質と能力
15	コーチングのまとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて配布資料を熟読する。	特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
毎回の授業でプリント資料を配布する。	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献 授業中に紹介する。

（旧）

科目名	コーチング論		担当者	山下立次			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年 4年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：サービスを形にし提供するためには、他者の協力は欠かせない。そこで、コーチングの観点から学びサービスを創造し、ビジネス場面での人的資源の活用方法や課題について学ぶ。
日本におけるコーチングは、ここ10年ぐらいでビジネス界を中心に管理職の必須スキルとして広がり、多くの人々の成長や変化に大きく貢献している。このコーチングの基礎理論とコミュニケーションスキルを理解し、上司や部下の関係、仲間や親子関係等の普段の生活や仕事において実践できる能力を身につける。この科目を履修することで対象者や地域のニーズを新たなサービスの形にするために必要な知識と技術を身につける。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	コーチングとは何か
2	目的と目標
3	傾聴・質問・承認・フィードバック
4	夢の実現に向けた逆算
5	PDCAの習慣化
6	論理的に考える力を引き出す
7	コミュニケーションⅠ
8	コミュニケーションⅡ
9	課題解決Ⅰ
10	課題解決Ⅱ
11	ボスとリーダー
12	対象に応じたコーチング
13	コーチングにおけるモラル＆バランス
14	職業人に求められる資質と能力
15	コーチングのまとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて配布資料を熟読する。	特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
毎回の授業でプリント資料を配布する。	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献 授業中に紹介する。

（新）

科目名	岡山経営者論			担当者	浅利正二　他10名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域に必要なサービス創造（Service Innovation）をおこなうためには、地域に根差したサービス創造をおこなっている経営者の方々に直接講義を受け質問し議論することは有意義である。本講義では、岡山の経営者ならびにイノベーターを招き個人、起業、新規事業展開、海外事業展開、地方創生などをテーマにオムニバス形式で講義を行う。
　岡山という地域の中で、「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるのかを学ぶ、これまで大学で学んできた知見を活用し「サービス創造」をおこなうための発想力を身に付ける。

【授業の方法】

120名　大講義室にて受講　　オムニバス方式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション／地域創生・地域活性がなぜ求められるか？
2	岡山地域の経済情勢／地域創生・地域活性に必要な発想・思考とは
3	新事業展開と多角化【二神雅一：（株）創心會】
4	サービス創出から起業化まで【山根一人：（株）アールケア】理学療法士として起業することになった背景、新サービスの考え方、起業化の方法。
5	拡大戦略と今後の展望について【小山敏章：（株）ケイ・クリエイト】
6	新規市場への参入と分析について【上田泰輔：（株）プライムケア】
7	ブランド戦略について【大塚学：（株）大塚デザイン】
8	新市場での事業化とアイディア創出について【田中英樹：（株）オアシスジャパン】
9	新商品開発戦略による、地元貢献ビジネスについて【清水努：（有）清風庵】
10	ニッチ・ビジネスにおける事業展開について【三宅崇之：（株）和研ハーディ】
11	病院経営について【浅利正二：学長】
12	「市場開拓戦略、ブランド化、地域貢献」について【鴨井尚志：（株）カモ井加工紙株式会社】
13	ブランド化戦略と地域活性化について【宮下剛一竜：（株）宮下酒造株式会社】
14	総括：地域創生に求められるアイディアと精神（グループワーク）
15	岡山の経営者から学ぶ新たなサービスの創造と概要の構築（個人ワーク）

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題(50%)と筆記試験(50%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	レポート課題　筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等） ゲスト講師の講義の前に事前質問票を配布する。また、講義後の気づきと今後どのように活かすかについてレポート提出。	履修上の留意事項 特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
必要に応じて授業中に配布する。	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	岡山経営者論			担当者	三好秀和　他11名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域に必要なサービス創造（Service Innovation）をおこなうためには、地域に根差したサービス創造をおこなっている経営者の方々に直接講義を受け質問し議論することは有意義である。本講義では、岡山の経営者ならびにイノベーターを招き個人、起業、新規事業展開、海外事業展開、地方創生などをテーマにオムニバス形式で講義を行う。
　岡山という地域の中で、「サービス」をどのように展開すれば地域創生のための「創造（イノベーション）」が起こせるのかを学ぶ、これまで大学で学んできた知見を活用し「サービス創造」をおこなうための発想力を身に付ける。

【授業の方法】

120名　大講義室にて受講　　オムニバス方式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション／地域創生・地域活性がなぜ求められるか？
2	岡山地域の経済情勢／地域創生・地域活性に必要な発想・思考とは
3	新事業展開と多角化【二神雅一：（株）創心會】
4	サービス創出から起業化まで【山根一人：（株）アールケア】理学療法士として起業することになった背景、新サービスの考え方、起業化の方法。
5	拡大戦略と今後の展望について【小山敏章：（株）ケイ・クリエイト】
6	新規市場への参入と分析について【上田泰輔：（株）プライムケア】
7	ブランド戦略について【大塚学：（株）大塚デザイン】
8	新市場での事業化とアイディア創出について【田中英樹：（株）オアシスジャパン】
9	新商品開発戦略による、地元貢献ビジネスについて【清水努：（有）清風庵】
10	ニッチ・ビジネスにおける事業展開について【三宅崇之：（株）和研ハーディ】
11	病院経営について【浅利正二：学長】
12	「市場開拓戦略、ブランド化、地域貢献」について【鴨井尚志：（株）カモ井加工紙株式会社】
13	ブランド化戦略と地域活性化について【宮下剛一竜：（株）宮下酒造株式会社】
14	総括：地域創生に求められるアイディアと精神（グループワーク）
15	岡山の経営者から学ぶ新たなサービスの創造と概要の構築（個人ワーク）
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	レポート課題。授業中の積極的な発言には加点をおこなうことがある。
授業時間外学修（予習・復習等） ゲスト講師の講義の前に事前質問票を配布する。また、講義後の気づきと今後どのように活かすかについてレポート提出。	履修上の留意事項 特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
必要に応じて授業中に配布する。	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	総合研究Ⅰ			担当者	永野克人　他13名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：学生が設定しようとする研究テーマについて、先行研究の把握（論文抄読）とその要約・レビュー、実現可能な研究計画書の作成演習（倫理委員会での審査を含む研究手法の組み立てとその手順）を通じて、論文執筆演習を段階的に行う。
到達目標：①実際の研究テーマに沿った、先行研究の要約・レビューができる。②研究計画書の作成ができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/研究論文執筆演習（研究立案から研究開始までの研究計画）
2	緒言の執筆演習 I（研究の学術的背景）
3	緒言の執筆演習 II（先行研究の選定及び論理的展開とその列挙）
4	緒言の執筆演習 III（研究目的を設定する際の疑問点、課題点）
5	緒言の執筆演習 IV（研究の目的及び仮説の設定）
6	研究方法の執筆演習 I（被検者数、身体的特徴）
7	研究方法の執筆演習 II（同意書の取得及び調査・実験に関する方法・手順）
8	研究方法の執筆演習 III（統計処理；パラメトリック、ノンパラメトリック検定）
9	期待される結果の執筆演習（仮説通りの結果及び仮説に反する結果の取り扱い）
10	緒言から期待される結果までの整合性のチェック

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート
授業時間外学修（予習・復習等） 自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	履修上の留意事項 特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合研究Ⅰ			担当者	三好秀和　他9名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、3年前期までの総合的な学びと「テーマ設定と研究方法」を基に、障害や地域の諸問題に関するテーマについて議論し、実際に研究デザインを計画・実行し進める。なお、本講義はゼミ形式で行うため、講義時間などは指導教官の指示に従うこと。
到達目標：①テーマを適切に設定できる。②研究に必要な文献レビューができる。③研究計画を適切に立案できる。④研究デザインをプレゼンテーションできる。

【授業の方法】

ゼミ形式（10名程度）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究デザインから論文執筆までの一連の流れ
2	ヒトを対象とした研究遂行
3	動物を対象とした研究遂行
4	研究倫理と同意書（障害や地域の諸問題）
5	予備実験の設定①（被験者の仮設定）
6	予備実験の設定②（実験場所・設備の確認）
7	予備調査の設定①（質問用紙の作成）
8	予備調査の設定②（対象集団の仮選定）
9	期待される結果①（データ処理の至適検討）
10	期待される結果②（現象の抽出）

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
研究計画書（指導教官の認証を得たものに限る）	研究計画書提出（指導教官の認証を得たものに限る）
授業時間外学修（予習・復習等） 自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	履修上の留意事項 研究についてのディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	総合研究Ⅱ			担当者	永野克人　他13名		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：総合研究Ⅱでは、総合研究Ⅰでの執筆演習を受けて、実際に遂行中の研究精度を吟味し、研究結果を解釈しまとめる。各種専門領域別の担当指導教官の下、実施中の研究とその確認（研究計画の修正及び追加実験等の必要性）を段階的に行う。具体的には、学生が設定した研究テーマについて、①先行研究における要約の妥当性、②テーマに沿った疑問点、問題点及びそれに伴う仮説の適切性、③研究方法の透明性、④統計処理の有効性、⑤結果の解釈に伴う科学的根拠の信頼性等について議論し、研究の精度を高めていく。
到達目標・①論文の骨格を明確にする。②科学的根拠に基づいた研究結果の解釈ができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/論文執筆への手順
2	緒言の執筆 I（研究の背景における適切な明示）
3	緒言の執筆 II（先行研究に基づく科学的根拠の紹介及び選定）
4	緒言の執筆 III（課題点の明確な説明と研究の目的及び仮説の設定）
5	研究方法の執筆 I（被検者数、身体的特徴等の正確な記載）
6	研究方法の執筆 II（調査並びに実験の方法・手順、統計処理の具体的表示）
7	結果の執筆 I（研究結果に基づいた適切なデータ図表の作成）
8	結果の執筆 II（作成したデータ図表に基づく顕著な結果の記載）
9	考察の執筆（先行研究と本研究とにおける類似点の科学的根拠の対照）
10	緒言から考察及び参考文献の整合性のチェック

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に徴したレポート提出にて判定する。	レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合研究Ⅱ			担当者	三好秀和　他9名		必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、3年後期までの総合的な学びと各疾患や各地域の諸問題に関する研究デザインを基に、ゼミ形式で議論を繰り返し行い、研究結果を統合・解釈し、卒業論文を作成する。また、卒業論文発表に向けての準備、プレゼンテーション力を育成する。なお、本講義はゼミ形式で行うため講義時間などは指導教官の指示に従うこと。
到達目標：①研究デザインに沿って、論文作成を進めることができる②適切に論文について、討議ができる。③自主的に論文レビューができ、系統的に考察できる。④卒業論文を進度に応じてプレゼンテーションできる。

【授業の方法】
ゼミ形式（10人程度）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究指導１　（研究の進め方ガイダンス・研究方法指導）
2	研究指導２　（研究機器使用説明・研究実施について）
3	研究指導３　（研究実施について１）
4	研究指導４　（研究実施について２）
5	研究指導５　（研究実施について３）
6	研究指導６　（論文指導・結果のまとめ方１）
7	研究指導７　（論文指導・結果のまとめ方２）
8	研究指導８　（論文指導・結果のまとめ方３・研究報告会プレゼンテーション指導１）
9	研究指導９　（論文指導・研究報告会プレゼンテーション指導２）
10	研究指導１０　（論文指導・研究報告会プレゼンテーション指導３）

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
報告発表会の内容にて判断する。	論文進捗状況の発表と内容にて判断する。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	研究についてのディスカッションを自主的に行う。 発表の内容・スライド・に関しては事前に指導教官に相談し承認を得ること。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	永野克人・山田英司・増川武利・渡辺大輔		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション、「気づき」を育て問題を特定化するアプローチ
2	課題や問題点に関する感性を磨く①　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
3	課題や問題点に関する感性を磨く②　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
4	課題や問題点に関する感性を磨く③　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
5	課題や問題点に関する感性を磨く④　－現場での「気づき」を得るための視角－
6	課題や問題点に関する感性を磨く⑤　－「気づき」を選定するための視角－
7	課題や問題点に関する感性を磨く⑥　－「気づき」を選定するための視角－
8	課題や問題点に関する感性を磨く⑦　－「気づき」の特定化－
9	課題や問題点に関する感性を磨く⑧　－「気づき」の特定化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/yamada@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyma-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	増川武利・横山暁大・山田英司		必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数 15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション、「気づき」を育て問題を特定化するアプローチ
2	課題や問題点に関する感性を磨く①　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
3	課題や問題点に関する感性を磨く②　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
4	課題や問題点に関する感性を磨く③　－現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
5	課題や問題点に関する感性を磨く④　－現場での「気づき」を得るための視角－
6	課題や問題点に関する感性を磨く⑤　－「気づき」を選定するための視角－
7	課題や問題点に関する感性を磨く⑥　－「気づき」を選定するための視角－
8	課題や問題点に関する感性を磨く⑦　－「気づき」の特定化－
9	課題や問題点に関する感性を磨く⑧　－「気づき」の特定化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/yokoyama_a@motoyama-e.com/yamada@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	山下裕之・増川武利・渡辺大喜			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション、「気づき」を「アイディア」へと具体化するアプローチ
2	課題や問題点に関する「気づき」を育てる①　－「アイディア」の洗練－
3	課題や問題点に関する「気づき」を育てる②　－「アイディア」の洗練－
4	課題や問題点に関する「気づき」を育てる③　－「アイディア」の洗練－
5	課題や問題点に関する「気づき」を育てる④　－「アイディア」の発展－
6	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑤　－「アイディア」の発展－
7	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑥　－「アイディア」の発展－
8	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑦　－「アイディア」の具体化－
9	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑧　－「アイディア」の具体化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【masukawa@motoyama-e.com/watanabe_h@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	増川武利・横山暁大・山田英司			必修/選択	選択
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	オリエンテーション、「気づき」を「アイディア」へと具体化するアプローチ
2	課題や問題点に関する「気づき」を育てる①　－「アイディア」の洗練－
3	課題や問題点に関する「気づき」を育てる②　－「アイディア」の洗練－
4	課題や問題点に関する「気づき」を育てる③　－「アイディア」の洗練－
5	課題や問題点に関する「気づき」を育てる④　－「アイディア」の発展－
6	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑤　－「アイディア」の発展－
7	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑥　－「アイディア」の発展－
8	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑦　－「アイディア」の具体化－
9	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑧　－「アイディア」の具体化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com/tateyama@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	卒業論文			担当者	窪山泉　他12名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療・福祉・介護などの現場や地域での実践を踏まえ、その中で見つけた課題をもとに、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を活かして、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、理学療法・作業療法における基本的な治療・訓練に関わる研究や、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新たなサービスを創出する職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組み卒業論文にまとめる。

【授業の方法】
ゼミ形式

講義計画（テーマと内容等）	
1	卒業論文構想発表１(研究の背景・研究目的チェック)
2	卒業論文構想発表２（仮説の設定や期待される効果のチェック１）
3	卒業論文構想発表３（仮説の設定や期待される効果のチェック２）
4	卒業研究演習１（本研究の目的と結論がマッチングしているか）
5	卒業研究演習２（サンプルサイズ・効果量等のチェック）
6	卒業研究演習３（統計処理法のチェック）
7	卒業研究演習４（各種方法論のチェック）
8	卒業研究演習５（図表のチェック）
9	総括１（引用文献のチェック）
10	総括２（書式・フォーマットのチェック）
11	総括３（誤字・脱字のチェック）
12	研究報告会１＆論文の加筆・修正
13	研究報告会２＆論文の加筆・修正
14	研究報告会３＆論文の加筆・修正
15	研究報告会４＆論文の加筆・修正

成績評価の方法・基準	試験の方法
卒業論文の発表と完成した卒業論文を評価する。	論文

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
卒論完成と発表に関して十分に準備を行うこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
論文作成に必要な書籍全て	特になし

参考文献　担当者が配布する。

（旧）

科目名	卒業論文			担当者	窪山泉　他10名			必修/選択	必修
学科	理学療法	学年	4年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療・福祉・介護などの現場や地域での実践を踏まえ、その中で見つけた課題をもとに、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を活かして、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、理学療法・作業療法における基本的な治療・訓練に関わる研究や、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新たなサービスを創出する職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組み卒業論文にまとめる。

【授業の方法】
ゼミ形式

講義計画（テーマと内容等）	
1	卒業論文構想発表１(研究の背景・研究目的チェック)
2	卒業論文構想発表２（仮説の設定や期待される効果のチェック１）
3	卒業論文構想発表３（仮説の設定や期待される効果のチェック２）
4	卒業研究演習１（本研究の目的と結論がマッチングしているか）
5	卒業研究演習２（サンプルサイズ・効果量等のチェック）
6	卒業研究演習３（統計処理法のチェック）
7	卒業研究演習４（各種方法論のチェック）
8	卒業研究演習５（図表のチェック）
9	総括１（引用文献のチェック）
10	総括２（書式・フォーマットのチェック）
11	総括３（誤字・脱字のチェック）
12	研究報告会１＆論文の加筆・修正
13	研究報告会２＆論文の加筆・修正
14	研究報告会３＆論文の加筆・修正
15	研究報告会４＆論文の加筆・修正

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
卒業論文の発表と完成した卒業論文を評価する。	論文の再提出を課すことがある。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
卒論完成と発表に関して十分に準備を行うこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
論文作成に必要な書籍全て	特になし

参考文献　担当者が配布する。

シラバス作業療法　新旧対照表

（新）

（旧）

（削除）

科目名	基盤ゼミⅠ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：自己の将来像を明確にし、自ら学ぶ姿勢と社会人としての倫理を涵養し、豊かな人間力を身につける。

到達目標：自己の将来像を明確にすることや、自ら学ぶ姿勢を養う。また、社会人として他者の人格を尊重し、人間味あふれる思いやりと誠実さの必要性を学ぶ。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ゼミ・ガイダンスを行い、基盤ゼミの趣旨の説明、各自の自己紹介とゼミでの取り組みについて発表を行う。
2	自己の将来像について討論する。
3	自己の将来像について発表する。
4	大学におけるコンプライアンスについて、討論し、学生であると同時に社会の一員としての自覚をもって行動することの重要性を学ぶ。
5	社会人としての信頼関係の重要性を学ぶ。
6	自己評価をまとめると同時に、メンバーに対する評価を準備し、それを材料に討論し、自己の言動が他者から見てどのように映るかを認識する。
7	職業人として必要な行動などについて各自の意見を発表し、討論する。
8	専門職として必要な職業倫理について各自の意見を発表し、討論する。
9	このゼミで学んだことを各自レポートにまとめ、日常的に実行できるかどうかについて自己評価、それを発表して討論する。
10	各自がまとめたレポートに基づき、担当教員が、ゼミの総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）　**※「基盤ゼミⅡ」・「基盤ゼミⅢ」の内容を統合し「基盤ゼミⅠ」・「基盤ゼミⅡ」を再編成した。**

（旧）

科目名	基盤ゼミⅢ			担当者	勅使川原匡　他4名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

基盤ゼミ1では、少人数編成のプレゼン教育を活用して、担当教員が準備する急激に変化する時代を生き抜くための課題群から学生が選択し、課題のあるべき姿と現実、その原因と解決策のオプションをまとめ、さらに最善の解決策へと絞り込んでいく思考過程を身につけていく。ゼミメンバーを2グループに分け、グループごとに課題を煮詰める作業を行い、教師が議長となりプロ（賛成）とコン（反対）に分かれて討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることで、問題への認識を深め、より洗練された解決策を見出していくという方法をとる。

到達目標：①課題についての問題意識を明確にする。②課題の問題点を明確にできる。③課題の解決に向けての選択肢を示し、最善の選択肢を選ぶことができる。④課題に関して説得力ある形で人に伝える発信力とコミュニケーション力を身につける。⑤効果的なプレゼンテーションの組み立て方法を修得する。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	学生が課題を選択する（なぜその課題を選択するのか問題意識を明確にする。）
2	学生が課題に対して理想とする姿や状態を創造し明示する。
3	課題の現状について問題点を明確にする。
4	問題の所在を明らかにしその原因を探究する。
5	課題解決のための複数の選択肢を探究する。
6	選択肢を比較検討して最善の解決策を提示する。
7	課題を解決する具体的行動を促す手段を検討する。
8	グループごとに考えた内容を発表形式にまとめる。
9	実際に発表を行いその成果を検証する。
10	学生のこれまでの意見を踏まえ教員が総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法
課題レポート（50%）発表（40%）その他（10%）	課題レポート、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容によって総合的に判断する。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

科目名	基盤ゼミⅡ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：与えられたテーマに関して、報告し、討論を重ね論理的思考力と表現力を身につける。

到達目標：与えられたテーマについて、自己の意見を伝えるための表現力を身につける。また、相互に報告・討論を重ね、論理的思考力を鍛え、持続的な学習志向性を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門職に必要な「思考力」「創造力」「学習志向性」について討論する。
2	自己の内省に必要な観点とは何かを討論する。
3	講義1・2で討論した結果をまとめ発表する。
4	「職業人として必要な力とは」をテーマに自らの考えをまとめ、討論する。
5	第4回講義の結果を受けて、自らに必要な「力」とは何かをまとめ、討論する。
6	「継続する力を保つために必要なこと」をまとめ、討論する。
7	「自らの考えを正確に伝えるには」をまとめて発表し、討論する。
8	これまでのゼミ活動に対して自己評価を行い、メンバーに対する評価を準備し、それを材料に討論し、自己の考えを正確にやり取りできたかを確認する。
9	このゼミで導かれた結論をレポートにまとめ、自己評価し、それを討論する。
10	各自がまとめたレポートに基づき、担当教員がゼミの総括を行う。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、コミュニケーション能力、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献

授業中に紹介する。

（新）　**※「基盤ゼミⅡ」・「基盤ゼミⅢ」の内容を統合し「基盤ゼミⅠ」・「基盤ゼミⅡ」を再編成した。**

科目名	基盤ゼミⅡ			担当者	勅使川原匡 他4名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

基盤ゼミⅠで修得した、問題の核心を特定し最善の解決選択肢に到達するスキルを活用して、学生が自ら選択した課題に基づき、必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめ、解決方法を本格的なプレゼンテーション形式で発表する。自ら学ぶ姿勢を丁寧に鍛え、問題の核心を認知し、問題を掘り下げ、自ら必要なデータを調査し、論理的な思考過程を通して、最善の解決策を見出していく能力を育成する。教師が議長となり、各人のプレゼンテーションについてブロコン・メソッドで討論し、さらに立場を変えて討論を重ねることでより洗練された解決策を見出していくという方法をとる。　到達目標：①課題を発見し、問題を特定することができる。②問題を掘り下げるために必要なデータ・資料を収集し、効果的な図表にまとめることができる。③本格的なプレゼンテーション形式で課題の解決策を提示することができる。④自ら学び、調べ、解決策を探究する学修姿勢と力を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	学生が自ら選んだ課題とその問題意識を発表する
2	それぞれの課題について必要となる資料収集や効果的な図表の準備について議論し方針を明確にする
3	自己の発表準備の進捗状況について経過報告し他者から意見をもらい発表の順番を決定する
4	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第1組)
5	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第2組)
6	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第3組)
7	学生が発表を行い教師が議長となり、ブロコン・メソッドで討議を行い洗練された解決策を見出す(第4組)
8	発表と討議の結果を反映して、さらに効果的な発表にまとめる①
9	発表と討議の結果を反映して、さらに効果的な発表にまとめる②
10	教員が総括を行う

成績評価の方法・基準	試験の方法
課題レポート（50%）発表（40%）その他（10%）	課題レポート、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容によって総合的に判断する。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献
授業中に紹介する。

（旧）

科目名	基盤ゼミⅢ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：自ら選んだテーマに基づいて、メンバーに行動を促すためのプレゼンテーションを準備・実行し質疑応答を行うなかで、メンバーが納得する自己表現力とリーダシップを養う。

到達目標：専門職業人として必要となるプレゼンテーションスキル（明確な構成と根拠のある主張を展開できる論理性、わかりやすく伝えられる発信力）を養う。そして、他者の理解に配慮し建設的な議論を促す質疑応答ができる即興力、自己表現力を養う。また、協同学習を行うことで状況に応じた役割を理解しながらゼミ活動を牽引するリーダーシップを養う。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業のガイダンスを実施し、基盤ゼミⅢの説明および到達目標を理解する。学習の骨幹となるテーマを決定し、いくつかのアイディアを練りその概要をイメージしまとめる。
2	自ら選んだいくつかのテーマについて発表し他者の意見を取り入れ今後の学習テーマを選定する。
3	学習テーマの概要をまとめて発表し、他者の共感をえる発表を行う。
4	学習テーマと地域社会や身近な生活とのつながりを見出し発表し討論する。
5	学習テーマをもとに見出した社会的課題を焦点化し、精査された学習テーマを創出する。
6	課題解決策を見出すために援用できる理論や先行事例を抽出しその応用について考える。
7	学習テーマをもとに具体的な課題解決策を考案し、プレゼンテーション資料を作成する。
8	メンバーと最終報告に向けた中間発表を行い、内容の改善点について討論する。
9	自ら選んだテーマにおける学習成果を報告し、他者評価によりその成果を測る。
10	他者の報告と自身の報告との共通点を見出し、新たな相乗効果が期待できる課題解決プランを模索し討論する。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献
授業中に紹介する。

（新）

（削除）

（旧）

科目名	基盤ゼミⅣ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：興趣に富んだ人物を選びその生涯の事績を学ぶことで持続的な自己成長を続ける姿勢を身につけるとともに、目標や志を持った生き方の意味と重要性を学ぶ。

到達目標：一連の学習を行うことで専門職業人として必要となる自己分析力を身につける。前向きな姿勢で、さらなる成長を目指し、他者の生涯を参考に生涯にわたり自らを向上させる基盤的資質を身につける。

【授業の方法】

発表、討論、レポートおよびノート作成

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業のガイダンスを実施し、基盤ゼミⅣの説明および到達目標を理解する。今後の授業における学習プランを策定する。
2	興趣に富んだ人物の選定および分析に必要な観点を討論し、学習に必要な着眼点を整理しワークシートを自ら作成する。
3	身近な興趣に富んだ人物を選定しワークシートに基づき分析を行い、シートの修正案について討論し着眼点を深める。
4	興趣に富んだ人物を選定しその面白みについて発表しその思想観について議論し職業人としてのアイデンティティを高める。
5	第4回講義で選定した人物の事績を分析し発表を行い専門職業人としての感性を養う。
6	新たな興趣に富んだ人物を選定しその思想観や事績を分析し発表を行い、その人物について議論する。
7	これまで取り上げた人物の共通点や相違点を抽出し討論することで自身の自己成長に必要な志や感性を養う。
8	学んだ自己成長に必要な志や感性をもとに現在の自己を分析し、今後身につけたい能力と必要な実践について発表し討論する。
9	ゼミの仲間の事例を題材にし、他者の成長を促す経験を示すことで自己成長に必要な分析力を養う。
10	5年後の自分を想像し、自己成長プランを策定し他者に意見を聞く。/担当教員が総括する。

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
ゼミへの出席、発表、討論への積極的参加の姿勢、討論での発言内容、レポートおよびノートによって総合的に判断する。	筆記試験は実施せず、平常の取り組みによって判定する。再試験はレポート課題とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
各回のゼミの課題に従って、事前に発表内容を準備し、授業後に内容を整理したノートを作成する。	毎回出席し、発表や討論で積極的に自分の意見を発信し、討論して内容を深める姿勢が重要である。必ず学んだ内容を身につけるためにノートに日々まとめる。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特になし	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献
授業中に紹介する。

（新）

科目名	健康科学概論			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：日本には古くより、医食同源という格言で表されるように、食事は命や健康と密接なつながりをもつものと考えられている。近年、食の多様化が進む中で、バランスの良い食生活を営むことは非常に重要である。特に、食事は生活習慣病など病気につながるところも多い。そこで、本講義では、食事と健康にかかわる正しい知識を習得すること、これにより自分自身の生活を振り返り生活習慣の改善を促すことを目的とする。

【授業の方法】

1クラス40名講義　主に座学で学ぶ。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	エネルギー代謝とエネルギー供給システム
3	運動と栄養①（炭水化物）
4	運動と栄養②（脂質）
5	運動と栄養③（蛋白質）
6	運動と栄養④（ミネラル）
7	運動と栄養⑤（ビタミン）
8	運動と清涼飲料水
9	運動と睡眠
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習をすること。また、各講義後には要点をノートにまとめること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書	参考書
講義時に担当者が配布する。	授業中に指示する。

参考文献

授業中に指示する。

（旧）

科目名	健康科学概論			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：日本には古くより、医食同源という格言で表されるように、食事は命や健康と密接なつながりをもつものと考えられている。近年、食の多様化が進む中で、バランスの良い食生活を営むことは非常に重要である。特に、食事は生活習慣病など病気につながるところも多い。そこで、本講義では、食事と健康にかかわる正しい知識を習得すること、これにより自分自身の生活を振り返り生活習慣の改善を促すことを目的とする。

【授業の方法】

1クラス40名講義　主に座学で学ぶ。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	エネルギー代謝とエネルギー供給システム
3	運動と栄養①（炭水化物）
4	運動と栄養②（脂質）
5	運動と栄養③（蛋白質）
6	運動と栄養④（ミネラル）
7	運動と栄養⑤（ビタミン）
8	運動と清涼飲料水
9	運動と睡眠
10	授業の総括
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習をすること。また、各講義後には要点をノートにまとめること。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書	参考書
講義時に担当者が配布する。	授業中に指示する。

参考文献

授業中に指示する。

（新）

科目名	基礎生物			担当者	勅使川原匡			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：生命の基本が細胞レベルで完結し、遺伝、分化、発生、病気、死といった生命現象が細胞の基本機能の上に成り立つしくみを理解する。核酸やタンパク質、脂質、炭水化物の構造といった基礎項目をはじめ、細胞内情報伝達、糖脂質代謝、神経生理、内分泌、免疫、疾患などの生物学や医学を学ぶために必要な基本事項を広範に取り扱う。
到達目標：①細胞の構成物質や小器官について分子レベルで、その働きを理解する。
②遺伝子情報の転写翻訳を理解する。③細胞分裂の仕組みを理解する。
④物質とエネルギーの違いを理解する。⑤神経生理、内分泌、免疫の働きについて理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義　主に座学

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション～生物学とは～　細胞の構造と生命誕生
2	生命体を構成する物質・遺伝子の構造と機能
3	生体とエネルギー・光合成と窒素同化
4	細胞の分裂・情報伝達・がん化
5	生命体の受精と成長
6	多細胞生物の自己維持機構
7	遺伝のしくみと遺伝病
8	生物と環境がつくる生態系
9	生物の進化と多様性
10	生命科学技術と社会

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
予習課題を授業中に配布する。	課題を欠かさず取り組むこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
やさしい基礎生物学　第2版　羊土社	授業中に生物学関連の資料を紹介する。

参考文献

授業中に指示する。

（旧）

科目名	基礎生物			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：生命の基本が細胞レベルで完結し、遺伝、分化、発生、病気、死といった生命現象が細胞の基本機能の上に成り立つしくみを理解する。核酸やタンパク質、脂質、炭水化物の構造といった基礎項目をはじめ、細胞内情報伝達、糖脂質代謝、神経生理、内分泌、免疫、疾患などの生物学や医学を学ぶために必要な基本事項を広範に取り扱う。
到達目標：①細胞の構成物質や小器官について分子レベルで、その働きを理解する。
②遺伝子情報の転写翻訳を理解する。③細胞分裂の仕組みを理解する。
④物質とエネルギーの違いを理解する。⑤神経生理、内分泌、免疫の働きについて理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義　主に座学

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション～生物学とは～　細胞の構造と生命誕生
2	生命体を構成する物質・遺伝子の構造と機能
3	生体とエネルギー・光合成と窒素同化
4	細胞の分裂・情報伝達・がん化
5	生命体の受精と成長
6	多細胞生物の自己維持機構
7	遺伝のしくみと遺伝病
8	生物と環境がつくる生態系
9	生物の進化と多様性
10	生命科学技術と社会
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験の成績を100%で合否を判定する。 定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
予習課題を授業中に配布する。	課題を欠かさず取り組むこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
やさしい基礎生物学　第2版　羊土社	授業中に生物学関連の資料を紹介する。

参考文献

授業中に指示する。

（新）

科目名	情報収集と処理			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：コンピュータの普及によって、多様なデータベースを療法士自身で作成できるようになり、日々の療法士業務で活用している。本講義ではデータベースの基本的な構造とその作成について講義・演習を行う。また、論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成する。
到達目標：①データベースの概念を理解し説明できる。②医療現場におけるデータベースの重要性を認識する。③基本的なデータベース作成技術を習得する。④データベースが持つ様々な意味を理解できる。⑤論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	医用情報処理概論、データベース概論１
2	データの検索・置換・抽出、名前付きセル範囲１
3	条件付き書式を用いた分類１
4	統合機能、ピボットテーブル１
5	データの入力補助、入力規則１
6	リスト切り替え、テーブル機能１
7	ワークシート関数
8	論文収集と情報整理
9	アブストラクトテーブルの作成
10	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験（90%）課題提出（10%）の総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験　課題
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
配布する資料	特に指定なし

参考文献

講義時に随時配布。

（旧）

科目名	情報収集と処理			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

概要：コンピュータの普及によって、多様なデータベースを療法士自身で作成できるようになり、日々の療法士業務で活用している。本講義ではデータベースの基本的な構造とその作成について講義・演習を行う。また、論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成する。
到達目標：①データベースの概念を理解し説明できる。②医療現場におけるデータベースの重要性を認識する。③基本的なデータベース作成技術を習得する。④データベースが持つ様々な意味を理解できる。⑤論文を収集し、アブストラクトテーブルを作成できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	医用情報処理概論、データベース概論１
2	データの検索・置換・抽出、名前付きセル範囲１
3	条件付き書式を用いた分類１
4	統合機能、ピボットテーブル１
5	データの入力補助、入力規則１
6	リスト切り替え、テーブル機能１
7	ワークシート関数
8	論文収集と情報整理
9	アブストラクトテーブルの作成
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験と課題提出を基準とする。	筆記試験（90%）　課題提出（10%） （再試は筆記試験のみで判定する。）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。	主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
配布する資料	特に指定なし

参考文献

講義時に随時配布。

（新）

科目名	統計分析の基礎			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：統計学は、社会に根づいた学問であるが初学者には苦手意識を抱きやすい学問である。そのため、本講義では、統計学の基礎となる分野を重点的に学ぶ。具体的な統計解析に習熟することを目的として、「統計学のための資料整理」、「確率論の基本」、「推測と検定」の理論について解説し、演習を行う。さらに、医学・保健学のための応用的な話題や活用できるデータ解析の手法を習得する。

【授業の方法】

講義の進行に合わせて演習を行う。演習は1クラスを半数に分けて開講する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーションと資料整理（度数分布、ヒストグラム）
2	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）
3	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）の演習
4	統計学のための資料整理(相関、共分散、相関係数)の演習
5	統計学のための資料整理（相関、共分散、相関係数）
6	確率論の基本（確率変数と確率分布、正規分布）
7	確率論の基本(正規分布)の演習
8	推定と検定
9	推定と検定の演習
10	総まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に合わせて指示する。	予習・復習を怠らないこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
・初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門（技術評論社） ・適宜プリントを配布する	授業中に指示する。

参考文献

授業中に指示する。

（旧）

科目名	統計分析の基礎			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：統計学は、社会に根づいた学問であるが初学者には苦手意識を抱きやすい学問である。そのため、本講義では、統計学の基礎となる分野を重点的に学ぶ。具体的な統計解析に習熟することを目的として、「統計学のための資料整理」、「確率論の基本」、「推測と検定」の理論について解説し、演習を行う。さらに、医学・保健学のための応用的な話題や活用できるデータ解析の手法を習得する。

【授業の方法】

講義の進行に合わせて演習を行う。演習は1クラスを半数に分けて開講する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーションと資料整理（度数分布、ヒストグラム）
2	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）
3	統計学のための資料整理（代表値、分散、標準偏差、標準化）の演習
4	統計学のための資料整理(相関、共分散、相関係数)の演習
5	統計学のための資料整理（相関、共分散、相関係数）
6	確率論の基本（確率変数と確率分布、正規分布）
7	確率論の基本(正規分布)の演習
8	推定と検定
9	推定と検定の演習
10	総まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
期末試験：100%で判定し、60%以上を合格とする。	筆記試験（再試験も同様）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に合わせて指示する。	予習・復習を怠らないこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
・初歩からしっかり学ぶ実習統計学入門（技術評論社） ・適宜プリントを配布する	授業中に指示する。

参考文献

授業中に指示する。

（新）

科目名	テーマ設定と研究方法			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：臨床現場で働くためになぜ研究マインド・研究スキルを身に付ける必要があるかを理解し、社会や対象者が抱える課題解決に寄与できる可能性を探ることができる。
到達目標：①研究テーマを設定する手順を理解する。②研究手法について理解することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究の必要性と意義（なぜ研究マインド・研究スキルが必要か/研究の意義）
2	研究倫理の意義（研究活動で求められる倫理観とその姿勢）
3	研究の目的と進め方（研究目的と論文提出までの流れの理解）
4	理学療法（作業療法）分野とその関連分野に関する研究の動向
5	文献検索および先行研究の系統別分類
6	研究テーマの設定方法（現場での気付きをどのように研究テーマに繋げるか）
7	研究手法の設定 I：目的による類型と手法による類型の違い
8	研究手法の設定 II：研究に用いられる調査・データ収集の方法
9	研究手法の設定 III：データ分析の方法（量的・質的分析）
10	期待される成果の予測（仮説通りの結果及び仮説に反する結果の解釈）

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験にて判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
なし	

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	テーマ設定と研究方法			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：研究を開始するにあたって、基礎知識を備えることが重要である。研究手法や方法、手順、またその発表の方法について、知識を学ぶ。また、臨床や地域の課題をテーマ設定する際の手順とその基礎を学ぶ。
到達目標：①研究に親近感を持つ。②理学療法研究の方法としてどのようなものがありうるかを理解する。③研究発表の最低必要条件を理解する。④研究テーマの設定について理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション・研究テーマ検討
2	研究テーマ検討・設定
3	先行研究論文検索
4	先行研究論文検索
5	先行研究論文検索・先行研究論文検討
6	先行研究論文検索・先行研究論文検討
7	研究テーマ決定
8	研究方法について（量的・質的研究等）
9	研究方法について（質的研究とは）
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
課題提出状況・研究計画書の内容から総合的に評価する。	レポート課題（再試験も同様とする。）
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
研究計画の策定・文献の検索、収集・研究テーマ検討等、講義の進行に応じて主体的に取り組むこと	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献
指定なし

（新）

科目名	研究デザイン			担当者	小林隆司　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：各分野の指導教員のもと、研究計画の立案を通して、研究を実施するための必要な知識を段階的に獲得していく。具体的には、緒言、研究方法、結果及び考察というセクション別で、重要なポイントを学んでいく。
到達目標：研究の背景から予測される成果まで論理的に説明し、研究を実施するための研究計画を立案することができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/研究デザインについて（概説）
2	研究計画全体の構成法（緒言、方法、結果、考察、参考文献）
3	研究計画の立案 I：緒言（研究の背景；研究立案に際してのこれまでの経緯）
4	研究計画の立案 II：緒言（先行研究の紹介及びその導入）
5	研究計画の立案 III：緒言（研究課題を設定する際の疑問点、課題点の位置づけ）
6	研究計画の立案 IV：緒言（研究の目的と仮説の設定）
7	研究計画の立案 VI：研究手法（同意書の取得から研究実施における具体的手順）
8	研究計画の立案 V：研究手法（正規分布または非正規分布に基づいた統計処理の選定）
9	研究計画の立案 VI：結果（期待される成果とその学術的意義）
10	研究計画の立案 VII：考察（結果の解釈）及び総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
なし	

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	研究デザイン			担当者	勅使川原匡　他8名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「テーマ設定と研究方法」と連動して研究手法や方法、手順やその発表等を実際に行い、研究デザインを固めるために予備研究等の演習を行う。ゼミ形式で、指導教官の下に、グループディスカッションやアクティブラーニングの手法をとる。「総合研究Ⅰ」がスムーズに行えるよう研究デザインを作成する。
到達目標：①研究手法や方法、手順を確認できる。②研究デザインが作成できる。③研究についてのディスカッションができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	研究デザインと倫理的配慮（倫理綱領/倫理的配慮/研究の説明と同意について）
3	研究の流れと研究計画
4	研究計画書に必要な事項
5	基本的な研究デザイン（シングルケース:ABデザイン/ABAデザイン/ABABデザインなど）
6	実験研究のデザイン(比較研究・観察研究など)
7	研究計画書の作成
8	研究計画書の作成
9	研究計画の修正および変更の仕方
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
課題提出状況・研究計画書の内容・筆記試験から総合的に評価する。	筆記試験80%　提出物20%
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
研究計画の策定・文献の検索、収集・研究テーマ検討等、講義の進行に応じて主体的に取り組むこと	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
指定なし	指定なし

参考文献
指定なし

（新）

科目名	メディカル英語			担当者	安田従生			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。

【授業の方法】

＊日本語と英語による講義。
＊グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイなどの実践を中心としたアクティブラーニング。
＊辞書持ち込み可能。（スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義概要の説明と学習目標の確認
2	人体の各部名称：上肢・下肢・体幹・頭頚部の各部名称
3	初診時の基本的対応：患者背景の聴取における英語コミュニケーション技法
4	初診時の基本的対応：現病歴・経過・既往歴の聴取におけるコミュニケーション技法
5	初診時の基本的対応：症候・ニーズ・デマンズ・主訴の聴取におけるコミュニケーション技法
6	初診時の基本的対応：ロールプレイ（第2講～第4講までのコミュニケーション場面を実践する）
7	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法1
8	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法2
9	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法1
10	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法2
11	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法3
12	評価・治療・訓練時の基本的対応：ロールプレイ（第7講～第11講までのコミュニケーション場面を実践する）
13	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（基礎編）
14	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（応用編）
15	本講座で学んだことを総動員したロールプレイ

成績評価の方法・基準

レポート及び提出物：20%
筆記試験：80%

試験の方法

筆記試験　レポート　提出物

授業時間外学修（予習・復習等）

＊各授業についての予習をして臨むこと。テーマによっては準備を指示する場合あり。

履修上の留意事項

特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書

PT・OTが書いたリハビリテーション英会話　medical view

参考書

英語で診療　内科系
英語で診療　外科系
実践！メディカル英語

参考文献

授業中に指示する。

（旧）

科目名	メディカル英語			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療分野で頻繁に使用される専門用語や表現の習得を基礎に置き、基本的な英会話から英語論文（症例報告や研究論文等）における読解能力の向上を図る。特に、英会話及び英文読解に必要となる基本的な英単語及び文法項目の復習を行い、医療分野に関連したトピックスの内容理解に努める。この授業での学びを通じて、4年次の卒業研究や医療現場での実践に活かしていく。

【授業の方法】

＊日本語と英語による講義。
＊グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイなどの実践を中心としたアクティブラーニング。
＊辞書持ち込み可能。（スマホ・タブレット・PC・電子辞書可。）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義概要の説明と学習目標の確認
2	人体の各部名称：上肢・下肢・体幹・頭頚部の各部名称
3	初診時の基本的対応：患者背景の聴取における英語コミュニケーション技法
4	初診時の基本的対応：現病歴・経過・既往歴の聴取におけるコミュニケーション技法
5	初診時の基本的対応：症候・ニーズ・デマンズ・主訴の聴取におけるコミュニケーション技法
6	初診時の基本的対応：ロールプレイ（第2講～第4講までのコミュニケーション場面を実践する）
7	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法1
8	評価時の基本的対応：評価におけるコミュニケーション技法2
9	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法1
10	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法2
11	治療・訓練時の基本的対応：治療・訓練におけるコミュニケーション技法3
12	評価・治療・訓練時の基本的対応：ロールプレイ（第7講～第11講までのコミュニケーション場面を実践する）
13	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（基礎編）
14	メディカルスタッフとのコミュニケーション技法を学ぶ（応用編）
15	本講座で学んだことを総動員したロールプレイ
16	試験

成績評価の方法・基準

レポート及び提出物：10%
授業への参加度：10%
定期試験：80%

試験の方法（再試験の方法も含む）

再試験は筆記試験のみ換算する。

授業時間外学修（予習・復習等）

＊各授業についての予習をして臨むこと。テーマによっては準備を指示する場合あり。

履修上の留意事項

特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書

PT・OTが書いたリハビリテーション英会話　medical view

参考書

英語で診療　内科系
英語で診療　外科系
実践！メディカル英語

参考文献

授業中に指示する。

（新）

科目名	解剖学実習Ⅰ			担当者	佐々木 順造			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

「講義の概要」：上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋について、骨模型等を利用した実習、体表解剖学を通して、機能解剖を学ぶことで、人体の構造を理解する。また、機能解剖の基礎知識を身につけ、骨標本や身体運動に適用することができるよう学ぶ。
「到達目標」：体表にあらわれる構造を解剖学的に説明できる。身体各部の運動を各部の骨・関節・筋の機能を使って説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	全身骨格について
2	上肢帯の骨と体表解剖
3	自由上肢と体表解剖
4	上肢の関節と靭帯
5	自由下肢骨
6	股関節と仙腸関節
7	膝関節・脛腓関節と足関節
8	下肢帯の骨と骨盤
9	脊柱と体表解剖
10	胸郭と体表解剖
11	脊柱と胸郭の連結
12	頭蓋骨１（顔面頭蓋の構成）
13	頭蓋骨２（脳頭蓋の構成）
14	総復習１（全身の骨格）
15	総復習２（体表解剖）

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

筆記試験　課題（小テストも含む）

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時に知識定着度を確認する小テストを実施する。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

標準PT・OT学　解剖学（医学書院）
人体解剖カラーアトラス（南山堂）

参考書

解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	解剖学実習Ⅰ			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：上肢・下肢・体幹の骨・関節・筋について、骨模型等を利用した実習、体表解剖学を通して、機能解剖を学ぶことで、人体の構造を理解することを目標とする。また、機能解剖の基礎知識を身につけ、骨標本や身体運動に適用することができるよう学ぶ。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	全身骨格について
2	上肢帯の骨と体表解剖
3	自由上肢と体表解剖
4	上肢の関節と靭帯
5	自由下肢骨
6	股関節と仙腸関節
7	膝関節・脛腓関節と足関節
8	下肢帯の骨と骨盤
9	脊柱と体表解剖
10	胸郭と体表解剖
11	脊柱と胸郭の連結
12	頭蓋骨１
13	頭蓋骨２
14	総復習１
15	総復習２
16	試験

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験および課題
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時に知識定着度を確認するための小テストを実施する。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

標準PT・OT学　解剖学（医学書院）
人体解剖カラーアトラス（南山堂）

参考書

解剖学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	生理学			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：ヒトの機能は運動や感覚系を中心とする動物性機能と、心臓循環、呼吸、消化器系などの植物性機能に分類される。本講義では、前半に動物性機能について学習し、運動機能や精神活動を含む神経機能、感覚器官、自律神経系といった広範囲な知識を理解する。後半に植物性機能について学習し、ヒトの生命活動に直結する生理機能を理解する。
到達目標：①細胞膜を介した物質の輸送が理解できる。②筋収縮の仕組みと運動神経による調節の仕組みを理解できる。③自律神経性調節の特徴を理解できる。④各種感覚の神経機構を理解できる。⑤高次脳機能に関わる脳領域とそのメカニズムを理解できる。⑥血液、循環について説明ができる。⑦呼吸の仕組みについて説明ができる。⑧消化と栄養素の吸収について説明できる。⑨尿生成と排尿について説明できる。⑩内部環境の維持に関わる機序が理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名授業

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション（生理学とは）
2	細胞の環境、構造、機能調節　活動電位、イオンチャンネル
3	骨格筋の収縮　シナプス伝達
4	自律神経系
5	運動系
6	体性感覚
7	味覚、聴覚、視覚
8	脳の統合機能
9	血液
10	心臓　循環
11	呼吸
12	消化と吸収
13	内分泌
14	生殖　腎機能
15	栄養代謝

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義終了後の復習、講義前の予習は欠かさず行うこと。	特になし

質問に関する連絡先

■ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
生理学テキスト（文光堂）	標準生理学（医学書院）・シンプル生理学（南江堂）・やさしい生理学（文光堂）等

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	生理学			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：ヒトの機能は運動や感覚系を中心とする動物性機能と、心臓循環、呼吸、消化器系などの植物性機能に分類される。本講義では、前半に動物性機能について学習し、運動機能や精神活動を含む神経機能、感覚器官、自律神経系といった広範囲な知識を理解する。後半に植物性機能について学習し、ヒトの生命活動に直結する生理機能を理解する。
到達目標：①細胞膜を介した物質の輸送が理解できる。②筋収縮の仕組みと運動神経による調節の仕組みを理解できる。③自律神経性調節の特徴を理解できる。④各種感覚の神経機構を理解できる。⑤高次脳機能に関わる脳領域とそのメカニズムを理解できる。⑥血液、循環について説明ができる。⑦呼吸の仕組みについて説明ができる。⑧消化と栄養素の吸収について説明できる。⑨尿生成と排尿について説明できる。⑩内部環境の維持に関わる機序が理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名授業

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション（生理学とは）
2	細胞の環境、構造、機能調節　活動電位、イオンチャンネル
3	骨格筋の収縮　シナプス伝達
4	自律神経系
5	運動系
6	体性感覚
7	味覚、聴覚、視覚
8	脳の統合機能
9	血液
10	心臓　循環
11	呼吸
12	消化と吸収
13	内分泌
14	生殖　腎機能
15	栄養代謝
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義終了後の復習、講義前の予習は欠かさず行うこと。	特になし

質問に関する連絡先

■ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
生理学テキスト（文光堂）	標準生理学（医学書院）・シンプル生理学（南江堂）・やさしい生理学（文光堂）等

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	生理学実習			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・生理学・運動学の講義を踏まえ、環境の変化・運動に対する生体の反応や、恒常性維持について学ぶ。人と動物の生理機能を自らの手で測定し、その結果を解析・考察することにより、人体機能が維持されるメカニズムを理解する。また、この実習を通して、医療従事者として必要な姿勢や洞察力を養うことを目標とする。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	ヒト及び動物における生体機能の測定・解析法
3	生体機能測定・解析機器における取扱いと測定データの解釈の仕方
4	実習１　血液（採血法）
5	実習２　血液（ヘマトクリット値測定、ヘモグロビン定量）
6	実習３　循環（心電図の測定と解析）
7	実習４　呼吸（スパイロメトリーによる肺機能検査）
8	実習５　呼吸（最大酸素摂取量の推定）
9	実習６　腎機能及び体液調節（尿比重値及び尿浸透圧の測定）
10	実習７　内分泌（グルコース負荷実験）
11	実習８　骨格筋（筋電図の測定と解析）
12	実習９　神経・感覚（動体視力）
13	実習１０　環境（体温の測定）
14	実習１１　口腔（唾液分泌量及び唾液中生化学関連物質の測定）
15	実習の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
小テスト（50%）筆記試験（50%）の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	小テスト　筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時にレポート提出を課す。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
生理学テキスト（文光堂）	標準生理学（医学書院）・シンプル生理学（南江堂）・やさしい生理学（文光堂）等

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	生理学実習			担当者	勅使川原匡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学・生理学・運動学の講義を踏まえ、環境の変化・運動に対する生体の反応や、恒常性維持について学ぶ。人と動物の生理機能を自らの手で測定し、その結果を解析・考察することにより、人体機能が維持されるメカニズムを理解する。また、この実習を通して、医療従事者として必要な姿勢や洞察力を養うことを目標とする。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	ヒト及び動物における生体機能の測定・解析法
3	生体機能測定・解析機器における取扱いと測定データの解釈の仕方
4	実習１　血液（採血法）
5	実習２　血液（ヘマトクリット値測定、ヘモグロビン定量）
6	実習３　循環（心電図の測定と解析）
7	実習４　呼吸（スパイロメトリーによる肺機能検査）
8	実習５　呼吸（最大酸素摂取量の推定）
9	実習６　腎機能及び体液調節（尿比重値及び尿浸透圧の測定）
10	実習７　内分泌（グルコース負荷実験）
11	実習８　骨格筋（筋電図の測定と解析）
12	実習９　神経・感覚（動体視力）
13	実習１０　環境（体温の測定）
14	実習１１　口腔（唾液分泌量及び唾液中生化学関連物質の測定）
15	実習の総括
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
小テスト（50%）・筆記試験（50%）で判定する。	再試験は筆記試験のみ100%換算する。
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義の予習・復習は欠かさずに行うこと。毎授業開始時にレポート提出を課す。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
生理学テキスト（文光堂）	標準生理学（医学書院）・シンプル生理学（南江堂）・やさしい生理学（文光堂）等

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	運動学			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学は、リハビリテーション医療の基礎科学であり、作業療法にとっても基礎でありながら、将来にわたって学び続ける専門職の根幹をなす科目である。また、専門的な評価や治療の根拠となる知識であるため、最重要科目の1つといえる。本講義では、人の身体運動に関する基本的な知識を習得するために、次のことを目標とする。

到達目標：①運動学で扱う用語を知り、実際の身体運動と結びつけられる。②運動学に必要な生体力学の知識を身につける。③上肢、下肢、体幹の機能解剖と運動について知識を身につける。④姿勢、歩行についての知識を身につける。

【授業の方法】

1クラス40人講義　講義中に適宜演習を含むことで、実体験と合わせて理解する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
2	運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
3	運動器の構造と機能（関節の構造と機能、骨格筋の構造と機能）
4	肩複合体の運動学
5	肘関節・前腕の運動学
6	手関節・手指の運動学
7	股関節の運動学
8	膝関節の運動学
9	足関節・足部の運動学
10	脊柱・体幹の運動学①（脊柱の概要 他、頭頸部の構造と機能）
11	脊柱・体幹の運動学②（胸部の構造と機能、腰部の構造と機能）
12	生体力学
13	姿勢
14	歩行
15	運動学習

成績評価の方法・基準

小テスト(20%)、筆記試験(80%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

小テスト　筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項

特になし。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書

・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）

・15ﾚｸﾁｬｰｼﾘｰｽﾞ　運動学（中山書店）

参考書

・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	運動学			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学は、リハビリテーション医療の基礎科学であり、作業療法にとっても基礎でありながら、将来にわたって学び続ける専門職の根幹をなす科目である。また、専門的な評価や治療の根拠となる知識であるため、最重要科目の1つといえる。本講義では、人の身体運動に関する基本的な知識を習得するために、次のことを目標とする。

到達目標：①運動学で扱う用語を知り、実際の身体運動と結びつけられる。②運動学に必要な生体力学の知識を身につける。③上肢、下肢、体幹の機能解剖と運動について知識を身につける。④姿勢、歩行についての知識を身につける。

【授業の方法】

1クラス40人講義　講義中に適宜演習を含むことで、実体験と合わせて理解する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
2	運動学の基礎（身体運動の面と軸、運動方向 等）
3	運動器の構造と機能（関節の構造と機能、骨格筋の構造と機能）
4	肩複合体の運動学
5	肘関節・前腕の運動学
6	手関節・手指の運動学
7	股関節の運動学
8	膝関節の運動学
9	足関節・足部の運動学
10	脊柱・体幹の運動学①（脊柱の概要 他、頭頸部の構造と機能）
11	脊柱・体幹の運動学②（胸部の構造と機能、腰部の構造と機能）
12	生体力学
13	姿勢
14	歩行
15	運動学習
16	試験

成績評価の方法・基準

小テストの総合点から20%、定期試験の総合点から80%を合算して評価する。
再試験は小テストの点数を加味しない。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項

特になし。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書

・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）

・15ﾚｸﾁｬｰｼﾘｰｽﾞ　運動学（中山書店）

参考書

・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	運動学実習			担当者	十河正樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学や運動学などの学問から習得した知識を踏まえ、正常な身体の機能解剖および身体運動を理解した上で、その観察および分析方法を学ぶ。また、観察・分析の結果を文章化できるようになる。
到達目標：①四肢・体幹の機能解剖および関節運動を理解する。②機能解剖を理解したうえで、作業療法評価の基礎となる触診技術を習得する。③関節運動を専門的に説明し、実際に運動で表すことができる。④正常動作を観察し、それを運動学・運動力学的に分析して運動学的用語でまとめる。⑤分析した内容をレポートにまとめ、発表する。

【授業の方法】

1クラス40人講義　少人数でグループを構成し、実習中心に講義を実施する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・班分け
2	下肢帯および下肢の機能解剖・関節運動
3	下肢帯および下肢の機能解剖・関節運動
4	上肢帯および上肢の機能解剖・関節運動
5	上肢帯および上肢の機能解剖・関節運動
6	頭頚部・体幹の機能解剖および脊柱・体幹の関節運動
7	動作観察・分析の考え方から文章化する方法まで
8	正常動作①　寝返り・起き上がり　観察・分析
9	正常動作①　寝返り・起き上がり　観察・分析
10	正常動作②　立ち上がり　観察・分析
11	正常動作②　立ち上がり　観察・分析
12	正常動作③　歩行　観察・分析
13	正常動作③　歩行　観察・分析
14	正常動作の観察・分析について　発表①
15	正常動作の観察・分析について　発表②

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法

レポート　課題（実技に関する内容）

授業時間外学修（予習・復習等）

運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項

・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com】

教科書

・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）

・15ﾚｸﾁｬｰｼﾘｰｽﾞ　運動学（中山書店）

参考書

・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（旧）

科目名	運動学実習			担当者	百田貴洋			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：解剖学や運動学などの学問から習得した知識を踏まえ、正常な身体の機能解剖および身体運動を理解した上で、その観察および分析方法を学ぶ。また、観察・分析の結果を文章化できるようになる。
到達目標：①四肢・体幹の機能解剖および関節運動を理解する。②機能解剖を理解したうえで、作業療法評価の基礎となる触診技術を習得する。③関節運動を専門的に説明し、実際に運動で表すことができる。④正常動作を観察し、それを運動学・運動力学的に分析して運動学的用語でまとめる。⑤分析した内容をレポートにまとめ、発表する。

【授業の方法】

1クラス40人講義　少人数でグループを構成し、実習中心に講義を実施する。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション・班分け
2	下肢帯および下肢の機能解剖・関節運動
3	下肢帯および下肢の機能解剖・関節運動
4	上肢帯および上肢の機能解剖・関節運動
5	上肢帯および上肢の機能解剖・関節運動
6	頭頚部・体幹の機能解剖および脊柱・体幹の関節運動
7	動作観察・分析の考え方から文章化する方法まで
8	正常動作①　寝返り・起き上がり　観察・分析
9	正常動作①　寝返り・起き上がり　観察・分析
10	正常動作②　立ち上がり　観察・分析
11	正常動作②　立ち上がり　観察・分析
12	正常動作③　歩行　観察・分析
13	正常動作③　歩行　観察・分析
14	正常動作の観察・分析について　発表①
15	正常動作の観察・分析について　発表②
16	試験

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）

レポートおよび課題（実技に関する内容）
再試験はレポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）

運動学関連の参考書を活用して事前・事後学習を進めておくこと。

履修上の留意事項

・動きやすい服装で参加すること。・グループワークでは、個々が責任を持ち、他者と協力して課題遂行すること。・学生自ら主体的に考え解決しようとする姿勢で課題に臨むこと。・文献等を積極的に活用する習慣を身に付けること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

・基礎運動学　第6版補訂（医歯薬出版）

・15ﾚｸﾁｬｰｼﾘｰｽﾞ　運動学（中山書店）

参考書

・運動学関連の書籍（講義内で紹介する）

参考文献

講義時に配布する資料

（新）

科目名	リハビリテーション医学		担当者	伊勢眞樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：病気を理解することで、障がいなどの後遺症（機能障害や能力低下）を理解することができ、根拠に裏づけられたリハビリテーションが実践できる。そこで、本講義はリハビリテーションの対象となりやすい病気について、診断、治療について概説する。これにより、各疾患の診断や治療の概要や各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できることを目的とする。
到達目標：①各疾患の特徴や診断、治療の概要、各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できる。②作業療法士として患者の機能回復・能力回復を支援することができる知識を習得する。

【授業の方法】

作業療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション
2	リハビリテーション医学・医療の概要
3	リハビリテーション診療の手順・画像診断・神経筋の電気診断
4	障がいの理解：運動障害（運動麻痺・不随意運動・運動失調）、歩行障害
5	障がいの理解：循環機能障害、呼吸機能障害、摂食・嚥下障害、排尿障害
6	障がいの理解：高次脳機能障害（巣症状）、認知症
7	障がいの理解：加齢による障害、発達障害
8	中枢神経障害（主に脳卒中）の概要とリハビリテーション
9	末梢循環障害、切断の概要とリハビリテーション
10	関節リウマチを含む骨関節疾患の概要とリハビリテーション

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
最新リハビリテーション医学 医歯薬出版	老人のリハビリテーション（医学書院）・標準POT学 専門基礎分野　内科学（医学書院）等

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	リハビリテーション医学		担当者	伊勢眞樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：病気を理解することで、障がいなどの後遺症（機能障害や能力低下）を理解することができ、根拠に裏づけられたリハビリテーションが実践できる。そこで、本講義はリハビリテーションの対象となりやすい病気について、診断、治療について概説する。これにより、各疾患の診断や治療の概要や各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できることを目的とする。
到達目標：①各疾患の特徴や診断、治療の概要、各疾患で生じる障がいの主なリハビリテーションが概説できる。②作業療法士として患者の機能回復・能力回復を支援することができる知識を習得する。

【授業の方法】

作業療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション
2	リハビリテーション医学・医療の概要
3	リハビリテーション診療の手順・画像診断・神経筋の電気診断
4	障がいの理解：運動障害（運動麻痺・不随意運動・運動失調）、歩行障害
5	障がいの理解：循環機能障害、呼吸機能障害、摂食・嚥下障害、排尿障害
6	障がいの理解：高次脳機能障害（巣症状）、認知症
7	障がいの理解：加齢による障害、発達障害
8	中枢神経障害（主に脳卒中）の概要とリハビリテーション
9	末梢循環障害、切断の概要とリハビリテーション
10	関節リウマチを含む骨関節疾患の概要とリハビリテーション
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
最新リハビリテーション医学 医歯薬出版	老人のリハビリテーション（医学書院）・標準POT学 専門基礎分野　内科学（医学書院）等

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	地域包括マネジメント論		担当者	十河正樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域包括ケアシステムについて理解を深めるとともに現場におけるマネジメントおよび介入・支援方法について学ぶ。特に、高齢化が進む現在におけるケアマネジメントの実際を理解する。また、各社会保障制度（障害者福祉、生活保護、介護保険、児童福祉等）におけるケアマネジメントの現状と関連性と理解を深める。
到達目標：①地域包括ケアシステムとケアマネジメントの概要と方法について理解する。②ケアマネジメントの具体的な支援方法について理解する。③地域包括ケアにおける多職種連携とマネジメントを理解し、他者と協力する力を身につける。

【授業の方法】

授業は座学での講義だけではなく、ディスカッションを重視している。ディスカッションはテーマを絞ったうえで2回おこなわれる。受講生は積極的に学習したことを活用したり、調査したりして、ディスカッションに積極的に参加してほしい。

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	ガイダンス　-なぜ「地域包括ケアシステム」が必要なのか-
2	介護保険制度①　-制度概要、介護保険料、要介護認定、地域包括支援センター-
3	介護保険制度②　-ケアプラン、介護サービスの種類、利用者負担と支払限度額-
4	ディスカッション①　-岡山での地域包括ケアシステムはどのような現状か調査し、議論しよう。-
5	多職種協働の融合①　-地域包括ケア実現のためになぜ多職種協働が必要なのか、それを阻むものは何か。-
6	多職種協働の融合②　-居宅看護と病院の役割、がん患者の事例-
7	ディスカッション②　-多職種協働を実現するために必須条件とは何か、議論しよう。-
8	先進事例の研究①　-介護保険サービスの充実強化、医療との連携強化に関する取り組み-
9	先進事例の研究②　-介護予防の推進に関する取り組み-
10	総括と学習到達度の確認テスト

成績評価の方法・基準	試験の方法
達成度確認テスト40%、課題レポート60%、	筆記試験（達成度確認テスト）課題レポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
ディスカッションに積極的に参加するためには、授業時間外の事前学習が大切となる。ディスカッションテーマはシラバスに記載してあるので、テーマについて積極的に発言できるように準備をすること。	20分以上遅刻の場合は欠席とみなします。また、遅刻3回で欠席1回とみなします。なお、2/3以上の出席がない場合は、単位を取得することはできません。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
地域包括ケアにおけるPT・OTの役割：文光堂	特になし

参考文献

必要時に配布する。

（旧）

（新）

科目名	リハビリテーション概論			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。
到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。④自立生活について理解できる。⑤ 就労支援について理解できる。

【授業の方法】

作業療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	リハビリテーションの理念と歴史
2	急性期リハビリテーションと廃用症候群
3	回復期リハビリテーションとは
4	生活期リハビリテーションとは
5	リハビリテーション関連職種の役割
6	生涯論・障害受容と機能評価
7	リハビリテーションの対象者とは/職業的・社会的・医学的・教育的リハビリテーション
8	リハビリテーションと自立支援(関連する支援制度を含む)
9	リハビリテーションと就労支援(関連する支援制度を含む)
10	関連法規・地域福祉事業

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
PT・OT・ST・ナースを目指すためのリハビリテーション総論 診断と治療社	最新リハビリテーション医学　医歯薬出版株式会社

参考文献

授業中に紹介する。

（旧）

科目名	リハビリテーション概論			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、リハビリテーションの歴史・定義・目的をはじめ、医学的・社会的・職業的・教育的リハビリテーションについて学ぶ。また、理学療法・作業療法の医学的リハビリテーションでの位置づけについても学び、チーム医療における連携について学ぶ。さらに、リハビリテーションと保健福祉・行政など社会的資源との関係性について学ぶ。
到達目標：①リハビリテーションの定義を理解できる。②医学的リハビリテーションにおける理学療法・作業療法の位置づけを理解できる。③リハビリテーションにおける外的環境について理解できる。

【授業の方法】

作業療法学科1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	リハビリテーションの理念と歴史
2	急性期リハビリテーションと廃用症候群
3	回復期リハビリテーションとは
4	生活期リハビリテーションとは
5	リハビリテーション関連職種の役割
6	生涯論・障害受容と機能評価
7	リハビリテーションの対象者とは
8	職業的・社会的リハビリテーション
9	医学的・教育的リハビリテーション
10	関連法規・地域福祉事業
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業の進行に応じて教科書を読み進めること。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
PT・OT・ST・ナースを目指すためのリハビリテーション総論 診断と治療社	最新リハビリテーション医学　医歯薬出版株式会社

参考文献

授業中に紹介する。

（新）

科目名	多職種連携論			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：今後の社会状況では、保健・医療・福祉の統合において、臨床では各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人間的視点を行うには、関連職種が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携について理解することが必要となる。
到達目標：①専門職種間連携の概要を理解し、自職種について説明できる。②保健・医療・福祉に関わる職種の専門性と関連について説明できる。③職種間連携実践のあり方について概説できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門職種間連携教育（IPE）の展開のための基礎知識1　WHO・ICFの理念含む
2	IPE展開のための基礎知識2　保健医療福祉圏間の連携と各職種の専門性
3	IPE展開のための基礎知識3　医療と福祉の接点
4	IPE展開のための基礎知識4　診療報酬と介護報酬
5	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携1
6	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携2
7	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携3
8	医療領域における専門職種連携（IPE）の実際　脳血管障害・終末期（がん含む）
9	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　発達障害・知的障害の自立支援と専門職種間連携法
10	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　精神障害の自立支援と専門職種間連携法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 hayashi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
医療福祉をつなぐ関連職種連携（南江堂） 保健医療福祉のための臨床推論（朝倉書店）	全国社会福祉協議会「障害者福祉論」2012年 沢村誠志・奥野英子編「リハビリテーション連携論」2009年 三輪書店

参考文献

講義時に配布

（旧）

科目名	多職種連携論			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：今後の社会状況では、保健・医療・福祉の統合において、臨床では各々の専門的立場からサービスを提供すると同時に、各職種が連携し、利用者に総合的に支援することが求められる。全人間的視点を行うには、関連職種が不可欠であり、その実践のためには他職種の専門性を理解すると共に、職務の関連性や連携について理解することが必要となる。
到達目標：①専門職種間連携の概要を理解し、自職種について説明できる。②保健・医療・福祉に関わる職種の専門性と関連について説明できる。③職種間連携実践のあり方について概説できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門職種間連携教育（IPE）の展開のための基礎知識1　WHO・ICFの理念含む
2	IPE展開のための基礎知識2　保健医療福祉圏間の連携と各職種の専門性
3	IPE展開のための基礎知識3　医療と福祉の接点
4	IPE展開のための基礎知識4　診療報酬と介護報酬
5	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携1
6	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携2
7	保健・医療・福祉を支える職種の理解と職種間連携3
8	医療領域における専門職種連携（IPE）の実際　脳血管障害・終末期（がん含む）
9	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　発達障害・知的障害の自立支援と専門職種間連携法
10	保健・福祉領域における専門職種連携（IPE）の実際　精神障害の自立支援と専門職種間連携法
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 hayashi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
医療福祉をつなぐ関連職種連携（南江堂） 保健医療福祉のための臨床推論（朝倉書店）	全国社会福祉協議会「障害者福祉論」2012年 沢村誠志・奥野英子編「リハビリテーション連携論」2009年 三輪書店

参考文献

講義時に配布

（新）

科目名	作業療法概論			担当者	二木淑子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義は、導入として作業療法の概要を理解し、作業療法に対する探求心を育成することを目的とする。
到達目標：①作業療法士の活動の場について理解する。②作業療法の定義を理解する。③作業療法の治療的意味について理解する。④作業の分類について理解する。⑤生活と作業を関連づけて理解する。⑥作業療法ガイドラインの概要を理解する。⑦作業療法の世界や日本の歴史について理解する。⑧作業療法の現状と課題について理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　自己紹介
2	作業療法の紹介（仕事内容）
3	作業療法の紹介（資格取得までの道のり）
4	作業療法の活動の場とは
5	作業療法の定義
6	「健康」の概念
7	作業療法ガイドラインとは
8	作業療法の歴史
9	作業療法の実践過程について（1）
10	作業療法とＩＣＦについて
11	障害当事者について；心理状態、障害の受容・適応過程、など
12	障害者を持つ家族について；家族の受容・適応過程、など
13	援助者自身について；陥りやすい心理状態、交流分析、など
14	障害当事者 - その家族 - 援助者の相互関係；転移・逆転移、など
15	障害・疾患と心理社会的問題

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

作業療法学全書　作業療法概論

参考書

講義担当者が講義中に配布。

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法概論			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義は、導入として作業療法の概要を理解し、作業療法に対する探求心を育成することを目的とする。
到達目標：①作業療法士の活動の場について理解する。②作業療法の定義を理解する。③作業療法の治療的意味について理解する。④作業の分類について理解する。⑤生活と作業を関連づけて理解する。⑥作業療法ガイドラインの概要を理解する。⑦作業療法の世界や日本の歴史について理解する。⑧作業療法の現状と課題について理解する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　自己紹介
2	作業療法の紹介（仕事内容）
3	作業療法の紹介（資格取得までの道のり）
4	作業療法の活動の場とは
5	作業療法の定義
6	「健康」の概念
7	作業療法ガイドラインとは
8	作業療法の歴史
9	作業療法の実践過程について（1）
10	作業療法とＩＣＦについて
11	障害当事者について；心理状態、障害の受容・適応過程、など
12	障害者を持つ家族について；家族の受容・適応過程、など
13	援助者自身について；陥りやすい心理状態、交流分析、など
14	障害当事者 - その家族 - 援助者の相互関係；転移・逆転移、など
15	障害・疾患と心理社会的問題
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

作業療法学全書　作業療法概論

参考書

講義担当者が講義中に配布。

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	基礎作業学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の基礎である「作業」や「活動」について理解を深める。手段として用いられる作業や作業活動の成り立ちについて学び、作業活動における運動学的・精神学的側面を理解し、作業がもつ治療的要素を関連づけ、作業の奥深さを理解する。「作業とは何か」を知り、作業に関する理論を学び分析の方法について深く理解し、作業療法と作業活動の関係について学習する。そして、作業療法領域における作業の活用方法を学ぶ。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/患者と作業療法/作業療法士と作業
2	作業療法における作業（作業の必要性と意義）/作業とは
3	作業学の構造と研究の枠組み
4	作業を用いた療法に関連する基本的事項：作業活用の歴史/作業のもつ多面性/作業と発達・適応・回復
5	作業の治療への適用/健康促進に向けた作業の活用
6	人間作業モデルと作業①
7	人間作業モデルと作業②
8	人間作業モデルと作業③
9	運動学的分析と作業/精神分析と作業
10	まとめ

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

作業学　ゴールド・マスター・テキスト作業学

参考書

標準作業療法学　基礎作業学・作業療法学全書　基礎作業学・作業　－その治療的応用　作業　その治療的応用　第2版

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	基礎作業学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の基礎である「作業」や「活動」について理解を深める。手段として用いられる作業や作業活動の成り立ちについて学び、作業活動における運動学的・精神学的側面を理解し、作業がもつ治療的要素を関連づけ、作業の奥深さを理解する。「作業とは何か」を知り、作業に関する理論を学び分析の方法について深く理解し、作業療法と作業活動の関係について学習する。そして、作業療法領域における作業の活用方法を学ぶ。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/患者と作業療法/作業療法士と作業
2	作業療法における作業（作業の必要性と意義）/作業とは
3	作業学の構造と研究の枠組み
4	作業を用いた療法に関連する基本的事項：作業活用の歴史/作業のもつ多面性/作業と発達・適応・回復
5	作業の治療への適用/健康促進に向けた作業の活用
6	人間作業モデルと作業①
7	人間作業モデルと作業②
8	人間作業モデルと作業③
9	運動学的分析と作業/精神分析と作業
10	まとめ
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

作業学　ゴールド・マスター・テキスト作業学

参考書

標準作業療法学　基礎作業学・作業療法学全書　基礎作業学・作業　－その治療的応用　作業　その治療的応用　第2版

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	基礎作業学実習Ⅰ			担当者	野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】
概要：作業療法の「作業」を熟考し作業療法の独自性を理解することを目的とする。
到達目標：①集団活動の計画・立案方法を学ぶ。またACISを用いてコミュニケーション評価を理解する。②園芸療法・籐細工・絵手紙・マクラメ・陶芸の実践から、治療的意義や作業工程・道具等の扱い、段階づけを理解する。

【授業の方法】
1クラス40名講義　補助：十河

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	作業療法における「作業」とは，臨床場面での人間作業モデルの活用方法（概要）
2	臨床場面での人間作業モデルの活用方法（OSA・ACIS）
3	園芸療法　①概要・計画立案　②実施・作業療法実践の検討
4	集団活動　①講義・計画立案
5	集団活動　③ACISグループ発表・集団力動効果のグループ発表
6	絵手紙　①概要・実施練習
7	絵手紙　②実施・印の作成
8	籐細工　①概要
9	籐細工　②実施
10	革細工　①概要　実施1
11	革細工　②実施2
12	マクラメ　①概要　実施１
13	マクラメ　①実施2
14	陶芸　①概要　実施1
15	陶芸　①実施2

成績評価の方法・基準
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法
レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）
講義前に予習・復習すること。また、グループ発表、創作課題を自主的に進めること。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書
作業学　ゴールド・マスター・テキスト作業学
作業療法の世界　三輪書店

参考書
標準作業療法学　基礎作業学・作業療法学全書　基礎作業学・作業－その治療的応用作業　その治療的応用　第2版

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	基礎作業学実習Ⅰ			担当者	野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】
概要：作業療法の「作業」を熟考し作業療法の独自性を理解することを目的とする。
到達目標：①集団活動の計画・立案方法を学ぶ。またACISを用いてコミュニケーション評価を理解する。②園芸療法・籐細工・絵手紙・マクラメ・陶芸の実践から、治療的意義や作業工程・道具等の扱い、段階づけを理解する。

【授業の方法】
1クラス40名講義　補助：十河

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	作業療法における「作業」とは，臨床場面での人間作業モデルの活用方法（概要）
2	臨床場面での人間作業モデルの活用方法（OSA・ACIS）
3	園芸療法　①概要・計画立案　②実施・作業療法実践の検討
4	集団活動　①講義・計画立案
5	集団活動　③ACISグループ発表・集団力動効果のグループ発表
6	絵手紙　①概要・実施練習
7	絵手紙　②実施・印の作成
8	籐細工　①概要
9	籐細工　②実施
10	革細工　①概要　実施1
11	革細工　②実施2
12	マクラメ　①概要　実施１
13	マクラメ　①実施2
14	陶芸　①概要　実施1
15	陶芸　①実施2
16	試験

成績評価の方法・基準
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）
レポートおよび課題
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）
講義前に予習・復習すること。また、グループ発表、創作課題を自主的に進めること。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書
作業学　ゴールド・マスター・テキスト作業学
作業療法の世界　三輪書店

参考書
標準作業療法学　基礎作業学・作業療法学全書　基礎作業学・作業－その治療的応用作業　その治療的応用　第2版

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	基礎作業学実習Ⅱ			担当者	野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】
概要：作業療法の「作業」を熟考し作業療法の独自性を理解することを目的とする。諸種の作業活動の特性を把握し、疾患特性および障害特性に応じた活用方法について実習を通して学ぶ。臨床場面を想定して実践をとおして臨床技能を高める。

【授業の方法】
1クラス40名講義　補助：十河

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	作業活動①【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
3	作業活動②【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
4	作業活動③【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
5	作業活動④【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
6	模擬症例に適した作業活動の選択①(自分で作業活動を選択し実施してみる。)
7	模擬症例に適した作業活動の選択②(自分で作業活動を選択し実施してみる。)
8	模擬症例に適した作業活動の選択　作業活動【制作と分析：活動，作業，工程分析】(自分で作業活動を選択し実施してみる)
9	模擬症例に適した作業活動の選択　作業活動【制作と分析：活動，作業，工程分析】(自分で作業活動を選択し実施してみる)
10	模擬症例に適した作業活動の選択　作業活動【制作と分析：活動，作業，工程分析】(自分で作業活動を選択し実施してみる)
11	対象者に作業活動を導入する（対象者を想定した作業活動の導入計画）
12	対象者に作業活動を導入する（対象者を想定した作業活動の導入計画）
13	作業活動を用いた事例（症例検討）グループ討議
14	作業活動を用いた事例（症例検討）グループ討議
15	作業活動を用いた事例（症例検討）

成績評価の方法・基準
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法
レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）
講義前に予習・復習すること。また、グループ発表、創作課題を自主的に進めること。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書
作業学　ゴールド・マスター・テキスト作業学
作業療法実践の仕組み改訂第2版　協同医書出版社

参考書
標準作業療法学　基礎作業学・作業療法学全書　基礎作業学・作業　－その治療的応用作業　その治療的応用　第2版

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	基礎作業学実習Ⅱ			担当者	野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】
概要：作業療法の「作業」を熟考し作業療法の独自性を理解することを目的とする。諸種の作業活動の特性を把握し、疾患特性および障害特性に応じた活用方法について実習を通して学ぶ。臨床場面を想定して実践をとおして臨床技能を高める。

【授業の方法】
1クラス40名講義　補助：十河

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	作業活動①【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
3	作業活動②【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
4	作業活動③【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
5	作業活動④【制作と分析：活動，作業，工程分析と実施】
6	模擬症例に適した作業活動の選択①(自分で作業活動を選択し実施してみる。)
7	模擬症例に適した作業活動の選択②(自分で作業活動を選択し実施してみる。)
8	模擬症例に適した作業活動の選択　作業活動【制作と分析：活動，作業，工程分析】(自分で作業活動を選択し実施してみる)
9	模擬症例に適した作業活動の選択　作業活動【制作と分析：活動，作業，工程分析】(自分で作業活動を選択し実施してみる)
10	模擬症例に適した作業活動の選択　作業活動【制作と分析：活動，作業，工程分析】(自分で作業活動を選択し実施してみる)
11	対象者に作業活動を導入する（対象者を想定した作業活動の導入計画）
12	対象者に作業活動を導入する（対象者を想定した作業活動の導入計画）
13	作業活動を用いた事例（症例検討）グループ討議
14	作業活動を用いた事例（症例検討）グループ討議
15	作業活動を用いた事例（症例検討）
16	試験

成績評価の方法・基準
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）
レポートおよび課題
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）
講義前に予習・復習すること。また、グループ発表、創作課題を自主的に進めること。

履修上の留意事項
授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書
作業学　ゴールド・マスター・テキスト作業学
作業療法実践の仕組み改訂第2版　協同医書出版社

参考書
標準作業療法学　基礎作業学・作業療法学全書　基礎作業学・作業　－その治療的応用作業　その治療的応用　第2版

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	作業療法セミナーⅠ			担当者	二木淑子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：3年間で身につけた作業療法に関する知識を総復習することを目的とする。小テストや模擬試験を行うことにより、作業療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識の定着を行う。特にこのセミナーでは基礎・専門基礎科目における知識の獲得に重点的に置く。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学１
2	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学２
3	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学３
4	専門基礎分野　臨床医学１
5	専門基礎分野　臨床医学２
6	専門基礎分野　臨床医学３
7	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学４
8	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学５
9	専門基礎分野　臨床医学４
10	専門基礎分野　臨床医学５

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。

履修上の留意事項

定期試験の60%以上で単位認定とする

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

クエスチョンバンク
PT/OT国家試験必修ポイント（出版状況に応じて購入）

参考書

国試の達人

参考文献

講義担当者が必要に応じて配布する

（旧）

科目名	作業療法セミナーⅠ			担当者	渡部悠司			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：3年間で身につけた作業療法に関する知識を総復習することを目的とする。小テストや模擬試験を行うことにより、作業療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識の定着を行う。特にこのセミナーでは基礎・専門基礎科目における知識の獲得に重点的に置く。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学１
2	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学２
3	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学３
4	専門基礎分野　臨床医学１
5	専門基礎分野　臨床医学２
6	専門基礎分野　臨床医学３
7	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学４
8	専門基礎分野　解剖学・運動学・生理学５
9	専門基礎分野　臨床医学４
10	専門基礎分野　臨床医学５
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験100%で判定する。得点の60%を超えた場合に合格と判断する。再試験は行わない。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。

履修上の留意事項

定期試験の60%以上で単位認定とする

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

クエスチョンバンク
PT/OT国家試験必修ポイント（出版状況に応じて購入）

参考書

国試の達人

参考文献

講義担当者が必要に応じて配布する

（新）

科目名	作業療法セミナーⅡ			担当者	二木淑子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「作業療法セミナーⅠ」の内容をもとに専門分野の知識を総括し内容を整理して身につけることを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、作業療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは専門科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門分野　作業療法１
2	専門分野　作業療法２
3	専門分野　作業療法３
4	専門分野　作業療法４
5	専門分野　作業療法５
6	専門分野　作業療法６
7	専門分野　作業療法７
8	専門分野　作業療法８
9	専門分野　作業療法９
10	専門分野　作業療法１０

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。

履修上の留意事項

定期試験の60%以上で単位認定とする

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書

クエスチョンバンク
PT/OT国家試験必修ポイント（出版状況に応じて購入する）

参考書

国試の達人

参考文献

講義担当者が必要に応じて配布する

（旧）

科目名	作業療法セミナーⅡ			担当者	野口泰子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「作業療法セミナーⅠ」の内容をもとに専門分野の知識を総括し内容を整理して身につけることを目標とする。小テストや模擬試験を行うことにより、作業療法に関する知識の再確認を行うと共に、知識を定着させる。特にこのセミナーでは専門科目の知識を重点的に身につけることを目的とする。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	専門分野　作業療法１
2	専門分野　作業療法２
3	専門分野　作業療法３
4	専門分野　作業療法４
5	専門分野　作業療法５
6	専門分野　作業療法６
7	専門分野　作業療法７
8	専門分野　作業療法８
9	専門分野　作業療法９
10	専門分野　作業療法１０
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験、それぞれ100%で判定する。得点の60%を超えた場合に合格と判断する。再試験は行わない。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、国家試験対策に挑むこと。

履修上の留意事項

定期試験の60%以上で単位認定とする

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

クエスチョンバンク
PT/OT国家試験必修ポイント（出版状況に応じて購入する）

参考書

国試の達人

参考文献

講義担当者が必要に応じて配布する

（新）

科目名	作業療法管理学概論			担当者	小林隆司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について学ぶ。作業療法倫理と作業療法部門の管理、作業療法教育について理解を深め、より質の高い作業療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する総合的能力を身につける。チームアプローチを基盤とした組織の管理と運営の基礎応用について教授する。また、作業療法士として就業するうえで、人・物・金・時間・情報の管理と人間関係の構築、倫理観や、病院、施設の組織および作業療法施設基準、診療報酬等を含む作業療法部門の管理・運営について学ぶ。
到達目標：①組織における管理の重要性を説明できる。②施設内の管理法について説明できる。③リーダーシップの重要性を説明できる。④作業療法倫理を理解できる。⑤医療保険制度、介護保険制度を理解できる。⑥職場管理、作業療法教育について理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/作業療法部門における管理とは
2	作業療法における職業倫理
3	作業療法業務・組織について①　医療分野１
4	作業療法業務・組織について①　医療分野２
5	作業療法業務・組織について②　保健・福祉分野
6	作業療法業務・組織について③　精神科領域　発達領域
7	作業療法教育(臨床実習教育をふくめた臨床教育の基礎)
8	医療保険制度の理解を深める
9	介護保険制度の理解を深める
10	チームアプローチ・多職種連携について
11	社会保障・障害年金１
12	社会保障・生活保護１
13	作業療法部門の管理・運営１
14	作業療法部門の管理・運営２
15	作業療法部門の管理・運営３

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

作業療法管理学入門/リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック

参考書

作業療法白書　日本作業療法士協会

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法管理学概論			担当者	百田貴洋			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法倫理と作業療法部門の管理について理解を深め、より質の高い作業療法を提供するため、保健・医療・福祉に関する制度（医療保険・介護保険制度を含む）の理解と、組織運営に関する総合的能力を身につける。チームアプローチを基盤とした組織の管理と運営の基礎応用について教授する。また、作業療法士として就業するうえで、人・物・金・時間・情報の管理と人間関係の構築、倫理観や、病院、施設の組織および作業療法施設基準、診療報酬等を含む作業療法部門の管理・運営について学ぶ。
到達目標：①組織における管理の重要性を説明できる。②施設内の管理法について説明できる。③リーダーシップの重要性を説明できる。④作業療法倫理を理解できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	作業療法倫理と管理学について
2	日本の作業療法士の現状・今後の課題
3	作業療法業務・組織について①　医療分野１
4	作業療法業務・組織について①　医療分野２
5	作業療法業務・組織について②　保健分野　福祉分野
6	作業療法業務・組織について③　精神科領域　発達領域　就労支援について１
7	作業療法業務・組織について③　精神科領域　発達領域　就労支援について２
8	チームアプローチ・多職種連携について
9	社会保障・障害年金１
10	社会保障・障害年金２
11	社会保障・生活保護１
12	社会保障・生活保護２
13	作業療法　管理・運営１
14	作業療法　管理・運営２
15	作業療法　管理・運営３
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

作業療法管理学入門/リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック

参考書

作業療法白書　日本作業療法士協会

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	作業療法評価学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法はどのような人たちに対し、どのようなことを目的として、どのように具体的な手段を用いて介入するのかを示しながら作業療法評価に必要な視点を学ぶ。また、「作業」や「作業活動」が人間の生活の中でどのように位置づけられているかを理解しつつ、作業療法実施に必要な作業療法評価と分析について理解を深める。主な作業療法の対象領域における評価の基本的な理論および方法について学習する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　作業療法を取り巻く情勢、作業療法に求めるもの１
2	評価学の基礎：作業療法と評価
3	評価学の基礎：記録・報告の意義と特徴・作業療法効果判定
4	領域共通の評価法：面接法・観察法
5	領域共通の評価法：意識の評価およびバイタルサインの測定，臨床検査値の読み方
6	領域共通の評価法：形態計測・関節可動域測定
7	領域共通の評価法：筋力検査・知覚検査・反射検査
8	領域共通の評価法：姿勢反射検査・筋緊張検査　・協調性検査
9	領域共通の評価法：上肢機能検査　・高次脳機能障害の評価　・興味，役割，QOL評価
10	領域共通の評価法：日常生活活動評価
11	領域共通の評価法：精神機能作業療法評価学の基礎
12	領域共通の評価法：画像情報を評価に活用する（運動器疾患・精神疾患・呼吸器疾患）
13	領域共通の評価法：画像情報を評価に活用する（神経系疾患・基本動作・応用動作）
14	領域共通の評価法：まとめ
15	作業療法における「作業」の意義(作業分析に必要な視点)

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学（医学書院）
リハビリテーション基礎評価学（羊土社）

参考書

新徒手筋力検査法（協同医書）

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法評価学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法はどのような人たちに対し、どのようなことを目的として、どのように具体的な手段を用いて介入するのかを示しながら作業療法評価に必要な視点を学ぶ。また、「作業」や「作業活動」が人間の生活の中でどのように位置づけられているかを理解しつつ、作業療法実施に必要な作業療法評価と分析について理解を深める。主な作業療法の対象領域における評価の基本的な理論および方法について学習する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　作業療法を取り巻く情勢、作業療法に求めるもの１
2	評価学の基礎：作業療法と評価
3	評価学の基礎：記録・報告の意義と特徴・作業療法効果判定
4	領域共通の評価法：面接法・観察法
5	領域共通の評価法：意識の評価およびバイタルサインの測定，臨床検査値の読み方
6	領域共通の評価法：形態計測・関節可動域測定
7	領域共通の評価法：筋力検査・知覚検査・反射検査
8	領域共通の評価法：姿勢反射検査・筋緊張検査　・協調性検査
9	領域共通の評価法：上肢機能検査　・高次脳機能障害の評価　・興味，役割，QOL評価
10	領域共通の評価法：日常生活活動評価
11	領域共通の評価法：精神機能作業療法評価学の基礎
12	領域共通の評価法：まとめ①
13	領域共通の評価法：まとめ②
14	作業療法の定義、作業療法の（治療・介入）の意味
15	作業療法における「作業」の意義(作業分析に必要な視点)
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学（医学書院）
リハビリテーション基礎評価学（羊土社）

参考書

新徒手筋力検査法（協同医書）

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	作業療法評価学実習Ⅰ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の評価における基礎的な技術・知識の習得を目指す。講義で教授した検査・測定技術については自主的に講義外でも練習を重ねること。1つ1つを丁寧に何度も繰り返し正確な技術を身につけることが必要不可欠となる。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①作業療法評価法における概念・種類・目的を説明することができる。②評価から治療・訓練計画に至るまでの概念および解釈の仕方（一部）を理解する。③触診による体表解剖を理解することができる。④実技指導により評価技術の向上を図ることができる。⑤観察、面接、形態測定、関節可動域測定などを実施できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション／作業療法評価法とはなんだろう？
2	評価学の構成とその基礎
3	評価学の構成とその基礎
4	領域共通の評価法1） 人の体に触れるとは(触診)
5	領域共通の評価法2） 人の体の大きさを測ろう(形態測定)
6	領域共通の評価法3） 人の体の大きさを測ろう(形態測定)
7	領域共通の評価法4） 関節の動きを知る
8	領域共通の評価法5） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
9	領域共通の評価法6） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
10	領域共通の評価法7） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
11	領域共通の評価法8） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
12	領域共通の評価法9） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
13	領域共通の評価法10） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
14	領域共通の評価法11） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
15	まとめ

成績評価の方法・基準

筆記試験(30%)実技試験(70%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com　】

教科書

作業療法評価学・ボディ・ナビゲーション
新徒手筋力検査法

参考書

随時紹介

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法評価学実習Ⅰ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の評価における基礎的な技術・知識の習得を目指す。講義で教授した検査・測定技術については自主的に講義外でも練習を重ねること。1つ1つを丁寧に何度も繰り返し正確な技術を身につけることが必要不可欠となる。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：①作業療法評価法における概念・種類・目的を説明することができる。②評価から治療・訓練計画に至るまでの概念および解釈の仕方（一部）を理解する。③触診による体表解剖を理解することができる。④実技指導により評価技術の向上を図ることができる。⑤観察、面接、形態測定、関節可動域測定などを実施できる。

【授業の方法】　1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション／作業療法評価法とはなんだろう？
2	評価学の構成とその基礎
3	評価学の構成とその基礎
4	領域共通の評価法1） 人の体に触れるとは(触診)
5	領域共通の評価法2） 人の体の大きさを測ろう(形態測定)
6	領域共通の評価法3） 人の体の大きさを測ろう(形態測定)
7	領域共通の評価法4） 関節の動きを知る
8	領域共通の評価法5） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
9	領域共通の評価法6） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
10	領域共通の評価法7） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
11	領域共通の評価法8） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
12	領域共通の評価法9） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
13	領域共通の評価法10） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
14	領域共通の評価法11） 関節の動きを測る(関節可動域測定：上肢・下肢)
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験（筆記：30%　実技：70%）を合算して評価する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験　実技試験
再試験も同様とする。

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com　】

教科書

作業療法評価学・ボディ・ナビゲーション
新徒手筋力検査法

参考書

随時紹介

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	作業療法評価学実習Ⅱ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：各評価の概要を学び、その後、実技を通して技術を習得する。作業療法領域に共通する評価法の知識と技術を習得する。講義で教授した検査・測定技術については自主的に講義外でも練習を重ねること。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：次の評価法が習得できる。①徒手筋力検査法②意識の評価③バイタル測定④精神機能・作業療法評価⑤その他

【授業の方法】

1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション・評価の基礎・評価の実際
2	領域共通の評価法1） 人が動く力源（筋力について）
3	領域共通の評価法2） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
4	領域共通の評価法3） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
5	領域共通の評価法4） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
6	領域共通の評価法5） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
7	領域共通の評価法6） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
8	領域共通の評価法7） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
9	領域共通の評価法8） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
10	領域共通の評価法9） 意識の評価およびバイタルサインの測定
11	領域共通の評価法10） 意識の評価およびバイタルサインの測定
12	領域共通の評価法11） 精神機能・作業療法評価学
13	領域共通の評価法12） 精神機能・作業療法評価学
14	領域共通の評価法13） 精神機能・作業療法評価学
15	まとめ

成績評価の方法・基準

筆記試験(30%)実技試験(70%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com　】

教科書

作業療法評価学（医学書院）
リハビリテーション基礎評価学（羊土社）
OSCE（金原出版）

参考書

新・徒手筋力検査法　原著第9版（協同医書）
精神障害と作業療法（三輪書店）　他

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法評価学実習Ⅱ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：各評価の概要を学び、その後、実技を通して技術を習得する。作業療法領域に共通する評価法の知識と技術を習得する。講義で教授した検査・測定技術については自主的に講義外でも練習を重ねること。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：次の評価法が習得できる。①徒手筋力検査法②意識の評価③バイタル測定④精神機能・作業療法評価⑤その他

【授業の方法】　1クラス40名講義　各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション・評価の基礎・評価の実際
2	領域共通の評価法1） 人が動く力源（筋力について）
3	領域共通の評価法2） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
4	領域共通の評価法3） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
5	領域共通の評価法4） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
6	領域共通の評価法5） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
7	領域共通の評価法6） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
8	領域共通の評価法7） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
9	領域共通の評価法8） 人が動く力源（徒手筋力検査法：上肢・下肢）
10	領域共通の評価法9） 意識の評価およびバイタルサインの測定
11	領域共通の評価法10） 意識の評価およびバイタルサインの測定
12	領域共通の評価法11） 精神機能・作業療法評価学
13	領域共通の評価法12） 精神機能・作業療法評価学
14	領域共通の評価法13） 精神機能・作業療法評価学
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験（筆記：30%　実技：70%）を合算して評価する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験　実技試験
再試験も同様とする。

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com　】

教科書

作業療法評価学（医学書院）
リハビリテーション基礎評価学（羊土社）
OSCE（金原出版）

参考書

新・徒手筋力検査法　原著第9版（協同医書）
精神障害と作業療法（三輪書店）　他

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	作業療法評価学実習Ⅲ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：領域共通の評価法を習得する。評価実習に対応する基礎を習得する。評価実習で経験したケース1症例について、統合解釈し、学生・担当教員の前でプレゼンテーションを行う。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：次の評価法（①～④）を習得できる。①筋緊張検査②協調性検査③脳神経検査④その他　次の評価法を（①～⑦）復習する。①形態測定②関節可動域測定③筋力検査④感覚検査⑤反射検査⑥姿勢反射検査⑦その他　経験したケースを共有し、様々な臨床推論を理解し、説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　発表資料を作成し、プレゼンテーションを行う
各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション・評価の基礎・評価の実際
2	領域共通の評価法1）知覚検査
3	領域共通の評価法2）知覚検査
4	領域共通の評価法3）反射検査　姿勢反射検査
5	領域共通の評価法4）反射検査　姿勢反射検査
6	領域共通の評価法5）筋緊張検査
7	領域共通の評価法6）筋緊張検査
8	領域共通の評価法7）協調性検査
9	領域共通の評価法8）協調性検査
10	領域共通の評価法9）評価技術　まとめ
11	領域共通の評価法10）評価技術　まとめ
12	領域共通の評価法11）評価技術　まとめ
13	領域共通の評価法12）評価技術　まとめ
14	領域共通の評価法13）評価技術　まとめ
15	まとめ

成績評価の方法・基準
筆記試験(30%)実技試験(70%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験　実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項
主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com　】

教科書
作業療法評価学（医学書院）
リハビリテーション基礎評価学（羊土社）
OSCE（金原出版）

参考書
新・徒手筋力検査法（協同医書）
精神障害と作業療法（三輪書店）　他

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法評価学実習Ⅲ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：領域共通の評価法を習得する。評価実習に対応する基礎を習得する。評価実習で経験したケース1症例について、統合解釈し、学生・担当教員の前でプレゼンテーションを行う。修得した評価技能を実技試験で行い評価する。
到達目標：次の評価法（①～④）を習得できる。①形態測定②関節可動域測定③筋力検査④感覚検査⑤反射検査⑥姿勢反射検査⑦その他　経験したケースを共有し、様々な臨床推論を理解し、説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義　発表資料を作成し、プレゼンテーションを行う
各種検査用具を持参し、ＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	講義オリエンテーション・評価の基礎・評価の実際
2	領域共通の評価法1）知覚検査
3	領域共通の評価法2）知覚検査
4	領域共通の評価法3）反射検査　姿勢反射検査
5	領域共通の評価法4）反射検査　姿勢反射検査
6	領域共通の評価法5）筋緊張検査
7	領域共通の評価法6）筋緊張検査
8	領域共通の評価法7）協調性検査
9	領域共通の評価法8）協調性検査
10	領域共通の評価法9）評価技術　まとめ
11	領域共通の評価法10）評価技術　まとめ
12	領域共通の評価法11）評価技術　まとめ
13	領域共通の評価法12）評価技術　まとめ
14	領域共通の評価法13）評価技術　まとめ
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準
定期試験（筆記：30%　実技：70%）を合算して評価する。

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験　実技試験
再試験も同様とする。

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項
主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com　】

教科書
作業療法評価学（医学書院）
リハビリテーション基礎評価学（羊土社）
OSCE（金原出版）

参考書
新・徒手筋力検査法（協同医書）
精神障害と作業療法（三輪書店）　他

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	基礎作業療法治療学			担当者	小林隆司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の実践場面で用いる様々な技能に関する理論を学び、適切に活用する力を身につける。様々な領域の作業療法治療場面で活用される諸種の理論や概念の基礎を学ぶ。作業・作業活動を手段として用いる作業療法にとって、作業・作業活動の適切な利用が求められる。その為には、手段として用いられる作業・作業活動の成り立ちについて、作業・作業活動の分析の実際について学ぶ。
到達目標：①作業活動の運動学的側面を理解し分析できる。②作業活動の精神的側面を理解し分析できる。③作業活動の治療的要素を理解し説明することができる。④作業活動の治療要素を関連づけながら理解し説明できる。⑤障害のある「ひと」の評価と作業活動の分析の関連性を理解し説明できる。⑥作業療法の実践過程と作業分析の必要性について理解し説明

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	作業分析とは、作業・作業活動の治療的意味１
2	作業療法の理論の概観1
3	作業療法の概念的実践モデル1
4	作業療法の概念的実践モデル2
5	作業療法の概念的実践モデル3
6	実践での理論の利用
7	作業活動とその障害1
8	作業活動とその障害2
9	計画の立案、実施する作業種目の検討・決定
10	作業活動の分析・実施（授業後に課題の取り組みあり）

成績評価の方法・基準
筆記試験(90%)課題の取組み状況(10%)の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法
筆記試験　課題提出

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　】

教科書
作業療法実践の理論　原書第4版（医学書院）
作業療法の視点 統 作業を通しての健康と公正

参考書
随時紹介

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	基礎作業療法治療学			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の実践場面で用いる様々な技能に関する理論を学び、適切に活用する力を身につける。様々な領域の作業療法治療場面で活用される諸種の理論や概念の基礎を学ぶ。作業・作業活動を手段として用いる作業療法にとって、作業・作業活動の適切な利用が求められる。その為には、手段として用いられる作業・作業活動の成り立ちについて、作業・作業活動の分析の実際について学ぶ。
到達目標：①作業活動の運動学的側面を理解し分析できる。②作業活動の精神的側面を理解し分析できる。③作業活動の治療的要素を理解し説明することができる。④作業活動の治療要素を関連づけながら理解し説明できる。⑤障害のある「ひと」の評価と作業活動の分析の関連性を理解し説明できる。⑥作業療法の実践過程と作業分析の必要性について理解し説明

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	作業分析とは、作業・作業活動の治療的意味１
2	作業療法の理論の概観1
3	作業療法の概念的実践モデル1
4	作業療法の概念的実践モデル2
5	作業療法の概念的実践モデル3
6	実践での理論の利用
7	作業活動とその障害1
8	作業活動とその障害2
9	計画の立案、実施する作業種目の検討・決定
10	作業活動の分析・実施（授業後に課題の取り組みあり）
11	試験

成績評価の方法・基準
筆記試験　課題の取組み状況

試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験（90%）　課題提出（10%）

授業時間外学修（予習・復習等）
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項
主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　】

教科書
作業療法実践の理論　原書第4版（医学書院）
作業療法の視点 統 作業を通しての健康と公正

参考書
随時紹介

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	基礎作業療法治療学実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習を通して医療人として求められる基本的な技能と支援技術を修得する。作業療法の場面に必要な個別および集団におけるコミュニケーションの知識と交流技能を知り実習を通して実践方法を修得する。また集団を活用した作業療法の効果について実践を通して考えるとともに、臨床場面での活用方法を修得する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　作業活動における集団と個別
2	集団活動の基礎（社会集団・対人関係技術・集団療法）①
3	集団活動の基礎（社会集団・対人関係技術・集団療法）②
4	集団活動の技能（作業・活動おける非言語的交流）①
5	集団活動の技能（作業・活動おける非言語的交流）②
6	簡易的共同作業（集団における役割の効果：リーダーシップ・作業における個々の役割）
7	集団を利用した活動への動機づけ（グループダイナミクス）
8	集団における作業および活動の立案と実践①
9	集団における作業および活動の立案と実践②
10	集団における作業および活動の立案と実践③
11	集団における作業および活動の立案と実践④
12	集団活動における個人の分析（観察）とアプローチ実践①
13	集団活動における個人の分析（観察）とアプローチ実践②
14	集団活動における個人の分析（観察）とアプローチ実践③
15	まとめ

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

レポート　課題（授業および実技に関する内容）

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　watanabe@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

ひとと集団・場【新版】治療や援助、支援における場と集団のもちい方

参考書

随時紹介

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	基礎作業療法治療学実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習を通して医療人として求められる基本的な技能と支援技術を修得する。作業療法の場面に必要な個別および集団におけるコミュニケーションの知識と交流技能を知り実習を通して実践方法を修得する。また集団を活用した作業療法の効果について実践を通して考えるとともに、臨床場面での活用方法を修得する。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　作業活動における集団と個別
2	集団活動の基礎（社会集団・対人関係技術・集団療法）①
3	集団活動の基礎（社会集団・対人関係技術・集団療法）②
4	集団活動の技能（作業・活動おける非言語的交流）①
5	集団活動の技能（作業・活動おける非言語的交流）②
6	簡易的共同作業（集団における役割の効果：リーダーシップ・作業における個々の役割）
7	集団を利用した活動への動機づけ（グループダイナミクス）
8	集団における作業および活動の立案と実践①
9	集団における作業および活動の立案と実践②
10	集団における作業および活動の立案と実践③
11	集団における作業および活動の立案と実践④
12	集団活動における個人の分析（観察）とアプローチ実践①
13	集団活動における個人の分析（観察）とアプローチ実践②
14	集団活動における個人の分析（観察）とアプローチ実践③
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

レポートおよび課題（授業および実技に関する内容）
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題の発表については採点に含む。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　watanabe@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

ひとと集団・場【新版】治療や援助、支援における場と集団のもちい方

参考書

随時紹介

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	基礎作業療法治療学実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習を通して医療人として求められる基本的な技能と支援技術を修得する。介助の基本原則・障害別介助の特徴と留意点を学習する。正常動作や介助に利用される「てこの作用」を実際に体験学習する。義肢・装具に関する基礎的知識を学び、その種類と構造や適合判定について学ぶ。スプリントの作成実習を通じて、道具の使い方や材料の加工方法について理解する。
到達目標：①福祉用具の特性を学び、対象者に適した福祉用具の選択ができる。②日常生活の基本肢位である“座位”について考え、座ることへの支援（シーティング）が行える。③生きていくうえで不可欠な“食行動”について、その問題（摂食・嚥下障害）と介入手法を理解する。④ADL評価尺度を適切に使用できる。⑤作業療法援助法について理解する。⑥片麻痺患者の身体特性・心理特性を学び、日常生活支援方法を修得する。

【授業の方法】

1クラス40名講義　起居・移動動作の実技はＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション(総論)
2	福祉用具の基礎知識
3	介護保険における装具福祉用具の活用（制度含む）
4	福祉用具の適応方法と実践
5	福祉用具の適応方法と実践
6	食事動作（摂食・嚥下を含む）の援助実践
7	食事動作（摂食・嚥下を含む）の援助実践
8	作業療法実践（MTDL：実践編）
9	作業療法実践（MTDL：実践編）
10	作業療法実践（MTDL：実践編）
11	作業療法実践（リスクコミュニケーション）
12	作業療法実践（リスクコミュニケーション）
13	座位での活動と介入実践(片麻痺編)
14	作業療法実践（片麻痺患者への動作介助：初学者編）
15	まとめ

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

レポート　課題（授業および実技に関する内容）

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

動作分析　臨床活用講座　メジカルビュー

参考書

指定なし

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	基礎作業療法治療学実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習を通して医療人として求められる基本的な技能と支援技術を修得する。介助の基本原則・障害別介助の特徴と留意点を学習する。正常動作や介助に利用される「てこの作用」を実際に体験学習する。義肢・装具に関する基礎的知識を学び、その種類と構造や適合判定について学ぶ。スプリントの作成実習を通じて、道具の使い方や材料の加工方法について理解する。
到達目標：①福祉用具の特性を学び、対象者に適した福祉用具の選択ができる。②日常生活の基本肢位である“座位”について考え、座ることへの支援（シーティング）が行える。③生きていくうえで不可欠な“食行動”について、その問題（摂食・嚥下障害）と介入手法を理解する。④ADL評価尺度を適切に使用できる。⑤作業療法援助法について理解する。⑥片麻痺患者の身体特性・心理特性を学び、日常生活支援方法を修得する。

【授業の方法】　1クラス40名講義　起居・移動動作の実技はＫＣで実技を行う

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション(総論)
2	福祉用具の基礎知識
3	介護保険における装具福祉用具の活用（制度含む）
4	福祉用具の適応方法と実践
5	福祉用具の適応方法と実践
6	食事動作（摂食・嚥下を含む）の援助実践
7	食事動作（摂食・嚥下を含む）の援助実践
8	作業療法実践（MTDL：実践編）
9	作業療法実践（MTDL：実践編）
10	作業療法実践（MTDL：実践編）
11	作業療法実践（リスクコミュニケーション）
12	作業療法実践（リスクコミュニケーション）
13	座位での活動と介入実践(片麻痺編)
14	作業療法実践（片麻痺患者への動作介助：初学者編）
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

レポートおよび課題（授業および実技に関する内容）
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

動作分析　臨床活用講座　メジカルビュー

参考書

指定なし

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	身体障害作業療法学Ⅰ			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では、主に神経系疾患に対する概要を理解し、各種疾患に対する評価・問題点の抽出、統合解釈から治療過程について教授し、各疾患の特性に応じた作業療法について学ぶ。
到達目標：①各障害、疾患について、その特性を概説できる。②各障害、疾患に応じた評価を選択し、実施できる。③各障害、疾患に応じたADLへの影響を説明できる。④各障害、疾患に応じた生活指導が行える。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳血管障害に対する作業療法（評価編）
2	脳血管障害に対する作業療法（評価編・介入編）
3	脳血管障害に対する作業療法（介入編）
4	脊髄小脳変性症・筋ジストロフィー・多発性筋炎・皮膚筋炎に対する作業療法
5	重症筋無力症・ギランバレー症候群・筋萎縮性硬化症・多発性硬化症に対する作業療法
6	パーキンソン病のリハビリテーションに関するオリエンテーション
7	パーキンソン病と薬物療法　臨床症状
8	パーキンソン病の評価　治療
9	パーキンソン病に対する作業療法アプローチ　運動療法　作業療法種目　ADL関連
10	末梢神経障害の評価　末梢神経障害の作業療法
11	正中・尺骨・橈骨神経障害の作業療法
12	脊髄損傷の作業療法に関するオリエンテーション
13	脊髄損傷に対する評価手段と抱える問題について
14	脊髄損傷の評価・ＡＤＬ訓練について
15	まとめ

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

神経難病領域のリハビリテーションアプローチ/末梢神経の臨床　診断・治療・リハビリテーション/脊髄損傷の理学療法/ 脳卒中のリハビリテーション　生活機能に基づくアプローチ/回転　パーキンソン病の理解とリハビリテーション

参考書

新版　日常生活活動（ＡＤＬ）－評価と支援の実際－

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	身体障害作業療法学Ⅰ			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では、主に神経系疾患に対する概要を理解し、各種疾患に対する評価・問題点の抽出、統合解釈から治療過程について教授し、各疾患の特性に応じた作業療法について学ぶ。
到達目標：①各障害、疾患について、その特性を概説できる。②各障害、疾患に応じた評価を選択し、実施できる。③各障害、疾患に応じたADLへの影響を説明できる。④各障害、疾患に応じた生活指導が行える。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳血管障害に対する作業療法（評価編）
2	脳血管障害に対する作業療法（評価編・介入編）
3	脳血管障害に対する作業療法（介入編）
4	脊髄小脳変性症・筋ジストロフィー・多発性筋炎・皮膚筋炎に対する作業療法
5	重症筋無力症・ギランバレー症候群・筋萎縮性硬化症・多発性硬化症に対する作業療法
6	パーキンソン病のリハビリテーションに関するオリエンテーション
7	パーキンソン病と薬物療法　臨床症状
8	パーキンソン病の評価　治療
9	パーキンソン病に対する作業療法アプローチ　運動療法　作業療法種目　ADL関連
10	末梢神経障害の評価　末梢神経障害の作業療法
11	正中・尺骨・橈骨神経障害の作業療法
12	脊髄損傷の作業療法に関するオリエンテーション
13	脊髄損傷に対する評価手段と抱える問題について
14	脊髄損傷の評価・ＡＤＬ訓練について
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

神経難病領域のリハビリテーションアプローチ/末梢神経の臨床　診断・治療・リハビリテーション/脊髄損傷の理学療法/ 脳卒中のリハビリテーション　生活機能に基づくアプローチ/回転　パーキンソン病の理解とリハビリテーション

参考書

新版　日常生活活動（ＡＤＬ）－評価と支援の実際－

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	身体障害作業療法学Ⅱ			担当者	二木淑子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では整形外科領域を中心とした作業療法について学ぶ。ハンドセラピー、肘関節、肩関節に生じる特異的疾患ならびに、RA、腰部・下肢整形疾患による機能障害と能力低下を理解し、それぞれの特性に応じた作業療法を習得する。
到達目標：①各障害部位、疾患について、その特性を概説できる。②各障害部位、疾患に応じた評価を選択し、実施できる。③RA、腰部・下肢整形疾患によるADLへの影響を説明できる。④RA、腰部・下肢整形疾患患者への生活指導が行える。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	骨・関節損傷のハンドセラピィ(1)
2	骨・関節損傷のハンドセラピィ(2)
3	橈骨遠位端骨折に対する作業療法
4	腱損傷のハンドセラピィ（屈筋腱損傷および伸筋腱損傷）
5	屈筋腱損傷に対する作業療法
6	肘関節疾患のリハビリテーション
7	肩疾患（肩関節周囲炎，腱板損傷）のリハビリテーション
8	大腿骨頚部/転子部骨折について
9	大腿骨頚部/転子部骨折の作業療法
10	変形性股関節症，変形性膝関節症の作業療法
11	脊椎疾患（腰椎圧迫骨折）への生活指導の臨床理論
12	RAと作業療法1（関節リウマチの疾患概要）
13	RAと作業療法2（関節リウマチの疾患概要と作業療法の実践における考え方）
14	RAと作業療法3（関節リウマチ患者に対する作業療法の実践について）
15	RAと作業療法3（関節リウマチ患者に対する作業療法の実践について）

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

中図ほか：上肢運動器疾患の診かた・考えかた．医学書院
鎌倉ほか：作業療法士のためのハンドセラピィ入門．三輪書店など．

参考書

指定なし

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	身体障害作業療法学Ⅱ			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では整形外科領域を中心とした作業療法について学ぶ。ハンドセラピー、肘関節、肩関節に生じる特異的疾患ならびに、RA、腰部・下肢整形疾患による機能障害と能力低下を理解し、それぞれの特性に応じた作業療法を習得する。
到達目標：①各障害部位、疾患について、その特性を概説できる。②各障害部位、疾患に応じた評価を選択し、実施できる。③RA、腰部・下肢整形疾患によるADLへの影響を説明できる。④RA、腰部・下肢整形疾患患者への生活指導が行える。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	骨・関節損傷のハンドセラピィ(1)
2	骨・関節損傷のハンドセラピィ(2)
3	橈骨遠位端骨折に対する作業療法
4	腱損傷のハンドセラピィ（屈筋腱損傷および伸筋腱損傷）
5	屈筋腱損傷に対する作業療法
6	肘関節疾患のリハビリテーション
7	肩疾患（肩関節周囲炎，腱板損傷）のリハビリテーション
8	大腿骨頚部/転子部骨折について
9	大腿骨頚部/転子部骨折の作業療法
10	変形性股関節症，変形性膝関節症の作業療法
11	脊椎疾患（腰椎圧迫骨折）への生活指導の臨床理論
12	RAと作業療法1（関節リウマチの疾患概要）
13	RAと作業療法2（関節リウマチの疾患概要と作業療法の実践における考え方）
14	RAと作業療法3（関節リウマチ患者に対する作業療法の実践について）
15	RAと作業療法3（関節リウマチ患者に対する作業療法の実践について）
16	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

中図ほか：上肢運動器疾患の診かた・考えかた．医学書院
鎌倉ほか：作業療法士のためのハンドセラピィ入門．三輪書店など．

参考書

指定なし

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	身体障害作業療法学Ⅲ			担当者	小林隆司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では、呼吸器・循環器・代謝性疾患患者に作業療法を行う際に必要な知識を修得する。疾患別に基本的なアプローチ法やリスク管理について講義を行う。
到達目標：①日常生活動作における呼吸・循環反応の特徴を理解する。②虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病を中心とした生活習慣病、がん患者に対する基本的な作業療法の実践方法について理解する。③内部障害を抱える患者の安全管理が実践できるようになる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション／呼吸生理・循環生理について
2	日常生活動作における呼吸・循環反応の特徴について
3	循環器疾患の概要と作業療法について（虚血性疾患中心に心疾患患者の疾患特性について）
4	循環器疾患の概要と作業療法について（心疾患患者に対する作業療法について）
5	代謝性疾患の概論と作業療法について（糖尿病および脂質異常の疾患特性について）
6	代謝性疾患の概論と作業療法について（代謝性疾患に対する作業療法について）
7	呼吸器疾患の概要と作業療法について（COPDの疾患特性について①）
8	呼吸器疾患の概要と作業療法について（COPDの疾患特性について②）
9	呼吸器疾患の概要と作業療法について（COPD患者に対する作業療法について）
10	がん患者に対するリハビリテーションと作業療法（概要）

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
リハビリテーションリスク管理ハンドブック／ 呼吸リハビリテーション 第4版（動画でわかる）／ がんのリハビリテーションマニュアル：周術期から緩和ケアまで ／「なぜ」から導く循環器疾患のリハビリテーション 急性期から在宅まで	ナースの内科学

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	身体障害作業療法学Ⅲ			担当者	百田貴洋			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。本講義では、呼吸器・循環器・代謝性疾患患者に作業療法を行う際に必要な知識を修得する。疾患別に基本的なアプローチ法やリスク管理について講義を行う。
到達目標：①日常生活動作における呼吸・循環反応の特徴を理解する。②虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病を中心とした生活習慣病、がん患者に対する基本的な作業療法の実践方法について理解する。③内部障害を抱える患者の安全管理が実践できるようになる。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション／呼吸生理・循環生理について
2	日常生活動作における呼吸・循環反応の特徴について
3	循環器疾患の概要と作業療法について（虚血性疾患中心に心疾患患者の疾患特性について）
4	循環器疾患の概要と作業療法について（心疾患患者に対する作業療法について）
5	代謝性疾患の概論と作業療法について（糖尿病および脂質異常の疾患特性について）
6	代謝性疾患の概論と作業療法について（代謝性疾患に対する作業療法について）
7	呼吸器疾患の概要と作業療法について（COPDの疾患特性について①）
8	呼吸器疾患の概要と作業療法について（COPDの疾患特性について②）
9	呼吸器疾患の概要と作業療法について（COPD患者に対する作業療法について）
10	がん患者に対するリハビリテーションと作業療法（概要）
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
リハビリテーションリスク管理ハンドブック／ 呼吸リハビリテーション 第4版（動画でわかる）／ がんのリハビリテーションマニュアル：周術期から緩和ケアまで ／「なぜ」から導く循環器疾患のリハビリテーション 急性期から在宅まで	ナースの内科学

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	身体障害作業療法学Ⅳ			担当者	小林隆司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。発達障害児・者を治療するうえで基礎となる定型発達を学習する。また、定型発達を理解した上で、異常性を示す脳性麻痺および自閉症などの各疾患について、一般的な臨床像について理解を深める。
到達目標：①定型発達段階を説明できる。②脳性麻痺の分類と各類型別運動発達を理解し、説明できる。③障害特性を理解し、説明できる。④各疾患について、治療計画を立案できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	正常発達概論（胎生期/新生児）
2	正常発達概論（1～6か月）
3	正常発達概論（7～12か月）
4	脳性麻痺の分類・類型別運動発達(痙直型片麻痺・両麻痺・四肢麻痺・アテトーゼ型)
5	脳性麻痺の分類・類型別運動発達(痙直型片麻痺・両麻痺・四肢麻痺・アテトーゼ型)
6	発達障害の障害特性（自閉症スペクトラム）
7	発達障害の障害特性（注意欠如多動症）
8	発達障害の障害特性（幼児期から学童期における諸問題と作業療法）
9	発達障害の障害特性（学童期から青年期における諸問題と作業療法）
10	特別支援学校の作業療法

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
発達障害の作業療法　基礎編・実践編 作業療法マニュアル子どもに対する作業療法	写真でみる乳児の運動発達 ～生後10日から12か月まで（協同医書出版） 生涯人間発達学（三輪書店）

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	身体障害作業療法学Ⅳ			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。発達障害児・者を治療するうえで基礎となる定型発達を学習する。また、定型発達を理解した上で、異常性を示す脳性麻痺および自閉症などの各疾患について、一般的な臨床像について理解を深める。
到達目標：①定型発達段階を説明できる。②脳性麻痺の分類と各類型別運動発達を理解し、説明できる。③障害特性を理解し、説明できる。④各疾患について、治療計画を立案できる。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	正常発達概論（胎生期/新生児）
2	正常発達概論（1～6か月）
3	正常発達概論（7～12か月）
4	脳性麻痺の分類・類型別運動発達(痙直型片麻痺・両麻痺・四肢麻痺・アテトーゼ型)
5	脳性麻痺の分類・類型別運動発達(痙直型片麻痺・両麻痺・四肢麻痺・アテトーゼ型)
6	発達障害の障害特性（自閉症スペクトラム）
7	発達障害の障害特性（注意欠如多動症）
8	発達障害の障害特性（幼児期から学童期における諸問題と作業療法）
9	発達障害の障害特性（学童期から青年期における諸問題と作業療法）
10	特別支援学校の作業療法
11	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
発達障害の作業療法　基礎編・実践編 作業療法マニュアル子どもに対する作業療法	写真でみる乳児の運動発達 ～生後10日から12か月まで（協同医書出版） 生涯人間発達学（三輪書店）

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	身体障害作業療法実習Ⅰ			担当者	十河正樹・渡部悠司・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、各種神経系疾患患者に対する作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各種神経疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳血管患者の作業療法実践①
2	脳血管患者の作業療法実践②
3	脳血管患者の作業療法実践③
4	神経筋疾患患者に対する作業療法実践①
5	神経筋疾患患者に対する作業療法実践②
6	神経筋疾患患者に対する作業療法実践③
7	パーキンソン病に対する作業療法実践①
8	パーキンソン病に対する作業療法実践②
9	パーキンソン病に対する作業療法実践③
10	末梢神経障害に対する作業療法実践①
11	末梢神経障害に対する作業療法実践②
12	脊髄損傷に対する作業療法実践①
13	脊髄損傷に対する作業療法実践②
14	脊髄損傷に対する作業療法実践③
15	まとめ

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

筆記試験　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】

教科書

神経難病領域のリハビリテーションアプローチ/末梢神経の臨床　診断・治療・リハビリテーション/脊髄損傷の理学療法/脳卒中のリハビリテーション　生活機能に基づくアプローチ/図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション

参考書

新版　日常生活活動（ＡＤＬ）－評価と支援の実際－

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	身体障害作業療法実習Ⅰ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、各種神経系疾患患者に対する作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各種神経疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	脳血管患者の作業療法実践①
2	脳血管患者の作業療法実践②
3	脳血管患者の作業療法実践③
4	神経筋疾患患者に対する作業療法実践①
5	神経筋疾患患者に対する作業療法実践②
6	神経筋疾患患者に対する作業療法実践③
7	パーキンソン病に対する作業療法実践①
8	パーキンソン病に対する作業療法実践②
9	パーキンソン病に対する作業療法実践③
10	末梢神経障害に対する作業療法実践①
11	末梢神経障害に対する作業療法実践②
12	脊髄損傷に対する作業療法実践①
13	脊髄損傷に対する作業療法実践②
14	脊髄損傷に対する作業療法実践③
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験および課題
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書

神経難病領域のリハビリテーションアプローチ/末梢神経の臨床　診断・治療・リハビリテーション/脊髄損傷の理学療法/脳卒中のリハビリテーション　生活機能に基づくアプローチ/図説パーキンソン病の理解とリハビリテーション

参考書

新版　日常生活活動（ＡＤＬ）－評価と支援の実際－

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	身体障害作業療法実習Ⅱ			担当者	渡部悠司・吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、整形外科領域における作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践①（ハンドを中心に）
3	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践②（ハンドを中心に）
4	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践③（骨折編）
5	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践④（腱損傷編）
6	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践⑤（腱損傷編）
7	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践⑥（腱板断裂編）
8	大腿骨頚部骨折・転子部骨折の作業療法実践①
9	大腿骨頚部骨折・転子部骨折の作業療法実践②
10	下肢整形疾患に対する作業療法実践
11	脊椎疾患の（腰椎圧迫骨折）への作業療法実践
12	関節リウマチ患者に対する作業療法実践①
13	関節リウマチ患者に対する作業療法実践②
14	関節リウマチ患者に対する作業療法実践③
15	まとめ

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

筆記試験　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 watanabe@motoyama-e.com 】

教科書

中図ほか：上肢運動器疾患の診かた・考えかた、医学書院
鎌倉ほか：作業療法士のためのハンドセラピィ入門、三輪書店など。

参考書

指定なし

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	身体障害作業療法実習Ⅱ			担当者	十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、整形外科領域における作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践①（ハンドを中心に）
3	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践②（ハンドを中心に）
4	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践③（骨折編）
5	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践④（腱損傷編）
6	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践⑤（腱損傷編）
7	上肢・手指機能障害に対する作業療法実践⑥（腱板断裂編）
8	大腿骨頚部骨折・転子部骨折の作業療法実践①
9	大腿骨頚部骨折・転子部骨折の作業療法実践②
10	下肢整形疾患に対する作業療法実践
11	脊椎疾患の（腰椎圧迫骨折）への作業療法実践
12	関節リウマチ患者に対する作業療法実践①
13	関節リウマチ患者に対する作業療法実践②
14	関節リウマチ患者に対する作業療法実践③
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験および課題
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書

中図ほか：上肢運動器疾患の診かた・考えかた、医学書院
鎌倉ほか：作業療法士のためのハンドセラピィ入門、三輪書店など。

参考書

指定なし

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	身体障害作業療法実習Ⅲ			担当者	渡部悠司・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、内部障害領域における作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	バイタルサイン検査方法のとらえ方①
3	バイタルサイン検査方法のとらえ方②
4	血液検査の分析実践①
5	循環器疾患患者に対する作業療法実践①
6	循環器疾患患者に対する作業療法実践②
7	代謝性疾患患者に対する作業療法実践
8	呼吸器疾患患者に対する作業療法実践①
9	呼吸器疾患患者に対する作業療法実践②
10	内部障害を有する患者への在宅生活を支える動作指導と生活環境整備のコツ①
11	内部障害を有する患者への在宅生活を支える動作指導と生活環境整備のコツ②
12	がん患者に対する作業療法実践
13	リスク管理における臨床的思考の実践
14	喀痰等の吸引に関する管理および実践について①
15	喀痰等の吸引に関する管理および実践について②

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　watanabe@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

リハビリテーションリスク管理ハンドブック／呼吸リハビリテーション 第4版（動画でわかる）／ がんのリハビリテーションマニュアル：周術期から緩和ケアまで ／「なぜ」から導く循環器疾患のリハビリテーション 急性期から在宅まで

参考書

ナースの内科学

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	身体障害作業療法実習Ⅲ			担当者	渡部悠司・百田貴洋			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：主要な病態・障害像に対応したアプローチを実践するための技能を修得する。本講義では、内部障害領域における作業療法の実践方法を実習を通して学ぶ。疾患に応じたリスク管理や治療・訓練に必要な技術を学び実践力を高める。各疾患に対する基本的かつ応用的な作業療法治療・訓練・指導技術を修得する。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	バイタルサイン検査方法のとらえ方①
3	バイタルサイン検査方法のとらえ方②
4	血液検査の分析実践①
5	循環器疾患患者に対する作業療法実践①
6	循環器疾患患者に対する作業療法実践②
7	代謝性疾患患者に対する作業療法実践
8	呼吸器疾患患者に対する作業療法実践①
9	呼吸器疾患患者に対する作業療法実践②
10	呼吸器疾患患者に対する作業療法実践③
11	内部障害を有する患者への在宅生活を支える動作指導と生活環境整備のコツ①
12	内部障害を有する患者への在宅生活を支える動作指導と生活環境整備のコツ②
13	がん患者に対する作業療法実践
14	リスク管理における臨床的思考の実践
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

レポートおよび課題
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料・動画を活用し、自発的に学習し、講義に挑むこと。公開された動画を活用すること。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　watanabe@motoyama-e.com　】

教科書

リハビリテーションリスク管理ハンドブック／呼吸リハビリテーション 第4版（動画でわかる）／ がんのリハビリテーションマニュアル：周術期から緩和ケアまで ／「なぜ」から導く循環器疾患のリハビリテーション 急性期から在宅まで

参考書

ナースの内科学

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	老年期障害作業療法学			担当者	二木淑子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：加齢による身体的、心理的、社会的な変化や老年期障害に対する評価、治療に関する概要を理論的に学ぶ。また、脳損傷に起因する高次脳機能障害について、損傷状況、病巣特有の症候を理解し、それぞれの状態に応じた評価と作業療法を学ぶ。認知症あるいは認知症予備軍に対する作業療法を実践できる知識・技術を身につける。
到達目標：①高齢者の尊厳と接し方を理解し、説明できる。②老化について説明できる。③老年期障害の生活・障害構造、社会資源を理解し、具体的援助を想像できる。④老年期作業療法で活用できる検査・測定方法・作業療法アプローチが説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	加齢と疾患・老人の尊厳とその接し方
2	注意障害・記憶障害・言語障害の概要と評価，リハビリテーション
3	視覚認知障害・行為・半側空間無視の概要と評価，リハビリテーション
4	前頭葉機能障害：遂行機能障害とアパシーのリハビリテーション
5	前頭葉機能障害：社会的行動障害の対応とリハビリテーション
6	認知症で生じる認知機能障害，行動・心理症状（BPSD）
7	認知症各論：アルツハイマー病，レビー小体型認知症などの各種の認知症
8	認知症の人が暮らしやすい地域を作るために（予防，認知症サポーター，認知症カフェなど）
9	廃用症候群・誤用症候群・過用症候群のリハビリテーション
10	老年期における運動器疾患のリハビリテーション

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

老人のリハビリテーション　第8版　医学書院

参考書

高齢者リハビリテーション実践マニュアル　メディカルレビュー

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	老年期障害作業療法学			担当者	百田貴洋			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：加齢による身体的、心理的、社会的な変化や老年期障害に対する評価、治療に関する概要を理論的に学ぶ。また、脳損傷に起因する高次脳機能障害について、損傷状況、病巣特有の症候を理解し、それぞれの状態に応じた評価と作業療法を学ぶ。認知症あるいは認知症予備軍に対する作業療法を実践できる知識・技術を身につける。
到達目標：①高齢者の尊厳と接し方を理解し、説明できる。②老化について説明できる。③老年期障害の生活・障害構造、社会資源を理解し、具体的援助を想像できる。④老年期作業療法で活用できる検査・測定方法・作業療法アプローチが説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	加齢と疾患・老人の尊厳とその接し方
2	注意障害・記憶障害・言語障害の概要と評価，リハビリテーション
3	視覚認知障害・行為・半側空間無視の概要と評価，リハビリテーション
4	前頭葉機能障害：遂行機能障害とアパシーのリハビリテーション
5	前頭葉機能障害：社会的行動障害の対応とリハビリテーション
6	認知症で生じる認知機能障害，行動・心理症状（BPSD）
7	認知症各論：アルツハイマー病，レビー小体型認知症などの各種の認知症
8	認知症の人が暮らしやすい地域を作るために（予防，認知症サポーター，認知症カフェなど）
9	廃用症候群・誤用症候群・過用症候群のリハビリテーション
10	老年期における運動器疾患のリハビリテーション
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

老人のリハビリテーション　第8版　医学書院

参考書

高齢者リハビリテーション実践マニュアル　メディカルレビュー

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	老年期障害作業療法実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・野口泰子・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域と連携し、地域住民との交流の場を設け、各世代・各疾病による地域生活における困難さや不便さを理解し、評価の実践、生活指導を介入する体験を通じて、より高度なコミュニケーション能力と思考力を養う。また、地域で生きることの困難さを理解することで、新しいサービスを生み出す創造性を養う機会とする。
到達目標：①地域住民とのコミュニケーションにより、対象者の地域生活の困難さを理解し、説明できる。②各種評価における実施方法（リスク管理含む）を身に付け適切に実施できる。③生活の不自由さや評価結果を統合解釈し、新たな生活を想像し、生活指導ができる。

【授業の方法】

作業療法学科40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　実施概要
2	各種評価準備・生活習慣調査・生活指導の実践方法１
3	各種評価準備・生活習慣調査・生活指導の実践方法２
4	各種評価準備・生活習慣調査・生活指導の実践方法３
5	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供１
6	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供２
7	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供３
8	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供４
9	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認１
10	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認２
11	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認３
12	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認４
13	対象者の面談・最終評価の実施・生活上のアドバイス・集団リハビリ体操など１
14	対象者の面談・最終評価の実施・生活上のアドバイス・集団リハビリ体操など２
15	対象者の面談・最終評価の実施・生活上のアドバイス・集団リハビリ体操など３

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

レポート　課題（授業内容をふまえたもの）

授業時間外学修（予習・復習等）

自発的に学習し、準備・演習を、講義・実施に挑むこと。

履修上の留意事項

対象者に対するリスク管理を行うこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 ooo@motoyama-e.com 】

教科書

授業スケジュールに応じて、適宜、指示する。

参考書

特に指定なし

参考文献　講義時に随時配布。

（旧）

科目名	老年期障害作業療法実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・野口泰子・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域と連携し、地域住民との交流の場を設け、各世代・各疾病による地域生活における困難さや不便さを理解し、評価の実践、生活指導を介入する体験を通じて、より高度なコミュニケーション能力と思考力を養う。また、地域で生きることの困難さを理解することで、新しいサービスを生み出す創造性を養う機会とする。
到達目標：①地域住民とのコミュニケーションにより、対象者の地域生活の困難さを理解し、説明できる。②各種評価における実施方法（リスク管理含む）を身に付け適切に実施できる。③生活の不自由さや評価結果を統合解釈し、新たな生活を想像し、生活指導ができる。

【授業の方法】

作業療法学科40名

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　実施概要
2	各種評価準備・生活習慣調査・生活指導の実践方法１
3	各種評価準備・生活習慣調査・生活指導の実践方法２
4	各種評価準備・生活習慣調査・生活指導の実践方法３
5	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供１
6	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供２
7	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供３
8	対象者の面談・初期評価の実施・生活上のアドバイス・身体・精神活動の提供４
9	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認１
10	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認２
11	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認３
12	対象者への身体・精神活動の提供、生活遂行状態の確認４
13	対象者の面談・最終評価の実施・生活上のアドバイス・集団リハビリ体操など１
14	対象者の面談・最終評価の実施・生活上のアドバイス・集団リハビリ体操など２
15	対象者の面談・最終評価の実施・生活上のアドバイス・集団リハビリ体操など３
16	対象者の面談・最終評価の実施・生活上のアドバイス・集団リハビリ体操など４

成績評価の方法・基準

レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

レポートおよび課題（授業内容をふまえたもの）
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

自発的に学習し、準備・演習を、講義・実施に挑むこと。

履修上の留意事項

対象者に対するリスク管理を行うこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 hayashi@motoyama-e.com 】

教科書

授業スケジュールに応じて、適宜、指示する。

参考書

特に指定なし

参考文献　講義時に随時配布。

（新）

科目名	精神障害作業療法学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。精神科作業療法における治療的介入の方法・プロセスについて理解することを目的とする。また、精神科作業療法の主たる対象疾患の臨床像を理解し、その評価方法・治療・指導・援助内容について理解する。
到達目標：①各種評価について理解する。②各疾患の臨床像について説明できる。③各疾患に応じた作業療法評価について説明できる。④各疾患に応じた治療・指導・援助について説明できる。⑤精神障害分野における作業療法の役割を説明できる。⑥歴史、関連法規、制度について説明できる。⑦精神障害作業療法の実践と治療過程について説明できる。※対象疾患：統合失調症、気分障害、物質依存、人格障害、神経症、摂食障害、てんかんなど

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　精神科作業療法評価実践（外観・第一印象・コミュニケーション能力）
2	精神科作業療法評価実践（対人パターン・作業遂行機能）
3	疾患別作業療法（統合失調症・気分障害・人格障害）
4	疾患別作業療法（物質依存・神経症・摂食障害・てんかん）
5	精神科関連療法の紹介
6	精神障害作業療法の歴史、関連法規・制度について
7	精神科関連療法の紹介/精神科作業療法の視点（回復段階に応じた視点）
8	精神科作業療法の構造と形態
9	精神科作業療法の評価１
10	精神科作業療法の評価２

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 hayashi@motoyama-e.com 】

教科書

精神障害と作業療法
精神疾患の理解と精神科作業療法
作業療法学全書第5巻 作業治療学2 精神障害

参考書

精神医学
作業療法評価学

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	精神障害作業療法学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：作業療法の対象となる疾患特性や障害特性に応じた治療計画立案から治療実施までの一連の流れを疾患および障害像ごとに理論的に学習し、実践力を身につける基盤を構築する。精神科作業療法における治療的介入の方法・プロセスについて理解することを目的とする。また、精神科作業療法の主たる対象疾患の臨床像を理解し、その評価方法・治療・指導・援助内容について理解する。
到達目標：①各種評価について理解する。②各疾患の臨床像について説明できる。③各疾患に応じた作業療法評価について説明できる。④各疾患に応じた治療・指導・援助について説明できる。⑤精神障害分野における作業療法の役割を説明できる。⑥歴史、関連法規、制度について説明できる。⑦精神障害作業療法の実践と治療過程について説明できる。※対象疾患：統合失調症、気分障害、物質依存、人格障害、神経症、摂食障害、てんかんなど

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション　精神科作業療法評価実践（外観・第一印象・コミュニケーション能力）
2	精神科作業療法評価実践（対人パターン・作業遂行機能）
3	疾患別作業療法（統合失調症・気分障害・人格障害）
4	疾患別作業療法（物質依存・神経症・摂食障害・てんかん）
5	精神科関連療法の紹介
6	精神障害作業療法の歴史、関連法規・制度について
7	精神科関連療法の紹介/精神科作業療法の視点（回復段階に応じた視点）
8	精神科作業療法の構造と形態
9	精神科作業療法の評価１
10	精神科作業療法の評価２
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 hayashi@motoyama-e.com 】

教科書

精神障害と作業療法
精神疾患の理解と精神科作業療法
作業療法学全書第5巻 作業治療学2 精神障害

参考書

精神医学
作業療法評価学

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	作業療法演習Ⅰ			担当者	野口泰子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：身体障害、老年期障害領域において臨床場面で遭遇する多様な患者に対して、患者に適した作業療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し作業療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。また、実際の訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践し知識と技術の定着を図る。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/実習で経験する症例からどう学ぶか/臨床思考・臨床推論の面白さ
2	事例報告における文章作成の留意点と秘訣
3	事例報告書の書き方と事例発表（プレゼンテーション）のポイント
4	事例報告から学ぶ(作業療法の実践の全体像をつかむ)
5	事例報告から学ぶ(評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出を中心に)
6	評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出に必要な臨床思考
7	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）(Group work)
8	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）報告会
9	事例報告から学ぶ(目標設定と治療プログラムの立案)
10	事例報告から学ぶ(統合と解釈および考察)
11	事例検討（問題点の抽出および目標設定、治療プログラムの立案）(Group work)
12	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
13	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
14	事例検討（問題点の抽出・治療プログラム立案・統合と解釈・考察）報告会
15	まとめ

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法

レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

老年期作業療法学(作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト)身体障害作業療法学（作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト）

参考書

指定なし

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法演習Ⅰ			担当者	野口泰子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：身体障害、老年期障害領域において臨床場面で遭遇する多様な患者に対して、患者に適した作業療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し作業療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。また、実際の訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践し知識と技術の定着を図る。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/実習で経験する症例からどう学ぶか/臨床思考・臨床推論の面白さ
2	事例報告における文章作成の留意点と秘訣
3	事例報告書の書き方と事例発表（プレゼンテーション）のポイント
4	事例報告から学ぶ(作業療法の実践の全体像をつかむ)
5	事例報告から学ぶ(評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出を中心に)
6	評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出に必要な臨床思考
7	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）(Group work)
8	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）報告会
9	事例報告から学ぶ(目標設定と治療プログラムの立案)
10	事例報告から学ぶ(統合と解釈および考察)
11	事例検討（問題点の抽出および目標設定、治療プログラムの立案）(Group work)
12	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
13	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
14	事例検討（問題点の抽出・治療プログラム立案・統合と解釈・考察）報告会
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）

レポートおよび課題
再試験はレポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

老年期作業療法学(作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト)身体障害作業療法学（作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト）

参考書

指定なし

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	作業療法演習Ⅱ			担当者	野口泰子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：精神障害、発達障害領域において臨床場面で遭遇する多様な患者に対して、患者に適した作業療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し作業療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。また、実際の訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践し知識と技術の定着を図る。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/実習で経験する症例からどう学ぶか/臨床思考・臨床推論の面白さ
2	事例報告から学ぶ(作業療法の実践の全体像をつかむ)
3	事例報告から学ぶ(評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出を中心に)
4	評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出に必要な臨床思考
5	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）(Group work)
6	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）報告会
7	事例報告から学ぶ(目標設定と治療プログラムの立案)
8	事例報告から学ぶ(統合と解釈および考察)
9	事例検討（問題点の抽出および目標設定、治療プログラムの立案）(Group work)
10	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
11	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
12	事例検討（問題点の抽出・治療プログラム立案・統合と解釈・考察）報告会
13	事例検討（事例をとおして作業療法の臨床思考過程を分析する：精神障害）
14	事例検討（事例をとおして作業療法の臨床思考過程を分析する：発達障害）
15	まとめ

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法

レポート　課題

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

発達障害作業療法学(作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト)
精神障害作業療法学(作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト)

参考書

指定なし

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	作業療法演習Ⅱ			担当者	野口泰子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：精神障害、発達障害領域において臨床場面で遭遇する多様な患者に対して、患者に適した作業療法を実施するために演習を通じて知識の統合を図る。事例やペーパーペイシェントを活用し作業療法評価から治療プログラムの立案までの基本的な臨床的思考能力を鍛える。また、実際の訓練や治療場面を想定しながらアプローチ方法を組み立て、実技を交えて実践し知識と技術の定着を図る。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/実習で経験する症例からどう学ぶか/臨床思考・臨床推論の面白さ
2	事例報告から学ぶ(作業療法の実践の全体像をつかむ)
3	事例報告から学ぶ(評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出を中心に)
4	評価結果の解釈の仕方と問題点の抽出に必要な臨床思考
5	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）(Group work)
6	事例検討（評価項目の抽出およびその目的）報告会
7	事例報告から学ぶ(目標設定と治療プログラムの立案)
8	事例報告から学ぶ(統合と解釈および考察)
9	事例検討（問題点の抽出および目標設定、治療プログラムの立案）(Group work)
10	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
11	事例検討（統合と解釈および考察）(Group work)
12	事例検討（問題点の抽出・治療プログラム立案・統合と解釈・考察）報告会
13	事例検討（事例をとおして作業療法の臨床思考過程を分析する：精神障害）
14	事例検討（事例をとおして作業療法の臨床思考過程を分析する：発達障害）
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準

レポート課題（50%）および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度（50%）

試験の方法（再試験の方法も含む）

レポートおよび課題
再試験はレポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　noguchi@motoyama-e.com　】

教科書

発達障害作業療法学(作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト)
精神障害作業療法学(作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト)

参考書

指定なし

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	日常生活活動学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人々の日常生活を医療・福祉の観点から理論的にとらえ対象者のアプローチを行うための基礎的能力を養う。ADLの概念を理解し、ADLの評価手法、福祉用具の構造、種類、処方についての理解を深める。そして、疾患・障害によって異なるADL障害の特徴を知り、日常生活動作の自立および介助量の軽減に向けた指導、訓練方法を学ぶ。また、在宅や施設で生活する高齢者・障害者の生活を支援するために住環境整備に関する知識と関連づけ自立的な生活にあたって必要な福祉機器について、その種類、適応について学習する。
到達目標：①日常生活活動(ADL)の概念および評価方法について説明できる。②福祉用具をあげて、その適応・使用法・指導法について説明できる。③疾患・障害によって異なるADL障害の特徴およびその訓練方法および指導方法について説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/日常生活活動と障害者
2	日常生活活動の概念と意義について(ADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)①
3	日常生活活動の概念と意義について(ADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)②
4	生活関連活動の概念とその範囲と介入例(IADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)①
5	生活関連活動の概念とその範囲と介入例(IADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)②
6	日常生活活動および生活関連動作の評価方法(FIM,BI,その他)①
7	日常生活活動および生活関連動作の評価方法(FIM,BI,その他)②
8	福祉用具（車椅子・杖)の分類と操作、適応について①
9	福祉用具（自助具・在宅生活における支援機器)の分類と操作、適応について②
10	福祉用具（在宅生活における支援機器・コミュニケーション機器)の分類と操作、適応について③

成績評価の方法・基準

筆記試験（90%） 課題の取組み状況（10%）で総合的に判断する。

試験の方法

筆記試験 課題

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 hayashi@motoyama-e.com 】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL(PT・OTビジュアルテキスト)(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	日常生活活動学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人々の日常生活を医療・福祉の観点から理論的にとらえ対象者のアプローチを行うための基礎的能力を養う。ADLの概念を理解し、ADLの評価手法、福祉用具の構造、種類、処方についての理解を深める。そして、疾患・障害によって異なるADL障害の特徴を知り、日常生活動作の自立および介助量の軽減に向けた指導、訓練方法を学ぶ。また、在宅や施設で生活する高齢者・障害者の生活を支援するために住環境整備に関する知識と関連づけ自立的な生活にあたって必要な福祉機器について、その種類、適応について学習する。
到達目標：①日常生活活動(ADL)の概念および評価方法について説明できる。②福祉用具をあげて、その適応・使用法・指導法について説明できる。③疾患・障害によって異なるADL障害の特徴およびその訓練方法および指導方法について説明できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/日常生活活動と障害者
2	日常生活活動の概念と意義について(ADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)①
3	日常生活活動の概念と意義について(ADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)②
4	生活関連活動の概念とその範囲と介入例(IADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)①
5	生活関連活動の概念とその範囲と介入例(IADLの定義、範囲、ICFにおける位置づけ)②
6	日常生活活動および生活関連動作の評価方法(FIM,BI,その他)①
7	日常生活活動および生活関連動作の評価方法(FIM,BI,その他)②
8	福祉用具（車椅子・杖)の分類と操作、適応について①
9	福祉用具（自助具・在宅生活における支援機器)の分類と操作、適応について②
10	福祉用具（在宅生活における支援機器・コミュニケーション機器)の分類と操作、適応について③
11	試験

成績評価の方法・基準

筆記試験 課題の取組み状況

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験（90%） 課題提出（10%）

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 hayashi@motoyama-e.com 】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL(PT・OTビジュアルテキスト)(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	日常生活活動学実習			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：対象者における日常生活動作の自立および介助量を軽減するための具体的な支援技術と方法について実践を通して学ぶ。対象者の多様なニーズや個人因子・環境因子などの背景を考慮した支援技術を身につける。対象者に合わせた介助法、自助具・福祉用具の適応方法、動作指導に必要な技能を身につける。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/指導および援助の基本的な臨床思考
2	自助具および福祉用具の活用実践と適応方法①
3	自助具および福祉用具の活用実践と適応方法①
4	基本動作・応用動作の動作分析の実践（訓練を見据えた臨床思考と動作観察）基本編①
5	基本動作・応用動作の動作分析の実践（訓練を見据えた臨床思考と動作観察）基本編②
6	基本動作・応用動作の動作分析の実践（訓練を見据えた臨床思考と動作観察）症例編③
7	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法①（片麻痺：障害の概要・評価のポイント）
8	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法②（片麻痺：基本動作・応用動作訓練の実際、在宅生活の工夫）
9	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（脊髄損傷）
10	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（切断）
11	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（脳性麻痺・小児）
12	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（高次脳機能障害）
13	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（在宅生活障害）
14	患者の活動と社会参加を促進する日常生活支援(MTDLPの概念をふまえたADLの支援)
15	患者の活動と社会参加を促進する日常生活支援(MTDLPの概念をふまえたADLの支援)

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法

筆記試験 課題（授業内容をふまえたもの）

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL(PT・OTビジュアルテキスト)(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	日常生活活動学実習			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：対象者における日常生活動作の自立および介助量を軽減するための具体的な支援技術と方法について実践を通して学ぶ。対象者の多様なニーズや個人因子・環境因子などの背景を考慮した支援技術を身につける。対象者に合わせた介助法、自助具・福祉用具の適応方法、動作指導に必要な技能を身につける。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/指導および援助の基本的な臨床思考
2	自助具および福祉用具の活用実践と適応方法①
3	自助具および福祉用具の活用実践と適応方法①
4	基本動作・応用動作の動作分析の実践（訓練を見据えた臨床思考と動作観察）基本編①
5	基本動作・応用動作の動作分析の実践（訓練を見据えた臨床思考と動作観察）基本編②
6	基本動作・応用動作の動作分析の実践（訓練を見据えた臨床思考と動作観察）症例編③
7	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法①（片麻痺：障害の概要・評価のポイント）
8	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法②（片麻痺：基本動作・応用動作訓練の実際、在宅生活の工夫）
9	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（脊髄損傷）
10	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（切断）
11	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（脳性麻痺・小児）
12	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（高次脳機能障害）
13	疾患・障害別日常生活活動訓練および動作指導の方法（在宅生活障害）
14	患者の活動と社会参加を促進する日常生活支援(MTDLPの概念をふまえたADLの支援)
15	患者の活動と社会参加を促進する日常生活支援(MTDLPの概念をふまえたADLの支援)
16	試験

成績評価の方法・基準

筆記試験(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験および課題（授業内容をふまえたもの）
再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）

教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に挑むこと。

履修上の留意事項

主として、筆記試験評価で行うが、授業・課題の取組み態度も含む。課題については、〆切厳守すること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】

教科書

新版日常生活活動(ADL)評価と支援の実際
(医歯薬出版株式会社)

参考書

ADL(PT・OTビジュアルテキスト)(羊土社)

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	担当者	横山暁大・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：この講義では、関節運動学を基とした関節内運動の治療を中心に関節に対しての治療手技を実習において学ぶ。関節内運動を考慮した治療を行うには、高度な技術と知識が必要であるため、この講義では、各関節の関節内運動を理解し、関節内運動を実際に使用して治療できるようになることを目標とする。この単元では、触診から上肢下肢～体幹の関節をターゲットとする。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節運動学とは
2	触診技術1
3	触診技術2
4	中手指節関節・指節間関節・大菱形中手骨関節
5	橈骨手根関節・手根骨間関節
6	上橈尺関節・下橈尺関節
7	肩甲上腕関節
8	肩鎖関節・胸鎖関節
9	脛骨大腿関節・距腿関節
10	足部の関節・足根中足関節・中足指節関節
11	股関節
12	体幹の関節内運動
13	肋横突関節・肋椎関節
14	胸椎・頸椎
15	腰椎

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（100%）で判定する。	実技試験

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
SJF関節ファシリテーション 丸善出版	AKA 関節運動学的アプローチ

参考文献　関節運動学の成書は数多くあり、その都度紹介する。

（旧）

科目名	上級治療実習Ⅰ（徒手療法）	担当者	横山暁大・那須宣宏	必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：この講義では、関節運動学を基とした関節内運動の治療を中心に関節に対しての治療手技を実習において学ぶ。関節内運動を考慮した治療を行うには、高度な技術と知識が必要であるため、この講義では、各関節の関節内運動を理解し、関節内運動を実際に使用して治療できるようになることを目標とする。この単元では、触診から上肢下肢～体幹の関節をターゲットとする。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	関節運動学とは
2	触診技術1
3	触診技術2
4	中手指節関節・指節間関節・大菱形中手骨関節
5	橈骨手根関節・手根骨間関節
6	上橈尺関節・下橈尺関節
7	肩甲上腕関節
8	肩鎖関節・胸鎖関節
9	脛骨大腿関節・距腿関節
10	足部の関節・足根中足関節・中足指節関節
11	股関節
12	体幹の関節内運動
13	肋横突関節・肋椎関節
14	胸椎・頸椎
15	腰椎
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
実技試験（100%）で判定する。	実技試験・再試験も実技試験とする。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 yokoyama_a@motoyama-e.com/nasu@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
SJF関節ファシリテーション 丸善出版	AKA 関節運動学的アプローチ

参考文献　関節運動学の成書は数多くあり、その都度紹介する。

（新）

科目名	応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学）	担当者	吉田直樹	必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：工学技術をリハビリテーション分野に応用した、治療やトレーニング、生活支援、介護支援に関するシステム・装置などについて学習する。具体的には、リハビリテーションロボット、介護ロボット、入力・操作補助装置、コミュニケーション補助装置、移動・移乗支援機器、ICTを利用した支援システム、機能的電気刺激などを理解し応用することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	治療・訓練場面におけるリハビリテーション工学の活用例
3	工学機器の活用方法1（ロボット）
4	工学機器の活用方法2（ロボット）
5	工学機器の活用方法3（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
6	工学機器の活用方法4（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
7	工学機器の活用方法5（移動・移乗支援機器）
8	工学機器の活用方法6（移動・移乗支援機器）
9	工学機器の活用方法7（移動・移乗支援機器）
10	工学機器の活用方法8（ICTを利用した支援システム）
11	工学機器の活用方法9（ICTを利用した支援システム）
12	工学機器の活用方法10（機能的電気刺激）
13	工学機器の活用方法11（機能的電気刺激）
14	工学機器の活用方法12（その他）
15	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)	レポート 課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
配布資料あり	特に指定なし

参考文献　リハビリテーション工学と福祉機器（リハビリテーションMOOK）

（旧）

科目名	上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	担当者	吉田直樹	必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：工学技術をリハビリテーション分野に応用した、治療やトレーニング、生活支援、介護支援に関するシステム・装置などについて学習する。具体的には、リハビリテーションロボット、介護ロボット、入力・操作補助装置、コミュニケーション補助装置、移動・移乗支援機器、ICTを利用した支援システム、機能的電気刺激などを理解し応用することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション
2	治療・訓練場面におけるリハビリテーション工学の活用例
3	工学機器の活用方法1（ロボット）
4	工学機器の活用方法2（ロボット）
5	工学機器の活用方法3（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
6	工学機器の活用方法4（入力・操作補助装置/コミュニケーション補助装置）
7	工学機器の活用方法5（移動・移乗支援機器）
8	工学機器の活用方法6（移動・移乗支援機器）
9	工学機器の活用方法7（移動・移乗支援機器）
10	工学機器の活用方法8（ICTを利用した支援システム）
11	工学機器の活用方法9（ICTを利用した支援システム）
12	工学機器の活用方法10（機能的電気刺激）
13	工学機器の活用方法11（機能的電気刺激）
14	工学機器の活用方法12（その他）
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート(50%)および講義で提示される課題の取り組み状況と達成度(50%)	レポートおよび課題 再試験はレポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業には教科書を熟読し、実技がスムースに行えるよう予習をしておくこと。	授業態度は評価に入らないが、授業態度が悪い者は退室を命じる場合がある。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
配布資料あり	特に指定なし

参考文献　リハビリテーション工学と福祉機器（リハビリテーションMOOK）

（新）

科目名	応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)			担当者	山下裕之・鈴木啓子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学習理論に基づくトレーニングやストレッチング、姿勢を整えるためのボディワークを実習を通して実際に行い、身体への気づきを通して身体感覚を高め、自己調整力やストレス対処能力の向上を図ることを目的とする。身体の動きに対する知識を深めるとともに、運動プログラム指導を立案し実習することで、臨床の場で活用できる高度な指導技術の習得を目指す。
到達目標：①運動学習理論に基づくトレーニングを立案できる。②運動学習理論に基づくトレーニングを行うことができる。③運動学習理論に基づくトレーニングを指導することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	身体感覚を高めるボディワーク①
2	身体感覚を高めるボディワーク②
3	身体感覚を高めるボディワーク③
4	姿勢改善のためのボディワーク①
5	姿勢改善のためのボディワーク②
6	姿勢改善のためのボディワーク③
7	運動制御のためのボディワーク①
8	運動制御のためのボディワーク②
9	運動制御のためのボディワーク③
10	リラクゼーションのためのボディワーク①
11	リラクゼーションのためのボディワーク②
12	リラクゼーションのためのボディワーク③
13	運動プログラム指導の立案①
14	運動プログラム指導の立案②
15	運動プログラム指導の実践③

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（指導技術点）:50%、筆記試験：50%	実技試験、筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
機能解剖に関する知識の復習	動きやすい服装で臨むこと

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【suzuki@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
オリジナル教科書にて行う。配布資料あり。	講義内で紹介する。

参考文献
講義内で紹介する。

（旧）

科目名	上級治療実習Ⅲ(セルフコンディショニング)			担当者	立山暢一郎・鈴木啓子			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	実習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：運動学習理論に基づくトレーニングやストレッチング、姿勢を整えるためのボディワークを実習を通して実際に行い、身体への気づきを通して身体感覚を高め、自己調整力やストレス対処能力の向上を図ることを目的とする。身体の動きに対する知識を深めるとともに、運動プログラム指導を立案し実習することで、臨床の場で活用できる高度な指導技術の習得を目指す。
到達目標：①運動学習理論に基づくトレーニングを立案できる。②運動学習理論に基づくトレーニングを行うことができる。③運動学習理論に基づくトレーニングを指導することができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	身体感覚を高めるボディワーク①
2	身体感覚を高めるボディワーク②
3	身体感覚を高めるボディワーク③
4	姿勢改善のためのボディワーク①
5	姿勢改善のためのボディワーク②
6	姿勢改善のためのボディワーク③
7	運動制御のためのボディワーク①
8	運動制御のためのボディワーク②
9	運動制御のためのボディワーク③
10	リラクゼーションのためのボディワーク①
11	リラクゼーションのためのボディワーク②
12	リラクゼーションのためのボディワーク③
13	運動プログラム指導の立案①
14	運動プログラム指導の立案②
15	運動プログラム指導の実践③
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
実技試験（指導技術点）:50%、筆記試験：50%	再試験は実技試験、筆記試験とする
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
機能解剖に関する知識の復習	動きやすい服装で臨むこと

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【tateyama@motoyama-e.com/suzuki@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
オリジナル教科書にて行う。配布資料あり。	講義内で紹介する。

参考文献
講義内で紹介する。

（新）

科目名	生活環境学			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域リハビリテーションに基づき、地域・家庭に暮らす高齢者や障害者の生活環境を理解する。限られた環境の中で、QOLやADLの低下をもたらす環境の障壁について学習をすすめ、住環境整備の評価、改善策の実践や指導が行えるように知識を身に付ける。
到達目標：①障害者、高齢者を取り囲む生活環境の障壁(バリアー)を理解し説明できる。②QOLの向上を目指した生活環境整備の基本的知識、基本的支援技術を理解し、説明できる。③障害者・高齢者のための居住環境調整案（住宅改修案）を作成し、生活支援ができる。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	高齢者を取り巻く社会状況と住環境１
2	高齢者を取り巻く社会状況と住環境２
3	障害を取り巻く社会状況と住環境　住環境コーディネーターの役割と機能
4	障害のとらえ方　リハビリテーションと自立支援
5	高齢者の心身の特性　障害者の心身の特性　在宅介護での自立支援のあり方
6	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備１
7	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備２
8	障害別にみた福祉住環境整備１
9	障害別にみた福祉住環境整備２
10	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方
11	福祉住環境整備の基本技術と実践に伴う知識
12	福祉住環境整備の基本技術と実践に伴う知識
13	福祉住環境整備の基本技術と実践に伴う知識
14	在宅生活における福祉用具の活用
15	まとめ　福祉住環境コーディネーター２級　試験対策

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
改訂3版福祉住環境コーディネーター検定試験 ２級公式テキスト　東京商工会議所　編	U-CANの福祉住環境コーディネーター 2級 速習レッスン

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	生活環境学			担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域リハビリテーションに基づき、地域・家庭に暮らす高齢者や障害者の生活環境を理解する。限られた環境の中で、QOLやADLの低下をもたらす環境の障壁について学習をすすめ、住環境整備の評価、改善策の実践や指導が行えるように知識を身に付ける。
到達目標：①障害者、高齢者を取り囲む生活環境の障壁(バリアー)を理解し説明できる。②QOLの向上を目指した生活環境整備の基本的知識、基本的支援技術を理解し、説明できる。③障害者・高齢者のための居住環境調整案（住宅改修案）を作成し、生活支援ができる。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講義計画（テーマと内容等）	
1	高齢者を取り巻く社会状況と住環境１
2	高齢者を取り巻く社会状況と住環境２
3	障害を取り巻く社会状況と住環境　住環境コーディネーターの役割と機能
4	障害のとらえ方　リハビリテーションと自立支援
5	高齢者の心身の特性　障害者の心身の特性　在宅介護での自立支援のあり方
6	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備１
7	高齢者に多い疾患別にみた福祉住環境整備２
8	障害別にみた福祉住環境整備１
9	障害別にみた福祉住環境整備２
10	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方
11	福祉住環境整備の基本技術と実践に伴う知識
12	福祉住環境整備の基本技術と実践に伴う知識
13	福祉住環境整備の基本技術と実践に伴う知識
14	在宅生活における福祉用具の活用
15	まとめ　福祉住環境コーディネーター２級　試験対策
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【 】

教科書	参考書
改訂3版福祉住環境コーディネーター検定試験 ２級公式テキスト　東京商工会議所　編	U-CANの福祉住環境コーディネーター 2級 速習レッスン

参考文献
講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	地域作業療法学			担当者	小林隆司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域リハビリテーションの理念や現状を学び、作業療法士の役割を理解し、各地域ニーズに応答できる創造力を養う。日本作業療法士協会が開発した、作業療法介入のツールである生活行為向上マネジメントを理解し、各種シートを実践できる能力を養う。
到達目標：①地域社会における現状と課題を説明できる。②地域における関連制度と関連法規を理解し、説明できる。③地域包括ケアを理解し、自立支援における作業療法士の役割を説明できる。④生活行為向上マネジメントを理解し、ベーパーペイシェントで各種シートを作成できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	地域リハビリテーションの概念/地域リハビリテーションの現状と課題
2	地域リハビリテーションの関連制度と関連法規
3	地域包括ケアシステムにおける自立支援1
4	地域包括ケアシステムにおける自立支援2
5	地域におけるリスクマネジメント（リスクコミュニケーション含む）
6	地域における住環境評価と住環境整備（ユニバーサルデザイン、住まい安全チェックリスト）
7	生活行為向上マネジメント概論
8	生活行為向上マネジメント演習１
9	生活行為向上マネジメント演習２
10	生活行為向上マネジメント事例紹介

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

地域理学療法学（PT・OTビジュアルテキスト）
作業療法マニュアル57生活行為向上マネジメント

参考書

地域作業療法学(作業療法学全書)
住環境コーディネーター検定試験　2級公式テキスト

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	地域作業療法学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：地域リハビリテーションの理念や現状を学び、作業療法士の役割を理解し、各地域ニーズに応答できる創造力を養う。日本作業療法士協会が開発した、作業療法介入のツールである生活行為向上マネジメントを理解し、各種シートを実践できる能力を養う。
到達目標：①地域社会における現状と課題を説明できる。②地域における関連制度と関連法規を理解し、説明できる。③地域包括ケアを理解し、自立支援における作業療法士の役割を説明できる。④生活行為向上マネジメントを理解し、ベーパーペイシェントで各種シートを作成できる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	地域リハビリテーションの概念/地域リハビリテーションの現状と課題
2	地域リハビリテーションの関連制度と関連法規
3	地域包括ケアシステムにおける自立支援1
4	地域包括ケアシステムにおける自立支援2
5	地域におけるリスクマネジメント（リスクコミュニケーション含む）
6	地域における住環境評価と住環境整備（ユニバーサルデザイン、住まい安全チェックリスト）
7	生活行為向上マネジメント概論
8	生活行為向上マネジメント演習１
9	生活行為向上マネジメント演習２
10	生活行為向上マネジメント事例紹介
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

地域理学療法学（PT・OTビジュアルテキスト）
作業療法マニュアル57生活行為向上マネジメント

参考書

地域作業療法学(作業療法学全書)
住環境コーディネーター検定試験　2級公式テキスト

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	予防作業療法学			担当者	小林隆司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。特に認知症の発症や進行予防は介護予防・健康増進の重要課題である。近年、生活習慣病やうつ病の予防、運動習慣などの修正可能な要因が発症リスクを減少することが示され、作業療法士などの医療専門職による適切な介入が期待されている。予防作業療法学では、認知症などの疾病や要介護状態に陥るリスクのある状態を防ぐための支援を学ぶことを目的とする。予防医学を基礎とし、作業療法の豊富な知識を保健・健康関連分野の予防など幅広い分野へ応用するための知識と実践的方法について学ぶ。
到達目標：①予防作業療法の必要性を説明できる。②高齢者の特性を説明できる。③認知症の発症と進行に関連する要因を説明できる。④高齢者と認知症の人の転倒予防法について述べることができる。⑤Frailtyについて説明できる。⑥予防作業療法での介入方法を述べることができる。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	Introduction（様々な統計データから、現在の状況を理解する：平均寿命、健康寿命、介護度）
2	予防について学ぶ（一次・二次・三次予防、ヘルスプロモーションなど）
3	予防作業療法に必要な疫学の知識を学ぶ（デザイン、スクリーニング、信頼性・妥当性など）
4	加齢により生じる身体構造の変化を学ぶ
5	認知症の発症予防と進行予防に関連する要因を学ぶ
6	高齢者/認知症の人の転倒予防を学ぶ
7	Frailty（虚弱）について学ぶ／評価・実践を学ぶ（他職種の介入を含めて）
8	予防作業療法で活用可能な評価を学ぶ
9	予防作業療法の実践紹介1
10	予防作業療法の実践紹介2

成績評価の方法・基準

筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　　】

教科書

指定しない。講義担当者が講義中に資料配布。

参考書

講義担当者が講義中に資料配布。

参考文献

講義時に配布

（旧）

科目名	予防作業療法学			担当者	林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	2年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	講義	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：高齢者の介護予防や健康増進は、社会的関心事である。特に認知症の発症や進行予防は介護予防・健康増進の重要課題である。近年、生活習慣病やうつ病の予防、運動習慣などの修正可能な要因が発症リスクを減少することが示され、作業療法士などの医療専門職による適切な介入が期待されている。予防作業療法学では、認知症などの疾病や要介護状態に陥るリスクのある状態を防ぐための支援を学ぶことを目的とする。予防医学を基礎とし、作業療法の豊富な知識を保健・健康関連分野の予防など幅広い分野へ応用するための知識と実践的方法について学ぶ。
到達目標：①予防作業療法の必要性を説明できる。②高齢者の特性を説明できる。③認知症の発症と進行に関連する要因を説明できる。④高齢者と認知症の人の転倒予防法について述べることができる。⑤Frailtyについて説明できる。⑥予防作業療法での介入方法を述べることができる。

【授業の方法】　1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	Introduction（様々な統計データから、現在の状況を理解する：平均寿命、健康寿命、介護度）
2	予防について学ぶ（一次・二次・三次予防、ヘルスプロモーションなど）
3	予防作業療法に必要な疫学の知識を学ぶ（デザイン、スクリーニング、信頼性・妥当性など）
4	加齢により生じる身体構造の変化を学ぶ
5	認知症の発症予防と進行予防に関連する要因を学ぶ
6	高齢者/認知症の人の転倒予防を学ぶ
7	Frailty（虚弱）について学ぶ／評価・実践を学ぶ（他職種の介入を含めて）
8	予防作業療法で活用可能な評価を学ぶ
9	予防作業療法の実践紹介1
10	予防作業療法の実践紹介2
11	試験

成績評価の方法・基準

定期試験もしくは再試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。

試験の方法（再試験の方法も含む）

筆記試験

授業時間外学修（予習・復習等）

講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。

履修上の留意事項

授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【　hayashi@motoyama-e.com　】

教科書

指定しない。講義担当者が講義中に資料配布。

参考書

講義担当者が講義中に資料配布。

参考文献

講義時に配布

（新）

科目名	見学実習			担当者	吉田直樹・十河正樹・渡部悠司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：医療現場で求められる接遇の内容

【第1日～第6日】実習オリエンテーション
見学計画の立案
臨床場面の見学

【実習後】　実習実施報告会
見学実習課題（レポート）

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実習実施報告会（50%）見学実習課題（50%）で判断する。	実習実施報告会・見学実習課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する

（旧）

科目名	見学実習			担当者	十河正樹・吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	1年	履修期単位数	通年1単位	授業形態	実習	時間数	45時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者のもとで、実際の作業療法場面を見学し倫理の重要性を学ぶとともに、実習指導者の他職種とのコミュニケーション場面を見学し、チーム医療の実際を観察する。また、対象者が抱える苦悩や痛みに気づき、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスの重要性を認識し、基盤的資質を涵養する。
到達目標：①倫理の重要性と作業療法業務の概要を理解する。②対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある態度を学ぶ。③臨床現場で対象者や作業療法の現状を知り専門職業人としての意識を高め、自身の課題を発見する。④関連職種と関わりを理解する。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設3日間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設3日間）
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
12	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
13	実習終了後セミナー　見学実習課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　見学実習課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　見学実習課題・セミナー発表

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
見学実習60%，プレゼンテーション20%，レポート20%を合算して評価する。	見学実習　プレゼンテーション　レポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する

（新）

科目名	評価実習			担当者	十河正樹・渡部悠司・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週～第3週】臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の解釈

【第4週】　臨床場面の見学・模倣
対象者への評価実施
評価結果の統合・解釈・まとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査　等
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）医療面接/バイタルチェック/ROMt/BRST/感覚検査/認知機能検査等とする。 実習実施報告会

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	評価実習			担当者	十河正樹・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	前期3単位	授業形態	実習	時間数	135時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識・技術をもとに、実習指導者の指導により情報収集、評価（検査・測定）を実践することで評価の重要性を理解する。また評価結果の解釈までの作業療法評価過程を臨床場面で実践し、解釈・統合する思考力を涵養し、多職種との連携について理解を深める。対象者が抱える苦悩や痛みに共感し、専門職業人としての責任ある態度と徹底的にヒューマンなサービスを基盤として、展開科目で学んだ他分野の視点を生かし、問題意識を育み、対象者の課題や地域の課題への「気づき」を得る。
到達目標：①対象者の苦悩を知り、対象者の目線に立った誠意ある対応と専門職業人として責任ある姿勢を修得する。②臨床現場で対象者に適した情報収集・評価（検査・測定）方法の選択方法を修得する。③対象者へ実施可能な評価（検査・測定）技術を修得する。④実施した評価結果を統合解釈し、対象者を分析する思考力を修得する。⑤チーム医療における作業療法士の役割を理解する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等へ意識を向け、その影響・変化・課題に気づく。

【授業の方法】

作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設3週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　評価実習課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験は，実習成績60%，実技試験30%，プレゼンテーション10%，を合算して評価する。	評価実習　実技試験　プレゼンテーション

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
評価実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 sogo@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】　臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：①作業療法評価（検査・測定）が正確に実施可能かを試験する。
②作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法評価（検査・測定）作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【watanabe@motoyama-e.com　　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	総合実習Ⅰ			担当者	渡部悠司・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：基幹科目で学んだ専門知識と技術と評価実習の成果を基礎とし、実習指導者の指導のもとで、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程と関連職種との連携を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力を身につける。また、関連する他分野から学んだ知識を活用し、評価実習における問題意識を深め、対象者の抱える課題や地域の課題について「気づき」を育て、問題を特定化していく。
到達目標：①基本的な作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握する力を修得する。③対象者に必要な治療計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を修得する。⑤関連職種と情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑥対象者を取り巻く環境および制度等を理解し、その影響・変化・課題に気づき、まとめる力を修得する。

【授業の方法】
作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設10週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　総合実習課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験は、実習成績60%、実技試験30%、プレゼンテーション10%、を合算して評価する。	総合実習　実技試験　プレゼンテーション
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【watanabe@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	十河正樹・野口泰子			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる応用治療技能実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

【実習前】　オリエンテーション
実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に実施可能か試験する。

【第1週】　実習オリエンテーション　評価計画の立案・確認
臨床場面の見学・模倣
事例への評価実施

【第2週】　臨床場面の見学・模倣・実施
対象者への評価実施
治療の実施

【第3週～第8週】　臨床場面の見学・模倣・実施
評価の実施、評価結果の解釈
治療、関連職種との連携を実施

【第9週】　臨床場面の見学・模倣・実施
治療・関連職種との連携を実施
実施した評価・治療・関連職種との連携についてまとめ

【実習後】　実技試験　内容：作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）が安全に効果的に実施可能か試験する。
実習実施報告会

※実習時間は1日8時間とする。

成績評価の方法・基準	試験の方法
実技試験（70%）実習実施報告会（30%）で総合的に判断する。	実習後実技試験：内容は作業療法治療・訓練（ROMex/作業活動/応用的動作訓練 等）とする。 実習実施報告会
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習に関しては実習前に行う実技試験の合格者のみが参加できるものとする。※総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて訪問リハビリテーション及び通所リハビリテーションに関する実習を45時間（1単位）行うこととする。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（旧）

科目名	総合実習Ⅱ			担当者	野口泰子・林聡			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期9単位	授業形態	実習	時間数	405時間

【講義の概要および到達目標】

概要：実習指導者の指導のもと、評価・治療計画の立案・実施・考察という作業療法の全過程を実践し、多職種連携の実際を体験し、作業療法士に必要な問題解決能力と実践力に磨きをかける。また、専門技能練成プログラムと展開力育成プログラムを有機的に組み合わせて運用することにより、職業現場を主導できる高い実践力と豊かな創造力を養うことを目的とする。専門技能練成プログラムは、理論に裏付けられた深い応用力を修得できる上級治療実習と総合実習Ⅱを連動させることにより、対象者の疾病への理解や各種治療に至る思考過程を練磨し、一段高い実践力を身につける。また、展開力育成プログラムのサービス革新モデルあるいは地域活性化モデルで学んだ他分野の視点と知識を活用して、対象者の生活上の課題や地域生活における課題の解決に向けて、「気づき」を深め、アイディアを創出し、サービス革新と新たなサービス創出につなげていく豊かな創造力を養う。
到達目標：①諸種の作業療法評価技術を修得する。②作業療法評価結果を分析し、対象者の全体像を把握できる。③対象者に必要な作業計画の立案方法を修得する。④評価・治療計画立案・実施・考察という作業療法の全過程を体験し実践する。⑤対象者に必要な作業療法治療技術・指導・支援方法と応用力を修得する。⑥チーム医療における作業療法士の役割を認識し、情報交換ができるコミュニケーション能力を修得する。⑦対象者を取り巻く環境および制度等の課題について、「気づき」を深め、解決案の提案につなげていくことができる。

【授業の方法】
作業療法学科40名　実習　プレゼンテーション

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	実習オリエンテーション
2	実習前セミナー
3	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日（1施設10週間）
4	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
5	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
6	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
7	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
8	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
9	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
10	平成○○年○月○日～平成○○年○月○日
11	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
12	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
13	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
14	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
15	実習終了後セミナー　総合実習Ⅱ課題・セミナー発表
16	実技試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験は、実習成績60%、実技試験30%、プレゼンテーション10%、を合算して評価する。	総合実習　実技試験　プレゼンテーション
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
実習に係る事前準備 プレゼン資料の作成に係る準備を自主的に行う。	実習指導者と事前打ち合わせを行うこと。 課題への取り組み、発表について採点する。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【noguchi@motoyama-e.com/hayashi@motoyama-e.com　】

教科書	参考書
実習で必要とするすべての専門書	特に指定なし

参考文献　オリエンテーション時に配布する。

（新）

（削除）

（旧）

科目名	スポーツ科学				担当者	安田従生			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年		履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：日常生活から競技スポーツに至るまで、身体運動を科学するためのアプローチの仕方（実験手法等）を学んでいく。特に、バイオメカニクスや運動生理学的観点から至適バイオマーカーを精選し、侵襲的・非侵襲的方法に基づきながら、様々な課題において包括的に検討する。この科目を履修することにより、様々な職業現場で、生体における未解決になっている事象に対して問題提起し（課題発見力）、自らその問題解決に挑戦しようとする問題解決力を養い、対象者の課題やニーズに応じた新たなサービスを創造する力を身につける。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーションとスポーツ科学の概念
2	定性分析と定量分析
3	演繹法と帰納法
4	侵襲的法と非侵襲的法
5	スポーツバイオメカニクスの概念①（キネティクス:運動力学）
6	スポーツバイオメカニクスの測定法①（キネティクス的アプローチ）
7	スポーツバイオメカニクスの概念②（キネマティクス:動作解析、運動学）
8	スポーツバイオメカニクスの測定法②（キネマティクス的アプローチ）
9	データを用いた解析演習①（パラメトリック、ノンパラメトリック法）
10	データを用いた解析演習②（ステューデントのT検定、一元分散分析法）
11	スポーツ・運動生理学の概念①（瞬発系、ミドル系、持久系）
12	スポーツ・運動生理学に関連する測定法①（瞬発系、ミドル系、持久系）
13	データを用いた解析演習①（パラメトリック、ノンパラメトリック法）
14	データを用いた解析演習②（ステューデントのT検定、一元分散分析法）
15	授業の総括
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
授業資料に沿って授業が進むため、講義前には熟読しておくこと。	特になし

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com】

教科書	参考書
担当者が配布する資料	必要に応じて授業中に紹介する。

参考文献　講義担当者が配布する。

（新）

科目名	人間工学				担当者	吉田直樹			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年		履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人をとりまくさまざまな物や環境との整合性を図る人間工学の基礎を学ぶ。人間工学における基本的な考え方を理解し、人間工学の原則に基づく新たなサービスを創造する力を身につける。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/人間工学とは/人間工学が扱う領域
2	人間工学の歩み
3	安全人間工学
4	工学の視点からみる人間の特性1
5	工学の視点からみる人間の特性2
6	工学の視点からみる人間の特性3
7	人の生活と工学の関わり1（ヒューマンインタフェイス）
8	人の生活と工学の関わり2（ヒューマンインタフェイス）
9	人の生活と工学の関わり3（ヒューマンインタフェイス）
10	リハビリテーション医療と工学の結びつき1
11	リハビリテーション医療と工学の結びつき2
12	人間工学の視点からみた未来のリハビリテーション医療
13	人間工学の視点からみた未来の在宅介護サービス
14	人間工学の視点からみた未来の人々の生活
15	まとめ

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
新版　暮らしの中の人間工学(実教出版)	特に指定なし

参考文献　講義担当者が配布する

（旧）

科目名	人間工学				担当者	吉田直樹			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年		履修期 単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：人をとりまくさまざまな物や環境との整合性を図る人間工学の基礎を学ぶ。人間工学における基本的な考え方を理解し、人間工学の原則に基づく新たなサービスを創造する力を身につける。

【授業の方法】
1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/人間工学とは/人間工学が扱う領域
2	人間工学の歩み
3	安全人間工学
4	工学の視点からみる人間の特性1
5	工学の視点からみる人間の特性2
6	工学の視点からみる人間の特性3
7	人の生活と工学の関わり1（ヒューマンインタフェイス）
8	人の生活と工学の関わり2（ヒューマンインタフェイス）
9	人の生活と工学の関わり3（ヒューマンインタフェイス）
10	リハビリテーション医療と工学の結びつき1
11	リハビリテーション医療と工学の結びつき2
12	人間工学の視点からみた未来のリハビリテーション医療
13	人間工学の視点からみた未来の在宅介護サービス
14	人間工学の視点からみた未来の人々の生活
15	まとめ
16	試験

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
定期試験・再試験それぞれ100%で判定する。定期試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
講義前に予習・復習すること。また、各講義後には要点をノートにまとめておくこと。	授業中に配布した資料は毎回持参すること。理由によらず追加配布は行わない。

質問に関する連絡先
- □ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
- □ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
新版　暮らしの中の人間工学(実教出版)	特に指定なし

参考文献　講義担当者が配布する

（新）　（旧）

科目名	地域生活と健康			担当者	安田従生			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	年	履修単位数	後期2単位	授業形態	実習	時間数	30時間

（追加）

【講義の概要および到達目標】

概要：地域社会や学校教育現場での運動・スポーツ活動に基づいた至適健康教育プログラムの提供及び構築を、運動生理学に基づいた科学的根拠を基盤としながら、健康的側面(健康の維持・増進)と競技的側面(競技力の向上)の両側面から検討していく。

到達目標：①各種対象者（成長期の男女、高齢者、身体障害者等）やライフステージに合わせた健康の維持・増進のための健康教育の基礎的知識を身に付ける。②地域社会や学校教育現場に対する科学的情報の適切なフィードバックを考える力を養う。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/健康教育における健康的側面(健康の維持・増進)と競技的側面(競技力の向上
2	生活習慣病の予防・改善とオーバートレーニングの予防・改善
3	最新の科学的知見に基づいた指導者への教育的情報の提供 I：成長期男女を育成する指導者
4	最新の科学的知見に基づいた指導者への教育的情報の提供 II：高齢者をサポートする医療従事者等
5	最新の科学的知見に基づいた指導者への教育的情報の提供 III：身体障害者をケアする医療従事者
6	青少年を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 I：栄養・水分摂取の至適バランス
7	青少年を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 II：女子における三主徴
8	青少年を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 III：神経・筋機能及び全身持久力の向上
9	高齢者を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 I：栄養・水分摂取の至適バランス
10	高齢者を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 II：神経・筋機能及び全身持久力の向上
11	高齢者を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 III：サルコペニア、骨粗鬆症の予防・改
12	身体障害者を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 I：栄養・水分摂取の至適バランス
13	身体障害者を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 II：神経・筋機能及び全身持久力の向
14	身体障害者を対象とした健康の維持・増進及び競技力の向上 III：バリアフリーとアダプテッドスポー
15	総括

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判定する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
参考資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 yasuda@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
特になし	標準生理学（医学書院）等

参考文献

講義時に配布する資料

（新）　（旧）

科目名	特別支援教育			担当者	小林隆司			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修単位数	前期2単位	授業形態	講義	時間数	30時間

（追加）

【講義の概要および到達目標】

概要：教育現場で期待されている作業療法士の役割を広く知り、特別なニーズを持つ子どもをが地域で生活するための支援方法について学ぶ。教育現場における作業療法士の介入が広まっているなかで学校内外の機関および専門家と連携するための基礎的な力を身につける。

【授業の方法】

1クラス40名講義

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	授業のオリエンテーション・学校教育
2	作業療法と学校教育について
3	発達障害の特性について
4	発達障害をめぐる特別支援教育、就労支援など（概要）
5	学校教育・特別支援教育における諸課題
6	特別なニーズを持つ子どもの学校生活（就学前）
7	特別なニーズを持つ子どもの学校生活（学校別）①
8	特別なニーズを持つ子どもの学校生活（学校別）②
9	特別なニーズを持つ子どもの生活（学童保育・放課後デイの現状と課題）
10	特別なニーズを持つ子どもの学校生活（学校別）③
11	特別なニーズを持つ子どもの卒業後の就労支援
12	特別なニーズを持つ子どもの家族を巡る課題
13	学校や施設で障害のある人たちを支援するということ
14	特別なニーズを持つ大人の現状と課題
15	総括（学校教育のなかで作業療法を展開するためには）

成績評価の方法・基準	試験の方法
筆記試験の結果が総合得点の60%を超えた場合に合格と判断する。	筆記試験
授業時間外学修（予習・復習等）	**履修上の留意事項**
教科書、配布した資料を基に、自発的に学習し、講義に臨むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com

□ その他連絡先【 】

教科書	参考書
なし	

参考文献

講義担当者が講義中に配布。

（新）

科目名	総合研究Ⅰ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：学生が設定しようとする研究テーマについて、先行研究の把握（論文抄読）とその要約・レビュー、実現可能な研究計画書の作成演習（倫理委員会での審査を含む研究手法の組み立てとその手順）を通じて、論文執筆演習を段階的に行う。
到達目標：①実際の研究テーマに沿った、先行研究の要約・レビューができる。②研究計画書の作成ができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/研究論文執筆演習（研究立案から研究開始までの研究計画）
2	緒言の執筆演習 I（研究の学術的背景）
3	緒言の執筆演習 II（先行研究の選定及び論理的展開とその列挙）
4	緒言の執筆演習 III（研究目的を設定する際の疑問点、課題点）
5	緒言の執筆演習 IV（研究の目的及び仮説の設定）
6	研究方法の執筆演習 I（被検者数、身体的特徴）
7	研究方法の執筆演習 II（同意書の取得及び調査・実験に関する方法・手順）
8	研究方法の執筆演習 III（統計処理：パラメトリック、ノンパラメトリック検定）
9	期待される結果の執筆演習（仮説通りの結果及び仮説に反する結果の取り扱い）
10	緒言から期待される結果までの整合性のチェック

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に取り組むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	総合研究Ⅰ			担当者	勅使川原匡　他8名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、3年前期までの総合的な学びと「テーマ設定と研究方法」を基に、障害や地域の諸問題に関するテーマについて議論し、実際に研究デザインを計画・実行し進める。なお、本講義はゼミ形式で行うため、講義時間などは指導教官の指示に従うこと。
到達目標：①テーマを適切に設定できる。②研究に必要な文献レビューができる。③研究計画を適切に立案できる。④研究デザインをプレゼンテーションできる。

【授業の方法】

ゼミ形式（10名程度）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究デザインから論文執筆までの一連の流れ
2	ヒトを対象とした研究遂行
3	動物を対象とした研究遂行
4	研究倫理と同意書（障害や地域の諸問題）
5	予備実験の設定①（被験者の仮設定）
6	予備実験の設定②（実験場所・設備の確認）
7	予備調査の設定①（質問用紙の作成）
8	予備調査の設定②（対象集団の仮選定）
9	期待される結果①（データ処理の至適検討）
10	期待される結果②（現象の抽出）

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
研究計画書（指導教官の認証を得たものに限る）	研究計画書提出（指導教官の認証を得たものに限る）

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	研究についてのディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	総合研究Ⅱ			担当者	勅使川原匡　他6名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：総合研究Ⅱでは、総合研究Ⅰでの執筆演習を受けて、実際に遂行中の研究精度を吟味し、研究結果を解釈しまとめる。各種専門領域別の担当指導教官の下、実施中の研究とその確認（研究計画の修正及び追加実験等の必要性）を段階的に行う。具体的には、学生が設定した研究テーマについて、①先行研究における要約の妥当性、②テーマに沿った疑問点、問題点及びそれに伴う仮説の適切性、③研究方法の透明性、④統計処理の有効性、⑤結果の解釈に伴う科学的根拠の信頼性等について議論し、研究の精度を高めていく。
到達目標：①論文の骨格を明確にする。②科学的根拠に基づいた研究結果の解釈ができる。

【授業の方法】

ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	オリエンテーション/論文執筆への手順
2	緒言の執筆 I（研究の背景における適切な明示）
3	緒言の執筆 II（先行研究に基づく科学的根拠の紹介及び選定）
4	緒言の執筆 III（課題点の明確な説明と研究の目的及び仮説の設定）
5	研究方法の執筆 I（被検者数、身体的特徴等の正確な記載）
6	研究方法の執筆 II（調査並びに実験の方法・手順、統計処理の具体的表示）
7	結果の執筆 I（研究結果に基づいた適切なデータ図表の作成）
8	結果の執筆 II（作成したデータ図表に基づく顕著な結果の記載）
9	考察の執筆（先行研究と本研究とにおける類似点の科学的根拠の対照）
10	緒言から考察及び参考文献の整合性のチェック

成績評価の方法・基準	試験の方法
研究計画に準じたレポート提出にて判定する。	レポート

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に取り組むこと。	特になし

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定なし	随時紹介

参考文献　講義担当者が講義中に配布。

（旧）

科目名	総合研究Ⅱ			担当者	勅使川原匡　他8名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：本講義では、3年後期までの総合的な学びと各疾患や各地域の諸問題に関する研究デザインを基に、ゼミ形式で議論を繰り返し行い、研究結果を統合・解釈し、卒業論文を作成する。また、卒業論文発表に向けての準備、プレゼンテーション力を育成する。なお、本講義はゼミ形式で行うため講義時間などは指導教官の指示に従うこと。
到達目標：①研究デザインに沿って、論文作成を進めることができる②適切に論文について、討議ができる。③自主的に論文レビューができ、系統的に考察できる。④卒業論文を進度に応じてプレゼンテーションできる。

【授業の方法】

ゼミ形式（10人程度）

講 義 計 画（テーマと内容等）

1	研究指導１　（研究の進め方ガイダンス・研究方法指導）
2	研究指導２　（研究機器使用説明・研究実施について）
3	研究指導３　（研究実施について１）
4	研究指導４　（研究実施について２）
5	研究指導５　（研究実施について３）
6	研究指導６　（論文指導・結果のまとめ方１）
7	研究指導７　（論文指導・結果のまとめ方２）
8	研究指導８　（論文指導・結果のまとめ方３・研究報告会プレゼンテーション指導１）
9	研究指導９　（論文指導・研究報告会プレゼンテーション指導２）
10	研究指導１０　（論文指導・研究報告会プレゼンテーション指導３）

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
報告発表会の内容にて判断する。	論文進捗状況の発表と内容にて判断する。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し研究に挑むこと。	研究についてのディスカッションを自主的に行う。 発表の内容・スライド・に関しては事前に指導教官に相談し承認を得ること。

質問に関する連絡先

□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	安田従生・小林隆司・十河正樹			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

	講 義 計 画（テーマと内容等）
1	オリエンテーション、「気づき」を育て問題を特定化するアプローチ
2	課題や問題点に関する感性を磨く① －現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
3	課題や問題点に関する感性を磨く② －現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
4	課題や問題点に関する感性を磨く③ －現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
5	課題や問題点に関する感性を磨く④ －現場での「気づき」を得るための視角－
6	課題や問題点に関する感性を磨く⑤ －「気づき」を選定するための視角－
7	課題や問題点に関する感性を磨く⑥ －「気づき」を選定するための視角－
8	課題や問題点に関する感性を磨く⑦ －「気づき」の特定化－
9	課題や問題点に関する感性を磨く⑧ －「気づき」の特定化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com/sogo@motoyama-e.com】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（旧）

科目名	総合演習Ⅰ			担当者	安田従生・十河正樹・渡部悠司			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	3年	履修期単位数	後期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：これまでの様々な経験を振り返りながら、学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズとは何かについて、「気づき」を育て問題を特定化するために必要な感性を養い、「総合演習Ⅱ」での「気づき」を「アイディア」へと具体化する演習へと繋げていく。
到達目標：疑問や問題点を列挙し整理できる。

【授業の方法】
1クラス40名

	講 義 計 画（テーマと内容等）
1	オリエンテーション、「気づき」を育て問題を特定化するアプローチ
2	課題や問題点に関する感性を磨く① －現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
3	課題や問題点に関する感性を磨く② －現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
4	課題や問題点に関する感性を磨く③ －現場での「気づき」の蓄積を得るための視角－
5	課題や問題点に関する感性を磨く④ －現場での「気づき」を得るための視角－
6	課題や問題点に関する感性を磨く⑤ －「気づき」を選定するための視角－
7	課題や問題点に関する感性を磨く⑥ －「気づき」を選定するための視角－
8	課題や問題点に関する感性を磨く⑦ －「気づき」の特定化－
9	課題や問題点に関する感性を磨く⑧ －「気づき」の特定化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com/sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する。

（新）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	安田従生・小林隆司			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい

【授業の方法】
1クラス40名講義

	講 義 計 画（テーマと内容等）
1	オリエンテーション、「気づき」を「アイディア」へと具体化するアプローチ
2	課題や問題点に関する「気づき」を育てる① －「アイディア」の洗練－
3	課題や問題点に関する「気づき」を育てる② －「アイディア」の洗練－
4	課題や問題点に関する「気づき」を育てる③ －「アイディア」の洗練－
5	課題や問題点に関する「気づき」を育てる④ －「アイディア」の発展－
6	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑤ －「アイディア」の発展－
7	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑥ －「アイディア」の発展－
8	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑦ －「アイディア」の具体化－
9	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑧ －「アイディア」の具体化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【yasuda@motoyama-e.com/noguchi@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する

（旧）

科目名	総合演習Ⅱ			担当者	安田従生・十河正樹・渡部悠司			必修/選択	選択
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	前期1単位	授業形態	演習	時間数	15時間

【講義の概要および到達目標】

概要：「総合演習Ⅰ」の発展形として、これまでの学修成果を統合的に活用し、職業現場や地域生活が抱える課題やニーズを新しいサービスの形にしていくために、「気づき」（データの獲得）を「アイディア」へと具体化するアプローチ（法則性を見出す）を段階的に学んでいく。
到達目標：課題設定能力を身に付け、課題の解決に向けた活動を計画することができる。
※「総合演習Ⅰ」を受講していない場合でも受講できるが、「総合演習Ⅰ」の受講が望ましい

【授業の方法】
1クラス40名講義

	講 義 計 画（テーマと内容等）
1	オリエンテーション、「気づき」を「アイディア」へと具体化するアプローチ
2	課題や問題点に関する「気づき」を育てる① －「アイディア」の洗練－
3	課題や問題点に関する「気づき」を育てる② －「アイディア」の洗練－
4	課題や問題点に関する「気づき」を育てる③ －「アイディア」の洗練－
5	課題や問題点に関する「気づき」を育てる④ －「アイディア」の発展－
6	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑤ －「アイディア」の発展－
7	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑥ －「アイディア」の発展－
8	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑦ －「アイディア」の具体化－
9	課題や問題点に関する「気づき」を育てる⑧ －「アイディア」の具体化－
10	授業の総括

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
レポート課題（100%）で判定する。	レポート課題

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
自発的に担当者と相談し事前準備を行うこと。	ディスカッションを自主的に行う。 進捗状況についてゼミ内での発表を課すことあり。準備を怠らないこと。

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【sogo@motoyama-e.com/watanabe@motoyama-e.com 】

教科書	参考書
特に指定しない	随時紹介

参考文献　必要時に配布する

（新）

科目名	卒業論文			担当者	勅使川原匡　他8名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療・福祉・介護などの現場や地域での実践を踏まえ、その中で見つけた課題をもとに、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を活かして、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、理学療法・作業療法における基本的な治療・訓練に関わる研究や、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新たなサービスを創出する職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組み卒業論文にまとめる。

【授業の方法】
ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	卒業論文構想発表１(研究の背景・研究目的 検討)
2	卒業論文構想発表２（仮説の設定や期待される効果の検討１）
3	卒業論文構想発表３（仮説の設定や期待される効果の検討２）
4	卒業研究演習１（本研究の目的と結論がマッチングしているか）
5	卒業研究演習２（サンプルサイズ・効果量等の検討）
6	卒業研究演習３（統計処理法の検討）
7	卒業研究演習４（各種方法論の検討）
8	卒業研究演習５（図表の検討）
9	総括１（引用文献の検討）
10	総括２（書式・フォーマットの検討）
11	総括３（誤字・脱字の検討）
12	研究報告会１＆論文の加筆・修正
13	研究報告会２＆論文の加筆・修正
14	研究報告会３＆論文の加筆・修正
15	研究報告会４＆論文の加筆・修正

成績評価の方法・基準	試験の方法
卒業論文の発表と完成した卒業論文を評価する。	論文

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
卒業論文と発表に関して十分に準備を行うこと。	特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
論文作成に必要な書籍全て	特になし

参考文献　担当者が配布する。

（旧）

科目名	卒業論文			担当者	勅使川原匡　他8名			必修/選択	必修
学科	作業療法	学年	4年	履修期単位数	後期2単位	授業形態	演習	時間数	30時間

【講義の概要および到達目標】

概要：医療・福祉・介護などの現場や地域での実践を踏まえ、その中で見つけた課題をもとに、高い実践力と新しいサービスを創出する展開力を活かして、各分野の研究活動に積極的に取り組む。また、理学療法・作業療法における基本的な治療・訓練に関わる研究や、対象者の生活上の課題や地域生活における課題について、サービスの革新と新たなサービスを創出する職業現場に密着した研究体制を整え、対象者や地域社会に貢献できる研究に取り組み卒業論文にまとめる。

【授業の方法】
ゼミ形式

講 義 計 画（テーマと内容等）	
1	卒業論文構想発表１(研究の背景・研究目的 検討)
2	卒業論文構想発表２（仮説の設定や期待される効果の検討１）
3	卒業論文構想発表３（仮説の設定や期待される効果の検討２）
4	卒業研究演習１（本研究の目的と結論がマッチングしているか）
5	卒業研究演習２（サンプルサイズ・効果量等の検討）
6	卒業研究演習３（統計処理法の検討）
7	卒業研究演習４（各種方法論の検討）
8	卒業研究演習５（図表の検討）
9	総括１（引用文献の検討）
10	総括２（書式・フォーマットの検討）
11	総括３（誤字・脱字の検討）
12	研究報告会１＆論文の加筆・修正
13	研究報告会２＆論文の加筆・修正
14	研究報告会３＆論文の加筆・修正
15	研究報告会４＆論文の加筆・修正

成績評価の方法・基準	試験の方法（再試験の方法も含む）
卒業論文の発表と完成した卒業論文を評価する。	論文の再提出を課すことがある。

授業時間外学修（予習・復習等）	履修上の留意事項
卒業論文と発表に関して十分に準備を行うこと。	特になし

質問に関する連絡先
□ 本校代表アドレス：okayamaisen@motoyama-e.com
□ その他連絡先【　　】

教科書	参考書
論文作成に必要な書籍全て	特になし

参考文献　担当者が配布する。

新旧対照表

(1-7)　教育上必要な機械器具標本及び模型等　　新

（資料8）　教育上必要な機械器具標本及び模型等

新指定規則機械器具			本学設置機械器具			
品名	数量	個数	品名	個数	セット数	備考
水温計	4		水温計	14		
メジャー	2人で1	20	メジャー	20		
関節角度計一式	各種		ゴニオメーター（学生用プラスチック）	20		
			ゴニオメーター（大）	35		
			ゴニオメーター（大　プラスチック）	5		
			ゴニオメーター（小）	10		
血圧計	2人で1	20	血圧計	40		
			アネロイド血圧計	30		
			血圧計	17		
			聴診器	17		
			デジタル血圧計	1		
聴診器	2人で1	20	聴診器	40		
神経検査器具一式	4人で1	10	打鍵器	19		
			触覚検査器具	8		
			圧痛計	5		
			複合感覚検査板	5		
			音叉	24		
知覚検査一式	10人で1	4	SW知覚テスト	1		
			スピアマン式触覚計	10		
ストップウォッチ	2人で1	20	ストップウォッチ	20		
ハンドヘルドダイナモメーター	20人で1	2	等尺性筋力計（ミュータス）	1		不足分追加購入
発達検査器具	10人で1	4	発達検査器具　ミラー	4		
	10人で1		発達検査器具　WAIS-R	4		
	10人で1		発達検査器具　WASC-Ⅲ	4		
知覚・認知検査器具・知覚検査一式	10人で1	4	知覚・認知検査器具　フロスティック	4		
	10人で1		知覚・認知検査器具　ベントン	4		
	10人で1		知覚・認知検査器具	4		
心理検査器具	10人で1	4	心理検査器具 ＣＬＡＫⅢ	4		
	10人で1		心理検査器具 WPPIS	4		
	10人で1		心理検査器具　田中ビネー	4		
上肢機能検査器具	10人で1	3種	上肢機能検査器具　ステフ	4		
	10人で1		上肢機能検査器具　ペグ	4		
	10人で1		上肢機能検査器具　MFT	4		
職業適性検査器具	2種以上		職業適性検査器具	3		
背筋力計一式	1		背筋力計一式	3		
心電図計測装置一式	2		心電図計測用具一式	2		
スパイロメーター	20人で1	2	スパイロメーター	6		
ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ酸素飽和度測定装置	10人で1	4	ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ酸素飽和度測定装置	30		
多用途記録装置	1		多用途記録装置	1		買替購入
ﾊﾞｲｵﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ機器	1		ﾊﾞｲｵﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ機器	4		
顕微鏡　　油浸集光器付	10人で1	4	顕微鏡	15		買替購入
解剖用具一式	2人で1	20	動物解剖学器具	20		
人体解剖用視聴覚教材一式	1		人体解剖スライド	1		
バネ秤	1		バネ秤	1		
筋機能解析装置	1		筋機能解析装置	1		買替購入
皮細工用具一式	4人で1	10	革細工用具一式	14		
絵画用具一式	4人で1	10	絵画用具一式	29		
園芸用具一式	4人で1	10	園芸用具一式	10		
陶工用小道具一式	4人で1	10	陶工用小道具一式	10		
絵つけ用用具一式	4人で1	10	絵つけ用用具一式	10		
電動ボール盤	1		電動ボール盤	1		
手動式木工用具一式	4人で1	10	手動式木工用具一式	14		
電動木工用具一式	4人で1	10	電動木工用具一式	10		
作業台	4人で1	10	作業台	10		
			七宝炉	1		
金工用具一式	4人で1	10	金工用具一式	10		
起立訓練ベット	1		起立訓練ベット	1		
バランスボード	1		バランスボード	4		
平行棒	1種		平行棒	3		
体位排痰訓練台	1		体位排痰訓練台	2		
マット	20人で1	20	マット	15		

			マット	15		
バルーン	6種	6種	バルーン	3	3種	3種追加購入
ロール	3種		ロール	3	3種	
三角マット	3種		三角マット	6	3種×2	
プッシュアップ台	6種		プッシュアップ台	3	3種	3種追加購入
鉄亜鈴	各種2セット		鉄亜鈴	20	10種×2	
重スイバンド	各種2セット		重スイバンド 0.25 0.5 0.75 1.5Kg	4		
			重スイバンド 1. 2Kg	2		
			重スイバンド 2. 3. 4. 5Kg	4		
			重スイバンド 2.5 3.5kg	4		
			スロープ	1		
			オーバーヘッドフレーム	1		
滑車	4人で1	10	滑車	10		
肋木	1		肋木	1		
ローラーチェアー	10人で1	4	ローラーチェアー	4		
足関節矯正用ウェッジ一式	1		足関節矯正用ウェッジ一式	1		
弾性包帯各種一式	5人で1	8	弾性包帯各種一式	10		
歩行介助用ベルト	10人で1	4	歩行介助用ベルト	4		
高さの異なる台	4種		高さの異なる台	4		
メトロノーム	20人で1	2	メトロノーム	8		
ホットパック	各3		ホットパック	12	4種×3	
ホットパック加温器	1		ホットパック加温器	1		
パラフィン加温器	1		パラフィン加温器	1		
			固形パラフィン（カラーも）	7		
			ろ過布袋	1		
部分浴槽		4種	部分浴槽	4	4種	
			水治訓練用大型浴槽	1		
渦流浴槽置		1	渦流浴槽置	1		
気泡浴槽置		1	気泡浴槽置	1		
			浮き袋	5		
			弾性包帯一式	1		
コールドパック	4人で1	10	コールドパック	14		
			コールドパック冷却器	1		
プラットホームマット	20人で1	2	プラットホーム	10		
姿勢鏡	1		姿勢鏡	1		
			姿勢鏡	1		
極超短波治療器	1		極超短波治療器	3		
			超音波治療器	1		
光線療法治療機器	1		赤外線治療器	1		
			紫外線治療器	1		
レーザー治療器	1		レーザー治療器	1		買替購入
電気刺激治療器	4種		電気刺激治療器	2		2種追加購入
極低温治療器具	10人で1	4	クリッカー（極低温治療器具）	3		
			極低温治療器具	10		
頸椎けん引装置・腰椎けん引装置	各1		頸腰椎けん引装置	2	2種	
保護眼鏡	1		保護眼鏡	10		
超音波治療器	1		超音波治療器	1		
歩行器	5種		歩行器	6	6種	
杖	6種		プラットホーム杖	2		
			ロフストランド	18		
			ロフストランド カフなし	2		
			4点杖	3		
			1本杖	6		
			松葉杖 木製	13		
			松葉杖（合わせてパッチン）	4		
			松葉杖（合わせてパッチン）M:5 L:6	11		
			多脚杖（サイドケイン）	1		
			オフセット杖	1		
バイブレーター	20人で1	2	バイブレーター	4		
標準型車いす	4人で1	10	標準型車椅子	35		
			介助用車椅子	2		
車いす	5種		車椅子 スポーツ型	1		
			車椅子 バギー型	1		
電動式車椅子	1		電動式車椅子	1		買替購入
タイマー	5人で1	8	タイマー	15		
日常家具一式	1		家庭用ミシン	1		

				食卓（和食・洋食）	1		
				箪笥	1		
				椅子	5		
				座布団	5		
電気冷蔵庫	1			電気冷蔵庫	1		
電気洗濯機	1			電気洗濯機	1		
調理道具一式	10人で1		4	調理道具一式	4		
改造衣類一式	10人で1		4	改造衣類一式	4		
掃除道具一式	1			掃除用具一式	1		
ラップボード	3			ラップボード	5		
ポータブル便器	3種			ポータブル便器	3	3種	
サスペンションスリング	2			サスペンションスリング	1		
				サスペンションスリング	1		
アームスリング	3種			アームスリング	3	3種	
腕可動支持器	20人で1		2	腕可動支持器	4		
トランスファーボード	10			トランスファーボード	10		
リフター	2種			リフター	2	2種	
台所ユニット（車椅子用）	1			台所ユニット（車椅子用）	1		
バスユニット(車椅子用)	1			バスユニット(車椅子用)	1		
洗面台（車椅子用）	1			洗面台（車椅子用）	1		
入浴用補助用具一式	1			入浴用補助用具一式	1		
電動式ベッド	1			電動式ギャッジベッド	1		買替購入
環境制御装置一式	1			環境制御装置一式	1		買替購入
電話機	1種			福祉電話	1		
				プッシュ式電話	1		
				おむつ用ズボン	3		
				つなぎねまき	3		
				なべ	3		
				両手なべ	3		
				食器	5		
				椅子	0		
				採尿便器一式	3	3種	
自助具	40種以上			自助具	40		
				ADLテスト盤	1		
				ダイヤル式電話機	1		
車椅子用クッション	3種			車椅子用クッション　平タイプ	1		
				車椅子用クッション　Gel-Tタイプ	1		
				車椅子用クッション　ロホ・ミドルタイプ	1		
				円座クッション	1		
ギプス用具一式	1組			ギプス用具一式	1	1組	
装具・ｽﾌﾟﾘﾝﾄ及び各部品	1			装具・ｽﾌﾟﾘﾝﾄ及び各部品	1	各種1	
座位保持装置一式	1			座位保持装置一式	5		
作業台	10人で1		4	作業台	4		
				ボディペン	13		
上腕義手・能動式	1			上腕義手・能動式	1		
上腕義手・装飾用	1			上腕義手・装飾用	1		
肩義手(装飾用)	1			肩義手(装飾用)	1		
肩義手能動式普通用	1			肩義手能動式普通用	1		
肩義手能動式肩甲鎖骨切除用	1			肩義手能動式肩甲鎖骨切除用	1		
前腕義手能動式	1			前腕義手能動式	1		
前腕義手(装飾用)	1			前腕義手(装飾用)	1		
手義手・能動式	1			手義手・能動式	1		
手義手・装飾用	1			手義手・装飾用	1		
手部義手	1			手部義手	1		
手指義手	1			手指義手	1		
作業用義手	1			作業用義手	1		
義手ﾁｪｯｸｱｳﾄ用具一式	4人で1		10	義手ﾁｪｯｸｱｳﾄ用具一式	10		
義足及び各備品	各種1			義足及び各部品	1	各種	
スプリント	10種以上			スプリント	10		
スプリント製作用具一式	4人で1		10	スプリント製作用具一式	10		
				アライメント下肢用	1		
				アライメント下腿用	1		
				各種装具及び各部品　ﾍﾞﾙｸﾏﾝ	1		
				各種装具及び各部品　ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｱﾝｸﾙｻﾎﾟｰﾀｰ	1		
各種装具及び各部品	各種1			各種装具及び各部品　SKC	1		
				各種装具及び各部品　SWAD-O STRAPLO	1		

			下腿義足	1		
			下肢用装具　ﾂｲｽｸﾘｰﾋﾞｭﾙｹﾞﾙ	1		
			コクメテックバンド	1		
			サイム義足	1		
			スプリント　オッペンハイマー	1		
			スプリント　ナックルベンダー	1		
			スプリント　逆ナックルベンダー	1		
			スプリント　把持装置ランチョ	1		
			足袋義足	1		
			股継手（単軸）	1		
			股離断義足	1		
			足継手	2		
			足継手部品	2		
			足部部品	2		
			下肢用装具合成樹皮製	2		
			標準大腿義足	2		
			フック部品	2		
			上腕ソケット	3		
			大腿ソケット	3		
			膝継手	3		
			膝継手部品	3		
			前腕ソケット	3		
			体幹用装具	4		
			下肢用装具支柱つき	5		
			下腿装具ソケット	5		
			スプリント部品	9		
重心動揺分析装置一式	1		重心動揺分析装置	1		買替購入
			ポータブル重心動揺計	1		
運動解析装置（三次元操作解析装置）	1		運動解析装置	1		買替購入
障害者用パーソナルコンピュータ	各種1		障害者用パーソナルコンピュータ　オペレートナビ	1	各種	買替購入
			障害者用パーソナルコンピュータ　キネックス	1		買替購入
			パーソナルコンピュータ	10		買替購入
コミュニケーションエイド	2種		コミュニケーションエイド　トーキングエイド	1		買替購入
			コミュニケーションエイド　意思伝達装置	1		買替購入
呼気ガス分析装置一式	1		呼気ガス分析装置一式	1		買替購入
トレッドミル	1		トレッドミル	1		
自転車エルゴメーター	20人で1	2	自転車エルゴメーター	4		
ハンドエルゴメーター	1		ハンドエルゴメーター	1		
体脂肪測定器具	5人で1	8	体脂肪測定器具	8		
形態測定器具一式	1	1	体重計	11		
			形態測定器具一式	1		
			身長計	1		
			座高計	1		
			簡易体重計	17		
			簡易体重計	3		
			簡易体重計	5		
ポジショニング用クッション一式	1		ポジショニング用クッション	3		
ピンチメーター一式	各種		ピンチメーター一式	2		
握力計一式	各種		握力計一式	12		
検査測定・治療台	20		治療台ベッド	30		
			簡易ベッド	40		
			治療台ベッド	13		
鍵盤楽器	1		電子ピアノ　　ピアノ	2		
			将棋	1		
娯楽用ゲーム一式	1		碁盤	18		
			碁石	19		
			ビーンズバックゲーム	3	3セット	
			ボーリング	60	6セット	
			ボーリング　木製	1	1セット	
			輪投げ	1	1セット	
運動遊具一式	4		ゲートボール（大）　まんまりも	1	1セット	
			ゲートボール（小）	3	3セット	
スポーツ用具一式	1		バレーボール	15		
			ソフトボール	4		
			テニスボール	1		
			バスケットボール	4		

			サッカーボール	2		
			ドッチボール	2		
			カラーボール	3		
			テニスラケット	2		
			グローブ	6		
			キャチャーマスク	1		
			バッド	2		
作業療法音響再生装置	1		ラジカセ・デジタルカメラ（作業療法音響再生	2		
			シャッフルボード	1	1セット	
玩具一式	4		玩具一式	4		
			マイクロタワー	1		
ＡＥＤ	1		ＡＥＤ	1		
			ＡＥＤトレーナーツール	4		
			ＡＥＤ実践用マネキン	4		
視聴覚教材	各種		視聴覚教材各種	1	各種	
小児	4		実習モデル人形	4		
			※スポーツ用具一式（各種１）	1		
			※運動用具一式（各種４）	4		
			※玩具一式（各種４）	4		
			バーベルステージ	1		
			バーベルシャフト	1		
			SDラバープレート50一式	1		
			スポーツ安全ミラーⅢ	1		
			メガパワーバッグ一式	1		
			パワーラックⅢ	1		
			フラットベンチ	1		
			ワイドプレスベンチ　セーフティラック付	1		
			ノンバーストボール一式	1		
			スライドボードプロ	1		
			ラットプルタウン	1		
			レッグエクステンション/カール	1		
			レッグレイズ/ディップ	1		
			ストレッチポール	27		
			ヨガマット	55		
パーソナルコンピューター	4人で1	10	パソコン	60		
ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ用具一式	10人で1	4	ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ用具一式	4		
表面温度計	10人で1	4	表面温度計	10		
視野計	1		視野計	1		
フリッカー	10人で1	4	フリッカー	3		
製図用具一式	4人で1	10	製図用具一式	10		
メディスンボール一式	3種		メディスンボール一式	3		
吸引装置一式	20人で1	2	吸引装置一式	4		
砂袋	各種2		砂袋	20	各種2	
			体温計	0		
			電子体温計	18		
			タジマレーザー測定器ＧＴ－２ｉ　縦横	1		
			プリンター	6		
			アイマスク	20		
			保護眼鏡	9		
			骨一式	0		
			タッパー	4		
			マーブル	24	24(大1)	
			パズル	4	４セット	
			温度計	15		
			弾性包帯一式	31		
			オキシメーター	2		
			セラバンド（L・M・S各1巻）	3		
			三角巾	60		
			SPO2（経皮的動脈血酸素飽和度）	30		
			アイスパック（L:10　M:10）	20		
			肩サポーター	2		
			膝サポーター	2		
			擬似氷	14		
			ﾚﾝﾄｹﾞﾝﾌｨﾙﾑﾋﾞｭｱｰ	1		
			ＢＩＴ行動性無視検査	1		
			枕	40		

			枕カバー	40		
			視力表	2		
			マスターテスト台	2		
			解剖台	10		
			心筋動物実験用具	10		
			筋電図計測用具一式	1		
			神経筋動物実験用具一式	4		
			医薬保管用冷蔵庫	1		
			時値計	1		
			尿検査器具一式	15		
			乾式ガス分析器	3		
			呼気採集装置	5		
			張力計	8		
			打検器	3		
			メモリーオシロスコープ	3		
			生体電気用前置増幅器	3		
			電気刺激装置	3		
			アイソレーター	3		
			大腿四頭筋訓練器	2		
			スタンディングテーブル	1		
			卓上織機	15		
			床上織機	5		
			織物付属品一式	15		
			画架	29		
			イーゼル	10		
			絵画療法壁画用具一式	40		
			ダーマトグラフ　赤・青・白・黄・黒	40	各40	
			デッサン用鉛筆　6B　4B　2B	40	各40	
			作業台	10		
			セラプラスト	9		
			ビー玉　大	2		
			ビー玉　小	25		
			おはじき	36		
			木工台	12		
			陶芸用電気炉	2		
			ろくろ（電動）	10		
			ろくろ（手廻し）	47		
			ろくろ（絵つけ用）	23		
			足ふみ鋸	1		
			ジグソー	1		
			電動ジグ鋸	1		
			電動ドリル	1		
			電動ポータブルやすり	1		
			丸のこ	4		
			かんな	4		
			石膏モデル	5		
			彫刻セット	10		
			クランプシー	20		
			モザイク用具一式	10		
			肩関節回旋運動器	1		
			滑車重垂運動器	1		
			手関節屈曲伸展運動器	1		
			歩行訓練用斜面階段	1		
			マルチ人体測定器一式	4		
			治療台	2		
			マット	4		
			歩行訓練用斜面台（スロープ）	1		
			平行棒	1		
			階段一式	1		
			低周波治療器（トリオ300）	1		
			ハドマー（波動系末梢循環促進装置）	1		
			能動型下肢用CPM装置	1		
			マルチセンサー生理計測装置	1		
			カロリー測定器具	15		
			卓球台（スポーツ用具一式）	1		
			卓球ラケット	1		

			プッシュアップ台	0		
			発達検査器具　ミラー	0		
			発達検査器具　WAIS-R	0		
			発達検査器具　WASC-Ⅲ	0		
			知覚・認知検査器具　フロスティック	0		
			知覚・認知検査器具　ベントン	0		
			知覚・認知検査器具	0		
			心理検査器具 ＣＬＡＫⅢ	0		
			心理検査器具 WPPIS	0		
			心理検査器具　田中ビネー	0		
			上肢機能検査器具　ステフ	0		
			上肢機能検査器具　ペグ	0		
			上肢機能検査器具　MFT	0		
			ＢＩＴ行動性無視検査	1		
			色盲表	2		
			将棋	2		
			長谷川式テスト一式	1		
			リバーミード行動記憶検査	1		
			標準注意検査法・標準意欲評価法	1		
			採尿便器一式	1		
			標準高次動作性検査	1		
			握力計一式	0		
			ﾚﾝﾄｹﾞﾝﾌｨﾙﾑﾋﾞｭｱｰ	3		
			高齢期疑似体験システム	1		
			鉄アレイ	0	10種×２	
			座圧センサー	2		
			合計	2,685		

追加購入リスト（平成32年2月28日購入予定）

			品名	数量	セット数	
			バスケット用車いす	0		
			電動車いす	1		
			股義足	1		
			股継手	2		
			下腿義足　足部付き	1		
			義足部品一式	1	6部品	
			胸椎装具	1		
			側弯症装具	1		
			肩装具	1		
			座位保持装置一式	1		
			アルミフットサルゴール	1		
			フットサルゴールネット	1	組	
			ペレーダ　フットサル4号　モンテン	10		
			室内用移動式バスケットボール用ゴール	1	組	
			バスケットボール7号　モンテン	5	男子	
			バスケットボール6号　モンテン	5	女子	
			ソフトバレーバド支柱DX	5	組	
			ソフトバレーボールネット	5		
			ソフトバレーボール　モンテン	10		
			バドミントンネット	5		
			バドミントンラケット　ヨネックス	20		
			シャトルコック　ヨネックス	5	筒	
			ボールカゴ　　モンテン	3		
筋電図計測装置一式	1		ウルティウムEMG8ｃｈセット	1	筋電計　1式	
超短波治療器	1		超短波治療器　ライズトロン	1		
肺活量計	8		肺活量計　ポケッタブル	8		
体圧計測装置・全身臥床用	1		体圧計測装置・全身臥床用	1		
体圧計測装置・座位用	1		体圧計測装置・座位用	1		
			合計	98		
			総計	2,783		

（模型・標本）

品名	数量	個数	品名	数量	セット数	
全身組立	10人で1	4	骨模型　全身	8		
全身個別	４人で1	10	骨模型　部分	12		
人体解剖模型	1		人体解剖模型	1		

呼吸器模型	1		呼吸器模型	1		
気管支肺血管分岐模型	1		気管支肺血管分岐模型	1		
心臓模型	1		心臓模型	1		
血管系模型	1		血管系模型	1		
脳模型	1		脳模型	1		
脊髄横断模型	1		脊髄横断模型	1		
末梢神経模型	1		末梢神経模型	1		
感覚器模型　（聴覚模型）	1		感覚器模型　（聴覚模型）	1		
感覚器模型　（視覚模型）	1		感覚器模型　（視覚模型）	1		
関節種類模型	1		関節種類模型（足部、肘部、手部、膝部、骨盤、肩甲骨）	6		
筋模型（下肢）	2		筋模型（下肢）	2		
筋模型（上肢）	2		筋模型（上肢）	2		
			肺区域模型	1		
			妊娠模型	1		
			実習用モデル人形	0		
			AED実戦用マネキン	0		
			合計	42		

追加購入リスト（模型・標本）（平成32年2月28日購入予定）

			品名	数量	セット数	
			スタン標準型骨格モデル直立スタンド仕様	4		
			骨格分離モデル　個別	4		
			呼吸器模型	1		
			気管支・肺動静脈モデル	1		
			心臓構造模型A形	1		
			神経系・循環器系・門脈系模型	1		
			脳模型	1		
			脊髄横断分離模型	1		
			脳及び神経系模型	1		
			追加小計	15		
			総合計	57		

追加購入リスト（平成32年2月28日購入・平成33年1月購入）

品名	数量		品名	数量		
電動式ベッド	1		電動式ベッド	1		H32.2
顕微鏡　　油浸集光器付	4		顕微鏡　　油浸集光器付	4		H32.2
筋機能解析装置	1		筋機能解析装置バイオデックスシステム4	1		H32.2
バルーン　エクササイズボール	3		バルーン　エクササイズボール	3		H32.2
プッシュアップ台　セット	1		プッシュアップ台　セット	1		H32.2
インボディ　体成分分析装置	1		インボディ　体成分分析装置	1		H32.2
電気刺激装置	1		電気刺激装置	1		H32.2
電気刺激装置低周波治療器	1		電気刺激装置低周波治療器　フィジオアクティ	1		H32.2
レーザー治療器	1		レーザー治療器　　スーパーライザー	1		H32.2
徒手筋力計	1		徒手筋力計モービィ	1		H32.2
伝の心	1		伝の心	1		H32.2
ボイスキャリーベチャラ	1		ボイスキャリーベチャラ	1		H32.2
レッツチャット	1		レッツチャット	1		H32.2
環境制御装置	1		環境制御装置	1		H32.2
スパイナルマウス	1		スパイナルマウス	1		H33.1
高機能型圧分布計測システム/多目的重心動揺計測システム	1		高機能型圧分布計測システム/多目的重心動揺計測システム	1		H32.2
アイトラッキングシステム　両眼無線	1		アイトラッキングシステム　両眼無線	1		H32.2
加速度計内蔵型筋電計測システム	1		加速度計内蔵型筋電計測システム	1		H32.2
肺運動モニタリングシステム　呼気ガス分析装置	1		肺運動モニタリングシステム　呼気ガス分析装置	1		H32.2
スナイブル　超音波画像診断装置	1		スナイブル　超音波画像診断装置	1		H33.1
GPSマルチスポーツウォッチ　　心拍センサー付き	1		GPSマルチスポーツウォッチ　　心拍センサー付き	1		H32.2
エアロバイク　パワーマックスⅧ	1		エアロバイク　パワーマックスⅧ	1		H32.2
マイバイオ	1		マイバイオ	1		H32.2
多視点３D解剖教育システム	1		多視点３D解剖教育システム	1		H33.1
運動解析装置（3次元動作解析装置）	1		運動解析装置（3次元動作解析装置）	1		H32.2
床反力計	1		床反力計	1		H32.2
多用途記録装置	1		多用途記録装置	1		H32.3
			追加小計	32		
			総合計	2,815		

(資料8)　教育上必要な機械器具標本及び模型等　　旧

名称	個数	セット数
触覚検査器具	8	
体温計	10	
タジマレーザー測定器ＧＴ－２ｉ　縦横	1	
掃除用具一式	1	
水温計	4	
アイマスク	20	
メジャー	9	
ゴニオメーター（学生用プラスチック）	20	
ゴニオメーター（大）	35	
ゴニオメーター（大　プラスチック）	5	
ゴニオメーター（小）	10	
血圧計	40	
アネロイド血圧計	30	
聴診器	40	
保護眼鏡	9	
打腱器（神経検査器具一式）	19	
音叉	24	
タッパー	4	
マーブル	24	24(大1)
パズル	4	４セット
ストップウォッチ	17	
電子体温計	8	
複合感覚検査板	5	
スピアマン式触覚計(神経検査器具一式)	10	
圧痛計	5	
温度計	15	
弾性包帯一式	31	
オキシメーター	2	
セラバンド（L・M・S各1巻）	3	
水温計	10	
等尺性筋力計（ミュータス）	1	
三角巾	60	
SPO2（経皮的動脈血酸素飽和度）	30	
アイスパック（L:10　M:10）	20	
肩サポーター	2	
膝サポーター	2	
擬似氷	14	
発達検査器具　ミラー	4	
発達検査器具　WAIS-R	4	
発達検査器具　WASC-Ⅲ	4	
知覚・認知検査器具　フロスティック	4	
知覚・認知検査器具　ベントン	4	
知覚・認知検査器具	4	
心理検査器具　ＣＬＡＫⅢ	4	
心理検査器具 WPPIS	4	
心理検査器具　田中ビネー	4	
ﾚﾝﾄｹﾞﾝﾌｨﾙﾑﾋﾞｭｱｰ	1	
上肢機能検査器具　ステフ	4	
上肢機能検査器具　ペグ	4	
上肢機能検査器具　MFT	4	
ＢＩＴ行動性無視検査	1	
枕	40	
枕カバー	40	
簡易ベッド	40	
視力表	2	
マスターテスト台	2	
形態測定器具一式	1	
背筋力計一式	3	
ｻﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ用具一式	4	
解剖台	10	
血圧計	17	
聴診器	17	
デジタル血圧計	1	
心電図計測用具一式	2	
心筋動物実験用具	10	
スパイロメーター	6	

名称	個数	セット数
ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ酸素飽和度測定装置	1	
筋電図計測用具一式	1	
神経筋動物実験用具一式	4	
医薬保管用冷蔵庫	1	
多用途記録装置	1	
表面温度計	10	
時値計	1	
ﾊﾞｲｵﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ機器	4	
視野計	1	
尿検査器具一式	15	
フリッカー	3	
乾式ガス分析器	3	
呼気採集装置	5	
張力計	8	
顕微鏡	15	
打検器	3	
動物解剖学器具	20	
人体解剖スライド	1	
バネ秤	1	
メモリーオシロスコープ	3	
生体電気用前置増幅器	3	
電気刺激装置	3	
アイソレーター	3	
筋機能解析装置	1	
身長計	1	
座高計	1	
大腿四頭筋訓練器	2	
スタンディングテーブル	1	
卓上織機	15	
床上織機	5	
織物付属品一式	15	
革細工用具一式	14	
絵画用具一式	29	
園芸用具一式	10	
画架	29	
イーゼル	10	
絵画療法壁画用具一式	40	
ダーマトグラフ　赤・青・白・黄・黒	40	各40
デッサン用鉛筆　6B　4B　2B	40	各40
作業台	10	
セラプラスト	9	
ビー玉　大	2	
ビー玉　小	25	
おはじき	36	
木工台	12	
陶芸用電気炉	2	
ろくろ（電動）	10	
ろくろ（手廻し）	47	
ろくろ（絵つけ用）	23	
陶工用小道具一式	10	
絵つけ用用具一式	10	
電動ボール盤	1	
手動式木工用具一式	14	
電動木工用具一式	10	
作業台	10	
七宝炉	1	
金工用具一式	10	
足ふみ鋸	1	
ジグソー	1	
電動ジグ鋸	1	
電動ドリル	1	
電動ポータブルやすり	1	
丸のこ	4	
かんな	4	
石膏モデル	5	
彫刻セット	10	
クランプシー	20	
モザイク用具一式	10	

名称	個数	セット数
治療台ベッド	13	
起立訓練ベット	1	
姿勢鏡	1	
バランスボード	4	
平行棒	3	
スロープ	1	
体位排痰訓練台	2	
マット	15	
バルーン	3	３種
ロール	3	３種
三角マット	6	３種×２
プッシュアップ台	3	３種
鉄アレイ	20	10種×２
重垂バンド　0.25　0.5　0.75　1.5Kg	4	
重垂バンド　1.　2Kg	2	
重垂バンド　2.　3.　4.　5Kg	4	
重垂バンド　2.5　3.5kg	4	
オーバーヘッドフレーム	1	
滑車	10	
肋木	1	
ローラーチェアー	4	
足関節矯正用ウェッジ一式	1	
弾性包帯各種一式	10	
歩行介助用ベルト	4	
高さの異なる台	4	
肩関節回旋運動器	1	
滑車重垂運動器	1	
手関節屈曲伸展運動器	1	
歩行訓練用斜面階段	1	
４点杖	3	
１本杖	6	
松葉杖　木製	13	
マルチン人体測定器一式	4	
メトロノーム	8	
治療台	2	
マット	4	
歩行訓練用斜面台（スロープ）	1	
ホットパック	12	４種×３
ホットパック加温器	1	
パラフィン加温器	1	
固形パラフィン（カラーも）	7	
ろ過布袋	1	
部分浴槽	4	４種
水治訓練用大型浴槽	1	
渦流浴槽置	1	
気泡浴槽置	1	
浮き袋	5	
弾性包帯一式	1	
コールドパック	14	
プラットホーム	10	
姿勢鏡	1	
平行棒	1	
マット	15	
極超短波治療器	3	
超音波治療器	1	
赤外線治療器	1	
紫外線治療器	1	
レーザー治療器	1	
コールドパック冷却器	1	
電気刺激治療器	2	
頸腰椎けん引装置	2	２種
保護眼鏡	10	
階段一式	1	
低周波治療器（トリオ300）	1	
ハドマー（波動系末梢循環促進装置）	1	
超音波治療器	1	
能動型下肢用CPM装置	1	
マルチセンサー生理計測装置	1	

名称	個数	セット数
歩行器	6	6種
プラットホーム杖	2	
ロフストランド	18	
ロフストランド　カフなし	2	
バイブレーター	4	
標準型車椅子	35	
介助用車椅子	2	
車椅子　スポーツ型	1	
車椅子　バギー型	1	
電動式車椅子	1	
簡易体重計	17	
簡易体重計	3	
ロッキングボード標準セット	3	
松葉杖（合わせてパッチン）	4	
松葉杖（合わせてパッチン）M:5　L:6	11	
多脚杖（サイドケイン）	1	
オフセット杖	1	
簡易体重計	5	
タイマー	15	
電気冷蔵庫	1	
電気洗濯機	1	
調理道具一式	4	
改造衣類一式	4	
ラップボード	5	
ポータブル便器	3	3種
サスペンションスリング	1	
アームスリング	3	3種
腕可動支持器	4	
トランスファーボード	10	
リフター	2	2種
台所ユニット（車椅子用）	1	
バスユニット(車椅子用)	1	
洗面台（車椅子用）	1	
入浴用補助用具一式	1	
電動式ギャッジベッド	1	
環境制御装置一式	1	2種
ADLテスト盤	1	
家庭用ミシン	1	
食卓（和食・洋食）	1	
ダイヤル式電話機	1	
福祉電話	1	
プッシュ式電話	1	
たんす	1	
おむつ用ズボン	3	
つなぎねまき	3	
なべ	3	
両手なべ	3	
椅子	5	
座布団	5	
食器	5	
椅子	3	
採尿便器一式	3	3種
楽々箸　ピンセットタイプ	2	
箸蔵くん	2	
すくいやすいⅢ	2	
新万能スプーンフォークナイフセット	1	
ソックスエイド	2	
車椅子用クッション　平タイプ	1	
車椅子用クッション　Gel-Tタイプ	1	
車椅子用クッション　ロホ・ミドルタイプ	1	
円座クッション	1	
ギプス用具一式	1	1組
装具･ｽﾌﾟﾘﾝﾄ及び各部品	1	各種1
座位保持装置一式	5	
作業台	3	
ボディペン	13	
上腕義手・能動式	1	
上腕義手･装飾用	1	

名称	個数	セット数
肩義手(装飾用)	1	
肩義手能動式普通用	1	
肩義手能動式肩甲鎖骨切除用	1	
前腕義手能動式	1	
前腕義手(装飾用)	1	
手義手・能動式	1	
手義手・装飾用	1	
手部義手	1	
手指義手	1	
作業用義手	1	
義手ﾁｪｯｸｱｳﾄ用具一式	10	
義足及び各部品	1	各種
スプリント	10	
スプリント製作用具一式	10	
アライメント下肢用	1	
アライメント下腿用	1	
各種装具及び各部品　ﾍﾞﾙｸﾏﾝ	1	
各種装具及び各部品　ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｱﾝｸﾙｻﾎﾟｰﾀｰ	1	
各種装具及び各部品　SKC	1	
各種装具及び各部品　SWAD-O STRAPLO	1	
下腿義足	1	
下肢用装具　ﾂｲｽﾀﾘｰﾋﾞｭﾙｹﾞﾙ	1	
コクメテックバンド	1	
サイム義足	1	
スプリント　オッペンハイマー	1	
スプリント　ナックルベンダー	1	
スプリント　逆ナックルベンダー	1	
スプリント　把持装置ランチョ	1	
足袋義足	1	
股継手（単軸）	1	
股離断義足	1	
足継手	2	
足継手部品	2	
足部部品	2	
下肢用装具合成樹皮製	2	
標準大腿義足	2	
フック部品	2	
上腕ソケット	3	
大腿ソケット	3	
膝継手	3	
膝継手部品	3	
前腕ソケット	3	
体幹用装具	4	
下肢用装具支柱つき	5	
下腿装具ソケット	5	
スプリント部品	9	
重心動揺分析装置	1	
運動解析装置	1	
障害者用パーソナルコンピュータ　オペレートナビ	1	各種
障害者用パーソナルコンピュータ　キネックス	1	
パーソナルコンピュータ	10	
コミュニケーションエイド　トーキングエイド	1	
コミュニケーションエイド　意思伝達装置	1	
プリンター	6	
呼気ガス分析装置一式	1	
トレッドミル	1	
自転車エルゴメーター	4	
ハンドエルゴメーター	1	
バーベルステージ	1	
バーベルシャフト	1	
SDラバープレート50一式	1	
スポーツ安全ミラーⅢ	1	
メガパワーバッグ一式	1	
パワーラックⅢ	1	
フラットベンチ	1	
ワイドブレスベンチ　セーフティラック付	1	
ノンバーストボール一式	1	
スライドボードプロ	1	

名称	個数	セット数
ラットプルタウン	1	
レッグエクステンション/カール	1	
レッグレイズ/ディップ	1	
ストレッチポール	27	
ヨガマット	55	
体脂肪測定器具	8	
ポータブル重心動揺計	1	
体重計	11	
カロリー測定器具	15	
卓球台（スポーツ用具一式）	1	
卓球ラケット	1	
プッシュアップ台	2	
鉄アレイ	20	10種×２
治療台ベッド	30	
電子ピアノ	1	
将棋	1	
碁盤	18	
碁石	19	
ビーンズバックゲーム	3	３セット
ボーリング	60	６セット
ボーリング　木製	1	１セット
輪投げ	1	１セット
ゲートボール（大）　まんまりも	1	１セット
ゲートボール（小）	3	３セット
バレーボール	15	
ソフトボール	4	
テニスボール	1	
バスケットボール	4	
サッカーボール	2	
ドッチボール	2	
カラーボール	3	
テニスラケット	2	
グローブ	6	
キャチャーマスク	1	
バッド	2	
ラジカセ（作業療法音響再生装置）	1	
シャッフルボード	1	１セット
玩具一式	4	
マイクロタワー	1	
骨一式	6	
視聴覚教材各種	1	
実習モデル人形	4	
※スポーツ用具一式（各種１）	1	
※運動用具一式（各種４）	4	
※玩具一式（各種４）	4	
発達検査器具　ミラー	4	
発達検査器具　WAIS-R	4	
発達検査器具　WASC-Ⅲ	4	
知覚・認知検査器具　フロスティック	4	
知覚・認知検査器具　ベントン	4	
知覚・認知検査器具	4	
心理検査器具　ＣＬＡＫⅢ	4	
心理検査器具 WPPIS	4	
心理検査器具　田中ビネー	4	
上肢機能検査器具　ステフ	4	
上肢機能検査器具　ペグ	4	
上肢機能検査器具　MFT	4	
ＢＩＴ行動性無視検査	1	
色盲表	2	
ピンチメーター一式	2	
握力計一式	12	
クリッカー（極低温治療器具）	3	
職業検査器具	3	
将棋	2	
長谷川式テスト一式	1	
リバーミード行動記憶検査	1	
標準注意検査法・標準意欲評価法	1	
採尿便器一式	1	

名称	個数	セット数
SW知覚テスト	1	
製図用具一式	8	
標準高次動作性検査	1	
ＡＥＤ	1	
ＡＥＤトレーナーツール	4	
ＡＥＤ実践用マネキン	4	
握力計一式	10	
サスペンションリング	1	
ﾚﾝﾄｹﾞﾝﾌｨﾙﾑﾋﾞｭｱｰ	3	
高齢期疑似体験システム	1	
座圧センサー	2	
パソコン	60	
合計	2,658	

追加購入リスト（平成32年2月28日購入予定）

名称	個数	セット数
バスケット用車いす	1	
電動車いす	1	
股義足	1	
股継手	2	
下腿義足　足部付き	1	
義足部品一式	1	6部品
胸椎装具	1	
側弯症装具	1	
肩装具	1	
座位保持装置一式	1	
アルミフットサルゴール	1	
フットサルゴールネット	1	組
ペレーダ　フットサル4号　モンテン	10	
室内用移動式バスケットボール用ゴール	1	組
バスケットボール7号　モンテン	5	男子
バスケットボール6号　モンテン	5	女子
ソフトバレーバド支柱DX	5	組
ソフトバレーボールネット	5	
ソフトバレーボール　モンテン	10	
バドミントンネット	5	
バドミントンラケット　ヨネックス	20	
シャトルコック　ヨネックス	5	筒
ボールカゴ　　モンテン	3	
ウルティウムEMG8ｃｈセット	1	筋電計　1式
超短波治療器　ライズトロン	1	
肺活量計　ポケッタブル	8	
体圧計測装置・全身臥床用	1	
体圧計測装置・座位用	1	
合計	99	
総計	2,757	

（模型・標本）

名称	個数	セット数
骨模型　全身	8	
骨模型　部分	6	
実習用モデル人形	2	
AED実戦用マネキン	4	
呼吸器模型	1	
気管支肺血管分岐模型	1	
心臓模型	1	
血管系模型	1	
脳模型	1	
脊髄横断模型	1	
末梢神経模型	1	
感覚器模型　（聴覚模型）	1	
感覚器模型　（視覚模型）	1	
関節種類模型（足部、肘部、手部、膝部、骨盤、肩甲骨）	6	
肺区域模型	1	
妊娠模型	1	
筋模型（下肢）	2	
筋模型（上肢）	2	
人体解剖模型	1	
合計	42	

追加購入リスト（模型・標本）（平成32年2月28日購入予定）

名称	個数	セット数
スタン標準型骨格モデル直立スタンド仕様	4	
骨格分離モデル　個別	4	
呼吸器模型	1	
気管支・肺動静脈モデル	1	
心臓構造模型A形	1	
神経系・循環器系・門脈系模型	1	
脳模型	1	
脊髄横断分離模型	1	
脳及び神経系模型	1	
追加小計	15	
総合計	57	

新

履修モデル(理学療法学科)

最新の理学療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め共有し、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに対応する新しいサービス事業を展開し、地域の創生に多職種と協働して貢献する人材を育成する。

科目区分		1年次					2年次					3年次					4年次					計
		授業科目の名称	前後期(前後)	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期(前後)	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期(前後)	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期(前後)	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		職業人の倫理と道徳論	後	2			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								22
		心理学	前		2		国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
		哲学概論	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								
		日本の歴史と文化	前	2																		
		基礎物理	前		1																	
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後		2							91
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	理学療法概論	前	2			基礎理学療法学	前	2			基礎理学療法実習Ⅱ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法)	前	1			
		理学療法評価学Ⅰ	後	2			基礎理学療法実習Ⅰ	後	1			理学療法管理学概論	前	2			応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	前	1			
		運動療法	後	1			理学療法評価学Ⅱ	前	1			理学療法評価学実習Ⅲ	前	1			総合実習Ⅱ	前	8			
		見学実習	通	1			理学療法評価学実習Ⅰ	後	1			物理療法実習	前	1								
							理学療法評価学実習Ⅱ	後	1			理学療法治療学実習Ⅲ	前	1								
							運動療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害理学療法学	前	1								
							運動療法実習Ⅱ	後	1			生涯スポーツ実習	前	1								
							物理療法	後	1			義肢装具学	後		1							
							理学療法治療学Ⅰ	前	2			地域理学療法学	前	1								
							理学療法治療学Ⅱ	前	1			予防理学療法学	後		1							
							理学療法治療学Ⅲ	後	1			評価実習	前	3								
							理学療法治療学Ⅳ	後	1			総合実習Ⅰ	後	8								
							理学療法治療学実習Ⅰ	前	1													
							理学療法治療学実習Ⅱ	後	1													
							日常生活活動学	前	1													
							日常生活活動学実習	後	1													
							スポーツ理学療法特論	後	1													
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			NPO論	前	2			20
												食生活マネジメント論	前	2			スポーツ科学	前	2			
												生体情報科学	後	2			起業入門	前	2			
																	マネジメント論	前	2			
																	コーチング論	前	2			
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				33	5	0			36	0	0			32	6	0			25	0	0	137

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1)本学に4年以上在学すること。
2)次により、必修科目126単位、選択科目5単位以上を履修すること。
基礎科目20単位以上
必修科目15単位以上
選択科目5単位以上
職業専門科目87単位以上
専門基礎分野科目から必修科目30単位以上
専門分野科目から必修科目57単位以上
展開科目必修科目20単位以上
総合科目必修科目4単位以上

実習・実験科目から40単位以上
うち、臨地実務実習20単位以上

履修登録上限は、1年間において39単位とする。
ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

(資料1) 履修モデル

旧

理学療法学科履修モデル1 「サービス革新モデル」

高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と高度な専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた理学療法士

展開力育成プログラムと総合実習を組み合わせ、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案できる力を備えた理学療法士

科目区分		1年次					2年次					3年次					4年次					計
		授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1			基盤ゼミⅢ	前	1			基盤ゼミⅣ	後	1			20
		職業人の倫理と道徳論	後	2			統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								メディカル英語	後	2								
		コミュニケーション英語	前	2								国際政治経済論	前	1								
		日本の歴史と文化	前	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		基礎生物	前	1								研究デザイン	前	1								
		基礎物理	前	1																		
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								87
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	理学療法概論	前	2			基礎理学療法学	前	2			基礎理学療法実習Ⅱ	前	1			上級治療実習Ⅰ(徒手療法)	前	1			
		理学療法評価学Ⅰ	後	2			基礎理学療法実習Ⅰ	後	1			理学療法管理学概論	前	2			上級治療実習Ⅲ(セルフコンディショニング)	前	1			
		運動療法	後	1			理学療法評価学Ⅱ	前	1			理学療法評価学実習Ⅲ	前	1			総合実習Ⅱ	前	8			
		見学実習	通	1			理学療法評価学実習Ⅰ	後	1			物理療法実習	前	1								
							理学療法評価学実習Ⅱ	後	1			理学療法治療学実習Ⅲ	前	1								
							運動療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害理学療法学	前	1								
							運動療法実習Ⅱ	後	1			生涯スポーツ実習	前	1								
							物理療法	後	1			地域理学療法学	前	1								
							理学療法治療学Ⅰ	前	2			評価実習	前	3								
							理学療法治療学Ⅱ	前	1			総合実習Ⅰ	後	8								
							理学療法治療学Ⅲ	後	1													
							理学療法治療学Ⅳ	後	1													
							理学療法治療学実習Ⅰ	前	1													
							理学療法治療学実習Ⅱ	後	1													
							日常生活活動学	前	1													
							日常生活活動学実習	後	1													
							スポーツ理学療法特論	後	1													
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			家族関係論	前	2			食生活マネジメント論	前		2		20
												人間形成論	後	2			スポーツ科学	前		2		
												生活経済論Ⅰ	後	2			歯科保健論	前		2		
												サービス創造論	後	2			人間工学	前		2		
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				35	0	0			35	0	0			37	0	0			16	8	0	131

【卒業要件】

本学科の卒業要件は、以下の通りとする。

1) 本学に4年以上在学すること。

2) 次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。

基礎科目20単位以上

職業専門科目87単位以上

専門基礎分野科目群から必修科目30単位以上

専門分野科目群から必修科目57単位以上

展開科目20単位以上

必修科目12単位以上

選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論、岡山経営者論から8単位以上を選択必修とす

総合科目必修4単位以上

実習・実験科目から40単位以上

うち、臨地実務実習22単位以上

(資料1) 履修モデル

旧

理学療法学科履修モデル2 「地域活性化モデル」

高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と高度な専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた理学療法士

展開力育成プログラムと総合実習を組み合わせ、ヒューマンサービスを掘り下げ、職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域を活性化する力を備えた理学療法士

科目区分		1年次					2年次					3年次					4年次					計
		授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目		基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1			基盤ゼミⅢ	前	1			基盤ゼミⅣ	後	1			20
		職業人の倫理と道徳論	後	2			統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
		健康科学概論	後	1								メディカル英語	後	2								
		コミュニケーション英語	前	2								国際政治経済論	前	1								
		日本の歴史と文化	前	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
		基礎生物	前	1								研究デザイン	前	1								
		基礎物理	前	1																		
		情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目	専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								87
		解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
		生理学	前	2			精神医学	後	2													
		生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
		運動学	後	2			神経内科学	前	2													
		人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
		臨床医学概論	前	2																		
		病理学	後	2																		
		内科学	後	2																		
		リハビリテーション医学	後	1																		
		リハビリテーション概論	前	1																		
		多職種連携論	後	1																		
	専門分野	理学療法概論	前	2			基礎理学療法学	前	2			基礎理学療法実習Ⅱ	前	1			上級治療実習Ⅰ(徒手療法)	前	1			
		理学療法評価学Ⅰ	後	2			基礎理学療法実習Ⅰ	後	1			理学療法管理学概論	前	2			上級治療実習Ⅲ (セルフコンディショニング)	前	1			
		運動療法	後	1			理学療法評価学Ⅱ	前	1			理学療法評価学実習Ⅲ	前	1			総合実習Ⅱ	前	8			
							理学療法評価学実習Ⅰ	後	1			物理療法実習	前	1								
		見学実習	通	1			理学療法評価学実習Ⅱ	後	1			理学療法治療学実習Ⅲ	前	1								
							運動療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害理学療法学	前	1								
							運動療法実習Ⅱ	後	1			生涯スポーツ実習	前	1								
							物理療法	後	1			地域理学療法学	前	1								
							理学療法治療学Ⅰ	前	2			評価実習	前	3								
							理学療法治療学Ⅱ	前	1			総合実習Ⅰ	後	8								
							理学療法治療学Ⅲ	後	1													
							理学療法治療学Ⅳ	後	1													
							理学療法治療学実習Ⅰ	前	1													
							理学療法治療学実習Ⅱ	後	1													
							日常生活活動学	前	1													
							日常生活活動学実習	後	1													
							スポーツ理学療法特論	後	1													
							生活環境学	後	2													
③展開科目							ヒューマンサービス論	後	2			家族関係論	前	2			ライフサイクル論	前		2		20
												人間形成論	後	2			生活経済論Ⅱ	前		2		
												生活経済論Ⅰ	後	2			マネジメント論	前		2		
												サービス創造論	後	2			コーチング論	前		2		
																	岡山経営者論	前	2			
④総合科目												総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																	卒業論文	後	2			
単位数				35	0	0			35	0	0			37	0	0			16	8	0	131

【卒業要件】

本学科の卒業要件は、以下の通りとする。

1) 本学に4年以上在学すること。

2) 次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。

基礎科目20単位以上

職業専門科目87単位以上

専門基礎分野科目群から必修科目30単位以上

専門分野科目群から必修科目57単位以上

展開科目20単位以上

必修科目12単位以上

選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論、岡山経営者論から8単位以上を選択必修とす

総合科目必修4単位以上

実習・実験科目から40単位以上

うち、臨地実務実習22単位以上

（資料28）履修モデル

新

履修モデル（作業療法学科）

最新の作業療法専門知識と高度な実践技能を保持し、自己研鑽を怠らず、対象者の思いを受け止め、子供から高齢者に至る幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、地域の多様な主体と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する人材を育成する。

科目区分	1年次					2年次					3年次					4年次					計
	授業科目の名称	前期（後期）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前期（後期）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前期（後期）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前期（後期）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目	職業人の倫理と道徳論	後	2			基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1								22
	心理学	前		2		国際政治経済論	後	1			人間関係論	前		2							
	哲学概論	前		2		統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
	健康科学概論	後	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
	コミュニケーション英語	前	2								研究デザイン	前	1								
	日本の歴史と文化	前	2																		
	基礎生物	前		1																	
	情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目 専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			メディカル英語	後		2		地域包括マネジメント論	前	1			90
	解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
	生理学	前	2			精神医学	後	2													
	生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
	運動学	後	2			神経内科学	前	2													
	人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
	臨床医学概論	前	2																		
	病理学	後	2																		
	内科学	後	2																		
	リハビリテーション医学	後	1																		
	リハビリテーション概論	前	1																		
	多職種連携論	後	1																		
②職業専門科目 専門分野	作業療法概論	前	2			基礎作業学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学実習Ⅰ	前	1			応用治療技術実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
	基礎作業学	後	1			基礎作業学実習Ⅱ	後	1			作業療法管理学概論	後	2			応用治療技術実習Ⅱ（リハビリ工学	前	1			
	作業療法評価学	後	2			作業療法評価学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学	前	1			総合実習Ⅱ	前	9			
	見学実習	通	1			作業療法評価学実習Ⅱ	後	1			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	前	1								
						作業療法評価学実習Ⅲ	後	1			身体障害作業療法学Ⅲ	前	1								
						身体障害作業療法学Ⅰ	前	2			身体障害作業療法学Ⅳ	前	1								
						身体障害作業療法学Ⅱ	前	2			身体障害作業療法実習Ⅲ	前	1								
						身体障害作業療法実習Ⅰ	前	1			老年期障害作業療法実習	前	1								
						身体障害作業療法実習Ⅱ	後	1			義肢装具学	後		1							
						老年期障害作業療法学	後	1			地域作業療法学	後	1								
						精神障害作業療法学	後	1			予防作業療法学	後	1								
						日常生活活動学	前	1			評価実習	前	3								
						日常生活活動学実習	後	1			総合実習Ⅰ	後	9								
						生活環境学	後	2													
③展開科目						ヒューマンサービス論	後	2			人間形成論	後	2			地域生活と健康	前	2			20
											家族関係論	前	2			特別支援教育	前	2			
											地域社会論	後	2			人間工学	前	2			
											コミュニティ形成論	後	2			ライフサイクル論	前	2			
																岡山経営者論	前	2			
④総合科目											総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																卒業論文	後	2			
単位数			33	5	0			32	0	0			36	5	0			25	0	0	136

【卒業要件】
本学科の卒業要件は、以下の通りとする。
1）本学に4年以上在学すること。
2）次により、必修科目126単位、選択科目5単位以上を履修すること。
基礎科目20単位以上
必修科目15単位以上
選択科目5単位以上
職業専門科目87単位以上
専門基礎分野科目から必修科目30単位以上
専門分野科目から必修科目57単位以上
展開科目必修科目20単位以上
総合科目必修科目4単位以上

実習・実験科目から40単位以上
うち、臨地実務実習22単位以上

履修登録上限は、1年間において39単位とする。
ただし、成績優秀者は41単位まで履修登録することができる。

（資料1）履修モデル

旧

作業療法学科履修モデル1 「サービス革新モデル」

高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と高度な専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた理学療法士

展開力育成プログラムと総合実習を組み合わせ、ヒューマンサービスを掘り下げ、対象者が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、対象者が真に必要とするサービスへの革新を提案できる力を備えた作業療法士

科目区分	1年次					2年次					3年次					4年次					計
	授業科目の名称	前期（後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前期（後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前期（後）	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前期（前）（後）後期（前）（後）	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目	基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1			基盤ゼミⅢ	前	1			基盤ゼミⅣ	後	1			20
	職業人の倫理と道徳論	後	2			統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
	健康科学概論	後	1								メディカル英語	後	2								
	コミュニケーション英語	前	2								国際政治経済論	前	1								
	日本の歴史と文化	前	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
	基礎生物	前	1								研究デザイン	前	1								
	基礎物理	前	1																		
	情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目 専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								87
	解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
	生理学	前	2			精神医学	後	2													
	生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
	運動学	後	2			神経内科学	前	2													
	人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
	臨床医学概論	前	2																		
	病理学	後	2																		
	内科学	後	2																		
	リハビリテーション医学	後	1																		
	リハビリテーション概論	前	1																		
	多職種連携論	後	1																		
②職業専門科目 専門分野	作業療法概論	前	2			基礎作業学実習Ⅰ	前	1			作業療法管理学概論	前	2			上級治療実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
	基礎作業学	後	1			基礎作業学実習Ⅱ	後	1			作業療法評価学実習Ⅲ	前	1			上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	前	1			
	作業療法評価学	後	2			作業療法評価学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	前	1			総合実習Ⅱ	前	9			
	見学実習	通	1			作業療法評価学実習Ⅱ	後	1			身体障害作業療法実習Ⅲ	前	1								
						基礎作業療法治療学	前	1			老年期障害作業療法実習	前	1								
						基礎作業療法治療学実習Ⅰ	後	1			精神障害作業療法学	前	1								
						身体障害作業療法学Ⅰ	前	2			地域作業療法学	前	1								
						身体障害作業療法学Ⅱ	前	2			評価実習	前	3								
						身体障害作業療法学Ⅲ	後	1			総合実習Ⅰ	後	9								
						身体障害作業療法学Ⅳ	後	1													
						身体障害作業療法実習Ⅰ	前	1													
						身体障害作業療法実習Ⅱ	後	1													
						老年期障害作業療法学	後	1													
						日常生活活動学	前	1													
						日常生活活動学実習	後	1													
						生活環境学	後	2													
						予防作業療法学	後	1													
③展開科目						ヒューマンサービス論	後	2			家族関係論	前	2			食生活マネジメント論	前		2		20
											人間形成論	後	2			スポーツ科学	前		2		
											生活経済論Ⅰ	後	2			歯科保健論	前		2		
											サービス創造論	後	2			人間工学	前		2		
																岡山経営者論	前	2			
④総合科目											総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																卒業論文	後	2			
単位数			35	0	0			34	0	0			37	0	0			17	8	0	131

【卒業要件】

本学科の卒業要件は、以下の通りとする。

1）本学に4年以上在学すること。

2）次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。

基礎科目20単位以上

職業専門科目87単位以上

専門基礎分野科目群から必修科目30単位以上

専門分野科目群から必修科目57単位以上

展開科目20単位以上

必修科目12単位以上

選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論、岡山経営者論から8単位以上を選択必修とする。

総合科目必修4単位以上

実習・実験科目から40単位以上

うち、臨地実務実習22単位以上

（資料1）履修モデル

作業療法学科履修モデル1 「地域活性化モデル」

旧

高い倫理観と豊かな人間力を基盤とし、最新の知識と高度な専門技術を備え、高い実践力と新たなサービスを生みだしていく豊かな創造力を備えた理学療法士

展開力育成プログラムと総合実習を組み合わせ、ヒューマンサービスを掘り下げ、職業現場や地域生活が抱える課題について「気づき」を育て、アイディアへと煮詰め、生活の安定を踏まえた創造的サービスを提案し、地域を活性化する力を備えた作業療法士

科目区分	1年次					2年次					3年次					4年次					計
	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	授業科目の名称	前後期～前後～	単位数 必修	選択	自由	
①基礎科目	基盤ゼミⅠ	前	1			基盤ゼミⅡ	前	1			基盤ゼミⅢ	前	1			基盤ゼミⅣ	後	1			20
	職業人の倫理と道徳論	後	2			統計分析の基礎	後	1			コミュニケーション論	前	1								
	健康科学概論	後	1								メディカル英語	後	2								
	コミュニケーション英語	前	2								国際政治経済論	前	1								
	日本の歴史と文化	前	1								テーマ設定と研究方法	前	1								
	基礎生物	前	1								研究デザイン	前	1								
	基礎物理	前	1																		
	情報収集と処理	後	1																		
②職業専門科目 専門基礎分野	解剖学	前	2			解剖学実習Ⅱ	前	1			地域包括マネジメント論	後	1								87
	解剖学実習Ⅰ	後	1			運動学実習	前	1													
	生理学	前	2			精神医学	後	2													
	生理学実習	後	1			整形外科学	前	2													
	運動学	後	2			神経内科学	前	2													
	人間発達学	前	2			小児科学	前	2													
	臨床医学概論	前	2																		
	病理学	後	2																		
	内科学	後	2																		
	リハビリテーション医学	後	1																		
	リハビリテーション概論	前	1																		
	多職種連携論	後	1																		
②職業専門科目 専門分野	作業療法概論	前	2			基礎作業学実習Ⅰ	前	1			作業療法管理学概論	前	2			上級治療実習Ⅰ（徒手療法）	前	1			
	基礎作業学	後	1			基礎作業学実習Ⅱ	後	1			作業療法評価学実習Ⅲ	前	1			上級治療実習Ⅱ（リハビリ工学）	前	1			
	作業療法評価学	後	2			作業療法評価学実習Ⅰ	前	1			基礎作業療法治療学実習Ⅱ	前	1			総合実習Ⅱ	前	9			
	見学実習	通	1			作業療法評価学実習Ⅱ	後	1			身体障害作業療法実習Ⅲ	前	1								
						基礎作業療法治療学	前	1			老年期障害作業療法実習	前	1								
						基礎作業療法治療学実習Ⅰ	後	1			精神障害作業療法学	前	1								
						身体障害作業療法学Ⅰ	前	2			地域作業療法学	前	1								
						身体障害作業療法学Ⅱ	前	2			評価実習	前	3								
						身体障害作業療法学Ⅲ	後	1			総合実習Ⅰ	後	9								
						身体障害作業療法学Ⅳ	後	1													
						身体障害作業療法実習Ⅰ	前	1													
						身体障害作業療法実習Ⅱ	後	1													
						老年期障害作業療法学	後	1													
						日常生活活動学	前	1													
						日常生活活動学実習	後	1													
						生活環境学	後	2													
						予防作業療法学	後	1													
③展開科目						ヒューマンサービス論	後	2			家族関係論	前	2			ライフサイクル論	前		2		20
											人間形成論	後	2			生活経済論Ⅱ	前		2		
											生活経済論Ⅰ	後	2			マネジメント論	前		2		
											サービス創造論	後	2			コーチング論	前		2		
																岡山経営者論	前	2			
④総合科目											総合研究Ⅰ	後	1			総合研究Ⅱ	前	1			4
																卒業論文	後	2			
単位数			35	0	0			34	0	0			37	0	0			17	8	0	131

【卒業要件】

本学科の卒業要件は、以下の通りとする。

1）本学に4年以上在学すること。

2）次により、必修科目123単位、選択科目8単位以上を履修すること。

基礎科目20単位以上

職業専門科目87単位以上

専門基礎分野科目群から必修科目30単位以上

専門分野科目群から必修科目57単位以上

展開科目20単位以上

必修科目12単位以上

選択科目のうち、食生活マネジメント論、スポーツ科学、歯科保健論、人間工学、ライフサイクル論、生活経済論Ⅱ、マネジメント論、コーチング論、岡山経営者論から8単位以上を選択必修とする。

総合科目必修4単位以上

実習・実験科目から40単位以上

うち、臨地実務実習22単位以上

(1-9)施設別巡回指導計画

(資料17)施設別巡回指導計画　　新

評価実習　巡回指導計画表（理学療法学科）

担当教員																														
1	永野　克人	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔				↔			↔										
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2														岡山 2							岡山 1						
		担当施設	1　岡山県 一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院																											
			2　岡山県 医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院																											
			3　岡山県 医療法人創和会　重井医学研究所附属病院																											
			4　岡山県 特定医療法人自由会　岡山光南病院																											
			5　岡山県 社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター																											
2	山田　英司	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間								↔	↔							↔												
		施設所在県 巡回施設数	岡山 1	岡山 2													岡山 2													
		担当施設	1　岡山県																											
			2　岡山県 社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院																											
			3　岡山県 医療法人長光会　長島病院																											
			4　岡山県 医療法人草加草仁会　草加病院																											
			5　岡山県 医療法人社団操仁会　岡山第一病院																											
3	村西　壽祥	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔			↔				↔												
		施設所在県 巡回施設数								岡山 2				岡山 1			岡山 2													
		担当施設	1　岡山県 医療法人社団　藤田病院																											
			2　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック西大寺																											
			3　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック下中野																											
			4　岡山県 医療法人　小西整形外科・腰痛クリニック																											
			5　岡山県 医療法人社団吉美会　吉備高原ルミエール病院																											

4	片岡　弘明	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔	↔			↔			↔	↔									
		施設所在県 巡回施設数											岡山 2				岡山 1			岡山 2										
		担当施設	1　岡山県 社会医療法人緑壮会　金田病院																											
			2　岡山県 公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院																											
			3　岡山県 医療法人福寿会　老人保健施設　倉敷藤戸荘																											
			4　岡山県 医療法人行堂会　介護老人保健施設　ナーシングホーム大樹																											
			5　岡山県 医療法人閑谷会　介護老人保健施設備前閑谷苑																											
5	濱岡　克伺	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間												↔			↔			↔	↔									
		施設所在県 巡回施設数												岡山 2			岡山 1			岡山 1	岡山 1									
		担当施設	1　岡山県 医療法人敬和会　近藤病院																											
			2　岡山県 医療法人社団恵誠会　大西病院																											
			3　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィックセカンド																											
			4　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック																											
			5　岡山県 真庭市国民健康保険　湯原温泉病院																											
6	山下　裕之	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔	↔			↔			↔										
		施設所在県 巡回施設数											岡山 1	岡山 1			兵庫 2			岡山 2										
		担当施設	1　岡山県 医療法人慶真会　大杉病院																											
			2　岡山県 総合病院　玉野市立玉野市民病院																											
			3　岡山県 地域医療支援病院　赤磐医師会病院																											
			4　岡山県 医療法人　さとう記念病院																											
			5　兵庫県 医療法人聖医会　佐用中央病院																											
			6　兵庫県 医療法人郁芳会　青木診療所																											

7	増川　武利	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔	↔			↔			↔	↔									
		施設所在県	岡山	岡山		広島		岡山	広島																					
		巡回施設数	1	1		1		1	2																					
		担当施設	1　岡山県 医療法人祥風会　山本整形外科医院																											
			2　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック総社																											
			3　岡山県 内田整形外科医院																											
			4　広島県 医療法人慈彗会 亀川病院																											
			5　広島県 医療法人社団福匡会　奥坊クリニック																											
			6　広島県 医療法人辰川会　山陽病院																											
8	横山　暁大	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔	↔			↔	↔		↔										
		施設所在県	岡山	岡山		岡山	広島	岡山																						
		巡回施設数	1	1		2	1	1																						
		担当施設	1　岡山県 医療法人敬和会　介護老人保健施設　ゆうあい																											
			2　岡山県 岡山大学病院																											
			3　岡山県 医療法人社団同仁会　金光病院																											
			4　岡山県 医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル																											
			5　岡山県 医療法人東浩会　石川病院																											
			6　広島県 医療法人社団花園医療福祉会　花園クリニック																											
9	那須　宣弘	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔			↔				↔												
		施設所在県	岡山		岡山		愛媛																							
		巡回施設数	2		2		2																							
		担当施設	1　岡山県 医療法人社団新風会　玉島中央病院																											
			2　岡山県 倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院																											
			3　岡山県 医療法人水清会　水島第一病院																											
			4　岡山県 医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院																											
			5　愛媛県 医療法人聖ルカ会　木原病院																											
			6　愛媛県 医療法人慈風会　白石病院																											

10	鈴木　啓子	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔	↔			↔			↔	↔									
		施設所在県 巡回施設数											岡山 2				兵庫 2				兵庫 1									
		担当施設	1　岡山県 医療法人雄風会　あしもりクリニック																											
			2　岡山県 一般財団法人操風会　岡山旭東病院																											
			3　兵庫県 社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター																											
			4　兵庫県 医療法人社団一陽会　服部病院																											
			5　兵庫県 IHI播磨病院																											
11	小島　一範	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔	↔			↔				↔									
		施設所在県 巡回施設数											岡山 広島 2　1				岡山 1				広島 2									
		担当施設	1　岡山県 備前市国民健康保険　市立吉永病院																											
			2　岡山県 医療法人豊医会　原医院																											
			3　岡山県 医療法人　平病院																											
			4　広島県 医療法人紫苑会　藤井病院																											
			5　広島県 医療法人社団増原会　東城病院																											
			6　広島県 地方独立行政法人　府中市病院機構　府中市民病院																											
12	渡辺　大喜	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔	↔				↔			↔									
		施設所在県 巡回施設数											岡山 徳島 2　1				高知 2				広島 2									
		担当施設	1　広島県 医療法人社団常仁会　介護老人保健施設　サンスクエア沼南																											
			2　広島県 医療法人叙叙会　福山第一病院																											
			3　高知県 社会医療法人仁生会　細木病院																											
			4　高知県 医療法人五月会　須崎くろしお病院																											
			5　徳島県 医療法人　中谷医院																											

※県外施設、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。
※県外施設、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県は本学の所在地である岡山市から日帰り可能な圏内である。

(1-9)施設別巡回指導計画

(資料17)施設別巡回指導計画

総合実習Ⅰ　巡回指導計画表（理学療法学科）

| | 担当教員 | | |

4　片岡　弘明

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間				↔	↔	↔			
施設所在県				岡山	岡山	岡山			
巡回施設数				2	2	1			

担当施設

1　岡山県　社会医療法人緑壮会　金田病院
2　岡山県　公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
3　岡山県　医療法人福寿会　老人保健施設　倉敷藤戸荘
4　岡山県　医療法人行堂会　介護老人保健施設　ナーシングホーム大樹
5　岡山県　医療法人閑谷会　介護老人保健施設備前閑谷苑

5　濱岡　克伺

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔	↔			
施設所在県			岡山	岡山	岡山	岡山			
巡回施設数			1	2	1	1			

担当施設

1　岡山県　医療法人敬和会　近藤病院
2　岡山県　医療法人社団恵誠会　大西病院
3　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィックセカンド
4　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック
5　岡山県　真庭市国民健康保険　湯原温泉病院

6　山下　裕之

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔				
施設所在県			兵庫	岡山	岡山	岡山			
巡回施設数			2	1	2	1			

担当施設

1　岡山県　医療法人慶真会　大杉病院
2　岡山県　総合病院　玉野市立玉野市民病院
3　岡山県　地域医療支援病院　赤磐医師会病院
4　岡山県　医療法人　さとう記念病院
5　兵庫県　医療法人聖医会　佐用中央病院
6　兵庫県　医療法人郁芳会　青木診療所

7 増川　武利

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間				↔ ↔	↔ ↔	↔			
施設所在県 巡回施設数				岡山 広島 1 2	岡山 広島 1 1	岡山 1			

担当施設
1　岡山県 医療法人祥風会　山本整形外科医院
2　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック総社
3　岡山県 内田整形外科医院
4　広島県 医療法人慈彗会 亀川病院
5　広島県 医療法人社団福匡会　奥坊クリニック
6　広島県 医療法人辰川会　山陽病院

8 横山　暁大

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔ ↔ ↔	↔			
施設所在県 巡回施設数			岡山 1	岡山 2	広島 広島 1 1	岡山 1	岡山 1		

担当施設
1　岡山県 医療法人敬和会　介護老人保健施設　ゆうあい
2　岡山県 岡山大学病院
3　岡山県 医療法人社団同仁会　金光病院
4　岡山県 医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル
5　岡山県 医療法人東浩会　石川病院
6　広島県 医療法人社団花園医療福祉会　花園クリニック

9 那須　宣弘

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔ ↔ ↔	↔ ↔				
施設所在県 巡回施設数			岡山 1	岡山 岡山 愛媛 1 1 1	岡山 愛媛 1 1				

担当施設
1　岡山県 医療法人社団新風会　玉島中央病院
2　岡山県 倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院
3　岡山県 医療法人水清会　水島第一病院
4　岡山県 医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院
5　愛媛県 医療法人聖ルカ会　木原病院
6　愛媛県 医療法人慈風会　白石病院

10 鈴木　啓子

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔ ↔	↔ ↔	↔				
施設所在県 巡回施設数			兵庫 岡山 1 1	兵庫 岡山 1 1	兵庫 1				

担当施設
1　岡山県 医療法人雄風会　あしもりクリニック
2　岡山県 一般財団法人操風会　岡山旭東病院
3　兵庫県 社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター
4　兵庫県 医療法人社団一陽会　服部病院
5　兵庫県 IHI播磨病院

| | | |

(1-9)施設別巡回指導計画

(資料17)施設別巡回指導計画

総合実習Ⅱ　巡回指導計画表（理学療法学科）

担当教員			
1	永野　克人	実習期間	9週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日 ×9週
		巡回期間	第3週 木↔ / 第4週 木↔ / 第5週 金↔
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2 / 岡山 2 / 岡山 1
		担当施設	1　岡山県 1 2　岡山県 医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院 3　岡山県 医療法人創和会　重井医学研究所附属病院 4　岡山県 特定医療法人自由会　岡山光南病院 5　岡山県 社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター
2	山田　英司	実習期間	9週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日 ×9週
		巡回期間	第3週 火↔ / 第4週 火↔ 水↔ / 第5週 火↔ / 第6週 火↔
		施設所在県 巡回施設数	岡山 1 / 岡山 1 / 岡山 1 / 岡山 1 / 岡山 1
		担当施設	1　岡山県 独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター 2　岡山県 社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院 3　岡山県 医療法人長光会　長島病院 4　岡山県 医療法人草加草仁会　草加病院 5　岡山県 医療法人社団操仁会　岡山第一病院
3	村西　壽祥	実習期間	9週間
		週	第1週 / 第2週 / 第3週 / 第4週 / 第5週 / 第6週 / 第7週 / 第8週 / 第9週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日 ×9週
		巡回期間	第3週 火↔ / 第4週 火↔ 金↔
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2 / 岡山 2 / 岡山 1
		担当施設	1　岡山県 医療法人社団　藤田病院 2　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック西大寺 3　岡山県 株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック下中野 4　岡山県 医療法人　小西整形外科・腰痛クリニック 5　岡山県 医療法人社団吉美会　吉備高原ルミエール病院

4 片岡　弘明

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔ ↔				
施設所在県			岡山	岡山	岡山 岡山				
巡回施設数			1	1	2 1				

担当施設

1　岡山県　社会医療法人緑壮会　金田病院
2　岡山県　公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院
3　岡山県　医療法人福寿会　老人保健施設　倉敷藤戸荘
4　岡山県　医療法人行堂会　介護老人保健施設　ナーシングホーム大樹
5　岡山県　医療法人閑谷会　介護老人保健施設備前閑谷苑

5 濱岡　克伺

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔				
施設所在県			岡山	岡山	岡山				
巡回施設数			1	2	2				

担当施設

1　岡山県　医療法人敬和会　近藤病院
2　岡山県　医療法人社団恵誠会　大西病院
3　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィックセカンド
4　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック
5　岡山県　真庭市国民健康保険　湯原温泉病院

6 山下　裕之

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔	↔			
施設所在県			兵庫	兵庫	岡山	岡山			
巡回施設数			1	1	2	1			

担当施設

1　岡山県　医療法人慶真会　大杉病院
2　岡山県　総合病院　玉野市立玉野市民病院
3　岡山県　地域医療支援病院　赤磐医師会病院
4　岡山県　医療法人　さとう記念病院
5　兵庫県　医療法人聖医会　佐用中央病院
6　兵庫県　医療法人郁芳会　青木診療所

7 増川　武利

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔ ↔ ↔	↔ ↔				
施設所在県			広島	広島 岡山 岡山	広島 岡山				
巡回施設数			1	1 1 1	1 1				

担当施設

1　岡山県　医療法人祥風会　山本整形外科医院
2　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック総社
3　岡山県　内田整形外科医院
4　広島県　医療法人慈彗会　亀川病院
5　広島県　医療法人社団福匡会　奥坊クリニック
6　広島県　医療法人辰川会　山陽病院

8 横山　暁大

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔ ↔	↔ ↔	↔ ↔				
施設所在県			岡山 岡山	広島 岡山	岡山 岡山				
巡回施設数			1 1	1 1	1 1				

担当施設

1　岡山県　医療法人敬和会　介護老人保健施設　ゆうあい
2　岡山県　岡山大学病院
3　岡山県　医療法人社団同仁会　金光病院
4　岡山県　医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル
5　岡山県　医療法人東浩会　石川病院
6　広島県　医療法人社団花園医療福祉会　花園クリニック

9 那須　宣弘

実習期間：9週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔ ↔				
施設所在県			岡山	愛媛	岡山 岡山				
巡回施設数			1	2	2 1				

担当施設

1　岡山県　医療法人社団新風会　玉島中央病院
2　岡山県　倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院
3　岡山県　医療法人水清会　水島第一病院
4　岡山県　医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院
5　愛媛県　医療法人聖ルカ会　木原病院
6　愛媛県　医療法人慈風会　白石病院

10	鈴木　啓子	実習期間	9週間
		週	第1週　第2週　第3週　第4週　第5週　第6週　第7週　第8週　第9週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	↔　↔　↔　↔　↔
		施設所在県 巡回施設数	岡山 1　兵庫 1　岡山 1　兵庫 1　兵庫 1
		担当施設	1　岡山県 医療法人雄風会　あしもりクリニック 2　岡山県 一般財団法人操風会　岡山旭東病院 3　兵庫県 社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター 4　兵庫県 医療法人社団一陽会　服部病院 5　兵庫県 IHI播磨病院
11	小島　一範	実習期間	9週間
		週	第1週　第2週　第3週　第4週　第5週　第6週　第7週　第8週　第9週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	↔　↔　↔　↔　↔
		施設所在県 巡回施設数	広島 1　岡山 1　広島 2　岡山 1　岡山 1
		担当施設	1　岡山県 備前市国民健康保険　市立吉永病院 2　岡山県 医療法人豊医会　原医院 3　岡山県 医療法人　平病院 4　広島県 医療法人紫苑会　藤井病院 5　広島県 医療法人社団増原会　東城病院 6　広島県 地方独立行政法人　府中市病院機構　府中市民病院
12	渡辺　大喜	実習期間	9週間
		週	第1週　第2週　第3週　第4週　第5週　第6週　第7週　第8週　第9週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日　月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間	↔　↔
		施設所在県 巡回施設数	徳島 1　高知 2　広島 2
		担当施設	1　広島県 医療法人社団常仁会　介護老人保健施設　サンスクエア沼南 2　広島県 医療法人叙叙会　福山第一病院 3　高知県 社会医療法人仁生会　細木病院 4　高知県 医療法人五月会　須崎くろしお病院 5　徳島県 医療法人　中谷医院

※県外施設、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。

※県外施設、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県は本学の所在地である岡山市から日帰り可能な圏内である。

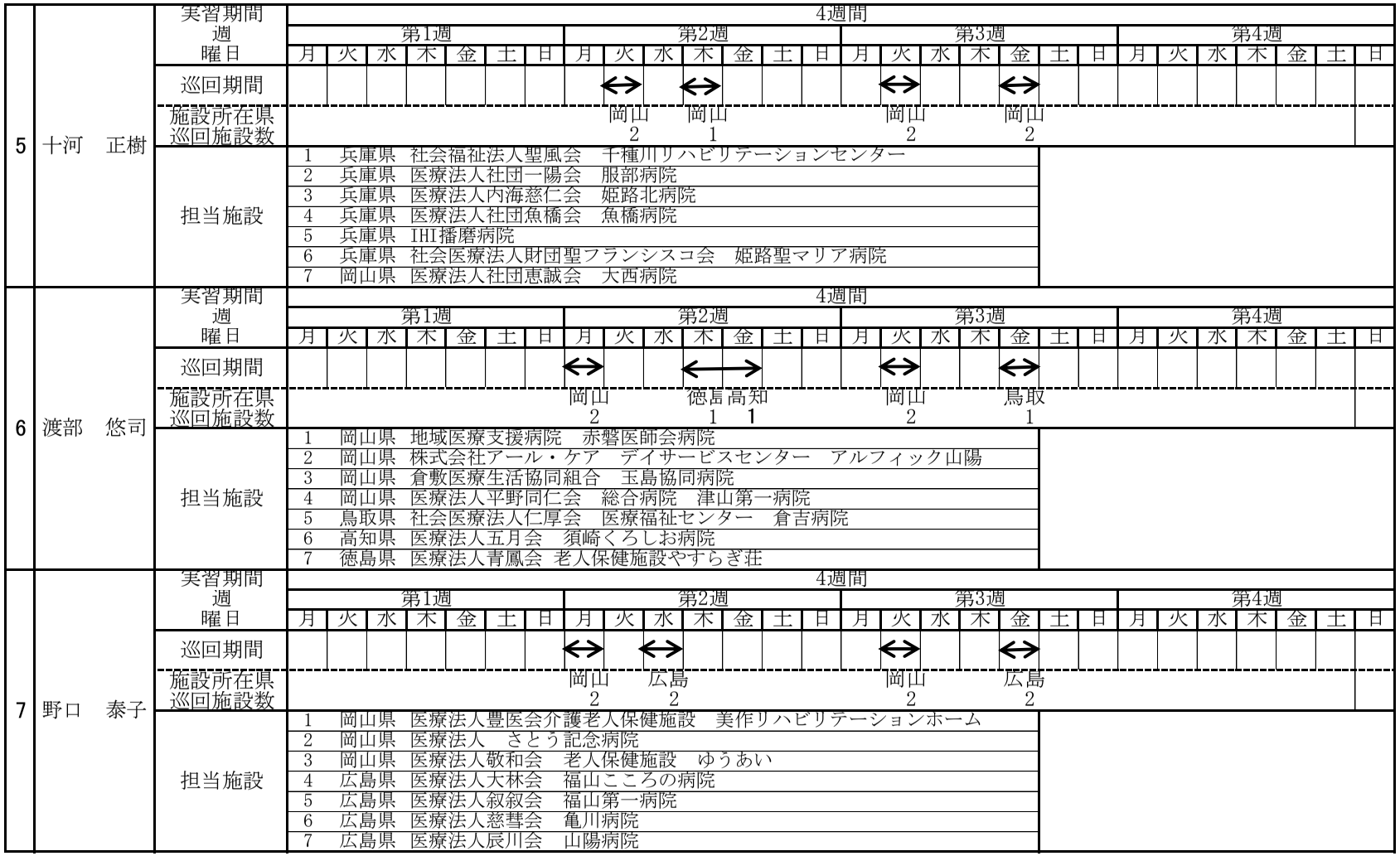
(1-9)施設別巡回指導計画

(資料17)施設別巡回指導計画　　新

評価実習　巡回指導計画表（作業療法学科）

担当教員																														
1	小林　隆司	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間											↔				↔			↔										
		施設所在県 巡回施設数	岡山 2														岡山 2			岡山 1										
		担当施設	1　岡山県　一般財団法人操風会　岡山旭東病院 2　岡山県　株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック東川原 3　岡山県　岡山大学病院 4　岡山県　医療法人長光会　長島病院 5　岡山県　株式会社アール・ケアデイサービスセンターアルフィック十日市																									
2	吉田　直樹	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔			↔				↔												
		施設所在県 巡回施設数								岡山 2				岡山 2			岡山 1													
		担当施設	1　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック尾上 2　岡山県　一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院 3　岡山県　医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院 4　岡山県　特定医療法人自由会　岡山光南病院 5　岡山県　公益財団法人　林精神医学研究所　岡山ひだまりの里病院																									
3	二木　淑子	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間								↔			↔				↔													
		施設所在地	岡山2							岡山1							岡山2													
		担当施設	1　岡山県　社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター 2　岡山県　独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター 3　岡山県　社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院 4　岡山県　医療法人淳和会　長谷川紀念病院 5　岡山県　医療法人社団新風会　玉島中央病院																									
4	林　聡	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔							↔		↔										
		施設所在県 巡回施設数								岡山 2							岡山 2			岡山 2										
		担当施設	1　岡山県　医療法人慶真会　大杉病院 2　岡山県　社会医療法人緑壮会　金田病院 3　岡山県　医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル 4　岡山県　公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院 5　岡山県　医療法人敬和会　近藤病院 6　岡山県　医療法人こまくさ会　河口医院																									

5	十河　正樹	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間									↔		↔					↔			↔									
		施設所在県 巡回施設数									岡山 2		岡山 1					岡山 2			岡山 2									
		担当施設	1　兵庫県　社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター																											
			2　兵庫県　医療法人社団一陽会　服部病院																											
			3　兵庫県　医療法人内海慈仁会　姫路北病院																											
			4　兵庫県　医療法人社団魚橋会　魚橋病院																											
			5　兵庫県　IHI播磨病院																											
			6　兵庫県　社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院																											
			7　岡山県　医療法人社団恵誠会　大西病院																											
6	渡部　悠司	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間								↔			←→					↔			↔									
		施設所在県 巡回施設数								岡山 2			徳島 1	高知 1				岡山 2			鳥取 1									
		担当施設	1　岡山県　地域医療支援病院　赤磐医師会病院																											
			2　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィック山陽																											
			3　岡山県　倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院																											
			4　岡山県　医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院																											
			5　鳥取県　社会医療法人仁厚会　医療福祉センター　倉吉病院																											
			6　高知県　医療法人五月会　須崎くろしお病院																											
			7　徳島県　医療法人青鳳会 老人保健施設やすらぎ荘																											
7	野口　泰子	実習期間	4週間																											
		週	第1週							第2週							第3週							第4週						
		曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		巡回期間								↔		↔						↔			↔									
		施設所在県 巡回施設数								岡山 2		広島 2						岡山 2			広島 2									
		担当施設	1　岡山県　医療法人豊医会介護老人保健施設　美作リハビリテーションホーム																											
			2　岡山県　医療法人　さとう記念病院																											
			3　岡山県　医療法人敬和会　老人保健施設　ゆうあい																											
			4　広島県　医療法人大林会　福山こころの病院																											
			5　広島県　医療法人叙叙会　福山第一病院																											
			6　広島県　医療法人慈彗会　亀川病院																											
			7　広島県　医療法人辰川会　山陽病院																											



※県外施設、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。
※県外施設、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県は本学の所在地である岡山市から日帰り可能な圏内である。

(1-9)施設別巡回指導計画

(資料17)施設別巡回指導計画

総合実習Ⅰ　巡回指導計画表（作業療法学科）

| 担当教員 | | |

5 十河　正樹

実習期間：10週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔ ↔	↔	↔				
施設所在県				兵庫	岡山	兵庫		兵庫		
巡回施設数				2	1	2		2		

担当施設

1　兵庫県　社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター
2　兵庫県　医療法人社団一陽会　服部病院
3　兵庫県　医療法人内海慈仁会　姫路北病院
4　兵庫県　医療法人社団魚橋会　魚橋病院
5　兵庫県　IHI播磨病院
6　兵庫県　社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院
7　岡山県　医療法人社団恵誠会　大西病院

6 渡部　悠司

実習期間：10週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔	↔	↔				
施設所在県			岡山	鳥取	徳島 高知	岡山				
巡回施設数			2	1	1 1	2				

担当施設

1　岡山県　地域医療支援病院　赤磐医師会病院
2　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィック山陽
3　岡山県　倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院
4　岡山県　医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院
5　鳥取県　社会医療法人仁厚会　医療福祉センター　倉吉病院
6　高知県　医療法人五月会　須崎くろしお病院
7　徳島県　医療法人青鳳会　老人保健施設やすらぎ荘

7 野口　泰子

実習期間：10週間

週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週
曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
巡回期間			↔	↔ ↔	↔					
施設所在県			広島	岡山 広島	岡山					
巡回施設数			2	2 2	1					

担当施設

1　岡山県　医療法人豊医会介護老人保健施設　美作リハビリテーションホーム
2　岡山県　医療法人　さとう記念病院
3　岡山県　医療法人敬和会　老人保健施設　ゆうあい
4　広島県　医療法人大林会　福山こころの病院
5　広島県　医療法人叙叙会　福山第一病院
6　広島県　医療法人慈慧会　亀川病院
7　広島県　医療法人辰川会　山陽病院

※県外施設、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。
※県外施設、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県は本学の所在地である岡山市から日帰り可能な圏内である。

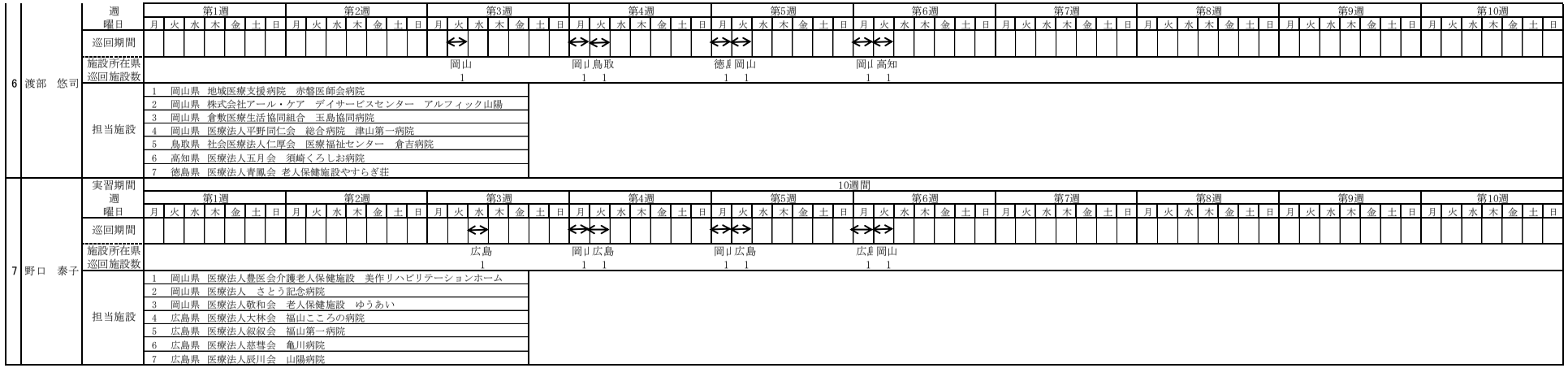
(1-9)施設別巡回指導計画

(資料17)施設別巡回指導計画

総合実習Ⅱ　巡回指導計画表（作業療法学科）

| | 担当教員 | | |

		週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週
		曜日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
6	渡部　悠司	巡回期間			↔	↔ ↔	↔ ↔	↔ ↔				
		施設所在県 巡回施設数			岡山 1	岡山 鳥取 1 1	徳島 岡山 1 1	岡山 高知 1 1				
		担当施設	1　岡山県　地域医療支援病院　赤磐医師会病院 2　岡山県　株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィック山陽 3　岡山県　倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院 4　岡山県　医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院 5　鳥取県　社会医療法人仁厚会　医療福祉センター　倉吉病院 6　高知県　医療法人五月会　須崎くろしお病院 7　徳島県　医療法人青鳳会 老人保健施設やすらぎ荘									
7	野口　泰子	実習期間	10週間									
		週 曜日	第1週 月 火 水 木 金 土 日	第2週 月 火 水 木 金 土 日	第3週 月 火 水 木 金 土 日	第4週 月 火 水 木 金 土 日	第5週 月 火 水 木 金 土 日	第6週 月 火 水 木 金 土 日	第7週 月 火 水 木 金 土 日	第8週 月 火 水 木 金 土 日	第9週 月 火 水 木 金 土 日	第10週 月 火 水 木 金 土 日
		巡回期間			↔	↔ ↔	↔ ↔	↔ ↔				
		施設所在県 巡回施設数			広島 1	岡山 広島 1 1	岡山 広島 1 1	広島 岡山 1 1				
		担当施設	1　岡山県　医療法人豊医会介護老人保健施設　美作リハビリテーションホーム 2　岡山県　医療法人　さとう記念病院 3　岡山県　医療法人敬和会　老人保健施設　ゆうあい 4　広島県　医療法人大林会　福山こころの病院 5　広島県　医療法人叙叙会　福山第一病院 6　広島県　医療法人慈彗会　亀川病院 7　広島県　医療法人辰川会　山陽病院									



※県外施設、広島県東部（福山市）は本学通学圏内であり、岡山県内の実習施設同様に巡回指導を行うことが可能である。
※県外施設、広島県、兵庫県、鳥取県、愛媛県、徳島県、高知県は本学の所在地である岡山市から日帰り可能な圏内である。

（資料17）施設別巡回指導計画　　旧

健康科学部理学療法学科及び作業療法学科では、評価実習・総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱにおいて理学療法士・作業療法士として5年以上の臨床経験をもつ専任教員で巡回指導を行う。

各実習、まず開始後3～7日以内に電話連絡で実習状況の確認を行う。確認事項に基づき、巡回担当教員は評価実習では実習1～3週目に、総合実習Ⅰ・総合実習Ⅱでは実習3～6週目に全施設の巡回指導を実施する。巡回時に実習指導者を交えて学生と面談し、学生の実習遂行水準、課題について確認を行い、学生自身の課題についての指導や悩みについての助言を行い、その後の学習への示唆を与える。また、指導者に対し指導方法についての協議・調整を行い連携を図る。

健康科学部理学療法学科
評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ

	施設名	住所	担当教員
1	医療法人聖ルカ会　木原病院	愛媛県今治市別宮町3-7-8	那須　宜弘
2	医療法人慈風会　白石病院	愛媛県今治市松本町1-5-9	那須　宜弘
3	医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル	岡山県倉敷市中庄3542-1	那須　宜弘
4	医療法人慶真会　大杉病院	岡山県高梁市柿木町24	那須　宜弘
5	総合病院　玉野市立玉野市民病院	岡山県玉野市宇野2-3-1	那須　宜弘
6	医療法人社団新風会　玉島中央病院	岡山県倉敷市玉島阿賀崎2-1-1	那須　宜弘
7	社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター	兵庫県佐用郡佐用町平福780	那須　宜弘
8	医療法人社団一陽会　服部病院	兵庫県三木市大塚218-3	那須　宜弘
9	一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院	岡山県岡山市中区倉田503-1	永野　克人
10	医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院	岡山県岡山市中区藤原21-1	永野　克人
11	医療法人創和会　重井医学研究所附属病院	岡山県岡山市南区山田2117	永野　克人
12	特定医療法人自由会　岡山光南病院	岡山県岡山市南区東畦767-3	永野　克人
13	社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター	岡山県岡山市南区箕島3566-1	永野　克人
14	医療法人雄風会　あしもりクリニック	岡山県岡山市北区下足守1900番地の1	永野　克人
15	独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター	岡山県岡山市北区田益1711-1	永野　克人
16	社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院	岡山県岡山市北区奉還町2丁目18-19	横山　暁大
17	医療法人社団吉美会　吉備高原ルミエール病院	岡山県加賀郡吉備中央町宮地3336-15	横山　暁大
18	社会医療法人緑壮会　金田病院	岡山県真庭市西原63	横山　暁大
19	公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院	岡山県倉敷市美和1-1-1	横山　暁大
20	医療法人社団増原会　東城病院	広島県庄原市東城町川東1463-1	横山　暁大
21	地方独立行政法人　府中市病院機構　府中市民病院	広島県府中市鵜飼町555-3	横山　暁大
22	医療法人社団花園医療福祉会　花園クリニック	広島県福山市花園町1丁目3-9	横山　暁大
23	医療法人社団常仁会　介護老人保健施設　サンスクエア沼南	広島県福山市水呑町3332-1	立山　暢一郎
24	医療法人叙叙会　福山第一病院	広島県福山市南蔵王町5-14-5	立山　暢一郎
25	社会医療法人仁生会　細木病院	高知県高知市大膳町37	立山　暢一郎
26	医療法人五月会　須崎くろしお病院	高知県須崎市緑町4-30	立山　暢一郎
27	医療法人　中谷医院	徳島県名西郡神山町神領西野間23-1	立山　暢一郎
28	医療法人聖医会　佐用中央病院	兵庫県佐用郡佐用町佐用3529-3	立山　暢一郎
29	医療法人郁芳会　青木診療所	兵庫県尼崎市大庄北4丁目12番10号	立山　暢一郎
30	医療法人福寿会　老人保健施設　倉敷藤戸荘	岡山県倉敷市藤戸町藤戸1580	片岡　弘明
31	医療法人行堂会　介護老人保健施設　ナーシングホーム大樹	岡山県総社市黒尾232	片岡　弘明
32	医療法人東浩会　石川病院	岡山県津山市川崎554-5	片岡　弘明
33	医療法人閑谷会　介護老人保健施設備前閑谷苑	岡山県備前市木谷217-1	片岡　弘明
34	医療法人敬和会　近藤病院	岡山県真庭市勝山1070	片岡　弘明
35	医療法人長光会　長島病院	岡山県岡山市東区瀬戸町瀬戸40-1	片岡　弘明
36	医療法人草加草仁会　草加病院	岡山県備前市西片上1122	片岡　弘明
37	医療法人社団操仁会　岡山第一病院	岡山県岡山市中区高屋343	鈴木　啓子
38	一般財団法人操風会　岡山旭東病院	岡山県岡山市中区倉田567-1	鈴木　啓子
39	医療法人社団　藤田病院	岡山県岡山市東区西大寺上3丁目8-63	鈴木　啓子
40	株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック西大寺	岡山県岡山市東区西大寺東3-8-27	鈴木　啓子
41	株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック下中野	岡山県岡山市南区下中野1415-10	鈴木　啓子
42	岡山大学病院	岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1	鈴木　啓子
43	医療法人　小西整形外科・腰痛クリニック	岡山県岡山市北区牟佐120-7	鈴木　啓子
44	医療法人社団恵誠会　大西病院	岡山県玉野市田井3-8-11	鈴木　啓子
45	株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィックセカンド	岡山県玉野市東高崎25-31	山田　英司
46	株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック	岡山県玉野市東高崎25-34	山田　英司
47	医療法人　さとう記念病院	岡山県勝田郡勝央町黒土45	山田　英司
48	真庭市国民健康保険　湯原温泉病院	岡山県真庭市下湯原56	山田　英司
49	医療法人敬和会　介護老人保健施設　ゆうあい	岡山県真庭市勝山1070	山田　英司
50	地域医療支援病院　赤磐医師会病院	岡山県赤磐市下市187-1	山田　英司
51	医療法人社団同仁会　金光病院	岡山県浅口市金光町占見新田740	山田　英司
52	倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院	岡山県倉敷市玉島柏島5209-1	小島　一範
53	医療法人水済会　水島第一病院	岡山県倉敷市神田2-3-33	小島　一範
54	医療法人祥風会　山本整形外科医院	岡山県倉敷市林348	小島　一範
55	株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック総社	岡山県総社市三須1524-4	小島　一範
56	内田整形外科医院	岡山県津山市山北550	小島　一範
57	医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院	岡山県津山市中島438	小島　一範
58	備前市国民健康保険　市立吉永病院	岡山県備前市吉永町吉永中563-4	小島　一範
59	医療法人豊医会　原医院	岡山県美作市豊国原363-2	増川　武利
60	医療法人　平病院	岡山県和気郡和気町尺所438	増川　武利
61	医療法人慈尊会 亀川病院	広島県福山市神辺町字下御領682-1	増川　武利
62	医療法人社団福匡会　奥坊クリニック	広島県福山市西桜町1-6-1	増川　武利
63	医療法人辰川会　山陽病院	広島県福山市野上町2-8-2	増川　武利
64	医療法人紫苑会　藤井病院	広島県福山市鞆町鞆323	増川　武利
65	IHI播磨病院	兵庫県相生市旭3-5-15	増川　武利

健康科学部作業療法学科
評価実習、総合実習Ⅰ、総合実習Ⅱ

	施設名	住所	担当教員
1	医療法人慶真会　大杉病院	岡山県高梁市柿木町24	林　聡
2	医療法人社団新風会　玉島中央病院	岡山県倉敷市玉島阿賀崎2-1-1	林　聡
3	社会医療法人仁厚会　医療福祉センター　倉吉病院	鳥取県倉吉市山根43	林　聡
4	社会医療法人財団聖フランシスコ会　姫路聖マリア病院	兵庫県姫路市仁豊野650番地	林　聡
5	一般財団法人操風会　岡山リハビリテーション病院	岡山県岡山市中区倉田503-1	林　聡
6	医療法人　竜操整形　竜操整形外科病院	岡山県岡山市中区藤原21-1	林　聡
7	特定医療法人自由会　岡山光南病院	岡山県岡山市南区東畦767-3	林　聡
8	公益財団法人　林精神医学研究所　岡山ひだまりの里病院	岡山県岡山市南区北浦822-2	林　聡
9	社会福祉法人淳風福祉会　若宮老人保健センター	岡山県岡山市南区箕島3566-1	林　聡
10	独立行政法人国立病院機構　岡山医療センター	岡山県岡山市北区田益1711-1	吉田　直樹
11	社会医療法人鴻仁会　岡山中央奉還町病院	岡山県岡山市北区奉還町2丁目18-19	吉田　直樹
12	医療法人淳和会　長谷川紀念病院	岡山県新見市高尾793-6	吉田　直樹
13	社会医療法人緑壮会　金田病院	岡山県真庭市西原63	吉田　直樹
14	医療法人和香会　倉敷スイートホスピタル	岡山県倉敷市中庄3542-1	吉田　直樹
15	公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構　倉敷中央病院	岡山県倉敷市美和1-1-1	吉田　直樹
16	医療法人　比治山病院	広島県広島市南区上東雲町3-1	吉田　直樹
17	医療法人大林会　福山こころの病院	広島県福山市佐波町576-1	吉田　直樹
18	医療法人叙叙会　福山第一病院	広島県福山市南蔵王町5-14-5	十河　正樹
19	医療法人五月会　須崎くろしお病院	高知県須崎市緑町4－30	十河　正樹
20	医療法人青風会 老人保健施設やすらぎ荘	徳島県吉野川市鴨島町上下島495-5	十河　正樹
21	社会福祉法人聖風会　千種川リハビリテーションセンター	兵庫県佐用郡佐用町平福780	十河　正樹
22	医療法人社団一陽会　服部病院	兵庫県三木市大塚218-3	十河　正樹
23	医療法人内海慈仁会　姫路北病院	兵庫県神崎郡福崎町南田原1134-2	十河　正樹
24	医療法人社団魚橋会　魚橋病院	兵庫県相生市若狭野町若狭野235-26	十河　正樹
25	医療法人敬和会　近藤病院	岡山県真庭市勝山1070	十河　正樹
26	医療法人豊医会　介護老人保健施設　美作リハビリテーションホーム	岡山県美作市豊国原1057-1	十河　正樹
27	医療法人長光会　長島病院	岡山県岡山市東区瀬戸町瀬戸40-1	渡部　悠司
28	医療法人こまくさ会　河口医院	岡山県玉野市宇野5-1-1	渡部　悠司
29	一般財団法人操風会　岡山旭東病院	岡山県岡山市中区倉田567-1	渡部　悠司
30	株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック東川原	岡山県岡山市中区東川原160-1	渡部　悠司
31	岡山大学病院	岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1	渡部　悠司
32	株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック十日市	岡山県岡山市北区十日市西町11-6	渡部　悠司
33	株式会社アール・ケア　デイサービスセンターアルフィック尾上	岡山県岡山市北区尾上356-1	渡部　悠司
34	医療法人社団恵誠会　大西病院	岡山県玉野市田井3-8-11	渡部　悠司
35	医療法人　さとう記念病院	岡山県勝田郡勝央町黒土45	渡部　悠司
36	医療法人敬和会　老人保健施設　ゆうあい	岡山県真庭市勝山1070	野口　泰子
37	地域医療支援病院　赤磐医師会病院	岡山県赤磐市下市187-1	野口　泰子
38	株式会社アール・ケア　デイサービスセンター　アルフィック山陽	岡山県赤磐市岩田57-1	野口　泰子
39	倉敷医療生活協同組合　玉島協同病院	岡山県倉敷市玉島柏島5209-1	野口　泰子
40	医療法人平野同仁会　総合病院　津山第一病院	岡山県津山市中島438	野口　泰子
41	医療法人　平病院	岡山県和気郡和気町尺所438	野口　泰子
42	医療法人慈尊会　亀川病院	広島県福山市神辺町字下御領682-1	野口　泰子
43	医療法人辰川会　山陽病院	広島県福山市野上町2-8-2	野口　泰子
44	IHI播磨病院	兵庫県相生市旭3-5-15	野口　泰子

別紙1-10 カリキュラムマップ

(資料2)健康科学部 理学療法学科
カリキュラム マップ

(新)

岡山医療専門職大学 健康科学部 理学療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた理学療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	理学療法の課題について分析し、論理的に探求する力を備える。	理学療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、身体機能の維持・改善および予防に寄与する力を高め健康寿命の延伸のために尽力し、地域のニーズに多職種と協働して貢献する力を備える。	職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
カリキュラムポリシー	社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。	理学療法分野の諸課題を解決するための論理的思考力と基礎的研究力を培う。	理論と実践を架橋し、理学療法士に求められる最新の知識と高度な専門技術を修得し、専門性・実践性を錬磨して応用力を涵養し、一段高い実践力を育成する。	対象者を深く理解し、対象者の健康寿命を延伸する力と、多職種と連携して組織を運営する力を身につけ、地域を活性化する力を育成する。	職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
学びの流れ 4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用治療技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用治療技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用治療技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ	スポーツ科学　マネジメント論 起業入門　コーチング論 NPO論　岡山経営者論	
3年次	基盤ゼミⅡ コミュニケーション論	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括ケアマネジメント論　生涯スポーツ実習 基礎理学療法実習Ⅱ　義肢装具学 理学療法管理学概論　地域理学療法学 理学療法評価学実習Ⅲ　予防理学療法学 物理療法実習　評価実習 理学療法治療学実習Ⅲ　総合実習Ⅰ 老年期障害理学療法学　総合演習Ⅰ 理学療法演習Ⅱ	食生活マネジメント論 生体情報科学 人間形成論 人間関係論	メディカル英語
2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ　物理療法 運動学実習　理学療法治療学Ⅰ 精神医学　理学療法治療学Ⅱ 整形外科学　理学療法治療学Ⅲ 神経内科学　理学療法治療学Ⅳ 小児科学　理学療法治療学実習Ⅰ 基礎理学療法学　理学療法治療学実習Ⅱ 基礎理学療法実習Ⅰ　日常生活活動学 理学療法評価学Ⅱ　日常生活活動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ　生活環境学 理学療法評価学実習Ⅱ　理学療法演習Ⅰ 運動療法実習Ⅰ　スポーツ理学療法特論 運動療法実習Ⅱ	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
1年次	職業人の倫理と道徳論	情報収集と処理	基礎生物　理学療法概論 基礎物理　病理学 解剖学　内科学 解剖学実習Ⅰ　リハビリテーション概論 生理学　理学療法評価学Ⅰ 生理学実習　見学実習 運動学　リハビリテーション医学 人間発達学　運動療法 臨床医学概論　多職種連携論	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

(資料2)健康科学部 理学療法学科
カリキュラムマップ

(旧)

岡山専門職大学 健康科学部 理学療法学科 カリキュラムマップ

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた理学療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観と豊かな人間力を備え、自ら考え学び続ける自主の精神を備える。	論理的思考能力と研究スキルを備える。	医療専門分野の最新の知識と専門技能を備え、高質なヒューマンサービスを基礎として専門業務を主導できる高度な実践力を備える。	関連する他分野の視角と知識を活用して、新たなサービスを生み出していく豊かな創造力を備える。	医療現場で必要な国際的視野を備える。
カリキュラムポリシー	高い倫理観と、他者に共感できる誠実な人間力を育み、持続的な自己研鑽の姿勢を涵養する。	論理的思考能力と基本的な研究スキルを身につける。	理論と実践を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得し、医療現場で専門性・実践性を錬磨し、関連職種と連携する技能を育成する。	職業現場で創造的な役割を果たし、関連する他分野の視角と知識を活用して新たなサービスを提供できる力を育成する。	国際的視野を広げ、職業現場で必要な英語力を身につける。
学びの流れ 4年次	基盤ゼミⅣ	卒業論文 総合研究Ⅱ	上級治療実習Ⅰ(徒手療法) 上級治療実習Ⅱ(リハビリ工学) 上級治療実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 理学療法セミナーⅠ 理学療法セミナーⅡ	サービス革新モデル　地域活性化モデル 岡山経営者論 食生活マネジメント論　ライフサイクル論 スポーツ科学　生活経済論Ⅱ 歯科保健論　マネジメント論 人間工学　コーチング論	
3年次	基盤ゼミⅢ コミュニケーション論	テーマ設定と研究方法 総合研究Ⅰ 研究デザイン	地域包括ケアマネジメント論　生涯スポーツ実習 基礎理学療法実習Ⅱ　義肢装具学 理学療法管理学概論　地域理学療法学 理学療法評価学実習Ⅲ　予防理学療法学 物理療法実習　評価実習 理学療法治療学実習Ⅲ　総合実習Ⅰ 老年期障害理学療法学　総合演習Ⅰ 理学療法演習Ⅱ	家族関係論 人間形成論 生活経済論Ⅰ サービス創造論	メディカル英語 国際政治経済論
2年次	基盤ゼミⅡ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ　物理療法 運動学実習　理学療法治療学Ⅰ 精神医学　理学療法治療学Ⅱ 整形外科学　理学療法治療学Ⅲ 神経内科学　理学療法治療学Ⅳ 小児科学　理学療法治療学実習Ⅰ 基礎理学療法学　理学療法治療学実習Ⅱ 基礎理学療法実習Ⅰ　日常生活活動学 理学療法評価学Ⅱ　日常生活活動学実習 理学療法評価学実習Ⅰ　生活環境学 理学療法評価学実習Ⅱ　理学療法演習Ⅰ 運動療法実習Ⅰ　スポーツ理学療法特論 運動療法実習Ⅱ	ヒューマンサービス論	
1年次	基盤ゼミⅠ 職業人の倫理と道徳論	情報収集と処理	基礎生物　理学療法概論 基礎物理　病理学 解剖学　内科学 解剖学実習Ⅰ　リハビリテーション概論 生理学　理学療法評価学Ⅰ 生理学実習　見学実習 運動学　リハビリテーション医学 人間発達学　運動療法 臨床医学概論　多職種連携論	健康科学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

(資料2)健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

岡山医療専門職大学 健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

(新)

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた作業療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観とコミュニケーション力を身につけ、自ら学び続ける姿勢を備える。	作業療法の課題について分析し、論理的に探究する力を備える。	作業療法の最新の知識と専門技能を身につけ、高い応用力を備える。	対象者の思いを受け止め共有して、幅広い世代が住み慣れたところでいきいきと生活するために必要なサービスを提供し、多職種と協働して安心して暮らせる地域コミュニティづくりに貢献する力を備える。。	職業現場で外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
カリキュラムポリシー	社会人としての倫理性を育み、発信力と対話力を磨き、自己研鑽の姿勢を涵養する。	作業療法分野の諸課題を解決するための論理的思考能力と基礎的研究力を培う。	理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得し、医療現場で専門性・実践性を練磨し、関連職種と連携する技能を育成する。	対象者を深く理解し、対象者を取り巻く地域の課題を解決し、対象者が自立した生活を送れるよう支援し、多職種と連携して地域コミュニティづくりに貢献できる力を育成する。	職業現場において外国人患者を受け入れる姿勢をもち患者の訴えが理解できるレベルの英語力を備える。
4年次		卒業論文 総合研究Ⅱ	応用活動技術実習Ⅰ(徒手療法) 応用活動技術実習Ⅱ(リハビリ工学) 応用活動技術実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法セミナーⅡ	人間工学 地域生活と健康 特別支援教育 ライフサイクル論 岡山経営者論	
3年次	コミュニケーション論 基盤ゼミⅡ	総合研究Ⅰ 研究デザイン テーマ設定と研究方法	地域包括マネジメント論 作業療法管理学概論 身体障害作業療法実習Ⅲ 老年期障害作業療法実習 義肢装具学 基礎作業療法治療学 基礎作業療法治療学実習Ⅰ 基礎作業療法治療学実習Ⅱ 予防作業療法学 地域作業療法学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅲ 身体障害作業療法学Ⅳ 作業療法演習Ⅱ	地域社会論 コミュニティ形成論 人間形成論 人間関係論 家族関係論	メディカル英語
2年次	基盤ゼミⅠ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅰ 作業療法評価学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅲ 生活環境学 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法実習Ⅰ 身体障害作業療法実習Ⅱ 老年期障害作業療法学 作業療法演習Ⅰ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 精神障害作業療法学	ヒューマンサービス論	国際政治経済論
1年次	職業人の倫理と道徳論	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 作業療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 見学実習 リハビリテーション医学 基礎作業学 多職種連携論 作業療法評価学	健康科学概論 心理学 哲学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

学びの流れ

(資料2)健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

岡山専門職大学 健康科学部 作業療法学科 カリキュラムマップ

(旧)

医療・保健・福祉分野を主導する高度な実践力と豊かな創造力を身につけた作業療法士になる。

ディプロマポリシー	高い倫理観と豊かな人間力を備え、自ら考え学び続ける自主の精神を備える。	論理的思考能力と研究スキルを備える。	医療専門分野の最新の知識と専門技能を備え、高質なヒューマンサービスを基礎として専門業務を主導できる高度な実践力を備える。	関連する他分野の視角と知識を活用して、新たなサービスを生み出していく豊かな創造力を備える。	医療現場で必要な国際的視野を備える。
カリキュラムポリシー	高い倫理観と、他者に共感できる誠実な人間力を育み、持続的な自己研鑽の姿勢を涵養する。	論理的思考能力と基本的な研究スキルを身につける。	理論と実習を架橋し、最新の知識と高度な専門技術を修得し、医療現場で専門性・実践性を練磨し、関連職種と連携する技能を育成する。	職業現場で創造的な役割を果たし、関連する他分野の視角と知識を活用して新たなサービスを提供できる力を育成する。	国際的視野を広げ、職業現場で必要な英語力を身につける。
4年次	基盤ゼミⅣ	卒業論文 総合研究Ⅱ	上級治療実習Ⅰ(徒手療法) 上級治療実習Ⅱ(リハビリ工学) 上級治療実習Ⅲ(セルフコンディショニング) 総合実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法セミナーⅡ	サービス革新モデル 岡山経営者論 食生活マネジメント論 スポーツ科学 歯科保健論 人間工学 地域活性化モデル ライフサイクル論 生活経済論Ⅱ マネジメント論 コーチング論	
3年次	基盤ゼミⅢ コミュニケーション論	テーマ設定と研究方法 総合研究Ⅰ 研究デザイン	地域包括マネジメント論 作業療法管理学概論 作業療法評価学実習Ⅲ 基礎作業療法治療学実習Ⅱ 身体障害作業療法実習Ⅲ 老年期障害作業療法実習 精神障害作業療法学 作業療法演習Ⅱ 地域作業療法学 義肢装具学 評価実習 総合実習Ⅰ 総合演習Ⅰ	家族関係論 人間形成論 生活経済論Ⅰ サービス創造論	メディカル英語 国際政治経済論
2年次	基盤ゼミⅡ	統計分析の基礎	解剖学実習Ⅱ 運動学実習 精神医学 整形外科学 神経内科学 小児科学 基礎作業学実習Ⅰ 基礎作業学実習Ⅱ 作業療法評価学実習Ⅰ 作業療法評価学実習Ⅱ 基礎作業療法治療学 基礎作業療法治療学実習Ⅰ 生活環境学 身体障害作業療法学Ⅰ 身体障害作業療法学Ⅱ 身体障害作業療法学Ⅲ 身体障害作業療法実習Ⅰ 身体障害作業療法実習Ⅱ 発達障害作業療法学 老年期障害作業療法学 作業療法演習Ⅰ 日常生活活動学 日常生活活動学実習 予防作業療法学	ヒューマンサービス論	
1年次	基盤ゼミⅠ 職業人の倫理と道徳論	情報収集と処理	基礎生物 基礎物理 解剖学 解剖学実習Ⅰ 生理学 生理学実習 運動学 人間発達学 臨床医学概論 作業療法概論 病理学 内科学 リハビリテーション概論 見学実習 リハビリテーション医学 基礎作業学 多職種連携論 作業療法評価学	健康科学概論	コミュニケーション英語 日本の歴史と文化

学びの流れ